

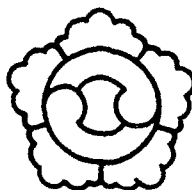
# 正 誤 表

第 一 部	誤	正	第 三 部	誤	正	三 部	誤	正
I-7頁第2段第1行	所得總額 21億餘圓	所得總額 211億餘圓	1946. 1	8,793,565	8,904,695	///	쌀사-지의 1946. 1~7.10 價格及指數	한單位 윤닐것
I-16頁第2段 第40行	回避할수가 없었다	回避할수도 없었다	2	8,782,394	8,883,633	///		
I-17頁第2段 第20行	...發展輸出 에...	...發展令期 하여輸出...	4	9,155,178	9,195,431	///	挽材의 指數	21,142.85 2,142.85
I-47頁第23行	(第53表)	(第52表)	5	9,113,955	9,220,952	///	1915.12	
I-79頁第15表	1911~194	1911~1942	7	10,067,719	10,332,760	///	1947.11	2,400 4,500
I-81頁目次	II解放前의 様相	II過去의朝 鮮經濟	8	10,752,806	10,961,998	///	III-130頁角鐵의 1 47 1 指數	333.33 3,333.33
I-164頁第22表	挿入	註)朝鮮各 年總計其他 國各月平均	1947. 3	17,191,319	17,193,620	///	鐵釘單位	1,000斤 108斤
I-165頁第23表			4	17,191,739	17,239,535	///	1946 8 鐵線의 價格	挿入 1,300
I-177頁第45表			7	19,637,735	18,637,735	///	III-131頁石炭의 1946 2 指數	187.31 817.31
I-165頁第29表	1937年貨物 總數 72,370	12,370	III-74頁第5表 第5欄 1935年	6,101	6,901	///	1947.12 煤炭의 ///	272.72 2,272.72
I-187頁1表題目	1946年港月 別港別.....	1946年月別 港別.....	III-76頁第5欄 1947.10	1,110,476	999,303	///	III-133頁牛皮의 1947 3 指數	355.71 535.71
I-185頁第11表中 (1646年7月 以後)		(1946年7月 以後)	III-79頁第12欄 1947. 8	135,000	153,000	///	7 牛의 ///	26,186.95 26,086.95
I-217頁	서울市生活 必需品.....	(第5圖)서울市生活 必需品.....	III-120頁 第127表	(129) 서울 市都發.....	(127) 서울 市都發.....	///	1947.10 1 양의 價格	10,900 10,800
I-219頁第1段 第23行	第五・六圖	III-115頁 의圖表及第 5圖	III-123頁粟의 1946. 11 指數	666.66	616.66	///	III-134頁白米의 1947. 8 價格	1,349 1,240
I-222頁第1段 第24行	第五圖	III-115頁 의圖表	1946. 5 荏子의 指數	39,003.90	39,603.90	///	III-135頁荏子의 1946.10 價格	1,000 900
I-222頁第1段 第38行	///	///	III-124頁牛肉의 1947.11 價格	17,900	19,000	///	1945. 8 된장砂糖의 1946. 3 指數	한單位 윤닐것
I-224頁第1段 第34行	///	///	///	1,133.33	1,266.66	///	5 指數	58,333.33 66,666.66
I-225頁第2段 第5行	第六圖	第五圖	III-125頁乾海苔 1947.12 價格	2,000	2,500	///	III-136頁鷄卵의 1946. 7 價格	45 40
I-231頁第1段 第3行	第五圖	III-115頁 의圖表	III-126頁棉絲의 1946. 3 指數	1,000.00	10,000.00	///	III-137頁白菜의 1945. 8 價格	31 8
I-231頁第1段 第26行	///	///	1946.12 價格	205,000	200,000	///	1946. 4 指數	1,500.00 15,000.00
I-367頁第100表	挿 入	(1945年末 現在)	1947 7 指數	250,000	230,000	///	1947.12 日本酒의 1945.12 價格	10,000.00 40,000.00
I-378頁第3表 題目	1945年7月 3日現在	1945年7月 31日現在	1946. 8 人粗絲의 指數	1,600.00	16,000.00	///	1945.12 燒酒의單位	11 20度一甌 20度一瓶
			1946. 6 廣木의 指數	2,682.92	26,829.26	///	1946. 7 藥酒의單位	一甌 一瓶
第 三 部	誤	正	///	///	///	///	1946. 7 麥酒 指數	16,857.14 12,857.14
III-74頁1932.	125,622	124,622	1945.11 內廣木의 ///	365.83	395.83	///	III-138頁 香의 1946. 4 指數	714.28 857.14
1935	174,938	220,776	///	618.75	18,750.00	///	1947. 4 毛本緞의 指數	2,668.96 2,068.96
1943	1,445,878	1,466,777	1946. 6 生細布의 ///	1,500.26	22,196.26	///	6 指數	2,298.73 2,528.73
1945. 1	3,199,393	3,245,558	///	0,022.19	22,196.26	///	7 指數	2,278.73 2,528.73
2	3,391,372	3,410,369	///	25,900.90	956.52	///	1947.7 麻布의 ///	2,785.71 1,785.71
4	3,786,606	3,798,946	III-127頁 香의 1947. 7 指數	7,000.00	6,000.00	///	8 사지의 ///	67,741.93 17,741.93
5	3,978,024	4,049,834	III-128頁 高等人 絹牛織의 1946. 5 價格	350	850	///	1947. 2 長所 1947. 4 指數	35,483.87 48,387.09 7,333.33 10,000.00
6	4,337,975	4,376,970	III-129頁 亨布의 1947. 6,7 指數	30,476.19	33,333.33	///	1947. 2 木炭 價格	174.28 714.28
8	7,712,755	7,987,791	///	3,200	3,500	///		570 270
10	8,997,893	8,797,893	///			///		
12	8,705,821	8,763,341	///			///		

# 朝鮮經濟年報

ANNUAL ECONOMIC REVIEW  
OF  
KOREA

1948年版



朝鮮銀行調查部

*Research Dept.*  
*Bank of Chosun*





# 發 刊 에 際 하 여

國內外的 激動과混沌속에서 新生朝鮮의 政治와經濟를再建함에 가장切緊한것은 모-든部門에있어서의 具體의內容에關한 正確한 知識이다. 우리는 正確한 事實究明을通해서만 適切한 施策을模索해낼수있는것이다. 이것이 本年報의編纂을 企圖한動機이다.

軍政期間을 獨立準備期라고하면 이間隙를活用하여 解放後 諸般混亂에依하여 散逸되어있는 統計와素材의 體系의綜合整備야말로 우리經濟人에 尤負荷된當面한責務의하나라고 自任하는바이며, 本年報刊行에 着眼한 素志는 또한 여기에있었다.

過去 日政下에서도 數種의同類文獻의刊行을보았다. 그러나 解放後三年을 經過한今日 此種刊行物이 全無함은 制約도制約이러니와 우리의부고름이 아닐수없다. 이것이 菲力을不顧하고 當行調査部가 本年報의刊行을 決意하게된근刺戟이었다.

以上의趣旨와動機에서 本年報는 主로 解放後의 朝鮮經濟의實態를 取材對象으로하여 統計를中心으로한 記錄의集成을 目標하였다.

解放後의 經濟動態를解明함에는 自然解放前의 朝鮮經濟의實相과 性格에對한 準備把握을 前提로한다. 그러므로 各項目에있어서 解放前朝鮮經濟의 一般의性格과 그發展段階를說明한部分도적지않았다. 이같이 本年報는 具體的인 客觀的事實의記述과 分析解明에서부터 當面問題의提示까지를限界로 專力한것이며 所謂政策論乃至는批判을爲한批判은 一切를避하였다. 本年報의編纂者들은 現今의情勢가 許하는限界內에서 모-든資料를 널리蒐集하기에努力하였으며, 그希企한바는 今後朝鮮經濟發展動向의 指針的役割은 하지못할지라도 動態의인鳥瞰圖인 同時에 基礎的資料輯覽으로서 朝鮮經濟動向에 關心을갖는各界人士에게 忠實한立體的인參考書가되기를 期待한것이다.

即, 우선 第一部에서는 經濟部門別로 過去三年間에있어서의 一般의인動態를 記述하였으며, 다음 第二部에서는 그동안에있어서의 經濟界의 重要「메모」、關係法規、輿論、團體等을 側面的으로 概觀하였다. 그리고 第三部에서는 各部門을網羅한 經濟統計를 集載하였다.

그러나 資料獲得의 質的時間的인困難과더부러 編輯及記述方法의 未熟練으로서 全體的으로 精粗不統一이 不辭하였을것이며 所期한目的의一端이나마 達成되었을지 스스로 疑懼하여마지않는바이다. 다만 多幸이 當部의努力과微衷이 祖國再建에 多少라도寄與되는바있다면 當行의 本懐이며 望外의光榮으로 生覺하는바이다.

願컨대 此種刊行이 全國的인課業임에鑑하여 發刊의必要性을贊同하심과 弊行의所意를 鞭撻하시는데趣旨에서 各方面權威諸位의忌憚없는 叱正과敎示를 仰望하여마지않는바이다.

끝으로 本年報編纂推進에있어서 特히 下記諸機關으로부터 終始 絶大한援助를 받았음을 여기에 銘記하는同時에 아울러 感謝의뜻을 表하고자한다.

中央經濟委員會	中央物價行政處	朝鮮紡績協會	朝鮮信託銀行
商務委員會	生活品管理院	朝鮮尋易協會	朝鮮換金銀行
商報部	서울市廳	韓國馬事協會	金融組合聯合會
農務部	國立圖書館	朝鮮損害保險協會	京城電氣株式會社
勞務部	海岸警備隊預備課	朝鮮生命保險協會	和信百貨店
運輸部	서울地方審理院登記課	朝鮮貯蓄銀行	東和百貨店
信託部	서울貯金管理局	朝鮮商業銀行	產業經濟研究所
厚生部	朝鮮農會	朝鮮商業銀行	乙酉文化會社
外務部	朝鮮海運協會	朝鮮興業銀行	朝鮮書籍印刷株式會社
	朝鮮水產業會	朝鮮相互銀行	大建印刷所

一九四八年六月三十日

朝鮮銀行調查部長

朴 在 都

# 1948年版

## 朝鮮經濟年報總目次

目 次……………目-1~10

### 第1部 動態調查編

1. 人口・資源……………I- 3~ 26
2. 産業・貿易……………I- 27~136
3. 動力・燃料……………I-137~153
4. 運輸・遞信……………I-154~199
5. 勞動・勞賃……………I-200~216
6. 物價・市況……………I-217~235
7. 食糧事情……………I-236~251
8. 景氣・投資……………I-252~263
9. 財政・金融……………I-264~314
10. 特殊問題……………I-315~390
- 附 地方經濟概況……………地-1~96

### 第2部 記錄文獻編

1. 經濟日誌……………II- 3~ 31

2. 經濟法規……………II- 32~116
3. 經濟論叢……………II-117~134
4. 經濟團體……………II-135~138

### 第3部 統計編

1. 總括表……………III- 7~ 14
2. 人口・土地……………III- 15~ 20
3. 産 業……………III- 21~ 40
4. 貿 易……………III- 41~ 60
5. 金 融……………III- 61~110
6. 財 政……………III-111~114
7. 物 價……………III-115~142
8. 勞 動……………III-143~158
9. 運 輸……………III-159~166
10. 動力・燃料……………III-167~182
11. 企 業……………III-183~196
12. 外國統計……………III-197~234

本 文	818頁
圖 表	62
總 計	880頁

# 內 容 目 次

## 第 1 部 動 態 調 查 編

### I. 人 口 資 源

#### △人 口 動 態

1. 緒 論	I- 3
(1) 人口統計的現狀	I- 3
(2) 南朝鮮人口의 片々相	I- 3
2. 解放後經濟面에 反映된 人口動態	I- 4
(1) 生産再建斗 年齡構成	I- 4
(2) 都市集中의 趨勢一般	I- 4
(3) 職業別構成推移	I- 5
(4) 農業人口의 實態	I- 5
(5) 勞動者斗 人口	I- 5
3. 生産、分配、所得實情斗 人口	I- 6
(1) 生産力의 減退	I- 6
(2) 食糧의 不足	I- 7
(3) 管理資金의 低下	I- 7
(4) 所得額別 人口	I- 7
4. 社會事情에 照應된 人口의 片貌	I- 7
(1) 解放斗 人口의 動態	I- 7
(2) 失業者의 構成內容	I- 8
(3) 南下同胞의 實況	I- 9
(4) 公的救護의 對象人口	I- 10
(5) 犯罪率和斗 人口의 變貌	I- 10
(6) 政治運動基盤斗 人口	I- 11
5. 結論에 代하여	I- 11
(1) 海外在住 人口	I- 11
(2) 國內在住 外國人	I- 12
(3) 不在 人口	I- 12

#### 【附 表】

第1表	解放前後南朝鮮人口의 推移表	I- 3
第2表	年齡別南朝鮮死亡者數	I- 4
第3表	南朝鮮年齡別癡疾者人口表	I- 4
第4表	食糧受配人口一覽表	I- 4
第5表	서울市及京畿道人口의 增減表	I- 4
第6表	1946. 9. 30現在道別性別人口統計	I- 5
第7表	1946. 9. 30現在道別性別就業者人口統計	I- 5
第8表	南朝鮮道別性別失業者人口統計	I- 5
第9表	1942及45年道別農業戶數及人口表	I- 5
第10表	南朝鮮業種別工場及勞動者數一覽表	I- 6
第11表	學歷別南朝鮮勞動者構成表	I- 6
第12表	地位別性別南朝鮮勞動者一覽表	I- 6
第13表	年齡別男女勞動者數	I- 6
第14表	工業生産品配給一覽表	I- 7
第15表	外國糧食輸入實績表	I- 7
第16表	解放後南朝鮮貸貸金推移表	I- 7
第17表	第3種所得稅等級別人口一覽表	I- 7
第18表	道別虎列刺罹病者及死亡者數	I- 8
第19表	病囚別死亡者數推移表	I- 8
第20表	交通事故에 依한 死傷人命數	I- 8
第21表	道別中等學校新入生收斂力一覽表	I- 8
第22表	道別國民學校卒業生數	I- 8
第23表	南朝鮮教育關係人口一覽表	I- 8

第24表	學歷別性別南朝鮮人口一覽表	I- 8
第25表	南朝鮮有失業別人口表	I- 9
第26表	業種別、性別、戰災民別失業人口分析表	I- 9
第27表	有無業者構成比率表	I- 9
第28表	月別越南人口推移表	I- 9
第29表	職業別越南人口表(1947年中)	I- 9
第30表	職業別及理由別越南人口表(1947年5-6月中)	I- 9
第31表	越南地點別年齡別越南人口表	I- 9
第32表	救護者一覽表	I- 10
第33表	米穀收集令違反에 依한 受刑者一覽表	I- 10
第34表	暴利事件取締件數	I- 10
第35表	各警察管區別의 事件及被害狀況表	I- 10
第36表	犯罪內容及刑務所別在監者數	I- 10
第37表	政治團體及勞動組合關係人口表	I- 11
第38表	解放後國籍別南朝鮮人口增減表	I- 11
第39表	南朝鮮在住國籍別外國人一覽表	I- 12
第40表	海外旅行者國別及目的地別一覽表	I- 12
第41表	1947年7月末現在道別性別文盲者數	I- 12
	※ 朝鮮人口年齡構成(圖表)	I- 13

#### △資 源 概 括

1. 農 業 資 源	I- 15
(1) 資源活用의 基礎條件	I- 15
(2) 食糧資源의 絕對限界	I- 16
(3) 蔬菜資源의 擴大開發	I- 17
(4) 特用作物資源의 重點	I- 18
(5) 果實資源斗 外貨獲得	I- 19
(6) 肥料資源의 問題	I- 19
2. 畜 產 資 源	I- 20
(1) 牛	I- 20
(2) 馬	I- 20
(3) 豚	I- 20
(4) 綿 羊	I- 21
(5) 鷄	I- 21
(6) 兎	I- 21
(7) 蜂	I- 21
(8) 增産의 要諦	I- 21
3. 林 產 資 源	I- 21
(1) 林野資源斗 沙漠	I- 21
(2) 林野面積斗 蓄積量	I- 21
(3) 苗圃造林助事業	I- 22
(4) 森林被害狀況	I- 22
(5) 製材能力	I- 22
(6) 林産斗 燃料	I- 22
4. 水 産 資 源	I- 22
(1) 自然的立地條件	I- 22
(2) 資源開發의 限界	I- 23
(3) 水産資源의 重要度	I- 23
5. 鑛 業 資 源	I- 23
(1) 鑛業資源의 特性	I- 23
(2) 主要鑛物의 概況	I- 24
(3) 埋藏量調査의 急務	I- 25
	※ 重要地下資源生産計畫年別比較 圖表 I- 14

## II. 產業貿易

### △農業

1. 朝鮮農業的環境諸條件.....I— 27
(1) 自然環境.....I— 27
(2) 社會的條件.....I— 27
2. 營農形態의 零細化傾向.....I— 28
(1) 農家戶數의 變遷—解放前斗解放後.....I— 28
(2) 農家耕地面積의 變遷—解放前斗解放後.....I— 36
3. 土地改良事業의 現狀.....I— 38
4. 農作物의 構成.....I— 40
(1) 米 穀.....I— 43
(2) 麥 類(夏穀).....I— 44
(3) 雜 穀.....I— 44
(4) 特用作物.....I— 45
(5) 蔬 菜.....I— 45
(6) 果 實.....I— 45
5. 肥料問題.....I—361
6. 特殊問題.....I—364
(1) 解放後의 農地價格動向.....I—364
(2) 食糧增產問題.....I—365
(3) 解放後農村實情.....I—367

### 【附 表】

第1表 1942年現在全朝鮮職業別人口表.....I— 27
第2表 1940年現在土地所有形態表.....I— 27
第3表 1940年現在農業經營形態表.....I— 28
第4表 主要各國反當小作料調查表.....I— 28
第5表 解放前後營農種別農家戶數推移表.....I— 28
第6表 1943年末現在營農種別農家戶數道別表.....I— 28
第7表 1945年現在南朝鮮土地所有狀態總括表.....I— 29
第8表 解放前後營農種別土地廣狹別農家戶數推移表.....I— 30
第9表 解放前地主及小作人百分率推移表.....I— 30
第10表 1938年度土地廣狹別農家戶數表.....I— 30
第11表 1942年度民族別土地所有形態表.....I— 30
第12表 1942年度道別朝鮮人土地所有形態表.....I— 30
第13表 1945年末自小作營農別耕地面積別道別農家戶數.....I— 31
第14表 解放前火田民耕作戶數推移表.....I— 32
第15表 1943年度火田民耕地面積戶數及人口道別調查表.....I— 32
第16表 1943年度地主及被籍者戶數道別調查表.....I— 32
第17表 1945年末現在民族別土地所有面積調查表.....I— 32
第18表 " (繼續).....I— 33
第19表 " (繼續).....I— 33
第20表 1946年末現在民族別土地所有面積調查表.....I— 34
第21表 " (繼續).....I— 35
第22表 " (繼續).....I— 35
第23表 1939年末現在地域別耕地面積表.....I— 36
第24表 1939年末現在地域別耕地利用度表.....I— 37
第25表 1940年末現在地主及自作農耕作地比率表.....I— 37
第26表 1940年調查耕作規模斗農家戶數斗百分率表.....I— 37
第27表 1919—46年次別朝鮮農家耕地面積表.....I— 37
第28表 1944年末現在田畜經營別道別耕地面積表.....I— 38
第29表 1940年度水利事業施行狀況表.....I— 38

第30表 1943年度小地區小規模水利事業道別割當面積表.....I— 38
第31表 水利組合及蒙利面積狀況表.....I— 39
第32表 土地改良事業綜合年次統計表.....I— 40
第33表 解放前後農產物面積當生產量.....I— 40
第34表 1940年農產物生產量.....I— 41
第35表 1940年特產物生產量.....I— 41
第36表 地方別耕作農作物一覽表.....I— 41
第37表 南朝鮮農作物別耕作面積及町當年次生產高.....I— 42
第38表 解放前年別道別大麥收穫高.....I— 42
第39表 南朝鮮米穀耕作面積及生產量解放前後推移表.....I— 44
第40表 1946—47年南朝鮮道別米穀生產高及生產豫想高.....I— 44
第41表 南朝鮮夏穀耕作面積及生產量解放前後推移表.....I— 44
第42表 1939年度雜穀需給狀況表.....I— 44
第43表 南朝鮮雜穀耕作面積及生產量解放前後推移表.....I— 42
第44表 南朝鮮豆類耕作面積及生產高解放前後推移表.....I— 92
第45表 南朝鮮棉花及煙草耕作面積及生產量解放前後推移表.....I— 93
第46表 南朝鮮薯類蔬菜耕作面積及生產量解放前後推移表.....I— 94
第47表 南朝鮮果實耕作面積及生產高解放前後推移表.....I— 96
第48表 解放後3個年間道別米穀生產高.....I— 41
第49表 解放後3個年間道別麥類生產高.....I— 46
第50表 解放前4個年間小麥道別耕作面積及生產高.....I— 46
第51表 解放前4個年間裸麥道別耕作面積及生產高.....I— 47
第52表 解放前4個年間粟道別耕作面積及生產高.....I— 47
第53表 解放前4個年間蕎麥道別耕作面積及生產高.....I— 47
第54表 解放前4個年間玉蜀黍道別耕作面積及生產高.....I— 48
第55表 解放前4個年間大豆道別耕作面積及生產高.....I— 48
第56表 解放前4個年間小豆道別耕作面積及生產高.....I— 48
第57表 1944年度豆類雜穀道別生產高.....I— 48
第58表 1943—44年度胡麻道別耕作面積及生產高.....I— 49
第59表 1943—44年度荏子道別耕作面積及生產高.....I— 49
第60表 1943—44年度蓖麻道別耕作面積及生產高.....I— 49
第61表 1943—44年度把柳道別耕作面積及生產高.....I— 50
第62表 1943—44年度除虫菊道別耕作面積及生產高.....I— 50
第63表 1943—44年度薄荷道別耕作面積及生產高.....I— 50
第64表 1944年度道別蔬菜耕作面積一覽表.....I— 51
第65表 1944年度道別蔬菜收穫高一覽表.....I— 51
第66表 1945年度道別蔬菜收穫高一覽表.....I— 51
第67表 1944年度道別蔬菜別一反步當收穫高一覽表.....I— 52
第68表 1944年度道別收穫蔬菜價額一覽表.....I— 52
第69表 1944—45年度道別果實收穫內容一覽表.....I— 357
第70表 1944—45年度道別果實收穫內容一覽表.....I— 357
第71表 1944—45年度道別梨收穫內容一覽表.....I— 357
第72表 1944—45年度道別桃收穫內容一覽表.....I— 357
第73表 1944—45年度道別柿收穫內容一覽表.....I— 358
第74表 1944—45年度道別葡萄收穫內容一覽表.....I— 358
第75表 1944—45年度道別其他果實收穫內容一覽表.....I— 358
第76表 1940—43年家畜家禽統計一覽表.....I— 358

第77表 1943—44年度道別棉花耕作面積及收穫高… I— 359

第78表 1943—44年度道別大麻耕作面積及收穫高… I— 359

第79表 1943—44年度道別亞麻耕作面積及收穫高… I— 360

第80表 1943—44年度道別苧麻耕作面積及收穫高… I— 360

第81表 1943—44年度道別青麻耕作面積及收穫高… I— 360

第82表 1943—44年度道別荳蔻耕作面積及收穫高… I— 361

第83表 1943—44年度道別橡膠耕作面積及收穫高… I— 361

第84表 1939—46年米穀反當生產高… I— 362

第85表 1936—44年耕作面積當肥料消費高比較表… I— 362

第86表 1941—45年度道別肥料消費高… I— 362

第87表 1944.8—1945.7 道別肥料消費高… I— 363

第88表 1947年度輸入肥料配給狀況表… I— 363

第89表 解放前斗南朝鮮金肥使用經過表… I— 364

第90表 1915—42年配給肥料消費高一覽表… I— 364

第91表 1947年度南朝鮮斗金肥需要量計算表… I— 364

第92表 1945.2—1946.10間斗地方別  
農地價格變動表… I— 365

第93表 同上繼續… I— 365

第94表 1946年8月末現在南朝鮮人口種別推定表… I— 366

第95表 1942年末現在南朝鮮各道別人口表… I— 366

說 1934—38年五個年間南北朝鮮  
歸屬穀物生產量比較表… I— 366

說 1936—40年間南朝鮮食糧需給統計… I— 366

說 1936—40年間南朝鮮道別米穀  
收穫量統計… I— 367

說 1936—40年間南朝鮮雜穀收穫量統計… I— 367

100表 民族別面積別南朝鮮農家人數… I— 367

※ 道別米穀及麥類平均生產高(圖表)… I— 53

**△林 業**

1. 概 說… I— 55

2. 日 政 の 山 林 收 奪 相… I— 55

3. 解放後南朝鮮林業の實狀… I— 56  
概說—林政—伐採—製材

4. 朝 鮮 林 業 の 將 來… I— 61  
立地條件—木材の需給面

**【附 表】**

第1表 南北朝鮮林野面積及蓄積比率表… I— 55

第2表 林野林相別面積表… I— 55

第3表 國有民有別林野蓄積… I— 55

第4表 1910年斗1942年斗林野面積及蓄積對照表… I— 55

第5表 1927年以後斗林野蓄積增減表… I— 55

第6表 1910—43年林產額及用材生產量… I— 56

第7表 1945年末現在南朝鮮林野林相別面積表… I— 56

第8表 1946年末現在南朝鮮國有民有別林野面積表… I— 56

第9表 1946年末現在南朝鮮林野蓄積表… I— 56

第10表 1946年末現在南朝鮮一町步蓄積表… I— 57

第11表 1946年度南朝鮮木材需給表… I— 57

第12表 南朝鮮過渡政府山林局機關一覽表… I— 57

第13表 年度別南朝鮮造林實行對照表… I— 57

第14表 年度別南朝鮮砂防工事面積及造林對照表… I— 57

第15表 1946年度苗實積表… I— 58

第16表 1947年度苗實積表… I— 58

第17表 1948—57年南朝鮮造林十個年基本計畫表… I— 58

第18表 解放前全朝鮮道別砂防事業實績表… I— 58

第19表 解放後南朝鮮道別砂防事業實績表… I— 59

第20表 1948—57年砂防事業十個年計畫表… I— 59

第21表 解放後國有林林產物處分表… I— 59

第22表 解放後一年間森林被害表… I— 59

第23表 解放前六年間森林被害表… I— 59

第24表 1944年度南朝鮮製材工場及製材生產高… I— 60

第25表 1945年度南朝鮮製材工場及製材生產高… I— 60

第26表 主要各國林野面積調查表… I— 61

第27表 解放前後原木需給推移表… I— 61

第28表 1946年度造林實行表… I— 62  
※ 南朝鮮林野面積及蓄積(圖表)… I— 54

**△畜 産**

1. 概 觀… I— 63

2. 朝鮮畜産業の重要性斗对策… I— 63

3. 宗 畜… I— 63  
牛—馬—豚—綿羊—山羊—鷄—其他

4. 獸醫施設及種畜生産機關… I— 66

**【附 表】**

第1表 解放前後道別畜牛數推移表… I— 64

第2表 1946年末道別畜牛統計… I— 64

第3表 解放前南朝鮮牛輸出狀況表… I— 64

第4表 解放前後道別乳牛數推移表… I— 64

第5表 解放前後道別馬匹推移表… I— 64

第6表 1946年末現在道別馬用役別表… I— 65

第7表 解放前後競馬開催狀況表… I— 65

第8表 解放前後道別豚統計… I— 65

第9表 解放前後道別綿羊統計… I— 65

第10表 解放前後道別山羊統計… I— 65

第11表 解放前後道別鷄統計… I— 66

第12表 解放後畜別屠殺斃死數處分數… I— 66

第13表 解放前後其他家畜年別道別統計… I— 66

第14表 南朝鮮道別獸醫施設表… I— 66

第15表 1946年末現在種畜數… I— 66

**△畜 業**

1. 概 說… I— 67

2. 日 政 下 の 養 蠶… I— 67

3. 解放後の狀況… I— 68  
共販—桑木—蠶種—生糸

4. 結 言… I— 69

**【附 表】**

第1表 解放前養蠶戶數及生產高年別一覽表… I— 67

第2表 解放前後年別南朝鮮養蠶統計… I— 67

第3表 解放前後南朝鮮家蠶繭販賣數量… I— 67

第4表 1947年度家蠶繭收買價格表… I— 67

第5表 1945—47年桑苗生產需給狀況表… I— 68

第6表 1944年度道別生糸生產狀況表… I— 68

第7表 1946年度道別生糸生產狀況表… I— 68

第8表 1944年度家蠶繭販賣數量及價格表… I— 69

第9表 1946年度家蠶繭販賣數量及價格表… I— 69

第10表 1947年度家蠶繭販賣數量及價格表… I— 69

第11表 1944年度養蠶統計… I— 69

第12表 1945年度養蠶統計… I— 70

第13表 1946年度養蠶統計… I— 70

第14表 1947年度養蠶統計… I— 70

第15表 1944年度蠶種製造表… I— 70

第16表 1945年度蠶種製造表… I— 62

第17表 1946年度蠶種製造表… I— 62  
※ 道別家畜數及繭生產高(圖表)… I— 71

### △水 產

1. 概 說.....I— 73
  - (1) 朝鮮水產業斗立地的好條件.....I— 73
  - (2) 朝鮮水產業斗重要性.....I— 73
  - (3) 解放前斗朝鮮水產業概況.....I— 74  
合併前一合併後—解放
2. 朝鮮水產業斗現況.....I— 74
3. 解放前後斗水產業動態.....I— 75
  - (1) 漁 船.....I— 75
  - (2) 水產業人口.....I— 75
  - (3) 漁撈, 加工製造及繁殖業.....I— 76
4. 水產業斗改善斗開策.....I— 77

#### 【附 表】

- 第1表 解放前年別漁獲高.....I— 74
- 第2表 解放前年別繁殖高.....I— 74
- 第3表 解放前年別加工生產高.....I— 74
- 第4表 解放前年別水產業者戶口及船舶數.....I— 74
- 第5表 解放前年別朝鮮人, 日本人別漁獲高及從業員數.....I— 74
- 第6表 1944年度道別漁船數.....I— 75
- 第7表 1946年度道別漁船數.....I— 75
- 第8表 1944—1946年度道別漁船增減表.....I— 75
- 第9表 1946年度南朝鮮水產業者戶口數.....I— 76
- 第10表 1944年度道別水產物生產高.....I— 76
- 第11表 1946年度道別水產物生產高.....I— 76
- 第12表 過去十五年間斗南朝鮮漁獲高及加工製造高—覽表.....I— 76
- 第13表 1929—1941年水產業者戶口表.....I— 79
- 第14表 1941年末現在道別水產業者戶口表.....I— 79
- 第15表 1911—1942年水產高累年表.....I— 79
- 第16表 1926—1941年漁業組合設立狀況表.....I— 79
- 第17表 1928—1937年朝鮮內魚市場—覽表.....I— 80
- 第18表 解放前水產業者用船舶—覽表.....I— 80  
※ 南朝鮮水產漁獲高累年—覽表(圖表).....I— 72

### △鑛 業

1. 朝鮮鑛業斗沿革.....I— 81
2. 解放前斗採掘.....I— 86
3. 解放後斗概況.....I— 87
4. 主要鑛物.....I— 90
  - (1) 地質斗關係.....I— 90
  - (2) 金.....I— 91
  - (3) 鐵.....I— 91
  - (4) 石 炭.....I— 91
  - (5) 黑 鉛.....I— 94
  - (6) 銅.....I— 94
  - (7) 合金材料鑛物.....I— 95
  - (8) 輕金屬材料鑛物.....I— 95
  - (9) 其他金屬原料鑛物.....I— 95
  - (10) 非金屬工業用鑛物.....I— 95
  - (11) 鑛業原料鑛物.....I— 95
  - (12) 含稀有元素鑛物.....I— 95
5. 結 論.....I— 96

#### 【附 表】

- 第1表 鑛種別鑛山額累年比較表.....I— 81
- 第2表 鑛種別鑛區數累年比較表.....I— 83
- 第3表 道別鑛區數累年比較表.....I— 84

- 第4表 道別鑛產額累年比較表.....I— 84
- 第5表 鑛業出願鑛種別件數累年比較表.....I— 85
- 第6表 道別出願並許可數累年比較表.....I— 85
- 第7表 鑛種別發行鑛區累年比較表.....I— 85
- 第8表 鑛業出願並許可件數累年比較表.....I— 85
- 第9表 日本斗撤出斗朝鮮鑛產物表.....I— 85
- 第10表 朝, 日, 其他外國人別鑛區數比較表.....I— 86
- 第11表 朝, 日, 其他外國人別鑛種別生產數量比較表.....I— 86
- 第12表 朝, 日人別鑛種別發行鑛山額表.....I— 86
- 第13表 1947年末現在道別鑛種別鑛區調查表.....I— 86
- 第14表 1947年末現在道別鑛種別發行鑛區數.....I— 88
- 第15表 1947年末現在道別鑛種別發行鑛區數.....I— 88
- 第16表 解放後南朝鮮鑛種別鑛產額.....I— 88
- 第17表 1947年度南朝鮮各鑛山實績表.....I— 89
- 第18表 解放後鑛山物年別輸出品.....I— 90
- 第19表 解放後南朝鮮年別石油輸入量.....I— 90
- 第20表 1947年中鑛業出願及許可件數.....I— 90
- 第21表 日政時朝鮮有煙炭需給表.....I— 92
- 第22表 1940及41年輸入炭積出地調查表.....I— 92
- 第23表 無煙炭輸出累年比較表.....I— 92
- 第24表 1947年度國土炭道別產業別割當表.....I— 93
- 第25表 解放後有煙炭輸入量及部門別月別割當量.....I— 93
- 第26表 解放前後炭礦勞動者數推移表.....I— 94
- 第27表 1944年度石炭消費部門別實績表.....I— 94
- 第28表 1942年現在南北朝鮮鑛業生產量對照表.....I— 96
- 第29表 我國鑛種別生產量及價格—覽表.....I— 26
- 第30表 年度別鑛產物總價額及對日輸出價額調查表.....I— 26  
※ 鑛產額及鑛區數累年—覽表(圖表).....I— 97

### △工 業

1. 總 觀.....I— 99
2. 金 屬 工 業.....I—102
3. 機 械 工 業.....I—104
4. 化 學 工 業.....I—106  
肥料—油脂— 고무— 燒寸— 火藥— 가— 바— 이트  
皮革— 燃料— 製紙
5. 窯 業.....I—109  
세— 트— 陶磁器— 硝子— 鉛筆— 耐火煉瓦— 煉瓦
6. 電 氣 工 業.....I—110
7. 織 維 工 業.....I—111
8. 食 料 品 工 業.....I—113  
精米— 製粉— 調味料— 釀造
9. 後 記.....I—114

#### 【附 表】

- 第1表 解放前工場及職工數斗增加趨勢表.....I— 99
- 第2表 解放前工業生產增加趨勢表.....I— 99
- 第3表 民族別部門別工場公稱資本統計.....I—100
- 第4表 1940年現在工場規模別比重表.....I—100
- 第5表 1944年現在事業別朝, 日人別技術者數.....I— 100
- 第6表 解放前朝鮮工業斗化學工業化推移表.....I—100
- 第7表 1940年度主要機械器具斗國內自給率表.....I—101
- 第8表 1941年度朝鮮工業製品自給率表.....I—101
- 第9表 1943年度種別工產額.....I—101
- 第10表 1940年度現在道別業種別工產額.....I—101
- 第11表 重要地下資源斗南北朝鮮比率表.....I—101
- 第12表 發電力斗南北朝鮮比率表.....I—101

第13表 工業資金付額解放前後比較表…………… I—102

第14表 事業體數及勞務者數對解放前後增減表…………… I—102

第15表 金屬工業原資材の生産對日貿易實績表…………… I—102

第16表 1944年度鐵鋼對日貿易表…………… I—103

第17表 1940年度金屬工業工産額…………… I—103

第18表 1944年度鐵用石炭消費實績表…………… I—103

第19表 解放直前の南朝鮮在庫金屬品量…………… I—103

第20表 主要金屬工業の生産能力及生産實績表…………… I—103

第21表 解放後의 主要製成品生産高…………… I—104

第22表 解放前機械器具工業對全工業の對照表…………… I—104

第23表 1939年現在機械器具工場規模別調査表…………… I—104

第24表 解放前機械器具需給狀況表…………… I—105

第25表 1940年度機械器具工業品種別消費額及自給率表…………… I—105

第26表 1947年末現在南朝鮮道別機械工場數及從業員數…………… I—106

第27表 主要機械器具工業の南北朝鮮對比表…………… I—106

第28表 解放後機械工業年別生産數量…………… I—106

第29表 1939年現在朝鮮工業에 있어서의化學工業의地位…………… I—106

第30表 解放後棉質油生産實績表…………… I—107

第31表 解放後製油加工工業製成品生産實績表…………… I—107

第32表 1947年10月末現在의 工場種別表…………… I—107

第33表 1947年10月末現在道別의 工場數…………… I—107

第34表 解放後의 工場工業生産狀况…………… I—108

第35表 解放後年別織寸生産量…………… I—108

第36表 解放後月別煉炭生産量…………… I—108

第37表 製紙工業生産實績表…………… I—109

第38表 解放後月別의 生産量…………… I—109

第39表 解放後年別陶磁器生産量…………… I—109

第40表 主要陶磁器工場道別分布狀况…………… I—109

第41表 1947年末現在硝子工場地方別分布狀況…………… I—109

第42表 解放後硝子年別生産量…………… I—109

第43表 解放後玻璃鐵器年別生産量…………… I—109

第44表 解放前後耐火煉瓦生産推移表…………… I—109

第45表 解放前後煉瓦生産推移表…………… I—110

第46表 電氣工業工場數對解放前後推移表…………… I—110

第47表 1947年末主要電氣工業工場一覽表…………… I—110

第48表 解放前後電氣器具生産高推移表…………… I—111

第49表 1940—44年平均纖維原料種別生産高…………… I—111

第50表 解放前紡績工業工産額對推移表…………… I—111

第51表 1939年末現在規模別工産額比重…………… I—111

第52表 解放前年別衣料需給狀況…………… I—112

第53表 解放前主要織物對日依存性一覽表…………… I—112

第54表 1942年現在對日纖維工業原料供給量…………… I—112

第55表 1947年末現在主要紡績工業의設備內容一覽表…………… I—112

第56表 解放前年別國產棉花使用內容一覽表…………… I—113

第57表 主要纖維原料對南朝鮮生産及解放前後收集實績比較表…………… I—113

第58表 南朝鮮의 纖維工業製成品生産實績表…………… I—113

第59表 食料品工業規模別生産額及工場數對比率對照表…………… I—113

第60表 解放後의 主要年別生産實績表…………… I—114

※ 南朝鮮工場狀況(圖表)…………… I—98

△貿易

1. 解放前의 朝鮮貿易의 一般的特徵…………… I—117

第20表 解放後의 南朝鮮貿易의 一般的特徵…………… I—119

3. 南朝鮮貿易政策의 推移…………… I—120

(1) 法令及其他統制…………… I—120

(2) 關稅政策…………… I—125

4. 南朝鮮貿易의 構成…………… I—126

(1) 取扱別貿易構成…………… I—126

(2) 商品別貿易構成…………… I—128

(3) 地域別貿易構成…………… I—130

(4) 港灣別貿易構成…………… I—131

5. 回顧의 展望…………… I—133

附 國際貿易憲章…………… I—135

【附 表】

第1表 解放前輸出入別朝鮮貿易實績表…………… I—117

第2表 1937年度對外貿易の國別狀況表…………… I—118

第3表 解放前後我國貿易動向分析表…………… I—118

第4表 輸出入物資種別許可目錄表…………… I—121

第5表 輸出入物資價格査定基準表…………… I—122

第6表 主要輸出入物資新査定價格一覽表…………… I—122

第7表 1946.1—1947.12 取扱別貿易統計表…………… I—127

第8表 民間物資輸入計畫에 依한 1947年度入荷物表…………… I—127

第9表 美國剩餘物資清算委員會借款2,500萬弗郎 1947年間に購入한 民間物資表…………… I—127

第10表 1946.5—1947.11 食糧輸入表…………… I—128

第11表 1946.5—1947.11 種別食糧輸入表…………… I—128

第12表 解放前後貿易實績對照表…………… I—129

第13表 解放後主要輸出品價格對照表(民間貿易)…………… I—129

第14表 解放後主要輸入品價格對照表(民間貿易)…………… I—129

第15表 解放後地域別輸出入價格表(民間貿易)…………… I—130

第16表 解放後港灣別輸出品價格表(民間貿易)…………… I—132

第17表 解放後港灣別輸入品價格表(民間貿易)…………… I—132

第18表 1947年中來航貿易船數…………… I—133

第19表 1946及47年度港灣別國別船舶出入表…………… I—133

※ 類別輸出入品比率表(圖表)…………… I—115

※ 國別輸出入品額高表(圖表)…………… I—116

III. 動力燃料

△電力

1. 電氣事業의 沿革…………… I—137

2. 朝鮮의 電力資源…………… I—138

3. 解放前後의 需給狀況…………… I—139

4. 解放後의 南朝鮮電力供給狀況과 對策…………… I—142

【附 表】

第1表 發電設備累年比較一覽表…………… I—137

第2表 1931—44年全國發電量調査表…………… I—138

第3表 解放直前發電水力一覽表…………… I—138

第4表 南北朝鮮發電地點別出力一覽表…………… I—138

第5表 解放前後業種別電力需要統計…………… I—138

第6表 1942年業種別電力消費百分率表…………… I—140

第7表 1926—47年南北朝鮮別電燈普及狀況一覽表…………… I—141

第8表 解放後南朝鮮用途別電力消費趨勢表…………… I—140

第9表 1947年中南朝鮮電力供給狀況一覽表…………… I—142

第10表 1911—47年南朝鮮主要發電所別發電實績一覽表…………… I—142

第11表 1947年別南朝鮮發電調査表…………… I—142

(參考) 1937—47年主要各國發電量比較表…………… I—143

※ 發電所及送電系統圖(圖表)…………… I—153

△燃料

1. 概 觀…………… I—144

2. 瓦 斯…………… I—144



概況—解放前後의 實情—供給現狀의 概況—  
副産物—箇面問題

3. 骸 炭.....I-148

4. 煉 炭.....I-149

5. 林産燃料.....I-150

概況—供給現狀—國策으로는 林産燃料

6. 石 油.....I-368

【附 表】

第1表 1942年度瓦斯事業者狀況一覽表.....I-144

第2表 1942年度瓦斯發生設備一覽表.....I-145

第3表 解放前年度別地區別瓦斯販賣狀況表.....I-145

第4表 1943年度地域別瓦斯管延長一覽表.....I-145

第5表 1943年度地域別瓦斯需用戶數及孔口數.....I-145

第6表 1943年度地域別瓦斯需給表.....I-146

第7表 1943年度地域別原料炭燃料及電力消費量.....I-146

第8表 1943年度瓦斯生産副産物生産量.....I-146

第9表 1943年度瓦斯需用者國籍別表.....I-146

第10表 1944年度工場別瓦斯生産實績表.....I-146

第11表 1944年度瓦斯及副産物生産施設及能力一覽表.....I-146

第12表 1947年度南朝鮮瓦斯工場別生産實績及1948年度計畫表.....I-147

第13表 1947.3—1948.4 瓦斯事業에 對한原料炭供給量.....I-147

第14表 1941年及1942年을 對한需給表.....I-147

第15表 1947年을 對한生産狀況及1948年計畫表.....I-147

第16表 1941年及1942年을 對한生産表.....I-148

第17表 1943年度産出炭別需要額(推算).....I-148

第18表 1947.8—1948.3 南朝鮮을 對한需給表.....I-149

第19表 1947.8—1948.3 을 對한道別需給表.....I-149

第20表 南朝鮮을 對한工場一覽表.....I-149

第21表 1942年煉炭生産能力一覽表.....I-150

第22表 1943年을 對한需給表.....I-150

第23表 1947及48年南朝鮮煉炭工場別生産實績及生産計畫一覽表.....I-150

第24表 解放後煉炭價格推移表.....I-150

第25表 最近10年間南朝鮮薪炭生産高.....I-151

第26表 1945年度道別長新生産高.....I-151

第27表 1945年度道別木炭生産高.....I-151

第28表 1946年度林産燃料生産高.....I-151

第29表 1946年度道別長新生産高.....I-151

第30表 1946年度道別木炭生産高.....I-151

第31表 1947年度 서울市燃料搬入計畫表.....I-152

第32表 1947年度 서울市需要薪炭入荷實績表.....I-152

第33表 1945.8—1948.2 서울市新炭價格推移表.....I-152

第34表 成分으로는 土炭.....I-152

IV. 運輸 遞信

△陸 運

1. 概 說.....I-156

2. 鐵 道.....I-157

(1) 鐵道의 發達.....I-157

(2) 國鐵의 新發足私鐵吸收.....I-157

(3) 南朝鮮鐵道의 現狀.....I-159

(4) 鐵道客貨輸送狀態.....I-164

(5) 結 語.....I-177

3. 自動車及軌道.....I-178

(1) 自動車.....I-178

(2) 軌 道.....I-179

4. 道路及小運送.....I-180

(1) 道 路.....I-180

(2) 小 運 送.....I-183

【附 表】

鐵 道

第1表 1936—46年國私鐵別鐵道延長料表.....I-158

第2表 1944—47年各鐵道工場修繕狀況表.....I-158

第3表 1946.4—1947.10 南朝鮮鐵道從業員數及貸金額表.....I-158

第4表 1946.11—47.11 國內車輛製造狀況表.....I-158

第5表 移讓私鐵一覽表.....I-159

第6表 南朝鮮鐵道工場車輛修繕數.....I-159

第7表 1946.11—1947.11 南朝鮮機關車運轉表.....I-159

第8表 南朝鮮列車走行料表.....I-159

第9表 1947年月份 서울市內生必品物價指數表.....I-160

第10表 1941—44年全朝鮮石炭需要量及生産量.....I-160

第11表 解放前南朝鮮石炭事情表.....I-160

第12表 解放後南朝鮮有煙炭輸入量對配當表.....I-160

第13表 南朝鮮石炭의 需要量對供給量.....I-161

第14表 1946.4—1947.10 南朝鮮鐵道石炭消費量.....I-161

第15表 1930—47年鐵道運賃變遷表.....I-161

第16表 1946.4—47.10 南朝鮮運輸部收支表.....I-162

第17表 1946年度南朝鮮鐵道運輸取扱別收入表.....I-162

1947年度旅貨別運輸收入表.....I-163

第18表 1946年度南朝鮮鐵道純收入表.....I-163

第19表 1946年度南朝鮮各線別運輸收入表.....I-163

第20表 1936—46年累年別營業收入比較表.....I-163

第21表 最近10年間旅客輸送人員表.....I-164

第22表 最近10年間各國鐵道旅客輸送人員比較表.....I-164

第23表 最近10年間各國鐵道旅客人耗比較表.....I-165

第24表 1946年度月別旅客輸送人員表.....I-165

第25表 1946年度各線別旅客輸送人員表.....I-165

第26表 1946年度 서울附近6個驛月別旅客乘下車人員表.....I-166

第27表 1946年度南朝鮮主要驛旅客乘下車人員表.....I-167

第28表 解放後外國旅行者數表.....I-167

第29表 最近10年間貨物輸送量比較表.....I-168

第30表 最近10年間貨物品名別輸送數量累年比較表.....I-168

第31表 最近10年間貨物產品別輸送數量累年比較表.....I-169

第32表 1946年度南朝鮮鐵道貨物產品別輸送量表.....I-171

第33表 1946年度南朝鮮鐵道貨物月別品名別輸送量.....I-170

第34表 1946年度月別最高最低貨物輸送量比較表.....I-170

第35表 1947年度南朝鮮鐵道貨物月別品名別輸送量.....I-171

第36表 1947年度第一第二四半期貨物輸送量.....I-172

第37表 最近10年間各種別貨物輸送量比較表.....I-172

第38表 1946年度南朝鮮鐵道貨物集裝表(發送).....I-173

第39表 1946年度南朝鮮鐵道貨物集裝表(到着).....I-173

第40表 1946年度南朝鮮鐵道各線別貨物發着數量.....I-174

第41表 1946年度南朝鮮鐵道主要驛貨物發着

總數…………… I—174

第42表 1946年度 서울附近 6 個驛鐵道貨物發着  
一覽表…………… I—175

第43表 1946年度 서울附近 6 個驛鐵道主要  
貨物集散表(發送)…………… I—175

第44表 1946年度 서울附近 6 個驛鐵道主要  
貨物集散表(到着)…………… I—176

第45表 最近10年間各因鐵道貨物輸送總量比較表…………… I—177

**自動車及軌道**

第1表 南朝鮮道別自動車路線延長表…………… I—178

第2表 世界各國自動車生產數量累年比較表…………… I—178

第3表 1938年現在世界各國自動車保有數量  
比較表…………… I—179

第4表 1947年3月1日現在自動車運賃改正表…………… I—179

第5表 最近10年間京電電車統計一覽表…………… I—180

**道路及小運送**

第1表 1936—38年道路網延長表…………… I—180

第2表 1939—42年道路網延長表…………… I—181

第3表 1936—42年定期自動車運轉延長表…………… I—181

第4表 1947年末現在南朝鮮道別道路網表…………… I—181

第5表 1945年度道別道路工事表…………… I—181

第6表 解放後 서울釜山間國道工事一覽表…………… I—182

第7表 1947年現在國道工事國道事務所別表…………… I—182

第8表 解放後道路災害復舊工事道別一覽表…………… I—182  
※ 朝鮮運輸狀況(圖表)…………… I—154

**△海 運**

1. 沿 革…………… I—184

2. 港 灣 概 觀…………… I—184  
概說—港灣施設—航路標識

3. 海 運 現 況…………… I—185  
概說—海司行政—船舶保有及航路制約—運賃

4. 造 船…………… I—190

5. 南朝鮮海運之當面問題…………… I—191

**【附 表】**

第1表 解放前後航路標識及施設比較表…………… I—185

第2表 現在運營中及航路標識一覽表…………… I—185

第3表 解放當時及1947年末現在南朝鮮  
船舶保有量比較表…………… I—186

第4表 1946年8月1日現在主要會社船舶保有量…………… I—186

第5表 1948年1月15日現在主要海運  
會社船舶現有量…………… I—186

第6表 1948年1月15日現在海上運輸局  
所屬船舶現有量…………… I—186

第7表 解放前船舶別船舶入港數推移表…………… I—187

第8表 1946年中月別港別入港船舶表…………… I—187

第9表 1946年中國籍別港別入港船舶表…………… I—187

第10表 1946年中月別港別出港船舶表…………… I—187

第11表 1946年中國籍別港別出港船舶表…………… I—188

第12表 1947年中月別港別入港船舶表…………… I—188

第13表 1947年中國籍別港別入港船舶表…………… I—188

第14表 1947年中月別港別出港船舶表…………… I—188

第15表 1947年中國籍別港別出港船舶表…………… I—188

第16表 1946及47年中國籍別入港船舶比率表…………… I—189

第17表 1946年5月以後各港間公定船舶運賃表…………… I—189

第18表 1944及45年度各四半期別造船狀況表…………… I—190

第19表 1944及45年度各造船工場別造船實績表…………… I—190

第20表 1944及45年度船舶別造船內容表…………… I—190

第21表 1947年9月末現在運營中及南朝鮮  
造船工場一覽表…………… I—191

第22表 1948年度造船主要原材料所要豫想表…………… I—191

第23表 解放前後列國商船保有量比較表…………… I—191

**△遞 信**

1. 解放前之遞信事業沿革…………… I—192

2. 解放後之遞信事業…………… I—192

(1) 郵便施設及現況…………… I—192

(2) 電信取扱狀況…………… I—195

(3) 郵便爲替及郵便貯金事務…………… I—196

(4) 國民保險事業…………… I—198

**【附 表】**

第1表 1947年9月末現在南朝鮮郵便局數…………… I—192

第2表 1947年度南朝鮮郵便物數調查表…………… I—193

第3表 1947年度 서울中央郵便局各種  
郵便物取扱數調查表…………… I—193

第4表 1946及47年南北朝鮮間交換郵便  
物數調查表…………… I—193

第5表 1946及47年月別各種郵便收入一覽表…………… I—194

第6表 1946.7—48.7月間種別國際交換郵便物數…………… I—194

第7表 1947年國際交換航空郵便物數…………… I—194

第8表 1946年度外國通常郵便物發送數…………… I—194

第9表 1946年度外國通常郵便物到着數…………… I—194

第10表 1947年月別國際郵便物數…………… I—195

第11表 1946年7月以後國際通常郵便物數…………… I—195

第12表 解放前後南朝鮮郵便物遞送路程…………… I—195

第13表 1944—47年郵便局數一覽表…………… I—195

第14表 1946年度國際小包郵便物數一覽表…………… I—195

第15表 1946年度國際外國特殊郵便物數…………… I—195

第16表 1942及43年現在電線及線條表…………… I—196

第17表 1946年度南朝鮮電信電話線一覽表…………… I—196

第18表 1942及43年現在全朝鮮電柱數…………… I—196

第19表 1943年現在全朝鮮電信回線  
通信方式及接續局數…………… I—196

第20表 1947年現在南朝鮮電信機械台數調查表…………… I—196

第21表 1947年郵便貯金預拂高月別對照表…………… I—196

第22表 1944.12—45.5月別郵便貯金殘高表…………… I—196

第23表 1945.7—47.9月別郵便貯金殘高表…………… I—197

第24表 1944.12—47.8月別郵便對貯貯金殘高表…………… I—197

第25表 1944.12—45.10月別郵便對貯貯金受拂表…………… I—197

第26表 1945.11—46.3月別郵便對貯貯金受拂表…………… I—197

第27表 1946.4—47.9月別郵便對貯貯金受拂表…………… I—198

第28表 1947年7月末現在郵便年金事業狀況表…………… I—198

第29表 1944.12—47.10朝鮮國民保險事業概況…………… I—198

第30表 1947年3月末現在國民保險契約維持狀況…………… I—78

第31表 1947.4—7月國民保險契約締結狀況…………… I—78

第32表 1946.4—47.7國民保險金支拂狀況…………… I—78  
※ 南朝鮮遞信狀況 圖表…………… I—199

**V. 勞 動 勞 賃**

**△勞 動**

1. 操業短縮之實相…………… I—201

(1) 道別事業場及勞務者斗減少率…………… I—201

(2) 產業別事業場及勞務者斗減少率…………… I—202

2. 失業之實態…………… I—203

(1) 道別失業者數…………… I—203

(2) 職業別失業者數…………… I—203

- (3) 失業率.....I-204
- 3. 失業削減政策.....I-204
  - (1) 失業者的經濟生活的一端.....I-204
  - (2) 失業對策.....I-204
- 4. 勞動組合.....I-207
- 5. 勞動爭議.....I-207
  - (1) 勞動爭議解決制度.....I-207
  - (2) 勞動爭議總觀.....I-207
  - (3) 權力的勞動爭議.....I-208
  - (4) 道別產業別勞動爭議.....I-208
- 6. 勞動問題發生的原因.....I-212

【附 表】

- 第 1 表 1944年對46年南朝鮮地域別失業率數及勞務者數比較表.....I-201
- 第 2 表 南朝鮮產業別失業場數及勞務者數比較表.....I-202
- 第 3 表 1946年11月現在南朝鮮失業場休業原因別統計.....I-203
- 第 4 表 1946年11月15日現在南朝鮮道別失業無職者實態調查表.....I-203
- 第 5 表 1946年11月15日現在失業前職業別失業無職者實態調查表.....I-203
- 第 6 表 1947年失業率原本調查表.....I-204
- 第 7 表 1947年失業率性別構成比率表.....I-204
- 第 8 表 1947年年齡別失業率構成比率表.....I-204
- 第 9 表 1946年中選別職業紹介實績表.....I-205
- 第 10 表 1946—47年中選別職業紹介實績表.....I-206
- 第 11 表 解放後月別勞動爭議總括表.....I-208
- 第 12 表 解放後月別道別勞動爭議總括表.....I-208
- 第 13 表 解放後月別產業別勞動爭議總括表.....I-210
- 第 14 表 1947年 8 月末現在雇傭勞務者數別職業場數及勞務者數.....I-212
- ※ 勞動爭議發生的原因(圖表).....I-200

△勞 賃

- 1. 勞動賃金の動向.....I-213
  - (1) 序.....I-213
  - (2) 業種別賃金動向.....I-213
  - (3) 勞動政策の回顧.....I-214
- 2. 勞動者の立場による賃金水準.....I-215
- 3. 經營主體の立場による賃金水準.....I-215
- 4. 屬性別賃金水準による朝鮮經濟.....I-216
- 5. 賃金水準の數理的解剖.....I-216
- 6. 結 言.....I-216

【附 表】

- 第 1 表 解放後職種別食料品工業賃金推移表.....I-214
- 第 2 表 解放後實質賃金月別推移表.....I-215
- 第 3 表 解放後勞動賃金指數月別推移表.....I-216

VI. 物 價 市 況

△解放斗争物價

- 1. 商品類別價格水準變動の考察.....I-219
  - (1) 穀 物.....I-219
    - 都買—小賣
  - (2) 食 料 品.....I-221
    - 調味料—肉卵魚類—酒類
  - (3) 織 物 原 料.....I-222

- (4) 織 物.....I-222
  - 都買—小賣
- (5) 建築材料.....I-223
- (6) 金屬類.....I-224
- (7) 燃料.....I-224
- (8) 肥料.....I-225
- (9) 工業材料.....I-226
- (10) 雜 品.....I-226

△物 價 統 制

- 1. 物價統制の回顧.....I-227
  - (1) 第一期—暴利取締中心時代.....I-227
  - (2) 第二期—確一價格統制時代.....I-228
  - (3) 第三期—差別價格統制時代.....I-229
- 2. 經濟實情の要求する政策の方向.....I-230

△物價水準の變動解剖

- 1. 商品屬性別物價水準變動の解剖.....I-230
  - 動向考察—解放直後對1947年12月現在の比較
- 2. 一般物價水準の數理的解剖.....I-231
  - 趨勢變動—物價水準の趨勢と平準の隔離

※ 物價浮動騰貴趨勢の原因(結言).....I-231

【附 表】

- 第 1 表 解放後穀物時勢及平均指數推移表.....I-220
- 第 2 表 解放後食料品時勢及平均指數推移表.....I-221
- 第 3 表 解放前後穀物原料平均指數推移表.....I-222
- 第 4 表 解放後穀物時勢及平均指數推移表.....I-223
- 第 5 表 解放前後建築材料平均指數推移表.....I-224
- 第 6 表 解放後建築材料都買時勢推移表.....I-224
- 第 7 表 解放前後金屬類平均指數推移表.....I-224
- 第 8 表 解放後主要金屬類都買時勢推移表.....I-224
- 第 9 表 解放後燃料時勢推移表.....I-225
- 第 10 表 解放前後燃料平均指數推移表.....I-225
- 第 11 表 解放前後肥料平均指數推移表.....I-226
- 第 12 表 解放前後工業材料平均指數推移表.....I-226
- 第 13 表 解放後主要雜品時勢推移表.....I-226
- 第 14 表 解放前後雜品平均指數推移表.....I-227
- 第 15 表 解放後都買小賣物價趨勢變動及循環變動表.....I-231
- 第 16 表 解放前後物價總平均指數推移表.....I-232
- 第 17 表 解放後南朝鮮主要都市物價趨勢及水準の比較表.....I-232
- ※ 서울市生必需品小賣物價商品類別指數(圖表).....I-217
- ※ 都買・小賣物價、勞動賃金指數(圖表).....I-218
- ※ 解放後南朝鮮物價趨勢(圖表).....I-235

△市 況

- 1. 對外貿易市場.....I-233
- 2. 國內商況.....I-233
- 3. 百貨店計定指數による市況推移.....I-234
- 4. 結 言.....I-234

【附 表】

- 第 1 表 1946—47年中商品類別輸出入品價格表.....I-233
- 第 2 表 1946—47年中中國別輸出入品價格表.....I-233
- 第 3 表 解放後서울市百貨店主要計定指數推移表.....I-234
- 第 4 表 物價行政法規違反摘發案件數月別統計.....I-234

VII. 食 糧 事 情

△食糧事情

- 1. 結 言.....I-237

- 2. 解放前的食糧事情 .....I—237
- 3. 食糧政策的沿革 .....I—240
  - (1) 解放前的食糧政策 .....I—240
  - (2) 美軍政下の食糧政策 .....I—241
- 4. 南朝鮮食糧集配實況 .....I—242
  - (1) 1945年度米穀收集 .....I—242
  - (2) 1946年度米穀收集及配給 .....I—243
  - (3) 1947年度米穀收集及配給 .....I—244
  - (4) 1946—47兩年度米穀收集及配給 .....I—248
  - (5) 輸入糧穀事情 .....I—249

【附 表】

- 第 1 表 米生産量輸出及消費量에 나타난  
解放前의朝鮮의食糧實情表 .....I—237
- 第 2 表 人口一人當年消費糧穀種別比率表 .....I—238
- 第 3 表 解放前朝鮮人及日本人의每人當  
米穀年消費高 .....I—238
- 第 4 表 解放前三個年間主要糧穀種類別  
平均耕地面積及生産高 .....I—238
- 第 5 表 解放前三個年間用途別種類別  
食糧消費一覽表 .....I—239
- 第 6 表 解放前三個年間南朝鮮業態別  
直接食糧消費高 .....I—240
- 第 7 表 1945年產米穀收集實績表 .....I—243
- 第 8 表 1946年產米穀收集實績表 .....I—243
  - // 1946年產米穀供出者別收集狀況表 .....I—243
  - // 1946年產米穀受拂累計表 .....I—244
- 第 9 表 解放後二個年間南朝鮮主要糧穀  
耕作面積及生産高 .....I—244
- 第 10 表 1947年產米穀月別收集狀況 .....I—245
- 第 11 表 1947年產米穀道別梗糶米別收集狀況表 .....I—245
- 第 12 表 1947年產米穀受拂累計表 .....I—246
- 第 13 表 1947年產各道間米穀搬出入計畫表 .....I—246
- 第 14 表 1947年產米穀道間移動及中央  
備蓄計畫對發着實績總括表 .....I—246
- 第 15 表 解放後三個年間平均及1947年產米、  
麥、耕地面積及生産高 .....I—248
- 第 16 表 解放後三年間南朝鮮道別夏穀生産高 .....I—248
- 第 17 表 1946年度道別夏穀收集實績表 .....I—248
- 第 18 表 1947年度道別夏穀受拂累計表 .....I—248
- 第 19 表 1946.5—10月輸入糧穀品種別  
道別輸入實績表 .....I—249
- 第 20 表 1946.11—47.10 輸入糧穀品種別  
道別輸入實績表 .....I—249
- 第 21 表 1947.11—48.1 輸入糧穀品種別  
道別輸入實績表 .....I—249
- 第 22 表 1947米穀年度食糧供給量明細表 .....I—249
- 第 23 表 1946.47.48 各年度要食糧受配人口推定表 .....I—250
- 第 24 表 1947.12月中南朝鮮各道別食糧  
配給實績表 .....I—250
- 第 25 表 解放前三個年間直接食糧一日一  
人當消費高 .....I—250
- 第 26 表 1946—47年糧穀收集價格表 .....I—250
- 第 27 表 1946.47.48 年糧穀配給價格表 .....I—250
- 第 28 表 1947年度世界食糧需要量 .....I—251
- 第 29 表 應當各種糧穀石換算表 .....I—251
  - ※ 1947年度世界食糧事情(圖表) .....I—236

VIII. 景氣投資

△景氣趨勢

- 1. 南朝鮮經濟の景氣論の規定 .....I—252
- 2. 本格的沈滯期 .....I—253
- 3. Boom期(景氣上昇과好況의縮圖) .....I—254
- 4. 인플레이션景氣期 .....I—258
- 3. 結 言 .....I—263

【附 表】

- 第 1 表 解放後南朝鮮重要經濟指標循環變動表 .....I—252
- 第 2 表 解放後南朝鮮景氣變動區分表 .....I—253
- 第 3 表 解放前從生産、物價、財政、各指數趨勢表 .....I—254
- 第 4 表 1945.8—12南朝鮮主要經濟指標 .....I—254
- 第 5 表 1945.8—12南朝鮮主要地方商品別  
小賣物價推移表 .....I—254
- 第 6 表 1946—47年主要工業物月別生産數量 .....I—255
- 第 7 表 解放後手形交換高月別推移 .....I—255
- 第 8 表 1945. 1—46.5 主要生産財及  
雜品價格指數推移表 .....I—255
- 第 9 表 1946.1—1 南朝鮮主要經濟指標 .....I—256
- 第 10 表 1946—47年 金、小賣物價指數月別  
對照表 .....I—256
- 第 11 表 1946.3—47. 2 原料品及完製品の  
輸出入傾向 .....I—256
- 第 12 表 解放後都夏、小賣物價指數對照表 .....I—257
- 第 13 表 1946.3—47. 市中銀行資金の  
流動性係數、膨脹係數 .....I—258
- 第 14 表 解放後南朝鮮 主要八都市新設會計推移表 .....I—258
- 第 15 表 解放後南朝鮮工場及勞動者數의萎縮狀況 .....I—259
- 第 16 表 1946.12—47.12 不渡手形高月別推移表 .....I—259
- 第 17 表 1946.3—47.12 現金通貨の民間流通高 .....I—259
- 第 18 表 1945.5—47.12通貨流通速度測定 .....I—259
- 第 19 表 解放後物價指數推移表 .....I—260
- 第 20 表 1945.10—47.12 朝鮮美軍政廳及  
南朝鮮過渡政府費出及收入表 .....I—260
- 第 21 表 1947年輸入輸出對照表 .....I—261
- 第 22 表 解放後南朝鮮金融機關預金の種別構成表 .....I—261
- 第 23 表 1945.9—47.10 金融機關貸付金  
業種別增加內容 .....I—261
- 第 24 表 1945.9—47.9 朝鮮銀行預金種別  
口座數推移表 .....I—261
- 第 25 表 1946.3—47.12 南朝鮮金融機關  
貸付狀況表 .....I—262
- 第 26 表 1946—47各年未農產物收買資金  
貸付殘高對照表 .....I—262
- 第 27 表 解放後主要農產物及工業物都賣  
價格指數對照表 .....I—262
- 第 28 表 1947年末現在失業者比率表 .....I—263
- 第 29 表 1946年 8 月末現在產業別失業者數及表 .....I—263
- 第 30 表 解放前從墾地及建物價格對照表 .....I—263
- 第 31 表 1947年 4 月現在農場別勞動者家計狀況表 .....I—263
- 第 32 表 1929—47 美國主要景氣指標 .....I—263

IX. 財政金融

△財 政

- 1. 解放前의朝鮮財政概見 .....I—264
- 2. 解放後의南朝鮮財政基調 .....I—264

- 3. 歲出構成의變遷 .....I-267
- 4. 歲入構成의變遷 .....I-269
- 5. 稅制改革의意義 .....I-270

【附 表】

- 第1表 解放前斗朝鮮財政變遷表.....I-264
- 第2表 解放前後財政、生産、物價指數推移表.....I-264
- 第3表 1946年度歲入歲出豫算一覽表.....I-264
- 第4表 解放後南朝鮮過渡政府月別費出及收入表.....I-265
- 第5表 1947年度歲入歲出豫算一覽表.....I-266
- 第6表 解放後南朝鮮過渡政府預金及支出月別推移表.....I-266
- 第7表 1946-47年度歲出科目別對照表.....I-267
- 第8表 解放前後歲出科目比率對照表.....I-267
- 第9表 1947年度歲出豫算重要科目細表.....I-267
- 第10表 1947年度重要公共事業費一覽表.....I-268
- 第11表 1947年度追加豫算內容一覽表.....I-269
- 第12表 1946.47.年度歲入科目比率對照表.....I-269
- 第13表 1937年對1947年歲入科目別對照表.....I-269
- 第14表 1944年對1947年租稅收入稅目別比率對照表.....I-269
- 第15表 1946-47年度歲入豫算對照表.....I-269
- 第16表 現行國稅種目一覽表.....I-270
- 第17表 1911-47年一人當歲出額推移表.....I-272
- 第18表 1911-47年一人當租稅負擔額推移表.....I-272
- 第19表 1937-43年歲出對照表.....I-272
- 第20表 1947年度過渡本豫算歲出明細表.....I-273
- 第21表 1947年度決算第三種所得稅種別人員別稅額表.....I-274
- 第22表 1947.4-48.1 過渡歲入累計表.....I-274
- ※ 年別歲入歲出科目別比率對照(圖表).....I-275

△金 融

- 1. 解放前의金融事情回顧 .....I-277
- 2. 解放後의南朝鮮金融基調 .....I-279
- 3. 金融機關의個別的考察 .....I-280
- 4. 金融事情各論 .....I-283
  - (1) 通貨發行趨勢.....I-283
  - (2) 民間流通通貨量斗小賣物價推移.....I-284
  - (3) 預金及手形交換推移.....I-285
  - (4) 貸付事情斗都賣物價推移.....I-287
  - (5) 換受拂狀况斗季節資金.....I-287
  - (6) 零細國民貯蓄斗保險事情.....I-288
- 5. 解放後의實施社會金融對策 .....I-289
- 6. 結言—南朝鮮金融界融의當面課題 .....I-290

【附 表】

- 第1表 1939.4.1 現在朝銀斗國銀의金利差遷表.....I-277
- 第2表 1939年末現在金融機關資金內容表.....I-277
- 1939年末現在金融機關資金需給狀況表.....I-277
- 第3表 1943年5月末現在朝鮮內各銀行諸計定.....I-278
- 第4表 解放前朝鮮銀行券發行準備內容推移表.....I-278
- 1947年中朝鮮銀行券發行推移表.....I-278
- 第5表 朝鮮金融機關及民間所有日公社債株券額高.....I-279
- 解放後金融機關資金需給表.....I-279
- 第6表 解放後昔銀預金總額斗國庫金比較.....I-280
- 第7表 解放後昔銀支拂準備金斗推移表.....I-280
- 第8表 南朝鮮重要金融機關店舖道別分布表.....I-281
- 第9表 1947年末各銀行重要計定一覽表.....I-281

- 第11表 1947年中朝鮮信託銀行重要信託財產推移表.....I-282
- 第12表 1947年中朝鮮相互銀行無盡計定推移表.....I-282
- 第13表 1947年末金融組合重要負債道別一覽表.....I-282
- 第14表 1947年末金融組合重要資產道別一覽表及貸付內容明細一覽表.....I-282
- 第15表 1947.12.1 現在朝鮮換金銀行貸借對照表.....I-283
- 第16表 解放後朝鮮銀行券月別發行推移表.....I-283
- 第17表 1946-47各年末農產物收買資金殘高表.....I-284
- 第18表 1944-47年朝鮮銀行券各期末發行高.....I-284
- 第19表 1945.9.30-47.12.31 美軍政下通貨膨脹斗原因明細表.....I-284
- 第20表 1946.4-47.12 過渡支出及收入趨勢表.....I-284
- 第21表 1946.3-47.12 現金通貨斗民間流通高.....I-284
- 第22表 1946-47年中修給生活者實質賃率趨勢表.....I-285
- 第23表 1946-47年中小賣物價指數斗賃金指數對照表.....I-285
- 第24表 1946-47年預金指數月別推移表.....I-285
- 第25表 解放後金融機關預金斗種別構成推移表.....I-285
- 第26表 解放後手形交換高月別推移表.....I-286
- 第27表 1946-47年中不渡手形種別推移表.....I-286
- 第28表 서울市不渡手形業種別一覽表.....I-286
- 第29表 1946-47年中金融機關貸付種別月別殘高表.....I-287
- 第30表 解放後月別都賣物價指數推移表.....I-287
- 第31表 1946-47年中朝鮮銀行店舖別換受拂推移一覽表.....I-288
- 第32表 1946-47年中零細國民貯蓄月別推移表.....I-288
- 第33表 1947年末現在預金貸出各金利水準表.....I-290
- 第34表 1947年3月末現在日系企業體斗對其固定貸付資金殘高表.....I-290
- 第35表 1947年末市銀及金聯斗預置金殘高表.....I-290
- 第36表 1945.9-47.10 用途別貸出增加推定表.....I-290
- 第37表 1947年3月末現在各銀行平均利題表.....I-291
- 第38表 1939年金融機關斗事業設備貸付額.....I-291
- ※ 預金貸出及手形交換高趨勢(圖表).....I-276

△朝銀券의發行趨勢

- 1. 概 觀.....I-292
  - 財政面一貸出面—預金面
- 2. 詳 論.....I-293
  - 第一期 (1945.8.15-12.31).....I-293
  - 第二期 (1946.6.1-12.31).....I-294
  - 第三期 (1947.1.1-4.30).....I-294
  - 第四期 (1947.5.1-8.30).....I-295
  - 第五期 (1947.9.1-12.31).....I-295

△季節資金融資動態

- 1. 解放後季節資金放出의意義.....I-297
- 2. 年度別季節資金放出實數.....I-297
- 3. 季節資金의種別動向.....I-298
  - (1) 秋穀收集資金.....I-298
  - (2) 夏穀收集資金.....I-302
  - (3) 棉花收集資金.....I-304
  - (4) 露工品收集資金.....I-305
  - (5) 陽蘭及蠶種桑苗生産資金.....I-307
  - (6) 人參資金其他.....I-308

【附 表】

- 第1表 解放後年度別季節資金放出實態表.....I-297

第 2 表 1945.10—48.2 朝銀券發行高趨勢表…………… I—298

第 3 表 1945 年米穀資金限度割當表…………… I—299

第 4 表 1945 年度米穀收集實績表…………… I—299

第 5 表 1946 年米穀資金限度表…………… I—299

第 6 表 1946 年米穀收集實績表…………… I—299

第 7 表 1946 年米穀資金月別貸出表…………… I—300

第 8 表 1947 年米穀資金道別銀行別限度及  
朝銀再割限度表…………… I—301

第 9 表 1947 年度米穀收集量算出表…………… I—301

第 10 表 1948 年 2 月 20 日現在 1947 年度  
米穀收集狀況表…………… I—301

第 11 表 1946—47 年秋穀收集月別比較表…………… I—302

第 12 表 1947 年米穀資金貸出及回收狀況一覽表…………… I—302

第 13 表 1946 年夏穀資金限度表…………… I—304

第 14 表 1946 年夏穀收集實績表…………… I—304

第 15 表 1947 年夏穀資金限度表…………… I—304

第 16 表 1947 年夏穀收集實績表…………… I—304

第 17 表 1946—47 年棉花資金割當表…………… I—305

第 18 表 1947 年度官需用器工品收集割當表…………… I—306

第 19 表 1947 年度官需用器工品收集實績表…………… I—306

第 20 表 1948 年度官需用器工品資金限度表…………… I—306

第 21 表 1948 年度官需用器工品收集實績表…………… I—307

第 22 表 1946 年春藁資金銀行別限度表…………… I—308

第 23 表 1946 年秋藁資金割當表…………… I—308

第 24 表 1947 年春藁資金割當表…………… I—308

第 25 表 1947 年桑蠶蠶種生產資金表…………… I—308

第 26 表 1947 年秋藁資金割當表…………… I—308

△預金動態의 分析

1. 인플레이션과 預金增勢의 必然性…………… I—309

2. 預金增加의 經路…………… I—309

3. 預金推移의 個別的考察…………… I—310

4. 預金通貨의 流通速度其他…………… I—312  
流通速度의 平均金額  
預金通貨의 都賣物價의 關係

5. 結 言…………… I—314

【附 表】

第 1 表 預金及發行高對照表…………… I—309

第 2 表 普銀預金及貸出金對照表…………… I—310

第 3 表 全金融機關預金殘高月別推移表…………… I—310

第 4 表 市中銀行預金構成變化表…………… I—311

第 5 表 市中銀行預金及支拂準備率推移表…………… I—311

第 6 表 金融機關別預金增加一覽表…………… I—312

第 7 表 1948 年 1 月末現在地域別預金分布狀況表…………… I—312

第 8 表 朝鮮銀行本店預金通貨及流通速度關係表…………… I—313

第 9 表 서울手形交換計數上으로는 預金通貨  
平均金額…………… I—313

第 10 表 預金通貨及都賣物價關係表…………… I—314

X. 特殊問題

△解放後南朝鮮經濟의 特

1. 解放前朝鮮經濟의 特質…………… I—315

(1) 第 1 期 (1910—1921)…………… I—315

(2) 第 2 期 (1922—1935)…………… I—316

(3) 第 3 期 (1936—1945)…………… I—317

2. 解放後南朝鮮經濟의 諸特質…………… I—318

(1) 前 言…………… I—318

(2) 金融面에나타난特質…………… I—319

(3) 金融機關機能面에나타난特質…………… I—320

(4) 財政面에나타난特質…………… I—321

(5) 生産機械上의特質…………… I—322

【附 表】

第 1 表 1876 年開港以後外國貿易輸出入  
價格對照表…………… I—315

第 2 表 1896 年現在國內外國商館數…………… I—315

第 3 表 1910—21 年主要鐵礦發掘工…………… I—316

第 4 表 1908 年以前各種工場設立狀況表…………… I—316

第 5 表 1914—23 年朝鮮農家階級의 變遷表…………… I—316

第 6 表 1911—32 年工場及勞動者數累年對照表…………… I—316

第 7 表 1930—35 年農產額과 工產額對照表…………… I—317

第 8 表 1939 年上半期末現在朝鮮內各種  
銀行資金潤差狀況表…………… I—317

第 9 表 1931—43 年朝鮮對日本貿易推移表…………… I—317

第 10 表 1936—40 年農產額과 工產額對照表…………… I—318

第 11 表 日政下朝鮮의 國民所得配分計數表…………… I—318

第 12 表 朝鮮의 金融機關及民間所有인  
日公社債株券總高…………… I—318

第 13 表 1941 年未現在朝, 日民族別業種別  
工業會社統計表…………… I—318

第 14 表 1946 年未現在南朝鮮重要都市  
行政地域別人口及住宅數…………… I—319

第 15 表 1945—48 年 서울 市人口及戶數變遷表…………… I—319

第 16 表 產業別失業者數及罹災民數對照表…………… I—319

第 17 表 解放前後, 生産總額, 物價指數及  
貸貸資金對照表…………… I—319

第 18 表 1936—47 年解放前後朝銀券發行推移表…………… I—320

第 19 表 解放前後南朝鮮金融體對照表…………… I—320

第 20 表 普通預金總額과 國庫預金比較表…………… I—320

第 21 表 1947 年末朝鮮銀行에對한 市中  
銀行預置金高…………… I—320

第 22 表 1947 年 3 月末現在日系企業體에對한  
國定貸付殘高表…………… I—320

第 23 表 南朝鮮金利水準解放前後對照表…………… I—320

第 24 表 朝鮮의 銀行對外資金本의 發展過程表…………… I—321

第 25 表 解放前後赤字財政遷移表…………… I—321

第 26 表 解放前後歲出豫算累年對照表…………… I—321

第 27 表 1944 年對 47 年主要歲出科目對照表…………… I—321

第 28 表 解放前後歲入科目別比率對照表…………… I—321

第 29 表 1944 年對 47 年主要租稅收入比率對照表…………… I—322

第 30 表 1944 年對 47 年官業及官有財產收入對照表…………… I—322

第 31 表 1636—37 年平均農產額의 南北朝鮮比率…………… I—322

第 32 表 鐵礦及統鐵斗自然資源의 南北朝鮮比率…………… I—322

第 33 表 1937 年現在工產額의 南北朝鮮比率…………… I—322

第 34 表 解放後南朝鮮雜穀生產推移表…………… I—323

第 35 表 1947.7—48.6 南朝鮮主要糧穀  
供給及消費豫想高…………… I—323

第 36 表 南朝鮮耕作面積及穀物生産減少狀況表…………… I—323

第 37 表 解放前後南朝鮮主要鐵產物採掘量…………… I—323

第 38 表 過政技術者養成日豫數…………… I—323

第 39 表 1947 年 9 月現在南朝鮮歸屬鐵山  
數及從業員數…………… I—323

第 40 表 解放後重要工業部門의 生産萎縮狀況表…………… I—324

第 41 表 1947 年 9 月現在南朝鮮歸屬工場  
數及從業員數…………… I—324

1947 年度用途別融資一覽表…………… I—324

第42表 1947年3月末現在南朝鮮省村別  
 產業總數表…………… I-325

第43表 1947年末職業別生計表…………… I-325

第44表 1947年12月中南朝鮮各港口積揚貨物別總數 I-325

△南朝鮮인프론의特相分析

1. 緒…………… I-326

2. 인프론의第一段階…………… I-326

3. 第一次的後退의進展과그調整段階…………… I-328

4. 인프론의第二段階…………… I-331

5. 附…………… I-333

【附 表】

第1表 市中銀行資金의流動性係數及膨脹係數…………… I-326

第2表 解放後月別通貨流通速度推移表…………… I-326

第3表 인프론의老段階圖…………… I-327

第4表 解放後南朝鮮金融機關의資金  
 需給月別趨勢表…………… I-327

第5表 1946—47年貨金及物價指數對照表…………… I-328

第6表 解放後都貨物價指數及小賣物價  
 指數對照表…………… I-328

第7表 1946—47年現金通貨의民間流通  
 額月別趨勢…………… I-329

第8表 1947年5月末現在銀行店舖停止數…………… I-329

第9表 解放後手形交換高月別推移表…………… I-329  
 1946.12—47.12 不渡手形推移表…………… I-329

第10表 解放後金融機關預金의種別構成推移表…………… I-330

第11表 解放後政府收入及支出表…………… I-330

第12表 1945.9—48.12主要農產物及工業物部  
 貨物價指數表…………… I-331

第13表 解放後南朝鮮主要八都市新發會社一覽表…………… I-331

第14表 解放後金融機關貸付種類別  
 月別殘高推移表…………… I-332

第15表 1945.9—47.10 金融機關貸付金增加內容表…………… I-332

第16表 解放前後南朝鮮人口動態表…………… I-332

第17表 1946—47各年末農產物收買資金殘高…………… I-332

第18表 1946—47各年度過渡豫算內容比較表…………… I-333

第19表 1946.12—47.12 小額國民貯蓄增加趨勢表…………… I-333

第20表 1945.9—48.1 南朝鮮住民移動表…………… I-333

第21表 1948.1—48.1 北朝鮮同胞南下數…………… I-333

△對日通貨補償要求의貫徹

△土地改革問題

1. 解放前土地問題의樣相…………… I-336

(1) 序論—土地改革의意義…………… I-336

(2) 半封建的土地所有成立過程의特質…………… I-337

(3) 土地所有集中化의樣態…………… I-338

(4) 耕作規模의零細性…………… I-342

(5) 高率小作料의小作爭議…………… I-343

(6) 農家經濟의破綻…………… I-343

2. 解放後土地改革의具體的方策…………… I-345

(1) 小作料—三割實施의三七制…………… I-345

(2) 南朝鮮土地改革의三大方向…………… I-345

(3) 北朝鮮土地改革法令의實施…………… I-346

(4) 全農의南朝鮮土地改革法令草案…………… I-347

(5) 立憲의南朝鮮土地改革法案…………… I-348

(6) 結 語…………… I-348

【附 表】

第1表 1939—42年職業別人口構成表…………… I-336

第2表 解放前產婆別生産額累年推移表…………… I-336

第3表 解放前農民의小作農化傾向表…………… I-338

第4表 解放前農地의小作地化傾向表…………… I-338

第5表 1934—36年間平均各地帶別自  
 小作農家構成表…………… I-339

第6表 全北平野部에있어서의農民의階級構成表…………… I-339

第7表 1939年末現在地帶別, 田畝別, 總耕地  
 面積에對한小作地面積表…………… I-339

第8表 1942年末現在耕地所有面積의廣狹別  
 民族別地主戶數表…………… I-340

第9表 1942年末現在畚五町步以上地主의  
 所有面積狀況表…………… I-340

第10表 1942年末現在田五町步以上地主의  
 所有面積狀況表…………… I-340

第11表 1942年末現在耕地所有面積의廣狹別  
 民族別耕地面積表…………… I-341

第12表 水利組合에있어서의土地所有其中의傾向…………… I-341

第13表 1926—30年平均反當農作物收穫量…………… I-342

第14表 1939年末現在農家—戶當耕地面積及  
 小作地面積表…………… I-342

第15表 1938年末現在耕作規模別農家戶數表…………… I-342

第16表 農民經營의地域的零細性一覽表…………… I-342

第17表 1929—1930年道別年尙小作移動戶數…………… I-343

第18表 1925年末現在農家規模別—戶當收支狀況表…………… I-344

第19表 1930年末道別春季食糧端窮期  
 窮乏農家戶數表…………… I-344

第20表 1930年末自小作及小作農의負債狀況…………… I-344

第21表 1938年末現在金融機關別  
 農業資金貸出殘高表…………… I-345

第22表 1945年末現在南朝鮮土地所有狀態表…………… I-347

第23表 1945年末現在南朝鮮農家戶數表…………… I-348

△朝鮮農業의經營地帶

1. 東洋農業에있어서의朝鮮農業의地位…………… I-349

(1) 세계의農業地帶…………… I-349

(2) 朝鮮農業의位置…………… I-349

(3) 漢人農法과土人農法…………… I-349

2. 朝鮮農業의經營地帶…………… I-349

(1) 地帶區分의必要…………… I-349

(2) 農業의生産力과經營地帶…………… I-350

(3) 다섯개의經營地帶…………… I-350

3. 各地帶農業의特徵…………… I-351

(1) 田畝別耕地組成에있어서…………… I-351

(2) 主要農作物의播種面積比率에있어서…………… I-352

(3) 畜의利用形態에있어서…………… I-353

(4) 田의利用形態에있어서…………… I-354

(5) 經營形態에있어서…………… I-355

△北朝鮮의經濟實情

1. 財政政策…………… I-373

2. 產業概觀…………… I-373

3. 商業機關…………… I-373

4. 物價勞賃…………… I-374

△北朝鮮의農業事情

1. 土地改革…………… I-375

2. 北朝鮮農民銀行의設置…………… I-376

3. 北朝鮮農業現物稅의實施…………… I-376

4. 土地改革後의推移…………… I-376

△北朝鮮의金融事情

- 1. 解放前の北朝鮮金融經濟事情.....I-378
  - 2. 解放後營業停止時까지의金融事情.....I-379
  - 3. 北朝鮮金融機關의新發足.....I-379
  - 4. 北朝鮮中央銀行에依한統制期.....I-379
  - 5. 北朝鮮金融體制의再策定.....I-380
  - 6. 北朝鮮의新紙幣發行과그意義.....I-380
- 附 通貨改革直前の朝鮮銀行券의  
北朝鮮實在量推定.....I-381

【附 表】

- 第 1 表 1945年 7 月末現在三八以南北別金融機關  
貸出金及保有現金殘高表.....I-378
- 第 2 表 1945年 7 月末現在北朝鮮所在銀行及  
金融組合營業所數.....I-378
- 第 3 表 1945年 7 月末現在三八以南北別預金殘高表I-378
- 第 4 表 1945年 7 月末現在  
北朝鮮朝銀支店別發行高.....I-378
- 第 5 表 1945年 7 月末現在北朝鮮朝銀支店別  
未發行券保有高.....I-379
- 第 6 表 解放後北朝鮮朝鮮銀行店舖閉鎖及  
再開狀況一覽表.....I-379

△北朝鮮貨幣改革의實情調査

- 1. 貨幣改革의意圖と目的.....I-382
- 2. 貨幣改革의總決算狀態.....I-382

附 錄

地 方 經 濟 篇

地—3~95

第 2 部 記 錄 文 獻 篇

I. 經 濟 日 誌

(1945.8.9~1947.12.31).....II- 3

II. 經 濟 法 規

△國 際 協 定

- 大 西 洋 憲 章.....II- 32
- 카 이 로 宜 宣.....II- 32
- 테 헤 란 會 談.....II- 32
- 브 레 톤 - 우 트 協 定.....II- 32
- 케 옉 크 會 談.....II- 32
- 달 타 協 定.....II- 32
- 聯 合 國 憲 章.....II- 33
- 포 쓰 당 宣 言.....II- 34
- 幕 府 三 個 國 外 相 會 談.....II- 34
- 極 東 委 員 會 의 對 日 新 基 本 政 策.....II- 34

△太 平 洋 美 國 陸 軍 總 司 令 部 布 告

- 第 3 號 通 貨.....II- 36
- 第 4 號 法 貨.....II- 37

△在 朝 鮮 美 國 陸 軍 司 令 部 一 般 告 示

- 第 1 號 米 穀 의 自 由 市 場.....II- 37
- 第 2 號 自 由 市 場 設 置 에 關 한 件.....II- 37
- 第 3 號 石 炭.....II- 37
- 第 4 號 漁 業 施 設 에 關 한 件.....II- 38
- 第 5 號 石 油 生 產 物 에 關 한 件.....II- 38
- 第 6 號 米 穀 統 制 (第 1 號 改 正).....II- 38

△法 律

- 第 2 號 互 穀 收 集.....II- 38

- 3. 改革後物價의趨勢와金融方策.....I-383
  - 4. 實地貨幣交換方法.....I-383
  - 5. 凍結預金의支拂方法.....I-385
  - 6. 結 言.....I-386
- (參考) 主要各國通貨平價一覽表.....I-386

△保 險

- 1. 緒 言.....I-387
- 2. 解放後의動向.....I-387
- 3. 解放後實施한保險對策.....I-388
- 4. 火災保險契約의對象物.....I-388
- 5. 損害保險業界의當面問題.....I-388

【附 表】

- 第 1 表 1933年末現在朝鮮內金融資本의民族別構成I-387
- 第 2 表 1948年 3 月末現在新設火災海上保險  
會社一覽表.....I-387
- 第 3 表 1946.4—47.3 損害保險事業概況表.....I-387
- 第 4 表 1947.4—12 月損害保險事業概況表.....I-388

△解放後土建界의動向

【附 表】

- 第 1 表 1945—47年企業主別工事額.....I-389
- 第 2 表 1948.1—5月工事別工事額.....I-390
- 第 3 表 (參考)1928—37年水道狀況累年對照表.....I-390
- 第 4 表 (參考)1937年度道別水道狀況表.....I-390

- 第 4 號 未 成 年 者 勞 動 保 護 法.....II- 38
- 第 6 號 米 穀 收 集 法.....II- 41

△在 朝 鮮 美 國 陸 軍 司 令 部 軍 政 廳 法 令

- 第 2 號 敵 產 에 關 한 件.....II- 42
- 第 4 號 日 本 陸 海 軍 財 產 에 關 한 件.....II- 43
- 第 9 號 最 小 作 料 決 定 의 件.....II- 43
- 第 14 號 一 般 勞 動 負 金.....II- 43
- 第 19 號 勞 務 及 暴 利 에 對 한 保 護 (拔 奉).....II- 44
- 第 23 號 酒 精 飲 料 의 販 賣 禁 止.....II- 44
- 第 24 號 物 資 統 制 會 社.....II- 44
- 第 27 號 漁 業 權 의 無 効 及 以 後 規 定.....II- 44
- 第 30 號 法 令 第 14 號 의 廢 止.....II- 44
- 第 33 號 朝 鮮 內 所 在 日 本 人 財 產 權  
取 得 에 關 한 件.....II- 44
- 第 37 號 朝 鮮 金 融 統 制 會 의 解 散.....II- 44
- 第 39 號 對 外 貿 易 規 則.....II- 44
- 第 43 號 朝 鮮 株 式 取 引 所 의 解 散.....II- 45
- 第 45 號 米 穀 收 集 令.....II- 45
- 第 52 號 新 韓 公 社 의 創 立.....II- 45
- 第 53 號 朝 鮮 經 濟 顧 問 會 의 設 置.....II- 46
- 第 57 號 日 本 銀 行 券, 台 灣 銀 行 券 의 預 入.....II- 46
- 第 59 號 法 令 第 37 號 의 改 正.....II- 46
- 第 62 號 藥 種, 醫 藥, 製 藥 品 及 關 係  
物 品 에 關 한 規 則.....II- 47
- 第 73 號 道 財 產 管 理 處 의 設 置.....II- 47
- 第 75 號 朝 鮮 鐵 道 의 統 一.....II- 47
- 第 77 號 大 邱 市 에 關 한 特 別 米 穀 令.....II- 47



- 第 80 號 法令第 52 號之改正 (新韓公社之創立) ..... II- 48
- 第 82 號 對外貿易規則 ..... II- 48
- 第 83 號 公設浴場及飲食店之免許 ..... II- 49
- 第 87 號 釜山市之關稅特別米穀令 ..... II- 49
- 第 90 號 經濟統制 ..... II- 49
- 第 93 號 外國之交易統制 ..... II- 50
- 第 95 號 補助軍票「A」印之圓通貨之預入 ..... II- 51
- 第 96 號 藥品及藥品營業取締令及其施行規則改正 ..... II- 51
- 第 97 號 勞動問題之關稅公共政策公布及勞動部設置 ..... II- 52
- 第 98 號 貿易局及商務局之設置法令第 82 號之改正 ..... II- 52
- 第 100 號 朝鮮商工會議所之廢止 ..... II- 52
- 第 101 號 稅令之改正 ..... II- 52
- 第 105 號 米穀收集令之廢止、米穀搬入許可證之失効 ..... II- 53
- 108 號 企業法廢止令 ..... II- 54
- 109 號 地方稅之改正 ..... II- 54
- 112 號 兒童勞動法規 ..... II- 56
- 113 號 穀物摘箱設備之許可 ..... II- 59
- 116 號 關稅法之改正 ..... II- 60
- 117 號 法令第 93 號之一部改正 (外國之交易統制) ..... II- 60
- 第 119 號 麻藥統制 ..... II- 60
- 第 120 號 物價、糧食統制法規違反之對刑罰(技幸) ..... II- 61
- 第 121 號 最高勞動時間 ..... II- 62
- 第 124 號 藥品及藥品營業取締令及其施行規則之改正 ..... II- 63
- 第 127 號 米穀密輸出等之處罰 ..... II- 63
- 第 128 號 地稅及手數料之改正 ..... II- 64
- 第 130 號 印紙稅法及登錄稅法改正 ..... II- 64
- 第 132 號 法令第 112 號之一時停止 (兒童勞動法規) ..... II- 65
- 第 133 號 繭絲檢查法 ..... II- 65
- 第 137 號 相續稅率改正 ..... II- 65
- 第 139 號 税金追念令之改正 ..... II- 67
- 第 142 號 朝鮮所得稅令之改正 ..... II- 67
- 第 145 號 朝鮮換金銀行之創立 ..... II- 67
- 第 146 號 地方稅之改正 ..... II- 68
- 第 147 號 才產製品檢查規則改正 ..... II- 68
- 第 148 號 石油製品之物品稅 ..... II- 69
- 第 149 號 對外貿易規則 ..... II- 69
- 第 150 號 法令第 93 號之改正 (外國之交易統制) ..... II- 70
- 第 154 號 飲料稅令 ..... II- 70
- 第 155 號 物資統制會社之解散 ..... II- 73
- 第 156 號 財產管理官之株主總會招集權 ..... II- 73
- 第 158 號 許可權之移管及廢止之關稅件 ..... II- 73
- 第 161 號 朝鮮自動車取締規則之改正 ..... II- 74
- 第 162 號 日本敵產管理人名義登記抹消之關稅件 ..... II- 74
- 第 163 號 水產食料品及其施設衛生規格 ..... II- 74
- 第 164 號 皮革統制 ..... II- 75

- 第 168 號 食糧及物資配給制度違反行為之處罰 ..... II- 76
- △過政行政命令**
  - 第 8 號 米穀收集及運搬 ..... II- 76
  - 第 9 號 非常時電力委員會 ..... II- 76
  - 第 10 號 勞動之關稅規定之臨時停止 ..... II- 77
  - 第 11 號 米穀運搬許可 ..... II- 77
  - 第 12 號 公務員厚生行政處之設置 ..... II- 77
- △商務部令**
  - 第 1 號 外國貿易規則 ..... II- 78
  - 第 2 號 輸入品買却代金之預置 ..... II- 78
- △外國貿易規則**
  - 第 1 號 免許及輸入輸出之許可 ..... II- 78
  - 第 2 號 免許許可等之料金 ..... II- 79
- △財務部令**
  - 銀行指令第 5 號 ..... II- 79
  - 銀行指令第 6 號 ..... II- 79
  - 銀行指令第 8 號 ..... II- 79
  - 銀行指令第 10 號 ..... II- 79
  - 銀行指令第 12 號 ..... II- 79
  - 朝鮮圓貨表示特別措置預金解除之關稅件 ..... II- 80
  - 10 圓爲超過之與信限度擴張申請之關稅件 ..... II- 80
  - 北韓三八度以北朝鮮之相對處之發行金爲幣中米拂手票退結之關稅件 ..... II- 80
  - 貸出金金利之關稅件 ..... II- 80
  - 中央食糧規則第 3 號之依託封鎖勸定引出手續之關稅件 ..... II- 80
  - 北朝鮮避難民搬入朝鮮銀行券之封鎖計定預置之關稅件 ..... II- 80
  - 手形貸付當座貸越及其他與信限度擴張之關稅件 ..... II- 80
  - 銀行預金擔保貸出金之相殺之關稅件 ..... II- 81
  - 貸出金更新及回收之關稅件 ..... II- 81
  - 1947年 8 月 26 日附指令「融資限度之關稅件」解釋之關稅件 ..... II- 81
- △管財令**
  - 第 2 號 軍政廳取得日本人財產之報告及財產之經營占有及使用之關稅件 ..... II- 81
  - 第 3 號 接收農地之關稅件 ..... II- 82
  - 第 5 號 既得之諸會社之依託報告 ..... II- 82
  - 第 6 號 漁船及其他船舶 ..... II- 83
  - 第 8 號 各種歸屬事業體經營之關稅件 ..... II- 83
  - 第 9 號 第 8 號之改正「各種歸屬事業體經營之關稅件」 ..... II- 85
  - 第 10 號 軍政廳財產管理官之株式其他利權令所有之朝鮮內之設立各種法人經營之關稅件 ..... II- 87
  - 第 30 號之依託軍政廳之歸屬之小事業體關稅件 ..... II- 87
  - 日本人所有都會地住宅拂下之關稅件 ..... II- 88
- △農務部令**
  - 第 1 號 小作料之關稅件(舊農商局令) ..... II- 89
  - 第 2 號 新韓公社之依託米穀小作料收集 ..... II- 90
  - 第 3 號 穀物檢查規則 ..... II- 90
  - 第 4 號 叭檢查規則 ..... II- 92
- △勞動部令**
  - 第 1 號 未成年者勞動保護法施行規則 ..... II- 93

○第 2 號 未成年勞動者之教育及保健……………II - 93

**△中央食糧行政規則**

○第 1 號 夏穀收集……………II - 94

○第 2 號 米穀收集……………II - 95

○第 3 號 米穀及其他食糧收集、小作料  
支拂手續(第2號訂改正)……………II - 96

○第 4 號 小作料支拂手續(第3號訂改正)……………II - 97

○第 5 號 夏穀收集……………II - 98

○第 6 號 米穀收集案……………II - 100

**△中央物價行政處價格規則**

○第 1 號 最高價格及定價……………II - 101

○第 2 號 價格規則 第 1 號訂改正及  
協定販賣價格……………II - 102

**△中央經濟委員會規則**

○第 1 號 統制及國家配給……………II - 102

○第 2 號 統制原料及設備統制相關條件……………II - 103

**△生產委員會指令**

○第 4 號 歸屬事業體選任相關條件(其一)……………II - 104

○第 5 號 廠產事業體檢查相關條件……………II - 104

○第 6 號 廠產事業體選任相關條件……………II - 104

○第 7 號 歸屬事業體相關條件……………II - 104

○第 8 號 管財書式第 20 號及第 21 號提出相關條件……………II - 105

○第 9 號 歸屬事業體選任相關條件(其二)……………II - 105

○第 10 號 小規模廠產事業體拂下相關條件  
推薦手續要領……………II - 106

○第 16 號 朝鮮內에서創立法人의管理處理  
事會에移管하는相關手續要領……………II - 107

**△中央物價行政處令**

○第 1 號 絲糸最高販賣價格……………II - 107

○第 2 號 絲織物最高販賣價格……………II - 108

○第 3 號 麻織物最高販賣價格……………II - 109

○第 4 號 絲麻交織物最高販賣價格……………II - 109

○第 5 號 斗室最高販賣價格……………II - 109

○第 6 號 棉洋襪最高販賣價格……………II - 110

○第 7 號 國內用生糸最高販賣價格……………II - 110

○第 8 號 絹織物最高販賣價格……………II - 110

○第 9 號 絹交織物最高販賣價格……………II - 111

○第 10 號 人絹織物最高販賣價格……………II - 112

○第 11 號 可孚最高販賣價格……………II - 112

○第 12 號 苧紗最高販賣價格……………II - 112

○第 13 號 電球最高販賣價格……………II - 113

○第 14 號 總工平靴、運動靴及勞動靴斗  
最高販賣價格……………II - 113

○第 15 號 自轉(用)車의及車-부의  
最高販賣價格……………II - 113

○第 16 號 糧穀買上價格及販賣價格……………II - 114

○第 17 號 棉洋襪最高販賣價格……………II - 114

○第 18 號 棉掌甲最高販賣價格……………II - 115

○第 19 號 國內用生糸及輸出用生糸斗  
最高販賣價格……………II - 115

○第 20 號 糧穀最高販賣價格……………II - 115

○第 21 號 米穀及雜穀斗公定價格……………II - 116

○第 22 號 南朝鮮産石炭及輸入石炭斗  
最高販賣價格……………II - 116

III. 經濟論叢

在京各新聞經濟社說日錄集……………II - 117

在京各新聞經濟說日錄集……………II - 123

各綜合雜誌重要經濟記事日錄集……………II - 127

經濟關係新聞文獻日錄集……………II - 129

地方各新聞經濟社說日錄集……………II - 131

地方各新聞經濟論說日錄集……………II - 132

各經濟雜誌主要日次集……………II - 134

IV. 經濟團體

道別産業經濟團體一覽……………II - 135

第 3 部 統 計 編

I. 總 括

(1) 南朝鮮重要經濟指標 1945—47(圖表)……………III - 7

(2) 人口增加斗米穀生產 1910—47(圖表)……………III - 8

(3) 朝鮮重要經濟指標(圖表)……………III - 9

(4) 朝鮮經濟關係主要圖表(圖表)……………III - 10

(5) 1910—47年戶數及人口動遷表……………III - 11

(6) 1910—47年朝鮮重要經濟指標……………III - 12

(7) 1945—47年南朝鮮主要經濟指標……………III - 13

(8) 1910—46年農業及水產業推移表……………III - 14

II. 人口斗土地

(9) 道別面積一覽(圖表)……………III - 15

(10) 南朝鮮人口移動(圖表)……………III - 16

(11) 1943年現在道別面積一覽……………III - 17

(12) 最近20年間平均氣溫表……………III - 17

(13) 最近20年間平均降雨量……………III - 17

(14) 解放前後人口趨勢表……………III - 18

(15) 1944年5月末現在年齡、性別人口表……………III - 18

(16) 解放前後職業別人口趨勢表……………III - 19

(17) 道別人口斗密度推移表……………III - 19

(18) 解放後南朝鮮人口增加表……………III - 19

(19) 1946年9月末現在南朝鮮戶數及  
人口分布表……………III - 20

(20) 1926—46年都市別人口趨勢表……………III - 20

(21) 1947年7月末現在國文普及狀況……………III - 20

III. 產 業

(22) 産業別生產指數(圖表)……………III - 21

(23) 主要農作物收穫高及替農狀況(圖表)……………III - 22

(24) 穀物需給狀況(圖表)……………III - 23

(25) 主要礦物生產高累年一覽表(圖表)……………III - 24

(26) 解放前後農家戶數趨勢表……………III - 25

(27) 解放前耕地面積趨勢表……………III - 25

(28) 1939年及43年度道別營農別農家戶數……………III - 25

(29) 解放前後主要農產物生產高一覽表……………III - 26~27

(30) 解放前後食糧需給狀況一覽表……………III - 28

(31) 家畜數累年一覽表……………III - 29

(32) 1946年度道別畜牛數……………III - 29

(33) 1942—46年道別家畜頭數……………III - 30

(34) 1920—47年家蠶推移一覽表……………III— 31

(35) 1947年中道別登蠶表……………III— 31

(36) 1939—43年林野面積道別一覽表……………III— 32

(37) 1939—43年林野蓄積道別一覽表……………III— 32

(38) 1939—45年林產物生產推移表……………III— 32

(39) 1924—46年水產業狀況……………III— 33

(40) 南朝鮮漁獲高及加工製造果年一覽表……………III— 33

(41) 1922—47年主要製產品生上高推移表……………III— 34

(42) 1945.8.15.現在各道別鹹區數一覽表……………III— 35

(43) 鐵種別鹹區數累年比較表……………III— 35

(44) 解放後主要物資月別生產實績表……………III—36~37

(45) 1940及42年礦物生產實績及消費狀況……………III— 38

(46) 解放前後物資工場設備一覽表……………III— 38

(47) 解放後南朝鮮月別製紙生產量……………III— 39

(48) 解放後南朝鮮月別油脂生產量……………III— 39

(49) 1938—48年主要製產物生產實績  
及生產計劃表……………III— 40

(50) 解放後電氣工業月別生產量……………III— 40

### IV. 貿 易

(51) 1925—45國別輸出入品額高表(圖表)……………III— 41

(52) 解放後國別輸出入品額高表(圖表)……………III— 42

(53) 解放前輸出入額推移表……………III— 43

(54) 解放前後國別輸出入品額高表……………III—44~45

(55) 解放前後港別輸出入品額高表……………III—46~47

(56) 解放前後產品別輸出入額高表……………III— 48

(57) 解放前後產品別輸出入額高表……………III— 49

(58) 解放前後類別輸出入品額高表……………III—50~51

(59) 解放前後重要輸出品一覽表(其一)……………III—52~53

解放前後重要輸出品一覽表(其二)……………III—54~55

(60) 解放前後重要輸入品一覽表(其一)……………III—56~57

解放前後重要輸入品一覽表(其二)……………III—58~59

(61) 解放後南朝鮮國別輸出入品額高表……………III— 60

### V. 通貨及金融(保險)

(62) 朝鮮銀行券流通高(圖表)……………III— 61

(63) 通貨沿革圖(圖表)……………III— 62

(64) 朝鮮內流通貨幣……………III— 63

(65) 朝鮮銀行券都市別發行還收趨勢(圖表)……………III— 64

(65) 南朝鮮預金貸出趨勢表(圖表)……………III— 64

(66) 朝鮮銀行券發行高趨勢表……………III— 65

(67) 通貨流通推定高一覽表……………III— 66

(68) 朝鮮銀行券發行準備內譯累年一覽表……………III— 67

(69) 券面別發行高及同比率表……………III— 68

(70) 南朝鮮預金貸出趨勢(圖表)……………III— 69

(70) 手形交換高一覽(圖表)……………III— 70

(71) 道別預金貸出趨勢(圖表)……………III— 70

(72) 各銀行別業務分析圖(圖表)……………III— 71

(73) 銀行別沿革圖(圖表)……………III— 72

(74) 各種銀行沿革一覽表……………III— 73

(75) 朝鮮銀行主要計定推移表……………III—74~75

(76) 朝鮮殖產銀行主要計定推移表……………III—76~77

(77) 朝鮮貯蓄銀行主要計定推移表……………III—78~79

(78) 普通銀行主要計定推移表……………III—80~81

(79) 全銀行主要計定推移表……………III—82~83

(80) 金融組合主要計定推移表……………III—84~85

(81) 信託銀行(信託會社)主要計定推移表……………III— 86

(82) 相互銀行(無盡會社)主要計定推移表……………III— 87

(83) 解放後朝鮮銀行預金狀況……………III— 88

(84) 解放後朝鮮殖產銀行預金狀況……………III— 88

(85) 解放後朝鮮貯蓄銀行預金狀況……………III— 88

(86) 解放後朝鮮商業銀行預金狀況……………III— 89

(87) 解放後朝鮮興銀行預金狀況……………III— 89

(88) 解放後朝鮮相互銀行預金狀況……………III— 89

(89) 解放後朝鮮銀行貸出狀況……………III— 90

(90) 解放後朝鮮殖產銀行貸出狀況……………III— 90

(91) 解放後朝鮮貯蓄銀行貸出狀況……………III— 90

(92) 解放後朝鮮商業銀行貸出狀況……………III— 91

(93) 解放後朝鮮興銀行貸出狀況……………III— 91

(94) 解放後朝鮮相互銀行貸出狀況……………III— 91

(95) 解放前後預金通貨流通速度一覽表……………III— 92

(96) 解放前後預金貸出都市集中率一覽表……………III— 93

(97) 1946及47年穀物收集資金動向一覽表……………III— 94

(98) 銀行別所有有價證券理在商……………III— 95

(99) 解放前後各銀行爲營受拂高一覽表……………III— 96

(100) 解放前後交換手形種類別表……………III— 97

(101) 各地手形交換高一覽表……………III—98~99

(102) 各地不渡手形一覽表……………III—100~101

(103) 朝鮮銀行貸出標準金利沿革表……………III—102

(104) 朝鮮殖產銀行金利沿革表……………III—102

(105) 朝鮮貯蓄銀行金利沿革表……………III—102

(106) 普通銀行金利沿革表……………III—103

(107) 朝鮮金融團協定預金利率表……………III—103

(108) 郵便貯金坐拂一覽表……………III—104~105

(109) 通常郵便物數量年比較表……………III—104~105

(110) 郵便振替貯金殘高表……………III—106~107

(111) 南朝鮮郵便局道別一覽表……………III—106

(112) 1947年8月現在南朝鮮通信機關及施設  
一覽表……………III—107

(113) 國內外郵便爲營業行拂與高推移表……………III—108

(114) 解放後國民生命保險事業概況……………III—109

(115) 解放後生命保險事業概況……………III—110

(116) 解放後損害保險事業概況……………III—110

### VI. 財 政

(117) 解放後月別歲入及歲出(圖表)……………III—111

(118) 1946及47年度歲出豫算表(圖表)……………III—112

(119) 解放前歲入累年對照表……………III—113

(120) 1946及47年度歲入豫算表……………III—113

(121) 解放前歲出累年對照表……………III—114

(122) 1946及47年度歲出豫算表……………III—114

### VII. 物 價

(123) 서울市類別都賣物價指數趨勢(圖表)……………III—115

(124) 서울市小賣物價動向(圖表)……………III—116

(125) 서울市重要商品價格趨勢表(圖表)……………III—118

(126) 都市別生活必需品小賣物價趨勢(圖表)……………III—117

(127) 서울市都賣物價商品類別指數表(其一)……………III—119

서울市都賣物價商品類別指數表(其二)……………III—120

(128) 서울市小賣物價勞動賃金指數月別對照表……………III—119

(129) 서울市都賣物價調查表(其一)……………III—122~123

서울市都賣物價調查表(其二)……………III—124~125

서울市都賣物價調查表(其三)……………III—126~127

서울市都賣物價調查表(其四)……………III—128~129

서울市都賣物價調查表(其五)……………III—130~131

서울市都賣物價調查表(其六)……………III—132~133

(130) 서울市生活必需品小賣物價  
調查表(其一)……………III—134~135

- 서울市生活必需品小賣物價調查表(其二)···III-136
- 서울市生活必需品小賣物價調查表(其三)···III-138
- 서울市生活必需品小賣物價調查表(其四)···III-140
- (131) 서울市生活必需品小賣物價商品類別指數表III-142

### VIII. 勞 動

- (132) 서울市勞動賃金指數趨勢(圖表)···III-143
- (133) 勞務者數及工場數趨勢(圖表)···III-144
- (134) 서울市物價勞賃指數累年對照表···III-145
- (135) 서울市勞動賃金業種別累年指數表···III-146~147
- (136) 서울市勞動賃金調查表(其一)···III-148~149
- 서울市勞動賃金調查表(其二)···III-150~151
- (137) 地域及產業別企業體及勞務者數···III-152~153
- (138) 勞務規模及業種別企業體分布表···III-154~155
- (139) 地域別未熟練勞務者教育程度表···III-154~155
- (140) 1947年9月現在產業別保健厚生施設數···III-156
- (141) 產業別勞動組合數及勞動組合員數···III-156
- (142) 產業別勞動爭議一覽表···III-157
- (143) 月及道別勞動爭議一覽表···III-158

### IX. 運 輸

- (144) 朝鮮鐵道運輸狀況(圖表)···III-159
- (145) 重要貨物別鐵道輸送噸數(圖表)···III-160
- (146) 解放前後國有鐵道運輸狀況···III-161
- (147) 解放前後國有鐵道運輸收入推移表···III-162
- (148) 主要貨物別鐵道輸送噸數推移表···III-163
- (149) 1946年度各鐵道線品日別發着噸數一覽表···III-164
- (150) 京電運輸狀況(其一)···III-165
- 京電運輸狀況(其二)···III-166

### X. 動力及燃料

- (151) 發電水力資源一覽表(圖表)···III-167
- (152) 電力需給狀況(圖表)···III-168
- (153) 石炭生產及需給狀況表(圖表)···III-169
- (154) 石油需給狀況(圖表)···III-170
- (155) 全朝鮮水力資源一覽表···III-171
- (156) 全朝鮮發電設備明細表···III-171
- (157) 解放前朝鮮發電量累年調查表···III-172
- (158) 解放後南朝鮮電力供給狀況···III-172
- (159) 南朝鮮道及業種別電力消費狀況···III-173
- (160) 業種別電力需要統計(其一)···III-174~175
- 業種別電力需要統計(其二)···III-176~177
- (161) 南朝鮮發電所別發電量調查···III-178
- (162) 南朝鮮動力別電力消費量···III-179
- (163) 解放前後電燈普及狀況推移表···III-180
- (164) 解放後石油消費狀況···III-181
- (165) 1944年現在石油用途別消費量···III-181
- (166) 1946及47年中石炭生產及輸入量···III-182
- (167) 月別瓦斯事業狀況···III-182

### XI. 企 業

- (168) 南朝鮮新設會社狀況(圖表)···III-183
- (169) 銀行會社業種別主要計定趨勢表(圖表)···III-184
- (170) 서울市銀行會社新設增資々本累年推移表···III-185
- (171) 서울市銀行會社解散減資々本累年推移表···III-185
- (172) 서울市銀行會社新設增資々本業種別表(其一)···III-186~187
- 서울市銀行會社新設增資々本業種別表(其二)···III-188~189

- (173) 서울市銀行會社解散減資々本業種別表(其一)···III-186~187
- 서울市銀行會社解散減資々本業種別表(其二)···III-188~189
- (174) 서울市銀行會社資本各年末現在高(其一)···III-186~187
- 서울市銀行會社資本各年末現在高(其二)···III-188~189
- (175) 解放後八都市新設會社調查表(其一)···III-190~191
- 解放後八都市新設會社調查表(其二)···III-192~193
- 解放後八都市新設會社調查表(其三)···III-194~195
- (176) 道別主要歸屬事業體數···III-196
- (177) 管轄別主要歸屬事業體表···III-196

### XII. 外 國 統 計

- (178) 主要各國輸出入品額高表(圖表)···III-197
- (179) 主要各國發行人動向(圖表)···III-198
- (180) 主要各國物價動向(圖表)···III-199
- (181) 主要各國生產指數(圖表)···III-200
- (182) 主要各國面積及人口一覽表···III-201
- (183) 主要各國人口推定數···III-202
- (184) 各國米生產及需給高···III-203
- (185) 各國小麥生產及輸出入高···III-203
- (186) 各國大麥生產及輸出入高···III-204
- (187) 各國玉蜀黍生產及輸出入高···III-204
- (188) 各國砂糖生產及需給高···III-204
- (189) 各國棉花生產高···III-205
- (190) 各國綿絲綉線物生產高···III-205
- (191) 各國羊毛生產及輸出入高···III-206
- (192) 各國毛糸、人造絹絲及人造纖維生產高···III-206
- (193) 各國鋼鐵生產高···III-207
- (194) 各國生工牛生產高···III-207
- (195) 各國鐵礦石生產高···III-208
- (196) 各國鐵鑄及鐵合金生產高···III-208
- (197) 各國自動車生產高···III-209
- (198) 各國用乳三生產高···III-209
- (199) 主要各國生產指數···III-210~211
- (200) 主要各國輸出入品額高表···III-212~213
- (201) 主要各國中央銀行及政府金保有高···III-214
- (202) 主要各國金生產量···III-214
- (203) 各國通貨平價一覽表···III-215
- (204) 各國貨幣制度一覽表···III-215
- (205) 美國斗貨幣保有量···III-216
- (206) 美國斗貨幣種類別保有量···III-216
- (207) 美國斗貨幣額面別流通量···III-216
- (208) 美國斗金移動表···III-217
- (209) 各國通貨流通高···III-218~219
- (210) 各國通貨對對對弗時勢表···III-220~221
- (211) 主要各國棉貨物價動向···III-222~223
- (212) 主要各國生計費指數比較表···III-224~225
- (213) 各國生產機關斗勞動賃金及賃金率···III-226
- (214) 主要各國鐵道輸送旅客人軒表···III-227
- (215) 主要各國鐵道輸送貨物噸軒表···III-228
- (216) 世界石油原油生產高···III-229
- (217) 各國石油原油生產高···III-229
- (218) 主要各國石炭生產量及貯炭量···III-230~231
- (219) 主要各國發電量···III-232~233
- (220) 主要各國瓦斯生產量···III-234

## 第一部 動態調查篇

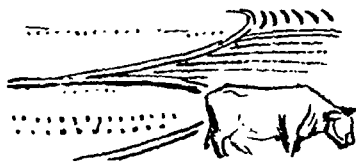
人	口	.....	(I- 3 )
資	源	.....	(I- 15 )
產	業	.....	(I- 27 )
	業	.....	(I- 54 )
	業	.....	(I- 63 )
	業	.....	(I- 67 )
	業	.....	(I- 72 )
	業	.....	(I- 81 )
業	業	.....	(I- 98 )
	業	.....	(I- 98 )
貿	易	.....	(I-115)
	力	.....	(I-137)
動	料	.....	(I-144)
	運	.....	(I-154)
陸	運	.....	(I-184)
	信	.....	(I-192)
海	動	.....	(I-200)
	賃	.....	(I-213)
滬	價	.....	(I-217)
	况	.....	(I-233)
勞	糧	.....	(I-236)
	氣	.....	(I-252)
物	政	.....	(I-264)
	政	.....	(I-264)
市	融 事 情	.....	(I-276)
	融 行 趨 勢	.....	(I-292)
食	融 季 節 資 金	.....	(I-297)
	融 預 金 動 態	.....	(I-309)
景	特 質 分 析	.....	(I-315)
	特 引 三 司 企	.....	(I-326)
財	通 貨 補 償	.....	(I-334)
	土 地 改 革	.....	(I-336)
金	石 油 問 題	.....	(I-368)
	北 朝 鮮 經 濟	.....	(I-373)
融	保 險 · 土 建	.....	(I-387)
	保 險 · 土 建	.....	(I-387)
特			
殊			
問			
題			

附 解放後地方經濟動態 (一市九道)

(地1—地96)

(1-2)

여 백



# 人口資源



## 目 次

- 1 緒 論
  - (1) 人口統計의 現狀
  - (2) 南朝鮮人口의 片々相
- 2. 解放後經濟面에 反映된 人口動態
  - (1) 生産再建과 年齡構成
  - (2) 都市集中의 趨勢一般
  - (3) 職業別構成推移
  - (4) 農業人口의 實態
  - (5) 勞動者와 人口
- 3. 生産、分配、所得實情과 人口
  - (1) 生産力의 減退
  - (2) 食糧의 不足
  - (3) 實質賃金의 低下
  - (4) 所得額別人口
- 4. 社會事情에 照應한 人口의 片狀
  - (1) 解放과 人口의 動態
  - (2) 失業者의 構成內容
  - (3) 南下同胞의 實況
  - (4) 公的救護의 對象人口
  - (5) 犯罪樣相의 人口의 變貌
  - (6) 政治運動基盤과 人口
- 5. 結論에 代하여
  - (1) 海外在住人口
  - (2) 國內在住外國人
  - (3) 不在人口
  - (4) 文盲者의 數는 얼마나 하나

## 人口動態

### 1. 緒 論

#### (1) 人口統計의 現狀

朝鮮人口의 解放前最終統計는 1944年度의 統計이다 解放後人口의 量的質的變異를 考察함에 있어서 引用對照統計는 不得已 1944年度의 統計를 基準으로 한 수 밖에 없다 解放以後의 人口統計에 있어서 解放後 1947年未現在까지 綜合的國勢調査의 實施가 없었으므로 正確한 統計가 없으며 더욱이 南北朝鮮의 兩斷以來 經濟、政治、治安上의 不安繼續으로 말미암아 南朝鮮에 限한 過渡的成便法的인 全體의 人口調査나 不可能한 實情이어서 여기 引用한 統計는 全部 局部的인 斷片의 統計에 不過하다는 것을 미리 一言하여 두는 바이다

또한 不完全하나마 部分的趨勢에 依한 朝鮮人口의 科學的인 推定事業도 이제야 비로소 下記方法에 依하여 着手할 豫定인 것을 附言하여 둔다 即其一是 過政保健厚生部 統計課가 主體가 되어 約3百萬圓經費豫算(興發財團負擔)으로 (1) 山地地帶 (2) 農村 (3) 漁村 (4) 出生率 높은 地方 以上代表의 各地區를 選定하여 醫療班의 家庭訪問의 形式으로 實地로 調査한 出生及 死亡率의 結果를 基準으로 基準人口에 加減을 行하여 人口數를 算出하려는 計畫을 推進中에 있다

其二是 國立化學研究所가 主體가 되어 都市、農村、漁村 工場場帶로 區分하여 約1千8百世帯程度를 年齡別 性別로 얼마의 食糧이 必要한 供給量은 얼마인가를 實地로 調査하여 此類한 現在의 實地條件補給狀態가 出生率 死亡率에 미치는 影響을 調査하여 이로 하여금 部分的인 人口의 自然增加或은 減少의 趨勢를 推定하고 이 推定을 擴大하여 朝鮮人口의 概數를 算定하려는 것이다 (所要豫算은 約百萬圓) 이 兩調査에 隨伴하여 朝鮮銀行이 農村、漁村、都市에 있어서의 勞動者、農民、市民의 生計實情을 調査하여 兩調査의 結果를 補充할 方法을 立案하고 있는 바이다

그러나 이제부터 여기서 引用하는 諸統計는 引用統計의 種類와 調査處의 相違에 依하여 相互一致를 缺한 懸이 不無한 것 도 있으나 諸統計는 全部가 軍政廳各部局課의 調査發表에 依한 現在에 있어서 가장 信頼할 만한 것이며 正確率을 保障

할 수 있는 것임을 確言하는 바이며 一部斷片의 統計는 朝鮮銀行이 直接調査한 것으로 이것도 그 正確性에 있어서 相當한 自信下에 公表하는 것임을 添言하는 바이다

#### (2) 南朝鮮人口의 片々相

南朝鮮의 本邦人 人口는 1944年5月1日 現在로 男子 8百20萬 4百65名, 女子 8百36萬 4千8百52名, 計 1千6百56萬 5千3百17名 이 있었으나 1946年8月25日 現在로 男子 9百79萬 1千7百7名, 女子 9百57萬 7千5百63名 計 1千9百36萬 9千2百70名으로 解放을 中心으로 前後 2個年間に 2百80萬 3千9百53名이 膨脹되었다

下記諸表은 보건대 解放前에는 女子人口가 男子를 凌駕하였으나 解放後는 反對로 男子人口가 優位에 있음이 表面上 事實으로서 特記할 바이며 年齡別 死亡趨勢에 있어서 特別 乳兒의 死亡率이 如前히 高率을 維持하고 있음이 또한 關心事가 가 아닐 수 없다

南朝鮮의 癡疾者 人口는 總數 7萬 2千 1百 8人으로 그中 盲者가 5千 4百 35人, 啞者 1萬 1千 3百 27人, 癡疾者 3萬 7千 9百 85人, 精神薄弱者가 1萬 2千 7百 61人에 達하고 있다

(第 1 表)

南朝鮮人口의 推移

		1942年12月	1944年5月	1946年8月
朝鮮人	男子	8,438,068	8,200,465	9,791,707
	女子	8,438,677	8,364,852	9,577,563
	總數	16,876,745	16,565,317	19,369,270
			減 311,428	增 2,803,953
日本人	490,204	462,507	未 詳	
其他外國人	14,274	12,648	未 詳	

南朝鮮性別道別人口

(1946年8月25日 現在)

	男 女		合計
	男	女	
서울市	576,608	565,158	1,141,766
京畿道	1,265,326	1,221,043	2,486,369
忠清北道	566,784	546,110	1,112,894
忠清南道	967,843	941,562	1,909,405
全羅北道	1,025,041	991,387	2,016,428

全羅南道	1,481,009	1,463,833	2,944,842
慶尙北道	1,602,361	1,576,389	3,178,750
慶尙南道	1,604,885	1,580,947	3,185,832
江原道	572,171	544,665	1,116,836
濟州道	129,679	146,469	276,148
合計	9,791,707	9,577,553	19,369,270

(第2表) 年齡別死亡者數 (1945-7 6個月間 / 1946-12 6個月間)

年齡	1945-7 6個月間 死亡數	1946-12 6個月間 死亡數
5-9	62,198	55-59 7,843
10-14	9,636	60-64 9,635
15-19	14,241	65-69 8,144
20-24	3,992	70-74 8,724
25-29	4,681	75-79 7,527
30-34	6,021	80-84 3,571
35-39	5,379	85-89 1,644
40-44	5,949	90以上 645
45-49	6,671	合計 173,305
50-54	6,804	

(第3表) 南朝鮮年齡別廢疾者人口

(1946年10月末現在)

廢疾者	年齡				合計
	0-5	6-10	11-20	20以上	
盲者	407	603	963	3,733	5,706
啞者	535	906	1,735	4,349	7,525
癱瘓者	1,556	1,855	3,810	20,294	27,315
精神薄弱者	593	593	1,538	5,831	8,553
合計	5,043	5,978	12,649	48,438	72,108

### 2. 解放後經濟面에 反映된 人口動態

#### (I) 生産再建과 年齡構成

一般人的 就業에는 年齡上의 制限이 있으나 其一은 勞働法規上의 制限이고 其二는 事實上의 物理的制限이다

法規上의 制限은 周知하는 바와 같이 南朝鮮의 地方規制以後多少緩和되었다 物理的制限은 事實上의 知能及體力에 있어서 生産의 生命을 經過한 老衰者와 就業年齡에 未及한 幼弱年齡으로 肉體의 理由에 의한 制限이다

朝鮮에 있어서도 諸外國과 같이 實際로 十二歲未滿의 勞動者와 七十歲以上의 勞動者는 全無하다 別表「크레프」에서 看取할 수 있으나 朝鮮人口의 年齡構成은 三角形으로 되어있으니 이것은 平均壽命이 짧은 것과 幼兒死亡率이 높은 것에 因하는 것이다

朝鮮人口의 年齡構成에 있어서 解放後 特別히 要請되는 바

(第5表) 서울市京畿道人口의 增減表 (1947.4.30現在)

시/道	1944.5.1		1947.4.30	
	總人口	外國人	男	女
서울市	901,371	152,748	1,265,096	1,223,006
京畿道	2,264,000		2,488,003	
道			結婚 194	離婚 194

는 幼兒死亡率을 低下시킴으로써 生産再建에 礎石이 될 生産年齡人口의 比數을 增大시킬 點이다

#### (2) 都市集中의 趨勢一般

人口의 都市集中程度는 一國의 工業水準의 程度와 開化文明程度를 表現하는 것이다 産業革命以後 資本主義의 發達이 中央集權을 前提로 하였으므로 當然한 歸結인 것이니 그렇다고 해서 朝鮮特히 南朝鮮에 있어서의 都市集中現象을 解放後 朝鮮工業發展의 象徵으로 規定하거나 朝鮮文化의 向上을 反映하는 事實로 本수 없는 것은 朝鮮의 現實이 證明하는 바이다 그렇다면 어떠한 理由로 解放後 朝鮮의 人口는 都市에 集中되고 있으며 都市別集中率은 如何한가 이것은 다음 諸表에서 能히 窺知할 수 있을 것이다

戰災民, 歸還同胞가 特別히 都市에 集中하고 있는 것은 求職等 生計方途를 求하기 容易한 關係로 生疎하나마 都市에 殘留하고 있는 關係이며 또한 地方보다 比較的 治安이 確保되어 있는 서울로 富裕한 階級의 不斷한 移住가 있음에도 基因하는 것이다 1947年11月末 朝鮮生必品 營團調査의 南朝鮮食糧受配人口는 殆半이 都市居住者로 認定된 것으로 이것은 都市에 의 人口集中程度를 推定하는 좋은 指標가 되는 것이며 別表 서울人口動態表와 京畿道人口動態表를 比較하여 보면 京畿道의 人口增加는 22萬4千名인데 서울市의 人口增加가 48萬餘名에 달하고 있다 이것은 最近의 例로 人口의 一部가 離農하여 都市에 集中하고 있는 것을 如實히 證明하는 것이다 即 1946年8月25日 現在의 서울市의 總人口가 1百14萬1千7百68人이었는데 1947年11月末에는 食糧受配人口만 1百78萬9千2百60名에 달하고 있음은 所謂 離農人口도 있었으나 能히 서울市에 의 人口集中의 證左가 되는 것이다

(第4表) 食糧受配人口表

年次	食糧受配人口	增	減
1947. 4	7,718,526		
1947. 8	8,720,198	增 1,001,672	
1947. 11	9,339,824	增 619,626	

1947年11月現在食糧受配人口道別內譯

道	食糧受配人口
서울	1,789,260
京畿	1,013,722
忠清北	295,038
忠清南	744,798
全北	670,000
全南	1,147,000
慶北	1,300,000
慶南	1,400,000
江原	905,739
濟州	74,267
合計	9,339,824

註 生必品營團調査

項目	增 減 理 由		合計
	出生數	死亡數	
社會的 增加	430,073		460,073
出生數 - 死亡數 = 30,000			
日人 歸國			
男	22,680	26,599	
女	21,224		
計	43,904 (死産 234)		206,929
結婚	2,992		
離婚	194		
合計			236,073

서울市의 集中過大(比京畿道)



(3) 職業別構成推移

朝鮮人の職業은 工業보다 商業, 商業 보다는 農業이 많다 商業人口가 많은 것은 反面에서 生産業의 萎縮을 意味하는 것이고 農業人口가 많은 것은 農耕地面積에 비하여 人口가稠密한 것을 意味하는 것이며 이것은 小面積耕作의 自作農及小作農과 零細農家가 많은 것을 意味하는 것이다

또한 이것은 朝鮮이 農業國家의 域을 아득히 脫하지 못한 것을 如實히 證明하는 것이니 農業國인 朝鮮이 解放後 當面한 重大한 經濟的 困難은 朝鮮人の 低生活를 維持하기 必要한 生活必需品의 自給自足이 不可能狀態로 解放을 맞이한 關係로 朝鮮이 日本의 殖民地의 一環으로 役割을 受던 間에 朝鮮이 朝鮮의 工業生産品의 供給地로써의 日本과의 連絡이 斷絶된 때 많은 支障을 받고 있는 것이다

이러하여 機械部分品等 設備補修品의 不足은 工場稼率率의 短縮은 勿論 大部分의 工場을 不得已 閉鎖하게 되어 多數의 失職者를 發生케 하고 따라서 南朝鮮으로 하여금 過剩人口의 重壓에 呻吟케 하고 있으며 또 肥料等 化學工業品의 供給不足은 食糧生産을 低下시키 食糧類을 激化시켰으며 生活必需品의 供給不足은 物價暴騰을 招來하여 實質賃金의 低下와 더불어 勞働爭議를 誘發하고 있다 이러한 一般經濟界의 諸般亂要素는 感業과 人口의 正常의 發展을 阻害시키고 있는 것이다

(第6表) 道別性別人口統計(外國人除外)(1946.9.30現在)

	男 子	女 子	合 計
서울	576,608	565,158	1,141,766
京畿	1,265,326	1,221,043	2,486,369
忠北	566,784	546,110	1,112,894
忠南	967,843	941,562	1,909,405
全北	1,025,041	891,387	1,916,428
全南	1,481,009	1,463,833	2,944,842
慶北	1,604,885	1,580,947	3,185,832
慶南	1,602,361	1,576,389	3,178,750
江原	572,171	544,665	1,116,836
濟州	129,679	146,469	276,148
合 計	9,791,707	9,577,563	19,369,270

(第7表) 就業者人口統計 (1946.9.30現在)

	男 子	女 子	合 計
(京畿道에 包含)			
서울	978,350	433,644	1,411,994
京畿	304,455	130,486	434,941
忠北	521,593	223,896	745,489
忠南	557,947	239,110	797,057
全北	833,780	369,296	1,203,076
全南	816,221	355,416	1,171,637
慶北	833,653	373,750	1,207,403
慶南	333,685	121,402	455,087
江原	(全南에 包含)		
濟州	5,179,689	2,257,040	7,436,729

(第8表) 失業者統計 (1946.11.30現在)

	男 子	女 子	合 計
서울	32,179	7,053	39,232
京畿	12,953	1,980	14,933
忠北	30,276	9,678	39,954
忠南	37,213	6,503	43,716
全北	45,430	20,334	65,764
全南	78,845	28,132	106,977

慶北	272,185	73,747	345,932
慶南	224,234	125,843	350,077
江原	15,954	5,368	21,322
濟州	13,197	9,833	23,030
合 計	767,466	288,471	1,055,937

(4) 農業人口의 實態

朝鮮産業의 大宗이 農業인 朝鮮人口의 7割以上의 職業이 農業이다 1942年度 南朝鮮의 農家戶數는 2,123,81戶, 扶養家族을 合한 農家人口數는 12,432,591人 이었으며 耕地面積은 3,417,622町步 이었다 45年末의 農家戶數는 2,165,47戶 農家人口數는 12,438,855人 으로 推定되고 있다

이 農業人口中에는 그의 扶養家族이 1942年度에는 男子 3,042,045名, 女子 3,601,488人 計 6,649,532人 이 包含되어 있고 1945年末의 農業人口中의 扶養家族은 6,832,165人 에 達하고 있다

(第9表) 農業者戶數及人口

	1942年의 農業人口		1945年의 農業人口	
	戶 數	人 口	戶 數	人 口
京畿	246,169	1,461,049	280,349	1,630,515
忠北	135,073	96,493	235,224	1,254,890
忠南	232,482	1,372,673	231,303	1,332,305
全北	245,260	1,375,156	241,478	1,390,913
全南	413,788	2,265,017	412,774	2,377,578
慶北	334,405	1,968,995	342,718	1,974,055
慶南	292,972	1,660,954	299,734	1,726,467
江原	222,532	1,329,254	121,897	702,132
合 計	2,123,281	12,232,591	2,165,477	12,488,855

(5) 勞働者와 人口

南朝鮮의 工場數는 1944年 6月의 9千3百23個所에서 1946年 11月에는 5千2百49個所로 4千74個所가 激減하였다 따라서 職工도 30萬5百20人에서 12萬2千1百59人으로 17萬8千3百61人 이 減少하였다

그러나 아직까지 朝鮮工業의 首位는 紡績工業으로 朝鮮의 工業이 輕工業으로 特히 立地條件上 紡績工業이 優位이었던 關係로 紡績關係의 職工數가 驟然 壓倒의 으로 多數를 占하고 있다 次位는 金屬及 機械器具工業에 從事하는 職工이 3萬6千2百69名 에 達하고 있다

勞働者의 知識水準을 考察하면 解放後인 1946年 11月에는 專門學校卒業以上의 職工이 5千6百67名 이었는데 1947年 8月 31日에는 3千2百48名으로 2千4百19名이나 大量으로 減少하고 其反面에 中學校中途退學程度以下가 17萬6千餘名으로 1946年 11月末의 11萬9千餘名에 비하여 約5萬7千名의 增加를 示現하고 있다

性別及 年齡別 職工數에 있어서 1947年 8月 31日 現在 20歲以上의 男子가 13萬4千8百47名으로 總職工數의 67%를 占하고 있는 것은 生産年齡構成上 當然한 結果이고 17歲以下의 少年工에 女子가 많은 것은 工場經營者가 低賃金과 技能上 沈着한 女子의 雇傭에 置直하고 있는 傾向을 示現하고 있는 것이다

男子職工 9萬8千24名에 對하여 事務員이 2萬5千3百25名에 達한은 職工四人에 一人의 事務員이 있는 爲으로 間接役가 直接生産費에 비하여 過大하여 生産低下의 一因을 形成하고 있음을 容易히 推察할 수 있다

또한 問題되는 것은 解放後 解放前 日人 技能者의 補充이 아직 實現되지 않았으니 이것은 工業人口을 縮減에 있어서 甚關心事의 하나이다 卽 撤退한 日人 技能者 7,910名인 朝鮮人으로 代充될 때까지는 不少한 歲月이 所要될 것이다

(第10表)

南朝鮮業種別工場及勞動者數一覽表 (1946年11月現在)

	工場數	勞務者數			一日平均賃金 円
		男	女	合計	
金屬工業	499	8,754	212	8,966	107.14
機械器具工業	878	16,761	633	17,394	93.86
化學工業	574	13,924	5,247	19,171	84.35
公益事業	78	2,613	98	2,711	67.22
窯業及土石工業	731	8,768	925	9,693	82.10
紡織工業	615	9,972	26,297	36,269	57.83
製材及木製品工業	584	6,216	286	6,502	90.51
食料品工業	726	7,707	676	8,383	79.51
印刷製本業	233	4,115	425	4,540	96.73
土木建築業	175	5,473	125	5,598	87.67
其他工業	156	1,988	944	2,932	86.33
合計	5,249	86,291	35,868	122,159	79.60
1944年6月現在	9,323	232,794	67,726	300,520	—
比1944年減少數	4,074	146,503	31,858	178,361	—

(第11表)

學歷別勞動者構成一覽表

	1946. 11. 30 現在				1947. 8. 31現在	
	未熟練勞務者		熟練勞務者		男	女
	男	女	男	女		
大學卒業程度	116	1	3,663	1,381	998	2
專門卒業程度	499	7	—	—	2,211	37
中學卒業程度	2,259	20	3,666	294	19,401	1,976
中學中退以下	5,871	217	50,683	14,102	89,108	22,757
未就學	—	—	28,309	20,091	45,377	17,913
其他	—	—	—	—	867	116
合計	8,745	245	86,321	35,868	157,962	42,801

(第12表) 地位別性別勞動者一覽表  
(1947.8.31現在)

	男	女
技能者	16,255	991
職工	98,124	37,819
事務員	25,325	1,892
其他	18,258	2,099
合計	157,962	42,801

(第13表) 年齡別男女勞動者數  
(1947.8.31現在)

	男	女
14歲未滿	138	240
14歲—15歲	1,332	4,561
16歲—17歲	5,780	11,749
18歲—19歲	15,865	13,148
20歲以上	134,847	13,103
合計	157,962	42,801

## 3. 生産、分配、所得實情과人口

## (1) 生産力의減退

1946年7월부터 47年12月末日까지 18個月間에 配給한物資는 實本이 1人당1福, 交織이20人에對하여1福이었으며 運動

錢는 25人에1福의配給이 있었을뿐이었다

日常生活에至大한影響을주는衣食住의衣에 있어서 如此한實情이니 實買賃金의低下와같이 生産力의絶對的의低下는人口動態에 큰影響을주고 있는 것이다

(第14表) 工業生産品配給一覽表

(1946年7月 18個月間  
1947年12月)

	總 數 量	配 給 量
綿	布 22,000,000碼	1人에1碼
交	織 1,000,000碼	20人에1碼
人	絹 600,000碼	33人에1碼
양	말 2,500,000足	8人에1足
고무신(男女,兒童用合하여)	2,500,000足	8人에1足
運 動 靴	800,000足	25人에1足
비누(化粧,洗濯用合하여)	7,300,000個	3人에1個

(2) 食糧의 不足

南朝鮮의 糧穀生産高는 米 1,400萬石, 雜穀 700萬石으로 總人口는 2千萬名으로 보면 年一人當 消費高는 1石5升程度이다 그러나 南朝鮮의 食糧은 不足한 狀態에 있다 即 46年 5月 부터 48年 1月 까지 1日 2合 5勺의 配給을 維持하기爲하여 21個月間에 473萬 2千 8百 50石의 糧穀을 輸入하지 않으면 안된 것이었다

이러한 食糧生産量의 絕對的 不足은 於是乎 貧困과 犯罪을 誘發시키고 있는 것은 亦實이다

(第15表) 外屬糧穀輸入實績表

(1946年5月 부터 1948年1月 까지의 1年 9個月間)

	隻 數	噸 數	石數換算
小 麥	38.59	314,802.5	2,331,870
小 麥 粉	13.88	89,127.4	825,254
玉 蜀 黍	3.87	30,775.1	227,993
大 麥	18.30	151,532.0	861,034
豌豆	0.12	1,100.0	7,639
燕 麥	0.11	510.0	6,594
大 豆	0.16	1,400.0	10,370
大 豆 粉	1.00	1,800.0	18,000
牛 乳 粉	1.00	1,800.0	18,000
雪 糖	2.00	16,955.0	152,748
米 穀	8.00	59,362.0	273,348
合 計	87.03	669,164.0	4,732,850

(3) 實質賃金の 低下

解放後 通貨의 膨脹과 生産力 減退及 食糧의 不足은 物價를 急騰시키고 勞動賃金을 實質에 있어서 低下시키고 있다 48年 2月 末의 小賣物價指數는 36年 平均을 基準으로 하여 65,226인데 勞動賃金指數는 19,076으로 그 實質賃金은 29.25%에 不遇한 現象이다

이것은 所得의 不均衡을 말하는 것으로 解放後 더욱 이 趨勢가 激化된 것이다 이러한 것이 即 社會의 混亂의 溫床이 되어 政治的 經濟的 諸惡惡條件의 酵母의 役割을 하고 있음은 周知하는 바와 같다

(第16表) 實質賃金表 (1936年=100)

	小賣物價指數	勞動賃金指數	實質賃金
1947. 1	33,272	11,4.0	34.41
12	55,961	17,088	30.54
1948. 2	65,226	19,076	29.25

(4) 所得額別人口

1947年度 司稅局 統計에 依하면 南朝鮮의 總人口 1千 9百 36萬餘人 中 1萬 2千 國以上의 收入이 있는 者는 87萬 5千 餘名 이며 所

得總額 21 億餘圓中 79億圓이 單9萬 1千餘名의 所得이다 이 巨額所得者 中 中 金在 留外國人 1萬 7百 38名 中 9千 8百 79名이 包含되어 있음은 特記할 事實이다 하겠다

이와 같이 實質賃金의 低下, 生産力의 不足, 食糧의 缺乏等은 所得額의 均衡을 喪失케 하고 失食人口를 發生케 하고 失食人口와 失業人口로 하여금 貧困과 싸우게 하며 一面에 있어서 犯罪人口의 增加로 나타나고 있음은 痛歎할 事實이다

(第17表) 第三種所得稅種別人員及稅表 (1947年度)

種 別 人 員	所得金額	備 考
以上 (351)	12,000 137,490	1,640,556,000
(2,398)	20,000 417,871	5,935,546,600
(1,486)	30,000 139,409	2,925,793,800
(1,759)	50,000 88,574	2,703,246,800
(1,336)	80,000 44,491	2,129,622,900
(890)	120,000 21,914	1,593,645,400
(725)	200,000 14,868	1,606,756,700
(397)	300,000 5,641	927,548,400
(285)	500,000 3,171	748,302,800
(117)	700,000 937	325,821,800
(60)	1,000,000 453	216,525,300
(43)	1,500,000 263	164,837,100
(16)	2,000,000 107	75,401,700
(4)	2,500,000 66	59,662,300
(12)	2,500,000 超過 50	92,509,800
外國人(9,879)	合計 875,305	21,145,777,400

4. 社會事情에 照應한 人口의 片貌

(1) 解放과 人口의 動態

解放의 歡喜와 함께 수리疆土에 찾아온 混亂은 많은 方面에 있어서 人命의 損傷을 招致하였다 保健厚生活動의 됨을 다서 侵犯한 虎列刺는 南朝鮮을 風靡하여 46年 7月 末 現在 4,310名의 死亡者를 내었다 1941年 中의 南朝鮮의 死亡者는 264,399名이었는데 46年 4月 부터 47年 3月 까지의 死亡者數는 228,487名이다

특히 死亡原因을 病名에 依하여 考察하면 보건대 肺炎이 41年度엔 22,489名이었는데 46年度에는 25,704名이었다

其外에 自動車事故에 依한 死亡者만 하여도 41年 中에는 26名에 不遇하였던 것이 46年 中에는 919名에 達하고 그 中美軍關係 自動車에 依한 死亡者는 54名이었다

出生에 있어서 京畿道의 實數를 들어 보면 出生率은 41年 中에 1,000人 比 30人 77이었는데 46년에는 17人 7에 不遇한 實狀으로 解放前의 60%에 未及한 實이다

結婚數도 41年 中엔 京畿道 27,484件이었는데 46年 中에는 2,882件이 있다

以上은 統計上에나타난 數字뿐만으로 實數와는多少差가 있을것이나 如何든 死亡率은 增加하고 出生 結婚數가 激減한것만은 틀림없는事實이다

朝鮮人口의 學歷別構成에 있어서 大學校出身이 44年5月1日 現在로 日本人이 5,119人이었는데 反하여 朝鮮人은 不過 5,128人 이었는데 이것은 三千萬朝鮮人이 高等教育을 받은日人에게 支配當하고 있었다는 實證이며 이것은正키 爲하여 朝鮮人의 知識水準의 時急한 向上이 要請되고있다 46年6月1日 現在의 學生生徒 兒童數를 보면 別表와 같다

其外에도 失業者의 增大, 犯罪者의 激增, 戰災民의 歸還或은 南下 及 被救護人口의 膨脹等 解放이 가져온 混亂은 人口動態에적지않은 影響을 끼치고 있는것이나

(第18表) 道別虎列刺罹病及死亡者數一覽表

		(1946.1.1~1946.7.23)	
		罹病者	死亡者
京 畿		478	238
江 原		95	49
全 北		1,884	1,037
全 南		899	482
忠 南		595	322
忠 北		64	24
慶 北		1,454	1,360
慶 南		1,487	680
濟 州		123	118
合 計		7,079	4,310

(第19表) 病因別死亡者數變遷一覽表

		1941年中	自1'46.4 至1947.3	增 減 數	
肺 炎	22,489	25,704	增	3,215	
紅 疫	10,610	15,607	//	4,997	
老 衰	6,381	13,993	//	7,612	
流 感	3,971	13,485	//	9,514	
其 他	220,948	159,698	減	61,250	
合 計	264,399	228,487	//	35,912	

(第20表) 南朝鮮交通事故에依한人命死傷統計

	1941年 中의 死 亡者	1946年中死傷者		死亡者 增 減
		負傷者	死亡者	
自動車事故 (美軍關係)	26	1552	919	增 893
鐵道事故	58	392	70	增 12

(第24表)

學歷別南朝鮮人口一覽表 (1944. 5. 1現在)

		大 卒	專 卒	中 卒	初高卒	初等卒	初等退	習堂修	不就學	合 計
日 本 人	男	5,057	9,898	45,366	41,949	35,268	1,524	—	48,171	187,233
	女	62	3,311	62,278	36,054	50,899	3,629	—	53,290	209,433
合 計		5,119	13,209	107,644	78,003	86,177	5,153	—	101,461	396,666
朝 鮮 人	男	5,050	12,210	104,477	24,008	771,771	110,266	464,283	5,757,311	7,249,316
	女	78	2,330	25,240	5,591	229,573	401,159	63,110	7,524,113	8,251,194
合 計		5,128	14,540	129,717	29,599	1,001,344	511,365	527,393	13,281,424	15,500,510

(2) 失業者的構成內容

南朝鮮의 總人口 1千9百36萬餘名中 失業者人口은 105萬餘名에 達하나 그中 56%가 戰災民이다 戰災民이 失業人口의 殆半을 차지하고있으므로 戰災民에對한 民生問題의 解

	—	—	(32)	—
電車事故	94	100	29	減65
水上事故	4	—	—	減4
合 計	182	2,044	1,018	836

註 (1) 1947年4月5日에 仁濟海運株式會社所有 長承丸(43噸)이 釜山港外 加大島附近에서沈沒 136名死亡  
(2) 殉職者內譯~係檢5 橋內 7 電氣2 汽關16 建築1 檢車 1

(第21表) 中等學校一年生收容力一覽表 (1947年度)

		學校數	學級數	收容力
京 畿		61	180	10,800
忠 北		45	6	5,760
忠 南		33	67	4,020
全 北		58	88	5,280
全 南		29	87	5,220
慶 北		33	141	8,460
慶 南		43	100	6,000
江 原		50	108	6,480
濟 州		18	35	2,100
合 計		6	12	720
合 計		376	914	54,840

(第22表) 國民學校卒業生數一覽表 (1947年度)

京 畿	12,779名	慶 南	29,970 //
忠 北	24,487名	江 原	8,408 //
忠 南	9 83 //	濟 州	2,884 //
全 北	18,536 //	合 計	174,082 //
全 南	16,854 //	男 子	122,591 //
慶 北	24,510 //	女 子	51,491名
慶 南	26,571 //		

(第23表) 南朝鮮教育關係人口一覽表 (1946.6.1現在)

	學校數	教師數	生徒學生數
初等學校	3,314	30,519	2,137,634
中等學校	385	6,304	159,953
大學專門學校	24	1 075	13,485
習 堂	8,703	16,095	773,746
合 計	12,426	53,993	3,084,815

1944年5月1日現在南朝鮮初等、中等及大學專門學校의 朝鮮人學生,生徒,兒童總數는 1,531,265人이었다 1946年6月1日 現在는 2,311,069人으로 779,864人이增加하였다

決이 緊急하다 戰災民及一般失業者를 職業別로 보면 農業이首位이고 工場勞動者가次位이다 地方別比率은 서울市가約30% 京畿道가 24% 忠北地方이 21%이다 이로 미추어 본다면은 人口의集中 特別 戰災民의集中이 都市에 甚한點

保로都市의失業者가 많고 地方의失業者가 적은것이다  
失業者의性別 區分에 있어서 男子가 72%6 女子가 27%4  
인는 解放後 女性의 職業戰線에의進出이 顯著하여男子의職  
場까지進出한證左인가한다 그렇다면失業에 問題가되는 戰  
災民특히越南者의 推移는 如何하며 그의來住의 目的은如何  
한것인가

(第25表) 南朝鮮就業者失業者別人口  
(1946.1.30現在)

	男子	女子	合計
有業者人口	5,179,689	2,257,040	7,436,729
失業者人口	762,466	288,471	1,050,937
扶養人口	3,849,552	7,032,052	10,881,604
總人口	9,791,707	9,577,563	19,369,270

(第26表) 失業者人口의分析表 (1946.11.30現在)

戰災民	其他	業種別	男 女	
			男	女
59.7%	40.3%	農 業	150,914	59,373
125,594	84,693	工 產 業	134,302	53,653
56.8%	43.2%	鐵 業	100,126	22,472
106,877	81,078	運 輸 業	32,313	7,652
64.7%	35.3%	土 建 業	119,271	22,513
79,353	43,245	官 吏 及 商 業	80,550	30,797
47.0%	53.0%	其 他	144,990	92,011
18,794	21,171	合 計	72.6%	27.4%
47.8%	52.2%		162,466	288,471
67,599	74,185		1,050,937	
56.5%	43.5%			
62,983	48,364			
53.2%	46.8%			
126,060	110,941			
55.9%	44.1%			
587,260	463,677			

(第27表) 有無業者構成比率 (1947年5月現在)

	서울市	京畿道	忠 北
有業者	42.8	40.3	43.0
家庭婦	20.4	30.9	31.0
學生	6.9	4.9	5.0
失業者	29.9	23.9	21.0
合計	100.0	100.0	100.0

(3) 南下同胞의實況

越南人口는 46年中 18萬5千4百41人, 47年中은 16萬5千74  
人이다 解放後 47年12月末까지의 越南同胞의 總數는 80萬3  
千4百34人에達하고있다 越南者를 職業別로 考察하면 無  
職者가 首位이고 農民, 商人, 鎭夫, 勞動者의順으로 되어있다  
그들의 越南目的이 經濟的으로는 生活難及求職이라하면  
北朝鮮보다 過剩人口가 發生한茶地가 많은 南朝鮮 地域의  
現狀으로서는 이無謀한 越南은結局 公的救護에 依支할수밖  
에없게되는것이다 이越南者를 自活能力者及被扶養者로區  
分하여 考察한다면 別表와같이被扶養者는 30%에不過하므  
로 南朝鮮의 生産面復興된다면 越南人口의增加는 現在  
의情勢와反對로 勞動力 充實의一助가될것이다

(第28表) 越南人의月別推移一覽表

	1946年	1947年
1 月	13,306	706
2 月	20,437	166
3 月	34,670	8,096
4 月	50,450	28,443

5 月	25,818	40,164
6 月	17,203	25,631
7 月	8,212	13,285
8 月	4,739	11,374
9 月	2,234	13,623
10 月	2,997	11,374
11 月	4,740	7,715
12 月	635	4,487
合計	185,441	165,074

(第29表) 越南人口職業別統計 (1947年中)

	5~8月	9月	10月	11月	12月	合計
農 業	10,885	912	797	757	597	13,948
商 業	8,410	692	406	505	335	10,348
職 工	5,800	910	714	437	204	8,065
教 師	1,910	6	5	3	30	1,954
學 生	3,826	499	543	246	234	5,348
醫 師	209	44	30	17	9	309
鎭 夫	9,187	4	1	0	128	9,320
漁 業	595	35	15	7	18	670
蠶 業	606	18	4	0	9	637
書 記	1,021	207	162	91	76	1,557
木 手	1,167	99	41	44	68	1,439
背 負	1,862	61	40	29	17	2,009
旅 館 業	1	1	0	0	0	2
傳 道 師	13	1	0	0	4	18
洋服工	291	75	35	0	14	415
運 轉 手	183	65	13	15	11	287
官 吏	976	0	0	1	35	1,012
理 髮	665	0	2	7	4	678
寫 真 師	13	0	0	0	4	17
印 刷 工	498	0	1	0	9	508
材 木 商	0	0	0	0	6	6
鐵 工	137	0	0	0	21	158
其他雜業	0	72	237	135	266	710
無 職	42,189	9,922	8,328	5,421	2,388	68,248
合計	90,464	13,623	11,374	7,715	4,487	127,663

(第30表) 越南人職業別及越南理由別一覽表

(1947.5-6月中)

(前 職 業)	(人 數)	(越南理由)	(人 數)
農 業	17,682	生 活 難	20,731
勞 動	8,220	求 職	892
無 職	5,245	思 想	502
商 業	252	向 學	82
學 生	64	歸 鄉	9,400
官 吏	271	商 用	252
時 計 商	25		
職 工	60		
木 手	30		
漁 夫	5		
洋 服 工	5		
合計	3,859	合計	31,859

註 開城戰災民收容所調査

(第31表) 越南人의越境地別及成年別統計

(1947.6.7月中)

	成 人	15歲以下	合計
土 城	4,796	2,084	6,880
青 丹	1,575	816	2,391

周 城	12,526	4,676	17,202
東 豆 川	1,647	795	2,442
廣 政 府	5,515	2,872	8,387
注 文 津	364	203	567
春 川	507	352	859
合 計	26,930(70%)	11,798(30%)	38,728

(4) 公的救護의對象人口

要救護及救護를 받는世帯數는 154萬戶로 人員數는 735萬餘名에 달하고있다 그中 戰災로因하여 救護를 받은 또는 받고 있는世帯가 95萬世帯로 人口數는 4百82萬餘名에 달하였음은 直接戰禍는 極少部分에 지나지 않았으나 間接戰禍인 被害가 일어나는것을 推察할수있으며 이戰災民의 生活問題의 解決은 朝鮮의 政治,經濟의全般的인 諸問題解決의關鍵이되는 것이다

(第32表) 救護者一覽表 (1945. 8. 15부터 1946. 12. 31까지)

要救護者	公共 救護				總數
	戰災 救護	應急 救護	災害 救護		
世帯	120,619	291,774	217,645	62,265	692,303
人員	587,216	1,189,379	1,013,224	293,667	2,883,486
被救護者					
世帯	32,158	657,671	127,599	30,858	848,286
人員	109,450	3,638,448	593,789	131,201	4,472,888
合 計					
世帯	152,777	949,445	345,244	93,123	1,540,589
人員	496,666	4,827,827	1,607,013	424,868	7,356,374

註 本表에行旅病者 4,798名 行旅死亡者 2,106名 이包合되지않음

(5) 犯罪樣相의人口의變貌

特記할事應는 上述한食糧問題를 解決키爲한 米穀收集事業에不應한關係로 (不應理由의大部分은 收買價格이低廉하다는 根基因한) 拘禁 된者만 別表와如히 8千6百名以上에達하는 것이다

其一部에는解放前의 22%에不過한實質資金으로 生活의重壓에波々하는 定額所得層이있는 反而에1割5分乃至3割의 利潤에滿足되지않고 暴利를 貪하여 取締當한件數만 2萬8千4百30件에 達하는事實이다

이러한實情下에 集團的이고 多分이政治性을 띠은犯罪即暴動事件이發起되고있다 45年9月 5日以後 47年4月10日까지의期間에發生한暴動事件數는 311件으로 人命死傷만 750名에 達하고있다 其他의犯罪의狀況을考察하면 犯罪者의 大多數는物慾에關한罪 犯者들이고 罪因의 多數는 飢餓, 大邱, 釜山等, 都市에殆半이 受罰되어있으며 殆半이 1年以上의長期受刑者임을 犯罪人口一覽表에서看取할수있다

(第33表) 米穀收集不應에依한受刑者一覽表

刑罰 受刑者	人員 數	
	人員 數	
懲刑 受刑者	367	
警察에拘留된者	6,339	
審問 調査者	18	
罰金 刑者	1,907	
合 計	8,631	

(第34表) 暴利事件取締件數 (1946.7.15부터 1947.3.13까지)

濟 州 道	1,450
京 畿 道	1,386
其 他	25,594
合 計	28,430

(第35表) 各管區의 暴利事件及被害狀況統計表 (自1945.9.15 至1947.4.15)

區 件數	人 命 被 害			物 的 被 害	
	死亡者	輕傷者	負傷者	建物 破壞	備品 破壞
首都管區	31	11	73	29	1 6
第一管區	33	1	35	32	6 一
第二管區	15	1	11	16	5 1
第三管區	42	2	99	9	17 4
第四管區	25	1	82	25	一 一
第五管區	19	一	85	9	7 7
第六管區	72	2	36	82	18 4
第七管區	24	一	51	13	41 23
第九管區	40	9	18	20	11 4
濟州管區	10	1	2	4	一 1
合 計	311	28	492	239	106 50

(第36表) 犯罪內容別在監者一覽表 (1947.12.31)

區 別	既 決		未 決	
	既 決	未 決	既 決	未 決
大 邱	3 541			1,184
麻 浦	2 335			63
春 川	416			98
大 田	1 637			121
清 州	392			178
公 州	574			127
大 邱	1 689			295
釜 山	1 351			370
馬 山	404			220
晉 州	409			227
光 州	820			144
小 鹿	45			0
木 浦	933			101
全 州	749			192
群 山	512			55
仁 川	0			0
開 城	1,070			105
金 泉	620			7
安 東	370			104
安 合 計	17,867			3,591

刑 期 別	男 女 既 決 件 數		合 計
	男	女	
一 年 以 上	12,279	96	12,375
一 年 以 下	5,418	74	5,492

犯 罪 別	在 監 者 數		未 決
	既 決	未 決	
殺 人	355		176
平 和 擾 亂	54		0
放 火	56		21
強 盜	2,775		333
詐 欺	701		149
公 金 消 費	266		104

強 姦	56	15
文 書 偽 造	69	45
演 說 偽 造	13	5
傷 害 致 死	268	41
誘 拐	48	53
收 防	83	3
贓 物 故 買	36	21
逃 走 罪	270	62
紙 幣 偽 造	130	18
遺 棄 罪	97	25
墮 胎 罪	7	5
脅 迫	3	3
脅 迫	26	24
過 失 殺 人	6	11
毆 打	340	65
賭 博	18	1
公務執行妨害	58	12
布告令違反	3,627	582
暴動不法集會	107	250
不法侵入	300	16
不法監禁	12	34
恐嚇	0	29
劫盜	8,034	1,075
其他	52	13
合 計	17,267	3,591

(第37表) 政治團體及勞動組合關係人口一覽 (1947年8月現在)

政治團體		
組合數	組合員	
	男	女
大韓勞總	236	33,305
全 評	13	1,524
其 他	44	6,487
合 計	293	41,316
勞動組合		
組合數	組合員	
	男	女
右 側	44	12,484,000
中 右	18	4,029,000
中 間	9	2,882,000
中 左	6	4,609,000
民 戰	41	14,450,000
合 計	118	38,454,000

5. 結論에 대하여

(1) 海外在住人口

解放前에는 日本人이 朝鮮을 侵佔하기爲하여 來住하고 朝鮮人은 日本에 있어서의 下級未熟勞働을 擔當키爲하여 日本에 移住하였던 것은 日本의 工業生産品을 高價로 買入하고 朝鮮의 農産物을 低廉한 價格으로 輸出한 것과 조금도 相異한點이 없었던 것이었다

其外에 日本에 있어서의 過剩人口의 發生은 社會政策上 日本 政府로 하여금 많은 間에 朝鮮勞働者의 入國을 制限하였던 것과 日本의 歷政을 揆惡하고 日本政治에 反抗하는 活動根據地로 또는 反抗한 朝鮮人의 逃避地로 撰擇되어 露領及 滿洲에 多量이 移住하였던 것이었다

이러하였던 關係로 解放後 日本에서 1,111,000餘名, 中國에서 5,000餘名, 滿洲에서 58,000餘名, 太平洋諸地域에서 37,000餘名이 歸還하였는데도 不拘하고 1947年5月末日 現在 外務省發表에 依하면 下記와 如히 海外在住同胞은 滿洲地方의 116萬餘名을 爲始하여 總計 190餘萬名에 達하고 있다

迅速한 時日內에 朝鮮이 自主獨立國家로 再建되어 國策으로 海外移民政策을 遂行하게 되기를 現在에 있어 希求不已하는 바이며 이들 海外在住者의 生命財產을 國家의 힘으로 保護하여야 할 것이 要請되는 바이다

(6) 政治運動基盤과 人口

南朝鮮의 勞働者數는 47年8月30日 調査에 依하면 男子勞働者數 157,962人, 女子勞働者數 42,801人인 데 勞動組合數는 293個로 加入人員이 男子 41,316人, 女子 16,819人, 計 58,135人으로 全人員의 28%以上이 勞動組合에 加入하고 있는 計算이다

其外에 全朝鮮人이 얼마나 政治團體에 關與하고 있는 가를 알기爲하여 47年5月20日 美蘇共同委員會에 提出된 政黨, 社會團體의 數及 會員數를 보면 團體數 118個에 會員數 3,845萬餘名으로 無慮 南朝鮮全人口의 二倍에 達하는 實人員이 政黨에 關與하고 있는 實情으로 朝鮮人의 政治意識이 複雜激烈함을 能히 推察할 수 있을 것이다

이같이 政治運動의 基盤이 된 政治團體에 加入한 人員이 過多함은 理解키 어려운 일 이라 하겠다

(第38表)

解放後 國籍別 南朝鮮 人口 增減 (1947.12.31 現在)

		1945.5. 現在人口	減少(移動出)	增加(移動入)	殘留同胞數(外務省發表)	
日 本 人 (軍 人)	}	462,507	179,273	—	—	—
			704,351			
			1,940			
日 中 國 人	}	12,648	103	—	—	—
			274			
			—			
日 本 人 (北 朝 鮮)		—	—	288,506	蘇 聯	200,000
日 本 人 (北 朝 鮮)		—	—	803,434		
朝 鮮 人 (滿 洲)		—	—	58,154	東 南	500,000
朝 鮮 人 (日 本)		—	—	—	—	600,000
朝 鮮 人 (中 國)		—	—	1,111,104	—	2,000
				58,143	—	2,000
朝 鮮 人 (太 平 洋 地 域)		—	—	37,129	南 洋 方 面	10,000
					布 陸	1,500
					北 美	1,000
合 計		—	885,941	2,364,700		1,916,500

(2) 國內在住外國人

南朝鮮에는 別表와 같이 解放後3年이 經過한 至今까지 아직 日本人이 2千7百4名이나 在留하고있다 그들이 무엇을하고 있는지는 아직 未詳이다

朝鮮經濟에 相當한 潛勢力을 保有하고있고 南朝鮮의 對外貿易의 全般을 左右하고 있는 中國居留民의 總數는 現在 6千9百80名에 達하고있다 以外에도 旅行의 目的으로 外國한 中國人及不法滯留의 中國人을 算入하면 相當한數에 達할것으로 豫測된다

占領國인 美國市民은 350名에 不過하며 宣教師가 474名이다

佛國人, 獨逸人은 天主教關係로 많은것은 首肯되나 土耳其人이 109名에 達하는 奇異한 現象이며 愛蘭人이 18名에 達하는 今後 外國人職業別調査의 結果를 보지않으면 斷言키 어려운 實狀이다

또한 國按國인 露西亞人이 全無한것은 首肯할수 없는바이다

外國人總數 10,738人中 高額所得者가 9,879人에 達하는 그들의 生活의 豊饒함을 如實히 證明하는 것이다 이것은 月 300佛程度의 俸給으로 年約 300萬圓의 所得에 匹敵함을 想到할때 爲替率의 混亂으로 少數의 外國人에게 收奪當하는 莫大한 購買力을 制禦하므로 時急한 施策이 痛感되는 同時에 軍政下 自主權缺如로 因한 經濟政策의 貧困이 外國人에게 朝鮮人의 犧牲下에 不當利得을 許與하고 있는 不合理한 事態 및 所得額의 많은 理由를 容易히 把握할수 있는 것이다

(第39表) 南朝鮮在在國籍別外國人一覽

(1948. 1. 31現在)

		人	數
美 國	人(宣教師)		474
〃	(市民)		350
白 耳 義	人		3
英 國	人		13
丁 抹	人		1
和 蘭	人		1
荷 牙	人		1
加 奈 陀	人		9
濠 洲	人		4
佛 國	人		52
獨 逸	人		18
愛 蘭	人		18

土 耳 其 人	109
稱 甸 人	1
中 國 人	6,980
日 本 人	2,704
合 計	10,738

(3) 不在人口

1948年 1 月末 現在의 朝鮮人으로서 一時海外에 旅行하고 있는者는 別表와 같이 391名이다 其中 殆半이 學業을 爲하여 護美한 留學生이다 次位는 商用으로 特別 貿易關係로 東洋各地의 英領殖民地에 出張하는者가 最大多數를 占하고있다

그다음으로는 運動關係及 學術關係의 視察旅行中인者이며 國際會議에 參席키 爲하여 各國에 旅行中인 不在人口數만 31名에 達하고있다

特別 公務旅行者의 出張이 日本地方에 多數인것은 在留同胞 保護關係에 依한 在日 派遣朝鮮人 官吏 18名이 있었기 때문이다 다음으로 出張地別로 旅行者數의 順位를 國別로 보면 美, 英, 中, 日의 順으로 되어 있다

敍上한바와 같이 國家의 見地에 있어서의 人口政策의 確立과 行政의 適切한 運營을 期하기 爲하여 時急한 南北統一의 自主朝鮮獨立國家의 誕生이 緊切한 것은 自明한 바 이라 하겠다

(第40表) 海外旅行者別用務別一覽

(1948. 1.)

	學業	會議	文化	商事	其他	公務	市場	合計
	(醫師10)		使節				視察	
美 國	142	6	23	21	7	—	—	199
英 國	—	3	嘉坡 馬來 10	—	—	—	—	60
			香港 45	—	2	—	—	
中 國	5	9	20	5	27	12	4	82
佛 印	—	—	—	10	—	—	—	10
印 度	—	4	—	—	—	—	—	4
加 奈 陀	1	2	—	—	—	—	—	3
諸 成	—	6	—	—	—	—	—	6
瑞 西	—	—	4	—	—	—	—	4
瑞 典	—	—	1	—	—	—	—	1
白 耳 義	1	—	—	—	—	—	—	1
伊 太 利	1	—	—	—	—	—	—	1
日 本	—	—	—	—	4	18	—	22
比 律 賓	—	1	—	—	—	—	—	1
合 計	150	1	48	91	38	32	4	394

(4) (第41表)

道 別 性 別 文 盲 者 數

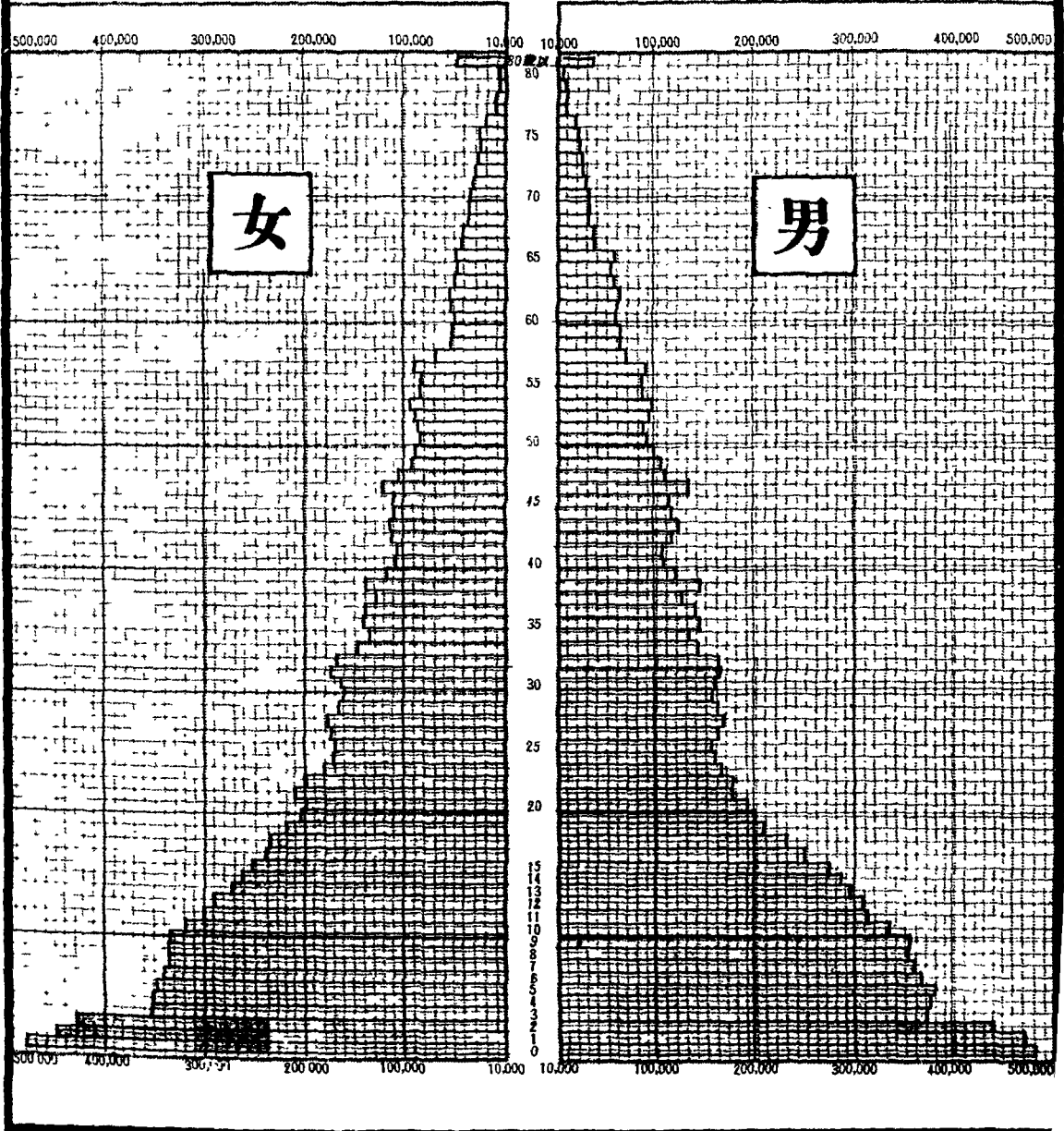
(1947年 7 月末 現在)

시 道 忠 南 全 南 全 慶 江 濟 合	13歲以上總人口			國文解得者數			解得者 比率 %	文盲者數		
	男	女	計	男	女	計		男	女	計
	시 울	547,202	466,135	1,013,337	494,791	278,320		773,111	76	52,411
京 畿	645,943	766,541	1,412,484	508,572	366,886	875,458	62	137,371	399,555	537,026
忠 北	400,053	361,035	761,088	263,835	174,776	438,611	58	136,218	183,259	322,477
忠 南	638,316	612,945	1,251,261	431,394	254,609	683,003	55	206,922	358,336	565,258
全 北	643,138	630,953	1,274,091	405,881	272,186	678,067	53	237,257	358,767	596,024
全 南	1,063,774	1,060,272	2,124,046	636,689	178,804	815,493	38	427,085	881,468	1,308,553
全 慶	1,114,687	1,062,262	2,176,949	708,889	589,244	1,298,133	60	405,98	473,018	878,816
慶 北	1,101,160	1,079,425	2,180,585	843,335	721,488	1,569,823	72	252,825	357,937	610,762
江 原	353 22	351,294	704,816	266,230	193,943	460,173	65	87 292	157,351	244,643
濟 州	82 05	96,423	179,328	57,777	24,176	81,953	46	25,123	72,247	97,375
合 計	6,590,700	6,487,285	13,077,985	4,622,393	3,054,432	7,676,825	59	1,968,307	3,432,853	5,401,160



# 朝鮮人口年齡構成

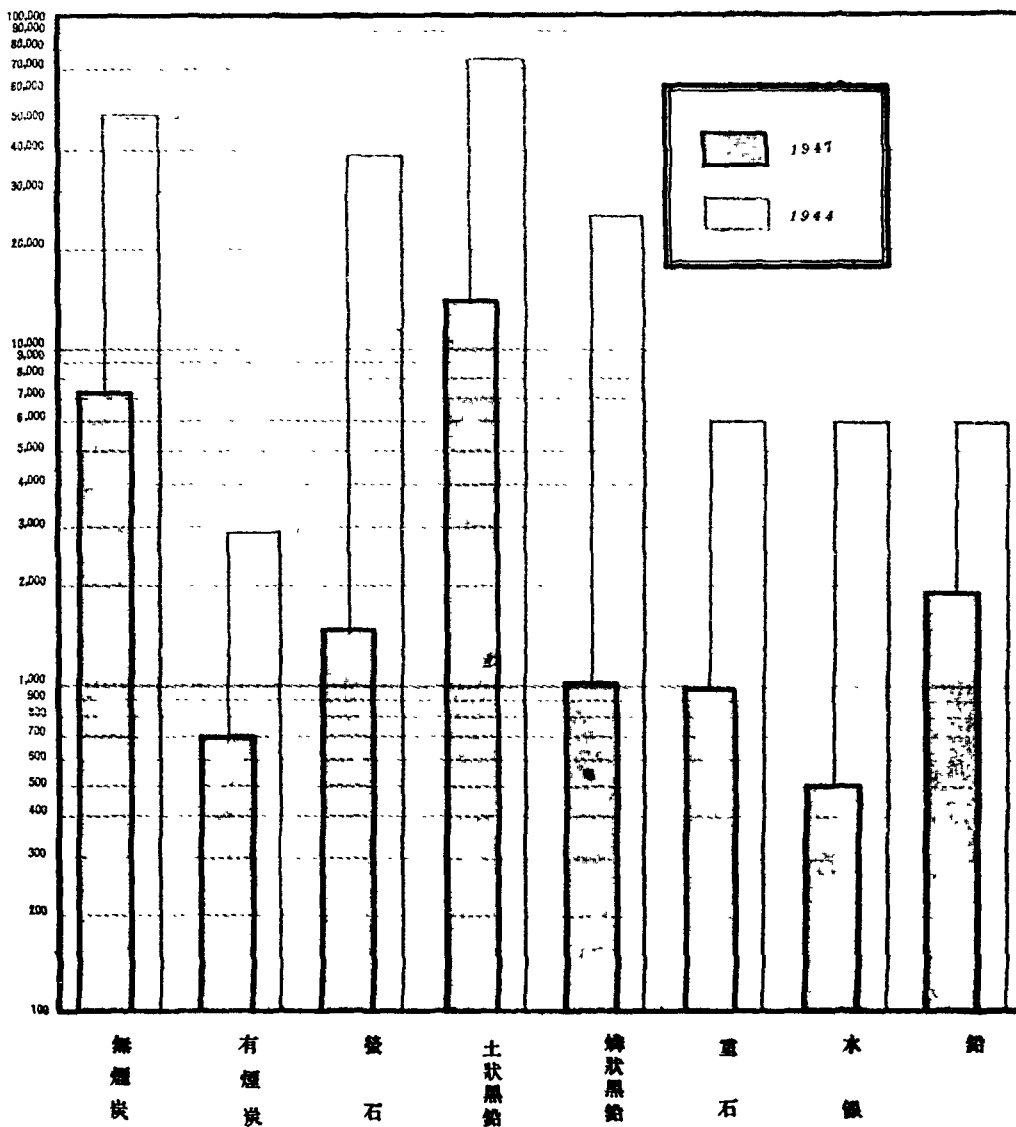
1944年5月31日人口調査に依り製作



# 資源

## 重要地下資源生產計畫年別比較

單位 噸 石 乘 百 萬



# 資源概括

## 目 次

### 序

#### 1. 農業資源

- (1) 資源活用の基礎條件
- (2) 食糧資源의 絕對限界
- (3) 蔬菜資源의 擴大開發
- (4) 特用作物資源의 重點
- (5) 果實資源과 外貨獲得
- (6) 肥料資源의 問題

#### 2. 畜産資源

- (1) 牛
- (2) 馬
- (3) 豚
- (4) 綿羊
- (5) 鷄

### 序

元來가 本年報의 重要眼目은 解放前後의 朝鮮經濟의 動態 記錄과 그分析에 있을뿐 아니라 産業別資源量과 그開發現狀에 關해서는 別項 産業篇에서 各々詳述하겠으며 人口資源에 關해서는 別項 人口篇이 있을 것으로 여기서는 如此한重複을 避하면서 視野와 俯瞰角度를 달리하여 卽 全國原始産業資源에 關한 概括의 要述乃至는 政策의 인 當面問題의 常識의 解說을 試하였다

#### 1. 農業資源

##### (1) 資源活用の基礎條件

朝鮮의 總耕地面積은 1942年現在 4,475,326町步이다 其中 1,767,344町步總耕地面積의 39.5%가 논이고 60.5%에 該當하는 2,707,982町步가 밭이다 過去에 最大耕地面積을 保有한時期는 1939年度인데 其時의 火田을 除外한 耕地는 4,527千町步에 達하였었다 開發에 全力을 傾注하되 耕地構成이 可能한 林野及 雜叢生地를 熟田化하여 耕地面積을 擴大시킨다면 相當한量의 農業資源의 增加를 期待할 수가 있다 1942年의 我國耕地面積을 보면 아래와 같다

##### 耕地面積 (1942年)

밭		논		合計	
町步	%	町步	100	町步	%
總面積	1,767,344	100	2,707,982	4,475,326	100
自作地	567,303	32.1	1,293,372	1,865,675	41.7
小作地	1,200,041	67.9	1,409,610	2,609,651	58.3

밭面積의 68%及 논面積의 52%가 小作地로써 總耕地面積의 58%를 占하였다 此外에 火田面積은 374千町步나 되므로 卽 252千戶 人口 140萬人이 火田耕作에 從事하고 있다

農業人口를 總人口의 職業別構成比率統計로 보면 下表와 같이 65%強을 占하고 있다

	人口	百分率
業	1,745萬名	66.1%
水産業	51	1.9
漁業	56	2.1

- (6) 兎
- (7) 蜂
- (8) 增産의 要諦

#### 3. 林産資源

- (1) 林産資源과 砂漠
- (2) 林野面積과 蓄積量
- (3) 苗圃, 造林, 砂防事業
- (4) 森林被害狀況
- (5) 製材能力
- (6) 林産과 燃料

#### 4. 水産資源

- (1) 自然的立地條件
- (2) 資源開發의 限界
- (3) 水産資源의 重要度

#### 5. 鑛業資源

- (1) 鑛業資源의 特性
- (2) 主要鑛物의 概貌
- (3) 埋藏量調査의 急務

工 業	133	5.0
商 業	191	7.2
公務自由業	131	5.0
其 他	231	8.8
交 通 業	61	2.3
無 職	41	1.6
合 計	2,640	100.0

註 日本人 75萬名을 包含

卽 總人口 2,640萬名中 1,745萬名인 66.1%가 農業人口이다

戶數로 보면 總戶數 459萬戶中의 304萬3千戶가 農家로 總戶數의 66%에 該當한다 大略 戶數와 人口의 比例가 一覽됨을 알 수 있다 農業戶數를 營農階級別로 列舉하면 아래와 같다

##### 營農階級別戶數

	戶數	比率
自 作	53.0萬戶	17.36%
自作兼小作	73.0	23.91
小 作	164.0	53.71
被 傭 者	9.6	3.14
火 田 民	5.7	1.87
合 計	305.3	100.00

註 日本人 6,000戶 中國人 4,000戶를 包含함

以上에서 보면 朝鮮人의 農家戶數는 304萬5千戶임으로써 作農家 53萬戶를 除外한 252萬3千戶 卽 農家總戶數의 83%를 占하는 零細階級에 依하여 農業資源이 開發生産되고 있다 또 農村戶數의 83%인 小作人階級이 總耕地面積 4,475千步의 不尙58.3%를 耕作하고 있다는 것은 朝鮮農業經濟의 4色이다

合理的의 土地改革에 依하여 總耕地의 58.3%에 該當하는 2,1萬町步의 耕地가 83%의 零細農家에 分配되어 自作農化하야 한다는 것이 緊急事인 동시에 根本的인 條件이다

왜그리냐하면 勞動成果에 對한 完全한 處分의 自由가 없

서는 生産意欲과 生産手段의 効率的의 使役에 있어서 最大能率을 期待할 수가 없는 까닭이다

또 하나는 土地改良問題이다 1942年度에는 灌溉畝 122萬5千町步 天水畝 64萬6千町步 合計 187萬1千町步가 改良되었는데 前者에 있어서 灌溉畝改備別面積을 보면 堤堰 29萬3千町步 淤 54萬8千町步 揚水機 9萬4千町步 其他가 29萬町步이었다 이러한改良이 今後 理想的으로 大規模로 展開實施된다면 우리는 水害와 旱害에 의한 農產資源의 減少를 未然에 防止 抑制할 수가 있을 것이다

過去最大米穀收穫畝는 1937年度의 2,680萬石이었는데 1939年度는 未曾有의 旱災로 因하여 1,436萬石의 收穫成績으로 勿論 1,244萬石의 一大減收이었다

土地改良設備가 萬一 完備되어 있었다면 如斯히 收穫畝의 46%에 該當하는 莫大한 減收은 招來되지 않았으리라고 思料된다

水利安全한 灌溉畝를 灌溉經營主體別로 보면 水利組合이 26萬2千町步 共同經營 58萬町步 個人 31萬3千町步 其他가 10萬町步를 經營하고 있다 問題는 水利不安全한 天水畝 約 57萬町步를 如何히改良하여 灌溉設備의 惠澤을 받게 하느냐? 에 増産의 關鍵이 있다고 본다 農業의 電力化는 第一 먼저 天水畝 改良事業에 있어서 實現된 것이 火急히 期待된다 天水에만 依存하는 高地帶의 田畠에 電力으로 揚水하여 給水할 수 있는 大規模의 動力裝置設備은 人口增加와 食糧増産이라는 遠大한 綜合的計畫下에 設計되어야 할 것이다

日政은 1940년에 第二次 680萬石의 米穀増産計畫을 樹立하여 土地改良에 의한 169萬石 耕種法改善에 의한 511萬石 増收을 期하고 1950年 計畫完成年度에는 3,500萬石의 米穀收穫의 可能을 期待하였던 것이나 主體的經營에 의하면 2増收은 確實한 것이다 即 1929年度의 凶作과 1930年度의 農作을 比較하여 본다면 29年의 總收穫은 160%로 한 30年의 그것은 140%이었다 即 40%의 増收이다 그러나 水利組合地域에 있어서는 29年의 100%에 對하여 30年은 112% 即 不過 12%밖에 増收되지 않았고 한편 水利組合地域內의 收穫은 29年의 14%에 比하여 30年에는 11.2%에 不過하였기 때문이다 이것은 水利組合地域에 있어서의 天候에 의한 收穫動搖率이 甚々하다는 事實을 如實히 證明하는 좋은 實例이다 即 水利設備의 效果가 特別 旱年年度에 顯著하다는 것이 明白하다 旱年의 影響에 因한 收穫減收의 影響이 적어져서 收穫平均化를 結果하였다 고 볼 수 있다. 一般의 으르면 兩年度에 있어서 水利組合地域內의 收穫은 1石5斗平均이나 組合地域外의 收穫은 1石1斗로 勿論 4斗의 差가 있다 水利不完全畝에 있어서의 收穫을 보면 29年度 反當收穫量 8斗에 比하여 30年度에는 1石2斗이었다 即 水利不完全畝에 있어서는 凶豊의 差는 4斗로 29年度의 8斗에 比하면 30年度에는 50%의 增加이었다 原因은 自然에 있다 其反面에 水利組合는 是 別다른 影響이 없었다 故로 人工的 施設에 의한 自然의 恒常化 (Normalization of Nature)를 圖謀하지 않으면 안 된다는 理由를 理解할 수 있다

셋째는 肥料問題이다 1937年度에 2,680萬石의 米穀을 最大量으로 收穫하였다는 것은 天候의 惠澤은 勿論이 터니와 施肥의 效果를 無視하여서는 안 된 것이다 此年度의 施肥明細를 보면 다음과 같다

施肥量 (1937年度)

自給肥料	總	金 肥	總
堆 肥	27,573,000	動物質肥料	4,084
綠 肥	3,325,000	植物質肥料	67,179
糞 尿	7,086,000	礦物質肥料	565,228

灰燄其他	1,442,000	調合肥料	218,929
合 計	39,432,000		855,420

即 第一次自給肥料増産計畫終了年度인 1935年度의 反當施肥量은 自給肥料만 하더라도 806키로(215貫)이었는데 1937년에 있어서는 耕地面積이 450萬6千町步임으로 反當 即 875키로(233貫)을 施肥하였다 戰時經濟再編成의 進展에 따라 日次는 食糧自給計畫을 樹立하고 北朝鮮化學肥料의 軍需品 轉化에 따라서 第二次自給肥料増産計畫을 立案하여 1945年은 1944年의 目標量을 超過하여 反當 304貫의 施肥은 日然하였던 것이다

過去에 있어서 비록 그것이 牧畜政策에 基因한 強制行政의 成과라 할지라도 如斯한 實績이 있는 만큼 우리는 收穫遞減의 法則이 適用되는 最終限界까지 土地의 肥沃을 造成시켜 食糧資源增加에 贊助한 施策이 있기를 切實히 要請한다

넷째로 耕地擴大政策이 있다

我國의 耕地面積은 \* 田 450萬町步 内外 火田 45萬町步 都合 500萬町步 조금 不足하다 現在 未開墾地로 남아 있는 것은 다음과 같다

- ① 河 邊 荒 蕪 地——約 75,000町步
  - ② 山麓傾斜地(開墾可能地)——約 820,000
  - ③ 干 渴 地——約 210,000
- 合 計 1,105,000

土地改良에 의한 水利灌溉施設 또는 耕種改良 農機具 農法을 改善하고 理想的으로 施肥을 增加시키는 同時에 如上의 未開墾 未開拓地를 地目變更 開墾 開拓 干拓한다면 가까운 將來에 있어서 耕作地가 約 600萬町步를 凌駕하리라 믿는다 그리고 開墾擴大可能地 約 110萬5千町步에서 反當 最少限度 1石半 生産된다 하더라도 1,105萬石을 増收할 수가 있을 것이다

(2) 食糧資源의 絕對限界

朝鮮의 濟는 農業經濟가 支配하고 있다 그러므로 農業의 凶豊에 依하여 國民所得—購買力—이 左右된다 其中에도 米穀이 大宗이다

1937년에는 5千6百萬石이라는 穀物이 生産되었다 이것은 過去에 있어서 最大收穫記錄이다 當時 保有하고 있고 또는 許容된 最大限度의 勞動 設備 肥料 등이 農業資源의 利用 育成 獲得에 動員되었었다 最良의 自然의 環境下에 耕地 勞力 肥料 農具 其他의 生産條件이 其機能과 能率과 力量을 最高度로 發揮하였다고 본다 中日戰爭直前임으로 農作物의 基本的 育成過程에 있어서 戰爭에 基因된 飢餓의 人的犧牲을 此年度에는 回避할 수가 없었다 當時 日本經濟는 過剩生産에 基因된 飽和狀態의 危機를 目楚하고 汪榮寶合理政策等을 推進시키고 있었다 其結果 能率増進과 生産性의 高揚 商品生産 單價의 低減 勞動力過剩을 招來하였다 日本經濟의 合理化運動 促進에 따라 其犧牲은 朝鮮에 對한 殖民地政策에 變質의 으로 表現되었던 것이다 北朝鮮의 肥料化學工業은 多量生産에 依한 生産單價低減을 目標로 全能力을 發揮한 結果 肥料는 生産過剩되었고 都市失業者의 增加로 말미암아 農村에는 勞動力이 過剩하였고 日本製農機具는 氾濫하였다 農民은 反當收穫畝의 最大獲得을 目標으로 小作料를 除外한 自己所得部分의 擴大를 爲하여 最大限度의 能力을 發揮하였다 以上의 諸條件이 農業資本의 最大獲得을 可能케 하였다 故로 우리는 여기서 滿足한만한 生産條件이 具備된다면 勿論이 以上의 多大한 土地利用의 成果가 있을 것을 確信한다

社會的 自然的 人爲的 諸關係 諸條件의 改善은 朝鮮農業 生産의 將來의 躍進에 미치는 影響이 至大하다 세그려내 하던은 我國의 反當産米量은 平均 1石2斗라는 至極히 低水準을 上下하고 있 기 때문이다 그러나 日本에 있어서의 그것은 平均

2石이다 朝鮮이日本에比하여 40%나 減少되는原因은 여러 가지角度에서 例示할수있겠지만 灌溉設備의不備가 第一原因이고 施肥不足,技術問題,營農의科學性的缺如 農民의 研究心 乃至 努力의未及등을 들수가있다 勿論 自作農과 小作農과는 土地에對한愛着心 또는 其情熱에 큰差異가있고 自然 勤勉努力의程度가 相異하야 그것의影響도 크다는點도 充分히 考慮하여야할것이다

우리는 現在 水田을包含하여 約500萬町步의耕地面積을 保有하고있고 此外에未開墾,未干拓地 約110萬町步,合計 610萬町步를 將來에 開發할수가있으므로 將來에 있어서 朝鮮이 現在日本의 生産水準에 到達한다면 反當 2石의米穀과 雜穀이 生産된다고 假定하더라도 1億2千2百萬石의生産이 確實히可能하다 그리고 이것은 二毛作의收穫을 考慮에算入 치않은 數字이다

1937年度 收穫高 5,600萬石中 約2,900萬石이 쌀을除外한 보리,콩 其他雜穀이다 그것의 反當平均生産高은보리 1石平均을除外하고는 大體 6乃至7斗에不過하다 耕作面積 300萬町步로 計算하여 쌀以外の穀物이 3倍로 增加된다하더라도 8,700萬石이된다 大體로 1937年度 田畜構成比率에 비추어 耕地面積 600萬町步를 假定하면 其中 3分之2 即 400萬町步가 밭 200萬町步가는의面積이된다 反當平均2石이 生産된다면 米穀은 4,000萬石 쌀 以外的 보리 其他雜穀은 8,000萬石 合計 1億2千萬石이된다 밭農亦是 春秋 二毛作임으로 年産

1億6千萬石이되는셈이다 그러면 都合 2億石이 朝鮮의 年産 食糧資源이된다 밭農亦是 反當最小限度 1石5斗로 計算하면 年産 1億2千萬石으로 이때에는 食糧資源이 都合 1億9千萬石으로된다 北朝鮮과같이 若干 寒冷한地方도있음으로 南朝鮮에比하여 多少 減少되는點을 參照하면 概算으로 最低算定을한다하더라도 1億5千萬石의收穫을 下記의 有利한條件을 利用 開發함으로써 確保할수가있다

- 1, 理想的인 溫和한 氣候에依한 天然의條件
- 2, 世界的으로 優秀한 力資源의 農村電化에의 轉用 및 化學肥料生産에의 利用
- 3, 정어리等 水産物을 動物性肥料로써 利用할수있다는點
- 4, 耕作可能地인 約100萬町步의 未開墾地의 活用
- 5, 營農法의 科學的研究
- 6, 土質의 良好性
- 7, 農作物의 適作性에依한 計畫的인 變更乃至 再配置等에依한 增産 (例컨대 朝鮮의 豆類反當生産量은 5斗인 落花生만은 反當2石1斗7카인므로 豆類耕作面積 1,069千町步를 落花生으로 代作한다면 一般豆類生産量보다4倍나되는 2,320萬石에 達한다 이렇게한다면 脂肪 營養價値에依한 保健과 油脂工業의發展 輸出에依하여 國內生産의 數倍되는 豆類를 輸入할수가 있다)
- 8, 國民의 確固한決心

穀類 資源 最大 收穫量 (1937年度)

		耕作面積	收穫高	反當生産高	1909年以來의 順位	1937年以外의 最高年度
		1,639,000町步	26,797,000石	1.635石	1	— 石 年度
쌀	쌀		25,031,000	1.651	1	—
	잡곡		423,000	1.478	1	—
보리	보리	1,450,000	14,679,000	1,012	1	—
	리		9,795,000	1.143	1	—
콩	콩		2,030,000	0.595	2	0.598 1938
	리		2,772,000	1.158	1	—
수수	수수	1,069,000	5,412,000	0.506	3	0.521 1933
	수수		4,262,700	0.543	4	0.566 1933
낙花生	낙花生		889,600	0.393	3	0.405 1909
	콩		130,900	0.349	1	—
아미	아미		60,500	2.166	1	—
	리		24,600	0.403	5	0.489 1933
기타	기타		24,700	0.474	7	0.635 1933
	리		19,000	0.353	2	0.356 1933
잡곡	잡곡	1,284,000	9,144,000	0.710	1	—
	리		5,840,000	0.750	1	—
수수	수수		638,500	0.540	2	0.550 1932
	수수		567,000	0.630	1	—
수수	수수		905,000	0.662	2	0.664 1936
	수수		598,000	0.750	1	—
수수	수수		80,500	0.573	2	0.581 1909
	수수		515,000	0.790	1	—
合計		5,442,000	56,032,000	1.030		

註. 耕地面積은 二毛作으로因한 二重加算도包含된

(3) 蔬菜資源의 擴大開發

고구마,감자,무,배추는 蔬菜의 大宗으로 副食物로써 日常生活에 不可缺한것이다 특히 고구마,감자는 主食糧의代用으로 充分히 其價値가있다 고구마와 감자의 反當生産量

을 比較하면 고구마反當生産量 236頁에對하여 감자는 不過 177頁으로 其差異가 59頁 即 經濟的으로 其耕作價値를 研究할必要가있다 고구마는 1937年度의 反當生産量 79頁이 最高記錄이었다 同年의 耕作面積은 16,446町步인데 12,991千

實의 生産되었다 高추는朝鮮이 世界第1位의 消費國이다 高추는 每年 多額의高추를 中國 日本으로부터 輸入하였다 如

斯한 消費品의外國依存은 大局的見地에서 抑制하여 國內의 自給自足에 힘써야할것이다

蔬菜資源最大收穫量 (1937年)

	耕地面積 町步	收穫量 千貫	反當收穫量 貫	1909年以來의順位	1937年以外의最高年度 貫	
고 추	28,400	66,906	235	2	247	1938年
감	121,200	213,982	177	1	—	
무	62,900	161,416	257	2	263	1938
배	49,200	111,884	327	1	—	
캐 배 이	7,030	2,588	257	4	282	1938
과	3,990	7,889	198	3	270	1941
지	2 00	5,678	210	4	225	1935
외	8,550	20,245	237	4	250	1936
호 박	4,690	11,942	255	3	278	1933
참 외	13,066	31,930	244	3	251	1938
수 박	2,952	8,880	301	2	306	1935
마 늘	9,143	18,820	129	2	133	1935
도 마 도	1.7	1.6	97	6	313	1937
고 추	16,446	12,991	79	1	—	
미 나 리	1,092	3,017	276	2	348	1934

(4) 特用作物資源의重點

棉類 麻類의栽培에 我國土가 適當하다는것은 周知하는바이며 我國民의衣料資源의 自給自足을爲하여 增收에銳意努力하지 않으면 안될것이다 그뿐만아니라 紡織工業의 發展을爲하여서도 棉花 麻等의栽培助長은 原料를 外國에依存하고 있는 朝鮮의現狀態로보아 國策으로써 能히 推進시킬必要가 있다 食糧作物의 増産도 必要하나 貿易逆差를 防禦하는 經濟作物의栽培을 無視할수 없다 美國産改良種 陸地棉反當生産高 114斤에比하여 在來種 在來棉의 그것은 겨우 38斤에 不遜하다 棉耕作面積의 擴大와 아울러 在來種의 一掃에努力하는 同時에 品種改良에依하여 反當生産限界의 増大를 具現시킬必要가 있다

除虫菊一 各種殺虫劑으로써 人畜無害의 特點으로보아 蠅虫 驅除藥 其他塗料原料로써 其用途가 매우 廣範한 重要資源이다 1937年度의 生産量은 11,600貫이며 空地의利用으로 増産할수 있다 反當生産高는 1933年度의 16貫이 最高이었다 薄荷一 薄荷油 薄荷腦의原料인데 清涼芳香劑로써 其用途

는 大端히 廣範하여 蚊臭藥 菓子用 製藥劑 煙草等 需要가 많다 薄荷는 南朝鮮에서 많이 生産되며 反當生産高1935年度의 115貫이 最高이었다 除虫菊 人蔘 煙草와같이 栽培에特殊한 技術이 必要함으로 一般農家に 普及지않고 特定地方에서 傳統的으로 栽培하고있다 除虫菊 薄荷는 自給數量에도 未及하는形便임으로 今後의 國內需要增加에따라 増産이 要請된다

人蔘一 外貨獲得의 額貨로써 現在堂々히名聲을 높이고 있으며 將來에있어서 世界市場을 獨占할수 있을것임으로 銳意 販路開拓을 研究하여야할것이다 1933年度의反當生産高 625斤이 最高記錄이었다

煙草一 忠州煙草는 터키-煙草를 凌駕할수 있는 優良品으로 今後増産計劃을 樹立하여 如斯한消費品의 外國依存을 一掃하고 自給自足을 目標로 努力하여야 할것이다 反當生産量은 1941年의46貫이 最高이었다 人蔘을除外한其他特用作物資源의 自給狀態가憂慮되어 今後의増産이 期待되고 있다

特用作物資源最大收穫量 (1937年度)

	耕地面積	收穫量	反當收穫量	1909年以來의順位	1937年度以外의最高年度	
陸地棉	175,000町步	200,420千斤	114斤	2	115斤	1935年
在來棉	48,000	39,868 //	83 //	1	—	
大學麻	25,600	4,810,000貫	19貫	1	—	
小麻	1,400	139,500 //	10 //	1	—	
苦麻	290	50,800千斤	18 //	2	21斤	1936
莞草	4,100	1,341,000 //	33 //	1	—	
楮	7,600	1,957,000 //	26 //	1	—	
胡椒	10,000	39,000石	0.39石	1	—	
荳蔻	12,400	49,300 //	0.39 //	3	0.46石	1935
蔴	2,000	10,500 //	0.53 //	3	0.57 //	1935
杞柳	175	108,600貫	62貫	5	115貫	1933
除虫菊	135	11,600 //	9 //	5	16 //	1933
薄荷	1 410	1,344,000 //	95 //	5	115 //	1935
人蔘	430	1,084,000斤	252斤	5	625斤	1933
煙草	18,700	7,117,000貫	38貫	4	46貫	1941

(5) 果實資源과 外貨獲得

朝鮮總面積의 70%以上이 山岳地帶에屬한다는事實은 牧畜 及 蠶桑의 今後發展에도 有利한自然的條件을 伊與하기만 그 것은 勝算에 있어서 果實資源의 促進發展을 約束하는 前提 條件이다

「 사과 」 生産의 最高記號은 1936年度의 3,279萬貫이었고 「 배 」는 1941年度의 812萬貫, 「 고구 」는 1942年度의 76萬貫, 「 복숭아 」는 1942年度의 239萬貫, 「 감 」은 1934年度 630萬貫 이 各々 最高生産量으로써 解放後의 我國總人口 一人當年 2貫의 果實配給이 可能한셈이나 大部分이 輸出되었다 1937年度에는 約530萬株에서 3,236萬貫은 收穫하였다

果實資源은 國內消費充足에 滿足할만기아니라 今後 對外 輸出品으로써 重要한役割을 遂行할수있도록 精選과 品質改良을 圖謀하지 않으면 안될것이다

果實資源最大收穫量

	1937年度		最大收穫年度
	貫	千貫	
사과	2,585,000	20,413	32,792千貫 1936
배	1,067,000	5,417	8,120 1941
포도	241,000	464	760 1942
복숭아	367,000	1,376	2,385 1942
감	1,010,000	4,887	6,300 1934
合計	5,270,000	32,562	50,357

過去에 있어서의 最高輸出額인 1939年度를 보면 日本에 342萬5千貫, 1940年度엔 中國其他南方에 481萬1千貫 合計823萬6千貫이 輸出되었고 그代價로써 1,085萬圓의 外貨를 獲得하였다 其中 「 사과 」의 輸出額이 1,048萬5千圓으로 全體의 96%의 巨額을 占하였다

果實最高輸出記錄 (1939年)

사과	2,338,783貫	4,322,046圓
배	25,739	27,062
복숭아其他	69,226	119,276
合計	2,424,753	4,468,384

果實輸出最高記錄 (日本除外)(1940年度)

사과	4,665,157貫	6,162,969圓
배	77,179	100,204
감	27,933	43,324
복숭아其他	16,153	72,745
合計	4,811,422	6,379,242

註 中國滿洲 關東洲을包含  
英領海峽植民地 南洋諸島

(6) 肥料資源의 問題

朝鮮의 電力은 礦物性肥料 即 窒素 硫酸 其他化學肥料 製造에 重要한 原動力을 提供하고 있으며 無盡藏에 가까운 東海의 鯨어리는 動物性肥料 即 糞肥의 原料로 되어 있다 朝鮮의 今後의 肥料問題는 北朝鮮의 化學肥料及 東海의 魚肥가 諸히 擔當할만기아니라 外國輸出能力도 거기서 造出될수있을것이 分明하다 1937年度의 我國肥料의 總生産高 約115萬 貫中 23萬圓의 動物性肥料로 其全部가 魚肥이었고 礦物性 肥料 61萬6千圓中 硫酸이 42萬2千圓 硫酸安이 10萬6千圓이 었다 其他化學 混合肥料가 17萬7千圓餘 12萬2千圓의 植物性 肥料이 었다

魚肥 23萬圓中 21萬1千圓은 日本이 日本의 農作物用으로

掠奪하여 갔다 其代身 日本으로부터 約26萬圓의 礦物性肥料가 輸入되었다 其中 過磷酸石灰가 14萬5千圓을 占하였는데 此種肥料는 吾리가 直接 國內燐礦——端川 吉州 咸津地方을 開發生産하거나 或은 南洋에서 換價를 輸入하여 製造할수있는性質의 것이다 過磷酸石灰以外의 肥料는 11萬5千圓이며 日本에 礦物性肥料 12萬5千圓이 再輸出되었음으로 結局 13萬5千圓이 日本으로부터 輸入된셈이다 此外에 日本以外의 外國으로부터 3萬5千圓이 輸入되었음으로 結局 約17萬圓의 礦物性肥料가 外國으로부터 輸入된셈이다

結局 肥料貿易을 보면 輸入肥料가 合計 38萬3千圓이었고 輸出肥料가 43萬5千圓으로 4萬1千圓의 出超이 었다 植物性肥料의 輸出超過 約4萬4千圓의 出超은 國內生産 12萬2千圓中 國內消費가 6萬7千圓임으로 純粹輸出餘力으로 于先 推定할수가 있다 1937年度에 있어서는 一般農業生産과 같이 肥料 消費도 果然 最高이 었다 綠肥 182萬圓 堆肥 2,765萬2千圓 合計 2,947萬2千圓을 施肥하였다 金肥는 85萬5千圓 其中 動物性 肥料가 4千圓 植物性肥料가 6萬7千圓 混合肥料가 22萬圓 (約 26%) 礦物性肥料가 56萬5千圓(約 66%)을 占하여 糞物 混合 兩肥料가 金肥의 92%에 達하였다 混合肥料 生産量과 消費量을 較하면 約4萬2千圓이 自給不足된셈이고 礦物性肥料는 61萬6千圓의 生産에 對하여 56萬5千圓의 消費로 5萬1千圓의 餘剩을 보였으나 過磷酸石灰는 14萬5千圓의 輸入超過이 었다 施肥된 56萬5千圓의 礦物性肥料中 約 33萬圓은 硫酸이 었고 輸入된 過磷酸石灰 14萬5千圓中 11萬圓은 그대로 使用되고 餘餘 3萬5千圓은 混合乃至 化成肥料의 原料로 使用되었다 礦物性肥料中 硫酸의 生産量은 42萬2千圓으로 全世界 年産總生産量 530萬圓의 勿虧 7.28%에 該當하여 獨國의 92萬2千圓 美國의 60萬3千圓 英國의 52萬圓 日本의 51萬圓에 이어 1939年度의 朝鮮은 世界第5位를 占하고 있다 耕地 總面積 544萬2千町步에 對하여 總收穫高 5,603萬3千石 自給 肥料 施肥量 2,947萬圓 金肥 85萬5千圓을 各各檢討하여 보면 反芻 收穫高 1石3升弱에 對하여 自給肥料을 542키로弱 金肥는 不過 15.7키로를 消費한셈이다 1倍5千石의 米穀食糧資源 増産의 遠大한 計畫을 비록하여 蔬菜, 特用作物, 果實資源增 大擴張이란 緊急重大한 問題에 當面한 朝鮮經濟의 伸展은 肥料 資源增加 確保에 其 關鍵이 있다 하여도 決로 過할이 아니라

金肥 生産量 (1937年)

動物性肥料	230,790圓	混合肥料	176,898圓
植物性肥料	122,137	合計	1,145,944圓
礦物性肥料	616,119		

自給肥料 生産量 (1937年)

	生産高	反芻生産高
綠肥	1,820,482	926
堆肥	27,651,885	626
合計	29,472,367	

綠肥의 耕作面積은 196,512町步로 反芻926圓과 生産되었고 堆肥는 全耕地의 反芻 626圓에 該當하는 數量이 生産되었다

金肥 輸出入 數量

	輸 入		輸 出	
	日 本	日本以外의 諸國	日 本	日本以外의 諸國
動物性	—	—	211,196	3,486
植物性	1,829	23,125	66,890	20

礦物性	256,826	34,769	125,250	—
調 合	71,842	—	27,683	937
小 計	330,491	57,894	431,020	4,443
合 計	388,391		435,463	

金肥消費高 (1937年)

	消 費	消 費
動物性肥料	4,084 噸	雜穀類 26,172 噸
魚 肥	3,254	其他植物肥料 9,986
其他動物性肥料	830	礦物性肥料 565,228
植物性肥料	67,179	硫酸 327,870
大豆油粕	18,179	石灰消石 5,553
菜種油粕	1,481	石灰窒素 45,772
棉實油粕	6,638	過磷酸石灰 109,388
其他油粕	4,123	磷酸아무이나 370
鹽化加里	13	調合肥料 218,928
硫酸加里	2,516	
化成肥料	73,745	合 計 855,419

2. 畜產資源

(1) 牛……我國의 소는 性質이 溫順하고 體質이 強健하고 忍耐力이 強하며 粗食에 耐할하다는 등의 優秀한特色이 있다 人力營農의 段階을 離脫치 못한 朝鮮農家에 있어서 勞役用으로서의 소의 利用은 重要한 意義을 가지는 것이다

1941年度의 農家戶數 309萬1千戶中 畜牛을 所有한 農家는 144萬4千6百戶이 있다

同年度의 畜牛總數는 1,753,556頭로 我國 飼牛頭數의 最高記錄이었다 萬一 赤手空拳으로 耕作하는 耕小作農 145萬戶에도 소 한마리씩을 가질 수 있게 한다면 其數는 300萬頭以上에 達하게 될 것이며 耕作은 좀더 苦痛이 能率의 으로 迅速히 進步될 것이고 第二次의 成果로서는 自給肥料에도 큰 도움이 될 것이다 牛一頭에서 年約 2,000貫의 堆肥가 所出됨으로 300萬頭면 60萬貫 即 2,250萬噸에 達하는 莫大한 自給肥料을 얻을 수 있을 것이다 그것은 大豆粕 6,000萬枚 (大豆粕一枚=堆肥 100貫)의 施肥效果에 相當함으로 他方 多量의 金肥輸入을 抑制할 수 있을 것이다

1933년부터 1942년까지의 10年間의 소의 增減動態를 보면 年平均出産이 368,032頭이고 斃死가 22,746頭, 屠殺이 276,113頭, 撲殺이 20頭이며 그 增加率은 年平均 68,153頭로 10年間에 691,527頭의 增加이 見야 得할 것이 實際에 있어서는 1933年의 1,668,136頭에서 1942년에는 1,740,073頭로 10年間에 76,937頭밖에 增加되지 못하였다 結局 10年間에 年平均增加率에 該當하는 數만이 增加된 것이다 貿易統計에 依하면 1933년부터 42년까지의 10年間에 朝鮮에서 輸出된 소는 無慮 696,614頭로서 거의 全部는 滿洲地方에 輸出된 約 4萬頭를 除하고 倭寇日本에게 掠奪당하였다 韓日合併翌年인 1911년부터 1940년까지의 30年間에 日本이 朝鮮으로부터 소를 가져간 數의 累計는 1,402,654頭라는 莫大한 數인데 이 數는 1940年의 朝鮮소의 總數와 相似한 것이다

이러하여 日本이 生牛로써 掠奪하는 同時에 戰時中에는 大量으로 繼續屠殺하여 肉조림으로 만들어 軍部에 徵發되었기 때문에 1944년에는 152萬頭로 低減되었다

年別保有畜牛數

	全 國	南朝鮮
1941年	1,750,999頭	一頭

1942	1,736,861	1,062,000
1943	1,714,134	958,000
1944	1,624,827	887,000
1945	—	612,000
1946	—	609,000

우리는 37萬頭以上の 生産水準의 維持를 目標로 屠殺을 統制하고 嚴重히 食肉을 節約하여 過去의 最高保有水準으로 迅速히 回復함을 勿論이요 300萬農家에 一牛必有之 策을 樹立 一路畜産報國에 邁進하지 않으면 안 될 것이다

(2) 馬……1942年度全國保有頭數는 5萬5千頭에 不過하며 在來種은 小驢, 馱馬가 多數이며 蒙古馬와 混血種을 所謂改良朝鮮말이라 稱하나 農家에서는 畜牛로 飼養하고 있으므로 그다지 存在가 無었으나 馬의 利用性을 考慮할 때 馬注獎勵는 勿論이요 그 利用에 있어서 많은 研究가 必要한 것이다

(3) 豚……最高保有記錄은 1937年度의 163萬頭였고 118萬戶에서 飼育되었다

此中 바-크샤-1, 요-크샤-1, 샤-노等의 改良種이 66%이었고 殘餘는 在來種이었다

年別豚飼養頭數

	全 國	南 朝 鮮
1942年	115萬頭	60萬頭
1943	72	34
1944	—	24
1945	—	20
1946	—	30

即 1943年1年間에 43萬頭의 急減을 보였으며 其中 南朝鮮이 26萬頭로 總減少頭數의 43%였다

1938年度부터 1943年度까지 6年間에 91萬頭 即 1937年의 56%의 激減으로 年平均 15萬頭가 減少하였다 南朝鮮에 있어서는 1943年中에 26萬頭 44年中에 9萬5千頭 1945年中에는 4萬頭의 減少이 있었으나 46년에는 10萬頭가 激增하여 도야지의 猛烈한 蕃殖率과 屠殺減少의 兩面을 如實히 나타내어 30萬頭로 增加되었다 이것은 他年의 그것과 比함으로써 正常한 回復軌道에 올라선 것이라고 推測할 수 있다 163萬頭의 最高頭數를 保有한 1937年度에는 飼料管理其他의 諸條件이 好調이어서 生産 125萬頭의 最大記錄을 作成하였고 斃死가 15萬頭, 屠殺이 80萬頭 計 95萬頭를 除한 30萬頭가 該年度의 自然增加頭數이었다 이와 反對로 戰爭中인 1942年의 生産率은 31% 即 39萬頭가 減少되어 86萬頭로 轉落되고 斃死 13萬頭, 屠殺 26萬頭(原因은 食肉統制)計 67萬頭를 除한 19萬頭가 自然增加頭數로 되어 있다

1937年에서 1942年까지의 5年間에 있어서의 年平均 斃死數는 13萬頭 年平均 屠殺數는 74萬頭로 算出됨으로 戰時年度 1942年에 있어서의 屠殺減少原因은 純全히 統制이었고 平均屠殺數보다 20萬頭가 줄었다 그러나 屠殺數가 減少됨에도 不拘하고 도야지數가 低減된 것은 日本軍이 軍部食料로서 탁지는 때로 徵發或은 買上한 때 그 原因이었다

300萬農家에서 1937年度 飼育戶數의 도야지 所有比率 1戶당 1.頭를 飼育할 수 있다면 全國總數는 420萬頭에 達할 것이고 1億5千萬石의 食糧 增産 確保와 併行하여 豊富한 飼料의 供給이 任意로 됨으로 一戶당 4頭式 (1937年의



所有率의 2.85倍) 만飼育할수있다면 1,200萬頭의도야지를 容易히 保有할수있을것이다 이水準을 維持하여야만 우리는 一年每戶當 도야지1頭式을 配給할수가있는것이다

(4) 綿羊……羊에는山羊 綿羊두種類가있다 山羊은外國에서는 搾乳用으로 飼育되나 我國에서는 古來로부터 飼養目的이 藥用이 主로되여있다 過去最高山羊保有記錄은 1941年의5萬4千頭이었고1942년에는 5萬頭로 減減하였다 1943년에는7千頭가減하여 4萬3千頭 其中4萬1千頭即95%가 南朝鮮에서 飼養되었다

1946年度의 南朝鮮保有頭數는3萬5千頭이다 綿羊은飼育目的이羊毛採取에있다 綿羊資源의有無多少는 外國貿易收支計定에도 重大한影響이있다 棉花 麻類 生絲以上으로 羊毛資源의重要性이痛感된다 朝鮮의羊毛需要는 去益增加하는 反面 綿羊資源은 殆無狀態이어서 外國依存으로만기망아 今後 莫大한金額이 外國에 流出될것이 憂慮된다

北朝鮮의 高原地帶의 氣候가 綿羊飼養에 適當한事實을 認識한日本人은 過去 南綿政策과 아울러 北羊政策에 努力하고 日本의衣料資源의 難關을突破하려고 自給自足政策을 遂行하였던것이다 即 1834년에는 咸北明川郡에 1937년에는 平南順川郡에 1940년에는 慶北慶州郡에 各種畜羊場을 設定하고 濛洲로부터 數千頭의種羊을 輸入하였다 1939年度의綿羊保有頭數는 4萬頭 1942년에는4萬2千頭에達하고此中1萬2千頭는 南朝鮮 特別東華山岳地帶에서 飼養되었다 1946年度의 南朝鮮保有頭數는 飼養管理不足으로因하여 2,700頭 即1年前에 比하여 9,300頭 約78%의減少이있다 殘存2,700頭中 種綿羊은 1,295頭이있다 羊毛資源의 前途는 暗澹하여 1942年度의 保有數 量안의確保에到達하려면 現狀으로부터아시는 相當한時間과 努力이必要할것으로 보인다

(5) 鷄……1937年度에722萬의닭이169萬戶에依하여 飼養된것이 最高記錄이였다 그中 525萬 即73%가 암닭이었고 種別로는 513萬이 예구용, 名古屋, 其他改良種이였다 一戶當平均飼養數는 4.27마리였었다 그리고 1946年의南朝鮮總數는 285萬마리였다

(6) 兔……1941年度에19萬3千頭를 飼養한것이 最高記錄이였으며 그것은 日本軍需品으로서 毛皮供出獎勵에 依한것이였다 飼育種別로는 앙고라 벨지안 친치타 등의改良種이였다 1947年度의 南朝鮮의保有頭數는約3萬頭이였으며 其中에서 種兔가817頭이였다

(7) 蜂……1945年度에는99,500戶에依하여 20萬4千4百箱子의 벌집을 保有하였다 이것은最高保有記錄이며 採蜜量의最高記錄은 1933年度의970擔이였고 續은1935年의 100擔의生産이였다 前述한3,000萬株의 果實資源을 擴大增殖함에따라 開花期에있어서의 벌의糧食은無限히分泌된것이며 養蜂政策의妙案을 樹立實踐한다면 互願에達하는 外國砂糖의輸入抑制은 반드시 可能할것이다 그리고 1935年度의 巢箱當年產量은 4.73擔이였다

(8) 增産의要諦……以上論述한바와같이 畜産業의前途는 洋々하다 그러나 그것은우리의 不羈한努力과 緻密한研究가 必要條件으로서 先行하여야한다 優良品種의 選定, 種付獎勵, 飼料의充實改善, 畜牛飼育의獎勵, 優良牛生産都落의設定, 補助金의下附 蕃殖牡牛의指定, 病牛의無料治療, 牡牛의去勢, 種用牧場의設定, 競馬其他

馬政施設, 行政의擴充, 豚種改良, 鷄種改良, 豚鵝飼育管理改善 飼料營養의研究等 多方面에亙하여 專門의 科學的研究가 必要할뿐아니라 農村을 巡廻하면서 智識과 技術을 積極指導할것을 怠慢히해서는안될것이다 그뿐아니라 優良牛皮 馬皮 豚皮 兎皮 生産에重點을 두어 질차리 도장자리 안장자리 등의 價이없도록 또는적도록 細心の注意, 管理, 使役이 必要하며 優良油脂 豚毛 禽卵 牛乳 蜂蜜 蠶蠟生産等에도 銳意其研究가 要認된다 家畜傳染病豫防에는 基本的治療가 考慮되어야할것이다 要는 我國獸醫學의發達如何에 모든成果가 依存되어있는만큼 國民의脂肪性食料資源의 增産 確保와 皮革生産의飛躍은 畜產技師의 多量養成에서만 期待할수가 있는것이다

### 3. 林 産 資 源

#### (1) 林野資源과砂漠

古今을通하여 政治의要諦는 治山治水에있다고하는 格言이 意味하는바와같이 農業國인 朝鮮에있어서의 林野의地位는 더욱 治山治水에 政治의主眼을두지않으면 國力は衰退해지고 國民은沈淪에沈淪하게될것이다 雨期가到來하면 豪雨와水害는 到處에惹起하여 人畜의被害 農作物의被害 田畠의埋沒流失 鐵道土木工作物의流失 河身의變遷等 其被害는 이로形을할수가없다 또 旱魃을招來할때에는 水源이涸竭하여 田畠은龜裂되고 農作物은枯死하게된다 아무런電力設備과 灌溉設備가理想的이고 肥料가豐足하며 農機具가優秀하고 或은種子가優良하고 管理技術이卓越하여도 水源地 林野의荒廢는 모-든人間의努力을 水泡로도마가게하여 最後에는飢饉가 남을뿐이다 解放後의朝鮮의山野를보라! 綠山에서赤山으로 如斯한速度로 濫伐한다면 世界地圖에서 새로운砂漠을 朝鮮에서 發見하게될것이다 우리는 1937年度에 5,600萬石의 米穀食糧을 收穫하였다 우리는 1億5千萬石의 米穀資源을確保의可能性을 指摘하였다 藪約聖書의 奇蹟이 再現되지않는限 그것을砂漠에서 期待하는것은 緣木求魚之格이다

森林은 米穀資源에 決定的影響을 미칠뿐만아니라 畜産, 養蠶, 果實, 水産, 工業資源等 모든部門에 重要한關係가있다 더구나 木材工業의 勃興에따라 資源의價値도크다 造船 製紙 松脂 無木알골 或은콘크工業 등의 發展이支配된다 積極的綠化運動은 救國之大本이다

#### (2) 林野面積과蓄積量

我國의林野面積은 總土地面積의 73%에該當하며 이比率는 世界에서 芬蘭의次位이다

朝鮮經濟의 今後의發展如何는 一定領土內에있어서의 7割以上の 林野를 如何히有効適切한方法으로 保護育成하며 如何히利用하는냐는問題와 重大한 關聯이있다

林野所屬別面積及構成比率(1942年現在)

	面積	比率
國有	5,327,636	32.7%
民有	9,690,746	59.5
公有及寺刹有	1,255,998	7.8
合 計	16,274,380	100.0

各道內의 林野面積의 比率는 最高가江原道의 83.8%이고 咸北이83.5% 咸南이83.3% 平北이81.2% 其他는73%以下이다 林野總面積의 1町步當蓄積量은 平均41.2尺籍이며 最高는 全北의64.7尺籍 咸北이60.7尺籍 平北이53尺籍 平南이49.4尺籍 全南이49.1尺籍 其他道는 平均水準以下이다

樹種別蓄積量은 針葉樹가64.5% 闊葉樹가35.5%로 되어 있으며 竹材는231萬束에 不過하다

樹種別林野蓄積 (1942年現在)

	蓄積	比率
針葉樹	432,604尺 <sup>3</sup> 積	64.5%
闊葉樹	238,429	35.5
總數	671,033	100.0

官有林蓄積比較表

	林野面積	蓄積
1910年	8,303千町步	1,053,000千尺 <sup>3</sup> 積
1942	5,327	330,452
比1910年增減	+425	-722,550

1910年과 1942年과의 官有林을 比較하면 32年間に 林野面積은 297萬6千町步가 增加되었는데不拘하고 蓄積量은7億2千2百55萬尺<sup>3</sup>積가 減少하였다 即 68.6%의蓄積이 減少하였는데 그原因은 植伐均衡이 相稱하지않은때이다 如斯한 蓄積의減少는 痛嘆할것으로 林産資源蓄積에 全力을 傾倒하지 않으면 안된것이다

樹種別林野面積을보면 針葉樹林이47% 闊葉樹林이28.7% 針闊混潯林이24.2% 竹林은 不過0.1%이다 竹林은 氣候關係로 全羅道一部에 散在하고 있으나 今後國際收支關係로特別한造林이 必要할것이다

其理由는 海産物의輸出品中 海苔가大宗인데 其養殖에는 多量의竹材가 必要하기때문이다 現在我國은 海苔와 竹材의 마-리貿易을 日本과하고 있는가답이다 1,630萬町步의林野는 70%以上이 立木地로되어있으나 殘餘30%는 立木比率 30%以下の 貧弱한林相이다

	面積	100分比
立木地 (立木 $\frac{3}{10}$ 以上)	11,429,828 <sup>町步</sup>	70.2%
散生地 (立木 $\frac{1}{10} \sim \frac{3}{10}$ )	2,254,370	13.9%
未立木地 (立木 $\frac{1}{10}$ 以下)	1,164,328	7.2
其他	1,425,854	8.7
合計	16,274,380	100

樹種別立木明細

針葉樹林	47.0%	竹 林	0.1%
闊葉樹林	28.7%	合 計	100%
針闊混潯林	24.2%		

(3) 苗圃、造林、砂防事業

1942年度의樹苗圃數는公私營合計 3,059個所이며 苗圃面積은 14.6平方키로 生産株數는 8億450萬株이었다 1939年 162,237萬株의生産에比하면 81,787萬株의著減이다

1942年의新植 補植 記念植으로 植木된株數는 54,714萬2千株로砂防工事에서의 4,911萬6千株를 合하면 59,625萬8千株이었다 此外에 37萬3,684立의播種造林이있었다 造林施業面積은 播種面積 9,017헥타-를合하면 最高記錄으로서 18萬339헥타-이었고 砂防事業은 12,653헥타-이었던砂防事業에 있어서의 施業面積만의 最高記錄은 1939年度의 27,000헥타-이며 植樹만의最高記錄은 1940年度의 7千萬株이었다 使役延人員의最高記錄은 施業面積의記錄에相

伴하여 1937年度에勤員된950萬名이었다

(4) 森林被害狀況

造林砂防事業及森林育成保護手段이 講究된다하더라도 自然的 人爲的原因에依하여 森林이 被害를받는境遇가 많다 森林의病虫을殺滅하기爲하야 캐나다에서는 飛行機로D D T를 撒布하여 掃滅시키는例는其好例이다 그러나火災 盜伐같은것은 徹底한注意監督이必要하다 1940년에 1,739件의山火가이러난것은 大概不注意에基因된것이고 被害面積은 6萬헥타-이었다 1933년에는 病虫害에依하여 63萬헥타- 金額으로는 203萬圓의被害가있었다 森林被害最大年度는 1933年の金額으로 228萬圓이다 如斯한被害는森林行政의徹底的인團束으로豫할수가있다

最大森林被害表

1940年	火災	53萬圓
1933	病虫害	203
1941	盜伐	11
1940	誤伐	12
1936	風害	11
1936	水害	13
1936	雪害	3
綜合의各被害最大年度	1933年.....	228萬圓
解放後南朝鮮被害	1946年.....	2,700

(5) 製材能力

1942年은最大製材記錄年度로서 消費原木은 2,491,144立方米 製材生産量은 1,619,257立方米消費原木의 64%이다 이것은一日平均 4,082立方米의能力인데 保有施設의最大製材能力은 3,712,000立方米이다 製材能力에對한稼働率은 40%에不過하다 全國의製材工場은 1,074個所이며 從業員은 22,000名이었고 動力數는 電力에依한것이第一位로 27,423馬力 第二位가蒸氣動力의 1,365馬力 木炭動力 1,121馬力の順序이고 其他液體 水力等合計3萬300馬力이었다 設備은 丸鋸가 3,055臺, 帶鋸가 1,056臺, 合計4,111臺이었으며 保有總額數 5,132臺의 80%를占하였고 殘餘20%가 堅 槓切 吊 糸鋸等이었으나 大部分의製材設備은 北朝鮮에偏在하고있다

(6) 林産과燃料

1942年의 總林産額3億9千萬中 61.3%가 燃料로서 消費되었는데 其中 長斫이 21.2% 鹽나무16.7% 木炭이 5.8% 其他가17.6%이었고 其外에 用材가16.4% 堆肥原料가10% 飼料가4.8% 綠肥가3% 土石類가1.9% 種實이 1.3% 燃料以外의 合計는36.4%이었으며 漆液 藥草 松脂 등이 3.3% 를占하였다

長斫은 約10億8百萬圓 鹽나무는 9億3百萬圓 其他燃料가 14億圓 木炭이 5.330萬圓 合計33億6,437萬圓의 林産物이燃料로 消費되었다

間值의核心은 여기에있음으로 植物性燃料에만 依存하든從來의 一般의慣習을 國家의見地에서 是正할必要가있다

4. 水産資源

(1) 自然的立地條件

我國沿岸의水族은 其種類가 多様하며 數量이 豊富하여重要水産物만하여도 魚類 75種 貝類20種類 溚類15種其他水産動物10種 合計120種에達하며 潮流의關係와 海岸線에따라其分布도 相違하다 豆滿江口로부터 釜山港에이르기까지의 東

海岸은 砂灘 懸崖가 相交 連絡하여 好適한 沿岸漁場을 形成하고 潮流의 干滿은 微少하지만 물이 깊고 魚族의 滯留에 適合하여 特히 利만 海流(寒流)가 沿海洲로부터 南下하는 關係로 寒帶魚族이 豊富하여 또한 暖流인 對馬海流의 一流가 溫帶性魚族과 더불어 北上함으로써 暖帶魚族 또한 豊富하여 漁利가 無盡藏에 가깝다 釜山에서 木浦에 이르는 南海岸一帶는 大小의 島嶼가 無數히 點在하여 其沿岸은 또 屈曲面이 許多하고 水深도 100메-터內外인으로써 漁具使用에 利便이 많다 더욱이 平野에 近接하고 있는 關係上 市場性이 크며 또한 大河等이 接連하고 있음으로 內陸에의 運搬乃至 外國에의 交易이 便利하다 木浦附近에서 鰲絲江口에 이르는 西海岸은 海岸線의 屈曲이 極甚하고 海底은 淺淺을 이루고 있어 黃海의 近海水深은 不過 30메-터內外이며 潮流干滿의 差가 激甚(例仁川은 約 10메-터干滿의 差가 크기로 有名な 世界三大港의 하나다) 함으로써 冬季 溫帶魚族의 棲息에는 不適合하나 其他季節에 있어서는 溫帶魚族이 群來함으로써 豐漁를 招來하고 있다 要컨대 朝鮮에 있어서는 海流 海岸의 屈曲 沿海의 水深 등으로 漁場이 區分되며 따라서 魚族이 自然的으로 種類가 많이 分布되어 있는 것이 그 特點이다

漁 域 別 魚 族 表

東海岸	鰻, 明太魚, 鰈, 鱈, 鱒, 鯖, 鮭, 鱒, 烏炭, 鱈, 比目魚, 鰵, 帆立貝, 蟹, 鮑, 天草, 昆布, 鮎노래미, 밥조개,
南海岸	鯖, 鮭, 鱈, 갈치, 鱈, 海鼠, 海蝦, 鱈, 鮑, 鱈, 鱈, 鱈, 미역
西海岸	조기, 새우, 미나, 白魚, 比目魚, 송어, 반지락

(2) 資源開發의 限界

我國의 水産業이 最高潮에 達한 것은 1937年度이었다 다음에 其 概觀을 要約하면 다음과 같다

戶數—約 20萬戶 (1942年度) 이고 業態別로 보면 其中 漁撈가 71% 養殖이 23% 造船이 6% 이었고 道別로 보면 全南이 29% 慶南이 13% 黃海 13% 江原 18% 水産王國 咸南 咸北은 各々 7.5% 이었다

船舶—資源獲得에 利用된 船舶은 1942년에 漁船 65,156隻 運搬船 4,132隻 合計 69,288隻이며 動力別로 區分하면 動力가 備가 있는 船舶이 6.8% (474隻) 無動力 船舶이 93.2% (風船 64,584隻) 이었고 道別所有 船舶數比率은 全南이 34% 慶南이 21% 咸北이 11% 以下 咸南 江原으로 되어 있었다

漁獲物—過去에 있어서 水産資源獲得의 最高記錄은 1937年度의 2,115,785噸이었다 其中 魚類가 1,965,000噸 貝類가 24,800噸 海草類가 66,700噸 水産動物이 59,000噸이었다 此 漁獲物은 我國 3,000萬人口 1人 當一年 約 70斤 即 18貫 700匁의 消費를 充當시킬 수 있는 食糧資源이다 此等 水産物은 當時의 時價로 9,000萬圓에 達하였다 1942년의 漁獲物은 845,780噸으로 最高 漁獲記錄年度인 37年度에 비하면 127萬噸 約 60%의 減少이었다 即 漁獲物의 150%의 減少이다 그러나 戰時 貨幣 價値가 下落으로 인하여 價格은 反對로 16,200萬圓에 達하였다 150%의 減少原因은 漁村人口의 激發 船舶의 激發 漁具 其他資材의 不足에 있었다 水産資源은 固定地下資源과는 根本的으로 相違하여 漁撈手段如何에 따라 어느程度 資源獲得 利用의 限界가 左右되는 것이다

主要 漁獲物 價格別 千分比 是로 보면 아래와 같다 (162,066,340圓 = 1,000%)

漁 獲 物	千 分 比
명 패	149%

조기	94
고등어	53
정어리	52
비옷	48
갈치	41
메루치	39
새우	35
오징어	27
몽치	20
넙치	20
방사어	19
상어	18
미역	16
되미	15
대꾸	14
광어	12

水産養殖—1942年度의 生産物가 最高記錄인바 2,253個所에서 11,740萬坪에 亶하여 養殖되었으므로 20,542噸(價格 27,290萬圓)이 生産되었었다 이를 種別로 區分하면 其中 鱈이 2,723噸 2,590萬圓으로 總額의 95%를 占하여 斷然壓倒의 이며 그다음 鱈이 16,607噸 約 110萬圓으로 4%에 該當하고 나머지 1%가 잉어 鰻과 等 10餘種이다

水産製造額—1940年이 最高度로 生産된 年度이었다 即 18,180萬圓中 食用製品 8,250萬圓 非食用製品 9,930萬圓으로 前者에는 素乾品 煮乾品 鹽藏品 醬油類等이 包含되었었고 後者에는 肥料 魚油 海藻 工藥品等이 包含되어 1942年度의 製造價格은 146,347,804圓 其中 食用品 132,267,136圓 非食用品 14,080,668圓 前者가 90.4% 後者가 9.6%이었다 다음에 食用品 非食品의 生産千分比 是로 보면 下記와 같다

(食用品)	鹽藏비옷	21%
鱈	鹽藏갈치	16
素乾명태	가마보름	16
煮乾메루치	鹽藏정어리	16
알치	其他	272
乾조기	合計	1,000
鹽藏고등어	(非食用品)	
煮乾새우	정어리잡粕	327
煮乾새우	정어리기름	234
鹽藏몽치	天草	106
미역	其他	333
조기젓	合計	1,000

(3) 水産資源의 重要度

水産資源은 工業原料의 供給源泉이 될 뿐만 아니라 食糧問題가 切迫한 現今 事情에 비하여 불멸 動物性蛋白質의 主要資源으로서도 水産食糧의 生産增加가 要請된다 豊富低廉한 供給은 國民體力及 營養維持上 生活安定에 寄與되는바 많음은 勿論이요 外貨獲得手段의 對象으로는 더욱 重要하다 그뿐만 아니라 油脂工業을 비롯한 新興工業 即 皮革 纖維工業等에 대한 原料自給自足の 見地에서도 水産資源開發의 任務와 使命이 크다는 것을 一時라도 忘却할 수가 없다

5. 鑛業資源

(1) 鑛物資源의 特性

朝鮮經濟의 基礎은 農業經濟에 있다 그러나 현재까지는 原始産業開發에 集中하여서는 原料供給圓에 停

留하게 될 것이다. 반드시工業立國政策을並行시키어 外國의 商品市場化되는 危險性을排除하지 않으면 안될 것이다. 工業의 支柱인 素材即 金屬及非金屬金屬類 그리고 燃料는 地下 鑛物資源의 開發利用에 따라 有効히 活用할 수 있는 것이다. 我國經濟自主性의 焦點은 基礎的 素材를 如何히 獲得利用하며 滿足시키느냐에 依據한다. 多幸히 我國의 鑛業資源에는 其地質上 局限 或은 皆無한 資源도 있으나 朝鮮은 鑛物의 原本室이라고 하는 말이 있는 바와 같이 그 種類는 210種 特別有用 鑛物만 140種으로 今後 科學的發達 技術의 進歩에 따라 探掘利用의 範圍가 擴大될 것이다. 朝鮮面積의 80% 以上이 許可乃至 出願 鑛區에 編入된 것만 보아도 鑛物資源이 얼마나 廣範히 賦存되어 있는가를 能히 窺察할 수가 있다. 1945年 8月 15日 現在의 全國 鑛區數는 10,577 鑛區이었다. 上記 鑛區中 主要 鑛種別 鑛區를 一瞥하여 鑛物資源의 地位와 其分布情況을 考察키로 한다.

鑛種別 鑛區數 (1945年 8月 15日 現在)

企 銀 鑛	3,466 區	}	7,008 區
企 銀 銅 鑛	1,979		
合金金屬鑛	898		
合金非金屬鑛	439		
砂 金	226		
黑 鉛	741		
石 炭	599		
鐵 鑛	328		
鎳 母	264		
螢 石	230		
高 嶺 土	224		
重 石	219		
石 棉	157		
硅 砂	102		
其 他	705		
合 計	10,577		

即 鑛區의 66%가 企及 合金을 包含한 鑛區로서 巴야르로 G-OLD RUSH를 彷彿시키고 있다. 建國途上에 있는 我國經濟에 絕對必要한 基礎的 素材를 外國으로부터 輸入할 때의 決濟代金의 源泉은 여기에 있다. 1910년부터 1945년까지의 產金量은 約 390萬 兩이다. 箕山 金山만 에 限하여도 1899년부터 1939년까지 40年間에 82萬 兩은 金이 生産되었다. 面積比率로 보면 我國은 日本 南阿의 트란스바르와 同한 世界 3大 產金國의 하나이다. 故로 我國鑛物資源의 特性은 金鑛이 主로 된 部門이라는 것을 理解할 수가 있다. 比露 鑛區數는 稀少하나 至極히 重要한 位置를 占하고 있는 鑛物이 其他 705鑛區에 依하여 探掘되고 있다.

(2) 主要鑛物의 概貌

가, 黑鉛一鑛區數는 741鑛區 世界第1의 鑛產高을 보이고 있다. 其比率는 鑛狀이 40% 土狀이 60%이다. 1944년에 最高 生産記錄 76萬 兩을 보이었다. 國際市場에서의 競爭品은 세이봉 產 막다가스칼 島產等이나 其量에 있어서는 朝鮮에 比하여 到底히 問題가 되지 않으며 我國은 世界의 黑鉛王國이다. 나, 石炭一鑛區數는 599鑛區 主要 生産炭種은 褐炭無煙炭이며 前者는 埋藏量 3億 5千萬 兩으로 成北에 90%가 分布되어 있고 後者는 13億 5千萬 兩으로 此中 10億 8千萬 兩即 80%가 平南에 其殘餘는 三陟 寧越等에 分布되어 있다. 一年 1千萬 兩의 石炭을 探掘하며 170年은 繼續될 수 있다. 完全 燃燒法이 發達되었음으로 鐵道 煤房 用 工場 用 燃料로서 使用되고 있다. 또 從來에 있어서는 製鐵用에는 不適當하다고 하여 輸入炭에 依

存하였으나 三陟 寧越無煙炭은 良質鑛으로 코크스代用이 可能하고 (固定炭素分 70% 카로리 7,000) 燃燒의 科學的 處理法 改善에 따라 製鐵用에도 使用될 것이다. 其外에 褐炭은 永安에서는 低溫 乾溜法에 依하여 阿齊地에서는 木炭 添加法에 依하여 無煙炭은 가스合成法에 依하여 各各 液化되어 液狀 燃料或은 化學原料로써 貴重히 使用되었었다. 現在及 將來의 莫大한 量의 石油及 其製品의 輸入을 抑制하려면 石炭 液化事業의 發達 助長策이 根本的으로 實現되지 않으면 안될 것이다. 1941年度에는 534萬 4千 兩의 石炭을 消費하였었다. 勿論 日本軍需工業에 使用된 것이 需要增加의 原因의 하나이나 工業水準의 向上은 將來에 數千萬 兩의 石炭需要를 招來할 것이다. 41年中에 消費量은 國產有煙炭 287萬 兩以外에 滿洲炭 54萬 3千 兩 北支炭 37萬 6千 兩 日本炭 155萬 5千 兩 合計 247萬 4千 兩의 輸入炭에 依하여 充當된 것이다.

他面 該年度의 輸出은 보면 日本에 113萬 兩 滿洲에 24萬 兩 合計 137萬 兩의 無煙炭이 輸出되어서 約 110萬 兩의 入超를 示現하였었다.

1940年度의 日本에의 無煙炭 輸出量은 150萬 兩의 最高 記錄이었다. 1941年度의 日本으로부터의 有煙炭 輸入量과 同한 量임으로 無煙炭의 增產及 國內消費節約은 輸入炭의 入超傾向을 減少시키는 重要한 制動機가 될 것이다. 終戰後 南朝鮮에 있어서의 石炭 埋藏量은 約 100萬 兩으로 推定되었는데 46年 47年 兩年度의 國產 石炭 約 76萬 兩을 加하여 全部 消費하였었다. 此外에 1945年 10月 以後 47年 12月 까지의 有煙炭의 總輸入量은 約 141萬 兩이었고 輸入炭의 約 30% 即 112萬 兩이 運輸用炭으로 充當되었었다. 이것을 全國的으로 考慮하면 200萬 兩 以上의 輸入炭이 運輸用炭이라고 推定할 수 있다. 他方 實際一般 生産工業에 使用된 것은 8萬 7千 兩 輸入炭의 6.2%에 該當하다. 80%의 運輸用炭과 6.2%의 工業用炭의 比率는 慎重히 研究할 必要가 있다고 본다. 萬一 我國鐵道網이 完全히 電化된다면 石炭輸入을 低減시킬 수 있는 同時에 利用目的의 變更에 依하여 運輸用炭은 다른 重要 生産部門에 轉用할 수 있을 것이다. 故로 鐵道電化는 石炭 增產과 아울러 我國經濟復興의 基礎條件이 된다. 1938年度에는 1人當 月平均 採炭量이 9.5兩으로 最高 記錄이었음에도 불구하고 經濟自主獨立을 絶叫하는 오늘날에 있어서는 47年 5月의 記錄 5.46兩이 最高 月產 記錄이었다. 解放前後의 採炭 最高 記錄을 比較하면 42.5%라는 能率 低下를 보이고 있다. 石炭 燃料의 資源及 設備의 効率의 活用은 浪費를 抑壓하는 賢明한 方法 일뿐 아니라 모-모 經濟의 理念으로 보아 切實히 要求된다.

다, 鐵鑛—朝鮮의 鐵鑛區數는 328鑛區로 我國 四大 鑛物의 하나이다. 鐵鑛資源은 大槪 黃海道 咸鏡道 平安道에 埋藏되어 있다. 特別 咸北 茂山 鐵山은 埋藏量 10億 兩 品位 38%의 貧鐵이나 滿洲 第一의 鞍山 鐵床을 凌駕할 만한 巨大한 鐵鑛 鐵山이어서 每年 500萬 兩 式을 探掘하며 200年은 繼續될 만한 것이다. 此外에 楊鐵 鐵赤鐵鑛等 品位 50% 以上되는 埋藏量 2,000萬 兩의 鐵床이 있다.

라, 輕金屬王國

(가) 마그네사이트 鑛區數는 18鑛區이고 咸鏡道 瑞川 鐵山은 世界 第一의 鐵床이다. 40%乃至 50%의 高品位이며 30億 兩의 埋藏量을 가지고 있다. 마그네슘—口原料이며 輕金屬時代의 寵兒로써 世界市場에 君臨한 時期가 不遠間 到來한 것이다. (트리마이트는 低品位이나 마그네사이트와 同樣으로 利用價値는 크고 廣範圍에 亙하여 分布되어 있다.)

(나) 아루미나 마그네사이트와 同樣으로 輕金屬의 雙生兒인 原鐵 보-키사이트는 없으나 아루미나 含有物로서 無煙炭의 明礬石 碧土 頁岩 霞石等이 賦存되어 있음으로 我國經

金屬이 世界를席捲할것이 期待된다 明礬石의 鑛區數는 35 鑛區 全南 慶南海岸地帶에 無盡藏으로 分布되어있고 礬土 頁岩은 平壤無煙炭과 瓦層을이르면서 分布되고 霞石은 江原道에 無盡藏으로 分布되어있다

다. 其他鑛物

(가) 雲母一鑛區數는 264鑛區이고 北朝鮮一帶에 分布되어 있다 絕緣 耐熱 保溫用 硝子代用 其他軍需資材로서 用途가闊다 1944年의 422鑛이 最高生産高이었다 世界10位以內이다

(나) 螢石一鑛區數는 230鑛區이고 北朝鮮一帶에 廣汎히 分布되어있다 製鋼 유리 세멘트等 無機物溶解媒溶材로서 重要한効能이있다 螢石은 世界第10位以內이다

(다) 高嶺土一鑛區數224鑛區 全國의으로 分布되어있다 陶磁器 其他工業用 耐火原料로서 用途가廣汎하다

(라) 重石一重石은 外貨獲得에 있어서 唯一한寶貨다 鑛區數 219鑛區 江原道 忠清道 平安道 咸鏡道에 分布되어있다 生産高는 世界第四位이며 特別上重石은 其品質이 世界第一이다 其用途는 高速度鋼 其他特殊金屬合金用等外에 機械工業에는 絶對不可缺한 가장重要한 貴重品이며 그範圍는 相當히 廣汎圈이다

(마) 石棉一鑛區數는 157鑛區 主로 京畿 黃海 忠清各道에 分布되어있다 保溫 耐熱 耐火等 重要한用途를 가지고있다 世界第一의 캐나다石棉에 比하면 靑色이 있으나 國內消費에는 支障이 없고 充分하다

(바) 重晶石一鑛區數는 38鑛區 我國은 世界的生産國이다 江原道の 昌道鎭山은 世界的鑛床이며 其用途는 고무-리노륨-口 塗料製造材料로서 重要性이 漸次擴大되어있다 重晶石의 產出은 朝鮮이 世界第7位이었다

(사) 燐灰石一鑛區數는 5鑛區인데 端川 城津 吉州地方에 多量으로 賦存되어있으며 窒素肥料의 原料로 利用되고있다 우리는 1937年 礦物性輸入肥料 26萬噸中 14萬5千噸이 過燐酸石灰라는 事實을想起할때 더욱 그開發의 必要性이 痛感된다

(아) 硫化鐵一鑛區數는 42鑛區이다 端川鎭床이 有名하며 硫酸及 硫安肥料의 原料이며 化學的利用價値가 매우크다

(자) 石灰石一세멘트의原料이다 無煙炭層과같이 賦存되어있어 石灰及 石灰石의 併存이라는 立地條件下에 세멘트工業은 炭礦에隣接하여있다

(차) 其他一銅, 錳, 망강, 鉛, 亞鉛, 水銀, 안치모니-蒼鉛等의 金屬原料鑛物과 合稱有元素鑛物로서 바나듐-口 釐라탈 배류-口 료류-口等 埋藏僅少이나 鑛精鍊 其他物理應用化學의 進歩發達에 따라 今後其用途는 原子方面 眞空管 電極 醫療用等 意外의方面에 擴大利用될것으로 觀測된다

(3) 埋藏量調査의 急務

自己의力量을 쏟으고 眞事에 臨한다는것은 久俟의原因

年	鑛 山 災 害			重 傷 輕 傷 合 計			災 害 率
	鑛 夫 數	災 回 數	死 亡	重 傷	輕 傷	合 計	
1935	142,039	7,070	268	995	5,999	7,262	5.1%
1936	152,723	7,949	310	623	7,150	8,088	5.3%
1937	166,568	8,484	363	678	7,524	8,505	5.1%
1938	206,427	9,571	366	2,423	6,842	9,631	4.7%
1939	222,876	9,638	422	2,935	6,897	10,254	4.6%
1940	245,332	11,700	457	3,295	8,468	12,220	5.0%
1941	232,027	12,976	488	3,543	9,404	13,435	5.8%
1942	233,991	15,833	467	5,381	10,295	16,143	6.9%

이다 弱點에 歸해서는 補強策이 必要하다 強點은 그것을 充分히 活用해야만 特効가 있다 補強인이는 決然을 招來하고 活用없는 資源은 死物과 다를없다 都大體 朝鮮의 地下資源은 얼마나 있다? 이것의 推定인이는 鑛業政策은 確固性을 喪失하게되며 強力한 政策推進에 一大支障이된다 따라서 對外政策遂行에 自衛이없어진다면 우리는 餘剩資源을 國外에輸出하는 同時에 缺乏資源을 國外로부터 獲得하는것이 國民經濟發展에 貢獻이크다는點을 恒常 잊어서는안될것이다 高度經濟發展에는 積極的 鑛物資源開發과 同時에 缺乏資源의 國外流出을 防止하지 않으면 안된다 日下 輸入對價物資로서 貴重한 重石이 輸出되고있지만 我國金屬工業이 高度로發達될 때에는 오히려 國外로부터 輸入對價로 重石을 逆輸入하지 않으면 아니된地境에 逢着할것이다 1910年에서 1945年까지 我國地下資源의 總產出量은 鑛務局統計에依하면 다음과같다 即 金銀 水銀 鎳母等 5,116萬 鐵 石炭 黑鉛等 1億173萬 3千噸이다 金은 389萬 砂金은 43萬 銀은 978萬 金銀鐵은 250萬 6千300斤 鎳母는 3,433萬 안치모니 266萬 水銀 6萬300키로가 各各產出되었다 金은 每年平均11萬 116斤 銀은 每年平均27萬942斤이었다 鐵鐵은 2,175萬4千噸이 採掘되었다 製鐵은 158萬噸 每年平均製鐵能力 21萬6千570噸이었다 硫化鐵은 187萬5千噸 雜砂는 206萬6千噸이 採掘되었다 黑鉛은 鑛狀51萬4千噸 土狀77萬1千噸 合計128萬5千噸 每年平均 3萬6千7百噸이 採掘되었다 金 鐵 黑鉛以外的 四大鑛物의 하나인 石炭은 無煙炭31,231千噸 有煙炭29,367千噸 合計約6,600萬噸이 採掘되었다 現在까지 認知된 地下資源의數量은 大體로 石炭及鐵鐵의 一部이고 其他 모-口 埋藏量에 關해서는 아직 未知數이다 우리는 이것을緊急히 地下資源의 一齊調査를 如何한犧牲과 經費가所要되더라도 斷行할必要가 있다고 生覺하는바이다 正確한健康診斷書는 營養 養生 活動의 程度範圍를 支配或은 制約하는 人生活動의 案內圖가 된다 別記鑛種別生産額은 35年間의 時勢로約48億7千3百萬圓에 達하나 其中 日本이掠奪한것이 約20億2千1百萬圓 約41.5%에該當하다 但 正金249萬의掠奪은 包含치않은 計算이다 產金總量 389萬中 勿驚 64%가 日本에擧出되었다

主要鑛產物生産量

	朝鮮生産量	世界에 있어서의 朝鮮의 地位
金	31,173斤	1939年~第7位
鐵	344千噸	1944年~一
重 石	8,333斤	1944年~第10位
水 鉛	107,176斤	1944年~第5位
重 晶 石	18,103斤	1939年~第7位
螢 石	75,227斤	1944年~第10位
鎳 母	422斤	1944年~第10位
黑 鉛	760,000斤	1944年~第1位
石 炭	7,094千噸	1944年~一

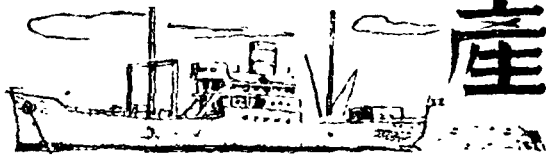
我國礦種別生產量及價格一覽表  
(自1910年~至1946年)

	單位	數量	金額
金	兩	389,189	872,320,353圓
砂	金	43,475	98,439,043
金	銀 兩	2,505,794	65,211,150
銀	兩	977,853	45,827,963
汰	兩	73,302	19,400,234
金銀銅鉛亞鉛鐵	兩	23,820	1,214,877
銅	兩	56,723	971,894
銅	兩	117,317	104,255,563
鉛	兩	4,415	312,313
鉛	兩	131,278	56,455,104
亞 鉛	兩	159,095	6,777,006
亞 鉛	兩	246,587	349,338,955
鐵	兩	21,754,421	171,228,778
砂	兩	120	3,152
銻	兩	5,756,838	360,909,279
鋼	兩	1,826,672	1,355,611,692
銅 重石	兩	13,527	184,543,328
銅 모리부명	兩	665	13,436,636
銅 모크모-부	兩	982	1,073,542
銅 모滿 俵	兩	4,695	5,193,648
銅 모지모-부	兩	4,448	2,028,651
再 探金鐵	兩	5	34,344
지 모滿 俵	兩	18	82,817
吳 兩	兩	297,675	39,390,102
硫 化 鐵	兩	1,814,507	72,119,400
亞 兩	兩	500	8,750
滿 俵	兩	73,198	883,549
重 石	兩	43,887	225,730,692
水 鉛	兩	3,519	25,105,204
安 寶 母 尼	兩	266,070	107,720
砒 兩	兩	153	10,800
亞 砒	兩	3,431	642,222
亞 兩	兩	59,585	303,509
亞 兩	兩	7,076	—
水 銀	兩	7	14
水 銀	兩	6,320	34,697
磷 狀	兩	96,018	1,615,576
磷 狀	兩	514,053	24,409,674
土 狀	兩	771,089	18,735,300
有 煙 炭	兩	29,367,156	300,217,248
無 煙 炭	兩	31,231,325	294,819,119
炭 母 兩	兩	3,432,955	3,255,410
石 兩	兩	22,211	113,809,694
高 嶺 土	兩	408,747	3,886,872
礦 石	兩	288,611	2,000,196
明 礬 石	兩	723,783	4,516,437
瓦 礫 石	兩	156,964	4,972,236
螢 石	兩	388,853	20,169,911
亞 兩	兩	702,241	7,772,444

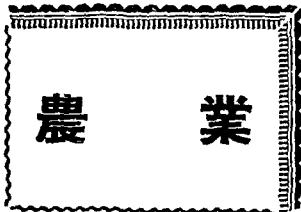
硃 土	兩	1,256	101,725
硃 砂	兩	2,065,951	6,351,614
亞 石	兩	4,300	13,800
綠 柱 石	兩	5,264	2,960,634
亞 石	兩	259	2,359,269
亞 石	兩	43	321,595
瓦 礫 砂	兩	831	1,842,046
瓦 礫 砂	兩	31	5,594
瓦 礫 砂	兩	26	31,194
合 計			4,893,177,009

年度別礦產物總額及對日輸出額調查表  
(自1910年~至1945年)

年 度	礦產物總額 (圓)	對日輸出額 (圓)	同現時價換算價值 (圓)
1910年	6,065,744	721,833	437,430,798
1911	6,184,762	3,744,178	2,268,971,868
1912	6,579,885	615,074	372,734,844
1913	7,893,573	1,048,588	635,444,328
1914	8,519,460	1,489,229	902,472,774
1915	10,271,543	1,662,013	1,007,179,878
1916	14,165,779	6,231,177	3,776,093,262
1917	17,052,240	9,642,137	5,804,566,474
1918	30,829,483	26,475,984	15,938,542,368
1919	25,605,414	19,524,686	11,753,860,972
1920	24,124,832	16,265,976	9,792,117,552
1921	15,547,075	79,949,914	48,129,848,228
1922	59,532,991	11,184,630	6,733,147,260
1923	17,125,108	10,103,069	6,082,047,538
1924	19,014,074	9,916,023	5,969,445,846
1925	23,543,222	9,909,350	5,955,519,350
1926	24,368,737	12,491,011	7,294,750,424
1927	24,097,594	14,197,229	8,418,956,797
1928	25,820,944	17,083,341	9,840,004,416
1929	26,483,366	19,225,120	11,112,119,360
1930	24,675,463	15,605,033	9,378,624,833
1931	19,320,694	12,931,788	7,733,209,224
1932	31,667,839	17,553,209	7,091,495,628
1933	45,709,534	23,495,203	7,917,882,400
1934	64,649,049	38,741,206	10,886,278,886
1935	84,142,046	63,008,713	16,445,274,093
1936	103,099,083	92,403,077	21,714,721,920
1937	141,973,488	106,011,879	23,216,601,501
1938	190,148,044	152,700,829	32,067,144,090
1939	230,374,919	277,708,574	57,763,383,392
1940	319,657,754	3,845,301	64,157,662,608
1941	369,141,380	71,401,550	14,851,552,400
1942	445,442,796	242,648,878	53,470,966,824
1943	1,104,432,656	310,836,080	64,653,946,640
1944	1,102,324,444	16,037,237	3,335,745,286
1945	317,187,054	—	—
合計	4,893,180,069	2,021,014,116	553,909,701,872



# 產業貿易



## 目 次

1. 朝鮮農業의 環境과 諸條件	(2) 麥	類
(1) 自然環境	(3) 雜	穀
(2) 社會的條件	(4) 特用作物	
2. 營養形態의 零細化傾向	(5) 蔬	菜
(1) 農家戶數의 變遷	(6) 果	實
(2) 農家耕地面積의 變遷	5. 肥料問題	
3. 土地改良事業의 現狀	6. 特殊問題	
4. 農作物의 構成	(1) 解放後의 農地價格動向	
(1) 米	(2) 食糧增產問題	
穀	(3) 解放後農村實	

### 1. 朝鮮農業의 環境과 諸條件

#### (1) 自然環境

朝鮮은 氣溫上北溫帶에屬하여 春季雨量過多와 冬季低溫으로말미암아 營養上多少不利한條件에놓여있으나 大體로 稻作期의 豐富한雨量과 成熟期의 充分한日照로 東洋民族의 主食糧인 米穀生産의 好適地라고할수있을것이다

또地理的條件에서볼때 東北部에偏在한 香乘山脈에서 發源한 河川이 蜿蜒한長距離의 西南部低濕地帶으로흘러가 肥沃한 平野를形成하여 主要한米穀生産耕地(畜)를發達시키고있다 地質上으로볼때는 主로花崗岩과花崗片岩을母岩으로한 田作에適한土壤이 廣範圍分布되어 있어 一般農作에比較的好條件을惠하고있다

이 위에 國土의 位置가 東經 127度—128度의 雙軸에保障되어 北은北緯 43度의 寒帶接近地에서 南은同 33度7分의 暖帶에互하여있음으로 廣範圍種類의 農作物이 그適地를찾을수 있는데 農業의 立地條件이 有利하게展開되어있음으로 朝鮮農業의 過去는勿論이거니와 將來에 있어서도 主要産業領域의 大宗의 役割을할것이 豫測되는바이다

여기鐵工業을인도하여戰時産業이 比較的活潑히發展되고 農業人口의 他業轉換이比較的好測은 1942年의 農業人口의 占하는比重 即 總人口 65.2%를보아서도 이를알수있을것이다

(第 1 表) 職業別人口表 (1942年調査)

職業	人 口	總人口에對한比率
農 業	17,447,636	66.2%
水 産 業	514,180	2.0%
鑛 業	564,434	2.1%
工 業	1,327,051	5.0%
商 業	1,912,134	7.3%
交 通 業	405,150	1.5%
公務自由業	1,306,388	4.9%
其 他	2,312,252	8.8%
無 職	572,176	2.2%
合 計	26,361,401	100.0%

#### (2) 社會的條件

朝鮮農業은 數上한自然條件의 有利한環境에놓여있음에도

不拘하고 社會的諸條件이 農業發展을極度로制約하여 文明한今日에 있어서도 中世紀의半封建的遺習과 原始的農耕法에식고잡혀있다 即 李朝末期에는 權門豪族들이 農耕地의 大部分을所有하였기때문에 農民의大部分은 封建的인農奴形態를 오랫동안維持하여왔던것이다 이러한 不遇한環境에서 日帝治下에轉陷되자 日本本土의食糧供給을爲主한植民地收奪의 農業政策이 強行되고 그위에急輸入된 資本主義的搾取制度가 急角度로發展되어 朝鮮農業은 零細化一路로沒落하여 맥을지지 못하고 虛衰해지고말았다

日政下에서는 食糧大量收奪과 土地投下資本의 回收을 主眼으로한 多少의科學的施策이 없지는않았다 即農作物品種의 選擇 栽培方式의 改善 土地改良事業(灌溉排水, 開墾耕地整理, 地質變換等)의 推進, 多角的인營農法에依한 土地利用의 積極化, 肥料의 增產等이 곧 그것이다

그러나 土地飢饉에빠진 零細小作農民이 손바닥만한農耕地에 濃集하여 過剩人口를現出하고있었으니 어떠한增產施策도 農民의經濟的地位를向上시키고 封建的農奴的地位를 解放救出할道理가없었던것이다 結局朝鮮農業은 地主와 零細小作農群으로 階級分化의 深渠를과고달랐던것이다 이 위에 高率地代의 重壓과 營農運費의 高利貸負債에呻吟하는 農民의 營農方法은 生産手段의 原始的의 後退性에서 低徊하고있었으니 朝鮮農業의發展은 이러한 社會的重壓下에서는 거진無望하였던것이다

이러한 모든事情으로말미암아 日帝下三十六年間 地主의 土地所有의 集中化와 아울러 一般農家의 土地所有에서의 分離와 經營規模의 縮減의 零細化의 傾向이 促進되어온것이다 下表에서 보는바와같이 少數의地主들이 所有한農耕地는 全面積의 57.3%를 차지하는데 그反面自作農民 自作農小作農들이 所有한것은 겨우 42.2%에 不過하였다

한편으로經營規模에 있어서도 겨우 1町步도 못되는 零細經營農家가 全農家戶數의 實로 72.1%를 차지하는慘狀이었다

(第 2 表) 土地所有形態表 (1940年調査)

畜田	地主所有地 (即小作地)		自作農所有地		總面積	
	千町	%	千町	%	千町	%
畜	1,197	67.7	572	32.3	1,769	100
田	1,409	51.4	1,331	48.6	2,740	100
計	2,606	57.8	1,903	42.2	4,509	100

(第3表) 農業經營形態表 (1940年調査)

戶數	一町步未滿	一町步以上	五町步以上	十町步以上	計
	72.1%	23.8%	2.8%	1.3%	100.0%
面積	10.4%	40.0%	23.2%	26.4%	100.0%

朝鮮農業의半封建性 過小農의性質은 非單土地所有關係에서 단 見수 있는 것이 아니라 世界에서 同類例를 보기도 큰 高率 小作制度에서 더욱如實히 나타내고 있다

※아인런드	1.80	1881~1920平均
獨逸	1.92	1913
澳地利	2.46	1910
佛蘭西	1.20	1910
美國	1.00~1.50	1910
日本	收穫高의 30%	
朝鮮	// 50%	

註 調査年當時의 圓價로換算한 것

(第4表)

英國 스콧트랜드	反當小作料	調査年次
	2.50	1910
2.00	1910~1920平均	

이러한朝鮮農村의沈滯性은 無產勞動者를大量收容하였던 國內에서 生活를일지못한 그들은 海外勞動市場을 찾아 移住하는수밖에 別途없었으니 農村農民의 沒落과함께朝鮮 農業은 限設이落後되고 말았든 것이다

(第5表)

年次	地 主		營 農 別				
	甲	乙	自 作	自作兼小作	小 作	純火田民	被 雇 者
	戶	戶	戶	戶	戶	戶	戶
1914	46,754		569,517	911,261	1,062,705	—	—
1919	16,274	74,112	525,830	1,045,606	1,003,003	—	—
1924	18,663	83,520	525,639	934,208	1,142,192	—	—
1929	21,326	83,170	507,324	885,594	1,283,471	34,332	—
1934	—	—	542,637	721,661	1,564,294	81,287	103,225
1935	—	—	547,929	738,876	1,591,441	76,472	111,771
1936	—	—	546,337	737,849	1,583,622	74,727	116,968
1937	—	—	549,535	737,782	1,581,423	72,919	117,041
1938	—	—	552,430	729,320	1,583,435	71,187	116,020
1939	—	—	539,629	719,232	1,583,358	69,230	111,634
1940	—	—	550,877	711,370	1,616,703	65,990	101,606
1941	—	—	548,274	723,345	1,647,388	59,339	92,654
1942	—	—	529,717	729,431	1,641,702	56,818	95,778
1943	—	—	536,098	845,724	1,481,357	52,445	130,377
1944	—	—	276,733	691,949	980,752	—	42,618
1945	—	—	284,509	716,080	1,009,604	—	55,284
1946	—	—	337,271	810,181	923,636	—	66,150

註 1944年度以後統計는南朝鮮에限한

(第6表) 營農種別農家戶數道別表 (1943年末)

道	自作	自作兼小作	小作兼自作	小 作	其 他
	戶	戶	戶	戶	戶
京 畿	17,209	28,063	36,177	169,489	3,327
忠 北	15,857	20,605	24,993	73,942	1,878
忠 南	19,767	32,513	39,845	140,099	4,950
全 北	1,415	24,900	59,850	162,579	8,894
全 南	77,822	68,431	69,587	194,433	7,635
慶 北	67,616	64,097	64,502	133,303	1,396
慶 南	48,422	58,883	61,593	198,414	6,350
黃 海	40,513	30,204	31,183	148,030	941
平 南	42,800	30,305	27,629	76,504	1,424
平 北	47,416	26,185	24,957	97,280	625
江 原	51,479	46,293	40,436	103,995	2,772
咸 南	53,494	33,612	27,524	108,035	3,612
咸 北	36,288	16,323	10,625	12,828	327
總 數	536,098	485,414	499,001	1,481,357	44,131

## 2. 營農形態의 零細化傾向

### (1) 農家戶數의 變遷 — 解放前과 解放後 —

韓日合併後 即日帝의侵略을받은지4年後인 1914年에서 所謂大東亞戰爭이벌어지던 1941年까지의 小作農家의 趨勢를 보면 小作農이해마다늘어간것은 (第5表)에서 見수 있는 것이니 即 1914年 小作農家는 全農家戶數의 41%에不過하든 것이 1941년에는 實로 54%로激增하였다

이와反對로 自作農은 1914년에 22%이든 것이 1941년에는 18%로 自作兼小作農 35%이든 것이 24%로 轉落하였으니 朝鮮民族의 大部分을 차지한 農家의 轉落, 零細化傾向은 淸朝鮮民族의 零細化를 端의으로表示하는 것이다

小作農에 있어 1942年을 總頂으로 하여 終戰前後의 若干의 減少는 戰爭末期에 軍需工業의 勞務擴充及 強制徵用으로 인한 零細小作農民의 勞動轉換이 明確히示顯되는 것이니 第5表에 나타나는 것과 같이 自作農及 自作兼小作農의 中壓農



家戶數가 少코는지아니한것으로보아서 알수있는일이다

특히 여기서 注目되는것은 解放後 南朝鮮에서 小作農家가 減少의傾向을보이고 自作農及 自作兼小作農家戶數가 多少 上昇하는現象을보이는것은 北朝鮮土地改革으로인하여 南朝鮮地主가 不安을느끼고 또 不在地主들이 그小作人에게 放賣한事實의탓이라고 볼수있는것이다 (第5表參照)

다시 解放後 南朝鮮의 農家經營形態를 考察하건대 自作兼小作農 716千戶中 그半數以上을 占하는 378千戶의 農家는 自己所有土地가 그耕作面積의 50%를滿족가진 小作農 主로한 農民들이다 따라서 이것은 名目上의 自作兼小作農에 不過한것이다 이部類의것이 全農家의 18%이요 自己耕作의50%以上을 所有하는 自作兼小作農家는 全農家의16%※

※에不過하다 小作農하지않는 完全한自作農 即自己土地만을耕作하는 自營農家는 約14%를 차지하는 284千戶인데 그內容을 다시分析해보면 平均 1町1段步以上을 自耕하는 農家는不過 95千戶程度 即 全自作農家의 33.3% 에不過하고 殘餘66.7% 인191千戶餘는 1町步以下の 耕地面積을 가지고 있다 따라서 南朝鮮總農家 2,060千戶中 大部分은 1町步以下の耕作을하고 自作農中 98千戶 即284千戶의 34% 는 5段步以下の土地를 經營하고있는 最下位의 零細農家이다 南朝鮮總農家戶數를通하여 充分히自己耕地를가지고 經營하고있는 農家即土地所有狀態에있어서 滿足할만한 狀態에있는것은 總農家의3.2% 에不過한것이다

戶數	表			分 比			
	地 主	自 作	自作兼小作	小 作	純火田民	較 備 者	合 計
合 計							
2,590,237	18	220	352	410	—	—	1,000
2,664,825	34	197	393	376	—	—	1,000
2,704,272	38	195	345	422	—	—	1,000
2,815,277	37	180	315	456	12	—	1,000
3,013,104	—	180	240	519	27	34	1,000
3,066,489	—	179	241	519	25	30	1,000
3,059,503	—	179	241	518	24	38	1,000
3,058,755	—	180	241	517	24	38	1,000
3,052,392	—	181	239	519	23	38	1,000
3,023,133	—	178	238	524	23	37	1 000
3,046,546	—	181	233	531	22	33	1 000
3,071,000	—	179	236	536	19	30	1 000
3,053,446	—	173	239	538	19	31	1 000
3,046,001	—	176	278	486	17	43	1 000
1,992,052	—	139	347	492		22	1 000
2,065,477	—	138	346	489		27	1 000
2,137,288	—	158	379	432		31	1 000

上述한것을 總括要約하여再言하면

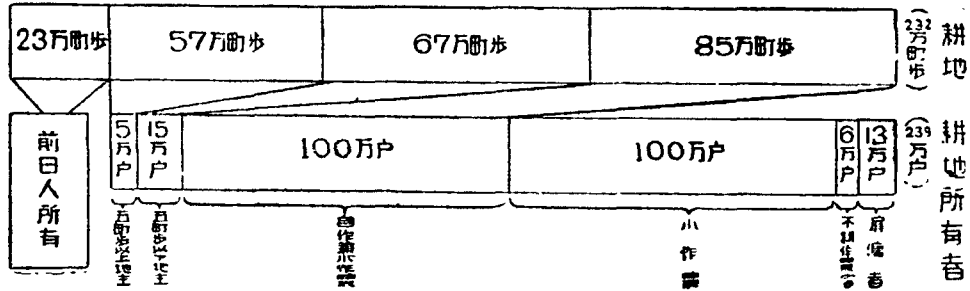
- (가) 全農家의 52%인 106萬戶는 全然土地를 所有하지못하고있는것
  - (나) 全農家의 16%인 34萬餘戶는 自己耕作의 過半以上을 小作하는 純小作農에類似한 零細性을가진것
  - (다) 全農家의 16% 34萬餘戶는 自己耕地의過半以上을 直接所有하고있으나 그耕作能力에비하여 自己의所有土地가 不足함으로인하여 小作하는農家인것
  - (라) 全農家의 13% 28萬戶는 完全히 自己所有土地를가지고 耕作하는 農家이나 南朝鮮平均面積인 1町以下밖에 所有하지못하는 零細農家인것
  - (로) 따라서 南朝鮮農家의 約 70%가 土地를 全然가지지 않았거나 또는 이와近似한狀態에있으며 또 外의農家에있어서도 그耕作能力에비하여 充分한土地를 所有하고있지못하다
- 賴屬土地所有狀態에있어서 滿足한條件을 가지고있는農家※

※家는 38°以南 2,066千戶의營農家中 그 3.2% 의僅少한 65千戶의農家에 不過하고 1,995千戶의農家는 全然耕作土地를所有하지못하는現狀이니 이점을 表示하면다음과 같다

(第7表) 南朝鮮土地所有狀況總括表 (1945年 單位萬町)

		計	畜地	田地
地 主 的 土 地 所 有	1. 總 耕 地	232	128	104
	2. 小 作 地	147	89	58
	(가) 前日人所有	23	18	5
	(나) 朝鮮人地主所有	124	71	53
	(a) (5町步以上所有) 地主 5萬戶	57	43	14
	(b) (5町步以下所有) 地主 15萬戶	67	28	39
	3. 自 作 地	85	39	46

農土有民地의所 (100萬의農民)



上表와 같은 耕作規模(土地所有狀態)가 營農에 미치는 影響은 如何한가

- (1) 南朝鮮營農家の 1 割이나 되는 土地不耕作農家 6萬戶와 雇傭者 13萬戶가 耕地에서 全然排除되고있다
- (2) 南朝鮮營農家の 32.8%는 그耕地規模가 5反以下の 零細農家이다
- (3) 南朝鮮營農家の 62.5%는 1町步以下の 零細農家이다
- (4) 이러한 南朝鮮營農家の 7 割假令이 平均耕地面積以下の 零細한 耕地面積과 함께 가지지 못하는 理由는 直接的으로나 間接的으로나 土地所有關係에 基因하는 것이다 即 舊來의 封建的인 王帝國主義的인 土地所有及 高率搾取의 諸關係가 農家經濟를 더욱더 貧窮化하는 同時에 그들의 農業經營을 維持할 수 없이 慘酷한 過少農制로 돌아 넘어 온 것이다

(1) 營農種別, 土地廣狹別農家戶數

(第 8 表) 1942年 調査에 依한 것으 보면 小作農 237萬戶中

3段未滿農家	42萬戶
3段—5段의 農家	58萬戶
5段—1町農家	60萬戶
1町以上은 겨우	77萬戶

그런데 1938年의 調査을 보면 小作農 231萬 2千戶中

3段未滿의 農家	416千戶
3段—5段 //	618千戶
5段—1町 //	713千戶
1町以上의 農家	565千戶

로서 別般 差異가 없었는에 照放된 1945年 末 調査을 보면 南朝鮮의 小作農 173萬戶中

3段未滿農家是	36萬戶
3段—5段 //	82萬戶
5段—1町 //	34萬戶
1町以上 //	21萬戶

로서 特別 南朝鮮의 農村에서는 過少農制가 일어나 支配의 인가를 알 수가 있다 이點에 對해서는 特殊問題에서 다시論及 할 터임으로 여기서는 이만 해둔다

(2) 地主及被傭者

小作人과 地主의 百分比를 보면

(第 9 表) 地主及小作人百分率

小作人	1913年	總農家戶數의	35%
//	1935 //	//	51%
//	1941 //	//	54%
地主	1914 //	//	2%
//	1929 //	//	4%

地主의 戶數는 50,000戶에서 95,000戶로 上昇하였다 1943年 末 地主의 總戶數는 187,173戶로서 總農家戶數의 6% 純小作農의 總戶數는 1,481,357戶로서 總戶數의 49%를 占하는데 地主는 1929年 보다 增加하고 小作은 1941年 보다도 增加하고 있다 耕地面積 廣狹別 農家戶數表는 다음과 같다

- (A) 1938年度 調査 土地廣狹別 農家戶數表
- (B) 1942年度 調査 面積別, 民族別, 土地廣狹別 調査
- (C) 1942年度 道別, 面積別, 朝鮮人 土地所有關係
- (D) 1945年度 道別, 營農種別, 土地廣狹別 表

(第 10 表) 1938年度 耕作面積別 農家戶數表

	自作	自作兼小	小兼自作	小作	合計
3段未滿	71,686	48,164	67,566	300,893	488,309
3段—5段	91,667	74,106	94,342	353,264	613,379
5段—1町	114,398	92,893	115,968	390,005	713,264
1町—2町	114,933	82,819	96,130	271,735	565,617
2町—3町	86,879	47,479	46,812	131,613	312,789
3町—5町	47,177	20,004	18,274	50,653	136,108
5町—9町	14,190	4,518	4,194	11,098	34,000
10町—20町	2,172	521	536	2,112	5,341
20町以上	343	44	25	45	457
合計	543,445	370,548	443,847	1,511,424	2,869,264

(第 11 表) 1942年度 民族別 土地所有 形態表

	朝鮮人	日本人	外國人	合計
1段未滿	759,858	27,194	457	787,509
1段以上	2,082,658	45,232	347	2,128,237
1町以上	940,131	31,488	179	971,798
5町以上	108,971	6,869	20	115,860
10町以上	44,619	6,408	22	51,049
50町以上	1,628	733	2	2,363
100町以上	307	254	2	563
150町以上	122	148	—	270
200町以上	116	184	—	300
合計	3,938,410	118,510	1,029	4,057,949

(第 12 表) 1942年度 道別 朝鮮人 土地所有 形態表

	5町以上未滿	10町以上未滿	50町以上未滿	100町以上未滿	200町以上	合計
京畿	8,208	5,710	317	85	13	14,333
忠北	3,345	1,787	66	7	2	5,207
忠南	4,451	2,661	116	30	2	7,260
全北	3,923	2,809	143	30	4	6,909

南	9,120	4,271	117	48	13	13,569	※咸	南	13,635	3,327	53	6	4	17,025
北	8,685	2,916	98	19	2	11,720	咸	北	7,356	953	8	3	—	8,320
南	3,974	2,110	74	15	4	6,177	合	計	108,982	45,024	1,630	429	116	156,181
海	14,654	6,472	267	76	44	20,913	町	計	728,869	846,101	112,705	69,741	93,841	1,851,257
南	10,928	4,489	139	30	24	15,610	註							
北	13,778	4,860	112	18	—	18,768								
原	7,525	2,659	120	62	4	10,370※								

註 「人員數」는 地稅納稅者  
「面積計」는 100町步未滿의것으로 全部推算한것  
100町以上の것은 朝鮮總督府農林局農政課1938年  
度發表에依함

(第13表)

自小作營農別・耕地面積別及道別農家戶數表 (1945年末)

		10町以上	5町~9町	3町~4町	2町~2.9町	1町~1.9町	0.5町~0.9町	0.5町未滿	土地不耕作農家	合計
京 畿	自作	7	200	1,457	3,296	6,013	6,289	4,288	—	—
	自小	—	301	2,029	5,162	9,306	9,338	6,002	—	—
	小小	1	374	2,380	6,410	12,701	11,415	7,730	—	—
	小小	13	976	6,790	24,841	54,830	53,282	39,587	—	—
	合計	21	1,851	12,656	39,709	82,860	80,324	57,607	5,321	280,349
忠 北	自作	3	44	342	1,465	3,482	5,858	5,467	—	—
	自小	1	80	414	1,850	5,205	7,877	6,921	—	—
	小小	—	101	471	1,768	5,403	8,818	9,635	—	—
	小小	—	17	1,068	2,805	12,518	25,617	24,523	—	—
	合計	4	242	2,295	7,888	26,608	48,170	46,546	3,471	135,224
忠 南	自作	9	41	449	1,418	4,420	5,784	6,817	—	—
	自小	5	127	901	2,963	8,276	10,339	9,512	—	—
	小小	7	79	728	3,123	10,291	13,621	13,505	—	—
	小小	16	116	1,101	6,434	25,650	47,321	3,821	—	—
	合計	37	363	3,179	13,993	48,637	77,065	83,655	4,369	231,303
全 北	自作	9	120	727	1,233	2,937	3,623	3,583	—	—
	自小	29	177	937	2,393	5,099	7,821	8,260	—	—
	小小	27	165	1,002	3,388	8,285	11,558	12,475	—	—
	小小	6	203	2,104	12,220	25,512	52,135	62,656	—	—
	合計	71	665	4,770	19,239	41,833	75,137	86,974	12,789	241,478
南 南	自作	16	278	1,682	5,177	15,984	25,461	32,997	—	—
	自小	2	247	1,629	5,648	16,642	22,307	24,795	—	—
	小小	—	178	1,152	4,732	14,986	24,694	26,266	—	—
	小小	—	573	2,094	7,555	31,892	58,649	71,881	—	—
	合計	18	1,276	6,557	23,112	79,504	131,111	155,939	15,257	412,774
慶 北	自作	8	123	1,158	4,955	17,019	19,907	19,525	—	—
	自小	2	117	1,344	6,235	24,298	25,178	17,611	—	—
	小小	2	84	1,331	5,677	24,295	26,656	18,580	—	—
	小小	—	40	900	5,312	28,051	45,707	40,714	—	—
	合計	12	364	4,733	22,179	93,663	117,448	96,430	7,889	342,718
慶 南	自作	0	64	528	2,096	6,612	15,622	19,128	—	—
	自小	4	17	934	3,624	11,450	20,773	20,713	—	—
	小小	5	90	657	2,964	12,207	20,406	22,406	—	—
	小小	6	201	1,746	7,681	24,657	43,141	53,211	—	—
	合計	35	472	3,865	6,365	54,926	101,930	115,458	6,633	299,734
江 原	自作	13	66	888	3,403	7,612	9,999	7,107	—	—
	自小	6	22	465	2,659	7,147	8,020	6,509	—	—
	小小	3	18	477	2,521	6,234	7,562	5,994	—	—
	小小	22	60	1,546	3,498	10,419	14,370	14,586	—	—
	合計	44	166	3,376	12,081	31,412	39,951	34,196	671	121,897
總 計	自作	75	936	7,231	23,048	64,079	92,543	98,912	—	—
	自小	49	1,188	8,653	30,534	87,433	111,653	100,323	—	—
	小小	45	1,089	8,198	30,583	94,402	126,768	116,591	—	—
	小小	73	2,186	17,349	70,406	213,529	340,222	360,979	—	—
	合計	242	5,399	41,431	154,571	459,443	671,186	676,805	56,400	2,065,477

(第14表) 火田民耕作戶數表

	總數			火田單熟耕作戶數			火田斗熟田合併耕作戶數		
	面積(町)	戶數	人口	面積(町)	戶數	人口	面積(町)	戶數	人口
1933	426,570	269,426	1,433,919	138,035	82,277	410,010	288,535	187,149	1,023,909
1934	422,624	271,238	1,447,164	146,787	83,287	423,224	275,837	187,951	1,023,940
1935	417,855	271,127	1,469,899	141,719	76,468	400,139	276,136	194,659	1,069,760
1936	437,730	282,044	1,520,367	154,451	74,727	398,154	283,279	207,317	1,122,214
1937	437,126	276,586	1,502,007	153,598	72,919	392,507	278,528	203,667	1,109,370
1938	442,045	277,648	1,491,147	158,489	71,187	382,075	283,556	206,461	1,109,072
1939	431,756	277,999	1,450,500	153,010	69,280	368,592	278,746	208,719	1,087,908
1940	423,172	277,362	1,474,935	145,976	65,990	352,117	277,196	211,372	1,122,818
1941	399,014	269,862	1,445,154	134,941	59,339	320,191	264,073	210,523	1,124,963
1942	374,247	251,989	1,372,816	128,616	56,818	305,729	245,631	195,171	1,057,087
1943	372,518	247,956	1,314,344	124,414	52,445	285,180	248,104	195,511	1,029,164

(第15表) 火田民耕地面積戶數及人口道別調查表 (1943年度)

	總數			火田單熟耕作戶數			火田斗熟田合併耕作戶數		
	面積(町)	戶數	人口	面積(町)	戶數	人口	面積(町)	戶數	人口
京畿	4,667	6,392	27,513	487	466	1,949	4,180	5,926	25,564
忠北	1,451	2,966	13,913	348	690	3,443	1,103	2,276	10,470
忠南	8	291	1,409	1	46	225	7	245	1,184
全北	750	2,464	11,850	105	279	1,227	645	2,185	10,623
全南	385	390	1,487	120	43	178	265	347	1,309
慶北	2,002	5,242	23,832	820	1,567	7,840	1,182	3,675	15,992
慶南	—	—	—	—	—	—	—	—	—
黃海	21,633	26,205	98,903	4,686	3,415	16,644	16,947	22,790	82,259
平南	37,830	17,672	96,908	6,860	2,649	13,003	30,970	15,023	83,905
平北	107,441	48,601	254,658	38,019	10,252	55,084	69,422	38,349	199,574
江原	63,706	67,502	361,443	23,255	14,931	77,542	40,451	52,571	283,901
咸南	118,591	55,742	342,456	46,759	15,879	96,747	71,832	39,863	245,709
咸北	14,054	14,489	79,972	2,954	2,228	11,298	11,100	12,261	68,674
總數	372,518	247,956	1,314,344	124,414	52,445	285,180	248,104	195,511	1,029,164

(第16表) 地主及被傭者戶數道別調查表 (1943年度)

	地主		被傭者		※慶南		4,528		13,906	
	戶數	人口	戶數	人口	黃海	平南	12,818	7,891	2,994	2,520
京畿	7,202	3,741	3,741	8,638	平南	8,321	2,994	2,520	8,699	7,798
忠北	5,425	8,638	8,638	25,873	咸南	5,374	7,798	7,798	6,825	6,825
忠南	4,577	9,452	9,452	7,201※	咸北	7,662	6,825	6,825	93,596	130,377
全北	3,093	25,873	25,873		總數	93,596	130,377	130,377		
全南	6,157	24,839	24,839							
慶北	13,793	7,201※	7,201※							

(第17表) 民族別土地所有面積調查表 (1945年末現在)

		一段步	一段步	三段步	五段步	七段步	一町步	一町五段	二町步	二町五段	三町步
		未滿	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上
京畿	朝鮮人	97,732	55,794	44,468	31,890	28,418	21,846	14,415	9,480	6,554	5,454
	外國人	12,823	2,454	1,303	76	831	764	475	346	239	164
	計	110,555	58,248	45,771	32,866	29,249	22,610	14,890	9,746	6,793	5,618
忠北	朝鮮人	18,051	42,565	30,503	22,319	15,899	10,416	6,194	4,731	4,003	2,637
	外國人	522	641	489	349	294	227	228	222	124	134
	計	18,573	43,206	30,992	22,668	16,193	10,643	6,422	5,003	4,127	2,771
忠南	朝鮮人	35,733	51,094	39,273	25,064	21,878	18,063	9,967	8,793	4,828	3,704
	外國人	940	1,020	855	613	671	697	521	398	304	311
	計	36,673	52,114	40,123	25,677	22,599	18,760	10,488	9,191	5,132	4,015

全北	朝鮮人	41,567	56,001	40,241	24,492	18,654	14,609	8,229	4,816	3,231	2,948
	外國人	1,205	1,416	1,095	795	842	893	609	514	382	457
	計	42,772	57,417	41,336	25,287	19,496	15,502	8,838	5,330	3,613	3,403
全南	朝鮮人	113,133	108,415	67,965	50,151	41,589	31,132	21,683	13,696	10,147	7,114
	外國人	1,868	1,870	1,573	1,438	1,232	1,142	901	756	667	556
	計	115,004	110,285	69,533	51,589	42,841	32,274	22,584	14,452	10,814	7,670
慶北	朝鮮人	116,981	153,651	91,252	62,756	49,087	35,572	23,130	16,250	9,942	7,843
	外國人	2,355	1,999	1,764	1,373	1,041	963	725	621	404	396
	計	119,336	155,650	93,016	64,129	50,128	36,535	23,855	16,871	10,346	8,239
慶南	朝鮮人	103,249	117,121	67,870	41,535	29,762	21,698	12,338	8,041	5,515	4,345
	外國人	4,400	6,013	2,372	1,668	1,381	1,354	1,023	623	548	534
	計	107,649	123,134	70,242	43,203	31,143	23,052	13,361	8,664	6,063	4,879
江原	朝鮮人	18,232	17,264	16,342	12,897	11,288	13,635	8,400	5,830	4,423	3,675
	外國人	332	272	267	176	101	85	65	38	29	39
	計	18,564	17,536	16,609	13,073	11,389	13,720	8,465	5,868	4,452	3,714
合計	朝鮮人	544,681	601,905	397,914	271,134	216,655	166,971	104,356	71,607	48,643	37,718
	外國人	24,445	15,685	9,718	7,388	6,363	6,125	4,547	3,518	2,697	2,591
	計	569,126	617,590	407,632	278,522	223,018	173,096	108,903	75,125	51,340	40,309

(第18表)

民族別土地所有面積調査表 (續續)

		三町五段 以上	四町步 以上	五町步 以上	六町步 以上	七町步 以上	十町步 以上	十五町步 以上	二十町步 以上	二十五町 步以上	三十町步 以上
京畿	朝鮮人	4,104	3,788	3,200	2,460	2,973	2,219	1,317	858	594	440
	外國人	146	170	140	109	133	126	83	57	44	40
	計	4,250	3,958	3,340	2,569	3,106	2,345	1,400	915	638	480
忠北	朝鮮人	1,714	1,496	1,217	1,002	800	554	384	274	142	81
	外國人	113	73	58	49	51	95	17	18	16	8
	計	1,827	1,569	1,275	1,051	851	649	401	292	158	89
忠南	朝鮮人	2,718	2,113	1,774	1,780	1,375	1,007	561	347	215	160
	外國人	216	291	248	411	213	143	153	72	69	63
	計	2,934	2,404	2,022	2,191	1,588	1,150	714	419	284	223
全北	朝鮮人	2,212	1,849	1,497	1,312	1,438	1,094	704	463	383	166
	外國人	253	319	292	240	379	309	197	162	120	106
	計	2,465	2,168	1,789	1,552	1,817	1,403	901	625	503	272
全南	朝鮮人	5,912	4,221	3,268	2,868	2,427	1,853	1,311	636	413	359
	外國人	476	512	467	505	495	386	288	190	135	123
	計	6,388	4,733	3,735	3,373	2,922	2,239	1,599	826	548	482
慶北	朝鮮人	5,653	3,666	2,842	1,917	1,722	1,115	646	405	251	147
	外國人	222	286	213	190	190	161	80	83	54	42
	計	5,875	3,952	3,055	2,107	1,912	1,276	726	488	305	189
慶南	朝鮮人	3,061	2,650	1,851	1,137	1,090	682	312	214	141	103
	外國人	353	371	264	233	270	229	156	115	74	59
	計	3,414	3,021	2,115	1,370	1,360	911	468	329	215	162
江原	朝鮮人	2,859	2,311	1,570	1,072	749	563	313	176	100	79
	外國人	27	27	18	14	31	17	12	13	10	4
	計	2,886	2,338	1,588	1,086	780	580	325	189	110	83
合計	朝鮮人	28,233	22,094	17,219	13,548	12,574	9,087	5,548	3,373	2,239	1,535
	外國人	1,806	2,049	1,700	1,751	1,762	1,466	986	710	522	445
	計	30,039	24,143	18,919	15,299	14,336	10,553	6,534	4,083	2,761	1,980

(第19表)

民族別土地所有面積調査表 (續續)

		三十五町 步以上	四十町步 以上	五十町步 以上	七十町步 以上	百町步 以上	百五十町 步以上	二百町步 以上	合計	總面積	地番數
京畿	朝鮮人	271	219	162	95	35	14	16	398,736	382,249	1,712,476
	外國人	28	25	29	28	12	11	17	21,573	39,011	143,017
	計	299	244	191	123	47	25	33	360,309	421,260	1,855,493

忠北	朝鮮人	56	53	41	32	13	1	4	165,262	149,994	782,593
	外國人	6	5	9	14	4	2	2	3,770	7,111	49,076
	計	62	58	50	46	17	3	6	169,032	157,105	831,669
忠南	朝鮮人	86	84	86	37	26	4	1	230,871	169,508	1,195,474
	外國人	61	51	49	33	19	4	3	8,384	82,461	145,981
	計	147	135	135	75	45	8	4	239,255	251,969	1,341,455
全北	朝鮮人	91	91	88	54	22	6	2	226,258	239,343	1,119,211
	外國人	90	98	98	62	64	26	42	11,065	157,843	86,920
	計	181	189	186	116	86	32	44	237,323	397,186	1,206,131
全南	朝鮮人	224	481	117	81	57	24	14	488,994	365,027	2,258,866
	外國人	116	101	75	62	59	29	35	16,077	58,525	351,561
	計	340	282	192	143	116	53	49	505,071	423,552	2,610,427
慶北	朝鮮人	107	73	39	11	8	6	—	585,000	356,066	2,426,289
	外國人	37	24	24	19	8	6	—	13,280	33,027	127,022
	計	144	97	63	38	16	12	—	598,360	389,093	2,553,311
慶南	朝鮮人	70	66	56	30	14	2	5	422,958	241,172	2,050,681
	外國人	38	34	35	32	25	17	7	22,228	43,097	232,236
	計	108	100	91	62	39	19	12	445,186	284,269	2,282,917
江原	朝鮮人	26	25	35	22	13	11	1	121,891	122,089	612,013
	外國人	4	3	6	4	—	1	—	1,595	25,654	159,249
	計	30	28	41	26	13	12	1	123,486	147,743	771,262
合計	朝鮮人	931	792	624	370	188	68	43	2,580,050	2,025,448	12,157,603
	外國人	380	341	325	259	191	96	106	97,972	446,729	1,265,062
	計	1,311	1,133	949	629	379	164	149	2,678,022	2,472,177	13,422,665

註 本調査は財務部國庫局에서提示한數字임

(第20表)

民族別土地所有面積調査表 (1946年末現在)

		1 段 步		3 段 步		5 段 步		7 段 步		1 町 步		1 町 5 段 2 町 步		2 町 5 段 3 町 步	
		未 滿 人	以 上 人	以 上 人	以 上 人	以 上 人	以 上 人	以 上 人	以 上 人	以 上 人	以 上 人	以 上 人	以 上 人	以 上 人	以 上 人
京畿	朝鮮人	100,039	57,758	45,961	33,831	31,951	24,322	15,880	10,673	7,340	5,204				
	外國人	10,990	2,536	1,345	947	792	693	406	300	217	172				
	計	111,029	60,294	47,306	34,778	32,743	25,015	16,286	10,973	7,557	5,376				
忠北	朝鮮人	19,220	43,115	32,520	22,339	16,126	10,324	6,208	4,987	4,384	2,684				
	外國人	522	635	490	329	286	221	226	215	122	134				
	計	19,742	43,750	33,010	22,668	16,412	10,545	6,434	5,202	4,506	2,818				
忠南	朝鮮人	27,833	56,524	32,075	26,722	20,820	18,317	10,872	9,149	4,812	3,727				
	外國人	819	807	752	514	482	663	434	348	290	248				
	計	28,652	57,331	32,827	27,266	21,302	18,980	11,306	9,497	5,102	3,975				
全北	朝鮮人	37,286	50,193	34,960	26,253	24,809	18,362	10,559	5,125	3,639	3,593				
	外國人	1,091	1,414	1,090	795	842	893	607	526	370	457				
	計	38,377	51,607	36,050	27,048	25,651	19,255	11,166	5,651	4,009	4,050				
全南	朝鮮人	113,136	108,415	67,965	50,151	41,589	31,132	21,683	13,696	10,147	7,114				
	外國人	1,868	1,870	1,573	1,438	1,252	1,145	901	756	667	556				
	計	115,004	110,285	69,538	51,589	42,841	32,277	22,584	14,452	10,814	7,670				
慶北	朝鮮人	159,734	172,197	129,496	75,598	59,652	45,491	27,254	18,295	10,148	7,046				
	外國人	2,723	2,076	1,605	1,152	964	921	696	583	401	378				
	計	162,457	174,273	131,101	76,750	60,616	46,412	27,950	18,878	10,549	7,424				
慶南	朝鮮人	114,218	118,208	74,047	44,110	33,309	22,538	11,831	8,633	5,689	4,355				
	外國人	4,230	2,805	2,150	1,524	1,322	1,268	1,026	638	548	555				
	計	118,448	121,013	76,197	45,634	34,631	23,806	12,857	9,271	6,237	4,910				
江原	朝鮮人	18,747	25,152	20,013	14,658	12,982	13,628	9,916	6,649	4,579	2,766				
	外國人	332	272	267	176	101	85	65	38	29	39				
	計	19,079	25,424	20,280	14,834	13,083	13,713	9,981	6,687	4,608	2,805				
濟州	朝鮮人	5,978	6,015	5,147	4,938	5,902	5,128	4,118	2,941	2,059	1,631				
	外國人	38	33	16	11	8	10	3	3	5	2				
	計	6,016	6,048	5,163	4,949	5,910	5,138	4,121	2,944	2,064	1,633				

合計	朝鮮人	596,191	637,577	442,184	298,600	247,140	189,242	118,321	80,148	52,797	38,120
	外國人	22,613	12,418	9,288	6,916	6,049	5,899	4,364	3,407	2,649	2,541
	計	618,804	650,025	451,472	305,516	253,189	195,141	122,685	83,555	55,446	40,661

(第21表)

民族別土地所有面積調査表 (續前)

		3町以上	5段以上	4町以上	5町以上	6町以上	7町以上	10町以上	15町以上	20町以上	25町以上	30町以上
京畿	朝鮮人	3,671	3,547	2,917	2,320	2,617	1,954	1,130	770	570	398	
	外國人	126	155	119	92	130	132	71	71	42	39	
	計	3,797	3,702	3,036	2,412	2,747	2,086	1,201	841	612	437	
忠北	朝鮮人	1,788	1,584	1,232	1,039	822	560	363	237	133	74	
	外國人	112	67	58	49	51	95	17	18	16	8	
	計	1,900	1,651	1,290	1,088	873	655	380	255	149	82	
忠南	朝鮮人	2,507	2,151	1,789	1,338	1,307	1,033	589	354	227	230	
	外國人	203	253	194	240	184	126	127	61	67	53	
	計	2,710	2,404	1,983	2,078	1,491	1,159	716	415	294	283	
全北	朝鮮人	2,492	1,810	1,668	1,244	1,419	912	651	434	329	138	
	外國人	253	319	292	240	379	309	197	162	120	106	
	計	2,745	2,129	1,960	1,484	1,798	1,221	848	596	449	244	
全南	朝鮮人	5,912	4,221	3,268	2,868	2,427	1,853	1,361	636	413	389	
	外國人	476	512	467	505	495	386	288	190	135	123	
	計	6,388	4,733	3,735	3,373	2,922	2,239	1,649	826	548	482	
慶北	朝鮮人	5,869	3,820	2,877	2,453	1,817	1,195	781	422	191	118	
	外國人	249	228	199	165	191	147	82	51	49	33	
	計	6,118	4,048	3,076	2,618	2,008	1,342	863	473	240	151	
慶南	朝鮮人	2,636	2,526	1,782	1,046	996	665	281	205	124	101	
	外國人	349	381	272	226	278	229	148	118	77	61	
	計	2,985	2,907	2,054	1,272	1,274	894	429	323	201	162	
江原	朝鮮人	2,755	2,380	1,517	1,183	694	502	286	164	92	68	
	外國人	27	27	18	14	31	17	12	13	10	4	
	計	2,782	2,407	1,535	1,197	725	519	298	177	102	72	
濟州	朝鮮人	1,342	1,229	869	623	488	259	57	22	8	6	
	外國人	1	4	3	2	5	7	1	1	2	1	
	計	1,343	1,233	872	625	493	266	58	23	10	7	
合計	朝鮮人	28,972	23,268	17,919	14,614	12,587	8,933	5,499	3,244	2,087	1,492	
	外國人	1,796	1,946	1,622	1,533	1,744	1,448	943	685	518	428	
	計	30,768	25,214	19,541	16,147	14,331	10,381	6,442	3,929	2,605	1,920	

(第22表)

民族別土地所有面積調査表 (續前)

		35町以上	40町以上	50町以上	70町以上	100町以上	150町以上	200町以上	合計	總面積	地番數
京畿	朝鮮人	232	204	147	78	19	12	15	353,560	371,289	1,670,194
	外國人	24	25	23	26	12	7	14	19,506	46,175	197,595
	計	256	229	170	104	31	19	29	373,066	417,464	1,867,789
忠北	朝鮮人	48	39	35	26	10	1	3	169,901	143,582	780,095
	外國人	6	5	9	14	4	2	2	3,713	7,069	43,267
	計	54	44	44	40	14	3	5	173,614	150,651	823,362
忠南	朝鮮人	171	146	114	96	106	93	83	223,685	219,075	1,162,360
	外國人	59	50	46	39	18	4	3	7,114	31,513	137,603
	計	230	196	160	135	124	97	86	230,799	250,588	1,299,963
全北	朝鮮人	84	82	66	51	15	6	2	226,182	165,464	1,106,640
	外國人	90	99	98	62	64	26	42	10,943	71,092	256,776
	計	174	181	164	113	79	32	44	237,125	236,556	1,363,416
全南	朝鮮人	224	181	117	81	51	24	14	489,039	279,553	2,123,810
	外國人	116	101	75	62	59	29	35	16,080	53,525	351,561
	計	340	282	192	143	110	53	49	505,118	333,078	2,480,371

慶北	朝鮮人	74	57	38	12	4	4	2	724,645	357,951	2,538,254
	外國人	35	24	20	19	8	3	1	13,003	31,346	171,425
	計	109	81	58	31	12	7	3	737,648	389,297	2,759,679
慶南	朝鮮人	70	46	35	25	6	3	1	447,486	244,801	2,041,867
	外國人	43	29	37	30	24	14	7	18,389	38,808	221,498
	計	113	75	72	55	30	17	8	465,875	283,609	2,263,365
江原	朝鮮人	21	21	34	20	13	11	1	138,852	123,718	540,331
	外國人	4	3	6	4	—	1	—	1,595	25,654	159,249
	計	25	24	40	24	13	12	1	140,447	149,372	699,580
濟州	朝鮮人	2	2	2	3	4	—	1	48,774	85,435	284,000
	外國人	1	—	—	2	1	—	1	161	989	1,790
	計	3	2	2	5	5	—	2	48,935	86,424	285,790
合計	朝鮮人	926	778	588	392	228	154	122	2,822,123	1,990,868	12,302,551
	外國人	378	336	314	258	190	86	105	90,504	311,171	1,545,764
	計	1,304	1,114	902	650	418	240	227	2,912,627	2,302,039	13,848,315

(2) 農家耕地面積의變遷——解放前과解放後——

가. 田畝別面積

1940年調査에依하면 農耕地總面積은 火田까지合하여 朝鮮總面積의 22%인 4,934,230町步로서 그中 畜이 1,770,395町步 田이 3,163,835町步로서 田地面積이 廣大하다 다시 이것을 營農種別로 보면 自作地가 總農耕地面積의 37.6%인 1,868,300町步이고 小作地가 52%로써 2,568,900町步이다 田에 있어서의 自作이 1,305,800町步, 小作이 1,393,700町步이다 畜에 있어서 自作의比率의差가 顯著한데反하여 田에 있어서의 自作의比率이 比等한것은 地主의土地兼併과 所有가主로畜으로集中되어왔기때문인것이다

1942年度調査의 1戶當耕地面積을 보면 南朝鮮의 農作代表道인 全南과 北朝鮮의 農作代表道인 咸北을 比較하여 보면 알수있는 일이니 咸北咸南의 田作耕地面積은 黃海道 의 그것보다도 廣大하다

南北農作代表道 1戶當平均耕地面積

	畜	田	合計
全南	0.533町	0.533町	1.066町
黃海	0.640 //	1.663 //	2.303 //
咸北	0.316 //	2.696 //	3.012 //

即南朝鮮地方은 比較的 畜이大部分을 占하고 北朝鮮地方은 比較的 田이大部分을 占하는것은 農業經營에 있어서 前者가 集約化되고 後者가 粗放한事實을 表示하는것이다

☞ 1942年度調査의 地主及自作農所有를 보면

地主所有 (非耕作農家를 意味함)	畜	1,200,041町	全耕地의 58.3%
	田	1,409,605町	
	計	2,609,650町	
自作農所有 (自耕農家를 意味함)	畜	567,303町	全耕地의 41.7%
	田	1,298,372町	
	計	1,865,675町	

여기表示된 數字로써 朝鮮의 農業은 小作을主體로한 封建的 農關係에 立脚하여 있다는 것을 充分히 알수 있는것이다

그런데 解放된 1945年末調査에依하면 38以南 朝鮮人土地所有關係는 下示함과같이 田에 있어서는 小作耕地가 56% 畜에 있어서는 70%의 大宗을 차지하고있다 即 南朝鮮耕作面積(田畜을合하여) 232萬町步中 自作地가 37% 小作地가 63%이다 그러나 前述한바와같이 不在地主의 土地放棄가 旺盛하여지는것같이 1946년에 들어서는 小作耕地가 若干減少의 傾向을보이고있다

	(自作)		(小作)		合計
田	46%	44%	58%	56%	104
畜	39%	30%	89%	70%	128
計	85%	37%	147%	63%	232

☞ 日人의 個人及團體所有의 農地面積을 보면 下表와 같다

(1945年末現在)

	畜	田	宅及其他	林野
日人所有	18萬町	5萬町	1萬町	44萬町
全面積에 對한比率	12%	4%		

나. 土地利用率과 戶當面積

耕作面積을 田畝別道單位로 보면 此에서 明瞭한 農業地帶를 發見할수 있다 即南朝鮮地方은 一般的으로 畜面積이 田面積에 비하여 大部分을 占하고 北朝鮮은 田面積이 壓倒의 部分을 占하고 中部朝鮮地方은 田畜의 均衡을 보임으로 所謂 畜作地帶 田作地帶及田畜均衡地帶로 大別할수 있다

이와같은 農耕地區分狀態及農地利用度는 農業人口의 社會的構成 特히 農地의 所有形態와 密接한關係를 가지고있다 여기 1939년에 있어 地域別耕地面積과 土地의 利用度를 例示하면 下表와 같다

1939年은 朝鮮의 近來에 드문凶年이다 特히 南朝鮮에 있어 凶年尤甚하였다 故로 此를 引例함은 不適當한感이 없지않으나 入手된 資料로 不得已한것이니 다음機會에 普週된 利用度를 正確히 把握하기로 하겠다

(第23表) 地域別耕地面積表 1939年末現在(單位町)

	畜	百分比	田	百分比	合計	百分比	
中 朝 鮮	慶北	214,133	54.3%	180,142	45.7%	394,275	100%
	忠北	73,520	46.2%	87,520	53.8%	159,040	100%
	忠南	170,118	67.1%	83,268	32.9%	253,386	100%
	計	457,771	56.7%	348,930	43.3%	806,701	100%



南朝鮮	全	北	176,267	71.7	69,207	28.3	245,474	100
		南	216,684	50.1	215,356	49.9	432,040	100
		慶北	205,228	53.1	181,379	46.9	386,607	100
		慶南	183,575	65.9	94,921	24.1	278,496	100
	計		781,754	58.2	560,863	41.8	1,342,617	100
西朝鮮	黃平	海南	151,339	26.8	411,687	73.2	563,026	100
		北	90,986	22.6	311,036	77.4	402,022	100
		計	98,401	23.9	312,886	76.1	411,287	100
	計		340,726	24.8	1,035,609	75.2	1,376,335	100
北朝鮮	江成	原南	95,039	26.6	261,914	73.4	356,953	100
		北	66,302	15.8	353,342	84.2	419,644	100
		計	21,179	9.4	203,328	90.6	224,507	100
	計		182,520	18.2	818,584	81.8	1,001,104	100
全朝鮮			1,762,771	38.9	2,763,986	61.1	4,526,757	100

(第24表) 地域別耕地利用度 (1939年末)

	耕地面積	作付面積	利用度
中朝鮮	806,701	1,095,919	1.36
南朝鮮	1,342,617	1,064,235	0.74
西朝鮮	1,376,335	1,739,270	1.26
北朝鮮	1,001,104	1,210,567	1.21
全朝鮮	4,526,757	5,109,991	1.35

1946年度의 農家1戶當平均耕地面積을 보면 第27表와 같다 畓에 있어서 0.518町步 田에 있어서 0.732町步 合計가 1,250町步로서 朝鮮農家の 零細耕作性を 如實히 보이고 있으며 中國日本에 比較하여 보면 多少 많은 便宜라하겠으나 그래도 日本은 土地生産力 單位收穫高에 있어 朝鮮보다 높다

(第25表) 地主(非土地耕作人)及自作農(直接土地耕作人)耕作地比率表 (1940年末現在)

地主所有地	自作農所有地		合計	
	同比率	同比率	同比率	同比率
畓	1,197	572	1,769	100
田	1,409	1,331	2,740	100
計	2,606	1,903	4,509	100

小數의 地主가 全耕地面積의 57.8%를 占하고 多數의 直接耕作者가 全耕作地의 42.2%를 占有한데 不過하니 이러한 關係가 朝鮮農村問題의 核心을 形成하고 있다 1940年의 耕作地規模別 經營形態를 찾아 보면 如下하다

(第26表) 耕作規模와 農家戶數와의 百分率

	自作	自小作(甲)	自小作(乙)	小作	平均
	%	%	%	%	%
1町以下	51	58	62	69	63
1町-2町	21	22	22	18	20
2町-5町	25	19	15	11	16
5町以上	3	1	1	2	1
合計	100	100	100	100	100

即規模別로 보면 1町步以下の 零細農이 自作小作을 不同하고 平均63% 小作農에 있어서는 約69% 自作農은 51%이다 따라서 그들의 經營方法이 中世紀의 인은 그 耕作面積의 零細함에서 規定되는 것이며 農村에 있어서의 高率地代의 負擔은 農耕方法을 더욱 停滯시키는 結果를 가져내었다

(第27表) 年次別朝鮮農家耕地面積表 (1919-1946)

年次	耕作面積				農家一戶當耕地面積				
	畓	田	火田	合計	畓	田	火田	合計	合計
1919年	1,546,649.4	2,834,919.3	140,501.1	4,522,069.8	0.580	1.064	0.052	1.696	1.696
1935年	1,703,279.1	2,796,891.5	417,772.2	4,917,942.8	0.555	0.912	0.136	1.603	1.603
1936年	1,718,486.3	2,785,367.7	437,730.4	4,941,584.4	0.562	0.910	0.143	1.615	1.615
1937年	1,736,368.4	2,769,875.9	437,125.4	4,943,369.7	0.558	0.905	0.143	1.616	1.616
1938年	1,750,843.6	2,764,832.5	442,044.2	4,957,720.3	0.574	0.905	0.145	1.624	1.624
1939年	1,762,774.1	2,763,983.4	431,750.2	4,958,507.7	0.583	0.914	0.143	1.640	1.640
1940年	1,770,395.0	2,740,763.2	423,072.1	4,934,230.3	0.581	0.899	0.139	1.619	1.619
1941年	1,769,572.1	2,719,963.9	399,013.6	4,888,549.6	0.576	0.885	0.130	1.591	1.591
1942年	1,767,343.9	2,707,982.1	374,246.6	4,849,572.6	0.579	0.887	0.122	1.588	1.588
1943年	1,704,256.7	2,878,051.3	-	4,582,308.0	0.559	0.945	-	1.504	1.504
1944年	1,236,696.9	981,676.6	-	2,218,373.5	0.621	0.493	-	1.114	1.114
1945年	1,257,824.2	67,747.4	-	2,225,571.6	0.609	0.469	-	1.078	1.078
1946年	1,106,671.0	1,564,385.0	-	2,671,056.0	0.518	0.732	-	1.250	1.250

(第28表)

田 畜 經 營 別 道

	總 數	土地臺帳登錄耕地			土地臺帳未登錄耕地		
		總 數	畜	田	總 數	畜	田
京 畿	364,779.3	356,634.1	207,234.0	149,400.1	8,145.2	2,533.9	5,611.3
忠 北	158,486.4	154,455.2	72,959.1	81,496.1	4,031.2	830.3	3,200.9
忠 南	241,792.4	232,609.1	160,461.8	72,147.3	9,183.3	2,605.9	6,577.4
全 北	245,641.2	232,237.6	167,770.4	64,467.2	13,403.6	3,767.9	9,635.7
全 南	424,712.7	414,219.5	207,638.7	206,580.8	10,493.2	2,565.5	7,927.7
慶 北	368,394.5	357,673.4	202,900.4	154,773.0	10,721.1	2,283.5	8,437.6
慶 南	261,456.6	257,352.3	173,411.0	83,941.3	4,104.3	1,743.1	2,361.2
黃 海	537,906.9	512,751.2	151,876.9	360,874.3	25,155.7	4,223.5	20,932.2
平 南	369,025.4	351,615.5	80,016.3	271,599.2	17,409.9	2,854.6	14,555.3
平 北	383,176.0	343,045.9	96,568.8	246,477.1	40,130.1	1,827.1	38,303.0
江 原	344,368.9	298,272.6	95,183.5	203,089.1	46,096.3	2,621.5	43,474.8
咸 南	358,978.9	297,243.3	69,828.7	227,414.6	61,735.6	1,283.2	60,452.4
咸 北	161,070.8	142,586.7	18,407.1	124,179.6	18,484.1	604.3	17,879.8
總 數	4,219,790.0	3,950,696.4	1,704,256.7	2,246,439.7	269,093.6	29,744.3	239,349.3

- 註 1. 道面積은耕地調査原簿에依하여調整함  
 2. 登錄耕地는土地臺帳을基本으로하여 現況과無關係한面積은掲載하지않음  
 3. 耕地는現在面積만掲載함, 一年或은數年休閑한것, 又は水害其他의理由로事實上荒地로化한것은包含치아니함)  
 4. 土地臺帳未登錄耕地에는火田面積을包含함  
 5. 1944年以後는南朝鮮에限함

3. 土地改良事業의現狀

朝鮮農業은現在以上으로耕地面積을 擴張할수있는餘裕를 많이가지고있다 그러나 當面한緊急課題는 그보다도現存條件을充分히 利用發揮할수있는 反當生産高의增加를 圖謀하는 集約的經營方法과 技術的改良이있어야할것이다 그럼으로써日政下에있어서 農業의技術行政이 施行되었던것은 既述한바이나 農事改良施設의基本이되는 農地, 水利, 灌溉事業의改善擴充이 焦眉의急事로되어있었다. 1917年(大正6年)에 朝鮮水利組合令이公布되고 從來의堤堰, 淤等小規模의 水利及土地改良事業外에 大規模의 灌溉施設이遂行되었으나 其後 戰時經濟의要需은 食糧増産을 急務로刺戟하여 土地改良事業에 拍車를加하게되었다. 1940年1月 增米6個年計劃(1940년부터1945년에적함)이 決定되어 耕種改善과 土地改良事業의二元의인 産業行政이 同時의으로推進되었다 그중 土地改良事業으로서는 開墾, 開拓, 地目變換等의目標을 樹立한外에 應急策으로서 灌溉施設에重點을두었다.

이리하여 解放後도 水利事業이 積極的으로進展되었으나 이巨大한事業이 局限된豫算面의制約을받음以上 實踐部門의 遲延함을 克服할것도없거나 水利事業의 充足을期하기까지에는 앞으로 前途 遙遠한感이 不無한것이다 1936年末現在 灌溉施設의惠澤을받고있는耕地는 1,174,949町步로서 67%程度인데 그중 水利組合에依하여 灌溉의惠澤을 받고있는面積은 不過 223,974町步이니 이것은 全畝耕地의 12.7%에 不過한것이다 그러나 1939年(昭和14年) 實施의 旱災救濟土地改良, 水利事業等에繼續하여 1940年(昭和15年)度以降 6個年의 第2次 産米増産計劃이樹立되었다

期間이1940年以後 6個年(竣功8個年 農事改良完成11個年) 增産目標=計劃完成年次(1950年)에있어서의 增産目標數량은 6,800,000石이요 1945年에있어서의 中間目標는 5,830,000石 計劃完遂後의米總生産數量 35,000,000石을 確保하자는것 土地改良, 水利事業에依한 增産數量目標 1,690,000石(中間目標 1945年增産數인 1,200,000石) 그런데 1940年度

實施 水利事業의狀況을 보던대

(第29表) 水利事業施行狀況表

	施行面積	政府補助交付金
灌溉改善	16,405	2,661,248
大地區	8,901	135,900
小地區	7,504	2,525,348
用排水施設改善	4,372	144,884
小規模事業	2,417	80,000
合計	23,194	2,886,132

다시 1943年度 土地改良水利事業各道別割當面積調査를보던

(第30表) 小地區及小規模水利事業道別割當面積

	小地區	小規模
京 畿	900	110
忠 北	400	100
忠 南	1,000	250
全 北	800	300
全 南	1,300	210
慶 北	1,000	360
慶 南	900	130
黃 海	900	210
平 南	500	60
平 北	400	50
江 原	500	80
咸 南	1,000	40
咸 北	400	100
合計	10,000	2,000

同1944年度調査를보던

	小地區	小規模
京 畿	487	200

別 耕 地 面 積 表 (1944年末)

自 作				J 作			
總 數	畝	田	一戶當畝	總 數	畝	田	一戶當畝
77 978.4	38,116.8	39,861.6	0.97	286,800.9	171,651.1	115,149.8	1.46
53 612.5	23,980.7	29,631.8	0.87	104,873.9	49,808.7	55,065.2	0.81
63 346.3	35,007.2	28,339.1	0.63	178,446.1	128,060.5	50,385.6	0.81
57 119.2	33,936.3	23,182.9	0.77	188,522.0	137,602.0	50,920.0	0.82
199 304.8	64,885.5	134,419.3	0.92	225,407.9	145,318.7	80,089.2	0.53
156 471.1	75,204.1	81,267.0	0.80	211,923.4	129,979.8	81 943.6	0.89
91 720.7	55,526.0	36,194.7	0.54	169,735.9	119,628.1	50 107.8	0.68
168 153.1	28,983.6	139,169.5	1.65	369,753.8	127,116.8	242 637.0	1.74
136 233.5	23,546.9	112,686.6	1.35	232,791.9	59,324.0	173 467.9	1.73
129 860.7	25 062.0	104,798.7	1.32	253,315.3	73,333.9	179 981.4	1.62
152 017.7	34 459.3	117,558.4	1.07	192,351.2	63,345.7	129 005.5	1.08
209 715.8	28,314.9	181,400.9	1.68	149,263.1	42,797.0	106,466.1	1.27
107 532.1	8,440.0	99,092.1	1.70	53,538.7	10,571.4	42,967.3	1.34
1,603 065.9	475,463.3	1,127,602.6	1.05	2,616,724.1	1,258,537.7	1,358,186.4	1 03

※忠 北	628	200
忠 南	618	400
全 北	1,075	600
全 南	2,650	500
慶 北	1 919	700
慶 南	666	250
黃 海	1 642	350
平 南	796	150
平 北	437	150
江 原	617	200
咸 南	1,523	150
咸 北	343	150
合 計	13,401	4,000

다음에 水利組合의 現況을 考察하면 1945年末現在 朝鮮水利組合總數 567 (38以南395 38以北172) 其中共勵水利組合이 57個所이며 蒙利面積은 349,187町步 (38以南 179,549町步) (38以北 169,638町步) 인데 1941年末現在畝總面積 1,760,042町步의 19%에 不遇한 것이다。從來에는 水利組合內의 改良工事擴張工事 災害復舊事業 電化工業等은 主로 組合內의 福利增進을 爲히야 積極推進되었으나 解放後에는 이것이 大部分停滯되고 다만 未完工事에 對한 補綴工事及 補修程度의 工事와 若干의 新規事業에 對한 姑息의 態度에 臨하고 있는 形便이다。그러면 叙上한 朝鮮水利事業의 發達로써 總括의 成果를 前朝鮮總督府統計表 (1941度)에 依하여 보면

天木畝	540,530.1町
畝總面積	1,760,042.1
灌溉畝	1,219,512.0
堤堰施設畝	286,833.5
狀 " "	532,431.6
揚水機 " "	83,673.2
其 他	295,523.7
水利安全畝	923,988.町
水利不安全畝	295,523.7

即 堤堰, 狀, 揚水機施設에 依한 水利安全畝은 23,988町步 畝總耕地的 52%에 不遇하다 其從 1942年以來로 農地開發

營團이 擔當한 土地改良水利事業或은 旱災對策水利事業 戰時 下食糧緊急對策水利事業 (主로 小溜地事業)等의 施行으로 多少의 効果는 얻었다고 할 수 있으나 天木畝撲滅이라는 觀點에서는 何等顯著한 進歩는 볼 수 없었고 다만 這間設置認可된 水利組合 181個所의 蒙利面積 50,545町步를 加算하여 現在 朝鮮의 水利安全畝은 974,433町步라 할 수 있을 것이다 朝鮮水利組合各選別總括表를 揭示하면 다음과 같다

(第31表) 水利組合及蒙利面積狀況

	組合數	蒙利面積
京 畿	37 { 以北 4 以南 33 }	14,946.6町 { 以北 1,384.8 以南 13,561.8 }
忠 北	29	6,388.1
忠 南	49	24,920.9
全 北	49	47,347.2
全 南	86	18,750.4
慶 北	57	13,989.7
慶 南	73	24,269.0
黃 海	41 { 以北 29 以南 12 }	60,672.6 { 以北 31,139.5 以南 29,533.1 }
平 南	26	46,480.4
平 北	36	31,042.0
江 原	18 { 以北 11 以南 7 }	16,994.0 { 以北 16,205.0 以南 789.0 }
咸 南	43	35,719.2
咸 北	23	7,667.6
計	567	349,187.7
南朝鮮	395	179,549.2
北朝鮮	172	169,638.5

(第32表)

土地改良事業綜合年次統計表 (單位町)

(a) 土地改良事業

	畝 面 積		灌溉畝의灌溉設備別面積					灌溉畝의灌溉經營別面積				
	總面積	灌溉畝	天水畝	堤 堰	淤 積	揚水機	其他	水利組合	共同	個人	其他	
1939年	1,753,717.3	1,236,677.2	517,040.1	268,461.2	595,846.1	76,828.9	295,541.0	203,904.9	595,963.3	339,799.9	97,009.1	
1940年	1,758,670.8	1,260,726.9	497,943.9	284,178.6	590,793.6	87,384.6	298,370.1	230,178.3	592,515.3	342,923.0	95,110.3	
1941年	1,769,042.1	1,219,512.0	540,530.1	286,833.5	553,481.6	83,673.2	295,523.7	236,299.4	549,924.9	330,870.5	102,417.2	
1942年	1,687,371.3	1,225,512.0	461,859.3	292,539.7	548,256.7	94,142.9	280,572.7	241,198.2	558,835.6	330,507.2	94,971.0	
1943年	1,742,441.5	1,174,948.7	567,492.8	333,588.7	467,701.6	101,368.7	272,289.7	261,482.8	499,754.3	313,327.1	100,384.5	

(b) 道 別 (1943年)

京 畿	289,767.9	116,770.1	92,997.8	12,689.6	48,158.4	15,227.6	40,694.5	11,337.3	47,475.8	50,280.4	7,676.6
忠 北	73,749.5	56,071.2	17,678.3	4,201.0	32,091.1	570.9	19,208.2	2,458.3	29,386.7	16,314.5	7,911.7
忠 南	143,344.8	100,229.5	43,115.3	20,039.6	41,247.2	3,639.4	35,003.3	18,485.3	44,328.9	27,151.7	10,263.6
全 北	168,575.3	110,952.0	57,623.3	54,987.8	35,491.9	4,208.0	16,264.3	42,638.2	46,322.1	12,244.9	9,746.8
全 南	242,429.5	123,932.5	108,497.0	43,181.6	49,774.3	7,135.6	33,841.0	15,953.0	59,613.9	41,792.3	16,573.3
慶 北	205,182.3	129,139.6	76,042.7	39,049.9	55,375.2	4,621.2	30,093.3	9,106.6	90,886.2	21,323.5	7,823.3
慶 南	170,856.6	116,709.8	54,146.8	18,218.6	53,709.6	19,720.8	20,060.8	21,942.2	53,717.7	27,318.9	13,731.0
黃 海	156,100.4	123,194.4	32,906.0	56,741.3	33,493.0	3,488.2	29,466.4	50,095.0	30,895.8	33,200.5	9,003.1
平 北	92,744.0	64,154.6	28,589.4	14,282.7	10,573.4	23,792.5	15,506.0	10,203.2	19,662.1	29,018.9	5,270.4
平 南	98,395.9	86,626.5	11,769.4	28,590.9	27,811.6	11,030.0	19,194.0	32,264.1	23,848.1	28,138.8	2,375.5
江 原	97,805.0	65,658.8	32,146.2	16,077.6	41,161.2	828.4	7,591.6	14,357.6	29,031.4	16,559.3	5,710.5
咸 南	71,111.9	59,142.4	11,969.5	19,914.1	28,283.3	5,846.4	5,098.6	26,031.4	19,594.3	9,226.7	4,290.0
咸 北	12,378.4	12,367.3	11.1	5,613.5	5,526.4	959.7	267.7	6,610.6	4,991.3	756.7	8.7
總 數	1,742,441.5	1,174,948.7	567,492.8	333,588.7	467,701.6	101,368.7	272,289.7	261,482.8	499,754.3	313,327.1	100,384.5

4. 農作物의構成

朝鮮農産物의大宗은 米、麥類、豆類、小豆、粟、玉蜀黍、黍等이며 農産工業原料인棉花、大麻外에도 人蔘、煙草等이 있고 農家副產品으로서는 荊蠶、蠟、蠶絲、荳草細工品乾果와 果樹園藝作物으로서는 蘋果、梨桃、葡萄等이 있다

이와같이 多種多樣的 産物을廣範且豐富히生産할수 있는 有利한自然條件에 놓여있는에도 不拘하고 社會的諸制約은 이自然條件을 充分히 克服利用하지못하겠음되어있으니 이 것이農業不振의根柢路가되어있다고할수 있을것이다 即低度生産段階에處한 朝鮮農業의 自然에對한克服力의缺乏은 農

作의豊凶의差는甚하게 大한데 日本에對한 隷屬의地位에서 原料提供地로써 役割을擔當하여왔기때문에 農民들의 營農方法은 宿命的인 原始形態에서 離脱하지못하여 單位面積 收穫量은恒常不安定한 脆弱性을表示하고있는것이였다

그런 위에도 第二次大戰의 長期化에따라 모든部面의 逼迫相은 날이갈수록 深刻해지며 食糧生産의 要請이懇切하면 서도 金肥、農藥、畜力、甚至於勞力까지도 缺乏하여反當生産高는 漸次低下해갔으나 米穀棉花를 비롯한 廣範한農産物이 軍需品으로 指定되어特異한 發展을보였는것이다 戰爭末期의 모든力량이 涸竭된 時期에있어서는 敍上한

(第33表)

南 朝 鮮 農 産 物

	作 付 面 積 (町 步)				單 位	町
	1930—34平均	1940—44平均	1 9 4 5	1 9 4 6		
米	1,226,462	1,034,797	1,054,740	1,107,157	石	11.08
大 麥	739,455	645,120	463,621	407,503	〃	8.93
裸 麥	134,516	357,753	254,532	192,974	〃	9.11
小 麥	136,046	126,056	74,301	82,953	〃	5.43
胡 麥	3,177	23,487	36,492	29,419	〃	4.51
粟	180,249	196,297	170,360	137,359	〃	5.61
黍	11,194	6,395	4,456	3,003	〃	4.25
黍	2,433	2,572	440	383	〃	5.58
蜀 黍	17,682	11,661	12,074	13,196	〃	5.66
燕 麥	6,270	1,644	1,131	1,064	〃	4.28
蕎 麥	38,033	48,140	28,867	32,747	〃	4.82
大 豆	396,547	253,370	246,135	235,502	〃	5.21
其 他 豆 類	72,982	40,191	26,297	28,705	〃	3.76
豌豆	1,608	447	387	348	〃	8.03
落 花生	706	818	397	306	〃	9.38
馬 鈴 薯	18,874	33,567	55,733	43,932	貫	1,719.00

諸惡條件이 顯著한 農産低下의 原因이 되었음은 不可避한 事情이었다 그러나 解放後 上述한 모든 搾取의 社會制約에서 離脫된 朝鮮農村及農民은 指導力의 缺乏과 政治的興奮狀態에 오래잡기였기때문에 金肥, 農藥, 屠殺流行에 依한 畜牛不足으로 近年에 드문 天候의 順適을 보면서도 豆類와 같은 農作物을 除外한 農産物의 反當生産高는 매우 低下하였으며 特別히 細心한 注意를 要하는 棉花에 있어서는 解放前의 水準에 比하여 寒心한 形便이다 如何間 朝鮮農業은 解放前後를 英論하고 全面的으로 보아 零細農의 生産制이 且 商業資本의 壓迫下에 있는 만큼 勞動及 生産要素의 充分한 利用이 不可能한 것이 共通한 實情이다

1940年 調査의 主敎及 副生産物의 生産量을 보면 下記와 같다

(第34表) 1940年 農産物 生産量

	生産量	金額
米 穀類	22,157,393石	868,435,000圓
麥 粟 豆 類	12,505,463石	240,614,722
甘 薯 類	4,260,858石	79,782,544
馬 鈴 薯 類	4,214,000石	126,350,000
玉 蜀 黍 類	85,926,280石	24 54 91
合 計	177,398,437石	49,533,321
		30,985,000
		1,419,955,178

(第35表) 1940年 特産物 生産量

	生産量	金額
棉 花	186,840,558斤	41,104,922圓
果 實 類	39,402,247石	36,211,127
麻 楮 類	—	21,792,000
楡 草	1,562,843石	1,966,000
煙 草	841,339石	1,415,000
胡 麻 及 荏 菜	27,085,935石	16,487,119
蔬 菜	—	2,300,000
蕎 麥 及 生 絲	390,378,406石	90,000,000
		65,847,752圓

面積 當 生産 高

1940-44 平均	當 收 穫 量		生 産 高				
	1 9 4 5	石	1 9 4 6	1930-34-36 平均	1940-44 平均	1 9 4 5	1 9 4 6
13.26	12.17	石	10.88	13,586,539	13,718,156	12,835,827	12,050,388
8.62	4.21	石	8.85	6,604,530	5,562,151	1,952,998	3,605,943
8.59	3.93	石	8.36	1,225,116	3,073,967	1,000,845	1,613,336
5.53	4.48	石	5.43	738,815	696,992	332,544	450,810
4.98	3.78	石	4.75	14,322	117,001	137,758	139,882
4.56	3.04	石	4.98	1,011,067	894,744	577,932	684,313
3.67	3.50	石	3.53	47,533	23,467	15,615	10,602
3.45	3 60	石	3.40	13,586	8,877	1,584	1 302
5.02	4.38	石	4.04	100,005	58,581	52,902	53 359
2.68	2 94	石	2.78	26,808	4,398	3,320	2,957
3.56	3.24	石	3.56	183,192	171,553	93,541	116 725
4.09	3.76	石	3 80	2,065,241	1,036,375	925,812	894,344
3.18	3 17	石	3 04	274,105	127,815	83,385	87,195
5.06	3.20	石	2 78	9,654	2,262	1,237	866
9.17	6 54	石	6.19	6,623	7,502	2,596	1 893
1,275.50	1,207 20	石	1,310.10	32,272,145	42,824,588	67,281,826	57,557,946

※ 1 75,893,000枚 22,644,900  
 2 68,447,000石 —  
 合 計 — 299,768,820  
 其他 畜 工 品 — 310,504,593  
 計 1940年의 農作物總生産價格 2,132,332千圓  
 1941年은 2,740,303千圓을 計上 億圓以上은 米穀의 9億을 最高로 麥類, 豆類, 畜産, 蔬菜의 順 農家 1戶當은 約700圓 地方別耕作農作物을 보면 다음과 같다

(第36表) 地方別耕作農作物表

所 屬 道 名	氣象의 特徵	栽培田作物別
南 朝 鮮 地 方 { 全 南 道 全 北 道 慶 尙 道 }	冬期溫暖하며 霜이 速히 到來	大麥, 裸麥, 小麥 大豆, 小豆, 甘藷 陸稻, 粟, 陸地棉 煙草, 苧麻, 大麻 楮
中 朝 鮮 地 方 { 京 畿 道 忠 清 道 江 原 道 }	中 庸	大麥, 小麥, 粟, 陸稻, 蜀黍, 蕎麥, 大豆, 小豆, 馬鈴薯, 煙草, 大麻, 陸地棉,
西 朝 鮮 地 方 { 黃 海 道 平 壤 市 }	冬期寒氣激甚하며 積雪이 甚하고 初夏는 乾燥가 甚하다	小麥, 粟, 陸稻, 獨麥, 稗, 蕎麥, 玉蜀黍, 大豆, 小豆, 綠豆, 在來棉, 煙草,
北 朝 鮮 平 野 地 帶 { 咸 鏡 道 南 道 咸 鏡 道 北 道 咸 鏡 道 南 道 咸 鏡 道 北 道 }	夏期若干冷涼하며 秋季가 乾且 冬季는 積雪이 有하다	春蕎, 大麥, 大豆 小豆, 稗, 蜀黍, 蕎麥, 大麻, 馬鈴薯,
北 朝 鮮 高 原 地 帶 { 咸 鏡 道 南 道 咸 鏡 道 北 道 咸 鏡 道 南 道 咸 鏡 道 北 道 }	夏季冷涼冬季 寒氣酷烈年雨量 極少함	春蕎大麥, 燕麥, 馬鈴薯, 稗, 菜豆 蕎麥, 亞麻, 香茅

甘	蘇	15,574	38,906	57,172	39,355	貫	1,945.00
蔬	菜	90,994	102,648	90,157	95,256	斤	2,172.30
果	實	7,443	13,481	14,810	14,306	斤	1,453.00
莞	草	3,437	2,022	1,610	1,382	斤	325.60
桑		6,448	5,823	3,960	3,717	斤	262.00
桑	麻	46,126	52,654	44,010	36,175	斤	80.90
芦	麻	1,480	739	663	509	斤	97.40
棉	花	156,824	237,558	180,285	127,225	斤	829.10
大	麻	13,711	18,474	12,648	5,243	斤	219.30
人	蔘	187	417	303	333	斤	4,783.50
煙	草	12,038	15,204	9,350	8,252	貫	288.90
除	間	142	770	210	189	斤	100.60
莊	菊	6,453	5,186	3,428	3,720	石	4.10
胡	麻	7,240	5,443	4,428	4,806	斤	4.40
茂	麻	1,537	3,716	7,279	4,369	斤	5.90
山	井	—	2,270	—	—	斤	—
玉	蜀	12,276	20,615	44,698	20,459	斤	4.86
合	計	3,368,194	3,308,041	2,904,974	2,681,847	斤	—

(第37表)

## 米 穀 收

	1941年				1942年			
	水陸稻計	陸	水	作付反數	水陸稻計	陸	水	作付反數
畿	3,123,649	5,801	3,117,848	15,739.1	2,402,970	3,845	2,399,025	166,727.3
北	1,120,329	1,809	1,118,520	68,201.0	624,310	504	623,806	46,064.2
南	2,526,298	3,946	2,522,352	160,580.3	1,537,012	803	1,536,209	114,735.7
北	2,814,909	3,643	2,811,266	165,779.0	2,065,941	959	2,064,982	136,883.5
南	3,062,542	13,477	3,049,065	198,608.2	1,114,633	2,286	1,112,547	118,789.7
北	2,901,312	6,520	2,894,792	185,900.1	1,376,236	3,052	1,373,184	113,267.7
南	2,800,628	11,803	2,788,825	169,663.8	948,753	3,475	945,278	78,107.0
海	2,187,980	14,717	2,173,263	149,132.3	2,014,029	13,562	2,000,467	139,804.7
南	1,036,305	23,717	1,012,588	83,082.6	735,962	17,121	718,841	69,066.7
北	1,459,396	1,672	1,457,724	94,741.5	1,270,231	1,039	1,269,192	86,400.2
原	1,100,534	576	1,099,958	87,443.9	915,359	366	914,993	73,941.6
南	717,748	1,174	716,574	67,682.0	515,713	621	515,092	52,972.0
北	34,012	—	34,012	19,323.6	166,229	—	166,229	17,149.6
計	24,885,642	88,855	24,796,787	1,645,877.4	15,687,578	47,733	15,639,845	1,213,909.9

(第38表)

## 大 麥 收 穫 高

	1941年度		1942年度		1943年度		1944年度	
	生産高	作付面積	生産高	作付面積	生産高	作付面積	生産高	作付面積
畿	655,620	88,956.2	766,932	101,918.8	606,787	100,412.3	1,057,740	105,473.3
北	658,555	65,282.3	600,504	82,112.2	462,267	33,892.6	892,548	83,101.0
南	824,090	76,594.3	602,908	79,711.6	581,590	76,224.1	955,262	88,587.4
北	164,474	19,368.3	137,578	18,656.0	126,983	19,791.4	187,041	22,891.1
南	262,164	25,524.1	158,076	18,049.9	155,924	17,457.0	217,079	20,277.9
北	2,155,167	204,508.3	1,460,717	173,450.1	976,806	198,944.4	2,171,747	192,190.0
南	1,216,263	128,850.5	940,851	115,994.9	789,827	123,455.9	1,421,388	126,125.6
海	19,108	3,768.7	25,477	4,324.2	23,317	4,222.9	77,780	13,714.2
南	88,366	11,864.2	59,915	14,426.7	62,957	17,527.7	118,779	22,766.5
北	15,799	4,195.2	9,761	3,830.1	16,626	3,480.1	35,860	9,545.4
原	202,885	34,238.0	212,362	38,783.0	159,880	37,274.6	240,575	34,021.3
南	117,638	35,455.3	84,478	42,271.4	144,043	31,318.7	177,051	34,976.7
北	138,707	22,939.9	71,485	39,027.6	218,112	39,704.1	167,430	36,567.2
計	6,529,836	721,545.3	5,131,044	737,556.5	4,319,119	708,705.8	7,720,280	790,237.6

1,612.45	1,805.50	1,789.60	30,291,515	62,732,963	103,223,526	70,430,837
1,984.30	1,671.40	1,809.90	197,663,712	203,689,502	150,687,33	172,401,210
1,103.30	795.90	1,004.0	10,815,574	14,873,689	11,786,546	12,880,867
254.30	229.20	149.40	1,119,137	514,150	368,981	206,461
190.20	161.30	130.20	1,686,245	1,069,245	638,843	484,108
58.20	43.00	43.20	3,732,281	3,062,388	1,890,670	1,561,677
74.60	51.30	34.60	144,216	55,136	33,980	17,632
747.50	622.50	785.30	130,030.277	177,568,380	112,137,089	99,908,608
195.50	186.80	100.20	3,006,890	3,612,003	2,362,209	525,153
5,512.20	5,515.20	4,965.50	895,456	2,302,331	1,671,117	1,653,516
404.30	310.20	288.90	3,477,753	6,146,720	2,900,637	2,384,344
151.80	377.50	339.00	14,285	11,687	79,266	64,065
3.20	3.90	3.00	26,195	16,420	13,265	11,101
3.00	10	3.00	31,650	16,538	13,589	14,365
3.50	3.60	3.40	9,433	13,178	26,404	14,745
—	—	—	—	—	—	—
3.83	3.34	3.84	59,699	78,954	149,072	78,494
—	—	—	—	—	—	—

穫 高

1943 年度

1944 年度

水陸稻計	陸稻	水稻	作付反數	水陸稻計	陸稻	水稻	作付反數
石	石	石	町反	石	石	石	町反
1,648,873	1,500	1,647,373	168,444.9	1,857,760.0	1,081	1,856,679	168,803.6
784,117	602	783,515	63,913.7	619,003.0	237	618,766	50,593.3
1,824,055	1,155	1,822,900	146,910.3	1,406,492.0	304	1,406,188	123,790.9
2,522,112	981	2,521,131	161,605.0	1,336,836.0	277	1,336,559	135,313.8
2,269,944	10,666	2,259,278	189,894.0	2,083,858.0	3,254	2,080,604	150,769.0
2,036,252	5,656	2,030,596	174,901.1	782,013.0	1,346	780,167	91,960.2
1,967,030	7,841	1,959,189	158,564.9	1,659,991.0	2,381	1,657,610	122,341.4
1,433,858	14,485	1,419,373	130,648.1	1,585,234.0	14,669	1,570,565	143,042.2
945,694	15,976	929,718	75,457.7	989,405.0	15,146	974,259	79,177.0
1,393,090	2,227	1,390,863	89,198.7	1,482,128.0	1,357	1,480,771	93,961.0
881,491	427	881,064	77,425.2	1,024,948.0	282	1,024,666	79,682.3
830,593	524	830,069	63,001.4	947,745.0	660	947,085	64,975.3
181,831	—	181,831	17,216.5	276,466.0	—	276,466	18,179.2
18,718,940	62,040	18,656,900	1,517,181.5	16,051,879.0	41,494	16,010,385	1,322,589.7

(1) 米 穀

米穀이 朝鮮農業의 根幹을 形成하고있다。日帝가 戰爭을 強行하는 동안에 있어서 棉花, 麻等의 指導獎勵가 積極化되었음에도 不拘하고, 朝鮮農業의 進展이 米作의 改良增產에 있든 없든은 嚴然한事實이다 이러한 意味에서 朝鮮農業이 商業的經營化를 急角度로 誘致하는데 米穀의 市場化가 最大役割을 할 것이다

農民의 約80%를 차지한 小作農及 零細小作兼自作農은 土地資本家의 無慈悲한 搾取 高率小作料에 糊口할 方途를 求할 길이 없은程度로 그들의 窮乏한 生活相은 弊農方法의 原始的粗放形態를 그대로 累積하고만 것이다

日帝의 食糧政策을 爲한 米穀重點主義의 農業行政은 먼저 優良品種의 普及, 優良品種의 種子更新, 在來種의 改良에 依한

品種의 一般的改良을 行하고 或은 耕地의 改良苗床의 改良, 施肥의 奨勵, 稈拔, 害虫驅除, 適期刈取等, 一般의 技術上改良을 期하여 年平均 8百萬石乃至最高 11百萬石의 米穀을 日本으로 輸出하지 않으면 안 되었다

解放後 南朝鮮에 있어서의 米穀總作付面積은 32%—42%를 占하고 있으며 1946년에는 二毛作減少에 依한 總作付面積減少에도 不拘하고 米作은 依舊히 41.1%를 維持함에 이르렀다 그러나 1945年及 1946兩年の 顯調로운 天候와 더욱이 194年에는 米作付面積도 增加되었음에 一般農民의 生産意欲의 昂騰을 보였음에도 不拘하고 도리어 收穫이 減少된 것 金肥不足과 地力消耗의 尤甚을 象徴하는 것이다 할 수 있 1930년부터 1946년까지의 南朝鮮米穀生産量을 보면 다음과 같다

(第39表)

南朝鮮米穀生產量

	面 積		收 穫 高		生 產 高	
	面 積	1940~44年 에對한比較	1町步當 收穫高	1940~44年 에對한比較	生 產 高	1940~44年 에對한比較
1930~34~ 36年平均	1,226,462町步	% 118.5	石 11.08	83.6	石 13,586,539	% 99.0
1940~44	1,034,797	100.0	13.26	100.0	13,718,156	100.0
1945	1,054,740	101.9	12.17	91.8	12,835,827	93.6
1946	1,076,671	104.0	11.19	84.4	12,047,123	87.8

(第40表)

南朝鮮道別米穀生產量

道	市 郡	1947年生產豫想高			1946年實收高		
		作付面積	反 當	生 產 高	作付面積	反 當	生 產 高
京 畿	道	432町步	1.429石	6,172石	京 畿 道 에 包 含		
京 畿	道	207,024	1.113	2,304,183	208,489町步	0.961石	2,003,280石
忠 清	北 道	60,039	1.277	766,708	60,726	1.095	664,946
忠 清	南 道	141,988	1.168	1,658,324	129,070	1.029	1,328,084
全 南	道	155,488	1.346	2,093,238	152,502	1.115	1,700,092
全 南	道	187,229	1.295	2,424,218	188,434	1.155	2,175,821
慶 尙	北 道	177,258	1.359	2,403,945	176,649	1.114	1,790,811
慶 尙	南 道	153,230	1.309	2,005,792	150,872	1.155	1,742,017
江 原	道	57,027	0.896	510,773	38,148	1.183	451,155
濟 州	道	2,263	0.948	21,456	2,263	0.623	14,102
合 計		1,141,978	1.243	14,199,809	1,107,153	1.072	11,870,308

(2) 麥 類 (夏穀)

麥類에는 大麥, 小麥, 라이麥等이었으나 全部가 農家의 主要食糧으로서 必須한것으로 日帝下에서도 그增産에는 注力되었다 特히 小麥은 棉花에다음가는 重要輸入品으로서 增産計畫이 進行中이었었고 特히南朝鮮地方에있어서는 灌溉水의 豊富한畲의 裏作이 獎勵되어 施肥의 合理化, 病虫害의 驅除, 耕作方法의 改良等으로 作付段別은 年年增加하였다

그러나 施肥의 不充分한 朝鮮農村에있어서 解放後 38線障壁으로因하여 北朝鮮에 充分한 生産施設을가지고도 化學肥料을 얻지못한1945. 6兩年の 南朝鮮夏穀作付面積은 더욱減少하였고 1945년에는 天候不順으로 收穫量이 大槪減少하였고 1946년에있어 天候는良好하였으나 平年작에 이르지못하였다

(第41表)

南朝鮮夏穀生產量

	面 積		收 穫 高		生 產 高	
	面 積	1940-44年 에對한比較	1 町 步 當 收 穫 高	1940-44年 에對한比較	生 產 高	1940-44年 에對한比較
1930-34-36 年 平 均	1,013,194町步	% 87.9	石 8.47	115.6	8,582,783石	% 101.6
1940-44	1,152,416	100.0	7.33	100.0	8,450,111	100.0
1945	828,946	71.9	4.12	56.2	3,414,145	40.4
1946	712,849	61.9	8.15	111.2	5,809,971	67.8

(3) 雜 穀

雜穀類에는 粟, 稗, 黍, 蜀黍, 玉蜀黍, 燕麥, 蕎麥等이었으나 그中粟은米穀大量輸出에代替하여 大衆食糧으로서 每年百 150萬石乃至 200萬石의多量을滿洲에서輸入하였다 粟은주로 西北鮮地方及山間地帶에서 產出되어 叙上한마 雜穀中 重要地位를 占하고있으나 優良品種의 選定 其他栽培技術上의 缺點으로 그生産量은 比較的적으나 그需要는 컸었다

朝鮮의大豆는 品質이優良함으로 市場性을 가지고있는點에있어 米穀의다음가는것으로 朝鮮産大豆의優秀性은 咸南의 端川 及 安邊 京畿道의長湍産이 이것을代表하고있다 그需要는單純한 食用뿐만아니라 豆腐製造, 된장, 간장釀造原料로서 外國市場에서 滿洲大豆를 凌駕한만큼歡迎을받고있음으로國産品은 輸出用으로 滿洲産 小豆는北朝鮮地方에서 品質優秀한것을 產出하고 外國市場의 需要도많으나 粟과混用하여 農家의補充食糧으로서 國內消費가 많다

(第42表) 1939年度雜穀需給狀況

生産量	輸入量	合計	輸出品	差引消費量
24,777,150石	2,644,016石	27,421,166石	1,241,764石	26,778,402石
今年度の雜穀輸入狀況은보면				
輸入	大豆	約65萬石內外		
	粟	98萬石內外		
消費量	麥類	約1000萬石內外		
	小麥	270萬石內外		
	大豆	300萬石		
	粟	550萬石		
(其外滿洲에서 雜穀으로 玉蜀黍, 蕎麥, 稗等을 輸入하였다)				

解放後는 粟, 蕎麥, 玉蜀黍, 燕麥等의 作付面積이減少되



있으나 夏穀과같이 急激한減少는 보이지않고 相對的으로는若干 增加하였다 1945년에는 段常數畧은 氣候不順으로 減收되

었으나 1946년에는 平年作程度로 回復되었다 雜穀生産量及 豆類生産量은 보면 다음과 같다

(第43表)

南朝鮮雜穀生産量

	面 積		收 穫 高		生 産 高	
	面 積	1940-44年 에對한比較	1町步當 收 穫 量	1940-44年 에對한比較	生 産 量	1940-44年 에對한比較
1930-34-36年平均	268,137町步	93.3%	5.38石	124.5%	1,441,891石	116.2%
1940-44	287,324	100.0	4.32	100.0	1,240,574	100.0
1945	262,026	91.2	3.41	78.9	893,966	72.1
1946	208,211	72.5	4.55	105.3	847,752	76.4

(第44表)

南朝鮮豆類生産量

	面 積		收 穫 高		生 産 高	
	面 積	1941-44年 에對한比較	1町步當 收 穫 量	1940-44年 에對한比較	生 産 量	1940-44年 에對한比較
1930-34-36年平均	471,843町步	160.0%	4.99石	125.4%	2,355,623石	200.7%
1940-44	294,826	100.0	3.98	100.0	1,173,954	100.0
1945	273,216	92.7	3.71	93.2	1,013,020	86.5
1946	266,750	90.5	3.72	93.5	992,406	84.5

(4) 特用作物

纖維工業作物으로서의 棉(陸地棉及在來棉)及大麻,亞麻,苧麻等은 増產獎勵가 實施되고있었으며 그中에 棉은 朝鮮의 特用作物中 最重要한地位에 將來性을가지고있다

南朝鮮六道에는 棉作地擴張計劃이 實施되어 技術員의 配置改良種子의 配付更新等으로 一路增産을 圖謀하였었다 棉花에나올가는 것은 大麻, 苧麻, 亞麻等이다 麻類는 衣服

地로서 草鞋, 魚網, 麻布用으로서 工用途는 넓다 解放後는 麻類外에 煙草等의 特用作物은 1946年度作付面積이 南朝鮮全耕地作付面積의 7.3%를 占有하고있다 此等作物은 多量의 施肥와 多大의 勞動力을 要하는 市場作物인만큼 解放後營 上の 諸惡條件은 收穫의 減少를 不得히하게하여 1946년에 있어서 例年에 比하여 棉作은 55%로 煙草는 78%로 減少되었고 生産量亦是 低下되었다

(第45表)

南朝鮮棉花及煙草生産量

	耕作面積(町步)			町 畝 收 量			生 産 高		
	1940-44	1945	1946	1940-44	1945	1946	1940-44	1945	1946
棉 花	237,558	180,285	127,225	747.5斤	622.0斤	785.3斤	177,568,380斤	112,137,089斤	99,908,608斤
煙 草	15,204	9,350	8,252	404.3貫	—	288.9貫	6,146,720貫	2,900,637貫	2,384,344貫

註 1945年度煙草生産高는 未詳, 此數字는 煙草收量을 表示함

(5) 蔬 菜

薯類, 蔬菜等은 解放前과 別樣差異가 없으나 其中蔬菜는

都市住民의 彈力性은 需要로 말미암아 生産이若干 低下된 傾向이보인다

(第46表)

南朝鮮薯類蔬菜生産量

	面 積		收 穫 高		生 産 量	
	面 積	1940-44年 에對한比較	1町步當 收 穫 高	1940-44年 에對한比較	生 産 量	1940-44年 에對한比較
1930-34-36 年 平 均	125,442町步	71.7%	2,074.4貫	117.4%	260,217,373貫	84.1%
1940-44	175,070	100.0	1,766.4	100.0	309,247,052	100.0
1945	203,062	116.0	1,581.8	89.5	321,202,985	103.9
1946	166,349	95.0	1,632.1	92.4	271,495,876	87.8

(6) 果 實

朝鮮에서 產出하는 果樹類는 明朗한 天候와 花崗岩質의 土壤等 自然條件의 絶好한 影響을 받아 果樹栽培에 有利한 惠澤을 주고있다 따라서 大體로 到處마다 果樹栽培의 適地를 發見할수있는 것이요 特別히 梨, 苹果, 桃, 葡萄等은 優良品을 많이내어서 外國品質을 凌駕하고있으니 그의 甘味, 滋味, 酸味, 鹽味等 調和된 特異한 風味는 外國優良種의 追從을 不許하여 國際市場의 歡迎을 많이받고있는 것이 사실이다 이것은 珍客의 往來가 頻繁한 鐵道沿線 例하면 三浪津 大邱 烏致院 仁川 萊紗 平壤 嶺南浦 黃川 安邊 咸興 等地에 果樹栽培

가 盛行되고있음에 비취어있을수 있는 것이다 그 財源는 大體日人의 손을 거처 關東州 西伯利亞 上海 香港 等 國際市場에 運出하였으나 解放된 今日에 있어서는 自主貿易의 確立과 아울러 더욱 廣範히 擴大된 것이 期待되나 生産面에 있어서는 果園의 財產歸屬關係가 不明確하므로 因한 管理方法의 無意識乃至不充分에 止쳐서 肥料及 農藥品의 不足으로 病害虫의 猖獗 氣候의 不順 등으로 減産되었다 朝鮮의 果樹園藝는 將來에 發展이 期待되며 地下鑛物及 水産物과 아울러 外貨獲得에 相當한 役割을 할 것이 또한 期待되는 바이다

38 以南의 果實生産狀況을 보면 다음과 같다

(第47表)

南朝鮮果實生產高

	面 積		收 穫 量		生 產 高	
	面 積	1940—44年 에對한比較	1町步當 收 穫 量	1940—44年 에對한比較	生 產 高	1940—44年 에對한比較
1940—34—36 年 平 均	7,443町步	55.2	1,453.1	131.7	10,185,574	68.5
1930—44平均	13,481	100.0	1,103.3	100.0	14,873,689	100.0
1945	14,810	109.9	803.0	72.8	11,893,053	80.0
1946	14,306	106.1	1,140.5	103.4	16,316,265	109.7

(第48表)

解放後三個年間南朝鮮米穀生產高 (單位精穀石)

	1945年	1946年	1947年	3個年平均	100分比
京 畿	—	—	6,171	2,057	0.0%
忠 北	2,070,027	2,003,280	2,193,982	2,089,096	16.2
忠 南	810,734	664,546	766,708	747,462	5.8
全 北	1,637,961	1,328,084	6,656,903	1,538,982	11.9
全 南	1,894,120	1,700,092	1,993,001	1,862,404	14.4
慶 北	2,433,092	2,175,821	2,371,359	2,326,757	18.0
慶 南	1,863,721	1,967,546	2,372,155	2,067,807	16.0
江 原	1,687,295	1,742,017	1,998,022	1,809,111	14.0
濟 州	452,699	451,555	476,243	460,166	3.6
合 計	—	14,182	21,456	11,879	0.1
合 計	12,849,649	12,047,123	13,856,000	12,917,590	100.0

(第49表)

解放後三個年間南朝鮮麥類生產高 (單位精穀石)

	京 畿	忠 北	忠 南	全 北	全 南	慶 北	慶 南	江 原	濟 州	合 計	100分比	
1945年												
大麥	84,266	19,580	91,340	15,076	8,706	450,952	486,950	14,880	—	1,171,750	47.0	
裸麥	287	—	18,175	81,686	530,134	29,032	191,406	—	—	850,720	34.0	
小麥	22,976	24,508	17,519	23,197	62,356	74,079	88,746	9,166	—	322,544	13.0	
胡麥	10,937	7,693	8,288	30,059	4,357	18,886	32,178	35,360	—	147,758	6.0	
計	118,466	51,781	135,322	150,018	605,553	572,946	799,280	59,406	—	2,492,772	100.0	
1946年												
大麥	265,718	272,863	321,606	54,519	95,177	752,019	553,470	51,099	—	2,366,471	47.7	
裸麥	1,618	192	71,461	416,539	1,390,439	16,356	133,072	25	—	2,029,702	40.9	
小麥	52,161	43,886	53,731	40,830	54,968	102,231	56,143	13,268	—	417,218	8.4	
胡麥	14,758	21,724	19,721	31,164	1,336	20,938	22,678	17,767	—	150,086	3.0	
計	334,255	338,665	466,519	543,052	1,541,920	891,544	765,363	82,159	—	4,963,477	100.0	
1947年												
大麥	232	218,400	161,170	223,944	94,068	18,029	525,787	498,239	79,948	47,461	1,867,278	49.5
裸麥	218	1,489	368	67,738	327,577	756,031	17,032	141,974	—	27,821	1,340,248	35.6
小麥	241	109,243	49,482	33,451	36,058	51,957	91,039	59,829	13,969	2,740	448,009	11.9
胡麥	26	16,732	22,070	13,182	26,999	3,771	15,834	2,114	18,534	13	118,455	3.0
計	717	345,864	233,090	338,315	473,882	829,788	649,692	702,156	112,451	78,035	3,763,990	100.0
3個年平均												
大麥	232	189,461	151,204	212,296	51,221	40,637	576,252	512,883	38,642	47,461	1,820,292	48.3
裸麥	218	1,131	280	52,684	278,600	885,534	20,807	155,484	25	27,821	1,422,584	37.7
小麥	241	61,460	39,292	34,900	33,361	56,427	89,115	63,236	12,134	2,740	397,906	10.5
胡麥	26	14,142	17,162	13,363	29,134	3,154	18,552	15,656	20,553	13	131,755	3.5
計	717	266,194	207,938	313,243	392,316	985,752	704,726	752,262	71,354	78,035	3,772,537	100.0
100分比	—	7.1	5.5	8.3	10.4	26.1	18.7	19.9	1.9	2.1	100.0	—

(第50表)

小 麥 收 穫 高

	1941年度		1942年度		1943年度		1944年度	
	生 產 高 石	作 付 面 積 町步	生 產 高 石	作 付 面 積 町步	生 產 高 石	作 付 面 積 町步	生 產 高 石	作 付 面 積 町步
京 畿	121,909	24,687.8	140,827	27,551.7	105,396	26,165.2	151,653	25,222.8
忠 北	88,305	12,934.6	74,508	15,700.6	73,989	16,986.4	99,956	16,306.0
忠 南	76,823	10,984.0	64,656	11,813.4	70,915	12,226.8	66,398	10,920.8
全 北	53,906	7,322.6	44,104	7,147.8	41,095	6,724.6	57,669	8,446.2

全	南	66,765	8,104.6	68,566	9,206.5	76,433	12,421.2	87,481	12,845.1
慶	北	172,201	31,017.8	121,365	26,107.4	171,506	30,969.3	190,579	29,431.9
慶	南	74,511	11,612.8	68,076	11,343.9	52,034	11,759.1	88,860	13,086.9
黃	海	589,588	129,985.6	573,546	127,425.8	597,935	112,192.3	767,439	135,963.8
平	南	302,297	48,592.6	230,235	48,857.0	199,099	43,398.9	236,419	39,868.3
平	北	5,177	1,978.2	8,070	2,487.4	11,661	3,723.9	32,633	6,472.5
江	原	7,167	28,427.1	99,528	27,473.8	84,064	26,662.3	96,281	24,100.0
成	南	19,788	6,744.0	20,678	8,273.8	24,799	7,443.4	33,736	7,013.8
成	北	1,087	522.9	996	1,435.6	605	233.3	26	7.4
合	計	1,650,525	322,905.6	1,515,155	325,824.7	1,509,531	310,906.7	1,909,180	329,685.5

(第51表)

裸 麥 收 穫 高

		1941年		1942年		1943年		1944年	
		作付面積 町步	生産高 石	作付面積 町步	生産高 石	作付面積 町步	生産高 石	作付面積 町步	生産高 石
京	畿	8,724	1,271.2	6,162	933.0	5,616	1,001.2	7,832	1,020.4
忠	北	1,100	193.2	5,811	1,232.4	3,925	975.8	5,035	649.3
忠	南	178,173	206,649.5	140,088	21,487.1	174,402	21,265.4	201,618	24,296.4
全	北	834,566	91,531.6	726,873	109,418.7	651,324	101,999.2	844,601	94,054.7
全	南	1,750,266	162,480.3	1,686,116	178,630.9	1,195,214	170,168.5	1,600,616	169,470.8
慶	北	40,640	11,095.7	68,776	19,915.7	77,256	16,974.5	46,165	10,069.0
慶	南	417,531	42,761.9	422,454	55,597.6	338,461	55,772.7	422,311	47,170.0
黃	海	2,329	478.1	2,846	626.9	2,661	485.0	1,381	248.7
平	南	5,917	1,196.2	5,905	1,822.6	2,150	1,074.8	1,043	214.8
平	北	—	—	—	—	—	—	—	—
江	原	538	124.4	251	74.4	145	37.5	245	46.4
成	南	—	—	—	—	—	—	—	—
成	北	—	—	—	—	—	—	—	—
合	計	3,324,604	517,782.1	3,065,282	390,094.3	2,451,154	369,754.6	3,130,847	347,240.5

(第53表)

粟 收 穫 高

京	畿	26,533.5	119,399	26,514.8	113,216	24,959.8	106,098	23,771.2	138,783
忠	北	12,639.6	79,830	26,236.4	92,158	15,124.4	71,225	17,788.3	84,139
忠	南	2,226.3	15,783	24,518.5	27,518	2,011.6	9,253	7,927.4	32,978
全	北	6,093.3	39,139	16,149.8	26,743	5,954.8	36,036	20,581.1	104,080
全	南	39,731.8	175,050	47,877.9	119,422	37,097.2	226,664	49,783.3	274,804
慶	北	27,692.8	198,028	65,778.5	299,230	39,000.4	245,703	77,224.1	291,907
慶	南	1,896.8	11,973	31,179.3	30,415	2,106.7	13,434	13,712.3	56,901
黃	海	151,473.4	805,785	121,266.2	872,197	155,306.8	1,045,215	127,292.0	690,501
平	南	109,953.0	787,408	116,975.3	505,140	103,002.7	750,619	83,384.5	575,001
平	北	92,312.2	440,378	85,746.4	380,408	78,088.0	473,934	80,223.4	580,015
江	原	69,364.6	238,409	66,978.3	252,856	70,984.8	291,038	65,022.3	273,094
成	南	67,462.5	281,747	67,086.8	364,664	65,046.4	421,807	61,371.9	435,281
成	北	55,037.1	204,705	50,964.0	214,140	51,041.1	318,842	49,198.0	378,365
合	計	662,416.9	3,397,632	716,772.2	3,298,107	657,724.7	4,009,868	677,279.8	3,915,849

(第53表)

蕎 麥 收 穫 高

京	畿	3,223.3	16,203	7,428.2	24,679	4,966.9	24,636	3,839.2	22,016
忠	北	2,022.2	10,034	6,403.2	19,585	3,172.4	11,694	5,097.7	19,545
忠	南	1,099.3	8,282	7,693.6	22,082	4,256.2	5,870	7,055.0	18,982
全	北	1,792.2	10,873	3,749.3	12,819	1,693.6	8,403	8,434.0	19,894
全	南	7,210.3	36,276	9,182.5	18,639	5,845.4	21,366	15,954.9	72,491
慶	北	3,709.7	19,204	16,800.8	40,199	2,514.4	8,951	19,938.6	46,994
慶	南	867.3	4,556	8,677.2	14,039	834.3	4,421	8,316.7	23,369
黃	海	19,664.7	107,451	19,624.2	117,577	22,750.2	91,683	18,119.0	91,665
平	南	61,010.2	70,542	20,933.3	79,119	16,577.5	70,289	24,746.1	105,665
平	北	18,551.1	61,912	17,804.1	44,119	20,505.6	73,205	18,427.9	55,535
江	原	26,471.9	76,913	27,507.5	76,104	25,289.1	74,856	21,438.9	78,058
成	南	17,443.7	53,087	21,201.5	65,757	17,832.8	71,331	18,114.6	79,041

威 合	北 計	973.0 164,039.4	2,181 447,564	12,879.8 179,885.2	19,403 554,121	2,143.6 128,387.0	6,431 473,136	2,562.4 172,065.0	9,314 642,669
--------	--------	--------------------	------------------	-----------------------	-------------------	----------------------	------------------	----------------------	------------------

(第54表)

玉蜀黍收穫高

	1941年		1942年		1943年		1944年	
	作付面積 町步	生産高 石	作付面積 町步	生産高 石	作付面積 町步	生産高 石	作付面積 町步	生産高 石
畿	518.6	2,538	812.6	3,712	1,417.0	6,079	1,845.3	
北	433.4	2,308	555.7	2,059	587.0	2,384	727.1	
南	321.5	2,259	323.9	1,684	339.6	1,627	267.6	
北	196.3	1,182	160.4	693	204.6	1,021	1,374.3	
南	240.6	1,560	146.7	454	127.3	602	417.8	
北	1,056.6	6,589	1,003.2	3,445	1,085.0	5,512	1,307.1	
南	146.7	973	61.4	261	161.5	924	619.0	
海	13,170.8	70,474	13,943.2	101,991	20,883.2	144,302	17,035.0	
南	26,364.0	140,163	25,161.8	129,320	30,875.2	774,136	40,142.0	
北	77,561.9	505,027	81,543.4	492,320	93,274.6	199,626	87,961.1	
原	31,743.7	101,373	30,109.0	120,409	35,730.1	150,066	33,887.6	
南	9,305.6	38,306	8,497.9	47,153	8,994.1	52,885	13,154.0	
北	4,744.8	22,098	4,067.5	18,934	6,605.1	38,347	12,095.2	
計	165,804.5	894,838	166,385.7	922,435	200,284.3	1,177,511	210,823.1	1.1

(第55表)

大豆收穫高

畿	57,795.4	275,537	55,199.7	219,119	14,985.6	166,437	57,404.3	245,116
北	26,463.1	136,361	23,456.0	78,914	23,844.1	82,575	21,148.2	85,650
南	29,410.5	161,960	26,749.0	109,189	28,049.5	90,880	24,308.4	92,920
北	23,400.5	120,585	20,802.0	62,390	62,707.6	125,214	27,413.4	120,154
南	22,305.3	113,955	17,671.6	39,869	24,128.6	83,726	30,257.9	
北	55,291.3	315,924	31,673.7	80,573	51,772.8	207,613	43,312.5	87
南	20,028.8	93,002	14,024.4	29,642	20,680.7	92,236	26,756.7	66
海	100,004.4	556,947	67,820.6	268,772	79,541.4	249,759	73,703.8	387
南	47,071.0	205,440	37,958.4	137,300	42,974.7	154,307	42,848.3	290
北	81,120.8	335,210	71,369.0	246,305	78,065.4	335,081	85,085.3	463
原	66,158.0	255,257	58,572.5	195,666	63,768.7	192,307	58,740.2	238
南	67,219.2	207,893	62,584.5	146,924	63,398.0	245,163	65,782.2	212
北	56,215.3	151,514	59,428.1	100,218	54,927.1	223,549	56,106.9	268
計	652,483.6	2,929,585	538,209.5	1,714,881	608,844.2	2,248,897	612,868.1	2,695

(第56表)

小豆收穫高

畿	7,164.6	26,022	5,948.3	18,554	5,240.1	13,918	4,434.1	
北	4,716.6	14,976	2,894.8	8,566	2,885.5	8,459	3,851.4	
南	4,039.1	12,433	3,286.8	10,985	3,492.1	8,765	3,064.7	
北	3,137.6	15,269	3,344.7	10,058	3,695.2	3,804	3,283.4	
南	3,051.6	14,302	2,706.7	5,016	2,900.5	7,831	3,818.6	
北	2,011.6	7,646	2,169.4	4,576	1,903.0	6,927	2,397.1	
南	1,553.4	5,735	1,506.1	2,887	1,169.2	4,205	1,406.4	
海	56,292.4	245,990	46,583.2	147,188	50,603.4	118,412	43,589.0	
南	42,322.9	167,125	38,400.4	112,053	37,994.0	142,602	41,555.4	
北	29,488.3	93,544	27,954.3	77,670	27,793.9	42,361	28,061.7	
原	18,575.1	51,032	15,065.4	37,695	16,076.5	35,529	11,714.1	
南	18,252.4	25,030	15,234.2	20,921	16,132.9	44,450	14,178.5	
北	2,677.9	4,720	2,148.9	3,646	2,642.7	9,376	7,692.5	
計	193,283.5	683,824	167,243.2	459,815	172,529.0	456,639	169,046.9	

(第57表)

1944年度豆類雜穀生産高

	綠豆	菜豆	豌豆	其他豆類	花生	叫麥	稗	黍	蜀黍	燕麥	甘藷	馬鈴薯
京	3,033	1,916	945	6,590	250	31,109	3,390	363	27,190	843	9,025,213	6,994,004
忠	1,104	6	7	880	23	13,549	—	624	9,134	—	2,099,807	7,424,791

南	1,049	141	59	1 278	10	16,009	56	—	9,512	47	5 646 375	3 370 025
北	915	220	284	401	2	35,101	20	251	5,418	—	15 412 975	3 098 279
南	307	—	—	—	—	3,752	1,100	—	5,987	—	25 425 480	1 504 766
北	339	7	47	—	3,642	28,910	4,244	13,031	2,542	2,389	1 670 335	8 273 384
南	287	53	41	136	664	20,980	14,221	2 655	10,892	—	9,117 549	3 434 032
海	38,691	27	36	3,063	336	7,322	7,442	1 611	93,383	—	23 784 790	10,159 610
南	2,704	385	133	1,415	1,147	1,629	29,619	1 514	261,348	423	10 994 161	11,411 655
北	2 332	6,704	56	—	774	—	68,829	6 563	147,338	—	5 305 615	9 367 380
原	1 702	517	42	1 972	44	79,830	27,328	118	13,422	3,299	1 777 410	40 091 167
南	302	12 308	2,909	5 720	—	1,673	186,922	10 353	55,560	174,205	9 000	104,441 480
北	1 099	10 457	3,783	1 604	—	17	70,155	10,066	57,723	16,675	1,725	28 006 205
計	53,864	32 741	8,342	23,059	6,892	239,881	413,326	47,149	699,449	197,881	110,264,435	237,576 678

(第58表)

## 胡 麻 收 穫 高

	1 9 4 3 年 度			1 9 4 4 年 度		
	作付面積 町	收 穫 高 千石	反當收穫 石	作付面積 町	收 穫 高 千石	反當收穫 石
畿	1,392.5	3 353	241	1 309.7	4,493	343
北	562.4	1 796	319	510.1	1,532	300
南	561.2	2 170	387	545.0	2,116	479
北	436.0	1,712	392	416.6	1,711	411
南	916.2	2 522	273	905.3	2,520	279
北	413.4	1 372	334	413.4	1,382	334
南	280.0	832	297	291.7	693	238
海	591.7	1,748	295	617.6	1 554	252
南	493.9	1 614	326	367.4	1 104	301
北	673.6	1 807	267	452.8	1 790	395
原	736.2	1,732	235	638.9	1 521	240
南	203.3	455	223	135.0	417	309
北	54.4	82	151	53.3	793	149
計	7,314.8	21,195	280	6 656.8	21,626	325

(第59表)

## 苳 子 收 穫 高

	1 9 4 3 年 度			1 9 4 4 年 度		
	作付面積 町	收 穫 高 千石	反當收穫 石	作付面積 町	收 穫 高 千石	反當收穫 石
畿	2 014.5	4,467	222	1,771.8	4 380	247
北	693.7	2,021	291	711.2	1 920	270
南	591.7	1,894	320	549.6	1 992	362
北	428.9	1,829	426	410.0	1 874	457
南	215.4	587	273	212.3	577	272
北	260.3	759	292	260.1	759	292
南	283.6	749	264	299.0	672	225
海	319.7	1,127	353	268.7	887	330
南	262.0	692	264	211.8	566	267
北	1,620.3	4,619	285	1,967.1	4 803	244
原	1,787.1	4,718	264	1,627.6	4 213	259
南	864.4	1,668	193	443.2	815	184
北	323.2	356	110	225.2	367	163
計	9,664.8	25,486	264	8,957.6	23,825	266

(第60表)

## 苳 麻 收 穫 高

	1 9 4 3 年 度			1 9 4 4 年 度		
	作付面積 町	收 穫 高 千石	反當收穫 石	作付面積 町	收 穫 高 千石	反當收穫 石
畿	1 077.9	2 705	251	1,286.2	4,913	382
北	491.4	1 536	313	542.8	1,780	328
南	441.2	1 770	401	463.4	2,112	456

全	北	514.4	3,227	627	725.9	5,516	760
全	南	344.8	1,202	349	417.5	1,810	434
慶	北	459.5	1,635	356	459.5	1,635	346
慶	南	1,135.2	1,444	127	959.9	2,670	278
黃	海	607.9	3,231	532	621.1	3,588	578
平	南	197.8	714	443	259.3	1,018	497
平	北	2,953.6	8,359	283	2,688.2	3,826	142
江	原	604.6	2,232	369	1,015.3	3,069	302
威	南	360.9	386	107	347.4	578	166
威	北	13.6	15	108	37.3	42	113
威	北計	9,202.8	28,486	310	9,814.8	32,557	332

(第61表)

杷 柳 收 穫 高

		1943年度			1944年度		
		作付面積 町	收 穫 高 kg	反當收穫 kg	作付面積 町	收 穫 高 kg	反當收穫 kg
京	畿	—	—	—	—	—	—
忠	北	—	—	—	—	—	—
忠	南	0.5	400	80	1.1	2,680	244
全	北	2.5	1,000	40	—	—	—
全	南	—	—	—	—	—	—
慶	北	0.5	500	100	0.5	500	100
慶	南	—	—	—	—	—	—
黃	海	—	—	—	—	—	—
平	南	—	—	—	—	—	—
平	北	—	—	—	—	—	—
江	原	13.7	6,850	50	40.5	19,238	48
威	南	—	—	—	—	—	—
威	北	—	—	—	—	—	—
威	北計	17.2	8,750	51	42.1	22,418	53

(第62表)

除 虫 菊 收 穫 高

		1943年度			1944年度		
		作付面積 町	收 穫 高 kg	反當收穫 kg	作付面積 町	收 穫 高 kg	反當收穫 kg
京	畿	—	—	—	—	—	—
忠	北	—	—	—	—	—	—
忠	南	—	—	—	—	—	—
全	北	681.6	83,044	12	586.2	58,181	10
全	南	2.7	510	19	2.7	510	19
慶	北	—	—	—	—	—	—
慶	南	—	—	—	—	—	—
黃	海	—	—	—	—	—	—
平	南	—	—	—	—	—	—
平	北	—	—	—	—	—	—
江	原	—	—	—	—	—	—
威	南	—	—	—	—	—	—
威	北	—	—	—	—	—	—
威	北計	684.3	83,554	12	588.9	58,691	10

(第63表)

薄 荷 收 穫 高

		1943年度			1944年度		
		作付面積 町	收 穫 高 kg	反當收穫 kg	作付面積 町	收 穫 高 kg	反當收穫 kg
京	畿	0.7	460	65	—	—	—
忠	北	—	—	—	—	—	—
忠	南	2.5	8	30	1.8	920	51
全	北	45.4	15,477	24	21.9	4,242	19

南	4.5	1,080	23	—	—	—
北	4.3	2,660	63	4.3	2,690	63
南海	—	—	—	—	—	—
海南	0.3	210	70	—	—	—
北原	—	—	—	—	—	—
南原	—	—	—	—	—	—
北計	—	—	—	—	—	—
計	57.7	19,895	34	28.0	7,852	28

(第64表)

1944年度蔬菜作付面積 (單位反)

	京	畿	忠	北	忠	南	全	北	全	南	慶	北	慶	南	江	原	合	計
根	75,004	18,374	30,590	30,420	47,598	29,558	29,937	39,434	300,913									
蔘	429	43	154	15	428	588	1,788	17	3,462									
旁	869	251	378	10	406	635	690	39	3,278									
畦	855	1,364	1,534	41	320	2,085	2,818	4	9,021									
菜	63,898	65,920	100,521	96,079	129,194	95,269	84,477	83,774	719,132									
蕪	1,042	113	662	206	664	186	706	413	3,992									
	7,050	1,655	5,332	2,092	2,557	2,234	2,462	1,038	24,420									
頭	2	5	262	106	1,252	29	100	—	1,756									
蒜	9,850	6,014	8,504	6,986	7,686	5,533	3,890	4,993	53,676									
瓜	19,187	1,615	6,015	1,504	2,938	1,772	2,034	2,334	37,399									
瓜	18,147	2,312	6,436	13,988	3,865	6,403	4,138	3,252	58,541									
瓜	2,368	1,005	1,371	701	4,592	2,203	2,106	486	14,832									
瓜	14,248	3,288	3,478	1,286	5,532	2,849	2,538	1,740	34,959									
子	4,787	1,055	4,096	1,915	3,277	1,500	2,352	755	19,737									
茄	1,738	33	305	252	245	595	568	60	3,796									
椒	26,659	8,634	1,436	11,663	13,706	9,214	6,874	8,913	87,099									
他	4,174	1,042	4,709	1,176	2,984	2,053	1,415	109	17,662									
計	250,307	112,723	175,783	168,440	227,244	163,124	148,693	147,361	1,393,675									

(第65表)

1944年度蔬菜收穫高 (單位貫)

根	22,161,524	2,087,575	7,608,607	5,793,756	14,521,663	5,278,634	6,724,718	7,436,871	71,613,348
蔘	121,490	1,020	41,040	747	13,303	80,744	314,920	1,007	604,774
旁	303,162	77,090	69,802	1,762	68,882	94,678	148,438	8,387	772,201
畦	310,591	313,618	562,251	3,809	81,992	215,849	621,225	215	2,109,650
菜	20,784,377	2,573,389	5,899,592	3,928,402	6,582,142	3,987,361	3,994,669	4,290,252	52,040,487
蕪	439,338	10,133	44,317	37,695	195,320	32,404	216,120	159,514	1,134,841
	1,649,225	247,577	685,412	325,561	634,164	357,948	476,422	292,436	4,668,745
頭	600	750	53,267	12,370	272,750	5,776	26,210	—	377,723
蒜	1,077,761	450,564	778,013	582,415	729,381	519,060	279,109	423,993	4,840,336
瓜	4,372,090	204,545	1,134,351	218,761	576,864	328,114	555,828	380,757	7,771,313
瓜	5,229,895	363,130	1,419,153	3,415,950	861,552	963,337	944,494	737,799	13,935,310
瓜	826,194	185,935	297,544	105,735	853,170	562,646	627,018	213,190	3,671,432
瓜	3,834,591	511,822	747,991	167,808	911,330	599,729	596,557	405,858	7,767,686
子	1,291,507	130,740	487,618	245,065	535,756	172,463	574,368	125,024	3,622,541
茄	699,201	6,788	53,077	23,075	71,140	46,069	122,301	17,714	1,040,195
椒	1,753,777	397,232	9,834,900	36,550	694,552	245,748	335,725	653,901	13,952,385
他	987,504	154,011	558,268	217,550	257,327	685,020	293,100	20,560	3,173,740
計	65,842,827	7,715,919	30,284,076	15,117,411	27,921,291	14,175,683	16,872,022	15,167,478	193,096,707

(第66表)

1945年度蔬菜收穫高 (單位貫)

大	根	15,513,067	2,161,362	5,326,025	4,005,629	10,165,164	3,695,044	4,707,303	5,295,810	50,779,404
人	蔘	85,043	714	28,728	523	61,114	56,171	241,374	715	474,382
牛	旁	243,520	61,672	55,842	1,410	55,106	75,842	118,750	6,707	618,849

薑	310,591	336,618	562,251	3,803	81,992	215,949	621,225	215	2,132,650
菜	14,549,064	1,801,872	4,123,714	2,749,881	4,607,499	2,701,155	2,796,473	3,003,176	36,428,834
藍	307,537	7,093	31,222	26,387	176,724	22,682	151,284	111,660	834,389
	1,319,468	198,062	548,330	260,449	507,331	286,358	391,138	233,982	3,745,118
頭	360	450	35,560	6,322	163,650	3,466	15,726	—	225,534
蒜	1,078,761	450,564	778,053	582,415	729,381	517,060	279,109	423,993	4,839,336
瓜	3,497,672	163,636	907,487	175,009	461,431	262,491	444,662	396,606	6,309,054
瓜	4,767,606	326,817	1,277,238	3,073,455	775,397	867,003	850,045	664,019	12,601,580
瓜	660,891	148,748	238,059	84,588	632,536	450,157	501,614	170,552	2,937,145
子	3,067,673	409,458	599,993	134,246	729,064	479,783	469,296	334,686	6,224,199
子	1,033,206	104,592	386,894	196,050	476,605	137,970	459,494	100,019	2,894,830
茄	489,441	4,752	37,735	16,153	49,788	32,248	85,611	12,403	728,138
椒	1,052,266	238,339	5,900,940	218,130	416,731	147,449	201,455	392,341	8,567,651
他	691,253	107,808	390,788	152,555	180,129	479,514	205,170	14,322	2,221,539
計	48,667,419	6,522,557	21,234,659	11,687,011	29,319,712	10,520,342	12,539,729	11,071,203	142,562,632

(第67表)

1944年度一反步當收穫高(單位貫)

	京 畿	忠 北	忠 南	全 北	全 南	慶 北	慶 南	江 原	平均
根	295	168	249	190	280	189	224	94	211
蔘	283	163	266	50	198	136	191	46	167
秀	347	307	184	110	217	149	215	106	204
薑	361	329	366	93	217	104	220	47	217
菜	325	134	234	166	213	145	197	72	185
藍	428	90	66	184	191	174	303	168	201
	233	149	128	156	178	160	193	71	159
頭	300	150	223	187	225	199	262	—	193
蒜	109	75	98	84	103	77	75	42	83
瓜	227	126	188	146	200	285	273	81	191
瓜	294	157	220	244	212	150	270	133	210
瓜	349	165	216	148	211	255	245	93	210
瓜	269	155	216	130	165	211	231	116	186
子	270	124	118	128	188	115	244	82	159
茄	402	205	176	92	238	77	217	82	186
椒	65	46	58	31	62	79	48	36	53
他	234	148	118	185	177	344	207	64	185

(第68表)

1944年度蔬菜生產價格表

									合 計
根	6,407,168	634,258	1,783,192	1,990,911	3,687,716	1,240,860	1,562,306	1,875,844	19,182,195
蔘	120,408	15,412	31,461	597	78,253	54,619	310,960	1,629	613,339
秀	383,145	19,582	70,825	1,938	83,996	104,148	164,617	9,685	837,936
薑	321,530	236,895	562,251	3,047	79,196	172,759	583,662	228	1,959,568
菜	11,622,415	781,764	2,133,694	1,279,919	2,280,103	1,274,977	1,410,330	1,657,676	22,440,878
藍	294,441	4,810	25,630	19,282	107,267	16,586	109,127	86,634	663,827
	1,586,603	235,376	408,160	186,175	400,533	187,717	371,673	172,244	3,548,481
頭	90	525	45,619	15,952	248,185	6,353	186,348	—	443,063
蒜	1,271,177	414,641	661,465	1,188,987	1,251,179	1,293,650	260,302	978,588	7,319,989
瓜	3,392,369	116,147	1,120,967	187,860	472,216	485,153	570,357	207,655	6,552,726
瓜	1,896,087	107,300	448,068	1,014,051	530,163	286,065	405,998	368,703	5,056,405
瓜	434,399	69,954	110,173	48,915	432,793	246,783	200,174	106,595	1,649,786
瓜	1,894,053	141,405	249,298	67,723	495,505	268,872	266,774	137,989	3,521,619
子	1,092,594	70,925	364,183	194,743	435,024	223,902	478,680	68,617	2,928,718
子	676,159	3,518	46,475	12,778	67,930	46,069	154,503	12,663	1,020,095
茄	1,753,777	477,691	909,708	541,626	947,006	737,067	341,560	1,431,332	7,139,767
他	1,449,639	85,848	290,502	126,298	198,369	391,848	255,268	10,767	2,803,589
計	34,595,994	3,416,051	9,261,664	6,880,802	11,790,434	7,037,428	7,572,609	7,128,899	87,681,881

\*以下は I-357頁を繼續

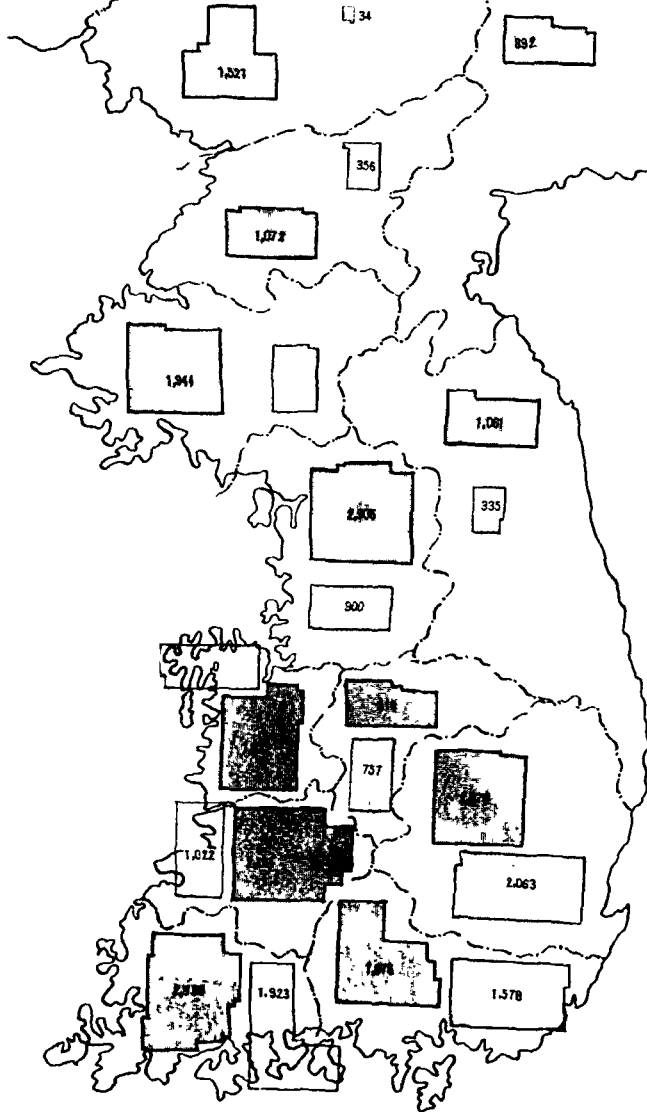


## 道別米穀及麥類平均生產高

自 1936 年  
至 1944 年 米穀 9 箇年間平均生產高  
總生產高 20,236,437 石

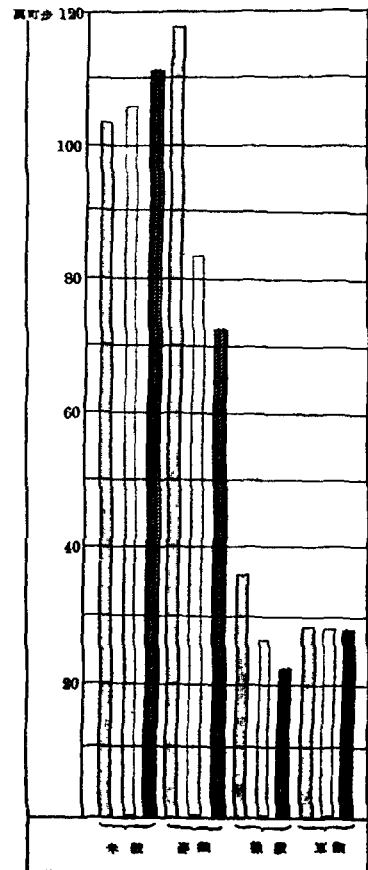
自 1939 年  
至 1944 年 麥類 6 箇年間平均生產高  
總生產高 11,073,698 石

單位 千石



自 1942 年  
至 1944 年 年平均  
1943 年  
1944 年

解放前後三箇年間南朝鮮品種別耕作面積

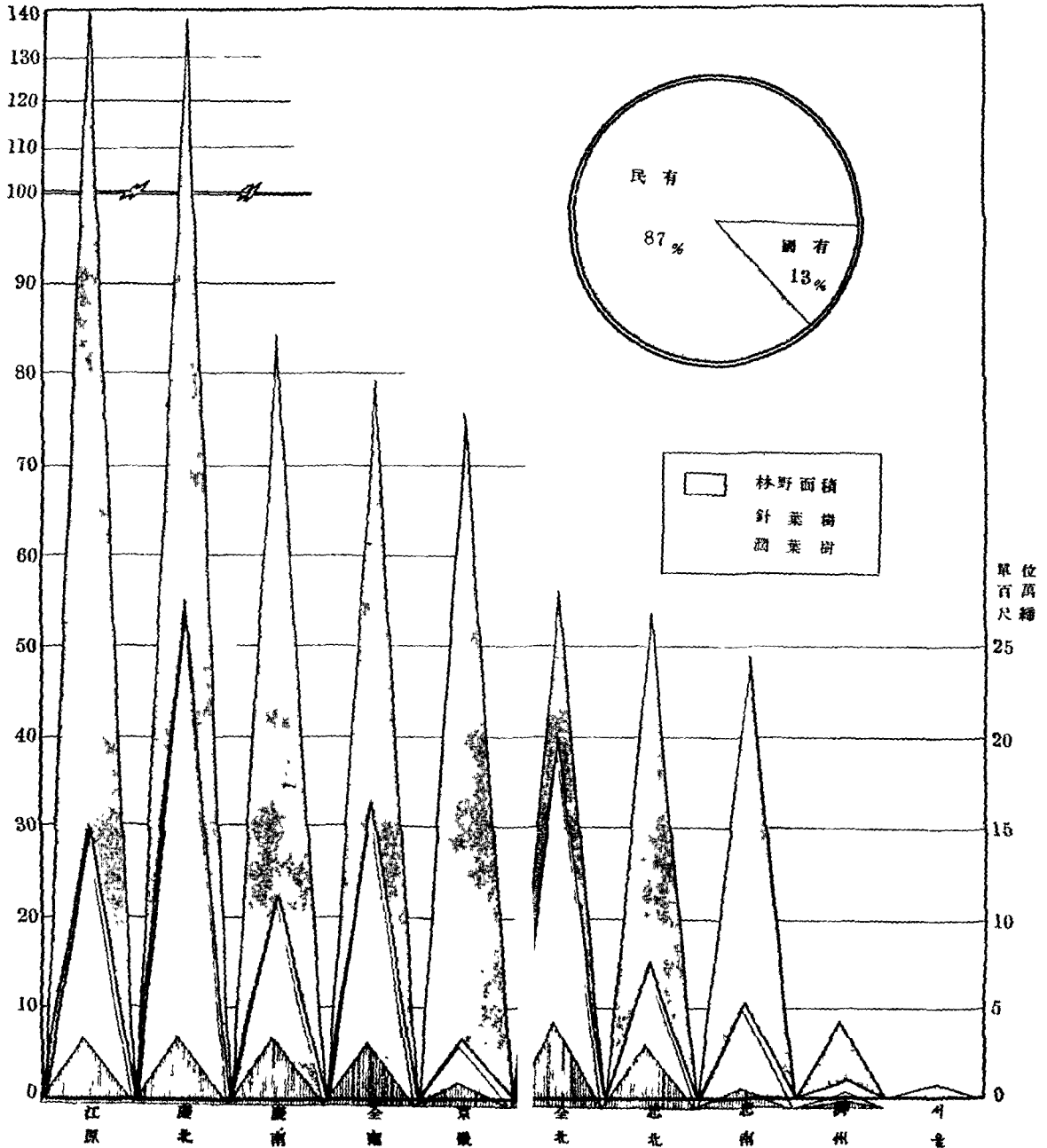


# 林業

(1-54)

## 南朝鮮林野面積及蓄積

單位萬町步



# 林 業

## 目 次

<p>1 概 說</p> <p>2 日政의山林收奪相</p>	<p>3 解放後의實狀 概說—林政—伐採—製材</p> <p>4 朝鮮林業의將來 立地條件—木材需給面</p>
--------------------------------	---

### 1. 概 說

國民經濟生活에 林業이 얼마나 중요한 影響을 주는가는 이루 말할必要도 없거니와 解放以來燃料 炭보 建築用材及鐵道用材等의建設資材가 絕對的으로 不足됨에鑑하여 林業의重要性은 더욱切實함을느끼지아니할수없다

朝鮮은 世界에 種類例없는 山林國으로 全國土의 73% 即 1,627 萬餘町步의 林野面積을擁하고 있으며 其中 532 萬餘町步가 國有林 1,094 萬餘町步가 民有林으로 되어 있다

그러나 이와같은 廣大한 林野를擁하고 있는 山林國임에도 불구하고 그의 蓄積率은 大端히 貧弱하며 더욱其成林地는 大部分 北朝鮮의 脊梁部即 鴨綠江 豆滿江의 兩流域에 偏在하고 있으며 南北이 分割되고 있는 現今에 있어서는 南朝鮮의 林業은 한層 더 困窮에 빠서 있는 바이다

(第 1 表) 南北林野面積及蓄積比率 (1942年)

	面積 (千町步)	比率 (%)	蓄積 (千尺締)	比率 (%)
38度以南	6,856	42	254,592	38
38度以北	9,421	58	420,447	62
計	16,277	100	675,039	100

朝鮮林野는 樹種面에서 보면 暖溫寒 三植物地帶에 걸쳐 있으며 樹木 700餘種 其中 高木에는 針葉樹 19種 闊葉樹 136種 竹 3種이 있어 有用한 것이 많으나 全羅道南部와 咸北 平北의 北 部는 除外하고는 모두 溫帶林地帶에 屬함으로 溫帶林이 大部分을 占하고 있다 溫帶林의 重要樹木은 소나무 향나무 잣나무 전나무 팽나무 丹楓類 상수리나무 밤나무 白楡類等이고 鴨綠江 豆滿江上流의 寒帶林에는 분비나무 落葉松類 박달나무類 美柳類 胡桃樹類等이며 全羅道南部及 濟州道의 暖帶林에는 해송 소나무 바자 떡갈나무 楸백 느릅나무等이 主要한 것이다

그러나 1942年 統計에 依한 全林野面積 1,627 萬餘町步中 約 70% 即 1,143 萬町步에 不過한 立木地는 소나무 針葉樹林이 大部分이며 椎樹地又是 雜木萌芽樹林이 많다 이것은 林野蓄積의 貧弱에 나타나는 것이니 下表와 같이 町當林野蓄積은 41.2尺締에 不過하다

(第 2 表) 林野林相別面積 (1942年) (單位町)

	國有	民有	計	百分率
立木地	3,613,289	7,816,539	11,429,828	70.2
叢生地	778,020	1,476,350	2,254,370	13.9
未立木地	488,375	675,953	1,164,328	7.2
火 田	191,644	276,726	468,370	2.8
閉鎖適地	36,623	127,731	164,354	1.0
放牧適地	38,829	117,656	156,485	1.0
採草適地	44,131	217,482	261,613	1.6
除 地	136,725	238,307	375,032	2.3
計	5,327,636	10,946,744	16,274,380	100

(第 3 表) 林野蓄積 (1942年) 單位千尺締

區 分	針葉樹	闊葉樹	計
國 有	168,071	162,381	330,452
民 有	264,553	76,048	340,601
計	432,624	238,429	671,053
町 當 尺 締			
國 有		62 尺締	
民 有		31	
平 均		41.2	

### 2. 日政의山林收奪相

日政은 36年間의 治政에 “治山事業을 根幹으로 삼고 森林育成에 關하여 各般施策을 講究實行하였다” 고 誇言하여 왔으나 現在의 朝鮮林相은 荒廢의 二字를 免할수 없는 現狀이다 日政은 亦實에 있어서 李朝末期의 荒廢한 朝鮮森林保護及育成에 어느 程度努力은 하였든 것이나 그들의 治政期間에 植伐이 均衡을 잃었다는 것은 그들自身이 自認하였든 바이며 過伐로 인한 秃山의 露出을 “삼부락—풍” 하기爲하여 都市附近과 鐵道沿線의 植木에만은 特段留意하여 왔든 것이다 이제 그들의 功이 크냐 罪가 크냐는 다음의 두表가 如實히 證明하여 줄 것이다

(第 4 表)

1910年과 1942年의 林野面積及蓄積對照表

年度	國有林		民有林		合 計	
	面積	蓄積	面積	蓄積	面積	蓄積
	千町步	千尺締	千町步	千尺締	千町步	千尺締
1910	8,303	1,053,000	7,546	不明	15,849	1,053,000
1942	5,327	330,450	10,947	340,580	16,274	671,030

(第 5 表)

1927年以後의 林野蓄積增減表

	蓄積(千尺締)	對1927年比率
1927年	824,734	100
1928	811,743	98
1929	768,175	93
1930	748,787	91
1931	737,574	89
1932	717,387	87
1933	719,851	87
1934	672,231	81
1935	646,178	78
1936	659,194	80
1937	670,857	81
1938	673,215	82
1939	679,744	82
1940	677,819	82
1941	675,040	82
1942	671,034	81

以上에 표시된 第一表에 依하면 1910年當時에는 國有林田의 蓄積이 1,053 百萬尺 縮小된 것이 1942年에는 國有林田의 蓄積이 671 百萬尺 縮小된 것이 第二表에 依하면 1927年以後의 蓄積率은 每年減少되어 15年間에 19%가 減少된 것을 알 수 있는데 그는 日政下에 林野榜下로 받은 日人資本家들의 濫伐로 인한 것이다 耶朝鮮은 古來로 山林의 私占을 禁하며 人民의 共利한 바로 되었는데 日帝는 法令에 依하여 私有林野를 屈出시켰고 屈出되지 않은 것들을 沒收하여 國有로 하였다 以後의 日政의 所代의 植木은 相猝치 못하였을 뿐 아니라 그들의 所謂 大陸建設에 因한 鴨綠江 豆滿江 兩流域의 森林의 濫伐는 極甚하여 朝鮮의 林產額은 年々 驚異의 程으로 縮小되어 갔다

1940	236,670	10,095
1940	462,280	13,868
1910~1943	3,338,525	172,654

以上과 같은 增加는 特히 帝國主義戰爭末期에 隨其 甚하였으며 (所謂 禿山技術) 森林濫伐 特히 松根油松注을 爲한 森林破壞로 因하여 林相田을 林相을 維持하고 있는 것은 겨우 鴨綠江 豆滿江 上流一帶 育梁山 脈은 이루고 있는 狼林山 金剛山 及 智異山 等一部에 不過하고 大部分 特히 都市附近의 荒廢는 더욱 甚함 에 이르렀던 것이다

### 3. 解放後의 南朝鮮 實狀

解放과 더불어 33線의 南分은 偏在하고 있는 成林地의 大部分을 北朝鮮에 所屬케 되었음으로 南朝鮮의 林業은 實心할 만큼 困窮에 빠지게 되었으며 連年 禿山을 이루게 된 것이다 南朝鮮의 林野面積은 6,865 千町步 인바 그의 林相別面積及 道別面積을 載은 아래와 같다

(第 7 表) 南朝鮮 林野 林相別面積 (1945年 末現在)

立木地	3,419 千町步
未立木地	470 //
散生地	985 //
伐採適地	1,565 //
荒廢地	426 //
計	6,865 //

(第 6 表) 林產額及 用材生産量 (自 1910年 至 1943年)

年度別	林產總額	用材生産量
1910	19,240 千尺	2,243 千尺
1920	30,206 千尺	2,967 千尺
1930	63,361 千尺	4,173 千尺

南朝鮮 所有 別林野面積表 (1946年 末現在)

(單位 町步)

道 署 別	國 有 林 野			民 有 林 野			總 計	總 計
	要 存	不要存	計	公 有	私 有	敵 產		
市 廳	—	31	31	248	46	1 227	1,019	2,540
京 畿	5,053	6,977	12,030	273,752	68,438	342 192	71 770	756,152
忠 北	241	39,840	40,081	76 952	3,959	358 561	57 908	497,380
忠 南	788	8,521	9,309	55 502	3,626	401 334	27,899	488,421
全 北	28,169	26,062	54,231	3 764	6,583	430 762	32 989	508,103
全 南	16,371	11,989	28,360	54 897	14,059	654 816	44 792	768,564
慶 北	25,199	71,959	97,158	163,122	22,154	1,013,731	81,713	1,280,720
慶 南	26,016	10,237	36,253	70 672	19,799	679 745	39,102	809,318
江 原	—	—	—	125,771	12,166	467 600	80 799	686 336
濟 州	27,253	2,437	29,690	13 999	16	36 852	1 526	52,393
計	129,090	178,053	307,143	872,679	150,851	4,386,880	439,517	5,849,927
江 陵	479,929	48,318	528,247	—	—	—	(18,165)	(18,165)
春 川	40,517	58,662	99,179	—	—	—	(62,634)	(62,634)
計	520,446	106,980	627,426	—	—	—	(80,799)	(80,799)
總 計	649,536	285,033	934,569	872,679	150,851	4,386,880	520,316	5,930,726

(第 9 表) 三八 以南 林野 蓄積表 (1946年 末現在)

道 署 別	針 葉 樹	闊 葉 樹	計	竹 材
市 廳	1,788	154	1,942	—
京 畿	3,693,619	1 582 980	5,276,599	—
忠 北	7,853,410	3 631 681	11,485,091	—
忠 南	5,502,713	1 108 462	6,611,175	965
全 北	21,239,385	4 581 642	25,821,027	10,641
全 南	16,875,640	3 013 060	19,888,700	838,130
慶 北	27,670,482	3,386,690	31,057,172	—
慶 南	12,357,780	3,561,479	15,919,259	409,638
江 原	15,010,636	3 911 166	18,921,802	—

濟州	1,209,989	2,463,548	3,673,537	5,134
江陵	5,444,547	11,762,402	17,206,949	—
春川	1,601,868	4,979,332	6,581,200	—
合計	118,461,857	43,982,596	162,444,453	1,264,508

(第10表) 町營尺締 1946年12月末現在)

總林野面積	6,865千町步
總蓄積	162,444千尺締
町營尺締	23.6尺締

上表에依하면 森林野面積에對한 立木地의比率은 50%에達하고있으나 그의成林地는 全羅道南部及慶尙道北部 江原道에偏在하고있으며 全般的으로그의蓄積은 大端司貧弱하여 町營蓄積率은 23尺締에不過하다 故로木材의供給은相伴[못하고 1946年度에는 全需要量 2,886千石에對하여實生産量은 1,642千石으로 그比率은53%에不過하니 그不足量은日本等地에依存하고있으나 그供給은如意치못함으로 現在鐵道の比木조차改替한方途가없어 鐵道輸送에 큰影響이이치고있는데 더욱石炭 電氣等の不足으로因하여 薪炭用으로解放以後의濫伐이 極甚함으로 國家百年大計(所謂百年輪伐)를爲하여 時急한對策이 要請되는바이다

(第11表) 1946年度木材需給表 (單位石)

種別	需要量	實生産量	需要量에對한生産實積量의比率
電柱	26,100	36,226	139%
抗木	245,700	162,811	66
판平用	102,000	10,800	106
枕木	99,600	103,635	109
船舶用材	78,300	5,187	7
車輛用材	52,500	15,870	30
土建原木	529,800	291,005	55
用材製材	1,006,200	579,687	58
裂箱用	204,000	97,771	48
一般用材	303,000	233,309	77
베니아用材	27,300	200	1
地方消費材	212,100	100,618	47
計	2,886,600	1,642,119	57

但本表實生産量에는 前年度殘餘量이包含되어있음

다음1945年度의 林産物生産狀況을보면 總額 3,047百萬圓 其中 種別生産高는燃料가 首位로 그內容은枝葉 467百萬圓 長薪 572百萬圓 木炭 19百萬圓 其他林産燃料 503百萬圓 合計 1,561百萬圓이며 用材의3,293千石 竹材의32千束 綠肥의

(第13表) 年度別南朝鮮造林實行對照表

年度	國有林		民有林		總計	
	施行面積 町步	植栽本數 千本	施行面積 町步	植栽本數 千本	施行面積 町步	植栽本數 千本
1941	6,769.53 (44.53)	1,866,000	72,311 (13,364)	254,179 (425,147)	79,080.53 (13,408.53)	2,120,179 (425,147)
1946	999.64	1,728	35,809.29 (136.67)	76,102 (8)	36,808.93 (136.67)	77,830 (8)

(括弧內는播種地: 播種의方法으로造林한곳)

(第14表) 年度別南朝鮮砂防工事面積及造林對照表

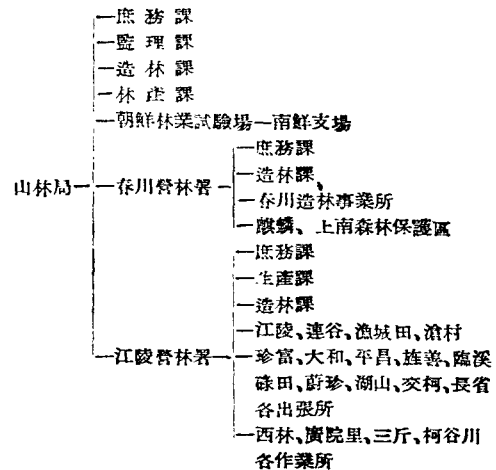
年度	砂防工事	
	施工面積 町步	植栽本數
1941	13,559	56,884
1946	5,928	20,126

443百萬圓 堆肥原料1,006百萬圓 樹脂2,169千圓이 主要한것 인바 林産物生産에燃料가關到的多量을占하고있음은 朝鮮家庭이 多量의燃料을消費하고있음을雄辯으로말하고있으며 燃料은山林以外에 依存한方途를講究하든가 朝鮮溫突을改良치 않는限 朝鮮家庭은永遠히 貧弱한朝鮮山林을 毒먹고야말것이다

林政——軍政實施以來 中央廳農務部에山林局을 春川及江陵에營林署를 各道에山林課를設置하여 解放以後混亂朋의林政을撥當하고 造林 砂防 森林保護及林産物増産에 努力하여왔으나 南朝鮮이받고있는諸般制約으로말미암아 本格的인成果를견우지못하고있다 即1946年度의造林實積은 1941年度의 그것과對比하여보면 國·民有林의施行面積은 47% 植栽數量은 겨우 3.5%에不過하며 砂防工事의施行面積은44% 植栽數量은 35%에不過하니 現下의諸制約으로不可避한點도있지만 日帝時에도미치지 못하는 山林保護現狀은可憐痛歎之事이다

日下三八以南의林政을 擔當하는山林局의機關을 參考로紹介하면 아래와같다

(第12表)



한便苗木生産面을보면 現下의物價高로말미암은 採算難은 生産意慾自體를萎縮시키고있으며 苗木代金의 一部分은國庫에서 補助하는程度의微溥의政策으로서는 到底히生産復興에 助力되지않을것이다 그러나如斯한制約에도不拘하고 營業者가 相當努力을하여왔으므로 1946年度에總生産本數1億7百

萬餘本の實績은 내었고 1947년에는 46年對比 7千5百餘萬本の 増産으로 總生産數量 1億8千2百餘萬本에 達하고있는바 그內容은 下表의같이

(第15表) 1946年 養苗實績表

道名	苗圃數	同全面積	施業面積	養苗生産數量 本
京 畿	45	578,830	299,541	{ 幼 7,722,800 成 11,246,920
忠 北	27	266,750	160,050	{ 幼 11,285,000 成 3,729,000
忠 南	36	271,576	186,256	{ 幼 4,410,000 成 5,638,536
全 北	32	760,272	73,062	{ 幼 517,000 成 1,782,500
全 南	45	279,832	109,321	{ 幼 1,583,760 成 2,865,000
慶 北	48	321,750	209,810	{ 幼 1,580,000 成 9,239,400
慶 南	71	114,810	87,586	{ 幼 811,000 成 9,040,000
江 原	18	449,396	234,495	{ 幼 9,669,000 成 7,559,850
濟 州	5	61,410	12,282	{ 幼 240,935 成 717,000
國有林	12	528,448	237,717	{ 幼 7,500,227 成 9,941,250
計	339	3,633,029	1,610,122	{ 幼 45,319,722 成 61,809,566
總 計	—	—	—	107,129,283

(第16表) 1947年 養苗實績表

道名	同圃地面積 町	施業面積	生産數量 本
京 畿	1,630	1,100	{ 幼 150,000 成 7,309,710
忠 北	132,125	81,952	{ 幼 22,069,000 成 11,500,000
忠 南	152,682	100,662	{ 幼 7,304,500 成 9,020,000
全 北	316,751	58,344	{ 幼 5,114,000 成 6,117,490
全 南	174,296	91,913	{ 幼 122,900 成 3,839,950
慶 北	199,324	147,758	{ 幼 9,870,000 成 24,012,000
慶 南	271,563	161,205	{ 幼 10,872,600 成 21,858,400
濟 州	17,157	6,821	{ 幼 3,316,400 成 323,000
江 原	96,111	54,034	{ 幼 12,224,000 成 8,067,000
計	1,798,025 (599.33町)	860,864 (286.95町)	{ 幼 78,203,110 成 104,023,140
總 計	—	—	182,226,250

(本年度苗圃數는 確實한數字 不明으로 掲載치 않음)

如斯한事情으로보아 過渡期의 林野政策이 緊迫함은勿論이며 이에繼하여 山林當局은 目下 造林及 砂防工事에 있어 十個年 計劃을 樹立中에 있다 그內容은 1948년부터 1957년까지의 十個年 間에 걸쳐 人工造林으로 1,387千町步, 天然造林으로 1,613千 町步, 計 3百萬町步를 綠化시킬것을 計劃한것이던 이에對하여

3,188 百萬本の 總樹苗가 必要하다 하는데 豫算面에 있어서 計 總豫算이 査定되는 기간에 豫觀되고 있다 한다 同計劃案에 依하면 1948年度에는 先樹苗 222百萬本の 植栽로 160千町步를 綠化시킬것으로 되어 있다

(第17表) 造林十個年基本計畫表 (自1948年 至1957年)

道 別	人工造林		計
	面 積 町	數 量 千本	
京 畿	142,840	343,869	168,969
忠 北	108,070	217,668	330,273
忠 南	158,668	502,312	61,559
全 北	74,789	162,038	36,169
全 南	191,013	393,312	426,104
慶 北	154,611	1,073,268	180,506
慶 南	125,593	269,991	191,917
江 原	101,651	181,737	207,753
濟 州	13,488	41,227	9,280
서울市	1,140	2,924	—
計	1,380,727	3,188,346	1,612,555

砂防事業은 日政下에 比較的 順暢으로 進歩를 보았고 解放 後 現今까지에도 相當한 成果를 達하고 있었으나 이는 尤로서 砂防技術者의 努力으로 遂成된 것이나 그러나 現今에 있어서 砂防技術者의 輕視傾向 (이는 解放後의 朝鮮의 一般의 傾向이라 하겠으나) 은 그들의 砂防事業에 對한 熱誠을 挫折시키는 重大한 結果를 招來할 憂慮가 많은바 砂防事業의 重大性을 再認識할 時 現朝鮮의 一般의 傾向인 技術者를 輕待하는 觀念을 버리고 그 들에 對한 待遇改善 地位向上等을 圖謀하여 砂防事業에 對한 그 들의 熱誠을 支援推進시킬 必要가 切實한 것으로 看取된다 解放 後 即인 1945年度 米穀의 數百萬石 減收 其他의 洪水被害等의 莫 大한 損失이 山林의 荒廢 砂防工事의 不充分으로 惹起되고 있 음을 考慮할 때 砂防事業의 計劃의 遂行이 緊要하며 山林當局 에서는 造林面積과 아울러 砂防事業 十個年 計劃을 樹立하고 있음에 이 에 對應하려는 것이다

解放以後의 砂防事業實績을 보면 1946—47兩年間(但 47年은 豫定)에 山地 砂防에 있어 施行面積 11,287陌 植栽本數 35,164千 本 野溪 砂防에 있어 施行延長 117千의 實績을 보인 것인데 解 放前의 그것에 對比하면 멀리 미치지 못한바 砂防工事 十個年 計 畫은 造林計劃과 아울러 實施된 것인데 今 1948年—57年間에 山 地 砂防에 있어 總面積 445千陌의 砂防工事를 實施하고 그 에 對한 植栽計畵은 1,778千本이며 野溪 砂防에 있어서는 總延長 6千 6百餘千에 對하여 實施할 것을 計劃하고 있는바 이 또한 豫 算豫係로 確定은 못되지만 하고 있는 것이다

(第18表) 解放前 砂防事業實績表 (自1922年 至1945年)

道名	山 地 砂 防		野 溪 砂 防	
	施行面積 陌	造林本數 千本	施行面積 千陌	費 千圓
京 畿	22,794	87,596	9,595	108,721
忠 北	16,313	50,522	7,116	64,450
忠 南	18,479	76,631	7,124	87,255
全 北	14,877	49,243	5,746	130,449
全 南	10,747	28,427	3,804	58,790
慶 北	62,661	249,457	30,028	310,928
慶 南	37,299	142,678	16,209	225,705
江 原	6,409	22,174	3,119	8,722

黃海	3,483	10,019	952	—	—
平南	3,097	12,093	940	—	—
平北	2,204	7,582	621	—	—
咸南	2,742	10,134	1,120	—	—
咸北	975	2,996	479	—	—
本道	—	—	577	—	—
計	202,080	749,552	87,430	995,020	8,602

(備考) 黃海 平南北 咸南北의 5道는 解放以後報告가 없어 1944年부터의 實績이 包含되지 않았음

(第19表) 解放後砂防事業實績表

(1946年度分과 1947年度分의 合計)

道名	山地砂防		野溪砂防事業		
	施行面積	植栽本數	事業經費	施行延長	經費
平南	1,545	4,753	19,571	18,983	4,539
忠南	1,324	4,016	15,250	8,660	2,329
忠北	1,779	6,029	23,078	19,773	5,970
全北	1,159	3,302	14,816	35,049	8,750
全南	546	1,355	6,837	15,000	3,462
慶北	2,545	8,400	31,989	46,664	11,027
慶南	1,887	5,780	24,403	26,374	7,084
江原	424	1,262	5,479	8,777	2,840
서울	78	267	3,003	—	—
計	11,287	35,164	144,426	179,280	46,001

(第21表)

解放後國有林林產物處分表

年度	針 葉 樹				闊 葉 樹				計	
	用 材		薪 炭		用 材		薪 炭		面積	數量
	面積	數量	面積	數量	面積	數量	面積	數量		
1946年	1,332	3,940	137	10,761	490	9,533	949	56,237	2,908	80,471
1947年	4,950	44,050	250	2,590	2,450	33,595	3,240	25,950	10,890	106,185

(1947年度는 豫定數量) 農務部山林局資料에 依함

**森林被害**—社會의 混亂과 政策未確立의 結果로서 森林被害는 極甚하며 1946年度 總被害面積은 12萬8千町步 總被害金額은 2千7百萬圓에 達하는데 이는 解放과 더불어 一般의 山林에 對한 認識이 弛緩하고 있음을 如實히 暴露하고 있는 것이며 그 中 火災에 因한 被害는 除外하고는 盜伐이 首位이고 다음이 無許可伐採인데 이는 그面積에 있어 解放前6年間의 總被害面積(火災 虫害被害는 除外한)에 比較한 것이다 解放前6年間의 被害表와 1946年1年間의 被害表와를 對記하여 이를 比較하여 보겠다

(第22表) 解放以後1年間森林被害表 (1946年)

種 別	面積	金額
火災	90,761	22,891
病蟲害	1	—
盜伐	19,330	3,288
誤伐	184	757
無許可伐採	17,474	98
開墾	727	29
其他	1	—
合 計	128,478	27,063

(第20表) 砂防事業十箇年計劃表 (自1948年至1957年)

(農務部山林局案)

道 別	山地砂防事業		野溪砂防事業
	要砂防地面積	要植栽本數	
畿 畿	72,500	290,000	673
北 北	37,500	150,000	648
南 南	55,100	220,400	917
全 全	30,600	122,400	1,300
慶 慶	63,500	254,000	700
慶 慶	87,200	348,800	1,496
慶 慶	70,700	282,800	760
江 江	26,500	106,000	110
京 京	900	3,600	—
合 計	444,500	1,778,000	6,604

**伐採**—伐採는 植伐間의 均衡을 考慮하여 一定한 計劃下에 施行되어야 할 것인데 解放後의 現狀은 이와는 反對인 現象이다 即日 政下에는 鴨綠江 豆滿江 兩流域의 國有林에 官行新伐이 施行되고 있었으나 現在 南朝鮮에는 官行新伐은 없고 拂下 國有林 及 國民有林이 伐採되고 있을 뿐인데 許可伐採보다도 모호히 盜伐 濫伐이 甚한 現狀이다

1946年及1947年의 兩年度에 互한 國有林林產物處分은 總面積 13,798町步 用材及 薪炭處分數量은 186,656立方미터인바 그內容은 下表와 같다

(第23表) 解放前6年間森林被害表 (1935-40年)

別	積	金額
火災	51,035	342
病蟲害	383,305	1,030
盜伐	12,933	97
誤伐	26,762	68
風害	8,057	31
水害	2,519	39
其他	8,731	75
合 計	493,342	1,742

如上한 被害防止策으로서는 첫째는 一般의 山林에 對한 認識을 새로이 할 것이 가장 主要하며 둘째로는 山林의 監視의 徹底 山林警察의 強化等 對策이 必要할 것이다

**製材**—1945年度의 南朝鮮製材工場總數는 576工場인데 그 中 日人占有工場은 142工場이었다 解放以後 歸屬工場은 農務部 監督下에 管理人이 決定되고 現在까지 大部分 運營됨에 이었다

1945年度에 全工場 最大製材能力은 年 1,553千立方미터인바 年의 總製材生産量은 440千立方미터이니 最大能力에 對한 比率은 28%에 不過하였다

(第24表)

1944年度製材工場及製材生産高表

道 別	工場数	資本金	動 力		鋸 機		職 工 人 員 数	製 材 生 産 高	採 集 製 材 消 費 高	製 材 生 産 一 日 平 均 資 材 消 費 量	1 個 年 間 製 材 能 力
			種 類	馬 力	種 類	臺 數					
畿 南	118	24,505	電 力	2,698.5	帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 其 他	167 293 123	2,504	169,323	462.9	267,491	426,347
忠 北	39	1,481	電 力 重 木 炭 瓦 斯	339.5 19.6 66.5	帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 其 他	19 96	283	11,480	3	24,839	70,320
忠 南	69	1,114	電 石 力 法	348.0 23.0	帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 其 他	19 57 20	310	17,826	48.8	28,608	38,282
北	81	7,351	電 具 方 他	99.5 35.0	帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 其 他	33 115 138	875	31,003	84.9	42,096	128,770
全 南	79	4,703	電 重 石 輕 木	1,302.0 27.7 15.5 8.0 12.0	帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 其 他	44 352	1,252	124,170	340.1	144,048	209,729
北	91	6,376	電 木 重 其 他	988.0 485.5 81.5 2.5	帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 其 他	52 243 26	1,238	70,344	192.7	123,169	170,120
南	62	10,581	電 木 重 其 他	2,415.0 51.0 38.5 21.0	帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 其 他	115 398 2	1,096	90,207	219.0	147,396	169,399
原	131	2,415	電 木 重 其 他	1,711.2 14.3 35.0 258.0	計	1,400	1,400	3,600	221.3	108,583	266,634
計	671	58,526	電 重 木 石 其 輕 合	10,801.7 202.3 629.3 38.5 316.5 8.0 11,996.3	帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 其 他 合 計	449 1,554 1,709 3,712	8,958	517,953	1,572.7	886,230	1,479,601
全 鮮 能 力	1,074	161,618	電 重 木 石 其 輕 合	27,423.2 202.3 1,121.3 133.0 1,884.0 23.0 30,786.8	帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 其 他 合 計	1,056 3,055 1,021 5,132	22,204	1,480,889	4,081.7	2,323,391	3,712,029

(註 本表中江原道에는三八以北을包含하였음)

(第25表)

1945年度南朝鮮製材工場及製材生産高表 (自1945年4月1日 至1946年3月末日)

道 別	工場数	資本金	動 力		鋸 機		職 工 人 員 数	製 材 生 産 高	採 集 製 材 消 費 高	製 材 生 産 一 日 平 均 資 材 消 費 量	製 材 生 産 一 個 年 間 最 大 生 産 能 力	
			種 類	馬 力 數	種 類	台 數						
畿 南	90	16,016	電 力	1,888	帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 其 他	230 116 50 13	1,361	168,819	17,637	217,398	23	722,614
忠 北	37	5,621	電 力 炭 瓦 斯	364 20	帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 其 他	49 7	198	23,968	8,664	45,760	49	48,814
忠 南	63	12,727	電 發 動 機	792 25	帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 其 他	106 14	327	11,179	10,678	16,532	28	40,157
全 北	73	13,104	電 發 動 機	994 23	帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 帶 丸 鋸 其 他	132 34 10 84	577	25,904	13,412	49,277	34	76,483



全	南	113	4,498	電力 炭瓦斯 水發 動機	902 95 25 73	丸帶 錫	369 39	1,237	80,918	22,576	163,690	30	272,755
慶	北	51	3,087	電力 炭瓦斯 水發 動機	857 293 45	丸帶 錫	24 42	733	10,830	9,868	23,043	10	112,016
慶	南	89	13,149	電力 水發 動機	2,188 35 33	丸帶 錫	215 92	847	80,117	20,025	131,369	45	176,243
江	原	57	8,166	電力 炭瓦斯 水發 動機	1,107 12 103	丸帶 錫 他	92 37 5	587	35,245	10,754	50,319	36	96,955
濟	州	3	11,000	發 動機	67	丸帶 錫	3 1	19	3,450	560	5,417	60	5,730
計		576	87,368	電力 炭瓦斯 水發 動機 合	9,092 72 511 266 9,941	丸帶 錫 他 錫 錫 合	1,220 332 28 134 1,764	5,886	440,430	114,174	702,805	28	1,552,762

### 4. 朝鮮林業의 將來

**立地條件**—朝鮮의 林業은 現過渡期에 있어서는 上述한바와같이 悲觀狀態에 빠져 있으나 林業에對한 將來性은 作사하고 볼 수 있다 卽 첫째로 朝鮮의 國土에對한 林野面積의 比率은 世界的인 高率임으로 森林의 育成과 保護에對하여 適切穩健의 施策을 講究할 수 있다면 相當한 成果를 見출할 수 있을 것이다 元來 朝鮮의 林野는 李朝時代부터 何等의 施策을 쓰지 않고 自然發生에 依存하여 왔으며 朝鮮特有의 家具構造로 因한 燃料의 多量消費는 必然의 所以로 山林資源을 涸竭시킨 것이나 日政下에 들어가는 것은 形式으로만은 山林政策을 무르짖어 왔으나 朝鮮을 爲한 百年大計을 세울 理 없었으며 도리어 그들의 所謂 大陸建設로 因한 朝鮮 山林資源의 收奪은 朝鮮의 林野蓄積을 累年減少케 한 것은 顯途한 바이다 둘째로 朝鮮의 林木의 大宗인 朝鮮松은 그 實用性이 良好한 것인데 이의 生育及 保護에對하여는 아무 施策이 없이 自然發生에 放任되어 왔으니 이를 改良하고 松虫等의 被害를 防止할 方途를 講究한다면 將來 優良한 松材를 生産할 수 있을 것이다 셋째로 國家의 建設及 生産復興用 木材의 多量需要 洪水害防止等의 緊急한 必要性은 林政에對한 特別한 方途를 講究케 할 것이라는 點이다 이제 世界主要國의 總國土面積에對한 林野面積의 比率을 引用하면 朝鮮은 下表와같이 世界第一의 山岳國인 芬蘭에 다음가는 世界의 山岳國이라는 것이 判明된다

(第26表) 主要國林野面積調查

國別	調査年次	國土面積 千ha	森林面積 千	國土에對 한比率
美國	1928	770,212	189,982	24.6
加不陀	//	946,420	250,884	26.5
歐羅	//	580,290	149,209	25.7
芬蘭	//	34,343	25,263	73.5
瑞典	//	41,058	24,584	59.8
和蘭	//	3,267	240	7.3
獨逸	1927	46,875	12,650	26.9
佛蘭西	//	54,405	10,458	19.2
英國	1928	22,820	1,197	5.2
伊太利	//	31,014	4,972	16.0
印度	//	269,895	65,201	24.2
日本	1929	67,389	44,208	65.6
朝鮮	1942	22,616	16,413	72.6

이와같이 廣大한 林野를 擁한 朝鮮은 山林의 所有權問題 經營者等의 根本政策에 있어서 耕作地의 그것에對比한 만한 重大性이 있다고 볼 수 있는데 土地改革法案等에 있어서 林野問題가 比較的의 劣關係되고 있음은 遺憾스러운 일이다

### 木材의 需給面

—三八線의 推廣는 모—든 生産面에서 要請되는 바이지만 特別히 林業에 있어서의 需給狀況을 볼 때 이는 한 層 層切實한 바이며 木材에對한 南朝鮮의 自給自足은 南北統一이 未決로 있는 限 到底히 不可能한 것이다 더구나 木材의 需給은 一國文化의 發達速度에도 甚大한 關係性이 있는 것이니 住居 輸送 出版等에 미치는 影響은 莫甚하다

朝鮮의 林野는 日政下에 있어서 過伐이 酷甚하였으며 解放後에는 自由放任의 結果로 現狀대로 간다면 朝鮮林野의 壽命은 마저할 이 涸竭될 것이다 이를 統計上으로 본다면 1937年度의 總需積量에對한 伐採率은 6.39% 이니 世界各國의 平均伐採率이 3.5% 임으로 朝鮮의 그것은 世界各國의 平均伐採率에對하여 約二倍의 過伐이 있었음에도 不拘하고 其外에도 不足하여 年々多量의 外材가 輸入되었던 것이다 戰爭中日政의 過伐率은 戰爭關係로 더욱 甚하였었다 이와같은 事情에鑑하여 確固한 山林政策이 時急히 要請된다 丸用材等의 特殊한 것은 除外하고 于先 一般用材의 需給에 있어 植苗 成育 伐採間에 缺란 스를 喪失하지 않도록 確固한 百年計을 이 樹立되어야 할 것은 實로 新朝鮮政府에 賦課된 語政政策中에 가장 緊急한 問題의 하나인 것이다

(第27表)

### 原木需給推移表 (單位千立方米)

年度別	生産量	輸入量	輸出量	需要量	超過量	不足量
1932	1,965	279	228	1,857	159	—
1935	2,808	577	444	2,956	—	15
1938	3,284	729	493	3,546	—	26
1941	3,944	854	45	4,945	—	192
1942	3,648	697	21	4,733	—	409
1943	4,512	230	36	4,802	—	96
1944	4,594	67	—	6,077	—	1,416
1945	1,211	—	—	1,150	61	—
1946	479	—	—	638	—	159
1947	535	2	—	936	—	399

(1932~45 全朝鮮)  
(1946~47 南朝鮮)

(第28表)

1946年度造林實行表

道 署 別	固 有 林		民 有 林		砂 防		計	
	施行面積 町	植栽本數 本	施行面積 町	植栽本數 本	施行面積 町	植栽本數 本	施行面積 町	植栽本數 本
京 畿	25.21	160,000	8,726.16	16,854,251	830	2,933,000	9,581.37	19,947,251
忠 北	—	—	2,924.68	7,071,184	740	1,832,800	3,664.68	
忠 南	—	—	2,174.05	3,249,000	970	3,964,000	3,141.05	
全 北	—	—	4,330.53 (136.67)	11,718,250 (8,390)	560	1,896,400	4,890.53 (136.67)	13,614,650 (8,390)
南	—	—	2,644.78	6,455,350	282	502,000	2,926.78	
北	78.02	215,000	4,909.33	12,232,700	1,342	4,979,100	6,329.35	17,426,800
南	—	—	5,080.35	7,558,000	987	3,111,000	6,067.35	10,669,000
原	—	—	4,187.54	8,878,270	217	903,000	4,404.54	
州	—	—	785.49	1,925,900	—	—	785.49	
市	—	—	46.38	69,000	—	—	46.38	69,000
川	—	—	—	—	—	—	—	
陵	896.41	2,352,900	—	—	—	—	896.41	
計	999.64	2,727,900	35,809.29 (136.67)	76,011,905 (8,390)	5,928	20,126,300	42,736.93 (136.67)	98,866,105 (8,390)

(括弧内は播種面積に播種數量) (林業完)

☆ I-70頁蠶業を以て繼續

1945年度蠶種製造表

道 名	春 蠶	夏秋蠶	計	全 南	62,410	10,144	72,554
京 畿	50,533	3,867	54,400	慶 北	156,430	200	156,630
忠 北	22,103	7,980	30,083	慶 南	42,114	不 明	42,114
忠 南	19,000	—	19,000	江 1	38,554	54,978	93,532
全 北	31,900	41,191	73,091	合 計	423,044	118,360	541,404

1946年度蠶種製造表

道 別	原 蠶 種			通 蠶 種			計			
	春 蠶	夏 秋 蠶	計	春 蠶	夏 秋 蠶	計	春 蠶	夏 秋 蠶	計	
畿	845	512	1,357	20,145	22,380	42,525	20,990	22,392	43,8	
北	643	459	1,102	16,800	15,000	31,800	17,443	15,459	32,9	
南	1,069	879	1,948	29,617	25,000	54,617	30,686	25,879	56,5	
北	520	514	1,034	36,367	28,000	64,367	36,887	28,514	65,4	
南	2,601	—	2,601	73,577	33,560	107,137	76,178	33,560	109,7	
北	4,252	—	4,252	103,960	67,727	171,682	108,212	67,722	175,9	
南	1,178	600	1,778	38,000	25,000	63,000	39,178	25,600	64,7	
原	1,491	2,024	3,515	58,174	36,034	94,208	59,665	38,058	97,7	
州	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	12,599	4,988	17,587	376,640	252,696	629,336	383,239	257,684	646,923	

(蠶業完)

# 畜 產

## 目 次

1 概 觀	ㄱ、豚 — ㄹ、綿羊及
2 朝鮮畜產業의 重要性과 그 對策	山羊 — ㅁ、養蠶
3 家 畜	ㅂ、其他家畜及畜產物
7、牛 —	4. 獸醫施設及種畜生産機關
ㄴ、馬 —	

### 1 概 觀

朝鮮의 畜産業은 近代의 牧畜經營段階에 達하지 못하고 農業과 結合하여 力役用 或은 貧困한 農家經濟를 補助하기 위하여 副業的으로 牛 豚 馬 雞 鵝 山羊 養蠶等이 飼養되어 왔으며 極少部에서 搾乳牛 綿羊 家鴨 牧馬等을 輸入하여 畜産業으로써 獨立經營體가 있었으나 東洋의 畜産의 貧弱性을 至지 못하고 있다

過去 日政은 朝鮮의 工業發展을 極大로 抑壓하고 原始産業인 農業 林業 畜産業을 朝鮮産業의 主體의 地位로 發展시키기에 努力하여왔다. 그리하여 畜産에 있어서 農家 1戶에 對하여 農牛 1頭 綿羊 5頭 (西北 6道) 式을 保存시키도록 增殖計劃을 實施中이었는데 長期에 亘한 戰禍와 植民地의 隸屬關係及 飼料難等으로 目的을 達하지 못한채 解放後는 濫殺及 畜種改良 增殖에 對한 無關心이 畜牛를 爲始하여 各種家畜의 數量을 牛 減殺하였으므로 質的으로 退步케 하였다. 그리하여 農業經營 食肉 皮革及 自給肥料等은 度厚 劣惡을 發生하기에 이르렀다

### 2. 朝鮮畜產業의 重要性과 그 對策

朝鮮産業發展上 特別 農業生産過程에 있어서 家畜의 役割은 不可缺한 것이었으며 交通機關이 發達되지 못한 時代와 地域에 있어서 는 輸送及 傳達等의 任務까지 遂行하였다. 그리고 今 日에 있어서도 肥料及 水利事業과 더불어 農業生産의 安定 圓滑乃至 發展을 爲하야 役畜으로써 其 特異性을 發揮하고 있을 뿐만 아니라 文化生活의 向上으로 말미암아 畜産物 需要 激增에 應하는 畜産의 健全한 發展이 크게 要請되고 있는 것이다. 解放後 畜産關係當局은 畜産의 重要性에 鑑하여 農村에 各種家畜을 增加시키므로써 朝鮮의 農業經營을 主要農業에서 主要農業으로 轉換시키는데 一便 有機機械化農業을 企圖中이나 아직 其 實効를 얻지 못하고 現狀維持에도 困難한 狀態에 處하여 있는 實狀이다

現在 우리가 當面한 食糧問題 解決策으로는 勿論 耕作法의 改良 肥料供給의 潤澤 農地開發等이 根本策이 然하나 食生活의 觀念은 正에 依한 主要食料을 改良하여 營養食糧의 見地에서 新生活形態에 轉換함이 朝鮮食糧問題 解決에 新紀元을 劃하는 一 次 指針이 아닌 가 된다. 이 目的의 達成에는 無家畜 農家 解消을 爲始하여 近代의 牧畜經營에 依한 卵 肉 乳의 圓滑한 供給과 毛皮 纖維 皮革等의 確保인 것이다. 卽 現在까지 畜力利用 第一主義를 第二義의 이룬은 畜産物 增殖과 그 地位를 交替함으로써만 可能한 것이다

朝鮮은 그 地理의 條件이 畜産에 適合하나 濃厚飼料 缺乏과 劣弱한 技術 綿羊 牧馬等의 輸入 杜絶等 諸惡條件으로 말미암아 沈滯狀態에 놓여 있다

이제 以上과 같은 朝鮮畜産으로써 飼料問題는 農耕地開發에 關聯하여 飼育條件을 栽培케 한 것이며 家畜改良 增殖方法으로는 優良種을 他國으로부터 大量輸入하여 在來種과 換置 或은 在來種과 外來種을 配合하여 優良種을 繁殖케 補한 것과 在來種中에서 優良한 것을 選擇 保存하는 一方 不良老

衰한 것을 淘汰하여 品種을 向上시킬 것 등이며 더욱 家畜飼養 技術을 養成함에 銳意 努力하여야 할 것이다

今後 積極的으로 經營管理 改善及 增殖에 畜主人의 自發的 努力에서 國家의 施策과 같이 要請되며 나아가서 畜産을 副業의 意義를 떠나 主要 及 野産的으로 그의 經濟的 役割을 鼓舞시키며 重要視하도록 一般關心이 集中되어야 한다

### 3. 家 畜

1940년부터 全家畜이 減少되기 始作하여 1946年末 現在로 牛 61萬頭 豚 30餘萬頭 馬 3萬3千頭 山羊 3萬5千餘頭로 激減되었다. 1945年의 主要家畜 放牧狀況은 牛가 33,412頭 馬가 8,459頭 豚은 69,320頭로 賣買價格이 畝 504,064,989 원이었다

農産局 畜産課 調査에 依하면 綿羊 牧馬等을 除外한 其他家畜은 1947年 下半年부터 漸次 回復 增加의 氣勢를 보이고 있어 畜産發展이 漸次 軌道에 올고 있다고 한다

이제 各種家畜을 種類別로 그 狀況을 摘記하여 보면 如下하다

#### 7. 牛

朝鮮牛(黃牛)는 그 資質과 役用이 優秀하여 朝鮮의 農耕全部가 畜牛에 依存되어 있는 만큼 農民의 唯一한 勞働手段으로써 尊重되며 方便 食用 革用으로도 需要가 많아 農家의 唯一한 財産을 形成하고 있다

그 頭數는 性質이 溫順하고 體質이 強健하며 特이 持久力이 強하므로 그 飼養과 管理가 容易하여 年々이 增加하여 가고 있다. 그러나 아직 無飼養 農家가 많아서 平均 農家 3戶에 1頭가 飼養되고 있다

日本은 自國의 畜牛 缺乏을 優良한 朝鮮黃牛로써 調達하기 爲함과 帝國主義 戰爭의 遂行에 따라 軍用으로 徵用된 日本馬에 對한 補充으로 日本에 年 7.8萬頭를 移殖하였을 뿐 아니라 軍用 牛皮 牛肉을 調達하기 爲하여 多數屠殺하였었다. 그 외에 解放後 濫殺에 因하여 1942年 1,062,096頭이었던 것이 1946년에는 608,879頭(北 407,190頭 南 201,689頭)로 激減되었다. 이 結果 農家 戶數 100戶當 畜牛 數는 最高 濟州道가 62.5頭 最低 全北이 14.1頭 平均 29.4頭로 畜牛 1頭의 負擔 耕地 面積은 最高 全北 11.378町 最低 慶南 3.101町 平均 4.961町步로 되어 畜牛 不足을 顯著케 하였다. 朝鮮과 같이 아직 農耕全部가 畜力에 依存되어 있는 狀態로써는 畜牛에 減少는 結局 農耕 用動力의 全面的 減少를 招來하는 것인 만큼 農業生産力을 低減시키는 主要原因이 되고 있다. 그리하여 畜力 不足이 顯著하여 近 最近 2.3年間은 農業生産力의 脅威가 되고 있다

畜牛의 分布는 全朝鮮에 亘하여 있으나 粗密 濃沃의 度는 一樣치 못하고 東海岸 地帶에 많고 西北南 地方으로 比較的 平坦한 耕地 地帶에는 적다

그리고 畜牛는 役用으로 農村勞力의 供給을 圓滑케 하여 食用으로서는 食糧問題에 貢獻이 尙淺 아니라 農家에 있어서 畜牛 飼養의 必要性은 畜牛 1頭에 1年에 約 2千貫의 糞肥가 나는 것으로 더욱 合理化된다. 이것을 大豆 粕으로 換算하면 20枚에 該當하는 것이다

(第1表) 畜牛統計

道 別	1942	1943	1944	1945	黃海道	143,476	139,450	139,450	—
京畿道	132,788	136,588	129,037	88,382	平 南	121,323	110,704	113,567	—
忠 北	73,141	76,946	70,047	40,018	平 北	178,654	173,237	173,237	—
忠 南	79,901	84,163	72,705	43,324	江 原 道	201,957	南106,557 北113,943	107,494	62,027
全 北	70,668	69,680	59,618	32,625	咸 南	155,058	155,585	147,475	—
全 南	148,698	131,274	123,233	57,772	咸 北	76,270	63,428	63,815	—
慶 北	192,950	195,386	178,045	176,829	合 計	1,736,861	1,714,134	1,624,827	—
慶 南	161,967	157,193	146,663	111,002	南 朝 鮮	1,062,096	957,787	886,842	611,579

(第2表)

1946年末畜牛統計

道 別	農 家	畜 養 牛 戶 數	畜 牛 數	農家百戶當		耕地對耕牛數			負擔面積
				畜牛飼養戶數	戶當牛數	面	積	耕 牛	
咸 北	—	415	532	—	—	—	—	—	—
京 畿	280,349	87,510	89,590	31.2	31.9	381,395	71,639	5.323	
忠 北	135,224	38,042	39,160	27.9	28.9	158,315	26,607	5.950	
忠 南	231,303	46,385	47,159	20.0	29.3	248,035	33,001	7.516	
全 北	241,478	33,379	35,127	13.8	14.1	245,355	21,546	11.387	
全 南	412,774	63,105	65,387	15.2	15.8	340,162	57,308	5.935	
慶 北	342,718	122,440	132,198	35.7	38.5	381,049	105,758	3.603	
慶 南	299,734	107,715	116,710	35.9	38.9	275,484	88,820	3.101	
江 原	121,897	49,552	56,445	40.6	46.3	176,092	40,991	4.295	
濟 州	42,476	19,041	26,571	47.1	62.5	91,981	17,511	5.252	
計	2,107,953	567,584	608,879	—	—	2,297,868	463,181	4.961	

(第3表) 南朝鮮牛輸出狀況

年次別	總輸出頭數	其中對日輸出頭數
1935	68,611	68,421
1936	63,242	82,788
1937	58,896	56,683
1938	82,551	74,526
1940	105,128	77,104
1941	96,821	80,049
1942	64,866	52,389

그러나 在來種은 役肉兩用에適合하나 乳牛로서는 그 價値가 없으므로 數次搾乳用牛를 轉移入하여 飼養에努力하였음에도 그 數微弱하고 더욱解放後에 新輸入을 보지 못하여 老衰하여 繁殖하지 못하고 牛種保存上 血液混入을 禁止하고 있음으로 一般農家에서는 飼養치 못하여 減少되고 있다 搾乳量은 1944年末에 4961,242 릿틀이 1945年末에는 1442,159 릿틀로 激減되고 1946年末現在로는 1017,360 릿틀로 漸減되었다

(第4表) 乳牛統計

道 名	1942	1943	1944	1945	1946
京 畿 道	927	907	1,200	601	412
忠 北	33	44	40	20	22
忠 南	298	431	200	220	126
全 北	81	101	80	47	44
全 南	107	117	90	111	70
慶 北	133	163	130	160	119
慶 南	379	359	330	250	94
黃海道	118	116	101	109	—
平 南	349	403	350	390	—
平 北	121	125	135	150	—
江 原 道	292	597	619	240	18
咸 南	87	153	123	100	—

咸 北	216	285	250	275	—
咸 南	—	—	—	—	96
合 計	3,141	3,801	3,648	2,673	以南1,001

ㄴ、馬

馬는 牛와 달리 在來種은 體軀가 矮小하고 그 數도 少음으로 過去 日政은 需要增加에 따라 蒙古馬에 改良種牧馬를 配合하여 그 用途에 對하여 理想的인 것을 生産할 計劃으로 江原道淮陽郡에 農事試驗牧馬支場을 咸鏡北道雄基에는 種馬所等을 設置하여 飼育研究와 試驗에 努力하였으나 牛에 壓倒되어 成果를 얻지 못하였다 그리고 在來種은 輸送의 機械化에 對하여 그 使用價値가 漸次 喪失되고 있다

그 分布은 北南 兩端에 集中되어 있고 特別 濟州道가 그 大部分을 占하고 있다

그리고 馬의 計劃에 對한 獎勵方法인 競馬는 서울 大邱 釜山 群山等 主要都市에 競馬場이 있어 春秋에 開催되고 있으며 各各地에 乘馬俱樂部가 組織되어 馬事에 關心 가진 同好의 士에 많이 利用되고 있다(釜山 群山 競馬場은 美軍이 使用하고 있음으로 開場不能)

(第5表) 馬匹統計

道 別	1942	1943	1944	1945	1946
京 畿 道	4,675	4,914	4,535	4,610	1,905
(咸 南 市)	—	—	—	—	2,476
忠 北	209	221	249	365	309
忠 南	1,230	1,525	1,525	2,221	1,694
全 北	3,315	3,588	3,796	3,794	3,848
全 南	24,155	22,707	23,283	5,803	4,768
慶 北	3,417	3,140	3,131	3,131	3,131
慶 南	993	1,130	1,530	1,337	1,506
黃海道	2,308	1,964	—	—	—
平 南	6,499	6,322	—	—	—

平北	2,018	2,106	—	—	—
江原道南	530	629	531	186	174
江原道北	583	632	—	—	—
咸南	2,338	2,337	—	—	—
咸北	2,308	2,388	—	—	—
濟州道	—	—	—	12,695	12,804
合計	54,578	53,653	—	—	—
南朝鮮	38,524	37,854	38,610	34,142	32,615

江原道南	23,215	15,185	10,662	3,655	4,791
江原道北	47,235	35,150	—	—	—
咸南	84,475	68,952	—	—	—
咸北	76,804	55,617	—	—	—
合計	1,149,563	720,339	—	—	—
南朝鮮	591,720	335,192	239,084	195,271	300,086

二、綿羊及山羊

綿羊飼養에對하여는 專館에는 本來 綿羊이 없었음으로 數次에 亶하여 蒙古羊及 洋種羊을 移移하여 試育에 努力하여 왔고 日政은 羊毛을 自給코자 積極獎勵普及에 努力하였으나 所期의 成果를 얻지 못하고 말았다

創育試驗의 結果 農家及 門料의 現況에 依하면은 約70萬頭의 綿羊을 飼養할 能力을 갖았으나 解放以後 輸入을 보지 못하고 此에 對한 技術不足으로 因하여 絶望의 狀態에 놓여 있어 羊毛需 要增加의 政策은 全賴輸入에 依存하는 以外에 道理가 없는 狀態이다

그리고 山羊은 農村各地에 羊毛用及 藥用으로 飼養分布되어 副業의 으로 創育되어 왔으나 近來에는 乳用으로서 도普及되고 있다

第6表 馬用役別表

1946年末					
道別	馬用	容馬車用	乘馬用	荷馬用	計
京畿道	82	5	92	1	103
忠北	—	—	22	—	24
忠南	113	1	75	—	1,291
全北	460	3	61	—	86
全南	234	10	162	—	414
慶北	50	22	80	—	1,817
慶南	120	222	42	—	729
咸鏡市	—	300	90	—	2,086
江原道	—	1	35	—	0
濟州道	1,169	—	89	—	58
合計	2,228	564	1,328	—	14,928

(第7表) 競馬開催狀況

	馬券売上高	入場人員	出馬延頭數
1942	13,484,550圓	173,407名	2,668頭
1943	20,205,490	212,90	2,269
1944	27,242,900	17	2,180
1945	58,351,520	282,607	1,887
1946	130,211,720	239,627	905
1947	319,295,600	384,750	828

(※ 1946,47年은 南朝鮮省)

三、豚

豚飼養은 農家를 主로 하며 一般家庭의 副業으로서도 發展普及되고 있다 在來種은 黑色으로 體格이 矮小하고 助熱하며 豚種中劣等하여 改良種으로 換代增加되고 있으며 改良種의 차지하는 比重은 總頭數의 66%를 占하고 있다

戰爭中 이 是 飼料不足과 軍需供出에 對하여 解放直後의 時期로 7割以上의 減收하였다 그러나 豚肉及 豚質의 貴重한 農村自給肥料等으로 豚飼養의 氣勢가 漸次 上昇되어 都市附近에는 食物殘滓를 利用하는 養豚家들이 續出하고 있어 1947年末 推定頭數는 1945年 195,271頭에 約倍로 增加되는 好成績을 보이고 있다

(第8表) 豚 統 計

道別	1942	1943	1944	1945	1946
京畿道	60,205	24,760	13,318	14,952	24,466
忠北	49,570	31,424	14,260	10,892	14,864
忠南	56,878	26,977	10,792	9,841	21,423
全北	74,665	30,981	23,805	18,616	46,685
全南	177,394	102,168	84,555	63,012	59,659
慶北	77,754	59,525	43,575	43,602	40,363
慶南	72,039	44,372	38,117	30,701	51,830
黃海道	122,218	88,615	—	—	—
平南	76,014	29,130	—	—	—
平北	151,097	107,683	—	—	—

(第9表) 綿羊統計

道別	1942	1943	1944	1945	1946
京畿道	2,716	2,138	1,29	921	577
忠北	763	601	452	222	1
忠南	1,187	991	805	355	232
全北	1,071	931	727	282	192
全南	2,425	2,4	1,973	57	107
慶北	1,669	1,93	1,60	1,404	857
慶南	1,042	765	616	243	179
黃海道	3,045	2,3	2,379	—	—
平南	3,776	3,491	2,776	—	—
平北	3,339	3	2,68	—	—
江原道南	1,042	9	51	311	06
江原道北	3,326	1	2,750	—	—
咸南	6,768	6,898	7,523	—	濟州 157
咸北	9,842	8,506	6,77	—	—
合計	42,011	38,081	33,386	—	—
南朝鮮	11,915	10,062	8,813	4,095	2,678

(第10表) 山羊統計

道別	1942	1943	1944	1945	1946
京畿道	611	541	443	94	329
忠北	1,760	1,687	1,553	1,643	2,090
忠南	3,768	3,864	4,475	4,071	4,589
全北	6,261	6,041	5,181	4,051	5,446
全南	7,492	7,861	4,705	3,299	6,000
慶北	13,281	10,457	8,610	8,810	8,039
慶南	11,144	9,689	7,305	7,097	8,707
黃海道	25	584	—	—	—
平南	897	719	—	—	—
平北	274	216	—	—	—
江原道南	737	782	96	196	208
江原道北	280	272	—	—	—
咸南	410	343	—	—	—
咸北	207	174	—	—	—
濟州道	—	—	—	—	66

서울市	—	—	—	—	68
合計	50,650	43,280	—	—	—
南朝鮮	48,057	40,922	32,668	29,361	35,542

口、家 禽

朝鮮의在來種은 褐色 메구은種과類似하나 體軀가輕小하며 産卵力이貧弱하여 體重及産卵力이富하며 从土에適合한白色 메구은은 부리마스웁스等 改良獎勵種으로代置되고있다 各地에서集體的으로 改良種繁殖에努力하여 良好한成果를보이고는있으나 아직舊式飼料法이며 鷄舍도不完備하고 冬期保溫裝置도改良이 要請되고있는實情으로 今後에望期待가크다 그밖 에家鷄이 1946末現在로 1.748羽가 統計上에나타나고있다

(第11表) 鷄 統 計

道 別	1942	1943	1944	1945	1946
京 畿 道	518,843	415,966	415,966	367,818	414,905
忠 北 道	138,157	133,832	130,456	61,180	77,525
忠 南 道	272,781	236,048	238,535	130,900	143,733
全 北 道	348,314	267,271	230,865	140,768	162,962
全 南 道	604,234	427,835	325,235	212,811	339,393
慶 北 道	454,086	398,389	373,950	239,033	284,249
慶 南 道	250,253	183,627	180,391	141,950	238,912
黃 海 道	743,905	650,743	—	—	—
平 壤 市	549,931	430,294	—	—	—
平 北 道	825,919	699,985	—	—	—
江 原 道	194,997	187,308	171,843	181,551	155,835
咸 北 道	209,816	209,354	—	—	—
咸 南 道	360,328	325,358	—	—	—
咸 北 道	222,038	199,446	—	—	—
濟 州 道	—	—	—	40,378	32,542
合計	5,693,602	4,765,456	—	—	—
南朝鮮	2,781,665	2,250,276	2,067,241	1,516,389	1,850,552

日、其他家畜及産産物

驢 驢는極少數이며 在來馬와더무려 駝用 乘用으로使用되고있다

新規로兔는 日政의軍需用獎勵로 相當數에이르렀다 그러나飼養技術이未熟함과 毛皮供出으로인하여 1943年 50,623匹이 1946年末現在로 約7割이減殺하였다 그種類는白色種 양고라 쥘릭라 렉 키쓰 등으로 其中 白色種이69%를占有하고있다 兔肉은 農村保健衛生上 動物蛋白質給源으로 裨益好適함으로 今後널리普及되여야만할것이다

그리고 朝鮮의畜産物은 牛皮 牛脂 牛骨 牛毛 馬皮 膠 豚毛 蜂蜜 蠶絲及繭絲 其他加工品으로 그中牛皮 蠶絲의主要하다

牛生産狀況은 統計未備로 畜産物生産의基本이되는 屠殺數死 下表家畜의處分數로 示수함에있다

(第12表) 家畜屠殺斃死殺處分數

種類別	1945	1946	種類別	1945	1946
牛	358,687	88,581	納 羊	1,715	1,134
馬	—	2,645	山 羊	4,374	—
豚	115,171	144,732	兔	21,302	31,202

(第13表) 其他家畜統計

別	馬	驢	兔	養蜂箱
194	118	82	97,749	59,924
1943	125	84	50,623	50,085
1944	—	—	32,810	40,908
1945	54	55	18,404	33,890

(1946年末道別)

道 別	驢	驢	兔	養蜂箱 (飼養箱數)
京 畿 道	14	14	2,584	2,433
忠 北 道	2	2	1,913	3,776
忠 南 道	2	—	4,709	1,175
全 北 道	4	—	1,929	2,316
全 南 道	—	—	4,816	2,677
慶 北 道	17	18	2,276	8,052
慶 南 道	—	—	993	4,544
江 原 道	7	—	1,160	8,111
濟 州 道	—	—	—	861
平 壤 市	—	—	102	2,361
合計	46	34	20,482	36,306

4. 獸醫施設及種畜生産機關

獸疫舍飼料作物栽培가적고 野草 藜等의粗飼料을給하되 飼養管理을히였음으로 一般으로栄養不足의것이었답고 傳染病或은寄生蟲等 크리고輸出人의數가 많아 發生流行이甚하였으나 貧弱한畜産技術과 豫防施設이없어 慘害가크다 이結果 此에 對策으로 各施設과豫防注射實施等을 勵行하여왔으나 下表와같이 不充分한施設로서는 完備을期하기 困難한現狀에있다

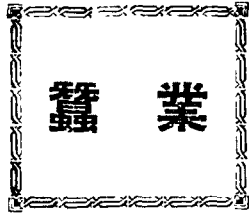
種畜生産機關은 南朝鮮에 22個所가 있으며 各種畜場은 種畜의繁殖改良及配布에努力하고 있다 農務部에서는 1947年11月 國立成款畜産試驗場의施設及內容을 整備強化하였다 施設의増設改新 畜産技術者養成等이 要望되는現下 今年(1947年)8月 서울大學校에 獸醫科大學의開校을보았음은 今後의期待가사문크다

(第14表) 獸 醫 施 設

家畜衛生 研究所	檢疫所	道市立 家畜病院	官營家畜 治療所	個人家畜 畜病院	個人 養蹄所	
京 畿 道	1	—	1	23	6	23
忠 北 道	—	—	1	11	5	4
忠 南 道	—	—	1	15	6	5
全 北 道	—	—	1	16	7	4
全 南 道	—	—	1	23	5	5
慶 北 道	—	—	1	24	7	6
慶 南 道	1	1	1	22	8	8
江 原 道	—	—	1	11	4	11
濟 州 道	—	—	1	2	1	5
平 壤 市	1	—	1	—	8	15
合計	3	1	10	147	57	86

(第15表) 1946 年 末 種 畜 數

種 類	種 畜 數	種 類	種 畜 數
乳 牛	251	種 納 羊	1,295
種 豚	402	種 山 羊	35
種 兔	817	種 貂	3,326



目 次

概說——日政下の蠶蠶——解放後의狀況——共販狀況——桑木  
 — 蠶種 — 生糸工場生産現狀 — 結言

朝鮮은 蠶蠶에 適合한 諸條件을 具備하였음으로 古來로 蠶業은 農家의 副業으로 發達하여 온 것 이다 即 1.氣候가 桑木及 蠶蠶에 適合한 것 2.飼育期의 乾燥로 蠶의 病蟲害가 적은 것 3.暴風에 因한 桑葉拔去가 없고 冬季에 烈한 寒氣가 病蟲菌發生을 阻止하는 것 4.大陸性氣候가 朝鮮溫突에 依하여 調節되는 것 등의 好適한 諸自然條件外에 다른 重要한 生産條件即 低廉하고 忍耐力 있는 勞動力이 豊富한 까닭이다

日帝는 인적이 如此한 生産條件의 賦存에 着目하고 低廉하고 豊富한 勞動力이 產出하는 植民地利得을 獲得하기 위하여 朝鮮의 蠶業을 再興 助長하여 왔으며 桑苗 蠶種의 改良 配付 蠶業講習 蠶室及 蠶具의 改良 其他補助事業等으로 1925년에는 產繭 百萬石 增收을 計畫함에 이르는 等諸般政策으로 朝鮮蠶業은 年々 躍進하여 1943年의 飼育戶數及 繭產額을 李朝末期와 對比하면 下表와 같이 前者는 約12倍로 後者는 價目約34倍로 増大함에 이르렀던 것 이다

解放前養蠶戶數及生産高年別一覽表

年度	養蠶戶數		產 繭 額		
	春 蠶	秋 蠶	春 蠶	秋 蠶	計
1910	76,037	?	12,960	971	13,931
1924	467,475	124,786	210,121	33,731	243,852
1930	720,813	352,255	404,197	151,035	555,232

南 朝 鮮 養 蠶 表

年度	飼 養 戶 數		蠶 種 播 立 枚 數			產 繭 高(千貫)		
	春 蠶	夏 秋 蠶	春 蠶	夏 秋 蠶	計	春 蠶	夏 秋 蠶	計
1943	670,103	574,740	451,644	361,580	813,224	6,905	3,263	10,168
1944	821,605	537,035	415,640	328,130	743,770	1,641	785	2,426
1945	614,955	386,545	398,494	326,765	725,259	1,431	459	1,890
1946	505,912	423,793	272,040	210,485	482,525	1,021	539	1,560
1947	492,476	424,338	268,305	210,400	478,705	1,070	616	1,686
						378	194	572

그 中에도 日本製糸資本家의 搾取的收買制度인 共販制는 有名無實하게 되어 1944年度의 共販數量은(春蠶夏秋蠶)1百80萬貫이었는데 解放後 1946年度에는 50餘萬貫에 不過한 實狀이다

南朝鮮家蠶繭販賣數量表

年度	春 蠶		夏 秋 蠶		計
	千貫	千貫	千貫	千貫	
1944	1,240	625	1,865		
1946	401	167	568		

1947年度家蠶繭收買價格表 (貫當單位價)

	精 繭						中 繭					下 繭	
	優等	特等	一等	二等	三等	四等	中繭上	中繭下	玉繭	下繭上	下繭下	繭	
												貫	貫
春 蠶	585	540	495	450	405	360	300	220	260	80	30		
夏 秋 蠶	540	495	450	405	360	—	270	200	230	70	25		

1931	747,084	411,168	407,864	170,397	578,261
1932	786,060	455,642	416,555	176,503	593,058
1933	812,009	578,345	427,110	240,894	668,034
1934	839,814	558,222	466,595	222,957	689,852
1935	821,573	576,470	461,079	207,737	668,816
1936	826,109	583,271	466,314	241,197	707,511
1937	815,278	623,522	463,045	244,025	707,070
1938	817,476	632,463	446,947	239,894	686,841
1939	823,412	655,603	441,812	200,266	642,078
1940	841,132	688,494	444,142	268,426	712,568
1941	860,697	699,279	398,913	234,315	633,228
1942	881,594	716,862	322,883	139,967	462,850
1943	902,880	759,220	315,479	134,621	450,100

(但內容單位는 換算計算하였음)

그러나 如斯한 蠶業振興政策은 日本資本의 植民地利得을 爲한 것이었으며 무엇보다 먼저 生繭共販制度는 強制하여 日本資本의 支配下에 두었음으로 日本資本의 朝鮮進出은 이分野에서 가장 인격이 始作되었던 것이다

解放後는 日帝의 強制飼育과 強制收買制는 無力化하였음에도 불구하고 日帝時의 強制에 對한 業者의 嫌惡感의 記憶은 解放後에 있어서 反動的으로 斯業拋棄의 結果에 이르렀으며 桑田의 桑木은 薪木化하였고 飼育戶數及 生産高는 모두가 低下하였다

이 共販統制의 低價는 物價高에 따르는 當業者의 收支不均衡이라는 點도 主要原因의 하나로 되고 있음으로 當局에서는 生産補償制를 實施하여 補償物資로 炭木 美國製「音」等을 共販者에 配給하는 政策을 取하여 온 것이다 그럼에도 불구하고 共販成果는 依然不振狀態에 빠져 있으니 上表와 같이 1947年度의 共販數量은 1944年의 3割에 不過한 現狀이다

1947年度의 共販狀況及 補償制의 現狀을 보면 그 收買價格은

上表과如하듯만나 그補償物資에對하여서는 春期分은 주로國內産品廢木(1噸56兩 // 45兩)으로하여 그割當要領은精滿一貫當2噸式 中下滿 貫滿1噸式으로하고 夏秋期에는 又固製「音」과 春期分殘餘物資로 春期와같은要領으로配給되었다 補償物資의總數量은 春期에 779千噸 夏秋期에 361千噸이었다 蠶繭總生産量과 共販數量의比率을보면 春蠶總生産高 1,070千貫에對한販賣數量은 378千貫으로 그比率은 3割 5分餘 夏秋期에對하여서는總生産高616千貫에對한 販賣數量은 194千貫으로 그比率은 3割2分에不過狀態에이러 春秋蠶을通하여平均殘餘

6割8分의數量은 生産者가自家消費에充當한셈이다 解放以後蠶業界의最大隘路는 桑田의定廢化인데 桑木의增加는 蠶業發展에先決的인問題로 當局에서는 日下 桑田의 再整備을計畫中에있다 그러나桑苗業者는大部分이小規模經營者로 物價高에따르는收支不均衡으로 苗木生産意欲이萎縮되고있는現狀인므로 當局에서는朝鮮蠶業을通하여 全國的으로資金計劃을樹立하고있는中이다 現在社會團體等에서 蠶業의重要性을깨닫고 桑田復興運動을하고있다한다 1945年—47年의 3年間의桑苗供給狀況은下表와같다

桑苗生産需給狀況 (1945~47年間)

道 別	桑苗生産本數			桑苗植栽本數			桑田面積		
	1945年	1946年	1947年	1945年	1946年	1947年	1945年	1946年	1947年
京 畿	430,550	304,200	1,004,900	448,000	430,550	304,200	42,000	37,895	17,379
忠 北	500,000	167,124	1,775,400	65,000	500,000	167,124	32 85	21 03	26,449
忠 南	2,760,910	104,624	1,305,785	—	2,760,910	104,624	38,580	26,192	29,283
全 北	850,000	306,625	1,237,500	150,000	850,000	306,625	52,742	40,451	29,327
全 南	500,000	376,040	911,000	631,285	500,000	376,040	29,132	25,173	20,995
慶 北	6,000,000	196,087	3,276,000	300,000	6,000,000	196,087	99,235	86,989	79,853
慶 南	1,600,000	428,832	1,894,700	—	1,600,000	428,832	71,875	67,429	54,787
江 原	1,966,013	722,650	483,300	1,357,100	1,966,013	722,650	63,281	45,065	43,609
濟 州	—	100,000	3,000	—	—	100,000	850	800	943
合 計	14,607,473	2,706,182	11,891,585	2,951,385	14,607,473	2,706,182	430,490	351,697	302,625

한價蠶種製造狀況을보면 1942年 850,183枚 1944年 750,501枚 1945年 541,404枚 1946年 646,923枚로 解放以後製造枚數는 若干의低下를보고있으나 이는需要量의低下에基因하는것이며 生産能力으로부터 南朝鮮의全需要量의增加에對하여 充分히供給할수있는마이며蠶種製造業者는 農務部의直接監督下에있고 技術 資材其他는 比較的整備되어있다 .

다음生糸生産面을보면 南朝鮮生糸工場은 그大部分이殖民地利得을爲한 日本資本家の經營으로되어있었으나 朝鮮人工場은 南朝鮮生糸工場數49工場中 (1944年現在) 京城紡織과 忠南製糸의 二工場에不過하였다 解放後日人工場은모든生産面에서와같이 混亂에빠져採業休止狀態에있었으나 其後漸次各工場의管理人이決定됨에이르러 1946년에는 採業製糸場 42 採業釜數 4,347 生糸生産量 81,088 貫을算하게되었으나 解放前과對비하면 採業釜數는約7割 生産量은4割餘에不過하였다

道別生糸生産狀況 (1944年度)

製絲場數	絲釜數	總絲數	生産量	同價格	
京 畿 道	6	1,451	15,510	31,767	3,255
忠 清 北 道	5	626	5,389	12,553	1,461
忠 清 南 道	9	1,013	7,368	28,314	3,442
全 羅 北 道	5	618	3,584	20,173	1,942
全 羅 南 道	5	738	5,230	14,676	1,743
慶 尙 北 道	10	1,472	7,136	51,535	5,507
慶 尙 南 道	2	78	295	2,637	251
江 原 道	7	544	3,350	17,048	1,674
合 計	49	6,540	47,858	178,703	19,275
北 朝 鮮	14	1,679	—	—	—

(精・絲用口數를말함)

道別生糸生産狀況 (1946年度)

製絲場數	絲釜數	生糸生産量	價 格	
京 畿 道	3	276	4,559	25,576
忠 清 北 道	5	306	8,116	21,911
忠 清 南 道	8	586	16,639	57,771
全 羅 北 道	3	539	5,991	25,855
全 羅 南 道	5	565	4,547	4,092
慶 尙 北 道	9	1,006	24,573	55,289
慶 尙 南 道	2	144	4,610	14,256
江 原 道	5	400	9,809	17,156
世 宗 市	2	525	2,244	9,178
合 計	42	4,347	81,088	231,084

如斯한 生糸生産도 그原料事情에있어서는 共販制의不振으로 相當한困難을받고있으며1946年度에는 解放前에在庫하였던古蠶繭約46萬貫이있어서 製絲業復興에 큰도움이되었든 것이다

끝으로 朝鮮蠶業의將來性에對하여 一言하여들다 朝鮮은 蠶業에適當한 天與의好條件을具備하고있는데 그는如上所述한 諸自然的條件과 其外에零細한 農業經營으로말미암은 許多한剩餘勞動力이充滿하고있음과 蠶業이 婦女子의勞動에適合한 副業이라는點의 有利한條件을具備하고있다 이제야 朝鮮生絲는 外貨獲得의主要源泉으로서 國際生絲市場에 進出할야할時機가到來하였다 故로蠶及生絲業은 今後가 지은지 封建的인家內工業으로서 始終한것이아니고 有望한 輸出産業으로서改良 發達시켜야할것이며 이에對한當局及業者의責任은重且大하다하겠다



1944年度家蠶繭販賣數量及價格表

別	家蠶繭共販賣數量			家蠶繭共販賣價格		
	春 蠶	夏 秋 蠶	計	春 蠶	夏 秋 蠶	計
遼北	153,462	79,030	232,492	1,440,952	677,873	2 11
忠全	103,306	36,515	139,821	978,937	305,687	1 28
全南	164,707	97,410	262,117	1,605,774	759,737	2 36 5
全北	129,626	90 2	228,008	1,321,944	866 35	2 18 1
全南	69,374	91 320	160,694	705,681	858,570	1 5
慶北	351,531	116,951	471,482	3,609,858	1,078 624	4 6
慶南	107,237	42 177	149,414	1,030,401	373 487	1 4
慶原	157,711	63 468	221,179	1,426,843	517 830	1 94
江合	1,239,934	625,253	1,865,207	12,120,390	5,438,043	17 5

1946年度家蠶繭販賣數量及價格表

道 別	家蠶繭共販賣數量			家蠶繭共販賣價格		
	春 蠶	夏 秋 蠶	計	春 蠶	夏 秋 蠶	計
京	34 349	11 362	45,711	6 893 593	2,774,277	9 ,8
忠北	26 487	11 110	37,597	8 231 555	2,833,583	11 ,1
忠南	47 940	15 966	63,906	15 270 951	4,187,025	19 ,9
全北	35 808	24 060	59,868	10 829 930	6,042,142	16 ,0
全南	22 312	20 353	42,565	6 467 918	5,431,917	11 ,8
慶北	110 059	40 094	150,154	24 509 173	10,838,854	35 ,0
慶南	29 241	13 830	43,071	8 159 657	3,630,055	11 ,7
慶原	94 807	30 754	125,561	19 069 873	7,163,302	26 ,1
江合	401,003	167,529	568,433	99 432 650	42,951,155	142, ,8

1947年度家蠶繭販賣數量及價格表

道 別	家蠶繭共販賣數量			家蠶繭共販賣價格		
	春 蠶	夏 秋 蠶	計	春 蠶	夏 秋 蠶	計
京	34 975	18,064	53,039	16,865	8 184	
忠北	26 990	12,253	39,243	13,700	5 411	
忠南	34 497	18,914	53,412	18,253	9 388	
全北	50 840	35,418	86,258	26,550	17,138	
全南	15 550	13,997	29,548	8,117	6 733	
慶北	84 933	43,348	128,281	45,005	21 692	
慶南	34 874	19,583	54,457	17,176	9 476	
慶原	95 728	32,559	128,287	45,070	14 037	
江合	378,387	194,136	572,525	191,336	92 057	

1944 年 度 養 蠶 表

道別	飼育戶數		播 立 枚 數			繭 生 產 額			繭 生 產 價		
	春 蠶	夏秋蠶	春 蠶	夏秋蠶	計	春 蠶	夏秋蠶	計	春 蠶	夏秋蠶	
京	57 772	54,677	47,578	38,257	85,835	161 036	82,625	243,661	1,512,684	711,596	2 22
忠北	41 947	31,470	29,156	19,067	48,223	121 170	43,709	164,879	1,158 464	346,171	1 5
忠南	71 421	66,788	42,870	37,946	80,816	185 514	108,842	294,356	1,767 056	872,541	2 6
全北	64 437	59,849	44,872	43,296	88,163	171 132	107,261	278,393	1,707 782	954,541	2 6
全南	66 271	64,012	43,826	47,637	91,463	109 407	119,041	228,448	1,055 442	1,071,848	2 1
慶北	162,563	137,143	116,962	82,291	199,253	536 980	188,726	725,706	5,436,335	1,736,660	7 1
慶南	97 351	78,049	46,108	29,692	75,800	173 401	63,148	236,549	1,670 486	547,161	2 2
慶原	59 843	45,047	44,268	29,944	74,212	182 202	72,048	254,250	1,666 902	596,310	2 2
江合	821,605	537,035	415 640	328,130	743,770	1,640 842	785,400	2,426,242	15,975 151	6,836,828	22 8

1945年度養蠶表

道名	飼育戶數			立枚數			繭生產額		
	春蠶	夏秋蠶	計	春	夏秋	計	春蠶	夏秋蠶	計
京畿	59,756	55,000	44,852	37,100	31,952	109,612	7,000	116,612	
忠北	41,488	20,264	26,419	12,232	38,651	81,909	32,537	114,446	
忠南	72,715	63,064	43,053	33,665	76,718	179,577	72,530	252,107	
全北	59,145	不明	37,116	39,639	76,805	143,262	不明	143,262	
全南	59,488	40,857	41,529	77,066	118,595	100,321	60,560	160,881	
慶北	162,563	115,741	116,962	82,127	199,089	536,980	188,726	725,706	
慶南	97,351	32,700	40,860	9,226	50,086	122,623	32,291	154,914	
江原	62,449	48,929	47,653	35,710	83,363	157,190	65,552	222,742	
合計	614,955	386,545	398,494	326,765	725,259	1,431,474	459,196	1,890,670	

1946年度養蠶表

道別	飼育戶數		播枚數		繭生產額			繭生產價格			
	春蠶	夏秋蠶	春蠶	夏秋蠶	春	夏秋	計	春	夏秋	計	
京畿	37,424	30,724	21,950	18,229	40,189	67,157	5,410	102,647	13,272,212	8,567,098	21,839,310
忠北	32,721	23,775	18,714	12,164	3,000	62,609	3,032	9,311	19,070,022	7,980,640	27,050,662
忠南	56,697	55,101	27,279	26,934	5,000	87,272	4,011	161,273	25,668,538	14,796,086	40,464,624
全北	51,502	48,716	28,279	25,923	5,000	104,166	72,579	176,745	30,411,039	7,621,572	38,032,611
全南	45,702	46,145	26,930	27,541	54,471	84,672	76,217	160,889	23,717,731	19,748,750	43,466,481
慶北	139,619	106,719	76,853	54,081	15,934	354,817	147,749	502,566	76,597,613	37,784,303	114,381,916
慶南	83,051	62,633	32,285	19,216	51,501	112,668	49,089	161,757	28,623,929	11,701,138	40,330,667
江原	56,696	47,430	38,690	25,471	61,161	145,205	48,816	194,021	29,733,230	10,730,751	40,468,981
濟州	2,500	2,550	1,060	916	1,976	2,650	2,300	4,950	728,750	575,000	1,303,750
合計	505,912	423,793	272,040	210,485	482,525	1,021,336	539,273	1,560,609	247,833,064	119,505,338	367,338,402

1947年度養蠶表

道別	飼育戶數		播立枚數			繭生產額			繭生產價格		
	春蠶	夏秋蠶	春蠶	夏秋蠶	計	春蠶	夏秋蠶	計	春蠶	夏秋蠶	計
京畿	34,959	30,539	21,203	18,055	39,263	68,364	44,684	113,048	32,833	20,248	53,081
忠北	31,721	23,651	18,606	12,785	31,391	68,150	38,073	106,223	33,442	17,583	51,025
忠南	58,784	54,411	29,441	26,462	55,903	118,610	88,351	206,961	56,977	39,275	96,252
全北	47,458	48,084	28,272	27,113	55,410	118,705	87,859	206,564	61,033	40,369	101,402
全南	46,812	46,772	27,108	27,115	54,223	95,198	61,735	156,933	46,500	33,479	79,979
慶北	129,031	105,186	72,427	49,480	121,907	313,995	166,357	480,352	156,045	85,733	241,778
慶南	84,755	68,400	32,848	20,457	53,305	118,577	65,728	184,305	66,836	31,378	98,214
江原	56,438	47,355	37,295	28,908	66,203	164,764	62,912	227,676	76,730	27,401	104,131
濟州	2,520	—	1,100	—	1,100	3,876	—	3,876	744	—	744
合計	492,476	424,388	268,305	210,400	478,705	1,070,239	15,699	1,685,938	531,140	295,486	826,606


1944年度蠶種製造表

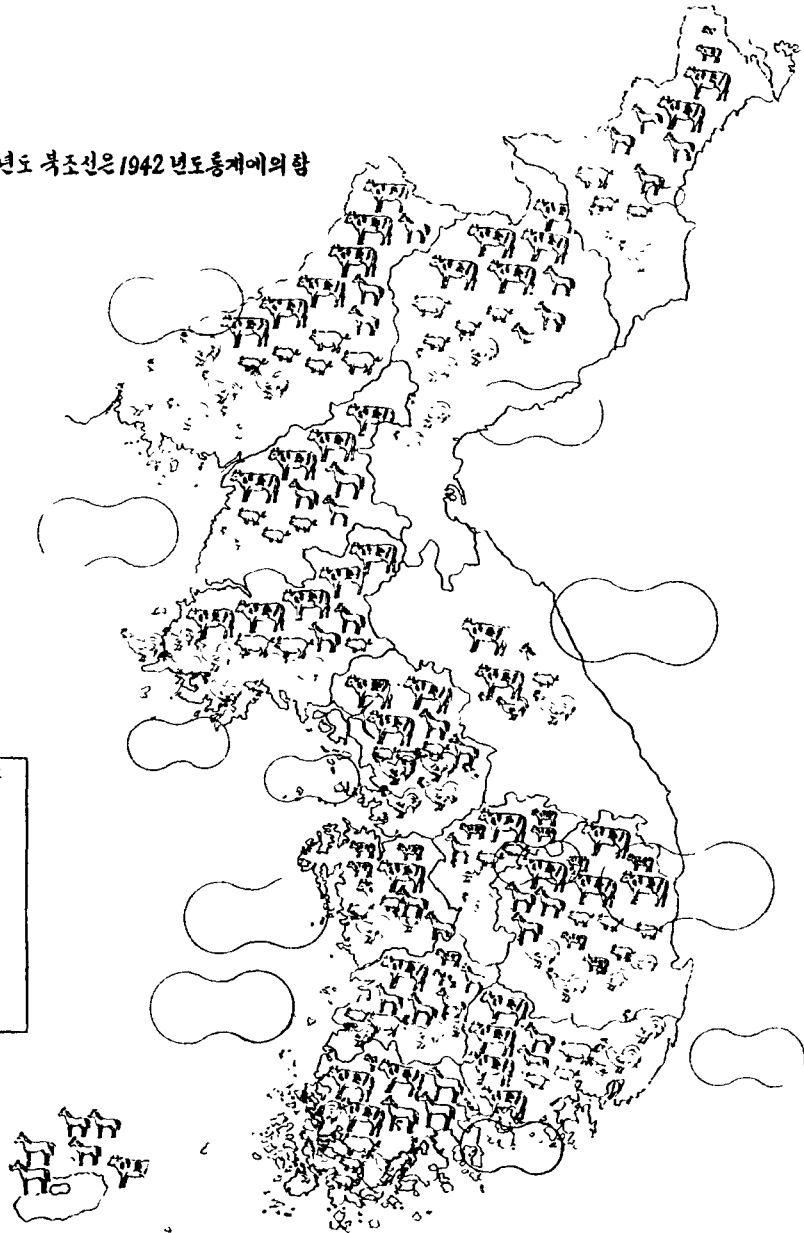
道別	原蠶種			普通蠶種			計		
	春	夏秋	計	春	夏秋	計	春	夏秋	計
京畿	2,020	1,410	3,430	43,431	37,440	80,871	45,451	38,850	84,301
忠北	850	620	1,470	31,410	—	31,410	32,260	620	32,880
忠南	1,200	1,000	2,200	43,721	41,577	85,298	44,921	42,577	87,498
全北	1,565	1,373	2,938	49,786	44,000	93,786	51,351	45,373	96,724
全南	2,143	2,143	4,286	41,847	55,000	96,847	43,990	57,143	101,133
慶北	699	5,770	6,469	123,842	85,000	208,842	124,541	90,770	215,311
慶南	2,600	910	3,510	49,500	33,800	83,300	52,100	34,710	86,810
江原	1,065	741	1,806	44,038	—	44,038	45,103	741	45,844
合計	12,142	13,967	26,109	427,575	296,817	724,392	439,717	310,784	750,501

(以下はI-62林業末尾に繼續)

# 도별가축수 및 고치생산고

남조선은 1946년도 북조선은 1942년도 통계에 의함

單 位	
	20,000 頭
	2,000 頭
	100,000 頭
	10,000 頭
	10,000 頭
	1,000,000 羽
	500,000 羽

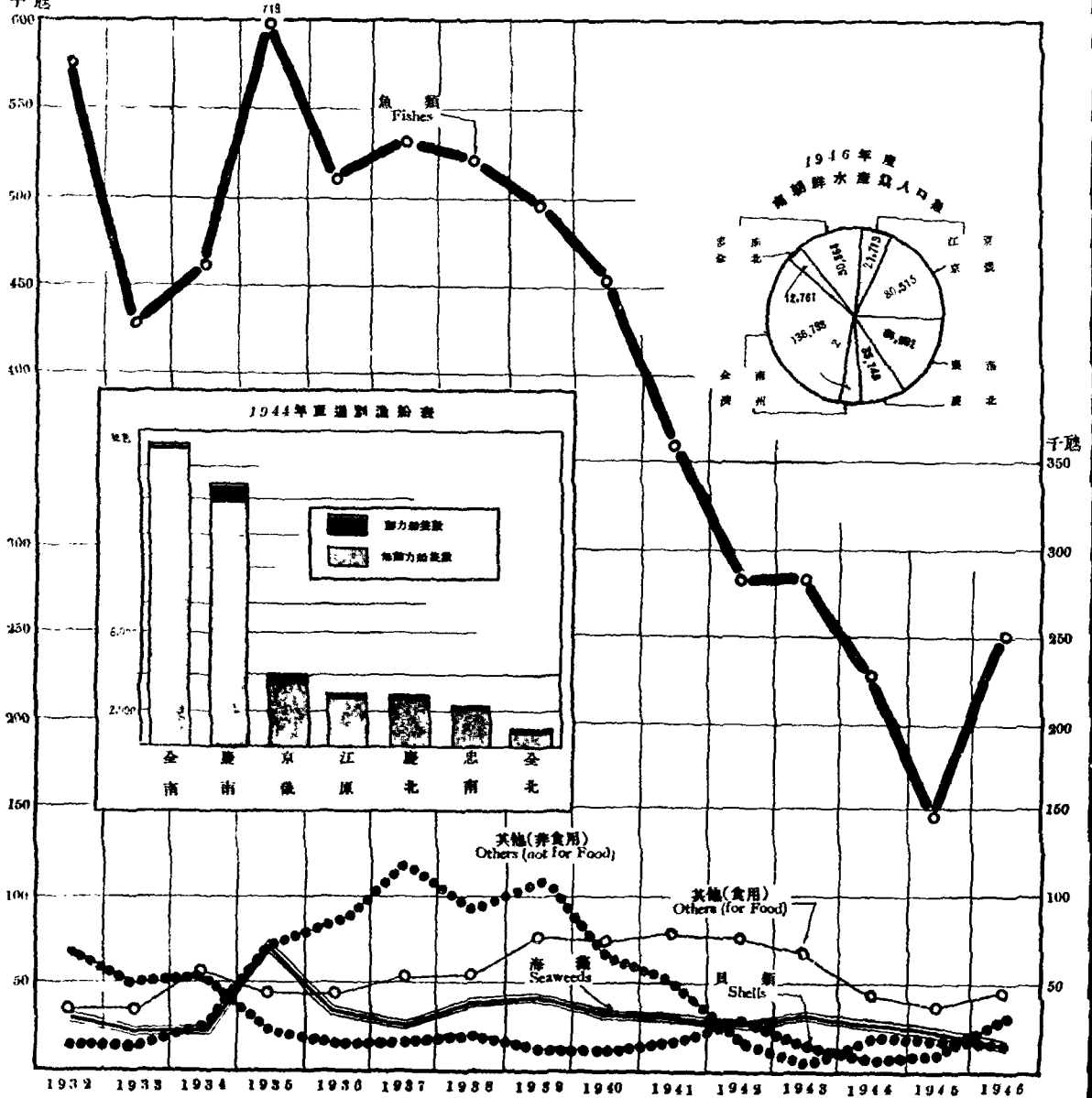


# 水產

(I-72)

## 南朝鮮水產漁獲高累年一覽表

單位  
千噸



# 水 產

## 1. 概 說

- (1) 朝鮮水產業의 立地의 好條件
- (2) 朝鮮水產業의 重要性
- (3) 解放前의 朝鮮水產業 概況
  - (가) 韓日合併前의 水產業 概況
  - (나) 合併後 解放當時까지의 水產業 概況

## 2. 朝鮮水產業의 現況

- 3. 解放前後의 水產業 動態
  - (1) 漁 船
  - (2) 水產業 人口
  - (3) 漁撈, 加工製造及 養殖業
- 4. 水產業의 改善 打開策

## 1. 概 說

### (1) 朝鮮水產業의 立地의 好條件

亞細亞大陸東部海洋에 突出한 半島 朝鮮은 三面이 바다로 圍繞되었으며 其海岸線의 延長은 本土와 島嶼을 合하여 9千3百25浬 (1萬7千5百80浬) 에 達하고 있다. 東海岸은 西海岸에 比較的 長大하나 屈曲이 極히 惡劣이 殆無하며 干滿之 差가 僅少하여 潮流가 緩慢한 에 反하여 西海岸은 沿岸의 屈曲이 많고 大小의 島嶼가 散在하며 潮流가 急激하며 廣汎한 干滿을 이루고 있어 良港이 많다. 또한 釜山港으로부터 珍島附近에 이르는 南海岸 所謂 多島海는 大小의 島嶼가 無數히 羅布하여 釜山 麗水等到處마다 船舶의 出入에 便利하며 潮流의 速度 南流의 干滿은 東西海岸의 中間이다.

加之 暖流인 對馬海流의 一支流는 朝鮮海峽을 通過하여 東海岸을 따라 北進하여 寒流인 利尻海流와 遭遇하여 東海方面으로 右折하며 他支流는 朝鮮海峽에 到達하기 前에 左折하여 濟州道의 西方及 西海岸을 經由하여 黃海에 流入하며 上記의 利尻海流는 沿海州 沿岸을 따라 南下하여 東海岸을 흐르고 있다.

要컨대 朝鮮沿海는 海岸線의 長大及 屈曲 島嶼의 散在 寒暖潮流의 關係等 天惠가 후대음으로 가장 水産資源이 豐富하며 魚類七十五種 貝類二十種 海藻類十五種 其他十餘種으로 無慮百二十餘種의 水産物을 産出하고 있다.

### (2) 朝鮮水產業의 重要性

(가) 朝鮮의 完全獨立을 爲하여는 經濟的 自立이 先次問題이며 經濟的 自立을 爲하여는 最低限度로 急速한 自給自足體制의 完成이 必要하다는 것은 이미 社會常識이다. 그러나 이같이 急速히 自給自足體制을 完成하기 爲하여 工業을 復興 再建하랴면 現下 經濟事情으로 보아 相當한 期間과 巨額의 人超를 難免할 것이니 自給自足體制가 完成되는 其期間에 朝鮮은 經濟적으로 完全히 外國의 支配下에서 계되고 말것이며 또한 그렇다고 해서 現狀대로 放任한다면 自給自足體制의 完成은 姑捨하고 未久에 다시는 救할 수 없는 破綻狀態에 빠지고 말것이니 우리에게 남겨진 朝鮮經濟再建의 唯一의 活路는 오로지 工業建設을 爲하여 不可避한 借款을 最少限度로 制止할 수 있는 方法을 講究하는 것 即 消費節約과 必需施設及 資材等의 輸入에 依한 工業製品의 生産增加等으로 輸入面을 極力減少시키는 한편 輸出面의 飛躍的 增加를 圖謀함에 있다고 生覺하는 바이다.

그러면 이 輸出面의 飛躍的 增加라는 國家의 重責을 堪當할 것은 果然무엇인가?

過去의 我國의 輸出統計로 보아 當分間은 穀物 鐵物及 金屬物乃至는 水産物 등이 이를 堪當하여야만 할 것으로는 覺되는 바이나 穀物은 解放後의 實情이 이같이 役割의 擔當者로서 完全히 無能함을 實證하였다. 鐵物亦 踏殼 廢路로 因하여 近期적 發展을 許하지 못되고 오로지 水産物만이 我國經濟再建上 不可缺한 唯一한 資源으로써 登場하게 되었으며 將來에 있어서도 또한 그러

한 것으로 推測되는 바로 朝鮮의 水産業은 今後 實로 國家의 存立과 繁榮을 左右하는 關鍵인 同時에 國家經濟健全發展의 推進力이 된것을 確信하여 憂心지 않는 바이다.

(나) 勿論 朝鮮은 自古로 農本國인 만큼 農業이 가장 重要한 代表的인 産業임은 贅言을 不要할 것이 그러나 水産業亦은 朝鮮의 代表的인 原始基幹産業의 하나로 次로 輕視할 수 없는 存在이 타라도 또한 周知의 事實인 것이다.

그러면 水産業이 朝鮮에 있어서 原始産業中 차지하고 있는 地位는 果然 如何한가? 勿論 最近의 統計가 없는 關係上 正確을 期하기는 困難한 바이나 一九三九年乃至一九四五年의 七年間의 主要原始産業 平均生産額을 보면

農 産 額	1,815,745千圓
水 産 額	372,570千圓
林 産 額	305,715千圓
畜 産 額	111,005千圓

으로 되어 있어 原始産業中 第二位를 占하고 있음은 勿論할 수 있다. 이물며 農業은 限定된 面積乃至는 收穫選拔의 法則等으로 보아 如何히 土地改良事業을 加하고 機械化를 圖謀하며 又是 土地所有制度를 改善할 지라도 其發展에는 스스로 限界가 있을 것임에 反하여 水産業이란 地球의 約四分의 三을 占有하며 거의 無盡藏인 水産資源을 內藏하고 있는 海洋을 相對로 하는 것이며 더욱이 朝鮮에 있어서는 前述한 바와 같이 立地의 好條件의 惠澤을 받고 있는 만큼 其 洋々한 前途가 獨별되고 있음은 當然한 歸結이라고 할 것이다.

(다) 뿐만 아니라 水産物은 國民保健上 不可缺한 營養素(蛋白質)의 補給源으로 又是 各種化學工業의 原料 其他 醫藥品의 材料等 現代工業發展上 不可缺한 要素로써 重大한 役割을 하고 있으며 특히 我國의 輸出對象物으로서는 거의 獨占의 地位를 차지하고 있는 것이다.

(라) 더욱이 水産業의 重要性은 經濟以外의 諸面에서도 또한 이를 主眼할 수 있는 것이니 即古語에 『海洋을 支配하는 者는 世界를 支配한다』는 말이 있으며 이것이 時代의 古今 洋의 東西를 莫論하고 眞理인은 이미 世界史가 이를 立證하고 있음에 비추어 보더라도 斯業이 國民精神의 昂揚上乃至는 民族發展上 又是 國防上 軍事上에 미치는 影響의 至大함과 가진 非軍事的인 巨大한 實效를 窺知할 수 있는 바이거니와 三面環海인 朝鮮의 立地의 條件을 生覺할 때 더욱히 其 重要性을 痛感하지 않을 수 없는 바이다.

(마) 生覺컨대 解放朝鮮에 있어서 水産業이 갖게 될 意義는 上述한 바와 같이 宿命의 인 것이며 朝鮮은 今後 海洋으로의 進出이 없는 國家發展을 期할 수 없는 運命下에 있는 것이다. 그럼에도 불구하고 斯業에 對한 一般社會의 認識은 貧弱하며 또한 水産業自體는 나날이 姑息沈滯되어 가고 있으며 國家將來를 爲하여 必로 憂慮하지 않을 수 없는 바이며 따라서는 吾國民이 斯業의 重要性을 正確히 認識하는 同時에 其發展에 對하여 宏大한 構想下에 朝鮮의 實情에 符合하는 周到切切한 百年之大計를 樹立하여 舉國의 努力을 推進하기를 圖強하는 바이다.

(3) 解放前의朝鮮水産業概況

(가) 韓日合併前의水産業概況

韓日合併前의水産業은 不幸히도李朝五百年間의 文弱政治의影響을받아 賤業中의賤業으로認定되어 漁政의基礎가薄弱하였...

(나) 合併後解放當時까지의水産業概況

其後 드디어日本帝國主義에併呑되어 韓日合併이되자 日人은漁業令을公布함으로써 又是行政整理라는口實下에 거의掠奪적이거나은強制的手段으로써은갖漁業利權及有利한漁場等을 모조리占領하고마랐던것이니...

(第1表) 漁獲高

Table with 5 columns: 年代, 數量, 指數, 價格, 指數. Rows for 1911, 1921, 1931, 1941, 1942.

(第2表) 養殖高

Table with 5 columns: 年代, 數量, 指數, 價格, 指數. Rows for 1911, 1921, 1931, 1941, 1942.

(第3表) 加工生産高

Table with 5 columns: 年代, 數量, 指數, 價格, 指數. Rows for 1911, 1921, 1931, 1941, 1942.

(第4表) 水産業者戶口及船舶數

Table with 6 columns: 年代, 戶數, 指數, 人口, 指數, 船舶隻數, 指數. Rows for 1911, 1921, 1931, 1941, 1942.

即上記諸表에依하여보건대 1941年及1942年度의兩年平均統計는 1911年度의 그것에비하여 漁獲高15倍強 養殖高24倍弱 加工生産高9倍強 水産業者戶數人口及船舶隻數는各2.7倍強, 2.1倍強及4.7倍弱으로되어 있어 解放前 36年間에있어서의新業의飛躍的인發展의자취를 充分히窺할수있는바이다...

에 朝鮮漁民이받은바 經濟的惠澤이라고는 다만細口之竿竿에는안되었으며 其惠澤의大部分은 下表와같이 오로지日人에게歸하고있었던것이다

第5表 朝鮮人、日本人別漁獲高及從業者數

Table with 6 columns: 年代, 朝鮮人, 同漁獲高, 日本人, 同漁獲高, 總漁獲高. Rows for 1911, 1916, 1921, 1926, 1931.

即 上掲表을基準으로 1911년부터 5年間의間隔을두고 1916年, 1921年, 1926年及1931年의統計를 總平均하여보면 漁獲高에있어서는 朝鮮人約50.2% 日本人49.8%의比率이며 一面從業人口의比率는 朝鮮人이約96.4% 日人은約3.6%에不過하다

即 漁獲高의過半은 日人에게屬하며 一便其從業者의比率는 96.4%이니 結局 朝鮮人96名의生産高가 겨우日人4名의生産高에 匹敵하였던것이다. 하물며 加工生産及養殖業에있어서는 其獨占의度가 더욱尤甚하였으니 朝鮮의水産業界가 過去36年間 그일미나日人의獨占支配下에呻吟하였으며 掠奪, 蹂躪當하였던것을 能히推測할수있는바이다

2. 朝鮮水産業의現況

解放後 諸般産業이 거의全部 半身不遂狀態에빠져있음에도不拘하고 水産業만은 比較的頑強으로發展을 持續하여왔던것이나 斯業마저漸次急速度로惡化되어 解放後滿二年을經過한수일에 이르러서는 叙上한바와地的好條件 乃至는斯業의重要性에도不拘하고 混亂麻痺狀態에빠져서 發展을보지못하고있을뿐이 아니라 오히려 난망이萎縮衰頹해가고있어 其將來가憂慮되고있는現狀이다

그러나 其詳細한實態의考察은 後項으로될 기로하고 于先 이러한水産業의發展을阻害하며 水産業으로하여금 沒落過程을발견한原因을 簡單히究明考察하기로하겠다

(가) 資材難

于先 其最大의要因으로서 資材難, 即漁業用資材, 特히漁網及마너타르-프의老朽化及新品在庫의潤涸等을들수있을것이다

무릇 水産業에있어서의 資材의重要性은 거의絶對的인것이 며 資材의整備如何가生産의決定的인關鍵이 되고있는것이다. 解放前에있어서는 其大部分을 主로日本等外國에依存하고 國內生産은殆無한實情이였으며 더욱이朝鮮의漁船及 漁業用資材는 解放當時에있어서 이미 八個年에亘한日帝의侵略戰爭遂行政策으로만미달아 極度로消耗廢損되어 其大部分이修理乃至 新造或은購入치않으면 안될實情이였지만 正常交易이杜絶된解放後에있어 深刻한資材難에 逢着하게되었는것은 오히려當然한歸結인것이다. 그레도 解放後直數個月間은 在庫資材로써 小庖狀態를維持할수있었던것이나 이미 殘存在庫品도潤涸되고 外國으로부터의輸入도없으며 罾上加箱格으로 若干이나마運行되고있든國內生産者 中止되고보니 資材의暴騰이날로極甚하여 (解放前의約五百倍騰貴, 生産物은 約百五十倍 騰貴하였음에不過) 業者들은畢竟採算難에逢着하게되었으 며 昨今에 이르러서는 今後의採算可能性조차도危懼되는 可謂破滅直前에까지 到達하고있는現狀이다

(나) 資金難

解放前의 朝鮮漁民의動態에關하여는 앞서말及한바있거

나와 其大部分이 被 捕者 또는 零細 漁民으로서 의 小規模 漁業이 있으나 到底 自力만으로는 運營不能하였을까닭에 水産業會 또는 中間業者들로부터 資金乃至 物資等을 融通받음으로써 值々 採業을 繼續히 하였는 것이다

히틀러 그들은 解放後도 日人을 代身하여 登場한 中間者로서 一層의 利權策動으로 말미암아 漁場獲得의 機會을 逸失하였으며 一便, 諸般物價 特別 漁業用資材는 暴騰함에 反하여 資本化한 資産과 借用的 餘蓄이 없었는故로 自然金融資本의 惠澤을 입지 못하고 (水産業會를 通하여 相當額의 水産資金이 放出되고 있으나 末端 漁民에 對한 割當은 2.3萬圓程度에 不過하다) 畢竟 借前의 資金 根柢에 達著하게 되었다. 따라서 그들은 서 延命하기 爲어야는 設令 月 3割以上의 高利金融이라도 出漁生産後의 收支 採算을 不願하고 借用하는가닭에 自然生産品의 處分에 있어서도 또한 多大한 拘束을 받게 되어 韓鮮 水産業의 健全한 發達이 抑止되고 있는 實情이다

(다) 加工用鹽及 冷凍用氷의 不足

다음 加工用鹽及 冷凍用氷의 不足도 또한 主要한 原因의 하나로 되고 있다. 卽例로 鹽에 取하여 보면 解放前에 있어서의 水産用鹽供給量 (但 全鮮) 은 年約 8萬噸에 達하고 있었으나 其거의 大部分을 日本, 中國等 地로부터의 輸入에 依存하고 있었는關係로 昨年에 이르러서는 南 僑鮮에 있어서 自給他給合하여 僅々 年 2千噸 內外밖에는 供給不能한 悲境에 빠지고 있다. 하물며 水産物이란 元來가 生鮮으로서 의 需要는 一部分에 지나지 못하고 大部分이 鹽藏 또는 冷凍加工을 要하는가닭에 加工用鹽及 冷凍用氷의 殆不足으로 말미암아 받는 打撃은 深刻한 것이며 甚之於는 資金難, 資材難等이 甚苦難을 克服하여 가며 千辛萬苦히야 漁獲한 生鮮을 오로지 鹽 또는 氷等이 不足한가닭에 水中에 拋棄하는 例도 甚多하다 하니 이에 對한 當局의 緊急한 施策이 切望되는 바이다

(라) 歸屬財產施設을 圍繞하는 利權의 爭奪

朝鮮의 水産關係施設의 約90%를 占하는 水産關係歸屬施設乃至는 水産高의 過半을 차지하고 있는 歸屬漁業權의 處理問題는 可謂 朝鮮漁政의 基礎인 동시에 漁民全體의 死活問題인 것이다. 그는 應當 漁民의 共同利益과 漁村의 健全發展을 主眼으로 한 慎重한 措置가 企圖되었을것인데 美軍이 進駐하여 法令及 一般告示으로써 從前의 一切漁業權의 無効를 宣言하자 漁業權 特別日人所有인 施設, 船舶乃至는 資材를 圍繞하고 所謂 利權의 先占爭奪으로 말미암아 其大部分이 大多數의 零細 漁民과 遊離된 結果로 朝鮮 水産業의 健全한 發展을 阻害하는 基本原因이 다시 무리내리게 되었다

(마) 其 他

勿論 朝鮮 水産業의 發展을 阻害하는 原因으로서는 統上한 資材難, 資金難, 鹽及氷의 不足,乃至는 廠產施設을 圍繞하는 漁業權의 利權策動等々以外에도 技術難 또는 過渡의 人諸制約으로 말미암아 水産業會等이 本來의 機能을 充分히 發揮하지 못하고 있다는 것 등々 하나 列列 擧げ한다면 甚多할 것이나 其에 對한 考察은 以上으로 그치기로 한다

3. 解放前後의 水産業動態

(1) 漁 船

解放前年인 1944年及 解放翌年인 1946年의 兩年度 南朝鮮 臨海七道의 統計를 基準으로 解放을 契機로 한 漁船의 動態를 簡述하면 다음과 같다

(第 6 表) 1944年度 漁船表

道別	動力船隻數	動力船噸數	無動力船	合計(隻數)
京 畿	93	1,704	2,561	2,654

江 原	138	1,965	2,619	2,757
中 南	68	634	1,539	1,607
全 北	137	1,700	1,132	1,269
全 南	208	1,274	17,766	17,974
慶 北	349	3,139	3,557	3,906
慶 南	1,006	9,887	12,574	13,580
合 計	1,939	20,303	41,748	43,747

(第 7 表) 1946年度 漁船表

道別	動力船隻數	動力船噸數	無動力船	合計(隻數)
京 畿	130	2,382	3,886	4,016
江 原	113	1,444	2,994	3,107
忠 南	88	944	2,017	2,105
全 北	128	1,583	1,079	1,207
全 南	251	1,716	17,395	17,646
慶 北	263	3,136	2,677	2,940
慶 南	1,030	7,412	13,919	14,949
合 計	003	18,622	43,967	45,970

全體의 으로 보아 動力船은 僅々 四隻 (噸數로는 오히려 1,681噸의 減少) 無動力船은 2,218隻의 增加이며 道別로 其의 減狀 略을 보면

(第 8 表) 道別 漁船 增減表

道 別	動 力 船		無 動 力 船 隻	
	隻數增	增 率	隻數增	增 率
中 南	37	39.8	1,325	51.7
江 原	△ 25	△ 18.1	375	14.3
忠 南	20	29.3	478	31.0
全 北	△ 9	△ 6.7	△ 53	△ 4.6
全 南	43	20.6	△ 371	△ 2.0
慶 北	△ 86	△ 24.6	△ 880	△ 24.7
慶 南	24	2.3	1,345	10.6
合 計	4	0.2	2,219	5.3

京畿 忠南兩道의 顯著한 進出及 이에 反한 慶北 全北兩道의 激減이 注目되는 同時에 登記하는 (第10表)에 對比할 때 漁船의 增減은 곧 漁獲高에 影響하고 있음을 發見할 수 있다

또한 右表에 依하면 動力船은 全漁船의 僅々 4.3%程度에 不過하다. 一面 登簿船 不登簿船別區分은 最近의 統計가 없어 正確을 期하기 困難하다 從前의 比率로 보면 大略 다음과 같다.

登 簿 別	動 力 船	無 動 力 船
登 簿 船	11.6%	0.037%
不 登 簿 船	88.4%	99.963%

上揭한 諸統計에 依하면 朝鮮의 漁船이 現在 如何한 狀態에 놓여 있는가를 充分히 窺知할 수 있는 同時에 其質의 及 量的 向上의 緊急함을 痛感하지 않을 수 없는 바이다

더욱이 앞서 論及한 바와 같이 現在 朝鮮의 漁船은 大部分이 老朽化하여 修繕乃至는 新造를 要함에 不拘하고 朝鮮造船界의 現實은 從來에 있어서 造船資材는 勿論 技術까지도 全的으로 日本에 依存하고 있었는關係로 新造는 姑捨하고 修繕조차 不如意한 悲慘한 實情에 있으며 또한 敗戰日本이 水産立國을 標榜하고 있음에 비추어 日本으로부터의 船舶及造船資材의 輸入도 當分間은 難望한 것이니 將來가 極히 憂懼되는 바이다

(2) 水産業人口

(第9表)

1946年度南朝鮮水產業戶口數

道別	漁獲		養殖		加工		合計		1944年度人口合計
	戶數	人口	戶數	人口	戶數	人口	戶數	人口	
京畿	19,758	68,892	5,816	7,825	3,796	3,798	29,370	80,515	62,079
江原	7,653	19,170	367	833	392	1,716	8,412	21,719	23,731
忠南	12,909	44,778	110	4,970	304	1,120	14,825	50,868	43,890
全北	4,052	11,910	116	393	346	458	4,514	12,761	11,193
全南	24,388	43,570	31,645	89,764	1,275	3,464	57,308	136,798	166,358
慶北	—	—	—	—	—	—	12,986	15,572	—
慶南	10,598	26,192	183	436	2,722	8,521	13,503	35,149	13,102
合計	22,270	54,640	3,238	6,387	1,962	3,665	27,470	64,692	64,692
合計	101,628	269,152	42,975	110,608	10,797	22,742	168,388	418,074	365,085

解放後契機로한 水産業者의 動態에 關하여는 前述한 바도 있거니와 上表로서도 其大略을 推測할 수 있되 專業 兼業及 被檢者別 統計乃至는 1944年度 業種別 統計가 없는 關係上 輕率의 論斷키는 困難하다

北	21,970.684	2,853.392	1,500	24,825.776
全南(濟州道包含)	47,181.880	8,329.120	1,810.159	57,330.159
慶北	40,323.265	5,756.529	9,557	46,089.351
慶南	145,667.548	25,491.626	1,608.900	172,768.074
忠北	5,079	—	300	5,379
合計	305,660.581	74,186.634	4,127.202	384,274.417

(3) 漁撈、加工製造及養殖業

다음에 水産物生産狀況을 概觀하건대

(第10表) 1944年度水産物生産高

道別	漁獲高	加工製造	養殖高	總生産高
京畿	14,513.280	6,295.810	440.620	21,249.710
江原	29,341.240	1,950.418	40.046	31,331.704
忠南	13,318.578	5,078.898	117.222	18,514.698
全北	13,307.543	4,723.210	285.775	18,316.528
全南	50,952.322	5,908.900	2,580.193	59,441.415
慶北	41,352.171	7,734.173	9.203	49,095.547
慶南	71,728.458	22,300.490	959.735	94,988.683
合計	234,513.592	53,991.899	4,432.794	292,938.285

即1946年度의 水産業生産高은 1944年度의 그것과 對比하건대 養殖高은 305 越餘(約6.9%) 가 減少되고 있으나 漁撈高及 加工製造高에 있어서는 오히려 各21,446 越餘(30.4%)及20,184 越餘(37.4%)가 增産되고 있으며 總生産高으로 보아 91,336 越餘(31.1%)의 大幅增加이다

然而 資金難, 資料難等 解放後에 水産業者가 逢着한 難關이란 點으로 深刻한 것 이 있었다 함은 前述한 바 있거니와 如斯한 許多한 難關에도 不拘하고 오 히려 總生産高에 있어서는 無慮9萬1千餘 越의 急増을 보았음은 오로지 祖國經濟의 復興再建을 爲하야 千辛萬苦한 業者들의 努力의 結果인 것 이터니와 一便이는 또한 解放後의 混亂에 乘한 無節制한 濫獲에 起因하는 것으로 即一時의 漁獲高은 反面에 天然의 寶庫인 漁場은 나날이 荒廢하며 漁族의 繁殖은 急速度로 減退되고 있어 萬一現狀이 繼續된다면 未久에 破綻狀態에 이 지고 말것은 明若觀火의 事實이니 하루速히 이에 對한 積極且適切한 恒久的 施策이 要請되고 있다

그러나 이 처럼 解放前年과 直後年의 그것만을 比較對照하면 解放後에 있어서는 新業이 稀有的 急速發展을 이룬 것 같은 感을 주 기 귀우나 過去15年間의 實績을 下表에서 보건대 事實은 決코그 렷지 못하다는 것을 알 수 있다

(第11表) 1946年度水産業生産高

道別	漁獲高	加工製造	養殖高	總生産高
京畿	13,590.300	5,305.603	640.890	19,536.793
江原	17,548.705	16,562.672	—	34,111.377
忠南	19,672.920	9,887.692	46.856	29,607.508

第12表

過去十五年間의 南朝鮮 漁獲高及加工製造高一覽表

種別年別	魚類	貝類	海藻類	其他(食用)	其他(非食用)	合計
1932年	574,317	67,555	33,777	35,833	15,357	726,839
1933年	427,005	50,235	25,117	35,599	15,257	553,213
1934年	461,714	55,488	27,744	58,077	24,890	627,913
1935年	719,755	22,879	71,145	44,335	74,032	932,146
1936年	513,586	14,103	37,272	43,810	88,890	697,661
1937年	537,819	15,834	28,877	54,328	126,114	762,972
1938年	525,354	17,227	40,456	54,376	95,218	732,631
1939年	499,056	10,303	41,002	77,451	113,866	741,678
1940年	454,501	10,953	34,576	72,315	63,483	635,828
1941年	363,670	14,603	33,128	79,494	52,115	543,010
1942年	288,449	28,050	28,309	76,363	17,620	438,791
1943年	281,597	13,595	33,175	67,641	4,638	400,646
1944年	228,530	6,977	29,857	40,469	17,343	323,176
1945年	149,858	9,865	23,232	35,416	15,178	233,549
1946年	250,990	29,528	14,764	46,885	11,721	353,888



即上揭表에依하여 解放前年(1944年)과 即後(1946年)兩年의 生産高은 1932年度의 그것과比하면 各 44.5%及 43.7%에 不過하며 더욱히 斯業이 其餘 盛衰를 자랑하는 1935年을 基準으로 보면 各僅 34.7%及 38%에 不過하니 近年의 朝鮮 水産業이 如何한 狀態에 놓여 있는가를 能히 斟酌할 수 있는 바이다

다음에 順序로써 解放以後 近年 斯業으로 하여금 如斯히 不振 狀態에 陷入케 한 原因을 究明 考察하여야만 할 것이나 이에 關하여는 앞서 論述한 바와 같은으로 省略하기로 하고 本項에서는 業種 固有의 隘路乃至는 實情만을 簡單히 보되기로 하였다

(1) 製造業

于先朝 鮮總水産額의 約三分之一을 占有하며 數多한 重要 輸出 對象物 資를 産出하는 등 重大한 意義를 갖고 있는 製造業에 關하여 보건되 其 發展을 阻害하는 原因으로서는 前記한 바 資材 難資材 難等外에 漁獲高의 減少, 特別로 水, 氷及 空罐의 不足을 言할 수 있다

가) 漁獲高의 減少

節人體 水産製品 이란 鮮魚介를 原料로 하여 製造하는 것으로 此 製品의 多寡는 自然 漁獲高의 多寡에 左右되는 까닭에 漁獲高가 減少됨에 따라 製造高亦是 減少되게 되는 當然한 所致인 것이다

나) 加工用 鹽의 不足

또한 朝鮮의 製造業이란 物撻及마마한 가지로 아직 原始的 領域에 蟬蛻치 못하고 있어 鹽製品 製造가 斷然 壓倒的인 만큼 (總 製造高의 約 3割) 斯業이 水不足으로 말미암아 받는 打擊이 至大함을 當然한 事實이며 이로 인하여 最近에 있어서는 別 般 鹽을 要하지 않는 乾製品 特別其中에서도 乾干品(海蔘)及 凍干品(寒天) 등의 製造단位 價가 逐次로 運轉되고 있는 現狀이 라고도 한다

다) 冷凍用 水及 空罐 不足

다음 등조 鹽 製造 狀況을 보건대 其 國防上乃至는 輸出 物 資로서의 重要性은 널리 認定하는 바이며 더욱히 南朝鮮에는 現在 大小 四十餘個의 工場이 있어 必要 資材만 供給되면 無難히 生産할 수 있는 條件이 具備되고 있음에도 불구하고 氷의 不足 特別 空罐 不足으로 말미암아 (需要 量의 一割未滿程度가 供給되고 있음에 不過함) 生産 殆無한 現狀이라고 한다

(2) 養殖業

解放後 水産品 生産高에 있어서 오로지 養殖高만이 戰爭의 苛酷化에 따라 生産不振을 經免하는 1944年度의 生産高보다도 減少되었다 함은 앞서 言及한 바 있었거니와 이는 養殖業中가 尙 重要한 地位를 차지하고 있는 海苔 生産의 激減에 起因하는 것이며 또 海苔 生産이 이처럼 激減되었음은 從來에 있어 其 8割以上을 日本에 輸出하고 있었는 것이나 解放後 對日 輸出의 方法을 全的으로 杜絶되었음에 加하여 國內 消費도 또한 微々하였은 까닭에 結局 生産 剩餘 狀態에 빠지게 되어 生産 原價가 支拂持할 수 없게 되었음에 起因하는 것이다

然이나 昨年以來로 相當量의 對日 輸出이 可能하게 되어 愁眉를 뜯게 되었으며 또한 이로 인하여 主要 資材인 竹材도 輸入이 可能하게 되어 漸次 活氣를 띠우게 되었다

4. 水産業의 改善 打開策及其 將來性

以上에 言及한 朝鮮의 水産業은 其 國策의 重要性乃至는 無限한 發展性에도 불구하고 解放後 나날이 萎靡沈滯되어 가고 있어 時急히 適切한 對策이 講究될 것 必屬 結된다

勿論 解放後 이미 二個 星期餘를 經過한 今日에 있어서 政治的 亂沌속에서 모-毛 産業이 正常的인 整備 量을 보지 못하고 있음

에 際하여 唯獨히 水産再建의 課題만을 任意로 遂行할 수 있을 理無한 것이나 斯業은 比較的 其 再建이 容易함에 加하여 朝鮮 經濟再建의 先驅的 役割을 擔當하고 있음에 비하여 現下 客觀的 情勢가 當與하는 限 水産發展의 百年大計을 爲한 緩密 局到한 基礎 工作단은 當然히 있어야 할 것으로 思惟하는 바이다 如斯한 論地에 立脚해서 現下 焦眉之 急務인 水産業의 改善策에 關하여 當面 問題의 略述을 試하면 다음과 같다

(1) 資材 難의 緩和

現下 緊迫한 資材 難을 緩和할 수 있는 方法으로서는 漁網等 國內 生産이 可能한 것에 對하여는 優先的으로 原料를 供給함으로써 可及의 自給自足을 期하며 마나타로 모-毛 國內 生産이 尙 尠한 物 資에 關하여는 代用品의 生産及 使用을 積極 獎勵함을 言할 수 있으나 이는 어디까지나 窮策之策에 不過하며 亦是 拔本의 對策으로는 水産物의 輸出을 振興시킴으로써 이과 恰-타로 所要 資材를 輸入하는 外에는 別無好策일 것이다 그러나 業會에 對하여 充分한 共同 購入 資金을 融資함으로써 其 系列 斷絶의 共同 購入 事業을 促進시킨다면 이도 또한 資材 難을 緩和함에 크게 도움이 될 것으로 生覺한다

(2) 資金 難의 緩和

前項의 資材 難과 더불어 資金 難問題가 말로 現下 水産業界가 當面한 問題中 가장 緊急且 重要한 問題의 하나일 것이며 資金 問題가 解決되지 않는 限 水産業의 所期의 發展은 不可能하다고 하여도 過言이 아니라 그러나 其 緩和 策으로서는 水産 金融을 促進시키는 外 別無方策일 것인바 如斯 水産 金融을 促進시키기 爲하여는 무엇보다 根本的으로 金融機關이 斯業의 重要性乃至는 償還 能力에 關하여 正確히 再認識함이 先決 問題일 것이며 이리하여 現行의 業會를 經由하는 融資를 더욱 積極化하는 한편 一般市 中銀行도 또한 漁民들의 漁業 準備 仕込 資金으로서 遊資를 積極 勸員한다면 多分히 緩和될 것으로 推測되는 바이다 一便 業者로서도 當然히 漁船 漁具等 科學的 漁撈 手段 方法의 採用, 經營 組織及 經營 方法의 改良으로 各種 水産業의 合理的인 運營을 企圖하는 反面 季節의 多角 經營을 策하며 또한 副業을 積極 開拓하는 등 償還 能力을 더욱더 油養하기 爲하여 萬全의 努力을 傾注하여야만 할 것으로 生覺하는 바이다 此 具體 策으로는 漁船 船製 改良 規格 統一, 漁船 檢査 制 漁船 登記 制 漁船 保險 制, 漁獲 保險 制度의 實施도 緊急하다

(3) 鹽, 氷 空罐及其 漁業用 燃料 問題의 解決

鹽 問題의 解決을 爲하여는 資材 問題와 마찬가지로 結局 水産物과 恰-타로 輸入하는 外 別無 方法일 것이며 氷과 空罐 問題도 亦是 錫及 安모니아等 原料를 輸入하여 現有 設備을 全的으로 活用함으로써만 解決될 것이다

(4) 沿岸 漁業의 整備及 遠洋 漁場의 開拓

水産業은 解放을 契機로 飛躍的인 發展을 圖謀하지 않으면 안된 宿命의 運命에 處하게 되었으며 朝鮮 經濟의 發展上 水産業에 期待되는 國家의 要請 또한 至大함에 不拘하고 過去 二年 동안의 我國 水産 實情은 從來의 植民地 水産 政策을 거의 無批判하게 踏襲하여 沿岸 漁業에 局限되었음으로써 海洋과 의 連絡이 없었던 까닭에 時型의 發展을 하였음에 不過하며 必然的인 結果로 沿岸 漁場의 荒廢를 招來하게 되었다 함은 敍上한 바 있었거니와 또한 沿岸 漁業과 遠洋 漁業의 調和의 發展 없이는 到底히 斯業의 圓滿한 振興을 期할 수는 없는 바이니 此際에 沿岸 漁業을 整備 統合하는 同時에 總力을 傾注하여 遠洋 漁業으로 發展하지 않으면 안된 것이다 勿論 遠洋 漁業을 開拓하려면 資金 問題를 爲始하여 ① 모-毛 資材 問題 ② 大型 船舶 問題 ③ 船員 船員等 養成 問題 ④ 無線 電信及 漁船 修繕 施設 問題 ⑤ 漁場

의共同開拓問題 乃至는 ⑥漁場的國際的調節問題等 許多한 難題에 逢着하게 될것이다 國際的發言權의 基礎를 確立하며 沿岸漁場의 荒廢를 未然에 防止하는 同時에 막아 더타인을 싸고도는 日人의 策動을 完全히 封殺하는等 其國策의 인 運의 頂大함에 비하여 全民族이 戮心協調하여 萬難을 排除하고 負荷된 使命을 完遂하여야 할것으로 確信하는바이다

(5) 水産物の販路開拓과處理의合理化

過去에 있어서는 水産物의 大部分이 主로 日人에 依하여 消費되고 있었으며 또한 總生産高의 約四割程度가 日本滿洲及 中國等地로 輸出되고 있었는것이다 따라서 解放後 日人이 退去하고 外國貿易은 杜絶되었으며 또한 物價高에 起因하는 一般의 生活難으로 말미암아 國內의 需要마저 減退되고 보나 水産物은 畢竟 自然의 인德和狀態에 따라지게 되었으며 其後 相當量의 輸出을 보게 되었다고 하나 이亦是 被動的 消極的인 貿易에 不過하여 大勢에는 別無影響이 없든 까닭에 結局 漁民들은 千辛萬苦하여 生産을 하야도 利益如 魚目에 處分할 수조차 없어 큰 打擊을 蒙고 있었는것이다 如何한 産業에 있어서도 그러하거나 消費를 無視한 生産이란 있을 수 없으며 또한 消費와 生産과 의 均衡이 維持되지 않는 限 到底히 健全한 發展을 企待할 수 없는 것이니 故에 水産物의 増産을 圖謀함과 同時에 其販路를 開拓함이 緊急함을 痛感하는 바이다 그러나 其具體策으로서 널리 中國 日本을 爲始하여 南方各地의 巨大한 消費市場의 進出을 極力 推進시킴이 또한 先決問題임은 贅言을 不要할 것 이려니와 對內的으로 中間搾取商人의 介在을 不許하는 業者의 共同出荷及 生産團體에 依한 直接販賣制를

(勿論 이것을 實行하기 爲하야는 充分한 委託販賣資金이 必要하다) 實施한다면 效果의 인 것 이라고 感覺하는 바이다

(6) 科學的研究調查의 實用

水産業이란 元來가 原始産業中에서도 가장 自然의 威脅下에 있는 産業이며 特히 朝鮮에 있어서는 技術의 貧困으로 말미암아 自然의 危險을 技術의 으로 克服한 分野가 極히 稀少한 뿐 아니라 經營의 科學性으로 말미암아 自然의 危險을 經濟的으로 分散시 力力 途도 全然 講究되지 沒있지 않은 現狀이다 그러나 如斯한 條件下에서는 到底히 斯業의 隆盛을 期待할 수 없는 까닭에 他産業以上의 自然科學의 乃至는 社會經濟學의 研究調查의 緊要性을 痛感하지 않을 수 없으며 이러한 見地에서 水産教育의 向上及 研究調查機關의 一大 擴充을 提唱하는 바이다 即 水産教育機關의 質의 向上을 圖謀함은 勿論 現存 國立水産試驗場外에 國立漁業生産手段及 漁業研究所 國立水産經濟研究所等을 新設함이 緊要하며 此等機關의 技術의 研究乃至는 統計的 調査의 結果에 依하여 水産行政當局은 適切妥當한 水産國策의 樹立 即 水産施設의 増設改良及 漁撈手段의 改良 又是 漁業經營組織及 其方法의 指導乃至는 漁民의 組織訓練等々 諸般施設에 盡力하도록 하여야 할 것 으로 感覺한다

敍上한 바 以外에도 當場改善을 要하는 問題로써 沿岸水産資源의 保護分配問題及 現下二元的 統計下에 있는 水産行政의 矛盾性의 止揚問題乃至는 水産組合과 漁業組合의 單一化問題 又是 漁場及 歸屬生産手段의 適切한 分配問題等々 基本課題는 許多한 것 이다 이에 對한 考察은 여기서는 省略하고 各々 其專門機關과 行政當局의 論議에 任치 되도록 한다 (水産完)

※I-198「遞信」에서 繼續

3	750	1,290	211,855	11,238,161	14,138	2,635,436
4	8,015	42	6,655	11,239,034	14,172	2,640,635
5	23,340	188	30,983	10,535,705	13,182	2,473,469
6	12,037	102	17,313	10,540,275	13,276	2,489,240
7	24,572	207	34,298	10,492,184	13,376	2,502,744
8	19,679	177	29,255	10,454,563	13,474	2,516,393
9	24,794	253	42,297	10,285,110	13,433	2,801,809
10	38,323	382	62,181	10,108,232	13,512	2,508,024
11	14,944	111	24,411	10,044,086	13,551	2,511,960
12	2,795	22	3,569	9,969,944	13,465	2,495,348
1947 1	11,579	128	20,395	9,518,496	12,881	2,401,000
2	9,627	100	15,771	9,088,177	12,305	2,308,000
3	12,529	142	22,362	8,798,829	11,981	2,256,000
4	22,647	174	28,755	5,105,488	7,397	1,400,000
5	14,025	166	26,172	3,524,649	4,676	883,000
6	21,772	306	46,988	3,500,006	5,361	1,006,000
7	27,367	517	80,926	3,304,694	5,372	998,000

(第30表) 契約維持狀況 (1947年3月31日 現任)

件數	保險料	保險金額
3,644,115 (537,239)	5,182,704 (554,154)	938,376,918 (92,414,625)

備考 括弧內는 兒童保險

(25,718) (107,333) (18,212,022)  
備考 括弧內는 小兒契約再揭

(第32表) 保險金支拂狀況 (自1946年4月1日 至1947年7月31日)

件數	支拂金額	同 上 返還件數	同 上 返還金額
89,414	15,783,647	18,141	218,696

(第31表) 契約締結狀況 (自47年4月1日 至47年7月31日)

件數	保險料	保險金額
247,043	2,051,352	583,553,411

(第13表)

水 産 業 者 戶 口 表 (1929~1941)

	戶 數				人 口			
	總數	漁 撈	養 殖	製 造	總數	漁 撈	養 殖	製 造
1942年	148,797	109,510	24,517	14,770	504,739	377,524	75,598	51,617
1939年	154,344	112,407	36,382	15,555	525,026	385,731	84,639	54,926
1931年	160,321	112,981	32,885	14,455	527,226	388,183	90,842	47,201
1932年	152,691	108,688	29,960	14,043	509,059	374,040	91,214	43,805
1933年	146,362	106,598	28,321	11,443	350,455	226,194	94,854	29,407
1934年	155,461	114,590	30,211	10,660	339,083	234,771	76,663	27,649
1935年	159,750	118,066	31,802	9,882	349,224	242,220	82,783	24,221
1936年	167,329	122,614	32,581	12,134	382,108	264,703	87,507	29,898
1937年	174,856	128,187	34,102	12,565	396,042	273,633	91,172	31,237
1938年	172,233	127,744	32,925	11,564	396,541	269,792	96,936	30,713
1939年	173,561	129,283	36,492	12,786	401,837	278,443	89,145	34,249
1940年	185,814	129,803	42,778	13,233	431,212	279,918	114,059	37,235
1941年	192,218	133,835	43,938	14,335	469,521	299,367	130,856	39,298

(第14表)

道 別 水 産 業 者 戶 口 表 (1941年末現在)

	戶 數	漁 撈	養 殖	製 造	人 口	漁 撈	養 殖	製 造
京 畿 道	6,780	6,356	37	387	18,832	17,192	101	1,539
忠 清 北 道	42	34	8	—	130	79	51	—
忠 清 南 道	12,657	9,461	2,475	721	25,140	15,879	8,080	1,181
全 羅 北 道	3,645	3,183	324	133	19,534	11,236	931	365
全 羅 南 道	60,040	26,860	31,390	1,790	163,476	55,837	102,430	5,209
慶 尙 北 道	9,234	9,108	—	126	12,365	12,209	—	156
慶 尙 南 道	21,650	19,098	2,156	396	44,535	36,752	6,812	971
黃 海 道	23,972	16,300	6,839	833	54,411	41,171	10,526	2,714
平 安 南 道	5,607	5,119	110	378	15,006	13,835	318	853
平 安 北 道	5,016	4,468	279	269	13,061	11,983	454	624
江 原 道	12,392	10,119	76	2,197	31,917	25,534	91	6,292
咸 鏡 南 道	16,351	12,084	303	3,964	34,691	24,115	956	9,628
咸 鏡 北 道	14,832	11,690	1	3,141	43,417	33,465	6	9,946

(第15表)

水 産 高 果 年 表 (1911~194)

	合 計		漁 獲 高		養 殖 高		製 造 高	
	實 際	千 円	實 際	千 円	—	千 円	實 際	千 円
1911年	26,046	9,418	17,695	6,763	—	—	8,351	2,654
1934年	1,686,655	106,159	1,393,445	57,779	3,975	2,845	289,232	45,535
1935年	1,803,364	133,912	1,503,219	65,969	4,227	2,925	295,918	65,018
1936年	2,005,128	164,003	1,668,228	79,979	4,148	4,747	332,752	79,377
1937年	2,677,390	188,953	2,116,785	89,920	4,359	4,586	556,246	94,447
1938年	2,718,801	189,324	1,759,100	87,082	6,366	5,925	453,335	96,817
1939年	2,625,199	327,321	2,046,248	151,093	5,980	8,308	512,971	167,916
1940年	2,213,685	372,727	1,736,392	175,493	4,779	15,471	472,514	171,758
1941年	1,714,237	357,852	1,318,041	168,750	7,309	18,472	388,387	172,630
1942年	—	336,230	—	162,600	—	27,290	—	146,340

(第16表)

漁 業 組 合 設 立 狀 況 (1926~1941)

	1926年	1933年	1934年	1935年	1936年	1937年	1938年	1939年	1940年	1941年
京 畿 道	—	3	5	5	7	7	8	8	8	8
忠 清 南 道	4	5	6	6	7	8	10	11	12	12
全 羅 北 道	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7
全 羅 南 道	28	53	51	51	45	44	44	44	44	44
慶 尙 北 道	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13
慶 尙 南 道	27	35	34	34	36	36	36	36	36	36
黃 海 道	3	9	9	10	10	12	15	14	15	15
平 安 南 道	6	9	10	10	10	10	10	11	11	11
平 安 北 道	19	11	11	11	11	11	11	11	11	11
江 原 道	10	24	18	18	18	18	18	18	18	18
咸 鏡 南 道	10	9	10	11	12	12	12	12	12	11
咸 鏡 北 道	20	24	21	19	19	19	19	19	19	19
合 計	145	201	194	194	194	197	203	204	206	205

(第17表) 朝鮮內魚市場業績一覽表 (1928~1937)

年次 (年末現在)	總量上高		朝鮮內消費高		移出高		輸出高	
	數量(噸)	價額(圓)	數量(噸)	價額(圓)	數量(噸)	價額(圓)	數量(噸)	價額(圓)
1928年	26	32,636,020	7,838,838	28,758,608	6,840,046	3,567,844	947,110	376,563
1929年	26	29,124,261	7,429,045	25,083,724	6,444,010	2,677,755	682,270	1,342,782
1930年	27	39,135,170	6,373,774	34,076,346	5,423,123	3,502,538	685,186	1,556,286
1931年	30	33,939,429	5,962,570	29,326,996	5,165,620	3,111,994	520,119	1,500,439
1932年	29	44,495,385	6,091,627	39,806,997	5,281,071	2,436,213	415,884	2,253,075
1933年	23	53,573,183	6,990,516	48,066,802	6,034,090	2,189,644	465,768	3,316,737
1934年	25	38,306,704	6,634,132	34,978,136	5,794,367	844,231	108,664	2,684,337
1935年	23	24,238,970	6,484,400	22,069,981	5,700,197	472,229	107,372	1,686,760
1936年	18	22,971,478	6,630,685	20,418,986	5,588,876	622,125	170,078	1,930,367
1937年	17	17,999,261	5,864,066	14,883,021	4,921,070	681,512	201,797	2,434,728
道 別 (1937年)								
京畿道	1	5,397,525	2,017,563	5,397,525	2,017,563	—	—	—
忠清北道	1	52,945	12,849	52,945	12,849	—	—	—
忠清南道	5	1,866,559	273,026	1,866,559	273,029	—	—	—
全羅北道	2	278,875	125,300	278,875	125,300	—	—	—
全羅南道	2	666,784	249,715	587,106	217,113	—	79,678	32,602
慶尙北道	1	502,895	240,797	502,895	240,797	—	—	—
慶尙南道	3	7,136,168	2,111,998	4,099,636	1,201,604	681,512	201,797	2,355,050
黃海道	—	—	—	—	—	—	—	—
平安南道	1	1,178,844	547,912	1,178,844	547,912	—	—	—
平安北道	1	918,666	284,906	918,666	284,906	—	—	—
江原道	—	—	—	—	—	—	—	—
咸鏡南道	—	—	—	—	—	—	—	—
咸鏡北道	—	—	—	—	—	—	—	—
總數	17	17,999,261	5,864,066	14,883,021	4,921,070	681,512	201,797	2,434,728

(第18表) 水產業者用船舶 (單位隻)

年次	漁業及漁用					水產物製造運搬及販賣用								
	總數	朝鮮型	日本型	石油發動機	其他	總數	朝鮮型	日本型	登錄船	石油發動機	汽船	其他		
1928年末	36,341	18,636	16,661	543	501	4,018	1,840	1,545	75	414	17	127		
1929	28,293	19,232	17,742	822	497	4,014	1,719	1,653	38	448	18	138		
1930	39,032	19,410	17,980	990	652	4,047	1,710	1,607	55	529	—	146		
1931	39,974	19,786	18,434	1,055	699	4,461	1,833	1,769	93	627	—	133		
1932	40,645	19,723	19,240	1,094	688	5,000	2,212	1,907	52	629	3	197		
漁 船														
年次	總數	動力未使用汽船			動力一使用汽船			總數	動力未使用汽船			動力一使用汽船		
		朝鮮型	日本型	其他	登錄船	發動機	汽船		朝鮮型	日本型	其他	登錄船	發動機	汽船
1933年末	40,723	19,335	19,516	412	250	1,165	—	4,323	2,177	1,915	200	38	493	—
1934	43,156	19,715	21,596	418	104	1,323	—	4,860	2,049	1,965	177	68	601	—
1935	47,853	20,335	25,564	477	72	1,410	—	5,030	1,965	2,014	150	67	843	—
1936	49,225	20,703	25,955	459	89	2,015	—	4,769	1,619	1,964	169	20	997	—
1937	51,519	20,410	28,030	469	62	2,548	—	4,370	1,373	1,808	126	18	1,045	—
道 別 (1937年末)														
總數	51,519	20,410	28,030	469	62	2,548	—	4,370	1,373	1,808	126	18	1,045	—
京畿道	1,157	621	495	4	—	37	—	796	310	426	7	—	53	—
忠清北道	48	48	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
忠清南道	1,005	203	768	—	—	34	—	173	49	100	—	—	24	—
全羅北道	852	107	651	—	—	64	—	98	3	86	4	—	5	—
全羅南道	12,741	2,111	11,143	123	50	303	—	561	80	317	—	1	163	—
慶尙北道	3,379	722	2,233	8	—	411	—	195	1	55	—	—	139	—
慶尙南道	12,567	2,569	9,206	34	—	758	—	815	54	363	10	9	374	—
黃海道	2,567	1,529	1,013	—	—	20	—	824	632	169	1	8	14	—
平安南道	856	519	263	54	12	8	—	134	33	67	32	—	2	—
平安北道	1,263	333	620	240	—	10	—	270	64	126	72	—	8	—
江原道	4,768	3,634	789	—	—	345	—	109	—	31	—	—	78	—
咸鏡南道	3,675	3,233	250	—	—	187	—	184	58	16	—	—	110	—
咸鏡北道	5,641	4,716	554	—	—	371	—	211	89	47	—	—	75	—

# 鑛業

I 朝鮮鑛業의沿革  
II 解放前의樣相

## I 朝鮮鑛業의沿革

朝鮮은 鑛種에 있어서나 埋藏量에 있어서나 豊富한 鑛物資源을 가지고 있다

그러나 朝鮮의 鑛產資源에 關하여서는 古來로 惡問家間에 意見이 隔차하였고 오히려 悲觀的 觀測이 많았다 이와 같이 朝鮮鑛物資源真相을 正確히 把握하지 못하였던 것은 露國大政省이 編纂한 韓國誌記事를 引用하던 當時의 政府의 調査의 粗漏과 一般人民이 故意로 真相을 隱蔽한 데 基因한다

그러나 李朝末年에 韓廷이 外國人에 對하여 鑛山開發權을 賦與한 것은 外資를 調達하기 爲한 것이었으나 當時一部 外國人은 朝鮮의 鑛山——金鑛을 主로 한——에 對하여 相當한 期待를 가지고 있었으며 先進諸國家의 關心은 鑛山利權爭奪에 가장 集中되어 있었다 外國人의 鑛山利權獲得狀況을 보면 1896년에 咸北慶源 鎭城石炭鑛山採掘權을 露人이 同年에 平北雲山金鑛開發權을 美人이 1897년에는 江原道堂親金鑛採掘權을 獨逸人이 1900년에는 平南慶山金鑛採掘權을 英人이 忠北稷山金鑛採掘權을 日人이 獲得한 것이었다

이 鑛山利權問題는 1899년에 美人한테서 廢資의 代價로 宮內府 鑛山採掘權을 獨占하려 함에 發端하여 日英美露間에 複雜한 外交戰이 展開되어 鑛山採掘權은 鐵道와 서울上水道及 電氣事業利權等과 같이 韓末利權爭奪史上의 特記할 事項이다

그러나 事實上에 있어서는 諸鑛物資源의 開發은 金鑛 鐵鑛等 特殊한 것을 除外하고는 後로 進展을 보지 못 하고 있었다가 1906年 7月 日로 韓國政府가 鑛業法及 砂金採取法을 發布하여 鑛業制度가 整備됨에 이르러 鑛業開發이 漸次本格化하게 되었는 것이었다

1909年以後 金鑛을 中心으로 한 日政의 地下資源 調査의 結果 特別 第一次大戰時의 需要에 對하여 朝鮮에도 各種 地下資源이 豊富하다는 것이 漸次證明되게 되었다

第一次大戰時는 朝鮮鑛業에 空前의 活況을 呈하여 從前에는 鑛種別 鑛業出願에 있어서 金銀鑛의 出願이 最多數를 占하여 왔으나 1915년에는 重石 水鉛鑛 1916년에는 黑鉛 1917년에는 鐵鑛이 1918年及 1919년에는 石炭이 鑛業出願中 首位를 占한 것으로서 以上の 諸鑛物이 各次戰國의 軍需用品으로 一般經濟界의 好況에 依하여 需要가 漸大하여 갔던 것이다 또 1912年의 總出願件數는 623件이 있었으나 1917년에는 6,189件이

### III 概觀——解放以後

#### IV 主要鑛物

- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1. 地質과의關係 | 7. 合金材料鑛物    |
| 2. 金      | 8. 輕金屬材料鑛物   |
| 3. 鐵      | 9. 其他金屬原料鑛物  |
| 4. 石      | 10. 非金屬工業用鑛物 |
| 5. 黑鉛     | 11. 窯業原料鑛物   |
| 6. 銅      | 12. 含稀有元素鑛物  |

#### V 結 論

라는 飛躍의 數字를 보였다

日政은 1914년에 朝鮮鑛業을 制定하여 其他外國人의 鑛業權의 新規享有을 禁止하고 朝鮮의 鑛業을 獨占하여 宿望을 達한 것이었다

그러나 第一次大戰以後는 一般經濟界의 不況과 鐵鑛 重石等의 諸鑛物의 外國產品에 依한 壓迫으로 말미암아 朝鮮鑛業은 다시 沈滯하여 1922년에는 年產 十萬圓以上の 鑛山은 金銀鑛9 鐵鑛7 炭鑛12 銅鑛1 計29鑛에 不過하였다

이와 같이 低迷을 繼續하던 朝鮮鑛業界에 空前戰雲을 聳은 1931年의 滿洲事變以後 國際情勢의 緊迫化와 同年12月의 日本의 金輸出再禁止에 因한 金價暴騰이 있었다

이 金價暴騰에 因한 產金熱과 日本의 所謂 準戰時體制에 依據한 國內自給資源開發方針의 結果 朝鮮鑛物資源은 크게 크로 一쓰압되던 것이었다

이에 있어서 1937年中日事變이 勃發하자 軍需資源의 調達과 莫大한 軍需物資輸入에 對한 支拂手段獲得을 爲한 1937年 9月의 朝鮮產金令의 公布 日本產金振興株式會社 朝鮮支社의 設立 1938年 5月 朝鮮重要鑛物增產令의 公布等 各鑛物에 對하여 增產計劃을 樹立 新規鑛山의 開發 又是 既開發鑛山事業等의 擴張에 盡力한 結果 그 生産額은 累年 激增하여 갔다

1931年 朝鮮鑛產額은 2,174萬 1千圓이 있었으나 1936년에는 5倍로 되었다 同期間에 있어서의 其他生産物의 生産指數 工產物208 水產物211 林產物198 農產物171에 比較할 때 朝鮮鑛業의 發展程度를 酷히 對照할 수가 있을 것이다 다시 許可鑛區數의 推移를 보면 1911年末 796鑛區이 있었는 것이 1939년에는 10,574 라는 十數倍에 達하였었다

日本이 無謀한 太平洋戰爭을 始作하여 地下資源의 開發은 戰爭遂行上 絕對로 必要하였음으로 採算을 度外視하고 巨大資本의 朝鮮進出을 促進케 하는 方便 採鑛鑿岩機設備 選鑛設備等에 對한 助成金 補償金等을 交付하는 同時에 生産責任制를 實施하였었다

1942년에는 從來의 朝鮮鑛業法을 全面的으로 修正하여 先願主義에 依하지 않고 許可主義를 採用하는 등 地下資源開發에 全力을 傾注하였는 것이었다 이 結果 1944년에는 朝鮮鑛產額은 1931年의 20數倍인 5億圓에 達하였었다 稼行鑛山數는 1945年에 700餘個所이 있었다

(第1表)

鑛種別 鑛產額 累年比較

單位 { 價額은 千圓  
數量은 金, 砂金, 銀  
水銀은 兩 其他는 兩

	單位									
	1927年	1937年	1938年	1939年	1940年	1941年	1942年	1943年	1944年	1945年※
總 價 額	24,169	150,145	190,148	230,374	319,657	369,141	445,427	—	—	—
金銀鑛	數量	12,726	56,801	65,627	76,824	1,175,178	38,243	—	—	—
	價額	1,301	6,810	6,973	7,623	4,524	147	—	—	—
金	數量	5,341	19,813	24,227	25,759	22,060	21,487	15,241	5,342	598
	價額	5,725	73,308	92,713	99,175	94,932	82,727	92,889	58,677	2,566

砂 金	數量	300	3,035	3,510	3,433	3,228	2,650	—	—	—
	價額	408	11,229	13,431	13,217	12,428	10,205	—	—	—
銀	數量	1 00	75,568	88,169	115,620	112,885	109,808	106,173	88,000	80,170
	價額	54	3,703	4,055	5,784	5,238	5,160	4,990	4,136	3,767
汰 魚	數量	1 52	—	—	—	—	—	—	—	—
	價額	45	—	—	—	—	—	—	—	—
銅 鐵	數量	87	633	—	—	—	—	—	—	—
	價額	24	239	—	—	—	—	—	—	—
銅	數量	1,004	4,899	5,828	10,539	12,244	3,499	4 759	4,554	5,193
	價額	890	5,909	7,774	11,065	17,474	5,353	10,851	10,383	11,840
鉛 錠	數量	1,709	—	—	—	—	—	—	—	—
	價額	1,162	—	—	—	—	—	—	—	—
鉛	數量	824	6,400	6,086	7,957	1 47	14,140	14,185	18,464	21,200
	價額	236	3,200	3,641	3,864	6,261	6,737	7,376	9,601	11,024
亞鉛鐵	數量	3,684	7,200	9,167	39,034	34,546	5,488	2 815	—	—
	價額	79	501	62	1,175	1,508	353	1,714	—	—
亞鉛	數量	—	—	—	—	1,769	5,989	9,754	12,814	20,011
	價額	—	—	—	—	1,075	3,653	5,950	7,816	22,206
水	數量	—	—	558	45	75	42	—	—	—
	價額	—	—	5	—	—	1	—	—	—
鐵 錠	數量	483,996	204,821	768,000	950,000	1,185,426	1,363,404	1,898,352	2,364,270	3,231,814
	價額	2,889	1,352	1,946	3,634	7,015	16,850	23,444	29,193	41,147
銅 鐵	數量	—	102,927	66,435	4	75,674	133,032	172,227	139,172	111,612
	價額	—	9,589	11 6	9,131	47,674	65,557	68 605	56,246	45,107
銻 錠	數量	129,021	166,377	177,749	181,537	135,242	164,655	353,266	547,320	555,917
	價額	6,523	9,503	10,135	12,820	19,131	13,724	41 820	64,791	65,809
硫化鐵	數量	—	98,486	132,614	181,679	209,751	216,766	257,909	213,604	246,003
	價額	—	1,159	1,168	2,093	3,244	4,591	5 105	?	?
砂 金	數量	—	—	—	—	—	90	30	—	—
	價額	—	—	—	—	—	2	—	—	—
鐵重石	數量	—	—	—	—	1,685	1,556	1 954	3,436	3,917
	價額	—	—	—	—	21,334	23,606	26 520	46,633	53,161
鐵水鉛	數量	—	—	—	—	26	38	27	188	292
	價額	—	—	—	—	759	836	531	3,703	5 752
鐵크롬	數量	—	—	—	—	106	288	329	150	87
	價額	—	—	—	—	128	279	432	196	114
鐵망강	數量	—	—	—	—	—	56	181	1,239	2 575
	價額	—	—	—	—	—	48	200	1,374	2 855
鐵기	數量	—	—	—	—	—	416	1 173	—	2 287
	價額	—	—	—	—	—	156	544	—	1,062
지르콩	數量	—	—	—	—	—	—	78	—	—
	價額	—	—	—	—	—	—	82	—	—
쿵 精	數量	—	—	—	—	38,489	61,839	85 378	52,992	51,789
	價額	—	—	—	—	6,536	14,440	16 192	1,004	970
鐵 錠	數量	—	—	—	—	—	—	500	—	—
	價額	—	—	—	—	—	—	8,750	—	—
망강鐵	數量	—	—	780	570	681	540	12,751	24,292	33,584
	價額	—	—	11	10	16	13	150	286	395
重 石	數量	5	1,590	2,625	3,967	4,218	4,784	6 062	6,932	8,333
	價額	2	5,184	15,855	23,847	24,166	29,511	32,285	37,030	44,514
水鉛鐵	數量	29	84	118	196	195	258	439	664	760
	價額	30	316	835	1,777	1,745	2,202	3,751	5,674	6,494
亞砒酸	數量	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	價額	—	341	31	841	—	—	—	—	—
안철모	數量	15	4	12	41	32	—	32	—	—
	價額	1	4	8	23	17	—	18	—	—
磷 狀	數量	17,941 <sup>(1)</sup>	5,708	12,503	16,339	21,112	22,978	19,371	18,306	28,427
	價額	403 <sup>(1)</sup>	579	1,827	2,405	3,789	4,737	4,476	4,320	6,560

土狀	數量	—	35,420	44,815	67,070	73,469	58,911	76,683	78,165	74,879	27,153
黑鉛	價額	—	632	718	1,508	1,839	1,721	2,944	3,001	2,836	1,040
有煙炭	數量	709,578 <sup>(2)</sup>	21,318,075	1,696,061	1,904,830	2,587,766	2,638,344	2,958,409	2,430,482	2,518,513	2,381,723
	價額	—	7,404	13,362	18,743	30,128	31,390	37,162	29,700	30,776	29,147
無煙炭	數量	—	1,113,330	1,723,290	2,233,864	3,153,175	3,519,385	3,898,282	4,157,101	4,530,263	—
	價額	—	7,724	12,105	19,063	32,669	38,597	45,013	48,638	53,014	—
雲母	數量	35	85	158	342	167	325	1,110	146	422	95
	價額	—	40	85	217	496	608	459	619	81	236
高嶺土	數量	3,044	26,696	34,086	39,855	48,287	53,453	28,793	—	3,000	—
	價額	—	48	194	215	333	483	598	621	—	64
蛭石	數量	—	17,170	42,177	42,948	60,227	52,631	43,279	—	—	—
	價額	—	—	100	199	221	308	472	611	—	—
螢石	數量	—	3,084	37,391	28,151	24,620	32,674	39,329	69,370	75,227	19,434
	價額	—	—	166	1,808	1,662	1,383	2,075	2,425	4,278	4,639
마키비 사일	數量	—	36,720	31,937	65,226	73,540	78,840	107,354	108,469	157,745	22,581
	價額	—	—	98	149	335	362	453	1,552	1,67	2,279
明礬石	數量	3,639	141,491	49,609	34,074	37,479	34,702	34,901	21,487	18,951	—
	價額	—	17	999	240	184	209	298	313	270	238
重晶石	數量	—	8,248	13,395	18,103	17,604	27,012	11,693	10,099	5,640	—
	價額	—	—	155	279	628	681	1,261	1,314	1,130	630
니켈	數量	—	—	—	—	—	423	3,597	21,271	34,151	143
	價額	—	—	—	—	—	—	18	109	175	—
코발트	數量	—	—	—	—	—	—	120	109	175	—
	價額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
銻	數量	—	—	—	—	—	1,440	25,561	25,807	37,691	5,319
	價額	—	—	—	—	—	39	425	429	627	91
石綿	數量	—	7	286	1,739	2,122	2,801	3,260	5,310	4,779	1,303
	價額	—	—	56	660	795	970	3,353	54,618	49,156	4,181
硅藻土	數量	—	—	—	—	—	—	1,256	—	—	—
	價額	—	—	—	—	—	—	104	—	—	—
硅砂	數量	—	54,169	134,635	124,775	163,104	177,376	189,074	—	—	—
	價額	117	151	372	270	314	352	917	—	—	—
코롱 브	數量	—	—	—	—	—	—	4,300	—	—	—
	價額	—	—	—	—	—	—	13	—	—	—
綠柱石	數量	—	—	—	—	—	—	5	—	46	18
	價額	—	—	—	—	—	—	27	—	2,274	658
모나 즈	數量	—	—	—	—	—	—	—	—	137	122
	價額	—	—	—	—	—	—	—	—	1,249	1,109
지르콘	數量	—	—	—	—	—	—	—	—	24	19
	價額	—	—	—	—	—	—	—	—	180	140
重砂	數量	—	—	—	—	—	—	—	—	538	293
	價額	—	—	—	—	—	—	—	—	1,493	348
지탄	數量	—	—	—	—	—	—	—	—	15	16
	價額	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3
리산 암	數量	—	—	—	—	—	—	—	—	26	—
	價額	—	—	—	—	—	—	—	—	31	—

※ 1945 年은 8 月까지。

(1)……土狀黑鉛도包含함

(2)……無煙炭도包含함

(第 2 表)

鐵 種 別 鐵 區 數 累 年 比 較

鐵 種 別	1927	1937	1938	1939	1940	1941	1942	1945※
金 鐵	633	4,332	4,877	5,849	6,424	6,405	6,075	3,466
鋼 鐵	25	14	16	16	21	15	15	47
鉛	—	—	—	—	5	1	1	7

안 지 모 니 鐵	—	1	1	1	1	1	1	—
小 鉛 鐵	5	17	17	15	13	13	13	2
亞 鉛 鐵	6	2	2	2	4	1	1	—
鐵	175	156	173	235	246	245	260	328
硫 化 鐵 鐵	4	20	29	34	40	40	40	42
망 강 鐵 鐵	2	6	7	8	9	12	17	26
鐵 망 鐵	—	—	—	—	—	—	—	12
重 石 鐵	18	56	100	121	148	150	156	219
水 鉛 鐵	7	20	28	44	53	54	56	113
重 石 · 水 鉛 鐵	6	34	56	65	71	70	70	43
金 · 銀 · 銅 · 亞 鉛 其 他 鐵	398	1,530	1,888	2,543	3,096	3,450	3,032	3,316
砒 鐵	5	1	—	—	3	—	1	—
拷 鐵	1	1	1	1	1	2	8	5
黑 鉛	177	212	243	286	393	404	406	741
石 炭	471	433	465	489	527	551	534	599
尖 母	15	37	48	69	92	111	114	264
石 綿	1	6	16	34	52	66	70	157
高 土	59	82	88	104	145	141	144	224
柱 砂	59	69	71	70	76	82	83	102
金 · 砂 鐵	100	364	384	434	475	463	362	241
蠟 石	1	17	23	36	54	58	87	49
明 禁 石	—	4	5	6	9	10	10	35
螢 石	3	28	64	81	91	111	110	230
重 石 鐵	—	5	9	17	30	30	28	38
日 鐵	—	—	—	—	—	1	—	5
其 他	4	3	3	11	7	10	10	18
合 計	2,175	7,454	8,623	10,574	12,090	12,505	11,755	10,577

(※ 8月15日現在)

(第3表)

道別鑛區數果年比較

道 別	1937	1938	1939	1940	1941	1942	1945※
廣 畿	395	429	520	611	629	604	461
忠 北	496	664	729	825	844	789	694
忠 南	691	790	924	999	1,021	967	721
全 北	301	347	463	569	591	548	405
全 南	306	359	495	601	606	571	402
慶 北	475	505	690	933	914	910	833

慶 南	303	387	442	481	514	442	457
黃 海	460	547	685	817	850	805	736
平 南	579	659	810	928	942	908	710
平 北	1,308	1,457	1,756	2,008	2,098	1,985	1,821
江 原	869	1,004	1,229	1,377	1,434	1,324	1,382
咸 南	905	1,072	1,353	1,485	1,500	1,368	1,335
咸 北	366	403	478	557	562	534	620
合 計	7,454	8,623	10,574	12,090	12,505	11,755	10,577

(※ 8月15日現在)

(第4表)

道別鑛產額果年比較 (單位千圓)

		1936年	1937年	1938年	1939年	1940年	1941年	1944年
京 畿	畿	2,109	3,165	4,072	3,603	7,326	18,808	26,235
忠 北	北	2,924	4,055	6,368	7,600	7,384	7,300	8,360
忠 南	南	9,225	11,214	17,104	19,734	17,616	13,721	13,560
全 北	北	4,516	6,736	7,920	8,652	6,036	5,677	5,562
全 南	南	2,797	4,155	7,747	7,739	6,666	6,620	6,538
慶 北	北	4,347	8,979	9,339	9,372	6,985	7,295	11,331
慶 南	南	865	1,692	2,398	3,344	2,017	4,992	6,689
黃 海	海	25,057	33,127	47,180	53,850	50,369	66,706	89,251
平 南	南	36,767	24,104	31,107	40,132	57,087	51,006	49,941
平 北	北	21,221	27,817	34,061	37,057	35,729	36,730	36,770
江 原	原	4,527	6,824	9,292	12,503	17,621	21,440	28,639
咸 南	南	14,272	10,723	12,749	19,592	23,531	22,057	22,933
咸 北	北	5,726	7,448	12,649	17,582	91,422	103,969	128,349
合 計	計	134,353	150,039	201,986	240,760	329,789	366,371	434,208



(第5表) 鐵業出願鑛種別件數累年比較

鑛種別	1938	1939	1940	1941	1942	1943	1944	1945
金銀鑛	3,893	3,909	1,733	583	187	25	2	7
銅鑛	1	3	1	3	7	65	23	10
鉛鑛	1	1	1	—	—	31	23	2
亞鉛鑛	1	3	3	—	—	3	4	—
鐵鑛	225	148	376	183	134	410	368	36
硫化鐵鑛	12	11	8	11	11	8	7	—
안차모리鑛	1	4	—	1	1	7	3	4
크롬鑛	—	—	—	5	5	4	2	1
水銀鑛	5	1	8	15	2	11	11	4
方鉛鑛	9	8	3	43	20	107	48	5
重石鑛	237	26	21	27	29	60	30	21
水鉛鑛	32	11	9	13	13	65	50	12
金銀鑛其他	9,589	10,028	6,721	3,545	2,714	5,410	8,007	687
硫砒鑛	1	1	—	2	—	1	—	1
나트륨鑛	6	—	13	91	29	2	13	2
磷鑛	1	65	119	12	11	4	30	—
마네사일	25	16	16	19	26	16	20	—
黑鉛	166	244	214	215	293	930	709	31
石炭	564	819	617	138	106	119	110	35
石油	218	16	127	87	5	5	5	—
硫黃	—	—	2	1	2	2	7	2
雲母	144	108	152	204	151	529	448	90
石棉	88	188	102	122	132	266	411	79
高嶺土	91	100	83	123	139	261	194	74
矽砂	25	11	15	10	10	52	74	15
砂金	347	544	190	96	24	9	—	2
砂鐵	14	17	19	35	16	29	15	14
蝦石	10	8	12	21	17	20	21	3
紫晶石	23	1	5	8	10	22	18	7
重石	13	18	22	20	23	12	8	—
錫	—	6	—	—	—	5	—	—
코발트	—	—	1	28	41	35	4	5
假石	—	—	51	1	—	—	—	—
藍晶石	—	—	—	51	1	—	—	—
硅藻	—	—	—	47	58	32	32	3
褐鐵石	—	—	—	33	4	3	15	—
코발트石	—	—	—	14	6	49	34	9
세라믹石	—	—	—	18	2	12	—	—
風子鑛	—	—	—	7	10	55	32	8
모나지石	—	—	—	4	73	20	1	13
綠柱石	—	—	—	2	1	50	82	44
蒼鉛鑛	—	—	—	—	—	4	—	—
硼	—	—	—	—	—	27	66	8

(※ 5月20日現在)

(第6表) 道別出願並許可數累年比較

道別	1939		1940		1941	
	出願	許可	出願	許可	出願	許可
忠北	1,113	125	708	106	548	60
忠南	507	126	294	108	236	50
全北	915	150	429	138	338	65
全南	1,073	124	353	123	194	52
全	1,388	150	513	141	229	53

慶北	1,308	159	1,258	166	456	115
慶南	763	65	626	91	187	50
黃海	1,391	152	951	141	553	81
平南	890	171	712	142	440	65
平北	1,641	337	1,214	240	924	171
江原	1,926	279	1,046	198	980	129
咸南	1,802	318	1,279	215	760	98
咸北	1,694	81	1,165	77	398	31
合	16,411	2,237	10,548	1,886	6,243	1,020

(第7表) 鑛種別採行鑛區累年比較

鑛種別	1927	1936	1937	1938	1939	1940	1941	1942
金銀鑛	131	2,774	3,170	3,664	4,317	4,630	3,935	3,699
金銀鑛給其他	62	287	431	592	963	1,199	1,931	1,752
砂金	9	304	316	348	381	385	272	201
鐵鑛	28	49	52	65	77	85	130	131
石炭	57	149	166	189	223	239	301	288
黑鉛	34	89	83	108	143	165	221	233
其他	45	250	305	240	399	381	464	524
合	366	3,902	4,523	5,206	6,503	7,084	7,254	6,828

(第8表) 鐵業出願並許可件數累年比較

年別	新規出願	許可
1938	15,721	1,466
1939	16,411	2,237
1940	10,548	1,886
1941	6,243	1,020
1942	4,706	372
1943	9,798	395
1944	11,342	849
1945※	1,266	390

※ 八月까지

(第9表) 日本에 搬出된 朝鮮鑛產物

種別	數(噸)	1947年末現在時價換算金額(圓)
金	727,754	27,347,956,182
鐵	7,932,197	24,063,257,520
黑石	817,259	9,559,983,497
銅	12,634,488	50,357,832,456
鐵	16,519	12,812,754,323
亞鉛	3,184	1,378,711,166
鉛	91,621	2,591,181,927
重石	11,145	7,753,479,439
矽砂	143,925	1,710,886,091
金銀粗	41,036	35,825,151,219
水銑	481	760,378,936
鐵	2,199,018	115,561,333,227
鉛	16,720	1,837,335,995
세라믹	9,995,670	3,678,020,340
重石	156,540	2,301,860,239
其他金	4,955	2,856,975,420
鐵	515,227	922,742,820
矽石	47,749	102,235,241
紫石	661,760	1,317,437,049
蠟石	211,204	5,104,060,737
蠟石	180,504	574,205,246
高嶺土	87,324	253,216,758

마구비사일	554,357	1,217,425,058
鋼條及竿	80,653	1,992,603,019
鐵條及竿	7,347	181,572,515
鐵板	87,629	2,546,612,117
合金銀粗鉛	22,413	6,390,420,578
其他金屬及製品	未詳	33,141,881,234
其他鐵物	110,805	2,989,114,395
煉炭	383,754	2,193,546,738
硫化鐵	13,383	75,899,880
안치모	2,520(1)	813,960
其他鐵	75,602	3,410,015,878
雲母	1,887,072(1)	330,866,112
石棉及同製品	7,800(1)	1,236,274,832
鐵及金屬	未詳	176,532,074,576
鐵製品	〃	3,435,807,440
琺瑯鐵器	〃	15,939,456
銅製品	〃	3,884,405,200
滑石	5,949	46,185,568
柱石	1,593	710,255,728
石	11,925	52,858,000
其他鐵物及製品	未詳	4,550,277,056
石綿	〃	88,400,000
重砂	〃	48,047,168
重砂	〃	167,469,536
合計	〃	553,909,701,872

(1).....kg

### II 過去の朝鮮鑛業の様相

朝鮮鑛業의特殊相은 其他經濟産業部門과같이 植民地의從屬性이었다 卽原鑛石—製鍊—精鑛이라는 鑛業鏈條의不備은 原料—加工—製品이라는 工業鏈條의有缺의 調整이 缺如하였던關係로 朝鮮鑛業의發展은 日政의侵略政策에左右되었던것이였다 이것을具體的으로 分析할것 같으면 第一로 日本資本에 依한朝鮮鑛業의拘束이였다 卽1910年當時 總鑛區中朝鮮人 3割4分 日人6割 其他外國人 6分の率이었으나 其後1916年日政이 他外國人의鑛業權享有을 禁止한結果 他外國人鑛區는 漸次減少하여 1928年에는僅4區가 殘存하였고 그代身日人鑛區가 8割로增加되었었다 其後 他外國人經營의殘存鑛區도 1939年8月 美人經營의 雲山金鑛을日本鑛業株式會社가 買收한것을最後로 全部消滅하였었다 1936年에 있어서의 鑛區數는朝鮮人3,512 日人3,938 其他外國人2로 朝鮮人鑛區數가相當히增加하였고 移住鑛區數도 朝鮮人1,942 日人1,958로 거의同數이었으나 其産額은各々 9,871千圓 84,353千圓으로朝鮮人産額은全産額의 10%에未及한 狀態이였다 이것도 1943年의雲山整備以後는 그懸隔이 더욱甚하게되어 1915年7月現在에는 鑛區數 生産數量比率 移住鑛區數 下表와같은推移를 보이고 있었었다

(第10表) 朝、日、其他外國人別鑛區數比較

年別	朝鮮人	日人	其他外人	計
1927	444	1,727	4	2,175

(第13表)

		總數	忠北	忠南	全北	全南	慶北	慶南	京畿以南	畿以
總數	數	10,574	705	705	405	400	833	454	395	—
金	鑛	308	26	53	16	8	15	8	20	—
銀	鑛	2	1	—	—	—	—	—	—	—
金	鐵	3,156	220	355	169	176	213	87	157	—

1931	640	1,748	2	2,390
1937	3,512	3,942	—	7,454
1945※	3,284	7,250	—	10,534

※ 7月現在

(第11表) 朝、日、外人別鑛種別生産數量比較(%)

	1937年			1941年		1944年	
	朝鮮人	日人	其他外人	朝鮮人	日人	朝鮮人	日人
金	25	65	10	20	80	10	9
銅	20	80	—	20	80	20	80
亞鉛	5	95	—	5	95	5	9
鉛	10	90	—	10	90	10	9
鐵	—	100	—	—	100	1	99
망강	—	—	—	—	100	—	100
重石	—	100	—	—	100	2	98
水鉛	—	100	—	—	100	0.4	99.6
木鉛	—	—	—	—	—	—	10
石	—	—	—	—	—	—	1
雲母	—	100	—	10	90	10	—
石	—	100	—	—	100	—	3
黑鉛	—	100	—	1	99	1	—
硫化鐵	—	100	—	—	100	—	1
마구비사일	—	100	—	—	100	—	1
鐵	—	100	—	—	100	—	1
코름브石	—	—	—	—	—	—	10
모나스石	—	—	—	—	—	—	6
리샤雲母	—	—	—	—	—	—	100

(第12表) 朝、日人別鑛種別移住鑛山調査

1945年7月現在

鑛種	朝鮮人			日人			計	鑛種	朝鮮人		日人	計
	朝鮮人	日人	計	朝鮮人	日人							
銅	5	23	28	重砂	1	5	—	—	—	—	—	
鉛	15	43	58	鐵	—	2	—	—	—	—	—	
亞鉛	1	25	26	안치모	—	1	—	—	—	—	—	
鐵	6	20	26	망강	2	2	—	—	—	—	—	
망강	—	8	8	重石	1	15	1	15	1	16	1	
重石	7	27	34	灰石	3	22	2	22	2	2	2	
水鉛	6	18	24	山皮	8	16	2	16	2	2	2	
木鉛	1	10	11	石綿	2	4	—	—	—	—	—	
石	2	5	7	水滑石	—	1	—	—	—	—	—	
雲母	14	51	65	明礬	1	2	—	—	—	—	—	
石	10	27	37	重砂	—	2	—	—	—	—	—	
鐵	1	23	24	重砂	—	4	—	—	—	—	—	
鐵	68	80	148	狀石	1	14	1	14	1	14	1	
狀石	〃	1	21	非鐵	—	10	1	10	1	10	1	
狀石	〃	1	22	鐵	—	1	1	1	1	1	1	
硫化鐵	—	9	9	鐵	—	1	1	1	1	1	1	

### 鑛區調

		總數	忠北	忠南	全北	全南	慶北	慶南	京畿以南	畿以
總數	數	10,574	705	705	405	400	833	454	395	—
金	鑛	308	26	53	16	8	15	8	20	—
銀	鑛	2	1	—	—	—	—	—	—	—
金	鐵	3,156	220	355	169	176	213	87	157	—

마구비사일	—	7	7	高嶺土	5	8	13
모나스石	1	1	2	長石	—	3	3
綠柱石	8	12	20	滑石	1	5	6
리자암母	—	8	8	燐	—	2	2
銅	—	2	2	코름石	—	4	4
지르콩	—	3	3				
褐鐵石	—	2	2	計	171	562	733

1945年7月末現在 7 除外한 推定投資及施設原은 136,500千圓이고 其中朝鮮人主資은 겨우5,400萬圓으로 日人 占有施設의20分之1에未及하였고 同期의石炭業에 있어서는總 投資額 669,102,871圓中 日系會社支配分이 634,614,871圓으로 94%以上을占하고 있었다 이것을 經營主體面에서보되 石 炭業을例舉하면 1945年5月20日現在 如下하다

	總數	日人經營 占한 比率	朝鮮人經營 占한 比率
株式會社	26	23	3
個人經營	15	14	1
	41	37	4

第二로製鍊 加工等 設備에依한 日本에의依存度를보면 大 略다음과같다

從來日本은 原鐵石의 大部分은 自國으로搬出하여 製鍊 冶金 或은加工하여 朝鮮에再輸出하였으므로 倭兵運寄裝의搬 出이없는것에도 어느程度基因하였겠지만은 朝鮮에製鍊 冶 金或은 이것을直接原料로加工하는 設備의施設은 拒否하여왔 다 다만 產金業動土金銀所나 金 銅 鉛의製鍊冶金施設과 輸 送運送에因한鐵道의 一部分處理設備及 鐵道製鍊所二個所만 을 許可하였을뿐이었다 이요因하여 朝鮮에技術上은勿論 所得上 國民經濟體系上莫大損失을受할것이었다

그러나 日政末期 大平洋戰爭前後에 이르러 侵略的인無 謀한野心을遂成할지언 從來의鐵石主義政策를 到底計劃 할수없게되어 漸次轉換하게됨으로써 안리게이르렀다 即朝 鮮을 所謂大陸兵站基地化하여 朝鮮에豐富한 有用物을 經濟 的으로 徹底利用하고자한 朝鮮에製鍊設備 製鍊業 化學工業 其他設備을 어느程度許可지 않으면안되게되었다

이러한事由으로써 近年에이르러 朝鮮에도 鐵業에關聯된 諸 種重化學工業이 扶植되기始作하였으며 또기것은地下資源이 豐富한朝鮮의 立地的條件에비추어 當然의發展性을 가지고 있었다그時期가너무나 늦었던것이다

第三으로 鐵業部門에있어서 技術者에依한 朝鮮鐵業의 日 本에서의 制約을보면 中級以上の技術者는 全部가日人이었고 朝鮮人에對하여는 技術養成을許可지않았다 但지 下級技術 者 勞務者及 事務系統에만 朝鮮人의 參與을許可하였던것 이었다

鐵業部門技術者調査表 (1941年本現在)

種別	總數	朝鮮人	外國人	總數에對
				한朝鮮人 의百分比
鐵山業	5,247	1,542	3,705	2
製鍊業	1,432	150	1,282	11%
計	6,679	1,692	4,987	25%

查

表

(1947年本現在 • 但以北은 8月15日現在)

黃海		江原		平南	平北	咸南	咸北	三八以南 計	三八以北 計
以南	以北	以南	以北						
67	669	617	770	710	1,821	1,335	620	4,582	5,992
7	11	27	10	17	47	38	5	180	128
—	—	—	1	—	—	—	—	1	1
22	114	235	145	133	593	454	57	1,634	1,522

III 概觀—解放後

前述한바와같이 朝鮮鐵業은 日人에掌握되어있었으므로 戰 末에있어서 日人에依한亂燬 解放直後의 日人에依한破壞 盜 掘 管理怠慢 當局의積極的 政策의 缺如等으로 南朝鮮의鐵業 은悲慘한 狀態에 빠지게되었다 이러한諸直接原因에 加하여 海軍需工場轉換再編의 遲延 南北分割에因한 從來의 朝鮮產 業機能的 不具性敝化 鐵產物需要의 激減 또는 思想의 分立으 由因한 社會的亂世 生産能率의 低下 勞資間 或은 管理者從 業員間의 軋轉等으로 朝鮮鐵業은 決定的打撃을 받게되었다 策의 施策은다만 國民生活에 直接緊急한 石炭과 輸入 的인鐵石資로서 重石其他鐵種의 特殊的開發에局限되었을 뿐이었다 金銀에 對하여서는 法令 第2條第93號 第33條等에 依하여 歸屬金屬鑛山開發이 禁止되어있다 朝鮮人所有金屬 은日政本의 金屬鑛山 大部分이 朝鮮金屬鑛山會社라는 特 殊會社에統合되었을 뿐더러 金銀의 設備 資材는戰爭에直接 必要한其他物產을 理由에 搬出轉用되었으므로 坑內의荒 廢는 甚甚嚴酷의 狀態에이르게되고 있는形便이다

日政時代의鐵業은이 階性的으로 適用되고있으며 鐵業政 策 物 價格等의 未決定으로 搬出價에對한 確固한方針 이 樹立 되지못하고 있었으나 1947年에이르러 비로소新規 許可가可能하게되었다

產業復興에 不可缺한것과 國民生活에直接緊急한生産部門 에서의需要와 貿易貿易의爲으로써 鐵產物의 需要가緊急하 였은 關係로 當當局은1947年7月法令第22號에依하여 歸屬 金屬鑛山除外한 各鑛山の開發을 全面的으로許可하고 歸屬 金屬鑛山도 政府直營下에 遷移하게되어 朝鮮鐵業界는漸次 曙光이 비치게되었다 鐵政當局은 輸出許可物을 指定하는 同時에 이같이 第一次 第二次로 重石 鑛石 鑛鉛 滑石等 을 日本 美國으로 輸出케하고 1947年9월부터는 그重性性에 비추어重石의門人輸出을 禁止하여 重石은商務品가直接輸 出하게되었다

輸出許可物 (1947年9月1日)

1. 木炭
2. 芒草
3. 코발트
4. 陶土
5. 滑石
6. 黑鉛
7. 亞鉛鐵
8. 綠柱石
9. 螢石
10. 磁砂
11. 石 籠石
12. 모나스石
13. 石棉

그러나 實地에 있어서는 其他生産部門과같이 技術問題 資金問題 資材及設備問題 動力及燃料問題 輸送問題等 諸難 關에 達着하고있으며 生産도 如窓지 않은 狀態에있다 然이 나 前年에比하여 格段의改善과整頓을 하고있는것만은 事實 이다 即鐵業出廠處理行政事務도 1947年5월부터始作되어 取扱件數61件이나되어 新規許可21件에達하였다 1946年度稼行 鑛山은 10數山에不過하였으나 1947年에는 稼行鑛山數가 119 稼行鑛山數50數山을算하게되었다 產出物은 金 銀 銅 黑鉛 重石等漸次活氣은리이가고있다

1948년부터는 金 銀 鐵 重石及稀金屬鑛山除外한歸屬鑛山의 施設及勸業搬拂下로 準備中이다

그具體的方法是 1947年本現在에있어서는 未決定中이었으 나 商務當局에서檢討中에있다 重石鑛山搬拂하지않는것은 外國貿易에特히有用한것으로 外貨獲得資源으로도 直接國營 을 必要로하는것이겠다

金銀銅錫鉛鋅	1,984	95	58	73	68	272	197	49	9
合金金屬鐵	897	83	29	30	8	102	41	27	4
合金非金屬鐵	437	43	16	38	1	24	9	14	2
銅	47	6	2	3	—	3	8	—	—
鉛	7	—	—	—	—	2	1	—	—
水銀	2	—	—	—	—	—	—	—	—
亞鉛	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵	328	12	4	2	7	12	12	6	3
硫化鐵	42	1	—	—	—	2	1	1	—
硫酸鐵	4	—	—	—	1	—	—	1	—
水玻璃	25	—	—	—	—	4	—	—	—
水鉛重石	112	10	1	14	2	18	7	2	—
水鐵鉛重石	43	26	—	—	—	2	—	2	—
重晶石	12	1	—	—	—	1	4	—	—
重晶石	216	43	5	2	2	8	—	13	—
重晶石	5	—	1	—	—	—	—	—	—
重晶石	1	1	—	—	—	—	—	—	—
磷	5	—	—	—	—	—	—	—	—
石炭鉛	590	16	7	1	31	37	4	2	2
黑煙石	743	18	24	4	10	40	5	17	1
黑煙石	13	—	2	—	—	—	—	—	—
石油母	4	—	—	—	—	—	—	—	—
雲母	264	11	8	2	1	19	4	7	7
雲母	8	—	2	—	—	1	—	2	—
石棉	155	15	57	—	—	—	—	13	—
高嶺土	225	1	4	—	13	33	50	16	1
蠟石	49	5	1	—	1	1	10	—	—
明礬	35	—	—	—	18	2	4	—	—
重晶石	38	—	—	—	—	1	—	—	—
螢石	229	26	4	14	3	9	—	11	5
螢石	18	—	—	—	—	—	—	—	—
藍晶石	72	14	—	—	—	—	—	—	6
砂金	226	23	42	12	22	3	2	17	1
砂鐵	15	—	4	—	—	1	—	4	—
砂土	29	—	—	—	—	4	—	—	—
砂	98	—	18	4	28	—	—	1	—
綠柱石	18	2	3	1	—	—	—	—	—
雲母	13	1	—	—	—	1	—	—	—
稀有元素	99	5	8	20	—	3	—	4	—

(第14表) 道別鐵種別採行鑛區數 1947年末現在

道別	金銀鐵其他	銅鐵其他	重石其他	水鉛其他	石炭其他	黑鉛其他	高嶺土其他	計
서울市	—	—	—	—	—	—	—	—
京畿	18	—	—	—	4	1	1	24
江原	4	—	5	—	22	—	—	31
忠北	2	—	—	—	7	1	—	10
忠南	14	—	4	—	1	3	—	22
慶北	—	—	3	—	8	1	—	12
慶南	1	9	—	—	1	—	—	11
全北	1	—	—	—	—	—	—	1
全南	—	4	—	—	4	—	—	8
濟州	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	40	13	12	—	47	6	1	119

(第15表) 道別鐵種別採行鑛山數 1947年末現在

道別	金銀鐵其他	銅鐵其他	重石其他	石炭其他	黑鉛其他	高嶺土其他	計
서울市	—	—	—	—	—	—	—

京	6	—	—	2	1	1	10
江	4	—	2	1	—	—	7
北	2	—	—	1	1	—	4
忠	5	—	3	1	3	—	12
南	—	—	3	6	1	—	10
慶	1	5	—	1	—	—	7
北	1	—	—	—	—	—	1
全	—	1	—	2	—	—	3
南	—	—	—	—	—	—	—
濟	—	—	—	—	—	—	—
州	—	—	—	—	—	—	—
計	19	6	8	14	6	1	54

(第16表) 解放後南朝鮮鐵種別鑛產額 (單位金・銀・元 其他七種)

鐵種別	1945年	1946年	1947年
鐵	—	9,526	144,503
金	—	53,295	532,600
銀	—	—	333
鉛	—	14,623	183.5
錫	—	—	30
銅	—	371.0	259

15	80	118	95	152	289	367	47	945	1,039
—	75	67	130	40	120	114	27	387	510
—	53	18	46	11	1 1	35	6	153	274
1	3	2	5	1	3	8	2	25	22
—	1	—	—	—	—	3	—	3	4
—	—	—	—	2	—	—	—	—	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	75	18	10	65	11	68	19	77	251
—	2	—	18	1	2	14	—	5	37
—	—	—	—	—	—	—	2	2	2
—	4	4	8	—	—	—	5	8	17
—	6	7	12	9	10	8	6	61	51
—	1	3	7	—	1	1	—	33	10
—	1	2	1	2	—	—	—	8	4
1	36	18	45	14	17	17	—	92	124
—	—	—	4	—	—	—	—	1	4
—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
—	—	—	—	2	3	—	—	—	5
—	19	50	10	106	11	41	253	148	442
2	6	13	14	19	458	47	65	133	610
—	—	1	—	7	1	—	2	3	10
—	—	—	—	—	—	4	—	—	4
—	40	6	15	27	42	18	57	58	206
—	—	—	1	—	—	2	—	5	3
—	30	5	23	1	2	7	2	90	65
3	17	6	6	37	7	9	22	126	99
—	1	1	4	3	—	13	9	19	30
—	—	—	—	3	—	8	—	24	11
—	23	—	4	8	—	1	1	1	37
—	47	6	71	14	10	7	2	73	156
—	—	—	—	1	—	4	13	—	18
—	—	—	10	5	37	—	—	14	58
—	8	3	9	30	20	29	5	124	102
—	—	—	—	—	—	3	3	9	6
—	1	2	9	—	—	5	8	6	23
12	12	5	4	—	1	3	1	79	21
—	—	—	11	—	1	—	—	6	12
—	—	—	11	—	—	—	—	2	11
—	3	—	31	—	19	7	1	38	61

稀	酸	銅	—	9,965	9
重	土	鉛	—	389,245	1,137,647
狀	狀	鉛	—	—	2,600
磷	狀	鉛	—	204.41	1,592.87
水	—	鉛	—	—	5
高	—	土	—	—	300
滑	—	石	—	300	700
無	煙	炭	—	241,170	552,281
有	煙	炭	—	24,507	36,020
酸	化	三	—	271	—

(第17表) 1947年度南朝鮮各鑛山實績表 (單位、金、銀、元、其他幣)

鑛種	鑛山	道	實績數量	從業員數
金	雲津鑛山 海州鑛山 林川鑛山 順天鑛山 銅山(四山)	京畿	19,500	886
		忠南	29,000	626
		忠南	43,000	528
		全南	46,300	292
		慶南	6,203	—
小計			144,003	2,332

銀	各	鑛	山	京畿	532,600	—
銅	日光鑛山 咸安鑛山 固城鑛山 郁北鑛山 順天鑛山 其他	慶南 // // // 全南			33.5	249
					52	216
					16	162
					4	80
					9	(292)
小計					69	—
亞	鉛	雲津鑛山	京畿	30	(886)	
鉛	雲津鑛山 海州鑛山	京畿 京畿		208	(886)	
				125	(626)	
小計				333	(1,512)	
常	氣	銅	長興製鍊所	忠南	259	300
硫	酸	銅	長興製鍊所	忠南	9	(300)
重	石	上東鑛山 鎭城鑛山 玉房鑛山 朴成鑛山 青陽鑛山 大華鑛山	江原 慶北 // // 忠南 忠北		939,571	2,179
					140,076	854
					5,000	150
					5,000	150
					43,000	200
		5,000	159			

小計		1,137,647	3,683
土狀黑鉛	月明嶺山慶北	1,500	296
	江得水嶺山江原	600	204
	其 他	500	150
小計		2,600	650
鱗狀黑鉛	梧柳洞嶺山京畿	652,870	168
	大田選鐵場忠南	940	220
小計		1,592,870	388
水鉛	大華嶺山忠北	5	150
	河東嶺山慶南	300	190
高嶺土	鮮滿嶺山忠北	700	150
滑石	三陟江原	192,000	4,420
	寧越江原	124,000	4,500
	和順全南	103,606	1,926
	恩城慶北	23,223	610
	丹陽忠北	30,197	685
	聞慶慶北	5,500	230
	三興社全南	30,600	236
	漣川京畿	24,000	286
	禮山忠南	8,150	150
	金浦京畿	6,000	80
大和慶北	600	?	

小計		552,281	13,123
有煙炭	蔚山慶南	20,000	340
	吉原迎日慶北	11,020	379
	新韓慶北	5,000	?
小計		36,020	719

(括弧内は重錳)

(第18表) 解放以後鑛產物輸出量

鑛種	1945年	1946年		1947年
		數量(噸)	金額(圓)	
重石	—	—	—	1,137
土狀黑鉛	—	3,733	5,876,695	12,061
鱗狀黑鉛	—	1,976	16,753,289	586
水鉛	—	—	—	5
高嶺土	—	—	—	198
滑石	—	593	1,189,427	766
鉛精鑛	—	300	8,878,275	—
鐵石	—	1,040	515,946	—
螢石	—	500	1,130,835	—

(第19表)

南朝鮮石油輸入量 (單位千)

年 月	개소린(L)	燈油(L)	煤油(L)	潤滑油(L)	燃料油(L)	크리—a(kg)
1946年	39,528	20,912	15,588	7,399	35,641	74
(月平均)	3,294	1,743	1,299	617	2,970	6
1947年						
1月	3,136	2,464	1,966	760	6,456	2
2月	2,346	2,963	3,940	1,473	8,915	20
3月	5,669	1,681	3,977	1,426	5,905	8
4月	3,861	1,523	3,405	1,126	4,515	16
5月	6,480	2,921	6	429	1,201	19
6月	4,637	2,205	2,032	610	3,899	8
7月	4,172	3,008	1,275	642	4,033	18
8月	7,207	3,008	3,383	1,107	4,244	5
9月	5,900	2,179	1,589	1,500	2,212	119
10月	4,717	752	2,414	583	2,952	9
11月	5,434	637	2,128	1,005	3,982	21
累 計	93,687	44,258	41,703	18,071	83,960	319

(燃料油の一部는美海軍及美商船에配給되었음)

(第20表)

1947年鑛業出願及許可件數

道 別	京畿	忠北	忠南	全北	全南	慶北	慶南	江原	計
鉛・金・銀	—	—	1	—	—	—	—	—	1
金・銀・銅・鉛	1	—	3	—	—	—	—	3	7
黑鉛	1	—	1	—	—	—	—	—	2
石炭	2	1	2	—	—	1	—	—	6
高嶺土	—	—	1	—	—	2	—	—	3
風信子	—	—	—	—	—	2	—	—	2
計	4	1	8	—	—	5	—	3	21

1947年鑛業出願處分件數種別表

許可件數	却件數	不受理件數	計	新提出件數
21	24	16	61	5,057

### IV 主要鑛物

#### 1. 地質과의關係

朝鮮의土質은 주로片麻岩과花崗岩으로 形成되어있음으로

金鐵을 비롯하여 重石 水鉛 螢石 雲母 明礬石 雜砂 高嶺土 等酸性火成岩에 關係 깊은 鑛物이 多量埋藏되어 있다. 此種 鑛物 埋藏 量을 考할 때 鑛物 中 有 元素鐵의 賦存도 亦是 酸性岩의 發達이 良好한 基因한다.

또 古來 古代의 岩石이 널리 發達하여 있는 關係로 豐富히 無煙炭及黑鉛이 賦存되어 있으며 所謂 滿洲式鐵鑛床의 生成을 爲來하고 藍晶石도 埋藏量이 많다. 石灰岩 石이 널리 分布되어 있는 關係로 洋灰의 原料인 石灰岩 一鑛床만 으로서 其 埋藏量 36億 噸이라는 마구메 사일 鑛 燧灰石 重晶鎳等이 널리 埋藏되어 있다.

그러나 中生代以後의 地層에 海成層이 적은 關係로 水銀 안치모니 石油의 埋藏量은 殆無狀態이며 또 鹽基性火成岩이 比較的 缺乏한 關係로 白金은 全無이고 水晶 鐵鎳은 僅少하나 發見되고 있다. 또 活火山 全無로 硫黃의 產出도 없다.

### 2. 金

朝鮮은 世界의 有數한 金의 產出國이며 全國到處에 金鎳石이 賦存되고 있으며 金鎳 210餘郡에 金鎳鑛가 없는 郡은 없다. 金鎳業은 朝鮮鎳業의 大宗이고 過去의 朝鮮鎳業을 一드라하고 있는 것은 오수鎳이다. 金을 度外視하고 朝鮮鎳業을 論할 수 있으며 日帝에 依한 熱狂의 金 產金獎勵로 말미암아 附隨的으로 其他 各種 有價鑛物이 漸次 發見된 것이다. 1939年 末 現在로 許可 金鎳 鑛數는 5,349이며 全鎳 鑛總數의 55%를 占하고 있으며 年產額 100萬 兩以上 金鎳이 11이고 三八以南에는 全北 金鎳 全南 光陽 慶北 金井 黃海 鎳津 鎳山이 있고 5萬 兩以上의 鎳山은 二百餘 十個山에 이르렀다. 朝鮮은 東亞의 亞細亞바드라고 呼稱하는 것으로 鐵 過剩이 아닌 것이다.

朝鮮의 金鎳은 三韓時代에 由來하여 新羅時代에 이르러 大發達을 한 것 같으나 其後 衰退하여 李朝 末葉에 이르러서는 金鎳業에 불만한 것이 없었고 單히 砂鎳의 採取가 少量 있었을 뿐이 었다. 淸日 戰爭後 韓國政府은 鎳山의 開發에 制限 하였으나 俄國 內治 外策 多端時代에 있을 때 俄國 內政 手 續이 加치 國內의 有望한 鎳山은 俄國 內務省에 歸屬 시켰음 으로 俄國 會社를 設치 外國人은 各々 本國政府 支援下에 前 述한 바와 如히 著名한 鎳山은 全部 外人 所有로 되게 말았다. 韓日 合併後 金鎳業은 다시 漸次 發達하여 1916年에 가장 盛況을 見 었으나 其後 戰時 好況에 依한 物價 暴落의 影響에 影響을 받아 漸次 衰退하여 갔다.

1931年 正貨 流出 限制에 對하여 日政이 金鎳 輸出 禁止를 斷行하 자 金鎳 暴騰함에 依하여 朝鮮에 金鎳 一드르 말 슈가 展開되어 其 金鎳 獎勵로 日本 巨大 資本의 朝鮮 進出이 顯著하 였다. 日本 鎳業株式會社는 舊韓 國時代의 特許에 依한 外人 經營인 遂安 大楡洞 鎳山의 三太 鎳山을 買收하 였으며 此 三鎳山 產出額은 全朝鮮 鎳產額의 折半을 占하고 있을 것 이었다. 日帝는 1932年 產金 1億 兩計劃을 樹立하여 積極的으로 產金을 獎勵하고 다시 1937年 3月 軍需 鑛輸入을 爲한 對美 金現送이 開始되 자 產金 5年計劃을 樹立하는 同時에 同年 鎳鎳 產金令을 發令하는 朝鮮 重要鑛物 增產令을 公布하고 互額의 鎳鎳 壽計上하여 採取獎勵金 鑛岩 掘設補助 金鎳 共同 掘設補助金等을 支拂하는 一便 鎳山 道路 改善 產金 送還 施設 一般 助成 施設의 設備等을 積極的으로 推進시키 였다.

그러나 美國의 對日 資金 凍結과 獨經濟 相호의 金의 國際 貨幣으로서의 機能 喪失 危險等에 基因하여 日本의 產金熱은 愈速히 冷却하 였고 特別 太平洋 戰爭이 決定的 階階에 들어가 자 日政은 1943年에 이르러 鎳山을 全部로 國營으로 整備하여 其 設備 資材等을 他軍需 鑛物山에 轉用하 여서 大部分의 金鎳을 廢鎳 地處에 埋藏하고 말았을 것 이었다. 舊鎳山에 있는 濕式 製鎳所는 全鎳約 800이 되 였으며 乾式 製鎳所는 鎳南浦 元山 興南

長項 海州 龍岩浦等 6個所이 었다.

解放以後는 法令 第2號 第39號에 依하여 其 開發이 禁止되어 있었으나 1947年 7月에 이르러 朝鮮人 所有 金鎳은 自由로 開發할 수 있게 되었고 生産 金은 外國 輸出이 禁止되고 一 勿當 400兩으로 朝鮮銀行에 賣渡하게 되었다. 그러나 從前 生産 實績을 考한 鎳鑛은 全部가 歸屬 國으로 되어 있을 爲로 朝鮮人 所有 金鎳의 產出額은 殆無狀態이다. 現今 朝鮮의 實情으로 보아 緊急 開發이 國家 財政上 必要한 是 再考할 必要도 없다. 世界 各國의 完全 金本位制에 依한 復歸는 到底 困難한 것이지만 戰後의 國際的 變動에 依한 如何한 形式에 依하 더라도 金과 通貨의 國際收支 決濟手段과는 不可分離한 關係를 持續할 것이 明白하다. 解放後 1947年 末 現在에 이르러 가지 에 있어서는 다만 海州 鎳津 鎳山帶에서 少量 產出되고 있을 뿐이 니 1947年 產出額은 144餘 兩으로 記錄되고 있다.

### 朝鮮의 金鎳業은

- (가) 近代에 까지의 開發 歷史가 比較的 少하며 機械化의 程度가 낮고 其 將來性이 많은 것(從來에는 德大 開鑛은 一 種 封建的 的 鑛鑛制에 依하여 널리 發行되고 있었다)
  - (나) 金鎳鑛의 分布가 全鎳의 1/3
  - (다) 金鎳의 所以 金鎳品位가 높은 것
  - (라) 砂鎳鑛床의 賦存이 豐富한 것
  - (리) 銅 鉛 面鉛이 附伴 產出되는 것
- 等의 長點을 具備하고 있으며 地 下水 準面 以上의 岩石은 軟弱으로 探掘이 容易하고 從來 幼稚한 技術으로서도 相當한 採掘率을 見출할 수 있었으며 火藥 埋藏이면 手掘도 可能하다. 그러나 鎳山 用資材만 確保된다면 產金 增產은 比較的 容易한 것이다.

### 3. 鐵 鑛

鐵鑛은 朝鮮 四대 鑛物의 하나이고 黃海道 殷栗 鐵鑛 下梁 銀龍 兼二浦 平南 价川 咸南 利原 江原의 金華 咸北의 茂山等 各鎳山이 었다. 그러나 南朝鮮에는 賦存이 없다. 其中 茂山을 除한 外는 赤鐵鑛 또는 褐鐵鑛을 主로 하며 其 鎳量은 含鎳品位 50%以上의 것이 約 2,000萬 兩으로 指定되고 1936年에는 鎳石 63萬 兩을 產出하 였다. 그러나 茂山 鐵山은 南滿 鞍山 鎳床에 西 敵한 大鎳鑛床이고 磁鐵鑛鑛인 것과 鑛粒이 크므로 選鑛이 容易하고 發行에 際하여는 鞍山보다 有利하다고 한다. 鐵鎳山은 二埋藏量이 10億 兩이 되 며 1925年에 發見되었으나 含鎳品位 38%內外의 貧鎳鑛으로 採算上 輸入 鐵鑛에 迫응 받았으나 其 時 其 間 發達을 보지 못하고 있을 것 이었다. 淸日 戰爭後 鐵鑛自給이 緊急하게 되자 日政은 大規模로 開發을 開始하 여 1944年에는 3,446千 兩을 產出하게 되었다. 三菱 淸津 製鐵所及 日鐵 淸津 製鐵所는 이 茂山의 原鑛을 主原料로 하여 運轉하 였으나 其 外 其 外 朝鮮 鐵鑛開發은 1932年 以來 重工業 勃興이 始作하 여 漸次 活潑化하여 갔다. 即 兼二浦 淸津 城津 興南 仁川 等 各地에서 製鐵業이 일어났고 日帝가 其 末期에 이르러 特別 重工業(製鐵 製鋼)의 朝鮮에 對한 扶植을 許容하 는 爲로 勿論 輸送 壓迫에 걸리지 못한 데 基因하 였지만은 結局 朝鮮의 鐵鑛 資源이 豐富함을 意味하는 것이 朝鮮 地質 調査의 先驅이 었던 獨逸人 卜呂게가 鐵鑛 資源에 關하여 만 樂觀的 觀測을 내 렸다는 것은 正確한 先見之明이 있었다고 할 수 있다. 解放後에는 鐵鑛及 製鐵所가 大部分 北朝鮮에 偏在한 關係로 南朝鮮 産業 復興에 莫大한 打擊이 되고 있다.

### 4. 石 炭

朝鮮에는 褐炭과 無煙炭이 賦存되어 있다. 瀝青炭의 埋藏이 없는 것은 經濟 發展上 은 缺陷이 아닐 수 없다. 國內 產褐炭은 二 重에 있어 서나 其 質에 있어 서는 低劣하나 高級 精結炭을 必要

모하는 製鐵其他工業用炭은 今後에 있어서도 外國依存을 벗어나지 못할 것이다

褐炭은埋藏量 3億8千萬噸이라하며 主로成北에集中되어國內埋藏量의 9割을 占하고있다 南朝鮮에서는 迎日吉原 蔚山 炭礦에서 少量產出하고있다

朝鮮의有煙炭工業의起源은 明白치않으나 李朝末까지 產地附近의住民에依하여 濶用으로 採掘된데不過하고 企業化한것은 1919年以後이다 그러나 朝鮮의有煙炭은 大部分北朝鮮의 遼隔僻地에偏在하고 그地方의 鐵道通過이 遲延한關係와 產炭의褐炭이 日本炭 滿洲炭에比하여 低質인關係로外來炭의壓迫을받아 炭田開發의 立地條件이 不充分하였다는것이 朝鮮有煙炭工業의 發展을阻止한 原因의이었다 即 1910年代에 比較的大規模로 採掘된것은 京義線沿線에있는 安州炭礦 沙里院炭礦及成鐵線에近接한 生氣炭炭礦等이 있었을뿐이었고 1924年에 있어서도 總產額 26萬噸이라는 貧弱한 移行狀況이었다 其後成鐵線이開通되어 成北의諸炭田과 中央都市와의 連絡이되어 大規模의開開發이 可能하였으나 그때에는 日本及滿洲의兩產炭地間에 끼어있었던朝鮮은 恒常兩地의炭況에 支配를받아 炭價의高低가甚하고 特別 日本九州炭 滿洲撫順炭等の 騰貴으로 鮮內炭礦은 다시停頓狀態에 빠졌었다 그러나 滿洲事變後 朝鮮의工業의發展에依한 需要增大와 從來의外來炭은 各其產地에 있어서의 石炭消費急增으로 朝鮮에의供給이 消滅化하여갔었으며 다시中日事變 大太平洋戰爭의總起에依하여 船舶不足으로 外來炭의輸入은 더욱困難케되었으므로 不得已日政은 朝鮮炭開發을強行하게 되었었다

朝鮮의有煙炭은 大體로火力이弱하고 5,000キロ米滿이며 水分 灰分이 많고 不粘結性이어서 코크스用炭으로도 使用할수없는 缺點이있는關係로 工場用燃料로서는 歡迎되지 않았으며 大部分이鐵道機關車用 暖房用으로 使用되고있었다 製鐵用코크스用炭及工場用炭은 全部輸入炭에依存하고있었다

(第21表) 日政時朝鮮有煙炭需給表 (單位噸)

年別	出炭	輸入	計(需要)
1938	2,363,000	1,126,184	3,489,184
1939	1,701,000	1,557,246	3,258,246
1940	2,651,226	1,900,083	4,551,309
1941	2,868,450	2,474,761	5,343,211

(第22表) 輸入炭積出地別 (1940~1941)

積出地	1940	1941
滿洲	243,317	543,495
北支	286,559	376,186
日本※	1,370,207	1,555,083
計	1,900,083	2,474,764

※(樺太 臺灣包含)

그러나 以上有煙炭은特別 揮發分이 많음으로 人造石油工業原料로서 適合함으로 朝鮮窒素肥料會社는1932年成北永安에 石炭低溫乾餾工場을建設하여重油 파라핀 에타 노-르 베-크라이트等을製造하고있었다 또 朝鮮의朝鮮石炭工業株式會社는 1936年以來阿吾地炭田에 水素添加에依한 直接液化工場을新設하여採炭中이었다 이같이褐炭의賦存이있다는것은 石油查源이缺乏한我國에 있어서서는 무엇보다도 多幸이라 아니할수없다

그러나朝鮮炭은燃料로서의 炭質이低劣함과同時에 그炭層의變化가 많고 連續性이적어서 採炭條件이不良한故로 實地經營面에 있어서도 不利한點이 많다

日政末期의強行開發도 文字 그대로의強行이였었다 即 卽一 一價格制 新抗開發助成金 增產獎勵金 生産補償金等の交付 生産責任制實施等으로 無理한炭減經營을 強行해나갔던것이 다 1941年에 있어서 朝鮮의主要有煙炭會社八社中 黑字會社는 單一社뿐이었다 事實은日政이低物價政策을取하기爲한 炭價固定과生産코스트 累增等の리듬마에도 原因하였던것이라는 朝鮮有煙炭礦自體의 弱體性에도 基因하였던것을의어서는안된다

朝鮮의有煙炭工業은 過去에 있어서와 마찬가지로 將來에 있어서도 多難을免치 못할 것이다

朝鮮의無煙炭工業이 企業型態을取한것은1903年에美人 佛人等에依한 平壤附近의 無煙炭田採掘이였으나 採炭高는 幾々히였다한다 其後1907年에 이러한炭礦은全部韓國農工部에 移讓되었었으며 다시 1909年以後는 一次總督府에 直屬되었다가 其後民間會社에 開放되었으나 當初에는 產炭의自由販賣는禁止되어있었다 1924年의自由販賣解禁을契機로 朝鮮無煙炭工業은 漸次活況을呈하게되어 日本輸出도 이듬해부터 開始하게되었다 그러나 其後日本의不況에따라 無煙炭의需給이 不調로되었음으로 이에對處하여 炭價引下 企業統制等이 實施되었었다 其後滿洲事變을契機로 無煙炭需要가急增하게되자 朝鮮無煙炭工業은 다시飛躍的으로 發展하게되었었다

無煙炭은 各地에廣範圍로 埋藏되어있으며그埋藏量은13億 5千萬噸이라한다 이無煙炭亦是 北朝鮮에 大部分埋藏되어있으며 平壤을中心으로하는 平安南道가 全朝鮮產出量의 約 8割을占하고있었다 朝鮮無煙炭은 固定炭素分이 많고(普通 70%) 發熱量도 6,000~7,000 कै로리-가되는優良炭이다 大部分이粉狀인關係로써 主로煉炭原料로重用되어 日本에多量輸出되고있었다 其後完全燃燒法의 研究發展과 良質無煙炭의 採掘로漸次用途가 擴大되어 發電燃料 工場燃料로서 一般有煙炭과같이 보이타- 及 鐵石熔爐用으로 使用됨에 이르렀다 南朝鮮의主要產地는 三陟 寧越 和順 恩城等이고 埋藏量에 있어서는 北朝鮮에遜色이있으나 그質에 있어서는 北朝鮮炭은 凌駕하며 特別三陟炭은 佛印兩基炭에도 지지않는다고하며 灰分이적고 कै로리-가 많음으로 코크스代用炭에도 適合하고 또 塊炭을產出하는關係로 石灰窒素 카-바이트 製造用으로도 使用할수있다 그埋藏量은 2億 9千 8百萬噸이며 寧越炭田分을 包含하면 3億 7千 4百萬噸에達한다 이미日政時代부터 朝鮮電力株式會社는 寧越炭을火力發電에 利用하여 南朝鮮一帶에電力을 供給하고있었다

既述한바와如히 朝鮮은從來多量의有煙炭을 輸入하고있었으나無煙炭도多量輸出하고있었다 日政時의 無煙炭輸出狀況은如次하다

(第23表) 無煙炭輸出果年比較 (單位噸)

年次	對日本	對滿洲
1936	531,466	—
1937	560,931	—
1938	783,583	—
1939	1,001,150	—
1940	1,504,074	88,163
1941	1,127,076	243,737

(太平洋戰爭開始後滿洲에의輸出이 顯著한것은船舶輸送의 不圓滑에因함)

石炭은現代國家經濟의原動力이다 今次大戰後 世界列國中의 大多數國家는石炭飢饉에苦悶하고있다 南朝鮮도 그例에따지지않으며 石炭不足은産炭을癡痺狀態에 빠트리고있는形勢이다 또石炭不足으로列車가大部分運休하여 物資交流의不圓滑로因한國民生活上의苦痛은 말할것없으며 特別電力不足으로



로南朝鮮에 있어서의苦悶은絶大하다 이같이 石炭의國民生活에 있어서의切實한 必要性에 비추어解放後 過政當局의鐵業政策은 거의石炭에集中하고있는實相이다 大部分의鐵山이休眠狀態에있으나 炭礦은 商務部直轄下에稼行되고있으며配給代金收集에對한手續 輸送等에關하여는 鐵務局隸屬機關인 朝鮮石炭配給會社가取扱하고있다 當局은 1946年以降石炭運營資金 1億3千3百萬圓을設定하고 三陟炭礦에鐵業資金 1億圓을撥資하는同時에 其他各炭礦에도 積極的施策을取하고있다 그러나 依然한資材不足 輸送設備未完 電力 熟練監督者及技術者不足 食糧不足等으로 生活는如意치않은狀態에있다 1947年에 있어서 各炭礦平均一人當月當生産量은 4~5噸에不過하며生産費도適當 2,000圓以上이라한다 八.一五前에探堀되었던100萬噸의貯炭과 每月 5,6萬噸이라는 日本에서의輸入炭으로解放後 2年間은 겨우維持하여왔으나 解放前의貯炭

은 거의消盡되였으며 輸入炭의大部分은 鐵道와美軍用으로消費되고 一般工場에는極少量이配當되고있을뿐이다 1947年度 國產炭50餘萬噸中寧越炭10餘萬噸은 全部發電用に 充當되고 其外20萬噸은鐵道에 남여지20餘萬噸은 美軍用과 民需에充用되고있다

南朝鮮의經濟復興에는 石炭의確保가 絶對必要하다石炭問題에南北分劃의悲哀를 느끼지않을수없다 過去日人이家庭燃料로서 가장愛用하든煤炭의原料를 生産할때南北間統一되면 豊富한朝鮮無煙炭과 日本主製鐵用煙青炭과의交換이可能하여 朝鮮의石炭問題도 比較的容易히解決되지아니할가한다 即 鐵山資材의優先的輸入確保 運輸設備의充實 勞務者에對한 食糧配給 新坑의發見 開發 등으로南朝鮮에賦存되어있는炭礦開發이必要하다(日政時代에도 鐵山勞務者에對한食糧配給은 一日七合이였으니 現在는四合이다)

(第24表)

1947年度國產炭別産業別割當表 (寧越炭除外) (單位噸)

	서울市	京畿	南	北	江原	全南	全北	慶南	慶北	濟州	計
煤	14,793	2,192	108	172	172	116	108	188	116	—	17,965
機	1,402	1,753	24	—	546	10	74	133	—	—	3,942
化	3,156	3,181	—	—	15,600	—	—	844	—	2,000	24,781
紡	10,604	4,864	324	108	368	2,906	1,958	4,572	1,152	—	26,856
食	1,072	668	—	—	—	36	—	108	—	36	1,920
電	576	799	—	—	—	—	—	106	—	—	1,481
官	1,036	—	—	—	—	—	252	—	288	—	1,576
製	412	948	288	—	208	532	2,048	288	—	—	4,724
其	72,811	37,334	11,666	7,646	19,756	17,824	10,092	22,924	20,532	9,100	229,655
鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	192,100
計	105,862	51,739	12,410	7,926	36,650	21,424	14,532	29,163	22,058	11,136	505,000

(第25表)

有煙炭輸入量及部門別割當量 (單位噸)

年 月	輪 入	輪 送	瓦斯及一工工場	發 電	美 軍	一般工業
1945年10月	23,783	23,783	0	—	—	—
11	32,409	32,409	0	—	—	—
12	44,013	37,853	1,380	—	513	7,416
1 計	100,205	94,045	1,380	—	513	7,416
1946年1月	23,040	18,150	428	—	2,325	2,134
2	61,512	57,840	3,623	—	3,047	742
3	73,338	70,078	3,247	—	855	649
4	82,007	79,390	2,262	—	1,417	3,060
5	62,743	61,396	1,538	—	301	2,290
6	53,568	47,537	3,182	—	53	1,224
7	22,903	21,609	1,820	—	13	1,015
8	66,856	62,756	1,763	—	15	562
9	43,173	29,924	3,648	—	22	2,687
10	46,431	30,421	5,126	—	939	1,955
11	38,834	14,992	2,931	—	9,971	4,920
12	38,366	22,605	6,756	1,651	1,443	3,407
小 計	612,771	516,698	36,329	1,651	20,401	24,645
1947年1月	33,462	22,284	6,808	3,249	4,743	5,979
2	40,090	38,576	1,818	—	5,234	2,628
3	67,502	51,092	1,671	—	5,107	4,813
4	57,315	48,100	4,000	—	4,000	5,200
5	66,618	59,710	504	—	2,332	4,368
6	52,437	45,166	539	—	1,553	2,551
7	54,953	47,409	1,635	—	3,161	2,853
8	59,917	38,000	—	—	17,000	5,000(a)
9	70,297	40,000	—	5,000(b)	10,000	5,000(a)
10	64,588	40,000	—	5,000(b)	10,000	5,000(a)

11	62,517	37,500	2,600	445	17,500	4,535(a)
12	14,823 c	45,000	3,000	700	9,000	7,300(a)
小計	691,519	512,837	22,575	14,394	89,830	55,252
累計	1,407,495	1,123,580	60,284	16,045	110,544	87,313

- (a) 貯
- (b) 朝鮮石炭供給會社貯藏用
- (c) 以下에 서 人 存 貯 2,960 噸 包 含

(第26表) 炭礦勞務者數

年月別	出炭高(月平均)	勞務者數	人當月產高	
1937	201.7千噸	24,833人	8.12噸	
1938	287.9	29,777	9.50	
1939	344.9	44,137	7.81	
1940	478.4	53,493	8.94	
1941	513.1	64,871	7.91	
1942	571.4	71,358	8.00	
1943	—	—	—	
1944	—	—	—	
1945	—	—	—	
1946	4	22,539噸	6,424	3.50
5	24,446	5,666	4.31	
6	24,318	6,670	3.64	
7	26,668	6,820	3.91	
8	21,516	6,779	3.18	
9	23,161	6,542	3.54	
10	27,893	6,073	4.59	
11	21,729	4,658	4.66	
12	21,213	5,400	3.92	
1947	1	16,858	5,625	2.99
2	22,360	5,958	3.75	
3	28,333	6,133	4.61	
4	33,794	6,275	5.38	
5	36,971	6,759	5.46	
6	39,826	7,320	5.44	
7	33,159	7,375	4.49	

(※1946, 47年은 清朝鮮 産)

(第27表) 石炭消費實績部門別 (1944年)

	有煙炭		計
	有煙炭	無煙炭	
製鐵	1,610,036	173,821	1,783,857
造船	20,491	43,573	64,064
鑛山	27,677	100,325	128,002
電氣	91,377	225,634	317,011
瓦斯	148,663	6,076	154,739
窯業	236,048	297,886	533,934
化學工業	212,532	386,739	599,271
纖維工業	104,020	266,514	370,564
食料	15,425	87,762	103,187
製鹽	2,130	26,787	28,917
煉炭	34,580	675,154	709,744
液體燃料	560,819	73,611	634,430
暖房	4,559	11,653	16,212
小量及家庭	147,282	254,371	401,653
其他業	1,491	7,998	9,489
產出地消費	135,623	110,237	245,860
船舶燃料	62,130	317	62,447
私設鐵道	201,632	75,500	277,132
交通	1,980,671	741,196	2,217,867
官需	16,727	35,759	52,485

軍需	145,467	41,309	186,776
合計	5,759,390	3,642,252	9,401,642

5. 黑鉛

黑鉛은 我國特産物인뿐아니라 國際資源으로서도 重要한地位에있으며 1939년에는 鱗狀 土狀合計여41,000噸을産出하여 世界第一位를 차지하였다

黑鉛에는 鱗狀 土狀兩種이있으며 鱗狀黑鉛은 坩堝 電極用으로 使用되고 金屬製鍊工業에 不可缺한것이고 土狀黑鉛은 電極 電池 鉛筆 鉛止帶에 使用된다

土狀黑鉛은 1904 年에 慶北尙州 咸南咸興等處에서 비로써 日人에 依하여 採掘되었고 鱗狀黑鉛은 1907年 平北龍岩附近에서 亦是 日人에 依하여 採掘되었다 1910 年에는 黑鉛鑛產數 141이었고 稼行數는 43 이었으며 産量은 1,000噸程度이였다 其後第一次大戰時에는 세이문 마다가스칼의 黑鉛이 輸出 禁止되었던關係로 鱗狀黑鉛業은 一時 稼行을 停止하여 1917年에는 19,000噸을 産出하게 되었다 其後 다시 減少一路로 轉移하였으나 日本侵略戰爭爆發에 因하여 다시 勃興하여 1936年에는 鱗狀 5,849噸 土狀 35,065噸이나 産出되었다 特種日政時는 坩堝用 鱗狀黑鉛의 生産을 爲하여 1939 年 朝鮮黑鉛開發株式會社를 設立하였었다 1944 年 産量은 鱗狀 32,100噸 土狀 75,000噸 産出이 可能하게 되었다

解放後 稼行鑛山은 京畿道 柳洞鑛山뿐이다 上述한 바와 같이 朝鮮黑鉛은 解放前의 그 産額에 비하여 輸出品으로서는 勿論 國內工業發展에도 크게 寄與한 것으로 期待되었는데 特히 重石과 함께 輸出對價物으로서 重要하게 되었으며 1947年에는 鱗狀黑鉛의 坩堝用 選製鑛品 204噸을 生産하여 第二次對外輸出計劃에 依하여 貯藏品과 合하여 美國에 536噸을 輸出하였다 解放前에 南朝鮮에서 過半量을 産出하던 土狀黑鉛은 解放後 産出이 激減하였었다 1947 年에 드디어 야리도서 慶北 月明得水鑛山 江原道 江陵鑛山이 稼行하게 되어 僅々 2,600噸 生産이 可能하게 되었으며 貯藏品과 함께 12,000餘噸이 日 美等에 輸出되었다 黑鉛은 大體로 低價이고 容積이 크므로 遠隔市場에서의 出荷에는 陸路가 많다

6. 銅

朝鮮에는 純銅大鑛床은 極히 드물고 大概 金, 銀, 鉛, 亞鉛과 併産된다 銅鑛石은 金乾式製鍊에 不可缺한 原料인故로 日政의 金增産計劃에 따라 各製鍊所의 銅鑛石需要가 增大하여 1940年에는 12,944噸이 生産되었다 이같이 解放前의 銅生産量이 巨大하였던것은 輸入銅鑛石에 依한 金乾式製鍊에 依하여 産出된 것이었다

銅鑛山으로는 慶南의 日光鑛山 咸安鑛山 平北의 厚昌鑛山이 主要한 것이고 以外에 咸南 慶南 慶北에 數個所 있었을뿐이였다

解放以後는 南鮮銅鑛의 90%以上이 前日人 所有였던關係로 解放直後 日人에 依한 破壞와 그後의 管理怠慢等으로 憂慮한狀態에 處하였다 그러나 銅이 電氣工業에 必要한關係로 過政當局의 積極的開發政策에 依하여 1946年 4月 長項製鍊所가 製鍊을 開始하는 同時에 慶南의 日光 咸安 固城 九龍 郡北 全南의 順天 忠北의 萬丈等 鑛鑛山이 7,500萬圓의 共同開發案에

한 運營資金의 融通으로 開發에 着手하였다 그러나 依然한 設備不足 資材不足 등으로 그 成績이 如意치 못하다 1947年 生産量은 189.5 萬이며 電氣銅은 29 萬이다

### 7. 合金材料鑛物

重石 (인스텐) — 朝鮮의 重石 鑛業은 第一次 世界大戰後 交戰諸國에서의 需要의 激增에 依하여 一時 盛況을 呈示하였으나 1917年以後市價低落과 그 需要의 激減으로 休田의 狀態에 陷出하여 1918年 末에는 全部 休田 狀態에 達하였었다 其後 日政의 軍需工業에 隨伴하여 1940年에는 稼行 鎳山 100 個所를 超過하게 되었다

이 重石은 高速度鋼 其他 特殊鋼 合金用 原料로서 不可缺少한 것이요 從來 大部分이 日本에 輸出되고 있었으며 日本 軍需工業에 至大한 役割을 한 것이었다 埋藏量은 世界 第四位이며 主要 鎳山은 黃海道 百年鎳山 筠川鎳山 平南 蘇水鎳山 江原 稻葉鎳山 順德鎳山 內金剛鎳山 等이고 特別 江原道 上東鎳山의 女 重石은 其 質과 量에 있어서 世界的으로 優秀한 것이라 한다

解放後는 外貨 獲得에 重要한 役割을 하고 있으며 上東 達城 玉房 陽陽鎳山 等이 稼行 中이며 第二次 輸出 計畫으로 1,137 萬이 美國으로 輸出되었다 國內 需要는 電球 用으로 金屬 重石이 少量 需要될 狀况에 在하여 輸出에 있어서 將次 中國 馬來 等의 砂鎳에 依한 低廉한 精製品과 의 競争을 不免할 것이 豫測된다

水鉛 — 重石과 같이 特殊 鑛原料로서 重要한 鑛物이다 水鉛 主要 產地는 全北의 長水鎳山 順德鎳山 江原道 金剛鎳山이고 素質의 으로 別히 分布되어 있다 이亦是 日政의 國力 資源으로서 開發된 것이요 1944年에는 960 萬을 產出하였다 解放後는 忠北 大藥鎳山이 稼行 中이며 1947年에는 5 萬을 產出하여 美國으로 輸出되었다

其他 合金 材料 鑛物 — 錳 鑛은 豐富하지 못하여 大概 低品位 鑛이다 망강鎳山은 埋藏量은 豐饒하나 低品位 鑛이다 主要 鎳山은 慶北 蓮花鎳 中川 將軍鎳山 慶南 昌原鎳山 江原은 川太 白鎳山 等이다 망강은 그 處理法 研究하면 將次 有望한 것이다 解放後는 產出이 없다

### 8. 輕金屬材料鑛物

마구비사일 — 마구비 鑛의 原鑛이고 마구비 鑛은 輕合金用으로 使用된다 從來 日本은 마구비사일 鑛 產出이 없고 마구비 鑛原料로는 全然 著汁(간수)에 依存하고 있었다 마구비사일 鑛은 北朝鮮에 大量 賦存되어 있다 咸南 端川郡의 鑛床은 그 埋藏量이 約 30 萬 噸에 達하며 世界 第一의 鑛床이다 그 質도 炭酸 마구비 鑛含有量 45~50% 인 高品位 鑛이다 日政은 이에 着目하여 割合에 依한 特殊 會社 朝鮮 마구비사일 開發 株式會社를 設立하여 開發에 着手하게 하고 있었다 此外에 日本 마구비 鑛金屬 株式會社 及 日本 마구비사일 化學工業 株式會社 朝鮮 埋藏金屬 鑛 南浦工場 等이 마구비 鑛 製造를 하고 있었다 1944年에는 마구비 鑛 1,900 餘 萬 噸을 產出하였고 將來 海外 輸出에 長期 待을 가질 수 있을 뿐 아니라 마구비 鑛工業의 將來 亦是 詳々 하다고 할 수 있다 그러나 南朝鮮에는 埋藏이 없다

아루기트原料 — 朝鮮에는 보-키사이트 產出은 없으나 明礬石 鑛石은 豐富하다 明礬石은 全南 慶南의 海岸 地帶에 거의 無盡藏으로 있으며 日政은 이 大部分을 日本에 輸出하여 보-키사이트 代用으로서 軍需에 充用하고 있었다

國內에는 鑛鑛 設備가 없으므로 將來 電力 解決과 新 處理方法이 講究된다면 企業化가 有望視된다

### 9. 其他金屬原料鑛物

鉛及 亞鉛 — 이것은 大抵 金銀 銅鑛에 隨伴하여 產出되고 그

產額도 그다지 많지 않다 朝鮮에서는 單獨 鑛床으로 咸南의 檢德鎳山과 平北의 咸川鎳山 義民鎳山 慶北의 中川 白鎳山이 있다 日政 末의 金山 整備에 依하여 鉛鑛業이 促進되어 그前에는 約 1 萬 噸의 產出에 不過하였 것이 1944年에는 粗鉛 約 1,800 萬 噸 亞鉛 鎳 14,000 萬 噸 電氣 鎳 鉛 5,500 萬 噸이 產出되었다 鉛鑛 鑛所는 海州 元山의 2 個所가 있으며 亞鉛 鑛鑛所는 從來 朝鮮에 없었으나 日政 末 興南 及 咸南 浦에 建設되었다

解放後는 兪津 海州 鎳山에서 生産되고 있으며 鉛의 貯藏이 日本에 輸出되었다

此外에 金屬 原料 鑛物로서는 안차모니 水銀 若鉛 카드미 음 등이 있으나 國內의 產出量은 極히 적다

### 10. 非金屬工業用鑛物

硫化鐵 — 硫酸及 硫酸 製造 原料로서 不可缺少한 것이요 日政 時 朝鮮은 多量의 硫化鐵을 日本에서 輸入하였다 그러나 1933年에 咸南 龍川郡에 一大 鑛床이 發見되어 朝鮮 興南工場은 多量의 朝鮮 產 硫化鐵을 使用하고 그 鑛津을 利用하여 直接 製鉛을 하고 있었다 大部分이 北朝鮮에 賦存되어 있었으며 解放 後 南朝鮮 產出은 없다

螢石 — 製鋼用 硝子 세멘트의 製造 用 熔劑로서 또 알미늄 製造 用 其他에 使用된다 朝鮮에 널리 賦存되어 있으나 現 南朝鮮에서는 生産이 없다

重晶石 — 펄크리트 고무 리노름 等에 使用되는 外 各種 非金屬 鑛에 그 用을 甚 넓고 朝鮮은 生産地로서 世界的으로 著名하다 江原道 金化郡의 中川 昌道鎳山은 그 量 質에 있어서 世界에 有名하다 亦是 解放 後 南朝鮮에서는 生産이 없다

雲母 — 從來 朝鮮 產 雲母는 鑛量及 品質에 있어서 輸入品에 壓倒되어 不振 狀態에 있었으나 日政 末에 이르러 大規模로 開發되어 1944年에는 422 萬 噸을 產出하게 되었다 用途는 電氣 絶緣 用 耐熱 用 等이다 日政 時에 朝鮮 雲母 開發 株式會社가 開發하고 있었다 鎳床은 全部 北朝鮮에 所在하고 朝鮮 內에는 加工 工場도 不備하다

灰石 — 肥料 原料로서 重要하며 咸南 端川郡 咸北 城津郡 吉州郡 等에 多量 埋藏되어 있었으며 特別 端川郡 新登里의 鎳床은 高品位로 埋藏量도 數千萬 噸이라 하며 我國 肥料 工業에 크게 貢獻할 것이다 그러나 南洋 諸島에서 廉價品 輸入이 可能하니 이 鑛鑛業 亦是 將來 多難을 不免하다

其他 非金屬 工業用 鑛物로서는 石 礫 砥 礫 滑石 硅藻土 礫石 等이 있다

### 11. 窯業原料鑛物

石灰石 — 無煙炭 鑛의 區域에는 반드시 그 下部에 良質의 세멘트 原料인 奧陶紀 石灰岩이 있고 또 熔鐵 鑛用으로서 低廉한 無煙炭 使用이 可能하므로 朝鮮은 세멘트 工業의 適地라고 할 수 있다

高嶺土 — 陶磁器 原料及 耐火材로 使用되고 全國적으로 分布되어 있고 特別 咸北 生氣嶺 炭藏 慶南 河東郡의 安宅鎳山 等이 有名하고 解放後 河東鎳山이 稼行 中이며 1947年에는 198 萬 噸이 產出되었다

其他 砂 礫 晶石 等이 있다

### 12. 含稀有元素鑛物

로튬 비튬 질로늄 바나듐 타라탄 니오비움 等의 稀有 元素의 從來 發見 埋藏 量은 稀少하고 鑛鑛 利用의 方面도 今後에 있으나 이미 無線 電 信 라디오 等의 眞空管(로튬) 光線 電極(세튬) 特殊 合金(비튬 리튬 질로늄 바나듐 타라탄 니오비움) 耐酸 性 金屬用(타라탄) 輕金屬 鑛鑛 鑛用(리튬) 鑛鑛用(로튬 리튬) 其他 많은 利用 方法가 究明됨에 따라 이 稀有 元素를 含有한 鑛石이 續々 朝鮮에서 發見되고 있다

即 리사雲母 (리승含有) 一忠北丹陽郡外 五個所  
 綠柱石 (베름含有) 은 忠南清陽郡等  
 지탄鐵鑛 (바니승含有) 一黃海道海州郡等  
 코롬브石 (탄타랍及 니오리승含有) 一平北朔州郡外 3個所  
 褐鐵石 } (세롬 로름含有) 一咸北咸津郡外 二個所  
 세一阜石 }  
 風信子鐵 (건코눔含有) 同  
 그러나 現在 朝鮮內에서는 此種鑛石의 加工工場이 皆無한 狀態임으로 其運鑛 製鍊等 今後의 期待가 크다

### V 結 論

解放前朝鮮鐵業은 바야흐로 新生朝鮮國民經濟의 一 柱로 出發하게 되었다 朝鮮鐵業은 日政에 對한 單純한 原料供給의 地位를 벗어나 獨自의 新朝鮮工業建設에 適應하여야 할 것이며 特別히 重化學工業發展에 寄與하여야 할 것이다 이는 水電資源의 豊富에 依한 硫化鐵 磷鐵 石灰 마구비사일 螢土頁岩 明礬石 等을 原料로 하는 化學工業輕金屬工業의 立地條件이 具備한 關係이고 朝鮮製鐵工業의 將來가 洋々한 것은 鐵鑛資源이 豊富한 關係이다 各種電氣製鍊의 開發은 重石其他合金用材料의 產出 率을 올려 大冶金工業地帶化의 可能을 約束하고 있다고 볼 수 있다

그러나 朝鮮의 鑛物은 全鑛物이 量으로나 質으로나 決코 世界的 으로 遜色이 없는 것은 아니다 朝鮮鑛產物을 概觀할 때 五種類로 區分할 수 있다

- 1) 產出이 없으며 全然外國에 依存하는 것 白金 石油 錫 蒼鉛 硫黃 瀝青炭
- 2) 需要에 對하여 供給이 不足하고 積極的으로 增產이 必要한 것 金銀鑛 石炭 芒矽 硫化鐵 磷
- 3) 供給이 充分하다고 볼 수 있는 것 銅 鉛 亞鉛 鐵 螢石 石粉 矽砂
- 4) 輸出品으로서 積極的으로 稼行할 수 있는 것 重石 水 鉛 雲母 黑鉛 마구비사일 藍晶石
- 5) 輸入品低價으로 稼行困難視되는 것 안치모니 一 닉 硯 硯鐵 明礬石

屢述한 바와 같이 日政에 있어서 朝鮮鐵業이 飛躍的으로 發展을 呈한 것은 日政이 軍需工業을 中心으로 하는 強力의 助長에 隨伴한 것이다 現在 朝鮮에서 過去의 實績을 現役階의 朝鮮鐵業界에 期待하는 것은 採算上 困難한 問題인 同時에 朝鮮工業이 그 단지 消化할 수가 問題이다 朝鮮鐵業界의 將來는 第一 먼저 朝鮮工業의 復興과 發展如何에 依存하는 同時에 外國品과의 競爭力如何에 左右될 것이다

勿論 工業은 原料及 所要地 下資源 賦存如何하는 立地의 條件에 依存하지만은 鐵業亦은 工業發展如何의 影響을 受는 것은 또한 自明한 일이다 換言하면 朝鮮鐵業의 盛衰는 一個의 歐行性 後進性을 脫却한 一貫된 國民經濟 機構形成如何 具體的으로 是 製鍊加工設備如何에 결 連된 일이다

現在 南朝鮮에 있어서 外貨獲得을 目的으로 鑛石開發이 推 進되고 있고 또 輸出되고 있으나 鐵石輸出對象의 輸入物查가 眞實로 朝鮮經濟復興에 緊要한 것인 지 그 與否는 姑 捨하고 勿 論 是 過去의 原鑛石을 供給하여 精鍊或은 是 것을 原料로 한 加工品 輸入이라는 前 轍을 밟아서는 안 될 것이다 이에 關하여서 는 어디까지든 固 確하고 一貫된 國家政策이 要請되는 同時에 國家의 助長 獎勵策 鑛山의 機械化等에 依하여 外國鑛物의 壓迫을 免 避 不 得하는 同時에 海外市場獲得에 努力하여야 할 것이다

### 第28表 南北朝鮮鐵業生產量對照表

1942年 全鮮二百八十重要鑛山  
 單位 金 銀 雲母 水鉛 皂石 其他는 磁

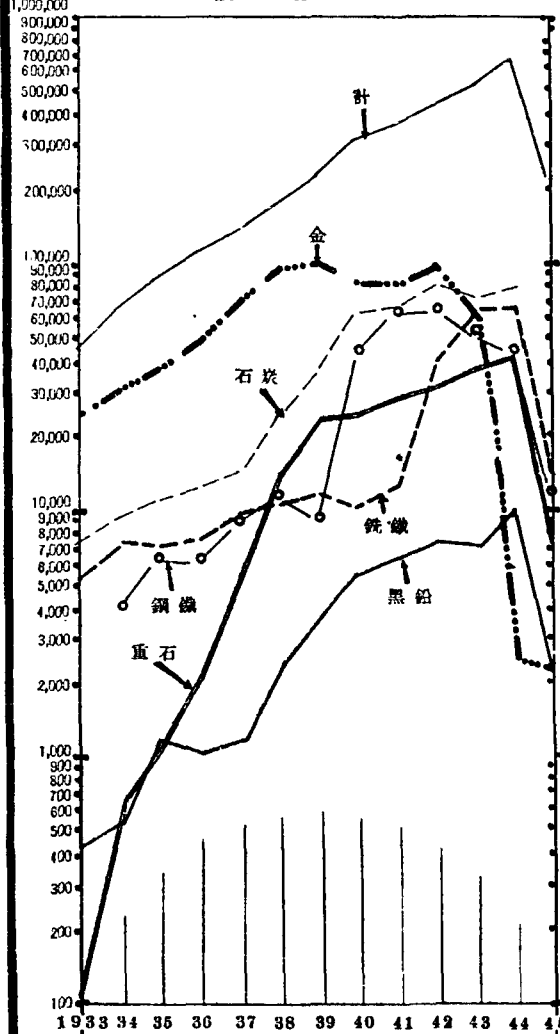
鑛 種	北 朝 鮮	南 朝 鮮
鉛	15,339	6,693
銀	2,840	6,517
銅	2,957	1,575
鉛	10,732	1,290
亞鉛	8,697	3,291
無煙炭	2,815,595	1,115,904
狀黑鉛	15,382	900
土	25,688	33,844
雲母	80,530	—
石	—	4,737
高嶺土	3,039	37,916
螢	3,988	28,193
石炭	2,688,654	41,914
煙鐵	232,347	—
硫	—	1,544
化鐵	—	—
강	—	1,544
水鉛	2,717	1,019
鑛	17,277	242,231
磷	28,000	—
明礬	—	43,326
礬	16,470	—
重石	22,693	4,064
螢	—	—
마구비사일	103,262	—
硯	96,910	73,098
硯	1,256	—
土	—	—

### 統 計 資 料

- 第1表 鑛種別鑛產額累年比較
- 第2表 鑛種別鑛區數累年比較
- 第3表 道別鑛區數累年比較
- 第4表 道別鑛產額累年比較
- 第5表 鑛業出願鑛種別件數累年比較
- 第6表 鑛業出願鑛種別件數累年比較
- 第7表 鑛種別稼行鑛區
- 第8表 鑛業出願並許可件數累年比較
- 第9表 日本에 據출된 朝鮮鑛產物 (1910~1945)
- 第10表 朝日其他外人別鑛區數比較
- 第11表 朝日其他外人別鑛種別生產產量比較表(%)
- 第12表 朝日人別鑛種別稼行鑛山調查 1945年7月現在
- 第13表 鑛區調查表 1945年8月15日現在
- 第14表 道別鑛種別稼行鑛區數 1947年未現在
- 第15表 道別鑛種別稼行鑛山數 1947年未現在
- 第16表 解放後南朝鮮鑛種別鑛產額
- 第17表 1947年南朝鮮各鑛山實績表
- 第18表 解放以後鑛山物輸輸出量
- 第19表 南朝鮮石油輸入量
- 第20表 1947年鑛業出願及許可件數
- 第21表 解放前朝鮮有煙炭需給表
- 第22表 解放前輸入炭積出地別
- 第23表 解放前無煙炭輸出累年比較表
- 第24表 1947年國產炭道別產業別割當表
- 第25表 解放後有煙炭輸入量及部門別割當量
- 第26表 炭礦勞務者數
- 第27表 石炭部門別消費狀況
- 第28表 南北朝鮮鐵業生產量對照表

## 鑛產額及鑛區數累年一覽

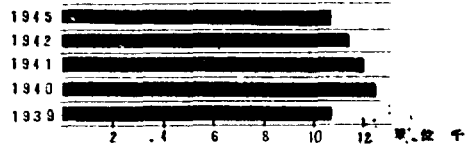
單位 千圓  
UNIT In Thousand Won



鑛 區 數

鐵 礦	金 銀 礦	重 石	年 度	金 銀 銅	黑 鉛	石 炭
134	1,881	7	一九三三	801	121	380
135	2,394	16	一九三四	705	124	380
140	3,234	27	一九三五	705	146	370
144	4,811	38	一九三六	705	177	395
156	4,332	56	一九三七	705	121	213
174	4,877	100	一九三八	705	243	425
235	5,348	121	一九三九	705	239	449
246	6,424	148	一九四〇	705	383	527
215	6,405	150	一九四一	705	404	527
260	6,075	156	一九四二	705	408	527
328	3,486		一九四五	705	711	527

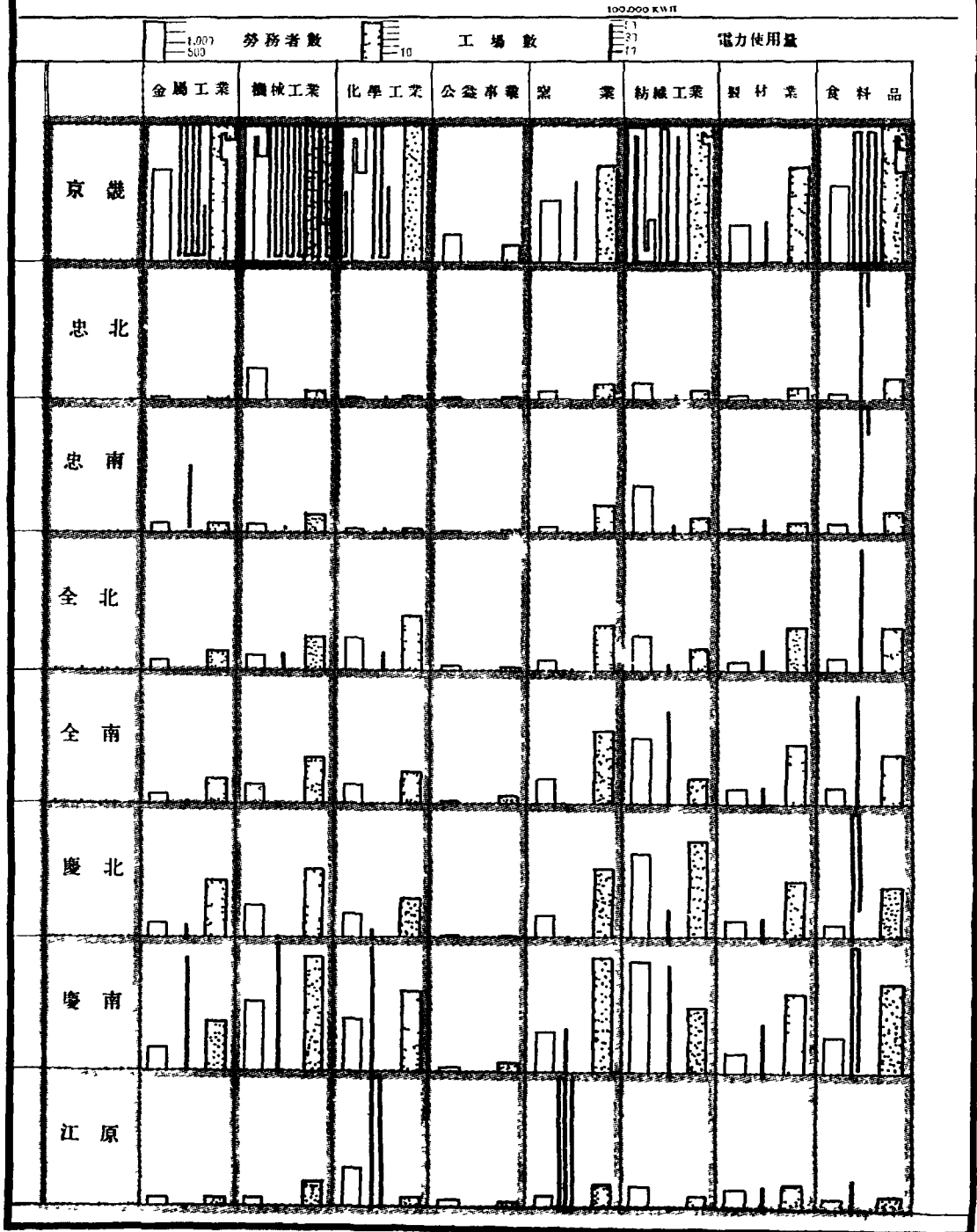
總 鑛 區 數



# 工業

(I-98)

## 南朝鮮工場狀況



\*\*\*\*\*  
 \*\*\*\*\*  
**工 業**  
 \*\*\*\*\*  
 \*\*\*\*\*

目 次

- 1. 總 觀
- 2. 金 屬 工 業
- 3. 機 械 工 業

4. 化 學 工 業

- 肥 料 工 業
- 油 脂 工 業
- 五 子 工 業
- 撈 寸 工 業
- 火 藥 工 業
- 升-바이트工業
- 皮 革 工 業
- 燃 料 工 業
- 製 紙 工 業

5. 窯 業

- 陶 磁 器

- 硝 子 工 業
- 鉛 筆 工 業
- 耐 火 煉 瓦 工 業
- 煉 瓦 工 業

- 6. 電 氣 工 業
- 7. 纖 維 工 業
- 8. 食 料 品 工 業

- 精 米 工 業
- 製 粉 工 業
- 醬 油 味 噌 製 造 業
- 釀 造 業

9 後 記

1. 總 觀

朝鮮工業은 産業革命을 通하여 工業을 中心으로 하는 現代 國 民經濟를 確立 하엿어야 할 時期에 一 個 植 民 地로 顯 落 한 朝 鮮 經 濟의 運 命을 그 大 體로 具 現 하고 있는 것이다. 이에 解 放 後 朝 鮮 工 業의 動 態를 記 錄 함에 앞서 朝 鮮 工 業의 生 成 過 程을 通 過 하야 그 現 實의 特 質을 簡 單히 考 察 하고 지 한다.

李 朝는 日 本 帝 國 主 義에 併 吞 될 때 까지 其 基 本 社 會 構 造-米 麥 生 產 者 農 民에 對 한 官 僚 兩 階 級의 搾 取 關 係를 그 大 體로 意 識 的 으로 維 持 하 여 왔 엿 으니 勿 論 資 本의 蓄 積 또 企 業 精 神이 旺 盛 한 階 級 또 大 規 模 生 產을 擔 當 할 機 械 及 技 術도 없 고 오 직 工 業 分 野에 所 屬 하는 것 이라 고는 農 業에 太 古 的 으로 結 合 된 廣 汎 한 手 工 業과 極 少 數의 專 業 的 手 工 業이 있 엿 을 뿐 이 다.

그 外에 朝 鮮에 政 治 的 으로 經 濟 的 으로 絕 對 權을 掌 握 한 日 本은 그 自 身 農 村의 封 建 的 繼 承 性 外에 一 次 一 次 工 業 育 成에 國 家 全 力을 傾 注 하 지 않 으 려 면 안 된 後 進 國이 엿 으니 朝 鮮 植 民 地 政 策은 日 本 工 業을 爲 한 日 本의 農 村 搾 取 政 策이 强 化 再 現 된 것 이 엿 다는 것 은 必 然 的 歸 結 이 엿 는 것 이 다. 全 朝 鮮의 零 細 農 的 農 村 으로서의 低 速 食 糧 其 他 原 始 生 產 品의 提 供 地 及 日 商 品의 市 場 化가 各 其 企 圖 한 바 이 엿 다. 朝 鮮 中 的 的 會 社 設 立을 許 可 制로 하 야 抑 制 한 會 社 令 發 布는 五 端의 表 現 의 하나 이 엿 다.

따 라 서 第 一 次 大 戰 中의 利 得 蓄 積 은 土 毫 모 하 여 日 本 資 本이 膨 脹 大 하 여 지 기 까 지에 朝 鮮 工 業에 對 하야 添 加 된 것 은 對 日 輸 出 米 及 綿 花 加 工을 爲 한 精 米 業 及 綵 綿 業 其 他 釀 造 食 料 品 工 業 小 規 模 絹 織 機 業 等 極 히 微 弱 한 것 이 엿 다.

第 一 次 大 戰 前 後 하야 日 本 產 業 資 本의 蓄 積 特 히 戰 時 利 得 과 朝 鮮 內 的 掠 奪 的 日 本 商 業 高 利 貸 資 本의 膨 脹이 大 戰 好 景 氣에 轉 變 되 어 若 干의 近 代 的 工 業 產 出 品 出 來 나 타 냿 다. 即 此 期의 代 表 的 新 設 工 業이 綿 業 及 製 鐵 業 이라 는 것 이 特 質 的 的 이 다. 此 外에 相 伴 하야 極 少 數의 朝 鮮 土 着 地 主 商 業 資 本의 工 業 資 本 化 也 모

이나 京 城 紡 織 及 各 種 工 業 機 械 輸 入 系 列 外에 成 立 하 야 農 村 手 工 業 的 機 械을 驅 逐 한 다는 植 民 地 土 着 資 本 工 業 的 典 型 的 性 格을 具 備 한 것 이 엿 다.

朝 鮮 工 業이 急 激 發 展 한 것 은 飽 和 狀 態에 達 한 日 本 資 本의 海 外 進 出 必 然 性 及 其 武 力 的 表 現 日 陸 陸 役 攻 擊 結 合 된 滿 洲 事 變 前 後 從 事 하 야 滿 洲 事 變 中 日 戰 爭 太 平 洋 戰 爭 等 日 本의 野 望이 進 展 한 사 由 朝 鮮 的 大 陸 外 島 兵 站 基 地 等 的 立 地 條 件 豐 富 한 動 力 其 他 諸 資 源의 賦 存 豐 富 低 廉 한 勞 動 力 等 은 急 激 發 展 的 日 本 工 業 資 本을 朝 鮮 中 引 誘 하 엿 다. 此 時 期 中 特 히 軍 需 工 業이 中 樞 化 되 어 近 代 的 化 學 工 場 大 發 電 所 大 紡 織 工 場 等이 繼 續 出 現 하 옿 고 中 日 戰 爭 以 後는 莫 大 한 鐵 鋼 需 要 由 因 한 製 鐵 及 特 殊 鋼 製 鍊 纖 維 不 足을 補 充 하 기 爲 한 人 造 纖 維 工 業 及 直 接 軍 需 品 生 產 諸 工 場의 創 設 等 朝 鮮 工 業은 量 的 的 的 으로 空 前 的 飛 躍 을 한 것 이 다. 以 下 하야 第 一 表 及 第 二 表에 明 瞭 한 바 와 같 이 1936年 從 1943年 間 에 工 場 數는 二 倍 半 以 上 增 加 되 엿 다. 職 工 數는 此 前 的 飛 躍 을 한 것 이 다. 約 三 倍 以 上 增 加 되 엿 고 工 產 額은 1930年 從 1943年 間 에 實 質 上 7.3倍 以 上 飛 躍 하 옿 으니 新 設 工 場의 大 規 模 近 代 化가 促 進 되 엿 고 以 外에 相 伴 하야 急 激 한 生 產 力 增 強을 相 伴 한 것 을 說 明 하 옿 다.

그 러 나 上 述 한 바와 같 이 朝 鮮 工 業의 發 展은 日 本 資 本 主 義 發 展 的 一 環 이 될 만 기 朝 鮮 民 族 經 濟 的 發 展을 意 味 하 지 않 을 뿐 만 아 니라 亦 且 日 本 資 本 的 朝 鮮 經 濟 征 服 的 深 化 過 程 이 며 手 工 業 的 朝 鮮 土 着 工 業 的 驅 逐 過 程에 不 過 한 것 이 다.

(第1表) 工 場 及 職 工 數 的 增 加 趨 勢

年 次	工 場 數	指 數	職 工 數	指 數
1936年	5,927	100%	188,250	100%
1939年	6,952	117	270,439	144
1943年	14,856	250	549,751	292

(第2表) 工 業 生 產 增 加 趨 勢 (單 位 千 圓)

種 類 別	1911年		1921年		1930年		1937年		1939年		1943年	
	生 產 額	比 率	生 產 額	比 率	生 產 額	比 率	生 產 額	比 率	生 產 額	比 率	生 產 額	比 率
工 產 額	43,528	11	200,535	15	280,963	24	959,308	33	1,498,277	38	2,050,000	37
全 產 業 生 產 額	409,294	100	1,302,484	100	1,176,086	100	2,937,766	100	3,902,077	100	5,526,164	100

1. 日 本 資 本 的 支 配

本 來 資 本 蓄 積 이 없 는 朝 鮮이 開 港 及 日 本 植 民 地 化 後 外 國 資 本과 對 等 的 競 爭을 하 려 면 日 本이 閉 治 初 期에 行 한 바와 같 은 關 稅 的 保 護 及 育 成 的 對 策이 絕 對 的 必 要 한 것 이 다. 然 而 反 動 化

의 策 策 朝 鮮을 日 本 的 的 全 面 的 農 業 植 民 地 化 하 려 는 日 本 的 植 民 地 政 策은 亦 且 朝 鮮 民 族 資 本 成 長을 阻 止 封 鎖 하 여 沒 收 하 옿 으니 亦 且 日 本 資 本 的 侵 略 的 始 作 者 及 主 角 無 疑 的 朝 鮮 工 業 對 於 日 本 資 本 的 支 配는 壓 倒 的 的 이 엿 다. 1940年 第 三 表에 依 하 면 日 人 資 本은 全 體 的 94%를 占 하 여 特 히 重

工業 化學工業에 있어서 100%에 가깝다. 그러므로 土着資本은 原始的裝備에서 朝鮮人은相對로한 數種の消費財生産(精米 釀酒 고무신 양말 被服 메리야스等)과 日人工業에依存한 帶細請負制의存在에不過하였다. 日日本資本이占한 94%는 大部分이 大規模工場이나 第四表가 말하는 大規模工場의 高生産性을 斟酌하면 其地位는 더욱크게 評價되어야 할 것이다.

(第3表) 民族別部門別工場公稱資本統計  
(單位千圓 1940年末現在)

種類別	朝鮮人		日本人	
	金額	比率 %	金額	比率 %
印刷製本	1,500	43	2,000	57
金屬工業	6,100	2	373,000	98
機械器具工業	61,500	42	85,050	58
化學工業	1,000	0	276,250	100
瓦斯電氣工業	—	0	553,030	100
窯業	—	0	53,245	100
紡績工業	14,000	15	76,600	85
製材及木製品	5,500	10	47,000	90
食料品工業	5,250	7	73,800	93
其他	7,000	8	85,500	92
合計	101,850	6	1,623,475	94

註 資本金百萬元以上에限함

(第4表) 工場規模別比重 (1940年現在)

	工場數	職工數	工產額
大工場(勞務者100名以上)	4.7%	51.6%	69.0%
中 // ( // 100名未滿)	13.6%	22.3%	14.5%
小 // ( // 30名未滿)	81.7%	26.1%	16.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

2. 民族技術의 低位

60萬工場勞働者의 大部分이 朝鮮民族임에反하여 技術者特히 高級技術者는 大部分이 日人이다. 이는 朝鮮工業의 짧은 歷史에도歸因한것이다. 日人의意識의植民地民族差別待遇와 日本資本의 朝鮮工業에對한 獨占力이 朝鮮勞務者는 純全한 單純勞働部分에 勤員시키는同時에 朝鮮人에對한技術教育을 徹底히回避하고 高級技術을要하는部門에는 朝鮮人의接近을 防止하여왔다. 그러므로 特히 金屬 化學工業에 있어서 朝鮮人技術者數는 10%를 若干超過한뿐이며 約 25%에達하는

機械工業部門에 있어서도 其實은 大部分이 中小工業의 低位技術者이고 技術的裝備는 量的으로 貧弱하였을뿐만아나 質的低位性은 더욱酷甚하였던것이다.

(第5表) 事業別現技術者數 (1944年現在)

部門別	總人員	朝鮮人	比率
金屬工業	1,214	133	11%
機械器具工業	609	150	25
化學工業	2,004	222	12
瓦斯電氣水道	991	190	20
窯業, 土石	245	48	19
紡績工業	484	132	27
製材, 木製品	99	32	65
食料品工業	336	121	36
印刷製本	56	24	43
土木建築	2,347	551	24
其他	91	29	32
計	8,476	1,632	20

3. 朝鮮工業의 不具崎型性

上述한바와같이 朝鮮은 日本의 戰時要求에依하여 急激히 建設된 日本의 一補充의 工業地域이었기때문에 各生産部門의 物資流通도 資金 技術面과같이 各己獨別的으로 日本의 連繫되어 運營되었던것이다. 따라서 朝鮮內各種工業部門間은 勿論 同一工業部門에 있어서도 橫斷的又是 縱貫的系列이 整備되어 있지않고 密接한相互關係도 均衡의發展도같이 지못하였던것이다. 그러므로 自主工業體系와는 別히며려져 殖民地의 不具崎型性을 濃厚히保持하고있다.

가장明瞭한生産財生産部門과消費財生産部門과의比重關係를본다면 日本은1940년에 金屬工業이 22.5% 機械器具工業이 22.5%로 全體의 45%를占하였고 其他先進國에서는 生産財生産部門이 全體의 50%以上을占하고있는데 朝鮮에 있어서는 金屬工業이 14% 機械器具工業이 6%로 全體의 20%에不過하다.

그러므로 이와같은 全朝鮮工業體系의 不具崎型性은 緊密한對日從屬에依하여補充되어야 할것이니 對日朝鮮貿易에나 타나는 多量의 未完成粗生産品의 輸出과 同系統의 完製品及生産手段의 輸入은 이를말하는것이다. 特히機械器具分野에 있어서는尤甚하여 第七表와같이 其朝鮮內自給率은極히低度에있

(第6表) 朝鮮工業의 重化學工業化 (單位千圓)

重化學工業	1936年		1939年		1943年	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
金屬工業	33,735	5%	136,092	9%	300,000	14%
機械器具工業	13,503	2%	53,225	4%	115,000	6%
化學工業	159,430	27%	501,749	34%	600,000	29%
小計	—	34%	—	47%	—	49%
輕工業						
紡績工業	99,477	14%	201,351	13%	345,000	17%
窯業	21,876	3%	43,337	3%	90,000	4%
木製品工業	9,936	1%	21,061	1%	120,000	6%
印刷製本	13,132	2%	19,373	1%	24,000	1%



食料品工業	199,883	27%	328,352	22%	400,000	19%
瓦斯及電氣業	39,988	5%	30,462	2%	30,000	2%
織工業	103,842	14%	163,270	11%	26,000	2%
小計	—	66%	—	53%	—	51%
合計	694,802	100%	1,498,272	100%	2,050,000	100%

(第7表) 主要機械器具의國內自給率 (1940年度)

汽缸及同附屬品	3.7%
原動機	7.1%
工作機械	0
製造加工用機械	19.6%
鐵道機關車	0
時計、學術品、電信機	6.2%
車輛、船舶、自動車及附屬品	29.5%

木材及製品工業	120,000	6%
印刷製本	24,000	1%
食料品工業	400,000	19%
其他工業	26,000	2%
合計	2,050,000	100%

4. 全體的朝鮮工業의地位

日政末期朝鮮工業이 空前의 飛躍을 한 것은事實이나 이는 반다시朝鮮이 高度의 工業地帶로 發展하였다는 것을意味한 것은 아니다 第二表와 같이 工業額은 1930年以後急激히 增加하여 1943년에는 20億圓에 達하였으나 農産額은 超過하지 못하고 아직 全産業生産額의 37%를 占함에 不過하다 이것은 低度의 朝鮮生活水準을 支撐함에 不足하여 1941年現在에 朝鮮內工業生産品需要의 三分之二는 供給에 不過하며 印刷製本業自給率의 7.8%를 筆頭로 機械器具工業 紡績工業 金屬工業等 第八表와 같은 其低位自給率로 朝鮮工業의 全體的 貧弱後進性을 如實히 보여주고 있다

叙上에서 歸納되는 바와 같이 朝鮮의 工業體系는 自立的인 有機的 發展과 均衡의 發展을 일수지 못하고 技術的으로나 資本的으로나 또는 原料 資材 半製品의 生産系列까지 各單位體가 日本의 生産體系에 依存하게 되고 있었으며 朝鮮人의 企業은 抑制되고 朝鮮人의 資本蓄積과 技術도 阻止되고 있었음으로 朝鮮工業은 生産系列의 畸型性과 工業生産의 植民地의 後進及 不具性을 胎兒로 하여 工業生産關係는 自立性을 缺如하고 있었다

이러한 脆弱한 生産關係에 解放後 南北朝鮮의 分離는 朝鮮工業에 새로운 不具性을 加重하였다 即 下記와 같이 工業生産額에 있어서 北朝鮮은 化學工業이 全朝鮮의 82% 金屬工業이 90%를 占하는 바와 같이 北朝鮮은 重工業의 優位性을 南朝鮮은 紡績工業이 朝鮮全體의 85% 食料品工業이 65% 印刷製本業이 89% 등으로 輕工業의 優位性을 各已分擔하는 産業構造에 있었다

(第8表) 自給率의 低位 (1941年)

朝鮮工業製品自給率表			
紡績工業	55.9%	製材木製品工業	76.1%
金屬工業	59.5%	印刷製本業	7.8%
機械器具工業	24.7%	食料品工業	95.1
織業	68.1%	其他工業	74.2
化學工業	82.8%	平均	72.7%

(第10表) 道別業種別工業額表 (1940年度現在)

重工業	南朝鮮	比率	北朝鮮	比率	合計
化學	91,172	18%	410,578	82%	501,750
金屬	13,602	10	123,490	90	137,092
機械	38,406	72	14,820	28	53,226
小計	143,180	—	548,888	—	692,068
紡績業	170,986	85	30,356	15	201,342
織業	7,966	21	31,276	79	39,242
木製品	13,749	65	7,312	35	21,061
印刷製本	17,246	89	2,127	11	19,373
食料品	213,628	65	114,724	35	328,352
瓦斯電氣	11,097	36	19,366	64	30,463
其他	127,474	78	35,794	22	163,268
小計	562,146	—	240,955	—	803,101
總計	705,326	—	789,843	—	1,495,169

(第9表) 1943年度種別工業額 (單位千圓)

	金額	比重
機械器具工業	115,000	6%
金屬工業	300,000	14%
化學工業	600,000	29%
小計	—	49%
瓦斯電氣工業	30,000	2%
紡績工業	345,000	17%
織業工業	90,000	4%

工業에 必要한 地下資源도 大部分이 北朝鮮에 富藏되어 1936年度의 實績을 보면 有煙炭 99.5% 無煙炭 97.7% 鐵礦 100% 鐵鋼 99.9% 黑鉛 71%가 北朝鮮에서 生産되었다

(第11表) 重要地下資源의 南北朝鮮比率

	金(砂金)	金銀魚	鐵鋼	鐵	當그스텐及水鉛鋼	黑鉛	有煙炭	無煙炭
南朝鮮	29.3%	27.3%	0.1%	—	21.5%	29%	0.5%	2.3%
北朝鮮	70.7	72.7	99.9	100	78.5	71	99.5	97.7

電力亦是 解放直前의 實績을 보면 出力의 86% 年平均發電

力의 92%는 北朝鮮에 集中되고 南朝鮮에 必要되는 電力은 南

朝鮮에서의發電보다 北朝鮮으로부터의 受電量이 많았던 것이나

(第12表) 電力의南北朝鮮比率 (單位 kw 解放直前現在)

	出力	比率	年平均發電力	比率
北朝鮮	1,262,500	86%	909,200	92%
南朝鮮	206,290	14	79,500	8%
合計	1,468,790	100%	988,700	100%

따라서 北朝鮮의 資源과 電力 등을 南朝鮮에 있어서 利用 못 할뿐더러 南朝鮮工業製品的의 販賣市場도 喪失되고 있음으로 不可分の相互關係는 南北朝鮮의 分立으로 斷絶되고 말았다 例컨대 金屬工業이 없는 機械器具工業이고 製紙工業이 없는 印刷製本工業이라는 奇現象을 示現하게 하고 있다

그리하여 北朝鮮과의 分離는 南朝鮮工業으로 하여금 空中의 樓閣과 같이 根柢 없는 構成의 殘骸를 나타내게 하였다 以上이 南朝鮮의 工業生産을 破綻에 指向케 한 根本의 痛이다 거기다가 解放後 南朝鮮總工場數의 85%以上을 占하는 歸屬財團工場은 解放直後 日本人에 依하여 資材 原料는 勿論 機械設備까지도 放棄되고 資金도 全部 收奪되었던 것이나 加之하여 此外에 殘存하고 있는 物資는 過渡의 混亂으로 말미암아 非生産方面에 偏在되고 比較的 豊富한 地上資源도 國內政情의 不安과 軌道에 올을 지 못한 軍政下의 諸般事情으로 生産이 衰退되고 있다 이러한 經濟不振이 貧弱한 朝鮮人이 그 管理運營에 當하자 莫大한 工業資金을 要하게 되었는 것이나 經濟地盤이 正常化되지 못하고 있는 不具의 現象은 民族資本家들로 하여금 그나마 工業部門에의 投資를 回避케 하고 高率의 利潤과 資本回收率이 曠은 投機的 商業部門에 集中되여 甚至於 高利尙業資本으로 發展하여 民族資本의 健全한 成長과 工業資金調達을 阻害하고 있고 金融機關으로부터의 工業資金貸出도 1947年10月末現在으로 보면 約 15億圓으로서 全金融機關貸出金의 僅 14%에 不過하였다 1940年度의 全朝鮮에 全金融機關貸出金中 工業資金은 28%이었으나 1947年10月末現在의 工業資金貸出比率은 解放前(大平洋戰爭直前) 實績의 半半에 되지 않았다

(第13表) 金融機關貸付金의 比較表

種類別	1940年末		1947年10月末	
	貸付額	比率	貸付額	比率
總貸付額	1,899	100%	10,700	100%
工業	537	28	1,500	14
其他	1,362	72	9,200	86

勿論 1940年은 戰時이었던 것과 重工業은 北朝鮮에 偏在되어 있다는 點은 對照하여 現南朝鮮의 實情은 工業生産力 增強이 絶對的으로 要請되는 때 도 不拘하고 南朝鮮의 工業資金은 商業資金보다 5%나 僅少이라는 奇異現象을 顯現하여 南朝鮮의 工業界는 金融硬塞가 酷甚하여 工業資金의 獲得을 爲하여는 늘 갈만한 高利資金을 利用하지 않으면 안된 狀態이었다 北朝鮮人의 技術의 優越性과 工場運營의 經驗不足은 解放과 同時에 切實한 問題이 있었으나 歸屬工場의 再建運營에 對한 具體的 對策이 遲延되고 管理人制度의 不合理性을 一部에 있어서 生産의 維持復興보다 原料資材 半製品 機械及附屬品 甚至於는 工場建 物施設의 部屬品까지도 間置遺棄하는 生産關係의 破壞과 生産力 衰退의 結果를 齎하게 하였다 原料와 工業製品的의 跛行의 價格政策을 採算의 工業生産을 不可能케 하며 棉花 蔴等에서 보는 바와 같이 原料 出題을 拘束하고 商人의 買占을 助長하고 있으며 物價와 勞賃에 關한 有機的 調整을 等閑視하는 貸金因

定化政策은 勞資對立을 惡化시켜 工業生産을 制約하고 있다 더구나 消費財輸入에 置頂하고 外國商人이 支配의 位置에 있는 現南朝鮮의 貿易政策으로 因하여 生産低下를 急速度로 促進하고 있을 뿐만 아니라 從來의 스독이외는 機械破損과 資材及 部分品의 消耗 特殊資源의 枯竭에 對한 外國으로부터의 補給이 圓滑치 못하여 機械破損과 資材及 部分品의 消耗을 放置하는 狀態이며 生産系列의 分解作用을 助長하고 있다 即 大規模工場은 倒潰乃至 運營規模의 縮小化를 招來하고 있는 등 生産體系는 縮小 再生産乃至 生産規模의 縮小化를 加速하여 家內工業乃至 中規模의 工業으로 復活하여오는 傾向이다 以下의 下記表가 示現하는 바와 같이 1947年3月現在의 工場數는 解放前의 44%로 勞務者數는 59%로 激減되고 工業生産額도 次記의 各部門別工業에서와 같이 急速의 生産低下를 顯現하고 있다

(第14表) 事業體數及勞務者數의 增減表

工業別	1943年6月現在		1947年3月現在		C/A	D/B
	事業體數(A)	勞務者數(B)	事業體數(C)	勞務者數(D)		
金屬工業	416	12,578	262	6,118	—	—
機械器具工業	944	27,331	874	20,510	—	—
化學工業	681	22,869	582	21,457	—	—
瓦斯電氣水道	70	2,864	32	1,927	—	—
窯業及土石	1,172	20,616	700	10,686	—	—
紡織	1,683	61,210	537	37,353	—	—
製材及木製品	1,359	14,598	542	11,315	—	—
食料	1,704	19,854	643	12,506	—	—
印刷製本	420	7,370	143	2,655	—	—
土木建築	997	23,680	90	6,297	—	—
其他	619	12,423	95	3,155	—	—
計	10,065	225,393	4,500	133,979	44%	59%

## 2. 金屬工業

朝鮮의 金屬工業은 國內에 豊富히 賦存하는 動力과 地下資源이 基盤이 되어 相對的으로 顯著한 發展을 보인 것은 事實이나 그 是量의 擴大에 不過하고 그에 順應한 消費의 高度化를 引수하지 못하였다 元來 朝鮮의 金屬工業은 日本工業發展의 附屬物로 專히 日帝의 戰爭遂行의 目的으로 한 軍需品의 生産增強을 企圖하여 促進된 것이기에 朝鮮에서는 金屬工業製品的其自體가 完成되어 商品化된 것도 아니며 斯工業과 不可分の 關係를 맺고 有機的 發展을 企圖하여야 할 朝鮮의 機械工業도 그의 惠澤을 甘受치 못하였다 그리하여 金屬工業發展은 鐵鐵을 爲始로 한 素材工業의 跛行的 發展이고 加工業分野는 脆弱한 것이었다 同時에 朝鮮의 金屬工業은 日本工業에 隸屬되고 拮据되어야만 存立할 수 있는 不具性을 內包하고 있어 獨立性과 自立性을 缺如하고 있었는 것이다 一—端은 1944年度의 實績으로 보면 主要鐵鋼物의 生産은 鐵鐵이 約 44萬噸으로 全體의 80%를 占하고 金屬工業의 完成製品的인 鋼鐵材 生産은 僅少하여 自主國家에서는 鋼鐵이 鐵鐵보다 越等히 僅位에 있는 데 朝鮮에서는 그와 相反對로 20%에 不過한 勞勞인 것이었다 그리고 朝鮮生産鐵鐵의 約 90%는 日本工業의 原料 材料로서 日本에 移送되고 그一部分가 鋼材化하여 再輸入되었고 또一部分은 機械으로 最終商品化하여 朝鮮에 再輸入되었었다 下記對日貿易表는 朝鮮工業의 殖民地의 優越性과 脆弱性을 如實히 露出하고 있다

(第15表)

### 金屬工業原資材의 生産과 對日貿易實績表

一、鐵鐵 (1944年 大規模의 生産狀況 供出實績及 1945年度計畵)

1944年度 生産計劃	實績	對日本供出	1945年度 生産計劃
540,000噸	435,118噸	388,821噸 (1943年分包含)	242,000噸

二、普通鋼々材 (1944年度生産實績)

品名	1944年度計劃	實績	對日本供出
厚板一般材	101,000噸	72,025噸	50,730噸

三、特殊鋼々材 (1944年度生産實績)

1944年度計劃	實績
25,000噸	20,249噸

四、鍛鑄鋼 (1944年度生産實績及1945年度計劃)

種目	1944年度計劃	實績	1945年度計劃
普通鋼原鋼	4,000	2,725	11,200
普通鋼鑄鋼	15,000	12,840	20,900
特殊鋼鑄鋼	3,800	3,688	5,000
小計	—	19,253	—

1944年度生産			
比率	鐵	435,118	80%
	普通鋼々材	72,025	13%
	特殊鋼々材	20,249	4%
	鍛鑄鋼	19,253	3%
	計	546,645	100%

(第16表) 鐵鋼對日貿易表 (1944年度單位千噸)

順位	種類	輸出	種類	輸入
第一位	米	177,038	織物	149,944
第二位	鐵	168,319	機械	113,608
第三位	—	—	鐵材	44,310

이는生産製品뿐만 아니라 技術의裝備에 있어서도 亦是同一한不具性을胎하고 있었다

即 1943年6月現在로 同工業의技術者關係를 보면 朝鮮人 143名 日本人 1,240名으로 되어 朝鮮人は 日本人의 11.5%에 不過하며 特別冶金等 主要部門의朝鮮人技術者는弱勢이었다 金屬工業發展의 唯一最大의要素인鐵鐵 特殊鋼等의重要資源과 電力이 北朝鮮에 偏在되고 있었으므로 金屬工業工場의 大部分도 北朝鮮에 集中存立하고 있었는것이다 即下表와같이 1940年度의金屬工業工場의約 90%는北朝鮮에서占하고 南朝鮮에서는約 10% 에不過하였다

(第17表) 金屬工業工場產額 (1940年度)

全體	136,092,376圓	100%
北朝鮮	122,489,883//	90%
南朝鮮	13,602,493//	10%

註 南朝鮮 (京畿 忠南 忠北 江原 慶北 慶南 全北 全南) 朝鮮製鐵工業에서 第一問題된것이 燃料面인데 朝鮮有煙炭은 北朝鮮에서 約 2百萬噸이生産되고 있었으나 製鐵用粘結炭은殆無이며 解放直前까지 滿洲 中國炭을 주로使用하여 1944年度의消費實績만 보더라도 約 178萬噸에達하여 그는 大部分이外國輸入炭이었던것이다

(第18表) 製鐵用石炭消費實績 (單位萬噸)

有煙炭	161	無煙炭	17	合計	178
-----	-----	-----	----	----	-----

上記한바와같이 生産關係及生産力에서 避難되고 自然的立地條件을缺如하고 있는 데다가 鐵山開發이 中止되어 있는 南朝鮮의金屬工業界는 眞空狀態에達하게된것이다 元來金屬業의發達은 國民經濟에 있어서 鐵山資源狀態及冶金技術當該冶金用機器의發達과 相互規則關係를 맺는것이며 이러한諸般條件을缺如하고 있는 南朝鮮의同工業界가 困境에處하게된

것은必然的趨勢인것이나 關係當局의消極的인施策과 投機商人的跳梁은 金屬工業沒落에拍車를加하였다

前記한바와같이 脆弱性을內包한 南朝鮮의 金屬工業界는 解放後 如何한樣相을 顯出하고 있는가 하면 鐵鐵없는製鐵工業이 存立할수가 없는것이며 製鐵供給이 없는곳에 鐵鋼工業이 있을수 없는것이다 또金屬品等의供給이 없는곳에 輕金屬工業이 存立不可能한것이다 解放後 各地의中小工場이 廢鐵을蒐集하여 再生鐵鐵及再生鋼塊를 若干生産한적이었으나 現在는 南朝鮮의唯一한存在인三和 泰昌等製鐵工場까지 原料外散炭不足으로 休業中이고 製鋼工業은 下記表와같이解放後의 殘存原材料로써 縮小生産을하여오고 있어 1947年末 現在 生産能力의三分之一에 達하는生産量을내이고 있으나 原料消盡에 따라 休業必至의窮境이目前에 臨하고 있다

(第19表) 解放直前의南朝鮮在庫金屬品量

銑	120,000噸	鉛	900噸
鋼	50,000//	알미늄原塊	1,400//
電氣銅	5,000//	알미늄廢品及飛行機廢機體	1,200//
銅錢及鎔器回收品	7,000//	合金鐵	1,800//
亞	1,100//		

(第20表) 主要金屬工業의生産能力과生産實績

種類	工場數	生産能力	生産實績		
			1944年	1946年	1947年
鑄鋼塊	7	24,500	7,400	2,320	—
鋼棒	1	5,000	4,010	799	1,168
鋼板	3	24,000	4,500	2,100	4,660
鍛鑄鋼	1	10,000	1,300	450	570
特殊鋼	4	4,700	1,870	855	1,050
鐵鐵鑄物	4	2,350	—	163	—
鐵鐵鑄物	—	30,000	—	20,000	8,000
鋼管	—	1,000	—	150	100
電氣銅	—	1,200	—	—	260
洋釘	—	18,620	—	5,400	7,800
銅線	—	540	—	241	200
輸器	—	1,500	—	1,100	700
鐵管及鋼板	—	500	—	250	300
알미늄製品	—	4,000	—	1,597	1,270
마구비품製品	—	200	—	—	70

現南朝鮮의製鍊工場으로서는 長項鍊鍊所와 서울의小林鐵業서울鍊鍊所가 있을뿐이나 前者는 從來의在庫粗鋼을原料로 1946年4月에 作業을開始한것이나 1,200噸의生産能力을有하고 있음에不拘하고 1947年度까지 겨우 260噸의電氣銅을生産하였다 生産된電氣銅은 素材 그대로 그大部分이外國에輸出되고 있고 電氣用品 食器及銅合金板等으로 完成商品化하지 못하고 있는狀態이다 서울小林鐵業鍊鍊所는 磁石一鐵 단강一鐵뿐만 아니라 磁石原料의 카-브로탄담及 비스마스을製造하는工場이나 現在美軍部隊가 使用하고 있음으로 解放後休止이다 故로 카-브로탄담을 要하는國內精麥工場까지 甚大打撃을받고 있다 又 銅鉛 亞鉛等의加工工場으로서는 仁川의朝鮮鉛工業 서울化學及始興의朝鮮電線等外에 群小合金工場이 있어 鉛管及鉛板을 1946年度에 250噸 1947年度에 300噸을生産하였다 알미늄工場은 1,200噸의生産能力을有하고 近代의設備을裝備하고 있는 朝鮮알미늄工場外에 解放後小規模工場이 誕生되어 1946年度에는 1,597噸의 製品生産을하였다 元來同工業은 原料알미늄을 外國에 依存하고 있었으므로 解

族는 南朝鮮에殘存된 飛行機及스크랩알미늄으로 夫 범 비 드실박 (베노) 국자等低位製品을 再生産하고있었던것이 나 在庫原料가潤湯되고 外國으로부터의供給이 殆無하였으므로 1947年度初부터는 生産이急猛프로婆縮되어 同年末現在製品生産은殆無하다

(第21表) 알미늄製品生産高

年 度 別	工場數	生産高	生産品名
1946年度	13	1,997톤	숯, 범비, 드실박(베노) 국자其他加工品
1947年1月	8	245톤	〃
2月	6	34톤	〃
3月	6	51톤	〃

解放後比較的 活潑을유한것은 製釘工業이나 現在主要工場은六個所이나 解放後小規模群小工場의數출은보아 勿論 現在는百餘個所에達하여 主要工場에서만의生産實績은 1946年度에는 5,400톤 1947年度는 7,800톤이며 金屬工業中種類別로본工産額은 第二位를占하고있다 그도原料 製鋼用電氣 鑄의補修 資材電力不足으로 生産力이低下되어 群小工場은 自然消滅의으로縮少되고있다

### 3. 機 械 工 業

元來機械工業은 金屬材料生産部門即機械器具生産部門의 勞働對象이되는 金屬材料의 採掘及製鍊工業部門과機械器具에關한 技術的知識의發達이 基礎가되고 機械器具를使用하는 生産部門의發達에依한 需要의增大는 그發展을推進하는것이 다 換言하면金屬工業의發展은 機械器具工業의基礎를形成하고 機械工業의發達は金屬工業 特히原素材工業인製鐵業의發達을促進시키며 發達된金屬工業은 機械工業의基礎를確立함과 同時에消費財生産部門의發達과 그로因한生産手段에의 繼續的인需要의增大는 機械工業發展을安固케하며 擴大再生産케한다 同時에機械工業은全産業의鍵鑰인만큼 他産業의發展과高度化는必然的으로 同工業의發展과 高度化를要請할뿐만 아니라他産業이發達됨에따라 그에對應하는發展過程을 展開하는것이正常的이다 이는自生的發達을遂行한 英國은보드라도平평한것이며 其外의先進國家에있어서도同一傾向을 認할수가있다 即紡織工業의發達は紡織機와 動力機를需要케하고動力化及機械化는 鐵山機械를 또交通의發達は 一車車輛船舶을 農業等産業生産力의發展은 農業生産의機械化를展開시키므로 作業用機械를需要케한다 이러한現象의過程으로 機械工業은展開하고 健全한國內市場을保有하고 自然發生的

으로機械工業은育成되고 工作機械及精密機械器具工業이 完成되는것이다 그러함으로서 機械器具工業은國民經濟의 總生産過程에있어 他生産部門에對하여 生産力의指導的役割을 하고 一國民經濟의生産力을高度化한다 또이는 必然的인現象으로서 勞働生産力의增強과 勞働力의節約을招來하고 最終的完成商品을國內에서 製造하게함으로 國民經濟의健全성과獨立性은保障되는것이며 國民經濟力의基礎가되는 工業의發展도 近代的技術을裝附한 機械器具工業의發展으로서만 達成되는것이나 朝鮮의機械工業은 金屬工業의發達과그自體의技術的裝附가 基礎가되어成立된것도아니며 機械器具를 需要하는 消費財生産部門의資本制의展開와 體系의으로結付되어 有極的發展過程을展開한것도아니다 朝鮮의金屬工業과 機械器具工業에의關聯은 金屬工業自體의資質性으로도 能히推測할수가있으며 技術的裝備後後記하는 精密機械工業이 殆無하다는事實으로써 理解할수가있으므로 機械器具工業自體의 展開過程만을論述하면朝鮮의機械工業은 1936年以前에는 小規模의 鑄物工業等이있었을뿐이고 技術的으로極히 停滯되고있었던것이다 이러한事情이 基礎가되어自然發生的으로 推進되고育成되지못하고 滿洲事變以後日本의朝鮮에對한 產金政策과大陸에의 侵略發展을企圖한結果로서 朝鮮鐵道 強化問題에對하여 着目을하게되자 確固한基礎를인수지못한채 土木機械農機具의製作과輸送機雜維持 鐵山開發用 又是 數種의化學工業用簡易機械器具製作及補修程 의 一部工業의發展을 齎來하였음에不遑하고 不均衡的으로 相對的高度의發展을본 紡織工業을爲始로한 電力産業 化學工業等과는 逆進되어있었던것이다 그리하여朝鮮에서需要되는 機械器具類는 그大部分을日本에依存시키게하였다 勿論機械器具工業은戰時에突入하자 軍需에의要求로 從來의樣相을變하여近代的規模의多數工場을 出現케되어戰爭末期에는 機械工業高度化의所産인飛行機製作及一部機械部分品의 專門製作과 一部 工具製作等の 發展을보았고 鐵道車輛 船舶機關及造船業其他運輸用機器 産業用機器製作等の 增大는示現하여 下記表와같이 工産額 工場數 職工數等の 絕對的增加를보았고 또 全工業에對한比重도向上되어 1943年度에는 同工業은工産額이1936年 1.7%로부터 5.6%로約 3倍以上增加되고工場數及 職工數도 5.8%로부터 9%로 4.8%로부터 8.7%로各各增加되었고 또絕對的인量的擴大와 質的高度化도招來되었던것이 며 規模別로보면 機械器具工業工産額의 52.7%는 大工場에 集積되어있어 規模의增大化를 보크 있었다는나

(第22表) 機械器具工業과全工業의對照表

		工場數	A에對한 B의比率		職工數	A에對한 B의比率	
				%			%
1936年	A 全體	5,927	100.0	188,250	100.0	730,806	100
	B 機械器具工業	344	5.8	9,065	4.8	13,503	1.7
1939年	A 全體	6,952	100.0	270,439	100.0	1,498,277	100
	B 機械器具工業	613	8.8	29,579	10.9	53,225	4
1943年	A 全體	14,856	100.0	549,751	100.0	2,050,000	100
	B 機械器具工業	1,354	9.0	47,821	8.7	115,000	5.6

(第23表) 機械器具工場規模別調査 (1939年)

規 模 別	工場數	工 産 額
小 工 業	74.3%	17.0%
中 工 業	22.4%	30.3%
大 工 業	3.3%	52.7%
	100.0%	100.0%

※1940年度까지의 國內自給率은 24.7% 에不過하였고 解放直前에 겨우約 51% 에達하였다 이도 表面的인自給率의向上에不遑하고 實은 日本을爲始로한外國으로부터의 輸入激減과 平和産業施設에있든 機械工具等の轉換動員 既有機械工具生産施設及他工場施設의戰壞의酷使에依할것이다

(第24表)

機械器具需給狀況 (單位千圓)

年度	生産額	輸 入		輸 出		輸入超過	國內消費額	自給率
		日本	其他外國	日本	其他外國			
1939	53,226	198,871	7,576	8,212	—	162,492	215,718	24.7%
1940	75,699	243,685	14,307	13,685	13,579	230,736	306,435	24.7
1941	110,629	227,779	2,860	10,922	15,070	204,347	314,976	35.1
1942	105,979	217,393	332	16,004	5,316	190,405	302,375	35.0
1943	115,000	195,341	2,936	21,652	5,513	171,112	286,112	40.2
1944	130,000	—	1,411	15,614	9,850	121,678	251,678	51.7

이리하여 朝鮮의 機械器具工業은 自然發生의 理由로 推進되고 育成된 것이 아니고 植民地의 移殖型임으로 中小工場이 漸進의 理由로 肥大하여 大工場化한 것 도 아니고 또 中小規模工場은 技術的으로나 資本的으로나 大工場과 有機的 聯繫을 가지지 못하였을 뿐만 아니라 大工場에 隸屬하는 請負工場으로서의 經濟的 性格을 缺如하고 있었다 即大工場은 自體에 從屬하는 請負工場의 生産에의 結付가 없이 自己生産 또는 日本으로부터의 直接輸入品으로 充當하여 왔었다 故로 請負受託工場이 될 中小工場은 大工場의 發註로 基因하는 需要의 增大로 因한 發展은

보지 못하였다 그리하여 大工場과 遊離된 中小工場의 經濟的 基礎는 極히 貧弱하였다

또 他産業部門과 機械器具工業自體가 相互關係性을 맺고 推進되고 發展된 것이 아님으로 從價의 系列도 橫斷의 系列도 整備되지 못하고 있을 뿐만 아니라 均衡의 基礎를 갖지 못하였다

특히 工作機械 精密機械는 下記表와 같이 거의 全部를 日本等外國에 依存하여 1940年度에 있어서의 主要機械器具의 國內自給率은 25%에 未及하였다

(第25表)

機械器具工業品種別消費額及自給率 (1940年度) (單位千圓)

種 目	生産額	輸 入		輸 出		輸入超過	國內消費額	自給率
		日本	其他外國	日本	其他外國			
A 汽 缸 及 附 屬 品	97	2,765	37	—	320	2,482	2,579	3.7%
原 動 機	1,609	21,975	69	—	888	21,156	22,765	7.1
工 作 機 械	—	8,244	254	—	94	8,404	8,404	—
製 造 加 工 用 機 械	24,936	94,559	9,764	10,895	2,305	91,123	116,059	19.6
鐵 道 機 關 車	—	36,268	2,041	—	492	37,817	37,817	—
小 計	26,642	163,811	12,165	10,895	4,099	160,982	187,624	14.2
B 時 量 衡 器	—	1,728	33	—	15	1,746	1,746	—
醫 療 器 具	1,153	840	—	—	35	805	1,958	60.0
製 圖 及 測 量 器	51	1,661	2	—	250	1,413	1,464	3.5
寫 真 機	—	578	—	—	—	578	578	—
寫 音 機	—	347	2	—	—	349	349	—
電 信 電 話 機	—	2,027	2	—	141	1,888	1,888	—
其 他 學 術 器 具	15	5,249	2	—	87	5,164	5,179	0.3
鏡 砲 及 附 屬 品	—	7,691	37	1,036	187	6,505	6,505	—
小 計	—	89	5	7	12	75	75	—
C 鐵 道 車 輛	—	20,210	83	1,043	727	18,523	19,742	6.2
自 動 車 及 部 屬 品	—	25,421	738	1,252	4,435	20,472	20,472	—
船	15	5,744	—	—	1,061	4,683	4,698	0.3
自 轉 車 及 部 屬 品	5,575	5,907	7	497	26	5,391	10,966	50.8
小 計	15,933	4,495	—	—	2,972	1,523	17,456	—
(其 他 機 械)	—	18,097	1,314	—	76	19,335	19,335	—
總 計	21,523	59,664	2,059	1,749	8,570	51,404	72,927	29.5
其 他 機 械	26,315	—	—	—	—	—	26,315	—
總 計	75,699	243,685	14,307	13,687	13,396	230,909	306,608	24.7

備 考 1. 各品目全部部分品及附屬品을 包含함.

2. 其他機械는 生産統計品目中, 貿易統計에 明記되지 않은 B. C. 의 品目

機械器具補修及本體製作工場은 許多하나 工具 計器及重要部分品生産工場은 稀缺하여 一貫作業을 展開하지 못하는 體制임으로 原料로부터 最後機器製品 이 되는 尠大한 中間過程은 갖지 못한다는 非自主의 植民地的 不特性을 內藏하고 있어 質的으로 後退되어 있을 뿐만 아니라 量的으로도 落後되어 있었다

解 放前의 南朝鮮은 全朝鮮機械器具工業의 生産額 72% 工場

數 70% 職工數 64%를 占領하여 1940年 6月末 現在로 工場數는 946 個所 職工數는 30,926 名 이었다 現南朝鮮의 機械 器具 製造工場은 歸屬財產과 朝鮮人 分을 區分하여 보면 全工場 887 個所 24,147 名의 職工을 有하고 있어 그中 朝鮮人 工場은 555 個所로 全體의 63% 이나 職工數는 8,722 名으로 全體의 36% 에 不過하다 이는 다시 말하면 朝鮮人 工場은 中小規模이고 歸屬 工場은 朝鮮人 工場에 比하여 大規模임을 明示하는 바이다

(第26表) 南朝鮮道別機械工場數及從業員數 (1947年末現在)

道 名	工場數			從業員數		
	管理工場	朝鮮人工場	合計	管理工場	朝鮮人工場	合計
京 畿	73	135	208	3,866	2,581	6,447
忠 北	33	77	110	3,425	1,213	4,638
忠 南	8	23	31	129	284	413
慶 北	18	23	41	523	297	820
慶 南	65	72	137	1,681	942	2,623
全 北	99	99	198	3,604	1,605	5,209
全 南	15	60	75	765	883	1,648
江 原	14	19	33	1,083	269	1,352
濟 州	7	44	51	346	622	968
計	—	3	3	—	26	26
計	332	555	887	15,422	8,722	24,144

貧弱하나南朝鮮에서는 前記한바와같은 多數의機械器具 製造工場을有하고있으나 解放後는原料 資材供給地였고製品

消費地였는北朝鮮과 工具及重要各種部分品等の供給地였는日本과 分離되고 解放前에保有하였는原材料도解放後의混亂期에 逸散되고말았는것이다 加之하여鱗山開發의休止와製鐵等金屬工業의貧弱性으로 基因하는 原材料補給의杜絶 資金難技術不足等の惡條件이累積하고있었으나 單只各地에 逸散된 鐵鐵及資材等を蒐集하여 農機具等簡易製品을生産하는 農機具製作工場을비롯한 中小規模의工場이簇出하여 農機具製造工場은 專門工場30個所를包含하여 總數3百餘個所에達하고生産製品은 需要를超過할만한滿氣를 띠운적도있으나現在는 其大部分이深刻한 困境에處하여있다

1946年度의機械器具工業 工産額은 2,556百萬圓이었으나 이은1940年度의實績 38百萬圓과對比하여 物價指數에依하여 修正하면 1946年度의工産額은18百萬圓밖에 되지않음으로 이는 1940年度의 47%에不過하였다 1947年度에는多少의生産增加를보았으나 依然하記表와같이 農機具製作船舶車輛의 修理와 自動車構組等이 大部分을占하여 低位生産에서 低迷하고있고 原材料의消費와 資金不足等으로 小規模工場은自然 消滅의轉落過程을참고 있다

(第27表)

主要機械器具工業의對比表

地 域 別	事業體數	A에對한 C의比率		工 産 額	A에對한 C의比率		勞務者數
		1943年6月現在	1940年現在		1943年6月現在	1940年現在	
A 全 體	1,354	100%	100%	53,225,745	100%	47,821	100%
B 北 朝 鮮	408	30%	28%	14,820,474	28%	16,895	36%
C 南 朝 鮮	946	70%	72%	38,405,271	72%	30,926	64%

註 北朝鮮=咸鏡南北道 平安南北道 黃海道  
1946年度機械器具生産額 2,156百萬圓  
1940年度南朝鮮機械器具工産額 38百萬圓  
物價指數修正 — 2,156百萬圓 ×  $\frac{180}{21,627}$  = 18百萬圓  
18百萬圓 + 38百萬圓 = 0.47 物價指數  $\left\{ \begin{matrix} 1936年=100 \\ 1940年=180 \\ 1946年=21,627 \end{matrix} \right.$

(第28表)

機械工業生産數量

種 別	1946年	1947年	増産比率
木 造 船	25隻	40隻	160
船 舶(修理)	10,200艘	17,000艘	166%强
車 輛	30輛	—	—
車 輛(修理)	469輛	670輛	143%强
電 車	9臺	15臺	166%〃
自動車部分品	3輛	5輛	166%〃
自轉車部分品	70〃	100〃	142%〃
自轉車組立	3,000臺	6,000臺	200%〃
鑛 山 機 械	180輛	300輛	166%〃
農 機 具	8,000〃	10,000〃	125%〃

4. 化學工業

朝鮮化學工業은 豐富低廉水力電源과 原料인重要資源의 賦存等の 立地條件에依하여 朝鮮工業中 最大의發展을 보이고있는것이다 卽化學工業은 朝鮮産業革命의起點이되는 豐富한水力電力을 背景으로한것이며 또 이電力工業의 擴充과發展도 大部分이 化學工業의要求에 基因하였는것이다 그와同時에 化學工業의 原料인 重要地下資源 卽 無煙炭 石灰石 磷灰石 鐵錳 硫化鐵錳 等이 國內에豐富히 賦存하고있음으로 이資源과水力電氣가 結合되어 朝鮮窒素工場이 設立된것이다

그後 近代의化學工場이 陸續建設되어 各種化學製品 卽肥料 芥—마이르 硫酸 硝酸 苛性曹達 세멘트 有機合成品等을 生産하게되어 多角의으로 高度의發展을 하여왔는것이다

그리하여 化學工業은 全工業中에있어 壓倒的인比重을 占하여 1939年度의 業種別工業生産額及職工數는 化學工業이 第一位로 前者는全體의 42% 後者는全體의 26%를 占하고 工場數도全體의 23.3%로 第一位인 食料品工業에 迫到하고있었다

(第29表)

朝鮮工業에있어의化學工業의地位 (1939年現在)

部 門 別	工産額	職工數	工場數
紡 織 工 業	14.3%	19.3%	8.7%
金 屬 工 業	12.1〃	6.6〃	4.2〃
機 械 器 具 工 業	4.3〃	10.9〃	8.8〃
染 業	3.3〃	5.6〃	4.9〃
化 學 工 業	42.0〃	26.5〃	23.3〃
製材及木製品工業	0.8〃	4.6〃	5.2〃
印刷及製本業	1.7〃	3.1〃	4.5〃
食 料 品 工 業	16.3〃	18.0〃	33.8〃
瓦 斯 及 電 氣 業	2.8〃	0.5〃	0.5〃
其 他 工 業	2.4〃	4.9〃	6.1〃
合 計	100.0〃	100.0〃	100.0〃

工産額及 職工數의增大는 少數의 近代의設備을 有하는工場特히 前朝鮮窒素會社系工場에 獨占集中化되어있음에不拘하고 工場數에있어서도 第二位를 占하는것은 小規模의原始的 生産方法으로하는 零細資本經營의 魚油及 魚粕工場이 多數分散存立하고있는것에 基因하는것이다

本是 化學工業은 本質의으로 材料의工業이며 基礎的工業인뿐만아니라 化學工業製品, 生産內容의 多角性은 他産業部

門及同工業部門間的 均衡의 發達을 要求하는 것이다

이러하여 化學工業은 有機의 結合性과 綜合性을 有하는 것이 特性이며 有機의 結合性을 利用하여야만 그 成果를 發揮할 수 있으며 自主性을 保有하게 된다 그러나 朝鮮의 化學工業 發展은 化學工業全體의 均衡있는 發展을 展開하지 못하고 水力電氣를 基礎로 하는 電氣化學工業 特別 肥料 爆發物工業 등이 跛行的으로 發展한데 不過하며 化學工業의 根幹인 藥品工業等은 低位이고 化學工業用의 機械器具 及 裝置의 製造等도 落後되어 그는 日本을 主로 하여 其他 外國에 大部分을 依存하고 있었다

이와 같은 脆弱性을 內包하면서 肥大化化學工業도 工産額의 95%는 三八度以北에 偏在되고 南朝鮮에는 5%에 不過하다는 貧窮狀態이다 雪上加霜으로 主要原料가 南朝鮮에는 僅少하고 最近(1947年末)에는 電力不足이加之하여 斯業은 危機에 逢着하고 있다

(가) 肥料工業

魚粕肥料을 除去한 無檢肥料가 朝鮮에서 生産케 된 것은 朝鮮窒素興南工場이 카-바이트 過磷酸 曹達 油脂等의 各工業과 結合하여 綜合工業이 樹立된 것이 始點이다 其後 日鐵의 釜二浦及 淸津工場 三陟의 北三化學工場 順天의 朝鮮化學工場 嶺南浦의 日産化學工場 仁川의 朝鮮化學肥料工場等 近代의 工場이 移殖되어 解放前인 1944年度에는 年産으로 硫酸 約40萬噸 石灰窒素 約2萬噸 過磷酸石灰 約 2萬1千噸을 生産하였던 것이다

上記肥料工場은 大部分이 北朝鮮에 있고 南朝鮮에는 現在 低度 過磷酸石灰 生産의 朝鮮化學仁川工場 燒成加里 生産의 王子製紙全南工場 石灰窒素 生産의 三陟北三化學工場이 있을 뿐이다 그도 機械及 部屬品이 老朽한데다가 原料 燃料 資金 難等으로 因하여 1946年度에는 朝鮮化學仁川工場에서 過磷酸石灰 824噸 王子製紙全南工場에서 明礬石加里 50 噸을 生産하고 1947年度에는 朝鮮化學工場이 過磷酸石灰 1,677 噸 燒石灰粉末 2,749噸 王子製紙全南工場이 明礬加里 2,233噸 三陟北三化學工場이 石灰窒素 200噸을 生産한데 不過하고 그도 最近에는 電力不足等의 隘路로 말미암아 致命의 打撃을 받아 休止狀態이다

(나) 油脂工業

油脂工業은 魚油關係와 植物油關係로 大別할 수 있으나 現 南朝鮮에 있어서 前者는 浦項을 中心으로 한 小量의 鯨油 生産外에는 殆無한 狀態이며 後者는 植物性油는 棉實油及 蘇油 葛麻子油 등이 若干 生産되고 있다 棉實油에 있어서는 木浦의 日華油廠工場 及 釜山의 朝鮮製油工場은 原料 約6萬噸의 處理能力 即 製油 約6千噸의 生産能力을 保有하고 있으나 그 原料인 棉花栽培가 解放後 激減되고 또 棉花 收集價格이 低廉한 關係로 供出成績이 不良하고 自家消費에 注力하고 있는 現狀이었음으로 原料 補給의 不圓滑에 依하여 1946年度에 2,081噸 1947年度에 267噸을 生産하였을 뿐이다

(第30表) 棉實油 生産實績表

會社名	生産能力	1946年 生産	1947年 生産
日華油廠會社	3,400	1,225	185
朝鮮製油會社	2,520	856	82
合計	5,920	2,081	267

그리고 蘇油는 이렇듯 單單한 製油工場이 아니라 家內工業 또는 小規模의 工場으로서 南朝鮮에 20 餘個所가 있고 그 原料는 米産地인 南朝鮮에는 豊富한 것이어서 그의 製油化가 比較的

順調로 行될 것 을 期待할 수 있는 客觀的 條件은 具備되어 있으나 이 역시 不振狀態이다

即 莫大한 數量의 收集米穀은 摘精을 生沽必需品 管理院에서 其全部를 指定精米所에 委屬하고 있어 米穀의 大量 生産인 精米所는 大體로 地方에 分散되어 있고 特別 地方은 電力制限이 甚하여 摘精이 順調하게 進行되지 않고 있음은 만만치 않다 地方에는 米穀의 油脂工業化가 沈滯되어 있는 고로 1947年度에는 全南朝鮮에서 328 噸을 生産하였을 뿐이다

이같이 油脂工業은 原料難으로서 그 生産量은 需要量의 一割에도 達하지 못하는 實情임으로 榨油工業自體는 勿論이 아니라 비누 洋蠟 塗料等一連의 加工工業은 今後의 打開策이 別無한 絕望狀態에 있다

(第31表) 製油加工工業 製品 生産實績

種 類	1946年度	1947年度
蠶料工業	289	258
石鹼 (洗濯)		1,520
〃 (化粧)		226
火 藥		25

(다) 고무工業

元來 고무工業은 그 性質上 機械化가 困難한 것이어서 高位의 技術을 要지 않는 手工業性이 特徵인 것으로 比較的 容易하게 經營할 수 있는 것이다 故로 日淸부파 朝鮮人資本의 此部門 進出이 活潑하였음으로 朝鮮人技術者가 日本人技術者에 並肩할 수 있는 優秀한 水準에 達한 것도 此部門이었다

이러한 基本條件은 解放後 如何한 現象을 招來하였는가 하면 解放後 朝鮮의 은 갓 工業部門은 一大 轉換을 免하지 못하고 破壞에 當面하였으나 僥倖히, 고무工業만은 工場設備가 確保되었을 뿐만 아니라 低位 고무工業인 고무工場工場은 서울 釜山을 爲始하여 解放前의 倍以上이나 增設되었고 同工業의 補助原料인 亞鉛華工場도 安東, 仁川, 서울, 釜山에 新設되어 月産 約60萬噸이나 生産되고 있다

(第32表) 고무工場 種類別 增減表 (1947年 10月末 現在)

區 分	既存工場	新設工場	合計	摘 要
고무靴類	26	50	76	兼業工場
自動車타이어류부	1	—	1	은主製品
自轉車타이어류부	1	—	1	을基礎로
고무열트	1	1	2	區別하였음
고무利用品	2	—	2	
其他	2	—	2	
合計	33	51	84	

(第33表) 南朝鮮所在 고무工場數 (1947年 10月 現在)

道 市 別	8.15前 工場數	終戰後의 增加數	合計
서울市	10	18	28
京畿道	6	6	12
忠清南道	—	2	2
慶尙北道	4	3	7
慶尙南道	10	18	28
全羅北道	2	—	2
全羅南道	1	4	5
合計	33	51	84

그리고 基本原料인 生 고무는 約1萬2千噸을 需要하는 것이나 國內在廠의 消費과 外國으로부터의 輸入이 尠

되자 廢物고무를蒐集하여 고무靴類를 爲始로하여 再生고무製品的 生産으로 操短하여왔으며 再生고무工業이기에 品質의粗惡을 免치하고있다

1947년부터 바-다貿易軌道에을으기始作하여 이미1947年末現在에 있어서 「마카오」로부터 輸入된 3,300越의生고무는 고무工業危機의 救助藥이되어 그는特殊部門 即自動車타이아 自轉車타이아 고무벨트 鐵道用品等을 製造하고있고 고무靴部門에 있어서도 將來原料生고무의繼續入荷를 企待하고있다

(第34表) 解放後의 고무工業生産狀態

種 類	1946年度	1947年度	增減比率
고 靴	2,792,059 足	2,821,240 足	101% 增
運 動 靴	587,659 //	850,154 //	144% //
勞 務 靴	451,920 //	494,425 //	109% //
精米用 고무로-라	9,800 組	12,797 組	130% //
에 야 호 스	無	8,575 本	100% //
自轉車타이아	45,700 本	98,355 本	215% //
//	48,000 //	117,802 //	245% //
고무 벨트	2,360,500 布來	4,165,455 布來	176% //
벨트 { 平型 벨트	2,475,600 //	5,077,468 //	206% //
自動車타이아	7,800 本	6,580 本	16% 減
//  류-부	2,500 //	1,729 //	31% //

(라) 構 寸 工 業

現在南朝鮮에는 近代設備을 有하는工場이 7個所가있고 設備가簡單한關係로 解放後家內工業이簇出하여 製品이粗惡하나 量的으로는 現在南朝鮮需要에 不足은느끼지않고있다 解放前에는 軸木及原料藥品은 北朝鮮과日本에依存하고 있었으나 解放後는原料인 鹽素酸加里工場이 三個所 赤構工場이 一個所創設되어 原料藥品難은 解消되고 下表와如히 1947年度에는 前年の數倍의 生産增加를 示現하여 現生産量은需要量을 越過하고있다

(第35表)

1946年	小 德	8,785,486 厘
	1,886,240 //	
1947年1月	小 德	4,060,000 //
	1,052,000 //	
2	小 德	4,060,000 //
	1,052,000 //	
3	小 德	4,090,000 //
	1,052,000 //	
4	小 德	4,060,000 //
	1,051,000 //	
5	小 德	4,075,000 //
	1,052,000 //	
6	小 德	4,060,000 //
	1,051,000 //	

(마) 火 藥 工 業

金及一般金屬鑛山의 開發과 土木事業의 振興에 順應하여 火藥의需要가 増大된것이나 現在南朝鮮에는 仁川火藥工場이 有은뿐이다

該工場은 1947年10月後에 操業하여 무궁화第二號를月産20越生産하고있으나 그價格은 外國品에比하여 約十倍나된다 그의生産能力은 月産50越이다

(바) 카-바이트工業

南朝鮮에唯一한 大規模의工場으로서 三沙龍三化學工場이

있으나 解放後機械部屬品의老朽 破壞로 因하여 休業中이든바 그後一部復舊하여 1947年 2月부터 操業을開始하여 同年度에 3,820越을生産하고있으나 需要의大不足을苦하고있다

카-바이트生産에는 多量의電力을 需要하는것이나 電力不足이 隘路가되어 現在는休業狀態이다

(사) 皮 革 工 業

解放前南朝鮮에는 朝鮮皮革을 爲始로하여 合計7工場이 있었던것이나牛皮의主原産地인 北朝鮮과分離되고 있었음에도不拘하고 解放後 原皮統制의自然解除과 皮革製品需要의 激增 解放後 農牛의大量屠殺로因한 原皮의多量流出 工場設備及技術이簡素한것等의理由로 群小手工業工場이 簇出하여 工場數는 100餘個所에 達한적도있었다는 現象을 出現하여 一時活氣를 띠은적도있으나 原料供給地인 北朝鮮으로부터의原料供給杜絶과 投機業者等에依한 原皮의買占 價情 畜産資源의 激減으로基因한 原皮의供給不足 屠殺制限 各道單位로하는 原皮의統制等에다가 養牛難이加重하여 1947年8月末 現在에는 이미25個工場으로激減되었다 特히現南朝鮮農家에서必要한農牛는 約100萬頭이나 現在頭數는 그牛數에 對照하지못한다는 畜牛의絕對的不足과 最近에는燃料難 電力不足 등의隘路로 日復日麻痺되어가고있다

이리하여 解放前의牛皮年生産量은 27萬枚乃至30萬枚이었던것이 1947年度에는 甲皮71,850坪 底皮 76,000枚를 生産하였을뿐이다

(아) 燃 料 工 業

燃料工業은 原料型工業인故로 그存立과發展은原料獲得難易에 左右되는것이다 現南朝鮮에는 原料有煙炭의 生産이殆無하며 無煙炭은豊富한埋藏量을有하고있으나 開發이積極化되지못하여 採炭量은值少하다 解放後의煉炭工業은 各炭鑛에貯炭이殘存하였던 1947年6月까지는 月産約2萬越을生産하였으나 1947年7月以後에는 原炭不足으로 生産이激減되고있다 (第36表)

1946年 8月	20,000 越	1947年 3月	20,000 越
9月	20,000 //	4月	25,000 //
10月	20,000 //	5月	20,000 //
11月	20,000 //	6月	20,000 //
12月	25,000 //	7月	12,000 //
1947年 1月	25,000 //	8月	11,000 //
2月	25,000 //		

石炭乾餾工業은日本으로부터 少量의有煙炭을輸入하여 部分的인生産에當하고 最近에는 月産約1千4百越을生産하고있으나 이는需要量의25%程度이다 酒精工業은 南朝鮮에7個工場이나있으며 年生産能力은 6萬石에達하며 濟州道를爲始로하여 原料를豊富히有하고있으나 資金難 食糧不足等의理由로 原料收集이되지못하여 1946年度의 350石 1947年度 3,900石의生産에不過하다

(자) 製 紙 工 業

從來主要製紙工場이原料關係로 北朝鮮에偏在되었었고 南朝鮮에는 小規模의機械抄紙工場이 14個所있을뿐이었다 더욱이南朝鮮에는 化學판프工場이殆無함으로 그나나原料는北朝鮮에依存하여왔던것이나 그가杜絶되자 解放後原料供給은 廢紙回收의最近에는 稻藁를混用하여 再生製紙를生産하고있으나그도原料缺乏과機械故障으로 極히不振한生産狀態이다

即南朝鮮製紙工業은 機械抄紙生産力에 있어서 年 8,200 萬封度이나 1946년에 8,056千封度1947년에 6,688千封度の生産으로生産館內의 10分之1에達하지못하고 朝鮮紙는生産館



力75萬封度이나 1947년에 40萬封度を生産하여 生産全能力의半을多少超過한데不過하다

(第37表) 製紙工業生産實績表 (單位封度)

名	生産能力	1946年度	1947年度
機械抄紙	82,000,000	8,056,010	6,688,251
朝鮮紙	750,000	—	400,000
化學 pulp	7,200,000	—	—
稻藁 pulp	6,720,000	—	—
碎木 pulp	16,000,000	—	1,000,000

然이나 現南朝鮮의一年間必要量은 約 7,000 萬封度인데 生産은 約 800 萬封度임으로 6,200 萬封度 即必要量の約 90%가 不足한것이며 마카오貿易에서도 紙類가 重要對象이 되고 있다  
 南朝鮮必要數量 7,000 萬封度  
 南朝鮮一年生産量 800 萬封度  
 南朝鮮內供給不足量 6,200 萬封度  
 外國輸入量

### 5. 窯 業

朝鮮은 石灰石 粘土 陶土等原料의 國內貯存이 豊富하고 其品質이 優良하며 또 其製品의 國內需要도 増大된 것임으로 그 發展이 可觀期待되는 바이다 現南朝鮮은 其施設及技術의 缺陷과 燃料不足으로 生産力을 停滯되고 低位生産의 域에서 脫皮치 못하고 있다

#### (가) 세멘트工業

解放前에는 全朝鮮에 七個工場이 있어 最高 160萬噸 (1942年) 의 生産實績이 有하며 年々 生産過剩으로 日本 滿洲等地에 輸出하고 있었는 것이나 現南朝鮮에는 三陟 세멘트가 唯一한 工場으로 되어 있다 그도 1942년에는 約 43萬噸의 生産實績을 記錄하였으나 機械設備及 部屬品의 老朽와 附屬施設不備으로 하여 1946年度에는 1월부터 10월까지 9,678 噸을 僅々히 生産해오다가 그나마 機械設備의 故障으로 1947年 7월까지 作業中止였는 것이 今年 8월부터 開始하여 10월까지 最高 月産 6千 噸을 生産하고 있었는 것이나 最近에는 電力不足으로 再次 休止狀態에 있다

(第38表) 세멘트 生産量

1946年 1月	1,816 噸	1947年 8月	6,115 噸
3月	1,869	9月	2,000
6月	510	10月	6,143
7月	130	註自 1946年 11月至 1947年 7月	
8月	1,177	機械故障으로 作業中止	
9月	1,824		
10月	2,252		
合計	9,678		

#### (나) 陶磁器

在來式으로의 家內手工業의 小規模工場은 無數히 亂立되고 供給量도 充分하나 그중 大部分이 下級 飲食器類이고 歷史의 高麗陶磁器의 高名의 製品은 勿論 工業美術品 工業用品으로서의 高級陶磁器 生産은 殆無하다 特別 解放後 硬質陶磁器 工場은 施設, 技術, 燃料, 藥品의 不足으로 生産量은 低下되고 品質의 粗惡함이 甚하다

(第39表) 陶磁器 生産量

1946年	5,000,000 個
1947年	5,350,000 〃

(第40表) 主要陶磁器工場 分布狀況

京畿道	7	慶南	5
慶北	2	忠北	1

忠南	2	全北	1
全南	1	江原	1

#### (다) 硝子工業

國內에는 珪砂 珪砂岩 石灰石 長石等 原料의 埋藏量이 無盡藏이며 그 品質도 優良하다 其他工業에 比하여 諸般設備가 比較的 簡易함과 解放後 歸國한 優秀한 熟練工도 多數임으로 家庭手工業의 小規模工場이 兩從竹筒格으로 增加해왔다 現南朝鮮에 있어서 의 主要工場은 每處 47 個所나 되며 그 大部分은 서울 釜山等에 集中되어 있다

(第41表) 硝子工場 地方別 分布狀況 (1947年 末現在)

서울市	21	全南	1
京畿道	2	全北	2
慶南	8	忠南	2
慶北	1	合計	47

以上의 工場은 永登浦의 東洋유리 釜山의 朝硬質 榮山浦의 朝鮮理化學等을 除外하면 大部分이 家庭工業의 形態이고 그도 古瓶再生工場이다 製品 生産은 板硝子의 月産 約 30 箱 瓶及 食器類 光學硝子 理化學硝子 各種의 月産이 2百 餘 數量이다

現在 曹達灰 棚砂 加里鹽 石灰等의 原料不足에다가 高度良質의 日本有煙炭의 供給이 杜絶狀態이어서 一大暗礁에 逢着하고 있는 現狀이다

#### (第42表) 硝子 生産量

1946年	3,600 箱	1947年	4,000 箱
-------	---------	-------	---------

註 以外에 1947年度에는 板硝子 1,200 箱 光學硝子 100 餘 箱을 生産함

#### (라) 珪瑯鐵器工業

過去에는 對外輸出品으로 優秀한 製品을 生産하여왔는 것이나 解放後 國內에는 原料인 鐵板이 殆無하였음으로 報國코발트 嶺山 生産의 코발트와 美國空軍 廢物을 利用하여 겨우 縮少 生産을 하고 있다

工場으로는 釜山의 東洋珪瑯外 四個所 서울의 善興珪瑯工場이 있어 그 生産高는 下記와 如하다

(第43表) 珪瑯鐵器 生産量

1946年	1,000,000 個
1947年	600,000 〃

#### (마) 鉛筆工業

原料인 黑鉛은 南朝鮮에서 主로 生産되는 것이므로 南朝鮮의 것은 品質不良한데다 技術不足으로 製品은 粗惡하다 現在 南朝鮮에는 大田의 大東亞鉛筆 仁川의 仁川鉛筆 慶南의 朝鮮鉛筆이 있고 그 平均 月産은 3千 枚로써 程度이고 1947년에는 36,000 枚로써 生産하였다

元來 鉛筆工業에는 高級炭을 多量 需要하는 것이나 現南 石灰炭 供給이 少量이며 陸路에 當面하고 있다

#### (바) 耐火煉瓦工業

工場으로는 京畿道에 2個所가 있으나 原料인 耐火粘土의 品質 粗惡으로 製品은 高級品이 못된다 製品 生産은 下記와 如히 解放前보다 激減되고 있으나 現在 需要面에 있어서는 生産過剩狀態이다

(第44表) 耐火煉瓦 生産推移

1937年 月平均	3,466 塊	1947年 1月	350 塊
1946年 8月	2,000 〃	2月	300 〃
	9月	3月	300 〃

10月	550 //	4月	732 //
11月	600 //	5月	695 //
12月	600 //	6月	625 //
		7月	440 //
		8月	415 //
		9月	410 //

1947年 7月	3,554 施
8月	2,973 //

### 6. 電氣工業

朝鮮은 豐富한 電力資源을 有하고 있는 만큼 工業 鐵道 交通 農業等은 勿論 一般生活의 電氣化가 要請되고 있었던 것이며 電氣機械器具의 需要量도 飛躍的으로 增大됨이 期待되는 만큼 그의 國內生産이 至急히 企圖되어야 할 것이나 朝鮮金屬工業의 貧弱性과 日本電氣機械器具의 侵犯으로 말미암아 朝鮮電氣工業의 發展은 妨害되어 왔던 것이나 그리하여 朝鮮電氣工業은 電球工業을 除外하고는 近來에 이르러 비로서 發展의 萌芽가 보이는 程度이다 그도 日本電氣工業의 分工場으로서 一貫作業體制을 具有치 못하게 設立된 것이며 原材料도 大部分을 日本에 依存해 있었다는 등의 跛行性과 貧弱性을 內包하고 있었다 1944年度 現在 主要工場은 日人占有 14個工場과 朝鮮人所有 6個工場이 있었으나 解放後는 主要 電球工業의 小規模工場이 簇出하여 1947年度에는 歸屬工場이 10個工場으로 減少되었음에도 不拘하고 朝鮮人工場은 35個工場으로 增加되고 있다

#### (사) 煉瓦工業

工場數는 南朝鮮에 都合 102 個所나 있어 種類別工場中 第一位를 占하고 또 그는 各道에 亂立되고 있으나 建築土木事業이 進捗되지 못하고 있음으로 製品需要의 激減과 燃料의 不足으로 不振狀況이다

#### (第45表) 煉瓦生産量

1937年 月産平均	18,623 施	1947年 1月	—
1946年 8月	4,286 //	2月	—
9月	5,700 //	3月	—
10月	5,714 //	4月	17,143 施
11月	2,857 //	5月	4,264 //
12月	—	6月	3,996 //

#### (第46表) 電氣工業工場數의 推移

	1944年工場數			1946年度工場數			1947年度工場數		
	敵産	朝鮮人工場	合計	敵産	朝鮮人工場	合計	敵産	朝鮮人工場	合計
變壓器	2	0	2	2	0	2	2	1	3
電動機	2	0	2	2	0	2	2	0	2
電氣計器	0	1	1	0	1	1	0	1	1
蓄電池	1	0	1	1	1	2	1	1	2
乾電池	1	1	2	0	1	1	0	2	2
電線	1	0	1	2	0	2	2	0	2
土項三	1	0	1	1	1	2	1	1	2
電球	4	4	8	3	20	23	2	29	31
電信機	2	0	2	0	0	0	0	0	0
合計	14	6	20	11	24	35	10	35	45

現在 主要工場은 生産品種類別로 列舉하면 下記와 如하

#### (第47表) 主要電氣工業工場一覽表 (1947年末 現在)

會社名	生産製品種類
朝鮮芝浦電氣會社	變壓氣 電動機
三菱電機製作會社	電動機
朝鮮變壓器會社	變壓器
韓光電機製作所	//
起亞電機製作所	電氣計器
湯淺蓄電池製造會社	蓄電池
朝鮮蓄電池會社	/
東洋乾電池製作會社	乾電池
湖南電氣工業會社	/
朝鮮電線會社	電線
東洋電線會社	/
서울메-쿠라이트工業會社	소켓트 스위치
金剛電球會社	電球
松下電器會社	//
朝鮮合同電球會社	//
朝鮮電球會社	//
襄城電球會社	//

以外에 小規模工場이 26 個所 있음

近代的設備을 有하는 工場은 거의 全部가 歸屬工場이며 工産額에 있어서도 約80%以上은 歸屬工場이 占한다 歸屬工場도 設備의 不備과 技術의 貧弱性 原材料供給의 杜絶 老廢設備 電不損等으로 因하여 生産低下를 齎來하고 있다 1946年度의 生産實績을 1944年度의 生産實績에 比較하면 電氣計器 67個 蓄電池 1,758個의 製造品이 새로히 生産되고 소켓트 生産이 約2倍로 增加되었음은 물론이고 其他는 約三分之一로 低下되었던 것이고 1947年度는 1946年度에 比하여 約倍의 生産增加를 示現하고 있으나 同年 現設備 生産能力의 約 22% 에 不遇하다 그도 大部分은 原材料 生産으로부터 完成製品까지의 一貫作業 製品 生産이 아니고 部分品及 材料은 粗立되는 域에서 低送하고 있는 現狀이고 原材料의 供給杜絶로 生産繼繼이 憂慮되며 國內需要에 不足을 告한 것으로 觀測되나 電球及 電線工業은 原材料의 大部分이 國內에서 生産되고 있음으로 高級用을 除外하고는 國內自給自足이 可能한 狀態이다 然而나 電球工業은 現在 31個工場이 있고 原材料 鎔구스 鎔鑛 資源도 比較的 豐富하나 國內 鑄鍊加工이 되지 않기에 鑛石은 輸出하면서 電球鑄鍊을 日本으로부터 輸入하게 하고 있다는 不合理한 事情으로 말미암아 電球工業 生産이 焦慮되고 있다 電線은 東洋電線及 朝鮮電線 兩會社에서 소용原料及 長項鑄鍊所의 生産銅線原料로 生産하고 있으며 特殊品을 除外하고는 國內需要를 充當할 程度로 生産되고 있다

(第48表)

電氣器具生産高

製品名	A	B	C	D	A에對한	B에對한	B에對한
	1944年度 生産	現設備 生産力	1946年度 A	1947年度 D	C의比率 %	C의比率 %	D의比率 %
變壓器	3,501臺	6,840臺	1,745臺	2,672臺	49.0	25.0	39.0
電動機	3,200 //	3,600 //	916 //	950 //	28.0	25.0	26.0
電氣計器	—	33,000個	67個	5,772個	—	0.2	17.0
蓄電池	—	30,000 //	1,758 //	3,444 //	—	5.0	11.0
乾電池	1,600,000個	1,600,000 //	27,400 //	68,724 //	1.7	1.7	4.3
電線	536趟	3,400趟	241趟	639趟	44.0	7.0	18.0
土磚	120,000個	700,000個	253,000個	153,536個	210.0	35.0	22.0
電球	4,490,000 //	11,080,000 //	2,337,000 //	4,606,500 //	52.0	21.0	41.0
平均	—	—	—	—	—	15.0	22.2

7. 纖維工業

朝鮮이 具有하는 自然的 社會的 有利한 條件이 纖維工業發展의 基礎가 되어 日本紡績産業資本의 進出을 基軸으로 하여 急速度로 發展하고 朝鮮近代工業勃興의 先驅로서 尙만이나니라 朝鮮輕工業時代의 代表的地位를 占하고 있었다 朝鮮纖維工業發展의 要素인 自然的 條件이라 함은 第一로 朝鮮은 原料生産에 適合한 風土인 關係로 原料供給量이 豊富한 것 第二는 用水가 豊富하고 그 性質은 同工業에 適應한 것 第三은 動力이 比較的 低廉하며 豊富한 것 第四는 朝鮮의 地理的 條件은 纖維品大量需要地인 中國 滿洲等에 近接하여 있는 것 等이다 特別原料가 下記表와 如히 多量生産되고 있었다는 것은 次記 勞働力問題와 아울러 內的 條件의 重要部分을 構成한다

(第49表)

纖維原料生産高

		1940—1944年平均
棉	花	177,568 千斤
大	麻	3,612 //
産	繭	4,608 千貫

即 第五條件은 勞働力이 豊富하고 低廉하며 特別朝鮮女子는 紡績工業에 對한 先天的 優秀性을 有하고 있는 것이나 其中에서도 豊富한 過剩勞働力은 低賃金을 基盤으로 하여 利潤의 增大와 資本의 增殖을 目的으로 하는 日本紡績工業의 進出을 促進케 하였다 纖維工業은 豊富한 過剩勞働力의 潛在的 供給源泉 特別 副業或은 出稼勞働力인 女工勞働力의 不絶한 供給地를 必要로 하는 것이며 그리하여 同工業發展은 農村의 特殊한 前資本主義的 生産關係의 存在와 勞働力을 媒介로 하는 農村家計와 的 有機關의 紐帶를 前提로 하는 것이나 朝鮮은 半封建的 零細小農制이 된 것이나 家計補充의 인 過剩勞働力의 流出을 齎來하고 있었던 것이므로 이미 帝國主義段階로 轉化한 滿洲지대 國內市場形成의 狹隘로 纖維製品의 販賣市場을 要求하고 있던 日本은 朝鮮에 商品市場化를企圖하는 同時에 纖維産業資本을 移殖하

(第51表)

規模別工産額比重 (工産額單位千圓) (1939年現在)

	小工業	比率	中工業	比率	大工業	比率	合計	比率
工場數	412	68.0%	153	25.0%	43	7.0%	608	100%
職工數	4,958	11.0%	10,508	22.0%	31,918	67.0%	47,384	100%
工産額	9,239	5.9%	13,051	8.3%	133,840	85.8%	156,130	100%

그러하여 朝鮮의 近代의 設備을 有하는 紡績工場은 數個工場을 除外하고는 그의 大部分이 日本紡績資本에 屬占되어 其의 支社格으로 資本 技術 生産手段等을 移殖하여 發展成長한 것임으로 全로 獨立性이 缺如되어 있었다 即 機械設備을 爲 始로 하여 機械附屬品과 精練 漂白 染色 整理 加工等에 必要

한 其의 隆昌을 期하게 하였던 것이나 朝鮮의 纖維工業發展은 所謂 滿洲專變以後 飛躍의 頂點으로 增大하여 工産額은 1932年度에 3百萬圓이었던 것이 1943年度에는 345百萬圓이여 不過 10餘年間에 約 10倍로 増進되고 全工産額에 對한 比率도 1947年度에는 16.8%에 達한 것 과 같이 其比重이 高位이며 軍需或은 日本에 的食糧供給을 目的으로 한 化學工業과 食品工業을 除外하고는 他工業部門을 壓倒의 으로 凌駕하고 있었다 이다

(第50表)

紡績工業工産額의 推移

年次	工産額	工産額全體에對한比率
1932年	30,798 千圓	10.5%
1934	49,680 //	11.4%
1937	122,742 //	12.9%
1939	201,351 //	13.4%
1941	285,578 //	13.5%
1942	313,327 //	16.8%
1943	345,000 //	16.8%

工場數及職工數도 急速의 增加를 齎來하여 1939年度에 前者는 608個工場 後者는 47千餘名에 達하고 特別生産의 集積과 勞務者의 集中은 高度化하여 全工場數의 7%에 不過한 大工場이 全職工의 87% 全生産額의 約 86%를 차지하고 있었다 工場規模의 大小가 設備의 大小를 表示하는 指表라 하면 朝鮮紡績工業의 設備도 巨大함을 表示한다 同時에 設備의 巨大性은 一般의 所以 勞働의 能率의 인 것을 表示한다 朝鮮紡績工業의 勞働生産性도 高度化하였다는 것을 測定할 수 있다 事實紡績工業의 王이라 고 公認된 英國을 驅逐하여 世界制覇을 하였던 日本의 紡績工場은 經營이 顯著히 合理化되고 있었다 이다 朝鮮에 移殖된 大紡績工場의 機械設備은 日本의 가장 新銳한 것이었으며 技術도 그들의 多年의 經驗으로서 案出된 것이었으므로 能率의 인 大量生産性은 他中小工場及 土着工業의 追從을 容許치 아니하였던 것이다

한 染料 助劑 各種工業藥品 特殊化學製品等의 大部分을 日本에 依存케 하였던 것이나 正 纖維品의 國內需供給狀態를 보면 總織物이 自給自足에 指向하고 있었음은 其外의 織物에 對하여는 朝鮮人需要量의 日本에 的 依存度는 甚大하였던 것이나 即 1942年度의 纖維品國內自給率을 보면 總織物이 96%이고

人絹交織物44% 麻織物138% 絹織物13% 毛織物은 國內生産이 皆無이며 그全部를 日本에의依存은 不可避하게 하고있었다 이는 다시말하면 瓦度向上에따라 纖維品需要

(第52表)

衣料需給狀況 (單位 1,000平方碼)

年次	絹織物		麻織物		人絹交織物		毛織物		合計			
	消費高	自給率	消費高	自給率	消費高	自給率	消費高	自給率	消費高	自給率		
1936	282,654	55	16,896	43	17,844	26	23,200	65	9,679	0	350,273	53
1937	232,422	87	14,480	47	17,169	38	25,414	67	7,334	0	296,819	82
1938	215,619	105	—	33	22,184	10	16,861	78	8,323	0	—	—
1939	166,987	114	35,861	23	24,796	16	19,013	92	6,883	0	253,540	86
1940	129,756	114	30,376	23	31,239	34	17,506	94	4,737	0	213,614	85
1941	139,749	100	54,543	14	60,418	19	19,648	82	6,103	0	280,461	62
1942	88,262	96	74,191	13	46,371	44	26,505	38	7,690	0	243,019	54

이는 對日本依存性을 下記表로 보면 더욱明白하게 될것이다 이리하여 日本紡績資本은 朝鮮을 投資에 隨伴하는 利潤으로

(第53表)

主要織物の對日依存性 (單位 1,000平方碼)

種目	1941年		1942年		1941—1942年平均		合計	合計에對한 B의比率
	朝鮮産	自日本輸入	朝鮮産	自日本輸入	朝鮮産	自日本輸入		
絹織物	1,365	48,118	8,671	67,367	5,018	57,742	62,760	92%
絹交織物	12,345	49,110	16,531	25,923	14,438	37,516	51,954	75%
人絹織物	23,296	23,960	19,395	31,220	21,345	27,590	48,935	56%
平織物	—	6,757	—	3,851	—	5,304	5,304	100%
麻織物	137,143	2,928	79,495	4,778	108,319	3,853	112,172	3%
麻織物	3,376	3,792	6,413	7,557	4,894	5,674	10,568	53%
毛織物	—	6,119	—	7,671	—	6,896	6,896	100%
其他交織物	3,216	—	3,441	—	3,328	—	3,328	0
其他織物	605	1,064	553	715	579	890	1,469	60%
合計	181,346	141,848	134,499	149,082	157,921	145,465	303,386	—

또 이러한莫大한 數量的完成商品인 織物을 日本으로부터輸入하면서 原料는 國內에서 製品化되지 못하고 對日輸出이 減少되어있는 1942年度에 있어서 練綿2,048千斤 棉絲1,426千斤 繭572千斤 生絲307千斤 麻 17,594千斤 計 21,947千斤을 日本에 供給하여 其의 製品은 再輸入하고있었다

(第54表) 對日纖維工業原料供給量

1942年現在 (單位 千斤)

種類	移出	移入	差引移出
練綿	2,062	14	2,048
棉絲	1,426	—	1,426
繭	581	9	572
生絲	307	—	307
麻	17,884	290	17,594
計	22,260	313	21,947

이와같이 不具的發展으로 終始한 纖維工業界는 解放後 戰時의 企業整備로 退却되었은 機械設備의 金場에 依한 中小工場의 復活과 大工場의 增設 小規模工場의 簇出을 보아 纖維工場은 擴大化하여 棉紡績工場은 紡績機 14,728臺 力織機 105臺 絹織工場은 力織機 1,736臺 手織機 390臺가 增加되었다

(第55表) 主要紡績工業의 設備內容

種類	解放直前		1947年末現在	
	設備	臺數	臺數	增減
棉紡績	紡績機	238,760臺	253,488臺	14,728臺
	力織機	8,512臺	8,617臺	105臺

는 棉布로부터 人絹或은 交織 毛織物으로 變化하는 것이 自然趨勢이나 이러한 高級織物의 自給率은 極히 貧弱하였은 것이다

擄取하면서 他面으로는 日本織物의 商品市場化하여 二重의 利潤을 擄取하고 高度紡績業을 制約하고있었다

麻紡績	紡績機	9,600臺	9,600臺	—
	力織機	70臺	70臺	—
絹織	力織機	6,269臺	8,005臺	1,736臺
	足踏機	841臺	770臺	△134臺
	手織機	2,461臺	2,851臺	390臺
毛紡績	紡績機	2,060臺	4,000臺	1,940臺
	力織機	65臺	85臺	20臺
再生紡	紡績機	40,000臺	40,000臺	—
	力織機	157臺	157臺	—
莫大小	手廻機	1,624臺	1,160臺	△464臺
	自動機	767臺	1,041臺	274臺
	杼甲機	1,412臺	1,112臺	—
	橫機	584臺	1,332臺	748臺
	巾機	209臺	212臺	3臺
	卷丸機	73臺	167臺	94臺

以外에도 建設途中인 多量의 機械設備을 擁하고있을뿐만 아니라 原料生産地이며 同時에 過剩勞働力을 有하고있음에 不拘하고 解放前부터 內包하고있은 內的要因과 解放後加頂한 諸般隘路로 豫想以上의 深刻한 難局에 處하여있다

現有機械設備中에는 老朽된 것이 許多하며 多種多數의 部品이 必要한 것이나 從來그는 全部日本에 依存해하고있음으로 그의 補修及 補給이 不可能한 狀態이다 潤滑油外 重要藥品도 日本等外國에 依存한 것이나 그의 輸入이 杜絶되어있고 高級技術을 要하는 部門은 日本人이 擔當하여왔은 것이므로 技術不足을 告하고있다

總上加算으로 三八線의 兩隣는 燃料及 動力의 供給을 制約하고있다 以上은 解放과 同時에 宿命的으로 露面한 隘路이나 現纖維工業界의 不振을 查來한 根本的原因은 原料勞務者의 間

類이다 從來原料는 前記한바와같이 多量을 日本에 輸出하고 棉花等은 軍需用으로 供給하면서 經營을 維持하는 實績을 有하고 있음에도 不拘하고 原料 收集政策의 矛盾으로 解放後原料 生産은 激減되고 收集은 總體失敗하여 1946年度의 棉花 生産量은 95,900千斤이나 이는 1944年度 南朝鮮의 生産量 223,163千斤에 比하면 約 43%이며 1946年度의 收集量은 3,695千斤이나 全年 生産量의 4%에 達하지 못하였다 生産亦是 1946年

度의 生産量은 1,560千貫이나 1944年度 生産量 2,426千貫에 比하여 64%에 不達하며 1946年度의 收集量은 568千貫으로 生産量의 約 37%이고 大抵로 1946年度 生産量은 1,357千貫이나 이는 1944年度의 生産實績 3,841千貫에 比하면 約 35%이다 1947年度는 生産量及 收集量 共히 多少의 增加를 示하였으나 前年과 大同小異하다

(第56表) 朝鮮 産棉花 使用內容 (單位實)

年 別	共販高買上數量	使 用 內 容				
		日 陸 軍	日 海 軍	日 本 搬 出	一 其 他 雜 品 用	工 場 用
1940年	2,840,000	482,294	—	—	—	—
1941年	4,500,000	720,000	270,000	2,050,000	88,300	1,376,826
1942年	3,500,000	1,461,683	140,000	200,000	390,000	1,317,971
1943年	4,715,000	1,120,000	600,000	800,000	60,000	1,736,000

(第57表) 主要纖維原料의 南朝鮮 生産及 收集實績表

種 類	1944年度	1946年度	1947年度	1944년에 對한 1946年의 比率	
				1944年度	1946年度
棉花	A 223,163千斤	59,900千斤	?	43%	—
	B —	4,692 //	?	—	—
生 蔴	A 2,426千貫	1,560千貫	1,685千貫	64%	//
	B —	568 //	572 //	—	//
大 蔴	A 3,841 //	1,357 //	1,358 //	35%	//
	B —	//	//	—	//

註 A...生産量 B...收集量

麻 絲 綢	2,880	230	545	8
麻 織 物 千平方碼	3,080	148	658	5
毛 織 物 千平方碼	—	78	172	—
平 均	—	—	—	15

8. 食料品工業

同工業은 日本에 의 食料品供給과 朝鮮에 居住하든 日本人의 需要에 照應하여 朝鮮의 豐富한 原料와 低廉한 勞賃을 基盤으로 일찍부터 發達되었던 것이다 故하여 軍需重點工業을 除外하고는 生産額工場數及 職工數等 工業構成上 最有力한 地位를 占하고 있었는것이나 그는 量의 擴大에 重置하여 指向하고 있었음으로 生産樣式經營規模等에 있어서는 他新興工業에 比할수 없을만큼 劣勢이고 그의 近代化와 發展은 極히 緩慢하였다 同工場數의 90%는 30人以下의 小規模工場이 占하고 大工場은 겨우 1%이었다 工産額亦是 94%는 中小工場의 生産額인 것이었다

食料品工業規模別生産額及工場數의比率對照表

種類別	(第59表) (1940年現在)			合計
	小工業	中工業	大工業	
工産額	41%	53%	6%	100%
工場數	90%	9%	1%	100%

이 中小規模의 工場은 戰時中에 所謂平和産業整備政策에 依하여 大部分이 犧牲産業으로서 廢落者로 化하였으나 解放後 一般需要에 呼應하여 再生簇을 出몰았다

(가) 精米工業

日本에 對한 米穀輸出을 目的으로 한 産米朝鮮을 反映하고 일찍이 發達하여 朝鮮工業을 代表하여 왔는것이다 1931년에는 이미 2,137工場이 23,000馬力의 動力을 使用하여 530萬石의 生産을 하였고 또 1940年度의 朝鮮의 總工場數 7,142個所中 精米工場은 1,500個所로 絕對의 首位를 占하고 있었는것으로 明白한 것과 같이 其地位는 壓倒的이었다 그는 到處米産地及 策源地에 分布하여 對日輸出米穀의 收集機關의 性格을 兼하여 隆昌하였는것이다 戰時에는 企業整備로 工場은 整理同되어 工數는 減少되고 特히 1943年度以後에는 當時의 食糧營團에 統合運營되어 왔었다 解放以後에 輸出米의 停止와 國內消費의 激增으로 生産地附近에 家內工業의 小規模工場이 各地에 簇出하여 其數는 3百餘個所에 達하고 있다 自家搗米가 盛旺함으로 營團의 運營工場은 收集米만을 搗米하고 있다 最近에는 電力不足으로 搗米는 順調을 지 못하여 配給米供給이 憂慮된다는 現狀이나 原料의 國內生産이 豐富한만큼 他工業에 比하여 比較的 順調으로 運營을 持續하고 있으며 將來에 도 別無變動일 것이다

이와 같이 原料 生産이 激減되고 收集이 不振이었으며 他로부터의 原料 補給은 1947年 7月까지에 外國棉 3萬 2千 餘의 輸入이 있었을뿐이었다 反面 國內 生産의 生絲는 1948年 1月까지에 1,123 貫을 外國에 輸出하여 國內에서 完成商品化하지 못하고 있음으로 織物工業의 原料難을 加重하고 있다 加之하여 生活難에 基因하는 勞務者의 頻繁한 移動은 隘路를 加重하고 있다.

解放以後의 纖維工業 生産狀況을 1941年度의 實績에 對比하여 보면 下記表와 如히 1946년에는 少産의 毛織物이 새로이 生産되었을뿐이고 棉絲 17% 綿布 21% 絹入絹織物 15% 蔴絲 25% 蔴絲 8% 蔴織物 5% 등 各其 生産이 急落하여 平均 生産量의 比率는 15%에 不達한 狀態이다 現南朝鮮의 纖維工業中 가장 朝鮮人 日常生活과 密接한 關係에 있는 棉布及 絹入絹織物만은 南朝鮮人 口數 2千萬名으로 假定하여 一人當 平均 年 生産量을 算出하여 보면 前者는 1.4平方碼 後者는 0.38平方碼이나 外國으로부터의 輸入이 杜絶된 現狀에서는 이는 同時에 一人當 平均 消費量으로 될 것이다 그러나 前者의 一人當 一年 平均 消費量은 1936年度에는 12平方碼이었으며 綿織物 消費은 極端의 으로 制限하든 1942年度에도 3平方碼이었으나 1946年度에는 1.4平方碼에 不達하고 絹入絹織物도 1936年度에는 一人當 一年 平均 消費量이 5.4平方碼 1938年度에 8平方碼이었던 것이 1946年度는 0.38平方碼에 達하지 못한다 1947年度의 生産도 前年과 別無差異이나 現南朝鮮이 纖維工業 生産低下로 因한 衣類飢饉이 如何히 酷甚한가를 可히 斟酌할수 있다

(第58表) 南朝鮮의 纖維工業 製品 生産實績表

種 類	單 位	A	B	C	A에 對한 B의 比率 %
		1941年 度 生産	1946年 度 生産	1947年 度 生産	
棉 絲 綢		161,385	28,520	31,129	17
棉 布	千平方碼	129,543	28,000	33,189	21
絹入絹織物	//	49,786	7,566	5,395	15
蔴	絲 貫	317,090	81,088	—	25

(나) 製粉工業

朝鮮에는 製粉原料인 小麥이 多量生産되고 있고 背後에는 滿洲 蒙古等의 大量消費市場에 接近하여 있음으로 解放前에는 近代의 設備을 有하는 工場이 5 個所 이었고 其外에 中小規模의 工場이 10餘個所 以上 이나 되어 解放前의 麥粉生産實績은 約 2,500 千袋 이었다 解放後는 近代의 製粉工場 3 個所 中 1 個工場은 火災로 製粉能力을 喪失하고 있음으로 大韓製粉과 豊國製粉의 2工場이 있을뿐이다 以外에 國產穀物과 輸入穀物의 製粉을 目的으로 家內工業의 小規模工場이 3 百餘個나 出現하여 盛況을 보하고 있으나 外國으로부터의 輸入小麥粉의 汎濫으로 縮小生産을 하고 있다

主要工場의 製粉生産實績은 1946年度에 1,017 千袋 이고 1947年度에는 910 千袋 이었으나 1947年度 生産實績은 大韓製粉及 豊國製粉의 二大工場 生産能力 2,310 千袋의 37% 에 達하지 못 하고 있다

(다) 간장, 된장 製造業

解放前에는 日本人의 增加에 相應하여 發展한 것이며 그 製品은 良質의 多量生産이었음으로 輸入品을 防遏 하였던뿐만 아니라 滿洲等에 까지 輸出하고 있었으나 日本人의 退去로 因한 需要의 激減과 原料不足及 資金難等으로 下記와 같이 生産萎縮 一途를 指向하고 있다 即 1946年度에는 간장 80,783 石 된장 2,000 千貫을 生産하였으나 간장은 生産能力의 65% 된장은 66% 이고 1947年度에는 前者가 生産能力의 12% 인 14,780 石 後者가 33% 인 99,790 貫에 不適當 低調을 보 하고 있다

(第60)表 간장, 된장 生産實績

品名	A	B	C	A에對한	A에對한
	生産 能力	1946年 度生産	1947年 度生産	B의比率	C의比率
간장	123,542	80,783	14,780	65%	12%
된장	3,029,200	2,000,000	99,790	66%	33%

(르) 釀造工業

原料가 豊富하고 特別朝鮮米은 釀造米으로서의 適合性을 具有하고 있는 것 釀造期間이 長期에 亙하는 것 氣候 水質等의 適合한 것等의 有利한 條件을 具備하고 있음으로 解放前에 있어서

알속이 日本人은 이에 着目하여 發展을 企圖하고 國內需要가 增大됨에 隨伴하여 發展이 促進되었던 것이다 그리하여 麥酒及 高級酒等의 製造는 日人이 獨占하고 燒酎及 朝鮮酒等 低位級種類은 朝鮮人이 生産하게 하였다 其中 麥酒는 國內需要를 充當하고도 外國에 까지 輸出하였다는 實績을 有하고 있고 其外酒類도 國內需要에 對하여 不足을 느끼지 않았었다 解放後는 國內食糧逼迫으로 말미암아 米穀을 原料로 하는 釀造는 大體로 製造禁止되었으나 都陽을 莫論하고 密酒가 盛行하여 工場 釀造조차 公々然히 密酒化한 傾向이 있었음으로 統計의 數字를 計上하기는 困難하다

9. 後 記

朝鮮工業生産力의 增強과 復興을 爲하여는 于先 日本帝國主義가 造成한 害毒을 急速히 清除하여 植民地의 後進性과 踐行性을 克服하는 自主經濟의 建設에 指向할 것이 始點이 되어야 할 것이며 또 그는 現朝鮮工業의 再建에 負荷된 至上命題인 것이다 然而 軍需의 目的으로 肥大한 軍需工業을 適正轉換시킬 것은 勿論이 아니라 全工業의 生産體系를 再編成하고 計劃的인 工業建設의 基本方向을 確立하여야 할 것이다 同時에 各個別經濟가 保有하고 있는 經濟力을 卽資源 資材 勞働力 技術力 資金問題等을 包含한 相互規定性을 有하는 他産業 及 貿易에 亙하여 綜合的인 對策을 樹立하여 自主의 이고 積極的인 實踐이 至急히 要請되는 課題이다 換言하면 現在 休止狀態인 地下資源을 開發하고 地上資源의 生産을 增大를 爲하여 計劃的으로 工業의 原料及 燃料로서 誘導를 導할 것은 勿論 技術者의 養成에 注力하여야 한다

그리고 民族産業資本의 健全한 成長을 阻害하는 商業資金과 外國貿易에 隸屬的인 役割을 하는 買辦資本의 乘地를 剔出한 것은 勿論 金融機關으로부터의 工業資金供給과 關係當局의 生産計劃을 有機的으로 聯結시켜서 物資와 資金의 移動을 並行하도록 하고 工業資金의 商業資金化를 防止하면서 工業資金硬塞의 弊害를 除去하여야 할 것이다 特別 被動的인 現바-러 貿易政策은 正하고 外國商品의 不當한 壓迫에서 朝鮮工業을 保護育成하기 爲하여 外國貿易은 緊急物資 例컨대 工業原料 部分品 資材等에 置重한 限은 더러 原料資材만인 外國輸出을 禁止하여야 할 것이다

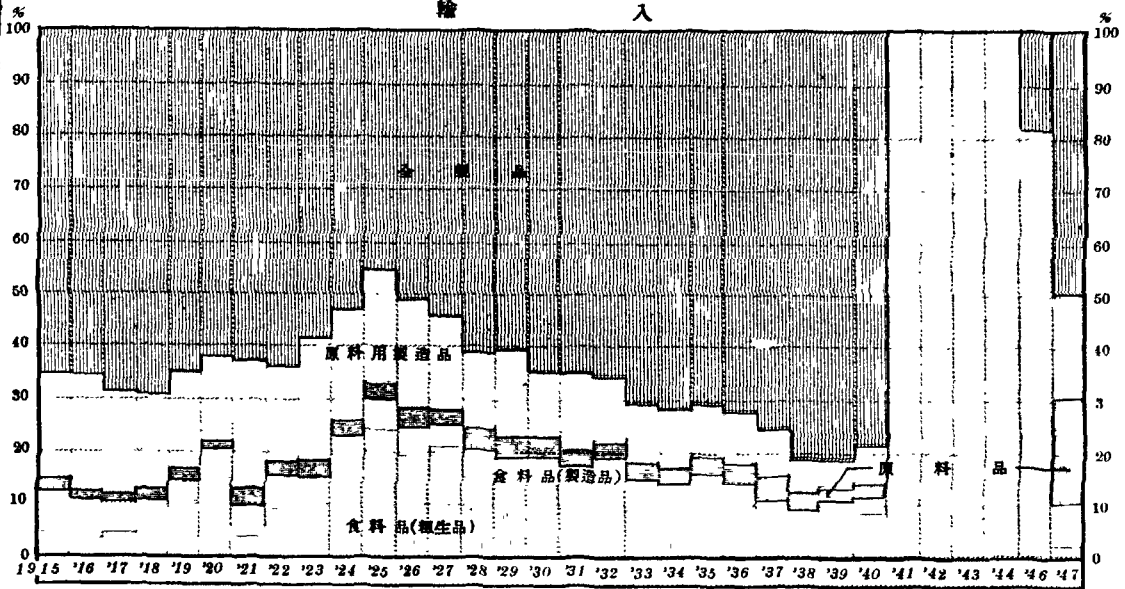
1947年度 家具及雜品 生産高

家具		雜品	
竹製	422,000點	陶器	5,350,000點
刺繡品	50,000〃	電球	4,976,675個
什器	436,000〃	土器	24,000,000點
漆器	86,800〃	炸燭	10,300箱
金屬工藝品	5,600,000〃	拂子	12,700越
毛氈	4,500〃	窓유리	1,200箱
		魚網	267,400封度
		鉛筆	36,000코르크
		모-트	987,400封度
		波經機	100台
		노-트	120,500,000帖
		送風機	8,000台

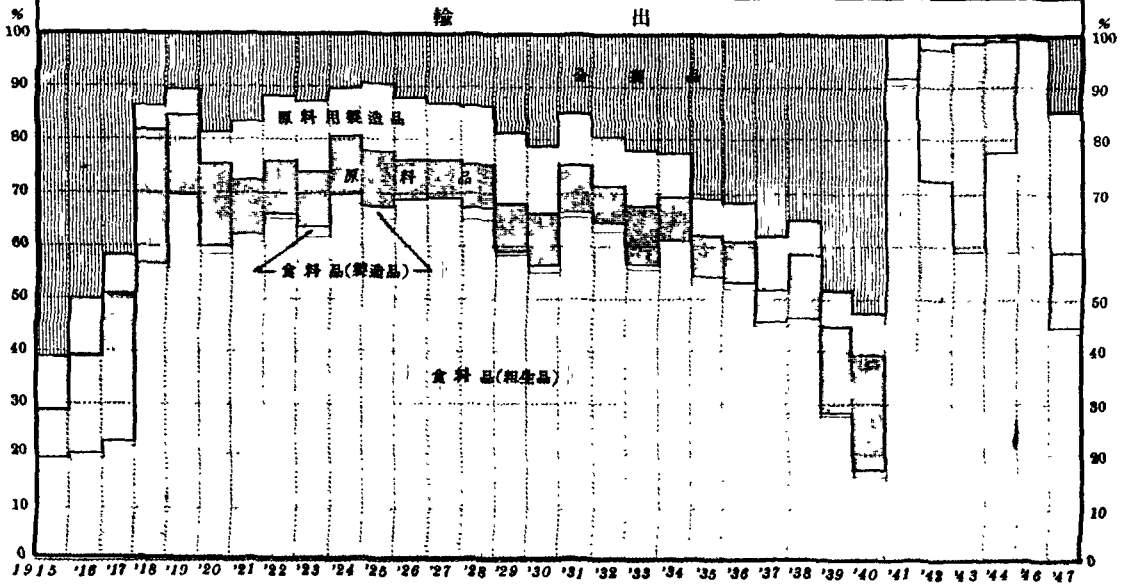
# 類別輸出入品比率表

1915—1947

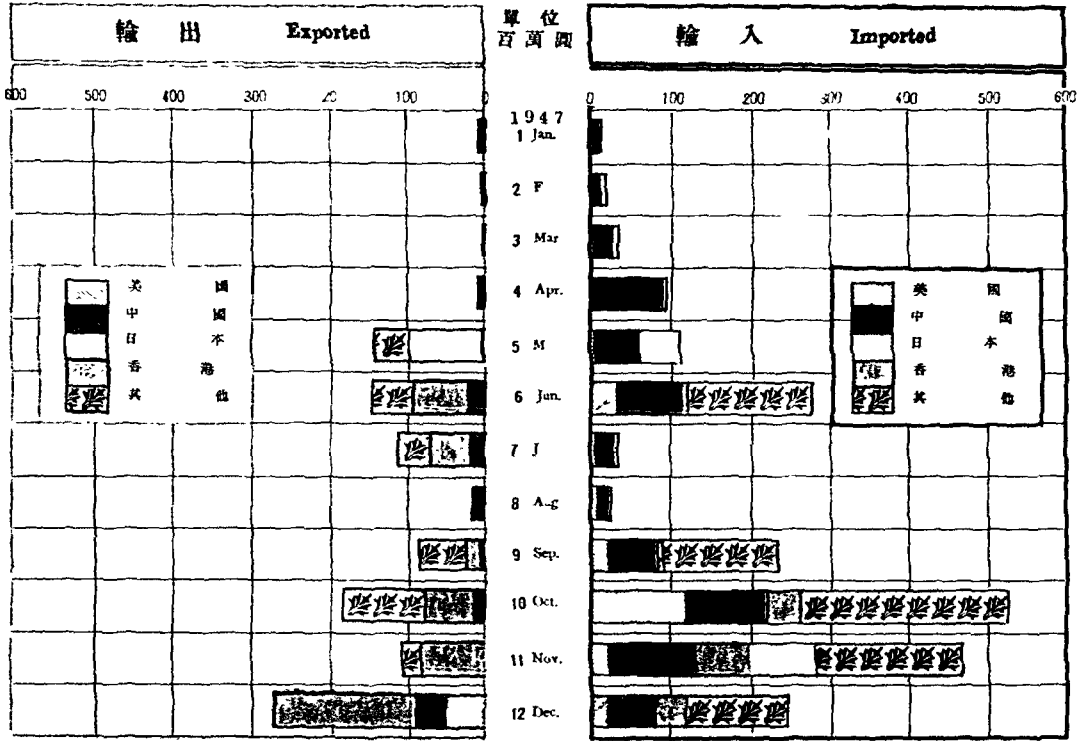
輸 入



輸 出



# 國 別 輸 入 出 品 額 高 表

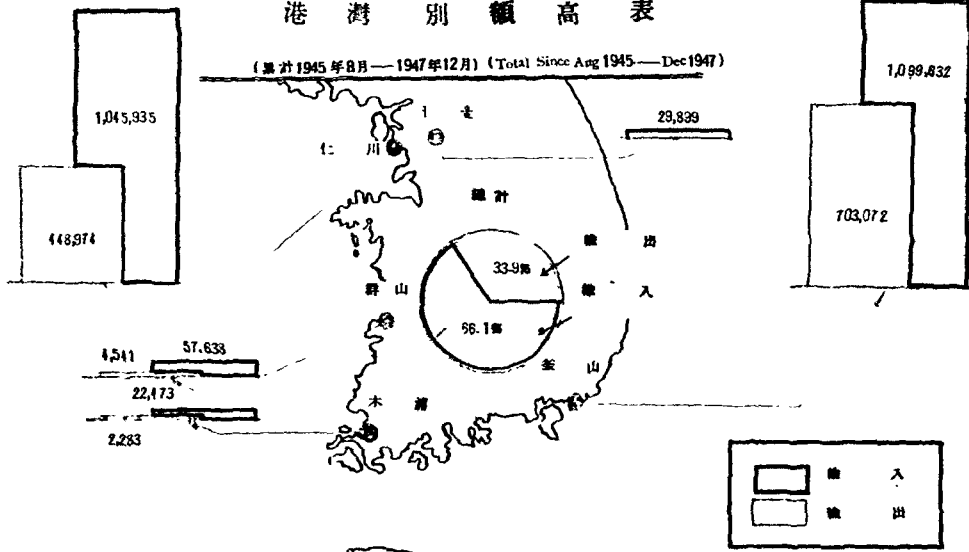


單 位 千 圓

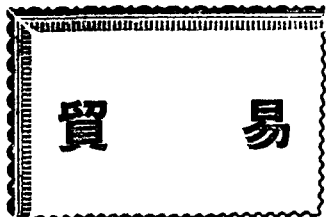
總 計

## 港 灣 別 額 高 表

(總計 1945年8月—1947年12月) (Total Since Aug 1945—Dec 1947)







1. 解放前의朝鮮貿易의一般의特徵
2. 解放後의南朝鮮貿易의一般의特徵
3. 南朝鮮貿易政策의推移
  - (1) 法令及統制
  - (2) 關稅政策

4. 南朝鮮貿易의構成
  - (1) 取扱別貿易構成
  - (2) 商品別貿易構成
  - (3) 地域別貿易構成
  - (4) 港灣別貿易構成
5. 回顧와展望  
附國際貿易場總章

### 1. 解放前의朝鮮貿易의一般의特徵

#### (1) 緒言

朝鮮의近代貿易의始初는 1876年2月 江華島砲擊事件을 契機로하여 日本帝國主義가 李朝와強壓의으로締結한 「江華條約」에依하여 歷史的인 契機를 得되던 그때부터였다 江華條約은 또한 朝鮮의近代化의契機와 刺戟을 주었다는點과 近代資本主義의 世界征服의 一環으로써 起된 日本帝國主義侵略의 契機를 받은點에서 重要한 歷史的인 因인 것이었다

이리하여 朝鮮의對外的貿易에對한 이니지야를 獲得한 日本은 1945年8月15日 敗亡의그날까지 完全히朝鮮의貿易을 獨占하였던 것이다 江華條約以後 美中이 1832年에 英日이 1883年에 露伊가 1884年에 佛이 1896年에 奧地利가 1892年에 그리고 1901年에는 白耳義等諸國이 各々 朝鮮과 通商條約을締結하여 商館을 設置하고 強大國의威嚇과 威嚇을 가치고 日本과對抗하였으나 日本의優勢에 對步하지 않을 수 없었던 것이다 그리하여 日本이 1893年에는 中國과 1904年에는 露國과의戰爭에서 各々 勝利함으로써 더욱 그地位는 鞏固한 것이 되었고 1910年8月에 이르러 所謂 韓日合條約을 強制함으로써 朝鮮貿易은 完全히 日帝의 손아귀에 들어가 버렸던 것이며 朝鮮을 植民地化함으로써 日本은 그들의 資本主義發展에 있어서 決定的인 利益을 가지게 되었던 것이다 그것은 朝鮮貿易의 對日依存度 貿易品의 構成面을 分析하여 보므로 充分한 것이다

解放前의 朝鮮貿易은 對日貿易의 分析으로써 그本質을 把握할 수 있으며 그것은 또다시 日本帝國主義의 對朝鮮擄取의 本質과 諸般特殊의 形相을 그대로 說明하는 것이 되는 것이다 다음에 表示하는 諸分析表는 這問의 事實을 證明하는 것이며 그年代에 있어서 1910年은 朝鮮이 日帝에 併合되는 歷史的인 契機의 때이며 5年後인 1915年은 第一次世界大戰이 開始된 그週年인데 同年에 비로소 大戰으로써 因한 對景氣의 影響이 朝鮮에도 反映된 때이다 그리고 15年後인 1930年은 全世界를 風靡한 恐慌이 朝鮮에도 反映된 때이며 1939年은 過去에 있어서 朝鮮貿易의 最高額을 示現한 重要한 諸年代임으로써 主要引用하기로 하는 바이다

(第1表) 解放前朝鮮貿易實績表 (單位千圓)

	1910年		1933年		1939年	
	比率	比率	比率	比率	比率	比率
原料品	3,818	19.2	51,802	13.7	175,797	17.4
原料用製品	110	0.6	50,316	16.6	249,521	24.7
食料粗製品	13,229	66.5	200,547	54.4	263,074	26.1
// 精製品	24	0.1	12,633	3.4	37,876	3.7
完製品	659	3.3	32,133	8.7	226,671	22.6
雜品	1,856	9.3	20,392	5.5	50,509	5.2

再輸出品	213	1.0	793	0.2	3,339	0.3
合計	19,909	100	368,621	100	1,606,787	100

#### 2. 輸 入

	1910年		1933年		1939年	
	比率	比率	比率	比率	比率	比率
原料品	4,162	19.4	43,644	10.7	178,730	12.9
原料用製品	4,864	10.2	54,719	13.5	194,008	14.0
食料粗製品	1,336	3.3	34,249	7.1	117,557	8.5
食料精製品	4,427	11.3	25,916	6.4	65,660	4.7
完製品	22,400	56.3	224,533	55.3	770,000	55.4
再輸入品	3,358	8.5	18,870	4.6	57,963	4.2
合計	42	—	2,249	0.5	4,524	0.3
合計	39,789	100	404,180	100	1,388,442	100

註 完製品이라함은 雜貨, 機械類, 布帛及同製品, 金屬製品, 車輛, 船舶等이다

#### (2) 貿易의構成

解放前의朝鮮貿易을 商品類別로 分析하여 보면 第1表에서 보는바와같이 輸出에 있어서 原料品 半製品等이 壓倒的으로 그比率이 높고 完製品이 食料精製品을 合하여도 겨우 一割을 若干 넘을 程度라는 것이다. 表에서는 1939年에 있어서 全製品의 輸出이 22.4%를 示하고 있으나 事實에 있어서는 日本産品을 中繼輸出한데 不遜한 것이다 그것은 1939年의 輸出에 있어서 對日貿易을 除外한 貿易에 있어서 全輸出品의 産地別比率을 보면 朝鮮産이 約58% 日本産이 約49% 其他外國産이 約1%로 되어 있으며 其中에도 完製品은 約70%乃至80%를 日本産이 차지하고 있는 것을 보면 單純한 中繼貿易이고 決로 朝鮮産業의 正常的發展에서 나온 것이 아님을 理解할 수가 있다

以上과 같은 貿易品의 構成內容은 朝鮮의 産業構成과 그水準을 窺知하기에 充分한 것이다

輸出一解放前 輸出品에 있어서 農産物의 地位는 바로 朝鮮의 諸經濟産業의 後進性을 說明하는 것이다 1893년부터 10年間 即 1902년까지의 輸出品構成에 있어 米穀을 中心으로 하여 人蔘, 棉花, 生牛等의 農産物의 輸出은 88%乃至94%로 增加하였다 그들 日本人은 이러한 農産物을 集荷하는데 朝鮮商人의 손은 거치지 않고 直接 朝鮮農民의 窮乏之期를 利用하여 그들에게 農産物의 優先的 買受條件으로 高利貸金等을 兼營함으로써 一舉兩得의 利得을 獨占하였던 것이다 이리하여 그들은 1910年以後에는 多角의 獨攬取하기 시작하여 如前히 農産物이 首位를 占하였으나 그內容은 煙草, 穀類半製品 藥材等이 附加되었으며 水産物, 林産物等이 登場하였고 金屬을 中心으로 한 鐵産物의 輸出 또한 莫大한 것이었다 이러한 原材料의 比重이 輸出品의 80%以上을 차지하고 있는 것은 解放前의 朝鮮輸出貿易의 特徵인 것이다

輸入—日本帝國主義의 植民地으로써의 朝鮮은 그輸入에 있어서 斷然 完製品의 輸入이 始終如一하게 50%以上을 차지하였던 것이다 白米等 같은 農産物을 日本에 販賣한 朝鮮은 그

補償으로써 完製品을輸入하였고 그代身 滿洲로부터 聚玉 蜀黍等을輸入하였고 農産國인朝鮮의 飲食物及煙草라는項目으로 輸入한것만도 1939년에는 無慮 93,940千圓에達하고있다 機械類의輸入이 本格的으로 貿易統計에오른것은 1939年頃부터였는데 그金額은 17,627千圓으로 當年에輸入한 肥料 綿織物 粟보다도적은것이였다 그러나 地理的으로優位性을 가진 朝鮮을 日帝의兵站基地化하려는野望이 漸次 本格化하여감에따라 滿洲侵略後 中日戰爭을開始하면사부터 侵略的 戰時生産에充當할 生産機械及原材料가輸入量에 있어서 그增加率이高潮되었던것이다 그러나 亦는 雜貨를中心으로한 全製品의輸入比重이 依然增加되어 1942년에는 一躍 71%에이르렀던것이다

(第2表) 1937年度對外貿易의國別狀況 (單位千圓)

	輸 出	輸 入
亞 細 亞 洲	101,138	93,961
關 東 洲	20,616	6,928
滿 洲 國	71,527	62,227
支 那 那	4,842	10,367
香 港	656	14
印 度	750	255
海 峽 植 民 地	414	1,523
蘭 佛 印	1,021	8,524
佛 印	11	206
比 島	742	1,871
暹 羅	320	1
其 他 諸 國	239	2,035
阿 弗 利 加 洲	6,923	373
埃 及	4,835	—
— 旦	186	—
坦 加 尼 卡	201	—
莫 桑 比 克	31	—
南 阿 聯 邦	146	23
나 이 지 리 아	440	—
Gald coast	57	—
其 他 諸 國	1,027	350
歐 羅 巴 洲	2,869	7,905
英 國	343	5,457
佛 國	8	88
獨 逸	2,261	1,973
白 耳 義	180	11
伊 太 利	—	50
瑞 西	21	54
奧 地 利	—	21
和 蘭	—	5

(第3表)

朝 鮮 貿 易 動 向 分 析 表 (單位千圓)

	1910年	1921年	1930年	1939年	1947年
總 生 產 額					
指 數	406,294	1,302,484	1,176,086	3,902,077	—
指 數	100	321	289	960	—
總 貿 易 額					
指 數	59,696	450,658	633,595	2,395,242	3,199,259
指 數	100	755	1,061	4,012	5,359
入 超 累 計	19,868	348,644	632,000	1,752,706	5,405,230
物 價 指 數	100	230	180	274	91,842
發 行 高					

	—	180
土 耳 其	—	—
其 他 諸 國	56	66
亞 米 利 加 洲	2,068	22,658
北 美 合 衆 國	1,474	21,311
加 拿 大	96	76
아 美 리 카	284	—
其 他 諸 國	214	1,271
其 他 諸 洲	97	1,797
合 計	113,095	126,694
對 日 本	572,445	735,413

地域別構成—朝鮮貿易의 地域別構成은 第2表에서보는 바와같이 壓倒的으로 對日依存度가 높다는것이 特徵이되고 있다 1910년에있어서 朝鮮貿易의 對日依存度는 73%였는것이 이비亦은 漸次하여 1937년에는 드디어 82%에오르므로 日本을除外한 其他外國은 1910年의 27%에서 18%로低下하고 있다 이것은 朝鮮의 殖民地性과 擡攬關係의 比重을 說明하는 것이다

다시 朝鮮貿易의 相對地域을 經濟的發展段階의 性格에 비추워 보면 日本、美國、或은 其他先進國인 高度의資本主義 國家와의貿易은 輸出品의 大部分이 原材料이고 輸入은 工業製品이 大部分을 차지하고 있다 半封建的이고 半資本主義的인 後進國家의系列에屬하는 (段階에 있는) 中國、滿洲、南洋地方에 있는 諸後進國과의貿易은 若干의完製品과 半製品이 重要한比重을 차지하고 있는데 이것은 朝鮮産業의 經濟的發展段階의 性格을 說明하는 것이다

綜合的諸特徵—解放前朝鮮貿易의 特徵 가운데서 가장 重要한 것의 하나인 輸入超過에 있다 1876年以後 約 70年間に 輸出超過을 본 것은 1878년부터 1882년까지의 五個年과 1924年 그리고 1925年뿐이다 其間의 全入超過은 無慮 60億圓에達한다 이에對하여 5個年間的 輸出額이 約 50萬圓 24. 25兩年間的 輸出額이 都合 21,064千圓이다 朝鮮은 初期의 入超에 있어서 는 金銀等을 輸出함으로써 入超를 카바하하였으나 限度 있는 그것으로 는 到底 勤當할 수가 없어 其後에는 莫大한 入超額이 그양그대로 投資의形式으로 資本化하고말았는데 그資本은 産業資本이 아니고 商業資本으로써 朝鮮産業을 後進國家그대로의形相으로 維持하는데 決定的의 役割을 하였던 것이다 이와같은 一見 不自然스러운 矛盾과 不合理性은 朝鮮과 日本과의 殖民地으로써의 從屬關係에서 說明되는 것이다 日本帝國主義는 그들의 政治的優位性과 經濟的優位性과를 相互利用하여 朝鮮에 있어서의 近代의 經濟産業機關의 實質的全權力을 完全히 獨占하고있었던 것이다

結局 過去朝鮮貿易의 特徵은 政治的으로 는 殖民地으로써의 隸屬關係로써 나타난 對日依存性과 이에따르는 非自主性이요 經濟的으로 는 入超와 原材料輸出過多 全製品의 輸入過多 特許消費品의 輸入過多等이다

發行高	20,163	136,360	90,615	443,987	33,388,164
指數	100	676	449	2,202	165,591
註	1947年度는南朝鮮만임				

### 2. 解放後의南朝鮮貿易의一般의特徵

1945年8月15日 歷史的인 이날은契機로하여 長久한時日에 걸쳐 朝鮮을支配하고 搾取하던日本帝國主義가 朝鮮에서 물러가게 되고 朝鮮은 世界民主主義國家의一員으로써 새출발을 하게 되었는것이다 그러나 8.15解放後 通貨膨脹 三八線問題 外國軍隊의駐屯과 主權問題 그리고 信託統治問題等으로 인한 政治와 經濟의 諸混亂을 거듭하였으며 朝鮮의 實情에서 두은 外國人의 執權 그나마 專門家 아닌 軍人에 의한 軍政의 結果는 더욱 非正常的인 混亂에 拍車를 加하여 계되었는것이다 解放後 46年 3月下旬 美蘇共委가 開議되었으나 不成功이었고 그러한 不成功의 前兆가 보일지음에 美軍政은 美國이 承認할수 있는 政府가 樹立될때까지는 軍政을 繼續함은 勿論이요 美國이 南朝鮮에 對한 限 모든 部門에 對하여서 이니시아티브를 취하고 美國의 計畫대로 實行한다는 것이 뚜렷이 나타나 계되었는것이다

그러하여 1946年 5月 15日 리-뒤 軍政長官이「朝鮮의 健全한 經濟發展을 爲하여 必要한 物資를 本國에 請求하였는데 輸入品의 代金 決済는 于美 美國政府에서 代辦하고 그 解決은 追後에 할다」라고 記者 團과의 會見時에 對하여서 說明한 以後부터 朝鮮貿易은 本格化 被했는것이다

同年 5月 16日 에는 李-뒤 使節의 依傍에서 朝鮮에 11萬噸의 食糧을 配定할것을 提議하였는것이 概하여서 5月 22日 民間物資配給計劃에 依한 朝鮮物資를 統營 範圍에서 配給中이라는 軍政長官의 說明으로 軍政貿易이 이어 開始된것을 알게되었는것이다

이러하여 5月 28日 對外貿易規則이라는 全文四條로 構成된 法令第 32號가 發布되고 이어서 貿易課를 局으로 昇格하는 法令第 89號와 對外貿易規則第 1號가 發布하여 對外貿易을 許制로 하고 代金 決済나 去來方法은 物々交換制에 依한 것 關稅率은 一律의 率으로 從價의 一割以內로 할것等이 決定되었는때 隨稅率을 一割以內로 定한 對하여서 當時의 輿論은 이를 反對하였는것이다

그런데 解放後에 있어서의 南朝鮮貿易의 根本的인 一般의 特徵을 보면 비록 그것이 過渡的인 現象이라 할지라도 現實的으로는 殖民地의 貿易의 範疇을 비쳐날수 없는 結果가 나타나고 仍繼續되고 있다는것은 事實이다 그리고 또한 가지는 1945年 8月 15日 로써 解放되었다고는 하나 實質的으로는 政治的으로나 經濟的으로나 아무런 自主的인 結果도 아직까지 가져오지 못하였다는 事實이다 이두가지 根本的인 一般의 特徵은 解放後의 南朝鮮貿易을 理解하는 爲하여서 그 關鍵이 될것이다

이와같은 不幸한 現象은 統一된 自主獨立政府의 樹立으로써 朝鮮의 自主的인 再建 經濟產業의 確固한 政策 밑에서만 貿易이 가진 重要한 役割을 다할수 있을것이다

解放後의 南朝鮮貿易이 殖民地의 貿易이라는것은 解放後의 南朝鮮貿易을 分析하여봄으로써 充分히 窺知할수 있는것이요 또한 諸般 貿易統計에서 엿볼수 있으며 特別 貿易品의 構成에서 알수 있는것이다

이러한 諸般 特徵은 南朝鮮에서 發刊되는 諸出版物에서 그 代表的인 것들을 보면 다음과 같이 說明되고 있다 即韓國貿易協會에서 發刊하는 貿易誌第 2號에 掲載된 "체드마 이어 特使에 對한 建議書"에 依하면 解放後의 南朝鮮經濟는 「朝鮮經濟의 現狀은 未曾有의 深刻한 危機에 直面하고 있습니다 그 重要한 理由는 우리政府를 갖지 못하였고 따라서 經濟的으로 建設에 着手하지 못하고 이므로 原因하는 思想的 混亂과 經

濟의 窮乏等이라고 生覺되고 있습니다 그러나 朝鮮의 經濟의 窮乏狀은 必서 以上의 遙延을 不許하는 바이 아니라」라고 說明하고 있으며 解放後의 民間貿易에 對하여는 「過去一年間 貧弱한 輸出物資로 "바-타-", 한 輸入物資는 今年 六月까지 總額 七億圓인데 그內容을 檢討해본 結果 落花生及 落花生油가 1億1千萬圓 참가콩 3千9百萬圓 이 두 種類가 全輸入額의 2割을 占領하고 있으며 必需品으로는 "生 고무", 가 4,700萬圓 食糧이 4,000萬圓程度 그다음 新聞用紙 1億圓이 比較的重要한 物資라 하였으며 其他는 大概 雜品에 屬하는 物資입니다 朝鮮消費大衆은 이러한 輸入物資를 高價로 購入할수 밖에 없으며...」라고 말하고 있고 貿易業者의 保護問題에 對하여는 「經濟的 自主性의 確立에 必要한 몇개의 要素中에서 우리들은 能動的인 自主貿易을 保護有成함에 必要한 基本政策을 들수 없습니다 力과 經驗의 不足과 政治的인 背景의 脆弱等의 惡條件下에서 朝鮮의 業者는 外部의 強大한 競爭者로 因하여 排擊을 當하여 國際市場에서 角逐하지 못하고 單只一個의 買辦이나 仲介商人의 地位에 轉落하거나 할수 가지는 恒久的인 危險性에 直面하고 있습니다 朝鮮사람의 朝鮮사람에 依한 朝鮮사람을 爲한 朝鮮의 外國貿易을 建設함에는 朝鮮의 外國貿易業者에게는 特殊한 保護와 育成이 必要하며 外國軍에 國土를 占領당하고 있음으로써 原因하는 各種의 不利한 事變은 即時로 撤去되어야 할것입니다」等과 不便을 例舉하여 「現在 우리들이 打破해야 할 不利한 措置 및 가지를 列舉하면 다음과 같습니다 即 郵便이나 電報이나 海外通信方法은 制限되고 있습니다 朝鮮 外旅行은 그機會가 殆無합니다 그러나 外國商人은 希冀에 따라 언제든지 朝鮮에 入國할수 있다는 事實을 注目해야 합니다 또 朝鮮通貨에 對하여는 對外換算率이 決定되어있지 않습니다 外國商人은 朝鮮換金銀行에 外貨로 貯定을 設置할수 있습니다 그러나 朝鮮通貨는 外國에 換送할수 없습니다 朝鮮商船은 揚子江 國旗等의 問題로 外國港口에 入港할수 없으나 外國商船은 朝鮮港口에 入港할수 있으며」라고 呼訴하고 있으며 朝鮮通信社에서 發刊하는 朝鮮年鑑에 依하면 貿易篇의 緒言에서 解放後의 南朝鮮貿易을 說明하여 「南朝鮮의 軍政下 二年間의 貿易은 다른 모든 經濟問題와 別다른 없이 朝鮮人民의 眞實한 幸福을 圖謀하는 根本的인 政策을 갖지 못하였다 朝鮮의 自主經濟 建立을 目標로 하는 때는 여러가지 基本的인 制約이 있는 同時에 確固한 施策의 缺如에 저 그날그날을 지내는 사이에 意議의 或으로나 無意議의 或으로나 外國商品 特別消費財의 市場化라는 危險한 方向으로 運行되었으며 其間 南朝鮮經濟는 全般的인 生産萎縮과 人口에 의존의 遙展에 呻吟하게 되었다」라고 報道하고 있다

以上에서 指摘하고 있는 바와 같이 自主政府가 없을 때 專으로는 無計劃性과 根本對策의 缺如 朝鮮業者에게 不利한 一方의 境遇 이므로 만만치 않은 殖民地의 特殊性을 表現하는 貿易業者의 買辦化等을 招來하고 있는것이 特徵的인 現象이며 이러한 現象은 解放前의 戰時體制化된 朝鮮經濟產業의 平和産業體制로의 轉換에 있어서 何等의 根本對策이 없었다는 背景에서 오는 諸原因과 輔車之關係로 混亂과 不利를 激化하여 當局의 眞摯한 努力에도 불구하고 大勢는 結果的으로 朝鮮貿易에 陰影을 招來하였는데 그 結果는 1948年度의 朝鮮貿易에서 挽回하여야 할 實務을 負荷하는 것이요 反省의 好材料가 된것으로 믿는 바이다 그리고 끝으로 所謂 非政貿易과 通政貿易을 包含한 官營貿易이 南朝鮮貿易의 大部分을 차지하고 있는데 이러한 官營貿易과 民間貿易과의 關係를 明確히 하고 一元的인 計畫性

과 그缺陷을是正하는것도 1948年度에賦課되는 重要한 根本的인課題이다 또한 官稅貿易의重要性과 그 存在는 南朝鮮貿易의特殊의인特徵이기도하다

### 3. 南朝鮮貿易政策의推移

#### (1) 法令及統制

解放後 南朝鮮의貿易은 美軍進駐後 1945年10月 美軍政命令에依하여『이에對한軍政政令의正式發布가있을때까지 南朝鮮 美軍駐屯地域과 外의地域과의 物資交流 通貨流通 旅行等은軍政上의必要에依한 美軍司令官의許可없이는 行動할수없다』라는談話가發達된以來 그程度의差異는있으나 統制貿易으로一貫하여왔다

가, 法令의變遷——貿易에對한法令이 처음發布된것

은 1946年1月3日附의美軍政法令第39號「對外貿易規則」이다 該法令은三八以南의 南朝鮮과他地域과의 貨物이나財産의運輸는 그許可의權限이軍政長官이나 그代理者에게있는것이고 그許可없이는自由로운』外의去來行動을 禁하는法令이었다 後同年5月17日 軍政法令第82號가發布되었는데 該法令은全文五條로 構成되고있어 第1條는 目的 第2條는 商務局을 對外貿易機關으로 指定하는 指令第3條는 商務局의職能 第4條는 調整 第5條는 施行期日等이規定되어있다

그後同年7月4日附로 法令第93號가發布되었는데 該法令은 免許申請과免許當局에對한 指示等이規定되어있고 後同年7月11日에는 貿易課를貿易局으로 昇格하는 法令第98號가法令第82號의一部를改正하여發布되었고 又翌日인7月12日附로는軍政廳의貿易代行機關으로 指定된 貿易局의「對外貿易規則」第1號와第2號가發布되었다 同法令은 貿易業者의 免許申請과輸出入의許可에關한取扱問題가 規定되어있고 第二號에서는外國貿易許可의諸樣式과 料金이制定되었고 同年8月8日에는公報部를通하여 同年7月4日附法令第93號가 發布되었는데 該法令은 對外貿易을完全히軍政廳의統制下에두고 第一章에서許可없이는 一切의 動產 不動產의 南朝鮮駐屯美軍司令部管轄地域과 其外의地域과의 去來或은 運搬은勿論 債權의去來도 個人이나政府及其代行機關 또는 그補助機關을包含한 政治團體를莫論하고 一切去來行動이制限되었고 第二條는南朝鮮에있는 個人이나政治團體의對外的인 債權債務及其他財産의所有或은管理에對한 報告의義務/第三條는記錄의保管及檢査, 第四條는 免許申請과免許當局 第五條 禁止引取引及濫度의無効 第七條 用語의定義 第八條 罰則 第九條 施行期日等인데 第六條에서는 本法令과不一致하는 又は 本令規定과撞着하는 모든法律及法規 又は 其一部는 茲에廢止된이라고되어있으며 發布日이7月12日로되어있는 外國貿易規則第1號의第一節에는 參考法令이라하여 法令第39號의 法令第19號와 第4條가項 法令第82號 其外 諸外國爲替法이併行하여 適用하게되었었다

그後 同年 12月24日에는 米穀輸出嚴禁令이 法令第 127號로 發布된바있었고 1947年 8月에이르러 同年 8月25日附로 南朝鮮過渡政府法令第149號가 發布됨으로써 過去の 對外貿易關係의 諸法令과規則은 整理改正되어 (法令第39號는廢止 第82號와 第92號는 各々改正) 現行法規로 實施되고있는데 同時에過渡 商務部에 서는商務部令第一號外國貿易規則을 發令하였다 本令으로써 1946年 7月12日附 外國貿易規則 第一號와 同年6月20日附 外國貿易規則第二號는廢止되었다

#### 南朝鮮過渡政府法令第一四九號對外貿易規則

朝鮮過渡立法機關이本事項을審議하여法律을制定한때까지

左에依함

第一條 本令은廣範圍의 對外貿易을準備하여 現存한모든商業法規를整合하며 本令과符合치않은 法規를廢止又是改正함을目的으로함

第二條 廢止

一九四六年一月三日附法令第三十九號 (對外貿易規則은茲에廢止함)

第三條 法令第八二號改正

一九四六年五月十七日附法令第八二號는左와如히改正함

第一條의「一九四六年一月三日 附法令第三十九號에 依하여」라한句는削除함 第二條에「法令第三十九條 第一項乃至第四項에依한」이라한句는削除함

第四條 法令第九八號改正

一九四六年七月十一日附法令第九八號 (商務部에貿易局及商務局의設置 法令第八二號의改正) 는左와如히改正함

第二條 (나) 項의「1946年 1月 3日附法令第三十九號第一條로부터第四條에依하여」라한句는削除함

第五條 對外貿易의規定, 商務部法規及其他權限이有한機關에서發布한命令, 指令及訓示를充分히遵守함이 없이는其種類又是範圍을莫論하고一切의對外貿易「地域間」又是「海岸間」貿易을禁함

第六條 財産의運輸

權限이有한機關에報告하여그同意를 (免許又是其他方法으로) 얻음이 없이는 南朝鮮에一切의 財産搬出又是搬入을禁함

第七條 開港

其種類如何은莫論하고南朝鮮에 搬出又是搬入하는 一切의 財産은左記開港中一港을經由함을要함 開港은仁川, 群山, 墨湖, 木浦, 釜山, 濟州及金浦飛行場 (서울附近) 인

第八條 地域間船舶

地域間貿易에從事하는船主는注文津, 忠로도, 麗水各港中一에서書類及貨物을 充分히檢査하기爲하여 稅關에報告함을要함

第九條 禁制品

現存한法令 命令又是規則에違反하여 南朝鮮에搬入하는又是 南朝鮮에서搬出하는 一切의財産은其種類如何을莫論하고禁制品이라看做되어 法律에依하여處分함

第十條 運輸機關의押收

本令에違反하여使用되는非政府所有의船舶, 航空機, 荷車, 動物, 自動車輛又是其他一切運輸機關은違反者의裁判時까지押收함을得하며違反者가 有罪判決을받은 後遇에는南朝鮮에送致하지沒收하여 法律에依하여處分함

第十一條 過失犯

南朝鮮境界又是海岸線의 地點에善意로 나다났으나過失로써外國貿易에關한 法律又是規則에違反한者는 本令其他에規定한法의手續及要件을 確定한機會를가지지며此에 從한適當한時間과機會를賦與받은 萬若右當事者가 右記手續及要件에從하면은本令第九條及第十條及第十一條의刑罰又是沒收에處하지않음

第十二條 手數料

商務部는貿易免許狀發行及其他附隨事項에必要한範圍의手數料를定한權限이有함

第十二號 罰則

本令又是本令에依한命令又是規則에違反한者는軍政占領地裁判所의定한罰에處함

第十四條 免除引及財産

本令은 朝鮮軍政廳又是 美國의士官又是雇傭人의手荷物의運輸에는 適用치아 아니며 美國又是聯合國의陸海軍法管轄

下에 있는 人員의 手荷物品 其他 所持品의 運輸에 適用되지 아니하며 朝鮮軍政廳이 認定한 歸國手續下에 朝鮮에 歸國又에 朝鮮으로부터 歸國하기로 合法的許可를 受한 人員 또는 右政府의 公務履行中인 人員의 手荷物 物品 또는 其他所持品의 運輸의 禁止로 解釋되지 아니함

第十五條 本令에 使用된 用語의 定義

「對外貿易」이란 南朝鮮과 朝鮮以外國家와의 사이의 貿易을 意味함

「對內貿易」이란 全南朝鮮內의 貿易을 意味함

「地域間貿易」이란 南北朝鮮間의 (水陸空) 貿易을 意味함

「南朝鮮」이란 北緯三十八度以南의 朝鮮을 意味함

「海岸間貿易」이란 海岸線港口를 經由하는 對內 또는 地域間 貿易을 意味함

第十六條 施行期日 本令은 認准日 부터 効力 發生함

1947年 8月 25日 右 建案함

民政長官 右 認准함

1947年 8月 25日 軍政長官 러-권

### 南朝鮮 過渡政府, 商務部令 第一號 外國貿易規則

第一條 目的 本令의 目的은 一九四七年 八月二十五日 法令 第四百九十九號 (對外貿易規則)을 敷行하여 輸出輸入의 均衡을 保持하며 個人所有의 物品에 關한 貿易商間의 貿易運營을 圓滑케 함에 있음

第二條 廢止 左記規則은 此令에 廢止함

가, 一九四六年 七月十二日 附外國貿易規則 第一號 (免許及 輸入輸出許可)

나, 1947年 6月 20日 附 外國貿易規則 第2號 (免許許可等의 行金)

第三條 輸入及 輸出의 免許 外國貿易을 統制하기 爲하여 南朝鮮에 輸入하며 又是 南朝鮮으로부터 輸出하는 物-은 物品에 對하여는 免許를 受할 要함

輸出 去來에 對하여는 그時마다 南朝鮮 過渡政府 商務部 貿易局에서 免許를 發行함

第四條 免許의 要件 免許는 左記條件下에 附與함

가, 貿易局에서 作成한 輸出 入表에 記載된 物目 內을 要함

나, 南朝鮮에 輸入하는 物品은

(1) 輸入에 適當한 期間에 南朝鮮으로부터 輸出된 物品의 購入에 使用한 圓貨로써 販賣할 要함

(2) 適當한 期間에 南朝鮮으로부터 輸入된 物品의 購入에 使用한 圓貨로써 販賣할 要함

適當한 期間은 貿易局의 決定하는 바에 依함

다, 南朝鮮으로부터 輸出하는 物品은 外國換金으로 販賣하며 輸出品의 販賣로 因하여 生한 外國換金은 南朝鮮에 輸入한 物品의 購買以外에는 使用하지 못함 모-은 外國換金 去來는 朝鮮換金銀行에 依하여 行하며 此로써 統制함

라, 南朝鮮으로부터 輸出하며 又是 南朝鮮에 輸入한 物品價 格은 商務部의 査定에 依한 統制價를 超過하지 못함

第五條 通關手續 如何한 物品 이라도 品目別 輸出入 免許의 附與前에는 通關手續을 行하지 못함

第六條 罰則 商務部는 本規則에 違反하며 又是 違反코자 하는 者 또는 그 相對者에 對하여 爾後의 外國貿易의 停止를 命할 能得하며 本規則에 違反코자 한 者를 告發할 能得함

第七條 有効期日 本令은 公布日 부터 効力 發生함

1947年 8月 25日

商務部長 吳禎泰

나, 貿易免許統制——1946年 7月 12日 附 外國貿易規則 第一號에 依하여 業者의 能力과 查格 審査를 目的으로 外國貿易

營業免許證을 發行하는 新制度가 樹立되었던 것인데 本免許申請은 同年 8月 1日 부터 接收 開始하여 47年 8月 까지 本規則에 依하여 免許證을 交付된 業者는 朝鮮人 528名 中國人 15名 이었다 本制度는 47年 8月 25日 附 商務部令 第1號에 依하여 廢止된 時까지 別로 功效은 見지 못하였었다 現在는 貿易業者가 法令과 規則에 依하여 그때그때마다 所定의 書類를 提出코 許可를 받게 되고 있다 그러므로 從前에 特權視되고 있던 免許制의 廢止로써 二元的 許可制度는 止揚되고 말았으나 廢止當時 一部에서는 이러한 措置는 業者의 亂立을 招來한다는 理由에서 反對를 하였으나 그것은 杞憂에 지나지 않았었다

다, 貿易品의 統制——南朝鮮에 輸出入되는 諸般物資는 朝鮮에 必要한 物資를 輸入하고 需給關係가 適히 適迫하지 않은 物資를 輸出하여 朝鮮 産業의 再建을 爲한 基本方向을 指向하는 見地에서 制限을 加하게 되었었던 것인데 그 始初는 中國 貿易船이 通商條約도 없고 아직 準備되지 못한 南朝鮮의 各港口에 入港하였을 때 密貿易에 依한 不緊急 物資의 流入과 必需 物資의 流出을 禁止할 目的으로 于先 諸貿易法令과 規則의 發佈에 앞서 46年 4月에 輸入許可品과 輸出獎勵品 그리고 輸出禁止品을 指定하였던 것인데 그後 隨時的으로 改正하고 46年 12月 28日 輸入許可品과 輸出獎勵品及 禁止品等을 다시 商務部長이 發表한 바 있었으며 47年 9月 5日에 새로히 別表와 같은 輸出入 物資許可目錄을 發表하여 現在에 이르렀다

그런데 貿易品 統制에 對하여는 그 趣旨에 關한 限 至當한 것이었으나 그 實行에 있어서는 貿易에 關心을 가지는 사람들에게 不滿을 가지게 한 일이 적지 않았으나 當局도 이에 順應하여 顯著한 改善을 보았다

그리고 藥品類의 輸出은 그 어느 것을 不拘하고 保健厚生部 藥務局의 承認을 要하며 副薑糸는 農務部 農産局 寒天은 農務部 水産局 그리고 紅蔘과 其副産物은 財務部 專賣局의 輸出承認이 各其 必要하다

### (第4表) 輸出入 物資種別許可目錄表 (1947.9.1附)

#### 1. 輸出品

1. 海産物 寒天, 榮菜, 乾魚, 魚肝
2. 果實 林檎, 梨, 栗, 松實
3. 礦物 모리부룬, 만강, 코발트, 陶土, 磁土, 滑石 黑鉛, 亞鉛, 綠柱石, 螢石, 石筆石, 石棉 丹絨漆器, 硝子器, 刺絨, 工藝品, 陶磁器
4. 手藝品
5. 生絲 本絹
6. 毛皮
7. 銅
8. 人蔘

#### 2. 輸入品

- |                |            |
|----------------|------------|
| 1. 米穀 穀物 小麥粉   | 14. 紙      |
| 2. 生豆부         | 15. 石炭 炭酸等 |
| 3. 棉花 (棉絲 棉織物) | 16. 錫 아루미늄 |
| 4. 肥料          | 17. 鐵板     |
| 5. 石油 石油加工品    | 18. 原毛     |
| 6. 原皮          | 19. 炭素墨    |
| 7. 絨原料         | 20. 鹽      |
| 8. 電球原料        | 21. 工業用化學品 |
| 9. 植物油         | 22. 粉製品    |
| 10. 材木 製材所     | 23. 毛製品    |
| 11. 마니마麻       | 24. 農業用種子  |
| 12. 칼크         | 25. 染料     |
| 13. 新聞用紙       | 26. 窓用硝子   |

- 27. 세렌트
- 28. 手工用바늘
- 29. 電氣用品 器具
- 30. 貨物自對車(1噸級以上)
- 31. 醫藥品

- 3 保險料及損耗費扣除額 = B(1+7%) .....C
- 4 運費扣除額 = C-100HK .....D
- 5 國貨換算 = D×70%.....南朝鮮各港口 F.O.B 價格

라. 價格統制——貿易品에對한 價格統制은 47年7月20

日附 商務部令第55號에依하여 「輸出入品價格査定委員會」가 商務部長의 諮問機關으로서 結成된것때부터 具體的活動이 開始되였는데 同委員會의 構成은 다음과 같다 政府側委員 10名 民間側委員 10名 合計 20名의 委員으로써 다시 1. 基準檢對分科委員會 2. 化學藥品 機械分科委員會 3. 衣類分科委員會 4. 農産物及水産物分科委員會 5. 雜物分科委員會를 各々 組織하고있으며 價格査定의 基準은 香港市場은 基準이 算出되여있었는데 同年 11月에 이르러 別表와 같은 輸出入物資 價格査定基準表를 作成하였다 이로써 價格査定基準을 香港市場中心에서 原則적으로 國際價格을 基準으로 査定키로 決定되었다 이와同時에 輸入物資의 區分은 1. 最緊急物資 2. 緊急物資 3. 準緊急物資의 三種으로 區分하게 되었다 其他價格과 利潤限界는 暴利限界에 關한 司法部見解에 따르고있다

(第5表) 輸出入物資價格査定基準表

I 輸 出

- 1 時價(輸入地都買價格).....A
- 2 輸入地原價 = A+(1+10%).....B

2 輸 入

- 1 時價(輸出地都買價格).....A
- 2 運費及積棧費 噸當 109 香港弗.....B
- 3 保險料及損耗料 (A+B)×7%.....C
- 4 間接費 時價(A)의 15%.....D
- 5 利潤 (A+B+C+D)×20%.....E
- 6 南朝鮮各港 C.I.F. 價格 = (A+B+C+D+E)×70

- 註 1 香港弗對國貨의 比率은 當分間 1:70 으로 함  
 2 運費及積棧費는 荷物에 따라 重量 體積 또는 容積 體積을 適用함  
 3 輸入物資의 利潤은 商務部所定의 物資別에 依하여 最緊急物資는 緊急物資의 利潤에 10% 을 加算하고 準緊急物資는 10% 을 減함  
 4 輸出物資의 利潤은 商務部所定의 特別獎勵品에 限하여 以上基準利潤에 10% 을 加算함  
 5 以上輸入物資査定價格은 最高價格 輸出物資査定價格은 最低價格임

(第6表)

主要輸出入物資新査定價格一覽 (1947.12.31)

1. 輸 出 物 資

目	規 格	單 位	輸 出 價 格	備 考
重 石 精 鐵	60%	噸	360,000圓	1%에對하여 6,000圓
鐵 重 石	70%	//	455,000	1%에對하여 6,500圓
水 鉛 精 鐵	90%	//	180,000	1%에對하여 2,000圓
灰 木 鉛	Mo 60% Special	//	270,000	1%에對하여 4,500圓
黑 鉛 (鱗 狀)	carbon 80% black 32mesn	//	55,000	
	A. carbon 80% black 48mesn	//	43,000	
	B. carbon 75% black 48mesn	//	26,000	
	C. carbon 75% black 80mesn	//	22,000	
頭 哈 精 鐵	60%	//	9,900	
乾	上	斤	190	
	中	//	170	
	下	//	150	
貝	上	//	800	
	下	//	750	
蟹 乾	上	//	300	
乾 養 肉 魚	上	//	700	
乾 蛙	上	//	400	
鮑 罐 詰	2 號 罐 詰	個	500	
	4 號 罐 詰	//	400	
鯨 乾 鱈	上	斤	350	
鱈 大 罐 詰	上	//	350	
	2 號 罐 詰	個	100	
	4 號 罐 詰	//	60	
紅 鱈 魚 罐 詰	上	斤	350	
	2 號 罐 詰	個	80	
	4 號 罐 詰	//	50	
魚 團 罐 詰	2 號 罐 詰	//	120	
	4 號 罐 詰	//	70	
魚 干 鱈	上	斤	300	
魚 干 鱈	中	//	300	
	上	//	250	

乾	〃	〃	下	〃	200
〃	〃	〃	上	〃	200
〃	〃	〃	中	〃	180
〃	〃	〃	下	〃	150
蠶	〃	丹	上	〃	760
〃	〃	〃	下	〃	660
鹽	〃	鯖	上	貫	300
〃	〃	〃	下	〃	250
海	〃	月	上	〃	300
〃	〃	〃	下	〃	250
乾	〃	鹽	上	〃	350
〃	〃	〃	下	〃	300
呂	〃	〃	二號	個	90
〃	〃	〃	四號	〃	60
海	〃	〃	上	斤	400
〃	〃	〃	下	〃	350
昆	〃	布	上	貫	750
〃	〃	〃	〃	〃	750
副	〃	〃	上級品	〃	1,300
〃	〃	〃	中級品	〃	1,020
〃	〃	〃	下級品	〃	802
生	〃	〃	21 中	〃	未定
〃	〃	〃	14 中	〃	13,600

2. 輸 入 物 資

品 名	規 格	單 位	(C. I. F) 輸入價格	備 考
紙	上級品 R M A. 1 R M A. 1	隨 (2240封度)	178,000	
	中級品 R M. A. 2 R M. A. 3 R M. A. 4	隨 (2240封度)	162,000	
	下級品 R. M. A. 5	隨 (2240封度)	145,000	
	上質連當對度以上 紙張簿用紙斗同等	隨 (2240封度)	258,000	容積隨當適用하여封度를應으로計算
印	中質連當70封度	隨 (2240封度)	196,000	
	下質連當60封度	隨 (2240封度)	158,000	
	新聞紙斗同等	隨 (2240封度)	134,000	
	更紙高級品	隨 (2240封度)	258,000	卷取紙斗板紙等區別하지않음
新 報 棉	連當80封度以上	隨 (2240封度)	99	
	印度棉花 4F. 新品	封 度	95	
	印度棉花 4F. 舊品	〃	90	
	자 리 타 第一號	〃	86	
促	자 리 타 第二號	〃	720	
	M.	〃	360	
斗 板	H	〃	100	
	〃	〃	100	
	24.025	立 方 呎	90	
曹 智 直 磷 大	18.025	〃	88	
	18.025	〃	15	
	〃	斤 隨	51,660	
利 益 化 豆	灰子	〃	1,600	
	硝染	〃	500	
	黑色、美國製 200% 150% 英國製	封 度 封 度	100	

麵	油	//	164
直 麥 尼 卜 豆 一 斗	마 니 리 모 一 斗	電 (2240封度)	365,000
。 卜 豆 豆 一 斗	左	//	209,000
마 니 리 모 一 斗	中 級	//	301,000
//	下 級	//	263,000
實 自 動 車 用 及 其 他 一 斗	北 人 造 第 一 級 品 新 品	紙	20,000
葡 萄 酒	美 國 產	封 度	135,000
水 石 運 送 船	酸 蝦 華	封 度	102
苛 性 鹼	連 棒 里		
炭 素 酸 加 生	油 地	隨 (22日封度)	163,000
落 落 膠 膠		斤	110

追後發表豫定

追後發表豫定

追後發表豫定

(7) 最緊急物資

生 고무, 紙類, 棉花, 橡膠子, 曹達灰, 智利硝石, 羊毛, 마니리모一斗, 大豆油, 染料, 特殊用糖, 機械部分品等

(L) 緊急物資

瓦斯, 貨物自動車用 아아, 硫化物, 水醋酸, 丹麥, 硝酸, 硫安, 石蠟等

(C) 準緊急物資

漂白粉, 炭素, 鹽素, 亞加里, 亞鉛華, 苛性鹼, 明礬, 落花生油, 蠟燭等  
이에 있어서 衣料製品는 勿論緊急物資에 屬하는 것이나, 이 外 複市碼貨 3千圓以上의 高級品의 輸入은 禁止되고 있다

마, 政府優先買上制——本制度는 生産原料의 適正 配給과 政府所必要의 確保를 圖하기 爲한 輸入物資中에서 重要物資에 對하여는 從先의 由政府에서 買上하는 制度 인데 1947年 3月 25日 中央經濟委員會의 貿易政策에 依한 建議을 同年 4月 1日 附 軍政長官代理 總代理 將 發給한 通牒에 依하여 指定 重要物資 1. 生 고무 2. 紙類 3. 棉花 4. 마니리모一斗 5. 其他工業用 化學用原料等의 政府優先買上制가 設けられた다 故로 指定物資의 輸入에 있어서는 一般輸入業者는 一段 該物資의 配分에 있어 政府의 買上與否를 打診後에 따라야 政府以外의 다른 자란과 買契約을 하게 되던 것이다 그러나 實際買上에 있어서는 該品目과 買上率에 있어 政府의 必要如何에 依하여 隨時로 差異가 있었는대 買上率은 平均 50% 內外였다 그리고 代金은 物資로 補償되는 것이 아니라 國貨로써 支拂되어 왔는데 業者들은 不便을 느꼈다 그러나 同年 12月 25日 부터 此種物資의 需給狀態가 緩和되었으므로 1. 生 고무 2. 棉花等은 除外되었어 現在 마니리모一斗는 該買上會에서 代行하고 있다

政府買上은 當局者로부터 屢次 該禁止를 可急의 實施할 것을 聲明한 바 있음으로 48年度에는 全的으로 廢止될 可能性이 있다

마, 外來物資交易委員會——外來物資交易委員會는

바-타-一制에 依한 輸入物資에 對한 代價物資의 缺乏으로 因하여 南朝鮮各港口에 滯留된 時價約 20億에 達하는 外來物資의 交易을 促進시키기 爲하여 韓國貿易協會가 中心이 되어 組織되었었고 1947年 10月 19日에 廢行한 以來 約 1個月餘에 걸쳐 當局의 協力을 얻어, 多大의 效果를 見고 同年 11月 24日에 廢止되었고 殘存는 韓國貿易協會에서 引繼하였다

사, 朝鮮換金銀行——朝鮮換金銀行은 1947年 6月 16日 附 追政法令第 145號에 依하여 設置된 外國貿易振興과 外國換金에 關한 銀行業務을 取扱하는 것을 目的으로 하는 銀行이다 同銀行의 業務開始는 同年 7月 15日 부터 였고 資本金 5億圓中 于 先拂込金 2億圓을 가지고 出發하였다 同銀行은 法令에 明示된 바와 같이 立法議院에서 本件事項을 審議하여 其法律을 制定할 때까지 以下의 規定(法令第 145號)을 施行할 아라고 되어 있었는대 同法令에 依하면 換銀은 完全히 軍政廳의 管轄下에 있어 그 命令과 責任에서 運轉된다는 것으로 되어 있다

同銀行은 47年 7月 15日 부터 外國商人의 入國許可가 正式으로 認定되게 되는 時부터 業務가 開始되었으나 外國商人의 入國이 많지 않아 特記 關한 活動이 없었으나 商務部 內規第 71號에 依한 規則을 適用하여 先輸入品 總買上代金을 通發後 20日 以內에 預置하여야 한다는 新措施가 47年 12月 15日 附로 發給된 그 때부터 本格的인 活動이 開始되었었다

法令第 145號 朝鮮換金銀行의 創立

朝鮮過渡立法議院이 本件事項을 審議하여 其法律을 制定할 때까지 以下의 規定을 施行함

- 第 1條 目的  
本令의 目的은 朝鮮의 外國貿易을 振興하기 爲한 銀行業務及 外國換金制度를 樹立함에 있음
- 第 2條 創立  
朝鮮換金銀行(以下 當銀行이라 呼稱함) 이 法에 依하여 創立됨
- 第 3條 運營  
當銀行의 當任 役員은 總裁 1人, 副總裁 1人及 事務理事 1人 으로 하며 理事會는 當任 役員及 4名의 理事로써 構成함 役員及 理事의 任命及 解任은 軍政長官이 此를 行함 當銀行은 理事會에서 制定한 規程及 定款에 依據하여 運營함 當銀行本店은 朝鮮서울市에 設치하며 理事會의 決定에 依하여 支店을 設치할 수 있음
- 第 4條 參與會  
財務部는 軍政長官의 認准下에 參與會 會員을 任命하며 解任함 此參與會는 當銀行總裁及 5名 以上의 會員으로 此를 構成함 當銀行總裁는 此參與會의 議長이며 會員 最少限 2名은 朝鮮內地銀行의 代表者中에서 最少限 1名은 朝鮮商業界에서 選任함 參與會는 議長이 此를 招集함 參與會는 當銀行 行監에 關하여 理事會에 建議을 行하며 理事會는 主要한 政策問題에 關하여 參與會에 相談함
- 第 5條 資本金  
當銀行의 資本金은 5億圓으로 定하되 該面을 壹萬圓의 株式로



로써分割할

在朝鮮軍政廳은于先總額 2 億圓의全額拂込株式을引受한軍政廳은軍政長官總准下에理事會가建議할時未發行資本金中에서追加하여一定金額을引受함을得함  
軍政廳의責任은其株式을引受限度로함 理事會는軍政長官의認准을條件으로하여未發行株式又是軍政廳所有株式의一部 또는全部를朝鮮內諸金融機關及又是公衆에게發却할것을承認함을得함

第 6 條 權限及業務

當銀行은下記와如한權限, 機能及業務가有함

- 가 外國業務의處理
- 나 在朝鮮軍政廳의外國換規定에依據하여認可된個人, 團體又是法人名義의合衆國又是他外國貨幣로써하는計定の處理
- 다 當銀行의指定換去來處又是其他認定된機關과朝鮮軍政廳이臨時로指定할수있을바規定에准하여 朝鮮으로부터의輸出 輸入에關한換어음及其他書類를 送達又是受取하는事項
- 디 外國에在한銀行을當銀行의換去來處로指定하고此等銀行과「內外國通貨로써하는」計定の處理
- 다 朝鮮諸金融機關과의通貨로써하는計定の處理
- 바 軍政廳의認准下에理事會가適當하다고認定하는바外國貿易及又是外國換去來處를便益케한에關聯한其他事務의處理
- 사 事務遂行에必要한土地, 建物の賃借, 買得又是其他取得에關한事項
- 아 理事會의決定에依한役職員의任命及其給與에關한事項 但朝鮮軍政廳에서給與은受하는者는 當銀行에서添加的給與은受함을不得함

第 7 條 有効期日

本令은認准日부리効力 이生함  
1947年6月16日

輸入品販賣代金統制에關한件

1947年10月15日 商務部指令第2號에依한指令

- 第一條 輸入者는商務部貿易局이許可한輸入品이正式으로稅關當局에依하여通關後20日以內에輸入品販賣總代金을換金銀行에預置함을要함. 前項의要求條項을履行하지 못할時는南朝鮮總政의當該官署에依한即時調査를受할것이며, 逆反者는商務部令第2號의罰則의適用을받음  
(A) 萬一輸入者가前記條項의要求條件을履行不能케境境遇에는預金延期申請書의提出을要함  
(B) 換金銀行은預金延期申請書를接受한後必要하다고認定할時는貿易局의同意를얻어延期를許諾할수있음
- 第二條 換金銀行은第一條의手續이完了되었을時預金者又是그代理人에게預金證書를發行함
- 第三條 換金銀行은必要하다고認定할時外國商人에게南朝鮮滞在期間中の生活及旅費를支拂할수있음, 此支拂時는貿易局의同意를要함
- 第四條 換金銀行에預置된輸入販賣代金の支拂은貿易局의同意下換金銀行이此를許可한 預金支拂請求書에는이資金이代價輸出品購入에使用된것이며, 或그物資輸出에對한輸出許可가十日以內에可能하다는確約을함을要함
- 第五條 契約金 保證金 代金前渡, 代價輸出品購入目的以外의資金活用, 換金銀行以外에預置或은如何한形式을不拘하고一切의秘密支拂等此等一切量包含輸入者의去來는此內規의適用을受함

第六條 換金銀行은貿易局推薦에依하여輸入者에게本內規의適用을免除할수있음

아, 바-다-나-붙

바-다-나-붙만 物物交換制를 말한인제 本制度는 外國資本의侵入을防止하는 目的에서 外國과의 交易에使用한 貿易方式이다 그러나 如何한 恣意한方式로 國家經濟產業의 運營에 있어서 自主性이確保되어있고 經濟產業政策의 그根本理念과 基本政策이 一元的으로 諸經濟產業部門에 有機的으로 一貫되어있는 그런條件下에서만 成功할수있는것이다

解放後 南朝鮮의貿易은 物物交換制에依한 基本方式에依하여 運營되어왔다 그것은 當局責任者의 累次의空期에서보는바와같이 入超에依한負債를 將來樹立된 自主政府에게 넘기지않는다는것과 外國資本과 商品에依한 國內經濟產業의 汚染地化를 防止하는데 있었다

그러나 貿易에關心을 가지고 있는사람들은 物物交換制를 原則의으로 採擇하고 있음에도不拘하고 如前의 入超는 增加하고 있는에對하여 多大한關心을 가지게 되었다 그入超率은 解放前보다도 더높은것이 現實이다

當局은 이에對하여 48年8月25日附商務部令第1號 第4條에서 一層強化하여 物物交換制를 法理化하였다 同時에 이에 對하는 賣買代金에對한措置도 其의의으로 여러가지 對策을 樹立하고 있다

그러나 當局의 이러한 對策이 樹立되고 있음에도不拘하고 現實의으로는 價格標準으로 施行되고 있는 物資交換이 入超의增加를 現出하고 있으며 그에依한 査定價格보다는 몇倍되는 高價로써 一般市場에서 賣買되고 있는 奇現象이 續出되고 있다 特히 韓國貿易協會에서 47年6月30日附로 立法院院長 軍政長官 民政長官 商務部長 中央經濟委員會委員長等에게提出한 陳情書에依하면 「...萬一 輸出物資를 먼저 朝鮮船舶으로 輸出해가지고 該販賣代金으로써 物資를輸入한다면 2倍乃至 2倍半의物資를 輸入할수있을것이다...」라고 對策의未備를 指摘하고 受動的措置에서 能動的措置로 積極的으로 推進할것을 建議하고 있다는것은 注目할만한것이였다 本制度에對하여 權威側의見解를 綜合하여보면 大略 다음과같으니 即 모든問題는 自主政府가없다는데 根本的인 原因이있으나 事實上은 技術的인 根本對策의 未備에 重大原因이있서 貿易業者의利潤은 決定되고있으나 輸入物資의 消費者에 이르기까지의 一元的인 配給機構의缺如 輸出物資의 蒐集機構의缺如와 輸出產業機構의缺如 그리고 그積極的인 振興策의未備等的 根本對策의 缺如를指摘하고있다 그러나 原則的으로 바-다-나-붙의採用은 必然的인것으로 肯定하고있으나 本制度의 能動的이며 積極的인活用은 次年度에 期待되는 바크다

(2) 關稅政策

關稅에關한 法令이 決定된것은 1946年10月 8日附로 公佈된 法令第116號이다 同法令이發佈되기까지는 商務部에서 臨時的措置로써 管轄하여왔던것인데 同法令이發佈되면지부더財務部의所屬으로써 正式으로 移管하게되었던것이다

法令第116號에依하면 第1條에서 同關稅法의 目的을明示하고있는데 그것은 外國貿易을助長시키기爲하여 輸入稅率을減下하며 密貿易을防止하기爲하여 通報者外取締職員에게 賞與制度를 規定하는것이 目的으로되어있다 第2條에는 稅關의職務範圍規定인데 그것은 現行 輸入稅法을 그대로施行하되 但 如何한抗邁라도 課稅額은 輸入物品價格의 1割을超過치못함이라고 規定했다 第3條에서는 免稅의範圍를 現行法에서 다시 廣範圍로 擴張한것인데 美軍關係의 公私用物品과 南朝鮮의 官公署用으로 輸入하는物品에對한 免稅이다 第4條는 賞與規定 第5條는 同令에 抵觸되는法令의 廢止等々

이 規定되어 있는데 本令에 對한 是非는 繼續되어 問題化되고 있다 이에 對한 輿論의 中心은 稅率을 高半으로 하여 財政的意味에서 그 歲入을 增加시키자는 見地에서 보다 民族産業의 保護育成과 輸出促進을 圖謀하는 保護貿易政策의 見地에서 高半關稅을 主張하는 便이 더 많았다 그러나 低半關稅가 經濟的으로 後進國家에 屬하는 朝鮮의 現狀을 無視한 것이라는 點에서는 一致되고 있다 고 본다 그런데 歷史的 發展段階에 있어서 關稅가 貿易政策의 主要手段으로써 活用된 것은 專賣이나 貿易政策의 手段方法이 複數化되어 割當制度에 의한 數量制限 許可制 爲替管理制 輸出獎勵金制度 등이 廣範圍하게 機關的으로 使用되고 있는 昨今에 있어서 關稅의 役割은 國家財源으로써의 意義가 增大하여지고 그 經濟的機能은 激成되고 있으며 國際聯合機構의 一部로서 構成되어 가고 있는 世界貿易機構의 憲章草案을 보더라도 必然的인 事實이지만 그 時間과 方法에 있어서 研究의 餘地가 있다는 것이 權威的인 共通見解이다

現行關稅法에 依하면 다음과 같은 稅率構成을 가지고 있는 것이다

- 輸出 全面的으로 免稅
- 輸入 { 免稅 法令第116條의 第3條에 規定된 것  
從價稅 1割以下  
從量稅 稅額이 1割을 超過치 않는 範圍에서 從前(8.15前)에 照

法令第116號 關稅法의 改正

第1條 目的

本令은 朝鮮의 外國貿易을 助長하기 爲하여 現行輸入稅率을 減下하며 密輸出入을 禁止하기 爲하여 通報者及取締職員에 對한 賞與를 規定함으로써 目的을 達

第2條 稅關職務範圍

外國으로부터 輸入하는 物品에 對하여는 現行 輸入稅法에 依한 關稅를 賦課함

但 如何한 境遇라도 課稅額은 輸入物品價格의 1割을 超過치 못함

第3條 免稅

現行法에 規定된 以外에 左記品은 輸入稅를 免除함

- ㄱ 在朝鮮美軍陸軍, 朝鮮政府, 政治部署及其代行機關, 補助機關의 官公用으로 輸入하는 物品
- ㄴ 在朝鮮聯合國 陸軍軍人, 軍屬 또는 其家族이 公私用으로 輸入하는 物品

第4條 通報者及取締職員에 對한 賞與

財務部長은 左記各號에 該當한 者에게 脫稅物品(罰金, 又は 沒收品) 價格의 2割5分을 超過치 않는 限度로 賞與를 授與할 수 있음

但 如何한 境遇라도 其總額이 金五萬圓을 超過치 못함

ㄱ 關稅收入에 關한 欺瞞行爲 또는 既遂未遂를 莫論하고 罰金 또는 沒收를 規定한 關稅法規에 對한 偶犯行爲의 最初通報者

ㄴ 有給職員으로서 公務執行中 罰金 또는 沒收를 規定한 關稅法規에 違反된 輸出入 또는 記帳된 財産을 差押한 者 本條에 依한 財務部長의 決定에 對하여는 不服의 申立을 할 수 없으며 賞與金은 罰金 또는 沒收品 賣却代金에서 支出함

第5條 抵觸되는 法令의 廢止

本令에 抵觸되는 法令은 此를 廢止함

第6條 施行期日

本令은 公布日로부터 10日後 効力이 生함

1946年 10月 8日

輸入稅表拔萃 (括弧內는 從量稅物品)

- 第一類 植物及動物(生活力을 有한 것) 無稅或은 一部從價稅
- 第二類 穀物, 澱粉, 澱粉類及種子 從量稅或은 無稅(大部分의 穀物)
- 第三類 飲食物 度量或은 一部從價稅(蔬菜 果實 調味料, 酒類) 鹽, 煙草 從價稅
- 第四類 皮毛, 骨角, 齒牙, 甲殼類 從量稅(麩皮) 同製品 從價稅
- 第五類 油, 脂, 蠟及同製品 從量稅(大豆油, 棉質油, 原油 石鹼 蠟燭)
- 第六類 藥材, 化學藥, 其調合品及爆發藥 無稅 또는 從量稅 一部從價稅(諸기니네안치피링)
- 第七類 染料, 顏料, 塗料及填充料 從量稅一部從價稅(靛 墨, 잉크)
- 第八類 絲絨, 繩索及同材料 無稅 또는 從量稅(毛織糸 人造絹, 羊毛)
- 第九類 綿布及綿布製品 從量稅一部從價稅(草布, 防水布, 綿布, 毛製毳氈地)
- 第十類 衣類及同附屬品 從量稅 또는 一部從價稅(綿製肌衣 綳裝甲, 羊毛絹)
- 第十一類 纖維素칼트, 紙及其製品 從量稅(印刷用紙, 白紙帳簿, 模造紙) 寫眞繪圖 從價稅 書籍, 地圖, 有價證券 無稅
- 第十二類 礦物及礦物製品 從價稅一部從量稅(石膏 石炭 製品 세멘트)
- 第十二類 陶磁器, 硝子及硝子製品 從價稅一部從量稅(耐火煉瓦, 硝子板)
- 第十四類 鐵及金屬 無稅(塊) 從價稅 一部從量稅(鐵鐵, 眞漆)
- 第十五類 金屬製品 從價稅 一部從量稅(鋸 剃刀 裁縫針)
- 第十六類 時計 學術器, 銃砲, 車輛, 船舶及 機械類(時計 每個, 乾電池, 從量稅, 一部從價稅 自動車附屬品 縫衣機)
- 第十七類 雜品 從量稅 從價稅, (필립, 카-본, 釘, 薔薇 字, 籐) (1932年法律 第4號別表1 參照)

石	鹼	每 100 斤	28.60
蠟	燭	//	13.10
諸 器	니 -	//	60.00~135.00
靛	墨	//	13.60
毛	織 糸	//	33.10
綿	製 浴 巾	//	78.10
印	刷 紙	//	1.00~6.00
羊	毛 帽	1 打	7.50
靚	鉛	//	1.00
寫 眞	用 乾 板	每 100 斤	33.00
裁	縫 針	//	463.00
乾	電 池	//	17.30
세	필 립	//	0.15
와	세 립	//	15.90

4. 南朝鮮貿易의 構成

(1) 取扱別貿易構成

廢放後의 南朝鮮貿易은 이를 取扱擔當者의 性格으로 보아,

다음의 三部門으로 區別하는것이 妥當한것이며 이러한 三部門別貿易의 綜合인 解放後에 있어서의 南朝鮮貿易의 正確한實態인것이다 卽 그것은 첫째 軍政貿易 둘째 過政貿易 셋째 民間貿易等인데 이것은 貿易의 取扱者의 性格으로 보아 便宜上 區別한것으로 其具體의 內容은 다음과 같다

가. 軍政貿易

軍政貿易은 代金決済와 去來商談等에 있어서 純전히 美人軍政官의 責任에서만 行하여지고 朝鮮人은 全然 發言權이 없이 去來되는 貿易을 말함인데 具體的으로는 美國에서 輸入하는 食糧 借款에 依한 輸入物資 其他 民間物資 補給案에 依한 輸入物資等이다 이러한 範圍에 屬하는 軍政貿易의 內容은 아직까지 具體的으로 數字를 發表하지 않고 다만 中間發表가 系統 없이 間斷에 있었으므로 官營貿易에서 總括的으로 取扱하려는 바이다

나. 過政貿易

이 過政貿易이라는 것은 南朝鮮 過渡政府에서 直接貿易한것을 말함인데 그 輸出入에 있어 當局에서 軍政貿易과 過政貿易에 對한 正確한 統計가 나오지 않거니와 이 두 가지 種類의 貿易을 統合하여 價値上 官營貿易이라는 名目으로 取扱하려는 바이다

다. 官營貿易

官營貿易이라는 것은 위에서 말한 바와 같거니와 現在까지 當局이 發表한 그 範圍內에서 그 推移를 보면 다음의 諸表와 같다

以上の 諸表에서 보면 民間貿易이란 官營貿易과 比較할 때 極히 小規模이라는 것이 列明된다 卽 官營貿易에서는 2,500萬弗借款中에서 47年12月까지 輸入된 金額이 18,852,240弗 民間物資 供給案에 依한 輸入이 47年7月現在 9千萬弗以上이며 糧食輸入이 47年11月現在 588,075噸임으로 平均 噸當價格은 C. I. F @ 100弗로 치더라도 58,807,500弗이다 其外에 食糖 1800 噸 켄의 4590 噸外 구기 小품等을 합하면 莫大한 金額에 達하며 于先價格數字가 나타나는 것만도 1億6765萬9740弗임으로 現時勢는 香港弗이 朝鮮圓과 90對1 이요 U. S弗이 香港弗과 5對1 임으로 朝鮮圓과 美弗의 換算率은 大略 450對1 로 보고 假算하더라도 輸入金額을 圓으로 換算하면 勿論 754億4688萬3000圓이 나 된다 解放後 交易된 民間貿易은 1946 47年의 約2年 동안에 尙서는 目的으로 하지 않는 歸還同胞의 一部財產의 輸入까지를 包含한 稅關統計에 依하더라도 輸出 11億5823萬圓 輸入이 22億5653萬1千圓 入超가 10億9829萬千圓이다 그리고 輸出入의 合計는 34億1476萬5千圓이니 官營貿易과 民間貿易과의 規模의 差異를 窺知할 수 있을 것이다

그리고 朝鮮에서 發表된 資料에서는 具體的인 數字와 內容이 없으나 日本에서 發刊되는 時事年鑑의 1947年版에 依하면 朝鮮에서 日本에 輸出된 金額은 456萬9千圓이고 日本으로부터 輸入된 金額은 約100倍에 가까운 4億2232萬6千圓이 1946年 1월부터 同年9월까지의 9個月間의 管理貿易에 依한 것으로 되어 있는 것은 注目할 만한 事實이다 이것이 民間貿易에 依한 것이 아님은 再言할 必要도 無하다

다시 官營貿易의 內容을 檢討하여 보면 解放後 朝鮮貿易이 처음 開始된 것이 曠야 더 司令部의 指令에 依하여 官營貿易으로 朝鮮의 小품과 日本及美國의 石炭과 交換을 開始한 그때부터인데 朝鮮은 解放前 後는 通貨의 小品이 不足하여 小品輸入國이었다는 것은 分明한 事實이다

그리고 朝鮮에서 輸出入되는 物資中 官營貿易에 依한 것은

一旦 美國에 있는 美國商會社(U. S. C. C)의 手을 거쳐 交易되고 있으며 1947年12月11日 軍軍政長官이 發表한 바에 依하면 解放後 美國 民間物資 輸入額은 1億8千萬弗이라고 한다 이 金額은 450對1의 換算率로 假算하면 無底 810億圓이다 解放後 生産된 南朝鮮의 總生産額과 官營貿易과 借款에 依한 輸入 그리고 民間貿易에 依한 輸入物資等을 合한 總輸入額과를 對照한다면 解放後의 南朝鮮의 生産不振(특히 工業部門)의 因果關係가 明白히 窺知할 수 있는 것이다 卽 輸入物資의 類別構成과 價格構成에 依하여 窺知할 수 있는 것이다

(第7表) 取扱別貿易統計表 (1946.1—1947.12)

	輸 入	輸 出
軍 政 貿 易	18,850,240弗	—
民間物資配給案에 依한物資	180,000,000弗	—
2,500萬弗借款에 依한物資	18,850,240弗	—
過 政 貿 易	21,500,000弗	5,399,909弗
對 日 貿 易	① 21,500,000弗	② 2,539,909弗
對 美 貿 易	—	③ 2,501,486弗
對 香 港 貿 易	—	④ 358,514弗
民 間 貿 易	4,513,062弗	2,316,466弗
圓 貨	2,256,531千圓	1,158,233千圓
弗 貨	⑤ 4,513,062弗	⑥ 2,316,466弗
總 計	⑦ 224,865,302弗 112,431,651千圓	⑧ 7,716,375弗 3,858,188千圓

註 ①...對日貿易의 輸入은 1946년부터 1947年4월까지의 聯合軍最高司令部發表에 依함  
②③④...는 1947年中 輸出 總計上 함  
⑤⑥⑦⑧...은 U. S. 弗對圓貨換算率을 500對1로 假算하였음

(第8表) 民間物資輸入計畫에 依한 入荷物資 (1947年度 入荷濟)

1947年度의 美國으로부터 民間物資 補給計畫案을 通하여 輸入한 物資의 總額은 約105,000,000弗인데 同年間에 있어서 朝鮮에 入荷된 民間物資는 928隻의 船舶으로 輸入되고 그 配給地點까지 約1,114臺의 貨物車와 帆船1,083隻及 L.S.T 其他 船舶 172隻이 動員되었으므로 其入荷된 重要物資는

(美國으로부터)		
消防車及同附屬品	45臺	汽爐車及同附屬品 101臺
原 綿	32,000배인	鹽 84,000 噸
麥 類	425,776 噸	肥 料 107,609 噸
세 인 트	32,000 噸	種子用馬鈴薯 3,592 噸
生 口 木	1,800 噸	鐵道用起重機 12臺
鐵道枕木	500,000本	가 士 링 16,837,457가 士 링
燈 油	6,766,457가 士 링	油 類 26,036,360가 士 링
그리스삭스	1,774,849磅	
其他 藥品 寫眞用品 映寫機 衣類 建築用鋼鐵 火藥 다이 야 구 - 半 錠		

(日本으로부터)  
自動車部分品 電氣部分品 紡織用機械 染料 鹽 슈리 石炭 紙幣印刷用紙 鐵山用品 通信器具 機關車及鐵道枕木 自轉車·電鈴 其他雜品等이었다

(第9表) 1947年間을 通하여 美團의 剩餘物資 清算委員會의 借款 25,000,000弗 購入한 民間物資의 內容

輸 入 處	原 價	朝鮮에 對한 販賣價格	借款 殘高
比 律 賓(商 品)	12,691,882	5,076,753	19,923,247

比律賓(船舶類)	7,392,100	1,848,025	18,075,222
硫黃島(商品)	7,572,000	1,590,127	16,485,095
// (重機械)	10,349,600	3,101,488	13,383,607
日本(船舶類)	3,794,000	948,500	12,435,107
// (L.S.T)	18,583,200	4,645,800	7,789,307
하와이	3,293,094	1,641,547	6,147,760
△ 計	63,665,876	18,852,240	—

上表中의 諸數는 現在까지 入手할 수 있는 가장 正確한 情報에 依한 統計數字이다

以下 上記計表中의 重要物資內容을 摘記하면

比律賓	(商品)	鐵道用重機械 醫藥品 土器 起重機
		船舶用品 衣類
(船舶類)	上陸用船舶(中) 24隻 同舟船16隻	
	榕海船16隻 小船舶5隻 油槽船2隻	
	偵察船2隻 救助船1隻	
硫黃島及朝鮮本土美軍剩餘物資中에서 받은 것으로는 自動車及部分品 牽引車 土建用重機械 衣類 食糧等	小汽艇5隻 艇船7隻 起重機付艇轉	
日本(船舶類)	船2隻 手廻船4隻 木製曳船1隻	
	L.S.T 12隻 照明燈1個 鑄鐵2,000噸	

하와이에서 들어온物資는 이것을 全部 購入 하려면 剩餘物資清算委員會의 借款 25,000,000 弗의 殘高을 全部 使用 하야 할 것으로 現在까지 하와이에서 購入한 것은 約 1,641,000 弗이다 된다 그內容을 보면 起重機로 一 臺 壓搾機 2 臺 이라 土器 藥品 衣類 兵器 土建用機械等이다

(第10表) 解放後食糧輸入表

(食糧營團 報第16號에서作成)  
(1946年5月—1947年11月까지의 19個月間分)

1946. 5月	2隻	16,000 噸
7	3	24 300
8	4	32 041
9	3	25 246
10	2	16 000
11	6	48 000
12	2	16 000
小計	22	177,537
1947. 1	5	40 816
2	4	32 000
3	5	36 115
4	5	37 045
5	6	41 451
6	4	30 607
7	7	54 530
8	5	30 050
9	3	24 900
10	6	47 600
11	6	35 441
小計	56	410,555
合計	78	588,142

(第11表) 種別食糧輸入表

(1946. 5—1947. 11)

	數 量
小 麥	278,210 噸

小 麥 粉	89,107
豆 粉	30,775
大 麥	139,110
燕 麥	910
豌豆	1,100
大豆	1,400
大豆粉	8,100
米 穀	39,362
合 計	588,074

## 라. 民間貿易

民間貿易은 文字 그대로 解放後 私經濟人에 依하여 交易된 貿易을 말함인데 그規模는 官營貿易에서 對照한바와같이 官營貿易의 輸入面과만 比較하더라도 民間貿易의 輸出入을 合한것의 幾十分之一에 不過한 極히 小規模의 이라 하겠다 民間貿易問題는 그去來方式에 있어서나 그政策과 對策에 있어서나 根本的인 研究와 改善의 學地가 많음을 指摘하지할 수 없는 바이다 그것은 從前 諸般對策問題에서 取扱하려는 바이나 다만 當局者가 自由貿易을 標榜 하던 서도 結果의 으로는 所期의 目的이 極히 制限된 一部分의 從刺에 못하였다는 것이 事實이고 보며 앞으로 充分히 考慮하여야 할 것으로 본다

### (2) 商品別貿易構成

#### 가. 輸 入

商品別貿易構成의 特徵은 輸入超過와 消費品의 輸入過多에 있다

이事實은 解放前의 特徵인 同時에 또한 解放後의 特徵을 形成하고 있다

그러나 問題는 解放前과 後의 그것의 特徵은 朝鮮의 諸經濟產業의 跛行性을 是正하고 健全한 經濟產業의 建設過程에 있어서 入超는 免할 수 없는 必然的인 事實이지만 그內容의 構成에 있어 建設資材와 原材料의 輸入이 壓倒的地位를 차지하고 消費品에 있어서는 文字 그대로의 最少限度에 局限하여야 한다는 것이 絶對的인 법이에도 不拘하고 事實은 이에 逆行하는 結果를 맺었다는 것은 痛心할 일이었다 다시 그것을 檢討하여 보면 民間貿易보다 官營貿易에 있어서 더 階級的인 이었다는 것은 統計가 證明하는 바로써 앞으로의 研究對象으로써 커다란 問題를 提起하는 것으로 보겠다 그比率는 民間貿易과 官營貿易의 差異에 있어 하나 둘이 아니라 한單位의 커다란 差異를 보여주고 있는 것이다 問題는 解放前의 局限된 數字的인 差異보다 現實的으로 南朝鮮의 가장 膨脹된 狀態의 通貨流通量과 그리고 總生産量 및 國民所得量과의 關係에 있는 것이라고 보겠다

南朝鮮의 解放後의 總生産量과 輸入量 그리고 輸出量 그 差額의 國民負擔에 對한 問題는 解放後의 가장 條件이 不備한 狀態의 그것과 比較하더라도 커다란 暗影을 던지고 있는 것이다 解放後의 南朝鮮貿易의 跛行性은 別表가 證明하는 바로써 여기에는 記錄이 提示하는 現實的인 事實만을 提供하는 바이다

(第12表)

解放前後貿易實績對照表

(1946—47年度各民間貿易)

	1939年				1946年				1947年			
	輸出 千円 %	輸入 千円 %	輸出 千円 %	輸入 千円 %	輸出 千円 %	輸入 千円 %	輸出 千円 %	輸入 千円 %				
食料粗製品	263,074	26.13	117,557	8.47	35,019	73.35	46,158	27.40	487,809	43.90	21,253	1.02
食料精製品	37,876	3.76	65,660	4.73	7,954	16.47	55,541	32.98	14,367	1.29	184,447	8.83
原料品	175,794	17.46	178,730	12.87	—	—	521	0.33	201,061	18.10	444,482	21.29
原料用製品	249,521	24.78	194,008	13.97	4,844	10.15	31,953	20.75	329,987	29.70	373,857	17.90
完製品	226,671	22.52	770,000	55.46	9	0.03	31,230	18.54	77,907	7.01	1,064,084	50.96
雜出品	50,589	5.02	57,63	4.17	—	—	—	—	—	—	—	—
再輸出入品	3,339	0.33	4,524	0.33	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,006,787	100.00	1,388,442	100.00	47,737	100.00	168,406	100.00	1,111,133	100.00	2,088,125	100.00

(第13表) 主要輸出品價格對照表(民間貿易)

	1946年度價格		1947年度價格	
	千円	千円	千円	千円
1. 食料				
寒天	3,830	101,661		
乾昆布	7	1,899		
乾海苔	378	2,893		
椎茸	258	5,377		
斗斗	304	15,000		
梨	—	7,800		
鮮魚	8,975	90		
乾魚	10,107	212,917		
海參	4,850	18,161		
乾鮑	780	6,63		
乾鱈	4,124	58,523		
鱈鱈	391	5,991		
貝柱	—	26,688		
土產	7,861	3,840		
進品	—	296		
鹽魚	732	1,766		
2. 原料				
螢石外鑛物	—	139,378		
3. 原料用製品				
人參	1,466	107,718		
五倍子	506	51,153		
生糸	—	19,128		
真綿	—	17,130		
藥材	—	56,667		
毛皮	—	38,143		
4. 完製品				
布帛同製品	—	36,532		
毛氈	—	2,394		
刷子	—	6,925		
雜製品	—	107,017		
金屬製品	—	49,696		
主要輸出品總額	44,569	1,101,046		
5. 其他輸出品	3,168	10,087		
輸出總額	47,737	1,111,133		

(第14表) 主要輸入品價格對照表(民間貿易)

	1946年度		1947年度	
	千円	千円	千円	千円
1. 食料				
A. 粗生				
落花	32,295	3,646		
荳子	2,734	7,139		

澱粉	4,316	15,195
其他	—	—
乾果	4,251	4,320
草	26,380	5,056
胡椒	80	10,171
B. 食料製品		
砂糖	5,900	25,087
葡萄糖	—	30,675
食鹽	315	57,176
素麵	6,980	48,591
酒類	4,552	1,133
2. 原料		
金屬類	255	10,351
生絲	—	336,556
織物原料	—	75,177
其他原料	—	14,592
3. 原料用製品		
A. 油・脂・蠟		
大豆油	3,930	31,938
落花生油	9,061	82,948
其他植物油	2,256	7,513
斗斗	—	2,921
其他油類	—	4,900
B. 藥材・化學藥		
甘草	—	18,888
桂皮	—	15,130
其他漢藥材	1,656	117,006
明礬	—	2,508
重碳酸土	2,061	14,804
硫酸土	3,011	2,920
其他藥品	1,421	68,426
苛性土	1,935	420
C. 鐵鱈類	—	—
D. 皮革類	—	—
E. 木材類	—	—
F. 絲糸其他	—	—
絲織糸	—	11,567
羊毛糸	—	16,613
4. 全製		
A. 金屬製品		
其他金屬製品	52	1,524
B. 紙類同製品	1,250	21,256
紙類	840	352,060
紙製品	—	2,035

C. 染料及化學製品			染	料	2,600	72,410
靛	16,680	141,258			—	20,492
D. 皮革及皮革製品					—	11,639
皮革製品類	—	3,871	主要輸入品計		145,523	2,006,540
靴類	—	9,305	其他輸入品計		22,883	81,585
E. 機械類			輸入總額		168,406	2,088,125
電機及部品	—	10,210				
汽機及內燃機關	—	5,930				
其他機械	615	5,156				
F. 車輛類						
自動車	375	7,845				
貨物自動車	1,161	10,575				
自動車部分品	717	14,097				
G. 織物、衣類及同附屬品						
總織物	—	10,027				
交織品	8	79,241				
絹織物	948	1,367				
毛織物	—	4,533				
其他織雜品	2,477	142,115				
洋製服	147	1,237				
綿製品內衣	—	7,247				
綉	—	2,239				
綉製타올	75	10,790				
其他身衣品	1,379	14,213				
H. 染料及化學製品						

나. 輸 出

解放後에 去來된 輸出品은 1947年 中에 寒天이 1億圓以上으로 量이 2億圓以上 紅參의 1億圓以上等이 가장 重要한 商品이고 5千萬圓以上이 五倍子, 蘇短纖維, 靛, 어로이, 金屬鐵, 乾蠶等이고 輸出品의 全品목은 約100餘種인데 1種目에 100萬圓以上 輸出된 것은 40種이다

1947年 中에 輸出된 것 가운데서 그 類別構成을 보면 別表와 같으나 注目할 만한 것은 食料粗製品이 43.90%이고 原料品 18.10%와 原料用製品 29.70%를 합하면 47.80%로써 完製品 7.01%와 食料精製品 1.22%를 加한 8.30%에 對照되는 現象이다 이것은 解放前과 對照해 볼 때 數字의 으로는 勿論이요 內容의 으로 質의 低下를 示現하고 있다

(3) 地域別貿易構成

解放後의 南朝鮮과 物資가 交易된 地域은 美國 中國 日本 香港 마카오等인데 交易된 物資의 生産地와 朝鮮產品이 香港 마카오等의 中變貿易地를 通하여 輸出된 地域까지를 合치면 全世界六大洲에 걸치 구석구석까지 達입되어 去來되고 있다 그 內容을 보면 다음 表와 같다

(第15表) 地域別輸出入價格表 (民間貿易)

	輸		出		輸		入	
	1946年 千円	%	1947年 千円	%	1946年 千円	%	1947年 千円	%
美國	38,863	81.40	52,722	4.77	528	0.33	268,554	12.84
中國	8,874	18.60	255,224	22.96	159,205	94.53	672,279	32.23
日本	—	—	—	—	8,054	4.78	10,361	0.49
香港	—	—	465,405	41.88	—	—	148,056	7.09
其他	—	—	337,780	30.39	619	0.36	988,873	47.35
合計	47,737	100.00	1,111,133	100.00	168,406	100.00	2,088,125	100.00

註 稅關統計에 依함

國別輸入統計明細表 (單位圓)

	1946年	1947年
中國	159,204,915	672,279,852
日本	8,054,131	10,361,999
印度	—	565,634
美國	528,308	268,554,119
英國	—	100,373,625
印度	—	54,390
菲律賓	—	3,710,573
蘇聯	—	35,040
葡萄牙	—	120,933,538
歐洲	—	77,376,679
英領馬來	—	237,309,249
英屬	—	6,300,000
泰國	—	1,693,440
香港	—	148,056,044
爪哇	—	4,000,000
其他	—	153,165,374

印度	—	141,956,321
西貢	—	3,600
暹羅	—	15,197,396
加爾各答	—	62,010,343
比律賓	618,800	1,625,338
瑞典	—	41,803,990
加那利	—	7,560,000
西貢	—	3,528,000
伊太利	—	9,667,612
合計	168,406,154	2,088,125,206

國別輸出統計明細表 (單位圓)

	1946年	1947年
中國	38,863,287	255,224,461
葡萄牙	—	337,780,200
香港	—	465,405,749
美國	—	52,722,450
日本	8,874,699	—
合計	47,737,986	1,111,133,460

### 가. 美 國

解放後交易된 貿易相對國中 가장 巨額의 去來가 있고 가장 關係 깊은 去來地域은 美國이다 朝鮮에서 輸出된 것은 重石 黑鉛 銅等の 鑛山物等이 輸出되었는데 軍政配發表에 依하면 260萬弗이 차지된다 그런데 輸入된物은 民間物資配給計劃에 依한 것이 1億8千萬弗 借款에 依한 것이 1885萬2240弗等으로써 그規模에 있어 가장 大規模임을 窺知할 수가 있다 美國과의 이러한 種類의 貿易은 普通 常識의 所以로 말하는 貿易의 概念에는 屬하지 않는다는 見解를 가진 사람도 있으나 그 清算方法이 다른 따름이지 貿易上에는 틀림없다 그리고 朝美貿易은 아직 正式으로는 民間에 依한 直接貿易은 없고 官營貿易의 形式으로 去來되어 온 것이 그 特徵인 것이다 朝美貿易에 對한 清算方式은 具體的으로는 알 수 없으나 1946年 5月 15日 러-취장官은 『南朝鮮의 健全한 經濟發展을 爲하야 當分 美國에 借入하는 物資의 決濟는 于先 美國政府에서 代拂하고 그 清算은 追後에 한다』라고 聲明하였는데 그 後 47年 8月 2日에 韓軍政長官 代理는 다음과 같이 聲明하였다 即 民間物資配給計劃에 依하여 朝鮮에 輸入된 物資에 對하여 美國은 그 報酬을 願하지 않는다 이런 物資의 販賣로 獲得된 收入은 財務部 特別會計로 計上되어 外國輸出을 爲한 朝鮮生産物의 購入 또는 朝鮮에 必要한 緊急物資의 購入을 爲한 美國其他外國의 크레딧트 로 된 것이다』라고 說明한 바 있었는데 前者와 後者와의 關係가 아직도 分明치 않다

47年 7月 15日 부터 外國과의 民間貿易이 許可된後 特히 美國 民間商人이 朝鮮에 入國한 後의 活動狀態에 關하여 同年 11月 26日에 遞政務部長은 다음과 같이 그 概況을 發表하였다 即 『서울에 代表를 派遣하고 있는 會社는 美國 紐育에 本社를 둔 美國 輸入會社를 비롯한 7個會社가 各々 支配人 或은 副支配人 級의 人物을 서울에 派遣하고 있으며 그들이 希圖하는 物資는 重石 黑鉛等의 鑛山物과 寒天 魚類製品等의 水産物 그밖에 毛皮 竹製品 木製品 其他 記念品等이라고 하였는데 그 內容으로 보아 當局과 業者間에서 이 方面의 새로운 開拓이 要領된다』

### 나. 中 國

解放後 去來된 貿易中에서 民間貿易으로써 처음 正式交易이 된 것은 中國과의 貿易일 것이다 解放後 朝鮮이 中國과의 貿易에서 얻은 結果는 過히 좋지 못한 것이었다 美軍政에서 正式貿易許可가 發佈되기 전에 그들은 淸江縣으로써 非緊急物資를 싣고 南朝鮮의 各海岸一帶에 寄港하여 不美로운 密貿易을 盛行하였던 것이다 그 後 46年 11月에 南朝鮮을 代表한 마-살 元帥와 中國側 代表 宋子文氏間에 締結된 朝中貿易臨時辦法도 아무런 成果도 얻지 못하였다 그것은 中國에만 有利한 一方의 인 것이었기 때문이다 그리고 過去에 있어서 中國과의 貿易에 依하여 去來된 結果는 朝鮮에도 그리고 中國에도 直接의 有利한 結果를 가져오지는 못했다 朝中貿易에 依하여 利益을 얻은 것은 中國商인과 이에 呼應하여 買辦의 役割을 한 부류-커-들만이였다 朝鮮이 中國으로부터 輸入한 金額은 1947年에 6億7227萬9852圓인데 其中에는 落花生油 한 種目만도 8294萬8545圓으로 1割이 훨씬 넘는다 이런 意味의 非緊急物資는 朝中貿易의 大部分을 차지하고 있다

朝鮮과 中國과의 貿易은 그 產業의 發展程度와 構成으로 보든지 앞으로 充分한 妥協의 成立이 要領되며 過去의 友好的 關係로 보더라도 이 方面에 對한 充分한 對策이 必要하다 그리고 中國과의 貿易은 大部分 香港 마카오 등의 中繼貿易地를 通하여 去來된 것이다

### 다. 日 本

朝鮮의 貿易을 長久한 時日에 걸쳐 左之하든 日本의 敗亡으

右之로 말미암아 一段 그 桎梏에서 벗어나 解放後에도 彼와 同司令部와의 連絡으로 그 指示에 依하여 相當한 金額에 達하는 去來가 있었으며 다만 朝日貿易이 民間貿易에 依한 것이 아니었다는 것뿐이다 47年 10月 1日 日本貿易廳이 發表한 바에 依하면 日本貿易은 對朝鮮 輸出이 第一位로써 總輸出額의 22%를 차지하고 있다 그한다 事實에 있어 美國을 除外하고는 對日貿易이 가장 그 規模가 큰 것이다 解放後 南朝鮮에서 消費된 石炭의 大部分은 日本産이였었다 特히 運輸部에서 使用한 石炭의 95%는 日本産이며 解放後 輸入된 것만 하여도 約 1百萬에 達한 것임으로 適當한 程度라고 한다면 石炭-一種目의 輸入만도 10億圓이라는 巨額이다 한편 輸出을 보면 배 사과 18萬圓 麥子 2萬圓 등 10億圓以上 以外에도 25萬圓 麥子 2萬圓 등이 있어 그 金額은 莫大한 것이다 解放後에 있어서 日本이 朝鮮에 要求하는 것은 食料品과 鑛山物을 主로한 原料品이다 朝鮮貿易의 對日 依存度의 再侵 그리고 이에 對한 再編成問題等은 앞으로 慎重히 研究하여 할 重大問題이며 朝鮮産業이 本軌道에 오른 後에는 그 製品 輸出의 相對地域이 日本과 相克되는 境遇가 많을 것임으로 이러한 朝鮮貿易의 커다란 兪費에 對하여 充分한 考慮과 研究가 必要하다고 본다

### 라. 香港及 마카오

香港과 마카오貿易의 特徵은 中繼貿易에 있는 것이다 香港의 中繼貿易地로써의 地位는 世界的인 것이다 1939年에 美國의 安寶丹尼輸入量의 二分之一以上은 香港에서 輸入하였으므로 그밖에 桐油 茶 絹 陶磁器 豚毛 卵粉等은 主로 香港을 經由하여 輸入되었었다 그리고 世界埋藏量의 40%를 包藏하고 있는 南部中國의 重石도 그 大部分은 香港을 通하여 全世界에 輸出되고 있었다 이와 같이 香港의 中繼貿易地로써의 地位는 世界的인 것이었다 마카오亦是 中繼貿易地로써의 地位는 香港에 더 음가는 相當한 地位를 가지고 있었으며 現在도 그러하다 47年 3月 18日 英國貿易船 「페리오드」號가 마카오로부터 소금 生고무 紙類 洋服地 비누等을 싣고 仁川港에 들어온 後 不遑 9個月半 동안에 香港으로부터 輸入된 것이 2億4854萬873圓 輸出된 것이 4億6540萬5746圓으로 되어 있으나 이것은 稅關이 輸入에 있어서 統計作成을 產地別로 取扱하는 데서 오는 것인데 實地에 있어서는 稅關統計에 明示되어 있는 佛印, 美國, 英國, 蘭印, 緬甸, 蘇聯, 葡萄牙, 澳洲, 美國, 馬來, 和蘭, 泰國, 白耳義, 暹羅, 英印, 佛國, 芬蘭, 星港, 比國, 瑞典, 加那陀, 亞西呀, 伊國等은 事實上 直接交易된 것이 아니라 香港과 마카오를 通하여 去來된 벨이다 그러므로 香港과 마카오를 通하여 交易된 實地貿易額은 兩地域을 合한 것 외에 中國을 除外한 것을 綜合한 것이라야만 正確한 것이 될 것이다 그리고 稅關統計에는 美國과 日本欄이 따로 設定되고 있으나 朝鮮과 美日兩國과의 貿易이 民間貿易에 依하여 去來된 것이 없으므로 1947年度 貿易에 있어서 輸出의 17.04% 輸入의 67.77%를 차지하고 있다 結局 解放後의 南朝鮮貿易에 있어서의 中繼貿易地인 香港과 마카오의 地位는 相當한 것이라 하는 것이 列明된다 그리고 中國과의 貿易도 47年 3月以後에는 主로 香港과 마카오 등을 經由하여 去來된 中繼貿易이 많은 것이다

事實上에 있어서 마카오와 香港과의 貿易이 開始된 以後 實質의 으로는 民間貿易은 이들 兩地域과의 貿易만이 있을 때 들이었다

### (4) 港灣別貿易構成

#### 가. 開 港 場

開港場을 처음 指定한 法令은 1946年 7月 12日 附 商務部 (貿易局) 令 第1號 第8節이었던 것이다 其後 海陸貿易이 盛況하여 감에 따라 1947年 8月 25日 附 遞渡政府法令 第149號가 發表되게 되어 從來의 海灣인 釜山 木浦 群山 鳳湖 仁川 外

에 새로 海港으로서는 濟州가 附加되고 最初의空港으로서는 金浦飛行場이 開港되었다 (港灣設備等은 海運項參照) 開港場의 特質은 我國의 入超貿易에 關係하고 있는 現狀인 만큼 港灣各其의 特色은 受動的으로 決定되는바 같은것이어서 이를 物品別로 보기보다 國別로 推定해 보면 아래와 같이 各港의 去來國이 配定되어 지는 것이다 (港灣別貿易構成項 第16表及第17表參照)

釜山港 日本 美國 香港 마카오 濟州—日本—金浦—英國  
仁川港 中國 香港 마카오  
木浦港 中國 日本

群山港 中國

墨湖港 北朝鮮地域

나. 輸出品關係

第13表에 표시된 바와 같이 港灣別로 볼 때 釜山及仁川의 地位는 1946年 1947年 兩年을 通하여 穩固不動한 것이었다 特別仁川의 地位는 그것이 實在건너 中國이라는 大市場을 가까이 가지고 있는 關係上 將次라도 朝鮮貿易界에서 重要한 地位를 占할 것이요 釜山은 東玄海峽 건너 日本과 對峙한 對面아니라 南朝鮮에 있어 第一의 優秀한 施設을 가지고 있는 良港인 만큼 그 第一의 地位는 不動한 것이다

(第16表) 港灣別輸出品價格表 (民間貿易) (單位千圓)

	仁川	釜山	群山	木浦	墨湖	總計
1946年3月	—	—	—	—	—	—
4月	82	—	—	—	—	82
5月	1,455	—	—	—	—	1,455
6月	1,057	162	—	—	—	1,219
7月	1,341	3,378	—	—	—	4,719
8月	1,344	1,473	—	—	—	2,817

(第17表) 港灣別輸入品價格表 (民間貿易) (單位千圓)

	서울(金浦)	仁川	釜山	群山	木浦	墨湖	總計
1946年3月	—	901	—	—	—	—	901
4月	—	1,986	52	—	—	—	2,038
5月	—	11,105	706	—	—	—	12,139
6月	—	10,179	116	—	—	—	10,295
7月	—	27,417	216	—	—	—	27,633
8月	—	7,534	92	—	—	—	8,176
9月	—	26,760	1,450	—	—	534	28,744
10月	—	38,975	665	498	—	—	40,138
11月	—	12,804	426	—	1,515	—	14,745
12月	—	20,139	216	1,474	1,143	420	23,392
1946年合計	—	157,850	4,439	1,972	2,986	954	168,201
1947年1月	700	12,593	894	—	2,571	—	16,558
2月	269	15,260	344	—	2,491	—	18,364
3月	2,654	26,727	232	1,794	2,207	—	33,614
4月	1,037	92,804	715	—	680	—	95,236
5月	1,544	105,635	836	3,621	—	—	111,636
6月	2,354	65,748	166,348	38,797	838	—	274,085
7月	545	24,659	2,024	9,393	266	—	36,885
8月	3,233	24,433	198	236	663	—	28,763
9月	6,594	51,839	169,055	500	7,303	—	235,291
10月	3,176	95,934	428,370	—	387	—	527,867
11月	3,544	234,103	223,797	—	1,679	—	463,123
12月	4,249	138,351	102,177	1,326	600	—	246,703
1947年合計	29,899	838,086	1,094,988	55,667	19,485	—	2,088,125

※ 9月	3,611	—	—	—	—	3,611
10月	2,794	3,811	—	—	—	6,605
11月	13,948	50	—	—	—	13,993
12月	13,229	—	—	—	—	13,229
1946年合計	38,861	8,874	—	—	—	47,735
1947年1月	13,781	—	1,170	—	—	14,951
2月	8,383	—	—	—	—	8,383
3月	3,632	—	—	—	—	3,632
4月	10,956	—	—	—	—	10,956
5月	92,376	49,843	1,125	—	—	143,344
6月	141,968	—	2,246	—	—	144,214
7月	19,890	93,639	—	—	—	113,529
8月	15,877	—	2,233	—	—	18,160
9月	2,316	86,596	—	—	—	88,912
10月	18,675	166,985	—	—	—	185,660
11月	—	107,701	—	—	—	107,701
12月	82,257	189,434	—	—	—	271,691
1947年合計	410,111	694,198	4,541	2,283	—	1,111,133

다. 輸入品關係

民間貿易의 輸入品額高別로 볼 때에도 釜山港의 地位는 依然首位를 차지하고 있다 1947年에 들어와 木浦, 群山兩港의 好況을 띄우게 된 것은 華南等에서 오는 貿易船의 入港이 있는 까닭이고 이는 南海에 最近한 距離의 開港場인 것 만큼 前途의 好況도 可望한 것이다 墨湖는 1947年度에 들어와서는 北朝鮮과의 交易이 杜絶된 關係로 閉鎖狀態에 있으나 將來의 好況은 期待할 수 있는 바이다 서울(金浦飛行場)의 地位는 第17表와 같이 1947年1월부터 南朝鮮의 唯一의 空港으로 月進之勢로 盛況을 이루 어 海港인 釜山, 仁川에 다 들어가는 輸入品을 받아들여 주고 있다 輸入品(大部分美軍關係)의 取扱단어 目下 盛況을 이루고 있음은 片貿易의 代表的傾向을 보이기는 하나 앞으로 我國의 航運施設의 復興과 空港에 集荷되는 精巧品의 製作이 完備되면 서울(金浦)의 地位는 一層 顯著할 것 이다



다음 船舶出入港別別調查報告에 의하면 바와 같이 (第19表 參照) 釜山港, 仁川港을 總頭로 1946年及1947年에 對하여 外國貿易船은 出入船2,500隻以上을 記錄하고 있으나 이는 1日 平均一港에 一隻의 船舶出入의 困難한 狀態이다. 今後 港地 施設과 對價物 要求의 要가 明白히 提示되고 있다. 特히 1947年에 들어서의 輸入物 價格이 倍增하였는데도 不拘하고 入港 船舶 隻數가 急遽히 減少하는 것은 這間의 消息을 如實히 表現하고 있는 것이다.

(表18第) 來航貿易船隻 (1947年)

種 別	隻 數	
美 軍 貿 易	928	
民間貿易	汽 船	12
	中 國 商 船	316
計	328	
合 計	1,256	

(第19表) 1946年度港灣別國別船舶出入表 (其1)

		仁 川 港		釜 山 港		蔚 山 港		木 浦 港		慶 湖 港		合 計	
		隻數	噸 數	隻數	噸 數	隻數	噸 數	隻數	噸 數	隻數	噸 數	隻數	噸 數
朝 鮮	入	5	150	18	4,146	10	272	12	244	—	—	45	4,812
	出	1	57	8	1,969	—	—	1	16	—	—	10	2,042
中 國	入	140	3,250	5	265	5	539	7	343	—	—	157	4,397
	出	123	3,135	3	441	5	521	11	571	—	—	147	4,668
美 國	入	1	4,549	177	337,675	—	—	—	—	—	—	178	392,224
	出	—	—	163	336,142	—	—	—	—	—	—	163	336,142
英 國	入	3	6,698	2	3,083	1	1,021	—	—	—	—	6	10,807
	出	1	2,736	2	5,083	1	1,021	—	—	—	—	4	8,845
日 本	入	—	—	523	331,209	—	—	1	12	—	—	524	331,221
	出	—	—	522	406,621	—	—	—	—	—	—	522	406,621
滿 洲 國	入	—	—	2	1,600	—	—	—	—	—	—	2	1,600
	出	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
牙 本 國	入	1	363	1	775	—	—	—	—	—	—	2	1,138
	出	1	362	1	775	—	—	—	—	—	—	2	1,137
葡 萄 牙	入	—	—	1	438	—	—	—	—	—	—	1	438
	出	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	入	150	15,010	728	779,106	16	1,832	20	599	—	—	915	796,637
	出	131	6,290	699	811,036	6	1,542	12	587	—	—	848	819,455

1947年度港灣別國別船舶出入表 (其2)

		仁 川 港		釜 山 港		蔚 山 港		木 浦 港		慶 湖 港		(1月~9月中) 合 計	
		隻數	噸 數	隻數	噸 數	隻數	噸 數	隻數	噸 數	隻數	噸 數	隻數	噸 數
朝 鮮	入	5	122	184	10,738	—	—	—	—	3	110	192	10,970
	出	—	—	165	10,411	—	—	—	—	—	—	165	10,411
中 國	入	221	4,520	3	3,127	5	192	4	259	—	—	233	8,093
	出	207	4,425	—	—	4	170	—	—	—	—	211	4,595
日 本	入	—	—	11	13,443	—	—	5	148	—	—	16	13,591
	出	—	—	14	25,330	—	—	1	866	—	—	15	26,196
美 國	入	—	—	2	1,970	—	—	—	—	—	—	2	1,970
	出	—	—	2	1,970	—	—	—	—	—	—	2	1,970
合 計	入	226	4,642	200	29,278	5	192	9	407	3	110	443	34,629
	出	207	4,425	181	37,711	4	170	1	866	—	—	393	43,172

### 5. 回顧와 展望

오랜 歲月을 過고 朝鮮商人들이 期於 國際舞臺에 進出하리라는 希望과 憧憬의 對한 國際貿易은 8.15解放을 契機로 하여 드디어 그 機會가 約束되었던 것이었다. 그러나 約束과 現實과의 사이에는 時間이 必要하다는 것을 자자 깨닫게 되었다. 國際公約에 依하여 解放後 即時이 回復되리라 하고 期待되었던 朝鮮의 獨立은 드디어 實現되지 못한 채 荏弱三年을 經過하였던 것이다. 朝鮮이 獨立이 되지 못하였다는 것과 獨立이 되지 못할 때에 招來된 그 結果는 解放後의 混亂의 混亂의 根本的 主動力이 되었다.

이와 같은 混亂속에서 特히 政治的背景이 없는 그 本來의 使命과 實力을 發揮할 수 없는 貿易은 決定的인 打擊을 必然的으로 받게 되었는데 이것은 實질로 朝鮮貿易의 根本的인 變

의·變이 되고 말았는 것이다. 이러한 根本的인 致命的인 條件 밑에서 朝鮮貿易이 거러온 根은 駐軍軍의 責任下에서 運營되는 官營貿易과 民間貿易의 두 根이었고, 民間貿易의 去來方式은 物々交換制였는 것이다.

自主政府가 없더라도 手段方法을 가릴 수는 있는 것이다. 그러나 經濟에 있어서는 充足과 不足이 것이 모든 것을 決定하는 것인 만큼 于先 石炭이라도 가져와야만 汽車도 工場도 輸出이 가능하고 金屬과 原材料를 가져와야만 産業機關도 움직이게 되어 있는 現象인 朝鮮이지만 그 手段方法은 오직 政府의 責任下에서만 可能한 것인데 自主獨立政府가 있는 후로는 모든 것이 被動的으로만 움직여왔는 것이다. 解放後의 新設會社中 가장 資本금이 많고 不渡手形이 가장

같은것도 貿易業이었다 이것은 貿易에對한 希望과信用을 濫用하는 尺도가아닐수없다

過去 朝鮮이 日本의食糧供給地였다는것은 分명한 事實이었다 그러나 解放後 美國으로부터 物資援助을받은중에서 가장 그결과額이많은것은 食糧이다 解放後 日本에서輸入된 物資中에서 食料品의 輸入額은 2億5780萬圓이다 그중에서 食糧을除外하고는 緊急物資는 하나도없다 朝鮮産業의基礎는 農業이었다 殖民地의産業構造가진 朝鮮의 食糧과食料品의輸入이 全輸入額의 大半을 形成하고있다는것은 朝鮮의 生口狀態가 根本의으로 混亂狀態에있다는것을 말하는것이다 過般 美國의對朝鮮再建援助을 하기위한 그基礎計畫을 韓 國에서 中將의報告를 基礎로 作成하였다는 再建五箇年計劃에서도 「萬若에 南朝鮮의 食糧의自給自足을 考한다면 如何한 經濟均衡計劃도 實施不可能한것이다」라고 指摘하고있으며 「農業專門家들은 肥料를充分하게갖는다면 1953年以後는 食糧의自給自足은 할수있다고 믿고있다」라고 말하고있는데 다시 同再建案에依하면 南朝鮮經濟에 必要한 美國으로부터의 補助金은 大概 4億5千萬弗에 머무른것으로 觀測하고있으며 이金額은 南朝鮮의 農業과工業運營을 復興시킬수있으며 二千萬의 南朝鮮人口는 生活維持가 可能하게 될것이며 이것은 韓 國에서 中將使節團이 華府에 報告한 概算이라고 附言하고있다 同時에 「南朝鮮經濟計劃에는 事實上 全部에서 總額 6億5千萬弗이 必要하다 그러나 大略 2億弗可量은 朝鮮輸出品에依하여 支辨될것이며 殘額 4億5千萬弗만이 美國으로부터 調達充當된것이다」라고 말하고있다 이것은 美國의 對朝鮮經濟政策과 貿易政策의一端을 示唆하는것이다 過般 商務部生產委員會에서 發表한바에依하면 歸屬工場 5千餘個所中 運營中인것은 不過 25%로 그原因은 資金과 原料費에있다고 말하였다 能力있어도 生産工場에서는 原料가없다고하는데 相繼物의輸入이있고 生絲와 副蠶絲의輸出이있는것은 그때로 無計性을 說明하는것이다 朝鮮에서輸出餘力이 있는 生産設備과 能力이있는 農業에 가장 重要한 肥料가 外國에서輸入되는것은 38線까말이다 南朝鮮에서生産되는 세멘트가 北朝鮮이나 美國에서輸入되는 것보다 生産費가 市價보다 高價이고 게다가 品質도 좋지 못한關係로 生産이 不可能한狀態에있다는것은 手에적지 커다란 噸噸은던진다 이런例는 세멘트만이아니라 米누도 적량도 그밖에 朝鮮에서만生産되는것以外에는 外國物資에 競爭할만한 生産業은 거의없다고한다 解放後 新設된會社中에서 生業關係는 微々하다 이것은 朝鮮에는 없는것이 많다고하는데도 不拘하고 企業家는 새로 企業을 이루릴 勇氣가없다는것이다 資本家의 目的은 利潤에있다 現在는 利潤은 姑捨하고 投資金을 維持할수있는 그런 企業도없다는것이다

生産이 貿易의基礎이며 目標이다 이의實現은 完製品의輸入이 얼마나 生産을 萎縮시키는것이며 萎縮시키고있는가를 端의으로 示唆하는것이다 生産이없다는것은 支拂能力의 缺如를意味하는것이다 朝鮮이 支拂能力이 없어질다는것은 私企業의 貿易業者는 貿易을 못하게된다는것을意味한다

混亂된 朝鮮의 生産復興만이 모든 問題를 解決하는것이다 輸入된物資가 및가 지를除外하고, 生産業者의 손에는 市價와 過히 差異있는 價格으로 購入한 道理밖 에는 狀態이다 適切한 配給 機構의 確立만이 이 問題를 解決할수 있는것이다

貿易金融의 缺無와 信用狀問題等은 水準이 낮은 朝鮮의 菜果에 對한 是 大 金 價 貶 氏는 從進國家와 先進資本主義國家와의 對比에 無計畫하고 無差別한 自由競争을 容認한다면

그結果가 가지오는것은 朝鮮의再殖民地化라고하여 自立的인 計策性있는 計畫貿易을 主張하고있다 弱者과強者間의 自由競争이란 事實의正當性도있는 純理論에 不過한것이며 弱者의保護育成에는 計劃의實施이 必要하다고 強調하였다 解放後에 入超된것은 그大部分이 商業資本으로 轉化하여 朝鮮에 큰危脅을주고있다 業者의買辦化 또한 큰威脅이다 貿易에있어서의 自國總에依한 貿易은 커다란利益을 意味한다 그러나 朝鮮의 船舶保有數는 겨우 7萬4千艘이라고 한다 이것은 L. S. T. 艇30隻約5萬噸을 包含한것이다 이數字는 日本이 60年前에保有했던것과 恰似하다 結局 朝鮮의現在는 이方面에있어서 日本과比較하면 60年뒤떨어진 셈이다

以上에 있어서 解放後1947年末까지의 朝鮮貿易의 特質과 이에附屬하는 諸經濟의 結果를 叙述하였다

對外貿易만이 오직 朝鮮의 産業再建을 爲한 最捷의 鍵鑰를 가지고 있다 課題가 重大한것인만큼 過去二年有半歲중 두고 貿易問題 만큼 議會間에 審議된 話題도 드문것이다 이 經濟論議된 諸課題를 簡略히 列擧하여보면 如下하다

- A. 經濟再建과 借款貿易
- B. 貿易金融과 輸出信用(補償)
- C. 外國爲替率策定及新通貨制度
- D. 貿易品價格策定과 免許品種目決定
- E. 國稅配定과 自國經主義
- F. 海上保險과 入港提出期限問題
- G. 政府의 管貿易에의 民間參與
- H. 輸出品 産業獎勵와 中少工業振興策
- I. 外國爲替銀行의 機能과 確認信用狀先受制排擊
- J. 貿易業者及免許廠止와 輸入品代金凍結
- K. 入超貿易과 對價物管理問題
- L. 外地駐在員及通信問題
- M. 美國貿易業者來朝와 美國商會社問題
- N. 貿易代行機關設置와 朝鮮人의 海外旅行方途
- O. 貿易品展覽館設置及 見樣發送

大概 如上한 課題가 論議되었으니 其中具體化된것은 (d) 貿易品價格策定과 免許品種目決定 (J) 貿易業者免許廠止와 輸入品代金凍結 (K) 入超貿易과 對價物管理의三者뿐이고 (I) 確認信用狀先受制問題 (L) 外地駐在員問題는 一部的 妥協을보았을뿐 其他 (M) 美國商會社의 朝鮮貿易團과 (O) 貿易品展覽館設置及 (A) 借款貿易은 政府對政府의 折衝으로 豫定대로 實施되고있다

爾餘의 課題는 尙수다만 理論을일으키고 있는程度에 不過하며 其實現은 政治的 經濟的事由로 當分間 保留된것으로 觀測된다

그러나 國內問題의 政治的解決과 經濟의 新段階가 1948年度에 들어와 強力히 遂行되여야 할것인만큼 다른 課題는 次後에 處理되더라도 (b) 輸出信用(補償) 問題와 貿易金融問題及 (e) 國稅配定(主로 輸入稅의 改正) 과 (f) 入港提出期限規定問題는 優先的으로 解決을지어야 할것이다

前者 (b)는 所謂 與論인 「産業貸付 地位決定」의 實施과 더불어 産業育成의 意圖을 具現하여야 할것이며 後者 (e, f)는 現行法의 修正에 있어서 速決된것이다

其他 課題中 第一 重要한것은 外國爲替率策定問題이다 此 問題는 이미 그것이 (1) 新貨幣制度 (2) 南北統一 (3) inflation 是正 등의 三條件의 成立을 前提條件으로 하고 그 實行을 容認할 豫見만 있었으니만큼 好幾가 到來할때까지 再三 對議되는 手續이 없을것이다

# 附 國 際 貿 易 憲 章

## 序

國際貿易憲章은 國際의 經濟社會理事會에 屬하는 國際貿易機構 (I.T.O) 의 憲章인데 美國案을 基礎로 하여 1946年10月의 倫敦會議 47年4月의 高府會議을 거쳐 47年11月의 哈바나會議에서 最後의 決定을 보았다.

決定된 憲章은 複雜한 現世界의 經濟機構와 條件 밑에서는 同 憲章이 目的하는 바 自由貿易을 直接 實踐하기가 困難함으로 暫定的으로 多數의 保留事項을 添附하여 條件附屬로 通過시킨 것인데 其中 重要한 것은 1. 貿易制當制은 自國國際收支를 扶護하기 爲하여 貿易機構의 承認을 얻으면 實施할 수 있다는 점 2. 關稅 協定에 關하여 自國工業을 保護하기 爲하여 關稅引下를 撤回할 수 있으며 後進工業國은 保護關稅政策을 取할 수 있다는 점과 現在 特惠關稅制度를 어느 程度 認定한 점 등이 다

그리고 本憲章의 目的을 要約하면

1. 世界에 있어서 生産 消費 交換을 增加하여 世界經濟의 均衡과 擴大을 圖謀할 것
2. 全世界의 産業開發을 爲하여 資本의 國際的 流動을 獎勵할 것
3. 各國의 世界市場에의 同一條件에 依한 參加를 促進할 것
4. 關稅 其他 貿易障壁을 輕減하고 國際貿易에 있어서 差別待遇를 排除할 것
5. 相互의 協定과 協力에 依하여 國際貿易上의 모든 問題를 解決할 것

등이다 以下 貿易憲章은 國際觀察에 對출한 朝鮮의 將來에 있어서 參考되는 바 많을 것임으로 全文을 紹介하는 바이다

## ▲ 憲 章 本 文

### 第一章 目 的

國際貿易機構 參加國은 다음 目的을 爲하여 各國單獨或은 參加國全體로 기 國家的, 國際的 活動을 取할 것을 要約한다

1. 「真正한 所得을 增加시키며 同時에 그것을 不斷히 增大시킨다」 財의 生産 消費 交易을 增加케 함으로써 世界經濟의 膨脹을 促進한다
2. 經濟發展을 「育成 援助하여」 「生産의 投資을 爲한 資本의 國際的 流入을 獎勵한다」
3. 世界市場에의 同一條件에 依한 參加를 促進케 한다」
4. 「關稅 其他 貿易障壁을 輕減하여 國際貿易에 있어서의 差別待遇를 排除한다」
5. 各國으로 하여금 貿易制當策을 採用 回避를 可能케 한다
6. 國際經濟問題 解決을 爲한 協議를 協力을 促進한다 署名國은 國際貿易機構 設立에 同 意한다

倫敦草案과 原 하나와 重要한 相違點을 美國의 主唱으로 그 基本目的의 中에 對外投資의 獎勵하는 點을 添加한 것이다

### 第二章 層階과 經濟活動

參加國은 各國內에 있어서 「完全且 生産의 層階과 大量且 不斷히 增加하는 需要」를 維持할 수 있도록 行動한다 參加國은 他 參加國에 對하여 國際經濟上 長期 穩定한 經濟적 方案을 取하지 않고 他 參加國으로 하여금 이 困難을 이룬 混亂 狀態를 正하기 爲하여 萬全의 努力을 盡한다

國際貿易機構는 情勢如何에 따라서는 失業 擴大을 止 協議 範圍을 主唱하지 않으면 된다 因 國際貿易機構는 其他 機能 進行

上 參加國에게 他國의 有効 需要에 顯著한 減退가 生길 때 「憲章 規定 範圍內에서 特定한 行動을 取할」 必要性을 認定하는 수도 있다

### 第三章 經濟發展

參加國은 自國及 他國의 經濟發展을 促進 圖謀한다 技術普及或은 原料에 對한 不合理한 妨害는 하지 않는다 經濟發展計劃을 現在 實行中에 있는 參加國은 事前에 國際貿易機構의 承認을 얻은 後로 本憲章內의 他規定에 不拘하고 國內 産業獎勵를 爲하여 輸入에 對한 量의 制限을 할 수 있다

國際貿易機構는 承認을 하기 前에 予先如 斯 制限이 不可缺하며 他 參加國에 害을 미치지 않을 것을 確認하지 않으면 된다 倫敦草案은 美國이 主唱한 第十二條 A 挿入으로 擴大되었다 同條는 對外投資은 獎勵하며 他 參加國의 投資과 自國의 그것과 의 差別待遇를 回避하고 萬一 他 參加國의 投資을 自國의 그것으로 變換 境遇에는 正當한 賠償을 支拂할 것을 約束한 것이다

### 第四章 通商政策

第一項 參加國은 他 參加國에 對하여 모든 關稅와 더불어 輸入規則 또는 手續에 있어서 最惠國待遇를 同意한다 現存 特惠制度의 存續은 認定되는 것이지만 그 廢止에 關한 協議에 對하여 第十七條의 公約을 遵守하여 한다

如 斯한 特惠制度는 以上 增加시킬 수 없다 第十七條는 本章의 核心인데 同條는 參加國이 「關稅 其他 輸出入 賦課을 大體的으로 引下하여 輸入稅 特惠制度를 廢止하기」 爲하여 協議한 것인 公約이고 있다 이 協議 實行에 對한 規則은 明記되어 있지만 關稅의 引下가 스스로 現存 特惠制度를 弱화하는 것 이라는 規則도 이것과 같은 規則이라 한 것이다 어떤 나라가 善惡의 協議을 하지 않는다 고 國際貿易機構가 判定한 때는 原告國이 그 나라에 對한 最惠國條項의 利益을 拒否할 수 있도록 許諾된다

第十八條는 稅法에 있어서의 對外 國製品の 自國內 取扱을 規定하고 있다 第十九條는 關稅의 輸入 賦課 時間 割當制에 限한다는 新規定이다 諸外國 關稅에 새로운 差別待遇를 添加할 許諾하지 않고 賦課 時間 割當分 以外의 分에 對해서는 自由競爭이 確保되고 있다

第二項 輸入에 對한 量의 制限은 一般的으로 禁止된다 그러나 戰後 過渡期의 例外는 許容된다 農業 計畫 安定을 爲한 國內 計畫 操作上 必要한 境遇에도 이 例外는 認定된다

國際經濟가 甚 困難한 國家는 量의 制限에 對한 一般的 禁止로부터 除外 될 수 있다는 條件은 明白 決定하여 있다 一國의 量의 制限이라는 手段 (極端한 境遇는 差別待遇의 인정도 有하다) 을 取할 權利에 對한 決定은 國際通貨基金의 決議의 終審이 된다 이 極히 複雜한 第二十條서 부터 二十四條까지는 計 備에서 根本的으로 改正되었다 이것은 英國 其他 善한 國際經濟의 赤字에 直面한 諸國의 當面 問題를 處理하는 同時 差別待遇의 手段을 制限하여 그 使用을 明白히 必要한 期限內에 限定하기 때문인데 이 問題는 거기 保留條件이 添附되었다 제 24條草案 規定은 憲章 原則에서 簡便한 點을 倫敦及 紐約 草案 以上으로 再檢討하여 이 種한 簡便을 許容한 境遇의 標準을 層階 可 廢止하고 있다

第三項 補助金은 輸出 價格을 國內 價格 보다는 低廉케 하지 않는 境遇에 限하여 許容된다 此項은 美國의 主張이 敗한 唯一한 것이다 이것이 最終的으로 採用 境遇에는 美國으로 하여금 農業 輸出 補助金 制度의 變更을 必要으로 할 것이다

第四項 國際貿易 企業은 買賣 行爲에 있어서의 商業 原則에 따르면 差別待遇를 避할 것이 約束되고 있다 國營 企業은 私企業

에國營企業과商去來上 公平한競爭의機會를 주어야 한다는 倫敦草案에있는 新條項이加하여졌다 貿易의完全한國家獨占에 隨한條項은削除되었다 이러한例는 聯邦以外에는 없으며 聯邦은 現今 國際貿易機構을 보아곳프하고있기때문이다

第五項 第三二條에서三九條까지 所謂技術的條項은 稅關手續의準則이된것인데 通商의妨害가 될행상의相違를 排除하였다

第六項 關稅同盟形式을 始作한國家群에對하여 最惠國條項으로부터 除外한것을 認定한規定其他通商政策에關한 가지가지의規定이 여기加載되어있다 倫敦草案과달라 제비바草案에는 特惠協定은 關稅同盟의準備의一部로 看做되는데도있으나 此項에서는 어떠한나라도 國內産業에對한 損害를받음은 協定에서 認定된關稅適用을 免除하는 免除規定이 있다

### 第五章 制限의商慣行

參加國은 通商을阻害하고 或은獨占을育成할私企業의商慣行을防止함에同意한다

禁止되는慣行은 固定的價格協定 어떠한企業에對한市場으로부터의壟斷, 顧客의對當, 固定的生産對當, 技術抑制等을 包含하는것이다

### 第六章 政府間商品協定

本章은 無統制로放置하여두면 價格의崩落과生産變動의念慮가 많은主要必需品의 生産과販賣統制를爲한 政府對政府의 計畫協定을認定한다 此種計畫의究極的目的은 基本的資源의 消費과保存의增大에局限된다 이協定의作成及運用 그리고其活動을 國際食糧農業機構의活動과調整시키기爲한機關이 新設된다

### 第七章 國際貿易機構

이機構는 總會와執行部로構成되고 總會는全參加國代表가 出席하는것이지만 執行部는參加國이 아직未決定이다

제비바草案은 四種의投票方法中 그中하나를採할것을提唱하고있다 即一國一票制, 二種類의格差投票制 或은어떤問題

에있어서는 格差投票制, 他問題에있어서는 一國一票制의비가지다

하나의格差投票制는美國이 主唱한것인데 經濟的大國에다 른表決權을준다 即다음과같이計算한다 各國에基本票十票, 外國貿易五千萬달라에一票式, 國民所得五百萬달라에一票式 一人當外國貿易 廿五萬달라에一票式

其他格差投票制는 英國이主唱하는것인데 經濟的表決權의 權이크은 다음과같이 輕하게하고있다 各國에基本票十票, 人口一千萬人에一票式, 外國貿易一千萬달라에一票式, 國民所得五位달라에一票式, 國民所得中外國貿易에占하는比率10%에一票式

美國, 英國, 佛蘭西, 加那陀, 印度, 蘇聯(萬一參加하면) 등이 執行部常任國으로되도록 提案되고있다

常任事務局의究極의構成은 其他常任國을두느냐 없느냐의問題 常任國이必要한가 없는가하는問題와더부러 國際會議에서 決定될것으로되고있다 이것에對하여는 제가지의草案이 하마나會議에提出되어 그中의하나가採用된터이다

### 第八章 紛爭의解決

國際貿易機構에訴願하여 解決을求하는手續이 規定되고있다 紛爭이多數의條項에對聯되는때는 國際裁判所에移管된다 參加國은 憲章의解釋에關하여 裁判所의決定에服할것을同意한다

### 第九章 一般規定

此章에는 無効과損害에關한規定이있다 非參加國取扱에關하여는 三個案이 하마나會議에提出된터이다 第一은 美國이 支持하는것인데 憲章實施期日서부터一年以後는參加國은 非參加國에對하여 參加國에許與된特權을 주어서는안된다는것이다 第二는 捷코스르바키아의提案하는것인데 參加國은 非參加國取扱에對하여 自由의역야한다는것이다 英國이主唱하는第三案은 中間立場을取하는것이다

此章에十年後는 全憲章을 반드시再檢討하여야한다는規定이 새로이插入하였다

朝鮮輸出入額累年對照表 (單位千圓)

年	輸 出	輸 入	計	輸 入 過 越
1901	8,542	14,777	23,319	6,235
1902	8,468	13,693	22,161	5,225
1903	9,669	18,410	28,079	8,741
1904	7,531	27,402	34,933	19,871
1905	7,916	32,972	40,888	25,056
1906	8,902	30,305	39,207	21,403
1907	16,984	41,611	58,595	24,627
1908	14,113	41,025	55,138	26,912
1909	16,249	36,648	52,897	29,399
1910	19,914	39,782	59,696	19,868
1911	18,857	54,087	72,944	35,230
1912	20,936	67,115	88,101	49,129
1913	31,23	72,047	103,283	40,811
1914	35,035	63,695	98,730	28,663
1915	30,220	59,694	109,914	9,474
1916	57,818	75,134	132,952	17,316
1917	84,358	104,092	189,050	19,134
1918	155,903	160,425	316,328	4,522
1919	221,947	283,077	505,024	61,130
1920	197,020	249,286	446,06	52,266
1921	218,277	232,381	450,658	14,104
1922	215,404	256,045	471,449	40,641
1923	261,66	265,790	527,456	4,124
1924	329,030	09,593	638,632	出超19,446
1925	341,636	340,911	681,642	出超 1,618
1926	362,955	372,169	735,124	9,214
1927	353,24	383,417	742,341	24,493
1928	365,978	413,991	779,969	48,013
1929	345,664	423,093	768,757	77,429
1930	266,547	367,048	633,595	100,591
1931	261,798	270,466	532,264	8,668
1932	311,551	320,356	631,710	9,002
1933	368,628	404,185	772,813	35,557
1934	465,367	519,150	984,517	53,183
1935	550,796	659,403	1,210,199	108,607
1936	593,313	762,417	1,355,730	169,114
1937	685,543	863,552	1,549,095	173,009
1938	879,606	1,055,928	1,935,534	176,322
1939	906,794	1,388,443	2,395,242	331,654
1940	947,809	1,536,368	2,484,177	588,559
1941	973,297	1,519,339	2,492,636	546,042
1942	944,721	1,489,820	2,434,541	545,089
1943	913,666	1,544,256	2,457,922	630,590
1944	900,032	1,092,697	1,992,729	192,665
1945	70,898	122,170	193,068	51,272
1946	47,099	168,406	215,506	121,306
1947	1,111,133	2,088,125	3,199,259	976,991

註 1944年은 同年11月末까지의 累計 1945年은 同年5月末까지의 累計임



# 電 力

## 目 次

1. 電氣事業의沿革
2. 朝鮮의電力資源
3. 解放前後의朝鮮電力需要狀況
4. 解放後의南朝鮮電力供給狀況과其對策

### 1. 電氣事業의沿革

朝鮮에 있어서 電力의一般供給事業의開始는 美人코-부루탄及보스프워兩人이 韓國皇帝의特許及出資에依하여 電車와 電燈事業을爲한漢城電氣株式會社를創立한것으로 其嚆矢로한다 이會社는 1899年봄에 電車開通 1901年電燈配電을開始하여 1909年日韓瓦斯가買收할때까지存續하였으며 其後 釜山 仁川 馬山等에 日人에依한電氣事業이各處에서勃興하기始作하였다

1909년에는 電氣事業者 4였었으며 發電力合計 1,725 KW 全部汽力이었던것 電燈需要家數 2,755戶 取付電燈數 21,980燈에不過하였었다 그러나第一次世界大戰은朝鮮에도 好景氣를招來하여서 電氣事業에 있어서도 財界好調에基한企業者의影響을받아 中小都市에 있어서의小規模電氣事業計畫의

旺盛하였었다 1923年末의事業者數는32로 發電力合計 25,381KW였었으나 이亦是汽力이大部分이었던것 電燈需要家數는 12萬 7千餘戶로增加하여갔다 이時期에미르스 金剛山電鐵의創立과아울러 北漢江支流滌川에있어서 今日 朝鮮에賦存하는 貯水池式流域變更에依한 大規模發電의最初の 工事가開始된것과 國產炭에依한發電을 目標로한平壤無煙炭의微粉燃燒裝置에依한大規模發電을目的으로한朝鮮電氣興業株式會社가創立된것이다

其後數多 限于餘曲折이되었으나 電氣需要의漸増과同時에 1929년에는第二次發電水力地點調査를한結果鴨綠江及豆湍江의兩水系本流를除外하고서 147個地點 二百數十萬 KW가되는것이明白되었었으며 起戰江의水力도朝鮮黨素에依하여開發되어서工業原料의 分野를開拓한것도아예이다

(第1表)

發送電設備累年比較一覽表

		1912年	1917年	1922年	1932年	1937年	
電氣設備	營業開始事業者數	4	14	24	62	21	
	發 電	水 力	—	75	275	166,704	516,350
		汽 力	1,625	6,475	△ 21,492	△ 328,030	△ 378,600
		重 油 力	—	—	△ 1,055	—	△ 102,400
		瓦 斯 力	—	—	—	5,025	5,814
		計	200	△ 1,333	△ 2,559	2,775	120
	設 備 (KW)	計	1,825	7,883	△ 13,934	232,518	624,684
		送設	—	△ 190	△ 40	—	—
		配電線(杆)	137	502	930	4,317	7,583
		送電線(杆)	6	137	166	2,032	5,323
電 備 計 (杆)		143	639	1,096	6,349	12,906	

註 發電設備中△印은未完成

이表로 1932年에있어서의事業者數나 發電設備에있어서나 大發展을한것을알수가있다 水力設備의增加는顯著한것이있으며 漸次火力에代替하여가고있다 1932年에있어서 業者數 62에達한것이 1937年에있어서는 21로激減한것은 日政이 1936年以後電氣事業의公益性과電力이全產業의基幹産業인것에 비취어事業의統制統合을始作한때因한다 即 發電部門은民營으로하여 電源開發을自由롭게하였으나 配電部門은全朝鮮을 南 中 西 北朝鮮의四부屬으로 統制한方針下에 1942年1月中朝鮮에있어서의京城電氣와金剛山電鐵의合併을最後로 第一次配電統制를完了하여1932年82社를 算한事業者가 南朝鮮合同 京城電氣 西鮮合同 北鮮合同의4社를으로統合되었다 그러나 中日事變後 電力의重要性을加重하여감에따라 電

源의積極的開發과 重點的配電의必要性에비취어 第二次電力統制實施에이르렀다 即 1943年電力管理令을發布하여朝鮮電業株式會社를設立하여 日室의自家用發電所와 鴨綠江水電을 (國際會社인關係로) 除外한 全發送電會社를統合하여 朝鮮電業株式會社로吸收하여 發送電事業의一元化를圖謀한것이다

朝鮮의電氣事業은 1940年現在 朝鮮窒素肥料會社를除外하고서其總資本金은三億圓을넘었으며 日本에있어서 電氣事業者數의殆半이 百萬圓以下의小會社였었고 一千萬圓以上の資本金을有한것은 全體의13.4%에不過한데對比하여 朝鮮의것은百萬圓未滿은僅17%에不過하고 1千萬圓以上の會社가實로 73%라는部分을占하고 더구나 5千萬圓以上이22%였었다

이러한事實은 近年에 있어서 電力統制의 線에서는 企業의 集中이 實施된 것과 朝鮮의 自然的地理的條件으로서 日本과 같은 小規模의 發電은 不可能한關係이고 貧窮한 朝鮮의 民族資本이 空氣事業에 參與不能하였으므로 發電設備 配電設備 其自體가 本來大資本을 要하는 것인데도 關係한다고 본다

### 2. 朝鮮의 電力資源

朝鮮의 降雨量은 年平均 500—1,400mm에 不過하고 雨季 乾季에 따라 河川의 流量이 相違하므로 日本의 水力發電과 같은 取入式水路發電은 不可能하다 故로 朝鮮의 水力資源에 關하여서는 當初全然等閑視되고 있었으나 漸次 技術의 進歩에 따라 河川上流部에 堰堤를 築造하여서 大貯水池를 造成하여 流量을 調節함과 分水嶺을 貫通하여 高落差에 對하여 落下시키는 流域變更式發電 大貯水池 低落差發電의 可能케 됨에 이르러 我國의 發電開發은 큰 發展을 보게 되었다

(第2表) 全國發電量調查表

年次	最大(KW)	發電量(KWH)
1931年	232,518	167,926
1932年	249,596	189,014
1933年	292,417	206,347
1934年	309,604	1,444,055
1935年	430,076	2,082,512
1936年	524,684	2,339,442
1937年	668,206	2,697,747
1938年	680,432	2,959,810
1939年	669,075	3,845,861
1940年	986,384	4,860,164
1941年	997,678	5,691,759
1942年	1,240,038	5,691,759
1943年	—	—
1944年	—	5,761,356

이것을 數次의 水力調査에서 보면 1910年 始作한 第1回 水力調査에 있어서 5萬7千KW에 不過하던 것이 1922年의 第2回 調査에 있어서 147個所 223萬KW 近年의 第3回 調査에 있어서 460萬KW (但 國境河川의 出力은 半으로 計算) 이라는 數字를 내고 있는 것이다 다시 1940年에 始作한 第4回 水力調査에 依한 發電水力の 解放直前의 것을 보면 如次하다

(第3表) 發電水力一覽表(解放直前)

包藏水力	地點數	發電力	利用可能
			發電力
가. 既許可水力	51	3,800,810	2,808,810
1. 發電開始	32	1,264,000	1,426,840
2. 工事施工中	9	1,169,750	769,750
3. 工事未着手	12	904,220	612,220
나. 未許可水力	110	2,362,800	2,143,350
1. 調査齊	39	1,306,600	1,188,300
2. 未調査	71	1,056,200	955,050

(第5表)

	1935			1940		
	三八以北	三八以南	計	三八以北	三八以南	計
紡績工業	契約量	694	1,123	1,817	2,269	16,683
	使用量	899	1,656	2,555	5,861	65,482
金屬工業	契約量	2,365	868	3,233	52,235	58,474
	使用量	8,288	1,270	9,558	74,756	82,880

이 調査에 依하면 全朝鮮 包藏 水力은 約 600萬KW이며 其中에 利用可能 水力이 490萬KW라는 莫大인 數字로 된다 其中 既許可發電開始地點을 보면

(第4表) 北朝鮮發電量 (38度以北)

水系名	河川名	地點數	發電力	年4月發	
富寧水力	豆滿江	咸川江	3	28,000	12,000
咸川水力	鴨綠江	咸川江	4	338,800	250,000
赴戰水力	//	赴戰江	4	201,375	140,000
長津水力	//	長津江	4	326,500	270,000
東洋合同	清川江	九龍江	2	1,500	—
金剛山水力	漢江	北漢江	4	13,570	9,400
咸南水力	陽日川	陽日川	2	1,185	—
	龍興江	龍興江	1	1,185	—
鴨綠江水力	鴨綠江	鴨綠江	1	700,000	197,000
漢江水力	漢江	北漢江	1	54,000	30,800
合計			26	1,664,930	909,200

南朝鮮發電量 (38度以南)

雲岩水力	蟾津江	蟾津江	1	5,120	—
寶城水力	//	寶城江	1	3,100	1,900
麟蹄島水力	朱砂川	朱砂川	1	40	—
濟州島水力	龍外川	龍外川	1	200	—
漢江水力	漢江	北漢江	1	39,600	23,200
南鮮水力	蟾津江	蟾津江	1	13,850	11,400
計			6	61,910	36,500
全國計			32	1,726,840	945,700

全朝鮮發電開始發電所出力 170萬KW 中大部分이 北朝鮮에 있고 南朝鮮은 數%에 不過한 狀態이다 且 既許可 工事施工中에 있었던 地點은 如次하다

北朝鮮工事施行中發電所 (38度以北)

水系名	河川名	地點數	發電力	
鴨綠江水力	鴨綠江	鴨綠江	2	700,000
西頭水力	豆滿江	西頭水	1	123,000
江界水力	鴨綠江	長津江	4	305,900
		香江		
合計			7	1,128,900

南朝鮮工事施行中發電所 (38度以南)

漢江水力	漢江	北漢江	1	27,000
南鮮水力	蟾津江	蟾津江	1	13,850
計			2	40,850
全國計			9	1,169,750

資源特性基本資源의 賦存如何가 一國家의 運命을 決定하는 것과 同樣으로 大河 落差 石炭의 賦存等은 電力供給을 決定하는 것도 勿論이다

火力發電所는 石炭産地附近에 있거나 石炭輸送에 便利한 運賃이 低廉한 港灣에 있는 것이 有利한 것은 勿論이거니와 且 且 故로 해서 火力發電所는 반드시 炭産地에 設어 가만 하는 理由는 없다 그러나 水力發電所는 全然自然的 制約을 받으며 落差에

### 業 種 別 電 力

	1935			1940		
	三八以北	三八以南	計	三八以北	三八以南	計
紡績工業	契約量	694	1,123	1,817	2,269	16,683
	使用量	899	1,656	2,555	5,861	65,482
金屬工業	契約量	2,365	868	3,233	52,235	58,474
	使用量	8,288	1,270	9,558	74,756	82,880

지생한水力에너지가—를 그地點外의他處에서 把握할수없다 故로我國의水力發電所가大部分北朝鮮의僻地에偏在하고 있는 것이이때문이다 世界的으로有數한國際的인 水豊發電所는陸하고는 赴戰江發電所, 虛川江發電所等의 大發電所는咸南道에偏在하고 中朝鮮에는漢江系統의淸平發電所와 華川發電所가있으며 南北淸江江에同一水系的同一貯水地를共有하는 蔚津江發電所와 雲岩發電所가있을外 特히朝鮮唯一의大容量火力發電所인 穿越發電所가 江原道穿越炭礦地帶에있다

前掲第1次에서말한수있는것과같이 朝鮮의電力은 처음에는 主로 汽力 瓦斯 重油等으로 發電되고있었으나 其後水力發電技術의進歩에따라 全國的으로는 火力은極少部分을占함에 지나지않게되였으며 南朝鮮에있어서도 電力供給比率은水力에依한것이90% 火力이 10%로 主火從의實狀이다 또아직 未開發包藏水力도 3百萬餘 KW 나되니 我國의電力은將次는 全然水力에依在하게될것이다 石炭資源이比較的不足함으로 石炭은 液化其他所要한石炭工業에 使用하도록하는것이至當한것이이며 鴨綠江 豆滿江等 大河의水力利用으로 乾期에火力 補充의必要도別無할것이다 特히我國에있어서의水力發電의強點은 建設에莫大한資材를要함에도不拘하고 一地點에있어서起點大電力을集中的으로捕捉할수있는結果1KW 當建設費는호사히 低廉한것이므로 經濟上은勿論 炭價의變動에動搖가甚하고 또恒常高コスト가드는 火力發電에비하여서는絶對的으로 有利하다는것도 周知하는바이다

水系別主要電源의開發狀況을보면 다음과같다

(1) 赴戰江系水力

咸南赴戰江에서發하여 鴨綠江으로北流하는赴戰江을 日本海側으로부터는城川江에 逆流시켜發電하게하고있다 1928年日蹙系의朝鮮水力發電會社가工事に着手하여 其後日蹙이合併되어 日蹙의自家用으로消費되고있었다 總出力은 20萬 KW이다

(2) 長津江系水力

鴨綠江의一支流인長津江을 赴戰江과같은形式으로發電하고있다 1934年長津江水電會社가開發하여 뒤엔朝鮮電業에合併되었다 雄基 羅津 會寧方面 其外西朝鮮 中朝鮮까지供給하고있다

(3) 虛川江水系

上記 2發電所와같은方式으로 發電하고있으며 朝鮮電力이開發하고 總出力 33萬 KW 로 日蹙이 興南 本宮工場과淸津方面에서消費하고있었다

(4) 富寧川水系

上記三發電所에비하면小規模이나 咸北富寧江을開發 其大部分은 富寧에있어서의朝鮮電氣冶金에送電하고있었다

(5) 鴨綠江本流 (朝滿鴨綠江水系)

鴨綠江本流를 7個地點에있어서 堰止하여各發電所의落差는 百米에未及하나 流量이豊富함을利用하여 合計160萬 KW 의發電을달하고있으며 第一期計畫인水豊發電所는 1937年

完工하여 1944年 1月에는全部完了되어 朝鮮滿洲雙方의工業地帶에對한電力을供給하고있었다 이鴨綠江水系의總出力은約 160萬 KW인데 水豊發電所는發電能力 70萬 KW나 年平均 64萬 KW 로하여 我國側은其半인32萬 KW 의供給을받고있었다 本來이鴨綠江水系는 資本金 5千萬圓인朝鮮鴨綠江水電과同類資本金가진滿洲鴨綠江水電의 特殊會社가共同開發에當하고있었고 또鴨綠江本體가 國際河川인만큼 今後의歸趨가特히注目되는바이다

(6) 江界水電

鴨綠江水電과入略時期을같이 開發에着手하여 總出力30萬 KW豫定이였으나 工事을中止하고있다

(7) 漢江水系

中朝鮮에있어서의電力供給源으로서 1939年開發에着手 第一期計畫인淸平 華川發電所로 1944年 5月發電을모게되었다 總出力은 18萬9千KW이다

(8) 淸津江及錦江水系

南朝鮮에있어서의水力電源開發을目的으로 1940年淸津江 雲岩發電所의工工 1944年에一部發電하고 1946년에는 全計畫完成豫定이있었다

火力發電所는主로燈火用等으로 府郡邑當局의公營한것과一般動力用으로 主로南朝鮮에달았으나 北中朝鮮各發電所의送電網完成에따라 穿越發電所는除外하고는漸次萎縮하여 解放直前까지運轉을停止하고있었다

南朝鮮에있어서뿐만아니라 全朝鮮의으로火力發電으로最大出力을가진穿越發電所는 江原道穿越炭田의無煙炭을燃料로하여 發電하고있으며 過去에는南朝鮮의電力의大部分을供給하고있었고最大出力은 10萬KW나 現在는平均 1萬KW內外는發電하고있는에不過하다 其外釜山 唐人里에火力發電所가있으나 從前에는水力에壓迫받아 運轉中止에있었고解放後다시重要性이復活하였으나 實發電力은微々하다

以上諸發電所의杼軸에따라 送電網도完成되어갔다 送電網의主要幹線을 形成하고있는것은 西北朝鮮과中朝鮮을連絡한 15萬4千V의 工津江—平壤 平壤—서울間의直通各 200km에達한送電線과 赴戰江—淸津 淸津—灰岩間의咸北送電線 또 鴨綠江水電 水豊發電所의完成으로 22萬V의水豊—平壤 平壤—鎮南浦及水豊—多爾島間의送電線이 架設되고 南朝鮮地方에있어서는 穿越의火力發電의供給線으로서15萬4千V의穿越—大邱 穿越—大田의 170杆及 60杆의兩線이있고 富寧—大田間의 15萬4千V의 送電線完成으로만미아아北朝鮮에있어서의水力和南朝鮮의火力이連絡이되어있다

3. 解放前後의朝鮮電力需要狀況

我國의電力化는 日蹙興南工場을 비롯한 諸化學工場의需要와 金鍊開發에伴한各種鑛山의需要에따라 發展하여왔다 我國의電力開發은 其他鐵工部門과同樣으로 近年에와서飛躍的發展을보았는것은 否認할수없는事實이며 我國의電力資源의有望性에對裁을받아 日蹙은太平洋戰爭 開始後自國에있는諸工場施設까지 我國으로 移轉한計畫까지하고 있었던 것이나

需 要 統 計 (單位: 契約量은KW 使用量은千KWH)

1 9 4 2			1 9 4 3			1946		1917	
三八以北	三八以南	計	三八以北	三八以南	計	三八以南	三八以南		
4,400	17,038	21,438	4,463	22,126	26,589	23,873		27,388	
8,892	59,035	67,927	8,762	54,214	62,976	9,137		11,912	
68,338	17,675	86,013	118,070	20,244	138,314	12,991		12,570	
268,897	18,168	287,065	366,243	24,050	390,293	2,119		2,482	

機械器具	契約	798	2,806	3,604	1,131	9,802	10,933
工業	使用	652	5,859	6,511	1,632	19,113	20,745
窯業	契約	1,475	424	1,899	3,213	1,374	9,592
	使用	1,412	1,063	2,480	21,001	2,476	23,477
化學工業	契約	171,432	3,053	174,485	403,198	5,290	413,483
	使用	1,014,855	6,586	1,021,441	2,505,340	9,358	2,514,693
製材及木 材品工業	契約	1,461	1,439	2,900	6,608	4,436	11,044
	使用	2,085	2,149	4,234	6,274	4,220	10,494
印刷及 製本業	契約	53	462	515	164	772	936
	使用	38	614	652	128	1,009	1,137
食品工 業	契約	6,871	13,756	20,627	16,771	25,987	42,758
	使用	7,102	19,056	26,158	18,880	46,958	65,838
鑛業	契約	9,649	3,039	12,688	65,856	24,382	90,238
	使用	25,932	6,137	32,069	214,171	77,073	291,244
農業及 水産業	契約	908	3,556	4,464	1,676	4,710	6,386
	使用	835	2,301	3,136	2,693	6,367	9,060
雜工業	契約	173	964	1,137	835	1,941	2,826
	使用	226	804	1,030	758	2,943	3,701
其他	契約	12,083	7,936	20,019	15,716	27,175	42,891
	使用	28,834	9,896	38,730	44,485	30,144	74,629
合計	契約	207,962	39,426	247,388	579,727	126,522	706,249
	使用	1,091,158	57,386	1,148,554	2,895,979	267,406	3,163,385

※使用量은千單位以下는四捨五入하였으므로合計와 맞지 않음

(第6表) 1942年業種別電力消費百分率

紡績工業	2
金屬工業	8
機械器具工業	3
窯業	1
化學工業	58
製材及木材品工業	2
印刷及製本業	1
食品工業	7
雜工業	1
小計	83
鑛業	10
農業及水産業	1

其 他 6  
合 計 100

第5表로 볼수 있는 것과 같이我國電力需要量은年々 增加하여 갔다 1943年度는契約量全國百萬 KW 消費는 40億 KWH 나 되었다

南朝鮮의 電力需要는 解放後는 諸軍需工業의 閉鎖와 各鑛山 休眠等으로 激減하여서 約三分之一로 低減되었다

1942年度의 電力需要는 化學工業이 58% 以上을 占하고 있으나 萬一需力事情이 不許하였더라면 化學工業도 朝鮮에 移植되지 않았을 것이다 그러나 金屬工業 鑛業 食品工業等으로 되어 있으나 解放以後 南朝鮮의 電力需要의 第一位는 食品工業으로 되어 있다

上記表로 보면 南北朝鮮의 工業分布狀態를 明確히 할 수 있다 即ち 北朝鮮의 化學工業 金屬工業 窯業 製材及木材工業 鑛業等

(第8表)

解 放 後 南 朝 鮮

	電			燈		
	戶 數	燈 數	使用量(KWH)	戶 數	KW	使用量(KWH)
1946年10月	535,475	2,187,309	16,807,881	11,956	31,946	1,175,369
11月	—	—	17,512,103	—	—	1,327,497
12月	—	—	18,007,108	—	—	1,793,310
1947年1月	—	—	19,938,433	—	—	2,792,967
2月	—	—	19,490,272	—	—	2,913,772
3月	568,690	2,325,433	20,347,094	12,671	33,402	3,137,365
4月	—	—	17,540,669	—	—	2,751,907
5月	—	—	16,538,095	—	—	2,154,432
6月	—	—	15,892,696	—	—	1,632,153
7月	—	—	15,480,200	—	—	1,742,503
8月	—	—	14,852,782	—	—	1,581,400
9月	596,593	2,359,564	15,808,273	12,958	34,738	1,580,647
10月	—	—	24,214,564	—	—	1,853,614
11月	—	—	25,278,048	—	—	2,558,033
12月	—	—	24,922,394	—	—	2,911,882



4,952	23,606	28,558	4,073	25,616	29,689	38,721	39,665
5,203	33,147	38,350	9,282	41,476	50,753	6,878	19,601
10,811	2,686	13,497	14,869	2,687	17,556	9,579	9,451
42,057	3,247	45,304	55,665	4,492	60,157	1,983	1,736
569,020	9,354	578,374	511,260	11,401	522,661	24,276	25,965
3,748,775	12,693	3,761,473	3,255,364	17,479	3,272,843	7,136	7,875
10,811	7,146	17,957	11,238	7,774	19,012	14,845	16,470
9,241	6,182	15,423	8,818	7,253	16,076	3,927	2,559
241	773	1,014	298	850	1,148	—	—
212	1,029	1,241	182	1,028	1,210	—	—
26,998	45,827	72,825	24,483	47,764	72,247	619,174	88,562
24,242	67,287	91,529	24,658	63,994	88,652	19,832	20,695
74,934	30,255	105,189	81,465	30,715	112,180	28,820	31,860
337,936	95,839	433,775	369,259	98,803	468,062	4,835	14,023
2,880	6,887	9,767	2,890	6,466	9,356	12,984	5,501
2,377	7,548	9,925	4,015	9,479	13,494	7,188	3,958
2,617	3,395	6,012	3,762	2,567	9,329	35,855	38,430
2,132	3,294	5,426	2,845	3,422	6,267	10,591	13,955
28,644	34,116	62,760	20,542	35,926	56,468	59,274	53,031
76,479	41,952	118,431	184,959	35,650	220,609	24,710	31,441
804,446	198,753	1,003,404	797,413	214,136	1,011,549	880,392	348,893
4,526,443	349,426	4,875,869	4,290,052	361,345	4,651,397	98,336	130,287

分野의 南朝鮮에 對한 壓倒의 地位를 占有하는 反面에 紡績 機械 印刷 食料品工業 農業等에 關하여서는 南朝鮮이 優越하고 있으며 總消費量에 있어서는 北朝鮮이 全體의 90%以上을 占하고 있으며 이것은 北朝鮮의 化學工業의 大量需要에 因한 것임은 勿論이다

(第7表)

電燈普及狀況

	合 計		總需要 電力 KWH		南	北	計	南	北	計		
	戶數	燈數										
1926	南	107,852	368,674	7,453	南	442,129	1,962,637	51,325	南	462,324	2,090,809	55,246
	北	34,223	117,980	2,256	北	419,660	1,302,102	34,480	北	450,752	1,399,131	37,854
	計	142,080	486,654	9,709	計	861,789	3,264,739	85,805	計	913,576	3,489,940	93,100
1930	南	173,239	617,722	13,609	南	535,475	2,207,309	66,219	南	568,690	2,325,433	69,762
	北	56,645	192,377	3,958	北	—	—	—	北	—	—	—
計	229,884	810,099	17,567	計	—	—	—	計	—	—	—	

電力消費趨勢

	小 動 力		大 動 力		總 合 電 力		特 約 電 力	
	KW	KWH	KW	KWH	KW	KWH	KW	KWH
120,713	5,501,544	77,527	4,896,787	7,625	695,353	58,716	9,945,246	
—	5,013,653	—	4,009,323	—	949,189	—	8,230,974	
—	5,091,446	—	4,175,544	—	1,009,528	—	7,838,783	
—	6,214,542	—	4,426,032	—	1,170,720	—	6,956,903	
—	5,229,092	—	4,937,188	—	1,147,505	—	10,592,125	
135,148	4,553,003	75,478	4,480,923	10,496	1,455,371	97,666	11,544,467	
—	4,494,547	—	4,744,560	—	1,328,439	—	8,146,185	
—	4,080,276	—	4,558,731	—	1,270,223	—	9,996,666	
—	4,494,755	—	5,813,153	—	1,292,814	—	7,763,883	
—	6,287,375	—	5,598,311	—	1,211,488	—	8,166,272	
—	11,253,595	—	5,395,435	—	1,240,625	—	7,047,944	
147,221	9,993,294	81,693	5,545,120	12,319	1,266,558	32,370	9,323,418	
—	8,278,693	—	5,825,534	—	1,360,986	—	10,325,163	
—	7,447,618	—	5,461,858	—	1,725,678	—	11,189,146	
—	6,777,581	—	5,288,227	—	1,577,459	—	7,425,566	

다음 解放後南朝鮮의 總電力需要를 보면 다음과 같다 即第8表을 보면 알 수 있는 것과 같이 電燈 電熱의 南朝鮮總使用量의 約半은 工業用動力其他가 約半을 占하고 있다 이 動力用需要는 戰時의 約三分之一에 不過하나 電燈 電熱需要는 石炭 薪炭의 不足과 價格高騰으로 激增하고 있다

#### 4. 解放以後南朝鮮의 電力供給狀況과 對策

解放後의 南朝鮮의 電力事業運營系統은 日政時代의 機關을 그대로 襲受하고 있다 即朝鮮電力會社는 發電電의 運營 建設

을 擔當하고 있으며 京電은 京畿 江原道의 配電을 南電은 南各道及 江原一部의 配電에 當하고 있다 現在 電力需要量은 京電의 約5萬餘KW 南電의 約5萬餘KW이며 南朝鮮最大需要量은 13萬KW이며 動力用의 需要는 減少하였으나 電燈 電熱用의 需要는 增加하고 있는 것은 前記한 바와 같다 그러나 이 需要에 對한 供給은 如何한가 1946年의 初期 1947年의 末頃의 暗黒生活과 全工業의 活動停止를 想起하면 是하다 即 南朝鮮消費電力의 70%은 北朝鮮에서 供給받고 있는 南朝鮮은 北朝鮮에서 의 發電의 減少에는 極히 敏感한 立場에 있다

(第9表)

1947年南朝鮮電力供給狀況 (單位: 最大及平均은 KW 發電은 千KWH)

	南朝鮮發電量											
	38 具 北 營 電			水 力		火 力		計			合 計	
	最 大	平 均	電 力 量	平 均	發 電 量	平 均	發 電 量	最 大	平 均	發 電 量	平 均	電 力 量
1947年 1月	102,300	70,900	52,777	11,936	8,886	9,922	7,385	58,800	21,858	16,271	92,758	69,148
2月	115,200	68,300	45,911	17,818	11,977	11,072	7,440	56,100	28,890	19,417	97,190	65,328
3月	119,200	72,800	54,184	12,840	9,126	13,250	9,858	57,400	26,090	18,984	98,890	73,168
4月	112,600	45,600	32,734	32,740	23,574	7,349	5,291	74,100	40,091	28,865	85,691	61,599
5月	106,600	53,400	39,762	25,866	18,970	5,720	4,255	55,700	31,586	23,225	85,889	62,987
6月	109,516	58,253	41,941	19,920	14,342	7,794	5,519	—	27,714	19,861	85,867	61,802
7月	105,511	46,479	34,580	39,531	29,410	4,520	3,249	—	44,051	32,659	90,530	67,239
8月	122,768	52,589	39,127	30,907	22,994	65	515	—	31,672	23,509	84,261	62,636
9月	92,212	42,795	30,812	43,533	32,214	3,259	2,363	—	46,792	34,577	89,587	65,389
10月	—	73,486	54,564	20,023	14,897	14,240	10,090	—	34,263	21,987	107,749	79,551
11月	—	—	63,210	13,208	9,581	11,486	8,271	—	—	17,852	—	81,062
12月	—	—	52,147	14,660	10,906	8,164	6,460	—	—	17,336	—	69,513

이 에 對하여 南朝鮮에 있어서의 發電力은 다음 表에서 알 수 있는 것과 같이 其變動이 甚하며 即 1947年 月平均最大 4萬4千 KW였으나 其最低는 2萬1千KW에 不過하다

(第10表) 南朝鮮主要發電所別發電實績 (年平均)

	寧 越 雲 嶺 發 電 所	淸 平 發 電 所	蟾 津 江 發 電 所	合 計
1941	40,800	2,700	—	43,500
1942	41,200	3,200	—	44,400
1943	30,600	2,200	10,500	43,300
1944	18,600	2,000	16,500	37,100
1945	6,200	1,300	19,000	30,300
1946	900	800	19,400	23,800
1947	8,300	—	15,300	27,300

(第11表)

南 朝 鮮 發 電 調 查 表 (1947年 單位千KWH)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
淸 平	5,290	7,576	8,341	18,939	13,275	13,179	23,588	13,355	23,242	12,156	8,853	8,061
蟾 津 江	2,238	3,590	329	3,668	5,348	690	3,710	6,380	5,830	695	69	2,264
雲 嶺	—	—	—	—	—	—	—	1,225	1,409	633	34	—
寶 城 江	1,358	811	456	967	347	473	2,112	2,034	1,733	1,413	625	581
小 計	8,886	11,977	9,126	23,574	18,970	14,342	29,410	22,994	32,214	14,897	9,581	10,906
寧 越	6,432	7,201	9,134	4,662	4,183	5,469	3,215	488	2,320	10,035	8,195	6,092
唐 人 里	891	183	660	580	11	—	—	—	—	—	—	386
南 海 各 島	62	56	64	49	61	50	34	27	43	55	76	72
小 計	7,385	7,440	9,858	5,291	4,255	5,519	3,249	515	2,363	10,090	8,271	6,460
合 計	16,271	19,417	18,984	28,865	23,225	19,861	32,659	23,509	34,577	24,987	17,852	17,366

寧越發電所는 石炭産出의 多寡에 따라 變動하며 무엇보다도 石炭増産이 果實한 根本問題로 되어있다 또 釜山 唐人里의 發電所는 日本有煙炭人子如何에 支配되고 있는 形便이다 水力에 있어서도 淸平 蟾津江 雲嶺 寶城江等 이 함께 冬節乾期에 있어서의 貯水池水量不足과 水利組合關係 등으로 其能力이

激減하는 狀態에 있다 故로 結局 南朝鮮에 發電量은 南朝鮮總 需要電力量의 20~40%을 供給하고 있는 時 不過하다

北朝鮮에서의 發電은 서울線에서 平均 3萬KW 華川線에서 平均 1萬5千KW 中臺里線에서 平均 1萬 KW 計平均 5萬餘KW를 受電하고 있는 時 습이다

이北朝鮮으로부터의 受電關係에 있어서는 1947年6月에 第一回假協定에 있어서 8.15부터 1947年5월까지의 北朝鮮에 對한 送電料金은 1,633萬圓으로 推算하여 廢波로 接收을 決濟 せられた 其後 圓滿히 送電中이든바 同年 10月의 第二回協定에 있어서는 充分한 成果를 얻지 못하였을뿐더러 北朝鮮의 送電施設의 故障等으로 同年 11月末부터 送電量이 減少함에 이르렀던 것이다

南北朝鮮이 統一된다면 電力問題가 解決될것은 勿論이다

이北朝鮮에 對한 送電量減少가 南朝鮮工業其他에 미친 影響은 莫其한 것이다 茲에 南朝鮮을 獨自의 으로 南朝鮮需要 量에 應할수 있는 電力을 如何한 方法으로 解決하지 않으면 안되게 되었다 即 南朝鮮의 各火力發電所의 修及을 修補補完하여 其發電能力을 引上시킬것과 工業中에 對한 淸津江의 工業 廢機修補運轉하는 勿論 未着手本力地點의 開發이 必要하다 必要時에 應하여 淸津江發電所 工事費로서 殖産銀行으로부터 10億圓의 起債을 淸政中央經濟委員會에서 承認하게 되었으며 寧越鐵廠에 對한 1億3千萬圓의 起債을 國家工助에 依한 施設과 補修工事로 1947年에 着手되여 日産 600瓩을 送電中이고 1948年11月 12月에는 日産 1,800瓩을 送電할수있게 하는 計劃 發電力은 平均 2萬5千KW로 擴張키로 淸政當局에서 計劃을 進行中에 있다 北朝鮮淸海軍當局에 對한 2萬KW의 重油發電機를 釜山에 設置하여 1948年3月中旬부터 發電을 可能케 하고 太平洋戰爭時 美軍이 使用中이던 3千KW의 發電機를 朝鮮人의 手으로 修理하여 非常時에 對備하게 되었다

한편 消費部門에 있어서는 1947年12月15日行政法令 第9號에 依하여 非常時電力委員會가 設置되어 電力의 有效且適當한 分配를 保障하고 非常時場中 電力의 使用分配을 管理할 權限이 賦與되었었다 또 이法令에 依하여 事務所 料理店 家庭에서 電熱의 使用이 禁止된바 同時에 電力使用의 優先順位가 決定되었었다

其順位를 보면 如次하다

優先順位第一 水道 通信 炭礦 製炭工場 病院 鐵道 刑務所 及 留置場에 依한 使用

優先順位第二 精米 榨穀所 瓦斯工場及 軍用에 依한 使用

優先順位第三 必須工場 企業體에 依한 使用 及 必須家庭及 宿舍에 光用

南朝鮮의 電力問題에 있어서는 特別重要하긴은 寧越發電所이며 이發電所는 前述한바와 같이 過去에 있어서는 南朝鮮需要의 大部分을 供給하였으면 最大20,000KW까지 出力한 實績이 있는만큼 最大能力으로 發電이 可能하다 南朝鮮에 있어서는 電力問題는 自然解決될것이며 北朝鮮送電에 依한 必要가 없게 될것이다 本力發電所의 新設에는 甚大한 經費와 資材의 技術과 長久한 時日이 必要할것이므로 南北分割이 永久的의 以上 于先 火力發電所에 期待하는 것이 좋을것 같다 寧越發電所는 石炭 1噸에 電力 1KW發電이 可能하다 하니 石炭問題만 解決된다면 有望하다 故로 寧越炭田으로는 不足하니 近方에 있는 崔善炭田을 開發하여 이에 補充할 必要가 있을것이며 夏季에는 淸津江等의 本力을 最大限利用하며 石炭의 貯藏을 하면 冬季에 對備할 必要가 있다 日政時에도 兩期에는 本力을 最大限으로 利用하며 石炭을 貯藏하며 電力需要가 큰 冬季에 乾期에 그貯藏炭을 利用하여 8萬KW의 成績을 낸 것이다

電力의 需要는 層次 激增하여 갈것은 明白하다 解放後 大部分 休戰中에 있는 各鐵山의 開發促進과 同時에 各種工業의 復興 鐵道의 電化 農地의 電化 一般家庭의 電熱利用等은 非單南朝鮮 뿐만 아니라 全國의 發電施設의 一層의 擴張을 要求한 것이다

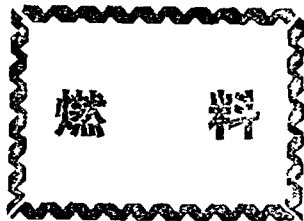
特別 石油資源의 缺乏과 石炭資源의 少量에 對하여 石油 石炭의 動力 又是 燃料로서 消費은 可能한 限節約해야 할 形에 있는 我國에서는 電力 特別 本力電力에 偏重되는바 甚大한 것이었다

※ 參 考

各 國 發 電 量 比 較 (月平均 單位 百萬KWH)

	1937年	1940年	1943年	1945年	1946年	1947年			
						1月	4月	7月	10月
아 두 겐 國	183	212	244	233	254	262	274	301	—
壤 地 利	152	—	—	—	248	193	261	320	229
白 耳 其	462	349	422	377	520	646	579	559	—
加 奈 陀	2,265	2,461	3,305	3,263	3,383	3,807	3,653	6,664	772
	42	48	68	79	84	109	74	87	91
中 國	—	—	—	—	82.3	218.2	191.6	130.6	—
捷 克 斯 洛 伐 亞	343	468	555	369	465	568	527	492	616
丁 抹	62.8	53.7	73.8	59.1	87.3	119.0	102.1	88.0	130.1
佛 蘭 西	823	933	903	809	901	898	1,391	1,073	—
	691	515	760	655	946	1,309	721	968	—
獨 逸	—	—	—	—	492	438	406	413	—
	—	—	—	—	827	1,033	835	894	—
	—	—	—	—	206	—	—	—	—
印 度	—	204	261	298	290	298	294	318	—
伊 大 利	—	1,366	1,313	941	1,279	1,166	1,503	1,849	—
日 本	2,265	2,626	2,903	2,255	2,519	2,729	3,009	2,524	—
波 蘭	184	213	211	93	225	300	258	245	333
瑞 典	280	—	—	—	476	580	508	512	—
瑞 士	538	606	787	973	1,009	1,175	935	869	—
西 國	441	524	583	665	698	564	675	787	—
美 國	1,909	2,383	3,079	3,106	3,437	4,671	3,387	2,866	3,725
美 國	3,658	3,943	6,162	6,664	6,633	7,136	7,287	6,516	5,492
	6,242	7,876	12,232	11,876	11,876	14,500	13,216	14,236	16,846

註 (1) 美國占領地域 (2) 英國占領地域 (3) 佛蘭國占領地域



目 次

1. 概 觀  
2. 瓦 斯  
3. 該 炭(쿠 스)  
4. 煉 炭  
5. 林 産 燃 料

概要——解放前後的概況——瓦斯  
供給現狀과 配路——副産物——  
瓦斯事業의 當面問題

概要——雷給現狀——國策으로  
林産燃料

1. 概 觀

現代先進諸國家의 發展은 工業의 發達로 遂成된 것이며 그 工業의 原動力은 石炭 石油 등의 燃料이 있다 石炭 石油의 使用法이 改良 進歩됨으로써 工業의 原動力인 燃料의 種類는 더욱 多量豐富하여졌다 石炭은 例로 들면 現代에 있어서는 燃料炭으로서의 石炭의 効用性은 乾溜工業의 原料炭으로서의 需要가 大에 따라 相當히 低下되고 있는 것이다 乾溜炭의 高溫乾溜으로서는 그 重油의 15%의 瓦斯 70%의 쿠스及 5%의 木炭을 産出할 수 있다 이것이 用石炭乾溜工業이며 여기서 産出되는 瓦斯及 쿠스는 燃料價値가 큰 것이다 쿠스及 쿠스는 火力이 價廉과 그 火力을 長時間히 供給함으로써 製糖 製紙 機械工業等 重要한 諸工業의 不可缺한 燃料로서 그 需要는 現代工業의 發達에 따라 增大하여지고 있다

石炭은 이와같이 乾溜工業의 原料炭으로서 需要가 大하고 있으나 燃料炭으로서의 石炭의 需要가 低減되고 있는 것은 決로 아니다 原料炭으로서의 石炭은 石炭炭 質 低價炭이라야만 되는바 因하여 雙方의 需要는 더욱이 지고 있다

朝鮮은 不幸히도 이 乾溜工業의 原料炭에 適當한 石炭의 生産이 없다 解放以後 美軍政의 幹政으로 相當量의 日本炭이 輸入되고 있으나 鐵道其他의 需要가 莫大함으로 乾溜工業에 對한 供給은 到底히 그 需要를 滿足시킬 수 없는 現狀이다 여기서 瓦斯事業者 쿠스事業者의 利益을 가 있는 것이다 石炭의 低溫乾溜으로서 70%의 半成쿠스 10%의 瓦斯及 10%의 木炭을 産出하는데 그 使用炭에는 制限이 없었으므로 日政下에 北朝鮮의 煤田 鑛業會社等 諸工場에서 褐炭의 低溫乾溜工業의 發達을 보았으나 現在 南朝鮮에는 低溫乾溜及 瀉工場은 없다 이 低溫乾溜에서 産出되는 半成쿠스는 家庭用 燃料로서 適當한 것이다 南朝鮮의 燃料 難은 緩和하기 위하여는 이 低溫乾溜工場의 設置도 研究할만 한 것이 있다고 본다

모든 家庭用 燃料을 볼 때 朝鮮 家庭의 大部分 거의 全部가 封建時代부터 使用하여오던 林産燃料의 使用만을 燃料의 全部로 認識하고 있지 않은가 日政下부터 瓦斯 쿠스 등의 現代的 燃料의 惠澤을 입은바 적었던 우리 國民은 解放後 林野 監視의 不徹底 舊日 人家屋의 溫寒 施設에 因한 燃料 需要의 增大 등으로 山林의 濫伐은 極甚히 되었으며 日政下에 보지 못하던 連々 火山을 現出하고 있다 더욱 最近 石炭의 入手 難으로 因하여 燃料 使用을 石炭에서 薪炭으로 轉換하고 있는 傾向이 많은 것을 看取할 수 있는데 이는 山林 荒廢化 防止를 爲하여 憂慮한 現狀이다

燃料問題는 食糧問題와 같이 오히려 그보다 더욱 重大한 問題이다 解放後 朝鮮 燃料協會의 發足을 보아 諸般 燃料問題의 對策을 研究하고 있으나 朝鮮의 石炭不足의 解決은 거의 不可能한 일이며 將次는 外國 貿易의 正常化로서 外國炭의 輸入 增加와 一面 國產 無煙炭을 加工하여 京電의 對外 輸出 등이 可能視되고 있다

燃料로서는 石炭 石油 林産燃料 등이 가장 重要한 것인데 石炭及 石油는 本報 煤礦及 動力 篇에서 論及된 것임으로 本篇에서는 石炭乾溜工業으로 産出되는 瓦斯及 쿠스, 國產 無煙炭을 主

로 하여 生産되는 煉炭及 林産燃料만을 取扱하였는데 이는 便宜에 依한 것이다

2. 瓦 斯

概況——朝鮮의 瓦斯事業은 1907年에 京城 電氣株式會社의 前身인 日韓 瓦斯株式會社가 所謂 當時의 帝國 統監府의 特許를 얻어 1909年에 供給을 開始한 것이 濫觴이었는데 이어서 1910年에 朝鮮 瓦斯株式會社(本會社의 事業은 1938年 南朝鮮 地方의 配電에 對한 大合同에 依하여 成立한 朝鮮 合同 電氣株式會社에서 引繼經營)의 前身인 韓國 瓦斯株式會社가 特許를 얻어 1912年에 供給을 開始함에 이르러 爾來 前者는 京城府(서울市)을 後者는 釜山府 電氣 區域으로 하여 瓦斯供給事業을 하는 同時에 兩者가 電氣事業을 兼營하여 왔던 것이다 이와같이 朝鮮의 瓦斯事業은 比較的인 歷史가 짧으나 그 利用者는 大部分이 日本人이었고 我國人으로서 그 惠澤을 입은 바는 尙少하였다는 것은 從에 言及한 需用者의 國籍 別表가 證明하는 바이다 그러므로 瓦斯事業의 發展 與否는 全로 日人 移民 關係와 日人 資本家의 朝鮮 進出에 如何에 결 定되었으므로 그 後 約 30年 間을 두르는 瓦斯供給 區域은 京城府와 釜山府에 限定되었는데 1936年에 이르러 西朝鮮 合同 電氣株式會社의 設置과 大邱府(府營)에 瓦斯事業經營이 認可됨으로써 前者는 平壤을 後者는 大邱를 供給 區域으로 하여 各々 1937年에 事業을 開始함에 이르렀다 또 1938年에는 新義州 府營)에 同業經營이 認可되어 滿洲 瓦斯株式會社 安東支店에서 瓦斯를 購入하여 이를 供給하여 왔다 이로 因하여 1942年 當時의 全朝鮮 瓦斯事業者는 5事業 體 4工場으로 그 內容은 下表와 같으며 前者는 電氣事業을 兼營하고 後者는 即 新義州 府營는 生産은 함코 供給事業만 하여 왔다

(第 1 表) 瓦斯事業者狀況 (1942年)

供給區域	資本金 千圓	拂込 資本金 千圓	瓦斯事業 興業 費 千圓
京城 電氣株式會社 京城 仁川	33,800	28,070	3,116
南朝鮮 合同 電氣株式會社 釜山	35,000	25,012	648
西朝鮮 合同 電氣株式會社 平壤	30,000	25,100	404
大邱 府 大邱	—	—	310
新義州 府 新義州	—	—	133

註 京電, 南電, 西電은 電氣事業 兼業으로 資本金及 拂込 資本金은 事業 全部의 合計을 揭記하였음

이외에 日人은 所謂 仁川 造兵廠의 瓦斯 需要에 應키 爲하여 1941年 仁川에 瓦斯工場을 築工 1942年 1月부터 供給을 開始하였으나 이는 全部 同兵廠의 需要에 充當되었고 一般에 對한 供給은 없었다

그리하여 이들 各事業場의 1942年의 設備을 보면 5事業場의 總發 生産 能力은 27萬으로 그 中 京電은 (往十里 工場히 設備이 前이었으나) 總生産 能力의 殆半을 保有하고 있었다

(第2表) 瓦斯發生設備 (1942年)

京 城	發 生 形 式	總 數	1942年	
			需 用 戶 數	發 生 量
京 城	水 平 式	9	103	45,000
	傾 斜 式	4	36	
仁 川	水 平 式	2	18	8,280
釜 山	水 平 式	6	54	13,000
平 壤	水 平 式	4	28	5,712
大 邱	水 平 式	2	14	2,200

新 義 州

△ 計 27 258 74,692

1937年乃至1942年間の 需用戶數及販賣量を 年度別로 보면 下表와 같은바 需用戶數에 있어서는 每年 相當한 增加를 보이고 있으나 瓦斯販賣量에 있어서는 1940年을 最高로 行年 遞減하고 있었다 即 1940年以後의 大正洋戰後期에 있어서는 生産力의 軍需 設備 擴張의 影響으로 1942年에는 所謂 仁川造兵廠工場의 供給量을 計上하여도 相當한 減少를 보인 것이었다

(第3表) 解放前年度別地區別瓦斯販賣狀況 (自1937年~至1942年)

京 城	需 用 戶 數 (戶)	販 賣 量 (m <sup>3</sup> )	1937	1938	1939	1940	1941	1942						
			16,070	7,803,775	17,960	9,222,457	19,355	19,115	19,303	19,455				
釜 山	需 用 戶 數 (戶)	販 賣 量 (m <sup>3</sup> )	4,268	2,452,200	4,321	2,590,824	4,711	2,802,120	5,091	3,008,266	5,155	2,788,233	5,201	2,726,308
	需 用 戶 數 (戶)	販 賣 量 (m <sup>3</sup> )	1,092	56,032	1,624	434,661	1,777	660,906	1,766	903,579	1,880	820,486	1,955	986,536
大 邱	需 用 戶 數 (戶)	販 賣 量 (m <sup>3</sup> )	1,266	68,025	1,433	337,716	1,446	452,619	1,496	608,737	1,567	532,270	1,571	635,412
	需 用 戶 數 (戶)	販 賣 量 (m <sup>3</sup> )	—	—	327	22,359	444	146,438	609	249,131	620	300,155	647	318,242
新 義 州	需 用 戶 數 (戶)	販 賣 量 (m <sup>3</sup> )	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	需 用 戶 數 (戶)	販 賣 量 (m <sup>3</sup> )	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,218,006	
合 計	需 用 戶 數 (戶)	販 賣 量 (m <sup>3</sup> )	22,696	10,380,032	25,665	12,608,017	27,833	15,251,254	28,287	17,866,390	28,530	17,618,091	28,829	17,592,235

上表를 通하여 1942年의 南北朝鮮의 需用戶數及販賣量을 對比하면 需用戶數는 南朝鮮 25,227戶로 全體에 對하여 80% 이니 남하여 10%가 北朝鮮의 것이었으며 販賣量에 있어서는 南朝鮮 16,287千立方米로 全體에 對하여 93%를 占하고 있었던 것이다

瓦斯事業에 있어서는 副産物 產出이 重要하다 即 瓦斯生産過程에 있어서는 木炭(發炭) 木炭 카-본 크레오소-르 등의 重要한 副産物이 自然의 으로 產出되는데 如斯한 副産物 特別히 木炭과 瓦斯와는 相互密接한 關係를 맺고 있는 것이다 瓦斯生産에서는 木炭을 產出하고 木炭生産過程에서는 瓦斯을 產出하게 된다 即 上述한 瓦斯事業者는 瓦斯뿐만 아니라 木炭及其他의 副産物의 生産으로 그 事業經營을 合理化하고 있는 것이다 그러나 木炭生産工場에서는 瓦斯는 空에 放出시키고 木炭만 生産하고 있다 이 木炭은 前者 即 瓦斯生産에서 副産되는 瓦斯를 스외區別되어 冶金 木炭이라고 瓦斯를 木炭보다 質이 優秀

하며 木炭도 自然의 으로 產出하고 있는 것이다 以下 瓦斯의 副産物로 가의 木炭은 本項에서 言及하고 木炭을 全體에 對하여는 項目를 單利히 觀望하겠다

解放前後의 實情——1942年의 所謂 仁川造兵廠 瓦斯工場의 設備及 1944年에 京龍往十里工場의 完成供給開始로서 全朝鮮에는 6개 炭場 7個 工場이 있었으나 仁川造兵廠工場은 一般에 對한 供給이 없었으므로 實地로 一般에 瓦斯供給을 한 것은 5개 炭場 6個 工場이었다

1943年의 南朝鮮 各事業場의 瓦斯管 延長을 보면 總延長 1,249 浬로 그 大部分을 京龍이 占하고 있으며 同年의 瓦斯供給狀況을 보면 總需用戶數는 27,700戶로 地方別 比率는 京城 74% 釜山 20% 大邱 6%이며 販賣量 比率는 京城 78% 釜山 13% 大邱 4%이었다 同年의 需用者 每戶 當消費量은 平均 607 立方米이었다

(第4表) 瓦 斯 管 延 長 (1943年)

京 城	歷 管	本 年	核 心	引 込 管	內 管	合 計
京 城	17,402	140,463	114,322	322,505	332,975	927,667
釜 山	5,431	30,979	58,155	76,354	81,430	252,349
大 邱	—	16,347	8,323	29,301	15,043	69,014
△ 計	22,833	187,789	180,800	428,160	429,448	1,249,030

(第5表) 需用戶數及孔口數 (1943年)

京 城	需 用 戶 數	孔 口 數	1 戶 當 孔 口 數	釜 山	大 邱	合 計
京 城	20,765	43,455	2.1	5,318	1,617	27,700
				10,078	3,445	56,978
						2.1

(第6表) 1943年瓦斯需給表

	製造量	供給量	販 賣 量			收 縮 減 量	
			家庭用	工業用	自家消費		
京城	13,043	13,043	10,900	1,088	5	11,993	1,050
釜山	3,152	3,152	1,683	1,149		2,835	16
大邱	619	619	519	59	1	579	40
合計	16,814	16,814	13,102	2,296	10	15,403	1,106

(이외에仁川造兵廠製造量 999千立方米)

上表에依하면 供給量의約8%가 途中에서洩散하고있다 販賣量內經 即用途別需要量은 家庭用이第一位로35% 다음 工業用15%의比率이다 이에對한原料 特別原料炭 燃料 電力消費量及副産物生産量은 다음과같다

(第7表) 原料炭, 燃料及電力消費量 (1943年)

	原料炭 噸	兪姆燃料 噸	電力消費量 萬kwh
京城	29,841	6,369	826,100
釜山	7,935	1,441	57,363
大邱	1,302	325	6,569
仁川	1,987	547	5,114
合計	41,065	8,682	895,146

(1千立方米的瓦斯生産에對한 原料炭平均所要量2.3噸, 兪姆燃料平均所要量 0.49噸, 電力不定이다)

(第8表) 副産物生産量 (1943年)

	목 스	는 탈 카 - 본 크 레 오 트	톤	m
京城	18,371	1,276,100	3.3	—
釜山	5,229	397	0.5	29,633
大邱	813	54,253	—	—
合計	24,413	1,330,353	3.8	29,633

以上으로 生産의實狀을아왔다 그러던如斯한瓦斯供給에對한 需用者의實情은 어떠한것인가 換言하면 瓦斯라는 現代文明의産物에對하여 그惠澤을누가얻었는것인가 1943年統計에依하면 總需用戶數 27,700戶에對하여 朝鮮人需用者는 1,855戶 即7%에不過하였고 日人需用者는 25,799戶로 實로 總需用者의93%를 그들이獨占하였음으로 朝鮮에서 우리가 瓦斯의惠澤을받은 것은 實로微々하였는것이다 이를那業地別로表示하면 다음과 같다

(第9表) 瓦斯需用者國籍別表 (1943年)

	朝鮮人	日本人	其他外人	合計
京城	使用戶數 1,254	18,456	32	19,742
	休止 // 69	953	1	1,023
	小計 1,323	19,409	33	20,765
釜山	使用戶數 328	4,972	10	5,310
	休止 // -	8	—	8
	小計 328	4,980	10	5,318
大邱	使用戶數 204	1,410	3	1,617
合計	1,855	25,799	46	27,700

1944年에들어가서는 日帝는所謂戰時物動計劃으로 總瓦斯生産計劃量을 20,556千立方미터로하고 이것을京電에 16,162千立方미터, 南電에 2,924千立方미터, 西電에 946千立方미터及大邱府에 524千立方미터를各々生産割當하며 이에對한所要原料로普通

鋼々材 8噸, 普通鉄 10噸, 鉛 2噸, 電氣銅 1噸, 亞鉛 1噸, 銀 1噸及세멘트 740 噸을確保 各事業場에配當하였으나 結果에依하여生産實績은 京電 10,658千立方미터, 南電 2,569千立方미터, 西電 1,223千立方미터及大邱府 528千立方미터로 合計 14,978千立方미터이되計劃量에對하여 72%의生産에不過하였는것이다

(第10表) 1944年瓦斯生産實績表

	生産能力 m³	生産實績 m³
京電龍山工場	10,584,000	6,292,420
同 往十里工場	11,520,000	4,365,930
南電釜山工場	4,536,000	2,568,741
大邱府營工場	453,600	528,291
西電平壤工場	807,200	1,222,783
合計	27,900,800	14,978,170

그리하여紹介直前에는 1944年에 京電往十里工場의供給開始로 全國 6 事業場 7 個工場中 西電平壤工場及新義州府의北朝鮮所屬으로 現在南朝鮮에는 4 事業場 5 個工場이남아있다 그러나仁川造兵廠工場은 施設破壞等으로 그運營은全然中止되고있다 解放以後에上表에對하여는 戰爭末期에石炭不足으로因한 運營休止及施設의破壞等으로 多少의變動이있을것이나 確實한數字가不備함으로 1944年의瓦斯及副産物生産設備及生産能力을揭載함으로써 現有施設을測定하기로한다

(第11表) 瓦斯及副産物生産施設及能力 (1944年)

	所有發生機		每月生産能力		
	形式	門數 架數	瓦斯	木	煤
京電龍山工場	【水平式 貫通式】	9 12	882	840	125
		1 9			
同 富平工場	【水平式 貫通式】	2 9	178.5	170	21
同 往十里工場	【若林式 貫通式】	10 4	960	2,100	150
南電釜山工場	【水平式 存底式】	6 9	378	360	45
西電平壤工場	【同上】	2 7	75.6	126	9
		2 7	37.8	87	4
大邱府營工場	【同上】	—	—	—	—
新義州府	—	—	—	—	—
合計	—	35 57	2,511.9	3,683	354

1944年後期以後는 石炭이入手難으로因하여 上表工場이 完全히運營될수 없었고 瓦斯生産實績도 相當히減少하여진 것은 既述한바와같다 그러나그反面에있어는 工業用瓦斯需要가激增함에따라 冶金學工場에서 瓦斯採取設備을計劃하여 建設中이었던것도있었고 또冶金學工場은主生으로設備한 瓦斯工場도있었다 前者의建設中인것은 三國商會仁川學士工場이고 後者는京電往十里工場이었다

瓦斯供給現狀과區別—瓦斯生産에絕對不可缺한 것은原料炭인데 國內産無煙炭은適當치않음으로 對日本輸入의有煙炭에만 依存하고있는現狀이다 解放後京電의兩瓦斯工場은 1946年 2月中에까지는 全然瓦斯生産을中止하였었고 그以後에도採炭은開始되고있으나 亦是原料炭不足으로 그生産이充分치 못한形便이다 그리하여現在의採炭狀態는 全設備의 約5割程度가 運營되고있음에不過한 現狀이다 그러나 1947年에들어가서는 比較的의顯現으로 石炭割當으로 生産實績 8百萬立方미터를突破하여 解放前의生産高에는 未及하나 相當한成果를 보이었다 工業行政當局에서는 1948年度에는 더욱採炭을計劃하여 生産目標量을 1千1百萬立方미터로計上하고 이에對하여 年中 3萬2千噸의原料炭을 配當한計劃을樹立하고있다

(第12表) 南 朝 鮮 瓦 斯 工 場 表

	生 産			1948年度所要	
	最大生産能力 m <sup>3</sup>	1947年實績 m <sup>3</sup>	1948年計畫 m <sup>3</sup>	原 料 炭 噸	從 業 員 數 人
京 電 往 十 里 工 場	14,400,000	2,968,593	5,400,000	18,000	79
同 龍 山 工 場	10,000,000	2,828,890	2,880,000	7,200	73
南 電 釜 山 工 場	10,000,000	1,797,520	2,400,000	6,000	62
大 邱 府 營 工 場	432,000	432,000	432,000	1,000	21
合 計	34,832,000	8,027,003	11,112,000	32,200	235

한편瓦斯事業에對한 原料炭配當은 解放後 1947年1월까지  
는 石炭配當을各道에一括配當케하여 그用途別配當은各道에  
一任되었으나 1947年8月以後 瓦斯工場에對한原料炭配  
當은 商務省直轄下에 實施키로決定되었었다 京電의龍山, 往十  
里兩工場을 비롯한 南朝鮮 4個瓦斯工場에對한 原料炭配當量

은 1947年8月에는 1千2百噸이었으나 그後漸次增配하여 1948  
年1月에는 2千8百噸에達하였었다 1947年8月부터 1948年4月  
까지의 月別 事業場所別原料炭供給量은 下表와같은바 同期  
間中總供給量의80%以上은 京電의兩工場에供給된것이다

(第13表) 瓦 斯 事 業 에 對 한 原 料 炭 供 給 量 (自1947年3月 至1948年4月)

	1947年					1948年				
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	計
京 電 往 十 里 工 場	450	900	950	950	950	1,100	950	950	650	7,850
同 龍 山 工 場	450	—	450	450	450	950	950	950	600	5,250
南 電 釜 山 工 場	200	200	250	250	250	600	550	550	450	3,300
大 邱 府 營 瓦 斯 工 場	100	120	150	150	150	150	150	150	120	1,240
合 計	1,200	1,220	1,800	1,800	1,800	2,800	2,600	2,600	1,820	17,640

다음瓦斯料金は 1942年9月에는 1立方米에對하여 京城  
10.5錢 釜山11錢 大邱11.5錢 平壤及新義州 12錢이었으나  
現在南朝鮮의瓦斯料金は 1立方米3圓20錢으로統一되어있다  
物價高로因한業者의採算難으로 近々大幅引上되리라한다

副産物——瓦斯事業은 瓦斯生産으로서뿐만아니라 瓦斯  
生産過程에서産出되는 副産物로서 그選別을合理化하고있다  
는것은 上述한바이다 副産物로서 重要한것은 燐스 2  
달 카—본 크레오소—트等인데 如斯한副産物은 그用途가他  
工業用原材料 或은藥品으로서 그需要가廣範圍에亙함으로써  
生産過程上으로는 副産物이라할지라도 工業立國上으로는 極  
히重要한것이다 그중燐스에對해서는 瓦斯生産의副産物로서  
의瓦斯燐스도있으나 燐스를主産物으로하여生産하는 冶金燐스  
工場도重要한으로 燃料을論하는立場으로보아 瓦斯의項目을  
달리하여論한이 妥當할것이다 다만여기에서는 燐스外의副  
産物 特別한需給狀況을簡單히言及하여둔다

물달은朝鮮內生産만으로는 相當히不足함으로 日政下에도  
相當量은外國에서 輸入하여왔던것이다 即1941年及1942年의  
물달需給狀況을보면 國內生産은總需要量의20%乃至30%에  
不過하였으나남어지는 日本滿洲等地에서輸入되어왔던것이다

(第14表) 物 達 需 給 表 (1941年及1942年)  
(單位 噸)

	需 要			供 給		
	官需	民需	計	國內 生産	輸 入 對滿洲	輸 入 對日本
1941年	177	7,177	7,354	1,710	10	5,634
1942年	89	10,021	10,110	2,911	600	6,599

1943年의副産物으로서의물달生産量은 前記한바인데 그後終  
戰直前의生産量은 正確한數字는알수없으나 1944年의日人의  
所謂物動計數에아라한 用途別需給計畫을보면 軍需52噸 官  
需 115噸 輕金屬工業 1,140噸 化學工業 376噸 機械工業 3  
噸 燃料工業 30噸 造船工業 2噸 其他 240噸 合計 1,958  
噸이니 工業建設에있어서 물달의用途가얼마나 重要한것인  
가를알수있다

解放以後의물달生産은 瓦斯工場運轉狀態如何로左右되여  
相當히生産減少를招來하고있으나 1947年에는 生産實績640  
噸이라는 相當한成果를보이고있다 그러나이것으로서는到底  
不足함으로 相當量의물달이 美國에서輸入되고있다 1948年  
生産計畫은다음과같다

(第15表) 1947年물달生産實績及1948年生産計畫  
産

	最大能力	1947年實績	1948年計畫
	噸	噸	噸
京電往十里工場	1,440	282	640
同 龍山工場	1,000	192	288
南 電釜山工場	1,000	123	240
大 邱 府 營工場	43	43	40
合 計	3,483	640	1,208

瓦斯事業의當面問題——瓦斯生産은 原料炭 供給如何에左  
右되고있다 特別瓦斯生産用原料炭은 右煙炭이때지만필요로  
現在右煙炭의輸入이 如意치못한現狀으로보아 이原料炭問題  
는 瓦斯生産에 큰障礙가되고있다 現在右煙炭配當은 美軍의  
直轄로되어있는데 解放以後 瓦斯及燐스事業에對한供給量이  
漸次 增加되고있는傾向은 瓦斯増産을 爲하여 多幸한일이다  
日政下에는瓦斯의惠澤은 大部分日人들만얻었음으로 解放後  
인今日에있어서 文明國으로서는 瓦斯를닐리普及及지필必要가  
있는것이다 그러자면 于先 瓦斯의生産을 擴充하여야할것이  
다 事業場으로서는 現有設備은 充分히活用한것이며 仁川  
의休止工場及 瓦斯採取施設을計畫中이든燐스工場도 整備活  
用하여야할것이다

技術者에있어서도 日政下에는 朝鮮內技術者로서 技師及  
技手類으로 約30名 熟練工으로 約50名이있었는데 現在는熟  
練工만은 日政下에 從軍하든사람으로 充當된수있으나 技師  
及技手類技術者는 極히少數임으로 技術者養成問題도 緊急  
한것이다

結論으로말하면 石炭乾溜工業은 모—든工業의推進力이된  
다는것이다 電氣와함께 瓦斯가民族文化發展에 緊要한은 資

實용을치않을것이다 더구나朝鮮의一般家庭에서는 燃料로서는 主로 煤炭만을 使用하고있는데 山林荒廢化防止의見地에서보르때도 瓦斯使用이 普及될것을 切實히느끼는바이다

### 3. 鐵 炭 (코스)

朝鮮의코스事業은 最初瓦斯生産過程의 副産物로서發達하여왔다 그後 코스를主産하는工場으로서 日鐵釜二浦 淸津兩工場及 三國商會仁川코스工場의設立을보았다 瓦斯工場의副産物로서 生産하는코스는 瓦斯코스이고 코스主産工場에서 生産하는코스는 冶金코스라함은 前項에서 言及한바이다 日鐵釜二浦 淸津兩工場에서는 大量의冶金코스를 生産하였으나大部分이自家消費되었고 一般市販은 極少量에不過하였다 三國商會仁川코스工場은 1940년에設備되었는데 市販用으로 相當多量을生産하였었다 그러나 코스生産도 瓦斯事業과 같이 原料投入手如何에 左右되고있으며 또 戰時中の需要增加에따라 相當量의코스를 日本 滿洲等地에서 輸入하여왔은것이다 1941年及 1942年의 코스需給狀態를보면 下表와같이 實生産의 86%以上을 自家用으로 消費하고있었는데 大部分이日鐵兩工場에서 自家消費한것이였으며 그外에不足量을 日本, 滿洲等地에서 輸入하고있었다 1941年度에는 冶金코스 72,329噸 瓦斯코스 7,085噸 計 79,414噸이輸入되었고 1942년에는 冶金코스 80,856噸 瓦斯코스 3,972噸 半成코스 572噸 計85,500噸이 輸入되었었다 1941年及 1942年의 코스生産高는 다음과같다

(第16表) 코스 生産表

		(單位噸)		
		實生産高	自家用	市販
1941年	冶金코스	374,599	371,954	2,645
	瓦斯 //	25,261	8,936	16,325
	半成 //	169,998	116,607	53,391
	計	569,858	497,497	72,361
1942年	冶金코스	557,044	543,740	13,304
	瓦斯 //	25,874	8,902	16,972
	半成 //	204,190	131,048	73,142
	計	787,108	683,690	103,418

다음1943年의코스生産을보면 瓦斯코스工場으로서는 京電의 兩工場을爲始한 5個工場 冶金코스工場으로서는 三國石炭仁川工場을爲始한 9個工場이었는데 그工場別生産額은 다음과같다

瓦斯코스	京 電 工 場	18,200噸
	南 電 釜 山 工 場	4,600 //
	西 電 平 壤 工 場	1,300 //
	大 邱 府 營 工 場	1,300 //
	小 計	25,400 //
冶金코스	三國石炭仁川工場	19,500 //
	山 峰 코스工場	3,000 //
	南 鮮 코스工場	3,000 //
	東 和 코스工場	600 //
	朝鮮燃料工業工場	600 //
	日 窒 工 場	27,500 //
	京 池 往 下 里 工 場	1,400 //
	日鐵釜二浦工場	437,000 //
	同 淸 津 工 場	469,000 //
	小 計	961,600 //
合 計	987,000 //	

上記工場中 西電平壤工場 朝鮮燃料工業工場 日窒工場及 日鐵의兩工場은 現在北朝鮮에所在하고있다 日鐵의兩工場에

서는 코스總生産高의 90%以上을生産하였으나 그全部가製鐵用으로自家消費된것이였다 如斯한生産은 用途別로보아 어떻게消費되고있었는데 1943年의需要實績(推想)을보면

(第17表) 1943年度코스産業別需要額 (推算)

		瓦斯코스	冶金코스	合 計
製 鐵	製 銑	—	942,500	942,500
	製 鋼	300	3,100	3,400
	其 他	—	420	420
計		300	946,020	946,320
瓦 斯 及 코스 工 業		1,600	—	10,600
機 械 金 屬 工 業	鑄 物 業	3,300	28,200	31,500
	其 他	7,300	4,600	11,900
計		10,600	32,800	43,400
藥 業	세 멘 트	—	300	300
	硝 子	300	130	430
	其 他	400	2,700	3,100
計		700	3,130	3,830
化 學 工 業	工 業 醫 藥	5	240	245
	肥 料	—	20,400	20,400
	升 一 可 以 脫	500	4,100	4,600
	輕 金 屬 機	1,200	1,900	3,100
	其 他	50	—	50
	計	1,755	26,640	28,395
鑛 山 製 鍊	鑛 山 用	900	1,400	2,300
	製 鍊 用	450	26,500	26,950
計		1,350	27,900	29,250
石 油 及 人 造 石 油		—	210	210
其 他 産 業		1,100	880	1,980
軍 需		150	4,400	4,550
官 需	鐵 道	600	3,500	4,100
	其 他	260	120	380
	計	860	3,620	4,480
總 計		27,415	1,045,600	1,073,015

註 本表는 日人의物動計劃中の需要實績推想額인 바如한바 製鐵業의大量需要는 日鐵兩工場의 自家需要分이지만 機械金屬工業 化學工業及鑛山製鍊業等의需要는 本國 工業立國上 코스의重要性을 尙상시키느끼는바이다

1944年度의日人의生産計劃을보면 總生産豫定量이 瓦斯코스 27,300噸 冶金코스 1,257,900噸 計 1,285,200 噸인데 그中日鐵兩工場分이 843千噸이였으므로 이兩工場을除外한生産計劃量은 442,200噸이였다 이에對한生産은 日鐵兩工場의 自家需要生産을除外하고 261,438 噸이였으므로 計劃量에對하여 60%의生産에不過하였다 그이하의不足額은 大部分日本에서輸入되어왔은것이다

假設日鐵의釜二浦 淸津兩工場 西電平壤工場 三國商會淸津工場及朝鮮燃料工業工場의 北朝鮮所屬으로 南朝鮮에는 京電兩瓦斯工場을 勿論한 4個瓦斯工場及 코스主産工場이 4個工場남이였다 코스生産工場은 三國商會仁川工場만除外하고 全部釜山에所在하고있다 可幸解放後에 大邱의大同石炭公司大邱코스工場及 釜山에 朝鮮製炭工場이各々新設되였다

1946년에는 南朝鮮코스總生産高는 9,000噸이였는데 石炭不足 人件費高騰으로因한採算難等이影響하여 生産低下를招來한것이였다 1947에드러가서最大生産能力에對한 生産實績比率은微少하나 1946年에 對比하면 相當增産을보이고있



다 原料炭割當이 漸次好轉된데 따른 結果이다 1947年8月부터 1948年3月까지의 南朝鮮全產소스工場에對한 原料炭割當量은 25,480噸이었는데 同期間中の 靑島供給狀態는 다음과 같

이 全需要量 24千噸에對하여 供給이 12,438噸에 不過하였으므로 11千噸이 不足하였었다 同期間中の 生産소스道別割當은 서울市及京畿道에總計의 40%以上이 割當되었다

(第 18 表)

南朝鮮 소스 需給 表 (自 1947年8月 ~ 至 1948年3月) (單位 噸)

	1947年8月	9月	10月	11月	12月	1948年1月	2月	3月	計
需要量	3,000	3,000	3,000	2,500	2,500	3,000	3,500	3,500	24,000
供給量	1,466	1,341	1,253	1,268	1,485	1,671	1,922	2,032	12,438
不	1,534	1,659	1,747	1,232	1,015	1,329	1,578	1,468	11,562

(第 19 表)

소스 道別 割當 表 (自 1947年8月 ~ 至 1948年3月) (單位 噸)

道 別	1947年8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
서울市	368	262	250	300	316	414	414	500	2,324
京畿道	332	220	170	268	300	364	402	417	2,473
忠北	58	80	60	70	50	75	9	120	608
忠南	88	92	113	100	120	165	150	120	948
全北	74	150	150	—	150	10	100	180	954
全南	74	112	100	100	120	30	165	130	931
慶北	148	182	140	150	155	122	169	174	1,240
慶南	264	183	170	280	184	201	287	311	1,860
江原	60	60	70	—	50	50	90	80	460
濟州	—	—	50	—	40	—	50	—	140
合計	1,466	1,341	1,253	1,268	1,485	1,671	1,922	2,032	12,438

1947年生産実績 16千噸에對하여 1948年의 生産目標을 36千噸에 두고 있는데 이것도 最高生産能力에對하면 28%에 不過한 것이다 原料炭으로 瀝青炭 6萬噸은 이에 割當할計劃인데 이

것의 入手가 如何한는지 原料炭割當量 如何에 따라서는 目標量 以上の 生産도 期할수 있는바이다

(第 20 表)

南朝鮮 소스 工場 表

事業場名	生 産			1948年所要		
	最大能力 噸	1947年実績 噸	1948年計畫 噸	從業員數 人	瀝青炭 噸	電力 KWH
京畿往十里工場	25,200	5,042	10,800	39	18,000	—
同 龍山工場	15,120	3,013	4,320	34	7,000	—
南電釜山工場	4,752	1,604	3,600	30	6,000	—
大邱府營工場	648	562	600	10	1,000	—
大同石炭公司	2,978	858	1,440	23	2,400	—
三國石炭仁川工場	55,776	2,057	7,320	62	12,200	—
釜山發炭工場	7,800	1,095	2,520	42	4,200	—
南鮮發炭工場	4,800	646	1,440	24	2,400	—
東和發炭工場	5,436	1,028	1,800	25	3,000	—
朝鮮發炭工場	5,760	960	2,160	30	3,600	—
合計	123,270	16,865	36,000	319	60,000	200

한편 現在(1947年末)의 靑島의 價格을 보면 石炭價格引上以前의 價格이 그때로 實施되고 있다 石炭價格이 2千圓에서 4千圓으로 引上된 現在에 靑島價格만 從前대로 實施함은 業者의 探算 不均衡이 基盤으로 靑島價格을 引上할것을 交渉中에 있다고 한다 靑島業者를 爲한 民間團體로서는 朝鮮靑島協會가 最近 設立되어 있다

지 많고 火力이 強하며 또 比較的 價格이 低廉한데 因한 것이 朝鮮에서는 有煙炭의 生産은 없으나(但 褐炭이 生産된) 無煙炭만은 比較的 豊富함으로 無煙炭을 主로 하여 生産할수 있는 煉炭工業은 日挀부터 始作되었다 卽 朝鮮의 煉炭工場은 日挀 合併以前에 日人이 平壤에 設置한 것이 最初이었는데 그後 朝鮮의 無煙炭資源에 注目한 日人은 漸次各地에 煉炭工場을 設置하였으므로 1935년까지에는 同工場은 相當數에 達하였다 그러나 1935년에 統制會社로서 朝鮮煉炭會社가 設立되자 同社는 靑島 煉炭業者를 吸收合同함으로써 全朝鮮能力의 5割以上을 占하게 되었다

#### 4. 煉 炭

煉炭이 天然石炭보다 優秀한點은 1. 型狀 體積及重量의 選擇의 自由인것 2. 貯藏積載에 場所를 節約할수 있는것 3. 取扱이 便利하며 運搬積下等에 粉末을 發生할이 적고 風化作用에 耐하는것 4. 成分 發熱量等의 要求에 應할수 있는것 5. 燃焼 狀態가 良好하며 完全燃焼하는것 등의 特長을 가지고 있는데 因하여 工業用으로서의 汽車 汽船의 汽罐用으로 또 一般家庭用으로 널리 需要되고 있다

1942年9月 現在의 全朝鮮 煉炭工場 生産能力을 보면 全朝鮮 能力이 年産 1,651千噸인데 朝鮮煉炭會社가 50%를 占하고 다음이 三國石炭工場의 13% 남어지 37%가 其他靑島小工場의 生産能力이었다 靑島工場 65個所中 23工場은 現在 北朝鮮에 所屬되어 있고 그 能力은 當時의 全生産能力의 40%에 達한다

煉炭이 一般家庭用 燃料로 愛好되고 있는 理由는 煙氣를 내

(第21表) 1942年煉炭生産能力

		工場數	臺數	1時間能力	年産能力
朝鮮	南朝鮮	6	49	59.5	410,880
	北 //	2	19	44.9	426,260
	計	8	68	104.4	837,140
三國	南朝鮮	10	44	27.5	196,020
	北 //	4	10	6.9	16,560
	計	14	54	34.4	212,580
其他小規模	南朝鮮	26	66	68.5	380,040
	北 //	17	30	52.1	220,920
	計	43	96	120.6	600,960
合計	南朝鮮	42	159	155.5	986,940
	北 //	23	5	103.9	663,740
總計		65	218	259.4	1,650,680

1944年에 들어 가서는 煉炭業者에 對한 年間의 石炭割當量이 有煙炭 34,590噸 無煙炭 675,154噸 計 709,744噸이 있을에 비하여 別의 外에 需給使用量을 加하면 煉炭의 總生産高는 約75萬噸이 되었다고 볼 수 있다

解放後의 煉炭生産은 原料炭 殘存野炭으로 1947年6月까지는 月産 約2萬噸을 生産하였으나 1947年7月以後는 原料炭及連結劑인 需給不足으로 生産이 激減하여 왔다

現在 煉炭工場으로서는 朝鮮煉炭及京城需給이 主要한 것인데 그 외에 小工場의 68個工場이 있다 1947年의 生産實績은

(第23表)

南朝鮮煉炭工場表

工場名	生産			1948年所望		
	最大能力 噸	1947年實績 噸	1948年計畫 噸	従業員數	石炭及電力	主要原料 %
朝鮮煉炭京城工場	86,000	27,240	60,000	240	無煙炭 52,000噸 有 // 4,000 // 電力 600KWH	需給 4,000
京城需給工場	200,000	61,941	150,000	410	無煙炭 127,000噸 有 // 9,700 // 電力 1,500KWH	9,700
其他 68 工場	1,007,320	60,819	390,000	1,050	無煙炭 341,000噸 有 // 26,300 // 電力 3,900KWH	26,300
合計	1,293,320	150,000	600,000	1,700	無煙炭 520,000噸 有 // 40,000 // 電力 6,000KWH	40,000

그러나 如斯한 生産計畫도 全生産能力의 半에 未及한 것이며 全能力을 完全히 發揮하자면 石炭 150萬噸 及 需給 10萬噸이 있어야 할 것이다

現在 緊急한 燃料事情에 비하여 또 一般家庭用燃料은 薪炭에서 石炭使用으로 轉換시킬 必要性에 비하여 煉炭의 増産을 圖謀한 것은 燃料難解決의 根本之一策이라 하겠다

(第24表) 解放後煉炭價格推移表

(1945年8月基準)

月別	價格(適當) 圓	指數
1945年 8月	350	100.00
12月	200	342.85
1946年 4月	1 400	400.00
8月	1 500	428.57
12月	600	1,028.57
1947年 4月	3,700	1,057.14
8月	4,500	1,285.71
10月	000	2,000.00

年間 15萬噸이었는데 一時는 原料炭 及 連結劑不足으로 採業을 中止한 곳도 있고 다시 同年 12月에는 連結劑不足으로 生産이 一層 低下되었다

煉炭工業에는 連結劑로서 需給이 不可缺한 것인데 從前에는 北朝鮮에 있는 日鐵의 第二浦 及 津浦兩工場及 日察工場에서 生産되고 있었으나 現在 南朝鮮에는 生産이 全無하다

(第22表) 1943年의 需給表

生産		需 要
日鐵第二浦工場	12,500	3 687
同 浦 津 //	6,000	
日察永安 //	950	
計		19,450
需 要		55,137
不 足 量		3 687

그럼으로 現在 需給은 美國에서 輸入되고 있으나 그 功亦是 不足함으로 煉炭工業에 미치는 影響이 크다 需給代用物資은 山南牙山郡毛山附近에서 生産할 수 있다 하는데 이에 對한 期待가 자못 큰바이다

有煙炭不足에 의한 煉炭의 需要는 漸次 增大하고 있다 鐵道及各工場의 需要가 增大하고 있는 것이다 運輸部 水色工場에서는 煉炭에 對하여 特殊한 研究을 하고 있는 中인데 이는 有煙炭不足을 緩和하려는 努力이라 볼 수 있다 如斯한 需要의 增大에 應기爲하여 1948年의 生産計畫은 60萬噸 生産을 目標로 하고 있는데 이에 對하여는 石炭은 無煙炭 52萬噸 有煙炭 4萬噸의 需力 6千KWH 需給이 4萬噸 之 需하다는 것이다

### 5. 林産燃料

概說——朝鮮은 古來의 氣候及 家庭構造의 特殊性으로 말미암아 全燃料消費量에 있어서 林産燃料의 차지하는 比率은 자못 큰 것이다 더욱이 現在의 石炭事情을 보면 無煙炭은 國産炭으로 充當한다 하더라도 有煙炭은 全生産이 없으므로 每年 多量의 有煙炭이 日本에서 輸入되고 있는데 이는 工女用에 不足하여 一般家庭用 石炭의 割當이 全無한 狀態임으로 家庭用 燃料으로서의 林産燃料의 重要性은 더욱 加重하고 있는 것이다

如斯한 燃料事情에 있어서 解放以後의 林産燃料 生産狀況을 보면 一般의 所以로 解放前보다 增加하고 있다 고는 볼 수 없다 林産燃料의 生産減少는 山林荒廢化防止에는 功果가 있긴다 보일 있으나 實地에 있어서 最近의 都市民의 燃料難은 倍加하고 있다 더구나 輸送手段不足에 의한 供給不足은 都市 舊日人家用 溫度增設으로 因한 需要의 增大에 充分히 應기 못하고 있는 것이다 그러하여 薪炭價格의 騰貴 特別季節的 騰貴率을 높이고 都市

의所得과支出의 甚大한不均衡을 招來하고있다 薪炭의生産에 있어서 解放以後에 特히顯著한現象은 濫伐로인한山林의 荒廢化이다 日政下에는薪炭生産에對한計畫도 있었으나 어느程度는그計畫대로 需給이調節되어왔었는데 現狀은山林伐採에對하여 거의放任狀態타하여 濫伐가 일어나고 있다 林政當局에서는 最近山林警備를強化하는 한편 造林 砂防工事等으로 綠化運動을推進하고 있는데 最近의都市民의燃料難에 비하여 需給計畫에 한層 더한 徹底한施策이 要請되는바이다

林産燃料을大別하여 長新 木炭 枝葉及 其他林産燃料로 나누었다 그中枝葉及其他林産燃料은 大部分이 地方農村에서 自家消費됨으로 特記할만한것은없으나 長新及木炭은 都市民의生必需品으로서 重要な地位를占하고있다 現在는美國까지의輸入으로 木炭瓦斯自動車의 代用燃料로서의 木炭의 効用은 低下하였으나 電氣及瓦斯의供給不足으로인하여 家庭用燃料로서의消費가 增大하고있다

最近10年間의 南朝鮮 長新及木炭生産을보면 下表와같이 年々低下하여 1946年의生産量을 1937年에對比하면 長新生産이 2億7千6百萬貫의減少이고 木炭生産이 68萬6千貫의減少인데 實地의山林荒廢는 年々甚해지고있는現狀이다 이는 植伐間의不均衡及 無秩序한枝葉 其他林産物採取로인한 洪水害의結果로 볼수있다

(第25表) 最近10年間南朝鮮薪炭生産表

年次	長 新		炭
	千貫	千貫	
1937	720,051		12,132
1938	634,925		12,320
1939	598,520		15,893
1940	565,235		21,891
1941	539,344		22,925
1942	506,589		25,702
1943	446,500		28,790
1944	485,280		33,650
1945	572,551		18,944
1946	443,854		11,446
計	5,512,849		203,693

需給現狀—— 1945年度의 林産燃料生産高을보면 總計 1,561百萬貫으로 그內容은 長新572百萬貫(長新1坪은 200貫으로算定함) 木炭19百萬貫 枝葉467百萬貫及 其他林産燃料 503百萬貫인데 如斯한燃料의全生産은 林産物種別生産高에對하여 首位를占하고있다 그中 長新及木炭의 道別生産高는 下表와같이 長新生産高는 近來에 드문 増産을 보이고 있는데 解放後의 山林警備의弱화에基因한것이다 道別로는全南이 首位로 216百萬貫 다음이 慶北의 112百萬貫 慶南 京畿의順이다 木炭에 있어서는 京畿道가首位로 6百萬貫을生産하였는데 이는全生産高의3分之1에該當하며 서울市の大消費地와隣接하고있는 特殊事情에依한것이다

(第26表) 1945年 長新生産表

道別	國有林		民有林		計	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
	千貫	千圓	千貫	千圓	千貫	千圓
京畿	495	600	48,213	100,257	48,708	100,857
忠北	185	136	27,431	17,830	27,616	17,966
忠南	—	—	13,426	22,099	13,426	22,099
全北	236	191	38,430	17,356	38,666	17,547
全南	3	12	216,037	225,151	216,040	225,163
慶北	43	42	112,485	71,006	112,528	71,048

慶南	23	69	72,540	83,439	72,563	83,508
江原	566	139	42,438	31,924	43,004	32,063
濟州	—	—	—	—	—	—
計	1,551	1,189	571,000	569,062	572,551	570,251

(第27表) 1945年 木炭生産表

道別	國有林		民有林		計	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
	千貫	千圓	千貫	千圓	千貫	千圓
京畿	12	26	6,121	11,588	6,133	11,624
忠北	35	35	898	2,828	933	2,863
忠南	—	—	1,395	3,954	1,395	3,954
全北	98	281	1,841	2,181	1,939	2,462
全南	69	37	1,374	21,476	1,443	21,513
慶北	142	1,101	1,792	5,722	1,934	6,823
慶南	227	509	2,690	7,878	2,917	8,387
江原	533	811	1,717	3,583	2,250	4,394
濟州	—	—	—	—	—	—
計	1,116	2,800	17,823	59,220	18,944	62,020

1946年에 들어가는는 總生産高는 1,333百萬貫으로 1945年에對比228百萬貫의減少인데 長新 128百萬貫 木炭 約8百萬貫이各々減産이었다 1946年度의林産燃料種類別生産高及長新木炭의道別生産高는 下表와같이

(第28表) 1946年 林産燃料生産高

種類	單位	數 量		價 格
		千貫	千圓	
長 新	千貫	443,854		1,882,581
枝 葉	千貫	435,830		2,511,552
其他林産燃料	千貫	442,241		1,105,855
木 炭	千貫	11,446		203,780
計		1,333,371		5,703,768

(第29表) 1946年 長新生産表

道別	國有林		民有林		計	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
	千貫	千圓	千貫	千圓	千貫	千圓
京畿	6	18	61	183	67	201
京畿	175	1,538	37,830	108,286	38,005	109,824
忠北	187	281	20,059	88,112	20,246	88,393
忠南	—	—	14,049	23,098	14,049	23,098
全北	—	—	28,907	110,532	28,907	110,532
全南	12	420	58,736	282,082	58,748	282,502
慶北	316	2,161	138,150	761,052	138,466	763,213
慶南	20	20	102,810	326,074	102,830	326,094
江原	2,563	25,967	37,223	134,007	39,786	159,974
濟州	—	—	2,750	13,750	2,750	13,750
計	3,279	30,405	440,575	1,852,176	443,854	1,882,581

(第30表) 1946年 木炭生産表

道別	國有林		民有林		計	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
	千貫	千圓	千貫	千圓	千貫	千圓
京畿	—	—	—	—	—	—
京畿	3	55	3,356	74,322	3,359	74,377
忠北	14	228	1,200	9,209	1,214	9,437
忠南	—	—	729	7,288	729	7,288
全北	24	360	555	7,770	579	8,130
全南	1	12	944	17,188	945	17,200

慶北	115	1,591	1,281	30,562	1,396	32,153
慶南	120	2,260	1,950	28,823	2,070	31,033
江原	335	6,731	709	15,511	1,044	22,242
濟州	—	—	110	1,870	110	1,870
計	612	11,237	10,834	192,543	11,446	203,780

如斯한生産에對한都市供給은 鐵道 貨物自動車 船類等에依하여 擔當되고있다 1946年4月乃至 1947年3月間의 薪炭 鐵道輸送量은 170,139 噸으로 鐵道의全貨物輸送量의 5.6%를 占하였는데 그中 50%以上은 서울市에集中된것이었다 即淸 涼里驛着이 57,920 噸 東森驛着이 18,948 噸 龍山驛着이 9,336 噸 合計86,204 噸의薪炭이 鐵道輸送으로 서울市에供給된것 이었다

現在薪炭需給에關해서는 各道에서需給計劃을樹立하여 이 에對하여는 農務部에서 各道의需給關係及都市人口를考慮하여 一元的인需給計劃을樹立하도록되어있는데 輸送等의統制 困難으로 이는完全히實施되지는 못하고있다

1947年度의 서울市에對한燃料搬入狀況을보면 最初의計畫 ! 下記各道에對하여 總計長所 28萬坪 木炭55萬噸에對當하였는데 그入荷實績 (但1948年2月末現在)을보면 長所은全割 當을凌駕하여 供給한것으로되어있다 서울市에對한主要한薪 炭供給道는 京畿 江原等이다

(第31表) 1947年度 서울市燃料搬入計畫表

搬出道	長	薪	木	炭
		坪		噸
京 畿		75,000		51,000
忠 北		32,000		65,000
全 北		38,000		131,000
全 南		42,000		25,000
慶 北		18,000		78,000
江 原		75,000		200,000
合 計		280,000		550,000

(第32表) 1947年度 서울市需要薪炭入荷實績表

(1948年2月末現在)

道 別	長		薪		木		炭	
	數	量	數	量	數	量	數	量
		坪		%		%		%
畿 畿	244,000	325	232,500	554				
忠 北	34,000	106	47,210	73				
忠 南	12,405	—	45,520	—				
全 北	32,437	85	16,713	13				
全 南	42,257	100	17,770	71				
慶 北	7,770	43	28,474	37				
江 原	17,502	23	120,494	60				
合 計	390,371	139	558,631	102				

서울市的燃料代行機關으로 昨1947年8月發足한 서울燃 料株式會社는 서울市에對한薪炭供給을 擔當키로되었으나 市民의燃料難은 改善을보지못하였다 數字的으로供給實績이 計畫量보다超過供給되었음에도不拘하고 一般民衆의燃料難 이如前緩和되지는못하였은原因은 어디있는가? 서울燃料會 社는極貧者에對하여 薪炭配給을實施하였으나 그는量的으로 緩和한것이었다 長所及木炭時勢는 下表에서보는바와같이 1946年8月에는 長所1坪當 950圓 木炭1噸當 130圓하든것이 同年12月에는 前者는 2,500圓 後者는 250圓으로 各々騰貴 하였고1947年8月에는 長所2,700圓 木炭400圓하든것이 同 年12月에는 前者는 6,200圓 後者는 650圓으로 各々一路暴 騰하여왔다

(第33表) 서울市薪炭價格趨移表 (1945年8月基準)

月 別	長 所 坪		木 炭 噸		燃料總平 均指數
	價 格	指 數	價 格	指 數	
1945. 8	350	100.00	45	100.00	100.00
	500	142.00	65	144.44	200.18
1946. 4	550	157.14	45	100.00	231.71
	950	271.42	130	288.88	313.48
12	2 500	714.28	250	555.55	927.29
	2 500	714.28	260	577.77	646.02
8	2 700	771.42	400	888.88	732.05
	3 500	1,000.00	400	888.88	983.49
12	6 200	1,771.42	650	1,444.44	1,540.30
	6 000	1,714.28	650	1,444.44	1,462.21
2	5 500	1,571.42	650	1,444.44	1,391.74

國策으로 본 林産燃料

그리던南朝鮮全體의 薪炭需給 狀態 換言하면供給餘力은 어떠한것인가 南朝鮮1年間の 林 産燃料最少需要量을 長所2百30萬坪 木炭3百萬噸 枝葉8億圓 으로算수있는데 그中長所及木炭을 立木材積으로換算하면 1千80萬尺總에達한다 이것은實로 南朝鮮林野總蓄積 1億 6千萬尺總의 6.8%에該當하는것이다 此外에木林産物으로서는 原木生活인 相當量에達한것임으로 自然生長率을 考慮한다 하여도 이計算으로서는 南朝鮮林野는 不過10數年內에 全部 禿山이되어 버리고만것으로된다 더욱이石炭事情은 當分間接 和될可望性이없음으로 林産燃料의需要는 年々增加하여질것 이確實하다 如斯한燃料事情의 林野에 미치는惡影響이 莫其 할것은勿論이다

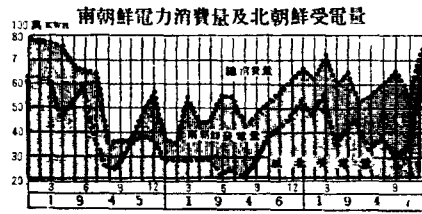
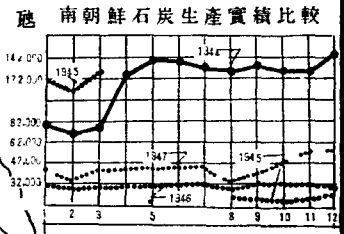
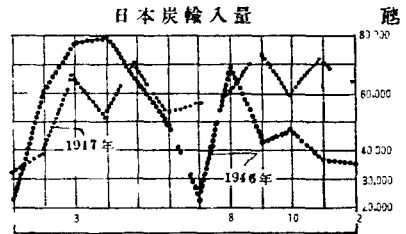
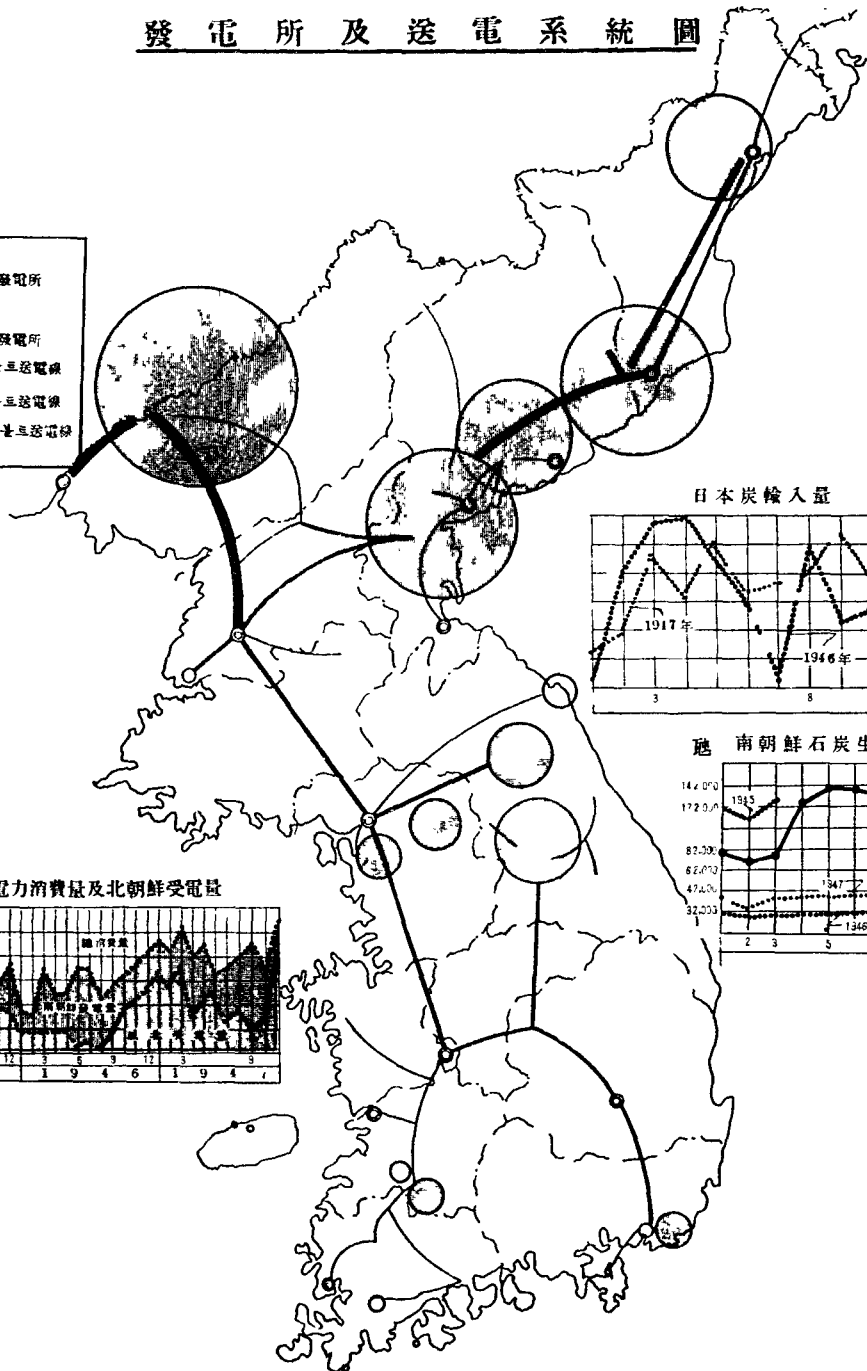
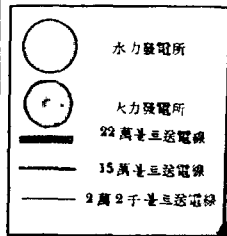
그對策으로서는 여러가지方途가있을것이다 薪炭의消費節 約 또는從前과같이 改良溫突使用을獎勵普及시킬것은勿論이 나 亦是國民이 이에對하여 認識을세워야한것이 切實히要請 되는바이다 한便林政當局에서는 林産燃料需給規制를實施하 랴고 諸般準備中이며 江原道方面에 國營製炭場을設置한 것을計畫하고있다 木炭生産에關해서도 從前과같은 業者에 對한保護 補助 또는生産品質向上等에關한 國家의積極的施 策은 現在거의中止狀態에있는데 이들木炭生産業者의大部分 은 小規模經營者임에비추어볼때 如斯한施策이 再實施된것 이要項되고있는바이다

더욱最近에 京畿道平澤 黃海道延白附近에서 優秀한代用 燃料로 土炭(草炭)을生産하고 있는데 이것을서울中央工業試 驗所에서 試驗해본結果 그成分上으로보아 燃料價値가石炭 이나 無煙炭에는未及하나 木材보다는優秀하다는것이 判明 되었었다 現在그生産品의一部는 서울市에入荷되고있으나 膾 次代用燃料로서의 土炭生産에期하는바되며 林政當局으로서 도 이의生産을積極推進하여 燃料難緩和에一助되기를期하고 있 上

(第34表) 成分으로 본 土炭

	炭	素	水	素	酸	素	窒	素
	%	%	%	%	%	%	%	%
鐵	44.4	6.2	49.4					
雜								
木	50.0	5.9	4.0				0.1	
土	52.9	6.5	35.0				1.5	
褐	60.9	5.3	31.0				1.0	
石	85.0	4.9	90.0				1.1	
無	95.3	1.9	2.3				1.5	

## 發電所及送電系統圖



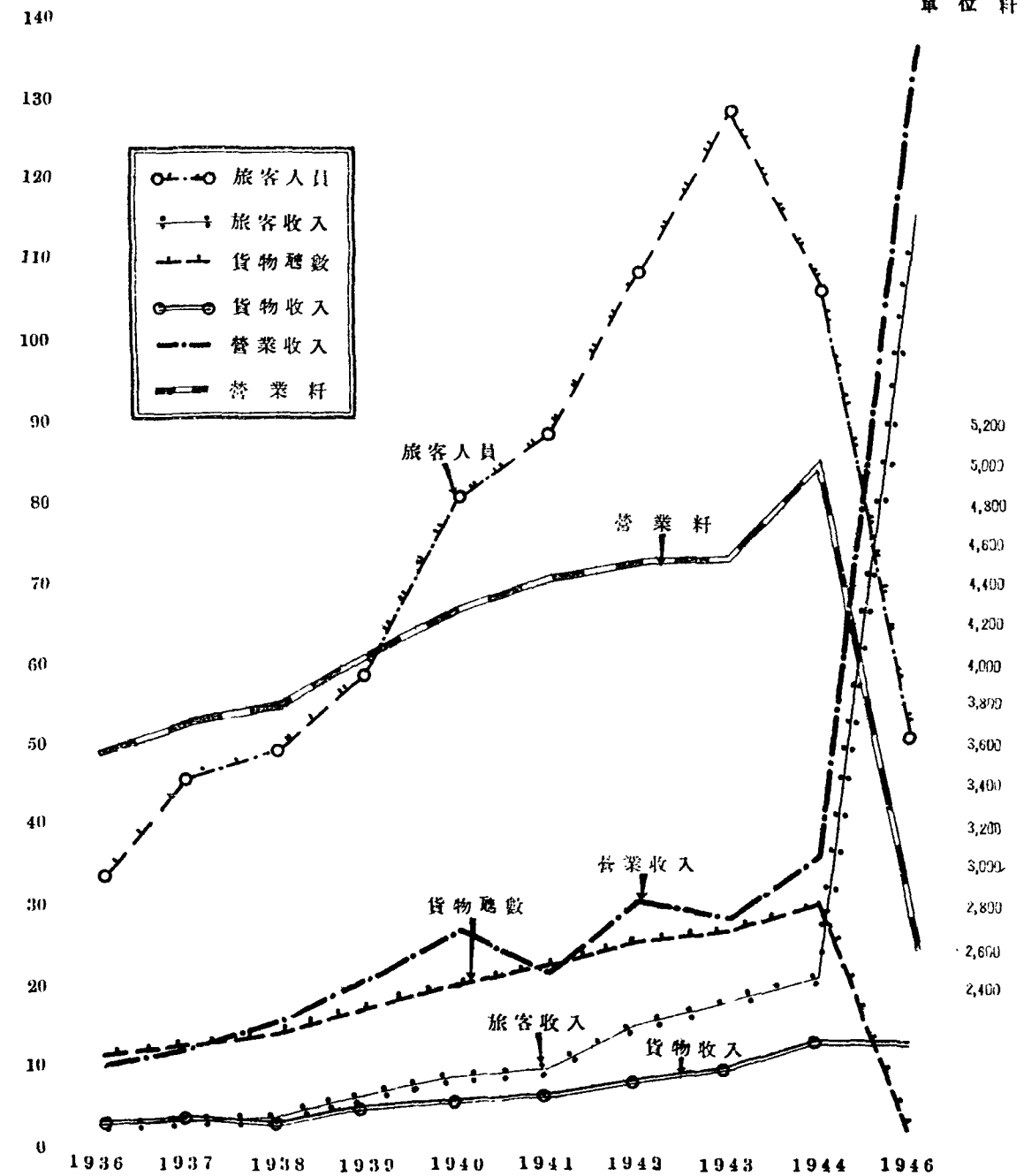
# 運輸

(I-154)

## 朝鮮運輸狀況

單位  
 收入千  
 旅客百  
 貨物萬  
 萬人  
 應

營業  
 單位  
 杆





# 運輸通信



## 目 次

### I 概 說

### II 鐵 道

#### 1) 鐵道の發達

#### 2) 鐵道の發達と私鐵吸收

##### (가) 國鐵の新發足

第1表 鐵道延長杆表

第2表 各鐵道工場車輛修繕狀況表

第3表 南朝鮮鐵道從業員數及其金表

第4表 國產車輛製造狀況表

##### (나) 私鐵吸收

第5表 移讓私鐵一覽表

#### 3) 南朝鮮鐵道の現狀

##### (가) 列 車

第6表 南朝鮮鐵道工場車輛修繕數表

第7表 // 機關車運轉表

第8表 // 列車走行杆表

第9表 各站市内生必需品價格數表

##### (나) 石炭及給水問題

第10表 南朝鮮石炭需要量及生產量表(過去)

第11表 南朝鮮石炭貯蓄表(解放前)

第12表 // 有煙炭輸入量斗配當表

第13表 // 石炭斗需要量斗供給量表

第14表 // 鐵道石炭消費量表(解放後)

##### (다) 運賃問題

第15表 鐵道運賃變遷表

##### (라) 鐵道財政及營業收入

第16表 南朝鮮運輸部收支表

第17-1表 1946年度南朝鮮鐵道運輸取扱收入表

第17-2表 1947年度 // //

第18表 1946年度 // 純收入表

第19表 // // 各線別運輸收入表

第20表 累年別營業收入比較表

#### 4) 鐵道客貨輸送狀態

##### (가) 旅客輸送

###### 1) 列 車

###### 2) 解 放 前

第21表 最近10年間旅客輸送人員表

###### 3) 各國斗比較

第22表 各國鐵道旅客輸送人員表

第23表 // 人杆比較表

###### 4) 解 放 後

第24表 1946年度月別旅客輸送人員表

第25表 // 各線別旅客輸送人員表(上半期)

第26表 1946年度對各附近6縣月別旅客上下車人員表

第27表 1946年度南朝鮮主要縣旅客上下車人員表

第28表 解放後外國旅行者數表(南朝鮮)

##### (나) 貨物輸送

###### 1) 列 車

###### 2) 解 放 前

第29表 最近10年間貨物輸送量比較表

第30表 貨物品名別輸送數量累年比較表

第31表 貨物產品別

###### 3) 解 放 後

第32表 1946年度南朝鮮貨物產品別輸送量表

第33表 // 月別、品名別 //

###### 4) 季節別移動狀況

第34表 1946年度月最高、最低貨物量比較表

第35表 1947年度貨物月別、品名別輸送量表

第36表 // 第一、第二四半期貨物輸送量表

第37表 累年各種貨物輸送量比較表

###### 5) 貨物集積狀況

第38表 1946年度南朝鮮鐵道貨物集積表(發送)

第39表 // // (到着)

###### 6) 地方別輸送狀況

第40表 1946年度南朝鮮各線別貨物發着數量表

第41表 // // 主要貨物發着總數表

###### 7) 主要中心6縣貨物發着狀況

第42表 對各附近6縣鐵道貨物發着一覽表

第43表 // // 主要貨物集積表(發送)

第44表 // // (到着)

###### 8) 各國斗比較

第45表 各國鐵道貨物輸送量比較表

### 5) 結 言

### III 自動車及軌道

#### 1) 自 動 車

第1表 南朝鮮道別自動車路線延長表

第2表 世界各國自動車生產數量比較表

第3表 // // 保有 //

第4表 自動車運賃改正表

#### 2) 軌 道 (電車)

第1表 京畿電車統計一覽表

### IV 道路及小運送

#### 1) 道 路

第1表 過去斗道路網延長 其一

第2表 // // 其二

第3表 定期自動車運轉延長杆表

第4表 南朝鮮道別道路網表

第5表 1945年度道別道路工事表

第6表 서울—釜山間國道工事一覽表  
第7表 // // 國道事務所別表

第8表 道路災害復舊工事道別一覽表  
2) 小 運 送

I 概 說

運輸交通은 一國家의 政治 經濟 文化 軍事等 모든 分野에 있어서 重要한 使命을 띠고 있으며 實로 國家社會 活動의 樞紐의 機能을 保有하고 있음은 말할 것도 없다. 더욱이 物質文明에 뒤떨어진 朝鮮에 있어서 交通이 擔當하는 役割은 重大한 것이다. 過去 40年間 日本의 膠政 밑에呻吟하였다는事實은 朝鮮에 있어서의 運輸事情을 必然의 理由로 畸型化시키고 말았다.

그러나 鐵道의 出現以前 朝鮮의 陸上交通은 道路와 交通機關의 不備及 交通需要의 極少함에 따라 極히 荒廢한 狀態에 있었다. 道路와 같은 것은 破壞되는 대로 비러두며 主要幹線道路에 있어서도 겨우 人馬를 通行시킬 程度에 이르렀다. 當時의 交通系統은 江運을 中心으로 이를 相互連絡하는 陸運及 海運이었다. 그러나 陸運이 發達하지 못한關係로 相互連絡이 不充分하여 政治上 軍事上 必要한 南北縱貫의 交通에 있어 大端한 不便을 주었던 것이다.

태평양 淸日戰爭의 日本은 일찍이 朝鮮의 政治의 經濟의 支配의 根據으로서 朝鮮鐵道의 獨占의 敷設을 꾀하다 所謂「三國干渉」 등의 國際의 強壓과 自國內經濟界의 不安으로 因하여 成功하지 못하였다. 1897年 韓國政府로부터 美國人「물러스」에게 京仁鐵道敷設權이 許可되자 「물러스」를 歸國하여 本國資本의 誘入에 努力하였으나 當時의 美國은 朝鮮에 對한 經濟의 關心이 薄弱하여 失敗하고 1899年 드디어 日本人에게 讓渡되었다. 同年 9月 13日의 京仁鐵道의 開通은 當時의 原始的 朝鮮經濟에 비로소 資本主義發達의 一條件인 近代의 交通手段을 導入한 것이 되었다. 韓日合併後 日人의 野望은 漸次 大陸으로 擴充을 開始하였다. 于先 日人은 朝鮮의 모든 政治 經濟各方面의 勢力을 掌握하여 蠶食하기 시작하였다. 大陸의 野望을 達成시킬 重大要件으로 朝鮮縱貫交通機關의 早速한 實現을 爲하여 血眼이 된 日人은 露日戰爭勝利後 京釜 京義兩鐵道를 完成시키고 말았다. 이것은 朝鮮의 交通史上 一大變革이라 할 수 없으나 純然히 日本의 大陸政策의 一基地로 變化된 것이 아니라 交通網은 朝鮮의 社會의 經濟의 見地에서 立案된 것이 아니고 專히 日帝의 政治의 軍事의 野望의 所産物으로써 計劃되었으므로 漸次 整備 擴充되어 갔던 것이다.

그러면 朝鮮鐵道는 어찌서 敷設되었나? 하는 것을 日人大村(前朝鮮總督府鐵道局長)의 말을 引用하면 그는 말하기를 「回顧함에 朝鮮鐵道는 처음 隣邦(朝鮮) 扶掖과 我國商權의 擴張을 前提로 삼아 企劃되어 먼저 京城 仁川間의 線路를 完成하였으나 明治37年 極東의 時局이 漸次 急迫함을 告하게 됨에 이르러(露日戰爭의 危機) 南滿 釜山으로부터 國境新義州까지의 縱貫線路를 敷設하고 다시 主要港灣에 支線을 通하여 專히 軍事上 當面한 急務에 處하도록 하였다. 戰勝의 結果 朝鮮에서 期하는 바 있어 明治39年 京釜鐵道를 國有로 하고 여기에 京義 馬山兩線을 併合하고 爾後 連年 軍事上 速成으로 卒 開通케 한 鐵道의 改良工事を 施行함에 이르렀다.」고 매우 明白히 率直히 告白하고 있다.

이같은 日帝의 野心和 計劃은 大村의 말대로 漸々 그 本格의 露手를 當面한 軍事의 急이 處한다는 口實下에 鐵道를 主要港灣에 通하게 하여 經濟와 같이 日本商品을 流入시키켜서 政治 經濟 軍事 文化各方面에 의한 蠶食의 實例을 提示시켰던 것이다.

即 釜山 新義州等 15 個處의 開港場을 通하여 主로 日本商

品의 侵蝕을 받게 되었다. 이는 單純한 通商으로만 말할 수 없었음은 勿論이었으니 後進 日本의 資本主義發達過程이 內包한 軍事的의 性格은 資源獲得과 商品市場開拓을 要求하지 못하였고 地理의 關係에서 朝鮮及 中國의 犧牲에 自然의 落後性을 克服을 企圖하였던 것이다.

日本은 釜山港을 爲始로한 開港場의 設置로 朝鮮外國貿易의 獨占을 爲코 君臨하였다. 이것이 所謂 韓日合併의 決定的 要因이 되었고 따라서 封建의 인으로서의 地주적 農奴의 零細農耕作을 基礎로한 李朝經濟體制의 軍細運의 停滯性과 그 內在의 矛盾의 急激한 增大로 因하여 그 崩壞를 必然의 理由로 招來하였던 것으로 事實이라 하겠다. 다음으로 열거한 諸港口로부터 怒濤의 浪이 捲어 들어오는 外國商品은 腐敗한 當時의 朝鮮의 生産關係를 根柢로부터 破壞轉弱시키고 하였으나 그 封建 侵略의 激浪을 防止한 如何한 實力도 가지지 못하였고 다만 一階 崩壞過程을 促進시킬 뿐이었다. 外國商船을 通하여 들어온 廉價의 外國商品은 封建市場을 風靡하여 資本主義的 侵略의 最良最速의 彈丸이었다. 이 모든 輸入超過는 唯一한 解決方法이 農産物의 剩餘輸出과 金銀地金의 輸出이 있을 뿐 아니라 漸次 惡鍊한 大陸政策이 強히 實施되리라 解放直前까지 悲慘한 狀態가 繼續되었다. 이러한 日政의 侵略政策은 朝鮮經濟開發의 先驅의 指導의 使命을 가지지 못한 運輸交通을 朝鮮經濟體制가 完全히 遊離시키지 못하였고 朝鮮은 原料供給地로서 또는 製品市場으로서의 日本殖民地로 轉化되었던 것이다.

1910年 朝鮮總督府施政이 始되자 民衆의 向上及 經濟開發의 基礎要件인 交通施設의 整備 擴充이라는 美名下에 總督政治의 重要政策으로써 年々 交通網은 伸어가고 其中 陸上의 鐵道施設 道路改修는 實面 日을 一新하게 되었다. 더욱이 滿洲事變 中日戰爭으로 말미암아 日本帝國主義政策發行者의 重要役割을 擔當한 朝鮮鐵道는 다른 産業部門에 比하여 其大 完成度를 記錄하였다. 1937年 中日戰爭과 1941年 太平洋戰爭이 勃發되기에까지의 朝鮮鐵道는 日人의 經濟必需要物開發과 大陸總佔의 基地로 되고 日의 達成을 爲한 專制의 強力政策으로 運営되었고 더욱이 太平洋戰爭勃發以後에는 鐵道의 建設은 中斷되고 不必要線의 撤去를 敢行까지 하였던 것이다. 그러나 戰爭과 運輸는 不可分離의 關係에 있는 것이므로 이러한 要請下 1943年 12月 1日 海陸空一體의 綜合輸送力의 強化를 目的으로 日政下에 交通局이 設置되었다. 日政은 太平洋戰爭初期의 記錄의 日政의 強氣揚揚하듯 強力한 統制經濟를 採擇하였었다.

그러나 日人들의 必死의 最後努力도 漸漸 大勝의 기우중에 따라 朝鮮國民의 莫大한 犧牲과 朝鮮産業經濟의 荒廢를 招來하였을뿐 日政의 目的은 挫折되고 1945年 8月 15日 그들의 侵略主義戰爭은 終末을 告하였다.

解放前後의 諸般事情은 一變하였다. 畸型의 弊態에서 벗어나 本然의 姿態를 찾게 된 朝鮮民族은 기뻐하여 마지않았다. 그러나 舊體制가 너무도 深刻하고 慘酷한 壓制이었던 만큼 그 舊體에서 벗어나는 기쁨 그칠 줄을 모르는 歡喜의 溢瀾은 드디어 一時的으로 經濟의 混亂狀態를 惹起하고 말았다. 一國의 動脈인 運輸交通은 一瞬의 休息을 容恕할 수 없는 것이다. 過去의 擔當하든 모든 物의 記錄을 活用함으로써 新建設에 있어서 重大使命을 自覺한 諸般運輸交通機關은 新朝鮮産業經濟의 本原의 復興을 實現코자 胎動하기 시작하여야 할 것이었다.

解放直後 朝鮮鐵道에는 當時價格으로 約 20 億圓의 鐵道施設과 約 6 億圓의 港灣施設이 남기어졌었는데 지금 그것을 各國의 鐵道 港灣 航路의 施設과 比較하여 보면 다음과 같이 極히 뒤



더러진狀態에 있다

鐵道線路分布狀態	
國 別	鐵道杆數 (單位面積百萬平方杆當)
美 國	5.0
英 國	12.7
獨 逸	13.5
伊 太 利	5.6
佛 蘭 西	7.8
蘇 聯	0.4 (註 尙大韓西伯利亞是包含)
日 本	5.9
朝 鮮	2.9

港灣 航空施設에 있어서 는 더욱 比較할 수 도 없을 뿐 더러 船舶은 大部分이 日本에籍이 있었고 黃海 支那의 制海權은 相當한 期間 日本이 掌握하고 있었으나 大型船舶의 大部分이 南洋方面으로 軍需物資을 運搬키爲하여 動員되었기때문에 自然 大陸의 軍需物資及原料는 全部가 朝鮮鐵道를 通해서 日本으로 가져가게 되었다 이렇할 까닭으로 釜山 麗水 木浦 馬山 等의 港口 施設에 對한 若干의 改善이 있었을뿐 全體로는 보잘 것이 없고 그나마도 船腹不足으로 埠頭에 積貨가 山積하였던 것이었다

航空施設에 있어서 는 軍用무기로써 서울 平壤 蔚山에 飛行場施設을 갖기 시작하였으나 民間人의 乘지럼 近處에도 간수 없는 場所이여서 總行政治의 日本政府와의 急速한 連絡以外에 別다른 使命이 賦與되어 있지 않았던만큼 特記할 것은 없다

自動車輸送은 日人의 強力한 統制規程下에 制壓되어 自律의 發展은 이루지 못하고 말았다 全朝鮮을 通하여 貨物車約 3,000臺 旅客車 1,500臺 內外가 解放後 남기어 있었다

1945年 9月 8日 美軍이 進駐하여 漸次 朝鮮人의 努力은 結實하여 秩序는 回復되고 三八線以南에 있어서 美軍政下의 運輸交通은 若干再組織되었으며 蘇聯이었던 朝鮮經濟의 急速한 解決策에 着眼한 軍政當局의 命令으로 海陸空 運輸를 一貫하는 綜合的組織體가 新設되었다

解放後 於 高間 2年 間의 歲月이 經過되었으나 朝鮮의 政治經濟 文化는 아직 窒息狀態를 離脫하지 못하므로 따라서 運輸部門의 萬般建設 施設도 中止되고 있다 自然 朝鮮經濟의 急速한 正常回復과 發展도 期待하기 어렵게 되었으며 더욱이 近日의 鐵道史上未曾有의 運休事情은 産業經濟面에 甚影響을 미치게 하고 있다

## II 鐵 道

鐵道の 敷設延長 卽 産業의 開發이라 함은 世界各國 鐵道 發展에 있어 確證되는 바이며 또한 鐵道가 人文發達의 先驅的 役割을 하며 經濟産業의 動脈으로서 一國經濟發達過程에 重要한 指針이 됨은 費言을 必要로 하지 않는다

帝國主義國家가 殖民地를 經營함에 있어서 鐵道는 언제든 殖民地의 收奪의 最大道具의 役割을 하여왔던 것은 既知의 事實이다 日本이 朝鮮을 手中에 넣자 그를 經營함에 있어서 一般의 例를 벗어난 理는 없었던 것이니 朝鮮의 主要産業이 보잘 것 없는 原始狀態에 停頓되어 있었음에 비하여 鐵道는 産業의 發展보다 앞서서 施設되었고 또 發達되어 왔다 1944年 現在 鐵道營業杆數는 6,347 杆로서 日本本土 鐵道營業杆數 21,305杆에 비하여 其 29% 에 達하는데 1944年의 工業額에 있어서 는 朝鮮은 日本의 4% 에 不過하였으나 朝鮮은 鐵道가 工業보다 5 倍나 앞서고 있고 朝鮮工業은 鐵道보다 그만큼 뒤떨어져 있는 것이니 이로써 朝鮮의 殖民地의 略奪性을 把握할 수 있다 朝鮮經濟가 自然의 農業의 委態를 벗어나 農工併進의 時期를

거치 最近에 되서는 所謂 大陸兵站基地로서의 積極的 生産力 擴充에 努力하였던 것이다 日降後 朝鮮經濟의 生産部面은 一時的 休眠狀態로 드러났으나 民族의 自覺에 依하여 各部門에 急進적으로 生産意欲이 復舊되고 있음에 對處할 經濟流通部門의 整備가 必要한 가운데 또 특히 其中 陸上交通部門 整備가 緊急히 要請되고 있다 卽 集荷 配給에 따르는 舊線의 補修 改良 新線의 建設에 用意周到한 對策이 緊要하나 現下 社會情勢의 制約으로 말미암아 當分 間 期待할 수 없는 形便에 있음은 極히遺憾스럽다 順序로 먼저 鐵道의 發達沿革을 簡單히 記述하면서 解放直前 直後 現在 鐵道運輸에 言及하여 這間의 實情을 紹介하기로 한다

### (1) 鐵道の發達

朝鮮鐵道網의 實地는 1899年 日本人經營의 京仁鐵道株式會社의 京城 仁川間 32杆가 그것이다 卽이것이 朝鮮侵略의 第一歩를 記錄한 것이니 이를契機로 1901年에 敷設權을 獲得하고 1905年 京釜線 1906年 京義線이 開通되었고 倭政統監府에서 統一經營함으로써 完全히 朝鮮의 鐵道權을 掌握하였다 1910年 所謂 韓日合併後 日本은 殖民地朝鮮의 擄取基本條件이 될 鐵道網建設에 積極進出하게 되었다 京釜線의 代行으로 湖南線이 開通되고 京義線에 對하여 京元 咸鏡線이 完成되었다 此間 朝鮮鐵道는 日本의 殖民地政策의 變遷에 따라 一時 南滿洲鐵道株式會社에 委託經營되다가 1925年 다시 朝鮮總督府經營으로 돌아왔다 1931年 滿洲事變을 契機로 大陸侵略基地로서 重大한 役割이 賦課되고 農業國으로 放置되었던 朝鮮의 豐富한 地下資源을 掘기爲하여 急速한 工作이 開始되어 1937年 惠山線 1939年 滿浦線 1941年 京慶線의 全通等 主要幹線을 完成되었다 韓線의 大部分이 政府의 直接經營으로 된 反面에 地方線은 大體로 私設鐵道會社의 育成을 通하여 補助金政策으로 建設進捗되었다 그중에도 植民地政策上 必要한 것은 漸次로 國鐵에 吸收되었으며 解放直前 1944年度 事業期末 杆數는 國鐵 5,012杆 5分 (其外 北鮮線 328杆 5分는 滿鐵委管) 私鐵 1,281杆 3分에 達하였다 卽 朝鮮總督府設置當時 1,030杆이 었던 것이 其後 35年 間에 每年 平均約 165杆의 鐵道가 延長된 細算이다

그러나 앞서 말한 바와 같이 朝鮮의 工業보다 5倍나 發達하고 있는 鐵道가 自體속에도 多 몇몇 植民地의 落後性을 包藏하고 있으니 卽製鐵 鋼業을 爲始한 各種 重工業의 發展을 土臺로 하지 않고서는 正常的인 鐵道의 發展은 到底 底까지 存在할 수 없는 것이지만 朝鮮鐵道가 大陸經濟 무기로써 또한 特殊物資開發과 製成品市場化의 政策의 表現으로 制約되었던 만큼 無理 아닌 事實이었다 또 一은 資材와 技術을 全部 日本으로부터 供給받게 되었으니 日本에서 輸入한 車輛數는 다음과 같다

日本에서 輸入한 車輛數		1941年	1942年	1943年	1944年	1945年
機關車		46	70	80	2	7
客車		752				0
貨車		3,990				0

이러한 現象下에 大平洋戰爭으로 因한 重荷를 입자 朝鮮鐵道는 建設은 中止로 酷使에 酷使를 거듭하여 解放으로 延長數千杆의 剩餘은 軌道는 말았으나 各種 施設의 破壞 老朽廢物化한 枕木 其他 資材의 缺乏으로 釘빈 鐵軌만 남겨져 있다

### (2) 國鐵의 新發足과 私鐵의 吸收

#### 가. 國鐵의 新發足

日帝가 敗戰하여 물러가게 되자 國鐵은 朝鮮人의 손으로 運營하게 되었다 이물막이 한 기쁨은 비단 運輸部門에 限한 것이 아니라

이나 一國의動脈인鐵道가 一時全面的으로 麻痺狀態에까지  
 으니 그混亂이大端하였음을 짐작하고남겠다 그러나 그最後  
 的發惡에도屈하지않고 殘餘朝鮮人職員の 必死의努力으로僅  
 少量의 旅客輸送이 不規則的으로 運行되었다 即 8.15直前  
 全朝鮮을通하여 機關車1,130輛 客車2,016輛 貨車15,247輛  
 을가졌고 1944年度旅客輸送量은 106,372,624人 旅客人杆  
 에 8,752,176,836人杆 貨物輸送量은 27,525,654噸이며 貨物  
 輸杆는9,932,661,868噸杆를記錄하였는데 이는解放後 1946年  
 6月現在로 朝鮮에는機關車470輛 客車 1,350輛 貨車 9,271  
 輛을保有하면서 1946年度 旅客輸送量 50,731,482人 貨物輸  
 送量 3,045,260噸이었다 鐵道營業杆에있어서 北朝鮮 3,720  
 杆南朝鮮 2,557杆(廣軌)로分劃되어 不得已時期的運轉을  
 強行하지않을수없게되었다 過去의鐵道延長率을살피면 다음  
 과같다

(第 1 表) 鐵道延長杆表

年度	國		鐵	
	營業杆	增減杆	營業杆	增減杆
1936	3,575.9	186.4	1,697.7	27.2
1937	3,737.6	161.7	1,149.7	52.0
1938	3,831.0	93.7	1,202.7	53.0
1939	4,089.5	258.5	1,417.4	214.7
1940	4,293.3	203.8	1,497.1	79.7
1941	4,463.4	170.1	1,528.3	31.2
1942	4,536.8	73.4	1,514.7	- 13.6
1943	4,567.5	30.7	1,581.7	67.0
1944	5,012.5	445.0	1,281.3	- 300.4
1945	2,557.1	—	—	—
1946	2,566.6	—	—	—

解放後남겨진 여러가지設備는 一時的混亂으로 많이쓰  
 게되었고 車輛은 每日每日破壞되며 客車에疎弱하나 반  
 한것이없게되었다 그러나 南朝鮮의 各鐵道工場은 車輛의老  
 朽化되기보다 더많은 破損廢物化뒤에 呵然하였다 車輛은鐵  
 道에있어서 가장重要한部分이며 그製造補修程度如何에鐵道  
 가至大影響을받으며 現下朝鮮에있어서는 車輛工業의發  
 展如何는 一般機械工業에 至大影響을준다 過去車輛工作  
 部門에있어서도 다른 모—門과같이 朝鮮의獨自的인發  
 展은 許容되지않았고 日本工業의 從屬的形態로 2,3의民營會  
 社와 4,5個의官營工場이 存在하였을뿐이다 車輛修繕에있어  
 1946年度는1944年度에비하여 機關車는京城工場에서20% 釜  
 山工場에서36% 客車는京城工場에서18.3% 釜山工場에서 22.3  
 %貨車는 京城工場에서36.4% 釜山工場에서 29.2%에不過한  
 아주低下된實績에 버거못하고있다

(第 2 表) 各鐵道工場車輛修繕狀況表

	年度	平壤				
		京城	釜山	元山	清津	平壤
機關車	1944	665	235	287	232	—
	1945	305	115	—	—	—
	1946	148	84	—	—	—
	1947	141	—	—	—	—
客車	1944	900	792	—	167	180
	1945	324	321	—	—	—
	1946	177	178	—	—	—
	1947	153	—	—	—	—
貨車	1944	2,840	1,590	741	631	2,925
	1945	1,417	973	—	—	—
	1946	1,075	464	—	—	—
	1947	923	—	—	—	—

(註) 1947年度는上半年數字임  
 8.15 以後 이력한修繕能力의低下는

① 技術的인稱要地位를 日本人이 獨占하였는結果로 朝鮮  
 人高敎技術者及熟練工의量의不足과 質의低位

② 三八線分離로인한 材料及修繕部分品의 有機的運用의  
 不能及日本工業에의從屬的關係를 벗어나以後에 必要한 自  
 活體勞의缺如

③ 1944年度에있어서는 朝鮮人勞働者에對한 12 時間以上  
 勞働의強制

④ 解放以後에있어서 從業員에對한生活保障이 되지못함  
 으로인한缺勤者續出能率低下 以及罷業暴動(1946,9,24-10,4  
 南朝鮮鐵道總罷業) 등이 그原因이되는것이다

參考로 다음에 從業員賃金額을 提示한다

(第 3 表) 南朝鮮鐵道從業員數及賃金額表

年 月	從業員數	支拂賃金總額 (千圓)	從業員一人當月 平均賃金額(圓)
1946. 4	34,885	28,338	812
5	37,670	44,238	1,174
6	37,430	44,480	1,188
7	37,852	54,225	1,433
8	37,835	55,392	1,463
9	37,340	55,957	1,499
10	38,445	73,319	2,069
11	34,384	57,978	1,688
12	32,951	77,320	2,347
1947 1	32,763	77,017	2,351
2	32,94	80,687	2,426
3	32,851	82,413	2,500
月 平 均	35,366	61,114	1,728
4	32,575	86,495	2,655
5	32,442	84,738	2,612
6	32,724	84,969	2,516
7	34,033	92,042	2,704
8	33,957	198,659	5,830
9	33,635	111,933	3,27
10	33,561	115,723	3,448

車輛新造에있어서는 다음表에表示된바와같이 極甚하게後  
 退된것을알수있다

(第 4 表) 國內車輛製造狀況表 (輛)

	1941年	1942年	1943年	1944年	1945年	1946年
機關車	16	4	7	11	2	0
客車	1930年~1944년까지	6,475	399	219	99	0
貨車					0	0

1946年 6月下旬 南朝鮮一帶에來襲한 暴風雨로인하여 各  
 處에洪水로 鐵道及道路流失과 橋梁破損等の 莫大한被害가  
 續出하였다 雪上加霜으로 極烈한勞力으로 蔓延하는 虎列剌  
 로 列車運行은 自然杜絶狀態에까지되었다 冬期에들어 虎列剌  
 의政勢도 減少되여서 次々回復되어가고 輸送도軌道에응  
 게되었다 1947년에들어가 漸次活潑히躍進하는鐵道는 新構  
 想下에各種新企事業을遂行하기始作하였다

### 나. 私 鐵 吸 收

朝鮮은解放後 諸部門에있어서 植民地의性格의拂拭과 強  
 力한再建工作이要請되었다 鐵道에있어 不得已兩斷된時期的  
 이나 國家百年大計와 반다시오고야말 完全獨立의約束에 對  
 備키爲하여 完全한建設計畫의統一을 絕對로必要모하여 그  
 經營도 亦統一한必要는느것은것이다 多幸히 私鐵이 全部가  
 日人占有이된關係로 無難히併合은達成되었다 其中의朝鮮

人所有株는 適當한賠償方法이考慮되었다 여기서私鐵의過去 運轉遲란것같은私鐵이있어서는 1910年總督政治以後1914年補助金交付制度에依하여 日人資本의誘入을 爲하여努力하였던것이다 日本에서는 私設鐵道가 一地方의交通을 目的으로하는 原則下에 그路線의延反이 局限되어있었으나 鐵道普及率이低度인朝鮮에서는 比較的의上的補助金制度라는 好條件下에 國私鐵併行主義로 私設鐵道에게 國有鐵道の先驅的代行機關의性質을 付與하였던것이다 1914—1915年頃當時의 日本은 資本의蓄積過程에있었으므로 莫大한固定資本을 必要로하는鐵道投資의餘裕가없어서 發展이微弱하였다

一次大戰後 日本은經濟적으로 急進的向上이있어서 日本資本家의朝鮮進出이著著하게되였다 1944年度現在의私設鐵道會社는 12補助會社와 4非補助會社가있었다 그總補助金額은 7,228千圓이었다

解放以後 多幸히 全私設鐵道는 日人所有即徵産이였기때문에 無難히 在朝鮮美軍政法令第5號에依하여政府接收下에 統一하게되였다 1946年5月1日부터 私鐵은없어지고 對稱的인一元의國營控制은確立하게되였다 國鐵으로移讓된 南朝鮮私鐵은 다음과같다

(第 5 表) 移讓된私鐵一覽表

忠北線(朝鮮鐵道)	烏政院—忠州間	廣軌	94.0	杆
京畿線(京南鐵道)	天安—安城間	〃	28.4	〃
忠南線(京南鐵道)	天安—長項間	〃	143.5	〃
京春線(京春鐵道)	城東—春川間	〃	94.5	〃
水慶線(京東鐵道)	水原—麗州間	狹軌	73.0	〃
水仁線( 〃 )	水原—仁川港間	〃	52.0	〃
土海線(朝鮮鐵道)	土城—38°間	〃	58.8	〃
慶津線( 〃 )	38°—慶津間	〃	21.9	〃
計 8 線			566.1	〃

(3) 南朝鮮鐵道の現狀

가. 머 리 말

1945年8月15日부터 同年末까지는 特記할아무러한 進展도 없이너이고 1946年度에들어秩序가回復되고 7月總罷業의一時的混亂以後 檢査에對한計畫軌道에올르게되였다 그러나多數의課題는山積하고 隘路는打開되지못하였다 1947年에들어와 當局의努力으로漸次好轉되여 曙光이빛이는데뜻하였다 1947年2月1日부터는 解放後運休中에있던 많은列車을 復舊하되 一般旅客의便宜을圖謀키爲하여 처음에는 解放前의80%를增加할決定이였으나 計畫의85%인急行列車92% 旅客60% 貨物67%를復舊하였고 以外에 美國의斡旋으로 百餘의機關車가 獨逸로부터 兵燹中古品이고 性能이弱하나마輸入되었다 1947年12月에는 4臺의機關車가 日本으로부터輸入되었다 各鐵道工場의修繕車輛能率은1946年에比하여 漸進狀態이다 그러나第7表에서보는바와같이 機關車의運轉에서는 約半數가休轉中에있으니 그것은여러가지問題에 起因하는것으로 鐵道다이야縮成問題도있었고 石炭問題 修繕問題 技術者問題其他에關聯되는隘路이다

(第 6 表) 南朝鮮鐵道工場車輛修繕數表

工場別	機關車						客車						貨車					
	1947		1946		1947		1946		1947		1946		1947		1946			
	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月			
京 城	15	14	14	13	22	16	89	131	42									
釜 山	12	8	9	7	9	14	35	56	21									
計	27	22	23	20	31	30	124	187	63									

이表에서보면 貨車修繕이 1946年同期에比하여倍에 가까운 能率을發揮하였고 第8表에서보면 貨物列車는活潑히 長距離로貨物輸送에盡力함을알수있다

더욱히 旅客列車走行杆의漸進狀態는 鐵道の旅客便宜置重對策의結果이다

(第 7 表) 南朝鮮汽關車運轉表

調査日字	汽 關 車 總 數	運 轉 數 次	非 運 轉 數 量	
			數 量	數 量
1946. 11. 10	544	240	304	55.9
12 10	544	217	327	60.1
1947. 3. 15	544	182	362	66.6
4 1	545	208	337	61.8
4 15	556	214	342	61.5
5 1	571	224	347	60.8
5 15	580	240	340	58.6
6 18	617	271	346	56.1
7 4	617	272	345	55.9
7. 15	617	268	349	56.6
8 1	622	257	365	58.7
8 15	625	266	359	57.4
9 1	628	256	372	59.2
9. 15	636	268	368	57.9
10 1	637	286	351	55.1
10. 15	643	288	355	55.2
11 1	647	282	365	56.4

(第 8 表) 南朝鮮列車走行杆表 (單位千杆)

年 月	列 車 走 行 杆					列 車 運 轉 延 日 數
	旅客	混合	貨物	軍用	汽動車	
1946. 4	172	33	336	—	—	計 4,754
5	240	98	401	—	—	739 5,846
6	216	83	299	—	—	598 5,308
7	145	77	235	—	—	457 4,374
8	301	72	251	28	—	652 5,767
9	253	60	211	25	29	578 4,444
10	163	73	196	12	27	471 5,936
11	222	95	295	22	29	663 5,005
12	238	90	344	26	30	728 5,302
1947. 1	233	95	377	28	32	765 5,328
2	227	48	397	26	33	731 5,363
3	227	57	487	30	39	840 6,171
計	2,637	881	3,829	197	219	7,763 63,598
月 平 均	219	73	319	16	18	647 5,300
4	226	58	493	30	35	842 6,224
5	293	71	494	60	39	957 7,117
6	294	63	521	60	43	981 7,335
7	299	68	494	61	43	965 7,208
8	305	67	484	66	45	967 7,234
9	294	61	501	72	47	975 一

1947年3月1日부터는 手小荷物取扱이復活되었고 6月1日부터는 乘車券販賣制限을撤廢되었다 往復旅客取扱乘車券發賣도始作되었다 이것은一般經濟面에서 解放後처음보는預金超過을示現하였고 物價指數도다음表와같이 好轉되어간것으로 捕捉할수있었다

(第 9 表) 서울市內生必需品物價指數表 (1936=100)

年 月	都賣物價 平均指數	勞働賃金 指 數	小 賣 物 價	
			平均指數	對前月騰落率 %
1947. 1	48,415	12,589	45,912	27.21
2	54,957	12,761	51,355	11.85
3	62,490	13,419	54,087	5.31
4	59,525	14,777	50,640	- 6.38
5	62,356	15,166	49,662	- 1.94
6	65,877	15,812	51,121	2.93
7	69,610	16,730	51,112	0.02
8	74,077	17,010	54,183	6.00
9	81,970	17,385	56,567	4.39
10	90,508	17,742	58,937	4.18
11	101,942	18,215	66,667	13.12
12	119,092	17,704	76,998	15.50
年 平 均	74,235	15,775	55,603	—

上記表에서 1947年12月の尙大騰 指數上昇은 바로 1月15日實施한 解放前 2倍半의 列車運費引上 (第15表參照) 으로 인한 一般物價面의 反映이다 其後 3月부터 手小荷物取扱과 旅客乘車制限廢止가 있었고 自動車其他 小運送運費의 上昇과 車發油求得難으로 汽車는 더지는 못한 携帶物로滿腹되고 供出後의 剩餘穀物이 陸續搬出되었다

自然히 地方物價는 都市로集中되었고 當局의政策에依하여 通貨는回收되기始作하니 民生問題는 小限을維持하는 暫時的現象을 보여왔다 그러나 7. 8월에 朝鮮經濟는 인프메온의 第二段階로突入하였으니 夏穀收獲資金放出으로 民間現金流通高가飛躍의으로增加되었다 都賣物價指數도 昂騰趨勢를示現하고 小賣物價指數를 凌駕하여 都市民生活을威脅하였다 더구나 10월에 秋穀收獲資金이放出되었다 一方鐵道는 石炭不足과 輸入物資輸送이라는 理由로 大輸運休가 敢行되었고 12月20日부터는 短距離旅客車24往復이 運休되고말았다 小荷物取扱이 中止되고 小口貨物로取扱制限을하게 되었다 이는 各物價外 一般生必需品價格을 昂騰시켜 民生問題에 莫大한影響을 가져오고 있다 即 12월에小賣物價는 對前月 15.50%나 騰貴하였다 이石炭不足으로인한 列車運休를 敢行한 運輸當局의말을발할것도있어 現鐵道及 朝鮮生産經濟面의最大隘路는 바로石炭問題에 있는것이다

나. 石炭及給水問題

南朝鮮의過去及現在의 石炭事情을보면 다음과같다

(第 12 表) 南朝鮮有煙炭輸入量과配當表 (單位噸)

年 月	日本으로부터輸入	配 當			
		運 輸 用	瓦 斯 · 코크 · 一 用	發 電 用	軍 用 工 業 用
1945. 10	23,783	23,783	0	0	0
11	22,409	32,209	0	0	0
12	44,013	37,853	1,380	0	7,416
1946. 1	23,040	18,150	428	0	2,134
2	61,512	57,840	3,623	0	742
3	73,338	70,078	3,247	0	649
4	82,007	79,390	2,262	0	3,060
5	62,743	61,396	1,538	0	2,290
6	53,568	47,537	3,182	0	1,224
7	22,903	21,609	1,820	0	1,015
8	66,856	62,756	1,768	0	562
9	43,173	29,924	3,648	0	2,687

(第 10 表) 全朝鮮石炭需要量及生産量表 (過去)

需 要 量	有煙炭		無煙炭		計	490萬噸增加
	千噸	千噸	千噸	千噸		
{ 1941年	5,992	2,243	8,235			
{ 1944年	7,311	5,366	12,877			

生 産 量	有煙炭		無煙炭		計	供給不足量
	千噸	千噸	千噸	千噸		
{ 1941年	2,854	3,948	6,802	1,433		
{ 1944年	2,519	4,530	7,049	5,828		

1944年은 戰爭最激烈化한때이라 需要量이尙大한數量이나 比較하기에는 該當치않으나 解放前南朝鮮의 生産과 消費를 比키로한다

(第 11 表) 南朝鮮石炭事情表 (解放前)

月 平 均	生 産		計
	有煙炭	無煙炭	
全朝鮮에對하여	3,000噸	125,000噸	128,000噸
依存地	1.3%	50%	51.3%

月 平 均	消 費		計
	有煙炭	無煙炭	
依存地	94,000噸	100,000噸	194,000噸
{ 24,000—北朝鮮			{ 25,000剩餘로 北朝鮮에
{ 70,000—日 本			

有 煙 炭	用 途 別	
	鐵 道	無 煙
鐵 道	鐵道用마석코原料	家 庭 用
瓦 斯	製造用	織 維 化 學 用
코크	燃料	食 料 品 工 業 用
船 舶	燃料	其 他
窯 業	原料	
마석코의原料		
其 他		

南朝鮮의石炭事情은 電力問題에 지지않는緊迫한 問題인 것은 勿論이지만 要는 南朝鮮에서生産이 기이停止狀態인것과 若干의生産되는것도 炭質低程으로 到底可鐵道用으로 使用키어떨다는것이다 解放後 南朝鮮石炭需要量은 月約 20萬噸이나 解放前과大差없다 生産面에 있어서 1946年度 月産 2萬5千噸1947年 月産 5萬噸으로 日政下에 1個月 7萬噸計 不足되지않은것이 現在約15萬噸이나 不足되는細晉이다

其中 南朝鮮鐵道列車運轉에 必要한石炭 1箇月量이 6萬噸이나된다 그러나 鐵道에對한 配給石炭量은 1947年12月 1個月分이 4萬5千噸이다 列車用石炭은 南朝鮮生産의粉炭 楊炭으로는 火力未及이며 그러나 配給받는不足量은 美軍滯貨와 收獲米穀運搬으로 配定되었으니 列車의大輸運休로 不得已한事情이다 石炭入荷과 消費處을살펴보면 다음과같다

10	46,431	30,421	5,126	0	939	1,955
11	38,834	14,992	2,931	0	9,971	4,920
12	38,366	22,605	6,756	1,651	1,443	3,407
1947. 1	33,462	22,284	6,808	3,249	4,743	5,979
2	40,090	38,576	1,818	0	5,234	2,628
3	67,502	51,092	1,671	0	5,107	4,813
4	57,315	48,100	4,000	0	4,000	5,200
5	66,618	59,710	504	0	2,332	4,368
6	52,437	45,166	539	0	1,553	2,551
7	54,953	47,409	1,635	0	3,161	2,858
8	59,917	39,000	0	0	17,000	5,000
9	70,297 a)	40,000	0	5,000 b)	10,000	5,000 c)

a) 9月1日~28日分 b) 發電用이하 나고石炭配給會社保存用 c) 商務部用

(第13表) 南朝鮮石炭의需要量과供給量表

(1947.5~8 單位值)

石炭別	每月最低必要量	供 給 量			
		5月	6月	7月	8月
無煙炭	95,000	44,623	58,503	43,588	41,472
右煙炭	115,000	66,914	49,809	47,713	59,917
褐炭	4,000	1,626	2,914	2,432	2,564
其他	3,000	—	932	1,257	502

다음의鐵道石炭消費量을 客貨車別로 보면 下表와같다 大部分의石炭은 貨物列車用으로消費된것을알수있다 前述한列車走行杆(第8表)를 보면 貨物 3,829千杆(49%)에 비하여 旅客 2,637千杆(34%)인데 石炭消費量은 貨物이 45% 旅客이 25%이다

(第14表) 南朝鮮鐵道石炭消費量表

(單位值)

年 月	消費總量	旅客	混合	貨物	入換	工場及機關庫
1946. 4	44,034	9,394	1,753	21,650	3,867	7,370
5	53,868	13,239	4,510	21,732	6,341	8,046
6	41,776	10,696	3,172	15,743	5,684	6,481
7	36,460	6,592	2,863	14,017	4,883	8,100
8	46,533	13,340	3,071	15,549	6,220	7,803
9	39,849	11,622	2,497	12,302	4,973	8,455
10	36,252	9,998	3,033	11,631	4,780	6,805
11	47,536	12,585	4,047	17,349	6,105	6,950
12	52,592	12,586	3,783	22,177	7,218	6,823
1947. 1	55,072	12,925	4,763	22,638	7,073	7,673
2	54,292	12,420	2,988	24,577	6,855	7,452
3	59,079	11,863	3,303	28,904	7,355	7,654
4	58,454	11,684	3,720	27,326	7,620	7,604

(第15表)

鐵道運貨變遷表

年別	旅 客		手 小 荷 物 貨 物			
	普通運貨	急行料金	總台料金	手 荷 物		貨 物
1947 假	1杆에對하야(大人)	普通急行	總台料金	手 荷 物		最低運賃
	3等 1錢5厘5毛	(錢) 400杆 800杆 以上	(錢) 上段 中段 下段	1人에對하야		車 扱 12圓
	2等 2錢8厘	3等 65 100 125	3等 100 150 180	3等 30杆		小口扱 50錢
	1等 4錢4厘	2等 130 230 250	2等 300 — 450	2等 50杆		狹 軌 3圓
		1等 200 300 375	1等 500 — 700	1等 60杆		
		特別急行	(錢) 400杆 800杆 以上	小 荷 物		
		3等 130 200 250	最低運賃 15錢			
		2等 250 400 500				
		1等 400 600 750				

5	60,657	13,991	4,234	27,962	7,353	7,117
6	58,182	13,317	3,665	27,413	7,284	6,503
7	56,573	13,302	3,623	26,369	7,248	6,031
8	55,139	13,636	3,347	25,071	7,074	6,011
9	57,331	13,298	2,993	27,712	6,064	7,264
10	62,520	14,185	3,261	30,943	7,682	6,449

다음給水問題에있어서는 石炭問題와 아울러 運輸部의 頭腦가 커져있었다 石炭과給水는 機關車의 原動力이 된다 夏節에는 石炭이나 給水나 그다지 深刻한 問題를 波及시키지 않았으나 冬期로 들어스면 石炭問題만 지나 重要한 對策을 要求한다 各重要驛에는 給水設備을 完全히 하여 完全運行에 支障 없도록 努力하지만 寒波의 來襲으로 말미암아 冬季 枯渴時 容易히 險을 惹起하여 鐵道의 使命인 完全運行을 妨害하는 수가 많다 現在 給水施設의 完備를 爲하여 努力中이다

다. 運貨問題

交通機關은 單只技術의 方面에 있어 運送上의 要求를 充足시키 難한 것이 아니라 一般經濟의 方面에 있어서도 같은 것이다 結局技術的으로 優秀하더라도 經濟的으로 不合理하면 實用上의 價値를 喪失케 된다 即鐵道運送은 이點에 있어서도 다른 交通機關보다 優秀한 것이니 보는 바와같이 運賃은 올라도 旅客數는 줄지 않는 것과 같은 汽車運賃은 다른 物價보다 低廉하다는 傾向을 示唆하는 것이다

鐵道運送이 如何히 正確 安全 迅速하더라도 其運賃이 高率이면 充分히 旅客과 貨物을 吸收할 수는 없다 即運賃制定如何가 産業經濟의 發達에도 影響을 주는 것이다 解放後 朝鮮經濟가 漸々 인플레이션의 度를 激化시키었기 때문에 鐵道部門도 物價의 暴騰으로 인하여 赤字財政을 未免케 되었었다 當局은 1946年 5月과 12月 兩次に 걸쳐 運賃을 引上하엿었다 더욱더 앞서서 騰貴하는 인플레이션에 對하여 不得已 1947年 1月 15日 다시 大幅引上을 斷行하엿었다 그 大要는 다음 表와 같다

年次	等級	1杆에對하야(大人)			手 荷 物			最低運費			
		1,200杆까지	以上(錢)	800杆, 1,300杆 以上(錢)	上段	中段	下段	1人30斤以內의것 1個無貨	30斤超過의것은 1個에對하야 다음加算	車 扱	小口扱
1943 1944	3等	3錢0厘5毛	2錢8厘	3等 180 240 300	3等 165	220	275	1個	1圓	20圓	1圓
	2等	6錢8厘5毛	5//6//	2等 420 560 700	2等 600	—	840	200杆까지	1圓	5圓	5圓
	1等	10錢9厘	—	8錢4厘 1等 720 960 1,200	1等 1,040	—	1,900	500杆까지	2圓		
小 荷 物											
最低運費 30錢											
1946 5.1	3等	20錢	4圓	3等 25圓				1人30斤1個에對하야		1946.5.1	
	2等	40錢	8圓	2等 50圓				改正日字 200杆 500杆 1,000杆		最低運費	(10倍以上)
	1等	80錢	16圓	1等 75圓				1947. 3.1 10圓 20圓 30圓		車 扱	200圓
1946 12.1	3等	40錢	8圓	3等 50圓				同 7.15 15圓 30圓 45圓		小口扱	10圓
	2等	80錢	16圓	2等 100圓				同 12.1 20圓 30圓 50圓		狹 軌	100圓
	1等	160錢	32圓	1等 150圓							
最低 普通急行 特別急行(圓) 上段 中段 下段 小 荷 物											
1947 1.15	3等	1圓	15圓	3等 125圓	250圓	3等 150	175	200	重量50斤以內의것 1個에對하야	1947.3.20	
	2等	2圓	30圓	2等 350圓	500圓	2等 300	—	400	改正日字 200杆 500杆	(5割引上)	
	1等	4圓	60圓	1等 375圓	750圓	1等 450	—	600	每500杆 增加에	最低運費	車 扱 300圓
增加에											
同 7.15 15圓 23圓 8圓											
同 12.1 20圓 20圓 8圓											
同 12.1 20圓 20圓 8圓											
同 12.1 20圓 20圓 8圓											
同 12.1 20圓 20圓 8圓											

(註) 1930年以前은 哩制이였음

如上運費의改正은 鐵道財政面에 多少間의曙光을빛이는것 이었다 그反面에朝鮮經濟面에 끼치는影響은大端하여서 前述 과如히 物價는大幅騰貴하고 1947年1月2月에指數人上昇을示 現하였다 (第9表參照) 都市集大小物資는 鐵道運費을加算 하여恒當그負擔은 消費者에게도라가는것이다 그러나多幸히 列車의正常的의運行과 運轉回數의增加로因하여 物資는競争的 的入荷多少間의物價低落도 보여 3月以後物價指數의小減을示 現하게되였다 그러컨다음으로鐵道財政面을 窺察하기로한다

라、鐵道財政及營業收入

過去日帝時代에 있어서는 鐵道收入은 總督府財政의源泉 이었고 國庫歲入歲出의 큰比重을占하였으며 公平準化을爲해 서 數次의旅客 貨物運費의改正을敢行하였다 그러나解放後 인프러經濟의影響으로 赤字을難免케되었으나 運賃引上과列 車増發에依하여 1947年度는大概그事態가 好轉되리라豫測되 었다 (第16 17 18表參照) 그렇든것이 1947年11月以降 列車 의大幅運休가 石炭事情으로不得已斷行되었으니 物價는昂騰 하는反面 收入은激減한것 인故로 1947年度總收支에 있어 若 干의難色이再考된다 1946年度의運輸의各種收入狀況은 以下 數表와같다

(第16表) 南朝鮮運輸部收支表 (單位千圓) I

年 月	政府補助	收 入	支 出
1946. 4	97,696	31,854	35,946

{※ 1 重複된金額임으로差引함  
 {※ 2 正當한年計額

(第17-1表) 1946年度南朝鮮鐵道運輸取扱收入表 (單位千圓)

月 別	旅 客 收 入									貨 物 收 入				旅客貨物 合計
	旅 客			運 賃	急 行 料 金	手 小 荷 物 運 賃	郵 便 物 運 賃	雜 收	計	小口扱 運 賃	車 扱 運 賃	雜 收	計	
	1 等	2 等	3 等											
1946. 4	—	36	36,965	37,001	888	701	14	664	39,268	15	4,316	53	4,384	43,652

5	515	440	86,589	87,544	1,622	2,563	18	645	92,392	1,309	11,652	161	13,122	105,514
6	1,232	892	48,034	50,158	1,964	1,396	15	351	53,884	679	10,031	204	10,914	64,798
7	188	1,688	26,769	28,645	574	1,133	17	188	30,557	457	7,139	177	7,773	38,330
8	221	2,129	43,916	46,266	1,789	1,059	111	330	49,555	1,158	11,059	339	12,556	62,111
9	232	2,053	39,428	41,713	1,247	1,045	106	312	44,423	1,059	9,253	248	10,560	54,983
10	159	2,014	43,899	46,072	1,164	2,331	111	410	50,088	870	8,240	136	9,246	59,354
11	170	3,719	71,467	75,356	2,132	3,037	22	498	81,045	1,742	9,703	605	12,050	93,095
12	416	7,638	114,576	122,630	4,574	3,862	23	672	131,501	2,640	11,943	253	14,836	146,337
1947. 1	1,363	9,923	152,848	164,134	6,372	3,639	23	548	174,716	3,123	13,195	391	16,709	191,425
2	6,214	7,978	167,844	182,036	8,331	3,079	21	471	193,938	1,940	13,775	253	15,973	209,911
3	6,729	7,848	205,933	220,570	9,751	5,038	23	712	236,094	2,453	14,147	315	16,915	253,009
計	17,449	46,358	1,038,318	1,102,125	40,408	28,883	244	5,801	1,177,461	17,445	124,453	3,140	145,038	1,322,499

※ 1 12月分赤字는 8. 9. 10月 3個月分運賃의 誤算임으로 差引함

※ 2 美軍客車使用料 2,370,590圓

※ 3 1,740,773圓 } 未包含지 않았음

(第17-2表) 1947年度運輸收入表 (單位千圓)

年月	總額	旅客	貨物	其他
1947.4	219,448	203,785	9,663	6,500
5	299,009	279,548	11,173	8,288
6	270,579	257,329	8,315	4,935
7	288,275	269,347	12,146	6,782
8	305,625	277,042	22,580	6,003
9	324,460	300,613	17,449	6,398
0	385,172	356,644	21,406	7,122

上表에서 보면 現在의 旅客收入은 貨物收入에 對하여 約8倍에 達한다 第20表에서 보면 1938年以前에는 貨物收入이 旅客收入을 凌駕하였었다 1939年以後 旅客收入은 增加하기 始作하였다 現在 貨物收入이 旅客收入의 8分之1인데 石炭消費量(第14表)에 있어서 는 貨物列車가 全石炭消費量의 45%로 旅客은 25%이 나 運現象을 이루고 있다 全鐵道收入의 18%밖에 안되는 貨物이 石炭의 折半이나 消費하고 있으며 또 中運社 貨物의 運送도 있었음으로 鐵道財政의 赤字를 免致 못할 實情에 있는 것이다 다음各線別收入을 보면 다음과 같다

(第18表) 1946年度南朝鮮鐵道純收入表 (單位千圓)

年月	純收入			雜收入		
	旅客	貨物	合計	旅館	病院	其他
1946.4	39,834	4,436	44,320	770	108	—
5	94,969	13,122	108,091	828	153	381
6	55,624	10,880	66,504	918	242	302
7	30,557	7,758	38,315	680	307	819
8	49,555	12,428	61,983	1,187	332	842
9	44,423	10,431	54,854	1,156	313	740
10	50,380	9,140	59,520	893	393	462
11	79,799	11,797	91,596	1,312	360	44
12	131,501	14,561	146,062	1,544	389	154
1947.1	175,130	16,440	191,570	1,731	437	—
2	194,266	15,735	210,001	1,954	504	—
3	230,907	16,652	247,559	5,797	678	3
計	1,176,995	143,380	1,320,375	18,770	4,216	3,747
月平均	98,033	11,948	110,031	1,564	351	312
or	82%	18%	100%			

(第19表) 1946年度南朝鮮各線別運輸收入表

線別	旅客收入	貨物收入	合計	單位千圓		
				月平均收入	日平均收入	年平均收入
京釜線	669,608	102,773	772,381	64,365	2,116	794
京義線	33,511	1,362	34,873	2,906	95	384
湖南線	134,188	8,970	143,158	11,929	392	500
京元線	41,313	5,413	46,726	3,893	128	318
慶全南部線	62,413	3,474	65,887	5,490	180	504
慶全西部線	33,107	4,778	37,885	3,157	103	260
全羅線	71,412	6,690	78,102	6,508	213	392
東海南部線	46,791	4,020	50,811	6,843	139	348
京慶線	61,146	6,912	68,058	5,671	186	177
黃海線	12,473	652	13,125	1,093	35	223

上表는 大線別收入比較인데 最高收入線은 京釜線 最低收入線은 黃海線임을 알 수 있다 그러나 좀더 細分된 細線別로 最高最低收入線을 보면 京仁線이 最高이며 水仁線(水原 仁川港間)이 最低이다 다음에 過去10年間의 旅客貨物收入과 解放後 南朝鮮의 1946年度收入을 比較해 보기로 한다

(第20表)

累年別營業收入比較表

年別	營業收入	運輸				收入		
		旅客收入	貨物收入	計	指數	1日平均收入	1日平均收入	1日平均收入
1336	3,575.9	104,316	32,143	65,036	100	178	19	51.5
1937	3,737.6	126,392	37,167	76,908	118	211	21	53.0
1938	3,831.0	158,817	48,765	95,133	146	261	25	69.2
1939	4,089.5	216,469	70,420	126,359	194	345	32	88.1
1940	4,293.3	272,198	91,495	153,374	235	420	36	98.7
1941	4,463.4	229,286	100,476	171,671	263	470	39	106.2
1942	4,536.8	308,577	151,977	242,815	373	665	54	146.8
1943	4,567.5	298,018	181,759	290,336	446	793	64	173.6

1944	5,012.5	367,275	219,896
1946	2,566.6	1,385,560	1,177,002

上表에서 보는바와같이 解放後의南朝鮮의營業軒數는 過去營業軒의折半에不過하지만 그收入은甚大한數字를 記載하고 있다 처음에 顯示한바와같이 매우奇現象이라고 하겠으나 現下인플레이의 通貨膨脹을考慮할때 首肯되는바이다 그리고 從來의 客貨收入均衡은 顛倒되고 南朝鮮鐵道の 1946年度旅客收入은 全收入의90%를 차지하고 있다

(4) 鐵道客貨輸送狀態  
가. 旅客輸送

(가) 미 및 만

解放前에는 長距離旅客의大部分이 日軍關係者와 公用關係者이며 大陸進出의 大小企業群들이었다 戰爭의苛烈함에 따라 旅客輸送은 強力한統制下에 많은制限을 받게 되고 公用關係優先待遇者以外에는 旅行하기困難하였다 그러면 解放後는 어떠한狀態에 있었는가!

日帝의 強壓的戰爭遂行으로 都市民의 2-3 割이 地方으로 疎開轉出하게 되었었다 그들은 母地 地方에 親이나 家族의 一帯가 殘留하여 있든가 農土의餘裕가 있는 사람들이 大部分이었다 그러나 農村에 가서 耕作시키려 農事에從事하여 子女를 教育시키기에 許多한隘路와 莫大한損失이 있었었다 一時的強壓으로 不得已하였고 一方都市空爆의 危險回避에서라도 疎開하고 農村으로 分散하였다

疎開되지 못한 解放이速히 왔음으로 疎開하였던 사람과 解放의 首都를 憧憬로 求望하러 가는 사람과 또 無秩序와 混亂의 亂에서 千萬을 노리는 사람들이 于先接應하여 都市로 集中하였던 것이다 또 百餘萬의 同胞가 外地로부터 歸還하였다 北朝鮮에 있는 同胞가 陸續南下하였다 政治的인 姑息하고 金生活의 安全을 爲하여서도 多數의 避難人이 생겼었다 서울과 各都市는 人口가 飛躍的인 增加를 이루었다 現在 서울市人口 170 萬餘는 解放前 100 萬餘에 비하여 甚大한增加이다 서울市人口動數는 1946年10月末에 1,226,763人이었는데 1947年9月末에 1,763,912人이다 約50萬餘名이 增加되었는데 其中出生數男女合 45,120人에 死亡者男女合 22,407人이니 自然增加는 約 3 萬名이 包含되었고 其他는 人爲的인 集中이다 이 增加人口의 負擔은 全部交通機關에 依해서 이루어졌다

解放後鐵道의 一時混亂은 人員을 全數로 運搬困難하였다 그러나 解放에 自動車利用이 激增되었으니 鐵道에서 小運送이 不必要하며 移倉庫와 사람이 同時運搬되는 貨物自動車을 利用하였다 鐵道도 漸次秩序가 回復되어 갔다 自動車은 그 運賃이 無時로 變動하며 漸次高騰하여 갔다 補修品不足으로 故障가 續出하게 되어 汽車의 安全 迅速 正確性에 더욱더 依賴하게 되었다 旅客은 貨物輸送의 安全化와 手小荷物取扱開始로 鐵道의 惠澤을 차차 입게 되었다 그러나 交通道德은 尙히 矯正되지 못하였다 貴重車輛의 修繕할 사람이 부족하였다 嚴冬에도 疏濶感 없는 汽車가 달리고 있음은 憂心事이었다

그러나 汽車는 疎定된 1차 1차대로 正當運轉되었다 前述한 말은 對策이 樹立되어 1946年에서 1947年에 이르는 동안 運輸當局은 旅客輸送에 萬遺憾을 期하였다 其間建設欲의 最揚에 비하여 旅客事故가 不幸히도 많았다 그렇지만 前述한 바와같이 1947年末에 이르러 石炭不足이라는 致命傷으로 因하여 前途는 憂鬱한 程度의 深刻한苦衷을 露呈하게 되었었는데 그러면 여기서 旅客輸送의 現狀을 調査觀察하고 또 그것을 더욱 正確하게 評價하기 위하여 最近10年間の 鐵道輸送面의 業績의 變化의 考察과 더불어 鐵道가 朝鮮經濟에 끼친 影響을 살피기로 한다 朝鮮에 있어서는 勿論 地球上에서 諸文明國에 뒤떨어지진 進進諸國은 다 그렇지만 唯一의 交通手段이 鐵道

144,897	364,799	569	999	73	199.3
143,386	1,320,388	2,030	3,617	515	1,409.5

모든것 後 容貨輸送狀態의 程度如何를 살피는 것 即ち 數字의 統計를 보면 産業經濟面의 振不振 或은 인플레이 傾向의 傾向 또는 民心의 安定 不安定까지라도 測定할 수 있을 것이다 軍事基地化하였던 過去數年間の 鐵道運輸統計數字는 秘密에 부쳤었고 特別朝鮮人從業員에 對해서는 各手段으로 強壓하여 賦口와 蔽眼을 抑制하였었다 解放後朝鮮이 兩斷되었으니 過去의 旅客輸送人員과 南朝鮮의 數字와는 比較하기 困難하다 參考로 最近10年間の 累年比較와 또 世界主要國과의 比較도 資料의 許容하는 限度로 例示할까 한다

(나) 解放前

最近10年間은 戰爭의 10年間이었다 太平洋戰爭이 最高潮에 達하여 아직 日本이 得意揚々 하였던 1943年이 旅客輸送人員에 最高記錄을 내었다 翌年부터 戰爭의 後退로 日本의 諸注意는 果敢之危機에 빠져 旅客輸送은 強力한統制에 對面하였다 그러나 軍隊와 軍要員의 長距離旅行은 減할 것이 아니라 輸送人員에 있어 激減된 1944年의 延人軒는 1943年보다 勞勞勢이나 1942年보다 는 優勢이다

(第 21 表) 最近10年間旅客輸送人員變

年別	人 員	指 數	延人軒
	千人		百萬人
1936	33,708	100	2,024
1937	35,906	106	2,469
1938	45,058	133	3,046
1939	59,694	177	4,274
1940	82,088	243	5,440
1941	89,977	266	6,134
1942	108,477	321	7,494
1943	128,468	381	8,885
1944	106,372	315	8,752
1945	—	—	—
1946	50,731	150	—

(註) 1946年度分은 11月以後概算數字를 集計하였고 延人軒는 未集計인 關係로 記載되지 못하였음 以下同前

(다) 各國과의 比較

各國鐵道輸送人員을 下表에서 보르면 10年間の 몇몇國統計數字에서는 3倍라는 飛躍的인 增加는 없는 것이다 이 資料가 世界主要國인 아닌故로 確實한 判斷이 못되지만 大抵의 傾向을 推測할 수 있는 程度이다 이 表의 提示國家는 大抵英國을 除外하고는 第二次大戰에 直接的인 被災地가 아니므로 記錄에 있어 中斷함이 없어서 對照하기 容易한 理由로 比較하게 된 것이다

(第 22 表) 各國鐵道旅客輸送人員比較表 (百萬人)

年別	朝鮮	英國	瑞西	澳洲	芬蘭	南阿非利加	諸國	平均
1937	35.9	101.3	9.3	31.5	1.7	1.0	1.7	1.8
1938	45.0	96.5	9.4	32.1	1.8	1.0	1.8	1.9
1939	59.6	92.0	9.9	32.1	1.8	1.0	1.8	2.0
1940	82.0	77.6	10.4	31.6	1.7	1.1	1.9	2.1
1941	89.9	81.5	12.0	34.5	2.0	1.4	2.1	2.3
1942	108.4	96.8	13.2	39.6	2.4	1.9	2.6	3.0
1943	128.4	105.7	14.8	43.2	2.8	2.3	3.3	3.2
1944	106.3	107.3	15.8	44.4	3.3	2.5	3.8	2.7
1945	—	109.4	17.1	44.6	4.6	2.6	3.9	2.7
1946	50.7	101.8	17.2	45.2	4.6	2.4	—	2.4



(第23表)

各 國 鐵 道 旅 客 人 杆 比 較 表 (百 萬 人 杆)

年 別	朝 鮮	美 國	白 耳 義	中 國	佛 蘭 西	洪 牙 利	瑞 典	土 耳 其	加 拿 大	和 蘭 南
1937	2,469	3,307	519	174	2,250	191	182	73	259	253
1938	3,046	2,901	511	76	1,837	203	194	87	239	260
1939	4,274	3,038	482	94	1,711	271	214	107	235	249
1940	5,440	3,167	—	120	1,425	313	283	157	292	366
1941	6,134	3,935	346	129	1,421	367	330	204	430	387
1942	7,494	7,196	495	123	1,933	494	382	219	669	518
1943	8,885	11,778	532	176	2,351	620	430	198	875	689
1944	8,752	12,814	276	91	1,246	643	448	186	922	—
1945	—	12,300	416	147	2,174	215	450	179	852	—
1946	—	8,678	573	1,005	2,613	245	452	—	620	461

各國과의對照에서 過去10年間の鐵道乘客은 赫々한 것이다 그것은 朝鮮運輸交通의 特殊性을 말하는 것이며 解放後各國은 漸次昂騰傾向을 나타내고 있지만 朝鮮은 1946年以後 全勞力에 拘束되지 못하여 大端遺憾이다 運輸當局의 苦心의 努力에 拘束되지 1946年度 旅客運輸 延人杆가 未集計인關係로 解放後의 實記錄이 掲載되지 못하는 形便을 當局者와 같이 設法을 講求하며 이問題도 運輸當局 統計執務處의 各線路의 하나임을 附記하여 둔다

10	3,870,070	216,728,491	56
11	5,559,802	—	—
12	4,827,806	—	—
1947. 1	3,560,329	—	—
2	3,734,998	—	—
3	4,956,923	—	—
計	50,731,482	—	—
月 平 均	4,227,623	—	—
1947. 4	5,143,609	—	—
5	5,377,286	—	—
6	4,739,504	—	—
7	4,629,795	—	—
8	5,288,996	—	—
9	9,539,687	—	—
10	7,097,824	—	—
11	5,262,317	—	—
12	3,271,766	—	—

(己) 解 放 後

解放後의 旅客輸送人員은 下表와 같이 1946年度에 들어 11月이 最高人員을 記錄하였고 月平均은 400萬人이 輸送되었고 1947年度에 들어 月平均 560萬人이며 1947年 9月이 最高記錄이다 大概夏季에 輸送人員이 減少되고 9月以後 增加되다가 冬期에 들어 또 줄어들므로 4月以後 漸增되다가 農繁期에 들어 雨季關係로 夏季에 줄거리는 傾向이다 1946年이 唐列刺의 蔓延를 免했더라면 더욱 더 많은 人員이 往來하였겠지만 그 때로 前述한 ※

(第24表) 1946年度 月別 旅客輸送人員表

月 別	輸 送 人 員	延 人 杆	1 人 平 均 杆
1946. 4	3,748,130	334,854,986	89
5	5,184,222	399,417,839	77
6	3,912,423	250,008,498	64
7	3,270,490	140,243,415	43
8	4,039,173	213,905,488	53
9	4,067,116	207,890,812	51

※ 거와 같은 乘客이 1만 1947年度에 年度未까지 月平均 500萬人을 維持하는 日이 되지는 것이다 不幸히도 石炭問題로 12月以後 輸送人員은 激減된 것이며 12月 말까지 解放後 最低記錄이던 1947年度의 全輸送人員은 前年을 若干 度 縮小 程度가 되겠다

다음에 各線別 輸送人員 狀態를 觀察하기 위하여 第25表로 아래와 같이 表示한다 그러나 1946年度 總計가 未完成임으로 不得 已 上半期 分만 掲載케 하였다

(第 25 表)

1946年 各線別 旅客輸送人員表 (上半期)

線 別	1946.4	5	6	7	8	9	上 半 期 計	1946.4-1946.9 (半年計) 延 人 杆	1 人 平 均 杆
京 釜 線	1,957,111	2,911,570	2,223,120	1,793,489	2,136,213	2,046,944	13,068,447	817,506,984	62
京 本 線	1,807,252	2,297,867	1,769,783	1,451,962	1,752,867	1,663,612	10,743,343	682,731,027	63
京 仁 線	452,580	518,933	409,362	492,798	365,931	375,305	2,614,909	55,753,038	21
水 麗 線	—	33,904	33,549	58,912	68,294	53,881	248,540	6,631,494	26
水 仁 線	—	38,176	28,638	45,895	59,605	59,656	231,970	5,795,485	24
京 畿 線	—	28,415	18,221	11,868	19,182	20,879	98,565	1,868,603	19
忠 南 線	—	247,518	194,305	88,695	82,433	82,700	695,656	25,751,977	37
忠 北 線	—	167,560	112,703	71,629	116,395	118,627	386,914	16,981,012	29
慶 北 線	37,602	64,458	41,964	7,594	2,772	1,820	78,620	5,227,304	33
大 邱 線	192,247	171,204	108,230	22,730	49,483	65,741	519,635	16,667,054	32
京 義 線	397,055	454,045	426,447	540,311	503,656	486,751	2,808,265	117,923,395	42
京 本 線	389,939	449,364	416,381	520,274	492,039	473,101	2,741,148	117,572,745	42

龍山線	13,346	15,401	16,903	26,781	19,073	21,360	112,864	350,650	3
湖南線	819,471	940,016	451,703	197,850	404,031	471,587	3,284,658	222,312,906	67
本線	771,956	853,412	335,093	170,776	359,985	410,676	2,901,898	211,113,767	72
群山線	140,501	174,397	152,223	29,830	59,238	77,457	633,646	11,199,139	17
京元線	246,314	293,859	242,821	248,224	310,698	285,337	1,627,253	36,654,093	22
本線	246,314	257,468	215,839	220,384	225,245	194,227	1,359,477	24,616,389	18
京春線	—	62,556	61,589	28,804	91,696	99,645	344,290	12,037,704	34
慶全南部線	266,024	410,275	306,222	319,333	451,085	362,876	2,115,815	70,113,535	33
本線	219,498	392,943	281,646	295,229	415,171	326,953	1,931,440	63,086,474	32
鎮海線	67,240	75,643	72,801	71,050	99,241	81,847	467,822	7,027,061	15
慶全西部線	209,239	225,427	151,076	159,646	213,117	219,948	1,178,453	43,248,742	36
本線	205,568	220,587	146,083	153,970	205,685	216,856	1,148,749	42,591,308	37
和順線	20,468	14,631	9,877	10,943	15,467	12,194	83 80	657,434	7
全羅線	345,989	347,096	250,382	133,634	213,728	289,984	1,580,813	76,885,814	48
東海南部線	208,892	311,671	176,561	133,411	231,864	212,913	1,275,312	49,406,497	38
京慶線	414,318	492,255	340,493	199,630	287,845	254,014	1,988,555	102,505,783	51
黃海線	48,709	88,158	62,013	1,624	9,174	75,071	284,749	9,763,289	34
局全線	3,748,130	5,184,222	3,912,423	3,270,490	4,039,173	4,067,116	24,221,554	1,546,321,048	63

(註) 局全線人員은各大線間에互換重複人員을除外한純輸送人員임(各線別도同様임)

下半年은當局이未集計로掲載되지못하였음

이표만 가지고라도 1946年度總量을推算할수는 있다 局全線半年計가 1年間輸送人員의約半이니 各線別도若干의凸凹는 있다하더라도 大概倍數로增加計算하여 觀察하면足하다 細線別로보면 京釜本線이 最長距離線인만큼 輸送人員이나 延人杆나最高이다 그러나 1人平均杆에있어서는 湖南本線이 最高이니 大概의湖南線旅客이 湖南線을通過하여 京釜線其他線으로 乘換되는長距離旅客가 大部分이었다는 것이된다 各線中龍山線이第一低位이다 元來區間이짧으니까 그러하다

延人杆만은倍加하여 年計를推算하면 大端誤算이 있을 것이지만 年計가없는만큼 不得已하다 大抵冬季에 長距離旅行이 減少되는것이 通例이었지만 解放後生必品の都市集中運搬으로 그중에도多少의供出剩餘量의 搬入關係가있어서 長距離旅行(大部分이 서울이나釜山까지 이겠다)이減少되지않았다고도 推測되는것이이다 그點에서는 倍加推算도 無難일까한다 다음에 그같은輸送人員이 서울附近으로如何히모여들고

(第 26 表)

1946年度 서울附近 6 驛月別旅客乘下車人員表

年 月	1 倉		龍 山		永 登 浦		往 十 里		清 涼 里		城 東	
	乘 車	下 車	乘 車	下 車	乘 車	下 車	乘 車	下 車	乘 車	下 車	乘 車	下 車
1946. 4	465,757	627,452	88,842	29,191	103,790	83,903	14,495	11,028	81,839	101,334	※	※
5	534,920	657,015	105,466	29,073	109,253	90,843	10,962	8,241	84,922	125,699	7,844	10,889
6	530,309	532,281	60,907	21,844	109,609	84,272	8,924	8,074	105,427	81,731	5,326	7,822
7	609,022	548,165	46,324	41,187	107,619	87,943	11,219	10,324	71,636	80,136	7,853	9,407
8	549,771	558,946	46,065	33,035	111,255	92,093	10,105	9,076	91,514	102,608	36,970	34,684
9	501,543	550,156	40,433	26,600	109,147	91,327	10,136	8,880	78,685	91,955	34,195	38,768
10	413,515	472,037	47,171	30,920	89,974	65,064	11,323	9,480	115,404	108,672	28,323	33,806
11	423,114	558,672	75,701	32,961	95,252	73,740	14,992	12,206	117,228	51,978	29,238	26,471
12	350,194	528,516	54,807	25,390	83,460	55,996	13,217	9,010	134,402	82,743	27,207	28,098
1947. 1	353,996	421,266	48,731	21,873	79,271	63,063	8,518	8,437	93,081	175,081	26,484	24,053
2	337,438	365,816	42,467	16,339	60,884	103,093	7,273	6,218	80,384	59,054	17,836	11,526
3	367,051	441,049	38,055	24,391	73,593	67,257	9,258	7,279	105,133	77,174	14,126	18,848
年計	5,436,630	6,261,371	694,969	332,804	1,133,107	958,594	130,422	108,253	1,159,655	1,138,165	235,402	244,373
乘下車合計	11,698,001		1,027,773		2,091,701		238,675		2,297,820		479,775	
1日平均	14,894	17,154	1,904	911	3,104	2,626	357	299	3,177	3,118	645	639
	32,048		2,805		5,730		656		6,295		1,314	

(註) ※는國鐵網入의임으로未詳임

모를러나갔나하는것을 보면 第26表와같으며 大概取扱人員은 6驛을擇하여 月別로表示하였다 乘車及下車別即出發及到着別로하였고 1日平均取扱人員이明示되어 있다 大서울의 關門인서울驛은 1日3萬餘名이汽車에올오고 내리고하는다고 出札口 改札口을通過하였다 其他 5驛의 合計 1日約 1萬5千名이서 서울驛의半밖에 안된다 清涼里驛은京元線 京慶線의兩線에걸치였어 其中首位이며 그해도서울驛의半밖에

못된다 特히서울驛은每月乘車人員의 下車人員보다 적다는 것이 特色이며 其他驛은 大部分乘車人員이많다 서울驛에서 내리고 타기는이곳저곳驛에서 分散乘車되었거나 그렇지않으면 每月서울에서 타러가는旅客數가 比較的적으며 長期滯留者가많은것이라고도보겠다

南朝鮮主要驛의 乘下車人員數는다음表와같다 參考로道別로區分하였으나 主要驛選定은 過去의鐵道統計一般例에맞았다

(第 27 表)

1946年度南朝鮮主要驛旅客乘下車人員表 (人)

道 別	驛 名	人 員						手小 荷物 箱 數
		乘 車	下 車	計	乘車	下車	計	
京 畿 道	城 山	5,436,630	6,261,371	11,698,001	14,894	17,154	32,048	2,680,214
	登 浦	691,969	332,804	1,027,773	1,904	911	2,815	228,223
	永 水	1,133,107	958,594	2,091,701	3,104	2,626	5,730	84,302
	上 清	614,747	696,065	1,310,812	1,684	1,907	3,591	123,243
	清 州	1,159,655	1,138,165	2,297,820	2,540	1,831	4,371	41,070
	開 城	803,822	713,749	1,517,571	2,202	1,955	4,157	270,257
	清 州	3 0	241,531	579,566	926	661	1,587	184,353
	忠 州	150,095	141,101	291,196	411	386	797	16,190
	忠 州	131,556	132,316	263,902	360	362	722	125,826
	大 安	671,667	647,609	1,319,276	1,840	1,774	3,614	505,685
南 全 北 道	大 院	326,030	363,540	689,570	893	996	1,889	195,388
	大 田	831,113	781,977	1,663,090	2,414	2,142	4,556	463,350
	溫 泉	159,083	157,196	316,279	435	430	865	43,515
	溫 泉	535,636	557,143	1,092,829	1,467	1,526	2,993	107,187
	溫 泉	491,001	508,132	999,133	1,345	1,392	2,737	339,970
	溫 泉	531,039	563,010	1,154,099	1,619	1,542	3,161	159,966
	溫 泉	537,364	395,293	933,157	1,473	1,082	2,555	636,558
	溫 泉	633,815	565,587	1,204,402	1,750	1,549	3,299	181,540
	溫 泉	478,79	472,243	950,922	1,311	1,293	2,604	297,486
	溫 泉	268,652	443,837	712,489	736	1,215	1,951	1,214,281
慶 北 道	金 泉	263,992	318,401	582,393	723	872	1,595	233,103
	大 邱	1,058,247	1,260,554	2,298,801	3,008	3,289	6,297	1,164,864
	大 邱	332,618	243,629	676,247	911	841	1,852	196,677
	大 邱	187,407	181,724	369,131	513	498	1,011	723,938
	大 邱	213,967	134,416	348,383	586	368	954	41,852
	大 邱	470,436	350,513	820,949	1,288	960	2,248	151,199
	大 邱	1,518,361	1,564,177	3,082,538	4,159	4,285	8,444	5,100,931
	大 邱	338,328	445,215	783,543	926	1,220	2,146	158,057
	大 邱	381,704	340,405	722,109	1,045	933	1,978	194,483
	大 邱	111,112	80,868	191,980	304	222	526	73,720
江 原 道	春 川	126,399	154,799	281,198	346	424	770	67,094

끝으로 解放後 外國旅行者數를 參考로轉記한다 適致外務 處發長의것으로 其間의事請을 發하는것이다 이外에旅客統

計에關해서 更細分할수있는 表料을 蒐集하지못하여 다음의 貨物輸送과같이 細別하여 說明치못함의 遺憾이다

(第 28 表)

解放後外國旅行者數表 (南朝鮮)

(1945.8~1947.5)

渡美者國籍別表

目 的	朝 鮮			日 本			中 國			獨 逸			白 露			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
教育使節團	5	1	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	1	6
事業視察	11	2	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	2	13
會議參席	3	2	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	2	5
留學生	15	2	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	2	17
永住他計	1	—	1	1	2	3	—	—	—	—	1	1	—	1	1	2	4	6
其他計	7	4	11	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	7	5	12
合 計	42	11	53	1	2	3	—	1	1	—	1	1	—	1	1	43	16	59

(1947.5 外務處發表)

外國旅行者數表

(1945.8~1947.5)

目的	美國			中國			日本			印度			英 蘭			크립비아			合 計				
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
教育使節團	5	1	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
音樂觀衆	11	2	13	4	—	4	1	—	1	3	1	4	—	—	—	—	—	—	—	19	3	22	
會議參席	3	2	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	2	5	
學生	15	2	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	2	17	
水務處技師	2	4	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2	3	5	8	—	—	
外務處技師	—	—	—	6	—	6	8	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	—	14
其他	7	5	12	20	1	21	2	—	2	—	—	—	2	—	2	—	—	—	—	31	6	37	
合計	43	16	59	30	1	31	11	—	11	3	1	4	2	—	2	1	1	2	90	19	109	—	—

(1947.5 外務處發表)

4. 貨物輸送

(7) 어 린 말

日帝鐵道網敷設의 口實은 朝鮮의 經濟開發과 民衆向上이 었다 그結果는 擧取는 當利였지만 豐富한 資源의 發掘과 工業振興도 많은 進展이 있었다 大陸侵略의 兵站基地化를 從 朝鮮은 漸次 跋行的 經濟운轉이 戰爭物資供給地가 되었고 日本商品市場이 된것은 實言을 妄치않는다

朝鮮鐵道는 猶大旅客 貨物兩輸送面에 있어서 大陸第一의 階段的 役割을 司했지만 貨物은 太平洋戰爭이 深刻해짐에 따라 日軍의 南方戰線後退와 日本本土強化의 作戰에 따른 船腹不足으로 大陸의 人의 物의 資源의 積極的 移動은 그 重荷가 朝鮮鐵道에 賦課되였다 그로 말미암아 國內工業의 助長及 發展은 阻止當可하였었다

解放後의 工業經濟面에는 一時絶望에서 漸次蘇生하는 增産意欲과 南北의 希望의 開通도 斷念하게 되어서 南朝鮮만이라도 于先産業復興에 着手하지 않으면 아니되게 되었다 其間鐵道貨物輸送은 鐵道의 混亂과 無秩序하였던 過誤와 自動車輸送의 簡易利用率增加로 全然停記할 것이 없고 다만 1946年度에 들어서서 秩序回復과 아울러 利用率도 漸次는 어서 若干의 貨物이 輸送되였다 그렇지만 元來기 經濟開發의 積極的 進展이 없이는 恒常生必品集散程度의 閑散한 數量일 것이 며 前送한 바와 같이 收入에 비하여 石炭消費량이 貨車補修品入手難으로 全然收支가 均衡되지 못하며 더욱이 美軍貨物優先取扱과 貨車의 倉庫代用 등으로 旅客面에 全然比較할 수 없게 되어 있다

朝鮮의 南北兩斷은 經濟面의 正常發展을 妨害하거나 鐵道의 正常運營과 發達을 阻止시키는 것이니 以下에서 過去의 貨物輸送狀態를 參考로 各國과 鐵道貨物과 比較하고 後解放後의 特殊現象에 言及키로 한다

(7) 解放前

(第 29 表) 最近 10 年間 貨物輸送量 比較表

年 別	貨物 總 數	指 數	延 延 延	延 延 延
1936	10,845	100	—	2,224
1937	72,370	114	—	2,931
1938	15,159	139	—	3,355
1939	17,517	161	—	4,139
1940	20,449	188	—	4,611
1941	23,169	213	—	5,480
1942	25,891	238	—	6,944
1943	27,541	253	—	9,290
1944	31,015	286	—	9,932
1945	—	—	—	—
1946	3,045	—	—	633

(1946年度는 南朝鮮만의 數字임 以下同斷)

上表에 있어서 貨物輸送總數는 漸次는 趨勢를 示現하고 있다 1944年度終戰直前까지에 貨物輸送量增加率은 1936年度의 約 3倍에 達하는 것이다 그原因에 있어서는 여러가지가 있겠지만 戰爭으로 인한 主要軍需物資의 大輸動員이다 貨物延延延를 보면 1936年度에 對하여 1944年度는 約 4倍以上의 增加이니 總數에 對한 이 같은 趨勢는 長距離輸送貨物重點主義로 即大陸物資라고 稱하는 滿洲와 北支로부터의 多量軍需物資의 朝鮮鐵道通過를 推測할 수 있는 것이다 其外에 日本軍에 強制徵收한 各種物資를 日本에 向하여 輸送한 것도 大部分이었으나 豐富한 發掘되는 地下資源에 依하여 朝鮮經濟도 一躍發展하여 그 模樣을 反映하는 鐵道貨物輸送面의 여러가지 質的 量的 變化가 있었다 即過去 10年間의 貨物品別輸送量을 檢討하면 其間의 朝鮮經濟의 性格과 發展過程을 알 수 있을 것이다 다음에 貨物品名別及 產品別 累年比較變遷을 例示하기로 한다

(第 30 表)

貨物品名別輸送數量累年比較表 (單位千噸)

名 別	1936年	1937年	1938年	1939年	1940年	1941年	1942年	1943年	1944年	1945年	1946年 南朝鮮	
米	642	863	806	437	539	1,020	—	—	882	845	—	138
粳	412	465	487	311	299	372	—	—	—	—	—	—
麥	117	99	99	231	358	178	—	115	201	—	—	66
大 豆	98	101	124	123	96	111	—	441	420	—	—	—
粟	161	128	156	110	126	161	—	268	420	—	—	48
雜 穀	138	126	116	182	125	142	—	—	114	85	—	—
野 菜	59	66	85	65	114	96	—	114	85	—	—	—
果 物	85	109	102	120	156	160	—	77	54	—	—	—
棉	31	54	54	63	61	59	—	90	94	—	—	—
葉 煙 草	38	29	35	49	41	50	—	53	67	—	—	—
磚 及 木 炭	212	208	261	330	379	437	—	328	246	—	—	170

木材及抗木	835	833	976	1,256	1,442	1,465	—	1,323	1,457	—	97
石	1,504	1,669	2,143	2,523	3,591	3,908	—	4,514	5,401	—	402
煉炭及數	133	191	246	262	72	361	—	77	328	—	—
黑鉛	35	41	63	97	98	82	—	115	120	—	—
鉛及鉛物	875	977	1,519	1,856	2,072	2,385	—	3,342	4,316	—	5
砂及上	107	116	236	338	260	384	—	97	455	—	—
石油	116	135	174	81	182	120	—	81	55	—	—
石	19	29	40	39	60	41	—	—	—	—	—
鹽	161	210	226	217	241	254	—	678	718	—	62
魚	80	87	89	99	105	97	—	48	44	—	—
魚	63	80	82	77	90	101	—	85	71	—	16
魚	11	10	11	12	13	12	—	—	—	—	—
魚	46	38	54	63	79	55	—	26	39	—	—
魚	54	65	81	81	101	96	—	73	61	—	—
食料及食料	236	272	317	363	419	460	—	1,184	1,127	—	59
食料	575	621	770	770	770	741	—	597	674	—	45
食料	16	17	24	12	26	25	—	168	171	—	—
食料	23	23	40	63	92	83	—	146	223	—	—
石灰	4	36	33	44	65	122	—	171	152	—	—
石灰	703	601	763	869	825	906	—	698	515	—	—
石灰	39	36	39	23	—	—	—	—	—	—	—
絲糸及織物	55	59	36	39	34	32	—	23	18	—	—
酒類	77	91	114	24	85	79	—	32	30	—	—
製造煙草	38	36	41	40	44	46	—	36	37	—	—
藥品	15	18	26	38	53	56	—	48	80	—	4
飼料	122	144	191	221	220	196	—	227	246	—	17
食料	9	7	13	18	36	39	—	38	44	—	—
牛	21	16	26	50	52	40	—	40	40	81	4
陶器	10	11	15	17	19	28	—	—	—	—	—
煤	5	5	5	6	7	8	—	—	—	—	—
煤	6	8	9	3	6	4	—	—	—	—	—
煤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
局用貨物	440	393	838	1,034	1,300	1,227	—	952	1,383	—	567

(註) 1942年度數量記錄이 無함으로 掲載치 못하였음 以下同斷

(第 31 表)

貨物產品別輸送數量累年比較表 (單位千噸)

年別	農產品	鐵產品	林產品	石 炭	肥 料	水產品	工產品	窯藥品	其 他	總 量
1936年	1,903	1,133	1,047	1,637	591	320	546	778	2,890	10,845
1937年	2,184	1,269	1,046	1,860	638	386	597	660	3,730	12,370
1938年	2,146	1,992	1,237	2,389	794	408	582	836	4,375	15,159
1939年	1,912	2,472	1,586	2,785	722	405	633	976	6,026	17,517
1940年	2,138	2,612	1,821	3,963	796	449	762	982	6,926	20,449
1941年	2,545	2,971	1,902	4,269	765	464	768	1,111	8,374	23,169
1942年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1943年	2,267	3,935	1,651	4,791	765	811	1,374	1,015	10,932	27,541
1944年	2,432	4,946	1,703	5,729	845	833	1,312	890	12,325	31,015
1955	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1946年	301	64	267	402	45	78	—	—	1,858	3,045

即1937年以前까지는 農產品이第1位이였지만 그後는朝鮮 産業의工業化와 軍需産業의高度化로石炭 鐵產品과같은戰爭 必需品製造와 工業振興의原動力이되는貨物이 飛躍的으로增加하게 되었다 農產品中에서는米가最高位이다 產品別에 있어서는農產品이石炭이나鐵產品에게 一步를讓步하였으나 1940年에서 1941年度에 米輸送量이一層倍로增加하였음을注目된다 即太平洋戰爭勃發年前後인을生覺할때 致倉朝鮮의米産總量이 거의 다 南方으로北方으로 日軍用米化한것을實證한다

反面에肥料은增産되지 못하였으나 朝鮮의農士가 日帝의戰爭으로 漸次荒廢化되었음이집착되는것이다 林產品도累年增加趨勢을보이고1941년에最高輸送量을示現하였다가漸次減退하였지만 그때도 1936年度의約倍나되는輸送量이다 以上에서石炭 林産 鐵產品은 大概其大部分이鐵道輸送에依하지만 農産物만은 産額의 30% 程度가鐵道로輸送되는것이다 運輸收入에 있어서도農產品보다高率인 林 鐵產品이總輸送總數增加比率以上으로增加해된다 다음에工業品은 그다지活氣를더보

있지 못하든 것이 1943年度에는 눈발만큼 증가하여 1936年度の約倍에 달하였다 이것은 바로 工業原料及製造品의 輸送이라는 産業復興發展의 尖銳의 役割을 하리니 鐵道의 運送量은 되는 것이니 鐵產品中에서는 鐵鐵이 輸送量의 半을 차지한다 滿洲及北支에서의 輸入外에 嶺南浦 黃海道下平外各地 咸鏡北道及山鐵嶺外 數處에서 發掘輸送되었던 것이다 石炭은 朝鮮無煙炭 滿洲炭의 順이며 前者는 平安南道 西鮮中央鐵道 綏化 無煙炭과 全羅南道和順炭礦이었다 滿洲炭은 奉天省 撫順炭의 大部分이었다 此外에는 機械類 雜藥品 세멘트가 大量貨物이었는데 機械類

는 京城 平壤 仁川 其他各重要都市가 集散地이었고 세멘트는 平安南道 朔湖甲과 咸鏡南道 川 仁川의 二人工場이 있었다

鐵道の 經濟을 살피면 鐵道の 鐵產品과는 密接한 關係가 있다 先選 諸國의 有力한 鐵道の 貨物輸送中 大部分이 鐵과 石炭을 주로 하는 鐵產品輸送이라는 貨物比하면 朝鮮鐵道는 역수 貧弱한 鐵產品輸送量이 었으니 1936年以後 漸次 增加하여 最高年인 1944年에는 鐵產品(4,946千噸)은 米(845千噸)의 約6倍에 達하고 全輸送量(31,015千噸)의 約6分之1強을 示現하였다

(七) 解放後

(第33表)

1946年度 南朝鮮 鐵道 貨物 月別

名 別	1946. 4	1946.5	1946.6	1946.7	1946.8	1946.9	1946.10	1946.11
米	106	54	766	402	108	135	189	375
쌀	2,204	3,597	1,830	3,639	3,142	895	291	1,480
보리	207	20	12,725	414	964	1,682	8,978	16,704
콩	66	—	30	—	108	33	—	—
雜穀	700	593	756	11,459	4,960	5,637	5,676	6,438
水産品	1,281	480	360	564	1,056	807	1,007	414
鹽	4,803	6,463	5,647	4,283	8,809	5,631	8,433	5 43
肥料	537	2,088	07	638	1,656	133	371	1,021
薪炭	8,860	10,821	7,256	5,520	13,310	8,157	9,515	10,485
木材	4,222	5,928	7,148	8,826	7,200	2,525	9,492	9,483
金屬物	—	98	530	198	411	912	102	36
有煙炭	4,642	11,772	4,293	2,481	4,613	2,946	4,570	2,933
日本炭	5,036	933	2,250	812	498	1,488	2,573	11,591
無煙炭	72	—	—	—	216	—	—	—
鐵道用炭	42,070	29,104	76,436	17,015	14,852	12,054	14,479	22,094
其他製鐵品	1,692	1,192	1,377	1,934	5,184	2,777	3,734	4,836
畜産品	—	90	504	393	551	360	108	191
藥品	508	156	824	378	483	90	316	510
輸入品	6,246	7,395	5,044	11,488	41,778	15,743	13,810	27,833
其他	65,458	48,092	60,998	77,234	94,125	61,434	76,221	84,743
鐵道用石炭	55,665	75,913	37,764	14,929	27,123	23,418	13,148	28,097
鐵道用其他	15,814	8,684	23,537	21,598	2,445	5,678	2,078	13,903
小口貨物	263	2,992	1,637	1,908	5,646	5,200	4,415	10,980
計	220,452	216,475	252,219	186,118	239,233	157,785	179,506	259,715

1946年度 鐵道貨物輸送은 上表에서 概觀하건대 先貨物別輸送量順位를 보면 進駐軍用 貨物을 除外하고는 輸送量에 있어서 鐵道用炭(13.5%) 輸入品(11.7%) 無煙炭(11.3%)의 順位이 나남이지는 品目에 計上되지 못한 程度의 數種의 貨物이 30%나 되며 農産品이 9.9% 林産品이 8.8%를 占하고 있다 農産品中에서는 쌀이 겨우 4%를 차지하였을 뿐이다 鐵産品 2%라는 것은 1944年度 鐵産品數量이 全貨物의 首位이었던 것과는 너무도 激甚한 差이지만 南朝鮮의 鐵山開發이 열어나와서 漸次 狀態인가 推測이 容易하지 1948年에 있어 過渡政府 商務部가 積極의 對策을 樹立하고 生産責任制 實施까지 보게 되었음은 이리한 緣由을 말하는 것이다 林産品에 있어서는 生活必需品인 薪炭이 5.6%이고 木材가 3.2%이다 解放後 朝鮮土 建界는 甚은 發展을 하였다 日帝가 破壞한 都市建物の 再建과 進駐軍의 必要施設과 各界의 復興創案期의 建設補修等으로 그 需要는 驚異의 大인 것이다 日隆盛하는 土 建築界의 木材不足을 爲해서는 上記輸送木材量은 比할 수 없이 貧弱한 것이다 南朝鮮의 林産資源의 開發은 鐵道施設의 不完全과 小運送의 不備로 千古不伐의 東朝鮮山林資源의 開發이 無眉의 急한 問題이면서 漸次 進步되지 못하고 있는 現狀이다 또한 土 建界의 恒久的 對策으로 寒藥品 即 세멘트 煉瓦 瓦 石灰等의 增加이 斯界의 隆盛을 左

右한다 할 것인데 現在 南朝鮮에는 特記할 만한 生産工場이나 施設이 없으니 將來가 甚히 憂慮되는 것이다 大概가 北朝鮮에 偏在하건만 時急한 運送이 數種한 産品은 當分間 不可能이나 對日 賠償獲得方法과 外國貿易等으로 建設木材 機械等을 入手하여 早速한 施設及 整備에 努力하지 않으면 百年河清의 感이 없지 않다 더욱이 日隆盛하여 各處의 赤裸山丘를 볼 때 木材建築과 薪炭使用 溫突의 改良等 將來의 多大한 宿題가 加로 놓여 있는 것이다 工産品에 있어서는 참으로 驚異하여 貨物輸送統計品名으로 制定된 것도 없음을 痛惜되어 있다

(八) 季節別 移動狀況

南朝鮮의 鐵道貨物은 漸次 生産整頓 策立의 結果로써 産業의 加速度로 復興되어 가고 있어 輸送量은 增加趨勢을 示現하고 있다 生必需品 其他 南朝鮮 特殊事情으로 變動을 惹起하고 있는 點이 尙多한 것이다 1946年度에 있어 輸送量의 最高月이 1946年 9月이며 最高月이 1947年 3月 年度末이다

(第34表) 1946年度 月最高最低貨物輸送量 比較表

品名別	1946年		9月=100에 對한 增加指數
	9月	3月	
米	135	5,026	3,723
쌀	895	24,863	2,778

以上の過去貨物輸送量과 解放後第 2 年 1946年과 이比較數字原則의으로 南朝鮮의數字인故로 不齊하다. 且다 鐵道貨物輸送規制品日數만하여도 過去70餘品日의것인 겨우 3分之1에 不過하며 總數의10分1 이다. 朝鮮의兩派과 生産部門의 路路가 크다. 故다 1946年度以後의 分單을 解部해 보기로 한다. 更對仔細한 觀察의 必要上 統計數字을 2.3 例示한다.

水 産 品	77,913	2.5
肥 料	45,465	1.4
林 産 品	287,415	8.8
鐵 品	64,443	2.1
石 炭	402,224	13.2
輸 入 品	355,861	11.7
其 他	1,531,497	50.4
總 數	3,045,260	100.0

(第32表) 1946年度南朝鮮鐵道貨物產品別輸送量表

產 品 別	輸 送 量	比 率
農 產	300,442	9.9

品名別輸送量表 (單位噸)

1946.12	1497.1	1947.2	1947.3	計	車輛數年計	延 送 軒	
3,116	3,297	3,799	5,026	17,423	0.6	717	
13,450	43,986	30,603	24,863	120,930	4.0	4,243	
5,237	4,374	9,432	5,862	66,609	2.2	2,248	
—	—	—	30	67	—	8	
4,626	2,233	2,078	2,66	48,122	1.6	1,605	
1,142	2,919	2,115	3,781	15,926	0.5	718	
1,938	5,378	2,99	2,060	61,987	2.0	1,869	
5,281	20,912	7,646	4,625	45,465	1.4	1,554	
15,097	28,976	22,134	29,998	170,139	5.6	9,100	
4,971	10,094	9,153	18,274	97,276	3.2	3,902	
168	66	792	1,767	5,380	0.1	162	
3,423	4,231	4,392	8,761	59,063	2.0	1,863	
4,976	10,463	6,302	11,838	58,760	1.9	1,753	
—	—	—	—	88	0.0	8	
32,669	23,162	30,618	28,623	343,176	11.3	9,072	
2,799	5,745	5,752	10,009	47,031	1.5	2,677	
357	383	259	591	3,794	0.1	206	
138	303	60	270	4,036	0.1	141	
50,080	42,334	64,589	69,521	355,861	11.7	11,376	
56,034	92,578	54,691	104,559	876,167	28.8	32,843	
41,009	40,899	34,672	53,052	410,048	13.5	12,649	
5,368	9,609	4,702	8,585	157,647	5.2	5,759	
12,321	11,087	10,380	12,976	79,805	2.7	—	
264,196	354,331	307,168	408,057	3,045,260	103.0	104,473	
豆 類	1,682	5,862	359	局 別	23,418	53,052	226
水 産	807	3,781	469	總 計	157,785	408,057	266
肥 料	183	4,625	2,522	收集米穀의輸送으로 1947年1月 4萬3千噸2月에3萬噸3月에 2萬4千噸의 大畚輸送이있었다 燃料로는 薪炭이나 石炭이冬 期에들어가면서 漸次增加되어 12月에無煙炭 3萬噸이最高인 3月에 薪炭 2萬9千噸이最高이다 輸入品이 10月以後漸進 하여 9月은3月보다 4倍以上增加되었다			
薪 炭	8,157	29,998	367				
木 材	2,525	18,294	724				
木 炭	1,488	11,838	795				
雜 貨	2,777	10,009	360				
輸 入 品	15,743	69,521	441				

(第 35 表)

1947年度南朝鮮鐵道貨物月別品名別輸送量表 (單位噸)

名 別	1947.4	1947.5	1947.6	1947.7	1947.8	1947.9	半 年 計
名 別	3,664	2,753	9,131	1,011	921	1,124	12,604
管	11,941	11,315	8,929	13,226	5,108	4,412	54,931
豆 類	9,733	6,415	5,065	1,721	787	3,125	26,846
條 以	272	351	2,142	669	1,688	638	5,760
野 菜 類	2,440	833	21	289	264	1,469	5,316
茶 煙 草	1,908	1,093	3,794	1,46	2,070	1,603	12,224
雜 貨 製 品	10,326	6,169	3,936	4,295	4,904	5,205	34,835
水 産	2,392	1,692	1,104	3,356	1,037	1,947	11,528
鹽	4,428	8,510	13,603	11,243	3,928	5,355	47,467

肥 料	11,226	3,918	3,520	4,915	2,246	4,593	30,418
薪 炭	23,711	17,971	15,442	13,878	17,785	18,615	106,962
木 材	19,232	23,040	16,435	16,252	17,431	15,527	107,917
鐵 石	1,563	2,064	3,628	3,611	1,693	1,794	14,103
金 屬 物	6,905	5,090	4,837	5,704	5,304	2,750	30,590
有 煙 炭	11,421	5,605	1,788	5,245	11,748	11,292	47,099
無 煙 炭	33,264	30,909	48,179	42,491	31,082	40,702	226,627
畜 物	162	270	270	265	613	252	1,832
輸 入 品 糧 穀	28,850	26,997	41,736	23,955	22,474	17,992	162,004
// 肥 料	17,450	13,226	17,660	13,353	11,013	13,757	86,459
// 揮 發 油	4,592	6,587	4,745	8,950	7,950	4,440	37,264
// 其 他	14,498	18,070	9,798	21,537	8,028	21,311	93,242
其 他	117,070	133,704	122,270	117,720	122,532	120,412	733,708
鐵 道 用 炭	48,891	64,215	52,931	53,126	54,040	54,806	328,009
鐵 道 用 其 他	16,178	16,929	20,283	23,743	21,180	11,130	109,443
小 口 販	10,426	9,447	8,600	8,039	10,717	9,450	56,679
計	412,103	417,578	413,847	400,090	366,543	373,706	2,383,867

1947年度에 들어서는 輸送貨物制成品에 若干의變動이 있으나 大體로同一하며 外國輸入品은 美國에만 限하지 않고 輸入品種別로 區分한 것이 特徵이다 米穀만은 次々 減量되여가고 있다 1947年度第一四半期及第二四半期와 1946年度와의 比較를 다음에 試하고자 한다

(第 36 表) 1947年度第一第二四半期貨物輸送量表 (單位噸)

名 別	1947年第一四半期 4~6 月	第二四半期 7~9	合 計	對 前 年 總 計 %	1946年度 總 計
벼	9,528	3,076	12,604	70	17,423
쌀	32,185	22,746	54,931	45	120,990
보리	21,213	5,633	26,846	40	66,603
진보리	20,431	14,404	34,835	73	47,031
물	5,188	6,340	11,528	72	15,926
염	26,941	20,526	47,467	77	61,987
肥料	18,664	11,754	30,418	65	45,465
薪炭	56,684	50,278	106,962	62	170,139
木材	58,707	49,210	107,917	110	97,276
鐵石	7,255	6,848	14,103	260	5,380
金屬物	16,832	13,758	30,590	51	59,063
有煙炭	18,814	28,285	47,099	80	58,760
無煙炭	112,352	114,275	226,627	65	343,176
輸 入 品	204,209	174,760	378,969	106	355,861
總 數	1,243,528	1,140,339	2,383,867	79	3,045,260

1947年度에 들어 半年總貨物輸送量이 벌써 1946年度總量의 79%나 된다 其中에서 特記할 것은 石炭輸送量이다 對前年比에 160%나 增加함을 볼 수 있다 이는 外國貿易關係로 特殊物資의 增産原因도 있었으나 解放後 鐵山開拓熱의 昂揚으로 爲政當局의 積極的政策으로 漸次活氣을 띠우게 된 것이다 그 다음가는 것이 木材의 비 1946年 110%이니 土産界의 急激한 發展이 期待되는 것이며 따라서 土産業者의 急激한 增加도 首肯된다 다음에 輸入品이 비 1946年 106%이니 鐵道貨車의 整備과 아울러 對外貿易의 活氣 있는 模樣을 反映하는 것이다 1947年度의 全期를 通해서

大略 1946年度의 2 배에 가까운 輸送量을 豫測케 된다 그러나 若干의 憂慮되는 點은 1947年 下半年의 石炭不足으로 因한 列車運轉中 止擱出이다 더욱이 다음 表 貨車 1 杆 平均 噸數에 있어서 165.2 라는 數字는 過去에 全然 없던 記錄이다 即 貨車 運行回數는 不足되는데도 貨物量은 많아서 滿載되었었고 空車로 廻運된 것이 別로 없었던 關係로 이와 같은 現象을 示現하고 있다 것은 鐵道當局이 制限된 貨車를 有效適切히 使用하여 能率을 發揮하였다는 것이다

(第 37 表) 累年各種別貨物輸送量比較表

年 別	輸送噸數	1 輛 平均 輸送噸數	1 杆 平均 輸送噸數	1 箇 月 平均 輸送噸數	1 日 平均 輸送噸數	1 日 1 杆 平均噸數	列車 1 杆 平均噸數	貨車 1 杆 平均噸數
1936	10,845	205.1	3,036	903	29,714	1,765	200.8	13.2
1937	12,370	237.8	3,409	1,030	33,892	2,214	229.2	14.7
1938	15,159	221.3	4,033	1,263	41,532	2,416	236.1	15.7
1939	17,517	236.3	4,460	1,459	47,862	2,830	245.9	16.3



1940	20 449	285.5	4,808	1,704	56,027	2,971	237.3	16.7
1941	23 169	236.5	5,239	1,930	63,479	3,395	264.5	17.4
1942	25 891	268.3	5,719	2,157	70,936	4,201	295.7	18.6
1943	27 541	337.3	6,030	2,295	75,249	5,557	345.4	21.3
1944	31 015	360.9	5,529	2,584	75,412	429	251.4	20.8
1945	—	—	—	—	—	—	—	—
1946	3 045	208.2	1,187	253	8,343	677	81.7	165.2
1947	—	—	—	—	—	—	—	—

(甲) 貨物集散狀況

貨物輸送의 集散狀況을 觀察할은 朝鮮產業面의 露骨의 模樣 相應反映시키는 것이다 原則的으로 是原料地에서 加工地로 또 다시 消費地로 轉々輸送되는 것인데 此點當히 開發되어 있지 않은 現狀으로 是 別로 計算한 模樣은 本寸 없고 다만 原料地 (生産地) 에서 直接消費地로 移轉된 若干의 數字임에 不過하다 特記할 만 한 數目을 選擇하여 發送到着之別로 5,000 噸以上에 限하여 拔萃하여 다음에 表示한다

(第38表) 1946年度南朝鮮鐵道貨物集散表 (發送) (5,000噸以上)

輸入品	神林	5,430
釜山嶺發	151,407	
釜山埠頭	126,885	
仁川埠頭	73,817	
朝鮮無煙炭		
釜山嶺發	210,650	
福 巖	43,441	
唐 村	17,633	
釜山埠頭	15,046	
清涼里	10,292	
靑山埠頭	8,108	
永登浦	6,836	
忠北丹陽	5,344	
薪		
龍門發	8,235	
清平	7,354	
加平	6,582	
楊東	6,540	
永同	6,114	
糞		
시울發	10,956	
金堤	7,597	
木 材		
餅店發	6,957	
原州	5,681	

(第39表) 1946年度南朝鮮鐵道貨物集散表 (到着) (5,000噸以上)

輸入品	全州治	19,421
시울發	81,871	
大邱	37,223	
永登浦	23,563	
在十里	21,549	
大田	21,510	
仁川埠頭	12,524	
光州	12,275	
清州	10,938	
龍山	10,277	
春川	9,689	

清涼里着	7,580	仁川埠頭着	5,097
天 安	6,066		
原 州	5,932	木 材	
晉 州	5,755	清 州	26,870
堤 川	5,638	東 幕	12,589
		龍 山	5,032
		每 煙 炭	
清涼里着	94,601		
永登浦	76,568		
大邱	32,908		
大田	16,789		
光州	12,810		
西大田	12,455	金 屬 物	
龍山	12,360	靑 州	7,878
在十里	8,945	大邱	5,757
開城	9,730	永登浦	5,326
木浦埠頭	7,124		
		有 煙 炭	
		富平着	10,759
		清涼里	8,725
		龍山	7,583
		唐人	6,104
		雜 穀	
		시울着	12,329
		龍山	6,824
		永登浦	6,439
		仁川埠頭	5,845
		鹽	
		시울着	43,807
		永登浦	19,786
		釜山嶺	10,108
		大邱	7,144
		大田	5,517
		絹, 보리대製品	
		釜山埠頭着	14,409
		釜山嶺	12,165

이表中에서 1年間의 鐵道貨物輸送面에 나타난 大體의 露骨 鮮産業經濟의 需要와 供給을 알수 있다 그러나 1946年度에 있어서 좀더 많은 數量이 自動車其他小運送에 依하여 運送되지 않았든가에 想到하면 上表의 數字만으로는 大端不足되는 資材이다 그러나 重點의 生必需品은 주로 輸送한 이 數字는 尙 雅한 朝鮮經濟의 斷面을 露呈한다 結局에 特定品名에 있어 後에 産業地帶을 包含한 各驛에서 發送되고 供給하기 爲하여 到着되었음을 알수 있다 다만 日帝時代와 달리 釋穀같은 穀之四方으로 集散되지 않고 시울이 中心이 되었음을 볼수 있다 特히 南朝鮮의 集散狀況인 만큼 別다른 特點은 發見할 수 없다

(乙) 地方別輸送狀況

다음에 各驛別로 貨物輸送의 樣相을 表示한다 其中에 京線이 70%를 占하고 있다 京釜線은 南朝鮮의 動脈인 만큼 然現狀이며 京釜線總發送隨數226萬噸中 輸入品 其他特殊이 45%를 차지함은 前述한 南朝鮮鐵道全般의 事實과 京釜

의 貨物輸送總額과 符合되는것이라 하겠다 다음農産品의 多  
量輸送으로因하여 湖南線이發送總數에 第二位及第三位에 林

産品發送으로 京慶線의 順位이다 到着總數에 있어서 京元  
線이清涼里에 薪炭과 木材의 多量積荷로 第二位이고 湖南線

(第 40 表)

1946年度南朝鮮鐵道各線別貨物發著數量表 (單位 噸)

種 別	京釜線	京義線	湖南線	京元線	慶全 南部線	慶全 西部線	全羅線	東海 南部線	京慶線	黃海線	計
農産品	發	167,144	7,503	57,410	6,472	7,819	6,882	18,407	3,423	13,028	300,442
	著	225,434	8,236	9,750	21,665	3,305	2,165	8,107	6,745	14,657	
水産品	發	60,142	151	6,963	301	381	453	983	8,175	359	77,913
	著	38,440	906	9,641	1,512	3,304	5,163	6,153	2,921	9,833	
肥料	發	27,150	1,145	4,466	479	589	2,350	8,072	596	444	45,465
	著	20,600	1,027	9,553	1,264	1,130	1 99	3 394	1,706	4,606	
林産品	發	66,820	4,697	15,102	47,553	4,108	2,297	30,765	9,654	35,991	267,415
	著	87,440	35,605	24,364	105,290	2,098	2,248	6 564	1,270	1,473	
蠶産品	發	37,452	954	3,401	924	16,691	402	2 190	1,220	1,209	64,443
	著	44,937	1,589	7,372	2,760	1,531	2,235	2,192	1,158	615	
石 炭	發	316,837	798	9,406	12,214	60	46,499	882	9,543	5,638	402,224
	著	196,331	22,425	31,423	121,247	5,670	16,925	6,100	201	1,781	
輸入品	發	352,946	—	1,044	—	48	—	1,823	—	—	355,861
	著	233,654	2,669	12,652	41,991	10,048	12,867	23,328	3,850	14,802	
其 他	發	1,236,399	17,288	69,778	35,238	21,670	18,151	51,036	44,685	36,096	1,531,497
	著	981,139	46,572	95,795	128,768	51,780	54,486	52,698	65,910	52,347	
總發數	發	2,264,890	32,536	167,570	103,181	51,366	77,034	114,163	77,301	142,765	3,045,260
著	1,827,975	119,029	200,550	424,497	78,866	97,488	108,541	83,761	100,114	4,439	

이各産品別로 平均의 多量을 보이며 第三位이다 産品別로發送  
方面을 보면 農産品에京釜線(仁川 서울)湖南線(金堤)水産  
品에京釜線(釜山)東海線(浦項)肥料에京釜線(釜山)全羅  
線(全川)林産品에京慶線(龍門)京釜線(餅店)蠶産品에  
京釜線(서운)慶全南部線(馬山)石炭에京釜線(釜山)慶  
全西部線(福岩)의 順位이다 到着方面은 農産品에京釜線(서

운)京元線(清涼里)水産品에京釜線(서운)京元線(清涼里)肥  
料에京釜線(서운)湖南線(金堤)林産品에京元線(清涼里)  
京釜線(東幕)蠶産品에京釜線(서운)湖南線(群山)石炭에  
京釜線(永登浦)京元線(清涼里)의 順位이다

南朝鮮主要驛의 數額을 選定하여 貨物의發送과到着數量及  
1日平均取扱數量을 道別로表示하면 다음과같다

(第 41 表)

1946年度南朝鮮鐵道主要驛貨物發著總數表

主要驛名	貨 物 總 數						
	發 送	到 着	計	1 日 平 均			
				發 送	到 着	計	
京 畿	서울	70,487	268,264	338,751	194	735	929
	龍山	48,318	172,391	220,709	133	472	605
	永登浦	44,835	219,674	264,509	123	602	725
	水原	9,205	22,500	31,705	25	62	87
畿 湖	仁川	538,199	101,187	639,386	1,474	278	1,752
	西海	10,424	51,471	61,895	28	141	169
	往十涼	7,778	62,388	70,166	21	171	192
	清涼	22,092	252,443	274,535	60	692	752
忠 北	開城	5,332	23,593	28 925	14	64	78
	土城	7,455	9,076	16,531	20	24	44
	清州	23,260	46 028	69,282	64	126	190
	堤川	11,988	29 742	41,730	32	81	113
忠 南	天安	6,125	30 660	36,785	16	84	100
	天島院	4,986	12 432	17,418	13	34	47
	溫陽	6,588	9 039	15,627	18	24	42
	大田	26,425	165,828	192,253	72	454	526
全 北	裡里	14,544	50 521	65,065	40	140	180
	群山	33,860	42 345	76,205	92	116	208
	全州	24,616	52 538	77,154	67	143	210

全南	木浦	19,599	27,005	46,604	53	74	127
	光州	17,971	81,409	99,380	49	223	272
慶北	順天	10,330	19,000	29,330	28	52	80
	滄水	27,297	14,483	41,780	75	40	115
慶南	金泉	5,302	21,172	26,474	14	59	73
	大邱	44,906	229,840	274,746	123	629	752
江原	慶浦	29,758	26,398	56,156	81	72	153
	浦項	15,418	18,986	34,404	42	52	94
慶南	釜山	882,928	55,095	937,923	2,418	150	2,568
	釜山	253,563	98,448	352,011	694	270	964
江原	馬山	24,574	27,587	52,161	67	76	143
	晉州	8,677	18,338	27,015	23	50	73
江原	春川	10,983	26,716	37,699	28	73	101
	原州	13,489	10,496	23,985	37	28	65

(八) 서울中心 6 驛貨物發着狀況  
 都市民生活에 直接影響을 가진 集中物資의 動向을 觀察하면 主要食生活關係로 收集米穀外에는 旅客에 依한 少量輸入穀物이 大部分 일 것이며 其他生活必需品로 旅客携帶品과 小運送에 依

함이 많았지만 貧弱한 資料이나마 서울附近 6 個驛을 選擇하여 發着物資를 表示하고 其中 多量인 品目에 對한 主要集散地를 別去로 例示한다 이것이 1年間의 서울附近에 모였었다 나았다한 全貌이다

(第 42 表)

서울附近 6 驛鐵道貨物發着—覽表 (單位噸) (1946.4—1947.3)

名 別	서 울		龍 山		永 登 浦		西 水 庫		往 十 里		清 涼 里	
	發	着	發	着	發	着	發	着	發	着	發	着
煤	159	1,338	786	—	—	405	—	1,756	—	998	—	989
木	10,956	43,807	36	165	1,665	19,786	—	660	—	2,664	—	1,782
雜	8,015	15,777	1,524	9,076	1,837	7,065	826	1,583	213	1,410	180	2,229
水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
產	6,458	12,329	1,493	6,824	1,269	6,439	150	—	—	722	141	653
鹽	36	2,649	—	213	—	48	—	—	—	—	30	357
肥	—	1,286	—	54	99	414	—	—	—	—	271	—
薪	1,830	378	—	—	459	80	—	—	—	467	—	99
木	54	2,495	1,290	9,336	230	4,772	—	1,692	90	2,576	2,205	57,920
金	306	1,638	525	5,032	154	4,577	68	419	48	1,372	1,415	26,870
屬	252	366	99	590	60	240	—	252	—	123	—	—
日	816	7,878	1,428	4,376	2,499	5,326	—	—	318	771	06	1,554
無	—	180	528	7,583	—	1,314	—	—	212	3,620	600	8,725
金	—	—	—	—	—	—	—	—	216	486	—	—
製	288	1,086	216	12,360	6,836	76,508	288	412	324	8,945	10,292	94,601
畜	4,398	1,056	252	33	924	972	504	36	342	72	1,386	390
藥	—	465	18	941	—	18	—	—	18	36	414	454
輸	2,210	678	108	—	234	30	—	—	—	—	30	—
小	18	81,871	801	10,277	—	23,563	—	1,146	—	21,549	—	7,580
局	7,059	8,171	1,210	866	1,012	588	2	14	90	336	1,658	3,672
其	10	599	5,703	70,287	4,878	2,712	153	27	18	15	416	22,614
計	27,622	84,217	32,301	34,378	22,679	64,817	8,433	43,474	5,889	16,226	2,748	21,954
1 日平均取扱數量	70,487	268,264	48,318	172,391	44,835	219,674	10,424	51,471	7,778	62,383	22,092	252,443
	194	735	133	472	123	602	28	141	21	171	60	692
	929		605		724		169		192		752	

(第 43 表) 서울附近 6 驛鐵道主要貨物集散表 (單位噸)

龍 山 著	2,428	永 登 浦 著	3,956
龍 山 城 //	1,353	龍 山 //	1,317
清 涼 里 //	1,143	開 城 //	639
往 十 里 //	1,002	其 他 //	486
西 水 庫 //	669		
其 他 //	1,420		
無 煙 炭			
雜 穀		清 涼 里 發	10,292
永 登 浦 著	5,247	永 登 浦 著	2,936
往 十 里 //	2,046		
東 幕 //	1,254		
清 涼 里 //	891		
仁 川 //	759		
西 水 庫 //	660		
其 他 //	99		
서 울 發	10,956		
永 登 浦 著	5,247		
往 十 里 //	2,046		
東 幕 //	1,254		
清 涼 里 //	891		
仁 川 //	759		
西 水 庫 //	660		
其 他 //	99		
서 울 發	8,015		
永 登 浦 著	3,956		
龍 山 著	2,428		
龍 山 城 //	1,353		
清 涼 里 //	1,143		
往 十 里 //	1,002		
西 水 庫 //	669		
其 他 //	1,420		
雜 穀	6,458		

東 幕 着	2,986	其 他 着	831
往 十 里	2,313	永 登 浦 發	6,836
開 城	590	清 涼 里 着	4,786
龍 山	540	往 十 里	1,258
議 政 府	504	其 他	792

(註) 主要品目만 認定하였음  
 即 비에서 藥品에 이르는 品目 中 越數 5,000 越 以上  
 과 各 縣 500 越 以上을 列記함 以下 同 斷

(第44表) 서울附近 6 驛鐵道主要貨物集散表(到着)

		單位越	
시 울 着	43,807	釜 山 發	1,122
金 堤 發	3,960	木 浦	1,016
延 安	3,234	其 他	906
榮 山 浦	2,319	龍 山 着	9,076
新 泰 仁	2,034	仁 川	6,032
井 邑	1,880	仁 川 發	2,428
五 城	1,848	永 登 浦	616
順 天	1,815	永 登 浦 着	7,065
茂 橋	1,650	仁 川 發	5,623
平 川	1,485	釜 山 鐵	540
紅 峴	1,353	其 他	902
金 村	1,170	舞 臺	
谷 城	1,155	시 着	12,329
鶴 橋	1,086	仁 川 發	3,778
天 台	1,056	井 邑	1,107
松 汀 里	957	永 登 浦	891
江 景	891	永 參 禮	734
美 蓉	759	全 州	670
東 裡 里	759	新 泰 仁	629
白 川 溫 泉	759	裡 里	626
木 浦	694	龍 山	594
溫 陽 溫 泉	693	其 他	3,300
羅 州	693	龍 山 着	6,824
求 禮 口	693	釜 山 發	5,247
西 井 里	666	其 他	1,317
禮 山	660	其 他	260
地 塚	660	永 登 浦 着	6,439
青 丹	660	仁 川 發	3,956
咸 悅	627	其 他	1,349
延 安 溫 泉	612	其 他	1,134
南 原	591	新 興	
其 他	6,388	清 涼 里 着	57,920
永 登 浦 着	19,786	龍 門	6,765
井 邑	5,247	東 丹	5,772
金 堤	1,584	清 涼 平	3,654
五 城	1,056	嶋 潭	2,747
禮 山	716	神 林	2,366
溫 陽 溫 泉	693	砥 平	2,178
新 泰 仁	594	砥 原	2,118
西 井 里	570	忠 北 丹 陽	2,093
其 他	7,510	九 屯	2,089
豆	1	九 鶴	2,076
시 울 着	15,777	良 靛	1,846
仁 川 發	8,747	新 南	1,749

東 豆 川	1,647	龍 山 着	5,032
慶 州	1,116	原 州 發	555
三 谷	1,008	神 林	546
楊 平	984	其 他	3,931
加 平	885	金 屬 物	
竹 嶺	846	片 金	7,878
榮 州	792	馬 山 發	2,814
川 州	774	釜 山 鐵	2,657
幸 州	655	仁 川	756
德 境 川	640	釜 山 鐵	633
登 基	624	其 他	1,013
鶴 口	570	永 登 浦 着	5,326
白 甲	568	永 釜 山	1,633
奴 陵	563	平 川	1,195
長 步	537	馬 山	1,128
四 街 里	522	仁 川	510
其 他	9,732	其 他	810
東 幕 同 發	18,948	有 煙 炭	
永 長	4,266	清 涼 里 着	8,725
黃 湖	1,512	釜 山 鐵	3,275
深 川	1,440	慶 州	2,319
清 平	846	蔚 山	1,440
四 街 里	630	釜 山 鐵	1,200
龍 山 興	522	其 他	491
新 興 里	16	龍 山 着	7,583
其 他	8,382	釜 山 鐵	4,609
龍 山 永 同 發	9,336	慶 州	2,358
餅 店	856	釜 山 鐵	506
小 井 里	666	其 他	110
院 洞	666	無 煙 炭	
其 他	522	清 涼 里 着	94,601
木 材	6,626	釜 山 鐵	48,566
清 涼 里 着	26,870	福 山	19,400
神 林 發	3,667	釜 山 鐵	12,176
原 州	3,629	仁 川	6,465
東 丹	2,787	永 登 浦	4,786
龍 門	2,049	忠 北 丹 陽	2,038
堤 川	1,944	店 村	1,170
鳳 陽	1,490	永 登 浦 着	76,508
三 谷	1,288	釜 山 鐵	53,212
嶋 潭	1,242	店 村	8,752
九 鶴	1,062	仁 川	5,000
春 川	1,011	清 涼 里	2,986
九 屯	912	其 他	1,558
砥 平	906	龍 山 鐵	12,760
忠 北 丹 陽	828	釜 山 鐵	9,627
其 他	4,055	忠 北 丹 陽	2,004
東 幕	12,589	清 涼 里	540
仁 川 發	2,436	其 他	189
餅 店	1,944	往 十 里 着	8,945
春 川	1,059	釜 山 鐵	5,164
砥 原	876	清 涼 里	2,313
堤 川	642	永 登 浦	1,258
清 平	512	其 他	210
其 他	5,120		

輸入品	仁川發	17,981
米	釜山發	2,110
釜山發	釜山發	40,297
釜山發	釜山發	27,180
仁川發	其 他	738
仁川發	龍山發	14,384
仁川發	釜山發	23,563
仁川發	仁川發	11,191
仁川發	釜山發	9,271
仁川發	釜山發	3,101
仁川發	清涼里發	21,49
仁川發	仁川發	4,625

釜山發 1,845      釜山發 1,110

(○) 各國과의比較

世界主要國과의 貨物輸送比較는 다음에 表示한다 10年 間的것을比較한 것인데解放後는 南北이 兩斷되었으니 比較할 수 있지만 解放前의 朝鮮鐵道の記錄의 數字는 美國에 다음가는 것이나 朝鮮鐵道の面積에 比較한 數字는 前邊하였거니와 先 進諸國과의 距離가 大端히 크며 施設이 있어서도 역수될 餘 餘 없었지만 先進諸國과 같이 鐵道外에 自動車 船舶 航空機等 의 交通手段을 容易히 選擇하지 못하고 朝鮮에서는 唯一한 交通 手段이 鐵道인 것인 關係이다

(第 45 表)

各國鐵道貨物輸送杆比較表 (單位百萬噸杆)

年別	朝鮮 —A	—國 —B	英國 —C	白耳 義	加奈 F	中國	佛蘭 西	洪牙 利	瑞典	土耳 其 —D	유라 시아	波蘭	—E —F	日本 —G
1937	2,931	4,876	—	519	3,276	92	2,42	220	314	85	—	—	76	—
1938	3,355	3,294	2,188	429	3,265	04	2,455	218	295	96	—	1,864	78	—
1939	4,139	40,568	—	463	3,828	50	2,708	289	348	115	—	—	79	—
1940	4,611	45,412	—	278	4,611	42	2,258	359	451	148	—	—	90	—
1941	5,480	57,800	—	303	6,081	43	2,633	488	520	145	513	—	94	—
1942	6,944	77,621	3,236	264	6,932	39	2,547	533	560	159	488	—	10	—
1943	9,290	88,461	3,321	255	7,776	45	2,277	573	592	185	538	—	114	—
1944	9,932	8,698	3,328	91	8,021	20	976	566	553	188	395	—	111	—
1945	—	82,855	3,002	171	7,697	30	1,760	33	502	176	392	—	115	—
1946	—E52	72,023	2,804	391	7,278	304	3,036	114	575	—	400	2,073	120	7.99
1946. 4	49	54,620	2,855	404	6,662	271	2,946	98	576	180	350	1,810	115	8.09
5	40	57,615	2,911	371	6,390	298	3,023	101	592	166	397	2,294	127	8.54
6	54	72,684	2,852	362	6,336	378	2,928	90	505	165	472	2,370	115	8.14
7	29	75,813	2,741	363	6,538	354	3,140	98	542	159	499	2,389	119	8.07
8	52	81,514	2,736	391	7,071	268	3,038	112	596	163	501	2,398	120	8.24
9	33	77,275	2,837	409	8,158	332	3,166	131	581	193	448	2,419	118	9.03
10	32	83,790	3,022	469	8,570	384	3,477	174	613	196	388	2,339	122	9.05
11	53	75,824	2,878	452	8,179	375	3,498	159	592	195	383	2,101	123	8.52
12	60	72,382	2,557	399	7,528	476	3,243	153	535	220	311	1,917	102	7.81
1947. 1	68	77,810	2,701	439	7,393	402	3,814	139	602	177	—	1,785	115	7.40
2	69	70,789	2,183	427	6,200	390	3,304	128	601	167	—	1,378	128	7.57
3	86	81,977	2,467	509	8,225	488	3,642	184	619	—	—	—	137	9.43

—A 表示年の4月1日부起算 (metric ton)

—B 鐵道收入의99%을 차지하는 一流鐵道會社의 數字

—C 北亞愛蘭除外

—D 表示年の6月1日 起算

—E 南朝鮮鐵道の 數字

—F 表示年の4月1日 起算

—G 國鐵貨物 (metric ton)

以上에서 여러角度로 解放前從의 貨物輸送面을 解剖하였 다 根本問題가 三八陸壁撤廢와 獨立政府樹立 外國貿易振興 과 國內産業復興에 있을을 屢次附言하여왔다

朝鮮은 五百萬町步餘의 農牧의 陸地를 갖고 北東山脈에는 千古의 處女林이 있어 其蓄積量은 10億立方尺 地下埋藏의 石炭은 其經濟의 有効量이 10億噸以上이라 하고 한다 其他金 銀 鐵 마 그비사이트外에 重要鐵物의 資源埋藏量이 豊富하며 延長 1萬 6千杆에 달하는 沿岸에는 魚類가 數없이 獲息하고 있으며 內 部山地의 無限한 水力源의 存在을 所有함에 想到한 때 朝鮮經濟 의 前途는 實로 洋스하며 希望에 溢하는 것이다 우리는 이 自然 의 恩澤과 人爲의 手段을 有機的으로 結合시켜 鐵局의 現狀의 早速한 打撃을 圖謀하여야 하겠다 그러면 그 對策은 鐵道部 門에 對하여 如何히 要請되는 것인까 結論에서 隨述한 까 한다

(5) 結 言

朝鮮鐵道の沿革으로부터 現況까지를 記述하여왔다 復興途

上의 朝鮮鐵도에 根本的인 許多한 課題가 山積함은 極히 必然的인 것이다 鐵道가 産業과 有機的인 關係性을 띠었고 新朝鮮의 統一의 經濟建設의 發展如何에 左右됨은 再言을 要치 않는 바 이지만 如何間 交通運輸의 急速한 復興發展은 産業의 急速한 建設이 主要함과 同時에 産業建設의 強力한 推進이 鐵道의 發展에 必要한 道過言이 아니다

그러면 交通運輸의 復興發展의 一般의 前提條件은 무엇인가

- ① 建設資材輸入問題
  - ② 交通技術者養成
  - ③ 從業員優待와 厚生施設完備
  - ④ 石炭其他燃料確保
  - ⑤ 車輛의 製造와 補修
  - ⑥ 國內諸工業의 發展
  - ⑦ 電化問題
  - ⑧ 各陸運小運送業의 協力
- 等을 列舉할 수 있겠다

### II 自動車及軌道

#### (1) 自動車

朝鮮에 있어서 自動車에 依한 交通은 朝鮮內 主要道路 整備와 自動車工業의 進歩에 따라 漸次 發達하여서 其 活動範圍을 擴大하고 드리어 鐵道 軌道와 對立하는 有力한 新興陸上 交通機關으로써 各地에 其 交通網을 形成하고 交通經濟上 重要한 地位를 차지하게 되었다

朝鮮의 自動車 交通事業은 1935年以後 課 소된 消費規定에 依하여 強制的으로 代用燃料車로써 轉換하게 되었다 그러나 代用燃料供給의 不圓滑 課 소된 配給의 停止 轉換資材 能力의 不足等은 輸送力을 漸次 減衰시키어 더욱더 資材不足으로 新車의 入手難 廢車補充不能이며 補修資材不足과 아울러 自動車 運輸業은 絶對狀態에 이르렀었다

一方 太平洋戰爭으로 戰時 輸送은 急激히 增加하여서 自動車 輸送力 強化及 確保를 期하기 위하여 1941年 2月 改正의 朝鮮 自動車 交通事業令에 따라 全朝鮮의 自動車 交通事業者로써 組合을 組織하여 重要資材의 統制 輸送을 하였다 그後 1943年 9月 다시 法令의 改正이 있어 戰時 陸運의 非常體制로서의 輸送力 強化가 要請되었다 그러나 이 組合體의 事業者들은 群小企業經營의 集合體인 實情으로 인하여 陸運一體로서의 綜合能力 發揮에 遺憾點이 적지 않았다 그後 1944年 2月에 統制會社 設立命令이 내려 3月에 이르러 大體로 統合되고 말았다

朝鮮에 있어서의 鐵道網普及의 程度가 低位한 까닭에 自動車는 鐵道路線의 先行 機關 或은 代用線으로서 發達하였고 1路線의 延長이 比較的 長大하여 1 線路者의 所有 幹路線도 廣汎한 特徵이다 1944年에는 旅客自動車 運送業者 120 路線 延長 25,761.1 軒이며 其中 觀光旅客 自動車 運送業者 3 路線 延長 94.9 軒 團體旅客 自動車 運送業者 3 路線 延長 494 軒 普通旅客 自動車 運送業者 119 이었다 貨物 自動車 運送 事業者에 있어서는 區間 貨物 自動車 運送業者 87 延長 23,641 軒 其他 特定 旅客 自動車 運送業者 17 線路 延長 172 軒 1 이었다 自動車와 鐵道는 密接한 關係를 가지고 있어 鐵道는 過去 200~300 軒 의 簡單한 鐵道局營 自動車 路線을 가지고 있었다 所謂 戰時體制의 強化에 따라 鐵道局이 交通局으로 陸海空의 一元的 統制 政策으로 變更하게 된 때 自動車도 交通局의 監督 統制下에 들어갔다

解放後 自動車 交通事業은 急速히 發展하였다 이는 美軍이 進駐한 後 燃料의 入手가 容易히 되었기과 鐵道가 一時 混亂 狀態에 빠졌은 關係로 活氣를 띠운 것이다

日帝의 強制 疎開으로 轉出하였은 사람과 戰災 避難同胞들은 衣食住의 問題를 經營할 수도 없고 子女教育이 問題되었고 또 故鄉에 가나 經營할 土地가 없는 사람들이니 自然 都市로 다 시 돌아오게 되었다 解放直後 京畿間에 日人들이 돌아오는 物資는 山積하였다 다시 都市로 돌아오는 大體의 商業家는 一刻의 餘裕도 躊躇하지 않고 移居를 작가지고 不安한 鐵道를 利用할 수 없어 自動車에 依한 것이었다 自動車運輸은 鐵道와 같은 兩端의 不便이 없고 家庭에서 家庭까지 安全히 短時間에 運載되었다 그러나 運費問題는 그다지 廉價이 지는 못하다 家具의 數個 또는 全部를 紛失할 憂慮가 없지는 않다 若干의 米食 運費이라도 拘泥치 않게 하여 貨物 自動車의 洪水를 일으켰다 課 소된 入手가 적 容易히 얻은 것이 多幸이었다 이같은 自動車의 貢獻은 次々 그 軌道를 벗어나기 始作하였다 그 귀한은 方法이 아니라 自動車의 收入은 積載 荷物 如何로 輕便하여서 鐵道에 다음가는 오히려 그 利用率이 크면 갈수록 都市의 洋村 經濟를 發展하여 物價는 左右하는 機能을發揮하게 되었으며 貢獻의 反面에 強力한 統制와 監督을 必要케 하는 點이 考慮되게 되었다

自動車 交通에 對한 監督機關은 漸次 整備되어 갔다 運輸部에

公路局이 設置되었고 各道에 運輸課가 誕生되었다

南朝鮮 在籍 自動車에 있어 1945年에 約 4,500 臺에 不過하던 것이 1947年 3月 現在으로 約 9,000 臺 假設으로 增加되었다 그 所屬 狀況은 다음과 같다

貨物 自動車	
營 業 用	1,700 臺
自 家 用	3,000 臺
官 廳 用	1,000 臺
特 殊 用	300 臺
旅客 自動車	
營 業 用	800 臺
自 家 用	} 2,200 臺
官 廳 用	

이같은 解放以後 自動車數는 約倍에 達하는 增加 現象이다. 그렇다면 自來車는 大體 무엇을 運搬하고 있는가? 鐵道 貨物 數量中에는 過去의 1~2割에 不過한 在 必需品 輸送되고 있는 形便에 際하여 自動車는 鐵道와 의緊密한 協助를 度外 視하고 오히려 按機物 貨物 滿載의 物價 騰貴와 謀利을 助長하고 있다 在 必需品 補修資材等은 憂鬱不足에 있거나와 大體로 自動車 輸送의 感譯을 입지 못하고 있는 現狀이다 이같은 自動車 交通事業은 不能한 發展의 貌樣을 띠우고 鐵道와 自動車의 有機的 連關性이 大部分 沒却되고 있다 그러나 이 事態는 時急히 修正되어야 할 것이다 産業의 收穫의 振興과 發展은 當面 最緊急事이다 行政當局에서도 關心을 가지고 諸般 施策에 廣心하고 있으며 主要 物資 輸入計劃에 依하여 自動車를 輸入하고 있다 1947年 1月以後 輸入車는 旅客車 16 臺 貨物車 49 臺 其他 81 臺 計 146 臺에 達한다

過去 日帝時代의 統制會社로 朝鮮 貨物 自動車會社가 있었다 1946年 6月 이會社의 本社는 解散하고 各道 單位로 分散되어 버렸다 元來 이會社는 日帝時政府 代行機關으로서의 役割을 負擔하여 왔지만 比較的 公正한 運輸의 軌道가 잡혀있음으로 그대 로 繼續 運轉함으로써 困頓이 없었음을 것이 아니었다 하 고 檢論하는 것이다

現 朝鮮國內에는 自動車 生産機關이 全無뿐 아니라 部分 品工場도 原料難으로 操業이 中止되고 있다 全部가 依他的인 現狀이니 諸般 隘路의 打開도 早速한 實現이 困難하다 하겠다 京畿道內 自動車 運轉 狀況을 보면 旅客 自動車 179 臺 貨物 自動車 566 臺 靈板車 6 臺中 다 이이 其他 補修品不足으로 總車數의 겨우 4割이 現在 運轉 可能한 狀態에 놓여 있다 運輸當局者의 말에 依하면 過重한 積載도 인하여 資材의 減損 損失이 過大하 는 것이다 여기에도 當局者의 苦衷을 엿볼 수 있다

다음에 各道의 公認 自動車 線路 延長과 1938年 現在 世界 自動車 數量을 參考로 表示한다

(第 1 表) 南朝鮮道別 自動車 路線 延長 表 (軒)

京 畿 道	738.5	江 原 道	1,085.9
忠 清 北 道	764.0	忠 清 南 道	1,178.9
全 羅 北 道	1,101.6	全 羅 南 道	1,176.3
慶 尙 北 道	1,063.1	慶 尙 南 道	1,637.6
黃 海 道	110.6	濟 州 道	186.0

(第 2 表) 世界各國 自動車 生産 數量 比較 表 (萬臺)

國 別	1936年	1937年	1938年	1946年
	(月平均)			
美 國	445.4	480.9	249.0	25.85
加 拿 大	16.2	20.7	16.6	1.43
獨 逸	30.8	33.8	35.0	0.08
伊 太 利	5.1	5.7	6.9	—
佛 蘭 西	20.3	20.0	22.3	0.77

英 國	48.1	49.3	44.5	2.99
白 耳 莖	0.1	0.2	0.2	—
瑞 典	0.4	0.7	0.8	—
蘇 聯	13.7	19.9	21.5	—
日 本	1.0	1.4	—	0.12
其 他	0.5	1.5	2.3	—
世界總計	582.6	636.2	402.1	—

第3表 世界各國自動車保有數量比較表 1938年(萬臺)

國 別	臺 數	1 臺當 人口數	國 別	臺 數	1 臺當 人口數
朝 鮮	0.89	2,567	佛 蘭 西	219.25	19
滿 洲	0.70	—	英 國	241.87	20
美 國	2,970.52	4	白 耳 莖	22.38	37
뉴지랜드	23.97	7	和 蘭	14.79	53
蘇 洲	73.23	9	丁 抹	14.49	26
하와이	5.79	7	瑞 威 典	7.98	37
加 陀	130.61	9	瑞 典	19.19	33
멕시코	10.02	191	芬 蘭	4.22	90
智 利	4.08	113	波 蘭	3.31	1,043
獨 逸	170.92	44	蘇 聯	51.44	331
伊 利	43.64	100	日 本	11.75	589

自動車交通業도 上昇하는 朝鮮인구에 經濟下에 不得已로 運送을 引上케 되었다 1947年 3月 1日 다음과 같이 改正되었다

(第 4 表) 自動車運費改正表

- 旅客自動車(버스) 運費
  - A 1人 1杆當 160 錢
  - B 1人 1杆當 190 錢
  - (俱江原道旅客自動車會社路線中一部)
- 客車運費
  - A 普通客車
    - 最初 1杆 30 圓
    - 以後 1杆 20 圓
    - 待機料每 10 分에 10 圓
  - B 小型客車運費
    - 最初 1杆 20 圓
    - 以後 1杆 15 圓
    - 待機料每 10 分에 7 圓
- 貨物自動車運費
  - A 屯杆制 1屯杆當 5 圓
  - B 時間制 1時間 1屯當 50 圓
  - C 小荷物制 距離重量에 依하여 20kg 50km 에 4 圓이며 以上 超過 10kg 에 1 圓
  - D 待機料 時間制에 準함
  - E 積卸料 50 圓
  - F 渡船料 實費

以上の引上은 運輸部公路局當局의 말에 依하면 自動車附屬品不足으로 修理困難과 燃料缺乏 등으로 因하여 保有車外 廢車의 比例는 47% 에 不過하며 改正前運費으로는 到底 事業의 健全한 促進이 不能하였던 것이 그 引上 理由라 한다 그 引上 基準은

1. 生活必需品의 物價高로 人件費 激增

2. 車輛老朽로 部分品 需要量 增加
  3. 다이야中袋等 其他必需品 價格 騰貴
- 等理由를 例舉한다

결코 1946年 7月에 解體되어 各道로 分設된 朝鮮 貨物自動車株式會社는 各道로 分設된 關係로 無力하여 附屬品의 購入과 揮發油等의 入手가 困難케 되어 이러한 隘路를 없인 하고자 民營의 統一機關으로 하는 것이 望된다는 關係者의 希望으로 各道責任者의 會合이 1948年 1月初에 있을 것으로 그 結果가 如何는 未詳하다

### (2) 軌道(電車)

朝鮮에 있어서 軌道는 人口가 都市에 集中한 데 따라 그 營業成績의 極히 良好하며 都市民의 便利의 役割을 充分히 發揮하였다 1941年 太平洋戰爭勃發以後 各軍需工業의 振興에 따라 都市交通은 漸次 逼迫狀으로 들어가 車靜의 增價 時差 通勤 交通 道德의 高揚等 여러 가지 施策을 講究하였지만 激發하는 乘客에 對하여 別無 効果가 있었으며 따라서 漸次 車輛修理의 延遲과 無理한 使用 등으로 都市民에 큰 打撃을 주었고 그 交通緩和策이 無時로 阻上에 遇하게 되었으나 未解決인 際 解放을 마지하지 未前였다 其間 朝鮮에는 軌道로 京城電氣株式會社(서울) 營業杆 35杆 9 南鮮合同電氣株式會社(釜山) 營業杆 12杆 1 西鮮合同電氣株式會社(平壤) 營業杆 12杆 9 咸平軌道株式會社(咸平) 營業杆 6杆 1 及 京城軌道株式會社(서울) 營業杆 14杆 4 의 5 會社 營業杆 計 81杆 4 分가 있었다 解放後 南朝鮮에는 咸平軌道를 併合한 京城軌道와 京城電氣(서울) 南鮮合同電氣(釜山)의 3軌道 營業杆 計 68杆 5 分가 있게 되었다 解放으로 因한 一時的 混亂은 이곳에도 波及되었지만 鐵道와는 달리 車靜도 작고 電氣 裝置이 中斷되지 않았었으므로 收拾對策이 容易하게 樹立되었다 結果로 強制 疎開하였던 市民들은 陸續 都市로 集中하였고 歸還同胞 南下同胞 都市人口는 一路 膨脹하여 갔다 서울만 하더라도 解放前 120萬이던 것이 1947年 末現在은 176萬餘人으로 激發되었다

人口增加에 正比例하여 軌道 利用率도 激發하였고 日帝時의 車輛 廢外 無修理 新車 入手難 등으로 1946年 서울의 電車 交通難은 極히 混雜을 이루었다 겨우 100臺에 不過한 車輛으로는 漸次 激發하는 乘客을 다 運송할 수가 없었다 人口는 느리게지만 生必需品은 生産되지 못하고 物價는 日날히 騰貴하니 鐵道와 같이 電車軌道도 赤字 財政을 未免하고 補修品 其他 資材難으로 困하여 갔다

低物價政策上 恒常 論議되었으나 鐵道運費의 引上이 發表되고 軌道도 營業收支形便上 運費引上이 決定되었다 解放前 1回 乘車에 5錢이던 것이 10錢으로 引上되고 解放後 50 錢으로 1946年 1 圓으로 또 다시 1947年 2 圓으로 引上되었다

運費의 引上은 都市經濟에 深刻한 反映을 일으키는 것이며 더욱이 鐵道運費의 引上은 一層 激甚한 것이 있다 生産地와 消費地와 의 連絡으로 消費地인 都市經濟을 威脅하는 鐵道運費關係와 軌道運賃關係와는 根源의 差異가 있다

京電은 1947年 9月 22日 電車 110臺 運轉 記念後 秩序의 維持와 諸般 業務의 圓滑함이 所謂 軌道에 遇하게 되어 市民에 多大한 安堵感을 준다

그러면 資料의 許諾하는 限度內에서 京電의 過去로부터 現在에 이르는 運輸部門의 業績을 觀察하기로 한다 다음은 10年前부터의 運輸成績表다 順序를 따라 解放前과 解放後로 나누어서 記述할 이 공을 가한다

京 電 電 車 統 計 一 覽 表

年別	營業軒	保有臺數			運 轉 車 輛 數	走行杆數	乘車人員		收入金額	
		完全車	故障車	計			總人員	1日平均	總收入	1日平均
1936	65	165	2	167	43,940	9,968,003	64,027,898	175,419	2,940,138	8,032
1937	68	135	2	137	48,846	10,943,392	70,737,692	193,802	3,277,307	8,979
1938	69	200	2	202	54,708	11,487,607	81,485,905	223,249	3,760,242	10,919
1939	71	205	2	207	55,232	11,709,718	103,791,430	283,263	4,761,512	13,039
1940	71	213	3	216	50,016	12,340,485	131,145,349	359,302	6,071,390	16,580
1941	73	218	3	226	50,965	12,793,537	147,469,811	404,027	6,870,620	18,820
1942	75	233	1	234	58,179	13,340,042	169,476,235	464,318	7,859,998	21,529
1943	76	229	15	244	56,878	13,539,216	187,583,637	513,927	8,654,409	23,708
1944	76	234	18	252	62,857	12,264,718	194,997,052	534,239	10,838,138	29,775
1945	79	61	194	255	34,830	5,631,456	117,832,034	322,437	16,267,190	28,813
1946	77	77	97	274	20,821	3,422,323	106,741,280	292,298	51,895,504	142,637
1947上半年	77	104	65	269	8,861	1,315,250	37,264,006	204,746	59,283,539	323,953
10	//	130	139	269	3,159	497,842	12,912,519	426,632	23,081,377	744,565
11	//	134	133	267	3,203	484,338	13,448,812	448,293	23,860,832	795,361
12	//	134	133	267	3,570	511,365	13,294,927	428,868	23,664,608	763,372

解 放 前

京電의營業狀態는 電車와 自動車併行이 없었던 것이 解放直前에 自動車の統制와 輕油不足으로 自動車を 漸次차퇴를 감수하게 되었다 鐵道에서와 同様으로 太平洋戰爭의 影響이 이 10年間 記錄의 大部分을 차지한다 即1944年은 1日平均乘車人員이 最高53萬名을 記錄하였으나 其後次々減少되었음을 볼 수 있다 더욱이 保有臺數에서 보면 完全車도 1944年을 最高로 其後減少되어 갔다 運轉車輛數도 1944年을 最高로 其後低下되어 갔다 收入은 料金引上關係로 每年增加되었다

解 放 後

解放直後의 一時的混亂은 統計面에 如實히 나타났으나 1945年의 保有車數와 運轉車輛數는 1944年度에 比할 때 完全車 234臺에 對한 61臺인 26%의 慘酷한 狀態이었다 日帝의 隨使와 故障車修理不能으로 194臺의 車가 廢止되었음을 알 수 있다 그러나 乘車人員은 그다지 減少되지 않았다 收入은 屢次的 引上關係로 漸次增加되어 가고 있다 1947年度는 最高收入 記錄을 내었는 것이며 이것은 運轉車數의 增加에도 起因하는 것이다

1946年度 下半期는 保有車中 故障車가 第一 많았음으로 走行杆數의 減少를 招來하였다 特히 注意를喚起하는 것은 1車 1杆人員이다 解放前 最高 1944年 16人이었고 解放後 1945年 下半期에 있어 約 21人弱이며 1946年 들어 上半期 29人 下半期 34人으로 늘었고 있다 또 1日平均人員은 1945년에 32萬名이고 其後 現在까지 若干의 變化는 있었으나 1947年 9月以後 顯著히 增加되어 35萬名 1947年 10月에 43萬名 11月에 45萬名으로 늘었고 있다 解放前 最高 1944年 53萬名은 그때 完全車 年平均 234臺로써 運轉車輛 6萬輛(1個月平均, 5000輛)을 動員하여 作成된 記錄이다 1947年 11月 45萬名은 完全車 134臺로써 1個月 運轉車輛 3,203輛으로써 이루어졌다 이 比較에서 1947年 11月의 完全車數가 1944年의 年平均 234臺와 또 運轉車輛數도 그

만큼 引上되었다고 假定하면 乘車數에 있어 1日平均人員이 8倍 即 80萬名으로 增加할 것이라고 보겠지만 이것은 運轉車輛數가 增加되면 1車 1杆 平均人員이 遞減되는 것이며 都市 人口數와의 比例도 있으나 80萬名은 勿論 아니고 充分히 1944年 53萬名은 淺駕했스리라 고 보아도 過言이 아니다

IV 道 路 及 小 運 送

(I) 道 路

陸運에 있어 單只 通路에 지나지 않는 것의 代表的인 것이 道路이다 이는 大概가 中央政府 또는 地方自治團體와 같은 公共團體의 經營下에 있다 이것은 過去에서부터 그러하였다는 理由보다도 元來 道路는 國家全體에 미치는 利害가 크다는 事情에 있다 大抵 道路는 諸種의 陸運 方便中 가장 頻繁히 使用하는 것이니, 道路는 陸運의 根源이 될 뿐만 아니라 日常生活上 使用되고 있는 것으로 其使用이 조금이라도 制限되는 때에는 吾人의 生活은 同時로 多大한 障害을 받게 되는 것이다 故로 道路는 古來로 無價使用이 許容되었는 것이며 또한 그것이 自然慣習이었던 것이다 道路는 國土의 脈絡으로써 一國의 興亡盛衰를 결정하고 있는 것이다

朝鮮의 道路는 韓國時代에는 荒廢가 尤甚하여 地方民의 濫用 地方監督官의 怠慢으로 自然變遷에 맡기는 形便이었다 故로 道路에 對해서 一般의 關心이 薄弱하였던 것이며 그것은 곧 當時의 朝鮮産業의 後進성을 證明하는 것이며 無窮한 地下資源 森林 鑛產 資源開發에 全然 無關心하였는 것의 證明도 되는 것이다 運輸交通 機關의 發展도 遲々하여서 自然道路의 改善은 보지 못하였는 것이다 合併後 日帝의 植民地 採取手段의 第一歩로 改善整備가 있었다 其後 1931年 頃 滿洲事變을契機로 道路精進의 緊切함에 따라 整備改修에 獲極努力하여 道路網의 飛躍的 發展이 있었다 1938年 末 現在 道路의 延長杆程는 다음과 같다

(第 1 表) 過 去 의 道 路 網 延 長 表 (其 一)

年別	總 杆 程		1 等 道 路		2 等 道 路		3 等 道 路		面積 1 方 里에 對한 延長杆程
	道路線	既成延長杆	道路線	既成延長杆	道路線	既成延長杆	道路線	既成延長杆	
1936	—	23,199	—	3,008	—	8,754	—	11,437	1.62
1937	—	23,514	—	3,033	—	8,816	—	11,665	1.64
1938	651	23,676	38	3,027	97	8,879	516	11,770	1.65



同年12月 朝鮮道路令이 發布되어 從來의 1.2.3等의 道路名稱을 廢止하고 새로 國道 地方道 府道 邑面道로 改稱되었다 1942年未現在 道路網은 다음과 같다

(第2表) 過去 道路網 延長 (其二)

年別	總數		國道		地方道		面積1方 杆에對한 既成延長 杆
	既成 延長杆	道 路	既成 延長杆	道 路	既成 延長杆	道 路	
1939	25,757	—	11,370	—	14,387	0.116	
1940	26,496	—	11,489	—	15,007	0.120	
1941	26,765	—	11,661	—	15,104	0.121	
1942	26,989	101	11,731	660	15,258	0.122	

政策的 道路는 產業資源을 따르나 1932年以後 工費838萬圓으로 工事에 着手되었고 道費201萬圓의 豫算으로 「時局應急施設 土木事業」이라 하여 1.2等 道路 金山 道路及 林道의 改修 工事를 하였다 其後 滿洲國 政府 成立以來 國境 地帶의 往來가 頻繁함으로 鴨綠江 豆滿江 上에 國境 連絡 橋梁 14個 所를 架設하기로 하여 完成하였다 其他 地方 團體에 對 補助 金을 交付하여 窮民 救濟 土木事業으로 或은 時局 應急 土木事業 及 地方 振興 土木事業이라 하고 多額의 工費가 付與되었다 이같이 延長된 道路網中 定期 自動車 運行 杆程은 다음과 같다

(第3表) 定期 自動車 運輸 延長 杆表 (杆)

年別	總延長				
	1等 道路	2等 道路	3等 道路	等外 道路	府及邑面道
1936	20,797	1,824	7,687	8,785	2,501
1937	21,730	1,842	7,827	9,450	2,611
1938	20,945	1,860	7,775	8,911	2,399
1939	23,016	10,326	11,205	1,485	
1940	22,991	10,088	11,232	1,671	
1941	21,239	9,372	10,541	1,326	
1942	20,160	9,067	10,058	1,035	

上表에서 1938年以降 定期 自動車 運輸 總延長 杆數는 減少되어 가고 있다 이것은 道路網은 如前 司延長되어 가고 있으나 杆程은 少因하여 自動車는 漸次 整備 減新됨에 基因한다

解放後 道路 工事는 中絶되었으나 더욱이 一時 鐵道의 混亂으로 因한 自動車 事業의 振興은 自動車 數의 激增과 運行 反數의 增大로 道路의 磨損 減失은 急進되어 道路 建設과 保管은 매우 緊急하게 되어 美軍 政令第104號로 土木部가 設置되어 國道 公道 橋梁 河川 堤防 公用物 等의 建設 修理 改修等이 推進되고 있다

南朝鮮에 있어서 緊急한 事業은 食糧 增產 戰災 民住宅 建築 地方 產業 經濟 復興의 動脈인 道路 改修 河川 治水 事業 電力 自給 政策에 依한 水力 發電 所의 增設 補修 港灣 改修等이 指摘되는 것이나 以上의 土木 事業中 어느 하나도 重要치 않은 것이 없지만 他 部門에서 詳細히 說明된 것은 除外로 說明中인 道路 問題 即 南朝鮮 道路網의 時急히 要緊되고 있는 改修 整備 問題를 말한 것이다

解放以後 前記 事業의 所管 當局은 波動的인 物價 高升 生産 不足 資材 入手 難을 克服하면서 政治的 混亂속에서 制限된 豫算으로 眞摯한 建設 事業에 邁進하였다 所管 別로 보면 農務部의 土地 改良 事業 朝鮮 電業의 塘津 江 發電 所 擴張 工事 土木部의 道路 整備 工事이다 以上의 緊急한 工事 遂行에 있어서 가장 重要한 것은 建設 資材의 運搬으로 부리 地方 產業 復興 發展에 이르기까지 動脈인 道路 網 整備이라고 하겠다

南朝鮮의 道路網은 首都 서울을 中心으로 釜山 木浦 開城 等 南 北으로 通한 國道 幹線과 地方 道路를 合하여 15,265杆 杆된다 其

中未 修築 個所가 總延長 976杆이며 未修築 個所中에는 76個 所의 橋梁 未架設이 있다 南北 朝鮮을 莫論하고 鐵道 網이 日帝 時代에 大陸 侵略 政策으로 그 橋頭 係 役을 創해왔기 때문에 鐵道 線에 主力을 傾注하여 反面 朝鮮의 振興 道路에는 無關心하였었다 이關係는 地方 道에도 影響하여 補修 整備에 힘을 쓰지 않은채 解 放이 되어 그 荒廢는 極度에 달하였다 이에 있어서 土木部에서는 于先 水害 關係도 있었지만 1946度 豫算으로 1946年 10月에 서울 釜山 間 竹設 道路(國道) 補修 工事를 着工하여 1947年 6月에 竣功 하였다 (後述)

現在 南朝鮮의 各道別 國道 地方道의 延長 杆는 다음과 같으나 其의 既成 延長 道路에 對하여 未修築 道路가 最長한 道는 江原道이며 此道는 南朝鮮에서 現在가 最 道路網이 稀薄한 道라고 하겠다

(第4表) 南朝鮮 道別 道路網 表

道 別	既 成 延 長 杆			未 修 築 杆
	國 道	地 方 道	計	
京 畿 道	704	1,577	2,281	76
忠 清 北 道	365	781	1,146	32
忠 清 南 道	416	949	1,365	112
全 羅 北 道	415	1,361	1,776	18
全 羅 南 道	652	1,521	2,173	166
慶 尙 北 道	991	1,323	2,314	106
慶 尙 南 道	788	1,500	2,288	125
江 原 道	939	679	1,618	338
濟 州 道	—	304	304	3
計	5,263	9,997	15,265	976

現下 南朝鮮에 있어서 地下 資源과 林產物을 비롯하여 東海 沿岸 一帶에서 多量으로 產出되는 水產物이 道路網의 不完全으로 그 積極의 開發이 阻害되고 있다 또한 鐵道만 하더라도 輸送 鐵路의 未打開로 生産 能率은 極히 低下되고 있다 前述한 바와 같이 南朝鮮의 橋梁 未架設 道路는 忠南의 46個 所를 비롯하여 約 76個 所에 달하여 雨季時에는 交通이 杜絶되고 만다

이같이 南朝鮮의 道路網의 整備는 時急을 要하며 더욱이 서울—江陵間의 江原道 橫斷 道路 慶北의 咸昌—盈德線의 開通과 아울러 서울—開城間의 幹線 道路인 臨津江 橋梁 架設을 비롯하여 各道의 橋梁 架設 道路 維持와 土地 改良 事業에 直接 原因이 되는 徹底한 治水 事業에 積極 盡力하여 雨季에 이르러도 交通에 支障이 없이하여 健全 產業 經濟 發達을 期케 하기爲하여 하로바피 道路網이 完成되어야 하겠다

解放 直後부터 이 道路網 整備 工作은 活潑히 展開되었으니 그 全貌을 略記하면 다음과 같다

1945年 10月부터 始作된 道路 復舊 工事의 實績은 다음과 같다

(第5表) 1945年度 道別 道路 工事 表

道 別	配付 豫算 千圓	路綫 整理	橋 梁		暗 渠		水 拔
			所	所	所	所	
京 畿 道	5,468	5,436	8	17	16		
忠 北 道	1,987	7,525	6	10	11		
忠 南 道	1,139	7,600	4	11	2		
全 北 道	1,313	7,345	15	6	10		
全 南 道	1,386	7,945	18	5	1		
慶 北 道	1,722	3,420	27	1	2		
慶 南 道	1,453	3,326	6	2	—		
江 原 道	1,398	280,140	1	—	—		
計	15,866	332,787	85	52	42		

다음에 前述한 解放後 土木 2大 事業中의 하나인 國道 第1次

改良工事이다 서울—釜山間의國道補修로 1946年10月에着手하였다 工費1億1千餘萬圓과 約85萬名의勞務人員이動員되어 1947年6月에竣工되었는데 이는久業者 戰災民救濟事業에 큰 貢獻이 있었다 그工事概要는 다음과 같다

(第6表) 서울—釜山間國道工事一覽表

가, 道路修理個所			
暗渠排水管施設	46 個所	延長	394m
石垣構築	18 //	//	2,210m
路面修理	133 //	//	32km
나, 新規架設橋梁			
道別	慶北	2	總延長 908m 總面積 6,813平方m
	忠北	14	
	忠南	5	
	忠南	2	

(第7表)

國道工事國道事務所別表

種別	別	水原	大田	大邱	釜山	計
		千円	千円	千円	千円	
豫算配付額		29,040	30,894	35,386	8,000	103,320
路行整理延長		340,951	322,813	2,748	633,823	1,309,299
要員	盛切土工	9	6	3	—	18
	曲線土工	1	2	—	—	3
	砂石採取	—	4	10	—	14
	橋樑架設	1	1	—	—	2
	暗渠排水	17	10	8	5	40
	水拔	4	5	12	—	21
	石鋪	7	3	16	1	27
動員延人員		191,623	271,348	232,586	153,809	849,366

다음에 2 大事業中 하나인 江原道橫斷道路인데 2 次에 걸쳐 實地踏査完了하였으므로 豫算이許諾하는대로 實踐에 옮기게 될것이다 이 두道路即서울 釜山間의國道와 江原道橫斷道路의改修와 架設는 荒廢되어있던道路網을 우리의 손—

構造物 { 공크리트 21  
木造 2  
木材鐵材混合 1  
다, 工費 1m當 60,102圓 1平方m當 8,093圓  
라, 使用材料 { 洋灰 2,239噸  
鐵材 493噸

이공사는以上과같이 各土木業者가心血을 傾注한結果完成되었는데 其間全線을 4 區로區分하여 水原 大田 大邱 釜山에國道事務所를設置하고 銳意盡力하였던것이다 이공사는解放後朝鮮人の손으로完成된 最初の 事業이었던만큼 이竣工의效力에는 큰기쁨을느끼었고 1947年7月12日에는 이竣工을記念기爲하여 第3 區인楊江橋 (大田에서約39杆) 에서 竣工記念式이盛大히舉行되었다 工事의 國道事務所別動員人員數는 다음과 같다

(第8表)

道路災害復舊工事道別一覽表

道別	配付豫算	路面整理		橋梁	洗越	暗渠	水拔	渡船
		箇所	延長杆					
京畿	千円 30,588	19	521	15	—	2	—	4
忠北	17,579	278	34	39	24	48	45	5
忠南	20,393	83	671	22	2	4	1	1
全北	23,612	108	18	10	5	8	5	—
全南	21,725	98	2	52	2	42	7	—
慶北	15,375	235	8	63	1	18	6	1
慶南	14,778	94	38	38	—	15	15	—
江原	14,092	57	21	17	—	7	—	1
濟州	1,500	15	14	—	—	—	—	—
合	5,000	16	3	—	—	—	—	—
計	164,642	1,003	1,330	256	34	144	79	12

其他 1946年度에 있어 陸上運輸局의道路修繕이 1700件에 달하여 1518,100圓을 各地方에割當하고 都市街路修繕으로 13,467,300圓을 南朝鮮 22 主要都市에 割當하였었다또水

로復舊시키는 처음의試金石이 될것이다 이國道工事와併行하여 1946年夏期の 大洪水로因한被害復舊工事가着手되었으나 豫算關係로 겨우 2割의復舊밖에는 成績을내지못하였는데그實績은 다음과 같다

原 大田 大邱 釜山の 4 地方 380個所修理에는 102,320,800圓을消費하였다 1947年度土木工事は 大體로豫算의 僅少하였던關係로 많은

支障이 있었다 1947年夏期末曾有의洪水로 道路橋梁의流失堤防洪漬等으로 農耕地의荒廢地方經濟發展의動脈인 交通社  
 小運送에多大한支障과 食糧生産에 큰影響을 주었는데 土  
 木部에서는 1947年度의新規事業은 없으나 다만道路災後復舊와  
 橋梁補修決潰堤防復舊와 아울러 河川改修工事に 重點을 두어  
 約15億圓—豫算額을 要求하였었는데 司計局에서豫算査定結  
 果 0 億圓으로削減되고 말았다 司計局査定인 豫算割當에는 道  
 路橋梁 災害改修延長으로 豫算額은 道路560km 11,379萬圓  
 橋梁 5km 余 9,322萬圓이며 河川堤防改修는 各道 311 個所에  
 1,426萬圓이다 이같이査定된豫算額으로는 事業計畫의 全般  
 的履行에支障을 招來하게 될것이다

다음 京畿道의 治道事業은 보면 京畿道는 全鮮各地로 通하는  
 道路의 幹線이 되어 있는데 元來道自體로써는 豫算이 없다 다만  
 國庫의 補助를 받아 그當時의 必要急工事を 하고 있다 總體  
 的立場은 세우지 못하고 1年을 通하여 4期에 나누어 配行되는  
 豫算으로 國道の 修理工事을 해왔는데 工事總額이 1,300萬圓이  
 고 工事延長이 3,000m이다 即道內에는 國道 地方道 邑面道  
 가 있는데 地方道와 邑面道는 關係機關自體에 豫算이 없음으  
 로 修理工事が 中止되어 있다 그리고 國道는 서울—新義州線  
 87,000m 서울—釜山線 87,000m 서울—春川線 6,900m 등으로  
 總延長 240,000m中 修理延長이 겨우 3,000m이다 國道는 庫  
 庫補助라도 여겨 現狀維持는 되나 地方道와 邑面道는 모  
 두 荒廢하여 杜絕狀態에 있는 것이 事實이다 더욱이 서울을 中  
 心으로 物資輸送과 冬期用薪炭運搬等 各方面으로 緊急한 狀態에  
 處해 있으나 原動力인 豫算이 없어서 全的停止狀態이고 겨우 邑  
 面道에 있어서 部分的으로 部落民들의 賦役으로 小規模의 修理  
 를 하고 있는 程度이다 其間 京畿道 土木事業費請求額 5 億圓中  
 5,000萬圓이 決定되어 解放前 旱災道內 破壞箇所 378處中 總工  
 事費 3,100 萬圓으로 32個所를 修理完了하고 1947年度에 繼續  
 修理코자 12,000萬圓의 工事費를 請求中 不過 2,300萬圓이 査定  
 되었다 道內에서 水害가 極甚하였던 平澤—安城間은 1946年  
 에 復舊工事を 開始하여 2,770萬圓으로 完了하였다 다시 同水  
 害地 16個所의 工事を 撥款하려고 1947年度에 36,000萬圓을  
 要求하였으나 單 2,700萬圓이 承認되었었다

다음에 都市道路改修形은 보면 土木部 都市局發表에 依  
 하면 1947年度 都市道路下水改修費가 64萬圓인데 其中 서울市  
 重要道路 鋪裝補修費로 4,000萬圓이 計上되었었다 서울市에  
 서는 其豫算中에서 200萬圓을 阿峴洞—老姑山間 道路改修에  
 割當하였다 都市道路의 鋪裝은 「아스팔트」가 必要한데 1947年  
 6月 市工管部 土木課直屬인 「아스팔트」倉庫의 火災로 「아스팔  
 트」500트라이 燒失되어 鋪裝工사의 唯一한 材料를 缺乏케 工  
 事推進에 大支障을 招來하였다 그러나 資材가 不足한 故로 工  
 事에 盡力한 結果如下한 成果를 올렸다

서울市 道路修繕料及擴張面積		
修繕	鋪裝道路	延長 41,720m
		面積 266,700平方m
	砂利道路	面積 62,500平方m
擴張一道路 幅一面積		5,460平方m 計劃의 30%

끝으로 土木事業에 있어서도 技術者는 不足하다 方今 土木事  
 業의 機械化를 志向하여 土木部에서는 其間 運駐軍으로부터 各  
 種 土木機械을 入手하였다 機械每臺에 1日 8時間 運轉하여 約300  
 人分의 稼働能率을 올리고 있다 이 機械化는 各種 道路 土木工  
 事中 戰災民救濟事業으로 起工되는 部門에 對하여 그 資金 撤出에 實  
 的 轉換을 誘起할 것이다

끝으로 1947年 9月 19日 軍政廳發表를 보면 技術教育委員會  
 에서는 1948年 3月 까지 約 3 萬名의 技術者를 養成시킨다고 한  
 다

## (2) 小 運 送

鐵道及船舶에 依하여 輸送되는 貨物은 其發着兩端에서 單  
 小運送을 必要로 한다 該運送中 小運送料金이 차지하는 部分  
 은 매우 크다 그럼으로 小運送의 制度施設等의 改善은 國民經濟  
 上 看過키 어려운 問題인 것이다

1939年에는 朝鮮小運送業會社가 發布되어 從來一般自由營業  
 이 存陸上小運送業者가 漸次整理統合되어 갔다 1942年에는 第  
 2 次統制로써 朝鮮運送株式會社에 全權統合되었다 그리하여  
 朝鮮의 一般小運送業者는 1課1店으로 一元化되었다 現在 南  
 朝鮮에 鐵道驛致 387個가 있으며 簡易驛을 除外하더라도 300餘  
 以上의 小運送店이 있는 細番이다 1943年 日帝下 戰力增強의 切  
 實한 要請下 海陸小運送事業의 合體은 必要로 하여 朝鮮運送株  
 式會社는 發展의 解消를 하고 朝鮮海陸運輸株式會社가 設立되  
 었다 戰時重要物資輸送量의 增加에 따라 小運送의 計劃的 輸送  
 에 對한 對策으로 各種 運搬具 荷役具의 整備 燃料 油脂 飼料 小運  
 送要員의 確保等에 努力이 傾注되었다 其같이 朝鮮海陸運輸株  
 式會社는 海陸小運送一元의 統制로써 日帝의 戰爭遂行에 盡力  
 하였다 解放後 이 會社는 그 經營을 維持하여 美軍政廳 運輸部 小  
 運送關係와 密接한 連絡下에 朝鮮産業復興에 많은 貢獻을 하고  
 있다

現在 鐵道를 基礎로 하여 運用되는 自動車 荷車 牛馬車等의 所  
 謂陸上小運送運搬具는 大輸送의 補助機關으로써 場所에 따라  
 서는 地方的 交通運輸 幹線을 構成한다 如上의 運搬具는 逐年 增  
 加되어 가고 있다 이 運搬具의 收入金額의 全部는 消費者에게 轉  
 讓되는 것으로 其數量으로 推算하더라도 鐵道收入中 貨物收入  
 145百萬圓의 數倍에 達하리라 짐작되는 것이며 產業各部門의 振  
 興에 對備하여 小運送部門의 積極的 綜合整備와 施設改良의 要  
 請이 時急하다

## 追 記

叙上の 記述外에 二三考慮되는 點이 있다 그것은 國土建設과  
 産業復興의 前途의 役割을 하는 鐵道의 資材 部面과 土木方面의  
 豫算其他에 關한 浮沈問題이다 鐵道資材中에 第一은 車輛工作  
 方面이며 第二은 軌條와 枕木이다 其外에 原料로 石炭과 油脂가  
 있다 車輛은 本論에서 詳論하였고 軌條는 그 壽命이 約 50年이라  
 고 하니 朝鮮鐵道가 京釜 京義 湖南 京元 咸鏡 各線 縱貫鐵  
 道 敷設年數 平均이 約 35年이며 또 더군다나 解放直前의 各  
 種 無理와 階使를 參考하면 壽命이 不過 10年內外라고 生覺된다

枕木은 解放前의 後의 故置로 腐敗를 거듭하여 1946年 下半年  
 以後 事故가 續出하였다 1947年에 必要한 枕木數 150 萬丁中 約 20  
 萬丁이 南朝鮮에서 供給된 것이고 나머지는 日本이나 美國으로  
 부터 需給을 받아야만 하게 되었다 세멘트 產出이 多量으로 解決  
 된다면 枕木의 耐久化가 考慮될 것이다

石炭은 本論에서 說明한 以外 注目되는 點은 使用量의 增加이  
 다 南朝鮮의 煤炭 無煙炭으로는 火力未及關係와 盜失其他로  
 使用量單位가 昂騰하였고 油脂方面은 國內工業으로는 大端  
 不足하여 全然 問題視되지 않고 大部分은 外國에 依賴하고 있는  
 狀態이다

다음에 土木方面에 普及하면 解放後 企業은 大部分이 官廳  
 이나 公共團體이어서 自然히 土建界의 運轉은 官公署의 動態에  
 左右되었고 늦게나마 土建界의 實情을 把握하여 그 亂立(量)  
 을 整備(質)하여 漸次 能力主義로 移動하니 資金 資材及 技術  
 의 三拍子를 具備하여 實質의 能力 있는 業體로 變換하게 되었다 이  
 에 對한 他官公署의 움직임은 姑捨하고 土木部의 動態는 如下하  
 다 即國道改築工사와 江原道 橫斷道路工事に 橋梁架替와 災  
 害復舊工事は 枚擧키 困難한 程度이나 其外에는 豫算關係로 新  
 規事業은 없다 다만 河川堤防修築과 杜絕交通路維持策에 主眼  
 을 두어 國道修築에 地方民庭 2,000 萬人 動員計畫中에 있다 參  
 考로 1947年度 土木部豫算은 72,200 萬圓이었다

# 海 運

## 目 次

1. 沿 革	概說——海司行政——船舶保有	
2. 港灣概觀	概說——港灣施設——航路標誌	4. 造 船
3. 海運現況		5. 南朝鮮海運의當面問題

### 1. 沿 革

朝鮮은半島國이며 一千百餘哩의 海岸線과 航行可能한 八大河川을 擁하고 있음에도不拘하고 李朝時代의 鎖國政治로 말미암아 海運企業의 發達을 보지 못하였었다 19世紀末葉 日本의 大陸進出計劃의 수리朝鮮을 犯하기 始作하자 1876年에 韓日條約(所謂江華條約)의 締結로 釜山이 開港場으로 되었으며 日本郵船會社所屬船의 來航을 嚮矢로 仁川其他沿岸에 日本船의 航路를 設定함에 이르렀다

其後1910年에 이르러 朝鮮郵船會社의 設立으로 朝鮮이 처음 海運業자가 始作된 것이었으나 이는即 日本의 朝鮮侵略의 端緒이 되었으며 이로부터 朝鮮의 海運事業은 完全히 日人의 手에 넘어가 버리고 日人資本家의 支配下에 놓였는 것이다

當初부터 日帝는 朝鮮海運을 大陸發展의 動脈으로서 重要視는 하였으나 遠洋航路를 全리 本國의 業者에 만맡김으로서 朝鮮內海運業者에는 遠洋航行權을 주지 않고 主로 對日本本土及 朝鮮內의 沿岸貿易에 만從事케 하였을뿐 아니라 國際의 海運界와의 關係를 杜絶시키는 同時에 帝國主義戰爭遂行에 만 利用하였나 그 中에 中日戰에 들어가는 對大陸軍需物資輸送이 輻輳하여짐에 이르러 對大陸輸送의 役割을 擔當시키고 戰爭이 擴大됨에 따라 要輸送物資는 膨脹하여짐으로 이의 輸送에 水運船까지 動員한에 이르렀는 것이다

한편 日政下의 船舶保有量은 보면 1910年即 朝鮮이 海運業務을 始作하였던 當時의 船舶保有量은 汽船40隻, 總噸數7,815噸, 帆船33隻, 1,090噸, 合計73隻, 總噸數 8,905噸이었는데 其後海運의 進展과 航路의 增大에 따라 船舶保有量도 增加하게 되었으므로 1938年末에는 汽船 681隻, 總噸數100,293噸, 帆船1,096隻, 總噸數42,715噸, 合計 1,777隻, 總噸數143,008噸에 이르르게 되었다 그러나 如斯한 船舶保有量의 增大도 日本의 그것에 比較하면 微々한 것이었다 即 太平洋戰爭 當時의 日本의 船舶保有量은 約800萬噸으로 計算되는 데 朝鮮內의 保有量은 20萬噸에 達하는 船舶을 합하여도 15萬噸에 達치 못하였는 것이며 그 위에 이와 같은 朝鮮의 船舶保有量도 그 殆半은 總督府의 補助와 監督을 받으면서 朝鮮郵船其他 日人海運會社의 船舶이 있었나 그리하여 終戰當時에는 2,000噸級 船舶으로 朝鮮海岸에 繫留되어 있는 것은 朝鮮郵船所屬의 釜山丸一隻에 不過하였는 것이다

### 2. 港灣概觀

地勢上으로 보면 朝鮮의 東海岸은 山脈이 바다에 接近하여 聳立하고 있음으로 一般의 急峻하여 平野가 적으나 南及 西海岸은 比較的緩慢傾斜을 이루어 處々에 廣漠한 平野와 漢江, 錦江, 洛東江 등의 巨川을 擁하고 있다

海岸線의 狀況은 南部, 西部, 東部에 顯著한 差異가 있어 南海岸에는 大小의 島嶼가 많고 屈曲이 相連하여 致多한 內灣을 形成하고 있음으로 潮汐의 差는 西海岸과 같이 크지 않다 即 釜山港에 있어서는 平均 干滿의 差가 1.36米인데 이는 西海岸에 이르러 漸大하여 木浦에 있어서는 4.09米의 差가 있다

西海岸은 屈曲은 많으나 干滿의 差가 크므로 仁川灣에 있어서는 이는 最大10米에 達한다

東海岸은 屈曲이 적으므로 良港은 적으나 潮汐干滿의 差는 極少하다

如斯한 地勢下에 南朝鮮 港灣의 分布 狀態를 보면 南海岸에 있어서 東洋第一의 釜山港을 爲始로 蔚山, 殷海, 統營, 三千浦, 麗水, 濟州를 算하고 西海岸에 있어서는 首都 서울의 關門 仁川港을 爲始로 木浦, 群山, 鎮海의 諸港이 東海岸에 있어서는 浦項, 昆湖, 法文津, 元山, 清津, 羅津等이 主要한 것이나 이中 南朝鮮 開港場은 1946年 商務部令으로 仁川, 群山, 昆湖, 木浦, 釜山の 5港口로 指定되었으나 1947年 8月 法令第149號로 濟州及 金浦 飛行場(俱空港)을 追加하여 現在는 7港口가 開港場으로 되어 있으며 麗水港이 近々 開港場으로 指定된 것이다

港灣施設—南朝鮮 主要各港의 港灣施設을 概觀하면

#### 釜 山 港

開 港 年	1876年
港 內 面 積	870陌
繫 船 能 力	
第一埠頭	{ 3,000噸級 2隻 7,000 " 2 "
第二埠頭	{ 6,000 " 2 " 1,000 " 1 " 7,000 " 3 "
第三埠頭	{ 10,000 " 6 " 4,000 " 1 "
第四埠頭	{ 10,000 " 2 " 8,000 " 2 " 4,000 " 1 "
中央岸壁	8,000 " 4 "
北濱 "	1,000 " 2 "
總繫船能力	192,000噸
荷揚場棧橋延長	7,777米
給水能力 1時間當	442噸
作業機(起重機)	22臺
荷置場面積	{ 野積 194,700平方米 倉庫 147,466 " " 上屋 188棟
荷役人夫	約 5,000名

#### 仁 川 港

開 港 年	1883年
港 內 面 積	{ 內港 579千坪 外港 1,510 "
繫 船 能 力	
船 渠 內	{ 4,500噸級 3隻 3,000噸級 3 "
船 渠 外	1,000噸級 2隻
總繫船能力	24,500 噸

荷置場面積	148,166平方米
作業機(起重機)	4臺 計18噸揚外엔트론베어 2臺
臨港鐵道	10線
駁船曳船	166隻

木浦港

開港年	1897年
棧橋延長	319.2米
駁船能力	12,000噸程度
作業機(起重機)	3噸揚 1臺
倉庫	151棟 20,295坪
駁船曳船	98隻

群山港

開港年	1899年
港內面積	110英坪
最大駁船能力	13,800噸
起重機	無
倉庫	85棟 16,443坪

麗水港

開港年	—
港內面積	{北港 2,480千平方米 南港 1,280 "
棧橋延長	240米
駁船能力	26,000噸
倉庫面積	3,130坪
作業機	無

이 주요한 것이라 할 수 있는데 太平洋戰爭中軍需物資輸送

을爲하여 敷上施設等の酷使와 不備가甚하였고 解放後에는 資材不足으로因하여 破壞되는대로放任한等の原因으로 南朝鮮海運施設의機能은 漸下되고 있는現狀이다

航路協議——朝鮮의航路協議事業은 1883年の韓日兩國間에締結된日本人民貿易規則에依하여 韓國政府가仁川의小月尾島、八尾島、北長子嶼及白岩에燈臺를建設한것이 始初이었다(1902年起工、1903年6月에完成) 其後日政下에 들어가累年増設한結果 1942년에는海峽線15彈當 夜標一의比率로增加하였다 그러나戰爭中擧擊에依한破壞와 解放直後에住民에依한破壞等으로 解放直後(9月)에는約7割의標識設備가破壞되고말았다 現在協議事業은 統制部의管轄下에있어 解放以後復舊한것만해도燈臺10、燈標7、霧信號2에達하며 將次相當數의復舊工事를計畫中에있으나 最近道義心の弛緩에基因한 一般住民의破壞는日益甚해지고있음으로 復舊意欲조차 挫折의憂慮가있으니 實로安心한狀態이다 앞으로이에對한 警備의嚴重과破壞者에對하여는嚴罰主義를 取할方針이라한다

(第1表) 解放前後航路標識及施設比較表

	解放前 (8.15前)	解放直後 (8.15以後)	破損數	現在數 (1948年1月)
燈臺	32	21	11	21
燈標	110	26	84	28
掛燈浮標	22	8	14	6
霧信號	18	3	15	5
無線電信	9	0	9	0
氣象觀測	23	0	23	0

다음現在運營中인標識設備는下表와같다

(第2表)

現在運營中의航路標識一覽表

地區別	燈臺	燈標	掛燈浮標	霧信號
仁川基地管內	八尾島、善尾島、鼻島 雲島、格列飛島	仁川後導燈 仁川燈臺	仁川外港、仁川第一號 仁川第四號	於清島、牧島、 巨文島、長響岬
群山基地管內	米島、於青島	民野岩、前望山、甲 號、乙號、丙號	第六號	所里島
木浦基地管內	善只島、巨文島、所里島 山地、馬羅島	時下島、岩泰島、牛 島、方魚津		
鎮海基地管內	小竹勿島、放火島、加 德島	鎮海灣、磨堂嶼、卷 岬燈	藍浦灣	
釜山基地管內	牧島、五六島、蔚峙	鶴瀨、南防波堤、南港 防波堤、南港防砂堤 大邊港	鋸齒礁	
浦項基地管內	長響岬	大甫港、浦港、丑山南 防波堤、道洞港、九龍 浦、松台末、甘浦港		
墨湖基地管內	竹邊港、注文津	墨湖港防波堤 竹邊港防波堤		

(海岸警備隊標識課提供)

即南朝鮮의燈臺數는 現在21基가運營되고있는데 이중世界主要國의 그것에比較하면

國名	燈臺 1基에對한 平均運數	國名	燈臺 1基에對한 平均運數
和 國	1.5	中 國	17.0
獨 逸	2.1	日 本	18.0
佛 蘭 西	2.1	加 奈 陀	21.0
英 國	2.7	朝 鮮	{解放前 48.0 解放後 130.0
伊 太 利	4.2		
美 國	4.4		

以上과같은으로 朝鮮의航路標識事業이 얼마나뒤떨어졌는가

를알수있으니 當局에依한標識施設의增設뿐만아니라 住民이 이에對한認識을 새로히할이重要한問題이라하겠다

3. 海運의現況

一國海運業의盛衰는 貿易의盛衰와密接不可分の關係를가지고있는것인데 現在南朝鮮에는 外國貿易이全的으로開始되지않고있을뿐더러 現在南朝鮮이받고있는諸制約으로말미암아 南朝鮮海運業은極度로 沈滯狀態에따져있다

海司行政——海司行政은 海運의國家生存에미치는影響의重大性에비추어 確乎周到한計畫下에業者의保護 育成及一般手續의簡易化를企圖한것이 絕對要請되는데도不拘하고南朝鮮

鮮에 있어서는 美軍政實施以後 海司行政機構가一元化되지 못하여 그弊端이 많다 卽解放直後에 運輸部에 海司局을 設置하여 海司行政의 發達을 促進하는 功이 크나 1947年 下半年以後 海司局은 海上運輸局으로 改稱되어 單純한 現業機關으로 轉換됨에 따라 剩餘의 行政權이 國庫局及 統衛部로 移讓되게 된다 海上運輸官廳이 招來하는 業者에 對한 影響이 甚大한 點만 아니라 海司行政의 分散에 따르는 船舶運行에 關한 檢査手續의 繁雜은 不可 말한 수 없게 되었다 德히 是에 依하면 海司行政의 機構改革이 近々 決定發表되리라 한다 海員養成機關으로서는 蔚山에 海洋大學이 있는데 統衛部管轄下에 있다

船舶保有의 航路의 制約——八·一五解放直後 蔚小海運會社가 亂立하였으나 이는 大槪 敵産을 接管하기 爲한 一時的 現象이 있으며 解放直前及 現在 使用 船舶保有量은 下表와 같은바 解放直前에는 南朝鮮 船舶保有 船數 407隻, 總噸數 32,600噸이었으나 北從 故障及 日人 奪去等으로 約 70% 激減하여 現保有量은 隻數 150, 總噸數 10,680噸으로 되어 있다

(第3表)

南朝鮮 船舶保有量

區 分	1945.8.15日現在		8.15以後使用不可能船舶		現在使用船舶 (1947年末)	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
400噸 未滿 貨物 船	383	27,100	250	18,750	133	8,350
400噸 客 船	15	2,000	4	520	11	1,480
400噸 油 槽 船	7	1,000	1	150	6	850
400噸以上, 1,000噸未滿	1	900	1	900	—	—
1,000噸以上 2,000噸未滿	1	1,600	1	1,600	—	—
+	407	32,600	257	21,920	150	10,680
日本으로부터 歸船 5隻	10,400噸이나 一隻은 修理不能으로 未使用				4	7,467
美 船 LST					12	18,000
美 船 Baltic					8	14,240
其 他					2	1,656
總 計					176	52,043

다음 이 들 船舶의 主要所有者別表는 다음과 같다

(第4表)

主要會社船舶保有量 (1946年8月1日現在)

社 名	現在保有量		在日船舶	
	隻數	總噸數	隻數	總噸數
朝鮮 郵 船	7	12,425	4	5,039
大洋 汽 船	64	7,205	3	504
朝鮮 汽 船	10	1,162	7	2,744
朝鮮 商 船	4	805	5	2,141
朝鮮 海 陸	15	896	1	65
北 星 企 業	15	1,122	—	—
合 計	115	23,615	20	10,493

(第5表)

主要海運會社船舶現有量 (1948年1月15日現在)

社 名	隻數	總噸數
朝鮮 郵 船	8	13,690
朝鮮 運 輸	42	1,366
朝鮮 汽 船	13	1,231
朝鮮 商 船	5	960
東 洋 汽 船	8	753
合 計	76	18,000

(註本表는 總噸數 500噸以上 保有海運會社만 計上하였음)

(第6表)

海上運輸局所屬船舶現有量 (1948年1月15日現在)

LST 型	1,700噸級	12隻
Baltic #	2,000 #	8 #
FS #	300 #	3 #

FS 型	500 噸級	2隻
ABC #	200 #	6 #
Annet 號	3,000 #	1 #
△ 計	32隻	總噸數 約 42,500噸

첫째 海上運輸의 官營으로 말미암아 海上運輸局保有量이 總保有量의 大部分을 占하고 있는 現況은 注目할 만하다 그뿐 아니라 主要海運會社도 自立的인 船舶運營을 없고 當局의 命令으로 또는 이에 依持하여 官用其他物資을 輸送함으로 會社運營을 維持하고 있는 現狀이다 둘째로 各社에 在日船舶이 相當數에 達하고 있다는 事實인데 現在 對日 賠償對策委員會에서 이들 船舶의 返還要求를 重要視하고 있으며 朝鮮海運對策委員會에서 日下 具體的 調査를 進行中에 있다

다음 航路面을 보면 1942年 4月에는 命令航路가 24線에 達하였으나 現在는 命令航路는 없고 南朝鮮沿海에 만그 航路는 局限되어 있다 卽 1947年 10月以後 朝鮮船舶이 中國, 香港, 澳門, 比律賓等地에 出入할 수 있음이 美國務省을 通하여 認可되었으나 外國貿易의 全的으로 開始되지 않은 關係로 現在까지 外國航路에 就航한 朝鮮船舶은 極少數에 지나지 못하여 이것도 大部分이 軍政當局의 命令으로 就航한 것이다 더욱 三八線으로 말미암아 航路가 南朝鮮沿海에 만局限된 것은 自主海運建設에 큰 支障이 아니 할 수 없다

여기에 三八以南 主要港의 埋程을 보면 아래와 같다

仁川—群山	122浬
群山—木浦	156浬
木浦—麗水	151浬
麗水—釜山	94浬
釜山—靑湖	170浬

한편 解放後의 南朝鮮海運이 얼마나 窳劣한 狀態에 처해 있는가 는 日政下의 船舶入港推移表와 解放後二년간의 船舶入出港(月別國別)表를 通하여 보면 吾人에게 自主海運建設을 爲한 興缺 있는 暗示를 줄 것이다

(第7表)

解放前船舶入港推移表 (全朝鮮)

年次別	汽 船		帆 船		浮 小		合 計	
	隻 數	噸 數	隻 數	噸 數	隻 數	噸 數	隻 數	噸 數
1886	176	149,323	76	6,571	305	6,007	557	161,901
	649	436,261	204	10,63	863	24,836	1,720	499,160
	5,549	2,661,190	969	54,875	3,756	51,444	10,274	2,767,509
	4,397	3,843,633	1,438	55,058	4,507	73,111	10,342	3,971,302
	7,614	6,380,249	5,180	98,982	7,896	76,578	20,690	6,555,809
	16,165	14,461,327	17,883	296,121	13,740	93,765	47,788	14,851,213
	10,923	11,076,743	14,759	591,741	5,667	42,271	34,349	11,710,755

(第8表)

1946年月份別港別入港船舶表

(以下南朝鮮)

月別	仁 川		群 山		釜 山		木 浦		麗 湖		合 計		果 計
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	
1	88	—	—	—	65	1,106	—	—	—	—	66	1,194	—
—	—	—	—	—	15	551	—	—	—	—	15	551	81
2	72	—	—	—	60	1,508	—	—	—	—	62	1,80	143
14	271	—	—	—	8	145	—	—	—	—	22	416	165
34	1,100	—	—	—	3	208	4	116	—	—	41	1,424	206
24	480	—	—	—	3	193	—	—	—	—	27	673	233
38	816	—	—	—	6	136	—	—	—	—	44	952	277
40	924	2	139	5	1	—	—	1	80	48	1,56	325	3,790
23	453	1	6	13	6,572	—	—	—	—	37	7,031	325	3,790
21	280	2	47	9	5,269	—	—	1	16	33	5,612	395	2,639
13	65	—	—	12	12,073	2	96	—	—	27	12,234	—	—
16	93	—	—	1	1,404	3	195	1	14	21	1,706	—	—
226	4,642	5	192	200	29,278	9	407	3	110	43	34,629	443	34,629

(第9表)

1946年港別入港船舶國籍別表

國 別	仁 川		群 山		釜 山		木 浦		麗 湖		果 計	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數		
鮮	5	122	—	—	184	10,738	—	—	3	110	192	10,970
國	221	4,520	5	192	3	3,127	4	59	—	—	233	3,098
本	—	—	—	—	11	13,443	5	148	—	—	16	13,591
國	—	—	—	—	2	1,970	—	—	—	—	—	1,970
計	226	4,642	5	192	200	29,278	9	407	3	110	443	34,629

(第10表)

1946年港月別港別出港船舶表

月別	仁 川		群 山		釜 山		木 浦		麗 湖		合 計		果 計
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	
—	—	—	—	—	36	797	—	—	—	—	36	797	—
—	—	—	—	—	12	497	—	—	—	—	12	497	48
3	158	—	—	—	49	1,300	—	—	—	—	52	1,458	100
1	29	—	—	—	7	135	—	—	—	—	8	164	108
12	296	—	—	—	3	208	—	—	—	—	15	504	123
29	795	—	—	—	29	559	—	—	—	—	58	1,354	181
18	445	—	—	—	9	158	1	866	—	—	28	1,469	209
23	539	—	—	—	3	67	—	—	—	—	26	606	235
36	728	—	—	—	12	6,564	—	—	—	—	48	7,292	283
27	397	2	139	9	5,198	—	—	—	—	38	5,734	321	
40	832	2	31	8	10,446	—	—	—	—	50	11,309	371	
18	206	—	—	4	11,782	—	—	—	—	22	11,988	393	
207	4,425	4	170	181	37,711	1	866	—	—	393	43,172	—	

(第11表)

1946年港別出港船舶國籍別表

國 別	仁 川		群 山		釜 山		木 浦		墨 湖		合 計	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
鮮 國	—	—	—	—	165	10,411	—	—	—	—	165	10,411
本 國	207	4,425	4	170	—	—	—	—	—	—	211	4,595
合 計	—	—	—	—	14	25,330	1	866	—	—	15	26,196
合 計	—	—	—	—	2	1,970	—	—	—	—	2	1,970
合 計	207	4,425	4	170	181	37,771	1	866	—	—	393	43,172

(第12表)

1947年度月別港別入港船舶表 (9월까지)

月別	仁 川		釜 山		群 山		木 浦		墨 湖		合 計		累 計	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
5	70	19	13,294	1	21	2	63	—	—	27	13,453	—	—	
2	35	47	56,122	—	—	1	12	—	—	50	56,169	77	69,622	
18	3,071	63	94,423	—	—	3	63	—	—	89	97,557	116	167,179	
27	632	84	90,890	2	75	—	—	—	—	113	91,647	279	258,826	
17	373	55	143,481	7	431	4	183	—	—	183	144,473	462	403,293	
12	647	137	128,413	1	19	4	115	—	—	154	129,194	616	532,493	
13	4,945	95	89,774	4	265	2	109	—	—	114	95,093	730	627,586	
23	555	68	94,841	—	—	2	36	—	—	93	95,432	823	723,018	
33	4,627	56	69,958	1	1,021	2	13	—	—	92	75,619	915	798,637	
計	150	15,010	729	781,196	16	1,332	20	599	—	—	915	798,637	—	

(第13表)

1947年港別入港船舶國籍別表 (9월까지)

別	仁 川		釜 山		群 山		木 浦		墨 湖		合 計	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
鮮 國	5	150	18	4,146	10	272	12	244	—	—	45	—
本 國	140	3,250	5	265	5	539	7	343	—	—	157	—
國 國	1	4,549	177	387,675	—	—	—	—	—	—	178	39
國 國	3	6,693	2	5,083	1	1,021	—	—	—	—	6	—
本 國	—	—	523	381,209	—	—	1	12	—	—	524	331
威 牙	—	—	2	1,600	—	—	—	—	—	—	2	—
牙 牙	1	363	1	775	—	—	—	—	—	—	2	—
牙 牙	—	—	1	438	—	—	—	—	—	—	1	—
計	150	15,010	729	781,196	16	1,332	20	599	—	—	915	79

(第14表)

1947年月別港別出港船舶表 (9월까지)

月別	仁 川		釜 山		群 山		木 浦		墨 湖		合 計		累 計 隻數
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	
1 月	11	282	14	9,318	—	—	—	—	—	—	25	9,600	—
	9	189	47	52,364	—	—	2	144	—	—	58	52,697	83
	5	178	55	71,917	—	—	2	121	—	—	62	72,216	145
	9	249	89	119,040	—	—	—	—	—	—	98	119,289	243
	28	3,502	115	144,049	—	—	1	25	—	—	144	147,576	387
	16	693	134	103,230	4	447	—	—	—	—	154	104,370	541
7 //	21	441	91	93,300	—	—	2	110	—	—	114	93,851	655
8 //	12	310	83	112,916	1	74	2	53	—	—	98	113,353	753
9 //	20	447	71	104,902	1	1,021	3	134	—	—	95	106,504	848
合計	131	6,291	699	811,036	6	1,542	12	587	—	—	848	819,456	—

(第15表)

1947年港別出港船舶國籍別表 (9월까지)

國 別	仁 川		釜 山		群 山		木 浦		墨 湖		合 計	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
朝 鮮	1	57	8	1,969	—	—	1	16	—	—	10	042



中國	128	3,135	3	441	5	521	11	571	—	—	147	4,668
美國	—	—	163	396,142	—	—	—	—	—	—	163	396,142
英國	1	2,736	2	5,088	1	1,021	—	—	—	—	—	845
日本	—	—	522	406,621	—	—	—	—	—	—	—	406,621
한국	1	363	1	775	—	—	—	—	—	—	—	138
합계	131	6,291	699	811,036	6	1,542	12	587	—	—	—	819,456

(註 以上諸表에는軍用船舶은除外되었음)

即 1946年船舶入港數는 朝鮮의海運業務가 始作되기前의 1886年보다도더러지며 1941年과對比하면 隻數에있어 100% 噸數에있어 0.3%에不過하였었다

1947年에들어가서는 船舶出入數는 相當히增加되어 그入港數는隻數에있어 1941年과對比하면 2.7% 噸數에있어6.8%로 되었다 (1947年의統計는 9月까지만 計上되었으므로 此比率는 正確하는못함)

그러나如斯한我國船舶出入量이 增加되고있는—便 外國商船으로 朝鮮市場 獲得을圖하여 航行하여오는數도 漸次增加하고있으니 朝鮮船舶은 外國의巨船에限되고있는 現狀이다 그러면 1946年及1947年의 總入港船舶에 對한 國籍別比率를보면 다음과같다

(第16表) 國籍別入港船舶比率表 (%)

年度別	朝鮮	中國	美國	英國	日本	滿洲	한국	荷蘭	합계
1946	隻數 43	53	0.4	—	3.6	—	—	—	100
	噸數 32	3	6	—	39	—	—	—	100
1947年9月까지	隻數 5	17.2	19.4	0.7	57.2	0.2	0.2	0.1	100
	噸數 0.6	0.5	49.1	1.6	47.8	0.2	0.14	0.06	100

即上表에依하면1946年의總入港船舶에對한 朝鮮船舶入港比率는隻數에있어43% 噸數에 있어32%이든것이 1947年에들어가서는隻數5% 噸數)6%로下降되었으니國內諸港에서大한外國商船의朝鮮船舶에對한制限이얼마나큰것이있는가를 斟酌할수있다 그中에美國及日本船의大部分은 探助物資及石炭等의輸送으로來款한 것인대特히注目코는것은 中國의장크船이다 解放以後 이들은密貿易을圖하는으로하여 主로仁川港을目標으로來款은相當數에達하였었는데 海濱警備의嚴重化와新貿易法令의發布에따라1947年에들어가는隻數 噸數모두減少하였다

海上運貨—大部分海上運輸局直營으로된關係上 運貨에 있어자의競争은없고 當局에서制定한公定運賃을實施中이다 1946年5月에決定된運賃은下表와같은데 物價高로因하여改正運賃을近々決定發表하리라한다

1946年 5月以後의公定運賃 (適當 單位圖)

品 名	單位	運賃
墨 湖 炭	墨 湖—釜山	213
	—麗水	250
	—木浦	287
	—群山	325
	—仁川	423
靑 洲 炭	靑 洲—釜山	300
	—麗水	342
	—木浦	382
	—群山	424
	—仁川	554
軍需가소린	橫 濱—釜山	584

- 木浦
- 仁川
- 佐世保—釜山
- 仁川
- 麗水
- 仁 川—釜山
- 麗水
- 木浦
- 群山
- 釜 山—麗水
- 木浦
- 群山
- 墨湖

輕油及燈油

仁 川—釜山	408
—麗水	367
—木浦	326
—群山	
釜 山—麗水	219
—木浦	
—群山	
—墨湖	
橫 濱—釜山	
—木浦	
—仁川	655
佐世保—釜山	282
—仁川	408
—麗水	323

重油其他

佐世保—麗水	
—仁川	
—釜山	
橫 濱—仁川	
—木浦	
—釜山	
釜 山—墨湖	
—群山	
—木浦	
—麗水	
仁 川—群山	
—木浦	
—麗水	
—釜山	

空 드 럽 罐

仁 川—釜山	
—麗水	
—木浦	
—群山	

釜山	— 麗水	153
	— 木浦	211
	— 群山	239
	— 墨湖	211
	— 橫濱	356
木浦	— 橫濱	356
仁川	— //	459
釜山	— 佐世保	197
仁川	— //	286
麗水	— //	226

糧 穀		
釜山	— 墨湖	301
	— 麗水	188
	— 木浦	255
	— 群山	277
	— 仁川	425
麗水	— 仁川	380
木浦	— //	357
群 山	— //	313

日 本 炭		
釜山	— 墨湖	253
	— 麗水	158
	— 木浦	214
	— 群山	330
	— 仁川	214
若松門司	— 釜山	177
三 池	— //	214

肥 料		
釜山	— 墨湖	301
	— 麗水	188
	— 木浦	255
	— 群山	277
	— 仁川	425
	— 群 山	313

石		
墨湖	— 釜山	349
	— 仁川	598
	— 麗水	393
	— 木浦	462
	— 群 山	506
釜山	— 仁川	442

鐵		
釜山	— 橫濱	465
	— 名古屋	425
	— 門司	239
墨湖	— 釜山	323
釜山	— 仁川	431

一 般 貨 物		
橫濱	— 釜山	516
	— 仁川	773
釜山	— 仁川	454
	— 群 山	359
	— 木浦	336
	— 麗水	268

	— 墨湖	359
仁川	— 群 山	365
	— 木浦	410
	— 麗水	433
	— 墨湖	615
墨湖	— 群 山	526

### 4. 造 船

中日戰爭前까지는 朝鮮의造船기基은故意的으로等閑視되었으며 尙히日本依存主義을取하여은關係로 發達을보지못하였다가 1938 年에釜山의朝鮮重工業會社가 1萬噸級艦船을收容할수있는「庫」의建設을비뚤하여 日本의侵略戰爭의必要에 依한緊急施設과 또한小規模工場의新設等으로 8.15直前의南朝鮮造船工場數는 大小合하여 70餘工場을算하게되었다。이들工場中大部分은 法로船舶修理로運營을維持하여왔고 船舶製造 特別艦船을製造할수있는工場은 朝鮮重工業第一、二工場에不過하였다 解放前1944年及 45 年度造船狀態를表示하면 다음과같다

#### 解放前造船狀況 {1944年度 1945年度

(單位噸)

年度別	1 期	2 期	3 期	4 期	計
1944	4,700	4,700	4,700	4,700	18,800
1945	4,000	3,800	—	—	7,800

(但1945年度는計劃)

#### 同上工場別表 (單位噸)

工場名	1944年	1945年
朝鮮造船鐵工所元山工場	400	200
朝鮮造船工業株式會社	5,600	500
江原造船鐵工株式會社	1,000	500
朝鮮船舶工業株式會社	500	300
東亞造船株式會社	300	200
日出造船株式會社	500	300
其	1	10,500
計	18,800	7,800

#### 同上船舶別內譯

種 別	隻數(隻)		總噸數(噸)		所要鋼材(噸)	
	1944年	1945年	1944年	1945年	1944年	1945年
50 噸級船	279	150	13,750	7,500	1,199	645
150 噸級船	24	2	3,600	300	740	190
150 噸機帆船	13	—	1,450	—	305	—
船舶修理	—	—	—	—	2,452	1,165
計	316	152	18,800	7,800	4,696	2,000

如斯한事情으로解放을當하였는데 全造船工場의大部分은 日人占有이있으며 朝鮮人工場은 5個工場에不過하였음으로 이들日人工場은管理人을決定되었으나 技術不足이莫甚하였고特別朝鮮重工業等大規模工場에서는 解放以前부터繼續하여오는造船工事は中止하지않음으로써나뉘는形便이었으며 한편 美軍政廳斡旋으로 日本技術者를해리온다는等의浪說까지떠돌은바이었다 그에加하여工界中止로因한人件集의增大는莫甚하여 相當한工率을企圖하여도 이에必要한資金을獲得할수 없다는等 惡條件이漸次加重하게되었다

그러하여 解放以後南朝鮮各工場의 運營狀態를보면 鐵船의製造는全無하고 木造船製造數가 1946年中 25隻(50噸級以上) 1947年中에 40隻이라는 微々한狀態로 그以外는大部分

船體修理로서 運營을維持하여온바 1946年 10,200艘, 1947年 17,000艘의 實績을 나타내었다  
 1947年 9月末現在 運營中의 主要工場의 生産能力及 從業員數을 보면

工場名	所在地	生産能力	從業員數 (1947年9月未現在)
朝鮮重工業會社	釜山	鋼船4,200艘	642
朝鮮機械製作所	仁川	木造船1,500艘	40
○永和製作所	〃	鋼船1,200艘	68

大洋造船所	釜山	木造船	500艘	122
朝鮮船舶工業會社	〃	〃	500艘	109
方魚洋鐵工有限會社	方魚洋	〃	550艘	262
朝鮮造船株式會社	群山	〃	2,500艘	205
○忠南機械製作所	長項	〃	600艘	165

(註○는 朝鮮人工場)  
 인바工業行政當局에서는 1948年의 船舶最少需要量을 木造船100艘級7隻, 80艘級12隻, 40艘級65隻으로 計劃하고, 上記主要會社에 對한 生産計劃, 資材, 原料等의 轉讓을 準備中이다.

主要原材料所要量 (1948年度)

主要原料	100艘級7隻에 對하여		80艘級12隻에 對하여		40艘級65隻에 對하여		計
	木	材(石)	鋼	材(噸)	鐵	錫(〃)	
所要量	59,000	31	82,000	40	51,500	28	192,500
燃料動力	8	12	48	14	30	5	106
所要量	17.5	170	240	220	630	630	56.5

5. 南朝鮮海運의 當面問題

海運의 萎靡不振은 社會進化를 阻害하고 經濟生活을 貧弱化한다. 더구나 自主獨立을 指向하는 復興朝鮮의 海運界는 李朝時代와 같은 鎖國政治를 強烈히 排除하여야 함은 勿論이요 先進諸國의 市場化가 되지 않을 時는 貨物의 流通의 開拓에 努力하여야 하고 거기에는 進取性 있는 國民性 養成이 必要한 것이다. 解放後의 海運界는 軍政下라는 特殊事情과 海運界에 屬여 있는 諸難題 特別 技術不足 資材不足으로 말미암아 그의 不振과 窒息狀態는 極度에 達하고 있는 現狀이다 解放以後에 相當한 時日을 두고 美軍政에서 日人 技術者를 使用하지 않으면 안 되었다는 것은 우리 朝鮮人의 銘心해야 할 點이다 結局 現在 朝鮮海運界의 不振狀態는 朝鮮을 國際의 他國에 隸屬하지 않을 可能性이 濃厚한 것이다 그러면 朝鮮海運建設은 安으로 어떻게 하여 確立發展시킬 것인가 몇가지 重要問題들을 들어 言及코자 한다

**國家의 計劃性**——現 朝鮮事情으로 보아 諸般 政策에 國家의 計劃性이 없으면 國家發展은 期할 수 없을 것이 勿論이나 特別 海運에 있어서는 그 使命이 尙大한 만큼 船隻 計劃性이 없는 그 發展은 到底 期할 수 없을 것이다 先進 海運 國家를 不問하고 自由放任으로서 自然的으로 海運業이 發展한 例는 드물다 政府는 確固한 計劃下에 海運業者及 造船業者에 對한 補助及 保護 資金 調達等을 充分 考慮하여야 할 것이다 現 海運行政 機構을 보면 機構 改革等을 둘러싸고 諸般 政策에 不明確 또는 諸般 手續을 複雜化하고 있는 傾向이 있는데 이는 急速 修正되어야 할 先決問題인 것이다

**船舶의 確保**——船舶이 없이는 海運을 建設할 수 없다 現在의 朝鮮은 船舶 數는 너무나 微弱하다 船舶 確保 強化策으로는 外國으로부터의 古船 買入, 在日 船舶의 返還要求, 新造, 古

船 修理, 沈沒 船 引揚等의 여러 가지 方法이 있는 것이다 外國 船 買入은 解放後 美軍政의 轉讓으로 相當한 數目이 들어오고 있다 在日 船舶 返還要求는 朝鮮 海運 對策 委員會에서 그 內容을 調査하여 具體案을 作成中에 있다 新造, 古船 修理及 沈沒 船 引揚에 關해서는 研究할 餘地가 많다고 본다 현재 南朝鮮에는 鐵船 製造 能力이 微弱하다 釜山의 朝鮮 重工業等 相當한 製造 能力이 있는 데도 불구하고 諸般 隘路로 말미암아 操業이 如意치 못한 現狀이다 이는 國家의 見地에서 技術, 資材及 燃料等을 總動員하여 可及의 能力을 發揮할 것은 勿論, 現在 南朝鮮 海岸에 있는 使用不能의 船舶은 速히 修理할 것이다 沈沒 船 引揚에 關해서는 「살리-지」業者의 活動으로 그 事業이 進步中인데 戰爭으로 말미암아 南朝鮮 海岸에 相當數의 沈沒 船이 있을 것으로 推하여 이分野의 活動도 大수 期待되는 바이다

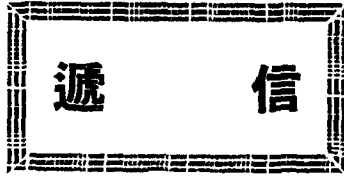
**貿易及 關聯 產業의 增進策**——이 問題는 勿論 問題 自體가 緊急한 事이기 論할 바도 아니지만 海運의 發展은 外國 貿易에 對한 依存度가 크며 또 外國 貿易은 關聯 產業의 發展으로 期할 수 있을 것으로 이들 三者는 相互 連環 關係가 지워진다 여기 附屬한 것은 海上 保險, 海難 救助, 關係 金融業者의 整備 確立이 또 한 海運 發展의 推進 力이 될 것이다

**技術者 問題**——現在 南朝鮮에는 造船 技術者는 殆부 缺하며 航海에 있어서는 重要한 技術者가 大端히 不足함으로 解放以後에도 日人 技術者를 이分野에서 相當 期間 使用하고 있었다는 것은 上述한 바인데 國家의 使命이 重大한 이分野에서 敗戰 日人 技術者를 使用하지 아니하면 안 되었다는 것은 獨立 國家로서 의 존 聚斂이 아닐 수 없다 現存하는 海洋 大學을 擴張하는 同時에 技術者 短期 養成 機關等을 設置하여 技術者 養成을 圖謀하는 簡便 技術者에 對한 待遇를 改善하여 海運의 國家의 使命이 重大한 것을 認識시켜야 할 것이다

【參考】

列國 商船 保有量 (千噸以上 商船)

	美國	英國	中國	佛國	伊太利	日本	蘇聯	世界	
1939年 9月	隻數	1,379	3,319	100	555	667	1,180	345	12,798
	總噸數(千噸)	8,126	17,771	204	2,678	3,178	5,102	1,136	58,270
1946年 6月	隻數	4,861	3,159	73	262	123	327	488	12,445
	總噸數(千噸)	35,364	18,064	246	1,371	576	1,086	1,852	71,000



目 次

1. 解放前의 遞信事業沿革 (2) 電 信 取 扱 狀 況

2. 解放後의 遞信事業 (3) 郵 便 爲 替 及 郵 便 貯 金 事 務

(1) 郵 便 施 設 及 現 況 (4) 國 民 保 險 事 業

1. 解放前遞信事業의沿革

朝鮮에 있어서 近代의 郵便制度는 西曆1896년에 日本人을 郵政顧問에 任命하여 日帝의 制度를 模倣 實施함에 始作되었다 그後 1898年 日人顧問을 再招請하여 郵便制度를 再整頓하고 1900年에 萬國郵便聯合會에 加盟하여 外國과 郵便物의 直接交換을 開始함과 同時에 內國郵便制度도 萬國郵便條約에 準據하여 實施함에 이르렀던 것이다 그러나 其施設과 經營方法等은 極히 幼稚하고 不完全하였으며 그業務範圍도 極히 狹少하여 信箋, 葉書, 印刷物, 書籍等의 集配及 寄留郵便 配達證明等의 取扱에 止치고 小包郵便과 其他各種特殊郵便의 取扱을 보지 못하였다 더욱이 郵便貯金制度 같은 것은 當時 世界各國이 競爭의 中으로 實施하고 있었으며 益々 發達되어 가고 있었음에도 不拘하고 朝鮮에서는 아직 實施을 보지 못하였으며 그뿐만 아니라 郵便爲替制度 같은 것도 實施되지 않았다 一便 電信事業에 있어서는 丁 株國大北都電信會社가 日本側의 免許를 얻어 1883年에 長崎, 釜山間 海底電信線을 敷設하고 (本線은 1910年 11月 日本이 買收) 翌 1884年 2月 부터 釜山에서 日本電信局의 通信을 開始한 것을 嚆矢로 한다 다음에는 1885年 11月 京城, 仁川間 及 京城, 義州間 1888年 7月 에는 京城, 釜山間 1891年 7月 에는 京城, 元山間에 電信線의 竣成을 보게 되었다 그러나 그施設은 不完全하고 幼稚하여서 故障이 頻繁하며 通信技術도 拙劣하였으므로 到底 通信의 正確性과 敏捷性을 期待할 수 없는 狀態에 있었다 그後 日本帝國主義의 朝鮮侵略의 強度가 漸大하여짐에 이르러 日本은 通信機關의 整備増設을 策劃하고 1894年 清日戰爭 當時에는 京城, 釜山間 及 京城, 仁川間의 日本軍用 電報線을 架設하고 京義, 京元兩電信線을 日軍用으로 一時 獨占使用하게 되었다 이兩線은 1896年 7月 에 이르러 日本으로부터 還付를 받아 修築工事を 한後 京義線은 同年 10月, 京元線은 1897年 6月 에 다시 通信을 開始하게 되고 또 舊 韓國政府의 設營에 依한 京仁線이 同年 3月 京釜線이 同年 11月, 京城, 全州間이 1898年 2月 에 順次 開通을 보게 되어 1898年 6月 에 이르러서는 全線 開通이 完成되었다 一方 電話施設에 있어서는 當時 겨우 京城과 仁川의 市內 電話設備만이 竣成된 狀態에 있었다

다음 郵便事業에 있어서의 遞出을 보면 1876年 釜山開港에 隨伴하여 同年 11月 同地에 郵便局을 創設한데 始作하며 爾後 海運의 發展及 日本居留民의 增加에 따라 漸次 樞要한 地點에 郵便局所를 恣意로 設置하여 1880年 4月 元山에, 1883年 12月 에는 仁川, 1888年 7月 에는 京城(當時 仁川 郵便局의 出張所로서 設置되어 1901年 3月 郵便局으로 昇進) 1897年 10月 에는 木浦, 1899年 7月 에는 鎮南浦, 同年 11月 에는 群山(當時 木浦 郵便局 出張所로서 設置되어 1901年 3月 郵便局으로 昇格) 及 馬山(當時 釜山 郵便局의 出張所로서 設置되어 1900年 6月 郵便局으로 昇格) 1901年 3月 에는 城津, 同年 6月 에는 平壤에 各々 設置되었다 在留 日本人들이 各地에 移住함에 따라 沿岸 貿易港 以外의 都邑에 까지 日本郵便機關의 増設을 보았다 또 取扱業務에 있어서도 始初에는 單純히 通常郵便만을 取扱한데 不過하였으나 漸次 郵便爲替(1880年 5月 開始) 郵便貯金(同年 8月 開始) 小包郵便(1900年 5月 開始)等을 取扱하게 되었으며 1904年 2月

에는 所謂 倭日議定書의 締結을 契機로 通信機關의 統一及 整頓을 圖謀한다는 口實下에 1905年 4月 1日 韓國 通信機關 委任에 關한 決定을 發表하고 從來 併存되던 舊 韓國政府의 通信機關 一切를 合同統一하고 爾後 朝鮮의 通信施設全部가 完全히 日帝의 掌中에 들어 가게 되었다 即 舊 韓國政府의 通信機關은 1905年 5月 18日 漢城 郵遞及 同報 兩總司의 事務引繼를 開始하며 其後로부터 同年 7月 1日 까지 40餘日 間에 在來의 通信機關全部를 接收 收當하였으며 그後 40年間 朝鮮에 있어서의 遞信事業은 全然 日帝의 掌中에 歸屬하였던 것이다

2. 解放後의 遞信事業

解放前 特別 近年에 있어서의 朝鮮의 通信機關은 日本軍國主義의 大陸侵略에 隨伴하여 軍事上의 必要에 應하여 發展하여 왔음은 他部門의 例에 따르지 않거니와 解放後 南北 交通하여 通信에 關한 日人 技術者의 退却과 追隨의 日人 들의 施設破壞等으로 解放後 朝鮮의 遞信業務는 混亂 狀態를 呈示하였으나 軍政實施後 遞信事務도 漸次 秩序의 恢復을 보고 있는 形勢인데 以下 解放前 後의 遞信事業의 狀況을 統計的으로 比較檢討키로 한다

(1) 郵便施設及現況

解放後 遞信事業은 軍政下의 諸般 制約을 克服하면서 特別 通信의 正確 迅速을 爲主로 遞信業務의 正常 回復에 全力을 다 하고 있으나 무엇보다도 第一 選極된 財政難으로 말미암아 66個所의 特殊 郵便局을 廢止하게 된 것이었다 郵便物 遞送 狀況은 交通機關의 復舊에 따라서 漸次 正常化 되어 가며 現在 遞送 線路는 鐵路 2618 軒, 水路 1892 軒, 自動車路 6222 軒, 人力路 990 軒에 達하고 있으며 國際 郵便도 解放後 直後 廢絶되었다가 軍政當局의 斡旋으로 1946年 7月 4日 부터 美國과 的 郵便物 交換이 再開되었으 며 뒤이어서 比 露, 日本, 中國等 各國과도 逐次 再開을 보게 되어 1947年 1月 2日 에는 世界各國과 郵便 交換이 可能하게 되었다 1947年 8月 5日 부터는 朝鮮 美國間의 航空 郵便業務가 再開되었으 며 同年 10月 1日 부터는 世界各國과 的 航空 郵便業務를 取扱하게 되었다 最近의 郵便局數를 級別로 보면 下記와 같다

(第 1 表) 1947年 9月 末 現在 南朝鮮 郵便局數

1 級 郵便局	4 個所
2 級 //	14 //
3 級 //	46 //
4 級 //	116 //
5 級 //	443 //
鐵道 郵便局	2 //
合 計	625 //
1 級 郵便局 所在地	서울 仁川 釜山 大邱
2 級 //	府廳 所在地
3 級 //	郡 及 邑 所在地
4 級 //	人口 及 郵便數等이 特別 많은 곳
5 級 //	其他 全部

廢 領 野 郵便局 66 個所는 都市 及 地方의 無 集配 郵便局으로 서 通信力이 薄弱한 곳만을 整理한 것이 아니라 郵便에 關한 統計는 다음과 같다

第2表)

1947年度南朝鮮郵便物數

月 別	小 包			通 常 郵 便			書 留 郵 便		
	引 受	配 達	中 繼	引 受	配 達	中 繼	引 受	配 達	中 繼
1 月	19,613	18,755	19,987	5,717,324	6,919,240	4,633,055	143,459	139,876	197,4
2 月	32,360	19,963	17,914	5,267,167	6,250,559	4,676,712	149,084	145,480	196,7
3 月	24,744	27,056	25,445	5,020,216	6,616,132	4,243,669	159,345	180,837	217,4
4 月	13,688	18,376	17,261	6,297,901	4,857,115	3,710,563	140,798	179,647	302
5 月	13,592	19,182	17,326	5,493,443	5,882,863	4,737,327	191,005	189,743	199
6 月	13,940	18,571	16,851	6,353,882	5,892,451	4,341,204	193,254	189,527	189
7 月	10,736	9,282	12,440	5,555,861	6,513,038	4,158,437	211,960	232,321	246
8 月	10,341	11,755	13,606	5,656,105	5,962,334	4,284,438	171,483	192,560	173
9 月	10,602	10,863	8,161	4,030,607	7,256,860	3,842,800	203,248	196,379	202
10 月	9,914	9,215	9,558	3,933,112	3,830,151	3,460,123	159,839	160,555	199
11 月	9,821	9,325	16,941	3,665,379	3,715,018	2,990,053	138,391	195,206	206
合 計	169,351	172,343	175,490	56,990,997	63,695,761	45,078,386	1,861,916	2,002,131	2,331

(第3表)

1947年度 引受中央郵便局郵便物取扱内容

月 別	小 包 郵 便 物			通 常 郵 便 物			書 留 郵 便 物		
	引 受	配 達	中 繼	引 受	配 達	中 繼	引 受	配 達	中 繼
1 月	3,079	1,550	15,257	195,389	329,627	140,492	5,272	8,627	1
2 月	6,034	1,421	17,350	185,246	247,510	190,230	7,825	9,530	2
3 月	8,490	1,842	19,894	176,514	328,935	301,971	9,931	12,920	
4 月	5,430	1,464	10,403	213,623	123,630	187,740	8,627	13,203	
5 月	3,963	2,093	7,336	243,557	169,663	561,348	8,531	14,098	
6 月	3,879	1,63	10,080	320,748	106,980	—	6,951	12,330	
7 月	3,559	1,391	8,452	361,371	178,926	375,899	9,354	13,925	
8 月	3,034	1,786	7,212	416,027	272,087	359,693	10,493	12,942	
9 月	3,551	1,099	279	311,763	212,100	317,679	9,647	15,244	
10 月	3,596	1,234	469	290,919	235,054	389,577	9,292	13,710	
11 月	2,381	1,233	7,457	262,761	176,112	402,330	8,762	14,948	
合 計	46,996	17,076	104,189	2,977,918	2,380,624	3,226,959	94,685	141,477	

(第4表)

南北朝鮮間交換郵便物數 (自1946年3月15日~至1947年11月29日)

交換月日	回數	北 朝 鮮 行				南 朝 鮮 行			
		一 種	二 種	書 留	合 計	一 種	二 種	書 留	合 計
1946. 3.15	1	292,862	—	9,347	302,209	8,900	5,500	260	14,660
3.29	2	58,703	47,650	9,595	115,948	19,234	8,263	2,900	30,397
4.12	3	36,512	29,400	7,678	73,590	20,300	4,116	1,547	25,963
4.26	4	29,512	7,800	388	37,700	20,586	7,079	1,496	29,161
5.12	5	20,068	10,391	1,641	32,100	20,700	5,200	1,003	26,903
5.20	6	10,916	4,989	483	16,388	6,291	2,389	672	9,352
5.27	7	10,615	3,020	490	14,125	5,254	5,661	423	11,338
6.3	8	9,588	3,276	399	13,263	5,540	2,210	415	8,165
6.10	9	10,709	4,275	407	15,391	4,153	631	400	5,184
6.17	10	8,157	2,587	331	11,075	4,061	842	518	5,421
6.23	11	10,417	4,416	305	15,138	2,263	2,916	447	5,626
7.1	12	7,889	2,401	369	10,659	4,174	671	385	5,230
7.8	13	4,290	1,317	239	5,846	4,092	548	394	5,034
7.15	14	8,009	2,348	800	11,157	3,738	755	363	4,856
10.12	15	40,841	13,027	3,027	56,895	25,000	12,000	2,484	39,484
10.26	16	12,157	5,377	752	18,286	4,599	427	203	5,229
11.9	17	8,601	2,231	743	11,575	3,319	676	222	4,217
11.24	18	6,891	1,445	522	8,858	2,042	403	620	3,065
12.8	19	5,676	2,427	365	8,468	3,314	447	264	4,025
1947. 1.11	20	10,994	2,870	987	14,851	6,082	2,147	1,113	9,342
1.25	21	13,180	4,044	456	17,680	3,107	785	339	4,231



日	本	378,649	378,639	10	—	—	—	—	—	—
其	他	無	—	—	—	—	—	—	—	—

備考 外國及朝鮮間通常郵便物은 1946年度 7月以後開始하였으므로 46年7月以後郵便物數를記錄함

(第9表) 外國通常郵便物到着數 (1946年度)

國 別	總 數	書 狀	藥 書	藥 務 用 類	印 刷 物	官 人 用 點 字 印 刷 物	商 品 見 本	小 包 裝 物	書 留
總 數	102,814	99,264	1,058	—	2,492	—	—	—	—
美 國	5,012	2,344	183	—	2,485	—	—	—	—
中 國	4,081	3,199	875	—	7	—	—	—	—
日 本	93,721	93,721	—	—	—	—	—	—	—
其 他	無	—	—	—	—	—	—	—	—

(第10表) 1947年度國際郵便物數

月 別	通 常		航 空	
	到 着	發 送	到 着	發 送
1947 1	16,606	621	—	—
2	20,924	23,986	—	—
3	39,511	40,161	—	—
4	42,814	6,201	—	—
5	12,074	14,416	—	—
6	16,939	12,369	—	—
7	21,839	44,151	—	—
8	33,322	12,789	172	1,151
9	24,603	17,891	2,155	281
10	20,087	10,513	3,758	2,833
11	12,725	13,610	6,062	3,183
12	16,812	246	5,770	3,786
合 計	278,306	196,954	17,917	11,234

(第11表) 國際通常郵便物數 (1946年7月以後)

國 別	發 送	到 着
總 數	382,032	100,639
美 國	3,383	6,436
中 國	無	4,081
日 本	378,649	90,122
其 他	無	無

(第12表) 南朝鮮郵便物遞送路程

路 線	總 程 程 度	一 日 延 程 程 度	
		總 程 程 度	一 日 延 程 程 度
44 鐵 路	6,273	19,708	23,116
陸 路	11,111	129,789	6,137.6
46 水 路	4,913	12,366.1	1,513.6
陸 路	2,618.3	6,233.6	12,456.5
水 路	6,790.7	2,530.17	—
47 鐵 路	1,892	—	—
陸 路	2,666.3	—	—
水 路	6,835.6	—	—
總 計	2,111.46	—	—

(第13表) 郵 便 局 數

普 通 局	特 定 局	備 考
44 93	1,037	全朝鮮分
45 93	1,037	//
46 644	—	南朝鮮分
47 623	—	//

(第14表) 國際小包郵便物數 (1946年度)

國 別	發 送	到 着
總 數	—	985
美 國	—	985
中 國	—	—
日 本	—	—
其 他	—	—

備考 朝鮮과外國間의小包郵便物은 朝美間贈物小包에 限하여 到着한것만取扱하고있음

(第15表) 外國特殊郵便物數 (1946年度)

國 別	總 數	贈 物 小 包	價 格 表 記	代 金 引 換	書 留 小 包
總 數	—	—	—	—	—
美 國	—	—	—	—	—
中 國	—	—	—	—	—
日 本	—	—	—	—	—
其 他	—	—	—	—	—

國 別	發 送	到 着
總 數	938	938
美 國	938	938
中 國	—	—
日 本	—	—
其 他	—	—

備考 朝鮮과外國間의特殊郵便物은 朝美間贈物小包에 限하여取扱하며 1946年7月以後開始하였음

(2) 電信取扱狀況

解放後 電信事業에 있어서 特記할만한事項은 1946年1月 1일부터 日文電報取扱을 廢止하고 國文으로만 取扱하기로 된것과 歸還及戰災同胞을爲하여 釜山埠頭에 電信分室을設 置하여 1946年1월부터 5월까지에 8345通의電報를取扱한것 이다 38以南電信取扱局數를보면 다음과같다

電 信 局	3
無 線 電 信 局	6
無 線 電 信 取 扱 郵 便 局	3
電 信 取 扱 所	13
電 信 取 扱 局	527
計	552

電信機는解放이되자 自動式(即印刷式)送受信이 不可能 하게 되었다 即從來『가나가나』로서 送受信하는 自動機 의活字『가나文』을 國文으로改造하지않으면 使用할수 없 었은 까닭이다 그後 自動機의部分品製作及國文轉換의 困 難과交換手未熟으로말미암아 自動機使用은 겨우 서울·仁川

間만이 復舊形便이며 더욱히 電線의老衰로 因하여 電流의減漏가甚함으로 故障이頻發하여 電信의平常回復은 遲々한狀態에있다 前述한바와같이大部分이手動機를使用하고있

으나 이두亦是 交換手의 未熟과 部分品의缺乏으로 如意한 成果를 示現하지못하고있다 電信에關한統計는다음과같다

(第16表) 電 線 及 線 條 表 (單位米)

年 別	線	線	條	架空線線路	架空線線條	
1942年	8,831,829 <sup>m</sup>	56,342,622 <sup>m</sup>		8,609,650 <sup>m</sup>	45,333,364 <sup>m</sup>	
1943年	8,879,783	55,572,778		8,648,759	45,523,497	
年 別	架空線路	Cable線條	地下線路	Cable線條	水底線路	Cable線條
1942年	19,490	5,114,058	11,944	5,245,734	690,745	649,466
1943年	19,869	4,669,622	11,956	4,660,582	199,199	519,077

(第17表) 1946年度 南朝鮮電信電話線

電 信 統 計 合 計			
裸線	延長	5,324,920 <sup>m</sup>	5,481,248 <sup>m</sup>
	延長	39,037,109	34,027,369
電柱	本數	84,828	113,313
但一市內 市外線은包含함			

(第18表) 電 柱 數 (單位分)

電 柱 數 (單位分)				
	42年度末	43年度末	42年度末	43年度末
丹麥注入柱	146,477 <sup>A</sup>	149,745 <sup>A</sup>	1,205 <sup>A</sup>	1,310 <sup>A</sup>
cleosorde注入柱	6,930	6,685	73	94
子一列注入柱	58,697	65,239	273	336
不注入柱	20,420	21,37	97	110
malenitte注入柱	60,430	56,269	762	765
	—	215	—	5

(第19表)

電信回線通信方式及接續局數 (1943年) (北朝鮮包含)

總 數		前年度에比하여增減	接 續 局 數					
			2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	局
總 數	831	(+) 35	396	279	151	5	—	—
前年度에比하여增減		(+) 35	(+) 23	(+) 22	(+) 16	(+) 4	—	—
自動機 二重	33	(+) 9	33	—	—	—	—	—
印刷機 二重	2	(+) 1	2	—	—	—	—	—
自動機 二重	30	(+) 10	27	3	—	—	—	—
普通電 單	34	—	34	—	—	—	—	—
普通電 單	1	—	—	1	—	—	—	—
電 話 機	314	(+) 22	131	124	59	—	—	—
電 話 機	5	—	5	—	—	—	—	—
電 話 機	412	(-) 7	164	151	92	5	—	—

(第20表)

電信機械臺數調查表 (1947年) (南朝鮮分)

局 名	通 信 方 式	名 稱	釜 山	光 州	群 山	大 邱	大 邱	合 計	南朝鮮電信回線數
單信法開電式	48	32	37	9	18	22	166	64	
單信法開電式	53	24	14	24	11	33	159	53	
手送二重	16	19	8	2	2	3	50	25	
自動印刷二重	2	—	—	—	—	—	2	1	
自動電信모-리스	1	1	—	—	—	—	2	1	
合 計	120	76	59	35	31	58	379	144	

註 本調査에 있어서 電話에依한電信回線은除外함

(3) 郵便爲替及郵便貯金事務

(第22表)

解放前後의 郵便爲替及郵便貯金及郵便對貯金の取扱狀況을 統計에依하여 表示하면다음과같다

月別郵便貯金殘高表

(第21表) 郵便貯金預拂高月別對照表

年 月 日	預入高	拂出高	現在高
1947年3月末	60,083,229	55,981,669	810,347,885
// 4月//	74,898,198	72,936,797	812,309,286
// 5月//	103,422,893	73,300,013	842,432,166
// 6月//	68,403,752	94,748,272	816,087,646
// 7月//	111,496,902	83,633,045	843,951,503

年 度	郵 便 貯 金	
	人 員	金 額
1944. 12	13,183,844	489,190
1945. 1	13,514,036	526,900
// 2	13,759,953	551,434
// 3	14,059,109	596,989
// 4	14,370,680	612,501



年 度	月別郵便貯金残高表		年 度	月別郵便對替貯金残高	
	残 高			残 金	
	口 數	金 額		口 數	金 額
1945. 7	9,440,670	444,908	1944. 12	—	—
8	9,500,413	546,945	1945. 1	—	—
9	9,225,005	871,173	2	—	—
0	8,954,556	845,497	3	—	—
1	8,714,739	776,766	4	52,350	—
2	8,532,518	737,665	5	52,433	—
1946 1	7,867,917	717,410	6	52,521	—
2	7,721,737	747,620	7	52,598	—
3	7,695,810	765,737	8	52,511	—
4	7,689,835	764,232	9	52,263	—
5	7,694,325	769,651	10	52,046	—
6	6,973,265	771,799	11	51,863	—
7	6,973,554	778,145	12	51,869	—
8	6,972,456	780,611	1946. 1	51,874	—
9	6,970,894	788,094	2	51,878	—
0	6,968,726	787,706	3	51,929	—
1	6,995,353	801,083	4	51,983	—
2	6,993,046	801,059	5	52,037	—
1947. 1	6,983,009	802,262	6	52,076	—
2	6,981,301	806,246	7	52,135	—
3	6,981,040	810,347	8	52,157	—
4	6,980,404	812,309	9	52,185	—
5	6,986,844	842,432	10	52,207	—
6	6,986,13	816,087	11	52,258	—
7	6,988,426	843,591	12	52,300	—
8	6,988,804	833,514	1947. 1	52,323	—
9	6,990,318	823,592	2	52,365	—
			3	52,385	—
			4	52,426	—
			5	52,436	—
			6	52,472	—
			7	52,452	—
			8	52,514	—

(第25表)

月別郵便對替貯金受拂表 (1944年12—1945年10月)

年	(朝 鮮 日 本 間)			(朝 鮮 外 國 間)		
	振 出	拂 渡	受拂△超過	振 出	拂 渡	受拂△超過
1944.12	16,308 千円	18,132 千円	△ 1,824 千円	122 千円	25,944 千円	—
1945 1	573	1,620	△ 1,047	96	25,194	△25,098
2	309	2,244	△ 1,935	62	19,960	△19,898
3	2,046	90	1,956	89	24,136	—
4	6,601	65,302	△ 58,701	94	32,945	△32,851
5	—	—	—	13	10,017	△10,004
6	—	15,423	△ 15,423	295	16,400	△16,105
7	—	11,746	△ 11,746	310	17,917	△17,607
8	—	8,957	△ 8,957	17	11,202	△11,185
9	—	2,069	△ 2,069	—	841	841
10	—	4,387	△ 4,387	—	843	843

(第26表)

月別郵便對替貯金受拂表 (1945年11月—1946年3月)

年 月	受		拂		残 高 金 額 千円
	枚 數	金 額	枚 數	金 額	
945.11	19,768	17,261	48,952	15,939	136,963
// 12	9,628	2,122	578	4,408	134,677

1946. 1	43,965	7,388	28,929	3,868	138,197
/ 2	10,226	10,262	9,561	9,014	139,445
/ 3	36,311	15,445	38,019	21,496	133,394

(第27表) 月別郵便對替貯金受拂表 (1946年4月—1947年9月)

年 月	受		拂		殘 高	
	口 數	金 額	口 數	金 額	口 數	金 額
1946. 4	30,775	21,266	1,546	17,934	51,983	77,131
5	23,710	23,253	72,300	26,590	52,037	73,794
6	10,961	11 26	4,906,683	28,403	52,076	57,017
7	10,137	11,815	451,220	13,570	52,135	55,262
8	9,675	13,436	23,918	12,692	52,157	56,006
9	12,504	19 03	1,295	20,782	52,185	54,832
10	12,437	10,695	1,224	15,209	52,207	50,318
// 11	10,727	13,204	110,045	10,316	52,258	53,206
// 12	13,784	17,390	1,212	14,875	52,300	55,721
1947. 1	18,184	53,031	609,316	42,416	52,323	71,336
// 2	15,449	55,533	1,510	43,645	52,365	83,224
3	29,749	115,093	224,228	89,454	52,385	108,863
4	29,213	131,891	1,751	97,872	52,426	142,882
5	31,517	111,132	1,019,686	150,470	52,436	103,594
6	21,898	118,586	2,062	138,580	52,472	83,600
7	12,883	45,619	10,760	53,333	52,452	75,886
8	12,332	53,014	1,395	60,989	52,514	67,911
9	12,062	44,195	7,123	38 328	52,540	73,778

(第28表)

郵便年金事業狀況表

(1) 小契約維持狀況 (1947年7月31日現在)

件 數	掛金額	年金額	備 考
3,442	4,252,816圓	942,904圓	

(2) 契約締結狀況 (自46年4月1日至47年7月31日)

件 數	掛金額	年金額	備 考
499	1,905,616圓	441,369圓	

(3) 年金支拂狀況

件 數	支 拂 金 額
633	47,486圓

(4) 國民保險事業

日政下の簡易生命保險은 軍事費調達이主目的이었으나 解放後에는 此를國民保險으로改稱하고 또其機關을全面的으로改稱하여 오로지國民經濟의向上을目的으로 運營하고있다 國民保險業績은 다음과如하다

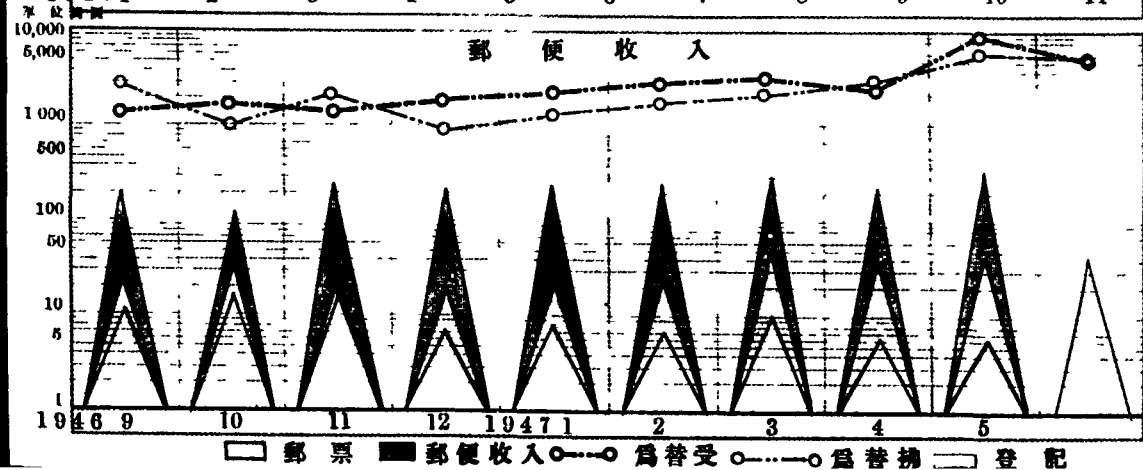
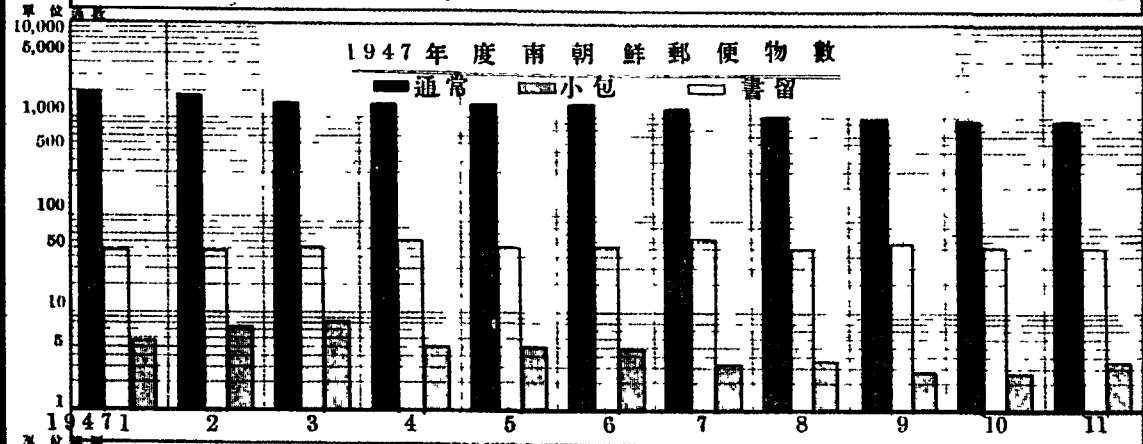
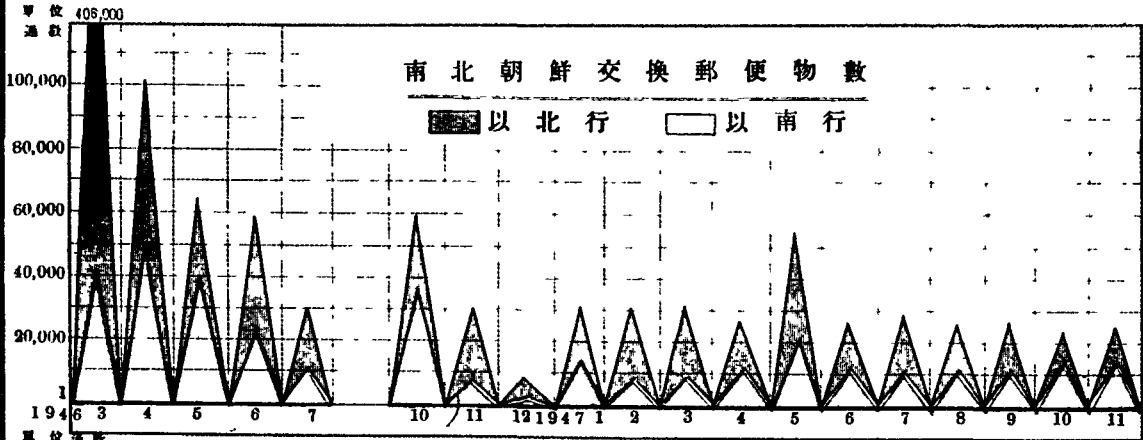
(第29表)

朝鮮國民保險事業概況 (1944年12月~1947年10月)

年 月	新 契 約			月 末 現 在 契 約		
	件 數	保 險 料	保 險 金 額	件 數	保 險 料	保 險 金 額
1944. 12	131,160	203 千圓	37,087 千圓	9,117,000	10 175 千圓	1,923,218 千圓
1945. 1	128,440	197	36,162	9,213,000	10 326	1,951,215
2	129,190	209	38,070	9,235,000	10 384	1,962,182
3	214,280	293	52,930	9,408,000	10 620	2 005 007
4	140,450	263	47,397	9,832,000	11 298	2 125 718
5	169,140	316	54,238	9,948,000	11 543	2 167 037
6	317,020	581	104,781	10,227,674	12 066	2 261 892
7	281,540	551	101,141	10 485,334	12 584	2 357 111
8	134,610	264	44 446	10 593,238	12 815	2 395 424
9	68,050	127	23 235	10 633,409	12 908	2 412 449
10	201,400	386	70 408	10 821,503	13 276	2 479 000
11	446,470	876	159 050	11 257,520	14 139	2 636 271
12	19,730	43	8 399	11 267,929	14 177	2 642 271
1946. 1	7,300	14	2 494	11 255,542	14 168	2 640 897
2	410	1,000	157 365	11,256,048	14 152	2 638 973

※以下는 I-78頁「水産」末尾로繼續

## 南 朝 鮮 遞 信 狀 況



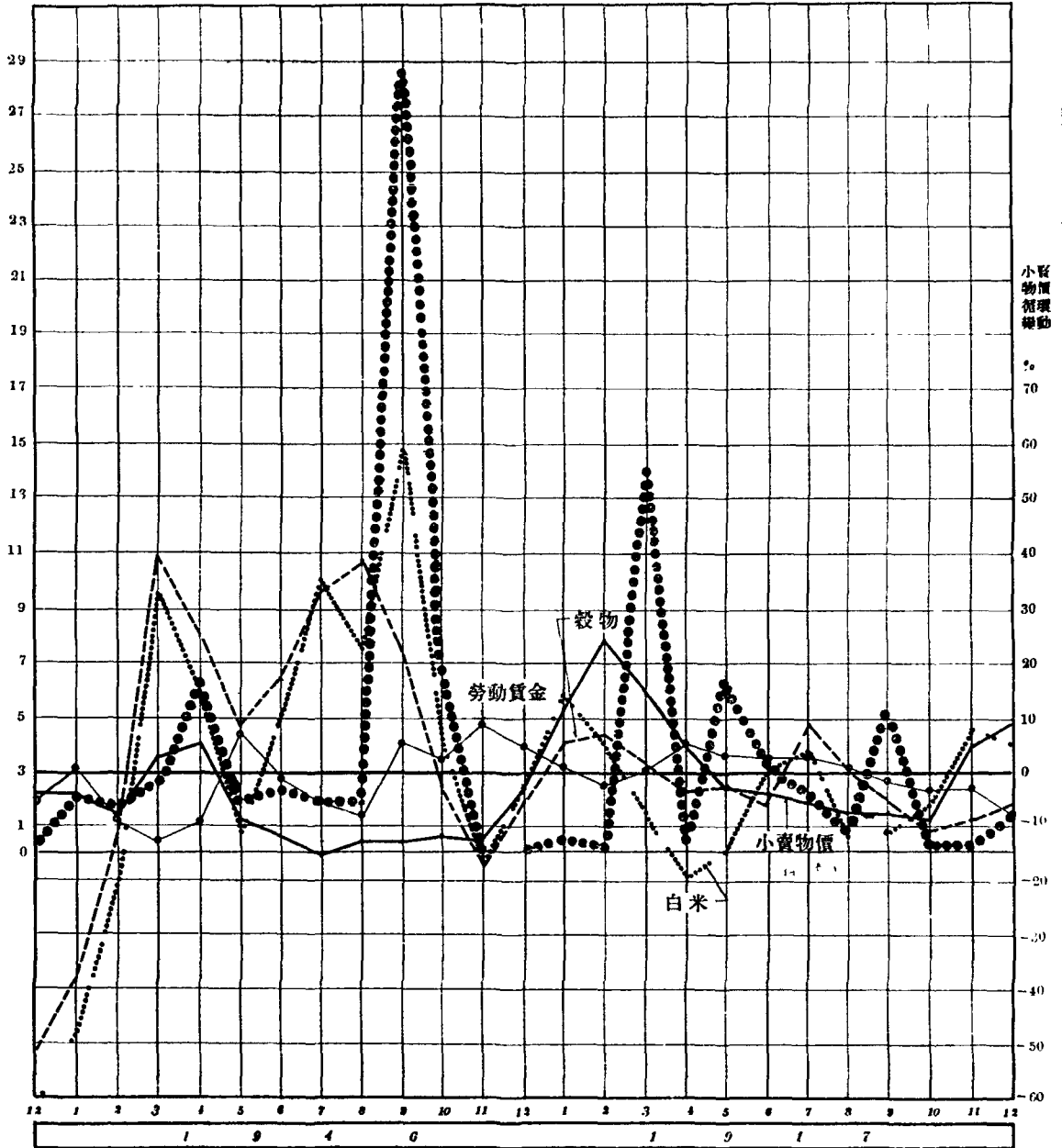
□ 郵票    ■ 郵便收入    ○—○ 爲替受    ○—...○ 爲替拂    □ 登記

# 勞動

(I-200)

## 勞動爭議發生之原因

勞動爭議發加入人數  
單位 1,000 名





序 言

I 操業短縮의實情

- (1) 道別事業場·勞務者의減少率
- (2) 産業別事業場·勞務者의減少率

II 失業의實態

- (1) 道別失業者數
- (2) 職業別失業者數
- (3) 失業率

III 失業의減少策

- (1) 失業者의經濟生活의一端

(2) 失業對策

- (가) 公共職業紹介所의數及來歴
- (나) 職業紹介所의業績
- (다) 勞動法規

IV 勞動組合

V 勞動爭議

- (1) 勞動爭議解決制度
- (2) 勞動爭議總觀
- (3) 權力的勞動爭議
- (4) 道別産業別勞動爭議

VI 勞動問題發生의原因

序 言

勞動은 自然的物的資源과結合하여 國富의 源泉이된다 日本은 政略의手段으로 朝鮮에 있어서의兩者를 驅使함으로써 二重三重的 搾取는敢行하였다 經濟評論家들은 解放以後의 朝鮮의發達の經濟現象을只口同聲으로評하여 인플레이션과 生産界空虛에 그原因을歸結하였다 自由開放의 기쁨이 國民이隔辭하여 生産意欲이消失되었을때부터 急速히瓦解한生産界는 莫大한失業者를造成하였고 雪上加霜으로 海外同胞은 맞이하여 勞動問題는一層深刻化하여갔다

解放後 經濟界의不均衡으로하여금 群小企業은淘汰되고 殘存企業까지 極端的인短縮操業을 避치못하게되었으니 勞動問題는慢性化하고말았다

I. 操業短縮의實情

(1) 道別事業場·勞務者의減少率

院務處統計署의調査에依한 1946年11月現在 南朝鮮의專賣事業場及 官營事業場을除外한 事業場總數는 5,249 個所로 1944年6月現在 9,323 個所에比하면 43.7%의 大減少를보았다 道別로는 濟州道의 55.6%를 最高로 忠清南道의 52.6% 서울市의 51.9%가 顯著하고 江原道의 36.0%가最下이었다 專賣事業場及 國營事業場을除外한 勞務者總數는 1946年

11月現在로는 122,159名으로 1944年6月現在 300,520名에比하면 59.3%의 慘減이었다 道別減少率을보면 京畿道의 69.0%는最高로 濟州道의 67.1% 慶尙南道의 66.9% 忠清南道의 61.0% 全羅南道의 59.2% 등으로 忠清北道의 39.7%가 第一低率이었다

上記한 勞務者總數의減少는 性別로보면 一層可驚할 事實을發見한다 1947年11月의 男子勞務者總數는 86,291名으로 1944年6月의 232,794名에比하면 62.9%의 大減을보인다 道別減少率은 京畿道의 73.1% 最高로 忠清南道의 70.4% 慶尙南道의 69.4% 등 忠清北道의 38.6%란 例外的減少率을 除外코는 全部60%以上의 大減少이다

이와反對로 女子勞務者이 있어서는 濟州道의 82.4%를 最高로 慶尙南道의 58.1% 京畿道의 50.9% 등 地域에따라서는 大減少를보았으나 南朝鮮全體에있어서는 1944年6月 67,726名에對한 1946年11月의 35,863名의 減少率은 47.0%로 前記 男子勞務者의 減少率 62.9%와는 大差가있다 朝鮮에 있어서의 女子勞務者는 紡織業 一部化學工業以外는 男子勞務者의補助的地位에있으며 特히 解放以後의 工業界는 女子勞務者를 많이 雇傭하는 消費財生産界를中心으로 始終된所以이었다

上記의 道別事業場의減少率及 勞務者의減少率의 道別數字는 後記 勞動爭議參加人員數의道別數字와 可驚할 比例的關係에있다

(第 1 表)

南 朝 鮮 地 域 別 事 業 場 數 及 勞 務 者 數

地 域 別	事 業 場 數			男 女 勞 務 者 數			男 子 勞 務 者 數			女 子 勞 務 者 數		
	1944年 6月	1946年 11月	1944年 에 對한 1946年의 減少率	1944年 6月	1946年 11月	1944年 에 對한 1946年의 減少率	1944年 6月	1946年 11月	1944年 에 對한 1946年의 減少率	1944年 6月	1946年 11月	1944年 에 對한 1946年의 減少率
서울市	2,337	1,123	51.9	66,898	35,763	46.5	47,494	24,833	47.7	19,404	10,930	43.7
京 畿 道	1,159	698	38.8	63,625	19,753	69.0	51,771	13,933	73.1	11,854	5,820	50.9
仁 川	442	143	67.4	31,345	7,853	74.9	26,922	5,690	78.9	4,423	2,168	51.0
開 城	109	92	15.6	2,570	1,885	26.7	1,566	970	38.1	1,004	915	8.9
其 他	608	463	23.8	29,710	10,010	66.3	23,283	7,273	68.8	6,427	2,737	57.4
忠 清 北 道	222	137	38.3	6,583	3,971	39.7	5,225	3,209	38.6	1,358	761	44.0
清 州	79	52	34.2	1,976	1,219	39.3	1,324	687	48.1	652	532	18.4
其 他	143	85	40.6	4,607	2,751	40.3	3,901	2,522	35.3	706	229	67.8
忠 清 南 道	441	209	52.6	14,219	5,550	61.0	11,324	3,353	70.4	2,895	2,197	24.1
大 田	153	38	65.2	4,809	2,106	56.2	3,083	1,035	66.4	1,726	1,071	37.9
其 他	288	171	40.6	9,410	3,444	63.4	8,241	2,318	71.9	1,169	1,126	3.7
全 羅 北 道	679	437	35.7	18,389	7,299	60.3	15,039	5,249	65.1	3,350	2,050	38.8
群 山	105	129	22.9	3,854	2,628	31.8	2,963	2,102	29.1	891	526	41.0

全州	81	59	27.2	2,163	1,888	12.7	1,161	875	24.6	1,002	1,013	1.1
其他	403	249	49.5	12,372	2,783	77.5	10,915	2,272	79.2	1,457	511	64.9
全羅南道	1,040	581	44.1	24,843	10,138	59.2	18,972	7,088	62.6	5,871	3,050	48.0
木浦	101	76	24.8	3,091	1,393	54.9	2,411	1,148	52.4	680	245	64.0
光州	184	116	37.0	6,586	3,925	40.4	3,001	1,982	34.0	3,585	1,943	45.8
其他	755	389	48.5	15,166	4,820	68.2	13,560	3,958	70.8	1,606	862	46.3
慶尙北道	1,424	788	44.7	29,085	12,314	57.7	21,733	8,448	61.1	7,352	3,866	47.4
大邱	446	293	34.3	12,694	7,071	44.3	7,301	3,834	47.5	5,393	3,237	40.0
其他	978	495	49.4	16,391	5,243	68.0	14,432	4,614	68.0	1,959	629	67.9
慶尙南道	1,618	1,032	36.2	61,565	20,378	66.9	47,809	14,812	69.4	13,756	5,766	58.1
釜山	749	375	49.9	33,467	12,325	63.2	23,210	7,952	65.7	10,257	4,373	57.4
馬山	91	65	28.6	3,038	1,242	59.1	1,941	837	56.9	1,097	405	63.1
晉州	88	91	3.4	1,129	776	31.3	862	539	37.5	267	237	11.2
其他	690	501	27.4	23,931	6,035	74.8	21,796	5,284	75.8	2,135	751	64.8
江原道	331	212	36.0	13,480	6,391	52.6	11,963	5,028	58.0	1,517	1,363	10.2
春川	60	41	31.7	1,908	1,429	25.1	1,126	597	47.0	782	832	6.4
其他	271	171	36.9	11,572	4,962	57.1	10,837	4,431	59.1	735	531	27.8
濟州道	72	32	55.6	1,833	603	67.1	1,464	538	63.3	369	65	82.4
南朝鮮總計	9,323	5,249	43.7	300,520	122,150	59.3	232,794	86,291	62.9	67,126	35,868	47.0

註 1. 過渡政府庶務處統計署調查  
 2. 專賣事業場及國營事業場을 除外함

(2) 産業別事業場・勞務者之減少率

1947年3月現在 南朝鮮의 勞務者 5人以上의 事業場總數는 4,500個所로 1943年의 10,065個所 에 比하면 55.3%의 減少를 보 이었다 産業別로는 赤字財政으로 因한 土木建築業의 91.0%의 陶汰는 筆頭로 其他工業의 84.6% 紡織工業의 68.1%等

最低率은 機械器具工業의 7.4%이었다 (第2表參照)  
 1947年3月의 勞務者總數는 133,979名으로 1943年의 255,393名에 比하여 121,414名 (47.5%)의 減少를 보 이었다 業種別減少率은 土木建築業이 筆頭로 88.5%의 著減이었고 其他工業의 74.6% 印刷製本業의 64.0% 金屬工業의 51.3%가 顯著하였다 (第2表參照)

(第2表)

南朝鮮産業別事業場數及勞務者數

	事 業 場 數				勞 務 者 數			
	1943年	1947年3月	減少數	減少率 %	1943年	1947年3月	減少數	減少率 %
金 屬 工 業	416	262	154	36.9	12,578	6,118	6,460	51.3
機 械 器 具 工 業	944	874	70	7.4	27,331	20,510	6,821	24.9
化 學 工 業	681	582	99	14.5	22,869	21,457	1,412	61.7
瓦斯・電氣及水道業	70	32	38	52.8	2,964	1,927	937	33.3
業 業・土 石 工 業	1,172	700	472	40.3	20,616	10,686	9,930	48.2
紡 織 工 業	1,683	537	1,146	68.1	61,210	37,353	23,857	39.0
製 材・木 製 品 工 業	1,359	542	817	60.1	14,598	11,315	3,283	22.5
食 料 品 工 業	1,704	643	1,061	62.3	19,854	12,506	7,348	37.0
印 刷 製 本 業	420	143	277	65.9	7,370	2,655	4,715	64.0
土 木 建 築 業	997	90	907	91.0	53,680	6,297	47,383	88.5
其 他 工 業	619	95	524	84.6	12,423	3,155	9,268	74.6
合 計	10,065	4,500	5,565	55.3	255,393	133,979	121,414	47.5

註 1. 5人以上의 事業場에 限함 2. 勞動部調查

事業場數 勞務者數의 減少率은 産業의 性質에 따라 各其容 應을 달리 하고 있다 即金屬工業 機械器具工業 化學工業 窯業 土石工業은 事業場의 減少率에 比하여 勞務者의 減少가 甚數 減을 보 이었다 此傾向은 企業의 固定設備가 財源에 占하는 比率에 他業種에 比하여 甚하므로 營業方向自體의 轉向이 他業種에 比해서 困難함으로 勞務者의 減少에 依하여 操業의 短縮을 示顯 시켰으므로 이와 反對로 其他業種에 있어서는 勞務者 減少에 依한 것보다 企業基礎의 脆弱으로 因하여 企業自體가 陶汰 當하였던 것이다

以上 南朝鮮의 勞動의 需要面을 事業場數及勞務者數의 道別 産業別動態에 依하여 概觀하였다 南朝鮮의 勞動市場은 前記한 바와 같은 企業의 陶汰 存續事業場의 操業短縮에 加하여 海外 同胞의 歸還及北朝鮮同胞의 越南으로 "所謂正業豫備軍의 激增"을 보 였다 1946年11月現在 南朝鮮의 休業中인 390處의 事業場의 休業原因別統計를 參考로 揭示하면 第3表와 같이 勞務 不足이란 項目은 問題되지 않을 極少한 數를 占하고 있는 것으로 簡單히 說明된다

(第3表) 事業場休業原因別統計

	1946年11月現在					合計
	原料 不足	機械 不足	資本 不足	勞務 不足	其他	
金屬工業	6	2	—	—	1	9
機械器具工業	4	4	3	—	3	14
化學工業	31	4	2	—	5	42
窯業及土石工業	33	6	5	—	12	56
紡織工業	46	5	3	—	2	56
製材及木製品工業	4	5	2	—	3	14
食料品工業	130	10	3	1	31	175
印刷及製本業	2	—	—	—	1	3
土木建築業	2	—	1	—	1	4
其他工業	14	—	1	—	2	17
合計	272	36	20	1	61	390

註 調査及び再調査統計署調査

II. 失業의 實態

失業이 勞動者의 物質的 精神的 害惡은 誘致한다는 것은 萬人이主張하는바이다 朝鮮의 實態는 「우리가 見聞하는 不祥事의 大部分이 失業者에 依하여 發端된것을 感覺하면 失業의 弊害가 如何히 其大한가에 놀라지 않을수 없다 實로 失業者의 存在가 一般社會에 危險한것은 傳染病患者를 隔離하지 않고 放置하는것과 毫毛의 差가 없다」라고 絶叫한 魏

브스氏의 말을 回想케한다

失業의 原因을 明確히 分類하는 것은 不可能한 것이나

- 1 社會的 條件
- 2 經濟的 條件
- 3 個人的 條件
- 4 政治的 條件

等으로 大體 分類한 수가 있다 解放以來의 失業의 激增은 主로 社會的 條件 及 經濟的 條件에 依하여 隨成된 것이었으며 詳言하면 第二次世界大戰 終地以後에 海外同胞의 歸還 北朝鮮同胞의 越南과 企業의 自然的 淘汰가 그것이다

1946年11月15日現在 南朝鮮의 失業者總數는 約110萬2千名으로 其中에 戰災에 因한 것이 總失業者의 57.8%로 63萬7千名에 達하고 其他原因에 因한 失業者가 46萬4千名이나 되었다 其他原因에 因한 失業者는 南朝鮮에 疎忽을 가지고 있던 勞動者의 失業者임으로 企業의 淘汰 乃至 企業의 縮小에 因한 것이므로 보다 大過는 없을 것이다 性別로 보면 男子가 總失業者의 73.7%에 該當하는 81萬2千餘名에 達하고 女子는 28萬9千名이었다

(1) 道別失業者數

道別失業者數는 慶尙南道의 39萬5千名이 最高로 慶尙北道의 34萬9千名이 二位에 있어 總失業者의 67.7%를 占하고 있다 最低는 京畿道의 1萬4千名이었다 戰災失業者도 慶尙南北道에 集中되어 있으며 性別失業者數도 第4表와 如히 道別失業者總數에 比例하고 있다

(第4表)

道別失業者無職者實態調査表

(1946年11月15日現在)

	男			女			計		
	戰災	失業	計	戰災	失業	計	戰災	失業	計
서울市	13,900	18,279	32,179	2,873	4,181	7,054	16,773	22,460	39,233
京畿道	6,003	6,950	12,953	880	1,100	1,980	6,883	8,050	14,933
忠清北道	18,464	11,812	30,276	5,745	3,933	9,678	24,209	15,745	39,954
忠清南道	17,230	19,983	37,213	2,763	3,740	6,503	19,993	23,723	43,716
全羅北道	25,785	19,645	45,430	11,260	9,074	20,334	37,045	28,719	65,764
全羅南道	50,547	28,298	78,845	19,736	8,396	28,132	70,283	36,694	106,977
慶尙北道	109,411	114,823	224,234	42,828	82,815	125,643	152,239	197,638	349,877
慶尙南道	232,449	89,736	322,185	52,129	21,567	73,696	284,578	111,303	395,881
江原道	3,234	12,720	15,954	1,375	5,046	6,421	4,609	17,766	22,375
濟州道	11,427	1,783	13,210	9,164	639	9,803	20,591	2,422	23,013
合計	488,450	324,029	812,479	148,753	140,491	289,244	637,203	464,520	1,101,723

註 勞動部調査

(2) 職業別失業者數

失業前職業別失業者數에서 第一위에 列하는 것은 農業의 21萬名이다 그中 戰災에 因한 失業者數가 12萬5千名이 然巨大한 數를 보인다 그들의 大部分이 滿洲及北朝鮮에서 營農하는

者들이었음은 可히 推察할 수 있다 工場事業場의 失業者總數는 18萬7千名 그中 戰災失業者이 10萬6千名 其他가 80萬名이다 運輸事業場 土產事業場은 國內에서 의 失業者가 過半을 占하였다 (第5表參照)

(第5表)

職業別失業者無職者實態調査表

(1946年11月15日現在)

失前職業	業	戰災			失業			計		
		戰災	失業	計	戰災	失業	計	戰災	失業	計
工場事業場	男	82,170	52,132	134,302	事務所商店	男	49,252	31,298	80,550	
	女	24,707	28,946	53,653		女	13,731	17,066	30,797	
	計	106,877	81,078	187,955		計	62,983	48,364	111,347	
鑛山事業場	男	65,056	35,070	100,126	農 業	男	91,519	59,395	150,914	
	女	14,297	8,175	22,472		女	34,075	25,288	59,373	
	計	79,353	43,245	122,598		計	125,594	84,683	210,287	

運輸事業場	男	15,943	16,370	32,313
	女	2,851	4,801	7,652
	計	18,794	21,171	39,965
土建事業場	男	53,758	65,513	119,271
	女	13,841	8,672	22,513
	計	67,599	74,185	141,784

其 他	男	130,752	64,251	195,003
	女	45,251	47,533	92,784
	計	176,003	111,784	287,787
合 計	男	488,450	324,029	812,479
	女	148,753	140,491	289,244
	計	637,203	464,520	1,101,723

註 勞動部調査

(3) 失業率

1947年의 서울市 京畿道 忠清北道의 失業者標本調査의 結果는 第6表와같이 失業者는 總人口의 30%乃至20%에 達한다. 여기에 披擲된 地方은 第4表와같이 他地方에 比較하여 比較的 失業者數가 적고 特別 京畿道는 仁川 開城을 忠清北道는 清州를 調査對象에서 除外한 것임으로 都市에 集中된 失業者의 數字가 全然 包含되지 않아서 實際의 失業率에 比較하여 相當한 低率인 것이다.

(第6表) 失業率標本調査表 (1947年)

	서울市	京畿道	忠清北道
有業者	42.3	40.3%	43.0%
家庭婦人	20.4	30.9	31.0
學生生徒	6.9	4.9	5.0
失業者	29.9	23.9	21.0
合 計	100.0	100.0	100.0

註 1, 京畿道는 仁川 開城을 除外함  
 2, 忠清北道는 清州를 除外함  
 3, 過放庶務處統計署調査

失業者의 過半數는 女子로 서울市는 總失業者의 61%를 占하였다. 이것은 生活難으로 因하여 女子가 職場으로 進出하는 現象을 말한다. 都市가 地方 農業地帶에 比較하여 男子의 失業率이 적은 것은 注日된 것이다.

(第7表) 失業者性別構成比率 (1947年)

	서울市	京畿道	忠清北道
男 子	38.9%	39.9%	46.6%
女 子	61.1	60.1	53.4
合 計	100.0	100.0	100.0

註 第6表註記參照

失業者의 年齡別構成比率는 第8表와같이 서울市에 있어서 는 20歲以上 44歲까지에 顯著한 高率을 占하고 있으나 農業地帶는 反對로 18歲以下 及 45歲以上에 그比率의 殆半을 占하여 靑壯年失業者의 都市集中傾向을 말하고 있다.

(第8表) 年齡別失業者構成比率 (1947年)

年齡別	서울市	京畿道	忠清北道
15~19	26.9%	32.2%	42.7%
20~24	11.9	10.0	7.3
25~29	6.1	5.5	4.0
30~34	6.4	3.3	3.8
35~39	4.9	3.4	2.2
40~44	4.4	4.4	2.9
45以上	39.4	41.2	37.1
合計	100.00	100.0	100.0

註 第6表註記參照

III. 失業의減少策

(1) 失業者의經濟生活의一端

失業의 實態에 對하여 南朝鮮의 莫大한 失業者數를 實數로서 把握하였다. 그들 失業者는 同族의 眼目으로 볼수 없는 悲慘한 生活環境에서 再生의 날을 等待하였다. 그러나 政府當局에서는 財政難으로 因하여 積極拔本的 救濟策이 없었다. 다만 危急期의 救濟策으로 戰災民收容所 戰災民食糧特配所를 中心으로 一時의 生活補助에 努力하였을 뿐이었다. 戰災失業者의 大部分은 携帶한 家政道具 衣類를 放棄한 代金으로 煙草의 行商 及 闇市場 特別美國製商品 闇市場에 集中하여 生計補助를 期하였다. 1946年 6月乃至 8月及 1947年 1月乃至 3月의 物價大暴落期에 있어서 街路의 煙草行商이 激增하였다. 그 行商의 大部分은 幼年及 老年이었다. 一面 市場의 一角에는 古衣類商이 日益 繁昌하였다. 그들 古衣商의 大部分은 活動期의 靑壯年 男子이었다. 그들은 戰災民뿐이 아니었다. 南朝鮮에서 失業한 者도 亦是 同一한 狀態에 있었다. 이와같은 行商 激增의 風潮는 物價暴騰이 그 主因이 되어 있었으며 物價暴騰-生活難으로 因한 日用雜貨行商의 激增은 勞動爭議 激化의 前兆이었다. 從에 보는 바와같이 그 前兆는 반드시 一個月後의 勞動爭議의 激增으로 證明되었던 것이다.

(2) 失業對策

失業減少의 方策은 여러가지 있을 것이나 經濟의 條件 即 産業의 原因에 依한 失業의 減少策은 公共的 事業의 調節 勞動紹介 失業保險等을 들 수 있다. 그러나 如何한 救濟方法도 一朝一夕에 그것이 成就되는 것은 아니며 特別 朝鮮의 經濟的 條件은 極短時日에 實現된 反面 政府當局의 過激의 行政方策으로 因한 失業對策推進力의 未及은 莫大한 海外歸還同胞 越南同胞의 失業群을 累加負擔하여 當初의 成果이나 막을 수 없었다. 公共事業의 調節은 財政難으로 實施되지 못하였으며 職業紹介도 從記하는 바와같이 國家의 基本方針이 없이 主要各都市의 市 府廳의 努力으로 實施되었으나 實績은 微少한 것이었으며 失業保險制度에 있어서 는 全然 實施한 바 없었다. 따라서 南朝鮮의 經濟的 條件及 社會的 條件으로 因한 失業의 對策은 職業紹介를 概觀함으로써 結束된다. 職業紹介는 不規則 不組織의 個人的 方法과 規則的 組織的 職業紹介制度의 二方法이었다. 前者는 後者에 比較하여 公共的 政策의 意義가 적음으로 職業紹介는 後者를 概觀함으로써 足하다.

職業紹介制度는 大體로

- 1 營利事業으로서의 職業紹介
- 2 同業者組合의 職業紹介
- 3 勞動組合의 職業紹介
- 4 慈善團體 또는 公益事業體의 職業紹介
- 5 自治團體 또는 國家의 公共職業紹介

의 5個로 大分할 수가 있다. 上記의 1乃至 3은 個人乃至 階級의 利益追求로 因하여 그다지 事業活動의 活潑性이 없었으며 慈善團體 또는 公益事業體의 職業紹介는 活潑한 活動을 보지





合 計	53,646	466,502	52,704	942	413,798	4,302	21,045	3,904	398	17,141	57,948	487,547	56,608	1,340	430,939
	(1947年中)														
서울市	1,340	2,307	450	890	1,857	2,845	850	525	2,320	325	4,185	3,157	975	3,210	2,182
京畿道	562	1,247	243	319	1,004	35	29	12	23	17	597	1,276	255	342	1,021
忠清北道	370	1,456	309	61	1,147	121	237	118	3	119	491	1,693	427	64	1,266
忠清南道	11,093	16,214	2,336	8,757	13,878	4,884	3,460	540	4,344	2,920	15,977	19,674	2,876	13,101	16,798
全羅北道	6,060	31,416	1,092	4,968	30,324	1,157	10,063	232	925	9,831	7,217	41,479	1,324	5,893	40,155
全羅南道	1,319	8,709	542	777	8,167	1,029	1,080	17	1,012	1,063	2,348	9,789	559	1,789	9,230
慶尙北道	4,506	23,076	3,712	794	19,364	770	5,147	678	92	4,469	5,276	28,223	4,390	886	23,833
慶尙南道	4,953	34,915	4,414	539	30,501	516	3,043	370	146	2,673	5,469	37,958	4,784	685	33,174
江原道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
濟州道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	30,203	119,340	13,098	17,105	106,242	11,357	23,909	2,492	8,865	21,417	41,560	143,249	15,590	25,970	127,659

註 1. 市營府營職業紹介所에限함 2. 勞動部調査

·職業紹介成績은 業種別로보면 求職數의過半은 公務自由業이占하고있으나 이에對한求人數의比例는 他業種에比하여 少少이었은으로 紹介成績은 他業種에比하여 第一不良하다 이에反하여 1947年中의 工業 農業의것은 絕對數에있

어서는 減少되고있으나 年中總計에對한比率로보면 求人數 求職數共히增加된모이었고 1947年中의 水産業은 求人數의增加에反하여 求職者는 大減하였다 (第10表參照)

(第10表)

業種別職業紹介實績表

業 種	1946年中					1947年中					
	求人數	求職數	就職數	未濟求人	未濟求職	求人數	求職數	就職數	未濟求人	未濟求職	
土木建築業	男	49	60	49	—	11	57	133	24	33	109
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	49	60	49	—	11	57	133	24	33	109
農 業	男	1,576	18,994	1,576	—	17,418	3,355	21,682	849	2,506	20,833
	女	268	2,774	268	—	2,506	480	7,519	96	384	7,423
	計	1,844	21,768	1,844	—	19,924	3,835	29,201	945	2,890	28,256
水 産 業	男	47	2,817	47	—	2,770	352	1,533	171	181	1,362
	女	4	184	4	—	480	20	48	6	14	42
	計	51	3,001	51	—	2,950	372	1,581	177	195	1,404
鑛 業	男	183	10,663	173	15	10,490	1,482	3,384	128	1,354	3,256
	女	6	439	6	—	433	—	314	—	—	314
	計	194	11,102	179	15	10,923	1,482	3,698	128	1,354	3,570
工 業	男	7,654	45,245	7,077	577	38,168	6,534	22,036	1,655	4,879	20,331
	女	842	5,669	665	177	5,004	5,285	3,452	655	4,630	2,797
	計	8,496	50,914	7,742	754	43,172	11,819	25,488	2,310	9,509	23,178
商 業	男	582	10,862	576	6	10,286	2,176	8,198	449	1,727	7,749
	女	148	1,270	138	10	1,132	896	1,358	135	761	1,223
	計	730	12,132	714	16	11,418	3,072	9,556	584	2,488	8,972
交 通 業	男	618	4,972	609	9	4,363	2,168	4,353	577	1,591	3,776
	女	69	366	69	—	297	507	344	54	453	290
	計	687	5,338	678	9	4,660	2,675	4,697	631	2,044	4,066
公務及自由業	男	10,541	267,299	10,457	84	256,842	11,902	31,920	7,294	4,608	24,626
	女	545	3,859	520	25	3,339	2,377	4,433	650	1,727	3,783
	計	11,086	271,158	10,977	109	260,181	14,279	36,353	7,944	6,335	28,409
家 事	男	1,187	10,586	1,060	127	9,526	702	6,129	503	199	5,626
	女	434	2,924	248	186	2,676	1,633	1,968	749	884	1,219
	計	1,621	13,510	1,308	313	12,202	2,335	8,097	1,252	1,083	6,845
府 郡 邑	男	698	51,609	693	—	50,911	1,475	19,972	1,448	27	18,524
	女	53	614	53	—	561	159	4,473	147	12	4,326
	計	751	52,223	751	—	51,472	1,634	24,445	1,595	39	22,850
日 備	男	30,506	43,395	30,382	124	13,013	—	—	—	—	—
	女	1,933	2,946	1,933	—	1,013	—	—	—	—	—
	計	32,439	46,341	32,315	124	14,026	—	—	—	—	—

合 計	男	53,646	466,502	52,704	942	413,788	30,203	119,340	13,098	17,105	106,242
	女	4,302	21,045	3,934	398	17,141	11,357	23,909	2,492	8,865	21,417
	計	57,948	487,547	56,608	1,340	430,939	41,560	143,249	15,590	25,970	127,659

註 1 市營府營職業紹介所에限함  
2. 勞動部調査

(丁) 勞動法規

前記한 職業紹介는 直接國家政策에 관한 것이 아니라 公共團體에 의하여 施行된 것이었으나 그것은 失業에 관한 積極的政策이라고 하면 勞動法規에 의한 勞動者의 保護는 失業에 대한 消極的政策이라고 할 수가 있다 勞動者에게 害惡을 끼치는 原因은 여러가지 있었을 것이나 勞動者가 어떤 對人的 條件으로 事業場에서 勞動하는 結果 發生하는 것과 事業場의 建築設備等 的條件에 因한 것의 두가지로 볼 수가 있다 勞動者가 그 職業의 이러한 條件에 應酬할 수 없도록 害惡의 原因이 累積하였을 때에는 個人的 條件 即 精神的肉體的 打擊으로 因하여 最惡의 結果는 失業의 發生으로 나타난다 勞動者의 精神及肉體의 強弱에 依하여 勞動時間 其他 勞動者의 弱點 補正의 勞動條件의 法的 規制는 前記한 原因으로 因한 失業의 防止策이요 工場設備의 改善 或은 所定한 幼弱 勞動者에 對시 될 수 있는 勞動의 範圍을 規定함은 後者의 豫防策 일 것이나

1946年7月23日附로 發布된 法令第九十七號는 這下의 勞動政策의 根幹의 法令으로써 第一條에 民主主義的 勞動組合의 發展을 獎勵할 것이 明白히 되어있으며 「雇傭契約書에 있어서 雇傭主와 勞動組合間의 合意된 勞賃 勞動時間及其他 雇傭條件을 明記한 平和의 協定을 獎勵」 하는 一般의 勞動政策이 宣布되었다

「勞動者의 健康 能率 及一般福利를 維持 保護하기爲한 商工業及公務의 最高勞動時間의 規定」은 1946年11月7日附 法令 第二十一號에 依하여 雇傭主의 勞動要求의 權限을 每作業週間 48時間을 原則으로 하고 被傭人의 作業時間의 限度는 每作業週間 60時間을 超過치 못할 것이 規定되어 雇傭主及被傭者의 權利義務의 限界가 明白히 되었다 雇傭主는 每作業週間의 作業이 48時間을 超過한 境遇에는 그 超過된 作業時間에 對하여 基本給料 (正規作業에 對한 報酬—賃金及其他 諸手當을 包含)의 15割以上의 比率로 計算한 手當金을 支拂하기로 되어있으며 第三條에 列거된 特殊事業場의 勞務者는 最高勞動時間을 適用치 않기로 되어있다

一方 法律第四號 (1947年5月16日附) 第三條에 依하여 12歲未滿의 兒童에 對하여서는 全的으로 勞動이 禁止되고 14歲未滿兒童 16歲未滿兒童 18歲未滿未成年者에 對하여 各其 勞動事業場의 條件이 規定되고 18歲未滿未成年女子는 特別한 雇傭事業場에서 勞動함을 禁止하였고 其他 未成年 勞動者의 衛生 教育等의 特別한 優待條件의 實行을 雇傭主의 義務로 規定하였다 1947年12月24日附 行政命令第十號에 依하여 南朝鮮의 電力不足에 對한 非常處置로 法令 第二十一號의 一部가 非常時終了의 通告가 있을 때까지 停止되었다

IV. 勞動組合

解放以後의 從嚴한 政治的 勞勞氣와 極度의 生活難으로 因한 勞動者의 階級的 意識의 發現은 勞動組合을 通하여 여러가지 難雜難妙한 要求條件이 主張되었다 大部分의 勞動組合은 1945年11月5日에 創立된 朝鮮勞動組合全國評議會와 1846年3月10日에 創立된 大韓獨立勞動總聯盟의 傘下로 聯合되었으나 그들은 經濟的 要求의 共通된 主張도 있었으나 大體로 政治

性要求를 主張함으로써 始終이었다 各勞動組合聯合會傘下의 組合數 及 組合員數는 各其 勞動組合聯合會의 發表한 數字와 勞動部에 依하여 調査된 數字에 鑛泥之 差를 보이고 있음으로 確實한 數字의 表示는 할 수 없다

勞動部當局에서는 政府가 指示한 勞動組合의 根本目的에 對應되는 政治的인 組合運動의 蔓延에 對하여 匡正善導에 努力하고 있으며 法令第十九號의 根本的 指導原理에 依하여 民主主義的 勞動組合運動을 獎勵하여 勞資對立으로 因하여 發生하는 生產萎縮을 防止하고 있다

V. 勞動爭議

理想的 分配制度가 確立되기 前에는 勞動爭議의 發生은 難免之 事이다 勞資相互間은 그 損益이 相反하는 가답이다

(1) 勞動爭議解決制度

法令第三十四號에 依하여 設立된 勞動部停務委員會는 法令第十九號에 依하여 強制的 仲裁의 權限이 附與되어있다 強制的 仲裁制度는 其 停務基準如何에 따라서는 國家의 分配問題에 큰 影響을 齎來하는 것이다 그러나 大局的 見地에서 生産의 萎縮을 防止하여 國民生活을 安定시키는 方法으로 그 運營方法을 適切히 調整함으로써 好影響을 齎來케 할 수 있음은 말할 必要가 없다

1946年7月23日附 法令第九十七號에 依하여 設立된 勞動部는 勞動部에서 樹立 遂行하는 中樞機關으로써 當部의 通牒에 依하면 勞動部의 調整의 限界에 對하여 「勞動爭議에 關한 勞動者 또는 勞動組合 或은 그 聯合體의 經營者 又는 그 團體間에 發生하는 賃金 時間 作業條件 從業規則等 勞動條件의 維持 又는 改善을 目的으로 한 爭議에 限하고 있으며 其 爭議의 目的이 社會 政治 或은 宗教等 經濟的 目的以外의 境遇에는 그 紛爭을 停務의 對象으로 取扱되지 않고 當部의 政策 其他 關係法令에 依하여 適切히 指導處理하고 있다

「勞動部停務委員會 設立에 關한」 法令第三十四號의 全文은 本年 報附錄 經濟法規과 같다 勞動部停務委員會는 所管 道內의 勞動爭議를 停務하는 道勞動條件委員會와 二道以上의 停務及 軍政地勞務停務委員會를 包含其他 諸般 勞動爭議를 停務하는 中央勞動部停務委員會로 構成되어있으며 此停務委員會의 判決은 最後의 手段인 것이다

(2) 勞動爭議總觀

勞動部統計에 依하면 解放以後 1947年12月末까지의 勞動爭議의 總件數는 305件 參加人員數는 99,078名에 達하며 其中 爭議發生原因別로는 賃金引上의 123件을 筆頭로 工場閉鎖反對가 2件이었으며 解雇反對는 63件 勞動時間短縮은 2件 監督者의 排斥이 20件 勞動組合의 承認이 5件 休日賃金支拂이 4件 未支拂給料가 2件 其他 84件으로 되어있다

勞動爭議를 大別하여 攻擊的 勞動爭議와 防禦的 勞動爭議로 한다면 賃金引上 勞動時間短縮 監督者의 排斥 勞組承認 休日賃金支拂 未支拂給料의 要求는 前者에 屬하고 解雇反對 工場閉鎖反對는 後者에 屬한다 1946年中의 勞動爭議件數中 攻擊的 勞動爭議件數가 78%를 占하고 防禦的 勞動爭議件數가 不過 17%로 解放後의 朝鮮 勞動運動의 積極性을 窺볼 수 있으나 社會的 制約으로 因하여 그의 大部分이 未成功으로 結束



解放以來의 罷業風潮 卽 1946年解放記念日을 期하여 이리나 鐵道總罷業으로부터 始作된 各產業機關의 罷業과 1947年 3月 22日의 24時間 期限附總罷業事件은 周知한 바이다 卽 1946年 9月 23日 零時를 期하여 鐵道勞動者를 先頭로 驟起한 總罷業은 交通 產業界에 廣範圍로 波及되어 10餘日間 南朝鮮一帶는 癱瘓狀態에 빠지고 말았다 二要求條件은 物價暴騰으로 因한 生活難의 解決보다도 政治的要求가 主目的으로 되어 있었음으로 一部 地方騷擾不祥事까지 誘發하여 結局當局의 強力制止로서 第11表와 如하 8月 9日中 罷業件數 79件은 全部 自然終熄하고 말았다

1947年 3月의 罷業風波는 3月 22日의 鐵道從業員을 中心으로 한 解放後 最初의 24時間 期限附總罷業이 發生하여 各地의 勞

動者는 地方農民 學生等을 煽動하여 一大 騷亂을 일으켰으나 當局의 制止를 當하여 此亦 自然 休止하고 말았다 此兩罷業事件은 經濟的目的보다도 政治的目的이 컸음으로 眞正한 勞動爭議로는 規定하기 困難한 것이다

此兩罷業에 있어서는 그 罷業事件에 直接 關聯이 없는 農民 學生等이 多數 參加하였음으로 所謂 良民 煽動法에 依한 政治的 革命 鬭爭手段에 不適當하다는 規定을 받고 있는 것이다

1946年中의 罷業事件은 8月 9日에 集中되어 있었으나 1947年은 3月에 60件 5月에 2件 7月에 2件 8月에 2件 11日에 5件 12月에 6件으로 年中 總件數는 減少하였고 爭議發生은 漸々 時間的으로 分散하고 있다 平均 罷業日數는 1946年의 6日 10時間에서 1日 12時間으로 著著 減少되어 있다

爭 議 總 括 表

		罷 業			解 決 方 法				結 果		結 果	
未支拂給	其他	件數	人員數	損失作業延日數	調停	行調	政停	其他	要求貫徹件數	要求不貫徹件數	明自然消滅件數	不明件數
—	—	1	308	9,240	1	—	—	—	1	—	—	—
—	—	—	—	—	—	2	1	—	1	1	1	—
—	1	1	322	1,610	—	5	6	—	5	4	2	—
—	1	—	—	—	3	4	4	—	7	3	1	—
—	2	—	—	—	3	6	3	—	7	4	1	—
—	1	—	—	—	—	7	3	—	2	8	—	—
—	1	—	—	—	3	3	1	—	5	2	—	—
—	1	—	—	—	—	8	3	—	7	4	—	—
—	2	—	—	—	1	4	20	—	2	4	—	19
—	—	64	28,801	209,670	—	—	64	—	—	—	—	64
—	—	15	7,277	23,615	—	1	15	—	1	—	—	15
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	9	80	36,400	234,895	10	40	120	—	37	30	5	98
—	1	—	—	—	—	4	—	—	3	1	—	—
—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1
—	57	60	14,515	15,554	3	3	63	—	3	3	63	—
—	—	—	—	—	—	7	—	—	5	2	—	—
—	3	2	5,424	17,120	1	7	—	—	8	—	—	—
—	1	—	—	—	1	4	1	—	3	2	1	—
—	3	2	2,514	2,542	1	5	1	—	5	1	1	—
—	3	2	700	900	1	4	—	—	2	3	—	—
2	3	—	—	—	3	8	—	—	9	2	—	—
—	1	—	—	—	2	1	2	—	3	2	—	—
—	1	5	29	390	3	2	—	—	—	5	—	—
—	1	6	1,240	—	—	2	4	—	1	1	4	—
2	75	77	24,422	36,506	15	47	72	—	42	22	69	1

※도 件數 參加人員數共히 是數字을 보이고 있다 機械器具 工業 化學工業 亦是 逐月 續發하고 있으며 特히 機械器具 工業은 1946年中 總計와 1947年中 總計를 比較하면 件數 參

加人數의 總計에 對한 比率이 漸增加하여지고 있다

爭 議 總 括 表

1946年 總計	1947年												1947年 總計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
—	—	—	2	1	1	1	1	—	4	1	2	3	16
—	—	—	183	449	45	120	45	—	51	5	6	727	1,331
90	—	—	15	1	—	1	3	—	4	2	—	—	26
22,460	—	—	1,186	12	—	12	87	—	377	101	—	—	1,775
—	—	—	2	—	—	—	1	1	—	—	—	—	4
—	—	—	176	—	—	—	14	50	—	—	—	—	240

忠清南道	{A B}	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 6,000	1 2
全羅北道	{A B}	—	—	322	—	40	—	322	320	—	—	—
全羅南道	{A B}	—	—	1 270	4 2,310	—	1 270	1 300	1 160	—	—	—
慶尙北道	{A B}	—	—	1 40	4 264	1 250	2 96	1 51	1 50	1 760	32 5,8	4 206
慶尙南道	{A B}	—	2 575	3 72	—	1 2	2 135	2 152	1 15	—	4 10,388	2 1,085
江原道	{A B}	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
濟州道	{A B}	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中央 勞動部	{A B}	1 380	—	—	—	1 4,705	—	—	—	—	—	—
總計	{A B}	1 308	3 2,295	11 1,813	11 2,770	12 6,377	10 1,903	7 2,275	11 1,980	25 1,941	64 28,801	16 7,279

註 勞動部調査 A = 件數 B = 參加人員數

(第13表)

月 別 產 業 別 勞

業 別	{A B}	1945年		1947年											
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
金屬工業	{A B}	—	—	2 70	—	—	—	—	—	—	2 ?	—	—		
機械器具工業	{A B}	—	2 575	—	—	1 2	3 187	1 51	3 225	4 97	10 1,047	7 2,219	—		
化學工業	{A B}	—	—	5 1,241	2 142	1 24	1 15	1 322	1 160	4 ?	2 165	1 1,500	—		
瓦斯・電氣 及水道業	{A B}	—	—	—	—	1 250	1 12	1 300	—	—	3 2,038	1 2,000	—		
窯業・土石工業	{A B}	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
紡織工業	{A B}	—	1 1,720	2 310	4 1,370	1 40	3 1,475	3 1,560	2 320	3 40	21 2,732	3 665	—		
製材・木製品工業	{A B}	—	—	—	—	—	—	1 42	1 15	1 27	—	—	—		
食料品工業	{A B}	—	—	—	1 22	2 230	1 130	—	—	1 760	1 769	1 150	—		
印刷製本業	{A B}	1 308	—	—	2 146	2 576	—	—	—	5 ?	17 413	2 145	—		
土木建築業	{A B}	—	—	1 92	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
其他工業	{A B}	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
鑛業	{A B}	—	—	—	1 1,000	—	—	—	—	—	—	—	—		
運輸交通業	{A B}	—	—	—	1 90	2 4,765	1 84	—	4 1,260	3 ?	5 20,603	1 600	—		
通信業	{A B}	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3 695	—	—		
漁業	{A B}	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
醫療衛生事業	{A B}	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
物品販賣業	{A B}	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 269	—	—		
其他	{A B}	—	—	1 100	—	2 440	—	—	—	2 1,017	1 65	—	—		
合計	{A B}	1 308	3 2,295	11 1,813	11 2,770	12 6,377	10 1,903	7 2,275	11 1,980	25 1,941	64 28,801	16 7,279	—		

註 勞動部調査 A = 件數 B = 參加人員數

2			6										6
6,002	—	—	515	—	—	—	—	—	—	—	—	—	515
5	2				2			1	1				7
1,004	88	—	—	—	654	—	—	12	10	—	—	84	848
8			12		1	1		1	1	2			18
3,310	—	—	793	—	85	170	—	8	150	?	—	—	1,206
47	1	1	8	2	1	1	1	—	—	—	3	2	20
7,529	45	20	1,143	14	6	10	12	—	—	—	23	429	1,702
17			19	1	3	1	1	2					27
12,424	—	—	7,828	12	5,462	15	2,500	700	—	—	—	—	16,517
			5										5
			2,950										2,950
													—
1	1			2		1			1				5
4,705	320	—	—	100	—	3,260	—	—	4,512	—	—	—	8,192
170	4	1	69	7	8	6	7	5	11	5	5	6	134
57,434	453	20	14,774	287	6,252	3,587	2,658	770	5,100	106	29	1,240	35,276

動 爭 議 總 括 表

1946年 總 計	1947年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1948年 總 計
4			2	3									5
70	—	—	286	26	—	—	—	—	—	—	—	—	312
31			20	2	3	1	2		1			2	31
4,403	—	—	3,263	16	89	120	59	—	10	—	—	574	4,131
18			5	1		2				1		1	10
3,569	—	—	998	149	—	180	—	—	—	5	—	153	1,485
7	1		2			1			1				5
4,600	18	—	120	—	—	3,260	—	—	4,512	—	—	—	7,910
—	—	—	2			1	1		2				6
43	1		19		2	12	28	—	106	—	—	—	361
10,232	45	—	3,339	—	478	—	14	112	470	—	2	424	4,884
3									1				1
84	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
7	1		1			1	2			1	2		8
2,111	320	—	22	—	—	15	57	—	—	11	10	—	435
28			6									1	7
1,280	—	—	161	—	—	—	—	—	—	—	—	84	245
1			1						1				2
92	—	—	14	—	—	—	—	—	1	—	—	—	15
—	—	—	7							1			2
—	—	—	80	—	—	—	—	—	—	90	—	—	170
1			1							2	1		4
1,000	—	—	2,000	—	—	—	—	—	—	?	14	—	2,014
17			5	1									6
27,407	—	—	3,639	96	—	—	—	—	—	—	—	—	3,735
3			1	3									4
695	—	20	567	—	—	—	—	—	—	—	—	—	587
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	1		1		1			2					5
—	70	—	70	—	85	—	—	58	—	—	—	—	283
1													—
269	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6					2		1	1			1	1	6
1,622	—	—	—	—	5,600	—	2,500	600	—	—	3	5	8,708
170	4	1	69	7	8	6	7	5	11	5	5	6	134
57,434	453	20	14,774	287	6,252	3,587	2,658	770	5,100	106	29	1,240	35,276

### VI 勞動問題發生의原因

解放以來의 物價暴騰과 賃金低調의 缺狀의 發展傾向은 快刀斷麻의 對策이 없는 限 未久에 經濟生活의 破綻을 招來한것은 周知하고 있는 바이나 經濟의 餘力이 없는 勞動者는 近將來에 對한 對價보다도 短期的變動에 銳敏한 神經을 集中하고 있는 것이다. 그러므로 直接消費生活에 影響을 미치는 小賣物價의 短期變動과 勞動爭議로 表現된 勞動問題를 比較考察하는 것은 興味있는 課題이며 更有 意義한 것이다. 圖表「勞動爭議發生의 原因」에 表示된 바와 같이 勞動賃金은 小賣物價와 2個月의 락(lag)을 가지고 循環하고 있으며 穀物 白米와도 相似한 變動容態를 가지고 있다. 勞動問題發生의 原因이 物價의 欲求에 있다고 하면 勞動爭議參加人員數와 物價의 變動과 는 어떤 相關의 變動이 있어야 한다. 圖表에 依하면 1946年 4月의 勞動爭議의 增加는 3月의 穀物 特別白米의 高價와 賃金 沈下의 兩面에서 逼迫된 生活難으로 인한 것이었으며 同 9月의 勞動爭議의 增加는 6月 7月부터 始作된 穀物 白米의 暴騰과 勞賃의 低位로 인한 것이었고 1947年 3月은 小賣物價와 勞賃 9月은 小賣物價의 昇騰이 그 原因이었다. 以上과 같이 大

體로 白米 穀物全穀 或은 小賣物價全穀의 昇騰과 勞賃의 低調가 重疊되었을 때는 勞動問題의 增加를 보았다. 勞動問題의 發生은 結局 皮相의 觀察로서 結論하면 勞動者生活의 貧困化로 인한 것이며 그 發生度數가 短時日에 集中傾向을 보인 것은 銳敏하여진 勞動者의 神經이 政治的 恩惠에 刺戟당한 까닭이었다고 할 수 있다. 그러나 一層더 그 原因을 追求할 때 利己의 物價의 動機라고 하지 않고 도리어 社會의 正義를 要求하는 倫理的 運動이라고 보는 것이 妥當한 것이다. 社會의 安定期고 經濟가 繁榮하여 모-든 階級의 人들 的 收入이 增加할 때 도 亦是 勞動問題가 發生한다는 歷史的 事實으로 보아도 그 原因을 產業界의 容觀의 現象에 求할 것이 아니라 勞動者의 倫理的 衝動要求란 主觀의 原因에 歸一할 수 있을 것이다. 南朝鮮의 現狀은 客觀的 條件으로나 主觀的 條件으로나 勞動問題發生의 可能性이 濃厚하다. 生産業을 復興시켜 失業者를 雇傭하고 國家의 分配問題를 不平 없는 公正한 方法으로 解決하는 것은 經濟를 떠날 수 없는 수리로서 極히 重要한 일이다. 그러나 腐敗된 社會道德의 改造 없는 不平 없는 分配를 할 수 없은 것이요 可能하다 하여도 勞動問題는 끊이지 않을 것이다.

雇傭勞務者數別事業場數及勞務者數 (1947年 8月末現在)

	事業場		男勞務者		女勞務者		男女勞務者合計	
	事業場數	累加比率 %	勞務者數	累加比率 %	勞務者數	累加比率 %	勞務者數	累加比率 %
10— 14	753	23.2	7,983	5.1	1,065	2.5	9,054	4.5
15— 19	568	40.7	8,449	10.4	1,137	5.1	9,586	9.3
20— 24	408	53.3	7,745	15.3	1,566	8.8	9,311	13.9
25— 29	775	77.1	21,588	29.0	5,119	20.8	26,705	27.2
50— 74	303	86.5	13,111	37.3	4,821	32.0	17,932	36.2
75— 99	117	90.1	8,352	42.6	2,134	37.0	10,486	41.4
100—149	107	93.4	10,159	49.0	2,686	43.3	12,845	47.8
150—199	59	95.2	7,932	54.0	2,300	48.7	10,232	52.9
200—249	44	96.5	8,248	59.2	1,710	52.7	9,958	57.8
250—299	23	97.3	4,805	62.3	1,363	55.8	6,168	60.9
300—349	13	97.7	3,646	64.6	578	57.2	4,224	63.0
350—399	12	98.0	2,954	66.5	1,562	60.8	4,516	65.3
400—449	7	98.2	1,486	67.4	1,523	64.4	3,009	66.8
450—499	2	98.3	513	67.7	417	65.4	930	67.2
500—599	12	98.7	4,978	70.9	1,754	69.5	6,732	70.6
600—699	8	98.9	3,572	73.1	1,565	73.1	5,137	73.1
700—799	8	99.2	5,469	76.6	515	74.3	5,984	76.1
800—899	5	99.3	3,600	78.9	641	75.8	4,241	78.2
900—999	4	99.4	3,072	80.8	699	77.5	3,771	80.1
1,000以上	18	100.0	30,297	100.0	9,645	100.0	39,942	100.0
合計	3,246	100.0	157,962	100.0	42,801	100.0	200,763	100.0

註 1. 10人以上의 勞務者를 가진 事業場에 限함

2. 勞動部 調査



# 勞 賃

目	次
I 勞働賃金の動向	III 經營主體의立場으로본賃金水準
1. 序	IV 屬性別賃金水準으로본朝鮮經濟
2. 業種別賃金動態	V 賃金水準의數理的解剖
3. 勞働政策의回顧	VI 結 言
II 勞働者의立場으로본賃金水準	

## I 勞働賃金の動向

### 1. 序

「勞働의價値가 昇한것은 國富發達の 必然의結果인同時에 또 自然的의徵候이다 그反面 勞働賃民의維持가 貧困한것은 그國家의 物價이停止하고있는 自然的의徵候이고 또그들이 飢餓狀態에 있는것은 그國家의物價이 急速히 退步하고있는 自然的의徵候이다」(Adam Smith, Wealth of Nations P.73-74 1937. New York)

泰西의 經濟學者는 이렇듯 破産하였다 Adam Smith 以來의 勞働과 勞賃의研究는 經濟學研究의 核心이었다 十八世紀以來의 經濟發展은 여러가지學說을 誕生시켰다 그러나 今이 現在에 보고 있는 經濟現象 勞賃現象은 過去의 經濟現象 勞賃現象의 發展成果이었다 目前의 Key Industry (鑛業工業)의 破産一路로 단미암은 旅行의 經濟現象을 確實히 把握하고 모-든 社會問題를 理解하려면 何人은 莫論하고 社會解剖分析의 出發點이 되는 勞働問題를 打診치 않고서는 그目的을 達成하지 못할것이다 이의같은見地에서 朝鮮의 實情을 鳥瞰하며 Adam Smith가指摘한 二個의 對照의 現象을 想起할때 朝鮮의 그것이 後者에 及하게 될까를 豫言할수 없었다

勞働賃金은 勞働者의 立場 經營主體의 立場 國家主體의 分配問題의 立場等 여러가지 角度로 觀察할수 있으나 먼저 業種別賃金動態를 概觀한後 勞働賃金水準變動 經營主體로서 的 勞働賃金水準變動으로 普及하기로 한다

### 2. 業種別賃金動態

#### (1) 纖維工業

纖維工業의 日當賃金의 推移를 보면 1945年12月 中女工은 平均 19圓33錢 男工은 23圓15錢이었으며 1946年12月 中은 女工 93圓30錢 男工 121圓67錢 1947年12月 中은 女工 121圓48錢 男工은 154圓88錢으로 暴騰하였다 1946年9月 中은 解放以來의 急激한 物價暴騰을 因한 實賃賃金低下의 防止策으로 實行된 貨物支拂(Track system)의 算入으로 對前月比 261.06%의 大暴騰이었으나 當年10月부터 當局指示에 依하여 貨物給與가 漸次하여 貨物給與額가 完全히 廢止된 1947年1月까지 連月低落을 繼續하였다 1946年2月以後의 騰貴의 主因은 賃金支拂制度의 改正에 因한 것이었다 賃金水準은 1936年을 基準으로 한 指數에 依하여 보면 1945年12月은 3,776이었으며 其後 1946年1月은 對前月比 20.50% 2月은 12.98% 3月은 2.53%로 漸次騰貴가 弱화하였다 9月에는 前述한 바와 같이 貨物給與算入으로 騰貴하였으나 貨物給與制度廢止로 再低落하여 12月 平均指數는 19,285이었으며 1947年5月의 賃金支拂制度의 改正으로 對前月比 24.30% 7月에는 19.57% 9月에는 7.97% 10月에는 11.96%의 騰貴이었다 12月指數는 24,798로 名目賃金은 1946年10月本準에 復舊하였다

1946年 中 月 平均騰貴率은 15.46%이었으며 1947年은 2.11%이었다

#### (2) 金屬工業

1945年 12月 中 日當 平均賃金은 27圓23錢이었으며 1946年 12月 中은 100圓60錢 1947年 12月은 168圓33錢이었다 1936年을 基準으로 한 1945年 12月 指數는 2,070이었으며 1946年 中은 每月 平均 11.54% 騰貴하여 12月 指數는 7,679이었으며 1947年은 每月 平均 4.38% 騰貴하여 12月 指數는 12,850이었다

#### (3) 機械器具工業

1945年 12月 日當 平均賃金은 29圓70錢이었으며 1946年 12月은 96圓18錢 1947年 12月은 191圓88錢이었다 1945年 12月 平均指數는 2,376이었으며 1946年 中은 每月 平均 9.68%의 騰貴로 12月 指數는 7,205이었으며 1947年 中 每月 平均 騰貴率은 6.73% 12月 指數는 15,756이었다 機械器具工業은 解放後 主로 農器生産으로 轉換되었으나 後記하는 바와 같이 操業能率 低下로 賃金水準은 總平均指數를 下廻하고 있었다

#### (4) 窯業

壁瓦製造工賃金은 1945年 12月에 40圓 1946年 12月에는 120圓 1947年 12月에는 240圓이었다 燃料不足으로 因한 操業率 低下로 1947年 中의 騰貴率은 1946年에 比하여 弱하였다 同一工은 1946年 2月에는 49圓 12月에는 80圓 1947年 12月에는 150圓이었다 斯界不振의 主因은 世界트不足에 在하였다 玻璃製造工의 1946年 4月 賃金은 50圓 12月에는 70圓 1947年 12月은 210圓이었다 平均賃金의 推移를 보면 1946年 4月 指數는 4,625이었으며 每月 平均 3.91%의 騰貴를 續權하여 12月에는 6,280이었으며 1947年 中의 騰貴率은 月 平均 6.95% 12月 指數는 14,094이었다

#### (5) 化學工業

製革工의 1946年 1月 賃金은 45圓 12月은 162圓 1947年 12月은 180圓이었다 비누製造工은 1945年 12月에 21圓 1946年 12月에는 120圓 1947年 12月은 145圓이었으며 고무製造工은 1945年 12月에 31圓 1946年 12月에는 190圓 1947年 12月에 340圓이었다 비누 고무製造業의 賃金騰貴는 解放後 1947年 4月까지가 第一急激하였으며 同年 7 8月及 中央價格規則第二號發布後 8月頃까지에 顯著한 騰貴를 하였다 製紙工의 1945年 12月 賃金은 21圓44錢 1946年 12月은 100圓 1947年 12月은 150圓이었다

平均指數의 推移를 보면 1945年 12月은 3,088이었으며 1946年 中은 每月 平均 14.61%의 騰貴에 依하여 12月의 指數는 15,868에 이르렀다 1947年 中은 平均 2.71%로 騰貴가 軟化하여 12月 指數는 21,863이었다

#### (6) 食料品工業

業種別賃金은 下記와 같다

	1945年12月	1946年12月	1947年12月
小麥製粉工	22圓44錢	110圓60錢	200圓00錢
麥酒製造工	48圓00錢	110圓00錢	140圓00錢
醬醃造工	20圓00錢	130圓00錢	177圓00錢
사이다製造工 (1946年1月)	39圓00錢	80圓00錢	250圓00錢
菓子製造工	29圓52錢	90圓00錢	230圓00錢

1945年12月 平均賃金指數는 2,824이었으며 1946年中은 每月平均11.44%의騰貴하여 12月指數는 10,372이었으며 1947年12月指數는 19,920이었으며 1946年中 月平均騰貴率은 5.58%로 諸業種中騰貴에 있어서 一位이었다

(7) 被服身章品工業

1945年12月中 洋服製衣工 製帽工 靴工의賃金은各々26圓80錢 25圓30錢이었으며 1946年12月에는 130圓90錢 100圓 280圓이었으며 1947年12月은 200圓 200圓 400圓이었다 1945年12月平均指數는 1,969이었으며 1946年中은 每月平均 15.57%의基騰이어서 12月指數는 11,182이었다 1947年 12月 每月騰貴率은 4.19%이었으며 12月指數는 18,319이었다

(8) 家具及製材業

製材工 小木工 鋸工의 1945年12月賃金은 各々 28圓10錢 63圓 40圓이었으며 1947年12月에는 200圓 250圓 220圓으로騰貴하였으며 1947年12月에는 製材業이 200圓으로 低落하고 小木工은 300圓 鋸工은 300圓으로騰貴하였다 1945年12月의平均指數는 2,862이었으며 1946年中은 每月平均 14.53%騰貴하여 12月指數는 14,585이었으며 1947年12月의 指數는 15,267이었다 1947年中 月平均騰貴率은 0.38%로 諸業種中 第一弱한騰貴이었다

(9) 印刷裝冊業

印刷裝冊業 平均賃金은 1945年12月에 28圓38錢 1946年12月은 135圓 1947年12月은 165圓이었다 平均指數의 推移를보면 1945年12月은 2,272 1946年은 11,112 1947年은 13,204이었다 1946年中의騰貴는 月平均 14.14%이었으며 1947年中은 1月에 對前月比 4.22% 11月에 對前月比 14.01%의 騰貴以外는 全無變動이었다

(10) 土木建築業

土木建築業勞働者平均賃金은 1945年12月은 70圓90錢 1946年12月은 215圓 1947年12月은 331圓이었다 1945年12月 平均指數는 3,982 1946年12月은 12,176 1947年12月은 18,652이었다 1946年中 月平均騰貴率은 9.76% 1947年中은 3.61%로 漸次弱화하였다

3. 勞働政策의 回顧

(1) 解放以後의 勞働에 關한 法令은 1945年10月10日附 法令第十四號의「一般勞働賃金」의 決定을 始初로 한다 此法令의 主目的은 政府所有 또는 監督下에 있는 各工場社等의 賃金水準의 統一이었다 第一條에 規定된 賃金은 見習生은 1圓乃至 2圓 未熟練工은 3圓乃至 5圓 半熟練工은 5圓乃至 7圓 熟練工은 7圓乃至 10圓의 基本日給에 各々 7圓式加算한 것으로 此法令發布當時의 物價水準及 其後の 騰貴를 豫想參照한 것이었으나 物價가 連日暴騰하여 均衡性이 完全히 消失되었음으로 法令第三十號에 依하여 1945年12月1日로 廢止되었다

(2) 1945年10月31日附 法令第十九號에 依하여, 「勞務의 保護」가 確立되었다 此法令을 抄記하면 左記와 같다

第二條 勞務의 保護

個人이나 個人集團으로서 職業을 受하고 妨害없이 勞務하는 權利는 此를 妨礙하고 保護한 것이다 如斯한 權利를 妨害하는 것은 不法이다 工業生産의 中止 또는 減産을 防止함은 朝鮮軍政廳에서 民衆生活上 必要不可缺한 일이라 하였다 此目的을 爲하여 約束條件에 對하여 勞務는 軍政廳에 設置된 勞務委員會에서 解決할 것이니 其決定은 最後의 것으로 拘束의 이다 條件이 勞働調停委員會에 提出되어 解決된 때까지 生産을 繼續하여야 할 것이다 (以上)

(3) 「法令第十九號 第一條及第二條로 宣布한 現存非常時에 勞働保護及 勞働爭議調停政策의 遂行을 爲하여」 1945年12月8日附 法令第三十四號로 勞働調停委員會가 設立되었다 勞働調停委員會(第二條)

(가) 勞働調停委員會의 規則規定의 採用修正及其遵守의 要求

(나) 證人의 出席 文書 其他證據物提出의 要求 其要求에 違反한 때의 處罰 勞働調停委員會의 命令 또는 決定을 實行하기 爲한 令狀의 發令의 界限이 附屬되어 있었으며 中央勞働調停委員會는(第三條) 二道以上에 設置된 勞働爭議의 調停及 軍政廳勞務課의 委託을 받은 其他 諸般 勞働爭議의 調停을 道勞働調停委員會는 「道知事의 指示한 場所에서 所管道內의 勞働爭議의 調停」의 管轄權이 附屬되었다

(4) 1946年7月23日附 法令第九十七號에 依하여 「勞働問題에 關한 公共政策」이 公布되고 勞働部가 設置되어 一般勞働에 關한 政策樹立의 完全을 期하였다

法令第九十七號

勞働問題에 關한 公共政策 公布 勞働部 設置

第一條 政策 宣布

在朝鮮美國憲軍軍政廳은 勞働問題에 關한 公共政策을 左와 如히 宣布함

(가) 民主主義의 勞働組合의 發展을 獎勵함

(나) 勞働者는 自律의 勞働組合을 通하여 勞働聯合會를 組織하고 加入하며 他 勞働組合을 援助하고 又是 援助를 受하는 權利가 있는 同時에 雇傭主와 其他 管理人의 干渉을 받지 않고 雇傭契約의 期限 及 條件을 協定한 目的으로 自己가 選舉한 代表者를 指名한 權利가 有함

(다) 雇傭契約書에 있어서 雇傭主와 勞働組合間의 合意된 勞賃 勞働時間 及其他 雇傭條件을 明記한 平和의 協定을 獎勵함

第二條 勞働部 設置

右記 勞働政策을 達成하고 朝鮮經濟의 有能한 機能을 助長하기 爲하여 勞働部는 茲에 朝鮮政府에 設置함 朝鮮政府 勞務部 勞働局은 茲에 廢止하고 其 모든 任務 職能은 右기에 列舉한 目的을 達成하기 爲하여 勞働部에 移管함(中略) 勞働部는 朝鮮經濟의 有能한 機能을 助長하고 朝鮮의 貨銀 勞働者의 福祉을 助長 增進 發展시키며 其 勞務條件을 改良하고 有利한 雇傭에 對한 機會을 進步시키실 目的으로 함

第三條 勞働의 任務及 職能

勞働部는 左記의 任務及 職能을 有함

(가) 勞働政策及 計劃은 系統的으로 記述하고 軍政長官의 指示下에 及 1946年5月28日附 法令第九十號及 勞働問題에 關하여 軍政廳이 宣布한 公共政策及其他 法律의 要求하는 範圍內에서 雇傭條件 雇傭主 及 政府와 의 勞働關係 又是 勞働의 福祉에 影響을 미치는 其他 要素에 關하여 一般 監督을 行함

(나) 1945年12月8日附 法令第三十四號 勞働問題에 關하여 軍政廳이 公布한 公共政策及 其他 法律의 要求에 依하여 勞働

爭議의 調停을 有効히 達成키 爲하여 勞働調停委員會에 屬하는 委員을 監督 管理한 事

(가) 國家 履歷 事務及 勞働 情報 事務 監督 又是 管理한 事

(나) 軍政廳이 勞働問題에 關하여 宣布한 政策을 遂行하고 朝鮮經濟의 有能한 機能을 助長하고 勞働의 福利를 増進하기 爲하여 勞働法을 軍政長官에게 推舉한 事

(다) 軍政長官의 認可를 得하여 此法令及 施行한 其他 勞働法의 施行 又是 本部의 目的을 遂行하기 爲하여 必要한 모든 規則을 官報에 發布할 權限을 得한 事

(라) 本部의 目的及 勞働問題에 關하여 軍政廳이 宣布한 公共政策을 軍政長官의 監督 指示下 及 規則 法律의 範圍內에서 遂行하기 爲하여 必要한 모든 職能 及 任務을 實行한 事

第四條 (省略)

第五條 有効期日

本法令은 公布日 부터 有効함

1946年 7月 23日

(5) 1946年 9月 18日 附 兒童 勞働 限制한 法令 第一—二號가 發布된 事다 此法令은 1947年 2月 24日 附 法令 第一—三二號로 停止되고 1947年 5月 16日 附 法律 第四號 未成年者 勞働 限制法及 1947年 9月 15日 附 勞働部 令 第一號 未成年者 勞働 法則 及 布에 依하여 未成年者에 對한 勞働 政策이 確立된 事다

(6) 1946年 11月 7日 附 法令 第一—二號에 依하여 最高 勞働 時間은 「每週 作業 時間 六十 時間 을 限度로 하고 每週 作業 時間의 作業이 四十八 時間을 超過하는 境遇에는 그 超過된 作業 時間에 對하여 基本 給料의 十五 割以上의 比率로 計算한 手賃金은 支拂」한 事等等 勞働者 過勞 防止 策이 確立된 事다

## II. 勞働者의 立場으로 본 賃金水準

勞働賃金水準은 勞働者의 勞働力 再生産에 必要한 生活 必需品의 價格水準과 交叉함으로써 名目 賃金의 實質의 水準을 알 수 있다 그리고 實質 賃金水準은 그것밖으로도 社會經濟의 活

動力을 表示하는 것이고 政治的 社會 安定의 程度도 推測되는 事이다

解放 直前 6月의 實質 賃金은 108.88이 었다 詳言하면 當時의 賃金水準은 指數 基準時인 1936年의 그것보다 88%의 實質의 賃金 增加를 意味한다

解放 當年 11月까지는 賃金 統計가 全無하여 比較할 수 없으나 同年 12月에는 37.14로 慘落하였다 1946年 1月 2月中은 勞賃의 相對的 騰貴로 各々 41.92 41.32로 騰貴하였으나 前述한 바와 같이 3月에는 物價의 暴騰으로 因하여 36.17로 再低落하였다 暴利 限界에 達한 檢察 總長의 聲明이 1946年 4月에 發表된 後는 解放 後에 있어서 比較的 穩健한 步調이 었으나 그 騰貴의 內容에 있어서 一般 消費 財 生産界 勞働 賃金의 騰貴로 因하였음에 留意하여야 할 事이다

1947年에 있어서 6月까지는 物價의 動向에서 本邦과 같은 消費 財 生産界의 萎縮으로 斯界 勞働者 賃金은 殆半 復合 狀態를 繼續하여 再低落하였다 3月 4月에 好轉의 傾向을 보인 것은 金屬 工業 機械 器具 工業界에서 勞働者 雇傭 防止 策으로 賃金이 引上된 所以 이었으나 7月부터는 中央 價格 規則 第二號에 依하여 消費 財 生産界가 發生하여 好轉하였으나 物價의 相對的 騰貴로 漸落하여 12月에서 30.54 歷史上의 慘落을 보 示하였다

解放 前의 實質 賃金이 前記한 바와 같이 高位 이었음은 當時의 統制 經濟가 有機的 이었음을 證明한다 即 國家 經濟의 目的에 強히 力을 推進시키는 同時에 私 經濟의 收支 均衡 政策도 粗漏히 하지는 않았던 事이다

勞働者 生活의 立場에서 有名한 Engel 法則을 想起하면 前記와 같은 實質 賃金의 動向을 考察할 때 小음을 禁할 수 없다 日益 增加하는 犯罪의 大部分은 家計 經濟의 困難으로부터 發生하였다 現在의 勞働者는 文化生活에 對한 支出 居住에 對한 支出이 殆半 停止되고 食生活에 對한 威脅을 느끼고 있다 이 와 같은 事態의 延長이 結局 무엇을 齎來할 것인가 그것은 社會 統計가 豫言한다

## 實 質 賃 金 表

	1945年			1946年			1947年		
	勞賃指數	小賣物價指	實質賃金	勞賃指數	小賣物價指	實質賃金	勞賃指數	小賣物價指	實質賃金
1 月	246	238	103.36	3,581	8,543	41.92	11,450	33,272	34.41
2 月	247	238	103.78	3,865	9,353	41.32	11,711	38,894	30.26
3 月	253	242	104.55	4,212	11,645	36.17	12,668	38,486	32.92
4 月	275	249	110.44	4,960	13,312	37.26	14,043	36,517	38.46
5 月	277	254	109.06	6,570	13,772	47.71	14,442	36,101	40.00
6 月	282	259	108.88	6,772	14,932	45.35	15,093	37,431	40.32
7 月	293	—	—	6,996	15,808	44.26	15,666	38,635	40.55
8 月	—	3,359	—	7,371	17,795	41.42	15,930	39,665	40.16
9 月	—	3,813	—	9,262	19,317	47.95	16,299	41,444	39.33
10 月	—	4,906	—	9,667	21,195	45.61	16,575	42,951	38.59
11 月	—	5,795	—	10,976	22,462	48.86	17,235	51,753	33.30
12 月	2,724	7,335	37.14	11,186	26,622	42.02	17,088	55,961	30.54
月 平均	—	—	—	7,118	16,211	43.32	14,843	40,926	36.60

指數基準 1936=100

## III. 經營主體의 立場으로 본 賃金水準

前記한 바와 같이 實質 賃金의 低落은 物價의 暴騰에 因하였 事 或 是 觀察을 돌리어 말하면 經營主體의 收支 不均衡으로 因한 賃金 騰貴의 低調가 實質 賃金의 低落을 齎來하였다고도

할 수 있다

諸般 隘路의 阻塞으로 因한 生産 能率의 低下는 經營 側의 收支 不均衡을 齎來하여 勞賃의 低調를 應成하였다 이 傾向은 特別히 歸屬 工場이 顯著하였다 勞働部 調査에 依하면 南 朝鮮의 1947年 8月中 一 時間 當 平均 勞働 賃金은 官營 工場의 男工이 17圓

76錢 女工이 13圓87錢이고 民營工場의 男工이 18圓90錢 女工이 14圓22錢으로 民營工場의 賃金を 官營工場에 比하면 男工이 6.42% 女工이 2.52%의 高位이었다 이와같은 賃金 差로 말미암아 屬屬工場의 優秀한 熟練工은 民營工場으로 轉職하였음으로 前記한 바와같은 賃金低調의 惡循環은 去益深刻하여졌다

經營主體의 立場으로서의 賃金水準은 商品生産原價에 對한 賃金이 占하는 比率을 算出함으로써 測定할 수 있는 것이나 統計資料가 없음으로 詳細한 것은 알 수 없다 다만 日給制 月給制等 時間給制의 賃金支拂制度가 大部分에 實施되고 있음으로 生産能率의 低下가 그대로 生産原價에 對한 比率을 占하게 됨으로 解放後 極度の 短縮業을 간신히 維持하고 있는 狀態로 보아 經營主體는 賃金支拂能力以上の 負擔을 背負았음을 確言할 수 있다

IV. 屬性別賃金水準變動으로 본 朝鮮經濟

(가) 勞働賃金水準變動은 別記物價水準變動과 相似한 結論에 到達한다 먼저 業種別로 보면 9月以後는 鑛業工業이 第一高位로 推移하였으며 化學工業이 次位를 占하였다 食品工業은 1947年中 總平均指數의 上位에 있었으며 被服身障品工業은 總平均指數를 中心으로 上下하였다 家具及製材業은 1947年4月부터 總平均指數의 下位로 一轉하였다 土木建築業은 解放以來 總平均指數의 上位로 推移하였으며 製業 印刷裝冊業 金屬工業 機械器具工業은 顯著한 下位로 推移하였다

(나) 以上の 業種別 賃金水準을 生産財生産機關과 消費財生産機關으로 綜合하면 前者가 後者의 下位에 있었다 土木建築業이 例外的으로 總平均指數의 上位에 있음은 그 勞働契約이 短期間이어서 自然的 賃金成立法則이 他業種에 比하여 크게 作用함에 因한 것이다

一方 騰貴의 原因에 있어서 消費財生産機關은 操業率에 對한 이 依存하였으나 生産財生産機關은 大規模企業體가 操業短縮으로 小企業에 比하여 賃金이 低位인 關係로 勞働者가 小企業體에 轉職하는에 對한 防備策으로 操業率에 相關없이 引上되었다 그 反動으로 1947年9월에 있어서는 機械器具工業 金屬工業의 賃金이 一時低落하였다

V. 賃金水準의 數理的 解剖

1945年12月以來의 賃金水準變動趨勢은

$y=10,656+645.094x$  (原點 1946年12月 時間單位 1個月)이었다 別記物價의 趨勢에 比하면 顯著히 弱한 騰勢이고 그 騰貴率은 去益弱화하고 있다 賃金指數의 趨勢值로부터의 偏差率은 下記表及別記物價市況第一圖과 같이 推移하였다

勞働賃金指數表

勞賃指數	對前月比	勞賃指數 趨勢值	賃金指數 의 偏差率 %
1945.12	2,724	—	2,915 - 6.56
1946. 1	3,581	+ 31.47	3,560 + 0.59
2	3,865	+ 7.93	4,205 - 8.00

3	4,212	+ 8.96	4,850	- 13.15
4	4,960	+ 17.77	5,495	- 9.74
5	6,570	+ 32.46	6,140	+ 7.00
6	6,772	+ 3.07	6,786	- 1.38
7	6,996	+ 3.31	7,431	- 5.86
8	7,371	+ 5.36	8,076	- 8.73
9	9,262	+ 25.65	8,721	+ 6.20
10	9,667	+ 4.38	9,366	+ 3.21
11	10,976	+ 13.54	10,011	+ 9.64
12	11,186	+ 1.91	10,656	+ 4.97
年平均	7,118	+ 12.49	—	—
1947. 1	11,450	+ 2.36	11,301	+ 1.01
2	11,771	+ 2.80	11,946	- 1.47
3	12,668	+ 7.63	12,591	+ 0.61
4	14,043	+ 10.85	13,236	+ 6.10
5	14,442	+ 2.84	13,881	+ 4.04
6	15,093	+ 4.50	14,527	+ 3.89
7	15,666	+ 3.79	15,172	+ 3.26
8	15.39	+ 1.69	15,817	+ 0.71
9	16,299	+ 2.31	16,462	- 0.99
10	16,575	+ 1.70	17,107	- 3.11
11	17,235	+ 3.97	17,752	- 2.91
12	17,088	- 0.85	18,397	- 7.12
年平均	14,843	+ 3.59	—	—

註 趨勢直線  $y=10,656+645.094x$  (原點 1945年12月 時間單位 1個月)

指數基準 1936年平均=100

綜合指數算式은 單純幾何平均法 (從來의 單純算術平均法을 改良함)

VI. 結 言

物價의 騰貴는 生産企業을 刺戟하고 이로 말미암아 生産能率이 增進하여 勞働所得趨勢가 物價趨勢에 比하여 어느 程度의 lag는 있으나 早晚勞賃이 增加를 보인다고 理論經濟는 말하였다

解放後부터 1947年末에 至하는 朝鮮의 賃金動態는 異狀의 窒息狀態를 反復하였다 別記物價市況 第一圖B에 依하면 物價暴漲期의 賃金水準은 趨勢值(平常值)以下로 沈下하고 있다 換言하면 工業生産企業은 商業企業에 壓迫당하고 있는 것이다

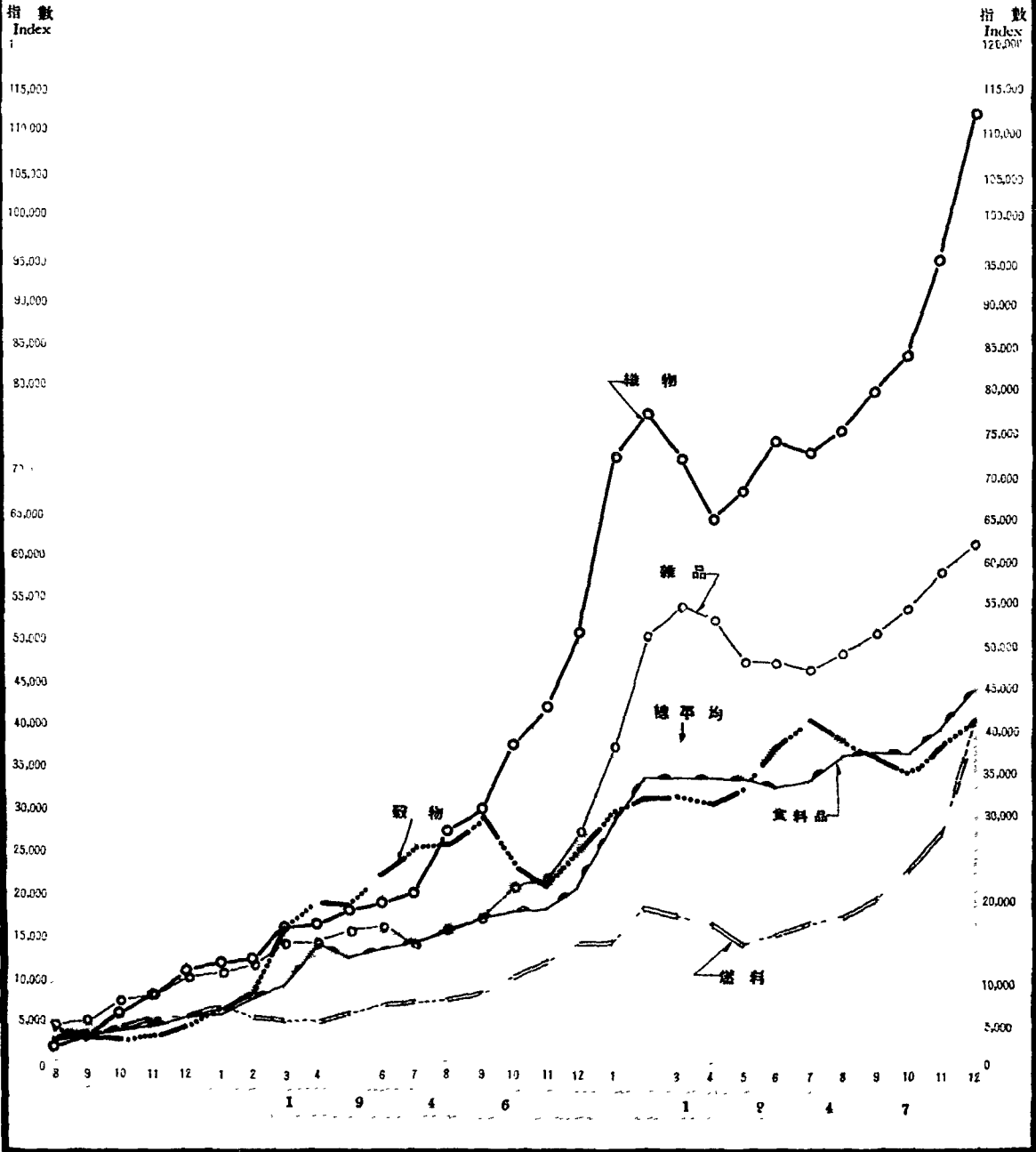
物價의 動向에서 最終販賣段階의 物價水準이 都賣水準以下로 逆轉下廻하였음을 말한 바 있다 그 原因은 勞働賃金水準에 牽制된 바가 많으므로 一步前進追窮하면 生産企業의 脆弱性에 落着한다

이와같이 모-든 經濟活動이 集約的으로 表現된 解放以來의 都賣物價 小賣物價 勞働賃金의 趨勢를 미-ㄴ 將來까지 延長하여 悲觀的 結論을 맺는 것이 不當함은 말할 必要도 없으나 國民消費經濟의 收支不均衡이 極度에 到達한 現相을 積極的인 計畫對策의 實踐이 없이 樂觀的인 推測으로 自慰함은 더욱 危險한 것이다

# 物價

(I-217)

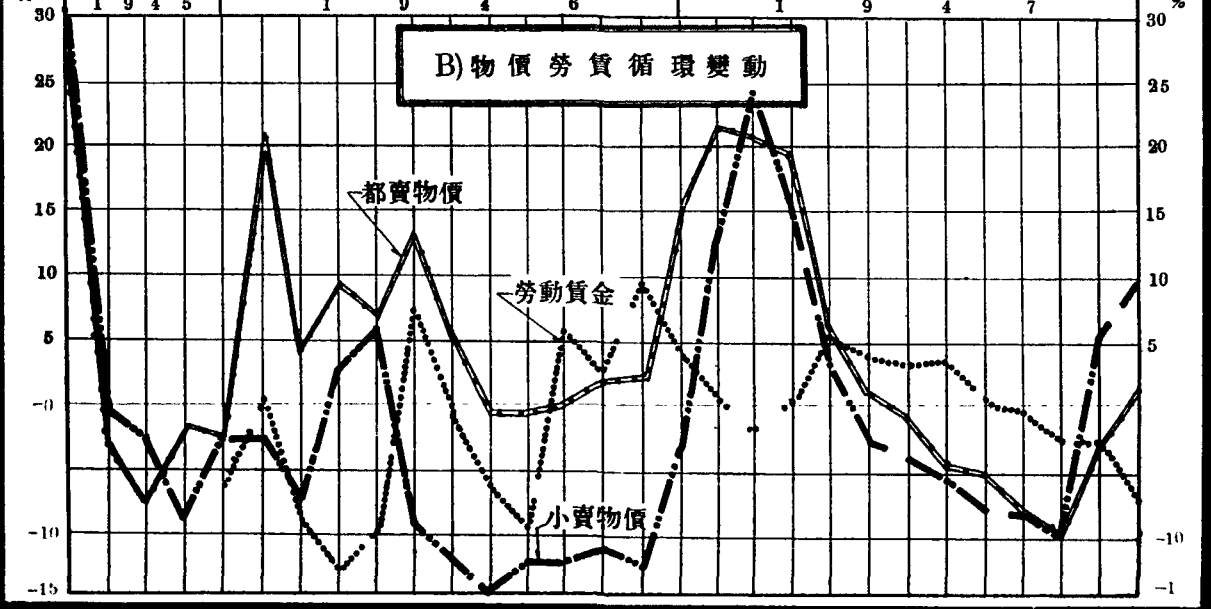
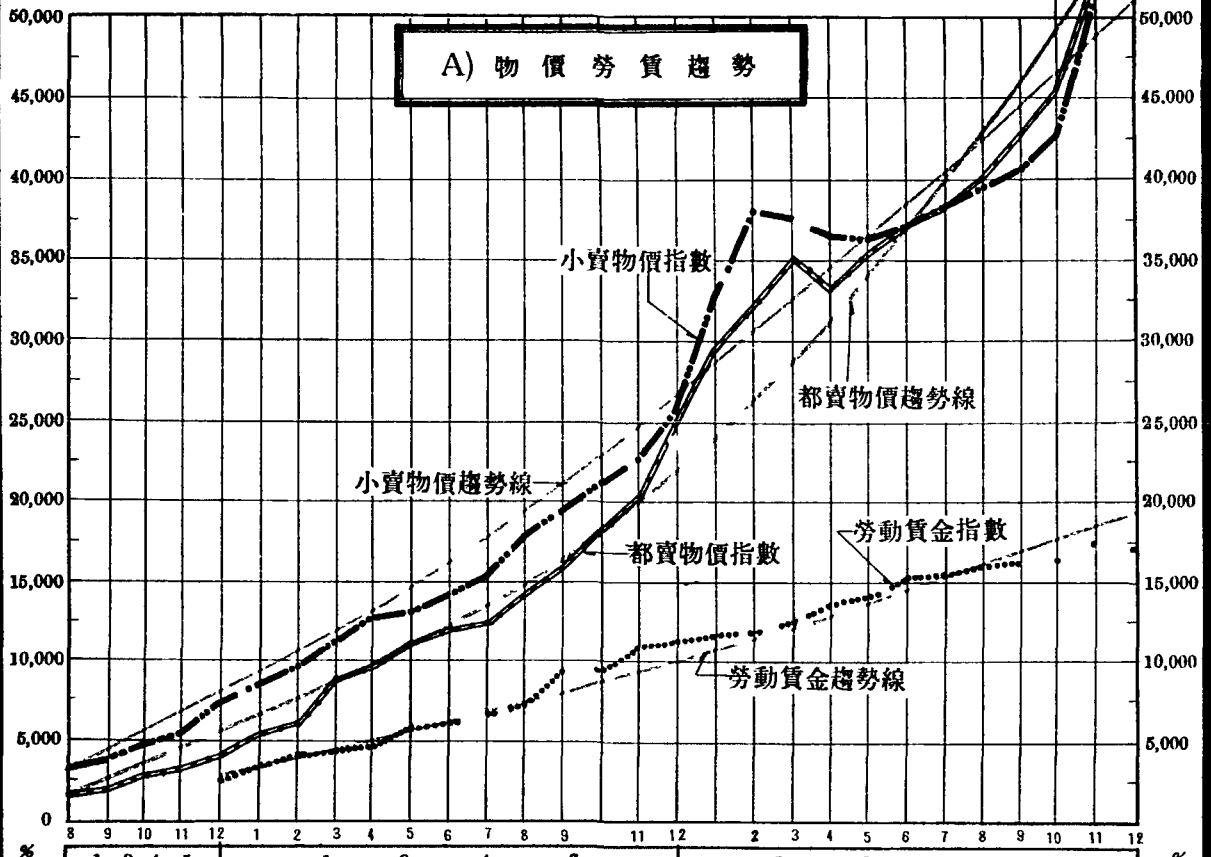
## 서울市生活必需品小賣物價商品類別指數

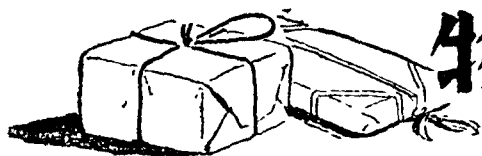


# (第一圖) 都賣·小賣物價 勞働賃金指數

1936 = 100

指數  
Index





# 物價市況



目 次

## 解 放 物 價

### 序

解放以後1947年末까지의我國物價의趨勢는三回의周期을가지고騰落을反復하였다 이러한 周期的物價變動은通하여 朝鮮經濟의性格은어떻게表現되었으며 果敢發展하는가 例컨대 1946년부터의一般所得額의相對的下降과 產財物價(註)의急激한二次物價線狀의遠騰趨勢(第一回參照)의兩面에서牽制된小賣物價는一面生産財物價에追隨하면서도 大衆의所得變動趨勢를暗示하는勞働賃金에多分接近趨勢를보임으로써 朝鮮經濟의內包하는脆弱性과 複雜性을餘地없이나타냈던것이그이로말미암아生産과生産機構는勿論解放後蘇生한消費財生産機構의自然的淘汰는大益甚하여졌다 解放된朝鮮經濟의最緊課題는物價安定이었다 商品價格의屬性別狀變動는解放된朝鮮經濟의範圍이었으며價格의果斷的騰貴容態는朝鮮經濟의歸趨點을暗示함에充分하였다

以下朝鮮銀行調査部の物價統計에依하여商品類別로부터價格水準變動의考察을開始하여物價統制的回顧 經濟實情이要求하는政策의方向一般物價水準變動趨勢의解明을論及할것이나

註 嚴密히말하면指數綜合에 있어서消費財도包含되어있음으로生産財物價指數가 아니라大部分이生産財로構成되어있음으로生産財物價變動으로보았나詳細한商品類別趨勢는第五·六回參照

## I 商品類別價格水準變動의考察

### 1 穀物

#### (1) 都賣

第二次世界大戰終結以後의世界的食糧難은朝鮮에 있어서도例外에失수없었으니 海外同胞의歸還 以北同胞의越南으로因한都市人口의激增 運輸難으로因한米穀의偏在 自家消費의激增으로말미암아 恒常 不規則的暴騰 低價를 反復하면서도 肥料 農機具 其他 諸穀物價變動에 隨伴하여 結局昂騰一路이어서 一般勞働者의 所得不足과 아울러 累次의社會問題를 惹起하였다 都賣의 件當去來數量은 經濟外的條件으로말미암아 漸減하고있으며 그價格變動에 있어서도 小賣가

### 1 商品類別價格水準變動의考察

1. 穀物
  - (1) 都賣 (2) 小賣
2. 食料品
  - (1) 調味料 (2) 肉卵魚類
  - (3) 酒類 (4) 平均
3. 織物原料
4. 織物
  - (1) 都賣 (2) 小賣

5. 建築材料
6. 金屬類
7. 燃料
8. 肥料
9. 工業材料
10. 雜品

格價에 比하여 變動은甚하나 大體로 小賣와 그變動狀態를 같이하고있음으로 商品의 個別的價格變動에 關하여서는 小賣의動向에서 詳細히考察하기로하고 都賣 小賣의 共通한轉現現象을 보면下記와 같다

(가) 1945年8月부터 1946年11月까지의 穀物時勢의 上騰現象

日帝統制經濟時代의 朝鮮사람으로서의 經濟的苦痛이 消費財財得問題에있음은 記憶에 새로운바이다 日帝의 食糧撤出로 말미암아 飢饉弊을 彷徨하다가 不肖의解放이 되었던 것이니 그斷斷的 經濟的慾望充足의對象이 食糧에있음은 必然之理이었다 1945年8月의 穀物都賣價格水準이 工業材料의次位로 第二位를占하고 小賣에 있어서서는 第一位를占하여 總平均指數는 上騰하고 있음은 此間의消息을 雜辯하고있다 此現象은 차차 經濟界의 混亂이 安定됨에따라 是正되었는데 都賣에 있어서서는 1946年12月까지 小賣는 同年10月까지 繼續하였다

(나) 1945年中 白米價格과 其他雜穀價格의 對峙的變動現象

第一表에서 보는바와같이 白米價格의 低價에反하여 大麥 小麥 大豆 小豆等雜穀이 強漲로서 對峙的現象을 보였으나 1946年부터는 各其季節의條件에依하여 騰落을하면서 白米價格에 隨伴變動하였다

(다) 經濟外的條件(食糧政策에依한法規失候不順等)으로因한 白米價格季節變動의 攪亂

營處에 있어서 循環的自然的힘이 作用함을 말할必要도 없거니와 그로말미암아 經濟現象이 一定한 軌路를循環하고 있는 것도 容易하게 首肯할수있다

後記 穀物時勢의動向에서 보는바와같이, 1946年11月까지는 暴騰 暴落을 거듭하면서도 人體로 季節變動의方向(趨勢)으로 推移하였는데 1946年12月1日의 鐵道 自動車等 運賃引上은 契機로 首記現象이나러나기始作하여 其時의價格拘束條件如何에따라 恒常自然的季節變動에依하여 牽制되었던 것도 大體로 逆現象을 示現하였는데 農業國인 朝鮮으로서는 稀有의 現象이었다

都賣와 小賣의價格水準은 1936年에比하면 1947年7月까지는 主로 小賣가優位에 있었으나 8月부터는 都賣가 若干程度上기始作하였다 價格의動向에 있어서서는 他種商品時勢와 같이 絕對價格에 있어서서는 連月같은變動을 하고있으나 相對物

變動率에 있어서서는 第一表及第二圖에서 보는바와같이 經濟的混亂이 整理됨에 따라 작아지고 있다 即 穀物平均指數를 보면 1945年9月의 對前月比 22.57% 10月의 11.27% 低落으로 出收季節로 말미암아 低調一路이 있었으나 10月5日附 第一號法令으로 兩朝鮮에 米穀의 自由市場開設을 許하자 投機的空氣 需要가 激增하여 1946年3月에 第一次고비에 이르렀던 것이다 이 로 말미암아 國民生活의 威脅이 社會問題로 露出하여 3月末부터 4月初에 걸쳐서 서울市民의 食糧小騒動을 惹起하였다 4月부터는 同月5日의 陸軍政長官의 「吹未滿米穀輸入의 自由」聲明 檢察廳當局의 稟利取締及 配給開始로 말미암아 時勢가 5月中까지 低弛을 經續하였는데 當時의 穀物平均指數를 보면 1945年11月에는 對前月比 15.77% 12月은 34.84% 1946年1月에는 47.82% 2月에는 59.82% 3月에는 實로 73.86%의 未曾有의 大暴騰으로 連月急激한 復利의 趨勢를 밟고 있었다 6月 7月의 強勢及 10月 11月의 低落은 季節的變動이 있었으며 12月의 對前月比 20.91%의 騰貴는 鐵道自動車等 運輸機關運賃引上으로 인한 入貨不良에 起因한 것이었다 1947年 1月 2월에 있어서서는 騰勢는 軟化하였으나 如舊히 強勁이 있었으며 3월에 들어 15日의 米穀收集成績의 發表를 契機로 營農資金 融通을 爲한 農家保米의 放出을 보아 4月까지 低調을 經續하였으나 露窮明의 切迫으로 5월부터始作된 騰勢는 7월까지 繼續하였다 8月부터 10月中旬까지는 季節的 低落傾向이 있었으나 10月18日 法律第六號에 의한 舊穀을 包含한 米穀販賣 運搬禁止로 騰貴一路인 채 越年하였다

一年中平均騰貴率을 보면 1945年9월부터 12月까지 (以下 1945年中으로 略稱함) 는 季節的 出貨轉換期인 것으로 그 때에 比較할 수 는 있으나 每月平均 1.77%의 騰貴이 있었으며 1946年中은 15.02% 1947年中에는 4.15%의 騰貴率로 趨勢變動의 Curve는 漸次弱화하고 있다 1945年8月을 基準으로 한 1947年12月中的 穀物平均價格水準은 9.35倍이었고 1936年4月을 基準으로 하면 419.96倍이었다

(2) 小 麥

白米 解放以來의 工業生産品價格이 急激한 曲線狀의 騰

貴를 하고 있는데 反하여 白米價格은 墜落을 反復하면서 他物價에 追隨하여 第二圖와 같이 算術數的 騰勢를 取하고 있다 1945年8月의 大一斗當 220圓의 時勢의 趨勢變動 季節變動을 除外한 平常價로부터의 偏差는 (第二圖B參照) 平常價의 92% 高價이었는데 이것은 一時的 經濟混亂과 出貨不足으로 말미암은 異常價格으로 볼 수 있다 9月 10月의 暴落은 그事實을 證明하고 있다 第二圖와 같이 平常價로부터의 偏差가 甚할 때 마다 社會的 騷動事件이 發生하였으니 1946年3月中의 서울市의 小米穀騷動 同年9月中의 兩朝鮮鐵道總罷業 10月初의 兩朝鮮騷擾事件을 비롯하여 其他果次의 小規模罷業事件等으로 物價特別히 食物과 같이 生活에 比하여 必需品價格變動과의 相連關係가 甚을 알 수 있다 1946年中의 白米價格 每月平均 騰貴率은 19.25% 이었고 1947年의 그것은 5.08% 이었다 (第一表參照)

小麥 1945年中의 動向은 白米와 全然反對로 月平均 10.66%의 騰貴이 있었으며 1946年中에는 9.58% 1947年中에는 3.59%의 騰貴이었다 其他雜穀時勢와 같이 1945年中의 大暴騰貴로 因하여 46.47%에 있어서서는 白米의 騰勢에 比하여 騰貴率이 弱화하고 있다

大豆 大豆의 變動容態는 前記小麥과 軌를 같이 하여 1945年中에는 18.92% 1946年中에는 15.92% 1947년에는 4.89%의 騰貴一路이었는데 1946年中의 騰貴率이 他穀物의 그것보다 甚은 營費用需要와 出貨不足에 起因한 것이었다 1947年12月時勢는 大一斗當 940圓인데 1945年8月에 比하면 20倍의 暴騰으로 그 騰貴率에 있어서 穀物의 第一位를 占하였다

其他 大麥時勢는 配給數量에 影響으로 墜落하였으므로 在子는 1948年 12月 中平均時勢는 大一斗當 2,900圓으로 騰貴率에 있어서 大豆의 次位를 占하였다 小豆 粟等 亦是 騰貴一路이였다

平均 穀物平均指數에 있어서의 騰落의 原因은 都賣의 動向에서 考察한 바와 같다 價格趨勢의 強度를 보면 1945年中은 每月 3.24%의 騰貴率로 都賣上 廻하고 있었으나 1946년에는 14.70% 1947년에는 3.99%로 都賣에 比하여 漸次弱화하고 있다

(第 1 表) 穀物時勢及平均指數表

	白 米		小 麥		大 豆		都 賣		小 賣		白米價格 季節變動 指數
	都賣(石)	小賣(斗)	都賣(石)	小賣(斗)	都賣(石)	小賣(斗)	平均指數	對前月比 %	平均指數	對前月比 %	
1945 8	2,100	220	800	80	300	45	4,484	—	4,375	—	107.58
9	1,100	110	700	70	400	50	3,472	-22.57	3,498	-20.04	99.98
10	700	75	600	60	400	60	3,080	-11.27	3,284	-6.12	98.92
11	650	112	800	90	600	80	3,566	+15.77	4,100	+24.83	94.99
12	840	104	1,200	120	800	90	4,809	+34.84	4,917	+19.92	96.62
月平均騰落率	-20.47%	-17.08%	+10.66%	+10.66%	+27.79%	+18.92%		+1.77		+3.24	
1946 1	1,800	180	1,200	120	1,100	110	7,108	+47.82	6,747	+37.22	97.02
2	3,000	320	3,200	120	3,000	120	11,361	+59.82	8,706	+29.04	97.30
3	5,800	600	6,000	350	3,000	320	19,753	+73.86	16,315	+33.60	98.24
4	5,600	580	6,000	600	3,000	320	19,861	+0.55	19,343	+18.56	98.20
5	4,800	500	6,000	600	3,000	300	18,677	-5.96	19,007	-1.74	101.09
6	5,500	700	5,700	600	4,000	440	21,775	+16.59	23,463	+23.44	103.40
7	9,000	970	5,000	570	4,000	450	26,792	+23.04	26,245	+11.86	106.81
8	9,200	940	5,000	570	4,000	490	26,858	+0.24	26,928	+2.59	107.58
9	11,000	1,200	5,000	580	3,600	480	28,087	+4.57	29,204	+8.45	99.98
10	8,400	860	4,000	460	3,400	450	23,450	-16.51	24,472	-16.20	98.92
11	6,500	680	3,800	400	3,400	400	21,313	-9.09	21,541	-11.98	94.99
12	8,200	860	3,400	360	5,000	530	25,776	+20.91	25,801	+19.78	96.62



月平均 騰落率	+20.91%	+19.25%	+8.87%	+9.58%	+16.49%	+15.92%			+15.02		+14.70
1947. 1	10,000	1,060	3,600	420	6,800	760	30,555	+18.54	30,575	+18.50	97.02
2	10,000	1,040	4,200	460	7,000	740	32,336	+ 5.93	31,895	+ 4.64	97.30
3	9,200	960	4,600	500	7,000	740	32,041	- 1.00	32,025	+ 0.10	98.24
4	8,600	880	4,400	460	7,000	740	31,811	- 0.72	31,562	- 1.45	98.20
5	9,500	1,000	5,200	550	7,200	750	33,650	+ 5.78	33,772	+ 7.00	101.09
6	11,000	1,280	6,100	680	7,300	760	37,845	+12.48	38,241	+13.23	103.40
7	13,000	1,400	6,400	699	7,400	800	40,824	+ 7.86	41,514	+ 8.56	106.81
8	11 00	1,240	5,000	550	7,400	800	38,775	- 5.02	39,315	- 5.30	107.58
9	11,000	1,200	5,000	590	7,300	760	38,130	- 1.66	37,497	- 4.62	99.98
10	12,500	1,320	4,800	520	6,800	710	37,088	- 2.73	35,091	- 6.42	98.92
11	14,000	1,500	4,600	500	7,600	940	39,373	+ 6.16	38,321	+ 9.20	94.99
12	14,500	1,560	5,000	550	7,600	940	41,966	+ 6.59	41,306	+ 7.79	96.62
月平均 騰落率	+4.86%	+5.08%	+3.26%	+3.59%	+3.55%	+4.89%		+ 4.15		+ 3.99	

註 1. 指數基準 1936年々平均=100 綜合指數算式은單純幾何平均法 從來의算術平均法을改算함 以下同斷  
 2. 1945年中 月平均騰落率算出期間은 9月부터12月까지로하였음 以下同斷  
 3. 白米價格季節變動指數算出期間은 1931년부터 1936년까지로하고 算出方式은 月別平均法에依하고 趨勢變動을除去한것임

2. 食料品

(1) 調味料

「醬料」의 價値는 1945年中은保合狀態이였으나 1946년부터는 原料類으로인한 生産量減少及 歸還同胞及越南同胞의 激増으로인한需要增加로 騰貴一路이였으며 砂糖은 解放以來外國貿易의 杜絶狀態로 品貴하여 連日暴騰一路이였다 1946年8월부터는北朝鮮으로부터의 入貨의有無에依하여一時的騰落을거듭하였는데 1945年中의 每月平均騰貴率은 都賣41.42% 小賣 44.23%이었고 1946年中은 都賣20.64% 小賣11.86% 1947年은 都賣5.95% 小賣4.42%이였다 1945年中의 小賣의暴騰上現現象이 1946年以來 都賣에後進하고있음은 生活難으로인한 家庭의消費購買力의 減少로이였다 再製鹽의 1947年12月小賣時勢 升當 100圓을 1936年에比하면 1,666倍이었고 都賣는 100斤當公定價格은 1,200圓으로 1936年에比하면444倍이였다 騰貴의主因은生産不足으로인한品貴에있었다

(2) 肉類魚類 牛肉의1945年中平均騰貴率은每月都賣18.9

3%小賣18.29%이였으며 1946年中은 都賣16.63%小賣11.44%이였다 1947年에있어서는 業者의 自肅의協調에依하여 2月1日의 斤當小賣 200圓 5月27日의180圓 7月13日의 170圓의 協定價格으로 去來되어 1947年6月9日附法令第140號의畜牛屠殺制限으로 品貴가甚하였으나 年中每月平均騰貴率은都賣4.66% 小賣5.46%에 不過하였다 年末에이르러 需要의激増을惡用한 一部業者로말미암아 斤當小賣250圓으로 暴騰하여 協定價格은一時有名無實로되었다 豚肉은牛肉과그動向을 같이하였으며 雞卵은 入貨數에依하여 恒常浮動하였으나 騰勢는弱하였다 乾明太는 1946年中은 北朝鮮으로부터의 入貨의杜絶로 每月平均20%強의 騰勢이였다 1947年中은 第2表와같이 入貨의縮減로 買氣軟弱하여 低調이였다

(3) 酒類 1946年11月의 酒類釀造禁止로 大規模生産은停頓되었으나 購買力減少로 弱한騰勢이였다

(4) 平均 1945年中의 每月平均騰貴率은 都賣17.20% 小賣14.37%이였으며 1946年은 都賣12.59% 小賣11.76% 1947年은 都賣 6.78% 小賣6.40%이였다 年初年末의需要激増期를 中心으로週期的 暴騰低調로 推移하였다

(第 2 表)

食料品時勢及平均指數表

	醬 料		砂 糖		牛 肉		乾明太		燒 酒		平均指數	對前 月比	平均指數	對前 月比
	都賣 (18立)	小賣 (1升)	都賣 (100斤)	小賣 (1斤)	都賣 (100斤)	小賣 (1斤)	都賣 (1蔞)	小賣 (20斤)	都賣 (石)	小賣 (升)				
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円				
1945.8	23.6	5 0	1 060	15	1,800	15	400	12	300	40	2,109	—	3,287	—
9	23.6	5 0	1 300	29	1,800	15	500	15	300	50	2,437	+18.94	3,839	+16.70
10	23.6	5 5	2 500	45	1,700	17	600	15	320	55	3,250	+33.78	4,305	+12.21
11	23.6	6 0	3 500	55	2,000	20	600	18	320	55	3,655	+ 9.04	4,883	+13.43
12	23.6	6 5	4 000	65	3,000	30	600	18	350	60	3,980	+11.96	5,625	+15.21
月平均 騰落率	—	+ 6.78%	+41.42%	+44.23%	+18.93%	+18.92%	+ 8.29%	+10.67%	+ 0.33%	+10.57%		+17.20		+14.37
1946.1	74.8	10.0	5,800	65	3,500	30	1,400	40	350	61	6,235	+30.72	6,877	+18.89
2	74.8	11.0	5,800	66	5,000	45	2,000	60	460	70	6,979	+14.82	8,163	+22.25
3	78.0	13.0	10,000	110	5,800	55	2,800	65	780	55	8,154	+36.87	9,016	+10.48
4	80.0	20.0	14,000	150	7,000	70	2,800	80	1,500	180	10,228	+24.98	14,988	+66.84
5	105.0	25.0	16,800	180	7,000	70	2,800	75	1,300	170	10,451	+ 2.20	12,589	-14.28

6	85.	25.0	17,000	210	7,000	70	2,600	78	1,280	170	10,477	+ 0.24	15,609	+ 5.83
7	8.0	23.0	17,000	210	7,000	70	3,000	88	1,300	180	11,209	+ 0.89	14,562	+ 7.00
8	8.0	25.0	16,000	200	7,000	70	3,400	85	2,100	230	12,856	+14.69	16,122	+10.71
9	280.0	50.0	15,000	190	7,500	78	3,600	130	2,000	220	13,964	+ 8.54	17,409	+ 7.98
10	280.0	35.0	13,000	190	9,000	90	3,400	150	2,100	270	14,134	+ 1.29	18,389	+ 5.63
11	280.0	35.0	17,000	210	9,000	80	3,500	170	1,900	220	14,110	- 0.17	18,575	+ 1.01
12	300.0	40.0	19,000	250	11,000	110	7,500	200	1,500	220	16,519	+17.07	21,361	+15.00
月平均	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
騰落率	+23.60	+16.35	+20.64	+11.86	+16.63	+11.44	+24.32	+22.22	+12.89	+11.44	+12.59	+11.76		
1947 1	300.0	60.0	27,000	320	20,000	200	8,300	220	2,000	300	21,320	+29.06	29,317	+37.25
2	450.0	85.0	27,000	320	20,000	200	8,400	180	2,000	280	22,840	+ 7.13	34,606	+18.04
3	480.0	85.0	30,000	340	20,000	200	6,000	170	2,300	280	22,480	- 1.58	34,675	+ 0.20
4	500.0	85.0	30,000	350	20,000	200	5,300	140	2,500	280	22,289	- 0.85	34,309	- 1.06
5	600.0	100.0	25,000	300	18,000	180	5,200	140	2,000	270	22,651	+ 1.02	34,532	+ 0.65
6	650.0	100.0	24,000	270	18,000	180	5,100	140	2,300	280	24,422	+ 7.82	33,189	- 3.89
7	675.0	110.0	25,000	280	17,000	170	5,000	140	2,400	300	24,465	+ 0.18	34,057	+ 2.64
8	750.0	110.0	34,000	370	17,000	170	6,400	170	3,000	350	28,154	+ 6.90	37,013	+ 8.65
9	830.0	110.0	38,000	420	17,000	170	7,000	200	2,800	320	28,761	+ 2.32	37,573	+ 0.97
10	900.0	110.0	37,000	400	17,000	170	6,800	180	2,800	300	27,169	+ 1.82	37,287	- 0.23
11	900.0	110.0	37,000	400	19,000	190	7,200	190	2,800	320	32,437	+19.39	43,172	+ 7.74
12	930.0	110.0	38,000	420	19,000	220	7,200	190	2,900	330	36,517	+11.96	44,975	+11.96
月平均	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
騰落率	+9.69	+8.63	+5.95	+4.42	+4.66	+5.46	-0.34	-0.42	+5.65	+3.57	+6.78	+6.40		

3. 織物原料

解放直後 生産機關의停頓과 在庫의一時的出廻가重疊하여 織物原料價格의 平均水準은 第五圖와같이 諸商品中第一低位에있었으나 投機의需要의 對象化하기始作한 1945年10月부터 顯著한騰落率으로上昇하여 1947年11月부터는 總平均指數를 追過하였다 絲綢 繭等原料品은 農産物임으로 低位의 價格水準을 一般物價趨勢에追隨하였으나 半製原料品에比하여 弱한騰貴率을顯하고있다 棉絲 人絹絲 生絲等半製品은 1945年1月부터 恩惠需要의 對象化하여 1947年1月의 暴利限界發表當時까지 急進的 獲利的基礎을繼續하였다 同年上半期中の 絲綢 繭價格의 暴落에反하여 半製品價格이 4월에 있어서 顯著히低落한것은 一般物價水準의 變動을表示하는 總平均指數의對前月比 騰落率 3.70%에對照하면 半製品의 投機需要의 盛旺의度를알수있을것이다 人絹絲는 品質의度가 甚하였으나 價格水準에 있어서 是 絲綢가 第一高位이었다 生絲는 國內生産品임으로 半製品中 第一低位에있었다 織物原料價格平均水準을 第五圖에依하여 他商品類別平均價格水準의變動과 比較하면 解放以後 1946年3月까지의 恩惠需要時期 1946年6月中央價格規則 第一號發布부터 1947年1月 暴利限界發表까지 同8月以後의 一般物價暴落期에 있어서 騰貴가 第一甚하였다

(第 3 表) 織物原料平均指數表(都 夏)

	1945年		1946年		1947年	
	指數	對前月比	指數	對前月比	指數	對前月比
1	238	-	1,961	+21.54	30,544	+ 8.45
2	244	+ 2.60	2,210	+12.72	29,833	- 2.33
3	256	+ 4.90	3,803	+72.04	29,538	- 0.99
4	256	-	4,220	+10.97	26,244	-11.15
5	261	+ 1.90	4,796	+13.65	27,877	+ 6.22
6	261	-	5,217	+ 8.79	28,165	+ 1.03
7	-	-	5,442	+ 4.30	30,614	+ 8.70
8	358	-	7,372	+35.47	37,451	+22.33
9	431	+20.12	9,714	+31.77	42,347	+13.07

10	600	+39.39	11,951	+23.02	44,855	+ 5.92
11	1,061	+76.60	16,453	+37.67	52,795	+17.70
12	1,613	+52.05	28,165	+71.18	65,474	+24.01
月平均						
騰落率		+46.46		+26.91		+ 7.28

4. 織 物

品質과 商品의貯藏性의高度로말미암아 投機需要의對應化하여 諸般物價高漲期때마다 他商品價格을 先行리드하였다

(1) 都 賣

廣木의1945年中 每月平均騰貴率은46.65% 1946年은19.08% 1947年은8.34%의暴騰率이었으며 絲綢는 國內生産品인關係로 他種織物에比하여 騰貴가弱하여 1945年中每月平均騰貴率은 21.32% 1946年은 16.82% 1947年은 5.95%의騰貴率이었고 人絹平織은 人絹絲의高騰에 隨伴하여 1945年中 23.25% 1946年中 23.01% 1947年은 6.88%의騰貴이었다 苧布는夏季用織物이나他織物時勢の高漲로過節期에도騰貴를繼續하여1945年中은 41.42% 1946年은 7.94% 1947年은 8.52%의 月平均騰貴率이었다 絨類美紗는熟素와 人絹織物은 人絹平織과 麻布는苧布와 同一한步調로推移하였다 法緞毛本緞 洋緞等 外國依存品은 品質로騰貴一路이었다 主要織物時勢의推移는 第 4 表와같다 第三圖에依하여 絲綢 繭織 人絹織의代表的商品의 都賣價格水準과 同原料品의 都賣價格水準을對照하면 絲綢 繭等 原始生産品(原料)價格水準은 如舊히低位의水準을 比較的堅實한步調로 騰貴를取하고 있는에反하여絲綢 生絲 人絹絲는 漸次完製品價格水準에接近하고있다 原料系統別價格水準의 變動을보면 繭 生絲 熟素는 國內生産品으로 他에比하여相對的供給數量이 많음으로 第一低位이며人絹絲人絹平織은 品質로 騰貴를繼續하고있으나 需要不多로第二位를 占하고있다 絲綢 繭絲 廣木은供給不足으로 各生産段階의 第一位를占하고있다

(2) 小 賣

廣木의 1945年中月平均騰貴率은 54.62%로織物의第一位의

暴騰이었으며 1946年은 13.36% 1947年은 8.52%로 亦是第一騰貴가 顯著하였다 熟素는 1945年中은 21.51% 1946年은 9.39% 1947年은 7.48%이었으며 人絹平織은 各年29.86% 28.87% 7.62% 의騰貴이었다 苧布는 1945年中에 每月平均 41.43% 1946年은9.68% 1947年은6.99%의騰貴率이었다 主要織物의 每月價格變動은 第4表와같다

(3) 平均

都賣의 1945年中每月平均騰貴率은 41.21%이었으며 194

6年은 16.95% 1947年은 6.46%이었다 小賣는 各年46.49% 13.23% 6.72%의騰貴率이었다

都賣의每月騰落率이 小賣에비하여 不規則的이었음은 惡感需要人氣에因함이었고 小賣가比較的安定되었음은「小賣의磨弊現象」으로이었다 販賣段階別價格水準을보면 1946年末부터 都賣가小賣上에廻하고 있는데 前記 原料價格水準과 1947年末의 小賣의都賣에비하여 顯著한 騰貴率으로보아 앞으로織物小賣時勢는 騰貴를繼續할것으로보인다 1947年11月末의 北朝鮮送電量減少로因한 生産量減少도此에反映될것이다

(第 4 表) 織物時勢及平均指數表

	廣 木		熟 素		人 絹 平 織		苧 布		都 賣		小 賣	
	都賣 (1元)	小賣 (1碼)	都賣 (1元)	小賣 (1碼)	都賣 (1元)	小賣 (1碼)	都賣 (1元)	小賣 (1元)	平均 指數	對前 月比 %	平均 指數	對前 月比 %
1945 8	250	7	300	25	130	4.9	150	165	2,013	—	2,527	—
9	500	13	500	42	180	68.5	00	330	3,113	+5.62	3,551	+40.54
10	600	19	550	47	200	7.6	450	500	4,587	+47.34	6,103	+71.84
11	650	25	640	52	250	9.5	500	550	6,384	+39.18	8,016	+31.34
12	800	40	650	54.5	300	16.0	600	660	8,006	+25.41	11,641	+45.22
月平均騰落率	46.65%	+54.62%	+21.32%	+21.51%	+23.25%	+29.86%	+41.42%	+41.43%		+41.21%		+46.49%
1946 1	900	40	690	58	350	15.3	600	660	9,536	+19.11	12,123	+ 4.14
2	1,000	40	800	85	350	15.3	700	770	10,225	+ 7.23	12,250	+ 1.05
3	2,300	70	1,000	85	500	20.0	1,000	1,100	14,219	+39.07	16,278	+32.88
4	2,000	70	1,000	60	500	23.0	1,300	1,400	14,144	— 0.53	16,909	+ 3.88
5	1,900	60	1,000	60	650	40.0	1,000	1,500	13,761	— 2.71	18,101	+ 7.05
6	2,200	65	1,100	60	600	60.0	1,000	1,350	13,892	+ 0.95	19,372	+ 7.02
7	1,900	65	1,150	60	600	60.0	1,200	1,500	14,528	+ 4.57	20,327	+ 4.93
8	2,500	80	1,650	150	1,350	60.0	1,300	1,700	19,880	+36.84	27,958	+37.54
9	3,000	85	1,650	150	1,440	70.0	1,300	1,700	22,402	+12.68	30,487	+ 9.05
10	3,600	120	2,550	150	2,400	100.0	1,300	1,700	33,677	+50.32	38,957	+27.78
11	4,500	140	3,000	150	2,700	120.0	1,300	1,700	38,367	+13.93	43,923	+12.75
12	6,500	180	4,200	160	3,600	145.0	1,500	2,000	52,407	+36.59	51,729	+17.77
月平均騰落率	+19.08%	+13.36%	+16.82%	+ 9.39%	+23.01%	+28.87%	+ 7.94%	+ 9.68%		+16.95%		+13.23%
1947 1	8,500	250	4,800	250	4,800	200.0	3,500	4,200	66,640	+27.15	72,277	+39.72
2	8,000	250	4,650	230	4,200	200.0	3,800	4,300	68,633	+ 2.99	77,410	+ 7.10
3	7,000	220	4,200	220	4,050	200.0	2,600	3,600	61,979	— 9.78	72,420	— 6.45
4	6,500	200	3,500	160	3,900	170.0	2,600	3,500	55,670	—10.18	65,356	— 9.76
5	7,000	210	3,900	160	3,900	180.0	3,200	4,000	58,770	+ 5.57	86,917	+ 5.45
6	7,500	220	3,900	160	4,200	200.0	3,500	4,500	60,595	+ 3.11	74,217	+ 7.69
7	7,500	220	4,000	180	4,500	220.0	3,500	4,500	59,649	— 1.56	73,268	— 1.28
8	8,000	230	4,200	200	4,800	230.0	3,200	4,300	61,113	+ 2.45	75,134	+ 2.55
9	9,000	280	4,800	220	4,800	250.0	3,000	4,000	64,758	+ 5.96	80,022	+ 6.50
10	11,000	300	5,400	240	5,100	280.0	2,800	3,500	73,450	+13.35	84,172	+ 5.19
11	12,000	450	6,000	270	5,700	280.0	3,000	3,800	99,725	+35.86	96,413	+14.54
12	17,000	480	8,400	380	6,000	350.0	4,000	4,500	110,260	+10.56	112,997	+17.20
月平均騰落率	+ 8.34%	+8.52%	+5.95%	+7.48%	+6.88%	+7.62%	+8.52%	+6.99%		+ 6.46%		+ 6.72%

5. 建築材料

平均指數의推移를보면 (第5表) 1945年中 每月平均騰貴率은 44.14% 1946年은 20.99%로 建築界의盛況을 反映하였고 1947年은 3.97%로 赤字財政으로因한 大規模工事의全無하였음을表示하고있다 建築業冬眠期인冬期에있어서 顯著

한騰貴를하고있음은 一般物價騰貴에因하였다 商品의個別的價格變動은 第6表와같다 解放直後8月の價格을基準으로한指數에依하면 北朝鮮에依存한「세멘트」가第一高位를占하고 板玻璃 亞鉛板 木材類의順位로되어있다 「석탄」은燃料類으로生産은不如意하나 第一低位에있다 「세멘트」板玻璃는 1947年中 數次의輸入이있었으나 騰貴를繼續하였다

(第 5 表) 建築材料平均指數表

	1945年		1946年		1947年	
	指數	對前月比	指數	對前月比	指數	對前月比
		%		%		%
1	266	—	5,206	+ 27.70	42,540	+ 6.16
2	268	+ 0.60	6,011	+ 15.46	46,542	+ 9.41
3	268	—	7,324	+ 21.84	47,367	+ 1.77
4	268	—	9,365	+ 27.87	49,043	+ 3.54
5	268	—	12,962	+ 38.40	49,115	+ 0.15

6	293	+ 9.33	15,715	+ 21.24	49,759	+ 1.31
7	—	—	17,757	+ 12.99	49,996	+ 0.48
8	944	—	22,186	+ 24.94	49,996	—
9	1,480	+ 56.72	23,455	+ 5.72	54,090	+ 8.19
10	1,777	+ 20.09	28,303	+ 20.67	54,799	+ 1.31
11	2,731	+ 53.67	33,092	+ 16.92	57,240	+ 4.46
12	4,076	+ 49.24	40,073	+ 21.10	63,945	+ 11.71
	月平均騰落率	+ 44.14		+ 20.99		+ 3.97

(第 6 表)

建築材料都賣時勢表

	挽材 (朝鮮松 1才)		板材 (朝鮮松 4分 1坪)		세멘트 (1袋 50kg)		비닐 (3等 1,000個)		板琉璃 (1箱 150平方尺)		亞鉛板 (浪板 1張)	
	價格	指數	價格	指數	價格	指數	價格	指數	價格	指數	價格	指數
1945 8	0.60	100	7.20	100	5.10	100	150	100	300	100	18	100
9	0.80	133	9.60	133	6.12	120	250	166	500	165	25	188
12	3.00	500	40.00	555	30.60	600	450	300	1,000	333	70	388
1946 3	6.00	1,000	65.00	4,333	75.15	1,500	850	566	1,700	566	90	600
6	8.50	1,416	110.00	1,527	180.36	3,600	1,400	933	7,000	2,333	220	1,222
9	14.00	2,333	160.00	2,222	290.58	5,800	1,800	1,200	13,500	4,500	260	1,444
12	25.00	4,166	300.00	4,166	420.74	7,400	2,400	1,600	22,500	7,500	600	3,333
1947. 3	30.00	5,000	360.00	5,000	420.74	7,400	3,000	2,000	25,500	8,522	750	4,166
6	30.00	5,000	360.00	5,000	480.84	9,600	4,100	2,733	22,000	7,233	750	4,166
9	32.00	5,323	380.00	5,277	480.84	9,600	4,500	3,000	23,500	7,733	1,000	5,555
12	40.00	6,666	450.00	6,250	500.10	10,000	6,000	4,000	24,000	8,000	1,300	7,222

註 指數基準 1945年8月=100

6. 金屬類

重工業의 不振狀態는 金屬類價格變動에 나타났다 1947年 12月價格은 商品性質別로 1936年에 비하면 鐵釘 鐵線 等 一般의 商品이 第一高位에 있어 約800倍의 水準이었고 斗鐵 丸鐵 角鐵等은 建築界及工業界의 不振으로 約150倍이었다 電氣銅은 1947年7月부터 對外輸出로 因連連騰이 思慮需要의 激增을 來하여 累進的騰勢이어서 217倍이었고 銑鐵 亦是 電氣銅과 같이 推移하였으나 99倍로 第一低位이었다 1945年8月의 價格水準과 比較하면 鐵釘 鐵線 等 一般의 商品이 第一高位이었고 斗鐵 丸鐵 角鐵等이 第二位 電氣銅 銑鐵等 粗製原料品이 第一低位이었다 1947年中에는 品貴로 購得이 困難하여 業者間의 物物交換이 盛況이었던 金屬類平均價格水準은 第五圖과 같이 總平均指數를 下廻하였다

(第 7 表) 金屬類平均指數表

	1945年		1946年		1947年	
	指數	對前月比	指數	對前月比	指數	對前月比
		%		%		%
1	249	—	2,427	+ 21.90	13,937	+ 31.33
2	249	—	2,837	+ 16.86	15,520	+ 11.35
3	249	—	3,471	+ 22.37	16,480	+ 6.19
4	249	—	4,800	+ 38.26	14,725	- 10.65
5	249	—	5,493	+ 14.44	14,823	+ 0.67
6	249	—	5,305	- 3.42	15,274	+ 3.04
7	—	—	5,703	+ 7.50	16,283	+ 6.61
8	678	—	5,951	+ 4.34	17,265	+ 6.03
9	697	+ 2.90	7,127	+ 19.76	19,037	+ 10.28

10	1,191	+ 70.70	7,957	+ 11.65	20,696	+ 8.71
11	1,592	+ 33.67	9,030	+ 13.49	23,485	+ 13.48
12	1,991	+ 25.08	10,612	+ 17.51	24,313	+ 3.53
	月平均騰落率	+ 30.96		+ 14.96		+ 7.15

(第 8 表) 主要金屬類都賣時勢表

	斗鐵		鐵釘		鐵線		電氣銅		銑鐵	
	價格	指數	價格	指數	價格	指數	價格	指數	價格	指數
1945 8	950	100	100	100	4,000	100	450	100	550	100
9	950	100	100	100	4,000	100	550	100	550	100
12	2,300	450	300	6,000	1,500	3,000	1,500	3,000	1,500	3,000
1946 3	3,300	1,100	500	11,000	1,800	4,500	1,800	4,500	1,800	4,500
6	5,000	2,000	1,100	13,000	1,000	6,000	2,500	6,000	2,500	6,000
9	6,000	2,100	1,500	18,500	2,500	7,000	3,000	7,000	3,000	7,000
12	7,000	4,500	2,300	45,000	3,000	8,000	4,000	85,000	5,500	12,000
1947 3	12,000	6,000	4,500	70,000	3,000	12,000	6,000	85,000	5,500	18,000
6	12,000	6,000	3,300	50,000	3,700	13,000	6,500	4,000	85,000	5,500
9	13,000	6,500	4,000	85,000	5,500	14,000	7,000	110,000	7,300	18,000
12	18,000	7,000	5,000	110,000	7,300	18,000	7,000	110,000	7,300	18,000

7. 燃料

三八線은 모-毛것을 不具化하였거니와 石炭資源의 價値는 因經濟的打撃은 鐵運斗 生産機關의 燃料不足이 그의 筆頭이였다

累次日本으로부터 輸入되었으나 總對量은 如前과 不足하였  
다 石炭은 配給以外는 全無去來이었고 煉炭亦是 原料不足으  
로 品薄이어서 連日騰貴—路이였다 長新木炭은 運輸難이  
甚其의 主因이 있었으며 揮發油는 配給數量和 鐵道運行成績에  
反比例하여 浮動하였다 石油價格은 配給數량에 依하여 推移하  
였다 1947年12月의 暴騰은 北朝鮮의 需量減少로 因한 燈火用  
A 地方精米用 需炭의 重疊으로 이었다 冬季의 需量增加로 騰

貴할은 常軌이나 1947年12月中의 煉炭 木炭 長新等 家庭用  
燃料의 騰貴는 甚著하였다 燃料의 價格變動는 第9表와 同과  
燃料平均價格水準은 圖(第3圖參照) 1947年中 繼續하  
고 低廻가 12月의 急騰으로 金屬類上 廻하였으으며 小賣에 對  
해서는 第六圖와 같이 1945年末以來 低廻하였던 것이 1947年12  
月의 急騰으로 穀物價格水準에 接近하였다

(第 9 表) 燃 料 時 勢 表

	石 炭 (混入 1 噸)		煉 炭 (九穴 1 噸)		長 新 (中新 1 坪)		木 炭 (6 貫 1 臥)		石 油 (1 續)		揮 發 油 (1 斗 量)	
	都 賣	小 賣	都 賣	小 賣	都 賣	小 賣	都 賣	小 賣	都 賣	小 賣	都 賣	小 賣
1945 8	104 <sup>円</sup>	350 <sup>円</sup>	330 <sup>円</sup>	350 <sup>円</sup>	250 <sup>円</sup>	350 <sup>円</sup>	30 <sup>円</sup>	45 <sup>円</sup>	150 <sup>円</sup>	150 <sup>円</sup>		1,200 <sup>円</sup>
9	104	350	330	450	250	370	30	45	250	250		2,500
12	104	600	330	1,200	350	500	55	65	620	620		5,000
1946 3	172	600	600	1,400	400	550	35	55	550	550		3,500
6	500	870	990	1,500	700	700	45	60	600	600		3,500
9	500	870	990	1,500	1,000	1,100	120	150	600	600		3,700
12	850	950	1,950	3,000	2,000	2,500	200	250	850	850		9,000
1947 3	800	1,200	2,250	4,000	3,000	3,200	240	270	850	900		17,000
6	800	1,100	3,000	4,000	2,100	2,300	220	270	500	600		12,000
9	1,000	1,100	4,500	5,000	2,500	2,700	330	420	600	700		9,000
12	2,000	3,000	7,500	8,500	6,000	6,200	550	650	1,000	1,800		17,000

(第 10 表) 燃 料 平 均 指 數 表

	1 9 4 5 年				1 9 4 6 年				1 9 4 7 年			
	都 賣		小 賣		都 賣		小 賣		都 賣		小 賣	
	指 數	對 前 月 比	指 數	對 前 月 比	指 數	對 前 月 比	指 數	對 前 月 比	指 數	對 前 月 比	指 數	對 前 月 比
1	230	+ 1 10	—	—	3,684	+ 12 81	7,086	+ 14 47	13,939	+ 14 14	16,990	+ 4 32
2	230	—	—	—	3,930	+ 6 67	6,250	- 11 91	15,008	+ 7 66	19,399	+ 14 18
3	230	—	—	—	3,519	- 10 44	6,152	- 1 57	15,183	+ 1 17	18,308	- 3 04
4	265	+ 15 40	—	—	3,455	- 1 84	5,799	- 5 75	13,468	- 17 29	16,994	- 9 65
5	265	—	—	—	4,717	+ 36 53	6,841	+ 17 97	11,935	- 11 38	15,663	- 7 83
6	289	+ 9 06	—	—	5,269	+ 11 71	7,301	+ 6 73	12,178	+ 2 03	15,953	+ 1 85
7	—	—	—	—	5,720	+ 8 55	8,406	+ 15 14	14,100	+ 15 78	17,493	+ 9 65
8	1,765	—	2,899	—	5,893	+ 3 03	8,734	+ 3 90	14,371	+ 1 93	18,245	+ 4 26
9	2,172	+ 23 03	3,336	+ 15 09	6,647	+ 12 78	9,599	+ 9 90	15,356	+ 6 85	20,651	+ 13 19
10	2,440	+ 12 36	4,520	+ 35 46	9,078	+ 36 57	11,542	+ 20 24	17,521	+ 14 10	24,227	+ 17 32
11	2,563	+ 5 01	5,124	+ 13 38	9,722	+ 7 10	13,704	+ 18 73	21,998	+ 25 55	28,781	+ 18 80
12	3,265	+ 27 42	6,198	+ 20 96	12,213	+ 25 62	16,287	+ 18 85	28,628	+ 30 14	41,059	+ 45 42
月平均 騰落率		+ 16 62		+ 20 92		+ 11 62		+ 8 38		+ 7 36		+ 8 00

8 肥 料

肥料價格變動은 穀物時勢와 더불어 農村經濟의 歸着點을  
指向한다 中日戰爭前 平和時代의 米穀價格과 肥料價格의 相  
關關係는 白米—石價格과 大豆粕—張의 價格을 中心으로 缺  
狀의 騰落을 하였다 이것은 實情을 反映한 것이니 管産資金流通에 있어  
서 肥料와 穀物이 交換의 關係를 임을 말한다 今日의 南朝鮮 肥料市  
價는 硫安과 大豆粕을 北朝鮮과 滿洲에 依存하고 있었으므로  
解放以前은 그 期間에 이미 決定되었던 것이다 大豆粕 配合肥料  
은 在庫의 積藏으로 去來가 杜絶되고 硫安은 北朝鮮으로부터의  
入貨及 農民에게 配給된 外國輸入品이 再出市한 極少量이 間或  
去來를 爲하였다 大豆粕과 白米價格과의 相關關係는 大豆粕

의 品切狀態로 攪亂되었음으로 硫安으로 替代하여 白米價格  
水準과 比較하면 第四圖와 같이 1946年까지의 兩者의 接近이  
硫安의 騰貴로 缺狀의 趨勢를 보이고 있다 肥料와 米穀의 價格水  
準變動의 相關關係가 甚을 故에 他種商品價格水準變動의 影  
響을 考慮外에 두드러진 肥料政策의 確立이 白米價格騰貴  
는 避免인 것이다 硫安의 1947年12月都賣時勢는 20% 12 貫 當  
3,000 圓으로 1945年8月에 比하면 50倍 1936年에 比하면 769  
倍이 었다 1947年中에 朝鮮農會를 通하여 農民에게 配給된  
外國輸入金肥及 國內生産肥料의 配給價格은 如下하다

- 一、仁川化學肥料株式會社出品  
過磷酸石灰 10 貫 8% 工場價價格 150 圓
- 二、美國輸入金肥

磷酸암모니아 45担(12買)32%  
 農民中渡價格 400圓  
 硫酸加里 45担(12買)32%  
 農民中渡價格 550圓  
 三、日本輸入金肥  
 磷酸암모니아 12買 20%  
 農民中渡價格 252圓

(第 11 表) 肥料平均指數表

	1945年		1946年		1947年	
	指數	對前月比 %	指數	對前月比 %	指數	對前月比 %
1	152	—	3,910	+16.45	21,685	—
2	152	—	5,080	+29.90	21,685	—
3	152	—	7,327	+44.23	31,440	+44.98
4	152	—	12,559	+71.42	35,718	+13.61
5	152	—	20,675	+64.62	36,725	+2.82
6	152	—	22,272	+7.72	37,208	+1.32
7	—	—	21,685	-2.63	37,208	—
8	1,133	—	21,685	—	37,208	—
9	1,428	+26.00	21,685	—	37,208	—
10	2,189	+53.26	21,685	—	37,208	—
11	2,788	+27.36	21,685	—	39,026	+4.89
12	3,358	+20.46	21,685	—	39,026	—
月平均騰落率		+31.19		+16.82		+5.02

보면 1945年中은14.63%로 他種商品類에비하여 第一低價이 있었으며 1946年은11.34% 1947年은13.20%로 品貴로말미암아 그騰貴率이激增하고있음은 他種商品類와의 相異한點이 있다 次記 雜品都賣小賣價格水準이 總平均指數에上廻하여 工業材料趨勢에 相俸하고있음은 此品目的 大部分이化學工業生産品으로 構成되어있는것을想起할때 그騰貴의原因이일 려질것이다

(第 12 表) 工業材料平均指數表

	1945年		1946年		1947年	
	指數	對前月比 %	指數	對前月比 %	指數	對前月比 %
1	343	—	15,765	+13.52	58,875	+17.01
2	343	—	18,123	+14.95	66,911	+13.65
3	343	—	25,543	+40.95	97,560	+45.80
4	343	—	30,571	+19.68	93,458	-4.20
5	424	+23.60	29,147	-4.66	112,624	+20.51
6	424	—	28,887	-0.89	149,890	+33.09
7	—	—	28,209	-2.35	148,665	-0.82
8	8,043	—	32,292	+14.47	156,179	+5.05
9	7,569	-5.90	34,141	+5.73	174,716	+11.86
10	8,427	+11.34	37,261	+9.14	181,712	+4.00
11	7,539	-10.54	41,491	+11.35	206,104	+13.42
12	13,887	+84.20	50,316	+21.27	222,882	+8.14
月平均騰落率		+14.63		+11.34		+13.20

10. 雜 品

9. 工業材料

生産不足으로 日帝統制經濟時代부터 諸商品類別中 價格水準에 있어서 第一位를占하고있었다 朝鮮의苛性曹達生産機關은 三八以北에偏在되어있음으로 解放되자 物資交流의社經로 暴騰一路이어서 1936年을基準으로한 1947年12月의 價格指數는 1,071,485로 諸商品價格水準中 第一高位이었다 價格變動이 北朝鮮으로부터의入貨量에依하였음은 말할必要없거니와 1946年6月26日 中央價格規則第一號發布以後 數個月의派生的 비누製造業景氣 1947年8月1日의同第二號의 民間生産物資의 自由處分認可로因한 비누生産用需要增加로말미암은暴騰은 特記될것이다 硫酸亦是同測로連號하여 1947年12月에는 68度45珪當6,200圓으로 1936年에비하면 1,240倍 1945年8月에비하면 36倍強이었다 酒精은商務部로부터의國內生産品配給關係로 第一低位이어서 1947年12月時勢는 工業用一罐當3,500圓이었다 1936年에비하면 833倍 1945年8月에비하면 11倍強에不過하였나 平均指數의 月平均騰貴率을

洗濯 비누는 1946年6月까지連號하였으나 前記한바와같이 中央價格規則第一號의發布로 異常의價格을 形成하였다 即 莫然한規格에決定된 最高販賣價格은 生産業者에게粗惡品生産의餘路를남겼는것이다 1947年에들어 粗惡品의去來가殆半停頓되고 北朝鮮으로부터流入하는 비누가去來되었으나 品薄으로暴騰一路이었다 1947年12月의 都賣時勢는 100個當13,000圓으로 1936年에비하면 1,057倍이었고 1945年8月에비하면 65倍이었고 同小賣時勢는 一個當 180圓으로 1936年에비하면 3,000倍 1945年8月에비하면 45倍이었다 洋紙는 生産全無로切品狀態이어서 1947年中에는 間或 去來될뿐이었다 模造紙60斤1連當 1947年12月中 都賣時勢는19,000圓이었다 고무신은洗濯비누와같이 物價統制의影響으로 沈浮을反復하였으나 雜品々目中에있어서 解放以來의騰貴率이第一弱하였고 牛皮는原料高騰으로 製棉 양말 亦是 漸騰一路이었다 主要雜品の 每年末價格及價格水準은 如下하다 (第13表)

(第 13 表)

主要雜品時勢表

品名	販賣段階別及單位	1945年		1946年12月		1947年12月		1947年	
		8月價格	指數 1936年基準	12月價格	指數 1936年基準	12月價格	指數 1936年基準	12月價格	指數 1936年基準
洗濯 비누	都賣(100個)	200	2,857	500	4,142	1,100	15,714	550	13,000
	小賣(1個)	4	6,666	8	13,333	12	20,000	300	180
女子고무 신(黑色)	都賣(10足)	250	6,756	450	12,162	1,000	27,027	400	2,000
	小賣(1足)	40	75	75	187	220	39,285	550	300
製棉	都賣(1貫)	41	1,171	58	1,657	400	11,428	975	1,200
	小賣(1貫)	47	1,305	67	1,861	450	125,000	957	1,300
牛皮(黑)	都賣(1坪)	28	4,057	35	5,072	125	17,391	428	220
模造紙(60斤)	小賣(1連)	600	4,838	1,000	8,064	166	11,000	1,833	19,000
양말 (綠色)	都賣(100足)	150	1,875	800	10,000	533	7,000	87,500	20,000
	小賣(1足)	2.50	2,777	13	14,444	520	90	100,000	230

1945年8月價格 1936年基準 1946年12月價格 1936年基準 1947年12月價格 1936年基準 1947年12月價格 1936年基準

(第14表) 雜 品 平 均 指 數 表

	1 9 4 5 年				1 9 4 6 年				1 9 4 7 年			
	都 賣		小 賣		都 賣		小 賣		都 賣		小 賣	
	指數	對前月比 %	指數	對前月比 %	指數	對前月比 %	指數	對前月比 %	指數	對前月比 %	指數	對前月比 %
1	341	—	—	—	7,497	+ 8.93	11,745	+11 62	33,139	+16.58	37,045	+28.64
2	341	—	—	—	8,260	+10 18	13,134	+11 82	46,764	+41 12	53,533	+44.51
3	343	+ 0.80	—	—	10,329	+25.04	14,534	+10 66	49,965	+ 6 84	55,821	+ 4 27
4	343	—	—	—	11,422	+10 58	14,698	+ 1.13	48,824	- 2.29	53,989	- 3 28
5	380	+10 60	—	—	11,881	+ 4 02	16,015	+ 8.96	54,420	+11.47	48,708	- 9 78
6	380	—	—	—	11,808	- 0 61	16,438	+ 2.64	53,594	- 1 52	48,893	+ 0 38
7	—	—	—	—	12,264	+ 3 86	15,117	- 8.04	56,254	+ 4.96	47,435	- 2 98
8	3,283	—	4,059	—	13,560	+10.57	16,833	+11 35	60,992	+ 8 42	49,219	+ 3.76
9	3,986	+21.42	5,063	+24.74	14,645	+ 8 00	18,017	+ 7 04	67,202	+10.18	52,795	+ 7 27
10	4,744	+19 01	7,276	+43.70	18,471	+26 12	21,137	+17.32	76,748	+14 20	54,782	+ 3.76
11	5,662	+19 36	7,951	+ 9.28	23,299	+26 13	23,740	+12.31	80,684	+ 5.13	59,647	+ 8.88
12	6,882	+21 54	10,522	+32.34	28,426	+22.01	28,758	+21.30	90,017	+11 57	63,679	+ 6 76
月平均騰落率		+20 32		+26 89		+12.55		+ 8.75		+10.29		+ 6 83

# 物 價 統 制

## II 物 價 統 制

### 1. 物 價 統 制 的 回 顧

(1) 第一期 暴利取締中心時代

(2) 第二期 確一價格統制時代

(3) 第三期 差別價格統制時代

### 2. 經濟實情이要求하는政策의方向

## II. 物 價 統 制

第一次世界大戰以後 國家勢力的經濟支配는 多種의法律의形態로達成되었다 朝鮮에 있어서도 解放以來經濟自體에內包된跋扈性을 國家支配에依하여是로 하려고 幾多의法令이發布되었다 特히 敵産(沒收歸屬)工場을 中心으로 展開된生必品生産計劃 流通面에 있어서의 物價統制 食糧政策等에 그主力을傾注하였다

### 1. 物 價 統 制 的 回 顧

(1) 第一期 暴利取締中心時代(自1945年10月13日 至1946年6月27日까지)

解放以來의 物價統制는 前述한 1945年10月5日附 法令第一條에依한 米穀最高販賣價格을 그始初로볼수있다 그러나當時의 統制範圍는 米穀뿐이였음으로 全般의物價統制의始初는 同年10月30日附 軍政廳法令第十九號의第三條「暴利에對한保護」發布로부터 始作된것으로 보는것이 正當한것이다

### 在朝鮮美軍陸軍司令部 軍政廳法令第十九號 (抄)

#### 第三條 暴利에對한保護

民衆生活의 必需品을 民衆財力의 限度以內의 價格으로 公平分配키를 確保하기爲하여 必需品의 蓄積과 過度한價格으로 販賣하여 民衆의犧牲으로 暴利을取하는것을 故에不法이라布告함

#### 第七條 本令의實施期日

本令은 發布即時施行함

1945年10月13日

在朝鮮美軍陸軍司令官의指令에依하여야

朝鮮軍政長官 에·비·아·논드  
美國陸軍少將

「日本은戰爭을 維持하기爲하여 朝鮮이飢餓로부터 衰弱하여 지기까지 其食糧과 生活必需品을凋渴」시키코 一方「消費品의生産은 거의다 停頓」되었으며 (法令第十九號第一條) 一面通貨에 있어서는 日帝終熄의 最後의發惡으로「各金融機關에對하여 預金의 無制限支拂을 命令하는同時에 朝鮮銀行에對해서는 傘下各金融機關에게 預金支拂資金의 無條件貸出을指令」하고「一方敗亡한 日本軍隊官吏에對한 軍費 其他國庫金(所謂그들이終戰費用이라 稱하는)의支出을 要求하고 甚至於 日本人亦業會社의 解散資金까지 貸付할것을命令하여 (新天地第二卷第二號 張基榮氏稿 解放後朝鮮經濟의實相)解放直前인 1945年8月14日現在 48億이던朝鮮銀行發行高가 同年9月9日 美軍進駐直前에는 85億圓으로膨脹하여 戰爭當時부터 潛在하든 인플레이션의 酵母는 極히短時日內에 醱酵하고달았든것이다 이와같은 通貨의急激한膨脹은 第一次大戰以來의 各國의前例를보아 物價의暴騰은 必然코 到來한것으로「民衆에게 害當을기침專應을防止」하기爲한「強力한非常措施의設定」이 必要하였든故로「如此한臨時의方便은 危機가 消滅되는때로 即時廢棄」(法令第十九號第一條)한 條件附로 發令되었든것이다 그러나 此法令의 實際活用問題에 있어서 當時 適正價格으로 適用할수있는 것으로는 法令第一條에依한 米穀뿐이였음으로 其他 商品에있어

서는 「過度한價格」의 莫然한 規定으로서는 어느 程度의 價格이 暴亂인지 判定이 困難하였던것이다 따라서 常識을 基準으로 한수밖에 없었으므로 當局의 取締方針은 戒告主義를 原則으로하여 相當한 罪惡果利行爲가 아니면 檢舉까지는 하지 않았던것이다 이와같은 法的 經濟拘束의 不完全에 反하여 軍官公 會社 등의 貯藏物資의 一時的 出廻와 一面 膨脹된 通貨 特히 日本人의 所持金이 그들의 在留間에 차차 朝鮮人手中에 集中되자 購買力의 激變으로 到處에 成市하고 一攫千金을 꿈꾸는 投機需要的 思潮가 羣衆心理로 沸々擴大 額化해져 變態의 名目景氣(名目景氣)를 獨來하고야 말았다 이와같은 事態에 있어서 犧牲되는것은 定額所得者이었다 食糧統制와 關聯하여 物價安定에 對한 政策確立을 要求하는 第一聲은 1946年3月末부터 4월에 걸친 市廳附近에 集集한 市民의 小騷動으로부터 爆發하였던것이다 이로 말미암아 李檢察總長은 4月11日에 「中間利得의 限界를 都費10% 小費30%程度」以上을 前記法令의 抵觸基準으로하고 這德의 審判에 依하여 推遲시킬것을 聲明하였던것이다 當時의 注力重心이 生活必需品價格에 있었으므로 이로 말미암아 第一圖와 같이 循環變動에 있어서 小費는 4月부터 顯著한 下調을 받았던것이다 그러나 低價의 原因自體에 있어서 拔根의 根本對策으로 因함이 아니었으므로 一層強力한 對策의 樹立이 要請되었는 勿論이었다

此間의 間接的物價政策으로는 1945年12月20日에 金融機關專行與信限度를 10萬圓以下로 指令된것도 特記될것이다

(2) 第二期 確一價格統制時代 (自 1946年6月28日 至 1947年6月末)

前記와 같은 複雜한 經濟의 混亂으로 말미암은 社會의 不安의 傾向하는 餘路는 綜合的經濟統制이었다 物價統制는 統制經濟란 一般의 問題의 一部로서 金融統制 生産統制 配給統制 貿易統制等과 같이 問題되는것으로 物價統制의 片貌만으로는 現實을 把握할수없다 以下면서 6月 28日附在 朝鮮美國陸軍司令部軍政廳法令 第九十號에 依하여 創設된 諸般機關의 職務機能을 參考키로한다

在朝鮮美國陸軍司令部軍政廳 法令第九十號(抄)

經濟統制

第一條 目的

本法令의 目的은 經濟統制에 關한 事務에 從事하는 朝鮮政府各機關의 責任範圍를 明白히 하고 職務及 關係를 定義함에 在함

第二條 中央經濟委員會

(가) 創設及機構

中央經濟委員會는 茲에 創設함 (以下略)

(나) 職務機能 此委員會는 左記事項을 遂行함

1. 經濟統制에 關한 모든 政府機關의 政策企劃及 活動을 調停하여 軍政長官을 輔佐함

2. 國家經濟企劃 生産可能量及 目標 輸入輸出品의 品質及 量의 決定 生産者의 材料 設備 機械裝置 動力 燃料及 勞務의 配置 輸入及 地方生産品의 配給及 利用 價格의 安定及 消費者物品의 限定配給及 供給不足物品의 收集 또는 統制를 行함

3. 價格 生産 配給 勞務에 影響을 미치는 모든 經濟統制를 發展시키고 監督하여 軍政廳에 依하여 權限을 賦與토록 軍政廳全體를 通하여 如此한 統制의 發展을 發展시키고 監督함

4. 軍政長官의 決裁를 得하여 軍政廳의 모든 代理機關에 依한 經濟行爲를 支配하는 政策을 樹立하고 또 如斯한 行爲를 成就하는 方法을 指示함에 必要한 規則 揭示及 命令을 發布함

(以下略)

第四條 中央物價行政處

(가) 創設及機構 中央物價行政處는 茲에 創設함 (以下略)

(나) 職務及機能 此行政處는 左記各項을 遂行함

1. 政策 企畫 計劃을 中央經濟委員會의 政策 企畫 計劃에 一致하게 함

2. 相關的 價格安定의 維持 消費者利益의 保護에 對한 提案을 上함

3. 價格政策及 計劃 關聯이 있는 朝鮮政府의 모든 行政部署 代理機關及 補助機關과의 連絡을 維持하며 及 그들과의 關係를 齊整함

4. 中央經濟委員會에 依하여 樹立된 價格原則及 定額內에서 價格을 決定하고 價格政策及 計劃에 關한 其他方法을 樹立하고 또 如斯한 方法의 施行을 指示함

(다) 規則의 發表

中央物價行政處의 規則은 軍政長官의 決裁를 得하여 官報에 發表되고 法律의 効力을 發生함

第五條 中央食糧行政處

(가) 創設及機構 中央食糧行政處는 茲에 創設함 (以下略)

第六條 一般告示 (自一號至第六號)의 廢止

1. (略)

2. 朝鮮石炭配給會社는 軍政廳代理機關으로서 存續함 (以下略)

3. 朝鮮水產會社는 軍政廳代理機關으로서 存續함 (以下略)

4. 石油配給代行所는 軍政廳代理機關으로서 存續함 (以下略)

第九條 施行期日

本令은 發布日에 効力을 發生함

朝鮮軍政長官 아리-•엘-리-리  
美國陸軍少將

法令第九十號에 依하여 創設된 各機關의 活動은 中央物價行政處 中央價格規則 第一號의 發布를 橋矢로 하여 始作되었다

中央價格規則 第一號에 列舉된 價格統制의 範圍을 보면 綿布 混合織布 綿洋襪 고무신 勞務靴 又는 地下足袋 運動靴 石鹼 襪子 足球 自轉車타이어 自轉車주브의 11種日의 生活必需品으로 構成된것이었다 本最高販賣價格의 適用範圍는 本法令第一條에 列舉된 商品의 最高販賣價格以上의 價格을 前提로 한 모든 經濟行爲는 全部 此法令에 抵觸되는 것이다

在朝鮮美國陸軍司令部軍政廳 中央物價行政處 中央價格規則第一號

一、最高價格의 設定 1946年5月28日附 法令 第90號第

四條에 依하여 左記最高價格을 設定함

名	單位	最高價格
(가) 綿布		
非漂白지-트地	1야-트	33圓
非漂白사쓰地	1야-트	30圓
輕綾羅地	1야-트	38圓
頂綾羅地	1야-트	40圓
(나) 混合織布		
大麻綿布	1야-트	28圓
(다) 綿洋襪		
白色	1足	9圓
有色	1足	10圓
(라) 고무신		



男子用	1 足	45圓
女子用	1 足	35圓
兒童用	1 足	30圓
(가) 勞働靴 또는 地下足袋		
白色	1 足	55圓
有色	1 足	60圓
(바) 運動靴		
男子用	1 足	45圓
女子用	1 足	35圓
兒童用	1 足	30圓
(斗) 石 鹼		
洗濯用	1 個(100匁)	12圓
(超過重量에對하여 1匁에12錢)		
化粧用	1 個(30匁)	9圓
(超過重量에對하여 1匁에30錢)		
(아) 擗 寸		
小匣	1 匣	2圓
大匣	1 匣	15圓
(나) 電 球		
50와트—30와트	1 個	30圓
31와트—65와트	1 個	40圓
66와트—100와트	1 個	10圓
100와트以上	1 個 每와트에	1圓
(차) 自轉車다이아		
26吋	1 個	160圓
28吋	1 個	175圓
(카) 自轉車츄브		
26吋	1 個	50圓
28吋	1 個	60圓

二、價格表에揭示計算의提供

第一條에列舉한品目的 商品을 販賣하는者는 購買한사람이 보기 쉬운場所에 價格表를揭示하고 購買者의要求가 있는時는 購買者에게 如斯한商品의代價를받은 正確한價額을 記入한 計算書를提出할事

三、犯罪의列舉

如何한者(自然人及는法人)라도 第一條에列舉된物品의 어느것을 第一條에依하여 制定된價格보다高價로 販賣 또는 買入 申込 또는 販賣를爲한陳列 또는 其他去來 또는 去來의申請 또는 如斯한物品을 如何한物品 奉仕 또는 經濟的利益과도 交換함은 不法임 但中央物價行政官에依하여 特別한權限의 文書로授與되었을때는不然함

四、刑罰(省略)

五、施行期日

此規則은 1946年 7月14日 24時夜半에効力이生함

軍政長官指令에依하여

1946年 6月 26日

中央物價行政官 리·이·로빈스  
美國 陸軍少佐

右規則에依한 最高價格은 當時의 一般生産機關으로서는 百方의 經營政策을써도 認容을繼續할수없는 低廉한것이였음으로 價格統制下의 該行現象이 極短時日間에 實現化하고 말았다 即 6月26日附로發令된後 半期이넘는7月14日에야 비로소發効하게된것이였음으로 此間에있어서 商街에山積되어 있던 統制該當商品이 一時에罄乏되고말았으며 發効期日以後에있어서는 變動的物價獲得競争인 裡面去來가 盛況을이

우었고 一面生産量의 顯著한減少를 齎來하고말았다 一部의 品價低下로 此價格에應할수 있는 비누 고무製品等生産業이 粗惡品生産으로 經營方針이轉換되어 一時新界의 該行景氣를 이루었으나 統制商品의 進騰으로 商品間의 價格水準의 均衡이慌亂하자 統制商品生産機關은 거의停頓되고 이로 말미암아 消費層의 必需品獲得이 極히困難하여졌음은勿論이었다 이와같이 價格統制第一號가 失는原因은 自然的經濟法則의 全的無視에있었다 本來價格統制는 對象의으로 經濟統制의 一局面이요 全般的物價統制의 一片이다 따라서 經濟統制 또는 全般的物價統制의 一方法으로서 價格統制가問題될때는 各種商品의 橫斷的 縱斷的價格均衡性을保有하여야 할것이며 市場秩序의維持 生産消費의指導에 主力을다하여야 할것이다 이와같은 要請에應하여 同年9月14日附로「統制品의 國家配給에關한」中央經濟委員會規則第一號及「紡織의原料及設備의統制에關한」第二號의 發布를보게된것이였다 一面 商務部에서는 法令第九十號에依한物資統制를 하고 있었으나 中央物價行政官의價格統制와의 有機的關聯性이缺如되어 豫期의目的을達成치못하였다 이와反面에一般商界에서는物價의 暴騰으로말미암아 價格統制該當商品이暴騰하여 一般市場에 公々한 鬧時勢去來가旺盛하여 中央價格規則은有名無實化하고말았음으로 1947年 6月 30日附 中央價格規則第二號를發布하여 第一號의 廢止를보게되었다

此間에있어서 物價低落을誘引하여 實質的으로低物價政策에 寄與된것은暴利取締을強化한 檢察當局의間接的物價統制이었다 即第一圖B와같이 1947年 1月 19日의 暴利限界에關한 決議事項發表로말미암아 都賀는2月부터 10月까지 小賣는3月부터10月까지 沈滯을 繼續하였던것이다「暴利의限界에關한決議事項」은 下記와같다

暴利의 限界에關한 決議事項 西紀1947年 2月 2日 活發表(檢察廳)

一. 軍政廳 物資管理團 其他此에準한公共機關으로부터 物價한物品의都賀價格은 其轉賣回數를 不問하고 前後를 右讓受原價의 一割五分以內 該賣價格은 其轉賣回數를通用禁하고 前後를通하여 右讓受한都賀價格의 二割以內의 加算한金額을超過치못함 右公共機關으로부터 讓受한者가 直接散賣한境遇에讓受原價의 三割以內의利潤을加算한金額을 超過치못함 前二項記載의利潤以外에運賃 其他費用은 一切此를 算치못함

二. 一般生産者의 販賣價格은 生産原價의 二割以內의 利潤을 加算한金額을 超過치못함

三. 生産原價를算出하기困難한 物品의 都賀及販賣價格 第一·二號에準함 但生産原價에比하여過大한運賃을要하는品(例 薪炭類)에限하여서는 適正運賃을加算함

四. 正當한理由없이 過度히 物品을買入한者는 此를 濫으로認定함(以下略)

1947年 1月 15日

軍政長官의指令에依하여

(3) 第三期 差別價格統制時代(自1947年 6月 30日 至 1947年 末現在)

中央價格規則第二號의發布는 第一價格政策의 完全失敗를 意味하는同時에 低物價政策盛行에對한 新戰術의 採擇을 示唆하였다 採擇된 二重價格政策(差別價格政策의 一稱)은 從來에는 經營의 實價政策 特히 cartel(Cartel)의 價格政策問題로 많이研究되었던것이나 그効益은 利潤을追求하는 經營者만 아니라 政治의目的을達成하기爲한 統制經濟下의價格對策으로서도 有益한點이 많다 統制主體의能力으로 計劃配給을 完全히實行할수 없는데에 消費者의需要充足의目標을 達成하

는方法으로서 採擇된 前例가 많은 것이다

### 南朝鮮過渡政府中央物價行政處

#### 中央價格規則第二號

中央價格規則第一號之廢止

##### 一、目的

此規則의 目的은 政府에 所屬치 않은 出處로부터 獲得한 原料를 使用하여 私의 機關에서 生産된 物品及 現在까지 1946年6月26日附 中央價格規則第一號에 依하여 統制된 物品의 去來를 自由케 할 爲한 政府 所屬 經路를 通하여 配給된 物品의 販賣價格은 中央物價行政處에서 發한 關係代行機關에 對한 指令에 一致케 制定될 爲한 爲

##### 二、中央價格規則第一號之廢止

1946年6月26日附 中央價格規則 第一號는 茲에 廢止함 然히 此廢止는 中央價格規則第二號의 有效日 以前에 犯한 中央價格規則第一號에 對한 犯罪을 無効로 하거나 또는 이러한 犯罪에 對한 現存 或은 將來의 起訴를 中止 或은 取消하리라는 圖가 아니고 또 그렇게 解釋되 어서는 안됨

##### 三、協定販賣價格

如何한 사람(自然人或은 法人)이라도 物品을 販賣할 價格或은 方式에 關하여 政府와 協定을 맺은 사람은 이런 物品을 其協定價格 보다 高價로 其協定에 違反한 他方式으로 販賣或은 引渡치 못함

##### 四、(略)

##### 五、忌避

此規則의 條項은 直接或은 間接의 方法 即手數料 物々交換 或은 使用料 運賃 容器料 或은 其他의 料金 手段으로나 또는 包含 販賣協定或은 다른 方法으로도 忌避할 不能함

##### 六、(略)

給치, 有效日

本規則은 公布日에 効力을 發生함

美 1947年 6月 30日

機構 軍政長官 指示에 依하여

中央物價行政處長 崔 泰 旭

在 價格規則 第一號의 廢止後 8月1日에 改正된 最高販賣價格을 發表된 때까지는 物價行政處에서 臨時措置로 物價行政處 第一號에 依하여 價格面의 統制를 繼續實施하였다

1) 同時에 9月1日부터 正札制을 實施하여 暴利取締의 徵收을 開始하였다 即 正札表示(公)(協)(自)三種으로 하고 締開始日 10月1日以後의 違反者는 1938年의 暴利取締令 第一條及 第七條에 依하여 處罰할 것을 公布하였다

金融面에 있어서는 金融機關專行貸付限度를 從來의 10萬圓으로부터 50萬圓으로 引上(1947年8月26日)하여 資金流通의 淸全期하였다 (8月1日附 發表된 最高價格表는 本年報附錄

經濟法規釋을 參照하시라)

## 2 經濟事情이 要求하는 政策의 方向

어느 國家를 莫論하고 最高販賣價格의 決定은 消費者保護에 있었다 그러나 最高販賣價格으로 因하여 生産이 停頓되던 그 目的을 達成할 不能했다 對外的으로 支配力이 없는 經營主體의 消極的 價格政策이나 外部的으로 獨占의 支配力을 가진 主體의 積極的 價格政策이나 政治의 要求에 依한 國家主體의 統制 價格政策이나 그 根底로 되는 것은 經營經濟의 價格政策이다 即 어떤 價格의 拘束下에서나 經營主體는 商品의 市場價格을 與件으로 하여 內部的인 計算價格政策 費用政策等 모든 手段을 다 하여 經營目的의 達成을 期한다 萬一 그것으로도 目的을 達成할 不能할 때에는 休業乃至 經營方向의 轉換의 餘路에 없는 것이다 中央價格規則의 失敗는 果言한 바와 같이 經營主體의 再生産을 可能케 할 條件의 不備 即 對策의 未備에 因하였던 것으로 今後의 政策樹立에 있어서 많은 參考가 될 것이다

第二號에 差別價格政策이 採擇된 理由는 第一號에 依한 最高販賣價格이 諸物價의 暴騰으로 自然的인 經濟法則에 依하여 最高販賣價格以下의 伸縮圈이 全然消失되어 結局에는 非彈力的인 確定價格化하고 말았음 關係로 生産界가 破綻된 까닭이 있었다 價格樹立에 있어서 經濟界의 事情을 考慮한 彈力的인 價格을 採擇하면 經濟主體의 進展과 統制目的의 適應化에 有利한 하나 他方 彈力的인 價格으로는 政治的인 統制가 脆弱하여 統制目的의 遂行이 不充分하여 지는 것도 考慮할 必要가 多分 有하다

朝鮮의 現下의 經濟實相으로 보아 經濟統制에 있어서 物價統制만 에 汲々하고 있는 것같이 見料된다 政策에 對한 要求가 弱하면 勿論 直接物價를 規定치 않고서도 間接의 方法에 依하여 奏效할 때가 있다 그러나 統制를 一層 高度化하지 않으면 안 될 要請이 經濟에 內包할 때에는 價格統制는 層層 大하여 지나 그 反面 그것만으로는 統制가 不充分하여 其他의 統制方法이 必要한 것이다 一層 더 進展하면 價格統制以外의 統制가 主體로 되고 또 더 價格統制가 受動的인 補助手段化한 것같이 보이는 것은 周知한 바이다 解放以來의 物價變動이 指向하는 朝鮮經濟의 歸趨點은 앞서 본 바와 같이 經濟主體가 第三段階의 強力한 施策을 要求하고 있다

以上을 要約하면 먼저 經營經濟의 價格統制方式을 充分히 考慮하여 自然的인 經濟發展을 期할 것이며 生産面 特別 巡政點 屬 生産工場에 強力한 施策을 樹立하여 現存 生産機關의 完全 雇傭(full employment)을 期하는 同時에 商品規格의 單一化 商品의 有價品化로 生産費用을 低下시키며 아울러 統制商品의 橫流防止 價格統制의 單純化를 期하여야 할 것이다

一面 非生産的인 市場浮動資金吸收을 爲한 各金融機關의 解放以來 五次에 걸친 貯蓄運動이 物價政策에 寄與한 바不少하였으니 今後도 此方面에 銳意努力하여야 할 것이다

# 物價水準의變動解剖

## Ⅰ 一般物價水準變動의 解剖

### 1. 商品屬性別物價水準變動의 解剖

## Ⅱ 一般物價水準變動의 解剖

### 1. 商品屬性別物價水準變動의 解剖

- (1) 動態考察
- (2) 解放直後와 1947年12月과의 比較

### 2. 一般物價水準의 數理的 解剖

- (1) 趨勢變動
- (2) 物價水準의 趨勢值으로부터의 隔離

※物價浮動騰貴趨勢의 原因(結어 代하여)

#### (1) 動態考察

(가) 暴賣 一國의 經濟發展段階의 一般的인 決定은 商品屬性

別物價水準變動으로 歸納된다 朝鮮의 그것을 보면 1945年中의 購買力의 變動方向이 日帝統制經濟의 瞬息間의 解除로 말미암아 第五圖와같이 8月中에는 穀物原料를 最低位로 金屬類 建築材料 肥料의 再生産物價格水準이 消費財全般의 下位에 있었으며 燃料을 最低로 食料品 織物 雜品 穀物의 消費財가 一般物價水準의 上位에 占하고 있었으나 日帝 生産財인 工業材料만이 諸商品類中 最高을 占하고 있으나 이것은 生産機構의 偏在으로 日帝下에 있어서도 最高을 占하고 있었음으로 例外的 存在이었다 解放以來의 急激한 化學工業消費財生産으로 인한 需要의 供給에 對한 相對的過多에 있었다고도 解釋할 수 있는 것이다 이와같은 消費財生産財의 價格水準의 差는 經濟的混亂의 安定에 따라 生産財의 相對的基礎과 消費財의 相對的低位로 漸々接近하여 왔으나 1946年9月의 南朝鮮鐵道雜業을 契機로 生産財가 消費財에 各其商品의 系統別로 接近趨勢을 보이며 諸商品全體의 價格水準이 再次分散現象을 나타내었다 특히 工業材料及 織物原料의 趨勢는 顯著히 나타나고 있다

(나) 小賣 小賣에 있어서도 都賣과 同一한 特點을 發見할 수 있다 1945年의 價格水準에서 雜品의 高位는 前記 工業材料 價格水準과의 相關關係로 理解된 것이며 穀物 食料品 燃料等 農林産物의 低位는 都賣에서 同과와 같다 1947年12月에 있어서 燃料 穀物 食料品이 一般消費財價格水準의 下位를 推移하고 있는 것 雜品 織物의 工業上産物이 高位에 있는點 亦是 都賣과 同一하다

### 2) 解放直後와 1947年12月과의比較

1947年末과 1945年8月을 比較하여 第一번 지수에 미치는 것은 (第五圖) 消費財인 生産物의 總平均指數의 下位를 占하고 있는 것과 生産財인 織物原料 建築材料가 上位에 있다는 것이다 化學工業生産品인 肥料는 앞서第一章第八節에서 同과와 같은 穀物의 相關關係에 의하여 總平均指數의 下部에서 接近하고 있으며 建築材料는 赤字財政의 反映으로 1947年初의 總平均指數와의 距離가 漸々 減少하여 年末에는 總平均指數에 接觸하고 있었다

## 2. 一般物價水準의 數理的 解理

### (1) 趨勢變動

(가) 都賣 都賣總平均指數는 各生産段階의 商品價格을 觀測 綜合한 것임으로 一般의 物價水準의 變動으로 理解된다 解放以來의 都賣物價總平均指數의 趨勢變動은

$$y = 3,433.73 + 173.6736x + 62.3628x^2$$

(原點 1945年8月 時間單位 1個月)로 規定되었다(解放以後 全期는 通하여 一個의 趨勢線으로 表示하려고 여러가지 曲線을 맞추어 보았으나 適當한 것이 없었음으로 1946年2月까지는

$$y = 3,663.5 + 775.46x \text{ (原點 1945年8月 時間單位 1個月)로 代}$$

替하였다) 即 都賣의 騰貴趨勢는 第一圖와같이 急激한 二次拋物線狀으로 推移하였던 것이다

(나) 小賣 小賣總平均指數는 消費財價格의 一般의 變動을 表示한다 解放以來의 小賣物價의 趨勢의 變動은

$$y = 216.9 + 1,581.575x + 8.1550x^2$$

(原點 1945年8月 時間單位 1個月) (小賣도 同一한 理由로 1945年8月부터 1946年4月까지는  $y = 2,566 + 1,249.1x$  原點 1945年8月 時間單位 1個月로 代替) 이었다

都賣과 小賣의 變動容態는 前記公式及公式을 圖化한 第一圖와같이 같은 二次拋物線의 趨勢를 밟고 있으나 都賣가 훨씬 強하여 1947年7月까지 低位이든 都賣가 小賣을 追過하고 있었다 이와같은 現象은 後記 購買力의 變動에서 보는 바와같이 一般의 勞働所

得 (第一圖) 趨勢에 牽制되는 까닭임은 말할 必要도 없으나

### (2) 物價水準의 趨勢值로부터의 隔離

趨勢值에 對한 偏差率은 趨勢值(正常值)로 實際值을 除한 것임으로 循環變動 季節變動 不規則變動으로 인한 物價의 趨勢值로부터의 隔離率을 表示한다 第一圖B(16支)에 依하면 都賣小賣의 偏差率의 動態는 大端히 相似하다 1945年8月의 物價水準은 不規則變動으로 因하여 趨勢值(正常值)보다 都賣는 31.04% 小賣는 30.90%의 高位에 있다 即 物價全般이 各々 31.04% 30.90% 高位에 있다 同年9月10日까지는 物資의 洪水로 低位에 있었으며 12月부터 膨脹된 通貨의 購買力化로 말미암아 1946年6月까지 平常值의 高位를 推移하였고 4月11日의 李檢察總長의 中間利潤限定及 暴利取締聲明으로 再次平常值以下에 低落하였으나 9月의 南朝鮮鐵道雜業으로 一轉上廻하였다 1947年1月19日의 暴利限界發去後 2月부터 當局의 猛活動으로 再低落하였으나 小賣에 比하여 都賣의 低勢가 緩移하였다 이것은 生必需品 最高販賣價格 關係로 小賣(生必需品임으로)의 暴利限界가 都賣에 比하여 確然하였던 까닭으로 意料된다 1947年6月30日의 中央價格規則第二號의 二重價格政策으로 10月까지 低測을 繼續한 것은 累言한 바이다 10月以後의 上昇은 年末 騰勢 農民의 購買力 增加로 이었다 小賣가 都賣의 上位에 있음은 그것을 證明한다 一面 11月20日以後의 北朝鮮 途電量 減少로 인한 生産 低下와 12月6日의 北朝鮮 貨幣改革으로 말미암은 朝鮮銀行券에 對한 不安이 物價를 昇騰시킨 것도 特記할 만하다

### ▲ 物價浮動騰貴趨勢의 原因(結에 대하여)

「朝鮮政府는 마치 富者가 乞食하는 것 같다 朝鮮政府는 日本으로부터 南朝鮮의 가장 優秀한 財源을 接收하면서도 收支를 맞추지 못하고 있다 國土는 富하나 財政은 貧困하다」(월. 스트리트. 거면紙 1947年3月24日附) 國家財政은 國民生活水準의 縮小이다 아簡單한 數句節의 外國人의 評論이 當否를 論한 朝鮮人에게 어떻게 輕蔑될 것인가 國際的 政治氣壓에 物價가 影響된 은 바도 不少하였다

1946年2月6日의 北朝鮮에서의 解放後 印刷 朝鮮銀券 通用 禁止 1946年3月5日의 北朝鮮土地改革 1947年11月20日來의 北朝鮮 途電量 減少 12月6日의 北朝鮮貨幣改革等 同族相爭의 悲劇은 事實에 忠實한 物價史에 永遠히 記錄되야 할 것이다

### (第15表) 都賣小賣趨勢變動及循環變動

	都 賣			小 賣		
	指 數	趨勢值	A/B	指 數	趨勢值	A/B
1945. 8	1,752	1,337	131.04	3,359	2,566	130.90*
9	2,047	2,113	96.88	3,813	3,815	99.95
10	2,672	2,888	92.52	4,906	5,064	96.88
11	3,256	3,664	88.59	5,795	6,313	91.79
12	4,359	4,439	98.20	7,335	7,562	97.00
1946. 1	5,301	5,214	120.84	8,543	8,811	96.96
2	6,258	5,990	104.47	9,353	10,061	92.96
3	8,414	7,705	109.20	11,645	11,310	102.96
4	9,971	9,314	107.05	13,312	12,559	105.99
5	11,381	10,048	113.27	13,772	15,111	91.14
6	12,057	11,406	105.71	14,932	16,847	88.66
7	12,806	12,890	99.35	15,808	18,600	84.99
8	14,601	14,667	99.96	17,795	20,369	87.36
9	16,292	16,231	100.38	19,317	22,154	87.19
10	18,518	18,098	102.38	21,195	23,956	88.47

11	20,577	20,070	102.53	22,462	25,775	87.15
12	25,563	22,177	115.27	26,622	27,609	96.43
1947. 1	29,761	24,409	121.93	33,272	29,460	112.93
2	32,489	26,765	121.39	38,894	31,327	124.15
3	35,076	29,246	119.93	38,486	33,210	115.89
4	33,776	31,852	106.04	36,517	35,110	104.01
5	35,144	34,583	101.62	36,101	37,025	97.50
6	37,249	37,438	99.50	37,431	38,933	96.14
7	38,797	40,418	95.99	38,635	40,906	94.44
8	40,547	43,523	95.16	39,665	42,871	92.52
9	43,221	46,752	92.45	41,441	44,852	92.39
10	45,760	50,106	91.33	42,951	46,850	91.68
11	52,311	53,585	97.62	51,753	48,864	105.91
12	58,305	57,189	101.95	55,961	50,894	109.95

註 都貨物價趨勢曲線

$$y=3,433.73+1/3.6736x+62.3628x^2 \text{ (原點1945年8月 時間單位 1個月)}$$

但 1945年8월부터 1946年2월까지

$$y=3,663.5+775.46x \text{ (原點 1945年8月 時間單位 1個月) 로代替}$$

小貨物價趨勢曲線

$$y=216.9+1,581.575x+8.1550x^2 \text{ (原點1945年8月 時間單位 1個月)}$$

但 1945年8월부터 1946年4월까지는實際와附合치 않음으로

$$y=2,566+1,249.1x \text{ 을適用 (原點1945年8月 時間單位 1個月)}$$

(第 16 表)

總 平 均 指 數 表

	1 9 4 5 年						1 9 4 6 年						1 9 4 7 年					
	都		小		貨		都		小		貨		都		小		貨	
	指 數	對 前 比	指 數	對 前 比	指 數	對 前 比	指 數	對 前 比	指 數	對 前 比	指 數	對 前 比	指 數	對 前 比	指 數	對 前 比	指 數	對 前 比
1	253	+ 0.00	238	+ 0.42	5 01	+21.61	8,543	+16.48	29,761	+16.42	33,272	+24.98						
2	255	+ 0.40	238	—	6,258	+18.05	9,353	+ 9.48	32,489	+ 9.17	38,894	+16.90						
3	259	+ 1.80	242	+ 1.68	8,414	+34.46	11,645	+24.50	35,076	+ 7.96	38,486	— 1.05						
4	266	+ 2.90	249	+ 2.89	9,971	+18.50	13,312	+14.31	33,776	— 3.70	36,517	— 5.12						
5	272	+ 2.10	254	+ 2.01	11,381	+14.14	13,772	+ 3.45	35,144	+ 4.05	36,101	— 1.14						
6	276	+ 1.47	259	+ 1.97	12,057	+ 5.95	14,932	+ 8.42	37,249	+ 5.99	37,431	+ 3.68						
7	—	—	—	—	12,806	+ 6.21	15,808	+ 5.87	38,797	+ 4.16	38,635	+ 3.22						
8	1,752	—	3,359	—	14,601	+14.01	17,795	+12.57	40,547	+ 4.51	39,665	+ 2.66						
9	2,047	+16.85	3,813	+13.51	16,292	+11.58	19,317	+ 8.11	43,221	+ 6.59	41,441	+ 4.48						
10	2,672	+30.53	4,906	+28.68	18,518	+13.66	21,195	+ 9.72	45,760	+ 5.87	42,951	+ 3.64						
11	3,256	+21.87	5,795	+18.11	20,577	+11.12	22,462	+ 5.98	52,311	+14.32	51,753	+20.49						
12	4,359	+33.86	7,335	+26.56	25,563	+24.23	26,622	+18.52	58,305	+11.46	55,961	+ 8.13						
月 平 均 落 差 率		+25.59		+21.56		+15.88		+11.34		+ 6.87		+ 6.38						

解放後南朝鮮主要都市物價趨勢及水準의 比較

	各地物價指數 (其一)					大 邱	356	525	540	544	756
	1946.12	1947.3	1947.6	1947.9	1947.12						
仁 川	352	532	536	586	784	大 田	297	510	537	549	743
釜 山	396	578	523	605	777	群 山	337	501	524	558	695
大 邱	424	512	542	583	923	光 州	—	546	584	657	862
大 田						木 浦	361	612	593	644	897
群 山						麗 水	489	492	502	540	790

	各 地 物 價 指 數 (其二)					
	1946.12	1947.3	1947.6	1947.9	1947.12	平 均
仁 川	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
釜 山	97.36	99.75	100.65	98.38	93.87	98.00
大 邱	101.64	101.37	90.71	91.78	110.87	99.27
大 田	100.73	107.59	96.12	94.60	97.15	92.24
群 山	83.97	91.36	90.57	89.33	84.90	99.03
光 州	79.14	89.05	95.54	91.25	90.29	89.05
木 浦	—	89.55	107.82	100.30	98.27	98.99
麗 水	88.89	83.08	89.86	92.75	91.50	89.22
大 邱	106.10	100.06	96.64	92.93	97.20	98.59

註 1 各地物價指數(其一)는 各其都市의 1946年1月平均價格을 基準(100)으로 한 것임으로 各其都市의 物價趨勢을 表示한다  
 2 各地物價指數(其二)는 1945年8月下旬 서울市의 平均價格을 基準으로 한指數를 各其時點의 서울市의 指數

모除外한 것임으로 서울市의 各其時點物價水準을 100으로 한 各其都市의 場所의 物價水準을 表示한다  
 本指數는 朝鮮銀行 調査部 調査에 依한 것으로 綜合된 商品은 生活必需品 53種 商品 算式은 單純算術平均法에 依한 것이다

# 市 況

## 目 次

### 序

- 1. 對 外 貿 易 市 場
- 2. 國 內 商 況
- 3. 百 貨 店 賣 上 高 指 數
- 4. 結

### 序

解放과 同時에 統制經濟의 斷時的인 環境은 從來인 內需의 物動路線으로부터 諸物資를 自由市場에 開放시켰은 것이다. 이로 인하여 市場秩序는 一時에 混亂을 招來하고 加하여 通貨의 膨脹은 非生産的인 企謀의 購買力累增을 醸成하였으니 長久한 期間을 두고 日財閥의 獨占의 支配下에 있는 朝鮮의 內外商品市場은 想像外의 混亂에 빠졌은 것이다.

이 混亂과 同程度에 對해서는 本報別項物價의 推移에 詳細히 叙述하였기므로 여기서는 解放後의 內外市場의 推移에 對外貿易市場의 變遷 國內商況 百貨店 定指數 등으로 略記하기에 止한다.

### 1. 對 外 貿 易 市 場

日政退陣後 平和的인 對外國去來는 1946年5月28日附 對外

貿易規則이 發表됨으로부터 活潑한 活動이 開始되었으나 元來 各類한 食本力과 其他의 諸般制約性은 對外貿易의 活動力을 最初부터 制限한 것이었으며 特히 爲替率의 木決 國內生産의 窒息 狀態로 말미암아 受動的인 外國貿易化하고 말았은 것이다. 初時 貿易의 相手國은 隣邦인 中國이 主이었고 日本 香港의 順位이었다. 中國으로부터의 輸入品은 大部分이 山東省 華北地方의 土產物이었으며 輸出品의 大部分은 海產物이었다. 日本으로부터의 輸入品은 機械器具類를 主로한 工業生産品이었다. 對香港貿易은 1947年6月부터 開始되어 海產物이 輸出되고 生고 毛紙類等이 輸入되었었다 (以上本報貿易篇詳述參照) 上記諸國과의 國幣收支는 恒常히 超示現하였으니 輸出入物資를 中心으로한 國內商業市場의 混亂相은 文字 그대로 貿易旋風을 이루었으며 一便貿易投機에 對한 輿論을 喚起하여 貿易統制強化를 招來하였은 것이다. 詳細한 貿易事情은 本報貿易欄에 미루고 此間의 消息을 貿易統計를 摘記하여 例示하면 下記와 같다.

(第 1 表) 商品類別 輸出入 品 價 格 表

商 類 別	1 9 4 6 年 中				1 9 4 7 年 中			
	輸 出	同 商 品 類 別 比 率	輸 入	同 商 品 類 別 比 率	輸 出	同 商 品 類 別 比 率	輸 入	同 商 品 類 別 比 率
	千圓	%	千圓	%	千圓	%	千圓	%
食料品(粗生産品)	35,019	73.35	4,159	27.40	159,808	29.26	19,753	2.31
食料品(製造品)	7,865	16.47	5,541	32.98	8,895	1.63	155,623	18.30
原 料	—	—	522	0.33	149,198	27.32	129,935	15.28
原料用製品	4,844	10.15	34,954	20.75	193,121	35.36	184,114	21.65
全 製 品	10	0.03	31,230	18.54	35,060	6.43	361,006	42.46
合 計	47,738	100.00	168,406	100.00	546,082	100.00	850,431	100.00

(第 2 表) 國 別 輸 入 品 價 格 表

國 名	1 9 4 6 年 中				1 9 4 7 年 中			
	輸 出	同 國 別 比 率	輸 入	同 國 別 比 率	輸 出	同 國 別 比 率	輸 入	同 國 別 比 率
	千圓	%	千圓	%	千圓	%	千圓	%
美 國	—	—	528	0.33	—	—	86,618	10.19
中 國	38,863	81.40	159,205	94.53	194,602	35.64	413,152	48.58
日 本	8,875	18.60	8,054	4.78	—	—	9,329	1.10
香 港	—	—	—	—	148,670	27.22	18,747	2.20
其 他	—	—	619	0.36	202,810	37.14	322,585	37.93
合 計	47,738	100.00	168,406	100.00	546,082	100.00	850,431	100.00

### 2. 國 內 商 況

前記한 바와 같이 生産財의 國內生産停頓과 外國貿易의 生産財輸入殆無로 國內生産機構는 大部分이 原料品補充難이 逢着하여 結局은 一般市場의 去來를 閉鎖化하게 되었다. 生産財有餘品의 大部分은 中間商人의 手中을 空轉하였으니 重要한 資財는 1946年7月14日附로 發表된 中央物價行政規則 第一號로 말미암아 同第二號가 發表된 1947年6月末까지는 暗市場去來로 終結하였었다. 主要生産財는 商務部及其他機關을 通하여 配給되었으니 그 數額이 적었고 配給品의 補給難으로 配給計畫

은 累次 中斷되었었다. 1947年6月30日附 中央物價行政規則第二號로 民間生産物資는 自由賣買가 公認되어 裏面으로 去來되던 物資는 一時에 出市하였다. 國幣管理工場의 生産品은 所定官價에 依하여 配給키로 되어 있으나 生産의 窒息으로 인하여 配給數額은 僅少하였다. 北朝鮮과 的物資交流는 大部分이 海路及陸路의 行商에 依한 것으로 그 數額은 不多하였으나 特殊數種類의 商去來 及物價의 變動은 北朝鮮으로부터 流入한 數額에 依存하였다. 一般市場의 商去來狀態는 統計未備로 알 수 없으므로 다음 서울市內主要百貨店統計에 依하여 그 推移를 概觀키로 한다.

### 3. 百貨店計定指數로 본市況推移

百貨店은 消費者大衆에對한 社會的營利機關으로서 去來되는商品은 穀物을除外한 一般消費財에 限定되어 있으며 總去來額에對하여 朝鮮에 있어서의 現在의百貨店이占하는 比率은 尙少한 狀態임으로 百貨店統計은가지고 全般市場의 動向을 그대로測定함은 不當한 것이나 現在 調査 가능한 主要한 資料의 하나임은 否認할 수 없다 此點을 念頭에 두고 統計을 主로 하여 一般市場의 動向을 推測키로 한다

解放後 1946年1月까지는 大企業의 在庫放出期로서 年末年初의 去來幅濶가 重疊하여 商品의 流通速度指數 (1946年 年平均基準)는 1945年12月은 147 1946年1月은 113이었다 1946年11月까지는 인플레이션景氣에 依하여 商品이 貯藏되어 下記와 如히 商品流通速度가 緩慢하여 저서一時 蔭藏物資 統廢의 必要性이 一般에 論議되었던바 1947年1月19日의 暴利에對한 檢査當局의 決議書發表 蔭藏物資 統廢로 因하여 商品의 流通速度가 增加되었다 如斯한 推移는 一般商界에 있어서는 一層 深刻하였다 如斯히 商去來方針이 匯積으로부터 薄利多賣主義로 轉換된 것은 所得水準이 低下하여 購買力이 減少하고 인플레이션의 慢性化로 因하여 市場金利가 上騰하여 商品의 積보다 商品의 回轉을 增進시킴으로써 商業利潤이 有利하여 지는 것이 主因이 된 것이었다

### 4. 結

모-든 經濟段階에서 隘路를 呼訴하고 있으나 商界에서는 國內生産品의 數量品質의 劣惡으로 因하여 外國商品이 氾濫함 이 問題의 焦點이다 運輸의 不圓滑로 因한 物資交流停頓의 解消 國內生産의 質的量的 增強 非生産的 購買力의 壓制等의 根本的 解決이 없는 一般商街은 斷아니라 모-든 經濟段階의 有機的 機能은 停止되고 이제야 自滅의 危機에 當面하게 될 것이다

(第3表) 서울市百貨店計定指數로 본市況

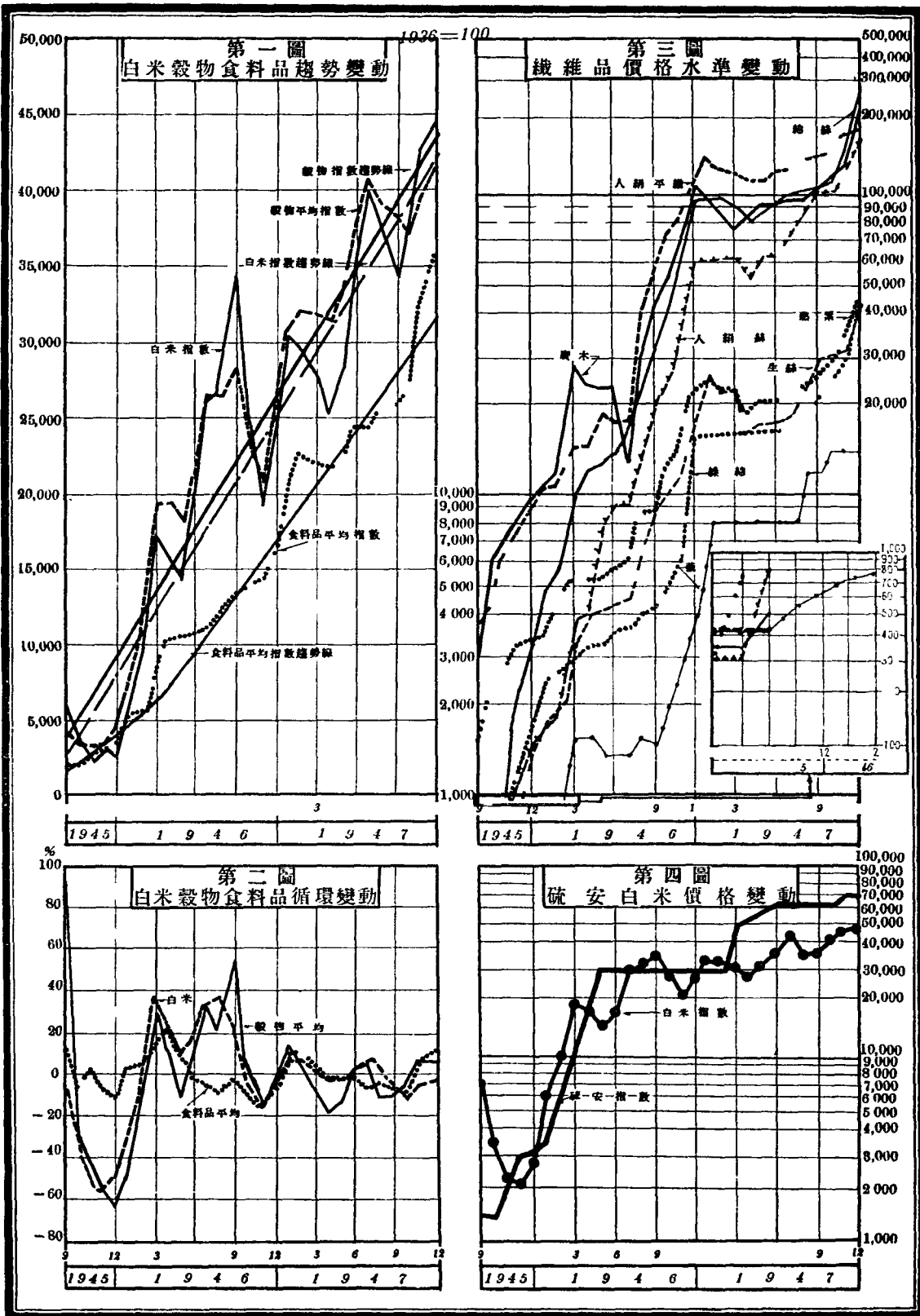
	買入指數	賣上指數	在庫指數	商品流通速度指數	小賣物假非數
1945. 12	64.84	56.36	37.85	147.72	45.20
1946. 1	20.03	41.62	35.04	118.20	52.64
2	70.50	56.75	61.05	92.48	57.63
3	106.65	87.40	81.13	107.10	71.75
4	92.57	78.12	93.30	83.31	82.02
5	61.26	83.08	92.09	89.73	84.86
6	75.95	91.14	79.03	114.73	92.09
7	53.44	87.18	107.12	80.97	97.40
8	80.24	101.10	109.76	91.62	109.64
9	124.51	107.95	129.46	82.95	119.02
10	123.30	132.63	129.96	101.53	130.59
11	219.54	133.48	146.91	90.40	138.40
12	172.01	199.57	135.10	146.97	164.03
1947. 1	87.60	154.37	145.39	105.07	205.01
2	69.73	139.76	146.61	94.37	239.65
3	75.34	154.99	140.46	109.51	237.13
4	151.25	194.62	150.89	101.98	275.00
5	68.49	213.82	144.71	146.25	222.44
6	139.55	170.06	200.14	84.10	230.63
7	67.62	186.63	142.72	102.22	238.05
8	60.45	145.11	171.13	83.92	244.40
9	76.00	163.59	171.81	94.24	255.34
10	132.90	232.40	186.51	123.32	264.64
11	134.45	293.11	175.97	164.86	318.88
12	259.11	495.28	188.47	260.09	344.81

註 指數基準 1946年々平均 = 100

物價行政法規違反摘發件數月別統計表

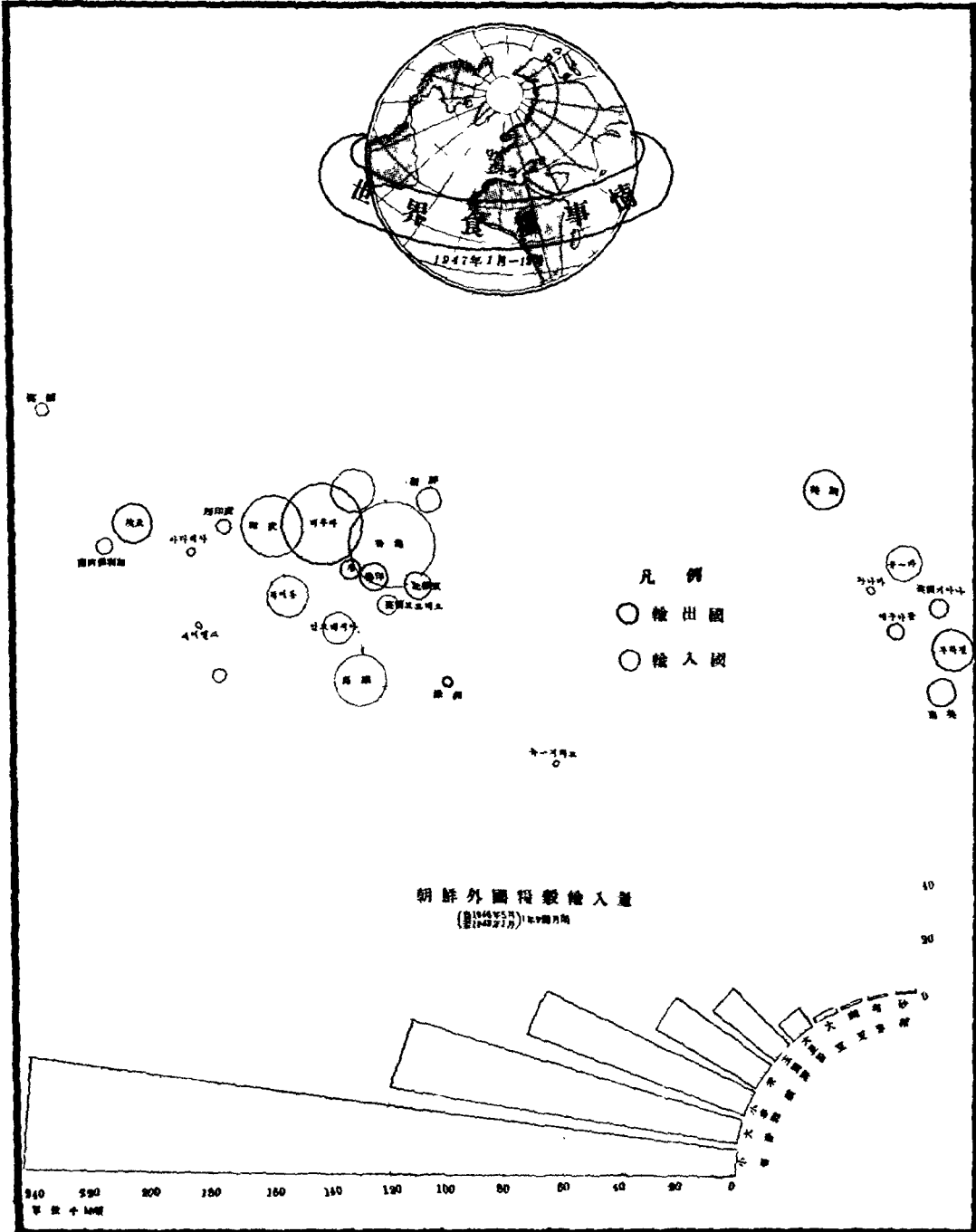
	1946年					1947年												
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
서울市	30	141	324	196	322	189	118	60	68	76	15	38	22	0	31	27	16	37
忠清北道	5	8	8	9	15	2	4	7	6	4	15	—	—	1	3	1	2	5
忠清南道	10	20	62	6	18	11	2	12	1	2	1	—	—	3	—	—	—	12
全羅北道	—	24	7	14	4	3	2	4	2	2	1	2	3	2	—	2	4	25
全羅南道	—	26	58	47	2	4	7	30	5	1	—	—	—	5	2	12	20	1
慶尙北道	8	79	115	16	27	37	5	2	1	4	2	5	5	6	2	1	10	9
慶尙南道	—	205	166	5	48	33	38	1	2	2	3	2	1	2	5	11	—	14
江原道	2	17	68	13	—	2	—	3	1	—	—	—	6	—	—	—	—	—
濟州道	—	53	67	11	—	12	—	2	2	13	—	—	—	—	—	—	2	—
合計	55	573	875	317	436	293	176	21	88	104	39	47	37	49	43	54	54	103

- 註 1. 1946年7月分은 同年7月15日物價行政處創設以後의 合計임  
 2. 京畿道는 서울市에 包含됨  
 3. 物價行政處 調査



# 食糧

(I-236)





南朝鮮食糧事情  
1945.8 ~ 1947.12

目 次

- 1. 緒 言
- 2. 解放前의食糧事情
- 3. 食糧政策의沿革
  - ① 解放前의食糧政策
  - ② 美軍政下의食糧政策
- 4. 南朝鮮食糧集配의實況
  - ① 1945年度米穀收集
  - ② 1946年度米穀收集及配給
  - ③ 1947年度米穀收集及配給
  - ④ 1946, 1947 兩年の夏秋收集及配給
  - ⑤ 輸入糧穀事情

1 緒 言

朝鮮의食糧事情은 解放前從을 通하여 두個의 大範圍에서 把握되니 其一은 1933年 日政이 朝鮮의米穀自由市場을 廢止한從부터 官僚의統制로써 歪曲되었은事實과 其二은 朝鮮의全産業機構 (特別輸送肥壤及食料品工業)의從進性의 自然的歸結로써 實地食糧消費에 있어서는 恒時機會의 調節作用이 隨伴하였은事實이나

範圍의其一 卽 解放前後는通하여 官僚의統制가 食糧事情을 歪曲化하였다는 事實은 當時의民心動向에 官僚의指示가 必要以上の 苦悶과威脅을 頂受하였는에서 容易하게 說明된다

하나 如何든 日帝侵犯以來 今日까지에 있어서도 朝鮮의 糧穀事情은 前世紀의인 自由放任에 附할수 없은 事實만은 銘記하여야 할것이다 卽 日帝의 苛酷한 朝鮮產米奪取時代는 姑捨하고 朝鮮의 産業發展自體의 歸結을生覺할때에는米穀의 自給을當한 生産의條件이 固定的인것이 못되었는것과 또 糧穀經濟를補充할 工業經濟確立의 基礎이不安된은事實은 糧穀經濟의 發展을阻害하게하였고 때에따라 糧穀經濟와 工業經濟間에 뚜렷한 矛盾을 醸成시키기도 하였은것이다 解放前의 農工併進時代의出發點과 그到達點의 差違는 이를 雄辯하고있다 解放後의 事態도 어느意味에 있어서 이와 共通되는矛盾을 內包하고 있다 하더라도 過言이 아닐것이다 何故인가하면 解放後의 産業再建中 特別產米의原動力인 基幹工業의育成을 緊急課題로하는 政策에 있어서 나시 또 彰

大한 過剩人口의 食糧保障을 爲하야 諸穀農産振興을期하지 않으면 안될 當面二大目標의相互制約性은 그前途의 辯證法的合一을 爲하려는 諸産業領域의經濟人에게 倍前의 忍耐과 創意力을 要求하고있었던것이다

이리하여 解放後 南朝鮮의 食糧事情을敘述하는 前提로서 于先 解放前의食糧事情及 食糧政策의特質을 充分히 剝明한從 主題에言及하러는바이다

2. 解放前의食糧事情

古來로 朝鮮은 農本國이었다

다시말하면 朝鮮의 食糧事情은 1876年江華條約以前까지는 泰平歲月을 謳歌함에 充分한것이였다 그러나 19世紀末부터 沿岸의開港場을 日人에게 開放하게된 然後부터의 日人資本의侵略은 低價한朝鮮의 產物 特別 米穀의 不平等의 收奪에서始作되었다

1910年은 如斯한 日帝의侵略이 처음으로 公然하게 世界에 알려진 때이다 卽 國恥日以後로 潮水와같이 밀려들어온 日帝의文物과 植民政策의法制는 1912年의 不動產登記令, 農地賣買令 及土地調査令業을先導로 朝鮮의農業生産機構——따라서 朝鮮의 食糧事情을 歪曲하였으나 第 1表와 如히 1914年以後 日人에依한 日人을爲한 朝鮮產米의繼續的 輸出은 1935年 卽 所謂朝鮮의 農工併進時代에 이르기까지 全產米의 50%以上을 日本에 強制輸出하고 同期間의 朝鮮內住民의一人當 消費高는 從前의 0.7 石으로부터 0.35 石即 1910年暹의 折半으로 減少하였음을알수 있다

(第 1 表) 米生産量、輸出量及消費量에나란한解放前朝鮮의食糧實情 (單位 千石, 千人)

年	朝鮮米 生産量	同指數	輸出量	同指數	生産量에 對한輸出 量의比率 %	輸入量	國內 消費量	國內人口	消 費 量	
									1 人當	同指數
1910	10,405	100	544	100	5.2	13	9,874	14,055	0.703	100
14	14,130	136	2,559	470	18.1	31	11,602	16,278	0.713	101
19	12,708	122	2,090	384	14	56	10,674	17,288	0.618	88
24	13,219	127	4,758	875	36.0	970	9,431	19,015	0.496	71
29	13,701	132	5,433	999	39.7	585	8,853	20,256	0.437	62
30	19,180	184	8,412	1,546	43.9	66	10,31	20,262	0.535	76
31	15,372	153	7,585	1,394	47.8	105	8,92	20,589	0.407	58
32	16,345	157	8,074	1,484	49.4	110	8,321	20,791	0.403	57
33	18,192	175	9,501	1,747	52.2	124	8,815	21,125	0.417	59
34	16,717	161	9,001	1,655	53.8	292	7,872	21,891	0.360	51

35	17,884	172	9,513	1,749	53.2	156	8,467	22,047	0.384	55
36	19,410	187	7,201	1,324	37.1	199	12,408	22,355	0.555	79
37	26,796	258	10,996	2,021	41.0	44	15,844	22,633	0.700	100
38	24,138	232	6,894	1,267	28.6	308	17,552	22,800	0.770	110
39	17,355	137	601	110	3.5	372	13,982	22,890	0.611	87
40	21,527	207	4,232	778	19.7	—	17,345	24,040	0.722	103
41	24,85	239	6,273	1,153	25.2	—	18,612	25,256	0.737	105
42	15,687	151	1,03	40	8.3	922	15,306	26,461	0.578	82
43	18,718	180	4,121	758	22.0	—	14,597	26,408	0.553	79
44	16,051	154	1,756	323	10.9	—	14,295	25,641	0.558	79

勿論 此 1910年1935年間的 朝鮮食糧事情이 滿洲其他 隣 補給이 있었지만 이도 故코 糧食에 困窮 하여 餓死 하였은은 第 2 據地域에서 代充되는 粟, 大豆 乃至는 特別 朝鮮의 麥類의 杼에서도 보는바이나 그러나 1929年의 世界恐慌에 따른

(第2表) 消費糧穀種別比率 (人口一人當年消費量 單位石)

	米	粟	麥	類	大 豆	其 他	合 計
1915—1919 (A)	0.7072	0.3034	0.4296		0.1896	0.4016	2.0314
1930—1933 (B)	0.4486	0.3254	0.4109		0.1422	0.3426	1.6697
消費量百分率 (A)	34.8	14.9	21.1		9.3	19.8	100
(B)	26.9	19.5	4.6		8.5	20.5	100

朝鮮米의 日本米에 對한 生産原價上의 優越은 多大인 當時까지의 農工併進策을 拋棄케 하고 또 韓戰 中日戰爭의 前途가 遙遠하게 되자 農業基礎는 다시 日帝의 軍需工業移入의 影響을 不系케 되었으니 朝鮮產米은 1939年에 始한 米價定額米 數配給通帳制을 通하여 一粒도 農家에 遺留치 못하게 日軍의 倉庫, 工場勞働者에 對한 優先의 分配에 使用되었고 國內一般消費者에 對하여서는 第3表와 如히 雜穀의 配給을 實施하였다 그러나 如斯한 米穀의 配給의 代置에 도 拘하고 每人當全體의 食糧消費量은 1932年의 1,655石으로부터 1939年에는 1,29石, 1940年에 1,438石, 1942年에 1,072石, 1944年에 1,058石으로 解放前 特別 1939년부터의 食糧配給制을 通하여 朝鮮內의 住民이 消費할 수 있는 食糧이란 結局 1日2合1勺~1合5勺 (米1合에 雜穀1合~1.3合) 의 平均量에 不過하였다고 볼 수 있다

※1921年

1924 //	0.670	1.532
1927 //	0.632	1.122
1930 //	0.525	1.095
1931 //	0.450	1.077
1932 //	0.521	1.128
1932 //	0.421	1.014
1933 //	0.411	1.095
1934 //	0.359	1.125
1935 //	0.384	1.018
1936 //	0.555	1.039
1937 //	0.701	1.109
1938 //	0.769(0.886)	1.107
1939 //	0.610(0.819)	1.088
1940 /	0.721(0.717)	—
1941 /	0.736(0.733)	—
1942 //	0.578(0.494)	—
1943 //	0.552(0.683)	—
1944 //	0.557(0.591)	—
平均	0.578	1.090

(第3表) 朝鮮人及日本人의 每人當米穀年消費高

(單位. 石)

	朝鮮人	日本人
1912年	0.774	1.068
1915 //	0.730	1.111
1918 //	0.680	1.143※

(第4表) 解放前三年間主要糧穀種類別平均耕地面積及生産高

	全 朝 鮮				南 朝 鮮			
	耕作面積 (自1942平均 至1944)	生 産 高 (自1942平均 至1944)	每 段 生 産 高	農家一 戶當耕 作面積	耕作面積 (自1942平均 至1944)	生 産 高 (自1942平均 至1944)	每 段 生 産 高	農家一 戶當耕 作面積
米 數	1,353,405.1	20,700,204	1.529	0.444	1,034,797.0	13,718,156	1.217	0.519
(米 數 計)	1,353,405.1	20,700,204	1.529	0.444	1,034,797.0	13,718,156	1.217	0.519
大 麥	762,016.6	5,697,482	0.748	0.250	636,785.7	5,164,239	0.811	0.319
小 麥	322,832.3	1,643,568	0.509	0.106	127,860.6	684,838	0.536	0.064
粟 類 計	35,639.9	142,531	0.405	0.012	26,578.9	115,912	0.436	0.013
稗 類 計	370,696.5	4,714,608	1.272	0.122	369,179.2	2,709,179	0.734	0.185
(麥 類 計)	1,490,709.3	12,198,189	0.818	0.489	1,160,404.4	8,674,228	0.748	0.532
粟	682,336.3	3,738,359	0.548	0.224	255,670.5	935,034	0.366	0.128
稗	47,658.7	352,272	0.739	0.016	7,159.7	27,476	0.384	0.004

玉蜀黍	147,589.8	1,064,697	0.721	0.048	15,714.4	70,327	0.448	0.008
黍	6,063.5	35,832	0.591	0.002	1,802.3	10,227	0.567	0.001
蜀黍	117,752.0	571,070	0.485	0.039	15,362.1	60,099	0.312	0.008
燕麥	48,123.8	188,566	0.392	0.016	1,451.1	3,827	0.263	0.001
蕎麥	160,382.7	539,801	0.366	0.053	63,930.6	38,170	0.060	0.032
雜穀計	1,209,906.8	6,490,597	0.536	0.397	361,090.7	1,145,210	0.317	0.181
大豆	586,977.2	2,253,156	0.384	0.193	244,771.2	877,888	0.359	0.123
小豆	169,606.4	508,673	0.299	0.056	28,642.1	81,940	0.286	0.014
綠豆	26,650.9	70,606	0.219	0.009	3,439.5	9,618	0.280	0.002
落花生	1,175.6	9,384	0.782	0.0004	643.0	4,487	0.698	0.0003
菜豆	6,699.0	21,478	0.321	0.002	912.0	3,209	0.352	0.0004
豌豆	3,392.1	10,516	0.310	0.001	314.4	1,862	0.593	0.0002
其他豆類	7,918.8	22,939	0.290	0.003	2,990.3	9,425	0.315	0.001
豆類計	802,420.0	2,896,752	0.361	0.263	281,712.5	988,429	0.351	0.141
合計	4,856,441.2	42,285,742	0.871	1.593	2,838,004.6	24,526,023	0.864	1.423
甘藷	59,095.0	94,322,997	159.612	0.193	40,362.8	59,253,823	146.803	0.020
馬鈴薯	145,455.5	170,101,163	116.919	0.048	34,719.2	39,695,299	114.332	0.017
薯類計	204,550.5	264,424,160	129.252	0.067	75,082.0	98,949,122	131.788	0.037
合計	5,060,991.7			1.661	2,913,086.6			1.461

註 全朝鮮의 農家戶數는 自1937年至1942年6個年間平均戶數로함 (3,047,664戶)  
 南朝鮮의 農家戶數는 1946年10月末現在生産品管理院調査에 依한 數字로함 (1,993,773戶)  
 本統計의 耕作面積及生産高는 農務部統計數치에 依함

(第5表) 解放前三箇年間用途別種類別食糧消費一覽表(自1941年11月至1944年10月全朝鮮分)

(單位石)

食料	總消費量%	飼料	總消費量%	種子	總消費量%	工業用	總消費量%	總消費量	全種類消費別量%	
										總消費量%
米 穀	1941年11月~1942年10月	18,743.013	98	—	358,560	2	—	19,175,062	48	
	1942 11 ~ 1943 10	16,570,834	95	—	391,583	2	444,260	3,174,283	47	
	1943 11 ~ 1944 10	16,450,113	96	—	286,061	2	439,616	2,172,133	46	
麥 類	1941 11 ~ 1942 10	8,556,398	94	2	368,783	4	—	9,140,813	23	
	1942 11 ~ 1943 10	5,988,522	91	1	454,478	7	53,730	6,600,726	18	
	1943 11 ~ 1944 10	5,752,127	85	1	530,583	8	365,255	6,737,275	18	
豆 類	1941 11 ~ 1942 10	2,234,282	65	1,042,369	31	150,432	4	3,427,083	9	
	1942 11 ~ 1943 10	2,315,144	68	592,224	17	386,239	11	122,073	4,341,680	9
	1943 11 ~ 1944 10	2,082,991	68	472,828	16	316,202	10	177,753	3,049,774	8
粟	1941 11 ~ 1942 10	3,929,203	99	39,466	1	17,460	—	3,986,129	10	
	1942 11 ~ 1943 10	4,481,210	98	31,859	1	29,605	1	10,466	4,552,940	12
	1943 11 ~ 1944 10	4,183,789	98	23,658	1	33,531	1	2,420	4,243,398	11
雜 穀	1941 11 ~ 1942 10	2,110,531	89	177,947	8	72,571	3	—	2,361,049	6
	1942 11 ~ 1943 10	2,758,413	85	121,719	4	102,046	3	258,159	3,240,337	9
	1943 11 ~ 1944 10	3,235,275	88	91,861	3	124,541	3	210,194	3,661,871	10
薯 類	1941 11 ~ 1942 10	605,180	90	25,881	4	42,420	6	—	673,481	2
	1942 11 ~ 1943 10	638,846	75	13,766	1	211,160	23	10,550	934,322	2
	1943 11 ~ 1944 10	1,079,015	81	27,371	2	223,218	16	6,819	1,336,423	4
穀 粉	1941 11 ~ 1942 10	598,237	81	19,814	3	121,316	16	—	739,367	2
	1942 11 ~ 1943 10	673,755	53	6,284	—	97,148	8	48,799	1,265,984	3
	1943 11 ~ 1944 10	638,643	56	8,112	1	177,466	16	312,211	1,136,432	3
合 計	1941 11 ~ 1942 10	36,776,844	93	1,594,598	4	1,121,542	3	—	39,502,984	100
	1942 11 ~ 1943 10	33,496,724	90	881,810	7	1,672,257	4	1,388,037	4,374,332	100
	1943 11 ~ 1944 10	33,421,953	89	751,103	2	1,691,602	5	1,521,263	4,373,852	100

(第6表)

解放前三箇年間南朝鮮

		農 村			都 市			人 口
		人 口	消 費 量	同 上 一 人 當 量	人 口	消 費 量	同 上 一 人 當 量	
京 畿	1941年11月~1942年10月	1,472,900	2,443,666	1.659	1,237,600	1,386,037	1.120	17,100
	1942年11月~1943年10月	1,507,700	2,214,975	1.469	1,469,700	1,359,949	0.925	17,400
	1943年11月~1944年10月	1,538,200	2,223,813	1.466	1,485,900	1,450,816	0.976	19,400
忠 北	1941年11月~1942年10月	837,800	1,240,034	1.397	32,000	38,593	1.206	—
	1942年11月~1943年10月	882,600	1,260,417	1.428	31,500	35,912	1.140	—
	1943年11月~1944年10月	873,600	1,092,922	1.251	30,500	34,467	1.130	—
忠 南	1941年11月~1942年10月	1,334,400	2,118,976	1.588	217,800	280,336	1.287	9,800
	1942年11月~1943年10月	1,376,300	2,142,362	1.557	181,100	204,358	1.128	11,500
	1943年11月~1944年10月	1,382,100	1,947,598	1.409	179,700	170,436	0.949	13,400
全 北	1941年11月~1942年10月	1,324,800	2,250,560	1.699	230,400	351,905	1.527	9,800
	1942年11月~1943年10月	1,342,800	1,947,489	1.445	200,600	227,274	1.133	10,400
	1943年11月~1944年10月	1,338,800	1,855,152	1.386	196,400	194,656	0.991	10,000
全 南	1941年11月~1942年10月	2,189,400	3,745,981	1.711	398,500	488,032	1.225	42,300
	1942年11月~1943年10月	2,470,000	3,145,318	1.400	346,100	334,510	0.967	52,300
	1943年11月~1944年10月	2,221,700	3,013,727	1.356	343,700	329,032	0.957	93,000
慶 北	1941年11月~1942年10月	1,948,900	3,040,424	1.560	418,200	473,176	1.131	26,800
	1942年11月~1943年10月	1,927,000	2,757,850	1.431	370,400	363,684	0.987	33,600
	1943年11月~1944年10月	1,903,000	2,599,237	1.366	355,000	345,507	0.973	40,400
慶 南	1941年11月~1942年10月	1,578,200	2,384,980	1.511	518,600	654,165	1.261	66,400
	1942年11月~1943年10月	1,599,600	2,081,003	1.01	447,500	492,889	1.101	78,400
	1943年11月~1944年10月	1,585,900	2,007,824	1.266	433,900	416,482	0.960	91,700
江 原	1941年11月~1942年10月	1,482,300	2,253,264	1.594	213,300	252,313	1.183	43,100
	1942年11月~1943年10月	1,502,100	2,155,827	1.435	211,200	247,731	1.173	41,900
	1943年11月~1944年10月	1,456,600	2,189,779	1.463	210,400	269,478	1.281	60,700
合 計	1941年11月~1942年10月	12,218,700	19,477,885	1.594	3,266,400	3,924,557	1.201	215,300
	1942年11月~1943年10月	12,385,400	17,705,241	1.430	3,258,100	3,266,307	1.003	245,500
	1943年11月~1944年10月	12,339,900	16,930,052	1.372	3,235,500	3,210,874	0.992	328,600

註 便宜上江原道는全部南朝鮮에 포함하고 黃海道는全部北朝鮮으로 보아 除外하였다 故로 消費量과多少의 差異가 有함 濟州道는全線南道에 包含되였다

3. 食糧政策의沿革

(1) 解放前의食糧政策

朝鮮에 있어서의 食糧政策은 周知하는바 米穀政策을 主軸으로 轉移하였고 또 此政策이 米穀의 生産自體에 對한 統制하기 보다 米穀의 消費面이 統制의 試煉場을 받은 것은 1933年 即 距今 15年前인 것이다 即 1910年 日帝의 公然한 朝鮮 侵略後 日帝가 朝鮮의 肥沃한 南滿米穀産地에 日人의 所有權을 扶植하는 한편 1920年及 1926年의 産米擴張策으로써 (品種改良, 農地開發, 水利事業, 肥培管理等) 年收 23,000千石의 平均收穫을 保障해오던 日政當局은 1932年 滿洲事變을 契機로 軍糧米의 補給, 滿洲에서의 代用食糧穀의 強奪—이므로 因한 朝鮮內米穀消費의 節約을 꾀하던 次 次 1933年 10月에 이르러 米穀統制法을 發布하여 從來의 自由市場에서 米穀의 自由買賣을 制限하는 한편 各港地의 米穀輸出事務를 統制하였고 (第1條) 且 同時에 政府의 米穀收買行爲의 便利를 圖謀하여 米價에 最高及最低의 兩價格制은 創設하였던 것이다 (第3條)

此措置가 朝鮮의 米穀生産體制及 關係産業機構에 一大改換을 齎來했었던은 自明한 일이다 即 1933年의 朝鮮最初의 米穀統制法의 實施는 從來의 越々片의 專賣事業外에도 官營의 干涉이 波及된 것인다는 前途에 對한 不安을 자아냈으니 1934

年부리의 米穀生産實額의 低下는 勿論 從來의 農地改良事業에 對한 我國農民의 非協力的態度는 드디어 日政으로써 米穀生産實額에 對한 地方巡視은 不可避하게 하였다 이가 이 米穀統制法發動의 第一影響이다 第二의 影響은 此統制法의 實施過程에서 보이는 米穀輸出을 爲한 朝鮮의 輸送施設에 對한 過度한 官營의 干涉이고 第三影響은 輸出外의 港灣에의 集散을 尙貨로 하는 米穀工業의 繁盛이다

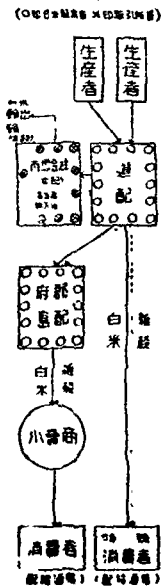
그리하여 1937年에 이르러 다시도 中日戰爭을 挑發하였던 日政府는 1939年~1940年의 兩년에 걸친 米穀의 凶作과 이에 따르는 朝鮮民衆의 心理的動搖에 對하여 1939年 드디어 國內米穀消費을 規正하려는 意圖下에 米穀配給通制制은 創始함과 同時에 米價의 單一公正價格을 發布하여 農民의 犧牲으로써 從來의 消極的消費現狀을 止揚하여 于先消費人의 食糧安定을 꾀하였던 것이다

各道의 食糧配給組合이 官營의 指令으로써 出現하게 된 것도 이때이나 1940年 各道配給組合은 다시 日系의 老練한 實業人의 操縱下에 各道糧穀株式會社로 改稱하게 되고 此等會社의 中央統制會社로써 設置되는 『朝鮮米穀市場株式會社』가 設立되어 朝鮮米穀統制會 (1939年)에 依據하여 各道糧穀會社가 米穀의 強制配給, 強制販賣, 及 對外輸出事務를 取扱하는 데 呼應하여 中央에 있는 此 米穀市場會社는 總督府의 官營機關化하여 朝鮮米의 輸出入 專業으로써 1941年에 이

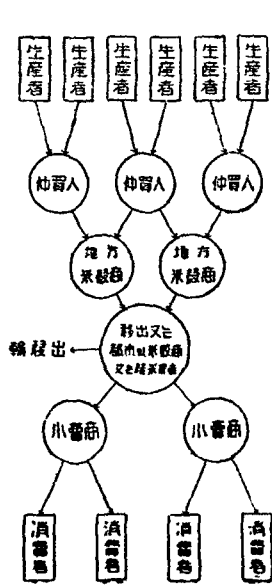
業態別食糧消費高 (1941年11月~1944年10月)

消費高	同一人當	漁業		農業		工業		合計		
		人口	消費高 石	人口	消費高 石	人口	消費高 石	人口	消費高 石	
30,604	1.790	20,500	40,650	1,594	248,900	283,436	1,139	3,002,000	4,184,393	1,394
26,552	1.526	10,100	12,940	1.281	79,100	70,796	0.895	3,084,000	3,685,212	1.195
34,058	1.756	14,700	18,261	1.42	108,300	102,589	0.947	3,166,500	3,829,537	1.209
—	—	11,600	13,190	1.137	8,600	9,647	1.122	940,000	1,301,464	1.385
—	—	12,700	12,861	1.031	10,200	9,371	0.919	937,000	1,318,561	1.407
—	—	16,900	17,878	1.058	13,300	12,013	0.903	934,300	1,157,280	1,239
17,543	1.790	11,600	15.89	1.327	18,400	20,825	1.132	1,592,000	2,453,069	1.541
17,458	1.518	10,200	11.471	1.125	22,900	20,494	0.895	1,602,000	2,396,143	1.496
23,522	1.755	9,600	11,504	1.158	27,000	25,567	0.947	1,611,800	2,178,627	1.352
17,543	1.93	4,700	7.380	1.570	26,300	30,701	1.167	1,596,000	2,658,089	1.665
15,791	1.518	5,400	6.103	1.130	29,400	24,588	0.836	1,583,600	2,221,245	1.394
17,557	1.756	6,700	8.028	1.198	39,700	36,092	0.909	1,591,600	2,111,485	1.327
75,919	1.795	9,300	11,845	1.274	41,500	48,446	1.167	2,631,000	4,370,223	1.630
79,804	1.526	9,900	9,887	0.999	51,470	39,702	0.772	2,707,000	3,609,221	1.333
163,268	1.756	12,200	13,404	1.099	27,000	25,567	0.947	2,697,600	3,544,998	1.352
34,911	1.303	14,900	17.44	1.177	35,200	39,457	1.121	2,444,000	3,605,512	1.475
35,028	1.043	20,100	20,355	1.013	74,900	68,809	0.719	2,426,000	3,245,726	1.338
34,832	0.861	25,800	27,294	1.058	83,900	76,271	0.909	2,408,100	3,083,111	1.203
73,743	1.111	5,500	7,004	1.273	71,300	83,238	1.167	2,240,000	3,203,130	1.430
103,963	1.326	7,000	6,822	0.975	106,500	89,067	0.836	2,239,000	2,773,744	1.239
151,255	1.649	9,000	9,471	1.052	117,700	107,000	0.909	2,238,200	2,692,032	1.203
46,625	1.082	48,800	59,848	1.226	29,500	42,102	1.427	1,817,000	2,654,152	1.386
38,997	0.931	60,400	62,812	1.040	33,400	43,917	1.315	1,849,000	2,549,284	1.379
64,143	1.057	73,800	87,717	1.189	39,600	46,285	1.169	1,881,100	2,657,402	1.413
296,838	1.379	131,900	172,850	1.310	479,700	557,852	1.163	16,312,000	24,430,032	1.498
317,593	1.294	135,800	143,251	1.055	407,300	366,744	0.899	16,432,600	21,799,136	1.326
488,605	1.487	168,700	193,557	1.147	456,500	431,384	0.945	16,529,200	21,254,472	1.277

糧食配給新機構



米穀分配舊機構



그러나 實現한滿洲雜穀輸入組合이 此朝鮮米의 對日輸出에 代身하는 雜穀輸入을 專業으로 하게 되었다 이 際 1941年即 日本의 太平洋戰爭開始年에 企業實施된 朝鮮의 新糧食配給機構의 相互關係를 舊米穀分配機構와 比較圖示하면 左와 如하다

그러나 이러한 食糧統制機構도 戰爭의 苛烈化와 이에따르는 食糧消耗로 말미암아 食糧集配上의 民間企業體의 利害打算이 뚜렷이 보이게 됨에 日政府는 1943年10月에 이따라 從來의 食糧統制機構를 發展의 爲로 解消하여 日帝式國策機關인 食糧營團을 創設하게 되었다 即 食糧營團은 從前의 食糧統制機構의 官營企業의 變貌인 동시에 戰爭遂行을 爲한 兵站倉庫로써 發足하게 되었다 따라서 從前의 民間企業體의 色彩은 食糧統制機構面에서 拂拭되고 日政府는 國家財政에 新規로 此營團企業豫算을 編案하여 事實上 糧穀 特別米穀은 專賣物品化하게 되었다 이러한 措置의 影響이 從來의 農家 仲買米穀商의 經濟의 基盤은 勿論 一般消費者의 食糧安定에 戰時體制의 威壓을 주었든 事瓦는 數百만必要 없거니와 大豆粕과 玉蜀黍로 延命해온 滴去의 朝鮮人의 生活을 回顧하면 感傷無量한 것이었다

(2) 美軍政下의 食糧政策

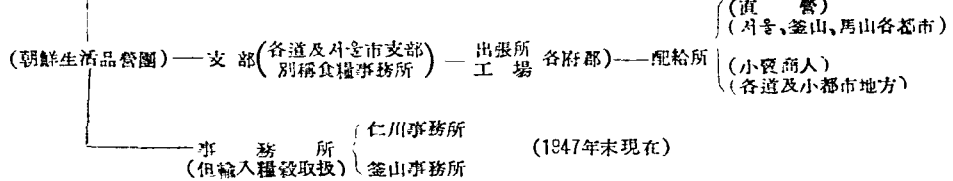
1945年9月9日 美軍이 서울에 進駐하여 食糧政策의 第一着으로 右告한 것이 米穀의 自由市場開設와 正租의 農家最低

販賣價格을 32圓(貳當)으로 制定한것이다 1945年10月11日 附 米穀의 自由市場開設은 美進駐軍의 政治的 理念의 反映이었고 32圓의 正租單價(最高)는 또한 오랫동안 日帝의 鐵蹄 下에서 萎縮된 朝鮮의 農村經濟에 活路를 指示하는것같이 보인다 當時 國內物價의 暴落時勢와 民心의 樂觀乃至는 26,000千石 (以南分만18,000千石) 生産을 誇稱하던 1945年度 米穀豐作으로 인한 食糧收穫의 好況에 비추어 볼때 그러 하였던것이다

그러나 解放의 謳歌와 自由의 祝宴이 있는곳마다 密酒, 造餅, 製鉛等이 旺盛했던解放後2~3個月의 米穀騰貴는 드디어 1945年12月부터 一般物價는 勿論 米穀價를 다시 解放前의 關價格인 斗當150圓臺로 올으니 雨後竹筴格인 米穀商의 族

生과 아들에 의한 米穀買占 農家의 吝嗇等이 露骨化하게되자 大部分의 都市民金勞動者 固定收入者들의 食糧危機는 再來 하게되니 京鄕의 各新聞은 連日 米穀自由市場의 終了을 勸告하고 代身 米穀의 配給制를 主張하였던것이다 (自由新聞 1945.12.8刊) 過去에 있어서 米穀經濟와 米穀配給은 서로 矛盾하였기에 보처럼 解放後 此矛盾을 止揚하리던것이 이제 와서는 米穀經濟는 米穀配給이 없는 存立할수 없게되었다 于 先 農村의 窮狀이 그렇고 都市民의 飢餓가 此를 不可避하게 하였다 1946年2月 美軍政은 米穀自由市場의 廢止를 公布하고 緊急法令으로써 1945年度 米穀收集令을 宣布하였다 同時에 食糧集配機關을 如下히 創設하여 後項에서 詳述할바 食糧安全에 積極의 努力을 傾注하게되었다

中央  
食糧行政處—生活品管理院



그러나 1945年度 產米收集 (1946年2月15日 收集令發動) 이 나 1946年度 夏穀收集成績이 各其 5% 又は 4% 이던것을 1946年 產秋穀收集 때부터는 倍前의 成績으로 挽回하여 1947年度 夏穀及秋穀收集에 있어서 各其 日 目標의 98% 又は 97% 의 好成績을 내거한 前後5회에 걸친 糧穀收集에對한 官民의 協同은 높이評價해야 할것이다 때에 따라서는 糧穀收集資金의 季節의 放出乃至는 收集糧穀運搬을 위한 南朝鮮輸送能力의 動員(約80%는 糧穀輸送에集中)의 結果가 季節의 物價騰貴의 直接의 原因이 되는비도 없지않았고 또 때에 따라서는 食糧配給은 飢饉人口을 增加시키는 逆効果를 낸다고도 非難을 받 아왔다 勿論 後述할바 糧穀收集의 再行은 農家에게 過去日 政時의 쓰라린 經驗을 想起시켜 그들의 故意의 反對를 惹起시킨 바도 없지않았다 또 第一 驟然한것은 米穀의 自由搬入與否를 論議코 民間과 關係當局間의 措置是非——이윤 奇貨로 한 投機商의 蠢動乃至는 政治的 宣傳材料로서의 利用과 流布는 解放後의 煩雜한 政治面에 害로운 波紋을 던져준바 不少하였다 그러나 1947年度 米穀收集이 成功裡에 進行되고 있는 今 日에 있어서 오직 하나의 남은 問題는 如何히 農民經濟力을 伸張시키 면서 今後 糧穀收集을 完遂하느냐에 있다 1946年度 夏穀收集令 (立法院院制定)은 總收穫高의 5分之1 即 20%를 收集目標로 할것을 決意하였고 其後 1947年末에 있어서의 秋穀收集令은 全收穫量의 40% 內外인點은 收集目標量으로 세울것을 指摘하였다 이것만 보면 確實히 解放後의 糧穀收集令이 解放前 日政下의 그것에 比하여 緩和된 것임을 알 수 있다 그러나 農家의 地位別 糧穀收集剩餘量에 있어서 는 아직 公正을 期할수 없다고 볼 수 없는 諸非難이 없지 아니하다 이런 非難이 있고서야 이 些 農業經濟力의 包括의 伸張이 있을수 있겠느냐가 問題된다는것이다 每年의 糧穀需要量의 約40%를 外國에 依賴하지 않을수 없게 되는 根本原因도 (後述) 바도 여기에 있다 即 農家經濟力의 伸張을 圖謀해야 收集剩餘量에 上述한바 日帝時代의 折半의 率으로 引下하였어야도 이 由인하여 外國糧穀의 輸入이 不可避하다면 屢屢한바 糧穀經濟와 全產業乃至는 國富와 比比重이 遜劣되는바 없지않다는것이다 그뿐 아니라 農家經濟力을 最後까지 伸張한 意圖이 大體 物價高 特히 工産物價高에 力이 되는 農家經濟力을 다시 또 如何히 保障하여야 할것인가의 問題도 擡頭하지 않을수 없다

4. 南朝鮮食糧集配의 實況

(1) 1945年度 米穀收集

前項에서 既述한바와같이 同年度 米穀에 對한 施策은 美軍政이 派駐한後 日淺하여 慎重히 檢討할 時間의 餘裕과 準備를 가지지 못하였고 또 國民輿論에 있어서도 그去就가 極히 短促하였기 때문에 一時 自由市場政策을 施行하여 完全히 失敗하였던 關係로 收集의 最適期인 1945年 11月 12日의 兩月을 產送하고 翌 1946年 1月 25日 에 비로소 米穀收集令을 發布하게 되었다 當時의 國內食糧需給豫想은 大略如下하였다

1945年度 產米穀需給豫想 (1946年 1月 31日 頃)

1. 1945年 產南朝鮮米穀生産豫想高 17,018千石 (追後修正)
2. 既消費量: 自 1945年 11月 至 1946年 1月 6,489千石 (總人口 17,636千人: 1日 4合計算)
3. 2月 1日 現在 國內米穀在庫量推算 10,529千石
4. 2月 以降 要農家消費量 5,244千石 (農家人口 116,514千人: 1日 3合推算)
5. 農家剩餘量 即 收集可能量 (③—④) 5,285千石
6. 非農家要消費量 4,081千石 (非農家人口 5,985千人: 1日 2.5合推算)
7. 純剩餘量 1,204千石
8. 要種子充當量 350千石
9. 翌年度 豫想可能量 854千石

以上과 같은 推算에서 5,285千石이란 收集可能數字가 나온 것인데 過去日政時에 있어서 는 非農家消費量, 軍用輸出米等을 需要部面에 加算하여 收集目標量을 決定하였고, 農家의 食糧은 第二次的으로 考慮하였던 것이다 이러한 需給豫想은 基礎로 하여 月初旬부터 收集을 開始하였으나 生産價格에 比하여 低廉하였으므로 農家의 經濟的 損失을 補償하기爲하여 農村의 生活必需品인 綿布, 護謄紙, 杼寸等 補償物資를 供給하려고 하였으나 運輸途中에의 亦故 撲出으로 인하여 農家의 手中에 艾더러간것은 少量이었다 收集米穀量은 第7表와 같이 681千石에 不適하였으므로 그중에는 10萬石 假設의 日人小作料收獲과 日本軍用米接收分이 多少 包含되어 있다 68萬石의 收集米穀은 總生産高 12,819千石에 對하여 5.3%에 不適하는 量으로 1945年度 產米穀收集은 完全히 失敗에 달하였다 고 말할수 있겠다

(第7表) 1945年産米穀收集實績表 (單位千石)

	生産豫想 (1)	收集計畫 (2)	收集實績 (3)	比 率	
				(1對3)	(2對3)
京 畿	2,970	769	63	3.0	8.2
忠 北	810	274	17	2.1	7.3
忠 南	1,638	960	87	5.3	9.1
全 北	1,894	1,144	231	12.2	20.2
全 南	2,473	651	110	4.5	16.9
慶 北	1,864	773	57	3.1	7.3
慶 南	1,687	861	51	3.0	5.9
江 原	453	113	65	14.3	57.5
濟 州	—	—	—	—	—
合 計	12,849	5,511	681	5.3	12.4

따라서同年度收集米穀은 一般配給에 5,674千石 特配로6千石을充當하였는데 그것으로는 定規配給이라고 말할수없는形便이었다 一例을 京畿道에들면 63千石의 道內收集米는 그全量을現地農村에서 消費하고 他道에서 154千石을搬入하였다 1日1合의配給이라하여도 1個月 九萬石이 必要한 서울市에서 15萬石의搬入米는 2個月의配給量에도 不足하였던 것이다(當時서울市人口120萬) 이러한米穀收集은가지고는 國內自給에도 計畫에서 지달일것 主要都市에는 美洲産雜穀으로 겨우配給을持續하였던것이다 大體로收集米穀은 地方行政廳이 現地供給第一主義를主張하여 郡外又是道外搬出을禁止하였던關係로 그大部分은 小都市或은農村에還元配給에提供된現象이었다

(2) 1946年度米穀收集及配給

軍政總發表는 1946年度米穀收穫豫想을 12百萬石이라하였으나 同豫想量은 郡面의行政當局에서 收集에協力하지않을가憂慮하여 故當로管下農家가割當量의過多한理由로 豫想量을減少한것임으로 實地上面百萬石의收穫은 있었으라는것이 一般의豫想이었다 前述한바와같이 同年度米穀收集은 經濟統制計畫을實踐해나아갈 自信을얻느냐 못얻느냐하는 試驗臺였다 解放後第二次의收集이니만큼 여기에서失敗은 거들한다면 國內食糧問題의混亂은姑捨하고 食糧統制의根本問題에 있어서 再檢討를要할바이었다

總收穫豫想高 12百萬石에서 其2分之1에該當한 4,295千石을收集目標로定하고 行政官廳은 級省한用을 決치하여서 對하였던것이다

1946年産米穀需給豫想

- 過去10個年間平均生産高 13,960千石

- 過去 5個年間平均生産高 13,212千石
- 1946年度豫想高 11,892千石  
(京畿、忠北、忠南、全北은 5個年4均高의 80%, 全南、慶南、江原은 55%, 慶北은 10個年4均高의 55%로서推算)
- 農家需要量 7,091千石  
(農家人口 11,718千人的所要量)
- 要種子用米 350千石
- 剩餘量(收集可能分) 4,451千石
- 收集決定量(道內食糧事情參酌) 4,295千石
- 非農家人口要配給推定量 2,951千石  
(非農家人口 4,054千人에對하여 8個月間2合5勺, 4個月間 1合計費)
- 半非農家에對한配給計劃量 1,007千石  
(半非農人口 2,760千人에對하여 12個月間1日1合)
- 配給所要量合計 3,958千石
- 次年度에繰越(⑦-⑩) 337千石

여기서特記할바는 同年度米穀供出量割當이 朝鮮人地主小作料及新韓公社其他前日本人土地小作料의 거의全部는對象으로하고 其不足分은自作小作料生産米에서 收集하려는것이였다 따라서 軍政當局은 通貨狀態의惡化를防止코거기地主米代金의封鎖預金制度를規定한 監省局에對한收集命令 早期로發布하게되었는데, 同法令은 代金支拂에關한手續節次가 너무 복잡하였기때문에成功的은아니었다

同年度米穀收集實績은 3,522千石으로目標量의約 82.9%인데 當時의混亂하였던社會實情을考慮할때 그것은 큰成果였다고볼수있겠다

(第8表의1) 1946年産米穀收集實績表 (單位千石)

	生産高 (1)	收集計畫 (2)	收集實績 (3)	比 率	
				(1對3)	(2對3)
京 畿	2,003	75	709	35.4	96.5
忠 北	665	160	160	24.1	100.0
忠 南	1,328	470	437	32.9	93.0
全 北	1,700	798	481	28.3	60.3
全 南	2,176	750	653	30.0	87.1
慶 北	1,968	720	487	24.7	67.6
慶 南	1,742	600	533	30.6	88.8
江 原	451	60	101	22.4	16.8
濟 州	14	2	1	7.1	50.0
計	12,047	4,295	3,552	29.6	82.9

(第8表의2)

1946年産米穀供出者別收集狀況表

(單位精石)

	割當量	收 集				量					
		地主米	總收集量에對한比率	小作米	總收集量에對한比率	日小作人米	總收集量에對한比率	押收米	總收集量에對한比率	合計	割當量에對한比率
京 畿	735,000	454,297	64.0	198,428	27.9	56,306	7.9	458	0.06	703,489	96.5
忠 北	160,000	137,739	85.4	8,351	5.2	15,105	9.4	—	—	161,195	100.7
忠 南	470,000	284,339	65.1	93,931	21.5	58,553	13.4	—	—	436,823	92.8
全 北	798,000	100,277	20.8	260,796	54.0	120,485	25.0	1,020	0.20	482,578	60.5
全 南	750,000	131,839	20.2	400,313	61.4	117,877	18.1	1,595	0.20	651,624	87.0
慶 北	720,000	265,677	54.5	191,791	39.4	29,762	6.1	—	—	487,230	67.6
慶 南	600,000	42,808	8.0	431,184	80.8	59,597	11.2	25	0.04	533,614	88.9
江 原	60,000	82,857	82.0	15,505	15.3	2,626	2.6	41	0.04	101,029	168.3
濟 州	2,500	—	—	—	—	1,182	98.0	25	2.00	1,207	48.5
總 計	4,295,500	1,489,833	42.1	1,600,299	44.9	461,493	12.9	3,164	0.09	3,564,789	82.9

(第8表의3)

1946年産米穀受拂累計表 (單位精石)

1946年2月末日現在

割	區	受			拂			出	差	引	
		買	上	他道撥入	過剩米	今計	配給				他道撥出
京畿	全	735,000	1,048	507,158	—	508,206	503,503	4,703	—	508,206	0
	畿		708,452	43,199	—	751,651	552,448	199,203	—	751,651	0
忠北	北	160,000	161,195	—	—	161,195	161,157	—	38	161,195	0
	南	470,000	437,126	—	13,442	450,568	403,867	46,509	192	450,568	0
全北	北	798,000	482,578	—	8,929	491,507	275,700	215,120	687	491,507	0
	南	750,000	651,624	—	—	651,624	465,009	184,799	1,816	651,624	0
慶北	北	720,000	437,231	—	14,957	502,188	472,206	26,935	3,047	502,188	0
	南	600,000	533,614	—	—	533,614	525,949	—	7,665	533,614	0
江原	原	60,000	101,029	100,404	—	201,433	201,433	—	—	201,433	0
	州	2,500	1,207	24,901	—	26,108	25,137	—	923	26,060	48
濟台	計	4,295,500	3,565,104	675,662	37,328	4,278,094	3,586,409	677,269	14,368	4,278,046	48

(第9表)

解放後二個年間南朝鮮主要糧穀耕作面積及生産高

	1945年				1946年			
	耕作面積	生産高	段當生産	農一戶當	耕作面積	生産高	段當生産	農一戶當
米穀	1,054,740.1	12,835,827	1217	0.511	1,107,156.8	12,050,388	1088	0.536
米穀計	1,054,740.1	12,835,827	1217	0.511	1,107,156.8	12,050,388	1088	0.536
大麥	463,620.6	1,952,998	0.421	0.224	407,503.0	3,605,943	0.885	0.197
小麥	74,301.1	322,544	0.434	0.036	82,952.7	450,810	0.543	0.040
吋麥	36,492.1	137,758	0.378	0.018	29,418.6	139,882	0.475	0.014
裸麥	254,531.9	1,000,845	0.393	0.123	192,974.2	1,613,336	0.836	0.093
麥類計	828,945.7	3,414,145	0.412	0.401	712,848.5	5,809,971	0.815	0.345
粟稗	170,360.1	577,932	0.339	0.082	136,788.5	648,754	0.474	0.066
稗	4,455.6	15,615	0.350	0.002	2,831.8	9,800	0.331	0.001
玉蜀黍	44,697.6	149,072	0.334	0.022	21,082.0	82,779	0.393	0.010
黍	439.8	1,584	0.360	0.0002	1,390.3	6,549	0.471	0.0007
蜀黍	12,074.2	52,902	0.438	0.006	12,902.2	54,434	0.421	0.006
燕麥	1,131.4	3,320	0.293	0.0005	1,070.1	3,022	0.282	0.0005
蕎麥	28,866.7	93,541	0.324	0.014	33,252.0	122,714	0.369	0.016
雜穀計	262,025.4	893,966	0.341	0.127	209,316.9	927,632	0.443	0.103
大豆	246,135.4	925,812	0.376	0.119	226,669.6	939,407	0.436	0.110
小豆	20,825.7	67,175	0.323	0.010	23,377.4	71,930	0.308	0.011
綠豆	2,914.4	8,467	0.291	0.001	4,680.6	11,029	0.236	0.002
落花生	396.9	2,596	0.654	0.0002	378.4	2,318	0.613	0.0002
菜豆	607.3	2,216	0.365	0.0003	775.6	2,982	0.384	0.0004
豌豆	386.9	1,227	0.316	0.0002	470.3	2,060	0.433	0.0002
其他豆類	1,950.3	5,527	0.283	0.0009	2,705.0	8,161	0.302	0.001
豆類計	273,216.9	1,013,020	0.371	0.132	259,056.9	1,037,887	0.401	0.125
合計	2,418,928.1	18,156,958	0.751	1.171	2,288,379.1	19,825,878	0.866	1.108
甘藷	57,172.0	103,233,526	180.566	0.028	39,355.2	70,430,381	178.961	0.019
馬鈴薯	55,733.4	67,281,826	120.721	0.027	43,931.6	57,557,346	131.016	0.021
薯類計	112,905.4	170,515,352	151.025	0.055	83,286.8	127,987,727	153.671	0.040
合計	2,531,833.5	—	—	1.226	2,371,665.9	—	—	1.148

註 一九四五年 一九四六年農家戶數是一九四六年十二月末現在中央經濟委員會發表의數字인(2,065,477戶)  
本統計의耕地面積及生産高는農務部統計課數字인

(3) 1947年度米穀收集及配給

同年度米穀收集은 過渡政府立法議院에서 審議制定한米穀收集法에依據하여 實施되었다는點이 從前의收集과 다른것이다 同收集法에對하여 社會輿論이紛々하였는데 첫째로 同

法第2條에依한 地主分小作料全體收集問題에 對하여는 三段步以上の自作農과 五段步以上の小作農 及其比率에依한 自作農小作農은 收集對象으로定한點이있었다 五段步以下의小作農에對한小作料가 亦是收集의對象이된것은勿論인데 三段



步以下の自作農 五段階以下の小作農인찌라도 그生計를綜合參照하여 自家食糧에剩餘가있으면 收集對象이될것은 法文으로明示하였다

全國部落에는 米石收集査定委員會를設置하게되었는데 同委員會의使命은 正確한生産高의調査와 農家所要食糧의査定及公平正當한供出量의門當이었다 一步나아가서는 共販場所와日分의連絡 收集米石의共同運搬 運費及雜費用의部落內共同計算等에까지 積極的勸告 期待한바있었다

收集價格은 租和標準價格 二第 1次 640圓으로決定되었는데 同價格決定에對하여는 一部에서 引上要求를하는傾向이있었으나 容納되지않았다 다음에 緊要問題는 收集目標量의決定이었는데 大體로同年度의米穀年事は 去年作이었으나 肥料不足과 農村思潮의不安定態勢를考慮할때 豫定生産에 疑懼를느끼기도하였다 當初의 米石收集量算草案은보면 如下하다

1 生産豫想額 (農務部發表)	14,200千石
2 農家消費量推定	8,142千石
推算內譯 { 農家人口 1年消費量	12,337千人 6斗6升
3 種子用 搗精損欠 自然減耗	426千石 567千石 260千石
4 純農家剩餘量	4,805千石
5 非農家消費量	4,468千石
推算內譯 { 非農家人口 1年消費量	8,760千人 5斗1升
6 特別配給量	135千石
7 要消費量推定合計 (5. 6 의合計)	4,603千石

그러나 農家の純剩餘量及需要量을 道別生産及消費狀態를 照亮參照하여 最後의 收集目標量은 5,156千石으로決定되었다

1947年度月別米穀收集狀況 (1948年2月末日現在) (單位精石)

시	군	收集 剩餘量 石	1947年10月		11月		12月		1948年1月		2月		合計	
			收集量 石	比率 %	收集量 石	比率 %	收集量 石	比率 %	收集量 石	比率 %	收集量 石	比率 %	收集量 石	比率 %
全	總	2,000	—	—	1,605	80.3	389	19.4	5	0.2	—	—	1,999	99.9
京	畿	965,000	55,269	5.7	361,155	37.4	527,171	54.6	33,341	3.5	399	—	977,335	101.2
忠	北	185,000	43,662	23.6	123,109	66.5	49,159	26.6	2,163	1.2	309	0.2	218,402	118.1
忠	南	670,000	7,014	1.1	375,303	56.1	231,313	34.5	28,856	4.3	12,142	1.8	655,133	97.8
全	北	920,000	94	—	300,538	32.7	389,039	42.3	46,740	5.1	617	0.1	737,028	80.1
全	南	820,000	1,080	0.1	512,701	62.5	275,859	33.7	22,420	2.7	1,788	0.2	813,848	99.2
慶	北	800,000	—	—	244,536	30.5	358,199	44.8	197,675	24.7	8,700	1.1	809,160	101.1
慶	南	710,000	—	—	469,082	66.1	231,900	32.6	5,137	0.7	2,705	0.4	708,824	99.8
江	原	80,000	—	—	55,167	69.0	21,948	27.4	1,401	1.7	—	—	78,516	98.1
濟	州	4,000	—	—	—	—	3,172	79.3	1,215	30.4	227	5.7	4,614	115.4
合	計	5,156,000	107,119	2.1	2,443,751	47.4	2,088,149	40.5	338,953	6.6	26,887	0.5	5,004,859	97.1

(第11表) 1947年産米穀收集狀況 (1948年2月末日現在) (單位精石)

시	군	對 當	買		上		石換算	雜 穀	合 計	比 率	
			稷正租 石	糯正租 石	稷白米	糯白米					
全	總	2,000	7,399	—	—	—	7,399	1,999	—	1,999	99.9
		(1,015,000)									(96)
京	畿	965,000	3,554,648	38,035	15,085	132	3,607,900	977,335	—	977,335	101.2
		(245,000)									(89.1)
忠	北	185,000	762,830	1,332	3,736	—	767,898	208,098	10,304	218,402	118.1
忠	南	670,000	2,374,613	43,638	3,667	66	2,421,984	655,133	—	655,133	97.8
全	北	920,000	2,639,536	81,992	3,519	6	2,725,103	737,028	—	737,028	80.1
全	南	820,000	2,968,777	30,289	1,308	3	3,000,377	811,104	2,744	813,848	99.2
		(820,800)									(98.7)
慶	北	800,000	2,869,270	999	17,372	—	2,887,641	782,985	26,175	809,160	101.1
		(748,000)									(94.8)
慶	南	710,000	2,583,370	29,862	6,112	—	2,619,344	708,824	—	708,824	99.8
		(87,500)									(89.7)
江	原	80,000	289,662	160	447	—	290,269	78,516	—	78,516	98.1
濟	州	4,000	2,656	—	133	—	2,789	774	3,840	4,614	115.4
合	計	5,156,000	18,052,811	226,307	51,379	207	18,330,704	4,961,796	43,063	5,004,859	97.1
同	上石換算	—	4,879,139 <sup>石</sup>	61,165 <sup>石</sup>	21,407 <sup>石</sup>	85 <sup>石</sup>	4,961,796 <sup>石</sup>	—	—	—	—

註 ( ) 는 道自體의 對當量과 其에 對한 比率를 表示함

(第12表의1)

1947年産米穀受拂累計表 (單位精石)

1948年2月15日 現在

道	割當	受 入					支 出				差 引 現 在 高
		買	上	他道搬入	過 剩	米 合 計	配 給	他道搬出	亦 故	合 計	
京 畿	2,000	1,999	283,373	—	285,372	233,055	—	—	233,055	52,317	
忠 南	965,000	977,256	4,823	—	982,079	117,376	162,513	—	279,889	702,190	
全 北	185,000	208,025	—	—	208,025	37,691	—	—	37,691	170,334	
全 南	670,000	685,498	—	—	685,498	160,000	36,852	—	196,852	488,646※	

(第13表)

1947年各道間

道	中 央 保 有 米						市						計		
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		5月	6月
京 畿	100	—	—	—	—	100	50	50	50	50	—	—	—	—	200
忠 南	10	15	—	—	—	25 (長項)	—	5	35	35	35	35	20	—	165
全 北	10	10	10	40	30	100 (群山)	—	—	—	—	180	—	—	—	180
全 南	5	10	10	5	—	30 (木浦)	—	20	50	50	50	20	30	—	220
慶 北	—	—	—	25	—	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	125	35	20	70	30	280	50	75	135	135	265	55	50	—	765

註 朝鮮生活品管理院은何時至莫論하고可能하면水上輸送機關船舶等을提供하여搬出케 할 것  
 中央保有米는正租로하되上記精穀石數量과同等할 것  
 本計畫에對한輸送貯藏及倉庫의指定等은朝鮮生活品管理院이管理함

(第14表)

1947年産米穀道間移動及

出荷道	市					江 原 道					慶 南				
	車	數	石	數	%	車	數	石	數	%	車	數	石	數	%
京 畿	計畫	—	1,000	200,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	發送	—	994	198,798	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	到着	—	993	198,707	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
忠 南	計畫	—	550	165,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	發送	202車及64隻(299)	—	51,330	31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	到着	—	299	51,330	31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全 北	計畫	—	900	180,000	—	—	775	145,000	—	—	125	25,000	—	—	—
	發送	242車及3隻(369)	—	73,878	41	150車及2隻(229)	—	45,790	32	—	—	—	—	—	—
	到着	—	369	73,878	41	73車及2隻(149)	—	29,764	21	—	—	—	—	—	—
全 南	計畫	—	850	220,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	發送	—	172	35,870	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	到着	—	170	35,649	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
慶 北	計畫	—	—	—	—	—	475	95,000	—	—	—	—	—	—	—
	發送	—	—	—	—	—	43	8,689	9	—	—	—	—	—	—
	到着	—	—	—	—	—	12	2,350	3	—	—	—	—	—	—
合 計	計畫	—	3,300	765,000	—	—	1,200	240,000	—	—	125	25,000	—	—	—
	發送	—	1,834	359,876	47	—	272	54,479	23	—	—	—	—	—	—
	到着	—	1,831	359,564	47	—	161	32,114	13	—	—	—	—	—	—

同收集計畫量은 追後修正發表된 生産豫想高 13,850千石에對하여 3割6分에該當하는量이므로 一部에서는 農家에對한過大負擔이라고論難하였다 元來 立法法院의收集法精神이 三反步以下의 自作農及五反步以下의小作農等 零細農의經濟力을保護하는데 있었던가답에 이莫大量의收集에는 許多한 支障과阻路가 豫測되는 것이었다

同收集은 同年9月22日 京畿道를爲始로하여 一齊시작施되었는데 比較的早期收穫을견우는京畿道에서는 早産米收集에 美軍衣料를收集報償으로 供與하였기때문에 出荷成績이良好하였으며 忠北道는 早産米을出荷獎勵하기爲하여 早期供出農家에對하여는 割當量의三割을減減(例 早産米10畝을出荷하면 13畝出荷로行做하며 個人別割當量에서 遞減免除하는

(第12表의2)

※全	北	920,000	737,091	—	—	737,091	124,021	88,137	—	212,158	524,933
全	南	820,000	820,229	—	—	820,229	143,911	37,145	—	181,056	639,173
慶	北	800,000	779,155	—	—	779,155	248,515	3,925	—	252,440	526,715
慶	南	710,000	745,478	—	—	745,478	222,056	—	—	222,056	523,422
江	原	80,000	80,236	20,780	—	101,016	49,478	—	—	49,478	51,538
濟	州	4,000	747	—	—	747	—	—	—	—	747
合	計	5,156,000	5,035,714	308,976	—	5,344,690	1,336,103	328,572	—	1,664,675	3,680,015

註 買上米種正租是包含

米 穀 搬 出 入 計 畫 表 (單位千石)

(1948年2月末日現在)

慶 尙 南 道			江 原 道							濟 州 道				合 計	
1 月	2 月	計	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	計	2 月	3 月	5 月		計
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	300
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	190
10	15	25	—	—	145	—	—	—	—	145	10	10	10	30	480
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	250
—	—	—	10	35	35	15	—	—	—	95	—	—	—	—	120
10	15	25	10	35	180	15	—	—	—	240	10	10	10	30	1,340

中央 備 蓄 計 畫 對 發 着 實 績 總 括 表 (單位精石)

自1947年11月 } 5個月計畫分(1948年2月末日現在)  
至1948年 3月 }

濟 州 道			合 計				中 央 備 蓄			
車 數	石	%	車	數	石	數	%	石	數	%
—	—	—	1,000	—	200,000	—	—	100,000	—	—
—	—	—	994	—	198,798	99	99	97,540	98	98
—	—	—	993	—	198,707	99	99	—	—	—
—	—	—	559	—	165,000	—	—	25,000	—	—
—	—	—	293	—	51,330	31	31	6,989	28	28
—	—	—	299	—	51,330	31	31	—	—	—
150	30,000	—	1,900	—	380,000	—	—	100,000	—	—
1隻(32)	7,500	25	630	—	127,168	33	33	9,708	10	10
—	—	—	518	—	103,642	27	27	—	—	—
—	—	—	850	—	220,000	—	—	30,000	—	—
11隻(13)	2,676	—	185	—	38,540	17	17	4,759	16	16
11隻(13)	2,670	—	183	—	38,319	17	17	—	—	—
—	—	—	475	—	95,000	—	—	25,000	—	—
—	—	—	43	—	8,689	9	9	—	—	—
—	—	—	12	—	2,350	25	25	—	—	—
150	30,000	—	4,775	—	1,060,000	—	—	280,000	—	—
45	10,170	34	2,151	—	424,525	40	40	118,996	42	42
13	2,670	9	2,005	—	394,348	37	37	—	—	—

方法) 하여주는 방법을 채택하였으므로 農家에서는 이措置를 歡迎하여서 短期間에多量의供出米가 共濟場에出荷되어 一時는 資金調達과檢査業務遂行等이 大難難에逢着하였었다 何如間 統上의京畿道の早産米 報價制度外忠北의早産米 出荷獎勵方法은 意外의成果를얻어 早産米收買計畫이 100%

의成功을은것만은事實이다

他道에있어서도 當局의非常한決意와 農民의自發的의協助로 달미암이 順調로운收買狀態를보였으며 10月中旬에 107千石收 買에成功하고 11月中에는 實로 2,444千石을 收買하여 最高 調에達하였었다

(第15表)

一九四七年度及解放後三個年平均米, 麥耕地面積及生產高

(1947年)

自1945至1947平均

作物	1947年				自1945至1947平均			
	耕 作 面 積 町 <sup>2</sup>	生 產 高 石	段 當 高 石	農 家 一 戶 當 耕 作 面 積 町 <sup>2</sup>	耕 作 面 積 町 <sup>2</sup>	生 產 高 石	段 當 高 石	農 家 一 戶 當 耕 作 面 積 町 <sup>2</sup>
米 穀	1,123,088.2	13,850,000	1.233	0.544	1,084,995.0	12,912,072	1.179	0.530
米 穀 計	1,123,088.2	13,850,000	1.233	0.544	1,084,995.0	12,912,072	1.179	0.530
大 麥	428,358.5	3,045,458	0.711	0.207	433,160.7	2,868,133	0.662	0.210
小 麥	88,315.7	448,014	0.507	0.043	81,856.5	407,123	0.497	0.040
麥 計	516,674.2	4,493,472	0.444	0.013	515,017.2	4,275,256	0.428	0.015
雜 糧	203,900.1	1,553,285	0.762	0.099	217,135.4	1,389,155	0.640	0.005
麥 類 計	747,245.1	5,165,212	0.691	0.362	763,013.1	4,796,442	0.629	0.369

그리하여 1948年2月까지 總 5,005千石 을 收集하였는데 이 收集量은 目標量 5,156 千石에 對하여 97.1%에 該當하는 優秀한 成果였다

(4) 1946, 1947兩年의 夏穀 收集及配給

夏穀은 普通 麥類라고도 하며 大麥, 裸麥, 小麥及胡麥의 四種이다 米穀과 夏穀은 朝鮮食糧의 大宗이며 特別夏穀은 農業 期를 맞이하야 收穫하는 關係로 農糧으로 알려져 있는 만큼 農家 로서의 麥類의 地位는 그 重要性에 있어서 輕視할 수 없는 것이다

(第16表) 解放後三年間 夏穀 生產高 (南朝鮮分)

(單位 精千石)

省 別	1945年			1946年			1947年		
	京 畿	忠 北	忠 南	全 北	全 南	慶 北	慶 南	江 原	濟 州
京 畿	119	52	135	334	467	543	810	650	78
忠 北	52	338	233	338	474	810	650	78	—
忠 南	135	467	338	474	810	650	78	—	—
全 北	150	543	474	810	650	78	—	—	—
全 南	606	1,542	810	810	650	78	—	—	—
慶 北	573	892	650	650	78	—	—	—	—
慶 南	799	765	702	702	—	—	—	—	—
江 原	49	82	82	82	—	—	—	—	—
濟 州	—	—	78	78	—	—	—	—	—
合 計	2,483	4,963	3,714	3,714	—	—	—	—	—

解放以後 南朝鮮 夏穀의 生産狀况을 보면 1945年은 未曾有의 凶作이었고 1946年에는 4,963千石, 1947年에는 3,714千石의 生産이었다 이를 解放前三年間의 平均生産高 (第4表參照) 8,674千石에 比하면 約其半量에도 未及하는 것이다 其原因으로는 肥料不足 二毛作耕作의 不徹底等을 찾을 수 있겠으나 亦是 天然條件에 依한 生産減收가 그 中原因이 될 것이다 解放後 南朝鮮의 夏穀 生産의 激減이 國內食糧事情에 多大의 不安을 주고 있는 것은 事實이다

美軍政에 依한 夏穀 收集案 推進은 1946年度부터 始作되었다

同年度 夏穀의 收穫豫想은 農務部發表에 依하면 4,963千石이었다 約其25%에 該當한 1,289千石을 收集目標로 定하고 收集을 하였으나 收集量은 62萬石에 滿으로 目標量의 48%에 不 過하였다 1946年 米穀의 收集不振으로 都市를 中心하여 非農家의 食糧事情은 極度로 窮乏하였는지라 同年度 夏穀은 其道에서 消費한 다라트라도 一箇月分의 配給食糧에 不 過하였다

(第17表) 1946年度 夏穀 收集實績表 (單位 精石)

省 別	生 產 高	收 集 割 當	收 集 實 績	收 集 比 率
京 畿	334,255	96,000	60,767	63.3%
忠 北	338,665	98,000	69,345	70.8
忠 南	466,519	97,000	41,347	42.6
全 北	543,052	122,000	85,050	69.7
全 南	1,541,920	363,000	40,532	11.2
慶 北	891,545	282,000	210,774	74.7
慶 南	765,363	217,000	90,717	41.8
江 原	82,159	14,000	20,740	148.1
合 計	4,963,478	1,289,000	619,272	48.0

이러 1947年 夏穀 收集에 當하여는 立法議院은 總生産高의 五分之一以下에서 收集할 것 이라는 條件을 하였으므로 同年度의 夏穀 生産高를 3,714千石으로 推定하고 其 20%에 該當한 706,500石을 收集目標로 定하였다 1946年 冬季에 降雪이 적었고 翌年 春節의 殘雪은 夏穀을 阻害하였으며 墾지어 肥料不足으로 減少된 것 인데 同年度 生産高를 夏穀 半年作 南朝鮮 8百萬石에 比하면 겨우 4割에 不 過하였다

同年度 收集進行에 있어서 새로히 採擇된 政策으로 道間移動計畵을 參照한 것이었다 即 어느 道에서든지 收集한 夏穀은 自道內에서만 消費키로 되었다 그것은 서울市 其他重要都市에는 外國產 雜穀을 充當하여 國內產 夏穀의 二重輸送을 避하는 考案이었다 그리하여 6月15日頃에 收集活手하여 8月末까지 完了하였는데 收集된 數量은 699千石으로 目標量의 98.9%인 意外의 效果를 見수었다

(第18表)

1947年度 夏穀 受拂 果計表 (單位 精石)

(1948年2月末日 現在)

省 別	割 當	實 上	割 當 對 實 上 率	配 給	質 上 對 實 上 率		現 在 殘 高
					對 實 上 率	對 配 給 率	
京 畿	58,000	63,413	109.3	62,850	99.1	99.1	563
忠 北	37,000	42,472	114.8	39,879	99.9	99.9	2,593
忠 南	70,000	63,817	91.2	63,653	99.7	99.7	164
全 北	94,000	94,368	100.4	94,368	100.0	100.0	0
全 南	163,000	160,578	98.5	160,578	100.0	100.0	0
慶 北	115,000	115,045	100.0	115,045	100.0	100.0	0
慶 南	136,000	139,244	102.4	139,244	100.0	100.0	0

江 原	16,500	17,098	103.6	17,098	100.0	0
濟 州	17,000	3,211	18.9	2,888	89.9	323
合 計	706,500	699,246	99.0	695,603	99.5	3,643

註 夏穀은道內配給에만充當함

(5) 輸入糧穀事情

1945年度産米의 收集에서 失敗을보고 1946年度産米收集에서 多少 面目을維持한 關係當局은 1947年度 米穀收集에서는 上述한바 良好한 成果를얻었다고 할수있었다 그러나 元來가 食糧事情을 緊迫化하는 人口增加 農作物減産을 捷한南朝鮮事態이기에 美軍政은 1946年初부터 外國産糧穀을 朝鮮에輸入한計畵을推進시켜 世界農業食糧機構委員會를 通하여 食糧供給을 額額하게되었는데 本是 朝鮮은 農業國이오 日政時에도 食糧의 貿易狀態를 보면 出超가 凡事이였으나 解放以後의 食糧輸入은 朝鮮 民이 解得키 困難한 問題이였다 그 論調을 살펴보면 一은 食糧輸入의 必要性에 對한 眞相을 把握 치못한다는것 二는 巨大한 外債을 是避하지는것 三은 國民生活에 不適當한 食糧을 輸入한다는것 등의 外國食糧輸入에 對한 非難이 大部分이였다 그反面에 食糧行政當局者로서는 戰爭에서 달린國民의 保健에 依을 爲하여는 當分間 外國援助가 必要하다는것 朝鮮의 現下 食糧生産狀況과 消費情으로 보면 食糧의 絕對不足을 느끼는것 美國에서는 糧穀代金辨償을 要求하지 않는다는것 등을 周知도록 宣傳에 努力이였으나 一般은 率直히 容納하러 하지 못했었다 따라서 美軍政은 世間輿論에 依據한 다기보다 國內의 切迫한 食糧事情을 打開緩和하기爲하여 不可不 食糧輸入에 活路를 찾지 않을수 없었은것이요 最初로 1946年5月 小麥3,000 噸을 積藏한 美國船艙이 仁川港에 入港하였 다 이어 同月釜山에 小麥8,000 噸 7月에 8,000 噸 都合 24,000 噸 이 輸入되어 都市配給은 紅邊點型格으로 多少 市民의 食糧難을 緩和하였고 製粉工場은 廢業狀態에서 蘇生하여 稀有한 景氣를 맞게 되었다 1946年米穀年度인 同年10月末까지에 小麥 小

麥粉 玉蜀黍等 113,469 噸이 輸入되였다

1947年米穀年度에는 總輸入量423,114 噸으로 大麥139,111 噸을 首位로 小麥 小麥粉 米穀 玉蜀黍 大豆粉의 順序로 輸入되였는데 玉蜀黍配給에 對하여는 世論이 藉사하여 그後로는 中止되였고 大豆粉一袋이 輸入되어 配給되였으나 玉蜀黍以上의 非難이 生起였으므로 配給途中에 中止하고 特殊用途에 使用되고마였다

輸入糧穀은 釜山에 到着한後 品種別로 나누어 各道에 割割 輸送되는것인데 同割當에 있어서는 道內要配給人口比例에 依히였다

(第19表) 輸入糧穀品種別道別輸入實績

1946年5月~1946年10月 (單位M噸)				
	小 麥	小麥粉	玉蜀黍	合 計
京 畿	52,620.0	5,950	4,750	63,320.0
忠 北	2,750.0	—	—	2,750.0
忠 南	3,850.0	210	900	4,960.0
全 北	4,910.0	—	2,640	7,550.0
全 南	3,500.0	240	850	4,990.0
慶 北	4,500.0	450	1,000	5,950.0
慶 南	18,604.5	900	1,815	21,319.5
江 原	13,530.0	450	3,700	17,680.0
濟 州	1,000.0	—	—	1,000.0
合 計	105,664.5	8,200	15,655	129,519.5

註 本統計表는 道別受荷割當量을 基準으로 함

(第20表) 輸入糧穀品種別道別輸入實績 1946年11月~1947年10月 (單位M噸)

	小 麥	小麥粉	玉蜀黍	大 麥	燕 麥	豌 豆	大 豆	大豆粉	米 穀	總 計
本 團	1,000	1,000.0	—	5,000.0	—	—	—	—	14,550.0	21,550.0
京 畿	8,048	10,247.5	—	18,888.5	—	—	—	2,066	—	39,250.0
忠 北	64,577	23,681.4	8,740.1	35,546.0	460	1,100	460	1,377	10,057.2	145,928.7
忠 南	3,295	2,215.0	810.0	4,194.0	30	—	60	243	1,020.0	11,867.0
全 北	6,955	6,061.0	710.0	12,089.0	60	—	120	761	—	96,756.0
全 南	7,010	5,105.0	870.0	7,770.0	60	—	120	405	—	2,340.0
慶 北	7,115	5,425.0	990.0	7,354.0	60	—	180	243	—	1,367.0
慶 南	12,212	8,383.0	1,070.0	15,362.0	90	—	190	907	—	38,220.0
江 原	15,243	9,893.0	980.0	18,358.0	90	—	180	1,150	4,790.0	50,684.0
濟 州	12,426	6,188.0	790.0	13,617.0	60	—	90	907	8,945.0	43,023.0
合 計	1,065	862.5	160.0	930.5	—	—	—	41	—	3,059.0
合 計	133,946	79,066.4	15,120.1	139,110.0	910	1,100	1,400	8,100	39,362.2	423,114.7

(第21表) 輸入糧穀品種別道別輸入實績

1947年11月~1948年1月 (單位M噸)						
	小麥	小麥粉	大麥	砂糖	米穀	合 計
本 團	10,933	—	1,865	500	2,439	15,737
京 畿	12,706	1,861	2,430	—	—	16,997
忠 北	7,479	—	1,162	—	700	9,341
忠 南	2,325	—	423	—	—	2,748
全 北	5,593	—	1,057	—	—	6,650
全 南	5,007	—	791	—	—	5,793
慶 北	6,004	—	1,056	—	—	7,060
慶 南	6,436	—	1,162	—	—	7,598
慶 南	7,155	—	1,164	—	—	8,319

江 原	6,207	—	1,267	—	—	7,474
濟 州	347	—	55	—	—	402
合 計	70,192	1,861	12,432	500	3,139	88,124

괄으로 美軍政에 依하여 樹立된 食糧輸入豫想量은 大略如下 하다

1947年米穀年度까지	400,000 噸
1948年 同	350,000 〃
1943年	225,000 〃

輸入食糧이 計畵配給에 있어 如何한地 步占하고 있는가를 다음에서 알수 있다

(第22表) 1947年米穀年度食糧供給量明細

國內 收集米穀	534,000 噸	50.8%
---------	-----------	-------

國內收集夏穀	94,125	8.9
國外產輸入食糧	423,114	40.3
合 計	1,051,239	100.0%

(第23表)

要食糧配給人口推定 (單位千人)

	1946年度(總人口)	1947年度	1948年度
서 울	1,200	1,643	1,715

(第24表)

南 朝 鮮 各 道 別

	配 給 人 口 數	米					雜 穀			
		白 米	糯 米	外 米	槓 租	小 計	精 麥	裸 麥	小 麥	大 麥
京 畿	1,686,801	79,078	126	15,211	—	94,415	—	—	—	—
忠 南	1,050,000	32,003	146	6,581	—	38,730	759	5	443	590
忠 北	394,242	20,258	13	208	193	20,672	123	19	110	1,062
全 南	678,000	58,132	—	—	—	58,132	—	136	52	303
全 北	670,000	31,606	—	—	—	1,606	—	—	—	—
慶 南	1,177,248	72,989	—	—	—	72,989	—	161	—	—
慶 北	1,292,212	21,149	—	—	582	21,731	6,343	775	2,284	15,927
江 原	1,321,000	56,432	—	—	—	56,432	6,779	—	1,165	—
濟 州	817,000	9,150	—	4,289	4,122	17,561	—	—	—	—
合 計	76,149	3,053	6	—	—	3,059	—	566	825	3,465
合 計	9,162,652	383,850	291	26,289	4,897	415,327	14,004	1,662	4,879	21,352

(第25表)

一 人 一 日 當

	自1941年11月						自1942年11月	
	都 市	農 村	漁 業	鑛 業	工 業	平 均	都 市	農 村
米 穀	2.3	2.0	1.9	2.0	2.5	2.1	2.1	1.7
麥 類	0.6	1.1	1.1	0.4	0.5	1.1	0.2	0.8
豆 類	0.1	0.3	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3
粟	0.1	0.5	0.1	0.3	0.1	0.4	0.1	0.6
其 他 雜 穀	0.1	0.3	—	0.3	—	0.2	0.1	0.4
蕎 麥 類	—	0.1	0.2	0.1	—	0.1	—	0.1
穀 類 澱 粉 類	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
合 計	3.3	4.4	3.5	3.4	3.3	4.1	2.8	4.0

(第26表)

糧 穀 收 集 價 格 表

	粳 (54kg)			大 麥			裸 麥			小 麥		
	1 等	2 等	3 等	1 等	2 等	3 等	1 等	2 等	3 等	1 等	2 等	3 等
1946年 { 單 位 價 格	90斤 600圓	// 580圓	// 550圓	70斤 450圓	// 440圓	// 420圓	60kg 690圓	// 680圓	// 660圓	60kg 850圓	// 830圓	// 790圓
1947年 { 單 位 價 格	90斤 660圓	// 640圓	// 600圓	42kg 480圓			60kg 740圓			60kg 800圓		

(第27表)

糧 穀 配 給 價 格 表

	白 米 (斤當)		大 麥 (斤當)	小 麥 (斤當)	小 麥 粉 (斤當)
	合 格 米	等 外	無 級	無 級	無 級
1946年	11.72圓	—	8.58圓	11.67圓	16.40圓
1947年	13.90圓	—	13.05圓	13.40圓	19.55圓
1948年	19.4圓	18.45圓	14.75圓	16.65圓	23.10圓

1斤=0.6圓

漢	901	1,013	1 048	慶	北	997	1,200	1, 8
北	319	334	353	慶	京	971	1,267	1, 7
南	554	678	708	江	原	410	600	
北	599	645	674	齊	州	76	46	
南	855	1,000	1 035	合	計	6,882	8,426	8,7 0

配 給 實 績 表 (1947年12月分) (單位石)

發			美 洲 產 糧 穀							其 他		合 計
胡 麥	其 他	小 計	小 麥	小麥粉	玉蜀黍	大 麥	精 麥	精小麥	其 他	小 計		
—	—	—	15,615	16,368	—	—	7,936	216	194	40 329	134,744	
1,865	213	3 875	7 795	2,081	46	1,884	8,912	1,390	1,766	23 874	66,479	
2,699	35	4 038	3 530	283	314	—	2,135	—	480	6 742	31,452	
326	—	822	7 732	173	—	7,659	—	—	1,397	16 961	75,915	
—	335	335	—	—	—	—	—	—	—	—	31,941	
—	15,405	15 566	—	3	—	—	—	—	106	109		
9,111	543	34 983	5,621	259	423	—	10,068	—	2,963	19,334	76,048	
789	—	8,733	1,036	3,781	—	802	7,562	18,769	300	32 100	97,265	
—	—	—	3,853	295	—	—	—	—	9,231	13 379	30,940	
3	10,668	15 527	97	0	—	255	—	—	—	352	18,938	
14,783	27,199	83 879	45,329	23,243	783	10,400	36,613	20,375	16,437	153,180	652,386	

食 糧 消 費 高 (自1941年11月~1944年10月) (單位合)

至1943年10月				自1943年11月			至1944年10月		
海 業	鹽 業	工 業	平 均	都 市	農 村	海 業	鹽 業	工 業	
1.6	1.7	2.2	1.8	2.0	1.7	1.6	1.9	2.1	
0.9	0.1	0.2	0.7	0.2	0.8	1.0	0.2	0.2	
0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2	0.3	0.1	
0.1	0.3	—	0.5	0.1	0.6	0.1	0.2	0.1	
0.1	0.3	0.1	0.3	0.3	0.4	0.2	0.5	0.3	
0.2	0.1	0.1	0.1	—	0.1	0.2	0.1	0.1	
0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	—	0.1	—	0.1	
3.2	2.9	2.9	3.7	2.8	3.9	3.7	3.2	3.0	

(第28表) (參考) 1947年度世界食糧需要量 (單位千噸)

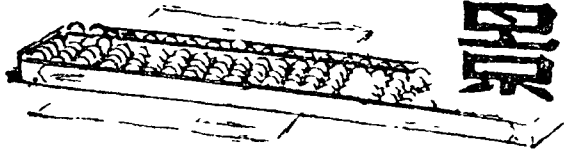
國 名	食料用	飼料用	國 名	食料用	飼料用
澳 地 利	872.0	—	波 蘭	130.0	—
白 耳 義	1,183.1	517	和 蘭	1,288.0	52
波 蘭	774.0	301	波 蘭	1,197.0	—
捷 克 斯 拉 夫 克	361.0	133	丹 麥	480.5	—
芬 蘭	353.0	262	德 國	477.0	—
佛 羅 西	2,598.0	967	瑞 典	656.6	—
同 植 民 地	212.0	—	南 阿 聯 邦	447.0	—
獨 逸 美 國	5,323.0	—	南 阿 聯 邦	6,261.0	885
同 植 民 地 (佛)	593.9	—	同 植 民 地	2,067.0	—
同 植 民 地	872.0	184	朝 鮮	327.0	—
印 度	5,317.0	—			
日 本	455.0	310			
伊 太 利	3,261.0	—			
日 本	2,511.0	21			
			其 他	6,172.0	1,615
			計	44,189.0	6,363

(推算 昨年12月9日食糧行政處發表推算量 227萬石を換算した)

第29表)

(參考) 隨當各種糧穀石換算表

種 別	玄 米	白 米	大 麥	小 麥	小 麥粉	玉蜀黍
一 畝 當 容 量	6.4石	6.53石	9.5石	7.4石	10石	



# 景氣投資



## 景 氣 趨 勢

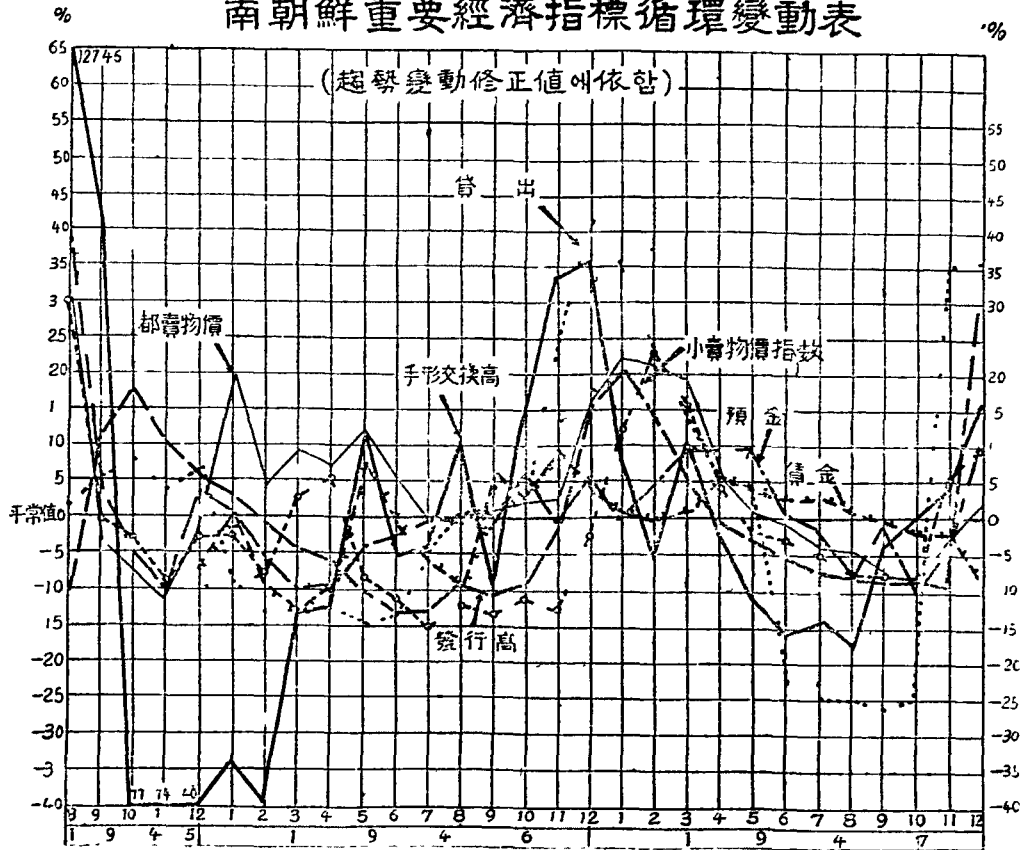
### ◎景氣變動論의立場에서 본解放後三年間의南朝鮮經濟變動

目 次

- 1. 序言——南朝鮮經濟의景氣論의規定
- 2. 本格的沈滯期
- 3. Boom 期 (景氣上昇과好況의縮圖)
- 4. Inflation 景氣期
- 5. 結 言

(第1表)

### 南朝鮮重要經濟指標循環變動表



#### 1. 序言 南朝鮮經濟의景氣論의規定

1945年8月15日以後 南朝鮮經濟界는 Inflation 의進展으로 表面上單一하고 內面에 있어는 錯雜한經濟現象의變化를 거둬야왔다 單一變動이란 經濟變動의量的側面에서 把握된事象이라면 錯雜變動이란 經濟變動의質的側面에서

把握된 事象인것이다 그러나 經濟變動의唯一한單一的把握에 있어서도 우리가 經驗한바 또 經驗하려고하는 季節資金財政支出趨勢等等을 根拠로하는 經濟變動의 季節的又是 雜學的變動도 있음은 나라 數次에 걸친 南朝鮮의 政治的 軋跡放散은 能히 經濟的外的 條件으로서 南朝鮮의 經濟變動에 突發的의



至는偶然的轉向要素를 提供하였던것이다

一方 經濟變動의 質的側面의 現象인 經濟構造의 變動도 解放의 結果 屬屬爭業體의 經濟機能上의 特殊化와 더불어 生産資材, 原料의 急激한 遞減, 動力의 壓縮, 起價市場의 消滅, Barter 交易의 異常은 人超慢延化等의 諸變動現象이 重疊하여 景氣指標을 單純容易하게 把握할수 없는 混亂에 處하게되었던것이다

그렇다면 解放後 今日(1947年12月末)까지의 南朝鮮經濟의 變動은 어떻게 할 아모 景氣指標으로 把握할수 없는것일까 本來景氣變動이라함은 極極的으로는 『經濟諸價値의 上昇又는下降』을 意味하는것이요 積極的으로는 諸價値의 變動過程에 隨인偶然的, 季節的乃至는 趨勢的變動要素를 包含하고 不定의 週期를 두며 다루리는 經濟界의 變動을 總稱한것으로 其間 南朝鮮經濟界의 諸景氣變動의 要素는 下列의 如하

- 1 偶然的變動 解放直後의 通貨膨脹, 生産施設破壞
- 2 積極的變動 金融圈自由貨價의 變更, 國民貯蓄運動
- 3 趨勢的變動 財政膨脹, 物價漸漲
- 4 季節的變動 農產收穫資金放出, 財政支出超過

本來的 積極的意味의 景氣變動은 測定할수 있는 過程에 隨인諸特殊的인 經濟變動을 擁護하고있으나 一般으로 戰戰의 敗戰國乃至는 荒廢化된 經濟領域의 例를 不免하게됨에 景氣變動의 四分法에 依한 沈滯期에 處하였다고 할수 있어 此沈滯期下의 南朝鮮經濟變動을 追究함으로써 本論의 結構을 試히려는 바이다

註 景氣變動의 四分法(Belm景氣測定所景氣循環樣式)※

(第2表) (1945.8.15~1947.12) 南朝鮮景氣變動區分表 (理論的規型)

	沈滯期	上 昇 期	好 況 期	顯 落 期
1 貨幣側	金融緩慢	依然金融緩慢	金融極寒	金融破綻
2 財貨側	生産萎縮	生産增加	生産財生産不振	生産激減
物價面	低	落一若干騰貴	停滯或은 下落	物價暴落
4 所得面	所得及支出低調	所得支出共計增加	所得增加固定	所得激減

(南 朝 鮮)

	沈滯期	Boom期	上 昇 期	好 況 期	Inflation景氣	第一次後退	第一次後退	第二次後退
	1945. 8~12	1946. 1~12	1947. 1~1947. 4	1947. 5~10	1947. 11~			
1. 貨幣側	表面 金融緊縮 內面 金融緩慢	金融緩慢	金融緩慢	金融極寒	金融極寒	金融極寒	金融極寒	金融極寒
2 財貨側	生産激減	生産增加	生産低下	生産激減	同	前		
3. 物價面	暴落	前後 半 騰貴	暴落	暴騰	暴騰	暴騰		
4 所得面	所得支出 低 低調	所得支出共計增加	大企業所得激減	所得激減	所得激減	所得激減	所得激減	所得激減
5. 手形交換高	低	課	大 增加	前後 半 減少	減少	減少	減少	減少

2. 本格的沈滯期 (1845.8~12)

序章에서 言及한바와같이 1945年前後의 南朝鮮經濟는 日帝의 戰爭 Inflation 下에 沈滯의 深度를 加하고 있었다 即戰爭을 遂行하기爲한 軍事施設의 補強에 集中된 朝鮮工業全體의 偏在 生産財生産部門의 萎縮은 消費財生産部門까지도 壓縮을 不免하게하여 大衆은 若干의 消費品을 戰時配給制度를 適하여 購得하게되고 市場에는 暗去來品이 Inflation의 波動에 따라 事實上 何等의 統制없이 流布되고있었고 尙

※은 如下한 것이다

沈滯期→景氣上昇期→最好況期→顯落期  
(不況期→恢復期→繁榮期→恐慌期)

그러나 乘知하는바와같이 解放後의 南朝鮮經濟變動은 決코 景氣變動의 本來的意味의 自律的變動을 거둬들이었다고 할수 없는 上述한바 錯雜한諸變動이 있었다 其中 最大의 變動現象은 季節資金放出과 財政支出超過로因한 Inflation의 進展, 더 週及하여 指摘하면 解放直後의 3個月(8, 9, 10月)間의 退去日人을爲하여 通貨膨脹發한結果 段階的 Inflation의 出現은 解放翌年인 1946年의 第三四半期까지도 沈滯期에 이르지 않는 企業利潤의 好轉, 手形交換高의 果增을 基幹으로 尙 景氣恢復期의 景氣가 好轉하였으나 表面上解放後 1945年 11月에始作한 Inflation은 去勢가아 Boom(버락景氣)의 經濟構造의 均衡破壞의 限界點에서 所謂 Inflation景氣에 突入하자 沈滯期→繁榮期(景氣上昇期와 好況期의 壓縮短期化)→恐慌期의 順序로 自轉하지 못하고(沈滯期)→Boom期→Inflation 景氣에 轉落하여 內面에 있어서 恐慌期(顯落期)에 推移하였으니 Inflation의 本格的인 經濟攪亂作用이 展開되어 第一表와 如히 1947年末에는 此攪亂은 第二次의 後退 即 諸景氣指標의 沈滯傾向을 確定的으로 落着시켰던것이다(第一表中의 諸經濟指標의 循環變動은 統計系列實數의 個人을 平常値에 對한 修正値으로써 表示된것이다) 따라서 이러한 沈滯期의 表面에 있어서 解放直後부터 今日(1947年末)에까지 이은 南朝鮮景氣變動은 下表와 如한 期限別 特殊現象으로 把握된다

大韓日人資本은 비록 軍事的企業에 投入되었을지언정 朝鮮의 民族資本은 生産部門에서 아니라 消費財生産部門에 있어서도 擴大再生産을爲한 資本의 有機的高度化를 할수 없은채 日本公利價의 交換으로 戰爭의 第一線에 動員되게되었다 따라서 우리가 注意할것은 第3款와 如히 解放前 10箇半年間의 一般物價指數가 漸騰하는 傾向을 示現하였다 하더라도 此는 決코 景氣沈滯의 基本特徵에 背馳되는 것이아니요 財政指數나 生産總額指數의 果增을 引證하여 볼때 物價는 實質的으로 보

아 下落一路를 밟았음을 알수 있고 이러한 物價下落傾向은 오의 戰時는 通한 社會의 總所得의 消費支出部分의 減少節約과 對峙하여 平和産業部門의 清算過程에서 보는 貸金支出部分의 剩餘——市場購買力의 減少에 基因한다는 것이다

(第 3 表) 解放前後財政・生産總額及物價趨勢

年次	生産總額指數	物價指數	財政(支出)指數
1936	100	100	100
1937	130	116	131
1938	142	139	154
1939	167	163	209
1940	198	180	267
1941	220	189	326
1942	210	165	346
1943	239	215	497
1944	254	241	727
1946	—	13,478	2,800
1947	—	40,203	4,150

이러한 解放前의 沈滯期를 繼承하여 解放이라는 旋風의 轉換期를 맞이한 1945年末까지의 南朝鮮經濟界의 景氣는 또 如何한 性質의 것이었는가?

經濟的變動의 自律的進行에 있어서만 이 景氣指標의 純粹性

(第 4 表) 1945.8~12 南 朝 鮮 主 要 經 濟 指 標

年次	發行高		預 金		貨 出		手形交換高	
	同指數	同指數	同指數	同指數	同指數	同指數	同指數	
1936.	167,328千円	100	673,923千円	100	1,200,920千円	100	148,523千円	100
1945. 8.	6,020,016	3,597	4,179,968	620	7,318,693	609	1,371,418	924
9	8,488,188	5,072	3,533,726	524	7,605,323	633	762,637	514
10	8,773,294	5,243	3,609,374	535	7,627,379	635	125,207	84
11	8,700,397	5,199	3,810,681	565	7,331,631	610	157,547	106
12.	8,620,816	5,152	4,869,663	722	7,489,688	623	368,028	248

(第 5 表) 1945.8~12 南朝鮮主要地方商品別小賣物價推移 (單位圓)

品名	서 울 地 方					仁 川 地 方					釜 山 地 方					大 田 地 方				
	8	9	10	11	12	8	9	10	11	12	8	9	10	11	12	8	9	10	11	12
	白米大1斗	220	110	75	112	50	115	—	80	—	103	245	164	155	180	161	200	90	110	110
大豆大1斗	45	50	60	80	90	50	—	45	—	100	126	29	28	35	49	120	80	90	90	100
廣木1磅	7	13	10	25	40	8	—	10	—	17	5	4	6	6	9	8	12	35	45	5
蔣酒1斗	20	20	23	25	125	40	—	50	—	65	80	50	60	92	122	150	200	200	200	200
木炭5貫	40	40	42	50	52	45	—	50	—	70	40	32	37	53	50	30	30	40	40	30
洗濯비누1個	4	4	5	5	8	—	—	—	—	25	25	4	5	7	7	—	—	—	—	—
고추가루	80	75	55	55	60	40	—	60	—	70	6	5	5	5	7	200	140	160	160	200
牛 肉 1斤	15	15	17	20	50	17	—	20	—	35	15	10	0	12	16	7	10	12	15	20

茲에 미리 諒解를 얻어야 할 것은 1945年8月15日부러 該年 末까지의 企業利潤趨勢와 生産指數는 資料의 未定乃至는 踏 生産機構의 完全한 分立狀態로 말미암아 收拾하지 못하였다는 것이다 그러나 累次 叙述한 바와 같이 解放直後의 2~3個月 이라는 것은 擴大再生産을 위한 固定資本의 蓄積, 生産財生産部 門과 消費財生産部 門의 有機的 補綴作用이 없는 所謂 眞空狀態에 놓여 있었으므로 生産은 絕對的, 相對的으로 減低되고 結果 企業利潤의 漸落傾向이 貸金所得의 그것보다 더 深刻하여 갔음을 알 수 있다 이러한 傾向에 拍車를 加한 것이 在庫品의 氾濫과 通貨膨脹으로 인하여 貸金所得의 增加는 본 自由勞動者들의 短 備忌避傾向이 없음을 實證을 要할까 아닌 것이다 即名目所得의 增加는 본 自由勞動者層의 生計는 物價의 低落과 反對方向으로 展開되는 通貨發行累增의 中間에 있어서 자못 安定을 暗示하였으니 後述한 바, 非自發的 失業의 形態——貨幣의 失業

이 保持된다고 主張하면 此 解放後부터 當年の 末期까지의 景氣指標은 此의 擾亂의 複線으로서 아무 統計的 價値를 가질 수 없을 것이다 그러나 經濟變動은 政治的 突發事件이나 或은 偶然的인 社會的事件이 이에 影響을 주었다 하여도 影響 그 自體가 後의 經濟變動에 週及의 原因이 되는 限에는 決코 看過할 條件으로서 受理하여야 할 것이다 이런 意味에서 解放直後에 南朝鮮經濟界에 惹起된 아래와 같은 諸條件은

1. 近40億圓의 通貨膨脹 (經濟變動의 金融的 條件)
2. 諸産業機構停止 또는 局部的停止 (經濟變動의 政治的 條件)
3. 諸産業機構의 一部破壞 (經濟變動의 社會的 條件)
4. 南北兩斷과 人口移動 (經濟變動의 資源的 條件)
5. 民衆의 心理轉變 (經濟變動의 心理的 條件)
6. 在庫品의 氾濫 (經濟變動의 商品或은 價格的 條件)

序言圖表에서 明示한 바

1, 金融緊縮 2 生産微減 3. 物價暴落 4. 公的 所得低調 따라서 支出의 低調 5. 手形交換高의 低調을 齊來하였으니 大概以上 1~5個의 條件안으로 能히 原則的인 景氣指標의 歸着點即 沈滯期의 樣相을 繼承한 것이니라고 斷言함에 充分한 것이다 다음 諸表는 此 景氣指標의 具體的 例示인 것이다

의 境遇는 此期에는 決코 表面化되지 않았던 것이다 다만 表面上 例外로 指摘할 것은 解放直後의 通貨發行이 오즉 日人의 最後의 亂暴으로서 解放直前의 38億圓으로부터 1945年 末에는 90億圓으로 躍進한 것은 國民貯蓄과 銀行放款의 均衡乃至 好景氣論의 金融閉塞의 頂點에 到達한 徵候가 아닐 수 없었으나 事實上 民生을 위한 生産機構의 再稼働에 放出된 此等 放資가 아니므로 沈滯期의 正當의 景氣變動과 軌은 같이 하여 社會所得은 生産機構外에서 徘徊하고 있었는 것이다

### 3. Boom 期(景氣上昇과 好況의 縮圖)

1945年 末까지 大體로 産業機構의 活動에 眞空狀態를 본 南朝鮮經濟界는 1946年에 들어서서 徐々히 再出發의 胎動을 보 이었다 이러한 假候는 眞의 胎動으로 말하는 것이 第5表와 如한 主要

工産物の 月別生産高の推移は勿論이거나 此産業機構의 再稼働에 따라 支拂手段인 手形의 交換高가 急激히增加한事 實과 (第7表參照) 都賣物價指數中特히生産財手段의 騰勢가 歴然한데서도 알수있다 (第8表參照)

(第6表)

主要工産物月別生産數量

	棉 布	機械抄紙	銀	鐵	瓦	新	電 動 機	硝 子	煉 炭
	斤	噸	噸	噸	噸	噸	臺	噸	噸
1946. 1	357	118		98			136		
2	504	159		132			38		
3	787	228		218		363	66	385	
4	1,242	250		193		467	60	507	
5	1,535	378		232		467	45	590	
6	1,681	369		228		466	36	1,071	
7	1,986	383		94		391	22	368	
8	2,259	403		102		339	82	415	20
9	2,521	486		42		203	133	502	20
10	2,737	481		52		333	120	487	20
11	2,966	380		61		352	124	662	20
12	2,122	245		98		383	60	322	25
1947. 1	2,476	196		172		250	2		25
2	2,215	128		109		226	138		25
8	2,549	199		113		331	57	478	20
4	2,700	230		127		413	132	407	25
5	2,884	345		123		390	107	400	20
6	3,028	321		134		119	65	200	20
7	2,833	362							12
8	2,537	312							11
9	2,136	375							12
10	2,329	320							12
11	1,964	249							12
12	1,377	171							7

(第7表)

手形交換高推移 (1936年=100)

	枚 數	金 額	指 數	1947. 1	1947. 2	1947. 4	1947. 5	1947. 7	1947. 8	1947. 9	1947. 10	1947. 11	1947. 12
1945.11	3,454	157,547	106	67,362	62,521	71,939	73,743	76,992	72,364	79,707	87,841	84,630	100,561
1946. 3	21,695	1,029,148	693	5,259,651	5,343,169	7,386,859	7,692,737	8,824,305	8,610,398	10,456,217	12,633,386	13,033,792	16,945,436
4	32,303	1,292,871	870	3,541	3,598	4,974	5,179	5,941	5,797	7,040	8,506	8,776	11,141
6	41,291	1,880,761	1,266										
8	58,686	3,182,292	2,143										
10	68,423	4,274,419	2,878										
11	74,911	5,814,818	3,915										
12	80,674	6,151,124	4,142										

(第8表)

主要生産財及雜品價格指數[推移 (1945年8月=100)

單 位		1945年12月	1946年1月	1946年2月	1946年3月	1946年4月	1946年5月
建 築 材 料							
梃 材	朝鮮松 1 才	500.00	666.66	666.66	1,000.00	1,166.66	1,416.66
板 材	朝鮮松 4 分	555.55	763.88	833.33	902.77	1,111.11	1,388.88
用 材	豆 1 袋	600.00	800.00	1,000.00	1,500.00	2,400.00	2,800.00
用 材	卷 3 等	300.00	333.33	500.00	566.66	600.00	800.00
板 材	璃 1- 箱	150	333.33	533.33	566.66	833.33	1,333.33
瓦 材	給 板 浪 板	1 枚	388.89	388.89	444.45	600.00	1,111.11
金 屬 類							
平 丸	鐵 16耗×25耗	1 噸	242.11	294.74	294.74	347.37	442.11
角 材	鐵 1 6 耗	〃	314.29	400.00	485.72	657.15	942.86
鐵 釘	鐵 16耗×20耗	〃	366.67	466.67	566.67	666.66	1,333.33
鐵 線	釘 3 吋	100 斤	450.00	550.00	640.00	1,100.00	1,600.00
鋼 材	線 井 8	50 噸	300.00	350.00	450.00	500.00	600.00
鋼 材	電 氣 鋼	1 噸	150.00	200.00	250.00	275.00	375.00

銑	鐵	인	곳	도	1	噸	333.33	355.55	377.77	400.00	444.44	355.55
燃	料											
石	油	1	函		18	立入	413.33	500.00	366.66	366.66	333.33	300.00
揮	發	油	自動車用		1	도란	416.66	500.00	375.00	291.66	250.00	250.00
工	業	材	料									
酒	精	工	業用		1	罐	150.00	160.00	166.66	233.33	233.33	233.33
硫	酸	66	度		45	kg	205.88	235.29	294.12	352.94	470.59	470.59
苛	性	曹	達		1	도란	166.66	200.00	233.33	333.33	500.00	433.33
確												
洗	濯	비	누	國産品一級	100	個	250.00	250.00	450.00	600.00	1,150.00	1,000.00
牛	皮	製	복수中級		1	坪	125.00	160.71	160.71	160.71	160.71	142.86
洋	紙	模	造紙(180封)		1	捆	166.67	166.67	166.67	333.33	333.33	500.00
성	양	三	共	1箱	2,400	匣	245.90	324.59	324.59	354.10	354.10	354.10
에	나	케	르	혼	1	罐	214.29	285.71	357.14	428.57	500.00	500.00
고	선	呢	女子用		10	足	180.00	200.00	200.00	220.00	220.00	200.00
製	綿	이	불	솔2等	1	匹	141.46	141.46	136.59	134.15	134.15	134.15

低少한民族資本이 有機的的高度化를 期하기 始作한 것도 이 때이다 市場에 配當된 物資는 資本力으로써 次々 生産工場에 吸收되어 갔으며 企業利潤의 分配도 次第 好況을 示現하였다 그러나 景氣上昇을 陸陸續續히 要索해서 例擧한 重要한 經濟指

標가 있으며 그것은 第9表에서 보든바 金融緩慢은 1946年初에 들어서부터 漸起하게 한 金融圈自由貸付限度(10萬圓)의 決定이다 (1945年12月決定) 財務當局의 이러한 勇斷은 解放直後의 日人退去를 爲한 通貨의 膨脹을 挽回함에 多大한 効果

(第9表) (1946.1~10) 南朝鮮主要經濟指標 (1936年=100)

發行高		同指數	預金	同指數	貨出	同指數	手形交換高	同指數
1946. 1	8,804,924	5,262	5,211,750千圓	773	6,428,018千圓	535	471,172千圓	317
2	8,867,398	5,299	5,456,256	809	6,184,488	514	520,761	350
3	8,958,423	5,353	5,853,616	838	6,216,963	517	1,026,148	690
4	9,156,565	5,472	6,188,196	918	6,351,529	528	1,292,871	870
5	9,168,142	5,479	7,161,072	1,062	6,387,610	531	2,046,830	1,373
6	9,276,168	5,543	7,847,361	1,164	6,602,474	549	1,880,761	1,266
7	9,770,581	5,839	8,684,305	1,288	7,548,507	628	2,355,682	1,586
8	10,664,417	6,373	9,338,874	1,385	8,195,719	682	3,182,292	2,573
9	11,103,088	6,635	9,987,806	1,482	8,600,068	716	2,931,160	1,973
10	11,700,471	6,992	10,233,487	1,518	9,125,645	759	4,274,419	2,879

물가저왔음은 높이評價한 條目이다 그러나 資金의 圓滑한 放出을 用意한 것 같기도 보이며 1947年 5月末의 金融圈協定金利引下에도 不拘하고 預金의 過剩을 消化할 銀行資金의 放出對象——正確한 意味의 産業資金需要處를 明確하게 把握 못한 데서 此期의 前半期는 金融緩慢에 終始하였던 것이다 겨우 活動하기 始作한 生産機構을 通하여 企業利潤, 雇傭賃金의 平行的上昇傾向이 1946年後半期부터 垂離하기 始作하여 實質賃金이 1946年末에는 第10表와 如하 飄落의 水準에 내리오게 된

것도 融資隘路에서 可變資本의 需要를 充足시키지 못한 群少企業의 無理한 賃金抑止의 結果인 것이다 그러나 群少企業의 擴大再生産意欲을 挫折시킨 要素는 物財에서 더욱 實踐할 수 있으나 第6表에 들어가 月別生産推勢을 보자 解放直後의 在庫品으로 生産力을 彌補해오던 石炭, 鋼鐵, セメント, 안미음 紙類, 扇子 등의 生産量도 1946年後半期부터 漸次萎縮되어 갔으며 이러한 國內資源의 涸竭에 代身하여 同從半期부터 外國의 原料品及 原料用製品의 急激한 輸入이 있었는 것은 (第11表參照) 此期의 焦燥한 企業人의 心情을 實踐하고 있는 것 같

(第10表) 賃金·小賣物價指數對照表 (1936=100)

1946年			1947年			6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		年均	
物價	賃金	實質賃金	物價	賃金	實質賃金	月	%	月	%	月	%	月	%	月	%	月	%	月	%	月	%
1月	8,543	3,581	42	33,272	11,450	34		14,932	6,772	45	37,431	15,093	40			15,808	6,996	44	38,635	15,666	41
2月	9,353	3,865	41	38,894	11,711	30		17,795	7,371	41	39,665	15,930	40			19,317	9,262	48	41,444	16,299	39
3月	11,645	4,212	36	38,486	12,668	33		21,195	9,667	46	42,951	16,575	39			22,462	10,976	49	51,753	17,235	33
4月	13,312	4,960	37	36,517	14,043	38		26,622	11,786	42	55,967	17,088	31			26,622	11,786	42	55,967	17,088	31
5月	13,772	6,570	48	26,101	14,442	4		16,211	7,118	43	40,926	14,843	36								

(第11表) 原料品及完製品의 輸出入 傾向

輸 出	原 料 品		原 料 用 製 品		全 製 品		總 計	
	円	%	円	%	円	%	円	%
1946年 3月								
4月			45,600	55.40	9,520	0.03	82,300	100
5月			127,500	8.75			1,455,822	100

6月	—	—	478,506	39.23	—	—	1,219,536	
7月	—	—	174,300	3.69	—	—	4,719,010	
8月	—	—	528,640	18.76	—	—	2,817,039	
9月	—	—	535,917	14.83	—	—	3,611,373	
10月	—	—	30,000	0.46	—	—	6,605,035	
11月	—	—	874,100	6.25	—	—	13,998,026	
12月	—	—	2,049,800	15.50	—	—	13,229,845	
1946年總計	—	—	4,844,363	10.15	9,520	0.03	47,737,986	
1947年 1月	—	—	1,142,760	7.64	—	—	14,950,300	
2月	—	—	628,650	7.51	—	—	8,383,250	
3月	—	—	534,400	14.72	—	—	3,632,200	
4月	—	—	182,000	1.66	1,358,761	12.40	10,956,463	
5月	32,320,300	22.54	15,587,143	10.87	25,596,720	17.85	143,343,710	100
6月	10,341,100	7.17	112,324,360	77.88	4,854,280	3.36	144,213,630	
7月	84,151,868	74.12	9,777,045	8.61	480,000	0.43	113,529,273	
8月	—	—	288,030	1.59	2,770,129	15.25	18,160,859	
9月	22,385,255	25.18	52,656,500	59.22	—	—	88,912,355	
10月	9,309,305	5.01	23,688,500	12.76	27,889,600	15.02	185,659,484	
11月	—	—	11,738,000	10.89	53,593,450	49.78	107,700,696	
12月	—	—	62,202,330	22.89	43,156,760	15.88	271,691,240	
1947年總計	158,507,828	14.26	290,749,718	26.16	159,699,700	14.37	1,111,133,460	
輸 入								
1946年 3月	—	—	—	—	2,400	0.02	901,097	
4月	—	—	171,510	8.41	65,440	3.21	2,037,879	
5月	200,000	1.64	2,077,161	17.11	805,175	6.63	12,138,256	
6月	—	—	1,141,355	11.08	962,719	9.35	10,295,242	
7月	—	—	4,930,155	17.84	1,397,127	5.05	27,632,729	
8月	—	—	694,377	8.49	521,903	6.38	8,176,353	
9月	27,482	0.09	4,289,503	14.92	5,757,417	20.02	28,744,220	
10月	284,253	0.73	9,974,978	24.85	3,759,883	9.36	40,137,576	
11月	—	—	4,151,466	28.15	5,982,315	40.57	14,745,036	
12月	—	—	7,523,453	32.16	11,858,106	50.69	23,392,543	
1946年總計	511,735	0.33	34,953,958	20.75	31,230,473	18.54	168,406,154	
1947年 1月	180,384	1.11	738,908	4.46	12,874,295	77.75	16,557,784	
2月	—	—	2,859,223	15.57	9,693,633	52.78	18,364,977	
3月	—	—	12,076,175	35.92	11,400,825	33.91	33,613,717	
4月	445,900	0.50	49,521,309	51.99	16,319,233	17.13	95,235,888	
5月	14,935,125	13.37	42,171,192	37.77	37,365,773	33.47	111,636,469	
6月	36,796,000	13.42	11,179,833	4.07	144,808,243	52.83	274,085,288	
7月	—	—	14,843,583	40.25	11,566,248	31.36	36,885,038	
8月	—	—	7,880,606	27.40	17,013,833	59.15	28,761,089	
9月	77,578,022	32.97	42,842,739	18.21	99,963,479	42.49	235,290,546	
10月	27,402,318	5.20	99,698,673	17.88	395,423,847	75.90	527,867,432	
11月	229,222,266	49.49	67,545,020	14.59	153,162,693	33.07	463,123,673	
12月	50,454,445	20.43	50,682,122	20.54	128,373,769	52.03	246,703,305	
1947年總計	437,014,460	20.93	402,039,383	19.26	1,037,965,871	49.71	2,088,125,206	

註 輸出入額中食料品는省略하였음으로細目合計는總計와符合치않음

※이나 同時에國內의主要生産財價格의高騰을伏線으로 1947	10	18,518	21 195
年8月부터 都賣物價指數의 騰貴曲線이 縮小賣物價指數	12	25,563	26 622
(第12表) 都賣物價指數及小賣物價指數對照(1936=100)	1947. 2	32,489	38 894
	3	35,076	38 489
	4	33,776	36 517
	5	35,144	36 101
	6	37,249	37 431
	8	40,547	39 665
	10	45,760	42 951
	12	58,305	55 961

의騰貴曲線을凌駕하게된事實도 이러한企業競爭에起因하는 것이었다 (第12表參照)

여기에서或者는 1946년의第四四半期即 9~12月間에 第13表와如히市中銀行의膨脹係數(貸出增加高)의高騰을

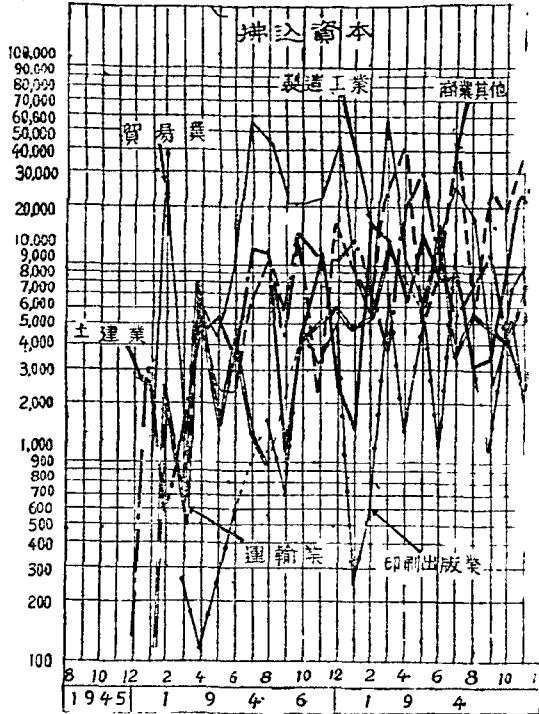
(第13表) 市中銀行資金의流動性係數及膨脹係數

	流動性(貸出)係數(預金)	膨脹(貸出增加高)係數(預金增加高)
1946. 3	95	29
4	86	29
5	75	26
6	71	40
7	73	98
8	74	89
9	75	71
10	76	170
11	78	95
12	73	36
1947. 1	72	—
2	70	8
3	64	15
4	63	52
5	66	84
6	67	24
7	69	119
8	76	130
9	69	153
10	81	393
11	130	608
12	125	101

보고 資金放出制限의緩和和을指摘한지도모른다 그러나此膨脹係數의增加가當年秋季부터의農產物收買資金約45億圓이放出된데緣由한은繁說을不要한것이다 都大體此Boom期을 지난 1947年度初부터의一般預金構成의全面的崩壞의때는勿論此Boom期의前後半을通하여一般預金の投資化라는것은貯蓄投資의轉化段階即(1)消費節約(2)生産要素의用途變更(3)有利한生産開始(4)그結果인生産의擴大的增加等の露進展을 완전히 보지 못한現實에 있어서 이들要項하는그自體가不可能한일이 없었던것이다 이리하여資材面의隘路와資金面의隘路는兩從竹筍格인企業熱을1946年後半期부터徹底히萎縮시켰으니 다시第14表와如히運輸業을除外하고는剩餘産業은拂込資本의弱화一를을 받고 있음을알수있다 5~8月의한때에旺盛하던企業熱이萎縮케됨에이에따르는景氣變動은곧資本의商業에의集中을促成하였으며商業資本특히都賣市場에投入된資本의市場煽動의影響은小賣物價를誘導하여大衆生活를威脅하게되는것이다所得의固定乃至는Inflation의進展에依한名目的增加가그만큼大衆의消費支出을增加케하고結局屬筆者이고非屬筆者이고間에貨幣의失業에따라넣어彈力性있는物品에關한需要性向을漸次弱화하게함은此Boom期의末期에서보이는都賣物價小賣物價兩指數의緩慢한騰貴에서알수있는바이다。

1946年末부터 頹落하게된 Boom의頹勢는 決코自由資本主義의景氣變動에서 볼수있는物價暴落乃至는金融破綻을 齎來한것이아닐은 序言에서도 言明한바이다 何故인가하면 南朝鮮變動은 1945年末부터 可現的 Inflation 景氣에突入한것이이었으나 經濟人은勿論 大衆生活에 景氣變動의 (第14表)

單位十圓 八都市新設會社



單一化過程即 Inflation 에依한物價의繼續的騰貴에最後的的確信을賦與케된것은從前의 Boom의企業利潤의累加가人體로此1946年末期부터停滯의기始作하고(企業利潤의捕捉은資料未詳으로省略但預金構成의崩壞——第22表——로써이를證言할수있음) 더구나該年末의通貨發行의非正常的인增加가名目的社會所得을誇示한데由來하게되었으니生産微減과 Inflation의本格化는解放後 처음보는金融迫逼을 낳게 되었는것이다

### 4. Inflation 景氣期

에此期以後는 Inflation 景氣段階라呼稱하는데 關하여서는 두가지主要理由가있다 其一은從前까지의通貨發行指數及物價指數가 1947年初에이르러前者는10月の130으로부터 200(2月)으로後者는 18,518로부터 32,489(2月)의躍騰을보였다는것과 其二은生産不振의象徴인不渡手形高推移가 1946年 12月中의 584枚 28百萬圓으로부터 1947年 1月中에는 747枚 43百萬圓에 到達하였다는事實이다 (第12,16,17表參照)

(第15表)

南朝鮮工場及勞動者數의 萎縮狀況 1947年3月測

	工 場 數				勞 動 者 數			
	1943年	1947年	減少數	減少率	1943年	1947年	減少數	減少率
金 屬	416	262	154	36.9	12,578	6,118	6,460	51.3
機 械 器 具	944	874	70	7.4	27,331	20,510	6,821	24.9
化 學	681	582	99	14.5	22,869	21,457	1,412	61.7
外 水 氣 道	70	32	38	52.8	2,864	1,927	937	33.3
窯 業	1,172	700	472	40.3	20,616	10,686	9,930	48.2
紡 織	1,683	537	1,146	68.1	61,210	37,353	23,857	39.0
製 材 木 製 品	1,359	542	817	60.1	14,598	11,315	3,283	22.5
食 料 品	1,704	643	1,061	62.3	19,854	12,506	7,348	37.0
印 刷 製 本	420	143	277	65.9	7,370	2,655	4,715	64.0
土 木 建 築	997	90	907	91.0	53,680	6,297	47,383	88.5
其 他	619	95	524	84.6	12,423	3,155	9,268	74.6
合 計	10,065	4,500	5,565	55.3	255,393	133,979	121,414	49.5

註 1. 1943年數字는前總督府勞動技術統計會作成 5人以上工場 (但江原 京畿는南朝鮮 黃海는北朝鮮으로計入社)

2. 1947年數字는同年 3月現在軍政廳勞動部調査 5人以上使用工場

(第16表)

不渡手形高推移

	枚 數	金 額
1946.12	584	28,110千圓
1947. 1	747	43,798
2	580	37,575
3	636	30,208
4	906	52,637
5	739	41,182
6	724	35,357
7	924	46,744
8	810	51,231
9	862	59,018
10	1,053	62,927
11	1,027	60,105
12	1,062	81,632

同時에 重要한徵候의 一은 一般供給生活者의 實質賃金이 1946年末의 42으로부터 34 또는 30의 水準에 急落했다는 事實이다 (第10表參照) 勿論 1946年末의 尅大한通貨發行超過을 豫계한 米賚의放出이 1947年初부터 還收하기始作하여 同年4月부터 다시金融緩慢 이에따르는 物價의局部的下落은 Inflation 景氣의特質即物價의累積的騰貴를 反證하는것 같 이도 보였었다 그러나 이러한 自然反則的變動이 經濟外的條件의作用 即1月19日宣明의 物資退藏閉束에關保한 暴利取締令의所致였다는것——따라서 物價는循環變動修正値에 依하여는 第1表와如히 牽制을 보였었다하여도 結局 Inflation의 進展速度即 物價指數暴騰에 比하여 民間保有의通貨量의 小幅的增加乃至는 通貨流通速度의 變動이 慎重하였다는 主因인 大衆消費性向의 弱화가 深刻化하여 갔다는 諸證左에 依하여 此Inflation 景氣의 特徵을 肯定하여야 할것이다

(第17表)

現金通貨의民間流通高

	銀行券發行高		金融機關保有高		差引民間保有高	
	金 額	指 數	現 金	指 數	金 額	指 數
1946. 3	8,958,423千圓	100.00	1,397,326千圓	100.00	7,561,097千圓	100.00
4	9,156,565	106.21	1,371,913	98.18	7,784,652	102.85
6	9,276,168	103.54	394,197	28.21	8,881,971	117.46
8	10,664,417	119.04	635,284	45.46	10,029,133	132.58
10	11,700,471	130.60	878,511	62.87	10,821,960	143.12
12	16,573,505	185.00	1,633,194	116.87	14,940,311	197.59
1947. 2	17,973,037	200.62	1,228,129	87.89	16,744,908	221.46
4	17,166,599	191.62	1,314,368	94.06	15,852,231	209.65
6	17,742,773	198.05	1,466,319	104.93	16,276,454	215.26
8	19,040,028	212.53	1,388,874	99.39	17,651,154	233.44
10	20,782,249	231.98	1,642,417	117.54	19,139,832	253.13
12	32,342,894	361.00	3,325,483	237.98	29,017,411	383.77

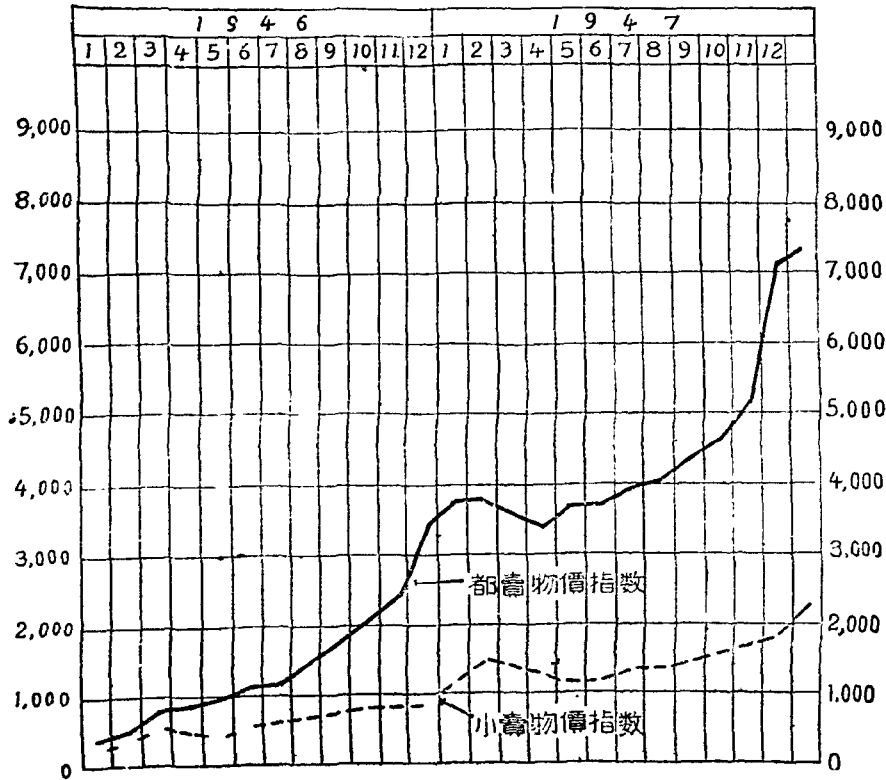
(第18表)

通貨流通速度

1945. 5	—	7	1.15	4	1.53
10	—	9	1.08	5	1.53
11	—	11	1.72	6	1.42
12	—	12	1.57	8	1.68
1946. 2	0.22	1947. 1	—	10	1.94
3	0.85	2	1.38	12	1.68
5	1.26	3	1.52		

(第19表)

### 物價指數推移表 (1945=100)



(第20表)

### 南朝鮮過渡政府費出及收入表 1945年10月—1947年10月(單位千圓)

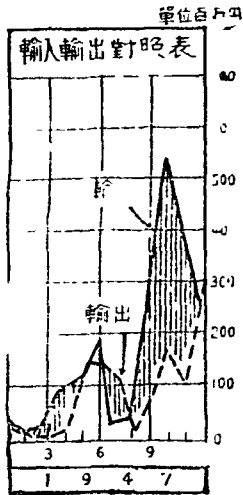
期間	費出	收 入			
		合計	專賣局	票稅	諸官業
1945. 10 ~ 1946. 3	1,176,675	328,095	211,174	102,783	14,138
月平均	196,112	54,682	35,196	17,130	2,356
1946. 4	626,414	142,392	77,837	28,521	36,034
5	878,485	299,391	140,416	72,337	86,638
6	441,141	299,175	176,685	43,790	78,700
7	1,444,524	228,558	139,222	35,196	54,140
8	551,255	227,344	121,998	32,791	72,555
9	421,100	189,133	92,338	34,303	62,492
10	851,303	510,439	320,033	93,536	96,870
11	1,267,478	405,530	188,930	75,473	141,127
12	1,166,418	548,645	315,149	85,959	183,537
1947. 1	1,150,813	743,643	402,504	82,399	258,740
2	813,377	610,540	284,555	86,743	239,242
3	1,312,863	1,024,452	448,370	141,793	434,284
(小計)	10,925,176	5,265,242	2,708,037	812,846	1,744,359
(差引)	—	151,870	—	—	—
合計	10,925,176	5,113,372	2,708,037	812,846	1,592,489
月平均	910,431	426,114	225,669	67,737	132,707



1947. 4	1,359,001	803,476	350,698	184,866	267,912
5	1,107,775	1,023,952	422,451	231,865	369,636
6	4,156,373	1,065,682	507,068	203,719	354,895
7	2,025,723	912,415	481,225	95,771	335,419
8	1,827,528	710,831	245,558	74,541	390,732
9	1,394,129	1,711,542	489,257	285,619	396,666
10	2,947,142	1,749,760	938,516	327,226	484,018
11	1,341,038	1,225,189	574,498	198,125	452,566
12	2,520,749	1,434,121	679,298	195,797	559,026

註 差引倉運輸部在庫品額

(第21表)



果然 第 19 表와如히 1947年 5 月부터는 物價指數는 Inflation의 進行을 催促하는 天飛驒의 始作하였으며 다시 小賣物價指數도 年初부터의 暴利取締의 隨從現象을 다시 積極的으로 反映하기 始作한 것이다. 다만 이때에 있어서 金融機關은 107 個所의 支店入出所로 撤回하는 한편 貸付嚴選에 留重하여 金融緩慢에 再突入하였으나 人勢는 이미 6~8 월에 支出過多를 是過故의 財政赤字의 影響이 (第20表參照) 及 貸付金의 放出과 아울러 投機乘의 市況擾亂에 好條件은

賦與하게 되었으니 國內物價高騰으로 因難輸出不振에 代身한 輸入物資의 出處에 殺到한 貿易業者、群少企業家及 仲間商人의 三巴戰은 市場私金利의 昂騰、國內對價物資의 買占一이 에따르는 國內物價의 躍騰을 招來했은뿐 아니라 第22表와如히 一般預金의 構成에 慢性的變動을 주어 特別 Inflation 下에 憂慮되는 長期預金의 去勢를 挽回하여 産業復興을 爲한 工業資金 鑛業資金의 放出을 消極化하였는 것이다 (第23表參照)

다음 第24表는 預金口座數의 種別推移로서 1947年에 이르러 特別 長期預金인 定期及通知預金口座의 激減과 一方比較的 零細의 貯蓄力이 되는 特別當座預金의 漸減狀態를 보여준다 一般的으로 Inflation 이 政策의 反映 或은 生産設備의 稼働餘力이 待機態勢인 때에는 비록 貸金勞働者들의 實質賃金을 犧牲하는 恨은 있더라도 具體的으로 國富의 實力은 絶對的으로 높이는 것이다 그러나 南朝鮮의 此期의 Inflation 의 進展은 生産機構의 擴大再生産의 轉換以前에 襲來한 Calamity Credit (擾亂的信用) 을 形成하고 있었기에 迂回生産을 忍耐할 수 없는 物價高와 生産費를 가져오게 되었는 것이다

(第22表) 金融機關預金의 種別構成 (單位百萬圓)

	定期預金	當座預金	特別當座預金	諸預金	合計
1945. 8	536 (13)%	1,122 (27)%	291 (7)%	2,232 (53)	4,181 (100)
12	337 (8)	742 (17)	953 (21)	2,426 (54)	4,458 (100)
1946. 2	451 (8)	1,066 (20)	1,218 (22)	2,721 (50)	5,456 (100)
6	1,035 (13)	1,781 (23)	1,724 (22)	3,307 (42)	7,847 (100)
10	1,427 (14)	2,710 (27)	2,283 (22)	3,813 (37)	10,233 (100)
12	1,442 (11)	3,907 (29)	2,972 (23)	4,825 (37)	13,146 (100)
1947. 4	1,593 (9)	4,665 (27)	3,608 (20)	7,667 (44)	17,533 (100)
8	1,627 (9)	5,276 (29)	4,122 (22)	7,375 (40)	18,400 (100)
12	2,115 (8)	8,266 (32)	5,467 (22)	10,666 (38)	26,514 (100)

註 括弧內는 總預金額에 對한 比率

(第23表) 金融機關貸付金業種別增加內容

	(1945.9~1947.5)	(1945.9~1947.10)
農	6億圓	15億圓
業	2	3
建	3	4
產	6	9
特	5	15
產	10	15
工	4	14
公	10	20
商	—	5
貿	6.5	8
其	—	—
合	52.5	108

註 未設資金은 除外

(第24表) 預金種別口座數推移 (朝鮮銀行分)

	當座	特別當座	定期	通知	其他	合計
1946. 3	2,370	17,888	20,062	79	21,529	61,928
9	2,535	20,110	15,141	154	21,063	59,003
1947. 3	2,816	17,883	14,110	112	19,750	54,671
9	2,833	18,601	13,163	137	19,777	54,511
解放直後 1945. 9	1,773	15,924	18,024	969	12,640	49,330

企業利回의 固定乃至 小幅의 蓄積이 可能하였더라면 資本은 能히 生産場裡에 吸收되었을 것이나 繼續되는 政治的 不安과 社會治安의 動搖는 生産과 消費의 中間段階即 交通運輸、信用取引에 隘路를 構築하였는 것이다 此의 隘路는 亦다 是 隘路를 豫備한다 金融機關의 貸付嚴選과 經濟的環境의 敍上의 窮迫化

(第25表)

金融機關貸付狀況 (單位千圓)

		貸 付 額				回 收 額			
		政 府 保 證	10萬圓以上	10萬圓以下	合 計	政 府 保 證	10萬圓以上	10萬圓以下	合 計
1946.	3	105,890	445,577	313,999	865,466	49,809	657,623	238,598	937,030
	4	143,580	302,803	376,886	823,269	68,755	398,062	242,867	709,684
	5	154,900	333,705	456,513	945,118	121,969	478,274	342,163	942,406
	6	122,702	420,454	424,683	967,839	77,471	318,666	300,605	696,742
	7	619,976	945,483	639 30	2,204,689	169,279	628,208	443,319	1,240,806
	8	546,812	693,414	935,427	2,175,653	187,069	630,988	633,657	1,451,714
	9	335,227	799,283	1,073,651	2,208,166	199,463	783,740	802,938	1,786,141
	10	210,467	1,054,019	1,158,752	2,423,238	307,878	916,342	797,997	2,022,217
	11	2,449,948	1,118,899	1,360,014	4,928,861	219,104	958,225	1,039,175	2,216,504
	12	2,030,233	1,179,916	1,899,481	5,109,630	410,322	1,054,814	1,606,692	3,071,828
1647.	1	978,569	1,008,345	1,184,403	3,171,317	800,608	901,181	1,131,368	2,833,157
	2	362,494	635,733	945,210	1,943,437	549,953	779,337	938,839	2,268,129
	3	556,775	1,294,202	1,336,845	3,187,822	1,019,351	1,520,582	1,024,996	3,564,929
	4	649,587	856,137	1,554,216	3,059,940	725,684	944,869	1,275,299	2,945,852
	5	704,182	3,097,569	1,311,502	5,113,253	592,903	2,859,566	1,209,722	4,662,191
	6	376,077	3,098,966	1,238,276	4,713,319	3,847,834	2,392,677	1,106,578	7,347,089
	7	565,524	2,720,489	1,633,216	4,919,229	470,910	2,370,023	1,371,719	4,212,652
	8	567,614	1,636,744	1,943,737	4,148,095	470,046	1,450,520	1,387,940	3,308,506
	9	787,133	4,323,486	2,731,428	7,842,047	463,843	4,136,158	1,973,118	6,573,119
	10	1,301,596	3,193,832	3,545,081	8,040,509	681,741	3,026,975	2,397,541	6,106,257
	11	7,621,374	11,414,247	2,484,592	21,520,713	409,203	2,967,058	1,871,890	5,248,151
	12	3,479,068	9,536,290	4,047,125	17,062,483	1,284,127	7,405,761	3,571,806	12,261,694

註 1947年 9月以後는 50萬圓以上 50萬圓以下는 招上 상  
는 漸次 冒險企業의 인企業家의 活潑한 活動을 萎縮 시키 倫安  
과 官憲의 庇護下의 證券貸付 其他의 政府保證貸付에 寄依케  
하고 金融機關은 遊資를 擁護한 困境을 打開코자 自治의 特  
殊金融이 造成되 었다(第25表參照) 1947年 9月末에 始作한 國  
庫預金의 朝銀集中과 夏穀資金은 年頭로 季節의 農產物收買資  
金의 市銀分與——이를爲한 朝鮮銀行의 再割引制의 復活은 金

融機關特히 市中銀行의 投資와 貯蓄의 디플라를 中央銀行의  
包擁으로 解消 시키려는 데 있었다(第26表參照)

그러나 所謂 Inflation 景氣下에 捕捉한 1947年 全期의 南  
朝鮮經濟變動은 結局 經濟擠迫의 底面에 놓인 生産機構의  
萎縮沈滯에서 致命의 影響을 받아 可見인 金融統制나 物價  
統制그 自體의 孤立的 偏寄性을 露現하게 된 것이다 이러한 可  
見인 自我主義的, 局部策의 反動이 다시는 底面의 經濟機  
構에 作用하여 全生産機構의 分裂——生産財生産部門의 資  
金의 優勢와 消費財生産部門의 價格의 優勢나 或은 縱的으로 分  
察하여 農業生産機構內의 非有機的 意業又是 工業生産機構內  
의 單純過程의 粗品生産等은 忘却할 수 없는 此 Inflation 景  
氣內의 症狀인 것이다 따라서 結果로 보아 縮少 生産率과  
缺狀의 으로 展開되는 通貨流通高화의 壓力下에 第一呻吟  
하고 勞苦를 거듭하여 온 經濟的弱者即 單純又是 專業耕作農  
定額收入者에 網羅되는 高級官吏 會社員 敎職員等의 生計等  
을 아래의 諸表에서 推察하는 것도 決로 無意味한 일은 아닐 것  
이다

(第26表) 農產物收買資金殘高 (單位千圓)

	1946年末	1947年末
米 穀 資 金	4,146,844	11,662,054
夏 穀 資 金	(420,000)	98,289
棉 花 資 金	(23,152)	321,917
春 露 購 藏 資 金	—	(165,000)
秋 露 購 藏 資 金	—	124,193
煙 草	—	1,582,259
藥 工 品	—	198,954
合 計	4,589,996	14,152,666

註 括弧內數字는 推算額

(第27表)

主要農產物及工產物都賣價格指數對照表 (1936年=100)

	白 米	大 豆	綠 絲	廣 木	生 細 布	硫 安	苛 性 氫 鹼
1945.	9	3,666	2,000	781	6,097	2,686	1,538
	11	2,166	3,000	1 406	7,926	4,672	3,205
1946.	1	6,000	5,500	2 500	10,975	11,098	3,846
	3	19,333	15,000	3 125	28,048	22,780	11,538
	5	16,000	15,000	3 437	23,170	18,691	33,333
	7	30,000	20,000	3 906	23,170	19,859	30,769
	9	36,666	18,000	4 637	36 585	29,205	30 769
	11	21,666	17,000	6 562	54 878	47,897	30 769
1947.	1	33,333	34,000	17,187	103,658	93,457	30 769
	3	30,666	35,000	17,187	85 365	81,775	51 282

5	31,666	36,000	17,187	85,365	75,934	64,102	250,000
7	43,333	37,000	17,187	91,463	75,934	66,666	328,571
9	36,666	36,500	23,437	109,756	93,457	66,666	500,000
10	41,666	34,000	26,562	134,146	116,822	66,666	642,857
11	46,666	38,000	31,250	146,341	128,504	76,923	857,142
12	48,333	38,000	43,750	207,317	186,915	76,923	1,071,485

(第28表) 失業率比率表 (1947年未現在)

	서울市	京畿道	忠北道
雇傭人	42.8%	40.3%	43.0
家庭婦人	20.4	30.9	31.0
學生	6.9	4.9	5.0
失業者	29.9	23.9	21.0
合計	100.0	100.0	100.0

(第29表) 産業別失業者數表 (1946年8月現在)

工 業	75,306人
運 輸	17,450
鐵 業	133,120
事 務 員	52,103
其 他	702,177
合 計	980,156

(第30表) 地 及 建 物 價 格 對 照 表 (單位圓)

	中 級 商 業 地 (坪 當)		中 級 住 宅 地 (坪 當)		上 級 住 宅 地 (每 間 當)	
	地 價 格	建 物 價 格	地 價 格	建 物 價 格	商 業 地 帶	住 宅 地 帶
1937年 3	300	160	40	100	50	15
1945 // 3	600	950	85	800	150	20
1945 // 10	1,000	1,800	300	1,600	350	50
1947 // 7	20,000	35,000	2,000	23,000	4,500	800
1948 // 2	25,000	50,000	3,500	50,000	7,000	2,000

註 殖銀鑑定部調査

(第31表) 職 場 別 勞 働 者 家 計 狀 況 (1947年4月現在)

職 場 別	賃 支 出	勤 勞 收 入	差 引 不 足 額
金屬機械工場	6,639 <sup>圓</sup>	3,860 <sup>圓</sup>	2,779 <sup>圓</sup>
國 鐵	7,469	3,434	4,035
京 電	6,567	2,589	3,978
食料品製造工場	7,050	4,214	2,836
印刷工場	8,364	4,936	3,428

註 朝鮮産業勞動局查所調査

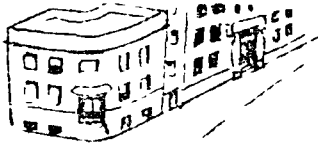
### 5. 結 言

以上으로 未備한資料에 拙劣한分析을試하였다 그러나 Inflation 下의南朝鮮經濟가 變轉하여은 方向과 다시 또 所謂二次的後退로서 諸經濟變動이 急速히惡化되어가는 主因은 指摘되었을것이다 完全雇傭과 中立貨幣의 條件인 生産擴張及 金融統制의伸縮性은 이제야 完全히 消滅되었나

고불수있다 무엇으로써 此後退現象을收拾할것인가? 生産擴張은 尙大한 資材와技術陣을要하며 金融伸縮性은 通貨의 安定과 金融機關의 組織化에서 期待되며 이모든 條件의 時速한 具備는 또 國民所得의 安定維持에 있다 生産없는 投資誘引도 없을것이고 金融安定없는 投資誘引도 不可能한것이다 이러한야先着手할 基本施策의 하나는 이들條件의具體的인 進展을實證하기 爲한 各階級の 經濟力의効用에 可能한 限度의 最大厚生力을 賦與한것과 同時에 此厚生力에 可能한限度의 固定性乃至는 向上性을줄것이라고 본다 이 들더具體的으로 말하면 所得獲得能力의 現實的偏在을 各階級間에分在시켜 누구나 無爲한 轉讓 空虛한競爭을하지 않도록 貨幣의所得의 安定化를期하여야 한다는것이다 安定性 없는 過去의局部的進歩에서 轉換하여야할 安定性있는 進歩條件——이것만이 經濟的忍耐力을 消盡한 現下 我國民에게 授與한 唯一의 福源인것이다 —(以上)—

(參考) 美 國 主 要 景 氣 指 標 (1929~1947) (自1935年 平均=100)

	工 業 生 產 量	就 業 率	工 場 賃 金	貨 物 運 送 量	1935年 平均=100			
					1938	1939	1940	1941
1929年	110	103.1	117.1	152	89	90.0	84.7	89
1930	91	89.8	94.7	131	109	100.0	100.0	101
1931	75	75.8	71.8	105	125	107.5	114.9	109
1932	58	64.4	49.9	78	162	132.1	167.5	130
1933	69	71.3	53.1	82	199	154.0	245.2	138
1934	75	83.1	68.3	89	239	177.7	334.4	137
1935	87	88.7	78.6	92	194	172.4	345.7	140
1936	103	96.4	91.2	107	203	151.8	293.4	135
1937	113	105.8	108.8	111	196	142.0	266.4	132
					1947	187	—	143



# 財政金融



## 財 政

### 目 次

- 1. 解放前의朝鮮財政警見      4 歲入構成의變遷
- 2. 解放後의南朝鮮財政基調      5. 稅制改革의意義
- 3. 歲出構成의趨移

1. 解放前의朝鮮財政警見

財政은 一國統治方針에 따라 不斷히 進展하는 것이나 이러한意味에서 解放前日帝의隷屬下에 朝鮮財政은 1910年日帝의 侵犯以來 不斷히 日帝의 施政方針에 符合되여 發展하였으니 이를 10年隔年으로 大別하여 보면 如下하다 (第1表參照) 1911年~1920年期는 該期間의 補充金制度에 依하 (文書上에는 歲出의 20%内外는 日本政府에서 朝鮮總督府特別會計에 對替된 것으로 되어 있으나) 朝鮮歲出金은 日帝

(第1表)

### 解放前의朝鮮財政變遷

年次	歲入 (千圓)	歲出 (千圓)	(生産物額의 千圓)
1911年	52,284 (2,885)	46,172	409,294
1921	175,134 (15,000)	148,414	1,302,484
1930	218,210 (15,473)	208,724	1,176,086 2,332,216
1935	330,219 (12,825)	290,267	2,332,216
1937	427,653 (12,913)	425,123	2,937,766
1941	1,085,391 (84,260)	931,810	5,104,648
1944	2,358,988 (39,000)	2,358,988	5,880,000

註 1944年度는 豫算 他는 決算에 依한 括弧內歲入分은 中央財政負擔인 補充金임

※ 政의 植民地政策의 食金으로 日人이 經營하였으니 實相은 朝鮮總督府會計의 80%는 朝鮮에서 搾取한 것이나 이 러한 中에 1921~1935年期에는 所謂 補充金은 16%内外로 嚴減하게 되었으나 代身租稅體系의 日本化는 通하여 官業收入은 勿論 一般直接稅의 巨額增收으로써 依然歲入超過은 必하였다 다음 1937年~1944年에 이르는 日本의 大陸侵略戰時代의 財政에 關하여 指摘하면 第1表와 如히 此時期는 日本의 侵略戰의 目的에 符合시키기爲한 것임에 形式上 그 것이나 補充金이 6~3%로 著減하는 한편 大陣兵站地로써의 朝鮮에 對하 軍需工次의 移植과 鐵道 道路 港灣施設의 改良其他 物動計劃에 依한 物食資金 勞力의 配分 豫算의 累增이 있어 所謂 財政 Inflation이 醜成되여 오든 時期였는 것이다 第2表에 依하면 史의 事實이 赤字財政은 1941年 即 太平洋戰爭初期를 契機로 그 膨脹度가 急增되여 1944年 即 解放直前年에는 生産指數 物價指數及 財政(歲出)指數共히 平年인 1936年에 比하여 많은 變遷을 보이고 있음은 알 수 있다

(第2表) 解放前財政, 生産, 物價指數

年次	生産指數	物價指數	財政(歲出)指數
1936年	100	100	100
1937	130	116	131
1938	142	139	154
1939	167	163	209
1940	193	180	267
1941	220	186	326
1942	210	195	345
1943	239	215	497
1944	254	241	727
1946	—	13,478	2,800
1947	—	40,203	4,150

### 2. 解放後의南朝鮮財政基調

1945年9月9日 美軍이 南朝鮮에 進駐하고 一方朝鮮의 南北이 分離됨에 南朝鮮美軍政廳은 1945年9月末로 一段 日政下의 朝鮮總督府財政會計를 封鎖하고 新規로 同年10月1日부리 實行豫算을 編成施行하기로 하였다 이 結果 翌年1946年3月末까지를 會計年度로 歲出 1,176,675千圓 歲入 328,095千圓 即 約 848百萬圓의 赤字豫算을 내었는 것이다

此에 있어서 歲出總額 1,176百萬圓餘가 1945年10月~1946年3月의 6個月의 軍政費出으로서 計上된 것은 1945年度의 朝鮮總督府豫算 31億圓의 半額에 未及하였다는點에서 尤히 量의 으로는 歲出의 萎縮乃至 節制를 表明하고 있다고 볼 수 있지만 實의 으로는 歲入이 全停停止되고 모-든 行政活動이 一時 麻痺되었는 此期間에 있어서 純全한 赤字支出이 있었다는點과 同期間의 通貨膨脹高 84%餘圓의 거의 全部를 占하고 있음은 看過하여서는 안 될 것이다

이러한 赤字財政의 先例例에 編成된 1946年度의 豫算은 겨우 1946年度의 7월에 들어서서 全額을 보이기 되였으니 第3表와 如

(第3表) 1946年度歲入豫算 (單位千圓)

部	豫算	率
農務部	17,900	0.2%
商務部	22	0.0
文教部	11,357	0.1
遞信部	27,146	0.3
司法部	390,731	4.9
保健厚生部	1,168	0.0
運輸部	810,938	10.1

專 賣 局	6,030,105	75.4	企 劃 處	6,219	0.1
租 稅	722,172	9.0	管 財 處	53,273	0.5
公 報 部	1,500	0.0	地 方 行 政 處	1,887,287	16.0
合 計	8,013,389	100.0	臨 時 積 立 企 劃 處	562,000	4.6
			合 計	11,800,212	100.0

1946年度歲出豫算費 (單位千圓)

農 務 部	1,457,014	12.3%
商 務 部	499,830	4.2
文 教 部	386,883	3.3
財 務 部	77,467	0.7
專 賣 局	1,409,466	12.0
遞 信 部	597,900	5.1
司 法 部	685,395	5.8
警 務 部	670,245	5.7
保 健 厚 生 部	415,125	3.5
公 道 報 部	22,221	0.2
海 陸 輸 送 部	1,983,345	16.8
海 陸 輸 送 部	355,540	3.0
朝 鮮 警 備 隊	669,951	5.7
會 計 處	45,099	0.4
行 政 處	385	0.0
國 防 部	395	0.0
外 務 處	7,036	0.1
總 務 處	4,356	0.0
人 事 行 政 處	3,752	0.0

費目別歲出內容 (單位千圓)

給 料	1,010,016	8.6%
賃 金	274,784	2.3
旅 費	83,362	0.7
通 信 費	8,569	0.1
印 刷 費	120,816	1.0
營 繕 費	563,079	4.8
輸 送 費	172,523	1.5
資 材 費	2,660,747	22.5
下 附 金	5,263,084	44.6
其 他	1,643,233	13.9
合 計	11,800,208	100.0

※如右 3,786 百萬圓의 赤字豫算으로 形成된 것이 었은 것이 아  
그러나 1946년에 들어와 漸次 物價指數가 年初  
의 8.044 으로부터 年末에는 5 倍強인 40.952 로 上昇함에 따라 歲  
出豫算과 齟齬하는 實行豫算의 膨脹及 國民經濟의 漸次的 疲弊  
에 따르는 國民擔稅力의 減收으로 인하여 1947年 3 月인 會計年度  
末期에 있어서는 歲出은 豫算보다 9 千萬圓의 減少을 보았으나  
(그러나 1947年 3 月에 1946年度 歲出이 끝난 것은 아니고 ※

(第 4 表)

南朝鮮過渡政府費出及收入表 (1945. 10—1947. 12) (單位千圓)

	費 出	收 入			
		合 計	專 賣 局	課 稅	諸 官 業
1945. 10					
1946. 3	1,176,675	328,095	211,174	102,783	14,138
月 平 均	196,112	54,681	35,195	17,130	2,356
1946. 4	626,414	142,392	77,837	28,521	36,034
5	878,485	299,391	140,416	72,337	86,638
6	441,141	299,175	176,685	43,790	78,700
7	1,444,524	228,558	139,222	35,196	54,140
8	551,255	227,344	121,998	32,791	72,555
9	421,100	189,133	92,338	34,303	62,492
10	851,303	510,439	320,033	93,536	96,870
11	1,267,478	405,530	188,930	75,473	141,127
12	1,166,418	584,645	315,149	85,959	183,537
1	1,150,813	743,643	402,504	82 9	258,740
2	813,377	610,540	284,555	86,743	239,242
3	1,312,808	1,024,452	448,370	141,798	434,284
(小 計)	10,925,176	5,265,242	2,708,037	812,846	1,744,359
(差 引)	—	151,870	—	—	151,870
合 計	10,925,176	5,113,372	2,708,037	812,846	1,592,489
月 平 均	910,431	426,114	225,669	67,737	132,707
1947. 4	1,359,001	803,476	350,698	184,866	267,912
5	1,107,775	1,023,952	422,451	231,865	369,636
6	4,156,373	1,065,682	507,068	203,719	354,895
7	2,025,723	912,415	481,225	95 771	335,419
8	1,827,528	710,831	245,558	74,541	390,732
9	1,394,129	1,171,542	489,257	285 619	396,666
10	2,947,142	1,749,760	938,516	327,226	484,018

11月	1,341,038	1,225,189	574,498	198,125	452,566
12月	2,520,749	1,434,121	579,298	195,797	559,026

差引은運輸部在庫品額임

※ 此歲出의決算은 1947年度豫算이 編成된때까지延滞되었  
다)歲入은豫算보다2,320百萬圓減縮된 5,115百萬圓을計上하  
게되었으니 1946年度豫算은 會計年度末에 있어서만도 5,812  
百萬圓의 實赤字를示現하였던것이다 (第4表參照)

다 1947年7月1日附로 編成된 1947年4月~1948年3月의  
豫算內容을 概觀하기로하면 이는 第5表와如히나 1948年1月  
10日公報部發表인 追加豫算은姑捨하고 當初의 本豫算만을  
對照해보드라도 2,284百萬圓의 赤字豫算으로써 1946年度의  
編成豫算에 示現된 3,786百萬圓의赤字에比하면 相當한緊縮  
을보이고 있으나 1947年9月末現在로 이미實赤字 6,182百萬  
圓을내고있다 이는1946年度會計年度末인 1947年3月末의實  
赤字 5,812百萬圓을 3倍餘나 凌駕하고 있는것임으로 假上  
1948年1月10日發表의追加豫算案의實施과 더불어 曆次 1948  
年3月末까지의 歲出實額의膨脹과 歲入確保의諸困難을豫想  
하면 (1947年10月末로歲入은豫想의61%를確保했을뿐이다)  
赤字財政의 前途가極히 憂慮되는바이다 더구나 第6表와  
如한過政豫算收支의季節的變態即 每年6,7月及 年末인 11月  
2月에 있어서 過大한支出超過의偏在傾向은 諸季節資金(農  
產物收買資金)의 斷層的인 購買力膨脹作用과 더불어 解放  
後物價激動의二大要因을形成하고 있다 要컨대 以上에 있어  
서 南朝鮮財政態勢는 極端한 赤字의膨脹을 前提로하는 量  
出定入의(支出優先)態勢인 同時에 表面에 있어서는 多少彈  
力性있는 豫算編成을試한대도 結局은 惰性的인赤字過多로  
歸結되고있는것이아

(第5表) 1947年度 歲入豫算案 (單位圓)

歲入經常費			
租稅	3,600,000,000	20.4%	
司法部	150,000,000	0.8	
專賣局	7,850,000,000	44.3	
運輸部	2,700,000,000	15.2	
遞信部	300,000,000	1.7	
官業及官有財産收入	215,000,000	1.2	
雜收入	619,854,856	3.5	
歲入臨時費			
借入金	2,284,309,444	12.9	
歲入合計	17,719,164,300	100.0	

1947年度 歲出豫算案 (單位圓)

官業費		
運輸部	3,000,000,000	
專賣局	3,087,910,200	
小計	6,087,910,200	
一般經常費		
民政長官室	3,178,300	
庶務處	62,767,400	
公報部	47,176,200	
人事行政處	12,931,000	
農務部	201,029,000	
遞信部	750,956,700	
外文務處	8,471,800	
文敎部	232,666,300	
統衛部	1,000,000,000	
司法部	708,986,200	
商務部	79,020,000	

特務部	1,584,562,600
保健厚生部	151,489,700
財務部	1,699,170,800
勞働部	7,767,000
土木部	143,232,400
南朝鮮過渡法院	35,995,500
中央經濟委員會	5,112,900
小計	6,734,513,800
一般臨時費	
庶務處	2,250,000
公報部	1,000,000
農務部	1,198,971,000
文敎部	1,226,442,700
商務部	7,480,000
保健厚生部	340,510,300
勞働部	11,680,000
土木部	453,530,000
小計	3,241,864,000
應急費	
文敎部	200,000,000
商務部	413,500,000
保健厚生部	300,000,000
中央物價行政處	9,004,600
中央食糧行政處	140,548,800
朝鮮民族青年團	19,629,700
朝鮮住宅管理處	20,000,000
民政長官室附屬厚生事務所	2,193,200
計	1,104,876,300
借金利息	550,000,000
(計)本豫算	17,719,164,300
追加豫算	1,724,945,400
(1947年10月10日附) (1948年1月10日發表)	
歲出總計	19,444,109,700

(第6表) 南朝鮮過渡政府預金及支出 1945年10月—1947年12月 (單位百萬圓)

	收入預金	支出	支出超過	支出超過 果計
1945 10月	—	—	—	21
11月	31	32	1	22
12月	27	188	161	183
1946 1月	45	452	407	590
2月	78	207	129	719
3月	143	449	306	1,025
4月	107	666	559	1,584
5月	222	883	661	2,245
6月	228	435	207	2,452
7月	185	1,398	1,213	3,665
8月	170	716	546	4,211
9月	141	653	512	4,723
10月	440	936	496	5,219
11月	298	1,511	1,213	6,432
12月	441	1,732	1,291	7,723
1947 1月	539	1,282	743	8,466

2月	429	1,126	697	9 163
3月	679	1,279	600	6 763
4月	616	2,242	1 626	11 389
5月	724	1,204	480	11 869
6月	793	4,753	3 950	15,829
7月	622	2,021	1 399	17 228
8月	403	633	230	17 458
9月	842	1,806	964	18 422
10月	358	2,795	1 437	19 859
11月	917	1,219	302	20,161
12月	1,012	2,020	1 008	21,169

註 運輸部收入은包含되지 않음

### 3. 歲出構成의 變遷

前述한바와같이 美軍進駐後 처음 豫算案이發表된것은 1946年下半期에 들어와서이런이고 1945年9月9日 美軍이 서울에 進駐한後인 1945年10月1日부터 翌年인 1946年3月31日까지의 財政收支는 從前의日帝의豫算編成과는 乖離된地盤에서 企案되었던것이다 이리하여1946年3月末까지의 美軍政이 新規로編成되려하는 結果가 1,176,675千圓의歲出과 328,095千圓의歲入으로 結局848百萬圓의 赤字財政의決算을 보게된點에 벌써 朝鮮財政의 解放前과 다른性格의胚胎되었던것이다 한편 이러한財政赤字는內包한 南朝鮮의 經濟界는 1946年의 豫算編成이있을當年の 下半期에는 解放直後의89億圓으로부터 120億圓臺의通貨膨脹을 招來하였으나 事後的이고 豫算編成의技術的隘路에 達當하였은 1946年4月~1947年3月까지의 豫算編成에 있어서 37億圓餘의 赤字를 容認하고 나가지않으면 안되게 되었던것이였다

이제 南朝鮮過渡政府財政構成(豫算編成)의 重要科目을 摘記叙述하여보면 그는大概第7表와如한것이이며 1946年度와 1947年度의歲出全體額은55億圓의顯著한膨脹을보이고있으니 그內容科目은通觀하면 一般의으로 歲出比率의變動이觀測된다 特別農務部, 商務部, 司法部, 遞信部, 統衛部의 歲出比率의遞減이注目할바이다 이에反하여歲出比率이 1946年度에 비하여 增加된部門은 文教部, 警務部, 財務部, 保健厚生部 이나 大概 文教部는國民義務教育實施費, 警務部는人件費, 財務部는 稅務行政補充等에 其費出의大部分이 充當된것이다 이러한傾向은 昨今の 南朝鮮의建設과治安維持, 民度向上乃至는國庫補強等 多角度의緊急課題를擔當한 當局의意向의當然한表徵이 아닐수없었다고認定되는바이다

(第7表) 歲出科目對照表

	1946年度		1947年度	
	千圓	比率 %	千圓	比率 %
農 務 部	1,457,014	12.3	1,400,000	7.9
商 務 部	499,830	4.2	500,000	2.8
文 教 部	386,883	3.2	1,659,112	9.4
財 務 部	77,467	0.6	299,290	1.7
同 專 賣 局	1,409,446	11.9	3,087,910	17.4
遞 信 部	597,900	5.0	750,956	4.3
司 法 部	685,395	5.8	708,986	4.0
警 務 部	670,254	5.6	1,584,562	8.9
保 健 厚 生 部	415,125	3.5	791,999	4.5
地 方 行 政 處	1,887,297	15.9	1,399,877	7.9
運 輸 部	1,983,345	6.8	3,000,000	16.9
統 衛 部	1,025,491	8.6	1,000,000	5.6
其 他	704,765	6.6	1,536,472	8.7
合 計	11,800,212	100.0	17,719,164	100.0

그러면解放後歲出豫算이 解放前의 全朝鮮의豫算과 對照되는 特質은 무엇일까? 第8表에依하여 1941年即太平洋戰爭開始年及 解放直前年인 1944年度 歲出科目을 1947年度와 對照하여보면 1947年度豫算의 官業費는 果然 非常時局을 背景으로 1941年度에 肉迫하고 있고 行政費率은 特別過渡期의 要請을 反映하여 解放後에 顯著한 飛躍을 보이고있다 그러나 歲出科目中 가장 特色을 보이고 있는 部分은茲

(第8表) 歲出科目比率對照表 (單位千圓)

	1941年度	同比率	1944年度	同比率	1947年度	同比率
官業費	531,285	52.5 <sup>*</sup>	678,000	28.7 <sup>*</sup>	6,087,910	34.3 <sup>*</sup>
行政費	58,107	5.7	583,000	24.7	6,734,513	38.0
土木及勸業費	107,219	10.6	167,800	7.1	813,200	4.6
(神社及)教育費	4,138	0.4	119	0.0	1,426,442	8.1
食糧増産費	18,103	1.8	352,000	14.9	1,198,971	6.3
地下資源探掘費	30,455	3.0	73,000	3.1	413,500	2.3
(軍事費)其他	263,270	26.0	505,069	21.5	1,044,628	5.9
合 計	1,012,577	100.0	2,358,988	100.0	17,719,164	100.0

註 追加豫算除外

※教育費及其他項目에서 알수있는 戰爭財政과 平和財政의 對照이나 1941年度 또는 1944年度를 一貫한 日政下의 軍事費(正式으로는臨時軍事費繰入金及補充費)의 高率이 解放後 비록 警務部費로 轉位되어 上記行政費를 補인 밖도 없지 않았으나 여기서 特記할것은 教育費의 새로운發見이다. 即1947年度歲出豫算中8.1%라는 새로운 比重을 차지한 教育費의 意義는 解放朝鮮의 民族自主의 教育理念의 實踐 그것인 것이다.

其他에있어서는 土木及勸業費는 解放前에 비하여 아직低率에 있다 地下資源探掘補助費及 食糧増産을 爲한 土地改良費도 決코 過去에 비하여 遜色없이 配分되었으니 此種公共事業及 産業獎勵費中 主要한것은茲

(第9表) 1947年度歲出豫算重要科目明細表

(南朝鮮過渡政府表)

#### (가) 官業費

(運輸部所管)

車輛修繕에要하는經費	166,924,800
線路等施設保修에要하는經費	297,410,500
線路改良에要하는經費	37,692,000
橋梁橋樑改良費	22,622,800
驛設備改良費	40,289,250
丹陽豐基間電話設備改良費	10,412,000
通信設備改良費	22,657,950
電氣信號設備改良費	10,497,000
釜山工場設備	3,300,000
京城自動車區新營費	7,452,400

(財務部專賣局所管)

淸州煙草工場新營費	3,785,000
義州通煙草工場移轉工事에要하는經費	5,865,000
瑞山鹽田增築工事에要하는經費	77,500,000

#### (나) 一般經常費

(庶務處所管)

各種統計에要하는經費	2,510,000
------------	-----------

(外務處所管)

外國留學生派遣에要하는經費	1,500,000
---------------	-----------

(公報部所管)	
民主主義啓蒙事業에要하는經費	10,360,000
(農務部所管)	
國立種畜場設置에要하는經費	14,909,000
(文敎部所管)	
國立서울大學校新營費	13,700,000
大邱農科大學新營費	1,200,000
(統衛部所管)	
海洋大學設置에要하는經費	25,000,000
(司法部所管)	
司法保護事業에要하는經費	2,000,000
審理院新營費	31,000,000
少年院新營費	4,000,000
(商務部所管)	
國有電線改修에要하는經費	20,000,000
(警務部所管)	
遞信施設의擴充維持等에要하는經費	31,947,900
(保健厚生部所管)	
保健所設置에要하는經費	2,134,000
港灣檢疫所設置에要하는經費	5,126,800
(財務部所管)	
府邑面交付金에關한經費	32,000,000
(一) 一般臨時費	
(庶務處所管)	
府邑面年末戶口調査費補助에要하는經費	2,250,000
(公報部所管)	
地方公報事業費補助에要하는經費	1,000,000
(農務部所管)	
土地改良事業에關한補助總費	542,503,000
砂防事業에要하는經費	217,300,000
造林事業에要하는經費	63,655,000
林野保護事業에要하는經費	36,272,000
農村指導事業에要하는經費	29,000,000
水産關係事業에要하는經費	78,561,000
農作物指導事業에關한補助總費	63,852,000
畜産指導事業에關한補助總費	34,083,000
(文敎部所管)	
初等教育에關한補助總費	1,072,064,100
中等學校新營에關한補助總費	64,200,000
師範教育에關한補助總費	62,785,000
成人教育에關한補助總費	16,060,000
敎化指導事業에要하는經費	9,980,000
(商務部所管)	
商工獎勵費補助	7,480,000
(保健厚生部所管)	
生政統計事業에要하는經費	2,400,000
道立病院費補助	15,523,700
癩病院費補助	15,400,000
防疫에要하는經費	25,000,000
保健所設置에要하는經費補助	2,825,000
生藥生産獎勵費補助	2,000,000
家畜傳染病豫防及疾病治療에要하는經費	13,484,000
乳肉衛生費補助	3,118,200
救護에要하는經費	210,400,000
驅虫費補助	2,400,000
保護施設收容救護費補助	32,850,000
(勞助部所管)	
勞働者敎化指導費補助總費	4,900,000

失業對策에要하는經費補助	2,263,000
兒童勞働法實施에關한經費補助	1,813,000
工場安全作業及勞務管理指導費補助	1,000,000
勞働組合指導費補助	980,000
勞働統計調査費補助	724,000
(土木部所管)	
治水事業費	198,561,000
都市事業費補助	64,500,000
道路改修費	123,180,000
水道事業費補助	59,608,000

(二) 應急費

(文敎部所管)	
短期技衛員養成費	200,000,000
(商務部所管)	
丹陽에엔트工場設置補助費	4,000,000
嶺南江七寶發電工場補助費	55,000,000
寧越炭鐵所及發電所補助金	150,000,000
無煙炭燃燒裝置補助金	2,500,000
硫化染料工場新設補助金	1,000,000
赤燐製造工場新設補助金	1,500,000
應素酸加里製造工場新設補助金	1,500,000
碎木炭工場設置補助金	10,000,000
紙類増產獎勵費	3,000,000
蓄電池製作補助費	3,000,000
충주에擘製鐵工場設置補助費	5,000,000
自動車部分品工場設置補助金	6,000,000
紡績機械部分品製造工場増設補助金	5,000,000
金鑛及石炭鑛送電施設補助費	30,000,000
金鑛及石炭鑛運搬道路施設補助費	20,000,000
石炭探鑛獎勵補助費	5,000,000
保抗施設補助費	1,000,000
産金獎勵補助費	40,000,000
出炭獎勵補助費	70,000,000

(保健厚生部所管) 南下同胞救濟對策에要하는經費 300,000,000

(第10表) 重要公共事業費摘計 (1947年度豫算中)

車輛修繕費	166,924
線路等施設修費	297,410
線路改良費	37,692
橋梁樞樞改良費	22,622
驛施設改良費	40,289
電話、通信施設改良費	95,514
官業諸工場設備費	97,902
農林業關係施設費	1,138,900
保健機關設置費	2,134
港灣檢疫所建築費	5,126
民間工場設備補助費	40,000
水道道路改修費	182,788
動力開發補助金	374,500
合計	2,591,801

※摘計하면 이는 또 第10表에如할것이다 다음 1948年1月10日公報部發表에依한 1947年度歲出豫算追加案은 第11表에如히 合計17億圓이된다 追加豫算中 重要科目은 統衛部의 697百萬圓 專賣局의 569百萬圓及中央食糧行政處의 180百萬圓이고 其餘는 當初(1947年7月1日附)의 豫算案의 小修正에 不過한것이다 그러나 會計 年度(1947年4月~1948年3月)를



(第11表) 1947年度追加豫算額

(1947年11月30日認可)

運輸部	89,500,000
統衛部	697,440,000
文教部	1,132,300
保健衛生部	75,000,000
農務部	17,000,000
土木部	18,000,000
司訟部	29,255,860
財政部	487,860
公報部	8,000,000
專賣局	569,808,700
庶務處	18,486,300
外務處	17,781,800
軍政委員會秘書處	59,100
中央人事行政處	1,855,400
民族青年團	1,018,500
機構改革委員會	119,400
中央食糧行政處	180,000,000
合計	1,724,945,220

※ 3個月간두고認可된 此追加案이附加되어 1947年度의 豫算赤字가 2,284百萬元+1,724百萬元=4,008百萬元 即1946年度豫算赤字 3,786百萬元을 凌駕하게 되었음은 1947年度會計年度의 決算赤字가 1946年度의 決算赤字55億圓餘를 훨씬超過한것이 豫想되는바이다

4. 歲入構成의 變遷

于先 1946年度及1947年豫算構成을 基準으로 解放後의 歲入豫算構成을 보기로하면 (1945年度의 3億餘의 歲入에 關한 分析은 省略) 第12表와如히 歲入全體의 推移는 1946年度의 80億圓餘에서 1947년에는 154億圓餘 即74億圓의 飛躍을 하였으며 兩年間의 歲出入差55億圓에 比하면 20億圓弱의 超過收入이 約束

(第12表) 歲入科目比率對照

	1946年度	比率	1947年度	比率
專賣局	6,030,105	15.3%	7,850,000	50.9%
運輸部	810,988	10.1%	2,700,000	17.5%
租稅	722,172	9.0%	3,600,000	23.3%
司法部	390,731	4.9%	566,000	3.6%
其他	59,397	0.7%	718,854	4.7%
合計	8,013,393	100.0%	15,434,854	100.0%
借金	3,786,818		2,284,309	—

되고 있다 歲入科目을 兩년에 比하여 通觀한때 租稅와 其他科目인 官業及官有財產收入의 增補가 顯著하다 다음比率에 있어서는 1947年度의 專賣局收入이 1946年度에 比하여 25% 減少하였으나 價額에 있어서는 이미 13億圓餘의 增加로 運輸部收入, 租稅及 其他官有財產收入 56億圓과 合하여 都合74億圓餘나 前年에 比하여 收入이 增加되었었다 이것은 大概 南朝鮮에서 의 國民經濟의 基盤이 漸進的으로 發展하여 財政面에 反映

(第13表) 歲入科目別對照

	1947年	1937年
租稅	20%	17%
印紙收入	0.5	4.4
公債	12.0(貸上金)	15.2
官業及國有財產收入	65.0	54.6
補充金其他	2.5	8.8
合計	100.0	100.0

註 此歲入科目比率은 臨時收入即中央銀行에 依한

貸上金(借金)을 包含한 總歲入額은 基底로 算

※ 映되어 가는 證左인 가하여 1947年度의 歲入豫算에 있어서 비로소 朝鮮의 歲入科目의 正常化가 實現되었다고 볼수 있다 이것은 第13表에서 平常時인 1937年歲入科目比率과 對照해 보면 租稅의 比重은 變少되었었다 特別租稅科目의 比率이 1947年度에 있어서 去年時인 1937年 度보다 增率된것은 1947年度의 過渡期의 政局이 反映되어 尙上 警務費 行政費等이 官業生産品의 府稅徵收力이 依據하지 않을수 없었고 또한 租稅額及 租稅種類의 增加는 適宜하게 된것이 있다 (過渡政府는 後項에서 所言及한것과 1944年度 即解放前年의 租稅科目中에서 建築稅, 廣告稅, 砂糖消費稅等을 廢止하고 또 特別法人稅臨時利得稅는 1947年1月에 自然消滅시키고 그 代身 營牌稅를 復活시켰다) 이 리한意味에서 戰後 아직 朝鮮政府의 安定이 없고 더구나 南朝鮮産業機關의 80餘%에 達하는 敵産의 歸屬이 解決을 보지 못하고 있고 또 Inflation 이 漸盛하는 現在 稅源의 捕捉이 極히 微溫的傾向을 示하고 있음은 不可避한것이 이며, 1947年度의 南朝鮮歲入豫算科目中 租稅收入科目만은 1944年度와 比較하여 보더라도 第14表와如히 國家財政의 膨脹은 所得稅以下

(第14表) 租稅收入稅目別比率對照

	1947年度	1944年度
所得稅	30.0%	21.0%
地稅	5.5	5.8
酒稅	30.0	13.0
亦業稅	2.2	2.8
遊興飲食稅	19.0	14.0
相續稅	1.0	0.6
關稅	1.4	0.7
清涼飲料稅	0.3	0.3
臨時利得稅	(極少)	16.0
資本利子稅	0.13	2.0
物稅	0.9	14.0
入場稅	1.8	0.9
其他	7.7	8.9

酒稅 遊興飲食稅의 高率化로서 代充하려는 當局의 意圖를 把握할수 있다 한편 1946年度 租稅收入比率 9%가 1947年度에는 23%로 (歲入額中 貸上金 除外) 增率한것은 非常時局財政에 符合한 租稅收入豫算이라고 稱할수 있을것이다

第15表는 1946年度及 1947年度의 歲入豫算을 紹介한것으로 負收入은 稅種의 廢止或은 稅率의 減下로 因한 歲入減退를 意味하는것이다 (第5項參照)

(第15表) 歲入豫算對照(南朝鮮過渡發表)

	1947年度	1946年度	增減(土)
稅稅	3,600,000	560,570	3,039,430(+)
租得稅	1,198,000	145,678	1,052,322(+)
法人資本稅	3,100	2,068	1,032(+)
地稅	215,400	19,193	196,207(+)
亦業稅	90,458	48,967	41,491(+)
資本利子稅	5,130	3,016	2,114(+)
利益配當稅	20,000	—	20,000(+)
相續稅	38,000	2,723	35,277(+)
建築稅	100	243	143(-)
鹽稅	1,452	1,121	331(+)
通行稅	1,300	4,938	3,638(-)
朝銀券發行稅	11,730	—	11,730(+)
酒稅	1,119,840	56,699	1,063,141(+)
清涼飲料稅	13,244	264	12,980(+)

織物稅	12,545	4,989	7,556(+)
物品稅	36,544	122,661	86,117(-)
遊興飲食稅	702,790	113,017	589,773(+)
入場稅	67,455	23,207	44,248(+)
電氣瓦斯稅	8,456	1,780	6,676(+)
馬券稅	17,893	2,306	15,587(+)
特別行爲稅	5,503	6,671	1,168(-)
臨時利得稅	840	—	840(+)
特別法人稅	200	702	502(-)
關稅(關入稅)	49,948	311	49,637(+)
噸稅	52	—	52(+)

(以上租稅收入에는稅務諸稅中雜收入은除外함)

印紙收入	150,000	6,569	143,431(+)
官業及官有財產收入	11,065,000	6,941,704	4,123,296(+)
專賣收入	7,850,000	6,030,105	1,819,895(+)
煙草收入	5,300,000	2,328,772	2,971,228(+)
蔘業收入	1,000,000	3,154,830	2,154,830(-)
鹽業收入	1,540,000	539,203	1,000,797(+)
度量衡收入	2,000	7,000	5,000(-)
運輸收入	2,700,000	808,384	1,891,616(+)
遞信收入	300,000	20,621	279,379(+)
官業諸收入	196,000	75,159	120,841(+)
官有財產諸收入	19,000	7,432	11,568(+)
官有物貨下料	4,000	2,266	1,734(+)
官有物貨拂代	15,000	5,166	9,834(+)
其他雜收入	566,000	319,691	246,309(+)
過年度末納領收入	—	150,000	150,000(-)
歲入總額部合計	15,434,854	8,013,393	7,421,461(+)

### 5. 稅制改革의 意義

解放後 稅制改革은 國稅體系의 根本改革보다 末稍의 이며 非常時的인稅種의修正에 終始하였다 卽解放後 1947年12月初까지의 改正稅種을 摘記하면 如下한것이다

- (1) 法令第101號에依한 物品稅 遊興飲食稅 入場稅 特別行爲稅 煙草稅의改正及 砂糖消費稅 廣告稅 建築稅의 廢止 (1946年8月31日附)
- (2) 法令第109號에依한 地方稅의改正 (1946年10月15日附)
- (3) 法令第116號에依한 關稅의改正 (1946年10月8日附)
- (4) 法令第128號에依한 地稅及 手數料의改正 (1946年11月31日附)
- (5) 法令第130號에依한 印紙稅法及 登錄稅法改正 (1946年12月11日附)
- (6) 法令第137號에依한 相續稅稅率의改正 (1947年6月12日附)
- (7) 法令第142號에依한 朝鮮所得稅令의改正 (1947年6月21日附)
- (8) 法令第146號에依한 地方稅의改正 (1947年6月30日附)
- (9) 法令第154號에依한 飲料稅令의改正 (1947年11月1日附)

이러한 稅制改革의 結果 1947年12月末現在 國稅體系는 所得稅인 中稅種日外에 補充稅로써의收益稅 財產稅 間接稅(消費稅) 交通稅及 噸稅 計23種目的稅目으로 되어있다 (第16表參照)

이제 解放後 南朝鮮에서 改正된 稅種目中 一般民生에 密接한 關係가 있는 數個改正稅率을 解放前 (1941年度現在)과 比較하여 보기도한다

(第16表) 現行國稅種目 (1947. 12月末現在)



註 括弧內는 創始年

### (甲) 法令第101號에依한稅令改正

(括弧內는 1940年度現在稅率)

1. 物品稅改正
  - ㄱ. 第1種
    - 甲類 100分之30(100分之20)
    - 乙類 100分之20(100分之10)
    - 丙類 100分之10
    - 丁類 100分之5
  - 2. 砂糖消費稅廢止
  - 3. 遊興飲食稅改正
    - 甲類 100分之30(100分之30)
    - 乙類 100分之20(100分之15)
    - 丙類 100分之10
  - ㄴ. 第2種
    - 甲類 100分之30(100分之20)
    - 乙類 100分之20(100分之10)
    - 丙類 100分之10
    - 丁類 100分之5
  - 4. 入場稅改正
    - 第1種 2.50圓以上 100分之30 (最高100分之20)
    - 第2種 控球場所入場料 // (100分之8)
    - 其他 場所入場料 100分之50 (100分之15)
  - 5. 特別行爲稅改正
    - 第1種 100分之20 (100分之30) 第5種 100分之20(100分之30)
    - 第2種 100分之20 ( // ) 第6種 廢止(印刷製本稅)
    - 第3種 100分之10 ( // ) 第7種 100分之10(100分之30)
    - 第4種 100分之10 ( // ) 第8種 100分之20(100分之30)

6. 廣告稅廢止

7. 骨牌稅

- ㄱ. 骨牌 1組 5圓 (30錢)
- ㄴ. 骨牌 1組 15圓 (70錢)
- ㄷ. 麻雀 1組 100圓(5圓)

7. 建築稅廢止

(乙) 相續稅率의改正 (1947年5月1日法令第137號)

(I) 戶主相續

課稅價格	稅 率	
	相續人이 被相續者의 家族인直系卑屬인時	相續人이 其他의者인時
2萬圓 以下의 金額	18 (7)	24 (15)
2萬圓을 超過하는 //	24 (8)	36 (20)
3萬圓 //	30 (10)	50 (25)
4萬圓 //	45 (15)	70 (30)
5萬圓 //	65 (20)	95 (40)
7萬圓 //	90 (25)	120 (50)
10萬圓 //	120 (30)	145 (60)
15萬圓 //	150 (中略)	175 (中略)
20萬圓 //	180 //	200 //
30萬圓 //	200 //	245 //
40萬圓 //	240 //	280 //
50萬圓 //	270 //	320 (110)
70萬圓 //	310 (90)	370 (120)
100萬圓 //	350 (100)	420 (130)
200萬圓 //	400 (110)	470 (140)
300萬圓 //	450 (120)	530 (150)
500萬圓 //	500 (130)	600 (160)

註 (1) 括弧內는 1937年度現在의 相續稅率을 말함

(2) 數字는 千分한 것임

(II) 戶主相續을 作지 않는 財主相續

課稅價格	稅 率		
	相續人이 直系卑屬인時	相續人이 配偶者 또는 直系卑屬인時	相續人이 其他의者인時
5千圓 以下	24 (12)	36 (14)	48 (20)
5千圓 超過	36 (14)	48 (17)	72 (25)
1萬圓 //	48 (17)	65 (20)	100 (35)
2萬圓 //	60 (20)	90 (25)	130 (45)
3萬圓 //	80 (35)	120 (45)	160 (66)
4萬圓 //	105 (中略)	150 (//)	190 (//)
5萬圓 //	130 (//)	180 (//)	220 (//)
7萬圓 //	150 (//)	200 —	250 —
10萬圓 //	200 (55)	245 (75)	280 (95)
15萬圓 //	240 (75)	285 (85)	320 (105)
20萬圓 //	280 —	330 (—)	360 —
30萬圓 //	320 —	375 (—)	405 —
40萬圓 //	360 —	420 (—)	450 —
50萬圓 //	400 (115)	465 (125)	500 (145)
70萬圓 //	460 —	500 —	550 —
100萬圓 //	500 (145)	560 (145)	600 (168)
200萬圓 //	560 —	600 —	670 —
300萬圓 //	620 —	670 —	730 —
500萬圓 //	680 (180)	730 (190)	800 (210)

註 戶主相續稅率同一한

(丙) 所得稅의改正 (1947年6月21日 法令第142號)

累進稅率表 (括弧內는 1937年度現在稅率)

免稅點 12,000圓 (800圓) 以下

累進稅率

初級 12,000 (800圓)	3% (3)
20,000	5 (8)
30,000	8 (9.5)
50,000	12 (11)
80,000	16 (13)
120,000	20 (15)
200,000	25 (17)
300,000	30 —
500,000	35 (19)
700,000	40 —
1,000,000	50 (21)
1,500,000	60 —
2,000,000	70 (23)
2,500,000	80 —
2,500,000以上	90 (25)

(丁) 飲料稅改正 (1947年11月1日附 法令第154號)

甲. 酒類 (概要)

酒類	酒精含有量	(稅率石當)	
啤酒	$\frac{10}{100}$ 以下	800圓	(5圓)
麥酒	$\frac{1}{100}$ 以下	5,000	(18圓)
麥酒	$\frac{30}{100}$ 以下	15,000圓	(21圓30錢)
滋酒	$\frac{18}{100}$ 以下	47,000圓	(36圓)
果實酒	$\frac{15}{100}$ 以下	13,000圓	(25圓)
燒酒	$\frac{25}{100}$ 以下	8,000圓	(11圓)
合成清酒	$\frac{18}{100}$ —	25,000圓	(38圓50錢)

乙. 清涼飲料

第一種 每石 3,000圓 (1石=180立), 100立=3.35圓

第二種 碳酸瓦斯含有量1坫當 1,000圓(6圓)

上記에依하여 歲入豫算에 積極的인增加를 齎來할것만을 摘記하면 如下한것이다(第15表參照)

1. 遊樂飲食稅增加	476,755千圓
2. 入場稅增加	22,040
3. 地稅增加	177,014
4. 相續稅增加	32,554
5. 所得稅增加(第三種)	956,278
6. 酒稅增加	16,441
7. 清涼飲料稅增加	12,615
8. 印紙收入增加	136,861
合計	1,830,558

이에 物價騰貴의 進展에依한 稅額의 自然增加外의 租稅收入增加額 — 鹽稅의 49,327千圓 電稅 51,200千圓 馬券稅 (1枚 20圓으로 半이 100圓에 引上) 13,280千圓 電氣瓦斯稅 4,585千圓 及 朝鮮銀行券發行稅 11,730千圓 — 130,432千圓을 加하면 合計 1,960,990千圓 即約 20億圓이 1947年에 있어서 增加된것이고 이는 1946年度租稅收入豫算 722百萬圓의

大槪物價騰貴率(1947年度平均은1946年度平均의3.5倍)에依하여 1947年度에는正常稅價約17億圓으로增加하고 此17億圓이 1946年8月末의 應稅項目 建築稅143千圓及減稅項目通行稅3,638千圓 物品稅36,117千圓 特別行爲稅1,163千圓 第一種所得稅8,414千圓及法人事業稅1,078千圓 合計約1億圓餘의 歲入減退로因하여 16億圓으로 轉位한것과 總合하여보면 確實히1947年度租稅收入豫算增加36億圓에 符合되는 것이다

要컨대 1946年度8월부터1947年12月初까지에 걸쳐 累次 實施된 稅制改革은 貧困한 過政의 歲入豫算을 一躍平常한인1937年의比重에 肉迫시키려하였던것이나 特別 間接稅,交通稅에 있어서의 稅率의 大幅의引上은 遊資吸收의 見地에서나 或은 所得의公正分配을爲한 社會政策的立場에서 快히 過政의 程度를 보여준바 없지 않았다

그러나 한편 良好한 遷移를보이면서도 이에 刺戟되어 一般物價가 漸次 騰貴를보여 주는것과 過政歲出의 實行豫算이 1947年1月10日發表의 追加豫算17億圓餘에서보는바와 같이 漸次 歲入과의 均衡을 喪失하고 있는事實은 看過할것이다 卽 此追加豫算을 加한 朝鮮財政歲出은 第17表와如히 一人當972圓弱으로 實行豫算의 慢性的超過를 既定事實로하면 一人當1,000圓臺의 歲出負擔은容易하게 想像되는바이다 이에 反하여 前記 租稅收入의 補強은 更 具體的으로 第18表와如히 1947年度가 겨우180圓弱인 形便에 놓여있으니 어찌야 歲出의 過多에 따르는 租稅收入即國民所得의 貧困을 際銘할

(第17表) 歲 出 一 人 當 額

	歲 出 千圓	人 口 千人	一人當額 圓
1911年度	46,172	14,055,869	3.284

(第18表)

解 放 前 歲 出 對 照 表 (單位千圓)

	1937年	1938年	1939年	1940年	1941年	1942年	1943年
【歲 出 經 常 部】							
神 社 費	74	74	76	76	79	100	119
李 王 家 歲 費	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
總 督 府 費	11,724	7,380	7,197	8,520	16,711	17,166	32,207
法 務 費	4,197	4,574	4,587	5,095	5,344	5,813	5,888
刑 務 費	5,999	6,923	8,475	7,875	9,610	11,698	13,037
地 方 廳 費	28,473	29,136	29,524	31,520	34,121	36,370	34,694
氣 象 臺 費	—	400	670	853	933	1,019	1,099
京 城 帝 國 大 學 費	1,996	2,073	2,198	2,491	3,603	5,156	4,693
學 校 及 圖 書 館 費	2,087	2,632	2,981	3,266	4,283	6,243	8,609
試 驗 場 及 研 究 所 費	1,220	1,324	1,399	1,755	1,932	2,040	2,720
種 畜 場 及 移 出 牛 檢 疫 所 費	450	547	688	945	967	1,470	1,043
檢 査 所 費	2,100	2,323	2,640	2,754	3,308	4,436	4,792
專 賣 局 費	37,388	38,672	42,581	51,840	60,125	72,239	103,171
鐵 道 局 費	95,415	116,318	168,929	199,876	275,933	245,573	292,016
營 林 署 費	7,292	10,103	11,106	14,151	20,448	21,429	21,050
遞 借 費	18,314	21,529	23,869	26,927	32,917	37,792	42,111
財 務 官 署 費	5,877	6,640	7,046	8,429	9,299	10,880	13,297
社 會 事 業 施 設 費	981	1,080	1,442	1,788	1,854	1,909	1,885
國 債 整理 基金 特別 會計 繰 入 金	29,764	31,709	35,219	41,683	48,409	54,542	63,172
恩 給 擔 當 金	7,660	7,952	8,046	8,371	8,924	9,370	10,131
諸 支 出 金	432	571	678	796	976	1,109	3,580
豫 備 金	3,500	3,600	5,500	9,000	19,000	30,000	43,000
歲 出 經 常 部 計	266,743	297,260	366,651	429,811	560,576	578,154	704,114
【歲 出 臨 時 部】							
舊 韓 國 皇 朝 鮮 軍 人 恩 給 及 扶 助 金	39	37	35	34	32	30	30
調 査 及 試 驗 費	1,386	1,434	1,594	2,984	2,299	2,689	2,701

1935年	290,267	21,891,180	13.259
1941年	931,810	24,326,327	38.305
1944年	2,358,888	25,900,000	91.080
1946年	11,800,212	19,369,270	9月現在 兩朝鮮人口 609.223
1947年	19,445,172	20,006,788	8月現在 兩朝鮮人口 971.920

註 追加豫算을包含

(第18表) 租稅의 一 人 當 負 擔 額

	租稅收入 千圓	人 口 千人	一人當負擔額 圓
1911年度	9,061	14,055	0.64
1935年	64,364	21,891	2.94
1941年	153,704	24,326	6.31
1944年	511,622	25,900	19.75
1946年	722,172	19,369	9月現在 兩朝鮮人口 37.28
1947年	3,600,00	20,006	8月現在 兩朝鮮人口 179.95

에 充分할것이다

그렇다고해서 政府는 課稅收入을 높여려고 煙草代金 屢次 올리든가 或은 運輸收入을 높일目的으로 賭博費를 올린다하 여도 結局 生産의 基本的擴張이 없는限은 租稅를 비롯할 諸 官業收支의 好轉은 現過渡期에 있어서는 오히려 逆効果를 내일따를 것이니 卽 物價高에 轉嫁시키고 있는것을 注目해야 할 것이다

補助及獎勵費	29,417	33,776	43,750	49,853	77,799	88,	0
營繕費	7,111	6,399	7,460	9,235	9,916		7
航空路及航路標識諮詢費	312	2,012	2,243	2,687	2,501		2, 0
電信電話施設費	6,975	4,611	6,257	5,824	4,847		4
土木	18,170	19,017	20,265	27,368	34,077		28, 2
鐵道建設及改良費	63,454	104,392	150,128	165,624	118,258	113,	165, 0
林業施設費	1,197	1,217	1,288	2,229	2,551		
土地改良事業費	3,368	1,570	1,521	5,409	15,122	17,	25
鹽田築造費	850	850	650	1,341	1,431		
北朝鮮開拓事業費	1,752	1,252	1,067	1,059	1,096		
食糧對策施設費	—	—	91	1,403	22,932	13,	193, 0
水	408	626	526	5 6	526		
農村對策施設費	979	1,094	1,125	1,841	2,067	2,	2
金及重要鑛物増産施設費	445	11,679	22,042	63,781	30,455	25	40
貿易手続費	50	285	970	07	325		
地籍及土地建物整理費	153	160	156	132	142		
地價改正調査費	—	—	—	685	1,744		
臨時利得稅徵收費	9	82	264	206	423		
地方財政調整諸費	—	—	—	9,662	14,677	23,	32, 2
國民總力運動諸費	166	43	381	441	641		
鑛成諸費	—	—	—	—	—		
對外施設費	1,709	2,001	1,882	2,474	7,586	8,	
臨時取締費	2,632	3,412	4,218	3,688	4,334		
時局對策施設諸費	1,821	1,939	4,057	9,428	37,436	32	26
臨時軍費特別會計繰入	11,033	26,977	41,290	50,441	94,567	163,2	203,0 8
臨時諸當	401	461	—	564	6,393	43,3	45,1 3
初等教育制度改善準備費	—	—	—	—	89		
行費諸費	—	—	—	—	49		
國民體力管理費	—	—	—	—	—		
徵兵制度實施準備諸費	—	—	—	—	—		4
災害	2,283	1,621	23,056	13,898	1,866		2,9
臨時出費	—	—	—	—	—		1,2
歲出臨時部計	155,620	227,007	336,416	433,804	517,221	593,0	910,3

(第20表) 1947年度本預算歲出明細表 (單位千圓)

官業費	6,087,910,200	林業署	,9 ,0
鐵道運輸局	2,951,685,000	林場	,1 ,0
公路運輸局	44,806,900	逕信本部及直轄	,3 ,60
飛行運輸局	3,508,100	山地方逕信局	
專賣局煙草費	1,750,000,000	釜山地方逕信局	
專賣局鹽業費	1,219,110,200	保險及年金	
專賣局菸業費	118,800,000	文教部本部	,8 ,50
一般經常費	6,734,513,800	國立서울大學校	
民政長官室	3,178,300	國立釜山大學	
庶務處本部	60,828,900	國立大邱師範大學	
庶務處建築署	1,938,500	國立大邱農科大學	,6 ,90
外務處本部	5,430,800	國立圖書館	,9 ,70
外務處在外公館	3,041,000	國立觀象臺	,9 ,60
公報	47,176,200	國立博物館	,2 ,50
人事行政處本部	2,759,100	統衛部本部	,7 ,00
國立行政官訓練院	1,662,300	統衛部朝鮮警備隊	,2 ,00
地方人事處	8,509,600	統衛部朝鮮海岸警備隊	,0 ,00
農務部本部	80,969,000	統衛部朝鮮海岸警備隊海洋大學	,0 ,00
農業試驗場	47,864,000	司法部本部	,9 ,50
林業	6,623,000	少年管理院	,4 ,30
水產	8,257,000	刑務所	
水產製品検査所	2,378,000	少年院	,3 ,70
生糸	6,457,000	刑務官學校	,2 80

商 務 部 本 部	55 508 200
中央工業研究所	15 360 700
地 質 鑛 山	6 622 400
度 量 衡 所	1 529 200
警 務 部 本 部	223,438,500
國立警察專門學校	12 169 300
地 方 警 察 貧	1,348,951,800
保 健 厚 生 部 本 部	52 370 200
保 健 所	2 134 200
結 核 瘵 所	6 683 200
癩 病 〃	48,166 000
港 灣 檢 疫 所	5 126 800
防 疫 研 究 所	10 951 200
化 學 研 究 所	3 452 500
家 畜 研 究 所	16 224 900
厚 生 施 設 費	6 380 700
財 務 部 本 部	19,100 000
稅 務 關	20 000 000
稅 務 日 署	260 193 000
地 方 課	1,399,8 7,800
勞 動 部	7,767 000
土 木 部	143,232,400
南朝鮮過渡立法議院	35 995 500
中央經濟委員會	5 112 900
般 臨 時 費	3,241,864,000
庶 務 處 本 部	2 250 000
公 報 部	1,000 000
農 務 部 本 部	1,198 971 000
文 教 部 本 部	1,226 442 700
商 務 部 本 部	7 480 000
保 健 厚 生 部 本 部	340 510 300
勞 動 部	11,680 000
土 木 部 本 部	453 530 000
急 費	1,104 876 300
文 教 部 本 部	200 000 000
商 務 部 本 部	413 500 000
保 健 厚 生 部 本 部	300 000 000
中央物價行政處本部	2 686 600
中央物價行政處地方監察署	6,318,000

中央企權行政處	140,548,800
朝鮮民族青年團	19,629,700
朝鮮人住宅管理處	20,000,000
厚生事務局	2,193,200
借 企 樹 子	550,000,000
財 務 部 本 部	550,000,000
歲 出 合 計	17,719,164,300

(第21表) 第三種所得稅種別人員別稅額表 (1947年度決算)

種 別	人 員	所得金額	稅 額
12,000圓以下	137,490 (351)	1,640,558,000	49,216,680
20,000	417,871 (2,398)	5,935,546,600	201,016,155
30,000	139,409 (1,436)	2,925,793,800	133,624,758
50,000	88,574 (1,759)	2,703,246,800	181,207,464
80,000	44,491 (1,336)	2,129,622,900	203,912,018
120,000	21,914 (890)	1,593,645,400	200,341,040
200,000	14,868 (725)	1,606,756,700	261,835,775
300,000	5,641 (397)	927,548,400	189,278,193
500,000	3,171 (285)	748,302,800	186,037,990
700,000	937 (117)	325,821,800	95,167,280
1,000,000	453 (60)	216,525,300	73,220,530
1,500,000	263 (43)	164,837,100	66,948,380
2,000,000	107 (16)	75,401,700	36,303,880
2,500,000	66 (4)	59,662,300	31,982,360
2,500,000超過	50 (12)	92,509,800	62,427,820
合 計	375,305 (9,879)	21,145,777,400 (672,463,200)	1,972,520,323 (139,011,045)

註 括弧內數字之外國人關係

(第22表)

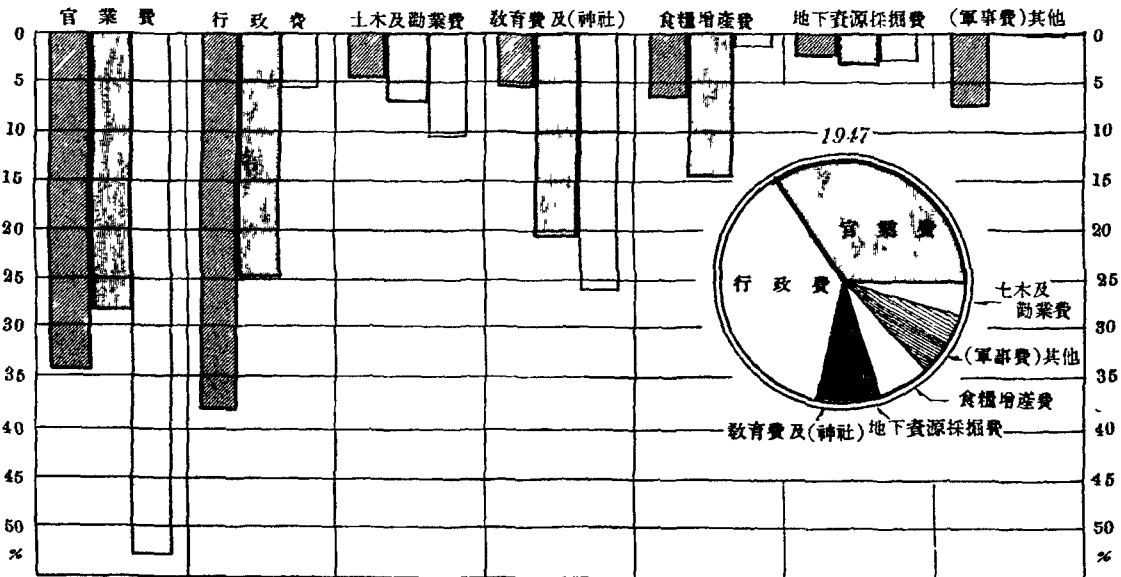
過 政 歲 入 累 計

(1947.4~1948.1)

務 部	9,515千圓	庶 務 處	679
務 部	13,723	專 賣 局	5,511,201
信 部	491,896	司 稅 局	2,087,579
教 部	19 266	鹽 務 部	165,279
法 部	249,823	統 衛 部	53
務 部	937	小 計	8,551,315
健 厚 生 部	1,134	運 輸 部	3,021,751
報 部	200	合 計	11,573,066
務 部	30		

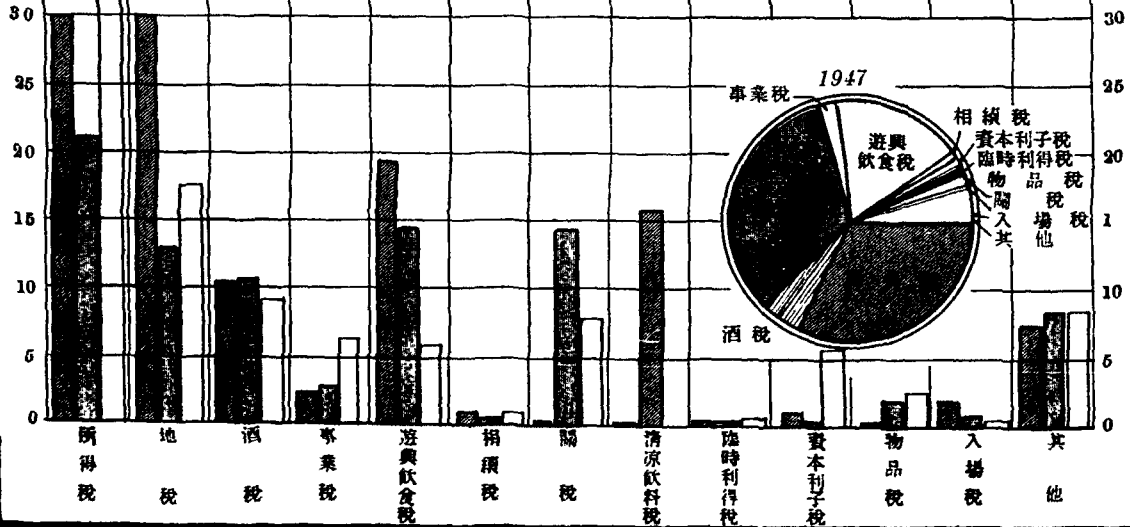
## 年別歲入歲出科目別比率對照

### 歲出科目別比率對照表



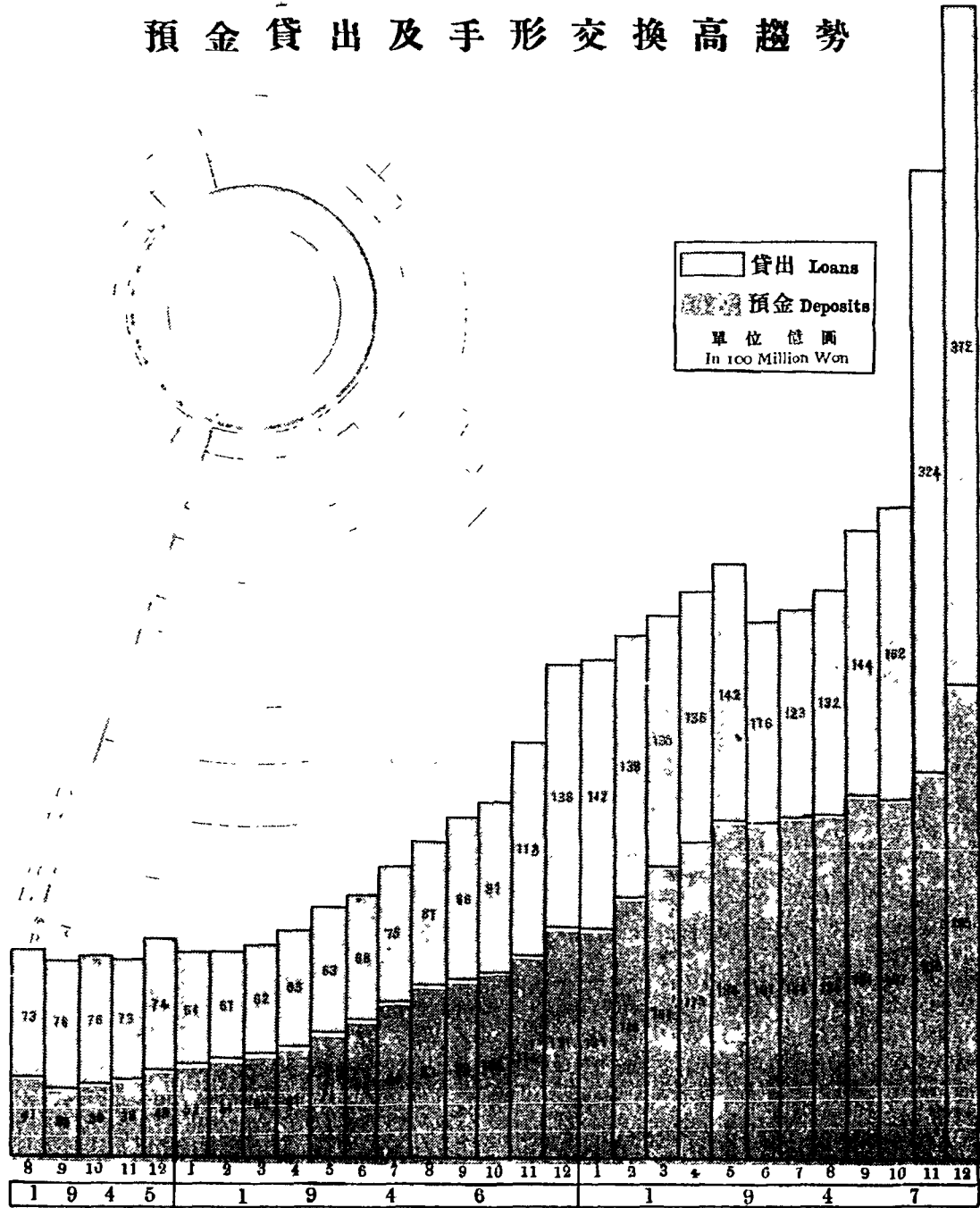
■ 1947年度    ▨ 1944年度    □ 1941年度

### 歲入科目別比率對照表



(I-276)

預金貸出及手形交換高趨勢





# 南 朝 鮮 金 融 實 情

1945.8.15 ~ 1947.12.31

## 目 次

- 1. 解放前의 金融事情回顧
- 2. 解放後의 南朝鮮 金融基調
- 3. 金融機關의 價別의 考察
- 4. 金融事情各論
  - (1) 通貨發行趨勢
  - (2) 民間流通通貨量과 小賣物價推移
  - (3) 預金及手形交換推移
  - (4) 貸付事情과 物價推移
  - (5) 長(爲替)及拂狀況과 季節資金
  - (6) 零細國民貯蓄과 保險事情
- 5. 解放後에 實施한 金融對策
- 6. 結言——南朝鮮 金融界의 當面課題

### 1. 解放前의 金融事情回顧

解放前의 金融事情은 先づ 資金의 面에서 보면 朝銀의 發券機能에 의한 資金造出과 殖銀, 公營等의 債券發行機能에 의한 日系金融資本導入의 二大基盤外에 民間預金等(其中 10%는 日人預金)의 累一手段가 主의었다. 다음 資金運用面에서 보면 殖銀, 金租를 爲始한 不動產貸付는 行記할 것이여 1937年以後에는 日帝의 侵略戰爭을 爲한 有價證券投資가 強制되였으며 한 軍需生産擴張을 爲한 企業資金의 放出도 顯著하였다. 一般短期貸付는 全貸出額의 約1%에 不過한 것이었다 (1例로 1942年 末現在各銀行貸付金總計 2,441百萬圓中 長期貸付金은 2,178百萬圓, 短期貸付金——當座貸越 117百萬圓, 割引手形 149百萬圓, 有價證券 2,121百萬圓) 換言하면 解放前의 金融事情은 日系資本에 의한 朝鮮開發資金의 調達을 主軸으로 朝鮮의 民族資本系銀行業務도 進展되였다. 한편 日銀券, 朝銀券, 日政府紙幣等의 巧妙한 複數通貨機轉을 通하여 日本으로부터의 圓資金의 流入(實際은 朝銀券의 新規造出)如何로서 朝銀券의 發行이 左右되였고, 다시 또 圓資金의 流入은 日本의 國策의 見地에서 朝鮮의 産業誘導(特히 戰時産業)에 許容되였다. 따라서 總括하여 指摘하면 朝鮮의 金融事情은 朝鮮에 있어서의 日政의 施政方針에 追從하여 消長하였다 할 수 있으며 其結果의 主要한 것은 資本主義國家에서 흔히 보는 赤字財政과 Inflation의 結局過程은 現出되지 않았고 朝鮮의 財政趨勢은 日本中央政府의 隸屬下의 特別會計制下에 恒時制約되였다. 그러나 이러한 金融安定條件이 있었음에도 불구하고 元來가 資本蓄積의 試驗과 機會을 갖지 못한 民族資本은 (大部分은 土地資本) 經營規模의 狹少 따라서 借入獲得力의 微弱. 其他植民地의 一般傾向인 金利의 高率으로 (第1表) 低利한 日系資本力에 對應할餘地도 없이 坐陣해 지나오고 特히 中日戰爭以後는 軍需工業移殖의 先鋒으로서 朝鮮에 移入한 日系獨占大資本이 産業全領域에 蟻居하게 되자 朝鮮內 金融機關은 全資金의 80%以上을 占하는 日系資本의 優勢下에 處하게 되였다 (第2表參照) 그러나 朝銀券은 太平洋戰爭以後는 日本國債保有高率主軸으로 (全發行高의 2/3가 國債로 準備됨) 伸張하게 되여 此期의 銀行投資對象에 日系有價證券이 有力한 存在을 보이나타났다 (第3表合計欄參照) 特히 이러한 傾向이 尤甚한 것이 民族資本系銀行인 商銀, 朝興銀(營策一銀行과 漢城銀行의 合併) 등이었으니 1943年 3月末 現在은 155百萬圓을 有價證券에 投資하고 있다.

此現象은 決코 銀行業務와 金融狀況의 正常狀態를 말하는 것은 아니었다. 即 第3表에 依하면 民族資本系銀行은

- 1. 預金總額이 貸付總額을 超過하고 있다
- 2. 所有有價證券은 全貸出金의 40%이다
- 3. 現時는 在는 預金總額의 約10%이다

等의 特質을 捕捉할 수 있다. 第3表만으로도 叙上의 特質을 斷定할은 多少 危險한 感이 不無하나 如何든 太平洋戰爭開始後의 全期를 通하여 民族資本系銀行의 資產中 有價證券이 保有高가 拂込資本金及 積立金總額의 90%나 되고 있는 것만은 否定할 수 없다.

(第1表) 朝銀과 日銀의 金利差違 (1939.4.1現在)

商業手形割引率	日銀	朝銀
國債擔保貸付	9厘	10厘
國債保證手形割引率	9厘	10厘
其他擔保貸付	11厘	12厘
其他保證手形割引率	11厘	12厘
當座貸越及 同業者貸越利子	11厘	12厘

(第2表의1) 解放前 金融機關 資金內容 (1939年末)

	預金	拂込資本 金及 出資	積立 金	債 券	合 計
朝 銀	155,129	25,000	9,901	—	190,030
殖 銀	227,220	37,500	17,991	400,582	683,293
普通銀行	274,580	13,181	5,513	—	293,274
朝鮮人 系銀行	200,180	13,181	5,513	—	218,874
	日系支 店銀行	74,400	—	—	—
貯 銀	75,235	3,750	1,440	—	80,425
合 計	732,164	79,431	34,845	400,582	1,247,022

(第2表의2) 解放前 金融機關 資金需給狀況 (1939年末)

	預 金	百分比	貸出金	百分比
日 本 人	250,099	74.1	371,420	54.9
朝 鮮 人	80,650	23.9	301,475	44.5
其他外國人	6,647	2.0	3,807	0.6
合 計	337,405	100.0	676,702	100.0

이것은即 侵略戰爭을強行하는 日帝의戰時財政危機를 補填코사 朝鮮人의 勤勞所得을 日國債와交換으로 強制로收受한 그一部貨物인것이다 1945年8月15日 朝鮮이解放되기前日의朝鮮銀行券發行高는 48億圓이였으나 朝鮮의各金融機關及民間이保有한 日本公社債株券等이 106億圓餘나되였다함은朝鮮의國民所得과 資産의大部分이 日本內에서債券化하고있음을實證하는것이여 一面日本으로搬出한物資及 朝鮮內에서使用한日軍發는 日本에請求한換券(尻)을形成하고있었고 이換券은 朝鮮銀行券發行高를 操縱하였던것이다

如斯한 解放前의金融事情의特徵을 要約하면 다음과같은條件에서 結果한것이다

- (7) 朝鮮銀行券의發行高는 3分之2가 日本國債이었다 따라서 國庫券은 日銀券의朝鮮版에不過한것이었다
- (8) 朝鮮財政은 日本(中央)財政에對한 地方財政格에

終結하였다

(7) 朝鮮은 日本의收奪으로인하여 資本의効率が낮아질수 밖에있고 따라서 産業金融은 上流層에依하여 日本人에게獨占되었다

(8) 事業債券起債는 極히 制限되었으며 이亦是 形式上으로는 日本의金融市場에依有하였고 結果에있어서는 換券을通하여 全朝鮮經濟가負擔하고있는바이었다

(9) 朝鮮의對外輸出超還金額은 尙皆日本의爲替銀行에 集中되게되었다

이러한諸條件이있기에 實地 朝鮮內에流通되는 通貨의發行은 大部分이 對日換券(尻)으로 操縱되었고 前述한바金融事情의相對的安定은 바로 이러한 資金融制의影響을 받고있었던것을알수있다

(第3表) 朝鮮內各銀行諸計定 (1943年5月末現在)

	本店 支店出張所		拂込資本金 円	積立金 円	預金 円	貸出金 円	有價證券 円	手許有金 円
	1	2						
朝鮮銀行	1	15	40,000,000	20,700,000	384,739,267	837,604,095	1,746,193,512	9,769,280
朝鮮殖産銀行	1	69	52,500,000	30,241,494	559,190,417	1,268,376,470	261,639,251	17,508,101
朝鮮貯蓄銀行	1	20	3,750,000	3,520,000	246,426,983	69,191,943	157,432,363	4,056,904
小計	3	104	96,250,000	54,461,494	1,190,356,667	2,175,172,508	2,165,265,126	1,329,285
漢城銀行	1	37	3,206,250	1,949,175	195,094,847	157,727,451	42,573,391	6,82,687
東一銀行	1	34	2,775,000	1,975,474	91,950,283	70,602,901	19,396,983	5,092,113
朝鮮商業銀行	1	60	4,975,000	3,965,000	295,818,389	170,777,508	93,611,897	43,824,857
小計	3	131	10,956,250	7,889,649	582,863,519	399,107,860	155,582,271	55,499,657
帝國銀行	—	2	—	—	70,851,116	56,242,395	25,283,015	6,803,958
安田銀行	—	3	—	—	70,357,467	59,594,018	5,116,000	4,117,268
三和銀行	—	1	—	—	52,317,437	59,994,649	6,183,100	3,605,907
小計	—	6	—	—	193,526,020	175,931,062	36,587,215	14,527,133
合計	6	241	107,206,250	62,351,143	1,966,746,206	2,750,211,430	2,357,434,612	101,356,075

(第4表의1) 發行準備內容推移 (單位圓)

銀行券發行高	正貨準備				保證準備			
	金地金	銀地金	日銀券	合計	商業手形	日本國債	其他日本公債	合計
1939年未	443,986,608	2,759,644	3,080,000	229,336,430	23,5176,074	208,810,534	—	208,810,534
1940 "	580,533,508	8,916,656	2,772,000	278,710,845	290,399,501	290,134,006	—	290,134,006
1941 "	741,606,684	4,748,018	2,436,000	248,569,829	255,753,847	488,852,836	—	488,852,836
1945.7 //	4,698,220,017	3,000,000	1,204,000	42,296,000	46,500,000	1,153,720,017	3,381,000,000	117,000,000
1945.8.14	4,839,316,199	3,000,000	1,036,000	38,964,000	43,000,000	786,148,877	4,067,000,000	117,000,000

(第4表의2) 朝鮮銀行券發行高

週未發行高 円	比前週 増減率 %	年中又は 月中	最 高		最 低		平均 千円	比前年(又は 月)増減率 %
			月 日	千円	月 日	千円		
1945 7. 5	+ 1.29	1941	12 29	754,046	7.17	477,169	542,407	+ 22.52
12	+ 0.14	1942	12.28	922,813	7.17	634,840	696,780	+ 28.46
19	+ 0.91	1943	12.30	1,471,740	3.18	811,887	942,158	+ 35.21
26	+ 0.69	1944	12.30	3,136,093	1.14	1,419,573	1,931,451	+ 105.00
1947 8 2	+ 1.38	1045 8.14		4,839,316		4,839,316	4,839,316	—
5	+ 0.49	11	1	8,773,796	30	8,652,868	8,700,297	- 0.84
16	+ 0.58	12	31	8,763,341	18	8,575,335	8,620,816	- 0.92
23	+ 1.16	1946. 1	31	8,904,695	1	8,763,341	8,804,924	+ 2.13
30	+ 1.55	2	12	8,942,853	23	8,782,394	8,867,398	+ 0.07
		3	30	9,019,825	1	8,883,633	8,958,423	+ 1.07
1947 9 6	+ 0.70	4	30	9,196,431	1	9,108,200	9,156,565	+ 2.21
13	+ 0.04	5	3	9,224,945	25	9,113,956	9,168,142	+ 0.12

1949. 9.20	19,773,748,635	+ 0 57	1946 6	29	9,422,299	13	9,205,678	9,276,168	+ 1.17
27	20,331,281,789	+ 2.81	7	31	10,332,759	1	9,464,413	9,770,581	+ 5.32
			8	31	10,961,997	1	10,374,632	10,664,417	+ 9.88
1947.10. 4	20,338,323,996	+ 0 03	9	30	11,341,357	1	10,961,997	11,103,088	+ 4.11
11	20 583,414,150	+ 1.20	10	31	12,197,704	1	11,410,532	11,700,471	+ 5.38
13	20 707,741,156	+ 0 60	11	31	14,880,993	1	12,282,202	13,282,675	+ 13.52
5	21 098,162,887	+ 1 88	12	31	17,710,623	11	14,880,993	16,573,505	+ 24.77
1947 11 1	21 975,523,048	+ 4.15	1947. 1	31	18,277,613	1	17,675,728	17,929,559	+ 8.18
			2	4	8,322,064	28	17,689,196	17,973,037	+ 0.24
8	23,348,833,739	+ 5.79	3	1	17,689,196	27	17,173,622	17,403,643	- 8.18
15	26,059,184,836	+12.08	4	30	17,239,536	22	17,124,684	17,166,599	- 1.36
22	29,006,295,277	+11.30	5	31	17,417,709	2	17,258,929	17,312,080	+ 0.84
29	31,012,305,445	+ 6.91	6	30	18,035,600	1	17,417,709	17,742,773	+ 2.48
			7	31	18,637,735	1	18,076,827	18,342,514	+ 3.38
1947.12. 6	31,810,566,841	+ 2.57	8	31	19,496,513	1	18,706,910	19,040,028	+ 3.80
13	32,206,522,662	+ 1.24	9	30	20,444,924	1	19,544,424	19,788,794	+ 3.93
26	32,471,787,958	+ 0.82	10	31	21,803,700	4	20,338,323	20,782,249	+ 5.09
27	33,003,007,833	+ 1.63	11	29	31,012,305	1	21,975,523	26,210,482	+ 26.11
			12	31	33,388,164	1	31,179,908	32,342,894	+ 23.39

(第5表) 朝鮮의金融機關及民間所有  
日本公債・債券・株券額高  
(1945 9. 30現在 單位百圓)

	日本政府 債 券	日本地方 債證券株	合 計
朝鮮 銀行	5,883	344	6,227
朝鮮 殖産銀行	470	53	523
朝鮮 商業銀行	165	120	285
朝鮮 相互銀行	145	143	288
朝鮮 貯蓄銀行	5	11	16
朝鮮 信託銀行	155	178	333
朝鮮 信託銀行	16	6	22
金融組合聯合會	176	1,247	1,423
計	7,015	2,102	9,117
民間保有(推算)	1,000	500	1,500
合 計	8,015	2,602	10,617

2. 解放後의南朝鮮金融基調

解放前의朝鮮金融界가 日本의侵略戰爭을至上의으로 推移하여왔은 前進한바이다. 그리하여 金融機關各機能間의 業務伸張도 美日戰爭期中最頂點으로 資金調整法의強化及資金運用令의施行等으로 차등價格上, 實質의效果를 얻은것도 事實이다. 그러나解放後日帝의羈絆에서解放됨에이르러 金融機關은從來의 機能分野에서解脫하여 商業銀行化하는傾向이 없지않은것이 1945年末의財務部指示로 無盡, 信託, 貯銀의 普通業務에의進出이公的으로 容許됨에따라 軍政下의過渡的 特殊制度이었던 國庫預金의市銀分與에依한 擬制資金造成에 依하여 解放後從부터 本格的으로醜成된 Inflation 에 拍車를 주어 第6表와如히 1946年度下半年부터의 金融機關貸出增加는此期부터具體化된 國庫金의市銀分與額의累加에따라 大體로增減되였던것이다.

(第6表)

解放以後金融機關資金需給表 (單位千圓)

		朝鮮 銀行	普通 銀行	金融 組合	合 計
1945. 8	月 預	金 964,154	1,441,920	984,097	3,390,171
	末 貸	出 4,528,311	2,292,973	372,387	7,193,671
	超 過	- 3,564,157	- 851,053	+ 611,710	- 3,803,500
10	月 預	金 825,843	1,041,215	652,964	2,520,022
	末 貸	出 4,968,998	2,210,666	325,684	7,505,348
	超 過	- 4,143,155	- 1,169,451	+ 327,280	- 4,985,326
12	月 預	金 876,823	1,964,075	635,674	3,476,572
	末 貸	出 4,543,628	2,502,106	325,687	7,371,421
	超 過	- 3,666,805	538,031	+ 309,987	- 3,894,849
1946. 2	月 預	金 1,138,291	2,636,244	693,814	4,468,349
	末 貸	出 3,040,505	2,650,057	377,340	6,067,902
	超 過	- 1,902,214	- 13,813	+ 316,474	- 1,599,553
4	月 預	金 1,147,347	3,273,834	759,542	5,180,723
	末 貸	出 2,910,819	2,832,995	492,257	6,236,071
	超 過	- 1,763,472	+ 440,839	+ 267,225	- 1,055,348
6	月 預	金 1,410,578	4,596,127	919,063	6,855,768
	末 貸	出 2,742,684	3,237,034	514,036	6,493,754
	超 過	- 1,332,106	+ 1,283,093	+ 405,027	+ 362,014

8	月 末	預貸	金	1,608,292	5,650,631	1,084,611	8,343,534
		出	出	3,285,338	4,234,553	563,101	8,082,912
10	月 末	超	過	- 1,677,046	+ 1,416,078	+ 521,510	+ 260,542
		預貸	金	1,673,013	6,486,186	1,233,177	9,392,376
12	月 末	出	出	3,478,884	4,917,090	662,396	9,078,370
		超	過	- 1,805,871	+ 1,549,096	+ 570,781	+ 314,006
1947. 2	月 末	預貸	金	2,003,971	8,338,332	1,944,634	12,286,937
		出	出	7,024,677	6,084,395	731,830	13,840,902
4	月 末	超	過	- 5,020,706	+ 2,253,937	+ 1,212,804	- 1,553,965
		預貸	金	3,174,197	8,612,438	2,165,373	13,952,008
6	月 末	出	出	6,953,188	6,065,207	831,019	13,854,414
		超	過	- 3,783,991	+ 2,547,231	+ 1,334,354	+ 97,594
8	月 末	預貸	金	3,842,678	10,113,009	2,622,109	16,577,796
		出	出	6,165,753	6,435,985	999,657	13,591,395
10	月 末	超	過	- 2,313,075	+ 3,677,024	+ 1,622,452	+ 2,986,401
		預貸	金	3,833,129	10,543,747	2,823,784	17,200,660
12	月 末	出	出	3,012,478	7,121,441	1,259,682	11,393,60
		超	過	+ 820,651	+ 3,422,306	+ 1,564,102	+ 5,807,059
1947. 2	月 末	預貸	金	3,209,863	11,509,950	2,771,746	17,491,559
		出	出	3,133,262	8,328,158	1,541,347	13,002,767
4	月 末	超	過	+ 76,601	+ 3,181,792	+ 1,230,399	+ 4,488,792
		預貸	金	2,567,482	12,905,626	3,303,755	18,776,863
6	月 末	出	出	3,628,025	10,526,818	1,888,455	16,043,298
		超	過	- 1,060,543	+ 2,378,808	+ 1,415,300	+ 2,733,565
8	月 末	預貸	金	3,742,151	16,776,141	5,051,825	25,570,117
		出	出	13,888,475	21,053,392	2,174,282	37,116,149
10	月 末	超	過	- 10,146,324	- 4,277,251	+ 2,877,543	- 11,546,032

註 + 印은預金超過 - 印은貸出超過

이러하여 처음에는 普銀經營難과 一般의 資金搜索을 戒하고서 2~3個月間의 短期性無利子預託金으로써 市銀에 賦與된 此國庫錢出金은 漸次市銀의 營業資金에 浸透케 되어 變換의 印金融緩慢現象을 비쳐내는 重大要素가 되고 말았던 것이나 總括하여 解放後의 南朝鮮의 金融狀態는 短期性一般預金

과 預金調整에서 過剩한 國庫金 換布及 金融機關投資路에서 歸納된 非正常的인 金融緩慢狀態가 終始하였다. 이러한 資金現象은 定期的으로 放出되는 農産物收買資金에 由來한 慢性的인 印金融에 恒常逆轉을 不許하는 主動力이 있는 것으로 看過치 못함 事由이다 (第 2表及第 2表參照)

(第 7 表) 普銀預金總額과 國庫金比較 (單位千圓)

	1946. 4	1946. 9	1946. 12	1947. 2	1947. 12
① 預金總額	2,832,207	6,283,590	8,251,895	8,528,072	16,695,682
② 國庫平均殘(推算)	444,000	910,000	1,758,000	1,752,000	3,200,214
②의 ①에 對한 比率	15.63%	14.48%	21.30%	20.54%	19.08%

(第 8 表) 普銀支拂準備金の推移

		支拂準備金(B)		A에 對한 B의 比率
		總預金(A)	預置金	
1945. 8. 15	2,245,361	137,809	60,040	8.8
9	956,501	153,130	211,606	38.1
1946. 3	2,833,207	556,942	229, 71	27.7
9	6,283,590	1,163,051	600 05	28.1
10	6,403,173	1,125,202	671,752	28.1
11	7,197,662	860,745	863,058	24.0
12	8,251,895	1,346,363	1,109,213	20.8
1947. 1	7,931,297	1,496,201	895 03	30.2
2	8,528,072	2,199,577	520,160	35.4
3	9,549,373	2,323,915	1,163,833	36.2
4	10,033,615	2,722,672	882,106	35.7
5	10,261,360	3,023,019	737,013	37.2
6	10,465,186	2,528,885	953,211	33.3

3. 金融機關의 個別的 考察

(1) 現在하는 南朝鮮의 金融機關은 主要한 機能別로 大別하면 如下하다

- 發券, 中央銀行 — 朝鮮銀行
- 鑄工, 農林金融 — 朝鮮殖産銀行
- 商業, 一般金融 — 朝鮮商業銀行
- 朝鮮相互銀行
- 朝鮮信託銀行
- 貯蓄, 庶民金融 — 朝鮮貯蓄銀行
- 外國爲替, 貿易金融 — 朝鮮換金銀行

銀行外의 金融機關

- 農村金融 — 金融組合
- 保險 — 損害保險會社 (5社)
- 貯蓄, 庶民保險 — 生命保險會社 (4社)
- 郵 便 局
- 國民生命保險

(2) 以下 叙上主要金融機關을 個別的으로說明키로한다

(7) 朝鮮換金銀行及金融組合을 除外한 7個銀行의 地域別店舖分布는第9表와같다

(第9表)

南朝鮮重要金融機關店舖道別分布表 (1947年6月末現在)

道	朝鮮銀行	殖產銀行	貯蓄銀行	朝興銀行	信託銀行	相互銀行	商會銀行	合計
京 畿	2	(1) 5	5	(6) 25	2	(1) 7	(4) 13	(12) 59
海 州	0	0	0	(1) 2	0	0	0	(1) 2
江 原	0	4	0	0	0	(3) 4	0	(3) 8
忠 清	0	2	0	2	0	2	1	7
忠 南	1	(2) 8	1	(2) 10	1	(2) 4	0	(6) 25
慶 北	1	(1) 5	1	(4) 14	1	(3) 6	(1) 2	(9) 30
慶 南	1	(1) 7	(1) 2	2	1	(12) 16	(3) 20	(17) 49
全 北	1	6	2	1	1	(1) 4	3	(1) 18
全 南	3	(3) 10	(1) 2	9	1	(2) 6	0	(6) 31
濟 州	0	1	0	0	0	(1) 1	0	(1) 2
合 計	9	(8) 48	(2) 13	(13) 65	7	(25) 50	(8) 39	(56) 231

註 1. 括弧內는 1947.7.1 截止店舖數 (56店)  
 2. 1947.7.31 現在店舖數 (175店)

(L) 第10表는 第9表에 揭示된 7銀行의 主要計定을 紹介한것이다

(第10表)

各 銀 行 諸 計 定 (1947年12月末現在)

營業所	本店		拂込資本金	積立金	預 金	貸 出 金	有價證券	現金手許有高
	支店出張所	支店出張所						
朝鮮銀行	1	8	50,000,000	32,300,000	3,742,151,000	13,888,475,000	4,746,652,157	194,625,621
朝鮮殖產銀行	1	39	52,500,000	35,991,494	5,011,791,000	7,423,565,000	522,402,688	518,341,019
小 計	2	47	102,500,000	68,291,494	8,753,942,000	21,312,040,000	5,269,054,845	713,966,640
朝鮮貯蓄銀行	1	10	3,750,000	3,960,000	1,590,287,000	2,129,102,000	332,582,364	113,943,910
小 計	1	10	3,750,000	3,960,000	1,590,287,000	2,129,102,000	332,582,364	113,943,910
朝鮮商業銀行	1	30	4,975,000	4,290,000	2,841,123,000	3,729,885,000	288,035,741	433,509,615
朝 興 銀 行	1	51	5,981,250	2,717,000	3,923,801,000	4,007,452,000	286,504,565	442,252,242
朝鮮相互銀行	1	24	5,937,000	1,410,000	1,600,407,000	2,086,805,000	15,728,286	315,272,377
朝鮮信託銀行	1	6	2,500,000	2,432,000	1,808,732,000	1,676,583,000	105,026,404	246,067,811
小 計	4	111	19,393,250	10,909,000	10,174,063,000	11,500,725,000	695,294,996	1,437,102,045
合 計	7	168	125,643,250	83,160,494	20,518,292,000	34,941,867,000	6,296,932,205	2,265,012,595
前 月 末	7	168	125,643,250	82,995,491	16,740,039,000	30,248,381,000	6,296,932,205	1,775,036,803
前年同月末	7	211	125,643,250	82,995,600	10,342,303,000	13,109,072,000	6,327,031,840	1,635,228,000

(C) 金融機關을 個別的으로 考察하면 如下하다

(a) 朝鮮銀行

朝鮮에 있어서의 唯一한 發券銀行인 동시에 中央銀行으로 1911年設立되었다. 國庫金及發券事務를 取扱하는 동시에 普銀業務도 兼務하나 中央銀行으로 朝鮮의 金融調節의 Initiative를 갖고 있다. 解放後 貸上金制을 創設하여 軍政財政赤字을 一手로 擔當하는 한편 再割引制度의 活用으로써 市中銀行과 더불어 國家再建金融의 圓滑을 期하고 있다. 二銀行高는 後進함과 같이 膨脹一路를 示現하고 있다.

(b) 朝鮮殖產銀行

農工業의 發達 開發을 目的으로 하는 長期不動產金融을 取扱하는 特殊銀行이며 1918年에 設立되었다. 該銀行은 性質上 長期資金調達을 爲하여 拂込資本金의 15倍限度로 主로 日本의 證券市場을 相對모하여 債券을 發行하여 왔던 것이나 解放後 證券市場의 喪失과 國內인프레션의 影響에 依하여 此債券發行機能이 全然停止되고 있음으로 解放後 當行의 長期金融은 消滅化되고 있으나 債券發行機能의 復活과 더불어 産業金融의

積極化가 時急히 期待되고 있다.

(c) 朝鮮商業銀行 朝興銀行

朝鮮의 金融機關中 가장 普通銀行의 性格을 가진 此 2銀行은 1941年 銀行令改正의 結果 從前의 10餘의 普通銀行이 資本系列에 따라 統合된 것이나 資本構成에 있어서 朝鮮人 資本參加率이 比較的 높은 것과 店舖數가 地域적으로 多方面에 分散되어 있음은 (83店舖) 特記할 만하다.

(d) 朝鮮信託銀行 朝鮮相互銀行

前者는 1931年 朝鮮信託株式會社로써 創設하였던 것이요 後者는 1922年 以來의 數多한 無盡會社를 統合하여 朝鮮無盡株式會社로써 庶民金融을 取扱하여 왔던 것이나 解放後 當行計定을 創設하는 등 特別貯蓄銀行業務를 認許받은 동시에 各々 現名種으로 改稱하고 極히 多角의 金融機能을 加추게 되었다. 그러나 銀行機能의 組織化의 立場에서 此 2銀行은 從前의 業務分野로 復歸할 것이 豫測되고 있다.

(第11表及 第12表參照)

(第11表) 朝鮮信託銀行主要信託財產

	資 產 勘 定				負 債 勘 定			
	儲蓄存款	有價證券	不動產	現金預置金	金錢信託	金錢債權	有價證券	土地建物
1947. 5	50,947,362	91,932,614	396,043,073	54,192,173	142,819,768	58,960	12,713,443	445,147,319
7	47,649,795	91,932,114	391,797,186	52,884,709	143,009,398	58,960	12,693,507	403,542,092
9	28,117,777	106,750,057	385,127,625	28,183,149	128,778,392	58,960	12,746,090	408,044,704
11	27,506,912	106,650,057	400,246,075	24,354,604	129,290,322	58,960	12,599,664	411,834,628
12	27,153,635	106,742,557	122,127,872	29,631,728	131,602,397	58,960	11,680,299	136,337,450
前年同月	57,631,647	106,750,057	76,894,163	11,671,847	152,605,712	58,960	12,761,420	85,942,096

(第12表) 朝鮮相互銀行無盡勘定

	未拂無盡給付金	據置未拂無盡給付金	給付濟口受人未濟掛金
1947. 5	7,187,105	12,416,758	2,223,773
6	—	586,000	—
11	—	—	—
12	—	—	—
前年同月	10,084,254	46,094,868	7,117,864

(積立金의 拂込資金을 超過--第2表參照) 解放後當座計定受創設시의 一般(普銀) 業務을 發展하고 있다

(f) 金融組合

金融組合은 農村, 漁村의 庶民金融을 取扱하는 特殊한 金融機關이며 1907年에 設立된 以來 現在 南朝鮮 各 行 府 道 市 邑 551 個 所의 細胞 組織을 갖고 있으며 如斯한 金融組合은 會員制로 構成되고 全會員及 全金融組合은 中樞機關인 金融組合聯合會의 管轄下에 있다 該聯合會는 拂込資本의 15倍을 限度로 債券을 發行할 수 있으나 現在는 朝鮮 殖産銀行의 同一한 機能과 한 가지로 自然停止中이다

(e) 貯蓄銀行

1928年設立 所謂貯蓄銀行業務을 取扱하여 特別庶民金融機關으로서 解放前까지도 堅實한 機能을 보여 주었던 것이나

(第13表) 金融組合重要負債道別一覽表 (1947年12月末現在)

		押込出資金		準備金	入金	預金
		円	円			
京	畿	4,857,865	429,000	9,977,720	70,138,456	1,428,239,704
忠	北	1,522,037	227,000	2,188,769	40,447,285	183,159,605
忠	南	1,889,853	296,000	4,222,497	34,437,031	472,679,300
全	北	14,161,491	323,000	4,863,127	33,052,344	460,238,974
全	南	4,178,895	400,000	7,097,984	57,538,556	647,484,508
慶	北	4,511,953	474,000	5,312,924	56,056,088	729,910,673
慶	南	4,039,228	424,000	7,560,876	20,914,652	851,483,588
江	原	1,142,223	152,000	2,351,025	4,503,140	214,627,313
濟	州	203,717	22,000	76,158	356,004	64,000,994
合	計	36,507,262	2,747,000	43,651,080	317,443,556	5,051,825,159
前	月 末	28,220,092	2,747,000	43,698,611	310,920 48	4,222,107,794
前	年 同 月 末	14,851,084	2,747,000	41,140,651	152,498,981	1,944,634,000

註 準備金의는 法定準備金特別積立金의合計을 上揭함

(第14表의1) 金融組合重要資產道別一覽表 (1947年12月末現在)

		組 合 數		貸 出 金	媒介貸付金	所 有 物	預 置 金
		本 所	支 所				
京	畿	22	64	557,383,108	756,128	24,006,416	608,769,779
忠	北	10	31	82,236,804	397,783	6,402,926	76,513,156
忠	南	14	51	181,263,289	364,437	13,669,054	132,904,788
全	北	14	40	172,898,880	209,609	26,859,929	198,753,592
全	南	23	65	290,329,436	306,397	13,711,175	301,936,200
慶	北	24	64	279,294,882	315,789	12,498,048	389,849,802
慶	南	23	67	479,102,835	242,976	11,672,855	320,808,586
江	原	10	27	100,255,067	17,650	8,433,136	103,839,787
濟	州	2	5	31,517,295	—	805,535	23,063,899
合	計	142	409	2,174,281,596	2,610,769	118,060,074	2,156,489,593
前	月 末	142	409	2,066,977,527	2,854,833	117,220,189	1,631,722,459
前	年 同 月 末	401	200	731,830,005	4,340,249	37,513,580	995,577,044

(第14表의2)

金融組合貸付內容明細 (1945. 8. 15~1947. 3. 31)

	長短期別		信用程度別			合 計	
	長 期	短 期	上 中 下				
			上	中	下		
農 業 資 金	自作農地購入	9,062,766 <sup>円</sup>	246,506,848 <sup>円</sup>	89,272,767 <sup>円</sup>	108,401,367 <sup>円</sup>	57,895,480 <sup>円</sup>	255,569,614 <sup>円</sup>
	牛馬購入	2,898,559	111,516,033	40,138,891	51,848,957	22,426,744	114,414,592
	賃借償還	2,465,783	177,632,207	29,675,091	124,117,512	26,333,387	180,125,990
	其他	2,149,398	112,211,136	46,507,118	41,304,496	26,548,920	114,360,534
商 工 業 資 金	店舗設備貸	2,487,645	165,206,216	32,213,514	118,831,985	16,648,362	167,693,861
	商品購入	2,153,797	153,911,519	81,021,342	49,162,364	25,886,610	156,070,316
	賃借償還	517,644	39,157,736	14,908,609	15,027,939	9,738,832	39,675,380
	其他	746,812	34,637,869	15,254,747	13,090,793	7,039,141	35,384,681
水 産 資 金	漁業設備	1,404,026	35,443,583	19,442,798	11,974,787	5,430,024	36,847,609
	賃借償還	148,210	11,145,982	4,832,981	3,689,933	2,771,228	11,294,192
	其他	19,031	4,273,675	1,858,993	1,390,740	1,042,973	4,292,706
	住宅設備	3,532,720	105,366,103	49,982,426	42,326,446	16,589,956	108,898,828
雜 資 金	賃借償還	1,098,813	42,754,450	12,494,337	14,642,895	16,716,031	46,853,263
	其他	499,757	50,760,317	23,553,465	18,190,926	9,515,683	51,260,074
	計	9,189,961	1,290,573,679	461,157,079	614,001,190	244,605,371	1,319,763,640

(g) 朝鮮換金銀行  
朝鮮의 外貨 貿易의 發展과 貿易 金融의 効果의 인 運轉을 爲圖  
코져 1947年 7月 15日에 創立되였으나 爲 策은 一라 貿易의  
現制度下에서는 同銀行의 機能은 極히 局限되어 있어 1947年

度의 業績은 微々 하였으나 新年度에는 現行 貿易制度의 止揚  
과 더불어 朝鮮 貿易을 育成에 對한 同行의 寄與가 期待되코 있다  
資本金은 五億圓 全額 過改引受며 그中 二億圓이 拂込되였다  
現在 重要計定은 一라 制 貿易下의 輸入代金計定이다

(第15表)

STATEMENT OF ASSETS & LIABILITIES (As of Dec. 1, 1947)

Assets	US Dollars	The Korean Foreign Exchange B.	
		HK Dollars	Won
Cash and Banks			
Won Current A/C			949,210.52
Notice Deposits			218,000,000.00
C-sh			85,917.93
Banks Abroad			
Our account—US \$	34,665.05		1,735,252.50
Our account—HK \$		842,840.09	8,428,400.90
Suspense Account			
Advanced to employees			22,400.00
Profit and Loss			836,337.55
<b>TOTAL</b>	<b>34,665.05</b>	<b>842,840.09</b>	<b>230,055,319.40</b>
Liabilities			
Import Account			19,920,200.00
Current A/C—US \$	31,548.36		1,577,418.00
Current A/C—HK \$		842,752.64	8,427,526.40
Export A/C	2,600.00		130,000.00
Suspense A/C			
Reserve for Cables	3.50		175.00
Capital Account			200,000,000.00
<b>TOTAL</b>	<b>34,151.86</b>	<b>842,752.64</b>	<b>230,055,319.40</b>

4. 金融事情各論

(1) 通貨發行趨勢

(第16表)

朝鮮銀行券發行推移

發行高	比前月 増減率	1946. 1	2	3	4	5	6
1936.12	167	8,805	8,867	8,958	9,156	9,168	9,276
1945. 8.14	4,839						
9	8,488						

7	9,771	+ 5.3
8	10,664	+ 9.2
9	11,103	+ 4.1
10	11,700	+ 5.4
11	13,282	+ 13.5
12	16,574	+ 24.8
1947. 1	17,930	+ 8.2
2	17,973	+ 0.2
3	17,404	- 3.2
4	17,167	- 1.4
5	17,312	+ 0.8
6	17,742	+ 2.5
7	18,343	+ 3.4
8	19,040	+ 3.8
9	19,789	+ 3.9
10	20,782	+ 5.0
11	26,210	+ 26.1
12	32,342	+ 23.4

解放後의 通貨發行은 別項에서 詳述하는바와같이 解放直後의 日人退去資金 22億圓과 日政府의 清算資金 15億圓의 急激한 調達을 爲하여 殘留日政의 손으로 突發的 越過發行이 敢行되었으나 其後의 通貨發行趨勢는 民生과 治安을 爲한 緊急한 資金調達 (第17表參照) 에 終結하였다 即 이를 第18表에서 보면 各期末의 通貨發行指數는 1944年 下半年末即 解放된 1945年 3月의 2,000臺에서 解放直後인 1945年 9月 (1945年 上半年末) 에는 大舉 5,000臺로 飛躍한 것이 곧 前述한 解放直後의 通貨濫發의 貨勢이었던 것이요 其後 1946年 上半年末即 1946年 9月과 同年 下半年末即 1947年度 3月의 發行指數間에 또 4,000臺의 指數飛躍이 있었으나 이때에 있어서는 1946年度末의 秋穀資金 第20表와 如한 政府財政支出 超過及 銀行貸付의 節制가 充分하지 못한 略通貨增發條件이 重疊하게 되었던事實을 銘記할 것이다

(第17表) 農産物收買資金殘高 (單位千圓)

	1946年末	1947年末
米穀資金	4,146,844	11,662,054
夏穀資金	(420,000)	98,289
棉花資金	(23,152)	321,917
春蠶購繭資金	—	(165,000)
秋蠶資金	—	124,193
煙草	—	1,582,259
蠶工品	—	198,954
合計	4,583,996	14,152,666

註 括弧內數字는 推算值

(第21表)

現金通貨의 民間流通高 (單位千圓)

	銀行券發行高		金融關係有高		差引民間保有高	
	金額	指數	手許現金	指數	金額	指數
1946年 3月	8,958,423	100.00	1,397,529	100.00	7,560,894	100.00
4月	9,159,565	102.24	1,372,487	93.19	7,787,078	102.95
6月	9,276,168	103.54	355,870	28.32	8,880,293	117.45
8月	10,664,417	113.04	635,639	45.48	10,028,778	132.64
10月	11,700,471	130.60	881,631	63.08	10,818,840	143.08
12月	16,573,505	185.00	1,635,223	117.00	14,938,277	197.57
1947年 2月	17,973,037	200.62	1,228,643	87.91	16,744,399	221.46
4月	17,166,599	191.62	1,316,223	94.18	15,850,376	209.63
6月	17,742,773	198.05	1,469,932	105.18	16,272,841	215.22

(第18表) 朝鮮銀行券期末發行高 (1936年=100)

	發行高	指數
1944年 下半年末	3,574,418千圓	2,136
1945年 上 //	8,620,191	5,187
1945年 下 //	9,078,825	5,426
1946年 上 //	11,341,357	6,777
1946年 下 //	17,198,620	10,278
1947年 上 //	20,444,924	12,218

(第19表) 美軍政下 通貨膨脹의 原因

1945年 9月30日	發行高	8,680百萬圓
1947年 12月31日	發行高	32,342 //
	膨脹高	23,662 //
(a) 日本에서 歸還한 同胞에 對한 日銀券 交換高		874 //
(b) 行政及其他政府機關 赤字支出	× × × ×	//
(c) 1946—1947 雜穀 特產品 報償		3,000 //
(d) 1946—1947 米穀 收集政府報償		//
(e) 金融機關 貸出金 增加		29,673 //
(f) 金融機關 預金 增加	(-)	22,931 //
(g) 敗殘日政府 清算資金		1,393 //
(h) 金融機關 手許現金 增加		2,766 //
(i) 非常時貸出金		1,118 //
(j) 其他		//
合計		23,662 //

(第20表) 過政費出及收入趨勢 (單位千圓)

	費出	收入	費出超過
1946. 4	626,414	142,392	484,022
6	441,141	299,175	141,966
7	1,444,524	228,558	1,215,966
8	551,255	227,344	323,911
10	851,303	510,439	340,864
12	1,166,418	584,645	581,773
1947. 4	1,359,001	803,476	555,525
6	4,156,373	1,065,682	3,090,691
7	2,025,723	912,415	1,113,308
8	1,827,528	710,831	1,116,697
10	2,947,142	1,749,760	1,197,382
12	2,520,749	1,434,121	1,086,628

(2) 民間流通通貨量과 小賣物價推移

解放直後의 通貨濫發은 當時朝鮮銀行券의 大部分은 占有하였던 日人의 朝鮮內에 있어서의 消費支出의 濫路를 爲하여 第21表



8月	19,040,028	212.53	1,393,031	99.67	17,646,997	233.39
10月	20,782,249	231.93	1,661,602	118.89	19,120,647	213.21
12月	32,342,894	361.03	3,325,483	237.95	29,017,411	383.78

와如히 1946年3月에는 全通貨發行高의 84% 以上이 民間人 手中에 流通되게되었으니 이는 解放前의 民間保有通貨量이 當時의 全發行高의 44~50% (1937~1941年) 를占하고 있었 던것에對比하인 일정한 通貨流通現象이 아닐수 없었다 이리 하여 當時의 通貨流通現象과 解放에對한好景을준미인 經濟界는 처음으로 物價暴落의 懸念 --- 即 Inflation 暴落懸念에 引誘한것은 1946年後半부터의 財政支出過多와나서 農民物收買資金모아인 바로 類似的 民間流通通貨의 無爲한 循環이있던것이다 勿論 金融團의 努力이있어 1946年初부터는 預金過剩의懸念으로 轉入한바없지않았으나 繼續되는 通貨發行高의增加는 그만큼 民間流通通貨量을 增加시키고 生産手段의買占傾向은 더욱 物價暴落을招致하여 此民間流通 通貨量의遞減을 妨害하였던것이다 尙히 食上의諸條件은 數多한失業者群又是 供給者及勞動者의家計가 物價暴落 (小賣物價)에따르는 資金其他所得의削減을 爲來치못하는不安感에서 搖動하기始作함에由來한것이다 (第22表參照)

(第22表) 俸給生活者實質賃金率趨勢

1936年	100	1947年 1月	34
1946年 1月	42	3月	33
3月	36	6月	40
4月	37	9月	39
8月	41	12月	31
12月	42		

第23表는 또 小賣物價指數가 1946年2月에서 3월에 걸쳐 9,353로부터 11,645 로暴騰하고 다시從 7월부터 8月以後에 걸쳐 前記 民間流通通貨量의增加와 더불어 斷層的으로暴騰하고있음을 示現하고있다

(第23表) 小賣物價指數와賃金指數對照

		(1936=100)			
		1946年		1947年	
		物價	賃金	物價	賃金
1月		8,543	3,581	33,272	11,450
2		9,353	3,865	38,894	11,711
3		11,645	4,212	38,486	12,663
4		13,312	4,960	36,571	14,043
5		13,772	6,570	36,101	14,442
6		14,932	6,772	37,431	15,093
7		15,808	6,996	38,635	15,666
8		17,795	7,371	39,665	15,930
9		19,317	9,262	41,444	16,299
10		21,195	9,667	42,951	16,575
11		22,462	10,976	51,753	17,235※

(第25表)

金融機關預金의種別構成 (單位百萬元)

	期預金	當座預金	特別當座預金	儲預金	合計
1945. 8	536 (13)	1,122 (27)	291 (7)	2,232 (53)	4,181 (100%)
17	336 (8)	742 (17)	953 (21)	2,427 (54)	4,458 (100%)
1946. 2	451 (8)	1,066 (20)	1,218 (22)	2,721 (50)	5,456 (100%)
6	1,035 (13)	1,781 (23)	1,724 (22)	3,307 (42)	7,847 (100%)
10	1,427 (14)	2,719 (27)	2,283 (22)	3,813 (37)	10,233 (100%)
12	1,442 (10)	3,907 (29)	2,972 (23)	4,825 (33)	13,146 (100%)
1947. 4	1,593 (9)	4,665 (27)	3,603 (20)	7,667 (44)	17,533 (100%)
8	1,627 (9)	5,276 (29)	4,122 (2)	7,375 (40)	18,400 (100%)
12	2,115 (8)	82.66 (32)	5,467 (22)	9,724 (39)	25,72 (100%)

※12月	26,622	11,186	55,961	17,088
年平均	16,211	7,118	40,926	14,843

1947年에 들어와 此小賣物價指數가 4~7월에 下落傾向을 보인 金融統制面에 있어서 貸付制限과 米資回收로 通貨發行이 縮小된結果 民間流通通貨量이 減少된것에 歸因한다 그러나 小賣物價指數와 勞賃指數는 兩年の平均指數의 比率에서 보면 3~3.5 倍의 上昇을보이고있다

(3) 預金及手形交換推移

解放前 南朝鮮各金融機關의預金總額은 1937年 即 中日戰爭開始年末에 462,459千圓 1942年 即 太平洋戰爭開始 翌年末에는 1,670,004千圓이던것이 解放直前인 1945年7月末에는 4,031,551千圓으로 增加되었던것이나 解放直後에는 屢次한바 日人의預金徵收로써 3,531,726千圓 (9月末)으로 激減되었다가 1945年末에는 4,458,226千圓으로 다시增加되고 其後1946年4月부터는 金融機關自由貸付限度決定의 影響이있어 第24表와如히 預金總額指數는 緩慢한增加一路를밧았다 그러나 第25表에기보는바와같이 預金構成中特定期預金의 比重의

(第24表) 預金指數推移 (1936年=100)

1946. 1	5,211,751	773
2	5,425,039	804
3	5,653,616	838
4	6,188,196	918
5	7,161,072	1,062
6	7,847,360	1,164
7	8,686,806	1,288
8	9,240,681	1,386
9	9,987,806	1,482
10	10,233,487	1,518
11	11,480,358	1,703
12	13,146,398	1,950
1947. 1	13,145,014	1,950
2	14,844,527	2,202
3	16,497,619	2,447
4	17,533,158	2,601
5	18,435,193	2,735
6	18,103,308	2,686
7	18 ' 1 0	2,736
8	18,400,431	2,730
9	20,495,126	3,041
10	19,717,724	2,925
11	21,908,082	3,250
12	26,514,253	3,934

漸次的減少는 爾餘의營業預金이나 貯蓄性預金(通知,特當)의 固定乃至盈餘에 比하면 所得安定性의 減退乃至는 動搖을 反映하는 것으로 判斷된다

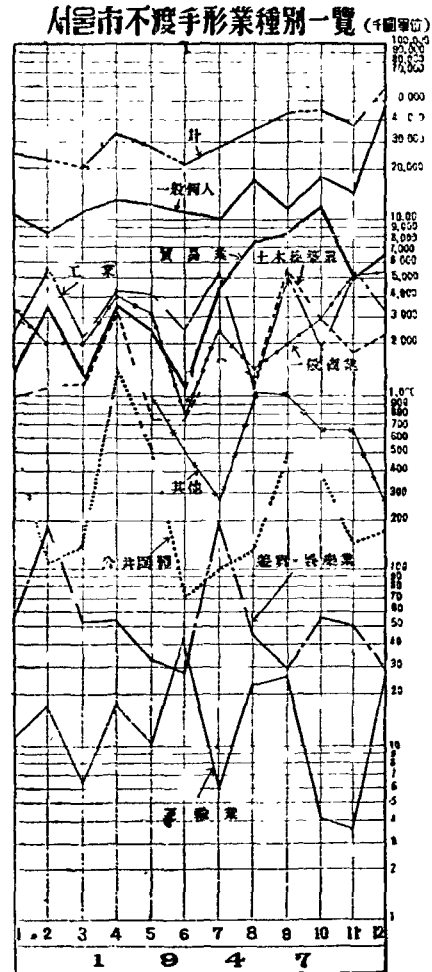
다음 手形交換高의 推移를 보면 第26表와 如히 解放後 急激히 增加되었던 것이나 1947年初의 2~3 個月은 金融機關貸付 制限關係로 低峯을 보았다

(第26表) 手形交換高推移表 (1936年=100)

	枚數	金額	指數
1945. 11	3,454	157,547	106
1946. 3	21,695	1,029,148	692
4	52,303	1,292,871	870
6	41,911	1,888,575	1,271
8	58,686	3,182,291	2,142
10	68,423	4,268,200	2,874
11	74,911	5,814,818	3,915
12	80,674	6,151,124	4,141
1947. 1	67,362	5,259,651	3,541
2	62,521	5,343,169	3,597
4	71,939	7,386,859	4,973
5	73,243	7,692,737	5,179
7	76,992	8,820,305	5,938
9	70,707	10,456,217	7,040
10	87,841	12,633,386	8,506
12	100,561	16,945,436	11,409

그後 同年末期에는 季節資金放出의 好條件下에 商界의 接觸熱도 頂點에 達한 一面을 實證하는 듯 手形交換枚數及 額高도 激增되었으나 反面 前年末에는 보지 못하던 現象으로써 第27表와 如히 不渡手形高의 枚數 人員은 急激히 增加되고 있는데도 不拘하고 一枚當平均金額은 從前에 比하여 激減되고 있음은 群小企業 特히 商業, 貿易 其他雜業關係 金融事情의 困窮狀態를 表明한다고 볼 수 있다 第28表는 企業種別不渡手形의 消長을 서울市에서 探例하여 圖示한 것이다 工業部門은 其他企業에 比하면 約 1個月 늦어서 此 沈滯傾向을 보이고 있으나 이는 生産과 交換의 時差를 想起하면 當然한 順序이다

(第28表) 서울市不渡手形業種別一覽 (單位千圓)



(第27表) 不渡手形種別推移表

	人員	小切手		約束手形		爲替手形		合計				
		枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額			
1946.1	48	49	1,391,983	28,408	35,000	3,000	—	50	1,426,983	28,539		
2	43	48	1,505,309	31,361	—	—	—	48	1,505,309	31,366		
3	126	132	11,273,605	85,406	15,000	15,000	4	171,795	42,948	137	11,460,400	83,653
4	172	178	6,241,709	35,065	283,000	94,333	4	53,300	13,325	185	6,578,009	35,557
5	209	236	6,535,220	27,691	296,956	148,478	3	41,175	13,725	241	6,873,351	28,520
6	270	305	8,412,601	27,582	121,000	24,200	11	361,237	32,839	321	8,894,838	27,710
7	298	330	9,650,499	29,243	488,063	44,369	7	155,200	22,171	348	10,293,762	29,579
8	311	357	8,125,263	22,759	212,750	42,550	10	248,363	24,836	372	8,586,376	23,082
9	346	393	11,085,358	28,207	446,570	74,428	4	122,450	30,612	403	11,654,378	28,919
10	517	596	21,555,769	36,167	590,000	53,662	2	17,800	8,900	609	22,163,569	36,393
11	494	568	24,232,668	42,814	538,500	76,928	11	3,206,175	291,470	584	27,977,343	47,906
12	480	561	26,446,246	47,141	1,336,517	83,532	7	327,090	46,727	584	28,109,853	48,133

1947.1	628	730	41,820,499	57,288	12	1,399,440	141,620	5	278,000	55,600	747	43,797,939	58,631
2	509	561	35,205,118	62,754	13	1,024,087	78,775	6	1,316,149	224,358	580	37,575,354	64,785
3	525	609	28,514,053	46,821	11	903,097	82,099	16	790,870	49,429	636	30,203,020	47,496
4	765	884	45,713,100	51,711	19	6,714,839	353,412	3	209,350	69, 83	906	52,637,289	58,098
5	657	719	33,213,250	53,147	14	1,353,935	132,427	6	1,115,000	185,933	739	41,182,235	55,727
6	635	697	30,420,450	43,644	21	4,460,210	212,290	6	476,500	79,413	724	35,357,160	48,835
7	813	888	41,608,624	46,856	25	4,526,981	174,111	10	603,705	60,870	924	46,744,210	50,583
8	714	784	48,475,162	61,930	13	1,493,038	114,852	13	1,263,400	97,184	810	51,231,550	63,248
9	731	823	54,251,250	65,520	23	3,906,030	139,501	6	860,730	143,455	862	59,018,010	63,466
10	902	1,021	57,792,956	56,604	23	4,501,460	195,715	9	632,800	70,311	1,053	62,927,216	59,759
11	870	991	55,539,411	56,043	28	4,165,172	148,756	8	401,260	50,157	1,027	60,105,843	53,525
12	919	1,009	82,792,564	82,054	42	7,990,316	190,245	11	849,125	77,193	1,062	91,632,005	86,282

(4) 貸付事情과 都賣物價推移

累次 貸及하여온바와 같이 解放後金融事情은 解放直後의 一時的貸付超過를 거쳐 1946年初부터는 漸次 預金超過態勢에 轉移하였고 各年末에는 別項에서詳述하는바와 같이 米資其他農産物收買資金放出關係로 金融緊縮은 現出한때도 있었

다 그러나 金融疲弱 自由貸付限度更新(後述)과 貸付嚴選主義의 兩策이 預金面에 있어서의 長期預金の減退에 呼應하여 結局 銀行資金의 自衛的測進方法으로써 政府保證貸付에 注重하여 第29表와 같이 純商業貸付인 割引手形及 荷爲替手形貸付는 全貸付額의 1%에 行立되게 되었으며 當座貸越

(第29表)

金融機關貸付種別月別殘高 (單位百萬圓)

	證書貸	手形貸	當座貸越	割引手形 荷爲替手形	其他	合計
1946. 6	611(9)	4,486(69)	503(8)	66(1)	84(13)	6,514(100)
8	121(2)	2,813(52)	929(17)	62(1)	1,491(28)	5,419(100)
10	130(1)	3,066(34)	1,507(17)	91(1)	4,331(47)	9,125(100)
11	165(1)	6,188(52)	3,527(30)	107(1)	1,855(16)	11,842(100)
1947. 2	200(1)	7,683(55)	4,940(36)	105(1)	971(7)	13,899(100)
4	113(2)	6,695(49)	4,422(32)	103(1)	2,199(16)	13,632(100)
6	235(2)	7,300(63)	956(8)	116(1)	3,002(26)	11,609(100)
8	272(2)	7,324(55)	1,271(10)	121(1)	4,227(32)	13,215(100)
10	317(2)	9,300(57)	1,979(12)	143(1)	4,466(28)	16,205(100)
12	380(1)	10,093(27)	21,542(57)	150(1)	5,113(14)	37,278(100)

註 括弧內는 合計에 對한 比率임

도 亦是 不振을 보이고 있다

그리하여 如斯한 貸付趨勢는 大體로 第30表에서 보는바 此等貸付가 激變한 每年末 及 財政支出其他 季節資金放出의 1~2個月後이면 都賣物價趨勢의 端巔을 보이고 있는 것이다

(第30表)

都賣物價推移

	指數	對前月 騰落率 %
1936	100	—
1945. 8	1,752	—
9	2,047	+16.95
10	2,672	+30.53
11	3,256	+21.87
12	4,359	+33.86
1946. 1	5,301	+21.61
2	6,253	+18.05
3	8,414	+34.46
4	9,971	+18.50
5	11,381	+14.14
6	12,057	+ 5.95
7	12,806	+ 6.21
8	14 01	+14.01
9	16,292	+11.58
10	18,518	+13.66
11	20,577	+11.12
12	25,563	+24.23
1947. 1	29,761	+16.42

(5) 換(爲替)受拂狀況과 季節資金

季節資金——主로 秋收收集資金이 朝鮮債券發行趨勢의 大勢을 左右하고 또 此資金의 季節的移動이 國內換去來에 主要한 比率를 갖고 있음은 周知하는바이다 特히 後者인 換去來에 對한 季節資金의 作用은 1947年從半期即 米收收集資金을 市銀에 分與하게 된 때부터 顯著한 것이 있다 其前까지는 朝鮮銀行이 資金取扱上의 節度와 通貨膨脹의 緩和을 企圖하여 此季節資金의 受拂에 單獨으로 善處하여 왔던 것이다

이러한關係로 第31表에서 보는바 1946年秋收收集資金放出期인 1946年10~12月에 있어서의 朝鮮各支店은 本店으로부터의 現金을 받아 資金放出에 資하였던바 爲替의 受拂狀況에는 全支店을 通하여 共通의 特色은 없고 이는 또 1947年2

~5月 即 前年의 秋 撥 入 金 回 收 期 에 있어 서 도 適 用 現 狀 이 었 던 것 이 다 그 러 나 19 年 의 秋 撥 入 金 放 入 期 에 이르러 서는 上 述 各 市 市 銀 의 參 與 가 있 는 限 界 上 各 支 店 은 從 前 의 換 支 拂 超 過 率 으 로 부터 換 受 入 超 過 傾 向 에 轉 換 可 기 되 었 으 나 이 는 市 廳 에 位 置 하 는 各 銀 行 이 朝 銀 에 對 한 預 金 及 預 貯 金 을 動 員 하 여

朝 銀 本 店 經 由 로 地 方 의 支 店 (朝 銀 은 勿 論 他 行 支 店 도) 에 送 金 하 게 된 緣 由 인 것 이 며 朝 銀 支 店 으 로 보 아 면 地 方 他 行 支 店 에 다 支 拂 換 支 金 을 支 出 에 先 行 하 여 受 入 하 게 된 結 果 으 로 보 면 表 面 上 換 受 入 超 過 의 特 色 을 띠 우 게 된 것 이 다  
다음 表 에 서 볼 수 있 는 換 支 拂 의 特 徵 은

(第31表) 店 別 換 受 拂

	1946年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1947年	
											1月	
서 울	拂 出 額	12,275	36,581	31,418	22,945	27,154	25,592	33,710	51,199	55,872	111,332	1,909,385
	受 入 額	18,113	27,497	46,681	27,723	30,944	39,241	44,570	57,439	63,381	57,817	2,085,713
	受 拂 超 過 額	+ 5,338	- 9,084	+15,263	+4,778	+8,790	+13,649	+10,860	+6,240	+ 7,509	-53,515	+176,343
仁 川	拂 出 額	1,859	15,838	17,338	19,341	23,339	19,969	25,243	26,192	30,087	47,447	2,885,757
	受 入 額	10,526	10,573	12,335	9,397	9,432	14,576	9,785	48,482	35,641	89,051	268,225
	受 拂 超 過 額	- 7,333	- 5,265	-5,003	-9,944	-13,907	-5,393	-15,457	+22,290	+ 5,554	+41,604	-10,632
釜 山	拂 出 額	16,418	21,530	38,719	22,825	32,289	21,075	26,873	26,556	31,427	36,027	507,804
	受 入 額	7,756	6,167	10,826	4,572	7,435	8,582	12,642	22,252	19,886	32,739	782,885
	受 拂 超 過 額	- 8,662	-15,363	-27,933	-18,253	-24,854	-12,493	-14,231	-4,404	-11,541	-3,288	+275,081
大 邱	拂 出 額	2,049	1,122	6,238	9,277	805	1,366	2,669	3,897	4,330	5,631	598,997
	受 入 額	4,293	8,048	4,396	2,042	2,420	5,429	3,790	4,711	6,065	13,775	485,840
	受 拂 超 過 額	+ 2,244	+ 6,926	-1,842	-7,235	+1,615	+4,063	+1,121	+ 814	+ 1,735	+8,144	-113,157
木 浦	拂 出 額	7,154	9,028	5,456	3,882	7,225	6,517	5,526	9,922	13,625	11,454	81,959
	受 入 額	2,286	6,478	7,034	2,420	3,647	5,153	7,371	12,175	8,619	13,055	81,533
	受 拂 超 過 額	- 4,868	- 2,550	+1,578	-1,462	-3,578	-1,364	+1,845	+2,253	-27,435	+1,601	- 426
光 州	拂 出 額	1,166	2,654	1,713	979	1,746	1,597	1,509	2,814	3,803	3,976	157,403
	受 入 額	7,702	3,141	4,633	4,558	4,161	6,829	5,439	6,603	8,256	9,068	276,539
	受 拂 超 過 額	+ 6,536	+ 487	+ 920	+3,579	+2,415	+5,232	+3,930	+3,789	+ 4,453	+5,092	+119,136
群 山	拂 出 額	504	2,381	637	2,234	363	4,547	1,184	1,663	3,296	1,606	62,542
	受 入 額	329	2,669	1,212	2,149	1,070	3,186	2,770	3,120	4,758	4,641	294,920
	受 拂 超 過 額	- 175	+ 288	+ 575	- 85	+ 707	-1,361	+1,586	+1,457	+ 1,462	+3,035	+232,250
大 田	拂 出 額	190	851	232	1,316	388	821	1,669	1,146	2,917	623	203,968
	受 入 額	2,580	2,158	3,285	1,508	1,533	2,696	2,685	4,582	4,299	4,011	200,591
	受 拂 超 過 額	+ 2,390	+ 1,307	+3,053	+ 192	+1,145	+1,875	+1,016	+3,436	+ 1,382	+3,388	- 3,377
麗 水	拂 出 額	4,981	1,308	2,890	3,605	1,597	5,378	6,239	7,294	10,038	6,108	49,420
	受 入 額	1,074	2,080	1,041	675	330	1,124	1,877	2,457	5,331	6,599	45,691
	受 拂 超 過 額	- 3,907	+ 772	-1,849	-2,930	-1,267	-4,254	-4,362	-4,837	- 4,707	+ 491	- 3,729

(6) 零 細 國 民 貯 蓄 及 保 險 事 情

上 述 한 바 와 같 이 長 期 固 定 性 預 金 의 減 退 는 國 民 投 資 獎 勵 方 策 은 Inflation 緩 和 의 見 地 에 서 보 아 甚 리 憂 慮 되 는 바 이 에 대 身 하여 長 久 의 引 遊 資 吸 收 策 으 로써 額 高 에 있 어 서 는 零 細 한 나 마 保 險 事 業 의 擴 張 은 重 大 한 意 義 를 갖 은 것 이 다

이 러 한 事 由 으 로 인 해 解 放 後 의 保 險 事 業 特 히 零 細 國 民 貯 蓄 의 源 泉 인 生 命 保 險 事 業 과 連 하여 郵 便 貯 金 推 移 문 化 가 되 기 으 로 인 해 于 先 生 命 保 險 事 業 에 있 어 서 는 遞 信 部 直 屬 인 國 民 簡 易 生 命 保 險 비 롯 히 여 一 般 私 企 業 인 韓 國, 大 韓, 朝 鮮 及 高 麗 等 의 4 社 가 있 어 第 32 號 法 如 司 都 合 1947年 末 에 있 어 서 契 約 件 數 21,449 保 險 料 4,858 千 圓 의 成 果 를 보 고 있 다 이 를 解 放 前 과 比 較 하 면 一 般 生 命 保 險 은 아 래 바 와 같 이 每 件 當 保 險 料 은 舊 來 代 身 契 約 件 數 가 1937年 의 20% 에 도 未 及 한 狀 態 이 다

	契 約 件 數	契 約 金 額	保 險 料	每 件 當 保 險 料
		千 圓	千 圓	圓
1937年 末	391,079	601,760	20,303	50
1947年 末	58,466	623,478	27,382	463

다음 國 民 簡 易 生 命 保 險 의 狀 況 을 살 펴 면 이 는 一 般 生 命 保 險 과 는 달 리 아 래 바 와 같 다

	契 約 件 數	保 險 金 額	保 險 料	每 件 當 保 險 料
		千 圓	千 圓	圓
1937年 末	1,222,965	230,918	1,222	0.9
1947年 末 (11月)	3,468,479	1,250,959	6,468	1.98

即 契 約 件 數 는 約 240% 의 增 加, 保 險 金 額 及 保 險 料 은 各 々 約 500% 로 增 加 를 보 인 것 은 一 般 生 命 保 險 에 비 하 면 良 好 한 成 績 이 라 고 하 겠 다 따 라 서 一 般 生 命 保 險 의 每 件 當 保 險 料 率 으 리 下 가 要 求 되 는 바 없 지 않 다

(第32表)

零 細 國 民 貯 蓄 推 移

	生 命 保 險			簡 易 生 命 保 險			郵 便 貯 金	
	件 數	保 險 料	保 險 金 額	件 數	保 險 料	保 險 金 額	口 數	金 額
		圓	圓		圓	圓		圓
1946年 4月 末	—	—	—	—	—	—	7,689,835	763,850
6月 末	—	—	—	—	—	—	6,972,265	771,422
8月 末	103,482	6,512,317	171,584,427	10,454,563	13,474,343	2,516,393,794	6,972,456	789,234
10月 末	102,515	6,715,831	176,301,827	10,108,232	13,512,979	2,508,024,368	6,963,723	787,323

1. 港灣都市의 支店은 大體로 換受拂超過인것
2. 서울 大邱 光州의 各店은 換受人超過傾向이 優劣한것
3. 湖南地方은 人體로換受拂總對額이 少額이고 嶺南地方은 換受拂總對額이 同同時에 換支拂 超過傾向이 濃厚한것

等々이나 前二者는 嶺南地方은根據로하는 沿岸貿易及外地 貿易을爲한(北朝鮮關係包含 靑島循環의 特殊現狀이고 (3) 中の 湖南地方의換來來의 特徵은 該地方의 經濟的條件으로 보아 可當한現狀이라하겠다

推 移 一 覽 表 (朝鮮銀行分) (單位千圓)

2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
1,936,294	1,527,911	2,012,729	2,323,753	1,514,655	1,832,630	1,829,677	2,413,622	2,798,553	2,616,937	3,635,655
1,552,431	1,599,769	2,317,472	2,908,839	4,662,884	2,574,875	2,598,729	3,149,586	4,153,495	5,838,106	3,945,170
-383,863	+ 71,858	+304,743	+585,086	+3,148,229	+742,245	+769,052	+735,964	+1,354,942	+3,221,169	+309,515
178,082	182,624	299,885	344,327	392,836	389,044	224,617	405,491	488,993	360,349	436,229
180,514	174,174	269,450	378,759	383,055	375,240	245,734	394,313	502,155	381,609	404,135
+ 2,432	- 8,450	- 30,435	+ 24,432	- 4,781	- 13,804	+ 21,117	- 11,178	+ 13,162	+ 21,260	- 32,094
545,641	683,828	627,889	637,487	876,463	701,905	508,911	642,972	909,986	828,127	908,747
452,491	420,557	572,312	576,749	790,364	544,365	584,593	648,073	1,082,086	2,099,009	1,139,593
- 93,150	-263,271	- 55,577	- 60,738	-486,099	-157,540	+ 75,682	+ 5,101	+172,100	+1,270,582	+230,846
527,763	591,917	528,496	487,142	921,120	521,133	365,227	672,975	556,929	557,546	806,577
372,732	345,930	555,820	368,954	294,367	423,147	444,436	762,196	493,892	1,771,107	1,371,405
-155,031	-245,987	+ 27,324	-118,188	-626,753	- 97,986	+ 79,209	+ 89,221	- 63,037	+1,213,561	+564,828
71,942	91,979	142,802	79,230	146,220	88,753	109,525	126,451	118,486	307,797	175,618
79,981	92,369	112,970	116,795	104,591	101,330	108,103	139,728	157,787	280,934	223,037
+ 8,039	+ 390	- 29,832	+ 37,565	- 41,629	+ 12,577	- 1,422	+ 13,277	+ 39,301	- 26,863	+ 47,419
281,349	251,460	295,424	275,735	974,900	353,453	229,852	371,950	437,781	297,305	549,372
305,591	283,546	266,113	257,455	208,021	387,945	268,850	393,249	337,559	1,908,316	748,061
+ 24,242	+ 32,086	- 29,311	- 18,280	-766,879	+ 34,492	+ 38,998	+ 21,299	-100,222	+1,611,011	+ 188,683
112,895	265,848	122,121	130,255	629,883	131,643	149,663	165,042	120,983	186,875	268,490
189,530	139,822	149,366	170,045	139,792	227,268	113,515	116,434	193,909	1,300,582	881,666
+ 75,635	-126,026	+ 27,245	+ 39,790	-480,091	+ 95,625	- 36,148	- 48,608	+ 72,926	+1,113,707	+613,176
260,634	211,833	249,648	233,802	463,330	195,867	162,338	314,846	255,746	165,323	280,852
196,620	160,485	206,328	120,417	158,046	178,121	168,204	363,657	286,885	1,107,937	661,414
- 64,014	- 51,348	- 43,320	-113,385	-305,284	- 17,746	+ 5,866	+ 48,811	+ 31,139	+942,614	+370,562
72,878	34,963	45,434	43,666	53,261	65,379	60,198	70,766	58,785	127,484	82,417
71,960	34,781	58,394	43,959	52,875	58,942	67,445	85,683	64,266	110,217	102,875
- 918	- 182	+ 12,960	+ 293	- 386	- 6,437	+ 7,247	+ 14,917	+ 5,481	- 17,267	+ 20,458

12月末	90,678	6,086,780	158,513,527	9,969,944	13,465,355	2,495,348,568	6,993,046	800,682
1947年 2月末	70,688	6,074,706	151,638,127	9,088,177	12,305,333	2,308,571,233	6,981,306	806,246
4月末	61,612	7,969,784	192,463,200	5,105,488	7,397,589	1,400,874,397	6,980,404	812,309
6月末	47,644	10,158,496	251,437,800	3,500,006	5,361,133	1,006,215,930	6,986,213	816,088
8月末	49,807	14,269,005	338,582,700	3,593,384	6,126,319	1,134,810,000	6,988,804	838,514
10月末	53,151	20,183,457	438,767,896	3,468,479	6,468,203	1,250,959,000	6,991,270	839,024
12月末	58,466	27,382,861	623,478,596	-	-	-	6,995,554	823,216

끝으로 郵便貯金은 下記表와같이 口座數及金額의增加에 顯著한것이 있어 그前途가 有望視된다

	口 座 數	金 額
1937年末	4,247,123	68,303,285
1947年末	6,995,554	813,216,088

그러나 總括하여 如斯한 零細國民貯蓄이 8億圓에 머무른 事態는 (全發行高의 3%未滿) 故으로 此方面特히 生命保險 業의 振興이 渴望되고있는바이다

### 5. 解放後에實施한金融對策

一般의으로解放後의金融對策은 軍政費其他財政支出과 食糧收買資金을中心으로 推移하였다 換言하면 對策의인 産業 復興資金에對해보다도 時急한民生과 治安上의必要資金에對해

重視하였으며 朝鮮銀行發行高의特徵은 財政支出과食糧收買 資金의 伸縮을反映하고있었다하여도 過言이아닐것이다 故에 解放後에實施된 金融對策의 主要한것을記錄하면 다음과 같다

#### (1) 金利의改定

解放以後의 物價高와 經費의膨大 舊債固定 産業不振으로 因한 銀行經營難을 打開하기爲하여 1946年6月1日부리 預金 利率의引下를斷行하였다

解放前의金利比較表와 舊債固定額을表示하면 다음과 같다 (이에日本政府及公私企業體의債券 株券의金融機關保有 額91億圓이加算되어야할것은勿論이다)

(第33表) 金利水準(其一)預金利息 (1947.12月現在)

	解放前	現在
定期預金	3.4-3.5%	3.2%
當座 //	日歩1厘(年0.3%)	0%
特當 //	// 6厘(年2.2%)	5厘(1.8%)
通知 //	// 7厘(年2.5%)	6厘(2.2%)
其他 //	// 7厘(年2.5%)	6厘(2.2%)
朝鮮銀行의 同業者에 對한 特別附利		2.5%

金利水準(其二)貸付金利

50萬圓以下	日歩 3錢-4錢	(年11%-14%)
50萬圓以上	// 2錢-3錢	(年7.3%-11%)
政府保證貸付	// 1錢5厘	(年5.5%)
撥收集資金又是 一部生産工場에 對한 貸		
同業者에 對한 朝鮮	日步 1錢1厘	(年4%)
銀行의 當座貸付		
1945.8.15-1945.9.30의 預金		(年1%)
雷取에 對한 非常金融資金		
一般市中金利	日步 15錢-30錢	(年55%-100%)

(第34表) 日系企業體에 對한 利子收入

以는 固定貸付金殘高 (1947.3末現在)

	千圓
朝鮮銀行	872,670
殖産銀行	1,000,000
朝鮮銀行	174,569
商業銀行	274,324
貯蓄銀行	5,953
相互銀行	8,477
新韓公社 (土地行政處)	207,442
合 計	2,543,435

註 此表에 依하여 1947年12月末現在로 未收利子를 計算하면 4位4千萬圓에 達함 (1945.8.15以後368日 日歩2錢計算)

(2) 銀行의 店舖整理

過去 日本統治下에서 朝鮮人經營銀行의 整理統合은 어느 程度效果를 볼 수 있었다 할지라도 一方 그統合은 支店의 亂立重複을 招來하였고 解放後 無盡, 信託, 貯蓄銀行의 普銀業務開始로 因하여 朝鮮經濟의 實力에 符合하지 않을만치 支店銀行數가 過多하였으므로 銀行經營의 基本的 合理化工作의 第一步로서 1947年7月1日附로 約25%의 店舖整理를 斷行하였다 此를 銀行別 道別로 表示하면 第9表에 揭示한 바와 하하다

(3) 同業者預金에 對한 特別附利

元來市中銀行의 中央銀行에 對한 預金은 預金支拂準備金인 것이 原則이다 故로 理論上 無利子 또는 低利로 足한 것이나 有價證券投資의 中斷及 産業不振으로 因한 市銀의 投資閉塞과 더불어 招來한 經營難을 援助하고 一面 浮動資金吸收의 見地에서 市銀의 預金獲得 意欲의 刺戟을 期待하여 1946年5月18日부 터 金融機關의 朝鮮銀行에 對한 預金利率을 年2分5厘(從來는 日平均4厘)의 特別附利를 實施하고 있었다 1947年12月末現在 金融機關預置金殘高를 銀行別로 表示하면 다음과 같다

(第35表) 市中銀行及金融組合聯合會의

預置金殘高 (1947.12.31)

	千圓	千圓
殖産銀行	139,730	相互銀行 228,106
商業銀行	180,174	換金銀行 218,000

朝鮮銀行	931,335	金融組合會	2,156,489
貯蓄銀行	78,008	合 計	4,299,959
信託銀行	318,117		

(4) 朝鮮換金銀行의 貿易金融統制

換金銀行設立의 意義는 貿易金融의 圓滑化에 있다 그리하여 一타-貿易制下의 貿易資金의 無節制及 逃避을 防止하기爲한 輸入代金의 統制는 1947年8月부 터 輸入品販賣代金의 凍結로 開始作되어 11月末現在 2千萬圓의 資金을 保管하게 되었다

(5) 自由與信限度擴張

解放後銀行의 自由與信限度는 10萬圓이었다 (1947年1月實施) 그러나 其後物價上昇에 隨伴되는 産業資金, 商業資金의 需要單位增加에 따라 1947年8月26日을 期하여 自由與信限度는 50萬圓으로 擴張되어 中小企業의 資金難을 多少緩和하게 되었다 한편 國內生産整理와 預置金에 覺醒한 業者의 資金節制傾向이 依然 貸付選擇主義의 基底가 되고 있다 此를 解放後 1947年10月까지의 金融機關貸出內容에서 見으면 第36表과 같다

(第36表) 用途別貸出增加推定表

(1945.9.30-1947.10.30)

公 共	14億	鐵 業	3億
水 產 業	8 //	農 業	15 //
特 產 物	15 //	工 業	15 //
商 業	20 //	貿 易	5 //
土 建	4 //	石 炭	2 //
其 他	7 //	合 計	108 //

(6) 米穀收買資金의 普銀에 의分與의 再割引 制의 復活

米穀資金은 朝鮮의 通貨膨脹과 密接한 關係가 있어 通貨循環의 迅速化와 事務의 一元化를 圖謀코자 從來에는 朝鮮銀行이 單獨으로 取扱하여 왔던 것이다 그러나 普銀의 遊資滯留와 投資對象의 缺少로 因한 經營難을 打開하기爲하여 1941年度의 夏秋麥資金부터 普銀에 分與하기로 되었다 그러나 普銀은 短期性預金의 全部를 米穀資金에 代用할 수 없었음과 한편 1947年度 秋穀資金 120億餘圓의 尅大한 額을 支辨할 餘力이 없었으므로 1947年度 秋穀資金 釀出은 朝鮮銀行의 再割引制의 復活을 不可避하게 하였다 1947年末現在의 朝鮮銀行再割引制의 額은 102億圓으로 秋穀資金 放出額의 9割餘를 占하고 있다

(7) 貯蓄運動展開

貯蓄運動은 南朝鮮金融態勢가 Inflation 의 第一段階에 入은 것을 認識케 된 1946年初부터 1947年末에 걸쳐 前後五次를 거 들하였다 그러나 今次 1947年度末의 第5次國民貯蓄運動이 이미 7億餘圓의 成果를 얻은 然後에도 (目標額 60億圓의 128%) 貯蓄增加率을 凌駕하는 通貨膨脹이 豫想되는 限 過去의 一毛貯蓄運動과 같이 今次의 貯蓄運動의 效果도 한 限의 氣勢에 不過한 것이나

6. 結言—南朝鮮金融界의 當面課題

以上南朝鮮金融界의 趨勢와 이에 對處해는 諸施策의 歸結로서 우리는 아래와 같은 當面課題를 提案한다

(1) 金融機關의 機能別分野確定

解放後의 諸銀行이 資金調達關係로 一連의 預金銀行의 機能에 歸一하게 된 結果 資金統制는 混亂하고 銀行別의 特殊機能은 自然解消되었다 이 實情을 鑑み, 金融統制를 企圖한다면 各銀

行은 적어도 解放前과 같은 法定機能分野안으로라도 復歸하여야 할 것이다

(2) 證券市場再開

證券市場再開의 第一目的은 遊資及短期性預金의 長期投資化에 있다 그러나 赤字財政及農産物買收資金의 變性的膨脹이 格別히 憂慮되는 이때 政府證券發行 農産物證券의 創案이 社債證券及株式의 公開(特히 歸屬會社)에 못지 않게 重要하다 如何한 遊資吸收及資金供給의 基本機構인 證券市場의 再開는 可考할 課題이다

(3) 對日賠償獲得

大體의 順序로 對日賠償獲得은 (1) 掠奪 虐待에 依한被害 (2) 交換價値不均等에 依한不法來의 實損 (3) 通貨 有價證券 金銀債券의 補償等 三範疇로 分類되는바 이지만 當面 金融義務의 是正을 위하여는 于先 以下 3條目의 補償이 急務일 것이다

a. 地金銀 1909年日帝侵犯以來 日本으로 搬出된 地金銀 249萬(公式記錄에 依한 것만)의 直時返還을 要한다 此地金銀의 返還은 將次로 我國의 國際通貨基金及 國際復興銀行 等에의 加入을 促進시킬 것이다

b. 換算(爲替尻) 朝鮮銀行東京支店計定으로 集中되어 있는 朝鮮의 對日爲替計定借方總殘額은 現在 列明된 것이 約62億圓餘에 達하는데 이와 같은 第一義의 對日債權은 時急히 清算되어야 할 것이다 (前記地金銀買包含)

日本公社債 現在까지 列明된 朝鮮의 金融機關及 民間의 日本公社債保有額은 105億圓餘에 達한다 此中 金融機關의 保有額은 91億圓이니 前記 金融機關이 信用創造에 物的 保障을 賦與하는 意圖에서 此日本公社債의 補償은 急速히 推進시켜야 할 것이다

(4) 預金支拂準備率의 制定

解放前 朝鮮에 있어서의 銀行會에는 普銀의 預金支拂準備率을 10%로 한다는 規定이 있었으나 事實上은 有名無實하였다 이는 첫째로 解放前의 朝鮮財政이 日本政府豫算의 特別會計(歲入公債와 歲出公債整理金의 相殺)로써 過度한 赤字支出——따라서 金融擾亂——에 대한 危懼가 없었기 때문에 關係와 둘째로는 日本의 金融機關全體가 預金支拂準備率을 全部 特定銀行에 預置하지 않고 時在으로써 그一部或은 大部分을 保有하게 된 商慣習을 본받음에 依한 것이라 그러나 解放後 朝鮮의 金融體制가 完全히 日本의 規範에서 벗어나고 만 큼 비록 各金融機關이 撥充의 過多로(前掲 第8表와 如히 年平均 30%前後의 預金支拂準備率을 事實上 保有하고 있었으나 每年度 下半年(7~12月)에 있어서 季節資金 財政支出過多及 物價高에 因한 預金引出增加等에 影響되어 各銀行 平均支拂準備率이 20%로 急落하는 振幅의 不安定性으로부터 預金支拂準備率의 法定問題가 當然히 考慮되어야 할 것은 要請하는 바이다 實로 此預金支拂準備率의 法定은 앞으로 반드시 待望의 金融安定期에 있어서도 恒時 金融機關의 資金節制의 바로에 하나가 될 것이다

(5) 其他重要問題

其他의 課題로서는 資金用途別統制規則 此에 先行한 國家資金計劃의 前提要件으로써의 資金調査規則의 制定과 融資順位의 決定 또는 長期生産資金源으로서의 破産金融債券의 發行 爲替率의 策定과 貿易金融의 正常化 가장 根本的 問題로는 新貨幣法의 制定과 同時에 通貨의 轉換等이 展開되나 此等 施策의 實現은 獨立政府 樹立後 後期 待된다

(第37表)

各 銀 行 平 均 利 廻 (1947年3月末現在)

	預 金				貸 出				荷 替 手 形
	定期	當 座	特 當	雜預金	證券貸	手形貸	當 座 貸	割 引 手 形	
	年利 厘	日步 厘	日步 厘	日步 厘	日步 厘	日步 厘	日步 厘	日步 厘	
朝鮮 銀行	26.6	0	5.3	6.8	—	8.8	14.4	13.5	10.8
殖産 銀行	29.2	0	4.8	—	11.3	15.9	14.2	22.1	12.2
商業 銀行	27.0	0	3.0	0.6	13.0	17.0	15.0	7.0	—
相互 銀行	54.0	0	5.0	9.0	42.0	37.0	32.0	58.0	—
貯蓄 銀行	31.6	0	11.6	24.9	99.4	101.7	100.9	141.1	—

(第38表)

金融機關의 事業設備資金貸付額 (1939年)

	資金額	百分比	交 通 業		163,766	15.2
	千圓		商 業		8,533	0.7
鐵 業	168,593	15.6	雜 業		13,643	1.3
工 業	677,960	62.7	其他事業及施設		37,071	3.4
農 業	8,735	0.8	合 計		1,081,552	100.0
水 産 業	3,251	0.3				

# 解放後朝鮮銀行券의 發行趨勢

1945. 8. 15—1947. 12. 31

## 1 概 觀

解放前의 朝鮮銀行券의 發行狀況은 日本經濟景況에 直結하여 上昇을 示하였던 關係로 發行趨勢는 第一次世界大戰 후 復讐되야 一大 飛躍이 있었고 其後滿洲及 中國本土에 進出하자 그 地幣은 漸次 確立되어 갔었다. 그러나 中日戰爭以後 解放에 이르기까지 約十年間은 莫大한 事實의 支出等으로 「인부 레이슨」이 擡頭되고 此로 發行基礎에 根本的인 動搖를 齎來하여 이것이 今日常의 慣性 「인부 레이슨」 深化의 底流은 醜成한 것이다.

今次大戰末期에 있어서 戰局의 敗勢에 比例하는 銀行券의 可速度的 進出에 因하여 從來에는 年中季節의 需要에 應하여 每年六七月頃을 底點으로 하는 三角形式의 發行의 收線을 보인 것이 1945年 봄부터는 그 痕跡을 完全히 消去하고 이러한 定型에서 完全히 脫離한 上昇不止의 發行線을 示現하였는 故로 解放後는 一層 急激化하였다. 卽ち 解放時 4,975,148千圓이던 發行高는 1945年末에는 8,763,340千圓 1946年 6月末에는 9,422,299千圓 1946年末에는 17,710,623千圓 1947年 6月末에는 18,035,600千圓 1947年末에 이르러서는 勿論 33,388,164千圓 이르는 等比級數의 數字를 나타냈으며 月間實로 10億圓의 發行超過가 概數된 事實이다.

「인부 레이슨」의 進展過程에 있어서 通貨面만으로 본다면 貨幣流通量의 過大가 新貨幣의 追加增發을 刺戟하는 再發할 必要가 없는 故로 今日常의 發行狀態에서 이것이 能히 窺視되는 바이며 特別히 解放後의 日人의 放棄의 通貨發은 增發趨勢에 致命的인 關係를 加하였던 것이다.

이와 解放後 今日에 이르기까지 實로 28,413,016千圓이 增發되었는데 그 原因을 分析하면 如下하다.

### 解放以後 通貨膨脹의 原因

1945年 8月 15日 } 1947年 12月 31日 }	現在 發行高	4,975,148千圓 } 33,388,164千圓 }	是 次 解 放 後 膨 脹 量 : 28,413,016千圓	
1) 戰後 日 政 府 清算 資金 2) 非常 時 貸 出 金 3) 歸還 同胞 等 에 對 한 日 政 券 交 換 金 4) — 5) — 6) 穀物 收 集 에 對 한 政 府 補 償 費 3,000,000	1,392,721 1,072,000 874,471 — — 3,000,000	千圓 % 4.90 3.77 3.08 — — 0.56	7) 季節 的 穀物 收 集 資 金 8) 一般 貸 付 增 9) 預 金 增 10) 其 他 發 行 總 計	千圓 % 11,103,581 39.08 531,487 1.87 (-) 3,173,590 (-) 11.17 187,064 0.66 28,413,016 100

上述에 示現된 바와 같이 朝鮮銀行券의 發行高가 激增된 것은 解放時의 諸條件이 素因이 기는 하나 其後의 財政支出와 季節資金放出이 보다 큰 原因을 招來한 것이다. 그러므로 解放後 朝鮮銀行券이 正常의 發行趨勢를 逸脫한 原因은 (一) 軍政費面 (二) 季節資金及 非常時貸出金을 包含한 貸付面 (三) 發行超過抑制의 杆槓인 預金面의 三者의 尙長狀況을 綜合檢討하므로서 其間에 實態를 把握할 수 있을 것이다.

### (1) 財 政 面

赤字財政의 補填을 銀行券의 進出에 依하여 至極히 危險한 것 임은 贅言을 不要할 바이나 現下 不可避한 實情으로 말미암아 解放後 駐屯軍費를 包含한 過渡財政을 朝鮮銀行券의 進出으로 彌補하고 있는 關係로 今日의 發行超過는 季節資金放出을 除外하고는 大部分이 赤字財政補填에 因한 것이다 (詳論省略).

### (2) 貸 出 面

解放以後 軍政費의 다음으로 發行超過의 重要素가 되어 있는 貸出金은 從來와 같이 預金과의 均衡을 維持하고 있으며 그 原因은 解放後 日政府에 依하여 貸出된 所謂 非常時貸出金과 戰後 各種 清算資金과 其後 繼續되고 있는 季節資金放出에 있는 것이다.

非常時貸出金과 戰後 清算資金은 突發의 이나 固定된 것이었고 現下 放出되고 있는 季節資金의 額은 그 故로 「인부 레이슨」의 激化에 關成하였던 一方 高物價의 招來와 此로 生產의 不振, 政情 混亂, 民心 不安定等의 諸要因의 影響으로 因하여 放出된 資金의 還元을 보지 못하고 있는 實情이다.



即朝鮮銀行貸出金中에서特殊性을 가진 非常時貸出金과戰後清算資金及季節資金을總貸出金에서差減한一般貸出金의月中增減을解放以後1947年末까지 29個月之間에壹億圓臺의增減이29個月 2億圓臺가 7個月2億圓以上은僅々 2個月로서 一般貸出金은解放以後波動이있었음뿐이있 故로朝鮮銀行貸出金은解放直後에있어서는非常時貸出金에左右되었고 其後에있어서는完全히季節資金에依하여增減되고 있었다. 이와같은一般貸出金의萎縮은生産活動의低減과一般經濟界의沈滯을證明하는것으로 我國産業再建에對한金融面의再檢討가切實히要請되고 있는터이다

### (3) 預 金 面

平常經濟景況下에있어서는貸出金과預金이大略均衡을維持하되 朝鮮銀行의貸出은預金額은若干超過함이常例이었다. 그런데現下의狀態는上述한바와같은 非常時貸出金과季節資金等特殊關係를解除한解放以後1947年末까지의一般貸出金增加額은5億에不過한데預金增加額은勿論32億圓에達하고 있다. 이것은金融機關의遊資20餘億圓이朝鮮銀行에預置된關係이며 一種變態의金融緩漫狀態로理解된다. 一般産業金融界에서資金潤渴이云謂되었던一面 이같은金融緩漫現象이伏在하고있었음은 朝鮮經濟의矛盾相의露呈의하나인가하는바이다.

大略以上要因의時間的間隔과原因의錯雜及消長狀況에따라 解放後의朝鮮銀行券發行推移는概略如下한段階의進展을하였다고보겠다.

## 2. 詳 論

### 第一 期 (1945. 8. 15~12. 31)

日政下朝鮮의各金融機關이保有하고있던 日本公社債株券等の總額은 105 億圓에達하는데 이巨額은朝鮮에서造成된資本으로서 完全히日本에收奪利用된것이다. 그뿐만아니라 此外에日本에撤出된物資와朝鮮內에서 使用된日軍費로서于清算받지못한朝鮮의對日要請求換骨(爲替尻)62億圓을 8.15 現在發行高 49 億圓과對照하여보면 이換骨(尻)이야말로 發行高를操縱하였었다는것을알수있다. 이既成된對日換骨을清算하기는姑捨하고 8.9.10 三個月間에退去日人의預金雷取 22 億圓及日帝清算資金 14 億圓等이不當하게도累加濫發되었던것이다. 이것은契機로朝鮮經濟界는本格的인『인후 레이션』에突入하게되었으니 即解放月인 8 月末發行高는 7,987 百萬圓인데 8 月14 日 4,839 百萬圓에비하면 約30億圓이란急激한發行超過를示現하였던것이다. 이는對日本清算資金 日人預金雷取等으로放출된 3,336 百萬圓에起因된것은前述한바와같다. 한便當月에預金이395百萬圓이增加하여奇異한現象을나타내었는데 이는解放當時前總督府의勳獎으로서退去日人이帝國, 安田, 三和等支店銀行을通하여對日送金이한동輻輳하였던關係로 이것이當行에集中되었음에起因한다. 9 월에들어서는美軍進駐로政界를爲始하여各界各層이緊張되는한便收退日軍物資를爲主로日人物資가市場에氾濫하여 經濟界를刺戟하였으며 또한 預金雷取는地方으로波及게되었으므로一般預金이 272,720千圓減少되었고 前月에繼續하여放출되는非常時貸出金 4 億圓餘가있어서發行超過692百萬圓의主因이되었었다. 10 월에들어서는 數年來의豐作으로新穀이順調하게出廻되었으며 解放直後의政策未定으로 自由賣買가實施된關係로賸餘狀況이混亂한中에도 景氣는좋은便이었는데 進駐軍費와歸還同胞에對한日銀券交換關係及非常時 貸出金等이主因이되어 117,659千圓의發行超過를보이었는데反面經濟界는一時的安定을反映하여 134,408千圓의預金餘이있었다. 11 月은各方面이 大解放의興奮이鎮靜되었고 戰時中備蓄品이量으로는적어졌으나 出市가持續되어物價의變動은益々하였고 10 月까지繼續되던應急貸出이一巡하고 軍政에對한一種의期待感과時局의一見安定을은關係로 非常時貸出金은2億圓이回收되어總貸出金은292 百萬圓이減縮되었고預金도若干增加하였음으로 解放後 처음으로今月에는 172百萬圓이回收超過되었다. 12 月에는生産이 全無한데解放直後市井에氾濫하였던 既成消費財貨로補充不足으로漸減됨에따라 物價는必然의으로 오르기始作하여暗去來傾向으로轉移하였으며 한便公定價格小斗—斗38圓이라는 米價의決定이이자米數의隱匿賣惜을戒하는傾向이派生되어 高騰하기始作한物價를刺戟하게되었다. 同月中에預金이 31,069千圓增加하였는데 이는 解放後의混沌과敎產의歸趨가浮動되고있는關係로 投資對象이別無한狀이있었으며 貸付金은 133,196 千圓이減少되었는데 이는非常時貸出金의回收가主因이다. 그러나日銀券交換과軍政貸上金 000,000千圓의放출에따라 發行超過는 137,472千圓에達하여 年末發行高는 8,563百萬圓에達하였으거 莫府三相決定의發表, 物價는雖然한越年되었다.

(1946. 1. 1~5. 31)

1945年末三相會談에서決定된統治問題로國內—大混亂에빠졌으며 前年9月頃市市場에氾濫하던日軍需物資는市井出廻가稀薄하여짐에따라 隱匿賣惜, 買占傾向이濃厚하여지고 米公價實施로因한出廻減少 暗去來의盛行等의惡條件이接續되어 物價는日去益高騰하기始作하였다. 本期間中の貸出面은非常時貸出金이繼續回收되는關係

로 減縮의 一 路를 밟았고 預金面에 있어서도 浮動資金의 吸收增加와 投資對象의 狹少로 因하여 預金增加라는 自然的 傾向을 現出하였다. 그러나 軍政費가 本格的으로 支出되 始作하였으므로 2月中에 若干回 收縮을 보인 外에는 微弱하나마 一 路發行 超過를 持續하여 5月末 現在發行高는 9,220,952千 圓을 示現하였다.

第 二 期 (1946. 6. 1~12. 31)

解放後의 朝鮮銀行券의 特徵은 日本財政經濟의 影響을 完全히 버서나서 名實相符한 唯一한 法貨로써 我國金融經濟의 絕對的 作用을 維持 強化하고 있는 點이 . 다만 赤字財政이 朝鮮銀行券 造出로 充實되고 있어서, 이와 같이 軍政財政과 直接 關聯된 朝鮮銀行券은 敏銳하게 財政情勢를 直接反映하고 있다는 點은 注目을 要할 點이다.

軍政監貸上金은 本格化한 感이 있어 1946年 上半年에 있어서 是 每月平均(×) 億圓을 增加하여 갔었는데 그 後의 放出이 宿命的으로 急激化하여 月均(×) 億圓을 上下하였을 뿐 아니라 當年度 부리는 各種 農産物의 供出이 復活되어 不裕한 資金을 放出하게 되고 또한 物資 缺乏等에 따르는 諸般 惡條件의 重疊은, 發行高로 하여금 一 路 巨額의 膨脹을 招來하여 實로 悲觀的인 實情에 陷入시킨 것이다. 即 6月까지는 本來의 閉歇期로 緩慢한 發行 傾向이 있었으나 7월에 들어서자 大洪水와 惡疫流行等으로 因하여 交通 杜絶, 旅行 制限에 까지 이르러, 物資 輸送이 圓滑치 못함에도 米穀 搬入 禁止 措置까지 發令되어 物價는 上昇하는 傾向이 있었고 따라서 發行의 趨勢도 上昇 傾向에 導入되었는데 初旬부터 夏穀 收集이 始作되어 同資金으로 月中 477百萬圓(當行分 364百萬圓)이 捻出되었고 一方 解放以來 沈滯을 繼續하던 一般 貸付面에 있어서 是 日 始 처음으로 工業 施設을 爲 始한 新 規 融資가 있어 約 408百萬圓의 貸出이 增加하였으므로 發行高는 急激히 昨 27日에는 百億圓을 突破하였다. 繼續하여 8月에도 夏穀 資金으로, 月中 451百萬圓(當行分 94百萬圓)이 放出되고, 軍政監貸上金도 ××百萬圓에 達하여 發行 超過 629百萬圓을 加 越은 것이다. 9月下旬에 勃發한 罷業 騷擾는 南朝鮮 一帶에 波及되어 10月 2日에는 大邱 地方 暴動 事件에 까지 進展되었으며 經濟界의 混亂은 一時收拾하기 困難한 地境에 까지 이르러, 民心의 不安은 甚하여 若干의 預金 減少가 있었다. 11월부터 發行高는 非常한 速度로 增加하여 갔는데, 이것은 月初부터 始作된 米穀 收集의 進捗에 따라 同資金으로 2,185百萬圓이 放出된 것과, 煙草, 人蔘, 鹽等 專賣 資金 所要額이 많았음도 關係이다. 이 리하여 發行高는 月末 現在 14,880百萬圓에 達하여 惡性인 浮腫에 이은 樣相을 本格的으로 露出되었다. 12月에는 前月에 繼續하여 米穀, 月中 961百萬圓의 放出과 軍政監貸上金으로 月中 ××百萬圓이 所要되었는데, 兼하여 月初에 鐵道 電車 運賃의 倍額 引上은 通貨 膨脹과 더불어, 物價 騰貴에 拍車를 加하였다. 이 리하여 特히 11.12. 兩月間에 勿論 5,513百萬圓의 增加를 보였고 6個月間 8,288百萬圓의 發行 超過를 보여 年末 發行高는 17,710百萬圓에 이르렀던 것이다.

第 三 期 (1947. 1. 1~4. 30)

以上所述한 바와 같이 解放滿一週年을 맞이한 1946年 8月以後에 있어서는 軍政의 機能이 本格化하게 되어 이에 따르는 貸上金의 放出이 活潑해졌으며 穀類의 供出이 再開된 데다 其 收集 資金은 從來 日 政하의 糧穀 證券 制度와 달나 全部가 現金으로 收買된 關係로 發行高는 一 大 膨脹을 보게 되었는데 1月로써 米穀 收集이 壓勵되어 從前의 例와 같이 放出 資金의 還流가 始作하였으며 한 俚 昨年初부터 微弱하나마 增勢의 一 路를 밟고 있던 預金이 當年에 들어서면서 高率의 上昇으로 伸展하기 始作하여 膨脹하는 發行高를 相當히 抑制하는 책도 음이 되었다. 이와 같이 預金이 增大한 原因은 發行高의 上騰으로 因한 民間 保有量의 自然的 增大도 一 因이나 그보다도 前年末 頃以來 市銀의 預金 超過로 因한 遊資가 朝鮮銀行에 集中되고 있었음도 一 因이다. 即 赤字財政 補填으로 朝鮮銀行에서 支出되고 있는 貸上金이 國庫 預金의 形式으로 市銀에 預入된다는 矛盾 措置가 實施되고 있는 反面 米穀 資金等 季節 資金을 朝鮮銀行에서 單獨 融資함에 因한 市銀의 融資 對象의 梗塞으로 말미암아 나타난 現象이라고 보겠다. 이러한 市銀側의 撰制의 遊資 增大는 自然 無節制한 貸出을 誘導하게 된 念遣가 多分 있었음으로 1月 19日 이 弊端은 正하고서 暴利 取締과 隱匿 物資 團來에 關한 當局의 措置가 施行되었다. 따라서 市銀側의 遊資는 漸次 慢性的인 假條를 表現케 되어 이것이 朝鮮銀行의 預金面에 反映한 것이다. 이 리하여 朝鮮銀行의 各種 預金은 夏穀 資金 放出 期를 앞둔 5月까지 果 增加하여 5月末에 43億餘圓(其中 同業者 預金 27億餘圓)에 達하였던 것이다. 貸出面에 있어서는 1946年 11月부터 始作된 米穀 資金이 1月을 最高 頂으로 43億餘圓에 達한 點으로 朝鮮銀行 貸出 殘高는 1月末 72億餘圓에 達하였는데 其 後 放出 資金의 回收가 順調로 進捗되어 漸次로 一 路 下降하여 前 殘한 預金 增勢와 아울러 每月 累積되는 貸上金을 凌駕하고 2.3月에는 回收 超過를 보였던 것이다. 이제 다시 月別 推移를 살펴 보면 아래와 같다. 1月中에는 赤字財政 補填과 인 부에 이은 阻止의 一 策으로 實施된 鐵道 運賃과 煙草 代金의 引上은 도리어 物價 高騰을 刺戟하는 通 効果를 나타내며 오히려 貸出 增加를 招來하였고 또한 米穀 資金이 繼續 放出된 關係로 貸付金의 增加 221百萬圓과 貸上金 增加 ××百萬圓이 主因이 되어 前述한 金融 檢束의 預置 資金 筆頭로 한 預金 增 264百萬圓을 凌駕하고 月中 566百萬圓의 發行 超過를 示現하였다. 2月에는 貸上金 ××百萬圓이 있었으나 米穀 收集이 一段 落되었음으로

로放出資金은漸次還流하기始作하여 米穀資金回收122百萬圓을主로하여貸付減 287百萬圓이있었고如前한市銀遊資의朝鮮銀行集中으로인한預金增905百萬圓이主인인되어 으며간만에貸上金을還流하고 588百萬圓의回收超過를보였다. 三月에드러서자鐵道運賃과 煙草代金引上에影響된바도크러니와 官有物資의賣上金増及年度末決算明是當히야 歲入增加等諸原因으로 1,557百萬圓이라는國庫預金의大幅的增加가있었고 本格的回收期에들어선米穀資金의還流로인한貸付減 595百萬圓이있었으며 貸上金純增은××百萬圓에달했으므로 預金增112百萬圓에도不拘하고 490百萬圓의回收超過가보게되었다. 4月에는前年度關係財政支出이 今月로移行되었고 한便軍政廳職員의 俸支等에依히아國庫金은××百萬圓으로大幅增加하였으나 反面에는前月과同一한理由의 預金增555百萬圓, 貸付減207百萬圓이있어서結局發行超過는40百萬圓에달했다.

第 四 期 (1947. 5. 1~8. 31)

上述한金融狀態의變態의現象은當然히是正되어야할것은必然의現象으로서物議가있게되어 期於國庫金의當行集中과當行이市占하고 一 季節資金의市銀分與問題가組上에올랐는데 그實現을爲히야先國庫金集中으로인한市銀集中을對한附屬的方策으로서 7月에市銀店舖의整理를斷行함으로써 經濟의合理化를圖策하고 9月까지에는國庫金集中을完了한것은目標로 諸般準備措置가漸次進行되었다. 이리하여六, 七月부터始作되는春霖과夏霖資金의全面的市銀取扱原則을確立하는同時에 市銀側의資金面을考慮하여 再割引策을講究하였던것이다. 이와같은措置로서 過渡的措置에서生じた所謂擬制資金은一掃를보게되었으며 一面産業建設을爲히야懸案中이던貸付與信限度擴張은 8月26日에서 決定되었고 또한 7月 15日에는 貿易振興을爲한 金融機關으로朝鮮換金銀行의 創立을보게되는等 金融分野의正常화가活潑히進展되었다. 그러나新年度豫算의本格的支出, 春霖夏霖季節資金의放出, 民間貿易再開에依한貿易品買占盛行, 長蘇으로인한生産蒸餾과物資潤滑, 美蘇共委經過無味도인한政局不安定, 高利資金의生産面에侵蝕等의亦態의一層發展은 또다시生産利潤과商業利潤과의乖離激化를招來하였으며 生産資金의商業資金의轉化를促進하여 堆積累增되는貸上金과아울러 「인플레이션」은 階級없이激化하여갔는데 이를反映하여 朝鮮銀行의各金融機關의預置金은 季節資金取扱關係로있어積累引出되어 發行高面을크게削減하였다 여 기서다시月別發行狀況을概觀하면 5月에는如前히繼續되는預金增加가 475百萬圓에達하였으나 財政支出이過大하여 貸上金純增이××百萬圓이었으므로發行超過가 190百萬圓이었다.

6月에는周月부터始作되는夏霖과 春霖等季節資金의市銀分與가實現되며 其資金配置關係로市銀預金の引出이旺盛하여 預金減 487百萬圓이있었고 貸上金이若干를러서發行超過 617百萬圓을形成하였다. 當月에는前年度糧穀收集에對한政府補償金 30億圓이貸上金을通히야支出되었는데 이것은生必需品管理院에對한貸出金과相殺되었으므로發行高面에는影響이없었으나 이로인히야貸出金32億圓이激減되고貸上金은30億圓이帳簿上累加되었다.

7月에는前述한바와같이 國庫金의當行에의集中이漸次實現되며 月中 2,216百萬圓이라는大幅의國庫預金の增加를보였으나 過激的豫算綱成關係로支出이保留되었던 4, 5, 6月 3個月分의歲出入支出이解除되었으므로貸上金이××百萬圓의巨額에達하였고 한便季節資金放出에依한貸出金增加 101百萬圓, 預金減 333百萬圓이있어서結局602百萬圓의發行超過를結果지었다.

8月에는貸上金增加 ×××百萬圓과 主로金融機關의預置金引出에依한預金減 285百萬圓이發行超過 856百萬圓의主因으로되어 있는데 美蘇共委의經過不好로政界는不安하고 加劇되는物價高로商界는夏枯明에 더욱悶敝하였다.

第 五 期 (1947. 9. 1~12 31)

1947年度夏霖은當局의督勵가奏効하여 97%의好成績으로完了되었으며 9月에는小量米搬入이許可되어若干民心의安定을招來하였는데 한便朝鮮問題는美蘇共委로부터UN總會에移行되어一據의曙光을보게되어서 過般來沈鬱하든各界는多少活氣를띄게된데다 這般施行된金融機關與信限度の擴張으로인하여 中小企業體의資金難이多少나아緩和될것을期待하여 市況은若干明朗化하였는데 11月에드러서가停電關係로 겨우命脈은이어가든生産部門은 더욱大打擊을받았으며 한便各種季節資金특히新穀의收集資金은 過去어느때도보지못하던 快速運로短時日內에莫大한金額이奔出되어 發行高는暫時間에急昇하여갔는데 게다가 12月 6日發表된 北朝鮮貨幣改革의報導는南朝鮮의早期貨幣改革의懸望까지加合케하여 換物思想은割裂鼓吹하였으므로 此等諸般惡條件은相互交錯히야 金融市場을攪亂하고物價는奔騰하여 民生은마야호로鹽炭에呻吟하게되었다. 이에對策의一端으로서浮動資金의短期吸收을目標로 年末年初에對한 一大國尺貯蓄運動을展開하여 多大한成果를올리기는하였으나 全面的調節에는이루나距離가있었던것은遺憾之事이며 그만큼現下進行하고있는 「인플레이션」은이리한手術로서는根治되지못할만큼부

리박된것이라고보겠다.

近問의狀況을月別로再觀한것에 例年같은9月이라면夏期閉歇을버서나商界를爲始하여 緊張 時、時期임에도不拘하고依然閉歇을 持續하고있었다、9月中의發行狀況은前述한國庫金の集中은豫定대로 行々進行中에있어 月中國庫預金이××百萬圓이나增加하였는데 反面에政府支出金이××百萬圓에達하여 差額××百萬圓이 國庫關係로増發되었고 今年度夏穀資金93百萬圓、秋穀資金141百萬圓이放出된關係로 貸出增이 151百萬圓이었으므로 預金增10百萬圓의回收에도不拘하고 結局 948百萬圓의發行超過를結果지었다.

10月에는發行超過가 1,358百萬圓으로大幅膨脹하였는데그原因은適期인棉花收集과 上旬頃부터始作된新穀의收集資金이各市銀을通하여配當되고있었는데關係로朝鮮銀行에對한市銀側의預置金이 829百萬圓이나引出되었고 同時에 貸出金도 243萬圓을增加한것과 政府貸上金の純增에起因하였다. 이리하여月末發行高는드디어 200億圓을突破하여 21,803百萬圓을示現하였다.

11月에는前月부터始作된季節資金의放出은今月에들어서과 米穀資金을爲始하여想像外의快速度로서收集이進捗되어가고있어月中貸上目標量의60%를達成한關係로朝鮮銀行의再割引額은 月中8,319百萬圓에達하였으며 尙價貸上金은約××億圓이純增하였으므로 月中9,208百萬圓이라는未曾有의膨脹을보여 月末現在發行高는勿論31,012百萬圓에達하였다.

12月에는 11月中의踏殼景況이 그대로延長되었으니 即米穀資金放出은前月로서大略 한고비만큼감긴感이있으나 그래도繼續하여月中1,823百萬圓이放出되었고 또한今年度初登場인 蠶工品資金과 아직未發한棉花資金도活潑히 움직여 貸出金純增1,928百萬圓을持來하였을뿐만아니라 米穀資金關係로遲々不振하던煙草賠償金의支出이米手配一巡으로 一齊히放出되었으므로 貸上金純增은××百萬圓에達하였다. 이두가지가發行超過의 原因이되어 月中 2,375百萬圓을累增하여 月末發行高 33,388百萬圓이라는最高記錄에達하였으니 이를解放當時1945年8月15日發行高 4,975百萬圓에比하면 實로 28,413,016千圓의増發이요 또日人의退去가 一段落된1945年9月末發行高 8,680,198圓에比하면 實로2年有半之間에勿論約 4 倍로高騰한것이다.

券面別發行高及同比率表

	百圓券		拾圓券		五圓券		壹圓券		小幣券		合 計	
	千圓	%	千圓	%	千圓	%	千圓	%	千圓	%	千圓	%
1945. 8. 14	2,384,350	49.27	2,255,220	46.60	105,545	2.18	94,191	1.95	10,695		4,839,316	100
12	6,196,993	70.72	2,343,462	26.74	123,083	1.40	99,793	1.14	10,695		8,763,341	100
1946. 3	6,567,601	72.33	2,307,125	25.41	109,654	1.21	95,435	1.05	10,695		9,079,825	100
6	6,623,725	70.30	2,601,147	27.61	106,057	1.12	91,360	0.97	10,695		9,422,299	100
9	8,631,735	76.11	2,523,099	22.25	97,86	0.86	89,027	0.78	10,695		11,341,357	100
12	14,697,862	82.99	2,823,553	15.94	101,134	0.57	88,064	0.50	10,695		17,710,623	100
1947. 3	14,732,270	85.66	2,285,589	13.29	93,210	0.54	87,539	0.51	10,695		17,198,620	100
6	15,828,768	87.76	2,031,681	11.26	88,687	0.50	86,454	0.48	10,695		18,035,600	100
9	18,368,673	89.85	1,903,177	9.31	86,597	0.42	86,466	0.42	10,695		20,444,924	100
12	31,057,532	93.02	2,155,944	6.46	87,550	0.26	87,127	0.6	10,695		33,388,164	100

# 解放後季節資金融資의 動態

(1945.8.15~1947 12.31)

## 目 次

- 1 解放後季節資金放出의 意義 (2) 夏穀收集資金
- 2 年度別季節資金放出實數 (3) 棉花收集資金
- 3 季節資金의 種別動向 (4) 藥品收集資金
- (1) 秋穀收集資金 (5) 購彌及蠶種桑苗生産資金
- (6) 人蔘資金其他

### 1 解放後季節資金放出의 意義

朝鮮에 對한 日帝의 一貫植民地政策은

- 1) 金融資本의 獨占
- 2) 農業經濟의 單純化
- 3) 工業의 跛行的 育成
- 4) 民族資本의 發展抑制

等으로 能히 그 實態를 指摘할 수 있으며 더욱이 戰前, 戰中 通商義務經濟 即 重要農產物의 強制收集은 朝鮮 農民의 奴隸的犧牲을 強要하는 抑取政策이였음도 累說을 要치 않으나 解放된 今日에 있어서의 農產物 強制收集은 그 目的과 意義가 戰前과는 全然 異質異類의 것이다. 即前者는 爲他的義務(強制)經濟에서 發動된 것임에 反하여 後者는 民生과 治安을 爲主한 國民經濟의 範疇에 屬한다. 그러나 現今과 같이 政治的, 經濟的 混亂이 激甚한 過渡期에 있어서 生必需品의 計畫收買及 配給制度의 維持가 不可避하다 할지라도 그 實地政策 運轉에 있어서 通貨及 物價面에 派生하는 許多影響과 作用에 對한 對策을 疎忽한다면 도리어 民生에 威脅을 招來할 可能性이 있는 것이다. 即, 巨額收買資金의 集中의 放出에 依한 인플레이션에 對한 調整, 金融市場逼迫에 依한 一般産業資金의 梗塞, 農村購買力消化와 工業品物價의 均衡策, 浮動資金·高利商業資金化問題等이다.

이러한 撒布資金을 中心으로 하는 問題는 解放後 非常한 赤字財政下에서 膨脹一路를 걸고 있는 通貨流通高에

비추어 特別物價의 動向을 中心으로 國內經濟 全面에 波及하는 重大한 要因이 되고 있는 實情임으로 以下에 金融의 立場에서 解放以後의 各季節資金動向과 그 歸趨의 考察을 試하러는 바이다. (別章發行趨勢參照)

### 2. 年度別季節資金放出實數

每年季節資金放出이 通貨發行高에 미치는 影響은 甚大하다. 季節資金의 放出이 없다면 財政의 壓迫으로 因하여 通貨量의 膨脹은 抑制할 수 없으나, 主로 米穀資金의 放出과 同資金의 還流은 朝鮮債券發行高의 上昇과 下落이 가장 큰 原因이 되고 있는 것이다.

最少限의 生必需品 確保와 低物價維持를 主要農產物 計畫收集의 二大目的이라 하고 하면 果然 同收集資金으로의 巨額放出이 그대로 이루어지면 符合하는 냐하면 그렇지 않은 것이다. 大概季節資金이 二個月乃至三個月間에 放出되어 還流에는 滿一年을 要하고 있다. 그것은 即 市場物價의 騰勢를 誘導하고, 다음 收集期에 있어서의 加一層의 通貨量을 流出하고야 말게 된다. 1946年과 1947年과의 季節資金總額을 比較하면 46年의 48億이 47년에는 約 140億으로 增加하였으니, 이 三倍의 增加는 果그런 點에 結果가 있는 것이다.

季節의 金融에는 水産金融이 包含된다. 그러나 여기에서는 主로 農產物收買金融에 限하여만 推論을 考하러는 바이다. 水産金融은 別章「水産」篇에서 論及키로 한다.

(第1表) 年度別季節資金放出實態

	1945年度		1946年度		1947年度	
	限 度	融資總額	限 度	融資總額	限 度	融資總額
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
米 數 (11月~10月)	800,000	100,000	8,000,000	3,915,306	12,000,000	11,662,054
夏 數 (7月~6月)	—	—	1,500,000	650,400	1,238,000	239,644

棉花 (10月~9月)	—	—	36,000	36,000	1,052,000	413,000
蠶工品 (12月~11月)	—	—	124,000	123,838	1,157,500	1,157,500
春 繭 (6月~5月)	—	—	168,248	45,000	383,306	270,000
秋 繭 (10月~5月)	—	—	161,793	30,000	248,589	71,000
蠶種桑苗 (6月~5月)	—	—	—	—	95,201	93,000
人 蔘 (9月~11月)	16,480	16,480	47,950	47,950	70,600	70,600
合 計	816,480	116,480	10,037,991	4,848,494	16,245,196	13,976,798

(第 2 表) 朝 銀 券 發 行 高 趨 勢

(1945年10月~1948年2月) (單位 百萬圓)

1945年10月	8,797	1946年 8月	10,961	1947年 6月	18,035
11月	8,625	9月	11,341	7月	18,637
12月	8,763	10月	12,197	8月	19,496
1946年 1月	8,904	11月	14,880	9月	20,444
2月	8,883	12月	17,710	10月	21,803
3月	9,079	1947年 1月	18,277	11月	31,012
4月	9,196	2月	17,689	12月	33,388
5月	9,220	3月	17,198	1948年 1月	31,621
6月	9,422	4月	17,239	2月	30,899
7月	10,332	5月	17,417		

### 3. 季節資金의 種別動向

#### (1) 秋穀收集資金

當局의 食糧政策은 每年 여러가지 角度로부터 많은 非難을 蒙아왔다. 生産原價에未及하는 計畫收集代價의 決定은 戰時中에 極히 疲弊한 農民에게 繼續해서 物資의 犧牲을 要求하는 것이여서 農民의 怨聲이 높을 뿐만 아니라 이點에서는 農民과 더불어 그利害關係가 깊은 地主層의 不滿도 이에 지지않게 된 것이었다.

따라 食糧配給制度의 全面的 廢止를 主張하는 一部 識者도 出現하며 一面 巨額收集資金放出이 도리터 通貨面에 끼치는 惡影響이크다고 指摘하는 者도 있어 論議는 紛々하지만은 軍政의 計畫收集案推進은 一貫 하야不變하였고 또 資金의 量으로 보나 質으로 보나 季節資金中에도 가장 重要한 地位를 占하고 있으며 國家 經濟의 支配의 要因을 構成하고 있다.

#### 가. 1945年度米資

九月에 進駐한 美軍政當局은 10월에 이르러 金融 團代表者를 財務局에 召集하고 協議한 結果 于先 12月 까지에 必要한 收集資金 4億圓의 食糧營團에 對한 各 銀行 融資割當을 實行케 하여서 融資條件을 決定하고 總 限度도 있어 元利金의 支拂을 保證하였다. 朝銀 殖銀 商銀 朝興의 四行은 各々 35, 40, 10, 10 의 比率로 共同 融資키로 되였으나 其後 諸般物價의 急進의 高騰으로 因하여 同限度는 8億圓으로 引上되였다.

그러나 當時의 混亂한 社會實情과 行政組織은 國情

한 收集發行을 阻害하였기 때문에 드디어 進駐軍은 米穀의 自由販賣와 正租의 農家最低販賣價格을 以當32圓으로 制定하게 되었다. 數年에 걸쳐 統制政策에서 탈린 一般民衆이 大歡迎하였음을 말할 것도 없으나 解放後 食糧政策의 첫 蹉跌은 여기에서 이르렀던 것이다.

投機商人들의 米穀買占 都市人의 浪費 農民들의 賣情 海外에의 密輸出等은 近來에 드문 豐作임은 자랑하든 1945年度 食糧에 있어서도 豐年飢饉을 現出하였으니 倭給生活者 勞働者 小市民層의 食糧困難은 난로 激甚해가서 京鄕의 各新聞은 每日같이 쌀을 달라는 記事를 掲載하여 當局을 刺譏하였고 서울市 輿論에는 數萬의 群衆이 集會하여 示威를 하는 등 切迫한 事態를 現出하였었다.

이같은 試鍊으로서 食糧行政의 至難性을 再認識한 軍政當局은 드디어 1946年 2월에 이르러 米穀의 自由市場을 撤去하고 새로이 1945年 產米穀의 收集令을 公布하게 되었다. 이러한 經緯를 거쳐 1945年 產米穀收集은 美軍行政官들이 陣頭指揮로써 始作되었으나 當時의 世態가 圓滑한 收集運營에 協調管理無하였고 收集目標量 5百餘萬石에 對하여 實地收集量은 겨우 700,000石에 不過하였으니 同年의 計畫收集은 겨우 14%라는 不良한 成績을 올리고 暮을 달게 된 것이다.

同收集에 있어 食糧營團의 總借入 1億圓內外에 對하여 朝鮮銀行의 直接融資額이 72,000千圓 其外 殖銀等 他行이 朝鮮銀行으로부터의 1,000餘萬圓 再割과 自己資金動員으로 殘餘額을 調達하였다.

(第3表) 1945年米穀資金限度割當表

(單位千圓)

		本店	京	畿	江	原	忠	南	忠	北	全	南	全	北	慶	南	慶	北	合 計
朝	銀	16,000	23,600	—	40,000	—	50,000	76,000	38,000	36,400	280,000								
殖	銀	16,000	12,200	28,000	50,000	24,000	64,000	72,000	47,000	46,800	360,000								
商	銀	14,000	7,600	—	—	12,000	—	22,000	14,000	10,400	80,000								
朝	興	14,000	12,600	—	14,000	—	14,000	10,000	5,000	10,400	80,000								
合	計	60,000	56,000	28,000	104,000	36,000	128,000	180,000	104,000	104,000	800,000								

(第4表) 1945年度米穀收集實績表

		割當量 石	收集量	百分比 %
京	畿	769,000	59,305	7.71
忠	北	234,000	15,626	6.67
忠	南	960,000	160,077	16.67
全	北	1,144,000	198,026	17.31
全	南	651,000	109,616	16.84
慶	北	779,000	61,452	7.89
慶	南	861,000	47,856	5.56
江	原	113,000	42,181	37.33
合	計	5,511,000	694,139	12.60

나. 1946年度米穀

前年度の 非常한苦楚를 基礎로 1946年度米穀收集 施行에 앞서 當局에서는 中央食糧規則第三號를 發布하였다. 이規則은 收集에 關한 一-一節次를 規定함과 同時에 通貨面에 對한 影響을 深遠考慮하여 通貨의 急激한膨脹을 防止코지 地主小作料代金支拂에 있어 封鎖預金制度를 設定한것이다.

總收集目標量 4,295,500 石中 朝鮮人地主小作料가 約 2,450,000 石 現新韓公社管理下의 前日人小作料가 850,000石이고 남어지 約 1,200,000 石이 自作, 小作農의 生産者의 得米供出量이니 그大部分을 占하는 地主小作料所得金의 現金支拂을 制限함으로써 通貨의 急激한膨脹을 防止하코한것이었다. 即 朝鮮人地主는 每人高 2萬圓以上을 現金으로써 受지 못하고 一定限選率에 依하여 金源組合封鎖預金勸定에 預置케 하고 一定한 生活費及 納稅資金其他 承認項目에 限하여 逐次로 代金支拂을 간수 있을것 規定하였다. 一方 新韓公社其他 政府代行機關은 政府當局의 承認없이 代金을 受納지 못하게 하였다.

그러나 地에 있어서 同年度 總所要資金 80億圓中 資金放出額이 約其半額 40億圓內에서 停止할수 있었다는것은 收集이 延期에 耳하였기때문에 그資金의 廻轉使用이 可能하였다는것이 主因이며 同規則이 理學的의이며 嚴行되었기때문은 不是 아니었다. 即

以上相當히 技術的으로 巧妙하게 解決된 食糧規則(其中 代金支拂法)은 總체로 最初 百圓한바와 같이 履行되지 않았을뿐 아니라 모리어 收集에 支障을 招來하고 地主米의 生産者米穀으로써의 虛偽報告 그審査의 不徹底等 諸般不純한條件까지 發生하며 甚至於는 目標量達成을 爲하여 警察力의 發動까지 要求되었던것이다.

그리하여 同年度米穀은 四月까지 截止서 目標量의 82.8%인 3,557,000 石의 收集을 보게 되었다.

同年度에 必要한 總收集資金 80億圓은 當局指令에 依하여 發券發行인 朝銀이 單獨融資키로 하였으나 (但 朝銀支店이 所在지 不是는 道에 있어서의 資金供給上 支障의 發生을 憂慮 아울리 撤布資金의 效率의 回收을 併考하여 江原 忠北 濟州三道의 4億 4千萬圓 限度를 朝銀이 取扱하였다) 그러나 前述한바와 같이 實際貸出額은 同限度의 半額40億程度內에서 調達되었던것이며 同米穀資金은 1947年 6月에 부터가 30億圓의 國庫補助金으로 同年度 夏穀資金과 함께 完濟되었다.

(第5表) 1946年米穀資金限度表

		限度額	取扱銀行
京	畿	1,120,000千圓	朝 銀
忠	北	260,000	殖 銀
忠	南	680,000	朝 銀
全	北	1,160,000	〃
全	南	1,090,000	〃
慶	北	1,040,000	〃
慶	南	870,000	〃
江	原	110,000	殖 銀
濟	州	70,000	〃
本部(營團)		1,600,000	朝 銀
合 計		8,000,000	

(第6表) 1946年米穀收集實績

		割當量 石	收集量	百分比 %
京	畿	735,000	708,061	96.3
忠	北	160,000	160,562	100.4

忠 南	470,000	436,894	93.0	慶 南	600,000	530,760	88.5
全 北	793,000	479,474	60.1	江 原	60,000	101,043	168.4
全 南	750,000	652,823	87.0	濟 州	2,500	1,207	48.3
慶 北	770,000	486,903	67.6	合 計	4,295,500	3,557,727	82.8

(第7表)

1946年米穀資金月別貸出高

(單位 千圓)

	限 度	46/1	46/12	47/1	47/2	47/3	47/4	47/5
京 畿	1,120,000	94,213	192,548	150,645	50,313	110,078	7,743	—
忠 北	260,000	260,000	260,000	220,943	202,472	204,628	170,000	75,000
忠 南	680,000	338,100	619,650	584,350	517,360	485,770	443,600	361,007
全 北	1,160,000	98,792	243,773	471,824	599,824	465,011	461,565	516,565
全 南	1,090,000	150,700	545,200	753,217	813,503	809,044	825,528	792,669
慶 北	1,040,000	692,718	969,180	845,127	753,241	598,824	541,418	395,866
慶 南	870,000	430,600	720,600	840,500	790,500	604,932	537,904	537,884
江 原	110,000	110,000	110,000	38,700	6,300	—	—	—
濟 州	70,000	10,000	10,000	10,000	10,000	—	—	—
本 都	1,600,000	—	—	—	—	—	220,078	422,078
合 計	8,000,000	2,185,123	3,670,951	3,915,306	3,743,513	3,278,287	3,207,836	3,101,169

다. 1947年度米資

1947年 米穀收集期에 앞 서서는 最低食生活을 保障 못하는 實情에 있는 食糧配給制度에 對한 嚴正한 批 判과 아울러 諸新聞紙上에서는 當局食糧政策의 是 正이 要望되였고 一便 市中銀行側은 各自收支均衡 上 絶對要緊한 米資參加를 要請하고 前年度와 같은 朝銀에 依한 單獨融資를 反對하며 共同融資를 主唱하였으나 理財局顧問側은 普銀의 經營原則으로 自己資金主義를 固執하였다.

即 1947年度產米 5,156,000 石의 收集資金必要總 額 120億圓의 達은 當時值40億圓에 未達하는 普 銀의 時在資金을 가지고는 到底히 充當할 수 없는 形像 이였고 어차피 朝銀의 發券力에 期待하지 않을 수 없다 면 前年과 같은 朝銀의 單獨融資가 至當하다는 主張이 었으나

- ① 一般銀行의 經營難打開策으로 利益均霑을 圖謀 하고
- ② 全金融機關의 機能의 動員에 依하여 膨脹通貨 의 還收促進을 期하기 爲하여

朝銀當局은 再割引에 依한 間接投資로써 (別添 道 別銀行別 割償額參照) 總資金의 調整과 統轄의 役割 만을 擔當하려는 새로운 措置를 講究하게 되었은 것 이다. 一便 現金支拂制限을 規定치 않은 米穀收 集令第六條에 對하여 無批判의 取扱을 實施함으로써 招來한 影響에 對策으로 手票(小切手) 支拂制採 擇을 主唱하며 施行細則을 協議規定하였으나 收集第 一額의 不徹底로 因하여 거의 成果다운 成果를 얻지 못 하고 말았다. 米穀收集令第六條는 前年度封鎖預金制

度의 不備를 是正함에 主要眼目이 있었음은 認定하는 바 이나 直接代金支拂이 必要치 않은 前日人占有土地小 作米及新營公社所有土地產米等까지 何等制限없이 一 律의 規定을 實施한點은 當然히 指彈할 餘不備點이라 할 수 있다. 여기서 特記하여야 할 것은 一般普銀以外에 金聯이 米資에 參加케 되었다는 事實이다. 金聯이 忠 南及全北一部의 米資融資를 擔當하여서 總額25億圓의 限度를 分與받고 最初의 米資參加를 보게 된 理由는 그 廣汎한 配給網을 有效하게 運用함으로써 可及의 通貨 放出을 抑制하고 一回收期에 있어서의 效率의 還流를 期待하려는 意圖에서 나온 것이었다.

最初朝銀은 資金回轉使用과 各行의 時在金動員等을 勘案하여 總融資限度의 半額60億圓을 再割限度로 內 定하였었다. 그것이 供出米의 一時暴注와 普銀餘裕 資金의 潤溜로 말미암아 收集開始後 二週日을 經過치 못하고 全額 120億까지의 限度引上은 不可避하게 하 였으며 그代身 總限度의 70%를 現金限度로 하여 可 及의 現金需要를 抑制코저 하였으나 그것도 結局은 不得 已한 消極的對策에 不過한 것이었다.

解放後 滿二年을 經過한 1947年度의 米穀收集은 結果로 보아 大體成功的이라 하겠으나 順調로운 收 集進行은 巨額資金의 斷層的 流出을 濟來하여 九月 末에 200億을 上下하든 朝銀發券發行高는 12月末에 이르 러 330億이란 記錄의 數字를 指針케 하였으며 其後回 收面에 있어 緩慢한 步調의 還流를 供考할 때 果然民生 問題安定解決策으로 米穀收集 計劃配給이 絶對的 要件으로 繼續될 것인가 그러치 않으면 前日人小作米와 新營公社關係米만을 對象으로 한 米穀政策의 代案이 考



慮될수도 있는것이지 南朝鮮施政經濟政策의 가장 重要한 Key point 가 되고 있는것이아

(第8表) 1947年米穀資金道別銀行別限度及朝銀再割限度表 (單位百萬圓)

銀行	融資限度	朝銀再割限度		現札限度	忠南	金聯	1,500	1,500	1,200
		割	限度						
京 畿	信託	1,000	1,000	840	全 北	金 聯	1,000	1,000	770
	貯銀	1,000	1,000	840		相 互	1,200	1,200	840
忠 北	殖 銀	550	550	350	全 南	殖 銀	2,000	2,000	1,260
					慶 北	朝 興	1,800	1,800	1,260
					慶 南	商 銀	1,700	1,700	260
					江 原	殖 銀	240	240	168
					濟 州	殖 銀	10	10	7
					合 計		12,000	12,000	8,795

(第9表) 1947年度米穀收集量算出表

人 口 (單位千人)	1946年	總人口	서 울	京 畿	忠 北	忠 南	全 北	全 南	慶 北	慶 南	江 原	濟 州	合 計
			1947年度人口	1,141	2,486	1,112	1,909	2,016	2,945	3,178	3,185	1,116	276
1948年度人口	農 家	—	1,577	824	1,348	1,386	2,041	2,068	1,939	663	234	12,080	
	非農家	1,643	1,013	334	678	645	991	1,200	1,257	619	46	8,426	
	計	1,643	2,590	1,158	2,026	2,031	3,032	3,268	3,196	1,282	280	20,506	
	農 家	—	1,610	844	1,377	1,416	2,073	2,109	1,968	700	240	12,337	
	非農家	1,715	1,048	358	708	674	1,035	1,238	1,307	628	49	8,760	
	計	1,715	2,658	1,202	2,085	2,090	3,108	3,347	3,275	1,328	289	21,097	
1947年度生產豫想高(千石)			6	2,304	767	1,658	2,093	2,424	2,409	2,006	511	22	14,200
整 除 (千石)	種子(3%)	—	69	23	50	63	73	72	60	15	1	426	
	搗糖消失(4%)	—	92	31	66	84	97	96	80	20	1	567	
	差 引	6	2,143	713	1,542	1,946	2,254	2,241	1,866	476	20	13,207	
農家消費其他(千石)	農家消費	—	1,063	557	909	935	1,368	1,392	1,299	462	158	8,143	
	自然消失(5%)	—	54	8	32	51	44	42	28	1	—	260	
	差 引	6	1,026	148	601	960	842	807	539	13	-138	4,804	
非農家消費(千石)	非農家消費	875	534	183	361	344	528	631	687	320	25	4,468	
	特 配	18	5	7	20	10	13	20	23	17	2	135	
	消 費 計	893	539	190	381	354	541	651	690	337	27	4,603	
過 不 足 (千石)		-887	487	-42	220	606	301	156	-151	-324	-165	201	
收集量決定 (千石)		2	1,015	185	685	1,005	855	820	710	110	5	※ 5,392	
道外撥 出 入 (千石)	撥出	—	430	—	200	550	270	140	—	—	—	1,590	
	撥入	890	—	—	—	—	—	—	75	250	50	1,265	

※ 5,156,000石으로變更決定되었음。

(第10表) 1947年米穀收集狀況

(1948年2月20日現在)

割 當 量	買 上						石換算	雜 穀	計	收 集 率	種 類
	硬 粳	粘 粳	硬 白 米	粘 白 米	計	計					
서 울	2,000	7,399	—	—	—	7,399	1,999	—	1,999	99.9	石
京 畿	965,000	3,554,648	38,035	15,085	132	3,607,900	208,098	—	655,133	101.2	23,695
忠 北	185,000	762,830	1,332	3 36	—	767,898	655,133	10,304	218,402	118.0	11,564
忠 南	670,000	2,374,613	43,638	3,667	66	2,421,984	737,028	—	737,028	97.7	32,390
全 北	920,000	2,639,586	81,992	3,517	6	2,725,101	811,104	—	977,335	80.2	15,485
全 南	820,000	2,968,777	30,289	1,308	3	3,000,377	782,985	2,744	813,848	99.2	16,179
慶 北	800,000	2,869,270	999	17,372	—	2,887,641	708,824	26,175	809,160	101.1	18,874

慶南	710,000	2,583,370	29,862	6,112	—	2,619,344	78,516	—	708,824	99 8	39,238
江原	80,000	289,662	160	447	—	290,269	774	—	78,516	98 1	394
濟州	4,000	2,656	—	133	—	2,789	—	3,840	4,614	115 3	—
合計	5,156,000	18,052,811	226,307	51,377	207	18,330,702	3,984,461	43,063	5,004,859	—	157,827
同上石換算	5,156,000	4,879,139	61,165	21,407	85	—	4,961,796	43,063	5,004,859	97.1	157,827

(第11表)

1946年、1947年秋穀收集月別比較表

(單位: 億石)

	割當量	10月中		11月中		12月中		合計	
		收集量	%	收集量	%	收集量	%	收集量	
京畿	1946	735,000	—	203,936	27.7	262,199	35.7	466,135	63.4
	1947	967,000	55,269	362,760	37.6	527,560	54.6	945,589	97.8
忠北	1946	160,000	—	49,625	31.0	88,522	55.3	138,147	86.3
	1947	185,000	43,662	123,109	66.5	40,757	22.0	207,528	112.2
忠南	1946	470,000	—	136,008	28.9	234,647	49.9	370,655	78.9
	1947	670,000	7,014	375,808	56.1	272,957	40.7	655,779	97.9

(第12表)

1947年米穀資金貸出

(括弧內數字는

		限度(百萬圓)	1947-10-31	1947-11-30	比前月増減	1947-12-31
京畿	信託	1,000	120,000,000 (20,000,000)	776,000,000 (677,000,000)	+ 656,000,000 (+ 657,000,000)	996,000,000 (486,000,000)
	貯銀	1,000	60,000,000	660,000,000 (660,000,000)	+ 600,000,000 (+ 660,000,000)	1,004,000,000 (816,752,470)
忠北	殖銀	550	55,760,000	525,463,000 (470,000,000)	+ 469,703,000 (+ 470,000,000)	499,062,726 (528,993,119)
忠南	金聯	1,500	91,500,000 (91,500,000)	1,059,000,000 (1,039,500,000)	+ 967,500,000 (+ 948,000,000)	1,497,500,000 (1,449,800,000)
全北	金聯	1,000	—	475,000,000 (470,000,000)	+ 475,000,000 (+ 470,000,000)	729,000,000 (612,428,900)
	相互	1,200	—	757,000,000 (750,000,000)	+ 757,000,000 (+ 750,000,000)	1,232,235,350 (1,201,404,600)
全南	殖銀	2,000	34,500,000	1,721,000,000 (1,648,459,000)	+ 1,686,500,000 (+ 1,648,459,000)	1,989,813,500 (1,885,785,966)
慶北	朝興	1,800	—	1,215,746,000 (1,176,070,000)	+ 1,215,746,000 (+ 1,176,070,000)	1,799,057,034 (1,796,217,915)
慶南	商銀	1,700	—	1,419,439,000 (1,388,961,000)	+ 1,419,439,000 (+ 1,388,961,000)	1,710,386,091 (1,633,422,184)
江原	殖銀	240	—	240,000,000 (240,000,000)	+ 240,000,000 (+ 240,000,000)	195,000,000 (195,000,000)
濟州	殖銀	10	—	—	—	10,000,000
合計		12,000	361,760,000 (111,500,000)	8,848,648,000 (8,519,990,000)	+ 8,486,888,000 (+ 8,408,490,000)	11,662,054,701 (10,605,805,154)

(2) 夏穀收集資金

가. 1946年度夏穀

解放前부터 1945년까지는 夏穀의計劃收集이 없었고, 1946年度에 처음으로 食糧問題가 逼迫을감하자 夏穀의計劃收集이 始作되었던 것이다

同年度夏穀資金은 最初 2,094,830石(租穀)을 收集目標로하여 總額9億圓의 融資限度가 設定되었으나 實際收集始初의成績이 極히良好하였던關係로 1,332,587石(租穀)을 增加收集키로되어 限度를 6

億圓追加하여 結局 1,289,000石(租穀) 收集에對하여 15億圓의 融資計劃이 起案된 것이며 朝銀 殖銀이各 4億 朝興 3億2千5百萬 商銀 2億5千萬 貯銀7千5百萬 信託5千萬限度決定은 各行의裕資金을基準하여 後表와같이 別別로割當되었으므로 不足額은 朝銀이擔當하기로 되었다

그러나 元來 夏穀收集은 秋穀과달려 大體로零 細農家를對象으로하는만큼 伊出割當에 있어 公平을 期하기가 困難하고 따라서 事前에 있어서 限額을 期한마

(第11表續)

全 北	1946	798,000	—	—	27,615	3.5	179,330	22.5	206,945	25.9
	1947	920,000	94	—	300,538	32.7	389,039	42.3	689,671	75.0
全 南	1946	750,000	—	—	81,344	10.9	371,901	49.6	453,245	60.4
	1947	820,000	1,080	0.1	512,701	62.5	285,859	34.9	799,640	97.5
慶 北	1946	720,000	—	—	107,418	14.9	172,560	23.9	279,978	48.9
	1947	800,000	—	—	244,586	30.6	347,603	43.5	592,189	74.0
慶 南	1946	600,000	—	—	155,383	25.9	316,684	52.8	472,067	78.7
	1947	710,000	—	—	469,082	66.1	231,900	32.7	700,982	98.7
江 原	1946	60,000	—	—	74,700	124.5	19,391	32.3	94,091	156.8
	1947	80,000	—	—	55,167	69.0	21,948	27.4	77,115	96.4
濟 州	1946	2,500	—	—	—	—	—	—	—	—
	1947	4,000	—	—	—	—	672	16.8	672	16.8
合 計	1946	4,295,500	—	—	836,029	19.5	1,645,234	38.3	2,481,263	57.8
	1947	5,156,000	107,119	2.1	2,443,751	47.4	2,118,295	41.1	4,669,165	90.6

及回收狀況一覽表

朝銀再割額)

比前月増減	1948-1-31	比前月増減	1948-2-29	比前月増減
+ 220,000,000	865,000,000	- 131,000,000	577,000,000	- 288,000,000
(- 191,000,000)	(350,000,000)	(- 136,000,000)	(245,000,000)	(- 105,000,000)
+ 344,000,000	864,000,000	- 140,000,000	572,000,000	- 292,000,000
(+ 156,752,470)	(569,500,000)	(- 247,252,470)	(429,000,000)	(- 140,500,000)
26,400,274	459,568,436	- 39,494,290	423,147,927	- 36,420,509
(+ 58,993,119)	(418,993,119)	(- 110,000,000)	(400,000,000)	(- 18,993,119)
+ 438,500,000	1,415,500,000	- 82,000,000	1,200,000,000	- 215,500,000
(+ 410,300,000)	(1,443,399,300)	(- 6,400,700)	(1,200,000,000)	(- 243,399,300)
+ 254,000,000	617,000,000	- 112,000,000	620,961,200	+ 3,961,200
(+ 142,428,900)	(670,000,000)	(+ 57,571,100)	(613,000,000)	(- 57,000,000)
+ 475,235,350	1,100,235,350	- 132,000,000	1,088,235,350	- 12,000,000
(+ 451,404,600)	(1,109,404,600)	(- 92,000,000)	(1,068,404,600)	(- 41,000,000)
+ 268,813,500	1,716,000,000	- 273,813,500	1,483,450,000	- 232,550,000
(+ 237,326,966)	(1,687,000,000)	(- 198,785,966)	(1,483,450,000)	(- 203,550,000)
+ 583,311,034	1,694,870,422	- 104,186,612	1,450,303,046	- 244,567,376
(+ 620,147,915)	(1,677,930,017)	(- 118,287,898)	(717,930,017)	(- 960,000,000)
+ 290,947,091	1,635,300,000	- 75,086,091	1,427,630,000	- 207,770,000
(+ 244,461,184)	(1,307,025,837)	(- 326,396,347)	(1,281,723,885)	(- 25,301,952)
- 45,000,000	120,500,000	74,500,000	37,000,000	83,500,000
(- 45,000,000)		(- 195,000,000)	(50,000,000)	(+ 50,000,000)
+ 10,000,000	5,000,000	- 5,000,000	5,000,000	-
+ 2,813,406,701	10,492,974,208	- 1,169,080,493	8,884,627,523	- 1,608,346,685
(+ 2,085,815,154)	(9,233,252,873)	(- 1,372,552,281)	(7,488,508,502)	(- 1,744,744,871)

는것이 技術上困難한것은 周知의事實이나 同年度 夏穀收集은結局目標量의 僅 48% 619,272石(特穀)

에不過하였는데 그原因은살펴보건대

- ① 米穀의對外密輸出投機業者及一部富裕階級の隱藏密酒密餉造餅等米穀浪費는 春窮明문년어은 農村의 夏穀에對한依存을 強烈히한것
- ② 肥料不足 結實期의氣候不良及 水災로因한減收
- ③ 供出量의過多割當

④ 1945年度 米穀收集에있어서의 當局方針의不徹底로因한 農民의供出躊躇

⑤ 收集價格基準의矛盾性及補償物資의不足

⑥ 都市配給의不圓滑로因한 都市人과農民間의直接去來盛行

⑦ 末端行政當局의行政力未及等

의理由를舉上할수 있으나 九月二十日까지의收集期限延期及強制收集의實施에不拘하고 所期의效果를보지못한채 收集資金放出은 6億 5千40萬圓에그치었다

(第13表)

1946年夏穀資金限度表 (單位千圓)

	朝 銀	殖 銀	興 商 銀	信 託	貯 銀	合 計
京 畿	—	—	—	50,000	50,000	100,000
江 原	—	36,000	—	—	—	36,000
忠 南	30,000	30,000	10,000	—	—	70,000
忠 北	—	94,000	—	50,000	—	144,000
全 南	90,000	70,000	90,000	—	—	250,000
全 北	30,000	20,000	—	50,000	—	100,000
慶 南	75,000	45,000	80,000	100,000	—	300,000
慶 北	175,000	105,000	145,000	50,000	—	500,000
合 計	400,000	400,000	325,000	250,000	50,000	1,500,000

(第14表) 1946年夏穀收集實績表

	割當量A	收集量B	A에對한 B의比率
總 計	96,000	60,767	63.3
忠 北	98,000	69,345	70.8
忠 南	97,000	41,347	42.6
全 北	122,000	85,050	69.7
全 南	363,000	40,532	11.2
慶 北	282,000	210,774	74.7
慶 南	217,000	90,717	41.8
江 原	14,000	20,740	148.1
合 計	1,289,000	619,272	48.0

豐足하였던理由は 收集當初에 있어 政府補償金 1億 8千萬圓을豫受하였던것과 또秋穀資金에 있어既述한바와같이 同年6月 30位圓의政府補償金支拂이 있었기때문에配給米代金을 夏穀收集資金에 動員할수 있었는 것이原因이였었다

(第15表) 1947年夏穀資金限度表

	朝 銀	殖 銀	興 商 銀	合 計
京 畿	—	—	107,000	107,000
忠 北	—	71,000	—	71,000
忠 南	116,000	—	—	116,000
全 北	100,000	66,000	—	166,000
全 南	292,000	—	—	292,000
慶 北	207,000	—	—	207,000
慶 南	—	207,000	—	207,000
江 原	—	38,000	—	38,000
濟 州	—	34,000	—	34,000
合 計	715,000	209,000	207,000	1,238,000

나. 1947年度夏穀

1947年度夏穀收集目標量 711,000石收集에必要한總所要資金은 12億3千8百圓이였다 同資金은 朝銀殖銀商銀朝興의四行이共同融資키로決定되어 附表과같은 道別銀行別資金限度가 割當되었으나 暫時 同決定에到達하기까지의經緯를보면이러하다

朝銀當局은 當時 糧穀資金에있어서의 市中銀行에對한 完全移讓과再割引으로써의 間接投資方針을 樹立코저하였으나財務當局은 各行餘裕資金으로의 貸出方針을固執하였으며 再割引은認定하지않았다 朝銀이 直接投資를回避하였으므로 各市中銀行은自己餘裕資金量에依하여 얼마든지融資參加할수 있게 되었으나

- ① 市銀餘裕資金이 豐富하지아는것
- ② 糧穀資金의 日邊1.25厘라는公定金利는 採算上 그다지有利한것이 못되었고
- ③ 麥收集實績은 그다지期待할수 없었다는것 등의原因으로 結局朝銀의直接投資를 止不可避하게하였는것이다

同收集은 目標量의 98.5% 695,932石이란 優良한成績으로 完了하게되었으나 同必要資金은 大部分營團의自己資金으로充當되었고銀行資金으로는 最高 239,644千圓밖에利用하지않았는데 當時營團資金이

(第16表) 1947年夏穀收集實績表

	割當量A	收集量B	A에對한 B의比率%
京 畿	58,000	61,642	106.3
忠 北	37,000	39,051	105.5
忠 南	70,000	63,785	91.1
全 北	94,000	93,377	99.3
全 南	163,000	160,423	98.4
慶 北	115,000	114,822	99.8
慶 南	136,000	142,545	104.8
江 原	21,000	17,098	81.4
濟 州	17,000	3,189	18.8
合 計	711,000	695,932	97.9

(3) 棉花收集資金

가. 1946年度棉花

同年慶南朝鮮原綿總生産豫想高 125,000 千斤에對하

야 收買最高目標量을其折半程度인 69,000千斤(價格 620,000千圓)으로하고 南朝鮮所在五綵綿業者를指定 하여 原棉收買에從事케하였으나 實際收買은極히不良하여 目標量의 2.41%인 1,715千斤에不過하였다

收買을擔當한綵綿業者中 馬山及晉州兩綵綿工場은 除外하고 南北棉業及朝鮮棉花會社는 朝銀, 韓一棉業은 殖銀에各々所要資金融資를申請하였으나 政府當局으로서는 報償物資의缺乏으로因한 收集成績의別無可報을確認하고 總額 3千6百萬圓만을 一次保證하였을뿐이었는데 그後에도收集은全然可報이 없었다

그原因을찾아보면

가. 在來式栽培法과割當數量의不道

解放前에는中間他作을禁止하고 強制棉作을推進하였으나 同年에는준제그것이 實施되지않았을뿐아니라 氣候가不順하였은關係上 實地收穫이 例年에比할수없이減收되었는데 그림에도不拘하고割當量은 1944年度의 그것과 거의同量으로收集目標量이過多하였다(1944年度奎朝鮮共販價績은 128,420 千斤인데 其中南朝鮮分이三分之二假量이었다)

나. 共販價格의矛盾과自家消費增大

共販價格은當初에最高每斤 18 圓으로決定되었다가 其後15圓으로引下決定되었다 이것은價格基準의不當性을矯正한것이 아니고 다만一時에大幅引上함을躊躇한無根據한 價格修正이었음으로農民은共販을忌避하였고 이것을機會로商人들은棉花의販賣價格을其價의 3.4 倍로 이를引上하였으며 農家에서도自家용으로相當量을消費하였다

다. 共販遲延과督勵不能

共販價格改正과 十一騷擾事件等으로因하여 共販이遲延되었을뿐만아니라 共販의時期가事件直後이었음으로 強力한共販督勵를實施하기가매우困難하였다

同收集資金은 大部分이現在까지回收되지못하고있다. 그것은收集量은極少하였으나 收集에關한諸費用이斤當相當額에達하였을에反하여 當局決定의紡織業者에對한綵綿販賣價格은 綵綿業者의生産原價를低價하는 것이었음으로 方今當局에補償金支拂或은價格引上等對策講究는要路中이기에문이다

나. 1947年度棉花

解放前朝鮮內棉花耕作面積은 25萬町步로總生産高는 年平均 3 億萬斤에達하였는데 計畫收集에依한最高目標量은 1 億 8 千萬斤으로 其中約半數가日本에輸出되었었다 解放以後三八以南의耕作面積은 15萬町步로 1947年度生産豫想高 1 億 5 千萬斤에對하여 收集目標量을

7 千萬斤에두었다

이것은三八以南의紡織施設이 同生産能力月 15 萬疋(年 180 萬疋)로 此能力을基準으로한棉花所要資金數字的으로보면

總布 1 疋 = 綵綿 12 斤 = 棉花 40 斤

年生産 1,800,000 疋 × 40 斤 = 72,000,000 斤

即 72,000,000 斤의棉花가必要하였은가답이다 (그러나同收集量中에서는 80%가紡織用 20%가內銷用으로使用될것임으로 9 千萬斤의收集이없으면 現紡織施設을 充分로 運轉할수없는것이카)

決定된同年度棉花共販價格은 斤當一等이 20圓, 二等 18圓 三等 14圓 四等 10圓이며 目標量 7 千萬斤收集達成에必要한總資金 10 億 5 千 2 百萬圓은, 大體로過去實績에依하여 朝銀 殖銀 商銀 朝興의四行만이各業者別로融資하게되었었다

前年度의完全한失敗도있어 今番은當局斡旋의 노력 美國産米等 비누等 豊富한報償物資를가기고서收集에當하고있으나 年内에는當局이主力을秋穀收集에傾注하였기때문에 別로成績을올리지못하였다치드러도 1948年 1 月末現在로써 아직目標量의僅 6.7% 4,700 千斤程度에不過한것은 一般의으로보와願望로운收集을期待치못함을暗示하는것같다

그原因으로는 氣候不順에依한大凶作과 價格의矛盾性을指摘할수있다 따라目標量의縮小은敢行하였다고하는데 資金은 48年 2 月 18 日現在로總限度額의 40% 假量 4 億 1 千 3 百萬圓이放出되었으니 이것은純전히莫大한報償物資引受資金을包含한가답이었다

(第17表) 1946年及1947年棉花資金割當表

		1946年限度	1947年限度
朝	銀	21,000,000	480,000,000
殖	銀	15,000,000	412,000,000
朝	興	—	100,000,000
商	銀	—	60,000,000
合	計	36,000,000	1,052,000,000

註 同上資金은 業者別로限度를決定하였음 指定棉花收集人은 南北棉業 朝鮮棉花 韓一棉業 馬山綵綿 晉州綵綿의五者임

(4) 藥工品收集資金

가. 1947年度官需用藥工品

解放前藥工品の收集統制는 各道産業會社와中央의興農會社가 이를掌握하고있었으나 軍政에依한朝鮮農會의 機能擴張과함께官需用藥工品에限해서는 農會로 그統制權이移轉케되었다

1947年度官需用藥工品收集을嚮矢로 朝鮮農會의藥工品業務는始作되었다 同年度收集目標量은數用一

千萬枚 鹽用呔六百萬枚及中 繩720萬貫이었는에實  
地收集은呔이總 4,293,519枚 總 394,094 貫이었다。同  
收集資金은預限이單獨融資키로決定되어最高 로123,8  
38,074圓을貸出하였을뿐이다

나. 1948年度藥工品

1948年度官需用藥工品收集割當量은呔 2千萬枚 總  
450 萬貫이다 이收集에必要한總資金은 11億5千7百  
50萬圓으로 此를各行資金餘裕에따라道別로割當하  
게되었다

解放前日政에依한強制收集價格呔當20錢에는比할수  
도없는收集價格의引上(穀用呔60圓 鹽用50圓 繩45  
圓)은 農會自體로의 石油肥料等의物資幹旋과아울  
러 極히順調로운收集進行을보이고있어 最初計劃은  
無難히達成되리라고豫想된다

1948年2月15日現在 收集된 呔이 19,075,321枚 總

이 3,327,034貫이며 同所要資金은 資金配當上限度額  
까지餘額放出되고있다

(第18表)

1947年度官需用藥工品收集割當表

		穀用 四斗呔	鹽用 四斗呔	中 繩
京 畿	2,000,000	1,200,000	840,000	
忠 北	900,000	540,000	524,000	
忠 南	1,200,000	720,000	630,000	
全 北	1,200,000	720,000	504,000	
全 南	1,400,000	840,000	504,000	
慶 北	1,800,000	1,080,000	588,000	
慶 南	1,000,000	600,000	420,000	
江 原	500,000	300,000	210,000	
合 計	10,000,000	6,000,000	4,220,000	

(第19表)

1947年度官需用藥工品收集實績表

	穀用呔 枚	鹽用呔 枚	肥料呔 枚	呔合計 枚	中 繩	大 繩	細 繩	總合計
京 畿	399,811	148,683	852,995	1,401,489	110,537.314	—	—	110,537.314
忠 北	372,470	—	12,295	384,765	8,892.000	3,877.000	237.000	13,006.000
忠 南	56,013	2,287	130,973	189,273	179.100	—	—	179.100
全 北	48,052	—	15	48,067	888.000	732.000	83.000	1,703.000
全 南	81,871	—	34,648	116,519	197.700	5,620.000	—	5,817.700
慶 北	525,973	—	57,095	583,068	51,248.020	12,094.610	3,458.640	66,801.270
慶 南	1,301,366	120,225	42,306	1,473,897	187,360.380	—	—	187,360.380
江 原	92,001	—	4,440	96,441	770.500	7,727.100	192.000	8,689.600
合 計	2,877,557	281,195	1,134,767	4,293,519	360,073.014	30,050.710	3,970.640	394,094.364

註 穀用呔=其中 不合格이 897,958枚 合格呔 @ 19 不合格呔 @ 15  
鹽用呔=其中 不合格이 29,914枚 合格呔 @ 11 不合格呔 @ 9  
肥料呔=其中 不合格이 147,580枚 合格呔 @ 14 不合格呔 @ 11  
中 繩=上品이 310,889貫274 @ 13 並品이 49,183貫740  
大 繩=上品이 27,601貫400 @ 12 並品이 2,449貫310 @ 9  
細 繩=上品이 3,887貫600 @ 17 並品이 83貫040 @ 14

(第20表)

1948年度官需用藥工品資金限度表

		收集割當量		融資限度	取 扱 銀 行		
		呔	繩				
京 畿	4,000,000	1,000,000	226,870,000	貯銀1億圓	信託7千5百萬圓	朝鮮51,870千圓	
	北	1,500,000	350,000	98,387,500	殖銀		
忠 南	2,600,000	500,000	141,215,000	朝鮮			
全 北	3,100,000	700,000	174,782,500	殖銀			
全 南	3,300,000	800,000	197,932,500	朝鮮			
慶 北	2,200,000	400,000	131,955,000	朝鮮 56,000千圓	相互 75,955千圓		
慶 南	2,800,000	600,000	155,105,000	商銀			
江 原	500,000	150,000	31,252,500	殖銀			
合 計	20,000,000	4,500,000	1,157,500,000				

(第21表)

1948年官需用蠶工品收集實績表 (1948年2月15日現在)

	穀用 <sup>枚</sup>	鹽用 <sup>枚</sup>	肥料 <sup>枚</sup>	鐵石 <sup>枚</sup>	計	大總	中總	細總	大引總	總計
京 畿	1,145,107	1,422,533	1,845,224	90,583	4,503,447	108,473	823,883	4,999	—	937,355
忠 北	1,106,443	9	269,488	—	1,375,940	98,163	44,578	28,754	—	171,595
忠 南	1,301,043	512,762	1,184,286	—	2,998,091	153,567	63,870	31,260	—	248,697
全 北	929,987	69,841	243,214	—	1,243,042	55,057	28,093	5,090	—	88,240
全 南	2,154,789	19,452	548,561	—	2,722,802	262,544	131,271	43,757	—	437,572
慶 北	1,621,415	—	201,172	—	1,822,587	28,296	353,364	25,450	—	407,110
慶 南	2,996,180	368,835	253,888	—	3,618,923	107,946	579,154	11,125	25,406	723,631
江 原	790,489	—	—	—	790,489	1,245	309,718	1,371	—	312,834
合 計	12,045,453	2,393,452	4,545,833	90,583	19,075,321	815,291	2,334,031	152,306	25,406	3,327,034

(5) 購繭及蠶種桑苗生產資金

絨上의秋綫夏綫棉花蠶工品資金은 第一義의季節資金이라고하면 生活必需品이라고는看做키困難한資金 人蔘資金等은第二義의任意資金가 될것이다

世界經濟의一環으로서 朝鮮의自主의經濟樹立에는 生必品産業의確保와 아울러 輸出産業의振興이 絕對重要한것은再言할必要가없다 傳하는바 今存內의生糸及絹織物에對한統制가撤廢되리라하고는되 그것은 現存의 不自然統制로因한 蠶業及生糸業의自然萎縮을防止하고 自由競爭에依한 質的向上을企圖하며 나아가서는加一層의新業發展을爲한果斷의 政策이라고 보는것이妥當한것이다

解放後同購繭資金은製糸家의健實性與否를不問하고 農務當局의計劃割當에依해서金融團은資金放出을實施하였으나 大概가 (四十七製糸家中三十六의敝産企業體) 歸屬財產인만큼 擔保關係로因한依權確保上의 困難한問題를多分히提起하고있다

가. 1946年春繭

當初의生産豫想은 1,015,848貫에두었으나 實地는約60%인 609,516貫生産에不過하였다 各製糸業者 (특히大製糸業者)는 大部分相當量의解放前在庫繭을保有하고있었기때문에 同購繭은그다지活氣를 띄우지 않았고 同購繭目標量達成에必要한資金 1億 6千 8百萬圓은 各銀行에道別로融資割當을하였으나 實地貸出은朝鮮, 旅順, 朝興의三行에依한 總額4千5百萬圓放出에不過하였다

나. 1946年秋繭

秋繭生産豫想은 744,915貫이었으며 約其六割이 共販될것으로豫想하였으나 實地生産은 約半이나減收되었으므로 共販量은三分之一이라는 極小한成績밖에길우지못하였다 이것은盛出期인十月初에嶺南騷擾事件發生으로南朝鮮各地의共販이中斷되었고 繭共販은一定한時期을經過하면出帆함으로써 共販成績은不良하여 江原道의約 90% を除外하고는全然購繭이안

되었은 까닭이다

目標量達成에必要한總資金 161,793,300圓은 政府가元利金支拂을保證하여 春繭資金融資時와같이 道別로各銀行에割當되었으나 實地貸出은 3千萬圓程度로말이고아웠다

다. 1947年度春繭

同春繭의共販量은 696,970貫을豫想하고 此購入에必要한總資金으로繭代418,152千圓及購繭費用 139,384千圓合計 557,536千圓에對하여는 朝鮮蠶糸會의斡旋이있었다 前年度秋繭資金과같이政府保證或은管財處保證을要求하였으나 前者는不應이고 後者는技術上困難이없을뿐만아니라 相當한時日을要하는問題이있으므로 特히農務當局의要請에依하여 平均繭價600圓을 550圓으로引下 諸費用을認定치않고 結局 385,306千圓限度로各行이共同融資키로決定된것이다

春繭購入은 活潑치못하여 目標量의54% 376,611貫을收買한데不過하였다

共販不振의原因을살펴보자면 解放後全般의으로蠶業이衰退한것은事實이고 또過度히低廉한共販價格의決定은農民들의自家消費를刺戟한原因이있었다는 原因이있었던것이다 同購繭에對하여 銀行이貸出한金額은 總額2億7千萬圓이었다

라. 1947年蠶種桑苗生産資金

生糸業振興에基本的要素인蠶種桑苗生産資金은1947年度에 最初로各銀行共同融資으로써貸出되었다 47年春繭資金取扱에準하여道別所要資金을各銀行에割當하였는데 特記할것은 各道單位로製糸家로하여금在庫商品을擔保로提供케하여 連帶保證人이되게함으로써一貫의産業過程에有機的인連關性을갖게한것이었다

南朝鮮內蠶種製造業者76名 桑苗生産業者 498名에對하여 553,200枚의蠶種과 3,056,800本の桑苗를生産함에必要한資金 95,201千圓을 融資하게되었다

마. 1947年度秋繭

農務當局은 418,500貫의購繭目標을세우고, 實當平

均 540圓으로 換算한 購藪代金 225,900千圓及其 1割에 相當한 購藪費 22,589千圓 合計 248,589千圓의 銀行融 資를 要請하여 왔다

例年에 依하여 同 融資 限度 額은 道別로 各 銀行에 割當 되었으나 資金 監督을 嚴格히 하고 資金 配置의 合理化를 期하기 爲하여 金融團은 最初로 朝鮮 蠶糸會를 登用하 였다 卽同 資金 貸出에 있어서는 于先 蠶糸會를 通하여 資金을 支給하게 하였으므로 蠶糸會는 責任을 지고 急 速한 剩餘 資金 回收을 擔當하고 收集藪의 公平한 分配를 策하였다

1947年 11月末에는 大體로 購藪이 갈나고 資金 清算을 하 였는데 그 結果는 實地 購藪量이 199,421貫으로 目標量 의 48%에 不過하였고 同 購藪을 爲하여 銀行 資金으로 放 出된 金額은 總合 7,100萬圓이었다

(第22表) 1946年春藪資金銀行別限度表

		取 扱 道		限 度 額
朝 銀	慶 全 忠	慶 北		14,343,945.64
		全 南		9,000,000.00
		忠 南		15,000,000.00
小 計				38,343,945.64
殖 銀	江 忠 慶	江 原		13,795,000.00
		忠 南		15,000,000.00
		慶 北		15,000,000.00
小 計				43,795,000.00
商 銀	忠 全 慶	忠 北		14,750,000.00
		全 南		16,120,000.00
		慶 南		13,932,425.00
小 計				44,802,425.00
相 貯	互 銀	江 全	原 北	13,795,000.00
		全 北		14,560,000.00
合 計				168,248,370.64

(第23表) 1946年秋藪資金割當表

		取 扱 道		金 額
朝 銀	慶 全	慶 北		40,000,000圓
		全 南		20,720,000
殖 銀	江 忠	江 原		15,305,000
		忠 北		20,000,000
商 銀	忠 全	忠 北		7,768,300
		全 北		24,000,000
相 貯	互 銀	京 畿		13,300,000
		忠 南		20,700,000
合 計				161,793,300

(第24表) 1947年春藪資金割當表

		取 扱 道		金 額
朝鮮及信託	銀 行	慶 北		103,400,000圓
		忠 南		51,040,000
高 銀	信 託	忠 北		24,761,000
		全 北		39,710,000
殖 銀	慶 南	慶 南		29,700,000
		江 原		61,050,000
相 互	貯 蓄	全 南		27,995,000

貯 合	銀 計	總	金額
			45,650,000
			383,306,000

(第25表) 1947年桑苗蠶種生產資金表

		取 扱 道		金 額
朝 商	銀 行	慶 北		28,008,000圓
		忠 南		8,732,000
殖 銀	慶 南	全 北		15,594,000
		江 南		9,775,000
相 貯	互 銀	全 南		12,763,000
		京 畿		10,535,000
合 計				9,794,000
				95,201,000

(第26表) 1947年秋藪資金割當表

		取 扱 道		金 額
朝 商	銀 行	慶 北		65,458,800圓
		忠 南		15,622,200
朝 殖	興 銀	忠 南		25,423,200
		慶 南		32,254,200
殖 貯	銀 行	慶 南		19,008,000
		江 原		43,659,000
相 貯	互 銀	全 南		18,057,600
		京 畿		29,106,000
合 計				248,589,000

(6) 人蔘資金其他

購藪과 同一한 性質을 가진 人蔘資金은 每年 殖銀이 專 獨取扱을 하고 있다 資金量으로는 諸季節 資金中 가장 적 은 比重을 갖고 있지만은 今日의 貿易現狀에 비추어 人蔘은 對中輸出에 있어 가장 重要한 地位를 占하고 있는 만큼 日後 同 資金의 重要性은 維持된 것이다

人蔘資金은 專賣局關係로는 每年 9月부터 11月까 지 紅蔘製造用 賠償資金이 支拂되는 以外에 開城蔘業 組合에 對한 專賣局 斡旋貸付로써 白蔘 尼蔘 其他蔘加 工品製造 등을 爲한 資金及 翌年 2月 頃에 放出되는 新規 移植資金及 春秋로 나가는 既植蔘圃耕作資金이었다

專賣局關係로 國庫金으로 支出되는 人蔘資金 以外에 殖銀貸出金으로 流出된 金額을 年度別로 收拾하여 보면 다음과 같았다

1945年度	16,480,000圓
1946年度	47,942,800圓
1947年度	70,600,000圓

以上으로써 銀行貸出金計定은 通하여 流出되는 季 節資金의 動向을 觀察하여 보았으나 以外에도 季節的으 로 放出되는 重要資金으로 煙草資金 鹽資金 등이 있다 그러나 이것은 政府豫算에 依하여 國庫金計定을 遵하여 支出되는 것임으로 通貨面에 對한 影響은 同一하지 만 여기에서는 省略한다



# 解放後預金動態의 分析

1945. 8. 15—1947. 12. 31

- 1. 인플레이션과預金增勢의必然性
- 2. 預金增加의經路
- 3. 預金推移의個別的考察
- 4. 預金通貨의流通速度其他
- 5. 結 語

## 1. 인플레이션과預金增勢의必然性

過去의朝鮮金融이 自治의 金融圈을形成하지 못하고 따라서 産業金融은換券 또는 起債을通해서 日本資本을 導入함으로써 調達하여온것은 周知의事實이다 卽 當時의我國金融機關의資金需給은 恒常資金創造力의不足——換言하면 預金不足狀態를脫치 못하였다 如斯한現象은 戰爭末期 國家資金의 累加的放出에따르는 預金增加로 因하여 多少變現하였는데 解放以後에 이르러서는 여러가지 容惠의條件의轉換에隨伴하여 資金需給關係은一變 改하였다 卽 預金の增加는 貸出의增加를 凌駕하는態勢을取하여 一時는所謂漫性遊資에對한問題가 金融界에風 靡하였었다 更言하면 1945年8月15日 解放直前의金融機關의預金總額은 42億未滿이었는데 1948年1月末現在에 이어서는 其質은姑捨하더라도 勿論270億圓을突破하는 激增狀態이다 一方貸出은 投資對象의缺乏融資許可制의 制限等에基因하여 (米資放出等季節的變動은 있으나) 預金增加率에 未及한實情이다 故므로 金融機關은 如 斯히增加된預金을 如何히調和있게運用하여 收益率을維持向上시키느냐에 腐心하게되였다 解放後預金의一路激 增傾向을誘致하고 있는것은 單純히金融機關의努力의結果라든가 民族資本의蓄積過程만은 아닌것이며 繼續的인平 穩의隨伴現象에不過한것이다 이것을立證하기爲하여財界의變質을考察하면 從前의預金은 周知와같이 國民所 得의一部分과企業體의短期的遊休資金에依하여 形成되었었다 이와같은預金과 銀行의信用創造에依하여 造出된資 金으로貸出을形成하였었다 이에反하여現下赤字財政은通貨의增發로 充當되고있으며 放出된通貨中 流通量을超 越한 剩餘部分이金融機關의 預金으로還流되고있어 茲에銀行預金增加의 必然性이伏在하고 있는터로 銀行의預金 이增加했다는事實은 銀行自身の活動努力의結果라기보다는 根本的으로 財界의變動——適確히말하면 인플레이션 過程에 依存한다는것을 指摘하지않을수없다 這樣의關係는 銀行券膨脹과 金融機關預金の增勢를 對照觀察하 면明瞭하다 (次表參照)

## 預 金 과 發 行 高

	發行高	預 金	比率
1945年 8月15日	4,975 百萬圓	4,180百萬圓	84%
9月末	8,680	1,987	23
1946年 3月末	9,079	4,147	46
9月末	11,341	8,275	73
12月末	17,710	11,027	62
1947年 3月末	17,198	13,199	77
6月末	18,935	14,693	77
9月末	20,444	17,530	86
10月末	21,803	17,479	80
11月末	31,012	19,388	63
12月末	33,388	23,284	70
1948年 1月末	31,621	27,178	86

## 2. 預 金 增 加 的 經 路

信用의創造者가 預金者냐 銀行이나에對한 在來부터의論爭은 預金이貸出을造出하느냐 貸出이預金을造出하 느냐에關聯한 問題인것이다 人體로長期預金은貨幣資本家의 蓄積貨幣기銀行을通하여 産業資本家에게 供給되

는分量이 많고 短期預金은 이와反對로 短期資金을必要로하는 産業資本家에게 銀行이信用을供與하고 然後必要로하지않는他産業資本家로부터 其休息資金을受入하는 傾向이클으므로長期信用에있어서는預金者 短期信用에있어서는銀行이 各々信用의創造者로解釋함이 穩當치않은가하나 如斯한觀點에서 現下의預金事情을 判斷하면先 解放後의大部分의預金이一時的待機資金(支拂手段)이라는것과 또 預金構成에있어서 거의全部가 短期預金으로 形成되어있는情勢을理解하여야할것이며 如斯한待機資金은 (1) 財界變動의前途가있으면 預金者는不安感으로 引出이盛行하여 預金이減少한다는說보다도 (2) 用意周密한企業者가 미리財界變動에對備하여 借入이困難되기前에 銀行으로부터의 貸出을獲得하여 此種預金으로對替 自己의支拂能力을 強化하는關係로 預金이增加한다는說에立脚하여後者의預金增加로解釋함이妥當하다

更히入金經路를考察하면 現金預金은 顧客이銀行券 小切手等을預入하여서生起는預金이고 振替預金은 貸出 또는割引으로 手取金을預金으로振替하여生起는預金인데 貸出金과의消長을比較하여 貸出이增加치않고 오히려減少하는데預金이增加한境遇에는 大體로其增加가 現金預金에基因한다고보아 無關할것이나

1946年12月末 普銀의貸出은60億圓 1947年3月末에는 61億圓으로 僅1億圓의增加에反하여 同期間中預金은 14億圓이增加하였다 此는大體로 現金預金이增加하였다고 推察할수있다 그러나 預金과貸出이平行하여 增加한境遇에는 問題는單純치않아 두가지 可能的解釋이成立된다 即 現金預金이增加하여 貸出이增加한境遇도 있을것이고 銀行이貸出을增加한가닭에 預金이增加한境遇도 있을것이나 其어느便인가는 容易히斷定키困難하되 大體로 1947年上半期까지는 現金預金의增加를 接續하였다고判斷하는것이 妥當한것이며 1947年下半期以後에 이르러는 振替預金의增加로判斷되어 大過없을것이나 現在의貸出은 其이伸縮性을喪失하고 (米資關係論外) 企業者는銀行貸出獲得에汲汲하여 一般確保한融資金은 償還을延期하는 傾向이濃厚한대 如斯한不健全한傾向은 融資許可獲得의難難에 基因하는바도볼것이나 根本的으로는 인플레이션의 昂進의影響이라하겠나何如間 如斯한金融情勢을反映하여 最近의預金增加는貸出이預金을 造出하고있는 濃度가달다고思推된다

普銀預金과貸出과의關係

	總 預 金	總 貸 出	比 率
	千圓	千圓	
1945年8月15日	2,245,361	2,265,041	101
9月末	956,501	2,285,541	229
1946年 3月末	2,833,207	2,706,634	96
9月末	6,283,590	4,685,800	75
12月末	8,251,895	6,026,786	73
1947年 3月末	9,646,873	6,176,148	64
6月末	10,465,186	7,071,108	68
9月末	13,248,737	9,187,295	69
10月末	12,828,529	10,499,111	82
11月末	13,972,556	18,260,871	131
12月末	16,695,682	21,026,231	126
1948年 1月末	18,918,326	21,077,323	111

3. 預金推移의 個別的考察

以上環境에있어서 解放以後 最近에이르기까지의 預金額의推移를主로 統計를中心으로 考察하면如下하다

全金融機關의月別預金殘高의推移

	千圓	指數
1945年3月15日	4,180,830	100
9月末	1,987,041	48
1946年 3月末	4,147,617	99
9月末	8,275,669	198
12月末	11,027,756	264

1947年 3月末	13,199,967	316
6月末	14,693,983	351
9月末	17,530,721	419
10月末	17,479,711	418
11月末	19,388,881	464
12月末	23,284,096	557
1948年 1月末	27,178,275	650

前掲表와 같이 預金殘高은 1945年8月15日現在 4,180百萬圓으로부터 1948年1月末에는 27,178百萬圓으로 650倍의增加를 示現하고 있는데 其間의經過를 一瞥하면 1945年9月末 預金の激減은 周知와 같이 預金の 雷取의 結果였다 降伏放逐을 受든 本國歸還을 豫想한 日本人預金者가 各金融機關에 殺到하여 瞬時間에 金融恐慌狀態를 現出하였다 그 額은 9月9日 美軍進駐까지 27億圓에 達하였던 것이다 其後 激動事態의 時間的 安定에 따라 預金額은 漸次 正常狀態로 回復되었고 1946年3月頃에는 大體로 原狀에 復歸되었다 그런데 當時 混亂渦中에 處하여 難局收拾에 焦急한 나머지 金融政策上 若干 慎重을 缺한 措置가 있었으니 그것은 國庫金の 普銀配賦制이었다 1946年 下半年 1947年 下半年을 通하여 金融界를 重壓한 異常的 金融緩慢狀態은 그 預金增加面에 있어 普銀에 對한 國庫金配賦로 因한 所謂 擬制遊資가 큰比重을 占하고 있었다 元來 國庫金은 他國의 例를 보든지 또 資金本質上 으로서나 中央銀行이 一元의 原則이다 取扱함이 原則이다 特別財政인 例에 下에 있어서는 그 原則은 踐行되며 普銀의 資金調整은 別途로 中央銀行의 再割政策 또는 特別融資政策으로 展開되어야 할 것이었다 再言할 바 없이 國庫金은 大體로 3個月以內로 支出된 短期性無利子 預託金인 由로 이 國庫金의 配賦을 받은 普銀은 中央銀行에 換預置함으로써 附利化하는 方式으로 採算을 圖謀하는 消極的 運用만이 妥當할 것이었으나 實情은 國庫金의 累加的 增加와 巨額預金 確保의 交易感에 漸次 割政되어 一部를 營業資金化하게 되었다 大體로 普銀이 資金需給의 壓迫을 回復한 것은 1946年 6月前後인데 其後 資金過剩의 擴大를 示現함에 따라 一部 與信過大의 傾向이 看取되었다 即 1946年 9, 10, 11月 前後 無計畫한 貿易再開景氣에 混迷하여 一部 買占資金融資의 傾向이 散見되어 드디어 47年初頭 商品擔保貸出 禁止의 受難을 當하였던 것은 記憶에 새로운 點이다 如斯한 金融基調을 調整키 爲하여 國庫金의 朝銀集中이 47年 下半年以後 漸行되었으며 一方 朝銀의 再割政策이 並行되었던 것이었다

市中銀行預金構成의變化

	納 預 金	定期預金	對總預金比率	當座預金	對總預金比率
	千圓	千圓	%	千圓	%
1945年8月15日	2,245,361	727,685	32	314,909	14
9月末	956,501	277,211	29	197,821	20
1946年 3月末	2,833,207	321,429	11	869,584	31
9月末	6,233,590	985,448	15	2,178,161	34
12月末	8,251,895	1,105,553	13	3,098,768	37
1947年 3月末	9,649,873	1,249,576	13	3,348,624	34
6月末	10,465,186	1,214,860	12	3,681,308	35
9月末	13,248,737	1,292,431	10	5,181,993	39
10月末	12,828,529	1,313,068	10	4,739,700	37
11月末	13,972,556	1,360,425	10	5,401,892	42
12月末	16,695,682	1,652,083	10	5,959,418	35
1948年 1月末	18,918,326	2,079,429	11	6,965,768	37

市中銀行預金支拂準備率의推移

	總 預 金	支拂準備金	準備率
	千圓	千圓	%
1945年8月15日	2,245,361	197,850	9
9月末	956,501	364,736	36
1946年 3月末	2,833,207	786,713	28
9月末	6,283,590	1,763,957	28

12 //	8,251,895	2,455,582	30
1947年 3 //	9,649,873	3,493,755	36
6 //	10,465,186	3,487,097	33
9 //	13,248,737	3,693,784	28
10 //	12,828,529	2,286,145	18
11 //	13,972,556	2,897,149	21
12 //	16,695,682	3,944,693	24
1948年 1月末	18,918,326	4,640,541	25

預金構成의變化는 인플레이션의樣相을 端的으로反映하여 定期預金の低下 當座預金の增大을 招來하고있다 過去日帝時代의構成은大體로 定期預金이全體의 40% 内外를占하고 戰爭末期에있어서는 30%以上을維持하고있었는데 解放以後에 이르러는 不過10%内外로下落하였고 그反面에當座預金이增大되었다 如斯한要求拂預金の增加와 長期性預金의減退는 必然的으로 (가) 銀行으로하여금資金運用面에있어 長期投資를不可能케하고 短期運用에 집중케하였다 (나) 支拂準備金 또는 現送資金手配難으로基因하여 多額의時在金을攝거하여 資金効率을損耗하고있다

即 掲表와如히支拂準備金은解放前 10%未滿으로부터 平均 30%以上이하여 經營上의困難을加重하고있다 更言할것없이 現段階에있어 長期資金의調達은 그것이 預金의形式이든 起債의形式이든 甚히難望靚된다 一方 長期性資金의需要는 增加하고있는데 前述한바 預金의量的增大에도不拘하고 其質的脆弱化는 此에 應需키困難한 矛盾을內包하고있는것이아

### 金融機關別預金增加

	1945.8.15現在	1948.1月末	增加高	增加率
殖 銀	千圓 886,795	圓 5,730,443	4,843,648	646
商 銀	458,167	3,074,363	2,616,196	671
朝 興	591,129	4,750,985	4,759,856	804
貯 銀	369,268	1,842,301	1,533,033	596
相 互	—	1,642,347	1,643,347	—
信 託	—	1,876,887	1,876,887	—
企 驛	1,366,907	6,027,144	4,660,237	440
朝 銀	568,561	2,232,805	1,664,244	393
(同業者預金除外)				
合 計	4,180,827	27,178,275	27,997,448	650

### 地域別預金分布狀況 (1948年1月末現在)

	百圓	百圓	百圓	百圓	
서울市	11,990	忠 南	1,563	慶 北	3,006
京 畿	1,766	全 北	1,998	慶 南	3,263
江 原	725	全 南	2,163	合 計	27,178
忠 北	515	濟 州	189		

## 4. 預金通貨와 流通速度其他

### 流通速度와 平均金額

預金通貨에關한計數는 其計算이繁雜한關係로 過去 此에關한研究와 資料는稀少하나 流通速度의測定方式으로

(가) 每日의當座預金平均殘高로 總支拂高 即 流通高를除하는方式

(나) 組合銀行當座預金殘高로 同手形交換高總額中 小切手支拂高를除하는方式이有하나 資料關係로 (가)式에依하고 此에手形交換統計를併記하여 補充하려는다

預金通貨의 流通速度 (서울朝銀本店)

	當座預金平均殘高 千円	月中當座預金總支拂高 千円	流通速度
1945年6月	63,455	1,862,216	29.34
9 //	511,027	2,938,003	5.63
12 //	160,844	964,903	6.00
1946年3 //	138,486	1,368,419	9.88
6 //	153,388	2,023,111	13.19
9 //	212,136	2,608,841	12.29
12 //	227,775	4,077,488	18.89
1947年3 //	348,639	5,719,976	16.41
6 //	794,403	3,903,192	11.21
9 //	435,670	7,928,372	16.32
12 //	785,387	10,601,169	13.49
1948年3 //	779,432	10,980,370	14.09

서울手形交換計數上으로 본預金通貨平均金額

	交換枚數	交換金額 千円	一枚當金額 千円
1945年8月中	36,533	1,156,605	31
9 //	7,369	558,011	75
1946年3 //	13,685	683,345	50
9 //	39,808	2,063,227	51
12 //	50,976	4,262,788	83
1947年3 //	45,325	4,575,824	100
6 //	45,783	4,988,735	109
7 //	47,106	6,150,183	130
8 //	44,352	5,864,974	132
9 //	49,487	6,985,708	141
10 //	56,424	9,086,001	161
11 //	53,466	9,117,646	170
12 //	60,133	11,209,569	186
1948年1 //	55,057	10,855,809	197

解放前에는 流通速度는大體로 20乃至30을示現하고있었는데 解放後에있어서는 約半減하였다. 一般으로 預金通貨의流通速度는 當座預金の增大에隨하여 倍增하였다고보는 傾向이有하나 實相은 그와相反되고있는것을 實證하고있다 此는當座預金增加指數가 流通高指數를 凌駕한 까닭이다. 이것은 또 商去來의量的減少에反하여 待機資金化하고있는것과 解放後政府預金又是 政府代行機關預金이增加하여 比較的長期間殘置되어있는關係이다 다음 서울手形交換計數上으로본 預金通貨平均金額은 1945年8月 一枚當平均金額 3萬1千圓으로부터 1948年1月末 197千圓으로 昂騰하였다 此는勿論物價騰貴關係에基因하는바이나 反面交換枚數가 解放前에비하여 2倍에達하지못하는現象은 小切手利用度에있어 互額去來가 銀行內部の 振替에依하거나 或은直接 現金授受에依하는것이 많은關係로 推測되어 信用制度의解放前狀態로의回復은 아직遙遠히나고볼수 있다.

預金通貨의都賣物價와의關係

預金通貨의 物價引上에對한 作用에關하여는 興味있는兩論이있다 即 當座預金은 주로 商家金融의去來關係로써造出됨으로 其背後에는 商品流通이란 事實이存在하고있다 例하면 當座預金이 商業手形 또는 荷付, 爲替手形 등의 割引에依하여 增加하였을경우에는 物價와通貨가 均衡됨으로 物價騰貴의作用은 發生치않는다는說이나 然而 當座預金은 手形割引으로만 造出되는것이아니라 貸借은政府의 民間에對한支拂資金 또는 銀行與信—— 주로 手形貸付金이受入되어 產業界에流通하게된다 如斯히形成된預金通貨는 반듯이 商品의流通

量과均衡이保持되어있다고볼수는없나 오직 其造出된當座預金은 商品의需要를喚起하고 他方 物資補給이 그만큼增加되지않는限 物價騰貴를招來한다는說이다 現下實情을考察하면 後說이適合한것으로 判斯되며 下表에 있어서도 預金通貨의膨脹과物價騰貴는 密接한相關關係가있음을 實證하고있다

預金通貨와都賣物價와의關係表

	當座預金 千圓	指數	都賣物價指數
1945年 9月末	242,111	100	100.00
1946年 3 //	1,035,099	417	411.04
9 //	2,463,490	993	795.82
12 //	3,324,758	1,430	1,248.69
1947年 3 //	3,716,277	1,498	1,713.36
6 //	4,392,035	1,770	1,819.51
9 //	5,768,831	2,325	2,111.25
10 //	5,408,839	2,180	2,235.28
11 //	5,994,117	2,416	2,555.27
12 //	6,607,822	663	2,848.04
1948年 1 //	8,041,290	3,241	3,064.11

註 當座預金額은 金租及朝銀預金中 金融機關相互預金을除外

5. 結 語

以上屢說한바와같이 現預金의차지하는 重要度又是 經濟界에 미치는影響이 如何한것인가 이것을結論의 由로 要約하면 다음과같이말할수있다

(가) 預金吸收의公共性

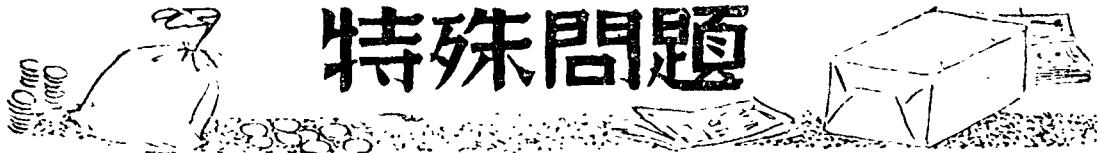
從來에있어모銀行은 經濟界의血液이라는資金을取扱하는關係上 公共性의保持가 重要하였다 그러나解放前의銀行은自己의利益을爲하여 預金을受入함으로써하고 同時에如斯한預金受入體制는 自動的으로 國家의利益과合致케되는 機能이發揮되어있었으나 今일에있어는 一層廣範한意味에있어서의 經濟界의存立또는 인부에의防波堤로써 預金의受入이 重要視되고있다

(나) 資金循環性의保持

國家가新規發行으로 經濟界에注入하는資金이 惡性인부예를 助長치않게하기爲하여는 撒布資金이 循環性을保持하여 中央銀行에還流케해야한다 여기서 循環性保持에는 二段階가有하니 一은 民間資金을普銀이吸收하는段階 二는 普銀이再放出치않고 中央銀行에還元케하는段階의 兩者가있으나 如何間 撒布資金의大部分이短期間內에銀行에 回收되어이한다 茲에貯蓄運動의經濟的意義가있고 銀行亦是自己의業務上으로나 經濟의安全上으로나 預金吸收가重要視된다

(다) 銀行業務上의重要性

經濟的으로 銀行의預金吸收가 重要한것은 前述한바와如하나 銀行業務上에있어도 貸出機能의低下에伴하여預金吸收가重要視되게된다 大體로統制金融이 深化됨에따라 貸出運用은國家的要務에 制約되어銀行이獨自的으로 活動할分野가 漸次減少하여가고있다 共同融資又是 命合融資等 또는 한戰戰爭末期 日本에서主張된資金의「루-어」制等이提案되면 資金運用方面에의 銀行의私秘的活動의營地는 狹少化하여질것으로서 自己의創意로 業務上積極性을가질수있는것은 預金吸收方面에 後退될것이다



# 特殊問題

## 解放後南朝鮮經濟의 特質

### 目 次

- 1. 解放前朝鮮經濟의 特質
  - (1) 第一期 (1910~1921年)
  - (2) 第二期 (1922~1935年)
  - (3) 第三期 (1936~1945年)
- 2. 南朝鮮經濟의 諸特質
  - (1) 前言
  - (2) 金融面에나타난特質
  - (3) 金融機關機能面에나타난特質
  - (4) 財政面에나타난特質
  - (5) 生産機構上의特質

### 1. 解放前朝鮮經濟의 特質

亞細亞의 沈滯性속에서 擬制의 土地公有制反은 存續하는 李朝末의 封建社會가 日帝의 內部의 反撥力으로써 近代資本主義의 旋風에 覺醒하게 된것은 1876年의 江華條約의 前時期이었다 惰眠의 覺醒은 于先國內自給經濟를 對外貿易을 媒介로하는 交換經濟로 轉換케하고 交換經濟는 또한 都市及商港의 新興階級을 胚胎케 하였던것이다 그러나 1876년부터 30餘年後인 所謂合邦에까지의 第1表와如한 入超貿易이 明示하는바 後進國家와 先進資本主義國家가 接觸

(第1表) 開港後外國貿易輸出入價格對照(單位千圓)

	輸入額	輸出額	入超額
1876年7月1日}	4,603	5,103 (出超)	500
1881年6月30日}			
1890年	5,285	3,395	1,890
1895年	6,669	4,866	1,803
1900年	14,777	8,542	6,235
1904年	32,927	7,916	25,011
1907年	41,025	14,113	26,912
1909年	39,781	19,913	19,868
合 計	145,067	63,848	81,219

할때는 반듯이 前者에對한 後者의 經濟的侵略이 示現하는것이니 日帝大院君執政時代의 領國主義가 列強先國의 政治的容辱을 不許하였던것과 經濟的現狀은 非可見의 日帝의 觸手를防禦할民族各自의 自覺이 없이는 結局 挽回하기 어려운 事態를 빚어내고 마는것이다 今日의 南朝鮮經濟는 直接 韓日合併의 歸結은 아니되 日政下의 朝鮮經濟를 省略하고는 決코 그特質을 陳述할수는 없는것이다 換言하면 日政下의 朝鮮經濟는 近代의 朝鮮經濟를 發見시킨 母胎인 同時에 解放後의 今日의 日政의 朝鮮經濟를 歸結시킨 主因이 되었는것이다 이리하여 解放後의 南朝鮮經濟는 基本的 編成을 完成 못하고 各處에 日政下 朝鮮經濟의 傷處가 있는 만큼 우리는 順序로써 解放前의 朝鮮經濟의 特質을 考察함으로써 今日의 南朝鮮經濟의

特質을 究明하여야 할것이다 이런意味에서 解放前의 朝鮮經濟의 特質은 第一期乃至第三期로 나누어 各期의 特質로부터 綜合的 特質에 言及할가한다

#### (1) 第一期 (1910~1921年)

第一期에 있어서의 朝鮮經濟의 特質은 單純農業生産體制의 確立과 資源開發資本의 誘導에 있다 即 1876年 江華條約에 依하여 第2表와如한 200餘個所의 商館을 設立하여 1910

(第2表) 1896年現在外國商館數

	仁 川	釜 山	元 山	計
日 本	26	132	52	210
清 國	16	14	12	42
獨 逸	2	—	—	2
美 國	2	—	—	2
英 國	1	—	—	1
佛 國	1	—	—	1

※年以前에 벌써 第1表와如한 入超總額計 82百萬圓의 收奪貿易을 先導한 日本은 1908年에 드디어 東拓의 國內投資를 提倡하여 가장 短期間에 資本增殖을 꾀하던 餘勢로 韓日合併後인 1910年을 嚮하여 朝鮮의 封建的 經濟體制를 米穀生産經濟에 集中시키는 한편 亦是 原始産業의 獨占을 꾀하여 三井鐵業(1912年 价川鐵山開掘) 古川鐵業(1912年 龜城鐵山開掘) 三菱鐵業(1913年 徐二浦金山開掘)等鐵山開發資本의 導入乃至는 三井資本系의 林業經營等을 誘導하였다

그리하여 前記單純農業生産體制의 確立을 爲하여는 1910年3月부터 1918年11月에 終了한 土地調査事業及 1911年의 倉社合 1912年의 不動產登記令 農地賣買令을 通하여 近代의 土地所有制를 日人에게 有利하게 展開시키는 한편 朝鮮人에게는 半封建的 零細農과 半封建的 小作關係를 強化하여 이에 1902年 朝鮮에 있어서의 法貨發行을 許하게된 第一銀行의 金融力 便通을 助長하여 農產品 價格의 廉價提供과 小作料及 地租負擔을 貨幣經濟化한 結果는 國內의 으로는 階級對立을 激化시킴은 아니라 農產物의 強制收奪過程으로서의 日本商品과 朝鮮農產品의 不平等 價交換을 助成하였는것이다 實로 이러한 農林投資의 激進

으로 1910年當時에는 朝鮮輸出貿易總額19,910千圓中 米穀輸出額이6,270千圓(31%) 大豆輸移出이 5,270千圓이 든것이 1916년에는 輸移出總額56,800千圓中 米穀輸移出은 19,350千圓(34%)大豆는 6,010千圓으로 變遷을 보였고 이는 다시 1921年即 第一期的最後段時에 있어서는 輸移出總額 218,270千圓中 米穀輸移出은92,550千圓(42%)으로 歷例的

인 首位를 차지하게 되었는것이다

一方 資源開發로서는第3表와如히 尙大한礦物을 採掘하였으나 이는 周知하는나 金鑛石의 對日輸出과如히 1921年以後의 農工併進時代까지는 舉皆 日本으로 搬出하여 왔는것이다

(第3表) 主要礦種發掘量(1910~1921年)

	1910年	1911年	1912年	1913年	1914年	1915年	1916年	1917年	1918年	1919年	1920年	1921年	
銀	產量	177,579	194,370	224,989	834,321	571,331	682,991	776,966	823,320	1,347,049	140,059	24,191	91,973瓦
	價額	6,555	7,118	15,097	28,760	18,920	22,594	33,731	45,731	85,869	10,061	986	4,775圓
銅鑛	產量	404	21	89	48	6	135	12,903	302	251	13	—	一担
	價額	21,488	648	5,120	2,154	229	9,506	308,846	77,584	3,224	700	—	一圓
銅	產量	—	952	2,198	2,113	1,292	—	—	2,240,502	3,105,194	2,287,954	858,911	374,724噸
	價額	—	51	1,522	1,610	1,477	—	—	2,603,879	2,952,934	1,906,628	516,935	17,986圓
鉛	產量	—	—	—	—	—	280,374	704,985	262,257	653,234	584,690	—	一担
	價額	—	—	—	—	—	—	—	296,328	113,644	243,592	185,104	一圓
鐵	產量	—	—	—	—	—	8,274	1,871	2,422	12,830	3,211	3,483	1,406噸
	價額	—	—	—	—	—	269,438	5,530	10,260	60,692	36,236	79,768	4,795圓
鐵鑛	產量	40,365	101,374	122,503	149,049	182,034	259,157	245,418	140,653	199,697	416,581	447,247	242,225噸
	價額	421,462	162,988	201,845	233,975	293,144	357,409	385,774	401,081	924,065	3,094,573	4,189,848	1,716,170圓
黑鉛	產量	798,343	749,241	1,034,230	1,229,958	653,755	547,840	786,236	883,733	7,040,782	9,240,476	11,211,675	7,213,815担
	價額	153,477	169,065	234,799	252,883	152,282	215,077	394,779	1,001,299	599,465	258,757	300,047	208,902圓
石炭	產量	78,453	121,304	127,870	127,989	183,262	229,121	190,760	195,140	188,623	219,554	289,036	310,590噸
	價額	383,781	539,497	557,802	570,158	810,752	997,746	819,221	1,149,532	1,315,873	2,124,831	3,917,153	3,192,262圓
沃鐵	產量	2,479	732	803	1,125	1,962	3,945	8,193	8,827	5,742	6,301	6,930	7,686噸
	價額	246,631	230,000	293,000	372,000	517,000	970,000	2,816,000	2,176,000	1,641,000	1,672,000	1,512,000	1,489,000圓

그러나 이러한 特質의裏面에 있어서 發展된 諸交通業 金融業 倉庫業 特히 產米運動의 直接的 效果的 하나인 精穀工業의 發達은 第4表와如히 顯著한 足跡을 보였으니 精米工業만

	1916年	1918年	1920年	1922年	1923年
精米工場	25	20.5	40.2	36.8	100
精酒及醬油工場	31	19.7	39.4	37.8	100
煉瓦及石灰工場	33	19.5	37.4	39.8	100
鐵工場	37	19.5	35.2	41.6	100
煙草工場	36	16.2	25.3	54.9	100

(第4表) 1908年以前各種工場設立狀況

	1901年以 前의 創立	自1901年 至1904年	自1906年 至1908年	合計
精米工場	—	11	20	31
精酒及醬油工場	—	9	4	20
煉瓦及石灰工場	—	6	7	13
鐵工場	1	6	3	10
煙草工場	—	1	5	6
印刷工場	—	1	3	4
製糖工場	—	2	—	2
織物工場	—	—	1	1
동그림工場	1	1	1	3
其他	3	6	9	18
合計	14	38	56	108

보드라도 動力受得及輸移出의 便利한 位置에 있는 開港市及 都市에의 集中傾向을 보였고 이러한 工業立地의 都市集中傾向이 바로 爾後의 一般工業發展의 地理的 條件을 낳았는것이다

以上要言하면 單純農業生産體制와 資源開發을 特質으로서 第一期的 朝鮮經濟의 自然的 伸張은 朝鮮經濟의 資本主義化를 農村 鑛山으로부터 都市, 工業市로 逆流시키고 달았으며 公正한 産業革命的 意識에서 본때 朝鮮經濟의 米穀經濟化體制는 都市及農村의 近代化에 이바지한 最大의 要素이었는것이다 第5表及 第6表에서 此期間의 工場勞動者數의 增加를 알 수 있는 同時에 農業人口中 特히 小作人階級の 增加가 工業勞動力的 給源이 되었음을 알 수 있다

(第5表) 農家階級の變遷

	地主	自作	自作兼小作	小作	合計
1914年	1.8%	22.0%	41.1%	35.1%	100%

(第6表) 工場及勞動者數累年對照

	工場數	勞動者數		合計
		朝鮮人	外人	
1911年	252	12 千人	2 0 千人	14 0 千人
1915年	782	20 千人	3 7 千人	23 7 千人
1918年	1,700	40 千人	6.7 千人	46.7 千人
1920年	2,087	55.3 千人	—	55.3 千人
1924年	3,845	73 1 千人	—	73.1 千人
1932年	4,643	110 7 千人	—	110.7 千人

(2) 第二期(1922~1935年)

此期의 朝鮮經濟의 特質은 所謂農工併進體制인 同時에 重工業의 發行的 發興이다

第1期에서 記述한바와같이 米穀經濟化過程의 最終段階層을 促成한 都市及開港地方에 있어서의 精米工業의 發展은 朝鮮經濟의 産業革命的 動因으로서 運輸業及 動力開發과 더불어 自然發生的으로 朝鮮의 前世紀的 經濟體制를 價格經濟化의 길로 推進시켰는 것이며 此伸張力을 最後의 餘波로 表面化하게 된 것은 1927年~29年에 걸친 世界恐慌의 餘波로 米價의 暴落이 朝鮮米의 日本米에 比한 生産原價의 低廉條件을 더욱 強化한 데서 始作한 것이다 即 1929年을 前驅로 한 世界的 物價暴落時代에 있어서 朝鮮經濟가 內在的 發展力을 繼續하는 唯一의 課題는 米價低落에 依한 流通及 生産機構(農業人口包含)의 工業部門에의 轉換이었으며 從來의 日系資本進出의 工業化部門에의 繼續的 導入이 있었는 것이다

1927年의 朝鮮窒素肥料(日本野口系) 會計量이 1,100 噸이었고 1933年의 長津江水電(野口系) 同年의 朝鮮麥酒(三井系)



朝鮮기린麥酒(三麥系)1935년의 東勃平壤工場(伊藤系)同年의 小野田세인트湖里工場(三井系)1935년의 鍾紡光州工場(三井系)同年의 北朝鮮製紙業(三井系) 등의 朝鮮進출과 한편 1934년의土地收用에依한 工業用土地價格統制及補助金制度에依한 動力資源調査費, 工業補助費, 製鐵獎勵費 등의 支辨等은 工業振興策의 積極의例面인것이며

1931년의 重要産業統制法及 工場法保留 1934년의 朝鮮米增産計劃의中止와 이에代身한 工業原料確保爲한所謂南棉北羊政策은勿論 無水酒精原料로서의 馬鈴薯, 甘藷, 化學工業으로서의 鱈魚及魚油等의增産策其他 工業生産品의 海外進出은 容易하게하기爲한 朝日間의 關稅解除等은 間接的인 工業育成策으로써 實施되었던것이다

그러나 이러한條件의具備에도不拘하고 朝鮮工業은終始日本財閥의 獨占化를 招來하지 않을수 없었으니 元來 朝鮮內土資資本의 微弱한狀態에 便乘한 日系資本의 導入인것만큼 當時의 朝鮮의日政當局도過大한 豫算으로써 工業振興을支辨할수 없었고(工業助長政策諸費는 每年度歲出豫算의 0.3%內에 이르렀다) 또 1932년의 滿洲邦變遷契機로한 日本政府의豫算擴張이 朝鮮의官業工場乃至 供進並重工業誘導을 促進한것으로 비로소 此第二期後末에 屬하는것으로써 概觀하여 中日戰爭開始까지의 工業發展은 依然 農業經濟의 次位에屬하였다 할수있다

(第7表) 1930年~1935年農産額과工産額對照

	總産額	農産額	工産額
	千圓	千圓	千圓
1930	1,176,086(100%)	724,227(62%)	280,963(23.9%)
1931	1,114,494(100%)	702,855(63%)	252,924(22.7%)
1933	1,520,580(100%)	920,841(61%)	367,235(24.2%)
1934	1,739,664(100%)	1,020,147(59%)	438,401(25.2%)
1935	2,090,459(100%)	1,147,055(55%)	607,476(29.1%)

(3) 第三期 (1936~1945年)

此期の 朝鮮經濟의特質은 日本의大陸侵略及太平洋地域侵略을爲한 軍事的重工業體制의強化와 日系資本의獨占的獨占完成에있다 即此期の初始인 中日戰爭開始를 契機로從來의 農工併進體制의朝鮮經濟는投下資本, 生産施設을爲始한 諸經濟力을動員하여 1939年의 物資動員計劃에依하여全體의으로軍需工業中心으로 再編되었던것이다 그리고 此生産體制의 急變에따라 戰時立法인 資金調整法(1937年10月5日附)

(第9表)

朝鮮對日本貿易推移

(單位千圓)

	(1)	(2)	(2)의(1)에	(3)	(4)	(4)의(3)에
	輸出總額	對日輸出	對한比率	輸入總額	對日輸入	對한比率
1931年	261,758	249,026	95.14%	270,466	217,770	80.52%
1934	465,367	407,693	87.61%	516,149	438,622	85.17%
1936	593,313	518,049	87.31%	763,417	647,918	84.87%
1938	879,606	710,539	80.78%	1,055,927	921,345	87.25%
1939	1,006,784	736,883	73.19%	1,338,448	1,229,417	91.85%
1940	—	741,424	—	—	1,335,715	—
1941	—	788,831	—	—	1,360,993	—
1942	—	752,286	—	—	1,374,746	—
1943	—	722,368	—	—	1,135,699	—

註 1940年以後의對外貿易은皆對日關係였다고는 恣意의였음을알수있다 그러나留置한바는 朝鮮經濟의此重工業化階段에 있어서도 農業生産力의 追加的振興이없었던바는 아니며 日政當局도 戰時中食糧對策으로서, 1940년부터六個年計劃으로 耕種改良에依하여 511萬石, 土地改良에依하여 169萬石 計680萬石의增産으로 平年作基準 2,325萬石을

外國爲替管理法及輸出入品臨時措置法等은 朝鮮經濟의 現地自辨體制을 造成함에 短期間의効力을 보였으니 前記資金調整法(臨時)은 積極的으로는戰時産業에對한 重點投資을目的하였을뿐아니라 1938年發足인 朝鮮金融團의自治能力을動員하여 信用業務에 있어서의 金利의平準化와貯蓄獎勵運動을展開하여 公債消化에 注力하였고 後者인外國爲替管理法及 輸出入品臨時措置法等은 圓系의Link貿易의 推進에따라 朝鮮經濟의 自給自足的體制(輸入制限 輸出統制)의 消極的定立을招來하였다. 一方國內에는 中日戰爭以來 軍事費發給出超過의 危機에놓인財政赤字을補充하기爲한 增稅와官業의補強이있은 同時에第3表와如히

(第8表)

朝鮮內各種銀行資金調達狀況 (1939年上半期現在)

	外來資本導入額	同比率	
	千圓		
朝鮮 銀	155,129	13.7%	總資力
殖 銀	627,802	55.4%	1,632,863千圓
銀行	274,580	24.2%	日系資本은
貯 銀	75,235	6.6%	約80%
合計	1,132,746	100.0%	

日本金融資本의導入으로써 金融團의 資金調達을되하였으니 官係的産業誘導과 步調을따하여 行政當局의秘密配託에依하여 積極的으로 進출하게된 日系巨大資本은1940年초初期에이르러면서 國內全産業資本의 74%를保持하게되여 化學工業, 紡績工業, 麥酒工業, 其他 精密工業의獨占化過程이 第二期의後末段階에서부터 萌芽되게된對하여 此第三期에서는 石炭(阿吾地) 製鍊(元山 項項 嶺南浦) 刊로(新義州 吉州) 機械(京仁地方) 세멘트(三陟川 內里) 造船(釜山)의 諸重工業分野의獨占過程이 短時日間에 結實하게되였다 第9表는 此第三期에 있어서의 具體的인 工業資材 即原料, 生産設備等의 對朝鮮進出이朝鮮의 貿易Balance를 飛躍的인入超로 (特히1939年以後)變移시켰은 事實을證左하는것이다 그러나朝鮮으로부터의 對日輸出額은 此期에 있어서 從前에比하여 減退된것은아니라 朝鮮에 있어서는 此期에는 前記한 農業의不振으로 農産物同加工品의 對日輸出額은 減少되였다하더라도 鐵物及金屬等原料品의 對日輸出은 戰勢에 即應한 時間的要請으로써 短期間에 生産物化한 日本工業都市에 直送

3,005萬石에引上하도록 每年度豫算에서 所要經費를 2億圓이나計上한것이였다 이 諸한結果는 米穀生産高에서만보더라도 1934年—1938年間의 20,989千石으로부터 1940年—1941년에는平均生産高 23,206千石의 好成績을보였던것이다 다음其後1942年—1944年까지의 太平洋戰爭期間은 朝鮮農家人

口의 鐵用及 戰爭遂行을爲한 生産及流通機構의 軍亦優  
先主義로因하여 年平均産 16,818千石에低下된것으로 施政  
上의基本方針인 農主工從의事實上에 있어서 工主農從의時  
局의變質을왔는데 不過한것이 絶對多數의 農村人口와  
零細農의基盤은 朝鮮經濟의半封建的特質을 棄揚하기에는  
아직도時期가尙早하였던것이다

(第10表) 1936年~1940年農産額과工産額對照

	總産額		農産額		工産額	
	千圓	千圓	千圓	千圓	千圓	千圓
1936	2,331,407	1,151,124	49.4%	730,006	31.3%	
1937	2,839,456	1,490,892	52.5%	959,308	33.8%	
1938	3,073,958	1,490,897	48.5%	1,142,598	37.2%	
1939	3,902,077	1,548,000	39.7%	1,458,277	37.4%	
1940	4,440,000	1,700,000	38.3%	1,800,000	40.5%	

말으로써太平洋戰爭開始後 解放前까지의日帝의所謂總力戰政  
行에繼任朝鮮의國民所得에關하여 一言하면當時의 朝鮮總  
督府財務局에依한 朝鮮國民所得配定은 第11表의如한 것  
이었으나 實地 朝鮮內의 金融機關及民間의 所得預金形  
態로 日本公計債券及 證券에對한投資은 重要な 金額은  
第12表의如히 106億圓餘의 額에 達했던것이다

(第13表)

朝日民族別業種別工業會社統計表

(1941年12月)

	朝鮮人				日本人				合計	
	社數	比率	拂込資本金	比率	社數	比率	拂込資本金	比率	社數	拂込資本金
紡織	35	38.5	6,948,200	14.56	56	61.5	40,770,000	85.44	91	47,718,200
金屬機械器具	65	27.8	8,646,400	5.73	169	72.2	142,124,289	94.27	234	150,770,689
釀造及食品	345	70.3	15,787,636	46.36	46	29.7	18,269,221	53.64	491	34,056,857
製藥	44	53.7	2,782,500	49.74	38	46.3	2,810,980	50.26	28	5,593,480
窯業及製品	16	20.8	888,300	3.73	61	79.2	25,504,750	96.27	77	26,493,050
精穀及製品	89	50.9	2,827,463	19.65	86	49.1	11,558,459	80.35	175	14,385,922
食料品	19	15.6	401,000	3.00	103	84.4	12,957,150	97.00	122	13,358,150
製材及木材	17	16.5	3,018,875	15.05	86	83.5	17,034,189	84.95	103	20,053,064
印刷	39	46.4	475,800	17.24	45	53.6	2,283,400	82.76	84	2,759,200
化學	43	29.9	3,767,300	1.95	101	70.1	189,486,175	98.05	144	193,253,475
其他	102	28.3	3,294,998	11.65	259	71.7	24,993,625	88.35	361	28,288,623
合計	814	41.4	48,938,472	9.10	1,150	58.6	487,792,238	90.90	1,964	536,730,710

以上 第一期부터 第三期에通한 解放前의 朝鮮經濟의  
特質을 要約하면 이는

- (1) 不等價交換關係로 形成된 換骨(尻) 經濟인것
- (2) 半封建的農業生産關係와 跛行的인工業生産關係의交錯이었던것

의二條로 規定지을수 있다

- (1) 은 곧 金融貨幣面에나타난 植民地의朝鮮의被收奪過程을 指摘함이고
- (2) 는 原始的的農業勞働力의 強製造出과 工業生産關係에 있어서의 有機的關聯특히 中小工業과 重工業과의關聯이缺無하였음을 指摘함이다. 이러한 狀態는 朝鮮에對한 日系資本의 殘虐的侵略이 日本의過大한戰費負擔을表面課税로하여 그 抽出을容易하게한結果 朝鮮의植民地統治理念이 日系金融資本家에게 埋伏을不可避하게한 것이었다고하겠나

## 2. 南朝鮮經濟의諸特質

### (1) 前 言

(第11表) 日政下朝鮮의國民所得配分計畫表

	國民所得	配 分 計 畫			
		財政資金	國民消費資金	貯蓄(國債消化及生産擴充資金)	消費(國債消化及)
	億圓	億圓	億圓	億圓	
1941	30	5.0	19.0	6	
1942	35	6.0	20.0	9	
1943	40	7.1	20.9	12	
1944	55	10.2	21.8	23	
1945	70	12.1	22.9	35	

(第12表)

### 朝鮮金融機關及民間의日本公債・債券・株式所有高 (單位百萬圓)

	日本政府債券	日本地方債・證券・株式	合計
金融機關	7,015	2,102	9,117
民間保有(推定)	1,000	500	1,500
合計	8,015	2,602	10,617

이러하여 비록 1941年現在로만 보아 第14表와如히 朝鮮內의 民族別會社資本構成이 日人의壓倒的優勢로서 나타나고 있더라도 이는 決코 朝鮮人自體의 積極性이 樹立된 金字塔의 아침을 認識하여야 할것이다

1945年8月15日 日帝의 羈絆에서 벗어난 朝鮮은 北緯三十八度를 地境으로 對立되는兩이데오르기一下에 相異한 經濟體制의地域으로兩分되었으니 北朝鮮의 社會主義的經濟體制와 南朝鮮의 資本主義的經濟體制가 곧 이은 代辯한다

그러나南朝鮮은 上記 資本主義的經濟體制를 갖는다는 意味에서 經濟的基本構造인 所有權의激動은 없었다 으즉 南朝鮮經濟體制의 形態의構造에 있어서의 變動이라 指摘할것은 解放前의 日帝의統制經濟의 解弛와 資本主義特有的의 自由競爭의 露骨의撞頭인것이다 即大部分의 歸屬 寡業體의 過渡的인國營과 舊官營企業體의 階性的運營을 除하고는 國民自體의 弱少企業은 資本의限界能率의 高騰한 곳을 따라 潮水와같이 물리고 銀行의貸付制限에 便乘한 高利貸資本의 跳梁은 企業家로하여금 自暴自棄的인價格引上을 不可避하게 하였다

資本과勞動力 生産者와 消費者는 商品交換의 不圓滑로因한 物價高騰 伏線으로 漸次 所得獲得力의 缺狀의 差異를 齎來하였고 Inflation 의過渡過程을 換物思想을

流布하여 相對的物資不足을 絶對的物資不足에 導入하였  
다 누구나 다 一 建國을爲한 誠實한勞務은 아끼지 않았  
으나 家計的動搖와 投機熱의誘發은 冷靜한反省을 不許  
하였다 迂回生産은停頓되고 注業資金은 한결같이 商業  
資金化하였다 多少當局과 金融團의努力으로 國民貯蓄은  
漸增하였으나 投資對象의制約은長期預金構成의 崩壞를 促  
속하고 外來商品의 氾濫은 더욱企業熱을 消滅시켜 國  
民所得의 安定的增殖을 期待할수 없게되었다 歸還同胞, 南  
下同胞의增加는 더욱 此擾亂을助長시켰고 住宅難은 (第  
14表) 이므로 一層 激化되었다

擴大再生産이없는 經濟는 破滅의 經濟이다 1947年末  
現在 2千萬에 가까운人口를擁하는南朝鮮은南下同胞 歸還

南朝鮮重要都市行政地域別人口及住宅數之

(第14表) (1946.12.31現在)

	人 口	住宅戶數	1戶當住居人數
서울	1,141,766人	127,743戶	約9人
仁川	250,700	48,576	5
水原	48,000	9,000	5
開城	83,602	13,197	6
忠州	37,751	6,423	6
大田	96,207	17,009	6
三陟	27,726	4,881	6
群山	71,496	13,304	5
光州	117,900	21,200	6
麗水	59,568	11,625	5
大邱	269,113	50,151	5
釜山	400,000	80,000	5
馬山	84,806	16,961	5

註 邦以鑑定部調査

(第15表)

서울市人口及戶數變遷

1945年末		1946年末		1947年9月末		1948年1月末	
人口	戶數	人口	戶數	人口	戶數	人口	戶數
901,371	107,270	1,141,766	127,743	1,563,912	134,921	1,661,844	136,504
				(世帯數281,223)		(世帯數293,541)	

註 서울市廳資料에依함

※同胞等의 生計保障을爲하여 아무平穩한 處置를못하고있  
다 거리의 失業者數의約60%를占하는 罹災民은勞動力을  
가지면서도 非自發的失業에 罹하고 있다

(第16表) 産業別失業者數及罹災民數對照

(1946.11現在)

	失業者	罹災民	比率
農 業	210,287	125,594	59.7%
製 造 業	187,955	106,877	56.8
鐵 業	122,598	79,353	64.7
運 輸 業	39,965	18,794	47.0
土 建 業	141,784	67,599	47.7
官廳,商業	111,347	62,983	56.6
雜 業	237,001	126,060	53.2
合 計	1,050,937	587,260	55.9

어는 民族 어느國家의經濟를 莫論하고 企業의創設 即 擴  
大再生産을爲한 資源 資材의 恒久的인 補充에關한努力이  
없는 國民의厚生은 決코期할수 없는것이다 하물며資源 資材의  
既存量조차 善用 못하고 있는 解放後 南朝鮮經濟의 萎縮相에  
있어서라 ——以下에 南朝鮮經濟의 萎縮相을남는 諸特質을  
金融,財政,生産機構及商品流通經濟面에 限하여 重點的으로  
摘記하려한다

(2) 金融面에나타난特質

金融面에서 觀察할수 있는 解放後 南朝鮮經濟의特質은 여  
러角度에서 指摘된다

이제 諸角을列舉하면

- 1 朝鮮內의 唯一한法貨는 朝鮮銀行券인것
- 2 朝鮮銀行券發行制度는 第一保證格인 軍政總貨上金制의  
創用으로事實上 無制限發行制인것
- 3 解放直後의 日政府及日人退去資金放出으로 27億餘圓의  
通貨가急激히發行되어 所謂擾亂의 Inflation을醸成한것
- 4 金融機構의 自由與信制規定으로 貸出金利節制가 있는  
反面,預金過剩現象을이온것

- 5 日人의公私機關에對한 固定貸付를擁한 市中銀行의經營  
難을緩和키爲하여 預金々利를引下하고 다시貸出金利를  
引上한것
- 6 債券發行의特權은 가진 金融機關의機能이事實上有名無  
實하고各金融機關은 收支均衡策으로서 一般商業金融取  
扱에 轉身한것
- 7 市中銀行의 資金難, 經營難을緩和키爲하여 한편 國庫  
金의市銀分與을實施한것 (但此分與金은經營資金에混合  
되어 市中에放出되어 遊動資金化되고 있다)

이제 以上에서主要한金融現象만을詳述키로하고先 表面  
化된 南朝鮮 Inflation과 預金過剩을 舉例로하면,結果의으  
로 南朝鮮 Inflation은 1945年11月末부터 物價指數의發行指  
數에對한 上廻로契機로 (缺狀의 歪離의始點)國內生産萎縮에  
依한漸進的物資不足及 赤字財政의 季節的支出過多에따라解  
放後兩년에걸쳐通貨價值는急落시키고 하던 高利資本의市場  
進出은銀行與信限度를奇貨로 中少商工業者層을 弄格하여投  
機와物價煽動을不可避하게하고 있다 이러한禍中에서 大衆과  
俸給生活者의貸資貸金은 第17表外如히 解放後急激히低下되  
고있으니 이는 解放前에도 일찍이經驗치 못한所謂獲得力의  
弱화를意味하는것이였다

(第17表) 解放前後의全生産額, 小賣物價指數及  
實質貸金對照

	全生産額指數	物價指數	實質貸金
1936年	100	100	100
1938	142	139	100
1940	198	180	86
1942	210	195	92
1944	254	241	99
1946	—	16,212	43
1947	—	40,926	37

勿論 朝鮮의金融形勢가 解放前에 있어서도 預金過剩을  
露呈하든가 또는 Inflation即 物價騰貴를現出한바없었다  
는것은아니나 1936年을物價指數100으로하면 1944年은241解  
放直前인 1945年8月初에는 300臺의物價騰貴가있었고 朝鮮

券發行高도 48億圓餘 即 1936年의發行指數 100으로부터 2,809의高率에達하였었다 그러나 全朝鮮의生産物價高指數가 1936年의 100으로부터 1944年에이르러 254의指數를示現한데비하면 前記 1944年의物價指數는 오히려 低勢를보여준것에 不過히며 오죽 1944年末의 朝鮮券發行指數 1,878만인 物價指數의相對的高率을 誘引하는것으로가 Inflation의 徵兆의內政을보이고있었던것이나 (第18表參照)

(第18表) 解放前後朝鮮券發行推移

	發行高	指數
1936.12月末	167百萬圓	100
1944.12	3,136	1,878

(第19表)

解放前後南朝鮮金融態勢對照 (單位百萬圓)

	預 金					貸 出				
	定期	當座	特當	諸預金	合計	手形證券	當座代越	手形割引	其他	合計
1944.8	1,122	508	634	769	3,033	2,694	307	106	—	3,107
	(37%)	(17%)	(21%)	(25%)	(100%)	(87%)	(10%)	(3%)	—	(100%)
1947.8	1,627	5,276	4,122	7,375	18,400	7,596	1,271	121	4,227	13,215
	(9%)	(29%)	(22%)	(40%)	(100%)	(57%)	(10%)	(1%)	(3.%)	(100%)

※오이러한市中銀行의經營難을 打開하려는後策이였으며 米資放出을 爲始한季節的農産物收買資金を 市銀에게一任하고 朝鮮銀行은 오직 再割引制을 復活하여市銀의 資金動員을

1945. 8.14	4,839	2,809
1945. 8.	6,020	3,597
1947. 8	19,040	11,378
1947.12	32,342	19,329

이러하여 特實로서舉例한 解放後南朝鮮의 Inflation 이란 朝鮮券發行指數를 훨씬凌駕하며 加速度的으로 進展하는 物價指數의 強勢에서歸濟되려되나

다음 金融面에있어서의 特實이라한인 預金過剩의實證은 第19表에서분수있으니 이는後述한바 金融機器投資對象의缺乏及國民所得의 證券化의擡高가 解放後完全히停止된데歸因한다 市中銀行預置金에對한 朝鮮銀行의特別附行(1946年5月18日附一從前은平均4厘(5毛)2分5厘의利率은 1%※

(第20表)

普通銀行預金總額과國庫預金比較 (單位千圓)

	1946.4	1946.9	1946.12	1947.2	1947.12
(1) 預金總額	2,832,207	6,283,590	8,251,895	8,528,072	16,776,141
(2) 國庫金平均殘高(推定)	444,000	910,000	1,758,000	1,752,000	3,200,214
(2)의(1)對比率	15.68%	14.48%	21.30%	20.54%	19.08%

(第21表) 朝鮮銀行에對한市中銀行預置金額 (1947年12月)

	預置金	總預金高
殖銀	139,730千圓	5,011,791千圓
商銀	180,174	2,841,123
興銀	931,335	3,923,801
貯銀	78,008	1,590,287
信銀	318,017	1,808,732
相銀	228,106	1,600,407
合計	1,875,370	16,776,141

(3) 金融機關機能面에나타난特質

解放前의銀行合及 其他金融機器機能에關한法合에서본다면 南朝鮮의現有主要金融機器의機能分野는如下한것이다

- 發券, 中央銀行 — 朝鮮銀行
- 鐵工, 農林金融 — 朝鮮殖產銀行
- 商業, 一般金融 — 朝鮮商業銀行, 朝鮮銀行
- 中小企業金融 — 朝鮮相互銀行 — 朝鮮無害會社의後身(1946年2月發行局指示로銀行業을開始), 朝鮮信託銀行 — 朝鮮信託會社의後身(同上)
- 貯蓄, 庶民金融 — 朝鮮貯蓄銀行
- 農林金融 — 金融組合

그러나 解放後 第22表와如한日系企業體에對한 固定貸付及 對日債權을 擁하고 더군다나 證券市場의 喪失로因

한 證券投資의결, 또는 投資銀行의 不動產에對한 投資對象을 잃은 市中銀行은 殖銀(及金融組合)의 專業起債機能을비롯하여 信託, 相互銀行의 特殊機能(信託及無害業)의領域에서버서나지할수없게되에 一方 第23表와如한金利率의改正이있었음에도 不拘하고 貯蓄, 信託, 相互銀行의 當座計定及此表에依하여 1947年12月末現在로 未收利

(第22表) 日系企業體에對한利子收入없는 固定貸付 金殘高表 (1947年3月末現在)

	殘高
朝鮮銀行	872,676圓
殖產銀行	1,000,000圓(推定)
朝鮮銀行	174,565圓
商業銀行	274,324圓
貯蓄銀行	5,953圓
相互銀行	8,477圓
新幹公社(例外)	207,442圓
合計	2,543,435圓

子를 計算하면 4億4千萬圓에對한 (1945.8.15以後868日步2錢計算)

(第23表) 金利率準(其一)預金利率

	解放前	現在
定期預金	年3.4—3.5%	年3.2%

當座預金	日步1厘(年0.3%)	日步 0%
特 當	// 6厘(年2.2%)	日步 5厘(年1.8%)
通 知	// 7厘(年2.5%)	日步 6厘(年2.2%)
其 他	// 7厘(年2.5%)	日步 6厘(年2.2%)
朝鮮에對한市銀預資金		(年2.5%)

金利水準(其二)貸付金利率

50萬圓以下	日步 3錢—4錢(年11%—14%)
50萬圓以上	// 2錢—3錢(年7.3%—11%)
政府保證貸付	// 1錢5厘(年5.5%) 糧穀收集資金 又是一部生產工場에對한것

同業者에對한朝鮮銀行의當座仕越 // 1錢1厘(年4%)

1945.8.15—1945.9.30의預金徵收에對한非常金融資金(年1%)

一般市中金利 日步 15錢—30錢(年55%—100%)

※特別當座計定乃至는 貸出計定에 있어서 當座貸越及 割引手形 在着手形等商業貸付計定の 割處을남게리었으며 解放後 1947年 7月 15日 創立된 朝鮮換金銀行의 貿易金融取扱을除外하는 貸出解放後의 南朝鮮重要金融機關의機能은 混雜狀態에있다고 볼수있다 이러한投資銀行의商業銀行의 或은産業銀行의諸機能分野의 混雜이解放前과같은嚴格한金融統制의理念을模倣하지않고서 南朝鮮의金融體勢가伸縮力없는 預金過剩에歸結되었다하여도 過言은아닌것이다 그리고 全金融機關의盈餘의하나인長期生産資金의捻出이如意치못한것도 機能相互間의長期資金貸出忌避乃至는第24表와如한 金融機關의自己資金의尠少(通貨發行高의 5~6毛 = 2/300)에由한것이니 機能全體의 有機的協進을爲하여서는 金融機關의 自己資金의擴充이要請되는바이며 이課題를容

易하게達成하는가 못하는가의過程에있어서 金融機關機能面의再整頓條件——例로債券發行——等이 發見된것이나

(第24表) 朝鮮의銀行數의資本金의發展過程

	本店行數	支店出張所	公稱資本金	同一行當
			千圓	千圓
1906年末	11	12	1,550	140
1907 //	13	22	1,850	142
1908 //	10	27	2,220	220
1910 //	11	43	12,550	1,140
1912 //	14	58	16,390	1,170
1914 //	18	62	13,890	1,105
1918 //	17	86	59,993	3,529
1920 //	23	106	143,350	6,232
1923 //	20	120	143,475	7,173
1927 //	18	123	102,275	5,681
1931 //	15	146	101,425	6,761
1937 //	10	183	99,175	9,917
1941 //	7	213	126,175	18,025
1943 //	5	229	124,175	24,825
1945 // (三八以南)	7	231	151,024	21,575
1947 // (換金銀行除外)	7	175	151,024	21,575

(4) 財政面에나타난特質

解放後財政面에있어서는 當然로獨立財政制度가確立되었다 그러나 解放後의 物價騰貴의 高速化와 戰後의調停主義에호는 豫算編成의技術的隘路로因하여 第25表와如히※

(第25表)

財政赤字趨勢移表 (單位百萬圓)

	1921年度	1941年度	1945.10月~1946.3月	1946年度	1947年度(12月末)
歲 出	148	931	1,176	10,925	16,156
歲 入	175	1,085	328	5,113	8,658
赤 字	+27	+154	-848	-5,812	-7,498

※赤字財政은 解放後 每年度에걸쳐 危勢를보이고있다

다음 歲出歲入面에서 此赤字財政의 特質을究明하여 보기로하고于先 歲出面에서부터 檢討하면 全般的으로 歲出總額은 解放翌年인 1946年度에있어서 日步, 日本의太平洋戰爭初期年(1941年)度의12倍 1947年度에는 17倍로飛躍하고있다 이를다시 歲出의人口一人當額高에서보면 1941年度는 38.30圓 1946年度는609.2圓 1947年度는 971.92圓이더 可驚한態勢이나

이러한 歲出內容을살피면 歲出科目中比率이 增大된것은 第27表와如히官業費와行政及教育費이다 特別 行政及教育費의 增大는解放後新朝鮮의 民主教育實施費와 治安維持를爲한警備費의增加가原因이 되는것이다

다음 歲入面을檢對하면 一般的으로戰後의經濟社會의混亂과 財源移動의激盛에依한一般稅源不足을補充하기爲한官業收入의 增加企圖가顯著히보이고 1947年度에있어서는 租稅收入(豫算)은第29表에서보는바 所得稅 酒稅 遊樂稅租稅 入稅稅※

(第26表)

歲出豫算累年對照

	歲出豫算	指數
1910年度	48,715千圓	100
1919	122,000	2 0
1932	214,060	439
1937	407,000	835
1941	931,000	1,910

1946	11,800,212	22,159
1947	19,445,172	39,896

註 1947年度豫算에는追加豫算包含

(第27表)

主要歲出科目對照表

	1944年度	同比率	1947年度	同比率
	千圓	%	千圓	%
官 業 費	678,000	28.7	6,087,910	34.3
行 政 費	583,000	24.7	6,734,513	38.0
土木及勸業費	167,800	7.1	813,200	4.6
神社及教育費	119	—	1,426,442	8.1
倉庫增產費	352,000	14.9	1,198,971	6.8
資源採掘費	73,000	3.1	413,500	2.3
軍事費其他	505,069	21.5	1,044,628	5.9
合 計	1,012,577	100.0	17,719,164	100.0

註 追加豫算除外

(第28表)

歲入科目別比率對照表

	1937年度	1944年度	1947年度
	17.0%	21.3%	20.0%
租 稅			
印紙收入	4.4	2.2	0.5
官業及官有財產收入	54.6	43.5	65.0

公債收入 (貸上金)	15.2	27.1	12.0
(補充金)其他	8.8	5.9	2.5
合計	100.0	100.0	100.0

※相續稅(以上解放後增稅)等の增加로租稅收入率은1944年度의舊該科目比率에接近하고 있다

(第29表) 主要租稅收入比率對照表

	1947年度南朝鮮	1944年度全朝鮮
所得稅	21.0%	30.0%
酒稅	13.0	30.0
遊興飲料稅	14.0	19.0
關稅	0.7	1.4
入場稅	0.9	1.8
相續稅	0.6	1.0

다음官業及官有財產收入의內容은 第30表에서보면1947年度南朝鮮專賣收入豫算은 1944年度全朝鮮의約倍半增率이었으며 運輸收入及遞信收入도 南朝鮮地域만의 收入比較로 본다면額高에 있어서나 比率에 있어서나 解放前의그것을凌駕하고 있는 것이다

(第30表) 官業及官有財產收入對照 (單位百萬圓)

	1944年度		1947年度	
	南朝鮮	比率	全朝鮮	比率
專賣收入	380	38.0%	7,850	70.9%
運輸收入	508	50.7	2,700	24.4
遞信收入	64	6.4	300	2.7
其他官有財產收入	49	4.9	205	2.0
合計	1,001	100.0	11,065	100.0

解放後數次에 걸쳐煙草代 旅客運賃 郵便料 電信料等을 引上한當局의努力로 成果를보이고인은事實이다 다만官有財產收入만은 歸屬財產貨料의 低率로因하여 多少不振狀態에있으니 이는 從速한解放後의 朝鮮經濟에 있어서의 特殊의現象인것만큼贅言을要안바나 難課題로看

(第32表) 鐵鑛及鐵鋼과自然資源의南北朝鮮의比率 (1939年)

	金	金銀鐵	鐵鑛	鐵鋼	重石及水鉛鐵	黑鉛	有煙炭	無煙炭
南朝鮮	29.3%	27.3	0.1	—	21.5	29.0	0.5	2.3
北朝鮮	70.7%	72.5	99.9	100	78.5	71.0	99.5	97.7

※이 金 鐵鑛과같이多少發見된뿐이다

工業額은 主要工業別로 對比하여 보면 叙上의 放行的工業育成過程에서도 南朝鮮地域에對한 工業移植이時型的이었다는것이 判明되니 南朝鮮에서隆盛한工業은 主要 紡織工業 機械器具工業及 食料品工業其他雜工業이었고 金屬工業 化學工業及 瓦斯電氣工業의 低勢는 如實히 工業生産關係及農業生産關係의 縱橫의有機的聯繫의 缺如로代辯하는同時에 日本의對朝鮮産業政策의 無軌道한恣意性을 示現하고있는것이구

(第33表) 工業額의南北朝鮮比率 (1937年)

	總額							
	金屬工業	機械器具工業	化學工業	紡織工業	食料品工業	瓦斯工業	其他雜工業	其他雜工業
南朝鮮	40.6%	7.3	69.4	14.3	76.8	60.7	29.7	63.9
北朝鮮	59.4	92.7	30.6	85.7	23.2	39.3	70.3	36.1

過하여두는것이可은것이다 따라서適宜한時期에 歸屬財產問題의解決만있으면官有財產收入은 勿論 一般租稅의 增加도可望되는 일이며 實는 赤字家計와 零細企業 따라서 創設되는 國民經濟伸張의萌芽은 以上의 萎靡시키지않을程度의 稅源擴張이必要한것이다 이런意味에서1948年度에實施된第3種所得稅의 免稅點引上(從前의 1200圓을 25.00圓으로)及 累進稅長低級을 4割(從前에는 3割)로 改正한財務部의新案은 時宜에適當한政策이라고볼수 있는것이다 此案은1948年 4月1日刊 日和日報에 公表되었음

(5) 生産機構上의特質

解放前의朝鮮經濟의特質에서 管見한바와같이 朝鮮經濟의特質은 生産機構面에있어서는

(1) 農業生産機構가半封建的的管汗制度이었으나 依然朝鮮經濟의特征이었고

(2) 工業生産機構에있어서는 採炭, 採銅, 製鐵及機器器具等諸健幹工業의比重이 적은代身 化學工業 紡織工業及食料品工業等輕工業이 部分的膨大를이루고있음을 因다 그러면 이러한 日帝의遺物이 解放後인 今日の 南朝鮮經濟에 餘긴 波紋은 無었인가?

順序로 于先 南北朝鮮에分立된 解放前의 生産事情의 比重度를 살피기로하자

資料를 解放前의朝鮮經濟發展의 第三期에서取하면 農産額은 第31表와如히 南朝鮮은 米穀 大麥 棉花가 北朝鮮에比하여 壓倒的多産이고 北朝鮮은 小麥 大豆 粟等の雜穀이 南朝鮮보다 多産인것을알수있다

(第31表) 農業額의南北朝鮮의比率 (1936~7年平均)

	米穀	大麥	小麥	粟	大豆	棉花
南朝鮮	69.2%	85.7%	38.9%	20.1%	36.8%	77.3%
北朝鮮	30.8%	14.3%	61.1%	79.9%	63.2%	22.7%

다음 自然資源中特히 重要인物의 南北朝鮮比較를보면 第32表와如히 金 銀 鐵 鈦鐵 有煙炭 無煙炭은 北朝鮮이 斷然優勢이고 南朝鮮에서는 重石及水鉛 黑鉛 等※

이러한 解放前부터의惡條件을 據하는 南朝鮮의生産機構의 解放後의動態를 農業 鐵業及工業面에서通觀하면 于先農業에서는南朝鮮의耕地面積은大略232萬餘町步(6,033,107에-카-)이며 此中 穀物生産에는76% 豆類生産에는10% 野菜 薯類에는 6% 剩餘는果樹栽培로 利用되있으나 解放後1946年의植付面積은 肥料不足 勞働力不足으로 全耕作地의79% 이었고 1947년에는이傾向은 더욱惡化하여實耕面積은71%로低下되었다 特히 1947년에있어서의實耕面積의減少는 水害及肥料難으로因한 二毛作(全植付面積의50%)의困難에 있었던것이며 이는麥類植付를回避하여 米穀의收穫을增加시키려고한 農家自體의 打算에依存하는바도 많은것이다

그러나 米穀生産만은 當局의 督勵도 있고하여 1946년에는1940年~1944年平均生産量의94%이었던것이 1947년에는 112%가 豫想되고있으나 其外의 雜穀에있어서는 大體 如下한 生産遞減傾向을 볼수 있는것이다

(第34表) 南朝鮮雜穀生產趨勢 (單位石)

	1940 ~ 1944年之平均	1945年	1946年	1947年豫想
大麥	5,562,146	1,952,998	3,944,119(粗)	4,246,500
小麥	696,856	322,544	417,218(粗)	562,400

裸麥	2,973,879	1,026,205	2,387,886	1,538,455
胡麥	112,001	137,158	150,086(粗)	28,500

註 1940年~1947年分은 朝鮮月報第3號 P.120~122. 1947年分은 食糧行政處發表에 依한

이리하여 食糧行政處發表에 依하면 下表와 같이 1948年度에 外國(特히 美國)에 依存한 食糧輸入은 ※

(第35表)

南朝鮮主要糧穀供給及消費豫想 (1947.7~1948.6)

供給		消費		
米	2,179千石	非農家	1,108千石	食糧行政處의 12月9日發表인 米數2,274千石及 豫設2,312千石의 輸入計畫과 對照한 때 此表千石輸入計畫은 大部分米穀輸入을 表明한 다음 보았다 米穀1石 = 白米 6.53石 = 小麥粉 10石 = 小麥 7.4石
裸麥	271	(8,100千人)	(每日 米187g 雜183g)	
大麥	472	農家	1,694	
粟	104	(12,200千人)	(每日 米106g 雜32g)	
小麥	76	特配	44	
蕎麥	12	(400千人)	(每日 米100g 雜20g)	
玉蜀黍	7	小計	2,846	
胡麥	3	工業用	518	
蜀黍	10 (以上小計)	其他	190	
豆類	120 (3,254)	期末必要量	190	
輸入	300	合計	3,554	
合計	3,554			

(第36表) 南朝鮮耕作面積及穀物生產減少狀況

	1935~39	1940~44	1945	1946	1947
面積	100	97	86	79	71
穀物生產量	100	94	74	71	—

※300千石이나 이는 1947年度의 對外依存量350千石에 比하면 約20% 減少된 것이니 앞으로 農村近代化에 따르는 各種方法의 種收良 施肥法普及 灌溉施設의 改良과 더불어 當局의 勵行中인 農地開發事業의 效果에 期待한바 多大한 것이 있나 다 음南朝鮮에 있어서의 解放後의 農業生產關係를 概觀하면 第41表와 같이 主要穀類物은 解放前인 1937年에 比하

(第37表) 南朝鮮主要礦產物採掘量

	1937年(全朝鮮)	1946年	1947年
金	19,813兩	9,526兩	144,503兩
銀	75,568兩	58,295兩	532,600兩
鉛	6,400兩	240兩	333兩
銅	4,899兩	14,600兩	183,000兩
重石	1,590	389	1,137
黑鉛(塊狀)	35,420兩	600兩	720兩
無煙炭	1,113,330兩	241,770兩	552,281兩
有煙炭	1,318,075兩	24,507兩	36,020兩

면 全般的으로 微弱한 採掘量을 示現하게 되었던 것이다 이에 對比하면 産業全般 特히 工業發展의 原動力인 石炭의 生産量은 1947年에 들어와서는 比前年 格段의 好成績을 내고 있으며 現下石炭自給率이 10%에도 未及한 動力飢饉에 있어서의 前途가 何事期待되고 있으며 財政項에서도 言及한바 1948年度에 있어서의 적어도 解放前의 炭質積의 70%까지의 質積을 保有 하겠음關係當局의 鑒識이 있을 것으로豫想되는 바이다

附錄 礦產物의 採掘에 있어서의 元來가 絕對的不足인 鑛山資材의 供給이 遲々한 現狀인만큼 1948年度의 質積을 極히 微薄的인 推測밖에 못할 것이며 이에 省略하나 略으로 一言한 것은 鑛山勞働者 特히 技術者의 補充問題이다 即 現在의 南朝鮮의 鑛山施設만 가지고도 技術者의 所要數가 3萬名에 不下할

것인데 實際從業하고 있는 技術者는 不過千名內외의 貧弱한 數字인 것이며 法般過渡政府의 臨時費로써 2億圓을 費出하여 南朝鮮重要農事試驗場及 各地工業技術者養成機關에서 1948年 3月까지 人數如下한 比率로 鑛業技術者 800名을

(第38表)

過政技術者養成目標

農業	10,000名	電氣	1,500名	土木	800名
林業	2,200	化學	720	水產	550
醫藥	900	鐵業	800	鐵道	2,958
機械	1,300	紡績	650	選信	900

註 漢城日報, 1947.11.8

半年期限으로 養成한다 하더라도 年에 1,600名 以上에 各鑛山技術學校에 來入하는 新卒業生數及 鑛山現地習得者를 最大限度 400名을 잡드리도록 年에 所要人員의 1割도 充足 못시키는 現狀에 비취어 볼 때 此問題도 急速한 解決이 要請되는 바이다

(第39表) 南朝鮮歸屬鑛山數及從業員數(1947年9月現在)

	歸屬		非歸屬	
	鑛山數	從業員數	鑛山數	從業員數
京畿	未	調	查	—
江原	123	7,591	89	—
忠南	8	637	5	210
忠北	47	—	—	—
全北	12	90	6	—
全南	39	2,141	23	160
慶北	未	測	查	—
慶南	68	286	36	51
濟州	—	—	—	—
서울	—	—	—	—
中央直轄	未	測	查	—
合計	297	10,745	159	421

工業生産機構의 特質을 指摘하기 前에 먼저 南朝鮮工業地帶과 工業坐落의 變遷을 一瞥하기 위하여 南朝鮮工業地帶은 如下히 三陸工業地帶의 重工業及 京仁工業地帶 1, 京仁工業地帶(京城一仁川間에 鑛業)

主로 紡績工業 金屬工業 機械器具工業 製材及木製品工業 食品工業

2. 三陟工業地帶(三陟,寧越,忠清地方)

主로 化學工業 窯業 蠶抽油脂工業

3. 湖南工業地帶(群山,木浦,全州,光州地方)

主로 紡績工業 精米工業

4. 南朝鮮工業地帶(釜山,馬山,鎮海,大邱地方)

主로 紡績工業 窯業 電球工業 製綢工業

※帶의 中工業의 偏在은 除하고는 三八以南朝鮮의 工業地帶는 大體로 輕工業一色을 가추게 됨을 알수있다 이대 工業生産量을 第40表에서 概觀하건대 中輕工業生産能力은 解放前의 30%未滿에 머무르고있고 特히 鍛鍊工業인 金屬工業은 非鐵金屬工業의 北朝鮮偏在로 南朝鮮에서는 製...

(第40表) 重要部門의 生産萎縮狀況 (單位千圓)

Table with 5 columns: Industry, 1939 Production, 1946 Production, Reduction Amount, Reduction Rate. Rows include Textile, Machinery, Chemical, Wood, Food, and Total.

註 1. 1946年生産額은 1939年平均物價指數에 依한 修正額 (修正率742.28)이고 括弧內數字는 貨數字임 2. 1939年의 生産額은 南朝鮮九道集計임

※電氣製鋼工業이 在庫品原料은 動員하야 1946年度에는 主要金屬物(鑄鋼, 鋼塊, 棒鋼, 鋼板, 鍛造鋼, 特殊鋼, 鐵錳錳物, 鋼管等) 年産 26,840噸이던것이 1947年度에는 15,548噸을 내었은한 特히 南朝鮮唯一의 長項製鍊所로 解放前의 年産能力 1,200噸의 電氣鋼製鍊實績이 1947年度에는 260噸으로 低下되었나 이에 對比하면 輕金屬工業인 알루미늄 마쿠비製品은 1946年度 1,597噸 1941年度 1,340噸의 生産을 보여 解放前의 年産實績 4,200噸 解放後 日本軍需品の 遺材로써 多少好況을 이루었다하여도 姉妹工業인 機械器具工業 鑄物工業의 長久의 인 發展은 依然 困難視되지 않을수 없는 것이다

如斯한 原料潤滑及施設不備乃至는 動力不足으로 (註 I) 解放後 大打擊을 받은 工業生産部門은 此外에 또 化學工業(特히 肥料工業) 製紙工業 製粉工業을 들수있으니 此等工業部門은 從來北朝鮮으로부터 原料을 供給받아온바 많았던 까닭이다 爾來의 紡績工業及食品工業 製材及木製品工業 燃料工業 窯業 고무工業及加工品工業은 國內産原料과 輸入되는 外國原料를 얻어 多少間 生産能率을 維持할수 있는것이때 政府는 此種有能한 工業生産部門에 對한 援助를 아끼지 않을뿐아니라 國民投資을 此種安定的 生産部門에 導入하되겠 輿論을 喚起하여야 할 것이다 (註 II)

· 끝으로 南朝鮮現有的 工場數와 從業員數을 第41表에서 紹

介할수있으니 歸屬財產工場數가 총場數의 1/2이면서 每工場從業員數는 非歸屬財產每工場當 17.4人인에 比하야 31.6人이라는 優勢에 있는 것만 하더라도 歸屬財產의 地位의 產朝鮮經濟界에 占하는 重要性을 알수 있다

(第41表) 南朝鮮歸屬工場數及從業員數 (1947.9現在)

Table with 6 columns: Region, Type of Plant, Number of Plants, Number of Employees. Rows list provinces like Gyeonggi, Incheon, etc., and a total.

此生産體制의 時急한 解體를 實現할 課題도 前記國民投資의 安定化에 寄與할뿐아니라 1944年前後에 朝鮮人所有 工場數가 850個所에도 未及하든것이 解放後가진 3,000個所나 增加되었던 恰은 量的 增加의 反面에 工業規模의 質의 低下를 如實히 表明하는 非歸屬財產制의 清算은 企業의 重複性을 除外하며 乃至國民投資의 積極性에 貢獻할바만할것임을 斷言하는 바이다

(註 I) 動力特히 電力事情의 變遷을 보면 如下히 解放直前에는 全朝鮮의 後電力의 92%가 北朝鮮에서 産出되나 南朝鮮은 不過 8%인約 8萬KW 弱의 自給能力에 限되었던 것이 解放後 蔚津江 松岩 清平 寶城等 4個所의 水力電과 寧越의 火力電이 多少從前面目을 보일뿐 南朝鮮의 後電實力은 最大限度 4萬KW—平常時 3萬KW 弱—에 半減되었나 勿論 北朝鮮으로부터의 送電量은 1946年前後는 最高로 每年 8萬KW나 되었으나 1947年度末에 있어서는 政治的 軋轢도 있고하여 現在에 있어서의 이 8萬KW도 그 切半을 供給받기 困難한 狀態이니 解放前과 如히 南朝鮮一帶의 年 25萬KW의 電力需要에 應할수 없는 事態가 繼續하는 限南朝鮮各地 工場의 生産低下는 原料資金及 技術의 貧困에 加하여 此動力難으로서 또 決定的인 致命傷을 입을것은 確然하다

電力의 南北朝鮮比率 (1945年)

Table with 4 columns: Region, Output, Ratio, Average Annual Electricity, Ratio. Rows for North Korea, South Korea, and Total.

(註 II) 1947年度 產業別 融資—覽

(其一) 產業別 融資內容

Table with 4 columns: Industry, Number of Items, Amount, Maximum Amount. Rows for Chemical, Machinery, Textile, and Electrical industries.



其 他	6 (12)	56,000 (71,930)
合 計	84 (137)	629,750 (961,803)

註 括弧內數字는申請分額

(其二) 事業體所有別屬資內容

	決	否	決
朝鮮人事業體	37件 172,800千圓	42件 178,470千圓	
歸屬事業體	46 451,950	11 153,583	
中國人事業體	1 5,000	—	
合 計	84 629,750	53 332,053	

以上에 있어서 工業生産機體變遷中의 特異的인것을摘記하  
면 아래와 같다

1. 過去의 日人所有인 工業生産機體가 歸屬財産으로서 實質上 南朝鮮 工業生産機體의 過半을 차지하고 있는 것
  2. 鍵幹工業인 製鋼業의 貧困으로 中工業의 生産萎縮이 直接影響받고 있는 것
  3. 肥料工業 製粉工業 세멘트 製紙工業等은 特別 南北分立으로 因한 原料取得難으로 急激한 生産低下를 이룬 것
  4. 動力의 不足으로 全般의 生産低下를 招來하고 있는 것
- 等々으로 要約되니 紡績工業 機械器具工業 製材及木材  
品工業 食料品工業等은 解放後의 經濟的混亂에 受害된  
바 比較的적고 正 元來南朝鮮에 好適한 基本的인 立地  
條件의 具備로 當場 不安은 없으나 되 然으로 南朝鮮工業

(第43表)

職 業 別

生 計 表 (1947年12月調査)

	扶養家族	收 入	支 出	不足額	收入의支出 에對한比率
大 學 教 授	5	2,125	22,158.50	20,033.50	9.5
軍 政 職 員	5	2,010	15,655.00	13,645.00	12.5
會 社 員	5	3,500	18,223.40	14,723.49	19.2
工 場 勞 動 者	6	10,600	15,926.00	5,326.00	66.2
都 市 自 由 勞 動 者	6	10,500	12,956.51	2,456.31	80.0

(第44表)

南 朝 鮮 各 港 口 積 揚 貨 物 別 總 數 (1947年12月分)

	群 山	木 浦	盛 水	統 營	馬 山	釜 山	浦 項	黑 湖	注 文 津	合 計
穀 物 類	1,865	864	365	253	—	6,166	—	1,850	—	11,313
石 炭 類	—	350	—	—	—	4,925	—	15,360	—	20,635
原 料	—	958	850	805	—	2,271	—	437	—	5,321
肥 料	742	1,862	250	180	—	5,875	—	—	—	8,909
油 脂 類	—	—	308	—	—	3,715	925	325	56	5,329
木 材 類	—	543	—	—	—	1,106	330	1,250	—	3,729
金 屬 類	—	—	—	—	—	—	—	132	—	132
水 產 物	342	525	462	852	19	53	1,050	306	84	3,693
其 他	1,015	2,500	1,152	958	88	2,779	600	750	205	10,047
合 計	3,964	7,602	3,387	3,048	167	26,890	3,405	20,420	345	69,168
積 揚 物 類	5,040	2,860	1,500	1,205	657	157	—	864	—	12,283
石 炭 類	1,800	—	5,893	3,080	324	5,260	—	2,400	—	18,757
原 料	850	3,054	—	—	—	430	—	3,060	—	7,394
肥 料	5,320	—	7,852	5,024	362	—	1,350	750	—	20,658
油 脂 類	—	—	—	—	—	—	—	—	842	842
木 材 類	1,852	5,600	358	529	—	3,119	735	—	—	12,193
金 屬 類	—	—	—	—	—	—	800	—	—	800
水 產 物	930	632	1,982	818	47	658	2,650	—	656	8,373
其 他	1,542	852	1,867	1,505	180	5,138	835	825	142	12,886
合 計	17,334	12,998	19,452	12,161	1,570	14,762	6,370	7,899	1,640	94,186

生産機體의 右轉的向上을爲하여서는 上記 特質의基本是  
正에對한 積極的의 努力이 있어야 할것은, 勿論이다 第42表  
는 第41表의內譯을다시 産業別로 區分해본것이다 工場事業  
體總數가 第41表에 있어서 第42表의 그것보다 많음은 第  
42表의 調査未備에 因한것이다

(第42表)

南 朝 鮮 種 別 事 業 體 數 表 (1947年3月末現在)

	官營工場 事業體數	民營工場 事業體數
金 屬 工 業	47	215
機 械 器 具 工 業	150	724
化 學 工 業	122	460
瓦 斯 電 氣 水 道 業	22	10
窯 業 及 土 石 工 業	51	649
紡 織 工 業	114	420
製 材 及 木 製 品	60	482
食 料 品 工 業	134	509
印 刷 及 製 本	22	121
土 木 建 築 業	15	78
其 他 工 業	23	72
工場事業體小計	760	3,740
館業事業體小計	24	42
運輸事業體小計	58	60
合 計	842	3,842

# 南朝鮮인플레이션의特相分析

## 目 次

- 1. 緒 言
- 2. 인플레이션의第一段階
- 3. 第一次의後退의進展과그調整段階
- 4. 인플레이션의第二段階
- 5. 結 言

### 1. 緒 言

經濟의發展이擴大再生産에 있다는意味에서 此發展은 또한 國民所得의 實質的增加에서測定될수있으니 再生産의前後期를 通貨의追加發行 或은物價指數의昂貴乃至는國民所得의 名目上의增加함으로써 對照함은 極히消極的인結果를招來하는 것으로思惟된다 그러나周知하는바과같이 朝鮮(經濟)의發展構造가 質的으로 解放前에비하여 低下하고있는事實은 特別南朝鮮에對한超過人口의需要는 絶對的으로充足시키지 못하고 生産에先行한 信用過多의反動이金融緩慢의沈滯期를 形成케하고 物價의漸進的의脫負는 Inflation의速度를 刺戟하여國民所得의 名目上增加과所得分配의 積分的失衡을 낳게하고 있는 것이다 解放後의 朝鮮金融趨勢는 이리하여 1947年未現在에 있어서는 反動的的全盤伸縮力을利用하여 資金調整 資金計費等의 一連의施策을기다릴뿐 Inflation의大衆生活에의 浸透는依然大衆消費性向(所得獲得力)의弱화 資金空循 通貨流蓄 失業群出出 裏面買賣盛況等을 惹起케하고 政府財政支出의慢性的失衡은 產粟昂氣에 不治의症狀을 加하고있는 것이다 이러한病症은特히季節的集中放出을 通하여惡化되고 있는 것이다 第1表와如히 市中銀行의 膨脹係數(預金增加額에對한貸付增加額의比)가 不規則的인激增을하고있으니 朝鮮의 Inflation의 主要因은 貨物封鎖經濟와 物資統制의消極性의二幹線 위에胚胎한公私經濟의赤字生活를不可避하게한\*

(第1表) 市中銀行資金의流動性係數及膨脹係數

流動性係數(貸出/預金)	膨脹係數(貸出增加額/預金增加額)	
1946. 3	95	29
4	86	29
5	75	26
6	71	40
7	73	98
8	74	89
9	75	71
10	76	110
11	78	95
12	73	36
1947. 1	72	—
2	70	8
3	64	15
4	63	52
5	66	84
6	67	24
7	69	119

1947. 8	76	130
9	69	153
10	81	393
11	130	608
2	125	101

※物資의絕對的不足에 있는것이다 此Inflation의發展過程은 決코 單純自由經濟的過程即 物資不足——物價騰貴——貨幣膨脹——貨幣低落에 있는것이아니라 過政財政支出의赤字構成과 各種物收買資金의季節放出에서 始作하는 不換紙幣發給——物資不足——物價騰貴의過程을 밟고있는것이다 物價騰貴가 直接不換紙幣發給 貨幣價值低落을招來한것은勿論이나 物價騰貴의原因이自由經濟에서보이는 物資의絕對的不足이기보다 解放後의富의分配過程에서脫落된 海外歸還同胞及 三八以北에서南下同胞과 南朝鮮原住民間의所得獲得力의差異에依한 物資不足의相對的偏重이 朝鮮에서의 Inflation 發展過程上의特徵中 가장重要한問題인 것이다

本論은 이러한 觀點下에서 以下朝鮮의Inflation을 第一期(1945.11~1947.6) 第二期(1947.7~1948.)로大別하고 第一期中의 1946.3~1947.6期를 第一次後退의調整期로써 叙述하고 Inflation의 第二期의 第二次의 後退를 警告하려고하는바이다

특히 文中에 있어서 我國의對外爲替時勢의 低落過程을插入지 아니한것은 解放後의南朝鮮에있어서는 尙今 1弗=50圓의Military Rate가周圍의 經濟的動向과는關聯없이 設定되어있고 外國貿易도全로 Barter System으로 運營되고있어 明確한取扱對象이없는만큼 主로 國內物價趨勢를 基礎로써這般事情을代辯하고 있는것이니 此에該解를바라는바이다

### 2. Inflation의第一段階

Inflation의 根源은物資의 絕對的不足에있다 即物資의絕對的不足이 낳은 物價指數의急進的上升이 通貨의 發行指數를 突破하고 爾後 繼續하여 物價指數曲線이 發行指數曲線을上廻하는때서 Inflation—正確한意味의 通貨價值의 低落을招來되는것이다 이런意味에서 朝鮮現下 Inflation이 처음 示現된 것은 第2表와如히 1946年3月末이었던것이다

(第2表) 通貨流通速度

流通速度	發行高花數	都費物價指數	
1945.9.	—	5,072	2,047
10	—	5,243	2,672
11	—	5,199	3,256
12	—	5,152	4,359
1946.2.	0.22	5,290	6,258

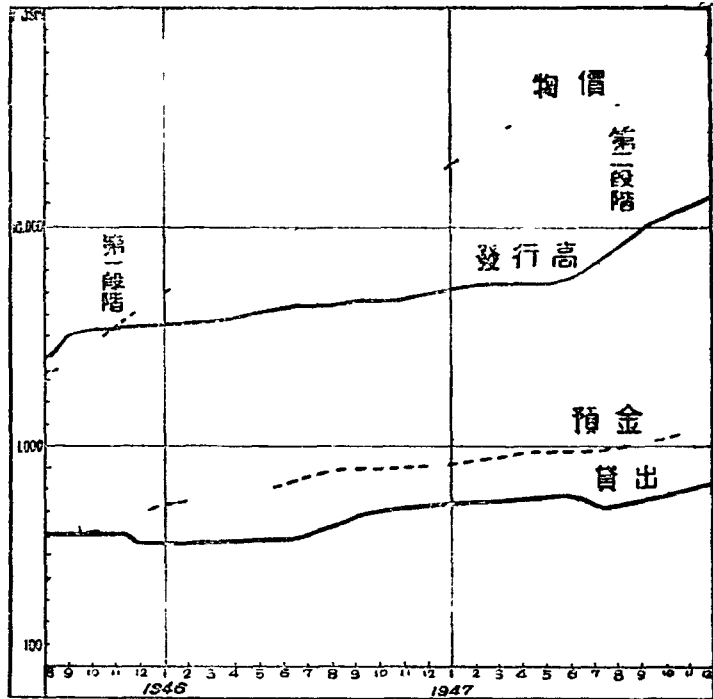
3	0.85	5,353	8,414	3	1.52	10,400	35,076
5	1.2	5,479	11,381	4	1.58	10,259	33,776
7	1.15	5,839	12,806	5	1.53	10,246	35,144
9	1.08	6,635	16,002	6	1.42	10,604	37,249
11	1.72	7,938	20,577	8	1.63	11,378	40,547
12	1.57	9,904	25,630	10	1.94	12,240	45,760
1947.2.	1.33	10,741	32,489	12	1.58	19,329	58,305

註 指數基準 1936年=100

第3表에서 物價指數曲線과 發行指數曲線의 缺狀交叉點이 곧 Inflation의 第一段階의 始作은 表示하고 있는 것이다. 그러면 此Inflation의 第一段階 だけ한다면 通貨物價調整의 第一次의 後退의 釀成段階는 무엇이었는가? 贅言할 必要도 없이 이 釀成段階는 解放直後의 混亂期에 있어서의 37億鈔圓이나 되는 退去日人을爲한 預金の 無制限支出(22億圓)及 日人公私機關清算支出金(15億圓)이 解放直前即 1945年8月14日까지의 自然發行高48億圓에附加되고(此에 朝鮮人自身の 預金需取 約10億圓을 合計하는 論者도 있으나 第4表와如히 이는 暫時的인 것이었고 그 後末인 12월에 들어서는 預金은 오히려 解放直後보다 大體의 으로 增加되고 있다) 이에 退去日人의 物資의 配貨 産業施設의 破壞가 交錯하여 1945年11月에는 벌써 87億圓餘의 通貨發行을 戒限된 것이니 勿論 이時期에 있어서의 物資의 絶對的 不足은 決코 根本的인 禍根은 아니었다. 大部分의 商人의 手中에 돈을 買占商品만 하여도 그렇고 더욱히 穀物에 있어서의 秋收期이고 또 非統制物品이었던關係로 供給은 需要를 凌駕한 氣勢를 보이고 있었다. 그리고 物資의 絶對的 不足을 낳는 人口의 增加도 第16表에서 보는바 11月까지는 그 大體 顯著한 것이 아니었다. 오직 11月

(第3表)

Inflation 段階 圖



(第4表) 金融機關의 資金需給趨勢 (單位百萬元)

	預金	貸出	預金過不足
1945. 8.	4,179	7,318	-3,139
10.	3,168	7,428	-4,260
12.	4,869	7,489	-2,620
1946. 3.	5,653	6,216	- 563
4.	4,421	5,743	-1,322
6.	7,847	6,602	1,245
7.	8,686	7,548	1,138
9.	9,987	8,600	1,387

의 第一次의 後退의 示現은 通貨의 無謀한 膨脹이 商人의 暴利整을 強化케 하여 販賣利潤의 基礎를 急速化하려는 데서 出發하였다. 勿論 勿論 있는 것이다. 解放後 처음 보는 Boom (버락氣)은 이러한 物資—특히 原料材의 供給이 있는 限에서만 持續되었다. 第3表에서 보는바 1946年3月까지의 貸付伸張의 相對的高勢는 이를 Boom에 眩惑된 企業家들의 生産活動에 先行하는 銀行의 信用創造의 繼續的 增加를 말하고 있는 것이다. 第一次의

10.	9,395	9,125	270
12.	13,146	13,886	-740
1947. 3.	16,497	13,519	2,978
4.	17,523	13,622	3,901
5.	18,435	14,255	4,180
6.	18,103	11,609	6,494
7.	18,441	12,389	6,072
8.	18,576	13,215	5,361
9.	20,495	14,434	6,061
10.	19,721	16,205	3,516
12.	25,570	37,118	-11,548

後退는 말하자면 商人의 物價煽動과 金融機關의 信用調整力의 缺如의 兩因에서 行積되었던 것이다. 이 混亂氣面에서 보면 Boom을 維持하는 物價騰貴가 信用Inflation을 展開시키기 에 充分한 限까지 企業利潤은 正常利潤과 特別利潤을 分別剩餘地 없이 全面的으로 莫大한 資本蓄積을 可能케 하였던 것이다. 所謂戰時利得의 形成時期는 여기에서 始作되는 것이었다. 勿論 아니라 國民所得의 實質的 平均的 增加의 時期도 이 때에 있어서

만 明確히最高의水準에달하였던것이다 왜그러나하면 第5表에서보이는바 1946년의 年平均實質賃金이 43으로변태도 이는1945年12月의51에 比하면減少된比重인同時에 前述한바와 같이 解放直後の 商品市場은 1946年下期以後의 物價不足과 對等시점에있어진 너무나 供給側의 強勢가있었다는意味에서 적어도 1945年12月까지의大衆의所得은 物價騰貴에追從하는焦燥을느끼지않고있었을것이다 또國民所得分배가 인데에있어서는 아직一般의失衡을示現한段階에이르지않았음으로前述한 1945年12月의預金增加도 貸出의前進의增加

(第5表) 賃金·小賣物價指數對照

	1 9 4 6			1 9 4 7		
	物價	賃金	實質賃金	物價	賃金	實質賃金
1	3,581	8,543	42	11,450	33,272	34
2.	3,865	9,353	41	11,711	38,894	31
3	4,212	11,645	36	12,668	38,486	33
4	4,960	13,312	37	14,043	36,517	38
5	6,570	13,772	48	14,442	36,101	40
6	6,772	14,932	45	15,093	37,431	40
7.	6,996	15,808	44	15,666	38,635	41
8.	7,371	17,795	41	15,930	39,665	40
9.	9,262	19,317	48	16,299	41,444	39
10.	9,667	21,195	46	16,575	42,851	39
11.	10,976	22,462	49	17,225	51,753	3
12.	11,186	26,622	42	17,088	55,961	31
年平均	7,113	16,211	43	14,843	40,926	37

註 指數基準 1936=100.

에도不拘하고그實現이可能했던것이다

第一次의後退을示現하기 始作한 1945年11月以後의 物價騰貴의異常한事態는 卽年인 1946年3月에 들어가서 겨우金融機關의注意를喚起시켰던것이다 이는第4表에서 보는바와같이 銀行資金供給에있어서의 貸出의巨額의減縮과 第14表에서보이는 當座貸越의縮減에서 能히 알수있는것이다

특히貸出制限의成果로서 1946年9月까지는 13億圓의預金超過을 齎來하였던것이다 勿論第一次後退의調整期中에도 貸出과 預金은絕對額에있어서 格段의增加가있었다 그러나 1946年의 前半期에있어서의 預金指數의暴騰만큼 金融機關은調整하기爲한 金融의反應을 露骨의으로 示現한것은 解放後 처음보는바이었다 1946年5月18日附로 朝鮮銀行이金融機關의預置金金利率을 2.5%(年利)의特別附利로 引上한것은 이러한反動的預金吸收過多의結果가 가져오는 資金의不化을 未前에防止하기爲한 靈期的政策이었던것이였다 市中銀行資金의 膨脹係數는 金融緩慢을豫兆로써 6月末에는24로低落되었다 市中銀行은· 이미 日人에對한固定貸付의元利合計 30億圓餘을(採法略)負荷하고있으면서 以上 採算上의脅威를 견딜수는없었던것이다 여기에 朝鮮銀行이同業者預金에對하여 2.5%의附利를許容하지할수없는意義가 있었던것이였다(從前은預置金平均金利率日步4厘5毛) 此現象은또하나의出發을提示한다

1946年의後半期에있어서의預金增加率이 一進一退를 거듭한데反하여 다시貸付增加가 月進之勢을보이지졌것은 合理的으로보면 金融緩慢에對한 反撥으로써의 放資의偏重傾向을 弱했다는것을알수있다 그러나 이러한 放資의大部分은 依然 政府保證貸付의形式을通하여 危險性있는産業部門에 放出된것이였다

即 1946年度의後半期에있어서의 此傾向의露骨은 具體的

으로는 50餘億圓의 秋穀及秋蠶 棉花等の收集을爲한 資金의 放出과 第12表에보이는 財政支出超過에서 如實히 證明된것지도모른다 後退의現象으로서 主要한것은 産業部門에서의 從前의 Boom의 狂亂이 生産財의缺乏을認識케하고 他少한生産財을獲得키爲하여 商人들이生産財市場에서 煽動하기始作함에이르러 生産原價를暴漲의으로 騰貴케하였고 그結果 都賣小賣의兩物價를 暴漲의으로 暴騰시키게되었다 都賣物價指數는 1946年8月부터 漸次 相對的으로 飛騰하였을뿐만 아니라 都賣物價指數의 上騰速度는 1947年12月末에있어서는 斷然 小賣物價指數의 倍率을 示現하게되었다 이는 勿論한것없이 國民所得의 一部局에의 流蓄을暗示하는것이이며 一部局이아말로 信用 Inflation을 懸懸하고 後日의信用恐慌을 招來한本源이었던것이다 (第6表參照)

(第6表) 都賣物價指數及小賣物價指數對照

	都賣物價指數	小賣物價指數
1945.10	2,672	4,806
12	4,339	7,335
1946. 2	6,258	9,353
4	9,971	13,312
6	12,057	14,932
8	14,601	17,795
10	18,518	21,195
12	2,163	26,622
1947. 2	32,489	38,894
3	35,076	38,486
4	33,776	36,517
5	35,144	36,101
6	37,249	37,431
8	40,547	38,635
10	45,760	42,851
12	58,305	55,961

註 指數基準 1936=100

大衆의消費性傾向(所得獲得力)은 이리하여 12月부터의 二은의預置賃金의低下로써 示現되는 한편 第10表에서보이는바 貯蓄性預金(定期預金)은 勿論 1946年末을契機로 漸次 膨脹의豫兆를 보이었고있을뿐아니라 信用累進——止據金利의高漲과 年末物價의 沸騰을 豫期하여 通貨의 流動速度는 8月의 1.63으로부터 10月에는 1.94으로 暴升하였다

1946年12月에 있어서의 市中銀行資金의 膨脹係數가 急落한것은(第1表參照)實로 現實에서 얻은 教訓의 直接的發動이었던것이다 金融當局은 이제야 經濟界의 疲弊化가極端한 價騰貴와 資金의空循으로因한 貸付金回收困難을惹起한意味의 經濟界自身의反動으로서 商業資金의二部局에의流蓄을 當面의警戒線으로서 認識할수없었던것이다 또 그러한 現狀 解放後 特殊銀行業務와 普通銀行業務의混合에서 發生한金融機構의 非組織化에對한 反省이極端하였던것이다

### 3. 第一次의後退의進展과그調整段階

金融機關의資金調整努力의 第二段階는 1946年度後半期의秋穀資金 40億圓餘의放出을 代充하기爲한 貯蓄運動展開의步調를 같이한것이였다

即解放後 第4次의國民貯蓄運動은 1946年12月부터 1947年1月末까지의 20億圓의 吸收量目標로展開되었으며 이는朝鮮民族의 經濟的自治能力을 試驗하는 唯一의機會로 金融

發行的資金調整能力을 公衆에게 물는 好個의 時期였든것이  
다 이리하여 朝鮮金融圈은 對外的으로 貯蓄運動을 展開하는

한편 對內的으로는 貸付制限 投資對象股選을 日積月累로 結合하  
게 되었다

(第7表) 現金通貨의 民間流通高 (單位千圓)

	銀行券月平均發行高		金融機關保有高		差引民間保有高	
	金額	指數	現金	指數	金額	指數
1946. 3	8,953,423	100.00	1,397,326	100.00	7,561,097	100.00
4	9,156,565	102.21	1,371,913	93.18	7,784,652	102.96
6	9,276,168	103.54	391,197	28.21	8,881,971	117.47
8	10,664,417	119.04	635,234	45.46	10,029,133	132.64
10	11,700,471	130.61	878,511	62.87	10,821,960	143.13
12	16,573,505	185.00	1,633,194	16.88	14,940,311	197.9
1947. 2	17,973,037	200.63	1,228,129	87.89	16,744,908	221.46
4	17,166,599	191.63	1,14,368	91.06	15,852,231	209.66
6	17,742,773	198.06	1,66,19	104.94	16,276,454	215.7
8	19,040,028	212.54	1,388,874	99.39	17,651,154	233.45
10	20,782,249	231.9	1,642,417	117.54	19,139,832	253.14
12	32,342,894	361.03	3,325,483	237.93	29,017,411	383.77

이로써 6월까지의 民間의 預金增加는 1946年初보다 26億餘圓  
이 增加되었으며 이는 發行高의 2倍圓餘減退에 比하면 可驚  
한만한 成果이 있었던 것이다 또 此前半期에 있어서의 100餘店  
舖의 金融機關의 廢損整理도 이러한 金融調整의 繼續的 好例  
에 自稱을 얻은 金融圈의 前進의 果斷을 示結果된 것이었다

好의 投回期를 示唆하였던 것이다 그럼에도 不拘하고 此產業  
景氣의 挽回를 中斷시키려는 要素는 무엇이 있었는가?

(第9表) 手形交換高推移 (1936=100)

	枚數	金額	指數
1945.11	3,454	157,547千圓	106
1946. 3	21,695	1,029,148	693
4	32,303	1,292,871	870
6	41,291	1,880,761	1,266
8	58,686	3,182,292	2,143
10	68,423	4,274,419	2,878
11	74,11	5,814,818	3,915
12	80,674	6,151,124	4,142
1947. 1	67,62	5,259,651	3,41
2	62,1	5,343,169	3,598
4	71,9	7,386,859	4,74
5	73,743	7,692,737	5,179
7	76,2	8,824,305	5,941
8	72,364	8,610,398	5,797
9	79,707	10,456,217	7,040
10	87,841	12,633,386	8,506
11	84,630	13,033,792	8,776
12	100,561	16,945,436	11,141

(第8表) 銀行廢止店舖數 (1947.5.31)

種別	銀	9個所	相銀	25個所
興銀	13		金租	本所 37 支所 13
商銀	8			
貯銀	2		合計	107

그런 一般經濟指標面에 있어서는 果然 어찌하였는가? 第9表  
에 表示된 것과 같이 1947年4월에 있어서의 手形交換高의 漸  
落에 따라 都賣物價指數는 3月の 35,076로부터 33,776으로 低  
落되고 있어서 現金保有高의 收縮에 依한 大衆의 保有現金의  
減退를 反映하여 小賣物價指數는 4월부터 6月の 3個月間에  
振幅이 狹少하였으며 第5次에서 同期間(4~5月)의 實質賃  
金은 物價의 下落에 追從하지 않은채 1946年前半期에 있어서  
最低水準인 39을 維持하게 되었다 그러나 貸付制限과 이에 따  
르는 預金增加에 따라서 發行高의 收縮乃至 民間의 現金保有  
高의 減退가 歸結한 實質賃金의 充實과 物價指數의 漸落단  
을 가치고서 金融調整을 完成했다고 볼 수 없으며 嚴肅한 意味에  
있어서의 國民所得의 漸進的 均衡을 獲來함에 寄與하였다고 볼  
수 없는 것이다 또한 國民投資의 實質化와 國民貯蓄의 安定化  
에 寄與하지는 못하였던 것이다 그러나 單以前者即 國民投資  
의 實質化에 對한 追窮은 第9表(不渡手形高推移)을 通하여 多少  
間肯定的 解答을 얻을 수 있었다 群少企業家 특히 信用保障이 없  
는 私企業의 投資家들이 發行한다고 볼 수 있는 少額手形의 不  
渡額이 解放後 처음 減少된 것은 此前半期를 中心으로 한 5月~8  
月인 것이다 論者中에는 或은 不渡手形高의 漸落을 產業景氣가  
萎縮된 徵兆이라고 하거나 第6表에 表示된 都賣物價의 5월부터  
의 低騰은 決코 이러한 論者들의 立論을 證左하는 것은 못  
는 것이다 또더러 小賣物價指數의 漸落과 아울러 雇傭  
條件의 好轉은 生産部門의 前途에 對한 樂觀을 注入하였다 貸  
付制限이 있었고 資金의 一部局에의 滯蓄이 形成된 後였었  
으므로 都賣物價의 投機心에 依한 沸騰은 企業家들에게 絶

不渡手形高推移

	枚數	金額
1946.12	584	28,110千圓
1947. 1	747	43,798
2	580	37,575
3	636	30,208
4	906	52,637
5	739	41,182
6	724	35,357
7	924	46,744
8	810	51,231
9	865	59,018
10	1,053	62,927
11	1,027	60,105
12	1,062	91,632

두달할것도없이 市場金利의高騰인것이다 銀行의貸付制限과 資金一部局의流蓄이 가져오는 이러한結果는 信用不足을惹起하여 Inflation 의第二段階를形成하는 唯一의惡條件으로 되었는데이다 이리하여 高金利時代는市場의高利

貸金業者의손으로부터 形成되어 第10表에서 보이는바 國民貯蓄內容의 動搖를 媒介로 現金通貨의民間流動高를 漸次再增加시키고 있었던것이다 (第7表參照)

(第10表) 金融機關預金種別構成 (單位百萬圓)

	定期預金	當座預金 %	特別當座預金 %	諸預金	合計 %
1945. 8	536 (13)	1,122 (27)	291 (7)	2,232 (53)	4,181 (100)
12	337 (8)	741 (17)	953 (21)	2,427 (54)	4,458 (100)
1946. 2	451 (8)	1,066 (20)	1,218 (22)	2,721 (50)	5,456 (100)
6	1,035 (13)	1,781 (23)	1,724 (22)	3,307 (42)	7,847 (100)
10	1,427 (14)	2,710 (27)	2,283 (22)	3,813 (37)	10,233 (100)
12	1,442 (11)	3,907 (29)	2,972 (23)	4,825 (37)	13,146 (100)
1947. 4	1,593 (9)	4,665 (27)	3,608 (20)	7,667 (44)	17,533 (100)
8	1,627 (9)	5,276 (29)	4,122 (22)	7,375 (40)	18,400 (100)
12	2,115 (8)	8,266 (32)	5,467 (22)	9,724 (38)	25,572 (100)

註 括弧內는合計에對한比率임

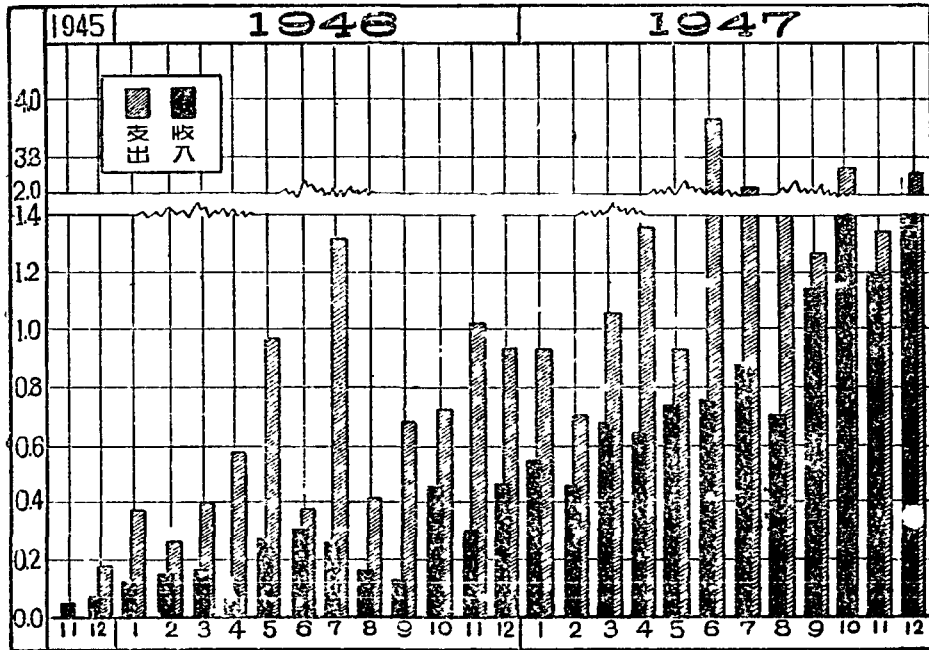
이러한 傾向은第14表에서보이는바 各같이 當座越越의漸進的增加와 1947年度後半期에들어서의 手形交換高의激增의 結果로나타난것이다 物價高 特別 農産物價格과 工産物價格의 前에보지못한 乖離가始作된것도 이때부터이다 이리하여結局大衆의所得은相對로信用飢饉을打開하려고商人의意圖는物價高로依하여이目的의大半은成功하였다고 할수있었던것이다 이를裏面에서보면 金融團의貸付嚴選主義는産業資金의商業資金化를유리히刺戟을하였던것이었다 또한國民

※所得(名目的인增加뿐이지)分配에參與치못한大多數의窮民의赤字家計는 一層窮乏한高物價의 渦中에漂弄되게되었던것이다 그러나 1947年6月까지의 所謂産業界의第一次의後退期의 Inflation 의恐怖는그다지두려워할것은못된다 實로朝鮮의Inflation에있어서의 恐怖의段階의突入을指摘한다면 그것은1947年의後半期에서始作되는所謂産業界의第二次의後退期를 露呈하는物價의暴性的前躍과 資金回收難及物資의徹底的 瀕渴 信用의絶對的不足에있는것이다

此傾向을刺戟한것은勿論 夏穀資金約 12億圓인것이나 우리는 第11表에 보이는6月 7月에표하여 政府財政의 莫大한 量의 費出이集中되었다는 것을 看過해서는 않될것이다 財政赤字가 季節的인 金融頹勢의惡化를 造成하는 直接動因이된다는 意味는이兩年の 事實에 있어서도 明白하여 지는 것이다(詳述은 財政篇參照)다음 敍上 第二次의後退의 要因中에 忘却해서는 않될 것이있으니그것은7月 15日의 朝鮮換

(第11表)

政府收入及支出表 (單位10億圓)



金銀行設立과同時實施한 外國貿易의 正式開始에앞서서인인 第13表와如한 1946年後半期부터의 貿易關係新設會社의 建立傾向은 漸次市中의資金過迫과 物資不足 (Parter制貿易을

爲한商品買占) 에 加一層의拍車를주었다는 過渡期的의運效果 그것인 것이다

(第12表)

主要農產物及工產物都賣價格指數表 (1936=100)

	白米	大豆	雜糧	麻木	生細布	硫安	苛性曹達
1945. 9	3,666	2,000	781	6,097	2,686	1,538	17,857
11	2,166	3,000	1,406	7,926	4,672	3,205	7,142
1946. 1	6,000	5,500	2,500	10,975	11,098	3,846	42,857
3	19,333	15,000	3,125	28,048	22,780	11,538	71,428
5	16,000	15,000	3,437	23,170	18,691	33,333	92,857
7	30,000	20,000	3,906	23,170	19,859	30,769	57,142
9	36,666	18,000	4,687	36,585	29,205	30,769	92,857
11	21,666	17,000	6,562	54,878	47,897	30,769	100,000
1947. 1	23,333	34,000	17,187	103,658	93,457	30,769	142,857
3	30,666	35,000	17,187	85,365	81,775	51,282	250,000
5	31,666	36,000	17,187	85,365	75,934	64,102	250,000
7	43,333	37,000	17,187	91,463	75,934	66,666	328,571
9	36,666	36,500	23,437	109,756	93,457	66,666	500,000
10	41,666	34,000	26,562	134,146	116,822	66,666	642,857
11	46,666	38,000	31,250	146,341	128,504	76,923	857,142
12	48,333	38,000	43,750	207,317	186,915	76,923	1,071,485

(第13表)

八都市新設會社數及拂入資本金

(單位千圓)

	1945.8~12		1946.1~6		1946.7~12		1947.1~6		1945.8~1947.6 合計	
	會社數	拂込資本	會社數	拂込資本	會社數	拂込資本	會社數	拂込資本	會社數	拂込資本
機械器具工業	4	1,435	21	10,060	15	9,575	8	20,500	48	41,570
土 建 業	4	1,250	35	19,650	58	67,855	53	93,695	150	182,450
貿 易 業	3	435	31	49,145	77	203,340	30	89,780	141	342,700
運 輸 業	1	0	14	16,952	15	18,285	15	46,430	45	81,697
化學工業	1	750	11	15,137	18	23,850	11	12,250	41	51,987
木 材 業	—	—	10	3,545	13	10,050	9	9,525	32	23,120
鑛 山 業	—	—	1	30,000	5	10,250	6	13,548	12	53,798
窯 業	—	—	2	800	5	4,075	1	240	8	5,115
印刷出版業	2	3,500	6	1,312	16	16,000	10	16,452	34	37,264
食料品工業	—	—	5	4,600	5	3,950	11	13,100	21	21,650
纖維工業	1	195	12	8,965	14	21,326	6	8,125	33	39,111
電氣工業	—	—	6	1,415	9	5,829	2	2,250	17	9,494
保 險 業	—	—	3	35,000	2	10,750	4	60,000	9	105,750
農 林 業	—	—	3	1,125	6	3,435	18	42,600	27	47,160
水 産 業	1	1,000	3	1,800	8	11,500	5	38,750	17	53,050
製造工業	1	5,000	7	1,775	17	33,660	36	71,310	61	111,745
金 融 業	—	—	—	—	—	—	3	3,460	3	3,460
倉 庫 業	1	125	—	—	1	500	1	200	3	825
商 業 其 他	8	2,175	33	13,070	62	61,933	60	102,531	163	179,709
合 計	27	15,895	203	214,351	346	516,663	289	644,746	865	1,391,655

#### 4. Inflation의 第二段階

上述한바와같이 Inflation의 第二段階는 1947年度의 後半期에서 始作된것이며 이에 隨成過程은 大體로 6月末의 商品市場의 攪亂에서 보이는 高金利私資金의 市場退出에서 起因하는것이였다 또一面 此隨成過程은 1947年初부터 關來하기始作한 金融團의 興信業務의 緊縮과 二律背反의 態勢인 政府支出의 果遂的增加가 가져오는 一般産業部門에서 崩出한 信用飢饉에서도 起因하는것이였다 이리하여 Inflation의 第二段階의 特徵인 信用不足으로 인한 小額手形類의 不渡額 增進과(第9表參照)工產物價의 斷續的騰勢와 通貨流通速度의

湧騰은 8月부터 벌써 그本格的面貌를 나타내고있었던것이 다 이때에있어서 一面預金高의 增進이있었음은 多少 奇異한 感을주는것이나 預金高의增加가 主로 當座及 特當에서만 볼수있고 貯蓄性預金이 依然 萎靡한 狀態에 있는것은 群小企業家及 大衆의貯蓄의 相對的減少 代身에 政府保證貸付及 一般産業貸出等 有力한 信用去來處의 待機預金이 貸付의 伸張과 相互迎合하여 多額으로 增加되고있었던것을 알아야 할것이다 이러한 事實을 證左하는것이 곧 第9表와第10表인 것이다 信用Inflation의 反動은 此種信用의 保證이 없는 弱小企業家들의 生産場裡에서 부터 始作되는것이이며 信用飢饉의 形態를 띄인 此第二次의 從退過程이야말로 Inflation의

(第14表)

金融機關貸付種別月別殘高 (單位百萬圓)

	貯蓄貸	手形貸	當座貸越	割引手形及 荷爲貸手形	其 他	合 計
1946. 6	611 (9)	4,486 (69)	503 (8)	66 (1)	848 (13)	6,514 (100)
8	121 (2)	2,815 (52)	928 (17)	62 (1)	1,491 (28)	5,417 (100)
10	129 (1)	3,065 (34)	1 07 (17)	91 (1)	4,331 (47)	9,123 (100)
11	165 (1)	6,188 (52)	3,527 (30)	107 (1)	1,855 (16)	11 842 (100)
1947. 2	200 (1)	7,683 (55)	4,940 (36)	105 (1)	971 ( 7)	13,899 (100)
3	203 (2)	7,764 (57)	4,472 (33)	100 (1)	80 ( 7)	13,519 (100)
4	213 (2)	6,695 (49)	4,422 (32)	103 (1)	2,199 (16)	13,632 (100)
5	236 (3)	6,781 (47)	4,524 (31)	108 (1)	2,606 (18)	14,255 (100)
6	230 (2)	7 00 (63)	956 ( 8)	115 (1)	3,002 (26)	11,603 (100)
7	249 (4)	7,338 (59)	1,214 ( 9)	116 (1)	3,452 (27)	12,369 (100)
8	272 (2)	7,324 (55)	1,271 (10)	121 (1)	4,227 (32)	13,215 (100)
9	290 (4)	8,331 (57)	1,376 ( 9)	124 (1)	4,313 (29)	14,434 (100)
10	317 (2)	9,300 (57)	1,979 (12)	143 (1)	4,466 (28)	16,205 (100)
12	380 (1)	10,093 (27)	21,542 (57)	150 (1)	5,113 (14)	37,278 (100)

註 括弧內數字는合計에對한比率인

※의恐怖를 約束하는 根源이되고 말는것이였다 耶이기에 있어서는 오히려 弱小企業家의資金은 最極의惡惡으로 商品市場을 席捲하였던것이 資金의空需은場所를擴大하여 從來의堅實하였던産業群을 侵蝕하였다 都賀物價의騰勢가 1947年10月에 있어서 小賣物價騰勢의約倍率로 飛躍한것은 그의現象의示現인것이었다 다시말하면生産財의需給은 大體로보아 1947年後半期처럼 彈力性은 甚한缺乏이었을것이니 이는 企業價値을 最極의努力으로써 支撐하려는 弱小産業家群의 生産對에對한需要의強度와 資材의絶對的不足에對한 危機속에 慎重히採擇해오던 堅實産業家群의 機會捕捉에對한 買氣強化及貿易業者들의 對價物資購入을원한 買占意欲이 主로生産財의市場에서 (都賀市場) 競合하게되는 必然의 趨勢이었던것이다 國內生産實績의 不振을받은 悲劇은決코 여기에서고치는것은 아니었다 周知하는바와같이 1946年度의 1億圓餘의貿易入超에對比하면 1947년에 들어서는 年末까지에9億餘圓의入超를보이었고 國內産業資材의缺乏은 貿易品에對한 價格統制과 種日指定及 原價利潤限界規定에도 不拘하고 輸入品의時勢는 恒時 國內商品市場을席捲하는 根源이되고있었던것이며弱小産業家群과堅實産業家群의競合의 位置는1947年末에 있어서 主로此貿易品市場에 集中되었다고 推測할수 있게된다 이런意味에서 弱小産業群의 이러한反抗과堅實産業群의 漸次的의疲弊에對한活路를提供한 1947年의 9月初부터의 金融機關貸付限額의 50萬圓으로의擴張 實施는 信用飢饉의 漸次的의解消에對한 良策이아닌수 없었던것이다 그러나 生産의振興은 貨幣經濟의1要素으로써 達成이못할것은 年末에 있어서의動力의急減과 物價上昇으로인한 生産原價의急加一따라서 國民所得全額의 半爲하支出에 拍車를주어 購買力即消費을爲한貯蓄을 課税하였다 또 이러한結果를 制衡하기爲하여 第15表와같이 金融機關은 解放後可及의 商業資金의 放出을과렸던것은 事實이었으나 貨物經濟에 있어서의不況은 加速度의으로 生産資金의擴大條件을醜化하지않을수 없었던것이다

(第15表) 金融機關貸付金增加內容

	(1945.9~1947.5)	(1945.9~1947.10)
農 業	6億圓	15億圓
鐵 道	2	3
土 建	3	4
水 産	6	9

特 産 物	5	15
工 業	10	15
公 共	4	14
商 業	10	20
貿 易	—	5
其 他	6 5	8
合 計	52 5	108

註 米穀資金은除外

그러나 무엇보다도 1947年의後半期에 展開된 Inflation 의何二段階를 推進시킨것은第16表와如한 南朝鮮地域의蠶業원人11의過剩과 이들의及少限度の 食糧을確保하기爲한夏秋兩季의莫大한 米穀資金의放出과 此資金의 商業都市에의 集中하는過程에서 發生하는 中産階級及大衆의 所得獲得力의 漸減

(第16表) 南朝鮮人口動態

1944.4.	15,879,110人	移價變賣曲線의 變化的의 飛躍인것이다 政府財政支出의 每年後半期에 있어서의
1946.1.	15,000,000人(推定)	增大量向來 아래와같은것
1946.5.	17,581,644人	産物收買資金의 季節的인
1946.9.	19,369,270人	大盤放出과 相携하여收買
1947.8.	20,006,788人	計畫推進으로서 計上되는

(第17表) 農産物收買資金殘高 (單位千圓)

	1946 年 末	1947 年 末
米 穀 資 金	4,146,844	11,662,054
夏 穀 資 金	(420,000)	58,289
棉 花 資 金	(23,152)	321,917
春 露 蔴 資 金	—	(165,000)
秋 露 資 金	—	124,193
煙 草	—	1,582,259
畜 工 品	—	198,954
合 計	4,589,996	14,152,666

註 括弧內數字는推定인

勿論여기에서 此120餘億圓의秋露資金融放出이市中銀行의過剩預金과 朝鮮銀行의再割引制復活에 依한資金調達로써 充當되던 金融機關의存廢的結合을 實證하는바와解放後震期的의策略인것이었고 또 1947年12月初부터2個月에亘한 6.億圓目標의 第五次國民貯蓄運動이 128% 77億圓餘의 遊資吸收



서終了되었음은 그効果의恒久的인것은 論外로하되라도 如何한 短期的인効果나마 此 Inflation 의 第二次的後退過程은 오로지 消費節約 生産復興以外에는 다른 아무런 補正策도 없는것을意味하는것이다

### 5. 結 言

政府는 1947年後半期에 이르러 所得稅의免稅點을 從來의 2,000圓으로부터 12,000圓으로引上하여 最高累進稅率을 90%로하는 財産稅의稅率을 賦課하고 또는 酒稅 1%稅率比前 80倍나引上하여 財政均衡을 極力期하고있는 同時에 國民負擔力의 公正分配을最高理念으로하여 各種稅制改革을施行하였다 그러나 政府財政은 第18表와如히 1946年度豫算에 있어 37億圓 1947年度에 있어서는 1946年會計年度末期에는 5,811百萬圓 1947年度豫算에서는 1947年10月末現在까지 벌써 35億餘圓의赤字를 計上하였다 歲入實收高는 5,687百萬圓 即豫定歲入(10月末까지의) 9,392百萬圓의 61%밖에안되는可驚한한 跛行的數字을 보여주고있다

(第18表) 政府豫算內容表 (單位百萬圓)

歲出科目對照	1946年度	1947年度
農 務 部	1,457 (12.3%)	1,400 (7.9%)
商 務 部	499 (4.2%)	500 (2.8%)
文 教 部	386 (3.3%)	1,659 (9.4%)
財 務 部	77 (0.7%)	299 (1.7%)
專 賣 局	1,409 (11.9%)	3,087 (17.4%)
遞 信 部	597 (5.1%)	750 (4.3%)
司 法 部	685 (5.8%)	708 (4.0%)
醫 務 部	670 (5.7%)	1,584 (8.9%)
保健厚生部	415 (3.5%)	791 (4.5%)
地方行政處	1,887 (16.0%)	1,399 (7.9%)
運 輸 部	1,983 (16.8%)	3,000 (16.9%)
統 衛 部	1,025 (8.7%)	1,000 (5.6%)
其 他	710 (6.0%)	1,542 (8.7%)
合 計	11,800 (100%)	17,719 (100%)

追加豫算—1,724百萬圓(1948年1月10日)公報部發表

歲入科目對照	1946年度	1947年度
專賣局	6,030 (75%)	7,850 (51%)
運輸部	810 (10%)	2,700 (17%)
租 稅	722 (9%)	3,609 (23%)
司法部	390 (5%)	66 (4%)
其 他	61 (1%)	718 (5%)
合 計	8,013 (100%)	15,434 (100%)
臨時部	3,786	2,84

또 한편 1947年의 會計年度末期 또 가까운 1948年1月10日 發表된 追加豫算 1,724百萬圓이 加算되어 歲出豫算은 實로 19,443百萬圓에 達하고있으나 1947年 歲入豫算 15,432百萬圓의全額이 徵收된것도 赤字額은數字上 40%餘圓의豫想된나 그리고 赤字財政의 歸趨는 物價暴貴가 加速化하여가는 限 到底의 數字上의豫想赤字內에어물이라고는 勿論없는것이다

이러한 財政上의攪亂이豫想된으로 可及的國內의Inflation 進展을 阻止하기爲한 上記 金融機關의貸付制限及 預金吸收運動 乃至는輸入品販賣代金凍結을爲한 換金銀行의新方策과 아울러 生産增進을爲한 貿易局의 輸入轉旋, 建設財輸入 對

價物表인 重石, 黑鉛等의 政府管理等이 漸進的이나미 實施되고있는것이다

그리고 國民所得의 消費節約을爲해서는 民間物資配給制의 完備와 物價統制의徹底化가 要請되는바이나 Inflation 下의自發的貯蓄을 增進하여 大衆層의小額貯蓄의 取扱에對한促進策이恒久的으로 樹立되어야 할것이다

(第19表) 小額國民貯蓄增加趨勢 (單位千圓)

	生 險 料	國民生命 保險料	郵便貯金
1946. 12	6,086	13,465	800,682
1947. 2	6,074	12,350	803,246
4	7,969	7,397	812,309
6	10,158	5 61	816,087
8	14,269	6,126	823,592
10	20,183	6,468	839,024
12	27,382	6,864	823,216

此等小額貯蓄의 長期投資化를爲하여는 證券市場과같은長期信用創造機構가 갖추어져야 하겠으나 이를爲하려는 貨幣經濟計劃의緒言에서도 言及한바와같은 資金計畫의 急速한展開가있어야 할것이고 實物經濟에 있어서는 再資金要치지 없이 生産復興과 物資統制의 徹底化가 實施되어야 할것이다 生産交易, 消費의規正과 貯蓄, 投資의均衡等이러한것의 自然淘汰의으로 達成안되며—거기에는 經濟法則을 넘는 權威的決斷의 무엇이 到來하여도 無難한것이다

(第20表) 南朝鮮住民移動表 (1945.9~1948.1)

	退 去	歸 還
日本軍人	179,273	—
日本市民	704,351	—
中華人	1,940	—
臺灣人	103	—
沖繩人	274	—
日本市民(北朝鮮으로부터)	—	288,506
朝鮮人( " " )	—	803,434
朝鮮人(滿洲로부터)	—	58,154
朝鮮人(日本으로부터)	—	1,111,104
朝鮮人(中國으로부터)	—	58,143
朝鮮人(其他太平洋地域으로부터)	—	37,129
合 計	885,941	2,336,470

(第21表) 北朝鮮同胞南下數 (1946.1~1948.1)

	1946年	1947年	1948年
1月	13,206	706	2,541
2月	20,437	166	—
3月	34,670	8,096	—
4月	50,450	28,143	—
5月	25,818	40,161	—
6月	17,203	25,631	—
7月	8,212	1,255	—
8月	4,739	11,374	—
9月	2,234	13,623	—
10月	2,997	11,374	—
11月	4,740	7,715	—
12月	635	4,487	—
合計	185,441	165,074	2,511

## 「對日通貨補償要求의 貫徹」

過去三年間體驗한 바와 같은 封鎖經濟下에서는 後進國朝鮮이 發展하는 産業建設은 不可能하였다 朝鮮經濟의 再建에는 外國資材의 注入이 不可缺하다

外國資材의 輸入은 外貨의 獲得을 先決問題로 한다 貿易等 朝鮮의 國際收支의 現狀을 볼 때 이 같은 建設材의 一方的 輸入資金의 調達方法은 結局 賠償(對日)이나 借款(對美)을 獲得하는 方法밖에 없다 對日賠償要求는 朝鮮經濟의 再建에 그 因에 있어서 뿐만 아니라 그 果에 있어서도 이 같은 不可分關係에 있는 것이다 朝鮮의 對日賠償要求의 正當性은 二次大戰의 至高目的을 國際法 擁護에 있다고 보는 主眼에서 展開된다 二次大戰의 勝利로써 聯合國이 戰取한 國際法의 權威에 의하여 1894年의 日清戰爭時부터 日本의 國際法 蹂躪으로써 最大의 損害를 입은 朝鮮의 對日賠償請求權이 비로소 保障된 것이다 以上の原則이 「日本이 暴力又是 貪慾에 의하여 掠奪 또는 奪取한 財產一切을 原狀回復할 것」을 明示한 카이로 포츠담 兩宣言에서부터 「掠奪한 財產은 掠奪한 것 이 判明되는 限一切此를 完全且 即時로 返還할 을 要한다」고 規定한 1945年 9月 22日 附美國의 對日管理方針 宣明(第四部 第二項目)과 다시 同 主旨을 影射한 1946年 12月 6日 附 一 般賠償法案의 聲明을 거쳐 「日本이 占領地域에서 略奪한 一切財產을 그 正當한 所有者에게 返還하도록 強制할 것」을 決議한 1947年 8月 29日 「칸베라」에서 開催된 英帝國의 對日講和豫備會議에 이르러까지의 一聯의 國際憲章乃至 國際協定에 成文化되어 있다 侵略 收奪 強力又是 脅迫으로 因하여 被擄한 朝鮮及 朝鮮人의 對日債權乃至 原狀回復의 請求及 一般損害賠償請求權은 上記한 바와 같이 임이 確固한 國際的 保障을 받고 있는 바이나 特히 여기서 注意喚起點은 朝鮮의 對日賠償請求는 戰勝國이 戰敗國에 對하여 要求하는 即勝者의 損害를 敗者에게 負擔하게 하는 戰費賠償의 觀念과는 다른 特殊한 性質을 갖고 있고 있는 것과 그賠償請求內容의 大部分이 第一義의 既成債權乃至 收奪한 現物返還으로서 形成된다는 點이다 그러므로 此賠償實行에 있어서 는 今次大戰後 歐羅巴에서 이미 締結은 對換地利 對伊太利和條約中의 賠償條項 또는 對日賠償請求에 關하여 美國을 비롯하여 所謂 極東委員會 條成國家 11個國의 屢次의 經互聲明에서 主張되고 있는 生産物 返還賠償及 金錢賠償의 不採用原則의 制約을 받을 수 없는 것이며 다만 對日講和會議에 있어서 朝鮮은 그 對日債權乃至 貨物返還請求及 一般의 損害賠償請求權에 對하여 既成事實과 그 優先辨濟權을 聯合國立會下에 承認받으려는 것이고 그賠償執行에 있어서 는 獨自의 方法에 의하여 그 特殊要求를 貫徹하여야 할 것이다

近來 開議는 傳하는 對日講和會議에 對하여 朝鮮이 主張한 賠償要求의 數는 調査整備하기爲한 對日賠償委員會가 過政內에 앞서 設置되었고 最近에는 對日賠償美人顧問室도 開設되고 있다 通貨金融部門에 關해서는 財務部內에 分科委員會가 構成되고 此에 應하여 朝鮮銀行內에 委員會를 組織하고 實數를 調査하여 오든中 1947年末까지 實數計表作成을 畢하고 金融機關分을 一括하여 財務部經由 過政當局에 提出하였다 大體의 으로는 對日賠償要求의 範圍는 金錢債權에서 人權蹂躪에 對한 慰籍料에 이르러까지 大別하여 (가) 掠奪 虐待에 依한 被害(나) 交換 價值不均等에 依한 強制去來의 實損(다) 通貨 有價證券其他 債權의 補償等 三範疇로 分類되는 바이지만 本論이 取扱하려는 것은 前記當局에 提出한 金融通貨關係 補償要求實數中 에도 가장 緊急한 (가) 對日撤出地 金銀等 貴金屬(나) 對日換金(爲替) (다) 日本 公社債 其他 有價證券 以上三項에 限하여만 其 調査된 바를 概括的으로 提示하여 補償要求의 正當性과 그 要求貫徹의 緊急性을 再強調하는 바이다

### (가) 地 金 銀

朝鮮經濟의 安定乃至 再建에는 幣制의 確立이 前提條件인은 預論을 要치 않을 것이다 金本位制나 紙幣本位制의 問題는 姑捨하고 現實問題에 있어서 金地金의 價値는 國際通貨인 美弗에 「링크」할 수 없는 것이며 「國庫通貨基金」에 도 加入할 수 는 없다 于先 朝鮮은 1909年 帝侵犯以來 日本으로 撤出된(公式記錄에 依한 實數 地金量 249萬兩) 直時返還을 要求해야 된다 其一部(時價 值千萬弗以上)는 現在 日本銀行에 保管中에 있음으로 直時返還을 實行할 수가 있는 것이다 殘額은 美貨其他 硬貨(Hard Currency) 또는 그것으로 表示된 日本의 債權을 讓受하는 方法으로 價還을 받는 것이 가장 適切할 것이다

### (나) 換 金 (爲替)

朝鮮銀行 東京支店 計定으로 集中되고 있는 朝鮮의 對日 爲替債方 計定總殘額은 現在 列明된 것이 62億圓에 達한다 重言할 것이 없이 이爲替(爲)은 解放前의 朝鮮銀行 券項發과 直接因果가 있는 것이다 이 清算方法은 爲替債權額에

該當하는石炭 纖維製品等必需物資(規格品質其他朝鮮의註文에依하여新規生産한것)은一定期間內에日本으로부터輸入計畫을作成하는同時에 該代金을日本降伏直前の物價水準으로換算하여 日本政府計定으로 對等함으로써順次相殺하고 此輸入物資의國內配布로써 該當額의通貨를自然還收하도록하는方法을考究할것을提議한다

(다) 日 公 社 債

現在까지列明된金融機關及民間의日公社債有額은 105億圓이다 朝鮮으로써는此等日公社債은 降伏으로말미암아 日本이期限의利益을喪失한것임으로 償還期限의如何는莫論하고 即時償還을主張할수 있는外債이다

降伏當時의日貨對外價値에準據하여 最短期間內에完了할수 있는具體的償還計畫을 日本에要求해야한다 此計畫에는恒時未償還殘額에對하여는 物的擔保를確保한規約이必在하여야한다 然而日公債中 朝鮮銀行通貨發行準備로一部其東京支店에計上된分은 (나)項爲擔保(尻)로重複되는것임으로 (나)項償還이發行될때는自然除減해야할것이며 (가)項地金現物返還이發行될境界에는相當額數의日公債으로써償相殺하게될것은勿論이나 以上으로써 무엇보다도焦點의課題인朝鮮銀行券對한 日本의補償即朝鮮銀行券發行準備의大部分의償還은具體化되는것인데 最近에오리러對日媾和會談開議氣運이低弛함에對하여 朝鮮經濟의安定化는日益緊急化하는形便이 一面獨立政府樹立에對한客觀情勢을急速發展은보이고있는에鑑하여 朝鮮은其獨自의見地에서 于先以上三項에對한對日穩定價値擔保를求해서美弗借款(元金及利子日本이負擔)을獲得하여 新幣制確立의基盤을 準備하는것이 가장現實的인方法이며 美國으로써朝鮮을援助하는 正當的捷徑으로되는바이나 不久이면 過政當局으로써하여 對日單獨清算要求를實踐할수있도록 美本國及進駐軍當局이推進하여줄것이要請된다

金産物과朝鮮銀行을經由한日本에의輸出量 (1909-1945年)單位瓦

年 度	輸 出	金 産 量	年 度	輸 出	金 産 量
1909	367,307	3,296,227	1929	646,114	5,552,000
10	5,685,036	2,669,697	30	16,574,678	6,186,000
11	5,856,216	3,325,691	31	26,471,187	9,031,000
12	5,432,926	3,926,576	32	9,794,302	9,700,000
13	6,525,933	4,171,856	33	3,126,153	11,508,000
14	6,804,660	4,692,526	34	334,827	12,427,000
15	7,935,056	7,158,784	35	3,904,019	14,710,000
16	9,026,996	5,642,592	36	4,598,394	17,489,000
17	13,163,414	5,175,236	37	10,857,449	22,548,000
18	2,144,165	5,552,719	38	9,531,913	27,738,000
19	318,833	6,185,451	39	10,168,062	29,193,000
20	27,415,293	9,031,083	40	14,142,123	26,464,000
21	7,368,974	9,700,728	41	14,671,912	24,183,000
22	1,092,057	11,508,165	42	12,127,164	24,127,000
23	2,787,148	12,427,602	43	8,027,216	15,241,000
24	933,618	14,710,323	44	768,369	5,350,000
25	30,290	17,489,974	45	440,618	543,849
26	174,858	7,159,000	合 計	249,593,707	406,926,079
27	150,323	5,632,000	殘 量	157,332,372	---
28	186,134	5,175,000			

# 土地改革問題

## 目 次

### 1. 解放前土地問題의 樣相

1. 序論—土地改革의 意義
2. 半封建的土地所有成立過程의 特質
3. 土地所有集中化의 樣態
4. 耕作規模의 零細性
5. 高率小作料와 小作爭議
6. 農家經濟의 破綻

### 2. 解放後土地改革의 具體的方案

1. 小作料三一制實施와 三七制
2. 南朝鮮土地改革의 三大方向
3. 北朝鮮土地改革法令의 實施
4. 全農의 南朝鮮土地改革法令草案
5. 立議의 南朝鮮土地改革法案
6. 結 語

## 1 解放前土地問題의 樣相

### 1. 序論—土地改革의 意義

解放後朝鮮의 土地問題의 論議는 土地改革의 具體的方案이 무엇이나에 歸結되고 있는 感이 있다 그만큼 朝鮮經濟再建에 있어서 中樞的役割을擔當할 土地改革의 必要性은 決定的인 것이니 다시 말하면 歷史的 要語에 依하여 解決되어야 할 問題이다 그럼으로 朝鮮에 있어서의 土地改革의 必然性과 그 具體的方案은 過去의 土地關係를 究明함으로써 說明되는 것임으로 먼저 이에 對한 解放前의 動向을 紹介하려는 所以이다

1930年代以來 日本帝國主義의 侵略戰爭의 勃發擴大深化의 期間을 通하여 鐵工業等 近代産業의 急激한 發展은 朝鮮經濟의 基本構造에 實로 劃目한 새로운 時代的 樣相을 表示하게 되었다 그러나 朝鮮經濟의 根幹은 尙은 農業生産에 있는 것이며 後進한 朝鮮의 經濟, 社會, 政治, 文化等—은 領域에 解決과 進歩를 期待하고 있는 諸問題 卽 封建的 發達の 落後植民地性으로부터의 完全한 脫却에 關한 基本問題는 實로 農業生産의 合理化에 關한 問題이며 그렇기 때문에 農民生産의 基本的 生産手段인 土地制度에 있어서의 封建性의 打破即 土地問題의 合理的 解決에 있는 것이다 實로 土地問題의 合理的 解決은 朝鮮의 現階에 있어서 가장 重要한 課題인 것이다

1939年末에 있어서의 朝鮮의 職業別人口構成을 보면 (第1表 參照) 農業人口는 16,531,404人으로 72.5%를 차지하고 있으며 1942年末에 있어서의 農業人口는 17,447,636人으로서의 百萬에 가까운 增加를 表示하고 있으나 總人口에 對한 比率은 66.1%로 相對的인 減少를 表示하고 있다 鐵工業의 急激한 發展에도 不拘하고 朝鮮人口의 壓倒的 多數가 아직도 農業에 從事하고 있음을 알 수 있다

(第1表) 職業別人口構成

	1939年		1942年	
	人	%	人	%
農 業	10,531,404	72.5	17,447,636	66.1
木 業	346,920	1.5	514,180	2.0
鐵 業	343,761	1.5	564,434	2.1
工 業	732,416	3.2	1,327,051	5.0
商 業	1,665,222	7.3	1,912,134	7.3

交 通 業	265,555	1.2	405,150	1.5
公 務 及 自 由 業	915,174	4.0	1,306,388	5.0
其 他 有 業 者	1,590,955	7.0	2,312,252	8.8
無 職	409,241	1.8	572,176	2.2
合 計	22,800,647	100.0	26,361,401	100.0

註 舊總督府統計年報 1942年及에 依據함

다음 産業別生産額을 보면 (第2表) 1940年에 있어서 農業生産額 2,052,562千圓으로 總生産額의 42.8%를 차지하고 있어 工業額은 훨씬 凌駕하고 第一位를 아직도 確保하고 있다 亦若 이것에 林産額 236,673千圓을 加한다면 總은 自給에 있어서의 農業生産額이 42.8%라는 比率은 合併前의 37%에 比한다면 急激한 相對的 減少를 表示하고 있어 總體의 工業의 發展은 如實히 明白하고 있다

(第2表) 産業別生産額推移 (單位千圓)

	1912年	1931年	1935年	1939年	1940年
農 産 物	403,609	702,855	1,208,911	1,644,413	2,052,562
林 産 物	20,372	59,413	118,064	192,603	236,673
水 産 物	13,072	77,562	164,003	327,000	350,000
鐵 山 物	6,185	21,741	110,429	240,000	280,000
工 産 物	17,153	252,924	730,806	1,498,000	1,873,634
合 計	460,391	1,114,495	2,332,213	3,902,016	4,792,869
總 生 産 額에 對한 農 産 物 比 率	87.7%	63.1%	51.8%	42.1%	42.8%

註 產勞時報 刊號 69頁

또한 貿易關係에 있어서의 農産物의 地位를 公表된 最近의 數字에 依하여 보자면 1939年에 輸出된(對日包含) 農産物價額은 385,958千圓에 達하여 이것은 輸出總額 1,006,793千圓의 38%를 차지하고 있다 1939年은 大旱害로 因하여 農産物 特히 對日 穀類輸出이 激減한 때문에 如斯하나 그 前年에는 農産物의 輸出額 443百萬圓에 對하여 輸入額 149百萬圓으로 그 差額 3億圓 可量의 農産物을 絕對的으로 輸出하고 있는 것이다 以上 簡單한 몇 개의 統計에 依하여 보더라도 現代朝鮮經濟에 있어서의 農業이 차지하고 있는 地位가 그렇거나 巨大한 것인지 能히 推測할 수 있다 世間에 喧聲되고 있는 『近代産業化』의 反面에 朝鮮經濟가 그렇거나 農業生産을 基盤으로 하고 있는가를 如實히 證明하고 있으며 이 農業問題의 急激한 解決과 發展을 위한 土地改革問題의 重要性을 示唆하고 있다

### 2. 半封建的土地所有成立過程의 特質

거의半世紀 동안의 長久한 日政期間에 있어서 編成一體 維持되어 온 過去의 土地所有制度는 日帝의 植民地 擄取的 基盤을 形成하는 것이며 또한 그 成立過程 自體가 朝鮮民族의 公然한 收奪過程이었으며 이 制度의 成立發展으로 인하여 朝鮮民族의 七割以上을 占하는 農民들의 生活를 따라서 全民族의 運命을 貧困에서 脫却치 못하게 하고 爾餘의 全産業의 發展을 抑塞하여 왔던 것이다.

「近代의 土地所有制度의 確立이라는 外皮를 뒤집어 보면 그 實質에 있어서는 새로운 形態의 半農奴制의 空虛小作關係를 版에 찍은 「土地調査事業」 즉 土地所有制度의 確立過程이란 農民들 土地에서 大量의 으로 驅逐하는 事業이었던 것이다.

「明治維新」이라는 改革運動을 통하여 封建의 支配階級과의 妥協에 의하여 政治權力을 掌握한 日本産業資本家들은 高田, 露日兩戰에서 勝利함으로써 帝國主義 段階에 이르러 西歐列強으로부터 自立하게 되고 또한 朝鮮에 確固한 地盤을 獲得하게 되자 于先 무엇보다도 (가) 事業經營의 確固한 場所로서 (나) 收穫物 特히 自國의 食糧 棉花와 工業原料을 獨占하기 위하여 (다) 直接投資의 對象으로서 (當時에 있어서는 農家의 唯一한 産業이었던 것이다) 不斷히 伸大되는 朝鮮開發費을 捻出奇한 確實한 財政制度의 確立을 위하여 土地所有關係를 明確히 할 必要에 切迫하게 되었다 卽日本資本主義가 資本主義의 基盤으로서 이 땅을 編入하자 그에 照應하는 「土地改革」이 오로지 한 階의 歷史의 必然性이었던 것이다 如斯한 要請에 照應하는 近代의 土地所有制度의 確立 「土地調査事業」의 全國的 實施는 1905年 (李太王光武39年, 明治38年) 保護政治의 開始와 함께 開始作되었다 그러나 如斯한 土地所有關係의 整理를 爲한 努力은 1894年의 「地地衙門」設置 1901年의 「地契衙門」의 設置에 의한 地契發給等에 나타났으나 이러한 試驗은 모두가 當時의 日本勢力과 帝政露西亞勢力과의 抗衡, 內部的 政治的 混亂으로 인하여 結局은 水泡로 도라가고 말았다.

土地制度의 改革에 對한 아무런 內在的 要請이도 오죽 外部的 要請에 의하여 實施되어야 할 當時의 朝鮮社會經濟狀態의 必然的 歸結이었던 것이다.

帝政露西亞의 敗北 保護政治의 實施과 아울러 日本政府는 韓國政府에 要求하여 1905년부터 土地調査事業의 具體的 準備工作에 着手하게 되었다 1906年에 外國人의 土地所有, 土地家屋의 買賣, 典當, 贈與, 交換等 合法的으로 確認하는 「土地家屋證明規則」 「土地家屋抵當規則」을 發布實施하고 또한 富農士의 整理를 進行하였던 것이다 그리하여 1910年3月에는 韓國政府 土地調査局이 開設되어 實地調査에 着手하게 되었으나 同年 8月 韓日 合併에 의하여 同事業의 一切業務는 同年 10月 朝鮮總督府臨時 土地調査局에 繼承되었던 것이다 1912年에 「土地調査令」을 發布하여 同事業을 進捗시키는데 同時에 「朝鮮民法令」 「不動産登記令」 「不動産證明令」을 發布하여 所謂 「私有權의 不可侵과 無制限의 保護」를 그 歷史的인 實質의 內容으로 하는 「近代의」 土地私有制度는 確立을 보게 되었다 土地調査事業은 前從 9年間 經費 2,050萬圓을 드려서 1913年 11月 朝鮮總督府의 一場의 觀劇과 아울러 그 幕은 내리게 되었던 것이다.

以上에서 본 바와 같이 「近代의」 土地私有制度는 確立되었으나 이미 指摘한 바와 같이 土地調査事業의 沿革이 가로막혀주는 바와 같이 朝鮮에 있어서의 土地私有制度의 確立은 朝鮮自體의 內部的 要因에 依한 것이 아니며 순전히 日本資本主義의 必要에 依한 것이다.

半封建時代의 土地制度는 麗朝末期에 始作된 封建的 「公田制」의 事實上의 崩壞를 基盤으로 하여 劃定된 것이며 그렇기 때문에 「公田」의 「私田化」는 必然한 一般化하여 거의 支配

의 內容이 되었다 사피 되었으나 그럼에도 불구하고 「普天之下 莫非王土, 率土之濱, 莫非王民」의 原則은 外形의 으로나마 維持되어 土地는 原則的으로 國有에 屬하였던 全國의 土地는 「無稅地」와 「有稅地」로 區分되어 前者는 國家가 田地의 耕作者인 農民으로부터 直接地代 租稅를 徵收하는 「公田」이었고 後者는 國家가 一般官僚貴族에게 俸祿을 支給하는 代身에 田畝를 支給하여 國家自身이 徵收한 地代一租稅를 그들로부터 徵收하여 國家代身에 徵收採食시키는 所謂 「私田」이었다 그러므로 「私田」이라 하여도 오죽 收租權의 委讓에 不過한 것이었다 土地의 買賣, 相讓, 贈與等이 國家로부터 認定되었으나 그것은 오죽 土地에 結付된 收租權의 買賣, 相讓, 贈與를 意味하는 것이었다 이러한 「私田」은 勿論 實質의 으로는 收租權者의 私有地에 不過한 것이며 貴族, 官僚들에 의한 「公田」의 侵奪, 私田의 兼併 등 大地의 集中이 廣汎히 進行되어 李朝中葉以後에 있어서는 從來의 公田制度代身에 土地의 「私田」化는 支配的으로 되었다 그러나 「公田」의 「私田」化라고 해도 그것은 要컨대 從來부터 國家의 現實的 耕作者인 一般農民들과의 사인에 介在한 中間收租權의 收租權이 削弱으로 된 것 따라서 그의 農民에 對한 直接的 強制力이 弱하게 된 것을 意味함에 不過하였다 따라서 農民은 如前과 現實的 土地의 保有者이고 耕作者이었으며 그들은 從來의 「田稅」以前에 各種新稅 (大同, 三年米, 結作, 砲米等)의 賦課 新什物에 對한 田土가 없었기 때문에 賜田을 받지 못한 官吏에 依한 苛酷한 請求 어느 것을 연가 成立된 折半貢納—所謂 「折半小作料」等— 收租權者, 國家, 官吏에 依하여 二重三重으로 擄取當하고 마침내 그 田土를 官房에 投托하여 「富農士」에 歸屬되거나 或은 兼併되어 한 개의 「作人」에 轉落할 수밖에 없게 하였으나 그러나 그들은 依然 一種의 農奴로서 土地에 隸屬된 收租權者에 對해서는 身分的 從屬關係에 놓여 있었다 그리고 그들은 收租權者로부터 一定한 貢納 (今日의 小作料)을 強制받는 代身에 特別한 理由가 없는 限 田主나 土地保有者로서 耕作權만은 이를 保持하였던 것이다 註 (朴文奎著 朝鮮土地問題論考 24~5頁)

以上에서 보는 바와 같이 國家及 官僚貴族들의 收租權者들이 收租는 하였으나 土地의 占有, 經營의 保有者는 現實的인 耕作者인 農民이 이것을 確保하고 잘못이 없는 限 繼續하여 耕作시키며 子孫에게 傳授할 수 있었던 것이다 如斯한 關係는 收租權者의 側에서 보면 現實的인 耕作者에 對한 한 개의 「施惠」라고도 볼 수 있으나 現實的인 耕作者인 農民으로부터 土地의 現實的인 保有者로서 收租權者에 對한 한 개의 傳統的 「權利」이었던 것이다 그러므로 『當時土地制度는 一般的으로 는 아직 今日의 土地私有制度의 立場에서 본다면 土地는 收租權者의 所有로 오아니고 農民의 所有로 오아니다 換言하면 土地의 占有는 農民의 側에 있고 收租權者는 이에 對하여 一定한 貢納을 強制하는 權利를 가지고 있었다』 (朴文奎著 朝鮮土地問題論考 28頁)

前述한 바와 같은 先行의 土地制度의 基盤 위에서 全國的規模에서 土地의 近代的인 私有權을 樹立하고 農業生産의 發達을 期할려면 오죽 氷炭不相容의 各個的方法밖에 없었던 것이다 그리하는 從來 土地의 現實的인 保有者이며 耕作者인 農民을 犧牲하고 過去의 收租權者를 土地私有權者로 하는 方法 다른 하나는 土地의 現實的인 保有者이며 耕作者인 農民을 土地私有權者로 함으로써 封建的인 收租權者를 清除하여 農業의 合理的인 發展을 期하는 方法이다 如知하는 바와 같이 「土地調査事業」을 規定한 歷史的인 條件은 前者를 選擇할 수 없었다 그리하여 「土地調査事業」中 中 「近代의」 土地私有制度의 確立過程을 通하여 少數의 官僚, 貴族, 士族及 富農士들의 舊來의 收租權者가 舊來의 收租地에 對하여 「近代의」 土地私有權者가 되는 反面에 있지 現實的인 土地占有者이며 耕作者인 數百萬의 農民들

은 土地의 世襲占有權을 喪失하고 土地에서 驅逐되는 同時에 土地에 對한 永久的 耕作權의 保證 (子孫代々로 같은 土地의 耕作을 繼續하는 權利의 保證) 까지 喪失하고 말았다 土地占有로부터 完全히 解放된 農民들은 『지금에는 新定한 土地所有權의 確立으로 因하여 今日에 對하는 한개의 小作農이 되고 小作期限이 滿了 된과 同時에 飢餓流離의 自由를 얻은 것이었다』

또한 「公田」의 國有地 闖入 官廳土 或은 「投托田」混奪入地」等의 巨大한 面積의 國民은 李王家私有地化森林法에 依한 入會地의 私的 分割及 國家에 依한 領有 「洞中」 「門中」의 共有地의 一部 權力者에 依한 私有等에 依하여 應當 自作農이 되었어야 農民이 土地를 根柢 奪當하여 小作農化하고 農民들의 薪炭, 肥料, 家內手工業原料, 家畜飼養物을 無償으로 提供하고 山林, 草原, 荒地地等의 一切의 村落共有地는 喪失하고 「洞中」或은 「門中」의 相互扶助의 經濟의 主體를 喪失함에 이르렀다는 것은 이 「土地調査事業」의 掠奪의 性格을 如實히 暴露하고 있는 것이다

그뿐 아니라 이 所有權 轉換期에 「申告主義」를 採用함으로써 政治, 文化的으로 長久한 孤立狀態에 놓여 있는 無知한 農民, 近代의 私私觀念에 어두운 農民들로부터 合法的 期日內에 所定手續을 밟지 못하고 自己所有土地를 國家 또는 官吏, 土豪들에게 剝奪당하고 一個 小作農化하고 말게 하였다는事實은 如上의 性格을 더한층 甚酷化하는 것이었다

「土地調査事業」의 如斯한 性格은 이미 指摘한 바와 같이 抗日, 露日戰爭을 契機로 하여 産業資本의 確立 그와 同時에 帝國主義 段階로 旋廻하고 있는 日本資本主義의 朝鮮에 있어서의 價値增殖 即資本蓄積軌道의 強力한 實現을 위한 不可避한 變革이였으며 措置되었던 것이다 朝鮮에서 侵略獲得한 日本人의 土地所有를 法的으로 確認하고 當時의 朝鮮人支配階級과 妥協함으로써 朝鮮勤勞大眾을 가장 効果의 所以로 支配榨取하기 爲한 歷史的要請에서 歸結된 것이다

朝鮮에 있어서의 最初의 農家, 階級別統計인 1914年度統計에 依하면 全朝鮮農家總戶數 2,592,237戶中 地主 46,754戶 (農家總戶數의 1.8%) 自作農 569,517戶 (同上 22%) 自作兼小作農 1,065,705戶 (同上 41.1%) 小作農 911,261戶 (同上 35.1%) 이며 所有耕地別로 보면 畝, 田合하여 總耕地面積 2,959,158町步中 自作地는 1,421,108町步로서 總耕地의 48.1%이며 小作地 地主所有耕地는 1,538,050町步로서 總耕地의 51.9% 超過半을 차지하고 있다

(第3表)

農民의 小作農化傾向 (戶數單位千戶)

各五個 年平均	自作農		自作兼小作農			小作農			合計		
	戶	數 %	戶	數	%	戶	數	%	戶	數	%
1913~17	555	21.7	891	38.8		1,008	39.5		2,554	100	
1918~22	529	20.4	1,015	39.0		1,058	40.6		2,602	100	
1923~27	529	20.2	920	35.1		1,172	44.7		2,621	100	
1928~32	497	18.3	853	31.5		1,362	50.2		2,712	100	
1933~37	547	19.2	732	25.6		1,577	55.2		2,856	100	
1939~	539	19.0	719	25.3		1,583	55.7		2,841	100	

註 鈴木武雄著 朝鮮의 經濟 245頁

(第4表)

農地의 小作地化傾向 (單位千町步)

各五個 年平均	畝				田				合計			
	自作地	小作地 (A)	計 (B)	A/B	自作地	小作地 (A)	計 (B)	A/B	自作地	小作地 (A)	計 (B)	A/B
1914~17	431	827	1,258	66%	1,172	966	2,138	45%	1,603	1,793	3,396	53%
1918~22	551	993	1,544	64	1,592	1,189	2,781	43	2,143	2,188	4,325	50

이와 같이 「土地調査事業」에 依한 近代의 土地私有制度의 確立은 『過去에 있어서의 土地의 現實의 保有者이며 또한 耕作者였던 農民들을 犧牲으로 하고 當時의 收租權者로 하여금 直接 土地所有者로서의 方法에 依하여 行하여진 것으로서 그 結果는 少數의 收租權者와 富農이 土地를 取得하는 反面에 大多數의 農民은 土地로부터 離脫당하고 말았다 그러나 이들 農民의 土地로부터의 離脫은 바로 農業生產에 있어서의 資本家의 方法의 發展을 齎來한 것은 아니었다 土地를 喪失한 大多數의 農民은 都市勞動者 또는 農業勞動者로 轉落되고 또 도시 封建社會로부터 그대로 移行되여 온 零細農의 生産樣式 밑에서 純善한 小作農으로 再編成되여 今日에 보는 바와 같은 半封建의 人小作關係에 陷入하고 말았다』 (久間建一著, 朝鮮農業의 近代의 樣相 2~3頁) 『土地所有의 近代의 性質과 封建社會로부터 그대로 踏襲된 零細農의 生産樣式과의 矛盾에 對하여 樹立된 半封建의 小作關係』는 이리하여 成立됨에 이르렀고 이와 같은 成立에 依하여 日帝資本蓄積의 源泉인 役割은 하는 可能性은 確實히 되어 있으나 一方 農民은 過去로부터 그대로 가져온 半封建의 人小作關係와 其他各種 半封建의 負擔 (地稅負擔, 地主, 舍音을 위한 半強制勞動, 加出, 斗稅, 色租, 髮應費等)의 移行負擔과 資本의 一般의 重壓에 依하여 오래동안 二重의 苦痛을 받지 않으면 안 될 것이었다』 (朴文圭著 朝鮮土地問題論 考 29~30頁)

要컨대 日本資本主義에 依한 朝鮮에 있어서의 「近代의」 土地私有制度의 確立은 그 結果에 있어서 確立後의 全發展行程을 通하여 「一極에 있어서의 半農奴主의 寄生地主制, 他極에 있어서의 半農奴의 零細耕作農民의 兩極이 直接的 對置關係下에서 生産關係에 結入하는 半封建의 土地所有制-半農奴制의 零細耕作機構 이리한 機構下에 있어서의 耕作農民의 窮乏과 債務農奴의 性質의 必然性, 資本主義의 重壓의 農村侵入, 侵入에 依한 半封建의 重壓과의 包含, 耕作農民의 二重의 性格-半農奴의 零細耕作農民自身이 同時에 半 부르주아제의 人 二重性格耕作農民의 二重의 被壓迫을 그 特質으로 하는 것이다

### 3. 土地所有集中化의 樣態

朝鮮農業生產에 있어서의 半封建의 土地所有制는 寄生의 地主層과 零細耕作農民=小作農民과 自作兼小作農民이 封建社會로부터 移行存續되고 있는 生産關係 밑에서 直接的으로 代置되는 關係에 集中의 表現되고 있다 「土地調査事業」의 集中의 統計로 1914年統計를 이미 揭示하였거니와 그 後의 發展은 第3表及 第4表와 같다

1923~27	551	1,017	1,568	65	1,582	1,214	2,796	43	2,133	2,231	4,364	51
1928~32	549	1,093	1,642	67	1,439	1,378	2,817	49	1,988	2,471	4,459	55
1933~37	548	1,159	1,707	68	1,383	1,411	2,794	51	1,931	2,570	4,501	57
1938~	564	1,198	1,762	68	1,341	1,422	2,763	51	1,905	2,620	4,525	58

註 鈴木武雄著 朝鮮의 經濟 247頁

第3表 及第4表에 依하면 1939年에 있어서 첫째 農家總戶 農家總戶數에 對한 小作農의 比率은 다시 地帶別로 보면 다음 과 같다

(第5表) 地帶別 自小作農家構成表 (1934~1936平均)

畜作地帶	自作農		自作兼小作		小作農		合計		其他의 被備者
	戶數	%	戶數	%	戶數	%	戶數	%	
全南	73,929	20.1	94,745	26.0	196,052	53.9	364,726	100	26,421
全北	10,892	5.0	41,541	19.1	165,526	75.9	217,959	100	17,937
慶南	41,446	14.7	86,711	31.0	152,626	54.3	280,783	100	13,015
慶北	73,671	21.3	107,032	31.0	164,473	47.7	345,176	100	12,021
忠南	18,141	8.7	48,913	23.5	140,949	67.8	208,003	100	8,797
京畿	18,651	7.9	51,749	21.9	166,187	70.2	236,587	100	4,754
畜田混淆地帶									
忠北	17,807	12.9	30,292	21.9	90,090	65.2	138,189	100	5,569
江原	50,493	23.3	67,302	31.2	98,173	45.5	215,973	100	7,453
黃海	36,080	15.5	55,755	23.9	141,090	60.6	232,925	100	6,018
田作地帶									
平南	42,074	24.8	41,664	24.6	85,760	50.6	169,498	100	657
平北	50,816	25.9	32,508	16.6	112,543	57.5	195,867	100	1,282
咸南	65,252	38.3	53,127	32.0	47,564	28.7	165,943	100	4,940
咸北	43,299	57.0	19,366	25.6	13,656	17.4	75,721	100	770

註 印貞植著 朝鮮의 農業地帶 66~67頁

右表에 依하여 各地帶의 自小作別農家構成을 보면 畜作地帶의 各道에 依하여는 小作農의 比率이 47%乃至76%에 達하고 있으며 其他 全然耕地를 갖지 못한 被備者의 戶數도 이 地帶에 가장 많음을 알 수 있다 그러나 田畜은 混淆地帶에 依하여는 小作農의 比率은 漸次低下하는 傾向으로 表示하며 다시 田作地帶에 가면 平南北은 亦是 50%以上을 表示하고 있으나

咸南北에 依하는 比較的 僅少한 比率로 低下하고 그 反面에 自作農과 自小作農의 壓倒의 地位를 나타내고 있음을 알 수 있다

특히 全北의 平野部 四郡 즉 全州, 益山, 金堤, 井邑은 各々 96% 97% 95% 94%를 表示하고 있어 畜作地帶의 한 계의 最高指標을 形成하고 있다

(第6表) 全北平野地帶에 依하여는 農民의 階級構成

州郡	地主		自作農		小作農		合計	
	戶數	%	戶數	%	戶數	%	戶數	%
全州郡	445	2	544	2	22,722	96	23,711	100
益山郡	215	1	524	2	20,420	97	21,159	100
金堤郡	252	1	644	4	18,285	95	19,181	100
井邑郡	416	2	793	4	20,093	94	21,302	100

註 久間健一著 朝鮮農業의 近代의 樣相 234頁

上揭統計第三表에 依하면 1913~1917年平均의 小作農戶數 1,008千戶 (農家總戶數에 對하여 39.5%) 이던 것이 1939년에는 1,583千戶 (同上 55.7%)로 同期間의 農家總數의 增加는 287千戶이니 結局 自作農及自作兼小作農의 288千戶가 小作農으로 沒落轉化한 셈이다

다음 1939年 總耕地面積(4,525千町步)의 58%(2,620千町步)

가 小作地이다 即 1914~17年 耕地總面積(3,396千町步)의 5.3%(1,793千町步) 가 小作地였던 것이 1939년에는 이미 增加한 바와 같이 58%로 增加하고 있다(第4表) 그러나 1939年 度의 小作地面積을 畜田別로 보면 畜總面積(1,762千町步)의 68%(1,198千町步) 가 小作地이며 田總面積(2,763千町步)의 51%(1,422千町步)가 小作地이다 이關係를 다시 地帶別로 보면 다음과 같다

(第7表) 地帶別 畜田別 總耕地面積에 對한 小作地面積表

畜作地帶	畜				田			
	總面積	小作地面積	比率	小作地面積의 千分比	總面積	小作地面積	比率	小作地面積의 千分比
全南	211,812	146,905	69.4%	123	211,910	83,765	39.5%	59

(1939年 現在 單位 1町步)

全 北	171,043	140,589	82.2	117	67,877	48,848	72.0	34
慶 南	181,644	123,081	67.8	103	94,247	53,653	56.9	38
慶 南	204,314	120,459	59.0	100	180,038	96,663	53.6	68
忠 南	166,693	129,099	77.4	108	82,217	54,374	66.1	38
京 畿	211,465	158,878	75.1	132	179,480	123,376	68.7	87
畜、田混用地帶								
忠 原	72,826	49,762	68.3	42	84,865	55,855	65.8	39
江 原	93,977	53,560	56.9	45	258,196	123,287	47.7	87
黃 海	144,323	108,451	75.1	98	406,849	260,979	64.1	183
田作地帶								
平 南	88,835	59,284	66.7	49	309,540	174,241	56.3	22
平 北	96,913	67,080	69.2	56	310,852	192,107	61.8	135
咸 南	65,353	33,153	50.7	28	339,447	105,666	31.1	74
咸 北	20,341	8,100	39.8	7	193,318	50,139	25.9	36
合 計	1,729,539	1,198,398	69.2	1,000	2,718,834	1,422,953	52.3	1,000

註 朝鮮農地年報第一輯 136頁、但町步以下는四拾五人算

即畜耕地面積에對한小作地의比率에있어서 全北82.2% 忠南77.4% 京畿75.1% 黃海75.1% 慶南67.8% 平北69.2%의順序로 咸南50.7% 咸北39.8%가最低로 畜作地帶는畜作이發達된地方이 가장尤甚하고 田作地帶가 二番良好한使이다 畜作地帶의代表的指標로 全北全南이면 實로 畜總面積의 82.2% 田總面積의 72%가 小作地이다 田作地帶의 代表的指標로서 咸北을보면 前者39.8% 後者25.9%이다

1942年統計에依하면 5町步以上の耕地所有者總數는 朝鮮人 80,929人 日本人 8,220人 合計 89,185人 에不過하다

(第8表) 耕地所有面積의廣狹別朝日人等別地主戶數表 (1942年現在)

	5町以上	10町以上	20町以上	50町以上	100町以上	200町以上	合計
所有者別人員	朝鮮人	55,441	17,255	6,394	1,351	451	37 80,929
	日本人	3,603	1,983	1,425	642	465	102 8,220
	其他	15	11	9	1	—	— 36
	計	59,059	19,249	7,828	1,994	916	139 89,185
百分比	朝鮮人	94	90	82	68	49	27 91
	日本人	6	10	18	32	51	73 9
	其他	—	—	—	—	—	— —
	計	100	100	100	100	100	100

註 朝鮮總督府農林局農政課 5町步以上地主及所有面積等6頁

그러나 이不過 9萬木濟의 5町步以上の耕地所有者들이 所有하고있는 耕地面積은 畜711,670町步 田536,360町步 合計 1,248,030町步나되되 畜에있어서 5町步以上所有者의 占하는面積의比率은 畜總面積에對한 40.2% 小作畜面積에對한 59.2% 에達하며 田에있어서는 前者 19.7% 後者37.2%이다 特別全北、全南、京畿에있어서는 畜에있어서 前者各々 68.4% 52.2% 48.0% 後者 85.7% 8.9% 64.4%이며 田에있어서는 前者各々 23.0% 17.1% 22.3% 後者各々 32.5% 42.2% 32.2% 를 表示하고있다 特別 田作地帶에屬하는 黃海、平南、平北、江原、咸南、咸北等處에있어서는 土地所有集中率이 特히尤甚하여 前者各々 37.7% 24.2% 21.9% 15.3% 21.1% 15.8% 後者各々 44.1% 43.6% 35.3% 32.4% 71.3% 54.8%를 表示하고있다

(第9表) 畜五町步以上地主의所有面積狀況表 (1942年現在)

	面	積	同上百分比			
	總面積 (A)	小作地5町步地積 (B)	地積 (C)	B/A	C/A	C/B
京畿	213,678	159,211	102,545	74.5	48.0	64.4
忠北	73,564	48,674	10,814	66.2	14.7	22.2
忠南	168,900	127,400	71,934	75.4	42.6	56.4
全北	174,866	139,637	119,675	79.8	68.4	85.7
全南	216,541	143,296	113,151	66.2	52.3	78.9
慶北	204,085	119,664	48,853	58.6	23.9	40.8
慶南	183,247	122,447	68,338	66.8	37.3	55.8
黃海	155,843	112,960	59,344	72.5	38.1	52.5
平南	89,462	57,155	26,448	63.9	29.6	46.3
平北	99,043	67,613	24,162	68.2	34.5	50.5
江原	96,709	56,001	27,778	57.9	28.7	49.6
咸南	71,331	38,916	17,986	54.6	25.2	46.2
咸北	22,303	9,491	2,642	42.6	11.8	27.8
合計	1,769,572	1,202,465	703,670	68.0	39.8	58.5

註 同上統計에依據함

(第10表) 田五町步以上地主의所有面積狀況表 (1942年現在)

	面	積	同上百分比			
	總面積 (A)	小作地5町步地積 (B)	地積 (C)	B/A	C/A	C/B
京畿	171,062	118,477	38,200	69.3	22.3	32.2
	74,661	55,514	7,227	74.4	9.7	13.0
忠南	82,593	53,571	12,932	64.9	15.7	24.0
全北	71,672	50,687	16,516	70.7	23.0	32.6
全南	215,077	82,046	34,797	38.1	16.2	42.4
慶北	178,647	95,423	17,728	53.4	9.9	18.6
慶南	94,540	53,447	9,435	56.5	10.0	17.7
黃海	410,903	260,325	114,856	63.3	28.0	44.1
平南	310,858	171,918	75,409	55.3	24.3	43.8
平北	304,828	188,842	66,771	61.9	21.9	35.3
江原	259,073	122,290	39,715	47.2	15.3	32.4
咸南	337,228	101,836	71,316	30.1	21.2	70.0



咸北	198,814	57,378	31,458	28.9	15.8	54.8
合計	2,709,962	1,411,754	536,360	51.9	19.7	38.0

- 註 同上統計에 依據함

그리고 所謂大地主라고稱하는 「100町步以上의 地主及 其所有面積의比率」을 보면 1,058戶 (朝鮮人754戶 日本人304戶) 이며 그들의 所有面積은 畝 253,464町步 田110,305町步 合計 363,769町步이다 그리고 이 100町步以上地主의 (ㄱ)總地主에對한比率는 1.0% (ㄴ) 所有地全部를 小作사키는 地主에對한比率는 32.2% (ㄷ) 그들의 所有地의 總耕地面積에對한比率는 畝 14.5% 田43.4% 計 6.3% (ㄹ) 總小作地面積

(第11表)

耕地所有面積의 廣狹別 朝日人等別 耕地面積表

(1942年現在)

		5町以上	10町以上	20町以上	50町以上	100町以上	500町以上	1,000町以上	合計
所有面積	朝鮮人	342,666	214,577	168,116	83,562	81,588	15,779	4,794	911,082
	日本人	18,786	21,530	27,749	21,201	36,199	13,213	23,904	162,582
	其他	3,730	4,348	9,230	11,059	33,339	16,061	96,600	174,367
計		365,182	240,455	205,095	115,822	151,126	45,053	125,298	1,248,031
百	朝鮮人	94	89	82	72	54	35	4	73
	日本人	5	9	14	18	24	29	19	13
	其他	1	2	4	10	22	36	77	14
計		100	100	100	100	100	100	100	100

註 1. 上表農政課統計 7頁

2. 其他는 朝日人外의 公共團體, 農協, 會社等 法人 所有에 關한 것이다

이統計에依하면 日本人에 있어서의 巨大地主의 發展이 尤甚한 것을 알 수 있다 이統計에 있어서 「其他」의 項目에 算入된 土地所有者라는 것은 거의 대부분이 東拓, 不二興業, 東山等을 始한 日本人會社로 看做되는 바 이니 그들의 巨大地主는 더한층 놀라운 바이다

그러나 土地所有의 集中이 田作地帶보다 畝作地帶에 集中되어 있다 畝에 있어서 層級이 더는 것은 이미 指摘한 바이지만 그들 巨大地主의 所有土地가 位置, 灌溉施設, 土質等 各質의 면에 있어서 壓倒의 理由가 有利함을 다시 指摘하지 않을 수 없다 位置, 土質에 있어서는 勿論 灌溉施設에 있어서 가장 發達한 全北平野部 四郡에 있어서 小作農의 集積 따라서 土地所有의 巨大量 集中狀은 이미 指摘한 바이다 다시 水利組合에 있어서의 集中度를 表示하는 다음 統計을 보면 10町步以上 所有의 人員數는 全土地所有者의 不過 2.1%(1,813人) 이다 그들의 所有面積은 52.7%(95,295町步) 를 所有하고 있다

(第12表)

水利組合에 있어서의 土地所有 集中의 傾向

	所有員數		所有面積	
	員數	人	面積	%
0.5 町以下	42,124	48.1	10,262	5.9
0.5-1.0	20,443	23.3	14,756	8.2
10-10	23,212	26.5	59,323	33.0
10-50	1,547	1.7	31,154	17.3
50-100	147	0.3	10,653	5.9
100町以上	110	0.1	53,488	29.7
合計	87,592	100.0	179,636	100.0

註 土地改良事業要覽 1931年度 久間健一著 朝鮮農政의 課題 398頁

이統計에서 보면 1町步未滿 所有者員數 71.4%가 土地所有 面積은 不過 14.1% 를 所有하고 있다는 事實이 看取되는 것이다

에對한比率는 畝 21.4% 田 7.8% 合計 14.0%에 該當하고 있다 即不過 幾萬名의 地主에 對한 集中의 過半數가 集中되고 있는 것을 알 수 있다 그리고 土地所有의 集中이 日本人에게 더한층 激甚하다는 것도 알 수 있으며 田보다 畝에 있어서 激甚함을 알 수 있다

解放前 日本人의 土地所有에 關하여서는 各說이紛々하야 그 適確한 數字를 提示키 困難하나 大略 35萬~36萬町步로 推算되며 이것은 全耕地面積의 約8%에 該當하는 것이다 (久間健一著, 朝鮮農政의 近代의 概相, 327~9頁參照) 그러나 5町步以上의 耕地所有面積에 있어서의 朝鮮人對日本人의 比率는 다음과 같다

셋째로 純小作農以外에 農家總戶數의 19%를 占하는 自作農(539千戶)이 있으나 極少數의 地主와 合營 富農等 「半奴僕主의 自作農」을 除外하고는 「獨立自作農」或은 「小農」의 總稱을 實現하지 못하고 손바닥만한 耕地에 踞踞하면서 小作農과 區별없는 條로는 小作農以上의 貧困한 生活를 하지 않을 수 없으며 自作農及 自作兼小作農이란 名稱外形에 不過하며 그 壓倒의 部分은 籠絡의 理由가 貧農에 不過한 것이며 激勞의 點에 있어서 小作農以上의 自己勞力이 消耗의 原因이 되나 極少數를 除外한 그들에게는 生活水準의 維持도 平均의 經濟的 持續도 不可能한 것이다 以上의 事實은 農民負債 特別 金融組合, 東拓, 銀行들에 對한 負債의 거의 全部를 이들이 背 지고 있는 것이다 即 1930年의 朝鮮農會에 依한 典型的인 一農村, 京畿道水原郡의 實態調査의 結果에 依하면 (日本農業研究會編, 日本農業年報, 第二輯) 各農民層 一戶當, 平均負債額에 있어서 自作農 144圓 45錢 自作兼小作農 232圓 24錢 小作農 34圓 75錢 平均 137圓 14錢 으로 負債額에 있어서 自作兼小作農, 自作農이 小作農을 훨씬 凌駕하고 있다 「自作農地設定事業」이라는 名目下에서 金融組合이 一般農民에게 貸付한 金額만 하더라도 200,959,289圓에 達하며 貸付員數 881,333人에 達하고 있다 其外에 「農會經營에 依한 自作農地設定事業」으로서 1939年未現在에 있어서 農民에게 貸付된 金額이 16,280,201圓 戶數 81,438人이며 「國庫補助에 依한 自作農地設定維持事業」으로서 1932~39年度까지의 既往 8個年의 貸付金額이 12,495,923圓 24錢 貸付員數 19,007戶에 達한다 (朝鮮農地年報, 第一輯 98~108頁) 其他에 正確한 額數는 未詳이나 東拓, 殖銀等의 莫大한 農業貸付金, 農場會社의 貸付金及 高利貸金業者 = 商人들의 高利貸金을 考慮한다면 朝鮮農民들은 完全히 負債의 구렁에 陷沒하고 있는 것이다 그리고 如上의 貸付는 거의 全部가 性質上 擔保貸付이기 때문에 實質의 理由로 自作農 乃至 自作兼小作農의 負債에 屬하는 것이다

그前 提調査에 依하여 「各農民層의 租稅及其他 諸負擔」을 보면 自作農 66,263圓 自作兼小作農 17,290圓 小作農 2,156圓 平均 28,570圓 이다 손바닥만한 土地에 踞踞하면서 巨額의 負債及 이에 따르는 利息 莫大한 公課等 諸負擔을 背 지고 또 收穫物의 4割乃至 7.8割의 小作農 其他 經濟外의 擄取를 當면해서 (自

作兼小作農에 있어서 生活의維持向上 剩餘價値의蓄積이란 한개의 逆說의인것에 不遜한것이나

全剩餘勞動의被奪 生活의破綻 土地所有로부터의 急激한 離脫만이 唯一한것이다 이過程은 自作農及自作兼小作農의 小作農으로의不歸한沒落에 集中된다 1913~17年自作農戶數 555千戶(全農家戶數의21.8%)는1939年에는 539千戶(19.0%)로 20餘年동안에 絶對的으로 16千戶의激減을 結果하였으며 全期間에있어서 自作兼小作農은 991千戶(同上38.8%)로부터 7194千戶(同上25.3%)로 約272千戶의 激減을 齎來하고 있다 同期間에있어서 小作地는 全耕地面積의 53%로부터 58%로 增加하고있다 이로써「自作農地設定維持政策」이타는것이 그結果에있어서 朝鮮農民에게 어떠한結果를 내고있는지 能히列斷할수 있는것이다

### 4. 耕作規模의零細性

朝鮮農家經濟의 極度의零細性은 첫째로 農家一戶當耕地面積에 둘째로 耕地規模別農家戶數에 集中的으로 表示되고 있다

1939年統計에依하면 農家一戶當耕地面積은 1.47町步이며 畝作地帶의代表的指標로서 全北 1.02町步 全南 1.04町步 忠南 1.11町步 慶北 1.11町步를 表示하고있으며 田作地帶의 代表的指標로서 咸北 2.79町步 平南 2.24町步 咸南 2.21町步 黃海 2.26町步를 表示하고있다 即 朝鮮의農家一戶當耕地面積 1.47町步 (第十四表)를 世界各國의 一農家平均耕地面積一奇美國 6.69町步 (1923年) 佛蘭西 8.77町步 (1892年) 獨逸 5.66町步 (1907年) 匈牙利 8.57町步 (1895年) 捷克斯로바키아 3.02町步 (1918年) 勃牙利 5.04町步 (1904年) 美國 5.99町步 (1920年) 丁抹 1.61町步 (1918年 瑞典 6.7町步 (1913~20年) 愛蘭 3.0町步 (1913年) 中國 1.2町步 滿洲 4.37町步等과 比較하여볼때 그零細性은 더한층 浮彫的이며 單位面積의生産量을 比較할때 더한층 激甚함을 알수 있는것이다

(第13表) 反當農作物收穫量 (1926~30平均 單位石)

	米	大麥	小麥	裸麥	大豆	粟
朝鮮	0.984	0.842	0.521	0.691	0.540	0.629
日本	1.905	1.855	1.277	1.373	0.811	1.119

註 朴文圭著 朝鮮土地問題論考 64頁

(第14表) 農家一戶當耕地面積及小作地面積 (1939年現在)

		畝田別農家一戶當			畝田別小作地小作農家一戶當		
		畝	町	十	畝	町	十
京畿	0.86	0.72	1.58	0.93	0.72	1.65	
忠北	0.56	0.62	1.18	0.60	0.67	1.27	
忠南	0.74	0.37	1.11	0.88	0.37	1.25	
全北	0.73	0.29	1.02	0.85	0.30	1.15	
全南	0.52	0.52	1.04	0.70	0.40	1.10	
慶北	0.59	0.52	1.11	0.75	0.60	1.35	
慶南	0.62	0.32	0.94	0.81	0.36	1.17	
黃海	0.58	1.68	2.6	0.70	1.77	2.47	
平南	0.50	1.74	2.24	0.4	1.93	2.57	
平北	0.48	1.48	1.6	0.59	1.71	2.30	
江原	0.39	1.06	1.45	0.52	1.20	1.72	
咸南	0.36	1.85	2.21	0.65	2.03	2.68	
咸北	0.28	2.1	2.79	0.56	2.36	2.92	
平均	0.57	0.90	1.47	0.72	0.89	1.61	

註 1940年朝鮮農地年報 137頁

經營規模에關한 1938年의統計에依하면 一町步未滿의畝細經營이 自作農51% 自作兼小作農61% 小作農69% 平均6%이다

(第15表)

耕作規模別農家戶數表 (1938年現在)

	自作農		自作兼小作農		小作農		合計	
	戶數	%	戶數	%	戶數	%	戶數	%
0.3 以下	72	13	14	14	301	20	489	17
0.3-0.5	92	17	168	21	353	23	613	21
0.5-1.0	114	21	209	26	390	26	713	25
小計	278	51	493	61	1,044	69	1,815	63
1-2	115	21	179	22	272	18	566	20
2-3	87	16	94	12	132	9	313	11
3-5	47	9	38	5	51	3	136	5
5町以上	17	3	10	0	13	1	40	1
合計	544	100	814	100	1,512	100	2,870	100

註 鈴木武雄著 朝鮮의經濟 248頁

그러나 如上의經營의零細性은 이것을地帶別로볼때 더한층 露骨甚하다 實로畝作地帶인三南六道에있어서는 全農家戶數의72.7%가 一町步未滿의畝細農이며 中鮮地方이54.7%, 田作地帶인北鮮은 35.7%이다

(第16表) 農民經營의地域의零細性 (1923年)

1.0町以上	畝作經營		A+B
	0.3~1.0 (A)	0.3未滿 (B)	
畝作的帶	%	%	%
全南	27.0	41.3	71.4
全北	19.1	42.6	60.9

慶南	26.0	37.0	37.0	74.0
慶北	26.7	42.2	31.1	73.3
忠南	32.7	32.6	34.7	67.3
忠北	33.1	34.1	32.8	66.9
平均	27.3	39.1	33.6	72.7
畝,田混用地帶				
京畿	38.3	36.2	25.5	61.7
江原	46.4	33.0	20.6	53.6
黃海	51.8	31.2	17.0	48.2
平均	45.3	33.6	21.1	54.7

田 作 地 帶				
平 南	61.3	29.8	8.9	38.7
平 北	61.5	23.5	15.0	38.5
咸 南	66.3	23.5	10.2	33.7
咸 北	70.4	23.7	4.9	28.6
平 均	64.3	24.9	10.8	35.7
全 朝 鮮	39.4	34.8	25.8	60.6

註 久間健一著 朝鮮農政의 課題 249頁

其外에全然耕地를가지고있지못한農民「雇農」統計에는「農業勞動者」이全朝鮮을통하여總農家戶數의5.1%(1935年)이며南朝鮮六道7.8%中朝鮮三道3.7%北朝鮮四道1.8%이다(久間健一著 朝鮮農政의課題215頁) 특히全北은 13.0% 慶南은 8.1% 나되며 三南穀倉의中心인 全北平野地帶에있어서의如上의狀況은耕作經營의零細性을如此히露微하고있는것이다

### 5. 高率小作料와小作爭議

朝鮮農村機構內에서 基本的인租稅關係를 形成하는 地主對小作人의關係 즉 小作關係는 農民의 全剩餘價値를 代表하는 小作料의搾取關係에있어서 가장集中的으로 表現되어있다 納付形態에있어서 金納, 物納, 勞動等各種形態가있고 分配率決定方法에있어서 打租, 執租, 定租等 各方法이있으나 基本的으로는 封建的物納地代가 維持強化되고있으며 分配率에있어서 즉 小作料率에있어서 剝削의 程度가 높아지고있다는데에 封建的小作關係의 全本質은 表現되는것이다 即 農業生産에있어서「農奴制의性質은 무엇보다도 吸收形態에 利潤의成立을 不可能케하는 地代剝削 現物小作料에 集中的으로表現된다 現物小作料야말로 朝鮮의農業生産에있어서 半農奴的의吸收關係 確保 地主資格의壓倒的優勢力確保 半封建的土地所有關係確保의 根幹으로서 나타나는것이다」如斯한收取關係는 첫째로 小作料의物納形態의 壓倒的優勢 즉全朝鮮을통하여 畝 93.9% 田 92.1% 田作 46.1%를 占領하는關係에 示現되고있다 如斯한 物納形態의 壓倒的支配下에 極少數의 金納形態가있으나 이것은 工賃性인 物納小作料의 形態轉化에 不遜한것으로「剩餘價値超過者分은 資本家的地代 或은 그에의 過渡的形態가아니요 一般的現物納小作料와같이 半農奴的의地代剝削을 形成하는것」에 不外하다 둘째로 現物小作料의 程度의高率 즉「畝小作料의生産高에對한比率」이 普通定租 40%~50% 打租 45%~60 執租50%~55% 「田小作料의生産高에對한比率」이 普通定租 35%~40% 打租 40%~60% 執租 40%~55%라는 高率性에 打租集中的으로 表現되고있다 (1930年)

以上の 現物小作料를 1900年의恐慌時勢로 換算하면 反當小作料에있어서 普通畝 7.97圓乃至11.95圓의高額이되며 이것을 各國의反當小作料—即 英鎊2.50圓(第一次大戰前) 蘇埃圓은 2.00圓(1912~20年均) 愛蘭 1.80圓(1881~1920年平均) 普魯西 1.92圓(1913年) 奧地利 1.50圓(1913年) 佛蘭西 1.20圓~1.60圓(1913年) 美國1.00圓~1.50圓(1913年) 等과 比較한다면「兩者의差異는 單純한 量的差異가 아님은 一見明瞭하다」(日本評論社版經濟學全集 第42卷 653頁)

그러나 以上の 小作料로서 搾取關係의 全部는 表現되지 않는다 各種의農奴制의賃納과 公租賦課의 小作人剝削에依하여 事態는더한층 深刻化되는것이다 如上的「半農奴制的高率地代=地主資格의 壓倒的優勢下에있어서는 겨우 7.8町步이 土地所有로... 盤石같은 寄生的地主剝削을 實現시키는것이다 여기에서 土地所有者의寄生化 自作農上層의寄生的地土化傾向의 必至性을 把握할수있으며 他極에있어서 耕作農民의 債務奴化 貧困化 流氓化가 不斷히擴大再生産되

는 必然性도 把握하게되는것이다

上述한바와같은 全收穫物의 40%~80% 平均 50%內외의 收奪이란 實로常識을버서한 收奪이아닐수없으며 農民生産의 全剩餘價値—때로는 必要勞動의一部까지도—의收奪을 意圖하는것이다 그러나 地主의小作人收奪은 이에고치는 것이아니었다 그밖에 各種의經濟外의強壓, 封建的壓力에依하여도 收奪하고있는것이다 即地主에對한 各種膳謝物—色租, 斗稅, 場稅, 歲物, 贈與, 賦役, 水稅及各種 公租賦課의 小作人負擔, 舍畜에對한 各種種收等의被奪이 高率小作料에 外다시 附帶되고있는것이다 如斯한 高率小作料及 其他의經濟外의搾取가 維持強化되는 基本條件은 두말할것없이 半封建的土地制度 그自體에있는것이다 收奪率을 不斷히動搖高度化시키는 促進要因은 土地集中의急激한發展, 農村過剩人口의氾濫, 이에따르는 小作權爭奪戰의激化와 地主에對한 小作人들의無力에있는것이니 下記統計로서 能히볼수있는것이다 첫째로 農村過剩人口의氾濫을보자 1925年의 日本內務省社會課調査에依하면「朝鮮農民의轉業狀態」에있어서 (가) 商工業或은勞動者로轉業한者110,251人 (나) 日本, 滿洲或은 西伯利亞로移居한者29,632人 (다) 一家離散한者其他 10,332人 合計150,112人이리 는巨大한人口가 農村을떠나기되었다 多數農民의 離村은 商工業의發達이 不充分한 朝鮮에있어서는그들을 收容할길이없기때문에 放浪的農業勞動者가되든가 都市에集中하여 工場勞動者의賃을 期待하면서 不斷히 奴隷的低賃條件으로 工場勞動者들을 競爭壓迫하든가 火田人이되든가 그렇지않으면 國外로 流浪의길을 떠나는가하는 途徑에있는것이다

다음에 小作爭議의激化狀況을보면 土地所有로부터 完全히 剝奪當農民들은 또한 不斷히 小作權移動의脅威를 받지않을수없다 다음統計가 表示하는바와같이 一箇年 동안에 移動되는件數만하여도 237千件에到達하고있다

(第17表) 道別年間小作移動件數 (1929年10月~1930年9月)

京 畿	20,753	慶 北	19,610	江 原	17,550
忠 北	16,046	慶 南	22,908	咸 南	10,393
忠 南	19,466	黃 海	20,770	咸 北	3,978
全 北	23,042	平 南	18,390	合 計	237,238
全 南	27,741	全 北	16,591		

또李勳求氏의實態調査에依하면(朝鮮農業論) 小作期間一年에 全調査戶數의約70%이며 5箇年未滿을 合計한다면96%에到한다 따라서「小作權의移動에 따르는小作爭議는 年年總小作爭議件數의六割內外를提示하는것을普通으로한다」는 것이다 그리고이 小作權移動을機會로 小作料는 不斷히高騰하는것이여 各種惡條件이 새로附帶되고 各種賄賂가橫行하는것이다

1939年에있어서의小作爭議總件數 16,452件의 80.7% 즉 13,281件이 小作權을돌려싸고 이리年爭議이다(朝鮮農地年報第一 輯23~4頁) 그리고「關係土地의廣狹에依한爭議件數」를보건대 同年에있어서總件數의93%가 一町步未滿의耕地面積에關한것이다(同上29頁) 더욱 可驚한事實은 小作爭議의發生件數에있어서(同上年報)總件數의 69.4%가 採種直前인 1月~5월에集中되고있으며 특히 58.7%가 3. 4. 5月の3箇月中에集中되어있다는事實이다 촌바닥만한土地를 耕作하기爲하여 採種直前에조바심치며 一年동안의飢饉의運命과싸우는 것이 日政下에있어서의 朝鮮農民들의慘景이있었던것이다

### 6. 農家經濟의 破綻

以上에서본바와같은「一極에있어서의 寄生的地土層 他極

에 있어서의 半農奴의 零細耕作農民層 이 兩層層의 直接的計置 下에서 全朝鮮平均農家 一戶當耕作面積 1.52町步(1940年에 는 1.47町步) 에 示現되는 零細作朝鮮平均田畜生産物의 四割 乃至六割에 示現되는 現物小作料 全剩餘勞動吸收의 地代地租 地主食格의 壓迫의 優勢 이 兩者具象化되는 半封建的土地所有 制半農奴制의 零細耕 이것이 朝鮮農民生産關係를 構成한다(朴文圭著 朝鮮土地問題論考72頁) 이 如한 構成下에서 土地所有 化의 零細化와 耕作農民의 債務農奴化 貧困化 半부르데라 리 아化가 不斷히 繼續되는 것이다

耕作農民의 窮乏化를 表示하는 다음統計宗보면 農家總戶 數2,729,021戶의 46.6%에 該當하는 1,273,326戶가 收支가 맞지 아니하는 農家이다

(第18表) 農家規模別一戶當收支狀況表 (1925年)

地 注	戶數	收入			支出			過不足		
		戶數	收入	支出	過不足	戶數	收入	支出	過不足	
地	20町以上	6,866	10,712	5,130	5,582					
	20町以下	22,994	2,236	1,532	704					
	5町以下	39,455	954	713	241					
	1町以下	52,670	764	420	344					
自作農	3町以上	94,453	1,237	1,004	233					
	3町以下	179,016	732	635	97					
	1町以下	172,390	442	401	41					
	3段以下	107,819	314	297	17					

(第19表)

道別春季食糧端窮期窮乏農家戶數 (1930年)

道	窮乏農家戶數				全農家에 對한 百分比			
	自作農	自作兼小作農	小作農	合計	自作農	自作兼小作農	小作農	合計
京畿	2,407	22,235	97,002	121,644	13.1	33.3	69.8	54.3
忠北	3,564	17,891	54,435	75,890	19.9	40.4	76.3	57.5
忠南	2,438	24,104	85,764	112,306	30.9	45.3	89.6	69.7
全北	3,098	23,191	110,469	136,758	28.7	42.6	70.5	62.2
全南	14,721	52,028	103,588	170,337	23.2	46.9	81.2	56.4
慶北	13,477	47,129	84,289	144,895	20.2	36.1	57.8	42.1
慶南	8,354	33,892	87,626	129,872	21.2	37.2	63.2	46.5
黃海	4,159	22,015	75,520	101,694	12.2	34.0	63.0	46.5
平南	4,733	17,209	33,557	55,499	14.3	38.0	58.4	56.6
平北	5,279	9,001	34,015	48,295	8.8	19.4	42.1	28.6
江原	10,363	26,885	45,895	83,143	20.5	37.9	76.9	45.9
咸原	15,003	22,383	21,950	59,336	20.7	42.2	72.3	38.1
咸北	4,708	5,587	3,401	13,696	10.5	35.6	55.2	20.5
合計	92,304	323,470	837,511	1,253,285	18.4	37.5	68.1	48.3

註 朝鮮小作에 關한 參考事項摘要

1930年의 統計에 依하면 다음 第20表가 表示하는 바와 같이

(第20表) 自作小作及小作農의 負債狀況

道	負債戶數		一戶平均 負債額	普通負債額 總	各郡最高負債 額平均
	戶數	總戶數에 對한 比率			
京畿	161,487	72	49	7,912,835	557
忠北	94,832	79	38	3,605,896	310
忠南	161,556	85	66	10,662,696	574
全北	175,556	83	62	10,884,472	516
全南	221,122	75	55	12,161,710	428

自作小作兼農	2町以上	98,628	1,015	924	91
	3町以下	263,747	585	551	44
	1町以下	329,431	381	374	7
	3段以下	225,605	241	242	△ 1
小作農	3町以上	88,226	824	808	16
	3町以下	233,029	591	56	△ 5
	1町以下	354,399	233	353	△ 20
	3段以下	298,084	215	227	△ 12
窮 農	162,209	101	106	△ 5	

註 1. 朝鮮의 小作慣習 386頁 2. △印은 不足

以上統計에 依하면(小作農은 거의 全部가 收支不價의 狀態에 있는 것이다 日帝時代의 久間健一 小作官에 依하면 「農業經營 投入된 資本量에 있어서 朝鮮農民은 日本農民의 約三分之一 이 것을 耕作面積 反當으로 換算하면 約五分之一 反當經營 있어서도 마찬가지로 二分之一以下 經營에 있어서의 總收 入에 있어서도 二分之一以下 總收入으로부터 經營費를 控除한 課所得에 있어서도 從業者一人當으로 換算하면 半에 達하지 못하여 二分之一以下 그리고 農家經濟全般에 있어서도 日本의 支不足九圓餘에 對하여 朝鮮은 約五倍의 45圓弱」이라는 것이 「春季食糧端窮期」所謂 「春窮難越」의 「麥領期」에 있어서 飢餓線上에 彷徨하는 農家戶數는 全朝鮮을 通하여 (1930年 自作農 18.4% 自作兼小作農 37.5% 小作農 68.1%로 實: 總農家戶數의 48.3%에 達하는 것이다 (第19表)

慶北	210,821	73	55	11,595,155	441
慶南	200,347	82	65	13,022,555	506
黃海	148,456	78	56	8,313,536	320
平南	96,827	81	59	5,712,793	281
平北	100,849	73	62	6,258,838	218
江原	102,169	70	39	3,984,591	227
咸南	64,101	72	121	3,756,221	1,085
咸北	15,534	55	62	963,108	195
合計	1,753,817	75	59	102,834,434	420

註 朝鮮小作에 關한 參考事項摘要

全朝鮮을 通하여 農家總戶數의 75%가 債務을 背하고 있는 것이다 특히 忠南 85% 全北 83% 慶南 82% 平南 81% 등이 際甚하거나 二倍 負債의 零細한 이 一驚하지 않을 수 없다 「幣

財元本額의 普通及最高에 對하여 全朝鮮各面으로 하여금 調査한 結果를 道單位로 集計平均한 것을 보면 普通은 28圓 으로부터 121圓 에 달하고 平均 65圓 이며 最高은 158圓 으로부터 1,085圓 에 달하고 平均 420圓 이라는 것이다

零細農民들의 如斯한 借財은 性質上 農業의 再生에 必要한 投資는 아니나 尤도 그것은 飢饉은 그러나 一時的으로 彌補하려는 것에 不外한 것이니 1938年 12月末의 農村負債에 關한 一推計에依하면 다음과 같다

(第21表) 金融機關別 農業資金 (單位 千圓)

	金額	比率
朝鮮銀行	6,019	1
殖民銀行	154,823	9
普通銀行	24,025	4
貯蓄銀行	901	0
金融組合	169,046	1
東洋拓殖會社	108,320	20
勸業共濟組合	3,106	1
個人資金	76,806	14
合計	543,052	100

註 滿洲評論 第22卷第15號17頁

그러나 以上統計에서 農林의 零細短期의 高利貸負債가 全部包含되어있다고는 볼수없다 또한 抵押等 現物의 利貸行도 包含되어 있지 않다 1940年 3月末에 있어서 更生指導農家 669千餘戶에 對한 高利貸의 整理狀況에 關한 舊總督府農政課의 調査結果에依하면 戶數 287千戶 金額 22,117萬圓 1戶當 平均 77.19圓 이다 또 高利貸果計에 對하여 組合資金에 依한 借金濟濟 自己資金에 依한 辦濟 調整에依한 減額의 比率은 57.2%, 27.9%, 14.9%로서 結局 半數以上은 舊債整理라는 名目下에 現代金融機關의 債務負擔으로 再編成된 債目 이다 그리고 所謂 近代의 金融機關의 利用者는 거의 大部分이 自作或은 自作小作農 또는 地主들에 局限되어있으며 이 貸借關係를 抵押物으로서 金融機關을 中心으로 그 實權이 集中移轉되었던 것이다

또 農民이 一般債務關係로 因한 立毛差押件數을 보면 1,930—1,939年間的 10個年 동안에 貸物 45,079件으로 總件數 47,636件의 84.6%에 對當하는 可驚한 數字이다 (農地年報 第一輯94頁) 以上과 같은 險路에서 農家經濟는 破綻의 一途를 거러왔던 것이 解放前까지의 土地問題를 通하여서 나타낸 事實이다

## 2 解放後土地改革의 具體的方案

### 1. 小作料三一制實施와 三七制

解放後 南朝鮮에 있어서 土地問題解決에 第一次의 方向을 提示한 것은 1945年 10月 5日 附 大軍政法令 第9號의 小作料三一制의 制定인 것이며 土地改革의 前提로서의 커다란 意義를 가지고 있는 것이다 그러면 이 小作料三一制法合은 何나오게 되었든가 該法合第一條에 「現行契約에 依하여 小作人이 其 田地에 對하여 支拂하는 苛酷한 小作料及 利率과 其結果로 小作人의 半奴隸化와 其生活水準이 美軍政廳의 目的인 水準下에 在한 理由로 朝鮮國家에 非難의 存在을 該會 布告할」 이라고 하여 軍政廳의 實施할 水準은 朝鮮人에게 繁榮과 安定을 與하는 水準이라고 明示되어 있는 것이다 即 朝鮮의 小作料은 前述한 바와 같이 世界的으로 高率이며 農業生産에 있어서 日帝의 苛酷한 搾取에 因하여 農民들의 技術과 能力은 充分히 發達되지 못하였던 것이니 尤러 農耕地의 荒廢化를 招

來하였던 것이니 1939年에 耕地面積 4,958,507町步 이던 것이 1943年에는 4,219,790町步로 減少되었으므로 알수 있는 것이다 또 地主들의 荒廢地나 又是 修繕을 要하는 土地에 對한 投資의 精力을 避한 韓國經濟의 再建에 背馳하는 것을 認定한 美軍政廳은 亦是 新作者인 農民들의 苛酷한 搾取에서의 解放과 農業生産感欲의 喚起를 爲하여 土地改革의 前提로서 이동된 것이 라고 볼수 있는 것이다

이法合의 骨子를 보면 「小作料은 原則의 으로 該納으로 하고 境遇에 따라서는 金納으로 할수 있다는 것 耕地收穫物의 總額의 三分之一을 超過하지 못할 것 또 小作地契約의 一方의 解除는 無効이며 最高額以上의 小作料의 新契約은 締結할수 없다는 것 現存小作料의 現物支拂方法等」으로 되어 있는 것이며 所謂 小作料 三一制의 實施을 보게 된 것이다

一方 全農에서는 그 結成大會 (1945年 12月)에서 「土地改革의 實踐問題를 먼저 日本帝國主義와 反民族的인 地主及 大地主의 土地는 이를沒收하여 農民에게 分配하기를 要求한다 그리고 一般朝鮮人地主의 小作料은 三七制로 實施하기를 主張한다」고 決定하고 있으며 所謂 小作料三七制은 여기서 비로써 나타나게 된 것이다 이는 朝鮮에 있어서의 土地改革事業의 現段階 (當時)에 있어서의 根本課業이라고 하고 있는 것이다

小作料은 原則의 으로 金納을 할 것 地主가 主張하는 看坪計量과 檢査制 運搬, 林木問題等은 實費에 있어서 農地의 小作料引上을 結果하고 만는 것 또 小作料에 있어서의 所謂 總生産額의 三分之一의 實施는 二毛作에도 適用됨으로 이를 反對한 다는 것이나 그러나 이 二毛作 小作料은 1946年 5月 農務部長의 正式政令으로 廢止키로 決定되어 結局 三一制과 三七制의 根本의 差異는 小作料의 金納과 金納의 差異로 되어 있는 것이다

### 2. 南朝鮮土地改革의 三大方向

上述한 바와 같이 朝鮮에 있어서의 土地改革의 必要性은 누구나 다 認定하고 顯하고 있으나 그 主張에 있어서 根本的인 別가지 差異를 發見할수 있다 即 土地改革의 具體的方法으로서 土地를 「有價沒收有價分配」 「有價沒收無價分配」 「無價沒收無價分配」 등의 三大潮流이 있으며 이를 1947年度 美英共委에 提出한 諮問答申書 (개한면보 刊行 臨時政府樹立大綱에 依據함)에 依하여 그 骨子를 紹介하리다

「有價沒收有價分配」의 第一方案(臨時案)의 骨子는 「(一) 日本統治時代에 있던 土地利用과 小作制에 關한 對策은 日本人本位로 行된 土地利用方法을 廢止하고 朝鮮民族本位의 國土計畫을 實施하여 土地를 開發利用하며 農耕地는 原則的으로 農民의 所有權으로 從來의 小作制을 廢止하고 (二) 土地所有에 關한 政策으로는 (가) 土地는 農民에게 私有하게 하되 自作自農의 原則下에서 最大限度 所有面積 (要컨대 一戶 當 五町步)을 允하고 處分에 對하여는 이를 制限하여 國家 또는 公共機關의 許可를 要하며 土地條件의 弊를 防止하고 (나) 土地의 私有權을 認定하되 國家는 法合을 制限하여 賣買或은 抵押權을 制限하고 (다) 土地를 國有化하여 無價으로 永久使用權을 賦與하면 農民에게 所有權을 認定하지 아니하는 것임으로 農民의 生産感을 低減하지 農民의 有價沒收 農業生産力의 發達을 期하기 難할뿐 아니라 農民은 永久로 農奴化하는 것이니 有價沒收하는 變遷에는 私有財產制을 根本的으로 否認하는 것이니 有價沒收하는 境遇에는 國家財政上 負擔이 過重함으로 不可하다는 것 (二) 農業生産及 企業을 獎勵하기 爲하여 干瀆地, 開墾地, 牧畜場, 果樹園, 其他 國策遂行上 必要한 特殊地及 農作物經營者에 限하여 上述한 最大限度 所有面積 制限을 받지 않거란 것 (三) 日本人이 所有하였던 土地는

日本國家、個人、團體所屬等은 莫論하고 全部 이를沒收하야 農民에게 分與한土地의 對象으로하고 (四)朝鮮人地主의 土地는 이를 國家에서 買收하여 小作人에게 分割하는 境遇에 地主에게는 累進遞減率에 依하여 報償케하고있으며 (五)小作人에게 土地分割은 有償으로하되 每年 償還額은 年生産高의 四分之一 一定期限內에 納納케하고 (六)灌溉機關及 其使用에 對하여서는 大規模의 灌溉事業은 國營으로하고 小規模의것은 農民의 自治機關으로하야 經營케한다 但從者는 國家의 計畫과 監督下에두고 經營費는 農民의 負擔을 過重케 하지아니하기爲하야 一部分을 國家補助로할것」等으로 되어있는것이이다

다음 「有償沒收無償分配」의 第二方案(時協案)의 骨子를 보면 「(一)日本統治時代에 있던 土地利用과 小作制에 關한 對策은 日本國策本位의 모든 植民地土地政策과 地主本位의 모든 法令及制度는 全部撤廢하야 朝鮮民本位의 新土地政策을 確立하고 農民本位로 耕作權을 確立한것 (二)土地所有에 關한 政策으로는 土地를 沒收, 有條件沒收, 遞減買上하야 耕者有田의 原則에 依하여 無償으로 分配한것 即 (七)土地를 農民에게 最高限定面積(例컨대 戶當最高 3 町步)까지는 私有耕作지키되 自由處分權은 이를 制限하야 買渡抵當의 境遇에 限하여 國家의 許可 或은 國家가 優先買上權을 保留하도록한것 (八)前項의 原則에 依하여 國家로부터 土地가 農民에게 賦與된時는 當然로 買渡或은 抵當權은 國家가 (九)項과 같이 制限한것 (十)朝鮮經濟의 現段階에 있어서는 土地를 完全히 國有로하야 永久使用權만을 賦與하고 農民에게 所有權을 許諾하지아니할것 (二)土地兼併及小作別의 弊害에 因한 農業生産力의 阻害를 防止하고 그 發達及 農民의 生活水準을 向上시키기爲하야 現朝鮮의 實情에 비추어볼때 土地는 最高限定面積以內에서 農家의 人口地租及地味를 考慮한 公平한 點數制에 依한 分配를 하야 農民에게 耕作權을 賦與하되 그 自由處分權中 買渡或은 抵當에 있어서는 國家가 許可 或은 國家가 그 優先權을 保留하야 土地政策의 完遂에 資하게하고 不在地主의 所有는 不許하며 敵產土地, 其他特殊土地(例컨대 沒收한 土地가 있는 境遇)는 沒收하야 干瀆地, 開墾地는 産業生産을 獎勵하기爲하야 許可制을 一定期間 該當面積의 所有를 經營者에게 許하고 牧畜果樹 其他國策遂行上 必要한 特殊農作物經營者에게 그 許可制을 一定期間 該當土地의 所有를 許可하야 그 自由處分權은 以上과 같이 制限한것 (三)日本人이 所有하였던 土地는 日本國家, 個人, 團體所屬의 土地를 莫論하고 이를 全部沒收하야 農民에게 分配한土地의 對象으로할것 (四)朝鮮人地主의 土地는 耕作人에게 分配되어야하고 分配의 方法은 大中地主의 土地를 國家가 累進遞減의 方法에 依하여 一定한 補償으로 買受할것 (五)土地의 小作人에게 對한 分配는 耕作人에게 土地를 無償分配하되 年二割의 現物稅를 徵收할것 (六)灌溉機關은 地方農民이 自治機關으로하야 經營케하되 國家의 計畫과 監督下에두고 經營費는 農民의 負擔을 過重케 하지않기爲하야 一部分은 國庫補助로할것」等으로 되어있다

셋째 「無償沒收無償分配」의 第三案(民戰案)의 骨子를 보면 「(一)日本統治時代에 있던 土地利用과 小作制에 關한 對策은 이를 根本적으로 改革하야 一切의 地主의 土地所有 및 小作制度를 撤廢하야 土地의 所有及 利用權을 農民이 가지게하야 農業制度를 土地가 地主에게 隸屬되지않고 農民의 個人所有으로서의 農民經營에 依據하여야한다 即 (七)具體的 要綱은 (a) 日本國家, 日本人法人及 日本人所有土地 (b) 朝鮮人民의 敵인 親日派, 民族叛逆者의 所有土地 (c) 一農戶當 五町步 以上所有한 朝鮮人地主의 所有土地 (d) 自耕지않고 全部小作

을주는 所有土地 (e) 繼續의 으로 小作을주는 全土地 (f) 五町步以上所有한 寺刹, 鄕校, 聖堂, 僧院, 其他宗教團의 所有土地等은 全部無償으로 沒收하야 土地없는 農民과 土地적은 農民에게 그 家族數와 勞動力을 基準으로 無償으로 分與하야 所有케한다 但 (a) 學校 科學研究機關及 病院의 所有土地 (b) 朝鮮民族의 解放을 爲하야 功勞있는者 또는 그 의 家族과 朝鮮의 民族文化發展을 爲하야 功勞있는者 또 그 의 家族의 所有土地는 割讓치않는다

(c) 農民에게 分與되는 土地에 關係된 一般負債及 諸負擔과 土地의 割讓을 當하는 地主에 對한 農民의 負債는 이것을 一切 無効로한다 (七) 農民에게 分與된 土地는 買渡, 抵當, 小作을 不許하며 其他의 土地에 있어서도 一切 小作을 禁한다 (八) 日本國家所有及 個人所有의 果樹園과 土地를 沒收當하는 地主所有의 果樹園은 沒收하여 國有 또는 地方行政機關의 處分에 委任한다 (九) 農民所有의 小山林과 墓地에 屬하는 山林을 除外한 全山林을 沒收하여 國有로한다 (十) 土地를 沒收當하는 地主所有의 灌溉施設을 沒收하여 國有로한다 (二) 土地所有에 關한 政策은 (七) 土地는 農民에게 私有시키나 그 完全自由處分에 對하야는 小作주는 것을 禁止하고 國家의 農民에게 分與되는 土地는 買渡及 抵當等 自由處分을 禁止하여야한다 (七) 日本國家와 地主로부터 沒收한 土地는 農民이 私有하야 國家로부터 賦與된時는 買渡或은 抵當을 禁止하여야한다 (八) 地主의 土地를 國有化하여 農民에게 無償으로 永久使用權을 賦與함은 不可하다 (三) 日本人의 所有하였던 土地는 (一) (二) 項과 같이 全部無償沒收하여 無償으로 農民에게 分與하여야한다 (四) 朝鮮人地主의 土地는 無償으로 沒收하여야한다 그 理由는 地主에 對한 報償은 巨額이 필요로해서 國家財政으로서는 負擔을 勿하되 萬一 國家財政에서 支出한다면 政府의 産業, 文化其他의 復興費及 建設費 支出이 不可能한것이 아니라 最少限度의 政府維持費도 支出困難한 狀態로 되고 더구나 이것을 大業課稅에 依한 財源에 求한다면 大業의 生活를 破綻시킬만한 高率의 稅金徵收을 하여야할것임으로 不可能하다 或은 土地받은 農民에게 支出케한다면 農民의 債務農民化하여 地主土地의 農民分與의 意味가 없어진다 (五) 小作人에게 對한 從來土地分與는 無償으로 하여야한다 그 理由는 日本統治時代의 所謂 「自作農制定事業」의 失敗의 例에 있어보드시 土地分與를 必要로 하는 貧農은 有償으로서는 價入金을 하기前에는 土地를 獲得할수 없기때문에 有償分配로서는 土地改革의 目的을 達할수 없기때문이다 (六) 灌溉機關은 公共性이 至大한것임으로 國有化하고 使用을 農民에게 許用或은 開放할것」等으로 되어있는것이이다

### 3. 北朝鮮土地改革法令의 實施

1946年 3月 5日 北朝鮮臨時人民委員會에서는 人民會議을 開催하야 北朝鮮土地改革法案(第17條條)을 決定發布하고 其翌日에는 同細則(第6章 24項)을 發表하였으므로 土地所有權의 一大改革이 施行되여 同年 3月 末日까지 1戶當 15,000坪 標準의 土地分配가 完了되었다 그런데 이 土地改革의 根本的인 目的은 農業生産과 農村生活의 諸關係를 根本적으로 掃蕩하고 모든 土地를 直接耕作者에게 주는 同時에 農民으로하여금 自主의 農業經營을 할수 있는 條件을 與여주는 데 있었다고 한다 이 法令의 骨子를 보면 「北朝鮮의 土地改革은 歷史的인 又是 經濟的 必要性에 因한것이며 이 課業의 重點은 日本人土地所有와 朝鮮人地主의 土地所有 및 小作制을 撤廢하고 土地利用權은 耕作하는 者에게 歸屬되게 되었으며 北朝鮮에 있어서는 農業制度는 地主에게 隸屬되지않는 農民經營에 依據하고 있는 것이이다 (第1條) 即 沒收되는 土地는 첫째로 日本人土地를 無償沒收하야 農民에게 分與한다 는 것이며 日本의 殘滓를 根本적으로 肅清하고 過去의 奴隸史의

罷幕을 지우려는 것이다 即 (가) 日本國家 日本人及日本人團體의 所有土地와 (나) 朝鮮人民에 對한 奴役者 朝鮮人民의 利益에 妨害를 주며 日本帝國主義의 政治機關에 積極努力한 者의 所有土地及 又是 日本壓迫의 兇手 朝鮮이 解放된 時에 自己地方에서 逃走한 者의 所有土地 등은 沒收하여 農民所有地로 넘겨주며 (第2條) 둘째로 朝鮮人 地主의 土地들의 土地所有와 小作制에 關해서도 이것을 撤廢하고 土地利用權을 直接耕作하는 者들에게 준다는 것이다 即 沒收한 土地를 無償으로 農民에 所有地로 分與하는 土地는 (가) 한 農戶에 5町步以上 所有한 朝鮮人 地主의 所有地 (나) 自耕지 全部 小作주는 所有者의 土地 (다) 面積에 不關하고 規模의 大小로 小작주는 所有者의 土地, (라) 5町步以上을 所有한 祠堂 佛院 其他 宗教團體의 所有土地 (第3條) 등이며 朝鮮人 地主에 依한 封建的 搾取의 諸關係를 根本的으로 掃蕩한다는 意는 있는 것이다 그러나 이 第2條의 規定과는 對照的으로 科學 社會公共의 利益과 自主獨立을 爲한 革命家들에게는 特典을 주고 있으나, (가) 學校 科學研究會 病院等의 所有地 (나) 北朝鮮 人民委員會의 特別한 決定으로 朝鮮의 自由와 獨立을 爲하여 反日本 侵略戰爭에서 功勞 있는 者들과 그의 家族에 屬하는 土地 朝鮮民族 文化發展에 特別한 功勞者들과 그의 家族에 屬하는 土地 (第4條) 는 剝奪에서 除外되고 있는 것이다 그러나 이 亦是 亦上은 一定한 界限內의 土地所有 (自作 限內) 를 許容하는데 不可하다 云한다

分配의 對象은 勿論 直接生産者에게 分與한다 그리고 分與 順位는 (가) 沒收한 土地를 雇傭者, 土地 없는 農民, 土地적은 農民에게 分與하고 (나) 自己 勞働에 依하여 耕作하는 農民의 所有地는 分與하지 않으며 (다) 自己 勞力으로 自耕하려는 地主들은 本土地改革에 對한 法令에 依하여 農民들과 같은 權利로써 다만 다른 郡에서 土地를 가질 수 있게 되어 있다 (第6條) 그러나 第2條 第3條에 依하여 沒收한 土地全部는 農民에게 無償으로 永遠한 所有로 讓與한다 고 하며 (第5條) 이와 같이 分與한 土地는 如何한 方式으로든지 賣買, 小作, 抵當等を 許하지 않는다 (第10條) 이것은 農家에 있어서의 封建的 搾取關係가 다시 復活됨을 막으려는 것이다 그리고 本法令에 依하여 農民에게 준다 土地는 一般負債에서 免除하고 (第8條) 土地 剝奪을 當한 地主에게서 借入한 雇傭者와 農民의 一切負債는 取消시킨 것 이다 (第9條) 그러하여 무리집은 爲利貸의 搾取亦은 一掃하려는 것 이라 한다

또 이 土地問題와 아울러 地主의 畜力, 農機具, 住宅의 一切 建築物, 倉地等은 第3條 (가) 項에 依하여 沒收하여 人民委員會의 處理에 委任하되 人民委員會는 本法令 第6條에 依하여 土地 없는 雇傭者, 土地 있는 農民에게 分與하며 沒收된 一切 建物은 學校, 病院, 其他 社會機關의 利用으로 넘길 수 있다 (第11條) 即 土地만을 貧農에게 分與한다 할지라도 封建的인 地主는 畜力이나 農機具 其他 農業用 建築物等 만을 가지고라도 能히 農民을 從屬支配할 수 있다는 憂慮 밑에서 이 러한 支配關係를 승무리해 絶滅하여 農業生産力을 直接의 生産者의 自由로 是 創設와 自主的인 經理로써 發展시키려면 亦是 이러한 모든 生産手段은 直接의 生産者의 所有가 되어야 한다 는 것이다

또 耕作土地의 外의 果樹園, 山林 등에 關하여서도 同様の 方針을 取하고 있으나 日本國家, 日本人 一切의 團體의 果樹園 其他 菓木들은 沒收하여 道 人民委員會에 달기고 本法令 第3條 (가) 項에 依하여 土地를 沒收할 朝鮮人 地主의 所有인 果樹園, 其他 菓木들은 沒收하여 道 人民委員會에 保留케 되어 있는 것이다 (第12條)

農民들이 所有한 작은 山林을 除外하고 全山林을 沒收하여 北朝鮮臨時人民委員會에 넘여가게 되어 있다 (第13條)

그리고 本法令에 依하여 土地를 沒收할 所有者에게 所屬된 關係施設의 全部는 無償으로 北朝鮮臨時人民委員會의 處理에 委任하게 되어 있다 (第14條)

그러면 以上과 같은 土地改革實施의 主體는 누구인가 이 歷史的인 土地改革의 擔當者는 農民自身들에게 一任되어 있 으니 即 이 土地改革은 北朝鮮臨時人民委員會의 指導下에 實施되나 小作人들의 總會에서 選舉된 農林委員이 負擔하게 되어 있는 것이다 (第15條)

이리하여 朝鮮 歷史상 最期의인 北朝鮮의 土地改革은 1946年 3月5日 法令公布日부터 同年 3月31日 까지 完了하고 同年 6月 20日까지는 71萬9千戶 農家에 88萬町步의 土地所有證明書가 交付되어 北朝鮮의 農村과 農民에게는 日帝殘虐와 半封建搾取와 奴隸의 歷史는 사라지고 農民들에게는 平均當 15町步의 自己所有를 가지고 獨自의 經理下에 耕作할 수 있게 된 것 이라고 한다

### 4. 全農의 南朝鮮 土地改革法令草案

1946年 2月 21日 南朝鮮 全國 農民 總聯盟 第二次大會에서 南朝鮮 土地改革法令草案을 決定通過하여 美軍政廳에 提出된 것 이며 그 法令은 第18條로 되어 있고 그 內容에 있어서는 北朝鮮 土地改革法令과 거진 同一하다고 보아야 하나 以南朝鮮 土地改革法令草案은 決코 北朝鮮의 法令 그 自體의 機械的인 模倣이 아니며 土地所有 土地所有關係에 封建的인 遺制를 清算하고 民主主義 經濟發展을 爲한 南北의 同一한 社會的 經濟的 條件과 歷史的 必然性에서 歸結된 事實이라고 한다 (第1條 1項) 그리고 이 法令草案의 骨子를 보면 아래와 같다

即 南朝鮮에 있어서 的 從來의 地主 土地所有制及 小作制 度의 清算으로 土地는 耕作하는 農民이 直接所有하게 하여 農業制度를 土地가 地主에게 隷屬되지 않고 農民의 私有로서의 個人經理에 依하게 하고 있으며 (第1條 2,3項) 이렇게 하기 위해서는 前 日本人 土地와 反民族的인 親日分子의 土地는 勿論이거니와 一切의 朝鮮人 地主 所有 또는 繼續하여 小작주는 土地는 耕作地及 是 果樹園을 莫論하고 이것은 無償으로 沒收하여 耕作하는 農民에게 그 耕作勞力과 家族數에 基準하여 無償으로 分配하는 것이며 小作制 再發의 憂慮가 있는 一切의 基本條件을 消滅시킴으로써 封建制度를 一掃하려는 것이다

그리고 小作制度는 如何한 形態의 것이랴고 이것을 嚴禁하면 國家에서 分與된 土地의 賣買 抵當은 土地를 耕作者로 하여금 永遠히 私有시키기 爲하여 禁하고 있으며 從前에 農民이 私有하고 있는 土地所有는 變動이 없고 이 土地에 關하여서는 賣買及 抵當도 이것을 許容하여야 하며 山林은 農民들이 所有한 작은 山林을 除外하고는 이것을 一切 國有化해야 한다고 하는 것이 北朝鮮 土地改革法令과의 差異點일 것이다 그리하여 이 課業을 斷行하기 爲하여 諸民主主義政黨 社會團體의 代表로써 組織된 南朝鮮 土地改革實施委員會가 軍政과 協力하여 이을 實施하여야 한다고 한다 (第2條) 이리하여 南朝鮮에 있어서 改革될 土地는 147萬町步이며 第22表와 같다

(第22表) 南朝鮮 土地所有 狀態表 (1945年 末 單位 萬町步)

	f	畜地	田地
(一) 小 作 地	147	89	58
가 前日人所有	23	18	5
나 朝鮮人地主所有	124	71	53
a 5—10 町步以上 所有地主 (5萬名)	57	43	14
b 10—100 町步以下 所有地主 (15萬名)	67	28	39
(二) 自 作 地	85	39	46
合 計	232	128	104

註 朝鮮經濟 第 2 卷 第 4 號 5 頁

그리고 分與받은 營農家는 219萬戶 (左記表外에 雇傭者13萬名推算) 이며 平均一戶當 1町~1.5町의 自己所有의 土地를 가지고 自由로운 營農을 할 수 있게 된다고 한다

(第23表) 南朝鮮營農家戶數表 (1945年末)

戶 數	總營農戶數에 對한 百分比
自 作 農	284千餘戶 13.8
自作兼小作農	716 " 34.6
純小作農	1,009 " 48.9
土地不耕作農家	55 " 2.7
合 計	2,064 " 100.0

註 朝鮮經濟 第2卷第4號1頁

前記한바와 같이 南朝鮮人口의 七割의 生命을 먹여주고 있는 封建의 日帝殘虐의 土地所有關係는 無償沒收無償分配의 土地改革에 依하여서 急速히 解決될 問題이라 하며 이러한 土地改革에 依하여서 地主의 生活는 結局 何等의 危險도 받지 않을 것이며 農民의 生活는 急激히 向上되며 農業生產力은 飛躍의 發展될 수 있는 것이라고 한다

### 5. 立議의 南朝鮮土地改革法案

南朝鮮 過渡立法議院에서는 南朝鮮에도 土地改革을 實施하고자 審議中이던바 1947年12月19日 立憲立法務委員會를 通過한 南朝鮮土地改革法案을 立憲本會議에 上程하였는데 이 法案은 第27條로 되어 있으며 公布日부터 實施케 되어 있다 이 法案內容의 骨子를 보면

土地改革의 目的은 封建의 土地制度를 打破하고 民主經濟의 土地制度를 樹立하야

農民의 社會의 自由, 自耕自作의 原則에 依한 農家經濟의 自立, 農民生活의 向上, 農村文化의 發展, 農業生產力의 增進을 企圖한다는 것이다 (第1條) 이 目的을 遂行하기 爲하야 軍政의 一機關인 中央土地改革行政處를 設置하야 全權을 갖게 하고 이 機關에 協力하는 機關으로 中央에는 中央土地改革委員會를 두고, 地方에는 各道, 市, 府, 郡, 邑, 面, 部落마다 地主半數 小作人半數의 土地改革委員會를 設置하야 土地改革을 實施하게 되어 있다 (第2條)

그런데 어떠한 土地를 沒收하여 農民들에게 分配할 것인가 即沒收對象을 보면 無償沒收土地로는 前日本人所有農土와 法律으로써 制定한 土地 (第4條) 이고 其外의 土地는 一切 有償沒收한다는 것이며 (7) 農家가 아닌 地主의 土地 (7) 五町步以上의 土地所有의 農家로서 그 超過部分의 土地 (7) 學校, 病院, 教會, 寺院, 其他公共團體의 所有地로서 그 耕作能力에 適當한 面積을 超過한 土地 등으로 되어 있다 (第5條) 그리고 5町步以下의 農家所有의 土地外 果樹을 主業으로 하는 農家의 果樹園 (5町步以下) 은 沒收對象에서 除外되고 있다 (第1條) 그러나 이 法令에는 農家의 規定이 大膽히 緩和하며 農地를 直接耕作 또는 經營함을 主業으로 하는 家族 또는 團體員의 社會的 集團體를 指稱하고 本法施行當時 營農을 志望하는 者로서 行政命令에 依하여 農家로써 登錄된 者도 農家로 認定함 (第11條) 이라고 되어 있으며 이 農家의 定義의 濫用에 따라서 各地主의 合法的인 農家의 假裝으로 土地改革은 結局 日人所有土地에 局限될 憂慮까지도 懸像할 수 있는 것이다

以上에서 沒收한 土地의 分配方法을 보면 沒收된 國有農地의 分配는 農家의 等級에 依하여서 하는데 農家의 等級은 家族數와 勞動力을 看하여서 農家의 經營狀態, 營農施設, 過去營農의 主從關係等에 基準하여 決定하게 되며 分配의 順位는 (7) 過去農地를 耕作한 現在의 小作人 農家 (7) 充分한 經濟的 經營을 하기에는 過少한 土地를 所有한 自作兼小作農家 (7) 舊地經營에 優良한 經驗을 가진 農業勞働者 (7)

海外에서 歸還한 農業者 (第11條) 등이며 即 現農家의 耕作에 屬하는 農地는 그 農家에 優先적으로 分配한다는 것이다

다음 地主로부터 買上하는 農地의 價格은 1948年11上 5個年間 또는 中央土地改革行政處가 決定한 期間의 當該農地의 年平均生産高의 三倍以內에서 買收農地의 面積을 基礎로 漸減率에 依하여 買上地價를 決定한다는 것이다 (第6條) 그리고 土地를 買收한 地主에게는 地價로 表現한 農地金庫에서 發行하는 政府保證附 登錄式 融通證券을 交付하며 이 證券은 其 額面價格을 米又是 其他農產物로 表示하고 其 價値는 15年間의 年賦로 하고 證券의 所持者는 每年 證券에 記載된 農產物의 公定價格의 十五分之一에 相當하는 價貨로 價還을 받는다는 것이다 (第7條) 그리하여 地主는 南朝鮮의 農地의 現時 幣으로도 政府에 買上받을 수 있으며 그 土地를 買收하더라도 15年間은 적어도 그 土地의 年生産額의 15%以上의 純收入을 確保하게 되어 있다

農民의 土地分配는 有償이며 分配받은 土地價格은 바로 土地의 所有者가 買上받은 價格과 同一하며 代金의 支拂에 關해서는 農民은 每年 그 該生産量의 20%를 15年間 現物로 農地金庫에 納入하여야 한다 그리고 15年間以內으로 이 土地代金이 完納되어야만 처음으로 土地는 農民의 所有로 되는 것이며 農民은 土地證券을 받게 되는 것이다 (第13條)

이러하여 土地改革을 實施한 後에는 原則적으로 土地에 對한 自由處分權을 國家가 禁止 또는 統制하여 小作制度를 撤廢하러는 것이다 即 土地의 自由買賣 隨與 其他處分 小作權契約 其他賃借契約을 目的으로 하는 一切行爲를 擔保權 地上權 先取特權의 設定行爲를 禁止하고 있으나 特別 또는 不可避한 理由로서 農地의 交換 整理 併合 地目類의 變更을 할 때에는 許可를 받아야 한다 (第17條) 그리고 農地는 一個의 經濟單位로서 當該農地를 耕作하는 農家의 所有이며 家產으로서 繼承되며 農家絶家 離農 또는 轉業의 境遇에는 該農地의 處分은 優先買收權을 保有하는 中央土地改革行政處의 許可를 받아야 한다 (第16條)

### 6. 結 語

朝鮮人口의 七割을 占하고 産生生産의 40%以上을 내는 農業生産을 擔當하는 農民의 經濟的 解放 없이는 朝鮮의 完全解放와 民主經濟樹立은 不可能한 것이며 農民의 解放은 土地問題의 平民的 解決인 土地改革에 있는 것이다 그리고 土地問題의 正當한 解決로서만이 數十年間의 植民地 擄取와 二千年의 封建史를 가진 封建의 土地制를 打破하고 民主經濟의 土地制度를 樹立할 수 있으며 農民生活의 急速한 向上 農民의 社會的 自由 自耕自作의 原則에 依한 農家經濟의 自立과 아울러 農業生產力의 發展을 가져올 수 있을 것이다 이는 곧 民主經濟樹立의 基盤을 이루는 것이니 解放後 누구를 勿論하고 土地改革의 急速한 實施를 要望하고 있었든 것이다

그러나 一方 朝鮮의 半쪽인 北朝鮮에 있어서는 이미 1946年에 土地改革을 實施하고 있는 것이며 南朝鮮에 있어서도 日帝間에 發生한 緊急한 課題로 되어 있는 것이다 저 世界의 有名한 印度의 飢饉은 全農村人口의 30%이며 印度 封建制度下 擄取의 苛酷性을 말한다고 한다 [하는 것은 朝鮮에 있어서는 他山의 石이 아니다 朝鮮에 있어서는 春農農家戶數로부터 이는 全農家戶數의 50%를 넘었으니 日帝의 擄取程度가 그렇다나 苛酷程度가 三尺童子도 알 수 있을 것이다 그리고 特別히 三南 穀倉地帶에 있어서 尤甚했다는 것이니 南朝鮮에 있어서의 土地改革은 日帝나 緊要한 것인가를 能히 알 수 있는 것이다 그러면 其 具體的 方案은 무엇이나 이 解答은 上述한 바로서 解明되어 있을 것이다 即 朝鮮社會의 經濟的 必然性과 特別 農業에 있어서의 特殊의 條件 밑에서 明白해질 것이다 以上은 解放後 朝鮮의 當面한 課題로서의 가장 重要한 土地問題의 經緯紹介에 붙인 것이다



# 朝鮮農業의經營地帶

## 目次

### 1. 東洋農業에 있어서의朝鮮農業의地位

- (1) 두개의農業地帶
- (2) 朝鮮農業의位置
- (3) 漢人農法과土人農法

### 2. 朝鮮農業의經營地帶

- (1) 地帶區分의必要
- (2) 農業의生産力과經營地帶

### (3) 다섯개의經營地帶

### 3. 各地帶農業의特徵

- (1) 田、畝別耕地組成에 있어서
- (2) 主要農作物의播種面積比率에 있어서
- (3) 畜의利用形態에 있어서
- (4) 田의利用形態에 있어서
- (5) 經營形態에 있어서

### 1. 東洋農業에 있어서의朝鮮農業의地位

#### (1) 두개의農業地帶

우리朝鮮의 農業經營이 東洋의 農業形態에 있어서 어떠한地位를 차지하는가—이런問題로부터 먼저 考察해보고하자. 中國의 中部地方에 該當하는 江蘇省에서 浙江省方面으로 貫流하는江에 淮河라는江이있다. 이淮河를 一線으로하여 대체로 東洋의 農業은 두개의地帶, 두개의農業經營의 系統으로 區分되는것이다. 即淮河以南으로는 南部로가면갈수록 田作보단도 畜作이 壓倒의으로 優勢하며 따라서麥類와豆類等 雜穀生産보다도 米作 即稻作이 優勢인 傾向을 보이고있다. 一言으로말하면 淮河以南의 全地帶는 畜作地帶 即 稻作地帶라고 볼수가있는데 이地帶에는 南部中國을 비롯하여 安南, 緬甸, 比律賓의 南方諸國과 臺灣, 日本 그리고 朝鮮等諸國이 모아包括된다.

이와같이 淮河를 一線으로하여 그以南에서부터 南方의諸國을 包括하고 다시臺灣, 日本을거쳐서 우리朝鮮에까지 이르는 一廣大한 稻作地帶에 있어서의 또한가치 重要한特徵은 畜作農業을 主로하는農業經營에 있어서 소(牛)乃至은 물소(水牛)가 主要한役畜이 되어 있다는것이다. 故로 이地帶은 소를農業生産手段으로하는 農業經營地帶라고도 말할수가 있는것이다.

한편으로 淮河以北의西北部中國을 비롯하여 滿洲, 西伯利亞에까지 이르는地帶는 農業經營에 있어서 全然別한光景을 보이고있다. 이地帶에서는 稻作은 그리主要한比率을 차지하지 못하고있으며 그反面에麥類, 豆類, 高粱, 粟等 雜穀生産이 完全히 壓倒의인地位를차지한다. 그러키때문에 이地帶는 말하자면 田作地帶이며 雜穀地帶라고할수가있다.

한편으로 이地帶의農業의 또한가치特徵은 소(牛)가아니고 말(馬)이 主要한役畜으로 使用되고 있다는것이다. 故로 이地帶는 말하자면 말(馬)의系統의農業地帶이다.

#### (2) 朝鮮農業의位置

中國에서는 위에서말한바와같이 淮河가 이兩地帶를區分하는 一線으로 되어있지만 이것을다시 우리朝鮮에서본다면 鴨綠江이이므로 이兩地帶를確然하게區劃하는 一線이라고도볼수가있다. 鴨綠江을 劃線으로하여 滿洲와朝鮮의農業이 各各特徵을 달리고있다는것은 우리가 다아는바이다. 滿洲에서의中國人農業은 高粱과豆類의生産을爲主하는 雜穀生産의系統에屬한다.

近年에 이르러서 우리朝鮮移住民들이 水田을處에서開墾하기以前까지는 全滿洲에는 畜作 即稻作이라는것이 全然 볼수가없었던것이다. 또朝鮮에서는 소가古來로主要한役畜이

지만 鴨綠江을넘은 滿洲에서는 말이 主要한役畜이다. 이와같이해서 우리朝鮮의農業은 全東洋의 農業에 있어서 淮河와 鴨綠江을 劃線으로하여 그以南의 同地域을 包括하는 稻作地帶는 소(牛)를農業生産手段으로하는 農業地帶에 屬해있음을 알수가있다.

#### (3) 漢人農法과 土人農法

그런데 한편으로우리가 여기에서 또한가치注意해야할것은 이東洋의 稻作地帶內에서도 農業 即 主로 稻作生産을經營하는 經營方法에 있어서는 두가지의方法이 傳統의으로 아직까지도 踏襲되고있는것이다. 淮河以南의 南部中國에서는 所謂 漢人農法이란것이 옛날부터 主로된인 役割을 다하고있다. 그러나 다시 南部로 前進해서 安南, 緬甸, 比律賓等諸國에이르거되면 一部에 中國人農民들이 많이 移住하는地方을 除하고는 대체로 所謂土人農法이란것이 壓倒의이다. 稻作에 있어서도 種子를 막부러서심는 原始的인撒播式이 아직도 널리 實施되고있으며 農業發達의水準은 漢人農法에 比하여 甚히 粗放의이며 低低에있다.

우리 朝鮮의農業을 다시말한것도없지만 이漢人農法의 影響을받아서 오는날까지 이르러왔다. 더욱이 朝鮮의 稻作農業은 이漢人農法을 온전히 踏襲하면서 배려한것이다.

### 2. 朝鮮農業經營地帶

#### (1) 地帶區分의必要

以上으로서 우리는 全東洋農業에 있어서의 우리朝鮮農業의地位와 水準을 대체로 測定할수가있을것이다.

그런데 다시 우리朝鮮의 農業만을 가지고 살펴본다면 全體로서는 東洋에 稻作地帶에 屬해있으면서도 農業을經營하는 그實情에 있어서는 地方에따라서 各各 뚜렷한 差異가 있음을 認定하지않을수가없다.

우리가 다 當議의으로 잘 알고있는일이지만 가령 三南地方의 農業과 北部朝鮮의農業과를 그經營實態에 있어서 서로 比較해보라. 그사이에는 얼마나 뚜렷한差異가있는가. 耕地의 組成을본다면 南方에서는 畜이 田보다도 壓倒의으로優勢하고 그反面 北方에서는 田이 畜을 凌駕하고있다. 또土地의 利用形態를보더라도 南方에서는 1年2作 乃至 2年4作이 慣行되고있지만 北方에서는 1年1作밖에 못하는地方이 大部分을 차지한다. 南方農業의 耕種組織에 있어서는 稻作이 主이지만 北方에서는 雜穀生産이 壓倒의이다.

또 같은 北部朝鮮이라해도 無數한山岳들이 亂雜되어있는 高原地方 或는 山岳地方과 한편으로 東西兩岸에 沿한 平野部와를 比較해 보면 그사이에도 또한 農業經營上의 뚜렷한

여러가지의差異가 보이는것이다

우리는 여기에서 이러한 地方的인 모든差別과 特異性을 그저南方이나 北方이니하는 漠然한 觀念으로가가지고 보다 더具體적으로 또는科學적으로 認識해들 必要가있다고 믿는다 다시말하면 朝鮮의農業經營에 있어서의 各地方의 特色을 地帶적으로 區分하여 各地帶의 特徵을 具體적으로 究明해 볼必要가있다는것이다

이것은 全體로서의 朝鮮農業의經營實態을 보다 더 具體적으로 眞實하게 把握하고 理解하기爲해서 必要한일일뿐아니라 다시나아가서 오늘날 南朝鮮의農業을 北朝鮮의農業과 對比해가면서 그差異와 特徵등을 具體적으로 解明함에 있어서도 한가지의 必要한 前提條件이되는것이기때문이다

(2) 農業의生産力과經營地帶

그러나 이러한地帶區分을 하기전에 우리가 잊어서는안될 또한가지點이있다

그것은 첫째로 農業經營의 여러가지實態에 나타나는 이러한地方的인 差別과變動은 대체어떠한 原因에서 생기는것인가 말한것도없이 이것은 自然의 影響에 依해서 생기는差別이며 變動이나 다시말하면 自然의諸條件의 差異와變動이 各地方에 따라서 各々 크거나작아나고 作用하고있기때문에 農業經營의 實態에 있어서 그만큼 큰影響을 받아서 地方的인 變動과 差別이생기는것이다

그러면 이러한差別과 變動이란것은 果然 永遠한것이며 超歷史의인것인가 다시말하면 가령 三南地方的農業은 田畝別의 耕地組成에 있어서 또는 主要農作物의耕種組織에 있어서나 田畝畝의利用形態等等 여러가지經營實態에 있어서 永遠不變하게 北部朝鮮의農業과 差別과變動을가지고나갈것인가

그런것은아니다 이러한變動과差別이생기는것은 朝鮮農業의生産力이 아직未發達하지못한 原始的인低位에있기때문이다 오늘날의朝鮮農業의生産力은 옛날新羅나 高麗時代의 그것에비해서도 本音의으로는 아무런發展의자취를 찾아볼수가없는停滯狀態에놓여있다

農業의生産力이 조금이라도 近代的으로發達하여 機械化가되고 電力化가되었다면 農業生産에對한 自然의影響과 作用은容易하게克服해나갈수가있다 가령 近代的發達된開墾用「트러터-」의力이용가지고있을때는 廣大한海面도 極히短期間內에 山岳을은근히친 그중으로埋沒하여 훌륭한耕作地도 만들수가있으며 또灌溉와排水等の作業을機械化하고 電力化할때에는 大同江이나 洛東江의 河流를갈어다가 數百里밖의田畝에까지 미치게할수가있다 따라서 田도容易하게 濶이되고 田, 畝別의耕地組成은 훨씬달이질수가있다

아무리北部朝鮮에는 降雨量이 南朝鮮에비하여 훨씬過少하다하드때도 이러한發達된 灌溉技術을가지고한다면 이러한地方的인差異도 점차로解消되고말것이다 또 아무리 北部朝鮮에서는 南方에비하여 自然의無霜期間이 짧다하드때도 農業의技術의 發達如何에따라서는 短期栽培를實施하여 現在南方에서 慣行되고있는것과같은 2年3作 乃至는 1年2作의經營方式을 北方에서 또 널리實施할수가있게될것이다

要컨대 生産力이發達하면할수록 自然의脅威와 그絕對的인影響 乃至作用等等은 점차로 容易하게 우리들人間的 힘으로 克服되고 變革할수가있는것이다 그럼으로農業經營에 있어서의 여러가지實態가 各地方에따라서 現在까지 적지않은差異와變動을 보이고 있다는것도 根本的으로는 朝鮮의農業生産力이 아직未發達한低位에 停滯되어있는것이어서 장차는 機械化, 電力化의過程을通해서 徐々히 或은急激히克服되고變改될수가있는것임을 잊어서는안된다

(3) 다섯개의經營地帶

그럼으로 이제부터朝鮮農業의經營地帶을區分하고 各地帶의農業의特徵을解明하기전에 우리는먼저 이러한地帶區分이란것은 決코絕對的인것 永遠不變의것 超歷史的인것이야나라는것을 明白히認識해두어야한다 다시말하면 그것은 農業의生産力이 아직未發達한低位에놓여있다는 停滯의인事象에對應해서 일어나는差異이고 變動임에不過하다는것을알아야한다

眞止한土地改革을前提로하여 農業의生産力이 近代的으로發展되여감에따라서 農業에對한自然의脅威와 絕對的인모든影響은 점차로克服되고 따라서 이러한自然의諸條件一降雨量의多少, 無霜期間의長短, 土地壤의構成, 土地面의高低一等에依해서 생기는地帶的인 모든變動과差異는 各々 解消되고均一化되여가는傾向을 가진다는것을 잊어서는안된다

要컨대 이러한點을前提의으로 理解해두고서 現今의朝鮮農業의發達階級에對應하는 經營地帶의區分을하여볼때 우리는다음과같은 다섯개의地帶을 分수가있다

- 1. 高原地帶
- 2. 山岳地帶
- 3. 田作地帶
- 4. 稻作地帶
- 5. 島嶼地帶

1. 高原地帶 첫째로高原地帶이라고하는것은 北部朝鮮의中央部를 縱貫하고있는 長白山系의 여러山脈- 두기 平安南 北道와 咸鏡南道와 의道境線을 굽고있는 狼林山脈을 비롯하여 다시 咸鏡南道와 北道와 의境界線을긋는 摩天嶺山脈等の 左右양쪽으로 높게 展開되어있는 말하자면 朝鮮의진중이다 대체로오늘날의 所謂三八以北의 北朝鮮全地域의 約 3分之1이 이高原地帶에屬한다 그리고 이高原地帶은 다시 이것을 地域的으로區分해본다면 咸南高原地帶과 平北高原地帶과의 두地域으로 나누어볼수가있다

2. 山岳地帶 역시 朝鮮半島의 脊柱을 이루고있는 長白山系와 太白山系를 따라서 그左右에 重疊되어있는 連山連峰의 一連의地域을 總稱하여 山岳地帶이라고할수가있다 더욱咸鏡南北道와 平安南 北道에서는 그邊境에 가까운이 中, 部를 차지하는 그廣大한 高原地帶가 一탄 끝나고 東海와 山海의 兩海岸에 沿한 平野部에 이르는 그中間에 버려져있는無數한 山岳들이 이地帶을 形成하고있다

高原地帶와 山岳地帶을 區別하는 地形上의異點을 말한다면 前者一即 高原地帶은 말하자면 朝鮮半島의 頂上으로서 海拔數千尺의高地에서 廣闊한平地를 일우고있음에 反하여 後者 即 山岳地帶은 立體的인地形을 일우고있다는것이다 그럼으로 高原地帶에서는 耕作地도 主로 平原을 이루고있지만 한편 山岳地帶에서는 모든耕作地가 主로 山麓의 傾斜面을 開墾한것이며 山峽과 山峽사이의 溪谷에 이르러서야 住民들의 部落이있고 또 若干의畝도 겨우 發見되는것이다

高原地帶와 마찬가지로 山岳地帶도 各地帶가이것을 地域的으로 區分해본다면 咸北山岳地域과 咸南, 平南, 江原等の 各山岳地域으로 區分되는것이다

오늘날三八線을 一線으로하여 南北朝鮮을 對比해본다면 다음의 圖面에서보는바와같이 北朝鮮에서는 全地域의 約4分の3이 이山岳地帶과 高原地帶을 일우고있다는것은 銘心해들必要가있다 그리고 그反面 三八以南의南朝鮮에서는 겨우 江原道內의 數個郡이 山岳地帶에 屬한것이라는것도 銘記해들必要가있다

다시 農業生産에對해서 적지않은 影響을 주는 降雨量

의狀態은나면 朝鮮의 年平均降雨量은 八百耗 乃至 千耗로서 地方에따라서 多寡의差가많은데 高原地帶과 山岳地帶는 그大部分이 가장 寡雨한곳이어서 年雨量이 겨우 56百耗에 不過하다

그리고 植物의生長期間을 意味하는 無霜期間을 보더라도 高原地帶과 山岳地帶가 가장 短期間이어서 年平均 120日 乃至 160日밖에되지못한다

3. 田作地帶 高原地帶에서 山岳地帶를 거쳐서 平野部에이르면 田作地帶과 稻作地帶가나타난다 田作地帶라는것은 畜보다도 田이 優勢하여 따라서 稻作生産보다도 雜穀生産이 支配的인平野部를 말한것이다 이地帶는 다시 平北 黃海, 京畿, 忠北, 慶北等의 各田作地域으로 區分된다

4 稻作地帶는 田作地帶과 마찬가지로 平野部에 있으면서 稻作生産이 優勢한곳을 말한것이다三八日南의 南朝鮮全境의 그大部分이 이稻作地帶에 屬해있을은 우리가 다 아는 바이다 옛날부터 南朝鮮을 朝鮮의穀倉이라고 부른것도 이때문이다 이것을 다시地域的으로 區分해본다면 京畿稻作地域을 비롯하여 忠南, 忠北, 全北, 慶北, 慶南, 全南, 多島海沿岸等의 各稻作地域을 南朝鮮에서 볼수가 있으며 北朝鮮에서는 黃海, 平北, 平南의 各々數個郡에서 包含한 稻作地域이 있을뿐이다

5. 島嶼地帶 濟州島와 鬱陵島의 兩大島가 이地帶에屬한다 島嶼의地形이 立體的인때따라서 山 밑에平地에서부터 山으로 올라가는途程에는 土質의變化 氣候의變動등이 적지 않으며 이것이 島嶼農業으로하여금 獨特한構成을 가지게 하는것이다 이것은 다음의叙述에서 具體的으로 解明된것이다 田作地帶에서 稻作地帶 乃至는 島嶼地帶에로 나아갈때따라서 農業의 自然的諸條件에는 顯著한 變化가 생긴다 첫째로 降雨量은 보더라도 大部分의 稻作地帶에서는 約千耗乃至 千四百耗에達하여 또 田作地帶에서도 約千耗內外의 雨量을 보이고있다 이와 마찬가지로 無霜期間도 高原地帶나 山岳地帶보다는 훨씬長期的이어서 大部分의 田作地帶에서는 155日乃至 200日을 헤이며 더우기 三南의稻作地帶에 이르러서는 175日 乃至 228日에 達하며 朝鮮內에서는 가장 長期間이다

이러한 모든點이 결국 北朝鮮의農業에비하여 南朝鮮의 農業이 훨씬 有利한 自然的惠澤을 입고있음을 意味하는 것이다

(註一) 朝鮮農業의經營地帶를 分析함에있어서 여기에서採用된모든數字의인것은 1934年에서 1936年에이르는 3箇年間의年平均數字를 基礎로한것이다 더욱詳細한것은 別冊「朝鮮農業의經營地帶」를 參照하기바란다

各個의經營地帶를 다시地域으로區分하고 또 이地域을郡別로表示해보면 다음과같다 그런데 여기에서 한가지注意해야 할것은 가령平南山岳地域을一例로본다면 이地域에는비단平南에屬하는 몇々郡만이아니고 黃海道에屬하는數個郡도包括되어있는데 이것은무슨까닭인가 이것은平安南道內의諸郡을 據點으로서 展開되게시작한 地域이人爲的인道墟를중심으로 黃海道內의몇々郡에까지連綿하여 한개의山岳地域을인수하고있는때문인것이다

地帶名	地域名	郡名
高原地帶	咸南高原地域	長津, 新興, 豊山, 三水, 甲山, 茂山
	平北高原地域	慈城, 原昌, 江界, 渭原, 熙川, 楚山, 碧潼, 榮通
山岳地帶	咸北山岳地域	(北部山岳地區) 穩城, 慶源, 龜城, 慶興, 會寧, 富寧, 鐵城—(南部山岳地區) 明川, 吉州, 城津

山岳地帶

咸南山岳地域	{ 北部山岳地區) 端川, 利原, 北津, 洪原—(南部山岳地區) 永興, 高原, 文川, 德源, 安邊
平南山岳地域	{ 順川, 价川, 德川, 孟山, 陽德, 咸川, 谷山, 遂安, 新溪
江原山岳地域	{ 伊川, 平康, 鐵原, 淮陽, 金化, 華川, 楊口, 麟蹄, 平昌, 旌善, 寧邊, 三陟

田作地帶

平北田作地域	{ 昌城, 鐵山, 寧邊, 朔州, 泰川, 龜城, 森州
黃海田作地域	{ 金川, 瑞興, 平山, 鳳山, 黃州, 殷栗, 松禾, 長淵, 中和, 江東, 大同
京畿田作地域	{ 長湍, 漣川, 抱川, 加平, 楊州, 春川, 洪川, 橫城, 楊平, 原州
忠北田作地域	{ 丹陽, 堤川, 忠州, 槐山, 報恩, 沃川, 永同
慶平田作地域	{ 開原, 醴泉, 榮州, 安東, 新義, 軍威, 奉化, 英陽, 青松, 魯德, 蔚珍
咸南田作地域	{ 咸州, 延平

稻作地帶

京畿稻作地域	{ 開豐, 江華, 坡川, 金浦, 高陽, 富川, 安興, 廣州, 水原, 龍仁, 利川, 慶川
忠南稻作地域	{ 平澤, 安城, 天玄, 牙山, 禮山, 洪城, 唐津, 瑞山, 龜岐, 大德, 公州, 論山, 皆陽, 扶餘, 保寧
全北稻作地域	{ 舒川, 沃寧, 蓋山, 金堤, 全州, 井邑, 扶安, 高敞, 錦山, 茂朱, 鎮安, 長水, 淳昌, 任實, 南原
慶北稻作地域	{ 尙州, 金泉, 善山, 漆谷, 嵐州, 高靈, 達城, 慶州, 清道, 永川, 迎日, 慶州, 蔚山
慶南稻作地域	{ 晉州, 宜寧, 咸安, 昌寧, 密陽, 梁山, 東萊, 金海, 昌原, 固城, 泗川, 河東, 山淸, 咸陽, 居昌, 陝川
全南稻作地域	{ 求禮, 光陽, 順天, 谷城, 潭陽, 和順, 寶城, 長興, 康津, 羅州, 光州, 長城, 靈光, 咸平
忠北稻作地域	{ 陰城, 鎮川, 清州
江原稻作地域	{ 通川, 高城, 襄陽, 江陵
多島海沿岸稻作地域	{ 靈岩, 海南, 珍島, 莞島, 高興, 麗水, 務安, 南海, 統營
黃海稻作地域	{ 安岳, 信川, 載寧, 曹津, 碧城, 延白
平北稻作地域	{ 龍川, 鐵山, 宣川, 定州, 博川
平南稻作地域	{ 安州, 平原, 江西, 龍岡
濟州島地域	{ —
鬱陵島地域	{ —

島嶼地帶

3. 各地帶農業의特徵

대체로 朝鮮에있어서의 農業經營의實態를 우리는 以上과 같은 다섯地帶로 區分해야 檢討하고 分析해보는것이 가장 妥當한 方法이라고 나는생각한다 이제부터 우리는다시 (1) 田畜別의耕地組成에있어서 (2) 主要農作物의播種比率에있어서 (3) 畜의利用形態와 (4) 田의利用形態에있어서 (5) 農業의經營形態에있어서 各地帶間의差異와 特異性을 究明해보기로하자

이것은 오늘날에 이르르기까지의 朝鮮農業의實態를 보았어具體的으로 把握함에있어서 重要한前提가 되기때문이다

(1) 田, 畜別耕地組成에있어서

耕地面積中에서 田(乃至火田)과 畜의比率이 各々얼마나 되는가 이러한點에서 各地帶의農業經營을 考察해볼때 우

리들은 그사이에 대단히 뚜렷한 差異가 있음을 보지않을 수가 없다

1. 高原地帶 첫째로 高原地帶로 말하면 土地의 總面積中에서 耕地面積의 比率이 대단히 적은 것도 이地帶이지만 다시 耕地의 總面積中에서 畜面積의 比率이 가장 적은 곳도 이地帶이다

咸南高原地帶에서는 全土地面積의 겨우 14%가 耕地인 뿐이며 또 平北高原地帶에서는 겨우 13%에 不過하는 低率이다

朝鮮의 全土地面積은 482,226萬 7,989町步 (1940年度) 인데 그중에서 耕地의 總面積은 493萬 4,230町步이어서 約22.2%를 차지하고 있는데 이와 비교해보아도 高原地帶에서의 耕地面積의 比率이 얼마나 적은가를 미히알 수가 없다

또 全國의 總耕地面積中에서 畜의 比率은 約36%이고 田의 比率은 約64%이다 그런데 이 高原地帶에 이르러서는 畜의 面積이란 것은 거의 殆無에 가깝고 田乃至는 火田이 그大部分을 차지하고 있다

이리해서 咸南高原地帶에서는 畜의 面積이란 것은 겨우 2%에 不過하여 나머지 98%가 田或은 火田으로 되어 있으며 또 平北高原地帶에서도 畜의 比率은 約4%에 不過하다

이러한 것이 高原地帶에 있어서의 田畜分布의 今日起의 現狀이다

그런데 여기에 또한가지 重要한 特徵이 있다

그것은 다름이 아니다 이와같이 壓倒的으로 優勢한 田의 面積中에서도 火田의 面積比率이 格別히 높다는 것이다 咸北高原地帶에서는 總耕地面積中에서 約32%가 火田이고 平北高原地帶에서도 約57%가 火田으로 되어 있다 그 밖으로 高原地帶의 特色을 뚜렷하게 나타내기爲해서는 이地帶를 火田地帶라고 말할 수도 있을 것이다

또 高原地帶에 있어서는 畜의 2毛作이란 것은 여지껏 全然實施되지 못하였으며 또 田에 있어서는 1毛作이 大部分이고 若干의 地方에서 2年3作이 實施되어 왔을 뿐이다 이것은 다시 말할 것도 없이 첫째로 無霜期間이 極히 短期의 인데서 起因하는 것이다

2. 山岳地帶. 高原地帶에서 山岳地帶로 옮겨가면 農業經營의 實態도 比較的 有利한 諸條件을 가지게 된다

첫째로 土地의 總面積에 對한 耕地面積의 比率이 훨씬 增進된다 이리해서 咸北山岳地帶에서는 耕地의 比率이 約22%이고 平南山岳地帶에서는 16% 咸南山岳地帶에서는 27% 江原山岳地帶에서도 27%가 各々 耕地의 面積이 되어 있는 것이다

그다음으로 耕地總面積中에서 畜이 차지하는 比率도 高原地帶에 比해서는 훨씬 增進된다 咸北山岳地帶에서는 耕地總面積의 約7%가 畜이고 咸南山岳地帶에서는 約18% 平南山岳地帶에서는 約4% 江原山岳地帶에서는 約14%가 畜이다

田面積中에서의 火田의 比率은 훨씬 減少된 편이다 咸北山岳地帶에서는 總耕地面積中의 約7%가 火田이고 咸南山岳地帶에서는 約14% 平南山岳地帶에서는 26% 江原山岳地帶에서도 約26%가 火田을 占하고 있다

高原地帶와 마찬가지로 이 山岳地帶에 있어서는 畜의 2毛作이란 것은 아직 實施되지 못하고 있다 다만 無霜期間이 比較的 長期間인 咸南과 江原의 두山岳地帶의 南部에서만 若干 實施할 餘蘊이 있다

3. 田作地帶 平野部로 내려와서 田作地帶에 이르면 耕地의 組成도 대단히 變遷된 形相을 보인다

첫째로 耕地面積의 土地總面積에 對한 比率이 훨씬 增進된다 平北田作地帶에서는 土地總面積의 22%가 耕地이고 黃海田作地帶에서는 35% 京畿田作地帶에서는 21% 忠北田作地帶에서는 19% 慶北田作地帶에서는 17% 咸南田作地帶에서는 26%가 各々 耕地面積의 比率을 占하고 있다

그다음 耕地總面積中에서 畜面積의 比率은 어떠한가 高原地帶나 山岳地帶에 比하면 역시 높을만큼 增進된 편이다 平北田作地帶에서는 12% 黃海田作地帶에서는 14% 京畿田作地帶에서는 34% 忠北田作地帶에서는 38% 慶北田作地帶에서는 42% 咸南田作地帶에서는 18%가 畜을 占하고 있다

한편으로 火田의 面積은 高原 山岳의 兩地帶에 比하면 훨씬 적어진다 또 畜의 2毛作도 南方의 各地方에서는 널리 慣行되고 있다

4. 稻作地帶 朝鮮의 穀倉地帶로서 옛날부터 이름이 높은 이 稻作地帶에서는 土地總面積에 對한 耕地面積의 比率도 훨씬 높은 편이다 京畿稻作地帶에서는 耕地의 比率이 35%이고 忠南稻作地帶에서는 32% 全北稻作地帶에서는 31% 慶北稻作地帶에서는 21% 慶南稻作地帶에서는 24% 全南稻作地帶에서는 27% 多島海沿岸稻作地帶에서는 26% 忠北稻作地帶에서는 30% 江原稻作地帶에서는 12% 黃海稻作地帶에서는 44% 平北稻作地帶에서는 45%에 各々 達하고 있다

그러나 그보다도 이地帶에 있어서의 더욱 뚜렷한 特徵은 畜의 面積이 耕地의 總面積의 大部分을 차지하고 있다는 점에 있다 이리해서 京畿稻作地帶에서는 畜의 比率이 實로 60%를 차지하고 있으며 忠南稻作地帶에서는 65% 全北稻作地帶에서는 69% 慶北稻作地帶에서는 58% 慶南稻作地帶에서는 66% 全南稻作地帶에서는 70% 多島海沿稻作地帶에서는 53% 忠北稻作地帶에서는 56% 江原稻作地帶에서는 48% 黃海稻作地帶에서는 41% 平北稻作地帶에서는 42%가 各々 畜面積을 占하고 있는 것이다

稻作地帶의 거의 全地帶을 通하여 畜의 2毛作이 널리 慣行되고 있고 더욱이 所謂 三南地方에 屬하는 各稻作地帶에서는 2毛作畜이 毛作畜을 完全히 壓倒하는 現勢에 있다 그리고 이 稻作地帶에 이르러지면 火田이란 것은 그 그림자도 거의 감추고 만다

5. 島嶼地帶 耕地의 比率은 靑陵島간 29%이고 濟州島는 約 50%나 된다

그러나 耕地의 總面積中에서 畜面積의 比率은 저高原地帶나 山岳地帶를 連想케 하리만큼 대단히 적은 편이어서 靑陵島에서는 겨우 1%이고 濟州島에서도 3%에 不過하다 豊足한 降雨量과 長期的인 無霜期間의 惠澤을 입고 있음에도 不拘하고 이와같이 耕地의 組成이 利롭지 못한 것은 島嶼의 立體의인 地形의 탓이며 이점이 島嶼地帶의 特徵을 일구는 것이다 自然의 惠澤으로 말미암아 畜에서는 모두 2毛作이 實施되고 있음은 勿論이고 火田은 殆無하다

(2) 主要農作物의 播種面積의 比率에 對하여서

稻作을 비롯하여 麥類(大麥, 小麥, 裸麥) 豆類(大豆, 小豆, 綠豆) 雜穀(粟, 稗, 黍, 蜀黍, 玉蜀黍, 燕麥, 蕎麥, 特用作物(棉, 大麻, 亞麻, 煙草) 其他甘藷, 唐錫麥, 蔬菜 綠肥等이 우리 朝鮮에서 生産되는 主要한 農作物이다

이 主要한 各種의 農作物의 播種面積이 各々 어느 地帶에 어떠한 比率로 分布되어 있는가 - 이것을 究明하려는 것이 이節에서의 課題이다

1. 高原地帶 高原地帶의 代表的인 農作物은 燕麥, 粟, 馬

鈴薯 大豆等이다 머우기 咸鏡高原地域에서는 燕麥의 播種面積이 이地域內의 總播種面積의 約4%를 차지한다 그다음 이馬鈴薯로서 17.5%를 차지하며 大豆이 9.8% 粟이 9.4% 大豆가 7.6% 등의 順次로 되어있다

그러나 平北高原地域에 이르러지면 事情이 대단히 달라진다 여기서는 粟의播種面積이 第一位를 차지하여 總播種面積의 25.7%에該當하며 그다음이 大豆로서 19.4% 玉蜀黍가 13.9% 등의 順次로 되어있다

要컨대 이와같이 燕麥, 粟, 大豆, 玉蜀黍, 馬鈴薯 등의 播種面積이 高原地帶의 總播種面積의 大部分을 차지하고 있다 그反面에 稻作의 播種面積은 이高原地帶에서는 대단히 稀少하기가 없는것이다 咸南高原地域에서는 總播種面積의 1.7% 平北高原地域에서는 4.7%가 겨우 稻作에 利用되고 있을뿐이다

그러나 稻作보다도 그播種面積이 더욱 稀少한것은 小麥과 綠豆, 棉花等으로서 平北高原地域의 數郡內의 僅少한面積에서 栽培되고 있을뿐이다 다시 이보다도 더한 層特續의 인것은 裸麥과 煙草, 甘藷, 綠肥 등의 農作物이다 이베가지는 全高原地帶를 通하여 全然 栽培되지 못하고 있다는것이 特徵의이다

山岳地帶 이地帶의 代表的인 農作物은 大豆와 粟이다 咸北山岳地域에서는 總播種面積中에서 大豆의播種面積이 26. %를 차지하며 粟의 播種面積이 26.4%를 차지하고 있다 또 咸南山岳地域에서는 大豆의 播種面積이 總播種面積의 約1%이고 粟이21.7%를 차지한다 또 平南山岳地域에서는 大豆가 15.6% 粟이 32%이며 江原山岳地域에서는 大豆가 約18% 粟이 約21%에 各々該當한다 이와같이 山岳地帶의 全地域을 通하여 가장 代表的인 農作物은 大豆와 粟으로서 이兩者는 各山岳地域에서 서로 首位를 차지하고 있는것이다

그反面 稻作의 播種面積은 高原地帶보다는 훨씬 増進된적이지만 아직도 稀少하다 咸北山岳地帶에서는 總播種面積의 겨우 7.9% 咸南山岳地域에서는 18.7% 平南山岳地域에서는 3.6% 江原山岳地域에서는 13.5%가 稻作에 利用되고 있을뿐이다

高原地帶와 마찬가지로 이山岳地帶에 있어서도 裸麥과 甘藷는 아직까지 全然 栽培되지 못하고 있다 그리고 綠肥와 棉花같은것도 平南山岳地域內의 極히 僅少한面積에서 栽培되고 있을뿐이다

1. 田作地帶 이地帶의 代表的인 農作物은 各地域에 따라서 그種別이 대단히 다르다 첫째로 平北田作地域과 黃海田作地域에서는 무엇보다도 粟이 壓倒의으로 優勢하여야 前者에서는 總播種面積의 29.5% 後者에서는 27.5%를 차지하고 있다 그다음 가는것이 大豆인데 大豆의播種面積은 平北田作地域에서는 14.7% 黃海田作地域에서는 12.9%를 차지한다 그리고 咸南田作地域에서도 田作物中에서 最優 優勢한것은 粟(19.1%)과 大豆(14.3%)이다 要컨대 遼東 鮮內의 各田作地域內에 있어서의 代表的인 農作物은 粟과 大豆等이다

그러나 自然的인 諸條件의變動에 依하여 京畿以南의 南朝鮮에 屬하는 各田作地域에 이르러지면 麥類의 播種面積이 各種田作物中에서 壓倒의인 優位을 차지하게 된다 卽 京畿田作地域에서는 麥類의 播種面積이 總播種面積의 17.2% 忠北田作地域에서는 30.5% 慶北田作地域에서는 28.3%를 各々 차지하게 된다

麥類에 다음가는것은 大豆로서 京畿田作地域에서는 18.8% 忠北田作地域에서는 14.9% 慶北田作地域에서는 11.4%에 各々該當하고 있는것이다

高原地帶나 山岳地帶에 比해서 稻作의播種面積이 훨씬 増進되었음은 다시 말할것도없다 平北田作地域에서는 總播種面積의 13.1% 黃海田作地域에서는 11.1% 京畿田作地域에서는 25.5% 忠北田作地域에서는 23.9% 慶北田作地域에서는 24.8%가 各々 稻作에 利用되고 있다

4. 稻作地帶 全稻作地帶를 通하여 稻作面積의 壓倒의인地位는 너무도 뚜렷한바가 있다

京畿稻作地域에서는 總播種面積의 27.4% 忠南稻作地域에서는 48.6% 全北稻作地域에서는 47.7% 慶北稻作地域에서는 34.8% 忠北稻作地域에서는 38.8% 江原稻作地域에서는 40% 黃海稻作地域에서는 31.5% 平北稻作地域에서는 39.4% 平南稻作地域에서는 33.3%가 各々 稻作의 播種面積을 일우고 있는것이다

이稻作地帶의 大多數의 地域에서는 두에서도 말한바와 같이 田畜이오다 2毛作을 널리 實施하고 있으며 따라서 播種面積은 耕地面積보다 훨씬크다, 그럼에도 불구하고 稻作의播種面積은 다른 어떤種類의 農作物의 播種面積보다도 훨씬크다는것이 이地帶에 있어서의 特徵의인事實이다

그러면 이稻地帶에 있어서의 田作物의種別은 어떠한가 그中에서 가장 優勢한것은 大豆의播種面積이다 大豆는 이地帶의 大部分에서는 田田에서만 栽培되는것이아니고 畝에서도 粟作으로서 널리 栽培되고 있기때문이다 大豆에 다음가는田作物은 小麥, 棉花, 裸麥等이다

그反面 高原地帶나 山岳地帶 또는 田作地帶에 있어서 特徵의인 粟, 稗, 玉蜀黍, 燕麥, 大麻, 亞麻, 煙草, 甘藷, 馬鈴薯等各種田作物은 그播種面積이 全無 或은 始每에 가깝다

要컨대 稻作地帶의 主要農作物은 稻作을爲始하여 麥類 棉花等 몇가지로서 他餘의各地帶에 比하면 그種別이 매우 單純한것으로 그의多樣하지 못한것이다

5. 島嶼地帶 濟州島地域에서의 主要農作物은 大豆 33.8% 와 粟 25.3% 甘藷 11.7% 棉花 4.5% 등이며 靑島島에서는 馬鈴薯 42.8% 大豆 13.8% 大豆 8.1% 등이다 이러한 면에서도 우리는 島嶼農業의 뚜렷한 特徵을 엿볼수가 있다

(3) 畝의利用形態에 있어서

한인으로서 畝이라고하면 그만이지만 같은畝이면서 그것을 利用하는形態는 各地帶에 따라서 差別이 대단히 크다 畝이라든 勿論 水稻를 栽培하는것이 그本來의目的이지만 이水稻栽培를 表作으로하여 그우에 다시 麥類나 綠肥같은것을 裏作으로 심어서 年 2毛作을 實施할수 있는地帶도 있고 或은 그러치 못하고서 年 1작밖에 하지 못하는 地帶도 있다 그러나 地帶에 따라서는 同一한面積의 畝이면서 이畝의 利用形態에는 대단한 差別이 생길것이며 耕地의 利用率도 대단히 달라질것이다

年 2毛作을 實施하는畝이라면 年 1작밖에 못하는畝에 比하여 耕作面積은 同一하지만 播種面積은 倍나 된다 耕地面積이라는말과 播種面積이라는말은 이런見地에서 明白히 區分해야하며 또 土地의 利用率이 한것도 이런見地에서 잘 理解해둘必要가 있다 2毛作畝는 1毛作畝에 比해서 그利用率이 倍나 될것은 勿論이다

1. 高原地帶 우선 高原地帶부터 본다면 이地帶에서는 氣候가 冷寒하고 그우에 無霜期間이 매우 짧은탓으로 畝는 1毛작뿐이고 麥類를 裏作으로 심어서 2毛作을 하는일은 여지껏 全然 實施되지 못하고 있다

이地帶의 全地域을 通하여 畝의裏作은 全히 볼수가 없으며 다만 新興, 厚昌의 兩郡內의 極히 僅少한面積에서 畝

肥의 裹作이 겨우 試驗的으로 實施되어왔을뿐이다

따라서 高原地帶에서는 畜의播種面積은 그耕地面積과 同一할것이며 或은 休耕이나 廢耕을하는 境遇에는 도리어 그以下에 떨어질것이다 故로 畜의 利用率은 極低없이 100% 以下이다

山岳地帶 山岳地帶에 있어서도 그의 地地域을 통하여 畜의 利用形態는 高原地帶과 大差가 없다 다만 보달南쪽에 屬하는 山岳地域에서는 「뽕지」와 菅刈大豆, 紫雲英等이 近年에 이르러서 若干 栽培되어왔을뿐이다 더욱이 大麥의 裹作에 이르러서는 江原山岳地域의 南端部에서 若干 實施되어왔음에 不過하다

田作地帶 平北, 黃海, 咸南等의 各田作地域에서는 若干의 綠肥가 畜의 裹作으로서 實施되어왔을뿐이다 그러나 今曰의 所謂 三八以南의 南朝鮮에 屬하는 各田作地域에 이르러서는 畜의 利用率이 急速히 增進하기 시작해서 忠北, 慶北等의 各田作地域에서는 麥類와 綠肥等이 畜의 裹作으로서 널리 栽培되고 있다

따라서 畜의 利用率은 山岳地帶나 高原地帶에 비하여 훨씬 增進된다 忠北田作地域에서는 13% 慶北田作地域에서는 154%에 達하고 있다

稻作地帶 氣候의 모든 條件이 順調하고 그중에 無霜期間이 甚長인 稻作地帶에 이르러서는 光景이 完全히 달라짐을 볼 수가 있다 平北과 平南의 各稻作地域을 除外하고 南朝鮮에 屬하는 모든 稻作地域에서는 옛날부터 麥類의 裹作이 實施되고 있으며 또 近年에 와서는 綠肥도 裹作되고 있다 勿論 이 모든 地地域에서도 아직도 1毛作에 그치고 마는 畜의 面積이 적지는 않다 그러나 이것은 무슨 까닭인가 하면 封建의 土地所有制度와 그 속에서 派生된 苛酷한 小作制度 또는 供出 共販制度等으로 말미암아 農民들의 生産意慾이 그 根底로부터 破壞阻害되고 있었기 때문이다 今後 眞正한 土地改革이 斷行되어 封建의 人 擄取關係가 完全히 一掃된다면 畜의 利用率은 何한層 急速히 增進될것이다

그것은 어찌든 各稻作地域에 있어서의 畜의 利用率을 보면 다음과 같다

京城稻作地帶	97
忠南 //	113
全北 //	138%
慶北 //	157%
慶南 //	171%
全南 //	162
多島海沿岸	137%
忠北稻作地帶	110%
江原 //	101%
黃海 //	94%
平北 //	100%
平南 //	94%

5. 島嶼地帶 嶼作地帶의 畜에서도 大麥과 紫雲英, 뽕지等이 裹作되고 있다 畜의 利用率은 鬱陵島에서는 130% 濟州島에서는 142%이다

(4) 田의 利用形態에 있어서

畜을 利用하는 形態도 以上과 같이 各地帶에 따라서 差異가 많지만 더우기 田을 利用하는 形態에 이르러서는 더욱 多樣多彩한 差異가 있음은 보지 않을 수 없다

이것을 具體的으로 解明기爲하야 우리는 우선 朝鮮에 있어서의 田의 利用方截을 1年1作式과 2年3作式 1年2作式乃至

1年3作式의 세가지方式으로 區分하여가지고 이에따라서 各 個의方式에 依한 田의播種面積과 또 그比率等을 考察해보기로 하자

그리고 다시 田作麥類에 關하여 各地帶에 있어서 이것을 春播로 栽培하는面積과 秋播로 栽培하는面積 그리고 그比率等을 明白히해 두기로 하자

1. 高原地帶 無霜期間이 매우짧은탓으로 이地帶에서는 畜은 勿論이고 田에 있어서도 1年1作밖에 實施되지 못하고 있는것이 特徵의이다 咸南高原地域에서는 勿論이지만 平北高原地域에서도 全面積의 97.9%까지는 아직도 1年1作밖에 자기 못하고 있다 다만 이地域의 最南部의 極히 僅少한面積에서 2年3作 或은 1年2作이 實施되고 있을뿐이다

그럼으로 高原地帶에서의 田의 利用率은 대단히낮다 各地域에서 全로 100%以下에 떨어질것은 다시 말할것도 없다

그중에 이地帶에서는 冬節의 氣候가 너무 冷酷하기때문에 麥類의 秋播는 여지껏 대체로 不可能하며 역시 平北高原地域의 僅少한部分을 除하고는 全高原地帶에서 全로 1年1作式의 春播가 實施되고 있을뿐이다

2. 山岳地帶 山岳地帶에 있어서도 支配의인 利用方式은 1年1作이다

첫째로, 咸北山岳地帶에서는 慶興郡을 例外로하면 全로 1年1作式에 따르고 있으며 咸南山岳地帶에서도 2年3作은 겨우 6%에 不過하고 남어지 94%까지가 1年1作이다 또 平南山岳地帶에서는 2年3作이 若干增進되어 33%에 達하지만 그餘의 67%는 역시 1年1作이다

山岳地帶의 가장 南端에 屬하는 江原山岳地域에 이르러서는 田의 利用方式이 대단히 多彩롭게 나타나서 1年1作式과 2年3作 1年2作의 세가지方式이 全로 實施되고 있다 그러나 이것을 좀더 詳細히 檢討해본다면 2年3作의 面積은 겨우 21%이고 1年2作은 겨우 15%에 不過하는데 그 反面 1年1作의 面積은 64%나 되어서 壓倒的인임을 알 수가 있다

山岳地帶에 있어서도 北部의 諸地域(咸北, 咸南의 各山岳地域)에서는 대체로 麥類를 春播하고 있지만 이地帶의 南部의 各地域에 이르러서는 秋播가 驟然코 支配의 地位를 차지하게 된다 即 咸南山岳地域의 南部地區에서는 秋播面積이 麥類의 全播種面積의 40.4%에 達하며 더욱이 平南山岳地域에서는 86.6% 江原山岳地域에서는 98.4%에 達하야 秋播가 完全히 壓倒的인임을 보는바이다 要컨대 全高原地帶와 아울러서 山岳地帶의 北部諸地域(咸北山岳地域 全體와 咸南山岳地域의 北部地區)을 包括한 地方은 말하자면 麥類(主로 大麥)의 春播地帶라고 할것이다 그러나 이 地方을 떠나서 南部에 이르러서는 江原及 平南의 兩山岳地域과 咸南山岳의 南部地區에서부터 그餘의 田作地帶와 稻作地帶의 大部分과 島嶼地帶에 이르기까지의 廣大한 地方은 秋播가 完全히 支配의이며 壓倒的인것이다 다시 말하면 麥類의 秋播地帶이다

3. 田作地帶 田作地帶의 利用方式도 매우 多樣多彩하다 無霜期間이 매우 短期인 平北田作地域에서는 田의 總播種面積中에서 98.9%까지가 또 咸南田作地域에서는 100% 全로가 1年1作式에 따르고 있다

그러나 黃海田作地域에 이르러 1年2作은 45%뿐이고 「麥類—豆類(大豆, 小豆, 綠豆)—粟」의 2年3作이 44% 또 「大麥—大豆」, 或은 「大麥—雜穀」「大麥—棉」等의 方式에 依한 1年2作이 11%를 차지하게 된다 다시 南進해서

京畿田作地域에 이르게 되면 2年3作이 42%를 차지하여 1年1作(33%)이나 2年3作(25%)에 비해서 비로서 優勢하게 되며 더욱이 忠北과 慶北의 兩田作地域에 이르러서는 1年2作이 完全히 支配의인 利用方式이 된다

要컨대 田의 利用1年1作에 고지는 地方은 水에서 말한바인 麥類의 存播地帶과 正確히 一致되는 것이다

苛烈한 氣候의 諸條件으로 말미암아 麥類의 秋播를 할수가 없고 春播를 하지 않을수 없다는 것은 又 田의 利用이 1年1作에 고지 않을수 없다는 것을 意味하는 것이다

田作地帶에 있어서의 田의 利用率은 이와같은 여러가지 關係로 말미암아 高原地帶나 山岳地帶의 그것에 비해서 훨씬 高率의 畝는 다 시 말할 것도 없다 平北田作地域에서는 田의 利用率이 100%에 不過하지만 咸南田作地域에서는 107% 黃海田作地域에서는 142% 京畿田作地域에서는 150% 忠北田作地域에서는 189% 慶北田作地域에서는 192%에 各々 違하고 있다

4. 稻作地帶 이地帶에 있어서의 田의 利用方式은 1年2作이 支配의이다 이제 各方式에 依한 播種面積의 比率를 表示해 보면 다음과 같다

	1 年 1作式	2 年 3作式	1 年 2作式
京畿稻作地域	17%	24	59
忠南 //	4	11	85
全北 //	7	14	79
慶北 //	3	11	86
慶南 //	2	3	95
全南 //	1	9	90
多島海沿岸	—	14	86
忠北 //	5	22	73

다만 例外的인것은 다음의 各地域인데 이것은 稻作地域이긴 하지만 無霜期間이 대단히 짧은 北部朝鮮에 屬해 있기에 온이다

江原稻作地域	56	22	22
黃海 /	53	37	10
平北 //	91	8	1
平南 /	80	19	1

田의 利用方式이 이와같이 대단히 良好하기 때문에 田의 利用率도 눈물만큼 高率의이다 이것을 다시 表示해 보면 다음과 같다

京畿稻作地域	166%
忠南 //	198
全北 //	202
慶北 //	203
慶南 //	210
全南 //	214
多島海沿岸	195
忠北稻作地域	196
江原 //	148
黃海 //	147
平北 //	119
平南 //	126

平北과 平南의 各稻作地域을 除外하고는 全稻作地帶에 있어서 麥類는 秋播가 支配의이다 비단 大麥이나 小麥은 이아니라 低産力이 가장 弱한 裸麥까지도 여기서는 全의으로 秋播에 따르고 있다

5. 島嶼地帶 田利用의 支配의인方式은 1年1作이다 無霜期間이 매우 長期的인에도 불구하고 또 畜에서는 1年2作

이 實施되고 있음에도 불구하고 이와같이 田의 利用이 1年1作밖에 되지 못하는 것은 무슨 까닭인가? 島嶼地帶에 있어서의 平地에서는 거의 田을 분수가 없다 대개가 高山의 中麓이나 溪谷의 傾斜面을 開拓하여 田을 얻은 것인데 冷寒한 氣象과 猛烈한 海風의 影響을 받어서 田의 利用은 아직도 이와같이 低率의 畝를 充치 못하는 것이다 여기에서도 우리는 島嶼農業의 特徵을 分수가 있다

(5) 經營形態에 있어서

(1) 田畝別耕地組成에 있어서 (2) 主要農作物의 播種面積의 比率에 있어서 (3) 畜의 利用形態에 있어서 또는 (4) 田의 利用形態에 있어서 以上에서 우리가 본바와같은 各地帶間의 差異와 諸變動은 自作 自作兼小作 小作等의 經營形態에 있어서도 直接的으로 反映되지 않을 수가 없다

우에서도 말한바와같이 여기에서 우리가 利用하고 있는 모든 資料는 1934年에서 1936年에 이르기까지의 3個年의 平均數를 基礎로 한 것이다 그런데 그후 오늘에 이르는 동안 朝鮮農業의 經營形態에는 實로 歷史的인 意義를 가지는 重大한 기적같은 變革이 일어났다 우리가 다 아는 바와같이 大部分이 高原地帶과 山岳地帶로 되어 있는 38度北의 北朝鮮에서는 1949年3月5日은 期하여 無償沒收=無償分配의 土地改革이 徹底히 實施되고 그結果로서 北朝鮮에 關한限 모든 土地는 直接 이것을 耕作하는 農民의 所有로서 還元되고 말았다 그러기 때문에 今일의 北朝鮮에서는 農業의 經營形態도 單一化되고 말았으며 自作이니 自作兼小作이니 小作이니 하는 在來의 區分은 事實上으로 消滅되고 만 것이다

그럼으로 各個의 農業經營地帶에 있어서의 主要經營形態를 여기에서 比較하고 檢討해 온다 하더라도 北朝鮮의 全域에 있어서 이것은 現實的인 意義를 가질 수는 없는 것이다

그러나 그러다고 해서 北朝鮮의 部分만을 우리의 當面한 考察의 範圍外로 放棄해 버리는 것은 더욱 무스운 일이다 우리는 土地改革以前에 있어서의 北朝鮮의 農業에 關하여 그 主要한 經營形態가 어떠한 構成을 가지고 있었는가를 보답더 詳細히 具體的으로 把握하는 同時에 이것을 아직까지도 아무런 根本的인 變革이 없이 舊來의 封建的인 小作關係가 그대로 持續되고 있는 今일의 南朝鮮의 事實과 冷徹하게 比較해 볼 필요가 있다

이러함으로서 우리는 土地問題의 平民的인 解決을 目標로 하여 지금 天地를 震撼시키는 歷史的인 躍動을 나날히 더욱 激化하고 있는 今일의 南朝鮮農業의 眞正한 姿態와 그 位置를 더욱 뚜렷하게 看破할 수가 있을 것이다 北朝鮮의 農業이 無償沒收=無償分配의 土地改革을 그만큼 切實히 要求했다면 이課題는 南朝鮮의 農業과 農村에 있어서서는 더한層 緊急히 要請된다—우리는 이런 말을 흔히 들은 바이다 그러면 그것은 왜 그러하게 말할 수가 있는가 또 그렇게 말하는 그 基礎는 果然 어디 있는가

南朝鮮의 農業은 土地改革以前의 北朝鮮의 農業에 비해서 더한層 무거운 桎梏과 矛盾속에서 呻吟하고 있다 그러기 때문에 今일의 南朝鮮에서는 더한層 根本的인 徹底的인 土地改革의 實施가 緊急히 要請되고 있다는 것이다

그러나 今일의 南朝鮮의 農業이 옛날의 北朝鮮의 農業보다도 더한層 무거운 桎梏과 苦悶속에서 呻吟하고 있다는 것은 대체 어떠한 事實을 基礎로 해서 하는 말인가

이러한 問題에 對해서 正確한 解答을 주려는 것이 여기에서의 課題가 되는 것이다

우선 各地帶의 全農家를 自作, 自作兼小作, 小作等의 經營形態로 區分해서 그 100%의 比率를 比較해 보자

1. 高原地帶 咸南高原地帶에서는 全農家戶數中에서 自作

農이 57.7% 自作兼小作農이 25.9% 小作農이 16.4%이였으며 平北高原地域에서는 自作農이 30.6% 自作兼小作農이 14.7% 小作農이 54.7%이였다

- 2. 山岳地帶 高原地帶와 아울러 山地帶의大部分이 今旦의 北朝鮮에屬해있다는것은 이미 위에서 말한바이지만 이 山岳地帶에 있어서도 全農家戶數의 經營形態別戶分比는 다음과같은것이었다

	自作農	自作兼小作農	小作農
咸北山岳地域	57.8%	24.2%	18.0%
咸南 //	30.6%	34.0%	35.4%
平南 //	30.0%	21.0%	49.0%
江原 //	26.5%	31.7%	41.8%

- 3. 田作地帶 다음의田作地帶에서는 事態가 어떻게 되어있는가

	自作農	自作兼小作農	小作農
平北田作地域	27.4%	15.8%	56.8%
黃海 //	18.3%	26.9%	54.8%
京畿 //	11.3%	22.7%	66.0%
忠北 /	15.9%	23.1%	61.0%
慶北 /	27.1%	30.1%	42.8%
咸南 //	21.7%	38.1%	40.2%

- 4. 稻作地帶 그大部分이 南朝鮮에屬해있는 稻作地帶에 있어서의 經營形態別農家戶數는 다음과 같다

	自作農	自作兼小作農	小作農
京畿稻作地域	8.3%	72.1%	69.0%
忠南 //	8.0%	22.5%	69.1%
全北 //	6.3%	20.4%	73.3%
慶北 //	17.8%	32.9%	49.3%
慶南 //	10.5%	2 9%	59.6%
全南 //	8.5%	24.0%	67.5%
多島海沿岸	27.7%	31 4%	40.9%
忠北稻作地域	10.3%	10.1%	69.6%
江原 //	20.2%	39.0%	40.8%
黃海 //	11.7%	21 3	67.0%
平北 //	21.9%	19.4%	58.7%
平南 //	19.8%	25.7%	54.5%

- 5. 島嶼地帶

	自作農	自作兼小作農	小作農
鬱陵島地域	82.2%	3.6%	14.2%
濟州島 //	65.5%	19.4%	15.1%

以上 各經營地帶에 있어서의 經營形態別農家戶數의 百分比를 忠實히 比較해볼必要가 있다 우리는 여기에서 重大한 事實을 發見할수가 있는것이다

土地는 豊饒하고 地方은 貧弱하고 土地의 利用率은 가장 低率의인 高原地帶에서부터 山岳地帶에로 山岳地帶에서부터 田作地帶에로 그리고 다시 田作地帶에서부터 稻作地帶에로 보답豊沃한地帶을 向하여 南下해감에따라서 農業의 經營形態에는 더욱더욱 顯著的 變動이 생긴다는것이다 即 이와같이 南下해감에따라서 自作農家의 比率은 더욱더욱

줄어저가고 그反面 小作農家의比率이 높을만큼 增加해간다 이것을 다시말하면 土地가 廢薄한 地帶에서 豊穰한 地帶에인으면일수록 耕作하는 農民들의 經濟狀態는 더욱惡化되고 一般農民의 土地飢饉은 더욱 深刻해가는傾向을 뚜렷이 보이고 있다는것이다

農民이 耕作할土地를 얻지못하여 土地飢饉이 甚하면 苦할수록 農民들의 生活狀態는 더욱惡化되어 精神的으로는 더한層深刻的 實智와 文化에 빠지지않을수없으며 肉體的으로는 年々歲々 끈임없이 닳쳐오는 冬窮, 春窮의 慢性的인 飢饉로말미암아 더욱더욱 疲弱되고 退化되지않을수가 없다

要컨대 土地가 肥沃하고 豊穰한地方이면 일수록 이土地를 耕作하는 農民들의肉體는 이와反比例해서 더욱瘦弱化되지않을수없었다 이것이 過去數千年에亘한 封建의 抑取制度下에서 容恕없이 貫徹되어온 朝鮮의農村社會의 가장무엇한慘狀이며 内部的의 矛盾의 發現이었던것이다 또 이것은 그反面에 있어서는 다음과같은 事實을意味하는것이다

即 土地가 貧瘠한地方이면 일수록 農民의인 土地所有가 比較的健全하게發達된여왔다 그러나 反對로土地가 肥沃한地方이면 일수록 農民의인土地所有는 더욱더욱減退되고 其反面 地主에依한 封建의인土地所有가 集中의으로 發達된여왔다는것이다

옛날의 封建制度의 歷史를 보더라도 封建의인君主와 貴族, 兩班, 官僚層에依한 土地의掠奪, 兼併, 占取等은 主로 豊穰한稻作地帶에서 集中의으로 進行된여왔다 專制君主가 그 富房을爲해서 分與한宮土를 비롯하여 歷代의功臣과 有功者에게 分給하던 功臣田, 別賜田等도 모두 이稻作地帶의沃土 이었으며 王大小의兩班과 文武官僚에게 分與하던祿田, 料田, 環田等의 各種의名稱의 所謂「公田」도 그大部分이 이稻作地帶의土地 이었다 이리해서 옛날의 封建制度 밑에서도 稻作地帶야말로 封建의인土地所有가 가장集中의으로發達된地方이었던것이다

그뿐아니라 日帝의侵略의支配下에 있어서도 東拓等을爲始한 日帝의強盜的인 大土地所有者들은 역시 稻作地帶의肥沃한土地를 占가면서 主로農民의所有地를 盜奪하고 兼併하여온것이다 高原地帶나 山岳地帶의 그 貧瘠한土地는 무엇보다도 土地가 貧瘠하다는 그理由때문에 도리어 封建의인 또는 帝國主義的인 모든掠奪者들의 無道한侵害를 도리어 적게받은것이다

封建의인 또는 帝國主義的인 土地掠奪과 兼併이尤甚한地方이면 일수록 耕作하는 農民들은 더욱더욱 土地없는小作農民에로 轉落되지않을수가없으며 또그일수록 그들은 더욱더욱悲慘한土地飢饉에 빠지지않을수가없게된다

土地飢饉이라고말하자면 農民에게 있어서 이것은 冬春窮, 秋窮, 冬窮等 慢性的인 食糧飢饉을 意味하는것이다 土地가 肥沃한地方일수록 이土地를耕作하는 農民들의肉體와精神은 더욱 貧弱化되지않을수가없다는 이嚴酷한事實은 實로 이와같은 歷史的인關係를 그背景으로하는것이다



※ I-52頁より 繼續(I-357~367)

(第69表)

果 實 收 穫 高 總 計

		總 計		1944年度				1945年度				價 格	
		1944年收	1945年收	作 付	反當	收 穫 高	作 付	反當	收 穫 高	1944年度	1945年度		
		收 穫 高	收 穫 高									面 積	收 穫
京	畿	5,537,248	3,918,540	23,911	232	5,537,248	23,911	164	3,918,540	7,079,406	116,577,180		
忠	北	800,323	589,101	6,376	126	800,323	6,376	92	589,101	781,727	22,570,420		
忠	南	481,791	342,678	21,188	23	481,791	21,188	16	342,678	590,356	11,009,670		
全	北	900,165	670,101	9,960	90	900,165	9,960	67	670,101	1,061,918	20,720,310		
	南	2,006,536	1,444,503	12,411	155	2,006,536	12,941	112	1,444,503	2,646,197	46,226,560		
	北	4,904,399	3,462,099	54,227	90	4,904,399	54,227	64	3,462,099	5,690,191	105,603,100		
	南	1,810,028	1,298,971	20,339	89	1,810,028	20,339	64	1,298,971	2,159,751	45,165,600		
	海	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	原	227,371	162,420	3,737	61	227,371	3,737	43	162,420	347,062	5,187,480		
	南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	計	16,667,861	11,888,413	152,679	109	16,667,861	152,679	78	11,888,413	20,356,608	373,060,320		

(第70表)

苹 果 收 穫 高

京	畿	731,410	511,987	3,799	193	731,410	3,799	135	511,987	1,064,076	15,359,610
	北	201,249	140,874	2,971	68	201,249	2,971	47	140,874	198,332	4,226,220
	南	107,466	74,487	2,930	37	107,466	2,930	25	74,487	170,749	2,234,610
	北	107,318	75,122	1,226	88	107,318	1,226	61	75,122	165,275	2,253,660
	南	76,608	53,626	597	128	76,608	597	90	53,626	93,323	1,508,780
	北	3,832,157	2,682,511	43,289	89	3,832,157	43,289	62	2,682,511	4,154,305	80,475,330
	南	90,428	63,297	1,565	58	90,424	1,565	40	63,297	180,150	1,898,710
	海	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	原	150,317	108,722	1,513	99	150,317	1,513	72	108,722	234,864	3,251,660
	南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	5,296,949	3,710,626	57,890	92	5,296,949	57,890	64	3,710,626	6,261,074	111,208,580

(第71表)

梨 收 穫 高

京	畿	2,115,671	1,508,970	11,565	183	2,115,671	11,565	130	1,508,970	2,059,769	60,858,800
忠	北	191,967	134,377	1,653	116	191,967	1,653	81	134,377	149,825	5,875,080
忠	南	190,873	133,611	4,938	39	190,873	4,938	27	133,611	193,018	5,344,440
	北	326,892	228,824	2,971	110	326,892	2,971	77	228,824	336,533	9,152,960
	南	1,001,085	702,760	6,154	163	1,001,085	6,154	114	702,760	1,102,899	28,110,400
	北	413,259	289,281	3,220	128	413,259	3,220	90	289,281	663,234	11,571,240
	南	1,176,167	795,317	7,457	158	1,176,167	7,457	107	795,317	962,154	31,812,680
	海	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	原	60,866	42,306	1,877	32	60,866	1,877	23	42,306	93,248	1,697,240
	南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	54,476,780	3,835,446	39,835	137	54,476,780	39,835	96	3,835,446	5,560,680	154,422,840

(第72表)

桃 收 穫 高

京	畿	2,187,054	1,529,878	4,565	479	2,187,054	4,565	335	1,529,878	3,306,098	30,597,500
忠	北	126,931	88,852	581	218	126,931	581	153	88,852	126,565	5,777,040
忠	南	84,505	59,152	1,651	51	84,505	1,651	36	59,152	10,4008	1,183,040
全	北	159,388	111,572	1,893	84	159,388	1,893	59	111,572	210,104	2,282,440



平北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
江原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咸北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	234,750	234,750	3,403	69	234,750	3,403	69	234,750	264,027	4,567,550

(第76表)

	家 畜		家 禽		1943年	1944年
	1940年	1941年	1942年	1943年		
馬	48,331	51,617	54,462	53,653		
牛(朝鮮產)	1,740,390	1,753,556	1,740,073	1,710,321		964,823
乳牛	2,282	2,496	3,148	3,770		
豬	45,002	45,485	?	?		
豚	1,320,230	1,327,042	1,449,563	720,335		
雞	6,690,479	6,284,992	5,693,602	4,765,456		
山羊	53,979	54,216	50,600	43,280		
兔	189,267	193,633	130,442	75,545		

(第77表)

	綿 花 收 穫 高 (1943年度)									
	作 付 面 積			收 穫 高			反 當 收 穫 高			
	陸地綿	在來綿	計	陸地綿	在來綿	合 計	陸地綿	在來綿	平均	
畿	34,702.2町	17.6町	34,719.8町	35,775,249付	4,540付	35,789,789付	103付	83付	103付	
忠北	23,163.6	—	23,163.6	24,785,206	—	24,785,206	107	—	—	
忠南	20,066.3	—	20,066.3	20,591,829	—	20,591,829	103	—	—	
全北	16,075.5	—	16,075.5	20,016,395	—	20,016,395	125	—	—	
全南	64,677.7	—	64,677.7	54,565,551	—	54,565,551	84	—	—	
慶北	40,081.8	—	40,081.8	40,576,686	—	40,576,686	101	—	—	
慶南	26,501.0	—	26,501.0	35,388,788	—	35,388,788	134	—	—	
威海	39,601.5	—	39,601.5	48,481,693	—	48,481,693	122	—	—	
平南	26,745.2	1,835.6	28,580.8	22,186,930	967,934	23,154,764	83	53	81	
平北	7,077.3	3,154.2	10,231.5	5,730,787	4,159,431	9,890,218	113	132	97	
江原	11,351.7	210.9	11,562.6	10,035,567	85,944	10,121,511	88	41	88	
咸南	1,208.6	182.3	1,390.9	764,804	69,012	833,816	63	38	60	
咸北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	311,252.4	5,400.6	316,653.0	318,899,485	5,296,861	324,196,246	104	98	102	
(1944年度)										
京畿	34,544.4	11.7	34,556.1	23,264,520	3,925	23,268,445	67	34	67	
忠北	24,039.0	—	24,039.0	22,123,677	—	22,123,677	92	—	92	
忠南	20,243.0	—	20,243.0	16,948,933	—	16,948,933	84	—	—	
全北	10,060.1	—	10,060.1	20,513,174	—	20,513,174	204	—	2	
全南	55,682.0	—	55,682.0	57,768,867	—	57,768,867	104	—	1	
慶北	46,041.4	—	46,041.4	23,993,864	—	23,993,864	60	—	—	
慶南	22,205.0	—	22,205.0	25,238,850	—	25,238,850	114	—	—	
黃海	43,782.4	—	43,782.4	27,896,994	—	27,896,994	64	—	—	
平南	26,085.1	887.3	26,982.4	19,717,001	322,899	20,039,900	76	36	—	
平北	5,971.3	5,040.8	11,012.1	3,861,062	2,408,874	6,269,936	65	48	—	
江原	11,393.8	161.8	11,555.6	5,420,662	47,659	5,468,321	48	26	—	
咸南	710.0	239.5	949.5	236,417	70,259	306,676	33	29	—	
咸北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	300,767.5	6,341.1	307,108.6	246,984,021	2,853,616	249,837,637	83	45	—	

(第78表)

		1943年度			1944年度		
		作付面積町	收穫高各	反當收穫各	作付面積町	收穫高各	反當收穫各
京	畿	2,874.1	615,383	21	2,586.5	322,743	
忠	北	601.0	196,408	33	583.4	126,466	
忠	南	1,041.1	246,877	24	1,100.0	205,738	

北	2,466.0	554,688	22	2,539.3	438,382	17
南	2,718.5	782,928	29	2,906.7	517,731	18
北	3,100.1	691,136	22	3,143.6	675,451	21
南	3,908.4	1,127,436	29	3,823.9	809,709	21
海	3,737.3	450,784	12	2,716.6	163,217	
南	1,596.6	164,626	10	1,541.2	118,964	
北	5,467.7	763,134	14	5,461.5	752,896	
原	6,669.7	736,661	11	6,288.4	747,444	
南	2,134.6	310,023	15	2,020.8	275,115	
北	1,373.5	137,070	10	1,413.3	83,750	
計	37,688.6	6,777,154	18	36,125.2	5,237,606	

(第79表)

## 亞 麻 收 穫 高

	1 9 4 3 年 度				1 9 4 4 年 度			
	作付面積 町	收 穫 高 町	反當收穫 町		作付面積 町	收 穫 高 町	反當收穫 町	
畿	—	—	—		—	—	—	
北	—	—	—		—	—	—	
南	—	—	—		—	—	—	
北	—	—	—		—	—	—	
南	—	—	—		—	—	—	
海	—	—	—		60.0	43,663	—	
南	2,092.5	1,218,436	58	2,502.5	1,329,270	—		
北	2,209.8	1,273,597	58	3,249.6	1,820,109	—		
原	450.0	352,000	78	478.9	524,113	—		
南	8,235.0	6,227,313	76	9,400.0	7,812,412	—		
北	1,479.4	1,346,491	91	2,485.0	1,968,618	—		
計	14,466.7	10,417,837	72	18,176.0	13,498,185	—		

(第80表)

## 苧 麻 收 穫 高

	1 9 4 3 年 度				1 9 4 4 年 度			
	作付面積 町	收 穫 高 町	反當收穫 町		作付面積 町	收 穫 高 町	反當收穫 町	
畿	—	—	—		—	—	—	
北	—	—	—		—	—	—	
南	121.0	10,455	9	96.7	7,963	—		
北	372.2	20,770	6	360.7	22,140	—		
南	171.5	11,955	7	162.8	11,897	—		
北	—	—	—	—	—	—		
南	34.8	2,603	7	7.7	507	—		
海	—	—	—	—	—	—		
南	—	—	—	—	—	—		
北	—	—	—	—	—	—		
原	2.8	197	7	2.8	161	—		
南	—	—	—	—	—	—		
北	—	—	—	—	—	—		
計	702.3	45,980	7	630.7	42,668	—		

(第81表)

## 青 麻 收 穫 高

	1 9 4 3 年 度				1 9 4 4 年 度			
	作付面積 町	收 穫 高 町	反當收穫 町		作付面積 町	收 穫 高 町	反當收穫 町	
京 忠 忠	0.2	60	30		—	—	—	
畿	—	—	—		—	—	—	
北	—	—	—		—	—	—	
南	—	—	—		—	—	—	

北	—	—	—	—	—	—
南	—	—	—	—	—	—
北	—	—	—	—	—	—
南	0.1	13	13	—	—	—
海	24.9	6,432	26	21.1	428.4	20
南	11.7	1,130	10	6.3	72.7	12
北	7.3	957	13	7.8	98.2	13
原	0.5	75	15	0.6	8.5	14
南	—	—	—	—	—	—
北	—	—	—	—	—	—
計	44.7	8,667	19	35.8	607.8	17

(第82表)

莖 草 收 穫 高

		1 9 4 3 年 度			1 9 4 4 年 度		
		作 付 面 積	收 穫 高	反 當 收 穫	作 付 面 積	收 穫 高	反 當 收 穫
京	畿	404.0	82,389	20	442.8	94,172	21
忠	北	255.8	78,352	31	276.1	87,169	32
	南	232.7	58,083	25	239.4	61,323	26
	北	183.3	40,648	22	219.3	49,597	23
	南	78.4	14,548	19	102.8	16,778	16
	北	189.4	39,864	21	292.9	81,895	28
	南	51.6	10,942	21	80.7	21,195	26
	海	161.8	46,512	29	177.3	52,876	30
	南	—	—	—	—	—	—
	北	2.9	858	30	17.0	2,946	17
	原	226.3	45,208	20	262.6	48,367	18
	南	18.3	6,166	34	21.8	7,419	34
	北	26.8	5,312	20	34.2	6,283	18
	計	1,831.3	428,882	23	2,166.9	530,020	24

(第83表)

稻 收 穫 高

		1 9 4 3 年 度			1 9 4 4 年 度		
		作 付 面 積	收 穫 高	反 當 收 穫	作 付 面 積	收 穫 高	反 當 收 穫
京	畿	390.9	83,472	21	367.6	79,061	22
忠	北	300.3	76,744	26	303.0	71,820	24
	南	12.4	2,488	20	17.1	2,143	13
	北	1,541.7	260,035	17	1,341.8	199,722	15
	南	204.7	22,481	11	203.9	21,543	11
	北	1,393.5	240,584	17	1,030.8	178,155	17
	南	642.2	96,257	15	431.8	65,170	15
	海	219.2	47,960	22	67.3	15,084	22
	南	164.8	34,834	21	154.3	31,203	20
	北	2.6	240	9	4.7	450	10
	原	215.6	42,620	20	247.4	46,857	19
	南	1.0	150	15	—	—	—
	北	—	—	—	—	—	—
	計	5,088.9	907,865	18	4,169.7	711,208	17

5. 肥 料 問 題

朝鮮農業의 生産力增強에 必要한 條件은 施肥의 合理化, 水利灌溉事業의 積極推進, 耕地整理及 地目變更等 諸課題가 橫在하나 무엇보다도 絕對先行條件은 土地制度를 改正하여 農業의 零細化 傾向을 防止하고 半封建的 殘存인 農奴의 地位에서 他們을 解放하여 그 經濟的 更生을 圖謀하여야 할 것과 또 農村過剩人口을 山林, 水産, 鑛工業等 다른 分野에 計畫轉出시키는 同時에 農村協同化運動의 組織的 展開과

아울러 營農集約化를 꾀하는 小規模機械化適用에 留意하고 農業勞動力의 合理的 運用을 指導하는 등 根本的 施策이 있어 야 할 것은 勿論이거니와 當面한 問題로서 朝鮮의 食糧安否를 確保하는데 必須的인 第一義的 問題는 施肥의 合理化에 主力를 傾倒하여 農耕地單位面積의 生産率을 高度로 增進시키는 方策을 取해야 할 것이나 即 現在 朝鮮農作物 特히 米穀의 反當生産高의 過去實績을 보건대 左表에서 示現된 것과 같이 1石2—1石4에 達하였으므로 그 平均生産高은 1石3에 不過하

었다 隣近日本の 反當生産高가 平均 2石5—2石6 을 維持 하고있는데 비하여 朝鮮의그것이 너무도 低率의임용充分히 認識할수있는것이다

(第84表) 過去10年間米穀反當生産高

年次	石	年次	石
1936年	1.212	1942年	1.298
1937	1.635	1943	1.234
1938	1.454	1944	1.209
1939	1.163	1945	1.217
1940	1.311	1946	1.088
1941	1.512		

朝鮮과日本間의 營農形態에 있어서는 큰 差異가 있는것은 아니다 即農家 1戶當 耕作平均單位面積을 보면 朝鮮 1.48 町步에對하여 日本 1.1町步임으로 營農機械適用이 되지 못한點이 類似한것이다 다만營農方法의 技術의 差異에 相當한距離가 있는것이니 日本의그것은 規律의이고 深耕인데反하여 朝鮮의그것은 散漫의이고 淺耕에 가까운것이다 其他種子의 改良 選擇의嚴密 農民의細心하고도 稠密한勞作等 朝鮮農民은 長點이었다 그러나 이것만으로써 上記한바와같은 顯著한 差가 생기는것은 아니니 要는施肥의 豐足과合理化에 있는것이며 土地改良及耕地整理와 併行하여 地質과相應한 肥料의 多量施用으로서 이와같은 顯隔한 差를 生じて간것이다 即美駐屯軍技術者와 聯合國最高司令部 自然資源課의 共同調査에依하

면 日本의施肥을 基準으로한 朝鮮農土의施肥量을모다金肥로 換算하여 1町步當約1.5 噸 全農土 4,500 千町步로보면 總量無慮 6,750千噸의大量을 要하는것이다 (肥料第5表參照)

이것은 堆肥, 綠肥, 魚肥, 油類其他植物質肥料等 自給肥料을考慮에 넣지아니한 實情에疏通지 못한 事들은 富裕者의 利害이라고 보아서 相當한割引은하되 모더데도 肥料의大量投下와 그合理的施用으로서 反當收穫能率의 急遽大幅引上은 大分히 期待할수있는것이다

그런데도 過去肥料消費高을보면 堆肥, 綠肥等自給肥料에 있어 反當施用最少限의目標量 304貫을實行해보지 못하고 斷念하는수밖에 없었다

即朝鮮産施肥의大宗은 依然히 自給肥料이었는데 1926年에始作하여 二次에及한 日政의積極的 自給肥料増産計畫으로 綠肥及堆肥는 相當한増産을보여 一次計畫이終了된 1936年에는 耕地反當 215貫에該當한 自給肥料가 生産되었고 1946년까지의第二次増産計畫에는 反當 304貫目標이었으나 1940년에는 이것을反當290貫으로 變更하였다 即此하여1944年에는 그나마도 目標에 가까운 程度에達하였던것이다

그러나 朝鮮農業의肥料消費量은 그需要量에 이르러가지에는 너무도遙遠하였던것이었다 戰爭의影響을받지않은1938年에 있어서의 反當耕作面積의各種肥料消費量은 窒素59 封 度 磷酸30 封度 加里47 封度에不過하였으니 이것이朝鮮農業의生産性低測의 最大原因이된것이다

(第85表) 耕地面積當肥料消費高

年次	耕地面積 町步	消費高 (石)			反當消費高 (瓦)		
		窒素	磷酸	加里	窒素	磷酸	加里
1939年	4,448,373.3	126,360	50,344	6,446	28	11	1
1940	4,437,179.3	115,542	49,225	5,376	26	11	1
1941	4,404,606.5	108,159	40,832	3,804	25	9	1
1942	4,398,745.7	108,019	19,679	3,183	25	5	1
1943	4,398,754.7	68,545	10,042	?	16	3	?
1944	4,398,745.7	78,000	7,000	?	18	2	?

化學肥料會社 南朝鮮 { 仁川朝鮮化學肥料會社 休 木浦日華油脂會社 運轉中  
 { 三陟開發會社 休 釜山朝鮮製油會社 休  
 骨粉其他肥料會社 南朝鮮 { 清涼里朝鮮骨粉肥料會社 休 釜山朝鮮製油會社 休  
 { 永登浦朝鮮당닝工業會社 休 米糠(食糧營團所有) 休

特히酸性을比較的廣範히包含한 朝鮮의土壤에 있어서의 알카리質 鹽溶性肥料=金肥의多量供給이必要한데도 不拘하고 朝鮮産化學肥料 甚至於魚肥 糖酸類까지도 肥効의많은것은 日本으로부터의收奪輸出되고 戰時中에는 自給肥料의 大宗인 山野草까지도 馬草供出에唯當하면서 無理한堆肥製造에 汲々하였던것이다

더구나 朝鮮土壤이 母岩自體의 肥料成分含有量稀薄에加하여 林野糞分造成的枯渴과 夏季에偏重한大量降雨에依한養分流失及洗滌된表土의移動堆積으로인하여 農土는 一般의으로 瘠薄해졌으며 木灰其他 灰分施肥에依한 加里分補充以外에는 年々司除去되는 養分을 補充한道理가 없었으니 朝鮮農業에 있어 肥料에占한比重은 實으로大한것이라한것이다

그런데도 解放後의 肥料事情은 寒心한形便이다 農民特히 自給肥料製造에 主役割을하든 青年層農民의 政治的進出과 그長期的 興奮狀態는 自給肥料의 造成을忘却한 憂慮가있고 北朝鮮에서 大量生産하든 人造肥料亦 38線障壁으로 南朝鮮에서는 그需給을얻지못할뿐더러 南朝鮮에生産力을 가진 三陟及順天의石灰窒素肥料 및 仁川의過磷酸特殊肥料等도 生産은殆無하니 日帝時代에부터 農肥注力政策의訓練을받아 그데도 어느程度自足해오든 自給肥料의 領域까지도 全的으로 金肥外力에 依存하는수밖에 없이되었다

다시過去에돌아가 1926年以來 販賣肥料獎勵(低利資金融通)로인한 金肥施用量의累年增加된 現狀을보면 다음과같다

(第89表) 肥料消費高表

省	縣	窒素成分消費高 (石)					磷酸成分消費高 (石)			
		1941年	1942年	1943年	1944年	1945年	1941年	1942年	1943年	1944年
京 忠 忠	畿	10,165	9,862	8,473	6,772	21,265	1,969	1,315	683	433
	北	3,849	3,553	3,613	2,837	10,236	941	542	442	183
	南	8,042	7,767	6,655	5,652	20,533	1,533	1,045	626	336

北	11,346	10,555	9,450	6,391	20,860	2,345	1,388	751
南	14,262	13,023	11,458	8,079	30,263	2,945	1,843	1,207
北	10,526	9,836	8,901	6,584	30,050	2,447	1,651	1,280
南	10,372	9,623	8,102	7,139	23,796	2,150	1,343	986
海	11,589	10,801	8,851	6,241	25,371	2,575	1,591	765
南	7,494	6,885	5,676	5,535	18,807	1,868	997	372
北	5,378	5,556	4,552	4,697	15,794	1,336	940	264
原	3,957	4,037	3,696	3,363	9,577	918	586	380
南	4,206	4,410	4,006	4,570	8,430	1,056	814	460
北	1,158	1,406	1,299	1,444	2,712	260	246	151
合 計	102,344	97,314	84,732	69,304	237,694	22,343	14,301	8,367

(第87表) 1944年度肥料消費高(1944.8—1945.7)(單位担)

	硫 安	噠 安	石 灰 素	過 磷 酸	硫 酸 安	特 殊 化 成	大 豆 粕	棉 實 粕	米 糠 粕	骨
總	28,138	—	2,092	1,844	329	401	7,576	305		
北	12,577	—	138	639	739	240	—	2,214		
南	23,878	—	1,277	718	1,189	300	3,615	308		
北	26,614	1,569	1,043	962	677	294	3,183	2	1	
南	34,576	842	1,399	1,384	1,289	210	81	4,248		
北	28,714	—	1,179	1,376	1,305	300	2,646	921		144
南	30,652	84	2,045	3,012	1,295	180	1,009	2,138	1	
海	36,962	—	831	2,481	628	460	3,655	913	1	
南	24,973	—	1,020	1,944	—	271	2,331	4		
北	20,622	—	1,396	4,687	421	60	1,503	3		
原	13,908	—	1,519	44	886	300	—	3		
南	19,741	9	1,207	275	1,215	150	1,401	336		29
北	6,703	—	187	68	90	60	—	3		
合 計	308,058	2,504	15,333	19,434	10,063	3,226	27,000	11,398	6,241	765

(第88表) 1947年度輸入肥料配給表(單位担)

		肥料種類	割當量	受取量	農民에게對한配給	農民에게對한割當率	農民의受取率
京 畿	{	1. 硝酸安모니아	16,104	14,516	12,749 932 1,017 2,678	62%	82%
		2. 硫酸加里	2,247	1,746			
		3. 硫酸安모니아	1,047	1,017			
		4. 過磷酸鹽	8,600	4,583			
忠 北	{	1. 硝酸安모니아	6,185	5,778	4,561 478 224	51	68
		2. 硫酸加里	966	564			
		3. 硫酸安모니아	3,100	1,418			
忠 南	{	1. 硝酸安모니아	10,699	8,710	5,993 751 135	41	61
		2. 硫酸加里	768	787			
		4. 過磷酸鹽	5,500	1,799			
北	{	1. 硝酸安모니아	12,374	13,789	9,047 974	51	62
		2. 硫酸加里	923	1,028			
		4. 過磷酸鹽	6,300	1,257			
南	{	1. 硝酸安모니아	14,891	13,227	10,213 1,161 855 —	46	
		2. 硫酸加里	2,455	1,496			
		3. 硫酸安모니아	844	855			
		4. 過磷酸鹽	7,900	1,435			
原	{	1. 硝酸安모니아	4,175	4,197	3,636 259 —	55	61
		2. 硫酸加里	566	424			
		4. 過磷酸鹽	2,348	1,783			
北	{	1. 硝酸安모니아	15,951	13,223	10,807 2,254 —	50	98
		2. 硫酸加里	2,025	235			
		4. 過磷酸鹽	8,200	—			
南	{	1. 硝酸安모니아	12,825	11,312	10,667 568 —	50	
		2. 硫酸加里	2,896	669			
		4. 過磷酸鹽	6,747	—			

(第89表) 南朝鮮 - 金肥使用經過 (單位噸)

	窒 素 (100%N)	磷 酸 石 (33% P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> 相當)	加 甲 (100%K <sub>2</sub> O)	1929	16,433	18,675	1,457
				1930	20,810	24,281	1,379
1926	7,710	7,560	1,245	1931	19,459	18,587	1,720
1927	8,251	10,333	1,671	1932	26,617	19,869	1,181
1928	14,062	14,457	1,629	1933	30,557	31,021	1,117
				1934	46,391	38,533	1,480
				1935	49,093	67,445	2,813※

註 肥料年度 自8月1日至翌年7月21日

(第90表)

堆 肥	綠 肥					自 給 肥 料	
	栽培綠肥	山野草	小 計	糞 灰			
				人 糞 尿	糞 灰		
1915	2,051,922	43,527	1,681,957	3,354,081	1,632,319		
1925	12,965,340	322,941	1,681,957	3,654,224	1,766,754		
1933	24,042,401	1,560,282	1,507,000	4,321,966	1,569,797		
1934	24,958,483	1,849,741	1,699,484	4,544,783	1,352,583		
1935	26,219,186	2,210,736	1,654,764	4,940,550	1,259,100		
1936	25,438,364	1,950,976	1,415,991	4,899,502	997,868		
1937	27,573,405	1,817,539	1,507,237	5,845,778	994,322		
1938	28,126,391	1,774,583	1,609,005	6,053,205	845,846		
1939	27,771,243	1,701,979	1,558,698	6,534,458	686,063		
1940	29,992,610	1,669,244	1,417,845	6,192,504	737,786		
1941	33,069,518	1,931,066	1,844,194	5,990,576	1,076,572		
1942	34,557,705	1,783,919	1,962,924	7,215,708	676,890		

(第91表)

南 朝 鮮 金 肥 需 要 量

	1947年度 耕作面積 1000町步	窒素(100%N)		16.5%過磷酸		33%磷灰石同物價		33%磷灰石精粉		酸化加甲	
		kg每 噸	合 計 '000噸	kg每 噸	合 計 '000噸	kg每 噸	合 計 '000噸	kg每 噸	合 計 '000噸	kg每 噸	合 計 '000噸
米	1,143	60	68.6	170	194.3	85	92.2	255	291.5	15	17.1
小麥及大麥	830	45	67.4	200	166.0	100	83.0	300	249.0	15	12.4
其他穀類	230	20	4.6	119	25.3	5	12.6	165	38.0	0	0
馬鈴薯	44	50	2.2	200	8.8	100	4.4	300	13.2	25	1.1
甘藷	45	20	0.9	70	3.2	25	1.6	105	4.7	35	1.6
菜蔬	115	70	8.1	180	20.7	90	10.4	270	31.0	20	2.3
豌豆	278	0	0	110	30.6	55	15.3	165	45.9	10	2.8
棉花	172	40	6.9	200	34.4	100	17.2	300	51.6	15	2.6
烟草	16	60	1.0	260	4.2	130	2.1	390	6.2	20	0.3
桑	44	115	5.1	260	11.4	130	5.7	390	17.2	12.5	0.6
其他纖維	13	40	0.5	200	2.6	130	1.3	300	3.9	15	0.2
其他工業用作物	12	50	0.6	190	2.3	100	1.1	285	3.4	2.5	0.2
果實	14	70	1.0	190	.7	95	1.3	285	4.0	15	0.2
綠肥	100	0	0	100	10.0	95	5.0	150	15.0	0	0
計	3,056		166.9		516.5		253.2		774.6		41.4

註 ① 以上の需要は朝鮮駐屯の美軍技術者と聯合國農務司令部自然資源課の共同作成に依つたもので 1947年1月21日 東京聯合國農務司令部の承認を得

② 1町步は 99.2 噸に相當する  
日本の施肥に基準した朝鮮の狀態を參照して計算した

### 6. 特殊問題

#### (I) 解放後の農地價格動向

解放後 農地價格の變遷は 極端なことがあった 勿論通貨膨脹物價高騰の刺戟は勿論あるが 尤も無理하게 高揚되는土地制度の動搖が主原因이라 할 수 있다 于先價格動向을 보면 다음과 같다

解放直後로부터 1946年1月까지를觀察하기로 하자 畜地坪費平均價格 1945年9月末 6圓67錢 1946年10月末 27圓一平均으로서約5倍強으로騰貴하였다

地方別로 보면 慶北38圓(最高) 忠北、慶南、全南、全北、

中南、濟州、京畿の順序로最低 19圓이다

田地坪費平均價格 1945年9月末坪當3圓33錢 1946年10月末坪當14圓33錢

地方別로 江原道最高坪當 22圓 慶南、慶北、全南、忠北、京畿、忠南、全北、濟州の順序로 最低가 18圓이다

以上の原因은 主로 地主の土地賣却이 第一原因을 이루고 있다

가. 地主가 土地를賣却하는原因은 보면

(A) 解放以後小作料 3.1割로 算算이 될 것

(B) 가까운將來에 土地改革이 있을 것과 二實地에 따라 投資本을 回收하는데 不安을 느끼고 이로



※1936	60,365	72,303	4,583
1937	68,821	81,169	5,170
1938	78,823	81,951	5,750
1939	69,981	90,587	3,868
1940	75,527	86,157	3,226
1941	70,541	44,815	2,282
1942	61,756	65,963	1,292※

※1943	58,545	18,621	資料無
1944	46,182	15,663	1,354
1045	1,242	2,875	364

註 別段表示가 없는資料는 聯合國最高司令部自然資源探報告에 依함  
軍政廳農務部提供資料에 依함

消 費 高

馬	尿				小 計	灰 類	其 他	合 計
	糞	糞	渣	其 他 糞				
30,290		20,051		—	5,036,741	1,678,025	—	10,482,172
43,272		49,061		—	5,513,311	1,750,585	—	22,234,134
55,544		87,136		—	6,034,443	1,190,675	17,362	34,352,163
64,922		181,792		25,368	6,089,448	1,320,105	19,594	35,936,855
66,566		116,997		58,436	6,441,649	1,260,385	17,530	37,804,250
76,289		117,472		—	6,491,131	1,385,977	19,279	36,299,716
94,988		143,805		6,758	7,085,651	1,448,393	1,425	39,433,650
92,220		140,220		81,848	7,214,344	1,505,363	1,586	40,231,272
103,125		152,565		174,087	7,650,298	1,632,912	1,912	40,317,042
95,742		145,620		91,179	7,260,831	1,706,545	2,100	42,049,275
118,406		149,153		235,939	7,570,646	1,784,599	2,333	46,202,356
126,986		128,145		214,961	8,362,690	1,852,176	2,809	48,556,123

나. 小作人의 土地를 사게 된 原因은

- (A) 小作料 31制實施로 一般農民의 經濟的實力이 多少 弱해져 간 것
- (B) 土地에 對한 農民의 所有權과 愛着心이 無批判的으로 弱한 것
- (C) 穀價가 高騰하야 比較的容易하게 土地價格을 調達할 수 있는 것
- (D) 現在의 情勢로 보아 土地改革時期가 豫測困難한 것
- (E) 地主의 自己利益을 위한 土地賣却으로 인하여 小作權이 他人에게 移動된 念慮가 濃厚한데 對한 小作人의 恐怖感을 들 수 있을 것이다

地方別農地價格變動을 보면 다음과 같다 解放直前과 昨年10月 現在의 農地價格

(第92表)

畜 中 等 地 價 格

	194 年 2 月 末 現 在	1946年10月 末 現 在	騰 貴 率
仁 川	0.90	19.00	21
水 原	0.80	22.00	24
開 城	0.90	80.00	88
清 州	0.90	39.00	43
公 田	0.90	35.00	38
大 田	0.90	9.00	10
江 景	0.13	14.00	108
洪 城	0.23	29.00	126
春 川	0.20	22.00	110
全 州	0.15	17.00	113
光 州	0.27	27.00	100
順 天	0.32	36.00	112
濟 州 道	0.20	22.00	120
大 邱	0.31	31.00	100
安 東	0.30	37.00	123
釜 山	0.35	35.00	100
慶 州	0.32	36.00	112

(第93表)

田 一 等 地 價 格

	1945年2月 末 現 在	1946年10月 末 現 在	騰 貴 率
仁 川	0.50	18.00	36
水 原	0.50	12.00	24
開 城	0.40	13.00	33
公 州	0.40	20.00	50
大 田	0.50	20.00	14
江 景	0.50	10.00	20
洪 城	0.40	10.00	25
春 川	0.60	15.00	25
全 州	0.90	6.00	7
光 州	0.60	10.00	17
順 天	0.70	22.00	44
大 邱	0.50	10.00	66
玄 東	0.40	27.00	68
釜 山	0.60	40.00	67
榮 州	0.50	35.00	70
濟 州	0.60	22.00	37
濟 州 道	1.00	33.00	10

(2) 食糧增産問題

日帝壓迫下에 있는 過去36年間의 朝鮮食糧事情은 貢納의 對日輸出을 強行하야 每年米穀 800萬石-最爲 1,100萬石, 大豆約 150萬石程度를 收奪당하되 그代身에 滿洲粟約100萬石, 玄南米約 100萬石程度의 食糧補充輸入을 하였기때문에 國內食糧事情은 決로 裕足, 지는 못하였으나 農民의 剩餘食糧 充當과 都市人의 節食으로 過히 破綻은 이르기까지 아니었다  
그러나 解放後의 南朝鮮食糧: 情은 朝鮮有史以來로 처음 보는 食糧逼迫과 晝年飢饉의 奇現象을 자아낸 것이었다 鄭多數의 戰災同胞의 歸還도 있었지만은 從來의 統制政策을 갑작이 解除하야 自由買賣形態를 取하다가 統制業者에 徹底히 利用된과 世界食糧事情이 青蘊의으로 暴進된實情에 鑑하

여 1946년 1월 米穀收獲強化政策으로 突變하는 同時에 食糧移  
動을 禁止하자 1945年은 例年에 比하여 均衡作用을 維持한데도 不  
拘하고 都市住民及 鑛山工場 學校寄宿舍等 集團生活者들의  
受難은 甚은 것이나 特別 食糧移動禁止令의 直接的인 影響을 受  
는 地帶는 1945年 秋季 日照의 順應을 見지 못하여 凶作을 必지  
嫩嶺東地方一帶이 있었으며 米穀受難度가 甚은 地帶가 甚은 것이  
다

여 美 國으로부터 食糧의 援助를 받게 되었으니 1946年 5월  
『넬리사, 뒤, 터리』號와 『브짜드』號로서 釜山과 仁川에 各各  
8,000 噸을 積載하고 入港한 것을 비롯하여 1947年 11月末까  
지 7個月 동안에 南朝鮮에서 輸入한 糧穀의 總數는 587,164  
噸 이나 되었다 여기에서 內譯을 보면 小麥 278,210 噸, 밀가루  
89,107 噸, 옥수수 30,775 噸, 보리 139,110 噸, 豌豆 1,100 噸, 大豆  
400 噸, 콩가루 8,100 噸, 安南米 39,362 噸 이다

그중 1947年 1月에서 11月까지 入荷된 것이 391,062 噸 이나  
된다 萬年平均 石으로 換算하면 19個月間 糧穀輸入量은 2,3  
48 656 石 이나 되는 尙大한 數이다 (食糧에 關한 詳論은 別  
卷의 糧情을 參照하시라) 다음에 解放後 人口의 動態와 食  
糧收支 統計를 計數의 으로 表示하여 보면 다음과 같다

38 年 分割을 因하여 可靠한 數字는 把握하기 困難하나 歸還  
同胞과 越南同胞 數를 推定하여 1946年 月末 現在 南朝鮮 人口數  
는 下表와 같이 豫想된다

(第94表) 南朝鮮人口推定表

구분	人	備註
38以南人口數	16,545,883	38線以南에 屬한 1942年末 現在
最近4年間 自然增加數	992,000	1.5% 即 100 人에 對하여 每年 15人의 增加를 計算함
戰災民	1,961,617	8月29日 現在 軍政總外務處 調査
越南者	800,000	軍政總外務處 調査
中國人	80,000	
合計	20,379,500	

(第97表)

南朝鮮食糧收支統計 (自1936年至1940年 5年平均基準)

구분	南朝鮮總生産量	食糧以外의 消費品 除減 石	純食糧用殘品		備註
			石	石	
玄米	16,057,770	—	—	—	正租 1,200,000石
雜穀	—	600,000	—	—	甘酒 83,400
酒	—	750,000	—	—	藥酒 110,000
米菓子飴類	—	500,000	—	—	濁酒 2,200,000
計	16,057,770	1,850,000	14,207,770	—	
麥	6,004,000	2,425,600	3,362,400	—	精穀에 對한 減少種子用
小麥	1,650,000	220,000	1,491,000	—	總子製造用及種子用等
雜麥其他	1,826,000	180,000	1,801,000	—	種子用
計	9,480,000	2,825,600	6,654,400	—	
豆	1,400,000	900,000	500,000	—	醬油, 豆菜, 豆腐, 肥料等
小豆及綠豆	555,000	350,000	205,000	—	製餅製菓用
落花生及其他	148,000	48,000	100,000	—	一部精穀에 依한 7割 強 減
計	2,103,000	1,298,000	805,000	—	
雜穀	1,109,000	443,600	665,400	—	精製成4割
數玉蜀黍其他	612,300	283,690	328,610	—	同上3割 減及 澱粉原料用
計	1,721,300	727,290	994,010	—	
合計	29,362,070	6,700,890	22,661,180	—	

(第95表) 南朝鮮道別人口 (1942年未現在)

道	過去의 原數	加減數	殘數
京畿	3,008,495	← 78,310	2,930,185
忠清北	969,598	—	969,598
忠清南	1,638,582	—	1,638,582
全北	1,684,529	—	1,684,529
全南	2,771,637	—	2,771,637
慶北	2,588,933	—	2,588,933
慶南	2,370,930	—	2,370,930
江原	1,844,038	↔ 703,394	1,140,644
黃海	—	(+) 450,845	450,845
合計	16,876,742	↔ 330,859	16,545,883

以上에서 說明한 朝鮮人口는 1942年未現在 25,524,109人  
(統計年報)을 基準으로 하여 그後의 自然增加數와 歸還同胞  
等을 加算한 數에서 38 線南北는 區分한 數字인데 1944年 5月  
의 國勢調査의 結果에 依하면 全朝鮮 人口總數는 25,120,174人  
으로 1942年未現在 數보다 約40萬人이 減少되었다 이 原因은  
徵兵과 徵用에 依한 것은 勿論이며 이 減少數中 南朝鮮의 分이  
約 3割 即 26萬餘人이 減少된 것으로 看做하고 1942年未末부터 19  
44年 4月末까지의 自然增加數는 341,600名 即 以上兩者合計  
601,000餘名을 除減하면 總數 19,879,500餘名은 結果 19,278  
500餘名이 된 것이다 다음은 人口와 比較하기 爲하여 38 線  
穀物別生産量을 計數의 으로 表示하여 보라

(第96表) 南北別穀物生産量 (自1934年至1938年 5年平均基準)

구분	南朝鮮生産 石	北朝鮮生産 石	合計 石
玄米	16,057,770	5,473,780	21,531,550
麥類	9,480,000	3,020,000	12,500,000
雜穀	1,721,300	6,217,700	7,939,000
豆類	2,103,000	3,117,000	5,220,000
合計	29,362,070	17,828,480	47,190,550

(第98表) 南朝鮮米穀收穫量統計 (南北朝鮮別自1936年  
—至1940年5年間平均)

	米	麥類	要
京 畿	2,414,220 (減 83,250)	1,027,100 (減 35,400)	(減은北朝鮮으로編入된것을除함을表示함)
忠 北	925,790	762,500	
忠 南	2,153,000	775,000	
全 北	2,282,180	1,168,900	
全 南	2,712,780	1,650,000	
慶 北	2,519,000	2,212,500	
慶 南	2,325,240	1,612,500	
江 原	559,780 (減半數)	—	
黃 海	165,780	132,500	38線以南4郡
合 計	16,057,770 (5,467,800)	9,341,000 (3,159,000)	全國(米 21,525,570石 麥 12,500,000石)

(第99表) 南朝鮮雜穀收穫量統計 (南北朝鮮別自1936年  
—至1940年5年間平均)

	南朝鮮 收穫量	北朝鮮 收穫量	全國收穫量 計
粟	1,109,000	3,977,000	5,086,000
稗	90,400	320,600	411,000
黍	15,400	54,600	70,000
蜀黍	114,000	404,000	518,000
玉蜀黍	173,000	601,000	774,000
雜麥	93,300	330,700	424,000
蕎麥	144,300	511,700	656,000
合 計	1,739,400	6,199,600	7,939,000

(第100表)

民族別、面積別南朝鮮農家人員數

	朝鮮人	外國人	合 計			
1 段步未滿	544,683人	24,445人	569,128人	7 町步以上	12,574人	1,762人
1 段步以上	601,905	15,685	617,590	10 町步以上	9,087	1,466
3 段步以上	397,914	9,718	407,632	15 町步以上	5,898	86
5 段步以上	271,134	7,338	278,522	20 町步以上	3,374	710
7 段步以上	216,655	6,363	223,018	25 町步以上	2,239	522
1 町步以上	166,971	6,132	173,103	30 町步以上	1,535	445
1 町5段以上	104,356	4,547	108,903	35 町步以上	931	380
2 町步以上	71,607	3,523	75,130	40 町步以上	792	341
2 町5段以上	48,643	2,697	51,340	50 町步以上	624	325
3 町步以上	37,718	2,590	40,308	70 町步以上	370	259
3 町5段以上	28,233	1,806	30,039	100 町步以上	188	191
4 町步以上	22,094	2,049	24,143	150 町步以上	68	96
5 町步以上	17,219	1,700	18,919	200 町步以上	43	107
6 町步以上	13,548	1,730	15,272	合 計	2,580,102	97,963
				總 面 積	2,025,448	446,729

(3) 解放後農村實情

解放後의 農村經濟는 一言而蔽之하면 混亂인것이요 高利貸借、農牛放賣甚한反面營農資金——即生活資金——의 缺乏으로 極度인困難을받고 있다 解放後南朝鮮農村은 政治的經濟的 各觀情勢가 混沌하여 指向없는 變遷을 거듭하고 있는 데 特別最近에 이르러 土地改革을豫想한不在地主들의 土地放賣과 土地購買資金不足과 小作廢止 高利貸借을 꺼리지 않는 農民이 激發하는한便 生活必需品配給의 惠澤을 받지 못하는 爲에 各種金錢的負擔만 이늘어가 細農民의 弱點을타서 高利貸借이 南朝鮮農村을 漸次侵蝕하는 傾向이 濃厚하여 今後 그 歸趨가 甚히注目된다

即南朝鮮金融組合聯合會에서 南朝鮮各地方金融總合會 通하여 農村의 實情을 調査하여 依하면 最近의 農村實情中 特別注目되는 點은

(1) 1946年秋明부터 1947年本季까지 不在地主의 土地放賣로 土地의 動員이 甚하고 어느 地方에서는 3,000 坪未滿의 自耕地 外의 土地는 全部를 放賣하는 地主까지 있어 이로 말미암아 小作廢止 移動과 小作爭議가 頻發할뿐더러 一便으로는 土地를 買入하려고 農牛와 家財을 放賣하고 高利貸借을 지는 農民도 不少하여 農村經濟는 一大混亂過程에 놓여 있고

(2) 이로 말미암아 農村의 畜牛는 顯著히 減少하여 甚한 處에서는 겨우 一部落에 4~5頭만 남어 있는 處까지 있어 南朝鮮 農家의 畜牛 所有比率은 總農家의 겨우 2~3割로부터 1割5分에 不遜한 寒心한 現狀에 있다

그리고 一般生活必需品의 配給狀況에 있어서는 食糧은 極少數量이고 日常生活必需品亦是 低品質의 極少數量이요 他方 義務教育 副貸施에 따르는 學校建設 貸負擔等 農民의 負擔이 過大히 增加되여 가는 傾向에 있다 이에 對하여 當局에서는 水利 堤防 道路 橋梁等의 各種工事 등으로 勞賃을 散布하여 農家收入의 增加를 期하고 있는 模樣이나 이것도 豫算의 制約이 甚하여 格別한 成果를 見지 못하는 形便이다

# 石 油

## 目 次

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. 序 論             | 4. 解放前의 國內石油工業의 概況 |
| 2. 解放前의 石油消費狀況     | 5. 解放後의 實相         |
| 3. 解放前의 石油의 輸入과 販賣 | 6. 當面의 對策 — 結論 —   |

### 1 序 論

石油가 現代國家의 産業 經濟의 基本推進力이고 國防上의 絕對不可缺한 資源이라는 것은 贅言할 必要도 없다. 石油가 石炭의 分野를 占領하고 急激히 代替하기 始作한 것은 第一次大戰前 從였었다. 그리고 石油資源을 圍繞한 各國의 角逐은 드디어 第二次大戰을 發端케 한 主要素인 것도 常識化되고 있다.

그러면 必要한 石油에 對하여서 我國은 解放前 從來 通하여 如何한 狀態에 있었으며 또 現在 如何한 環境에 있는가는 當然히 考察을 要할 課題인 것이다.

我國에는 油田의 賦存이 없다. 何如間諜에 까지 發見되지는 못하였다. 過去 各處에서 石油鑛區의 出願이 있었고 試掘도 하였으나 何等의 成果를 얻지 못하였다. 이 石油資源의 缺如는

(第 1 表)

		石 油 供 給 高			(單位 = 函 = 10가롱)	
	揮發油	燈 油	輕 油	重 油	機 械 油	合 計
1927	233,337	1,236,705	248,599	454,450	180,784	2,353,875
1928	317,975	795,650	274,580	615,505	199,326	2,203,036
1929	591,106	1,351,741	349,520	755,452	229,968	3,277,787
1930	591,140	536,439	374,967	836,727	236,885	2,626,158
1931	830,837	681,531	415,484	986,842	248,242	3,162,966
1932	958,477	1,114,706	500,415	1,232,860	292,778	4,099,236

이것은 勿論 供給量으로 實際消費量은 아니겠으나 大體로 近似하다고 生覺하여도 大過없을 것이다. 卽 1932년에 이르러 까지 燈油가 大體로 1:1로 되고 있는 것은 電燈普及의 늦었던 關係이고 重油가 燈油와 一 二位를 다투게 된 것은 漁船의

(第 2 表)

		油 種 別 石 油 消 費 實 績					
	揮發油	燈 油	輕 油	重 油	機 械 油	合 計	
1937	113,742	78,552	23,562	159,510	43,642	419,008	
19 8	127,325	87,913	25,513	125,618	35,736	402,105	
1939	97,000	87,400	29,000	111,000	45,000	369,400	
1940	85,456	81,960	25,675	144,000	46,753	383,844	
1941	46,836	52,344	13,032	37,836	37,944	187,992	
1942	17,685	29,142	8,796	23,468	24,956	104,047	
1943	10,650	18,324	4,818	32,042	23,035	88,869	
1944	6,156	5,994	3,438	18,336	14,400	48,384	

前記表와 比較하 單單位가 가롱과 斤으로 되어 있으나 1斤 = 264,121가롱 이므로 1932年과 1937年을 比較하면 僅5年間에 그 量이 約倍로 膨脹한 것이다. 此表의 消費量은 戰爭中 軍需로 消費한 量은 測查不能함으로 民需量만 記하였다. 軍需用은 大部分兵器에 使用된 것은 勿論이다. 如何한 中日 事變前까지 增加 一路였었던 石油消費量은 其後漸減하여 갔었으며 輸送壓迫과 軍需激增에 因한 것도 一 因이거니와 木炭 木柴 煤等의 代

(第 3 表)

		1939年度油類用途別消費量 (單位斤)					
	揮發油	燈 油	輕 油	重 油	機 械 油	合 計	
一般燈火用	—	62,000	—	—	—	62,000	

我國의 自主的 産業建設과 經濟의 自主의 一 大弱點으로 되어 있으며 元山과 蔚山에 있는 精油工場의 原料인 原油의 輸入을 外國에 依存하는 것은 勿論이고 人造石油工業의 強力한 育成을 할 地 없으면 卽 現狀이라 하겠다.

### 2. 解放前의 石油消費狀況

朝鮮의 石油使用의 歷史는 明白치 않으나 1868年頃 上海方面에서 石油을 輸入한 것과 韓國과 中國과의 交通이 往時부터 있었다는 것을 想起하면 늦어도 1890年頃에는 石油使用이 相當히 普及되었을 것 같다. 그러나 全國의 石油가 使用된 것은 比較的 近來의 일로 當初 燈油가 主였으나 各種資源의 開發과 鑛工水産業의 勃興 交通運輸의 發達과 同時에 重油 汽油의 需要도 漸次增加하여 갔다.

發動機가其原因이며 또 工業動力의 電化가 뒤따라졌던 것이 其一因이다. 또 揮發油도 漸次增加하고 있었다. 다시 近年의 消費狀況을 보면

煤瓦斯 松炭油 蓖麻子油等의 代用油로서 石油需要에 代替시킨 것이다.

民需用(官廳用包含)石油의 用途別消費量은 石油供給의 減少와 戰爭의 深刻化에 因한 代用燃料의 獎勵와 平和産業의 抑壓等으로 每年一定치 않으며 또한 實地消費量을 用途別로 區分하기 困難하나 1939年度와 1944年度의 그것을 例舉한다.

自 動 車 用	75,024	—	—	—	2,803	77,827
農 林 用	1,945	15,317	10,230	980	5,405	33,877
水 産 用	2,360	2,703	8,400	62,080	5,771	81,314
工 業 用	3,276	1,802	3,180	7,885	7,466	23,609
鐵 道 用	887	1,802	2,500	15,058	3,847	24,094
船 舶 用	274	—	1,390	16,000	9,526	27,180
鐵 道 用	5,570	1,000	—	980	4,122	11,672
官 廳 用	5,270	—	—	3,300	3,800	12,370
其 他	2,404	2,776	3,300	4,717	2,260	15,457
合 計	97,000	87,400	29,000	111,000	45,000	369,400

(第 4 表)

1944年度油類用途別消費量 (單位軒)

	揮 發 油	燈 油	輕 油	重 油	機 械 油	合 計
一 般 燈 火 用	—	886	—	—	—	886
自 動 車 用	1,85	—	—	—	1,913	3,298
農 林 用	—	2,379	1,806	1,534	229	5,948
工 業 用	—	107	303	2,163	121	2,694
鐵 道 用	301	213	298	2,344	4,485	7,641
船 舶 用	1,390	405	290	—	853	2,938
鐵 道 用	—	185	320	10,401	497	11,403
官 廳 用	—	113	—	268	83	764
其 他	1,316	322	39	1,037	1,341	4,055
合 計	1,764	1,384	382	649	4,578	8,757
合 計	6,156	5,994	3,438	18,396	14,400	48,384

3. 解放前의 石油의 輸入과 販賣

周知하는바와같은 朝鮮의 石油資源缺如는 自然히 石油의 供給을 全然外國에 依存케 하였으며 外國資本의 石油販賣壟斷을 結果하였다 日本自身亦是 近年(今次戰爭直前)까지는 外國資本에 左右받았었으며 石油事業界는 不斷한 動搖와 不安定한 狀態에 있었던 것이다 我國에 있어서의 石油販賣業의 由來가 明白치 않은 것은 遺憾이나 英·美·日의 石油販路獲得戰의 對象이 되었던 것은 確實한 事實이다 茲에 地別石油輸入狀況은 如次하다

(第 5 表) 油種別國別石油輸入量 (單位가용)

	1934	1935	1936
[揮發油]			
日 本	9,340,636	12,464,276	14,370,428
馬 來	42,233	3,264,728	2,453,81
北 美	1,669,367	2,134,588	1,755,691
其 他	4,519,803	4,595,463	2,863,419
小 計	15,572,039	22,459,055	21,443,519
[燈油]			
日 本	8,378,573	8,786,271	9,028,616
馬 來	63,549	1,310,546	508,483
北 美	1,014,570	525,187	572,663
其 他	2,311,449	1,720,843	1,802,021
小 計	11,768,141	12,342,847	11,911,783
[輕油]			
日 本	4,118,156	4,313,404	4,088,085
其 他	1,305,028	2,022,499	2,109,348
小 計	5,423,184	6,335,903	6,197,433
[機械油]			
日 本	27,366,083	32,082,539	28,608,871
其 他	375,188	356,749	803,084
小 計	27,741,271	32,439,288	29,411,955
[原油及重油]			
日 本	481,924	1,159,006	1,037,752

蘭 印	206,898	9,447,030	27,597,329
北 美	353,668	878,980	22,639,325
其 他	16,401,566	23,069,361	15,688,701
合 計	17,444,056	34,554,377	66,963,107

1936 年에 이르러서 原油及重油의 輸入量이 激增한 反面에 其他精製油의 輸入이 減少한 것은 朝鮮石油株式會社에 依한 元山에 製工場設立과 其操業에 따른 原油輸入의 激增의 結果인 것이다 原油及重油을 除하고는 日本에서의 輸入이 壓倒的인 形使이다

中日戰變始作以後의 輸入累年統計는 얻을 수 없으나 次記年次表에 依한 輸出入狀況은 다음과 같다

그러나 日本에서의 輸入品은 其全部가 日本産油가 아니며 準日本産品이 多量이고 또 日本의 再輸出도 있을 것이니 오히려 我國의 石油供給은 日本外의 其他油에 支配받았다 고 보는 것이 妥當할 것이다

(第 6 表) 石油輸出入狀況 (單位軒)

	1938	1940
揮發油	輸 入 { 日 本 17,486 其 他 29,405 }	3,882 19,115
	輸 出 { 日 本 41 其 他 7,517 }	2,461
燈 油	輸 入 { 日 本 26,821 其 他 8,480 }	20,894 15,752
	輸 出 { 日 本 8,152 其 他 10,775 }	2,270
輕 油	輸 入 { 日 本 5,226 其 他 4,930 }	950
	輸 出 { 日 本 6,173 其 他 140 }	76
機 械 油	輸 入 { 日 本 12,792 其 他 923 }	6,649 845
	輸 出 { 日 本 8,965 其 他 6,594 }	5,584

重油及 原料油	輸入	日本	3,676	1,091
		其他	324,103	※341,023
	輸出	日本	178	521
		其他	702	

註 244,267軒 의原油를包含

이期間에있어서는精製油의輸入減少와 原油의 輸入량이顯著하며 輸出에있어서는 1940年이 1938年에 比하여서相當히減少하였다 太平洋戰爭이突入함에따라石油의 輸出入은 共同激減하였다는것도 能히想像할수 있으며 日政의 馬來 蘭印等의 油田地帶을 占領함으로써 石油情勢는 一時緩和되었었으니 油船船의 不足等으로 輸入이 如意치않았음으로 國內供給은 漸減一路이었었다

다음 解放前의 我國에있어서의 石油販賣權을 考察한다면 我國에있어서의 石油販賣權은 當初부터外國商社 또는 外國商人이 總攬한것은 前述한바와 同 太平洋戰爭前까지의 主要한 輸入業者及販賣業者는 美國의 스펀다-드사의 스펀다-드, 바카-드, 오일, 컴퍼니(이는 쇼코닉-바카-드 코-포레이션의 東洋部와 뉴-자-시-스펜다-드社의 東洋部가 1933年 合同을 查하여 合辦한것)과 英國의 로알 닥워系統의 라이징산石油會社(1900年設立)와 亦은 스펀다-드사의 레키사社와 日系的 日本石油株式會社 三菱石油株式會社 小倉石油株式會社等으로 英·美·日 系의 各社間에 獨占의 競爭이 甚하였었으며 各社의 獨佔으로 油價는 原價가 거의 2배로 騰貴한 價格으로 騰貴되었었으며 이 競爭이 가장 激烈한것은 1932年

頃이었었다 朝鮮內의 消費者들은 各各社의 競爭의 德澤으로 低廉한 石油의 供給을 享受하고 있었으며 特히 朝鮮(其 放資本이 이 競争에 介入하지 않았던만큼 朝鮮은 倖倖으로 면서 守보는 格이었었다 여기에 있어서 1932年 上記六社間에 各社間에 關한 六社協定을 締結하여 販賣 區域 價格等의 協定이 成立되었었으나 1933年 以降의 朝鮮 商會에 依한 蘇聯油의 大量輸入으로 此 業界는 混亂狀態에 빠지게 되었다 當時 日政은 國際情勢의 緊迫化와 石油의 國防上 絶對的 重要性에 依하여 茲에 石油 禁法을 實施하여 1934年 7月 1日 부터 石油의 輸入及 精製業을 政府의 許可 事業으로 하고 業者에 對하여서는 行爲의 事業計劃을 樹立케 하는 同時에 當時 一定量의 貯油義務을 賦課하였다 이로써 各社間의 競爭은 緩和되었으나 石油業界의 統制는 漸次 甚하여 갔었으며 日政에 依한 外國의 壓迫은 比例하여 갔다 1934年 日本石油株式會社의 子會社인 朝鮮石油株式會社가 設立되어 是 1935年에는 元山에 石油精製工場을 設立하였는데 中日 關係이 始末 甚後 石油에 對한 統制는 더욱 強化되어 갔었으며 1939年 년부터는 輸入及 販賣의 割當制를 實施하는 同時에 各地方別로 販賣 同業組合을 結成하였었다

戰前의 市大化에 따라 日政은 1943年 朝鮮石油專賣令을 公布하여서 石油專賣을 實施하였었으며 其以前에 朝鮮石油統制會社라는 特殊會社를 設立하여 輸入販賣全權을 集中하였던 것이 다

다음 1938年度의 各石油業者의 販賣實績은 例擧히 述다음과 같이다

(第7表) 1938年度 石油販賣數量 (單位軒)

	揮發油	燈油	輕油	油	機械油	重油	合計
라이징산社	22,268	18,064	—	—	748	52,263	93,343
레키사社	6,181	2,556	299	—	249	370	9,655
스펜다-드社	15,915	20,606	—	—	1,312	—	37,833
朝鮮石油會社	61,646	33,026	14,800	28,013	—	55,326	192,811
三菱商會	528	1,165	192	859	—	8,333	11,577
小倉石油會社	198	5,290	414	1,169	—	—	7,071
旭石油會社	—	—	103	324	—	9,557	10,084
石	—	—	2,420	5,308	—	—	7,728
其他	—	717	559	6,011	—	7,973	15,260
合計	106,736	81,424	18,787	43,993	—	134,422	385,362

總販賣量에 있어서는 朝鮮石油會社가 約2分之1을 占하고 있는것은 輸入原油에서 精製量이 컸었던것과 日政當局의 精製油 輸入制限에 依한 其他外國商社의 輸入減少에 因한것이다 그러나 各각 로-알 닥워系의 라이징산社가 全販賣量의 約4分之1로 스펀다-드社 레키사社를 合한 英美프라스드系가 總販賣量의 3分之1以上을 占하고 牢固한 地位를 占하고 있었었던것을 알수가 있다

다음 輸入油의 輸出地는 北美加州가 第一이며 朝鮮石油 三菱商會 旭會社等이 여기서 輸入하고 있었으며 라이징산社는 關東 英領보르네오等에서 輸入하고 있었으며 其他 北美東部 馬來에서 도 輸入되고 있었다 그러나 英獨逸戰後 라이징산石油會社는 通하여서 輸入되고 있었던 蘭印及 英領보르네오의 石油은 油船船戰後로 輸入이 激減되었었음뿐더러 美國 和蘭等의 對日石油壓迫으로 되어서 石油獲得을 爲한 日本의 太平洋戰爭挑戰의 一因으로 된것은 周知하는바이며 日本은 各各地方에 落下傘部隊을 降下시켜 蘭印의 油田을 無傷으로 占領한 려고 한것이다 太平洋戰爭以後 日本軍의 南方諸油田의 一時占領으로 말미암아 日帝의 石油情勢가 얼마나 緩和되었는가에 關하여서는 利用할수 있는 資料가 없으므로 알기가 困難하나 南方石油輸入이 如意치 않았었다는 것만은 確實하다

### 4. 解放前의 國內石油工業의 概況

原油는 한방울도 產出이 없었으니 여기서 生産이라는 것은 勿論 石油의 精製와 人造石油의 生産을 意味한다

精油은 輸入하는 것보단도 原油을 輸入하여 精製하는 것이 利益을 勿論이며 日政의 政策이 精油의 輸入을 制限하고 原油의 輸入을 助長한 理由도 여기에 있다

八·一五以前의 國內石油工業은 如何하였는가

#### (I) 原油精製工業

##### 가. 元山工場

1935年에 朝鮮石油會社가 起工하여 1936年 8月 부터 操業을 開始하였다 所謂 國內石油市價을 調整하고 需給을 調整할 目的으로 設立되었었었으며 年原油處理能力 40萬軒이며 揮發油 燈油 輕油 機械油 重油 파라핀 아스피르트를 生産하여 國內供給을 勿論 滿洲 中國等에도 輸出하고 있었다 그러나 太平洋戰爭中 所謂 重要工場分散이라는 名目으로 其施設一部가 蔚山으로 移轉되었었으므로 解放直前까지의 處理能力은 20萬軒程度 였었다 여기서 使用되는 原油는 當初에는 主로 北美 캐리브프니 아州에서 輸入하고 있었으나 其後 太平洋戰爭과 同時에 蘭印 英領보르네오等에서 輸入하고 있었다 그러나 戰爭末期에는 原

油搬入의 不足으로 一部施設로 松炭油 松機油等을 精製하고 있었다 從業員數는 八·一五現在 朝鮮人約九百名 日人約八百名 計 1,700名이었으나 技術者의 事務系統은 全部日人이 掌握하고 있었다

**나. 蔚山工場**

前述한바와같이 戰爭末期에 蔚山工場의 施設一部를 疎開하는 同時에 原油運搬距離를 短縮할 目的으로 1944年2월에 着工하여 油槽船碼頭改築이 自由入港할 수 있는 工場專用港灣施設을 有하여 原油年處理能力 20萬軒을 日價으로 約7割程度 建設途中에 解放된 것이다 此工場은 現在 南朝鮮 唯一의 精製工場이며 將來石油供給과 燃料政策上 絶對必要한 工場이므로 完成工事를 着手가 國民經濟上 至急히 要請되는 바이나 諸般 障礙로 말미암아 如前지 않은 狀態에 있을 뿐더러 蔚山工場은 으므로 蔚山 蔚山工場은 거의 荒廢狀態에 놓여 있다 하서 實로 憂心할 일이다

以上 國內石油工場에서 的 1940年度 油別生産量은 別項表와 같으며 重油를 除外하면 輸入數目보다 훨씬 많은 數目을 國內外에 供給하고 있었다

(第8表) 1940年度石油輸出入統計 (單位軒)

	揮發油	燈油	蠟油	機械油	重油
輸入	22,997	36,146	950	7,494	97,852
輸入原油에서의 生産數量	68,409	41,882	20,770	47,349	5,675
輸出	2,461	2,270	76	5,584	521

註 揮發油欄에는 航空揮發油를 包含이 輸出의 向地別을 보려면 2과 같다

(第9表) 1938年度石油輸出品 (單位軒)

	滿洲	關東州	中國	合計
揮發油	920	9	6,588	7,517
燈油	815	590	9,370	10,775
蠟油	50	—	90	140
機械油	4,166	908	1,519	6,593
重油	—	—	—	—

註 軍需用 除外

**(2) 人造石油工業**

埋藏量約 3億5千萬噸으로 推定되는 我國의 褐炭은 燃料用으로서는 低質을 免치 못하나 揮發分이 많으므로 人造石油의 原料로서 適當하다

朝鮮의 人造石油事業은 廉價한 外來油의 輸入으로 其發達이 늦었었으나 日政의 石油政策으로서 1933年 日本 遼寧 吉成北 永安에서 低溫乾溜를 始作하여 揮發油 重油 芥末 등을 製造하기 始作하였었으며 또 1936년에는 朝鮮人 人造石油會社를 吉成北 阿吾地에서 水素添加에 依한 直接液化를 始作하였었으며 日軍當局에서 直接 監督하고 있었다 此中 永安工場은 戰爭末年에 阿吾地 工場으로 그 施設을 移하였다 人造石油은 企業上 不利한 點이 많아 當初에는 經營困難이 있었으나 近年에 이르러 日政의 石油需要의 急激한 膨脹과 國際收支의 調整上 其重要性이 加重함에 따라 1938년부터 人造石油製造事業法을 實施하여 補助金의 交付와 더불어 特別補助金을 圖謀하게 되었었다 그러나 第二次大戰開始後 阿吾地에서 人造石油機械의 入荷를 絶對其 擴張이 不可能하였었으며 其 實績에 있어서도 所期의 成果를 達하지 못하였고 其 設備能力도 年3萬軒에 不過하였다

(第10表) 1944年度人造石油生産數量

發油	196軒
輕油	8,542

이 點은 國內全需要量에 比하면 問題도 되지 않는 數目이다 故로 我國은 將來 人造石油事業을 育成 助長할 必要는 尠할나 위르 恐 없겠으나 數多한 難關이 있음을 覺悟해야 할 것이다

**5. 解放後의 實相**

解放當時에는 相當量의 石油을 庫가 있었으나 日人에 依한 不正 賣却 또는 盜賣 등으로 美軍 進駐當時에는 少量의 機械油뿐이요 其他는 全無한 狀態였었다 石油가 國民生活 一般 工業에 있어서의 緊急性이 甚하여 軍政當局은 從來의 石油供給會社를 解散하고 軍政 石油供給代行社를 設立하여 美國에서 輸入한 石油의 配給 販賣에 關한 一은 運送을 擔當하게 하였다 그러나 들건대 이 石油供給代行社의 美人顧問은 스펀다-드 레키카스라 이 正산의 各社에서 派遣된 軍屬이라고 하며 其 輸入 經路 代金 決済 方法等은 全然 朝鮮人에게는 不可知한 狀態에 있는 形便이며 또 그 配給狀況을 보건대 各地 實情에 依한 것보다도 其 地方 商人의 活動如何에 依存하고 있었으며 또 그 配給 石油가 如何한 方面에 即 真正히 建設의 經濟部門에 優先配給되고 있는가에 關하여서도 樂觀할 수 없는 形便에 있다 한다

解放後의 消費量을 보면 다음과 같다

(第11表) 南朝鮮石油販賣量

	汽油	燈油	蠟-蠟油	潤滑油	燃料油	合計	가스
1946年 合計	39,528k/l	20,912k/l	15,588k/l	7,393k/l	35,641k/l	119,068k/l	74kg
月 平均	3,294	1,743	1,299	617	2,970	9,922	6
1947年 1月	3,136	2,464	1,966	761	6,455	14,782	2
2月	2,346	2,963	3,940	1,478	8,915	19,642	20
3月	5,669	1,681	3,977	1,425	5,05	18,657	8
4月	3,861	1,528	3,405	1,126	4,515(2)	14,435	16
5月	6,480	2,922	6	429	1,201	11,038	19
6月	4,638	2,205	2,032	610	3,899	13,384	8
7月	4,772	3,008	1,275	643	4,038	13,736	18
8月	7,207	3,608	3,383	1,107	4,244	18,949	5
9月	5,00	2,179	1,589	1,500	2,212	13,380	119
10月	4,717	752	2,414	588	2,953	11,424	9
11月	5,435	637	2,127	1,005	3,982	13,186	21
12月	6,816	1,191	2,584	680	2,845	14,116	13
1947年 合計	60,977	24,538	28,698	11,352	51,164	176,729	258
月 平均	5,081	2,045	2,382	946	4,264	14,727	22
1946年 以後 總計	100,505	45,450	44,286	18,751	86,805	295,797	332

1. 全石油製品은美國에서輸入되었음
2. 一部는美海軍及美商船에配給되었음

이것은全部民需用이며 駐屯美軍用은 此에包含되지않는다 1947年合計 176,729 軒의石油製品이輸入된세율이요 이것을現 (1948年4月1日改正) 配給價格 계소린 1가롱(圓) 重油 55圓 機械油170~350圓 그리스 폰드當40圓 으로換算하면 約30億圓이라는莫大巨額高가된다 代金이如何한方法으로 決濟되는가는公布가없으나 國民經濟上決코 輕視할問題는아닐것은勿論이고 1933年中日事變直前의全朝鮮需要量 40萬軒을將次의全朝鮮需要量으로假定하여 現價格으로換算한다면 勿論70億圓으로된다

解放以後 平常時에는 一般輿論은石油가輸入된經路와輸入方法 配給에對하여比較的無關心하였으나 鐵道가罷業하였을때 또는市電이運休하였을때마다 石油의壓迫性을認識하여왔으며 石油에關한恒久的對策이 急速히樹立되기를要請하게되었다

現在에와서石油없는世界는生覺할수없다 여기에石油의支配性이 있다 후미들은過去의石油에因한戰爭 石油政策 石油에依한支配를잊어서는안된것이며 石油을하여금 自主의産業建設과經濟의自立에가장 有効하게寄與하도록하여야할것이다

### 6. 當面의對策 — 結論 —

#### (1) 原油의輸入과그精製

原油의價格이 精油에比하여低廉한것은勿論이고 其他多量의石油製品은 原油精製로附隨的으로生産된다 我國으로서는 石油의輸入은 國際收支上甚大한影響을가질것이므로 蔚山元山의既設精油工場을急速히活用하여서 精油의輸入을制限하여야할것이다 蔚山 元山의設備는 處理能力約40萬軒으로 將次國內需要量의大部分에 應할수있을것이니 蔚山の未完成工事を빨리完成한것이必要하다 勿論 國內精製價格이輸入精油價格보다 高價일境過가있더라도 技術 施設 코스트 其

他가外國에比等하게될때까지 國家가補助하여야할것이며 萬若이러한措置를 講究하지않는限 技術其他뒤떨어져있는것이 我國의現狀인만큼 國內精製工業이外來精油에壓迫받아 對抗해나갈수없는것은恐若觀火이다

#### (2) 人造石油及其他代用液體燃料의增産

獨逸이 國內石油資源僅少에도 不拘하고 第二次大戰을惹起할勇氣가있었던것은 人造石油工業의 大發達에있었던것은 周知하는바이다 그러나獨逸이 自由主義的經濟政策을取하여 石油業에對한無干渉無統制政策을 取하였었다면 獨逸의人造石油及其他代用燃料工業의發達은 不能하였을것이다 即輸入石油에對하여 高率의稅率을課한것은 勿論 其他國家의國際保護政策이있었다는것을感覺 必要가있다 故로이部門에 있어서도 強力한國家政策이必要한것은勿論이다

#### (3) 石油의國家에依한專賣又是統制會社의設立

人造石油工業이나 石油精製工業이나 그健全發展을期하랴면 無統制한外油의輸入 外國資本에依한國內石油界의支配競爭을除去할必要가있으며 또 石油의需給을統制調整하여야할것이다 그러면 當然히石油의專賣를實施하거나 強力한包括的統制會社設立을必要로할것이다

#### (4) 石油消費의節約

石油消費를 節約하기爲하여 非建設的部門에 있어서의消費를 制限할것은 勿論이거니와 電化設備을擴充하여 可及的速히石油의 電力으로代替可能한部門의 消費를적게할必要가있을것이다

#### (5) 技術者의養成과科學

過去數年間 日帝에依한我國經濟各部門의 支配掌握은 후미에게技術 科學의貧困을 結果하였다 石油工業에 있어서도 同様이며 以上の諸政策도技術과科學의 應用없이는無意味하다는것은말할必要조차없다

(第12表)

解放前全朝鮮石油配給實績表

		1942年4月~ 1942年9月	1942年10月 ~1943年3月	1943年4月~ 1943年9月	1943年10月 ~1944年3月	1944年4月~ 1944年9月	1944年10月 ~1945年3月	合 計
揮發油	數量	482,597	285,122	295,421	372,668	179,002	96,925	1,712,735
	單價	6.20	6.14	5.96	6.25	5.64	6.16	6.10
	金額	2,994,375.69	1,749,845.50	1,767,955.00	2,330,647.64	1,008,721.56	597,137.84	10,448,683.23
燈油	數量	900,259	571,989	508,695	478,534	310,812	58,951	2,829,240
	單價	4.25	4.51	4.22	3.67	3.50	3.83	4.11
	金額	3,825,917.58	2,580,983.25	2,148,989.63	1,754,100.74	1,087,702.67	225,869.25	11,623,563.12
輕油	數量	188,151	170,870	157,410	105,162	150,307	70,852	842,732
	單價	2.96	3.06	3.25	3.52	3.18	3.02	3.14
	金額	556,300.22	522,191.93	511,653.89	369,859.46	477,291.07	213,713.05	2,651,009.62
機械油	數量	754,845	586,105	816,211	646,182	576,475	476,148	3,855,966
	單價	7.33	7.69	9.91	10.18	12.85	12.43	9.86
	金額	5,534,908.17	4,508,767.39	8,085,081.33	6,579,576.55	7,409,164.19	5,919,764.79	38,037,265.42
重油	數量	1,333,159	1,362,021	983,958	814,464	721,443	247,617	5,462,662
	單價	1.57	1.58	1.60	1.61	1.60	3.45	1.67
	金額	2,090,762.53	2,148,396.96	1,576,867.10	1,310,026.50	1,156,576.84	854,258.61	9,136,888.54
파타핀	數量	18,766	18,647	47,948	20,037	20,034	5,114	130,546
	單價	14.41	14.80	16.10	13.96	15.70	15.70	15.21
	金額	270,379.71	275,967.01	771,970.82	279,764.98	314,551.34	73,374.83	1,986,008.69
아스팔트	數量	711.60	185.88	112.54	—	—	—	1,010.02
	單價	98.03	97.03	81.12	—	—	—	95.97
	金額	69,756.00	18,036.16	9,137.00	—	—	—	96,929.16

- 註 1. 數量單位「아스팔트」는題 其他는罐(18立)  
 2. 金額單位는圓  
 3. 軍需用除外 1943年7月以降은官廳用除外  
 4. 朝鮮石油統制株式會社調査



# 北朝鮮의 經濟實情

## 目 次

- 1. 財政政策
- 2. 産業概觀

- 3. 商業機關
- 4. 物價勞賃

### 1. 財政政策

北朝鮮財政의 基本政策은 (1) 南朝鮮의 金融勢力이 容易히 北朝鮮에 浸透하여 北朝鮮의 政治理會의 長을 阻害하지 못하도록 諸種 對策을 樹立 整備 實施할 것 (2) 國有化된 産業機關을 積極 運營하여 戰前水準까지 經濟工業을 復興시킬 것 (3) 歲出入의 均衡을 維持하여 健全한 財政의 發展을 期할 것 등이 그 根幹이 되어 있다 卽 北朝鮮 農民銀行을 創設하여 前信託會社 無産會社 東洋拓殖 金融組合의 各種 金融機關을 吸收하고 新設 北朝鮮 中央銀行은 尙餘의 銀行을 統合引繼하였다 그리하여 南朝鮮과 連絡하는 金融機關은 一掃되고 南朝鮮과의 金融의 連繫關係는 斷絶되게 되었다 産業面에 있어서는 廣範한 工業機關의 國有化를 斷行하여 生産品의 規格을 統一시키며 棧棧設備等의 集中의 効用의 使用을 促進시키고 原價計算을 統一의 一元化시켜 生産의 大量化를 企圖하며 生産競争을 刺戟하여 生産能率의 増進을 企圖하였다 이러한 基本政策의 遂行에 있어서는 艱難 經驗은 1947年12月6日 通貨改革의 斷行을 必要케 한 것이다 卽 北朝鮮經濟의 自主的 體制建設은 通貨制度를 通하여서만 確立 運營할 수 있다는 것을 再認識하게 되었으며 그 目的은 (가) 土地 鐵山 銀行 其他 重要 企業이 國家에 歸屬된 지 既久한 北朝鮮에서 貨幣形態로서 의 私有資本을 封鎖할 必要가 있었고 (나) 物價가 高騰한 南朝鮮으로 北朝鮮의 物資가 流出되고 그 代身 購買力으로 作用하는 朝銀券이 流入되는 弊端을 芟除하고 (다) 北朝鮮의 全銀行券을 南朝鮮物資購入資金으로 動員시키는데 (2) 通貨收縮에 依하여 實所得의 增進을 必기되는 階級의 北朝鮮政治에 歸속하고 (四) 國家企業及 財政資金의 測定을 圖謀하자는데 있었는 것이다 南朝鮮에 先行하여 北朝鮮의 이러한 先手布石은 朝銀券을 그 通用地域인 南朝鮮에 急激히 流入시켜 南朝鮮의 인플레이션을 一層 激化한 것이라

또 財政面에 있어서는 稅制를 確立하여 徵收系統을 整備하고 徵收에 있어서는 完全徵收의 目的을 達成키 위하여 強力한 國家權力을 動員시키고 있다 따라서 이에 對한 諸法規에 關해서는 國有化된 産業機關의 財産을 保護키 爲하여 國家財産保護法을 制定하고 國家産業機關의 圓滑한 運營을 期하기 爲하여 一定한 基準까지의 強制的 勞動을 強要하며 職務怠慢을 制裁하는 法規를 實施하고 現物稅를 비롯하여 各種稅金의 滯納者에 對하여는 投獄 財産沒收等을 敢行하여 90% 以上の 徵收成績을 올리고 있다 이러한 모-모 事業의 所期의 目的에 따라 過誤없이 遂行되게 하기 爲하여 隨時로 또는 定期的으로 事業의 檢閲을 實施하고 있다 卽 蘇聯軍司令部 北朝鮮人民委員會가 必要에 應하여 事業의 檢閲을 施行하고 道檢察所 以上の 檢察機關에 對한 檢査部를 둔다 當時로 亦 檢閲을 檢閱하여 過誤를 摘發是正하고 있는 것이다

歲入은 現物稅 國家産業의 生産所得 所得稅 去來稅이며 歲出은 農地改良과 灌溉事業費 産業資金 託兒所 療養所의 設置費 醫療機關及 教育施設의 擴充費 같은 것이다 一般大衆의 直接間接으로 福利가 增進될 수 있는 諸般施策에 對한 支出이 治安維持에 對한 諸支出에 비하여 重要한 地位를 차지하고 있다

이것은 一般大衆과 政權을 連結하여 勞動者 農民이 政權을 掌握 維持하는 北朝鮮人民委員會의 終極的 目的의 歸結된 것이다

### 2. 産業概觀

大規模의 産業機關을 國有化하는 勿論이 거니와 朝鮮人 所有의 中小工場企業들中에 모-親日派 民族反逆者에 屬한다는 名目에 及收하여 國營 또는 公營으로 移管된 것도 많다 이러한 機關은 國家의 計算과 責任으로 運營되는데 其中에 北朝鮮 石油 鑛은 特別工場은 蘇聯의 原料供給과 朝鮮側의 設備提供으로써 朝蘇合辦으로 運營되는 것도 있다 其他 從前 朝鮮人 所有 機關은 私經濟 私企業을 保護育成한다는 標本으로 有續經營을 容許하고 있다 私企業體는 生産業部에 登錄하여야 하고 一定한 生産責任을 完全히 負하여야 하며 生産品은 當局에 納品하여야 하고 一切의 自由販賣은 禁하고 있다 販賣價値은 北朝鮮의 元로 統一된 方式에 依하여 提示된 計算方式에 依하여 當局의 認許를 받아야 한다

水産面에 있어서는 都市 沼澤이나 底曳網 같은 機械漁業은 國家機關 또는 勞動黨 勞務機關에서 經營하고 2~3隻의 朝鮮人 所有 船隻만은 私企業體에 放任하고 있었는대 最近에 이르러서는 一切 民間所有의 船隻도 國家所有로 하여 國家目的에 依하여 運用 되도록 計畫中이라고 한다

生産原料는 疎開 또는 保有되었는 在庫品으로써 充當되었으나 今後는 北朝鮮에서 生産하거나 廢品을 再生利用하거나 輸入하는 以外에는 別途가 없었다 北朝鮮에서 所用되는 生産原料의 殆半이 輸入에 依存되고 있었는대 外國貿易이 根絶된 現下 情勢로는 打開가 極難한 것이다 新義州 吉州의 製紙는 原料인 木材는 豐富하나 機械附屬品 硫黃等의 不足으로 解放前의 3割程度의 生産밖에 되지 못하고 있는 實情이며 文坪 鐵南浦 興南 海州 龍岩浦等의 小鋼亞鉛의 製鍊所는 原鐵採掘이 低下되어 操業中止의 狀態이며 黑鉛같은 世界第一의 生産量을 가진 鐵物은 處理工場이 없어 廢鐵의 形態에 處하여 있다 石炭같은 緊急物資는 採鐵器具의 缺乏으로 充分한 生産量을 내지 못하고 있다

그러나 이러한 反面에 所謂 人民經濟發展計畫達成運動에 依한 生産量의 增加는 注目할 만한 것이며 北朝鮮當局의 政策的 發表를 그대로 信用할 수는 없으나 全般의 으로 生産은 增加되고 있다는 것만은 事實이라고 보아도 可할 것이다 더욱 貨幣改革後 國家資金의 高度한 計畫化의 可能은 産業機關에 對한 大金額을 打開하였으며 豐富한 電力資源을 掌握하고 있는 事만치 原料 技術問題만 解決된다면 北朝鮮 産業復興은 期待되는 바크다

### 3. 商業機關

商業은 消費組合과 國營百貨店의 機構과 組織網을 擴大하여 國內商品交流는 消費組合과 國營百貨店에서 거개의 獨占하고 있는 實情이다 卽 商業局의 物資管理所는 市中 活動物資及 輸入物資는 一手로 引受하여 國營百貨店 國營企業에 配給하고 消費組合은 北朝鮮의 生産物을 完全의 으로 引受하여 下部 消費組合인 道市郡面 消費組合에 配給하여 消費層에 直接配給 또는 消費組合 百貨店을 通하여 一般市民에게 販賣하고 있다 또한 資金面에

있어서 國營百貨店 消費組合는 國家機關 이나 만지 商品의 時間的 空間的 間隙에 充當한 資金은 國家委員會로 優先的 配定을 받고 있음으로 僻地 山村에 이르기까지 消費組合 國營百貨店 網은 擴張되고 있으며 營業種目에 있어서도 多種多樣하며 消費組合에서는 旅館 藥 理髮館 豆腐工場 食堂 其他各種 生産工場도 가지고 있으며 國營百貨店도 食堂 被服部等々가 가지고 있다 그 商品 取扱量은 北朝鮮 當局發表에 의하면 (1947年度 123) 億圓에 달하는 것이라 한다 따라서 民間商賣은 北朝鮮 人民委員會 二十個 政綱과 民間商賣 保障에 관한 法令等으로 保護한다고 하지만 有利한 것은 全部 消費組合 國營百貨店等 國家機關에서 獨占하고 있으며 또한 貨幣改革으로 因한 私有資本의 封鎖는 民間企業經營의 禁止를 意味하는 것이다

#### 4. 物 價 勞 賃

##### (가) 物 價

物價는 二重三重價格制가 採用되고 있다 最廉한 價格으로 國家機關 (國營食堂 勞動者 養老所等) 에 配給되어 直接 消費에 充當되고 좀더 높은 價格으로 消費組合, 通商, 市場別로 勞動者及 事務員에 配給되고 그리고 物價는 別而 目的으로 市價보다 低廉한 價格으로 消費組合員에 配給한다 其餘는 時價는 基準으로서 하여 一般市民에 配給한다 物價가 國家의 目的에 依하여 任意로 制定되는 故로 私企業家의 謀利의 活動이 可能한 餘地가 없다 그렇다고 하여 一般市場이 없는 것은 아니다 所謂 闇取引市場으로 이것은 食料品 商의 集團과 擔保商의 雜貨古物商의 網로 形成되어 있다 이러한 市場은 北朝鮮에서는 「스콜카」市場이라고 稱한다 이市場의 價格은 主로 駐屯軍 蘇聯軍人과 一部 特權階級의 購買力如何와 서울 南大門과 東大門市場時勢에 많이 左右되고 있었는대 이것은 北朝鮮 一般大衆의 購買力이 全히 欲如하여 있는 것을 證明하는 것이다 自由市場의 物價도 貨幣改革後 國營百貨店 消費組合物價에 比例하여 低落되었는대 南朝鮮으로 越南하여 同胞들의 擔거노릇은 衣服, 雜雜品等은 他物價에 비하여 高騰하고 있다 고한다

北朝鮮의 物價는 南朝鮮과 같은 隱匿物資의 多寡로 因한 物價變動이라든가 金融과 企業과의 融合으로 因한 物價의 變動은 全히 없다 倉庫業의 不認方針으로도 容易히 이것을 推測할 수 있을 것이다

物價趨勢을 概觀하여 보면 如下하다 北朝鮮의 物價趨勢는 貨幣改革前과 改革後로 區分하여 볼 것인데, 貨幣改革前 物價趨勢는 南朝鮮 物價趨勢와 大同小異하였으며 米價도 季節的變動과 多少의 政治的影響으로 南朝鮮 米價趨勢에 遞流하는 奇現象도 있었으나 大體로 小斗八百圓을 最高點으로 上下하고 있었다 그러나 貨幣改革後 民間所持 現金의 封鎖는 一般購買力을 強制抑制하여 改革前 小斗 700圓이던 米價는 一時에 30圓으로 低落되었으며 其他物價도 米價에 比例하여 暴落되었으나 貨幣改革은 一般人民大衆의 購買力을 抑制하는 데는 成功하여 술지물으나 發券制度가 對外價值가 있는 地金銀을 準備한 것 또한이며 生産이 急速히 增加되는 것 또한이며 外國의 援助가 있는 것 또한이며 歲入과 歲出이 均衡되는 것 또한이며 內閣政治의 強權으로 貨幣所有層의 移轉을 結果하여 是를 新視察買層의 發生과 赤字財政의 繼續은 貨幣에 對한 不信認을 挽回하지 못하였기 때문에 諸般物價는 一般預金封鎖에도 不拘하고 漸次 高騰되어 1948年 3月末까지의 商品別物價趨勢는 大體 다음과 같았다

米穀 38線 隣接地는 南朝鮮 米價에 影響을 받고 淸津 新義州 地方은 間島 安東地方의 雜穀時勢에 影響을 많이 받고 있다 오직

平壤 元山가 屯地方이 北朝鮮의 米價는 示顯하고 있다 貨幣改革前 市價 小斗一斗에 700圓이던 것이 貨幣改革直後에는 極廉한 貨幣缺乏으로 30圓으로 暴落되었고 其後 漸次 高騰하여 1948年 3月末 現在로는 小斗一斗 600圓에 上올라 保合狀態를 持續하고 있다

南朝鮮 新政府 樹立時 38線 境界線은 一層 強化된 것이 豫測됨으로 北朝鮮의 米價는 全의 北朝鮮 生産量과 滿洲地方 雜穀 生産量에 左右될 것인데 滿洲地方의 八路軍 勢力의 固定化는 同地域 雜穀 生産量의 增加로 豫想되는바 北朝鮮의 食糧事情은 南朝鮮과 全然 孤立하여도 現在 以上의 困難은 받지 않을 것 이라고 觀測된다

食料品 干草은 市價가 50圓程度이고 砂糖은 蘇聯에서 輸入이 1947年度에 3千噸을 爲始하여 其後로 繼續輸入되고 있다 百斤 市價 70圓程度이다 畜牛 屠殺은 禁止되어 있음으로 國營百貨店 消費組合 食堂外에는 自由市場에서 屠殺한 것을 購入할 수 밖에 없는데 1斤 70圓程度이다 豚肉도 大同小異한 價格으로 販賣된다 鷄卵은 最高 120圓 最低 100圓程度이다

纖維品 雜物은 全의 國營百貨店에 依存하였으므로 貨幣改革前에는 南朝鮮 價格의 2割 高程度의 時勢였다 南朝鮮 總選舉 決定後로 三八線 境界線은 더욱 嚴重 遮斷되어 以 南物資交易은 極히 困難하여 干草에 달해 纖維物의 騰貴는 顯著하며 貨幣改革前 價格과 別差無하다

建築材料 洋灰는 生産過剩이며 配給價格은 貨幣改革前 89圓이던 自由販賣價格은 89圓乃至 210圓程度이었는데 改革後는 多少 低落되었으나 木材는 日政時代 採擇하여 온 것으로 下山 못한 것이 많아 아직도 比較的 低廉하다 貨幣改革前 樺材 10圓(才當) 坂坪當 100圓 可賣이었다 壁돌은 貨幣改革前 75錢 琉璃는 全無狀態이다

燃料 長新一坪 配給은 貨幣改革前 1,000圓 市價 2,000圓程度이던 것이 貨幣改革後로 低落은 보지 못하고 같은 價格으로 販賣된다 이것은 輸送關係가 國家機關 重點産業機關 優先配給에 歸因한다 無煙炭도 豐富히 生産되지만 輸送關係가 市場 優先配給으로 價格은 貨幣改革前과 別差無하며 適當配給은 1,000圓 市價는 1,800圓程度이다 揮發油는 1947年度에 蘇聯에서 約 6,000噸 輸入되어 絕對的 困窮은 突破되고 있는 셈이다 價格은 貨幣改革前 價格으로 1도란 1萬 8千圓程度이고 投資管理所의 配給價格은 1도란 6千圓이었다 石油의 抽收引價格은 1도란 1千 2百圓 配給價格은 1도란 3百圓 後이었다

肥料 1947年度 生産豫定量은 7萬餘噸이며 配給價格은 1噸當 160圓程度이었다 輸送荷造關係로 配給時期가 恒常 遲延되어 需要者 農民을 苦시키고 있다

工業材料 砒素는 元山 製鍊所에서 製造되고 있으나 販賣價格은 發表되지 않고 硫酸은 興南工場에서 生産되어 自己工場에서 消費하는 市價은 容器關係로 全無狀態이다 苛性 蘇打 配給價格은 貨幣改革前 價格으로 1도란 8千 6百圓程度 市場價格으로 는 1萬 6千圓程度이었다 輸出은 禁止하고 있다

##### (나) 勞 賃

賃金은 公定되어 있으며 貨幣改革後도 賃金引下는 實施하지 않았으나 初賃金은 月 6百圓程度이고 經驗者는 1千 2百圓程度 平均 月千圓程度이다 熟練工은 2千餘圓을 받는 者도 있으나 其數는 極少數이다 棉拾制을 採用하고 있음으로 月 收入 萬圓以上 되는 이가 있다 하나 米穀의 配給이 없음으로 結局은 마찬가지로 勞動者의 實收入은 月千圓程度에 不過할 것이다

# 北朝鮮의 農業事情

## 目 次

- 1. 土地改革
- 2. 北朝鮮農民銀行의設置

- 3. 北朝鮮農業現物稅의實施
- 4. 土地改革後의諸推移

### 1. 土地改革

1946年3月5日을期하여 38以北의 北朝鮮에서는 土地改革이 全面的으로實施되었나 周知하는바와같이 이土地改革은 無償沒收—無償分配의原則을에서 斷行된것으로 今次大戰以後에있어서 東部獨逸을비롯하여 東歐羅巴諸國에서實施된 土地改革 또는 中國의中共地區에서 實施되어온土地改革과 執을같이하는것이였다.

北朝鮮의 土地改革이事實上어떻게進行되었으며 또具體的으로 怎樣가어떻게 나타나고있는가를 살피기前에먼저 北朝鮮에있어서의 土地所有의諸關係가改革以前에있어서 如何한狀態에있었는가를 回顧해볼必要가있을줄된다.

1943年末現在의 統計를基礎로하여생각해볼때 38以北의北朝鮮內의 總耕地面積은 1,982,431 町步이였다 大部分이山岳地帶와 平原地帶 또는 田作地帶로되어있는 北朝鮮인만큼 以上の耕地의大部分이畚보다도 田 或은火田으로되어있었음은 不問可知인것이다.

그런데 已耕地總面積中에서 地主의所有에屬하는所謂小作地의面積은 1,154,838 町步로서 總耕地面積의 58.2%를 차지하고있었다 이것을 다시田 畚으로 區分해본다면 田에있어서는 53.8%가 地主의所有地였고 畚은72.4%가 역사地主의所有에屬해있었다.

또 北朝鮮에인어서의 地主의總數는 46,134戶로서 北朝鮮內의 農業人口總數의 約4%에不過했다.

要컨대 全農業人口의 겨우 4%밖에못되는 地主階級이 全耕地面積의 58.2%를 차지하고있었다는 事實을보더라도 비록 南朝鮮만은못하지만 土地所有의地主의 集中이얼마나深刻했는가를 可히推察할수가 있을것이다 한편 農民들은 어떻게 構成되어있었든가 첫째로 自作農은 251,261戶로서 全農家戶數의 約25%를 차지하고있었다.

둘째로 自作兼小作農은 164,724 戶로서 全農家戶數의 16.4%를 차지하고있었으며 셋째로 小作兼自作農은144,419 戶로서 14.4%弱이었다.

마지막으로 小作農民은 435,789戶로서 全農家戶數의 43.4%弱을 차지하는 壓倒的인 部分이었다.

그外에 農村雇傭者가 8,316戶로서 0.95%에 該當하는 數字를 보이고있었다.

大體로말하면 土地改革以前에있어서의 北朝鮮의 農民構成은 이와같은狀態에 있던것이다.

南朝鮮의 今日의 狀態와 比較해보기爲해서 이點을 좀더 詳細히 考察해보기도하자.

土地改革以前에있어서의 北朝鮮內各農民層의 構成은 以上과같은것이였지만 이것은 同年度에있어서의 全國內의 農民構成의 比率과 比較해보면 다음과같다.

	北朝鮮	全國
自作農 { 戶數	251,261戶	536,098戶
{ 比率	25%	17.6%
自作兼小作農 { 戶數	164,724戶	485,414戶
{ 比率	16.39%	15.98%
小作兼自作農 { 戶數	144,419戶	499,001戶
{ 比率	14.37%	16.38%
小作農 { 戶數	435,789戶	1,481,357戶
{ 比率	43.38%	48.63%
農村雇傭者 { 戶數	8,316戶	44,231戶
{ 比率	0.95%	1.83%

土地改革以前에있어서의 北朝鮮의 農民構成은 全國의 그것과 比較해보면 以上과같다.

첫째로 自作農이나 自作兼小作農의 層에있어서는 全國의 比率보다도 北朝鮮의 그것이 若干높았다는것을 알수가 있다 그러므로 現수의 南朝鮮과 比해볼때도 土地改革以前의北朝鮮에서는 自作農이나 自作兼小作農의層이 農村人口中에서 훨씬높은 比率을 차지하고있었음을 알것이다.

둘째로 純粹한小作農이나 小作兼自作農의 層에있어서는 此比率이 全國의 그것보다 훨씬적은便이다 農村雇傭者의 層에 이르러서도 狀態는 마찬가지다.

이런것들은 모두 무엇을 意味하는가 農村社會의 階級的分裂과 土地所有의地主的集中化가 南朝鮮에 比해서 北朝鮮에서는 比較的微弱했었다는것을 意味한다.

그러면 北朝鮮의 土地改革은 이러한基礎에서 어떻게 進行되어왔든가.

北朝鮮人民委員會에서 發布한「土地改革에關한法令」에 하면 無償으로 沒收된土地의面積은各々다음과같았다.

#### (1) 沒收된土地

1. 前日人所有地 100,504町步
2. 5町步以上地主의超過所有地 287,196町步
3. 不在地主의土地 539,415町步
4. 5町步以上所有한國營의超過所有地 148,550町步
5. 其他 21,683町步

總沒收土地面積 963,657町步

또한데 이와같이 北朝鮮內總耕地面積의 約45%를 占하는 以上과같은 種類의 所有地가모두 無償으로沒收되었는데 이것은 亦是 同法令의 規定대로 農村雇傭者를 比對하여 土地없는農民 土地적은農民들에 無償分配되었나.

이제 分配된土地의面積을 種類別로 區分해서보면 다음과 같았다.

#### (2) 分與地

1. 農村雇傭者에게 23,304町步

- 2. 土地없는農民에게 583,304町步
  - 3. 土地적은農民에게 236,039町步
  - 4. 他郡에서移住해온自耕하러는地主에게 8,621町步
- 分畵한土地總面積 957,0.6町步  
人民委員會保留地 11,601町步

要컨대沒收한土地의 大部分은 이와같이 農民들에게 分與되었다 다만 11,601町步의 僅少한部分만이 人民委員會의保留地로豫定되어 分與되지 않았는데 이것은 주로農事試驗場其他農事改良에使用되는土地들이다  
그러면 이와같이 土地의分與를받은 各層農家の 戶數는얼마나되는가

**(3) 分與받은農民의戶數**

- 1. 農村層階級 15,544戶
  - 2. 土地없는農民 407,307戶
  - 3. 土地적은農民 255,998戶
  - 4. 他郡에서移住해온 自耕하러는地主 3,092戶
- 分與總戶數 681,941戶

土地와아울러서 여지껏 不勞地主들이 所有했던 農業用建築物 畜力 果樹園 山林 灌溉施設等도 모두無償으로 沒收되었는데 具體的으로는다음과같다

- 1. 農業建築物沒收當한不勞地主의戶數 4,751戶
- 2. 沒收된建築物數 13,370棟
- 3. 沒收된畜牛 4,583頭
- 4. 沒收된馬(馬) 146頭
- 5. 沒收된前日人所有果樹園 2,073町步
- 6. 沒收된朝鮮人不勞地主所有果樹園 5,103町步
- 7. 沒收된果樹園合計 7,177町步
- 8. 沒收된山林 3,432,986町步
- 9. 沒收된灌溉施設 1,165箇所
- 10. 同上蒙利面積 50,502町步

土地와마찬가지로 農業用의建築物이나 畜力 農業用機械力도 不勞地主가 占領한것이 아니라 當然히 耕作하는農民이 가져야 할것이 北朝鮮土地改革에서의 根本精神乃至原則이 되어 있다. 그理由는 이렇게 說明된다 即이러한것 말고亦是土地와마찬가지로 不勞地主의손에 所有되어 있는 限은 農民을 經濟的으로擡起하는手段이 될뿐이고 農業經濟에對해서 破滅의인影程을출발한다는것이다.

그러던 土地를 以上과같은 各種農家에게 分與함에 있어서 分與의基準은 무엇인가라고 했는가  
同法令의細則을보건대 分與의基準은 各農家の家族人員數와아울러 그家族內의 勞働能力의實數를調査하여 다음과같은點數前에 依해서 實施하였다고한다

**基準點數表**

男	18歲—60歲	1點
女	13歲—50歲	1點
青年	15歲—17歲	0.7點
少年	10歲—14歲	0.4點
小兒	9歲以下	0.1點
男	61歲以上	0.3點
女	51歲以上	0.3點

이와아울러 土地의價를 考慮하였음은 勿論이다 또한 配하는地域의範圍는 郡落單位로되되 從前의自耕作地域을 包含하며 行政區域과는 關係가없게하였다

**2. 北朝鮮農民銀行의設置**

土地改革이 實施되자 그뒤를이어서 亦是北朝鮮人民委

員會의發起로 北朝鮮農民銀行이 設置되었다 이農民銀行의性格과構成 內容은 다음의法規을보면알수있을것임으로 詳細한 說明은 省略하기로한다

**北朝鮮農民銀行法規**

第一條 北朝鮮에北朝鮮農民銀行을 設置하고 營業區域을 北朝鮮一國으로함

第二條 北朝鮮農民銀行의 資本金2億圓以上의株式會社로 하되 一株百圓으로함

第三條 北朝鮮農民銀行은 農民에게 營業融資의正常的인 任務을일며 農業開發金融을 圓滑히할것을 그의基本課業으로함

第四條 北朝鮮에居住하는農民은 各自만든지 이銀行에 應分의出資을할것이며 農民以外의사람도出資할수있다

第五條 北朝鮮에있는 金融組合聯合會各道支部는 그所有에屬한建物, 什器, 備品等一切所有物을 適正價格으로 評價하고 이에殘餘現金을合하여 이銀行에 出資할것이다

第六條 各金融組合(村落, 都市)及金融組合聯合會各道支部는 5月1日現在凍結된것을 除한以外의貸借을 北朝鮮農民銀行에서引繼할것이다  
但損失을隨伴할念慮가있는貸借은 此限에不在함

第七條 各金融組合과 金融組合聯合會各道支部의凍結된 貸借의整理事務는北朝鮮農民銀行에서 此를代行한다

第八條 營業開始는 19 6年5月1日부터이다

第九條 北朝鮮農民銀行設置에關한 모든節次作成과 그 遂行의任務及權限을 財務局長에게附與함  
1946年4月1日

北朝鮮人民委員會

委員長 × × ×  
書記長 × × ×

**3. 北朝鮮農業現物稅의實施**

土地改革의뒤를이어서 農業現物稅의制度가 다시宣布 實施되었는데 이것은 農民이 負擔하는唯一의租稅이라하여 單一現物稅라고도한다 이現物稅에關한 法規의全文은아래와같다

1. 北朝鮮農民은 土地에關한一切의租稅를 免除한다 但各種穀物의收穫量의 25%(四分之一)를 農業現物稅로納入하고 一切의供出制度를 廢止한다

2. 農業現物稅는 穀物檢査規則에따라 現物納入단容許함

3. 農民은 穀物檢査規則이規定하는穀物을 納入한後남은穀物은 自由로販賣할수도있다

4. 各人民委員會는 穀物收穫의25%(四分之一)의現物稅外에는 義務的으로 穀物을 供出하지못한다

이와같은農業現物稅의制度는 現今의北朝鮮에있어서 都市의勤勞者와市民들에게 糧穀을 供給해주는主要한수-트 로되어 있는것이다

그런데 最初에는 田 畜 火田을 英論하고모다 收穫高의25%로서 現物稅의比率을상아왔지만 昨年봄에는이것이改正되어畜에서는 收穫高의27% 田에서는 33% 火田에서는 10%의比率로하거되었다고한다

**4. 土地改革後의推移**

이와같은 諸改革으로말미암아 北朝鮮의農業은 舊來의 面目을 一新한것이 事實이다 過去數千年間 朝鮮農業의發達을 停滯시켜오던 封建的인土地所有 또는 小作制度가 廢止되었다는것은 그것만으로도 重大하기밖이없는 歷史的인

獲을 가지는것이 아니할수가없다 土地改革의 結果로는 農業生 力の 새로운 躍進과 農民生活의 急進한 向上이 當然히 約束되지만 않으면 안될것인데 그 實相은 如何한지 仔細이 알 갈이었다

이러한 革新된 基礎 위에서 北朝鮮人民委員會는 1947年 度의 農業增產計劃을 다음과같이 發表하였는데 委員會當局의 發表인點에 있어서 宣傳的인 誇張은 있을지 모르나 同年度에 있어서 대체로 目標대로 完了되었다고한다

**道別耕作面積**

	面積	比前年增加率
平壤	7,114町步	—
黃海	516,662	10
平南	431,456	28
平北	481,050	23
江原	284,600	14
咸南	348,049	12
咸北	165,376	6
合計	2,234,316	16.9

平壤市는 前年度까지는 平南道內에 編入되어 있던만큼 比前年增加의 比率을 算수는 없다 이 때문에 이와같이 해서 北朝鮮 全境을 通하여 324,500町步의 耕地를 新增擴張할 計劃을 세웠는데 이것은 이미 豫定대로 完遂되었다고한다

그다음 各種穀物의 增產計劃은 아래와같은 目標로 推進되었다 더욱이 北朝鮮으로 말하면 穀倉南朝鮮과는 달리서 元來가 食糧의 自足自給을 할수 없는 地方이었던만큼 이러한 增產計劃을 通하여 自給할수 없는 北朝鮮을 能히 自給할수 있는 北朝鮮으로 轉換시키려는 意圖가 如實히 表示되어 온바이다

**穀物別播種面積**

穀物	面積	比前年增加率
稻	405,600町步	18.1%
雜穀	1,099,000	49.3
豆類	444,600	19.9
工業用農作物	95,900	4.3
茶藨類	188,690	8.4
合計	2,234,300	16.9

以上과같은 耕作面積의 增加에 있어서 是 特別히 沓面積 10,600 町步의 增加가 注目되지 않으면 안될것이다 이것은 오로지 灌溉事業으로 인한것인데 이灌溉事業은 國家豫算으로도 그때문에 1億5千5百萬圓을 投資하였지만 그밖에 各地의 農民들의 自發的인 創意로 遂行한것도 적지않았다 部分의으로는 平南江東의 灌溉水利工事는 農民들의 發意로서 8,084町步의 沓을 耕하였으므로 이것으로서 11,400石의 增產가 豫定되고있다 한다 또咸北道에서도 朱南의 2,000町步 (24,000石豫想) 洪鑑의 600町步 (15,000石豫想)等 18個所가 沓되었다는데 一個所를 除하고는 모두가 이미 完成되었다고한다

北朝鮮人民經濟計劃에 있어서 是 食糧의 增收과 아울러 工業原料로서의 各種纖維作物及煙草類의 增收에도 重置되어 왔는데 이러한 工業用農作物의 生産計劃은 1947年에 있어서 다음과같은 目標로 推進되어 왔다고傳한다

**工業用農作物生産計劃**

棉花	32,629 担
亞麻	2,312

大麻	2,972
煙草	10,465

이計劃도 대체로 同年度에 있어서 無難히 完遂되었다고는 한다

그러면 以上의 增產計劃을 完遂를 爲하여 北朝鮮人民委員會에 是 어떠한 具體的인 方法을 指示하였는가

1. 耕作法改良——特別히 輪栽法을 採用하였다
2. 用水路 排水路 堤防修築 農道의 建設 墾地作業의 施行
3. 土地改良——特別히 田을 沓으로 轉換하는 工事와 荒地의 開墾
4. 土地利用率의 提高
5. 土質의 改良——自給肥料(堆肥, 綠肥, 人糞, 尿等) 密土法의 施行(破壁土, 燒土의 利用等) 化學金肥의 合理的인 使用(特別히 硫安단을 使用하는 舊慣을 버리고 窒素磷酸, 加里三要素의 配合使用에 重置함)
6. 種子의 鹽水選擇, 물마림消毒, 밭, 보리의 溫湯消毒法, 株種田의 確保等
7. 畜力의 共同利用
8. 農機具의 修理及 改善
9. 病蟲害의 驅除, 集合苗板, 適期作業
10. 除草中耕作業(日光, 草막等)이 行通하도록함
11. 家畜의 飼養(每農家에 豚一頭, 鷄三頭의 目標로)
12. 蠶蠶業의 擴張
13. 森林政策의 強化
14. 가마니, 색기等의 增產

特別히 森林經濟에 있어서 是 北朝鮮內에는 朝鮮山林의 大部分이 偏在해 있는만큼 政策의 如何가 特別히 注目되는 바이었는데 1947年度의 森林計劃은 다음과같은 것이었다

**道別植樹狀況 (1947年봄)**

	面積	株數
平南	8,544町步	17,088千株
平北	10,622	23,245
黃海	10,000	20,000
江原	8,950	17,401
咸南	7,051	14,020
咸北	7,500	15,000
合計	53,667	106,836

濘文 山火等防止에는 特別히 注意를 두었는데 1947年度의 伐株計劃은 다음과같은 것이다

木材伐株	5,080立方米
木材運搬	1,077,000
木材流送	28,619
製材	338,000

1947年度의 畜産計劃은 다음과같은 것이었다

	頭數	比前年增
牛	601,800頭	166,000頭
馬	12,900	1,100
염소, 羊	9,500	—
돼지	346,900	130,200

以上은 北朝鮮人民委員會의 發表資料를 中心으로 한것으로 多少의 希望의 要素가 含有되어 있을지는 未可知이나 大體로 北朝鮮農政의 指向만이라도 推測함에는 難不當而不違之 資料가 될것이다

# 北朝鮮의 金融事情

19.5. 8~1947. 12

## 目 次

1. 解放前의 北朝鮮 金融經濟事情
2. 解放後營業停止時까지의 金融事情
  - (第1期 自1945年8月15日 至1945年8月31日)
3. 北朝鮮 金融機關의 新發足
  - (第2期 自1945年9月1日 至1946年2月14日)
4. 北朝鮮 中央銀行에 依한 統制期
  - (第3期 自1946年2月15日 至1946年10月31日)
5. 北朝鮮 金融體制의 再策定
  - (第4期 自1946年11月1日 至1947年12月5日)
6. 北朝鮮의 新紙幣發行과 그 意義
  - (第5期 自1947年12月6日 至1947年12月31日)

## 附 通貨改革直前의 朝鮮銀行券의 北朝鮮實入量推定

### 1. 解放前의 北朝鮮 金融經濟事情

解放前北朝鮮의 日本에對한 貢賦은 甚大하였다 咸鏡南北道는 滿洲資源을 海路로 日本에 搬入하는 中樞地로써 重要하였으므로 平安南北道는 陸路에 依한 搬入의 關門이였었다 이兩地域은 또한 巨大한 水力源地帶로써도 日本에의 寄與가였었던 것이다 咸鏡南北道가 石炭, 鐵, 黑鉛等 各種地下資源의 豐富한 埋藏地로 또는 生産地로써 戰爭中 日本의 關心이였었음에 反하여 平安南北道와 黃海道는 廣闊한 平野에서 產出하는 農産物의 供給地로 日本에對하여 重要한 地域이였었다

此地方에 있어서 如此産業經濟가 차지한 地位는 絶對하였음에 比하여 金融機關이 차지한 地位는 比較的輕便이였었다 金融機關은 資本主義經濟體制의 動脈으로 看做한다면 北朝鮮에서 의 役割은 毛細管의 機能을 遂行하였음에 不過하였다 이러한 것은 全朝鮮의 1945年 7月31日 現在의 金融機關諸計定을 一顧한으로써 容易히 推知할 수 있으며 即貸出計定에 있어서 朝鮮의 總貸出額이 43億이였었는데 北朝鮮에서 의 貸出額은 8億으로 比重에 있어서 全朝鮮의 5分之1에 不過하였다 (別表第1表參照)

### (第1表) 貸出金及保有現金殘高表

(1945年7月31日 現在) (單位百萬元)

	38度以北 貸出金	38度以南 貸出金	全朝鮮 貸出金	38度以北 店現金
朝鮮銀行	130	963	1,093	13
殖産銀行	292	1,589	1,881	10
朝興銀行	51	289	340	2
商業銀行	116	311	427	6
貯蓄銀行	35	48	83	1
金融組合	165	395	560	11
合計	789	595	4,384	43

이 貸出金도 北朝鮮所在 銀行營業所 103個所 金融組合營業所 313個所 總合 416個所의 支店網을 通하여 散布되어 있는 것이며 (別表第2表參照)

## (第2表) 北朝鮮所在 銀行金融組合營業所數

(1945年7月31日 現在)

	朝鮮銀行	殖産銀行	朝興銀行	信託	相互	商業	合計	金融組合
黃海	1	3	0	4	1	2	3	14
江原	0	2	0	2	0	2	0	6
咸北	2	6	2	0	1	7	8	26
咸南	2	4	3	3	1	5	6	24
平北	1	6	1	0	0	1	3	12
平南	2	4	3	3	1	2	6	21
合計	8	25	9	12	4	19	26	103

零細農民相對의 金融組合 零細企業家相對의 無盡會社(相互銀行) 小商人을 顧客으로 한 貯蓄銀行, 商業銀行, 朝興銀行等의 貸出額을 控除하고 殖産銀行의 農地擔保貸出額을 差引하여는 北朝鮮에서 의 鐵工業에對한 直接的인 與信은 殆無狀態이였음을 可知할 수 있다 (別表第1表參照)

他面當時 北朝鮮의 預金總額은 6億으로 全朝鮮의 預金總額은 58億의 不過3割未滿에 該當하는 微少한 狀態이였으며 더욱이 이 預金額은 休息體의 資本이나 剩餘資本이 預入된 것이 아니라 通貨政策遂行上 強行한 零細一般層의 生活費의 強制收奪에 依하여 粗成된 것이였었다 朝鮮人人口의 8割3分은 占하고 있는 農民을 相對로 하고 있는 金融組合 預金總額이 北朝鮮 預金總額의 約 割에 該當되는 6億 6千餘萬圓이였음은 能히 이것을 證明할 수 있을 것이다 (別表第3表參照)

## (第3表) 1945年7月3日 現在 預金殘高表

(單位百萬元)

	38度以北 預金	38度以南 預金	全朝鮮 預金
朝鮮銀行	172	530	702
殖産銀行	354	887	1,241
朝興銀行	90	591	681
商業銀行	231	458	689
貯蓄銀行	153	309	462
金融組合	660	1,366	2,026
合計	1,660	4,141	5,801

1945年7月末 現在 北朝鮮에서 의 朝鮮銀行券發行累計額은 19億으로 預金이 貸出에 比하여 過大로 超過하고 있었는 이地方으로서는 一概히는 論定할 수 없으나 相當한 資金이 投下되었음을 이것으로 推定할 수 있지 않음은 가한다 (別表第4表參照)

## (第4表) 北朝鮮 朝鮮銀行支店別發行高

(1945年7月31日 現在) (單位百萬元)

州	發行高	支店	發行高
海州	98	咸興	184
平壤	91	清津	653
鎮南浦	284	羅津	52
新義州	536	雄基	90
元山	68	(廢止店)	
回收	68	合計	1,920

(第5表) 北朝鮮朝鮮銀行支店別未發行券保有高

	(單位百萬圓)	(1955年7月31日現在)
海州	49	鎮南浦 31
平壤	133	新義州 67
元山	117	羅津 45
咸興	57	雄 (廢止店) 一
清津	135	合計 634

2. 解放後營業停止時까지의金融事情

(第1期 1945. 8. 15)  
(第2期 1945. 8. 31)

6個所の朝鮮銀行支店は北朝鮮の中心都市に産座の였었고日本人等は都市に集中하여 있었음으로日本人들은日本の敗亡을알다 即時非常貸出의要求와 그들의預金의取取은始作

하여短期間內에北朝鮮所在 朝鮮銀行保有現金 63,400萬圓은 거의消盡되였다 (第5表參照)

朝鮮銀行以外의 金融機關保有現金은 解放當時 約 3,000萬圓으로 (第1表參照) 近100個所の營業所에 分散되어 있었음으로 地方에居住하는 많은 朝鮮人預金者는 預金借取에依하여는 自己預金의一部조차 滿足히返還을받지 못하였었다 이러한日本人重要機關의非常貸出要求와 日本人預金借取 朝鮮人預金者에對한 預金返還不能等이 日本의敗亡으로 因하여 安寧秩序가紊亂되고 交通通信이 阻斷되 못한形에 있어서 短時日內에 重疊發生하였음으로 이에依하여 金融事情은 混亂에混亂을 거듭하고 있었었다 混亂의起起은當하고 있었든 北朝鮮金融機關은 蘇聯軍의進駐와 朝鮮人自己機關의 接收 또는 紙幣及資金供給源의斷絶로 因하여 一時停業중斷케 되었었다 朝鮮銀行은中心으로한 營業中斷의時日及原因을 列舉하면次와 같다

(第6表)

解放後朝鮮銀行店舖閉鎖及再開狀況一覽表

日銀券使用禁止月日	道名	店舖名	蘇聯軍進駐日	閉鎖或停業中斷日	理由	再開日	再開當時의時在
	咸北	羅津	1945. 8. 11	1945. 8. 11	直接的인戰戰의被害로 因하여 破壞을당함		
		高津	8. 13	8. 13			
12. 10	咸南	咸興	/	8. 25	//	8. 29	咸南人民委員會에 接收當함 1945. 9. 1 30,000千圓
12. 8	//	元山	//	8. 22	//	8. 23	蘇聯軍命令에 依함, 現金은沒收當함 1946. 1. 1 無
10. 11	平北	新義州	//	9. 8	//	8. 30	資金缺乏에 依함 1945. 10. 20 5,000千圓
10. 11	平南	平壤	//	8. 25	//	8. 27	平南人民委員會에 接收當함 // 9. 24 60,000千圓
10. 11	//	鎮南浦	/	8. 28	//	8. 30	鎮南浦人民委員會에 接收當함 // 10. 2 40,000千圓
10. 11	黃海道	海州	/	8. 22	//	9. 10	資金缺乏으로同榮會協藏에 依함 // 10. 1 20,000千圓

3. 北朝鮮金融機關의新發足

(第2期 1945. 9. 1)  
(第3期 1946. 2. 14)

敍上과如히 一般閉鎖하였든金融機關의各地店舖는蘇聯軍進駐後 各地方人民委員會의監督下에 從前의支店의性格을揚棄하고 獨立한一個銀行으로 解放後의新規規定에依하여 各自計算으로 營業을再開하였다 그러나一部地方에서는 特別江原道에서는 道人民委員會가自己의隸屬의機關으로 金融機關을改稱하여 人民銀行의名稱으로 銀行을運營하였고 咸北에서는 道立銀行을創立하였으며 興南과元山에서는 市立銀行을設立하였고 永興과鎮南浦같은곳에서는 銀行支配人을 人民委員會에서任命하였었다

直接間接의程度의差는 있었으나 人民委員會의 干涉이甚하여 人民委員會의 會計의役割을遂行함에 不過하였든金融機關은 迅速한期間內에 南北統一을指向하고 있던 當時의民族主義的인 爲政者와金融人의陳情으로 1945年10月16日 蘇聯駐屯軍司令官名義의命令 第10號로 接收改稱한 銀行을原狀으로 回復시키며 人民委員會의 金融機關에對한 干涉을中止하라는指示가 布되여發布되게 되었었다

그러나有機的으로 命令系統이統一되지 않은 北朝鮮에 있어서 行政이그러하였든거와같이 金融機關에對한干涉도 匯사하였으며 命令書의發布가 있었음에도不拘하고 依然한干涉이 繼續되었었다

이期間中에 特記한金融事情의轉換은 舊預金은一世帶에 月300圓式制限하여 支拂케 되었었고 日本銀行券과朝鮮銀行券 (解放後에印刷한 新樣式) 이 10月初旬黃海道 平南에서 12月初旬에는 咸南에서 各々使用이 禁止되었었다 그리고 10月初旬에 平壤의田銀行營業所跡에設置된 蘇聯陸軍

野戰銀行은 蘇聯軍票를發行하여 一般에使用케 하였었다

行政面에 있어서 는 11月에北朝鮮人民委員會라는 中央廳의 行政機關이 各地方人民委員會의發起로 平壤에組織되었었다 本期間中에는 解放後의混亂을無過하고 蘇聯軍의進駐를契機로 營業을停止하였든 金融機關의 朝鮮人의 暫定自治政權이 있었든 人民委員會의監督下에 營業을再開하였었고 其의金融機關의 完全한 機能發揮을爲하여 各地方人民委員會의 干涉을排除하였었다

然而나 朝鮮銀行을除한 金融機關의 資金枯渴은 營業發의 檢出과 困難하여 資金造成目的으로 各種貯蓄運動을展開하였고 貯蓄心을利用한 福票의發行 其外債券의發行 日本人所持現金의強制預入等 不絶한諸般努力을 繼續實施하였었다 所期의目的은 達成하지 못했고 依然 金融情勢은 混亂을繼續하였었다

莫府三相會議의結果 早速한期間內에 南北統一의實現이 絶望視되고 資金造成을爲한 金融機關의充實과 國庫金取扱機關의 緊要性을充足시키기爲하여 北朝鮮에서의 有機的인 統一의 內容을充實한責任있는 金融機關의設立이 要望되었었다 이러한 目的을達成키爲하여 1946年2月15日 北朝鮮中央銀行이 平壤에서創建을보게 되었었다

4. 北朝鮮中央銀行에依한統制期

(第3期 1946. 2. 15)  
(第4期 1946. 10. 31)

1946年2月15日 蘇聯平壤支店에서 北朝鮮所在 金融機關支配人 85名이參議하여 新發足한 北朝鮮中央銀行의 內容을列舉하면

- (1) 蘇聯占領軍直屬의 一機關으로
- (2) 總裁는 蘇聯陸軍大尉「워브러클」氏 副總裁는 前蘇聯

平壤支店三席이든 金敎蘭氏 主計部長은 朝鮮及 靑  
嶺穆氏가 各々任命되오

- (3) 資本金1億圓은 蘇聯軍司令部에서 貸與받았으며
- (4) 從前의金融機關은 從前의名義로 自己의計算에依하여 運營하되 北朝鮮中央銀行에서 各種의指示를받아야하게 되었다

前述함과같이 內容이充實하고 右橫의이며 統一의인金融機關으로 中央銀行을設立하여 預金의吸收와 國庫金取拔의 圓滑을期하러 企圖하였으나

- (1) 蘇聯軍司令部의 隸屬機關이었음으로 人民委員會가 1946年5月1日 北朝鮮農民銀行을創設하여 道市郡其他 全國庫金을取拔케하는 措置를取하였고
- (2) 資本金1億圓은 中央銀行自身의 經費捻出에도 充分 치못하였던關係로 隸下銀行의母店의役割은 始拾하고 競爭的地位에서 營業을하게 되었으며
- (3) 各異한內規를가지 致多한金融機關에對하여 一定한準則이나 制定한것없이 發足한中央銀行이 全金融機關을 統御하기는 極히困難하였다
- (4) 交通 通信의不圓滑로 指示와報告가 定時에 示達되지 못하였고
- (5) 資本金의不足은 相互間의少額의換支支拂히지 못하였으며
- (6) 中央銀行의 資金의援助의缺如 發券機能의缺如는 中央銀行設立後 6個月間의 營業成績에依하여 存廢를決定한다는그種의方針이 地方金融機關의 自己資金으로의恣意의貸出을 助長하였었다
- (7) 發券力이없는中央銀行은 通貨調節을妨害하고 損傷券의交換支拂 不能하여 威信을失墜하였고
- (8) 中央銀行의設置를 南北朝鮮統一의阻害行爲로 看做하고있었던 金融人에게 中央銀行의指示가 徹底히施行될 萬無히었다

이러한諸種의原因은 中央銀行으로써어금 全金融機關의統率者로써 君臨하는事業은 實質에있어서 水泡로돌아가게하고 營業成績도 朝鮮銀行의一箇支店에비하여도 遜色있는結果를 齎來하였다 그리하여 中央銀行自體로서도 이러한모든阻礙를 除去할必要가緊要하였고 또한一면 人民委員會로서도 財政局長을總裁로하여 前從의金融組合을 基幹으로東洋拓殖, 無盡, 信託의 各種會社를統合하여 北朝鮮農民銀行을 創立하여 道, 市, 郡의國庫金을 取拔하게하고 農村振興에 盡力케하고있었으나 農民銀行支店支配人을 支店所在地의人民委員會와 勞動黨에서 選任하는 措置를取하였기때문에

- (1) 이러한人事任命權의 不統一은 命令系統의確立을 阻害하였고
- (2) 地方人民委員會로하여금 銀行營業에의干涉 侵犯을容易케하여 運營上支障이 不少하였었다

其外에 同行本店에서行한 消費組合에對한 8,000萬圓의貸出金固定은 國庫金支拂에 支障을發生케하여 財政局이 同行에對한中央銀行의再割引을 依賴치않으면 안되게되었다 從來 中銀「보이콧」政策을쓰는 北朝鮮人民委員會가 이르하여 北朝鮮中央銀行을 再認識하고 同行事務의擴充을 企圖하는一便 自己隸下에歸屬시키려 努力을하게되었다

이러한 北朝鮮人民委員會와 北朝鮮中央銀行에符合된 同一한目的은 1946年 9月23日附決定書 第32號로 銀行預金의 秘密保持에關한命令을 發布케하고 其後이어서 北朝鮮中央銀行의 北朝鮮人民委員會로의 移管을實現케하였다

### 5. 北朝鮮金融體制의再策定

(第4期 1946. 11. 1)  
(1947. 12. 5)

北朝鮮人民委員會에 北朝鮮中央銀行의 移管이實施되자 1946年10月31日現在 北朝鮮所在 金融機關을 接收하여 店舖의整理統合을行한後 一部店舖는 北朝鮮中央銀行支店으로 營業을繼續하고 不要케된 店舖外物品及其他 一切의財産을 放棄閉鎖하고 名目上이나나 殘存하든南朝鮮金融機關과의 聯繫關係은一切 掃蕩하였다

이리하여 北朝鮮에는 北朝鮮農民銀行과 北朝鮮中央銀行의 2 個國幣銀行만이 殘存케되었다 이와같이 金融機關을實의 目的으로 轉換시킨後 強行한金融政策은 如何한것이었던가

- (1) 中央銀行에 國庫金을集中시키고
- (2) 各機關의現金保有高을 2,000圓에限定하고 其餘額은 全部預金로轉 法令을制定하였으며
- (3) 銀行內規의規程을 蘇聯銀行制度에서 廣汎히採用하는 同時에
- (4) 強力한政府計畫과符合도록 與信行爲에있어서 中央集權의運營을 強化하는一便
- (5) 從前의銀行員을 淘汰하고 勞動黨系의人物을 補充시키는 諸般措置를取하였다

그리하여 (1) 産業機關 國有化 (2) 商品流通에있어서의 消費組合의擴充, (3) 勞動者農民의莫聯結은 諸般施設의國營, 準國營의擴大를併行하여 北朝鮮의金融體制은 그效果如何는始拾하고 北朝鮮人民委員會 最初의企圖과 若干點에符合한 再策定을보였다고한다

다시當期中の金融基幹을 一覽하건데 本月初에各金融機關의 接收가完畢되자 即時從前各金融機關이 自己의計算下에 授與하였은 解放後의貸出金을 中央銀行의責任으로 政令을 執行시키 積極回收에努力한結果 不過三期未滿에 그金額의 6割以上の 回收의成果를얻었고 各機關에對하여法的으로 預金을強制하는施策의實施로 國庫金의中央銀行에의 集中強化的結果 1946年 6月初에는 中央銀行本店에 10億圓以上資金이集中되었고 北朝鮮農民銀行도 現物稅返還代金으로 四割의 5 倍以上의資金集結이 成就되었다 이結果 1947年度 北朝鮮人民經濟復興資金 3 億圓의融資과 消費組合의北朝鮮工業生産品及 農業生産物의引受資金의 中央銀行에서의調基이 可能케되고 農民銀行에서 肥料資金으로 北朝鮮農家10餘萬戶에對하여 農民相互連帶保證의形式으로 1億7千萬圓의 與信이 貸行되었다

如此한金融의 北朝鮮財政及經濟에의 急激한結付는 一層더 北朝鮮에서의 銀行券發行의必要性을 強調케하였으니 後述하는由因과같이 北朝鮮에서의 新紙幣發行의土臺가 本期에있어서 構築되어있었던것이였다

### 6. 北朝鮮의新紙幣發行과 그意義

(第5期 1947. 12. 6)  
(1947. 12. 31)

北朝鮮以外的地域에서 發行되는軍票와 朝鮮銀行券과 (解放前에印刷된것에限함) 日本銀行小額券의 3 種의通貨가 便宜의으로流通되고있었던關係로 全流通高도 測定할수없었고 따라서 北朝鮮中央銀行으로서는 通貨의調節도全然 不能한狀態이였다 然故로 中央銀行創設當初부터 銀行券發行의要望이있었으나 北朝鮮財政이 確立되지않은當時에 發券力을 附與함은 財政資源의造出을 容易한通貨發行에依 존재한 憂懼기있다하여 占領軍의認許를얻지못하였었다. 1946年11月



日北朝鮮中央銀行이 實의 量의 으로 擴充되고 一便 同月 3日 所謂 總選舉로 政治體制가 確立되어 北朝鮮의 經濟 政治의 基盤의 整備가 完난지 幾이 1個年을 經過한 1946年 12月 6日 朝鮮 獨立問題에 關한 UN決議 執行을 爲한 委員團의 來朝를 앞두고 新紙幣을 發行하고 通貨改革을 斷行하였다 新紙幣의 發行에 앞서 1947年 4月 頃 北朝鮮中央銀行總長 金傑民가 入露하여 數週間 蘇聯財政當局과 折衝하였던 것은 確實한 事實이었다 新紙幣發行의 意圖은 通貨制度를 通하여 北朝鮮經濟의 自主의 體制를 建設하러 하였던 것이 分明하다 또한

- (1) 土地와 鐵山 銀行其他重要企業이 國家에 歸屬된지 既久한 北朝鮮에서 貨幣形態로서 의 私有資本을 封鎖할 必要가 있었고
- (2) 物價가 高騰한 南朝鮮에 北朝鮮의 物資가 流出되고 그 代身 購買力으로 作用하는 朝鮮銀行券이 流入되는 弊端을 芟除하고
- (3) 北朝鮮의 朝鮮銀行券을 南朝鮮物資 購入資金으로 動員시키는 外에
- 4) 通貨收縮에 依하여 實所得의 遞增을 보게 되는 階級의 北朝鮮政治에 의 歸依와
- (5) 國家企業及 財政資金의 流通을 目的하였던 것이나

貨幣改革에 關한 決定書 第30號 諸條項 其 新紙幣의 強制通用力의 喪失及 新紙幣의 이에 對한 代位에 關한 規定(第2條 第1條 第8條 新舊紙幣 交換事務 執行機關 交換比率 交換事務 法一般에 關한 規定(第2條及 第9條乃至 第11條) 交換한 舊紙幣의 處分에 關한 規定(第3條 等은 交換節次에 關한 諸規定으로 特別한 意義는 없으나 第4條各項及 第5條의 公共企業一般에 支障이 없도록 新紙幣을 供給하고 一般의 生計維持에 必要한 金額의 交換支拂을 許容하는 反面에 私有貨幣가 資本으로써 機能함을 紙幣의 交換을 通하여 全面的으로 封鎖한 規定에 依하여 今般 幣制改革의 根本 目的가 容易히 推知된다 今舊新紙幣 交換事務의 總結果를 手지 未하여 新紙幣發行 直前의 軍票及 朝鮮銀行券等의 流通量이 幾何였든가는 未詳이나 如何든 朝鮮銀行券의 流通領域이 狹少하여 있으며 南北朝鮮이 政治面과 같이 通貨面에서도 全히 斷絶된 것과 收集된 朝鮮銀行券이 南朝鮮通貨量에 影響을 주며 南朝鮮도 이에 追隨하여 通貨改革이 있지 않음과 같은 疑心을 刺戟한 것은 事實이다 또한 未知數인 北의 蘇聯軍駐屯費가 朝鮮人에게 알려진 것만은 確實하다 新紙幣을 發行한 結果 一時 通貨量이 收縮하였다 할 지라도 今後 駐屯費及 北朝鮮人民委員會의 支出에 依한 發行貨幣量의 價値와 對等하게 生産이 增加되든지 對價物資를 輸入하지 않는 限 再膨脹된 것은 瞭然하며 그러므로 北朝鮮의 紙幣發行이 所期의 目的인 北朝鮮經濟의 健全한 發展에 對한 奇與의 與否는 北朝鮮政府의 財政과 駐屯蘇軍當局의 費用 抽出方法如何와 더불어 生産面의 均衡如何에 依하는 것이며 今般의 突然한 通貨改革의 意義는 그 時期로 보든지 敍上과 같같은 經濟的 諸條件으로 보든지 政治的 意圖에 그 目的의 位置를 占하여 있음은 斷言할 수 있는 것이다 故로 新紙幣의 發行의 成果가 健全한 北朝鮮經濟의 發展에 寄與한 功績이라도 現下 UN朝鮮委員團의 來朝에 關하여 如此한 措置를 取한 것에 對하여는 朝鮮民族의 大部分이 異常한 感을 느끼는 것같이 推測된다

### 附 通貨改革直前의 朝鮮銀行券의 北朝鮮實在量推定

여기 貨在量이라 함은 舊朝鮮銀行券(所謂 朝甲券)의 北朝鮮民間所持量及 北朝鮮中央銀行其他金融機關保有量全體를 指稱한다

[北朝鮮에서는 解放後에 印刷한 新樣式朝鮮銀行券(所謂 綠色紙幣及 無窮花紙幣)은 同紙幣發行當初부터 流通이 禁止되었던 것이다]

1945年 8月 14日 解放直前의 朝鮮銀行券發行高 4,839百萬圓의 地方別發行高는 如下하다

#### 1945年 8月 14日 現在 地域別發行高

南 朝 鮮	1,886,942,457.60圓
關東州 滿洲	1,351,597,396.00
中 國	(回收) — 247,808,293.00
北 朝 鮮	1,947,976,706.80
日 本	(回收) — 126,286,067.50
合 計	4,839,316,169.50

上表中 北朝鮮地域에 있어서의 發行高 1,974百萬圓은 北朝鮮地域에 所在하는 朝鮮銀行各支店의 發行高의 累計額인 것이 며 此는 該地域의 流通高를 意味하는 것은 아니나 當時의 北朝鮮地域의 流通高推定은 朝鮮內의 總發行高 38億 6千萬圓을 南北朝鮮의 人口比率 2對1로 割當算出하여 即南朝鮮 26億 北朝鮮 13億으로 推測하는 것이 尤호리 合當한 方法일 것이다 此外에 解放當時 北朝鮮朝鮮銀行各支店이 保有하고 있던 朝鮮銀行券中 戰火中에 燒却한 것을 除外한 4億 6千萬圓은 當年 八月末 蘇軍進駐完了時까지는 北朝鮮에서 거 이 追加發行되었으 며 一部 蘇軍當局에 接收된 것도 있지만 이는 8月末 頃에 있어서의 朝鮮銀行券 北朝鮮實在總量으로써 加算하여서 無妨한 것이다 그런즉 1945年 8月末 頃의 北朝鮮의 朝鮮銀行券實在量은 一次 (13億 + 4億 6千萬圓) = 17億 6千萬圓으로 推定된다 此外에 關東州 滿洲地域에서 發行된 13億 5千萬圓中 解放前에 北朝鮮地域에 流入한 것도 當然히 考慮해야 할 것이지만 이것은 推定計算便宜上 解放後 流入分과 合算考慮한 대로 1947年 12月 6日 現在의 北朝鮮實在朝鮮銀行券推定에 있어서의 結果에 있어서 相違가 없은 것이다

그 방법으로 다시 上記 1945年 8月末 北朝鮮實在量 17億 6千萬圓을 基準으로 하여 그 後의 移動을 參酌하여 1947年 12月 6日 現在 舊朝鮮銀行券의 北朝鮮實在量을 推定하면, 下記와 같이 約 14億圓內外로 算定되는 것이다 (通貨改革條에 大部分이 南朝鮮으로 急速히 流入되고 있는 것은 再言할 必要조차 없은 事實이다)

1945年 8月 14日 現在	13億
1945年 8月 15日 ~ 8月 31日 追加發行	4億 6千萬圓
解放前 從 滿洲에서 流入(發行高의 半)	6億 7千萬圓
解放後 越南 人口 百萬 1人 當 平均 1千圓	10億圓을 除한
1947年 12月 6日 通貨改革 當時 現在量	14億 3千萬圓

# 北朝鮮貨幣改革의 實情調查

- 1. 貨幣改革의 意圖한 目的
- 2. 貨幣改革의 總決算狀態
- 3. 改革後物價의 趨勢와 金融方策
- 4. 貨地貨幣交換方法
- 5. 凍結預金의 支拂方法
- 6. 結 合

## 1. 貨幣改革의 意圖한 目的

1947年12月6日부터 12日까지 1週日의 期間으로 斷行한 北朝鮮의 貨幣改革은 (1) 解放當時부터 北朝鮮에 進駐한 蘇聯軍은 軍票을 發行하여 諸物資을 購入하고 있었다 이같이 하여 膨脹한 軍票을 回收할 目的과

(2) 南朝鮮에서 通用하는 舊朝鮮銀行券을 回收하여 對南朝鮮購買力을 集結保有할 目的도 있었을 것이고

(3) 解放後三年間에 達成한 北朝鮮의 經濟發展으로 하여금 北朝鮮當局이 希望하는 階層의 福利增進에 適合시키려는 意圖도 있었을 것이다

이러한 것이 貨幣改革을 通하여 達成하려는 意圖한 目的의 重要한 것이 아니었는가 한다

## 2. 貨幣改革의 總決算狀態

### 朝鮮銀行券及蘇軍票回收狀況

(1947年12月12日現在) (單位千萬元)

	1947. 12. 5. 現在 銀行舊貨幣保有額	貨幣交換期間中 團體預金額	貨幣交換期間中 民間預金額	新貨幣 交換額	合計
黃海	20	10	8		63
江原	10	5		13	30
咸北	40	30	10	25	105
咸南	40	40	1		120
平北	30	40	1	37	122
平南	50	100	30	75	355
合計	290	225	80	200	795

註 ① 團體預金이라 함은 行政機關 國營企業所 政黨 社會團體 消費組合의 預金을 稱함

② 新貨幣交換額은 北朝鮮人口을 8百萬人으로 看做하고 一人當平均 250圓으로 算出한 上記回收額合計 795千萬元에 蘇聯軍及人民軍別途交換額을 加하면 90億以上에 達하지 아니할가 한다

### 新貨幣發行高

(1948年3月31日現在) (單位千萬元)

	舊貨幣 交換額	民間貯 金支拂	銀行時 在幣	合計
黃海	25	4	5	34
江原	13	1	2	16
咸北	25	5	5	35
咸南	25	7	10	42
平北	37	8	8	53

平	商	75	15	20	110
合	計	200	40	50	290

上記合計29億에蘇聯軍及人民軍에對한10億圓과 1948年3月까지에 豫算支出은合算하면50億圓에達하지아니한가한다

### 3. 改革後의物價趨勢와金融方案

改革直後 2,3日間은物價가激漲하였으나 5日後物價調整委員會에서改革前의半價로決定한價格으로 消費組合에서物品을販賣하자 市場物價도이에隨伴하여 漸次引上되였고 20日後에는完全히改革前物價에로復歸되었다 이리하여所持金이做少한 一般市民層은衣類家具를放賣하여生活을行하여가고 있고 民間企業所는資金潤渴로因하여職工賃金으로國庫를支拂하지못하는實情이었다 行政機關 國營企業所 消費組合等에對하여서는 如何한金融措置을取하고있는가

#### (1) 無現金決濟方式採用

無現金決濟라함은所謂對價決濟을 意味하는것이며 法的으로 이것을強要하고있는現狀이다 即北朝鮮人民委員會一般豫算에對하는 行政機關은支出科目別로1個月間支出額을豫想하여 財政局長의承認을받고其他國營企業所는道人民委員會財政部長의承認을받은後 承認豫算本을去來銀行에提出한다 銀行은承認豫算을檢對한後其限內에서支出하고있으며(科目間流用禁止)上記機關相互間去來는 全部無現金決濟方式을取하고 理由如何을不問하고 現金支拂을하지않고있다 俱俸給 旅費 民間企業所는個人에對한 物價購入代金은現金支拂을하고있으나 반드시小切手面에支出科目 受取人名義를記載하여야한다 그리고事故防止와 正務延期하기爲하여 當座小切手面에實任者 2名이連署捺印하게되었고 銀行은隨時로去來國營機關에對하여 事務檢閱을할權限이附與되어있다

#### (2) 單一口座制와現金保有限度設定

國營機關은北朝鮮人民委員會와 北朝鮮中央銀行이指定한去來銀行에限하여 當座預金을할것이며 (特當은容認치않음) 2個店舖와의 去來는許諾지않는다 銀行은自店去來하는國營機關에對하여 現金保有限度를設定한權限이 있으며 最大限度 15,000圓을超過하지못한다 此保有限度는豫期치않는有時를考慮한對策이며 機關自體의現金支出限度는 1口2千圓이다 萬若銀行檢閱時에認定額以上の現金을保有하고있는것을 發見할時에는超過金額에對한 5%은國庫雜收入으로前收하고 殘餘는銀行에入金케한다 現金保有額制限은資金의銀行에의集中이 그重要한目的이고 附隨的으로는事故防止키爲함이다

#### (3) 現金出納計畫表及現金出納實績表作成

北朝鮮金融政策에서모든措置을實施한目的으로徹底하고 稠密한現金出納計畫表作成에 最大重點을두고있는實情이다 即銀行은去來機關에對하여 翌月中收納支出을 細科目別로計畫하여 前月20日까지提出케하며 銀行은此計畫表를參考로銀行自體의現金收支은計畫하여 前月25日까지本店企對部에提出하는同時에 現金出納實績表를翌月5日까지提出한다 提出期日遲延과無根據한計畫數字提出은 事務怠慢罪로法的責任을負하게되는때實際에있어서此種의表는 不正確한數字을計上하게되기쉬운다 如何間銀行에對하여 強力한權限과義務를附與하여 傘下各國營企業所를指導監督케하며 現金出納에對한徹底한措置을實施하고있음으로 銀行出納事務가며 不開放하게된것은 金融政策的의目的外의한成果라고할수있다 그리고興味있는것은 小額紙幣(50錢以下)의取扱인대貨幣交換法規에小額紙幣는從前대로流通하되1回 1圓以上去來에는禁止되어있다 然면此銀行에서保有하고있는 小額紙幣를處分하기爲하여 顧客에게現金支拂時支拂金額의 0.5%에該當한額을強制的으로混合支拂하며 反面에銀行收納은1回1圓以下에限하여收入하고있다 그理由로서는

1. 市場及商店에서零細한「殘金」을支拂하지않는事實은 勤勞大家를擲取하는一方法임으로 其弊端은根絶하기爲하여서는商人은零細한「殘金」을支拂한目的으로 恒當適當한小額紙幣를保有하여야한것이다는것과
2. 無制限으로銀行에서 小額紙幣를收納하면 物價低廉한北朝鮮에南朝鮮에서小額紙幣가流入된念慮가있다는見解로써이러한取扱方法을取行하고있는것이다

### 4. 實地貨幣交換方法概略

#### (1) 貨幣交換前日까지의準備

1947年12月2日急遽平壤中銀本店에支配人을召集하여 貨幣改革實施要綱을訓示한後 交換前에漏洩한다

고 誓約케하고 即時新貨幣은秘密裡에北朝鮮中央銀行各支店에配布하였다 同時에中銀幹部2名을責任者로各道에 派遣하여 政黨保安機關社會團體要人들을網羅한秘密會議을開催하고 中銀行員에對하여서는漏洩을憂慮하여 5日 早朝까지 銀行外出과歸宅을許諾치않았다 그리고5日附新聞紙上으로貨幣交換法規를發表하고 本格的인準備工作에着手하였던것이다 即

- A 道單位貨幣交換事務本部設置
- B 道單位貨幣交換事務母店設置
- C 洞單位貨幣交換所設置
- D 警備隊員과勞動者員을總出動케하여警備及情報收集
- E 道人民委員會援助下에自動車電話電信優先의使用
- F 各地에宣傳員派遣
- G 銀行員及各國企業所經理責任者를召集하여貨幣交換事務節次解說
- H 12月6日부터同月12日까지 銀行一般業務停止等準備體制下에電擊의으로斷行하였던것이다

(2) 貨幣交換의基準

- A 1世帯單位로世帯主는 500圓 家族1人에對하여서는 200圓을交換하되 世帯主는家族公民證과洞長의世帯主證明書를交換所에提出하여야하며 公民證紛失者는內務署長의證明書가必要하나 原則的으로越北者라고認定하여發給치않았다 그리고預金은貨幣交換과同時에1世帯中1名의名義로 1回以上 또는交換當日外에는絶對로取扱치않았다
- B 國營農場에勤務하는事務員과勞動者는1947年11月分俸給과同額을交換하되 家族에는交換치않았다
- C 10名以上의傭員을使用하고있는民間企業所는 1947年11月分支拂賃金과同額을交換하였다
- D 10名以下의傭員을使用하고있는 民間企業所는 1946年11月分納稅에對한市郡人民委員會財政課長證明書を提出하여 其半額을交換하였다
- E 旅行中에있는者는旅行證明書를提出하여500圓式交換하였다
- F 寄宿舍에있는 中等學校以上의學生은校長證明書를提出하여 500圓式交換할수있었다
- G 世帯主가服役中의擔擧에는洞長證明書를提出하여 500圓을家族이 交換할수있었다
- H 蘇聯軍屬及人民軍에對하여서는 一般交換所에서取扱치않았다

備考 各項을不問하고 公民證裏面에交換了的印을押捺하여再交換을防止하였다

(3) 事務體系와實務

A 貨幣交換所

- 1. 洞單位로其洞에屬하는 會社及學校等適當한建物を利用하여 貨幣交換所를設置하고 現金出納事務經驗有無를莫論하고 其建物職場에 勤務하는者로써 所長1名 出納主任1名 出納補助2名을任命하되同時에 貨幣交換事務一切에對한 責任을 負荷하였고 違反時에는 法的責任을負擔하는 誓約書를徵求하였다
- 2. 所屬銀行支店에서 交換資金分配를받으며 所長은 交換事務一切에 對한 責任이있고 出納主任은 現金出納(舊貨幣新貨幣)에對한責任이있고 出納補助는 現金整理事務를擔當하였다
- 3. 交換時所長은 公民證及證明書에 交換了印을 押捺하는同時에 執務明細表(年月日成分公民證番號住所氏名 交換額 預金額 合計備考)에記入하여 出納主任에回付하고 出納主任은 交換額을支拂하는同時에 金額首位에 捺印하고 預金에對하여서는 入金票 入金證에 金額 預金者의住所氏名 交換所番號를 記載한後 預金者의 印鑑을 捺印케한後 所長 出納主任連署捺印한後 入金額은預金者에게交付하고 入金票는傳票로代用케하였다

備考...執務明細表는回轉式으로 所長 出納主任이 各々捺印하는 理由는 交換額을算出하에있어 執務明細表가 唯一한資料가되므로 所長이惡意로 虛偽數字를記載하여交換하는것을 監視하기爲함과 事故를現場에서防止키爲하여 私服한警備隊員이 多數交換所內에 配置되었다

- 2. 交換時間(午前7時—午後5時)從는 執務明細表에依하여 舊貨幣受入額 交換額 新貨幣殘額을 符合시키며 執務明細表 入金票 現金出納日計表 其他證憑書類等 一切所屬銀行에 提出하는同時에 舊貨幣과 新貨幣殘高를 每日銀行에送還하였었다

備考 現金出納日計表는 所屬銀行과의 現金授受(舊貨幣新貨幣)를明確히하기爲한表이다

### B 中 銀 支 店

7、中銀支店은 傘下各交換所에 資金을 分配하여 領收證을 徵求하며 執務明細表 現金出納日計表 其他證憑書類을 檢閲한後 그書類을 保管한다

ㄴ、母店에서 現送받은 交換用新貨幣과 各交換所에서 純交換으로 受入한 舊貨幣는 從來銀行 balance 會計上 지출 且 單獨計算으로 本文店爲 曆合計表及 交換 balance 를 作成하여 每日母店에 發送하며 預金으로 受入한 舊貨幣에 限하여야지만 從來의 balance 會計上 하였다 (入金票을 傳票代用)

ㄷ、交換期間 經過後 10日 以內에 舊貨幣全部를 母店에 現送하여야 하며 從來銀行 保有 舊貨幣는 從來 balance 에 記載 處理 해야 했다

ㄹ、交換期間 後의 新貨幣 殘額은 直接 本店에서 現送받은 것으로 處理 하였다

ㄹ、母店과 의 現金 去來 (舊貨幣, 新貨幣) 는 換去來로 處理 하고 從來 換關係 諸票과 區別 하기로 하여 左側에 斜線을 引畫 하였는데 青線은 舊貨幣 赤線은 新貨幣로 取扱 하였다

### C 農 銀 支 店

事務 處理는 中銀支店과 同一 하나 現金 去來에 對하여서는 母店과 相互 領收證을 發行 하여 處理 하였고 各支店 從來 保有의 舊貨幣는 農銀本店에 現送하여 處理 해야 했다

### D 母 店

7、各支店에 交換 資金을 現送하였고 支店에서 資金 不足의 通知가 있을 때는 晝夜를 不問 하고 非常用 自動車로 警備員 護衛下에 現送 하였다 그리고 母店에 資金이 不足 이 생하였을 때는 中銀本店에서 貨車及 荷聯車 輪送 飛行機로 現送 하였다

ㄴ、各支店 交換 balance 에 依한 綜合 balance 를 作成하여 道本部에 提出하는 同時에 各支店에서 交換에 依하여 受入한 舊貨幣는 再檢査한後 中銀本店에 大現送을 實施 하였다

ㄷ、對農銀과 의 取扱은 對中銀本店 計定으로 換處理를 하였는데 新貨幣 殘高에 對하여서는 回收 치 않고 領收證을 徵求하여 中銀本店에서 換借入한 形式으로 處理 해야 했다

ㄹ、其他 道本部 要求에 應하여 諸統計表을 作成 하였다

### E 道 本 部

7、道人民委員會 所在地에 設置 (銀行을 利用) 되었고 道內 貨幣 交換 事務에 對하여 指導 監督을 하는 同時에 物價變動 人心動向 交換 事務 進行等에 關한 情報을 收集하여 每日 數次 總本部和 報告 連絡하며 또 本部로부터 의 指示를 各支店에 傳達하고 質疑에 應答 하였다

ㄴ 交換 事務를 畢한後는 母店에서 의 交換 balance 及 各種 統計表을 整備하여 一週日 內에 總本部에 提出 하였다 그리고 交換 事務 最終日 即 過去一週日에 提出한 一切 書類을 2通式 作成하여 各支店 支配人으로부터 各 直接 道本部에 持參 하였다

### F 總 本 部

中銀本店에 設置되었고 各道本部에 對하여 指導 命令을 하는 同時에 各道本部로부터 의 統計表에 依한 北朝鮮 全體의 綜合 統計表을 作成하여 北朝鮮 人民委員會에 提出하였고 爾後의 金融 政策을 講究 하였다 그 事務는 主로 團體機關에 對한 舊貨幣 預金에 對한 支拂과 貸付 金回收에 關한 件과 2個月後에 實施케 될 民間 舊貨幣 預金 支拂에 對한 規定等의 決定이었다

如何間 北朝鮮 貨幣 改革이 秘密에 準備되었든 關係로 實務에 對한 具體的 解說이 없었으므로 各交換所에 對한 取扱 方法이 大同小異하나 匪々 하였던 것은 否認할 수 없는 事實이었다 一週日이라는 短時日 內에 完結한 것은 贊備가 徹底하였던 것과 十餘日間에 亙하여 銀行 責任者 以下 全行員이 不眠不休 出納 事務에 盡力하였든 關係이 있었다고 할 수 있다

## 5. 凍結預金의 支拂方法의 實際

### (1) 團體預金의 支拂方法

團體預金은 1947年 12月 13日부터 支拂한다는 貨幣 交換法 規는 應用하여 團體機關 責任者와 結托하여 其 預金 口座에 入金한 民間 商人들이 不少하였던 것은 事實이다 그러나 過去 北朝鮮 政策이 國營機關에 重點을 두어 擁護하고 民間 企業

에對하여서는 壓縮政策을 執行하여왔으며 더욱 一般의 貨幣改革은 一般 民間企業家를 打倒하려는 意圖가 있었음으로 이러한 不正現金이 混雜되어 露體總額의 現金保有 限度額 15,000圓인 데도 不拘하고 12月6,7兩日間 (露體預金은 17日까지 收納) 預金額은 實로 22億圓을 超過하였음으로 當局은 이에 對한 措置를 如下히 變更하였던 것이나 即 國營企業所 銀行 行政機關 政黨及社會團體의 預金中 1947年12月5日 現在預金額에對하여서는 全額을 支拂하고 貨幣交換期間中의 預金에對하여서는 凍結預金으로 處理하였다

(2) 消費組合 國營百貨店에對하여는 12月5日 現在預金과 交換期間中의 預金의 總計의 50%를 支拂하였다 此50%라는 基準은 舊貨幣가 12月7日까지 強制通用力이 있었음으로 從前대로 販賣하였고 貨幣改革後 物價가 半價로 査定됨에 따라 適應된 것이었다

(2) 民間預金의 支拂方法

「貨幣交換後는 從2個月後에 一定한 比率로써 支拂한다」는 法規에 依하여 1948年2月25日 支拂을 開始하였는데 一口座以上 있는 預金者에對한 統合을 單한 次表基準에 依하여 支拂額을 算出하여 2個月間에 2回로 分割支拂하고 殘額은 民間無利子凍結預金으로 處理하였다 그리고 貸付金은 一定한 基準에 依하여 算出한 支拂額과 相殺하였고 不足時에는 新貨幣로 回收하였다 特記한 것은 凍結預金에對한 어떠한 證明書라도 發給하지 않는 것이었다

民間預金支拂算出表

預 金 額	支 拂 率	支 拂 期 間
— 2,000圓까지	100%	2個月間에 2回로 支拂
2,000圓以上 5,000圓 //	50%	〃
5,000圓 // 10,000圓 //	?	〃
10,000圓 // 50,000圓 //	20%	〃
50,000圓 //	10%	〃

6. 結 言

北朝鮮貨幣改革은 突發的으로 實施한 理由로 一般의 露體의 高價의 措하였으므로 國內外情勢로 보아 民衆들은 預金하는 것보다 將來統一政府가 樹立되던 民衆의 爲에 解決하게 된 것이라는 豫想下에 蘇聯軍隊의 補償額과 約5億의 朝鮮銀行券이 沒收되었으리라 在北朝鮮 露體의 消息通方面에서는 推測하고 있다

(參考) 主要各國通貨平價一覽表

國 名	通貨單位	金 平 價 (國際通貨基金平價)	(對美\$平價1946.12.18決定)	
			\$ 當 各 國 通 貨	各 國 通 貨 當 美 仙
美 國	Dollar	0.889	1.000	100.000
英 國	Pound	3.581	0.248	403.000
加 奈 陀	Dollar	0.889	1.000	100.000
佛 蘭 西	Franc	0.007	119.107	0.840
白 耳 義	Franc	0.020	43.827	2.281
和 蘭	Gilder	0.335	2.652	37.695
諸 威	Krone	0.179	4.963	20.150
印 度	Rupee	0.269	3.308	30.225
埃 及	Pound	3.672	0.241	413.300
比 島	Peso	0.444	2.000	50.000
智 利	Peso	0.029	31.000	3.230
秘 魯	Sol	0.137	6.500	15.385
墨 西 哥	Peso	0.183	4.855	20.597
伊 朗	Rial	0.028	32.250	3.101
阿 拉 伯	Dinar	3.581	0.248	403.000

# 保 險

## 目 次

- 1. 緒 言
- 2. 解放後의 動向
- 3. 解放後實施된 保險對策
- 4. 火災保險契約의 對象物
- 5. 損害保險業界의 當面問題

### 1. 緒 言

大數法則을 利用하여 保險團體의 相互主義의 厚生目的으로 給付 反對給付의 貨幣經濟의 職能을 發露하는 保險業은 現代에 있어서 重要한 信用機構의 하나가 되어 있다. 이러한 保險에 대한 思想은 古來 朝鮮에도 存在하였지만 現代의 文化的 意味를 가진 社組織에 依한 保險事業은 日本帝國主義의 侵略과 同時에 日本資本에 依하여 移植하게 되었다. 保險會社의 設立은 1907年 12月 舊會社에 依하여 監督을 받게 되었고 其後 保險業法의 制定과 同時에 日本會社의 進出이 甚하여 損害保險業에 있어서 1937年末 現在에 있어 朝鮮에서 營業하는 會社는 62社 其中 朝鮮에 本店을 가진 會社는 겨우 一社 日本에 本店을 가진 會社는 45社 其他 他國에 本店을 가진 會社는 16社 支店 出張所 代理店 數는 4,618 契約高 467,276件 10億7千964萬餘圓 同年 收入 保險料 825萬餘圓에 達하였고 解放前에는 約16社 (其中 15社는 日本에 本店을 두었음) 이었다. 解放前의 損害保險事業은 產業貿易의 開發促進과 第一次大戰前 後에 걸쳐 일어난 長期波動의 影響을 받아 多少의 消長은 있었지만 大體 羅斯業界의 努力과 經濟狀態의 向上及 保險思想의 普及에 依하여 逐年 發展해왔다. 그러나 다른 一은 產業部面의 例와 異巧 同曲으로 第1表와 如司 斯業에 對한 民族資本의 進出이 日本資本에 懸斷되었으니 朝鮮人은 保險勸誘等 末端의 機械의 事務에 限從事하고 經營 中 權에 參與한 機會가 無었다는 것이 8.15以後의 政治的 經濟的 精勢의 混亂과 더불어 保險業의 發展에 是은 支障이 되었었다. 이 現點으로 보아 保險業今後의 發展은 多難한 바가 豫想되는 同時에 多角의 保險政策이 強力히 推進된 것 이 期待되고 있다. (生命保險業에 對해서는 金腦篇에서 論及하였기므로 以下의 現狀分析은 損害保險業을 中心으로 檢討하기로 함)

(第1表) 朝鮮內 金融資本의 民族別 構成表

	社數比率(%)		拂込資本比率(%)	
	朝鮮人	日本人	朝鮮人	日本人
	銀行	33.8	66.2	7.7
信託	—	100.0	—	100.0
無盡	5.3	94.7	11.6	88.4
其他金融	61.9	38.1	56.5	43.5
保險業	85.7	14.3	9.1	90.9

### 2. 解放後의 動向

解放後의 朝鮮損害保險業의 動向은 斯業이 特殊한 事業인 만큼 確然히 區分할 수는 없으나 大略 다음과 같이 三段階로 나누어 觀察할 수 있었다.

#### 第一期 (1945.8.15.—1946.3)

解放에 依한 政治經濟의 變革으로 因하여 損害保險業界도 整理를 하지 않을 수 없게 되고 同時에 法令第33號에 依하여 日本에 本店을 두고 朝鮮에 進出하였는 15損害保險會社는 軍政廳 財務部 損害保險課에 歸屬하여 其 管理을 받게 되었고 各社는 日本本國에 對한 空計定單所 持限을 잃고 事實上 保險業界는 中斷되었었다. 그러나 名目上 이나마 營業을 繼續한 會社는 朝鮮火災海上 社로 있고 他面 1946年初 頭부터 新會社 組織의 氣運이 雨後竹筍之格으로 擴充하게 되었다.

#### 第二期 (1946.4.—1947.3)

法令第33號에 依한 歸屬 財產의 管理力이 決定되고 政界 經濟界가 漸次 姑息의 이나마 宥定되자 保險業 再建 再開에 對한 企業熱

이 勃興하여 第2表와 같이 火災保險會社는 現存 企業의 大部分을 차지하는 歸屬 事業體의 歸趨及 管理程度가 殿跡하고 加之 津業의 生産停頓 保險思想의 低位等으로 火災保險事業發展의 素地가 아직 薄弱한 데도 不拘하고 競爭의 으로 濫設되었었다.

(第2表) 新設火災海上保險會社一覽表

(1948. 3. 現在)

社 名	設立年月日	代表取締役	拂込資本金
朝鮮火災海上保險株式會社	1922. 7. 8	金 信 錫	1,250,000
新 莫 亞 損害保險株式會社	1946. 4. 1	黃 炳 碩	10,000,000
大韓火災海上保險株式會社	1946. 5. 20	河 元 俊	12,500,000
서울火災海上保險株式會社	1946. 5. 1	安 碩 達	12,500,000
韓國火災海上保險株式會社	1947. 7. 1	盧 泳 斌	20,000,000
高麗火災海上保險株式會社	1948. 3. 15	柳 基 龍	20,000,000
國際損害再保險株式會社	1947. 2. 1	朴 璩 齋	20,000,000

此期間에 있어서 保險事業의 勸進을 보면 第3表와 같이 顯著한 進展을 보였으나 1916年 10月以後에 있어서 是은 季節商品의 附保가 臨時的으로 增加한 外에는 一般의 進展이 遲々하였음을 알 수 있다.

(第3表) 損害保險事業概況 (單位千圓)

會社數	契約件數	保險金額	保險料	罹民支拂件數	支拂保險金	
1946. 4	4	4,478	145,874	2,477	23	92
5	4	5,217	240,618	4,456	14	120
6	4	5,428	307,273	6,362	15	258
7	4	6,067	387,203	6,615	26	821
8	4	5,750	359,858	6,320	9	379
9	4	5,153	369,649	6,283	3	183
10	4	7,100	535,500	7,278	3	198
11	4	8,067	822,157	10,675	10	122
12	4	6,798	979,689	13,684	32	1,106
1947. 1	4	6,355	851,604	9,502	24	1,649
2	4	8,287	1,013,454	10,845	32	611
3	4	12,194	1,169,429	15,914	63	1,997

各社의 競爭으로 業績은 昂揚되었으나 概括의 이나마 同期間의 綜合靜態分析을 加하여 보진대 于 先結論부터 列舉하면 다음 數點으로 要約된다.

1. 創立初사 이 단만 補 填補力은 아직 薄弱한 狀態에 있다는 것 概理上으로는 基金의 多少는 別問題이지만 保險思想이 低級하고 加之 新設會社의 境遇에는 損害保險의 公債力은 亦是 資本金及 諸積立金에 依存하는데 總契約獲得高에 對한 比率는 大略 1937年平均인 16.8%의 約10%에 不過하다 는 것.
2. 資產의 運用度가 낮다는 것 運用 資產對 不動 資產의 比率는 55 : 45로 資產의 殆半이 游休狀態에 있다는 것 이것은 現在 證券投資의 殆無 安全貸付對象의 稀少等으로 保險投資原則에 符合한 資產運用을 할 수 없는 데 起因한다.
3. 事業費支出이 莫大하다는 것 一般經營 契約 募集費 公課負擔金은 事業費의 一括하면 解約退金을 除外한 實收保險料에 對한 事業費의 比率는 大略 46%로 1937年度 平均率 31.4%에 比하여 約15%高率이다. 此는 物價騰貴 代理店

費用의增嵩等創業費의支出도 그의原因이되어있지만 其外에도 同業者間의無甚한競爭에依한 擴大原則의弊端도있는것이다

- 4. 危險分散度가大體로낮아지는것 元受保險의危險을 再保險으로分散하는것은 損保經營上의原則인데 現在의危險分散度는 1937年度의平均56% (最高 80.76%) 에비하여 훨씬低位하다

第三期 (1947. 4以後)

第4表가明示하는바와같이 會社經營에있어서競爭이이미 成立되지않는다는것을 認識하게되었다 契約件數의增加는別大移動이없지만 實質的으로는保險金額이增加하고있어 優良物件의選擇을科學的으로하게된것을表示하고있다 同時에支拂保險金의增加는 損保會社의公信用을테스트할수있는 有力한證左의하나가되고있으며 一般的으로安定化되어가는것이 明白하다

(第4表) 損害保險事業概況 (單位千圓)

	會計數	契約件數	保險金額	保險料	罹災件數	支拂保險金
1947. 4	4	5,703	830,383	14,521	21	1,308
5	4	7,102	948,650	15,863	21	209
6	4	7,120	999,075	16,702	17	720
7	5	8,342	1,048,003	15,923	16	1,068
8	5	7,365	1,230,202	17,726	18	1,711
9	5	7,260	1,339,870	21,820	16	31
10	5	9,481	2,344,795	33,908	11	308
11	5	9,770	2,400,497	33,373	21	1,230
12	5	8,808	2,647,066	49,172	42	2,342

該期間에있어 47年 7月에韓國火災, 48年3月에高麗火災가 大邱에設立되어 損保界는前掲第2表에記載된바와같이元受會社 6社, 再保險會社 1社로增加되어 各社間의營業分界決定, 再保險問題는緊急한課題로되어있다 同期間의靜態分析은資料未入手로知悉할수없으나 主要計定表示하면第5表와같다

(第5表) 主要計定表 (1948. 3月末現)

A. 1948 3月末現在		B 1947 4—1948.3	
總資產	340,000,000圓	契約件數	101,345件
積立金	249,000,000	保險金額	23,674,700,468圓
		保險料	345,180,490

3. 解放後實施된保險對策

解放後保險界에對한 軍政當局의施策은 始終一貫而極的이였으며 다만 (1) 新設會社의資本金限度를1千萬圓으로引上한것 (2) 責任率準備金의算出方法에一部修正을加한것 (1941年日本大藏省令第71號施行規則第33條修正) (3) 現在損保經營에있어서 一大支障이되어있는 代理店貸計定의本店集中을 強制한것以外에는 從來의保險業法及同施行規則을準用하고있을뿐이다 他面業者側에서도 1946年8月 朝鮮損害保險協會를組織하여 業者相互間의協調을促進하고 1947年7月에는 大韓火災에서主로小規模商工業者相對의 月賦式保險의經營을 實施하여야注目을끌었던 經營難打開 危險分散을爲한自治的措置는 아직實施되지않고있는現狀이다

4. 火災保險契約의對象物

火災保險業者에依한對象物은 第一 金融機關抵當物件 第二 大企業體 官公署所有에依한工場及公有物件 第三 一般人的普通物件의 三種類로區別할수있는데 解放後의實態를보면 金融機關抵當物件이基에있어서 全體의 70%~35% 을占하고있고 收入保險料를基準으로보면 金融機關抵當物件에對한것이約 50% 工場物件과公有物件에依한것이 40% 一般物件이 10% 로觀測된다 普通物件契約이 적은것은 現行料率의 高率이어서 契約者의負擔過重으로 保險需要를萎縮시키고있는點이指摘된다 保險料負擔問題는 現下의生産費의騰貴로關聯되고있는것이며 萬若生産工場에高壓料率이轉嫁된다면 此는生産復興上看過한問題로 料率問題가後述하는바와같이 今

後의重要課題의하나로된것이다

5. 損害保險界의當面問題

以上과如히解放後에實施된保險政策이없으면만큼 今後損害保險界에賦與된問題는 許多하다고 할수있다 正史與與의保險問題 借用供與와附保問題 歸屬事業經營管理에關한는債權供與의問題 危險率의測定을爲한火災統計의整備問題 普通約款의檢討 危險分散의問題 有價證券投資停頓에關聯한保險投資原則의修正에關한問題 (保險業法再吟味의問題) 賠償請求의保險經營主義에關한問題 (保險國有化乃至保險經營倫理에關한問題) 科學的料率決定에關한問題 貿易再開과海上保險問題 免責約款 外國保險會社의進出 國際的再保險 傷害保險及運送保險의開始等 數多한問題가있지만 大別하면保險行政의確立 業者自體에依한料率低下策及保險會社相互協同組織의整備에依한再保險의問題가생각되는데其中重要한몇가지를摘記하면 다음과같다

(1) 料率低下의問題

現在의料率이高騰한理由는 (1) 新發足會社인만큼保險金이 낮은것 (2) 損保事業에對한現經營者側이保險經營의公共性社會性을忘却하고 保險料의蓄積인保險基金을 自己의關係事業及附保에利用하는傾向이있다는것 (3) 保險技術者의不足 (4) 獎勵政策에依한拙劣한競爭等이主因이되어 附加保險料의騰貴를招來하여 結局現在와같은料率이된것이다 營業保險料는普通 總保險料(危險料) 50% 附加保險料 50% (其中那業費率 40% 會社利益率 10%) 가基準인데 一般那業費가高騰하여 會社利益率을壓縮한뿐아니라 總保險料分까지侵犯하는現狀이다 故로獎勵主義의是正等契約募集費의節制, 保險分野設定 競爭撤廢) 로써 料率低下에依한保險需要의增大을圖謀한것이다

(2) 再保險의問題

가장有力한것은 從來와形體로서 損保業에년리實施되어오던 풀(pool) 制度인데 此制度의重要한機能은 危險의平均化, 競爭의抑制, 正貨流出防止等이다 此풀一制度의一種이即利益分配協定 料率協定풀一인데 現實에있어서極히積極의이고 同時에各社의積極的活動이制止되고 또加盟會社에對한配分이困難하여 勤勞會社와의不公平性이있어 實施難임으로 結局에있어 一社가一個或은二個의金融機關을擔當하여 保險營業分野를畫定하는것이考察된다 或은此에附加하여 地域營業區域을策定하는것도良策인것이다 地域策定에는産業의動態 保險思想의普及程度等으로考察한契約可能被保險物件의量에依하는것이必要하다 要컨대 이러한協調組織은 危險을分散시킬뿐아니라 事業費의節約 外務社員의努力節約 契約引受의制限 高額物件의引受促進 外國損保會社의進出防止等의得點이있다 要컨대危險分散不當競爭防止의見地에서 再保險풀一의實現이要望된다

(3) 保險經營主義의問題

所謂保險의社會化의問題인데 今次大戰後東歐諸國에서는 即時國有化 西歐에서는漸進穩健的으로國有化를實施한다는氣運이있고 佛蘭西는 1946年國有化를斷行하였다 朝鮮에있어서도銀行國有化問題와같이 널리讓者間에論議되고있고 美蘇共委에提出된管中管에國有化의氣色이 濃厚한것같이懸得된다 然이나保險에關한限 當分間民營을繼續하여自治的으로成育시키는것이即時社會化보다도有利하고 純理上으로본다면保險團體에依한保險經營이가장理想的인것이다 어찌든再保險國營을爲始한保險經營主義의問題는 當該局及斯界의中心課題의하나일어는틀림없다

(4) 海上保險의問題

損害保險中가장偶發의이고 確率의應用이 어려운保險이므로 長久의經營經驗과傳統에依하지않으면 經營하기가이러운것이다 現在에있어 海上保險에關한限 朝鮮은 處女地이고 그런만큼強力한外國海上會社의進出이憂慮된다 거기에는 自主的인貿易의發展과 朝鮮經濟의隆盛이相俾되어야하고 海上保險業務再建에안서 相當準備及人的完成이必要한것으로보이며 積極的인國家의援助가있어야한것이다



# ◇ 解放後土建界의 動向 ◇

解放을契機로 土木建築事業은 一時停頓狀態를示現하였으나 美軍進駐部隊의 急設工事が始作된 同年11月頃부터 斯界는 再活을보이였다

當時美軍部隊로부터 朝鮮土建界의 唯一한 指導機關인 朝鮮土建協會에 業者推薦을 依頼한 바 있었음으로 同協會에서는 一流業者 15名을 推薦하여 美軍部隊工事は 密着施工에 進미하였으나 去益增加하는 部隊工事は 以上の少數業者으로는 到底消化하기 困難한 狀態에 達하였다 이러한 現象은 一般에 可은 衝動을 주어 既往의 業者는 勿論 無數한 速成業者가 美軍部隊工事に 對象으로 亂立되어 1946年度에 있어서 斯界는 大角進展化하였던 것이나 當時의 斯界는 主로 美軍의 諸般施設工事로서 其中에는 軍秘로 된 工事も 不少하여 確實한 統計는 算수없다 그러나 서울市 朝鮮土建協會 事務局中心으로 한 美軍關係工事統計를 보면 1945年度 建築其他工事は 合計 10,215,541圓에 不過하였으나 1946年度에 있어서는 土木이 66,004,758圓 建築이 556,862,672圓 其他工事が 176,960,012圓 合計 793,827,442圓이었다 이統計에는 前述한 바와 같이 서울市 朝鮮土建協會 事務局(138亦業體)이 消化한 工事總額에 限한 것으로 發表하지 못한 秘密工事 部隊直營工事 其他非會員이 消化한 工事を 都合하면 ××億圓을 凌駕할 것으로 推測된다 釜山 木浦 光州等 美軍部隊가 多數駐屯한 地區의 工事總額은 統計가 無었음으로 알수 없으나 上記의 統計數字로 보아 美軍部隊가 如何히 莫大한 工事를 하였던가를 可히 推測할 수 있을 것이다

1947年度에 있어서는 美軍部隊工事は 全般的으로 低調狀態를 示現하여 土木이 127,273,344圓 建築이 342,636,539圓 其他工事が 100,010,904圓 合計 569,920,787圓 으로 1946年度에 比하여 約 2倍 3千萬圓의 減少에 達하였다 此에 地方其他非會員 消化工事總額을 綜合하면 兩年度의 全美軍進駐部隊 實行工事總額은 ××億圓을 實現하였음으로 推測된다 1948年度에 이르러서도 美軍關係工事は 低調一路로써 新規大工事は 算수 없었고 僅少한 修理工事程度에 止어졌으며 特別 5月10日 總選舉를 앞두고 國際情勢轉換으로 말미암아 4月27日 美軍部隊工事は 全面的으로 中止命令이 내려 從來의 美軍部隊를 舞臺로 삼은 業者에게 一大打擊을 주었다 一面 國家建設에 緊急히 必要한 建設事業의 發展過程을 보면 過去에 日帝가 朝鮮을 兵站基地化하여 平和産業施設을 無數히 破壞하였으며 多年間 軍事關係以外의 一切 建設이 放任되어 있었음으로 解放以後 斯界에 附與된 緊急한 建設工事は 山積되어 있었던 것이 사실이다

然而 解放以後 美軍의 諸般條件으로 말미암아 産業復施設 道路網의 整備 橋梁建設 生産工場施設 戰災民住宅 改築等 一部 緊急工事を 除外하고는 何等의 進展을 보이지 않았 1946年以來의 서울市에 根據를 둔 官公署 水利組合 聯合會 農地開發機關 其他公共團體 學校 등의 實行工事を 보면 19年度에 있어서는 土木이 152,187,768圓 建築이 515,702,858圓 其他工事が 108,634,954圓 으로 合計 776,525,580圓 이 으며 1947年度는 土木이 581,352,210圓 建築이 597,949,8圓 其他工事が 128,081,940圓 合計 1,307,383,999圓 이었다 上記의 同會員 消化工事가 全朝鮮 工事總額의 5分之3을 占하고 있어 兩年間의 全朝鮮 官公署 其他公共團體 實行工事は 約 35億圓을 凌駕할 것으로 보인다

1948年에 이르러서는 全面的으로 建設工事界는 低調一路이 으며 5月末까지의 統計를 보면 土木이 100,382,100圓 建築이 303,119,313圓 其他工事が 61,329,600圓 合計 464,831,0圓 이었다

民間工事は 解放以後 1946年까지는 停頓狀態로서 家屋修程度에 止어졌으나 1947年以來 多少 新築工事が 續出하는 情勢를 이었으며 1948年度에는 住宅經營을 目的으로 하는 土建築者의 出現하였음으로 보아 앞으로 民間工事は 活潑한 動態를 보 것으로 推測된다 朝鮮土建協會 事務局이 解放以來 年々末까지 消化한 民間工事は 서울地區만 195,429,330圓에 達하였다

以上 敘述한 바와 같이 解放以後 土木 建築工事의 總額은 去巨額化하고 있으나 解放以來 基礎를 거듭하여 온 諸般物價 勞務를 按分觀察할 때 그다지 活潑하였다고는 算수 없었다 資材面을 보면 解放後 生産은 全面的으로 停頓되고 日軍이 確保하였 土建材料과 一般業者의 在庫品으로 1946年及 1947年 兩年은 어느 程度 施工하여 왔으나 兩年間에 거의 消盡하여 現在는 然濁狀態에 陷入하고 있다 一例로 土建事業에 第一重要한 材인 『세멘트』는 그 大部分을 北朝鮮에 依存하고 있으나 障으로 物資交流가 中斷되어 1948年 5月末 現在 1包당 費 1,200圓 單未曾有의 高騰을 보이고 있다 이와 같이 資材는 品貴하여 連하고 있으며 特別 『세멘트』 問題가 解決되지 않는 限 大規模 亦遂行은 可望이 없을 것으로 보인다 前記한 바와 같이 解放以後 土建企業의 亂立은 보아 서울市만 하여도 一時 3,000餘를 計하였으나 1947年以來 美軍工事의 低調과 物資不足 資金不足 등으로 群少企業의 解散이 續出하고 있다

(第1表)

企業主別 工事額 (單位千圓)

		1945年	1946年	1947年	合計
各企業官公署 其他公共團體	土 木	—	152,187,768	581,352,210	733,539,978
	建 築	—	515,702,858	597,949,849	1,113,652,707
	其 他	—	108,634,954	128,081,940	236,716,894
	小 計	—	776,525,580	1,307,383,999	2,083,909,571
美軍部隊關係	土 木	2,520	66,004,758	127,273,344	193,230,622
	建 築	5,682,270	556,862,672	342,636,539	905,181,481
	其 他	4,530,751	176,960,012	100,010,904	281,501,667
	小 計	10,215,541	793,827,442	569,920,787	1,379,963,770
民 間	土 木	50,000	—	9,950,000	10,000,000
	建 築	2,955,000	26,430,000	135,347,203	164,732,203
	其 他	1,001,763	2,592,768	17,093,591	20,688,122
	小 計	4,006,763	28,022,768	162,350,793	195,429,331

合 計	土 建	木 架	52,520	218,192,526	718,575,554	2,183,566,396
	其 他	合 計	8,637,270	1,098,995,530	1,075,933,596	
	合 計		5,532,514	288,187,734	245,186,435	
			14,222,304	1,605,375,790	2,039,695,585	

註 1. 朝鮮土建協會會員 138事業體外消化量工事額制限  
 2. 其他欄에는土木建築工事外의電氣水道等工事是指稱함

(第 2 表) 工 事 別 工 事 額 (1948. 1.~5.)

工 事 別	工 事 額	工 事 別	工 事 額
土 建	100,382,100	其 他	
木 架	302,119,313	合 計	

註 本統計는 서울市内各企業官公署公共團體實地工事의可美軍部隊及民間工事는除外함

(參考) 水 道 狀 況 累 年 對 照 表

年 度	水 管 延 長 (米)	給 水 戶 數	配 水 量 (立方米)	給 水 栓 數				給 水 料 (圓)
				專 用 栓	共 用 栓	消 火 栓	給 水 栓	
1928年 (30)	818,489	115,708	20,963,583	28,686	6,877	3,162	64	1,752,516
1929 (30)	839,385	129,729	21,211,616	33,932	7,602	3,274	69	1,897,211
1930 (33)	936,704	119,105	24,300,509	33,210	8,694	3,265	79	
1931 (33)	1,027,241	124,054	24,636,889	43,424	8,374	3,634	63	2,022,116
1932 (34)	1,049,317	136,780	25,993,907	47,990	8,605	3,886	108	
1933 (45)	1,254,636	150,155	28,987,578	54,163	8,953	4,544	112	
1934 (46)	1,268,403	164,242	29,581,110	60,167	9,061	4,793	123	
1935 (55)	1,395,187	183,002	33,310,575	68,061	9,348	5,348	112	
1936 (59)	1,400,096	197,437	38,185,644	76,486	9,449	5,765	116	
1937 (64)	1,575,150	219,750	42,635,596	84,213	9,637	6,266	135	3,384,234

(參考) 道 別 水 道 狀 況 (1937年度)

道 別	水 管 延 長 (米)	給 水 戶 數	配 水 量 (立方米)	給 水 栓 數				給 水 料 (圓)
				專 用 栓	共 用 栓	消 火 栓	給 水 栓	
總 數(水建)	1,575,150	219,750	42,635,596	84,213	9,637	6,266	135	3,384,234
京 畿 道	373,490	84,728	16,208,140	35,087	3,239	2,069	13	1,349,138
忠 清 北 道	16,212	756	99,719	526	56	43	—	17,784
忠 清 南 道	89,207	3,908	1,302,887	2,195	280	242	1	99,009
全 羅 北 道	99,997	7,003	1,208,170	4,105	284	357	4	122,827
全 羅 南 道	112,245	10,800	1,874,719	3,626	524	332	5	159,534
慶 尙 北 道	103,253	11,743	2,288,049	4,830	466	396	1	1,376
慶 尙 南 道	307,795	24,628	4,926,988	10,463	1,363	1,041	70	4,417
黃 海 道	62,547	4,263	947,272	1,325	193	133	2	,254
平 安 南 道	131,750	30,958	7,111,930	10,144	1,158	610	6	3,606
平 安 北 道	49,504	8,955	1,287,040	1,522	316	166	1	,587
江 原 道	31,104	2,135	447,085	919	138	91	—	,495
咸 鏡 南 道	105,073	13,210	2,880,637	6,713	930	474	12	,605
咸 鏡 北 道	92,973	16,663	2,052,960	2,758	690	312	20	,602

# 地方經濟篇

## 附 錄

解 放 後 (1945~1947)

### 南朝鮮道別經濟動向調查 (九道一市)

#### ☆ 濟 州 道

- 1. 概 觀
- 2. 農業及食糧
- 3. 水 產 業
- 4. 牧 畜 業
- 5. 工 業
- 6. 商況及貿易
- 7. 金 融
- 8. 後 記

附 物價、勞賃、道民所得統計

#### ☆ 忠 清 南 道

- 1. 概 觀
- 2. 農 業
- 3. 工 業
- 4. 鑛 業
- 5. 商 況
- 6. 水 產 業

一般經濟、金融、物價、勞賃

附 忠南道斗經濟的特色

#### ☆ 全 羅 南 道

- 1. 概 觀
- 2. 農 業
- 3. 工 業
- 4. 鑛 業

金融、物價、勞賃、纖維、理化學

米、蠶、棉、石炭、銅、

#### ☆ 忠 清 北 道

- 1. 概 觀
- 2. 農 業
- 3. 商 況
- 4. 鑛 業
- 5. 工 業
- 6. 金 融 其 他

農、林、

#### ☆ 全 羅 北 道

- 1. 概 觀
- 2. 農 業
- 3. 商況及貿易
- 4. 鑛 工 業
- 5. 水 產 業
- 6. 金 融

農、林、畜、

附 群 山 港

#### ☆ 江 原 道

- 1. 概 觀
- 2. 農 業
- 3. 商 況
- 4. 鑛 業
- 5. 工 業
- 6. 水 產 業
- 7. 金 融 其 他

農、林、

#### ☆ 慶 尙 南 道

- 1. 概 觀
- 2. 農 業
- 3. 鑛 工 業
- 4. 商況及貿易
- 5. 水 產 業

一般經濟、金融、物價、勞賃、

附 工都釜山身價問題

#### ☆ 京 畿 道

- 1. 概 觀
- 2. 農 業
- 3. 商 況
- 4. 鑛 業
- 5. 工 業
- 6. 水 產 業
- 7. 金 融 其 他

農、畜、林、

#### ☆ 慶 尙 北 道

- 1. 概 觀
- 2. 農 業
- 3. 商 況
- 4. 工 業
- 5. 水 產 業

金融、物價、勞賃、特產

農、林、

#### ☆ 서울特別市

- 1. 概 觀
- 2. 農 業
- 3. 商 況
- 4. 工 業
- 5. 金 融 其 他

(地 2)

여 백

# ★ 濟 州 道 (CHECHU PROVINCE)

目	次
1. 總 觀	5. 工 業
2. 農業及食糧事情	6. 商業及貿易
3. 水 產 業	7. 金 融
4. 牧 畜 業	8. 後 記

附 物價、勞賃、道民所得統計

## 1. 總 觀

海洋에 孤立하는 本道는 地理的條件及自然的條件이 道內產業構成、經濟發展、經濟生活及生活樣式까지를 規定하고 있다. 即海洋에 孤立되어 있는 天賦的條件과 並行하여 中央에 雄大한 容姿로 서 嚴然히 聳立하고 있는 漢拿山과 臨海하여 있는 同山脈又是 各處에 突出하고 있는 熔岩은 當地의 經濟的特色을 形成하는 素因이 되고 있다. 然而나 四面이 臨海하여 海岸線 253 km 에 達함에 不拘하고 不備하나 地理的利를 享有하는 良港은 濟州、翰林、西歸浦、城山浦等을 除外하면 殆無한 狀態이고 部落도 山腹又是 山麓의 平坦地에 點在하며 그 大部分이 海岸地帶에 散在하고 있을 뿐 아니라 牧畜以外는 全產業이 海岸에 集中되고 있다. 또 同道의 自然的現象으로써 바람(風) 많고 돌(石) 많고 女子가 많다는 것이 唯一한 特徵이다. 特히 陸地와 正反對로 路上에서 의 物資運搬 暗市場에서 의 商去來等은 그 八割以上을 女子들이 하고 있는 것은 特異한 現象이다. 그렇다고 해서 同道人口의 八割以上을 女子가 占하고 있는 것도 아니며 勤勞를 女子만이 하는 것은 아니다. 即 1946年 末 現在 總人口 271,379 名中 男子 127,701名, 女子 143,678名으로 結局 女子는 男子에 比하여 約 2 萬名을 超過하는 데 不過하고 男子亦是 陸地人인 以上 勤勞하고 있으나 男女職分相違關係로 街頭에 의 出現이 적을 뿐이다. 零細農耕과 資本的으로 薄弱한 水産을 基軸으로 하는 產業體制과 經濟的構造及其發展은 極히 低位하고 不具化하여 其 脆弱性을 胚胎하고 있다. 經濟學者 리스의 經濟發展段階說로 본다면 第二段階인 農牧段階을 離脫하지 못하고 있을 뿐더러 基幹產業이 타락할 수 있는 水産業과 農業의 生産關係도 原始的의 自給自足의 域에서 脫皮하지 못하고 있는 現狀이다.

元來 道民의 經濟力은 一般的으로 極貧極富가 殆無하여 富의 偏在가 없 均衡的으로 되어 있다. 例컨대 土地만 보더라도 大地主도 없고 極貧農도 없어 原始的의 共産經濟社會을 彷彿하는 特異한 經濟社會이다. 그리고 單一職業等으로 主하는 陸地와 相違하여 同道民은 農業、水産、牧畜을 大部分이 多角的으로 兼營하고 있고 從來는 總人口의

三分之一에 達하는 日本에 의 出稼者에 依한 送金等이 多額에 達하였음으로 道民의 經濟力은 鞏固하고 堅韌하였다. 勿論 同道가 解放以後 日本商品及 日本軍이 殘置한 軍需品으로 因한 卒富도 多數有하나 이 巨富層은 大部分이 釜山、서울、仁川、木浦等 陸地重要都市에 移住하고 現在 道內에는 中小階級만이 殘存하고 있는 狀態이다. 이는 政治鬭爭이 甚한 道內에서는 그들 致富層의 生活은 左右間 注目의 標的이 된다는 것과 當地에서는 巨額資金의 利用對象이 없는 關係이 +.

海外로 부터 歸還한 同道出身同胞들도 既往부터 各自 故鄉에 經濟的準備과 貯蓄을 하고 있었고 入國當時 어느 程度의 現金或은 物資를 搬入하여 왔음으로 現在 서울等地에서 보는 悲慘한 戰災生活風景은 發見하기 難한 程度이다. 이 現象은 道民의 平素 經濟力이 鞏固하였다는 表現이며 地理的 環境과 또 過去 經濟生活의 體驗에서 必然的으로 發生한 自立自營의 精神이 그렇게 한 것이다. 即 陸地에 隔離되어 孤立하여 있는 同道民은 恒時 他力에 依存이 하는 것을 生覺할 餘地가 없었던 것이며 自立自營을 主로 恒時 節約貯蓄과 努力하는 것을 常習으로 하여 왔었던 것이다. 多少의 利益만 있으면 勞苦를 不問으로 男女老少가 木浦等 陸地 沿岸에 來往하여 所謂 木다리 강 사물하도더니 光景과 婦女子가 數千里 太平洋 波濤를 橫斷하여 日本等 外國과 私貿易에 當하고 있는 事實은 道民의 活動의 人氣象과 經濟生活力의 海洋의 人旺盛을 表示하는 것이다.

## 2. 農業及食糧事情

本道 總面積 187 千町步中 耕地面積은 田 93,089町步 畜 892 町步 計 93,981 町步이며 田은 耕地面積의 9割9分이고 畜은 一分에 達하지 못한다. 그리고 農家一戶當平均 耕地面積은 2.02町步이며 陸地平均面積 1.44町步 (1936年 現在)에 比하면 그다지 零細化되지 않고 있으나 其 收穫量을 考慮하면 別無 差異이다. 即 同道 水稻平均 反當米穀生産量 1.029石 (自 1940年一 至 1946年平均 俱陸稻平均 反當生産은 0.45石)에 比하여 陸地는 1.315石 (自 1937年一 至 1941年平均) 이고 麥類는 同道 反當生産量 0.695石 (自 1940年一 至 1946年平均)에 對하여 陸地는 0.864

石(自1937年一至1941年平均) 등의 反當 生産量 差異를 示現하고 있는 것이다。元來 同地의 地層은 漢拿山으로 부터 噴火 流出한 熔岩으로 形成되고 土質은 玄武岩의 風化한 것과 火山灰土가 變化한 輕壤土임으로 其土質이 極히 瘠薄하여 多量의 肥料을 要하는 데다가 因襲의 粗放農法의 弊를 甘受하고 있음으로 生産量은 低率하다。그리고 同道의 農耕地 所有關係는 特別히 地主라 稱할 수 있는 集中土地 所有者가 없으며 極端의 細農家도 殆無하다는 등 土地 兼併의 弊가 없음을 指摘할 수 있다。또 農耕地 所有關係를 階級別로 觀察하면 下記表와 如히 陸地에서는 小作農이 全戶數의 56.6% 自作兼小作農이 25.1% 計 81.7%를 占하고 있음에 反하여 同道에서는 自作農이 71% 自作兼小作農이 20% 計 91%를 占하여 小作農은 被傭者를 包含하여 9%에 不過하다는 등 土地 所有關係가 陸地에 比하여 合理化되고 있다。同時에 大部分의 農家는 水産 또는 牧畜業 등을 兼營하여 多角的인 經濟活動을 하고 있는 故로 農作의 豊凶으로 因한 經濟的影響이 比較的 적고 生活基盤은 鞏固하다。

農家의 自小作別 構成

種類別	濟州道	全 鮮	
自作農	30,820戶 71%	529千戶	18.3%
自作兼小作農	8,611戶 20%	729千戶	25.1%
小作農	3,538戶 9%	1,641千戶	56.6%

備考 濟州道 = 小作農에는 被傭者를 包含함

註 { 濟州道 1946年現在  
全 鮮 1942年現在

同道主要食糧品의 1941年~1946年 6個年間總平均生産高는 481,110石이고 其中 米 生産은 14,522石으로 全體의 3%를 占하고 所謂雜穀의 生産은 97%를 占하여 雜穀 生産量의 地位는 絶對的인 것이다。그 生産分布와 生産量比率는 南朝鮮과는 相反하고 雜穀 主要生産地인 北朝鮮에 近似하다。

上記以外로 主要特殊農作物은 年平均으로 陸地 棉約 14萬斤、大麻 5千斤、荻草 2千2百斤、除虫菊 9萬7千斤、夏蜜柑 3千貫、蜜柑 7千貫、陳皮柑 1萬5千貫、大橘 3萬貫等 多種多樣의 特殊農作物이 多量生産되고 있다。

濟州道 主要食糧年別 生産狀況 (單位石)

品 種	年 別	1941	1942	1943	1944	1945	1946	平 均 全數量에 對한 平均比率
米		20,102	11,236	19,310	11,151	11,152	14,182	14,522 3.00%
大 麥		222,509	83,075	124,030	169,642	135,578	61,374	132,701 27.42%
小 麥		3,475	3,637	3,675	6,940	6,183	2,340	4,375 0.90%
裸 麥		54,740	66,834	77,091	91,557	45,719	20,071	59,334 12.26%
粟		98,498	93,994	169,346	160,845	88,753	99,684	118,520 24.48%
玉 蜀 黍		43	32	65	93	61	17	51 —
蕎 麥		16,972	5,646	12,001	25,103	7,954	11,620	13,216 2.73%
大 豆		14,388	6,007	11,380	19,893	7,889	10,392	11,658 2.40%
小 豆		1,176	631	1,521	2,263	630	1,255	1,246 0.26%
甘 藷		108,339	72,321	192,868	116,608	167,114	113,673	128,487 26.55%
合 計		540,242	343,413	611,287	604,089	471,033	334,608	484,110 100.00%

前記表가 示現하고 있는 바와 같이 主要食糧中 米 穀 生産量은 僅少하고 甘藷、麥類를 爲 主要한 雜穀 生産을 主要하는 同道 主要食糧은 米 穀에서 雜穀으로 代替하지 않으면 아니 될 運命에 있는 것이다。그리하여 米 穀은 特殊階級 또는 特別한 機會以外는 食用지 못한 것 이 既往의 實績이다。雜穀은 解放前까지 多量을 工業原料로 轉化하고서도 自給自足하여 왔으며 現在도 亦是 自給自足의 域에 있으나 米 穀만은 從來는 年平均 3萬石、1946年度는 約 2萬5千石을 陸地에서 補給을 받았으며 今年도 亦是 約 5萬石이 不足한 實情이다。近來 特別히 米 穀不足을 告히 去된 原因은 解放後에 急進的으로 增加된 人口關係와 陸地人의 積蓄한 來往과 米 穀消費의 一般化等이 主要原因이 되고 있다。

1946年度 他道로부터의 輸入食糧數量(單位石)

種 類	數 量
米 穀	24,901
小 麥	14,982
小 麥 粉	5,354
大 麥	4,648
玉 蜀 黍	159
蕎 麥 粉	23
合 計	50,067

食糧收集은 下記表와 如히 日標數量에 對하여는 相對的으로 好成績이다。

食糧收集實績表

年度別	種類別	割當量	收集量	代價
1946年	秋 穀	2,500	2,207	1,657,356 <sup>円</sup>
1947年	夏 穀	17,000	17,080	32,000,000

同道特殊事情即食糧餘裕農家は 全農家の10%, 自給自足이50%, 不足이40%라는것과같은90%以上の農家は自給自足以下로써供出餘力이 없는細農家이고 또地主라稱할수 있는餘裕農家도皆無한狀態이다. 1947年度夏穀配給實績을보면 全收集量 1萬7千石中農家還元配給이 1萬3千8百石, 全體의81%, 非農家配給이 3千2百石으로全體의19%에不過하다는事情等은 同道食糧收集이實情에符合치않은것을表現한다. 1946年度에他道로부터의搬入量實績이顯現하는바와같이 米穀 2萬5千石을雜穀로麥類等多量의食糧이陸地로부터搬入되었으며 此外에도所謂부터商人이 (特別婦女) 陸地에連續來往하여主로米穀을搬入하고 있는等米穀不足은酷甚하고 또그들의米穀에對한慾望은徹底한것이다.

### 3. 水 產 業

耕地面積이狹少한關係로産業發展은 必然的으로漁業에集中되었나. 海岸에圍繞되어있고魚種의多樣性을具有하고 있는等 天與의立地條件은道民으로하여금 宿命的으로海洋과不可分의關係를맺게하고 있는것이다. 即四面環海의長大한海岸線과海洋의溫和한氣象에다가寒暖二潮流가沿岸에서交叉함으로寒暖兩流의魚族을誘致하고 屈曲한海岸線은魚族棲息에適合한條件을具備하고 있는것이다. 그리고水産資源에有利하여洄遊魚族及定着魚族이豐富하고 魚貝藻類等漁場을抱擁하고 있음은勿論, 遼洋漁業發展에地理的利를具有하여局限된土地産業에比하면前途洋々하며 海洋進出으로서의道民發展이期待된다. 이러한好條件에도不拘하고從來道民漁業의生産關係는單純한延繩漁業及小規模의簡單刺網漁業等이었으며 小漁場만이朝鮮人에게殘置되었음으로 그들은原始的의魚具를使用하고沿岸에定着한魚貝藻類를採捕하는데不過하였다. 勿論同道漁民의大部分은半農半漁이었고 또從來는日本에出發하는것이經濟的이라는觀念이였다는것이同道民間漁業의萎縮을招來한原因의하나이나機船曳曳網, 機船巾着網과沿岸大漁場은日本人이壟斷되고 特別捕鯨漁業等의遼洋漁業은日本林業會計外 日本人에獨占되어 朝鮮零細漁業者는 그들의被擯의地位를免하지 못했던것이다. 그러므로道民은自然의天與의恩澤을甘受치 못하고 그날그날의綱口之策략에안되었던것이다. 그러던解放後現狀은如何한가? 政治的社會的影響과波紋에따資金

難, 資材及技術難等의生産隘路가重疊하여 確固한地盤이樹立되지 못하고 暗中摸索의狀態이며 漁撈方面과製造方面도 亦是不自由, 不活潑한環境에處해있다. 特別沿岸漁業을主로하는大多數의零細漁民들은資金難의酷甚으로因하여 窮境에墮落하고 있어水産不振의主原因도資金難에歸結된다. 同道內金融機關의水産金融은 最近까지僅少이었으며現在도消極的인것이事實이며 더구나擔保主義貸付의矛盾은 良心的零細漁民의活動을制約하고 있는遺憾스러운現狀이다.

于先漁業資金의緊要用途는漁業施設과漁船修理資金及漁業用一般物資購入資金이며 魚類取扱商人의資金枯渴이莫甚한現狀에비하여 魚類販賣機關 또는商人에對한資金도緊必한實情이다. 即商業資金의枯渴로因하여 生産者의生産魚類販賣가當時遲延됨으로生産資金의生産者에의還流不圓滑로 生産資金은固定되어이것이生産의隘路가되고 있다.

遼洋漁業手段의種類는雜多하여 捕鯨漁業, 機船曳曳網, 潜水器, 機船流網, 機船巾着網, 機船延繩, 道入網, 突針等이나底曳漁業은漁獲數量和價格에 있어相對的인地位를占하고 있다.

水産業者의 1946年度現在戶數는 12,581戶이며 全戶數의約二割이고人口는 19,524人이며 全人口의7分の比率을占하나 水産兼營을승하면 其數는 더욱增加된것이다. 그리고漁業者를男女別로보면 女子數가恒時男子數를超過하며 特別女子漁業者中海女數가上位를占하고 있는것은同道의特色이다.

水産專業者戶數及人口의推勢  
附海女數(但其中에는農業者主로하고 水産을副로하는者도包含됨)

年度別	種類別	戶 數	人 口 數	海女數
1945	月	12,648	男 9,313	12,000
			女 10,200	
1946	月	12,613	男 9,224	11,700
			女 10,300	
1947	月	12,581	男 7,390	11,300
			女 12,100	

漁獲高는1945年度에 3百萬 kg 에達하였으나 解放後漸減一路로 1946年度는前年에比하여約 1百萬 kg 나減少되고 1947年(7月까지)의 漁獲高는1百萬 kg 에不過하는現狀이다.

同道漁獲高推移

年 度 別	漁 獲 數 量	漁 獲 金 額
1945	3,319,523	4,579,351 <sup>円</sup>
1946	2,168,310	47,067,367
1947 (但 7 月末까지)	1,150,580	54,792,610

註 濟州道商工課水産保調査에依한

海女는 現在其數가 1萬1千餘名이고, 그들은 全海岸 地域에 點散하여 海岸이느꼐 莫論하고 居住지 않는 곳 이 없다. 그리고 解放前까지 는 沿岸은 勿論日本地方에 約 2百名 大近附近에 約 1百名 이나 出漁하여 活躍하여 왔고 道內에서 日本漁業政策에 對하여 꾸준히 鬭爭해 온 것이 海女라 한다. 日帝時代의 有名한 海女事件은 그 의 表現이며 現在亦是 日帝時代의 殘存 漁業機關이라 하여 海女組合에는 大部分加入 치 않고 있는 實情이다. 그리고 그들은 年四時 嚴冬에도 潜水하여 經濟的 活動을 하고 있으며 以此하여 家庭生活을 潤澤케 하고 家庭의 生活力을 強靱케 하고 있다.

海女の 經濟的 活動을 下記表에 依하여 本報 海女組合에 登錄된 漁獲高는 不過 30萬圓未滿으로 되어 있으나 實際 漁獲高는 互額에 達하는 것이다. 即 普通一人 當一日 平均

1946年度 海女組合 登錄 漁獲高 (單位圓)

【本 部】		和 布	75,000
生 豆	5,000	鹿 尾 草	7,500
고  등	2,250	馬 尾 藻	3,100
和 布	19,000	計	88,370
天 草	225	【翰 林】	
靑 角	245	生 豆	1,625
計	26,720	和 布	750
【琴 琴 浦】		天 草	11,000
고  등	6,192	計	13,375
生 豆	4,741	【城 山 湖】	
和 布	28,147	고  등	13,000
天 草	1,725	生 豆	11,000
鹿 尾 草	693	和 布	58,000
計	41,498	鹿 尾 草	10,000
【金 寧】		馬 尾 藻	3,530
生 豆	2,100	計	95,530
海 蔘	670	總 計	285,499

漁獲高는 約 800圓에 達할 것 이라 하니 一年 稼業日을 最小 50日로 假定하면 1946年度 現在 海女數가 11,700名 이니 一年 漁獲高는 4億 7千萬圓으로 算出된다.

漁船은 1945년에는 1,948隻 이었으나 現在는 1,532隻으로 減少되고 또 大部分이 在來式이며 遠洋 漁業을 할 수 있을 만한 大型 漁船及 發動 船舶은 殆無한 狀態임으로 高級 技術者와 아울러 其의 至急한 準備가 要請되고 있다.

魚類貯藏用으로 緊必한 製氷工場은 現在 翰林에 一個所 있고 西歸浦에 新設計中이나 需要에 大不足을 告하고 있는 現狀이며 魚類加工業은 從來, 소라, 건복, 통조림을 主로 하여 왔으나 現在 其의 運營狀態는 極히 不活潑하여 困窮에 빠지고 있다.

4. 牧 畜 業

高麗時代에 元으로부터의 馬, 驢, 羊等 數十頭를 携帶하고 또 其後 馬를 移入하여 放牧하여 온 것이 同道 牧畜의 濫觴이다. 元來 同道는 天然의 廣大한 牧場을 保有하였고 또 그는 有力한 畜産地로서 素質을 具有하고 있어 由來 道民은 傳統의 牧畜을 하게 된 것이다. 即 漢拿山과 海岸의 中間地帶은 天然의 牧場地帶을 形成하며 또 그 地帶은 飲料水가 缺乏하고 있는 故로 人家 稀少하며 農耕地로서 經濟的 價値도 缺如하며 一部 稗, 小豆, 蕎麥, 粟, 陸稻等을 耕作하나 그도 三年乃至 五年一耕의 狀態임으로 自然 牧畜에 用力하게 된 것이다. 그리고 中間地帶의 同道民은 原始的의 이나 斯業에 傳統을 가지고 또 그 生産量에 있어 全詳의 故로 牧畜業에 對한 地位는 勿論이거니와 同道 産業構成에 對한 또는 同道 全戶數에 對한 牧畜業者 戶數의 比率로 보면 其의 重要性을 窺볼 수 있으며 또 牛馬를 罐頭로 各種 畜産物과 肉罐詰製品이 島外及 日本에 多量 移出된 實情은 同道 牧畜業의 將來를 囑望케 한다.

牧 畜 業 態 別 表

種 類 別	牛		馬		豚 羊		豚		山 羊	
	戶 數	頭 數	戶 數	頭 數	戶 數	頭 數	戶 數	頭 數	戶 數	頭 數
1945年	18,845	25,106	8,329	12,695	20	108	30,923	33,305	15	63
1946年	19,041	26,571	7,819	12,804	15	157	32,001	34,149	11	66

5. 工 業

從來의 工業發展은 低位하여 幼稚한 手工業의 織物 竹細工 朝鮮蓆 朝鮮帽子等의 製造에 不過하였던 것이

나 近年에 小規模 이나 糖 結 貝 釘等의 加工業及 製氷 工業等이 勃興氣勢이다. 新興 工業은 殆無한 狀態이 나 厚以 甘蔗를 原料로 하는 酒精工場은 貴重한 存在이며 生産能力도 日産 約 50石이고 其規模도 近代의 設備을 具



備하고 있으나 現在(1947年11月)資金關係로休業中이다。工業立地條件은原料生産以外에는 有利한條件을發見할수 없으나, 解放以後日本으로부터 歸還한多數의工業技術者를保有하고 있는것은 工業發展將來에 曙光을暗示한다。地理的條件은道內工業製品的 自給自足を要請하고 있고 海産物, 甘藷等を爲主로하여 各種의工業原料를多量生産하고 있음에도不拘하고, 工業化하지 못하고 있음으로 道當局에서는銳意研究中이

나 特別資金과動力, 補助資材不足이基因이되어 現工業界는沈滯되어 있다。道內工業生産高는其種類別로 보면 解放前에는甘藷, 澱粉, 罐詰酒精工業이首位이며 1947年11月現在까지의 酒精生産高는4千2百萬圓이고 甘藷, 澱粉工業이第二位로 8百萬圓에達하는以外 他工場은問題가되지않은實情이며生産率은解放前의3割에達하지못하고있다。

☆ ☆ ☆

工業種類別生産狀態

種 別	工場數	單 位	1947年10月末까지의生産量		解放前平均年生産量	
			數 量	金 額	數 量	金 額
酒 精	1	石	1,400	42,140	5,000	15,500
沃 度	4	石	730	73	4,000	400
鹽 化 加 里	4	噸	95	4,275	300	13,500
貝 鈎 (精製品)	1	마-스	15,000	1,950	40,000	5,200
貝 鈎 (粗品)	30	貫	—	—	10,000	2,000
棉 耐	4	石	—	—	2,000	20,000
甘 藷 澱 粉	5	貫	30,000	8,400	300,000	84,000
罐 詰 (魚貝類)	9	箱	400	1,600	50,000	50,000
罐 詰 (牛豚肉)	1	箱	83	208	20,000	50,000
罐 詰 (그린피-스)	1	箱	—	—	2,000	2,000
罐 詰 (蜜 柑)	1	箱	250	750	—	—
鐵工業 (馬 車)	4	臺	250	200	500	400
鐵工業 (農機具)	9	個	10,000	500	20,000	1,000
製 氷	1	噸	—	—	1,500	200
纖維 (亞-아스嗎)	1	碼	80	240	300	900
纖維 (編羊毛絲)	1	封 度	200	320	500	800
土 瓦	6	枚	100,000	1,000	200,000	2,000
白 灰	2	包	2,000	800	2,000	800
印 刷 物	3	封 度	40,000	4,000	50,000	5,000
油 脂	1	石	—	—	40	2,000
鹿 角 菜 (吳)	3	噸	—	—	200	4,000
醃 醬 (醬 油)	1	石	150	150	500	500
醃 醬 (土 醬)	1	貫	1,500	75	5,000	250
製 材	10	才	500,000	5,000	200,000	1,000
精 米	185	石	70,000	1,400	20,000	400
總 計	289		—	73,081	—	261,850

- 備 考 一、一個工場에서二乃至三種의生産하는곳이 있음으로 工場數는若干數重複되었음。  
 二、價格은公定 또는 協定價格이 있는것은 그에依하고 其他의것은 現行時價로計算하였음。  
 三、解放前平均生産品價格은當時의價格算出이困難히 現價格으로計算하였음。

### 6. 商業及貿易

道內店舖는 商品 없는 商店으로 零落되어 普通商品은 果實、菓子等을爲主로한 美國及日本商品數種類가 羅列되어있을뿐이고 商品需要者의 出入도 極히 閑散하여 每日平均商品價上高는 한店舖에서 千圓單位에 達하지 못하는 狀態이다. 反面定期市場及露店商人에게는 普通店舖에서 發見할수 없는 商品 特別日本製商品이 氾濫하고있다. 都市定期市場은 五日만에 一回式별 되고 있으나 그市場에 群集하고 있는 商人及商品購買者는 約九割이 婦女子이며 그들이 一切商去來에 當하고있다. 이 奇異現象은 正常商人을 自然的으로 衰退시키고 暗商人의 盛旺을 助長하는 것이나 그 因果關係가 注目된다. 卽 正常商人店舖의 商品不足으로 因한 暗市場盛旺인가 又是 暗市場盛旺이 基因하여 正常商人이 沒落하고 있는 것인가? 勿論 商業資金의 枯涸으로 因하여 正常商人이 窮境에 達하고 있는 것은 事實이나 南朝鮮의 普遍的 現象인 正常商品의 絕對的不足은 同道가 더 酷甚한 狀態이고 卽 非合法的인 日本商品이 氾濫하고 있는 同道의 奇異現象에 비추어 또 商行爲는 婦女子가 慣習的으로 一切當하고 있는 등으로 推測하여 暗商人의 盛旺이 正常商人의 衰退를 招來한다는 것으로 歸結된다. 特別道內商品은 그 大部分이 密貿易商品이고 그에 對한 關係當局의 取締도 嚴重한 故로 店舖에는 暗商人은 日本商品取扱을 忌避하여 暗市場에 流出되고 있는 것이 自然의 情勢이다. 그리고 日本商品을 取扱하는 露店小賣商은 그 數는 많으나 商品價格調節其他는 少數의 巨商이 獨占操縱하고 또 이 巨商은 一般 商業界를 支配하며 陸地의 巨商과도 有機的으로 連絡하고 있다. 同道民은 陸地의 巨商去來도 常習的으로 同道出身商人을 選擇하고 있으나 그 理由는 同道人本來의 性格인 島國性인 것과 近來日本商品搬入과 商去來는 秘密을 要하는 것이므로 特別 同道出身已知를 選擇하는 模樣이다. 그러면 如何한 商品이 輸入되고 있었고 現在市場商品은 如何한 것인가 하면 絨毯及被服類、文具具、化粧品、아우마이트製品、醫藥品 特別 麻藥、당구스명線、코꾸신、銀塊等 各種各樣이나 그 商品은 되도록 高價이고 부피가 적은 것이며 需要貯藏한 것이 選擇되어 上記商品은 市場商品의 大部分을 占하고 있다.

現在 陸地에서는 同道經由外國商品은 所謂密貿易品이라고 稱하고 있으나 元來日本商品이 同道에 出現케 된 것은 解放後 在日出發人의 歸還時에 搬入한 것이 그의 動機이며 또 그로부터 始作되어 그 後 出發人의 財產搬入이 繼續되었던 것이다. 卽在日出發人은 日本에 있어서의 財產保存에 不安을 느끼어 그 財產의 安全保存策으로 鄰

土에 搬入한 것을 의하였던 것이다. 始初에는 歸還하는 本人의 財產을 本人에 依하여 搬入한 것이 漸次 그 範圍를 擴大하여 貿易의 形式을 取해온 것이다. 解放後一時는 在日 朝鮮人間에는 解放後發行된 無窮花紙幣가 歡迎되었음으로 그 紙幣가 密輸入品의 代價로서 密輸出된 때도 있었으나 그 一時의 現象이었고 大部分의 方法은 密輸入者가 商品代金을 道內는 勿論 木浦、釜山等 陸地海岸地帶에서 在日 荷主名義로한 預金證書 또는 土地建物等 不動產을 買受한 證書를 荷主에 交付하고 商品과 交換해왔던 것이다. 故로 濟州邑內住宅은 市上 現時價보다 高價이며 農耕地도 田은 坪當最高 5百圓、畝千圓이라는 엄청난 高騰한 價格이다. 日本으로부터 搬入到着當時의 商品의 가치는 本土人은 勿論 同道民들도 全然 알道理가 없고 單只 中間부로서 一카及그를 兼營하는 一部旅館主만 已知悉하고 있다. 따라서 都賣商去來는 恒時 부로-카를 經由해야만 成立되고 또 이 부로-카는 賣主와 買主의 兩便에서 手數料을 二重으로 取得하고 있다. 그리고 日本商品搬入者와 그의 都賣購入者는 數人或은 十餘名이 合資하고 있으나 그 危險分散과 個人의 資力不足이 根本의 原因인 듯하다. 또 日本을 來往하는 密輸貿易業者와 道內 巨商及 부로-카도 殆半以上은 婦女子가 行하고 있으며 其는 經濟的으로 家計의 支配의 地位를 婦女子가 占有하는 點도 있으나 當局의 取締에 對하여 男子보다 法的 또는 人情的으로 有利한 條件을 具有케 하려는 것이 主要原因인 듯하다. 日本에서 的密輸入은 船舶一隻(小艇인 까닭)에 時價約 700萬圓의 物資을 積載하여 온다 하나 現在까지 日本에 抑留된 船舶이 約 300隻에 達하니 船舶代價는 除置하고도 商品代金이 21億圓으로 計算된다. 萬一日本에 抑留된 船舶이 一回式만 來往한 것으로 假定하더라도 21億圓의 商品이 同道에 輸入되었을 것이다. 解放後 同道의 貿易은 上記한 바와 같이 殆半以上이 暗市場에 來되어 왔음으로 數字의 으로 把握키 困難하나 過去 實績으로 보면 輸移出品에 있어 水産物과 農産物 特別 甘藷가 全體의 八割을 占하며 輸入品은 米穀을 爲主로한 生活必需品이 大宗의 地位를 占해 있다. 以後로 經濟狀態가 正常化되면 從來 實績과 大同小異한 現象으로 될 것이 推測된다.

濟州道特産品輸移入實績表 (單位圓)

區 分	輸 移 出 實 績 額	比 率	輸 移 出 豫 定 額
農 産 物	3,495,000	38%	145,300,000
畜 産 物	918,802	9%	25,172,500
林 産 物	1,016,500	11%	10,405,000
水 産 物	3,918,945	42%	160,169,700
合 計	9,349,247	100%	341,047,200

輸 移 出 農 產 物 明 細

種 別	生 產 量	移 出 地 別	移 出 數 量	移 出 金 額
大 麥	160,000石		6,000	120,000圓
採 麥	60,000〃		4,000	100,000
小 麥	4,000〃		—	—
粟	160,000〃		4,000	120,000
麥 酒	30,000〃	日 本	3,000	90,000
蕎 麥	16,000〃	木 浦	300	6,000
라 이 麥	150〃		—	—
大 豆	40,000〃		—	5,000
小 豆	6,000〃		200	5,000
蔬 菜 種 子	100〃	光州, 서울, 平壤	70	35,000
密 柑	40,000貫	木浦, 光州	4,000	15,000
그립 피스用 豌豆	90,000〃	日 本	70,000	70,000
玉 豆	60,000〃	木浦, 光州	5,000	5,000
生 甘 藷	25,000,000〃		—	—
切 干 甘 藷	1,500,000〃	日 本 新韓酒精	500,000 1,000,000	500,000 1,000,000
甘 藷 澱 粉	50,000〃	木 浦	20,000	100,000
胡 卜 리 芟 切	4,000石	日本, 木浦	3,000	300,000
炸 一 도 芟 切	3,000〃	〃 〃	2,500	200,000
唐 麵	10,000貫	木浦, 光州	5,000	250,000
甘 藷 煮 干	25,000〃	日本, 龍山	150,000	150,000
棉 花	400,000〃	木 浦	100,000	300,000
除 虫 菊	120,000〃	木 浦	100,000	100,000
蚕 繭	2,500〃	光 州	2,000	24,000
計				3,495,000

輸 移 出 畜 產 物 明 細

種 別	生 產 量	移 出 地 別	移 出 數 量	移 出 金 額
牛	5,787頭	木 浦	765	81,975圓
馬	2,534〃	〃	1,496	104,720
豚	21,592〃		—	—
羊 毛	752貫	서 울	752	8,272
蜂 蜜	20,618〃	木 浦	12,340	96,380
牛 皮	7,215枚	서 울	7,215	36,075
雞 卵	4,981,000個	/	930,700	52,180
牛 肉 罐 詰	32,781貫	日 本	31,500	220,500
豚 肉 罐 詰	53,117〃	〃	51,100	318,700
計				918,802

## 輸 移 出 林 產 物 明 細

種 別	生 產 量	移 出 地 別	移 出 數 量	移 出 金 額
乾 蕨	150,000斤	서울, 木浦, 日本	150,000	150,000圓
黃 茅	100,000束	莞島, 海南	100,000	180,000
香 茅	30,000斤	莞 島	30,000	150,000
椎 茸	12,000斤	木浦, 서울, 日本	11,000	120,000
厚 朴	5,000斤	仁川, 光州	6,000	15,000
五 倍 子	2,000斤	서 울	2,000	1,800
厚 朴 葉	2,000貫	松 汀	2,000	1,000
五 根	5,000斤	光 州	5,000	4,000
椿 實	10石	慶 水	10	600
實 皮	30石	서 울	30	2,100
陳 皮	1,000斤	光 州	1,000	2,000
인 비 및 櫛)	5,000斤	木 浦	5,000	50,000
矢 竹	500束	莞 島	500	25,000
苦 竹	200,000枚	木 浦	200,000	300,000
竹 細 工 司 計	1,500斤	〃	1,500	15,000
				1,016,500

## 輸 移 出 水 產 物 明 細

種 別	生 產 量	移 出 地 別	移 出 數 量	移 出 金 額
鯨 魚 干 計	14,916斤	서울, 日本, 其他	14,916	32,960圓
鮫 魚 干 計	49,968斤	〃	49,938	124,920
鱈 魚 干 計	6,667斤	〃	6,667	16,668
鱈 魚 干 計	81,072斤	〃	81,072	168,900
鹿 鱈 干 計	4,125斤	〃	4,125	27,360
雲 丹 干 計	18,174斤	〃	18,174	101,557
煮 干 鹿 尾 菜	158,466斤	〃	158,466	199,011
明 鮑	3,866斤	仁川, 木浦, 釜山	3,866	37,116
海 蔘	800斤	〃	800	7,644
鹽 乾 鱈 魚	247斤	〃	247	1,607
加 甲 鹽	296,094斤	서울, 日本	296,094	639,360
鹽 藏 太 刀 魚	5,025斤	木 浦	2,000	1,440
鹽 漬 鱈 魚	156,900斤	木浦, 慶水	100,000	20,000
鹽 藏 鮫 魚	152,168斤	〃	50,000	54,000
活 鮮 魚 類	3,919,721斤	木浦, 서울, 仁川, 日本	2,743,805	1,903,031
海 草 類	5,750,250斤	〃	575,052	145,097
貝 類	37,766斤	木浦, 서울	87,000	293,982
沃 度	4,165斤	서울, 日本	4,165	143,292
計				3,918,345

### 7. 金 融

1947年10月末 現在道內金融機關의貸出殘高는29,926千圓이며 解放後約2千萬圓의增加에不過하다。預金은 同月末 現在로 141,767千圓에達하여 約1億圓의急増을示現하고있다。

急進的預金增加를一見한때에 同道의健全한經濟發展을顯現하는듯도하나 그와는正反對로 消費資金即美軍政廳預金이全體의 3割,官公署預金이 6割 計 9割이고 一般民間團體及個人의預金은勿驚一割을超過치 못하고있다。그는 道昇格으로因한行政機關의増設과 職員增加로 말미암아 人件費等經費支出이急増하여온

것이基因이되고있으며 解放以後現在까지의國庫金總支出額은 約2億圓에達하여 이러한財政資金이金融機關預金의 大部分을構成하고 있는것이다。解放直前까지 日本軍人이約18萬名의 外에軍馬 自動車 被服 鐵兜 織物等各種軍需品이山積되어있었다하며 日本으로부터의搬入物資가 同道에全部集中되었는것임으로 그代價는道內에撒布되어好景氣를招來하고있을것으로보이나 事實은前記한바와같이 巨額資金이陸地에移動되고,食糧等生活必需品及漁業關係物資代金으로陸地에繼續的으로資金이流出되어 産業及商業界는資金硬塞이極甚하다。

道內金融機關預金及貸出推移

(單位千圓)

年 月	預 金		合 計	貸 出		合 計
	預 銀	金 租		預 銀	金 租	
1945年 1月	5,923	資料未備	—	825	資料未備	—
9	7,124	—	—	637	—	—
10	21,324	—	—	593	—	—
11	27,895	—	—	476	—	—
12	28,537	—	—	424	—	—
1946年 1	27,619	—	—	495	—	—
2	26,961	—	—	437	—	—
3	28,600	—	—	404	—	—
4	31,813	9,901	41,714	362	2,986	3,348
5	30,945	10,032	40,977	356	3,069	3,425
6	28,672	11,194	39,866	421	3,196	3,617
7	31,431	12,618	44,049	412	3,287	3,699
8	32,601	13,965	46,566	418	3,342	3,760
9	43,392	14,384	57,776	386	4,728	5,114
10	48,960	18,561	67,521	528	4,350	4,878
11	51,419	19,943	71,362	1,323	4,895	6,218
12	59,382	21,426	80,808	1,148	5,532	6,680
1947年 1	66,253	25,043	91,296	1,203	5,539	6,742
2	72,856	25,852	98,708	990	6,186	7,176
3	72,797	25,915	98,712	575	6,175	6,750
4	87,869	30,653	118,522	501	9,190	9,691
5	75,868	35,321	111,189	362	12,199	12,561
6	81,044	35,924	116,968	403	15,170	15,573
7	67,775	31,199	98,974	1,958	16,640	18,598
8	74,581	32,108	106,689	5,157	18,108	23,265
9	83,170	37,047	120,217	5,689	18,657	24,346
10	94,840	46,927	141,767	5,405	24,521	29,926

道內物資配給代價 (單位千圓)

種 類 別	金 額	摘 要
金 聯 關 係	10,197	自1946年11月 至1947年11月
物 資 運 營 組 合 關 係	3,200	1947年10月末까지
食 糧 配 給 關 係	53,840	〃
專 賣 局 關 係	?	〃
漁 業 組 合 關 係	?	〃

1946年度他道로부터의 搬入食糧代價 (單位圓)

種 類	金 額
米 穀	49,802,000
小 麥	28,465,800
小 麥 粉	11,280,878
大 麥	8,366,400
玉 蜀 黍	185,394
澱 粉	86,536
計	98,187,008

### 8. 後 記

以上論한 바와 같이 經濟的部門에 있어서 後進性과 低位性을 胚胎하고 있는 데다가 解放以後에는 諸般隘路로 인하여 產業界는 癱瘓狀態에 陷入하고 且 鑛工場以外의 工場은 거의 全部가 操業停止의 狀態에 있고 그우에 同道產業의 大宗인 水産業도 不振하여 道內金融狀態는 極히 閉鎖하며 沈滯에서 버서나지 못하고 있다.

또 各種工業原料가 된만한 本道特産物이 多量生産됨에도 불구하고 其工業化가 遲々하며 各産業系列은 有機的으로 合理化되지 못하여 十九世紀의 植民地의 態樣을 呈하고 있는데 不遇하다. 生産者는 生産意慾이 旺盛하고 道當局은 道産業發展에 對하여 積極的인 施策을 計劃中이나 許多한 隘路가 橫在하고 있으며 特히 道內民有資本은 大部分 陸地로 移動하지 않으면 日本商業去來에 集中되고 生産資金化하지 않는 故로 資金逼迫이 그 主要原因이 되고 있다. 日本商品만이 滔々之勢로 流入되어 道內의 商品市場은 恰似 日本의 中小都市의 商品市場을 彷彿하게 하고 있음은 비록 過渡的인 變態現象이라 할지라도 將來 同道産業發展을 暗澹케 하고 있다. 官民協力으로써 同道發展을 爲한 根本對策의 樹立과 推進이 時急히 要請되고 있다.

濟州道物價推移 (單位圓)

	1947年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
白 米(小一斗)	550	600	700	775	750	650	625
大 麥( // )	550	—	525	440	375	375	375
小 麥( // )	—	—	400	400	375	310	300
大 豆( // )	550	500	525	690	625	500	500
小 豆( // )	600	500	510	610	625	500	450
白 菜(斤 當)	—	—	10	20	20	20	20
大 根( // )	—	—	26	30	30	30	30
廣 木(一 碼)	100	70	100	150	150	200	200
砂 糖(斤 當)	350	350	250	370	450	450	450
牛 肉( // )	150	150	150	150	150	120	150
長 斫(坪 當)	1,200	1,200	1,200	1,200	1,500	1,500	1,500

濟州道와 서울市物價對照表 1947年10月現在

種 類	單 位	濟州邑	서울市	種 類	單 位	濟州邑	서울市
白 米	斗	1,250 <sup>円</sup>	1,320 <sup>円</sup>	白 菜	一 貫	125 <sup>円</sup>	110 <sup>円</sup>
大 麥	〃	750	660	廣 木	一 碼	200	300
小 麥	〃	600	1,040	砂 糖	一 斤	450	400
大 豆	〃	1,000	710	牛 肉	〃	150	170
小 豆	〃	900	1,100	長 斫	一 坪	1,500	3,500

濟州呂勞働賃金調査表

(單位圓)

機 械 器 具 工 業											化				
旋 盤 工			銲 接 工			構 造 工			原 動 機 + 關 手			汽 罐 火 夫			
最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	
250	110	180	200	150	175	150	110	130	—	—	150	82	75	79	
學											工				
汽 機 工			電 氣 工			蒸 煮 工			釀 酵 工			蒸 溜 工			
最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	
82	72	77	80	72	76	73	70	72	77	70	74	77	70	74	
業											食				
試 驗 工			壓 縮 工			音 字 工			粉 碎 工			醬 油 釀 造 工			
最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	
72	70	71	70	60	65	55	50	53	55	50	53	170	130	150	
料 工 業					窯 業					製 材 家 具 業					
香 工 製 造 工			香 工 製 造 女 工			土 瓦 製 造 工			製 材 工			小 木 工			
最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	
190	95	143	70	65	68	300	100	200	250	130	190	300	190	195	
紡 織 業			印 刷 業					運 輸							
羊 毛 加 工 女 工			活 版 植 字 工			活 版 印 刷 工			運 轉 手			助 手			
最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	
50	47	49	150	100	125	120	80	100	105	60	83	85	20	53	
業			土 木 建 築 業												
車 掌			大 木			石 手			坑 夫			号 豆 人 夫			
最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	
21	20	21	500	400	450	500	450	475	—	—	400	400	200	300	
業			其 他												
舞 役 人 夫			貝 鉤 製 造 男 工			貝 鉤 製 造 女 工									
最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均							
250	100	175	65	43	54	60	40	50							

(註) 1947年8月末現在

道民職業別所得表

單位 { A=圓  
B=名

邑面別	農 業	水 產	修 給	庶 業	自 由 業	其 他	計
濟州邑 A	19,319,184	8,049,660	2,012,415	2,817,381	3,219,864	4,829,796	40,248,300
B	4,861	2,024	506	709	810	1,215	10,125
涯月面 A	8,175,367	3,174,900	338,118	1,111,215	1,269,960	1,904,940	15,974,500
B	2,700	1,049	79	367	419	629	5,243
輪井面 A	14,250,930	5,588,600	558,860	1,956,010	2,235,440	3,353,160	27,943,000
B	3,598	1,377	140	490	561	841	7,007
大靜面 A	5,820,813	2,282,672	228,268	798,935	913,069	1,369,603	11,413,360
B	1,857	728	73	255	291	437	3,641
安德面 A	2,364,105	950,277	69,533	324,485	370,840	556,260	4,635,500
B	1,031	414	30	141	162	242	2,020
中文面 A	2,814,000	1,131,290	82,770	386,260	441,440	662,160	5,517,920
B	1,201	483	35	165	188	282	2,354
西歸面 A	4,337,450	1,821,729	260,247	520,494	693,992	1,040,988	8,674,900
B	1,701	715	102	238	272	375	3,403
南元面 A	3,458,750	1,418,088	103,762	553,400	553,400	830,100	6,917,500
B	1,289	528	39	206	207	309	2,578
表善面 A	2,252,475	1,102,275	95,850	383,400	383,400	575,100	4,792,500
B	736	360	33	125	125	188	1,567
城山面 A	3,494,436	1,899,159	151,932	531,762	607,728	911,592	7,596,600
B	1,222	664	53	186	212	319	2,656
舊左面 A	5,074,704	2,484,491	158,584	740,061	845,784	1,268,676	10,572,300
B	2,133	1,044	67	311	356	533	4,444
朝天面 A	4,842,739	2,472,888	154,556	772,777	824,296	1,236,444	10,303,700
B	1,890	965	60	301	322	483	4,021
獻子面 A	987,480	960,050	54,860	192,010	219,440	329,160	2,743,000
B	292	284	16	57	65	97	811
計 A	77,192,433	33,336,070	4,269,755	11,088,190	12,578,653	18,867,979	157,333,080
B	24,511	10,635	1,233	3,551	3,990	5,950	49,870

金融組合의 現狀 (1947年8月末現在)

組 合 數—本 所 2 組合員 數—28,973名  
 支 所 5 (總人口 271,379名에對하여一割以上에該當하  
 는人員이 組合을利用하고있다)

預金種類別殘高表

定期預金	4,066,675圓
據置預金	1,866,756
貯蓄預金	21,703,249
當座預金	1,582,103
定期預金	2,889,729
△ 計	32,108,512

(道內總預金額의 30%)

貸出金種類別殘高表

長期貸付	78,782圓
短期貸付	18,029,716
合 計	18,108,498

(道內總貸付額의 7%)

金融組合聯合會濟州支部의 預金種類別殘高表

特別預金	22,000圓
定期預金	9,061,000
當座預金	1,692,747
非會員當座預金	4,124
合 計	10,779,871

(道內總預金額의 10%)

(完) 以上現地出張調査資料에 依함



# ★ 全 羅 南 道 (SOUTH CHOLLA PROVINCE)

- |             |        |
|-------------|--------|
| 目           | 次      |
| 1. 概 觀      | 4. 農 業 |
| 2. 金融、物價、勞賃 | 5. 工 業 |
| 3. 全南經濟의 特色 | 6. 鑛 業 |

## 1. 概 觀

朝鮮의 南西端에 多島海에 傍하여 位置하는 本道는 海陸兩方으로 物産에 豐富하다. 小白山脈이 靑邱가 南西로부터 東側에 隔하여 慶南、全北에 接하고 南西海岸은 無數의 島嶼로 形成되어있다. 重要한 穀産地로서 山地에 比하여 平野가 廣闊한 慶北、慶南、忠北道에 對한 好對照을 보이고 있다. 島嶼가 널리 分布되어 있는 만큼 海路의 便이 있고 河川으로는 奈山江이 東北部의 山脈에서 發源하여 南으로 黃海에 注入하고 있다. 湖南穀倉이라 人口의 稠密度는 慶北에 다음진다.

解放前 即 1944 年度人口는 2,486,188 名으로 南朝鮮總人口의 15.7% 를 占하고 있으며 解放後 即 1946 年度는 2,944,842 名으로 458,654 名의 增加로서 增加率은 18% 이다. 이것을 男女別로 보면 男子는 1944 年 1,216,646 名 1946 年度 1,481,009 名으로 264,363 名이 增加하였으며 그增加率은 21.7% 이다. 女子는 1944 年 1,269,542 名, 1946 年度 1,463,833 名으로 194,291 名이 增加하였고 그增加率은 15.3% 이다.

戰時, 日本經濟의 一環으로서의 全南經濟와 解放後의 現狀과를 比較하여 보면 그變化가 甚함을 느끼지 않을 수 없다. 即 生産面에 있어서는 前者의 侵略的, 規律的, 系統的인 反하여 後者의 無系統的인 過渡的인 混亂樣相은 認안할 수 없으며, 生産面과 關連하여 動員되어야 할 物資動員에 있어서 特別無秩序한 感覺이 있다.

解放後의 經濟가 生産位置은 贅言을 不要하는 바이며, 따라서 生産工場의 80% 以上을 占하는 所謂 敝産工場의 管理如何는 本道經濟再建에 影響을 極히 큰 것이 있다.

### 其實態를 보면

- (1) 管理權, 監督權의 混亂이 生産阻害의 一因이 되어 있으며
  - (2) 運營形態에 있어서도 現狀維持에 限한 現勢이고 國家經濟의 指標을 志向한 生産計劃의 樹立과 原材料의 計劃的 斡旋이 如何되어 있음은 甚히 遺憾으로 感覺되는 바이다.
- 大體로 現存의 生産은 總能力의 30% 内外의 不振

狀態임에 불구하고 急速한 貿易政策과 産業政策의 確立에 依한 生産機能의 有機的인 向上이 要請된다.

## 2. 金融、物價、勞賃

### 가. 金 融

金融面에서 其動態을 보면, 銀行券發行超過額에 比하여 銀行預金이 極少한 點은 尙去來의 現金化 及 現金의 惡循環滯留을 如實히 示現하고 있으며 季節的인 資金 即 米穀, 棉花, 水産, 肉類(副)資金, 其他莫大한 放出에 隨하여 一面 季節的인 還收가 豫期됨에도 不拘하고, 發行超過을 持續하는 現狀은 매우 注目된다.

組合銀行預金貸出 (單位千圓)

年 月	預 金	貸 出
1945年 9月末	49,258	43,850
〃 12月末	58,812	40,000
1946年 12月末	262,706	780,172
1947年 6月末	289,497	151,536
〃 10月末	362,287	454,840

銀行券發行回收狀況 (單位千圓)

年 月	回 收	發 行	超 過
自 1945年 8月 至 〃 12月	18,591	127,882	109,291
自 1946年 1月 至 〃 6月	88,628	108,674	20,046
自 〃 7月 至 〃 12月	219,215	918,648	699,433
自 1947年 1月 至 〃 6月	398,986	510,569	121,583
自 〃 7月 至 〃 10月	409,187	585,233	182,046

手形交換高 (單位千圓)

期 間	枚 數	金 額
1945年 下半年	2,371	64,633
1946年 上半年	4,674	276,710
〃 下半年	5,308	667,568
1947年 上半年	5,103	920,298

### 나. 物 價

解放後, 一時低物價現象을經由하여, 1946年12月米穀收集期를境界로한 穀物價의暴騰을爲始하여 一般物價의驚異的騰貴를持續來하면서 今日에 이르렀다. 大體로纖維品, 日用雜貨等의價格은, 中央及其他生産地에比하여約 1割乃至 3割의高騰이다.

最近에이러리 米穀收集의強行에隨伴하여 米穀移動이極度로制限됨으로 供給地인農村과消費地인都市間의白米價格은一斗當750圓의差異를보이고있다.

解放後品種別物價推移는如下하다.

	1945年 12月	46年 6月	12月	47年 6月	11月
穀 物	100	454	553	965	1,223
食 料 品	100	176	284	543	635
纖 維 品	100	152	339	681	1,089
日 用 品	100	150	221	452	757
薪 炭	100	129	378	608	996

1947年10月末現在重要品小賣物價는如下하다.

白 米 1斗	900	수 건 1枚	150
大 麥 //	500	시브(綿製)	700
大 豆 //	950	毛本股 1碼	1,200
鷄 卵 1個	14	세탁 비누 1個	250
牛 肉 1斤	144	고무신 1足	280
藥 酒 1升	140	洋 靴 1足	2,500
마늘 한집	400	長 斫 1坪	2,500
明 抽 1疋	2,500	木 炭 1俵	500

### 다. 勞 賃

物價指數의驚異的高昇에反하여 勞賃의暴騰은緩慢하다.

1945年12月을基準으로한指數는

1946年12月 253

1947年10月 459

로約 4倍半의高騰임.

10月末現在主要賃金은如下함.

大木(木手)	450	靴 工	300
人 夫	300	車 夫	180
旋 盤 工	140		

### 3. 全南經濟의特色

全南은地理上海岸線이길고 潮流의交流點이되어水

産業의立地條件이매우良好하다. 經濟的重點은農業에 있으나 工業에도纖維工業이比較的旺盛하나. 和順을中心으로하는石炭鐵은 南朝鮮에 있어서의有數한炭鐵으로그發展이매우注目된다. 解放後時日이經過함에따라新興企業體도數見되나 大體는在庫原料를消하고 있는現狀이며, 急速한貿易開通에依한生産原料의供給이切實히要望되고있다.

産業別現勢를보면다음과같다.

### 4. 農 業

本道の農業은自古로三白이라하여 米, 棉, 蔴을稱한다. 其中

#### 가. 米 作

1947年은長霖, 日照不足, 肥料不足等 許多한障害가있음에도不拘하고 豫想外로凶作을免한好成績이며 過去 5 年收獲實績과의對照는如下하다.

1943年	2,269,944石	109,944石
1944年	2,085,858 //	△ 74,142 //
1945年	2,419,263 //	259,263 //
1946年	2,175,821 //	15,821 //
1947年	2,160,000 //	

(比今年 △減)

1947年耕作面積은 1,889,427 反步로 前年과別無差異다. 今後도肥料不足이既定事實에鑑하여 農作의隘路를打開코져 本道에서는綠肥種子收集을斷行하여 約 7,000石의收集播種도完了되어 明年米作은期待됨이크다.

(米穀收集과食糧事情)

1947年度本道收集目標量은 855千石으로決定되었든바 本道實收穫減收가中央의 認定하는바되어82萬 5千石으로改正되었으나 本道에서는未端收集割當도이미完了한後임으로當初의 855千石收集을實行中인바 11月末現在80%684,000石이란 稀有의好成績裡에收集이進行되고있으며殘餘20%도12月中旬까지는完了될豫定이다. 食糧配給에있어서는 雜穀不足으로11月中은 白米만9勺式配給되었고 少量撤入도嚴禁되어 稀有의穀價高騰(1斗1,500圓) 示現하였으며, 食生活은 매우逼迫한狀態에있다.

#### 나. 蠶 業

過去蠶業은外貨獲得材로其業績가매우旺盛하였든바

戰時中食糧増産을 強行하기爲하여 一部桑田을 廢棄한 일도 있어 今 日의 蚕業은 過去의 約 50% 程度이다. 過去 5 個年間的 經過를 보면 如下하다.

年 別	播立枚數	收 獲 高
1943年	89,915	310,752貫
1944年	91,463	228,448 //
1945年	59,937	430,641 //
1946年	54,471	160,937 //
1947年	54,189	180,396 //

今年 共販은 綿布, 石油等 補償物資 配給에 不拘하고 春秋合하여 3 萬貫에 不過하야 絹紡織等 原料問題가 자 又惡化되였다. 過去에는 全南郡是, 若林, 鍾紡等이 每年 日本에서 多量의 原料를 輸入하여 工場을 運營하였으나 今後는 自給自足을 不得已하게 되잇으므로 貿易再 開와 同時에 今後의 外貨獲得과 國內需要充足等의 見地 下에서 蠶業 5 個年計劃을 1946年 부터 施行하여 收穫 日 續達成을 督勵中이나 其 歸趨는 樂觀을 不許하는 現勢이다. 其原因으로는 戰時中의 所謂 供出에 對한 先入感의 作用으로 一般의 共販忌避 傾向을 들 수 있다.

蠶業發展의 目標은 如下하다. (1950年)

	月 標	現 狀	要獎勵量
養蠶戶數	66,280 町步	39,530	26,750
桑田面積	6,230 町步	2,998	3,232
播立枚數	121,660 貫	54,189	67,471
收 獲 高	405,150 貫	180,396	224,754

口、棉 作

當局의 獎勵로써 絕對多作을 期待하였던 棉作은 播種 當初의 極甚한 旱害와 其後의 長霖으로 因하여 耕作面積 42,000町步에 對한 生産面積은 28,000町步로 即耕作面積의 35%가 流失되어 前例없는 凶作을 보게 되었다.

過去 5 個年間 耕作面積及收穫高

年 度 別	作付面積	收 獲 高
1943年	64,677町步	54,563,551斤
1944年	55,682 //	57,768,867 //
1945年	52,710 //	31,143,000 //
1946年	39,192 //	39,496,975 //
1947年	42,000 //	16,000,000 //

1947年度 共販目標高는 1,280萬斤인데 11月末 現在 收穫高는 10萬斤에 不過하고 收穫前途는 暗澹하다.

(1948年度 棉作計劃)

耕作面積 47,000町步

收穫目標 6,110萬斤  
 收集目標 3,000萬斤

5. 工 業

解放後, 前日人占有工場의 繼續運營과 함께 我國人 創 意로 多數工場의 出生이 있었음은 慶賀할 事實이다. 本道 의 工業은 原料關係上 纖維工業이 發達되고 鐵工業, 化學 工業의 順序로 比較的 順調로 發達을 보았으나 1947年 10月 現在 運營狀態는 如下한 바로 樂觀을 不許한다.

(工業別 操業率) (對全設備)

- ① 纖維工業 綿紡織 80% 絹織物 70%  
 絹織物 30% 莫大小 25%  
 被服 8% 製糸 40%
- ② 鐵工業 60%
- ③ 化學工業 40%
- ④ 機械工業 30%
- ⑤ 食料品工業 60%

工業概況 (1947. 7. 15現在)

工業別	朝鮮人 工場	從業員	歸屬 工場	從業員	合 計 工場	從業員
纖維工業	74	6,700	7	1,275	81	7,975
金屬工業	74	1,229	24	470	98	1,699
機 械						
化學工業	54	1,934	10	1,440	64	3,374
食 料 品 工業	329	3,070	143	1,800	472	4,870
電氣工業	22	200	1	40	23	240
土石工業	140	2,842	—	—	140	2,842
製 紙 印刷工業	15	151	9	285	24	436
其他工業	25	293	6	150	31	443
計	733	16,419	200	5,460	933	21,879

(工業別 重要工場名)

纖 維 工 業

工場名	所 在	從業員	種 別
鍾紡製糸	光州府	205	絹紡織
全南郡是	//	388	//
全南紡績	//	2,288	綿紡績
光州製絹	//	334	絹紡績
湖南紡績	//	153	綿紡績
共榮織物	麗水邑	44	
乾日織物	//	75	
羅州製糸	羅州邑	41	
湖南製糸	//	31	

鐵 工 業

八谷機械製作所	光 州	20
豐田鐵工所	〃	13
光一鐵工所	〃	18
光泉鐵工所	〃	11
第一鑄物工場	〃	29
巴鐵工所	〃	29
南鮮鑄物工場	木 浦	49

化 學 工 業

朝鮮理化學co.	榮山浦	100名
大東油脂化學co.	木 浦	167〃
陶磁器製造co.	〃	50〃
朝鮮農産化學工業co	松汀里	100〃
全南工務工業co.	木 浦	51〃

食品、造船工業、其他

木 浦 造 船	木 浦	139名
麗 才 造 船	麗 水	48〃
東亞食品工業	麗 州	142〃
朝鮮製紙順天工場	順 天	159〃
大 韓 製 材	木 浦	41〃
全 南 印 刷	光 州	12〃
其 他 印 刷	〃	12〃

業種別로其現狀을보면,

가. 綿 紡 織

原料棉에 있어서現下國內共販分만가지고는到底何月所要量12,000封度充用엔不足함으로 全的으로美棉輸入에依存하여操業은順調을고 月生産高(10月)는如下하다.

綿布 12,232碼    띠을 160打    綿糸 13捆

나. 絹 紡 績

道內三大工場 即 全南郡是、若林工場、鍾紡光州工場에서所要되는原料는 月生産9,000貫、年最少10萬貫을要하는데 前配와如히共販不振을因하여 年最少所

要原料의三分之一도못되는現狀임으로 各工場의操業短縮은勿論,年中殆半은休業狀態를現치못하지되었다.

다. 其他工務工業

最近外國輸入原料가割當되어 今後半年操業은無難視되나 大部分의工業은原料의缺乏과技術不足、物價高、資金難等으로操業率은日益低下狀態이다.

라. 新興工業

本道榮山浦所在朝鮮理化學會社(朝鮮人)의琉璃工業은本道新興工業의唯一한存在로其將來가囑望된다. 即 黑山島、慈恩島等의世界的硃砂產地에近接하고榮山江의水運의便利가有하여立地條件도良好하며, 1946年8月創立以後試驗期를거쳐서 今年7月부터는本格的의生産에着手하여 道內新興生産機關中 가장活氣를 띄우고있다. 重要한生産物은如下하다.

電 球	25,000個(月産)
板 硝 子	17,500枚(〃)
食 器 類	30,000個(〃)
醫藥用硬質軟質硝子製品	356,250個(〃)
電球脚우무足管等	87,500組

主要原料中 硝石、炭酸曹達等 現國內在庫依存分과燃料有煙炭等이 將來의隘路인듯하나 炭三製品等은 中國、其他南方進出도豫想할수있다.

마. 乾電池製造工業

光州府湖南電氣工業株式會社에서는通信用電池를製造하여通信、發務、運輸等各部의官用에納品中이다.

製造能力

日 産 200個

性 能

150mm압배아 定流放電 5오-무抵抗이며 持續270時間으로 國內一流水準이다.

原料中 亞鉛板、滿俺等이外國依存이라 問題이나貿易開通을待期中이다.

6. 鑛 業

本道는主로炭鐵이고 金屬鑛業은天然의惠澤이적으나, 38以南에서 第二位의產量을占하는和順炭鑛을미 못하여 群山炭鐵들이 이미試掘에서探堀에드러가 其埋藏量으로보아有望視되고있다.

鑛 業 概 況 (1947年4月現在)

鑛 業 別	朝 鮮 人 所 有			前 日 人 所 有			合 計		
	稼 働	休 業	從 業 員	稼 働	休 業	從 業 員	稼 働	休 業	從 業 員
石 炭	2	1	200	2	2	1,600	4	3	1,800
金 屬	—	35	20	—	50	70	—	85	90
非 金 屬	1		22	1	12	58	2	16	80
計	3	40	242	3	64	1,728	6	104	1,970

### 가, 石 炭

#### (1) 和順炭鐵(商務部直營)

開發年月	約10年前
從業員	1,841名
炭 質	約 5,000카로리
埋藏量	5,000萬噸(確定數字) 以後10數年探掘可能
採掘實績	1945年度 95,959噸
	1946 // 81,413噸
	今年10月末現在75,607噸
	月生產高(每月平均) 約 8,000噸

#### (2) 三興社炭鐵(個人所有)

開發年月	1943年
從業員	331名
炭 質	6,313카로리
埋藏量	約 7,000萬噸
採炭實績	
1944年 1月~同12月	6,581噸
1945年 1月~同 8月15日	12,240 //
1945年 9月~同12月	6,126 //
1946年 1月~同12月	10,425 //
1947年 1月~同 9月末	7,981 //

月生產高는平均 約1,000噸이다。企劃中의施設의規模擴張이 있을 때는 一躍月產 5,000餘噸의採炭이可能하다。

註 三興社炭鐵은試掘期를버서나지 못한채現在에至하였으나, 月前中央廳에서調査한結果炭質의優良, 埋藏의巨量이確認되었다. 個人所有이라자金難과送炭難의陸路等으로 最大限의能率을發揮하지 못하고있음은遺憾이다. 其他炭鐵으로서大和, 成光等試掘鐵이 있다.

### 나, 金 屬 鑛

順天銅鑛(金, 銀, 銅)	1947. 7. 20日開發
從業員	259名
1947年 5月~同年 9月	
出 鑛 量	200噸
輸 送 量	909 //

此鑛石은忠南長項製鍊所에서製鍊하고 있다.

### 7. 水 產 業

本道의水産業은 解放後南朝鮮에 있어서 더욱其重要性을加하게 되었다. 即本道의水産高는 慶尙南道와 慶尙北道의다음으로 第三位를 차지하고있으며, 從業人口數는136,806名, (戶數 24,388戶) 으로首位를차지하고있고, 漁業組合도 四十三個所에達하며 組合員數에 있어서도 62,173名에達하여 第一位를차지하고있다. 本道의養殖業은 他道의追從을 許하지않는것이있으며 特히김과갈은 本道의名産이되어있다. 主要漁獲物은 고등어, 조기, 새우等이며, 解放前使의漁業狀況을 詳記하면 다음과같다.

#### 가, 水産高

1944年	36,070千圓	76,220噸
1945 //	347,700 //	74,421 //
1946 //	588,848 //	57,630 //

#### 나, 水産業戶口數 (1946年度)

1. 漁 撈—戶	數	24,388戶
	男 子	26,378名
	女 子	17,191名
2. 養 殖—戶	數	31,645戶
	男 子	45,917名
	女 子	43,847名
3. 製 造—戶	數	1,275戶
	男 子	1,574名
	女 子	1,890名
4. 合 計—戶	數	57,308戶
	男 子	73,870名
	女 子	62,928名

#### 다, 漁船 (1947年5月末現在)

隻	數	370隻
噸	數	2,616噸
(其 他)		100隻)

#### 라, 養殖關係補助金 (1947年度)

호 增 殖 施 設	600千圓
수 母, 가 사 띠 } 增 殖 施 設 }	250千圓
合 計	850千圓

以 上

(完) 以上朝鮮銀行光州支店調査資料에 依함.

# ★ 全 羅 北 道 (NORTH CHOLLA PROVINCE)

目	次
1. 概 觀	5 工 業
2. 農 林 業	6 水 産 業
3. 商 況 及 貿 易	7 金 融
4. 鑛 業	

## 1. 概 觀

全北은往昔의馬韓으로 三國時代에는百濟의領土이였으나 義慈王19년에 新羅의強大함과 唐의東方侵略으로因하여滅亡後一時唐의支配下에있다가 未久에 新羅의領土가되였다. 其後新羅가滅亡하자 이地方에 依據하고있든 甄萱의後百濟國과같이高麗에併合되였다. 高麗朝의成宗時代에 本道는江南道라稱하였으나 後에海陽道(現在全南)와併合하여全羅道라하였고 高麗가崩壞하자李朝最初에는麗朝의名稱을 繼承하였으나 後에數多한遷徙曲折을겪은後 李太宗32년에, 道는廢止되고 全州, 南原에兩府를設置하여觀察使를두었으나 翌年에이를廢止하고全羅北道라稱하였고 觀察使로하여금 全州에있어26郡(全州, 南原, 古阜, 金堤, 泰仁, 礪山, 錦山, 益山, 臨陳, 金溝, 咸悅, 扶安, 茂朱, 淳昌, 任實, 鎮安, 扶安, 萬頃, 龍安, 高山, 沃溝, 井邑, 龍潭, 雲峰, 長水, 求禮)을管轄케하였다.

丙戌(1910年) 8月27日韓日合併으로, 同年10月1日 朝鮮總督官制實施에依하여 道에長官을두고 其後甲寅(1914年) 3月府郡의廢合制가實施되자 於靑島, 古阜山, 群島, (以前 忠南管轄)를本道管轄下에 編入하여1府(群山府) 14郡으로하였다. 己未(1919年) 8月24日, 地方官制規定에依하여, 全州郡을完州郡이라改稱하여, 現在 3府(群山, 全州, 裡里) 14郡(完州, 鎮安, 錦山, 茂朱, 長水, 任實, 南原, 淳昌, 井邑, 高敞, 扶安, 金堤, 沃溝, 益山) 6邑(金堤, 新泰仁, 扶安, 井邑, 南原, 錦山) 168 面으로되였다.

地誌를살펴보면 本道는朝鮮의西南部에位置하여 東經 125度58分부터, 127度 54分에至하고, 北緯35度 10分부터, 36度16分에至하여 延長東西 246杼18 南北 194杼61로써 面積은8,554平方杼11이며 陸地 島嶼百分比는 陸地 99.6 이며 島嶼 0.4이다. 그리고 東은慶南, 慶北에 南은全南에北은忠南, 忠北에隣接하고北方의一部는棉山을境界로, 忠南의一部와接境한다는 大體로山嶽으로境界되었으며 西方의一帶는萬頃, 東津의兩江을끼고 黃海에面하고있다.

東道の脊梁 小白山脈은 本道の東方慶南北의境界를西南으로뻗어, 支系인長水郡德裕山의南方에서分岐하여, 蜿蜒히西北에馳走하고, 全州의東南에서 또二系로分系되어 一은母岳山脈이되어 南下하여蘆嶺에達하고 一은北走하여數枝가되어, 支脈이忠南北兩道에 열리고있다.

本道の傾斜度를보면 5 度未滿의平坦地가總地積

의24% 傾斜地(26度未滿)가27%이며, 49%가20度以上の急傾斜地로 東部는山岳이重疊하여智異山(1,751米)을筆頭로 1,000米을超過함이 21 處에達하고 北西의一部는黃海에向하여 廣闊히大平野를 構成하여 沃地東西47杼12南北78杼54로 古來三南의最大寶庫라稱하는 湖南平野를展開하고 林野도丘陵도富하다. 따라서地勢는, 南東에高하고, 北西에低하여, 自然히山間部, 平野部로分割되었다. 至黃海에靑島, 於靑島, 古群山列島等, 大小60餘島가散在한다. 道内の河川은地勢上모두가本道中軸以東의高地에發하여, 黃海에이르나 蟾津江만이全南을결쳐, 朝鮮海峽에흐르고있으며 本道海岸面은, 群山港以南高敞郡上下面에至하는, 一府四郡에亘하여屈曲이 많으며 延長 241哩로써 近海에散在하는島嶼는60個나되며 沿岸은漁鹽의利에豐富하다.

本道總人口는 1944年度 1,639,213 名으로 南朝鮮總人口의 10.3% 를占하고 1946年度 2,016,428 名으로 377,215 名의增加이고 增加率은 23.0 %이다. 男女別로보면男子는1944年度에 804,299名이었으나 1946年度에 1,025,041名으로 220,742名의增加이고 增加率은 27.4%, 女子는 1944年度 834,914名, 1946年度 991,387名, 156,473 名의增加로增加率은 18.7% 이다.

## 2. 農 林 業

### 가. 農 業

本道各種產業中, 第一位를占하고있는農業은 本道總戶數의約 8割로, 農家戶數 241,478戶(1947年調査)이며그耕地面積은, 畜이 169,169町 2反, 即, 全耕地面積의 7割 3分이며, 田이73,476町4反, 即, 全耕地面積의2割6分로되어있다. 錦山, 長水, 茂朱, 鎮安, 任實, 南原, 淳昌等, 7個郡은, 山間部에所在하여, 平野가比較的적으나, 西方部인群山, 全州, 裡里, 益山, 沃溝, 完州, 高敞, 扶安, 金堤, 井邑等, 3府7郡은, 東西約48杼, 南北約80杼나되는全北平野를이루어, 平野는萬頃, 東津의二大水流가있어, 灌溉에便利하고, 全北, 東津의二大水利組合은, 旱澇을모르는貯水池를形成하여, 常時滿水狀態에있어, 天水에만依賴할危險이없다. 地質亦肥沃한沃土로, 全國에서 最優秀한米穀生産地로古來부리數言이라는, 名稱을받들고있음은 下記計表가證明하는바이다. 다음에 計數의으로農事概況을考察한다.



(9) 1946年作付面積及收穫豫想高

種 別	作 付 面 積	反 當 數 量	收 穫 豫 想 高
大 麥	168,209町	721合	121,264石
裸 麥	396,111	794	314,444
小 麥	69,046	555	38,305
胡 麥	70,677	545	38,186
計	703,443	728	512,199

(10) 1947年麥類作付計劃面積

種 別	田 作	畜 糞 作	計
計 劃 面 積	480,000町	525,900町	1,005,900町
耕 地 面 積	333,259 (69%)	119,415 (23%)	452,674 (45%)

(11) 果實類最近五個年間作付面積及收穫高

上 = 作付面積(反)  
下 = 收穫高(貫)

種別	年度別	1942年	1943年	1944年	1945年	1946年	平均
沙 果		3,165	1,315	1,226	1,489	1,883	1,816
		96,624	121,472	107,318	94,506	86,742	101,332
梨		2,752	3,596	2,971	5,014	4,935	3,854
		410,505	527,094	326,892	276,225	1,099,827	528,189
桃		1,619	1,764	1,893	2,167	2,479	1,984
		128,973	142,945	159,388	128,932	176,492	147,346
葡 萄		129	120	121	115	163	130
		14,712	13,911	13,691	7,665	12,912	12,578
柿		980	936	2,479	1,285	1,526	1,441
		25,612	35,126	247,352	70,489	254,526	126,621
其 他		—	—	1,270	396	491	431
		—	—	45,624	22,685	52,169	24,096
計		8,645	7,731	9,960	10,466	11,477	9,656
		676,426	840,548	900,265	600,502	1,682,668	940,082

(12) 蔬菜類最近五個年間作付面積及生產高

上 = 作付面積(反)  
下 = 收穫高(貫)

種別	年度別	1942年	1943年	1944年	1945年	1946年	平均
蘿 蔔		56,519	34,434	30,420	28,826	28,045	35,649
		12,317,171	8,123,381	5,793,756	5,501,505	5,537,473	7,454,657
胡 蘿蔔		—	—	15	218	253	97
		—	—	747	17,082	19,800	7,525
牛 蒡		—	—	16	82	37	27
		—	—	1,762	16,140	3,758	4,332
里 蒡		—	—	41	200	125	73
		—	—	3,809	21,333	12,835	7,596
白 菜		53,735	25,591	23,714	22,238	22,624	29,580
		8,074,634	5,553,894	3,928,402	3,889,150	4,272,943	5,143,805
甘 藍		189	191	206	193	143	186
		40,518	44,000	37,695	34,962	23,107	36,056
蔥		4,402	2,763	2,092	1,926	1,726	2,582
		429,258	456,800	325,561	275,292	236,883	344,758
蔥 頭		—	—	108	93	79	56
		—	—	12,370	9,974	12,205	6,970
大 蒜		11,015	8,596	6,986	6,695	6,160	7,891
		875,902	738,166	582,415	785,525	457,742	687,950



胡	瓜	{	1,933	2,479	1,504	1,437	1,538	1,778
			283,336	316,120	218,761	196,225	217,376	246,364
南	瓜	{	2,891	4,950	13,988	13,153	10,038	8,004
			493,171	1,099,722	3,414,950	2,861,900	1,803,152	1,934,579
西	瓜	{	1,927	2,441	707	621	1,657	1,471
			255,319	274,147	105,735	87,860	136,122	171,837
甜	瓜	{	4,092	4,450	1,286	2,465	2,509	2,961
			476,757	594,500	167,800	390,840	342,077	394,395
茄	子	{	4,803	2,285	1,915	2,086	2,108	2,639
			850,358	374,561	245,063	292,543	284,988	409,503
蕃	茄	{	147	195	252	234	134	192
			21,452	45,693	23,075	30,182	18,050	27,690
蕃	椒	{	18,955	14,309	11,663	12,131	12,511	13,914
			480,430	461,678	363,550	295,599	446,393	409,530
其	他	{	2,966	1,308	1,176	1,080	421	1,390
			320,995	258,533	217,950	201,085	74,938	214,700
計		{	163,584	103,992	96,089	93,678	90,108	109,490
			24,919,301	18,341,195	15,443,401	14,907,197	13,899,843	17,502,187

나. 林 産 業

本道林野總面積은 540,644町步로即全面積의約 6割 5分以上을 차지하고 있으며 立木面積이 378,507町步, 其他面積이 162,157町步이다. 解放後盜伐 濫伐로林野 荒廢는 날로甚하여감에道當局에서는 이를防止하기 爲하야 各郡及保護區에 22名과 各面에 160名의森林主 事를配置하여 이를防止하고 또한造林에必要한發苗 事業을하여 樹苗40餘萬本을年生産할計劃으로推進中 이며 道內全州, 錦山, 南原, 淳昌, 井邑, 裡里等, 七個所에砂防管理所를두고 1946年度以降10年間 砂 防事業實施計畫을세우고 活躍하는山林會의期待는크 다.

1. 1946年度生産計畫

電 柱	300石	枕 木	4,000石
輻 車用材	66,000石	造 船 材	4,800石
車 輪用材	6,300石	建築用材	46,000石
製 箱 材	46,200石	一 般用材	36,000石
베니야用材	3,000石	枕 木	20,100石
製 材 用	84,000石	地方消費量	35,100石
計	351,800石		

2. 1946年度道外搬出計畫

坑 木	300石 (忠南)
枕 木	9,000石 (忠南)
枕 木	1,800石 (京畿, 慶南)
製 箱 材	19,800石 (京畿, 忠南)
베니야用材	3,000石 (京畿)
計	33,900石

3. 1947年度總生長斗總伐採量

林野總面積 540,644町步 { 立木面積378,507町步  
其他面積162,157町步

1個年總生長量 1,892,535天締

1個年伐採總量 1,643,440天締

內 譯

木材伐採量 183,400天締 新材伐採量 315,400

炭材伐採量 346,100倭

다. 畜 産 業

肥料은不足하고 生産量을增加하여야할이며, 農牛 確保는, 무엇보다緊急한일이나 解放後任意屠殺或은 任意放擲로 解放前에比하여約三割減이되었으며, 日 本軍이使用하든軍馬를使用하든 亦不足한故로 他道 에每年依賴하는形便이다. 養豚은 1945年에比하여約 二割의增加를보임은多幸이다.

家 畜 別	1945 年	1946 年
畜 牛	32,682頭	35,179頭
馬 匹	3,794匹	3,848匹
養 豚	18,616匹	46,685匹
山 羊	3,951首	5,446首
種 羊	233首	192首
家 兔	1,376首	1,929首
養 雞	141,365羽	210,980羽
養 蜂	1,864箱	2,316箱

3. 商況及貿易

가. 商 業

解放後日軍이賤賣하였든莫大한物資가 流水같이일어나오자 長期間物資缺乏으로閉歇하든市場은, 大端 한活氣를띄웠으나 얼마안되어其物資도漸次, 자취를 감추고 原料不足으로萎靡되는生産狀態가아무리 날

로 變貴하든物價도 今 1947年 1月19日 의 暴利限界發表, 隱匿物資摘發, 金融機關의 貸付制限으로 一時的이나 米低落의 傾向이 濃厚하였고, 더욱 美國의 對朝鮮經濟援助案이 據頭되자 商界는 決定의 影響을 받았으나, 5月부터 急騰을 繼續하든 米價에 割賦을 받아 配給이 있는 成陽 (淸州) 洗濯비누, 고무靴類等을 除外하고는, 一般物價는 騰貴하였고, 더욱 季節을 맞은 苧布 麻布는 甚하였다. 一方 秋季에 들어서는 新穀이 出題하였으나, 1946年 同季의 白米一斗 最低價格 420圓에 비하여 700圓을 돌고 있음은 農村供出事情이 逼迫함을 如實히 나타내며, 따라서 一般物價도 如舊時時變가 높아지고 있다.

1. 道內生産品一覽表

生産品名	1946年 生産實額	1947年 生産豫報量
綿布	576,000碼	400,000
絹布	2,025,000	2,500,000
고무靴	1,800,000足	1,000,000
皮鞋靴	60,000	50,000
양말	1,080,000	1,000,000
成陽	3,760,000包	2,000,000
化粧비누	300,000個	100,000
빨래비누	5,165,000	200,000
紙類	4,800,000封度	4,000,000
土器	11,133	17,000
鋤	300,000個	—
食鹽	450種	400
에리야스	180,000	150,000
揚水機	2,867台	3,000
犁	6,000	6,500
犁老	680,000個	700,000
脫穀機	57,000台	40,000
鋏	45,000個	50,000
三本鋏	56,866	60,000
鎌	339,676	340,000
馬鋏	4,500個	4,000
除草機	13,000台	10,000
材木	516,159石	400,000
煉瓦	7,600,000個	8,000,000
陶器	500,000個	400,000

二. 金融組合聯合會 全北支都統制物資配給狀況  
(自1945年8月15日 至1947年10月末)

名	數	量	金 額
綿織物	1,153,016碼		33,297,518.25圓
交織物	24,369		1,429,929.10

絹織物	74,767碼	4,459,513.54圓
양말	109,587足	339,152.25
洗濯비누	424,456個	3,820,104.00
化粧비누	31,063	185,469.00
男子運動靴	33,318足	1,207,452.00
男子고무신	26,462	913,405.00
女子運動靴	38,380	115,140.00
女子고무신	135,758	4,004,373.90
小兒運動靴	25,262	631,550.00
其他織物	61,820碼	2,939,535.00
小兒고무신	50,990足	1,274,700.00
作業靴	25,773	1,176,774.00
皮鞋靴	22,022	9,377,107.00
상양(德申)	195,159匣	4,346,067.00
// (並)	2,854,233	8,555,089.60
計		78,072,879.54

나. 貿 易

群山港은 錦江의 河口을 占하는 朝鮮西海岸의 樞要한 港灣으로, 忠清南北道, 全北의 物資는, 大概 群山港으로 集散되며, 南韓第3位 貿易港으로, 航路는 仁川, 木浦 麗水, 日本, 中國等이다.

解放後의 貿易은, 主로 對中國이다. 美國, 英國(香港) 日本으로부터 入港한 船舶도 있으나, 貿易品은 全然 없으며, 旅客의 携帶品이 若干 있을 뿐이다. 解放以後 當港 輸出入品은 다음과 같다

輸入 1946年度輸入統計(單位數量kg金額圓)

名	數	量	金 額
落花生	1,200		35,201
洗濯비누	500		22,680
콘스리-지	2,400		83,349
麵類	1,700		73,763
鮮島卵	—		1,764
砂糖	9,400		1,108,800
食鹽	59,000		246,000
胡椒	306,900		160,834
甘草	60,000		44,000
상냥	21,900		34,493
胡麻子	2,000		138,600
茶種	100		17,850
旅客携帶品	—		4,482
計			1,971,816

1947年 4月—9月中輸入統計

名	數 量	金 額
콘 스타 - 지	200 kg	30,000圓
麵 類	1200 //	220,000
砂 糖	11,900 //	1,504,420
食 鹽	208,900 //	1,249,920
礫 砂	5,000 //	260,000
사 카 린	225 //	4,000,000
성	2,303 //	3,006,000
絨織物及棉織物	6,264 平方米	750,000
綿 製 浴 布	480 //	480,000
新 聞 用 紙	15,300kg	38,750,000
豚 皮 類	890 //	3,144,590
農具及部品品		470,000
旅客携帶品	中 國	235,800
//	英國(香港)	70,86
//	日 本	30,000
//	美 國	149,500
計		54,340,816

輸出 1947年 4月—9月中統計 (以前은無計)

名	數 量	金 額
寒 天	60kg	350,900
鷓 鴒	7,300	1,161,866
蝦 蟹	6,600	1,888,120
鱈 鱒	1,200	270,000
鮑	700	296,736
白 蔘	108	216,000
其他(人蔘)	579	357,840
計		4,540,562

#### 4. 鑛 業

鎭山、金堤、長水郡等에 設在한 14個所鎭山은 主로 金、銀、水鉛、寶石이 多量產出되나、解放後는 多다 休 眠狀態에 繼繼하고 있다. 輸出보다 輸入超過는 是는 朝鮮의 實情에 비추어 볼때、時急한 開發이 要請되는 바 이나 資 金問題로 開發은 遲延되고 있다.

##### 가、金 鑛

貨幣鑄造用、國際決濟用或은 裝飾用 醫藥用으로 不 可缺한 金은 本道에서는 砂金이 大部分이며 主要産地는 日政時代三麥鎭業에서 採掘한 金堤砂金鑛으로 年産 約 600担 이라는 全朝鮮 砂金鑛中 第一位를 占하는 國寶의 存 在이다. 本金鑛은 從來와 같은 運輸及 補修 機材 具備된 다면 解放前의 實績은 無難히 維持될 수 있는 狀態에

있다.

##### 나、水 鉛 鑛

水鉛은 長水郡에서 産出量이 많으며 現在의 生産能力은 年産約 100 担이고 其埋藏量은 巨大하며 將次朝鮮最 高의 生産을 確保할 수 있음으로 期待된다.

##### 다、螢 石 鑛

螢石은 産出의 大部分이 鎭山郡各地에서 産出되는 데 其 中에도 5,6, 個鎭山에서 99%까지 産出하며 年産 5,000 担 賦存量은 無盡藏에 屬한다.

道內鎭山一覽表

鎭山名	種 類	所在地	年採取能力 埋藏量
長水鎭山	水鉛	長水	140 担 1,353,000 担
玉溪鎭山	螢石	鎭山	2,157 //
田中鎭山	/	//	1,350 //
逸樂鎭山	/	//	17,300 //
逸樂鎭山	/	//	1,027 //
登陽鎭山	//	//	6,100 //
登陽鎭山	//	//	855 //
登陽鎭山	//	//	2,975 //
戊利鎭山	//	//	910 //
鎭山鎭山	//	//	50,000 //
鎭山鎭山	//	//	341 //
鎭山鎭山	//	//	2,700 //
星谷鎭山	金、銀、螢石	鎭山	180 //
日陽鎭山	螢石	//	7,115 //
日陽鎭山	螢石	//	351 //
日陽鎭山	螢石	//	1,300 //
金滿鎭山	銅、金、銀	金堤	銅 15 銀 96 金 39 //
東鎭鎭山	銅、金、銀	鎭安	銅 21
鎭山鎭山	鉛、鎢、銀	長水	鎢 45 3,047,000 //
八寶鎭山	銅、鉛、銀	鎭山	鎢 76 22,150 //
蟠居鎭山	金、銀、硅酸	長水	硅酸 150 19,300 //

#### 5. 工 業

原材料、技術、資本難으로 舉皆 停滯難에 達着하고 있 다.

##### 가、工 業

從來부터 邦人經營으로 道內 2 個所 (鎭山京城고무、 鎭山天一고무) 고무工場이 有하나 解放後겨우 中國、 「마카오」等地에서 多少生고무가 入荷되어 古고무와 混合使用하여 業者는 最善의 努力을 다하나 入荷되는 數量으로는 到底히 全生産能力을 發揮치 못하고 數個月

操業에 不過하니 每日最高能力5,000足이나 實生産量은 不過20%에 지나지 못한다.

나. 化學工業

生松脂를 原料로 하여 各種化學原料를 製造하는 南朝鮮에 唯一한, 林産化工株式會社는 로싱, 대역방포, 배무도약스等, 工業用藥品을 製造하여 其製品은 好評을 받고 있으나 重要原料인 生松脂不足에 隘路가 있다. 當地成陽工場은 設備과 資積에 비추어 南鮮에서 最優秀한 工場이나 亦是 鹽素酸加里不足으로 操業에 支障이 크며 原皮高騰과 藥品不足으로 皮革工業도 亦是不振 狀態에 있다.

다. 纖維工業

三省製糸工場外 八織物工場이 있으나 原料不足으로 運營難에 逢著히 계되자 纖維工業會, 道工業會의 發足을 由아 原材料의 共同購入, 技術指導等의 便宜을 圖謀하고 道當局으로부터도 積極의 斡旋이 있어 漸次緩和해 가고 있으나 200萬道民의 需要에 達할려면 前途 險惡하다.

라. 機械工業

肥沃한 平野와 廣範인 耕地面積을 가진 本道로서는 農機具生産工場이 發達함은 必然의 趨勢이며 現在 散布된 大小80餘工場中, 約 8割이 農機具生産工場으로 穀倉인 本道는 從來의 農機具는 一層技術的으로 推進시켜야 할 것이며 一便 農機具外 船舶, 化學用機械器具, 鋸기야스機, 紡織機械等, 各種工作機械生産工場도 好適한 立地條件을 利用하여 今後의 發展이 期待되고 있다.

마. 製紙工業

在來家內工業으로 有名한 朝鮮紙工場이 約270個所在하여 日帝時代年最高生産量 400千貫을 올린 朝鮮紙도 楮皮「딱」의 伐材가 甚하였고 藥品, 苛性曹達, 漂白粉, 化學칼루全無로 其能率은 約50%低下하며 昨年度生産量은 不過 250千貫이며 三個所의 機械製紙工場中 休紙는 原料로 하는 群山, 東洋, 馬製紙工場이 操業을 繼續할 뿐이다. 南鮮에 唯一한 存在인 「파루루」의 原木을 材料로 하여 洋紙를 生産하는 北鮮製紙는 38障壁으로 吉州「파루루」가 入荷不能이며 昨年까지는 在庫「파루루」를 利用했으나 今年에 이르러서는 「파루루」全無로 單只碎木「파루루」生産에 不過하였다.

本道製紙工場의 一年間原料所要量은 다음과 같다.

原 料 名	需 給 量	原 料 名	需 給 量
楮 皮	800屯	洗 粉	20
化 學「파루루」	1,500	休 紙	50
苛 性 曹 達	250	漂 葛	50

道內從業員 5人以上工場.

① 機械工業	59	⑥ 窒 素	50
② 化學工業	18	⑦ 工 藝 業	11
③ 纖維工業	35	⑧ 印 刷 業	30
④ 食料品工業	63		
⑤ 製 紙 業	3	(朝鮮紙工場 270)	

6. 水 産 業

海岸線延長 240哩를 算하며 沿岸一帶는 灣入屈曲이 豊有하나 海底가 淺淺하고 潮沙干涸의 差가 甚함으로 良好한 港灣은 乏으나 近海에는 古群山列島, 煙島, 竹島, 開也島를 비롯하여 數 많은 島嶼가 散在하고 黃海上의 自然의 漁場은 形成하고 있는 於靑島가 있고 竹島近海의 鯨漁業은 古來로 全國第一位를 占하고 있다. 漁獲物은 조구를 離頭로 갈치, 도미, 광어, 새우, 민어, 대구, 상어, 홍어, 고등어及其他魚介類類等이며 道內 5漁業組合의 漁獲高는 다음과 같다.

漁業組合委託販賣高調查表

組 合 名	1946年度	1947年度
群 山	數量 195,644,745kg	2,651,444kg
	金額 128,536,321圓	122,168,241圓
安 西	數量 516,327kg	448,600kg
	金額 10,417,027圓	12,361,433圓
藝 浦 灣	數量 1,983,058kg	3,002,587kg
	金額 28,821,068圓	52,427,967圓
高 敞	數量 6,089,871kg	655,824kg
	金額 26,998,271圓	12,267,273圓
金 堤	數量 329,644kg	225,255kg
	金額 3,333,308圓	4,473,183圓
計	數量 204,563,645kg	6,983,710kg
	金額 198,105,995圓	203,698,102圓

7. 金 融

① 發行回收狀況 (單位千圓) △發行表示

年度月別	還收額	發行額	差 額
1946年 9月	68,586	43,090	25,496
〃 12月	94,264	243,181	△148,917
1947年 3月	209,392	16,913	192,479
〃 6月	97,617	68,271	29,346

② 道內金融機關預金貸出高 (單位千圓)

年度月別	預 金 額	貸 出 額
1946年 9月末	660,388	368,142
〃 12月末	731,448	636,961
1947年 3月末	965,422	790,755
〃 6月末	1,013,931	382,565

(完) 以上朝鮮銀行群山支店調査資料에 依함

# ★ 慶 尙 南 道 (SOUTH KYONGSANG PROVINCE)

目	次
1. 概 觀	4. 鑛 業
道勢、金融、物價、勞資、	5. 水 產 業
2. 農 林 業	6. 商 業 及 貿 易
3. 工 業	附 工 都 釜 山 的 將 來

## 1. 概 觀

### 가. 道 勢

本道는 朝鮮의 最東南端에 位置하여 그 面積이 1,293 千 (以外屬島數 403 個의 海岸線 1,335 千) 面積이 12,304 方千이며, 道中央을 貫流하는 洛東江水 支流 沿岸一帶는 廣沃한 農土를 갖이고 있고, 道東面은 바다에 面하여 特別히 南面 海岸은 多數의 灣曲과 島嶼를 包有하고 있다.

氣候는 四時은 通하여 溫暖하며 氣溫年平均 13.7 度 降雨量은 每年平均 1,200 耗라는 好適한 天然條件을 갖이고 있다.

行政區劃은 釜山、馬山、晉州의 3 府와 19 都로 나누어 있으며

人口는 3,158,709 名 (1947年 2 月末 現在)

男子 1,593,544 名 (外國人 302 名 包含)

女子 1,565,165 名 (外國人 394 名 包含)

486,401 戶, 562,471 世帯이다.

한 戰解放後의 本道經濟는 混亂을 引起한 데 始作되였다. 本道가 國內有 數한 工業道이며 釜山港이 國內唯一의 貿易港이고 商業都市이었던 戰後의 經濟的 混亂은 甚했다. 解放까지의 本道의 經濟는 日人(他道에 比하여 特別) 日人에게 專斷되였고, 邦人의 經濟力은 人的으로 財的으로 力이 乏弱하였다. 八·一五後 本道 產業 特別히 工業、水產業等이 더욱 混亂을 겪게 된 原因이 이에 있는 것이다. 生産機關의 接取는 遲延되여, 數多한 遊休施設과 荒廢施設을 造치고 生産機關을 싸고 도는 軋轢等으로 말미암아 生産은 오랫동안 阻害되였다. 一 便貯藏物資의 放棄、退去 日人과 歸還同胞의 通過等으로 特別히 釜山 地方의 物價、賃金은 오랫동안 亂狀狀態이었고 對岸과 의密貿易으로 釜山을 中心으로 하는 本道의 經濟界 特別히 商界는 많은 影響을 받여왔다. 以어서 1947年 5 月 對外自由貿易의 開始를 보게되자, 一般이 새로은 關心을 갖게되고, 또 새로은 經濟界의 現實과 使命을 發見하게되였다.

解放後 2 年을 經過하여 工業은 局限된 一部分에서 軌道에 이르르고 있고, 農業은 肥料不足等惡條件下에도 不拘하고 繼續하여 天然의 惠澤을 受입했으며, 水產業에 있

어서 도 沿岸漁業에 不遜하나 底曳網의 顯著한 發達과 煎子의 蠶漁等으로 三八以 南唯一의 水產道의 面目을 維持하고 있고 아직까지는 對日關係에 있어서 單考되지는 釜山港도 港口自體의 天然條件과 아울러 東洋貿易의 中心의 立地條件으로 말미암아, 國內唯一의 貿易港으로서, 또 한 商都로서 特色 있고 實力 있는 經濟都市로서 發展하여 나가고 있다.

### 나. 金 融

八·一五當時의 道內金融機關店舖數는 130 에 達하고 特別히 釜山에는 帝國、安田의 兩純日系銀行支店의 遞滿活躍도 있었다. 解放直後인 1945年 12 月 8 日에 此兩銀行支店은 朝鮮銀行에 接收되였다.

이어서 歸還同胞의 日銀券交換事務、還國同胞及 日人의 通過에 依한 直接間接의 影響은 오랫동안 金融機關의 크나큰 負擔이었고, 各產業機關이 亦是 同様の 理由로 混亂이 繼發된 事情에 있었다.

金融機關이 安定된 狀態로 機能을 發揮케 된 것은 1946 年 下半年부터 였으며, 後記 釜山府內 預金貸出 趨勢表에서 도 可觀한 變遷을 見할 수 있다. 今年 5 月 金融機關店舖 整理의 結果, 道內에는 朝銀 1. 殖產銀行 5. 商業 16. 朝興 2. 貯蓄 1. 相互 4. 信託 1. 計 30 個所의 銀行店舖 外 90 個所의 金融組合이 남아 있었다.

#### (가) 朝銀支店發行高總移

發行高 (單位千圓)

月 別	區 別	發 行	回 收
1945	8/1 ~ 8/14	13,215	—
	8/15 ~ 10/13	277,659	—
1946	10/14 ~ 5/31	651,005	—
	6/1 ~ 9/30	397,427	—
1947	10/1 ~ 1/31	1,392,552	—
	2/1 ~ 3/31	—	146,877
	4/1 ~ 7/31	263,513	—
	8/1 ~ 10/31	449,464	—

1945/8/15 ~ 1947/10/31 發行超過 3,284,743

(a) 解放直後預金支拂及歸還同胞日銀券交換及救濟金支拂은別表에依하면, 1945年8月1日以降14日까지, 地方에放出된當行券은一日平均發行高 900千圓이었으나, 解放後急速度로 預金支拂이激增되어8·15以後10月13日까지의 1日平均發行高는 4,700千圓이며 解放前의約 5倍이다. 10月14日로부터日銀券交換이始作되어, 交換及歸還同胞救濟資金이一段落된1946年4月15日까지의期間의發行額은 729,667千圓이며 其後로4月16日로부터 5月末까지에歸還同胞救濟資金으로 348,201千圓이放出되어 其間一日平均發行高는約 3,000千圓이되는計數이다.

(b) 1946年6월부터, 1947年10月까지의發行原因은 夏穀資金과蠶, 繭, 棉花資金等の季節資金及水産資金放出에起因된다.

(4) 預金貸出(釜山府)

預金貸出趨勢表 (單位千圓)

月別	預貸	預金	貸出
1945	8	286,421	217,000
	12	284,371	150,172
1946	6	504,295	207,878
	12	945,478	1,216,809
1947	6	1,027,081	431,747
	7	1,237,438	493,929
	10	1,589,121	1,065,566

貸出增加는, 季節資金, 水産資金, 其他一般主要生産資金等適切한放出이며, 預金增加는一般商工業者의 預金增加와 營業資金確保에依한同業者預金增加等이 主因이되고있다.

(4) 道內預金, 貸出高(1947年8月末現在)

預金 1,774,066,000圓  
貸出 783,564,000圓

(4) 手形交換高(釜山府)

手形交換高及枚當平均 (單位千圓)

月別	枚數金額		一枚當
	枚數	金額	
1945	8	14,814	9
	12	1,016	34
1946	6	4,821	51
	12	13,064	70
1947	6	12,506	101
	7	14,013	93
	10	14,125	120

不渡手形枚數金額 (單位1,000圓)

月別	區別	去來中止數		金額
		入	不渡枚數	
1945	8	28	41	770
	12	0	0	0
1946	6	2	19	390
	12	8	19	1,253
1947	6	37	89	6,374
	7	48	113	6,677
	12	60	139	8,839

解放直後로10月末現在에比하면, 枚數 689枚減少에 不拘하고, 金額에 있어 1,567,932千圓增加이고 一枚當平均額은 111千圓增加를보인것은 通貨膨脹에追從하는物價高을如實하게表現한다.

다, 物 價

殘在軍需品과, 各工場倉庫의在庫隱匿物資, 退去日人의家財道具等이一時市場에氾濫함과, 解放朝鮮前邊에對한無智한樂觀氣分의作用하여, 8·15 前의暗市勢보다 低廉한物價를現出하였고, 特히釜山을中心으로大工場地帶이었고, 軍需品貯藏庫의役割을하였던地帶인만큼他地方에比하여 物價는全般的으로低廉하였고, 다만遼國通過客으로말며아마, 食糧價格만이前高騰하였다. 其後生産不振과各處에서雲集하는中間商人과, 一面通貨膨脹에依한物價高는 當地方만이國內全體의例外가될수없었고, 特히食糧配給制復活遲延과歸還同胞關係로말며아마 當道特히釜山의穀物價格은國內他都市의5割以上의高騰이었으며, 1946年10月懸擧事의前後의食糧事情은 實로 憂慮한狀態에까지있었던것이다.

그後日本으로부터 密輸入되는綢緞, 化粧品, 雜貨 또는今年5月以來의自由貿易入荷品等으로外貨의市場氾濫의度는 相當한것이었으나, 그價格面에 있어서는京仁, 其他地方보다低廉하지않다. 이는地方資本의薄弱에基因한것 (서울地方大資本의直接接收) 이며一般食料品의 高時勢는依然當地方의特色으로殘存하고있다. 解放以後二年間을通하여一時的의어나低時勢를보인時는今年4月下旬부터5月下旬까지의約一個月間인데, 이는新舊正月前發의過度의物價暴騰의一部修正의現象과, 今年一月에 暴利取締令施行과同時에金融機關의商品擔保融資가却壓되고隱匿物資摘發에因한것이다. 그러나그後六月부터現在까지高騰一路에있다.

그騰貴率은釜山小賣物價指數表에서보면 (1945年8月下旬基準) 다음과같다.

即1947年10月末現在穀物 10.7 倍, 食糧品 11.3 倍, 雜物 32.4 倍, 蠶料 44.9 倍, 雜貨 20.9 倍, 總平均에 있어 19.5 倍各々騰貴를示現하고있다.

라. 勞 賃

8·15 直後의 當地一般自由勞動賃金은, 退去日人과 歸還同胞은 相對로 하는 荷物運搬人夫에 큰 影響을 받았다. 그 때들의 賃金은 그야말로 無謀한 것이었으나, 一般은 亦是 이것이 基準되여 一時無謀한 支拂이 要求되였다.

其後前記한 食糧配給制度에 의 還元遲延에 依한 食糧高價는 不得已一般勞賃에 影響되여 그後오랫동안 當地勞賃은 國內最高水準을 持續하여 왔던 것이다. 今日에 이어서도 當地自由勞動의 大宗格은 亦是 埠頭港灣을 中心으로 하는 數千名에 達하는 荷役運搬人夫 이니, 現在 荷役會社의 亂立競爭에 依한 作業의 爭奪을 보고 있으나, 依然高價인 當地食糧品價格과 더불어 當地勞賃은 高水準을 維持하고 있다.

다만 그것이 現物價騰貴에 追從하여 (1945年8月下旬 基準物價는 1947年10月現在 19.5 倍 當地賃金은 約 6 倍에 不遇) 그 때들의 生活를 保障함에 充分한 것인가는 別個의 問題이고, 單只 如斯한 相對의 高賃金은 當地의 一般 生産機關과 其他事業機關에 直接間接으로 影響을 주지 아니할 수 없는 것이며, 이에 無理하여 部分的 低賃金을 固執하고 或는 物價와 賃金의 跛行을 放任하는데서 許多한 社會의 混亂과 無秩序가 發生하는 것이 아닐가 한다. 當地 1947年10月中 勞賃金事情은 如下하다.

勞 賃 金 調 查 表

1947年10月中 朝鮮銀行釜山支店調査

種 別	賃 金		平 均
	最 高	最 低	
大 木	450.00	350.00	350.00
泥 匠	450.00	350.00	350.00
石 手	500.00	300.00	300.00
蓋 瓦 工	400.00	300.00	300.00
混 凝 工	350.00	300.00	300.00
壁 瓦 工	500.00	300.00	300.00
塗 裝 工	400.00	350.00	350.00
목 匠 人 夫	270.00	200.00	200.00
人 夫	200.00	200.00	200.00
지 게 人 夫	300.00	200.00	200.00
鑄 造 工	450.00	300.00	350.00
鍛 冶 工	400.00	300.00	300.00
旋 盤 工	400.00	250.00	350.00
銲 接 工	400.00	250.00	300.00
洋 服 製 衣 工	500.00	250.00	300.00
靴 工	700.00	300.00	400.00
製 材 工	400.00	300.00	350.00

小 木 工	400.00	200.00	250.00
印 刷 工	350.00	200.00	300.00
車 夫	400.00	200.00	300.00

註 ① 調査對象은 18才 以上의 普通技術者로 함  
 ② 賃金의 算出에 있어서는 現物配給을 加算하고, 그 現物의 評價는 同月의 都置價格으로 함

2. 農 林 業

本道農耕地面積은 約 280千町步이며 米, 麥, 豆類, 棉花, 大麻 등이 豐富하고 本來 穀物의 糶移出道이였다. 平年作이면 米는 約 2,500千石, 麥은 約 1,500千石, 計 4,000千石으로서 道內消費一人當 1石(計 3,500千石) 酒造米其他需要를 考慮하여 價格가 있었는 것이다. 耕地面積中 畝은 183千町步(66%), 田이 94千町 (34%) 이고 全國平均의 耕地面積의 比率인 畝 36%, 田 64%에 비하여 畝이 壓倒的으로 優勢한 現象이며 더욱 畝中에서 二毛作可能部分이 66%을 占하고 있다는 것은 全國平均 30%에 不遇한 때 비하면 本道가 얼마나 優越한 農土를 包有한다는 것을 알 수 있다. 灌溉狀況은 水利組合數 65個所이고 全耕地面積의 54.2%가 水利安全畝, 27.5%가 不安全畝, 18.3%가 天水畝이니 灌溉狀況은 概好하다 할 것이다.

米作分布狀況은 金海郡이 第一位, 蔚山, 昌原郡이 第二位, 密陽, 晉州, 東萊, 固城, 泗川郡 등의 順序로 되어 있다.

年産額의 平均은 米穀 2,408千石(全國의 12%), 麥類(大麥, 裸麥, 小麥)는 平均 1,584千石으로 全國의 (12%으로 되어 있다.

日人이 二大大戰時에 航空基地로 利用한 것과 又是 徵兵, 徵用으로서 荒蕪된 土地는 解放後 積極的으로 開拓改良하여 增産에 注力하고 있다.

1946年度

	耕 地 面 積	生 産 計 産 數 量
米(畝)	152,300町步	1,678,222石
(其中 新韓公社支配下에 있는 것은 25,490町步, 118,600石)		
麥(田)	181,469町步	2,177,218石
(其中 新韓公社支配下에 있는 것은 7,224町步, 6,240石)		
其 他	8,303町步	37,852石
(其中 新韓公社支配下에 있는 것은 3,204町步)		

더욱當局으로서 是耕地面積의 擴張, 優良品種栽培, 作法改善에 盡力하고 있고 現下의 食糧事情에 비추어, 目前, 其他代用食糧增産에도 不辭의 努力을 傾注하고 있음은 勿論이다. 그外에 特殊作物으로 棉花, 麻, 煙草等은

할수있다.

元來本道の氣候는棉花에適地로서 1940年度統計에 依하면 作付反別 30,000町步, 收穫高 3,700餘萬斤, 全國의 20% 生産出하고있다.

	耕地面積	生産數量
1945年度	18,948町步	12,595,887斤
1946年度	22,200町步	73,028,606斤

本道內養蠶戶數는約 8 萬이며 日政時代米穀增産으로桑田面積이減少하였으나 今後의對外貿易振興上으로나 國內衣料自足의見地에서로積極的增産이크게期待되는것이다.

麻類는 衣服地, 漁具, 製桐刀, 其他「마나타」麻代用品으로注目되어있고 本道大産耕作地는30,146町步, 收穫高 1,055 千貫이며 優良한生産狀態에있다. 그러나生産隆落는肥料不足, 技術不足, 農器具不足, 産業獎勵의積極的援助의不徹底, 農民의經濟的不安定에있으며 國內一般經濟的回復에따라로隆落解消의마부러將次生産增加가圖謀될것이다.

道內林野面積의約 7割6分가日人會社, 個人의所有이었고朝鮮人所有面積은겨우 2割4分 에지나지못하였다.

解放後公々然한濫伐이甚함에鑑하여 其後道內 238 邑面에山林技術者를派遣, 一個邑面에平均 5 萬本, 合計 12,000千本の苗木을無償配付하여 解放記念造林을實施하여愛林思想을도드며 其面目의一新을期하고

있다.

1946年度年間林産統計를보면,

木材 250千石	竹材 55千束	長斫 200千坪
木炭 250千俵	군단 3千貫	송진 25千貫

인데, 其中薪炭은本道內의供給에는不足을느끼지않으나 其他에이러서는 他道에依存지않으면안된다. 더욱本道の現總材積은 44,853千石, 一年間 總成長量 2,242千石, 一年間總消費量 2,470千石인바 每年不足量은 228千石이다.

### 3. 工 業

本道工業은釜山을中心으로하여 全國主要工業地帶의하나이며 主로交通과燃料關係(對日關係도包含함)에主因을둔立地條件에依하여 輕工業과機械工業이主가되어 發達되어온것이特色이다. 그工産額으로볼때 纖維工業의比重은顯然히 높을占하고 食料品工業이또한對等한程度까지이른時代가있으나 8.15以後는 纖維工業以外에는 機械器具工業과窯業, 鑛業工業, 電氣工業等이漸次復舊되고있다.

#### 가. 纖維工業

工場數 (1947年10月末現在)는129個=織物24, 毛織製絲7, 莫大小20, 絞膜25, 潜水服3, 製棉15, 製網8, 魚網7, 洋傘2, 染色2, 洋紙2, 其他14.

1947年度月別生産統計表

月別		1	2	3	4	5	6	7	8	9
種別										
棉	布(疋)	19,200	22,000	19,800	11,200	14,700	17,900	14,000	10,800	8,400
麻	布(碼)	38,000	28,000	35,000	60,600	60,000	65,000	13,000	14,574	40,397
絹	織物(碼)	45,000	35,300	35,100	40,800	39,000	42,000	45,210	35,400	58,000
毛	織物(碼)	18,500	14,600	17,000	18,500	18,100	17,500	11,500	6,300	—
被	服(疋)	13,000	20,000	22,500	22,300	11,000	—	—	38,000	35,000
內	衣(枚)	—	—	3,900	3,600	8,500	—	8,300	—	—
양	말(足)	—	—	53,000	48,000	80,700	—	5,800	—	—
洋	紙(貫)	4,900	6,400	6,600	6,500	9,800	11,600	11,200	5,600	16,966

#### 나. 機械工業

工場數 (1947年7月17日現在)289個=鍛工141, 鑄物 70, 木工14, 造船19, 印刷30, 自動車修理8, 其他7.

1947年度月別生産統計表

月別		2	3	4	5	6	7	8
種別								
製	粉 機	8	135	114	100	80	51	30
精	米 機	—	175	50	11	—	16	25
精	麥 機	—	20	83	85	99	55	27
農	機具 鑄物	13,500	25,576	18,035	17,390	12,300	11,245	16,315
機	械 鑄物	5,256	29,655	20,803	19,770	24,910	12,519	13,183



朝鮮釜	6,158	35,662	20,135	21,750	16,830	4,059	15,183
알미늄釜	—	—	116	—	519	1,143	983
洋釘	—	3,248	5,337	7,130	5,951	190	4,828
鉛平類	1,100	4,740	1,185	1,300	1,306	1,560	554
鍍	—	—	—	180	174	860	748
皮革	100	450	350	616	445	330	468
印刷	39,676	916,590	969,764	993,964	696,900	206,161	181,581
家具	—	334	114	500	225	115	299
製本	—	30,550	12,314	10,480	—	161	20
船舶修理	90	182	215	257	469	32	29
齒刷子	—	11,760	26,135	94,000	12,000	15,000	10,500

다. 化學工業

工場數(1947年5月末現在)는 319個=食料180, 化學139.

1947年度月別生産統計表

種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9
고무靴(足)	181,833	148,886	152,430	200,138	206,821	187,076	207,714	252,014	385,208
타이어(組)	9,481	6,527	5,512	8,309	5,944	3,886	8,217	8,302	6,689
電球(個)	53,256	59,095	95,551	15,360	119,888	107,849	91,809	113,374	230,000
비누(箱)	—	—	128	193	260	150	830	220	460
隣寸(匣)	—	—	168,000	—	—	1,520,000	720,000	840,000	760,000

4. 鐵業

解放後, 石炭關係를 除外하고 一般鐵山이 一齊히 休業 狀態에 入러 간 것은, 三八以南의 共通事情이나, 最近 日光鐵山(銅山)을 비롯하여 各鐵山이 探鑛에 着手하였다.

從來의 本道 產出量을 보건대 全國의 7%以上을 占有하고 있으며, 參考로 1943年度 道內 鐵山 實績表에 依하면 金屬鐵山 75個所로, 鉛, 亞鉛, 水鉛, 鐵, 크롬트와非

金屬鐵山(石炭, 燧石, 高嶺土) 12個所 全從 從業員 7,336名, 全產出量은 46,112噸이며, 販賣數量은 26,648噸이었다. 1944年度 所謂戰時 生産責任制에 依하여 目標 生産量의 125%를 突破한 銅鐵의 郡北鐵山(年產 565噸) 日光鐵山(年產 326噸) 咸安鐵山(年產 193噸)을 비롯하여 其他 密陽, 菊田, 固城, 醴山, 齊藤良久東, 大德, 蔚山의 諸鐵山이 主要한 것이다.

47年鐵業生産統計를 보면 如下하다. (石炭關係不詳)

種別	1	2	3	4	5	6	7	8
煉炭(噸)	573	556	659	499	427	412	751	—
鍊炭(噸)	515	465	332	648	242	292	422	289
燧石(噸)	30	—	15	—	—	160	150	180
銅(噸)	10	5	—	3	4	6	8	7

5. 水產業

本道는 二府九郡이 다 바다에 面하고 海岸線의 延長은 本廳 323里, 島嶼 333里, 計 656里에 達한다. 其中 釜山港 西部의 沿岸은 屈曲이 많고 港灣이 相連하고, 防犯한 多數 島嶼가 散在하여, 魚族洄游, 棲息條件에 適合한 地加하여, 寒流暖流의 交流는 洄游魚種을 豐富케 하여, 天惠의 好漁場을 形成하고 있다. 朝夕干滿의 差는 2—4米로 潮

流가 急激지 않고, 氣候가 溫和하여 四時漁船이 作業하기 에 適合하다. 本道에 있어 重要漁獲物 種類數는 魚類 50種 貝類 10種, 藻類 7種, 海草類 3種이며, 以上의 分類의 特徵은, 釜山은 貝類의 繁殖에 適合하고, 以東은 藻類의 生産이 많다고 볼 수 있다. 그리고 濟州島로부터 海草類 集으로 來道하는 海女들은 每年 1,200餘名에 達하여 洛東江 淸津江 下口는 海苔, 貝類等의 生産地가 되어 있다.

現在 道內 漁業 組合數는 33個, 組合員數 20,450人에 達

하며, 販賣(委託販賣)은今年4월부터9월까지에 1,669,717千圓이란巨額에올랐으나, 今後漁業用物資確保의技術者養成日本道水産業水準을世界水準에到達시킴에있어서必期한課題이다.

本道漁業種別一覽表(1947年9月末現在)

- (a) 定置漁業 3,082 (小台網323, 鱈魚臺網810, 雜魚臺網 1,848, 防籠101)
- (b) 定所曳網 718 (鰹地曳網 247, 揮羅曳網197, 雜魚地曳 11, 鰹船曳 58, 木刀船曳 50, 權現網155)
- (c) 敷網 679 (鼓線網42, 鰹敷 146, 焚寄抄453, 승어六殺張11, 建干網27)
- (d) 曳網 372 (打瀬257, 柁打瀬57, 셔우漕58)
- (e) 繰網漁業 2,193 (手繰網1,609, 海蔘柁489, 赤貝柁95)
- (f) 旋網漁業 181 (장어터잡網63) 鰹巾箔網12, 石繰網106)
- (g) 刺網漁業 841 (고등어流網 153, 鰹流網48, 삼치流網27, 石首魚流網 8, 셔우流網46, 감장어底刺15, 其他底刺544)
- (h) 延繩漁業 5,072 (明太鱈71, 장어884, 鯛 10, 鯖15, 홍장어 447, 木刀魚 1,103 遠洋鱈 103, 조기831, 북징어55, 鰹466, 장어102, 골장어165, 其他820)
- (i) 一本釣漁業 3,220 (文魚787, 삼치48, 鯛884, 木刀魚693, 鱈45, 其他793)
- (j) 釣網漁業 102
- (k) 標潛漁業 503
- (l) 差網漁業 3,042 (牡蠣 886, 海苔 2,156)
- (m) 其他漁業 798  
計 20,801 名

### 6. 商業及貿易

「商業의洪水」이것은우리解放後國內到處에서發見할수 있는現象이었으나, 新興商業의股脈一混亂은地理的으로特殊한地點에 있는 이만큼釜山港이그代表의이라 할것이다.

(가) 本道管理財인商業機關戶數

釜山	2,206	馬山	268	晉州	229	晉陽	
宜寧	3	咸安	13	昌寧	13	密陽	100
梁山	14	蔚山	167	東萊	16	金海	89
昌原	184	統營	86	固城	59	泗川	46
南海	5	河東	102	山淸	9	咸陽	10
辰昌	20	陝川	12	計	3,658		

이것은記中藥別로보면, 料亭飲食店이約30%를占하고 있으며一便商都釜山市의商業者總戶數(1947年8月末現在, 是 14,525 (全戶數의37%)인때菓子商이第一位藥商이二第位食料品商이第三位를占하고있다.

(나) 當道物資配給實狀(1947年4월부터8월까지)

綿布	358,347碼	本絹	113,172碼
交絨	95,326碼	人絹	8,098碼
廣唐布	35,000碼	用紙	10,519貫
貝鈕	2,000打	타울	3,566打
洗濯비누	77,577箱	化粧비누	38,144箱
厚生用洗濯비누	3,201個	短靴	6,485足
女子교부선	27,516足	小兒교부선	6,494足
運動靴	8,312足	쓰로-쓰	11,898枚
男學生服	99,880枚	女學生服	36,605枚
땀쓰	42,720枚	內衣	2,188打
성양(並)	2,064,800個	綿麻	10,519碼
성양(小)	586,300個		

對外貿易은解放後經濟界의共通課題이었고이에對한關心과期待는자못깊을것이다. 그러나對象物資의不足과業者의無統制한競合은正常한發展을阻害하고있다.

(가) 自由貿易開始以後外國貿易船의入港은1947年

10月中의統計는11隻, 國籍은英國, 中國, 隨威, 暹羅, 파나마等이고 總噸數는 16,512噸, 荷物은生 고무, 食鹽, 新聞用紙, 染料等 貨物總數는 9,488噸이요, 交換物은重石, 石炭, 芒草(蒲掩), 紅蔘이었다.

(나) 輸出入商品別統計 (8月末現在)

輸出品	金額	輸入品	金額
海産物	56,570,600 <sup>圓</sup>	鹽	34,172,158 <sup>圓</sup>
紅蔘	20,000,000	運動靴	7,800,000
鱈石	66,056,568	織物	2,011,200
其他	7,855,000	紙類	48,690,050
計	150,482,168	교부類	33,376,000
		自動車類	2,462,280
		석카링, 糖	3,200,000
		砂, 其他	39,877,794
		計	171,589,482
		輸入超過額	21,107,314

(다) 1947年3월부터10월까지의釜山港出入船舶統計

外國船	
入港	897隻 3,595,218噸 貨物總數 1,123,294噸
出港	904隻 3,162,651噸 // 14,784噸
沿岸船	
入港	4,144隻 191,648噸 // 77,476
出港	4,216隻 151,347噸 // 137,322噸

### (附) 工都釜山の將來

가. 工業用地問題  
일찍이商工都市로서發展한釜山은 이도시內만하여

도 약 1,700千坪을工業用地로使用하고 있으나 아직은 才陸兩方面의交通이至便한牧島, 南灣埋築地, 赤崎, 巨堤甲, 西面, 凡一洞等臨港地帶 間に宜하여廣範한 施設餘裕地가있을뿐이 아니라 東萊와水營江平野 7,000千坪과 洛東江江岸平野約 6,000千坪은將來의大工業地造成을待望하며展開되어있으니 豊富한工業用地를 가진다할것이다.

#### 나, 工業用水

現下의人口增加, 工業의發展, 水陸交通頻繁等에依한飲料水, 工業用水, 船舶, 其他給水等의需要增加로 工業用水問題는深刻한것이다.

勿論工業用水는工業種類에따라上水道의使用과地下水, 河川水等의使用으로區別되는바이나 現在釜山은上水道에依存하는것과 地下水를使用하고있는것으로大別한다.

釜山의上水道水源地는 梁山法基里에있으며 給水能力 15,000飭으로서 前記需要(約 40,000飭)에應하고있는現狀이다. 市內工場地下水는西面等地의工場에서使用하고있으며西面一帶地下水, 給水能力은 約 20,000 飭으로推算되고있으니 充分하다할것이다. 問題는上水運擴張에있다. 그러나現在工事中止中에있는水營江댐이完成되면 120,000飭의給水量을確保할것이며 釜山人口가 100萬을突破하고 如何한大工場이設置되어도 用水難은解除될것이다.

그리고將來의工場地帶로서有望한東萊及水營方面의 淤流水는能히 30,000飭의給水能力이있으며 玉海雲臺方面에는別途로 20,000飭의上水道의可能性이있다.

要컨대 上運한工事が完成된다면 計 205,000 飭의給水能力을確保할수있으니 現在 서울市의消費用水가 60,000飭程度라하면 이에比할것이나 아니며 一面一大宿題인洛東江의引水問題가解決된다면 費給의要가없는것이다.

#### 다, 電力問題

現在南朝鮮에있어서는水力電氣 5 萬kw(京電中臺里線 1 萬kw, 漢江華川 2 萬kw, 清平擔律江 2 萬kw, 火力電氣 2 萬kw(察越), 計 7 萬kw의電力에不過한데

現南朝鮮의消費電力은 10 萬kw이며 其中約半은北鮮에서送電을받고있는現狀이다. 이와같이貧弱한電力은工業發展에있어 絶對的인障礙이다. 그러나 南朝鮮의採炭力이回復된다면 釜山이 1 萬 4 千kw, 江原道寧越 7 萬 5 千kw, 三陟 3 萬 5 千kw의 火力發電計劃이이미完成되었을것이고 水力에있어서도 錦江上流의 7 萬 5 千kw의發電計劃이完成된다면 南朝鮮獨自의오로도電力問題는解決을볼수있을것이고 이을러南北統一朝鮮의電力問題는 如何한大工業에도支障이되지는아니할것이다.

#### 라, 燃料, 石炭問題

當釜山港은國內어는地方에比하여도 가장便利하며採算의이다. 그러나現實의石炭事情은採炭力不足으로因하여 外國炭에依存하고있으니 이것도困難한境地를일지못하는現狀이다.

燃料石炭問題가深刻한省黨에까지있는은 南朝鮮全體의樣相이나 過去及現在의日本炭輸入에있어서 或은三陟炭의集散狀態로보더라도 當釜山이燃料炭入手에가장有利하고 採算의인位置에있음은事實이다.

一便 1944年度의實績에依하면 全朝鮮에서年度約 8,000千飭이 產出되었으니將次日本九州炭의輸入이一層圓滑히되고 南北統一이實現될當時에는 工業用炭確保에있어서의 當釜山의地步는確固한것이될것이다.

더욱 南鮮産炭은三陟炭 蔚山炭을 비롯하여 거의全部가無煙炭이나 工業에있어서의無煙炭利用이完成의域에達한今日에있어서能히工業釜山의燃料를保障할수있으리라고 믿는다. 다음에考慮될問題는勞働力이라하겠으나 이는國內現狀으로미루어當分問題視되지않을가한다. 以上要컨대釜山의工業立地條件의最大武器는海陸交通의至便은연은데있고 原材料의入手와製品運搬處分の容易性에있으며 이에用地, 用水와氣候關係等天然條件이添加作用되는것이다. 그러나電力, 燃料에있어서는 北鮮에比하여劣位에있음은否定할수없는事實인만큼 化學工業, 輕金屬工業等多量의電力消費를隨伴하는工業에있어서는 亦是西北朝鮮에 步를讓할것이며 輕工業待司纖維工業, 水産加工業, 機械工業等이依然釜山의領分으로남을것이다.

(完)以上朝鮮銀行釜山支店調査資料에依함

# ★ 慶 尙 北 道 (NORTH KYONGSANG PROVINCE)

	目	次
1. 概 觀	觀	地勢、人口、物價、勞賃、金融
2. 經濟 的 特 色		金融上 特 色、特 產 物
3. 產 業 別 現 勢		農 林、鐵 工、水 產、商 況

## 1. 概 觀 가, 地 勢

慶尙北道는 東部背梁山脈의 東部沿岸地帶를 南北으로縱走하여있고 多數支脈이 南西로 傾斜하여 道內는到處에山間地帶를形成하고 平野는 洛東江沿岸에若干分布되어있으나, 그다-센테지는 極히弱하고 主로山地를中心으로 農耕이되어있다. 河川은 洛東江이本道の 主要한河流이며, 本道水利의 大宗을 이루고있다.

## 나, 人 口

南朝鮮 總人口와 本道人口數를 解放前後를比較하면다음같다. 南朝鮮總人口는 1944年度 15,879,110名인데 慶尙北道人口는 同年末 2,561,251名으로 總人口의16%를占하고 있었다. 解放後 1946年度 南朝鮮總人口는 19,369,270名인데 同年의慶北人口는 3,178,750으로서 總人口의 16.4%를占하고 있으며, 解放前에비하여 總人口의增加率이 22.0% 인대對하여 本道比率는 24.1%로서 서울市에다음가는人口增加道이다. 人口數로서는 1944年度에비하여 1946年度에는 617,499名이增加하였다.

이것을男女別로보면 男子 1944年度 1,259,638名에서 1946年度 1,602,885名으로 343,247名의增加로 增加率은 27.2%이고, 女子 1944年度 1,301,613名에서 1946年度 1,576,389名으로 274,776名의增加이고 增加率은 21.1%이다.

## 다, 解放後經濟動向

政治의混亂은 同時에經濟의混亂을 惹起하였다. 戰學下苛酷한統制經濟體制는 解放과同時에一時에崩壞되어 全金融機關은 預金雷取에達하였으며 預金無制限支拂, 虛偽算算의支出과 所謂特別補助金 非常費의名稱에依한 各軍需工場에對한 貸付等으로 1945年8月15日부리 同年 10月末日까지에本道에서發行된銀行券은實로 2億1千8百萬圓이라는 驚異의金額에達하였고 大邱府內金融機關의 雷取로因한預金減少한 同年9月末現在에 82,128千圓에達하였다. 戰時

의統制物資와 未使用軍需品이一時에洪水같이市場에쏟아져 價格은解放前의所謂闇價格에비하여 많은低落을보이고 甚한것은 9分之1假景으로 暴落을보게된것도있었다. 그러나 相反買賣는 秩序를잃고 數個月間混亂狀態가 繼續되자生産機關의休眠狀態로 物品供給은 끊어지고 其間消費는過大하였으므로通貨의 急激한膨脹과 아울러 物價는 또다시 漸騰을示現하였다. 1945年 12月21日부리29日까지의 解放記念貯蓄運動의結果는 同期間에 1,200萬圓의預金增加를보았고 45年 9月末現在大邱府內金融機關預金殘高 72,238千圓으로부터 同年12月末까지에 61,766千圓이換戻預入되었다. 이것은 解放直後의預金無制限支拂로因한 預金支拂總額의75%에該當하다.

貸付는12月中에朝鮮生必需品營團에對한 糧買上資金 2,800萬圓이 朝鮮銀行을通하여貸出되었을뿐 解放以來各金融機關은 貸付回數에인專念하였음으로 아무런變動도없고 金融機關의業務는 極히閑散하였다. 이때까지自由로買賣되던米穀은 米價最高價格實施로因하여 자립을감추고 當局의取締가있을때마다騰貴를거듭하여 衆生活의威脅이漸次로甚히여갔다. 政界는左右翼의對立이表面化하고 託治支持와反對는民族의分裂을招來하였으며 社會는漸々不安性이濃厚해졌다. 그러나 1946年세해를맞이하자 正月부리 3月까지의預金은 67,463千圓 이增加되었으며 總預金額은 不過半年에 解放當時預金殘高보다 5,000萬圓이增加되어 201,467千圓에達하였다.

解放直後放出된互額의銀行券은 社會秩序回復에따라 漸次回收가繼續되어 解放以後 3月末까지 100,457千圓이回收되었으며 3月 2日부리 15日까지實施된 日本銀行券保管은 道內總計 109,050,182圓에達하였다. 그러나 物價는如前騰勢가續續되었으며 當店調査에依하면 生必需品小賣物價時勢가 1945年11月末부리翌年 3月末까지 4個月間 最高4.7倍 平均 2培程度騰貴되었다.

	1945年11月末日	1946年 3月末日現在
白	米 大斗 140圓	560圓
大	豆 大斗 80圓	460圓

砂	糖 1斤	70圓	140圓
洋	襪 1足	10圓	18圓
長	祈 1坪	350圓	350圓
女子	고무신 1足	80圓	90圓
襪	寸 1個	3圓	3圓50錢
廣	木 1碼	20圓	65圓

1946年 5月 8日 附로 美蘇共委가 無期休會로 트러가 자 一般民心은 極히 惡化되어 左右의 衝突이 激甚하여 저서 到處에서의 不祥事의 頻發과 勞資不協은 産業復興途上에 있는 各生産機關에 對하여 많은 支障이 되었다. 6月 에 트러서 뜻하지 않은 虎列刺病으로 因한 交通遮斷과 穀物自由市場禁止는 10月 2,3日 의 大邱地方의 食糧騷動으로 惡化하였으며 有史以來의 不祥事인 十一事件은 路般生産機能을 停止시켜 經濟界를 一層 混亂하게 한 것은 周知의 事實이다.

46年 3月末	46年 9月末
白 米 大斗 506圓	1,500圓
廣 木 1碼 65圓	150圓
明 袖 1疋 460圓	850圓
女子 고무신 1足 90圓	160圓
長 祈 1坪 350圓	1,400圓

天井不知로 騰貴一路를 밟은 一般物價는 1947年初부터 多少 下落의 氣勢를 보이었다. 其原因은 所謂檢査旋風으로 因하여 各金融機關의 商品擔保貸付中止의 影響과 北鮮으로부터의 交易物資入荷 마카오貿易船의 入港說 美國越省의 巨額借款說인데 解放後 처음 보는 現象이었다.

46年 9月末	47年 1月末	47年 3月末
白 米 大斗 1,500圓	1,100圓	800圓
廣 木 1碼 150圓	260圓	200圓
明 袖 1疋 850圓	2,400圓	2,000圓
洗濯 비누 1個 25圓	90圓	150圓
女子 고무신 1足 160圓	300圓	250圓
長 祈 1坪 1,400圓	1,700圓	1,500圓

銀行券은 納稅成績의 良好 物資配給代金의 入金 年度秋穀資金回收에 因한 預金累増과 아울러 急速度로 還收되었으며 1947年 1월부터 10月末까지의 還收超過는 實로 1,408,722千圓에 達하고 解放以後 發行한 總額을 回收하고도 나머지 130,189千圓이 回收超過된 것이다. 預金은 年度에 트러서 10月末까지에 1,248,283千圓이 增加되어 解放直前 殘高의 12倍半인 1,901,936千圓이고 貸付는 秩序回復과 産業復興에 따라 生産資金이 相當히 貸出되었으나 夏穀資金回收로 10月末現在 623,897千圓이다.

貸付種別	1946年 12月	1947年 10月末	比
擔當貸	42,867千圓	53,986千圓	增 11,119千圓
手形貸	204,434	394,267	增 189,833

當座貸越	1,225,616	151,119	減 1,074,497
割引手形	711	1,856	增 1,145
其他	18,859	22,969	增 4,110
計	1,492,487	624,197	減 868,290

以上當座貸越減少는 夏秋穀資金回收에 基因한 바이요 其他增加는 産業資金貸出이다. 으렛 동안 建議中에 있던 軍政廳要申 預貸付限度의 50萬圓引上은 資金難에 逢着한 各方面에 多少 活氣를 주었으나 擔保對象關係上 또한 市中銀行의 手中資金不足으로 因한 少額貸付抑制 등으로 効用成績은 그다지 좋지 못하고 各方面의 資金難은 亦是 硬塞하였었다

解放直後부터 1947年 10月末까지에 大邱組合銀行 貸付增加額은 538,954千圓이고 그增加內譯은 如下하다.

1947年度 夏秋穀資金	98,289千圓	18.29%
1947年度 春秋蠶資金	71,357	13.24%
1947年度 棉花資金	2,900	0.54%
同業者 借越金	11,270	2.06%
其他 産業資金 增加額	355,138	65.87%

手形交換은 1947年 9月中 取扱額에 있어서 解放後 最高인 3,407枚 985,635千圓에 達하였다. 그러나 戰爭末期인 比較의 商界가 陷歎하는 1944年 9月中의 交換枚數 23,237枚에 比하면 아직 信用去來不充分과 商界不況이 莫甚함을 알 볼 수 있다. 農村에서는 世態變遷에 따라 道內地主階級이 營農을 清算하고 漸次 企業方面으로 轉換하는 氣運이 濃厚하여 土地轉去에 因하여 農村浮動資金이 此地地主階級の 掌中에 流入되어 預金化함이 銀行券回收超過의 原因의 하나이다. 勞働者所得面을 一顧해보면 解放後의 無秩序混亂으로 因한 各産業部門의 機能中止로 말미아마 勤勞大衆은 거이 全部가 失業하였으며 暴騰하는 物價高은 이 들 失業者의 生活를 더욱 悲慘하게 만들었다.

1946年 6月以後 大邱地方 勞賃動向表

	46年 6月	46年 12月	47年 3月	47年 6月	47年 10月
大 木	120	300	300	330	400
石 手	140	250	250	330	400
蓋 瓦 工	140	300	300	300	400
壁 瓦 匠	140	300	300	200	350
蓋 裝 工	120	230	230	250	350
人 夫	60	100	100	150	200
비 계 人 夫	130	300	250	200	350
施 盤 工	100	200	200	120	170
洋服 處 衣 工	80	150	150	150	150
靴 工	100	180	150	200	400
製 材	70	100	100	130	175
小 木 工	80	120	140	250	310
印 刷 工	60	80	60	100	85

一般勞賃의推移를보면 1946年6月(同期以前은 調査한材料가없어 比較못함이遺憾)에比較하여 平均 27割以上昇되었으나 基礎는物價高에 到底何道 從될수없어 悲慘한生活苦에빠지고있는데 食糧配給 制度確立은 勸勞大衆의生活을 多少安定시키고있다.

解放以後 諸般産業機關이 自主經濟建設을爲하여 復興一路에邁進하여왔으나 아직도道內産業이諸般路에直面하여 前途樂觀을不許하며 더구나1947年度 秋穀資金放出은 本道란 18億圓의巨額에 達할것인 바急激한通貨膨脹의結果가憂慮되는바이다.

大邱地方金融統計表 (單位千圓)

種別	年月	1945 8/15	11/30	12/31	1946 3/31	6/30	9/30	12/31	1947 3/31	6/30	10/31
預 金		154,356	94,027	134,004	201,467	271,328	418,557	658,653	958,122	1,006,719	1,901,936
貸 付		101,670	84,943	105,273	123,736	168,361	570,664	1,492,487	1,077,888	414,935	623,897
手 形(枚)		8/31 411	105	157	899	2,096	2,904	3,684	2,826	2,833	3,265
交 換 高		40,292	6,630	18,443	54,196	84,302	159,135	366,098	488,017	562,157	558,542
發 行 高		8/15 以降 發行累計	203,312	192,048	115,796	99,730	437,469	1,278,532	538,494	124,835	130,189

大邱地方生必品物價統計表 (單位圓)

品名	年月	1945 11/30	12/31	1946 3/31	6/30	9/30	12/31	1947 3/31	6/30	10/31	12/31
自 米		140	150	560	900	1,475	750	900	1,200	950	—
明 麵		—	—	470	450	850	1,500	2,000	1,800	2,500	—
長 斫		500	500	350	450	1,400	1,400	1,500	1,300	2,700	—
참 기 돌		175	160	280	300	425	750	1,200	1,100	1,000	—
女子用고무신		80	80	90	65	165	230	280	250	300	—
廣 木		20	70	65	75	150	190	220	200	250	—
洗 濯 비 누		15	12	25	30	30	35	160	130	150	—

## 2. 經濟的特色

### 가. 金融的特色

他地方은大槪가銀行券이發行超過의現狀에 비주어 大邱地方은米穀資金, 其他季節資金의放出期以外는大幅의還收를보이고있다. 이原因을들면本道는産産道로서 工業이發達되지못하고 大邱市는消費都市의性格을離脫치못한關係로 特記할만한生産資金이別無한데起因한다. 더러서 當時金融緩慢狀態를現出하고있다.

### 나. 本道特産物

本道가자랑 할만한特産物中에는苹果, 生絲, 烏賊魚가있다.

#### (가) 苹 果

所謂大邱苹果는再論할것도없이國內은勿論 日本, 中國에서도 으뜸의부터널터 그品質이알려져있으며 日致下의輸出量도果實中에서最高였으며 外國貿易이活潑하게됨에따라 外國市場進出이크게期待되는바이다.

世界的으로苹果의需要는漸次旺盛하여 日常生活必

需化하고있는現狀에비주어 品質이世界的으로優秀한 大邱苹果의發展은 可謂決定的將來性을가졌다할수있다. 더구나本道氣候와土質이苹果栽培에最適하고 生産技術은長年の研鑽으로 高度로發達되었으며 比較的利潤이높은關係上 果樹園經營者기激增하여植樹面積이增加되고 既在幼年樹가漸次結實樹로育成됨에따라 年々生産量도增加되고있다. 苹果加工品에 있어서도 苹果酒, 乾林檎, 苹果자무等이 從來부터製造되었으며 이方面도將來가有望하다.

#### (나) 生 絲

生絲는從來부터朝鮮에서生産數量의首位에있으며 片倉工業, 朝鮮生絲, 新興工業의三大工場은 朝鮮生絲界에두렷한存在로서 本道生絲는國家經濟上重要한地位에있음은周知의事實이다. 元來本道の生産의大宗이農業이고 그副業이蠶業이였든關係上 人口稠密과 아울러蠶蠶生産量이全國生産量의4分之1을占할만치 되었기때문에 道內各處에서生絲工業이旺盛하여1941年度에는最高生産量 82,973貫에達하였다. 解放後混亂한가운데서 生絲工業만이第一로復舊되며 相當한生産能率을내고있는데 當局의積極的인指導下에蠶蠶

生産에 主力을 傾하고 있음으로 生絲品質向上과 아울러 미지않은 將來에 大陸 盛産 期한 것을 確信하는 바이다.

(다) 烏 賊 魚

本道 烏賊魚는 全國에서 도그 生産量과 品質이 第一이고 特別 鬱陵島가 名産地다.

最近 外國 貿易 商의 需要로 因하여 一時에 價格이 2倍로 暴騰하였음으로 輸入品 對價物資로서 一躍 脚光을 띠어 外國市場에 進出하게 되어 外資 獲得 上 重要한 地位를 占할 것이다.

1947年度 生産量은 9月末 現在 5,783噸, 加工 製品 金額 152,838千圓에 達하여 本道 水産物의 首位를 차지하고 있는바 其 生産은 漁撈法의 進歩와 아울러 年々 增加될 것으로 期待된다.

3. 産業別現勢

가. 農 業

本道는 農産道로서 全南과 같이 全國의 穀倉인 만지 農業 雄道의 面目을 如實히 發揮하고 있다. 道民의 約 8割이 農業에 從事하고 있으나 農村 經濟의 盛衰는 一般 經濟의 浮沈을 左右하고 있다 하여도 過言이 아니다.

今般 本道에서는 20年計畫으로 模範 農村을 만들기 爲하여 第一次으로 1947年度 本道 5個 部落을 指定하여 一部落 15萬圓을 國庫補助下에 農村 靑年 指導, 家畜 飼育, 其他 副業을 獎勵하며 營農法 改良等과 厚生 方面에 積極的으로 注力 計劃이라고 한다. 그리고 農地 改革에는 1,000萬圓 豫算으로 農地 基礎 調査를 豫定이라고 하나 土地 改革이 云云되자 이미 4割 徵收이

大地 主 손에서 떠나 自作 農으로 移轉되었음으로 今般도 此種 土地 買賣가 繼續되고 있는 狀態에 있다. 土地 改良 事業에 있어서는 主로 既往에 着手하였던 道內 14個 所未完 水利 事業에 工事를 進行시키고 있으며 明年 度에는 完成될 豫定이며 其他 增産 土壤 事業等에는 아직 着手 못하고 있는 實情이다.

(가) 米 麥

1947年度 麥作은 1946年秋, 播種 期의 降雨로 作付 面積이 減少되었고 十一事件으로 播種 不能 地方도 있었으며 冬期의 降雨 直後 酷寒으로 因하여 凍害가 많았으며 發穗 季 旱魃로 發育 不良等의 惡條件이 加重되어 平年 作에 對해서 3割 9分에 不過한 801,651石이라는 大凶作이었는데 夏穀 徵收은 目標量의 99.35%인 114,261石이 徵收되었다.

本道 米穀 平年 作은 2,066千石 (最近 5個 年平均)인데 1947年度는 植付 面積이 174,100町步이며 水利, 天候의 良好等 條件으로 實收高 2,214,745石이라는 平年 作 以上의 收穫을 보았으며 秋穀 徵收은 各地方에서 順調로 徵收이 進行되고 있어 (11月 10日 現在 50,082石이 徵收됨) 目標量 82萬石은 期日인 12月 25日 까지의 完納된 것이 確實 視되고 있다.

(나) 食糧事情

本道 麥作 平均 作 2,065千石과 米作 平均 作 2,066千石을 都合하면 計 4,131千石이며, 慶北道 1947年 5月末 現在 總人口 3,245,116名에 對한 1人 當該 當量은 1石 2斗 6升, 1日 平均 3合 5勺 임으로 平年 作인 概通에는 其他 雜穀을 合하면 本道 食糧은 餘裕 自足하고도 餘裕 있을 狀態에 있다.

年度	1934年	1939年	1940年	1941年	1942年
稻作 實收高	2,823,156石	750,421石	2,671,920石	2,899,890石	1,285,473石
稻作 面積	183,703町	65,408町	184,291町	185,156町	112,654町
麥類 實收高	2,456,890石	2,216,666石	2,600,481石	2,378,008石	1,647,858石
麥類 作付 面積	252,838町	256,447町	273,580町	247,640町	224,472町
徵收 數量 米穀	未詳	未詳	906,506石	1,903,700石	740,600石
徵收 數量 麥穀	未詳	未詳	未詳	未詳	279,700石
年 度	1943年	1944年	1945年	1946年	1947年
稻作 實收高	2,030,594石	750,167石	未 詳	1,971,341石	2,214,745石
稻作 植付 面積	176,645町	91,960町	〃	176,778町	174,100町
麥類 實收高	1,225,568石	2,440,102石	〃	1,173,073石	801,652石
麥類 作付 面積	246,887町	231,690町	〃	156,305町	139,342町
徵收 數量 米穀	1,182,900石	320,900石	〃	500,095石	—
徵收 數量 麥穀	167,700石	513,400石	〃	210,790本	114,261石

(다) 肥料事情

本道昨年度自給肥料消費及販賣肥料(企肥)消費狀況은如下하다.

1946年度自給肥料消費高		1946年度販賣肥料消費高	
肥料名目	數 量	肥料名目	數 量
堆 肥	1,004,708.785	植物質肥料	11,371
綠 肥	110,438,921	礦物質肥料	237,443
糞 尿	409,813,000	配合質肥料	2,603
其 他	45,775,992	雜 質 肥料	121,500
總 計	1,500,736,688	總 計	427,987
動物質肥料	55,070		

道內 650町步에綠肥播種을하여 約 2,000石의種子을收穫했는데 이것은各郡에配當되어 綠肥增産이될

것이라고한다.今年度本道企肥配給量은下記와같다.

1946年12月부터1947年10月末現在配給量

名	數 量	單 價	輸 入 國
硝 酸	335,648ㄷ	@ 400圓	美 國
硫酸加里	53,684ㄷ	@ 550圓	美 國
過磷酸石灰	184,461ㄷ	@ 160圓	日 本

(라) 棉 花

本道棉花生産狀況을보면 下記와같이 強制栽培政策時代인 1944年度最高生産은 4,573,686斤을 採花하였으며 解放後栽培面積이 田地로變作하여 穀物增産에充當된關係로 棉花生産은減少되었으며 그中에도共販額은 農家自家消費增加로 激減되었다.

區別	年度別	1940年度	1941年度	1942年度	1943年度	1944年度	1945年度	1946年度	1947年度
實 收 高	面 積	26,678.323	21,695.318	21,237.802	40,573.686	23,993.864	未 詳	10,139.666	10,865.431
	斤 數	42,500	46,891	42,872	40,081	40,041	未 詳	18,491	22,387

(마) 養 蠶

本道는全國第一의養蠶道로서 過去는農村의副業으로 養蠶熱이旺盛하였으며 道內製絲工場의原料를 能히確保하였다. 그러나解放前의強制政策에對한 農家

의先入的豫惡感과購買上價格의低廉等으로 轉換이盛行하여 桑田荒廢와아울러 當時의面積을분수없다. 1946年度蠶生産高는 564,254貫이며 今年度는 480,352貫으로 過去에比較하면 顯著히減少되었다. 解放後의共販成額, 生産量, 桑田面積은如下하다.

區別	年度別	1942年度	1943年度	1944年度	1945年度	1946年度	1947年度
生 產 量		—	—	—	—	564,254	480,352
共 販 數 量		431,861	459,016	472,846	—	143,779	128,281

區 別	1946年度	1947年度
桑田面積	4,698町步	7,461町步

(바) 林 業

本道特産物인大邱苹果은 1947年度紅玉이炭疽病으로 大量이損傷되어 全生産量이豫想高의約 6割에不過한狀態에있다. 解放前本道苹果樹 所有權은日本人이 3分之1을 保有하였었고 東村飛行場一帶 140町步가拔取當한直前인 1942年度가 苹果黃金時代였었으며 其後는肥料, 藥品, 勞力不足으로 衰廢되었고 解放後 屬果園管理가 自然不充分하여 荒廢된곳이 많아서 回復에는今後 2個年을要할것이라고한다. 肥料는軍政廳轉讓으로 日本産肥料와人糞으로 別支障없으며 藥

品은美國으로부터 入荷한企圖이나 如慮치못하여 今年度는病蟲害가甚하였다. 結實果樹增加와果園面積增加로 生産量은解放前보다 逐年增加되고있다. 今夏의祝 8萬貫對日輸出分은 높은成果를얻었으며 紅玉은 10萬貫發送하여 配船關係로實際 5萬貫이 香港에輸出되었으나 第三國으로부터 集中된各種苹果의包裝完備한 好色美觀產品에壓倒되어 그다지 높은成果는 못얻었으나 味覺에서는對外輸出用으로 20萬貫을 買當 300圓式에 一等品을收買中이며 第二次對外輸出을計劃하고있다. 國內消費事情을보아 本道苹果生産은 南朝鮮需要에充分하고도 餘裕있는生産量임으로 앞날의活路는 加工置藏과對外市場을目標로 質量의向上을圖謀하여야할것이다.



年 別		1943	1944	1946	1947
視	生産高	1,125,000貫	1,151,410貫	1,161,000貫	1,100,000貫
	植付面積	589町歩	617町歩	714町歩	749町歩
紅 玉	生産高	2,597,000貫	2,784,004貫	1,539,000貫	4,000,000貫
	植付面積	1,416町歩	1,487町歩	1,839町歩	1,868町歩
國 光	生産高	1,972,000貫	1,752,626貫	2,192,000貫	1,296,000貫
	植付面積	1,211町歩	1,270町歩	1,500町歩	2,015町歩
其 他	生産高	464,000貫	475,810貫	463,000貫	535,000貫
	植付面積	2,430町歩	254町歩	275町歩	332町歩
計	生産高	6,153,000貫	6,163,850貫	5,355,000貫	6,931,000貫
	植付面積	5,646町歩	3,628町歩	4,328町歩	4,964町歩

### 一、林 業

總林野面積 138 町步를算하는 本道林業은 南朝鮮에서 江原道다음의重要한林業道이며 今年度木材生産計劃에依하면 中央指示는 454,000 石이고 生産資金不足과輸送難의生産隘路 또한山林保護의見地에서 18 萬石을保留하고 274 千石을目標로生産中에있다고 한다. 今年度道內用途別生産目標과 10 月末現在原木生産狀況은 如下하다.

區 別	目標	10 月末生産實績
枕 木	83,000石	8,787石
杭 木	20,000〃	10,956〃
船舶車輛用材	8,000〃	824〃
土木用材	—	13,471〃
建築用材	145,000〃	82,512〃
製 箱 材	15,000〃	9,682〃
一 般 用 材	—	6,125〃
電 柱	—	460〃
地方消費材	—	4,802〃
배니아용紙	3,000〃	—
計	274,000〃	137,719〃

#### 本道內製材工場數

1945.8.15現在 1947年10月末現在

工 場 數	65個處	181個處
馬 力 數	1,600馬力	3,300馬力
製材能力日當	2,400石	2,450石
原木生産製材業者數	未詳	250名

解放從上表와같이道內 116 個處, 1,700 馬力이增加되었다. 그러나原木生産不足과當局의干涉에阻路가 있어 製材能力은全力을發揮할수없고 大槪解放前과 等量의生産이라하였다. 今年度道外輸出豫定은 慶尙

南道車輛用材 1,000 石, 서울市建築用材 50,000 石, 京畿道(仁川)배니아用材 3,000 石, 都合 54,000 石이며 道外에서의搬入木材는 江原道로부터枕木 31,000 石, 電柱 1,000 石을入荷計劃이라고한다.

要컨데道內生産木材는 本道需要에는充分하고 他道에運出할能力이있으나 全部가松材에지나지않음으로 貴重한特殊木材의生産이되지않음은遺憾이다.

元來慶北道中央을호르고있는 洛東江沿邊各山脈은到處에濫伐이甚하여 그大部分이荒廢되어 國土의保全과水源의涵養이 不能한狀態였음을1922年부터大規模의砂防工事に着手하여 以來 20 餘年間に 138 萬餘町步의道內林野는 그大部分이綠化되었는데 大平洋戰爭中亂伐을繼續하고 더구나解放後亂盜伐을 거듭하여 6 萬餘町步라는 廣大한山林이要砂防地域으로增加되었음으로 當局에서는道內 87 千餘町步의總荒廢地를 22 億圓經費로每年 4 町步式 10 年計劃을세워 1946年度부터 所謂洛東江邊砂防工事に着手하였다.

그에서工事は 昨年度에 1,500 餘町步가完了되었고 植樹 12,000 本을完遂했으며 今年度에는 豫定の 6 割의砂防工事が 進行되었으며 苗木 10,000 本을植樹하였다.

### 四、鑛 業

#### (가) 金 鑛

道內金銀鑛山은 約 78 個所以上이였으나 一般的으로機械設備가없는小鑛山이많은 까닭에 産額이數에 比하여貧弱했다.

1942 年 2 月 金山은整備중當하고 中廢한제解放이되어 오늘까지管理人에依한 施設機械保全만을하고 있으나 漸次荒廢되어가는現狀이며 國家産金政策이確立치못하여 아무런措置도못하고있다. 道內에서

第一가는奉化의金井鐵山과 그밖 에尙州, 金泉, 大良, 大治, 星州, 鳳鳴, 雲水各金山 에는 有藏한金銀이埋藏되어 있다 한다.

(나) 特殊 鐵

土狀黑鉛은 解放以後 設備其他의不足으로 諸般 隘路에 逢着하고있으나 民間經營아래 下記와같은 成續으로 앞으로의 一層의增産에 努力中이라고 한다.

宮田	尙州郡利安面	月産 500噸	輸送量 300噸
稱田	尙州郡利安面	// 300噸	// 300噸
成昌	尙州郡利安面	// 300噸	// 300噸
店村	開慶郡戶西南面	// 150噸	// 150噸
鳳鳴	開慶郡成成面	// 100噸	// 100噸

以上은 모두優秀한土狀黑鉛이며 이것은倭國時代부터採業되어 最近까지獨逸, 英國, 佛國, 白耳義, 美國等地에日人商人을通하여 輸出되었었다.

重石으로서는 오래前부터採掘中이든 本道蓬城鐵業所(舊小林鐵山)와奉化郡小川面에서 1942 年에發見되어 高度良質重石을産出하는 玉房鐵業所가商務部直營으로 只今復舊作業에있으며 兩區共計明年正月부터如下히 採掘될것이라고한다.

蓬城鐵業所 月産 鐵石 3,000噸, 動石30噸, 埋藏量(重石)30,000噸, 玉房鐵業所 月産 鐵石1,000噸, 重石40噸, 貯藏量(重石)未知. 合金屬工業에있어서는 안될重石이 我國江原道은鉾頭로 黃海道, 本道에서 世界埋藏量의 8割을占하고있다는事實을生覺한대 또 外國商人이貿易對象物者로서 重石을要求함에비추어 對外經濟上重要한地位에있는것을認識할수가있다.

(다) 其他 鐵

그外에銅, 鉛, 亞鉛鐵山中全國의으로有數한鐵山은 三慶蓮花鐵山을爲始하여 日月, 西店, 牛口, 東拓, 玉山等인데 日政이大대의機械設備만두고간慶山고발트鐵山과같이 아직睡眠狀態에놓여있다.

(라) 石 炭 鐵

本道二大鐵業의 하나는石炭鐵業이다. 石炭鐵은現在 南朝鮮過渡政府直營으로 10月末現在下記와같다.

無 煙 炭 (單位屯)

鐵 山 名	月 産 力	現 貨 積	輸 送 量
恩城鐵山	開慶郡加恩面	5,000	3,500
開慶鐵山	開慶郡戶西南面	1,000	700
計	2 個所	6,000	4,200

個人經營으로

有 煙 炭 (單位屯)

鐵 山 名	月 産 力	現 貨 積	輸 送 量
不二炭鐵	迎日郡海面	1,500	700
外 三 個 處		7,500	5,700

8.15以後各産業의機能이中止되었음으로 炭鐵亦是 採業中止를不免하였으나 1945年12月부터美軍政當局은産業의復舊와燃料問題를打開하기爲하여 第一次으로 石炭鐵山의發見着手하였음으로 道內全石炭鐵山이 漸次로採業을開始하게되었었다. 軍政當局은1946年3月 法令第18號「石炭鐵業資金에關한件」을發布하여軍政廳直營으로採業하게되어 上記本道 4 個處鐵業所가軍政廳直營으로銳意開發中에있음으로 本道鐵業中에서는 最高度인約70%의採業이推進되고있다. 道當局에서는緊急한燃料問題를解決하기爲하여 資金難克服과 特許輸送難의隘路를克服하고 充分한増産, 輸送企圖을進行中에있다.

長白山脈고리가本道大部分을占有하고 連連한高峰 밑에몰려있는貴重한地下資源이얼마나될것인가는道內無致히散在된金銀鐵을비롯하여 各種의貴金屬鐵石이 連달아發掘되어가는데비추어도能히擬兩할수있는事實이며 이와같이燃料外에도重要한原料資源이同一地方에서産出되는本道の鐵業界의將來는 急速한開發과産業復舊等の餘行으로國家經濟에貢獻하기를민는바이다

本道重要鐵山現狀總括表

品 名	數 量 (屯)	現 在 貨 積	向 上 步 合 (%)	鐵工數	從人 員數 (數)
銅	312	—	—	5	700
重 石	76	—	—	3	80
鑛 石	100	—	—	1	80
無 煙 炭	6,000	4,200	70	2	840
有 煙 炭	7,500	5,700	75	3	940
黑 鉛	1,900	810	42	3	384
鐵	1,500	—	—	—	—
錳	800	—	—	—	—
亞 鉛	6	—	—	—	48
珪 藻 土	500	100	20	1	50
磷 備	3,200	—	—	1	50
鉛	150	—	—	9	153
金	50	—	—	1	72
亞 鉛	—	—	—	1	70

石 工 業

(가) 纖維工業

本道工業의大宗은纖維工業이다. 解放後敝産工場은

爲始하여 各工場이 大槪가 資金難, 燃料, 原料難等으로 一毛難難에 當面하고 있으나 程度의 纖維物의 品質과 價格의 果斷等 新界好條件下에 現在까지 比較的 順調은 過程을 보이고 있다.

**製 絲 工 業**

本道の 製絲工業은 全國의 으므로 有名한데 三大製絲紙場인 片倉, 新興, 朝鮮製絲工場은 其他施設內容이 充實한 部分이나 運營狀態가 매우 順調하여 名實共に 全國의 存在이다. 此外에 府內 4工場과 地方 3工場이 있는데 모두 運營中으로 相當한 成績을 올리고 있다. 各工場 製品은 모두 品質이 優秀한 便인데 輸出을 目標로 品質向上에 最善의 努力을 하고 있다. 그러나 當地各製絲工場은 在府原料難으로 操業을 繼續中이나 今年 春秋의 繭共販成績으로 보아 到底히 道內各製絲工場의 需要에 應지 못할 形便에 있음으로 今後 當局의 適切한 蠶業行政이 要望되고 있다.

生糸生産高年度別調査表(道內全統)

年度	1941年	1942年	1943年	1944年	1945年
數量	82,973貫	95,170貫	57,714貫	51,535貫	1,562貫
年度	1946年	1947年			
數量	24,573貫	19,128貫	(1947年度는 9月末現在)		

生糸 9月末生産數量表(道全統)

品名	數 量	現在實績	向上	
			歩合	工場數
生糸	6,627貫195匁	2,650貫878匁	40%	10

**絹 織 業**

道內絹織工場은 大小 100餘個所에 達하는데 現在 操業率은 約 7割 生産能率은 約 39% 程度이며 製品은 主로 明絨을 生産하고 있으나 最近에 이르러 紡織을 始作하게 되며 漸次高級品生産으로 向上하고 있는 것은 注目할 事實이다. 此外에 家內手工業은 本道의 特色으로 歷史를 가지고 있는데 買買上價格의 低廉과 纖維品의 缺乏等으로 工場企業을 壓迫할 程度로 發達되고 있다.

**其 他**

全國的 施設을 受한 大邱莫大小工場은 月産 5,800打의 製品을 生産하고 있으며 南朝鮮타월(洋手巾)工場은 南朝鮮에서 4個工場中의 하나인데 月産 1,000打의 成績으로 操業中이며 其他 絲紡績 織物工業은 40%의 操業率을 維持하고 있다. 此外에 只今 復興工事中인 郡是工業은 1948年 3月부터 操業할 豫定인데 工亦完了되면 晝夜 2交營로 하여 紡績織造의 一貫作業단으로서 生産量은 廣木 1日 1,000方面에 達할 것 이라 한다.

**織 雜 品 關 係**

月 生 産 能 力		現在實績	生産能率	工場數	從業員數
名	數 量				
絹 織 物	78,663疋	26,603	33.82	104	2,099人
被 服	483,450疋	23,290	43.90	40	567人
莫大小內衣	15,210打	5,815打	37.57	28	330人
양 말	34,790人	15,375人	44.19	44	300人
타 올	3,000人	1,000人	33.33	1	125人
장 갑	12,130人	5,210人	42.9	37	110人
平 均			39.29%		

(나) 鐵 工 業

鐵工業은 解放前까지 大槪가 軍需下請工場이었고 解放後全部가 農機具 家用器具等的 鑄物工業으로 轉換하였는데 여러가지 事情으로 아직까지 工作機械 生産은 全無의 狀態에 있다. 鑄物原料인 鐵鐵은 解放前 主로 滿洲와 北鮮으로부터 得어 왔었는데 38線이 가로 막힌 今日에는 在庫品減少로 鐵工業界의 前途가 憂慮되고 있다.

**鐵 工 業 關 係**

地 名	工場數	制
大邱	58	各種農機具 家庭用品 器具 建築金具 製材機 金庫 發動
迎日	3	
金泉	2	

具 其 他	數 量	機 器 名 稱
慶州	28	機 自動車附屬分 織物機 其他
尙州	3	
安東	1	
慶山	1	
永川	1	
造船 船車	迎日 4 大邱 7	造船 製車
鑄造 工 業	大邱 12個處 西泉 5個處 奉化 3個處	金泉 1個處 安東 1個處 南院 7個處

(4) 化學工業

化學工業으로서는 本道7個所에 고무工場이인어 約 50% 의能率도 操業을繼續하고있어 製品으로는

女子고무靴、運動靴、地下足袋등을 生産하고있으며 4 個處의石鹼工場이月産 120 ㄷ람의米糠油를消化하여 相當한良質의「비누」를 生産하고있다。

化學工業關係總觀

	月 產 品 目	能 力 數 量	現 在 負 荷	同 上 步 合	工 場 數	從 業 員 數
印 刷 物 關 係	印 刷 物	24,170連	16,885連	70%	52	345人
〃	紙 他 6 種	413,190〃	312,200〃	75〃	12	223〃
醬 油 及 醬 工 業	醬 油	2,161石	2,103石	97〃	25	160〃
〃	鹽 醬	2,575〃	1,700〃	70〃	9	96〃
〃	主 醬	216〃	175〃	80〃	6	36〃
製 紙 工 業	窓 戶 紙 外 3 種	1,315塊	2,608塊	80〃	20	3,162〃
고 무 工 業	作 業 靴、運 動 靴	50,000足	30,000足	60	1	110〃
〃	總 高 무 신	270,000〃	120,500〃	45〃	6	318〃
〃	마 車 고	80屯	45屯	52〃	2	59〃
油 脂 加 工 關 係	비 누	26,500貫	2,000貫	40〃	4	34〃
〃	塗 料 外 5 種	240ㄷ람	90ㄷ람	80〃	3	34〃
化 學 工 業 藥 品 工 業	亞 鉛 華	50屯	25屯	50〃	1	25〃
〃	아세톤-、木 醋	30〃	25〃	50〃	1	20〃
〃	硫 化 胃 差 料	5〃	2〃	40〃	1	6〃
〃	光 明 用 的 시타지	60〃	5〃	30〃	1	16〃
辨 寸 工 場 關 係	辨 寸	526,000個	360,000個	60〃	2	127〃
電 氣 工 業	電 球	115,000〃	60,000〃	50〃	5	99〃
〃	變 壓 器	27臺	20臺	80〃	2	35〃
窯 業 關 係	陶 器 外 5 種	751,500個	350,000個	50〃	9	279〃
雜 工 業	油 脂	220ㄷ람	80ㄷ람	30〃	5	57〃
〃	醬 油	30石	20石	65〃	1	20〃
〃	防 水 布	9 000碼	9,000碼	100〃	1	23〃
〃	朱 肉 及 墨 碩	41 100打	5,530打	15〃	3	35〃
〃	電 氣 器 具	10 000個	6,000個	60〃	1	18〃
〃	骨 粉 肥 料	700噸	200噸	35〃	2	20〃
〃	裘 皮 履 物	40 000打	30,000打	80〃	1	15〃
〃	粉 碎	1 000噸	—	—	1	12〃
釀 酒 工 業	清 酒	3 630石	2,960石	80〃	10	131〃
〃	濁 酒	7 040〃	6,230〃	90〃	13	121〃
〃	苹 果 酒、부란디	500〃	380〃	70〃	1	12〃
製 粉、製 麵、精 米 業	製 粉	2 000袋	2,000袋	100〃	1	9〃
〃	製 麵	3 700箱	3,600箱	95〃	2	22〃
〃	精 米	1 730袋	1,630袋	95〃	7	33〃
〃	小 麥 粉	2,800袋	2,000袋	70〃	1	17〃

마、水 産

南朝鮮水産界는 本道가慶南 全南다음에 重要한 地位에 있는만큼 本道當局에서 또 積極의指導와獎勵 下에 增産一路에 있다。

即解放從漁業界의不振으로 魚物의價格騰貴와 需 要增加에따라 業者들의生産意慾이 向揚되어窮迫한 資金難과物資不足等의惡條件을 克服하면서 1946年 度漁獲高 41,272 噸 金額 260,701 千圓에達하였다。 그러나이는아직 本道 1940 年度最高生産量의 25%

에 不遇한 數量임으로 앞으로 加一層 增産에 重負한 對策을 講究中이며 1947年度는 1946年度에 比하여 數倍 以上의 好成績이 豫測되고 있다. 東海岸邊의 1947年 夏期 漁獲에는 寒流가 甚하여 溫流魚의 漁獲이 적었으나 冬節에는 寒流 漁獲이 豊富하리라 한다.

本道 昨年 10月부터의 月別 漁獲高는 如下하다.

1946年度 10月以降 漁獲高及金額 (9月以前未詳)

10月	4,682噸	15,128,383圓
11月	1,717噸	39,761,476圓
12月	5,437噸	53,501,244圓
1月	3,006噸	77,476,574圓
2月	5,222噸	52,431,180圓
3月	68,805噸	71,340,100圓

1947年度 月別 漁獲高及金額

4月	4,211.1噸	47,741,229圓
5月	1,718.5噸	36,139,104圓
6月	704噸	11,193,763圓
7月	3,238噸	28,721,619圓
8月	4,157.5噸	110,214,980圓
9月	1,354.5噸	33,231,094圓

9月末 現在 累計 15,383.6噸 267,241,789圓

水産加工은 本道 重要 水産地 浦項 甘浦 九龍浦 江口等地에 屬屬大加工工場이 있으나 資金難과 漁具의 修理、新設이 如慮치 못하여 銳意 復舊中에 있는 한편 生産量도 昨年度中 5,756噸 金 63,003,490圓이고 如下 司漸次 增加되고 있다.

1946年度 10月以降 魚類加工 生産高

9月以前未明

10月	110噸	1,754,985圓
11月	53.4噸	4,295,915圓
12月	63.6噸	2,031,530圓
1月	227噸	14,285,033圓
2月	138噸	5,148,741圓
3月	62.5噸	3,264,618圓

1947年度 魚類加工 生産高

4月	67噸	5,553,194圓
5月	172噸	12,100,136圓
6月	364噸	18,455,701圓
7月	617噸	27,375,909圓
8月	3,694.5噸	111,949,907圓
9月	698.1噸	38,036,863圓

9月末 現在 累計 5,612.6噸 213,471,710圓

慶尙北道 水産 統計

年度別	漁 獲 高		加 工 製 造 高	
	數 量	金 額	數 量	金 額
1937年	211.004噸	8,350,964圓	22,292噸	4,971,533圓
1940年	216.076噸	18,990,163圓	39,223噸	13,618,052圓
1944年	41,352噸	16,240,773圓	7,734噸	7,272,195圓
1945年	36,057噸	29,092,848圓	3,892噸	6,302,869圓
1946年	41,72噸	260,701,376圓	5,756噸	63,003,490圓
1948年 9月末 現在	15,383.6噸	267,241,789圓	5,612.6噸	213,471,710圓

바. 商 況

解放後一時는 殘餘軍需物資 洪水의 去來가 旺盛하든 市場도 過去年에 過大한 消費로 因하여 一般의 物資는 缺乏一路를 밟았는데 各生産工場은 休業狀態로부터 一部操業은 繼續되었으나 勞資對立資金難 原料難 資材難等의 重疊된 生産障礙에 呻吟하여 겨우 30~40%의 生産能率밖에 못을리게 되어 生必需品를 爲始한 一般商品이 酒湯을 免치 못하게 된 것과 物價騰貴에 依한 一般 購買力減退等으로 商界는 大端 閉鎖되었다. 昔日繁華하든 商街는 正常한 商去來를 볼 수 없고 商店은 休業狀態에 있는데 이와 反對로 新生한 所謂自由市場이 各處에 버터져서 大邱市內만 하여도 數個所기 增設되었다. 本道 物資配給狀況을 概觀하면 原料不足과 其他 生産障礙 路아 아울러 各工場 生産能力이 低下하여 있을 뿐만 아니라 製品이 粗惡해진 關係로 物資配給計劃이 豫定대로 되지 못하였다. 一例를 들면 慶北物資運用組合이 1947

年 5月 創立以後 現在까지 取扱物資는 下列如하 成績이 不良하다.

慶北物資運用組合 取扱物資統計 (自 1947年 6月 1日 至 1947年 11月 15日)

毛織物	數量 14,001米	金額 2,768,060圓
麻織物	60,396碼	1,599,937圓
自動車타이	150個	425,400圓
야구-부	15,000개	5,175,000圓
洋 灰	198,877枚	19,095,844圓
內衣類	95,754着	27,535,097圓
製 服	30도람	600,000圓
及 服	2,500打	870,000圓
食 用 油	300개	1,217,500圓
타	300개	1,685,504圓
其他洋釘	52,672噸	計 60,972,342圓
總麻交織		

(完) 以上朝鮮銀行大邱支店調査資料에 依한

# ★ 忠 清 南 道 (SOUTH CHUNGCHONG PROVINCE)

1. 概 觀	目 次	3. 産業別現勢
地勢、人口		農林、鑛工、水産、商況
2. 解放後의經濟動向		附 忠南의經濟的特色
一般經濟、金融、物價、勞賃		

## 1. 概 觀

### 가. 地 勢

車嶺山脈이 東北으로부터 西南에 떨어있으며 北에는太白山系의一脈이 京畿道에서 泰安半島로터러와 다시南으로떨어 安眠島를形成하고있으며 南에는慶嶺의支脈이 馳走하여 全羅北道와 境界를일우고있다. 錦江、插橋川의沿岸은 大體로平野로되여있어 各種農作物의栽培에 適合하여 일찍부터三南의 寶庫라稱하여왔으며 海岸一帶는屈曲이甚하여 魚族棲息에適合하다. 鐵道는京釜線이 本道の東部를縱貫하고있으며 大田에서다시分岐되여 湖南線이南部를橫斷하여 群山 木浦에通하며 京南鐵道는北部를橫斷하여 北으로는京畿道長湖院까지 南으로는洪城 大川을通하여 長項에達하여 群山과連絡을하고있다.

錦江은忠清北道에서 發源되여 本道の東南部를 貫流하고있으며 群山港에서 黃海에入海되였고 插橋川은 牙山灣으로흐르고있다.

位置는朝鮮의 西南部에該當하며 東으로는忠清北道에 南으로는全羅北道 北으로는京畿道에 接壤하고있다. 面積은 8,099,095 平方杆에達하며 1府 14郡 12邑 161面을 包容하고있다.

## 나. 人 口

本道の人口는 1945年末現在 1,873,173 名 (其中, 中國人 858名 日人125名 其他外國人27名) 에 達하였던것이 其間에戰災同胞 海外同胞와 以北同胞들의來集으로 約 20萬名의激增을보아 1947年 10月末現在人口는 2,085千餘名에 達하고있다. 1945年末現在의 職業別로본 人口總數는如下하다.

1945 年 末 現 在 人 口 職 業 別 表

職 業 名	戶 數		人 口			比 率
	住 居	世 帯	男	女	計	
農 業	228,017	236,102	749,574	733,449	1,483,023	79 %強
水 産 業	2,645	2,775	7,453	7,065	14,518	0,008%弱
鑛 業	588	695	1,752	1,445	3,197	0,002%弱
工 業	4,850	5,652	16,176	14,288	30,464	0,02 %弱
商 業	12,411	15,196	36,814	35,874	72,688	0,04 %弱
交 通 業	2,866	3,375	7,326	6,178	13,504	0,007%強
公務 自由業	10,273	12,261	31,953	30,002	61,955	0,03 %強
其 他 業	17,965	21,695	55,599	54,611	110,210	0,06 %弱
無 職 業	12,655	15,136	40,083	42,521	82,604	0,04 %強
總 計	292,270	312,887	846,730	825,433	1,872,163	

## 2. 解放後의經濟動向

### 가. 一般經濟

日本帝國主義는 朝鮮經濟의不具性을 遺産으로남기고 退却을하였음으로解放直後, 日帝의統制를 버서난 經濟는當然히 莫甚한混亂狀態를招來하였던것이아. 即ち大韓 所屬 終戰費用의放出과 日人預金支拂로因

하여 通貨面을보면 忠南地方만하여도 解放直前까지의朝鮮銀行券 1日平均發行高는 20萬圓을 往來하고있었으나 8月15日以後 同月31日까지의 1日平均發行高는 約 60萬圓으로 戰前의約 3倍나 되었고 其後の累増을合하면 8月15日以後 9月30日까지 (即 美軍進駐前까지) 의 發行高總額은 11,185萬圓이라는 尨大한數字를示現하였다. 一面戰

時統制經濟의 完全崩壞로因한 商品의沙汰로因하여 當地方經濟界는加頓의으로混亂에빠졌었다. 主로宋使用軍需品이였는物資가 市場 街頭에나타나 露店商人은隨處記濫하고 惡質부르거거의 賤賣는一般民衆까지 이에雷同되여投機心과射倖意欲을助長시켜 買占에東奔 西走하였다. 當時大田의露店 商人들의 每月平均收益은 3萬圓以上이可能하였고 이로因하여 新興商業資本이擡頭하였다.

그러나 이現象은 自由經濟를標榜하는 軍政이實施됨에따라 이新興資本家群이 産業投資에로 轉換함에따라 企業의亂立을보게되였으며 이에呼應하여 日人財閥들에 抑制을當하였는 土着資本도 此機를 利用하여 農土를放棄함으로써 産業資本으로 急轉을보게되니 企業의亂立은畢竟 泡沫的 企業體를 構成하고말았다. 土着資本의都市集中과 自作農地購入으로因하여 3.1 制新地租制로多少間의餘蓄이造成되였던農村資力은 1946年度夏收부터 供出이다시復活될 운따라 다시금 逼迫狀態에 빠지게되였다.

1946年 7月以後 夏收資金의放出로 發行高가 100 億圓台를突破하자 經濟面은一變을보게되였다. 即 軍政當局의 自由經濟言明은 混亂期에빠진 朝鮮經濟再建을爲한 基本理念으로써는 너무나革命的 對策이었다. 加緊하여國內에發生하는 政治的波紋은 經濟人의生產意欲을硬塞시켜 基本的組織이缺如한 産業體制는 接連하는 矛盾과豫測을한客觀的 障害로因하여 完全히自存力을喪失하고말았다. 여기에병서 經濟控制의必要性이 再認識되였었고 그方向과指標도 分明하게되였다.

이로부터 內包된 矛盾을克服하고 國際的情勢를 隨宜取捨하여 우리經濟을再建하러는 民族的情熱이 顯成되여 政策의改變 隘路의打開을爲하여 全力을다 하였다. 그러나農産物에있어서는 肥料不足 農業管理의食困 洪水의連續으로因하여 平年作維持에 汲々한狀態이고 工業界는燃料 原料 資金의 三大隘路의重要으로 解放以後 그生産量은 低下一路를 밟

고있다.

이러한가운데 擡出하였는新興企業體는 約半이 淘汰되고 殘存을維持하는企業體도 亦是暗憐한前途에 그取捨方向을일고 彷徨하고있는狀態이다.

### 나. 金 融

解放前의各金融機關은 各其使命을發揮하여 其擔當分野를 緊持하고있었다. 即産業方面의融資에있어서는 金の으로殖産銀行이 擔當하였으며 其他一般 中小商人들의去來는 朝鮮銀行으로集中을보아 殖産·과朝鮮銀行이 當時市中銀行으로 忠南一帶에 穩固한地盤을갖이고있었다. 8.15 以後 急激한預金雷取로 各銀行의資金은 極度로枯竭하여 尤大한通貨暴과反比하여 預金の增加는 一時中斷된現象이었다. 其後 1946年初부터 所謂國庫金 分散制度라는 變遷의措置로 預金吸收의對象은 바야흐로官公金에置重되여 이르러數字的으로 膨大한預金은結局 擬制資金의範圍를 벗어나지못하여 遊資의漫性的 固定을 招來하였다. 如此한短期浮動資金을 抱擁한市中銀行의貸出對象은必然的으로 短期的인 商業金融에偏重되여物價高과相對的으로 增加하는形便이었다.

別表와如한預金の增加는 그大部分이 官公金이고 全部가 當座 通知等의短期的預金이며 現在金融機關의 唯一한金融資力을 構成하고있다. 이現象은生産不振 物價高騰의 客觀情勢와融資對象의稀少 經費加增으로因한 經營難에呻吟하고있는奇現象을 招來하였다.

이루며一은으로因한 通貨膨脹은日益深刻化하여지고있는바 解放以後 1947年 10月末까지의 當地方發行累計는 305,895 千圓에 達하고있다. 本道의資金放出은 糧穀資金 產繭 棉花 蠶工品等の 季節的資金이殆半이다.

道內 各金融機關의預金 貸出狀況은 別表와같다. 1946年 12月以後의 預金貸出增加는 昨年度糧穀資金의 放出과 道國庫 地方團體費의 補助金의一時的預金이 그主因이다.

最近二個年間本道各金融機關預金狀況 (單位 1,000圓)

年 月 別	朝鮮銀行	殖産銀行	貯蓄銀行	朝鮮銀行	信託銀行	相互銀行	金融組合	計
1946年 3月	24,438	74,988	3,050	60,291	—	—	70,975	233 742
// 6月	27,174	129,912	23,275	93,553	5 030	6 410	87 764	373 118
// 9月	36,353	123,697	22,031	86,728	16,150	5,010	93,881	383 850
// 12月	70,538	179,069	70,910	171,151	13,234	10,723	152 622	668 247
1947年 3月	60,140	227,503	64,628	165,603	17,465	23,974	242 239	801 552
// 6月	35,286	185,749	74,529	207,997	24,850	24,817	231,841	785 069
// 9月	42,188	267,445	64,847	199,074	38,901	32,877	232 113	877 545

最近二個年間本道各金融機關貸出狀況 (單位 1,000圓)

年 月 別	朝鮮銀行	殖産銀行	貯蓄銀行	朝鮮銀行	信託銀行	相互銀行	金融組合	計
1946年 3月	24,817	40,865	1,194	22,218	—	—	33,971	123,065
“ 6月	20,308	43,870	2,493	43,989	328	2,061	38,919	151,968
“ 9月	27,179	59,879	11,050	70,276	1,452	4,496	48,317	222,649
“ 12月	634,496	60,062	34,627	69,067	5,264	8,394	57,862	869,772
1947年 3月	499,209	58,925	31,296	73,463	7,934	10,824	72,133	753,784
“ 6月	18,116	58,396	31,809	48,993	8,230	11,281	118,454	295,279
“ 9月	6,354	81,290	34,074	216,280	16,748	15,682	161,660	532,038

다. 物價와 勞賃

物價와 勞賃은 別表와 如히 上昇 一路 이다. 그러나 兩者의 對比를 살피어 보건대 勞賃의 遞々 上昇 率은 可謂 破倫의 現象 이라 하겠다.

發行高가 100圓 圓票을 突破하기 前 即 1946年 6月 까지의 物價高는 解放當時 (8月 末) 에 比하여 約 5倍 程度의 上昇을 보았은 것이 1946年 1月 末에는 解放當時의 物價에 比하여 11倍 上昇하여 其中에서 織物은 約 18倍의 高騰을 보이었다. 以上과 같이 物價는 高騰을 보이여 今年 10月 末에는 物價指數 (基準年度 1945年 8月 末 100) 1,572 를 示現 하고 있다.

또 一價無民層에는 産業의 不振으로 餘剩 勞力의 浮動함을 示現 하고 있다. 賃金의 比率을 보면 다음과 같다.

種 別	1945年 6月 平均	1946年 6月 平均	1947年 6月 平均
	円	円	円
大 木 工	11	120	350
壁 瓦 匠	10	130	350
石 手 工	12	100	380
蓋 瓦 匠	8	100	450
塗 裝 工	7	140	350
治 工	7	140	240
靴 製 造 工	11	100	400
洋 服 製 衣	7	80	350
車 夫	12	140	450
人 夫	6	55	200

品 名	單 位	1945年 8月 末 物價	1946年 8月 中 平均 物價	1947年 8月 中 平均 物價
		円	円	円
白 米	大 1斗	200	880	1,190
大 豆	大 1斗	80	620	740
小 豆	大 1斗	140	600	650
大 麥	大 1斗	50	666	750
砂 糖	1 100斤 匁	10	180	248
간 砂	1 升	4	14	89
된 장	1 匁	4	28	188

牛 肉	1 斤	10	40	160
鷄 卵	10 個	20	52	105
廣 木	1 碼	8	100	250
明 抽	1 疋	130	623	2,200
苧 布	1 疋	200	1,550	4,300
長 斫	1 坪	180	736	1,510
木 炭	6 貫	25	91	260
양 말	男子用 足	4	25	90
고 무 靴	女子用 足	40	90	270
洋 靴	1 足	250	650	1,900

3. 産業別現勢

가. 農 業

本道는 農業이 主로 道民의 約 8割이 農民이며 小規模의 農業을 經營하고 있다. 三南의 寶庫로 有名한 錦江沿岸과 插橋川沿岸一帶에는 農業이 가장 發達되어 있으며 論山平野 禮唐平野 (合德平野) 舒川平野等 本道에서 有名한 平野는 모두 이 沿岸地帶에 있어 論山平野와 舒川平野는 錦江流域에 屬하고 있으며 禮唐平野는 插橋川沿岸에 展開되어 있어 此兩流沿岸一帶의 農作物收穫高는 本道總收穫高의 5.7割을 占하고 있다. 特히 論山 江景은 農産物集散地 (米穀 麥穀 大豆)로 昔日부터 有名하다. 論山平野에는 設備가 優秀한 論山水利組合이 있어 論山平野 5,425 町步에 對한 給水를 保障하고 있으며 農民들은 當局의 指導를 받아 近代의 改良 農을 經營하고 있어 農業에 對한 熱이 相當하다. 論山郡下의 農作物 特히 米穀은 本道總收穫高의 約 1割5分에 該當하며 新韓公社管理下에 있는 農場이 많았다.

農作物生産狀況은 解放前에 比하여 肥料不足과 勞力不足 등으로 減收을 보고 있으며 特히 米穀은 解放前에 比하여 2割5分 減收을 보고 있다.

麥穀의 減收은 肥料不足에 基因함도 있다 하겠으나 特히 解放前까지는 多量의 米穀이 日本으로 輸出되었음으로 生産增産에 熱中하였으나 解放以後 米穀의 自足함을 따라 農民의 倦意가 增長되는 傾向이 보인다.



農 家 戶 數

種 別	朝 鮮 人		中 國 人		外 國 人		計		
	專 業	兼 業	專 業	兼 業	專 業	兼 業	專 業	兼 業	計
1944年	209,647	19,552	21	5	272	155	209,940	19,712	229,652
1946年	209,049	18,679	15	9	51	12	209,115	18,700	227,815

營 農 種 別 農 家 戶 數

種 別	自 作	自作兼小作	小 作	小作兼自作	其 他	計
1944年	18,234	32,378	134,421	41,848	2,711	229,652
1946年	19,996	33,388	126,431	43,129	4,871	227,815

地 主 及 農 業 被 傭 者

種 別	地 主	農 業 被 傭 者	合 計
1944年	4,542	10,630	15,172
1946年	4,362	16,825	21,187

小 作 面 積 (單位反)

種 別	小作農斗小作面積			自作兼小作農斗小作面積			小作兼自作農斗小作面積			計		
	畝	田	計	畝	田	計	畝	田	計	畝	田	計
1944年	80,444.9	32,107.7	112,552.6	19,475.4	8,834.0	28,309.4	23,835.7	10,760.0	34,595.7	123,756.0	51,731.7	175,487.7
1946年	69,538.6	27,614.2	97,152.8	21,268.7	8,933.7	30,202.4	23,763.4	10,304.8	34,068.2	114,590.7	46,902.7	161,493.4

重 要 農 產 物

種 別	作 付 反 別			收 獲 高		
	米	麥 類	大 豆	米	麥 類	大 豆
1944年	123,790.9 <sup>町反</sup>	127,000.0 <sup>町反</sup>	24,388.4 <sup>町反</sup>	1,406,492石	1,277,932石	139,585石
1946年	136,383.0 <sup>町反</sup>	65,706.5 <sup>町反</sup>	27,449.1 <sup>町反</sup>	1,129,631 <sup>石</sup>	517,937 <sup>石</sup>	124,740 <sup>石</sup>
1947年	135,907.1 <sup>町反</sup>	未 詳	未 詳	1,189,661 <sup>石</sup>	未 詳	未 詳

耕 地 面 積

種 別	畝	田	計
1944年	161,297.0 <sup>町反</sup>	79,524.5 <sup>町反</sup>	240,821.5 <sup>町反</sup>
1946年	153,788.1 <sup>町反</sup>	76,791.0 <sup>町反</sup>	230,579.1 <sup>町反</sup>

米 收 獲 高

種 別	粳 米	糯 米	陸 米	計
1944年	1,373,906 <sup>石</sup>	32,586 <sup>石</sup>	304 <sup>石</sup>	1,406,796 <sup>石</sup>
1946年	1,104,337 <sup>石</sup>	25,294 <sup>石</sup>	377 <sup>石</sup>	1,130,008 <sup>石</sup>
1947年	1,162,335 <sup>石</sup>	27,326 <sup>石</sup>	247 <sup>石</sup>	1,189,908 <sup>石</sup>

米 作 付 反 別

種 別	粳 米	糯 米	陸 米	計
1944年	120,572.9 <sup>町反</sup>	3,218.0 <sup>町反</sup>	44.0 <sup>町反</sup>	123,834.9 <sup>町反</sup>
1946年	132,962.0 <sup>町反</sup>	3,421.0 <sup>町反</sup>	48.5 <sup>町反</sup>	136,432.5 <sup>町反</sup>
1947年	132,271.9 <sup>町反</sup>	3,635.2 <sup>町反</sup>	43.7 <sup>町反</sup>	135,950.8 <sup>町反</sup>

麥 類 作 付 反 別

種 別	大 麥	小 麥	裸 麥	計
1944年	88,587.4 <sup>町反</sup>	24,296.4 <sup>町反</sup>	9,829.6 <sup>町反</sup>	122,713.4 <sup>町反</sup>
1946年	47,229.2 <sup>町反</sup>	6,115.9 <sup>町反</sup>	10,920.8 <sup>町反</sup>	64,265.9 <sup>町反</sup>

麥類收穫高

種別	大麥	小麥	裸麥	計
1944年	985,412 <sup>石</sup>	201,618 <sup>石</sup>	69,229 <sup>石</sup>	1,256,259 <sup>石</sup>
1946年	402,433	33,902	70,738	507,073

1946年	124,740石	7,442石	9,789石	7,082石
1947年	114,647石	9,501石	8,273石	3,764石

豆類及雜穀收穫高

種別	大豆	小豆	粟	蕎麥
1944年	139,585石	13,657石	25,084石	18,982石

特用作物收穫高

種別	陸地棉	大麻	苧麻	菸草
1944年	20,591,829 <sup>斤</sup>	1,285,864 <sup>斤</sup>	7,963 <sup>貫</sup>	58.083 <sup>貫</sup>
1946年	6,261,399	413,380	4,835	94,234
1947年	18,162,000 <sup>擔</sup>	1,020,000 <sup>擔</sup>	37,810 <sup>擔</sup>	未詳

主要蔬菜收穫高

種別	甘藷	馬鈴薯	蘿蔔(旱斗)	白菜	胡瓜	
1944年	數	5,646,375 <sup>貫</sup>	3,770,025 <sup>貫</sup>	7,608,607 <sup>貫</sup>	5,899,592 <sup>貫</sup>	1,134,354 <sup>貫</sup>
	價	3,105,507 <sup>圓</sup>	1,579,831 <sup>圓</sup>	1,783,192 <sup>圓</sup>	3,133,690 <sup>圓</sup>	1,120,969 <sup>圓</sup>
1946年	數	4,139,674 <sup>貫</sup>	482,665 <sup>貫</sup>	6,499,167 <sup>貫</sup>	4,085,967 <sup>貫</sup>	941,959 <sup>貫</sup>
	價	30,328,270 <sup>圓</sup>	9,641,300 <sup>圓</sup>	105,135,860 <sup>圓</sup>	132,810,175 <sup>圓</sup>	30,801,264 <sup>圓</sup>
1947年	數	5,922,331 <sup>貫</sup>	3,330,121 <sup>貫</sup>	12,263,100 <sup>貫</sup>	6,474,000 <sup>貫</sup>	未詳

主要果實收穫高

種別	梨	蘋果	葡萄	柿	
1944年	數	190,873 <sup>貫</sup>	107,466 <sup>貫</sup>	40,654 <sup>貫</sup>	56,767 <sup>貫</sup>
	價	193,018 <sup>圓</sup>	170,749 <sup>圓</sup>	77,663 <sup>圓</sup>	43,111 <sup>圓</sup>
1946年	數	213,885 <sup>貫</sup>	100,760 <sup>貫</sup>	49,101 <sup>貫</sup>	62,835 <sup>貫</sup>
	價	17,951,220 <sup>圓</sup>	6,016,350 <sup>圓</sup>	2,317,490 <sup>圓</sup>	1,785,950 <sup>圓</sup>
1947年	數	684,527 <sup>貫</sup>	221,645 <sup>貫</sup>	93,017 <sup>貫</sup>	45,178 <sup>貫</sup>

蠶業(一)

種別	桑田 反別	養蠶戶數		播立枚數			產繭額		
		春蠶	夏秋蠶	春蠶	夏秋蠶	計	春蠶	夏秋蠶	計
1944年	5,194.5 <sup>町反</sup>	71,421	66,788	42,870	37,946	80,816	185,514 <sup>貫</sup>	108,842 <sup>貫</sup>	294,356 <sup>貫</sup>
1946年	2,619.5	56,697	55,101	27,279	26,934	54,213	87,272	74,001	161,273
1947年	2,599.2	58,784	—	29,441	—	—	119,610	—	—

蠶業(二)

種別	家蠶繭共販數量			同上價格		
	春蠶	夏秋蠶	計	春蠶	夏秋蠶	計
1944年	160,861 <sup>貫</sup>	96,181 <sup>貫</sup>	257,042 <sup>貫</sup>	1,549,735 <sup>圓</sup>	743,732 <sup>圓</sup>	2,293,467 <sup>圓</sup>
1946年	47,940	15,243	63,183	15,552,949	4,001,490	19,554,439
1947年	34,555	18,914	53,469	18,217,832	8,939,443	27,217,275

主要家畜數(1)

種 別	牛				馬				雞			
	戶數	牝	牡	計	戶數	牝	牡	計	戶數	牝	牡	計
1946年	46,380	37,120	10,193	47,313	1,672	725	919	1,644	76,684	148,757	54,207	202,964

主要家畜數(2)

種 別	豚		種 羊	山 羊
	戶 數	匹 數		
1946年	17,296	21,313	232	4,590

主要畜產物表

種 別	牛 皮	牛 肉	牛 乳	豚 肉	雞 卵
1946年	7,162枚	179,050貫	88,110立	55,402貫	4,121,150箇
	10,743,000圓	179,050,000圓	2,907,630圓	55,402,000圓	41,211,500圓

叭 筵 總 製 造 高

種 別	叭		筵		總	
	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額
1944年	11,922,194 <sup>枚</sup>	5,961,467 <sup>圓</sup>	—	—	3,278,818 <sup>圓</sup>	1,639,409 <sup>圓</sup>
1946年	1,178,560 <sup>枚</sup>	4,799,897 <sup>圓</sup>	25,674 <sup>枚</sup>	64,186 <sup>圓</sup>	868,800 <sup>圓</sup>	3,035,150 <sup>圓</sup>

水 利 組 合

種 別	個 所	蒙 利 面 積	亭 業 費 總 額	工 亭 費
1946年	43	21,194.7 <sup>町反</sup>	22,165,809 <sup>圓</sup>	19,936,900 <sup>圓</sup>

나. 林 業

本道の林業은 現下極度로 荒廢되어 木根을 燃料에 使用하고 있는 狀態이다. 今後治山問題가 重要한 道政의 하나일 것이다.

林野面積은 49萬餘町步이며 林産額의 總額은 昨年度에는 3億圓에 達하였으나 現下本道の林業界는 生産보다도 濫伐防止와 植樹 砂防亭業에 嚴重하고

있는 狀態이다.

특히 瑞山 唐津 保寧 青陽과 公州의 麻谷一帶에는 主로 「소나무」와 「참나무」가 鬱蒼하여 優秀한 林床도 있으나 이것을 除外한 大部分의 林野는 解放前에는 軍用材와 松炭油用으로 木材와 소나무뿌리等의 供出을 하였으며 解放以後로는 自由放任으로 인한 濫伐로 荒廢地가 4割을 占하고 있다.

1946年度 林 相 別 林 野 面 積 (單位町步)

種 別	立木地	數在地	未立木地	開墾適地	放牧適地	採草適地	火 田	其他除地	計
國有林野	2,566	3,539	2,081	51	70	92	—	910	9,309
民有林野	248,954	112,278	106,217	3,133	3,698	4,116	47	9,978	488,421
計	251,520	115,817	108,298	3,184	3,768	4,208	47	10,888	497,730

1946年度 森 林 額

種 別	數 量	價 格	備 考
用 材	129,653石	128,753,000圓	
薪 材	45,804坪	6,870,600圓	47年10月末現在 20,483坪40,966,000圓
竹 材	520束	52,000圓	
枝 葉	48,842,295貫	97,684,990圓	
木 炭	63,759俵	19,127,700圓	47年10月末現在 7,827俵3,130,800圓
種 實	4,063貫	11,080,000圓	
腐 葉	1,560貫	49,150圓	
藥 草	905貫	271,500圓	
五 倍 子	370貫	17,390圓	
計	—	263,906,330圓	

1946年度 重要樹苗生產量

樹 苗 別	數 量
落 葉 松	4,574,720本
리 기 다 소 나무	1,673,850 //
산 오 리 나무	1,287,800 //
상 수 리 나무	1,785,800 //
죽 제 비 사 리 나무	157,000 //
아 까 시 아 나무	516,100 //
胡 桃 나무	1,230 //
밤 나무	41,600 //
무 궁 화 나무	1,000 //
計	10,039,070 //

砂 防 事 業

種 別	區域面積	施行面積	植栽數量	工 事 費
1944年	4,260.90 <sup>畝</sup>	2,759.36 <sup>畝</sup>	4,931,450 <sup>本</sup>	474,405 <sup>圓</sup>
1946年	1,545.18	873.70	2,984,700	5,175,374

野 溪 工 事

種 別	施 行 延 長	工 事 費
1944年	17,270.00 <sup>米</sup>	98,298圓
1946年	5,772.64	1,003,000圓

(註) 野溪工事라던 砂防事業의 일부로 서산과 奮

田間의堤防等의砂壤에對? 復舊 工事を稱함.

다. 工 業

本道內에 있는 産業施設特別工業專門은 部分的加工 業體이었다. 解放後原料難 技術難 機械不足과, 資金難勞資關係等의 諸般阻路에逢着하였다. 本道の總 工場數는 1946年 9 月末現在 1,243 從業員 20,420 名 (從業員10人以上企業體만調査함) 인데 其中 1 割未 滿이非管理工場이다.

大田 長項 烏致院 論山等은 本道の代表的工業 地帶라하였다.

(一) 紡 績 業

操業率 30% (1947年10月末現在)

本道の紡績業은絹織物 亞리아쓰 被服等으로 大 田을비롯하여 烏致院 觀山 公州 論山 扶餘 保 寧等各地에 散在하여있으며 他工業部門에比하여 原料配給이比較的 圓滑하다고보겠으나 絕對量의原料 不足으로超極度の操短을하고있다.

(二) 化 學 工 業

操業率60% (1947年10月末現在)

油脂 고무 皮革 窯業 (硝子 陶器 石灰) 製紙 等인데 工場數는 約 150에達하고있다.

(三) 機 械 工 業 及 其 他

操業率40% (1947年10月末現在)

鐵工業 (主로農機具製作) 과 機械修繕業 鑄物工 業 鉛筆工場이있고 特殊한工場으로 大田에理研工場 (休業中)과 長項에船舶修繕製造工場으로 忠南機械 製作所가있다.

製 絲 工 場

府 郡 別	工 場 名	主要生産品	年生産能力	從 業 員 數	年生産能力	備 考
大 田	群是工場	生 絲	14,400貫	400	30%	敵 産
燕岐(烏致院)	白井製絲工場	〃	10,000 //	145	30 //	〃
〃	高谷製絲工場	〃	6,000 //	90	50 //	〃
公 州	公州製絲工場	〃	1,800 //	54	30 //	〃

論 山	論山製絲工場	//	600 //	31	30 //	//
禮 山	忠南製絲工場	//	12,000 //	380	70 //	朝鮮人
保 寧(大川)	大川製絲工場	//	600 //	38	30 //	敵 産

織 物 工 場

所在地	工場名	主要生產品	從業員數	年生產能力	月生產能力	機械種類及設備台數				備 考
						力	手	足	計	
大 田	郡是工業	絹織物	200	720,000米	30%	200	—	—	200	敵 産
大 田	興亞織布	絹交織	250	360,000 //	70 //	120	—	—	120	朝鮮人
大 田	大田織物	//	30	324,000 //	20 //	86	—	—	86	//
大 田	興亞織物	//	31	60,000 //	70 //	10	—	26	36	//
鳥 致院	高谷織物	//	105	230,000 //	60 //	50	—	—	50	敵 産

예 리 야 스 工 場

所在地	工場名	主要生產品	從業員數	年生產能力	月生產能力	機械種類及設備台數						備 考		
						自動	木製	洋製	大丸	오바로드	其他		計	
大 田	忠南産業	內衣	58	200,000枚 240,000打	70%	60	26	30	2	4	1	123	敵 産	
大 田	大田絹物組合	內衣	27	54,000枚	40%	—	24	5	—	1	—	30	//	
大 田	大榮예리야스	內衣	20	24,000枚	60%	—	18	—	—	—	—	18	朝鮮人	
鳥 致院	三重絹物	內衣	20	12,000枚 50,000打	50%	4	12	—	—	—	—	16	//	
江 景	三光예리야스	內衣	30	25,000枚 60,000打	50%	12	11	30	3	—	—	56	/	
大 田	大田紡績	絲 糸	215	方今建設途中에 있고 10月中에 絲糸2,534封度를 生産하였음.										敵 産

輕工業部門及機械工業部門의 各種工場 (1647年10月現在)

所在地	工場名	從業員	主要生產品	月生產能力	月生產能率	備 考
大 田	大東亞鉛筆	~	鉛 筆	6,000쿠르스	0%	敵 産
大 田	中 鮮 製 紙	78	仙 貨 紙	94,000封度	80%	//
大 田	大田皮革工場	39	製 革	1,500枚	50%	//
大 田	南 鮮 産 業	50	扇子(半對) 傘 行李	20,000個 3,000 // 2,000 //	80%	朝鮮人
大 田	中鮮고무工場	70	고 무 靴	20,000足	50%	//
大 田	朝鮮煉炭	102	九 穴 炭	6,000噸	30%	敵 産
大 田	三郡社食品工場	30	良 醬	260石	40%	//
大 田	富國醬油	31	良 醬	300石	40%	//
大 田	大田고무工場	70	고 무 靴	15,000貫	40%	//
大 田	大田刷子工場	30	半 刷 子	20,000足	30%	朝鮮人 特殊工場이 原 料七豚毛이 互方 今試驗中에 있다
大 田	南 鮮 機 工	32	打, 練 絲 機	10臺	40%	
大 田	大亞機械製作所	20	洋 機 橫 大 機	6 臺 6 // 4 //	80%	//
大 田	運 研 工 場	200	自動車部品 피스용링	今年 6月以後 休業中	—	//

長 項	忠南機械製作所	132	船 舶	全能力에對하 여60%	
論 山	協盛工業社	10	洗 濯 機	100,000個	20%
天 安	開益鑄物工場	40	송	1,000//	60%

其他 비누原料製造工場으로朝鮮精米所(論山) 高谷精米所(江景) 朝鮮米穀株式會社(長項) 등이있어 棉實油, 米糠油, 피마자油等을 製造하고있다.

**四、鑛 業**

道內分散의으로賦存되어있는地下資源은 將來가彌 望되는바인테 그現況은如下하다.

現在發掘中에 있는鑛山	10個所
發掘許可濟로着手準備中의鑛山	5個所
賦産休眠鑛山	280個所
朝鮮人所有休眠鑛山	50個所인마, 金

鑛은 大部分이青陽 扶餘를中心으로하여 各地에 散在하고있으며 朝鮮製鍊株式會社所屬인 扶餘 林川金鑛은 本道에서가장優秀한金鑛으로 全鮮의으로 有名하며 公州産黑鉛은 外國貿易對象物으로 將來性두터운資源이다. 大田에는 南鮮에唯一한 黑鉛 選鑛工場이있으며長項에는亦是 南鮮에唯一한長項製鍊所가있어 林川金鑛의産出인 金 銅 鑛石을 비롯하여 將次各地에서産出된金과 銅을製鍊할計劃下에 1947年 8月26日부리 運轉을모고있다.

10月現在發掘繼續中의鑛山

鑛 山 名	鑛石名	包含率	鑛夫 人員	厚鑛石月 産
林川金鑛(扶餘)	金銀 銅鉛	70%(金)	500	100噸
鐵 山 炭 鑛	石炭	6,500 카르비	180	1,000//
公州鷄籠鑛山	黑鉛	35%	200	300//
三公鑛山	//	35//	150	250//
舟芳鑛山	//	35//	100	200//
公州鑛山	//	35//	70	100//
錦江鑛山	//	35//	20	30//
金鶴鑛山	//	35//	20	30//
大和鑛山	//	35//	100	100//
(以上公州黑鉛 飯坪鑛山(青陽))	重石	試掘中	-	-

發掘許可濟로未着手中의鑛山名

所 在 地	鑛 山 名	鑛 石 名
保 寧	眞 堂 鑛 山	金 銀 鉛
牙 山	法 谷 金 鑛	金
青 陽	英 堂 鑛 山	金 銀
青 陽	青 陽 鑛 山	金 銀 重石
成 歙	月 峰 金 鑛	金

大田黑鉛選鑛工場의運營狀態

從 業 員	80名
生 産 能 率	70%
最 高 能 力	黑鉛300噸(月産)

長項製鍊所

從 業 員	490名
生 産 能 率	30%
最 高 能 力	厚鐵石300噸製鍊

**五、水 産 業**

道海岸線의延長은 1,749里에達하여 全鮮各道中 第二位의길이 (長) 를占하고있으며 其屈曲이甚하여 魚族의棲息에 適合한곳이 많으며 特別大小島嶼의 布 散을과아울러 淺水灣이有名하다. 島嶼中에는有名島 173 無名島282 計 455를算하고있으며 其中全朝鮮 의으로 有名한安眠島의大島를 비롯하여 西海岸屈 指의漁場의 根據地로外嶼島 廳島 格列島等이 散 在하고있다.

本道干潟地는 67,800 町步의 廣汎한面積에 達하 고있으며 海流는春夏季에 對馬海流의支流가 北上 하여外嶼島近海를 通過하고있으며 秋冬季에는 勃 海로부터發源한 寒冷水帶의南下를받고있다.

이에따라漁獲되는 重要漁族은如下하다.

暖水魚 조기 갈치 도미 삼치 고등어 정강어 대蝦  
寒水魚 홍어 대구等

主要漁港은 長項 大川 外嶼島 廳島等이며 其 外에 江景 廣州 浦白 石浦는 昔日부터의水産物 集數地로 有名한浦口이다.

本道의主要漁業은 潮流가急함으로 鮫鱈綱과 延 繩漁業에서 더進展을보지못하고있으나 前記와같은 好漁場과 漁族이豊富함에 비추어 將來性이豊富하다 하겠다.

水産養殖業

本道沿岸干潟地面積은 前述한바와같이 67,800町 步의廣汎한 地域을形成하고있어 其中大部分이海苔 養 大蛤 小蛤의 天然棲息場으로되어있다. 其中海苔養殖面積이 3,000餘町步 蛤養殖面積이1,000 餘町步이고 나머지는大部分이大蛤 小蛤으로 好養 殖場이다하겠다.

水産製造業

本道에는從來水産製造業이라고는 尙無한것 이僅少

하다. 따라서機械加工品으로는記載할만한것이없다. 素乾品及계우鹽辛品이 多量加工되며 牙山灣의特産 다만本道主要漁獲物인 조기 갈치의鹽藏品 鹽干品 品인실지素乾品이었다.

漁 業 者 數 及 漁 船 數

種 別	戶 數	人 口	漁 船 數		
			機 船	帆 船	計
1944年	15,659	43,806	68	1,539	1,607
1946年	1,4823	50,798	88	1,987	2,075

漁 獲 高 表

種 別	魚 類		貝 類		海 藻 類		其 他 水 產 物		計
	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	
1944年	未詳	未詳							
1946年	7,333.6	100,441,794	11,464.6	116,858,920	26.8	2,062,064	125.1	5,763,487	225,126,265
1947年 9月까지	17,301,218	590,999,213	846.4	32,476,000	80.4	7,056,750	3,284.1	114,760,700	745,288,263

1944年度水産養殖高表

種 別	公 共 用 水 面					私 有 水 面				
	經營者數	養殖面積	養殖個所	數 量	價 格	經營者數	養殖面積	養殖個所	數 量	價 格
牡蠣 既設	120	329,750反	15	27,580貫	9,639圓	—	—	—	—	—
海苔 既設	2,413	955,980反	83	293,502束	880,506圓	—	—	—	—	—
海苔 新設	2	1,470反	1	400束	1,274圓	—	—	—	—	—
蟹 既設	1	51,000反	1	850貫	420圓	1	15,000反	1	1,000貫	1,950圓
大蛤 既設	1	9,200反	1	5,350貫	3,460圓	—	—	—	—	—

1946年度水産養殖高表

種 別	公 共 用 水 面					私 有 水 面				
	經營者數	養殖面積	養殖個所	數 量	價 格	經營者數	養殖面積	養殖個所	數 量	價 格
牡蠣 既設	120	329,750反	15	18,920貫	1,645,600圓	—	—	—	—	—
海苔 既設	1,013	355,610反	50	57,282束	3,546,420圓	—	—	—	—	—
海苔 新設	1	51,000反	1	1,650貫	105,600圓	3	15,100反	3	—	—
大蛤 既設	1	9,200反	1	8,986貫	315,610圓	—	—	—	—	—

水産製造品種類別表

種 別	素 乾 品		鹽 辛 品		煮 乾 品		鹽 藏		鹽 乾		海 藻	
	數 量	價 格	數 量	價 格	數 量	價 格	數 量	價 格	數 量	價 格	數 量	價 格
1944年	181,334	177,800	1,836,751	1,014,150	3,131	3,325	2,503,505	12,151,164	370,503	298,854	38,750	1,026,621
1946年	215,918	22,866	225,950,739	22,644,263	5,728	240,280	3,392,879	30,698,009	227,518	3,483,053	41,129	7,566,574

水産製造物種別

種 別	總 計	
	數 量	價 格
1944年	5,052,986貫	3,770,544圓
1946年	82,422束 9,833,259貫	87,503,237圓

水 産 業 關 係

種 別	團 體 名	個 所	組 合 員	委 託 販 賣 高
1946年	魚業組合	14	818	83,557,331圓

바, 商 況

解放後逐年低減의 商去來는 1946年에 比하여 1947年에는 4割程度로 鈍化하였고 來日의 好轉을 期待할 何等의 材料도 없다.

道內物資配給狀況(自1945年8月15日 至1947年6月30日)

品 名	數 量	價 格
成 腸 小	1,601,210個	5,253,518圓
成 腸 大	111,212 //	1,560,435 //
洗 濯 비누	415,690 //	4,304,332 //
化 粧 비누	224,056 //	620,645 //
本 絹	391,464碼	30,147,184 //
交 織	143,475 //	6,320,871 //
皮 革 靴	14,123足	6,596,860 //
自轉車타이어	3,163個	477,092 //
自轉車昇一斗	10,309 //	479,876 //
掌 甲	16,738雙	555,191 //
타 오 旱	14,026枚	406,674 //
麥	1,474箱	1,237,160 //
人 絹	33,706碼	598 89 //
洋 襪	234,446足	2,151,065 //
제리야쓰內衣類	30,676枚	3,073,002 //
紙 物	4,401連	3,257,460 //
고 무靴類	307,858足	13,763,905 //
總 布	813,227碼	27,262,398 //
學 習 帳	246,203卷	1,519,083 //
計	—	110,586,040 //

(完) 以上朝鮮銀行大田支店調査資料에 依함.

(附) 忠南의 經濟의 特色

(1) 産業別로 본 忠南의 將來性

道民의 約3割이 農民인 本道로서는 農業以外에는 不單한 産業이 없어 하므로 過言은 아니다. 古來로부터 忠南은 所謂兩班階級들의 根據地로서 儒教思想을 받아 오므로 農業에만 從事하여 왔든 까닭으로 沼順하고 善良한 道民들은 他道에 比하여 近代의 工業으로 發展하리라는 思潮가 薄弱하였다.

그러나 今後에 있어서는 交通이 簡便한 本道로서는 將次水産業과 蠶業에 의한 發展이 將來 忠南의 建設課라 하겠다.

(2) 特産品으로 본 忠南의 優秀性

特産品은 水産業과 蠶業을 比對하여 工業 農業等 多方面으로 重要한 産品은 下記와 如하다.

水 産 品

1. 白魚 錦江干(調味煮干한것) 長項産
2. 皮附小蝦 (煮干品) 唐津郡産
3. 어리갈것 (鹽辛品) 淺水灣內看月島産
4. 海 蔘 (煮干品) 安興外煙島産
5. 설치墨干品 (素干品) 加露林灣 大湖芝灣産
6. 鱈子(송어卵) (鹽干品) 唐津郡産

이외에도 蠶産品의 優秀한 것 이 있다는 것은 既述한 바 이다.

또 大田에 있는 大東亞鉛鐵工場은 南鮮에서 唯一한 鉛鐵工場으로 每月 500쿠로스의 製品을 보이며 忠南의 輕工業部門을 代表하고 있다.

農 産 品

家內工業으로 有名한 韓山亭布는 古來로부터 舒川을 中心으로 하여 扶餘 保寧 靑陽等地에서 年々多量生産이 되며 一般家庭에서는 夏節用服으로 널리 愛用되고 있는데 1944년에는 耕作戶數 29,111戶 從業員 46,617名에 達하여 年生産 160,000疋 價格으로 하여 1,900,000圓의 莫大의 數字를 나타내었으며 이에 依한 産業組合이 1922年設立을 보는 등 農村의 家內工業으로 總對的인 名譽를 떨치고 있다. 其他果實類로는 天安産 胡桃가 有名하다. 過去에는 一時 海外로 相當한 輸出도 보았다고 한다.



# ★ 忠 清 北 道

(NORTH CHUNGCHONG PROVINCE)

目	次
1. 概 觀	3. 鑛 工 業
2. 農 林 業	4. 商 況 及 金 融
農, 蠶, 蠶, 蠶, 林	附食糧問題, 管財問題

## 1. 概 觀

小白山脈이 東南에 鑿連한 本道는 京畿, 慶尙 江原, 全羅, 四個道를 環境에 接壤하여 沿海의 地域이 全無한것은 本道の 一特徵이라 할수 있다. 全體的으로 보아 山間地帶를 形成하였으나 小平野인 農耕地가 比較的 豊富하고 그중의 五台山, 大關嶺에서 發源한 漢江이 橫流하고 秋風嶺에서 始流하는 錦江은 流域을 肥沃케하여 全道灌溉事情은 이것으로써 十全保證되고 있음으로 全道耕地面積의 後半部를 占하는 畜作은 他道에 뒤지지 않을 만큼 開發되어 있다. 田, 畜, 半々の 形態로 構成된 耕作地를 保有한 本道の 食糧事情은 質的으로 均適할뿐 아니라 量的으로도 能히 自足할수 있다. 林産은 農産과 伯仲之勢의 重要産業인뿐 아니라 巨額을 保留하고 있는 本道の 實狀인 만큼 治水의 先行條件인 山林造成을 十年計劃으로 實施하고 있는 道政은 實로 時勢를 把握한 措置라 稱할수 있다. 鑛山은 滑石, 黑鉛等 特殊鑛을 主로하여 全道の 賦存이 豊富하다 할수 있고 山居地帶인 關係로 開發上 許多한 開拓道程이 남아 있다 할것이나 丹陽炭鑛 米院無煙炭鑛과 같은 것은 既經 醫藥中 代表의 存在이다. 製糸業은 全鮮的으로 보아 相當히 顯要한 工場이 既設되어 있고 原料도 蠶業의 積極的 勸奨으로 相當量의 獲得이 可能할뿐 아니라 技術的으로도 相當水準의 用役이 保障되어 있으므로 資金難으로 操業이 極度로 短縮되고 群小한 被服工業은 總體的으로 보아 輕視할수 없는 工業이라 할 것이다. 以上과 같은 立地의 背景을 가지고 全道の 産業을 綜合的으로 概觀하면 山林育成 現代的 營農法의 普及等이 가장 基本的 經濟行政인 동시에 蠶業開發 工藝, 農産物의 普及, 畜産이 第一 展望의 施策이라 할수 있다.

本道는 産物이 豊富하고 地下 資源이 豊富하나 道面

積이 缺少함으로 人口數는 他道에 비하여 少勢이다.

1944年度 本道總人口는 970,623名으로 南朝鮮總人口의 6.11%를 占하고 있다. 1946年度는 1,112,894名으로 142,271名의 增加를 보이고 增加率은 14.7%이다.

男女別로 보면 男子가 1944年度 482,985名 解放後 1946年度 566,784名으로 83,799名의 增加이고 增加率은 17.4%이다.

女子들 보면 1944年度 487,638名 解放後 1946年度 546,110名으로 58,472名의 增加이고 增加率은 12.0%이다.

## 2. 農 林 業

### 가. 農 業

田 畜 半々으로 構成된 農地事情으로 보던지 또는 住民職業別 比率로 보던지 農業이 絶對로 重要한 地位를 占하고 있는 것은 多言을 要치 않는 바이다. 自足할만한 食糧生産이 있다는 것은 已說한 바이며 이와 工藝農産으로도 蠶業 棉花等이 有望하고 忠州陰城等지에서 産出되는 黃色煙草과 같은 것은 全鮮的으로 보아 優秀한 産物이라 할수 있고 永洞의 柿, 忠州의 林檎, 特別 報恩의 赤棗 같은 것은 各々特色 있는 産物이라 할것이며 永洞의 人蔘은 將來를 嚮望하는 特産業이라 할수 있다.

下段이 揭示한 諸表과 같이 專業農이 增加되고 있음은 最近 土地制度改革問題를 中心으로 하여 不在地主의 減少 自作農의 增設이 戰時時代의 模倣을 示現하고 있다 할수 있다. 이와 같이 小作으로부터 自作으로 移動하는 過程에는 반드시 農地買收權이 旺盛한 것이요 여기에서 農村의 資金은 極度로 固定될 것이며 또 一便農村의 한 向上이라고 할 零細農의 減少도 觀察할수 있다.



耕 地 面 積 表 (反合四拾五入) (1946年12月末現在)

府 郡 名	土地臺帳登錄耕地			土地臺帳未登錄耕地			合 計		
	畝	町	步	畝	町	步	畝	町	步
清 州 府	459	291	750	58	22	80	517	313	830
清 原 郡	16,875	12,443	29,318	40	59	99	16,915	12,502	29,417
報 恩 郡	5,578	6,550	12,128	68	128	196	5,646	6,678	12,324
沃 川 郡	4,434	6,403	10,837	39	104	143	4,473	6,507	10,980
槐 山 郡	6,654	9,618	16,272	49	205	254	6,703	9,823	16,526
陰 城 郡	7,353	6,218	13,571	64	626	690	7,417	6,844	14,261
忠 州 郡	6,992	9,826	16,818	109	611	720	7,101	10,437	17,538
堤 川 郡	4,835	9,724	14,559	32	60	92	4,867	9,784	14,651
丹 陽 郡	1,925	5,668	7,593	18	160	178	1,943	5,828	7,771
永 同 郡	5,361	5,981	11,342	64	133	197	5,425	6,114	11,539
鎮 川 郡	5,542	4,012	9,554	59	205	264	5,601	4,217	9,818
合 計	66,008	76,734	142,742	600	2,313	2,913	66,608	79,047	145,655
前 年 度 減 (比前年度)	(-) 714	(-) 2,791	(-) 3,555	(-) 127	(-) 555	(-) 682	(-) 891	(-) 3,346	(-) 4,237

1946年度忠北米穀實收高 (石)

府 郡 名	梗 米	糯 米	合 計	府 郡 名	梗 米	糯 米	合 計
清 州 府	5,283	228	5,511	槐 山 郡	6,649	3,670	10,319
清 原 郡	168,869	4,462	173,331	陰 城 郡	67,280	2,389	69,669
報 恩 郡	52,423	2,773	55,196	忠 州 郡	66,208	3,605	69,813
沃 川 郡	43,724	2,693	46,417	堤 川 郡	44,129	2,934	47,063
永 同 郡	48,497	2,769	51,266	丹 陽 郡	17,230	1,450	18,680
鎮 川 郡	55,497	1,707	57,204	合 計	575,789	28,680	604,469

그런데 1947年度米穀收獲實收高는 711,000石으로서 昨年度에 비하여 約 107千石의 增收을 보이고 있다. 다음

大麥及粟의 實收高及豫想高를 보면 下表와 如하다.

府 郡 名	秋 播			春 播			合 計		
	畝		收穫高	畝		收穫高	畝		收穫高
	作 面	付 稈		作 面	付 稈		作 面	付 稈	
清 州 府	44	473	90	1,102	—	—	—	134	1,575
清 原 郡	500	5,144	6,445	68,309	2	1	11	66	6,958
報 恩 郡	471	4,822	3,390	35,383	—	—	5	29	3,866
沃 川 郡	761	8,268	3,364	37,857	58	35	8	49	4,191
永 同 郡	1,205	12,486	3,159	37,793	20	121	29	183	4,413
鎮 川 郡	68	602	2,068	19,157	—	—	8	48	2,144
槐 山 郡	461	4,242	5,103	48,752	60	30	35	228	5,659
陰 城 郡	38	324	3,287	29,643	4	23	13	80	3,342
忠 州 郡	306	2,698	4,942	44,622	—	—	123	747	5,371
堤 川 郡	191	1,324	3,115	21,930	6	34	91	532	3,403
丹 陽 郡	152	918	2,652	17,784	7	37	30	172	2,841
合 計	4,197	41,301	37,615	362,332	157	281	353	2,134	42,322

大麥의今年度收穫豫想高는 1946年度의實收高에比하여約3~4割減收인時水害로因한被害는 去年에比하여若少하였으나, 生育期에있어서雨量過多로濕地가 많았은關係와生育不良으로因한이다.

1947年度忠北大麥豫想收穫高(秋播)(反은四捨五入)

府 郡 名	生育面積 町步	反當收穫高 合	收 穫 豫 想 高
			石
濟 州 府	143	843	1,236
濟 原 郡	6,437	684	44,047
報 恩 郡	3,033	494	14,999
沃 川 郡	3,854	592	22,823
永 同 郡	3,855	611	23,542
鎮 川 郡	2,274	505	11,480
槐 山 郡	4,473	348	15,586
陰 城 郡	3,577	254	9,130
忠 州 郡	4,223	336	14,181
堤 川 郡	3,769	430	16,210
丹 陽 郡	3,133	427	13,360
合 計	38,776	5,524	186,594

다음豫想高를보면다음과같은데 1946年度分亦是豫想高의數字분이다.

1946年度忠北粟豫想收穫高(反은四捨五入)

府 郡 名	作 付 面積 町步	豫 想 收 穫 高
		石
濟 州 府	13	64
濟 原 郡	1,138	4,471
報 恩 郡	1,018	4,355
沃 川 郡	1,078	4,731
永 同 郡	684	2,750
鎮 川 郡	432	1,879
槐 山 郡	2,068	9,881
陰 城 郡	1,513	5,763
忠 州 郡	2,011	7 41
堤 川 郡	2,471	11,860
丹 陽 郡	1,735	7,843
合 計	14,161	61,241

나. 蠶 業

蠶業은本道로서는作況이良好한便으로서 製絲工業은그稼動率이諸工業中第一活潑하며 供出成額도더우優良하다. 1926年을基棼으로 蠶業概況을보면下表와같은데 解放後農業方面外의他部分이活潑性을의지못한데反하여蠶業만은若干이나다發展性을示現하고있다

忠北道累年蠶業統計表 (1926年~1947年)

年 度	田地面積	畦田面積	農家戶數	養蠶戶數	楮立枚數	產 繭 額	(春秋合)
	町步	町步					共販數量
1926年	88,350	3,985	131,998	40,794	50,778	200,927	138,663
1930年	88,128	5,767	132,129	55,449	63,809	305,575	189,935
1935年	86,309	4,700	141,879	51,379	67,267	353,746	197,195
1940年	85,767	3,220	134,404	39,853	51,946	283,284	189,770
1945年	83,368	3,271	135,125	41,488	38,651	114,446	76,863
1946年	83,395	2,170	135,224	32,721	30,878	95,731	37,597
1947年	—	2,101	—	31,361	31,371	—	39,242

1947年度春蠶販賣數量及金額表

府 郡 各	數 量	金 額
		圓
濟 州 府	703	376,572
報 恩 郡	1,198	645,428
沃 川 郡	2,328	1,235,325
永 同 郡	1,431	676,706
鎮 川 郡	1,463	783,672
槐 山 郡	1,722	913,757
陰 城 郡	908	471,550
忠 州 郡	3,251	1,523,033
堤 川 郡	6,427	3,281,644
丹 陽 郡	7,555	3,792,775
合 計	26,986	13,700,462

다. 畜 産

農村에있어서의資金缺乏는農民으로하여금 米穀의他道搬出外에 農牛을賣却하여 이에充當할과 解放後諸般秩序의未整備는드러져 屠殺牛의大量能搬出로말미아마 解放前約7萬餘頭를가졌은本道의農牛數는解放後約43%假設減少의여約3萬餘頭를減하여는現狀이다. 其後當局의施策으로서屠殺禁止令을強化하여農牛保全에注力하고 種牛場의改置其他種畜場(現在는成鷄 800首種兔大小合 100頭, 豚이30頭)이있어 牧畜業發展에는多大한關心을가지고있다. 그런데平濶한草原을가지지못한關係로不足되는飼料問題를解決하기爲하여 乾草粉料飼料使用을計劃하고積極的推進中에있는데 國內生産의飼料만으로는그絕對量에있어서不足

탈문안압이 外國으로부터의輸入品은 全無한 狀態에 있다. 그 후 飼料使用에 關해서는 資金問題로 苦心하고 있다.

前記한 種牛分場에는 種牝牛가 2頭 種牝牛가 100頭있

고 種犏(송아지)이 120頭있다. 此外에 丹陽의 畜場에는 羊이 124頭있어 多角的인 牧畜業發展에 萬全을 期하고 있다. 以上叙述한 畜産概況을 1945年 1946年 兩年의 比較를 보면 다음과 같다.

永 奇 現 況 (1945年~1946年)

府 郡 名	牛		馬		豚		羊	
	1945年	1946年	1945年	1946年	1945年	1946年	1945年	1946年
清 州 府	—	178	—	84	—	172	—	—
清 原 郡	6,460	6,582	134	50	862	1,211	52	16
報 恩 郡	3,331	3,488	9	6	779	1,111	12	9
沃 川 郡	3,870	3,814	34	34	989	1,797	14	4
永 同 郡	3,726	3,704	53	34	2,073	2,282	7	3
溟 川 郡	2,904	2,861	6	—	1,293	1,255	—	—
槐 山 郡	5,228	4,704	19	13	1,606	2,250	17	13
陰 城 郡	3,380	3,238	24	15	1,94	1,284	15	9
忠 州 郡	4,946	4,76	56	55	840	2,359	7	1
堤 川 郡	3,851	3,802	18	11	1,149	966	—	—
丹 陽 郡	2,747	2,10	12	7	106	77	98	111
計	40,036	39,157	365	309	10,891	14,764	222	171

道及各機關所有의 牧場數는 下記와 如하다.

牧 野 畧 (1947年9月末現在)

區 別	民 有		道 有		農 舍		面 部		落 其 他		計			
	個數	面積	個數	面積	個數	面積	個數	面積	個數	面積	個數	面積		
採草地	64	518	—	—	13	1,197	98	867	56	2,400	551	1,630	782	6,510
放牧地	—	—	1	4,285	1	100	—	—	—	—	—	—	2	4,335

### 라. 林 産

山林總面積은 本道總面積의 7割5分을 占하고 있어 그야말로 無海道인 同時에 山林道이다. 食糧問題로부터 民生問題에 가장 密接한 一般農作物과 아울러 林産獎勵 問題도 重要한 産業行政이라 할 수 있다. 總林産面積 53萬8千餘町步라는 廣大한 面積中, 砂防工事が 要請되는 部分이 37萬餘町步에 達하고 있다.

그런데 道山林當局으로서 造林 10個年計劃을 樹立하고 于先그 着手으로 總山林面積의  $\frac{1}{5}$ 을 占하는 約10萬餘町步에 對하여 一年以內로 砂防事業을 積極的으로 推進하고 있으나 財政難으로 不振하여 被害는 依然多大하다. 本來山丘地帶가 比較的 많은 本道로서는 農業의 發展을 圖謀함에 있어서도 그 先決問題로 治山治水가 切實히 要請되는 것으로서 年々히 多大한 耕地面積이 水害로 因하여 被害가 甚甚

하다. 이에 對하여는 治水로서 水害防止하고 治하는 으로 治山에서만 그 成果를 期待할 수는 있는 것이다. 그런데 現在樹立推進하고 있는 造林 10個年計劃이 있어서의 重大한 隘路은 뒤에서 指摘하였으나 養苗造林에 있어서 小作權問題로 因한 買地獲得의 困難과 그 다음은 資金問題이다. 道로서는 買地獲得에 對한 것보다도 資金調達에 對하여 上部의 眞摯한 支援를 要望하고 있다.

緊急하고도 不可避한 產炭再興의 йма당이 있어서 何部門을 莫論하고 中央廳의 諸般計劃實施가 要請되지 않는 것은 없으나 就中 山林事業은 모-든 産業의 土產을 形成하고 있는 만큼 이에 對한 施策이 強溫의 일 때는 食糧問題를 解決하는데도 障害가 될 것이다. 每年 廣大한 林産地가 燃料로 充當되는 慘狀을 目不忍見하여 道에서는 朝鮮最初 唯一의 煤田-式 暖爐를 使用하여 無煙炭을 燃料로 代用하고 있다.

1946年忠北道山林面積表 (1946年12月末)

郡 別	國有林	公有林	民有林	合 計
清 原 郡	1,638	2,248	52,108	55,994
報 恩 郡	1,923	5,013	36,753	43,689
沃 川 郡	2,305	4,299	30,419	37,023
永 同 郡	464	9,436	57,924	67,824
鎮 川 郡	681	6,307	9,964	16,952
槐 山 郡	3,226	4,042	56,842	64,110
陰 城 郡	843	4,976	25,576	31,395
忠 州 郡	1,081	12,147	48,080	61,308
堤 川 郡	798	17,946	50,242	68,986
丹 陽 郡	24,308	10,538	36,036	70,882
合 計	37,267	76,952	403,944	518,163

以上數字로 보아서 알 수 있듯이 國有林, 公有林의面積보다도 民有林의面積이 隔段的인 差를 가지고 있어 早速히 國家林으로 하여 國家林으로保護하지 않으면 亂伐로 인한山林荒廢는 逐年深刻하여질 것이다.

### 3. 鑛 工 業

清州地方을 中心으로 한 本道工業의發展은 무엇보다도 原料供給에 制扼됨이 크다고 볼 수 있다. 卽山脈을 따라埋藏되어 있는 鑛山資源이 鑛工業을 推進시키고 있어 丹陽, 米院兩炭鑛과 青城, 月明兩黑鉛鑛等, 有數한 鑛山이 許多한 鑛路를 克服하고 運營中에 있고 滑石, 石灰等도 他道에서는 보지 못할 만큼 多量生産되고 있다. 豊富한 木材를 使用하는 家具工業의 繁盛, 土壤을 利用하는 土器製造等은 全部가 原料供給에 刺戟을 받은 地方의 工業의發展이라 볼 수 있다. 比較的被害가 없는 蠶業이 旺盛하여 郡是工場을 爲始 하여 製絲工場, 織物工場, 被服工場이 하나 資金問題로 運營難에 處하고 있다. 그러나 解放後 朝鮮에서는 郡部를 莫論하고 硬塞된 資金, 原料의 原價高, 技術者의 不足, 生産品의 價格統制, 民衆의 購買力 減退等으로 大半 休業에 가까운 工場들이 所謂中世紀의 家內工業, 小工業으로 轉換하는 逆世紀의 現象을 到處에 散見할 수 있는 此際에 本道에도 漸次如斯軌道를 밟고 있다. 企業者들이 採算을 維持할 수 없는 大工場보다도 小規模의 이나마 最小限度의 國內消費를 唯一의 消費對象으로 하고 他日을 爲한 鑛產業의 再興은 一考할 餘地도 없이 不知中手工業의 引後退面을 보이고 있다. 本道鑛工業의發展은 埋藏된 鑛山資源을 開發하여 鑛產業再建의 礎石을 形成하고 緊急한 燃料難의 打開, 外貨獲得을 爲한 物資確保等에 貢獻하는 바가 있어 沈滯된 道內工業에 活氣를 注入하고 國家의 生産陣營에 協力하는 바크도 期待되고 있다.

다음에 工業의 部門別概況을 더듬어 보기로 한다. 從業員 15人以上의 被服工場이 40餘個工場이 있으나, 全般的 操業率은 約20%로 他部門工場에 比하여 操業率이 良好하며 이以上の發展性도 있으나 前記한 바와 같이 資金難이 尤甚하다.

忠清北道 纖維工業工場表  
(1947年10月末現在)

工 場 名	從業員數	生産品名	備考
清州被服工場	160	各種被服 團體服	稼動率 80%
普信被服工場	137	//	//
清州洋服工場	45	//	//
堤川被服工場	140	//	//
新興被服工場	66	//	//
槐山被服工場	67	//	//
우리百貨店被服部	54	//	//
宇一被服工場	68	//	//
天一被服工場	58	//	//
上黨被服工場	58	//	//
郡是工業株式會社 清州工場	387	生業粗布	//
清州絹織工場	52	女絹織一切 高級地	//
白鷺織物工場	46	//	//
宇一興業社	54	//	//
裕昌織物工場	27	高級地 비로-드	/
西原纖維工業社	30	//	//
銀河紡織工場	43	毛織, 毛絲, 絹織	//
沃川被服工場	67	各種被服 團體服	//
陰城被服工場	85	//	//
彈鉛機業社	51	絹織	//
江信社製織工場	114	生絲絹織	//
永同織物工場	25	絹織	//
丹陽織物工場	36	高級地 絹織一切	//
鳳陽織物工場	37	絹織	//
槐山織物工場	25	//	//
黃江織業社	53	//	//
沃川織物工場	30	//	//
三光織物工場	28	//	//

槐山殖産商工社	25	//	//
槐山織物工業組合	27	//	//
五洲製材紡績工場	180	麻 - 製	//
清州洋氈工場	53	양	말
三山其大小工業社	28	//	//
西鮮纖維工業社	30	/	//
槐葉洋機工場	30	양	말
醴城洋機工場	33	//	//
堤川洋機工場	33	/	//
支華洋機工場	62	高級 양말	普通 양말
清州메리야스工場	32	메리야스	양말
三利興業社	53	양	말
忠州織物工場	25	絹	織
忠北織物工場	15	毛	織

忠州織物工場	7	//	//
會坪織物工場	10	//	//
鳳林織物工場	10	//	//

食料品工場은全部27個工場이 있는데 從業員數로 보든지其他諸般設備가不完全하나 此工業自體가 아직手製品程度를 버서나지 못하고 있다. 그러나 그 一般的需要量은他種工業에比하여極히優越하다. 他地方에서보이는消費工業의인면이本道에서모如實히現出하고 있다. 就中醸造工業이優位를차지한은決코道産業특히基幹工業再建에있어서好因은못될것이다. 解放以前에있어서食料品工業과化學工業이然히構成率이高位를차지한데對하여 機械, 器具工業, 金屬工業, 瓦斯電氣業은極히低率이다. 따라서本道가地方的特徵을가지고있지 않는限解放後도 亦是前日과같은比率을보여주는解放後의工業發展의情性的인同時에 政治的不安이經濟面에逆作用하여버지면時型的인一現象이라할수있다.

忠北食料品工業工場表

(1947年10月末現在)

金屬工業部門은全部18工場있는데鑄物機械修理程度이며主로鐵工所이고 製鐵製鍊等은아직基礎조차잡히지않고있다.

忠清北道金屬工業工場表

(1947年10月末現在)

工場名	從業員數	生産品名	備考
忠北鑄物工場	20	朝鮮産農具	稼働率 80%
忠北鐵工所	24	機械一切修理專門	//
東和鐵工所	20	/	//
金光鐵工所	39	鑄物 기계修理	//
大同鐵工所	48	機械修理	//
兄弟商會	31	/	//
金城鐵工所	19	조선産鑄物專門	//
東亞鑄物工場	19	鑄物전문	//
尹泰煥鐵工所	12	機械修理	//
高盛大鐵工所	11	農具 機械修理	//
忠北工業社	22	機械修理	//
會坪鐵工所	7	/	//
新興鐵工所	15	鑄物 機械修理	//
永同鐵工所	6	機械修理	//
永同鑄物工場	9	鑄物	//

會社工場名	從業員數	生産品名	備考
槐山酒造株式會社	15	朝鮮酒	稼働率 80%
朝鮮麵子株式會社	5	麵子	//
沃川工場	5	一般菓子	//
光明製菓工場	5	一般菓子	//
堤川酒造株式會社	23	朝鮮酒	//
堤川醸造工場	17	醬油	//
報恩酒造株式會社	5	朝鮮酒	//
鐵川酒造株式會社	6	//	//
錦城紙造合名會社	5	//	//
殿鳳製麵造工場	6	//	//
清州製菓工場	8	一般菓子	//
南部糧穀加工組合	11	糯米業	//
清州醬油醸造工場	9	醬油味噌	//
清州酒造株式會社	8	朝鮮酒	//
忠北醬油工場	8	醬油	//
忠北天然炭酸水會社	35	사이다 - 크리스판	//
官基酒造會社	5	酒	//
忠北酒造株式會社	15	正 露	//
沃川酒造株式會社	8	朝鮮酒	//
清一酒造合資會社	7	//	//

伊院朝鮮酒工場	7	//	//
永同酒造株式會社	6	//	//
上村釀造合資會社	8	//	//
鶴山酒造株式會社	5	//	//
深川酒造合資會社	9	//	//
大瀨酒造工場		醬油	//
忠州酒造株式會社		朝鮮酒	//
忠一釀造工場	15	葡萄酒	//

龍夢製陶工場	10	//	//
往山製陶工場	32	瓦	//
帳內製瓦工場	16	//	//
特淳瓦工場	10	//	//
曹間製瓦工場	11	//	//
新興製瓦工場	10	//	/
金石燒製瓦工場	6	//	//
校成土器工場	7	//	/
萬升土器工場	7	//	/
土新土器工場	21	//	//

食料品工業에 다음가는 小規模土産工業으로서 窯業이 있다. 土器陶磁器뿐만 아니라 鑄器工業이 解放을 契기로 再盛함을 別로 奇異한 現象은 아니다. 山間到處에 窯業製作이 있어 煉瓦, 土器는 他道供給으로도 可能하다.

木製工業은 主로 家具工業이다.

忠北窯業工場表 (1947年10月末現在)

會計工場名	従業員數	生産品名	備考
忠北製陶會社	15	磚 子 陶磁器	稼働率 80%
朝鮮磚子株式會社	13		//
三光鑄器工場	9	朝鮮鑄器	//
金光土器工業所	7	土器	//
清州窯業工場	14	//	//
三益瓦工場	15	瓦	//
順興土器工場	15	土	//
清風窯業工場	18	//	//
五鬪國六瓦工場	8	瓦	//
西華土瓦工場	12	//	//
伊院土瓦工場	11	//	//
伊院土器工場	12	土器	//
馬岩里煉瓦工場	6	煉瓦	//
傍谷窯業工作所	16	土器	/
恨院磁器工場	20	//	/
정안磁器工場	18	//	//
北源里瓦工場	11	瓦	//
管坪土器工場	13	土器	//
會川土器工場	7	//	//
會坪土器工場	8	//	//
牧海磁器工場	12	陶器	//

工場名	従業員數	生産品名	備考
泰世工業社	32	家具	稼働率 80%
三成家具店	6	//	//
石炭桶屋	5	桶	//
三南木履工場	11	履物	//
大東公務所	15	家具	//
心北木箸工場	6	箸	//
興國製箸工場	15	//	//
京木工工場	10	家具	//
伊院木工工場	6	//	//
平和 " " "	9	//	//
三光家具店	8	//	//
槐山家具店	7	//	//
吉昌家具店	7	//	//
新興家具店	8	//	//
金一王木工工場	6	//	//
大興木工工場	5	//	//
忠北工藝社	7	//	//
大東木工所	5	//	//
沃川家具店	8	//	//
忠北비니야工場	18	//	//

上記外에皮革, 油膜, 化學, 印刷工業等이 있으나 小規模의 地方工業의 限界를 離脫하지 못하고 있다.



會 社 工 場 名	從業員數	生 產 品 名	備 考
韓 濟 皮 革 會 社	35	皮 革, 脫 脂 皮 製 品	稼 動 率 80%
南 鮮 皮 革 工 場	9	〃	〃
忠 北 原 皮 加 工 所	8	〃	〃
三 昌 製 皮 工 場	10	〃	〃
三 興 化 學 工 業 公 司	13	洗 滌 石 鹼	〃
高 麗 油 化 工 業 社	20	〃	〃
梅 浦 石 灰 工 業 所	30	石 灰	〃
圓 陽 石 灰 工 場	97	〃	〃
忠 原 印 刷 所	9	印 刷	〃
堤 川 商 會 印 刷 所	10	〃	〃
以 文 堂 印 刷 所	6	〃	〃
上 黨 印 刷 所	7	〃	〃
忠 州 印 刷 所	7	〃	〃
文 化 堂 印 刷 所	8	〃	〃
清 原 油 肥 工 業 社	25	油 類 製 造	〃

炭鑛은最近에米院에無煙炭鑛이採掘되고있어 一層活氣을더하고있으며 有數한鑛山이山岳道다음에甚豐富한資源을埋藏하고있다. 滑石과같은特殊鑛物은生産되어外資獲得에重要한物資가되고 無煙炭은燃料에補充되여山林濫伐로因한燃料對策에큰도움을되고있다. 解放後敵産을繼承하여運營中인關係上 許多한施設의欠陥과國家的關心의未及으로 現在까지는採鑛率이微弱하나 將來有靑靑되고있따. 今年10月末現在의鑛山運營狀況은如次하다.

忠北道鑛山運營現狀 (1947年10月末現在)

鑛山所在地	鑛種名	從業員數	月生產量
丹陽郡丹陽面	丹陽炭鑛	650	3,500
沃川郡青山面	明月里鐵鑛	360	2,000
沃川郡青城面	青城里鉛鑛	150	1,000
忠州郡柳城面	大華鑛山	260	眞石 2 水鉛 3
堤川郡總山面	月岳鑛山	450	—
忠州郡忠州邑	鮮浦滑石	40	—
丹陽郡梅浦面	梅浦石灰	60	300
堤川郡三谷面	三谷石灰	30	100
丹陽郡丹陽面	丹陽石灰	40	—

#### 4. 商況、金融

##### 가. 物 價

海運의連絡이 없는關係와高山地帶가많은本道의交通은 當地方과他地方과의物資交換이容易하지않아 關

滑한物資去來가되지않고 郡廳所在地인地方小都市에서「5日市」가열이며 去來되는物資는主로隣近農村으로부터搬入된糧穀과手製品이다. 物價趨勢을보건때糧穀時勢는 서울과比較하여 3割假甚 其他土産인果實時勢도若干低廉하다.

其他生活必需品,化粧品等은 서울과一較이다. 道廳所在地 清州안하트라도 消費都市로서主로隣近農村으로부터集荷되는農作物과 서울,大邱,釜山으로부터流入되는日用品의集散地에不過하다. 解放後인 1945年12月을基準으로한物價指數는 中間에一蹶一低는있었으나 1946年4月15日에는 飛騰하고있다. 生活必需品中主要한것의 價格을列舉하여보면 下表와如하다.

忠北清州地方物價趨勢

名	月 別	價 格	指 數
白 米 1斗	1945年12月	96.00	100
〃	1946年6月	640.00	660
〃	1946年12月	580.00	604
〃	1947年4月	755.00	—
牛 肉 1斤	1945年12月	26.00	100
〃	1946年6月	64.00	246
〃	1946年12月	96.00	362
〃	1947年4月	176.00	—
大 麥 大1斗	1945年12月	35.00	100
〃	1946年6月	450.00	1285
〃	1946年12月	—	—
〃	1947年4月	—	—
小麥粉 大1斗	1945年12月	74.00	100
〃	1946年6月	640.00	863
〃 一袋	1946年12月	1200.00	—
醬 油 一 升	1945年12月	4.00	100
〃	1946年6月	17.60	440
〃	1946年12月	30.00	750
〃	1947年4月	70.00	—
食 鹽 1升	1945年12月	3.00	100
〃	1946年6月	36.00	1200
〃	1946年12月	65.00	2166
〃	1947年4月	150.00	—
綿 布 1碼	1945年12月	30.00	100
〃	1946年6月	75.00	280
〃	1946年12月	—	—
紗 一 疋 1碼	1945年12月	30.00	100
〃	1946年6月	700.00	233
〃	1946年12月	—	—
木炭1俵=4貫	1945年12月	38.00	100
〃	1946年6月	42.50	111
〃	1946年12月	180.00	—

〃	1947年 4月	160.00	—
長 斫 1坪	1945年12月	490.00	100
	1946年12月	1,300.00	—
세타 비누 1個	1947年 4月	1,150.00	—
	1945年12月	10.00	100
〃	1946年 6月	31.90	319
〃	1946年12月	27.00	—
〃	1947年 4月	40.00	—
女子고무 신1足	1945年12月	83.00	100
	1946年 6月	91.00	109
〃	1946年12月	260.00	—
〃	1947年 4月	325.00	—

다음 1947年 9月 10月 兩月間의 物價趨勢을 보면 다음 과 같다.

忠北 清州 地方 小賣物價表 (1947年 9月 ~ 10月)

名	1947年 9月 末	同10月 末	騰落(±)
白米大 1斗	960	900	60(-)
大麥 〃	640	720	80(+)
大豆 〃	460	500	40(+)
小豆 〃	700	—	—
牛 肉 1斤	176	176	—
醬 油 1升	70	60	10(-)
食 鹽 1斤	55	41	14(-)
洋 襪 1足	120	120	—
地下足袋 1足	150	150	—
女子 고무 신 1足	250	250	—
木炭 1俄 1坪	140	140	—
長 斫 1坪	2,000	2,000	—
洗濯石鹼 1個	—	120	—
糯 米 1斗	1,100	900	200(-)

나. 金 融

本道의 金融機關은 殖産銀行, 烏致院, 清州, 忠州 支店, 朝興銀行 永同, 堤川支店, 相互銀行 清州, 忠州 支店이 있는 外에 金融組合이 있다. 交換所는 없다. 預金, 貸出의 概況을 다음 數字로 窺知할 수 있다. (單位圓)

1945.12 預金	14,431,428	貸付	13,119,815
1946. 6 〃	49,253,455	〃	19,440,870
1946.12 〃	90,940,601	〃	291,051,920
1947. 6 〃	67,009,549	〃	29,478,826
1947.12 〃	118,049,221	〃	527,276,621

(附) 1. 食糧問題

米穀은 本道生産分을 本道에서 消費하면 不足 이 없으나 他道搬出이 있는 關係로 田穀을 이에 充當하고 田穀은 凶豊이 甚한 麥類보다는 玉蜀黍栽培가 効果的 이라는 것은 農産業에서 普及 하였고 現在까지는 忠北 全部의 非農家 334,000人에게 1日 2合 3勺(米7勺

雜穀1合6勺) 의 配給을 繼續하였고 12月부터는 米 2合 雜穀 3勺으로 配給을 豫定이 있다.

今年度 秋穀 割當量은 219,000石인데 其中에는 雜穀 5,000石이 包含되고 있고 또 219,000石中 早場米로 20,000石의 割當이 있었다. 그런 道民의 誠意의 供出 熟로 말미암아 10月末 現在로 49,804石의 供出 實績을 現出하였으니 供出 殘量은 168,000石이다.

今年度 10月末 現在로 秋穀 本道 割當量及 收集量 實績은 下表와 如하다.

米穀 收集實況 (1947年 10月末 現在)

府 郡 名	割 當 量	收 集 實 績	
		石	%
清 州 府	2,910	448	15
清 原 郡	53,500	6,836	13
報 恩 郡	16,900	2,277	12
沃 川 郡	14,670	2,174	42
永 同 郡	15,670	1,698	12
鎭 川 郡	20,400	7,200	35
槐 山 郡	21,400	3,760	18
陰 城 郡	25,100	12,238	49
忠 州 郡	26,400	548	2
堤 川 郡	17,700	6,774	30
丹 陽 郡	4,350	1,851	43
合 計	219,000	45,804	23

2. 歸屬財產管理問題

朝鮮의 主要財產의 8割以上을 占하고 있는 所謂 敵産을 日人들이 退去한 後 有形無形의 財產管理을 하고 있는 許多한 問題는 今도 까지도 繼續되고 있는 이즈음 將次의 朝鮮建設의 積極的인 要素인 如此財產을 어떻게 存續發展시키느냐는 實로 爲政者의 一大勞心事로 되어 있다.

忠清北道로서는 財產管理에 있어서 模範道로서 曠 아리司令部에서 表彰까지 되었으나 그 한 가지 有利한 點은 道面積이 狹少한 爲에 歸屬財產이 40%가 清州에 20%가 忠州에 集中되어 있는 것이다. 今年 9月부터 調査를 開始하여 至今도 繼續 調査中에 있으나 約 30%가 完了되고 또 歸屬財產 工場에 對한 會計 鑑査는 本道가 第一 始初요, 拂下 狀態는 動産은 全部完了하고 不動産에도 着手하고 있다.

本道로서는 管理人들의 生産意慾을 如何로 振興시키고 또 財產을 健全히 保有하는 爲에 對하여 銳意 研究한 結果 事業에 對한 貸貸 契約을 早速히 締結시키는 데 注力하며 現在는 80%假設 契約 完了되어 管理人들의 歸屬財產에 對한 關心은 一變하고 生産에 對한 刺戟은 一層 增加되어 過渡期의 現象에 있어서도 他道에 比較하여 높은 生産能率을 올리고 있다. 殘餘 20%의 財產은 管理處에서 繼續 管理中에 있으나 早速히 貸貸 契約을 締了시킬 것으로 豫定하고 있다. 當道 財產管理處에서 貸貸 契約 또는 管理中에 있는 炭鑛은 大小 600餘 個를 算하고 있으며 就中 丹陽, 三陟 炭鑛은 比로 하여 世界第一의 雲母 鎭山과 그 外에 丹陽 滑石等도 將來 極히 有望한 것으로 觀測된다.

(完) 以上 現地에 出張 調査 資料에 依함

# ★ 江 原 道 (KANGWON PROVINCE)

- 1. 概 觀  
地勢、人口、一般經濟動向
- 2. 農 林 業  
農、畜、林、
- 3. 鑛 工 業
- 4. 水 產 業
- 5. 商 況 及 金 融

## 1. 概 觀

朝鮮의 脊梁山脈이 全道에 걸쳐 縱橫으로 疾走하고 있어서 鐵原附近의 平野를 除外하고는 이렇다할 平野가 없고 主로 山谷과 山谷間에 村落을 形成하고 있는 本道로서는 食糧生産에 最大의 困難을 느끼고 있으며 山峽의 小地面에서 生産되는 稻作만으로는 本道食糧需要에는 殆不足이며 平地에서 漸次山頂으로 蟠繞하는 原始的인 隘窄農業에 依한 火田民의 雜穀生産을 加算하여도 自給이 不足하여 每年數十萬石의 食糧을 他道에 依存하고 있는 現狀에 있다.

이러하여 戒窮期에는 草根木皮로 겨우 生命을 保持하고 있는 本道の 經濟事情은 解放後 沈滯된 物資의 流通, 資金의 硬塞, 交通의 不便等으로 漸益窮塞狀態에 處하고 있으며, 따라서 主要産業인 林業開發조차 不振狀態에 이르고 있다.

三移炭鐵을 비롯하여 金鑛山이 二、三處 있어 爾余의 客觀的經濟條件이 整備된 貧弱한 本道生産面에 若干의 活氣를 가져올 것이라 아직은 眞空狀態에서 헤매고 있는 無軌道的인 現狀에 있는 만큼 道內諸般企業은 蓬箱一路에 있을 뿐만 아니라 産業活動의 推進力이 되는 食糧其他物資流通이 38°線의 模範으로 말미암아 北朝鮮諸阜—는 全然杜絕되고, 서울方面 嶺南地方에서 物資流入도 交通의 不圓滑로 亦是 沈滯狀態에 있다. 如此한 結果는 資金面에 있어서 極히 消極的인 現狀維持外에는 아무런 活動도 볼 수 없고 生産面의 不振은 農村의 都市에 對한 物資供給의 微弱과 都市에서의 原料消費로 因한 再生産過程을 밟지 못하게 하여 原料와 生産手段의 連結조차 되지 못하고 있는 現狀으로서 道廳所在地 春川안하드라드 往日의 輕穀製穀及 當地方生産物의 交換市場의 役割조차 못하고 僅々히 西南地方으로 부터 流入되는 物資를 消費하는 純全한 消費都市로 化하고 말았다.

≡ 若干의 地方에서 原料가 生産되어도 再生産이 不可能한 만큼, 都市에 있어서의 工業發展도 期待될 수 없고, 이러한 點으로 보아서는 春川보다는 江陵, 三陟이 發展性이 豊富한 것같이 觀望된다.

本道는 諸般混亂과 隘路를 克服하고 林産業의 指導獎勵로 因한 林業增産策이 緊急히 要請되며, 新業

의 發展이 極히 實現性이 濃厚한 道內經濟復興等인 것이며 同時에 火田民救濟策을 樹立하여 林木濫伐의 防止, 食糧增産等對策이 크게 要望되고 있다.

一面 本道의 人口狀態를 概觀하면 北半部가 38°以北으로 畧入된 關係上 人口의 比較는 困難하나 1944年度 本道總人口 946,643名으로 總人口의 5.96%를 占하고 있었다. 1946年度는 1,116,836名으로 170,193名의 增이요 增加率은 18.0%이며 男女別로 보면, 男子 1944年度 481,763名 解放後 1946年度 572,171名으로 90,408의 增이요, 增加率은 18.8% 女子는 1944年度 464,880名 1946年度 544,665名으로 79,785名의 增이요, 增加率은 17.2%이다.

## 2. 農 林 業

耕地面積의 狹少 原始的인 營農法의 依然함과 더욱이 火田民群의 去益增加는 本道 農産發展에 致命的인 打擊을 주었고 따라서 有望視되는 林業에 까지 惡影響을波及시키고 있다. 加之하여 水利産業의 不振, 土地改良의 遲々함은 食糧의 多量의 他道依存을 未免하게 하고, 當局의 第一關心之事項이 되고 있다.

畝과 田의 比重을 보면 水田의 大部分이 33°以北으로 되어 있는 關係도 있거니와, 本來 山岳地帶인 만큼 大略 畝은 田의 弱으로 되어 있다. 即數字의 表示하여 보면 1946年末 現在은 下記와 如한 比較率을 보이고 있다

府郡名	畝	田	計
春川府	町步 577	町步 582	町步 1,159
春城郡	3,854	7,687	11,541
江陵郡	7,287	7,058	14,345
三陟郡	2,516	8,867	11,383
蔚珍郡	4,070	3,941	8,011
旌善郡	865	11,044	11,909
平昌郡	2,353	15,542	17,895
寧越郡	1,906	10,850	12,756
原州郡	6,586	8,525	15,111
橫城郡	5,461	10,883	16,344
洪川郡	6,602	14,876	21,478
計	42,077	99,855	141,932

以上の數字로 볼 때 現段階에 있어서 水田開拓이 農業의 中心이 되는 朝鮮으로서는 江原道의 山地의 自然條件은 있다 할 지라도 田作이 優勢하다는 點과 또 一戶當平均面積은 小며 그 零細經營의 特點에서 後進의 朝鮮農業의 代表의 存在라고 規定할 수 있다. 即農家戶數를 보면 下記와 같다.

府郡名	專 業	兼 業	計
春川府	690戶	456戶	1,146戶
春城郡	8,693	622	9,315
江陵	1,845	2,529	4,374
三陟	10,123	4,438	14,561
蔚珍	6,678	3,723	10,401
旌善	6,996	658	7,654
平昌	11,249	939	12,188
寧越	8,853	982	9,835
原州	11,188	816	12,004
橫城	11,145	1,001	12,146
洪川	17,558	1,752	19,310
計	95,018	17,916	112,934

上表에 依하건대, 兼業은 專業의 約 $\frac{1}{6}$ 로서 專業의 1萬餘戶의 兼業의 適切한 處理亦是 一難한 問題이다. 農業에 있어서 土地確保와 더불어, 純全農家로서의 還元은 食糧増産에는 多大한 影響이 있다. 다음에, 畚別로 耕作面積을 보면 下記와 如한데, 水田은 田의 約 $\frac{1}{2}$ 로서, 田作이 主인 事일 수 있으며, 其中에는 火田이 包含되어 있다는 點은 既述하였다.

江原道39°以南耕地面積表 (1946年12月末現在)

(反以下四拾五入)

府郡名	畝		計
	町步	町步	
春川府	577	582	1,159
春城郡	3,854	7,687	11,541
江陵郡	7,297	7,058	14,355
三陟郡	2,516	8,867	11,383
蔚珍郡	4,071	3,941	8,012
旌善郡	865	11,044	11,909
平昌郡	2,353	15,542	17,895
寧越郡	1,906	10,850	12,756
原州郡	6,586	8,525	15,111
橫城郡	5,461	10,883	16,344
洪川郡	6,602	14,876	21,478
計	42,088	99,855	141,943

總耕地面積141,943町步를 農家戶數 112,934戶에 平均的으로 配當한다 하더라도 1戶當1町步稍強이 되는데, 其中에는 些少하나마 地主도 包含되어 있으며 農家에 있어서 는 그야말로 1町步도 未滿할 零細農이 比較率로는 確實히 알 수 없으나, 多畝를 占하고 있음은 確히 推測할 수 있다.

우에서 若干指摘은 하였으나 平地에서 山田(火田)으로 放逐을 當한 火田民들의 原始的인 開拓을 除外하고는 本道로서는 土地改良이 나 土地開發이 一할 餘地조차 없다, 그러나, 現在에 있어서의 耕地獲得에 있어서 만이라도 水利는 決코 疎忽히 할 것이 아니다. 土地擴張을 勿하는, 本道로서는 不可避한 食糧増産을 爲하여 農民의 他道移住, 馬鈴薯等의 増産으로 이에 對한 救濟等을 講究하고 있으나 그렇다고 해서 水利를 放置할 수는 없다. 水利組合의 配置를 보면 다음과 같으나, 土地改良을 爲한 水利組合은 아직 期待하기 難하고, 主로 現狀維持에 對한 水利關係이다.

江原道39°以南水利組合一覽表(1946年12月末現在)

組合名	設 置 年 月 日	管轄面積	所在地
牛頭水利組合	1927年 2月18日	578	春川府 牛頭洞
茅洞水利組合	1927年 10月12日	365	春城郡 春城郡
橫城水利組合	1940年 7月12日	115	西 面 橫城郡 橫城郡
洪川水利組合	1940年 9月 3日	120	洪川郡 西 面
茂長水利組合	1941年 8月10日	83	義州郡 地正面
義登水利組合	1944年 10月23日	100	義州郡 文幕面
酒泉水利組合	1947年 5月 1日	86	寧越郡 酒泉面

道當局에서는 道行政의 焦點의 集中되는 것은 一도 食糧二도 食糧인데 그야말로, 食糧問題의 解決은 本道生産發展의 晴雨計의 役割을 한다고 볼 수 있다. 食糧의 他道搬入에 있어서, 慶尙全羅兩道로부터 40餘萬石의 依存이라는 點에서 보면 地盤時期에 있어서의 文字 그대로의 草根木皮로 겨우 延命하는 道民의 食糧問題를 論야 勿하며 어찌 泛然히 取扱할 問題인가. 右施策의 具體的인 技術面에 있어서, 田作物의 増産은 水田의 田作에 由의 改竅과 同時에 田作에 農政方針의 重點을 指向하고 火田民의 整理로부터는 林産業의 發展을 期하고, 牧畜業의 獎勵等 多角의 運營으로 因란斯業의 高度한 發展等도 圖謀하여야 할 것이다. 現在까지는 農産業의 第2位를 占하는 蠶業을 努力히 獎勵增産하여 農家收入을 潤澤하게 하고, 蠶産業의 原料供給에 關하여도 努力中에 있다. 米穀供出에 있어서 他道에 比하여 越等한 好成績을 現出하고 있다. 農産物中有望한 蠶業은 어찌한가.

道畜業行政當局에서는 蠶業에關하여는 特別計劃을 集中하고있는데, 即桑田에關해서는 餘剩地畵의利用 등으로充當하고, 氣候風土 등이 多幸司新業에適合함으로, 蠶業에는 積極의推選을할作定이라한다. 養蠶戶數는 約 6,000戶인데 春秋蠶의出荷는 順靚로우며 1947年度春蠶은 160,000貫生産豫定에 120,000貫生産되고, 秋蠶은 50,000貫生産豫定에 33,000貫

生産으로되어있다.

製絲工場은 春川府에三個所, 江陵郡, 平昌郡, 洪川郡에 各一個所式있으며, 蠶種製造工場所在地는 春城郡三, 洪川郡, 橫城郡, 原州郡, 江陵郡各一이다. 共販賣額及 製絲, 製蠶種을計數的으로 表示하면 다음과같다.

1946年度江原道38°以南養蠶共販賣積表

農家戶數	養蠶戶數	桑田面積	樹立枚數			蠶 產 額			共 販 賣 量		
			春	秋	計	春	秋	計	春	秋	計
132,934	56,696	44,433	57,080	25,471	82,551	48,816	69,011	117,827	94,807	30,751	125,558

1946年度江原道38°以南製絲積表

工場數	製絲釜數	製絲高
6	400	9,809

1946年度江原道38°以南蠶種製造積表

製造件數	製 造 高		
	不越年種	越年種	計
9	36,034	58,174	94,208

畜産業은前述한바있으나, 此道로서는 自然的環境이畜産等에는有利한條件을供與하고있는만큼 送當局으로서는單純한 家畜養育에依한原始的인 養畜外에 陸農業에로의發展을期하여 未進한食料品工業에까지 進展을圖謀하고있으며, 道에서는 江陵畜産研究所가있어酪農部, 種牛生産部, 種牛育成部, 小家畜生産部 種羊育成部等을두어서 計劃的인보, 大規模의畜産建設에邁進하고있다.

山林은 食糧問題解決에林産業發展에서라는 스프-강밀에서農地開發, 火田民整理等도 오로지 이리한林産開發에서만 그成果를 期待할수있다. 219萬町步라는實本道全面積의 8 割強을 占하고있는 山岳道이라, 1947年度造林面積이 3,500 町步造林株數이 7,200萬本이며, 砂防林業은 1922年以來30年計劃으로 治山事業이라는名하에 一般私有林에對하여 着手

한것을爲始하여 爾來每年 500町步의面積에對하여實施하고있다.

諸般陸路를克服하고, 鐵山用材, 橋梁用材, 建築用材, 勞務者及戰災民用住宅, 水利工事用材等 木材生産에努力中이며, 道內製材工場數는 28個工場, 加工工場이 13個工場, 自家用製材工場이 13個工場이있어 山林道인江原道の面目을 充分히發揮하고있다. 總工場數58個工場中 所謂敝産工場이 25個工場있다.

木材生産及需給計劃表

種 別	中 央 5 月 末 現 在 剩 餘 量 對 於 歷 年 剩 餘 量 之 比 較 率	生 產 品 價 額 比 較 率	
電 柱	28,000石	45,000石	160%
坑 木	116,000	59,563	4
枕 木	151,000	6,671	4%
一般用材	551,000	303,455	55%
計	846,000	414,689	49%

薪炭資材는 日帝時代의 濫伐로解放後混亂期을奇貨로한薪炭生産業者의族出로말미야 林野는加速的으로荒廢됨에따라 不遠한將來에있어서 林産資源不足으로因하여 生活上絶對不可缺한薪炭의枯渴은 必至일것에비추어 薪炭資源을保護하고저 道로서는下記와如한最少限度計劃을樹立하여 業務用其他 大量消費者에게는枝條等的代用燃料을充用시키는等 需要를縮少시키며, 用熱生活安定上支障이없도록, 適量生産의確保와 道外出荷를調節하고있다.

薪炭生産及需給狀況 (1946年12月末)

種 別	生 產 狀 況		步 合	需 要 狀 況			5 月 末 現 在 實 數
	生産計劃及	生産實數		道外出荷	道內需要	計	
長 新	128,000坪	25,286坪	20%	4,212坪	8,818坪	13,030坪	51,044坪
木 炭	348,000條	45,991條	13%	21,756條	7,214條	23,971條	73,581條
備 考							

### 3. 鑛 工 業

三陟、寧越炭鑛을 비롯하여 江陵黑鉛, 上東鑛山, (火災로因하여選鑛場燒失)等 地下資源은比較的의豐富하다. 三陟炭鑛은 月生産30,000餘噸으로 順調로히運移하면 200年은 稼業하리라한다.

그러나亦是 本道工業의最大隘路는 原料보다도, 技術보다도, 資金보다도食糧問題이다.

寧越의重石鑛은世界的炭鑛으로서, 月生産1,200噸이나되나上東의 選鑛場이火災로因한 燒失로말미아마 國家の大損失을招來하였다. 今年 8月初旬부터生産委員會가發起하여 鑛山開發에着手하고 洪川、橫城地方의金鑛山도 續々開發하도록努力하고 있다.

工業關係는製絲와 淸果製造業等이 比較的의活潑히運轉되고 있는대, 製絲에있어서는年50,000貫이必要한대, 道內에서는 10,000貫供給이最大限度이다.

春川紡織工場은道內最大工場인데, 諸隘路를克服하고, 稼働되고 있다. 寧越東西淸果 原州酒精 江陵, 注文津, 蔚珍의 「통조림」工場은 嶺東方面水産業發展과아울러크기期待되고 있다.

이외에三陟「세멘트」工場은今年8月1일부터 活潑히運轉되고 있으며 毎朝10萬布袋生産은 넘사한다. 如何든, 原料, 資金도問題되나 本道로서는 食糧만充分히供給되면 工場稼働率은 現在의倍는運轉될수 있다.

鑛業과工業에 關한主要計數를多掲하면 下記와如하다.

江原道內鑛種別各郡鑛山分布狀況(末尾紙紙添付)  
(金銀鑛山은整備當時이며其他는1945年8月1日現在)

#### 金 銀 鑛 床

道內金鑛으로서 1945年8月15日直前까지 稼働을繼續하여오른 江陵郡의松川鑛山을除外하고는1942年의日帝의 所謂 金山整備令으로大部分의金山이稼業을停止하게되여, 朝鮮産産에一大悲運의過程을겪어왔다따라서大部分의金山은 現朝鮮鑛業振興會社에 鑛業權이移轉되어있으며, 其外成績이不良한極少部分의金山은 或은鉛鑛으로稼稼하였고, 或은白鐵의悲運에바침된것이다. 1942年整備當時의 稼業金山數는 無慮206個鑛山에 達하게된것을보아 當時本道가金鑛界에 主要한 處地에있었다는것을안수 있다. 整備當時의道內産金額은보면 19,722瓦 銀161,973瓦, 金銀混合精鑛176,947瓦으로 全鮮第四位였다. 本道金銀鑛床의特性은(노라지)로 一時에는鑛況이良好한적도有하나大部分이 永續치못하여, 合金銀石其脈으로産出되는

金山이大部分이다.

△江原金山(旌善郡東面沒蒙里)前鑛業權者日窒鑛業으로부터 整備되어現在는 休鑛中이나 開發時에는道內金鑛界에 一大活氣를提供할것이다. 本山一帶의地質을構成하는 岩石은主로角閃片岩, 粘板岩, 頁岩砂岩等이다.

△松川鑛山(江陵郡連谷面三山里)鑛業權者玄社와金麗華의 共同所有로 8, 15直前까지硅酸鑛으로 繼續稼業中이든道內唯一의 金山이었다. 鑛業은花片崗麻岩을母岩으로한 金銀石英脈으로鑛石은 遊離硅酸質(古美質)로方鉛鑛等이 多量隨伴되며坭製鑛에가장適合하다. 鑛石의平均品位는 金30瓦銀250瓦로이오 그埋藏量은 合하여 150,000 噸에達하여, 其産額은1943年金銀精鑛 3,057瓦1944年同精鑛3,198瓦이었다.

△女美山鑛山(旌善郡新東面烏洞里)鑛業權者朝鮮亞鉛鑛業株式會社로부터 8, 15以後에新韓公社에 移管되었다. 本山一帶의地質을 構成하는岩石은 朝鮮系陽德統及大石灰岩統의 石灰岩, 苦灰岩, 粘板岩, 頁岩砂岩, 硅岩等이黑雲母花崗岩을 不整合이被覆하여있으며, 下部의黑雲母花崗岩과의 接觸으로 硅岩, 粘板岩 石灰岩에接觸作用을주었고있으며, 處處에花崗斑岩과 石英斑岩이床脈이 出現되어있으나 鑛床은이接觸帶에 形成된接觸交代鑛床과, 石英斑岩이移化된 石英脈이있으니 黃銅鑛, 輝水鉛鑛은 後者에胚胎되어있으며, 閃鋇鉛鑛, 方鉛鑛等은 前者에胚胎되어있다. 鑛石의平均品位는 亞鉛 18% 銅鉛 1.5% 水鉛이 20%이다.

△義林鑛山(旌善郡新東面佳十里)前鑛業權者義林鑛으로부터 現鑛業權者 朝鮮重石鑛에 移管되었으며 現在休鑛中에있다. 鑛況은過히良好치않으며, 其施設은 一部上東鑛山及 慶北連成鑛山에 拔出되었다. 鑛床은女美山鑛山과 大同小異하며, 朝鮮系 陽德統 及 大石灰岩統에屬하는 岩層을下部黑雲母花崗岩이 接觸變質을주었고 岩板狀으로 貫入한石美斑岩及花崗斑岩에 方鉛鑛亞鉛鑛黃銅鑛等이胚胎되어있으며 鑛石의平均品位는 鉛 12%亞鉛7% 銅 0.5%이며 埋藏鑛量은 1,000,000噸에 達하며其産額은 1943年鉛(60%)精鑛 335瓦 銅精鑛(10%)58瓦, 이었고 1944년에 鉛精鑛 138瓦 銅精鑛 103瓦이었다.

△樂川鑛山(旌善郡臨溪面樂川里)鑛業權者片倉殖産株式會社所有로 金山整備時에 鉛鑛으로稼稼하여繼續運轉中이든鑛山이다, 新鑛山床도 女美山義林鑛山과 大同한것으로서 鑛石의品位는金 15% 鉛15%이며 埋藏量은 1,160,000噸에 達하고 其産額은

1943년에 金銀混合精鐵 505 兩, 1944년에 金銀精鐵 256 兩 鉛精鐵 544 兩이었다. 此外에는 銅鐵山으로는 珍珍鐵山三陟郡의 梅山谷鐵山, 春城郡의 中川白楊鐵山, 伊川郡의 伊川銅鐵山이고 鉛鐵山으로는 蔚珍郡의 廣振金邱鐵山, 鐵原郡의 東興鐵山等이다.

△上東鐵山(寧越郡上東面九來里) 前鐵業權者 日人稻葉仲으로부터 現鐵業權者 朝鮮重石鐵業會社에 移轉되어 積極의으로開發하여 上東重石은世界에이 들을떨치고, 8,15以後에있어도 繼續運營되어, 既히美國에 輸出品으로先驅가되어 高品位의重石精鐵(70%)을 輸出한것이며 江原道鐵業界를燦然히 빛내고있다.

本山一帶의 地質을構成하는岩石은 南部鳳凰山附近의 變質粘板岩과北部的 朝鮮系陽德統에 屬하는花崗岩을 基盤으로한變質粘板岩 頁岩 石灰岩이黑雲母花崗岩을 被覆하고있으며 此等岩層에下部花崗岩變의貫入으로 接觸變質을받았으니 鐵業은其粘板岩의 層理에沿하여 介在하는灰重石의脈이며 或部分에는 鐵滿俺重石과 아울러 胚胎되어蒼鉛을隨伴하며 中帶蕩岩中에는 含鐵滿俺 重石英脈이 介在되어있다. 鐵石의平均品位 4—5%이며其埋藏鐵量은 5,000,000 兩으로 朝鮮은 勿論世界에서도 稀有한大鐵山이다. 鐵產額은 1943년에 重石精鐵 (60%) 3,376 兩 蒼鉛 447 兩 1944年 重石精鐵 4,297 兩, 蒼鉛412 兩, 1945年 8月까지重石精鐵 1,667 兩, 蒼鉛127 兩, 1946年重石精鐵 (70%)380 兩, 이며現在從業員은 1,375名인데 1947年 11月初에 工運鐵場이 火災로因하여 燒失하였음을 國家の大損失이다.

△內金剛鐵山(淮陽郡內金剛面新豐里) 前鐵業權者 昭和鐵業株式會社의所屬으로 此鐵과隣接하여 新豐臺昌鐵山, (鐵業權者張熙俊所有)가있다. 本山附近의地質은 前述한바와如히 花崗岩이分布되어 있다. 鐵床은花崗岩의 節理에沿하여透入된과구마다이브石英脈도 南北으로 走向하였으며 이와同 한脈群이 溫井藏一帶와 新豐臺附近에 賦存되어있으니 이石英에胚胎된 有用礦物은鐵滿俺 重石 灰重石, 輝水鉛鐵等이고 이와 隨伴하는礦物로 閃鋅鉛鐵, 方鉛鐵, 黃銅鐵, 瓦鐵等이있으며, 螢石으로리시야雲母, 黃玉, 管石等이 胚胎되어있다. 主要한층은 第一號, 大處, 大架, 大興等의四層으로 其中에는 露頭延長이 600米, 層幅이 30層에達하는 층도有하며, 鐵石의平均品位는5—7%다. 此年에隣近의重要鐵山은 高城郡의金剛鐵山, 通川郡의羅洞鐵山重石鐵山等이있다. 重石鐵山으로는 有望한것으로寧越百年鐵山, 日東重石鐵山, 平昌郡의芳桂鐵

山, 伊川郡의伊川百年鐵山, 麟蹄郡의大勝鐵山, 楊口郡河信鐵山, 春川郡의板項大富鐵山等으로 大概가花崗岩을母岩으로한 「과구마다이브」石英층에胚胎하는 鐵滿俺重石鐵이다.

道內 鐵 鑛 床

道內에 産出되는 鐵鑛으로는 江陵郡邱井面의赤鐵鑛을除하고는 大部分이磁鐵鑛이다. 主産地는襄陽郡麟蹄郡, 三陟郡이며, 8,15以前까지 移業中이던 鐵山數만 5個山이며其中機械完全設備鐵山이 2個山이있다. 其産額은 1942年 23,561 兩, 1944年에 305,364 兩을 産出하였다.

△襄陽鐵山(襄陽郡長承里) 前鍾潭鐵業株式會社所有로本山一帶에는 花崗岩及閃長岩이 分布되어있다. 鐵床은 이閃長岩을母岩으로하여 鐵脈狀으로産出되는 磁鐵鑛이 岩漿分化化鐵이다. 鐵石에胚胎하는 有用礦物은 磁鐵鑛이며, 鐵石으로黃鐵鐵, 輝石, 石美, 雲母等이다. 鐵脈은一定치않으며, 따라서變動이많으니 其層幅은좁은곳에서는 40層, 넓은곳에서는 5米에達하는 곳도있어서茂山鐵山과같이朝鮮의 優秀한鐵山이다. 鐵石의平均品位는 鐵分60% 內外이며, 埋藏鐵量은 54,000.00兩에 達한다. 其金額은 1943년에 117,600 兩 1944년에는 154,362 兩을産出하였다.

△三和鐵山(三陟郡三面三和里) 前三和鐵業株式會社所有로부터 8,15從에新韓公社에 移轉되었다. 本山鐵業은 朝鮮系大石灰岩統의 石灰岩을 下部黑雲母花崗岩의 透入으로 石美斑岩과 接觸되었으며, 이 接觸帶에 方在賦有하는 磁鐵鑛의 接觸鐵床이다. 脈石으로는 瓦鐵鐵, 方鉛鐵, 閃鋅鉛鐵等이 隨伴되어 鐵石의 平均品位는鐵分 50%內外이고 埋藏量은 5,000,000 兩이다. 其生産額은 1944年의 95,050 兩 1943년에는 105,000 兩을産出하였다. 其外에主要鐵山으로는 三陟鐵山, 寧越郡寧越鐵山과 襄陽郡九龍鐵山이있으며, 未開發鐵床으로 旌善郡南面의 磁鐵鐵山江陵郡邱面의 赤鐵鐵床이 賦存되어있는데 今後探鑛에따라서는充分히 發掘할수있을것이다.

다음은 一般工業關係의 主要工場은一覽하면다음과같다.

業 別	工 場 名	各 工 場 所 在 地	代 員 數	所 有 者		生 產 品 名
				現 管 理 人	前 日 人 所 有 者	
電	寧越火力發電所	寧越郡下東面下陽里	299	朴 千 權	朝鮮電業	電 力
	東洋化學工社	三陟郡三陟邑汀上里	626	朴 昌 培	三井油脂化學工業株式會社	硝酸、炸藥、洋燭
"	三陟製鐵工社	三陟郡三陟邑史直里	317	任 徵	朝鮮小野田製鐵株式會社	鐵 材
機	三和製作工社	三陟郡年邑酒雲里	222	鄭 友 益	是川銀藏	農 具 其 他
"	江厚工會社	春川府永興町	80	鄭 鏡 淵	(啟 產)	機 械 分 子
"	江陵工業社	江陵郡江陵邑龍岡町	50	金 鶴 來		農 具 及 機 械 修 理
"	第一機械工業社	三陟郡三陟邑松粉里	60	韓 徵		機 械
造 船 工 業	三共造船所	江陵郡墨湖邑墨湖里	13	元 海 龍		機 帆 船、解 船
"	厚浦造船鐵工所	蔚珍郡年海面厚浦里	13	黃 勝 均		船 舶 修 理
紡 織 及 製 絲 工 業	春川紡織工場	春川府辛町	290	張 應 現	鍾紡株式會社	粗 布、綢、交織、文化、絲
"	春川紡物工場	春川府蘇町	5	申 泰 燮		生 絲
"	東邦製絲工場	春川府牛頭町	320	金 東 村	岩村長市	生 絲
製 紙	牛島製紙會社	春川府蔚町一區	82	李 漢 復	井川伊勢吉	仙 貨 紙
有 機 加 工	江陵製酒工場	江陵郡江陵邑大和町	30	崔 元 奎	塚原作四郎	啤 酒、燒 酒、酒 類
"	北江製麵會社	三陟郡北江邑	168	金 相 欽		麵 粉
"	墨湖製麵組合	江陵郡墨湖邑	150	金 鎮 晉		麵 粉
製 糖 工 業	東成阿糖所	洪川郡洪川面連峰甲	37	崔 弼 成		各 種 製 材 品
"	春川合會社	春川府牛頭町	20	石 甫 連		製 瓦、煉 瓦
製 材	春川合會社	春川府昭陽通	30	白 大 鏞		各 種 製 材 品
"	春川合會社	平昌郡珍富面象山甲	40	金 容 準	井川幸太郎	各 種 製 材 品
木 材	江陵製材所	江陵郡江陵邑	30	崔 永 球	辛 島 辰 雄	各 種 製 材 品
"	泰昌商會	江陵郡江陵邑浦南里	30	劉 明 順		木 材 加 工、總 計
水 產	東海水產會社	江陵郡注文津	29	鄭 順 階	伊 藤 正 一	水 產 加 工、總 計
"	三一商會	"	19	金 同 鄉	竹 永 新 大 郎	水 產 加 工、總 計
"	朝鮮水產輸出會社	蔚珍郡年海面厚浦里	110	張 驥	朝鮮水產會社	水 產 加 工、總 計

4. 水産業 嶺東의 東部 一帶 는 海 面 에 臨 하고 있 으 며, 水 産 業 是 比 較 的 好 況 을 呈 示 하고 있 다. 山 岳 道 이 面 서 是 沿 海 面 積 이 넓 은 本 道 는 海 産 物 을 供 給 하 며, 加 工 業 도 漸 次 發 展 을 期 候 하고 있 으 며, 他 道 輸 出 과 外 國 物 資 獲 得 也 一 助 가 되 고 있 다. 水 産 概 況 은 如 下 記 와 같 다.

水産組合은 解放後 漸次 整頓 中 에 있 으 나 現 勢 下 下 記 와 같 다.

水 産 概 況 (1947年10月末現在)

組 合 名	從 業 員 數	組 合 員 數	1946 年 度 漁 獲 高	同 金 額	1947 年 度 漁 獲 高	漁 船 數	備 考
仁邱漁業組合	6	515	834.51	11,637	2,891	147	
注文津 "	19	601	4,149.47	97,620	13,801	247	
江陵 "	13	653	2,454.31	21,610	7,646	306	
墨湖 "	11	347	1,780.60	25,547	16,333	208	
三陟 "	13	535	1,720.78	18,042	12,010	212	
達德 "	11	550	314.66	6,592	9,310	154	
竹邊 "	13	586	1,166.50	13,777	6,452	224	
島山 "	7	319	82.17	1,961	2,810	166	
箕城 "	7	482	167.90	3,397	4,303	145	
厚浦 "	8	546	2,225.29	32,191	9,097	184	
計	108	5,134	14,896.19	232,374	84,653	1,993	



**5. 商況、物價、金融** 交通의 未滿、購買力의 減退、資金의 一部 偏重은 都市와 農村과를 漸次 遊離 시키어 都市에서는 畸形的인 物資 氾濫을 招來 하고, 農村에서는 生必需品와 圓滿하게 配給되지 않는 것은 全鮮 共通의 現象 이라 할 것이나 特別 本道는 他道에 比하여 交通 事情이 不便하여 物資 去來의 困難을 一層 激化 시키고 있으며 地方間의 商品 流通이 圓滑치 못하여, 主로 嶺南 地方과 서산方面에서의 物資 流入外에는 道內 生産은 없다. 따라서 家內 生産品의 集積地로서 舊態의 市場이 間歇的으로 繁昌한 것이요, 商況은 恒常 沈滯 狀態에 있고 物價는 木材 燃料等屬은 서산에 比하여 低廉하나 其他의 日用品雜貨는 高騰한 現狀이다. 商況의 環境은 發展과 他産業을 制約하고, 都市의 近代化 農村에로의 商品 流入을 活發하게 한다. 그러나 이와는 相反되는 現象이 看取할 수 있는 것은 本道 商業界는 都市로 하여금 消費 假項으로 沒落化하게 하고, 農村에서도, 高利貸 業의 昌盛을 招來하고 말았다. 首府 春川이 好例을 보이고 있으며, 市場에서 氾濫하는 手製品은 中世紀의 市場의 再現을 彷彿하게 하고 있다. 春川地方 1947年 9月 10日 兩

月間의 物價 趨勢을 보인 下記와 如하다. 燃料가 微塵인 外에는 別無變動이다.

江原道 春川地方 生必需品 價趨勢(小覽)

品 名	1947年 9月末	1947年 10月末	騰 落(±)
白米大 1斗	1,180	1,080	100(-)
大麥大 1斗	590	660	70(+)
小麥粉 1袋	480	660	180(+)
大豆大 1斗	580	560	20(-)
醬 油 1升	70	100	30(+)
牛 肉 1斤	150	150	—
長 斤 1坪	1,600	1,800	200(+)
薪炭 1俵 1貫	120	260	140(+)
女 子 用 고구치 1足	230	280	50(+)
廣 木 1塊	280	280	—
明 軸 1尺	2,500	3,000	500(+)
양 말 1足	30	140	110(+)

金融機關으로는 殖銀支店이 春川, 原州, 江陵, 三陟等에 分布되어, 主로 林業 資金을 中心으로 活動中에 있다.

(1) 江原道內 金融機關 預金、貸出殘高表

年月 區別	1947年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
預 金	453,239	448,325	532,853	691,573	556,605	574,604
貸 出	124,266	123,200	174,451	177,864	211,432	254,549

(2) 江原道內 金融機關 預金 貸出 種別 殘高表 (1947年 9月末 現在)

定期預金 △ 證書貸付	當座預金 △ 手形貸付	特別當座預金 △ 當座貸越	通 知 預 金 △ 割引及荷爲替手 形	諸 預 金 △ 其 他	合 計
12 △ 4,622	158,868 △ 37,289	161,911 △ 27,572	500 △ 461	245,837 △ 189,105	574,604 △ 259,049

(3) 江原道內 金融組合 重要負債一覽表 (1947年 9月末)

拂入出資金	政府下付基本金	準備金	借入金	預 金
878,276	152,000	2,351,028	21,414,443	185,779,312

(4) 江原道內 金融組合 重要資產一覽表 (1947年 9月末)

組 合 數		貸 出 金	媒 介 貸 付 金	所 有 物	預 置 金
本 所	支 所				
10	22	73,738,922	18,080	8,433,136	107,289,930

金融組合은 本道 38°以南에 全部 32個所 있는데 그 中 都市組合이 10個所 支所가 22個所이다. 그外에

實地로 農村을 對象으로 하는 細民金融에는 高利貸 金課이 跋扈하고 있다.

### 江原道內鐵種別各郡鑛山分布狀況

(金鑛鑛山之整備當時 其他之1945年8月1日現在)

郡名	鑛種 山數	金	銅	鉛	汞	水	磁	斗	安	石	黑	石	滑	硫	雲	高	五	重	滑	石	石	珠	鐵	鑛	砂	砂	風	藍	鐵	計
		銀	鉛	鉛	石	鉛	鐵	型	母	炭	鉛	綿	佈	化	母	嶺	月	晶石	石	灰	石	石	石	石	土	石	石	子	子	
春川	川	10	1		3	2						1										1	14							35
洪川	川	25		2	2																									29
橫城	城	14	1	3	2	1																							21	
原州	州	18	1	1																				1					21	
寧越	越	4	3	2	8	8	1			1	1	1			1													2	32	
平康	昌	5	1		1	2																			1				10	
旌善	善	18	3	1		1																							23	
江陵	陵	8	1								4																		1	14
三陟	陟	8	3				2			2			1		2						2								20	
蔚珍	珍	5	3	2		5					1				1														17	
醴泉	泉				1	2					2																		5	
鎭蹄	蹄	13		2	2	3					3														1				24	
揚口	口	2			1																								9	
龍川	川	8		2																									27	
金化	化	9										2	2	7									5	11					27	
鐵原	原	4	2									1	1					1	2			1	3						15	
平康	康	2		4		1								1								1	1		4			1	22	
伊川	川	8	1	5	4	2		1															12	1	7				24	
通川	川	9			6	3					2	1												3					21	
高城	城	13		4	2	2		1							1													2	25	
淮陽	陽	13		5	3	2						2		2										1					28	
總計	計	196	20	33	34	33	5	2	1	5	1	7	4	12	4	2	1	1	2	2		8	54	1	5	1	2	1	449	
機械採掘	採掘	1	2	5	6	2		1		2				2									6						30	

※(P IV-87.京畿道來石鑛山之鑛種)

別表外如右揭示된것을比較的多量의鑛石이生産되며就中金銀은그量에있어서도多量이이如此한地下資源中貴重한金銀鑛의製鐵原料은特配한資源이다。

# ★ 京 畿 道 (KYUNGKI PROVINCE)

目	次
1. 概 觀	3. 鑛 工 業
地勢, 人口, 一般經濟動向	4. 水 業 產
2. 農 林 業	5. 商 況 及 金 融
農, 畜, 蠶, 林	附 管 財 問 題

## 1. 概 觀

國都 서울을擁하고 있는京畿道는北으로黃海道, 東으로江原, 南으로忠北, 忠南兩道에接境하고, 西方은全道가海岸線을享有하여 朝鮮의中央을占하고 있는外에山, 海, 平野等모든地理的條件을具備하고 있어, 諸般産業이均等하게發達하고, 文化가他道에比하여向上하고 있다. 水陸兩交通의通過點中的位置에 있으며, 大都市의利便으로因한諸般道勢의發展過程이차차活潑함을 띄여주고 있다. 漢江, 臨津江의沿岸에展開되는 川邊平野는食糧의自給自足을可能케하고, 서울市에對한食糧供給에 있어서도, 그優位를占하고 있는現狀이다. 解放後의諸般情勢의激行的, 時形的過程은日帝의粗穢하고有機的인道勢發展의惰性的延長이었음에도不拘하고交通의要路를占하는만큼따라서原材料의容易한調達, 都市로부리의勞力の供給 등으로말미아마工業地帶의形成은 他道の追從을不許하는바며, 過渡期的混亂을克服하고 一路增産에邁進하고 있다. 本道로서는如斯한諸般有利한條件을 充分히活用하여農業의立體的 또는多角的發展의圖謀, 이것은곳 工業再建의策地的役割을하게되며, 林畜과水産等の計劃的인發展을策하여 朝鮮經濟의安定—政治的自主性恢復—의尖端을勇進하여야할것이다. 解放後 서울市가 特別市로서昇格함에 이르러, 特히金融關係에 있어서는 多少間接金流通루—로가硬窒感이 있다. 道로서는殆半破壞된日帝의遺産을盡力을다하여 更生시키는同時에 中央的一括的計劃의緊急施策을期待함이크다.

京畿道의人口는北半部가 38°以北에 籍入된關係로 解放前使의 本道의人口는 比較가 困難하나 그增加率은 알수없다. (南朝鮮總人口의 14.2%를占함)

1944年度 本道人口 2,264,336名, 1946年度 2,486,369名으로 222,033名增加로 增加率은 9.8%이다.

男女別으로 보면 男子1944年度 1,133,160名 1946年度 1,256,326名으로 123,166名의增加 增加率은 11.7%이다. 女子를보면 1944年度 1,131,176名 1946年度 1,221,043名으로 89,867名의增加로, 增加率은 7.9%이다.

## 2. 農 林 業

農業의再編成에 있어서當面한課題는 如何한方法에依하여 食糧增産을圖謀하느냐에 있으며, 이것은田, 畜을莫論하고, 緊急히考慮될問題이며, 如斯한根本問題를圍繞하고 있는所謂歷來副業의積極的獎勵, 鑛山, 水産의開發에貢獻하여綜合的인産業發展策이講究되어야한다. 이에관련한本道에서는 解放早스기先農家の農産意慾의旺盛을 鼓吹하게爲하여 學校敎員 農産課員을動員시켜激勵하였음으로말미아마多少效果가 있었으나, 基本的隘路인 肥料不足은 集約的農法에依하여 增産을策하는것이아까까지朝鮮農業의先決課題인것을 增産의諸條件의 7—8割을占거하는肥料問題解決에第一關心하고 있다. 品種子改良, 栽培法改良等도 影響되거않는것은없으나 國內에서肥料가不足하고, 外國에서도 隨意로輸入할수없는現狀으로서는養畜에依한 堆肥와 綠肥等の增産等を獎勵中이나, 아직은成果가없고 金肥에對한要求는자못크다. 過去京畿道에서만需要되는肥料가 年250~300萬俵 假量이었는데 今年은겨우 그  $\frac{1}{5}$ 밖에는들어오지않았으니 實로肥料에對한農民들의要求는切實한것이 있다.

肥料다음에오는課題는 耕法改良의問題이다. 他道에서도一齊히그緊要性を高調하고있으나, 移徙時에 있어서의正條式撒播採用과, 種子改良이다. 撒種이면 1坪에40本需要面積에, 正條式하면 70本은能히植付할수 있으며, 管農家中에는 坪 100本式植付하여畝적이 極히良好한例도있다. 萬若本道農家 20餘萬戶가一齊히此種方法을實施하면增産은括目할바일것이다. 다음은種子改良인데, 優良種子普及도徹底히實行되지않는現狀이며, 本道耕地總面積 37萬町步 (畝 1萬町步 田 16萬町步) 에對한優良種子로更新한事業의準備은完了되어있어 早速히實施될것을期待하여마지않는다. 耕法改良種子改良外에, 日政時代에는等雨風旱旱雜穀生産의變革으로서의 雜穀類같은 雜穀보다는 粍과 豆과 芋같은 雜類增産이요의轉換이 高度로要請되고 있다.

畜力에 依한 農產物 增産에 있어서는 全北道 같은 곳에서도 畜力 不足으로 人耕을 實施하였다 하나, 本道로서도 延白郡에서는 人耕으로서 畜力 不足을 補充하였다. 解放後의 濫殺로 인하여 12萬餘頭였던 農牛가 8萬頭假量으로 減少되어, 4町步耕地에 1頭로서 現在는 6町步에 成牛 1頭로 되었다. 道로서는 中央廳의 指示에 依하여 屠殺制限을 強化하고 農牛 增産에 獎勵하는 方便, 서울市와 같은 消費都市에 對한 策으로서 江原道 尙道에서 黨入을 하고, 屠殺制限에 全力을 다하고 있었다.

이와 同時에 鷄, 豚等 小家畜 生産에도 注力하고 있으나, 他道와 다를 것이 飼料問題가 第一難關으로 되어 있다. 덕후의 淡白質 飼料 不足은 家畜 增産에도 養畜에 最大의 打擊을 주고 있다.

每年의 氣候不順과 災害로 인하여 棉花 不況은 農民들로부터 棉作에서 一般耕作으로 轉換하는 率이 많아 棉花 生産 推進에 一大 障礙로 되어 있다. 그러나 道로서는 棉花 生産에는 積極의 推進을 하여, 諸般 困難을 克服하고 今年도 600萬斤 收集 豫定이나 可望이 稀少하다.

그러나 農民들의 棉花栽培 熱은 一層 昂熱하고 있는데, 一年 終農의 結果가 衣類 1部도 貨幣로서는 購入 못할 慘景에 있는 만큼 自家衣料는 自家充當의 要請에서 生産 意慾은 漸次 昂熱하고 있으며, 供出의 不圖 消損은 亦是 自家 消費量의 多大함에 基因한다.

解放直後 倭人들의 所謂 蠶業 生産 抑制 策으로 말미암아, 農民들의 生産 意慾은 低下하였으나 衣類 不足으로 인하여 經濟的인 要求는 이를 위하여 蠶栽培 熱을 再燃하게 하여 當道로서는 蠶業 再建 5年計劃을 樹立하고 積極 推進하고 있다.

都市 (主로 서울) 附近 地方에는 蠶業 事業이 活潑하며 果實類의 都市 供給이 顯著하다. 逼迫한 農家 計를 潤澤하는 意味에서, 蠶業 副業에 關하여는 特別 留意하고 있으며, 蠶工 品 製造 (主로 叭)가 1946年度 150萬枚로서, 今年度는 千萬枚로 의 增産을 計劃하고 있다. 이것이 達成되어도 過去의  $\frac{1}{3}$  假量이다. 各郡에 競技大會 등을 實施하여 增産 意慾을 旺盛히 하고 있다.

要는 如何히 하여 餓초려진 蠶業 觀望을 正常的으로 恢復시키며, 食糧 增産에 猛進할 수 있게 하느냐가 朝鮮의 全般의 人間問題 同時에 本道 經濟 安定의 最大 關鍵이 될 것이다. 主로 計數的인 見地에서 上記 諸事實을 再考證하여 보기도 한다.

田, 畓別, 耕地 面積을 보면 畓이 23萬町步에 田이 16萬町步로서, 畓이 全耕地 面積의  $\frac{2}{3}$ 을 占하고 있으며 水利에 便한 本道로서는 當然한 歸趨이나 田作에 關한 對策을 決코 難이 없는 點이다. 畓의 分布는 主로 廣江 下流을 經 平野가 展開되어 있는 水原, 平津, 江華 金浦 諸郡이 田은 廣州, 楊州, 始興, 開豊과 같은 山

地帶이며, 黃海道의 延白 溟津等의 米産地가 38°以南으로 歸入된 것은 米作上 見地로서는 極히 有利하다 할 것이다.

耕地 面積

京畿道 田畓別 耕地 面積表 (1946年 12月 末 現在)

郡 別	畓	田	合 計
仁 川 市	3,376	2,610	5,986
開 城 市	305	1,076	1,381
高 楊 郡	8,461	4,694	13,155
廣 州 郡	8,800	9,130	17,930
楊 州 郡	11,299	10,700	11,999
抱 川 郡	4,241	7,286	11,527
加 平 郡	2,783	3,984	6,767
楊 平 郡	6,215	6,492	12,707
驪 州 郡	10,472	6,640	17,112
利 川 郡	11,426	5,778	17,204
隴 仁 郡	9,004	6,560	15,564
安 城 郡	10,600	6,066	16,666
平 江 郡	13,500	5,993	19,493
水 原 郡	21,073	13,114	34,187
始 興 郡	7,259	4,845	12,104
富 川 郡	3,961	11,568	15,529
金 浦 郡	11,186	4,116	15,302
江 華 郡	11,365	4,015	15,380
坡 州 郡	9,822	7,316	17,138
長 湍 郡	4,484	4,654	9,138
開 豊 郡	10,269	7,205	17,474
延 白 郡	36,201	16,298	52,499
溟 津 郡	12,493	22,180	34,673
計	228,595	172,320	400,915

다음은 營農 種別 耕地 面積을 보면 下表와 如한데, 一戶 當面積이 小작에 있어서, 加平이 0.74町步로서, 너무 極端의 零星 經營에는 一驚할 만 있으며, 自作에 있어서는 開城의 0.50 即 5段步의 耕作地를 가지고, 一家 經濟를 營爲하지 않으면 안 되는 農家들의 拔本的인 計算이 없는 朝鮮 農業의 眞의 發展을 期待할 是 無理한 事實이다. 小작에 있어서는 畓과 田의 面積의 差가 尤甚한데 反하여 自作에 있어서는 그 差가 若少함은 在來 水田 耕作에 小작이 많음을 表示하고 있다.

京畿道營農種別耕地面積表 (1946年12月末現在)

郡 名	小 作			白 作			小 作 戶當面積	白 作 戶當面積
	畓	田	合 計	畓	田	合 計		
仁 川 市	2,524	1,791	4,315	851	818	1,669	0.83	0.70
開 城 市	278	761	1,034	31	514	345	0.91	0.50
高 陽 郡	6,976	3,671	10,647	1,484	1,022	2,506	1.06	0.91
廣 州 郡	6,761	6,543	13,304	2,038	2,586	4,624	1.04	0.78
楊 州 郡	8,942	8,280	17,222	2,357	2,419	4,776	1.06	0.28
抱 川 郡	2,897	4,728	7,625	1,344	2,558	3,902	1.07	0.77
加 平 郡	17,890	2,178	20,168	934	1,805	2,739	0.74	0.78
楊 平 郡	4,160	4,772	8,932	2,054	1,719	3,773	0.94	1.17
麗 州 郡	7,748	4,536	12,284	2,723	2,103	4,826	1.20	1.17
利 川 郡	8,464	4,182	12,646	2,962	1,596	4,558	1.68	1.05
龍 仁 郡	6,844	4,828	11,672	2,160	1,731	3,891	0.80	1.07
安 城 郡	7,754	3,777	11,531	2,646	2,289	4,935	0.98	0.94
平 澤 郡	10,167	4,210	14,377	3,332	1,782	5,114	1.18	0.99
水 原 郡	10,006	8,688	18,704	5,067	4,416	9,483	1.07	0.33
始 興 郡	5,613	3,064	8,677	1,645	1,781	3,426	0.98	0.95
富 川 郡	6,211	2,446	8,657	1,385	1,514	2,899	1.30	1.24
金 浦 郡	8,434	2,704	11,138	2,752	1,412	4,164	1.21	1.28
江 華 郡	6,516	1,700	8,216	4,848	2,314	7,162	0.77	0.99
坡 州 郡	8,254	5,529	13,783	1,568	1,787	3,355	1.25	0.96
長 湍 郡	3,958	3,778	7,736	525	876	1,401	1.60	0.93
開 豐 郡	8,821	5,941	14,762	1,448	1,264	2,712	1.43	0.90
延 白 郡	27,717	12,087	39,804	8,483	4,210	12,693	1.43	1.30
蘆 津 郡	8,270	5,941	14,211	4,223	9,132	13,355	1.44	7.60
計	185,300	106,145	291,445	56,910	51,448	108,358	1.18	1.02

農 家 戶 數

農家戶數은 專業과 兼業別로 보면 雖然 專業이 많으며 約25萬戶에 兼業이 約2萬戶이다. 兼業의 專業에 比한 還元이 重要히 要請되고 있다. 外國人 (主로 中國人) 이 約2百戶 假量 있는 것은 本道 農業의 特色이다.

京畿道專兼業別農家戶數表

(1946年12月末現在)

郡 別	專 業	兼 業	外國人	合 計
仁 川 市	4,638	1,005	160	5,803
開 城 市	2,509	810	11	3,330
高 陽 郡	9,012	1,554	—	10,566
廣 州 郡	13,425	711	—	14,136
楊 州 郡	16,948	1,037	1	17,986
抱 川 郡	8,000	294	—	8,294
加 平 郡	6,401	494	—	6,895

楊 平 郡	9,893	628	1	10,522
麗 州 郡	10,731	507	2	11,240
利 川 郡	10,637	556	2	11,195
龍 仁 郡	12,214	659	—	12,873
安 城 郡	12,017	706	5	12,728
平 澤 郡	12,275	654	—	12,929
水 原 郡	23,331	2,269	8	25,608
始 興 郡	8,811	731	16	9,558
富 川 郡	6,975	931	—	7,906
金 浦 郡	9,479	522	—	10,001
江 華 郡	11,857	961	—	12,818
坡 州 郡	10,911	760	—	11,671
長 湍 郡	4,871	306	—	5,177
開 豐 郡	9,515	1,165	—	10,680
延 白 郡	28,428	1,041	10	29,479
蘆 津 郡	15,968	2,622	7	18,597
計	258,846	20,923	223	279,992

地主와被傭者의數의關係를보면 被傭者2人에地主1人의比率로되어 있는데 被傭者1萬8千餘名의正當의인職業幹旋이아달로 舊制殘滓의掃蕩에필립은바물것이다.

京畿道地主及被傭者數

(1946年12月末現在)

郡 別	地 主	被 傭 者	合 計
仁 川 市	188	539	727
開 城 市	1,245	537	1,782
高 陽 郡	245	321	66
廣 州 郡	466	1,356	1,822
楊 州 郡	751	2,789	3,540
抱 川 郡	260	576	836
加 平 郡	146	346	492
楊 平 郡	452	460	912
驪 州 郡	275	346	621
利 川 郡	36	298	334
龍 仁 郡	386	311	697

安 城 郡	543	732	1,275
平 澤 郡	288	630	918
水 原 郡	311	419	730
始 興 郡	120	398	518
富 川 郡	130	196	326
金 浦 郡	156	237	393
江 華 郡	322	168	490
坡 州 郡	278	457	735
長 湍 郡	53	193	246
開 豐 郡	755	847	1,602
延 白 郡	527	1,207	1,734
旻 津 郡	691	1,008	1,699
計	8,624	14,371	22,995

營農種別農家戶數表를보면 小作農이約16萬戶로서總農家戶數27萬戶의弱을 차지하고 自作은總農家戶數의約1/3으로서 解放後地主와小作의戶數가如何한比率로減少되었는지는確實치않으나 아직까지는小作이斷然優勢하며 小作兼自作이自作兼小作보다도優位를占하고있다.

京 畿 道 營 農 種 別 農 家 戶 數 表 (1946年12月末現在)

郡 別	自 作	自作兼小作	小作兼自作	小 作	其 他	合 計
仁 川 市	464	904	1,009	3,257	9	5,643
開 城 市	322	207	235	854	1,700	3,318
高 陽 郡	430	1,059	1,274	7,732	71	10,566
廣 州 郡	1,355	1,969	2,579	8,233	—	14,136
楊 州 郡	1,264	2,054	2,921	11,600	142	17,981
抱 川 郡	1,170	1,097	1,255	4,771	1	8,294
加 平 郡	1,265	1,182	1,115	3,078	255	6,895
楊 平 郡	1,030	1,753	1,439	6,099	—	10,321
驪 州 郡	778	1,000	1,000	6,838	271	11,38
利 川 郡	648	1,388	2,297	6,209	51	10,593
龍 仁 郡	1,201	1,140	1,047	1,406	8,079	12,873
安 城 郡	743	1,713	2,755	7,512	—	12,723
平 澤 郡	649	1,930	2,584	7,628	138	12,929
水 原 郡	2,542	3,800	5,060	14,178	—	25,580
始 興 郡	619	1,063	743	5,806	112	8,343
富 川 郡	769	762	808	5,394	173	7,906
金 浦 郡	856	1,122	1,087	6,736	—	9,801
江 華 郡	1,791	2,572	2,892	5,168	395	12,818
坡 州 郡	550	1,524	1,405	8,080	112	11,671
長 湍 郡	275	674	555	3,602	71	5,177
開 豐 郡	260	1,214	1,552	7,546	108	10,680
延 白 郡	1,796	3,739	4,194	19,750	—	29,479
旻 津 郡	3,059	3,914	2,393	9,424	807	19,597
計	23,836	38,278	43,052	160,901	12,495	278,562

다음에耕地廣狹別農家戶數를 보면 더욱 그 封建的 營農制度의 強固한 根源이 扶植되어 있음을 알 수 있다.

京畿道耕地廣狹別農家戶數表 (1946年12月末現在)

郡 別	10町步以上	5町步以上10町步未滿	3町步未滿5町步未滿	1町步未滿3町步未滿	1町步以上2町步未滿	5反以上1町步未滿	5反未滿	土地未耕作	合 計
	戶數	戶數	戶數	戶數	戶數	戶數	戶數	戶數	
仁川市	—	13	54	425	1,506	2,148	1,497	—	5,643
開城市	—	—	—	172	267	332	766	1,782	3,319
高陽郡	—	12	313	894	2,026	4,026	3,224	71	10,566
廣州郡	11	173	625	1,564	3,845	4,433	3,315	170	14,136
楊州郡	—	—	312	1,201	4,334	6,109	5,970	59	17,985
抱川郡	—	29	251	1,774	3,082	2,283	1,474	1	8,894
加平郡	—	—	—	301	1,882	2,188	2,230	294	6,895
楊平郡	—	—	24	722	2,370	3,844	3,061	—	10,021
麗州郡	—	8	311	1,343	3,383	3,320	2,416	457	11,238
利川郡	—	13	493	1,501	4,007	3,284	1,824	66	11,193
仁壽郡	—	—	263	1,654	3,365	4,322	3,056	208	12,873
安城郡	—	17	240	1,045	3,358	4,818	1,980	1,265	12,723
平澤郡	—	29	332	1,122	4,277	4,723	2,446	—	12,929
水原郡	—	16	602	2,257	7,394	8,860	6,471	—	25,600
始興郡	—	—	154	1,251	2,146	2,755	3,124	112	9,542
富川郡	—	8	532	1,413	2,88	1,924	1,131	112	7,908
金浦郡	—	19	1	1,239	2,538	3,143	1,909	—	9,001
江華郡	—	—	310	1,655	5,123	3,074	1,933	723	12,818
坡州郡	—	200	1,179	2,455	3,293	2,350	1,582	112	11,671
長淵郡	—	24	174	1,231	1,454	1,165	954	175	5,177
開豐郡	—	39	439	1,406	2,765	3,163	2,767	108	10,680
延白郡	—	43	1,396	4,793	11,012	6,378	5,877	—	29,499
慶津郡	—	74	2,650	3,380	6,318	5,505	170	—	18,597
蔚蔚	11	710	10,817	34,793	83,033	84,647	59,177	5,715	278,908

米穀生産量

叙述한耕地面積과, 農家戶數로서 幾何量의米穀이 生産되었느냐, 京畿道는 서울市搬出을 每年 除外하고도 自給自足이 足하오, 解放後, 許多한 隘路를 克服

하고, 漸次增産一路에 있다. 萬若肥料問題가 多少라도 解決되고, 耕法에 있어서, 計劃的인 農法이 採用된다면 米穀收畝에 있어는 兩段의 增産을 招來할 것이며, 水稻, 陸稻別로 보면 水稻가 斷然 優勢하고, 梗米 糯米別로 보면 一段步收獲量에 있어서, 梗米가, 多量이다.

京畿道米穀收畝 (1946年12月末)

郡 別	作 付 面 積			收 獲 高			一 段 步 收 獲 高			
	水稻	陸稻	合計	水稻	陸稻	合計	水 稻		陸 稻	
							梗米	糯米	梗米	糯米
仁川市	3,099	—	3,099.0	37,467	—	37,467	1,212	1,123	—	—
開城市	281	—	281.0	3,934	—	3,934	1,404	1,280	—	625
高陽郡	6,789	6.6	6,795.6	57,707	52	57,759	845	938	941	395
廣州郡	8,040	9.0	8,049.0	90,934	83	91,017	1,131	1,135	970	—
楊州郡	10,947	3	10,947.3	99,263	4	99,267	907	901	1,333	—
抱川郡	3,631	—	3,631.0	33,647	—	33,647	926	943	—	—

加 平 郡	2,312	—	2,312.0	25,540	—	25,540	1,107	777	—	960
陽 平 郡	5,977	2.5	5,979.5	60,671	24	60,695	1,018	962	—	648
麗 州 郡	8,988	6.8	8,994.8	91,468	44	91,512	1,019	966	900	567
利 川 郡	9,303	7.2	9,310.2	88,158	41	88,199	947	95	—	692
龍 仁 郡	8,962	2.6	8,964.6	84,354	18	84,372	41	755	—	—
安 城 郡	10,254	—	10,254.0	87,059	—	87,059	852	938	584	395
平 澤 郡	12,358	13.9	12,371.9	111,801	74	111,875	904	926	500	500
水 原 郡	18,511	3.0	18,954.0	174,309	6	174,315	919	988	—	869
始 興 郡	6,040	15.6	6,055.6	59,690	63	59,753	990	1,026	—	—
富 川 郡	9,732	—	9,732.0	63,574	—	63,574	928	859	—	—
金 浦 郡	10,133	—	10,133.0	102,592	—	102,592	1,055	775	—	—
江 華 郡	9,422	—	9,422.0	103,191	—	103,191	1,019	847	—	—
坡 州 郡	3,909	—	3,909.0	84,268	—	84,368	898	654	750	288
長 湍 郡	9,829	8.1	9,837.1	35,347	27	35,374	905	712	—	—
開 豐 郡	30,799	—	30,799.0	95,947	—	95,947	976	751	—	—
延 白 郡	11,375	—	11,375.0	282,807	—	282,807	922	—	—	—
薺 津 郡	12,493	—	12,493.0	102,540	—	102,540	903	—	—	—
計	213,624	75.6	213,699.6	1,976,368	436	1,976,804	950	997	569	584

品種別로 보아서는 種子改良에 關하여 積極的인 進 步를 推進은 前記한 바 있으나, 豐王, 中銀, 赤神力 順으 로 되어 있다.

精 米	3,967	897
銀 籾	1,314	888
其 他	9,426	875

京畿道品種別作付面積及收穫高(1946年12月末)

品 種 別	作 付 面 積	一 段 步 收 穫 高
中 銀	35,392	948
穀 良	30,660	935
豐 王	86,361	985
愛 國	3,081	950
赤 神 力	24,235	917
入 達	1,369	1,029
陸 羽	2,323	994
多 摩	9,813	859

雜 穀 生 産

米穀増産의 諸 障 碍 路 徑 在 於 各 道 中, 軌 跡 各 異 而 食 糧 對 策 的 萬 全 을 求 求 中 有 然 米 穀 生 産 自 體 的 肥 料 増 用, 耕 法 改 良, 品 種 選 選 보 다 水 田 中 田 作 業 的 轉 換 及 田 作 自 體 的 發 展 等 에 關 心 中 有 然 忠 北 中 有 然 的 多 類 栽 培 代 身 的 玉 蜀 黍 耕 作 計 劃 은 好 比 例 中 有 然. 本 道 中 有 然 田 作 改 良, 雜 穀 増 産 中 有 然 多 大 關 心 을 求 求 中 有 然 積 極 的 推 進 中 有 然.

1946年度雜穀 主로 粟, 玉蜀黍, 麥類等을 보면 下記 如 下 如 下.

京畿道內1946年度雜穀作付面積及收穫高

郡 別	作 付 面 積		收 穫 高		一 段 步 收 穫 高	
	粟	玉 蜀 黍	粟	玉 蜀 黍	粟	玉 蜀 黍
仁 川 市	85	136	353	579	415	423
開 城 市	5	55	39	55	650	1,000
高 楊 郡	58	128	312	887	536	690
廣 州 郡	1,215	306	6,546	1,542	546	510
楊 州 郡	2,593	337	10,334	1,535	998	455
抱 川 郡	2,244	170	9,203	641	410	376
加 平 郡	749	92	3,317	304	442	303
楊 平 郡	372	142	2,092	865	519	605



關 州 郡	416	253	1,838	1,136	443	448
利 川 郡	566	334	2,603	2,063	458	618
龍 仁 郡	836	170	4,492	1,054	480	620
安 城 郡	350	121	1 91	659	511	541
平 澤 郡	20	253	117	1, 36	559	606
水 原 郡	3,171	852	1 296	3,098	408	362
始 興 郡	397	184	2,141	916	538	600
富 川 郡	113	164	531	707	470	274
金 澤 郡	692	200	290	492	419	408
江 華 郡	268	913	129	373	431	460
坡 州 郡	1,396	235	4,428	1,283	317	468
長 湍 郡	34	98	2,107	324	233	486
開 豐 郡	1,474	199	6,569	835	445	338
延 白 郡	4 39	276	14,405	238	311	10
慶 津 郡	6,615	413	14,916	2,183	229	70
計	29,178	6,036	89,849	23,360	10,218	11,171

京畿道內大麥作付段別收穫高 (1946年度)

郡 別	作付段別	收穫高	1段歩
		町歩	收穫高
仁 川 市	778	6,763	869
開 城 市	61	258	418
高 陽 郡	839	45,728	651
廣 州 郡	2,755	14,720	534
楊 州 郡	4,238	20,234	477
抱 川 郡	2,753	8,472	308
加 平 郡	1,210	5,472	456
楊 平 郡	1,794	11,844	660
麗 州 郡	1,581	11,526	729
利 川 郡	2,048	12,157	588
龍 仁 郡	3,663	22,181	600
安 城 郡	2,615	10,742	411
平 澤 郡	2,371	19,981	697
水 原 郡	4,879	40,288	820
始 興 郡	2,544	17,287	679
富 川 郡	1,532	7,282	475
金 浦 郡	2,777	19,770	712
江 華 郡	2,061	6,642	322
坡 州 郡	2,931	16,278	544
長 湍 郡	1,276	4,286	336
開 豐 郡	1,533	5,714	373
近 白 郡	867	278	326
慶 津 郡	903	6,025	632
計	43,074	313,928	平均 572

土地改良事業

그이전以上敍述한所謂立體的 또는集約的 이라 할만 한

隨種耕作法改良資施外에平延의土地擴張과水利事業 등의所謂土地改良事業으로인한增産은如何。

1946~1947년에互한土地改良事業의成果는如何한가 解放後는그야말로自律的인農産政策에依한增産策이오 決코過去와如한 日人들의掠奪을爲한增産이없인만큼 踏敷施設의有機的인運營으로圖濟하다그불수있어土地改良事業의推進에當하고 있는當局은深慮로邁進하고있다

1946~1947年度京畿道水租運營狀況

水 租 名	課利面積	事 業 費
	町步	圓
水原水租(日旺區)	128	5 400
玉山水租(開豐區)	122	1 326
本營水租、慈津區)	280	1 304
丹川水租( // )	195	10,103
平澤水租(平 澤)	80	1 950
古德水租( // )	208	1 520
西炭水租( // )	74	548
彭城水租( // )	89	660
孔道水租(安 城)	299	4 087
其 他 (小規模)	1,000	16,000
計	2,675	42,898

備考 増收量反當平均1石5斗로서 總增收量은 4,012石이다. 此外에水原郡發安水租490町步에1,317石, 旺松水租480町步의 12,267石 增收가있는데 이것은營團管理에屬한다.

牧 畜 業

多角的農業에는有家畜農業等은單純의그養畜으로因 한使役은안함이라 立體的으로略農業에로의發展으로 因한食糧問題打開, 國産品充當等은外國物資輸入과도 極히緊密한關係에있다. 農牛不足에充當한養牛을미못

하여 小家畜養育에까지 道로서는 他道에 뒤지지 않을만큼 活潑한 運營을 推進하고 있으며 飼料問題解決에 諸多한 障路가 有하나 京畿道는 서울市를 擁하고 있어 消費面에서 多量의 消費가 有한關係로 増産에는 特別한 措置가 必要하다. 解放直後 道에서는 屠殺을 抑制하고 種牡牛을 配當하여 増産을 圖謀하였으나 資金等의 難缺으로 別無 成果이며 38以南과 慶尙南北道에서 의搬入이 없는關係上 益漸 農牛數는 減少一路이며 現在約 87,000頭의 農牛中 年 30,000頭內外의 屠殺이 있었으나 年生産 7,000—8,000頭로서는 不過 數年을 經過하지 못해 畜牛全滅狀 態를 現出하게 될것이며 延白郡等地에서 人耕이 實施된 것은 決코 奇異한 事實은 아니다.

中央廳에서는 이에 對稱하여 140號法令으로 10歲以下의 畜牛의 屠殺禁止를 公布하고 農會에서는 種牡牛을 各郡에 配當하여 全面的 畜牛増産에 努力中에 있으나 今年만 하더라도 若干의 頭數를 他道에서 搬入하였다. 解放時 農民들의 養育熱이 旺盛하여 解放前을 凌駕하는 듯하였으나 血液更新의 不可能으로 品種이 良好하지 못한것이 한가지 難點이다. 그러나 他種家畜에 비해서는 比較的 妥善되는 點이 若少하며 種豚生産與關으로 海來農園이 있으며 傳染病으로 多少被害는 있으나 過히 걱 緊은 없다.

養鷄도 解放後 30,000首를 孵化하여 解放前을 凌駕하고 있으나 飼料不足, 傳染病等의 障路가 있는 外에 最近의 電力不足으로 電氣孵化가 阻滯을 經지 않을것으로 石油으로 燃料을 推進하고 있다.

過去 日軍의 放棄한 軍馬의 拾得으로 因한 馬畜의 數가 各地方에 多數였으나 飼料關係로 廢馬가 擧出하는 現象으로 韓國馬事協會의 連絡下에 畜産協會를 再組織하고 馬産業에 努力中에 있다.

種羊도 約 500餘頭 있으나 飼料難으로 發展性이 없는 形便이다. 乳牛도 解放前 3,000餘頭가 現在는 500餘頭로서 高陽郡 羅島面에는 酪農會社가 있어 新業의 基礎를 準備하고 있다.

解放後 諸般情勢의 混亂은 農民들에게서 永生的인 固定感을 剝奪하여 그餘波가 家畜屠殺으로 因한 消滅面에 波及되었으나 漸次時間의 經過함을 따라 自力으로서 更生의 길을 取할 外에는 生道가 없는 것을 自覺하게 되어 小作農民들의 土地確保함과 더불어 家畜養育에 異常한 意欲이 益日漸盛하여 가고 있다. 今後의 屠殺, 濫殺의 制限과 當局의 適宜한 臨時의 協助獎勵策을 樹立되면 本道의 牧畜業은 有望하다고 斷言할 수 있다. 1947年 6月末 現在의 家畜家禽狀況을 보면 下表와 如하다.

1947年 6月末 現在 京畿道內 家畜, 家禽 狀況

郡 名	牛	馬	豚	兔	鷄
高 楊 郡 農 會	2,567	466	2,173	335	27,293
廣 州 郡 農 會	4,566	154	723	169	41,379
楊 州 郡 農 會	4,588	116	7,443	208	37,741
抱 川 郡 農 會	2,405	5	621	200	19,936
加 平 郡 農 會	2,591	3	819	44	20,935
楊 平 郡 農 會	4,412	—	1,364	—	32,997
驪 州 郡 農 會	3,792	4	1,180	47	26,666
利 川 郡 農 會	3,517	8	1,673	89	47,924
龍 仁 郡 農 會	5,335	11	1,499	578	24,119
安 城 郡 農 會	4,674	41	1,487	223	18,162
平 澤 郡 農 會	4,519	34	929	135	14,429
水 原 郡 農 會	11,436	79	8,197	2,078	75,954
始 興 郡 農 會	3,181	123	2,507	301	33,847
富 川 郡 農 會	2,647	24	2,597	245	22,254
金 浦 郡 農 會	3,605	8	1,625	144	27,152
江 華 郡 農 會	4,333	6	3,789	60	30,629
坡 州 郡 農 會	4,257	19	2,195	67	37,459
長 湍 郡 農 會	2,160	1	1,347	86	22,730
開 豐 郡 農 會	4,465	12	3,846	180	31,668
延 白 郡 農 會	5,368	276	5,295	276	40,362
婁 津 郡 農 會	5,998	47	4,232	65	35,332
仁 川 郡 農 會	1,570	253	2,329	348	13,112
開 城 郡 農 會	168	64	4,067	1,141	2,657
計	92,154	1,754	61,937	7,019	684,737

上記表外에 種畜場이 3 個所로서 廣州, 始興, 甕津으로 되어 있다.

蠶 業

養蠶桑田面積은 본도總耕作(田)面積의 5%假量으로서 겨우解放前의 趨勢를繼續하고 있으나 一般的으로 桑

田에對한 長久한 認識보담 目前의 火急부동救濟하기爲하여 桑田의 他田作에로의 轉移가 많다. 生産되는 繭은 거이 自家消費로 充當되는 關係上 供出成績은 良好라한 수 없으며 繭價가 高騰하든 將來性은 豊富하다. 1946~1947 兩年の 蠶의 作況을 보면 下表와 如하다.

1946 年度 京畿道 內 養蠶 狀況

郡 別	春 蠶				秋 蠶			
	養戶數	蠶數	繭產額	繭生產格	養戶數	蠶數	繭產額	繭生產格
高 陽 郡	463	415	1,007	209,100	397	394	323,317	323,817
廣 州 郡	2,900	1,331	3,609	619,085	2,320	1,286	803,750	803,750
楊 州 郡	4,724	2,675	6,453	1,277,694	4,724	2,000	280,000	280,000
抱 川 郡	3,160	2,025	7,112	1,422,400	2,957	1,975	749,269	749,269
加 平 郡	4,510	3,740	14,080	2,745,600	3,303	2,709	1,089,122	1,089,122
楊 平 郡	2,280	1,655	3,633	744,765	2,267	1,350	526,500	526,500
麗 州 郡	2,466	1,012	4,048	809,600	2,466	950	872,500	372,500
利 川 郡	1,671	705	2,097	432,009	1,221	750	366,016	366,016
龍 仁 郡	3,500	1,750	4,483	890,856	2,819	1,685	1,053,250	1,053,250
安 城 郡	2,977	1,500	5,850	1,181,700	2,380	1,500	937,500	937,500
平 澤 郡	350	308	903	180,600	210	210	49,684	49,684
水 原 郡	1,503	1,134	3,392	712,320	1,178	810	107,900	107,900
始 興 郡	256	328	848	173,840	201	250	193,500	193,500
富 川 郡	188	95	108	23,003	113	60	57,250	57,250
金 浦 郡	880	350	1,450	220,270	704	325	203,250	203,250
江 華 郡	1,020	354	758	151,600	655	250	151,250	151,250
坡 州 郡	1,528	690	1,876	337,680	807	500	166,650	166,650
長 湍 郡	595	300	1,616	290,880	535	298	256,740	256,740
開 豐 郡	280	130	450	99,000	187	87	43,500	43,500
延 白 郡	1,400	761	2,192	430,800	347	400	218,500	218,500
甕 津 郡	773	692	1,732	346,400	932	450	112,200	112,200
計	37,424	21,950	67,697	13,299,202	30,723	18,239	8,562,148	8,562,148

1947 年度 京畿道 內 養蠶 狀況

郡 別	春 蠶				秋 蠶			
	養戶數	蠶數	繭產額	繭生產格	養戶數	蠶數	繭產額	繭生產格
高 陽 郡	411	461	1,809	814,050	285	280	819	318,550
廣 州 郡	2,330	1,606	4,972	2,564,690	2,860	1,610	4,209	1,820,656
楊 州 郡	4,425	2,350	6,212	3,354,480	3,406	1,800	2,700	1,215,000
抱 川 郡	2,827	2,050	6,150	2,687,550	2,856	1,900	5,700	2,644,800
加 平 郡	4,217	3,551	14,428	6,709,240	3,409	2,765	7,560	3,402,000
楊 平 郡	2,393	1,246	3,492	1,711,080	2,184	1,500	3,750	1,752,375
麗 州 郡	2,466	1,021	5,105	2,552,500	2,137	932	3,542	1,593,900
利 川 郡	1,481	760	2,280	934,800	1,207	720	1,800	797,400
龍 仁 郡	3,576	1,430	2,990	1,545,092	3,500	1,488	1,488	921,500

安城郡	2,973	1,400	5,600	2,693,000	2,977	1,393	4,179	1,888,908
平澤郡	350	270	809	364,050	342	230	454	204,300
水原郡	1,419	2,339	2,414	1,158,720	1,224	750	1,749	787,050
始興郡	254	600	756	378,000	201	165	412	199,445
富川郡	132	392	382	171,800	89	55	131	64,800
金浦郡	981	222	222	122,766	445	335	698	251,280
江華郡	920	906	906	412,375	20	210	420	171,100
坡州郡	1,018	2,920	2,920	1,314,000	331	550	1,650	709,500
長湍郡	531	1,360	1,860	669,600	453	310	1,240	446,400
開豊郡	197	250	250	144,630	139	90	180	81,000
延白郡	1,461	2,075	2,075	1,027,125	1,110	650	1,162	470,610
慶津郡	539	2,732	2,732	1,502,600	364	352	1,021	461,350
計	34,957	33,431	68,364	32,832,148	30,589	13,055	44,864	20,201,924

秋蠶에 있어서서는兩年度比가別數差는 없으나 春蠶比는養蠶戶數가減少한데도不拘하고 楮立枚數, 繭生産額, 繭生産價格 어느部門을莫論하고 互值의增加를보이고 있음은諸種의難關을克服하고 一路發展狀態에 있음을如實히證明하고 있다. 桑田面積의增減趨勢은 1947年의 46年의 比로減少되었으나 桑田의田作에로의轉移를볼수 있으나 生産量에 있어서增加하였음은 養蠶技術의優良하여 감을말하고 있다.

茶秋蠶共販額을 보면 다음과 같다.

年 度	供 出 數 量		共 販 價 格	
	千 斤	斤	千 圓	圓
1946年	34,349	11,362	6,394,593	2,774,277
1947年	34,975	—	16,364,936	—

京畿道內桑田面積表 (1946~1947年)

郡 別	1946年	1947年
高陽郡	町步 133	町步 44
廣州郡	393	124
漆州郡	237	102
抱川郡	325	137
加平郡	441	200
楊平郡	323	97
驪州郡	144	56
利川郡	218	52
龍仁郡	178	133
安城郡	271	165
平澤郡	50	31
水原郡	102	59
始興郡	73	9
富川郡	83	6
金浦郡	90	24
江華郡	75	21
坡州郡	152	31
長湍郡	71	28
開豊郡	35	12
延白郡	180	89
慶津郡	138	73
計	3,724	1,493

山 林

燃料不足으로因한盜伐, 愛林思想不徹底로因한盜伐 放火等으로말미아마 山林은日漸荒廢하여가고 있는現 實에비추어 各道가一齊히中央廳의指示에依하여 造林, 砂防, 山林保護等에積極의인努力을傾注하고 있다. 本道에서모그指示에힘입은바있어 林政의三大目標을 樹立하고그達成에邁進하고 있다. 三大目標은造林, 砂防, 保護로서 造林에關해서는他道와같이造林十個年計劃을樹立하였다. 來年度實施한豫算으로서實施面積이 351,000町步인데 京畿道總面積 720,000町步의 約50%로서造林苗木은 5億 5千 8百萬本으로서 所要經費는17億 5千 8百萬圓이다. 此計劃實施에隨伴하는 第一次의難關으로서 苗木事類이다. 天然落種으로因한 自然生苗도있으나 苗木確保의必要性은말할것도없다. 苗圃의現況은64個所있으나 今年度種苗豫算量은 2千 9百萬本으로 今後は約 5倍以上을擴張한豫定이다.

다음砂防은砂防管理所가 3個所(서흥, 利川, 水原 各 1個所)이고出張所가 서흥3, 利川8, 水原9로서 都合25個所이며 約100名의職員이配從되어있다. 今年 度施工面積은 720헥타(約720町步) 施工費가 1,296萬圓, 1町步當 7萬 8千圓이다. 이것은主로山地砂防만 이다.

野溪砂防은延長數10km, 工費가300萬圓, 1km當工 費가30萬圓, 山地, 野溪合計가 1千 5百96萬圓을計上 하고 있다.

43年以降砂防事業의10個年計劃은山地砂防이 72,000

척터, 施工費15億7千7百萬圓, 1척터當工費가21,800圓이며 野溪砂防10年計劃은施工延長이763km, 工費가6千1百萬圓, 1km當經費가80萬圓으로서山地, 野溪合計가21億8千8百餘萬圓이다. 이것은人件費를除外한事業費로서人件費를加算하면實로巨額에達한다.

山林保護에 있어서는各郡에郡山林署, 地方에는地方山林署를設置하고 郡에는山林警正, 面에는1面1人의山林警佐를配置하고 있는데 總人員數는301名이다. 서울은京城山林保管區11管區가 있어 서울隣郡의國有林保護에當하고 있다. 薪炭의需要及供給量을보면 1947年度는生産豫定以上으로供給을하게되어 서울市에4,000坪供出으로70%供出, 薪炭은51萬俵豫定에서10%以上을供出하고 있다. 郡間의交流는輸送關係로遲延되고 있으며 特히 開城, 水原, 開豐이受應되고 있으나 延白의草炭(或云土炭)을使用하도록하고 있다. 山林燃料補償資金으로는 平澤에入荷된草炭補助金 100萬圓, 薪炭生産資金補助金900萬圓, 榮苗資金이900萬圓이다. 本道林政上第一은打撃은 서울市를擁한만큼被害가莫大하며 消費量이巨大한點이다. 都市隣近及山

地邊의森林附近의保護를하기爲하여 林道造成에關心을가지고奧地의山林을可及의伐探하도록하고 있다.

1946年度被害件數를보면다음과같다.

京畿道內山林被害狀況 (1946年度除서울市)

盜 伐	1,105件
森 林 火 災	68 //
無 許 可 採 伐	408 //
開 墾	215 //
誤 伐	—
計	1,796 //

1946年度國有林(京城山林保護區)被害狀況

盜 伐	356件
開 墾	171 //
火 災	2 //
風 水	10 //
雷 害	—
其 他	19 //
計	558 /

府郡別林野面積及蓄積을보면下頁와如하다.

京畿道府郡別林野面積及蓄積表 (1947年9月末現在) 付長新薪炭計劃生産量

郡 別	總 面 積	立 木 地 面 積	總 蓄 積	長 斫	薪 炭
仁 川 市	6,925	543	26,694	1,000	00
開 城 市	805	225	6,102	100	2,000
高 陽 郡	14,874	3,386	15,605	1,300	2,600
廣 郡	47,950	15,343	441,341	21,000	61,000
楊 郡	70,934	14,181	283,243	20,000	72,000
抱 川 郡	34,648	7,690	267,461	30,000	45,000
加 平 郡	48,273	14,049	916,836	45,000	124,000
楊 平 郡	68,190	17,092	491,027	37,000	40,000
麗 州 郡	39,310	4,480	35,918	3,000	13,000
利 川 郡	24,803	2,064	42,424	2,000	11,000
西 仁 郡	39,815	8,312	134,410	8,500	22,000
安 城 郡	31,536	4,089	93,938	4,000	20,000
平 澤 郡	13,999	798	16,598	1,200	4,000
水 原 郡	45,198	5,605	52,678	8,500	14,000
始 興 郡	19,33	2,967	51,768	5,500	6,000
富 川 郡	19,569	2,061	12,093	900	1,000
金 浦 郡	12,753	1,540	8,802	600	1,500
江 華 郡	19,467	3,319	57,192	2,500	8,500
坡 州 郡	31,862	6,321	63,270	2,000	21,200
長 湍 郡	11,680	1,118	23,609	700	7,000
開 豐 郡	21,146	1,761	31,314	3,000	11,000
延 白 郡	17,352	312	3,643	400	1,000
龜 津 郡	61,096	993	14,382	800	2,500
計	701,568	118,249	3,090,348	200,000	490,500

1947年度京畿道木材需給計劃 (單位石)  
(1石=長10尺斗木材的四方1尺)

	電 柱	坑 木	枕 木	建 築 材
需 要 量	10,000 <sup>石</sup>	92,000 <sup>石</sup>	92,000 <sup>石</sup>	118,000 <sup>石</sup>
生 產 量	4,000	1,000	—	76,000
搬 出 量 (對 外 需)	6,000	—	80,000	42,000

### 3. 鑛 工 業

鑛山을開發하여外國借款을形成시켜야할今日、本道로서도鑛山開發은因燃料問題打開、外資獲得은多大關心을가지고이에臨하고 있으나 鑛工業及一般工業運營上 四大難關이橫在하고있다. 原材料、勞資、技術、資金等인데 靛中原材料難이甚大하다. 本道는山地가있어鑛山을가지고있는한便、平地와海岸線을달은交通、大都市接近等、其他工業發展의立地條件이比較的優越하여 仁川、開城及서울附近은말할것도없고、利川、始興、廣州、楊州等의諸郡에서도事務所를서울에두고 工場、事業場等이多數在하고있어 機械、電氣、化學、食料、造船、木材、窯業等이他道에比하여均衡的으로運營되고있다. 仁川은西海岸風托의貿易港으로서 그發展이크게約束되고있을뿐아니라 工業都市로서 더욱靛重工業과造船、機械、食料品工業의發展性은南朝鮮에서 釜山과比肩하여 工場分在狀態를보든지 諸般工業의舉皆가거이仁川을中心으로하고있다. 敝産工場의配置를보더라도 總工場200個所中 仁川에135 即 50% 以上을가지고있다.

서울市를除外한京畿道總工場數는 約1,600個의多數가있는데 稼働率은平均하여總設備에對하여60%假設이며 各工場은30~40%의作業能率을가지고있다. 解放後新設된것으로는精米工業이首位를차지하고있으며 他道에서는稀少한機械、電氣、造船、藥品、鑛器等の工場이比較的 많은것이다. 鑛山은1945年8月15日現在 큰大小合하여 202鑛山이있으며 그中大鑛山이라할만한것은次記하는9個鑛山이다. 그中金銀鑛이43、特殊鑛이102、其他가57個所있다.

現在作業中에있는鑛山은 慶津의金銀鑛、海州의砒山鑛山、梧柳의黑鉛鑛、漣川의無煙炭、金浦의無煙炭等이다. 一般으로敝産鑛은現在開發하지않고있으며 特殊鑛은鑛工局의許可를얻어서開發하고있다. 如何은무엇보다도中小商工業의開發、振興에重點을두고 特産物(螺鈿漆器、竹製品)을積極獎勵하여外資獲得에努力하는同時에大工業發展의基礎를形成함이鑛工業再建의捷徑이라한다. 다음에各工業別로 이를概觀하여가면다음과같다.

### 木 材 工 業

工場名	所在地	生産品名	從業員數
朝鮮林産業株式會社	始興	木材、長斫、木炭	78
朝鮮王冠製造所	仁川	병마개	42
仁川造船株式會社	安養	函材	28
富林商會	仁川	建材料一切	49

### 食 料 品

工場名	所在地	生産品名	從業員數
東洋食料品工業株式會社	始興	菓子一切	50
安城製飴製菓組合	安城	製飴製菓	90
朝鮮化學工業株式會社	仁川	水飴	35
東和製粉工場	//	파타이트	19
朝鮮菓子株式會社	水原	麵、醬油、味噌	19
楊平酒造株式會社	楊平	藥酒、濁酒	21
利川酒造株式會社	利川	藥酒、濁酒	21
水仁釀造場	水原	藥酒、濁酒	21
嘉仙釀造株式會社	仁川	清酒	30
朝日醬油株式會社	//	醬油	60
野田醬油株式會社	//	醬油、味噌	157
鹽津商會	長湍	鹽、蝦油、乾蝦、生魚	28
有限會社昭和食料品工業所	高楊	가래、水飴、小麥粉	27
安養農合作社	始興		42

### 窯 業

工場名	所在地	生産品名	從業員數
朝鮮유리工業株式會社	仁川	板유리、醫藥器、化學器	
朝鮮陶器株式會社	楊州	飲食器、便器、耐火煉瓦、電氣器具	110
大東煉瓦工業所	廣州	朝鮮瓦	30
朝鐵煉瓦合資會社	高楊	煉瓦、蓋瓦	117
合資會社京城煉瓦	靈島	煉瓦	450
朝鮮耐熱窯業株式會社	富川 栗砂	耐火煉瓦、風爐、九穴炭	37
城東煉瓦工場	楊州	燒煉瓦	37
廣州煉瓦工場	廣州	普通煉瓦	50
朝鮮硝子工場	高楊	各種醫療器	33
合資會社京城煉瓦	//	普通煉瓦	62

白光院化學所	江華	製藥瓶、醫療器、理化學器具	70
朝鮮企業株式會社	高楊 蘆島	煉瓦	75
江華窯業株式會社	江華	耐火煉瓦	66
朝鮮窯業株式會社	仁川	煉瓦	100

化 學

工場名	所在地	生産品名	從業員數
水原성당製造所	水原	家庭用성당 小型並型	223
金剛製藥所	서늘	藥品 (可레 남注射)	110
三共隣寸株式會社	始興	三共隣寸	146
朝鮮아이야工業株式會社	始興	自動車아이야, 中袋, 工業用品	210
株式會社柳崎洋行	富川	藥品	118
開城고구工業社	開城	總立旱鞋, 運動靴, 再生고구	128
渡邊皮革京城工場	始興	牛皮革코트트	175
朝鮮化學肥料株式會社	仁川	化成肥料	72
仁川고구工業社	//	總立旱靴	145
朝鮮성당株式會社	//	성당	150
京城化學工業株式會社	//	醫療藥品	196
三王製紙株式會社	始興	裏紙, 洋紙, 仙貨紙, 薄紙	102
安城製紙組合	安城	紙	116

織 維

工場名	所在地	從業員數
多爾棉業株式會社	仁川	278
朝鮮纖維工業株式會社	//	357
東洋紡織在朝鮮美軍政廳管理所	//	795
松高農業場	開城	244
東洋纖維牧草業株式會社	//	184
新興纖維工場	//	128
鮮京織物株式會社	水原	106
朝鮮織物株式會社	//	377
愛國纖維株式會社	//	220
朝鮮農業工社	平澤	295
朝鮮大和紡織株式會社	廣州	237
京城織株式會社	楊州	378

朝鮮絹織株式會社	江華	726
----------	----	-----

機 械 電 氣

工場名	所在地	從業員數
東洋電線株式會社	仁川	751
三菱電氣會社朝鮮製作所	//	192
朝鮮農具製作所	開城	63
西鮮合同電氣會社	//	148
朝鮮農具株式會社	水原	222
水原機械製作所	//	46
朝鮮重機工業株式會社	始興	457
朝鮮電線會社	//	210
朝鮮化工株式會社	平澤	67
月急機製作會社	安城	170
朝鮮語發工業會社	//	155

鐵工業、印刷工業

工場名	所在地	從業員數
松島染工場	開城	43
楊平鑄器製作所	楊平	8
韓一鐵工所	利川	10
利川印刷所	//	16
安城鑄器製作所	安城	9
朝鮮鑄造線式楊柳洞工場	富川	303
朝鮮鑄造索砂工場	素砂	156
長湍鑄器工場	長湍	14
大永鐵工場	延白	11
天台鐵工場	//	14
慶津織物工場	慶津	15

其 他

工場名	所在地	生産品名	從業員數
合成洋行	仁川	洋灰, 土管等	35
朝鮮형트工場	高楊	형트	31
朝鮮外山式鐵道枕木安養工場	安養	枕木	30

敝處工場分布를 보면 總數 201個所인데 仁川135, 富川16, 開城1, 水原11, 楊州5, 延白1, 麗州1, 始興25, 江華2, 開豊1이다.

敝業에 관한 敎學的 現況은 右와 같다.

鑛 山 名	所 在 地	鑛 種	從業員別	生 產 品 及 敵 產 非 敵 產
漣 川 炭 鑛	坡 州	無煙炭	250	(敵)月350坵
金 浦 炭 鑛	金 浦	//	100	(敵)月150坵
慶 津 鐵 山	慶 津	金銀鐵, 銅亞鉛	600	(敵)
海 州 鐵 山	海 州	/	600	(敵)月粗鉛平均500坵(金銀鐵)
梧 柳 鐵 山	富 川	黑鉛	160	(敵)月平均600坵 鱗狀黑鉛)
檜 泉 鐵 山	楊 州	高嶺土	40	(敵)日60坵
大 報 鐵 山	加 平	金銀銅	150	非敵
龍 鳳 鐵 山	延 白	金銀	90	非敵
三 勝 鐵 山	龍 仁	金銀銅	40	非敵
計	9 個 所		2030	

#### 4. 水 產 業

農業와 工業方面에 있어서도 특출한 成果와 現狀을 維持하고 있는 本道는 水産業도 이에 못지 않게 盛況을 보이고 있다. 延坪, 德陵의 조기잡이는 全朝鮮의 名産과 多産産인 爲에 對中國貿易의 好適한 物資이며, 生魚대도 또는 加工하여 그야말로 水産業者들의 企圖及 生活潤澤劑로서도 多角의 活活動을 보이고 있다. 西海岸과 港灣인 仁川은 비록하여 道界內一帶에 散在한 島嶼에 根據로 漁期의 出漁는 자못 好況을 말하고 있으나, 他處에서의 陸路는 本道에도 時々 刻々으로 阻道하고 있으나, 무엇보다도 資材原料의 大幅의 缺乏이다. 本道에서는 外貨獲得을 主目標로 水産加工業을 第二次의 指目으로 하여 漁業에 對해서는 積極의 施策을 計劃하고, 그 數字의 把握과 施設充에, 萬難을 克服하고 邁進中에 있어 道水産業將來는 크게 瞻望되고 있다.

各地 漁業組合 (漁業組合聯合會, 仁川漁組, 北島漁組, 嶺南漁組, 江華漁組, 開豐漁組, 富川漁組, 龍遊漁組, 松島漁組, 此外에 水原에 2 個, 漢江에 2 平澤에 2 金浦에 2 個 計8)에서 漁獲組木楊高와 水産概況을 보면 다음과 같다.

京畿道 水産概況 1947年 3月末 現在)

1. 水産業者戶數	29,401戶
2. 水産業者數	80,515人
3. 漁業用船舶數	
漁船 無動力	5,863隻
// 動力	4,016隻
4. 運搬船 無動力	894隻
// 動力	5,045隻
計	15,823隻
5. 總漁獲量 1946年	163,919,956圓
6. 無許可漁業數	383件
7. 許可漁業件數	967件

#### 5. 商 況 及 金 融

##### 가, 商 況

正札制實施는 京鄕을 莫論하고 各末의 效果도 없다. 根本의 重點에 있어서 弱點을 內包한 正札制實施는 今日에 와서 如斯한 結果를 招來함 이 決코 奇異한 現象은 아니라 할 줄, 擁塞한 民生問題解決에 一助도 되지 못하였음은 遺憾이라 하겠다. 開城, 水原과 같은 比較的 市況이 活潑한 都市에서도, 商人들의 恣意의 價價格制가 平常化하였으니 他地方에는 더 말할 必要도 없다. 解放後 本道 商況은 仁川港을 中心으로 한 私貿易에서 오는 中國의 食料品, 出處不知의 高價한 舶來品의 獨壇場으로 化한 感이 없지 않으며, 物資交流에서 不正常的의 國內商業은 季節의 小變動을 除하고는 資金, 購買力減退, 物資買占, 隱匿等으로, 物資의 暗流가 主로 되었고, 外面에 鬻탄난 公正價格과, 生必品 配給等은, 그 全體의 比重에 있어서, 成果가 자못 微弱함을 볼 수 있다. 山岳에 隣接한 幾個의 郡을 除하고는 必需品이라 할 만 한 燃料, 食糧, 衣料等은 서울과 別無差異이며, 延白의 草炭이 仁川, 開城等地에 搬入되었으나 燃料問題解決에 別모도 容됨이 없다. 各地에는 所謂自由市場이 續々增設되어 關物資去來가 公然하게 行하여지고 있으며, 正常的인 商業은 그 資金面에 있어서도 極度의 硬塞을 當하고 있는 現狀으로서, 高利貸金業의 橫行은 月2割—3割 假量까지 普通으로 생각하겠던 程度가 되고 있다.

物價는 騰貴一路이며, 停歇으로 인한 洋燭, 石油, 칸티타, 카-바이트, 等의 暴騰은 細窮民의 生活을 加一層 塗炭에 使트리고 있다.

##### 나, 金 融

京畿道의 金融問題는 서울市의 獨立前과 獨立後에 顯著한 差異를 呈함을 볼 수 있다. 서울市가 特別로 異格하기 前에는 資金融通에 比較的 疎通이 顯著하였다. 即



金聯의 서울支部와 地方金融과의 連絡이 緊密하였던만큼 所謂低利金融이 農村을 對象으로 貸出되었던 까닭이다.

그런데 서울시가 獨立된 뒤로는 (勿論 全朝鮮의 人見地에서 變遷의 金融緩慢狀態인 만큼, 이것의 主體的인 影響도 있었으나) 金聯의 機構의 變動으로 말미암아 資金은 益漸逼迫하고, 低利資金은 全然活動을 보이지 않고 있어 農村은 勿論 地方中小都市에 있어서 高利貸金業의 旺盛이 一般產業에 미치는 影響은 實로 殊忽히 못할 것으로 보인다. 總流通高, 預金貸出, 等の 金融基調는 特別市으로 獨立前後를 莫論하고 서울시를 中心으로 變動하여 왔는데, 金融은 서울시에 依存하고 있다. 當道에서도 他道他地方과 같이 中央과 地方과의 金融에 關한 諸般問題는 亦是 地方的 重點에 달할 필요도 있으나, 一元의 中央의 強力한 金融對策이 要望됨도 이를 輕視할 수는 없다.

(附) 管財問題

38° 以南朝鮮의 歸屬財產의 約70%를 占하고 있는 本道로서는, 그 財產의 管理, 運營, 存積에 이르기까지에 있어서, 그 効率如何가 本道經濟에 미치는 影響率은 實로 큰 것이 있다. 不動產인 土地와 建物은 말할 것도 없고

(完) 以上主로 京畿道 應提供資料에 依함

※江原道 (P. 71 江原道 末尾에서 繼續)

(附) 1. 食糧問題

累次에 言及하였으나 食糧問題는 本道의 가장 關心事이고, 道勢全般的 推進의 原動力은 오로지 食糧問題 解決에 있다. 解放前에 있어서도 滿洲에서 每年 50餘萬石의 雜穀을 輸入하였던데, 現在에 있어서는 每年 40餘萬石의 米穀을 他道에서 輸入하여도, 春窮期에는 松皮餅, 고사리, 芫芻根, 福餅, 蕪豆, 瓦粉, 山菜 등으로 僅々 延命하는 現狀이다. 따라서 食糧供出成績의 比較的 優秀한 成績을 現出함은, 食糧의 餘剩에서 오는 것이 아니라, 本道 食糧事情의 特殊한 것이 公認된 點으로부터야 一種 自家米의 共同管理方法으로써 米穀供出을 取扱하는 까닭이다. 今年度 夏穀收集割當은 16,500石 割當에 17,000石 收集으로 103%의 絕對인 好成績을 내었음도 그 一因이 여기에 있는 것

(完) 以上 現地出張調査資料에 依함

接現在도 隘路를 開拓하여 가며, 稼動中에 있는 重要生産機關이 仁川을 中心으로 集中되고 있으며, 始興, 廣州, 楊州 등으로 工事深場 工場場이 分布되어 있다. 朝鮮工業의 中樞의 存在가 거이 本道에 集在되어 있다 하여도 過言이 아니다.

歸屬財產의 動產, 不動產의 比率는 土地, 住宅, 工場의 順이며, 什器, 鑛山等도 莫大 量을 차지하고 있다.

各工場 民生産機關에 對한 管理方針은 他道와 다를 것이 貸借契約과 管理로 되어 있는데 지금까지는 管理하는 便이 있으나 漸次 拂下하여 貸借契約으로 移行하고 있다. 郡別로 보더라도, 서울시나 中央地帶과 別無 差異로서, 土地가 第一位를 占하고 있는 것은 注目할 現象이며, 土地問題, 食糧存産은 現段階에 있어서 經濟的인 問題인 만큼 그 歸趨가 重要視되고 있다. 拂下에 關해서는 解放後 主로 工場企業體 拂下에 重點을 두었다가 昨年 10月 頃부터는 住宅 拂下에 까지 이르러지고, 現下 額々 申請을 接收中에 있다. 그리고 拂下 對象에 있어서서는 이 때까지는 現在의 契約者에 對한 優先權을 付與하고, 從來부터 實施하여 오던 貸借調查는 至今도 繼續 實施中에 있다.

이다.

1946年度 他道米 搬入은, 40萬石 假設인데, 그 內容은 雜穀 28萬4千石, 米穀 18萬4千石 合 36萬石이다. 1947年은 約50萬을 搬入하야만 겨우 米雜穀合計 2合의 配給을 保障할 程度이다. 1947年은 豐年이라 하나 收穫實績을 보면 그야말로 「미당凶年」을 未達하고 있다

2. 管財問題

本道에서는 歸屬財產 處理에 있어서 拂下에 重點을 두지 않고, 道內 敵產의 實態 調査를 하기爲하여 嚴密한 計劃下에 實施하여 今年에 이르러도 繼續 實施하는 間 便 拂下도 開始하였다.

歸屬財產의 圓滿한 運營은 곧 今日의 本道經濟 特別 產業系列의 再建에 있어서, 重點主義의 施策과 아울러 財產의 保管, 再生産過程에 積極의 推進이 必要하다.

# ★ 서울 市 (SEOUL CITY)

目 次	
1. 概 觀	3. 工 業
地勢、人口、一般經濟動向	
2. 農 業	4. 商況、物價、金融

## 1. 概 觀

李朝五百年의 都 邑 으로서 漢陽서울의 歷史는 그대로 近代朝鮮의 發展前夜의 胎動育成과 이에附隨한 陣痛의 記錄이 였다. 即1876年 江華條約以來 港都仁川을 玄關口로 擁하게 된 서울은 不得已日帝侵略의 先鋒을 被蒙한 關係로 自然그 放縱無道한 植民地 放略의 溫床이 되었고 畸形的인 日 本式朝鮮文化의 中心이 되었던 것이다.

解放된 서울은 이러한 雜難한 遺産을 繼承한채, 다시 整理安頓시 刻餘裕도 없이 크게 分立된 二大思潮의 集中交流를 보게 되었음으로 政治、經濟、文化各面에 있어서, 豫想外의 明暗樣과 混亂이 展開되고 있다.

南朝鮮歸屬財產의 70%가 京畿道地區에 實在하며, 그 大部分이 서울市에 所屬되고 있음으로 보아 日政40年間의 中樞神經이 였던 것을 再認識하는 同時에, 如斯重要한 國家의 財產의 運營如何가 解放以後의 市의 經濟政策의 中心課題이며 나아가 朝鮮經濟의 再建成績을 左右할 實勢를 갖고 있는 것이다. 商業에 있어서 物資集散이 旺盛한 뿐만 아니라, 工業에 있어서 重工業輕工業을 網羅하고 特히他 地方及都市에서는 볼수 없는 有機化學、精密機械工業等이 市外廢地區에 設置된 工業地帶에 널리 分布되어 있다. 一面 農業이라고는 指摘할 程度도 되지 않으나, 蔬菜、園藝、特用作物이 都市의 副食物提供役割을 하고 있다. 國都로서 서울은 如此한 朝鮮의 經濟의 中心인 同時에 海外諸國과의 緊密한 通商外交를 通關國際的經濟都市로써 國家再建의 推進機가 될 것 이 期待되고 있다.

當市의 人口는 解放後 38以南에서 最高의 增加率을 보

이고 있다.

1944年度 南朝鮮總人口에 對한 比率은 5.2% 解放後의 人口推移는, 1944年度에 826,118 名이며 1946年度는 1,141,766名으로 315,648 名의 增加이요 增加率은 38.2%로서 南朝鮮都市中 最高率이다.

男女別로 보면 1944 年度 男子 410,015 名 1946年度 576,608名으로 166,593 名增加 增加率은 40.6%이고 女子는 1944年度 416,103名이요 1946年度는 565,158名으로 149,055 名增加 그 增加率은 35.8%이다.

## 2. 農 業

清涼里、永登浦地區에는 多少의 畜이 數在하나 市區對內의 農作地는 殆半이 田作으로서 主로 蔬菜栽培로써 都市市場을 相對로 市民의 副食物을 供給하는 小規模作農이다. 米穀生産은 揭記한 單한 것보 못되나, 市區對內耕地의 變遷은 알기爲하야 概括하건대 1946年末 現在로 畜이 437町步、田이 1,620 町步로서 總耕地面積(田畜合計) 2,057町步의 60%가 田作이다. 營農種別로 보면 自作이 225町步 小作이 1,832町步이다. 1戶當耕作面積은 自作이 1町7反 小作이 4反으로 極히 零細하다. 農家戶數를 보면 總農家戶數 2,884 戶中 專業이 2,225 戶로서 亦是 專業이 많다. 그러나 이 專業이라는 것은 半商人의 性質을 띤 것으로서, 自作하야 自力으로 市場에 outputs 하여 販賣하는 實情임으로 實質의 으로는 兼業이 타할수 있다. 土地廣狹別로 보면 10町步以上은 1戶도 없고 小作에 들어서 5反步未滿이 第一位를 占하고 있다.

農家에 關한 諸般計數를 參照하여 보면 다음과 같다.

서울市 田畜別耕地面積表 (1946年末)

土地臺帳登錄耕地			土地臺帳未登錄耕地			合 計		
畜	田	計	畜	田	計	畜	田	計
4,370	15,998	20,368	4	202	206	4,374	16,200	20,574

自作小作別耕地面積表 (1946年末)

自 作				小 作				合 計		
田	畜	計	一戶當	田	畜	計	一戶當	田	畜	計
1,962	281	2,243	17	14,238	4,093	18,331	4	16,200	4,374	20,574

民族別農家戶數表 (1946年末)

朝鮮人		中國人		其他外國人		合 計		
專 業	兼 業	專 業	兼 業	專 業	兼 業	專 業	兼 業	計
戶 2,197	戶 649	戶 38	戶 —	戶 —	戶 —	戶 2,235	戶 649	戶 2,884

地主及被傭者別戶數表 (1946年末)

地 主		被 傭 者		合 計		
專 業	兼 業	專 業	兼 業	專 業	兼 業	計
戶 82	戶 54	戶 69	戶 188	戶 151	戶 242	戶 393

營農種別農家戶數表 (1946年末)

自 作		自作兼小作		小作兼自作		小 作		其 他		合 計		
專	兼	專	兼	專	兼	專	兼	專	兼	專	兼	計
戶 55	戶 35	戶 46	戶 111	戶 169	戶 51	戶 1,941	戶 420	戶 10	戶 46	戶 2,221	戶 663	戶 2,884

土地廣狹別農家戶數表 (1946年末)

經 營 別	10町步以上	5町步以上10町步未	3町以上5町未滿	2町以上3町未滿	1町以上2町未滿	5反以上1町未滿	5反未滿	土地耕 不作 地 家	合 計
自 作	—	—	—	—	31	39	51	29	150
自作兼小作	—	2	3	3	36	63	90	—	197
小作兼自作	—	—	—	3	28	82	149	—	262
小 作	—	—	76	161	332	1,256	445	5	2,275
合 計	—	2	79	167	427	1,440	735	34	2,884

甘藷及馬鈴薯의 作付反別表를 보면 下表와 如하하, 永登浦地區가 田作物로 作는 第一廣大한 面積을 가지고 있다.

甘藷及馬鈴薯作付反別表 (1946年末)

區 名	甘 藷	馬 鈴 薯	合 計
麻 浦 區	3反	14反	17反

龍 山 區	3	24	27
東大門 區	4	26	30
永登浦 區	56	80	136
西大門 區	—	47	47
城 東 區	—	11	11
合 計	66	202	268

甘 藷 及 馬 鈴 薯 生 產 高 表 (1946年末)

甘 藷					馬 鈴 薯				
作付段別	收穫高	一段步 收穫高	單 價	價 格	作付段別	收穫高	一段步 收穫高	單 價	價 格
反	15,800	179	40	632,000	反	157,896	387	25	3,947,400

雜穀에는 馬鈴薯及甘藷가 大宗이나 大小豆, 玉蜀黍類보다 比較的多量이 生産되고 있다.

雜穀作付段別及豫想收穫高表 (1946年末)

種	作付段別	豫 想 收 穫 高		前年度實收高에對한增減	
		反	石	反	石
大 豆	134	128	△	11	
小 豆	18	14	△	5	
粟	72	71		13	
蜀黍	31	29	△	4	
玉蜀黍	4	—		—	
蕎麥	18	17		12	
甘藷	85	11,100	△	5,900	
馬鈴薯	234	79,250		33,000	
大(麥配合)	357	300		112	
裸麥	—	—		—	
小麥	31	21		12	
合 計	984	90,930		27,229	

△은減을表示

特用作物은市街地에近接되어 있는만큼, 肥料入手가容易한가닭에있었으나 面積이狹少하여 糧穀及蔬菜栽培는 그成果가難期한關係로 他地方에서는 보기 드문 作物栽培現象을보이고있는것이다。

特用作物作付段別及收穫高 (1946年末)

種 別	作付段別	收 穫 高	一 反 步 收 穫 高
		斗	合
胡 麻	30	78	260
荏 苳	10	70	700

葛 根	8	54	675
杞 菊	—	—	—
除 虫 菊	—	—	—
薄 荷	—	—	—
計	48	202	均 545

即 서울市外廓地區에있어서 서울市民에게新鮮한 副食物을提供하는 蔬菜栽培야말로 耕作者需要者雙方에有利한 立地條件을갖고있는것이나,

耕作者는 運搬費의巨額을支出함으로 日的地에서 販賣할수 있는것이必要하는따라서, 比較的廉價한副食物을採食할수 있는同時에, 都座에疲憊한心身을不過 數分의徒勞로써外的 또는 內的으로 享樂할수 있게하는 自然의인惠澤을입는다. 東大門을나서서 往十里로, 清凉里로, 또는永登浦葛梁庫으로滿員의冠車들달이던 靑黃紅綠의各種菜蔬가 향긋한香氣가더부러車窓에들어올 때, 그菜蔬의經濟的 主로菜蔬價値上으로본食料品이라는 觀察보다도都心에서 뒤덕이는都市人들의 感覺(視覺臭覺)을刺戟하는同時에 食慾의衝動을誘起시키는것으로보아, 서울市郊외의蔬菜栽培는 多角의인惠義를가지고있다고볼수있다。

耕地面積으로는白菜, 蘿蔔(大根)이優位를차지하고 南瓜(호박)胡瓜(물오이)法蓮草(시금치)等은比較的의 廣闊面積을保有하고있다。

蔬 菜 生 產 表 (1946年末)

種	作 付 面 積	收 穫 高	反 畝 數 量	單 價	價 格
	反	百	百	百	千圓
羅 蔔	1,800	1,260,000	60	26	32,760
白 菜	6,800	4,080,000	600	32	130,560
甘 藍	100	100,000	1,000	40	4,000
葱	1,000	500,000	00	30	40,000
茄 子	285	104,000	400	50	5,700
胡 瓜	633	379,800	600	30	11,394
南 瓜	982	185,600	800	20	15,712
甜 瓜	34	27,200	800	25	670
蕃 茄	225	90,000	400	50	4,500
法 蓮 草	383	114,900	300	20	2,298
大 蒜	55	5,500	100	150	825
蕃 椒	131	39,300	300	20	2,298
芹	69	13,800	200	80	1,104
其 他	2,503	1,012,000	400	30	30,436
合 計	15,000	7,912,100	—	—	282,257

蔬菜의 다음에는 果實이 또한 四季의 季節에 따라 서울市의 美觀과 嗜好에 加一層豪華를 加하고 있다.

收穫高는 농금, 葡萄의 順이며, 1946年度 生産價格은 2千 1百萬圓에 達하고 있다.

果實生産高 (1946年末)

種 別	栽 培 別	收穫高	實當平均價格	價 格
在來種 苹果	258	77,400	100	7,740
葡 萄	200	40,000	300	12,000
柿	8	4,000	120	480
李	2	1,200	100	120
其 他	172	17,200	50	860
計	640	139,800	670	21,200

狹少한 面積에서 나오는 米穀의 收穫高는 얼마나 되며 收穫成積은 어떻게 하면 次表가 表示하는 바와 같이 收穫率은 極히 優良하다.

米穀收穫成積表 (1946年末)

收穫回數	粗 穀			對當의 訂算 比較率
	梗 米	糯 米	合 計	
第 1 回	3,545	—	3,545	118
第 2 回	301	—	301	0.09
第 3 回	30	—	30	0.01
合 計	3,876	—	3,876	128

敍上한 米穀, 雜穀, 麥穀, 特用作物, 果實, 蔬菜等, 都市郊外의 園藝에 있어서 肥料은 如何히 調達하며, 또 어떤 程度의 肥料을 使用하는 냐는 것은, 農作 運營에 있어서 第一主眼한 것이다. 特히 特用作物 같은 것은 肥料如何에 따라 收穫의 增減差가 莫大한 것이다.

堆肥製造成積表 (1946年末)

農 家 戶 數	堆肥製造戶數	堆 肥 製造量	一戶當 製造量	耕 地 面積	一反步 製造量
2,884	1,175	129,250	110	20,574	50

肥料消費高表 (1946年末)

肥料名	數 量	單 位	金 額
人 糞 尿	2,881,000	圓	2,881,000
草 木 灰	130,000	圓	1,300,000
鳥 糞	8,000	圓	160,000
堆 肥	85,000	圓	510,000
綠 肥	41,000	圓	246,000
計			5,097,000

### 3. 工 業

1946年末 現在市內工場數는 機械工業의 工場數 354個 最先頭로 纖維工業이 331個, 化學工業이 129個, 食料品工業이 69個, 皮革工業이 46個, 木材工業이 44個, 電氣工業이 30個, 印刷業이 27個, 窯業이 13個, 建築業이 13個, 其他가 16個로 되어 總工場數는 1,065個工場이다. 上記中 從業員 40~60名以上의 工場단 의 總從業員數를 보면 (重工業工場에 限하여 본다) 機械工業이 2,583名, 纖維工業이 2,868名, 印刷, 建築, 木材其他가 合하여 521名, 化學工業이 1,568名, 皮革工業이 1,840名, 食料品工業이 578名, 窯業이 1,018名으로 總計 10,973名이다.

以上數字는 技術者, 事務員, 見習生을 全部一括하여 計上한 것이다. 다음 從業員 15人 以上의 主要工場을 表示 摘記하면 總工場數 1,065個 工場中 歸屬 官營工場이 機械工業이 10個 工場으로서 總調査工場數 15個 工場의 90%를 占하고 있다. 纖維工業은 調査工場數 15個中 5個 로서 約 1/3이나 調査치 않은 工場은 從業員이 比較的 僅少한 것으로서 敝産이 많지는 않을 것을 參酌하면, 亦是이 數字로서 確定한 比重을 알기는 難하나 概況을 推知할 수 있다. 印刷, 建築, 木材, 其他 6個 工場調査에 敝産工場이 2個所, 化學, 食料, 皮革, 窯業, 燃料, 合計 21個 工場中 敝産이 9個 工場으로서 敝産의 占하는 比重이 큰 것을 알 수 있다.

主要工場의 概況을 보면 次表와 같다.

서울市 主要工場名 及 生産概況 (1946年末 15人以上 主要工場摘記)

業種別	工 場 名	所在地	從業員數	生 産 品 名 及 月 生 産 量	備 考
機 械	西大門 機械製作所	市 內	29	各種 原動機, 鐵山 機具, 農器具, 化學用具,	非敝産
〃	授 協 鎗 器 工 場	〃	15	各種 鎗器 3,000 組, 水道 用 栓 5,000 組	敝 産
〃	首 都 鑄 工 所	〃	47	코-크 80 磅, 銃 鐵 100 磅	〃
〃	株 式 會 社 朝鮮 鑿 岩 機 製作 所	〃	189	玄米 機 100 臺, 精米 機 200 臺, 脫穀 器 300 臺	〃
〃	大 同 機 械 工 場	〃	50	自動車 修理 150 臺 (稼働 率 良)	非敝産
〃	中 央 機 械 工 業 所	永登浦	57	農器具 1,200 臺, 內燃 機 1,500 臺, 一般 器具 1,000 臺	〃

〃	東雲鑄物製作所	龍山	42	精米機、玄米機、紡織機、合80噸	〃
〃	朝鮮消防機械製作會社	市內	39	消防器具內衣	〃
〃	有恒商工株式會社	〃	309	鑄山機械500噸、工作機械30噸、鐵道機械40噸	敵產
〃	極東機械工作所	〃	54	精米機30臺、製粉機20臺、自動車附屬品1,000個	〃
株式會社	朝鮮삼製作所	永登浦	63	리-빈 폼프15臺、공-알 폼프15臺	〃
〃	農林鑄鋼株式會社	市內	112	朝鮮木、其他家庭必需品、農器具、各種機械附屬品80噸	非敵產
〃	龍山工作株式會社	龍山	1,029	機關車1輛、客貨車50、電車1、鐵道車輛用品50噸	敵產
〃	京城鑄物製作所	〃	189	農具40噸、家庭用品50噸、機械部分品50噸	〃
〃	朝鮮自動車工業株式會社	永登浦	89	스리一早300個、미스호100個、齒車500個	非敵產
〃	朝鮮衡器株式會社	龍山	73	磅秤100臺、天秤200臺、自動秤150臺、木桿3,000本	敵產
〃	國立兵器工業株式會社	市內	84	脫穀機600臺、瓦斯근로3,000臺、花瓶4,500個	〃
〃	三和鑄物工場	〃	80	鉄鐵210噸、알미늄30噸、마세크60噸、구-스600噸	非敵產
〃	三和工業株式會社	永登浦	80	普通鋼110噸、特殊鋼215噸、鉄鐵330噸、無煙炭630噸	敵產
纖維	丸鮮被服工場	〃	96	宗齊地1,500反、生粗布500反、生金巾500反	〃
〃	富國紡績株式會社	〃	173	洋服地20,000平方碼	〃
〃	和昌工業株式會社	市內	350	毛絲300貫、絹織物1,500貫、綿毛交織物150貫	〃
〃	共和撥絲工場	永登浦	103	生絲400貫、線絲500貫、升型用各種絲200貫	非敵產
〃	新興織物工場	市內	185	綿絲綿布300反、洋服地300反、生絲、人絹、善스양文織150反	〃
〃	東絲織工業株式會社	永登浦	312	人絹織物1,000足、絹織物2,000足	敵產
〃	東邦織物工業會社	市內	172	洋襪類45,000足、메리야스製品15,000枚、被服類19,500着	〃
〃	東和繭絲工業株式會社	〃	60	真棉270貫、絹棉布團19,200枚、製綿1,000貫	非敵產
〃	大韓메리야스工場	〃	64	샤쓰18,000枚、양말6,000足、장갑21,000枚	〃
〃	東亞實業公司吳倉工場	〃	205	吳倉20,000本	〃
〃	世和高亭被服工場	〃	132	作業服、團體服15,000着、스카-트10,000枚	〃
〃	和光敎園授産部	〃	140	메리야스6,000枚、장갑225,000足、양말32,100足	敵產
〃	京城被服工場	〃	295	高級既成服16,050着、學生服57,780着、作業服48,100着	非敵產
〃	漢又紡織工場	〃	117	毛織物3,600碼、메리야스4,000着、絹物絲2,000疋	〃
〃	京城紡績株式會社 永登浦工場	永登浦	1,340	綿織物16,000疋、綿絲150捆	敵產
電氣	株式會社起亞電氣製作所	市內	63	配電盤用電流計、電壓計3,000臺、携帶用500臺、計器用變流器、變壓器300臺、船上用油入閉閉器200臺	〃
木材	株式會社大京林業京城工場	永登浦	32	製材品	〃
〃	東洋木材工業株式會社	市內	65	角材70,000才、運動具、椅子、机1,500組、農器具、家具1,000組	非敵產
印刷	高麗文化社	〃	215	諸印刷物、諸出版物	敵產
〃	大東印刷所	〃	67	印刷物2,000連	非敵產
〃	朝鮮單式印刷株式會社	〃	79	一般印刷物600連	敵產

化 學	光明化粧品製造本舖	//	55	光明齒粉50,000打、化粧品一切 60,000打、蠟 20,000打	非敵產
//	京城工字株式會社	//	450	布靴、地下足袋120,000足、工字靴 150,000足、 精米用工字로타1,750組	//
//	大東産業株式會社	//	67	女子靴 45,000足、男子靴 10,000足、小兒靴 15,000足	//
//	太平商工合資會社	//	172	地下袋50,000足、運動靴 20,000足、總工字靴 15,000足	//
//	東和工字工業社	//	122	總工字靴75,000足	敵 產
//	世界工字工業合資會社	//	180	總工字靴、地下足袋、運動靴 100,000足、中袋(空)5,000個	非敵產
//	大陸工字工業社	/	153	總工字靴80,000足、學生靴 20,000足、運動靴 20,000足	敵 產
//	朝鮮煉糖工業株式會社	永登浦	369	固形煉糖塊40萬、流芳煉糖50萬、계라정 3,500貫、阿膠3,500貫、骨粉肥料30,000打	//
皮 革	朝鮮皮革株式會社	市 內	1,254	各類皮鞋25,000足、製革(革具各種) 23,000枚 調帶各種35,670尺	//
/	鷄林製靴工業社	//	200	編上靴、短靴13,000足	非敵產
//	朝鮮製靴株式會社	//	153	短靴20,000足、軍靴10,000足	敵 產
//	서울皮革加工社	//	233	短靴10,000足、國防警備隊用軍靴5,000足	非敵產
食 料	船屋釀造株式會社	//	109	醬油1,200石、味噌120,000貫	敵 產
//	中央酒造株式會社	永登浦	105	酒精600石	非敵產
//	豊園製菓株式會社	龍 山	264	비스켓114,000kg、캔의45,360kg、 朝鮮菓子110,000kg	敵 產
//	麒麟麥酒株式會社	永登浦	121	麥酒75,000箱 (2打入)	//
窯 業	永信모-타工場	龍 山	15	세멘트瓦60,000枚、세멘트土管1,000個	非敵產
//	서울타일製造合資會社	市 內	67	電氣用器具、衛生器具 200,000個、타일3,000個、食器類一切50,000個	//
燃 料	朝鮮煉炭株式會社	//	396	마세크5,200布、煉炭7,600布、豆炭1,000布	//
	京城깃치煉炭工場	//	540	마세크煉炭68,000誌、蓮形煉炭4,000誌	//

其他工業에는印刷、袋製造、刷毛、紙器、노-트、菓子袋、螺鈔漆器、骨牌、麥稈、帽子製造業等이 있고、化學工業은上記外에製藥、石鹼製造、油脂、잉크、白蠟、洋燭、石灰、유리、酸素、瓦斯、染色等이며、食料品은上記外에떡-、製麵、製醬、製粉、製鹽、糯米、製水等이 있다.

#### 4. 商況、物價、金融

解放直後長安全體가一時市場化하여物價의沙汰들이 두었다. 1945年 8月에 서울市都賣物價指數가 1,752 (1936年=100)였는데 半年後인 1946年 2月에는 6,258로飛騰하여 1947年12月에는 58,305로 解放當時의32倍弱으로高騰하고말았다.

이것은스물物價의酒瀉과、또한가지原因은投機的買占과 蓄財的換物과假需要에있었던것이다. 이러한우에 政治的不安과、物資配給의根本的인施策이없음으로 말미암아、不足하나마生産되는 生必需品은暗市場으로 流通하고、一般의購買力減退로인한一般實需市場의閉

數은私貿易船이運搬하는 中國其他에서의 食料品、其他舶來品의自由買賣盛行은、如何한物價對策도奏効치 못할形勢에있다. 서울은 經濟發展의有利한諸條件을具備하고있는만큼、서울의商況의伸縮은 朝鮮經濟의伸縮을代身한다할수 있으며、物價에 있어서도亦是서울市의物價動向이全朝鮮物價를 誘導하고있는것이다. 서울市에 있어서의物價時勢는 朝夕으로變動하고 있으며、就中米穀、燃料、衣類의高價는特히甚하다.

1946年1月의서울市生必需品小賣物價指數가 8,543 (1936年=100)同12月은 26,622로 月平均11.34%에反하여 서울市都賣物價에 있어서 1946年 1月5,301에서 同6月에는 12,057 同12月에는 25,563 月平均騰貴率은15.88%로騰勢에 있어서 都賣物價가 小賣物先導하는것을能히推察할수 있다. 1947年度서울市의物價趨勢은보면 總平均指數는1月은 29,761 이고 同12月은58,305이며 小賣物價總平均指數는 1月은 33,272 이고 12月은55,961이다.

都賣、小賣共히 昂騰一路임을 알수있으나 都賣

物價總平均指數가 期於小賣物價總平均指數를 凌駕하게 된 것은 大衆購買力의 遞減을 말하는 것으로

銘記할바이다  
다음은 서울市商品類別都賣物價指數를 살이기로

商品類別都賣物價指數對照表

年 月	穀 物	食料品	織物原料	織 物	建築材料	金屬類	炭 料	肥 料	工業材料	雜 品
1946. 1	7,108	5,203	1,961	9,536	5,206	2,427	3,684	3,910	15,765	7,497
12	25,776	16,519	28,165	52,407	40,073	10,612	12,213	21,685	50,316	28,426
1947. 1	30,555	21,320	30,544	66,640	42,540	13,937	13,937	21,685	58,875	33,139
12	41,966	36,317	65,474	110,260	63,945	24,313	28,628	39,026	222,882	90,017

하면 如下히 1946年1월부터 1947年末 사이에 織物原料 (33倍) 工業材料 (14倍), 織物, 建築材料, 雜品 (12倍) 金屬類, 肥料(10倍) 炭料(8倍) 食料品 (7倍), 穀物(6倍)의 順으로 可驚한만큼 騰貴하였으니 大概 織物原料, 建築材料, 肥料, 工業材料價格의 飛躍的騰貴는 往興하는 産業이 그만큼 原料資材에 强力한 需要를 固持하고 있음을 알 수 있다.

다음 서울市小賣物價總平均指數와 對比되는 勞賃總平均指數를 보면 如下히 小賣物價總平均指數는 1946年1월부터 1947年12月間에 約 6倍半으로 上

小賣物價總平均指數勞賃總平均指數對照表

年 月	小賣物價總平均指數	勞 賃 總平均指數	實質賃金
1946. 1	8,543	3,581	41.92
12	26,622	11,186	42.02
1947. 1	33,272	11,450	34.41
12	55,961	17,088	30.54

은 反하여 勞賃總平均指數는 不過 5倍에 머무르며 따라서 實質賃金은 1947年末에는 3割强의 困窮을 보이고 있다. 故으로 勞賃指數의 某種別賃金の 騰貴를 보면 纖維工業, 金屬工業, 機械器具工業(5倍

工業別勞賃指數兩年對照表

(1936年=100)

工業別年別	纖維工業	金屬工業	機 械 器 具 工 業	窯 業	化學工業	食 料 品 工 業	家 具 及 製 材 業	印 刷 裝 冊 業	土 建 業
1946. 1	4,549	2,519	2,494	4,625 (4月分)	4,938	4,377	3,885	3,202	3,982
12	19,285	7,679	7,205	6,280	15,868	10,372	14,585	11,112	12,172
1947. 1	14,921	7,679	7,261	7,527	16,060	10,739	15,108	11,581	14,862
12	24,798	12,850	15,756	10,094	21,863	19,920	15,267	13,204	18,652

强), 化學工業, 食料品工業, 家具及製材業, 印刷裝冊業, 土建業等 (4倍强), 窯業의 順位로 되어 있다.

一方 朝鮮의 金融機關의 全部가 서울에 集中되어 있고 諸企業은 서울을 中心으로 再發展하였으며 特別 農村에 있어서의 土地賣却代金의 서울에 있어서의 商業資金化와 投機的인 資金의 去來가 頻繁히 地域別 通貨流通高

로 보든지 預金貸出面으로 보든지 首都 서울의 面目은 躍如하나 一面 實質上에 있어서 是는 解放後 朝鮮經濟의 發展을 阻害하고 있는 인플레이션의 諸般原因中 大部分이 서울에서 釀成 激成되고 있는 것이다. 地域別 組合銀行 預金貸出狀況을 보면 다음과 같다.

八都市組合銀行預金貸出表 (單位百萬元)

年 月	區 分	서 울	仁 川	釜 山	大 邱	木 浦	光 州	群 山	大 田
1945年12月	預 貸	1,595	54	274	118	41	58	33	48
	金 出	6,257	56	148	89	23	19	29	29
1946年6月	預 貸	3,605	124	486	262	78	4,939	78	173
	金 出	4,242	73	199	159	30	4,905	49	77
1946年12月	預 貸	5,551	177	884	581	106	262	192	276
	金 出	6,366	139	1,196	1,473	77	764	344	741
1947年6月	預 貸	8,654	262	1,027	917	186	279	239	340
	金 出	6,386	175	31	338	75	131	90	180
1947年12月	預 貸	11,278	381	651	1,383	331	653	322	557
	金 出	12,308	288	4,113	4,217	254	4,017	1,986	1,675



各店通貨發行回收對照表 (單位百萬圓)

年月	地 域 別	서 울	釜 山	大 邱	大 田	麗 水	木 浦	光 州	群 山	仁 川
1946. 12		1,003	412	228	236	7	14	463	148	89
1947. 12		1,090	146	594	302	5	-75	-15	297	62

다음 各地域別百圓券發行狀況을 보면 다음과 같은 一 라인 것이다.  
 이 는 또 地域別通貨實流通高를 測定하는 한 바로써

地域別百圓券發行狀況 (1947.6 — 1947.9月) (單位百萬圓)

年 月	地 域 別	서 울	釜 山	大 邱	大 田	麗 水	木 浦	光 州	群 山	仁 川
1947年 6月		995	142	155	69	52	52	74	58	94
" 7月		776	254	142	52	54	52	164	128	105
" 8月		1,007	221	171	68	72	84	111	2	136
" 9月		1,246	328	186	46	83	83	111	43	170
" 10月		1,956	374	133	120	66	64	131	40	145
" 11月		3,171	1,692	1,425	1,050	108	219	1,395	1,220	203
" 12月		1,988	538	840	440	76	70	311	610	181

以上과 같이 膨脹된 通貨는 서울을 中心으로 氾濫하고 있으나, 各企業는 全적으로 資金難에 陷入하고 高利 尙殘란이 暗澹한 濫하여 (生産業 低價과 高物價 固定) 當局으로서는 早速히 遊資還元 浮動資金의 生産業에 轉移를 圖謀하여 인부 罷工을 阻止하기에 努力中이며 1947年末에는 各金融機關이 一齊히 歇起하여 解放後 第五次 國民貯蓄運動을 展開하는 한 便 遊休資金 (待機資金)의 回收과 國民消費生活의 現實的 調節을 要求하여 多大한 成果를 見지 못했다.

國民經濟의 健全한 發達은 都市와 農村의 緊密한 有機的 結合을 要語라고 있다. 農村及 地方都市의 原料를 搬入하여 工業化한다는 것은 곧 農村의 發展이 地方都市의 堅實한 補充이다.

서울市는 如斯한 諸般經濟的 發達條件이 具備되어 있 무고 볼 수 있으나 水陸交通의 便, 人口의 集中, 仁川, 永登浦와 같은 工業地域을 包擁하고, 廣瀾한 西部의 低地 平野와 이른 潤澤케 하는 漢江의 流域等 自然的으로 서나 立體的으로나 高度한 工業의 發展을 約束하고 商業의

振興 文化의 國際的인 交流가 朝鮮의 世界的인 水準으로의 飛躍을 前提하고 있다.

過去에 있어서 日帝의 計劃的인 朝鮮工業에 對한 抑壓으로 말미암아 健全産業은 발달할 必要도 없고 最少限度의 近代工業의 資本主義的 發展을 阻止하여 日本工業의 一環에서 버치나면 崩壞되고 마는 極히 畸形的인 體制를 가졌던 만큼 精密하고 高度한 重工業과 時急히 必要한 纖維工業도 서울을 中心으로 再建되어야 할 것이며 食料品 化學 電氣 機械 甚至於는 窯業 木材業까지도 서울의 모-든 有利한 條件을 活用하여 發展하여야 할 것이다. 이리하여 서울市는 農村에 對한 工業商品의 供給으로 因한 農村의 經濟向上 이를 基盤으로 하는 朝鮮經濟發展의 推進機가 될 可能性과 負荷된 使命은 크다. 教育科學, 文化, 藝術, 交通等에 있어서도 서울은 世界의 門戶가 되어야 한다. 서울은 웅측이다. 經濟的으로 是 再立하려는 陣痛期에 있고 文化的으로 是 方今 巨大한 飛躍의 前夜에 있다.

(完) 以上 주로 서울市 廳提供資料에 依함

☆ 서울市 工場 統計 摘記 (1946年 11月 現在)

工場 總數	1,123	原因別 休業工場數	
勞務者 總數	35,763	原料不足	30
一日 平均 就業時間	7.79	機械不足	5
一日 平均 賃金	90.42圓	資本不足	1
(以上 休業中의 工場及 專賣事業場 官營事業場을 除外)		其他	15
		合 計	51

(過渡政府 庶務處 統計署 調査)

## 第二部 記錄文獻篇

### ◎經濟日誌

1945.8.9—1947.12.31……(II-3)

### ◎經濟法規

- 國際協定……(II-32)
- 司令部布告……(II-36)
- 軍政廳一般告示……(II-37)
- 過政法律……(II-38)
- 軍政法令……(II-42)
- 過政行政命令……(II-76)
- 商務部令……(II-78)
- 外國貿易規則……(II-78)
- 財務部令……(II-79)
- 管財令……(II-81)
- 農務部令……(II-89)
- 勞動部令……(II-93)
- 中央食糧行政規則……(II-94)
- 物價行政處價格規則……(II-102)
- 中央經濟委員會規則……(II-102)
- 生產委員會指令……(II-104)
- 中央物價行政處令……(II-107)

### ◎經濟論叢

- 在京各新聞經濟社說目錄輯……(II-117)
- 在京各新聞經濟論說目錄輯……(II-123)
- 各綜合雜誌經濟記事目錄輯……(II-127)
- 經濟關係各新刊文獻目錄輯……(II-129)
- 地方各新聞經濟社說目錄輯……(II-131)
- 地方各新聞經濟論說目錄輯……(II-132)
- 各經濟雜誌主要目次輯……(II-134)

### ◎經濟團體

- 道別產業經濟團體一覽……(II-135)

(II-2)

여 백

# 朝鮮產業經濟日誌

1945.8.15 ~ 1947.12.31

### 1945年

- (7月26日) △포스담宣言
- (8月8日) △蘇聯은 포스담宣言에加入하고對日宣戰을布告
- (8月10日) △日本政府는美、英、蘇、中四個國에對하여 포스담宣言受諾을通告
- (8月11日) △蘇軍羅津에進駐
- (8月13日) △蘇軍清津에上陸

8月15日 △朝鮮解放의 瓦鎚은 三千里 槌域에 울리다 今日正午 日王裕仁無條件降伏을放送總督阿部の要路으로 呂 運亨 遠來會談

8月16日 △朝鮮建國準備委員會成立

8月21日 △美機計一機中將의 軍이 近日 朝鮮에 上陸한다는 布告  
// 비라 // 是撤布

8月22日 △蘇軍開城、海州、元山에 進駐

8月25日 △戰災同胞救援會發足  
△蘇軍咸興、平壤에 進駐

8月29日 △在 重慶 大韓民國臨時政府對外放送

9月2日 △北韓三八度線을 境界로 鮮을 美蘇兩軍이 分割 占領 한다고 「하-지」司令部發表

9月7日 △太平洋美國海軍總司令部布告第二號로 法規違反及 處罰에 關한 布告發布  
△太平洋美國陸軍總司令部布告第三號로 通貨의 通限 及 規定에 關한 布告發布  
△朝鮮銀行券發行高34億圓을 示現、解放後不過二 旬餘間에 37億圓을 增發

9月8日 △美軍仁川上陸開始

9月9日 △午後四時總督府에서 降伏調印式舉行

9月11日 △「하-지」中將美軍施政方針을 發表  
△日總督發務局長等解任시키고 軍政長官에 「아-늘 드」少將任命

9月14日 △「하-지」中將府民館에서 朝鮮政治文化團體代表 者를 招請하여 軍施政方針을 宣明  
△朝鮮水産技術協會結成

9月15日 △朝鮮物産獎勵會 「내장은배기깃고, 새살넘새것으로」라는 標語에 復活, 理事長 明濟世 副理事長 白 泓均, 專務理事 李東旭  
△東亞交通公社는 // 朝鮮旅行社 // 로 改稱로 營業繼續 하기로 決定 自治委員 吳國瓚植 副委員長 俞免濬

9月16日 △朝鮮鑛業協會結成. 委員長 朴亮根 副委員長 金容 權 同白潤邦  
△美軍政務朝鮮印刷株式會社接收  
△美軍이 接收한 財產은 結局 朝鮮所有 가 될것 이라고 「아-늘 드」軍政長官發表  
△美軍政當局白米1石에 50圓90錢으로 價格決定發表  
△서울食料工業協會結成  
△朝鮮林業會創立

9月17日 △美軍票는 不發行, 混亂防止을 爲하야 日補助貨 50錢 10錢, 5錢은 그대로 有效하다 고 軍政廳發表

△朝鮮工業技術協會(聯盟)結成. 8.15後 亂立된 工業 技術團體發展의 解消을 大同團結, 參加團體, 朝鮮 工業技術者協會, 學術院鑛工部, 朝鮮工業技術者 聯盟, 朝鮮工業同志會, 朝鮮建築技術團, 朝鮮機 械技術協會, 通信技術者同盟, 交通局自治委員會 等委員長 李康賢, 副委員長 金龍岩, 朴亮根, 理事 長 李駿烈, 副理事長 柳鴻, 李熙俊

9月18日 △食糧問題에 對한 農商局發表에 依하면 在庫量이 確保된 대로 2合5勺式配給한다 고

△日總督府日人各局長解任하고 美軍將校로 全部 新任 命 政務總監 「하리스」代將, 財務局長 「고-은」中佐 鑛工局長 「인더우드」大佐, 農商局長 「마-틸」中佐 法務局長 「우달」少佐, 學務局長 「락카-트」大尉, 交通局長 「하밀트」中佐, 通信局長 「힐리」中佐等。

9月19日 △朝鮮蠶絲會結成. 委員 桂應祥, 金東鏞, 南相奎, 金元植等

△朝鮮燃料協會結成. 理事長 安東赫, 幹部 朴榮壽, 吳世明, 鄭旭載, 金性圭等

9月21日 △船舶을 總動員하야 石炭燃料等 輸送에 萬全을 期하 겠다고 「인더우드」鑛工局長談話發表

△乳牛을 屠殺말나고 軍政廳農商局發表  
△「아-늘 드」軍政長官은 指令第5號로 日帝時의 治 安維持法等一部法令廢止

△朝鮮纖維產業建設同盟結成. 委員長 趙重治, 副委 員長 李道榮, 金益均, 姜錫天等

9月23日 △收穫期에 納稅期를 앞 두고 軍政當局에서는 土地所 有權不動物納稅率은 從前대로 한다 고 發表

△仁川工業者協會結成  
△朝鮮林業開發協會結成

9月24日 △朝鮮房事會를 改稱로 韓國房事會創立 會長 羅明均 副會長 朴炳植等

9月25日 △日人財產移轉에 關한 法令 第2號發布  
△朝鮮石炭株式會社를 美軍政務接收官에 「로-다무」中尉任命

△通信學校를 設置하여 朝鮮人만으로 全通信機關을 運營할 수 있게 하겠다고 「힐리」通信局長發表

9月27日 △食糧營團監理官에 美人 「무리니크스」中佐, 理事長 에 李東濟氏任命

9月28日 △日本陸海軍財產에 關한 法令 第4號發布  
△朝鮮金融組合對策中央委員會結成. 委員長 河祥鏞 副委員長 林鍾寬, 鄭在億等

9月29日 △소금確保에 萬般對策을 講究코저 韓國鹽販賣總本部 結成

10月1日 △軍政當局에서는 各鎭山을 一齊히 接收로 石炭增產과 鑛物開發에 着手

△三陟開發會社에는 「포-드」海軍中佐, 朝鮮鑛業會 社에는 「로-담」中尉을 財產管理官에 任命

- △日本軍の所屬財産賣買取得禁止令「아-늘드」軍政長官命令
- △戰災技術者協助會結成。顧問李春昊，李康賢，尹日重，李駿烈，金龍岩，委員長安東赫，副委員長俞相濬等
- △朝鮮肥料協議會結成。委員長金億萬，副委員長鄭泰述，委員李珪燦等
- △朝鮮無線通信士會結成。委員長洪順成，副委員長沈相雄，卞在亨等
- 10月 3日 △朝鮮銀行은不遂接收시 及다 軍政當局發表
- △朝鮮內各銀行은從前 中 爲業을繼續히 하고 軍政廳 財務局長「고-모」中佐發表
- 10月 5日 △農器具製造準備委員會結成。委員長李代輝，常任委員朴永熙，鄭雲祥，李壽天等
- △朝鮮航空建設委員會結成。委員長張德昌，委員金鍊器，高準植，李鎮說，洪帝範等
- △最高小作料決定에關한法令第九號發布
- 10月 6日 △朝鮮石炭同友會結成。委員長朴昌成，常任委員李銅南，洪承王等
- △朝鮮石炭會社新發足。接收官「로-우」中尉，社長千應奎，幹部申承均，崔斗煥等
- △日人財産을凍結하야 賣買나 權利委託을 許한다 軍政當局發表
- △軍政長官顧問11名 民間，政治，經濟界其他에서 任命
- 10月 7日 △水産振興을爲하야 漁業組合機能發揮하라고 「아-틸」農商局長發表
- 10月 9日 △日帝時의 特別差別待遇法을 治安維持法 出版法等廢止에關한法令 第11號發布
- △農政局，鑛工局，數課移轉改編에關한法令 第12號發布
- △朝鮮食糧委員會 10月1日 부터 朝鮮生活必需品會社로 改稱。接收官에 「하-르만」中佐，管理人에 李東濟任命
- 10月10日 △一般勞動賃金制定에關한法令第14號發布
- △朝鮮學術院에서 貨幣，金融，物價의 緊急對策에關한 報告書發表
- 10月11日 △小作料은 三分之一로，正租價格1石32圓으로 決定하엿다 軍政廳發表
- 10月12日 △朝鮮學術院에서 生活必需品問題의 緊急對策에關한 報告書發表
- △朝鮮畜産業建設協議會에서 畜産業建設五個條를 當局에 建議
- 10月14日 △産業과 社會經濟，勞動農民運動等 調査研究을 爲하야 朝鮮産業勞動者查所發足
- 10月18日 △李承晚博士歸國
- △朝鮮內公私有財産은 美軍이 接收保護하야 結局朝鮮人所有가 된다고 「아-늘드」軍政長官再次申明
- 10月18日 △南朝鮮의 米穀收穫豫想은 高는 2千餘萬石 이라고 朝鮮生活必需品會社發表
- 10月20日 △朝鮮의 自由經濟生活方針을 決定코 日帝時의 諸統制機關의 統制價格廢止를 軍政廳發表
- 10月22日 △朝鮮産業振興會社結成
- 10月23日 △日人財産移動權取扱에關한四條條中第1條를 發表。
- △日本人私有財産賣買對策을 軍政廳發表
- △阿片栽培者는 專賣局에 供出하야 軍政廳發表
- 10月24日 △經濟警察의 廢止에關한法令 第17號發布
- △日人財産移動取扱에關한 第2條를 軍政廳發表

- △朝鮮蠶業會社發足。委員長李駿烈，副委員長盧植根，文源柱，顧問尹基益，李鍾萬，李康賢，方應模，金台原等
- 朝鮮發明協會發足。委員長李駿烈，副委員長金容善，幹部 陸敦相，文容彩，沈丹澤等
- 10月25日 △朝鮮工業技術協會에서 鐵山運轉에對한建議書를 當局에 提出
- 10月26日 △朝鮮工藝品을 世界市場에 登揚시키기爲하야 農商局에서 秘檢後檢査하겠다고 發表
- △朝鮮電氣協會結成
- △朝鮮藥品工業會結成
- 10月28日 △白米一石에 3百圓，全朝鮮에 適用한 衛生必需品會社에서 決定，軍政廳農商局에서 發表
- 10月30日 △基利에對한 取締法規及 出版登錄에關한法令 第19號發布
- △日人財産移動取扱에關한 第4條를 軍政廳發表
- △朝鮮纖維產業會社結成。既成團體인 朝鮮工業技術協會纖維部，朝鮮纖維產業建設同盟，朝鮮纖維產業會等 發展의 解消을 新發足，委員長柳鴻，副委員長千茂根，趙重治，理事長洪貞模等
- 10月31日 △朝鮮工業技術協會에서 工場管理運營에對한建議書를 當局에 提出
- △電氣關係會社等 陣容整備을 新發足
- △朝鮮電業株式會社，朝鮮鴨綠江水力發電株式會社社長「정수리」文軍政監督官，社長代理尹日重，副社長金恩錫
- △京城電氣株式會社，社長文軍政監督官「키에스」大尉 社長代理李泰煥
- △南鮮合同電氣株式會社 社長張模相 副社長石小岩
- 11月 1日 △朝鮮工業技術協會는 朝鮮工業技術聯盟으로 改稱 新發足
- △朝鮮商工會議所는 美軍政이 接收코 新發足。會頭「허계트」大尉 副會頭鄭雲用
- 11月 2日 △朝鮮機械工業協會結成。理事長李秉鎔，理事羅喜坤，朴昌彥等
- △朝鮮土建工會結成。中小請負業者의 結合，會長崔順福，幹事池元石，金福經，羅龍得等
- △朝鮮航空協會結成
- 11月 3日 △酒精食料의 販賣禁止에關한法令 第23號發布
- △軍政廳이 勞務課新設發表
- 11月 5日 △物資統制會社 憲章等에關한法令 第24號發布
- △土木工事의 新計畫案提出하엿다 鑛工局土木課長「위리암에귀」氏發表
- △民生協會結成。會長金完圭，副會長金文性，幹部 權泰夏，朴京洙，金宇默等
- 11月 7日 △對外貿易을 復舊計畫中이라고 「아-틸」農商局長發表
- 11月 9日 △漁業權의 無効，以後規定等에關한法令 第27號發布
- △在日同胞勞動者들의 送金을 許可하야 「메이-더」司令部發表
- 11月11日 △朝鮮土木技術協會結成。理事長李熙燦，理事崔巨碩，崔景烈，閔茂植，朴仁善等
- △龍山工作所 朝鮮人老으로 接收코 新發足。所長劉在晨，理事吳基永，李謙孝等
- △中央試驗所 陣容整備을 新發足。所長安東赫，幹事 崔煥石，李範純，田盡豐等

△金融機關等接收朝鮮人宅으로新發足。朝鮮銀行總裁「스미스」少佐、幹部具壽書、白斗熾、安命煥等

△朝鮮殖產銀行、頭取「김민승」氏 幹部張鳳鶴、金鳳炯、金寶永、張慶煥等

△朝鮮信託會社、社長金漢奎、常務崔昌烈、吳鍾泳等

11月12日△朝鮮重要物資營團은朝鮮物資營團으로改名新發足  
△東洋拓殖會社는新韓公司로改名資本金10億圓으로新發足。軍政官에「스미스」大佐任命

11月13日△北鮮과의物表交流는「하나라」制로採用하겠다고「아놀드」軍政長官言明

11月14日△物價暴騰、閣取引의取扱方針은法令 第19號에依據할 것이라고「아놀드」軍政長官言明

11月17日△石油、石炭、鑛山等の増産對策을軍政廳鑛工局서發表。『日人の鑛山 工場等은 法令第2號에依하여 朝鮮의富가되도록한다』  
△朝鮮産業醫學硏究會創立。名譽會長尹日善、副會長崔養穆、委員長崔應錫

11月19日△在日同胞에食糧増配를「택아-미」司令部日政府에指令

11月20日△朝鮮人の外國旅行을制限코、緊急한軍務만軍政廳서許可한다라고「포레스콧」民政長官發表

11月22日△日帝時의統制物表의配給機關停止를「포레스콧」民政長官發表

11月24日△外國貿易再開時는軍政廳에서必要한指示가있으리라고「마틴」農商局長發表  
△日本人의財産賣買는一切決裁말라고華府서軍政廳에通告到達하였다고發表

11月25日△金融組合聯合會再發足。會長에「켄드리」大尉任命  
△日人の重要品(寶石株式公債抵當等)은朝鮮銀行서保管한다고發表

11月26日△南朝鮮各道穀物檢查長會議開催

11月27日△美國에서技術者招聘하여鑛工部門의増産企圖와石油八萬噸輸入計畫을軍政廳鑛工局發表  
△各工場實態調査每月末에定期的으로報告하라고軍政廳鑛工局發表

11月28日△水産業視察團漁區와漁業組合檢查次出發

11月29日△「메부리코」氏를首班으로한美國産業視察使節團朝鮮實情調査次入京

11月30日△一般勞動賃金 法令第14號의廢止에關한 法令第30號發布

12月 1日△10月5日附法令第 9號에規定한 小作料三分之一制外는地稅手數料其他等은從前대로한다고農商局發表  
△朝鮮海員同盟結成

12月 2日△重工業政策과科學技術座談會斯界權威者招聘코朝鮮工業技術聯盟主體로開催

12月 4日△美國石油輸入의反對陳情書、朝鮮燃料協會、朝鮮工業技術聯盟、朝鮮化學技術協會에서發表

12月 5日△朝鮮內에所在한日人財産이70億圓이라고日本藏相이發表  
△肥料代其他費用等額日農商局서發表

12月 6日△朝鮮內에所在日本人財産의所有權은朝鮮軍政廳이取得한다는 法令第33號發布  
△日本石炭輸入은朝鮮米穀과「하나라」制로하겠다고

日本政府發表

△水利施設斗開鑿調査는明年度秋收期前으로完成計畫이라고農商局發表

12月 8日△勞動調停委員의設置에關한 法令第34號發布  
△軍政廳出入記音圖이暴騰하는實狀을包含한一般物價對策、貯藏物、生必需品、輸送、密輸等問題에對하여「아놀드」軍政長官에陳情

12月 9日△蠶業振興을爲한五個年計畫農商局서發表  
△朝鮮建國産業聯盟結成

12月10日△在日朝鮮工業會組織은在日同胞投資生産機關等的國內搬入活動開始。委員長李在完、委員吳列錫、姜活鍊等  
△朝鮮土建協會結成。會長 金世演、副會長 金昌錫、金相根、當任理事 金龍煥等  
△美國에派遣한技術學徒軍政廳依願받고朝鮮工業技術聯盟서 63名推薦

12月11日△食糧問題解決을爲하야食糧委員會組織코農村의米穀放買促進과買占商人을調査하여嚴罰에處하겠다고「아놀드」軍政長官發表  
△蠶種紙 15萬枚輸入하였다고農商局發表  
△「아놀드」軍政長官辭任 後任에「리-취」少將

12月15日△石油의強力統制와法人配給機關創設에對한布告文을軍政長官發表  
△日人の公私有財産을軍政廳이全部接收한다고軍政長官發表

12月16日△新任軍政長官「아취-리취」少將來朝

12月18日△對外貿易再開하기爲해서美國과借款交涉코지産業使節團華府에派遣計畫等을「아놀드」前軍政長官發表  
△年内米穀 200萬石確保할 것과來正初에는最高價格決定한다라고「리-취」軍政長官發表

12月19日△朝鮮金融統制會의 解散에關한 法令 第37號發布  
△消費組合을組織하야中間商人을차지않고直接市民의宅으로配當계하라고鑛工局發表  
△「石油統制의布告」에對한反對陳情書朝鮮燃料協會學術院 朝鮮化學技術協會 朝鮮工業技術聯盟 朝鮮産業勞動調査所等에서當局에建議

12月20日△白米最低小賣價格 小斗128圓決定을「리-취」軍政長官發表

12月21日△美國가서資金、物表等交涉한産業使節團과民間代表協議

12月22日△住宅難問題解消코지住宅營團서明春부터一萬戶新築計畫에着手

12月23日△地方漁業組合을通하야 漁船을登錄하라고 軍政廳「막크래」水産課長發表

12月24日△生活必需品에最高價格을制定하여經濟安定에非常策을쓰겠다고「리-취」軍政長官發表  
△計畫生産完遂코지軍政管理各工場에指導官配置就任式鑛工局에서舉行

12月27日△日人の公私財産은 將次朝鮮政府에移讓한다라고「리-취」軍政長官言明

12月28日△米穀販賣하는農家に物品購買證交付한다라고生必需品會社、物資統制會社發表  
△鍾淵事業強統合코朝鮮實業公司로新發足。美軍政監督官에「개릿트」氏、社長 金成鎔、副社長 金學柱、幹部盧元贊等

12月29日△永登浦一帶各工場六割以上操業開始

- △最初の國産機關車龍山工作所에서 完成코 今月27日에試運轉舉行
- △蠶絲統制會社新發足。「마-린」農商局長發表 社長「손승」大尉, 副社長李起仁
- 12月31日 △朝鮮銀行券發行高年未現在 87億6千3百萬圓
- △解放後今年未까지의 서울市都賣物價趨勢는 (幾何平均에依한朝鮮銀行調查指數, 以下同斷)如下
  - 8月 1,750
  - 9月 2,047
  - 10月 2,672
  - 11月 3,256
  - 12月 4,359
  - (1936=100)

1946年

- 1月 3日 △對外貿易規則에關한 法令第39號發布
  - △日人財産管理代行機關을設置한다코「리-引」軍政長官言明
- 1月 5日 △1月20日까지會社概況報告書提出하라고 京畿道財務部「심카스」大尉發表
- 1月 6日 △農商局長「마-린」氏後任으로朝鮮人局長李勳求氏任命
  - △軍政廳鐵工局에工業調查課新設
  - △軍政廳鐵工局에消費租金을率先設置하고民間消費組合設置要綱
  - △朝鮮電業, 京城電氣, 南鮮合同電氣會社等을援助하여電力施設修理에着手한다코「이 더우드」鐵工局長發表
- 1月 7日 △南鮮各道, 郡農會調查行動次로朝鮮農會美人幹部가出張한다코「적계백」朝鮮農會長發表
  - △貨物自動車運賃制定「키-쓰」軍政長官發表
- 1月 8日 △南北朝鮮運輸交通策協議코저交通部에서職員北派計畫
- 1月 9日 △食糧對策講究코저軍政廳農商局長, 서울市長共同名義로大地主50名招請코協議。地主가만는小作料全部生必營團에引讓키로決定
  - △南鮮各道鐵工部長會議開催
  - △歸屬會社支配人選任方法決定과支配人募集을京畿道「문예」鐵工部長發表
  - △水原農事試驗所는 中央農事試驗所로改出發한다코「마-린」農商局長發表
- 1月10日 △西北通信調查團選借局에서派遣
  - △税金滯納에對한 財産의放寬에關한方法 第40號發布
- 1月11日 △水産界의實情調査次로軍政廳水産課水産業會等關係官 30餘名地方出張한다코農商局發表
- 1月12日 △工事費 2千餘萬圓으로戰災害施設復舊에全力할것을軍政廳鐵工局發表
- 1月13日 △財産의輸出入禁止令「리-引」軍政長官發表
  - △改定電氣料金發表 (從來料金の約二倍半引上)
  - △朝鮮工業技術聯盟, 工業新聞社共同主催로鐵工業運營座談會開催 (19日까지)
  - △朝鮮石油會社, 朝鮮石油配給株式會社의朝鮮人管理人罷免코取締役會長에美人任命키로決定
- 1月15日 △漁船用用具等, 漁業者의所有施設을登錄하마고農

- 商局「막크리」水産課長發表
- △京城勸業會社重役改組코新發足 金元洪社長兼退, 新社社長申斗善 重役張世衡外
- 1月16日 △第一次美英共委德壽官에서開催
  - △朝鮮株式取引所의 解散에關한 法令第43號 發布
  - △朝鮮火藥協會新發足
  - △北朝鮮中央銀行設立
- 1月17日 △物價暴騰의一徵 煉炭生産價格越當 400圓, 小賣價格1,500圓
- 1月18日 △煙草配給制持撥코從前보다一割四分程度增配豫定이라고專賣局發表
  - △全國蠶業委員會에서 絹織物五個年計畫樹立을 決定
  - △南朝鮮各道土地改良課長會議開催
- 1月19日 △朝鮮唯一의「단닝」會社인永登浦朝鮮「단닝」工業會社原料剷解消消工作業開始
  - △仁川車輛會社에서는解放後汽車車21臺 車輛600餘臺을製作시였다코發表
- 1月22日 △特許院의創立에關한法令第44號發布
  - △朝鮮貨物自動車會社機構整備코新發足。管理官「엔손이」中佐幹部張喜淳, 趙東基, 金宅朝, 崔承奉等
  - △米穀最高價格繼續을「리-引」軍政長官聲明
- 1月23日 △商工業登錄制實施코實態登錄要項한다고京畿道朴仁俊鐵工部長發表
- 1月24日 △國民生活의安定과生必需品의公平配給을爲하야五名의經濟顧問會를組織한다코「리-引」軍政長官發表
  - △南朝鮮各道知事會議開催코食糧問題討議
- 1月25日 △米穀收集令, 法令第45號로發布
  - △南朝鮮各道鐵工部長會議開催코食糧問題鐵工業問題等討議
- 1月26日 △埠頭局長會議開催코航行安全法公布, 日本密航의嚴重國東等當面問題決議
  - △教育指導部設置코技術者養成에全力함과同時에美國留學生見習生도募集한다고鐵工局發表
- 1月27日 △電力 1千萬瓩w發電目標로朝鮮電業會社에서南北綜合計畫樹立
  - △經濟諮議改訂件2月29日發表豫定
- 1月29日 △仁川「열이뉴모」會社平時採業體制完了。月産10萬疋突破
  - △運航證없으면取締한다코海司部發表
- 1月30日 △建國產業聯盟에는各産業機關에融資코利益金の三分之一을聯盟基金으로積立한다고發表
  - △水利工事의基本方針鐵工局서發表 (18日各道土地改良課長會議에서決定함)
- 1月31日 △殖銀서重要生産會社에貸付開始 朝鮮郵送會社에 500萬圓, 小井鐵業에480萬圓等
- 2月 1日 △南朝鮮各道知事會議開催코米穀保對策討議
  - △輸送難의根本原因 汽車車輦對致가不足。以北500臺, 以南450臺中 50%可動이必要한때 現可動率 30%
- 2月 2日 △2月1日부리列車運轉半減斷行 原因은 燃料不足
  - △石炭의隘路는輸送難, 現施設各工場生産能率은10%衣料와電球生産에注力하되다고吳嶺洙鐵工局長發表

- 2月5日△朝鮮工業政策樹立斗技術者配從의資料蒐集令目的으로鐵工局勞務課에서京仁一帶各工場勞務者狀態調査着手  
△紙物價政策으로全國의消費組合組織을各道鐵工部長會議에서決定
- 2月8日△고구工業의40餘工場一齊操業開始 問題는工業品種의原料不足이라고鐵工局化學課發表  
△朝鮮農機具株式會社의生産局案 月產 300萬圓確保  
△鷓鴣價造會社高度의船率發覺 原料難만解決되면現在의五倍生産可能하고發表
- 2月8日△金鐵組合會同組合으로改稱호大衆層을中心으로協同運動을展開한다고金聯聲明發表  
△南鮮各道內務部長、地方課長會議閉會(2月6日~2月8日)
- 2月9日△石炭輸入增加로一部列車增發運轉開始  
△10萬圓以上の貸付認可制는現實에不適當하다고金融團서當局에建議  
△農民福利을目標로朝鮮農會機構再編成한다고農商局發表  
△大規模의桑田을濟州道에實現로저調査團을派遣하였다고農商局發表  
△朝鮮機械製作所를奉昌工業株式會社에서正式接受호作業開始
- 2月10日△鐵山登錄하라고京畿道鐵工部發表  
△南朝鮮內日軍排收武器의一部分을國內産業方面에利用하겠다고軍政廳發表  
△米穀輸出은朝鮮生活必需品範圍에서單取換할것을軍政廳決定發表  
△鄉土工藝振興을目的로朝鮮工藝協會再發足 理事長朴定根、理事李相漢外
- 2月11日△서울市에서는食糧對策委員會設置호自由搬入許可를「러-귀」軍政長官에게建議
- 2月12日△建國氣概을揚揚하기爲하야在康原料等亂賣안할것을各會社委託經營者에게誓約하라고軍政廳에서通達  
△軍政廳主權地下資源開發懇談會에서軍政廳에中央鐵山開發審査委員會、民間에鐵山開發、整理、經營、資金對策審査委員會를組織키로決定
- 2月13日△京畿道商工經濟會解消호漢城商工會議所創立 理事長張基昌  
△서울市에서石油揮發油를罐藏없는家庭에優先配給始作
- 2月14日△改稱된海司部의任務는計畫輸送과密航取締가主務라고李東根海司部長言明  
△「하-거」中將諮問機關인南朝鮮民主議院軍政廳서設置
- 2月15日△食糧對策協議호저京畿道各府、郡經濟產業課長會議閉會  
△名稱은建國稅로飲食稅徵收을實施  
△解放記念植樹計畫을白慶林局造林課長發表
- 2月16日△서울山內에白米280萬石搬入完了以後80萬石搬入하번充足하라고서울市長發表  
△製鐵、輕金屬工業等은前途洋々하라고軍政廳李機械課長發表
- 2月17日△軍政廳機構一部變更 鐵工局은商務局、農商局은農務局으로改稱  
△朝鮮銀行保管中의日本銀行券은 7億圓이며民間死

- 議이約 3億圓이라고朝報發表
- 2月18日△國產汽脚車解放第1號出現,仁川에서納品式舉行
- 2月19日△貯蓄銀行,信託會社,朝鮮無盡會社等에도當座預金制度實施한다고軍政廳財務局長代理言明  
△各道責任技術官協議會에서畜産計畫樹立할것을決議
- 2月20日△朝鮮經濟顧問會의設置에關한法令第53號發布  
△住宅營團에서는6億圓豫算으로住宅1萬戶新築準備호저地地調査에着手  
△鐵山登錄期日延期로 2月末日까지調査登錄하라고京畿道鐵工部長發表
- 2月21日△新幹公社의創立에關한法令第52號發布  
△京電서一般家庭用瓦斯今日부터供給한다고發表  
△日本銀行券、臺灣銀行券의預入에關한法令第57號發布
- 2月22日△朝鮮鑛業振興會에서는,金、銀、銅探鑛호저長項製鍊所中心으로3月1日부터着手豫定이라고文源柱支配人發表  
△日人鐵山管理者는軍政廳商務局鐵山課에 來3月30日까지報告하라고軍政廳商務局發表  
△米穀搬入每人當 2合5勺許可,同時에食糧가진者가配給을타면慰勞한다고서울市發表
- 2月24日△「러-귀」軍政長官水原中央農事試驗場視察  
△朝鮮水產協會에서南朝鮮各道水產業界代表懇談會閉會
- 2月25日△「러-귀」軍政長官代理는貯藏米는正租不過80萬噸이라고南朝鮮食糧事情發表  
△南朝鮮各道知事會議에서 效果的인米穀收集問題、生必需品配給問題等討議  
△食糧資材等交涉水「러-귀」企業課長渡美한다고「러-귀」軍政長官發表  
△米穀自由販賣不許호米穀統制適正配給一貫實施하겠다고「러-귀」軍政長官代理言明
- 2月26日△新年度農務局豫算은10億圓이며土地改良、養蠶畜産에重중한다고發表  
△對外貿易을軍政서直轄호저朝鮮交易을改稱強化하야資金 1億圓으로貿易營團(假稱)設置을計畫  
△汽脚車와附屬品等「러-귀」軍政長官의斡旋으로日本서多量輸入
- 2月27日△今年度朝鮮農會豫算額은5000萬圓이라고發表  
△各道水產課長、漁業理事長會議席上에서「마크레」水產局長自由漁業令撤廢을言明
- 2月28日△農務局畜産課에서國立酪農牧場을新設호 酪農8個年計畫을獨立發表  
△2市24郡을網羅한中央石油配給組合資本金200萬圓으로新發足  
△朝鮮鑛業振興會社에서는設備資材調査隊을長項地方에派遣  
△永登浦朝鮮自動車工業會社作業開始
- 3月1日△코-크스難으로製鋼界操業을中止한다고軍政廳機械課長發表  
△朝鮮鑛業振興會社에서는軍政廳斡旋下에長項製鍊所를中心으로 7個所修理에着手
- 3月3日△十四日內로貿易開始호中國과는「러-귀」割、日本과는日紙幣로決裁하겠다고水產局資材課長言明  
△水產局新年度豫算、復興費로 3億圓計上하되었다호水產局發表



△運輸局海同部에 기는港灣施設擴充코저基本調査員各地에派遣  
 △美軍의物品賣買는嚴禁한다고「스미스」美軍憲兵司令官代理宣明  
 △朝鮮銀行現在保管中의純金은 800萬兩이라고朝鮮銀行發表

3月 4日 △軍政廳에서는各道樣維關係者를召集하여纖維品會議을開催코, 棉花, 麻類等生産計畧策을討議

3月 5日 △急迫한食糧事情에應急對策코저生必品營團을改革하여食糧管理局(假稱)을創設豫定이라고軍政廳發表  
 △家畜保險制度를立案中이라고農產局畜產課發表

3月 6日 △貿易의物々交換「피-라」制今年度豫算은20億圓以下라고「피-라」軍政長官宣明  
 △美國으로부터石油, 揮發油, 重油等 每月350萬加侖式輸入豫定이라고「피-라」軍政長官宣明  
 △軍政廳作業課에서蔬菜種子生産計畧과菜種界의危機打開策을發表  
 △前日人所有의果樹園, 蔬菜園의管理人設定要綱을立案中이라고軍政廳情報部發表

3月 7日 △法令 第57號의日本銀行券, 臺灣銀行券預入期限을 3月16日까지延期한다는法令第59號發布  
 △安南生産은朝鮮이東洋第一이라고東洋受母會社發表  
 △產業機關을運營키爲하야諸緊急物資을配給中이라고朝鮮物資務局發表

3月 8日 △2億萬斤目標1946年度棉產獎勵計畧을農務局發表  
 △前日人所有財産을朝鮮人에게放賣키한法令을不日正式公布하되「피-라」軍政長官發表  
 △「피-라」中將의農業經濟顧問「벤즈」博士一行中, 貿易勞動顧問인「케니」氏는朝鮮農業發展에 있어中堅自作農育成과日人土地의拂下로서小作의 3割을日人物取로부터解放할것을宣明  
 △砂糖의國內生産企圖中이나現因窮打開策으로當分間輸入이必要하다고朝鮮砂糖會社發起  
 △朝鮮纖維會發足코저朝鮮紡織, 南北紡織, 京紡, 東洋製絲, 漢城製絲, 帝國纖維會社等發起

3月 9日 △蠶業施策調査會設置는 朝鮮蠶業會에서當局에建議  
 △大麻總生産高37萬貫等, 麻類增產計畫農務局發表

3月10日 △各道農務課長會議에서日人土地의新韓公社經營은不當하니小作人에返還하라고討議

3月12日 △漁業取締規則制定코軍政廳公布法令違反者는嚴罰에處하되「피-라」軍政廳發表  
 △葉煙草의從來賠償價格制을撤廢하고適正賠償價格制을實施한다고軍政廳專賣局發表  
 △朝鮮貨物自動車會社의軍政直營案을從業員側이拒否

3月13日 △在美朝鮮人教育財團評議會에서母國에代表派遣코技術教育機關의設置를決議  
 △黑鉛貯蓄量7萬噸 所要處待期中  
 △賭車는右側徒步는左側을 4月1日부터 實施한다라고「피-라」軍政長官發表  
 △貨物運賃10倍引上코15日부터實施하되「피-라」運輸局發表

3月14日 △分配給于先每人爲2合式5日分輪番制을實施하되「피-라」軍政長官代理「원손」서울市長共同聲明

審發表  
 △朝鮮經濟顧問7名任命코 軍政廳에서第1次會合, 顧問 李勳求, 尹基益, 崔斗善, 尹行東, 李奎載, 李定宰, 金佑坪  
 △北朝鮮土地改革法令實施  
 △朝鮮貿易의前途는洋々, 鐵物과海産物은無盡藏이라고美國商務省報告審發表  
 △物議紛々한新韓公社令改正方針을「피-라」軍政長官宣明

3月15日 △米穀增產五個年計畫案樹立코實質合理化한施策講究하되「피-라」軍政廳農務局發表  
 △15年間小作料金納付하던日人所有農地耕作人에게준다고李勳求農務局長宣明  
 △南北朝鮮野便物第一次交換開城에서實施

3月16日 △京畿道商工經濟會再結成. 會頭閔奎植, 副會頭李東善, 張鳳嶺, 理事長張基昌  
 △日本肥料株式會社는朝鮮肥料會社로改稱코軍政廳直營으로新發足, 代表金永漢  
 △紡織, 電球等工場은增產軌道에올랐으며其他工場은原料入手만待期中이라고「피-라」商務局長發表

3月17日 △軍政廳에서는朝鮮經濟顧問會와는別個로經濟調整을爲하야 朝鮮經濟委員會N E B를設置한다고發表

3月18日 △專賣局에서담배解消을爲하야卷煙草美國에注文

3月19日 △美人管理官이運營하든朝鮮郵船會社朝鮮人經營에移讓, 1000萬圓資金으로新發足豫定  
 △各大工場은作業開始, 外國人輸入되는原料等으로生産增強하되「피-라」商務局長發表  
 △日人所有의果樹園과廢場經營權은軍政廳代行機關인新韓公社에一任한다고發表  
 △朝鮮經濟委員會에서는石炭「코-쿠스」「코우」化學藥品等5000餘種의必需品를美國으로부터輸入하기로決定하되「피-라」司令部와美陸軍省에許諾을要請

3月20日 △美蘇共委「서울」總審會에서開幕  
 △海岸貿易을興隆케하고저美軍政廳에서船舶15隻賦役을「피-라」軍政長官代理發表  
 △專賣局에서製鹽製蔘等專賣事業計畫을發表  
 △桑苗 91萬株 日本으로부터輸入 하되「피-라」軍政廳發表  
 △美弗과의爲替交換比率을今月現在在報서美貨一弗에朝鮮銀行券120圓으로決定

3月21日 △日本石炭多量輸入과三陟炭搬入으로各工場은操業再開中이라고「피-라」軍政長官代理發表

3月22日 △朝鮮纖維會發足 會長李勳求, 副會長崔斗善, 朴再基  
 △朝鮮被服工業協會新發足  
 △各地의無電局復活코4月1日부터船舶無線電信을開始한다고通傳局發表  
 △中國과의貿易計畫樹立中이라고「피-라」商務局長發表  
 △朝鮮農地開發營團에서는水利工事設計을完了코11個所不慮着手한다고發表  
 △中小產業振興을爲하야事業資金貸付할것을銀行, 金組等各金融團體에서決定  
 △爲物價抑制策은貨幣改革만으로는不可能하되軍政廳財務顧問「아르멘슨」氏宣明

3月23日 △總酒以外之釀酒停止令 1年間節約米80萬石以上이라고軍政廳發表  
 △美國對輸入한「용추림」10萬個 分配給하겠다고「외선」軍政長官代理發表

3月24日 △生必需品公平分配給코저軍政廳商務局에서全國的統制品配給案을樹立

3月25日 △阿片栽培을全般的으로禁止코耕作地는食糧粉產으로轉換하라고軍政廳,「백야」軍司令部依命發表

3月26日 △東洋第一港目標코 豫算2億圓으로仁川에第二築港着工

3月27日 △歸屬財產處分問題로代行機關을設置할作定이여最高決裁는財產管理課에서한다코軍政廳財產管理課發表  
 △大韓生命保險會社資本金一千萬圓全額拂込으로新發足  
 △「백야」元帥日産汽驛車29臺朝鮮에發送命令  
 △重工業國營問題는朝鮮政府樹立後로 미우고當分間은軍政廳代行機關에서運籌하겠다고「외선」軍政長官宣明

3月28日 △米穀收集令에非常措置 「受」不正所有者를摘發에賞金制實施코 米穀은當分間二合配給이不可能하다고「외선」軍政長官發表

3月29日 △軍政廳機構改革에對한法令第64號發布  
 △藥種, 醫藥等에關한規則法令第63號發布  
 △朝鮮勞務授課會의 解散에關한法令 第61號發布  
 △米穀公定價格擴張等 食糧政策의失敗는軍政의失敗라고軍政廳出入記者團이「외선」軍政長官에建議  
 △前日人家屋에謀利輩跳梁, 九割以上이不法占有者라고 서울市住宅租會에서當局의 適正處置方針을望  
 △朝鮮鐵業會에서理事會開催코 食糧, 鐵山, 運營問題等緊急施策을討議  
 △南北郵便物第二次交換實施

3月30日 △踐谷, 鐵政府線開通工事運轉局에서着手  
 △寧越「당구스린」鐵探掘開始  
 △朝鮮自動車株式會社, 國產自動車株式會社合同코新運籌方針計畫

3月31日 △釜山外四地方의 25大工場 一齊休業再開하었다고「로마스」商務局長發表  
 △林業開發會社, 新韓公社가 接收코新發足○「개」新韓公社管理官發表  
 △中間不純團體排除코物品은生産者로부터直接消費者에 賣渡하라고軍政廳機械課長談話發表  
 △日本人所有家屋什物等 物件에 沒收心하라고軍政廳財產管理課聲明  
 △今日現在朝鮮銀行券發行高 90億7千9百萬圓  
 △今日現在南朝鮮全金融機關  
 △同 預金總額56億5千3百萬圓  
 △同 貸出總額62億1千9百萬圓  
 △同 月會市3月中平均都買物價指數 8,414  
 △同 小買物價指數 11,645  
 △同 勞動賃金指數 4,212  
 (朝鮮銀行調查 指數基準 1936=100)

4月1日 △南朝鮮各道知事會議開催코米穀收業, 稅制에關한具體的方策討議  
 △은하救濟品과鐵材四月부터 每月20萬噸씩 輸入한다고軍政廳發表

△小麥替限度額은 300圓까지라고 逕信局發表  
 △各種糧草價格今日부터引上

4月2日 △서울鐵機工商同業協會創立  
 △新韓公社運營方針「개」副社長發表  
 △鐵道用品(터우, 汽關車枕木等) 16餘萬圓 來15日부터美國對輸入한다코運輸局資材課發表  
 △食糧緊急對策을京畿道商工經濟會에서「외선」軍政長官에建議

4月3日 △朝鮮生産陣의全面的再探案을爲한緊急物資 6千種을美國으로부터輸入交涉코저軍政廳「필립」大佐와第二十四軍司令部「라일」大佐는不日歸國美陸軍省과折衝한다코軍政廳發表  
 △八日부터米穀每人當一合配給, 一臥未滿은自由搬入許可한다코「외선」軍政長官宣明  
 △間接稅다시賦課코今日부터實施 遊興稅는來20日부터實施  
 △南鮮一帶에서再生紙生産코 生産品은各道代理店에配給豫定이라고發表

4月4日 △美國對輸入한 250 種의厚生藥品 5月上旬頃에朝鮮에到豫定이라고軍政廳保健厚生部發表  
 △朝鮮寒天製造組合 水産開發會社의斡旋으로 新發足

4月5日 △水産物中, 小艇等團體等朝鮮水産開發會社에吸收코저軍政廳指示下에調査豫備에着手  
 △東洋雲母會社에서는朝鮮最初의雲母再生工場을設置코저碩村에機械設備着手

4月6日 △1946年度鐵鋼需要量申告하라고 京畿道鐵工課發表  
 △朝鮮實業公司永登浦各工場의生産量 5倍可量增加하었다고吳禎淳商務部長發表  
 △棉花栽培에萬端準備코저 軍政廳農務部에서는各道責任者를召集코協議

4月7日 △生絲需要者는登錄하라고朝鮮蠶絲統制株式會社에서發表  
 △朝鮮織物會社에서는全機能發轉코 3月부터月產 4萬5千碼生産

4月9日 △10月15日까지每一人當二合配給 米穀의道外搬出許可等食糧對策臨時措置案「외선」軍政長官發表  
 △朝鮮工藝協會主催코朝鮮工藝展覽會開催  
 △朝鮮化學石油會社蔚山工場에서는「메」일알콘 1年產34噸計畫

4月11日 △1946年度軍政廳豫算額發表 歲入豫算80億圓, 歲出豫算118億圓  
 △東亞蠶絲會社에서는蠶種 5萬枚生産日額으로 6月부터活動開始한다코發表  
 △生産場의作業不能으로 電力, 石灰消費量等半減

4月12日 △肥料 20萬噸北鮮對搬入할것을 春耕期앞두고朝鮮農會에서計畫  
 △南北朝鮮郵便物第三次交換實施  
 △1946年度北朝鮮臨時人民委員會豫算發表 歲入豫算6億圓, 歲出豫算 6億圓  
 △北朝鮮農民銀行設立 資本金 3億圓으로 5月1日부터業務開始

4月13日 △第二次新造國產汽關車仁川埠頭에서試運轉  
 △朝鮮生絲統制會社增產 5個年計畫樹立發表  
 △中央新聞社土堡로 產業建設協會會開催코 各企業家資本家, 技術家, 金融家, 全評, 協組, 學者, 等斯界權威者 30 餘名은產業對策協議會(現朝鮮產業建設協議會)準備委員會結成

4月14日 △商工業의發展企圖圖 4月下旬商工會選所發會準備에着手

4月17日 △1千9百萬石生産目標로南朝鮮米穀生産 5個年計畫樹立을農務部作物課長發表  
△18日부터增輸入實施한다고「리-귀」軍政長官發表  
△米穀收穫 88萬石増産目標로 水利工事18個所의工事着手하였다고李勳農務部長言明  
△朝鮮最初の民設試驗農圃「研農社」高平에誕生  
△「에-틸」年産 74立製造에成功하였다고「만스키」國立化學實驗所長發表

4月18日 △서울市內의市場統一하겠다고市當局發表  
△서울市에서는石炭集荷를圓滑히하고저生産者需要者會同으로合同協議

4月19日 △生活必需品中綿布、絹織、신발、양말、선방、비누、紙物、農具、材木等 9種統制實施한다고京畿道商務部發表  
△14個所는荒蕪地物、15個所는非常用飛行場으로指定한다고軍政廳管理課長「엔가」中佐發表

4月20日 △朝鮮問題는極東局長이政策樹立한다고美國서占領政策發表  
△前性曹達 34噸美國서釜山港에輸入

4月21日 △「스곰」自家生産者는專賣局에登錄을要하여違反者는物品沒收로罰金을課하게된다「원코」專賣局長發表  
△營業許可事務20餘種 警察에서市廳으로移管  
△5月부터鐵道料金引上한다고運輸部發表  
△石炭適切配給案討論코저 石炭販賣業者打合會開催

4月23日 △前日人所有戰時工場의平和産業轉換等經濟復興에相副한施策講究하겠다고「리-귀」軍政長官言明

4月24日 △서울市의特別米穀令에關한法令第 77號發布  
△稅關行政에關한法令第 76號發布。

4月25日 △前日人家屋契約方法과樣式變更朝鮮銀行서發表  
△石炭配給統制方針決定 吳商務部長發表

4月26日 △土木工事費百萬圓南朝鮮各道에割當  
△底曳魚業免許制南朝鮮一帶에實施決定이라고水産局發表  
△朝鮮無盡會社機構補充面目一新코朝鮮相互銀行으로新發足  
△南北朝鮮郵便物第四次交換實施

4月27日 △朝鮮産業建設協議會結成率例常任委員會開催코具體的方針討論  
△暴利商抑壓코每週生必需品物價調査發表하겠다고市場課長發表  
△農牛屠殺制限코一年間 1萬 1千餘頭까지許諾하겠다고 서울市産業課長發表

4月29日 △地下資源開發企畫案「로-마스」商務部長發表

4月30日 △改革된商務部機構는七局、二所、二院으로再編  
△永登浦工業協會創立。會長朱海、副會長金丙運等  
△스곰 4千噸輸入、漁業가家庭用으로配給한다고農務部水産局發表

5月 1日 △北朝鮮서搬入豫定인毛肥料는現地不足狀態로吳은다고「리-귀」軍政長官言明  
△現在在庫量 18萬石분이라고「리-귀」軍政長官發表  
△機關車와石炭準備完了코今日부터改訂의時間으로列車運行한다고運輸部「은손」管理官發表

5月 3日 △林野拂下斗買受轉讓을目的히京城材木商組合新發足

5月 4日 △生必需品의死藏、軍政違反犯罪等에關한法令第72號發布  
△朝鮮內各銀行定期預金과 貸出增加되었다고京政廳財務部發表  
△閔奎植外 80餘名의發起로 朝鮮商工會議新創立總會를 5月 9日開催키로決定  
△南朝鮮鐵山責任者(支配人)會議開催

5月 5日 △朝鮮食糧事情聽取코저 美國鐵道防止委員會長「후-버」氏入京하여食糧輸入의必要性認定

5月 7日 △南朝鮮鐵道の統一에關한法令第 75號發布  
△法令第80號로서 新韓公社創立에關한 法令第52號改正發表  
△金銀、銅、地金等은、取引、抵當、擔保하지말고各金融機關에保護케하라고「원밍」民政長官指示  
△朝鮮工業技術聯盟에서工業全書刊行計畫發表  
△電信電話建設局 7個所設置와電話電線保存建設班養成等選信部에서發表  
△新秋穀期까지 現配給制持續에 最善의盡力을하겠다고「정포니」軍政長官補佐官發表

5月 9日 △美蘇共委兩側意見不一致로決裂  
△9百種類의藥品 7月頃에美國서輸入한다고 保健厚生部發表  
△암모니아氣象用具等朝鮮에輸出하라고「역아-더」司令部서日政府에命令  
△朝鮮洋紙株式會社는統制機關인同時에唯一한洋紙配給會社로서存続

5月10日 △醫藥品千種類에對하이最高價格制定코保健厚生部서發表  
△絹絲工場採集能力發揮코저朝鮮絹絲工場復興計畫을李農務部長發表  
△全國水産對策協議會結成

5月11日 △麥類食糧補給對策으로쌀과生必需品의交換을軍政廳發表

5月12日 △人邱에朝鮮燃料株式會社、南鮮工業株式會社、渡邊鐵工所等、煉炭、製粉機、農具等의 3大工場開設되었다고吳商務部長發表

5月14日 △諸機械等一萬餘種의朝鮮經濟復興物品을日本에서購入交渉中이라고「리-귀」軍政長官發表  
△南北朝鮮郵便物第五次交換實施

5月15日 △美國賠償使節「로-에」氏一行入京  
△爲替率設定된때까지輸入品決濟는「代拂制」으로對日人債權에對特別考慮하겠다고「리-귀」軍政長官言明

5月16日 △軍政廳食糧行政處에서麥夏穀收集에對한各道配當量을指示  
△紡績用棉花最高價格 (一等品斤當 900圓) 決定을吳商務部長發表  
△蒸氣、電氣汽鍋車等 12臺을 朝鮮에 輸出하라고「백아-더」司令部日政府에命令

5月17日 △對外貿易規則法令第82號로發布  
△消費者外生産者의商品配給代行機關으로朝鮮農會를指定코軍政廳發表  
△朝鮮고무工業協會에서는月10萬足을서울市에納入協力할것을條件附로建議

5月18日 △水産對策協議會에서漁獲과水産團體等의當面問題解決을「리-귀」軍政長官에建議

5月19日△朝鮮商工會議所에서當面商工政策을當局에建議  
△水産資金以外는貸付制限키로金融團서決議

5月20日△仁川化學工場操業開始코肥料生産에着手  
△砂糖輸入計畫을全國菓子工業組合聯合會에서準備  
한다고發表

5月24日△첫外國貿易船 中國서35隻仁川에入港  
△運搬能力增加하여三砂炭多量搬入하되한다고吳尙務  
部長發表  
△慶南고구工業組合創立

5月25日△道知事會議에서決定한夏穀200萬石收集計畫案軍  
政廳中央食糧行政處에서發表

5月26日△朝鮮農會에서는肥料増産品評會의具體案作成中이  
라고發表  
△石炭生産量減少으로五個月後에는供給不可能하다  
고石炭統制會社發表

5月27日△紙類,農具,木材等軍政廳配給統制代行機關指定  
機械製紙類—朝鮮紙類配給會社  
農具—朝鮮農會  
木材—朝鮮木材會社

5月28日△經濟統制에關한法令第 90號發布  
△米穀—合配給中이한것과夏穀收集豫想은 2百萬  
石이라고「리—귀」軍政長官發表  
△京畿道工業者連絡大會에서朝鮮産業復興對策을軍  
政當局에建議

5月29日△新聞及其他定期刊行物許可에對한 法令第88號發  
布  
△土產都賣業者 3千餘名召集全國土產對策協議會  
開催  
△美國賠償使節「프—에」氏一行北朝鮮向出發  
△自動車,交換用部分品,日本서 28箱子 軍政廳財  
務部에入荷

5月30日△水産物配給權問題로京畿道の漁業組合及同販賣所  
設置에對하여 서울市中에서反對

6月 1日△軍政廳財務部指示에依하여各銀行에서는今日부터  
預金利率引下實施  
△新韓公社에서는二毛作의小作料全股受當局에建議  
△朝鮮農機具協會에서는農具를大量生産코,金融 農  
會等을通하여配給計畫을發表  
△鐵工業者登錄規定을京畿道鐵工課發表

6月 2日△生必需品配給은金融對農會를通해서하되한다고京畿道  
商務部發表

6月 3日△軍政總務局長「워—커」少佐,顧問「백—귀남」博  
士,「하타웨이」少佐는全評幹部들과軍政勞動問題  
를熟議

6月 4日△今年度春籾最高價格 200圓決定과資金融通은認可  
制로할것을李農務部長發表  
△六萬從業員生活保障要求코總罷業

6月 6日△朝鮮銀行調查月報에依하면月末現在은貸金率增加  
는19倍物價騰貴率은77倍  
△서울市經濟課에서는各關係者招集討議코生必需品等  
統制品配給要項樹立  
△서울市內電車料金30錢에서 1圓으로引上

6月 7日△電氣主任技師等 7月末日까지登錄非라코吳尙務部  
長發表  
△虎列刺로因한出漁禁止은水産業界에大打擊

6月 8日△新韓公社所有管理土地는二毛作의小作料가나고  
主産物의3分之1을徵收하는것이라고軍政廳農務部

發表

6月 9日△27萬石增收目標로大規模水利工事に着手하였다  
軍政廳農務部發表  
△原料不足,工場設備不充分으로紙類生産豫想은需  
要量의 9%에不過하다고吳顯濬尙務部長發表

6月10日△南朝鮮各道公報課長會議開催  
△仁川工業界의運籌狀況은五月末現在은88%其中鐵  
工業 食糧加工業이首位

6月11日△軍政廳에서는小賣價格統制을爲하야物價統制處考  
試課設置

6月12日△鎔業振興의先決條件은製鍊施設擴充과販賣市場獲  
得에있고採取資金은朝鮮銀行에納付한다고「리—  
귀」軍政長官鐵業政策言明  
△北朝鮮서南朝鮮에送電量은 約9萬瓩라고「리—  
귀」軍政長官發表

6月13日△夏穀買上,販賣價格決定을軍政廳特別發表  
△絹織의品質等決定하기爲하야絹織檢査所不日間事  
務開始計畫이라고農務當局發表

6月14日△煉瓦同業會에서販賣機關設置企圖中이라고發表  
△海運對策委員會結成.委員長閔奎植,副委員長黃  
漢喆,金龍周

6月15日△解放最初의勤農日,全鮮各地에서移秧式舉行  
△金融組合聯合會主催로全國特産品展覽會東和百貨  
店에서開催  
△南朝鮮의特定郵便局을廢止하고通信都道營으로한  
다고發表

6月16日△朝鮮貨物自動車會社에서運賃大幅引上實施  
△前日人家屋占有는戶主以外는嚴禁한다고「리—귀」  
軍政長官言明

6月17日△群山,長項兩港修築코저港灣調査團現地基本調査  
에着手  
△朝鮮自轉車商工聯盟及朝鮮自轉車小賣商聯合會合  
同으로朝鮮自轉車商工組合聯合會新發足.理事長趙  
午杰,副理事長金景善,孫永石等

6月19日△全國移秧狀況六割進捗하였다고農務部發表  
△朝鮮油脂會社의仁川水藥工場一部製氷工場으로  
轉換한다고發表

6月20日△朝鮮商工會議所에서對日賠償要求에關한請願書를  
「프—에」使節에提出

6月21日△前商務局貿易課의機構를變更하야貿易局設置初代  
局長崔萬熙任命  
△肥料와種子를供給하면朝鮮의食糧事情은解消될것  
이라고「아이젠하워」參謀總長下院에서言明

6月22日△國內生産品普及코저自動車部分品對策準備委員會  
結成  
△朝鮮工業技術聯盟에서는朝鮮重要資源解說編纂企  
圖中이라고發表  
△7月1日부터朝鮮銀行券百圓짜리新紙幣發行한다고  
發表

6月23日△自轉車商工組合理事會에서 3個年生産計畫樹立

6月25日△美國市輸入한「밀가루」江原道,京仁等窮乏地方에  
配給한다고軍政廳中央食糧行政處發表  
△紅蔘輸出量은 13萬斤이라고「리—귀」軍政長官發  
表  
△石炭月産 10萬噸生産과 肥料生産에最善策講究하  
이라고「리—귀」軍政長官言明

6月26日△夏穀收穫量은約 3割減少豫想이라고農務部發表  
△이런장마의鐵道通暢의完全杜絶,宋越浸水農作性

等被害多大하다고當局發表  
 △戰災農民 2萬餘戶를新韓公社管理의日人農地에收容시켰다고發表  
 6月28日 △7月10日부터 郵便料金約五倍引上實施豫定이라고 通信部發表  
 △仁川鑛湖工場을洋灰工場化計畫이라고發表  
 △40年來의大洪水로因하여麥作 2割内外減收豫想이라고李勳求農務部長發表  
 6月29日 △南朝鮮製紙工場은 83%運轉되고있으며 紙價向上은外國原料輸入에期待된다고 吳炳洙商務部長發表  
 6月30日 △今日現在朝鮮銀行券發行高94億2千2百萬圓  
 △今日現在南朝鮮全金融機關預金總額78億4千7百萬圓  
 △同 貸出總額66億2百萬圓  
 △서울市6月中平均 都賣物價指數 12,057  
 △同 小賣物價指數 14,932  
 △同 勞動賃金指數 6,772  
 (朝鮮銀行調査 指數基準1936=100)  
 7月 1日 △補助軍票인「A」印의圓貨의預入에關한法令第95號發布  
 △水銀, 硫黃, 硫磺等朝鮮에多量輸出하라고「덕이-리」司令部日政府에命令  
 7月 2日 △管理工場製品은廉價로消費者에게直接配給한다고「러-귀」軍政長官宣明  
 7月 3日 △新韓公社總裁制로新發足. 總裁鄭桓範副總裁朴沃敏氏任命  
 △財産管理處住宅課新設  
 △美國務省極東局長「빈센트」氏는如何한外國資本도 搾取을目的으로는朝鮮에投資할수없다고宣明  
 7月 4日 △外國과의 貿易統制에關한法令 第93號發布  
 △美國獨立記念日을期하여朝美郵便通信開始  
 △朝鮮商工會議所에서는生必品配給機構의代行機關을 農會, 企聯等指定措置를反對하고中央生必品運營組合聯合會要綱을商務部에建議  
 7月 5日 △朝鮮商工會議所主權로貿易協會準備會結成. 常任委員余恒燮, 尹宇植, 李東善等  
 △生産能率提揚과低物價政策堅持하라고「러-귀」軍政長官物價行政處에敕命  
 △慶尙, 忠清兩地에無盡藏의大無煙炭藏發見됐다고軍政廳發表  
 7月 6日 △中央食糧行政處에서는當分間「밀가루」를配給한다고發表  
 7月 7日 △中央配給機構을變更하여 中央代行所를設置코統制生必品配給代行機關으로金聯指定 商務部發表  
 △中央物價行政處에서는 生必品最高價格을決定코 15日부리實施한다고發表  
 △三陟開發會社는鐵道는運輸部에吸收되고 三陟炭礦, 墨湖港石炭, 北三化學等 3分據으로新發足  
 7月 9日 △敵產審查委員會는爭議解決의目的이라고「러-귀」軍政長官宣明  
 7月10日 △新韓公社는產業別로分解하여各單位事業機關으로運營할方針이라고「러-귀」軍政長官宣明  
 7月11日 △商務部各局設置對外國貿易規則法令 第82號改正에關한法令第98號發布  
 7月12日 △賃金勞動者의福利爲히勞動部新設을計畫中이라고「러-귀」軍政長官發表

△朝美通商은一週內로開始될것 이라고美國世界貿易會社社長「스레거-스」氏宣明  
 7月13日 △南朝鮮各道知事會議 (11日, 12日) 에서生必物資大量生産과商務部의施策中인經濟方針樹立  
 7月14日 △郵便, 電信及電話料에關한法令 第99號發布  
 △道路工事에 2億圓割當하여全國失業者를大量活用한다고「러-귀」軍政長官發表  
 7月15日 △朝美貿易은時期尙早라는「하-지」中將의聲明을「러-귀」軍政長官敷衍  
 △美補助軍票는朝鮮人에게는通用禁止한다고「러-귀」軍政長官宣明  
 7月16日 △對外貿易을統制코朝鮮에餘裕있는 物資만 輸出할것이라고「러-귀」軍政長官宣明  
 7月17日 △食糧及工業原料等84種美國에서今週內에仁川에入港한다고商務部發表  
 7月18日 △石炭人들의發起로石炭配給協議會서울市廳에서開催  
 △關稅關係事務取扱키爲하야財務部에一課設置를決定發表  
 △木材統制對策委員會에서木材統制廢止를「러-귀」軍政長官에게要望  
 △在日朝鮮人機械送還에關하여每人當 2廳搬入을許可한다고軍政廳外務處에서發表  
 7月19日 △美軍人의食糧一部를朝鮮人食糧販賣所를通하여販賣한다고軍政廳發表  
 △美軍票今日부리流通. 朝憲券과交換不能  
 △南朝鮮에勞組數는 227個라고商務部李大偉勞動局長發表  
 △工場管理人發起會結成. 理事長張熙台, 理事金炳哲外  
 7月20日 △金聯生必品配給具體案決定發表  
 △京畿道水害統計浸水12000戶, 死傷者300餘名이라고京畿道警務部調査發表  
 △對外貿易權賦與免許制을 來 8月1日부리接受開始한다고吳商務部長宣明  
 △南北朝鮮의「순라」調査近日中完全終了한것이라고「순라」使團團長「크라이트 비사-더」氏宣明  
 7月21日 △美國에서輸入하는小麥 129,500 噸一部釜山入港  
 7月22日 △日本에水産物을輸出하고代身石炭을輸入할計畫이라고「러-귀」軍政長官宣明  
 △小規模軍政管理工場拂下案軍政廳發表  
 △朝鮮產業建設協議會題旨宣明發表. 資本, 技術, 勞動의三位一體로建國產業再建의目的  
 7月23日 △勞動部設置에關한法令第97號發布  
 △美國醫藥品多量入荷  
 △南朝鮮各道에水産局을設置한다고「러-귀」軍政長官發表  
 7月24日 △靑果會社資本金一千萬圓으로新發足  
 △夏穀收集協力農家에는生必品優先配給한다고軍政廳商務部發表  
 7月25日 △藥品及藥品營業取締令及其他施行規則改正에關한法令第96號發布  
 △朝鮮商工會議所令의廢止에關한法令第 100 號發布  
 △農務部에土地改良局新設을農地開發에力을注할것을軍政廳發表  
 7月26日 △外國貿易從事者의貿易許可申請을來8月1日부리接受한다고吳商務部長正式發表  
 △日人財産管理人은嚴選하라고商工會議所에서當局

에 建 議

- 7月27日 △管理工場의 操業狀態調査는 商務部와 金融組合聯合會에서 共同着手한다고 發表
- 7月29日 △南朝鮮各道土地改良課長會議開催  
△新韓公社를 產業別로 分割할 것은 「리-취」軍政長官 宣明
- 8月 1日 △韓國貿易協會創立。會長金庚演, 副會長全用淳, 金仁炯, 理事全恒燮外  
△百萬弗의 救濟品이 三朔內에 美國에서 入荷할 것이라고 駐朝鮮은라代表 「사-제르」氏 發表。
- 8月 2日 △朝鮮貨物自動車會社는 道運輸課로 移管, 職員은 留任코 問題一段落  
△서울 商工會議所에서는 서울市內의 商工業組合의 解散處理와 存續에 關한 建議文을 京畿道知事에게 提出
- 8月 3日 △石膏 600萬 磅近日 中日本으로부터 暹湖港에 入荷한다고 吳商務部長 發表
- 8月 4日 △金融組合聯合會에서는 對外貿易에 進出코 濟易部 新設을 準備中이라고 發表  
△美國纖維品 百萬에 하나 到着하였다 吳軍政廳 發表
- 8月 5日 △軍政廳에서는 緊急物資計畫樹立코 美國으로부터 輸入 品種, 船舶用品, 汽關車, 트럭, 燃料, 油類等 美當局에 請求하였다 吳公報部 發表  
△美軍人用 食料品 20萬 箱子 極貧者에 配給
- 8月 6日 △16日 부터 12合式 糧穀配給 繼續하 것다고 中央食糧 行政處 發表  
△濟州道海底電信線 復舊 修理工事에 着手하였다 吳通信部 發表
- 8月 7日 △土木部設置에 關한 法令第104號 發表  
△夏穀收果從前대로 繼續하 것다고 「리-취」軍政長官 宣明
- 8月 8日 △朝鮮에 보내는 食糧輸送은 每月 3萬 2千 噸이라고 美當局 宣明
- 8月 9日 △南朝鮮에 借款 2千 5百萬 弗 設定은 美當局 發表  
△「沃度」生産工場 設置目的의 製藥界의 重鎮은 濟州道 視察行
- 8月10日 △美의 朝鮮借款은 30年 間年賦 返還하 게 될 것이라고 美當局 宣明  
△南鮮今年 度木材 需要量中 70萬 石 不足은 外國輸入에 依存하 것다고 當局 發表  
△軍政廳 轉旋으로 漢藥材 輸入計畫 樹立
- 8月11日 △一般貨物 自動車는 8月31日 까지 許可可 할 것이라고 運輸部 發表  
△水產業會에서는 漁業融安金으로 保證 貸付 2億 圓申請코 水產當局과 折衝
- 8月12日 △郵便料金 五倍 引上을 通信部 發表  
△軍政廳에서는 秋收期를 앞둔 秋穀收果令 (中央食糧規則 第2號)을 公布
- 8月13日 △重要產業機關의 融資金及米穀 夏穀收果令으로 24億 圓 保證 貸付中이라고 「리-취」軍政長官 宣明  
△生産復興 5個年計畫 樹立코 增產에 努力中이라고 「리-취」軍政長官 發表  
△科學技術展覽會 國立科學博物館에서 開催
- 8月14日 △「은라」救濟品, 南北朝鮮에 均等 配分할 것이라고 「은라」當局者 宣明
- 8月15日 △今日 現在 朝鮮銀行券 發行額 1百 6億 7千 1百萬 圓 比 前年 同日 58億 3千 2百萬 圓 增發

- △朝鮮工業技術聯盟에서는 昌慶苑에서 建國工業博覽會 開催計畫을 發表
- 8月18日 △仁川化學肥料工場에서는 過磷酸石灰肥料等 生産하여 配給할 計畫이라고 發表
- 8月20日 △水產物輸出品 初年度 輸出計畫은 8萬 噸이라고 當局 發表  
△26日 부터 2合配給 豫定하 다고 「리-취」軍政長官 宣明
- 8月21日 △石炭 6萬 噸 朝鮮에 輸出하 다고 「택-더」司令部 日政府에 命令
- 8月22日 △軍政廳 緊急物資計畫에 依하여 現在까지 朝鮮內에 輸入 物資는 總額 3,500萬 弗이라고 公報部 發表
- 8月23日 △朝鮮 産業建設協議會 結成。會長 李鍾萬, 副會長 李泰煥, 朴定根, 金龍周, 劉在晟, 申東浣  
△朝鮮製紙協會 創立總會는 來9月 中旬 頃에 開催하 것다고 吳商務部長 發表
- 8月24日 △南朝鮮 臨時立法機關設置에 關한 法令第118號 發布  
△種畜 積極 增産코 5年 以內에 從前과 같이 復舊할 方針이라고 農務部 畜産課 發表  
△中央石油代所의 石油賣上 額은 4個月 間에 1億 圓이라고 發表
- 8月25日 △米穀 公定價格 1斗 850圓으로 引上코 新米 配給價格 發表
- 8月27日 △南朝鮮 各道 美人道 知事會議 開催코 夏穀 收果 問題等 對談  
△失業 勞動者 救濟를 爲한 京釜幹線 道路 改善工事는 活潑히 進捗中이라고 軍政廳 土木部 發表
- 8月28日 △在日 同胞 產産黨入코 女子 產産黨入 對策委員會 結成, 在日 朝鮮人 聯盟, 在日 朝鮮商工會, 商工會議所 中心
- 8月29日 △新穀 年度부터는 食糧을 3合式 配給하 것다고 서울市 長 宣明
- 8月30日 △美國 物資 百萬 封度, 鋼鐵, 藥品, 自動車等 到濟  
△今日 現在 서울市內의 失業者 群 20萬 餘名
- 8月31日 △稅令의 改正에 關한 法令第101號 發布  
△財產 訴請委員會의 設置에 關한 法令第103號 發布  
△米穀 收果令의 廢止, 米穀 搬入 許可證의 失効에 關한 法令第105號 發布  
△夏穀 供出은 促進시키 爲한 麥收果에 二重價格을 實施코 9月20日 以後는 買入價格을 引下시 킬 것이라고 吳軍政廳 發表
- 9月 1日 △第三種 所得稅 大幅 引上코 2000圓 부터 課稅
- 9月 2日 △京畿道 各府尹 郡守會議 開催코 夏穀 收果을 9月 末日로 延期 決定하 였다고 道公報課長 發表  
△漢洲 勞動組合 書記長 「몽크」氏 勞動組合 組織 調査 次來朝  
△和尙 商事 流通資金 1億 圓으로 貿易에 進出
- 9月 3日 △電車, 副土等 特司 交通問題 研究會 當局에 建議코 公益 事業 委員會 發足。委員 金炯燾, 李泰煥, 美人 서울市長, 商務部長  
△京畿道 工業協會 創立。理事 柳喜俊, 申東浣, 劉在晟, 金容元, 朴商協外  
△京慶 線 丹陽 豐基間 電鐵 化工事 着手은 運輸部 發表
- 9月 4日 △「리-지」中將의 經濟顧問 「벤스」博士는 軍政廳의 經濟政策의 失敗 率을 直히 批露하 고, 朝鮮人의 生活安定은 米穀 統制로 解決하 고, 土地改革은 立法機關에

서審議하랴다고聲明

9月 5日 △道、地方稅等大額增稅，最下級戶別稅는 3千圓豫想  
△7月中南朝鮮各港口에서取扱貨物總量은8萬千餘  
噸이라고朝鮮通商總局發表

9月 6日 △石炭販賣價格는適當百圓으로決定코商務部發表

9月 7日 △國內自動車工業發展期호저自動車工業協會創立  
△朝鮮銀行越邊에서自由市場開場  
△仁川化學工場에서煤藥生産再開始

9月 8日 △在日同胞財産搬入對策委員會에서産業施設搬入制  
限撤廢는當局에陳情

9月 9日 △仁川中心의對中國大密輸檢査發表

9月10日 △朝鮮商工會議所議員總會에서食糧對策案當局에建  
△民間緊急物資供給計畫에依해美國서輸入한藥品機  
械部分品等、工場、家庭에配給  
△南朝鮮五大工場의棉布生産量은每週日 44,000餘碼  
式粉産中이라고中央經濟委員會發表

9月13日 △「은라」救濟品到着，南北戰災民에公平配給計畫이  
라고公報發表  
△貿易對策諮議호저貿易協會에서貿易懇談會開催  
△朝鮮捕鯨業者들의慶南北一帶의初出漁은27頭漁獲  
時實2千5百圓程度

9月14日 △統制品의 國家配給에關한 中央經濟規則第一號公  
布  
△黃鐵粉 6千餘噸輸入호硫酸製造用으로配給할豫定  
이라고吳商務部長發表  
△不要不急品滿載호中國輪船團、仁川、群山、木  
浦、慶水、丹山、釜山、三陟等地에就航

9月15日 △南朝鮮電力消費量은每日當7萬8千KW이며 3萬K  
W는北鮮送電에依存한다호朝鮮電業會社發表

9月17日 △朝鮮電業會社의 8月末現在의固定資金은5億2千萬  
圓이라고發表  
△美國「컨티」9百萬磅到着，不日中配給한다호商  
務部發表

9月18日 △서울特別市の設置(道外同章權限賦與)에關한法  
令第106號發布。  
△企業令廢止에關한法令第108號發布  
△穀物及 以檢査에關한法令第111號發布  
△兒童勞動法規에關한法令第112號發布  
△外國貿易統制法令第93號의改正에關한法令第117  
號發布  
△紡織機、自動車附屬品等10月부러日本서多量搬入  
豫定이라고商務部發表

9月19日 △南朝鮮水稻의 半年作은確實하다호農務部發表。  
△夏穀收集은失敗、그主要原因은運輸及播種의不圓  
滑에잇다호軍政廳食糧行政處發表

9月20日 △工業技術者檢定試驗 中央試驗所에서施行中이라  
고吳商務部長發表

9月21日 △朝鮮電業會社에서는南朝鮮에發電所新設호서井邑  
中心으로大發電工事に着手

9月22日 △食糧事情逼迫에呼應하야各政黨代表들은米穀自由  
搬入容許等을當局에陳情

9月23日 △小作料全部金錢納入에關한中央食糧規則第3號公  
布

9月24日 △米穀收集強行호、秋收은年末부러 配給計畫이다호  
「리-引」軍政長官發表  
△食糧政策은不動方針이다호「펜스」經濟顧問 池食  
糧行政處長等聲明

9月25日 △朝鮮銀行에서는法令第93號에依한外國貿易財産申  
告接受를開始  
△南朝鮮鐵道總罷業

9月29日 △一般旅行制限解除는「리-引」軍政長官發表

9月30日 △對外貿易許可、貿易金融、輸出入物資制限等에關  
한軍政廳方針을吳商務部長發表  
△今日現在朝鮮銀行券發行高 1百13億4千1百萬圓  
△今日現在南朝鮮全金融機關預金總額 99億8千7百  
萬圓  
△同 貸出總額 86億圓  
△9月中에서全市平均 總賣物價指數 16,292  
△同 小賣物價指數 19,317  
△同 勞動賃金指數 9,262  
(朝鮮銀行調査指數基準1936=100)

10月 2日 △서울特別市町名을洞으로改正斷行호 10月1日부러  
實施한다호發表  
△南朝鮮輪船總罷業으로各港灣船舶運航不能

10月 4日 △美國서輸入한食糧은5月부러9月末까지總量74萬餘  
石이라고池中央食糧行政處長發表  
△鐵道運轉漸次復舊、出勞等、就業으로 罷業一段  
落

10月 5日 △特許法에關한法令第91號發布  
△財務當局은各金融機關代表들과協議하야銀行貸出  
金利引上을決定實施。最低1錢4厘是2錢으로

10月 6日 △紡織原料及設備에關한統制規定中央經濟委員會規  
定第2號公布  
△朝鮮銀行에서는新樣拾圓券을近日中發行한다호發  
表  
△水産業會에서는漁業資金融會는當局에再次要請

10月 8日 △勞動法令不日公布豫定이라고軍政當局發表  
△穀物播種設備의許可에關한法令第113號發布  
△關稅의改正에關한法令第116號發布

10月 9日 △軍政當局은華商代表와中國서輸入한商品의最高價  
格을協定  
△夏期大洪水로因한被害總額은 9,700萬圓이라고京  
畿道土木課發表

10月10日 △朝鮮藥業振興會社新發足。社長全用淳 副社長柳  
一寅  
△朝鮮土建協會에權限擴大호軍政廳美軍工事等에連  
帶責任지라고軍政當局指示  
△民間緊急物資計畫에依한藥品工場施設品自動車用  
品等美國서入荷  
△서울市內電車運轉系統變更實施

10月11日 △米穀收集計畫의理由「리-引」軍政長官解明  
△軍政廳財務部長에尹錫炳氏任命  
△中止中이호南北郵便交換再開

10月12日 △金融組合聯合會을通해서配給한生産品總額은5月  
부러9月까지2億5千萬圓이라고商務部發表  
△水害復舊費호1億圓計上한다호京畿道農林局發表

10月13日 △美軍間의圓貨對弗換率15對1에서50乃至60對1로  
改正豫想  
△麥粉2萬44萬美國서入荷

10月14日 △鐵道從業員의待遇改善호基準月給制實施查食供給  
等實施한다호公報部發表

10月15日 △地方稅의改正에關한法令第109號發布  
△農務部令第3號호穀物檢査規則을發布한다호李農  
務部長發表  
△米穀의制限附自由販賣는明年2月末收收集完了後

에하 깃다고 「리-귀」軍政長官言明  
 △物資70萬對度是避難水災民에配給하 깃다고 在京「은라」救濟委員會本部發表

10月16日 △百萬圓以下의管理工場拂下具體化로財産管理課에서는不意40餘工場拂下實施하 깃다고發表

10月17日 △燃料等特殊生活必需品外하고數百種의商品의統制價格을解除하 깃다고 物價調整局發表  
 △朝鮮一比貨實問郵便開始

10月18日 △今年度米穀收計畫是 436萬石으로決定코各道에配當

10月19日 △外國貿易許可件數檢出入物資報告提出을商務當局서要望

10月20日 △軍政廳土木部에서 서울 釜山間 國道改修工事에着手  
 △建國工業博覽會昌慶苑에서開催 (朝鮮工業技術聯盟主催)

10月21日 △食糧規則一部修正코米穀少量 (小斗 半量) 搬入을許可한다고池田中央食糧行政處長發表

10月22日 △軍政廳調查研究署에서 統計展覽會를開催(23日까지2日間)  
 △朝鮮商工會議所로全國商工業者大會開催코共榮機關吹願傳達

10月23日 △양말16萬足各道에配給한다고韓昇寅商務局長發表  
 △米穀二重價格實施코 買上118圓配給85圓差額20億圓을國庫補助한다고發表  
 △朝鮮姓名復舊法令第122號發布

10月24日 △罰金の増額과特別審査委員의管轄權及物價權統制法規違反에對한刑罰規定法令第120號發布  
 △6, 7, 8, 3個月間의對外國貿易入超6千7百萬圓이라코軍政廳調查研究署發表  
 △軍政廳貿易局에서는美國向輸出品種目指定코見本提出을要望

10月25日 △水産物輸出可能量總額12億圓이라코朝鮮水産業會發表

10月26日 △朝鮮信託會社11月1日부리信託銀行으로新發足 頭取金漢奎、常務吳偉泳、金性仁  
 △兒童履修에는年齡證明書가必要하 깃다고勞動部에서發表

10月27日 △朝鮮工業技術聯盟主催의建國工業博覽會에出品點數2萬餘品이라고發表

10月29日 △管財令第6號에依하여現在漁船登錄件數는 36,021件이라코農務部水産局發表  
 △韓國貿易協會에서는軍政廳貿易局의依程로輸出可能物品調査開始  
 △不必要한「배갈」과「호공」等貿易官吏가密輸入默認하 깃다고 「리-귀」軍政長官發表

10月30日 △新韓社에産業別解體命令코工業、鑛工兩部는軍政廳에移管

10月31日 △在京을「은라」救濟會에서는第2次「은라」救濟品衣類「리-귀」等不到日着한다고言明

11月 1日 △石炭販賣價格決定을吳商務部長發表  
 △雜穀販賣價格決定코今日부리實施한다코中央物價行政處發表  
 △酒精生産禁止코工業用은最少限度로許可하 깃다고 商務省發表

11月 2日 △金融界恢復好轉을 2,3 期後에는總損失을補償可辦하 깃다고發表

11月 3日 △地方行政機構改革에對한法令第114號을12月1日부리實施豫定이라코軍政當局發表  
 △美國서「밀」3萬2千噸入荷

11月 5日 △米穀收集配給計畫等對議코저各道食糧課長會議是來 7, 8 兩日間開催한다코池田中央食糧行政處長發表  
 △烟草代5割引上實施

11月 6日 △相互生命保險會社發足 社長李青龍

11月 7日 △最高勞動時間에關한法令第121號發布  
 △貿易許可는中國人에게도發給 貿易界에一大波紋으로物議紛紛

11月 8日 △生活必需品선발、양말、비누等各道及서울市에서配給

11月 9日 △白米12月1日부리配給하 깃다고、京畿道知事具滋王氏言明  
 △海洋進出에對處코저水産業 會에서融資金 2億圓申請

11月10日 △在日同胞財産廢入計畫進捗近日中申請을受理하 깃다고吳商務部長發表  
 △美國에서肥料「硝酸암모니아」8百50噸入荷 農會를通하여配給하 깃다고軍政廳發表  
 △農民肥料需要에萬全을期코저農務部에서人量物資配給計畫樹立中이라코物資營團理事長發表

11月12日 △麻藥의取締에關한法令第119號發布  
 △敵産商工業機關百萬圓以下 3 個所를正式貸借한다코京畿道財産管理處發表

11月13日 △藥品及藥品營業取締令及其施行規則의改正에關한法令第124號發布  
 △外國酒類의輸入을許可可辦하 깃다고 「리-귀」軍政長官發表  
 △密輸出을理由로船舶76隻沒收其中13隻 이米穀密輸船이라고 「리-귀」軍政長官發表

11月14日 △朝鮮銀行地金課에서는金 1 鍾重 時勢1千4百圓이라고發表

11月15日 △米穀密輸出等의處罰에關한法令第127號發布  
 △去日開催한各道食糧課長會議에서 不在地主에對2合5勺式 現地收集所에서 特配하기로決定發表  
 △「택아-디」司令部에서는 鎗3百餘의對日輸出代價「다이나마이트」를朝鮮에輸出하 깃다고 日政府에命令

11月16日 △物價行政處에서는法令第120號第6條에비추어 統制法規을違反하는商人을徹底리團束하 깃다고注意喚起

11月17日 △서울特別市內의 5 人以上從業員을가진工場은一齊히登錄하 깃다고 서울特別市商工局發表  
 △水産物檢査實施코저水産檢査所員會議을去5日부리4日間開催하 깃다고水産局長發表  
 △軍政廳管財處에서는日人對買契約으로因하여凍結預金을還拂하 깃다고關係者의齊願提出을要望

11月18日 △物價行政處長會議開催  
 △朝鮮産業建設協議會에서朝鮮內日人財産對日賠償對象化에對한反對聲明發表

11月19日 △米穀收集成績15日까지 精米13萬4千石이라코池田中央食糧行政處長發表  
 △戰災民을爲하하1億圓豫算으로 上幕 7 萬棟建設計畫이라고保健厚生部發表

11月20日 △對中貿易非公式協定이中國宋子文氏와朝鮮을代表하여「마-삼」元帥사이에成立



△米穀少量搬入은取締? 했다고張首都縣長再次聲明  
 11月21日△軍政廳美人中央經濟委員會長「슈메-크」氏는朝鮮經濟再建에 2千5百萬弗借款의 必要를 聲明  
 △來26日 부터 1合、雜穀1合3勺의 配給을 實施시 켰다고中央食糧行政處長 聲明  
 11月23日△南朝鮮各道土木課長會議開催(21日、22日)로 1946年度土木設備費8億圓決定  
 △來月 부터 米穀2合과 雜穀5勺式配給한다고中央食糧行政處發表  
 11月24日△中國과의 貿易可能性을 實地調査코저 貿易局長 崔萬熙氏一行中國向出發  
 11月25日△藥品等 2億圓分各道에 4次에 걸 쳐配給한다고保健厚生部發表  
 11月27日△鐵道旅客運賃來月 부터 倍額으로 引上한다고運輸部發表  
 △今年度의 棉作은 1億2千5百萬斤이며 昨年보다 1千萬斤의 増産이라고農務部發表  
 △電話器材「부족」4千個美國서 入荷  
 11月28日△京畿道內山林技師相議會開催코(25日、26日)明年 度砂防水害復舊費로 5億4千萬圓豫算을 計畫  
 △受供出獎勵品을 代行機關에 通히 여配給하 겠다고中央食糧行政處發表  
 △朝滿國境交通協定 北朝鮮蘇軍代表와 中國軍司令官사 이에 成立  
 11月29日△鐵道枯渴로 永登浦30餘工場危機에 直面  
 11月30日△月末現在朝鮮銀行券發行高1百48億8千萬圓  
 12月 1日△電車、鐵道運賃電燈料等 倍額引上 實施  
 12月 2日△南朝鮮 8 道漁業組合聯合會代表參加코 水産業臨時總會開催  
 △工業技術者檢査試驗第 2 回試驗은 明年 3 月에 實施한다고 商務部發表  
 △棉布80萬碼農民用으로 割當하였다 고 傳商務局長發表  
 12月 4日△緊急物資輸入計畫에 依하여「치치」 「암모니아」殺虫劑等美國서 大量入荷  
 △苹果輸出協議會組織코對中貿易講究  
 12月 5日△工業用土 普當分間中止하 겠다고尹專賣局長發表  
 12月 6日△石炭販賣價格改正코 12月1日 부터 實施中이라고吳商務部長發表  
 12月 7日△金融組合의 一切監督權을 道에서 金融組合聯合會에 移管  
 △土地放賣 말라고李農務部長警告發表  
 △前 日 船舶要報告、遲延되 어管理權取消한다고運輸部李海司局長發表  
 12月 8日△各道厚生課長會議는 12日開催한다고李保健厚生部長發表  
 △美國서 肥料窒素「암모니아」 3百70萬噸을 輸入하여 春耕期까지 農家에 配給하 겠다고農務部發表  
 12月 9日△海運對策委員會에서는「日船舶拂下의 不當性」을 指摘코 當局에 意見書提出  
 △乾電池4百50個、電氣部分品 1百50상자 美國서 輸入  
 △朝鮮中國間의 郵便物交換復活  
 12月11日△物資管理委員會에서는 日船舶 6 隻拂下를 決定코 入札을 開始한다고 發表  
 12月12日△南朝鮮 過渡立法議院開院式舉行、議長이 金奎植博

士 副議長이 尹琦燮、崔東昞氏就任  
 △日人船舶拂下는 謀利輩을 助長할 뿐 이라고 大洋汽船從業員當局에 陳情  
 △暴利行爲을 徹底히 肅清하 기爲하야 司法部內에 經濟部를 新改한다 고 李檢察總長發表  
 12月13日△物價高解決策은 眞正한 民主의 改革에 있다고 民戰議長 團發表  
 △戰災民에 衣類、食糧等 援助코 저京畿道에서 歲末救恤運動을 展開  
 12月14日△南朝鮮의 每日 石炭採掘量은 無煙炭千噸褐炭百噸이 리고「월말」軍政長官代理發表  
 12月15日△石炭各道配當量決定하였다고 吳商務部長發表  
 △今日現在의 米穀收集量은 150萬石이며 江原道는 供出完了하 었다고 食糧行政處發表  
 △各道運輸課長會議(10日、11日)을 開催하였다고 運輸部發表  
 12月16日△明年度「운라」救濟品朝鮮에 百萬弗決定  
 12月17日△南朝鮮電氣消費量 7萬KW에서 10萬KW로 激增하 였으며 北朝鮮의 送電없으면 暗黒化되 다고 軍政廳工業局權電氣課長發表  
 △生必需品인 鹽、양말、綿布等大量을 南朝鮮各道에 配給하 었다고 農務部發表  
 △馬鈴薯種子 2千8百噸美國서 輸入  
 △肥料300萬噸近日 中美國서 또다시 輸入한다고 李農務部長發表  
 △日本서 紙類150萬噸輸入豫定 이라고 農務部發表  
 △新韓公社所有의 工業鑛山施設等 商務部로 移管하 었다고 鄭恒範副總裁發表  
 12月18日△藥種商許可發行道保健厚生局으로 移管  
 △南朝鮮고무工業者大會開催、原材料問題等 討議코 고무製品의 公價制度撤廢를 決議  
 △南北朝鮮郵便物第20回交換實施  
 12月19日△商務部에서는 重工業部門의 標準會開催코(17日)標準規格統一10個年計畫樹立  
 △電氣用品13貨車美國서 入荷、重要輸送部門에 配給하 었다고 當局發表  
 △南朝鮮人口(8月25日現在)는 1,930萬名이라고 保健厚生部發表  
 △貨物自動車運賃을 引上  
 △金融組合聯合會支部長會議開催  
 12月20日△中央經濟委員會長「슈메-크」氏와 商務部顧問「屯」博士는「고무」工業育成爲 胡原料輸入次 讚美  
 △金1友2,000圓 臺로 暴騰  
 12月21日△棉花種子價格決定等中央物價行政處發表  
 △在日同胞資產搬入을 朝鮮經濟顧問會에서 中央經濟委員會에 建議  
 12月22日△朝鮮果實協會理事李時亨氏는 上海에서 歸任코 華果의 對中輸出은 中國側에서 奢侈品이라고 拒絕함으로 可哀하다고 聲明  
 △產業復興用揮發油 7,500「도람」入荷하는 때로 確保하 여 國情配給하 겠다고 金士鎭市長發表  
 12月23日△中央畜產協會基青會館에서 創立總會開催  
 12月24日△今年 上半期의 山林被害額은 24萬餘圓 이라고 李農務部長發表  
 △南朝鮮의「세인트」生産量은 消費量의 不十分之一이며 北朝鮮品搬入도 社絶되 었다고 土建協會發表  
 12月25日△「호수」金「砂糖等」輸入禁止를 吳商務部長發表  
 12月26日△「월말」軍政長官代理國內海岸貿易을 獎勵코 고저

小船船保護指令公布  
 △穀物檢査換種品査定委員會에서穀物標準品決定하였다고農務部發表  
 12月27日 △軍政廳商務課長會議開議(20日)生産復興策講究  
 △敵産拂下總額今까지5億餘圓이라고「韓日」軍政長官代理發表  
 12月28日 △1947年度石炭價格決定吳商務部長發表。  
 △商務部에서對外貿易에對한輸出入禁止品、獎勵品等을決定發表  
 △在日同胞財産撤入은生必品、家具、機械等4百封度에限한다고商務部에서그撤入規定을發表  
 △下半年物價統制違反件數는2,300餘件이라고物價行政處發表  
 △朝鮮産業美術家協會主權의産業美術展覽會東和百貨店에서開催  
 12月29日 △米穀收集資金放出朝鮮銀行券發行高는170億圓突破  
 12月31日 △地稅及手數料改正에關한法令第128號發布  
 △11月中洋紙生産量은82萬餘封度라고吳商務部長發表  
 △年末現在朝鮮銀行券發行高1百77億1千萬圓  
 △年末現在南朝鮮全金撤換預金總額1百31億4千6百萬圓  
 △同 貸出總額1百38億8千6百萬圓  
 △서울市12月中平均都賣物價指數 25,563  
 △同 小賣物價指數 26,622  
 △同 勞動賃金指數 11,186  
 (朝鮮銀行調査 指數基準1936=100)

1947年

1月 1日 △京畿道財産管理人會는서울市財産管理人會로改稱코新發足  
 1月 4日 △保險金總額26億圓이라고選信部發表  
 △14億圓의選信部預金返還交涉次保險貯金局長渡日  
 △米穀收集은完遂하여食糧問題解決과物價安定策을講究하겠다고「韓日」軍政長官代理言明  
 1月 5日 △米穀收集量1月1日現在은2百71萬石이며 收集目標量의12%라고中央食糧行政處發表  
 △1947年度重要物資配給細目吳商務部長發表  
 1月 7日 △1947年度選信部豫算은總額 65億圓이라고當局發表  
 △外國貿易許可總件數는385件이라고 吳商務部長發表  
 △朝鮮農會에서는美國서輸入한肥料、硝酸암모니아、硫酸加里等은各地에配給中이며 以後6個月間에어輸入하겠다고發表  
 1月 8日 △資產撤入對策委員會에서在日同胞資產撤入制限撤廢를當局에建議  
 1月 9日 △第2回工業技術者試驗商務部에서施行  
 △鐵道運賃2倍半大割引上은 來15日或은2月1일에實施하겠다고運輸部發表  
 △1946年7月부터12月까지의檢布類生産은18萬反이라고商務部發表  
 △1946年度棉生産豫想高는9,990餘萬圓이며 對比前年度35%增加하였다고李農務部長發表  
 1月10日 △1946年度南朝鮮內海荳生産高는224萬束이라고李農務部長發表

△「테크스핀」廢石輸輸出計實은「韓日」軍政長官代理發表  
 1月12日 △物衣營團에서는漁船11隻入札한것과入札資格者는漁業組合에局限한다고發表  
 1月13日 △「택이-더」司令部에서日人이가지고朝鮮漁船17隻을朝鮮內前所有者에返還命令  
 1月14日 △今年2月15日부터實施豫定인少年勞動法을6月1日까지延期實施하겠다고「韓日」軍政長官代理發表  
 1月15日 △美國務省은 來2月中에麥類 16,000萬噸을朝鮮에輸出할豫定이라고發表  
 1月16日 △軍政廳朝鮮人經濟委員會任命 委員長鄭一享 委員吳碩淳、崔謹勳、金容瑾、俞億余  
 △現在까지發行한漁業許可 492件이라고農務部水產局長發表  
 △朝中貿易交渉次中國觀察를맞치고歸任한崔貿易局長對中貿易은香港中心이期待된다고言明  
 1月17日 △濟州道에서가져온「알판」190噸撤入하는대로業者에게配給한다고商務部韓商務局長發表  
 △敵産建物과工場은損害保險의對象으로할수있음을中央管財處에서決定實施  
 △司法當局에서는都賣利潤은1割5分散賣利潤은3割以上은暴利로看做한다는暴利限界에關한決議를公布  
 1月18日 △京畿道內各府尹、郡守會議開議코食糧問題計議  
 △南朝鮮에農牛는55萬7千頭이며 美軍用으로는絶對屠殺않는다고「韓日」軍政長官代理言明  
 △京畿道內에廢木15萬配給한다고發表  
 1月21日 △美國서「세인트」7萬9千頭入荷  
 △煙草代引上 무궁화15圓、孔雀20圓  
 1月22日 △米穀收集量今日現在은3百3萬石目標額의70%達成했다고中央食糧行政處發表  
 1月23日 △農牛屠殺每月6,000頭防止策講究中이라고農務部發表  
 △서울駐在「은라」代表、衣服疏黃等「은라」救濟品不達到齊한다고發表  
 1月24日 △米穀供出無誠意者 1,000餘名檢束하였다고「리-취」軍政長官發表  
 △金融組合聯合會에서는昨年下半年統制物資生産高는4億圓이라고言明  
 1月25日 △生必品生産增加와重要物品의配給統制等으로「인푸에」對策講究中이라고經濟委員「존스」氏言明  
 △緊急物資配給에서「콘텐사」眞空管等은配給한다고發表  
 1月26日 △商務部에서在日財産撤入에對한範圍와種類를決定發表  
 △2月1일부터15日마다糧穀配給하겠다고中央食糧行政處發表  
 1月27日 △八·一五以前의商品在庫는모다賈惜으로看做하여嚴罰하겠다고李仁檢察總長言明  
 1月28日 △中央經濟委員會를再組織하였다고「리-취」軍政長官發表。美人6名、朝鮮人5名金佑坪、李勳求、吳碩淳、尹錫炳、閔熙植  
 △生必品擔保貸付는今後銀行에서안한다고尹錫炳財務部長發表  
 △京畿道當局은供出完納한地主에自家用米撤入을許可한다고發表

1月29日 △米穀供出이 끝나 應進는 擔保許可를 받는다고 中央經濟委員會發表  
 △「一舟」郭便當局은今後朝美間에新聞小包等도交換하게되였다고發表

1月30日 △1946年度製紙生産量은36萬噸이라고 商務部發表  
 △日本서換鐵石2千噸輸入

2月 1日 △商務部에서는朝中貿易協定の交渉이進行中이라고發表

2月 2日 △美國農務當局은3月分으로朝鮮에配當한穀物이3萬噸이라고發表

2月 4日 △1946年度後半期中對日密輸出摘發件數는91件이라고 副團駐在外務吏連轄事務所發表

2月 6日 △米穀收集期限은3月15日까지延期한다고 中央食糧行政處發表  
 △美國가겨은糧穀代價現在까지25億圓

2月 7日 △1946年度棉花收集剩餘量은 5,920萬斤이라고 農務部發表

2月 8日 △管財令第8號撤廢는朝鮮商工會議所朝鮮産業建設協議會等10餘團體에서當局에強硬히建議  
 △船舶取扱技術者養成後에는外國船舶購入計畫이라고「리-취」軍政長官發表

2月 9日 △貿易當局은北朝鮮과의交易에統制品以外的商品은自由許可한다고宣明  
 △印紙脫稅者罰金增加等の印紙稅와登錄稅를改正發表호2月1日부터實施

2月11日 △戰災民, 被貧者에기保健厚生部에서廢木을配給  
 △管財令 第8號撤回運動展開는工業協會委員會에서決議

2月12日 △管財令第8號撤回는破産管理人會에서「리-취」軍政長官에建議  
 △檢察當局은海陸運輸朝日租倉庫에서隱匿物資 1億圓摘發

2月13日 △軍政當局은昨年度에美國서輸入한食糧이16萬餘噸이라고發表

2月14日 △國內生産의石炭 43,900噸을各道에配給한다고 商務部發表

2月15日 △「리-취」軍政長官은生産費外勞賃의懸隔을解決하고자中央經濟委員會內에勞賃調節委員會를設置하였다고發表  
 △朝鮮自動車生産者組合結成  
 △美國서汽機車枕木等은多量輸入한다고 國運運輸部長發表

2月16日 △專賣當局은此後白藜는金融組合聯合會를通해서各道에配給하게되다고發表

2月17日 △民間物資配給事務所를廢止하고工業務은今般新設된民間物資補給所에移管한다고 軍政廳發表

2月18日 △南朝鮮石油業者3千餘名을網羅 朝鮮石油協會新發足 會長栗奎龍, 副會長徐丙枝, 洪鳳憲  
 △2千5百萬弗借款에依한第一次美過剩軍需品 (導彈, 炸藥, 七面鳥等)輸入開始  
 △朝鮮鐵業振興會社가責任지고公州附近의黑鉛開發에着手

2月19日 △立法議院에서는 食糧對策, 管財令第8號撤廢等五大民生問題上呈露對議開始  
 △朝鮮産業建設協議會中心의管財令 第8號對策實行委員李鍾萬氏外一行은「리-취」軍政長官安民政長官을訪問호即時撤回要求

2月20日 △美國가食糧, 肥料使節團一行入京  
 △舞球, 타-우, 牛琴等自自動車5萬臺分美國서輸入

2月21日 △鐵, 金屬輸出은虛構浪說, 剩餘物資輸出, 必要物資輸入이 있다고「리-취」軍政長官宣明  
 △大規模의造林計畫과愛林強調週間 (3月1日부터) 展開한다고 農務部山林局發表

2月22日 △朝鮮産, 鉛, 重石6百噸美國에輸出  
 △朝鮮機械技術協會主催로工業建設講習會開催

2月23日 △朝鮮商工會議所에서鹽造禁止令의再檢討를當局에建議

2月24日 △兒童勞動法第112號一時停止에關한法令第132號發布  
 △華府에서열린國際緊急食糧會議에서 砂糖4萬噸을朝鮮에配當하였다고發表

2月25日 △朝鮮中央工業研究所에서硫化染料를發明  
 △機械, 織物等隱匿物資10億圓以上摘發하였다고檢察當局發表  
 △서울市民의糧食22萬石(42萬石中)入荷하였다고市當局發表

2月26日 △外國과의郵便物再開에關한選信部令第7號公布  
 △水産業會第1回定期總會開催로豫算額11億圓計上  
 △鐵山開發案當局에建議호지鐵業開發促進委員會結成委員選定。李鍾萬, 金容吉外  
 △摘發隱匿物資를配給호지서울市에서隱匿物資配給計畫中이라고發表

2月27日 △鉛, 重石等 700噸美國에輸出한다고 崔貿易局長宣明  
 △洋灰12萬包袋美國서輸入하였다고安民政長官發表

2月28日 △3月1日까지南朝鮮政府選管은朝鮮人에게委任하되  
 다고「리-취」中將特別聲明發表  
 △3月1日부터 小手荷物制限을解除한다고 運輸部發表  
 △自動車運賃80%再次引上호3月1日부터實施한다고 土木部公路局發表  
 △原料, 燃料不足으로牌寸工場大部分休業

3月 1日 △管財令 第8號修正을推進하기기爲하야朝美共同委員會를組織協議中이라고公報部發表

3月 3日 △暹羅政府는國際緊急食糧會議委員會要請에依하여 暹羅米2萬5千噸을朝鮮에輸出한다고宣明

3月 4日 △建設資材輸入計畫호代價로鐵石輸出獎勵한다고 崔貿易局長宣明  
 △對外民間貿易不遠開始한다고 商務部發表

3月 5日 △登錄工場數는888個所라고 서울特別市商工局發表  
 △在日同胞財產撥入約14萬圓이라고 商務部發表  
 △鐵業權移動는政府樹立後에하고無計畫開放은破滅을招來한다고 朝鮮鐵業會에서各當局에建議  
 △仁川, 釜山, 麗水港等新裝호對外貿易에登場한다고 運輸部海司局發表

3月 6日 △今年度食糧은絕對確保호土地改革은善選後에하되  
 다고安民政長官宣明  
 △3月分石炭配給價格決定호商務部發表

3月 7日 △朝鮮經濟會議所에서中小事業體換價處分과運賃引上은物價高助長한다고「리-취」軍政長官에建議  
 △日本서通信工業用品多量入荷各機關에配給

3月 8日 △肅清檢査에關한法令第133號發布  
 △朝鮮金銀工器家協會結成, 會長 李鍾南  
 △運輸部에서는戰時中撤去한地方線復舊計畫樹立호

豫算을要求하였다고發表  
 △南朝鮮農家總數는 260萬戶라고農務部發表

3月 9日 △「덕막」軍政長官代理는開城藝業組合解散命令을再考  
 慮할組合代表에게說明

3月11日 △印紙稅及登錄稅法의改正에關한法令第130號發布  
 △1946年中重要鑛物生産量은重石을비롯하여總量40  
 萬8千噸이라고中央經濟委員會發表  
 △農務部에서는各道鐵維係主任會議開催를根本方針  
 의改革棉花의生産獎勵等을指示  
 △서울地方檢察廳에서는機械,皮革,紙物等 約3億圓  
 可量의隱匿物査를米倉에서摘發

3月12日 △行政機構變更로朝鮮人意思尊重하겠다고「러-귀」  
 軍政長官發表  
 △1946年度의過去8個月間의「소금」輸入은 18萬餘鎊  
 이라고中央食糧行政處發表  
 △日本서眞空管, 電球等輸入코도機械業多量을連袂  
 輸入計畫이라고發表  
 △韓國貿易協會에서는民間貿易의硬狀態의打開策  
 을軍政廳, 立議等에建議

3月13日 △仁川工業協會創立理事李長李福商副理事尹盧載永  
 △「액어-더」司令部서美弗對朝鮮銀行券換算率을50  
 對1로變更實施한다고發表  
 △電氣學會에서는通信, 運輸, 狩務, 放送協會等の電  
 氣通信技術者統合을立議에建議

3月14日 △特許法의改正에關한法令第134號發布  
 △物資管理에서는1946年度에日軍用品及日人物資處  
 分額만5億5千3百萬圓이라고發表  
 △飭業開發委員會에서는廢墟되는南朝鮮鐵山對策없  
 으면再開不能이라고「하-귀」中將에建議  
 △日本서竹材6千束輸入  
 △釜山機械鐵工業組合再發足 理事長朴性傳  
 △原子彈原料「우라늄」鑛山南萊鐵山에서發見하였  
 다고「러-귀」軍政長官發表  
 △緊急物資配給計畫에依한輸入品, 配給에着手하였  
 다고當局發表

3月15日 △軍政廳職員生活對策委員會設置 委員長安在鴻, 委  
 員「엔-더」金佑坪, 尹煥炳, 「스피던」鄭一亨  
 △米穀收集補償生必需品, 棉花, 米等農村에配給  
 △1946年度電球生産量은 242萬個라고中央經濟委員  
 會發表  
 △科學技術聯盟에서는前日人所有林野의敵產取拂과  
 放棄即時中止하라고聲明書發表  
 △日本서소금, 肥料等輸入로決濟品物資交換이나賠償  
 으로한다라고軍政廳發表  
 △陸上輸送力打開策으로汽轎車66臺及歐洲方面의美  
 軍用品을朝鮮에輸入할豫定이라고「러-귀」軍政長  
 官發表

3月16日 △農務當局은美國서「세언트」16萬4千餘包袋入荷로  
 水害土地復舊工事が 6月內完成한다라고發表  
 △鐵道枕木輸入 2,000萬丁中 6萬丁釜山에入荷

3月17日 △「마카오」外通商開始로物々交換貿易을許可한다고  
 公報部發表

3月18日 △美國貿易船仁川에入港코소금, 紙, 생고무等 2千  
 6百噸揚陸

3月19日 △開城藝業組合解散命令取消되었다고安民政長官發  
 表  
 △軍政廳에서는管財令 第8號修正案決裁코敵產運營  
 監督權은朝鮮人部處長에게移讓

3月20日 △摘發物資處分對策樹立코生必需品은서울市를通해서  
 市民에게生産原料는各工場에配給한다고서울地方  
 檢察廳發表  
 △自1946年7月15日至1947年3月15日의 7個月間의暴  
 利事件만勿論3萬餘件이라고 中央物產行政處發表  
 △「운라」救濟會를通하여美國서人荷担硫黃 2百50噸  
 各道果樹園에配給

3月21日 △米穀供出不應한農民 8,600餘名拘禁하였다고「러  
 -귀」軍政長官發表  
 △昨年11月末現在로 南朝鮮船舶總進數는 15萬5千6  
 百94艘이라고中央經濟委員會發表

3月22日 △今日現在米穀收集量3百58萬餘石 日原量의83%라  
 고「러-귀」軍政長官發表  
 △管財令 第8號는鑛業에노弊營가크다고鑛業技術協  
 會에서聲明書發表  
 △南朝鮮에24時間罷業罷動

3月23日 △各道管財官會議席上에서「러-귀」軍政長官은敵產  
 運營權은朝鮮人에게移讓하겠다고聲明

3月24日 △在庫物資會議에서檢發된 3億圓의隱匿物資를業  
 者와市民에게適正配給키로決定

3月25日 △管財處에서는廢減性及動產을取扱코저財産處分署  
 를新設  
 △日本서枕木1萬8千束輸入

3月26日 △物資管理에서敵產船舶을拂下코저入札을開始한다  
 고發表

3月27日 △煙草稅을生必需品購入通帳으로變更코, 支障없는限  
 2合5勺配給을確保하겠다고, 安民政長官發表  
 △「김」25萬束「액어-더」司令部斡旋으로日本에輸出

3月28日 △出版物의新規許可는停止코 既刊物도一定期間  
 出版을면取消한다고公報部發表  
 △民間物資補給所에서는 第3次로美國서人荷担起重  
 機「로-타」等各機關에配給

3月29日 △25萬名軍政廳職員에對하여 4月1日부리3割程度의  
 昇給實施한다고發表  
 △全鮮綠化을爲하야 來4月5日부리植木週間展開(農  
 務部主權)

3月30日 △運輸當局에서는枕木老朽로南朝鮮鐵道運行이全面  
 的으로危機에대峙있다고枕木補充에地方住民의協  
 力을要請  
 △世界勞聯代表六氏는朝鮮勞動運動觀察次空路로入  
 京

3月31日 △今日現在朝鮮銀行券發行高1百11億9千8百萬圓  
 △今日現在南朝鮮全金融機關預金總額1百64億9千7  
 百萬圓  
 △同 貸出總額1百35億1千9百萬圓  
 △서울市3月中平均 都實物價指數 35,076  
 △同 小賣物價指數 38,486  
 △同 勞動賃金指數 12,668  
 (朝鮮銀行調査 指數基準1936=100)

4月 1日 △專賣局에서는食鹽不足對策樹立코新鹽田造營에着  
 手  
 △商務部에서는美國서人荷担硫磺 4千1백인」을各工  
 場에配當  
 △電話使用料引上을遞信部發表

4月 2日 △南朝鮮被災民總數는 350萬名, 其中重要故蹟 는85  
 萬名이라고保厚厚生部發表  
 △民間物資補給所에서는「寒天」製造用으로日本서竹  
 材 3百78噸輸入

4月3日 △가산市內의 敵産管理事務所 4月부터 서울市에 移管한다고 發表  
 △浦項一帶의 豐漁로 「청어」 漁獲高 2百萬圓突破

4月4日 △敵産家屋放棄草案은 立議에 回附하였으니 一世界一棟以上은 不許한다고 「러-귀」 軍政長官 宣明  
 △南朝鮮經濟援助는 未定이라고 「르우-엔」 美大統領 宣明

4月5日 △運輸部 今年度豫算은 30億圓이라고 發表  
 △立法議院 44次本會議에서 夏穀收集은 收穫高의 5分之1 收集을 決議

4月6日 △軍政廳 機構改革案(13部8院)을 「러-귀」 軍政長官 決裁  
 △26,848個의 枕木과 2,000包袋의 「세멘트」 日本서 輸入하였다고 運輸部 發表

4月8日 △年間的 運難船舶 68隻 9,700噸이 며 貿易, 運輸等에 支障을 與하고 釜山港務廳 發表

4月9日 △敵産企業 拂下 草案을 「러-귀」 軍政長官이 立法議院에 回附  
 △「마카오」 서 소곡 3萬8千噸 仁川에 入荷 一入當 1斤半 式配給한다고 發表  
 △農務部에서 是는 露土 綠化 週間 實施코 每年 5億5千萬本 植木키로 決定

4月10日 △中央經濟委員會 規則 第1號 3項에 依하여 統制品目 追加 發表. 筐球, 毛織物, 麻織物, 亞麻大麻, 制服, 作業服, 內衣類, 釘, 植物油, 動物油, 自動車, 自轉車, 다이아 및 芥子, 酒精, 麥酒, 크-이-스等  
 △煙草生産은 增加되여 去1個月間의 生産高는 66萬3千 噸이라고 中央經濟委員會 發表

4月11日 △統制品價格改訂을 考慮中이라고 「러-귀」 軍政長官 宣明

4月12日 △對外貿易責任은 商務部에서 지라고 中央經濟委員會에서 「러-귀」 軍政長官에 建議  
 △食肉은 5月 穀物은 7月부터 「에-터」 制實施한다고 吳商務部長 發表  
 △運輸部서 建議한 自動車國營案 立議에 回附

4月13日 △日漁船의 不法侵入으로 南朝鮮 漁場은 重大危機에 當面하고 있다고 業者들當局의 善處를 要望

4月14日 △通信部에서 今年度豫算 23億圓을 要求  
 △農地開發營團 機構改革 強化코 水聯社 計畫中의 5町步 未滿 工事를 擴充키로 決定

4月15日 △「러-귀」 軍政長官은 夏穀收集問題의 再修正을 立法議院에 要請  
 △「맥어-더」 司令部 朝鮮問題月例報告에서 原料缺乏으로 多數工場은 閉鎖하며 工業生産은 低下된다고 指摘  
 △運輸部에서 龍山工作所, 朝鮮車輛會社等 直營코 4,000餘車輛 修理에 着手  
 △朝鮮鑄造會社 改修再發足코 生産에 着手

4月16日 △金買賣統制에 關한 法令 「러-귀」 軍政長官이 立法議院에 提出  
 △專賣局서는 「맥어-더」 司令部로부터 外豐 1萬3千 噸 輸入했다고 發表  
 △釜山市內의 工業狀態는 操業工場은 60% 生産率은 不 過 16%라고 發表

4月17日 △1年間(1946.6至1947.3) 外國食糧輸入額은 37億圓이며 其中 76%는 韓幣로 消費했다고 發表  
 △4萬 噸 生産計畫코 延白海 南鹽田 操業開始

△朝鮮 釜山 工業協會 創立

4月18日 △統制品 範圍擴大코 敵産 機關 生産品에 局限하야 16種 目을 다 시 追加 하겠다고 吳商務部長 發表  
 △中央經濟委員會에서 是는 價格規則案 制定코 輸入品中 藥品만 除外코 定價格을 適用한다고 發表

4月19日 △技術者 大量養成爲 特別 豫算 1億1千餘萬圓 計上한 다고 軍政廳 發表  
 △日本으로 가자 간 郵便貯金 11億圓을 貯金局長이 자즈 러간다고 通信部 發表  
 △漁業用 燃料 42萬 美國서 輸入  
 △税金 帶納에 關한 法令 第139號 發布

4月20日 △釜山 江發電所 4億6千萬圓 豫算으로 工事 着手  
 △銃鐵 1千餘 噸을 日本에 輸出코 交易品은 汽關車 附屬 品等을 가지는 다고 吳有英人 知事 發表  
 △海苔 百萬 日本에 輸出했다 曰고 水産業會 發表

4月22日 △2百萬圓 國庫補助로 延白에 漁場 設置  
 △興國 肥料 麻浦工場서 月産 10萬 噸 生産코 5工場 計畫 中이라고 發表

4月23日 △現在 納稅額 9億圓 突破했다 曰고 尹財務部長 發表  
 △解放後의 新設會社의 動向은 貿易業이 首位이며 生産 部門은 低勢  
 △中蘇間에 鴨綠江 航行 協定의 成立 中國新聞이 報道

4月24日 △美國서의 2千5百萬 弗借款 中 半은 韓幣로 物資가 到着하였다고 公報部 發表  
 △延白 「조기」 1號 炭, 藥等은 漁獲 高 1億圓 目標 中

4月26日 △海上 運輸局서는 海運及 裝用으로 船 75隻을 美國서 購入

4月27日 △軍政廳에서 是는 管財令 第八號를 修正코 敵産의 運營은 諺當 美人 顧問官의 同意下에 朝鮮人이 擔當키로 決定

4月28日 △民間物資 配給計畫에 依한 起重機 等 機械 美國서 3次 入荷코 各機關에 割當

4月29日 △商務部 貿易局 調査에 依하여 對中 貿易의 60%가 落花生 生이라고  
 △朝鮮 農會에서는 美國서 輸入한 肥料, 암모니아, 硫酸加里等 10萬5千 噸을 各道에 配當

4月30日 △南朝鮮 嶺山 開發資金 2千萬圓을 財務部에서 承認

5月1日 △日本 紙類 輸入키爲 하야 「맥어-더」 司令部와 交涉中 이라고 安民政長官 宣明

5月3日 △捕獲物資 配給一週日以內에 實施 하겠다고 서울市 當局 宣明  
 △朝鮮 纖維協會에서는 衣料 需給 新對策으로 서 美圓을 積極 增産코 지 豫銀서 6億5千萬圓 融資 確保

5月4日 △鑛工 技術者는 至急 登錄 하라고 商務部 發表  
 △第一次 朝鮮 輸出貨, 重石, 鉛, 瘧天, 은후라 마이트等 鑛 4月28日 仁川港에 出航 美國을 向 하겠다고 商務部 發表  
 △소곡, 생고무, 洋紙, 砂糖, 洋服地等을 滿載한 問題의 「파린오-드」 號 仁川에 入港  
 △土木 建築一元化를 土建協會 立議에 建議  
 △5月1日 부터 南朝鮮 金融 組合間에 爲 營業 務開始한 다고 金融 組合聯合會 發表  
 △南朝鮮 各管理工場에서 生産한 生必品 總額은 3月末 現在에 6億餘萬圓 이라고 金聯調查 發表

5月5日 △석 3萬 噸 輸入 中止에 對하여 業界서 當局에 陳情  
 △漁獲 區域을 侵犯하는 日人 密漁船은 嚴重 國家 하 다고 當局 發表

5月 6日 △民間物資補給所에서는 低物價政策의 一翼으로서 日本에서 煤油, 染料, 絲綢等, 美國에서 穀物을 輸入한다고 發表

5月 7日 △5月1日 부터 糧穀配給을 1合4勺, 雜穀1合1勺으로 變更한다고 食糧行政處 發表

△在日前 水産開發會社 所有 船舶16隻 「타이-더」司令 部 轉讓으로 返還

△美商人의 獨占不許 朝鮮人 貿易業者의 海外 進出에 對한 用意있다고 「타이-더」軍政長官 宣明

△「세인트」四萬包 袋北朝鮮 市場價格1包600圓

△조기, 鯉等大豊이나 「소금」이 貯藏하는 다고 當局 發表

5月 8日 △禁止 中의 鹽造 不遠 解禁한다고 安民政長官 發表

△4月中 美國에서 輸入한 雜穀總數는 32,000餘 噸이라 고 食糧行政處 發表

△「마카오」에서 「소금」은 釜山港에서 魚類와 交換하 였다고 商務部 發表

5月 9日 △低物價政策으로 物資輸入으로 物價高昇을 抑制하 겠다고 「타이-더」軍政長官 宣明

△美國에서 取得한 對日 賠償中 重工業 施設은 主로 中國과 朝鮮에 移送된 것이라 고 華府 權威 側官 宣明

△對外 清算 委員會에서 購入한 船舶80隻中 8隻의 大型 船이 近々 比島로 부터 入國 豫定이라고 發表

△水産組合에서 는 10萬 箱子 產出企圖 中의 30個 罐詰工場 休止 原因 調査에 着手

5月 10日 △1947年度 夏穀 收集令 制定으로 生産量의 2割만 割當한 다고 安民政長官 發表

△塘津江 發電所 增築 張家은 「타이-더」軍政長官 立議에 回附

△特許 出願件數 217件 6月初旬 부터 審議 着手 하 겠다고 商務部 特許局 發表

△水産業會에서 農務部에 申請中 이든 5億7千5百萬圓 의 漁業 融資金 許可

△機械, 部屬品等 輸入으로 紡織業界는 70% 增産 하 였다고 發表

△美國, 日本으로 부터 輸入한 物資 4月中 釜山港만 14萬7千 噸

△敵産 管理 運營次 共同 顧問會 會長 安民政長官 會員 農務, 商務, 通信, 財務, 運輸, 司法 各 部長

5月 11日 △最近의 金融 事情에 鑑하여 各銀行의 貸付 限度를 50萬圓 까지 引上할 豫定이라고 軍政廳 財務部 發表

△今年度 纖維類 生産, 需要, 輸入案 樹立等 農務部 發表

△朝鮮 農會에서 는 硫酸加里等 5萬8千餘 噸을 農民에게 販賣한다고 發表

△以南越 擔荷의 携帶金 千圓 以上은 封鎖 預金 基로 財務部 決定

5月 13日 △軍政廳에서 는 化學工業의 發達을 爲해 曹達灰 生産을 計畫中 이며 原料 鹽石 「만체스타」法으로 解決 豫定이라고 發表

△南朝鮮의 火災 統計 損害額 8億餘圓 (1946.1至 1947.3)

△仁川 魚市場 大活況이나 어획과 小魚類 이 隘路

5月 14日 △4月 15日 現在 5月 昨年度 收集 米穀은 벌서 6割을 配給하 였으며 在 庫 配給 米는 180餘 萬石이라고 食糧 營團 發表

△朝鮮 殖産 銀行의 運營 權을 完全히 朝鮮人에게 移讓. 頭 取 張 鳳 鎭

△金融機關의 融資는 極力 圓滑히 하라 고 商工會 議所에서 當局에 建議

△三紗 「세인트」工場 機械 運搬完了 工場 不遠 運營, 月産 7,000餘 噸 生産 可能하 다고 發表

△永登浦 東洋 「유리」工業會社에서 는 機械 製作等 依頼 生産에 再發足

5月 15日 △日本서 海苔 用 竹材 5萬 束 輸入

△朝鮮 移民 法 美國會에 上程

5月 16日 △共委 再開으로 因하여 美國의 南朝鮮 援助案은 保留되 었다고 美國 務省 代辦人 宣明

△在日 同胞 財產 搬入 計畫中 이라고 「타이-더」軍政長官 發表

△中央 水防 對策 委員會 會 組織한다고 安民政長官 發表

5月 17日 △南朝鮮 渡波 政府 名稱에 關한 法令 第146號 發布

△夏穀 收集 完滿 期까지 新韓 公社 是 收集 代行 機關으로 指定 하 였다고 安民政長官 發表

△美國의 對日 賠償 要求 額의 一部는 朝鮮에 再割當 豫定이라고 宣明

△京城 工會 社 葛月洞 工場 全燒

5月 18日 △釜山 港國際 港으로 登場코 7月中 旬 부터 對外 貿易 開始 한다고 當局 發表

△쌀 4,500 噸 「밭마」로 부터 釜山 港에 到着 하 였다고 池 中央 食糧 行政處 長 發表

△醫藥品 1,300種 目의 輸入 計畫 樹立, 그 總額은 500萬 弗이라고 保健 厚生部 發表

5月 19日 △夏穀 收集令의 食糧 規則 第5號 發表

5月 20日 △今年度 麥天 增産에 萬全을 期하 겠다고 農務部 水産 當局 發表

△延坪 一帶에 조기 大豊, 漁獲 豫想은 3百萬 貫이며 約 3億 圓 假量이라고 發表

5月 21日 △美蘇 共委 서을 德壽宮에서 再開

△在日 同胞의 搬入 財產은 26件 57萬 圓이며 不遠 入國 豫定이라고 吳 商務部 長 發表

△專賣 局 豫算 57億 圓으로 부터 29億 圓으로 縮少 決定

5月 22日 △「마-삼」美國 長官은 對朝鮮 2億 圓 援助案을 不遠 美國會에 要求할 것 이라고 宣明

5月 23日 △北朝鮮과 의 交易 이 近々 始作된 內定 이며 北의 肥料와 以南의 手織 綿과 의 物々 交換 制로 할 것 이라고 軍政 當局 發表

△洋紙, 食鹽等 滿載한 南方 貿易 船 2隻 群山 港에 入港 要求 物資는 鹽物, 水産品等

5月 24日 △朝鮮에 食糧 5萬7千 噸을 今年度에 配當 하 겠다고 美當 局 宣明

△金鑛 開發에 着手코 지 不遠 關係 法令 修正한다고 中央 經濟 委員會 發表

△雜貨, 石灰, 鹽, 洋紙, 砂糖等 滿載한 貿易 船 北支 支額 仁川에 入港

△原皮의 一元의 收集 計畫 農務部서 立案中 이라고 發表

△豊基——丹陽間 電鐵 工亦 90% 以上 完了 近々 竣工한 다고 閣 運輸 部長 發表

5月 25日 △南北 朝鮮의 物資 交換 案 緊急하 다고 商務部 工業局에서 共委에 建議案 提出

△北朝鮮 蘇聯 機關에서 南朝鮮 美國 間에 電力 費로 5百萬 弗 請求

△6月 10日 부터 世界 各國의 郵便 物 取扱을 開始한다 고 通信 部 發表

5月 27日 △夏穀 收集 71萬石 各道에 割當코 各道內 收集 分은 그 道內에서 消費한다고 當局 發表

△解放後亂立된 土産業者無慮421社, 其中法人登記된 것은 겨우 85社라고發表

5月28日 △金融機關範圍을整理코자各銀行支店56, 金融組合50을廢斷行한다고財務部發表  
△「까쓰」料金大幅引上(現料金의約3倍)24日商務部通牒으로發表  
△輸出入組合(假稱)結成코자韓國貿易協會中心으로業者와準備中이라고發表  
△月産 9,000鎊日煤을釜津鐵山開發에着手하였다고軍政廳發表

5月29日 △大鯨油脂工業會社에서는鯨油로洗濯機를大量生産한다고發表

5月30日 △敵産整理事務의迅速化를모르서울市, 京畿道管財處合同  
△朝鮮工業協會는純民間團體로再發足코자擴大強化를企圖  
△朝鮮商工會議所에서米穀의自由販賣容認을安民政長官에게建議

5月31日 △財務部에서는今年度水産資金融資에對하여中央經濟委員會農務部及米穀科의聯合懇談會를開催코最後決定을하기로되었다고發表  
△仁川專賣局管下의製鹽工場은月産 1,300餘鎊이라고發表

6月 1日 △實業家의豐富한經驗을活用코자敵産運營協議機關을設置키로되었다고中央管財處發表  
△紅蔘輸出은保留中이며 3月中落花生油 6割은輸入하였다고崔貿易局長發表

6月 2日 △朝鮮銀行에서는「十A號」의新100圓券을 今일부터發行

6月 3日 △無節制하고非生産的인一切의資金貸出은不許可라하고財務部에서商工會議所에回翰

6月 4日 △電氣料金을引上한다고商務部에서料金表發表  
△加硫促進劑의企業化中央工業研究所에서可能性認定코發表

6月 5日 △各地方에收集된米穀, 積極搬入하여配給하겠다고安民政長官言明  
△兒童의保健厚生爲하여兒童勞動法第4號發表

6月 6日 △對日鐵鐵輸出은6,000鎊 國內工業界에莫大한支障있다고各界物議紛々  
△開城蔘組의獨占販賣를組合員이反對陳情

6月 7日 △서울市內登錄工場958個中 殆半이休眠狀態이며그理由는原料難得管理者의不協調라고서울市當局發表  
△「소음」懸解決은補償價格引上에 있다고製鹽業者當局에陳情  
△對美貿易에自主性確保코자中央經濟委員會의諒解下에資本金 1億圓의輸出入統制組合을組織計畫

6月 8日 △農務部에서存蔘價格을發表. 最高斤當585圓  
△「마카오」貿易船往來頻繁, 鑽石, 海産物, 紅蔘等을輸出  
△美國의朝鮮援助費 7,800萬弗南北統一의연全國에適用한다고「마-싱」國務長官證書에提出

6月10日 △去月中日本으로부터輸入한鐵道用有煙炭은6萬7千68鎊이며南朝鮮鐵道用石炭의95%를占하고있다고賃局發表

6月11日 △朝鮮自轉車商組合聯合會는軍政廳配給代行機關으로指定

△吳商務部長은對外貿易促進을爲하여 7月15일부터外國業者入國을許可하는同時에政府所管인朝鮮換金銀行을新設豫定이라고發表

△七面鳥, 鴉片等輸入은값 깎고輸入品은生必需品에限하고 7月15日 부터外國貿易業者來朝한다고安民政長官發表

6月12日 △相續稅稅率改正에關한法令第137號發布  
△干潟地開拓計畫로 1億圓豫算으로不遠工事に着手한다고農務部土地改良課發表  
△仁川稅關調査에依하면昨年仁川稅關管内總貿易狀態는輸出38,225,223圓輸入157,343,608圓이라고發表  
△物資迎營組合聯合會(漢道聯合會)創立

6月13日 △美國에서輸入하는肥料은長期計畫으로繼續輸入한것이라고「리-취」軍政長官言明  
△豫算 250萬圓으로堤防工事着手한다고過渡政府土木部發表

6月14日 △今年度夏穀收生割當量은生産高20%라고池中央食糧行政處長發表  
△精蔘1貫에綿布2碼式販賣者에게補償物資를配給한다고農務部發表  
△金融組合, 府, 郡單位로統合改稱한다고金融組合聯合會發表  
△昨年 4月 부터今年 3月까지의朝鮮, 서울, 大韓, 新東亞損害保險會社의業額은 7,770 件 保險金額 1,023,557千萬元增加

6月15日 △補助豫算額 900萬圓을自轉車生産工場에配付豫定이라고農務部工業局發表  
△밀, 麥等 31車輛配給補充용으로釜山港에到着하였다고中央食糧行政處發表

6月16日 △朝鮮換金銀行의創立에關한法令第145號發布  
△京畿道物價監察署에서는北交易物資를調査中이라고發表

6月17日 △民間物資配給計畫案에依한輸入硫酸銅은 2,400鎊이라고中央物價行政處長發表  
△鐵物防止員이押收한盜掘金總量은 2,170餘瓦이라고鐵業振興會社發表

6月18日 △ 6月15日 부터米穀最高價格과夏穀買上價格을決定實施中이라고中央物價行政處發表  
△暹羅에서輸入한安南米 9千鎊이入荷되었다고中央食糧行政處發表  
△南朝鮮의自1月 至 5月間의貿易入超額은1億7千餘萬圓이며主로消費品이라고農務部貿易局發表  
△順天製紙會社는生産率昂揚으로月産 4千連을突破하였다고發表

6月19日 △畜牛屠殺制限에關한法令第140號發布  
△民間物資配給計畫案에依하여 美國서 衣類多量入荷  
△今年度夏穀生産은凶作으로昨年度에比하여約25%可量減收된것이라고農務部工業局發表  
△國民保險最高制限額 5千圓을 2萬圓으로引上한다고通信部發表  
△無線通信士資格試驗28日 부터實施한다고通信部發表

6月20日 △朝鮮經濟援助案解決次「리-취」軍政長官不日渡美한다고發表  
△香港社在貿易官으로李輸出課長, 金慶蓆課長兩氏任命

6月21日 △農業統計報告에關한法令第143號發布

△朝鮮所得稅令의改正에 關한法令第143號發布  
 △貿易管理을強化하기爲하여業者許可制을廢止하기  
 로되였다고 商務部發表  
 △殖産銀行에서는1年間短期貸付로5億7千5百萬圓을  
 水産業會에融資  
 △美國서輸入한醫療藥品等保健厚生部에割當하였다  
 고 民間物資補給所長發表  
 △軍政廳敵産拂下決定案에對해朝鮮産業建設協議會  
 等一部民間團體政黨等의反對論을佛騰  
 6月22日 △北朝鮮서 請求한 電力金支拂에對해서 平壤서 南北協  
 定成立  
 △5月中의 官營鹽田生産量은 乾鹽 31,270 兩 이라고 尹  
 財務部長發表  
 6月24日 △資本金5億圓(拂込濟2億圓)으로 朝鮮換金銀行 陣容  
 整備코 7月15日 부터 開業決定  
 △民間物資配給計畫案에 依한今年 1月 부터의 穀物輸  
 入總量은 21萬5千餘噸 이라고 池中央食糧行政處長  
 發表  
 6月26日 △埋藏量2千萬噸의 漣川無煙炭礦, 輸送確立되 면本格  
 的探採豫定 이라고 京畿道商工局發表  
 △서울市의 薪炭生産配給代行人機關으로 서울燃料株式  
 會社創立, 資本金 1億圓  
 6月27日 △民間物資配給計畫案에 依한明年度 油類輸入計畫 商  
 務部發表  
 △去21日 에 專賣局製鹽課轉輪으로 製鹽研究會設置하  
 였다고 發表  
 6月28日 △協定價格違反者 處罰에 關한物價行政規則 第2號不  
 適實施豫定 이라고 物價行政處發表  
 △朝鮮電業會社에서는 南朝鮮의 電氣事情에 依하여 南  
 朝鮮의 水火發電力의 增強策을 講究中 이라고 發表  
 △南朝鮮의 採掘鹽은 31個所 現從業員은 1萬餘名  
 5月29日 △中央生産委員會設置코 主要産業問題處理의 效果的  
 인 措置講究하 玆라고 商務部發表  
 △美國의 南朝鮮貿易細則은 美國政府의 陸軍省, 國務  
 省, 商務省이 共同聲明發表  
 △朝鮮農會에서는 過磷酸鹽은 日本서, 硝酸암모니아  
 硫酸加里는 美國서 各々 輸入計畫 이라고 發表  
 △朝鮮換金銀行 重役陣決定. 總裁「힐러-R스미스」  
 氏, 專務理事金振烈  
 △地方稅의改正에 關한法令第146號發布  
 6月30日 △今日 現在朝鮮銀行券發行高 1百80億3千5百萬圓  
 △今日 現在南朝鮮全金融機關預金總額 1百81億3百萬  
 圓  
 △同 貸出總額 1百16億9百萬圓  
 △서울市6月平均 都賣物價指數 37,249  
 △同 小賣物價指數 37,431  
 △同 勞動賃金指數 15,093  
 (朝鮮銀行調査 指數基準1936=100)  
 7月 1日 △民間의 個人生産品은 自由販賣許可方針 이라고 物價  
 行政處長發表  
 △朝鮮産「釘」58萬箱輸出交換物資로 緊急한 生絲, 棉  
 花等 輸入한다 고 吳商務部長發表  
 7月 2日 △朝鮮農會에서는 輸入肥料의 各道配當配給表를 發表  
 △對日賠償使節團 朝鮮側代表에 新韓公社 鐵工部顧問  
 「힐러·이·액슨드」氏任命  
 7月 3日 △管財手續要項 第9號 中央管財處長發表  
 △對日講和條約締結되 면 撤入不可能하니 在日財產撤  
 入申請을 速히 하라고 崔貿易局長發表

△「은타」救濟品 朝鮮에 百萬弗配當  
 △京畿道子販賣業組合 結成. 幹事 姜巴文外  
 7月 4日 △京畿道の 夏穀은 5割減收豫想 이라고 發表  
 7月 5日 △1946年 未現在의 南朝鮮人口은 1,930萬名 이라고 公  
 報部發表  
 △韓國火災海上保險會社 資本金 2千萬圓으로 7月1日  
 부터 新發足. 社長 盧永斌  
 7月 6日 △新韓公社에서는 南朝鮮敵産 廢土 30萬町步以上을 管  
 理할것 이라고 發表  
 △北朝鮮肥料 15萬貫入 荷各道에 配給  
 7月 8日 △今年 4月末 現在 서울市人口은 1,361,444名 그中 外  
 國人이(登錄者) 5,316名  
 7月 9日 △朔7越은 每月長項製鍊所에서 生産한다 고 商務部發  
 表  
 △今年度 移秧狀況은 7月10日 까지 9割乃至 9割7分完  
 了된것 이며 豊年을豫想할 수 있다 고 農務部發表  
 7月10日 △敵産의 小規模事業體(百萬圓以下)와 家屋을 拂下한  
 다 고 安民政長官發表  
 △商務部에서는 各道産鹽業會社에서 金銀을 朝鮮銀行  
 에 放出하게 되였다 고 發表  
 △民間物資配給計畫案에 依하여 美國서 朝鮮에 輸入한  
 物資總額은(自昨年5月至今年3月) 9千百萬弗 이라  
 고 「힐릭」軍政長官代理發表  
 7月11日 △來7月15日 부터 開始한 對外民間貿易에 關한 新手續  
 方法을 商務部發表  
 △中央管財處에서는 朝鮮人企業에 投資한 日人株의 買  
 渡을 開始한다 고 發表  
 7月12日 △商務部貿易局에서는 在日財産撤入 督勵班을 組織코  
 各道에 派遣, 財産撤入申請을 促進中 이라고 發表  
 △서울市 勞動課에서는 勞動會議 開催코 勞動關係法令  
 의 主旨宣傳及 勞動組合運動의 指導獎勵等 諸問題를  
 討議  
 7月13日 △金銀開發規定에 即敵産 鐵山은 過渡政府의 許可가 必要  
 하다고 商務部發表  
 △今年度 日本에 輸出한 海苔는 1億餘圓 이라고 農務部  
 發表  
 △「힐릭」軍政長官代理는 公報部를 通하여, 前日人 所  
 有의 小規模事業體와 住宅 拂下에 關한 政策을 發表코  
 구代金은 朝鮮臨時政府에 移管할 玆까지 保管한다 고  
 發表  
 7月15日 △南朝鮮再建設物資美國서 7月1日 부터 55萬噸撤入  
 決定했다 고 軍政當局發表  
 △中央價格規則 第2號公布코 政府에서 配給한은 原料  
 을 使用치 아니하고 私의 機關에서 生産되는 物品에 對  
 해서는 自由販賣을 認定한다 고 中央物價行政處發  
 表  
 △一年間의 道內盜賊統計 2千餘件 이라고 京畿道發  
 表  
 7月16日 △敵産 小規模事業體와 住宅 拂下에 關한 細則을 公報部  
 에서 發表  
 △上半期 「소금」 生産量은 5萬이라고 專賣局發表  
 △土木機械 8種 60臺 美國서 仁川에 入港  
 △對中, 對美貿易에 있어 信用狀先受制廢止 하라고 各  
 國總署當局에 建議  
 7月17日 △동소림類, 煙草, 엮트, 燕巢, 糖精等을 輸入禁止  
 物品에 追加하였다 고 崔貿易局長發表  
 △財産管理人聯合會에서는 敵産處分에 있어 拂下價格  
 은 時價에 基準하라고 當局에 建議



7月18日 △司法部에서暴利取締令起草中이라고發表  
 △朝鮮殖産銀行에서는水利組合新設, 災害復舊, 電  
 化工業資金으로7億3千萬圓을水利組合聯合會, 農  
 地開發營團에貸付키로決定  
 △南朝鮮各道에災民住宅9千餘戶建設키 겠다고「렐  
 밀」軍政長官代理發表

7月19日 △商務部에서는部令第55號로輸出入品價格査定委員  
 會를設置하리라고發表委員長은貿易局長  
 △海司局에서는海上小運送業者整理案을講究中 이라  
 고發表  
 △敵產拂下對策에關하여詰問委員會를設置한다고公  
 報部發表  
 △農地開發營團에서는今年度農地開發事業豫算12億  
 圓을申請中이라고發表

7月20日 △秋穀收集草案을安民政長官立議에回附  
 △信用狀先受制一律實施는朝鮮貿易의發展에支障  
 하다고韓國貿易協會當局에陳情

7月22日 △價格高騰商品質低劣等으로中國서朝鮮水産品輸入  
 을拒絶하리라고商務當局發表

7月23日 △今年度政府豫算額은179億圓 歲入不足20億圓이며  
 不日中立議에回附하리라고安民政長官發表  
 △今年度夏穀收穫豫想高는 371萬石이 1944年에比  
 하여45%나減少될 것 이라고農務部發表  
 △小規模敵產拂下體及住宅拂下에對한願買價格者의  
 細則을商務部發表  
 △民間物資配給計畫案에依하여美國서輸入한軍用車  
 其他物品等은關係各機關에割附한다고公報部發表

7月24日 △敵產貸借料은10年前時勢의50倍로引上한다고中  
 央管財處長發表  
 △朝鮮電業會社에서는鎭津江水電堰堤를 3萬KW發  
 電計畫成案中이라고發表  
 △洪水로各地에田畝, 家屋等被害甚大

7月25日 △敵產工場拂下撤回意思없다고「렐 밀」軍政長官代理  
 安民政長官言明  
 △航空郵便交換8月1日 부터實施한다고遞信部發表  
 △美國製干芋 1,500足入荷, 將次多量輸入로配給豫  
 定이라고商務部發表  
 △京電서電車百臺運轉目標로電車増發計畫

7月26日 △1947年度糧穀新價格制 7月21日 부터題及實施한다  
 고中央食糧行政處長發表  
 △商工會談所에서는暴利取締令中生産品을商務部外  
 檢察廳에報告하라는것은不當하다고當局에建議

7月27日 △汽驛車10臺釜山揚陸美産枕木 600萬本도不遵入荷  
 豫定이라고運輸部發表  
 △吳商務部長朝鮮産石炭販賣價格을決定호發表

7月28日 △商務部에서는各道, 市에生必需品物資等多量割當하  
 리다고發表

7月29日 △所得稅로歲入增加를計畫中이라고尹財務部長發表  
 △商務部에서는敵産金銀錢을除外하고는嶺山開發禁  
 止令解禁許可할 것이니鎭業者手申請을提出하리  
 고發表  
 △朝鮮農會에서는來9月末까지肥料6萬餘噸을美國서  
 輸入하여各道에配當한다고發表

7月30日 △輸出入品價格은公定價格程度로査定할 것을價格企  
 定委員會에서決議했다고商務部發表  
 △지난 6月中南朝鮮過渡政府에서發行된貿易許可件  
 數는輸出35件輸入37件 이라고商務部發表

7月31日 △各道에敵產拂下査定機關設置한다고中央管財處發

表

△京畿道學務局에서는農, 工, 水産技術에關한短期  
 講習會計畫中이라고發表  
 △今年水災에鐵道被害甚大하다고運輸部發表

8月1日 △서울市工業協會創立發起人總會를開辦  
 △敵產工場總數는 約4百여百萬圓以上이4分<1 이  
 라고京畿道管財處發表  
 △商務部에서는鎭津江水力電氣擴充工事總工事費  
 3億6千萬圓工務期間3個年計畫으로着手  
 △昨年本現在로解放後서울市內에新設會社는391社,  
 第1位는貿易第2位는土建會社等이며公稱資本總額  
 은16億圓拂込資本은5億圓

8月2日 △朝鮮商工會談所韓國貿易協會 共同主催의貿易  
 業者大會에서貿易信用狀先受制撤廢等은中央經濟  
 委員會에建議  
 △民間物資配給計畫案에依한入荷物資는無報價이고  
 賣上金은輸入基金된다고「렐 밀」軍政長官代理言明

8月3日 △軍政廳에서는「택이-더」司令部와交涉하여電車部  
 分品은日本으로부터輸入한다고發表

8月4日 △美國으로부터第5次米穀輸入分4千2百77萬圓釜山  
 到港, 非農家에配給豫定이라고中央食糧行政處發  
 表

8月5日 △京畿道內府尹, 郡守會議開催로麥作增產策等討議  
 △朝鮮水産業會에서는海苔40萬束은「택이-더」司令  
 部를通하여日本에輸出했다고發表  
 △各種輸出入物資の上, 下陸에對應로釜山港을爲  
 始各漁港을改裝計畫이라고軍政廳發表

8月6日 △各道鐵工課長會議에서重要工場及鐵山은中央에서  
 直轄經營하기로決定  
 △서울地方檢經廳에서는貿易業者의利潤限界를決定  
 發表業者는1割5分, 小豆는2割

8月7日 △香港貿易船, 고무, 印刷機, 棉, 土音, 淸涼等物  
 資3千5萬滿載로釜山에入港  
 △商務部에서는釜山에入荷한2千1百67噸의加里肥料  
 是朝鮮農會를通하여農民에게販賣豫定이라고發表

8月8日 △商品價格의公正期로저小賣商에正札制實施問題等  
 討議로檢察廳에서는關係當局等과協議會開催  
 △今日부터朝美航空郵便開始한다고遞信部發表

8月9日 △民間物資配給計畫案에依한 電柱2萬本日本으로부터  
 入荷하였다고民間物資補給所發表  
 △果實協會에서는林檎8萬貫을日本에輸出하리라고  
 發表  
 △果實協會에서는香港에林檎百萬貫輸出을計畫中이  
 라고發表  
 △輸出品은最低價格으로하리라고吳商務部長貿易業者  
 에게注意喚起  
 △水産業會에서는輸出貨資萎縮에對應로저 9億圓의  
 水産物加工을計畫中이라고發表  
 △서울 仁川等地的飲水不足緩和키每日 3千餘添  
 水可能의5千6百萬圓工務計畫中이라고土木部, 서  
 울市當局發表

8月10日 △埃及에서 棉3,000捆輸入로 交換輸出은 運鐵과重  
 石等700噸이라고吳商務部長發表  
 △今年度の雜穀狀況은前 5個年平均에比하여84%作  
 이라고李農務部長發表  
 △京畿道內各商工課長, 各府郡物資運營組合代表會  
 同會議開催로物資配給의圓滑化를緊急한商工問題

專論討論

△商工會議所에서는物價統制機構와避難物價行政處와監察의存續不必要하다고當局에建議

8月12日△商務部에서融資申請取扱方針을發表

△商務部統計에依하면上半年中鑛石의對外輸出總額은約1億8千7百萬圓이며,仁川,釜山等地에主로澳門에輸出

8月13日△商務部統計에依하면生必需品生産은低下一路이고고무工業은昨年度の25%

△서울稅關調査에依하면今年度上半年對外貿易輸出入額은輸出325,479,553圓 輸入549,494,123圓

8月14日△棉花耕作에補償考慮,收集價格決定을李農務部長發表

△商務部貿易局에서는朝鮮特産品の海外發展을爲하여輸出特産品陳列館新設을計中이라고發表

8月15日△今日現在朝鮮銀行券發行高1百89億7千7百萬圓比前々年同日 83億6百萬圓

比前々年同日1百41億3千8百萬圓各々増發

△民間物資配給計畫案에依한竹70餘萬束日本에서入荷者需要者에配給決定이라고鄭水滌局長發表

△運輸部運賃制定委員會에서는「배스」及貨物自動車의運賃을改正實施

8月16日△今年1월부터7월까지의輸入外國雜穀總額은27萬千百64石

8月17日△農務部國庫補助로各漁業團體를總網羅하여資本金1億圓으로企業會社新設을 漁業에進出企圖中이라고發表

△京畿道水產課의1948年度事業費及要國庫補助金總計는1億7千2百餘萬圓이라고發表

△鐵道貨物運賃20日부더리上한다고運輸部發表

8月18日△勞動者의健康을保全코져 朝鮮工業保健協會第1回會議을勞動部에서開催하였다고李勞動部長發表

△雇傭女性의人權과保健厚生을爲하여女性雇傭組合結成

8月19日△美四서 쌀3,700萬到着,大部分은非常用으로割當한다고池中央食糧行政處長發表

△中央物價行政處에서는法令第90號第4條에對하여生活必需品最高價格을生産業小賣業別로決定

8月20日△過渡政府政務會議에서는夏秋收集의不振에對한農村의愛國의協力을望하는聲明을發表

△商務部에서는南北送電協定으로北朝鮮으로부터의8萬kw送電代價로電氣工業에必要한物資로서支拂한다고發表

△重工業機械化企圖으로製水造船會社新發足. 管理人安一桓,支配人盧俊

8月21日△新農耕法을普及코져農村技術指導部設置하였다고李農務部長發表

△香港서 고무, 소금等濟載한貿易船25日頃에釜山에多數入港한다고崔貿易局長發表

△全北道七寶水力發電所를擴設코져電力倍增加(3萬2千kw) 할計畫이라고發表

△朝鮮産業再建協會(假稱)結成을거시議産業勞動委員會中心으로民間經濟人發起要領

8月22日△石油製品의物品稅에對한法令第148號發布

△今年度秋穀收集法案을議通過

△商務部에서1948年度鐵業振興費를總計1億60萬圓支出決定發表

△野菜種子收穫 3,000餘石이라고李農務部長發表

△敵産管理處에서는敵産家屋貨物料을9月1日부더리現在의5倍으로引上한다고發表

△食糧收集不調關係로李勳求農務部長倫敦會議參席을中止하였다고「더-리」軍政長官發表

8月23日△對日賠償額을調査코져財務部內에委員會를設置한다고公報部發表

△鑛山新規出願을禁止한事實없다고鑛務局發表

△美貨獲得爲한商務部主催의特産品紹介展示會에成功하였다고吳商務部長發表

△石炭不足隘路打開을爲한鐵道石炭商聯合會組織會長陳亨昌,理事朴恒鍾外

8月24日△運輸部에서는運賃及輸送安全規則制定委員會設置을公有一切의運輸機關,會社及施設의運賃料金及交通安全規則을制定計畫

8月25日△對外貿易規則에關한法令第149號發布

△選信部職員 3,000名을減員할豫定이라고選信部朴總務局長發表

8月26日△民間物資配給計畫案에依한 粟,小麥粉等2,800萬今月中美國에서入荷하였다고池中央食糧行政處長發表

△民間物資配給計畫案에依한自動車,肥料等美國에서入荷割當中이라고吳商務部長發表

△西海岸干涸地 8個所(11町)步는防拓耕地化計畫이라고水利組合聯合會發表

8月27日△最近美國에서入荷된船舶7隻(170噸級)을海上警備隊에割當하였다고吳商務部長發表

△朝鮮土建協會聯合會結成準備中

8月28日△米穀收集은5度步以下로하라고「더-리」軍政長官立議에修正要求

△中央物價行政處에서는石炭價格約8割引上決定을發表

△南朝鮮過渡政府에서는 應急救護費로서1億圓을支出하여 戰災民居住宅1萬戶를建築計畫中이라고發表

△食糧倉庫朱安工場에發火로米穀數千噸損失하였다고發表

8月29日△保健厚生部에서는美國에서入荷된戰災民救護物資貨車量各道에分配中이라고發表

△過渡政府에서는貿易對策協議會의建議에對한回輪發表,即正當的貿易助長에融資,輸出物資生産獎勵,朝鮮商人의海外旅行의便宜等準備中이라고

8月30日△運輸部에서는「덕아-더」司令部를通하여石炭約2萬噸이日本에서到港하였다고發表

△物資管理處에서는現在까지의沒收物資拂下는10億圓이며,精米所와漁佃工場로總額處分한다고發表

8月31日△中央物價行政處에서는1947年度의棉服買價格을決定發表

9月 1日△法令第148號에依하여 各種油類에公定小賣價格의3割5分の物品稅을課稅

△財務部에서는銀行貸付規則修正을銀行專行融資限度를50萬圓으로變更

9月 2日△管財處에서는金「링그스텐」及稀金屬을除外하고,는敵産鑛山은明年부더리拂下計畫中이라고發表

9月 3日△中央物價行政處에서는最高指定價格適用은政府配給物資原料에만局限하고其他生産品에는關與치한다고崔處長發表

△法令第10號에依하여物價設定權을中央物價行政處에賦與  
 △國際無線電信會議에서承認받은朝鮮電略號는「HL」이라고選任部發表

9月 4日 △今年度의國民保險郵便年金의募集率은昨年에比하여18%增加하였다고選任部發表

9月 5日 △土木部에서는水害修繕等緊急工事費로 6億圓을算上立議에要求  
 △朝鮮水利組合聯合會에서는總工事費 4千餘萬圓으로南朝鮮西海岸各地의干澇地開拓에着手

9月 6日 △今年度夏穀收集狀態는 8月末現在로割當量의67%收集完了되었다고池中央食糧行政處長發表  
 △今年度米穀收穫豫想高는 1,420萬石이라고農務部發表  
 △吳商務部長은輸出入物資目録을發表코原料輸入에注力할것이며重石鐵을認可輸出品에서除外한다고聲明

9月 7日 △南朝鮮土建協會聯合會創立,理事李季祿外

9月 8日 △中央食糧行政處에서는食糧配給을原則的으로2合2勺으로增配한다고發表

9月 9日 △商務部에서는國內紡織工場水準向上을爲하여過渡政府直轄工場의管理人會開催코規格,勞務,公正價格,石炭問題等討論  
 △郵便貯金一億圓을對日賠償에請求하도록對策講究中이라고當局發表  
 △物資查閱에서日軍需物資拂下價格10億圓은特別會計로計上코朝銀에預金하겠다고發表

9月10日 △8月中美國서輸入한 쌀,小麥粉等은 30,872噸이라고池中央食糧行政處長發表  
 △京畿道에서는收集米絶對確保星期하기爲하야無許可運搬,摺積等은斷然處罰하겠다고警告文發表  
 △巨濟島前香椎漁場의運營方法을漁民會社組織體로推選키로決定.資本金一億圓  
 △朝鮮鐵業會에서는理事會別催코輸出鐵石類의價格決定對策等討論

9月11日 △今朝7時58分「러-취」軍政長官心臟病으로逝去  
 △過渡政府에서는今年度米穀收集量을 539萬石으로決定.昨年度에比하여103萬石增加  
 △南鮮各道知事會에서米穀價格一噸에 800圓으로引上하라고建議  
 △保健厚生部에서는罹災民住宅 1萬戶建設計畫코工事費一億圓을各道에配當했다고發表  
 △京畿道에서10月 1日 부터「에-라」制實施한다고發表

9月12日 △서울市消防局에서는解放後의南朝鮮內의火災統計는人命損失48名,物資損失 5億 6千萬圓이라고發表  
 △摺積製粉組合聯合會創立

9月13日 △中央食糧行政處에서는今年度新穀賣上價格을一噸 640圓으로內定하였다고發表  
 △中央物價行政處에서는酒類販賣價格을決定發表  
 △過渡政府技術教育委員會에서機械工業技術者養成案發表  
 △道內木材業者總聯起로京畿道木材同業組合創立準備에着手

9月14日 △財務部에서는巨額融資에는各銀行의審査部代表의共同審査制를實施하겠다고發表  
 △朝鮮船舶의公海航行을美比兩國에서正式으로認

許  
 △米穀自由販賣禁止를解除하라고서울商工會議所에서當局에建議

9月16日 △夏穀收集成績 9月10日現在로割當量의86%突破하였다고池中央食糧行政處長發表  
 △南朝鮮煙草消費量은每月 5億圓인데其中美國割當배기 4億圓  
 △慶尙南道에서 배,林檎을18萬貫日本에輸出하였다고當局發表

9月17日 △今年末現在로南朝鮮人口質題調査한다고保健厚生部發表  
 △朝鮮產絹織物正式으로中國,美國에輸出開始

9月18日 △米穀搬入物 大斗까지許可코 燃料配給은研究中이라고安民政長官聲明  
 △서울皮革工業協會結成 理事長尹夢男  
 △商務部貿易局에서는「生 고무」 4億圓分을南方에서直接購入하여業者에게割當豫定이라고發表  
 △京畿道管下の漁業組合과漁業組合聯合會의議員制를中止한다고發表

9月19日 △朝鮮工業俱樂部主催로釜山工業界視察코저吳商務部長 民間會社代表等向釜  
 △農地開發營團에서는慶北金山烏山에解放後最初의水利組合完成 米穀3萬石이増産될것이라고發表  
 △半年間에拿捕된兇輸船은46隻이라고釜山海岸警備隊發表  
 △京畿道에서「徵用」에對한賠償金2千4百萬圓을日本에要求  
 △近電代價物資北朝鮮에發送

9月20日 △米穀搬入大斗1斗는無限하다고具京畿道知事聲明  
 △短期技術者養成案豫算通過코來3月末까지約2萬名養成計畫이라고吳鎮洙技術教育委員長發表  
 △朝鮮衣料工業組合再發足  
 △朝鮮鐵業會主催로10月初旬에三陟炭鐵視察豫定이라고發表

9月21日 △產賣再建協會創立總會開催(19日)會長朴健維

9月22日 △京城電氣會社에서는 1日運行의電車客數는百零突破하였다고發表

9月23日 △食糧問題討論코저各道農產局長會議開催  
 △南朝鮮水産統計參考資料로 U.N 總會에提出하였다고發表  
 △善山,高牙,金島山等地의水利組合完成코官民多數參席裡에現場에서竣工式舉行  
 △京畿道工業協會理事會開催코廢資材資材斡旋問題等討論

9月24日 △農務部에서는各種叫斗摺購入價格決定發表  
 △民間物資配給計畫案에依한英國產棉 2,000箱子仁川에到着  
 △南朝鮮의 1個月間의電氣消費量은 12萬kw라고農務部發表

9月25日 △京畿道에서는道內石炭販賣價格決定코中央物價行政處通過實施하겠다고發表  
 △總工事費 7百萬圓으로仁川製米工場新設工事10月初旬에着手한다고發表  
 △林檎 萬箱子를香港에輸出한다고農務部發表

9月26日 △商工會議所에서는發布된中央食糧規則 第6號의米穀政策을改正하라고當局에建議  
 △中國政府는臨時貿易辦法發布로對朝鮮物資輸出을禁止

9月27日 △「협약」軍政長官代理는 立議를 通過한 今年度 米穀收  
集法에 署名  
△ 絹織物工業組合聯合會 結成。理事金知泰 襄龍甲  
李世賢外  
△ 生絲 1,700貫輸出을 紙類와 交換한다고 李農務部  
長發表  
△ 技術員養成所 第1回生, 自動車, 機械工業技術者  
等 60名 増注에 進出  
9月28日 △ 南朝鮮 詳知亦會議 開催코 米穀收集制 當量等 減少 陳  
情  
△ 米穀收集法 第2條 第2項及 第3項의 法의 解釋을 適  
政政務會議及 各道知事 聯席會議에 서 表明  
△ 郵便通信料等을 10月1日 부터 現行料金의 約2倍引  
上한다고 逕信部發表  
9月29日 △ 朝鮮과 의 自由貿易을 香港當局에서 許諾하였다고 貿  
易局發表  
△ 南朝鮮의 過去1年間의 漁獲高는 496,944 觔 金額37  
億2百10餘 萬圓이라고 水產局發表  
△ 薪炭 道外 搬出 10月 부터 許可制 實施한다고 當局發  
表  
9月30日 △ 物資統制會社 解散에 關한 法令 第155號 發布  
△ 今年度 秋籾 收集 豫定 量은 42萬貫이라고 李農務部長  
發表  
△ 今日 現在 朝鮮 銀行 券 發行 高 2百4億4千4百 萬圓  
△ 今日 現在 南朝鮮 全金融 機關 預金 總額 2百4億9千5  
百 萬圓  
△ 同 貨金 總額 1百44億3千4百 萬圓  
△ 서울市 9月 中 平均 都賣物 價 指數 43,221  
△ 同 小賣物 價 指數 41,444  
△ 同 勞動 賃金 指數 16,299  
(朝鮮 銀行 調査 指數 基準 1936=100)  
10月1日 △ 解放後 美國 對 輸入 權 豫定 量은 累計 50萬 觔, 價格 53  
億圓이 其中 小麥粉이 5割이 리고 發表  
△ 日本의 對外 輸出 國中, 朝鮮이 第一位이고 全輸出 額  
의 22%를 차지하고 있다고 日 貿易 廳 發表  
△ 今日 부터 對外國 航空 郵便 開始한다고 逕信部發表  
10月2日 △ 鐵道 枕木 美國에서 14萬本 入荷  
△ 船舶 12萬 觔 碇泊할 수 있는 國際 港으로 面目一新코 濟  
釜山 港 改修 工事에 着手  
10月3日 △ 夏 穀 收集 成績 9月24日 現在 97% 完了 하 었다고 池  
中央 食糧 行政 處 長 發表  
△ 朝鮮 絹織 會社는 屑織 工場 建設코 「철사」 製造에 着手  
한다고 吳 商務 部長 發表  
△ 貿易 對策 協議會에 서는 貿易 船 背後의 謀利 輩 暗躍을  
防止코 져 強硬한 方針 樹立코 當局에 建議  
△ 過去 8個月 間의 南朝鮮에 있어 서의 火災 損失 總額은  
12億圓이라고 當局發表  
10月4日 △ 外國 貿易 統制 法令 第93號의 改正에 關한 法令 第  
150號 發布  
△ 新 評公社 新 理事 陣 決定. 英人 3名, 朝鮮人 7名  
△ 配給 不圓 濟로 米價 700圓 臺로 暴騰  
10月5日 △ 京畿 道 工業 協會에 서는 工業界 實態 調査에 着手한 다  
고 發表  
△ 海外 市場에 서 貿易에 關한 照會 商務部에 多數 來到 하  
였다고 崔 貿易 局長 發表  
10月7日 △ 中央 食糧 行政 處에 서는 米穀 買上 價格을 原案대로 正  
租1等品 1噸 最高 660圓으로 決定 發表  
△ 各港에 入港한 20位圓의 貿易 船 許可手續 前에 買賣 契

約 參加 하 다고 吳 商務 部長 發表  
△ 8月 末까지 의 生産品에 對하야 絹織物 自由 販賣 許  
可하 며, 價格은 物價 行政 處에 서 指定한다고 發表  
△ 京畿 道 農產 課에 서는 蠶 工品 生産者 價格을 決定 發  
表  
△ 敵產 機械 工場 管理人 會를 來10, 11日에 開催한 다고  
商務 部 工業 局 發表  
10月8日 △ 電氣 用品等 對日 賠償 要求 機器 調査 要領을 商務 部 發  
表  
△ 專賣 局에 서는 今年度 收納 菸草 賠償 價格 決定코  
發表  
△ 東洋 鐵工 會社에 서는 南朝鮮 唯一의 自轉車 工業 年產 2  
萬 臺 目標코, 商務 部 工業 局의 援助로 積極 生産 하 겠  
다고 發表  
10月9日 △ 食糧 住宅 資金等 轉旋으로 戰災 歸還 同胞의 歸農 農務  
進行中이라고 李 農務 部長 發表  
△ 輸入 物資는 原料 機械等에 比重코 其他 物資는 極度로  
制限 하 겠다고 安民 政長 官 宣 明  
△ 逕信 部 關係의 對日 債權 額 35億7千 萬圓이라고 對日  
賠償 對策 委員會 發表  
△ 逕信 技術者 多量 養成코 져 10日 부터 明年 3月 까지 實  
施한다고 文 敎 部 發表  
△ 商務 部 援助로 年產 2億 圓 目標코 朝鮮 製 製會社 新 發  
足  
△ 工業 新聞 社 主催로 第2回 工藝 品 展覽會를 東和 百貨  
店에 서 開催  
10月10日 △ 13部外 3委員會로 構成된 中央 總機 構 改革 案 發表  
△ 對日 賠償으로 取得할 工作 機械는 3萬 臺라고 對日 賠  
償 委員會 發表  
10月11日 △ 貿易 機械에 對處코 져 輸入 物資 取締 協議會 開催  
△ 美國에서 輸入할 金屬 類錫, 洋銀, 屑鐵, 鋼材等 2,000  
觔 豫定이라고 商務 部 發表  
△ 南朝鮮 國民 保險 額은 9月 末 現在 在 15億 圓 突破 하 렸  
다고 逕信 部 發表  
△ 商務 部 工業 局에 서는 主要 機械 工場 代表者 會議 開催  
코 生産 報告等 指示  
10月12日 △ 米穀 收集 完遂코 져 對策 委員會 組織한다고 池 中央 食  
糧 行政 處 長 發表  
△ 新 韓公社에 서는 夏 穀 收集 量 千餘 石 超過 收集 하 였 다  
고 發表  
△ 10日 부터 薪炭 搬入 制 撤廢 한다고 서울市, 京畿 道  
發表  
10月14日 △ 今年度 秋 穀 收集 資金 金融 融通 資 額은 120億 圓을 豫  
定  
△ 商務 部 工業 局에 서는 京仁 地方 精密 工場 機械를 統合  
하여 綜合 工場 建設 計劃코 져 2,500萬 圓 補助 金 計上  
하 였다고 發表  
10月15日 △ 農地 開發 營團에 서는 明年度에 10萬 町步 開墾 計畫이  
라고 發表  
10月16日 △ 中央 管財 處에 서는 敵產 小規模 企業 體 拂下 498件을  
審議中이라고 發表  
△ 中央 物價 行政 處에 서는 正租 斗雜 穀類 買上 販賣 價格  
(白米 1斗 155圓) 決定 發表  
10月17日 △ 1947年度 過渡 政府 決定 豫算案은 歲出 176億 圓, 歲  
入 154億 圓 歲出 赤字 22億 圓이라고 公報 部 發表  
10月18日 △ 商務 部에 서는 對外交 易 事業 推進코 져 外來 物資 交易  
委員會 組織  
△ 法律 第6號로 米穀 收集 完了 時까지는 米穀 販賣 運

撤(小量)禁止令發布  
 △商務部에서는朝鮮에總發電量은 600萬 KW이며 9割이北朝鮮에 있다고發表  
 △서울市에서는勞動强度週間實施코模範勤勞者에게는施賃한다고發表  
 10月19日 △쌀 3勺增配한다고 서울市發表  
 △京畿道內黨業用高嶺土鐵山인槍泉, 三勝, 大金山을再開發에着手  
 10月21日 △水産局에서는中國에輸出한「오징어」만 6,000餘萬圓이라고發表  
 △米穀輸入禁止에對해서輸入取締은不當하다고朝鮮商工會議所에서當局에建議  
 10月22日 △朝鮮土建協會聯合會에서는國土計畫을促進코政府府에建設部設置는當局에建議  
 10月23日 △2合5勺式糧穀配給確保히 했다고安民政長官發表  
 △法令으로金銀, 貴金屬自由買賣禁止且, 所有, 保管者는登錄要旨  
 △秋穀收集資金 129億圓은全面的으로市中銀行에서取扱하고朝鮮銀行은再割引을考慮中이라고朝鮮銀行其副總裁言明  
 △食糧等緊急物資滯留로서薪炭等의鐵道輸送延期決定하였다고運輸部發表  
 △外來物資交易委員會에서는入港中の20億物資解決코저連日討論中이라고發表  
 10月24日 △米穀收集報價金으로18億圓配當하였다고「엔필」軍政長官代理言明  
 △京畿道山林課長 今年冬期の燃料은念慮없다고言明  
 10月25日 △商務部에서는各道에生産委員會設置코敝産의運營及發展을管理한다고發表  
 △原棉70萬斤收集에對하여補償物資로廣木配給하였다고農務部發表  
 △價格低廉으로秋藪供取量日課의 5割까지안된다고農務部發表  
 △生고꾸를直輸入코저菜界中央監과折衝  
 10月26日 △米穀輸入禁止令撤廢을立法議院서「러」引)軍政長官에建議  
 △商務部에서는計畫生産의責任完遂한優良工場, 朝鮮機工, 中央陶器, 朝鮮電線, 朝鮮紡織會社等の各工場을表彰  
 △朝鮮換金銀行調査에依하면 1年間 (1946.10-1947.9)對外貿易額은輸出4億6千萬圓輸入6億2千萬圓이며, 入超額이 1億6千萬圓이라고發表  
 10月28日 △第 1次秋穀收集資金을納達하기爲하여朝鮮銀行서各銀行에再割引融資한다고發表  
 △家畜增産講習會를昨日부터水原中央農事試驗場에서開催中이라고發表  
 △保健厚生部에서는朝鮮料理의榮養價를調査코거都市, 農村等, 4千世帯를訪訪  
 10月29日 △統制物價規則違反, 3個月間에 170件이라고中央物價行致處發表  
 △外來物資交易委員會에서는交易方針六原則制定코貿易을統制한다고發表  
 △民間物資配給計畫案에依하여美國의剩餘船舶 4隻入荷  
 △日本에 떠와간船舶38隻返還을海運協會에서當局에建議

△商務部에서는休眠鐵山을活用코저鑛業法草案等作成立議에上程  
 △南朝鮮各工場綜合報告書에依히 解放後今年 6月까지의鑛產產量은不過 1,000餘噸  
 10月30日 △商務部貿易局과貿易協會等會合코査定價格等再審査하겠다고發表  
 △適當期에自由輸入解禁코저中央廳各關係當局會合코討議  
 △發明獎勵會創立코저吳商務部長, 安東赫, 李駿烈氏等提議當局者等準備打合  
 10月31日 △第三代南朝鮮美軍政長官「권」少將就任  
 △商務部貿易局에서는貿易價格査定코저分科委員會組織, 當局員5名, 民間員16名으로構成한다고發表  
 △大田紡績機械撤出에反對코저大田紡績機械撤出防止對策委員會組織코市民運動展開  
 △龍山鐵道工場에서汽關車, 客車等完成하였다고發表  
 △月末現在朝鮮銀行券發行高現在은218億3百萬圓  
 11月 1日 △飲料稅令에關한法令第154號發布  
 △米穀收集資金金融組合의26億圓을筆頭로各銀行에割當  
 △商務部에서는不急品輸入은不許코, 査定價格은極力抑制하겠다고發表  
 △京畿道에서는道內今年度米穀收集報價物資는 당노, 양담배等9千餘萬圓이라고發表  
 △輸出入品價格査定委員會에서는價格調整 入超防止等需究코저部門別六分科委員會는設置  
 △商務部技術養成所生第1次로400名募集한다고商務部工業局發表  
 11月 2日 △財務部에서는法令 第154號의飲料物稅令에依하여 每月500萬圓國庫收入豫想이라고發表  
 11月 4日 △南朝鮮人口는2,100萬名이며 非農家가年平均1.7%增加한다고李農務部長發表  
 △外來物資交易委員會에서는輸出入物資査定價格決定코商務部에建議  
 △美國務省에서는1945年9월부터1947年8월까지朝鮮에2億7千萬弗援助하였다고發表  
 11月 5日 △廢紙 2,000噸輸入코配給中이라고商務部工業局發表  
 11月 6日 △勞動法, 違法加算支拂默殺이百餘件, 京電, 和信等을告發하였다고勞動部發表  
 △對日賠償委員會에서는賠償要求額 7,900億圓計上코要求細目選上에今日委員會開催  
 △商務部에서는 9月中製紙生産量이82萬封度라고發表  
 △商務部에서는北朝鮮에對한電力代價支拂은國產電球電線變壓器等으로支拂한다고發表  
 11月 7日 △商務部에서는輸出入物資의價格査定完了코緊急品에는 3割利益容認等輸入物價格査定基準發表  
 △石炭不足으로八列車休休하였다고運輸部發表  
 △現在電車運行은 120臺이며明奈에는 2百臺運行豫定이라고京電發表  
 11月 8日 △酒稅收入85億圓比前年度27倍增收되었다고中央廳財務部發表  
 △9月中輸入超過額은 1億4千萬圓이며, 其中에工場原料는고꾸, 線棉等若干에不過하다고  
 △對日賠償物資로鐵山用機械를要求하여야한다고地

下資源開發推進會業界強調

11月9日△生必需品管理院에서는 總額費8億圓으로大規模의灌溉工事完成코明年부터는44萬石増産計畫이라고發表

△今年度米穀收穫豫想爲는 1,385萬石이라고農務部發表

11月11日△藥品收集에11億圓計上하였다고農務部發表

△資材, 原料, 石炭雜으로京畿道内工場은折半이休業中이라고京畿道發表

△南朝鮮各道水産關係對策協議會에서는對日輸出量2倍增加를決定

11月13日△農務部에서는水彦, 倉基, 始興, 靑沼等干拓工事를11月中에若干한다고發表

△全南地方煤炭大豊으로서울等地에 3百餘萬貫出荷計畫이라고發表

11月14日△中央食糧行政處에서는米穀收集資金融通方法과代金支拂手續規定等發表

△生必需品 1,500萬美國서近々入荷豫定이라고商務部發表

△食糧特配米穀供出獎勵코지中央食糧行政處에서政務委員會에建議

11月15日△中央食糧行政處에서는今年度米穀收集量539萬石에서515萬6千石으로修正發表

△商務部에서는輸出入許可物資의種類, 査定價格等決定發表

11月18日△右日財産搬入申請은今年末까지磨勵한다고商務部發表

△道義心昂揚生活再建코지新生活運動展開한다고安民政長官發表

11月19日△輸送權으로生必需品高騰一路, 民生問題日益深刻해짐으로急速한輸送對策이必要하다고中央物價行政處發表

△北朝鮮에送電 3幹線故障으로昨日朝南朝鮮總停電

△農務部에서는今年生絲生産量은不過6萬貫이며解放前에比하여1割程度라고發表

11月20日△北朝鮮의電量 1萬 5千KW縮減되었다고農務部發表

△「소금」 8,800萬美國으로부터釜山에入荷되었다고專賣局發表

△麗水港修築開港等18日過政務會議에서決定

△朝鮮火藥工業協會12日創立。顧問趙炳玉, 張澤相會長과 鍾健, 副會長文武斗, 田鳳炳

11月21日△煤炭20貨車每日서울에入荷中이라고運輸部發表

11月22日△各世帶의給布 5碼配給하되다고서울市商工局發表

11月23日△中央食糧行政處統計에依하면 自1946年5月至1947年10月間美國서輸入한穀物30餘萬石

△鹽物, 海産物, 生絲等主要輸出品價格等査定委員會에서決定發表

△淸津江水電工事推進키爲하야淸津銀行에서10億圓融資計畫中이라고發表

△盜電者는審査하되다고首都廳發表

11月24日△今年度米穀收集成績은11月22日現在에23%突破하였다고中央食糧行政處發表

11月25日△쌀5勾增配하되다고李檢察總長「靑」軍政長官에選言

△北朝鮮의送電半減은施設故障이原因이라고農務部工業局長言明

△列車運休에對하여「靑」軍政長官은緊急物資輸送과石炭不足이原因이라고言明

△서울市內1個月遊興稅는1,500萬圓이며稅務안는다면10倍가된것이라고稅務當局發表

11月26日△立法議院서遊興營業停止案通過

△解放者號外13列車不得已運休斷行한다고運輸部發表

11月27日△10月中의輸入超過額은勿簾3億4千萬圓이라고商務部貿易局發表

△서울市人口增加는6個月間에20萬名이며糧穀1日消費量은4千餘石이라고發表

11月28日△京畿道米穀收集11月26日現在에 6割突破하였다고發表

△各道收集米의輸送爲對約 2,000貨車를動員한것이며增配는12月부터實施한다고當局發表

△金驛서代用燃料土炭等多量生産에着手한다고發表

11月29日△外來物資交易臨時委員會는當初의使命完遂코解散하였다고商務部發表

11月30日△福運定期預金等國民貯蓄運動에新種預金出現豫定金融團發表

△쌀 2勾增配를第18回配給부터實施한다고서울市當局發表

△今日現在朝鮮銀行券發行高3百10億 1千2百萬圓比前月末92億9百萬圓增

比前年同月末1百1億3千2百萬圓増發

12月1日△第五次國民貯蓄運動 今日부터2箇月間에展開(日額60億圓)

12月2日△電力問題로因하여生産에阻路함으로時間制로配電하라코京畿道内各工場當局에建議

△電力裝置損은公安을威脅하니而電에積極協力하라고商務部工業局發表

△南朝鮮内の麻藥患者는10餘萬을推算한다고保健厚生部發表

12月3日△各道別秋穀收集成績은11月28日現在에50%以上收集되었다고池中央食糧行政處長發表

△自1946年5月至1947年11月間의外米總輸入量은 58萬7千餘石이라고生必需品管理院發表

△朝鮮産業建設協議會에서는糧穀, 生必需品, 原材料其他 등의配給機構一元化에對한建議書를當局各要路에提出

12月4日△急迫한電力不足에對應코지10億圓豫算으로淸津江水電工事推進計畫中이라고吳商務部長言明

△商務部生産委員會調査에依하면資金原料難 등으로歇産工場 5千箇中不過25%運營되고있다고發表

12月5日△生必需品管理院統計調査에依하면1946年度配給米는347萬餘石이라고發表

△民間物資配給計畫案에依하여砂糖 9,000萬斤 2個月에걸쳐輸入한다고商務部發表

△歸屬財産管理官에보株主總會召集權(法令 第156號)

12月6日△商務部에서는緊迫한電力對策講究並不遂電力消費規則發布豫定이라고發表

△北朝鮮에서貨幣改革實施

△貿易局長催로, 生必需品價格討論코지價格査定總議會開催

12月7日△11月17日附로新韓公社規則公布로責任과任務를不遠朝鮮人에게移讓한다고「靑」軍政長官言明

△朝鮮糧業會社에서는電力源全面開發코지總發電力約

- 82萬KW로 向上新規計畫을立案中이라고發表
- △毛織物、新聞用紙等滿載한貿易船仁川에入港하였다고商務部發表
- △重石、銅、黑鉛等輸出代價로 150萬弗借款成立하였다고吳商務部長發表
- 12月 8日 △明年度南朝鮮食糧需要不足量은 白米277萬餘石이며輸入이必要하다고中央食糧行政處長發表
- 12月 9日 △商務部工業局에서는木材 shortage에對應糧食早生産을推進코지明年度製紙補助金으로 1,300萬圓割當豫定이라고發表
- △朝鮮水産製品檢査所에서는水産物檢査는一元化하라고當局에陳情
- △輸入한日本石炭의消費狀況은鐵道가90%이고工業用에는不過5%라고發表
- 12月10日 △生必需品의 調査에依하면南朝鮮의食糧受配對象人口는11月末現在934萬名 이라고發表
- △埃及棉花3,000捆不到到港、交換物資로는 重石輸出豫定이라고吳商務部長發表
- △商務部調査에依하면南朝鮮의衣料生産은1個月1人當0,35碼라고發表
- △故「러-귀」軍政長官의努力으로濠洲羊毛入荷豫定이며毛織物로20萬碼分 外套、發官制服等製造豫定이라고發表
- △大昌工營建設工作會社에서는 重石을月産150萬目標로增産豫定이며計畫中이라고發表
- 12月11日 △配給量을引上코小斗1斗에 140圓한다고中央食糧行政處發表
- △第19回雜穀配給부터雙2合、雜穀5勺實施한다고當局發表
- △日本紡織機輸入計畫을明春에期하여實施豫定이라고商務部發表
- △對日賠償要求에對財地金關係等이重要하다고吳商務部長言明
- △北朝鮮에支拂한電力代金解放以後今年5月까지1億4千萬圓이라고商務部發表
- 12月12日 △商務部에서는輸送難打開策으로서南朝鮮各炭礦生産炭을各道에配定使用케한다고發表
- △商務部工業局에서는入超克服의一方案로工藝品生産積極獎勵費로先2,000萬圓計上한다고發表
- △電力不足으로京畿道內工場生産率은 平時의5割이低下하였다고發表
- 12月13日 △過渡政府에서는各電源을開發코지臨時電力對策委員會組織發表
- △서울特別市當局에서는不正受配者를斷乎虛斷코지配給人口를調査한다고發表
- 12月15日 △今日부터煙草價格一齊引上實施、孔雀1匣30圓
- 12月16日 △農務部에서는農事改良院新設코農務行政을一大革新하고저不遠法令公布豫定이라고發表
- △今年度의水流失2,856個所이며破壞補修에4億圓必要하다고土木部發表
- 12月17日 △釜津江發電所工事費10億圓起依은中央經濟委員會에서承認
- △李檢察總長監聽者는慰罰하라고 司法檢察官에訓示
- 12月18日 △臨時電力對策委員會에서는 非常時電力命令第1號公布코19日부터計上送電한다고發表
- △臨時電力對策委員會에서는配電優先順位三種決定코電熱、料理、裝飾用에는許可가必要하다고發表

- 12月19日 △中央物價行政處에서는쌀 1畝19圓45錢으로較價를改正發表
- △中央物價監察署에서는年末物價特別監察週間을設置한다고發表
- △南朝鮮의電力事情은北朝鮮의送電八萬KW이며南朝鮮現發電量은1萬3千KW라고「韓」軍政長官言明
- △勞動法違反工場이京畿道內한30餘個所이며、今後徹底시關束하겠다고勞動部發表
- △資金難打開코지企業家等의相互資金保證組合組織에對해財務部各銀行等積極援助表明
- △明年度肥料確保對政府豫算內容은可及의發表하였다고公民政長官言明
- 12月20日 △今年度米穀收集成績12月15日現在로82%突破하였다고中央食糧行政處發表
- △南朝鮮非農家人口 4個月間에百萬名增加하였다고中央經濟委員會發表
- △非常時電力命令 第2號公布코水道、通信機關等에는電力時間制限없는다고 臨時電力對策委員會發表
- △2萬餘噸을滿載한美國소금船3隻釜山에入港하였다고商務部發表
- 12月21日 △「韓」軍政長官代理는米穀搬入禁止命令을解除코지法令起草는司法部에指令하였다고言明
- △家畜增産計畫實施豫定이라고李農務部長發表
- △朝鮮農會에서는 畝24萬枚、總450萬貫買上計畫이라고發表
- △朝鮮工業協會聯合會(假稱)明春에米穀코지準備
- 12月23日 △生必需品配給額(1月至11月)은12億7千萬圓
- △美國의2萬KW發電船釜山 仁川 群山等地에配當計畫中이라고軍政當局發表
- △商務部鑛業局에서는日帝가奪去한鑛產物 5千億圓의巨額을對日賠償으로要求코지豫備會를開辦한다고發表
- △朝鮮鑛業協會에서는國產陶磁器保護有成策으로鑛輸入團束의要求書當局에提出
- △產業保健協會創立、會長金性夏 副會長劉漢澈、理事長劉基元
- △서울市工業協會主權로優良事業主、從業員等表彰式舉行
- 12月24日 △配給糧穀에對한政府補助金停止한다고池中央食糧行政處長發表
- △輸入物資代金統制指令細則公布、輸入代金を換金銀行에預置코對象物資輸出에使用
- 12月25日 △米穀搬入은不遠解禁、北朝鮮貨幣改革은南朝鮮에別無影響이라고公民政長官發表
- △中央經濟委員會에서는石炭增産의補助金三陟、和順、隱城等三炭礦에2億6千餘萬圓分配豫定이라고發表
- △石炭不足으로90列車今日부터來1月4日까지運休斷行한다고運輸部發表
- △技術者養成所開設코1月부터300名養成豫定이라고吳技術教育指導委員會長發表
- 12月26日 △商務部에서는生糸、棉花等大量入荷로優先上制廢止決定코發表
- △1946年5月부터의輸入糧穀統計는58萬石
- △商務部鑛山局에서는各鑛山에巨額의補助金5億4千7百萬圓計上發表
- △買占으로金時勢暴落 金1匁5千圓、銀1匁60圓

12月27日 △서울市工業協會全體大會에서 火急한 工業復興施策 決議요 當局에 建議書提出  
 12月28日 △米穀收集成績25日 現在로 91%突破하였다고 中央企 權行政處發表  
 △非常時 電力對策委員會에서는 電力依然濫用으로 必 要部門에 大支障이 있으니 一般의 節電을 要索한다고 發表  
 △商工會議所에서는 北朝鮮서 流入한 朝鮮銀行券南朝 鮮經濟에 影響至大하다 且 應急措置策當局에 建議  
 2月29日 △商務部에서는 國內經濟惡化防止目的으로 輸入品販 賣代金統制에 關한 商務部內規第71號公布  
 △商工務部에서는 今年度一年間의 重要物資의 生産集 計와 配給物資統計發表  
 2月30日 △商務部에서는 新年度 石炭生産目標은 約80萬噸이라 고 計畫發表

△吳商務部長은 고무, 棉花等 輸入品의 價格統制發表  
 12月31日 △今年度 輸入超過額은 10億圓餘, 國庫局 調査  
 △勞動時間違反 157件이 며 各道 勞動局을 巡視해 每月 調 査한다 고 李勞動部長發表  
 △서울市 節電委員會 結成코, 節電實行要項等 決定發 表  
 △朝鮮銀行券發行高 年末現在 3百33億8千8百萬圓  
 △年末現在 南朝鮮 金融機關預金總額 2百65億1千4百萬圓  
 △同 貸出總額 3百72億7千8百萬圓  
 △서울市 12月中 平均 都賣物價指數 58,305  
 △同 小賣物價指數 55,961  
 △同 勞動賃金指數 17,088  
 (朝鮮銀行調查 指數基準 1936=100)

官公署銀行會社休務日一覽表

自1945年8月15日~至1947年12月31日

日	曜	日	定例又は臨時休日			計
			日	字	節	
1945	8 15 (以後)	19 26				2
	9	2 9 16 23 30				5
	10	7 14 21 28	20		聯合國軍歡迎	5
	1	4 11 18 25				4
	12	2 9 16 23 30	25		基督聖誕日	6
1946	1	6 13 20 27	1 2 3 4 5		正 初	9
	2	3 10 17 24	22		陰曆正月	5
	3	3 10 17 24 31	1		獨立運動記念	6
	4	7 14 21 28				4
	5	5 12 19 26				4
	6	2 9 16 23 30				5
	7	7 14 21 28				4
	8	4 11 18 25	15		解放記念日	5
	9	1 8 15 22 29	10		秋 收 節	6
	10	6 13 20 27	9		社 宅 節	6
	11	3 10 17 24	28		開 天 節	6
	12	1 8 15 22 29	12 25		立法議員開院日 基督聖誕日	7
1947	1	5 12 19 26	1 2 3 4		正 初	8
	2	2 9 16 23				4
	3	2 9 16 23 30	1		獨立運動記念	6
	4	6 13 20 27				4
	5	4 11 18 25				4
	6	1 8 15 22 29				5
	7	6 13 20 27				4
	8	3 10 17 24 31	15		解放記念日	6
	9	7 14 21 28	16 29		故司令官葬儀日 秋 收 節	6
	10	5 12 19 26	9		社 宅 節	5
	11	2 9 16 23 30	15		開 天 節	6
	12	7 14 21 28	25		基督聖誕日	5

(總日數 869日 中休務日合計

150)



# 經濟法規輯



## ★朝鮮經濟에關聯 있는 國際協定拔萃

### ○大西洋憲章 (1941年8月14日) (全文)

美大統領故 루-즈벨트氏와 英首相 처칠氏가會合하여 兩國國策中 열가지共同原則即그것이 將次世界의 보다良好한 希望의基礎가 될수 있다고 보는바를宣布한 것이다

第一 兩國은領土 或은其他의擴張을懇求하지 않는다

第二 兩國은 그人民의 自由意思에依한 所願이아니고는 領土의變更은 없을것을希望한다

第三 兩國은 各民族이 自己가依據生存 政府의形態를 自由選擇할權利를尊重하며 同時에 剝奪當한主權과自治權을恢復할것을希望한다

第四 兩國은 現存한責任과義務을尊重할뿐아니라 앞으로더욱努力하여 世界各國은 大小와 形勢利國取戰國을不問하고 貿易과世界資源에關하여 모든經濟發展上必要한것은 平等한條件으로 取扱하도록努力한다

第五 兩國은 世界各國의經濟的發展과 社會의安全을爲하여 世界各國間에經濟上가장固着한協調가 있기를希望한다

第六 나치스暴徒가滅亡한後 兩國은 恒久的의平和建設을希望한다 따라서그것은 世界各國이 自己領土內에서 安樂하게 恐怖와貧困없이 自由로운生活를 할수 있을것을保證할것이다

第七 이러한平和는 各國人이 海洋을아 무防備없이 自由롭게 旅行할수 있는바지만 可能하다

第八 兩國政府가 믿는바는 世界各國民은 理由如何를不問하고 武力의使用을防止할것 萬若侵略으로써 他國을威脅하거나 威脅할危險性이 있는國家가 陸海空軍의軍備를保有한다면 將來의平和는維持되지못할것이다 그러므로 兩國은 廣汎하고恒久的인 國際安全機構를 設立하기爲하여 如斯한國家의 軍備解除가緊要하다고 믿는다 兩國政府는 軍備를粉碎함으로써 平和를愛護하는 人民의負擔을減少할수 있는其

他實施可能한措施一切을贊助하며 激勵할것이다

루앙크린·루-즈벨트  
윈스턴·처칠

### ○카이로宣言 (1943年11月27日) (全文)

故 루-즈벨트美國大統領, 蔣介石中華民國主席及 처칠英國首相은 各軍事使節及外交顧問과함께1943年11月27日北阿非利加埃及國의首都「카이로」에會合하여 日本國에對한 將來의軍事行動을協定하고 다음과같은 一般의聲明을 發表하였다 『各軍事使節團은 日本國에對한 將來의 軍事行動을協定하였다 三大同盟國은 海路陸路及空路에依하여 野蠻的인敵國에對하여 假藉없는彈壓을加한決意를表明하였다 이彈壓은 이미大하고있다 三大同盟國은 日本國의侵略을停止시키며 이를罰하기爲하여 今次戰爭을續行하고 있는것이다 右同盟國은 自國을爲하여何等의利得을要求하는것은아니며 領土를擴張할아무런意圖도없는것이다

右同盟國의目的은 日本國으로부터1914年第一次世界大戰開始以後에 日本國이奪取하는占領한太平洋의島嶼一切을剝奪할것과 滿洲, 臺灣, 澎湖島와같이 日本國이 滿國人으로부터盜取한地域一切을 中華民國에返還함에있다 또한日本國은 暴力과貪慾에依하여 掠奪한다른一切의地域으로부터 驅逐될것이다 前記三大國은 朝鮮人民의奴隸狀態에留意하여 適當한時期에 盟誓코 朝鮮을自主獨立시킬決意를갖는것이다 이와같은目的으로써 三大同盟國은 聯合諸國中日本國과交戰中인諸國과協調하여 日本國의無條件降伏을 促進爲來함에必要한 重大且長期한行動을續行할』

### ○데헤란 美·蘇·英三國會談 (本文省略) (1943年11月27日)

- 一 對獨作戰問題(第二戰線展開)
- 二 間題

### ○브러든-웃트協定(1944年7月19日) (本文省略)

#### ◇第一部 國際通貨基金

- 第一條 目的
- 第二條 加盟資格
- 第三條 基金贖出割當額及拂込

- 第四條 通貨의平價
  - 第五條 基金과외取引
  - 第六條 在本의移動
  - 第七條 稀少通貨
  - 第八條 加盟國의一般的義務
  - 第九條 基金의身分, 免除及特權
  - 第十條 他國際機關과의關係
  - 第十一條 非加盟國과의關係
  - 第十二條 組織及管理
  - 第十三條 事務所의位置及企庫
  - 第十四條 過渡期
  - 第十五條 脫退
  - 第十六條 緊急規定
  - 第十七條 規定의修正
  - 第十八條 規定의解釋
  - 第十九條 用語의說明
  - 第二十條 雜則(基金發足에關한諸規定)
- 附表(A) 贖出割當額  
附表(B) 加盟國에依한 基金保有及自國通貨  
附表(C) 常務理事의選舉  
附表(D) 脫退國에對한協定決濟  
附表(E) 清算執行

#### ◇第二部 國際復興開發銀行

- 第一條 目的
  - 第二條 加盟資格及資本
  - 第三條 貸付及保證에關한一般規定
  - 第四條 業務
  - 第五條 組織及管理
  - 第六條 脫退, 加盟資格停止及 業務停止
  - 第七條 身分, 免除及特權
  - 第八條 規定修正
  - 第九條 規定의解釋
  - 第十條 加盟國의承認
  - 第十一條 雜則(本銀行發足에關한規定)
- 附表(A) 資本應募額  
附表(B) 常務理事의選舉

### ○케미크(美·英)會談 (本文省略) (1944年9月)

- 一 東亞作戰問題
- 二 波蘭及반란의政治問題

### ○알타協定 (1945年2月11日) (拔萃)

戰爭이聯合國의佛利로終結된決定的的階段에이르며 1945年2月3日美國, 蘇聯, 英

等三國元首、外務大臣、陸海軍大臣、參謀總長及其幕僚等之首腦는 獨逸에對한最終的戰略問題及複雜多岐之豫想戰後諸問題等을 處決하기爲하여 蘇聯코리미야半島알라市에參集하여 歷史上古類例를보지 못한 大國際會議을開會하고 大略다음과같은 人類史上에 새로운紀元을 지는諸問題에關하여討議하였다

- 一 對獨逸最終戰略
- 二 獨逸의分割占領及賠償處分問題
- 三 解放歐羅巴의再建問題
- 四 波蘭을-고政權問題
- 五 U N의可否權問題

此外에다음과같은秘史에對한秘協定이있었다 獨逸이降伏한後 二個月乃至三個月以內에 蘇聯은 聯合國의一員으로써 다음과같은條件下에日本에對하여宣戰할

一 蘇聯은 外蒙古의現狀維持를保障할것

二 1904年當時에 日本의背信攻擊으로因하여 蘇聯이 滿洲에서喪失한諸權益을回復할것

(가) 南樺太及그附近島嶼는蘇聯에返還할

(나) 大連港은自由港으로되 蘇聯에對優先權이있으며 旅順港은軍港으로蘇聯에對還附할

(다) 東滿鐵道及南滿洲鐵道는 中蘇合辦會社를設立하여 兩國이共同經營하되 蘇聯에對優先權을출것

(라) 滿洲의主權은 中國이完全히保有할

三 千島列島는蘇聯에割讓할 그러나 外蒙古,海洋,港灣及鐵道에關한問題는 蔣介石主席의同意를要하며 이에對하여 美英兩國元首는周旋할것이다

○聯合國憲章(1945年6月26日)

(拔萃)

- 第一章 趣旨及原則
- 第二章 加盟國
- 第三章 棧 構
- 第四章 總 會
- 第五章 安全保障理事會

△樞 成

第二十三條

本會는 國際聯合諸國中 十一國으로써組織할 美國,蘇聯,中國,英國,佛蘭西等諸國은 本會의常任理事國이며 總會는 國際聯合加盟國中에서 本會非常任理事國으로써 六個會員國을選舉할 是는選舉할時에는 聯合國各會員國이 國際平和及安全과本組織의趣旨에貢獻이有한다는것을 充分히考慮해야하며 또 地域의公平配置를充分히斟酌해야行할

本會非常任國의任期는 滿二年으로되 第一次非常任理事國選舉에

있어서는 其中三國의任期는 滿一年으로함 退任理事國은 繼續히야再被選을不得함

本會各理事國의代表는 各一名式으로함

△任務及權限

第二十四條

聯合國의迅速且有効한行動을確保하기爲하여 國際聯合加盟國은 國際的平和及安全維持에關한主要한責任을 安全保障理事會에附與하고 安全保障理事會가 右責任下에其任務를遂行할엔 右加盟國의代理으로써行動할에同意할

右任務를遂行함에있어서 安全保障理事會는 國際聯合의目的及原則에追從해야行動하며 其任務를遂行하기爲하여 安全保障理事會에許與되는特權은 第六章,七章,八章及第十二章에規定함

安全保障理事會는 總會에對하여 其審議를要求하기爲하여 每次報告及必要時엔特別報告를提出하여야함

第二十五條

國際聯合加盟國은 本憲章에依한安全保障理事會의決議를 受諾하며 또한此를履行할을誓約함

第二十六條 (省略)

△發 表

第二十七條

安全保障理事會의各理事國은 一票의投票權을保有함

手續事項에關한安全保障理事會의決議는 七個理事國의贊成投票으로써可決함

其他一切事項에關한安全保障理事會의決議는 常任理事國의同意投票를包含한 七個理事國의贊成投票으로써可決함 但第六章及第五十二條第三項에依한決議에關하여는 紛爭當事國은投票權이無함

△手 續

第二十八條 (省略)

第二十九條

安全保障理事會는 其任務를遂行함에 必要하다고認定하는補助機關을 設置할수있음

第三十條 (省略)

第三十一條

安全保障理事會가 어떤問題를審議함에 安全保障理事會의理事國이 아닌이 國際聯合加盟國과利害關係가있다고認定할時는 該加盟國을會議에參加討議케할을得함 但投票權은無함

第三十二條

安全保障理事會의理事國이 아닌國際聯合會員國或은非國際聯合加盟國이安全保

障理事會가審議中인紛爭當事國인境遇에는 該國은安全保障理事會의要請에依하여 該紛爭에關한討議에 投票權없이參加할수있음 安全保障理事會는 公正한條件으로써 非國際聯合加盟國의參加의便宜을圖謀하여야함

第六章 紛爭의平和的解決

第七章 平和에對한威脅, 平和의破壞及侵略行爲에對한處置

第八章 地域的辦法

第九章 各區間의經濟的社會的協力

第五十五條

各人民의平和權利와 自決原則의尊重을基礎로하는 國際間的平和의友好關係에必要한 安定及福利狀態를 創造하기爲하여 國際聯合은 下記事項을促進할

生活水準의增高, 安全屋簷及經濟的社會的進展

國際間的 經濟的, 社會的, 衛生的及此에關한問題의解決과 國際間的文化的, 教育的協調

人種, 性, 言語及宗教에關하여 差別없는 人類全體의人權과 基本的自由의尊重及遵守

第五十六條 (以下省略)

第十章 經濟社會理事會의構成

第十一章 非自治地域에關한宣言

第十二章 國際信託管理制度

第七十五條 (省略)

第七十六條 信託管理制度의基本目的은 本憲章第一條에規定한 國際聯合宗旨에依據하여下과如함

國際的平和와安全의增進

信託管理地域의住民의政治的, 經濟的, 社會的及教育的進歩를圖謀하며 各地域及其人民의特殊事情과關係人民의自由表示에依한所願에適合하며 또各信託統治協定條項에規定된自治或은獨立에關한 右住民의漸進的發展을促進함

人種, 性, 言語及宗教에關한差別없이 全人類의人權과基本的自由의尊重을獎勵하며 世界人民의相互扶助의意識을激勵함

國際聯合加盟國及其國民을爲하여 社會的, 經濟的事項의平等待遇及後者를爲한 司法上平等待遇를確保함 但上記의達成을 妨害치않으며 第三十條에依觸치않을에限함

第七十七條

信託管理制度는 下部部類의地域으로써 信託管理協定에依하여 그制度下에둘을決定한地域에適用될

(1) 現在委任統治下의 地域

(2) 第二次大戰의結果 將次敵國으로

부처分離地域

(3) 管理責任이 自發的으로 該制度下에 在 地域

上記部類中 어떠한 地域을 如何한 條件으로 信託管理制度下에 두느냐에 關하여는 今後協定함

第七十八條 (以下省略)

第十三章 信託統治理事會

第十四章 國際司法裁判所

第十五章 事務局

第十六章 雜則

第十七章 過渡的安全保障辦法

第十八章 修正

第十九章 批准及署名

1945年6月26日 於 德 京

○ 프선담(美·中·英)宣言

(全文) (1945年7月26日)

一 我等合衆國人統領、中華民國政府主席及大英帝國總理大臣은 我等의 數億國民을 代表하여 協議한 結果 日本國에 對하여 今次戰爭을 終結시킬 機會를 賦與키로 意見이 一致였나

二 合衆國、大英帝國及中華民國의 巨大陸海空軍은 西方으로부터 自國의 陸軍과 空軍에 依한 數倍의 增強을 어더 日本國에 對한 最後의 攻擊을 加할 態度를 整備하였다 右軍力은 日本國이 抵抗을 終止할 때까지 同國에 對하여 戰爭을 遂行할 全聯合國의 決意에 依하여 支持且 鼓舞되고 있는 것이다

三 驟起한 世界의 自由로운 人民의 力에 對한 無益且 無意味한 獨逸國의 抵抗의 結果는 日本國民에 對한 先例를 極히 明示하는 것이다 現在 日本國에 對하여 集結하고 있는 힘은 抵抗하는 「나치스」에 對하여 適用될 境遇에는 全獨逸國民의 土地、産業及 生活樣式을 必然的으로 荒廢케 할 것임에 比하여 推定할 수 없을 程度로 強大한 것이다 我等의 軍力의 最高度의 使用은 日本國軍隊의 不可避且 完全한 壞滅을 意味하는 것이며 同時에 必然的으로 日本國土의 完全한 破壞를 意味하는 것이다

四 無分別한 打算으로 日本帝國을 滅亡의 陷井에 빠지게 한 恣意한 軍國主義의 助言者에 依하여 日本國이 繼續統御될 것인가 또는 日本國이 理性의 經路를 밟을 것인가를 日本國自身이 決定할 時期는 到來한 것이다

五 我等의 條件은 다음과 같다 即 我等은 條件에서 離脫할 수는 없으며 또 이에 代身할 條件은 存在치 않나 我等은 遲延됨을 容認할 수 없다

六 我等은 新責任한 軍國主義가 世上에서 驅逐될 때까지는 平和와 安全과 正義의 新秩序는 存立할 수 없음을 主張하는 바 인으로 日本國民을 教諭하

야 이르하여 今 世界征服의 虛榮을 燃 燒한 過誤를 犯케 한 權力及 勢力은 永久히 除去되지 않을 望이 없다

七 이와 같은 新秩序가 建設되고 日本國의 戰爭遂行能力의 破碎됨이 確證될 때까지는 聯合國이 指定한 日本國領域內의 諸地點은 我等이 茲에 指示한 基本的目的을 達成을 確保키 爲하야 占領함

八 카이로 宣言의 條項은 履行되었어 且 日本國의 主權은 本州、北海道、九州 四國及 我等이 決定한 諸小島에 局限됨

九 日本國軍隊은 完全히 武裝解除된 後 各自의 家庭에 復歸하야 平和의 生活을 營爲한 機會를 與게 될 것이다

十 我等은 日本人을 民族으로서 奴隸化 하려 하며 또 國民으로서 滅亡케 할 意圖을 갖는 것은 없이나 我等의 經歷을 處待한 者을 包含한 一切 戰爭 犯罪人에 對하여는 嚴重한 處罰을 加할 것이다 日本國政府는 日本國民의 民主主義의 傾向의 復活을 強化에 對한 障礙一切를 除去하야 할 言論、宗教及 思想의 自由와 基本의 人權을 尊重을 確立될 것이다

十一 日本國은 經濟를 支持하고 또 公正한 貨物賠償履行을 可能케 할 產案의 維持키 許容될 것이다 但 日本國으로 하여 軍戰爭을 하키 爲하야 再軍備을 하키 함과 같은 產案은 此限에 不在함 上記目的을 達成키 爲하야 其支配하는 別個 原料의 入항키 許容될 것이며 日本國은 將來 世界 貿易關係에 의 參加가 許容될 것이다

十二 前記 諸目的의 達成되고 日本國民의 自由意思에 依한 平和의 傾向을 保有하는 責任 있는 政府가 樹立되면 聯合國 占領軍은 尙日本國으로부터 撤收할 것이다

十三 我等은 日本國政府가 全日本國軍隊의 無條件降伏을 宣言하며 또 이와 같은 行動에 對하여 同政府의 誠意를 보이 爲하야 適當하고 또 充分한 保障을 提供하키를 同政府에 對하야 要求한다 此以外의 日本國의 選擇은 迅速且 完全한 壞滅이 있을 뿐이다

○ 莫府三個國外相會談

(拔萃) (1945年12月26日)

美蘇英三個國外務大臣은 알타 協定에 依하여 蘇聯首都 莫府에 會合하고 下記 諸問題에 關한 意見의 一致를 보았다

一 伊太利、羅馬尼、洪牙利及 芬蘭과 의 平和條約을 作成

二 極東委員會及 聯合國對日理事會

三 朝鮮에 關한 決定

가 獨立國家로써의 朝鮮의 再建과 同國의 民主主義의 發展을 爲한 條件의 設定及 長期的 日帝壓政의 害毒을 急速히 清除할 目的으로 臨時朝鮮民主政府를 樹立함 右政府는 朝鮮의 産業、

運輸、農業及 朝鮮人民의 文化發達에 必要한 一切 對策을 考究實施함

나 臨時朝鮮政府의 成立을 援助하며 適當한 措置의 豫備의 立案을 講究하키 爲하야 南朝鮮의 美軍及 北朝鮮의 蘇聯軍과 의 兩代表者를 構成된 共同委員會를 設置함 同委員會는 提案作成에 있어서 朝鮮의 民主主義의 諸政黨及 社會團體와 協議함 委員會가 作成한 諸案은 共同委員會의 代表國인 美蘇兩國의 最後의 決定을 보기前에 此等 審議키 爲하야 반드시 蘇聯、中國、英國及 美國政府에 提出함

다 共同委員會는 朝鮮民主臨時政府及 朝鮮民主의 諸團體의 參加를 어더 朝鮮人民의 政治的、經濟的、社會的 進步와 朝鮮의 民主主義의 自治發達及 國家의 獨立의 確立을 援助하키 爲한 措置를 考究함 共同委員會의 提案은 四個國에 依한 五個年以內 期間의 朝鮮信託管理(後見)에 關한 合衆國、蘇聯、英國及 中華民國政府의 共同審議를 行하키 爲하야 朝鮮臨時政府와 協議한 後 提出함

라 南部朝鮮과 北部朝鮮雙方에 關한 緊要問題는 審議하며 또한 南部朝鮮의 美軍과 北部朝鮮의 蘇聯軍間의 行政上 經濟上 事項에 關한 恒時的 連絡을 取하키 爲하야 南朝鮮美軍及 北朝鮮蘇聯軍代表者間에 共同委員會를 二週日以內에 招集함

○ 極東委員會의 對日新基本政策 (1947年7月11日) (全文)

第一部 窮極의 諸日標

一 日本降伏後에 在이 서의 聯合國諸政策의 準據하야 할 日本에 關한 諸日標은 다음과 같다

가 日本이 再次 世界의 平和及 安全에 對한 威脅의 對象이 안되도록 保障할 것

나 國界의 責任을 完遂하며 他國의 權利를 尊重하며 國際聯合의 諸日標을 支持하는 民主的且 平和의 政府를 可及의 速히 樹立하도록 努力할 것 日本에 在이 서의 如斯한 政府는 日本國民의 自由意思에 依하여 樹立되야 할 것

二 以上의 諸日標은 主로 다음과 같은 手段에 依하여 達成될 것이다

가 日本의 主權은 本州、北海道、九州、四國及 今後 決定된 近接 諸小島에 局限될 것

나 日本은 完全히 武裝解除되며 非軍事實化할 것 軍國主義와 侵略主義精神을 表明하는 機溝一切을 斷乎 彈壓하야 軍部의 權威及 軍國主義勢力을 全的으로 抹殺할 것

다 日本國民에 對하야는 個人의 自由에 對한 要望과 基本의 人權 特別 宗教、集會、結社、言論及 新聞等의 自由에 對한 其重心을 發展獎勵할 것

또한 日本國民으로써어금 民主主義의 이고 代議의 組織을 結成하도록 獎勵할 것

2 日本은 自國經濟의 支柱가 되며 또한 聯合國으로써어금 正當한 現物賠償의 取立을 可能케 할 만한 諸產業의 維持가 許容될 것 이나 戰爭은 하기爲하야 再軍備를 可能케 할 과 같은 產業은 許容되지 않을 것 이다 如斯한 目的을 實現 시킬 때에는 日本의 原料資源에 對한 接近을 許容한 것 이다 그러나 勿論 이 것은 原料資源의 支配와는 嚴格히 區別되여야 한다 또 將次 日本의 世界 對關係에의 參加는 許容될 것 이다

### 第二部 聯合國의 權威

#### 一 軍事 占領

降伏諸條項을 實施하며 또한 叙上한 諸 目標을 達成하기爲하야 日本本土의 軍事의 占領을 實施한다 右 占領行爲는 對日 戰爭에 參加한 各國의 代表의 性格을 帶有하며 原則의 으로는 對日 戰爭에 參加한 國家의 兵力에 參加를 認한 占領軍은 美國이 指令하는 一名의 最高司令官 下에 屬한다

#### 二 日本政府와 의 關係

日本天皇及日本政府의 權威는 降伏諸 條項을 實施하며 또한 日本 占領乃至 管理을 遂行하기爲하야 確立된 諸政策實施에 必要한 權限一切은 保有하는 占領軍 最高司令官에 從屬한다

最高司令官은 天皇其他 日本政府의 諸 機關을 通知하야 諸權威를 行使하게 되는 것 이다 其範圍는 叙上한 諸目標及 諸政策을 滿足하게 推進시킬 範圍에 限한 것 이다 最高司令官은 二例斷과 處置에 依하야 內政上 諸事項에 關한 日本政府의 正常的 權限 行使를 容認할 수 있는 것 이나 如何한 境遇 일지라도 日本政府의 諸機關을 利用하지 않고 直接 必要한 措置를 講究는 指令할 수 있는 것 이다

또한 最高司令官은 必要한 境遇는 對日 理事會에 있어서의 聯合國各國代表와 豫備協議한 後 日本政府의 個々 關係에 對한 決定乃至 斷斷 關係의 辭任으로 因하야 發生하는 從任에 關한 決定을 할 수 있는 것 이다 一 俟 日本政府 機關의 變更 或은 政府 全體에 關한 變更는 極大委員會에 對한 附託條項에 明示된 原則에 準據하야 實行되여야 한다 最高司令官은 天皇 或은 其他 如何한 日本政府의 權威일지라도 此를 支持할 義務는 없는 것 이다 聯合國政策은 日本에 現存하는 統治形態를 利用하는 것 이며 決로 此를 支持하는 것은 아니다 따라서 按降伏條項에 있어서의 天皇制의 形態及 政府의 形態等 其封建的, 權威主義의 性格을 民主主義의 日本建設의 方向으로 換位變更할 것 을 獎勵하야 할 것 이다

#### 三 國際聯合의 權威 擁護

國際聯合 加盟國과 其國民의 利益, 資源及 權利를 擁護함은 最高司令官의 任務이다 그러나 萬若 此를 擁護함이 日本 占領 諸目的及 諸政策의 實施과 背馳되는 境遇에는 外交機關을 通知하야 關係國政府에 通告한 後 이에 對한 適當한 調整案을 協議하게 될 것 이다

#### 四 諸政策의 遵行

對日 戰爭에 直接 參加한 聯合國國民은 勿論 日本國民及 全世界에 對하야는 日本 占領의 諸目標, 諸政策及 其 實施의 進捗 狀況에 關하야 恒常 充分히 報導되여야 한다

### 第三部 政治的

#### 一 武裝解除及 非軍事化

武裝解除及 非軍事化는 軍事 占領에 있어서의 優先任務이며 迅速且 果敢하게 遂行되여야 할 것 이다 日本國民은 歡欣하야 世界 征服의 英雄心을 使賦하야 徒輩과 이에 呼應協力한 徒輩等이 演출한 役割을 日本國民에게 徹底히 周知시키기爲하야 充分한 努力을 傾生하지 아니하면 안 될 것 이다 日本에 對하야는 如何한 陸軍, 海軍, 空軍, 秘密警察組織及 民間航空 또는 復兵隊의 存續도 許容되지 않을 것 이나 非軍事的 警察力의 維持는 許容할 수 있는 것 이다 日本의 地上兵力, 空軍及 海軍力을 武裝解除시키여 解放시키며 日本軍 最高統帥府, 參謀本部, 其他 秘密警察組織一切은 完全히 解散시키지 않을 것 이다 陸海軍이 使用하는 器材, 船舶, 施設及 陸海軍其他 民間航空等一切은 其 處所를 不問하고 日本軍 降伏擔當地區의 聯合國司令官에게 引渡되여야 하며 此는 現在 採擇 實施中이고 또 今後 採擇된 聯合國의 決定에 依하야 處分되는 것 이다

以上 諸條項의 完全한 實施을 確保하기爲하야 查察日錄을 作成하지 않을 것 이고 따라서 이에 對한 監査權限이 附與된다 日本 統帥府及 參謀本部의 高官, 日本政府의 陸海軍 高官, 極端의 國家主義의 組織及 軍事的 組織의 指導者, 其他 軍國主義의 役割의 提唱者等은 將次 處斷하기爲하야 拘束收容한다 軍國主義와 軍國의 國家主義의 積極의 提唱者이었던 徒輩을 罷免하야 公職其他 公共或은 重要한 私의 責任의 地位로부터 排除한 것 이고 또한 極端의 國家主義의 或은 軍國主義의 社交, 政治, 職能及 商業上 團體 機關等은 此를 解體 禁止시킬 것 이다

過去 職業의 日本 陸海軍 將校, 憲兵隊及 解體된 軍國主義의, 國家主義의 且 反民主主義의 組織의 成員이었던 모— 反民主主義의, 軍國主義의 勢力의 復活을 阻止하지 않을 것 이고 따라서 軍國主義의, 國家主義의 且 反民主主義의 活動과 慣行은 非軍事的 訓練을 包含한 全教育制度로부터 排除되여야 할은 勿論 從前의 職業의 日本 陸海軍 將校及 下士官, 反民主主義의, 軍國主義의 主義와 慣行을 主張한 徒輩는 監督機關及 教師의 地位에서 排除되여야 한다

#### 二 戰爭 犯罪人

存處其他 國際聯合 加盟國에 對하야 殘虐行爲를 多加한 徒輩及其他 一切 戰爭 犯罪人에 對하야는 較嚴한 裁判을 執行할 것 이다 最高司令官 或은 國際聯合 當該 機關이 戰爭 犯罪 容疑者로 指名한 徒輩는 此를 逮捕하야 裁判한 結果 有罪를 判決한 境遇는 處斷하지 된다 國際聯合 加盟國은 自國民에

對한 犯罪關係로 必要한 戰爭 犯罪人은 最高司令官이 裁判을 執行하기爲한 或은 證人으로써 必要한 境遇以外는 當該 國際聯合 加盟國에서 拘束할 수 있도록 引渡되지 않을 것 이다

### 三 個人的自由와 民主的 過程獎勵에 對한 要望

參拜의 自由等 모— 宗教의 自由를 宣言하며 또한 將來에 있어서도 此를 保障하지 않을 것 이고 또한 極端의 國家主義의, 軍國主義의, 反民主主義의 組織과 諸運動이 宗教의 假面에 隱蔽된 容許할 수 없다는 것을 明確히 日本國民에게 周知시키지 않을 것 이다

日本國民에 對하야는 世界 各民主主義 國家의 歷史, 制度, 文化及 諸業績에 接觸한 機會를 附與하며 또한 積極獎勵하야 日本國民으로써어금 民主主義의 傾向을 復活 強化시키도록 努力하야 할 것 이다

占領軍의 安全을 維持함에 必要한 境遇以外는 集會及 公論의 權利를 具有하는 民主主義의 政黨와 勞務組合의 組織을 獎勵하지 않을 것 이다

人種, 國籍, 信條 或은 政見을 理由로 差別待遇를 規定한 諸法令及 諸規則은 此를 撤廢함은 勿論 本文에 揭示된 諸目標과 諸政策에 背馳되는 諸法令及 諸規則은 廢止 或은 停止 或은 必要에 依하야 修正하야 할 것 이고 이와 같은 諸法令及 規則을 遂行하기爲하야 設置한 各機關亦은 撤廢 或은 適當히 改正하지 않을 것 이다 日本政府當局은 政治의 理由로써 不當한 監禁을 하고 있는 日本國民을 釋放하지 않을 것 이고 日本의 司法, 立法及 警察 制度는 可及의 短時日內에 叙上한 諸政策及 諸目的의 遂行에 合致되도록 改正되여야 할 것 이고 司法, 立法及 警察等 全官憲은 個人的自由와 民權을 擁護함을 그 本務로 하지 않을 것 이다

### 第四部 經濟的

#### 一 經濟的 非軍事化

現存하는 日本 軍事力의 經濟的 基礎는 此를 全적으로 破壞하야 할 것 이고 其 復活을 容認하야서는 안 된다 따라서 特히 다음과 같은 諸要素를 內容으로 하는 Programme 이 實行될 것 이다

- (가) 軍事力 或은 軍事 施設의 裝備, 維持及 使用을 目的으로 하는 物資의 生産一切은 此를 即時停止하며 또한 將來에 있어서도 禁止할 것
- (나) 海軍 船舶及 一切 樣式의 航空機 其他 戰爭 用具의 生産과 修理를 爲한 모— 便宜에 對한 禁止令을 發布한 것
- (다) 醫藥 或은 假面을 軍事的 準備을 阻止시킬 目的에 監査及 管理制度를 實施할 것
- (라) 日本의 再武裝化를 可能케 할 念慮가 있는 諸產業及其他 生産 諸部門을 除去할 것

(아) 戰爭遂行力發達에直接寄與하는專門的研究及教育을禁止할것

平和의諸目的을爲한研究는 許容될것이나 如斯한研究가 戰爭目的에利用됨을阻止하기爲하야 最高司令官은 嚴正히 監督하지 않으면 안될것이다 日本은 極東委員會가決定하야 포츠담宣言과矛盾하지 않는諸原則에準據하야 決定되는經濟水準及生活標準을 維持할수있는 諸産業의經營만이 許容될것이다

以上のProgramme에依하야 撤去될日本國內現有生産施設에關하야 賠償의目的으로外國으로移轉하거나或은破壞又は其他의目的으로變造하는等에關한最終的處置는 財産目錄을作成한後 極東委員會가決定한諸原則乃至極東委員會에對한附託條項에準據한諸原則에依하야決定될것이다 如斯한決定의確立을불뻘까지는 此等諸施設은 外國으로의引渡或은非軍事用途에의充當等其適否如何는不同하고緊急한情勢下에 있을境遇는除外하고는 破壞하여서는안될것이다

二 民主主義의諸勢力의推進

日本の工業과農業에 있어서民主主義의基盤을立脚하야組織되는勞務組織은 此를積極獎勵하여야하며 民主主義의基盤을立脚하야 組織되는 工業及農業에關한其他의諸組織은 日本의民主化와其他占領諸目的을 推進시킴에必要한境遇에 있어서만 此를獎勵할것이다

收入의廣汎且正當한分配와 生産及商業手段의所有의 廣汎且正當한分布를 確保하기爲하야 適當한方案을 決定하지 않으면 안될것이다

日本에 있어서의民主主義의諸勢力을強化하며 또한經濟的活動이 軍事的諸目的을支持함에利用됨을阻止하는데必要한經濟的活動,組織及指導等의諸樣式은 獎勵하여야한다 以上の諸目的을達成하기爲하야 最高司令官은 다음과같은 諸方案을講究한다

- (가) 過去에 있어서의關係或은其他의理由로 日本의經濟的的努力을平和의且民主主義的諸目標로向하야 全的으로引導할수있다고信認할수없는者는 各經濟分野의重要한地位에留任함을禁함
- (나) 大規模의産業上, 金融上의企業合同體를解體하야 支配와所有力의基礎를 擴大시킴과같은諸組織을 代置하는 Programme을要求함

三 平和的經濟의再開

日本の諸政策의結果는 日本國民으로서 經濟的困窮과一大災難에當面하게였다 日本의窮狀은 日本自身의行狀에直接因果하는것임으로 聯合國은 其傷害의修理를 擔當하는않는다 따라서如斯한傷害는 日本國民이 軍事的企圖의一切를拋棄하고 平和의生活에熱心勤力을行함으로써 비로서補償할수있을것이다 物質的再建의岐路에當面한 日本國民은

其經濟的活動과機構을 根本的으로改革하여야할것이다 포츠담宣言에記載된保證에依하야 聯合國은 以上の任務가 適當한期間內에達成됨을阻止함과같은諸條件을附課한意圖은같은것은않이다

日本에對해서는 最高司令官의判斷에依하야餓死와廣汎한範圍에亘한疾病及深刻한貧窮의苦難을惹起하지않고遂行할수있는限度에서占領軍의所要에應하야適當한物資와勞務를 提供할것이 期待되고있다 日本當局에對해서는 다음과같은 諸目的의達成에有効한 Programme을維持하며 推進할것과 實施할것이期待되며 境遇에따라서는 以上の行爲가 最高司令官으로부터 指定될것이다

但敍上 Programme을 策定함에는 事前에 最高司令官의承認을要한다

(가) 深刻한經濟的苦難을 避하기爲하야

(나) 可能한供給과 正當公平한分配를 保證하기爲하야

(다) 賠償履行에關한諸要請에 應하기爲하야

(라) 極東委員會가 入手할수있는供給及國際聯合의各國家와 日本占領諸域의各國民에對한義務와相照하야 作成한諸原則에準據하야 合理的으로思考할수있는 日本人의所要에應하기爲하야 諸措置를講究한다

四 賠償及返還

(가) 賠償

日本이犯한侵略行爲의代價으로써 또 日本이 聯合各國에 끼친損害의 公正한保證을爲하야 또는日本으로써 再軍備를可能케할危險性이있는 各産業部門에亘한 日本의潛在戰力을 破壞하는見地에서 日本에現存하는資本, 裝備及施設或은 日本의現存하거나將來生産될物으로써 極東委員會가決定한諸政策에基하여 또는 極東委員會에對한 附託條項에依하여 敍上諸目的에使用될可能性이있는裝備及施設을撤去함으로써 日本으로부터賠償을獲得하게될것이다 그러나賠償獲得에當하야는 日本非軍事化的 Programme 의實施를 危殆케하지않고 占領軍役의支拂及最低限度의生活標準維持를 無妨케하는樣式에 依하지않으면안된다 對日賠償總額에對한 特定各國의分配率은 日本의侵略準衡行動及其遂行의結果로써 求償各國이被擄한 物의, 人的破壞及傷害의限度를 充分考慮할 것이며 日本의侵略에對한 抵抗의範圍과期間을비롯하여 日本을打破하기爲하야 努力한 各國의寄與程度를 充分考慮한後에 廣汎한政治的基礎에立脚하여 決定되어야할것이다

(나) 返還

掠奪 또는 強迫에依하여 引渡한資產(그代價으로써無價償한通貨의支拂을받았음에當인擄奪物을包含)으로써 그事實을證明할수있는 것은充分且迅速히 返還되지않

으면안된다 ※譯者註; 我國朝鮮의境遇

五 財政, 通貨, 金融等諸政策

日本當局은 國內財政, 通貨, 金融等諸政策의運營及指導의責任을 負擔하고있는것이나 右責任은 最高司令官의承認과 檢討을받으실것을 條件으로하는것이되며 何時든지 必要한境遇에는 그指令을발출시

六 國際貿易及金融關係

窮乏에 있어서 世界貿易關係에對한 日本의參加는許可할것임

占領中適當한管理下에서 對日戰爭에參加한 各國民의諸苦難을 減지實踐한後에 日本은 비로서 平和의諸目的에必要한原料, 資材及其他物資를 外國으로부터 輸入할것이許容될것이다

日本은 適當한管理下에서 承認된輸入代金支拂에 充當하기爲하야 物資의輸出이許可될것이다

賠償 또는 還附의目的으로 移出指令을받은以外的輸出은 代價으로써 必要한輸入品의提供을 同查하든가 또는輸入品을買收할수있는 外國爲替으로써의支拂을 同意한相對者에게만 許可될것이다 日本의輸出代金은 于先 最低生活標準確保에充用한後 占領軍을爲하야 必要한非軍事的의輸入支拂에 充當할수있다 一切의輸出入行爲, 外國爲替及金融上取引에對하야는 管理를加한다

極東委員會는 日本의輸出入을支配한 諸政策及原則을決定한다 極東委員會는 右管理實施에相伴하여 必要한諸政策을決定한다

七 在外國日本財産

上揭한賠償에對한條項及此問題에關한言及은 在外國資產問題에 있어서의 日本政府의見解를 制約하지않는다

八 日本國內外國企業의機會均等

國際聯合各國의 一切의商業組織은 日本國內에 있어서 對外貿易과 一般商業에關하야 均等한機會가附與될것임 日本國內에 있어서 國際聯合에參加한 一切國民에對하야 均等한取扱을할것임

九 皇家資產

日皇家財産은 占領目的의實施에必要한一切의擔當에서 除外되지않을것임

大太平洋美國陸軍總司令部布告中朝鮮經濟關係拔萃

○ 布告第三號 通貨

- 第一條 法貨
  - 一 占領軍에서發行한補助軍票[A] 印의圓通貨는 北緯三十八度以南朝鮮地域에서 公私의辨濟에使用하는法貨로定함
  - 二 占領軍에서發行한補助軍票[A] 印의圓通貨와 現在北緯三十八度以南朝鮮地域에서通用되는法貨인 普通圓通貨는 日本銀行과臺灣銀行이發行한 兌換券을除外하고는 額面대로 交換함을得함
  - 三 其他의通貨는 北緯三十八度以南

의地域에서는 法貨로 認定치 아니함  
第二條 日本軍票兌換通貨

四 日本帝國政府 또는 日本陸海軍에서發行한軍票及日本占領軍이使用한通貨는 全部無効한價額하며 또한 이와같은通貨의流通은 如何한取引에 있어서도 此를禁함

第三條 通貨의輸出入禁止

五 紙幣, 補助貨幣 또는 債券의 輸出入을包含한 對外國匯率引은 本官의許可한以外에는 此를禁함

六 北緯三十八度以南의朝鮮地域에서 施行하는것을除外하고 其他는 對外國金融取引으로禁함

第四條 다른通貨兌換法規

七 北緯三十八度以南朝鮮地域에서現在通用되는法貨인 補助軍票나 또는 國紙幣外의 다른通貨의流通은 本官의許可없이는 此를禁함

第五條 處罰

八 以上の 軍政布告條項을犯한者로서 由領軍軍律會議에서 有罪의判決을받은者는 同會議의 判決에依하여 此를 處罰함

1945年9月7日 於橫濱

大平洋美國陸軍最高指揮官

미글러스·맥아더

○ 布告第四號 法貨

第一條 法貨

1 補助軍票인 「A」印의 圓通貨는 1946年7月10日以後는 北緯三十八度以南朝鮮地域에서 公私의辨濟에使用하는法貨가불함

2 1946年7月10日以後 補助軍票인 「A」印의 圓通貨를所持함을禁함  
補助軍票인 「A」印의 圓通貨는 法令의 規定하는바에따라 回收됨  
1945年9月7日附 布告第三號의 規定으로서 本布告에 不適合하는點은 茲에 廢止함

第二條 刑罰

本布告의 規定에 違反하는者는 陸軍占領裁判所의 判決에따라 其所定刑罰에處함

1946年7月1日

大平洋美國陸軍最高指揮官

미글러스·맥아더

★在朝鮮美國陸軍司令部軍政廳一般告示中經濟關係拔萃

○ 一般告示第一號 米穀의自由市場

一 本告示第二項에依하여 모든法律과 左記法律의効力을有한購規則은 朝鮮에 米穀의自由市場을 實施하기爲하여 茲에此를全部廢止함

(가) 朝鮮內에서 米穀의私賣及自由販賣를 禁하는 諸規定

(나) 農民, 小作人 又は 其他로부터 朝鮮總督府와 日本政府及 其局課나 代行機關 또는 朝鮮總督府, 日本政府及 其局課의 代行機關을爲한者에게 米穀販賣을要하는 諸規定

(다) 米穀의 買入과 販賣에對하여 其價格을定하며 或은價格의自由를制限하지 諸規定

二 日本國籍을가지는 個人所有의米穀 或은 日本國籍을가진個人 또는 直接間接으로 日本政府의 支配下에 있는 會社, 聯合會, 團體, 信託會社 其他團體의所有米穀 或은 이들의全部 또는 其一部와 利害關係를保有하는米穀은 朝鮮生活必需品會社에 其所定價格으로 所定期間에 以該한事

(가) 그러한 米穀의 引渡는 朝鮮生活必需品會社가 要求할때까지 其所有者나 代行者는 同會社가 指定한倉庫에 引渡한事 其所有者를爲하여 損失이나 倉庫料額이 保管한事 其米穀의 引渡는 同會社가 指定한期間과 場所에서 行한事

(나) 前項에說明한 米穀은 朝鮮生活必需品會社가 指定한倉庫에 引渡하기前에 包裝에 넣은事 該包裝에는 其背面에 大略12인치大小의 棕色星標을印할事

三 他命令이나 告示를 規定할때까지는 朝鮮軍政府는 어떠한所有者에게서든지 正租54원로그럼 一俵에對하여 朝鮮銀行券이나 其他法貨로32圓價格으로 買入한準則가有함

四 他命令을 發布할때까지는 該協定締結後 一週日後에 米穀을引渡하거나 其引渡를受取하는契約은 不法이며 또 履行치못할것이니 如斯한契約이나 取引을成就코자하는企圖는 茲에 此를 禁止함

五 本告示의 規定을犯하는者는 軍律裁判에서 有罪判決을受하는同時에 其所定의刑罰에處함

六 本令은 1945年10月5日夜半12時부리有効함

1945年10月5日

在朝鮮美國陸軍司令部官의 指令에依하여

朝鮮軍政長官 에·비·아·늘드  
美國陸軍少將 에·비·아·늘드

○ 一般告示第二號 自由市場設置에關한件

一 左에說明한諸法律及法律의効力을有한諸法規는 本令特別規定에屬하는것을除外하고는 朝鮮에 生活必需品自由市場을設置한目的으로茲에此를廢止함  
가 商標上必需品의私賣及自由販賣를 禁止하되諸法規

나 1945年10月5日附 一般告示第一號及今後朝鮮軍政廳所屬官署 또는 代行

機關이 發布할命令을除外하되 朝鮮總督府, 日本政府, 朝鮮軍政廳 또는 如斯한政府의 所屬官署及其代行機關 또는 其利益을爲하는者에게 必需品의 引渡를 要求하되諸規定

다 必需品의 價格을定하고 또는如何한方法으로나 必需品의 買入에 있어서 其價格을制限하되諸規定

二 現行法律及法律의効力을有하는規則으로서 煙草, 鹽, 鴉片, 人蔘, 砂糖, 又は 藥品, 製藥品 或은 其他의 商品으로 煙草及 公衆衛生에 業이使用할것 또는 如斯한材料를含有한 混合物, 混合物其他物의 買入에關한것은 茲에 完全히 効力을持하지 않

三 軍政廳及其所屬官署 또는 代行機關은 將來命令을發하여 物價, 配給 割當, 許可制其他方法으로 如何한必需品이든 統制할을得함 如斯한物價는 原則的으로 人民의 生活에 緊急한 需要性을有하고 又是 其 商業上 集散에 對하여 若干의 統制을 要할만치 稀薄한 것임 自由市場은 實質의 制限難難됨

四 將次別途命令을 公布하기까지는 協定締結後 一週日以後에 必需品을 引渡하거나 又是 其引渡를受取하는契約은 不法이며 또 履行치못할것이니 如斯한協定 또는 取引을成就코자하는企圖는 茲에 此를 禁止함

五 本令의 規定을犯한者는 軍律裁判에서 有罪로 判決하고 其所定刑罰에處함

六 本令은 1945年10月20日 夜半부리有効함

1945年10月20日

在朝鮮美國陸軍司令部官의 指令에依하여

朝鮮軍政長官 에·비·아·늘드  
美國陸軍少將 에·비·아·늘드

○ 一般告示第三號 石炭

一 1945年10月20日附 一般告示 第二號第三項에依하여 石炭은 其需要가 急迫狀態에있으며 또 朝鮮民衆을爲하여 必要함을茲에 布告함 此石炭缺乏에對하여 軍政廳의 一定統制方法을要함

二 軍政廳代行機關인 朝鮮石炭配給會社를 唯一한 石炭統制機關으로 指定함 同會社에對하여 石炭의 價格, 配給 割當, 特許, 購買, 販賣, 生産, 配給, 運送, 貯藏, 輸出, 輸入, 其他必要한統制方法을 決定할것을茲에 指令함

三 本令의 規定 또는 本令에依하여 該會社가 發布한規則을 犯하는者는 陸軍占領裁判所에서 定罪하는同時에 其所定刑罰에處함

四 本令은 官報에 發布即時로 施行함

1945年11月5日

在朝鮮美國陸軍司令部官의 指令에依하여

朝鮮軍政長官 에·비·아·늘드  
美國陸軍少將 에·비·아·늘드

○ 一般告示第四號 漁業施設에關한件

一 1945年10月20日附 一般告示 第二號第三項에依하여 海洋 또는 河川魚類의捕獲, 保存及加工에 使用又是 應用하는 漁業裝置及設備, 附屬品 用品及器具의需要가 急迫狀態에 있는同時에 朝鮮人民을爲하여 切實히 必要함을 茲에布告함 이와같은缺 乏狀態로因하여 軍政廳이 統制方針을 定하여야 할 必要가生하였다

二 朝鮮(Chosen)水産會社를 社團으로 또한 朝鮮政府의 協力機關으로써 存續시키고 其名稱을變更하여 朝鮮(Korea)水産會社라稱함 前項에言及한生産物에對하여 同會社는其唯一한統制機關임을茲에布告함 同會社는 該生産物의 價格, 配給, 割當, 許可, 購買, 販賣, 生産, 分布, 運送, 貯藏, 輸出, 輸入及其他에關하여 必要한統制方法을樹立함

三 本告示의 規定又是 本告示에依하여 同會社가發布한規則을 犯하는者는 陸軍占領裁判所에서 定罪하는同時에 其所定刑罰에處함

四 本告示는 官報에發布即時로 此를 施行함

1945年11月24日

在朝鮮美國陸軍司令官의 指令에依하여  
朝鮮軍政長官 에·비·아-놀드  
美國陸軍少將

○ 一般告示 第五號 石油生産物에關한件

一 1945年10月20日附一般告示第二號 第三條에依하여 石油生産物은 其需要가 急迫한狀態에 있으며 朝鮮民衆을爲하여 切實히要求됨을茲에布告함 此石油生産物의缺乏는 軍政廳의 一定한 統制手段을 必要로함

二 石油配給會社를 茲에法人으로써 創設하고 石油生産物에關한 朝鮮軍政廳의 唯一한統制機關으로指定함 同會社는 石油生産物에對한價格, 配給, 割當, 許可, 購買, 販賣, 生産, 分布, 運送, 貯藏, 輸出其他에關하여 必要한統制手段을 樹立함 同會社는軍政廳이 任命한 取締役會에서 運營함

三 朝鮮石油配給有限責任會社는 茲에解散하고 其該社의表誌, 職務, 記錄, 財産及職員은 石油配給會社에 移管됨

四 本告示의 規定又是 本告示에準하여 石油配給會社가發布한規定에違反하는者는 軍政裁判所의 判決에따라處罰함

五 本告示는 官報에 公布함과同時에

効力이有함

1945年12月15日

在朝鮮美國陸軍司令官의 指令에 依하여

朝鮮軍政長官 에·비·아-놀드  
美國陸軍少將

○ 一般告示第六號 米穀統制

(一般告示第一號의改正)

一 1945年10月20日附一般告示第二號 第三項에依하여 米穀의需要가 危急狀態에 있음을布告함과同時에 其調節이 朝鮮民衆을爲하여 必要함을是 認함 米穀의 如斯한缺乏狀態는 軍政廳에對하여 若干의統制方法을要求함

二 1945年10月5日附 一般告示第一號을 茲에改正하여 朝鮮軍政長官, 道知事及朝鮮軍政長官이 正式으로 權限을附與한其他代行機關이 指令, 告示及規則을 發布하여 米穀의最高小賣價格을 確定케함

三 本告示의 規定又是 本告示第二項에依하여 發布한 指令, 告示或은規則을 犯하는者는 陸軍占領裁判所에서 有罪의判決을受하는同時에 其所定刑罰에處함

四 本告示는 官報에發布하는 同時에 効力이發生함

1945年11月19日

在朝鮮美國陸軍司令官의 指令에 依하여

朝鮮軍政長官 에·비·아-놀드  
美國陸軍少將

★南朝鮮過渡立法議院制定經濟關係法律類輯

○ 法律第二號 夏穀收集

第一條 中央食糧行政處夏穀收集草案은 本法第二條要綱에依한 修正을加하여 施行케함을決議함 同時에 同修正要綱은 發布하는收集令의 一部가됨

第二條 修正要綱

(가) 夏穀은 在來朝鮮農村의 農穀인實情을考慮하여 總生産高의 五分之一以內程度에서 收集하되 實態調査를하여 整理한供出割當이 없도록함

(나) 割當의 公平을 期하기爲하여 邑面長은 湖里單位로 査定委員會를設置하여 各農家生産豫想에對한 正確與否를 審査케함

(다) 收集方法은 強壓의 手段을禁하고 行政吏員만을 總動員하여 積極의 으로 農民의 良心的 供出意識을 鼓吹하여 農民의 祖國에對한 義務感에서 供出하는方法을 講究實施함

規定한前則은 當然히法에依하여 官營에依하여 此를施行함

(라) 夏穀價格은 生産費及最近物價指數等을 參照하여 適當한收集價格을 決定한것

(마) 供出한農民에게는 生活必需品配給에對한優先權을 特許할것

(바) 收集된夏穀은 適當히保管되어야 하며 또한輸送, 納庫及管理에對하여 適當히設備한것

第三條 本法은 發布와同時에 有効함  
1947年4月19日

南朝鮮過渡立法議院에서 右와如히制定함

南朝鮮過渡立法議院

議長 金奎植

1947年5月8日

右認准함

朝鮮軍政長官 아-취·영·러-귀

○ 法律第四號 未成年者勞働保護法

第一條 目的

本法은 未成年者은 有害危險한職業 又は 過重한勞働으로부터 保護하여 其生命 身體의 健全한發育과 正當한利益을 保障하여 社會의 安全을圖謀하기爲하여 未成年者을對象으로하는 一切의 雇傭關係及 勞働條件에關한 禁止, 制限, 改善 及 調停等을規定함으로써 目的한 本法을實施하기爲한 必要한細則은 本法規定에依하여 勞務部長(以下主官部長이라함) 이 此를制定施行함

第二條 未成年者의 定義

本法에 未成年者라함은 十八歲未滿의 男女를指稱함

第三條 雇傭及는 勞働의 禁止及 制限

(가) 十二歲未滿兒童에對한雇傭은 如何한職業 又は 如何한勞働條件을 莫論하고 此를一切禁함

(나) 十四歲未滿兒童은 左에列舉한一切의 商工業에從事又是 雇傭됨을禁함 但國民學校在籍者는 前項의 規定을 適用함

(다) 十六歲未滿未成年者는 生命, 身體에 危險하거나 健康或은 道徳上 有害한 商工業 其他事業에從事 又是 雇傭됨을禁함

(라) 十八歲未滿未成年者의 雇傭 又は 職業에關하여서도 本法第三條(다) 項이 適用됨

(마) 本條各項의 規定에依하여 禁止或은 制限된 職業의 範圍은 左記와如함  
十四歲未滿兒童의 禁止 商工業 左記工場 又是 施設에從事 又是 雇傭되는 職業

- ① 工場 ② 作業場 又是 機械施設 ③ 提煉及製粉所 ④ 商品又是 的業施設 ⑤ 事務所 ⑥ 旅館 ⑦ 料理店 ⑧ 理髮所 ⑨ 아파르트먼트 ⑩ 靴履研磨

所 ⑩共同牛馬舍 ⑪洗濯所 ⑫娛樂場 ⑬俱樂部 ⑭自動車及車又運轉手 ⑮電信傳達 ⑯諸負工事又は施設 ⑰煉瓦又は木材工場의 職業但自家生産業에 있어서 此是助力하는 勞働은 除外한

① 十六歲未滿未成年者의 禁止兩工業  
一 運動中の機械의 使用은 調節하는 일

二 作業場又は工場에서 機械皮帶를 卷거나 解는 일

三 運動中の機械에 기름을 塗거나 掃除하는 일 又は 그 如한 일을 助力하는 일

四 方記機械中一은 運轉하거나 其運轉을 助力하는 일

① 圓鋸又は帶鋸 ② 木材成形器 ③ 木材接合機 ④ 刀削機 ⑤ 金屬砂砥 ⑥ 木材旋削機 ⑦ 鑽孔機 ⑧ 羊毛, 雜毛其他物質의 採集에 使用되는 機械 ⑨ 刷機 ⑩ 紙紐機械 ⑪ 皮革研磨機 ⑫ 足力以外の 힘으로 運行되는 貨物印刷版又는 卷轉機 ⑬ 鑽孔印刷機 ⑭ 金屬板及鐵板又는 紙物及皮革製造又는 沈澱機及螺旋止機械工場에 使用되는 壓斷切機 ⑮ 金屬又는 紙物斷切機 ⑯ 紙函工場의 製作機械 ⑰ 波形紙物屋蓋又는 洗濯板工場等에 使用되는 波形製造用回轉機 ⑱ 汽機 ⑲ 各種煤粉拌拌器又는 破碎機 ⑳ 鐵線又는 鋸物을 막고 되거나 하는 機械 ㉑ 壓延機 ㉒ 電力壓拌器又는 剪碎機 ㉓ 洗濯粉又는 混合工場 ㉔ 紙物及 고무製造의 壓拌機 ㉕ 洗濯機

五 危險하거나 防備없는 機械帶又는 驅動裝置에 接近하는 職業

六 蒸氣, 電氣又는 水力電氣等鐵道에 從事하는 職業

七 航行又는 商業에 從事하는 船舶上의 職業

危險又는 有毒한 酸을 使用하는 製造業 又는 이에 關聯된 職業

九 危險又는 有毒한 染料의 製造又는 使用

十 靑鉛鉛筆用 具白鉛又는 赤鉛의 製造

十一 有害分量의 汚塵이나는 職業

十二 危險又는 有毒한 瓦斯混成物의 製造及 使用

十三 健康에 有害한 分量의 灰汁混成物의 製造及 使用

十四 架橋料(足場)의 職業

十五 酒類飲料을 製造, 貯下, 包裝又는 瓶入하는 施設의 職業

十六 貯水場, 貯煤場, 反射製鍊鍊所 整齊工場

十七 又는 光線에 關한 其他放射性元素乃至 要素의 使用 又는 露濕을 包含한 活動

에 又는 이에 關聯된 其他從事하는 職業

十八 建築業의 起重勞働

十九 山, 炭針, 炭窟又는 採石場內의 職業, 煙草의 種類及 製造又는 包裝

二十 一 自動車及 汽車의 運轉

二十二 球戲場又는 撞球場의 職業

二十三 劇場又는 演藝場의 舞臺上의 職業 又는 其他劇場演藝에 關聯된 職業

二十四 其他生命, 身體에 危險하거나 健康에 有害한 職業

二十五 十八歲未滿未成年者의 禁止兩工業 又는 排業

一 鉛鑄, 鉛業, 埠頭又는 이에 關聯된 其他從事하는 職業

二 外郭建設物及 電線修繕에 從事하는 職業

三 昇降機又는 起重機(適當한 安全裝置을 具備하지 않은)의 運轉運營에 關한 職業

四 起重機又는 發電機에 또는 이에 關聯된 其他從事하는 職業

五 運動中の 機械에 기름을 塗거나 掃除하는 職業

六 劣竹金屬又는 「이리디움」 製造品을 製出하는 金屬砥又는 其他研削砥砥의 運轉에 從事하는 職業

七 스윙 지 運轉

八 門番

九 軌道修繕

十 鐵道車掌, 制動手, 火夫, 機關手, 運轉手

十一 鐵道通信交換手의 職業

十二 船舶上의 運轉手, 火夫又는 機關士의 職業

十三 나이트로글리세린, 다이니마일, 알립赫火藥, 火藥其他劇烈又는 危險한 母發物을 製造, 混合又는 貯藏하는 施設의 內部又는 그 周圍의 職業

十四 白機又는 鑄寸製造에 關聯된 職業

十五 세멘트工場의 職業

十六 旅館, 劇場, 演奏場, 娛樂場其他 酒類飲料을 販賣하는 施設內의 職業

十七 競技場, 投機場又는 該企業의 內外에 關聯된 其他從事하는 職業

但十八歲未滿未成年女子는 (1) 鑛山 (2) 採石場 (3) 碎炭所의 職業(但亦務所內의 職務을 除外한)을 禁할

第四條 過重勞働의 禁止  
未成年者를 雇傭하는 個人及團體又는 法人(以下雇傭者를 略稱함)은 當事者의 合意又는 勞働條件의 如何를 莫論하고 過重한 勞働을 課할 不得함 雇傭者는 恒當被傭者의 身體發育에 留意하여 適當한 休息을 許與하되 特別夜間勞働及 夜間勞働을 課할 不得함 但夜間勞働時

間은 季節에 따라 主管部長이 此를 定할 十二歲未滿兒童의 過重使役에 關하여는 本法適用에 있어서 兩親保護者又는 從見人(以下親權者를 略稱함)은 此를 雇傭者와 同一視함

第五條 勞働時間의 制限  
十六歲未滿未成年者(十四歲未滿兒童을 包含함)의 勞働時間은 每週六日, 每日七時間을 超過함을 禁함 十八歲未滿未成年者의 勞働時間은 每週六日, 每日九時間을 超過함을 禁함 但此法定勞働時間中엔 業務又는 勞働의 性質에 依하여 適當한 休息時間及 食事時間을 許與함을 要함

第六條 雇傭契約又는 協約  
(가) 未成年者를 對象으로 하는 一切의 雇傭契約(團體契約를 包含함 以下同一)은 本法의 規定(本法第一條의 委任에 依하여 主管部長이 制定한 細則을 包含함 以下同一)에 依하여 許可를 받음을 要함 該契約는 許可를 定日부타 法上의 効力을 發生함

(나) 身分關係又는 報酬前借借目的又는 條件으로 하는 雇傭契約는 契約如何를 莫論하고 此를 禁함

(다) 雇傭契約期間은 一年以內로 訂되 契約更新할 때는 再許可를 받음을 要함

第七條 雇傭契約許可申請書  
第六條에 依하여 雇傭契約의 許可를 申請하는 被傭者는 左記手續에 依하여 該地方을 管轄하는 工場監視又는 本法의 實施를 擔當하는 公務員(以下監督機關이라 略稱함)에게 本條에 規定한 雇傭契約許可申請書(以下申請書를 略稱함)를 提出함을 要함

(가) 申請書提出時에는 申請者及 該親權者自身이 直接出頭함을 要함

(나) 申請書의 記載事項及 添附書類  
一 被傭者의 本籍地, 住所, 姓名, 性別及 出生年月日

二 親權者의 本籍地, 住所, 姓名, 職業及 被傭者와의 關係

三 雇傭者의 住所, 姓名(商號又는 機關名)及 職業(又는 資格)

四 雇傭契約의 期限, 賃金(分量勞働의 境遇에는 賃金支拂方法及 賃金額) 勞働의 種類, 性質, 場所及 特別의 無契約更新의 與否及 更新期間

五 申請年月日

六 添附書類  
1 親權者의 同意書, 年齡證明書(戶籍抄本又는 出生申告或은 此에 準하는 地方行政官의 證明書)

2 學校成績表又는 在學證明書或은 履歷書

3 健康診斷書

4 雇傭契約書又는 契約書或은 承諾書

(다) 申請書에는 契約當事者及 被傭者



의親權者가 各々本法所定の規定에 違反함이 없음을 誓約하고 署名捺 印함을要함

(라) 契約期間滿了後更新의 約定이有 한時 再許可申請書換出에는 添附 書類의全部又是一部의提出을省略할 수있음

(마) 雇傭者인 團體又是 法人의合併, 改稱, 解放에依한名義變更等에있어 서 該名義變更의申請書此와同一함

第八條 雇傭許可證明書

(가) 第七條에 規定한申請을 許可할 때는 該監督機關은 申請接受日부리 三十日以內에 申請者에게 左記雇傭 許可證明書(以下證明書라略稱함) 를發付함

(나) 但證明書發付後 該申請이 不法 又は虛偽인事實이 明白할時는 該許 可를取消할수있음

(다) 證明書는 契約期間中雇傭者此를 保管함

(라) 雇傭者證明書는 確保치않고 又是 監督機關或은第三者에게 此를提 示치못하는槪遇에는 該雇傭關係는 此은 不法雇傭으로 認定함

(마) 證明書의記載事項及發付手續은左 와如함

一 被傭者의住所, 姓名, 性別, 出生 年月日及外貌의特徵

二 親權者의 住所, 姓名, 職業及被傭 者와의關係

三 雇傭者의 住所, 姓名(商號又是 機關名)及職業(又是資格)

四 雇傭契約의期限, 賃金(分量勞働인 槪遇에는賃金支拂方法及賃金額), 勞働의種類, 性質, 場所及特約의有 無, 契約更新의與否及其期間

五 申請書接受年月日

六 發付年月日(許可確定日)

(나) 證明書에는 年度別에一貫한許可 番號를附하고 本法規定에依하여調 查審議한結果 合法的인것을附言하 고 監督機關이 此에捺印함

(사) 證明書는 二通을作成하여야 一通 은申請人에게 交付하고 一通은監督 機關此를保管함

(아) 證明書를 紛失又是 消失或은損傷 으로因하여 必要하면때는 當事者는 證明書의再發付를 申請할수있음

(자) 當事者證明書의再發付를申請할 時는 證明書의 許可番號, 發付年月 日及再發付申請書亦由를具備하고 原 本의寫本을作成添附하여 監督機關 에書面으로提出함을要함

(가) 監督機關은 該申請書實을調査한 結果 此를正當하다고認定하며 申 請人이添附提出한寫本을 其保管에 屬하는原本과對照하여 相違가無한 時는 其事實을附言하고 署名捺印하 야써 發付에代함

(가) 再許可申請又是 名義變更申請에 依한許可案件은 申請內容의調査及 發付手續을簡便할수있음

(라) 政府及地方團體又是公法人의 職 員으로雇傭된未成年者에對한 本法 適用에있어서는 該公共機關의採用 許可書는 此를本條에依한許可可로認 定함

第九條 雇傭契約의終了, 消滅, 解除

(가) 雇傭契約은 左記亦由中一에依하 야終了又是消滅함

一 契約期間의滿了

二 許可의取消(第八條)

三 被傭者及雇傭者의死亡, 破産又是 解散

四 災害에依한企業施設의滅失

五 當事者의合意에依한解約의確定

(나) 當事者는 左記亦由中一에依하여 解約을請求할수있음

一 契約을履行지않을槪遇

二 被傭者疾病其他身體障害로因하여 就業키困難한槪遇

三 被傭者素行이不良하여改悛할希望 이없다고認定할때

四 被傭者二十日以上無斷缺勤할때

五 雇傭者過勞勞働을要求하거나 又 는 其怠待에堪耐키困難할때 又是本 法所定の義務를履行지않을때

(다) 解約의 請求는 其承諾의可否를 二十日以內에 書面으로 相對方에게 通知함을要함

(라) 雇傭契約에 契約期限滿了後 更 新約定이有한時는 雇傭者는 滿期六 十日以前에該契約更新의可否를被傭 者에게通知함

(마) 解約에關하여 當事者의合意가成 立치못할때 又是 一方의解約請求理 由가不當하다고認定할때는 該監督 機關에 調停을申請할수있음

本條調停에必要한規則은 主管部長 이此를別定함

(바) 契約이終了 又是消滅할때는 雇 傭者가 其亦由를具備하여 該許可證 明書를契約終了又是消滅後七日以內 에 監督機關에 還付함을要함

第十條 雇傭者의管理義務

(가) 雇傭者는 未成年者二人以上을雇 傭한槪遇는 其住所, 姓名, 性別, 年齡, 職業의性質의槪要, 雇傭契約日 等を記載한名簿二通을作成하여 一 通은此를文簿中에保管하고 一通은 當時雇傭場所內主要個所에 此를掲 示함을要함

(나) 被傭者五人以上인槪遇는 每週及 每日勞働時間表, 始業, 休憩, 食事 及終業時間表及本表施行期間, 其他 必要한注意事項等을明示한就業規則 을 同一한方法으로 揭示함

(다) 被傭者常時十人以上인企業體(以

下指定工場이라略稱함)는 被傭者의 保護及救濟에關한計劃, 施設又是實 施狀況의槪要를作成하여 文簿中에 保管함

(라) 寄宿舍施設을有한雇傭者는 勞働 時間外의被傭者의起居行動表를作成 하여 舍內主要個所에揭示함을要함

(마) 雇傭者는 非勤務日, 休日又是非 勤務時間中에 被傭者모하여금 寄宿 舍, 工場內 其他一定한場所에 滯 在할것을要求할수없음

但 被傭者의利益을妨한 正當한監視 又是 行動의制限은無妨함

第十一條 身體檢査及醫療

(가) 雇傭者는 被傭者의職務勞働의性 質如何를 莫論하고 雇傭當初及雇傭 期間中 每三個月만큼 該監督機關 이指定하는醫師의身體檢査 又是健 康診斷을 받게할義務가있음

(나) 身體檢査 又是 健康診斷의結果 該雇傭으로因하여疾病其他健康에異 狀이有할時는 雇傭主는 此에必要한 治療救護의措置를實施하며 其結果 를 監督機關에 報告함을要함

(다) 本條各項에依한所要費用은 一切 雇傭者가 此를負擔함

(라) 身體檢査又是 健康診斷의實施結 果는 此는雇傭者文簿中에保管함을 要함

第十二條 病故休日, 妊娠, 分娩及授乳

(가) 被傭者는 每月二日半의正規有報 酬(約定한賃金給料手當其他金錢的 報酬以下同一) 病故休日用은연을權利 가有함 此法定病故休日是 雇傭期間 此는成立할수있음 但擴張하여二日 以上勞務決勤을要할時는 雇傭者는 被傭者에게 缺勤을要하는前日까지 缺勤할亦由를 書面으로 提出할것을 要求할수있음

(나) 被傭된女子로서 雇傭期間中妊娠 中인槪遇에는 靜養의目的으로六十 日間의無報酬休日用은 認을수있음 但 雇傭期間六十日以上인槪遇에限함

(다) 分娩의槪遇는 解産前後六十日間 의正規有報酬休日用은연을權利가있음

(라) 被傭된女子로서 乳兒에授乳를要 할槪遇에는 雇傭者는 此에適當한 施設과機會를賦與함을要함

(마) 本條規定에依한病故休日, 妊娠及 分娩의槪遇에는 雇傭者는 該被傭者 에게相當한證據書類의提出을要求할 수있음

第十三條 被傭者의教育保健娛樂의實施

(가) 指定工場은 十八歲未滿被傭者에 게教育, 運動及娛樂을實施함

(나) 教育은雇傭에關係되지않은 普通 教育을每週四時間以上實施함을要함 保健及娛樂은 每週二時間以上 實施 함을要함

(다) 本條各項의規定에依하여 實施에 要하는經費 又は施設費用은 雇傭者의負擔에屬함

(라) 本條의規定에依하여 實施에必要한教育保健細目은 主管部長이 文教部長及保健厚生部長과協議制定함

第十四條 主管部長의細則制定  
主管部長은本法에特記한規定以外에左記事項에關한施行細則을制定함

- 一 未成年者雇傭契約申請書樣式(第七條)
- 二 雇傭許可證證書樣式(第八條)
- 三 名簿樣式(第十條)
- 四 罰則規則樣式(第十條)
- 五 身體檢査 又は 健康診斷結果報告書樣式(第十一條)
- 六 指定工場의教育保健細目(第十三條)
- 七 各種停業에關한罰則樣式(第九條)
- 八 各種違反事件의報告書樣式(第十七條及第十八條)
- 九 前各號以外에必要한細則

第十五條 監督機關의任命權, 職務及報告

(가) 監督機關은 主管部長 此를任命하되 第一次로 地方長官 第二次로 主管部長의監督을받음 監督機關의組織은主管部長此를別定함

(나) 監督機關은 本法의規定에依하여 必要한命令, 調査, 處分을發令及는行하는權限이 있는外에 左記事項에關한職務를遂行함

- 一 未成年者雇傭에關한地方慣習의調査
- 二 一般的及는特定の工業及企業의最高勞働時間
- 三 勞働條件及最高最低賃金의調査
- 四 工業及商業監視
- 五 指定工場內의教育, 保健, 娛樂施設及其實施狀況의視察及는監視
- 六 勞働條件의改善에關한諸般事項
- 七 前各號以外에 本法施行에關하여 必要한事項

(다) 監督機關은 每月十日以內로 主管部長에게 下記(라)項의事項을 報告하는以外에 職務上 必要한事項에關하여 隨時로其意見을具申할을要함

(라) 前項에依한報告及意見其申은 該地方長官을 經由함

(마) 報告는 左記事項을包含함

- 一 被傭者名簿
- 二 違反事件의處分結果에關한報告
- 三 商工業監視及指定工場監視の結果에關한報告
- 四 身體檢査及는健康診斷の結果에關한報告
- 五 前各號以外에 職務上, 必要한意見

(바) 監督機關은 其職務上 必要한文書

書類를整理保管하며 地方長官及는 主管部長의 檢閱에供함

第十六條 損害賠償權

(가) 不法에違反함으로인하여 損害를 입은者는 其現在의損害에對한賠償을 請求者에게請求할權利가有함 本法에違反하여 不法하게雇傭된未成年者가提起한 又は 未成年者를爲한訴訟에 있어서는 被害者의意思, 危險負擔, 同停被傭者의意思等은 辯護及는 抗辯의方法或은 刑의輕減에對한事由가되지않으며 또한 雇傭者獲得에對한第三者及는雇傭者의年齡誤差亦 辯護及는 刑의輕減事由를構成지않음

但 該訴訟이 賠償의利益을獲得하려는 虛偽及는不法行爲의것인경우에는 此를適用치아니함

(나) 本法에違反하여 不法하게雇傭된被傭者의 賃金支拂을請求하는訴訟에 있어서는 被傭者는 約定한賃金額의十倍과 支拂받은合法的最低賃金の十倍과의 兩者中 多額者를반출權利가있음

(다) 本條의規定에依하여 損害를賠償할義務者가 法人以外의團體인경우에는 該團體員은雇傭者로認定함

(라) 本條各項의 權利拋棄及는權利拋棄를爲한 一切의契約은 本條規定의 損害賠償權을 防止할義務가없음

(마) 本法規定에依하여 享有한權利는 二年間 此를行使치않음으로써 消滅함

第十七條 未成年者의犯罪罪

(가) 未成年者가 本法所定의規則을違反하거나 監督機關의調査, 命令及는報告를拒絕及는虛偽陳述한경우에는 監督機關은 其犯罪의輕重에依하여 方外如히處分함

- 一 改心하도록 訓戒, 說諭함
- 二 學校長及는親權者에게訓戒或은委屬하되 學校長及는親權者의保證書를要請함
- 三 書面으로써 改心の誓約을要求함
- 四 雇傭許可의取消及는雇傭許可의拒絕을宣言함

以上 各號의處分은 此를併行함도 無妨함

(나) 以上의處分으로써도 到底此를匡正치못할경우에는 該地方을管轄하는 少年審判所 及는少年審判所가없는地方에 있어서는 未成年者의犯罪에關하여 管轄權이有한 審判院及는司法官에게 案件移管手續을取함

(다) 未成年者의 犯罪取扱에 있어서는 特別 穩健慎重을期하며 善導의實效을 逸脫치않을을要함

第十八條 一般罰則

(가) 本法第三條及第四條에規定한 未成年者의 違法行爲를 容許, 示唆及는默認하는者는 六個月以下の懲役 及는千圓以上の 罰金에處함

(나) 雇傭主 第五條及條六條(나)項規定에違反하거나 主管部長及監督機關의 調査, 命令, 報告를拒絕하거나 及는虛偽陳述한경우에는 拘留 또는 500圓以上の罰金에處함

(다) 故意及는濫竽의으로 本法規定에違反한경우에는 一年以上の 有期懲役に處함

第十九條 中間規定

(가) 本法公布當時에 未成年者를雇傭하는者 本法施行以後繼續하여 雇傭하고저할時는 本法施行後 六十日以內에 (本法第七條에依하여) 許可를申請할을要함 該申請期間의雇傭關係는 此를有効한것으로認定함

(나) 十四歲以上未成年者 本法施行當時에 本法第三條에依하여 禁止及는制限하는勞務에雇傭된경우에는 雇傭主及는監督機關은 本法施行後 六十日內에 本法의目的에 適合한職業에 配置할을要함

(다) 勞務의性質及 勞働獲得의困難을理由로 前項에依한配置를 施行할수 없는경우에는 本法第七條에依하여 許可를申請할을要함

前項의申請은 本法第三條의規定에不拘하고 當分間主管部長의 特別認定으로써 此를許可할수있을 但其雇傭期間은 最高一年을 超過할수없음

第二十條 抵觸法の廢止及施行期日

(가) 1946年9月18日附法令112號(兒童勞働法規)及其他本法와抵觸되는 既存法令及規則은 此를 一切廢止함

(나) 本法은 公布日부터 三十日後에 此를施行함

南朝鮮過渡立法議院에서右와如히制定함  
南朝鮮過渡立法議院  
議長 金 李 植  
1947年5月16日

右認准함  
朝鮮軍政長官 아-취-엘-러-취

○ 法律第六號 米穀收集法

第一條  
本法은 政府가國民食糧을確保하고 非農家에게 配給하기爲하여 米穀을收集할을目的으로함

第二條  
下記中 一에該當하는者는 米穀을政府에出荷할義務가있음

- 一 地主 但小作農家は 地主를代理하여 小作料을政府에出荷할義務가있음
- 二 米穀耕作面積三段步가超過하는自作農家
- 三 米穀耕作面積五段步를超過하는小

作農家

但自作兼小作農家에對하여는 前條及本條의比率(五分之三)에依하여 그小作面積을換算決定함

四 前第二第三兩項에規定한標準以下面積을耕作하는者로서 自家用食糧及種子를除外하고餘裕數량이 있는農家

五 新營公社

自作兼小作農家及小作農家は 米穀耕作面積의多寡를不問하고 小作料是政府에出荷하여야함 地主는當該土地所在邑、面長(市長、府尹)에게當該土地의米穀收穫量及小作料數량을報告한義務가있음 約定小作料數량이米穀收穫量의三分之一에 未及할 때에는 그差額을小作人이 直接政府에 出荷할義務가있음 新營公社는他地主와同一하게取扱함 新營公社小作人의供出量은 同社小作地에隣接한他土地의供出量과均衡하여야함

第三條

農家에對한米穀收穫量의割當은 邑、面長、(市長、府尹)이 邑、面(市、府)及各里(町、洞)米穀收集對策委員會의意見을듣고此를行함

第四條

米穀收集對策委員會는 地主、自作農、小作農、大農場의代表者、貧農家及地方事情에精通한者로써 이를組織하며 定員은邑、面(市、府)에있어서는15人以內 里(町、洞)에있어서는 10人 以內로함 米穀收集對策委員會는 下記事項에關하여 邑、面長(市長、府尹)及는 區長(町、洞會長)을補助하며 또는其諮問에應함

- 一 米穀收穫量의調査
- 二 各農家所要食糧及農糧의査定
- 三 米穀割當量의査定
- 四 其他米穀收集上必要한事項

米穀收集對策委員會는 米穀收集에關하여 邑、面長(市長、府尹)及는 區長(町、洞會長)이決定한 事項及는處分에 不當한點이있다고思料할 때에는 各里(町、洞)委員會는 邑、面長(市長、府尹)에게 各邑、面委員會는 郡守、島司에게 그事由을詳細히提示하여 異議를申請할수있음 郡守、島司及는 邑、面長(市長、府尹)은 前項의異議申請을 받았을 때에는 10日以內에可否를決定通知하여야함

第五條

米穀收集이 全部完了하였을때 또는 政府가 收集中止를 宣稱하였을 때에는 供出義務를完了한農家は米穀을自由販賣及는 自由輸送할수있음

第六條

米穀收集價格은 一般物價水準과 米穀生産費等を參照하여 此를決定함 供出義務完了한農家에對하여서는 可能한最

大限度의獎勵物資를配給함

第七條

米穀供出을回避할目的으로 此를隱匿한者 或은惡意로供出을拒否及는回避한者는 該米穀을沒收하고 六個月以下의懲役及는 5萬圓以下의罰金에處함

第八條

米穀收集期間中 米穀을賣買 及는運搬하는者는 該米穀을沒收하며 收集期間前後를不問하고 暴利를目的으로 米穀을賣買及는買借하는者는 該米穀을沒收하고 1年以下의懲役及는10萬圓以下의罰金에處함

第九條

米穀收集을妨害할目的으로 米穀收穫量調査를拒否及는妨害한者 或은虛偽宣傳 及는脅迫으로 農民의供出義務을達感케한者는 3個月以上의懲役 及는5萬圓以下의罰金에處함

第十條

公務員이故意 及는 重大한過失로因하여 不當한米穀收集量의割當 其他本法에違反되는行爲를하였을 때에는 6個月以下의懲役に處함

第十一條

本法施行을爲하여 必要한細則은 行政命令으로써 此를定함

第十二條

本法은公布日로부터 此를施行함 南朝鮮過渡立法議院에서 上記와如히制定함

南朝鮮過渡立法議院 議長 金奎植

右認准함

1947年9月27日

南朝鮮軍政長官代理 美國陸軍代將 서·지·윌밍

★在朝鮮美國陸軍司令部

軍政廳經濟法令類輯

○ 法令第二號 敵產에關한件

第一條 1945年8月9日以後 日本、獨逸、伊太利、벨게리아、羅馬尼亞、匈牙利、泰國等諸國의政府나 또는其代理機關이나 또는其國民、會社、團體、組合、其他機關과 또는 該政府等의組織 及는 經營하는機關이 直接間接 또는全部或은一部를所有하거나管理하는 金、銀、白金、通貨、證券、預金、債券、有價證券、其他財產을賣買、取得、移動、支拂、引出、處分、輸込、輸出、其他取扱及權利、權力、特權의行使는 此法令에 規定한以外에는 此를禁止함

第二條 第一條에當及한諸政府에所屬한財產을 所有、管理、 또는 支配하는 保管者、管理者、官吏、銀行、信託會社、個人、 또는關係 있는 局、課 또는 其代理機關、 또는 前記諸政府의管

理、指導、監督을받은 會社、團體、組合、其他機關中 上述한諸政府 或은朝鮮政府나 또는 其代理機關、會計、組合及補助機關으로서 直接的、間接的 或은既定的、臨時的으로 財政上利害關係를 保有하는 機關이나 大日本政治會、大政翼贊會及 其加入團體、代理機關、 또는 其繼承機關、大日本婦人會聯盟、其他日本의 極端의 國粹主義的、暴力的、秘密結社及 其加入團體에 對하여 下記各項의遵守를要求함

1. (가) 軍政廳의 指示에 依하여 前記財產을 保存하며 其指示가 有效한 期間은 該財產을 移轉 或은其他方法으로 處分하지 못함

(나) 前記財產을 保存、維持、保護하고 其價値를 効用을 破損시키는 行爲를防止할것

(다) 正確한 記錄文書及會社帳簿를 維持할事

2 軍政廳의 指示에依하여

(가) 1945年 8月9日以後 前記財產에 關하여 必要한資料를提供하는 報告書類과 前記財產에關한 모든 領受證、支出證書 등을 整備할事

(나) 前記財產의 保管과管理及 모든帳簿記錄、會計書類을引渡할事

(다) 財源과 모은收入及收益金을證明할事

第三條 財產에關한取引으로서 第二條所定의범위에 包含되지 아니한것은 下記諸項의條件下에許可함

一 朝鮮國民、聯合國諸國民 또는 其政府의代理機關、會社、團體、組合 또는 其政府의機關과 또는 其政府가 組織及는調整하는機關의利益이 의거나 또는利益을爲하여取引할事

二 朝鮮政府가正式設立한代行機關이 後에決定한만큼適當한報酬을支拂할事

三 如斯한取引이成立되기前에 賣主는 반드시 其取引의內容과 該財產의 所在地及性質과 其財產을所有한會社、團體、組合、其他組織體의內容을明記하여 朝鮮政府에得類를報告할事

四 第三項의報告를提出한後 60日以內에 朝鮮政府나 其代行機關에서 禁止命令이 없는 때에는 其取引은成立될수있음

五 如斯한買賣는 그取引成立과同時에 收入金을即時 朝鮮銀行及其最近한支店或은其代理機關에朝鮮政府勸定으로此를引渡할事 朝鮮銀行에서 受入한該財產은 前所有者에 對해 適當한會計를爲하여야 朝鮮政府가 此를保管함

六 如斯한保管資金의引引出은 該財產

關係의 適當한 生活費에 限하여 此은 許可함

第四條 本法令에 說哈한 種類의 取引으로 1945年8月9日 以後에 成立된 것은 本 日로써 全部 無効로 함 但 朝鮮政府에 對 하여 有效申請과 取引에 關한 明細書, 支拂狀 復讐金及人物, 財產其他 關係 事實을 提出하면 當該取引은 有效로 認될 수 있음

第五條 本法令은 發令 即時 施行함  
第六條 本法令을 違反한 者는 軍政裁判에서 有罪判決을 受한 者는 該裁判의 定刑에 處함

1945年9月25日

朝鮮美國陸軍司令官의 指令에 依하여  
朝鮮軍政長官 에·비·아·놀드  
美國陸軍少將

### ○ 法令第四號 日本陸海軍財產에 關한件

第一條 日本陸海軍의 各種財產은 其 價 買 取得은 讓渡를 妨止함

第二條 朝鮮內의 如斯한 財產은 美國의 所有가 되었으니 美國이나 聯合國의 許可 없이 此은 占有함은 不法임 如斯한 財產을 占有한 者는 下의 各項을 履行할 事(가) 朝鮮政府나 其所屬官廳에서 命令으로 指定하는 時日과 場所에 財產 明細書와 該財產取得에 關한 人等과 其他 關係事項을 明記한 報告을 提出할 事

(나) 同財產을 保存, 維持, 保護하고 其 價値와 効用을 損傷할 如何한 行爲든지 此을 防止할 事

(다) 同財產은 朝鮮政府나 其所屬官廳에서 命令으로 指定하는 時日과 場所에 此을 引渡할 事

第三條 本法令은 1945年9月28日 夜半 부터 有效함

第四條 本法令의 規定을 犯하는 者는 軍政裁判의 有罪判決을 受하는 同時에 其所定 刑罰에 處함

1945年9月28日

在 朝鮮 美國陸軍司令官의 指令에 依하여  
朝鮮軍政長官 에·비·아·놀드

### ○ 法令第九號 最高小作料決定의 件

第一條 國家非常事態布告 現行契約에 依하여 小作人이 其 田地에 對하여 支拂하는 苛酷한 小作料及 利率과 其 結果로 小作人의 半奴隸化와 其 生活水準이 軍政廳의 目的인 水準以下에 在한 理由로 朝鮮 國家非常事態의 存在을 茲에 布告함 軍政廳이 實施한 水準은 朝鮮人民에게 繁榮과 安定을 與하는 水準이다

第二條 最高小作料決定

田地에 對한 小作人과 地主間의 現存한 契約, 協約 또는 約束은 아무런 成立, 證明 또는 記錄이 없더라도 其 性質如何를 不問하고 本令의 効力發生에 따라 改正함 그러하여 田地와 資産의 占有 또는 使用及 該 資産에 包含된 現存建物, 作業場, 附屬物, 資材, 及 築及 器具의 占有及 使用하는 小作料은 小作人이 自然人이나 法人에게 現物, 金錢 또는 如何한 形式으로 納入하든지 該 田地에 該 小作人이 耕作培養한 天然作物, 產物及 收穫物로서 其後에 如何한 人이 引入하였든지 其 總價의 三分之一을 超過하지 得함

第三條 最高額以下의 小作料契約 現存小作料契約 또는 約束으로서 本令에 決定한 最高 三分之一보다 低廉한 小作料을 納入을 定한 것은 其 現存規定及 約束에 依하여 其 正式終結할 때까지 全効力을 繼續할 事

第四條 小作契約의 一方의 解除는 無効 現存小作料의 有効期間中은 地主가 該 小作料을 解除할 時에 爲하여 取捨權이나 強制力을 合法的으로 行使하지 得함 但 正當한 理由가 有하여 田地나 小作料 協約에 關한 爭議에 對하여 管理權이 有한 正式 地方裁判所나 其他 法院에서 判決한 것은 此 限에 不在함

第五條 最高額以上의 小作料新契約 裝置及 如何한 種類의 動植物의 栽培, 飼育 또는 養成을 包含한 農業의 目的으로 田地의 占有 또는 使用하기 爲한 協約이나 約束으로서 새로締結한 것이나 延長한 것이나 更新한 것은 勿論하고 如何한 形式으로든지 本令의 最高 三分之一以上의 小作料을 定한 것은 어떻게 裁判所나 法院에서 든지 不法이며 또한 實行할 수 없음을 本令을 欺弄하러 하는 企圖는 此은 本令을 違反하는 行爲로 看做함 本令을 違反하는 協約이나 約束은 小作人의 利益을 爲하여 資產所有者에게 對한 罰으로 所定 最高小作料에서 其 剩餘를 減額 納入하기로 定하여 此을 繼續함

第六條 現存小作契約의 提出 田地에 對하여 利害關係가 有한 理由로 協約이나 約束에 依하여 該 資產에 對한 他人의 使用을 爲하여 小作料 또는 收益金을 徵收한 正當한 權利를 有하거나 主張하는 者는 成文協約이 有할 時는 該 資產의 占有 또는 使用에 關한 該 協約의 原本으로서 該 資產所有者 誓言下 正確하고 證明한 것을 本令 効力發生後 六十日 以內에 該 土地에 登記한 土地登記所에 提出할 事 如斯한 協約이나 約束의 其 全部나 一部가 露面으로 作成되지 아니하였거나 關係者가 署名하지 아니하였을 때에는 養料所有者는 該 協約의 內容을 陳述하여 自己가 署名하고 其 正確함을 誓言證明한 誓書을 所定期限內에 所定 官署에 提出할 事

朝鮮內에서 何人이든지 所定期限內에 所定의 提出을 怠慢하는 者는 其 令에 依하여 該 提出을 正當 行할 때까 지 그 罰으로 本令의 効力發生日에 現存하는 口頭契約이나 成文契約에 依한 該 資產의 現在 占有者나 使用者는 該 資產 所有者에게 小作料나 收益金을 納付할 義務 없이 該 契約 年限의 殘存期間中 該 占有及 使用을 繼續할 事 그러하나 如斯한 場合에 是 現存協約 또는 約束에 依하여 支拂期에 當한 小作料나 收益金은 朝鮮政府에 對하여 其 正式 設立한 最近의 行機關에 納付하여 該 土地에 對한 稅金을 收入케 하고 如斯한 納入할 때까 지 該 行機關의 正式 署名한 領受證을 受할 事

第七條 小作料現物支拂에 關한 件 小作料나 收益金을 本令에 依하여 修正된 現存協約이나 約束에 依하여 小作人에게 要求할 때에는 該 小作料 또는 收益金을 該 協約 또는 約束에 規定된 期限과 方法대로 資產所有者나 又は 本令 第六條에 依하여 朝鮮政府에 納入한 者, 萬一 現存協約 또는 約束에 小作料의 現物支拂을 金錢으로 換算하여 支拂하기를 要하거나 認定하는 規定이 있을 때에는 該 支拂은 流通正貨로 換算하되 其 總數는 朝鮮政府의 現行 換算 最低價格을 超過하지 得지 不得 且 該 換算 價格이 無할 때에는 小作料現物支拂하는 處에서 該 物의 正當한 現行市價를 超過하지 得지 不得 小作料現金支拂總數에 對하여 小作人과 資產所有者間에 論爭이 生할 時에는 該 現物小作料을 最近한 朝鮮政府 倉庫에 土地所有者의 勘定으로 任置하여 其 義務을 免하되 其 總數는 協約이나 約束의 規定 또는 本令 所定 最高 三分之一을 超過하지 得지 不得

第八條 本令의 施行時日 本令은 1945年10月5日 夜半에 効力을 發生함

第九條 罰 則 本令의 意圖를 忌避하거나 虛偽한 陳述 또는 報告을 하는 등 本令의 規定을 違反하는 者는 軍政裁判所 所定 刑罰에 處함

1945年10月5日

在 朝鮮 美國陸軍司令官의 指令에 依하여  
朝鮮軍政長官 에·비·아·놀드  
美國陸軍少將

### ○ 法令十四號 一般勞動賃金

第一條 一般의 勞務로 朝鮮政府가 全部 또는 一部를 所有 또는 監督하는 倉庫, 事業, 組合, 協會, 其他 組織體가 使用하는 것은 公務以外 一般의 이나 軍事의 일을 不問하고 下記 定額에 依하여 此은 報償한 勞働種類 從本日 給 見習生 1圓-2圓

未熟練	3圓-5圓
半熟練	5圓-7圓
熟練	7圓-10圓
二差別額	
見習生	7圓
未熟練	7圓
半熟練	7圓
熟練	7圓
○日給合計	
見習生	8圓-9圓
未熟練	10圓-12圓
半熟練	12圓-14圓
熟練	14圓-17圓

第二條 上記主要等級 중에서 使用者가 다시 細密히 分類하여 正當한 賃金을 定할事 此外如시 基本勞賃을 分類하는 中에 同一種類 中에 서도 男工, 女工 少年工, 老年工 及 監督工의 賃金을 差別하는 事는 在來의 慣習을 許함

第三條 各種의 賃金은 流通正貨로 支拂할事

第四條 本令의 規程을 違反하는 者는 軍刑 裁判所의 有罪判決을 受하는 同時에 該 裁判의 決定에 刑罰에 處함

1945年10月10日

在朝鮮美國陸軍司令部의 指令에 依하여 朝鮮軍政長官 美國陸軍少將 에·비·아-놀드

○ 法令第十九號 (拔萃)

第二條 勞務의 保護

個人이나 個人集團으로서 職業을 願受하고 防害없이 勤勞하는 權利는 此를 尊重하고 保護할 것이다 如斯한 權利를 妨害하는 것은 不法이다 工業生産의 中에 又是 政令을 防止함은 朝鮮軍政廳에서 民衆生活에 必要不可缺한 일 이라 하였다 此目的을 爲하여 對來의 條件에 對하여 發生하는 爭議는 軍政廳의 設置된 勞務委員會에서 解決할 것이다 其決定은 最後의 이고 拘束의 이다 事件이 勞務委員會에 提出되어 解決될 때 까지 生産을 繼續하여야 할 것이다

第三條 謀利에 對한 保護

民衆生活의 必需品을 民衆財力의 限度內의 價格으로 公平分配함을 確保하기 爲하여 必需品의 蓄積과 過渡한 價格으로 販賣하여 民衆의 犧牲으로 謀利을 取하는 것을 茲에 不法 이라 布告함

1945年10月30日

朝鮮軍政長官 에·비·아-놀드

○ 法令第二十三號 酒精飲料의 販賣禁止

第一條 蒸溜한 酒精分을 包含하지 않은 麥酒을 除外한 其他酒精飲料는 其酒精含有量의 多少는 不拘하고 此를 在朝鮮美國陸軍管轄下에 있는 聯合國의 軍人이나 市民에게 如何한 方法으로든지 販賣, 贈

與 또는 政令을 本令發布即時로 禁止함

第二條 本令規程에 違反하는 者는 陸軍 占領地列所에서 定罪하는 同時에 其所 定刑罰에 處함

1945年11月3日

在朝鮮美國陸軍司令部의 指令에 依하여 朝鮮軍政長官 에·비·아-놀드

○ 法令第二十四號 物資統制會社 (本文省略)

1945年11月5日

朝鮮軍政長官 에·비·아-놀드

○ 法令第二十七號 漁業權의 無効及以後規定

第一條 朝鮮水域內의 一切의 漁權으로서 1945年8月9日以前에 日本帝國政府, 朝鮮總督府及其屬屬 또는 代行機關이 自任의 人이나 法人에게 許與한 것은 茲에 其 無効함을 布告함

第二條 本令施行以前에는 朝鮮水域內의 漁權은 朝鮮政府農商局의 發布하는 規則에 依하여 行使함을 要함

第三條 本令의 規定을 違反하는 者는 陸軍 占領地列所에서 定罪하는 同時에 其所 定刑罰에 處함

第四條 本令은 官報에 公布即時施行함 1945年11月9日

在朝鮮美國陸軍司令部의 指令에 依하여 朝鮮軍政長官 A·B·아-놀드

○ 法令第三十號 法令第十四號의 廢止 (本文省略)

1945年11月30日

朝鮮軍政長官 A·B·아-놀드

○ 法令第三十三號 朝鮮內所在 日本人財産權取得에 關한 件

第一條 法令第三十一號는 官報에 公布하지 않은 茲에 全然 發布하지 않은 것과 如시 無効로 함

第二條 1945年8月9日以後 日本政府, 其의 機關 또는 其國民, 會社, 團體, 組合, 其政府의 其他機關 또는 其政府가 組織하는 取捨한 團體가 直接間接으로 或은 그 全部 또는 一部는 所有 또는 管理하는 金, 銀, 白金, 通貨, 證券, 銀行勳定, 債券, 有價證券, 또는 本軍政廳의 管轄內에 存在하는 其他各種類의 財産及其 收入에 對한 所有權은 1945年9月25日附로 朝鮮軍政廳이 取得하고 朝鮮軍政廳이 其財産全部를 所有함 何人을 不同하고 軍政廳이 許可한 其財産에 侵入하는 其財産의 價値, 効用을 毀損함은 不法

第三條 本令第二條에 依하여 朝鮮軍政廳이 取得한 財産을 所有, 管理, 또는 支配하는 保管者, 管理者, 官吏, 銀行, 信託會社, 其他個人, 團體 또는 組合은

下記各項을 遵守할事

(가) (1) 軍政長官의 指令下에 其財産을 保持하고 其指令이 有한 때 까지 其財産의 移動 또는 其他方法으로 處分치 못함

(2) 其財産을 保存, 維持, 保護 하고 其財産의 價値外 効用을 毀損하는 行爲을 防止할事

(3) 正確한 記錄과 會計帳簿을 維持할事

(나) 軍政長官의 指示가 有한 때에는 其指示에 依하여

(1) 前記財産에 關하여 要求된 資料와 1945年8月9日 以後 其財産에 關한 全收入 또는 支出을 記述한 報告書를 提出할事

(2) 其財産의 保管及 管理權과 모든 帳簿, 記錄及 會計書類은 引渡할事

(3) 財産과 모든 收入 또는 收益金을 決算할事

第四條 本令의 條規及 本令에 依하여 發布한 認可 또는 命令에 違反하는 者는 裁判所의 判決에 依하여 處置함

第五條 本令은 官報에 公布와 同時에 有 効함

1945年12月6日

右朝鮮美國陸軍司令部의 指令에 依하여 朝鮮軍政長官 美國陸軍少將 에·비·아-놀드

○ 法令第三十七號 朝鮮金融統制會의 解散 (本文省略)

1945年12月19日

朝鮮軍政長官 에·비·아-놀드

○ 法令第三十九號 對外貿易規則

第一項 朝鮮에 또는 朝鮮으로부터의 空路, 陸路 또는 水路에 依한 모든 貨物 또는 貴重品을 包含한 財産의 運輸는 如斯한 事業遂行의 權限을 軍政長官 또는 朝鮮軍政廳의 正式代理者로 軍政長官이 指定한 代行機關이 附與한 者 以外는 此를 禁止함

第二項 朝鮮에 또는 朝鮮으로부터의 空路, 陸路 또는 水路에 依하여 航空機, 船, 車 또는 動力機關으로 모든 貨物 또는 貴重品을 包含한 財産의 運輸는 如斯한 航空機, 船, 車 또는 動力機關이 如斯한 目的을 爲하여 軍政長官 또는 朝鮮軍政廳의 正式代理者로 軍政長官이 指定한 代行機關이 正當히 許諾한 場合 以外는 此를 禁止함

第三項 朝鮮에 또는 朝鮮으로부터의 旅行者 自身 또는 自己가 管領하는 動物에 依하여 모든 貨物 또는 貴重品을 包含한 財産의 運輸는 軍政長官이 指定한 代理機關이 如斯한 旅行者에게 如斯한 物品을 朝鮮에 또는 朝鮮으로부터의 運輸權限을 正當히 附與한 場合에

外는 此를禁止함

第四項 朝鮮으로부터의 모모貨物 또는 貴重品을 包含한 財産의 運輸는 軍政長官이 又は 朝鮮軍政廳의 正式代理者로 軍政長官이 指定한 代行機關이 如斯한 目的을 爲하야 公開港으로 隨時 指定한 港口 又は 空港을 經由하는 것以外에는 此를禁止함

第五項 外國으로부터의 無許可 運輸途中 發見된 모모貨物 또는 貴重品을 包含한 財産는 禁制品으로 認定하고 官有物 質却又는 其他處理에 關한 現行規定에 依하여 處理하기 爲하야 捕提官憲이 此를 朝鮮軍政廳의 保管에 移送함

第六項 政府가 認定치 아니한 私有船舶, 航空機, 車輛, 動物, 自動車 其他 運輸 機關으로서 本令에 反하여 利用된 것은 犯行者의 有罪判決과 同時 官有物 質却又는 其他處理에 關한 現行規定에 依하여 處理하기 爲하야 此를 朝鮮軍政廳의 保管에 移送함 如斯한 運輸 機關은 審判이 終結될 때까지 捕提官憲이 此를 抑留함

第七項 本令은 朝鮮軍政廳 又は 美國의 官員 又は 吏員의 其私物 運輸에는 適用치 아니함 本令은 美國 又は 聯合國의 陸海軍法에 屬한 人員의 私物, 貨物 又は 貴重品 運輸에 適用하는 又是는 朝鮮軍政廳의 認定한 歸國條例에 依하여 朝鮮에 入國 又は 朝鮮으로부터 出發한 正式認可 受入者 又は 如斯한 政府의 公務 遂行中에 있는 者의 私物, 貨物 又は 貴重品의 朝鮮에 또는 朝鮮으로부터의 運輸를 禁止하는 것이라 解釋함은 不可함

第八項 本令에 朝鮮이 稱할는 本令에 屬한 朝鮮의 全域을 意味함

第九項 本令의 規定을 犯하는 者는 陸軍 占領裁判所에서 有罪判決을 受하는 同時에 其所定 刑罰에 處함

第十項 本令은 1946年 1月 12日 24時에 効力を 發生함

1946年 1月 3日

在 朝鮮 美國 陸軍 司令官의 指令에 依하여

朝鮮軍政長官 에·미·아·논·드  
美國陸軍少將

○ 法令第四十三號 朝鮮株式取引 所의 解散(省略) 1946年 1月 16日  
朝鮮軍政長官 아·취·엘·러·취

○ 法令第四十五號 米穀收集令

第一條 目 的

廣汎한 飢餓, 營養不足, 疾病, 民心不安을 除去하기 爲하야 朝鮮軍政廳은 北緯 38度以南의 朝鮮에 있는 米穀收集 所의 適當한 價格을 支拂함 但 每戶에서는 1石의 100分之 45 (0.75石) 을 常住

하는 家族人員數로 乘한 數量의 白米 或은 玄米을 保持할 所得함 白米 或은 玄米에 代하여 正租로 全部 或은 一部의 對等量을 所持할 所得함

第二條 米穀의 運渡

地方軍政長官의 管轄下에 있는 機關으로서 免除을 받는 政府, 宗教, 教育, 醫療, 社會厚生機關의 主管者以外에 前條에 規定한 數量以上을 所持한 者는 米穀所在地 府尹, 邑, 面長의 要求가 있는 時로 그 超過量을 府尹, 邑, 面長 또는 其代理人에 對해 運渡하고 公示로 決定된 最高公定價格으로 法貨 또는 府尹, 邑, 面長 或은 其委任機關이 署名捺印한 支拂命令書로 其代價支拂을 受領함

第三條 郡守, 府尹, 邑, 面, 町會長의 職責

(가) 府尹, 邑, 面長은 所屬 地方軍政長官 (또는 郡守)의 命令에 따라 下記事項을 調査하여 所屬 地方軍政長官에게 書面으로 報告함

一 府, 邑, 面, 各家에서 前秋收時에 收穫한 米穀 其他穀類 (別記記入한) 의 數量

二 府, 邑, 面의 單身居住者數, 世帶數及 各世帶의 常住하는 人員數

三 府, 邑, 面, 에 居住하는 各個人 또는 各家族이 所有한 玄米, 白米 及 其他穀物 (個別記入한) 正租의 數量 及其位置

四 府, 邑, 面에서 次期穀物 耕作에 必要한 種子의 數量

(나) 所屬 地方長官 (또는 所屬 郡守)의 命令이 有한 時는 府尹, 邑, 面長은 第一條의 超過數量을 收集하여 最寄 米穀收集所에 運送할 것 但 其 府, 邑, 面內에서 次期米穀 耕作에 使用할 種子의 必要量 限度內에서 保留, 貯藏, 保存할 所得함 米穀을 收集, 運送할 時에는 府尹, 邑, 面長은 種子로 使用함에 適合한 米穀임을 明白히 表示한 別隊에 配入할 것 各郡守는 邑, 面長이 米穀을 搬入할 收集所을 所屬 郡內에 決定할 것 郡守는 所屬 道知事의 命令을 執行하며 邑, 面長에게 必要한 命令을 傳達하고 邑, 面長에게 其遂行을 命할 各府尹은 米穀收集所을 設置함

(다) 府, 邑의 各町會長은 下記職務을 行함

一 府尹, 邑長이 本計劃에 關하여 要求하는 所屬 町內에 對한 情報의 蒐集 報告

二 府尹, 邑長의 命令에 따라 所屬 町內의 超過量 米穀의 收集及 引渡

三 府尹, 邑長의 命令에 따라 其他 職責의 遂行

第四條 其他 官吏及 機關의 職責

本計劃에 關하여 朝鮮軍政廳의 各官

吏, 雇員, 補助機關, 其代行機關及 地方軍政廳, 府, 邑, 面의 補助機關及 代行機關은 朝鮮軍政長官의 命令及其 官吏 또는 雇員이 勸誘하는 道知事의 命令을 執行함

第五條 違反行爲

法律의 一般의 違反에 附加하여 下記行爲는 本令의 違反行爲로 함

一 本計劃에 關하여 要求된 報告作成의 怠慢

二 府尹, 郡守, 邑, 面, 町會長이 本計劃에 依하여 其職務 遂行上 要求한 事項의 報告의 怠慢 또는 拒絕及 虛偽의 報告 報告作成

三 命令이 有한 時 命令에 따라 超過量 米穀 運渡의 怠慢

違反行爲에 關聯한 米穀은 沒收하고 그 違反者는 處罰함 米價支拂價格의 適否에 關한 爭議로 致한 米穀 運渡 怠慢의 理由로 認할 不得함

四 米穀의 隱匿, 毀損 또는 其企圖 또는 命令에 依치 않은 府, 邑, 面外에 米穀 搬出

違反行爲에 關聯된 米穀은 沒收하고 그 違反者는 處罰함

五 本計劃에 關聯하여 官吏가 發令한 命令 執行의 怠慢 또는 拒絕

六 本令의 不服從을 煽動하는 모모行爲 또는 脅迫

第六條 任命及 罷免

道知事는 本計劃에 關聯하여 發令한 命令을 充分히 履行치 아니하는 府尹, 郡守, 邑, 面, 町會長 또는 政府機關의 官吏及 雇員의 罷免, 休任者 任命及 移動의 權限이 有함

道知事 또는 本計劃을 遂行하기 爲하야 道知事가 委任한 機關은 如何한 個人에게 罷免 命令으로 職務 履行을 要求할 所得함

第七條 罰 則

本令의 規定에 違反하는 者는 軍政裁判의 決定에 따라 處罰함

第八條 施行 期日

本令은 1946年 2月 1日 午前 零時에 効力を 發生함

1946年 1月 25日

朝鮮軍政長官 아·취·엘·러·취  
美國陸軍少將

○ 法令第五十二號 新韓公社의 創立

第一條 新韓公社를 朝鮮政府에서 獨立한 機關으로서 茲에 創立함 公社는 軍政長官 또는 그의 受任者가 後任者를 任命한 때까지 職務을 執行하는 十名의 取締役이 此를 管理함 取締役會는 軍政長官 또는 그의 受任者의 同意를 得하야 取締役會에서 規定한 內規及 規則에 依하여 同公社를 運籌함 公社社長으로서의 美國 國軍將校는 軍政長官의 阿意를 受하여

國的利益에關係있는 政策問題를 決定하는 全權을 有함 新韓公社本店은 朝鮮 서울에 設置하고 支店은 軍政長官 또는 그의 受任者의 同意를 得어야 取締役會에서 決定함에 따라 設置함

第二條 取締役은 公社取締役會會長及 軍政長官 또는 그의 受任者가 選任한 各道에서의 一名 또는 一名以上의 選出者로 構成되는 顧問會를 設置함 取締役會會長은 顧問會會長으로 함 顧問會는 會長의 召集으로 會合함 顧問會는 取締役會에 推薦事項을 提出함 取締役會는 重要한 政策問題에 關하여 顧問會에 相議함

第三條 新韓公社의 資本金은 一倍圓으로 함 株券은 每株 50圓으로 分配함 公社株式全部는 軍政廳이 單獨引受하고 東洋殖產株式會社의 價額의 財産移轉에 依하여 軍政廳이 全額을 拂込함 公社의 責任은 資本金額에 限함 公社는 朝鮮 軍政廳만이 解散함을 得함 取締役의 資格狀與及 各株의 證明은 各取締役의 名義로 會社帳簿에 依하여 移轉함

第四條 1945年8月9日以後 東洋殖產株式會社가 所有한 全財産及 1945年8月9日以後 東洋殖產株式會社가 所有하고 있던 朝鮮內法人의 日本人財産은 全部 新韓公社에 歸屬함

第五條 新韓公社는 下記權限을 保有함

- (가) 自己公社의 株券을 額面價格을 超過하지 않은 價格으로써 取得所有
- (나) 軍政長官이 署名捺印한 一般告示의 發令으로 取締役會에 回付한 增資及 減資
- (다) 朝鮮現行商法 또는 爾後施行될 商法에 依한 法人으로써의 全權能
- (라) 軍政長官 또는 其受任人이 社債의 發行 또는 條件을 認可할 時는 拂込資本金額의 十倍을 超過하지 않은 社債을 發行할 權을 得는 外에 商法規定에 依한 社債의 發行
- (마) 取締役會가 決定한 幹事 及는 役員의 任命及 補充
- (바) 商法規定에 依한 配當金의 支拂 또는 準備金의 設定
- (사) 金屬非金屬等 天然資源의 開發, 原料及 化學用品의 製法, 製作, 商工業目的으로 하는 物品의 製造, 機械, 動力, 運搬裝置, 船舶, 航空機部分品及 裝置, 電氣裝置, 器具, 燃料及 食料品 製造를 包含한 各種產業事業의 取扱
- (아) 分配, 經營, 貯藏等 各種商業取引의 經營
- (자) 借地, 農事의 場所 及는 研究所의 所有及 運用을 包含한 各種農業 及는 森林園의 營林에 使用된 土地 及는 再植林中의 土地를 包含한 各種林業의 經營
- (차) 漁船, 漁業及 漁獲其他 水産物의 運搬, 貯藏及 保管을 爲한 漁具等의 貸借

契約 及는 儲船契約에 依한 所有及 運用을 包含한 漁獲及 水産物 獲得에의 從事

- (가) 軍政長官 及는 其受任人의 指令에 依하여 新韓公社의 範圍內의 事業에 關한 取引의 取締及 監行 但前項事業에 技術的 援助의 提供을 包含함
- (나) 財産의 所有 또는 處分
- (다) 其他該公社의 目的 達成에 附帶 또는 必要한 權限

第六條 本公社의 其取締役, 幹事及 役員은 本公社의 直切必要한 業務範圍內에서 商法規定에 依하여 職務에 服從하며 職權을 行使함

第七條 公社職員으로써 業務上 取引을 誘因할 目的으로 故意의 口頭나 書面으로 不正한 或은 直接間接으로 公社의 財政狀態 또는 存立을 毀損하는 陳述 또는 流言을 造流布하는 者 또는 他人을 如斯한 行動에 誘因한 者는 軍政裁判所의 判決에 依하여 處罰함

第八條 新韓公社의 公示事項은 一般이 購讀하는 新聞에 發表함

第九條 本令은 公布期日後十日부리有 効함

1946年2月21日

朝鮮軍政長官 아-취·엘·리-취  
美國陸軍少將

○ 法令第五十三號 朝鮮經濟顧問會의 設置

第一條 目的  
本令의 目的은 生活의 安定, 必需品의 公平한 配給, 物價高騰防止, 消費品의 不足防止 生産及 配給의 均衡의 計劃의 發展을 圖謀하며 朝鮮一般民衆의 幸福을 爲하여 不利한 經濟狀態을 除去하는 事項에 關한 代表的 朝鮮人 顧問機關을 設置함에 있음

第二條 朝鮮經濟顧問會의 設置  
朝鮮經濟顧問會는 朝鮮政府所 屬機關으로써 茲에 設置함  
此顧問會는 七名으로 構成함 其中一名은 秘書로 함  
各員은 軍政長官이 任命하고 各自意圖이 有할 期限은 其職에 留任함  
各員은 會長이 要求하는 時間中은 勤務할 事

政府有 裕職員을 除外하고는 各員이 遂行한 勤務에 對하여 報酬을 支給함

第三條 顧問會의 義務  
朝鮮經濟顧問會는 物價統制의 確立, 實施, 配給量決定, 計劃, 生産及 配給方法에 關한 軍政長官의 計劃을 研究하여 意見을 提出할 事

第四條 顧問會에 對한 援助  
商務局長은 顧問會가 其職務遂行上 必要할 時는 便宜를 附與하고 援助할 事

第五條 施行期日  
本令은 公布期日後十日에 効力을 發生함

1946年2月20日

朝鮮軍政長官 아-취·엘·리-취  
美國陸軍少將

○ 法令第五十七號 日本銀行券及 臺灣銀行券의 預入

第一條 預入命令  
北緯三八度以南 南部朝鮮內의 自然人及 法人에 對하 記事項을 命令함

(가) 1946年3月2日부리 3月7日까지

第二條 下列記한 金融機關에 自然人及 法人이 所有 또는 占有하는 一類券以上 種類의 日本銀行券 또는 臺灣銀行券의 預入

(나) 1946年3月7日以後 如斯한 貨幣의 輸出, 輸入, 領收, 支拂 또는 故意로 所有 또는 占有, 交付 또는 其他 移轉等 如斯한 去來의 取扱이나 從事의 禁止

第二條 指定金融機關

下記各金融機關을 預入者의 名義로 本令에 依하여 日本圓當座로 日本銀行券及 臺灣銀行券의 受理를 命令認可함

- 朝鮮銀行
- 朝鮮殖産銀行
- 朝興銀行
- 朝鮮商業銀行
- 朝鮮信託株式會社
- 朝鮮貯蓄銀行
- 金融組合聯合會

各金融機關은 下記事項을 遵守할 事

- (가) 本令에 依하여 預入한 銀行券을 其他貨幣과 區別하여 保管을 擔當할 事
- (나) 預入期間後 即時預入貨幣額을 朝鮮政府軍政廳財務局에 報告할 事

第三條 本令에 依하여 日本銀行券及 臺灣銀行券의 預入當座는 引出을 許함 無効로 據置하며 現在 及는 將來의 貸付 또는 負債의 擔保로 爲 讓渡, 流通使用하지 得함

第四條 罰則  
本令의 條規에 違反한 者는 軍政裁判所의 決定에 따라 處罰함

第五條 施行期日  
本令은 1946年2月21日 夜半에 効力이 發生함

1946年2月21日

朝鮮軍政長官 아-취·엘·리-취  
美國陸軍少將

○ 法令第五十九號 法令第五十七號의 改正

第一條 預入期間의 延長  
1946年2月21日 附法令 第五十七號 第一條(가), (나) 項의 1946年3月7日을 1946年3月16日로 改正함

第一條 施行期日  
本令은 1946年3月7日 夜半에 効力이 發生함

1946年3月7日

朝鮮軍政長官 아-취·엘·리-취  
美國陸軍少將

○ 法令第六十二號 藥種醫藥製藥品及關係物品에關한規則

第一條 目的及効果
1945年10月20日附一號告示第二號第三項에依하여 藥種, 醫藥, 製藥品 或은 醫藥及保健事業에使用되는 其他種目的 商品及誘導劑, 混合劑, 또는 如斯한 材料是包含한 其他物質은 其需要가 緊急하며 朝鮮民衆의 福利를 爲하야 要求됨을 茲에 布告함
本令은 1945年10月20日附一號告示第二號第二項의 規定을 修正함

第二條 規則及統制
朝鮮政府 保健厚生局長은 藥種, 醫藥製藥品 或은 醫藥 또는 保健事業에 使用되는 其他種目的 商品及誘導劑, 混合劑 又는 如斯한 材料是包含한 其他物質에 對한 唯一한 統制의 統制代行者 機關으로 指定함 同局長은 上記物品의 價格, 配給, 配分, 特許, 購買, 販賣, 生産, 運布, 運送, 貯藏, 輸出入 統制 其他 必要한 統制 方法을 確立함

第三條 罰則
本令의 規定 又는 本令에 依하여 保健厚生局長이 發令한 規則 또는 命令에 違反하는 者는 軍政及例所의 決定에 依하여 處罰함

第四條 有効期日
本令은 公布日 起 十日 後에 効力이 發生함
1946年3月29日
朝鮮軍政長官
美國陸軍少將 아-취-엘-러-취

○ 法令第七十三號 道財産管理處의 設置 (本文省略)
1946年4月23日
朝鮮軍政長官 아-취-엘-러-취

○ 法令第七十五號 朝鮮鐵道의 統制

第一條 目的
本令의 目的은 公用을 爲하야 私設鐵道를 政府 接受下에 統一함으로써 朝鮮內鐵道 運輸를 完全한 國營體制로 發展시킴에 在함

第二條 收容官官
前記의 目的을 達成하고서 朝鮮鐵道株式會社, 京南鐵道株式會社及 京春鐵道株式會社의 全財産을 朝鮮政府 運輸部 監督下에 朝鮮의 公用으로 하기 爲하야 茲에 取得 收用함을 宣告함 上記 財産에 關한 所有權은 茲에 朝鮮政府에 歸屬됨 그러나 其 財産 擔保性 利者 全部에 對는 以下 規定에 依하여 適當한 補償을 支拂함을 要함

第三條 補償請求權
私設鐵道會社의 財産 收用으로 因하여 補償請求權이 賦與된 者는 此後 補償請求 書面을 提出하되 收用 財産의 種類, 所在 地及 價格, 如斯한 財産에 關한 自身

의 所有權 其他 諸般 權利의 性質과 限度 及 財産 收用의 代價로 被收用者에게 支拂하야 할 國庫位로 表示한 適當한 補償 金額에 對한 證據를 本令 施行 後 發生日 從 六十日 內로 運輸部 長에게 提出함을 要함 그렇지 아니하면 上記 補償 其他 關係 請求 權行使에 關한 諸般 權利를 拋棄한 것으로 認定함

第四條 査定委員會
運輸部長은 有能하고 無私한 三人의 査定委員會를 任命하야 主要한 請求 權을 審査 査定케 하고 이에 必要한 檢閱 調査를 行케 하며 會社의 帳簿, 會計 書類, 記錄及 其他 有用한 諸般 關係 證據를 分析케 하고 公平하게 最善의 例斷으로 査定 査定하야 收用 財産에 關한 接受日 現在의 公正한 査定 價格을 運輸部長에게 申告케 하며 同 財産에 關한 請求 權者 各自의 所有權 及其他 權利에 依한 補償 金 取得 權者를 決定 指示케 함을 要함 此 委員會는 接受 財産의 價格 決定, 補償 金 受領 權 利者 及 各々 提與한 推選 額을 事實이 確定되는 때로 適可 運輸部長에게 報告함을 要함 運輸部長은 委員會 報告 記載의 査定 額을 修正하고 委員會에 對하야 諸般 事實을 繼續 審理하야 決定하도록 命하며 本令의 達成에 必要한 命令을 發令한 權限이 有함

第五條 補償에 關한 證券
財産 取得의 代價로 支拂될 補償 額의 最終 決定을 後 運輸部長은 如斯한 權利者에 對하야 朝鮮政府가 五個 年內에 又는 朝鮮政府의 任意의 日보다 빠른 期日에 全部 又는 一部를 支拂할 金額을 記入한 國庫位로 表示한 無利子 證券을 交付함을 要함 本證券에는 法貨으로 辨濟한다는 規定과 各辨濟 金額은 證券 發行日 從 如斯한 法貨의 公認 購買力의 變動에 依하여 調整함을 得한다는 規定을 記載함을 要함

第六條 運 營
運輸部長은 其 部內의 該當 各局으로 하여금 其 統制 管理下에 管理 運營케 하기 爲하야 此後 朝鮮政府에 其 所有權이 歸屬되는 全財産을 割當 指定함을 要함

第七條 職 員
此後 命令이 有한 때 까지 本令에 關係된 私設 鐵道會社의 全職員及 附屬 機關의 全職員은 1945年9月7日 附大平作 美國陸軍總司令部 布告 第一號 第二條에 規定한 意味下에서 重要한 職務에 從事하는 者로 取扱함 如斯한 職員들은 從來의 職務을 繼續 遂行한 것이며 如斯한 鐵道에 關한 財産及 記錄을 保管하고 當局의 諸般 命令을 遵守하야 함

第八條 施行期日
本令은 公布日 起 十日 後에 効力을 發生함
1946年5月7日
朝鮮軍政長官

美國陸軍少將 아-취-엘-러-취
○ 法令第七十七號 서울市에 關한 特別米穀令

第一條 目的及範圍
本令의 目的은 現下 非常時中 서울市에 米穀을 正式으로 搬入하는 方法을 規定함으로써 서울市內의 現下 緊急한 米穀 不足을 緩和함에 在함

第二條 서울市 米穀 搬入에 關한 許可 申請 手續
(가) 서울市內에 一定한 住所를 有한 者는 所定 數量의 米穀을 서울市에 搬入할 許可를 得하기 爲하야 町會長으로부터 申請書를 受領함 此 申請書에 記入한 數量은 申請日 現在로 서울市內에서 申請入이 所持하는 米穀 數量을 合하여 申請日 從 1946年10月15日 까지 每日 二合式을 申請人의 家族으로써 申請人과 當時 實際 同居하는 人員數로 算한 數量을 超過치 못함 町會長은 申請書에 證明 事項을 記入함으로서 上記 申請書 記載 事項이 正確함을 證明함
(나) 申請人은 承認을 받기 爲하야 其 所屬 班長에게 上記 證明된 申請書를 提出함
(다) 申請人은 町會의 承認과 登錄을 받기 爲하야 上記 外 各이 承認을 받은 申請書를 其 所屬 町會 事務所에 提出함 町會 事務所가 申請書를 承認할 時는 上記 申請人과 其 同居 家族 人員의 氏名者는 前述한 바와 같이 每日 一人 當 二合式 計算한 前記 承認 申請書에 記入한 米穀 數量에 該當한 期間 米穀 配給 機構에서 除外됨
(라) 申請人은 町會 事務所에서 承認한 申請書를 所屬 區事務所에 提出함 事 그리하면 區事務所에서는 町會에서 承認 登錄한 申請書 條項에 依하여 申請人의 서울市 米穀을 搬入함을 許可하는 認可證을 發付함
(마) 町會 事務所는 서울市 米穀 搬入 許可證을 本人에게 又는 其 代理人를 通知하야 交付한 總 搬入者의 姓名及 住所를 서울中央配給所에 通告함 事 서울中央配給所는 上記 認可證에 記入한 期間中 搬入者에게 米穀을 販賣치 아니함
(바) 町會長, 町會 事務所及 區事務所는 茲에 許可한 모든 米穀 搬入 認可證의 正確한 記錄을 保管하야 認可證에 記入한 數量及 各申請人이 搬入한 數量을 次回 申請時에 申請人(과 上記한 바와 같이 其 家族 人員)에게 必要한 總配給 量으로 부터 控除케 함 事
(사) 米穀을 頒發하난 同時로 認可證 所持人은 領受한 數量을 正確하게 認可證에 記入함 事 認可證에 如斯한 記入을 아니하면 是는 「記認 認可證의



所持人의 保有多量沒收하고 如斯한 者가 將次中央配給所에서 米穀에 關한認可受給까지 一 穀을 搬入한 該般權利를 取消함

(아) 米穀搬入許可證의 所持者가 二人以上인 境遇에는 共同으로 米穀을 搬入한 수 있을 厓地主, 會社, 協會及 組合은 許可證을 所持한 其使用人及 其他의 米穀을 搬入한 수 있을

第三條 認可證의 有効期限과 提出

서울市에 米穀을 搬入하기 爲하야 發行 된認可證은 其發行期日從十四日을 超過하는 期間附屬發行이 勿하야 有效치 못함 但 該事務所에서 當初認可時에 發生된 相當한 理由로써 該事務所가 認可 證申請書에 別途記入한 時를 除外함 如何한 認可證도 如斯히 十四日 從오는 使用 또는 交付치 못함 但 前送한 如 如斯히 該事務所에서 長期間을 指定한 時를 除外함 認可證 所持者는 指定 期間 間滿了 前에 上述한 바와 如히 其認可證을 外한지 實際로 搬入한 米穀數目에 關한 證明書를 町會長에 提出할 時 如斯한 所持者가 上記正式證明書와 함께 上述한 바와 如히 認可證 提出을 延滞한 時는 何時까지 認可證 所持者가 認可證 面에 記入된 米穀數目을 完全히 實際로 搬入함 과 同一인 認定함

第四條 檢查, 沒收, 罰則

米穀을 運搬하는 者는 主要道路 其他에 設置된 檢査所, 倉庫의 檢査所 及 警察官의 要求에 依하야 何處에서 든지 認可證及 米穀이 檢査를 受야 하야 運搬된 米穀이 認可證 數目을 超過할 時 及 認可證을 虛偽 또는 不正하게 記載 또는 變更하였을 時에는 警察官은 如斯히 超過量을 搬入한 者 또는 虛偽 또는 變造한 認可證을 所持한 者의 總額所有米를 沒收하고 領收證을 交付하며 即時로 此米穀을 倉庫配給制度에 依하야 配給販賣시 카기 爲하야 接近한 市廳或은 政府倉庫에 引渡함 米穀을 領收한 倉庫는 警察官으로 부터 領收한 米穀에 關한 文書를 保管할 事 警察官과 其倉庫는 即時押收에 關한 諸般事實은 其所屬町會長及 市中央配給所에 報告할 事 如此히 超過米穀을 輸送하는 者 偶造 또는 變造한 認可證을 所持權限이 認可證을 所持한 者는 軍政裁判所에서 刑罰을 受야 하야 及 所定刑罰에 處함

第五條 1946年1月25日附 法令第四十五號의 效力

本令에 依한 合法行爲는 1946年1月25日 附法令第四十五號에 抵觸되지 않음

第六條 施行期日

本令은 公布時日에 効力이 生함

1946年4月24日

朝鮮軍政長官 美國陸軍少將 아-취-엘-러-취

○ 法令第八十號 法令第五十二號의 改正 (新韓株式會社의 創立)

第一條 新韓株式會社는 朝鮮軍政廳이 한 法人機關으로써 茲에 創立함 新韓株式會社는 朝鮮國民의 經濟振興을 唯一의 目的으로함

新韓株式會社는 軍政長官이 後任者를 任命할 때까지 職務을 執行할 十名의 理事가 此를 管理함 理事會는 軍政長官의 承認을 得하야 理事會에서 制定한 定款及 內規에 依하야 同會社는 運轉함 新韓株式會社의 本店는 朝鮮서울에 設置하야 支店은 軍政長官의 承認을 得하야 理事會에서 決定한 바와 設置함 軍政이 終了되는 時는 新韓株式會社는 朝鮮政府의 責任에 屬함

第二條 理事는 公社理事會會長及 軍政長官이 選任한 各近處에서의 一名 또는 一名以上의 選出者로써 構成되는 顧問會를 設置하야 理事會이 顧問會會長을 兼임함 顧問會는 理事會에 建議하고 理事會는 主要한 經營方針에 關하야 顧問會에 諮問함

第三條 新韓株式會社의 資本金은 一億圓으로함 株券은 每株50圓으로함 公社株券은 全部軍政廳이 單獨引受하야 東洋殖産株式會社財產의 實際的 移轉에 依하야 軍政廳이 全額을 拂込함 公社의 責任은 資本株券金額에 限함 本會社는 軍政廳 또는 將次設立된 朝鮮政府만이 此를 解散시킬 權을 得함 理事會에 查格을 주기 爲하야 一株券을 各理事者名義로 公社에 移轉함

第四條 1945年 8月 9日 以後 東洋殖産株式會社가 所有한 全財產은 茲에 新韓株式會社에 歸屬함

第五條 新韓株式會社는 左記權限을 有함 (1) 本會社의 株券을 額面價格보다 低下치 않은 價格으로 取得及 所有 (2) 軍政長官이 署名捺印한 一般告示의 發令으로 理事會의 決議에 依한 資本의 增加 또는 減少 (3) 朝鮮現行商法 또는 爾後施行된 商法에 依한 株式會社의 全權限 (4) 商法規定에 依하야 社債을 發行할 時에는 社債總額은 拂込資本金額의 十倍을 超過치 않음 限度에서 發行할 수 가 있으며 其社債發行及 附帶諸條件은 軍政長官의 認可를 受야함 (5) 理事會에서 決定된 役員及 職員의 任命及 報酬 (6) 金屬及 非金屬等 天然資源의 開發及 製鍊, 諸般原料及 化學用品의 採取及 精製, 商工業의 目的으로 하는 物品의 製造, 機械動力用及 運輸用의 諸機具, 船舶及 航空機部分品及 備品, 電氣器具及 裝置, 雜物及 食品製造를 包

含한 各種生産事業의 經營 (7) 都散置, 倉庫業及 貯藏業等 各種商業의 經營 (8) 借地, 農事試驗項及 乙 研究所의 所有及 運用을 包含한 各種農業及 乙 苗圃用 地及 乙 造好地를 包含한 各種什業의 經營 (9) 賃貸借契約及 儲蓄契約에 依하야 漁船, 船渠及 乙 類其他의 海産物의 運搬, 貯藏, 保管을 爲하야 漁具及 設備의 所有及 乙 運用을 包含한 漁業及 乙 其他의 海産物獲得을 目的으로 하는 事業 (10) 軍政長官의 指令에 依하야 新韓株式會社의 權限內 事業에 關한 行爲의 取締及 監督 但 前項事業에 技術的 援助의 提供을 包含함 (11) 財產의 所有 또는 處分 (12) 其他 本會社의 目的 達成에 附帶及 必要한 權限

第六條 本會社의 理事, 役員及 職員은 公社의 範圍內에서 商法規定에 依하야 職務을 執行함 第七條 公社의 公示事項은 一般新聞에 掲載發表함

第八條 本令은 公布日로부터 有効함 1946年5月7日

朝鮮軍政長官 美國陸軍少將 아-취-엘-러-취

○ 法令第八十二號 對外貿易規則

第一條 目的 本令은 1946年1月3日 附法令 第三十九號에 依하야 軍政廳이 對外貿易의 統制와 許可를 遂行함을 目的으로함

第二條 指令 此目的을 達하기 爲하야 朝鮮政府 商務部 商務局을 法令第三十九號 第一項乃至 第四項에 依하야 對外貿易의 統制와 許可를 遂行함의 代行機關으로 指定하고 茲에 權限을 賦與함

第三條 職能 商務局은 左記事項을 行함 (가) 對外通商協定及 輸出入計劃과 諸政策에 關하야 外務處及 經濟委員會와 連絡함 (나) 朝鮮軍政廳이 承認한 對外通商協定及 輸出入計劃의 範圍內에서 外國貿易에 從事하는 個人或은 商社를 統制及 乙 許可하기 爲하야 必要한 規定을 作成施行함 (다) 朝鮮軍政長官의 承認에 依하야 個人資本으로 經理한 수 없는 外國通商去來를 遂行하기 爲하야 分與한 資金을 使用함

第四條 調整 本令에 依한 對外貿易의 統制及 許可에 關한 商務局의 諸般調整方針과 指令은 朝鮮軍政長官의 承認을 得하야 官報에 公布함

第五條 施行期日 本令은 公布日로부터 十日을 經過한 後에 有効함 1946年5月17日

朝鮮軍政長官 美國陸軍少將 아-취-엘-러-취

### ○ 法令第八十三號 公設浴場及飲食店의 免許

第一條 學學移管  
衛生檢査 公設浴場의 免許及料理又是無酒精飲料販賣業의 免許에 關한 事務部 各管内의 모든 廳廳, 廳務, 文書及財産을 該에 道保健厚生部에 移管함

第二條 公設浴場 免許申請書  
公設浴場 免許申請書에는 免許를 申請한 營業所에서 風紀를 相當히 保全할 수 있다는 營業部의 證明書를 添附함

第三條 附加免許  
料理又是無酒精飲料販賣에 關하여 從屬의 業務에 從事하는 料理又是無酒精飲料販賣人은 警察部又是其他所管官廳으로부터 如斯한 從屬業務에 附加的으로 또는 例別的으로 免許를 得하고 其他諸法法律條項을 遵守함

第四條 施行期日  
本令은 公布日로부터 十日 從有 効함  
1946年 5月 13日  
朝鮮軍政長官 代理 아·취·일·에·취·일

### ○ 法令第八十七號 釜山市에 關한 特別米穀令

第一條 目的과 範圍  
本令의 目的은 現下 非常時期中 米穀을 合法的으로 釜山市에 搬入하는 方法을 規定함으로써 釜山市內의 現下 危急한 米穀不足을 緩和하고 欲에 있음

第二條 釜山市米穀搬入에 關한 許可證 請求手續  
(가) 釜山市內에 一定且 當時의 住所를 有한 者는 所定 數量의 米穀을 釜山에 搬入할 許可를 得하기 爲하야 町會長으로부터 許可申請書를 受할 수 있음

此申請書에 記入할 數量과 申請人이 釜山市內에 申請日 現在 所持한 米穀 數量을 合한 數量은 申請日 부터 1946年 10月 15日 까지의 期間中 每日 二合式을 申請人의 食口로서 申請人과 當時 實際로 同居하는 食口數를 乘한 數量을 超過하지 得함 町會長은 申請書에 證明의 趣旨을 記入함으로써 上記 申請書의 記載事項이 正確함을 證明함  
(나) 申請人은 釜山市內에 釜山米穀配給委員會에 此는 認且 證明된 申請書를 提出함 亦 如此하면 同委員會에서 是認且 證明된 申請書條件에 依하여 申請人이 釜山으로 米穀을 搬入함을 許可하는 許可證을 發行함 釜山米穀配給委員會가 許可證을 發行할 時는 釜山米穀配給委員會는 申請人에 對하여 搬入을 申請하야 許可된 數量中에 包含된 全人員의 配給票를 許可證에 交付함에 同委員會에 添附하도록 要求함 亦 許可證이 發行될 時는 同配給委員會는 申請者及 搬入許可數量中에 包含된 모든 人員의 姓名을 前述한 바와 같이 每日 一人 當二合式으로 計算하야 是認及 證明된 申請書及 許可證에 記載된 米穀數量에 該當한 期間 米穀配給 機關에서 發給함

(다) 町會長及 釜山米穀配給委員會는 本法에 依하야 許可한 모든 米穀搬入許可證의 正確한 記錄을 保存하야 許可證에 記入되어 申請人이 搬入한 數量은 後日 配給申請이 있을 때 該申請人及 前記한 바와 같이 該族에 對하여 配給할 食糧으로부터 控除케 함  
(라) 米穀을 領收하는 即時로 許可證 所持者는 領受한 正確한 數量을 許可證에 記入供進함 認可書에 如斯한 保證을 하디 한 때는 上記 許可證과 其所持人의 所持米를 함께 沒收하고 米穀配給票를 取消함 如此한 사안은 將次 다시 許可證을 領受權利又是 其配給票所載의 該當하는 期間中 다시 配給票를 領受權利가 있음  
(마) 許可證에 記入된 米穀全數量이 實際로 入되지 않을 時는 許可證 所持者는 該米穀配給票及 搬入申請을 하야 許可된 數量에 包含된 모든 人員의 米穀配給票의 返還을 請求할 수 있음 如斯한 場合에 米穀配給委員會는 米穀配給票를 返還하기 前에 配給票마다 다음과 같이 適當히 記入함 亦 實際로 領受한 米穀總數量을 米穀配給委員會에서 許可證을 發行할 때에 申請人에 依하야 返還된 米穀配給票의 總數를 除한 數量의 米穀을 領受할 許可證에 表示되도록 함 亦 어떤 米穀配給票 所持者가 領受할 米穀을 理由로 因하야 如此한 數量을 領受할 權利가 없을 때에는 該가 該米穀을 領受할 權利가 있는 殘餘數量 即如此한 數量에서 該가 領受할 米穀을 減한 殘餘數量을 該에 配當하야 하고 該配給票는 米穀配給委員會에서 保持及 抹殺함 亦 其 殘餘米穀은 其他 配給票 所持者에게 比例의 으로 分配함  
(바) 二人 以上의 米穀搬入許可證 所持者가 共同으로 米穀을 搬入할 수 있음 雇傭主, 會社, 協會及 組合은 許可證을 所持한 其 使用人 又是 職員을 爲하야 米穀을 搬入할 수 있음

### 第三條 許可證의 有効期限과 提出

本令에 依하야 發行된 釜山市米穀搬入許可證은 十四日을 超過하는 期間 附屬 發行되지 못하며 其 期間 以上 有効치 못함 如何한 許可證도 指定된 期日 滿了 後인 使用 또는 受領되지 못함 亦 모든 許可證 所持者는 指定된 期日 滿了 前에 許可證을 앞에 規定한 바와 같이 實際로 獲得한 米穀數量에 關한 保證과 함께 釜山米穀配給委員會에 提出함 亦 許可證 所持者가 其 許可證과 前記 規定한 形式의 保證을 함께 提出하지 않을 時는 其 許可證 所持者가 許可證에 記載된 數量의 米穀을 實際로 獲得한 것으로 決定의 으로 看做함

### 第四條 檢査, 沒收, 罰則

米穀을 運搬하는 者는 主要及其他 道路에 設置된 檢査所, 各 驛의 檢査所 又是 警察官의 要求에 依하야 何處에서든지 許可證及 米穀의 檢査를 受하여야 함 運搬된 米穀이 許可數量을 超過한 時 又是 許可證을 虛偽 또는 不正하게 記入保證 또는 變更하였을 時에는 警察官은 如斯히 超過量을 搬入하는 者 또는 虛偽의

또는 變造된 許可證을 所持한 者의 總所 持米를 沒收하고 領收證을 交付하며 即時로 此米穀全量을 配給制度에 依하야 配給할 時까지 爲하야 接近하는 市廳 또는 政府倉庫에 引渡함 亦 如斯한 米穀을 領收한 倉庫는 警察官으로부터 領收한 모든 米穀에 關한 文書를 保管함 亦 警察官과 其 倉庫는 即時其 押收에 關한 諸般 事實을 其所屬 町會長及 釜山米穀配給委員會에 報告함 亦 如此히 超過米穀을 運搬하는 者 又是 偽造及 變造 許可證 또는 所持權限이 許可證을 所持하는 者는 陸軍占領裁判所에서 判決하야 其所定 刑罰에 處함

第五條 1946年 1月 25日 附 法令 第四十五號의 關係  
本令에 依한 合法의 行爲는 1946年 1月 25日 附 法令 第四十五號에 抵觸되지 得함

第六條 施行期日  
本令은 公布時日에 効力이 發生함  
1946年 5月 20日

朝鮮軍政長官 아·취·일·에·취·일  
美國陸軍少將

### ○ 法令第九十號 經濟統制

第一條 目的  
本令의 目的은 經濟統制에 關한 事務에 從事하는 朝鮮政府 各機關의 責任範圍을 明白히 하고 職務及 關係를 定義함에 在함

第二條 中央經濟委員會  
(가) 創設及 機構  
中央經濟委員會는 該에 創設함 其는 委員長, 常任 幹事及 農務, 商務, 財務 運輸 各部長을 合한 六名으로 構成함 委員長及 常任 幹事는 軍政長官에 依하야 任命되고 任意로 職務를 遂行함 委員長은 委員會의 輔佐役及 職員의 任命, 給與, 停職, 免職을 決定할 權限이 有함 委員會에 또는 委員會를 爲하야 勸誘 또는 政府有給官吏는 如斯한 勸誘에 對하야 追加報酬을 得하지 못함

(나) 職務及 機能  
此委員會는 左記 各項을 遂行함

- 1 經濟統制에 關한 모든 政府機關의 政策, 企劃及 活動을 調整하야 軍政長官을 輔佐함
- 2 國家經濟企劃, 生産可能量及 目標 輸入輸出品의 品類及 量의 決定, 生産者의 材料, 設備, 機械, 裝置, 動力, 燃料及 勞務의 配置, 輸入及 地方生産品의 配給及 利用, 價格의 安定及 消費者 物品의 限定配給及 供給不足物品의 收集 또는 統制를 行함
- 3 價格, 生産, 配給, 勞務에 影響을 與하는 모든 經濟統制를 發展시키고 監督하며 軍政廳에 依하야 權限을 賦與되도록 軍政廳全體를 通知하야 如此한 統制의 齊整을 發展시키고 監督함
- 4 各企劃及 企劃의 計劃에 必要한 資料를 蒐集分析하고 相互關係시키며 軍政長官의 使用에 供할 수 있도록 함
- 5 軍政長官의 決裁를 得하야 軍政廳의 모든 代理機關에 依한 經濟行爲를

支配하는政策을樹立하고 또 如斯한行爲을成就하는方法을指示함에必要한規則, 指示及命令을發布함

(가) 規則의發表

中央經濟委員會의規則은 軍政長官의決裁를得하여 官報에發表되고 法律의効力を發生함

第三條 朝鮮經濟諮問委員會

(가) 法令第五十三號第三條의廢止

1946年2月20日附 法令第五十三號第三條는 茲에廢止함

(나) 職務及機能

朝鮮經濟諮問委員長의召集에依하여 開催하고 經濟問題에關하여 研究을 하고 要求에따라 軍政長官及中央經濟委員會에 意見과助力을 提供함

第四條 中央價格行政處

(가) 創設及機構

中央價格行政處를 茲에創設함 其는 軍政長官에依하여 任命되어 任官로 職務處理를할수 있는 中央價格行政官으로構成될 行政官은 行政處補佐役及職員의任命, 給與, 停職, 解職을 決定할權限을享有함 政府의有給官吏는 如斯한勸務에對하여 追加報酬를得하지못함

(나) 職務及機能

此行政處는左記各項을遂行할事

一 政策, 企劃及計劃을中央經濟委員會의 政策, 企劃及計劃에一致하게함 二 相關의價格安定의維持及消費者利益의保護에關한提案을함

三 價格政策及計劃에關聯이있는 朝鮮政府의모든行政部署, 代理機關及補助機關과의連絡을維持하며 그들과의關係를齊整함

四 中央經濟委員會에依하여樹立된價格原則及定期內에서 價格을決定하고 價格政策及計劃에關한 其他方法을樹立하고 또 如斯한方法의 施行을指示함

(다) 規則의發表

中央價格行政處의規則은 軍政長官의決裁를得하여 官報에發表되고 法律의効力を發生함

第五條 中央食糧行政處

(가) 創設及機構

中央食糧行政處가 茲에創設됨 其는 軍政長官에依하여 任命되어 任意로 職務處理를할수 있는 中央食糧行政官으로構成될 行政官은 行政處補佐役及職員의任命, 給與, 停職, 解職을 決定할權限을享有함 政府의有給官吏는 如斯한勸務에對하여 追加報酬를得하지못함

(나) 職務及機能

此行政處는 左記各項을遂行할事

一 其政策, 企劃及計劃을 經濟委員會의 政策, 企劃及計劃에 一致하게함

二 穀物其他食糧에對한收集, 移動及貯藏의手續을包含한 사람及動物의모든食糧及飲料의獲得, 供給, 配當分配及限定配給에對하여 提案함

三 食糧政策及計劃에關聯이있는 朝鮮政府의모든行政部署, 代理機關及補助機關과의連絡을維持하며 그들과의關係를齊整함

四 食糧政策及計劃에關한方法을樹立하고 또如斯한方法의施行을指示함

(다) 規則의發表

中央食糧行政處의規則은 軍政長官의決裁를得하여 官報에發表되고 法律의効力を發生함

第六條 法律의廢止及保留條項

(가) 一般告示 (自第1號一至第6號)의廢止

一般告示 (自第1號一至第6號)는 모두 茲에廢止됨 但下記事項이 規定됨

(1) 本規則은 如斯한一般告示에依하여 解散된團體, 組織體의再生 又は無効모든如何한法律, 規則, 條例及法令의再制定을意圖하지않으며 또그렇게解釋되어서는안됨

(2) 朝鮮(조선)石炭配給會社(茲에朝鮮(코리아)石炭配給會社라고稱함)는 軍政廳代理機關으로써存續함 中央經濟委員會及中央價格行政處의 政策, 企劃及計劃 又は其他法律의 要求에依하여 朝鮮石炭配給會社는 有煙炭, 無煙炭及瀝青(燃料用)을獲得, 貯藏, 配當, 限定配給, 販賣及分配하고 配給業者를認許하며 또軍政廳에依하여 權限이賦與된如斯한 일에關係된事務에從事함

三 朝鮮水產會社는 軍政廳代理機關으로써存續함 中央經濟委員會, 中央價格行政處及中央食糧行政處의 政策, 企劃及計劃 또는其他法律의 要求에依하여 朝鮮水產會社는 水産物(各種의 水中生物, 動物, 植物을包含함)及漁獲設備, 器具, 附屬品, 生鮮其他各種의 水中生物을 捕獲 또는 保存함에 使用 또는 應用되는 物品器具를獲得, 貯藏, 配當, 限定配給, 販賣及配分하고 配給業者를認許하며 또軍政廳에依하여 權限이賦與된如斯한 일에關係된事務에從事함

四 石油配給代行所는 軍政廳代理機關으로써存續함 中央經濟委員會及中央價格行政處의 政策, 企劃及計劃 또는其他法律의 要求에依하여 石油配給代行所는 石油及石油生産品을獲得, 貯藏, 配當, 限定配給, 販賣及配分하고 配給業者를認許하며 또軍政廳에依하여 權限이賦與된如斯한 일에關係된事務에從事함

(나) 法令第六十二號의廢止及 藥品最高價格等의繼續有効

1946年3月29日附 法令第六十二號는 茲에廢止함 但下記事項이 規定됨

(1) 1946年5月2日附 保健厚生部令第一號는 茲에何等의影響을 받지아니하며 其命令의規定及其의添附된價格表에表示된價格은 中央價格行政處의規則에依하여 變更될時까지 完全히有効함

(2) 保健厚生部長은 中央經濟委員會及中央價格行政處의 政策, 企劃及計劃 또는其他法律의 要求에依하여 藥品, 藥劑, 乳藥及膏藥 又は保健事業에使用되는(派生物, 混合物)其他商品目의生産, 獲得, 貯藏, 限定配給, 配當及配分에關聯되는모든必要한統制을樹立하며 生産者, 製作者, 販賣業者, 配給業者及藥劑師를認許하고 또軍政廳에依하여 權限이賦與된如斯한 일에關係된事務에從事함

第七條 政策及專業의整合

朝鮮政府의모든行政部署, 代理機關及補助機關은 其政策, 企劃及職務遂行을中央經濟委員會, 中央價格行政處及中央食糧行政處의政策, 企劃及職務遂行에適應시키며 一致시킬것

第八條 刑罰

中央經濟委員會, 中央價格行政處及中央食糧行政處에依하여 發布된法律의 効力을有하는 規則에違反하는者는 陸軍占領裁判所의 判決에따라 所定刑罰에處함

第九條 施行期日

本令은 發布日에効力を發生함

1946年5月28日

朝鮮軍政長官 아-쉬-엔-러-쉬  
美國陸軍少將

○ 法令第九十三號 外國과의交易統制

第一條 無免許取引의禁止

免許又是其他方法으로 朝鮮軍政廳에依하여 特別公認됨을除外하고 左記取引을禁함

(가) 朝鮮外의個人又是 政治團體가 直接又是間接으로 利法關係를有하는取引

(나) 朝鮮內의어는個人又是政治團體에依하여 所有, 保持 또는管理되는下記形態의財産을包含하는取引

(1) 朝鮮에 있는財産(又是그에對한證據)

(2) 金, 銀, 白金又是其他貴金屬及如斯한金屬을含有한貨幣又是地金

(3) 朝鮮內에서 의非法貨

(4) 所在의何處인을不問하고 朝鮮內에서 의非法貨로表現된又是支拂한 또는朝鮮外의個人又是政治團體에依

하야發行又は創設된 또는 朝鮮外의 個人 또는 政治團體에 對하야 假借을 創設 또는 創設한 다음 主張하는 證書, 流通證券及其他所有權 또는 債權의 證書 (5) 所在의 何處임을 不問하고 朝鮮外의 個人 또는 政治團體에 對하야 또는 朝鮮內에서 의 非法貨로 表現된 請求 또는 그에 關한 證據

(6) 所在의 何處임을 不問하고 朝鮮外의 個人 또는 政治團體가 如何한 性質의 利害關係임을 不問하고 直接 또는 間接으로 利害關係을 有하는 財法 (4) 前述한 禁止事項을 忌避 또는 回避 目的으로 하는 또는 此外同一한 結果를 齎來하는 取引

**第二條 財產及債權의 申告**

本法令施行後 60日以內로 (가) 日本에 있는 財產 또는 日本에 있는 個人 또는 財產 또는 日本政府에 對하야 請求 또는 其證據를 除外하고 本令第一條 (나) 項에 記載된 財產을 直接 또는 間接으로 또는 其全部 또는 一部分을 所有, 所持 또는 管理하는 者 (나) 日本內의 個人 또는 日本政府에 對하야 除外한 朝鮮外의 個人 또는 政治團體에 對하야 履行期의 到來未到來를 不問하고 履行할 債務을 負擔하고 있는 者는 隣接하는 朝鮮銀行 支店 또는 指定代行所에 如斯한 財產 또는 債務에 關한 申告書를 同支店 또는 代行所에서 提供하는 樣式에 依하여 提出할 事

**第三條 記錄의 保管及檢査**

財務部長은 何人에게든지 本令第一條에 記載된 財產 또는 取引에 關한 完全한 書類의 保管及 때 때로 報告書의 形式이든지 其他形式으로든지 此에 關한 完全한 通知를 要求할 수 있음  
如斯한 通知書는 如斯한 者가 保管하는 帳簿의 記入事項, 契約書類, 票據 其他書類를 包含할 수 있으며 財務部長은 此等書類의 提出을 要求할 수 있음  
第一條에 記載된 取引에 從事하는 者는 如斯한 取引이 免許에 依하여 有效하거나 또는 其他方法에 依하여 有效하거나를 不問하고 그에 對한 完全한 記錄을 保管하며 如斯한 記錄은 其 取引期日 從最少二年間 保管하여 檢査에 所用되도록 할 事

**第四條 免許申請及免許當局**

本令으로 禁止된 取引의 從事에 關한 免許 또는 許可에 對한 申請은 免許當局인 財務部長에게 提出할 事  
但 1946年 7月 12日 附 外國貿易規則 第一號에 依하여 外國貿易을 許可하는 免許狀 또는 許可狀이 商務局에 依하여 發行되었을 때는 本令에 依한 別個의 免許狀은 必要치 않음 그러나 商務局에 依하여 發行된 免許狀 또는 許可狀은 外國貿易에 從事할 때 앞서 財務부에 依하여 其

表面에 是 認證을 받야 할

**第五條 禁止된 取引及 濟渡는 無効임**  
本法令에 依하여 禁止된 濟渡, 取引及 本法令을 忌避 또는 回避할 目的으로 하는 또는 그 利한 效果를 齎來하는 約定은 當初부터 無効임

**第六條 抵觸되는 規定의 一致化**  
本令과 不一致한 本令規則斗 抵觸하는 모 法律及 法規 또는 其部分은 茲에 廢止됨

**第七條 定義**—此法令內에 使用된 時 (가) 用語「人」은 自然人 또는 法人을 包含함

(나) 用語「取引」은 獲得, 輸入, 借入 回收, 別途 保管, 報酬의 有無는 莫論한 受取, 送金, 寶濟, 減免, 讓渡, 移動, 輸出, 抵當, 擔保 또는 其他處理及 支拂, 償還, 貸出 保證, 又是 其他 本法令에 記載된 財產에 關한 取扱을 包含함

(다) 用語「財產」은 建物及 土地 其他의 不動產及 不動產及 期限의 到來未到來를 不拘하고 如斯한 財產에 對한 合法, 正當 또는 經濟의 權利 또는 利益 關係 또는 請求及 通貨, 銀行 殘高, 小切手, 支拂命令書, 爲替手形及 其他 支拂證書及 株券, 無記名株券, 所有權證書, 請求書, 借所證書, 社債券及 其他 負債의 證據를 包含함

(라) 財產이 某의 氏名으로 또는 그의 計算 또는 利益을 爲하야 所持되던가 또는 그의 指定人 또는 代理人의 負擔으로 되어 있든가 또는 그가 如斯한 財產을 獲得, 受取 또는 取得하는 權利 또는 債務을 有하는 時는 其 財產은 그에 依하여 「所有, 所持 또는 管理」됨으로 認定함

(마) 本令에 있어서 「朝鮮」이라 함은 三八度以南의 朝鮮을 意味함으로 認定함  
(바) 「政治團體」는 政府及其 部署, 補助機關 또는 其 代行機關을 包含함

**第八條 刑罰**  
本令의 規定에 違反하는 者는 陸軍占領裁判所의 判決에 따라 其所定 刑罰에 處함

**第九條 施行期日**  
本令은 公布時日에 効力이 生함

1946年 7月 4日  
朝鮮軍政長官 아-취-영·러-취  
美國陸軍少將

**○ 法令第九十五號 補助軍票인 「A」印의 圓通貨의 預入**

**第一條 預入命令**  
北緯 38度以南 朝鮮內의 自然人及 法人에게 1946年 7月 1日 부터 7月 10日 까지 第二條에 列記한 金融機關에 自然人及 法人이 所有 또는 所持하는 駐屯軍에 依하야 發行된 補助軍票인 「A」印의

圓通貨를 모다 預入하기 爲命令함 同手續은 法令第五十七號 規定의 手續과 同一함

나 1946年 7月 10日 以後 如斯한 通貨의 輸出, 輸入, 領收, 支拂 또는 故意로 所有 또는 所持, 交付 또는 其他 讓渡, 取扱 또는 如此한 通貨에 關한 如何한 去來에도 從事함을 禁止함

**第二條 指定金融機關**  
左記各金融機關은 本令에 依한 預入을 爲하야 補助軍票인 「A」印의 圓通貨를 受領할 權限을 附與하여 本令에 依한 預入을 受領하도록 指合함

- 朝鮮銀行
  - 朝鮮殖産銀行
  - 朝鮮興業銀行
  - 朝鮮商業銀行
  - 朝鮮信託會社
  - 朝鮮貯蓄銀行
  - 金融組合聯合會
- 各金融機關은 下記事項을 遵守할 事  
가 本令에 依하야 預入된 銀行券은 朝鮮銀行本店에 提出할 事  
나 預入期間後 即時에 通貨預入額을 朝鮮軍政廳 財務部에 報告할 事

**第三條 辨價**  
合法的으로 所有하야 1946年 7月 1日 부터 同 10日 까지 的 期間內에 預入된 補助軍票 「A」印의 圓通貨에 對한 辨價은 平價로 朝鮮銀行 圓券으로 함

**第四條 罰則**  
本令의 規定에 違反한 者는 陸軍占領裁判所의 判決에 따라 其所定 刑罰에 處함

**第五條** 本令의 規定은 聯合國軍人, 聯合國軍屬 또는 그 家族 또는 太平洋美國陸軍總司令部 또는 其上 級權威로 부터 補助軍票인 「A」印 通貨使用을 許可可 받음 其他 人員에게는 適用되지 않음

**第六條 施行期日**  
本令은 公布日에 効力이 生함

1946年 7月 1日  
朝鮮軍政長官 아-취-영·러-취  
美國陸軍少將

**○ 法令第九十六號 藥品及藥品營業取締令及其施行規則改正**

**第一條 目的**  
本令의 目的은 現存規則을 改正하야 藥品의 販賣及 製造의 標準을 改正하야 許可要件을 朝鮮政府의 一部內로 統合함을 在함

**第二條 制令第二十二號의 改正**  
1912年 3月 28日 附 制令第二十二號 藥品及 藥品 營業取締令은 左와 如히 改正함  
(가) 「朝鮮總督」이라는 語句는 何處에 있든지 此를 削除하고 「保健厚生部長」이라는 語句를 代置함  
(나) 「通知事」라는 語句는 何處에 있든지 此를 削除하고 「道保健生局長」이라는

語句를代置함

(다) 但 保健厚生部長의指示에 따라 再登錄한必要가 있음이라는文句를 茲에附則第三項에追加함

第三條 總督府令第五十五號의改正

1912年3月附 總督府令第五十五號는 茲에左記와如히改正됨

(가) 朝鮮總督이라는語句는 何處에 있든지 此를削除하고 保健厚生部長이라는語句를代置함

(나) 醫務部長及警察署라는 語句는 何處에 있든지 此를削除하고 道保健厚生局長이라는語句를代置함

(다) 第一條第二項에 있는 內務省이라는語句를削除하고 朝鮮政府保健厚生部長이라는語句를其에代置함

(라) 第一條의四는 茲에其全文을削除하고左와같이代置함

「茲에規定된手數料納付와同時에 志願者는 左記事項을具備하여 保健厚生部長에게提出함」

(1) 姓名, 性別, 生年月日, 本籍及現住所

(2) 履歷書

(3) 最近寫眞二枚 (名刺型)

(4) 認可된藥學校의卒業證書 또는 卒業證書의寫本 또는 志願者가 藥師 또는 外國藥劑師試驗에合格하였음을 表示하는證明書 또는 志願者의 外國藥劑師許可狀의寫本

(5) 現金50圓 또는 保健厚生部長宛郵便爲替의登錄手數料」

(다) 第二條는 茲에全部削除됨

(라) 第五條第二項及第三項은 茲에全部削除하고 下記와如히代置함 賣藥業者及製藥業者는 製造 또는 輸入된藥에關한다음과같은報告를 其本店所在地管轄道廳保健厚生局長에게提出함 藥名及各成分量, 製造及用途 또는 服用法 製藥業者及賣藥業者에對한 모든許可는 道保健厚生局長이 如斯한許可를 賦與하기前에 爲先保健厚生部長에게依하여 承認되어야함

(사) 第六條는 茲에左記와 如히改正됨 賣藥業者 또는 製藥業者가 本令第五條에依하여 要求된資料를 變更하야 할時는 原資料及企圖하고 있는變更을 記載한申請書를 本店所在地道保健厚生局長에게 提出하야 其變更을申請함

(아) 但醫務總監部의 承認을得하야 此를省略할수 있음이라는文句는 茲에第八條에서削除함

(자) 第十七條는 茲에全部削除하고 下記와如히代置함

賣藥行商은 許可치않음 賣藥行商은 茲에違法이라고 宣貫함 如斯한 規則內他條에 賣藥行商이

라는語句의 使用又是其에關聯한 모든것은 茲에削除함

(차) 第二十條는 茲에下와如히改定됨 朝鮮政府保健厚生部長에게提出한 모든書類는 地方保健官을通하여提出함亦

(카) 附則은 茲에全部削除하고 下記와如히代置함

醫藥品 또는 賣藥品의 劑劑, 販賣 또는 製造許可를 得한者로서 本令施行期日從二個月內에 現許可狀寫本及第一條의四와 第五條及第七條(茲에改定함)와如히 要求한資料를提出치 않고 卽후에規定한바와如히 新許可狀을受得치않고서 如斯한藥業에 從事 또는 參加함은 違法임

第四條 刑罰

本令의規定에違反하는者는 陸軍占領裁判所의 判決에依하여 其所定刑罰에處함

第五條 施行期日

本令은 發布日에 効力을發生함

1946年7月25日

朝鮮軍政長官 아-취-엘-러-취  
美國陸軍少將

○ 法令第九十七號 勞働問題에關한 公共政策公布及勞働部設置

第一條 政策宣布

在朝鮮 美國陸軍軍政廳은 勞働問題에關한 公共政策을 下와如히宣布함

(가) 民主主義의 勞働組合의 發展을 獎勵함

(나) 勞働者는 自律의 勞働組合을 通하여 勞働聯合會를 組織하고 加入하며 他勞働組合을 援助하며 又是 援助를受하는 權利가 있는 同時에 雇主와 其代理人의 干涉을 受치않고 雇傭契約의 期間及條件을 協定할 目的으로 自己가 選舉한 代表者를 指名할 權利가 有함

(다) 雇傭契約에 있어서 雇主와 勞働組合間의 合致된 勞賃, 勞働時間及 其他雇傭條件을 明記한 平和의 協定을 獎勵함

第二條 勞働部의 設置

上記 勞働政策을 達成하고 朝鮮經濟의 有能한 技能을 助長하기 爲하야 茲에 勞働部를 朝鮮政府內에 設置함 朝鮮政府 商務部 勞働局長은 茲에 廢止함 其 모든 任務及 職能은 茲에 列記한 目的을 達成하기 爲하야 勞働部에 移管함 勞働部의 모든 書類, 資金, 財産及 朝鮮人은 商務部長과 人事行政廳及 朝鮮政府 財務部司計局과 對等한 權限으로 發한 法令에 依하여 勞働部에 移管함 勞働部는 朝鮮經濟의 有能한 技能을 助長하고 朝鮮의 財金 勞働者의 福祉를 助成, 增進, 發展시키며 其 勞働條件을 改良하고 有利한 雇傭에 對한 禮會를 進步시킴 目的으로 함

第三條 勞働部의 任務及 職能

勞働部는 下記의 任務及 職能을 保有함

(가) 勞働政策及 計劃을 系統의 으로 記述하고 軍政長官의 指示下에 及 1946年5月28日 附 法令第九十號及 勞働問題에關하여 軍政廳이 宣布한 公共政策及其他法律의 要求하는 範圍內에서 雇傭條件, 雇傭及 政府外의 勞働關係又是 勞働의 福祉에 影響을 及하는 其他要素에 關하여 一般監督을 行함

(나) 1945年12月8日 附 法令第三十四號及 勞働問題에關하여 軍政廳이 公布한 公共政策及其他法律의 要求에 依하여 勞働爭議의 調停을 有効히 達成하기 爲하야 勞働調整委員會及 同委員會에 關하는 全員을 監督管理함

(다) 國家 雇傭事務及 勞働情報事務를 監督又是 管理함

(라) 軍政廳이 勞働問題에關하여 宣布한 政策을 遂行하고 朝鮮經濟의 有能한 技能을 助長하고 勞働의 福祉를 增進하기 爲하야 勞働法을 軍政長官에게 推挙함

(마) 軍政長官의 認可를 得하야 此法令及 施行할 其他 勞働法의 施行 又是 本令의 目的을 遂行하기 爲하야 必要한 모든 規則을 官報에 發布 準備함

(바) 本令의 目的及 勞働問題에關하여 軍政廳이 宣布한 公共政策을 軍政長官의 監督指示下에 及 現行法律의 範圍內에서 遂行하기 爲하야 必要한 모든 職能及 任務을 遂行함

第四條 罰則

此法令에 準하여 發布되고 軍政長官의 認可를 得하야 官報에 發布된 法律의 効力이 有한 勞働部 規則條項에 違反한者는 陸軍占領裁判所의 有罪判決에 依하여 裁判所가 決定한 刑罰을 受함

第五條 有效期日

本法令은 公布日 부러 有効함

1946年7月23日

朝鮮軍政長官 아-취-엘-러-취  
美國陸軍少將

○ 法令第九十八號 貿易局及 商務局의 設置 (本文省略)

1946年7月11日

朝鮮軍政長官 아-취-엘-러-취

○ 法令第百號 朝鮮商會議所의 廢止 (本文省略)

1946年7月25日

朝鮮軍政長官 아-취-엘-러-취

○ 法令第百一號 稅令의 改正

第一條 稅令及 稅率의 改正

(가) 物品稅改正

(1) 1940年5月31日 附 制令第十八號 朝鮮物品稅令 (改定)에 規定된 稅率

은更司下記外如히改正됨

(一) 第一種

- 甲類 30  
100
- 乙類 20  
100
- 丙類 10  
100
- 丁類 5  
100

(二) 第二種

- 甲類 30  
100
- 乙類 20  
100
- 丙類 10  
100
- 丁類 5  
100

(2) 1940年3月31日附制令 第十八號朝鮮物品稅令(改正)에記載된稅率은茲에下와如히改正됨

(一) 第一種

乙類 第八、十七、二十、二十一號는茲에全部削除함  
 丙類 第二十三、二十四、二十五、二十七號는茲에全部削除함 帽子類는茲에第二十二號에서削除됨  
 丁類 第二十八、二十九號는茲에全部削除함

(二) 第二種

甲類 第十五號는 石鹼、齒磨粉、煉齒磨、齒刷子以外의化粧品으로改正함  
 乙類 第十八、二十四、三十、三十四、三十五號는茲에全部削除됨 籠은茲에第二十八號에서削除됨 兒童用은 第二十九號에서削除됨 第三十七號는米를包含한 것以外의菓子로改正함 第三十一號는茲에裝飾用漆器、陶器及硝子器로改正함  
 丙類 第四十一、五十三、五十四、五十五、五十六、五十八、五十九號는茲에全部削除함  
 丁類 第六十四、六十六、六十八、七十、七十一號는茲에全部削除함

(三) 第三種

第一號는茲에全部削除함 第二號는茲에米를包含한菓子以外의葡萄糖及麥芽糖으로改正함 第五號에는茲에「米를包含한菓子は 小賣價格의百分之百의稅率課稅함」이라는句節을追加함

(4) 砂糖消費稅廢止

1902年3月30日附 第十三號稅令(改正)에規定된稅率은茲에廢止함

(다) 遊興飲食稅改正

1940年3月31日附制令 第十九號朝鮮遊興飲食稅令(改定)에規定된稅率은茲에下記外如히改定됨

(一) 甲類

妓生許可 있는料理店...每人當二十圓

以上의料理...料金全額의  $\frac{30}{100}$

(二) 乙類

妓生許可 없는料理店...每人當二十圓

以上의料理...料金 全額의  $\frac{20}{100}$

妓生許可 없는料理店...妓生을메리고와서遊興하는客...料金 全額의  $\frac{20}{100}$

(三) 丙類

每人當一日三十圓以上의宿泊料金...料金 全額의  $\frac{10}{100}$

(다) 入場稅改正

1940年3月31日附制令 第二十二號朝鮮入場稅令(改正)은下와如히 改正됨

(一) 第一種

2圓50錢以上의 入場料...入場料全額의  $\frac{30}{100}$

(二) 第二種

撞球場의入場料...入場料의  $\frac{30}{100}$

麻雀俱樂部、舞蹈場、毬球場은入場料의  $\frac{50}{100}$

氷場、卓球場、射弓場、射擊場의入場稅는茲에廢止함

(三) 第三種

利益없이(非營業的)의公開하는行事의特別入場稅는茲에廢止함

(다) 特別行爲稅改正

1945年3月31日附制令第八號特別行爲稅令(改定)에規定된稅率은茲에更司下와如히改正됨

(一) 第一種

攝影、現象、機付、機着에 對한20圓以上의料金... 料金全額의  $\frac{20}{100}$

(二) 第二種

理髮所及 美容院15圓以上의料金... 料金全額의  $\frac{20}{100}$

(三) 第三種

衣類의染色及刺繡70圓以上의料金... 料金全額의  $\frac{10}{100}$

(四) 第四種

洋服仕立 70圓以上의 料金... 料金全額의  $\frac{10}{100}$

(五) 第五種

箱篋櫃檯組立及裝飾은料金全額의  $\frac{20}{100}$

(六) 第六種

印刷及製本稅는茲에廢止함

(七) 第七種

樂器、寫眞機、蓄音機等의修繕은料金全額의  $\frac{10}{100}$

(八) 第八種

金融機關의保護寄託은料金全額의  $\frac{20}{100}$

(4) 廣告稅廢止

1942年3月24日附 制令第二十號朝鮮廣告稅令(改正)에規定된稅率은茲에廢止함

(가) 骨牌稅

1931年4月15日附 制令第一號 朝鮮骨牌稅令(改定)에規定된稅率은茲에下記外如히改定함

(一) 트럼푸一組에5圓

(二) 骨牌 一組에15圓

(三) 麻雀 一組에100圓

(4) 建築稅의廢止

1940年3月31日附制令第十二號朝鮮建築稅令(改定)에規定된稅率은茲에廢止함

第二條 施行期日

本令은發布日에効力을生함

1946年8月31日

朝鮮軍政長官 아-취-일-러-취  
英國陸軍少將

○ 法令第一百五號 米穀收集令의

廢止及米穀搬入許可證의失効

一 目的

本令은1946年5月28日附 法令第九十號(經濟統制)第五號(가)項의規定에依하여 1946年8月12日附中央食糧規則第二號(米穀收集令)의發布에따라此에關한從前法令의廢止와許可證의効力을 喪失함을으로써目的을

二 廢止된法令

下記法令은 廢止함  
 (가) 1946年1月25日附 法令第四十五號(米穀收集令)  
 (나) 同年4月24日附 法令第七十七號(서울市에關한特別米穀令)  
 (다) 同年5月20日附 法令第八十七號(釜山市에關한特別米穀令)

三 法令의廢止及米穀搬入許可證의無効

前項에列舉한 法令에關聯하여 從前에發布한法令、訓令、通牒其他는因從一切廢止하며 此에依하여發付한許可證等은 本令施行과同時에 全部失効됨을宣稱함

四 許可證의返還

法令第七十七號同八十七號에依하여發付된許可證은 本令施行後十日以内에實際搬入한米穀數量은記載하여야 否發付한官廳에返還하여야함 此에違反한場合에는 許可證에記載된米穀數量의全部를搬入한것으로看做함

五 米穀의配給

許可證發付官廳에서는 許可證에記載된米穀數量의全部가實際上搬入되지않은事實을認定한事는 許可證所持者에게 定例의米穀配給을允할수

있도록措置함이可함  
**六. 違反에對한 新追의 効果**  
 本令은 그 施行前 第二條記載의 法令及 그에 關聯하여 發布된 各法令의 違反行爲에 對하여 現在는 勿論 將來의 新追에 對하여 何等의 影響이 無함  
**七. 施行期日**  
 本令은 公布日 부터 効力이 生함  
 1946年8月31日  
 朝鮮軍政長官 아·취·열·러·취  
 美國陸軍少將

**○ 法令第八號 企業法廢止令**

**第一條 目的**  
 本令은 朝鮮經濟活動에 發展을 日本의 戰爭目的의 遂行에 阻礙한 日本企業許可令을 廢止하고 朝鮮의 商工業의 發展을 獎勵促進함을 目的함  
**第二條 法令의 廢止**  
 下記法令을 廢止함  
 (가) 1941年12月11日 附勅令第1084號 (企業許可令)  
 (나) 1941年12月26日 改正總令第338號 (企業許可令施行規則)  
**第三條 有効期日**  
 本法令은 發行日 로부터 有効함  
 1946年9月18日  
 朝鮮軍政長官 아·취·열·러·취  
 美國陸軍少將

**○ 法令第九號 地方稅의 改正**

**第一條 目的**  
 本法令의 目的은 地方行政廳及 朝鮮經濟의 機能을 充實케 하기 爲하야 地方稅制度의 單純化와 稅率의 改正으로 地方收入을 增加함에 있음  
**第二條 戶別稅**  
 (가) 稅率——1945年中 所得으로부터 適用한 道及 地方團體稅의 稅率은 如左함  

(稅目)	(稅率)
道稅	賦課指數一個에 對하야 金11圓
府邑面稅	同 金11圓
學校費	同 金30圓

 (나) 賦課指數——各所得等級에 對한 賦課指數는 此에서 制定施行하는 規則에 依한 戶別稅 賦課額에 依함 但 第133條에 對한 賦課指數는 左와 如히 改正함  

等級	所得總額	賦課指數
133	2,000,000圓	25,700

 上記所得額以上은 每所得金50萬圓 增加에 對하야 賦課指數10,000을 增加함  
 (다) 控除——左記金額은 資力標準인 所得中에서 控除함  
 (1) 世帶主에 對하야는 1,000圓

(2) 年齡十八歲以下 又は 六〇歲以上의 家族 一人에 對하야는 200圓 但 總額이 2,000圓을 超過함을 不得함  
 (라) 減額——世帶主及 同居家族이 支拂할 第三種所得稅額과 戶別稅額(市府, 邑, 面附加稅, 學校費附加金을 包含함)의 合計가 그 資力標準인 所得의 九割을 超過한 境遇에는 그 超過額을 戶別稅(府, 邑, 面附加稅, 學校附加金을 包含함)額中에서 削減하야 上記所得稅額과 戶別稅額(府, 邑, 面附加稅, 學校費附加金을 包含함)의 合計額이 資力標準인 所得의 九割에 相當하도록함 그 削減의 比例는 戶別稅 市府, 邑, 面附加稅, 學校費附加金의 各負擔額의 比例에 依하야 算出함

**第三條 家屋稅**

(가) 稅率——1946年度부터 適用한 家屋稅의 稅率及 附加稅의 稅率은 下와 如함  

(稅目)	(稅率)
道稅	賦課單位一個에 對하야 金1圓50錢
府附加稅	道稅의 240%
邑附加稅	道稅의 200%
面附加稅	道稅의 160%

 (나) 賦課單位——賦課單位는 種類와 等級에 依하야 道에서 制定施行하는 規定에 依함

**第四條 林野稅**

1946年度부터 適用한 道稅 林野稅의 稅率은 每三千坪 又は 二端數를 賦課單位로 하고 其單一個에 對하야 金1圓50錢으로 함

**第五條 屠畜稅 屠場稅**

1946年度부터 適用한 牛及 豚의 屠畜에 對한 道稅 屠畜稅는 牛一頭에 對하야 金50圓, 豚一頭에 對하야 金5圓으로 함

**第六條 漁業稅**

1945會計年度 又は 1946曆年度 부터 適用한(現行法에 依하야 各稅目에 對하야 任意로 選擇適用할 수 있음) 漁業稅의 稅率은 左와 如함  
 (가) 養殖漁業  
 漁場面積 每一千平方에-타에 對하야  
 1 簾蓆(仔蓆을 包含함)에 依한 것..... 年額5圓  
 2 一本蓆에 依한 것 同  
 3 牡蠣養殖漁業 同  
 4 其他養殖漁業 同

(나) 定置漁業, 定所巢魚漁業, 定所鰓漁業, 定所蝦網漁業... 一漁場 漁獲 年額의 3%  
 (다) 專用漁業  
 一漁場에 對하야 漁獲年額의 3%  
 魚類와 水生植物... 採捕年額의 2%  
 (라) 捕鯨漁業

**(種類) (稅額)**

- 1 脊鯨鯨 一頭에 對하야 年額金6百圓
- 2 座頭鯨, 抹香鯨及 長鬚鯨 同 4百圓
- 3 鯨鯨及 克鯨 同 1百圓

**(마) 獲船 曳網漁業**

漁船一隻에 對하야  
 (漁獲年額) (稅額)  
 一 金5千圓未滿 年額金200圓  
 二 金5千圓以上1萬圓未滿 年額300圓

三 金1萬圓以上1萬5千圓未滿 年額400圓  
 四 金1萬5千圓以上2萬5千圓未滿 年額500圓

五 金2萬5千圓以上은 年額700圓에 每 漁獲高5千圓을 增加할 때 마다 金200圓을 加함

**(바) 獲船 巾着網漁業**

漁船一隻에 對하야  
 (漁獲年額) (稅額)  
 一 金1萬圓以下 年額金200圓  
 二 金1萬1圓부터 15,000圓까지 年額金300圓

三 金15,001圓부터 20,000圓까지 年額金400圓  
 四 金20,001圓부터 25,000圓까지 年額金500圓

五 金25,001圓부터 35,000圓까지 年額金600圓  
 六 金35,001圓以上은 年額金600圓에 每 漁獲高金5,000圓을 增加할 때 마다 金200圓을 加함

**(사) 潜水器漁業**

潜水器一具에 對하야 年額金1,000圓  
 (아) 曳網漁業中 地曳網漁業 船曳網漁業  
 漁網一具에 對하야  
 (漁網浮子方長) (稅額)

一 300에-타以下 年額金10圓  
 二 301에-타부터 500에-타까지 年額金15圓  
 三 501에-타부터 800에-타까지 年額金25圓

四 801에-타以上 年額金50圓  
 (자) 曳網漁業中 打網漁業  
 漁船一隻에 對하야(모-타를 使用하지 않음것)  
 (漁船長) (稅額)

一 15에-타未滿 年額金40圓  
 二 15에-타以上 年額金100圓  
 (차) 鰓網漁業中 鰓網漁業  
 漁網一具에 對하야  
 (方法) (稅額)

一 箕形抄網을 使用하는것 年額金10圓  
 二 網船四隻以上을 使用하는것 年額金25圓  
 三 其他 年額金5圓

(가) 網網漁業中 柱木網漁業

- (方 法) (稅 額)
- 一 漁船에附屬하여使用되는것  
漁網一具에對하여 年額金40圓
- 二 漁船에附屬하지않고使用하는것  
漁網一具에對하여 年額金10圓
- (가) 敷網漁業中 絞網漁業, 中船網漁業及弓船網漁業  
漁船一隻에對하여  
(船 長) (稅 額)
- 一 6浬-타未滿 年額金20圓
- 二 6浬-타以上8浬-타未滿 // 30圓
- 三 8浬-타以上 // 40圓
- (나) 敷網漁業中 掛網漁業及舉網漁業  
漁網一具에對하여  
(身網浮子方長) (稅 額)
- 一 90浬-타未滿 年額金10圓
- 二 90浬-타以上180浬-타未滿 // 20圓
- 三 180浬-타以上 // 50圓
- (計) 敷網漁業中 建干網漁業  
漁網一具에對하여  
(網 長) (稅 額)
- 一 200浬-타未滿 年額金10圓
- 二 200浬-타以上400浬-타未滿 // 15圓
- 三 400浬-타以上 // 20圓
- (가) 繰網漁業中 手繰漁業及曳網漁業  
中 漕網漁業  
漁船一隻에對하여  
(漁 船 長) (稅 額)
- 一 8浬-타未滿 年額金10圓
- 二 8浬-타以上 // 20圓
- (나) 繰網漁業中 桁網漁業  
漁船一隻에對하여  
(漁 船 長) (稅 額)
- 一 9浬-타以下 年額金10圓

- 二 9浬-타以上 // 20圓
- (가) 旋網漁業中 巾帶網漁業, 揚繰網漁業及逐魚網을使用하지않은 繰網漁業... 漁具一具에對하여  
(種 類) (稅 額)
- 1, 鱈, 鯖, 鱈, 又  
는 鱈, 鱈의 採捕 年額金 100圓
- 2, 其 他 // 25圓
- (나) 旋網漁業中 防碎網漁業, 石繰網漁業及逐魚網을 使用하는 繰網漁業  
漁網一具에對하여 年額30圓
- (다) 刺網漁業中 刺網漁業, 旋刺網漁業及流網漁業  
漁船一隻에對하여  
(種 類) (稅 額)
- 1, 鰻, 明太, 蟹, 鱈, 鱈全漁獲 年額金 20圓
- 2, 其 他 // 25圓
- (라) 刺網漁業中 機船刺網漁業及機船流網漁業  
機船一隻에對하여  
(모-타馬力) (稅 額)
- 1, 鯖及鯖  
(가) 20馬力未滿 年額金 60圓
- (나) 20馬力以上40馬力까지 // 100圓
- (다) 40馬力以上 // 200圓
- 2, 其他  
(가) 20馬力 未滿 // 50圓
- (나) 20馬力以上40馬力까지 // 80圓
- (다) 40馬力以上 // 150圓
- (마) 空釣網漁業  
漁船一隻에對하여  
(漁 船 長) (稅 額)
- 9浬-타以下 年額金 10圓
- 9浬-타以上 // 40圓
- (바) 裸潛漁業

- 潜水者一人에對하여 年額金 10圓
- (가) 海獸漁業  
銃器一挺에對하여 年額金 60圓
- (나) 釣漁業及次突漁業  
(方法) (漁船長) (馬力) (稅額)
- 1, 單竿漁業 1本에對하여 年額金 10圓
- 2, 延繩漁業 9浬-타以下 漁船 1隻에對하여 年額金 20圓
- 9浬-타以上 漁船 1隻에對하여 年額金 40圓
- 3, 機船을 使用하는것 10馬力未滿 漁船 1隻에對하여 年額金 20圓
- 10馬力以上20馬力까지 漁船 1隻에對하여 年額金 40圓
- 21馬力以上30馬力까지 漁船 1隻에對하여 年額金 60圓
- 31馬力以上 漁船 1隻에對하여 年額金 100圓
- (가) 以上各種類漁業에屬하지않은漁業  
(漁 船 長) (稅 額)
- 1, 6浬-타以下 年額金 10圓
- 2, 6浬-타以上 // 20圓
- 第七條 車輛稅  
1946年度半起適用할 車輛에對한 道稅及地方團體附加稅의 稅率은 下如하임

車 斗 種 類	區 分		種 類		
	區 分	貨 物 積 載 量	運 送 業 者	營 業 用	自 家 用
1. 電 車	가. 50人以下		年額金6,000圓		
	나. 51人부터80人까지		// 7,200 //		
	다. 81人以上		// 8,000 //		
2. 自 動 車	가. 小型車			年額金 400圓	年額金 600圓
	나. 3人以下		// 800 //	// 1,200 //	
	다. 4人부터8人까지		// 1,200 //	// 1,800 //	
	가. 15人以下		// 1,600 //	// 2,400 //	
	나. 16人부터23人까지		// 2,000 //	// 3,000 //	
3. 乘 客 用 叫 스	다. 24人以上		// 2,600 //	// 4,000 //	
	가. 1,000起未滿		// 800 //	// 1,200 //	
	나. 1,000-2,000起		// 1,200 //	// 1,800 //	
	다. 2,001-3,000起		// 1,600 //	// 2,400 //	
4. 貨 物 自 動 車	다. 3,001-4,000起		// 2,000 //	// 3,000 //	
	4,000起以上		// 2,600 //	// 4,000 //	
	가. 1,000起未滿		// 200 //	// 200 //	// 1,000 //
5. 自 動 自 轉 車			// 30 //	// 30 //	// 30 //
6. 自 轉 車					



7. 타야카				16	16	16
8. 乘用馬車	一頭가고는것		300	300	900	
	二頭以上이고는것		600	600	1,200	
9. 人力車			120	120	300	
10. 牛馬車	二輪車		120	120	120	
	四輪車		200	200	200	
11. 荷車	手引		60	60	60	

府、邑、面附加稅는 自動車와 自動自轉車에 있어서는 道稅의 170%, 其他車輛에 있어서는 道稅의 250%로함  
 第八條 不動產取得稅  
 1946年度부터 適用할 不動產取得稅及 地方團體附加稅의 稅率은 下와如하  
 (稅目) (稅率)  
 道稅 取得價格의 4%  
 府、邑、又는面稅 道稅의 80%

第九條 入亭稅  
 1946年度부터 適用할 道稅인 料理店入亭稅는 1人當金 7圓으로함 但 그 2/3는 本稅를徵收할 府、邑 又는面에交附함

第十條 府、邑、面民稅  
 1946年度부터 適用할 府、邑、面民稅의 稅率은 下와如하  
 府 納稅義務者 1人當金 20圓  
 邑 " " " " 20//  
 面 " " " " 10//

第十一條 雜種稅의變更  
 (가) 畜犬稅及船稅  
 1946年度부터 適用할 府、邑、面의 雜種稅의 稅率은 下와如하  
 犬稅 1匹에對하여 年額金 30圓  
 船稅 1噸부터 5噸까지 // 80//  
 6噸부터 10噸까지 // 100//  
 10噸以上 金 100圓에每 1噸을 附加할 때 마다 金 10圓을 增加함

(나) 府、邑、面의 下記雜種稅는 茲에 廢止함 但 1946年度부터 課稅치않음 佛僱稅, 王突寔稅, 借人稅, 扇風機稅, 電柱稅, 放生稅, 피아노稅, 金庫稅, 紙仕入稅.

第十二條 低價되는 法律의 廢止  
 本法令과 低價되는 모든 法律, 命令, 規則, 訓令及其他는 茲에 廢止함

第十三條 徵收手續  
 法令으로 改正 또는 廢止되지 않은 限 現行 道稅及 府、邑、面稅徵收手續은 完全히 有効함

第十四條 施行日期  
 本法令은 公布日부터 効力이 生함  
 1946年 10月 15日  
 朝鮮軍政長官 아-취-엘-러-취

○ 法令第一百十二號 兒童勞動法規

第一條 目的  
 本令은 鮮兒童이 現代社會에 있어서 市民의 責任을 擔擧할 能力을 成人에 이룰 수 있도록 하기 위하여 全世界文明各國이 採用하는 人道的 啓蒙의 原理에 따라 兒童勞動法을 規定함을 目的으로 함

第二條 十四歲未滿의 兒童은 公私間 商工業에 또는 이에 關聯되어 雇傭하거나 從事함을 許可 또는 默認함은 禁함  
 本條에 使用된 公私間 商工業의 定義는 下記 各種目을 包含함

- ① 製粉所 ② 工場 ③ 作業場 ④ 兩業 又는 機械施設 ⑤ 屋內 又는 自家製作場 作業場 ⑥ 商店 ⑦ 事務所 ⑧ 事務所 建築 ⑨ 料理店 ⑩ 噶製造所 ⑪ 理髮所 ⑫ 旅館 ⑬ 아-라-트-에-트 ⑭ 靴類 磨房 ⑮ 共同牛馬舍 ⑯ 自動車車庫 ⑰ 洗濯所 ⑱ 娛樂場 ⑲ 俱樂部 ⑳ 運轉手 職業 ㉑ 煉瓦 又는 木材 工場의 職業 ㉒ 建築物의 建築 又는 修繕에 從事하는 職業 ㉓ 商品의 分配 傳達 又는 販賣에 從事하는 職業 ㉔ 通信의 傳達에 從事하는 職業
- 本規定은 滿十二歲乃至十四歲 兒童의 雇傭에 關한 既有 契約及 協約에 對하여는 1947年 2月 15日 까지 此를 適用치 아니함 但 本令 公布日 以後 十四歲未滿의 兒童을 雇傭하는 新 契約 又는 協約은 此를 禁함 十二歲未滿 兒童의 雇傭에 關하여 既存한 모든 契約 又는 協約은 本令 公布日 以後 此를 廢棄함 本令 公布日 後 三十日 以後에 滿十二歲未滿 兒童을 繼續 雇傭함을 禁止함

第三條 十四歲未滿 兒童의 學校 授業 時間 中 雇傭  
 滿十四歲未滿 兒童이 居住하는 區域의 公立 學校에 出席함을 要하는 境遇에는 學校 授業 時間 中에는 個人 又는 法人이 該 兒童을 如何한 實業에 雇傭하거나 勞動에 從事하도록 許可 또는 默認함은 不法임

第四條 十六歲未滿 兒童  
 滿十六歲未滿 兒童은 公私間 取工業 又는 有害한 事業에 또는 이에 關聯되어 雇傭하거나 從事함을 許可 또는 默認함을 禁함  
 本條에 使用된 公私間 取工業 또는 有害한 事業의 定義는 下記 各種目을 包含함  
 (一) 運動中의 機械의 皮帶를 調節하는 일

(二) 作業場 又는 工場에서 機械帶를 卷기거나 매는 일 (三) 運動中의 機械에 기동을 지거나 막거나 掃除하는 일 又는 그러한 일을 功力하는 일 (四) 下記 機械中 하나를 運轉하거나 그 運轉을 功力하는 일

- ① 圓鋸 又는 帶鋸 ② 木材 砂形器 ③ 木材 接合機 ④ 平削機 ⑤ 企削底紙 又는 木材 研磨用砥 ⑥ 木材 旋削機 又는 鑽孔機 ⑦ 採集機 又는 羊毛, 綿, 毛, 其他 物質의 採集에 使用되는 機械 ⑧ 刷機 ⑨ 紙紐機 ⑩ 皮革 研磨機 ⑪ 足力 以外의 힘으로 運轉되는 端物 印刷活版 又는 輪轉機 ⑫ 鑽孔 印刷機 ⑬ 金屬板 及 鐵葉 又는 紙物 及 皮革 製造 又는 洗濯機 及 螺絲 止發機 工場에서 使用되는 壓斷機 ⑭ 金屬 又는 紙物 斷切機 ⑮ 紙面 工場의 製作 機械 ⑯ 波形 紙物, 扇根 又는 洗濯板 工場等에 使用되는 波形 製造 用 圓轉機 ⑰ 汽竈 ⑱ 各種 煉粉 拌拌器 又는 破碎器 ⑲ 鐵線 又는 鐵物을 마모시키는 磨機 ⑳ 壓延機 ㉑ 電力 壓穿器 又는 剪斷機 ㉒ 洗濯 粉粉 又는 混合 工場 ㉓ 紙物 及 고무 製造의 壓排機 ㉔ 洗濯機

(五) 危險하거나 防備없는 機械帶, 液機 又는 聯動裝置에 接近하는 職業 (六) 蒸氣, 電氣 又는 水力 電氣等 鐵道에 從事하는 職業 (七) 航行 又는 商業에 從事하는 船舶上의 職業 (八) 危險 又는 有毒한 酸이 使用되는 製造에나 又는 이에 關聯되어서 從事하는 職業 (九) 危險 又는 有毒한 染料의 製造 又는 使用 (十) 靛印, 箱蓋 用具, 白鉛 又는 赤鉛의 製造 (十一) 有害 分量의 鉛을 지거나는 職業 (十二) 危險 又는 有毒한 瓦斯 混成物의 製造 及 使用 (十三) 健康에 有害한 分量인 灰汁 混成物의 製造 及 使用 (十四) 足場의 職業 (十五) 蒸溜酒 製造所, 釀造場 其他 麥酒 또는 酒類 飲料을 製造, 荷造, 包裝 又는 瓶入하는 施設의 職業 (十六) 貯水場, 鎔鑄所, 反射爐, 鍊鍊所, 選選及 碎鑄工場, X光線 機械 其他 放射性 元素乃至 要素의 使用 또는 露출을 包含한 活動에 又는 이에 關聯되어 從事하는 職業 (十七) 建築業의 重勞動 (十八) 隧道 及 開鑿 工事 (十九) 坑道, 碎炭機, 發炭機, 採石場等에 從事하는 此에 關聯한 事業 (二十) 煙草의 類別 製造 又는 包裝 (二十一) 自動車, 貨物 自動車의 運轉 (二十二) 球戲場 又는 撞球場의 職業

(二十三)劇場 또는 演奏場, 舞臺上의 職業 또는 其他 劇場及 演奏에 關聯된 職業  
 (二十四)滿十六歲未滿兒童의 生命身體에 危險하거나 健康 또는 道德에 有害한 其他 各種 職業

第五條 十八歲未滿兒童

滿十八歲未滿兒童은 生命身體에 危險하거나 健康 또는 道德에 有害한 公私間 事業에 또는 이에 關聯되어 雇傭하거나 從事함을 許可 또는 默認함을 禁함

本條에 使用된 生命身體에 危險하거나 健康 또는 道德에 有害한 公私間 事業의 定義는 下記各 種을 包含함

- (一)鑛山, 鑛山所, 却頭에 또는 이에 關聯되어 從事하는 職業
- (二)外部 建築物及 塔架 修繕에 從事하는 職業
- (三)昇降機 또는 起重機 (通稱 安全 裝置 器具 仍 하지 않은) 의 運轉 監督에 關한 職業
- (四)起重機 또는 發電機에 또는 이에 關聯되어 從事하는 職業
- (五)運動中의 機械에 גיע을 치거나 掃除하는 職業
- (六)劣等 金屬 또는 이의 皮 製 物品을 製出하는 金剛砂 硯 또는 其他 研磨 門 底의 運轉에 從事하는 職業
- (七)스윙 車 運轉
- (八)門 卷 九 軌道 修繕
- (九)鐵道 車掌, 副 車掌, 火 夫, 機關 手, 運轉 手
- (十)鐵道 電 信 交 換 手의 職業
- (十一)船舶上의 運轉 士, 火 夫 또는 機關 士의 職業
- (十二)나이트로 글리 세린, 다이 나이트, 알린, 粉 火藥, 其他 劇烈 또는 危險한 爆發物을 製造, 混合 또는 貯藏하는 施設의 內部 또는 周圍의 職業
- (十三)白 燐, 黃 燐 또는 燐 石의 製造에 關聯된 職業
- (十四)세멘트 工場의 職業
- (十五)旅館, 劇場, 演奏場, 娛樂場, 其他 酒類 飲料를 販賣하는 施設內의 職業
- (十六)賽馬場, 競技場, 賭博場, 投機場 또는 該 企業의 內外部에 關聯되어 從事하는 職業

第六條 二十一歲未滿女子

滿二十一歲未滿女子는 (一)鑛山 (二)鑛石所 (三)碎炭所 (但 其 業務 所內의 職務은 除外함) (四)運動中의 機械에 גיע을 치거나 掃除하는 일에 雇傭하거나 從事하기를 許可 또는 默認함을 禁함

第七條 最大限 勞務 時間

滿十六歲未滿兒童은 如何한 施設이나 職業에 又は 이에 關聯되어 雇傭하거나 從事하기를 許可 또는 默認하는 最大限 時間은

- (1) 如何한 週間을 莫論하고 六日을 超過함을 禁함
- (2) 如何한 週間을 莫論하고 四十八 時間을 超過함을 禁함
- (3) 如何한 날을 莫論하고 晝食 時間을 除外하고 八 時間을 超過함을 禁함

(4) 午前七時以前이나 午後七時以後의 勞務을 禁함

勞務 時間中 如何한 施設에 든지 滿十六歲未滿兒童이 滞在 該場에 雇傭되어 있는 證據를 推定할 但本規定은 1947年2月15日 까지 効力이 없음

第八條 最大限 勞務 時間

滿十八歲未滿兒童은 如何한 施設이나 職業에 又は 이에 關聯되어 雇傭하거나 從事하기를 許可 또는 默認하는 最大限 時間은

- (1) 如何한 週間을 莫論하고 六日을 超過함을 禁함
  - (2) 如何한 週間을 莫論하고 五十四 時間을 超過함을 禁함
  - (3) 如何한 날을 莫論하고 十 時間을 超過함을 禁함
  - (4) 午前八時以前이나 午後十時以後의 勞務을 禁함
- 但本規定은 1947年2月15日 까지 効力이 없음

第九條 生涯 勞務 貸金

完成, 未完成의 生涯 產品은 何라 賃金額이 決定되는 施設이나 職業에 又は 이에 關聯되어 滿十八歲未滿兒童을 雇傭하거나 從事하기를 許可 또는 默認하면 그 方法及 報酬額에 關하여 米利 朝鮮 政府 勞務 部의 承認을 得面으로 認음을 要함

第十條 雇傭 契約의 期限에 關한 制限

滿十八歲未滿兒童을 雇傭하는 契約 또는 協約은 該 契約 또는 協約의 時日 부터 六個月을 超過하도록 締結하는 施行함을 禁함

第十一條 病故 休日, 妊娠 及 授乳

二週日 以內의 病故는 滿二十一歲未滿 兒童의 契約 또는 協約을 廢棄 處理가 되 지 않아 함

滿二十一歲未滿 雇傭人은 每月 最少 限度 二日半의 定規 補償 病故 休日을 受 權利가 있으며 病故 休日은 每年 三十日 까지 積立할 수 있음 二日을 超過하는 病故 缺勤을 請求하는 被傭人에 對는 文書의 證據의 提出을 要求할 수 있음

滿二十一歲未滿 女子 또는 妊娠中인 雇傭人에 對는 通常 解雇 日의 由로 90日間의 無報酬 (積立한 定規 病故 休日 期間中은 定規 報酬) 休日을 許諾함

但 妊娠 休日은 被傭人이 雇傭主에 對 最少 限度 1年間 雇傭되어 있는 境遇에 限하여 許諾한 義務가 있음

滿二十一歲未滿 女子 被傭人이 雇傭場 所에 幼兒을 同伴할 때에는 幼兒이 適合한 授乳 要求에 應한 適當한 機會를 附與함

第十二條 十六歲未滿 兒童의 教育 及 娯樂 有 認可 施設 또는 職業에 雇傭된 滿十六歲未滿 兒童의 每週 認可 勞務 時間中 六時

間以上及 二時間以上은 各各

(1) 雇傭에 關係되어 아니한 教育의 授業에 定規 報酬로써 使用하며

(2) 娯樂及 肉體의 運動에 定規 報酬로써 使用함을 要함

但本規定은 滿十六歲未滿 兒童十五名以上은 雇傭한 企業에 限하여 適用함

第十三條 雇傭人 出入 制限에 關한 禁令

非 勤務 日, 休日 又は 非 勤務 時間中에 寄宿舍, 工場, 工場內 其他 一定한 場所 又は 地域에 滞在하도록 雇傭人에 對 要求함을 禁함

雇傭主는 勞務 部의 監視下에 該 雇傭主가 經營하는 寄宿舍에 居住하는 滿十八歲未滿 雇傭人에 對 合理的인 夜間 外出 禁止 時間을 宣稱할 수 있음

第十四條 身體 檢査

有 認可 施設 또는 職業에 雇傭된 滿十八歲未滿 兒童은 該 施設 또는 職業에 雇傭되는 當初及 其後 每 六個月에 雇傭主가 提 供하며 勞務 部에서 承認한 醫師及 齒科 醫科 身體 檢査 (齒牙 檢査를 包含) 를 要함 身體 檢査의 經費는 勿論 雇傭 主의 性質에 對하여 必要한 洗滌, 手術 又は 醫療 器械의 經費는 全部 雇傭主가 擔當함

第十五條 雇傭 證明書

本令 (又は 本令 第十九條에 依하여 勞務 部에서 公布한 附則)에 陳述한 施設 또는 職業에 又は 이에 關聯되어 滿二十一歲未滿 兒童을 雇傭하거나 從事하기를 許可 또는 默認하는 個人, 會社 또는 法人은 左記 規定에 依하여 兒童에게 發行한 雇傭 證明書를 獲得하여 文書中에 保管하고 工場 監視 又は 本令에 實施을 擔當한 官員에 對 提示함을 要함

該 個人, 會社 또는 法人은 該 施設, 職業에 又は 이에 關聯되어 雇傭한 滿十六歲未滿 男子 全部及 滿十八歲未滿 女子 全部의 完全한 名簿二通을 作成하여 一通은 文書中에 保管하고 一通은 雇傭場 所의 主要한 入口 附近에 같은 名簿 二冊을 附屬함을 要함

工場 監視及 本令의 實施을 擔當한 官員은 本條 文에 規定된 雇傭 證明書及 雇傭人名簿을 그들의 監視에 提供함을 要求할 수 있음

雇傭 證明書를 文書中에 保管한 後 該 諸 兒童의 雇傭이 終了될 때에는 二日 以內로 雇傭主는 雇傭이 終了된 理由의 陳述을 添附하여 該 證明書를 發行한 官員에 對 證明書를 還付함을 要함

雇傭 證明書의 樣式은 勞務 部에서 制定한 雇傭 證明書는 勞務 部長이 認定한 官員이 簽面으로 發行함

可能한 限 該 認定 官員은 兒童이 雇傭된 所 또는 面의 地方 學校 職員인 該 雇傭 證明書는 雇傭을 願하는 兒童의 兩

親, 後見人 또는 管理人이 直接出頭하여 申請하여야만發行함

但 履修證明書를發行하는 認定官員은 그 自身의 履修이나 그 自身이 社員, 職員 또는 履修人인 會社法人에 履修되어 있거나 또는 履修되려는 兒童에게 證明書를發行할 資格이 없음

履修證明書를發行하는 認定官員은 合法的으로 捺印作成한 左記書類를 接受하여 裁可하고 文簿에 編入할 때까지는 證明書를發行하지 않음

一 以上規定에 依하여 兒童을 合法的으로 履修하겠다는 個人, 會社 또는 法人의 書面契約及 履修의 終了後 2 日內로 履修證明書를 還付하겠다는 書面協約

二 兒童의 所屬 學校職員이 適當히 作成署名한 學校成績證明書

三 履修證明書를發行하는 認定官員이 指定한 醫師가 署名하여 下記事項을 陳述한 證明書

即 該兒童은 該醫師 自身이 診察하였으며 醫師의 意見에 該兒童은 其年齡 兒童으로서는 通常發育에 達하였으며 充分히 健康하며 滿 14 歲乃至 滿 16 歲의 兒童을 合理的으로 履修할 수 있는 軀體의 狀態임을 陳述한 證明書

四 該兒童이 滿 14 歲以上 임을 證明하는 年齡證明書

年齡證明書 下記記錄中 一로써 構成되며 下記 順序대로 要求함

1. 人口統計記錄員 또는 出生屆를 接受하는 其他官員에게 法律에 따라 提出한 出生屆의 合法的인 宣誓謄本  
該 出生屆는 兒童의 年齡에 對한 證據로 推定함

2. 兒童의 出生場所及 生年月日을 表示하는 戶籍의 合法的인 宣誓謄本

3. 旅行證明書 또는 兒童의 洗禮年 月日及 場所를 表示하는 洗禮證明書의 合法的인 宣誓謄本

4. 以上列舉한 年齡證明을 獲得할 수 없는 境遇에는 兒童의 學校成績證明書 또는 兩親, 後見人, 監督人의 宣誓書以外에 證明書를發行하는 官員에게 滿足하다고 看做되는 其他年齡證明書類를 以上의 代身 接受할 수 있음

5. 如何한 年齡證明書도 獲得할 수 없는 境遇에는 該證明書를發行하는 官員은 兒童의 兩親, 後見人 또는 監督人이 署名하여 醫師의 證明을 請하는 申請書를 接受하여 文書中에 保管할 수 있음  
該申請書에는 兒童의 姓名, 主張하는 年齡, 出生場所, 生年月日及 住所, 其他 該兒童의 年齡決定에 援助가 될 事實을 包含할 것  
또한 申請書에 署名하는 兩親, 後見人 또는 監督人이 以上에 指目한 年齡證明書類를 獲得할 수 없다는 것을 確信하는 官

廳은 包含할 것 申請書는 包含된 供述에 關하여 檢討하기 爲하여 六十日 以上 保留함

該期間中 又是 檢討中 該申請書의 實質의 供述內容을 否定하거나 矛盾되는 事實이 顯出치 않은 境遇에는 證明書를發行하는 官員은 그가 正式으로 指定한 醫師 二名의 身體檢查를 받도록 兒童에게 指示함

醫師 二名이 各其 末로 兒童을 檢査한 結果 그들 의 意見이 該兒童은 적어도 滿 十四歲 이라는 것을 書面으로 立證하는 境遇에는 官員은 該證明書를 本規定의 目的에 關하여 該兒童의 年齡에 對한 充分한 證明으로 接受함

醫師 二名의 意見이 合致치 않은 境遇에는 兒童을 다른 第三醫師가 檢査하여 그가 同意하는 意見을 本規定의 目的에 關하여 兒童의 年齡에 對한 充分한 證據로 認定함

證明書를發行하는 官員은 (1) 項에 指目한 年齡證明을 그 以下에 指目한 項目보다 먼저 要求하며 萬若 그 以下의 項目中 前番 順次의 項目를 獲得할 수 없음을 表示하는 兩親, 後見人, 監督人의 證明書를 添附하여 接受 保管하지 않음 그 以下 順番의 項目에 許容된 年齡證明을 接受치 아니함

證明書는 兒童의 姓名, 生年月日, 出生場所及 住所를 包含하며 雇用證明書를發行할 認定官員의 面前에서 署名捺印하여 確證함을 要함

問題의 兒童이 證明書를發行하는 官員앞에 直接出頭하여 檢査를 受할 때까지 또 檢査를 畢한後 該官員이 該兒童은 單純한 朝鮮語文章을 聽明하게 하고 明瞭히 쓰며 그 年齡에 該當하는 兒童에 對한 既習教育의 要求全部에 應하였으므로 該官員이 該兒童은 滿 十四歲以上은 되었다는 것을 署名하여 文書中에 保管할 때까지는 履修證明書를發行하지 않음

各履修證明書에는 兒童의 姓名, 性別, 生年月日, 出生場所及 現住所를 記載하며 頭髮色及 眼色, 身長, 體重及 特記할 만한 顔面의 特徵을 描寫하여 年齡證明의 接收를 陳述하며 以上規定에 要求한 書類를 合法的으로 審査, 承認 또는 保管함을 立證하며 또 證明書에 指目한 兒童은 證明書를發行하는 官員앞에 出頭하여 審査를 受할 必라는 것을 立證함을 要함

如斯한 모든 證明書는 此를發行하는 官員의 面前에서 發行을 受하는 兒童이 署名한 證明書는 發行年 月日을 表示한 發行한 各證明書에 包含된 事實全部의 記錄은 該證明書를發行한 官廳에 保管한 證明書를 拒絕당한 兒童의 姓名, 住所에 關한 記錄도 亦是 該兒童이 通學하는 學校名及 拒絕理由와 함께 該證明書를發

行하는 官廳에서 保管함

該證明書申請前 十二個月間中 兒童이 通學하는 學校에 最少 130 日間 出席하지 않은 兒童에 對하여는 履修證明書를發行하지 않음

履修證明書發行에 必要한 證明書用紙及其他書類는 勞働部長의 直接監督下에 作成하여 勞働部長은 此는 該證明書의 發行 權限을 保有하는 官員에게 提供함  
勞働部長은 本令 第十九條에 規定한 法規에 依하여 所定 目的을 爲한 認定官員을 指定할 수 있음

履修證明書를發行하는 各認定官員은 每月十日까지 朝鮮 서울 勞働部長에게 同部長이 提供한 用紙로 履修證明書의 發行을 受하는 兒童의 名簿을 作成 提出함  
各證明書에는 將來한 履修主의 住所, 姓名及 該兒童이 從事한 職務의 性質을 記載함

第十六條 各種規定

一 履修主의 添加 年齡證明

履修主의 場所에 又是 그 周圍에 滿 十六歲 未滿 이라고 보이는 兒童을 履修하거나 從事하기를 許可 또는 默認한 境遇에 또 該兒童의 履修證明書가 以上의 要求대로 提出되지 않은 境遇에 本令의 實施을 擔任한 工場監視 又是 其他官員은 事實上 兒童이 滿 十六歲以上 이라는 滿足한 證據를十日內로 提出하기까지 履修主에게 要求할 수 있으며 如此히 實行하는 境遇에는 兒童을 該場所 또는 施設에 履修하거나 從事함을 許可 또는 默認함을 中止하라고 要求할 수 있음 本令의 實施을 擔任한 工場監視 又是 其他官員은 履修證明書의 發行에 必要한 바와 同一한 年齡證明을 履修主에게 要求하며 如此한 證據를 提供하는 履修主에게는 兒童의 年齡에 關하여 그 以上 證據의 提出을 要求치 아니함 本規定의 實施을 擔任한 工場監視 又是 其他官員에게는 履修主가 本規定에 要求한 年齡證明을 獲得해야 提出치 않은 境遇 또는 其後 該場所 또는 施設에 兒童을 履修하여 履修하거나 從事함을 許可 또는 默認하는 境遇에는 如此한 要求의 證據及 年齡證明을 獲得하지 않음 證據는 提起된 訴訟에 依하여 不法한 履修의 證據로 推定됨

二 工場監視及 實施官員의 添加 權限及 義務

本令의 實施을 擔任한 工場監視 又是 其他官員은 各自의 地方 又是 管轄範圍內에서 何時든지 本令 (又是 本令 第十九條의 規定에 依하여 勞働部가 公布한 附則) 에 陳述한 履修場所를 訪問 觀察하여 本令에 抵觸된 兒童이 本令의 規定에 違反하여 履修되어 있는 것을 確定할 수 있으며 또 每週 學徒

當局及勞動部長에게 不法雇傭으로 解雇된滿十六歲未滿兒童의事件全部를報告함 本令의實施是擔任한工場監視及其他官員은 本令의規定에違反하는者에對하여 告訴하며 그起訴는有効劾發義務가있음 本規定은如此한不平을申告하며 提訴할其他個人、團體又是組合의權利에對한制限으로解釋되지아니함

三 證明書又名簿은作成치못한效果 本令의實施是擔任한工場監視又是其他官員에게 本令이要求하는雇傭證明書又名簿은雇傭主가提出치못함은그雇傭證明書가提出되지 않았고그姓名이名簿에記錄되지아니한兒童의不法雇傭의證明으로推定됨

四 工業教育上效果 本令의規定은 年齡如何을莫論하고 兒童이 朝鮮政府行政部署又是其學校에서提供하는工業教育을授業함을防止치아니함

但如此한教育은 먼저 朝鮮政府文教部署協同勞動部의承認을要함

五 兒童犯罪

本令에 (又是本令第十九條의規定에依하여 勞動部에서公布한規則에)陳述된施設場所及職業에 또는 이에關聯되어從事하는兒童이 本令의實施是擔任한工場監視 又是其他官員에게 姓名、年齡及現住所의報告를拒絶하는때는 該監視又是官員은 兒童이雇傭되어 있거나居住하는地方의少年審判所 又是該地方에少年審判所가 없을때에는 兒童의犯罪에關하여 管轄權을 가진裁判所又是司法官앞에 該兒童을引致하여 審判을받게하며 法律에依하여 取扱하도록할것 本規定은公布와同時에有效함

六 販賣禁止

自己自身을爲해서 又是다른個人、會社、法人의代理로써 未成年者에게物品을提供 又是販賣하되 該未成年者가 本令의規定에違反하여 物品을販賣하려는意圖가있다는것을알면서提供又是販賣하는者 又是本令의實施을擔任한 官員에게서 書面告示을받은後에도 未成年者에게 物品의提供 又是販賣을繼續하는者 又是本令에違反하여 未成年者가生産한物品인것을알면서 故意로 販賣提供又是運搬하는者는 本令違反罪를構成함

七 損害賠償權의保留

本令의違反에依하여 損害을입은者는 自己가입은 損害의賠償을違反者에게만求수 있을 本令에違反하여 不法하게雇傭된 未成年者의訴訟 又是그를爲한訴訟에는 協力過失、危險引受 又是 同僚雇傭人의過失을抗辯을構成치않으며 또抗辯又是刑의輕減

을爲한辯護又是證明을構成치못하며 雇傭한者又是雇傭된者의年齡誤違도 抗辯又是輕減의事由가되지못함 本令에違反하여 不法하게雇傭된者가 又是그를爲하여 貸金支拂을請求하는訴訟에는 (該雇傭이以上에規定된賠償의利益을獲得하려는自己自身の虛偽又是故意의不法行爲의結果가아닌限) 雇傭人은支拂받기로協約한貸金額의十倍와支拂받을合法的最少限度貸金額의十倍 兩者中 多額을受받을權利가있음 如此한訴訟에는 法人雇傭主의職員、理事及株主全部가 各其原告에게對하여 賠償의責任이있음 本項目中如何한規定의拋棄도 本規定의損害賠償權을防止한效力이없음 雇傭主又是其他何人이든 雇傭의條件으로서 本令下의 權利又是 本令의要求의拋棄을雇傭人又是豫期雇傭人에게請求又是要求함을 禁함 本規則은公布와同時에有效함

八 「滿—才」의定義

生年月日부터 滿一個曆年以後에 一才로計算하는樣에따라 本令에當日부리計算한 年數을意味함

第十七條 告示文의 顯著한揭示

兒童이每週每日勞動할을要하거나 許可되는最大限度時間數、出勤時間、非勤務日、每日의教育時間及娛樂時間、夕飯其他食事時間等을記載한印刷告示文을滿十八才未滿의男子又是二十一才未滿의女子를雇傭하거나勞動하기를許可又是默認하는各房의窓에갈피는곳에곳치두며 勞動部長이要求하는 其他告示文을揭示하는것은 各雇傭主의任務임 告示文의印刷樣式은 勞動部長이提供함 何日을莫論하고 告示文의記載된時間을超過하는時間又是其以外の時間에達한雇傭은本令의違反으로看做함

第十八條 政府雇傭、政府代行 機關及法人에의適用

本令의모든規定은 朝鮮政府行政部署所屬機關又是政府가所有하거나利權을가지거나 政府의支配管理下에있는法人及企業全部에同樣으로適用됨 何時을莫論하고 以上에列舉한各自는本令(及本令에依하여勞動部에서公布한諸般附則)의모든要求에應지않은 雇傭主와는何等契約도締結치말고何等契約도 圖定치말며 本令違反의境遇에 政府가 (又是政府의契約代行機關이)害을입지 않도록할을要함

第十九條 勞動部規則에依한法令實施、

軍政長官이同意하며法律에따라官報에公布되는때에 法律의効力을가規規則을 朝鮮政府勞動部는 本令第二條、第三條、第四條、第五條、第六條及第七條에列舉하여 禁止한雇傭範圍에時사로

附加한權限이있음

勞動部는下記事項에制限되지않으나 下記事項을包含하여 本令의目的과規定을遂行함에必要한規則을法律에依하여 制定할權限이有함

- 一 一般的으로又是 特定한 工業及企業에依한最大限度勞動時間
- 二 勞動條件
- 三 保健、衛生、厚生及娛樂要求
- 四 食糧及住宅要求
- 五 工場及商業監視
- 六 勞動條件에關한雇傭主의報告
- 七 最少限度貸金  
但勞動條件委員會의集團의協約及決定은 最少限度貸金率未滿이되지않는 範圍에서 最少限度貸金率보다優位를占함
- 八 勞動條件의改善에關한其他諸般事項

第二十條 抵觸되는 法律의廢止

本令에撞着되거나 其規定과 相反되는 모호法令、法律、勅令、詔勅、規則、命令及條例는 本令의規則과抵觸되는範圍內에서此를 廢止함

第二十一條 罰則

本令의規定又是 本令에依하여 勞動部에서公布한規則條項에 違反한者는軍政裁判所의 判決에依하여 裁判所가定한 刑罰에處함

第二十二條 施行期日

本令은 本令中에特記한 規定을除外하고 公布한지 三十日以後에 有效함  
1946年9月18日

朝鮮軍政長官 美國陸軍少將 一— 워렌 러워

○ 法令第百十三號 穀物搗精設備의許可

第一條 目的

本令은 中央食糧規則의實効을 助成함으로써目的함

第二條 舊法令의廢止

1939年12月11日附府令第207號 朝鮮米穀搗精制限規則은 此를廢止함

第三條 製粉所、精米所의許可

道知事는即時製粉所及精米所의許可에關한規定을 制定公布할을要함 但上規則은 二施行前 軍政長官에게提出함이可함 前項規則에는 許可申請이不許可된邊境의不服方法製粉所及精米所의設備及作業에關한檢査의定期檢査、所管官廳에對한報告書提出等에關한條項을規定할을要함 第一項規則의施行으로부터 15日이經過한後는 何人을勿論하고 許可申請中에있지않은者는 直接間接으로 製粉又是精米業을經營하지못함 不許可處分을받은者亦同一함

第四條 記錄

前項에依한規則의施行日으로부터15日

이經手한穀物搗精業者는 搗精의依  
頼로受納한穀物에關하여 帳簿는 調製  
함이可할 그帳簿에는 年月日, 穀物所  
有者의住所, 姓名, 受納數量(包莖이込  
인데에 正租及타이麥은 正味54疔, 大  
麥은正味425, 裸麥及小麥은 正味60疔  
은一箇로함)穀物收集所又是 搗精依  
者에게引渡한 精製穀物의引渡年月日,  
引渡數量及 受領한貨摺料等을 明確히  
記載함을要함 前記帳簿는 監政廳及그  
所屬官署及 代理機關의 檢査로만도  
恒常保置함이可할

第五條 搗精穀物의代價及貨摺料에關  
하여는 1946年5月28日附法令第九十號  
에依하여 中央物價行政處에서 그規則  
을制定함

第六條 搗精

通知事又是그所屬官公署는 穀物搗精  
에關하여 그數量을記載한許可證을發  
主에게交附함 但搗精한穀物의數量은  
申請者의法律上保有可能量을 超過치  
못함 搗精業者는 許可數量을超過한穀  
物又是許可證없는者의穀物을搗精하지  
못함 搗精業者가前項에違反되는穀物  
을受納한時는 受取證을所有者에게交  
附하고 그穀物은 通知事又是所屬官公  
署에引渡함을要함 通知事는此을沒收  
할수 있으며 此에關한 許可證이있을때  
는帳簿와같이保管케함을要함  
穀物의搗精은 下記와如함

- (가) 白米搗精率은 玄米의重量에 對  
하여  $\frac{96}{100}$  以上으로함
- (나) 小麥製粉率은 粗小麥의 重量에  
對하여  $\frac{80}{100}$  以上으로함
- (다) 타이麥의 製粉率은 粗타이麥의  
重量에對하여  $\frac{65}{100}$  以上으로함
- (라) 大麥의搗精率은 粗大麥의 重量  
에對하여  $\frac{74}{100}$  以上으로함
- (마) 裸麥의搗精率은 粗裸麥의 重量  
에對하여  $\frac{87}{100}$  以上으로함

通知事及 所屬官署는 그代行機關의  
承認이있는 醫藥用, 酒類用, 販賣用, 製  
醬又是 製菓用으로 中央食糧行政處에  
서配給을받은穀物은 前項各號에 制  
限되지않음

第三項 各號에 違反하여 搗精製粉된  
穀物은 通知事及 所屬官署又是그代行  
機關이沒收하여 穀物收集所에引渡함  
을得함

第七條 貨摺料로받은 米穀의引渡  
搗精業者는 每週一回式貨摺料로受領  
한穀物을 捐入한穀物集所에 引渡하고  
定規의代金을受領함이可함

第八條 許可의取消

本令又是通知事가公布한規則違反者에  
對하여는 通知事는 그附與한許可를取

消할수있을 搗精業者가 取消當時에所  
持하고있는穀物은 通知事及 所屬官署  
又是 그代行機關의指示에依하여 處分  
함

第九條 保險

搗精業者는 必要에應하여 火災, 盜難,  
洪水其他自然力으로인한 損害의賠償  
을爲하여 適當한保險에加入할수있음

第十條 穀物의定義

本令의穀物이라함은 米穀, 타이麥, 小  
麥, 大麥及裸麥을稱함

第十一條 刑罰

本令의規定又是 本令에依하여發布된  
規則에違反한者는 陸軍占領地裁判所  
의判決에따라處斷함

第十二條 施行期日

本令은發布日로부터十日後에効力이生함  
1946年10月8日

朝鮮軍政長官  
美國陸軍少將 아-취-엘-러-취

○ 法令第一百十六號 關稅法의改正

第一條 目的

本令은朝鮮의外國貿易을 助長하기爲  
하여 現行輸入稅率을減下하며 畜輸  
出入을禁止하기爲하여 通報費及取締  
職員에對한賞與을規定함으로써目的함

第二條 稅關職務의範圍

外國으로부터輸入하는 物品에對하여  
는 現行輸入稅法에依한關稅를賦課함  
但 如何한境區라도 課稅額을輸入物品  
價格의一割을超過치못함

第三條 免稅

現行法에規定된以外에 下記物品은輸  
入稅을免除함

- (가) 在朝鮮美國陸軍, 朝鮮政府, 政治  
部署及其他代行機關, 補助機關이官  
公用으로輸入하는物品
- (나) 在朝鮮聯合國陸軍軍人, 軍屬又是  
二家族이公私用으로輸入하는物品

第四條 通報者及取締職員에對한賞與,  
財務部長은下記各號에該當한者에對하  
야 免稅物品 (罰金又是沒收品)價格의  
2割5分을 超過치않는限度로 賞與金  
을授與할수있음  
但如何한境區라도 그總額이金五萬圓  
을超過치못함

- (가) 關稅收入에關한 欺瞞行爲又是既  
達未達을莫論하고 罰金又是沒收量  
規定한 關稅法規에對한違反行爲의  
最初通報者
- (나) 有給職員으로서 公務執行中罰金  
又是沒收量規定한關稅法規에違反하  
야 輸出入又是寄藏된財産을差押한  
者

本條에依한財務部長의決定에對하여는  
不服의申立을할수없으며 賞與金은罰  
金又是沒收品貨却代金에서支出함

第五條 輕罰되는法令의廢止

本令에輕觸되는 모든法令은 此을廢止

합

第六條 施行期日

本令은 公布日로부터 十日後에効力이生  
함

1946年10月8日

朝鮮軍政長官 아-취-엘-러-취  
美國陸軍少將

○ 法令百十七號 法令第九十三  
號에指定된財産又是債務申告  
期間의延期

第一條 申告期間의延期

1946年7月4日附法令第九十三號 (外國  
과의交易統制) 第二條에指定된財産又  
는債務申告期間을 本令施行日後60日  
로延期함

第二條 此法令은1946年9月2日24時에効  
力이生함

1946年9月18日

朝鮮軍政長官 아-취-엘-러-취  
美國陸軍少將

○ 法令百十九號 麻藥統制

第一條 目的

本令의目的은 北緯三八度以南의 朝鮮  
에 있어서 麻藥의生産과移動을取締하  
야 그用度를正當한 醫學科學의方面  
에制限함에있음

第二條 麻藥統制課의任務及功能의移管  
朝鮮政府의財務部專賣局麻藥統制課는  
모든記錄, 財産及職員과같이 朝鮮政  
府의保健厚生部藥務局에移管함  
本令의規定에輕觸된지한은限 그任務  
及功能도移管됨

麻藥統制課는 本令의規則따라此에依하  
야 保健厚生部長이發布하는規則을 施  
行할任務及功能이有함

第三條 麻藥의定義

本令에麻藥이라함은阿片, 鴉片, 罌粟, 罌  
粟, 코데인, 그케인, 마리후아나及그成分誘  
透質又是其製品을包含함

第四條 罌粟及마리후아나의取締  
마리후아나 「칸다 비스사라바」罌粟 「파  
파펠」 칸니헤물」又是阿片及코데인의原料  
가되는植物의栽培, 耕作, 收穫及其他  
그成長을助長하는行爲는 此을禁止함

(가) 自己의所有占有又是 管理하는土  
地에서罌粟又是마리후아나를栽培生  
産하며 他人에게此을生産케함은此  
을禁止함

(나) 罌粟又是마리후아나의 生産을目  
의으로하여 罌粟又是마리후아나의  
種子의販賣, 輸入, 輸出, 運搬, 濫渡  
購入其他所持는此을禁止함

(다) 罌粟又是마리후아나 「그成分又是種  
子」의販賣輸入輸出 運搬濫渡購入其  
他此의所持와 罌粟又是 마리후아나  
에서그精分其他를製造製劑又是抽出  
함은此을禁止함但警察及保健厚生部

長其他正當한權限이있는者에게引渡  
又는讓渡함은此限에不在함

(라) 現在生産其他方法으로所持하며  
又는本規定에違反하여 今後에生産  
其他方法으로所持하는 藥劑及마리  
후아나(그成分又는種子)는此를押收  
又는沒收함

(나) 藥劑及마리후아나(그成分又는種  
子)를生産하며 又는此를貯藏한土  
地建物을占有管理하는者 警察又는  
保健厚生部長其他正當한權限이有한  
者의要求에應하여 藥劑及마리후  
아나(그成分又는種子)를引渡讓渡치  
않은境遇에는 此를押收又는沒收함

(바) 本令施行上必要한境遇에는 警察  
及保健厚生部長 其他正當한權限이  
有한者는 藥劑及마리후아나(그成分  
又는種子)를栽培又는貯藏한場所(法  
律에依하여發令된狀에依치않은限  
住宅宅除外)을檢査할權限이有함

(사) 本條의施行上押收 又는 占有한  
藥劑及마리후아나(그成分又는種子)  
는此를沒收함

(아) 警察, 保健厚生部長其他正當한權  
限이有한者는 本條에依하여押收又  
는沒收한藥劑及마리후아나(그成分  
又는種子)를沒收하며 又는保健厚  
生部長이制定한規則에依하여 正當한  
手續으로 地方官廳, 政府의代行機關  
及補助機關에게 醫學的又는科學的  
의研究用으로 此를讓渡할수있음

第五條 해로인, 生阿片, 阿片, 마리후아  
나及阿片煙吸食品具에關한取締  
해로인(더아씨원물及醃鹽)마리후  
아나又는 그鹽類, 製劑, 誘導體, 化合物  
生阿片又는半製品인阿片, 精製阿片, 吸  
食用阿片及阿片煙又는마리후아나의吸  
食器具의所有, 管理, 生産, 製造, 購買,  
所持, 輸入, 授受, 使用, 運搬, 配付, 販賣  
贈與, 移轉, 輸出, 其他此에關한 行爲는  
此를禁止함 但警察又는保健厚生部長  
其他正當한權限이有한者에對하여 讓  
渡引渡함은此限에不在함

(가) 阿片, 阿片煙及마리후아나의吸食  
又는해로인, 마리후아나(그製劑, 鹽  
類 誘導體又는醃製品)을自身又는  
他人에게授與 又는服用함은此를禁  
止함

(나) 本條에禁止된 行爲를죄하며又는  
그原因과便宜를附與하며 所有, 占有  
管理又는使用하는場所에서 他人의  
犯行을容認함은 此를禁止함

(다) 從前에 生産其他方法으로所持하  
며 又는今後本令에違反하여 生産其  
他方法으로所持하는 海로인又는마  
리후아나(그의鹽 製劑誘導體及  
醃製品)生阿片 半製品인阿片, 精製  
品인阿片又는吸食用阿片及阿片煙又  
는마리후아나又는吸食器具는此를押收

又는沒收함 第四條(아)號乃至(아)  
의規定은 本條의押收, 沒收及其他  
取締分에此를準用함

第六條 麻藥의無許可取引

正當한許可又는保健厚生部長의認可없  
이麻藥의所有, 生産, 製造, 製劑, 買入  
其他方法으로所有又는販賣, 移轉, 送付  
運搬, 引渡, 讓渡, 破壞, 本令의禁止하는  
行爲의企圖, 提議又는原因及便宜의附  
與, 場所의所有, 占有, 使用維持又는管  
理하는者로서 그場所에서犯行을容認  
하는行爲는此를禁止함 但下記各項에  
該當한者는除外함

(가) 免許있는 醫師, 齒科醫, 獸醫其他  
業務上權限이있는醫藥者로부터醫藥  
用으로 麻藥의投與를받은患者又는  
免許있는醫藥者의處方에依하여 藥  
劑師로부터麻藥의投與를받은患者,  
開業한醫藥者로부터 服用으로麻藥  
의投與를받은患者

(나) 公務上又는此에附隨하여 麻藥을  
所持하는公務員

(다) 本令에依하여 許可된者를爲하여  
麻藥의輸送又는保管하는運搬人, 倉  
庫業者及그의雇員으로 行動하는被  
僱人

(라) 本令에依하여 許可된者의被僱人

第七條 許可申請及申請人의資格  
麻藥을製造, 輸入, 販賣, 取扱, 讓劑, 使  
用又는 所有의許可를受得하고자하는者는  
保健厚生部長이制定한 規則에依하여  
申請하되 定規料金의納付를要함  
保健厚生部長은 下記各條에該當한者  
에限하여 此를許可함

(가) 善良한人格의所有者

(나) ①藥業의으로從事한 權限이有한  
都賣商人, 小賣商人, 醫藥者, 藥劑師  
又는研究所의職員으로서麻藥其他藥  
品을輸入, 製造, 使用, 配付, 販賣及  
此를取扱한經驗이有하고 ②不正한  
用途에流用치않고醫學上, 科學上必  
要한品質을具備한麻藥을 秩序있고  
合法的으로分配하기爲하여麻藥을製  
造, 取扱, 保管할施設과手段이有한者

(다) 保健厚生部長이麻藥의輸入, 生産  
製造及配付에對하여必要하다고規定  
한要件에該當한者  
右許可는他人에게讓渡치못하며 有  
効期間은發行日로부터 一年間으로  
함 但保健厚生部長은 此期間을更新  
할수있음

第八條 規則의制定  
保健厚生部長은本令施行上 必要한規  
則을制定함 右規則은軍政長官의承認  
을受得한後 官報에掲載하므로써 法律과  
同一한効力이有함

第九條 許可의制限

保健厚生部長은 保留規定과麻藥에對  
한醫學的科學的의需要를充分히考慮하여  
本令에依하여 그許可數, 位置及區域을  
制限함을要함 但本令의規定은保健厚

生部長에게 許可及그更新을要求하는  
趣行는그함

第十條 許可의取消

保健厚生部長은 公益上必要하다고認  
定하는境遇 又는受許可者가法令의規  
定을遵守치않으며 또는必要한資格을  
喪失한境遇에는 既得權의停止又는許  
可의取消을허며 事由는知得케하여 辯  
明할機會를附與한後 該許可의更新을  
拒否할수있음

第十一條 麻藥의押收及沒收

從前에 生産其他方法으로所持하며 又  
는今後本令에違反하여 生産其他方法  
으로所持하는 麻藥은 此를押收又는沒  
收함 第四條(아)號乃至(아)號의規定  
은 本條에規定한押, 收沒收及其他處  
分에準用함

第十二條 雜則

(가) 緊急措置

保健厚生部長이許可한輸入又는生産  
으로 醫學的科學的의需要에充足키因  
難하다고認定할時는 政府가所有又  
는管轄하는 會社等政府機關의 長의  
同意를得하여 그協力下에 又는政府  
直接으로 麻藥을取得, 生産, 製造, 使  
用, 販賣, 讓渡, 又는 其他適當한配給  
措置를講究할責任이有함

(나) 政府代行機關의援助

朝鮮政府의地方官廳, 代行機關及中  
介機關은保健厚生部長의要求에應하  
여 本令의目的의遂行에對하여 必要한  
援助(技術的提議를包含함)를한義務  
가有함

(다) 麻藥取締官의職務遂行

本令은麻藥取締官署의職員又는政府  
의職員이 保健厚生部長의同意下에  
그職務遂行의範圍內에서 本令에規  
定한行爲를하는境遇에는此를適用치  
아니함

第十三條 抵觸되는法令의廢止

本令과抵觸되는모든法律, 命令, 規則,  
指令其他는此를廢止함

第十四條 罰則

本令又는 保健厚生部長이 本令에依하  
여 制定한法律의効力이有한規則에 違  
反한者는 陸軍占領地裁判所의 判決에  
依하여處罰함

第十五條 施行期日

本令은 公布日로부터, 十日後에 効力이  
있다

1946年11月11日

朝鮮軍政長官 아-취-엘-머-취  
美國陸軍少將

○ 法令第二十號 物價及糧穀統  
制法規違反에對한刑罰 (抜萃)

第六條 物價及糧穀統制法規違反事件의

最高及最低刑罰  
物價及糧穀統制法規에違反한者는懲役  
禁錮又는罰金에處하여 兇情에依하여  
는 懲役禁錮及罰金을併科함 但刑罰의  
量定은左에依함을要함

(가) 初 犯

(取引金額)

500圓以下	
500圓以上	1,000圓까지
1,000圓以上	5,000圓까지
5,000圓以上	10,000圓까지
10,000圓以上	
(罰金の最低額—最高額)	
1,000圓	~ 5,000圓
2,000圓	~ 10,000圓
4,000圓	~ 20,000圓
20,000圓	~ 40,000圓
40,000圓以上	

(懲 刑 的 期)

懲役又は禁錮	一月
懲役又は禁錮	三月
懲役又は禁錮	六月
懲役又は禁錮	三年

取引關係가 金錢으로 評價할 수 없는 場合에 初犯에 對하여는 罰金刑의 最低額은 金1,000圓 最高額은 金5,000圓 懲役又は禁錮의 期限은 一月로 함

(나) 再 犯

再犯에 對하여는 (가) 項에 規定된 體刑의 長期及 罰金額의 最高及 最低를 各三倍로 함 但 初犯에 對한 罰金額의 三倍外 前記 (가) 項에 規定된 體刑의 長期 (初犯時 懲役 또는 禁錮에 處斷된 與否를 不問함) 을 併科한 刑以上에 處함을 要함

(다) 三犯以上의 累犯

三犯以上의 累犯에 對하여는 前記(가) 項에 規定된 體刑의 長期及 罰金刑의 最高及 最低額의 各 10倍로 함 但 初犯에 對한 罰金額의 5倍와 (가) 項에 規定된 體刑의 長期의 3倍 (初犯及 再犯時 懲役 또는 禁錮에 處斷된 與否를 不問함) 을 併科한 刑以上에 處함을 要함

第七條 本令은 本令施行前 犯罪에 對하여는 適用하지 않음

第八條 施行期日

本令은 公布後 十日부리 効力이 發見함  
1946年 10月 24日

朝鮮軍政長官 아·취·엘·러·취  
美國陸軍少將

○ 法令第二百一號 最高勞働時間

第一條 目 的

本令은 勞働者의 健康, 能率及 一般福利을 維持保護하기 爲하여 商工業及 公務의 最高勞働時間을 規定制限함을 目的함

第二條 最高作業時間

雇傭主는 本令에 例外로 規定한 以外는 被雇人을 每作業週間 四十八時間以上 商工業 또는 公務에 從事시키지 못함 被雇人은 每作業週間 六十時間을 限度로 作業에 從事할 수 있음

但 每作業週間의 作業이 四十八時間을 超過하는 場合에는 그 超過된 作業時間에 對하여 基本給料의 十五割以上의 比率로 計算한 手當金을 支拂함을 要함

(가) 四十八時間을 超過하여 被雇人을 就業케 할 때에는 雇傭主와 勞働組合가

는 其勞務者을 代表한 正當한 權限이 有한 團體間에 締結된 協約에 依함

(나) 前號協約이 無한 時는 雇傭主와 被雇人間에 締結한 個別協約에 依함 日曜日 其他 定休日 을 除外한 法定公休日은 作業時間에 對하여 八時間을 勞働한 것으로 計算함 本令의 規定이 適用되는 被雇人은 每作業週間中 二十四時間以上을 連續休息할 權利가 有함

第三條 例 外

前條의 規定은 下記各號에 該當한 者에 對하여는 適用하지 않음

(가) 性質上 季節的인 工業에 從事하는 被雇人 但 除外範圍는 全部 또는 一部로 制限할 수 있음

除外된 業務外 範圍는 勞働部長이 此를 定함

(나) 漁夫, 船員 또는 家僕 등으로 農業, 水産業에 從事하는 被雇人 또는 自家에서 하는 有給手工業에 從事하는 被雇人

(다) 第四條에 規定한 誠實한 執行的, 管理的 또는 專門的인 職掌에 從事하는 被雇人

(라) 國有鐵道業務에 從事하는 從業員 但 勞働部長은 運輸部長과 協議하여 本令의 精神에 則應한 國有鐵道從業員의 最高勞働時間을 決定하며 每作業週間 四十八時間을 超過하는 作業에 對하여는 基本給料의 十五割의 比率로 計算한 手當金을 支拂의 規則을 制定發布함

(리) 非常緊急한 天災事變에 處하여 生命財產을 保護하기 爲하여 必要한 場合에 每作業週間 六十時間을 超過作業하는 被雇人 但 雇傭主는 그 場合에 이미 勞働部長 또는 그 代理者의 同意를 得함을 要함

火災, 饑饉, 洪水 其他 一般의 生命財產에 危險이 有한 非常事變에 處하여서는 勞働部長은 命令으로써 非常事變가 繼續되는 期間에 限하여 最高勞働時間에 關한 本令의 規定을 全國의 又是 地域의 으로 停止할 權限이 有함 本項에 依하여 每作業週間 六十時間을 超過하여 作業하는 者에 對하여는 基本給料의 十五割의 比率로 計算한 手當金의 支拂을 要함

第四條 「執行的」「管理的」「專門的」의 意義

(가) 誠實한 執行的인 職掌에 從事하는 被雇人 이라 함은

1. 所屬組織體의 慣例上 認定되는 下部組織을 管理하여 第一任務이고

2. 慣例上 또는 法規上 所屬의 作業을 指揮하며

3. 人員의 雇傭及 解雇의 權限이 有하며 又是 雇傭, 解雇, 移動, 昇進等에 關하여 權限을 提議 또는 推薦할 權限이 有하며

이 有하며

4. 慣例上 또는 法規上 自由裁量權을 行使할 수 있는 被雇人을 意味함

(나) 誠實한 管理的인 職掌에 從事하는 被雇人 이라 함은

1. 法規上 直接的으로 (本令에 規定한) 誠實한 執行的인 또는 管理的인 職掌에 從事하는 被雇人을 指하며 그 輔佐는 性質上 非肉體的인 自由裁量權과 獨立한 判斷을 行하는 場合

2. 特別인 訓練, 知識及 經驗이 必要한 專門的인 技術의 專門에 있어서 直接인 監督方針 또는 一般勞務運用에 關係된 自由裁量과 獨立한 判斷이 必要한 責任을 非肉體的인 事務 또는 野外作業에 從事하며 一般監督만 받는 場合

3. 業務에 對하여 一般的인 監督下에 自由裁量權과 獨立한 判斷이 있는 經營方針 또는 一般의 業務運用에 直接關係 있는 特殊한 非肉體的인 事務의 執行을 包含한 場合를 意味함

(리) 誠實한 專門的인 職掌에 從事하는 被雇人 이라 함은

1. 事務가 高度로 知的인 日當의 精神的, 手工的, 機械的, 又是 肉體的인 事務와 性質上 差異가 有하며

2. 事務가 遂에 對하여 不辭히 自由裁量과 判斷을 要하며

3. 生産物과 結果의 完成은 所屬週期 期限을 標準으로 할 수 없는 性質이 有하며

4. 科學 또는 學問의 分野에 있어서 一般의 專門教育 徒弟奉公 또는 日當의 精神的인 肉體的인 工程과 相違한 長期的인 專門的인 知의 教育과 研究에 依하여 慣習의 으로 習得된 進歩한 知識을 要하며

5. 技術의 分野에 있어서 一般의 工的인 知的인 能力 또는 訓練을 받은 者로서는 할 수 없는 高度의 深淵의 肉體性이 有하며 그 結果는 主로 被雇人의 發明力 創作力及 才能에 依한 事務에 從事하는 者를 意味함

第五條 施行, 調査, 監査, 記錄

(가) 本令의 規定은 勞働部長의 監督下에 施行함

勞働部長 또는 그 代理者은 本令에 規定한 作業時間, 其他 條件 또는 業務에 關한 資料를 蒐集 調査하여 本令의 違反有無 及 本令 施行上 必要한 事項을 決定함에 必要한 場所에 臨하여 記錄을 調査 (此는 抄寫 技藝) 하며 必要한 때에는 被雇人을 訪問하여 必要한 事實, 條件, 業務及其他 事項을 調査할 수 있음

(나) 本令 또는 本令에 依한 規則命令에 適用을 받는 雇傭主는 官報에 發布된 法令 또는 雇傭主에 對한 命令에 依하여 被雇人의 人員數, 賃金額, 作業時

間 其他條件及作業狀況에 關한 記錄을 調査하여 一定한 時間 此를 保持하며 勞動部長에 對하여 그 記錄을 提出함을 要함

第六條 規定

- (가) 勞動部長은 前記各條以外에
  1. 本令을 實施함에 必要한 規則, 命令을 發布하며
  2. 作業日에 對하여 最高 勞働 時間을 規定하며
  3. 解釋을 必要로 認할 時에는 本令에 規定된 字句의 意義를 決定하며 必要에 依하여 字句, 意義 또는 改定된 意義를 發行하는 改訂함
- (나) 本條에 依하여 制定한 規則은 軍政 長官의 承認을 得하여 官報에 掲載할 때는 法律과 同一한 効力이 有함

第七條 定義

- (가) 人이라 함은 個人, 組合, 團體, 會社, 法定代理人, 法定代表機關, 政府의 部, 局 又は 其代行政機關, 其他 사람의 組織體를 指稱함
- (나) 商業이라 함은 貿易, 運輸 又は 通信業을 包含함
- (다) 工業이라 함은 手藝, 手工業, 事務, 工業及 一部 又は 個人이 有함으로 從事하는 工業의 集團을 말함
- (라) 農業이라 함은 各種의 農作, 特別 農地의 耕作, 耕種, 酪農業, 毛皮 農業의 園藝의 產品의 生産, 培養, 栽培及 收穫, 家畜, 蜜蜂及 家禽의 飼育(林業 製材業을 包含) 市場에 對한 準備, 倉庫, 市場, 市場에 輸送하는 運搬人에 對한 交付 等 農夫에 依하여 又は 農場에서 農業의 附帶 事業으로 經營하는 모든 事業을 包含함
- (마) 雇傭主라 함은 中央及 地方廳의 各 部, 局及 代行政機關等에 對한 關係에 있어서 直接間接으로 雇傭主를 爲하여 行動하는 者를 包含함
- (바) 被傭人이라 함은 雇傭主로부터 勞働의 許諾을 受는 모든 사람을 包含함
- (사) 雇傭인이라 함은 勞働의 許諾을 受는 境遇를 包含함
- (아) 被傭人에 對한 支拂한 給料라 함은 食事, 宿所, 其他의 便宜가 慣例의 由로 被傭人에 對하여 供給될 時 그 被傭人에 對하여 供給되는 食事, 宿所, 其他의 便宜에 關한 相當한 費用을 包含함
- (자) 作業日이라 함은 繼續二十四 時間의 期間을 意味함
- (차) 作業日이라 함은 繼續七日間의 期間을 意味함
- (카) 作業時間이라 함은(食事, 休憩 時間을 除外함) 作業이 實際로 實行되는 時 或은 其를 豫論하고 雇傭主의 指示에 依하여 雇傭된 場所에 被傭人이 在席한 모든 時間과 一定한 作業場所가 指定된 境遇에 勞働其他 必要한 任務을 遂行하기 爲하여 그 作業場所에서 他場所로 被傭人을 輸送하는 時間及 그 平常의 作業場所에서 他場所에 作業하기 爲하여 出頭함에 必要한 時間을 包含함

한 任務을 遂行하기 爲하여 그 作業場所에서 他場所로 被傭人을 輸送하는 時間及 그 平常의 作業場所에서 他場所에 作業하기 爲하여 出頭함에 必要한 時間을 包含함

第八條 他法令과의 關係

本令의 規定은 本令 또는 協約에 依하여 制定된 作業日間의 最高 作業時間에 比하여 作業時間이 짧은 作業日間을 規定한 法令의 効力에는 何等의 影響을 受치지 않음

第九條 罰則

故違로 本令 또는 本令에 依하여 發布된 規則에 違反하는 者는 初犯인 境遇에는 金 2萬圓以上 10萬圓 以下의 罰金에, 再犯인 境遇에는 金 2萬圓以上 20萬圓 以下의 罰金 又는 六個月 以下의 懲役에 處하며 罪狀에 依하여는 罰金과 懲役을 併科하며 三犯以上의 累犯인 境遇에는 本令 또는 本令에 依하여 發布된 規則에 依하여 處斷된 最終刑의 三倍以上의 刑에 處함

第十條 施行期日

本令은 公布後 10日 부터 効力이 發生함  
1946年 11月 7日  
朝鮮軍政長官 아·취·열·리·취  
美國陸軍少將 아·취·열·리·취

○ 法令第二百二十四號 藥品及藥品 營業取締令及其施行規則의 改正

第一條 目的  
本令은 1946年 7月 25日 附法令第九十六號(藥品及藥品營業取締令及其施行規則改正)를 修正 補充함을 目的으로 함

第二條 制令第二十二號의 追加改正  
1912年 3月 28日 附制令第二十二號(藥品及藥品營業取締令)는 1946年 7月 25日 附法令第九十六號로 改正되었으나 此를 下와 如히 追加改正함

(가) 第二條中 「內務大臣이 下付한 藥製師」라 함을 削除함

(나) 第十七條中 「警察官署」라 함을 「保健厚生官署」로 改正함

(다) 第三條及 第十八條의 「警察官署」라 함을 「道保健厚局長」으로 改正함

第三條 法令第九十六號의 改正  
1946年 7月 25日 附法令 第九十六號 第三條 條號 「二四月」이라 함을 「五個月」로 改正함 本令은 法令第九十六號 第三條 各項에 規定된 期間을 同法令 施行後 五個月로 延長함을 有함

第四條 有効期日  
本令은 公布日 부터 効力이 發生함  
1946年 11月 13日  
朝鮮軍政長官 아·취·열·리·취

○ 法令第二百二十七號 米穀密輸出 等의 處罰

第一條 目的

本令은 朝鮮人民의 需要를 充足시키기 爲하여 國內 食糧을 確保할 緊急且 必要에 依하여 米穀의 密輸出 其他 此에 關한 犯罪를 嚴罰함을 目的으로 함

第二條 處罰

- 米穀을 朝鮮으로부터 密輸出한 者는 左에 依하여 處罰함
    - (가) 初犯인 境遇에는 十年以上의 懲役과 金 10萬圓 以上의 罰金, 再犯인 境遇에는 二十年以上의 懲役과 金 20萬圓 以上의 罰金, 三犯以上의 累犯인 境遇에는 無期懲役과 金 50萬圓 以上의 罰金을 各 併科함
    - (나) 密輸出數量이 七十石을 超過하는 境遇에는 前項의 懲刑과 罰金의 最低標準(無期懲役을 除外함)을 二倍함
    - (다) 從犯 其他 共犯은 主犯과 同一한 刑에 處함
    - (라) 米穀密輸出에 關하여 財産上으로 關與한 者는 主犯과 同一한 刑에 處함
    - (마) 米穀密輸出에 使用된 者를 知悉함에 不拘하고 船舶 其他 運搬器具를 入手, 準備, 賣渡, 賃貸 又は 그 使用을 容認한 者, 또한 密輸出을 知悉함에 不拘하고 密輸出에 供한 米穀을 入手, 賣渡, 賃貸한 者는 三年以上의 懲役과 金 5萬圓 以上의 罰金을 併科함
    - (바) 密輸出에 供한 米穀과 此에 使用한 私有的 船舶, 車輛, 動物, 航空機及 其他 一切 運搬器具는 現行法에 依하여 沒收함
  - (1946年 1月 3日 附 法令第二十九號 外國貿易規則, 同年 8月 12日 附 中央食糧規則 第二號 米穀收買令, 同年 7月 12日 附 外國貿易規則 第一號 免許及輸入輸出許可等 各 參照)
- 第三條 通報者에 對한 賞金  
(가) 未遂, 既遂, 豫備를 不問하고 米穀密輸出에 關하여 官懲에게 最先 通報한 者에 對하여는 最高 額을 制限하지 않고 罰金, 沒收 등으로 取得한 金額의 二割五分을 賞金으로 授與함 通報에 依하여 米穀密輸出한 者가 有罪로 決定된 境遇에는 罰金 又は 沒收로 取得된 金額의 一割을 增加함
- (나) 本條에 依한 賞金에 關하여 中央 政府 財務部長이 決定한 事項에 對하여는 不服함을 不得함 中央 政府 財務部는 徵收한 罰金 又는 沒收金의 賣却代金中에서 賞金을 支拂함
- (다) 通報者는 發表하지 않고 極秘에 附함
- (라) 1946年 10月 8日 附法令 第一百十六號(稅關法의 改正) 第四項은 本令에 依하여 米穀密輸出에 關한 賞金의 部分이 修正된 以外에 全部 米穀密輸出에 適用함 但 同一人의 同一 行爲에 對하여는 本令과 法令第一百十六號에 依하여 二重의 賞金을 授與하지 않음
- 第四條 米穀密輸出에 關한 行爲을 濫用한



公務員의處罰

公務員이米穀密輸出의犯罪(未遂, 既遂  
是不同한)을知悉하며 又是可知한理由  
가있음에도不向하고 告發치않으며 又  
는權限이있음에도不拘하고 故意로 그  
犯行의阻止, 犯人의逮捕或은 刑罰의執  
行을行하지 않는 境遇에는 五年以上의  
懲役과 金5萬圓以上의罰金을併科함

第五條 本令施行上重過失이있는公務員  
의處罰, 公務員으로서 重過失이因하여  
米穀密輸出의阻止, 犯人의逮捕又是起  
訴를懈怠한者는 一年以上의懲役과  
金5千圓以上의罰金을併科함

第六條 米穀密輸出을看過하기爲한公務  
員에對한懲罰公務員에對하여 米穀  
密輸出의阻止, 犯人의逮捕, 起訴及裁  
判에關한職務을不正의處理하기爲하  
야直接間接으로 賄賂를供與 又是約束  
한者는五年以上의懲役과 金5萬圓以  
上의罰金을併科함 그供與한賄賂는  
現行法에依하여沒收함

第七條 米穀密輸出을 看過하기爲한 公  
務員의 收賄公務員으로서 米穀密輸出  
의阻止, 犯人의逮捕, 起訴及裁判에關한  
職務을 懈怠又是回避한明示, 默示의合  
意又是諒解下에 直接間接으로 賄賂를  
收受又是約束한者는 十年以上의懲役  
과 金5萬圓以上의罰金을併科함  
公務員으로서 米穀密輸出의阻止, 犯人  
의逮捕, 起訴及裁判에關한職務을 懈怠  
又是回避한明示, 默示의約束下에 直接  
間接으로 賄賂를, 要求又是 要求에依  
하여 收受又是收受約束한者는 十五  
年以上의懲役과 金7萬5千圓以上의罰  
金을併科함 그供與한賄賂는現行法에  
依하여 沒收함要함

第八條 本令에依하여 公務員이 執行  
하는 職務의妨害行爲  
本令에依하여 米穀密輸出의取締, 犯人  
의逮捕, 調査, 起訴, 裁判及刑罰의 執行에  
從事하는 公務員에對하여 故意로 그職  
務執行을 妨害又是妨害코저한者는 二  
年以上의懲役과 金1萬圓以上의罰金을  
併科함 그妨害行爲가暴行, 脅迫에依한  
境遇에는 五年以上의懲役과 金5萬圓  
以上의罰金을併科함

第九條 減輕刑의排除  
本令에依한刑罰은 如何한 裁判所에서  
減輕又是執行을 猶豫함을不得함

第十條 最高刑  
本令에는 刑罰의最低量을 規定하였음  
으로 其刑罰의長期及多額은 軍占領地  
裁判所의判決에依하여決定함

第十一條 未遂及共謀  
本令의犯罪를圖謀한者, 幫助又是 準備  
한者, 又犯行을教唆한者, 犯人을藏匿  
又是隱蔽, 逃走其他에協力한者는 主犯  
과同一한刑에處함

第十二條 法人行爲의責任

法人의役員, 使用人其他從業員이 그責  
格으로써 單獨又是共同으로 本令의違  
反行爲를 構成한作爲, 不作爲의原因을  
附與, 指示, 助言, 慫恿, 承認, 贊成  
投票及勸誘할時는 法人의 處罰하는場  
遇라도其役員, 使用人及其他從業員은  
個人의資格으로其責任을負擔함

第十三條 抗辯

本令에依한犯罪에對하여는 暴行, 脅  
迫, 恐喝에依하여 行하것으로써 抗辯  
하지못함

第十四條 抵觸되는法令의廢止

從前의法令, 規則, 訓令其他로서 本令과  
抵觸矛盾되는것은 그範圍內에서廢止함

第十五條 定義

本令에

(가) 「朝鮮」이라함은 北緯三十八度  
以南朝鮮의地域을指稱함

(나) 「密輸出」이라함은 法令에依하  
야 正當한權限없이 朝鮮으로부터米  
穀을搬出할을指稱함 「密輸出」이라  
함에는 其未遂를包含함

(다) 「密輸出者」라함은 法令에依한  
正當한權限없이 朝鮮으로부터米穀  
을搬出한者를 指稱함 「密輸出者」라  
함에는 其未遂를包含함

(라) 「公務員」이라함은 官公署員 或  
은 其代理機關으로서 米穀密輸出의  
阻止, 犯人의逮捕, 取調, 起訴及裁判  
을할權限과職務을保有하는者를指稱  
함 「公務員」에는 警察의職員, 海岸  
警備隊員, 稅關官吏, 海港監督官廳,  
稅務機關, 國防警備隊員, 檢察及刑事  
를包含함 그러나 이에限定되는않음

(마) 「重過失」이라함은 故意로不注  
意를惹起한境遇又是 義務怠慢으로  
不注意를 惹起한境遇를稱함

(바) 「賄賂」라함은金錢, 財法, 其他一  
切의利益及 그에對한一切의約束,  
權利不行使等을包含함

(사) 「米穀」이라함은白米, 玄米, 糯米,  
正租, 陸稻를包含함

(아) 「妨害行爲」라함은 事務執行의  
阻止 妨害行爲及그의未遂를 包含함

(가) 「收受」라함은 明示, 默示의合  
意, 諒解下에 第三者를通하여 又是  
第三에依하여 收受함을包含함

(타) 「提供」이라함은第三者에對하  
又是第三者를通하여提供함을包含함

第十六條

本令은公布後三十日로부터效力이發生함  
1946年11月15日

朝鮮軍政長官 아·취·엘·터·취  
美國陸軍少將

○ 法令第二百二十八號 地稅及手數  
料의改正

第一 目的

本令은地稅와 此에關聯한手數料을 增  
收하여 政府歲入을增加시키어 通貨

膨脹을抑壓함으로써目的함

第二 地稅

地稅는 現行稅令인 1943年3月31日附  
制令第六號(朝鮮地稅令)稅率에依하여  
賦課함 但1940年12月4日附 勅令第三  
十七號(朝鮮土地貸借價格調査에關  
한件)에依하여 決定된現行地價는 그  
十倍로增額함

第三 手數料

土地調査와 土地台帳에關한取扱手數  
料는下와如하도함

(가) 土地測量

(1) 市街地以外의土地  
登錄土地의分割測量은 每地番에對  
하여 金100圓

未登錄土地의地盤測量은 每地番에  
對하여 金150圓

1927年12月制令第十六號朝鮮土地改  
良令에依한 土地境界의修正測量은  
每地番에對하여 金150圓

(2) 市街地

1934年6月20日附 制令第十八號 朝  
鮮市街地計劃令에依한境界修正測量  
은每地番에對하여 金250圓

(3) 林野

登錄林野의分割測量은 5町步未滿每  
地番에對하여 金200圓 右以上은每  
5町步를增加하는 其端數에對하여 金  
100圓式增加함

未登錄林野의地盤測量은 5町步未滿  
每地番에對하여 金300圓 右以上은  
每5町步를增加하는 其端數에對하여  
金150圓式增加함

(나) 土地台帳

(1) 土地台帳의開設은 每回每冊에對  
하여 金5圓

(2) 土地台帳廢本은 每地番에對하여  
金10圓

(3) 地籍圖開設은 每回每圖에對하여  
金5圓

(4) 地籍圖廢本은 每圖每一地番에對  
하여 金10圓

但同一圖案에二地番以上을描寫하는  
境遇에는每地番에對하여 金5圓式增  
加함

本令에依한圖覽 또는圖本의交付를받  
고사하는者는 收入印紙를貼付하여 所  
轄稅務署에 請求함을要함  
政府機關에對하여는 手數料을 徵收지  
않

第四條 抵觸되는法令의廢止

本令과抵觸矛盾되는法令, 規則, 訓令其  
他는그抵觸矛盾되는範圍內에서廢止함

第五條 有効期日

本令은 公布後 十日로부터效力이發生함  
1946年12月31日

軍政長官代理 씨·지·엘·윌

○ 法令第三百號 印紙稅法及登  
錄稅法改正

第一條 目的

本令의 目的은 朝鮮政府의 歲入을 增加함과 同時에 現下 貨幣 狀態에 適應하도록 稅率을 決定함에 있음

第二條 印紙稅率一部改正

1899年法律第五十四號(印紙稅法)는 茲에 下記와 如히 改正함

- (가) 第四條中
  - (1) 第一號乃至第六號中에 記入된 記載金額은 10倍로 增加하고 稅率은 50倍로 增加함
  - (2) 第七號中 稅金은 2圓으로 增加함
  - (3) 第八號乃至第三十四號中 稅金은 5圓으로 增加함
- (나) 第五條中
  - (1) 第七號中의 金額은 500圓으로 增加함
  - (2) 第九號中의 金額은 100圓으로 增加함
  - (3) 第十號中의 金額은 100圓으로 增加함
  - (4) 第十二號中의 金額은 100圓으로 增加함
  - (5) 第十四號中의 金額은 500圓으로 增加함
  - (6) 第二十五號中의 金額은 100圓으로 增加함

(다) 第十一條中 印紙稅脫稅에 對한 最低 額은 250圓으로 增加함

第三條 登錄稅率一部改正

1912年3月22日 附 令第十六號 朝鮮登錄稅令은 茲에 下記와 如히 改正함

- (가) 第一條中
  - (1) 第十六號及第十七號中의 稅金은 5圓으로 增加함
  - (2) 第十八號及第十九號의 稅金은 3圓으로 增加하되 每件 最高 額은 30圓으로 함
- (나) 第一條의 二中
  - (1) 第十二號中 稅金은 10圓으로 增加함
  - (2) 第十三號 乃至 第十六號中 稅金은 各々 5圓으로 增加함

(다) 第一條의 四中 (1) 第一號中 稅率은 全部 25圓으로 增加함

(2) 第二號 乃至 第四號中 稅率은 5圓으로 增加함

(라) 第一條의 五中 (1) 第一號中 全稅率은 5倍로 增加함

(2) 第二號登錄事項變更은 每件 5圓으로 增加함

(마) 第一條의 六中 第六號乃至第九號稅率은 全部 5倍로 增加함

(바) 第一條의 七中 第三號稅率은 5倍로 增加함

- (사) 第三條中
  - (1) 第一, 三, 五의 二及六號稅金最低 額은 1千圓으로 增加함
  - (2) 第九號稅金은 500圓으로 增加함

(3) 第十號乃至第二十一號稅金은 每件 100圓으로 增加함

(4) 第二十二號 乃至 第二十六號稅金은 每件 20圓으로 增加함

(5) 支店所在地에서 第一號 乃至 第二十六號 登記時의 稅金은 每件 20圓으로 增加함

(아) 第三條의 二中 第一及二號稅金은 每件 20圓으로 增加함

(자) 第三條의 三中

(1) 第二號稅金은 75圓으로 增加함

(2) 第一, 二號中 事件을 支店所在地에서 登記時의 稅金은 每件 20圓으로 增加함

(차) 第四條의 一中

(1) 第一號乃至第三號稅金은 每件 100圓으로 增加함

(2) 第四號乃至第七號稅金은 每件 5倍로 增加함

(3) 第一號乃至第七號中 事件을 支店所在地에서 登記時는 每件 10圓으로 增加함

(타) 第四條의 三中

第一號乃至第三號의 五, 第五號乃至第七號, 第九號乃至第十二號稅金은 每件 5倍로 增加함

(파) 第四條의 四中

(1) 第一號乃至第三號 稅金은 每件 10倍로 增加함

(2) 第五號及第五號의 二中 各稅金은 10倍로 增加함 但 第五號中 千分稅率은 改正치 않음

(3) 第十號乃至第十三號稅金은 10倍로 增加함

第四條 一圓未滿의 稅率 稅率中 一圓未滿의 端數가 有할 時는 一圓으로 增加함

第五條 稅金의 有損 改正或은 變更치 않은 全現行 稅金은 全効力을 存續함

第六條 有効期日

本令은 1947年2月1日 부터 効力이 發生함 1946年12月11日 軍政長官代理 씨·지·헐릭

○ 法令第三百二十二號 法令第一百十二號의 一時停止

朝鮮過渡立法議院에서 兒童勞働法 規를 審議하여 法令을 制定할 時까지 下에 依함

第一條 法令第一百十二號의 一部停止

1946年9月18日 附法令第一百十二號(兒童勞働法 規)는 1947年6月1日 까지 停止함 但 該法令의 施行期日 以後 雇傭契約에 依하여 滿十四歲未滿의 兒童을 雇傭함은 從前에 如함

第二條 施行期日

本令은 公布日로부터 効力함 1947年2月24日 朝鮮軍政長官 아·취·엘·러·취

○ 法令第三百二十三號 繭絲檢査法

繭絲檢査에 關하여는 朝鮮過渡立法議院에서 法令으로 審議制定할 時까지 本令에 依함

第一條

本令은 免許된 製絲工場에서 生産하는 繭絲의 檢査와 그 等級을 規定하여 優良品의 生産을 確保함 目的으로 함

第二條 法律의 廢止

1942年3月25日 附 令 第二十四號(朝鮮蠶絲業統制令)의 第三十四條及第十三條一項은 廢止함

第三條 繭絲檢査의 必要

免許된 製絲工場에서 生産하는 繭絲는 農務部의 監督下에 그 正量과 品質에 關하여 檢査받음을 要함 檢査받지 않 이한 繭絲는 輸出使用함을 禁함

第四條 規則의 制定公布

農務部長은 免許된 製絲工場에서 生産하는 繭絲의 檢査規則을 制定함을 要함 該規則은 軍政長官의 承認을 得하여 官報에 公布하므로써 法律과 同一한 効力이 生함

第五條 無檢査繭絲의 輸送禁止

檢査를 要하는 繭絲는 檢査實施前에는 如何한 方法으로든지 輸送하지 못함 但 檢査받기 爲하여 繭絲檢査場及 免許된 製絲工場의 所有인 또는 貸借契約에 依하여 借受한 貯藏倉庫에 輸送하는 檢査에는 此限에 不在함

第六條 記錄

免許된 製絲工場은 農務部長의 要求된 記錄을 保存함을 要함 該記錄은 免許된 製絲工場에 備置하여 從業時間中 農務部 職員 또는 그 代表者에게 自由閱覽케 함을 要함

第七條 罰則

本令에 違反하여 生産 또는 輸送한 繭絲와 그 輸送에 供用한 船舶, 自動車, 荷車, 動物及其他 輸送器具는 法律의 規定에 依하여 此를 沒收함 本令 또는 本令에 依하여 制定된 規則에 違反한 者는 軍占領地 裁判所의 判決에 依하여 處罰함

第八條 定義

(가) 繭絲이란은 製絲工場에서 蠶繭으로 부터 뽑은 絲로 加工치 않은 것을 意味함

(나) 至許製絲工場이란은 法令에 依하여 至許된 繭絲生産工場을 意味함

第九條 施行期日

本令은 公布日 부터 十日 後에 効力이 生함 1947年3月8日

朝鮮軍政長官 아·취·엘·러·취

○ 法令第三百三十七號 相續稅稅率 改正

朝鮮過渡立法議院에서 法律을 制定할 時까지 下에 依함

第一條 目的

本令의 目的은 相續稅稅率을 改正함에

있음  
 第二條 相續稅令改正  
 朝鮮相續稅令 (1934年 6月 勅令第十九號)을 아래와같이改正함  
 1. 第五條의 二中第一項及第二項을 下와 如히改正함  
 가 第一項  
 戶主相續으로서 그課稅價格이 10萬圓以下인時는 課稅價格에서 相續開始當時 被相續人의 同居家族中年令

十八才未滿인者及六十才을超過한者 又는 不具廢疾者一人에對하야 3千圓式控除함  
 나 第二項  
 戶主相續을件치않은財產相續으로서 그課稅價格이 6萬圓以下인時는 課稅價格에서 相續開始當時被相續人의 親權에 服從하는 同居子女中十八才未滿인者又는 不具廢疾者 一人에對하야 3千圓式控除함

1. 第六條를 下記와如히 改正함  
 가 戶主相續에있어서는 扶養家族控除을行한後 相續財產의課稅價格이 2萬圓未滿인時는 相續稅를課치않음  
 나 戶主相續을件치않은財產의課稅價格이 5千圓未滿인時는 相續稅를課치  
 3. 第八條를 下記와如히 改正함  
 相續稅는 아래와같은稅率로 아래와 같은階段에依하야 課稅함

一、戶 主 相 繼

課 稅 價 格	稅 率	
	相續人이被相續人의家族인直系卑屬인時	相續人이其他의者인時
2萬圓以下의金額	1,000分之 18	1,000分之 24
2萬圓을超過하는金額	1,000分之 24	1,000分之 36
3萬圓 // //	1,000分之 30	1,000分之 50
4萬圓 // //	1,000分之 45	1,000分之 70
5萬圓 // //	1,000分之 65	1,000分之 95
7萬圓 // //	1,000分之 90	1,000分之 120
10萬圓 // //	1,000分之 120	1,000分之 145
15萬圓 // //	1,000分之 150	1,000分之 175
20萬圓 // //	1,000分之 180	1,000分之 200
30萬圓 // //	1,000分之 200	1,000分之 245
40萬圓 // //	1,000分之 240	1,000分之 280
50萬圓 // //	1,000分之 270	1,000分之 320
70萬圓 // //	1,000分之 310	1,000分之 370
100萬圓 // //	1,000分之 350	1,000分之 420
200萬圓 // //	1,000分之 400	1,000分之 470
300萬圓 // //	1,000分之 450	1,000分之 530
500萬圓 // //	1,000分之 500	1,000分之 600

二、戶主相續을件치않은財產相續

課 稅 價 格	稅 率		
	相續人이直系卑屬인時	相續人이配偶者又는直系尊屬인時	相續人이其他의者인時
5千圓以下의金額	1,000分之 24	1,000分之 36	1,000分之 48
5千圓을超過하는金額	1,000分之 36	1,000分之 48	1,000分之 72
1萬圓 // //	1,000分之 48	1,000分之 65	1,000分之 100
2萬圓 // //	1,000分之 60	1,000分之 90	1,000分之 130
3萬圓 // //	1,000分之 80	1,000分之 120	1,000分之 160
4萬圓 // //	1,000分之 105	1,000分之 150	1,000分之 190
5萬圓 // //	1,000分之 130	1,000分之 180	1,000分之 220
7萬圓 // //	1,000分之 160	1,000分之 200	1,000分之 250
10萬圓 // //	1,000分之 200	1,000分之 245	1,000分之 280
15萬圓 // //	1,000分之 240	1,000分之 285	1,000分之 320

20萬圓 //	//	1,000分之280	1,000分之330	1,000分之360
30萬圓 //	//	1,000分之320	1,000分之375	1,000分之405
40萬圓 //	//	1,000分之360	1,000分之420	1,000分之450
50萬圓 //	//	1,000分之400	1,000分之465	1,000分之500
70萬圓 //	//	1,000分之460	1,000分之500	1,000分之550
100萬圓 //	//	1,000分之500	1,000分之560	1,000分之600
200萬圓 //	//	1,000分之560	1,000分之600	1,000分之670
300萬圓 //	//	1,000分之620	1,000分之670	1,000分之730
500萬圓 //	//	1,000分之680	1,000分之730	1,000分之800

第三條

本法合은 1947年5月1日부리有効함  
1947年6月12日

右建議함 民政長官 安 在 鴻  
右認准함 軍政長官 아-취·열·러-취

○ 法令第三百三十九號 税金過怠金の改正

南朝鮮過渡立法議院에서 法律을 制定할 때까지 下記에 依함

第一條 目的

本合의 目的은 税金徵收手續을 改正하여 法에 規定된 期限內에 國稅或은 地方稅를 納付치 않음에 對한 過怠金을 增加함에 있음

第二條 過怠金

税金이 滯納된 日부리 滯納稅額의 5파-센트(百分之五)의 過怠金을 그 税金에 加算賦課함 其後税金이 滯納된 日부리 30日內에도 納付되지 않음에 對한 過怠金에 滯納稅額의 5파-센트(百分之五)를 또 追加하여 賦課함 爾後의 滯納는 每30日마다 過怠金으로 滯納稅額의 10파-센트(百分之十)를 累加하여 賦課함 但 過怠金의 總額은 滯納稅額의 30파-센트(百分之三十)를 超過치 못함 過怠金은 滯納稅額에 賦課되는 것이며 過怠金에 賦課되는 것은 不함임

第三條 納稅의 督促(滯納告知)

1897年3月26日 附 法律第二十一號 國稅徵收法 第九條는 此를 廢止함

第四條 定義

本合에 「滯納」이라 함은 그 税金을 規定한 期限內에 全部 또는 一部를 納付치 않음에 對한 稱함  
(나) 「税金」이라 함은 定期或은 臨時的의 國稅及 地方稅를 稱함

第五條 本合에 抵觸되는 法令의 廢止

本合에 抵觸되는 모든 法令은 그 抵觸되는 範圍內에서 此를 廢止함

第六條 適用

本合은 施行期日以後에 滯納된 税金에 對하여 適用함

第七條 本合은 公布後 30日부리 効力이 生함

1947年4月19日

右建議함 民政長官 安 在 鴻  
右認准함 朝鮮軍政長官 아-취·열·러-취  
美國陸軍少將

○ 法令第四百二十二號 朝鮮所得稅令의 改正

南朝鮮過渡立法議院에서 法律을 制定할 때까지 下記에 依함

第一條 目的

本合의 目的은 國家의 歲入을 增加하며 個人所得稅의 稅率과 免稅의 範圍을 調整함에 있음

第二條 朝鮮所得稅令의 改正

西紀1943年4月30日 附 制令第六號 (朝鮮所得稅令)을 下列如히 改正함

가 第十六條中 「1萬圓」을 「10萬圓」으로 「5千圓」을 「5萬圓」으로 「二十파-센트」를 「四十파-센트」로 「十파-센트」를 「二十파-센트」로 各々 增加함 나 第十七條第一項中 「50圓을 控除함」을 「1千圓을 控除함」으로 改正하고 下項을 追加함

本扶養家族控除額은 最高 5千圓을 超過치 못함

다 第十八條及 第十八條의 二는 廢止함 라 第三十六條中 累進稅率表를 下列如히 改正함

所得額(單位圓)	率
最初 1萬2千圓	3%
그 다음 8千圓(12,001=20,000)	5%
// 1萬圓(20,001=30,000)	8%
// 2萬圓(30,001=50,000)	12%
// 3萬圓(50,001=80,000)	16%
// 4萬圓(80,001=120,000)	20%
// 8萬圓(120,001=200,000)	25%
// 10萬圓(200,001=300,000)	30%
// 20萬圓(300,001=500,000)	35%
// 20萬圓(500,001=700,000)	40%
// 30萬圓(700,001=1,000,000)	50%
// 50萬圓(1,000,001=1,500,000)	60%
// 50萬圓(1,500,001=2,000,000)	70%
// 50萬圓(2,000,001=2,500,000)	80%
2百50萬圓以上	90%

本條下 年所得 1萬2千圓未滿인者는 上記稅金을 免除함

다 第五十七條에 依하여 二期에 分納함 最低個人所得額(第三種所得稅)年 15圓을 500圓으로 改正함

第三條 有效期日

本合은 公布日부리 効力이 生하며 1946年부리 의 年所得에 對하여 適用함  
1947年6月21日

右建議함 民政長官 安 在 鴻  
右認准함 軍政長官 아-취·열·러-취

○ 法令第四百四十五號 朝鮮換金銀行의 創立

南朝鮮過渡立法議院이 本件亦項을 審議하여 法律을 制定할 때까지 以下의 規定을 施行함

第一條 目的

本合의 目的은 朝鮮의 外國貿易을 振興하기 爲한 銀行業務及 外國換金融制度를 樹立함에 있음

第二條 創立

朝鮮換金銀行(以下 當銀行이라 呼稱함)이 該에 法人으로서 創立됨

第三條 運營

當銀行의 當任役員은 總裁一人, 副總裁一人及 專務理事一人으로 하며 理事會는 當任役員及 四名의 理事로 構成함 役員及 理事의 任名及 解任은 軍政長官이 此를 行함

當銀行은 理事會에서 制定한 規定及 定款에 依據하여 運營함

當銀行本店은 朝鮮서울市에 設置하며 理事會의 決定에 依하여 支店을 設置할 能함

第四條 參與會

財務部는 軍政長官의 認准下에 參與會會員을 任命及 解任함

此參與會는 當銀行總裁及 五名以上의 會員으로 此를 構成함

當銀行總裁는 此參與會의 議長이 되며 會員最少限 二名은 朝鮮內의 他銀行의 代表者中에서 最少限 一名은 朝鮮商工業界에서 選任함 參與會는 議長이 此를 召集함

參與會는 當銀行運營에 關하여 理事會에 建議하며 理事會는 主要한 政策問題에 關하여 參與會에 諮議함

第五條 資本金

當銀行의 資本金은 5億圓으로 定하며

額面을 1圓의 株式로써 分割함  
 在 朝鮮 美軍 政廳은 爲先 總額 2億圓의  
 全額 拂込 株式를 引受함  
 軍政廳은 軍政長官 認准下에 理事會가  
 建議할時는 未發行 資本金中에서 追加  
 하여 一定金額을 引受함을 得함 軍政  
 廳의 責任은 其 株式 引受 額을 限度로 함  
 理事會는 軍政長官의 認准을 條件으로  
 하여 未發行 株式 또는 軍政廳 所有 株式  
 의 一部 또는 全部를 朝鮮內의 賭金 機關  
 關 또는 公衆에게 變却할것을 承認함을  
 得함

第六條 松限及業務

當銀行은 下記와 如한 權限, 機能及 職  
 務을 保有함

- (가) 外國 換業務의 處理
- (나) 在 朝鮮 美軍 政廳의 外國 換規定에  
 依據하여 認可된 個人, 團體 또는 法人  
 名義의 合衆國 또는 他外國 貨幣로써 計  
 入 計定의 處理
- (다) 朝鮮 賭金 機關과의 圓貨로써  
 하는 計定의 處理
- (라) 外國에 在한 銀行을 當銀行의 換  
 去來處로 指定하고 此等 銀行과 內外國  
 通貨로써 하는 計定의 處理
- (마) 當銀行의 指定 換去來處 또는 其他  
 認定된 機關과 朝鮮 軍政廳이 隨時로 制  
 定할수 있을바 規定에 準하여 朝鮮으로  
 부리의 輸出 輸入에 關한 換어음及其他  
 書類를 送達 또는 受取하는 事項

(바) 軍政廳의 認准下에 理事會가 適當  
 하다고 認定하는바 外國 貿易 또는 外國  
 換去來를 便益케 함에 關聯한 其他 事務  
 의 處理

(가) 事務 運營에 必要한 土地及 建物의  
 賃借, 買得 또는 其他 取得에 關한 事項

(나) 理事會의 決定에 依한 役職員의 任  
 命及其 給與에 關한 事項 但 朝鮮 軍政廳  
 에서 給與를 受하는 者는 當銀行에서 添  
 加的 給與를 受取함을 不得함

第七條 有效期間

本令은 認准日 부터 効力이 生함  
 右 建議함 民政長官 安在鴻  
 右 認准함 1947年 6月 16日  
 朝鮮 軍政長官 아-취-엘-러-취

○ 法令 第四百六十六號 地方稅의 改正

南朝鮮 過渡立法議院에서 本件 事項을 審  
 議하여 法律을 制定할때까지 左에 依함  
 第一條 目的

本令의 目的은 西紀 1946年 10月 15日 附  
 法令 第九號 (地方稅의 改正) 個人所  
 得 控除을 調整함에 있음

第二條 控除

西紀 1946年 10月 15日 附 法令 第一〇九號  
 第二條 (다) 項을 左記와 如히 改正함

(다) 控除  
 戶別稅에서 課稅所得中 控除을 許與  
 할수 있는 勤勞所得 控除과 家族 扶養  
 費 控除은 左에 限함

- 1. 每世帶主에 對하여 1,000圓
- 2. 年齡 十八才 未滿 또는 六十才 以上  
 의 家族 一人에 對하여 1,000圓 但 그  
 總額이 5,000圓은 超過하지 못함
- 3. 納稅義務者의 總所得額 50,000圓 以  
 下인時는 給料及 貸金額의 四割 總  
 所得額이 50,000圓 以上 100,000圓 以  
 下인時는 給料及 貸金額의 二割

第三條

本令은 公布日 로부터 効力이 生하며 19  
 46年度 所得에 適用함

1947年 6月 30日

右 建議함 民政長官 安在鴻  
 右 認准함 軍政長官 서-지-엘-밀  
 代 理

○ 第四百七十七號 水產製品 檢査規  
 則 改正

南朝鮮 過渡立法議院이 本件 事項을 審議  
 하여 其 法律을 制定할때까지 以下의 規定  
 을 施行함

第一條 目的

本令은 1943年 2月 25日 附 朝鮮 總督府令  
 第二十六號 第五條 (水產製品 檢査規則)  
 에 規定된 手數料을 改正함을 目的으로 함

第二條 改正 檢査手數料의 設定  
 1943年 2月 25日 附 朝鮮 總督府令 第二  
 十六號 第五條에 規定된 水產製品 檢査手數  
 料을 左와 如히 改正함

第一種 乾製 水產製品

名	數	量	手 數 料
鱈鱈, 건복, 海蔘 (蔘子문 포함), 궁, 貝柱		60~90 斤	5.00
앵머리, 매꾸, 맛, 죽합, 대합, 改良 鱈節		60~90 斤	2.50
오징어, 총합, 새조개, 새우 (介殼 除外)		60~90 斤	3.00
멸치		3.75 斤	50
海苔		100 枚	10
介殼 附 蝦 (附 새우)		60~90 斤	2.00
미역		60~90 斤	1.50
其他 乾製 水產製品		60~90 斤	1.50

第二種 凍조림 水產製品

건복, 궁, 소라고동	1 打		1.00
오징어, 貝柱, 대합, 빻장어, 정머리, 삼치, 새우	1 打		50
其他 凍조림 水產製品	1 打		50

第三種 鹽藏 水產製品

정머리, 明水魚, 청어, 삼치, 갈치, 궁치, 鱈魚, 鱈 其他 鹽藏魚	60~90 斤		1.50
---	---------	--	------

第四種 肥料

鱈搾粕, 정머리搾粕, 갈치搾粕, 매꾸粕, 오뚜기粕, 乾 鱈, 乾鱈 其他 魚粕 肥料	60~90 斤		1.00
--	---------	--	------

第五種 海 藻

우무가사리, 가사리, 은형초	42~78觔	2.50
樓草, 뽕우무, 돛, 襪草, 꼬시래기, 底布	42~78觔	2.00
寒 天	60觔	10.00

第六種 魚 油

鰵 油	16.5觔	1.00
-----	-------	------

第七種 魚 粉

鰵 粗 粉	50觔	1.00
鰵 粉 末	18.75觔	50
其 他 魚 粉	30觔	1.00

第三條 施行 期 日

本令은 公布後十日부리効力이生함

1947年 7月 30日

右建議함 民政長官 安在鴻  
右認准함 朝鮮軍政長官代理 서·지·헬밀

○ 法令第四百八號 石油製品  
의 物 品 稅

南朝鮮過渡立法議院에서 法律을制定할 때까지 下記에 依함

第一條 目 的

本令은 石油類의 配給品에 對하여 物 品 稅를 賦課함을 目的으로 함

第二條 物 品 稅 賦 課 限

石油配給機關으로부터 石油製品을 購入하는 모든 購買者는 購入代金을 支拂하는 同時에 石油配給機關에 對하여 公定小賣價格의 二割五分의 稅金을 附加支拂함을 要함

第三條 稅 金 의 納 付

石油配給機關은 每月 10日까지 前月中 販賣石油製品의 物 品 稅를 南朝鮮過渡政府 財務部 國庫局의 政府一般會計 歲入口에 納付함을 要함 但 還付金이 있을 때는 右稅金額에서 此를 控除하고 殘額을 納付함

第四條 稅 金 의 還 付

石油代金及 物 品 稅 支拂後 販賣取消 또는 運送中 物 品 稅 損失로 因하여 石油配給機關에 代金을 購買者에게 還付하는 때는 그 納付한 物 品 稅를 還付함

第五條 管 類

石油配給機關及 一 切 石油製品 購買者는 物 品 稅 納入에 關한 管類를 保管함을 要함 그 管類는 何時든지 財務部 職員及 二 代表者의 檢査에 供히도록 備置함을 要함

第六條 定 義

가 「石油製品」이라 함은 揮發油, 石油, 燃料油, 디·젤유, 潤滑油, 潤滑기어오일等을 包含함

나 「購買者」라 함은 個人 또는 政府機關을 不問하고 購買하는 모든 사람을 意味함

第七條 施行 期 日

本令은 公布後 10日부리効力이生함 1947年 8月 22日

右建議함 民政長官 安在鴻  
右認准함 軍政長官代理 서·지·헬밀

○ 法令第四百九號 對外貿易規則

南朝鮮過渡立法議院이 本項을 審議하여 法律을 制定할 때까지 下記에 依함

第一條 目 的

本令은 廣範圍의 對外貿易을 準備하며 現存하는 모든 商業法規를 整合하여 本令과 符合하지 않는 法規를 廢止 또는 改正함을 目的으로 함

第二條 廢 止

1946年 1月 3日 附法令 第三十九號 (對外貿易規則)은 茲에 廢止함

第三條 法令 第八十二號의 改正

1946年 5月 17日 附法令 第八十二號는 下記와 如히 改正함

第一條에 「1946年 附法令 第三十九號에 依하여」 이라는 句를 削除함 第二條에 「法令 第三十九號 第一項乃至 第四項에 依함」 이라 한 句를 削除함

第四條 法令 第九十八號의 改正

1946年 7月 11日 附法令 第九十八號 (商務部에 貿易局及 商務局의 設置 法令 第八十二號의 改正)는 下記와 如히 改正함

第二條(가)項의 「1946年 1月 3日 附法令 第三十九號 第一條으로부터 第四條에 依함」 이라 한 句를 削除함

第五條 對外貿易의 規定

商務部法規及其他 權限이 有한 機關에서 發布한 命令, 指令及 訓示를 充分이 遵守함이 없는 其種類 또는 範圍를 莫論하고 一切의 對外貿易 「地域間」 또는 「海岸間」 貿易을 禁함

第六條 財 產 的 運 輸

權限이 有한 機關에 報告하여 同 意를 (丞許 또는 其他 方法으로) 얻음 없이 一切의 財 產 的 運 輸 또는 搬入을 禁함

財 產 的 搬 出 及 搬 入 禁 令

第七條 開 港

其種類如何는 莫論하고 南朝鮮에 搬出 또는 搬入하는 一切의 財 產은 下記 開港中 一 港을 經由함을 要함 開港은 仁川, 群山, 墨湖, 木浦, 釜山, 濟州及 金浦 飛行場 (서울 附近) 임

第八條 地 域 間 船 舶

地域間 貿易에 從事하는 船主는 注 文 津, 倉 浦, 麗 水 等 各 港 中 一 에 서 發 類 及 貨 物 을 充 分 檢 査 하 기 爲 하 야 稅 關 에 報 告 함을 要 함

第九條 禁 制 品

現存한 法令, 命令 또는 規則에 違反하여 南朝鮮에 搬入 또는 南朝鮮에서 搬出하는 一切의 財 產은 其種類如何는 莫論하고 禁制品으로 看做되며 法律에 依하여 處分함

第十條 運 輸 機 關 的 押 收

本令에 違反하여 使用되는 非政府所有의 船舶, 航空機, 荷車, 動物及 自動車輪 또는 其他 一切 運 輸 機 關은 違反者의 裁 判 時 까지 押 收 함을 得 하며 違反者가 有罪 判決을 받은 途 過 에 는 南朝鮮 過 渡 政 府 에서 沒 收 하 야 法 律 에 依 하 야 處 分 함

第十一條 過 失 罪

南朝鮮의 境界 또는 海岸線의 地點에 經 意로 나 타 났 으 나 過 失로 卽 外國 貿易 關 稅 法 律 及 其 他 規 則 에 違 反 者 是 本 令 其 他 規 定 法 律 的 手 續 及 要 件 을 確 定 한 規 則 을 守 지 不 得 此 外 追 從 適 當 한 時 間 及 機 會 를 賦 與 받 을 虞 若 右 諸 事 者 가 右 記 手 續 及 要 件 에 追 從 하 면 本 令 第 九 條 及 第 十 條 的 刑 罰 又 는 沒 收 에 處 分 하 是 也

第十二條 手 數 料

商務部는 貿易 免許 狀 發 行 及 其 他 附 帶 事 項 에 必 要 한 範圍 內 的 手 數 料 是 定 한 權 限 이 有 함

第十三條 罰 則

本令又は本令에 依한命令 또는 規則에 違反한者는 軍政占領地裁判所가 決定한 刑罰에 處함

第十四條 免除 人及 財產

本令은 朝鮮軍政廳 또는 美國의 士官 또는 雇傭人의 手荷物運搬에는 適用치 아니하며 美國 또는 聯合國의 陸海軍法管轄下에 있는 人員의 手荷物其他所持品의 運搬에는 適用되지 아니하며 朝鮮軍政廳이 認定한 歸國手續下에 朝鮮에 歸國 또는 朝鮮으로부터 歸國하기로 合法의 許可를 受한 人員 또는 右政府의 公務 履行中인 人員의 手荷物 또는 其他所持品 運搬의 禁止로 解釋되지 아니함

第十五條 本令에 使用된用語의 定義

「對外貿易」이라 함은 南朝鮮과 朝鮮以外 國家와 對시 的인 貿易을 意味함

「對內貿易」이라 함은 全로 南朝鮮內의 貿易을 意味함

「地域間貿易」이라 함은 南北 朝鮮間의 (水、陸、空) 貿易을 意味함

「南朝鮮」이라 함은 北緯三八度以南의 朝鮮을 意味함 「海岸間貿易」이라 함은 海岸線, 港口를 經由하는 對內 또는 地域間 貿易을 意味함

第十六條 施行 期日

本令은 認准日부리 効力이 生함

1947年8月25日

右建議함 民政長官 安 在 鴻

右認准함 軍政長官 아-취-열-리-취

○ 法令 第五十號 法令 第九十三號의 改正

南朝鮮過渡立法議院이 本件事項을 審議하여 其法律을 制定實施할 때 까지 以下의 規定을 施行함

第一條 目 的

此法令의 目的은 下記規定을 施行하는 有効한 方法을 制定함에 있음

(가) 財務部長의 許可없이 行하는 金其他 貴金屬의 去來 禁止

(나) 鈔貨, 地金, 金及 其他 貴金屬의 登錄

第二條 外國 換統制 規定의 改正

1946年7月4日 附 法令 第九十三號 第二條 (外國 換統制) 에 下記 條項을 附加함

本令에 依하여 朝鮮內에 있는 金, 銀, 白金, 及其他 貴金屬의 報告가 있는 境內에는 朝鮮銀行은 그 報告를 受하는 同時 그 所持者에게 그 金屬의 種別, 數量을 記載한 非讓渡性 登錄證 한 明書를 發行함 正當히 免除을 受한 齒科醫, 貴金屬 工匠, 鐵業經營者 또는 運鐵業者 以外는 朝鮮銀行이 發行한 登錄證明書를 所持

하지 않음 限 金, 銀, 白金及 其他 貴金屬 (但 裝身具及 工藝品은 除外함) 을 所持, 占有 또는 所有하지 못함

第三條 罰 則

本令의 規定에 違反한者는 法令에 依하여 設置된 裁判所의 判決에 依하여 處罰하며 登錄하지 않음 金 또는 其他 金屬은 沒收함

第四條 有 効 期 日

本令은 發布日부리 効力이 生함

1947年10月4日

右建議함 民政長官 安 在 鴻

右認准함 軍政長官 代理 씨·지·필립

○ 法令 第五十四號 飲料稅令

南朝鮮過渡立法議院에서 本件事項을 審議하여 法律을 制定할 때 까지 下記에 依함

第一條 目 的

本令의 目的은 朝鮮一般 福利 增進에 必要한 稅收의 增加, 通貨 膨脹의 防止, 行政手續의 改善, 稅務 行政 能率의 向上, 徵收 圓滑及 國稅 再查手續의 設定에 있음

第二條 內國稅의 賦課率

甲 酒類

稅率 國內에서 生産되거나 國外에서 輸入되는 酒類에 對하여는 下記 稅率에 依하여 酒稅를 賦課함

種 別	酒精含有量	稅率(石當)	酒精標準含有量超過에 對한 加算稅率(石當)
濁 酒	$\frac{10}{100}$ 以下	800圓	$\frac{10}{100}$ 을 超過하는 $\frac{1}{100}$ 마다 300圓을 加算함
麥 酒	$\frac{15}{100}$ 以下	5,000圓	$\frac{15}{100}$ " " " " 600圓 " "
麥 酒	$\frac{35}{100}$ 以上	15,000圓	
果 汁 酒	$\frac{15}{100}$ 以上	13,000圓	$\frac{15}{100}$ " " " " 1,000圓 " "
黃 酒	$\frac{15}{100}$ 以下	11,000圓	$\frac{15}{100}$ " " " " 1,000圓 " "
清 酒	$\frac{18}{100}$ "	47,000圓	$\frac{18}{100}$ " " " " 3,000圓 " "
其他 釀造酒	$\frac{15}{100}$ "	22,500圓	$\frac{15}{100}$ " " " " 2,000圓 " "
燒 酒	$\frac{25}{100}$ "	8,000圓	$\frac{25}{100}$ " " " " 4,000圓 " "
高 梁 酒	$\frac{50}{100}$ "	20,000圓	$\frac{50}{100}$ " " " " 500圓 " "
其他 蒸溜酒	$\frac{40}{100}$ "	47,500圓	$\frac{40}{100}$ " " " " 1,500圓 " "
過 夏 酒	$\frac{20}{100}$ "	15,000圓	$\frac{20}{100}$ " " " " 800圓 " "
合 成 酒	$\frac{18}{100}$ "	25,000圓	$\frac{18}{100}$ " " " " 1,500圓 " "
其他 再製酒	$\frac{40}{100}$ "	47,500圓	$\frac{40}{100}$ " " " " 1,500圓 " "
酒 糖	$\frac{85}{100}$ "	30,000圓	$\frac{85}{100}$ " " " " 400圓 " "

100을 초과하는 100분의 1 이하의 酒精은 上記 釀造酒의 稅金을 賦課함

一 酒精含有量  $\frac{50}{100}$  을超過하는酒類에  
는 其超過酒精  $\frac{1}{100}$  마다 標準含有  
量超過酒精에對한 稅率의倍額을 加  
算함(但酒精을除外함)

二 一石未滿의部分에對하여 石單位  
額에比例하여 算出된額의稅金을賦  
課함

乙 蒸溜酒 또는 釀造酒를含有한製品  
本令에依하여 稅金이 賦課되지않은  
蒸溜酒 또는 釀造한酒精含有 飲料品은  
其名稱如何를不問하고 一般混合酒  
와같이看做하여 飲料稅를 賦課함

丙 清涼飲料水

稅 率  
國內에서 生産되거나輸入된 清涼  
飲料水에對하여는 下記稅率에依하  
야 清涼飲料稅를賦課함

第一種(병에넣은것) 每石 3,000圓  
第二種(병에넣지않은것) 炭酸瓦斯含有  
量 1키로구람當 1,008圓, 1키로구  
람의罐數에對하여는 比例로計算함

以上兩種飲料水의單位未滿罐數에對  
하여는 以上各率에比例하여 稅金을  
賦課함

丁 在庫酒類及清涼飲料水에對한稅金  
의賦課

本令施行日現在 製造者 또는 販賣者  
가法律에依한除外量을超過하여 所  
持 또는 在庫하는 모든酒類와清涼飲  
料水는 本條甲,乙及丙에規定한率에  
依한稅金을賦課함 그稅額은本令施  
行日로부터 本令에規定한方法에依  
하여 此를決定함

第三條 稅金의納付

稅金納付手續

本令에依하여 賦課되는 모든稅金  
은課稅物件의製造及輸入完了直前에  
司稅局 또는 그指定代行機關으로부터  
收入印紙를購買하여納付함  
收入印紙는 課稅物件의容器를 開封  
하는時에 그印紙가壞損되도록 課稅  
酒類 또는 清涼飲料水容器的稅又是頭

蓋에貼付하거나 또는財務部所定規  
則에依하여 納付함을要함

第四條 免 許

甲 總 則

第二條에規定한 酒類及飲料와 그重  
要原料인酒母,醱,麴子及麴의生産,  
輸入 또는 販賣(接各業者가營業場所  
에서 業務上來容에對하여 提供하는  
모든酒類도包含함)을目的으로하는  
營業을經營코자하며 또는 前段에規  
定한事業에從事하는 個人,會社,政  
府의代行機關,團體,集團及此等機關  
의關係者 또는 그集團은 그營業에從  
事함을得하는 權利를取得하기爲하  
야 司稅局으로부터 또는 司稅局의指  
示에依하여 免許를受함을要함

乙 酒類에對한免許料金

酒類의製造 또는 그輸入業을經營코자  
하는者는 每酒造年度(9月1일부터  
翌年8月31日까지)에對하여 下記에  
依한免許料金을 納付함을要함

各種飲料에對한免許料金

各 種 飲 料 的 年 產 量	酒	藥 酒	果 汁 酒 其他醱点酒	再 製 酒	麥 酒	蒸 溜 酒
1 1 0 石 以 下	5,000	5,000	30,000	20,000	30,000	5,000
2 1 0 石 超 過 } 2 2 0 石 以 下 }	5,000	5,000	30,000	20,000	30,000	10,000
3 2 0 石 超 過 } 5 0 0 石 以 下 }	5,000	10,000	30,000	30,000	30,000	20,000
4 5 0 石 超 過 } 1 0 0 0 石 以 下 }	10,000	20,000	50,000	50,000	50,000	30,000
5 1 0 0 石 超 過 } 2 0 0 0 石 以 下 }	20,000	30,000	100,000	100,000	100,000	50,000
6 2 0 0 石 超 過 } 3 0 0 0 石 以 下 }	50,000	50,000	150,000	150,000	150,000	100,000
7 3 0 0 石 超 過 } 5 0 0 0 石 以 下 }	50,000	100,000	200,000	200,000	200,000	150,000
8 5 0 0 石 超 過 } 1 0 0 0 0 石 以 下 }	100,000	150,000	250,000	250,000	250,000	200,000
9 1 0 0 0 石 超 過 } 1 5 0 0 0 石 以 下 }	150,000	250,000	350,000	350,000	350,000	250,000
10 1 5 0 0 石 以 上	200,000	200,000	300,000	300,000	300,000	300,000

上記免許料金은 酒精含有量이第二  
條甲項乙欄의稅率表 所定酒精含有  
量을 超過하지않은時에限하여 適  
用한酒類稅率表에規定한 酒精含有  
量을超過하는 酒類에對한免許料金  
은 上記甲欄에表示한 石數가比例로  
增加한 것으로看做하여計算함 但最  
低免許料金은 10石以下의生産에對  
한免許料金에依함

每免許料金은 每事業場,每種飲料에  
에限하여有效함 但酒類及清涼飲料  
에適用하기爲하여 定規免許料金을  
支拂할時는 主免許에附隨된附屬香  
號追加免許를 發行함을要함  
丙 清涼飲料水에對한免許料金

清涼飲料水의 生産 또는 輸入業을經  
營코자하는者는 每酒造年度(9月1  
일부터 翌年8月31日까지)에對하여  
下記免許料金을 納付함을要함

每種飲料의年產量(石) 免許料  
1,五十石以下 5,000圓  
2,五十石以上百石以下 10,000圓  
3,百石以上二百石以下 20,000圓  
4,二百石以上三百石以下 40,000圓  
5,三百石以上五百石以下 80,000圓  
6,五百石以上千石以下 200,000圓  
7,千石以上 300,000圓

丁 販賣免許料金

本令에規定한 酒類 또는 飲料水의 販  
賣 또는 小賣業을 經營코자하는者는

每酒造年度(9月1일부터 翌年8月31  
日까지)에對하여 下記免許料金을 納  
付함을要함

販賣業種類 免許料金  
1,朝鮮酒類小賣業 2,000圓  
2,輸入酒類의小賣業 5,000圓  
3,朝鮮酒類의都賣業 30,000圓  
4,輸入酒類의都賣業 50,000圓  
5,清涼飲料水의販賣業 2,000圓  
6,料理業者其他販賣業者 2,000圓

戊 酒母,醱,麴子 또는 麴의製造 또는 販  
賣業에對한 免許料金

酒母,醱,麴子 또는 麴의都賣,小賣 또는  
製造業을 經營코자하는者는 每  
酒造年度(9月1일부터 翌年8月31日



까지)에 대하여 本令第四條乙項에 規定한 酒酒에 對한 免稅料金에 對한 免許料金을 納付함을 要함

己 課稅生産品의 取得 免許인 酒類飲料의 製造者 또는 總子販賣者로서 本令에 依하여 免許인 酒類飲料 또는 總子販賣者 以外의 者로부터 酒類飲料 또는 總子 賣取受크자 할 때는 稅務署長의 認可 를 受함을 要함

庚 免許申請

1. 總則

本令施行以後 又是 每年 9月1日以後 (가)酒類 또는 清涼飲料의 生産 (나) 酒母, 醱, 總子의 製造及分配 (다) 酒類 또는 清涼飲料의 輸入에 從事 또는 以上 甲種飲料의 販賣, 交換及其他 取扱에 從事 크자 하는 者 又是 營業을 繼續 經營 크자 하는 者는 其 30日 以前에 稅務局 指定 樣式에 依하여 稅務局에 申請 함을 要함 上記 申請은 此種 營業의 免許를 認定되 지 아니함 本令에 依한 稅務局 發行의 免許인 酒類及 飲料水 의 製造, 輸入 또는 其他 營業에 從事함 을 禁함

2. 免許申請에는 現行法令에 依하여 土地家屋의 構造, 所有權關係, 器具及 設備等 모든 事項을 全部 記載함

3. 最低免許料金은 免許申請과 同時에 納付함

第五條 報告, 商標, 抹消, 保證金及 記錄 甲 報告

酒類及 清涼飲料水의 製造 又是 輸入 業을 經營하는 者는 現行法令에 依하 야 月例報告書를 翌月十五日 까지 稅務局에 提出함 該報告에는 酒精含 有量, 課稅物體의 種類, 總數量及 其他 稅務局에서 規定한 前期及 當該課稅 年度 初期以後의 累計를 報告하며 初 期物體目錄, 生産及 購買, 終期物體 目錄을 記載함 滿期된 모든 稅金及 年度末에 在한 既納免許料金에 對한 量을 超過한 生産, 販賣 또는 配給으로 因한 免許料金은 同時에 納付함

乙 商標(商標)

酒類及 清涼飲料水의 瓶 又是 其他 容器에는 製造者 또는 輸入業者의 住所, 姓名, 酒類飲料水의 種類, 酒精含有 量 또는 碳酸瓦斯含有量, 容量及 免許番 號를 表示하는 商標(商標)의 貼付를 要함 製造者 또는 輸入業者는 別項 規定에 違反되 지 않는 限 必要한 資料의 證明 又是 說明要目을 附加 記載할 수 있음

丙 瓶, 包裝及 容器에 貼付한 印紙, 符號 及 商標의 抹消

酒類 또는 清涼飲料水의 瓶, 包裝 또는 容器에 貼付한 印紙, 標識 또는 商標는 酒類 또는 飲料水의 使用後 此를 再使用 하지 못하도록 完全히 抹消함을 要함

丁 納稅保證金

酒類及 清涼飲料水의 製造 又是 輸入 業을 經營 又是 繼續 크자 하는 者는 免許申請書 提出時 又是 營業開始前에 現行法令에 依하여 賦課稅額의 一年分의 四分之一에 該當한 金額을 保證金으로 納付함을 要함 但 酒造業者로 組織된 組合이 이를 保證하는 時는 此를 免許함

戊 記錄

本令에 依하여 賦課된 稅金의 納稅義務者는 正確한 稅金을 決定한 課稅額을 包含한 去來全帳을 明確히 反映하는 記錄을 作하여야 하며 必要한 記錄을 登錄한 帳簿及 稅務局에서 指定한 帳簿은 만드시 整備하여야 함 如斯한 帳簿는 何時든지 稅務官 吏의 檢査를 受할 수 있도록 公別함

第六條 處罰

本令에 規定한 事項에 違反하는 下記에 依하여 所定 刑罰에 處함

甲 酒精度數의 欺罔

1. 罰則

稅額을 定前 酒精度數을 欺罔 크자 酒類飲料에 他物質을 加入하거나 加入 原因이 되는 行爲를 하는 虛偽報告에 關한 現行法令에 依하여 處罰함

2. 沒收

前記 偽造品의 容器 其他 包裝物은 酒類 또는 飲料水와 함께 此를 朝鮮政府에서 沒收함

乙 官吏의 不法貼紙, 不法抹消, 不法發行及 印紙不發行

罰則

稅務官吏가 (一) 酒類 또는 清涼飲料水에 關하여 本令에 規定한 印紙를 貼付 또는 抹消하지 않거나 又是 (二) 本令에 規定한 以外의 方法 又是 場所에서 印紙를 貼付 또는 抹消하며 그 貼付 抹消의 原因이 되는 行爲를 하며 그 貼付 抹消함을 認可한 時는 (三) 本令에 規定한 者 以外에 對하여 印紙를 發行하며 酒類 또는 飲料水의 全部 또는 一部가 不法蒸溜, 混合, 移轉, 販賣되는 등 如何한 方法으로든지 飲料稅를 逃脫한 酒類飲料의 容器 包裝에 印紙의 貼付를 許可한 時는 如斯한 官吏는 每犯罪의 罪定 刑決로써 5萬圓以上 30萬圓以下의 罰金及 一年以上 三年以下의 禁錮에 處함

丙 脫稅及 罰則

方法이 如何을 不問하고 酒類及 清涼飲料水에 對한 課稅를 逃脫 또는 逃脫 크자 企圖하는 者는 酒類 또는 飲料水 及其他 製品을 沒收하고 逃脫 또는 逃脫 크자 企圖한 課稅物體에 對한 課稅額의 五倍以上을 賦課하며 又 現行法令에 依하여 處罰함

丁 詐欺行爲의 罰則

本令에 規定한 營業에 從事하는 者 自己의 製品 또는 그 製品의 一部에 課稅한 金額에 對하여 朝鮮政府를 詐欺 또는 詐欺 크자 하는 者는 法律에 規定한 罰則에 依하여 處罰함

戊 特別規定이 없는 犯罪

本令에 規定된 製造業者, 輸入業者 又是 其他 如何한 者를 勿論하고 本令의 適用을 받은 者로서 該營業 運營에 關하여 本令에 規定한 義務에 故舊로 違反하며 又是 怠慢하며 本令의 條規에 抵觸되는 行爲가 有한 場合로서 本令에 該當한 罰則이 없는 時는 現行法令에 依하여 體刑及 從價罰金을 包含한 刑에 處함

己 免許의 取消

本令의 適用을 받은 製造業者, 輸入業者 又是 其他 受免許者로서 該營業 運營에 關하여 本令에 規定한 義務를 故舊로 違反하며 怠慢 또는 拒絶하며 또 禁止項目에 違反하는 者는 法令에 依하여 處罰하는 同時에 免許를 取消함

第七條 銷毀, 封印의 破毀 又是 液槽室及 建物侵入에 對한 罰則

稅務官吏의 職務上 液槽, 液槽室 또는 液槽 建物에 施行한 銷毀, 封印等을 破壞, 破損하며 稅務官吏의 立會 없이 銷毀 또는 封印을 開封 開銷하며 液槽室 또는 液槽 建物을 開戶하고 그 内部에 侵入하는 者는 現行法令에 依하여 體刑 또는 從價罰金으로 構成한 刑에 處함

第八條 蒸餾場, 醱造場 又是 其他 工場의 出入及 檢査, 稅務官吏의 權限

稅務官吏의 權限은 現行法令에 依한 以外에 何時든 不問하고 蒸餾場, 醱造場 또는 其他 工場으로 使用되는 建物 또는 此의 附屬된 建物로서 課稅物體의 貯藏 其他의 目的으로 使用되는 建物에 出入하 야 蒸餾器 (罐) 其他 諸般 容器 또는 製成品及 半製成品의 量과 그 重量及 모든 蒸餾場及 蒸餾建物 又是 其他 工場內에 所在하는 모든 總子 其他 原料에 對한 檢査及 計量을 할 수 있음

第九條 稅金의 返還

甲 工業用 又是 輸出用 酒精

本令에 依하여 既納한 稅金은 第九條 乙項에 規定한 範圍과 條件에 依하여 酒精을 工業用으로 使用하는 者 또는 國外로 酒精을 輸出하는 者에게는 返還함

乙 範圍의 條件

(一) 工業用의 目的으로 酒精을 取得하 야 工業用으로 使用하는 者及 輸出의 目的으로 酒精을 取得하 야 輸出한 者에 對하여는 既納한 稅金을 返還함

(二) 第九條 乙項 (一)에 依하여 既納한 稅金의 返還을 受 크자 하는 者는 記名捺印한 明細書를 提出함을 要함 그 明細書에는 工業用으로 使用되는

輸出酒精의 販賣者及取扱者가 그 酒精 또는 酒類의 酒精度數 又は 그 石 數를記載한 書類와 輸入者, 製造者에 依한 飲料에對한 稅金納付證明과 該 篇亦實은 査査한 稅務官 又는 稅關 官吏의 使用 또는 輸出한 證明書를 添 付할 을要한 稅務官이 前記名捺印 證明 無誤를 承認할 時는 請求에 依하 야 既納稅金相當額을 返還함 如斯한 請求는 그 酒精을 工業用으로 使用 又는 輸出한 日 부터 六個月 以內에 提出 함은 要함

(三) 現行法令에 依한 稅金免除 又는 納稅額返還에 關한 規定은 廢止되는 것이니고 前各項에 依하여 修正됨 이 不適함

第十條 所定 割當量을 超過한 生産高에 對한 罰則

何人을 勿論하고 免許를 受한 所定 割當 量을 超過하여 酒類를 生産한 者는 그 超 過 生産高에 對하여 賦課한 稅額의 三倍 의 相當한 罰金에 處함

第十一條 定義

左記定義以外에 現行法令에 規定된 定義는 本令에 適用함

甲 「朝鮮酒」라 함은 朝鮮에서 製造한 酒 類一般을 稱함 本法以外의 此에 反하 는 定義의 規定은 茲에 廢止함

乙 「朝鮮」이라 함은 北緯三八度 以內의 朝鮮地域을 意味함

丙 「司稅局」이라 함은 本令 又는 爾後法 令에 別段의 規定이 없는 限 財務部國 庫局을 意味함

第十二條 時効

甲 總則

本令에 依하여 賦課된 稅金은 申告 書提出後 五年 以內에 査定되어야 함 但處分申告는 此限에 不在함 稅金의 賦課額이 右期間을 超過한 時는 法 的 手續을 하지 못함

乙 處分申告

納稅義務者가 稅金을 滯脫하거나 又는 滯脫하지 企圖한 時는 本令에 依 하여 賦課稅額及 免許料金 收納을 目的으로 하는 法的手續에 關하여는 時効을 適用하지 아니함

第十三條 延滯金

飲料稅及 免許料金은 滯納된 日 子 從 起 滯納額의 五斗一센트(百分之五)의 延 滯金을 加算徵收함 右 滯納日 滯納日 後 30日 以內에 納付되지 않은 場 合은 그 滯納額은 五斗一센트(百分之五)를 增 加함 爾後 滯納에 對하여는 每30日 마 다 滯納額의 十斗一센트(百分之十)의 延 滯金을 累加함 但 延滯金에 總額은 滯納 額의 三十斗一센트(百分之三十)를 超 過하지 못함 延滯金은 刑罰과 相異하 여 刑罰으로 附加하는 것이 不합함 1947 年 4月 19日 附法令 第百三十九號 (稅金 通則令의 改正) 飲料稅에 關하여는 茲

에 廢止함

第十四條 脫稅其他 犯罪事實의 發見報告

甲 納稅者及 司稅局職員 以外의 者로서 本令에 依한 納稅義務者의 脫稅額 又는 罰金을 算定함에 重要한 事實報告를 司稅局에 提出하는 者에 對하여는 當該 査定罰金額의 25 斗一센트를 授與하 되 5萬圓을 超過하지 못함 脫稅額及 延滯金은 報告者에 對한 報酬를 決定함에 對하 야 罰金의 一部를 看做하지 않음 報酬는 査定罰金에 基礎하 授與함 提出한 報告가 脫稅發發에 貢獻하였 으나 다른 調査와 發見로 그 結果에 貢獻 할 時는 그 報告者에 對한 支拂金額은 財 務部長이 이를 斟酌決定함

乙 第一條에 規定한 本令의 目的을 爲 하야 又는 特別 査査機關을 發達시키 기 爲하야 下記規定을 定함 本令 規定에 依한 罰金 又는 延滯金의 25 斗一센트는(本條 甲項에 該當하는 것 을 除外함) 司稅局內 財務協會에 支拂 함

第十五條 徵收及 施行手續

徵收及 施行手續에 關하여는 法令에 依 하는 以外에 下記에 依함 稅關은 輸入業者에게 提供하는 收入 印紙販賣에 關한 事務에 對하여 責任을 負야 하며 印紙는 本令 第三條의 規定에 依하여 酒類와 清涼飲料水의 容器에 貼付하여야 함 但 稅關法規의 適用을 排除하지 아니함

第十六條 陳情에 關한 手續

財務部長은 自己의 選定하는 委員으로 委員會를 創設할 수 있음 右 任務의 職務은 課稅價格査定及 稅金測定, 免許料金 其他 모든 國稅에 關한 處罰及 處分의 適法 與否를 査査하고 司稅局의 決定에 對하 야 財務部長의 要請 又는 納稅義務者의 陳情에 依하여 再査査할 能 있음

第十七條 司稅局의 管轄

甲 司稅局은 所管 稅金의 賦課, 徵收, 免許의 可否及 本令 施行에 對하여 完 全한 管轄權이 있음

乙 司稅局은 法令에 依하여 (法令에 依하여 決定된 總生産割當量에 依하 야) 財務部長의 承認下에 酒類及 飲 料製造業者의 生産割當量을 決定하며 法令의 規定에 依하여 酒類及 飲料水 의 生産及 配給을 統制함

丙 財務部는 納稅者의 正確한 負擔稅 額을 反映하며 脫稅을 防止하 도록 明 確한 稅金을 決定, 計算, 査定, 徵收及 是正함에 必要하다고 司稅局이 認定 하는 規則을 規定할 수 있음

第十八條 現行法令은 本令 規定과 抵觸 되는 範圍內에서 改正 또는 廢止할 但 改 正 又는 廢止前에 決定된 稅額의 負擔罰 金及 追加金等을 免除함이 不함

第十九條 施行期日

本令은 公布日 부터 効力이 發生함

右 建議官 民政長官 安在鴻 右 認准官 朝鮮軍政長官代理 씨·지·윌밀

○ 法令 第百五十八號 許可權의 移管及 廢止에 關한 件

南朝鮮 過渡立法議院에서 左에 關하 法律을 制定할 때까지 左에 依함 第一條 目的

모든 納稅義務者의 現有 酒類及 飲料의 製品 또는 商品 又는 本令 施行後에 生産 되는 것 에 對하여 適用함

1947年 11月 1日

右 建議官 民政長官 安在鴻 右 認准官 軍政長官代理 씨·지·윌밀

○ 法令 第百五十五號 物資統制會 社의 解散

1947年 9月 30日

右 建議官 民政長官 安在鴻 右 認准官 軍政長官代理 씨·지·윌밀

○ 法令 第百五十六號 財産管理官 의 株主總會 招集權

南朝鮮 過渡立法議院에서 首題의 件에 關하여 法律을 制定할 때까지 左에 依함 第一條 目的

本令의 目的은 財産管理官이 株主가 지 고 있는 會社의 株主總會의 招集을 容易 且 便利케 할 能 있음

第二條 株主總會 招集權

財産管理官은 取締役 選任 其他 株主總 會의 權限에 屬한 事務를 處理하기 爲하 여 그가 株式會社가 지고 있는 會社의 株主 總會를 招集할 權限을 保有함

第三條 通知

本令 第二條에 依한 株主總會의 招集은 株主總會 期日 三十日 前에 通常 郵便으로 各株主에게 通知할 을 要함

各株主의 住所는 株主名簿가 保存되 되어 있는 時는 그 株主名簿所載의 住所 에 依하므로써 足함 그 通知의 寫本은 該 日 株主總會 期日 十五日 前에 各選管 財處에 公示함

第四條 効力

本令의 効力은 財産管理官에게 株主總 會 招集權을 賦與하므로써 株主總會의 招集을 容易케 할 能 있음

그러므로 本令의 規定 又는 定款을 變 更할 趣旨는 不함

第五條 抵觸되는 法令

本令과 抵觸되는 法令 又는 規定은 抵觸 되는 範圍內에서 効力을 失함

第六條 施行期日

本令은 公布日 부터 効力이 發生함 1947年 11月 21日

右 建議官 民政長官 安在鴻 右 認准官 朝鮮軍政長官代理 씨·지·윌밀

○ 法令 第百五十八號 許可權의 移管及 廢止에 關한 件

南朝鮮 過渡立法議院에서 左에 關하 法律을 制定할 때까지 左에 依함 第一條 目的

本令의 目的은 特定한 許可權을 移管及 廢止함에 있음

第二條 警務部所管許可權의 移管

警務部에서 所管하여오는 許可權은 第三條에 規定한 許可權以外는 本令 第七條의 規定에 依하여 移管함

第三條 警務部所管의 許可事項

警務部所管의 許可事項은 左와 如하

- (1) 1912年8月21日 附制令 第三號 銃砲火藥類取締令中 銃砲火藥貯藏에 關한 許可事項
- (2) 1911年9月29日 附府令 第八十二號 信用告知業取締規則中 興信業에 關한 許可事項
- (3) 渡船及遊船取締에 關한 各道令中 渡船及遊船에 關한 許可事項
- (4) 1912年3月12日 附 制令 第三號 質屋取締에 關한 件中 典當舖에 關한 許可事項
- (5) 1912年3月12日 附制令 第二號 古物商取締에 關한 件中 古物商에 關한 許可事項
- (6) 印刷業取締에 關한 各道令中 印刷業에 關한 許可事項
- (7) 1934年12月 日 附府令 第三百一十一號 朝鮮自動車取締規則中 自動車 又是 運轉手에 關한 許可 又是 免許事項

第四條 通知事 又是 서울市長의 所管事項

從前 警務部에서 所管하여오는 許可事項中 前條에 規定한 以外의 事項은 當該 通知事 又是 서울市長에 依하여 移管함 通知事 又是 서울市長은 所管局에 通하여 그 事務를 管掌함 但 通知事 又是 서울市長은 本條의 許可를 願할 時에는 關係 官署의 意見을 聽取할 要함

第五條 許可權의 廢止

從前 警務部에서 所管하여오는 左記 事項에 關한 許可를 廢止하고 그 許可에 關한 左記 法令은 廢止함

- (1) 用塗業에 關한 各道令中 用塗業에 關한 許可事項
- (2) 1913年5月29日 附府令 第五十四號 荷車取締規則及 馬車取締에 關한 各道令中 荷車及 馬車에 關한 許可事項
- (3) 製造場取締에 關한 各道令中 製造場에 關한 許可事項
- (4) 各道令中 廣告에 關한 許可事項
- (5) 1925年9月9日 附府令 第八十三號 原動機取締規則中 原動機에 關한 許可事項
- (6) 1938年11月 日 附府令 第二百三十一號 道路取締規則中 露店에 關한 許可事項

第六條 警類及財產의 移管

第四條에 依하여 移管된 許可事項에 關한 警類及 財產은 本令 公布日 後三十日 以內에 通知事 又是 서울市長이 指定한 所管局에 移管함을 要함

第七條 有 効 期 日

本令은 公布後三十日 에 効力이 生함 1947年12月30日

右 建議함

民政長官 安 在 鴻

右 認准함

朝鮮軍政長官 韓 理 亞·에프·민  
美國陸軍少將

○ 法令 第六十一號 朝鮮自動車取締規則의 改正

南朝鮮 過渡立法議院에서 法律을 制定할 時까지 左에 依함

第一條 目 的

本令의 目的은 1933年12月29日 附府令 第三百一十一號(朝鮮自動車取締規則) 第一百十三條에 規定된 手數料을 增加함에 있음

第二條 新 手 數 料

1933年12月29日 附 府令 第三百一十一號(朝鮮自動車取締規則) 第一百十三條에 規定된 手數料을 左와 如하 改正함

- (1) 第三十二條의 規定에 依한 車輪檢査 手數料

普通自動車 80圓

特殊自動車 80圓

小型自動車 40圓

- (2) 第四十二條 第一項의 規定에 依한 車輪檢査 手數料

普通自動車 40圓

特殊自動車 40圓

小型自動車 25圓

- (3) 第三十六條 第一項 又是 第四十條 第一項의 規定에 依한 車輪檢査 證書 交換手數料

25圓

- (4) 車輪檢査 證再交付 手數料

25圓

- (5) 運轉免許 試驗 手數料

普通免許 120圓

特殊免許 120圓

- (6) 小型 運轉免許 手數料

40圓

- (7) 運轉免許 再交付 手數料

25圓

第三條 施 行 期 日

本令은 公布後十日 부터 効力이 生함 1948年1月15日

右 建議함

民政長官 安 在 鴻

右 認准함

朝鮮軍政長官 韓 理 亞·에프·민  
美國陸軍少將

○ 法令 第六十二號 日本敵產管理人名義登記抹消에 關한 件

南朝鮮 過渡立法議院에서 本件 事項을 審議할 時 法令을 制定할 時까지 左에 依함

第一條 目 的

本令은 前日 日本敵產管理人名義로 管理하는 不動產에 對한 所有權의 所屬을 明白히 하여 如斯한 所有權登記를 訂正하기 爲한 簡易手續을 設定한 目的으로 함

第二條 日本敵產管理人名義로 管理하는 財產

1941年12月23日 附日本法律 第九十九號(敵產管理法)에 依하여 美國人, 聯合國人及 朝鮮人 創立된 法人 所有 不動產의 管

理 目的으로 日本敵產管理人名義로 現在 登記되어 있는 것은 茲에 此令을 全 部 抹消함

第三條 登記變更申請

美國人, 聯合國人及 朝鮮人 創立된 法人은 當該 所有 不動產이 管理의 目的으로 日本敵產管理人名義로 登記되어 있는 것에 對하여 所管 登記官 吏에게 其 確實함을 宣誓하고 左記 事項을 記入한 申請書를 提出하여 當該 不動產 登記簿에서 當該 登記를 抹消케 함을 得함

- (1) 申請者 姓名
- (2) 申請者 所有 不動產이 現 在 日本 敵產管理人名義로 登記되어 있는 不動產의 表示及其 所在 場所
- (3) 申請者가 本令의 條項에 依하여 日本 敵產管理人名義로 되어 있는 登記의 抹消를 申請하는 說明

第四條 施 行 期 日

本令은 公布後十五日 後에 効力이 生함 1948年1月15日

右 建議함

民政長官 安 在 鴻

右 認准함

朝鮮軍政長官 韓 理 亞·에프·민  
美國陸軍少將

○ 法令 第六十三號 水產食料品及其施設衛生規格

朝鮮 過渡立法議院에서 首題의 件에 關하여 法律을 制定할 時까지 左에 依함

第一條

本令의 目的은 水產食料品에 關한 衛生檢査制度를 規定하여 이에 關한 衛生을 維持함에 있음

第二條

(가) 本令에 「水產食料品」이라 함은 生鮮及 水凍, 罐詰, 鹽藏, 乾燥 又是 其他의 方法으로 加工한 食用 魚類, 貝類 其他 水產動物과 水產食料品을 主材料로 하여 加工한 모든 食料品을 稱함  
(나) 本令에 「生鮮」이라 함은 水凍, 罐詰, 乾燥 又是 鹽藏하지 않은 水產食料品을 稱함  
(다) 本令에 「水產食料品 營業施設」이라 함은 水產食料品을 取扱, 販賣, 貯藏 又是 加工하는 모든 漁船, 建造物, 運搬及其他 場所를 稱함  
但 飲食店 又是 團體의 消費機關은 包含치 않음

(가) 本令에 「水產食料品」이라 함은 生鮮及 水凍, 罐詰, 鹽藏, 乾燥 又是 其他의 方法으로 加工한 食用 魚類, 貝類 其他 水產動物과 水產食料品을 主材料로 하여 加工한 모든 食料品을 稱함

(나) 本令에 「生鮮」이라 함은 水凍, 罐詰, 乾燥 又是 鹽藏하지 않은 水產食料品을 稱함

(다) 本令에 「水產食料品 營業施設」이라 함은 水產食料品을 取扱, 販賣, 貯藏 又是 加工하는 모든 漁船, 建造物, 運搬及其他 場所를 稱함

第三條

保健厚生部는 左에 關한 衛生規則을 制定하여 官報로 公布함

(가) 各種 水產食料品 又是 其 營業施設의 衛生規格

(나) 道 保健厚生局에서 發行한 衛生免許에 關한 事項

(다) 衛生規格 施行에 關한 事項

第四條

本令 第三條에 依하여 保健厚生部에서 制定한 規則의 施行 期日 以後는 其 規定된 種類의 水產食料品 營業施設의 經營者

는 衛生規格에適合치않은水産食料品을 取扱、販賣、貯藏又は加工하지 못하며 必要한衛生免許없이 또는其他規則에違反하여 水産食料品을取扱、販賣、貯藏又は加工하지 못함

第五條

水産食料品營業施設의經營者는 衛生免許에對한出願을 書面으로 其道保健厚生局에 提出함 出願書에는左記事項을記載함

- (가) 所有者及經營者의姓名及住所
- (나) 水産食料品營業施設의名稱及所在地
- (다) 出願人이關係規則을 了知하고 그를遵守한다는趣旨
- (라) 關係規則이要求하는其他事項

第六條

(가) 水産食料品營業施設이 規定된要件에該當치 않을時は 道保健厚生局은 衛生免許의發付를拒否又は發付된免許를停止할수있음 但經營者에게事前에通告하여 陳述의機會를附與함을要함 免許의拒否又は停止는 此를書面으로써 出願人에게通知함 出願人은 通知事에게 異議를申立할수있음 本條의停止處分期間은 三十日을超過치못함

(나) 中央政府農務部에서 既往附與한 水産食料品營業施設의衛生免許를 拒否又は停止할時は 其處分을農務部에通知함

第七條

(가) 水産食料品 營業施設의經營者는 其建物、設備及商品을 業務時間中 恒時道保健厚生局檢查官의檢查를받 을수있도록하여둘을要함 檢查官은 定期的으로 檢查를施行하되 保健厚生部에서制定한樣式에依하여 法規의遵守與否를證明함 其樣式의寫本 一通은 道保健厚生局에提出하고 一通은 水産食料品營業施設經營者가 其施設內의 視界되는곳에 恒常揭示함을要함

(나) 水産食料品營業施設經營者는 檢查官의要求기有할時は 見本の領取證과引換하여 水産食料品の見本을 提供함을要함

第八條

道保健厚生局檢查官은 法規에規定된 衛生規格에不合한生鮮은 此를非衛生品으로宣告하고 此의破棄를命할수있음 檢查官은非衛生品을宣告할時は 直時道保健厚生局에 此를報告함을要함

第九條 罰則

(가) 本令條項又は 本令에依據하여發布한規則에違反한者는 裁判所의判決에依하여 其所定刑에處함

(나) 本令又は本令에依據하여 發布한規則違反으로裁判所의有罪判決이 있을時は 道保健厚生局은 本令에依하여 發付한衛生免許를 取消又は適

當한期間中停止할수있음

本令第六條의通告及異議申立에關한規定은 本項의取消又は停止에此를適用함

(다) 本令第八條에 規定한處分以外에 道保健厚生局은 本令에依據하여 發布된 規則에 規定한衛生規格에不合한모든水産食料加工品을押收할수있음 裁判所의裁判官이 그와같은食料品의所持를理由로有罪判決을한時は 法定手續에依하여 此를沒收함 沒收及處分에關한記錄은 裁判所記錄의一部으로써保存함

第十條 施行期日

本令은 公布日로부터 十日後에効力이發生함

1948年1月23日

右建議함

民政長官 安在鴻

右認准함

軍政長官 韓理翰·에프·원

○ 法令第六十四號 皮革統制

朝鮮過渡立法議院이 首題의件에關하여 法律을制定할때까지左에依함

第一條

本令의目的은 朝鮮經濟의利益을爲하여 原皮買賣를調整함에있음

第二條

(가) 屠殺者는 本令第三條에依하여 免許된地方原皮取扱業者以外의者에게 原皮를買渡 又は引渡하지못함 免許된地方原皮取扱業者以外의者는 屠殺者로부터 原皮의買入 又は引渡를받지못함

(나) 免許 있는地方原皮取扱業者는 本令第四條에依하여指定된中央原皮取扱業者以外의者에게 原皮를買渡 又は引渡하지못함 中央原皮取扱業者以外의者는 免許 있는地方原皮取扱業者로부터 原皮의買入 又は引渡를받지못함

(다) 指定中央原皮取扱業者는 商務部로부터 原皮의配當을受한製革業者以外의者에게 原皮를買渡 又は引渡하지못함 商務部로부터 原皮의配當을受한者以外의者는 指定中央原皮取扱業者로부터 原皮의買入 又は引渡를받지못함

(라) 製革業者는 商務部로부터 配當 받은條件에依하여 其原皮를 使用處理함을要함

(마) 指定中央原皮取扱業者以外의者는 畜牛를屠殺한後로부터 他道로原皮를移動하지못함 屠殺者,職務遂行中の家畜檢查官, 免許 있는地方原皮取扱業者及指定中央原皮取扱業者又は 商務部로부터配當을受한製革業者以外의者는 原皮를買買, 收受又は所持하지못함

第三條

道農務局及 서울市商工局農務課는 出

願者中原皮를取扱함에適當한設備을有하는者에게 地方原皮取扱業者를免許함을要함 屠殺場이所在하는各縣又は各府마다 一人以上の地方原皮取扱業者를免許함을要함

第四條

農務部長은 一人以上の中央原皮取扱業者를指定하여 그가決定하는地域內에서事業을運營케함

第五條

(가) 各指定中央原皮取扱業者는 本令의効力發生後 每月五日及二十日에 原皮의目錄及引渡받은原皮의産地의道名을 政府農務部에報告提出함

(나) 免許 있는各地方原皮取扱業者는 本條(가)項의報告書를免許區域을管轄하는郡守又は府尹을經由하여 所轄道知事에提出함 서울市의免許 있는地方原皮取扱業者는 그報告書를市長에게提出함 道知事及서울市長은 그報告書를中央政府農務部에提出함

(다) 中央政府農務部는 必要하다고認할時は 其他報告를要求할수있음

第六條

本令에「原皮」라함은 畜牛의製革前의皮를稱함

第七條

原皮의買買價格은 中央物價行政處에서 此를決定함

第八條

商務部는 朝鮮經濟의利益을爲하여 原皮는製革業者에게 皮革은 皮革品製造業者及加工業者 又は工業用消費者에게配當할權限이있음

第九條

本令과低觸되는모든 法令,其他命令, 規則, 指令及訓令等은 그低觸되는範圍內에서効力을失함

第十條

(가) 本令의規定又は 商務部의配當條件에違反한者는 裁判所의判決에依하여 其所定刑罰에處함

(나) 本令又は商務部의 配當條件에違反하여 有罪判決이 있을時は 道知事及農務部長又は商務部長은 本令에依하여 發行한免許, 指定又は配當을取消할수있음

(다) 本令違反行爲의目的物인 原皮又は皮革은 此를押收할수있으며 其行爲에對하여 有罪判決이 있을경우에는 此를沒收함 沒收及物品處分に關한記錄은 此를詳細히作成하여 裁判所記錄의一部으로써保管함

第十一條

本令은 公布日로부터 三十日後에効力이發生함

1948年1月23日

右建議함

民政長官 安在鴻

右認准함

朝鮮軍政長官 韓理翰·에프·원

美國陸軍少將

○ 法令第六十八號 食糧及物資配給制度違反行爲의處罰

南朝鮮過渡立法議院에서 本件에關하여 法律을制定할때까지 左에依함

第一條 本令은 食糧及物資의 配給制度違反行爲에對하여 刑罰을規定함으로 此의處罰을 處함

第二條 食糧及物資의 配給은 道及市에서 樹立한制度에依하여 關係機關이 此를施行함 但食糧의 配給에關하여는 中央政府에서 指定한 統制食糧配給要領에 順應함을要함

第三條 食糧及物資配給票의 發行은 一人 又一世帶에 一票에 限함

第四條 食糧及物資의 配給票은 朝鮮省 留令에依하여 配給을受한者의 寄留手續完了後가아니면 此를發行하지 못함 配給票의 發行을受한地域에서 他地域으로 轉住할時는 十日以內에 配給票의 修正手續을 完함을要함 但配給票을 必要치않은 地域으로 轉住할時 又是 配給票의 効力이 消滅될時는 遲滯없이 關係當局에 配給票을 還付함을要함

第五條 配給票의 發行을受한者 一個月以上 旅行其他事由로 因하여 그 居住地에 있지않은時는 其期間中 配給의 中止를 配給票發付當局에 届출함을要함

第六條 食糧及物資의 配給票發付申請에는 必로 그 居住地域의 洞(里)會長, 統長(區長)及班長의 居住認證을 要함 配給票發行申請에關한 世帶內人口數에 不正한記載가有할時는 其居住者를 認定한者가 其責任을 負擔함

第七條 洞(里)會長, 統長(區長)及班長은 關係地域內住民의 動態에 注意하여 每年1월1日, 4월1日, 7월1日及 10월1日現在에 關係地域內住民의 世帶數及住民數을 調査하여 當月15日까지 府廳, 廳, 邑及面의 長에게 報告함을要함 但關係地域內의 世帶數及世帶內人口數에 不正한事實이 있을을 發見할時는 遲滯없이 報告함을要함

第八條

(가) 府, 廳, 邑及面長은 每年4월1日及 10월1日 在로 食糧及物資의 配給을受하는 住民의 世帶數及世帶內의 人口數을 調査하여 道統戶別稅賦課戶數及戶口調査規定에依한 戶口調査簿에對照하여 그 正確을 期함을要함

(나) 本條의 規定된 義務을 怠慢히 行한者 又是 故意의 行動或은 怠慢으로 因하여 本條範圍內의 事實을 虛偽傳述한者는 一年以下의 禁錮 또는 5萬圓以下의 罰金에 處함

第九條 左記各條의 一에 該當한者는 三個月以上 十年以下의 懲役 또는 5萬圓以下의 罰金에 處함 但罪狀에 依하여는 此를 併科함을 得함

一 配給票을 不正한 手段으로 取得及는

所持한時

二 配給票을 不正히 使用하며 又是 不正한 配給票을 使用할時

三 不正한 配給票을 發行하며 又是 此를 正當한 配給票으로 取扱한時

四 食糧及物資配給物資를 不正히 配給及는 配當하며 不正히 此의 配給及는 配當을 受한時

五 食糧及物資配給物資의 配給及는 配當에 關하여 賄賂를 受渡, 請求, 提供及는 約束한時

六 前各條의 未遂

第十條 第六條의 規定한 戶住認證者 故意 또는 過失(怠慢)으로 因하여 同條第二條에 規定한 事實을 發生케한時는 一年以下의 禁錮 또는 2萬圓以下의 罰金에 處함 故意 또는 過失로 因하여 第七條에 依한 報告書에 不正事實이 有할時亦同一함

第十一條 第四條及는 第五條에 違反한者는 1萬圓以下의 罰金에 處함

第十二條 配給票, 配給, 配當에 關한 文書及 配給, 配當에 關한 事實에 對하여 關係當局의 調査에 應지않은者는 1萬圓以下의 罰金에 處함

第十三條 本令에 「配給票」라 함은 食糧及는 物資配給當局이 住民에게 發付하여 食糧及는 物資의 配給을 受케하는 券面, 切手及는 其他證書를 指稱함

第十四條 食糧及는 物資受配給에 關한 違反은 그 行爲者及는 行爲者의 所屬世帶主를 處罰함 但行爲當時 그 世帶主 此를 不知하지않은時는 此限에 不在함

第十五條 從前의 法律, 命令及는 其他法規로서 本令과 抵觸되는 部分은 本令範圍內에서 廢止됨

本令은 公布日로부터 効力이 發生함 1948年2月21日

右建議함 民政長官 安在鴻 右認准함 朝鮮軍政長官 美國陸軍少將 윌티암·에프·윌

★ 南朝鮮過渡政府行政命令 (經濟關係法律)

○ 行政命令第八號 米穀收集及運搬

第一條 目的 本令은 法律第六號及中央食糧規則第六號規定을 遂行하고 釋明하며 米穀의 無許可不法運搬及 賣買을 防止함을 目的함

第二條 中央食糧規則第六號規定 中央食糧規則第六號第六條의 左記規定을 茲에 特別히 強調하며 嚴格히 施行함 「一切의 米穀運搬은 政府가 管轄함 本規則에 規定된 米穀收集所外 配給所以外는 米穀出荷權限을 保有하는 政府代行機關以外의 者는 運搬치 못함 無許可로 運搬한 米穀이나 配給所以外에서 販賣하는 米穀은 沒收하여 道食糧事務所에 引渡하여 配給米로 提供함」

第三條 其他米穀運搬及는 賣買許可 右記中央食糧規則第六號規定에 抵觸되는 者 于今까지의 米穀運搬 及는 賣買는 其量과 條件如何를 莫論하고 此를 取消함

第四條 有効期日 本令은 發布日 同時에 有効함

1947年10月12日

右建議함 民政長官 安在鴻

右認准함 軍政長官代理 씨·지·윌티

○ 行政命令第九號 非常時電力委員會

在朝鮮美國陸軍司令官은 方今 南朝鮮의 電力不足이 極甚하고 此狀은 繼續한 勢임을 認定하며 따라서 南朝鮮人民의 各樣必要한 需要에 應하도록 電力의 公正且 均切한 分配을 保障한 必要를 認定하므로 非常時期中 電力의 使用及 分配은 管理할 權限이 有한 非常時電力委員會의 設置를 指令하엿음

右記指令에 依하여 茲에 非常時電力委員會를 設置함

一 非常時電力委員會는 七人의 委員으로서 構成하며 其中一人은 在朝鮮美國陸軍司令官이 指名하고 其他六人은 左와 如함

- 朝鮮過渡立法議院 全度演
朝鮮商工會議所 全恒燮
工業局長
土木部副顧問官
電氣局顧問官(本委員會幹事)
中央經濟委員會電氣顧問官(本委員會委員長)

委員會는 委員長이 此를 召集함

二 非常時電力委員會는 南朝鮮各人(個人, 團體及는 政府를 包含함)에 對하여 電力의 生産, 分配及는 使用에 關係된 一般의 特定的命令, 指示, 優先順位及는 制限을 發令할 權限이 有함

本委員會의 命令은 法의 効力이 有함

三 本委員會는 本會職務履行에 必要한 援助及는 電力의 生産, 移送及는 分配에 從事하는 者가 要하는 援助는 南朝鮮過渡政府各部署及는 代行機關에 要請하여 此를 享受할 權限이 有함

四 本委員會의 特定한 許可가 없이는 左記電力使用은 此를 禁함

(가) 事務所, 公共建築, 家庭, 料理店及는 其他建物에서 電熱의 根源으로서의 使用

(나) 料理目的으로의 使用

(다) 裝飾及는 廣告用 電光으로서의 使用

五 本委員會의 今後 決定을 條件으로 하여 制限運用을 爲하야 電力의 必須使用의 一般의 優先順位는 左와 如하 訂定함

(가) 優先第一順位 水道, 通衢, 炭礦, 煙炭工場, 病院, 鐵道, 刑務所及는 留置場에 依한 使用

- (나) 優先第二順位  
精米精穀所, 瓦斯工場, 必須軍用, 警  
察用, 海岸警備隊用, 國防警備隊用施  
設에 依한 使用
- (다) 優先第三順位  
企業體及施設에 依한 使用  
及 必須家庭及宿舍電光用
- 六 本委員會의 權限中에는 左記權限  
을 包含함
- (가) 上記優先順位를 變更 또는 加減함
- (나) 優先順位를 賦與한 工場, 施設  
又는 活動에 依한 電力使用의 種類, 範圍  
及 時間을 定함
- (다) 一般의 으로 또는 具體의 으로 「制  
限運用」을 定義함
- (라) 一般의 으로 또는 具體의 으로 「必  
須使用」을 定義함
- (마) 一般의 으로 또는 具體의 으로 上  
記第五項에 規定한 「優先順位」使用  
을 定義, 固定及 制限함
- (바) 如何한 電力使用者에 對한지 電力  
使用에 關한 書面 又는 口頭에 依한  
情報及 報告를 要求함
- (사) 如何한 電力使用에 對한 電線의  
物體의 斷線을 命함
- (아) 電力用具, 裝置, 又는 施設의 分配  
販賣 또는 賃借을 制限 또는 禁止함
- (자) 本令及 本委員會가 發한 命令及  
指令의 違反을 定義함
- 七 本委員會는 在 朝鮮美國陸軍司令  
官에 對한 本委員會의 各指令에 關하여  
報告하며 適用場場所의 場所에 在하여  
서는 軍事施設에 對하여 適當한 指令  
을 發令함을 要請함
- 八 電力會社는 本令 또는 本委員會의  
命令 또는 指令에 違反한 者에 對한 電線  
의 物體의 斷線을 包含한 電力提供을  
中斷할 權限이 該會社에 賦與됨
- 九 本委員會는 그 命令을 書面, 口頭,  
電話, 電信, 傳이시외 又는 其他 通信  
方法으로 發令權限이 有함
- 十 本令 또는 本委員會의 命令 또는 指  
令에 違反한 者는 判決에 依하여 法  
院이 定한 刑罰에 處함 本委員會는 本  
令 또는 本委員會의 命令 또는 指令에  
違反한 者에 對한 處罰提案을 發布함
- 十一 本令에 抵觸되는 모든 法律, 法  
令, 命令, 規則, 指令及 指示 又는 該部  
分은 其 抵觸되는 範圍內에서 其 施行  
을 非常時期中 停止함
- 十二 本委員會의 모든 決定, 指令 또는  
命令은 軍政長官의 審査及 在 朝鮮美  
國陸軍司令官의 再審査를 條件으로  
함 但 前記 審査에 依하여 變更, 修正  
又는 廢止될 時까지는 完全한 効力이  
有함
- 十三 本令及 本令에 依한 委員會의 權  
限은 非常時期中 終了가 布告된 때까  
지 繼續하여야 有함
- 十四 本令은 公布日부 起 有함

右建議함

1947年12月15日

民政長官 安 在 鴻  
右認准함

軍政長官 윌리엄·에프·퀸

○ 行政命令第十號 勞働에 關한 規  
定의 臨時停止

第一條

南朝鮮 電力不足으로 因한 非常時態에  
依하여 作業時間의 臨時의 再調整을 要  
하므로 如斯한 非常時態의 布告가 有  
할 時까지 1947年12月15日附 行政命令  
第九號에 依하여 左記諸規定은 此를 停  
止함

(가) 1946年11月7日附 法令 第二百二十一  
號第二條(나)項 「該法令이 適用되는  
被雇者人等 每作業週間中 二十四時  
間以上을 連續休息할 權利가 有함」이  
라함 規定

(나) 1947年5月16日附 法律 第四號第  
四條에 未成年者의 夜間勞働을 禁止  
한 規定

(다) 1947年5月16日附 法律 第四號 第五  
條에 未成年者의 每週六日以上の 勞  
働을 禁止한 規定

(라) 1947年9月15日附 勞働部令 第一號

第二條

(가) 1947年9月15日附 勞働部令 第一號  
第二條 但 職場의 就業時間이 四時間  
을 超過하는 境遇에는 最少半時間을  
第四時間末에 出勤時間으로 許與함

第二條

本令은 公布日 同時에 効力이 有함  
1947年12月24日

右建議함  
民政長官 安 在 鴻  
右認准함

軍政長官 윌리엄·에프·퀸

○ 行政命令第十一號 米穀運搬許可

第一條 目的

本令은 1947年度 米穀收量 割當量을 供  
出한 道에 對하여 政府以外의 米穀運搬  
을 許可할 爲의 目的으로 함

第二條 米穀運搬

(가) 서울市及 京畿道, 忠清北道, 忠清  
南道, 全羅南道, 慶尙南道及 江原道  
는 各其 1947年度 米穀收量 割當量을  
充分히 供出한 以上으로 以上各道內  
又는 各道間의 政府以外의 米穀運搬  
을 許可함 但 以上各道間의 米穀運搬  
은 米穀收量 割當量 全部를 供給  
하지 못하면 通過할 不得함

(나) 前項에 列舉한 各道以外의 道에 在  
하여서 1947年度 米穀收量 割當量 全  
部를 供出하였을 中央食糧 行政處  
에서 公告하면 該道內及 該道와 1947  
年度 米穀收量 割當量 全部를 供出한  
他道間에는 政府以外의 米穀運搬을  
該會社에 許可함

但 如斯한 運搬은 1947年度 米穀收量  
割當量 全部를 供給하지 못하면 通過  
할 不得함

第三條 抵觸되는 法令

1947年10月20日附 行政命令 第八號(米  
穀收量及 運搬) 1947年8月18日附 中央  
食糧規則 第六號(米穀收量)及 本令 規定  
에 抵觸되는 指令及 指示의 各規定은 該  
에 其 抵觸範圍內에서 此를 修正함

第四條 公訴及 犯罪에 及하는 効果

本令은 그 施行日期 前에 犯한 罪은 本令  
에 依하여 修正 또는 廢止된 規定에 抹  
消하거나 又는 如斯한 犯罪에 起因한 現  
在 또는 未來의 公訴를 中斷 또는 棄却하  
는 意圖가 아니며 又如 新히 解釋되여 서  
는 아니됨

第五條 施行日期

本令은 公布日 同時에 有함

1947年12月31日

右建議함  
民政長官 安 在 鴻  
右認准함

朝鮮軍政長官 윌리엄·에프·퀸

○ 行政命令第十二號 公務員厚生  
行政處의 設置

第一條 目的

本令은 公務員厚生 行政處를 設置하며  
官公吏及 歸屬產業體被雇人을 爲한 消費  
物資의 割當及 配給에 對한 責任을 定함 爲  
의 目的으로 함

第二條 公務員厚生 行政處

(가) 設置及 組織

公務員厚生 行政處는 該會社에 中央經濟委  
員會의 補助機關으로 設置함 同處  
는 處長一人, 次長一人及 中央經濟委  
員會 委員長이 任命한 顧問官一人으로  
構成함 同處에는 官署局, 團體局及  
總務局을 置하며 各局長은 局長一人,  
顧問官一人及 本令에 規定한 職務及 職  
能을 遂行함에 必要한 其他 被雇人을  
置함

(나) 義務及 職能

公務員厚生 行政處는 左記 義務及 職  
能이 有함

- (1) 中央政府及 各道 官公吏及 歸屬產  
業體被雇人을 爲한 消費物資의 割當  
에 關하여 消費物資 割當委員會에  
提出한 建議案을 作成함
- (2) 同處에 認可된 割當에 基礎하여 官  
公吏及 歸屬產業體被雇人에게 該  
物資를 公平하게 割當配給함
- (3) 各被雇人에게 同一分配率을 保障함  
에 不足한 量을 受取한 境遇에는 該  
消費物資의 配給에 關하여 優先順  
位를 設定함
- (4) 消費物資 配給을 受받은 被雇人의 現  
行記錄을 作成保管함
- (5) 受取한 物資及 配給한 物資의 記錄  
을 作成保管함
- (6) 受取한 物資 配給을 受取人員을 記載한  
定期刊行物及 各割當에서 受取하는  
各被雇人을 表示하는 證明書를 出  
版함
- (7) 既存 協同組合體를 強化하며 其  
他 生活問題를 自力解決에 供한 組織  
體를 設置함에 在하여 官公吏及 歸  
屬產業體被雇人을 援助함

第三條 消費物資配當委員會

(가) 設置及組織

消費物資配當委員會는 茲에設置한 同委員會는 左記七委員으로써此를 構成함

商務部長及同部長顧問官、朝鮮人專任 行政處長及同處長顧問官、民間物資 配給處長、公務員厚生行政處長及同 處長顧問官

公務員厚生行政處長顧問官은 同委 員會委員長이 되며 同委員會는委員 長이此를召集함

(나) 義務及職能

同委員會는左記義務及職能이有함

(1) 救助配給을爲히야保健厚生部에 消費物資는定期的으로配當하며南 朝鮮過渡政府의各經營機關에各其 指定한職能의遂行을爲히야 消費 物資는定期的으로配當함

(2) 公務員厚生行政處에消費物資는 定期的으로配當함

(3) 公務員厚生行政處에配當된消費 物資의國內生産率에關히야中央經 濟委員會에提出한建議案을作成함

(4) 消費物資의配當及配給에關한其 他義務及職能을遂行함

第四條 生活改善委員會의廢止

1942年 3月24日附軍政長官指令에依하 設置된生活改善委員會는 茲에廢止 하며 其被替人、資金、記錄及財産은 茲에公務員厚生行政處에移管함

第五條 行政指示

消費物資의配當及配給에關히야 公務 員厚生行政處의處長、次長及는局長이 行하는行政處分은 遂行前에所管顧問 官의同意를要함

第六條 施行期日

本令은公布와同時에効力이生함  
1948年1月12日

右建議함

民政長官 安 在 鴻

右認准함

美國陸軍少將 윌리엄·에프·윌  
朝鮮軍政長官

★ 商 務 部 令

○ 第一號 外國貿易規則

第一條 目的

本令의目的은 1947年8月25日附 法令 第四百九號 (對外國貿易規則)을 廢行 하야 輸出輸入의均衡을保持하며 個人 所有의物品에關한 貿易商間의 貿易運 營을圖强케함에있음

第二條 廢止

下記規則은 此로廢止함

(가) 1946年7月12日附 外國貿易規則 第一號(免許及輸入輸出의許可)

(나) 1947年6月20日附 外國貿易規則 第二號(免許, 許可等의罰金)

第三條 輸入及輸出의免許

外國貿易을統制하기爲히야 南朝鮮에 輸入하며 又是 南朝鮮으로부터輸出하 는 모든物品에對하야는 免許를受함을 要함

輸出入去來에對하야는 其時으로 南朝 鮮過渡政府의商務部貿易局에서 免許狀 을發行함

第四條 免許의要件

免許는下記條下에付與함

(가) 貿易局에서作成한 輸出入表에記 載된物目일을要함

(나) 南朝鮮에輸入하는物品은

(1) 輸入後 適當한期間에 南朝鮮으 로부터 輸出된物品과 相當한價値로 써 物々交換하며

(2) 適當한期間에 南朝鮮으로부터輸 出된 物品의購入에使用할圓貨으로써 販賣함을要함 「適當한期間」은貿易 局의決定하는바에依함

(다) 南朝鮮으로부터 輸出하는物品은 外國換金으로써販賣하며 輸出品의販 賣로因히야生한 外國換金은 南朝鮮 에輸入할物品의購買以外에는使用하 지못함 모든外國換金去來는 朝鮮換 金銀行에依하야行하며 此로써 統制 함

(라) 南朝鮮으로부터輸出하며 又是南 朝鮮에輸入한 物品價格은 商務部의 査定에依한統制價格을 超過하지못 함

第五條 通關手續

如何한物品이라도 品目別輸出入免許 가 付與되기前에는 通關手續을하지못 함

第六條 罰 則

商務部는 本規則에違反 又是違反코자 하는者 又是그相對者에對하야 爾後의 外國貿易의停止를 命함을得하며 本規 則에違反 又是違反코자한者를 告發함 을得함

第七條 有効期日

本令은公布日로부터効力이生함  
1947年8月25日  
商務部長 吳 顯 洙

○ 第二號 輸入品賣却代金の預置

第一條 目的

本令은 輸出入의均衡을 維持하기爲하 야 輸入品의賣却代金(圓貨)을 輸出用 物品의購入에 使用케함을目的으로함

第二條 圓貨의預置

1947年8月25日附 商務部令第一號(外 國貿易規則) 第四條(나)項(二)의 規定에依하야 受入者가受領한 輸入品 의賣却代金(圓貨)은 朝鮮換金銀行에 그輸入者又는其指名人의口座로써 預 置함을要함 그預金の拂出에는 商務 部貿易局長의許可를要함

第三條 罰 則

商務部令第一號第六條의罰則은 本令 違反者에게準用함

第四條 施行期日

本令은公布日로부터効力이生함  
1947年10月28日  
商務部長 吳 顯 洙

※本條項은如下함

(나) 南朝鮮에輸入하는物品은……

(2) 適當한期間에南朝鮮으로부터 輸 出된物品의購入에使用할圓貨으로써販 賣함을要함  
即 이것은미리 對價輸出을約定하지 않고 物資를輸入한後過渡 指稱하는 것임

★ 外國貿易規則

○ 第一號 免許及輸入輸出의許可

(1947年8月25日附商務部令)  
(第一號에依하야廢止됨)

第一節 參考法令

가 1946年1月3日附 法令第三十九號 對外國貿易規則

나 1946年10月30日附 法令第十九號 第四條「가」項

다 1946年5月17日附 法令第八十二號 對外國貿易規則

라 諸外國爲替法

第二節 目的

本令은 朝鮮에서 外國貿易從事免許 申請者를 通知指導하기爲하야發布함  
第三節 免許인物品을 輸入又是輸出 함은不法임

如何한自然人,法人이고 今後貿易局에 서 規定하는免許,許可又是規則에依하 지않고는 個人으로나 又是어느代形 機關을 通하여서나 38度以南朝鮮內 外로 物品을輸出入함을禁함

第四節 一般的으로外國貿易에從事하는 免許申請書

一般的으로 外國貿易에 從事하는免許 는 서울軍政廳貿易局又是 各道廳에 備置하는 軍政廳外國貿易樣式 第二號 에依하야 申請書를提出하면 適當하 다고認定할時에 此를發行함 如斯한 樣式은 朝鮮文及英文으로 各三通式 作成하야 서울貿易局에 提出한事 貿易 局은 書類接受後30日以內에 申請 者에게 其申請에對하야通知함

第五節 免許申請書의提出

一般的으로 外國貿易에從事하는 申請 書提出은 權利와特權을 賦與하는것은 아님 免許申請에依하야 貿易局으로부터 如斯한 免許가 實際로發行되기前에 는何等効力이無함

第六節 一般的으로 外國貿易에從事하 는免許의有効期間

一般的으로 外國貿易에 從事하는免許 는 軍政廳外國貿易樣式 第三號에依하 야 發行함 此免許의有効期間은一年間 이고 其間는其免許人이 貿易局에申請 하야 更新할수 있음 免許更新에對한申 請書는 免許의有効期日滿了 九十日以

前에 提出할事

第七節 一定한物品의輸入 又は輸出에 對한許可

一般外國貿易從事에 關한 免許證所持有者가 一定한物品을 輸入 又は 輸出하야 申請한 取引을 하기 前에 商品別로 輸入 又は 輸出許可를 得할事 輸出許可 申請은 貿易樣式第四號에 依하여 出願하여 輸入許可 申請은 貿易樣式第六號에 依하여 出願한事 申請은 朝鮮文及英文으로 各三通式提出할事 輸出許可證는 軍政廳外國貿易樣式 第五號에 依하여 發行되며 輸入許可證는 軍政廳外國貿易樣式第七號에 依하여 發行함

第八節 開港場의指定

物品의輸入及輸出은 下記港口를 通하여 行한 運送行을 下記港口를 依하여 開港場으로 指定함

仁川 群山 木浦 巨濟 釜山

第九節 物品의到着과處分

各開港場에 駐在하는 貿易局港灣駐在官은 輸入物品의到着을 荷受人에게 通知할事 物品이到着後에 販賣가決定 안되고 公開市場에서 販賣處分할것이 然 荷荷後可及的運引 貿易局에서는 新聞에 公示하는 同時에 各港灣駐在官事務所及 서을 貿易局揭示板에 그 趣旨을 公布함

第十節 現存諸法則의遵守

免許者及許可者는 價格統制, 關稅, 物資統制, 外國爲替法等은 勿論 모든 現存 法令, 法律, 規則等 諸規程을 遵守할을 要함 萬一遵守하지 不는 場合에는 免許或은 許可 또는 許可及免許兩者가 取消 또는 停止됨

第十一節 有効期日

本令은 公布後 十日 부터 有効함

1946年7月12

軍政長官의 指示에 依하여

貿易局長代理 모트·에스·카피

美國陸軍大尉

○ 第二號 免許許可等의 料料金

(1947年8月25日 附 商務部令第一號에 依하여 廢止됨)

第一條 參考法令

(가) 1946年1月3日 附 法令第三十九號

(對外貿易規則)

(나) 1946年7月12日 附 外國貿易規則

第一號(免許及輸入輸出의 許可)

第二條 目的

本令은 外國貿易의 免許及許可證發行 費用을 支拂하기 爲한 收入을 企圖함으로 其의 目的함

第三條 免許料金

一般外國貿易의 免許 或은 그 更新을 申請하는 者는 前記料金으로 金1,000圓을 納付할을 要함

第四條 許可料金

特定物品의 輸入許可를 申請하는 者는 그 料金으로 金100圓을 納付할을 要함

第五條 支拂

前二條에 規定한 料金은 收入印紙로써 貿易局에 提出하는 申請書에 貼付함

第六條 返戻

申請이 却下되는 場合에는 上記料金은 返戻함 上記以外의 場合에는 料金은 返戻하지 아니함

第七條 免許의 有効期間

免許는 每年 3月 31日 이 經過함으로 失効됨 但 既得 免許에 關하여 更新을 希望하는 者는 本規則 公布後 30日 以內에 그 更新을 申請할 수 있음

第八條 有効期日

本規則은 公布日 로부터 効力이 生함 軍政長官의 指示에 依하여

貿易局長 崔 萬 熙

★ 財 務 部 令 (拔萃)

○ 銀行指令 第五號

一 金融機關은 日本銀行券을 朝鮮銀行券과 交換치 못하며 日本銀行券을 後日 引出할 目的으로는 預金으로 存入金치 못함 但 本局이 特許 認可할 時는 此限에 不在함

二 日本銀行券은 其所持者의 請求로 保管되며 同時에 保管에 對하여 保管領收證을 發行함 保管引受後는 引出되는 此資金에 對한 貸金或은 前貸를 行치 못함 1946年2月25日 財務局長 할스·팔슨

○ 銀行指令 第六號

日本國民의 預金의 所有權은 1945年 12月6日 附 法令 第三十三號 第二條에 依하여 1945年9月25日 附로 朝鮮軍政廳에 歸屬되었다 日本人이 既往所有한 預金의 引出은 左와 如히 諸位에게 指令함 一 即時歸國할 正式許可狀을 所有한 日本國民은 各世帶員(歸國正式許可受給者)에 日本銀行券으로 一金1,000圓을 引出할을 得함 二 朝鮮에 留留하는 戶主인 日本國民은 其生活費로 成人一人에 每週朝鮮銀行券으로 一金500圓을 引出할을 得함 1946年2月27日 財務局長 할스·팔슨

○ 銀行指令 第八號

一 1946年2月21日 附 告示 第五十七號에 依하여 壹圓券以上의 日本銀行券 預入 受理를 命함 此 預入은 日本銀行券 預入 計定下에 取扱하되 實行의 值資金과 分離하며 資產負債表에 記入치 말것 預入

된 日本銀行券은 後日 指示가 있을 時까지 各銀行에서 保管할것

二 日本銀行券壹圓券以下의 補助紙幣 如는 前記 通用할것

三 預入 保管證을 預入者 個人, 代理人, 會社, 商會團體及 政治團體의 各義로 發行할것 預入者가 個人이 아닌 場合에는 團體代表者가 署名捺印할것

四 預入 保管證을 當局에서 配賦할 時에 其 保管證은 三片으로 作成되었으므로 各片에는 必히 印으로 記入할것 各片에는 預入者及 實行 担当者가 各其 署名捺印할것 第一片은 預入者에게 주되 第二及 第三片은 實行或은 實行 支店又는 代理店에서 保管할것

五 現在 銀行에 保管된 日本銀行券은 今般 發布된 日本銀行券 預入 計定에 對한 預入 既爲 發行된 保管證은 今般 配賦되는 既入 保管證과 交換할것

六 日本銀行券 預入은 3月2日 부터 7日 까지로 함 此 日期 經過後에는 日本銀行券壹圓券以上은 預入치 못함

七 台灣銀行券으로 上記 條件으로 取扱하되 但

甲 預入 保管證은 台灣銀行券이란 名目下에 發行할것

乙 此 預入은 台灣銀行券 預入 計定下에 取扱할것

丙 台灣銀行券은 壹圓券以下라도 預入할 수 있음

1946年2月23日

財務局長 할스·팔슨

○ 銀行指令 第十號

一 各金融機關은 1946年4月2日 부터 同 16日 까지 保管 預入된 日本銀行券及 臺灣銀行券을 全部 即時로 各其本店에 移送하며 同時에 其 保管領收證 第三號을 添付할事 保管 預入한 日本銀行券 總額은 保管領收證 第三號 總計와 合致하여야함

二 各金融機關은 保管領收證 第二號을 保管할事

三 右 銀行券 移送後에는 各支店은 日本銀行券을 保持함을 禁止함 各銀行又는 支店이 補助貸以外의 日本銀行券을 引受하는 時에는 嚴重히 處罰함

1946年3月21日

財務局長 할스·팔슨

○ 銀行指令 第十二號

法令 第三十三號에 依하여 歸屬 計定 利率에 關한 件

一 法令 第三十三號에 依하여 歸屬된 日本人 個人, 團體, 商會, 組合 또는 協會의 計定에 對하여 支拂할 利率은 今日 부터 모다 支拂하되 然 本財務部 命令에 依하여 凍結 解除된 計定에 關한 利率은 此限에 不在함

二 1945年9月9日 以來 歸屬 計定에 對



生成한利子의 記帳은廢止할事 但本財務部命令에依하여 凍結解除된計定에對한利子記帳은 此限에不在함

1946年8月6日

財務部長 알-스-플-은

○ 朝鮮圓貨表示 特別措置預金解除에關한件

(1945年8月9日以前中國送金中에서受入한預金으로서 財務局長許可에依하여만引出할수있는預金)

一 下記條項으로特別措置預金을解除함

甲 5,000圓以下殘額에對하여는 要求에依하여 全額을支持할事

乙 5,000圓을超過하는 額額에對하여는 一曆月5,000圓以下를 支持할事

二 本許可는1945年8月9日以前朝鮮圓貨表示預金에限하여適用함

追而 上記指示는 日本人預金에對하여는 適用치아니함을 指摘함

1945年12月3日

財務局長 알-스-플-은

○ 10萬圓을超過하는 與信擴張申請에關한件

一 以前의指令을確認하며 銀行, 信託會社, 其他金融機關은財務局長의承認없이如何한團體, 組合, 金融機關及個人에對하여總額10萬圓을 超過하여 與信(Credit)을擴張치못함

二 「與信(Credit)의擴張」이라는用語는 貸付 手元(Bill or Note)의買入, 當座貸越, 保證引受의許諾, 國債, 社債, 株式의買入을包含함

三 10萬圓을超過하는與信擴張申請은財務局長이 承認한書式으로 財務局長에對하여야할것이며 다음意見을包含할것임

A 請求與信을許諾하려는 銀行職員의署名한意見書

B 團體, 組合, 個人의業務遂行을監督하는該當官處長의署名한意見書

四 承認한書式見本은茲에同封함 (右書式은先送하였기로서省略함)

1945年12月20日

財務局長 알-스-플-은

○ 北韓三八度以北朝鮮을相對處

로發行한送金爲 替中未拂手票退結에關한件

太平洋美國陸軍總司令部布告第三號發布以前에 있어서 朝鮮北緯三八度以南地域에서 首題地域을 相對處로發行한未決濟手票로서 送金依頼人의當該未拂手票顯示에대한 退結要求에限하여發行金融機關은 此에應答하게決定되었을것이며茲에通達함

1946年7月10日

理財局長

로-엔·D 스키스

○ 貸出金金利에關한件

一 新規及更新取扱貸付金利는 如左히한것임

가 軍政廳保證貸付는 日步1錢5厘又是年5.5%

나 其他貸付는

(1) 最低日步2錢又是年7.3%

(2) 最高(拾萬圓以上貸付)日步3錢又是年11%

다 朝鮮銀行의 同業者에對한貸付金利는 當座貸越은 日步1錢1厘 其他는 日步1錢 1946年10月1日부리實施하되發行稅은 免除當한1945年7月31日부리同 9月30日까지에發行된貸付(即非常時資金)를除外하며此金利는 1%로繼續取扱함

二 第一項表示金利는 1946年10月1日부리實施함

三 延滯利子는如左히한것임

가 最低 日步4錢又是年14.3%

나 最高 日步5錢又是年18.25%

1946年10月5日

財務部長 자-스-플-은

○ 中央食糧規則第三號에依한

封鎖勅定引出手續에關한件

標記件에對하여는 左記에依據하여 無違處理하도록 貴管下關係機關에 周知시킴을務望하여 茲에通達함

一 封鎖勅定을 納稅의目的으로 引出한 換過에는 左記와如히處理할事

(가) 課稅當局又是納稅取扱機關이 該金融組合所在地에在한換過에 該納稅取扱機關又是課稅當局에 直接其代金을 移替處理하여 納稅을行케 하고 本人에게 現金의支給을行하지 못함

(나) 課稅當局又是納稅取扱機關이 他地方에在한換過에는 該組合은 急速히送金方法으로 納稅代金을 右課稅當局又是納稅機關에 本人을代身하여 發行交付할을得함 此時에納稅의効力은 金融組合이 領收證發行을代한日字부리發생함

(다) 封鎖勅定所有者인地主가 既爲稅金을納付하고 其領收證을 明示한時에는 同類의引出을 容認할을得함

(라) 右三項에依하여處理한時에는 其願未을 當該封鎖勅定條白에 明記할事

二 封鎖勅定所有者로부터의 同勅定引出許可申請은 所管通知事(서울特別市는同市長)를經由하여 本廳財務部長에提出하되 左記에依하여 處理할事

(가) 申請書는 國文及英文으로 各二通式作成케할事

(나) 通知亦是 此를審查하여 意見을具申하되 此其申은 國文及英文으로 作成하고 英文具申書에는 知事及美人顧問의署名을要함

三 封鎖勅定이 5萬圓 以上인換過에 前記一,二 項外에 每月生活費로 引出을容認하는時는 必히 本規則所定에依據하여 取扱하되 其取扱願未을 封鎖勅定條白에 明記하야들事

1947年2月14日

財務部長 尹 錦 炳

顧問 알-스-플-은

○ 北朝鮮避難民搬入 朝鮮銀行券

의封鎖勅定預置에關한件

一 北朝鮮避難民은 每人當 朝鮮銀行券 1,000圓을 所持할수 있음 每人當 1,000圓을超過하는 朝鮮銀行券及其他一切의通貨는 左記各銀行에서 收集한것이라

(가) 朝鮮銀行開城支店

(나) 朝鮮銀行議政府支店

(다) 朝鮮殖産銀行小川支店

(라) 朝鮮殖産銀行江陵支店

二 朝鮮銀行券以外的의 通貨에對하여는 保管證을 發行할것임

三 每人當 1,000圓을 超過하는 朝鮮銀行券全部에對하여 前記各銀行은 讓渡禁止領收證을 各世帶主에게 交付할것 此領收證에는 北朝鮮避難民이 南朝鮮에搬入한 朝鮮銀行券에對한 領收證임을 明白히表示할事

四 貴行에서는 이領收證을 受納하고 取立後 領收證記載名義로 封鎖預金을開設할것을指令함 此預金の 引出은每月曆 5,000圓까지 制限함

1947年5月6日

財務部長 尹 錦 炳

顧問 알-스-플-은

○ 手形貸付, 當座貸越及其他與信

限度擴張에關한件

一 1947年7月22日 中央經濟委員會定期會議에서 同委員會는 財務部報告에接하였으며 如左한推薦을하였음

(가) 1945年12月20日附 財務部通譯은財務部長의 事前承認없이 如何한團體, 組合又是個人에對하여도 金10萬圓을超過하는 與信의擴張을 禁하였다 右通譯은本令公布日부리 此令廢業함

(나) 「與信의擴張」이란用語는 手形貸, 割引手形, 當座貸越, 保證及公債又是株式의買入을包含함

(다) 本令에 있어서 「前日日本人會社」라는實錄을 正確히기爲하여 大學

數의株式을 日本人이所有하였던會社又는現在管財處나在朝鮮軍政廳의 部局의管轄下에있는會社라고定義함 (라) 50萬圓以下の貸付는 銀行과 債務者의單獨責任인 右貸付는前日本人會社와더부러 朝鮮人個人及 團體에對한貸付를 包含함

(마) 朝鮮人會社及個人에對한 50萬圓以上 200萬圓以下の貸付申請書는 事前承認을 得기爲하야 財務部에 提出될것임 財務部는 同申請書를必要에應하야 他部, 課에提出할수 있음

(바) 前日本人會社에對한50萬圓以上 200萬圓以下の貸付申請書는 財務部及同社를管轄하는 關係部의 事前承認을得할것임

(사) 200萬圓以上の 全貸付申請書는 財務部는勿論 同企業에對하야 監督權을保有하는 關係部의 事前承認을得할것임 美軍部隊은爲한請負業者에對한貸付로써 契約價額減額을 擔保로한貸付는 他部에의照會없이 財務部에서承認할수 있음

(아) 銀行은如何한會社, 個人에對하여서라도 其與信額의合計가 前記限度를超過하는 與信을擴張하지못함  
二 上記推選은 承認되었으면 關係部所는 此에따라서 事務를進行시키기를指示함

1947年8月26日

軍政長官依命  
軍政長官代理 서·지·원익

○ 銀行預金擔保貸出金の相殺에關한件

一 同一銀行의預金은 擔保로한 對日本人貸出金은 預金證書, 其他證據物을取附하야 其元利金으로써 貸出元利金의一部又는全部에充當決済함  
二 貸出決済後 預金殘額이있는 境遇에는 其殘額은 日本人名義로新口座에預置할것 此預金은法令第三十三號에依하야 軍政廳에歸屬함

1947年11月21日

財務部長 尹 鍾 炳  
顧問 안·디·스미스

○ 貸出金更新과回收에關한件

一 本指令의目的은 貸出金更新을制限抑止하며 一定한貸出金更新에對하야는 事前申請을要求하며 또銀行으로하여금 期限經過貸出金回收에 積極的措置를取하게함에있음

二 下記事項은 貸付更新에 適用될方針임  
萬一어떠한事業計劃을爲하야 貸出金이 許容되었을境遇에 其事業計劃이 貸出金返済期間內에完了되지않았을時는 財務部의特別承認없이따로 其貸出金의延期乃至更新할수있음

但 如斯한貸付는 最初承認된事業計劃을完遂하는데 必要한金額에 限하여更新할수있음  
이更新은普通二·三個月以內여야할것이며 어떠한境遇라도六個月을超過치못함

三 其他모든 貸出金即 當座貸越或은 各種與信限에있어서는申請者가貸付申請書(新規貸付와같은)에依한更新申請을하야 銀行의承認은 元은從미로서期限延期乃至更新할수있음 各種與信限及 當座貸越의 期限은 最高1年에限할것이며 更新申請은每年하여야함  
當座貸越, 手形貸或은 各種與信等의 貸出金更新申請은 返済期限前30日前에行하여야함

萬一 1947年8月26日附丁元·代, 當座貸越及其他與信限擴張에關한件의 中央經濟委員會規定에依하야 政府承認이必要한貸出金은 處務上 該申請書를 財務部에提出할事

四 財務部는 新規貸付申請時와 同一方針으로 更新申請을審査할 且以 銀行의回收努力을 延期시키기爲한 更新申請은 不承認할것임  
五 貸出金이 期限內에返済되지않을때는 其急速한 回收을爲하야 銀行은 斷乎積極的措置를取할것을 茲以指令함 萬一其全額返済를받울수없는 境遇에는 相當한金額의內入返済를 받도록努力하여야함 萬一借主가 其貸出殘金을 月賦或은 四半年賦로 1年以內에完済함을向索할때는1年을超過하지않는限 該貸出殘金에對하야 期限延期를할수있음 如斯한期限延期에對하야는 財務部에承認을 要치않음) 如斯한貸付는「故障貸付」로서明確히檢察區別하여야함  
이와같은 區別은발은貸出金의 借主는 該貸付를完済하기前에는다른 與信을絶對로받울수없음

六 萬一銀行이조금이라도貸付返済를 받지못하거나 或은別條의 回收方針에關한協議를 할수없는境遇에는 銀行은 借主에對하야「該貸付金을適當한期限(1個月로示唆함)內에返済하지않거나 또는이에對한充分한準備對策이없는境遇에는 銀行은 其擔保物을處分하야 貸付回收에充當할것이다」라는通知를할것을茲以指令함 如斯한通知는 全債務人及 全保證人에게도發給하여야함

七 萬一貸付가 該制限 期間經過後에도 返済되지않는境遇에는 法的措置를爲始한 擔當物의處分又는 其他回收方法을取할것

1947年12月17日

財務部長 尹 鍾 炳  
顧問 안·디·스미스

○ 一九四七年八月二十六日附指令 「融資限度에關한件」解釋에關한件

一 首題의指令에依하야 二人以上에對한融資의總額이 50萬圓을超過하며 左記에該當하는 境遇에는 財務部의承認을要함  
가, 其融資의擔保가 同一한境遇  
나, 其融資代金이

1. 同一企業體 又는同一去來에 使用되는境遇
2. 直接又는 間接의으로 同一人의計定에 預入되거나 又는同一人에게支拂되는境遇

二 一件의貸付金貸出에依하여 某個人 又는保證人의直接又는間接債務가 總額50萬圓을超過하는境遇에도 財務部의承認을要함 如斯한境遇에申請人은 保證人이保證한貸付金의明細表를 添附하여 申請書를提出할수있음

1948年1月14日

理財局長 金 慶 銀  
顧問 안·디·스미스

★ 管 財 令 (拔萃)

○ 第二號 軍政廳取得日本人 財産의報告及財産의經營, 占有及使用에關한件

第一條 財産의報告  
1945年8月9日以後 日本政府, 其機關 또는 其國民, 會社, 團體, 組合, 該政府의其他機關或은 其政府가 組織 또는 取締하는團體가 直接 또는 間接의으로 全部 또는 一部를所有 또는 管理하는 全部의財産及 其收入에對한 所有權은 1945年12月6日發令 法令第三十三號에依하야 1945年9月25日附 朝鮮軍政廳이取得했음 其財産을所有 또는 管理하는者는 其財産에關한報告書를 提出할것 報告書는 三通을作成할것 報告書를提出하는者는 三通이모다 正確한것을證明하야 本人이 居住하는地方官앞으로 財産管理官에게 1945年12月31日까지 提出할것 報告書는該當財産管理官이認領한時 或은正確히姓名을 記入하야郵送하되 提出期日의午前零時以前의郵便日附印이附한時에는 提出한것으로取扱 報告書에는 左記事項을記載할것 (가) 報告書提出者의氏名, 住所, 國籍 (나) 報告財産과 報告書提出者와의關係

1. 日本人이 前所有者인境遇에는 財産所有權의取得日時은 記入할事
  2. 日本人이 前所有者가아닌境遇에는 如何한權限으로 其財産을所有 또는 管理하는가과 其日時, 委任狀이有하면 其寫本을 添附한事
- (다) 財産의前所有者의氏名及住所

組合이 그에對하야責任이有한 道財  
(特)報告財產이 不動產인 境遇에는 左  
記事項을 記入 할 事

- (1) 不動產各個의 位置
- (2) 不動產各個의 面積
- (3) 不動產各個에 附屬하는 建物及 附屬物의 記載
- (4) 不動產各個의 用途
- (5) 賃借者가有할 時는 不動產各個別賃借者의 氏名
- (6) 1945年8月9日 現在 不動各個의 價格
- (7) 不動產各個을 登記한 登記所의 位置, 登記日時及 登記入氏名

(가) 報告財產이 有體動產인 境遇에는 左記事項을 記入 할 事

- (1) 財產을 種類別로 分別한 表
- (2) 各種類別財產의 記載, 位置, 價格及 評價의 基礎

(나) 報告財產이 無體動產或은 無體動產의 表示物인 境遇에는 左記事項을 記入 할 事

- (1) 各財產의 詳細한 記載
- (2) 各財產의 位置
- (3) 各財產의 價格

(다) 1945年8月9日以後의 財產에 關한 收入金及 支出金

**第二條 財產의 經營, 占有及 使用**

全部工業, 金融, 商業, 農業, 住宅上及其他의 財產 또는 企業은 朝鮮軍政廳 管理인의 (가) 財產管理 或은 (나) 其他朝鮮軍政廳屬 課 또는 機關의 官吏를 通하야 認可한 現行 또는 將來의 協定 또는 手續下에 經營, 占有 또는 使用 할 事

**第三條**

本令은 官報에 公布할 時에 効力을 發할

1945年12月14日

軍政長官 指令에 依하야

財產管理官 孫·비·테프스키

**○ 第三號 接收農地에 關한 件**

**第一條**

在朝鮮美國陸軍部隊 또는 朝鮮軍政廳의 代行機關이 接收한 農地는 此를 繼續하야 該部隊 또는 代行機關의 統制 管理下에 置할 如斯한 部隊 또는 代行機關은 該財產의 正當한 會計, 保存及 利用에 關하야 財產管理官에게 責任을 負게 할

**第二條**

前日 日本國民(自然人 또는 法人) 또는 日本政府 또는 其代行機關이 所有한 農地로써 陸軍部隊 또는 朝鮮軍政廳의 代行機關에게 接收된 地는 1945年12月6日 附法令第三十三號에 依하야 其 所有權授與의 結果 1945年8月25日 附朝鮮軍政廳의 所有權은 農地는 該財產의 保存, 利用及 會計에 關하야 新設 公社를 財產管理官의 責任機關으로 指名하야 此를 管理케 할

**第三條**

本令은 官報에 公布 即時 効力을 發할 事  
1945年12月19日

軍政長官 指令에 依하야

財產管理官 孫·비·테프스키

**○ 第五號 既得된 諸會社에 依한 報告**

**第一條 目的**

本令의 目的은 在朝鮮美國陸軍軍政廳에서 取扱한 財產及 資產을 保持하기 爲한 適當한 管理을 實行하기 爲하야 法人會社, 產業社, 組合等의 資金의 總收入及 總支出에 關한 點을 財政報告者의 提出을 要求한 點에 依하야 報告者는 英語로써 提出 할 事

**第二條 報告者 提出**

(가) 每三個月 報告書

(1) 軍政廳 管理下에 運營되고 있는 法人會社, 產業社及 其他 組合團體等은 每季의 貸借對照表及 損益計算書를 各自의 部 또는 處長에게 提出하고 各長은 每季報告日에 繼續하는 第二月三十日 以內에 各報告者의 階本을 財產管理處에 提出 할 事 每季報告日을 左와 如히 定할

三月三十一日, 六月三十日, 九月三十日, 十二月三十一日

(2) 如何한 部 또는 處에 對하야 서도 責任이 一部分 財產管理인의 代理機關으로써 軍政廳 管理下에 運營되는 法人會社, 產業社及 其他 組合, 團體等은 每季 貸借對照表及 損益計算書를 每季報告日에 繼續하는 第二月三十日 以內에 財產管理人에게 提出 할 事 每季報告日을 左와 如히 定할

三月三十一日, 六月三十日, 九月三十日, 十二月三十一日

(3) 一道를 超越하야 事務所 長을 有하고, 軍政廳을 爲하야 朝鮮人에 依해서 運用되는 法人會社, 產業社及 其他 組合團體等은 每季 貸借對照表及 損益計算書를 每季報告日에 繼續하는 第二月三十日 以內에 其 事務所가 所在한 道 財產管理人에게 提出 할 事

(4) 一道內에 在한 法人會社, 產業社及 其他 組合, 團體等은 每月 貸借對照表를 法人會社, 產業社, 組合, 團體等이 그에 對하야 責任이 有한 道 財產管理인 또는 部 또는 處가 定한 日期에 提出 할 事 但 如何한 境遇인 지라도 每月報告日에 繼續하는 翌月二十日을 超過하지 못하야 月末 營業終結日을 每月報告日로써 看做할

(5) 法人會社, 產業社 또는 其他 組合團體等은 本令에 列記한 外에 報告日이 有한 境遇에는 其 法人會社, 產業社及 其他 組合等은 同 法人會社, 產業社 또는 組合等이 그에 對하야 責任이 有한 道 財產管理官 또는 部 또는 處에 其 事實을 報告 할 事 法人, 產業社, 組合이 그에 對하야 責任이 有한 道 財

產管理官 또는 部 또는 處는 如此한 件報告日을 利用한 權限이 有하야 財產管理處에 如此한 實行을 報告 할 事

(나) 每月 損益計算書

(1) 모노 法人, 會社, 產業社及 其他 組合團體等은 每月 損益計算書를 法人會社, 產業社 또는 組合團體等이 그에 對하야 責任이 有한 道 財產管理官 또는 部 또는 處 또는 獨立한 代行機關에 提出 할 事 計算書는 法人會社, 產業社 또는 組合等의 運用에 關하야 責任이 有한 道 財產管理官, 部, 處 또는 獨立한 代行機關이 定한 日期에 提出 할 事 但 如何한 境遇인 지라도 每月報告日에 繼續하는 翌月二十日을 超過하지 못하야

(2) 모노 每月 損益計算書의 階本은 每月報告日에 繼續하는 翌月二十日에 財產管理處에 送達 할 事

**第三條 定義**

(가) 貸借對照表

貸借對照表라 함은 特定 營業終結日에 있어서의 法人會社, 產業社 또는 其他 組合團體等의 모노 資產及 負債를 表示하는 記帳을 말함

(1) 資產은 正常的으로 債務返済에 適用할 수 있는 또는 返済條件으로 한 法人會社, 產業社 또는 其他 組合等의 全 財產을 意味함 貸借對照表上의 資產은 不動產, 現金, 在庫品, 貯藏品, 受取 勘定等 財源의 帳簿價格 또는 仕入 原價를 表示함

(2) 帳簿의 借方은 負債를 意味함 貸借對照表의 借方은 全負債, 投資及 剩餘金 또는 赤字를 包含함

(3) 貸借對照表는 原價로써 在庫品을 表示함 在庫品의 現市場 近似價格는 貸借對照表에 對한 脚注로써 表示할 未使用 當座 貸越 또는 貸方은 貸借對照表上의 脚注로써 表示함

(나) 損益計算書

特定期間中의 (例: 一箇月 三箇月等) 法人會社, 產業社, 組合團體等의 總收入及 總支出에 關한 報告書를 損益計算書라 함

(1) 總收入은 特定期間中에 (例: 一箇月 三箇月等) 法人會社, 產業社, 組合團體等이 受取한 모노 資產에 影響을 미치지 不項을 意味함

(2) 總支出은 特定期間中에 (例: 一箇月 三箇月等) 法人會社, 產業社, 組合等의 金錢上 또는 財產上의 모노 支出을 意味함

第七條 損失 또는 財政의 不完全한 基礎에 運營되는 企業

(가) 道 財產管理官 部 處 또는 獨立한 代行機關은 繼續的으로 二箇月 間 損失 또는 其 境界에서 運營되고 있는 法人會社, 產業社 또는 其他 組合團體等의 名稱을 消去한 後 法人會社, 產業社 또는 其他

團體等中 어느 것을有權運營시킬가에 관한 (意見에對한仔細한理由를每件에包含하여) 事狀及推薦書와 함께 財產管理處에提出할事

(나) 財產管理處는 個々の法人, 會社, 主業社又是其他組合團體 등의 存續又是解散에關한將來方針을決定하기爲하여 名簿錄, 事狀及推薦書를 國民經濟委員會를通하여 軍政長官에게提出할事

第五條 報告書提出에對한最初期日

(가) 最初의每期貸借對照表는 1946年 6月30日에 終結하는 三個月에對해서이며 最初의每月貸借表는 1946年 6月30日에 終結하는 一個月에對해서임

(나) 最初의每期損益計算書는 1946年 6月30日에 終結하는 三個月에對해서이며 最初의每月損益計算書는 1946年 6月30日에 終結하는 一個月에對해서임

1946年 7月30日

財產管理官 卍에취.명가-  
美國籍軍兵中佐

○ 第六號 漁船及其他船舶

第一條 目的

本令의 目的은 1945年12月6日附 法令第三十三號에依하여 軍政廳에屬한 船舶에對한利用, 保管及債務에關하여 朝鮮政府의 各機關及代行機關의 實務를 明白히함에있음

第二條 本令의 目的을 完遂하기 爲하여 軍政廳에屬하는 船舶의 所有及管理에關한現存事實을 確實히함의 于先必要한 如斯한事實을 確實히함의 爲하여 報告書가 必要한 報告書는 本令 末尾의 施行期日後 15日內에 此를 作成할事

(가) 報告書를 要하는 該當者

1945年12月6日附 法令第三十三號에依하여 朝鮮軍政廳에屬한 船舶을 所有하는 管理하는 모든 自然人 또는 法人及 모든 行政部署, 代理機關及補助機關은 日字를 附하고 署名한 報告書 三通을 提出할事

(나) 報告內容  
報告書는 左記內容을 包含할事

1. 報告者의 姓名, 住所及報告船舶과 의 關係及所有하는 管理를 하게된 權利와 事由의 說明及其日字
2. 報告船舶의 種類, 船型, 船號, 價額 文字及船身長, 船身長이 20m을 超過한 槳遇에는 稜有能力, 登記港口, 登記日, 現在所在地及使用의 日
3. 報告船舶의 推定 價格及 1945年 8月 9日以後 此에關한 收支內容, 支出의 目的及收入의 處分을 明示할事
4. 報告者 또는 代理人이 報告船舶의 所有하는 管理를 經營한 意思의 有無

(다) 報告書의 提出

漁船에關한 報告書는 朝鮮政府 農務部(注意~水產局)에 直接 또는 寄留郵便으로 送附할事 其他船舶에關한 報告書는 朝鮮政府 運輸部(注意~海運局)에 直接 또는 寄留郵便으로 送附할事 海運局及水產局은 順次로 此報告書를 各道別로 二通式分類하여 管財處에 提出할事

第三條 船舶의 處置

管財處(또는 道管財課)는 此報告書를 接受한後 報告者各船舶의 處置에關하여 軍政長官의 指示及其他現存法律要件에 應하여 此를 決定하고 또는 特別命令을 發令함 處置命令은 報告者의 此船舶의 所有 또는 管理의 權限 又是 指定한 時日及場所에서 特定制에 依하여 引渡에關하여 規定함 如斯한 命令에關하여는 左記一般原則을 遵守할事

(가) 모든 漁船은 朝鮮水產協會에 引渡 또는 引渡하거나 또는 利用保管實務에關한 其命令에依하여 運營할事  
(나) 其他 모든 船舶은 運輸部 海運局에 引渡 또는 引渡하거나 또는 利用保管實務에關한 其命令에依하여 運營할事

(다) 管財處(又是 道管財課)는 各處 置命令書의 寫本을 朝鮮水產協會 또는 運輸部 海運局에 送附할事

第四條 罰則

茲에 要求하는 報告를 하지 않거나 또는 管財處(또는 道管財課)의 要求에依하여 船舶의 所有權을 引渡 또는 引渡하지 않거나 또는 所有權을 證明하는 適當한 合法의 書類 없이 如斯한 船舶의 不法所有을 繼續하거나 又是 其規定에 違反하거나 又是 本令의 意圖를 忌避하려고 하는 者는 法令第三十三號及其他 此에關한 法律 또는 規則에 違反함과 同一 處罰함

第五條 命令範圍制限

本令은 登記, 監査, 許可, 標印, 交通及 通關手續, 關稅, 航空 及 此에關하여 從事하는 船舶 또는 職員에關한 同樣한 事項에關한 法律의 現存及 將來의 要件에는 影響이 無함

第六條 施行期日

本令은 發布日 부터 10日後에 効力을 發生함 (註)

本令에 있어 此 漁船이라 함은 1934年 2月 附 改正 日本政府 通信省 令 第四號 第三條 (1935年 2月 附 總令 第二十號)에 依하여 朝鮮에 適用된)에 依하여 此를 規定함 通信省令은 漁船을 在左 如히 規定함

- 1 專的으로 漁獲에 從事하는 船舶
- 2 漁獲에 從事하는 船舶으로서 漁獲物의 保藏 또는 製造設備을 具有하는 船舶
- 3 專的으로 漁獲物 또는 其他製品的을 運搬用 船舶

4 專的으로 漁業에關한 試驗調査 또는 練習 또는 漁業取締에 從事하는 船舶으로서 漁獲設備을 具有하는 船舶

1946年 7月 21日

軍政長官 指示에 依하여  
管財官 卍에취.명가-

○ 第八號 各種歸屬事業體運營에關한件

第一款 目的及範圍

1. 本令은 諸歸屬事業體의 運營을 爲한 利用, 保管, 財務에關한 朝鮮軍政廳所屬 各行政官, 各機關及其代行機關의 責任을 規定함 爲한 目的으로 함
2. 軍政廳 財產管理官은 現在 其管轄下에 있는 歸屬된 各種企業體, 會社, 組合 其他事業團體一切 (工業, 商業, 商業, 請負業, 酒業, 銀行業, 農業, 林業, 金融業, 私立學校, 保險業, 運輸業, 船舶業)의 管理監督權 (其運營權과 其管理者乃至 最高責任者의 任命權을 包含함)을 管財處 管財手續要領에 規定한 手續에 依하여 軍政廳 各部署及 其代行機關의 所管顧問官에게 此를 移할함
3. 軍政廳 財產管理官이 一定한 歸屬事業體를 運營하기 爲하여 任命한 所管顧問官은 此에對한 管理를 監督할함
4. 一定한 歸屬事業體은 軍政廳 財產管理官에 對하여 當該事業體의 適當한 管理인의 任命, 原料의 獲得, 生產品의 處分 (但 其處分은 關係指示 法令, 規則等에 依함은 要함), 資產의 維持保存에關한 財政上 其他의 責任을 負擔함
5. 未發見 또는 隱匿된 資產으로 認定되는 歸屬事業體에對한 管理監督權도 列明된 대로 所管顧問官에게 移할함

第二款 財政上 其他의 責任及 既存 法令의 改正

1. 財產管理官이 發한 歸屬事業體乃至 歸屬財產管理關係의 管財令, 手續要領, 其他命令, 指示, 其他 注意事項에 依하면 報告書提出 其他 事務處理에對하여는 歸屬事業體乃至 歸屬財產을 管理하는 軍政廳所屬 各處 또는 其代行機關이 此를 履行하기 爲한 規定된 限內에 依하여 此를 改正하여야 今後 如斯한 事務處理는 前記部, 處 또는 其代行機關의 最高責任者乃至 其所管長官의 顧問官으로서 依하여 此를 履行케함 當該歸屬事業體乃至 歸屬財產의 維持保存, 保護, 安全, 處理乃至 管理에對한 責任者는 如何한 槳遇에도 當該顧問官이 此에 當함 本管財令의 各規定은 既往에 軍政

廳所屬部,處又是其代行機關의 管轄  
下에 있는 各歸屬事業體乃至歸屬財  
產의 管理에 對하여 此는 適用함

第三款 文書及會計

1. 서울市 財產管理官을 本令適用上  
此는 道財產管理官으로 看做함
2. 軍政廳所屬部,處又是 其代行機關  
의 責任顧問官監督下에 運營되고 있  
는 歸屬事業體로서 其位置가 事實上  
一道에 屬한 境遇에는 管財令第五  
號에 依하여 各其文書及會計書類是  
道管財官에게 提出함을 要함  
當該顧問官은 其中三通을 道財產管理  
官에게 提出하며 一通은 軍政廳所屬  
部,處又是 其代行機關의 所屬顧問官  
에게 提出함을 要함 道財產管理官은  
언제든지 所要報告二通을 軍政廳管  
財處에 提出함을 要함
3. 軍政廳所屬部,處又是 代行機關의 責  
任顧問官監督下에 運營되고 있는 歸  
屬事業體로서 其事務所가 二道以上  
又는 全國에 亶한 境遇에는 各其文書  
及會計書類은 道管財官에게 提出  
함을 要함  
所屬顧問官은 언제든지 其中一通은  
軍政廳管財處에 提出함을 要함
4. 貸借對照表, 損益表, 固定財產購入  
承認申請書, 固定資產狀況變更報告  
書其他報告書는 管財令第七號又是  
次後制定한 管財令에 規定한 格式에  
依하여 提出함을 要함
5. 軍政廳財產管理官은 文書及會計書  
類에 對한 調査乃至監査의 權利가 有  
하며 必要에 應하여 追加報告를 請  
求할 權利도 有함

第四款 固定資產費支出

1. 固定資產費을 支出할 때는 事前에 軍  
政廳財產管理官의 承認을 得得함을  
要함 如斯한 境遇에는 當該軍政廳所  
屬部 又是 其代行機關의 責任顧問官  
을 經由하여 軍政廳財產管理官에게  
申請書三通을 提出함을 要함
2. 當該歸屬事業體의 設備가 一道內에  
局限한 境遇에 固定資產費支出申請  
書는 左記手續을 取함을 要함  
當該歸屬事業體의 所屬顧問官은  
固定資產費支出申請書五通을 道  
財產管理官에게 提出함을 要함  
道財產管理官은 右申請書四通을 當  
該道廳의 所屬部,處又是 其代行機關  
을 管轄하는 軍政廳의 部,處又是 其代行機  
關의 所屬顧問官에게 自己의 推應狀  
을 添附하여 提出함을 要함  
軍政廳의 所屬部,處又是 其代行  
機關의 顧問官은 申請書三通을 自己  
의 推應狀을 添附하여 軍政廳財產管  
理官에게 提出함을 要함

3. 固定資產費을 本令施行日 前에 支  
출한 境遇에는 所屬顧問官이 本令第四  
款第一項及第二項에 依하여 所要事  
項을 報告함을 要함 當該顧問官은 언  
제든지 其中一通을 軍政廳財產管理  
官에게 提出함을 要함

1945年8月9日以後 本令施行日까  
지 固定資產費을 支出한 事實이 無하  
면 無하다는 報告를 要함

4. 茲에 固定資產費에 關한은 固定的恒久的  
的 固定資產을 取得又是 其當修繕又  
는 維持하기 爲한 現金支出을 意味함
5. 軍政廳財產管理官이 固定資產費支  
출을 承認함에는 其의 合法的 權限內  
에서만 此를 行함

第五款 運營의 廢止

1. 歸屬事業體及歸屬財產의 諸運營에  
關한 責任者는 前述한 바와 如히 所  
屬顧問官이 此에 當함
2. 軍政廳所屬部,處又是 其代行機關의  
所屬顧問官이 歸屬事業體의 一部又  
는 全部의 運營을 廢止하여 行할 것으  
로 認定할 때는 建議書五通을 作成하  
야 此를 管財處에 提出함을 要함  
軍政廳財產管理官은 審査의 意見  
을 求하기 爲하여 此에 對한 同意書를  
添附하여 中央經濟委員會에 提出함  
을 要함 軍政廳財產管理官은 如此하  
한 後에 正當한 權限內에서 適當히 此  
를 處理함
3. 歸屬事業體의 全部又是 一部의 運營  
廢止에 關한 申請手續은 本令第四款  
에 規定한 歸屬事業體의 位置가 一道  
內에 局限한 境遇의 固定資產費支出  
申請手續方法을 準用함
4. 所屬責任顧問官은 資產의 賣却又是  
減損, 無承認清算, 不當支拂, 不當移  
轉을 防止하기 爲하여 歸屬事業體의  
運營을 極力保護注意함을 要함
5. 歸屬事業體의 運營廢止를 軍政廳財  
產管理官이 承認할 때는 當該歸屬事  
業體의 重役會長乃至 管理人是 親  
히 其趣旨은 道財產管理官에게 報告  
하되 萬若全國에 亶하여 運營되고 있  
는 境遇에는 當該歸屬事業體의 全部  
又是 一部에 對한 運營을 廢止시키는  
指令을 發하기 爲하여 此趣旨은 軍  
政廳財產管理官에게 報告함을 要함  
重役會長, 管理人及 所屬顧問官은  
運營은 秩序있게 廢止시키는 責任이 有  
함 軍政廳財產管理官이 運營廢止를 함  
에는 其合法的 權限內에서 此를 行함
6. 本令施行日 前에 發生한 歸屬事  
業體又是 其一部分의 運營廢止에 關  
한 報告書는 本令第三款 規定에 依하  
야 道財產管理官에게 提出함 當該  
歸屬事業體의 運營이 全國에 亶한 境  
遇에는 所屬顧問官이 管財處에 提出  
함을 要함 其中一通은 如何한 境遇에

지 軍政廳財產管理處에 提出함을 要  
함

1945年8月9日以後 本令公布日까  
지 運營을 廢止한 事實이 無단 때는 無  
하다는 報告書를 提出함을 要함

第六款 利益

1. 法人, 會社, 組合, 團體其他 歸屬事業  
體의 全利益은 軍政廳財產管理官의  
別途指示가 有할 때까지 此를 處分함  
을 不得함
2. 軍政廳財產管理官의 承認을 得得하  
기 前에는 利益配當, 利益配當을 目的  
으로 한 債券의 發行, 賞與金, 給料, 贈  
與其他 此에 類似한 支拂, 處理等을 行  
함을 不得함

軍政廳財產管理官이 承認함에는  
其의 正當한 權限內에서 此를 行함

- 三 本令公布前에 決定乃至 支持한 利  
益配當及 利益配當을 目的으로 한 株  
券發行, 賞與金, 給料, 贈與 其他 此  
에 類似한 支拂에 關한 報告書는 本  
令第三款의 規定에 依하여 所屬顧問  
官이 道財產管理官에게 此를 提出함  
을 要함 但 當該歸屬事業體의 運營이  
全國에 亶한 境遇에는 此報告書를 軍  
政廳管財處에 提出함을 要함

1945年8月9日以後 本管財令 公布  
日까지 歸屬事業體에 關하여 前記事  
實이 無단한 境遇에는 無하다는 報告書  
를 提出함을 要함

- 四 如何한 種類의 歸屬事業體의 管理  
人, 責任者, 其他職員은 自己又是 第  
三者는 通하여 當該事業體에 屬하는  
部類의 去來關係에 參與하거나 又是  
此에 依한 利得又是 利益을 取得함을  
不得함 但 軍政廳財產管理官에게 其  
去來할 것의 內容及 性質을 明示하여  
事前에 其許可를 得得한 境遇에는 此  
限에 不在함

第七款 吸收關係

- 一 所屬責任顧問官이 運營하고 있는  
歸屬事業體에 所屬하는 機械乃至 施  
設을 다른 歸屬事業體에서 使用하는  
것이 惡弊을 爲하여 가장 有利하다고  
決定할 때는 方記手續을 取함을 要함  
(가) 機械及 施設을 所有하는 歸屬事  
業體의 管理人乃至 重役會長은 當該  
機械 又是 施設의 價格을 決定하기 爲  
하여 鑑定을 하게 하여야 함 機械又是  
施設을 引繼하려는 歸屬事業體의 管  
理人乃至 重役會長은 如斯한 機械 又  
는 施設의 價格에 關하여 鑑定을 맡아  
야 함 亦 所屬責任顧問官은 獨自의 立場  
에서 鑑定을 한 責任이 有함  
右諸鑑定은 軍政長官 財產管理官  
에게 提出함을 要함 軍政廳財產管理  
官은 其의 合法的 權限內에서 亦 其承  
認又是 不承認을 決定하고 또 其使用

에對하야 各其賃借料其他約定乃至條件을決定함

(나) 軍政廳財產管理官의承認을受得하야 機械其他施設을 引込所管하게된責任顧問官은即時移轉物品名, 移轉明日, 其의前所在場所及 現所在場所에關한報告書를送財產管理官에게提出하야 全國에亙하야 運營하는歸屬事業體에關하야는 此受軍政廳管財處에提出함을要함 如何한境遇에라도 一通은 軍政廳管財處에提出함을要함

(다) 如新使用權變更申請에關한承認申請書三通을 軍政廳管財處에提出함을要함 上記申請에關한手續은 本令第四款에規定한固定資産購入申請書手續에準함

(리) 機械乃至施設을引受한歸屬事業體는當該機械乃至施設의使用에對하야受諾한使用料을支拂할것을要함

(마) 前記機械乃至施設의使用에關한 어떠한種類의變更인지라도亦前에軍政廳財產管理官의承認을受得함을要함 此에關하야는管財令第七號에規定한管財式을適用함 當該使用의變更은 軍政廳財產管理官의 正當한權限內에屬한것에限함

軍政廳財產管理官은 管理人乃至重役會士長이 來去上 連累된二個會社를 代表할과같은 利害關係者로써雙方을代表할을못하도록注意함을要함

二 本令發令前에機械乃至施設을購買接受, 賣渡, 移轉乃至撤去한歸屬事業體는 其承認의有無를莫論하야 本令第三款規定에準하야 其事實을 明細히報告함을要함 如何한境遇에라도 一通은軍政廳管財處에提出함을要함 所管顧問官은 該報告書提出에關하야 責任이有함 1945年8月9日以後本令公布日까지該當事實이無한時는無하다는報告書를提出함을要함

第八款 管理人乃至重役會會長의保證金付定한歸屬事業體는 運營하기爲하야 軍政廳財產管理官이任命한 軍政廳所屬의各部, 處又是其代行機關의顧問官은 管財手續에準하야 그가任命한 管理人乃至重役會會長에게保證金을請求함을要함

第九款 報告期日  
所要報告全部은 本令公布日以後三十日以内에書面으로提出함을要함 從에게서도報告를要하는事實이 發生할때마다 十日以内으로此書面으로提出함을要함 所管顧問官은如何한境遇에도 該報告書의提出及其內容의正確性에對하야責任이有함

1946年12月31日

軍政廳長官指令에依하야  
軍政廳財產管理官

美國陸軍中佐 해리·디·피숍

○ 第九號 管財令第八號의改正

管財令第八號는 此는 下와如히改正함 (各種歸屬事業體運營에關한件)

第一款 目的及範圍

一 本令은 各種歸屬事業體의運營을爲한利用, 保管, 財務에關한朝鮮軍政廳所屬 各行政官, 各機關及其代行機關의責任을規定함을目的으로함

二 軍政廳財產管理官은 現在其管下에 있는 各種歸屬企業體, 會社, 組合, 其他事業體一切(工業, 鎔業, 商業, 高業, 漁業, 漁業, 銀行業, 農業, 林業, 金融業, 私立學校, 保險業, 運輸業, 船舶業等)의管理權(管理人乃至最高責任者의任命權을包含)及運營權을 管財處管財手續에準하야規定한手續에依하야 軍政廳各部, 處又是其代行機關의所管長官에게 此는委囑함

三 各種歸屬事業體의管理權은 軍政廳財產管理官이 一定한 歸屬事業體를運營하기爲하야 委囑한所管部, 處又是其代行機關의各長官이 此는行使함 歸屬財產에關한 管理乃至監督, 法令指示, 其他任命에關한一切事項은 所管顧問官의同意書를受得함을要함

四 一定한歸屬事業體의管理를監督하기爲하야 委囑된所管長官은 軍政廳財產管理官에對하야 當該事業體의適當한管理人任命 原料의獲得 生産品의處分(但其處分은關係指示 法令規則等에依함을要함) 資産의維持保存에關한財政上其他의責任을負擔함

五 未發見又是隱匿된資産으로認定되는 歸屬事業體에對한 管理의監督權도 列明되는대로 所管長官에게移管됨

第二款 財政上其他의責任既存法令의改正

一 軍政廳財產管理官이發한 歸屬事業體乃至歸屬財產管理關係의管財令管財手續要領, 其他命令, 指示及注意事項中 歸屬事業體乃至歸屬財產을監督하는 軍政廳所屬部, 處又是其代行機關의行하기로되여있든것은 全部 前記部, 處又是其代行機關의長官이 其所管顧問官의 同意書를受得하야 此는行하기로 茲에改正함 當該長官은 如何한境遇에있어서도 當該歸屬事業體乃至歸屬財產의維持, 保存, 保護, 安全을 處理乃至管理에對한責任者로看做함

本管財令의各規定은 既往軍政廳所屬部, 處又是其代行機關의監督下에 있는 各種歸屬事業乃至歸屬財產의管理에對하야 此는適用함

第三款 文書及會計

一 서울市財產管理官은 本令適用上 此는送財產管理官으로看做함

二 軍政廳所屬部, 處又是其代行機關의責任官監督下에 運營되고있는歸屬事業體로서 其位置기事實上一道에關한境遇에는 管財令第五號에依하야 各其文書及會計書類을適當히整理하야 所要報告書四通을所管監督官에게提出함을要함 當該監督官은 其中二通을送財產管理官에게提出하야 一通은軍政廳所屬部, 處又是其代行機關의所管長官에게提出함을要함

三 軍政廳所屬部, 處又是其代行機關의責任官監督下에 運營되고있는歸屬事業體로서 其事務所가二道以上乃至全國의으로 所有運營하고 있는境遇에 各其文書及會計書類을適當히整理하야 事業體全體에關한所要報告書二通을 所管監督官에게提出함을要함

所管監督官은 總計든지 其中一通을 軍政廳管財處에提出함을要함

四 貸借對照表, 損益表, 固定財産費支出承認申請書, 固定資産狀況變更報告書, 其他報告書는 管財令第七號又是次後制定한管財令에規定한書式에依하야 提出함을要함

五 軍政廳財產管理官은文書及會計書類에對한 調査乃至監督의權利가有하야 必要에應하야는 追加報告를請求할權利도有함

第四款 固定資産費支出

一 固定資産費을支出할時는 亦前에 軍政廳財產管理官의承認書를 受得함을要함 如斯한境遇에는 當該軍政廳所屬部, 處又是其代行機關의責任官을經由하야 軍政廳財產管理官에게 申請書三通을提出함을要함

二 當該歸屬事業體의位置가 一道內에局限된境遇에 固定資産費支出申請書는 下記手續을取함을要함 當該歸屬事業體의所管責任官은 固定資産費支出申請書 五通을送財產管理官에게 提出함을要함 送財產管理官은 右申請書四通을 當該道廳의所管局又是其代行機關에該當하는 軍政廳의部, 處又是其代行機關의 所管長官에게 自己의意見書를 添附하야提出함을要함 軍政廳의 所管部, 處又是其代行機關의 長官은 右申請書三通을自己의意見書를 添附하야 軍政廳財產管理官에게提出함을要함

三 固定財産費를 本令施行日前에 支出한 境遇에는 所管長官은 本令第四款第一項及 第二項에依하야 所要事項을 報告함을要함 當該長官은 總計든지 其中一通을 軍政廳財產管理

官에게 提出함을要함

1945年 8月9日以後 本令施行日까지 固定資産費를 支出한事實이 無하다면 無하다는 報告書를 提出함을要함

四 茲에 固定資産費 支出이리 함은 固定的, 恒久的 固定資産을 取得又是 非常修繕乃至 維持하기爲한 現金支出을 意味함

五 軍政廳 財產管理官이 固定資産費 支出을 承認함에는 其의 正當한 權限內에서 此를 行함

第五款 運營의 廢止

一 歸屬事業體及 歸屬財產의 諸運用에 對한 全責任者는 前記와 如하리 所管長官이 此에 有함

二 軍政廳 所屬部, 處 또는 其 代行機關의 所管長官이 歸屬事業體의 一部 또는 全部의 運營을 廢止 하여야 할 것으로써 認定할 때는 建議書五通을 作成하여 此를 軍政廳 財產管理官에게 提出함을 要함 軍政廳 財產管理官은 審査와 意見을 求하기爲하여 이에 對한 同意書를 此에 添附하여 中央經濟委員會에 提出함을 要함 軍政廳 財產管理官은 如此한 後에 正當한 權限內에서 適當히 此를 處理함

三 歸屬事業體의 全部乃至 一部의 運營廢止에 關한 申請手續은 本令 第四款에 規定한 歸屬事業體의 位置가 一道內에 局限한 境遇의 固定資産費 支出申請手續方法을 準用함

四 所管責任官은 資産의 買却又是 減損, 無承認 清算, 不當支拂, 不當移轉을 防止하기爲하여 恒當 歸屬事業體의 運營을 效力保護하며 注意함을 要함

五 歸屬事業體 運營의 廢止를 軍政廳 財產管理官이 承認할 때는 當該 歸屬事業體의 重役會會長乃至 管理人是 當該 歸屬事業體의 全部乃至 一部에 對한 運營을 廢止케 하는 指令書를 受하기爲하여 親히 此書를 道財產管理官에게 報告하되 萬若 全國에 亘하여 運營되고 있는 歸屬事業體인 境遇에는 此旨를 軍政廳 財產管理官에게 報告함을 要함

重役會會長, 管理人及 所管長官은 運營을 秩序있게 廢止케 하는 責任이 有함 軍政廳 財產管理官이 運營廢止를 함에는 其의 正當한 權限內에서 此를 行함을 要함

六 本管財令 施行日 前에 發生한 歸屬事業體의 全部 또는 其一部分의 運營廢止에 關한 報告書는 本令 第三款의 規定에 依하여 所管長官이 道財產管理官에게 提出하고 當該 歸屬事業體의 運營이 全國에 亘한 境遇에는 軍政廳 財產管理官에게 提出함을 要함 其中一通은 如何한 境遇든지 軍政廳 財產管理官에게

提出함을要함

1945年 8月9日以後 本令公布日까지 運營을 廢止한事實이 無한時는 其認可의 有無을 不問하고 無하다는 報告書를 提出함을 要함

第六款 利益

一 法人, 會社, 組合其他 歸屬事業體의 全利益은 軍政廳 財產管理官의 別途 指示가 有할때까지 各已此를 欸立함을 要함

二 軍政廳 財產管理官의 承認書를 得하기 前에는 利益配當, 利益配當을 目的으로 하는 株券發行, 賞與金, 給料, 贈與, 其他 此에 類似한 支拂乃至 處分等은 行함을 不得함 軍政廳 財產管理官이 此를 承認함에는 其의 正當한 權限內에서 此를 行함을 要함

三 本令公布日이 決定乃至 支拂한 利益配當, 利益配當을 目的으로 하는 株券發行, 賞與金, 給料, 贈與, 其他 此에 類似한 支拂等에 關한 報告書는 本令 第三款의 規定에 依하여 所管長官이 道財產管理官에게 此를 提出함을 要함 但 當該 歸屬事業體의 運營이 全國에 亘한 境遇에는 此 報告書를 軍政廳 財產管理官에게 提出함을 要함

1945年 8月9日以後 本管財令公布日까지 各 歸屬事業體에 關하여 前記事實이 無한時는 無하다는 報告書를 提出함을 要함

四 歸屬事業體의 管理人, 責任者, 其他 職員은 自己 또는 他人을 通하여 當該 事業體에 屬하는 部類의 去來關係에 參與하거나 또는 此에 依한 利得乃至 利益을 取得함을 不得함 但 軍政廳 財產管理官에게 其去來할 것의 內容及 性質을 明示하되 事前에 其許可를 得한 境遇에는 此限에 不在함

第七款 吸收關係

一 所管責任官은 運營中에 있는 歸屬事業體에 所屬하는 機械乃至 施設을 他 歸屬事業體에서 使用하는 것이 朝鮮을 爲하여 가장 有利하다고 決定할 때는 下記手續을 取함을 要함

(1) 機械外 施設을 所有하는 歸屬事業體의 管理人乃至 重役會會長은 當該 機械 또는 施設의 價格을 決定하기爲하여 鑑定을 行하여야 함 機械 또는 施設을 引受하려는 歸屬事業體의 管理人乃至 重役會會長도 如斯한 機械 또는 施設의 價格에 關하여 鑑定을 行하여야 함 所管責任官은 獨自의 立場에서 鑑定을 할 責任이 有함 右 鑑定費等은 各 其 軍政廳 財產管理官에게 提出함을 要함 軍政廳 財產管理官은 茲에 其 正當한 權限內에서 如斯한 使用權 移轉申請에 對하여 各 其 承認 또는 不承認을 決定하며 또 二 使用

에 對하여 各 其 負債料 其他 約定乃至 條件을 決定함

(2) 機械其他 施設을 引受 所管長官이 認責任官은 軍政廳 財產管理官의 承認書를 得하는 대로 即時 移轉物品名, 移轉期日, 其의 前所在場所及 現在場所에 關한 報告書를 道財產管理官에게 提出하되 全國에 亘하여 運營하는 歸屬事業體에 對하여는 此를 軍政廳 財產管理官에게 提出함을 要함 如何한 境遇에라도 其中一通은 軍政廳 財產管理官에게 提出함을 要함

(3) 如斯한 使用權의 變更을 하리 함에는 當該 承認申請書三通을 軍政廳 財產管理官에게 提出함을 要함 右 申請에 關한 手續은 本令 第四款에 規定한 固定資産費 支出申請手續에 準用함

(4) 機械及 施設을 引受한 歸屬事業體는 當該 機械乃至 施設의 使用에 對하여 受諾한 使用料를 支拂한 義務가 有함

(5) 前記 機械乃至 施設에 關하여 使用의 變更을 할 때는 事前에 軍政廳 財產管理官의 承認을 得함을 要함 此에 關하여는 管財令 第七款에 規定된 管財書式을 準用함

當該 使用의 變更은 軍政廳 財產管理官의 正當한 權限內에 屬한 것인 限함 軍政廳 財產管理官은 管理人乃至 重役會會長等이 去來上 迭果된 二個 會社를 代表함과 같은 利害關係者로써 雙方을 代表함을 勿하도록 注意함이 必 要함

二 本令 發布前에 機械乃至 施設을 購買, 接受, 賣渡, 移轉 乃至 撤去한 歸屬事業體는 其 承認의 有無을 不問하고 本令 第三款 規定에 準하여 其事實을 明細히 報告함을 要함 如何한 境遇에라도 其中一通은 軍政廳 財產管理官에게 提出함을 要함

所管長官은 當該 報告書 提出에 關하여 責任이 有함 1945年 8月9日以後 本令公布日까지 當該 事實이 無한時는 無하다는 報告書를 提出함을 要함

第八款 重役會會長乃至 管理人의 保證金 一定한 歸屬事業體를 運營하기爲하여 軍政廳 財產管理官이 委屬한 軍政廳 各部, 處 또는 其 代行機關의 長官은 管財處 手續을 要領에 準하여 管理人乃至 重役會會長에게 保證金을 請求함을 要함

第九款 報告期日

所要 報告 全部는 本令 公布日以後 30日 以內에 書面으로 提出함을 要함 殊에 缺되리 報告를 要하는 事實이 發生한 때마다 10日 以內로 此를 書面으로 提出함을 要함 所管長官은 如何한 境遇에든 該 報告書의 提出及其 內容의 正當性에 對하여 責任이 有함

第十款 施行期日

本令은 公布日로부터 効力이發生한 1947年3月31日 軍政長官의 指令에 依하여 軍政廳財產管理官 陸軍中佐 해리·디·비송

○ 第十號 軍政廳財產管理官이 株式其他利權을 所有한 朝鮮內에서 設立된 各種法人運營에 關한 件

第一款 目的及範圍

一 本令은 「朝鮮內에서 創立된 法人 管理에 關한 件」이라고 附題한 1947年 9月17日附 軍政長官指示는 完全히 依하여 其指示의 趣旨의 達成을 目的으로 함 二 本令은 1945年12月6日附 法令第三十二號에 依하여 株式其他利權이 軍政廳에 歸屬된 朝鮮內에서 創立된 法人에 適用함 但 軍政廳財產管理官 又は 其上部의 指示에 依하여 特許除外된 法人은 此限에 不在함 三 軍政廳財產管理官은 當該法人의 準據法令、定款、細則及 軍政廳管財處手續規定等에 依하여 正當히 被選되어 資格이 限與 理事會의 當該法人에 對한 管理權을 委囑함

第二款 財政上其他責任

一 1947年3月31日附 管財令第九號에 依하여 當該法人의 管理를 現在 委囑받고 있는 南朝鮮 總政府部、處乃至 其他 代行機關의 所管長官에게 軍政廳財產管理官의 代理人으로서 株主總會에서 歸屬株式及其他利權에 對한 議決權을 亦 亦 當該歸屬株式及其他利權에 對한 各種株主權의 行使를 茲에 委囑하며 또 此에 對한 責任을 負擔케 함 當該長官은 軍政廳財產管理官에게 如斯한 權利의 行使와 當該權利에 附屬한 業務履行에 對하여 直接財政上其他責任을 負擔함 二 當該長官이 歸屬된 株式其他利權에 對하여 議決權을 行使할 時는 所管顧問官의 同意書를 得함을 要함

第三款 管管權의 移管

理事會에 對한 法人管理權의 移管事務는 一定한 順序에 依하여 行함을 要함 法人管理權을 理事會에 委囑하기 前에 左記手續을 取함을 要함 一 軍政廳財產管理官이 設定한 既存手續規定에 依하여 各其法人에 關한 豫備調査를 行함 二 軍政廳財產管理官의 召集에 依하여 株主總會를 開議함 三 被選된 理事會 理事會를 組織하고 理事會의 資格을 賦與함 四 當該法人의 管理權은 軍政廳財產管理官이 書面에 依하여 當該理事會

에 正式으로 移管함

第四款 記錄及報告書

一 本令에 依하여 法人의 管理를 委囑받은 理事會는 左와 如한 記錄及會計文書의 作成保管의 責任과 報告書作成責任을 負擔함 (가) 朝鮮現行法令、當該法人의 準據法令、定款乃至 細則에 依하여 要求하는 記錄、會計文書及 報告書 (나) 軍政廳財產管理官 其他 所管當局이 依하여 要求한 又는 將來 要求한 記錄、會計文書及 報告書 二 當該理事會는 軍政廳財產管理官에게 其의 指令、指示에 依하여 要求하는 各種報告書를 提出함을 要함 但 當該法人의 事業을 健全히 運營維持할 能力이 有함을 證明하는 特定法人에 對하여는 當該法人의 株主權行使에 委囑받은 當該長官의 所管顧問官의 同意를 得한 建議에 依하여 軍政廳財產管理官은 當該所要報告書提出回數를 減少함을 得함 三 軍政廳財產管理官은 如斯한 法人에 對하여 그가 必要하다고 認爲하는 監察及會計檢査를 行할 權限을 保有함 如斯한 權限은 軍政廳財產管理官 又は 本令第二款第一項에 依하여 株主權行使을 委囑받은 當該長官乃至 所管顧問官이 此限 行使함을 得함

第五款 特殊管理

一 本令에 依하여 法人管理를 委囑받은 理事會는 軍政廳財產管理官의 特別認可書를 得하지 않고는 左記行爲를 行할 權限이 無함 (가) 固定資產 支拂을 爲한 債務의 負擔 또는 固定資產 支拂 (나) 運營中 止又是 運營方式의 變更 (다) 配當金、賞與金 又는 其他形式으로 利益金의 配當乃至 支拂 又는 當該許可行爲 (라) 如何한 性質의 物은 莫論하고 賸物乃至 寄附金의 支拂 又는 當該許可行爲 又는 法人基金會業務以外에 貸付하는 行爲 (마) 接待費 支拂乃至 當該許可行爲 但 此點에 關하여 軍政長官 其他 所管當局이 發布한 既存指示、所定條件에 依한 範圍는 此限에 不在함 (바) 固定資產의 取得 又는 處分行爲 (사) 合同、併合、解散 又는 當該法人의 組織乃至 細則의 變更 (아) 理事、監事 又는 管理인의 俸給 又는 手當金의 設定乃至 其支拂 二 前項各號에 該當하는 行爲의 認可를 申請할 時는 歸屬企業體 其他 軍政廳財產管理官이 利權의 一部를 所有한 企業體의 管理를 爲하여 設定한 軍政廳管財處手續規定에 依하여 行함을 要함

第六款

本令의 規定에 依하여 法人管理權을 正式으로 理事會에 委囑할 때까지는 當該法人은 管財令第九號에 依하여 南朝鮮 總政府 所管部處長 其他 代行機關의 長官이 軍政廳財產管理官의 代理人으로서 所管顧問官의 同意下에 此令을 繼續管理함을 要함

第七款 施行期日

本令은 公布日로부터 効力이 發生함 1947年12月6日 軍政長官의 指令에 依하여 軍政廳財產管理官 해리·디·비송

○ 法令第三十號에 依하여 軍政廳에 歸屬된 小事業機關處分에 關한 件

一 軍政廳에 歸屬된 財產을 取扱함에 있어서 朝鮮人에게 事業體及 關係企業體의 運營에 對한 責任을 最大限度으로 負擔케 하기 爲한 必要함을 如斯한 目的을 達成하기 爲하여는 事業機關을 可及의 速히 朝鮮人에게 拂下하여야 할 것으로 認料함 二 貴下는 右의 爲하여 可及의 速히 左記諸要件에 該當한 計畫과 其計畫遂行을 爲한 機關에 對한 成案을 作成하기 爲한 指示함 成案에 對한 計畫實施豫定日 後 遂行함을 要함 三 本指示에서 一定한 事業機關의 所謂 帳簿價格이라 함은 將來 拂下할 時에 殘存 固定資產에서 한 1945年 6月 現在(必妥한 範圍에는 或은 其前年度 現在)의 當該帳簿上에 表示된 價格에 依據함을 要함 但 前記日字 現在의 價格이 記錄되어 있지 않은 範圍에는 貴下가 適當하다고 認料하는 價格을 決定하며 此은 記錄함을 要함 如斯한 帳簿價格은 現在 市場價格과 는 何等의 關聯이 無으며 따라서 그것이 適正한 拂下價格과도 何等의 關聯이 無다는 것을 關係者에게 明明白白히 理解하도록 함을 要함 四 (1) 拂下는 下記 (2)(3)의 例를 除外하고 全部一般競買 又는 非開封入札에 依할 것 其中 最高入札者에게 販賣함을 要함 但 其期日、場所及 條件에 對하여는 亦前에 充分히 此은 公告함을 要함 (2) 適當하다고 認料할 時는 現在 關係財產의 主要部分은 占有、運用、保護乃至 所有하고 있는 者와 直接交涉하여 拂下함을 得함 但 其價格은 左記 諸評價標準에 比하여 充分함을 要함 (3) 貴下는 入札乃至 競落價格이 不適當하다고 認料할 範圍에는 一部 又는 全部를 拒絕함을 得함 當該財產에 對한 入社이 二次에 及하지 拒絕當該範圍에는 當該財產을 直接交涉하여 適正價格으로 拂下함을 得함 但 直接交涉에 依하여 拂下할 時의 價格은 拒絕한 最高入札價格보다 多額임을 要함



- (4) 如何한境遇든지 拂下時에 當該財產에對한利益關係가無한 鑑定人二名以上の財産監査(記簿하고 此是記録할을要함
- 五 適當하다고生覺되는 賣落人에게는 長期信用貸付에依한規定을適當히設置할을要함
- 六 當該事業機關에對하여 願買者가 能率的으로 運營乃至使用할能力이有한가否可及의 調査할을要함
- 七 누구든지最初에一個事業機關에對하여 買受할을許함 但 適當한對策이講究된例外는許할을得함
- 八 事業機關의 買受는 在朝鮮軍政廳의 關與하는限 確定的인 것이여 軍政廳이保存하고 있는當該機關의 所有權은 購買者에게歸屬됨 但 購買者는 買受契約書에規定된規則을遵守할을要함 所有權名義移轉의 効力은 將次樹立된朝鮮政府의 處理에依하함
- 九 買受契約書에는 買受後二年内에 轉賣할을不得한다는條項을設定할을要함 但 適當한對策이講究된境遇에는 例外는認許할을得함
- 十 以上の諸規定에依하여 左와如한事業機關은 此是拂下할을得함
  - (1) 帳簿價格10萬圓未滿의 事業機關 但 財産管理官이 拂下하면 特殊處理由로 此是運營할이困難하리라고 認定하는것을除外함
  - (2) 帳簿價格10萬圓乃至 100萬圓의 事業機關... 一個單位에屬하는機關으로 財産管理官이 有望한朝鮮人에게 拂下하면 有効하게運營되리라고 認定하고 拂下할을得함
  - (3) 帳簿價格 100萬圓을超過하는 事業機關 左記各一項에該當하는것에限하여 拂下할을得함
    - (1) 當該事業機關이 어떤大産業機關에直接關係包含하거나或은主要한一部分이아닌것으로 認定하는時
    - (2) 財産管理官이 買受者가만든 運營에成功하리라고보다는 어떠한處理方法은 이國民經濟上貢獻이 一層 많으리라고 認定하는時
    - (3) 軍政長官의 特別한 認可가有한時 1947年3月24日 南朝鮮軍政長官 아-취-엘-러-취

○ 日本人이 既往所有하였든 都會地 住宅拂下에關한件

一 貴官은 1945年12月6日附 法令第三十三號에依하여 在朝鮮美陸軍軍政廳에 其權利가現在歸屬되어 있는 都市住宅을 朝鮮人에게 拂下할에對한 附屬計劃을 進行하기를 茲에 指示함

- 二 貴官은 本目的을 實現하고 此是實施할에 當하여 左記要項을 可及의 遵守實行하기를 務할함
  - (1) 現在住宅을 所有하거던 朝鮮人世帶에게 永住할適當한住宅을 最大限度로 提供케할事
  - (2) 適當한 現市場價格으로 販賣할事
  - (3) 現金買受할事 (其目的은 剩餘購買力을 吸收하고 「인플레이션」을 防止함에在함) 但 現金으로 是到底히 所望하는 住宅을 求할수 없는 適格한 願買者에게는 外上買受를 許할을得함
  - (4) 住宅에 居住하지 않는 者에게 住宅의 所有權이 拂下할時乃至 其以後에 集中되게 止할을 務할 防止함
- 三 都會地所在의 所屬住宅은 全部 拂下할 但 政府가 現在保留하고 있는 又是 將次保留하려는 住宅은 當分間此限에 不在함 貴官은 左記要項에 留意하여 各種各樣住宅의 拂下方法을 決定할을得함
  - 四 一住宅은 一家族 또는 同家族員中一人에 限하여 拂下하고 家族員中에 一人이 이미 住宅을 所有하고 있는 當該家族에게는 拂下할을 不得함 茲에 家族이라함은 慣例上一家에 同居하기로 되어 있는 血族, 姻族, 親族 등의 關係를 갖는 者를 指稱함
- 五 貴官은 充分한 調査와 住宅轉賣에對한 適切한 制限其他方法에依하여 左記目的을 澈底할려는 不法한 取引乃至 活功을 監視防止할을要함 所要條件乃至 制限에 違反한 購買者에對하여는 其所有한 住宅의 權利를 沒收하는 規定을 設定할을要함 但 前記沒收規定은 其後에 此是 有價한 取得한 善意의 第三者에게 適用할을 不得함
- 六 住宅은 拂下하기前에 全部 貴官의 認定한 一定한 原則에依하여 價格을 鑑定할을要함
- 七 拂下는 現市場價格에依한 拂下는 一般에게 充分히 公告를 然後 競價 또는 非閉封入札에依하여 其最高入札者에게함 但 左記境遇에는 此限에 不在함
  - (1) 貴官은 當該住宅을 正當히 占有하고 拂下할時에 當該住宅에 居住하는 者에게 直接交涉에依하여 拂下할을得함
  - (2) 貴官은 競價 또는 非閉封入札에 있어서 入札價格이 二次에 及하여 不適當하다고 無効로 하는 境遇에는 有資格願買者에게 適正價格으로 直接交涉에依하여 拂下할을得함 但 其價格은 以前에 合法의 入札最高價格보다 高價임을要함
- 八 各契約書에는 當該拂下는 在朝鮮美

國陸軍軍政廳에對한限 認定的인 將次朝鮮臨時政府가 樹立되면 其에依하여 處理된다는條項을 設定할을要함 現在歸屬住宅을 賃借하고 있는 者가 當該住宅을 變換維持居住하고 있는 동안에는 現在의 住宅을 買受하도록 許諾한것이다 何如한 願買者所屬家族中에 自己住宅을 所有하고 있는 者는 買受할을 許諾하지 않는다 爲後數日中에 願買者의 所要義其今他 題目에 關하여 詳細히 發表하고 거한다

九 財産管理官은 近日中에 南朝鮮各地에所在한 大量의 前日本人所有의 小規模事業園及住宅의 拂下를 開始한것이다 如斯한 財産은 其所有權을 可及의 廣範圍로 分配하여 朝鮮經濟와 朝鮮國民에게 可及의 最大限의 福利을 齎할수 있는 方法에依하여 處分된것이다 全體的으로 公平케하기爲하여 各道에서 朝鮮人의 協力과 助言을 充分히 利用하되 如斯한 일은 朝鮮人諮問委員會를 通하여 行할것이다 此朝鮮人委員會는 各道知事諮問官各局長及其他로 組織된 各道委員會에서 任命할것이다 代表의 引戰災民後援會會長은 住宅拂下計劃을 援助한 諮問委員會를 指令하는 任命會의 一員이 될것이다 小規模事業園拂下計劃을 達成하기爲하여 願買者의 資格審査及一個事業園外의 買受禁止規定을 實施하기爲한 委員會(서울市와 京畿道에는 此目的을爲하여 二委員會를 各別로 設置함) 拂下前에 行하는 財産價値審査委員會를 設置하되 住宅拂下事務取扱을爲하여 同類의 委員會를 設置하되 其外에 1945年8月9日以後에 日本人住宅의 不法買收에 關하여 登記簿을 調査하여 各方面으로 蒐集한 情報을 報告할責任이 있는 委員會가 設置될것이다 以上各委員會委員이 具備한 資格은 左와 如하다

- (1) 各委員會委員은 任命委員과 任命會委員相互間에 血族八寸乃至四寸보다 親近한 關係가 無하여야 하되 萬一委員이 願買者와 親近한 關係가 有한時에는 當該委員은 其者의 資格審査가 終了한時까지 當該會議에 參席치 못함
- (2) 小規模事業園에 關한 願買者資格審査委員會委員은 願買者의 成功可能如何와 願買者의 經歷及 名望如何를 分明히 判斷할만한 事業의 知識과 經驗이 豊富하고 公平無私한 시민임을要함
- (3) 또 住宅拂下에 關한 諮問委員會委員은 各自의 經營事業乃至 從事職業에 있어서 名望이 有한 公平無私

한市民임을要한다

(4) 評價審査委員會委員은 財産價格鑑定이 各其現市場價格又는如斯한小規模事業體의利潤과의 均衡與否를判斷한한 事業的知識과經驗이 豊富한公平無私한 市民임을要한다

十 中央管財處長은 歸屬事業機關이 提供한 擔保物返還에關한 管財政策前例第二十一號가 1947年7月10日 附로公布되었다고 22日 다음과같이發表하였다

(가) 朝鮮內에서 設立된法人이 提供한擔保物은 管財令第九號 規定에 依하여 當該機關의管理를 委嘱받은 軍政廳乃至 南朝鮮過渡政府所屬部, 處又는 其代行機關의 最高責任者의 承認을得하여 當該擔保物價를辨濟하면 此는當該機關에게 返還할수 있음但軍政廳財産管理官의承認은 必要하지아니함

- (나) 日本內에서 設立된法人 又는 日本人個人乃至其組合員이 所有하고 있는 事業團體가 提供한擔保物은 法令第三十三條에依하여歸屬되었음으로 軍政廳財産管理官의承認을 受는 事나 此는承渡할수없음 前記事業體의 管理人은 當該擔保債務의 辨濟와債務을 擔保하기爲하여 提供한擔保物의 返還에對한 承認申請書를 管財令第九號에依하여 當該事業團體의 管理를委嘱받은 軍政廳乃至南朝鮮過渡政府所屬部, 處又는其代行機關의 最高責任者에게 提出함을要함 그리고 前記最高責任者及軍政廳財産管理官이 此를承認하는時에 當該債務는 辨濟되고 當該擔保物은 返還케된 軍政廳財産管理官은 今後以週日內에 大量의 前日本人所有小規模事業體의 拂下를 開始할豫定이다 如斯한 拂下에關하여 軍政廳長官은 數日前에 詳細한指令을 發表하였다 그러면 如何한者냐 買受適格者가 되는 者買受者는
- (1) 朝鮮國民에限한다
- (2) 附日協力者로써審査에依하여有罪判決을受한事實이 無하여야 한다
- (3) 過去5年以內에 純政治犯以外의 罪에依한 前科가無하여야함 但前科에는 禁錮以上에處한犯罪만이 包含된다
- (4) 既往의 歸屬財産을 破損하거나 個人의利益을爲하여 此를販賣하거나 歸屬財産의 經理記錄을 毀棄한事實, 偶達한事實又는 必要한記錄의 作成義務를 怠慢한事實이 無하여야 한다
- (5) 過去5年間 歸屬財産의 管理人으로서 管理能力이 不足하다는 記錄이 證明된事實이 無하여야 한다

(6) 1945年8月9日現在 願買者의 戶籍上正當한 家族員中에 歸屬事業體의 全部乃至一部라도 買受한事實이 無하여야한다 但2個事業體相互間에 不可離한經濟的關聯性이 有한境遇는 重復買受의 例外를 認定한다

◇前日人住宅買受資格에關하여

- 一 過去5年以內에 純政治犯以外에 依한 前科가無하여야한다 但同前科에는 禁錮以上에 處한犯罪만이 包含된다
  - 二 既往에 歸屬財産을 破損하거나 私人利益을爲하여 此를販賣한事實이 無하여야 한다
  - 三 附日協力者로써 裁判에依하여 有罪判決을受한事實이 無하여야한다
  - 四 願買者又는 願買者所屬世帶內家族中 現在 住宅을所有하고 있는者가 無하여야하며 宅他住宅을取得하려고하는일이 無하여야한다
  - 五 1945年8月9日以後 一世帶를分割한 事實이 無하여야한다 願買者가 前記 資格要件을具備한境遇에 其買受申請을 充分히考慮하지된다
- 前日人所有小規模事業體及住宅의 買受人에對한 信用拂下의 條件은 當該事業體의 種類, 買受人의 資格及 信用拂下의 一般危險率等 諸般事情을參酌하여 許하지되는바 그條件은 一律의 이아닐것이다
- 最少限買受代金の 二割은 一時拂下함을 要하며 代金額에對한 利息은 年五分乃至七分을附하고 契約期間은 最高十年으로한다 然이나 買受人은 何時든지 其債務를 一時에 辨濟할수 있다
- 事業體의 境遇에 契 約에依하여 拂下된 當該財産의 所有權은 軍政廳財産管理官 契約締結日로부터 二年間又는 買受代金の 五割을 辨濟할때까지의 期間中 其長期間에依하여 此를保留하게된다 萬一前記所有權保留期間中이라도 當該運營狀態가 如意한境遇에는 軍政廳財産管理官이 決定한 辭濟方法에依하여 殘額에對하여 抵當權을 設定하고 當該所有權을 買受人에게 移轉할수 있다 契約에依하여 拂下한住宅에 있어서 其所有權은 契約과 同時에 買受人에게 移轉하나 權利得는 軍政廳財産管理官 締結日로부터 二年間又는 代金完済時 이契까지의 期間中 其長期間便에依하여 此를保留한다
- 前日人所有財産의 願買者는 拂下條件과該條件에對한 罰則을 熟知하기를要한다
- 小規模事業體并住宅에關한 拂下契約條項에依하면 買受人에게 左記行爲가 有한時는 買受財産又는 事業에對한 權利의 所有權은 喪失되며 占有物은 沒收당하게될것이다

가. 住宅買受에關한違反行爲

- (1) 買受價格에關하여 虛偽陳述를 作成할時
  - (2) 이미 買受者所屬世帶內에 住宅을 所有한者가 有하면서 自己又는 他所屬世帶員名義로 住宅을 買受할時
  - (3) 이미 一戶의 住宅을 買受或은 買受手續中에 있는世帶가 二重買受할時
  - (4) 財産管理官의 認可를 得하지않고 買受日로부터 二年內에 買受한住宅을 轉讓할時
- 나. 歸屬事業體乃至其附屬權利買受에關한違反行爲
- (1) 買受者資格에對하여 虛偽陳述를 作成할時
  - (2) 事전에 財産管理官의 許可를 得하지않고 事業體外에 事業體의 權利의 全部乃至一部를 買受할時
  - (3) 財産管理官의 許可를 受지 買受日로부터 二年以內에 買受한株券又는 動産을 轉讓할時
- 如斯한 契約條項違反으로 因하여 沒收한 財産은 競買에依하여 拂下하게된다 如斯한 境遇에 其拂下價格이 最初의 競落價格相當額에 達하지못하는時는 當該契約義務를 違反한者는 其差額을 現金으로 辨償할義務가 有하다

前記罰則은 管理人又는 貸借借住者로서 附屬財産을 惡用, 不正管理又는 不法占有한者에게 當該財産의 買受를 防止하려고함이다 同時에 謀利慾에서 割當額과 그 財産을 取得하고자하는者 又는 取利를爲하여 即時轉讓을 目的으로 買受하는者를 廢懲하려고함이었다 그러나 管理乃至保管하고 있는 財産을 自己所有物과 같이 善良한 管理者의 注意로써 管理, 保存, 運營等에對하여서 是 財産管理官이나 其諮問委員會는 良心的인 責任感있는 人士라고 믿으며 當然히 前日人所有財産을 買受한 資格을 갖게되는 것이다

如斯한 人士는 買受人 또는 所有權者로써의 各種便益을 享受할수 있으며 貴重한 住宅又는 事業體를 取得하므로 因하여 運營한 安樂한 住宅과 朝鮮國家에 必要한 物品의 生産及 配給에 이바지할수 있는 좋은 事業場으로 轉換하여 指導者自身과 朝鮮國民全體를 裨益할수 있는 機會를 갖게될것이다 日本人所有小規模事業體과 住宅 拂下에對한 日字는 各道 財産管理處에서 新聞紙上으로 發表한것이다 1947年 5月 15日 南朝鮮軍政廳官一 위·엘·머·리

★ 農務部令

○ 第一號 小作料에關한件

第一條

本令의 目的은 1945年 10月 5日 附 法令 第九號의 第二條, 第六條及 第七條의 趣

을 명확히 定義하는데 있음

第二條 最高小作料의 決定

(가) 現物이나 金錢으로 土地에 對한 小作料의 納付를 要하는 現存 契約은 全條項에 有効하게 施行할 但 土地에 對한 것으로 地主가 受領하는 小作料의 總額은 現存 契約에 規定되어 있는 收穫物의 三分之一을 超過함을 不得함

(나) 小作人은 土地使用에 對한 小作料外에 灌溉費의 半額을 負擔할 것 又 小作人은 農用 藥劑, 金肥及 厩肥, 種子, 農具, 農用 設備, 土地 改良, 包裝 資材, 運搬 其他 關係의 費用 項目으로 過去에 小作人이 負擔한 것으로 現存 契約이나 協定에 있는 것은 小作人이 負擔할 것 稅金, 會費等 又는 蠶繭의 處分에 關하여 亦도 本令에 依하여 何等 變更없이 現行 契約이나 協定대로 施行할 것

第三條 第六條의 現行 小作 契約의 登錄 小作 契約의 登錄 期間 六十日은 土地 登記 所 事務 開始 日 부터 起算 하는 것으로 解釋 할 것

第四條 第七條의 小作料 現物 納付에 關한 件

軍政 總代理 機關이 所有 하는 土地나 又는 接收 한 土地의 境內에는 此等 軍政 機關이 要求 하는 대로 現物 又는 法貨로 小作料은 納入 할 것 但 小作人이 納入 方法을 明示한 證據 書類를 呈示 하는 境內에 限하여 此等 機關에 現金 納入을 行 할 것

1945年11月10日

軍政 長官의 命令에 依하여

農務 局長

陸軍 中佐 세임스·아이·마·틴

○ 第二號 新韓公社에 依한 米穀 小作料 收集

1 滯納 小作人

1945年度 米穀 小作料을 完納하지 않은 新韓公社 所屬 農土의 小作人은 本令 施行 日期 後 30日 內로

(가) 其 小作料을 現物로 新韓公社에 完納 하든가 或은

(나) 現金으로 其 小作料을 新韓公社에 完納하는 同時에 그는 軍政 總代理 官에 指定된 管轄 官廳에 其 米穀을 引渡 하 였다는 證明書를 提出 할 事 其 時에 現金 納付는 米穀 引渡 時에 그가 受取 한 價額 率을 基準으로 하여 計算 하며 其 率을 할 수 없는 境內에는 行 隊 (54班入) 當 150圓의 率으로 計算 함

(다) 天災(洪水, 火災, 風災, 乾渴, 氣象 蟲害 又는 其他 不可避한 事變 又는 致物을 死滅 시키는 不可抗力에 依한 病疫)로 因하여 1945年度 米穀이 不作 又는 損滅된 時는 新韓公社에서 承認한 만한 其 證據 書類를 提出 할 事 如斯한

境內에 있어서 그는 現物 又는 現金에 依한 1945年度 米穀 小作料 或은 損滅된 部分의 米穀에 該當하는 小作料 支拂을 免除 될 수 있음

2 不履行에 對한 罰則

本令 第一條의 條項을 履行하지 않은 小作人은 1946年度 米穀 小作料 支拂 滿期 日 까지 現物로 1945年度 米穀 小作料 全量과 其 一割에 該當하는 滯納料을 1946年度 小作料과 함께 完納함을 要함 1945年度 米穀 小作料及 滯納料은 優先的으로 1946年度 米穀 收穫物로 부터 控除 함

3 法令 第九號及 第四十五號와 의 關係 本令에 依한 合法的 納付는 最高 小作料에 關한 1945年 10月 5日 附 法令 第九號 又는 米穀 收集에 關한 1946年 1月 25日 附 法令 第四十五號와 概觸되지 않은 것으로 認認 함

1946年6月15日

軍政 長官의 命令에 依하여

農務 局長

美國 陸軍 少佐 세임스·아이·마·틴

○ 第三號 穀物 檢査 規則

第一條 目的

本令의 目的은 1946年 9月 18日 附 法令 第百十一號의 規定을 補充 하며 有効하게 할 到 있음

第二條 穀物 檢査

下記 各 穀物은 本令 第六條의 檢査에 依한 包裝을 하여 穀物 檢査所 又는 法令으로 規定된 其他 場所에서 檢査官의 檢査를 受 받고 該 包裝에 本令 第八條에 規定된 等級의 證印을 받지 않 고는 各 道 知事에 依하여 又는 그 權限下에 指定된 地域으로부터 他 地方에 搬出 許 하거나 또는 該 指定 地域內에서 營利을 目的으로 賣買 其他의 行爲를 行할 不得 함

正租, 玄米, 白米, 大麥, 裸麥, 精麥, 壓搾麥, 小麥, 락이麥, 玄粟, 精粟, 玄蜀黍, 精蜀黍, 玉蜀黍, 大豆, 小豆, 菜豆, 豌豆

第三條 檢査의 免除

下記 各 項에 該當하는 穀物에 對하여 穀物 檢査所에 證印을 提出 하고 그 證明書의 發行을 받은 境內에는 特別한 要求가 無한 限 檢査는 免除 함

가 商品 見本으로 一 隊 以內의 것

나 自家 消費 하는 것

다 政府 機關에서 徵發 또는 所有 하는 것

라 調査 研究 用, 種子 用及 博覽會, 共進會, 品評會 等의 出品 用

마 屑物 碎米

바 販賣 其他 營利을 目的으로 하지 않 는 것

第四條 檢査에 關한 手續

穀物 檢査에 手續 方法은 下記와 如하

가 地方 穀物 檢査所에 있는 檢査 請求書에 檢査 手數料로 收入 印紙를 貼付

하야 此 檢査 所에 提出 할 것

나 請求人 또는 其 代理人은 檢査에 立會 할 것 代理人은 檢査所에 있는 用紙에 穀物 所有者의 記名 捺印을 受 받아 此 檢査 所에 提出 할 것

다 檢査를 受한 穀物의 包裝에는 該 該當하는 檢査 證印을 附 할 것

라 檢査에 必要한 費用은 請求人의 負擔으로 함 生活 必需品 管理局과 道 倉庫 事務所는 檢査 手數料가 免除 될 것 檢査는 收集所 其他 穀物 檢査所에서 指定한 場所에서 施行 함

마 各 地方 穀物 檢査所는 自己 管轄 區域內에서 隨意로 再 檢査를 行할 得을 再 檢査에는 手數料을 徵收 하지 아니 함

자 穀物 檢査官의 決定에 對하여는 第一 次로 道 穀物 檢査所에 第二 次로 道 農務 局長에게 異議를 申立 할 수 있음

야 穀物의 內容과 包裝의 檢査를 完了한 後 穀物 檢査官의 承認 없이 其 包裝을 開封한 境內에는 再 檢査를 受하지 않 는 限 그 內容 又는 但 其은 各 道 知事에 依하여 又는 그 權限下에 指定된 地域外에 搬出 許 하거나 또는 該 指定 地域內에서 商賣 其他 營利을 目的으로 하는 行爲에 使用 할 수 없음

第五條 手數料

檢査 手數料은 下列 如하

- 1 穀物의 種類와 手數料
  - 가 玄米, 白米, 精麥, 壓搾麥, 精蜀黍 每 當 30錢
  - 나 白米 一 布袋 當 15錢

第六條 穀物의 包裝

穀物의 種類와 그 重量과 包裝은 下記 標準에 依함

가 重量

- 1 正租, 精粟及 락이麥은 一 袋에 正味 54斤(減量으로 600瓦~添加)
- 2 玄米 裸麥, 小麥, 精麥, 玄蜀黍 精蜀黍 小豆, 菜豆, 豌豆는 一 袋에 正味 60斤(減量으로 600瓦~添加)
- 3 白米는 一 袋에 正味 60斤(減量으로 600瓦~添加) 布袋 一 個에 止 味 30斤(減量으로 300瓦~添加)
- 4 大麥, 壓搾麥은 一 袋에 正味 42斤(減量으로 600瓦~添加)
- 5 玄粟은 一 袋에 正味 45斤(減量으로 600瓦~添加)
- 6 大豆 一 袋에 正味 60斤(減量으로 1.5斤~添加)
- 7 玉蜀黍 一 袋에 正味 60斤(減量으로 900瓦~添加)
- 8 麻袋 一 個에 正味 30斤(減量으로 1.5斤 添加)

나 包裝

一 穀物 入 隊

1 隊은 1946年 10月 5日 附 農務 部 令 第四號 檢査 規則에 依한 檢査에 合格한 新 隊으로 함 但 正租 及 人 蕃에는 此

是適用지 않음

- 2 掛繩은 直徑四分乃至四分五厘의 繩纜으로 함
- 3 縱繩은 正租, 大麥, 精麥, 壓搾麥, 裸麥, 小麥, 라이麥, 玄粟, 精粟, 玄蜀黍, 精蜀黍, 玉蜀黍에는 三個所 其他穀物에는 四個所를 各等으로 들임
- 4 橫繩은 正租, 大麥에는 一個所를 其他穀物에는 二個所를 各等으로 들임

二 白米入布袋

1 布袋는 構造가 完全하고 強靱한 新市袋으로 함 口繩糸는 強靱한 糸로 堅固히 함

2 掛繩은 直徑三分五厘乃至四分의 繩纜으로 함

3 縱繩은 一個所를 橫繩은 二個所를 各等으로 들임

三 玉蜀黍入麻袋

1 麻袋는 構造가 強靱한 新麻袋으로 함 口繩은 強靱한 糸로 堅固히 함

2 掛繩은 直徑四分乃至四分五厘의 繩纜으로 함

3 掛繩方法은 前項布袋와 같음

4 道知事 又は 生活必需品管理局의 要求에 依하여 農務部長은 非檢出穀物에 限하여 臨時로 其包裝의 繩纜을 四個所代身에 三個所로 할 수 있도록 指示할 수 있음

第七條 豫備檢査

豫備檢査를 한 結果 下記各項에 該當하는 穀物 (但 正租는 除外함)은 等級을 附하지 않고 不合格으로 하며 各道知事가 指定한 地域外에 搬出 또는 賣買其他營利를 目的으로 하는 商行爲에 使用할 을 禁함

가 異年産穀物을 含有한 境遇

나 蝦米가 混入한 境遇

다 玄米, 白米, 壓搾麥에 들 (石) 이 一升當 三粒以上 混入한 境遇

라 精麥, 精蜀黍에 들 (石) 이 一升當 六粒以上 混入한 境遇

마 精粟에 들 (石) 이 一合當 十粒以上 混入한 境遇

第八條 等級

豫備檢査를 한 結果 第七條各項에 該當하지 않는 穀物은 每年 農務部長의 設定하는 品價과 乾燥의 標準及 下記各項에 依하여 等級을 附함

1 正租

一等

赤米의 混入이 一合에 二十粒以內 石土, 稗, 未熟米其他 挾雜物의 混入이 百分之三以內

二等

赤米의 混入이 一合에 五十粒以內 石土, 稗, 未熟米其他 挾雜物의 混入이 百分之六以內

等外

以上 標準等級에 該當하지 않는 것

2 玄米

一等

赤米의 混入이 一合에 二十粒以內土, 稗, 正租, 丸米, 碎米其他 挾雜物의 混入이 百分之四以內

二等

赤米의 混入이 一合에 五十粒以內 土, 稗, 正租, 死米, 碎米其他 挾雜物의 混入이 百分之五以內

3 白米

一等

稗, 正租其他 挾雜物의 除去가 充分하고 碎米의 混入이 百分之十以內

二等

稗, 正租其他 挾雜物의 除去가 充分하고 碎米의 混入이 百分之十二以內

4 大麥, 裸麥, 小麥, 라이麥

石, 土, 稗, 未熟麥, 蟲喰麥, 病害麥其他 挾雜物의 混入이 大麥은 百分之五以內 裸麥은 百分之三以內 小麥, 라이麥은 百分之四以內

二等

石, 土, 稗, 未熟麥, 蟲喰麥, 病害麥其他 挾雜物의 混入이 大麥은 百分之八以內 裸麥은 百分之五以內 小麥, 라이麥은 百分之六以內

5 精麥

一等

租麥, 碎其他 挾雜物의 除去가 充分하고 碎麥의 混入이 百分之四以內

二等

租麥, 碎其他 挾雜物의 除去가 充分하고 碎麥의 混入이 百分之七以內

6 壓搾麥

合格

租麥, 碎其他 挾雜物의 除去가 充分하고 碎麥의 混入이 百分之四以內

7 玄粟

一等

石, 土, 稗, 未熟粟其他 挾雜物의 混入이 百分之二以內

二等

石, 土, 稗, 未熟粟其他 挾雜物의 混入이 百分之四以內

8 精粟

合格

租粟, 碎, 碎粟其他 挾雜物의 混入이 百分之二以內

9 玄蜀黍

一等

石, 土, 稗, 未熟蜀黍其他 挾雜物의 混入이 百分之五以內

二等

石, 土, 稗, 未熟蜀黍其他 挾雜物의 混入이 百分之八以內

10 精蜀黍

合格

碎, 碎蜀黍其他 挾雜物의 混入이 百

分之六以內

11 玉蜀黍

一等

石, 土, 未熟玉蜀黍碎, 玉蜀黍, 虫喰玉蜀黍, 腐蝕玉蜀黍其他 挾雜物의 混入이 百分之二以內

二等

石, 土, 未熟玉蜀黍碎, 玉蜀黍, 虫喰玉蜀黍, 腐蝕玉蜀黍其他 挾雜物의 混入이 百分之四以內

12 大豆

一等

種皮色의 다른 種類의 混入이 없고 挾雜物의 混入이 百分之〇, 五以內

二等

種皮色의 다른 種類의 混入이 없고 挾雜物의 混入이 百分之二以內

三等

種皮色의 다른 種類가 一合에 二粒以內 挾雜物의 混入이 百分之三以內

四等

種皮色의 다른 種類가 一合에 五粒以內 挾雜物의 混入이 百分之四以內

13 小豆, 菜豆, 豌豆

一等

異品種의 混入이 百分之三以內 挾雜物의 混入이 百分之二以內

二等

異品種의 混入이 百分之五以內 挾雜物의 混入이 百分之三以內

第九條 不合格品의 處置

第八條에 規定한 標準에 合格치 않은 正租以외의 穀物은 「不合格」의 證印을 附하고 各道知事에 依하여 又は 그 權限下에 指定된 地域外에 搬出 또는 營利의 目的으로 賣買其他 取引에 使用할 을 禁함 天災로 因한 凶作의 境遇로서 穀物이 第八條에 規定한 最低等級에 該當되지 못할 時는 農務部長의 決定에 依하여 等級을 變更할 수 있으며 그 等級에 該當한 穀物은 各道知事에 依하여 又は 그 權限下에 指定된 地域外에 搬出하거나 營利의 目的으로 賣買其他 取引에 使用할 수 있음

第十條 證印

檢査를 마친 後에는 其 穀物 包裝表面 갈보이는 處에 農務部에서 規定한 該當等級, 證印, 記號를 附함 重要한 檢査를 마친 穀物은 다른 隊, 布袋, 箱子 其他 容器로 包裝하지 못함

第十一條 輸出

北緯三十八度 以南 朝鮮에서 外國에 輸出하리 得는 穀物은 輸出港에서 再檢査를 受을 應함

第十二條 輸入

輸入港에 到着된 穀物은 即時所管 檢査所에 届出함을 要함 但 下記各號中 一에 該當한 穀物은 除外함 가 政府機關의 指示에 依하여 輸入하 七 穀物

나 標本 또는 貝本으로써 10疋以內的 穀物

다 旅客의 攜帶하는 60疋以內的 穀物

第十三條 商標

包裝에 使用된 商標는 使用함에 앞서 農務部長에게 提出하여 그 承認을 받음을 要하며 그 承認을 받은 境遇에는 其後 5日 以內에 所管 穀物 檢査所에 報告함을 要함 商標는 包裝 面에 的 證印及 記號 가 附되지 않은 곳에 印寫함을 要함

第十四條 檢査官 證票

農務部에 서 任命한 檢査官은 農務部에 서 發行한 檢査官 證票를 攜帶하고 必要에 應하여 提示할 것

第十五條 穀物 檢査官에 對한 助力

道 農務局長의 要求가 있을 時는 朝鮮農會, 生活必需品 管理局 及 是道 食糧事務所는 穀物 檢査官에 對하여 必要한 助力을 要함

第十六條 權限의 委任

各道知事는 本令을 遵行함에 必要한 方法을 取할 수 있을

第十七條 抵觸法律의 廢止

1946年 9月 18日 附 法令 第百十一號 第一條에 依하여 本規則과 抵觸되는 諸法律, 法令, 命令, 規則, 指令, 訓令을 廢止함

第十八條 施行 期日

本令은 公布 日로부터 此를 施行함 1946年 9月 26日 軍政長官의 指令에 依하여 農務部長 美國陸軍中佐 제임스·아이·마틴

○ 第四號 吠檢査規則

第一條 目的

本令의 目的은 1946年 9月 18日 附 法令 第百十一號의 規定을 補充 施行함에 在

第二條 吠檢査

吠 吠 包를 各道知事에 依하여 又는 各道知事 權限下에 指定된 地域 以外로 搬出하거나 或은 該指定 地域內에서 營利의 目的으로 賣買 又는 使用할 時는 穀物 檢査所 又는 其他 適當한 場所에서

檢査官의 檢査를 받아야 하며 本令 第五條及 第六條의 標準에 依하여 捺印을 받을 것

第三條 檢査의 免除

下記 各項에 該當하는 吠에 關하여 穀物 檢査所에서 證明書를 發行할 時及 下記 各項中 一에 該當하는 吠임을 證明하는 證據를 穀物 檢査所에 提出할 時는 特別한 要求가 없는 限 檢査를 免除할 수 있을 것 政府機關에서 徵發 또는 所有하는 吠

나 調査研究用 또는 博覽會, 共進會等의 出品用 如 所한 境遇에는 其等級은 標準等級과 相異할 수 있을

다 販賣 또는 營利의 目的으로 하지 않는 것

라 穀物, 鹽, 肥料의 容器로 使用되지 않는 것

第四條 手數料

一 梱包에 對하여 1圓의 手數料을 檢査前에 納付할 것 地方 穀物 檢査所에 있는 檢査請求書에 檢査手數料로 收入 印紙를 貼付하여 其 檢査所에 提出할 것

第五條 生産吠의 等級

附表 第一號의 條件에 符合되는 吠은 合格으로 하고 此와 符合되지 못한 吠은 不合格으로 함

第六條 吠 梱包의 標準

檢査를 받지 않을 것 또는 下記 標準과 條件에 合格하지 않은 吠 梱包를 搬出 或은 賣買 又는 營利의 目的으로 하는 商行爲에 使用함을 禁止함 紵繩은 直徑 5分 以上의 強靱한 것 으로 四個所 掛호되 兩端은 세들림으로 하고 中央 二個所는 두들림으로 함

나 穀物 用吠은 一 梱包 二折 三十枚 紵 高度는 三尺 以內로 함

다 肥料 用吠은 一 梱包 五十枚 紵 高度는 三尺 三寸 以內로 함

라 鹽 用吠은 一 梱包 二折 三十枚 紵 高度는 二尺 七寸 以內로 함

第七條 不合格 吠 梱包의 處置

第六條에 規定한 標準에 合格되지 못한 것 이나 或은 未檢査吠, 異種類吠, 異等

級吠 또는 損傷 變色한 吠 梱包는 不合格으로 하고 搬出 或은 賣買 又는 營利의 目的으로 하는 商行爲에 使用함을 禁止함 本令에 違反하여 搬出 또는 賣買 又는 其他 營利의 目的으로 하는 商行爲에 使用할 時는 此를 押收하거나 或은 出荷地에 返送함을 命할 수 있을

第八條 手續

吠 檢査 手續은 下記와 如함 吠 檢査 用吠은 右側 下部에 應用과 肥 料 用吠은 上部에 檢査 證印을 押捺함

나 檢査에 合格한 吠 梱包는 檢査 證印을 適當히 押捺함

다 官用 檢印及 封印과 類似 又는 模倣한 記號를 吠에나 吠 梱包에 押捺지 못함

라 各地方 穀物 檢査所는 自己 管轄區內에서 隨意로 再檢査를 命할 수 있을

마 穀物 檢査官의 決定에 對하여는 道 農務局長에게 異議를 申立할 수 있을 것 請求人 또는 其 代理人은 檢査에 立會할 것

第九條 運搬及 貯藏에 關한 注意

運搬 又는 貯藏에 隨伴하는 風雨 其他 危險에 對한 適當한 防禦 設備가 없는 境遇는 吠 又는 吠 梱包의 運搬을 禁함

第十條 檢査官 證票

農務部에 서 任命한 檢査官은 農務部에 서 發行한 檢査官 證票를 攜帶하고 必要에 應하여 提示함을 要함

第十一條 權限의 委任

各道知事는 本令을 遵行함에 適當한 方法을 取할 것

第十二條 抵觸되는 法律의 廢止

1946年 9月 18日 附 法令 第百十一號 第一條에 依하여 本規則 規定과 抵觸되는 諸法律, 法令, 命令, 規則, 指令, 訓令及 其 部分은 茲에 此를 廢止함

第十三條 施行 期日

本令은 公布 日로부터 此를 施行함 1946年 10月 5日 軍政長官의 指令에 依하여 農務部長 事務處理官 美國陸軍少佐 제임스·아이·마틴

吠 檢査 規則

附友 第 1 號	穀 物 用 吠	鹽 用 吠	肥 料 用 吠
建 目	19日 또는 20日	18日	17日
縱 繩	① 打繩호 手糊한  것 (即繩은 其호 兩드 繩에  紵기 爲하야 手糊함) ② 直徑 2分 ③ 綫目 每尺에 18	① 左와 同一함 ② 直徑 1分 5厘 ③ 左와 同一함	① 左와 同一함 ② 左와 同一함 ③ 左와 同一함
橫 法	打繩호 一本式 插入 計 五 八本 牙 牙 插代하야 緘密  司 緘達할  것	打繩호 一本式 插入 計 五 二十本 牙 牙 插代하야 緘密  司 緘達할  것	穀物 用吠 호 同一함
耳 組	五本의 丸耳, 耳호 의 기리는 3分	左와 同一함	左와 同一함
橫 上	縱繩 三筋 掛호하야 其 終端은 外部에 組出키  것	同 左	同 左

底部折込의 길이	1寸5分	1寸3分	1 寸
叭 의 幅	2尺7寸 (耳妻을除外함)	2尺6寸5分 (同左)	2尺4寸 (同左)
叭의長 (底部折込의中心까지)	表 3尺1寸 裏 2尺9寸	表 3尺1寸5分 裏 2尺8寸5分	表 2尺7寸5分 裏 2尺5寸5分
親繩 (叭製造의藥廷上折込의半分을連絡하는繩)	① 打藥로手綯한것 (總繩欄參照) ② 直徑4分 ③ 綯目1尺에16	① 同左 ② 直徑 3分5厘 ③ 同左	① 同 左 ② 同 左 ③ 同 左
口取繩 (藥叭內一角을끼는것)	10尺	同 左	同 左
經繩 (叭에親繩을取附하는것)	① 打藥로手綯한것 (總繩欄參照) ② 直徑2分5厘 ③ 綯目1尺에19	① 同左 ② 直徑 2分 ③ 同左	① 同 左 ② 同 左 ③ 同 左
紐 法	縱繩二筋目과三筋目間에親繩을대고親繩에逆掛하여結合함事	同 左	同 左
紐繩의間隔	7分 (紐繩의幅을除外함)	同 左	同 左
重 量	750匁乃至900匁	500匁乃至700匁	500匁乃至650匁
	(參 考) 1分~約10分之1吋 1尺~約10尺(0.994尺) 1匁(용매)~0.0082 6파운드		

### ★ 勞 働 部 令

#### ○ 勞働部令第一號 未成年者勞働保護法施行規則

##### 第一條

本令은 1947年 5月16日附 法律第四號 (未成年者勞働保護法)을 數行할을目的으로함

##### 第二條

法律第四號第四條의夜間勞働禁止에依하여 十八才未滿의 未成年者에對하여는 午前七時以前及午後七時以後의勞働을禁止함

##### 第三條

가 法律第四號第五條의勞働時間에는 休息及食事時間最少一時間이包含되어있음

나 十六才未滿의 未成年者에對하여는 職場에서 就業一時間後와 終業一時間前에 休息 또는 食事의 時間을 許與함

다 十六才以上十八才未滿의 未成年者에對하여는 職場에서 第二時間後와 終業二時間前에 休息 또는 食事時間을 許與함 最少로其折半에該當하는 時間을 職場에서 第四時間을 果할時에 食事時間으로 許與함

##### 第四條

法律第四號第七條의 許可申請은 別表第一號樣式에依하여 當該地方管轄監督機關에 提出함을 要함 申請者 自身이 出頭하여 申請함을 提出하지 못하는 時는 그理由를 添記함을 要함

##### 第五條

監督機關이 前條의 申請書를 收受할 時는 三十日 以內에 別表第二號樣式에依하여 許可證을 發付함을 要함 前項期間內에 許可證의 發付가 無한 時는 申請者는 許可證이 沒으로 認定하여 上記

許可證 또는 申請 拒否의 通知가 있을 때 까지 申請書의 謄本을 許可證의 代替物로 使用함을 得함

##### 第六條

가 法律第四號第九條의 二十日은 解約 請求의 到達日로부터 起算함

나 第九條(마)項의 決定은 監督機關이 別表第三號樣式에依한 申請을 受理한 後에 充分 審査하여 決定함 다 雇傭主는 雇傭契約滿了六十日前에 被傭者에 對하여 通知함을 要함

##### 第七條

法律第四號第十三條에 規定한 教育及 保健에 關한 것은 就業時間中 包含되 지 않음

法律第四號第十條(다)項에 依한 指定 工場의 未成年者에 對한 教育及 保健에 關한 事는 別途 部令으로 規定함

##### 第八條

本令及 法律第四號第十五條에 監督機關이 라함은 서울市 및 當該道 勞働局長을 意味함

##### 第九條

左記事項에 關한 別表樣式은 第四號, 第五號, 第六號, 第七號及 第八號와 如시 制定함

가 被傭 未成年者의 名錄 (第十條가 項)

나 就業規則表 (第十條나 項)

다 健康診斷書 (第十一條가 項)

라 違反報告書 (第十二條)

마 違反報告書 (第十八條)

##### 第十條

本令은 公布日로부터 効力이 生함 1947年 9月15日

軍政長官의 指示에 依하여 勞働部長 李大傳

#### ○ 勞働部令第二號 未成年勞働者의 教育及 保健

一 本令은 1947年 5月16日附 法律第四

號(未成年者勞働保護法)第十三條(마)項에 依하여 未成年勞働者의 教育及 保健에 關한 細則을 規定함을 目的으로함 本令은 文敎部及 保健厚生部와 協議下에 規定하였음

二 本令의 規定은 18歲未滿의 未成年者에 對하여 此令을 適用함

三 雇傭主는 二被傭 兒童을 爲하여 左記事項을 準備함을 要함

(가) 工場 作業場에서 勞働하는 兒童을 爲하여 勞働部長이 承認하는 必要한 教育及 保健의 施設

(나) 國民學校及 中學校에 使用하는 文敎部 認定 教科者

(다) 資格이 있는 教師 또는 此와 同等의 實力이 有한 教師(但 教師의 任免은 勞働部長에게 報告함을 要함)

(라) 左記와 如한 三級制의 教育計劃

1, 第一班: 國民學校 第三學年未滿修了者를 教育함

2, 第二班: 國民學校 第三學年以上修了者를 教育함

3, 第三班: 國民學校卒業者를 教育함

四 本令에 添附한 教育及 保健 實施表를 使用함을 要함 (別表樣式)

五 勞働部長은 被傭人의 教育, 運動, 保健에 關하여 監督할 雇傭主는 四個月마다 如斯한 教育, 運動, 保健의 計劃 遂行狀況을 勞働部長에게 報告함을 要함

六 本令에 雇傭主 十人以上의 兒童을 雇傭하는 雇傭主를 意味함 (法律第四號 第十條(마)項參照)

七 本令은 公布日로부터 効力을 發生함 1947年 9月15日

軍政長官의 指示에 依하여 勞働部長 李大傳

(別表樣式)

學級	教育科目	時間	保健科目	時間
第一班	國語、公民、國史、算數、家事及裁縫	四時間以上	體操、音樂	二時間以上
第二班	同上	同上	同上	同上
第三班	算數、公民、初等物	同上	同上	同上
備考	教育實施는 每週四時間以上으로 適宜한 日 時에 實施할 것 保健實施는 每週二時間以上으로 適宜한 日 時에 實施할 것 家事及裁縫은 女子에 限하여 他科目中 一科目을 除外함을 允함			

★ 中央食糧行政規則

○ 食糧規則第一號 夏穀收集

一 目的

本規則의 目的은 1946年 夏 季收穫期부터 秋收期까지의 四個月間 朝鮮에 必要한 食糧을 確保하기 爲하야 夏穀收集에 關한 國家計劃을 完備함에 在함

二 範圍

約 2,094,830石의 夏穀(主로 政府에 依하야 農夫로부터 公正且 正當한 價格으로 購買된)을 收集함을 目標로 하야 如斯히 收集된 夏穀은 政府統制系統을 通하야 朝鮮人에게 配給하려 함 中央食糧行政官은 本收集計劃遂行에 關한 全般의 統轄及 指示의 責任이 有한 道知事는 各其道內에서의 計劃의 成功의 遂行에 對한 責任이 有한 農會物價調整官, 道食糧配給所及 朝鮮政府의 모친 政治機關, 代行機關及 補助機關은 本計劃遂行을 援助協力한 事

三 一般職務及職能

下記一般 職務及 職能이 列記 代行機關에 賦與함

(가) 中央食糧行政處

- 中央食糧行政處는
  - 農務部에 依하야 提供된 生産統計을 基礎로 各道穀物收集割當量을 定할 事
  - 夏穀의 運送及 小賣配給을 爲한 夏穀은 移動을 指示할 事

(나) 道知事

- 各道知事는 府尹, 郡守及 農會及 道食糧配給所 職員의 報告書를 基礎로 하야 夏穀收集割當量을 細別하야 各郡, 府, 邑, 面에 割當할 事
- 府尹, 郡守에 依하야 指定된 倉庫에 對한 割當夏穀의 蓄積及 引渡를 監督할 事
- 收集된 夏穀의 質量品質에 關한 檢査를 監督할 事

(다) 物價調整官, 道食糧配給所

- 農夫가 供出證을 提出할 時는 即時 其代金을 支拂할 事

2. 邑, 面 收集所 로부터 指定倉庫로 夏穀을 運搬할 事
  3. 中央食糧行政官의 指令이 有한 時는 小賣配給을 爲하야 收集된 夏穀을 加工, 貯藏, 移動, 放出할 事
  4. 公正價格으로 夏穀引渡金을 小賣人으로부터 受取한 事
  5. 要求에 따라 報告及 會計를 辦할 事
- 四 第一段階; 收集 準備 各道內의 收集 準備는 各道內의 割當 計劃의 第一段階는 亦이 收獲着手 十日 前에 完了한 事

(가) 實施事項의 說明 郡守, 府尹, 邑長, 面長, 區長及 農會及 道食糧配給所 地方代表人에 對한 道內 實施事項의 說明은 各道知事의 責任임

(나) 夏穀收穫報告及 割當 邑, 面, 區長은 1946年 5月 31日 內로 夏穀收穫豫想報告書를 郡守及 府尹에 提出하야 是時 此報告書를 所屬 道知事에 提出한 事 道知事는 此報告書의 接受와 同時에 該道의 割當量을 所管 各郡, 府에 比例分配 割當할 事 郡守, 府尹은 其割當을 各邑, 面에 割當할 事 邑, 面, 區長은 順次로 其管轄 區域內 各農家에 割當할 事 收集割當量은 各農夫가 次期 農作 播種에 足한 夏穀과 其의 食口로서 當時且 實際로 그와 同居하는 食口에 對하야 各種 夏穀의 綜合量及 夏穀의 總量이 每人 300合을 超過하지 않은 數量의 夏穀을 保有할 事 有하도록 決定할 事 郡守及 府尹은 倉庫를 夏穀 收集所로 指定한 事 此倉庫는 適當히 火災及 盜難에 對하야 防備되어 있고 可된 事 有한 限 各生産 地域의 中心에 位置한 適當한 貯藏場所이 어야 함 夏穀에 對하야 農夫에 支拂한 價格은 新聞紙에 發表되며 各收集地에 郵送된 收集所에서 農民에게 交付使用할 不流通性 供出證 收證三通을 作成할 事 此供出證의 方案, 印刷及 各收集所에 의 分配는 物價調整官及 朝鮮農會의 連帶 責任임 此供出證의 印刷及 分配는 朝鮮農會가 負擔하되 此는 朝鮮政府가 補償함 茲에 規定한 收集은 1946

年 6月 15日 以內에 始作할 事 有하도록 準備을 完了한 事

五 第二段階, 夏穀의 收集

夏穀의 供出證을 包含하는 計劃의 第二段階는 夏穀이 收穫됨과 同時에 始作한 事

(가) 個人所有者 即 農夫의 依한 供出 各個人所有者 即 農夫는 其夏穀 割當量(萬若 希望된 그 以上의 收量)을 그 地域內 指定 收集所에 引渡하고 그 代身 不流通性 供出證을 受取한 事 政府及 是 政府가 權限을 附與한 其 代行機關 以外에 對한 夏穀의 引渡를 禁止함 必矣 然 時는 邑, 面, 區當局은 個人農地에 서 穀物을 收集함을 得함 如斯한 境遇에 此에 依한 引渡 徵收及 勞務은 該農夫에 對하야 支拂할 代金으로부터 控除되며 其金額을 供出證에 記入한 事

(나) 小作人에 依한 供出 各小作人은 其夏穀 割當量(萬若 希望된 그 以上의 數量)을 直接 收集所에 引渡하든지(如斯한 境遇에는 地主에 對하야 歸屬하는 穀物의 數量을 供出證에 記載함) 或은 먼저 正當한 小作料을 地主에게 支拂하든지 然 事

如斯한 境遇에 個人地主가 小作料으로써 夏穀을 受取할 時는 是(此 收入의 根源인 農場數와 關係없이) 自家用으로 當時且 實際 同居하는 食口에 對하야 各種 夏穀의 綜合量及 夏穀의 總量이 每人 300合을 超過하지 않은 數量의 夏穀을 保持함이 許可됨 以上에 對한 超過量은 收集所에 引渡되여야 하며 代價는 公定 價格으로 地主에게 支拂함 地主가 個人이 아닌 境遇는 그가 小作料으로써 受取한 夏穀 總數量(次期 農作 播種을 爲하야 種子로써 必要한 夏穀 數量을 除外함)은 所屬 收集所에 引渡되여야 하며 其 代價는 公定 價格으로 支拂함 政府及 是 政府가 權限을 附與한 其 代行機關 以外에 對한 夏穀의 引渡를 禁止함

(다) 夏穀 檢査, 供出證, 代金 支拂

收集所에 收集된 夏穀의 重量及 等級은 政府의 正規 檢査官에 依하야 檢査되며 現穀物 檢査規則에 依하야 等別된 不流通性 供出證三通은 邑, 面, 區 公務員에 依하야 各收集所에 準備된 供出證 原本은 農夫에게 交付되며 그 는 그 原本을 道食糧配給所에 呈示하고 代金을 受領한 事 寫本一通은 即時 道食糧配給所에 提出되며 他一通은 邑, 面, 區 事務所 供管官 道食糧配給所는 代金을 受取하기 爲하야 農夫로부터 呈示된 供出證 原本과 邑, 面, 區 公務員으로부터 接受한 寫本을 對照하야 兩者 符合할 時는 農夫에게 此에 相當한 金額을 支拂한 後 供出證

에支拂濟라고記入한事 農夫는支拂濟라고記入된供出證原本을保管한事 道知事는上記物에關한代金을農夫에게支拂하기爲하야 道內民間代行機關을包含한其他代行機關을利用할수있을

六 第三段階; 報告及會計

報告及會計를包含한計劃의第三段階는夏穀의收集과同時에始作하고 1946年9月16日以內에完了될

(가) 道內收集報告書

收集期間中每土曜日 邑、面、區長은 所屬郡守, 府尹에게下記種別로

- 1, 所有者即農民으로부터
- 2, 小作人으로부터
- 3, 個人地主로부터
- 4, 法人農場으로부터
- 5, 政府代行機關으로부터
- 6, 其他(名稱을明示한事)로부터

過去七日間에收集한 穀物의數量及種類及每道食糧配給所에引渡된 上記穀物의數量及種類을記入整理한報告書를提出한事 各郡守及府尹은 上記報告書를整理하고 其報告書를 再整理하기爲하야 道知事에게提出하고 道知事는 再整理後 即時中央食糧行政官留意로하야 朝鮮軍政長官에게提出한事 (나) 整理된最後의收集報告書

各郡守及府尹은 邑、面、區長에依하여提出된報告에關하여 整理된最終의收集報告書를 作成하야 1946年9月10日以內로 所屬道知事에 此을提出한事 各道知事는 郡守及府尹의報告書를整理하야 1946年9月16日以內로 中央食糧行政官留意로 軍政長官에게最終의 整理된報告書를提出한事

(나) 附加報告書及計算書 物價調整官, 道食糧配給所及朝鮮農會는 各其事務遂行에關한文書를保管하야 要求가 있을時는 其要求에따라其事務遂行에關한報告書를 提出한事 本規則에依하여 賦與된事務遂行上發生한損失은 政府에依하여 補償될것임으로 그들은그들에依하여 支出金總全部를 會計하여들事

七 夏穀의定義

茲에使用된夏穀은 小麥, 락이쌀, 大麥, 裸麥을意味함

八 特別犯罪의列舉

本規則及如何한法令의 條項이든 制限함이없이 下記事項은特히本規則에違背을宣言함 (가) 邑、面、區長에依하여割當된收集量에屬하는 夏穀의買占, 蓄藏, 不法貯藏, 隱匿又是引渡의故違의不履行 (나) 夏穀收集에關하여 發表된計劃又是此收集에關한軍政府及權限이附與

된其他代行機關에依하여發表된부로그림, 政策, 命令又是要求를妨害又是反對하는行爲

(나) 夏穀의賣渡, 賣渡勸誘, 購買, 購買勸誘又是 公正價格以上の賣買又是其他不法且不正한但夏穀의處理 軍政府의 許可乃至認可가有한時는此限制不在함

(라) 接受, 收集, 檢査, 等別, 貯藏, 保管 運搬 正當한供出證의發行 正當한文書及計算書의保管又是收集부로그림에依하여 引渡된夏穀에關한 代金支拂或은 報告에關한 不履行 又是拒否 其他官吏의非行, 不履行又是故違의職務怠慢

(마) 本規則又是 茲에規定된부로그림의條項을離脫又是 迴避한目的으로하는又是 此와同一한結果를發生하는處分行爲及行動 或은其未遂行爲

九 處罰

本規則條項에違反한者는陸軍占領及判所의判決에依하여其所定刑罰에處함

十 施行期日

本規則은公布日에効力이生함 1946年5月29日 軍政長官의指令에依하여 中央食糧行政官 韓國·부이·廳 美國 法軍 中佐 崔魯·부이·廳

○ 食糧規則第二號 米穀收集

一 目的

本規則의目的은 1946年12月1日부러1947年8月1日까지의八個月間 朝鮮人에 必要한食糧을 確保하기爲하야 米穀收集에關한 國家計劃을 完備한에있을

二 範圍

可能한 最大量의米穀(政府에依하여農家로부터 公正한 價格으로 購買한)을 收集하야 政府統制體系系通하야 朝鮮人에게 配給할을目標로함 中央食糧行政官은 本收集計劃遂行에關한 全般의 統轄及指示의責任이有함 道知事는各道內에서의計劃의成功的遂行에對한責任이有함 農會, 金融組合聯合會, 生活必需品管理局, 道食糧事務所及朝鮮政府의모든 行政機關, 代行機關及補助機關은 此計劃遂行을 援助協力한事

三 一般職務及職權

(가) 中央食糧行政處는 1 農務部에서 提供된 生産統計를基礎로 各道米穀收集割當量을定함 2 米穀의運送及配給을爲한 米穀의移動을指示함

(나) 道知事

各道知事는 1 府尹, 郡守, 島司又是農會及道食糧事務所의報告를 基礎로하야 道米穀收集割當量을 細別하야 各府 郡 島에割當함

2, 府尹, 郡守, 島司에依한 米穀의收集及指定된倉庫에引渡한米穀의貯藏을監督함

3, 收集된 米穀의重量及品質에關한 檢査를監督함

(나) 生活必需品管理局, 道食糧事務所 道食糧事務所는通하야 取扱하는 生活必需品管理局은

- 1, 供出者가 供出證을提出한時는 即時其代金を支拂함
- 2, 區廳, 邑、面收集所로부터 指定倉庫에米穀을運搬함
- 3, 中央食糧行政官의指令이有한時는 配給을爲하야收集된米穀의加工, 貯藏, 移動, 放出을行함
- 4, 公道價格에依한 米穀賣渡代金を配給所로부터受取함
- 5, 要求에따라 報告書及計算書를提出함

四 第一段階; 收集부로그림의準備

各道內의收集부로그림의準備를包含한計劃의 第一段階는 격익도收穫着手二十日전에完了할을要함

(가) 實施事項의說明

府尹, 郡守, 島司, 區、邑、面長又是農會, 金融組合聯合會及道食糧事務所等的地方代表者에對한道內實施事項의說明은 各道知事의責任으로함

(나) 米穀收復報告及割當量

區、邑、面長은 1946年8月30日以內로 米穀收穫豫想報告書를 府尹, 郡守 또는 島司에게提出하야 府尹, 郡守 또는 島司는 即時此報告書를綜合하야 所屬道知事에게提出함 道知事는 此報告書의接受와同時에所管各府, 郡, 島에 該道割當量을此比例配當함 府尹, 郡守, 島司는其割當量을各區、邑、面에配當함 區、邑、面長은 其管轄區域內의各農家에 其割當量을配當함 收集割當量은 各農家の次年度農作期播種에足한米穀과 그의家族으로서 常時且實際로 그와同居하는者에對하야 每人當最小限度 600合의米穀을 保有할수있도록決定한事 個人地主는 小作人으로부터受領한米穀小作料高를 收集所에報告한事

(나) 收集所

府尹, 郡守及島司는 一定한倉庫를米穀收集所로指定함 此倉庫는 火災及盜難에對하야 適當의防備되어있고 또될수있는限 各生産地의中心部에 位置한 適當한場所이어야함

(다) 供出證

米穀收集所에서는 供出者에게交付하기爲하야 不流通性供出證三通式을作成함 此供出證의考案, 印刷及各收集所에의分配는 生活必需品管理局의責任인 此供出證의印刷及分配費用은 生活必需品管理局에서負擔



하며 朝鮮政府가此를補償함 以上收  
集은 1946年9月15日부리 始作함  
있도導 準備은完了함을要함

(아) 價格

米穀에對하야 農家에支拂한代金은  
그標準價格이 新開紙上에發表되며  
各收集地에通知함

五 第二段階; 米穀의收量

米穀의 實際的收集計劃의 第二段階는  
米穀收穫과 同時에始作함

(가) 個人所有者即 自作農家에依한供  
出

個人所有者即自作農家は 그米穀割  
當量(希望에 依하야는 그以上의數  
量)을 該地域內指定收集所에 引渡  
하고 그代身不流通性供出證을 受取  
함 必要한時는 區、邑、面은 自作農  
家로부터 直接米穀을收集함을得함  
如斯한境遇에 그運搬費及勞賃은 그  
農家에支拂한 穀物代金中에서 控除  
되며 其金額을 供出證에 記載함

(나) 小作人에依한供出

地主가個人인境遇에는 小作人은 그  
農地에對한 割當量을 直接收集所에  
供出하고 供出證을受取함 個人地主  
는 小作契約에現物能付其他如何한  
條件이 約定되었을을不拘하고 米  
穀公定價格에依한 代金으로 小作料  
를領收함 個人地主가 家族은 配  
給機關을通知하야 非農家와 同一한方  
式으로 米穀配給을받되 第四條(나)  
項의 規定에依하야 各農家에許與된  
配給量을超過하지못함 地主가 個人  
이아닌境遇에는 小作料로受取한 米  
穀全數量(次年農作期播種을爲하야  
種子로써 必要한 米穀의數量은除外  
함)을 所屬收集所에 引渡하야하야  
其代價는 公定價格에依하야支拂  
함

(다) 米穀生産者는 政府又是政府에서  
權限을附與한 代行機關以外에對하  
야 米穀을賣渡치못함

(라) 米穀檢査、供出證、代金支拂  
收集所에供出된 米穀의 重量及等級  
은 政府의穀物檢査員에依하야 檢査  
되며 現穀物檢査規則에依하야 等別  
을 不流通性供出證三通은 區、邑、面  
의 公務員에依하야 各收集所에準備  
함  
供出證原本은 供出者에게 交付되고  
供出者는 그原本을 道食糧事務所에  
呈示함 代金을受領함 副本一通  
은 道食糧事務所에提出되며 다른  
通은 區廳、邑及面事務所에保管함  
道食糧事務所는 代金을 受領하기爲  
하야 供出者로부터呈示한 供出證原  
本과 區、邑、面의 公務員으로부터  
接受한 副本을對照하야 兩者가符合  
한時는 그代金을支拂한後 供出證에

支拂濟의記載함 農家は 此支拂濟  
의記載한 供出證原本을保管함 通知  
事는 以上供出穀物에對한 代金을支  
拂하기爲하야 道內民間金融機關을  
包含한 各種代行機關을 利用할수있

六 第三段階; 報告及計算

報告及計算을包含한計劃의第三段階는  
米穀의收集과同時에始作되며 1947年  
1月31日以內에完了함

(가) 週間收集報告

收集期間中每土曜日 區、邑、面長  
은 所屬守尹、郡守에게下記種別로

- 1 自作農家로부터
- 2 小作農家로부터
- 3 政府代行機關으로부터
- 4 法人所有의農場으로부터
- 5 其他(名稱을明示함)로부터

過去一週日間에 收集한 米穀의數  
量及每週道食糧事務所에引渡한米穀  
供出量의 報告書를 提出함  
各府尹、郡守及島司는 上記報告書를  
整理하야 其綜合報告書를 通知事  
에게提出하고 通知事는 此를再整  
理한後 直時中央食糧行政官留意로  
하야 軍政長官에게提出함

(나) 最終收集報告

各府尹、郡守及島司는 區、邑、面長  
에依하야提出된 最終收集報告書를  
作成하야 1947年2月10日以內로 所  
屬通知事에게 提出함 各道知事  
는 府尹、郡守及島司의 報告書를  
整理하야 1947年2月20日以內로 中  
央食糧行政官留意로하야 軍政長官  
에게 最終報告書를提出함

(다) 附加報告書及計算書

生活必需品管理局、道食糧事務所、朝  
鮮農會及各金融組合은 其事務所遂行  
에關한 文書을保管하며 要求가有  
할時는 그事務所遂行에關한 報告書  
를 提出함 本規則에依하야 賦  
與된 事務所遂行上生起한損失은 政府  
에依하야 補償된것임으로 그支出된  
金額全部를 計算함

七 輸送

모든米穀輸送은 政府에依하야 統制  
함 權限이賦與된政府代行機關又是政  
府의輸送許可證을所持한者以外는 如  
何한者라도 米穀을輸送하지못함  
但本規則에依하야 收集所에引渡하기  
爲한運送은 此限에不在함

八 犯罪의列舉

本規則及如何한法令의條項이든 罰限  
함이없이 下記事項은 特別本規則에  
違反함을 犯함

(가) 區、邑、面長에依하야 割當된收  
集量에屬하는米穀의隱匿又是 故意  
의供出不履行

(나) 米穀收集에關한 發表된計劃又

는收集에關한軍政廳及批限이附與된  
代行機關이發表한부르그 政策、命  
令又是要求에反對又是妨害하는行爲

(다) 米穀의賣渡、買渡、轉讓、購買、購買  
勸誘又是公定價格以上の買渡 또는  
其他不法且不正한米穀의處分 但軍  
政府의許可乃至認可가有한境遇에는  
此限에不在함

(라) 接受、收集、檢査、等別、保管、運搬  
正當한供出證의發行、正確한文書及  
計算書의保管、收集부르그 政策에依하  
야 引渡된米穀에對한代金支拂或은  
報告의不履行又是拒否 其他官吏의  
非行又是故意의職務怠慢

(마) 本規則又是 本規則에依한부르그  
項의條項을 離脫又是迴避한目的으  
로하는又是此外同一한結果를發生하  
는行爲及은未遂

九 處罰

本規則에違反한者는 陸軍占領地裁判  
所의判決에依하야 其所定刑罰에處함

十 施行期日

本規則은公布日부리 効力이生함  
1946年8月12日  
軍政長官의指令에依하야  
中央食糧行政官 姜魯·부이·현  
美國 陸軍 中佐

○ 食糧規則第三號 中央食糧規

則第二號의改正 (米穀及其他食  
糧收集、小作料支拂手續)

一 目的及範圍

本規則은 1946年8月12日附中央食糧  
規則第二號을改正하야 朝鮮人民에  
게必要한米穀及其他食糧의 小作料  
支拂手續을規定하야 第二號의範圍  
를擴大함을目的으로함

二 第四條(나)項의改正

1946年8月12日附 中央食糧規則第二  
號第四條(나)項은 下記如하히改正함

(나) 米穀收穫報告割當量  
1946年8月30日以內로 區、邑、面長은  
米穀收穫豫想報告書를 府尹又是郡  
守에게提出하며 府尹又是郡守는即  
時此報告書를所屬通知事에게提出함

通知事는 此報告書를接收하는同時  
에 各府、郡에道割當量을比例分配함  
府尹、郡守는 其割當量을各區、邑、面  
에配當함 區、邑、面長은其管轄區域內  
의各農家에其割當量을 配當함 모  
든地主는 小作人으로부터受領한米  
穀小作料의總數量을收集所에報告하  
며 居住의何處를莫論하고 小作人  
全部는列記한 綜合報告書를 地主  
現任所에近接하는 地方金融組合에  
提出함

三 第五條(나)項의改正

1946年8月12日附 中央食糧規則第二

號第五條(나)項은 丁記와 如히 改正함  
 (나) 小作人에 依한 供出  
 各小作人은 그 農地에 對한 剩餘量  
 (其以上所願量)을 直接 其地域의  
 收集所에 供出함  
 但本規定은 1946年6月15日 附 農務部  
 令第二號에 依한 新幹公社小作人의  
 米穀小作料收集에는 適用되지 아니함  
 第五條(라)項의 改正

1946年8月12日 附 中央食糧規則第二  
 號第五條(라)項은 下記와 如히 改正함  
 (라) 米穀檢查 供出證 代金 支拂

(1) 收集所에 供出된 米穀의 重量及 等  
 級은 政府의 穀物檢查員이 檢查하고  
 現穀物檢查規則에 依하여 等別  
 價穀物檢查員은 各收集所에서 檢  
 查證을 發行함

而 賦及 邑, 面의 公務員은 各收集所에  
 서 不檢 供出證 三通을 準備하여야  
 함 小作人이 米穀小作料을 直接 收  
 集所에 供出하는 境遇以外에는 接  
 受한 本穀全額에 對한 供出證 原本은 供  
 出者에게 交付되며 供出者는 그 原  
 本을 그 食糧事務所에 呈示하고 代金  
 을 受領함 李 副本一通은 即時 該食糧  
 事務所에 提出하고 다른 一通은 區  
 廳, 邑, 面 事務所에 供出함 該食糧事  
 務所는 代金을 受領하기 爲하여 供出  
 者가 呈示한 供出證 原本과 區廳及 邑,  
 面의 公務員으로부터 接受한 副本  
 을 對照하여 兩者가 符合하는 境遇  
 에는 그 代金을 支拂하고 供出證에  
 「支拂濟」라 記載함

農夫는 此支拂濟라 記載한 供出證  
 原本을 保管함  
 道知事는 以上의 供出穀物에 對한 代  
 金을 支拂하기 爲하여 道內 民間 金融  
 機關을 包含한 各種 代行 機關을 利用  
 할 수 있음 小作人이 米穀小作料을 收  
 集所에 供出하는 境遇에 其手續은 如  
 下함

- 1 供出證은 地主가 義로 作成됨
- 2 副本一通은, 即時 該食糧事務所에 提  
 出하고 다른 一通은 區廳及 邑, 面 事  
 務所에 保管함
- 3 供出證 原本은 收集官員이 收集所에  
 保管함
- 4 本令 第二條(나)에 依하여 地主가 受  
 領한 米穀小作料의 報告書에 따라 各小  
 作人이 地主에게 支拂한 米穀小作料  
 의 全數를 收集所에 供出한 境遇에는  
 供出證 原本 全部를 地主에게 附與한  
 米穀小作料에 對하여 小作人에게 發  
 行한 檢查證은 該米穀을 收集所에 供  
 出한 證據가 됨  
 該供出로서 小作料 契約或은 其他 協  
 定의 規約 如何否 莫論하고 小作人은  
 地主에 對하여 何等 小作料을 支拂한

義를 가 함  
 (2) 政府가 所有 又는 管理하는 法人이 地  
 主인 境遇에는 地主와 中央食糧行政  
 處間에 別途 支拂手續을 規定함  
 其他 모든 地主는 本法의 現行所에 各  
 該接近한 金融組合에 그 小作人 全部  
 가 供出한 米穀 供出證을 提出함으로  
 써 受領한 小作料 全額에 代身하는 代金  
 을 受領함

(가) 地方 金融組合은  
 (1) 地主가 이미 金融組合에 提出한 綜  
 合 報告書와 該供出證을 比較 檢査함  
 (2) 道內에 居住하는 地主의 小作人  
 全部로부터 提出한 供出證은 道 財務  
 局에 提出하여 檢證 承認을 受함

(나) 道 財務局은  
 (1) 供出證의 効力을 檢査함  
 (2) 該供出證을 課稅 察假及 土地 察假  
 와 比較하여 該供出證이 道內에 居  
 住하는 該地主의 全小作人으로부터  
 의 米穀小作料 供出證인 否를 檢査함

地主가 受領한 代金總額

20,000圓	—	25,000圓
25,001圓	—	30,000圓
30,001圓	—	40,000圓
40,001圓	—	50,000圓
50,001圓	—	75,000圓
75,001圓	—	100,000圓
100,001圓	—	150,000圓
150,001圓	—	200,000圓
200,001圓	—	300,000圓
300,001圓	—	400,000圓
400,001圓	—	500,000圓
500,001圓	—	1,000,000圓
1,000,000圓	—	以上

(라) 該封鎖 勸定의 引出은 下記 境遇  
 에 限함

- (1) 納稅은 爲하여 課稅 當局宛의 小  
 切手로 서
- (2) 朝鮮政府 財務部에서 미리 函面으  
 로 特別 承認 目的을 爲하여
- (3) 上記 1, 2에 加하여 元金 5萬圓 以上의  
 封鎖 勸定에 있어 每月 引出 5千圓  
 과 5萬圓 超過額의 五分 分의 兩者中 多  
 額者 但 該引出 總額은 5萬圓 超過額의  
 二割을 超過함을 禁함

五 米穀以外 食糧의 小作料 支拂手續  
 小作料은 豆類 又는 米穀 以外의 穀類  
 又는 夏穀으로 써 支拂한 境遇에는 各  
 小作人은 其 穀品 小作料을 (及其 以上  
 의 所願量을) 所屬 地域의 指定 米穀 收  
 集所에 直接 供出함 1946年8月12日  
 附 中央食糧規則 第二號의 모든 規定은  
 本令에 依하여 改正된 條로 必要한 變更

(3) 地主가 提出한 供出證이 明示하는  
 米穀 總量의 金額 (政府 制定의 公定 價  
 格에 依함)은 朝鮮政府 財務部 國庫  
 局에 報告함

(4) 「支拂許可」라 記載한 供出證을 傳  
 達 士나 留郵 便으로 地方 金融組合  
 에 遞付함  
 如何한 境遇에 莫論하고 「支拂許可」  
 라 記載한 供出證을 地主에게 附與함  
 을 禁함

(다) 如何한 地主이든지 米穀 小作料 供  
 出證 全部가 「支拂許可」라 는 記載을  
 받아 道 財務局으로부터 遞付된 時에  
 地方 金融組合은 公定 價格에 依하여  
 米穀 代金을 下記에 依하여 地主에게  
 支拂함

(1) 2圓 以下는 法貨로 支拂함  
 (2) 2圓 以上은 一部는 法貨로 支拂  
 함 다른 一部는 住所에 가까운 金融  
 組合에 地主가 義의 封鎖 勸定 金額  
 으로 下記에 依하여 預置함

封鎖 勸定 預金額

20,000圓	超過額의 2割
1,000圓 + 25,000圓	超過額의 2割 5分
2,250圓 + 30,000圓	超過額의 3割
5,250圓 + 40,000圓	超過額의 4割
9,250圓 + 50,000圓	超過額의 5割
21,750圓 + 75,000圓	超過額의 6割
36,750圓 + 100,000圓	超過額의 7割 5分
74,250圓 + 150,000圓	超過額의 8割 5分
116,750圓 + 200,000圓	超過額의 9割 5分
211,750圓 + 300,000圓	超過額의 9割 7分
308,750圓 + 400,000圓	超過額의 9割 8分
406,750圓 + 500,000圓	超過額의 9割 9分
地主가 受領하는 代金總額의 9割 + 1,750圓	

을 加하여 該穀物 小作料에 適用함  
 六 施行 期日

本規則은 公布 日로부터 効함  
 1946年9月23日  
 軍政 長官의 指令에 依하여  
 中央食糧 行政官, 曁 李•부이•힐

○ 食糧規則 第四號 小作料 支拂手續  
 續 (中央食糧規則 第三號의 改正)

小作料 支拂手續

一 目的  
 本規則은 米穀 收集令에 施行되는 小  
 作料 支拂手續의 改正을 目的으로 함

二 小作料 支拂

1946年8月12日 附 中央食糧規則 第二號  
 第五項을 改正한 1946年9月23日 附 中央  
 食糧規則 第三號 第四項을 左와 如히 改正  
 함

「四、五(라)項을改正한 1946年8月12日附中央食糧規則第二號의五(라)項을左記와如히改正함

(라)米穀檢查, 供出證, 代金支拂

(1) 收集所에供出된 米穀의重量及等級은 政府의穀物檢查員이 檢查하고 現行穀物檢查規則에依하여 等別한 穀物檢查員은 各收集所에서 檢查證을發行함

邑, 面又是町會區은 各收集所에서 不流通性供出證三通을準備함

小作人이 米穀小作料을 直接收集所에供出하는 境遇以外에는 接受한米穀全部에對한 供出證原本은 供出者에게 此證交付하고 供出者는 그原本을 道食糧事務所에 呈示하여 代金을 受領함

副本一通은 即時道食糧事務所에 提出하고 남은一通은邑, 面又是町會事務所에保管함

道食糧事務所는 供出者가呈示하는 供出證原本과邑, 面又是 町會公務員으로부터 接受한副本을對照하여 兩者가符合한境遇에는 그代金을 支拂하고 供出證에支拂濟의記載함

小作人이 米穀小作料을 收集所에供出하는 境遇에는 其手續은如左함

(가) 供出證은 地主名義로作成함

(나) 副本一通은 即時食糧事務所에提出하고 다른一通은邑, 面又是町會事務所에保管함

(다) 供出證原本은 收集官員이 收集所에保管하였다가 地主의要求가有할 時는 地主에게 此證交付함

本規則施行期日以前에 供出한米穀小作料供出證原本은 地主의要求에따라 此證地主에게交付함

米穀小作料을供出한後 小作人에게 交付한檢查證은 該米穀을 收集所에 供出한證據가되여 該供出으로써 小作人은 小作料契約或은 其他協定の規約如何를 莫論하고 地主에게現物小作料을 支拂한義務을免함

(2) 新韓公社道支店이 道食糧事務所에呈示하여 檢證을受함

道食糧事務所의 各事務所는 以上の 檢證을受한 供出證에基礎한 記錄을 保管하고 또는 新韓公社에對하여 檢證을受한 會計錄을 生活品道管理局에서事務所에 傳送하며 該會計記錄의寫本을 新韓公社道支店에 交付함

生活品管理局은 該局과 新韓公社間에 協定한支拂期日表에依하여 檢證된會計記錄에 表示한 米穀小作料代金을 서울本部에서 公定價格으로 新韓公社에支拂함

(3) 政府가所有하는 管理하는法人을 包含한 其他의모든地主는 米穀小作

料의 供出證原本을 어느地方(承租合에든지)提出함을得함

地方金融組合은 該供出證을 所屬道食糧事務所에서 檢證한後 檢證한 供出證에 表示한米穀小作料代金 金額을 公定價格으로 地主에게支拂함

(4) 1946年9月23日附中央食糧規則第三號規定에依하여 封鎖되었던勸定은本規則施行期日以後에 制限없이 此證引出함을得함

三 米穀以外の食糧의小作料支拂手續에 適用함

以上の改正은 必要한變更을加하여 1946年9月23日附中央食糧規則 第三號第五項에 規定한米穀以外食糧의小作料支拂手續에適用함

四 施行期日

本規則은 公布日로부터有効함  
1947年3月26日

軍政長官의指令에依하여  
中央食糧行政官 池 鎔 殷  
中央食糧行政官 顧 問 金 斗 淳

○ 食糧規則第五號 夏穀收集

一 目的

本規則은 1947年4月19日附 朝鮮過渡立法議院制定 法律第二號에依하여 1947年夏穀收集을 實施함으로써 目的한 前記法律第二號의內容은如左함

第一條

中央食糧行政處夏穀收集草案은 本令第二條要綱에依한 修正을加하여 施行規程을決議함 同修要綱은 同時에 發布하는 收集令의一部가됨

第二條 修正要綱

(가) 夏穀은朝鮮在來의 農村農政인實情을考察하여 總生産額의 五分之一以內程度에서 收集하되 實態調査를 正確히하여 無理한 供出割當이 없도록할것

(나) 割當의公平을期하기爲하여 邑, 面長은 洞里單位로査定委員會를 設置하여 各農家生産豫想高에對한正確與否를審査할것

(다) 收集方法是 壓服의手段을禁하고 地方行政吏員안총動員하여 積極的으로農民의良心的 供出豫想을 鼓吹하여 農民의祖國에對한義務感에서 供出하는方法을講究實施할것 但中央食糧規則第五號 「夏穀收集令」에規定한割當은 當然히 法에依하여 官憲에依하여實施함

(라) 夏穀價格은 生産費, 最近物價指數等을參酌하여 適當한 收集價格을決定할것

(마) 供出한農民에게는 生活必需品配給에對한 優先權을 特許할것

(바) 收集된 夏穀은 適當히保管되어

야하며 또한糶造, 納庫及管理에對하여 適當히設備함

一 一般

政府統制機關을通하여 朝鮮人民에게 配給한目的으로 夏穀을收集(政府가農家로부터買上)함을目標로한 中央食糧行政處는 收集計劃遂行의 全般의統轄及指揮의責任이有함

道知事는 各所管道內에서 此計劃을 完遂한責任이有함

朝鮮農會, 新韓公社, 金融組合聯合會, 生活必需品管理局, 道食糧事務所及朝鮮政府所屬의各行敎機關, 代行機關及事業機關等은 本收集計劃遂行에對하여 援助協力함을要함

三 夏穀의定義

本規則에 夏穀이라함은 小麥, 大麥, 라이麥及裸麥을意味함

四 一般職務及機能

左記一般職務及機能을 各指定機關에賦與함

가 中央食糧行政處

1 中央食糧行政處는 農務部와 協議하여 各道知事가提出한 意見을考慮한後 道別夏穀割當量을配定함 但道割當量의總計는 1947年度夏穀生産總豫想高의 20%을 超過하지않음을要함

2 夏穀搬出量을定하고 一切의 夏穀의 移動及配給을爲한 放出을指揮함 道知事

1 道知事는 府尹, 郡守, 農會長及 道食糧事務所長의 調査報告를 基礎로하여 道夏穀收集割當量을 各府, 郡, 邑, 面及其에 細別割當함 此割當量은 年別公示함을要함

2 府尹及郡守가 指定한倉庫에對한 夏穀의 收集及搬出을監督함

3 收集된夏穀의 重量及品質에關한 檢査를監督함

4 道에割當된收集量과 搬出量의完遂及管下行政官으로하여금 全的으로協力시킴에對한責任을負擔함

5 收集에對하여는 可及의一般行政官을動員하고 違反者가 有할時는 此를告發함

나 生活必需品管理局及道食糧事務所 生活必需品 委員會은 道食糧事務所를通하여

1 供出證의表示가有할時는 農夫에게 即時其代金을支拂함

2 各邑, 面收集所로부터 指定倉庫에 夏穀을運搬함

3 中央食糧行政官의指令을받어 收集된夏穀을配給하기爲하여 加工, 貯藏, 運搬及放出을行함

4 夏穀賣渡金을領收함

5 指示에依하여 報告書及計算冊을提出함

다 新韓公社

1 新韓公社는 收集量査定의 目的으로 地方行政官과協力하여 所管小作人의 夏穀生産豫高를決定함

各農地에對한 割當의 最低의 決定은 行政官이 此를 行함

2 新韓公社의 小作人에對한 全割當量에對하여서는 公的收集代行機關으로서 行動하며 道食糧事務所에 迅速히 收集된 穀物을 引渡함

3 同社所有倉庫中에서 收集所로 適當한 것을 郡守及邑, 面長에게 推薦함

五 第一段階; 收集計劃의 作成  
各道內에서 的 收集計劃을 作成을 包含한 計劃의 第一段階는 늦어도 夏穀收穫着手 10 日前에 完了함을 要함

가 實施細目의 說明

各道知事는 府尹, 郡守及邑, 面, 區長 警察當局 및 朝鮮農會, 新韓公社, 金融組合聯合會及 道食糧事務所等의 代表者에게 道內實施細目을 說明한 責任이 有함

나 夏穀收集量割當

1 各道知事는 中央食糧行政處로부터 夏穀收集量의 割當을 受한 時는 管內各府, 郡에 此를 割當함

府尹, 郡守는 迅速히 各邑, 面及 區의 割當量을 決定함 邑, 面及 區長은 늦어도 夏穀收穫期 10 日以前에 管內各農地에對한 割當通知書를 發行함은 勿論 各農民의 姓名及其 割當量의 一覽表를 作成하여 明瞭히 公示하며 各農民의 收集所에對한 其 割當量을 引渡完了日字를 其表에 記入함을 要함

2 各農家에對한 收集割當量은 其農家의 夏穀生産豫想高, 次期種子所 要量及 實際同居家族食糧所 要量等을 考慮한 後 決定함

3 各邑, 面, 區長은 査定委員會(各委員은 名譽職으로 함)를 組織함 此委員會는 不當한 收集割當을 受는 農民의 異議를 審査하여 當該邑, 面, 區長에게 此에 關한 意見書를 提出함

다 收集所

1 府尹及郡守는 一定한 倉庫를 夏穀 收集所로 指定함 此等倉庫는 火災及 盜難에對하여 適當히 防護되어 있고 交通이 便利하고 可能한 限 各生産地의 精米所에 接近하는 保管에 適當한 場所이어야 함

2 各地方廳이 新韓公社倉庫 또는 朝鮮農會倉庫를 指定하여 收集所로 使用할 時는 必히 最少限度一名의 地方廳官史가 收集所에 出張하여 收集에 參加하여야 함

3 前二項에 指定된 倉庫에 收集 又は 貯藏된 夏穀은 道食糧事務所가 此를

管理하고 中央食糧行政處의 計劃及 政策에 依하여 配給함

라 夏穀檢査

政府의 穀物檢査官은 收集所에 出荷된 夏穀의 重量及 品質을 檢査하며 現行檢査規則에 依하여 等別을 定함

穀物檢査官은 穀物檢査證의 正本을 農民에게 交付하고 副本은 此를 保管함

마 供出證及代金支拂

收集所에서 使用함 不流通性 供出證 三通을 準備함 該供出證의 樣式을 決定하여 印刷하고 此를 收集所에 配布함은 生活必需品管理局의 責任임

生活必需品管理局은 該供出證印刷費及 分配費用을 負擔하고 朝鮮政府는 此를 補償함

本規則에 規定된 收集이 1947年 6月 15 日以前에 開始되도록 모든 準備을 完了하여야 함

各收集所에 勤務하는 邑 또는 區의 公務員은 三通의 供出證을 作成하여 原本은 農民에게 交付하고 第一副本은 道食糧事務所 代表에게 交付하고 第二副本은 邑, 面, 區事務所에 此를 保管함

道食糧事務所 代表는 收集所에 出張하여 即時代金을 農民에게 支拂하고 供出證原本에 支拂濟日記載한 後 農民에게 此를 還付함

바 價格

農民에게 支拂한 夏穀價格을 各收集所에 明瞭히 揭示함을 要함 此價格은 一般物買水準과 夏穀生産費等을 參照하여 定함

夏穀收集에 協助한 農民에게 獎勵物資를 可能한 限 配給할 豫定임

六 第二段階

夏穀의 實際收集을 包含한 收集計劃의 第二段階는 夏穀의 收穫과 同時에 開始함

가 割當된 穀物의 引渡及 引渡에 不應한 穀物의 押收

割當된 穀物은 全部 1947年 9月 1 日以前에 收集所에 引渡함을 要함 1947年 8月 1 日까지 引渡하지 않는 모든 割當된 穀物은 政府가 此를 押收함

政府는 自由裁量에 依하여 押收된 穀物代金의 一部 또는 全部를 支拂할 수 있음

나 個人自作農家의 引渡(供出)

各個人自作農家는 그 夏穀割當量(希望에 依하여는 그 以上의 數量)을 그 地域內의 指定收集所에 引渡하고 不流通性 供出證을 受取함

政府 또는 政府가 認定한 代行機關 以外의 者의 夏穀의 買賣及 移轉을 禁止함 必要한 豫備에는 邑, 面, 區長은 直接 各個農場에서 夏穀을 收集함을 得함

如 斯한 豫備에 其 運搬費及 勞費은

其 農家에 支拂한 穀物代金中에서 控除되며 此金額을 供出證에 記載함

다 小作農家의 引渡(供出)  
小作農은 其 農地의 割當量을 直接 收集所에 引渡하고 不流通性 供出證을 受取함

個人地主 又は 法人地主는 小作契約에 現物納付에 依한 如何한 條件이 約定되어 있을 을 不問하고 該穀物 公定價格에 依한 代金으로 小作料를 受領함

個人地主 및 其 家族은 所定 配給機關을 通知하여 非農家와 同一한 方式으로 夏穀의 配給을 受함

七 第三段階; 報告及 計算  
報告及 計算을 包含한, 收集計劃의 第三段階는 夏穀의 收集과 同時에 開始하여 1947年 9月 20 日以前에 完了함을 要함

가 週間收集報告  
收集期間中 每土曜日 邑, 面及 區는 所屬府尹, 郡守에게 下記 種別로

1 自作農家으로부터  
2 小作農家으로부터  
3 其他(名稱을 明記함)로부터

過去 七日間 收集한 穀物의 種別及 數量과 同週間에 道食糧事務所에 引渡한 穀物의 種別과 數量을 表示하는 整理報告書를 提出함

各府尹及 郡守는 上記報告書를 整理하여 其 綜合報告書를 道知事에게 提出하고 道知事는 更히 此를 整理하여 即時 中央食糧行政官에게 提出함

나 最終收集報告  
1 各府尹及 郡守는 邑, 面, 區長이 提出한 報告書를 最終으로 整理한 報告書를 作成하여 1947年 9月 10 日以前에 所屬道知事에게 到着되도록 該報告書를 提出함

各道知事는 各府及 郡의 報告書를 整理하여 1947年 9月 20 日以前에 中央食糧行政處에 到着되도록 最終整理報告書를 提出함

2 各邑, 面及 區長은 夏穀收集割當量을 引渡하지 못한 各農家에 關하여 下記 各項을 記入한 報告書를 作成하여 늦어도 1947年 9月 10 日까지 各郡守, 府尹에게 到着하도록 提出함

가 姓名  
나 住所  
다 夏穀割當量

2 政府에 引渡한 夏穀量  
郡守, 府尹은 上記事實을 調査하여 違反者에對하여는 適切한 措施를 取함을 要함

다 附加報告書及 計算書  
生活必需品管理局, 道食糧事務所, 朝鮮農會, 新韓公社及 金融組合聯合會는 各其事務所에 關한 文書를 保管하여 要求가 有할 時는 其事務所에 關한 報告書를 提出함

本規則에依한 事務取扱으로 因하여 生計支出은 朝鮮政府에서 補償함으로 各其支出한 모은金額을計算함을 要함

라 政府及法人地主의記錄及報告 夏穀을生産하는農地는 所有又是管理하는 新韓公社其他法人地主及政府의各部,處, 代行機關及事業機關은 本規則에依하여 各其小作人이引渡한夏穀의詳細한記錄을保管함 權限은有한官憲은 隨時로 該記錄을檢閱함을得함

八 運 搬 一切의夏穀運搬은 政府가管轄함 權限은有한政府代行機關以外의者는夏穀을 運搬하지못함 但本規則에規定된 收集所에의夏穀運搬은此限에不在함

九 特定犯罪의列舉 本規則又是其他 法令의規定에制限됨이없이 下記事項은 特히本規則의 違反으로宣旨함

가 區,邑及面長이割當한夏穀의死藏, 不法貯藏, 隱匿又是引渡不應行爲(非合法的手段으로 夏穀을入手, 所有한者에對하여는 其夏穀을 全部沒收함)

나 政府의承認或은 許可없이 又是公定價格에違反한夏穀의販賣, 販買의 申込, 讓渡, 讓渡의申込, 買入 또는 買入의申込 又是其他違法 또는 不適當한夏穀의買賣取引

다 收集計劃에依하여 指定된夏穀에 關한收納, 收集, 檢査, 割當量의適當한配定, 貯藏, 等別, 保管, 運搬, 適當한供出證發行, 精確한記錄及計算書의保管, 代金支拂 또는 報告等의不履行又是拒否 其他此에關한公務上의 非行及失策又是故違의職務怠慢

라 本規則의規定을 離脫或은 回避할 目的으로하는 又是 如斯한效果를招來하는行爲及其未遂

十 處 罰 本規則에違反한者는 陸軍占領區條例의判決에依하여 其所定刑罰에處함

十一 中央食糧規則第一號의廢止 1946年5月29日附 中央食糧規則第一號는此號廢止함

十二 施行期日 本規則은 公布日로부터 施行함 1947年5月8日 軍政長官의指令에依하여 中央食糧行政處長 池 鎔 殷 同 顧 問 커름·부이·힐

○ 食糧規則第六號 米穀收集案

1946年5月28日附 法令第九十號第五條에依하여 本規則을制定發布한 一 目 的

本規則은 1947年秋期로부터 1948年初期에亘하여 米穀收集을 實施함을目的함

二 範 圍

政府統制機關을通하여 北緯三八度以南의 朝鮮人民에게 配給할目的으로 米穀을 收集(政,가 農家로부터買上)함을 目標로함

中央食糧行政處는 收集計劃遂行의 全般의統轄及指揮의責任이有함

通知事는 各所管道內에서 此計劃을完遂할 責任이有함

朝鮮農會, 新韓公社, 企鵝組合聯合會, 生活品管理局, 道食糧事務所及朝鮮政府所屬의 各行政機關, 代行機關及事業機關等은 本收集計劃遂行에對하여 援助協力함을要함

三 一般職務及機能

一般職務及機能을下記各指定機關에附與함

가 中央食糧行政處

1 中央食糧行政處는 農務部와協議하여 各道別米穀割當量을配定함

2 米穀搬出量을定하고 一切의米穀의移動及配給을爲한放출을指揮함

나 通知事

1 各道知事는 道米穀收集割當量을 府郡에公正의司割當함

2 道에割當된收集量을搬出量의完遂와 管下行政官으로써全的으로協力시킴에對한 責任을負擔함

3 違反者가有할時는此를告發함

4 米穀의收集과 貯藏及郡守가指定한倉庫에對한引渡를監督함

5 收集된米穀의重量及品質에關한檢査를監督함

다 生活品管理局及道食糧事務所 生活品管理局은 道食糧事務所를通하여

1 供出者가 供出證을提出하면 即時其代金을支拂함

2 各邑, 面收集所及新韓公社收集所로부터 指定倉庫外精米所及搬出場所로米穀을運搬함

3 中央食糧行政官의指令을받아 收集된米穀을 配給하기爲하여 加工, 貯藏, 運搬及放출함

4 米穀의政府買渡金을領受함

5 指示에依하여 報告書及計算書를提出함

라 新韓公社

1 米穀供出量을割當키爲하여 地方官吏와協力하여 그小作人의米穀收穫豫想高是作成함 但各農地에對한 決定的割當은 行政官이決定함 新韓公社出張所는 各邑, 面, 區長에게그管轄小作人의 住所, 氏名表를提出함 그小作人에對한割當量이決定되는때로 地方官吏는 各小作人에對한割當量을 表에記入하여 新出

韓公社張所에還付함

2 新韓公社는新韓公社小作人이 小作하는新韓公社土地及 其他土地에對한全米穀割當量에對하여 政府의 收集代行機關으로써行行動함

收集한米穀은 道食糧事務所에引渡함 同事務所는新韓公社收集所로부터 迅速히此米穀을搬할 責任이有함 道食糧事務所는專屬으로 新韓公社收集所에穀物檢査員을 派遣할것이며道食糧事務所는 供出證을發行하고米穀代金을支拂하기爲하여 各新韓公社收集所에專屬職員을派遣함

3 新韓公社小作人은新韓公社收集所를 指定管理하며 道는新韓公社가管理하고있는收集所를 政府收集所로指定함

4 新韓公社收集所近處에 居住차는 新韓公社小作人의米穀收集의便宜을圖謀하여 府屬又是業務所에서 政府收集所에 一名以上의新韓公社職員을 配置함을得함 그職員은新韓公社小作人에對한米穀收集을 援助할것이며 新韓公社小作人이供出하는 米穀量을記錄함

5 小作人으로부터 新韓公社小作料를 現金으로徵收함

新韓公社小作人으로부터 收集된 米穀은 小作人이納付한 全米穀을包含한 小作人은그全量에對하여 道食糧事務所로부터 代金을領受함 新韓公社小作料에對한 小作人의現金支拂은 米穀收集과는 全然別個로取扱함

6 新韓公社는 小作人과交換키爲하여 新韓公社指定採種畝에서 產出한 又是新韓公社收集所에서 納受한 米穀中에서 優良한種子米5萬石(租穀)以內을保有함을得함 收集된種子用米穀量을 各郡食糧事務所에報告함

那은 此數量을 既收集量으로計算하고 種子交換後 新韓公社는 此를 追納한것임

7 米穀收集費用의徵收는 配置함 此에對하여는 適當한補償方法이規定 될것임

四 第一段階; 收集計劃의作成

各道內에서의 收集計劃作成을包含한 計劃의第一段階는 늦어도米穀收穫着手10日前에 完了함을要함

가 實施期日의說明

各道知事는 府尹, 郡守及邑, 面, 區長, 警察當局又是新韓農會, 新韓公社, 企鵝組合聯合會及道食糧事務所等의地方代表者에 道內實施期日을 說明할責任이有함

나 米穀收集量割當

1 各道知事는 中央食糧行政處로부터

리 米穀收集의 割當通知를 受할 때는 管下各郡, 府에 此를 迅速히 緘別割當 할

府尹, 郡守는 迅速히 各邑, 面及區의 割當量을 決定할

邑, 面及區長은 늦어도 米穀收穫期 10日以前에 各農地에 對한 割當通知 書를 發給하는 勿論 各農民의 姓名及其 割當量의 一覽表를 作成하여 明瞭히 公示하고 各農民이 收集所에 其 割當 量을 出荷完了한 日字을 其表에 記入 할 要함

2, 各農家에 對한 收集割當量은 各洞 里에 府, 邑, 面長이 設置한 公平한 委員會(名譽職)의 推薦書에 基準할 것 이며 其農民의 米穀生産豫想高, 種子 所要量及 實際同居家族의 食糧所要量 等을 考慮한 後 決定함

3, 各邑, 面, 區長은 審査委員會(各 委員은 名譽職으로 함)을 組織함

此委員會는 不當한 收集割當을 받 은 農民의 異議를 審査함 委員會는 異議의 可否를 決定하며 其 割當量을 變更할 權限이 有함 委員會는 官吏와 民間有力者로 組織하며 委員長은 邑, 面, 區長이 됨

다 收集所

1, 府尹及郡守는 一定한 倉庫를 米穀 收集所로 指定함

此等倉庫는 火災及 盜難에 對하여 適當히 防備되어 있고 交通이 便利하고 可能한 限 各生産地精米所에 接近할 要함

2, 指定된 倉庫에 收集 또는 貯藏된 米穀은 道食糧事務所가 此를 管理하고 中央食糧行政處의 計劃及 政策에 依하여 配給함

라 米穀檢査

政府의 正規穀物檢査官은 收集에 出 荷된 米穀의 重量及 品質을 檢査하고 現行檢査規則에 依하여 等別을 定한 穀物檢査官은 穀物檢査證의 正本을 農民에게 交付하고 副本은 此를 保管함

마 供出證及 代金支拂

收集所에서 使用할 不流通性 供出證 各三通式을 準備함 該供出證의 樣式을 決定하여 印刷하고 此를 收集所에 配布함은 生必品管理局의 責任임 生必品管理局은 該供出證印刷費及 分配費用을 負擔하고 朝鮮政府는 此를 補償함

本規則에 規定된 收集이 1947年10月 1日以前에 開始되도록 모든 準備을 完了하여야 함 各收集所에 勤務하는 邑, 面及 區의 公務員은 三通의 供出 證을 作成하여 原本은 農民에게 交付 하고 第一副本은 道食糧事務所代表 에게 交付하고 第二副本은 邑, 面, 區

事務所에 此를 保管함 道食糧事務所 代表는 收集所에 出證하여 即時代金을 農民에게 支拂하고 供出證原本에 「支拂濟」라 記載한 後 農民에게 此를 還付함

바 價 格

農民에게 支拂한 米穀價格은 各收集 所에 明瞭히 揭示함을 要함 此價格은 一般物價水準과 米穀生産費等을 參 酌하여 定함

五 第二段階

米穀의 實際收集을 包含한 收集計劃의 第 二段階는 米穀의 收穫과 同時에 開始됨 各 割當된 米穀의 引渡及 引渡에 不應한 米穀의 押收

割當된 米穀은 全部 1948年1月15日 以前에 收集所에 引渡함을 要함 1948年1月15日까지 引渡하지 않은 모 割當된 米穀은 政府가 此를 押收하 고 所定價格의 半額을 支拂함

나 個人自作農家의 供出

各個人自作農家는 自己米穀割當量(希 望에 依하여 그 以上의 數量)을 그 地域 內의 指定收集所에 引渡하고 不流通 性 供出證을 受取함

政府 또는 政府代行機關以外의 者의 米穀의 賣買及 移動을 禁止함

다 小作農家의 供出

小作農家는 自己米穀割當量을 直接 收集所에 引渡하고 不流通性 供出證 을 受取함

個人地主及 法人地主는 小作契約에 現物納付에 依한 如何한 條件이 約定 되어 있음을 不問하고 該米穀所定價 格에 依한 代金을 小作料로 受領할 專 個人地主及 家族은 配給機關을 通 하여 非農家와 同一한 方式으로 米穀 의 配給을 受함

六 運 搬

一切의 米穀運搬은 政府가 管理함 米穀 收集及 配給所에 의 米穀運搬을 除外하 고는 米穀運搬은 權限을 保有하는 政府 代行機關以外의 者는 不可能함 無許可로 運搬한 米穀이나 配給所以外 에서 販賣하는 米穀은 押收하여 道食糧 事務所에 引渡하고 配給米로 提供함

七 第三段階: 報告及 計算

報告及 計算을 包含한 收集計劃의 第三 段階는 米穀의 收集과 同時에 開始하여 1948年3月10日 以內로 完了함을 要함 各 生必品管理局의 收集報告

收集期限中 每土曜日마다 生必品管 理局은 其間各道食糧事務所가 買上 한 米糧量을 石으로 表示하여 中央食 糧行政處에 報告함 每月10日, 20日及 30日의 報告에는 各道의 府, 郡에서 買 上한 米穀量까지도 明示함 1948年3月10日 最後의 報告書를 提出 함

다 供出未完了者報告

各邑, 面及 區長은 米穀收集割當量을 供出하지 않은 各農家에 關하여 左記各 項을 記入한 報告書를 作成하여 늦어 드 1948年1月20日까지 到着하도록 各郡守, 府尹에게 報告書를 提出함을 要함

- 1, 姓名
- 2, 住所
- 3, 米穀割當量
- 4, 政府에 供出한 米穀量

府尹及郡守는 1948年1月15日 까지의 供出未完了者에 對하여 適切한 措置를 取함을 要함

라 附加報告書及 計算書

生必品管理局, 道食糧事務所, 朝鮮農 會及 金融組合聯合會는 各自事務所 遂行에 關한 文書를 保存하며 要求가 有 할 時는 其事務所遂行에 關한 報告書를 提出함 本規則에 依한 事務取扱으로 因 하여 生하는 損害는 朝鮮政府에서 補償할 것임으로 各自가 支出한 모든 金 額을 計算함을 要함

마 政府及 法人地主의 記錄及 報告

米穀을 生産하는 農地는 所有 또는 管理 하는 新韓公社其他 法人地主及 政府各 郡處, 代行機關及 事業機關은 本規則 에 依하여 各自의 小作人이 供出한 米 穀의 詳細한 記錄을 保管함 權限을 有한 官憲은 隨時로 該記錄을 檢閲함을 得함

八 特別犯罪의 列舉

本規則 또는 其他法令의 規定에 制限되지 않고 下記事項을 特別犯罪으로 宣言함 各 邑, 面及 區長이 割當한 米穀의 死 藏, 不法貯藏, 隱匿 또는 引渡에 不應行 爲(非法의 手段으로 米穀을 入手, 所持하는 者에 對하여는 自己米穀을 全 部沒收함)

나 政府의 承認 또는 許可없는 又は 公 定價格에 違反한 米穀의 販賣, 販賣 의 申込, 讓渡, 讓讓의 申込, 買入 또는 買入의 申込, 其他違法 또는 不適當한 米穀의 取引

다 收集計劃에 依한 出荷米穀에 關한 收 納, 收集, 檢査, 割當量의 適當한 配定, 貯藏, 等別, 保管, 運搬, 適當한 供出證 發行, 正確한 記錄及 計算書의 保管, 代 金支拂 또는 報告等의 不履行 又は 拒 否其他 此에 關한 公務上의 非行及 失策 又は 故意의 職務怠慢

마 本規則의 規定을 離脫 또는 回避할 目的으로 하는 又は 如斯한 效果를 招 來하는 行爲及其 未遂

九 處 罰

本規則의 違反者는 裁判所의 判決에 依 하여 其所定刑罰에 處함

十 從前規則의 廢止

1946年8月12日附 中央食糧規則 第二

號(米穀收集) 1946年9月23日附中央食糧規則第三號(中央食糧規則第二號의 改正; 米穀其他食糧의 收集及小作料支拂手續), 1947年3月26日附中央食糧規則第四號(中央食糧規則第三號의 改正; 小作料支拂手續)는 茲에 廢止함 但本規則施行前에 犯한 犯罪의 違法性을 阻却시키는 趣旨은 아니며 또한 그 犯罪에 對하여 現在 또는 將來의 對한 訴追에는 何等의 影響이 없음

十一 施行期日

本規則은 公布日 부터 施行함  
1947年 8月 18日  
軍政長官의 指令에 依하여  
中央食糧行政處長 池 鎔 殷

★ 中央物價行政處價格規則

○ 價格規則第一號 最高價格의 設定

一 最高價格의 設定

1946年 5月 28日 附 法令第九十號 第四條에 依하여 下記 最高價格을 設定함

(品 目) (單位) (最高價格)

(가) 綿 布

非漂白시-트地	1야-트	33圓
非漂白야쓰地	1 // //	30圓
輕錢羅紗	1 // //	38圓
重錢羅紗	1 // //	40圓

(나) 混合織布

人麻綿布	1야-트	28圓
------	------	-----

(다) 綿洋襪

白 色	1足	9圓
有 色	1足	10圓

(라) 고무신

男子用	1足	45圓
女子用	1足	35圓
兒童用	1足	30圓

(마) 勞働靴及는 地下足袋

白 色	1足	55圓
有 色	1足	60圓

(바) 運動靴

男子用	1足	45圓
女子用	1足	35圓
兒童用	1足	30圓

(사) 石 鹼

洗濯用 1個(百友)	12圓(超過重量에 對하여는 1友에 12錢)
化粧用 1個(30友)	9圓(超過重量에 對하여는 1友에 30錢)

(아) 擗寸

小 厘	1厘	2圓
大 厘	1厘	15圓

(가) 電 球

5와트-30와트	1個	30圓
31와트-65와트	1個	40圓
66와트-100와트	1個	100圓
100와트以上	1個	每와트에 1圓

(차) 自轉車타이어

26吋	1個	160圓
28吋	1個	175圓

(카) 自轉車齊브

26吋	1個	50圓
28吋	1個	60圓

二 價格表의 揭示及計算書의 提供

第一條에 列舉된 品目의 商品을 販賣하는 者는 購買者의 要求가 있을 時는 購買者에게 如新한 商品의 代價로 받은 正確한 價格을 記入한 計算書을 授與할 事

三 犯罪의 列舉

如何한 者(自然人 또는 法人)라도 第一條에 列舉된 物品을 第一條에 依하여 制定된 價格보다 高價로 販賣 또는 買入, 申込 또는 販賣을 爲한 陳列 또는 其他 去來 또는 去來의 申込 또는 如新한 物品을 如何한 物品, 奉仕 또는 經濟의 利益과도 交換한 是 不法인 但 中央價格行政官에 依하여 特別한 權限이 文書로 賦與되었을 時는 此 限에 不在함

四 刑 罰

本規則에 違反하는 者(自然人 또는 法人)는 陸軍占領裁判所 또는 治安官의 裁判에 依하여 其所定 刑罰에 處함

五 施行期日

本規則은 1946年 7月 14日 24時 夜半에 効力이 生함  
軍政長官의 指令에 依하여  
1946年 6月 26日

中央價格行政官 리이오모토후  
美國 陸軍 少佐

○ 價格規則第二號 價格規則第一號의 廢止及協定販賣價格

一 目 的

本規則의 目的은 政府에 所屬치 않은 出處로부터 獲得한 原料을 使用하여 私的機關에서 生産된 物品及 現在까지 1946年 6月 26日 附 中央價格規則第一號에 依하여 統制된 物品의 去來를 自由로 함에 있음  
政府所屬 經路를 通하여 配給된 物品의 販賣價格은 中央物價行政處에서 關係 代行機關에 對하여 發給 指令에 一致케 制定된 것임

二 中央價格規則第一號의 廢止

1946年 6月 26日 附 中央價格規則 第一號는 茲에 此를 廢止함 然이나 此廢止는 中央價格規則第二號의 有効期日 以前에 犯한 中央價格規則第一號에 對한 犯罪은 無効로 하거나 또는 是어한 犯罪에 對한 現在 또는 將來의 起訴를 中止 또는 取消할 是는 意圖는 아니며 또 그 刑罰을 解釋하여서는 안됨

三 協定販賣價格

如何한 人(自然人 또는 法人) 일지라도 物品 販賣에 있어서 價格 또는 方式에 關하여 政府와 協定을 맺는 是러한 物品을 其協定價格보다 高價로 또는 其協定에 違反한 他方式으로 販賣 또는 引渡하지 못함

四 定 義

此規則에 使用된 政府라는 用語는 政府의 모든 部, 處, 代行機關, 補助機關 또는 下級機關 또는 直接 또는 間接으로 政府 管理下에 있는 商社 團體 또는 其他 法人을 包含함

五 忌 避

本規則의 條項은 手數料, 物々交換, 또는 使用料, 運賃, 容器料 또는 其他 料金의 手段으로 나 또는 協定 또는 其他 方法等 直接 또는 間接의 方法에 依하여 忌避할 수 없음

六 罰 則

本規則 各條項에 違反한 者는 1946年 5月 28日 附 法令第九十號 또는 1946年 10月 24日 附 法令第二百二十號에 規定된 刑罰을 受할 것이며 또 條件에 따라서는 褫刑에 對한 1945年 10月 30日 附 法令第十九號에 規定된 刑罰을 受할 것임

七 有 効 期 日

本規則은 公布 當日에 効力을 發生함  
1947年 6月 30日  
軍政長官의 指示에 依하여  
中央物價行政處長 崔 泰 旭

★ 中央經濟委員會規則

○ 第一號 統制品의 國家配給

一 適 用

本規則은 1946年 3月 5日 附本 軍政廳公文에 公布된 「統制品 國家配給에 關한 計劃」을 廢止 代位함

二 目 的

統制品의 國家配給에 關한 計劃의 目的은

(가) 軍政廳에서 制定한 價格으로 軍政廳統制系統을 通하여 軍政廳管理下에서 保有, 保管 또는 生産된 모든 重要物品(以下 統制品 이라 稱함)을 各道에 公平히 割當하며 各道內에 公平히 配給함에 있음 軍政廳管理下에 物品을 保有 또는 生産하는 代行機關은 權利를 附與한 會社, 新韓公社, 政府의 機關及 會社, 物資營團及 其他 販賣 또는 處分하기 爲하여 物品을 保有 또는 生産하는 同様の 機關을 包含함 (그러나 此等에 關한 限制는 없음)

(나) 1946年 5月 28日 附 法令第九十號에 依한 中央經濟委員會에 依하여 樹立된 政策下에서 國家의 水準에 整合된 中央配給政策을 規定함에 있음

三 範 圍

(가) 朝鮮政府 商務部는 本計劃範圍內

에屬하는物品의種類, 種類及等級을  
表示하여 統制品으로써指定한다  
但 此統制品은 隨時로改正할수있

(나) 各道는 下記와如히 生産에關한  
情報, 生産費, 在庫品及各道內必需品  
豫想量을 蒐集하여 此를 朝鮮政府  
商務部에 報告한다

(나) 商務部는 如斯히提供된 情報及  
朝鮮經濟全般의要求를 基礎로하여  
利用할수있는 統制品의在庫品 及 生  
産品을 各道에公平히 割當한다 商  
務部는 各道에서 實際로買入, 販賣,  
運送, 契約等을遂行하여 中央商業代  
行機關(其表는定期的으로發刊된)  
現存中央政府代行機關及各道에있어  
서各道知事가指定한代行機關을利用  
할수있음

四 計劃의明細

(가) 累 告

各道知事는每月1日附로前月中에 行  
한下記事項을記錄하여 月間報告書  
를作成한다

1, 其道內에있는 軍政廳管理工場에  
서生産된統制品의全生産及其他朝鮮  
人所有工場에서生産된統制品에關한  
蒐集可能한모든情報

此報告書에는生産費(價格을決定할  
수있도록 詳細히報告한다), 各工場  
의名稱及其所在地를包含하며 中央  
政府에依하여統制되는諸工場은 別  
記하여 作表하고 各工場마다 其  
生産高를 記入한다

2, 物資管團所管의統制品在庫外 商  
務部에依하여 前에割當되지않은統  
制品의모든在庫  
如斯한統制品의在庫가없을時는在庫  
品無라는報告를提出한다 生産報告  
에記錄된物品과商務部에依하여 前  
에割當된物品은 在庫品에包含시키  
지않는다

3, 모든 統制品及緊急히要求되는 他  
品目에對한 其道內最小限度需要의  
報告書  
此報告書에는要求의優先順位及積荷  
를할때의其目的地를記載한다(添付  
樣式A, B, C參照)

4, 모든報告는 每月六日以內로 朝鮮  
서울商務局經濟課에到着하도록提出  
한다

(나) 割 當

1, 各道에對한統制品의割當은商務部  
가此를行함 各道에서提出된月間報  
告及朝鮮全經濟에依據한此割當은最  
後의인것임 此割當에는 割當되는物  
品의種類, 數量, 出荷道, 受荷道及 其  
道에로의配給을取扱하는代行機關을  
指示한다 割當書의寫本—通은 出荷  
道에他寫本—通은受荷道에他寫本—  
通은物品의摘取及道內指定地에로의  
積荷及如斯한物品을軍政廳物買規則

에依하여 通知事 又是其代行機關에  
게 賣渡하라는訓令及 其에對한權限  
試與와함께 指定된 配給實施代行機  
關에 送付한다 本手續의變更은 商  
務部에依하여認可됨 如斯한境遇에  
는 割當書樣式에記載된(樣式D參  
照)

2, 軍政廳管理下에서 生産되는有  
되는統制品의割當은中央商務部에서  
關係代行機關에割當하기前에는 生  
産者, 通知事 또는 其他代行機關에依  
하여서는此를行할수없음

3, 割當은 前月中實際生産高가 前月  
中 生産豫想高를超過 或은不足한  
것을 考慮斟酌하여 訂正한翌月中生  
産豫想高를 基準으로하여 每月此를  
行함 此手續은 物品을生産高에應하  
야流通케할수있을것임

4, 物品을統制下에두기前에 註文만  
어아작 工場에依하여 履行되지못한  
委託은 商務部에報告하면 個別的考  
慮를 하여줄수있음 萬若如斯한報告  
를안하고 別로 商務部에依하여 如此  
한 委託履行을 容認하는 特別한  
許可를得하지않을時는 如斯한物品  
은 通知없이 統制될수없음

(다) 配 給

1, 中央商業代行機關 또는 其他預定  
代理機關은 生産工場이나 또는生産  
道內指定場所에서 割當物品을蒐集  
하는責任이있음 中央商業代行機關  
또는 其他指定代行機關은 其割當物  
品을蒐集한後 必要하면護衛下에割  
當書에指示된道로輸送한다 是그  
外關係道知事 또는 그代行機關과合  
意決定한바에따라 割當物品을 受  
荷道에引渡하는데 關係道知事와協  
力한다

2, 商務部는 配給에關한 中央統制政  
策을遂行하기爲하여 必要한時는 任  
제라도 道內에限하여 利用할수있는  
特別代行機關을 認許할수있음 通知  
事는 商務部가認許한時는 道商業代  
行所(또는代行機關)를 其道內에  
統制品을配給, 運送, 販賣하는데利  
用할수있음

3, 通知事 또는 그의代行機關은 物品  
을受領한時부터 其物品이 最終消費  
者에게 入手될時까지 其割當物品을  
保管及配給하는責任이有함

4, 各道商務局長은 統制品을 其道로  
又は其道로부터 又は 其道內에서移  
動함을 調節하는데對하여 其道知事  
의 代理人으로써行動함 中央商務部  
와 道商務局長間의 直接通信이 本  
計劃의效果的인運營을 促進且容易  
케하기爲하여認可됨

(라) 價 格

1, 統制物品을 可能한限 最低價格으로

로 最終消費者에게入手하게함이  
目的

2, 統制品의價格은 朝鮮軍政廳官統  
制下에서 中央價格行政處에依하여  
決定됨 如斯한統制가實施되는時는  
언제든지 價格은割當時에 價格行政  
處에依하여決定되든지 또는 따로發  
表됨 價格은 工場或은 倉庫에서의  
價格이거나 또는最終消費者에對한  
價格 또는 兩價格임

五 施行期日

本規則은 發布期日에 効力を發生效

1946年9月14日

委員長代理  
美國海軍豫備少尉 에취·피·딘님

(註) 樣式各號는此를省略함

○ 第二號 紡織의原料及設備統制  
에關한件

一 目 的

本規定은 朝鮮內의 紡織生産更生을  
目的으로함

二 範 圍

本規定은 北緯38度以南朝鮮에서 使  
用, 貯藏, 生産 또는 輸入된紡織의原料와  
設備에適用함

三 統制期間

朝鮮政府商務部는工業局紡織課를通하  
야 本規定目的의達成에對한責任이有함

四 原料統制

下記原料는 商務部工業局紡織課에서  
買入統制함

가 在朝鮮美國軍政廳의 所有 또는 管理  
下에 있는線綿機械에서 生産되는線綿  
及軍政廳의 所有 또는 其管理下에 있는  
法人 또는 企業體에서 販賣되는線綿  
나 工業局紡織課에서 絨物用으로指  
定한數量以外의粘絨及軍政廳의 所  
有 또는 其管理下에 있는法人 또는 企  
業體에서 販賣한粘絨

나 生産者, 産業組合, 商人及軍政廳  
의 所有 또는 其管理下에 있는法人, 企  
業體에서 販賣한生大麻

다 軍政廳의 所有 또는 其管理下에 있  
는製絲工場其他企業體에서 生産하  
는蠶絲

五 設備統制

下記設備은 商務部工業局紡織課에서  
買入統制함 但人力으로運轉하는機  
具를除外함

가 機棉, 毛絨, 大麻絨, 混紡絲, 蠶絲  
絲, 布木等 纖維紡織에必要한機械  
及其他設備

나 絹絨物織造에 必要한 機械及其設  
備

다 線綿製造에 必要한 機械及其他設  
備



다 衣服類製造에必要한機械及其他設備

나 各種織物製造에必要한機械及其他設備

마 繭絲製造에必要한機械及其他設備  
사 前記各號의機械及設備에對한部分  
品의移動, 修理及保存

六 價格統制

가 前二條에 列擧한原材, 機械及備及  
그部分品의價格은 中央物價行政官  
이隨時로此로決定함

나 中央物價行政官의 支屬이 있을 때는  
軍政廳의 所有 또는 其管理下에 있는  
法人 또는 其他企業體는 그價格決定  
에必要한買賣書類等參考資料를 提  
供하여야함

七 施行期日

本規定은公布日부리 効力이發生함  
1946年9月14日

朝鮮軍政長官의 指令에依하여  
中央經濟委員會會長  
계임스·에이취·슈·케이거-

★ 商務部生產委員會指令

○ 生產委員會指令第四號 (拔萃)

一 商務部長의 事前承認을要하는事項  
가 融資申請의 推薦 (商務部特別通牒  
第五十八號參照)

나 小規模敝產事業體의 拂下 推薦 (商  
務部特別通牒第六十一號八項參照)

다 運營廢止 推薦 (商務部特別通牒第  
六十一號八項參照)

라 管財書式第十七號에依한 固定資產  
費支出承認 (管財令第九號四項及管  
財手續要領第十一號三項參照)

마 其他特別 商務部長의 指定事項

二 從業員의 訴請問題

歸屬事業體의 從業員이 公務中의 傷害  
에對하여 會社에 訴請할 때는 商務  
部長에게 報告하여 管財廳經由 司法部  
訴請局에 回附하여 決定을받게됨

三 歸屬事業體로부터 美軍에對한 損害  
賠償請求

美軍이 被殺하고 있는 朝鮮人의 利害關  
係를 갖인 事業體의 財産이 美軍의 過失  
로因하여 損害를 보게되는 境遇에는 其  
事業體로부터의 報告에依하여 軍政廳  
은 二十四軍團에對하여 賠償賠償請求  
를할수 있는

四 動產處分

固定資產에屬하지않은 動產은 所有하고  
있는 歸屬事業體는 直轄監督官 (顧問  
의同意를要함) 과 管財處의 承認을얻어  
此를處分할수 있음 然이나 在庫品處分  
은 管財處의 承認을要치않음

五 美軍 또는 軍政廳部, 處가 接受하는 財  
産에對한 報告

如斯한 境遇에는 반드시 商務部長에게  
報告할것이며 商務部長은 貸貸料 또는

處分價格等에關하여 管財處에 精結하  
이 決定할것임

六 勞働問題

直轄監督官은 恒常各道 勞働局과 連絡하  
아 勞働關係法에 精通할것이며 各  
管理人에게 周知시킴을要함

七 稅 金

歸屬事業體는 利用할수 있는 現金으로  
써 稅金을 支拂할것이나 稅金을 支拂을爲  
한 固定資產處分은 不可함 (政策及前  
例第十六號及管財手續要領五號參照)

八 歸屬事業體는 利用하는 違反行爲

管理人은 管理契約書第四條及商法第  
三十二條에依하여 會社利益에 相反되  
는行爲는 할수 없으며 直轄監督官의 承  
認을 得하지않고는 管理人和 會社間의  
商行為는 承認되지않음

特別 管理人이 管理會社를 利用하여  
自己營業을 經營함을 不得함

九 歸屬事業體에對한 警察의 調査

警察의 調査가 事業體運營에 支障을 招來  
하는 境遇에는 直轄監督官은 商務部長  
에게 此를 報告할것이며 商務部長은 管  
財處를 通知하여 問題를 早速히 解決할것임

十 朝鮮人의 株式의 過半數를 所有하고 있는 會社에對한 監督

如斯한 會社의 日人 所有의 株式은 軍  
政廳에 歸屬되어 있음으로 其會社의 運  
營은 部分的으로 商務部의 監督을 受받  
게 될것이나 特別不正事實이 없는 限 大體  
로 朝鮮人 株主의 意思에依하여 運營될  
것임 然이나 如斯한 會社로 多數株主를 日  
人이 所有하고 있는 會社와 如히 管財令  
의 制限을 받고 所要 報告書를 提出하여  
야함

十一 歸屬事業體에對한 融資

融資은 銀行을 通하여 할것이며 自己資  
金 投下 또는 銀行以外의 第三者로부터  
融資金을 受領할수 없음

十二 管理人會議

定期的으로 管下 管理人會議을 召集하  
야 事業體에關한 情報을 蒐集함과 同時에  
管理人에게 諸新法令을 周知시킴을要  
함

1947年9月15日

商務部長 吳 禎 洙  
商務顧問 칼빈·조이나

○ 生產委員會指令第五號

敝產事業體 檢査에關한件

一 本指令의 目的은 生產委員會의 技士  
及 調査員의 敝產事業體에對한 定期的  
檢査가 生產委員會의 使命 遂行上 必要한  
을 強調함 에 있음  
此檢査의 結果로 拂下, 運營停止에關한  
推薦, 運營能率의 增進, 不正管理의  
除去及其他 商務部特別通牒第五十九號  
工業檢査班 運營方針에 規定된 諸事項  
을 入手可能케 되는 것임

二 中央及各道 直轄監督官은 即時 其管

轄下에 있는 各敝產事業體의 檢査를 生  
產委員會 技士로 하여금 實施케 할것이며  
其檢査는 商務部特別第五十九號에  
依함을要함

三 中央直轄監督官은 檢査한 事業場과

利用할수 있는 技士名을 生產委員會  
局長에게 提出함을要하며 生產委員會  
局長은 技士와 調査員으로 檢査班을 組織함  
境遇에依하여는 檢査班에 美人顧問이  
配置될것임

四 道市直轄監督官은 道市職員이 不足

한 境遇에는 中央生產委員會에 技士及  
調査員 派遣을 請을 할수 있음

五 監査는 管財處에서 此를 行함으로

商務部特別第五十九號 中五「다」 財政事項  
八, 九十項은 除外하여 檢査함을要함  
檢査報告書는 特別第五十九號四節에  
依하여 中央生產委員會에 提出할것이며  
同特別七(4)項에 規定된 推薦을 반드시  
包含함을要함

特別七(4)項 (가) 本廳管轄 必要의 有無  
(나) 工場 拂下 貸借及 運營停止 與否  
(다) 現管理人의 資格

六 中央及各道(市) 直轄監督官은 每月

一日에 前月中에 檢査開始及 完了한 工  
場名과 所在地를 中央生產委員會에 報  
告함을要함

1947年10月27日

商務部長 吳 禎 洙  
同 顧問 칼빈·조이나

○ 生產委員會指令第六號

敝產事業體에對한 訴請에關한件

一 本指令의 內容은 全敝產事業體 管理  
人에게 徹底히 周知됨을要함

二 敝產事業體의 管理人은 其會社에對  
한 訴請이 發生한 境遇에 裁判所에서 取  
扱如何를 不問하고 即時 直轄監督官에  
계報告함을要함

三 直轄監督官은 如斯한 事件은 財產訴  
請委員會에 移送할事(參考: 法令第三百  
三號第二條)

四 朝鮮裁判所에서는 敝產事業體에對  
한 訴訟을 取扱함을 不得하며 判決을 내  
릴수 없음

朝鮮裁判所는 敝產事業體의 財産을 差  
押하거나 其資產을 變賣處分할수 없음

1947年10月27日

商務部長 吳 禎 洙  
同 顧問 칼빈·조이나

○ 生產委員會指令第七號

一 道生產委員會 事務連絡

道生產委員會는 道管財處와 連絡을 要  
하는 境遇에는 直接 道管財處와 事務連  
絡할수 있음

中央管財處와 連絡할 必要가 있는 境遇에  
는 반드시 商務部를 經由함을要함

二 建物の 貸貸借契約

商務部管轄下之 敵產事業體가所有하고 있는 建物의 貸借은 同事業體의 普通運營事務의 一部로써 取扱함을得히 直轄監督官의 承認을要함(管財處의 承認은 必要치 않음)

直轄監督官은 境遇에 따라 全般的承認을 할 수 있음(例-會社가 住宅을多數有하고 있는 境遇에 其住宅貸借의 全般的承認) 管理會社가 締結하는 貸借契約은 管財處가 實施하고 있는 貸借契約의 條件과 同一함을要함

事業體가 그所有不動產의 全部를 貸借함으로써 事業運營이 不能케 됨은 不可함

三 管財書式第十五號及第十八號

管財書式第十八號(固定資産狀況變更報告書)는 固定資産의 處分, 火災, 盜難, 會社間의 異動及 固定資産狀況에 有形的變更이 有할時 使用됨

管財書式第十五號는 固定資産의 所有權移轉을 包含하지는 境遇에 使用됨(例 貸借의 境遇)

四 農耕地報告

1947年9月2日附 商務部長 函 照本件參照本報告提出期限은 1947年9月30日 이었

該當農耕地가 無한 境遇에는 無하다는 報告書를 提出함을要함

報告書未提出인 境遇에는 至急提出함을指示함

五 中央直轄事業體에 對한 調査

地方官吏가 商務部의 許可를 이 中央直轄工場에 對하여 調査하는 境遇도 有하나 此는 事務系統混亂을 招來케 된 中央直轄事業體에 있어서 不正事件이 發見된時는 地方官吏는 即時 中央直轄監督官에게 通告하여 中央直轄監督官의 指示에 依하여 處理함을要함

地方官吏는 要求가 有할時는 中央廳業務을 補佐하여야 함

六 保險

保險은 合法的營業經營로 認定되며 適當한 料率로 確實한 保險을 締結할 수 있는 境遇에는 普通運營費中에서 此를 支出할 수 있음

現在에 있어서는 火災保險만이 利用可能함

七 機械移轉

機械를 所有하고 있는 會社가 그 機械를 會社內他工場에 移轉할時는 直轄監督官의 承認으로써 此를 行할 수 있음(管財處의 承認은 必要치 않음)

移轉完了後 管財書式第十五號에 依하여 管財處에 報告함으로써 足함

八 運營中止中의 敵產事業體

多數의 敵產事業體가 運營中止 或은 不健全한 運營을 繼續하고 있음 其中에는 如前의 給料及 貸金을 支出하고 있는 事業體가 有함 直轄監督官과 其顧問은 如斯한 事業體

를 調査發見하여 健全한 運營의 回復를 期待키 難한 境遇에는 其事業體에 對한 完全한 報告書와 推薦書를 商務部長에게 提出함을要하며 商務部長은 必要한 對策을 考究할 것임

九 敵產事業體에 對한 個人投資

敵產事業體에 對한 個人投資는 合法的 負債로 認定되지 못함 人體로 管理人은 自己自身 또는 其他個人으로부터 敵產을 買할 수 있음 此는 1947年10月7日附 管財處의 意見에 基示된 것임 從前에 發見된 個人投資는 即 詳細한 內容을 具備하여 商務部에 報告됨을要하며 商務部는 各會社別로 適當한 推轉을 하게 된 것임 1947年10月27日

商務部長 吳 禎 洙 同 顧問 姜 麟 一 크 이 나

○ 生産委員會指令第八號

管財書式第二十號及二十一號提出에 關한 件

一 總 則

1947年3月31日附 管財令九號第三款

二 管財書式二十號及二十一號는 左記方法에 依하여 提出함을要함 가 道管轄事業體

1, 道管轄事業體는 管財書式二十號及二十一號各四通을 作成하여 道生産委員會에 提出함

2, 道直轄監督官은 提出된 報告書의 正確性을 檢討하며 報告期日內에 完全한 報告書가 提出되도록 必要한 措置를 取한 責任이 有함(管財手續要領第十一號參照)

3, 道生産委員會는 報告書一通을 保管하고 一通은 中央生産委員會 二通은 道管財處에 提出함을要함

4, 報告書에는 반드시 直轄監督官 또는 其代理人의 署名, 職名及 道名이 記載되어야 함

5, 報告書에는 誤謬를 訂正한 說明과 批註의 반듯이 添附되어야 함 事業體管理及會計方法指導에 關한 處理事項도 記載됨을要함

6, 前記4,5에 要求된 事項이 缺如된 報告書는 返還하여 完備케 함을要함

7, 敵產事業體에 對하여 監督가 必要한 境遇에는 道生産委員會長의 要求로써 道管財處에서 此를 行함

나 中央直轄事業體

1, 中央直轄事業體는 管財書式二十號二十一號各二通을 作成하여 商務部에 提出함

2, 中央生産委員會事務局長은 提出된 報告書의 正確性을 檢討하며 報告期日內에 完全한 報告書가 提出되도록 必要한 措置를 取한 責任이 有함

3, 生委事務局은 報告書一通을 保管하고 一通을 管財處에 送付하되 報告書에 對한 發見書와 事業體管理及會

計方法指導에 關한 處理事項을 添加함을要함

1947年10月29日 商務部長 吳 禎 洙 同 顧問 姜 麟 一 크 이 나

○ 生産委員會指令第九號

一 在庫品販賣

固定資産에 屬하지 않는 在庫品을 所有하는 敵產事業體는 管財處의 承認없이 運營支障이 없는 限 一般營業方法에 依하여 此를 販賣할 수 있음 必以上의 在庫品을 所有한 敵產事業體는 必要로 하는 他會社에 此를 販賣하여 死藏함이 없도록 함을要함

二 原料處分

敵產事業體가 所有하고 있는 原料는 直轄監督官의 事前承認없이 此를 處分할 수 不得함 直轄監督官은 如斯한 原料處分을 承認함에 있어 割當의 公平을 期한 것이며 適切有利하게 處理하여 朝鮮經濟에 最大利益을 求도록 留留함을要함

三 行政命令第六號

行政命令第六號와 同令施行細則(1947年10月24日附 軍政長官代理通牒)을 參考하고 特別 同通牒第三項及 第四項에 留留함을要함

四 公文書取扱

管財事務를 取扱하기 爲하여 商務部內에 生産委員會事務局이 設置되었으므로 管財事務에 關한 諸般公文書는 반드시 生委事務局經由로 商務部長에게 提出됨을要함

五 敵產事業體의 豫算編成

敵產事業體의 管理人은 可能한 範圍內에서 會計年度의 豫算을 作成하여 直轄監督官에 提出할 것이며 直轄監督官은 定期的으로 豫算과 實地收支를 比較檢討함을要함 此는 直轄監督官의 監督을 能半의 으로 할 것이며 管理人에게 좋은 經驗을 주게 될 것임

六 政策及前例第二十六號

此는 敵產事業體의 普通修繕과 非常修繕을 說明한 것이며 非常修繕에 있어서는 管財處의 事前承認을 要함

七 管財手續要領第十三號

運營管理中에 있는 事業體가 그 所有 資産의 一部를 貸借할時 締結하는 貸借契約은 此要領에 依하여 作成됨을要함

八 受取計定の整理

直轄監督官은 恒常管下各敵產事業體의 未決受取計定과 長期間 未決로 있는 高額計定을 調査하여 回收케 할 것이며 必要에 依하여는 貸倒金計定으로 整理함을要함

貸倒金計定으로 整理하는 境遇에는 반드시 直轄監督官에 承認을 얻어 處理함을要함 然이나 計定全額을 貸倒金으로

整理함은不可하며 該計定存續을 表示하는名目的金額은 恒時殘置됨을要함 九 事業體名簿

直轄監督官은 恒時完全한管下事業體의名簿을 保管할것이며 特別事業場名(新,舊名)住所 管理人名及 財政事項等은 必로具備되어있을을要함

1947年11月17日  
商務部長 吳 頌 洙  
同 顧問 칼빈·조이나

○ 生産委員會指令第十號

小規模敵產事業體拂下에關한推薦手續要領

一 參 考

1, 1947年3月24日附軍政長官通牒小規模敵產事業體拂下에關한件

2, 管財處處分通牒 拂下手續要領에關한件

二 目 的

本指令의目的은 商務部長의 運營管理下에있는敵產事業體의 拂下推薦에關하여 商務部及各道商工局의 統一의手續要領을指示함에있음

三 小規模事業體拂下에關한權限

小規模事業體의拂下에關한責任과 權限은 管財處가此를保有함 然이나此指令下段에指定된 例外를除外하고는 商務部長管轄下에 있는敵產事業體의拂下는 商務部長或은道商工局長의拂下에關한推薦이는 此를行할수있음 1946年4月民政長官通牒「100萬圓以下商事機關貸借에關한件」에依하여 貸借된事業體에 있어서도 上記推薦이 必要함 管財處에서特別拂下推薦期日을指定한境遇에는 此를其期日內에 推薦하도록한것이며 萬一期日을 延長코지하는境遇에는 直轄監督官은其理由를添付하여 管財處에延期를要求하여야함

四 直轄監督官

拂下에關한推薦書는 直轄監督官이 其顧問의同意下에此를作成함

五 推薦의要因

直轄監督官은 左의境遇에 推薦書를作成함

- 1, 管財處에서要求가有할時
- 2, 直轄監督官이 拂下함이 有利하다고認定할時

(直轄監督官은 管下事業體中拂下함이適當하다고 認定되는事業體를 事前에調査하여 每月初에 商務部長에게報告함을要함)

六 拂下推薦取扱要領

- 1, 商務部直轄事業體가 關係局長은 推薦書를 商務部生産委員會에提出할것
- 나 商務部生産委員會는 提出된 推薦書에關하여 決議하고 最後決定을 得하기爲하여 商務部長에게 提出함
- 다 商務部長의 承認과 顧問의同意

를得한後 生産事務局은 其推薦을 管財處에回送함

2, 道管轄事業體

가 拂下에關한推薦은 道生産委員會에서決議하야

나 道直轄監督官의 承認과顧問의同意를得한後 詳細한報告書를 添加하야 商務部長에게提出함을要함

다 道直轄監督官의推薦은 商務部生産委員會에서討論決議됨

라 拂下推薦에關한 部長의承認과顧問의同意가 有할時는 生産事務局은 道直轄監督官에게 其拂下推薦을 關係道管財處에提出하도록指示함

道管財處에提出하는 推薦書의寫本은 生産事務局에送附되어야함

道管轄監督官이 道管財處에 提出하는推薦書에는 반드시 商務部長의承認과顧問의同意가 有하였다는 事實이記載되어야함 此事實의 記載가 無한推薦書는 無効로認定될것임

마 道直轄監督官의事前推薦이 道管轄事業體는 商務部生産委員會에서 道直轄監督官에게 拂下推薦하는境遇에 道直轄監督官은 此에異議가 有할時 商務部長에게 再考慮를要求할수있고 商務部長과同顧問은 商務部生産委員會의 再審을언거나 或은 再審없이 最終決定을지어 道直轄監督官에게 實施을指示함

七 拂下推薦의基礎가되는調査

直轄監督官은 生産委員會의 調査員及技士로하여금 本指令第八項에規定된 諸事項을 充分히 調査報告케함을要함

八 拂下推薦에要하는諸事項

- 1, 事業體名, 事務所及工場所在地
- 2, 管理人或은負債人姓名
- 3, 管理許可證及保證金證書의寫本
- 4, 拂下는推薦하는理由
- 5, 直轄監督官이推薦하는 購買者姓名
- 6, 現管理人或은負債人의 推薦되지않는境遇에其理由
- 7, 推薦된購買者의資格

가 技術的資格

나 財政上能力

다 人格

라 管財處拂下方針에規定된資格

(1) 最近五個年以內에 禁網以上의處刑에該當하는犯罪로 有罪判決을받은 裁判所乃至警察署記錄(但純政治的인것은除外)이無한者

(2) 刑事裁判所에 起訴한한程度乃至性質의行爲로 歸屬財産을 破損하거나 歸屬財産의經理記錄은 毀棄乃至偽造한事實 又は 必要한經理記錄의作成義務을怠慢한事實 又は 歸屬會社의公金을 不法浪費한事實이無한者

(3) 附日協力者로서 公判에依하여有

罪判決을받은事實이無한者

(4) 1945年8月9日現在 戶籍上正當한家族員中에 歸屬事業體의全部或은一部를 購入한事實이無한者(但購買前에 商工局長推薦과顧問의同意, 管財處處分署長及資格審査委員, 價格査定委員의 多大數가 推薦하는境遇에는 例外로取扱할수있고 如斯한例外는 반드시 事業間의關係가密接하고 一般經濟에 有利한境遇에만適用함)

8, 拂下推薦書에插入할 商務部로서의 推薦條件

9, 拂下에서除外를要하는 財産에關한 推薦

10, 事業體資產에對한査定

11, 事業體의收入能力評價

12, 過去及現在의最善生産能力

13, 檢査報告書(商務部特牌五十九號에依한)의寫本

14, 1945年8月或은 其直前의貸借對照表

15, 最近貸借對照表, 不動產明細表, 在庫品及設備一覽表, 受取勸定支拂勸定及其他勸定の明細表

16, 合名, 合資會社인境遇가 社員氏名, 住所及國籍

나 各社員의所有株數, 有限인지 一般會社인지의區分

다 會社의地位, 登記地及登記番號

17, 株式會社인境遇가 日本人株主氏名及住所

會社가政府의代行機關인지 個人機關인지의區分

나 日本人各株主의所有株數

다 日本人株主의 拂込資本에對한所有權比例

라 會社의地位, 登記地及登記番號

18, 組合인境遇가 組織規程의寫本

나 日本人組合員氏名及住所

다 日本人組合員의所有株數

라 日本人組合員의 拂込資本에對한所有權比例

九 鐵山及鑛業拂下에關한特別條項

1, 金, 重石及稀有金屬鑛은 拂下에서除外됨

2, 鐵山拂下는實施하기前에 鑛務局은 有効의鐵山運營을確認키爲한鐵山拂下에關한詳細한規則을 制定할것임

十 拂下完了時까지의處理

1, 直轄監督官은 拂下가完了될時까지 拂下推薦한事業體에對한件段을 管財處에移管시킬것이며 但第八項에要求되는報告書와推薦書를管財處에提出할것

2, 直轄監督官은 推薦된事業體의拂下進行及完了에關하여 定期的으로管財處에連絡할것

十一 拂下完了後의處理

- 1. 直轄監督官은 拂下完了된事業體名을 商務部長에게報告함을要함
- 2. 直轄監督官은 管理許可證을入手하여 取消或은廢棄한것
- 나 拂下된事業體에서除外된 資產이有할時는 其處分에關하여 管財處에特別推薦하거나 或은割當하여 管財處에通告한것
- 다 拂下完了된事業體의件額을 管財處에移管하고 保證金解除을 管財處에要求한것

1947年 12月 8日

商務部長 吳 禎 洙

顧問代理

陸軍少佐 지임스·지·헤이스

○ 生産委員會指令第十六號

朝鮮內에서創立된 法人의管理를 理事會에移管하는데關한手續要領 (但商務部取扱事項에限함)

一 參 考

가 1947年9月17日附 軍政長官通牒 「朝鮮內에서創立된 法人管理에關한件」

나 管財令第十號

다 法令第五百五十六號 「財産管理官의 株主總會招集權」

二 定 義

가 部長一此指令에部長이라함은 商務部長을稱함

나 移管一此指令에移管이라함은 朝鮮內에서創立된法人의管理를 理事會에移管함을稱함

三 目 的

此指令의目的은 左記事項에對한 手續要領을明示함에 있는

가 管財處에 移管을推薦할 法人의 選擇

나 移管된會社의株主總會에서 歸屬株式의議決權을 委囑받은部長이選舉하게된有能한取締役及監事の選定

다 選任된取締役及監事에對하여 部長이指示한注意事項作成及定款의變更推薦等

四 「移管」된法人의選擇

가 關係局은 企業體의檢査結果에依하여 移管된會社名을 商務部生産委員會에提出함을要함

나 生産委員會에서 移管을推薦하여 部長이此를承認하면 移管을依願하여 推薦을顧問同窓下에 管財處에送付케함

다 境遇에依하여는 部長은生産委員會의推薦이顧問의同意下에 管財處에移管을推薦함을得함

다 管財處는 商務部의承認없이 移管된會社를選擇함을得하나 如斯한境

遇에는 管財處는 商務部에連絡한것이며 商務部는 管財處의決定에對하여 反對意見을表明함을得함

나 管財處는株主總會開催前에 商務部와討議하여 總會開催에必要한期間을確保하게함

五 理事會選定指示事項作成及定款變更에對한推薦

商務部長의 運營管理下에 있는法人을 管財處가移管하도록決定하면 左와如히處理함을要함

一 申請書

가 取締役及監事로選任되기를爲한申請書는 左의方法에依하여募集함

- (1) 商務部揭示板에公告
- (2) 關係産業團體에通知
- (3) 移管된當該法人에通知
- (4) 其他方法

나 申請書는三通을作成하여 商務部生産委員會事務局에 提出함을要하며 左記書類를添付함을要함

- (1) 履歴書
- (2) 名士의推薦書
- (3) 現在關係産業에對한陳述

二 調査要領

生産委員會事務局은

가 申請書記載事項의正確性을 檢討하고 申請人의他事業體와의關係를 調査함

나 法人의定款을檢討하여 取締役及監事의必要數를決定함

다 部長의承認없이 當該法人理事會에서決定할수 있는 左記事項에對한推薦

- (1) 取締役及監事에對한報酬
- (2) 最高起債限度
- (3) 一定限度以上의給料을받는 幹部職員의數
- (4) 從業員定員의最大限度
- (5) 一定金額以上의 消耗品購入, 修繕或은改良工事契約

라 定款變更에對한推薦

나 關係局의意見入手

三 資格審査委員會의設置

가 部長은顧問의同意下에 關係局課長 顧問及産業界의權威者中에서資格審査委員會의委員을任命함

나 委員會는 自體의規約을作成하여 部長의承認을得함을要함

四 申請書指示事項及推薦事項의取扱要領

가 生産委員會事務局은 五項二節에規約制定報告書를添付하여 檢査된一切申請書를關係委員會에添附함

나 委員會는 申請人의資格을檢討하여 申請人中에서 有能한者를選擇하고 生産委員會事務局이提出한指示事項及推薦事項을承認或은 變更하고 取締役會社의選任에關한推薦을함

다 選舉된取締役及監事は 特別部長의承認(顧問의同意를要함)을得한境遇를除外하고는 當該法人과同一業種事業에關係함을 不得함

다 選任된理事會는可及의當該法人에對한知識 技術的經驗或은經理에對한知識及健全한事業運營能力을具備한者임을要함

나 委員會의決定은 部長의承認과顧問의同意를 得함을要함

六 「移管」된會社에對한一般規則

1 理事會가組織되면 法人의管理는 管財處를通하여 理事會에移管된것이며 當該法人의支配人은 定款에依하여任免된것임 (即理事會에서支配人을任免케함)

2 「移管」된法人은 朝鮮法人으로認定됨 然이나管財處가 利害關係를 가진事業體에適用되는制限은 亦是存續한것임

特別左記事項에對해서는 管財處의承認이亦是必要하며 此에對한申請書는 商務部를經由하여提出하여야함

가 固定資産費支出或은其支出을爲한起債

나 運營廢止

다 配當, 價金全或은其他形成에依한利益金分配 或은處分의承認或은實施

다 如何한名目을不拘하고 贈與或은寄附金의承認或은支出

나 軍政長官의指示或은其他法令에依하여 許可된以外의交際費承認或은支出

나 固定資産의購得或은處分

3 管財令第五, 第七, 第九號에 規定된財政報告書 (管財書式二十號及二十一號) 及其他報告書는 如前의商務部를通하여提出되어야함

4 歸屬事業에適用되는最高貸金에對한規則은 移管된會社에對하여도亦是効力이有함

5 商務部는 法人內의現在美人顧問을存置하고將來에도移管된會社에美人顧問으로서任命할權利를保留함

1948年1月16日

商務部長 吳 禎 洙

顧問代理

陸軍少佐 지임스·지·헤이스

★中央物價行政處令

○ 中央物價行政處令 第一號

法令第九十號第四條의規定에依하여總乘의最高販賣價格을左와如히決定함

總糸의最高販賣價格

番 手	單 位	生產者의最高販賣價格	小賣業者의最高販賣價格
10番手 (總)	1封度	67.00	81.00
10番手	雙糸(//)	79.00	95.00
14番手	(//)	72.00	86.00
16番手	(//)	76.00	92.00
16番手	雙糸(//)	94.00	113.00
20番手	(//)	83.00	100.00
20番手	雙糸(//)	100.00	120.00
24番手	(//)	87.00	104.00
30番手	(//)	109.00	131.00
34番手	(//)	117.00	140.00
44番手	雙糸(//)	175.00	210.00

備考

- (가) 本表價格은 商慣習單位의 荷造包裝費를包含한價格임
- (나) 生産者의最高販賣價格은 生産者의工場受渡價格임
- (다) 本表番手에該當하나 若干의汚點 또는 瑕疵及品質不良한總糸의價格은 當該品價格의二割引以下의額으로함
- (라) 本表價格은 本官이 따로 價格을指示하는時는 適用 不함

1947年8月1日

中央物價行政處長 崔 泰 旭  
顧 問 리·이·로버트

○ 中央物價行政處令 第二號

法令第九十號第四條의規定에依하여總糸物의最高販賣價格을左와如히決定함

總織物의最高販賣價格

規格番號	品 種	單 位	生產者의最高販賣價格	小賣業者의最高販賣價格
1	廣 木 1級品	1碼	47.00	56.00
2	廣 木 2級品	〃	38.00	45.00
3	染 色 廣 木	〃	67.00	80.00
4	唐 木 1級品	〃	51.00	61.00
5	唐 木 2級品	〃	36.00	43.00
6	玉洋木 1級品	〃	76.00	91.00
7	玉洋木 2級品	〃	69.00	82.00
8	玉洋木 3級品	〃	60.00	72.00
9	絨 1級品	〃	71.00	85.00
10	絨 2級品	〃	68.00	81.00
11	服 地 1級品	〃	98.00	117.00
12	服 地 2級品	〃	72.00	86.00
13	布靴地	〃	123.00	147.00
14	染色布靴地	〃	162.00	184.00

備考

- (가) 本表의總織物規格은 別表總織物規格에依함
- (나) 本表價格은 商慣習單位의荷造包裝費를包含한價格임

(다) 生産者의最高販賣價格은 生産者의工場受渡價格임

(라) 本表規格에 不適合되는物品의價格은 當該品價格의半額以下로함

(마) 本表에記載되지 않은 規格의物品에對하여는 本表中類似品의 二割引以下의額으로함

(바) 本表規格에該當하나 若干의瑕疵 또는 汚點及品質染色不良한物品의價格은 當該品價格의一割引以下의額으로함

(사) 端反品에對한 生産者의最高販賣價格은 左의價格에依함

一、甲端反(二〇碼以上四〇碼未滿의 것)은 當該品價格의五分引以下의額

二、乙端反(五碼以上 二〇碼未滿의 것)은 當該品價格의一割引以下의額

三、丙端反(一碼以上五碼未滿의 것)은 當該品價格의三割引以下의額

(아) 加工品으로써 本表規格에記載된 加工을하는 織物의價格은 左의額을 加算할수 있음

一、음

(規格番號)	品 種	(加 工 別)		
		普通	赤色堅	捺染四
9	絨 1級品	6.00	9.00	14.00
10	絨 2級品	6.00		

(자) 本表價格은 本官이 따로 價格을指示하는時는 適用 不함

(別表) 總 織 物 規 格 表

規格番號	種	一反의		經 糸			緯 糸			組 織	加 工 別
		巾(碼)長碼	寬碼	品種	織 度	密 度	品種	織 度	密 度		
1	廣 木 一級品	35	40	總糸	14 番手	52本	總糸	14 番手	50本	平 織	生 地
2	廣 木 二級品	35	〃	〃	〃	44本	〃	〃	42本	〃	〃
3	染 色 廣 木	{ 35 33	〃	〃	〃	{ 52本 55本	〃	〃	{ 50本 48本	〃	{(生 地) 普通 染色 (製 品)
4	唐 木 一級品	35	〃	〃	24 番手	68本	〃	24 番手	66本	〃	生 地
5	唐 木 二級品	35	〃	〃	20 番手	44本	〃	20 番手	44本	〃	〃
6	玉洋木 一級品	{ 36 1/4 33	〃	〃	30 番手	{ 78本 85本	〃	34 番手	{ 77本 75本	〃	{(生 地) 漂白 (製 品)
7	玉洋木 二級品	{ 35 33	〃	〃	30 番手	{ 73本 76本	〃	34 番手	{ 72本 70本	〃	〃
8	玉洋木 三級品	{ 34 3/4 33	〃	〃	20 番手	{ 56本 59本	〃	20 番手	{ 59本 56本	〃	〃
9	絨 一級品	{ 39,7 38	〃	〃	〃	{ 39,7本 49本	〃	10 番手	{ 44本 41本	〃	{(生 地) 漂白兩面起毛 (製 品)
10	絨 二級品	{ 35 30	〃	〃	〃	{ 39,7本 46本	〃	10 番手	{ 44本 41本	〃	{(生 地) 漂白片面起毛 (製 品)
11	服 地 一級品	{ 32,5 30	〃	〃	44/2番手	{ 81本 87本	〃	20 番手	{ 70本 67本	2/2 絨織	{(生 地) 普通 染色 (製 品)

12	服地 二級品	{32 // // 30 // //	16 番手	{64本 // // 68本 // //	16 番手	{53本 // // 52本 // //	{2/2或은 2/1 綾織 //
13	布靴地	37 // //	16/2番手	52本 // //	16/2番手	48本 // //	{2/1 綾織 生地
14	染色布靴地	{37 // // 35 // //	// // //	{52本 // // 55本 // //	// // //	{48本 // // 47本 // //	{(生 通 地) 普 染 色 品 (製

備考

- (가) (16/2) 七一六番手雙糸을指稱하는것임
- (나) 密度는一時間의取糸數은 表示하는것으로 經糸及緯糸同番手인時は 經糸及緯糸의 合計糸數이 變化가 없는限 經糸 또는 緯糸中 어느것에 二本以內의增減을認定함
- (다) 一反의 幅及長은 最少限度를表示하는것임

1947年8月1日

中央物價行政處長 崔 泰 旭 顧問 리·이·로버츠

○ 中央物價行政處令 第三號

法令第九十號第四條의 規定에依하여 麻織物의 最高販賣價格은 左와 如히 決定함

麻織物의 最高販賣價格

規格 番號	品名	單位	生産者의 最高販賣價格	小賣業者의 最高販賣價格
1	生麻布	1碼	73.00	91.00
2	廣唐布	//	72.00	90.00

備考

- (가) 本表의 麻織物規格은 別表(麻織物規格表)에 依함
- (나) 本表價格은 尙慣習單位의 荷造包裝費를 包含한 價格임
- (다) 生産者의 最高販賣價格은 生産者의 工場受渡價格임
- (라) 本表規格에 不合格되는 物品의 價格은 本表價格의 半額以下로 함
- (마) 本表에 記載되지 않은 規格의 物品

에 對하여는 本表中 類似品의 二割引 以下의 額으로 함

- (가) 本表價格은 本官이 따로 價格을 指定하는 時는 適用치 않음
- (나) 本表價格은 織物稅를 包含하지 않은 價格임
- (다) 本表規格에 該當하나 若干의 瑕疵 또는 汚點及 品質染色不良한 物品의 價格은 本表價格의 二割引 以下의 額으로 함
- (라) 端反品에 對한 生産者의 最高販賣價格은 左의 價格에 依함
- (마) 本表規格에 該當하나 若干의 瑕疵 또는 汚點及 品質染色不良한 物品의 價格은 本表價格의 二割引 以下의 額으로 함
- (바) 端反品에 對한 生産者의 最高販賣價格은 左의 價格에 依함
- 一, 甲端反(二〇碼以上四〇碼未滿의 것)은 當該品價格의 五分引 以下의 額
- 二, 乙端反(五碼以上二〇碼未滿의 것)은 當該品價格의 一割引 以下의 額
- 三, 丙端反(一碼以上五碼未滿의 것)은 當該品價格의 三割引 以下의 額

(別表) 麻織物規格表

規格 番號	品種	一反의		經 糸			緯 糸			粗織	加工 別
		巾(吋)	長(碼)	品種	織度	密度	品種	織度	密度		
1	生麻布	30	40	麻糸	1亞20番手	37本	麻糸	2亞20番手	27本	平織	一
2	廣唐布	33	40	麻糸	2亞20番手	29本	麻糸	2亞20番手	27本	平織	一

備考

- (가) 密度는 時間의 最少糸數를 表示하는것임
- (나) 一反의 幅及長은 最少限度를 表示하는것임

1947年8月1日

中央物價行政處長 崔 泰 旭 顧問 리·이·로버츠

○ 中央物價行政處令 第四號

法令第九十號第四條의 規定에依하여 綿麻交織物의 最高販賣價格은 左와 如히 決定함

綿麻交織物의 最高販賣價格

規格 番號	品名	單位	生産者의 最高販賣價格	小賣業者의 最高販賣價格
1	綿麻服地(1號)	1碼	64.00	80.00
2	// (3號)	//	70.00	87.00

備考

- (가) 本表의 綿麻交織物規格은 別表(綿麻交織規格表)에 依함
- (나) 本表價格은 尙慣習單位의 荷造包裝費를 包含한 價格임
- (다) 生産者의 最高販賣價格은 生産者의 工場受渡價格임

- (라) 本表規格에 不合格되는 物品의 價格은 當該品價格의 半額以下로 함
- (마) 本表에 記載되지 않은 規格에 對하여는 本表中 類似品의 二割引 以下의 額으로 함
- (바) 本表價格은 本官이 따로 價格을 指定하는 時는 適用치 않음
- (가) 本表價格은 織物稅를 包含하지 않은 價格임
- (나) 本表規格에 該當하나 若干의 瑕疵 또는 汚點及 品質染色不良한 物品의 價格은 當該品價格의 二割引 以下의 額으로 함

格은 當該品價格의 二割引 以下의 額으로 함

- (가) 端反品에 對한 生産者의 最高販賣價格은 左의 價格에 依함
- 一, 甲端反(二〇碼以上四〇碼未滿의 것)은 當該品價格의 五分引 以下의 額
- 二, 乙端反(五碼以上二〇碼未滿의 것)은 當該品價格의 一割引 以下의 額
- 三, 丙端反(一碼以上五碼未滿의 것)은 當該品價格의 三割引 以下의 額

(別表) 綿麻交織物規格表

規格 番號	品 種	一反의		經 糸			緯 糸			粗織	加工 別
		巾(吋)長(碼)	品種	織度	密度	品種	織度	密度			
1	綿麻服地(一號)	30	40	綿糸	12番手	43本	亞麻糸	2亞20番手	36本	平織	一
2	// (三號)	31	40	亞麻糸	1亞20番手	40本	綿糸	12番手	36本	平織	一

備考

- (가) 密度는 時間의 最少糸數를 表示하는것임
- (나) 一反의 幅及長은 最少限度를 表示하는것임

1947年8月1日

中央物價行政處長 崔 泰 旭 顧問 리·이·로버츠

○ 中央物價行政處令 第五號

法令第九十號第四條의 規定에依하여 (가)의 最高販賣價格은 左와 如히 決定함

備考

다음의 最高販賣價格 規格 品 單 生産者의 最小販賣者의 最高販賣價格 最高販賣價格

1 浴用 타올	1枚	29.00	36.00
---------	----	-------	-------

備考

- (가) 本表의 다음規格은 別表(다음規格表)에 依함
- (나) 本表價格은 尙慣習單位의 荷造包裝費를 包含한 價格임
- (다) 生産者의 最高販賣價格은 生産者의 工場受渡價格임
- (라) 本表規格에 不合格되는 物品의 價

格은本表價格의半額以下로함  
(가) 本表規格에該當하나 瑕疵는汚

點及品質不良物品의價格은本表價  
格의二割引以下의額으로함

(바) 本表價格은 本官이따로價格을指  
定하는時는適用치않음

(別表) 타 을 規 格 表

規格番號	品 種	一 枚 的			原 糸
		長(釐尺)	幅(釐尺)	重量	
1	浴用타을	2.3尺	0.9尺	13.3匁	16番手
備 考 (가) 幅、長、重量은最少限度를表示함 1947年8月1日 中央物價行政處長 崔 泰 旭 顧 問 리·이·로버츠	2	男子用短 (2號)	/	22.00	26.00
	3	男子用短 (3號)	/	24.00	29.00
	4	女子用長	//	42.00	50.00
	備考 (가) 本表에 縮絨 規格外은別表(縮絨 規格外)에依함 (나) 本表價格은 荷造包裝費를包含한 價格임 (다) 生産者最高販賣價格은 生産者의 工場受渡價格임 (라) (16/1×2)代身(16/2×1)를 使用 하는時는2圓을加算할수 있음				

糸 摘 要  
精糸는十六番手  
以外十番手를使  
用하여도可함

(마) 規格番號第一號~第三號品을 染色하는時는4圓을加算할수 있음  
(바) 本表規格에不合格되는 物品의價格은 當該品의價格의半額以下로함  
(사) 本表에記載되지않는 規格의物品에對하여는 本表中類似品의 二割引以下의額으로함  
(아) 本表規格에該當하나 若干의瑕疵 또는 汚點及品質染色不良한 物品의價格은 當該品의價格의 二割引以下의額으로함  
(자) 本表價格은 本官이따로價格을指定하는時는適用치않음

○ 中央物價行政處令 第六號  
法令第九十號第四條의規定에依하여綿洋  
襪 最高販賣價格을左와如히決定함  
綿洋襪의最高販賣價格

規格番號	品 種	單位	生 産 者 的 最 高 販 賣 價 格	小 販 賣 者 的 最 高 販 賣 價 格
1	男子用短 (1號)	1足	22.00	26.00

(別表) 綿 洋 襪 規 格 表

規格番號	品 種	使用糸番手	一打의重量 (匁以上)	사 이 스 (釐)	色 別	其 他	針數	仕上樣式	仕上사 이 스	
									목기리	고무기리
1	男子用短 (1號)	20/1	95	24	無色	跣蹠及목기리를 糸16/1一 本을編入할것	160本		26	9釐以上 1釐까지
2	男子用短 (2號)	16/1	105	//	//	跣蹠及목기리를 糸16/1一 本을編入할것	160本		//	//
3	男子用短 (3號)	16/1×2	140	//	//	跣蹠에糸76 /1一本을編入 할것	120本		//	//
4	女子用長	16/1	215	22	黑色	跣蹠及목기리 에糸16/1一 本을編入할것	160本	石付(겉어느이) 는1.5吋以上으 로하되石付縫造 는오바늘혹은手 縫으로할것	26吋以 上28吋 까지	

備 考  
(가) 番手中(20/1)는 20番手單糸 (16/1×2)는16番手單糸2本引縮을 指稱하는것임  
(나) (16/1×2)代身(16/2×1)를 使用

할수있음  
(다) 사 이 스公差는長短6%로함  
1947年8月1日  
中央物價行政處長 崔 泰 旭  
顧 問 리·이·로버츠

○ 中央物價行政處令 第七號  
法令第九十號第四條의規定에依하여國  
內用生絲의最高販賣價格을左와如히決  
定함

國內用生絲의最高販賣價格

織 度	單位	生 産 者 的 工 場 受 渡 最 高 販 賣 價 格					
		特優等	優等	特等	一等	二等	三等
14中	10貫	71,000圓	69,500圓	68,000圓	66,500圓	65,000圓	63,500圓
21中	//	69,500	68,000	66,500	65,000	63,500	62,000
28中	//	68,000	66,500	65,000	63,500	62,000	60,500
42中	//	66,500	65,000	63,500	62,000	60,500	59,000
63中	//	65,000	63,500	62,000	60,500	59,000	57,500
100中以下(玉絲)	//				50,000	49,000	48,000
101中以上(玉絲)	//				49,000	84,000	47,000

備 考  
(가) 本表價格은 荷造包裝費를包含한 價格임  
(나) 本表價格은 朝鮮國立生絲檢査所의生絲檢査規則에合格된 것의價格임

(다) 本表價格은 本官이따로價格을指定하는時는適用치않음  
1947年8月1日  
中央物價行政處長 崔 泰 旭  
顧 問 리·이·로버츠

○ 中央物價行政處令 第八號  
法令第九十號第四條의規定에依하여絹織  
物의最高販賣價格을左와如히決定함

(別表) 絹織物의 最高販賣價格

規格番號	名	單位	生産者最高販賣價格	小賣業者最高販賣價格
1	本絹芳絹	1碼	122.00	155.00
2	本絹茶味紗	//	108.00	130.00
3	本絹老紡絹	//	116.00	139.00
4	本絹羽二重	/	98.00	118.00
5	本絹叫噤스	//	121.00	145.00
6	本絹熟素	//	116.00	139.00
7	本絹生明絹	//	53.00	64.00
8	本絹綾絹	//	156.00	187.00
9	本絹生尤羅	//	58.00	70.00
10	本絹紋張地	//	19.00	23.00
11	本絹鴉子線	//	155.00	186.00
12	本絹變綾	//	116.00	139.00

備考

(가) 本表의 絹織物 規格은 別表(絹織物規格表)에 依함 (나) 本表 價格은 荷造 包裝費를 包含한 價格

입

(다) 生産者 最高販賣價格은 生産者의 工場受渡價格 入  
 (라) 本表 規格에 不合格 되는 物品의 價格은 當該品 價格의 半額 以下로 함  
 (마) 本表에 記載되지 않은 規格의 物品에 對하여는 本表 中 類似品의 二割引 以下의 額으로 함  
 (바) 本表 價格은 本官 이마로 價格을 指定하는 時는 適用 치 않음  
 (사) 本表 價格은 織物稅를 包含 치 않은 價格 入  
 (아) 本表 規格에 該當하나 若干의 瑕疵 또는 汚點及 品質染色 不良한 物品의 價格은 當該品 價格의 二割引 以下의 額으로 함

(別表) 絹織物 規格 表

規番 格號	品 種	一反의		經 糸			緯 糸			組織	加工別
		長(碼)	巾(吋)	密度	品種	織度	密度	品種	織度		
1	本絹芳絹	30	27	72本	生糸	42中諸撚練	60本	生糸	84中練	平織	先練
2	本絹茶味紗	30	27	66本	//	42中諸撚	56本	//	63中	//	//
3	本絹老紡絹	30	27	80本	//	//	60本	//	56中	//	生地
4	本絹羽二重	30	27	72本	//	42中	53本	//	63中	//	//
5	本絹叫噤스	30	27	80本	//	56中	58本	//	{56中片撚 1200	//	//
6	本絹熟素	30	27	52本	//	42中	50本	//	126中練	/	//
7	本生明絹	25	15	80本	//	28中	55本	//	63中	//	//
8	本絹綾絹	30	27	66本	//	42中諸撚	84本	//	63中	綾織	//
9	本絹生尤羅	25	19	52本	//	28中	56本	//	84中	{獨紋織又 는 粗織	//
10	本絹紋張地	40	36	25本	//	21中	10本	//	28中	紗織	//
11	本絹鴉子線	30	27	150本	//	28中諸撚練	80本	//	28中3本 諸撚練	鴉子線	//
12	本絹變綾	30	27	72本	//	28中諸撚	70本	//	42中3本 諸撚	變粗織	//

備考

(가) 本表 規格은 織上品의 規格 入  
 (나) 密度는 七寸五分間의 最少 糸數를 表示하는 것 入  
 (다) 撚은 一米間의 撚回數를 表示하는 것 入

1947年8月1日  
 中央物價行政處長 崔 泰 旭  
 願 問 티•이•로비츠  
**○ 中央物價行政處令第九號**  
 法令第九十號第四條의 規定에 依하여 絹交織物의 最高販賣價格을 左와 如히 決定함

織物規格表)에 依함  
 (나) 本表 價格은 荷造 包裝費를 包含한 價格 入  
 (다) 生産者 最高販賣價格은 生産者의 工場受渡價格 入  
 (라) 本表 規格에 不合格 되는 物品의 價格은 當該品의 價格의 半額 以下로 함  
 (마) 本表에 記載되지 않은 規格의 物品에 對하여는 本表 中 類似品의 二割引 以下의 額으로 함  
 (바) 本表 價格은 本官 이마로 價格을 指定하는 時는 適用 치 않음  
 (사) 本表 價格은 織物稅를 包含 치 않은 價格 入  
 (아) 本表 規格에 該當하나 若干의 瑕疵 또는 汚點及 品質染色 不良한 物品의 價格은 當該品의 二割引 以下의 額으로 함

絹交織物의 最高販賣價格

規格番號	名	單位	生産者 最高販賣價格	小賣業者 最高販賣價格
1	交織芳絹	1碼	109.00	131.00
2	交織茶味紗	//	94.00	113.00
3	交織熟素	//	68.00	82.00
4	交織小絹熟素	//	42.00	50.00
5	交織無地生素	//	35.00	42.00
6	交織四綾	//	116.00	139.00

備考

(가) 本表의 絹交織物 規格은 別表(絹交



(別表) 絹 交 織 物 規 格 表

規 格 番 號	品 種	反 的		經 糸			緯 糸			粗 織 加 工 別	
		長(碼)	巾(吋)	密 度	品 種	織 度	密 度	品 種	織 度		
1	交 織 芳 絹	30	27	72本	生 糸	56中	諸 捻 練	55本	人 絹 糸	150데닐	平 織 生 地
2	交 織 茶 味 紗	30	27	66本	//	42中	諸 捻 練	54本	//	//	/
3	交 織 熟 素	30	27	48本	//	4 2 中		46本	//	//	/
4	交 織 小 幅 熟 素	25	14	46本	//	/		46本	//	//	/
5	交 織 無 地 生 素	30	27	48本	//	2 8 中		31本	//	1200데닐	獨 織 //
6	交 織 四 綾	30	27	78本	//	56中	諸 捻 練	64本	//	150데닐	綾 織 //

備考

- (가) 本規格은織上品의規格임
- (나) 密度는曲尺五分間의 最少糸數를 表示하는것임
- (다) 人絹120데닐을使用할時는代身150데닐을使用할수있음  
此時는密度10%以內의減少를認함
- (라) 人絹糸150데닐을使用할時는代身120데닐을使用할수있음  
此時는密度10%以上의增加를要함  
1947年8月1日  
中央物價行政處長 崔 泰 旭  
顧 問 디·이·로버트

絹織物의最高販賣價格은左와如히決定함

人絹織物의最高販賣價格

規 格 番 號	品 種	單 位	生 産 者 의 最 高 販 賣 價 格	小 賣 業 者 的 最 高 販 賣 價 格
1	双 人 絹	1碼	56.00	67.00
2	小 幅 双 人 平 絹	//	37.00	44.00
3	双 人 도 리 絹	//	77.00	92.00

備考

- (가) 本表의人絹織物의規格은表紙(人絹織物規格表)에依함
- (나) 本表價格은 荷造包裝費를包含한 價格임

(가) 生産者最高販賣價格은 生産者의 工場受渡價格임

- (라) 本表規格에不合格되는物品의 價格은 當該品의價格의 半額以下로함
- (마) 本表에記載되지않는 規格의物品에對하여는 本表中類似品의 二割引以下의額으로함
- (바) 本表價格은 本官이따로 價格을 指定하는時는 適用치않음
- (사) 本表價格은 織物稅를包含치않은 價格임
- (아) 本表規格에該當하나 若干의瑕疵 또는 汚點及品質染色不良한 物品의 價格은 當該品의價格의 二割引以下의額으로함

○ 中央物價行政處令第十號

法令第九十號第四條의 規定에依하여 人

人 絹 織 物 規 格 表

規 格 番 號	品 種	一 反 的		經 糸			緯 糸			粗 織 加 工 別
		長(碼)	巾(吋)	密 度	品 種	織 度	密 度	品 種	織 度	
1	双 人 平 織	30	27	43本	人 絹 糸	150 데닐	36本	人 絹 糸	150 데닐	平 織 生 地
2	小 幅 双 人 平 織	25	14	46本	/		38本	/		//
3	双 人 도 리 平 織	30	27	70本	/		45本	/		綾 又 는 誘 導 粗 織 //

備考

- (가) 本規格은織上品規格임
- (나) 密度는曲尺五分間의 最少糸數를 表示하는것임
- (다) 人絹糸150데닐을 使用할此時代身120데닐을使用할수있음 此時는密度10%以上의增加를要함  
1947年8月1日  
中央物價行政處長 崔 泰 旭  
顧 問 디·이·로버트

備考

- (가) 本表의비누規格은別表(비누規格表)에依함
- (나) 本表價格은 荷造包裝費를包含한 價格임
- (다) 生産者의最高販賣價格은 生産者의工場受渡價格임
- (라) 本表規格에不合格되는 物品의價格은當該品의八割引以下의額으로함
- (마) 本表價格은 本官이따로價格을指定하는時는適用치않음

비누規格表

規格第一號化粧비누

- (가) 製品에對한비누分 85%以上

規格第二號洗濯비누

- (가) 製品에對한水分 18%以下
- (나) 乾燥資料에對한비누分 82%以上
- (다) 乾燥資料에對한不鹼化分3%以下

1947年8月1日

中央物價行政處長 崔 泰 旭  
顧 問 디·이·로버트

○ 中央物價行政處令第十二號

法令第九十號第四條의規定에依하여석양의最高販賣價格은左와如히決定함

석양의最高販賣價格

品 種	1 匣 當 本 數	單 位	生 産 者 的 最 高 販 賣 價 格	小 賣 業 者 的 最 高 販 賣 價 格
大 型 석 양	6 厘 軸 1110 本 以 上	1 匣	30.00	35.00
小 型 석 양	6 厘 軸 65 本 以 上	//	3.10	3.50

備考

- (가) 本表價格은 荷造包裝費를包含한 價格임
- (나) 生産者最高販賣價格은 生産者의 工場受渡價格임
- (다) 下記各項 어느것에나 該當하는석 양의最高販賣價格은本表價格의六割引以下의額으로함  
一、6厘以下의細軸을使用한것

○ 中央物價行政處令第十一號

法令第九十號第四條의規定에依하여비누의最高販賣價格은左와如히決定함

비누의最高販賣價格

規 格 番 號	品 種	二 個 當 重 量	單 位	生 産 者 的 最 高 販 賣 價 格	小 賣 業 者 的 最 高 販 賣 價 格
1	化 粧 비 누	30 奴 以 上	1 個	15.00	18.00
2	洗 濯 비 누	100 奴 以 上	//	27.00	32.00

- 一、1厘當本數기本表本數에 達하지 못 하는 것
- 一、生産者의 商號及 商標를 表示하지 않는 것
- 一、本官이 不良品或은 劣等品으로 認定하는 것
- (라) 本表價格은 本官이 따로 價格을 指定하는 時는 適用하지 않음

1947年8月1日  
中央物價行政處長 崔 泰 旭  
顧 問 리·이·로버스

○ 中央物價行政處令第十三號

法令第九十號第四條의 規定에 依하여 電球의 最高販賣價格을 左와 如히 決定함

電球의 最高販賣價格

品 種	號 別	單 位	生産者의 最高販賣價格	小賣業者의 最高販賣價格
眞空電球	20號까지	1個	54.00	70.00

//	30號트	//	60.00	78.00
//	40號트	//	65.00	85.00
//	60號트	//	70.00	91.00
/	80號트	//	80.00	104.00
//	100號트	//	88.00	115.00
瓦斯入電球	40號까지	//	69.00	90.00
//	60號트	//	75.00	97.00
//	80號트	/	86.00	112.00
//	100號트	//	92.00	120.00
//	100號트以上	//	(每號 1.00)	(每號 1.00)

- 備考
- (가) 本表價格은 荷造包裝費를 包含한 價格
  - (나) 生産者의 最高販賣價格은 生産者의 工場受渡價格임
  - (다) 本表價格은 朝鮮電球工業組合暫定檢査規程에 定한 檢査合格品으로 檢査合格證明이 있는 電球의 價格

- (라) 未檢査品及 檢査合格證明이 없는 電球의 價格은 最高10圓으로 함
  - (마) 本表價格은 本官이 따로 價格을 指定하는 時는 適用하지 않음
  - (바) 美國産電球의 最高販賣價格은 下에 依함
  - 1. 政府의 拂下價格  
本表中眞空電球의 生産者 最高販賣價格에 2倍한 價으로 함
  - 2. 最終配給價格及 小賣業者의 最高販賣價格  
本表中眞空電球의 小賣業者 最高販賣價格에 2倍한 價으로 함
- 1947年8月1日  
中央物價行政處長 崔 泰 旭  
顧 問 리·이·로버스

○ 中央物價行政處令第十四號

法令第九十號第四條의 規定에 依하여 總工手靴, 運動靴及 勞動靴의 最高販賣價格을 左와 如히 決定함

總工手靴, 運動靴, 勞動靴의 最高販賣價格

種 類	文 數	單 位	生産者의 最高販賣價格	小賣業者의 最高販賣價格
1. 總 工 手 靴 (男子用)	十 文 以 上	1 足	145.00	175.00
//	八文以上—九文七	/	110.00	135.00
//	七文以上七文七	/	90.00	110.00
//	六文以上六文七	//	65.00	80.00
2. 總 工 手 靴 (女子用)	九 文 以 上	//	105.00	125.00
//	八文以上八文七	//	90.00	110.00
//	七文以上七文七	//	80.00	95.00
//	六文以上六文七	//	55.00	65.00
3. 運 動 靴	十 文 以 上	//	115.00	140.00
//	九 文 以 上	//	90.00	110.00
//	八 文 以 上	//	80.00	100.00
//	七 文 以 上	//	70.00	90.00
4. 勞 動 靴	十 文 以 上	//	165.00	200.00

- 備考
- (가) 本表價格은 荷造包裝費를 包含한 價格임
  - (나) 生産者의 最高販賣價格은 生産者의 工場受渡價格임
  - (다) 本表價格은 商務部工業局고무製品暫定檢査規程에 合格한 製品의 價格임
  - (라) 商務部工業局暫定檢査規程에 不

- 合格되는 物品의 價格에 對하여는 本表價格의 二割以內價格으로 함
- (나) 勞動靴, 運動靴에 있어 白色製品에 對하여는 本表價格에서 十圓을 除減한 價格으로 함
- (바) 商標이 表示된 製品에 對하여는 販賣를 禁止함
- (사) 本表價格은 本官이 따로 價格을 指定하는 時는 適用하지 않음

1947年8月1日  
中央物價行政處長 崔 泰 旭  
顧 問 리·이·로버스

○ 中央物價行政處令 第十五號

法令第九十號第四條의 規定에 依하여 自轉車用타이어及 異一號의 最高販賣價格을 左와 如히 決定함

自轉車用타이어及 異一號의 最高販賣價格

種 類	規 格	單 位	生産者의 最高販賣價格	小賣業者의 最高販賣價格
自轉車用타이어	28 1 3/8	1 本	333.00	400.00
//	26 x 1 3/8	//	295.00	355.00
自轉車用異一號	28 x 1 3/8	//	94.00	113.00
//	26 x 1 3/8	//	85.00	100.00

- 備考
- (가) 本表價格은 荷造包裝費를 包含한 價格임
  - (나) 生産者의 最高販賣價格은 生産者의 工場受渡價格임

- (다) 本表價格은 商務部工業局고무製品暫定檢査規程에 合格한 製品의 價格임
- (라) 未檢査品及 不合格品에 對하여는 本表價格의 5割以內의 價으로 함

(마) 本表價格은 本官이 따로 價格을 指定하는 時는 適用하지 않음

1947年8月1日  
中央物價行政處長 崔 泰 旭  
顧 問 리·이·로버스

○ 中央物價行政處令第十六號

法令第九十號第四條의 規定에 依하여 糧穀買上價格及販賣價格을 下와 如하에 決定함

一、買上價格

(種別)	(等別)	(噸當價格)	(噸當)
梗 粳	1 等	660.00	5 4 噸
"	2 等	640.00	"
"	等外	600.00	"
秈米種粳	1 等	640.00	"
"	2 等	620.00	"
"	等外	580.00	"
糯 粳	1 等	830.00	"
"	2 等	810.00	"
"	等外	770.00	"
梗 白米	1 等	970.00	6 0 噸
"	2 等	940.00	"
"	等外	980.00	"

種別은 買上價格의 各二割上으로 함

二、販賣價格

(種別)	(噸當價格)	備 考
梗 白米	16.70	(不合格品 噸當價格) 15圓 70 錢 1 斗(小) 當價格 一圓
糯 白米	21.50	" 1斗(小) 當價格 155圓
梗 粳	12.60	2等品 噸當 12圓 25錢 等外品 噸當 11圓 50錢
大 麥	13.46	—
裸 麥	14.45	—
小 麥	15.60	" 1斗(小) 當價格 150圓
胡 麥	12.60	—
麥 酒 麥	6.40	—
燕 麥	10.70	—

精 麥	15.60	" 1斗(小) 當價格 105圓
精 小 麥	15.85	
玉 蜀 黍	12.45	
寶 米	13.40	
小 麥 粉	21.00	
胡 麥 粉	20.00	
大 豆	16.60	

備 考

(가) 本表價格은 1947年9月15日以後受 渡糧穀에 對하여 適用함

(나) 本表價格은 產地別(輸入糧穀包 含) 等級別(除梗及日米)及品種別의 區別없이 此는 適用함

(다) 本表價格은 小賣業者의 店舖減價 率을 無包裝價格임

(라) 小賣業者에 對한 食糧事務所의 最高 都賣價格

(1) 最高 都賣價格

本表價格에서 其三分以內에 該當하는 項을 減價率에 包裝單位의 實重量을 相乘하여 算出된 額으로 함 但本表價格率의 決定은 各 道知事에게 一任함

(2) 受渡場所

市, 府에 있어서는 各洞 會堂事務所 所在地로 하고 區, 面에 있어서는 各邑面事務所로 함

(마) 本官이 別途로 價格을 指定하는 時는 本表價格을 適用치 않음

1947年11月1日

軍政長官의 指令에 依하여 中央物價行政處長 崔 泰 旭 顧 問 리·이·로버트

○ 中央物價行政處令第十七號

法令第九十號第四條及中央物價規則第 二號의 規定에 依하여 總洋襪의 最高販賣 價格을 左와 如하에 決定함

總洋襪의 最高販賣價格

規則 番號	品 種	單 位	生産者의 最高販賣 價格	小賣業者의 最高販 賣價格
5	男子用短 (四號)	1 位	25.00	30.00
6	同(五號)	"	26.00	31.00
7	同(六號)	"	26.00	31.00
8	同(七號)	"	23.00	28.00
9	同(八號)	"	27.00	32.00
10	同(九號)	"	26.00	31.00
11	女子用短 (一號)	"	24.00	29.00
12	女子用長 (二號)	"	46.00	55.00
13	學童用長 ( )	"	43.00	52.00
14	女學生用 長(一號)	"	43.00	52.00
15	同(二號)	"	42.00	50.00

(가) 本表의 總洋襪價格은 別表(總洋襪 規格表)에 依함

(나) 本表價格은 荷造包裝費를 包含한 價格임

(다) 生産者 最高販賣價格은 生産者의 工場受渡價格임

(라) 規格番號 第五號—第十一號品 을 染色하는 時는 四圓을 加算할 수 있음

(마) 本表價格에 不合格되는 物品의 價格은 當該品의 半額以下로 함

(바) 本表에 記錄되지 않은 物品의 價格에 對하여는 本表中 類似品의 2割引以 下의 額으로 함

(사) 本表規格에 該當하지 若干의 瑕疵 또는 汚點及 染色不良한 物品의 價格은 當該品의 價格의 二割引以下의 額으로 함

(자) 本表價格은 本官이 따로 價格을 指定하는 時는 適用치 않음

總 洋 襪 規 格 表 (別表)

規格番號	品 種	使用糸 番 手	一打의 重 量 (匁以上)	사 이 스	色 別	其 他	針 數	仕上樣式	位 上 寸 碼	사 이 스 寸 碼
5	男子用短 4號	20/1 × 2	120	24(程)	無色	발긔뒤꿈치及바닥에 20/1一本을 加綴할 것	(本以上) 120		26浬	9—10浬
6	" 5號	16/1 ×	150	"	"	" 16/1	"		"	"
7	" 6號	20/1 × 2	140	"	"	발긔뒤꿈치에 20/1 16/1一本을 交綴할 것	160		"	"
8	" 7號	10/1 × 1	120	"	"	발긔뒤꿈치及바닥에 20/1一本을 加綴할 것	120		"	"
9	" 8號	12/1				補綴糸無함	"		"	"
10	" 9號	14/1 × 1	160	"	"	"	"		"	"
11	女子用短	16/1 × 2	120	20	"	발긔뒤꿈치及바닥에 16/1一本을 加綴할 것	"		29	8—10
12	女子用長 2號	16/1	240	22	黑色	" 20/1	160	접단石付45浬	70—76	
13	學童用長	16/1 × 1	200	17	"	" 16/1	120	접단(石付)은 3 浬以上으로 縫造 是오바루子叉는	40—46	
14	女學生用 1號	16/1 × 1	210	20	"	" 20/1	160	접단(石付)35浬	70—76	

15 // 2號 16/1 \*1 190 18 // // // // 65-70

備 考

(가) 番手中(20/1)는3番手單糸(16/1×2)는16番手單糸2本別抽을指稱하는것  
 (나) (16/1×2)代身(16/2×1)를使用할수있음  
 (다) 자이스公差는長短6%로함  
 1497年11月1日  
 軍政長官의指令에依하야  
 中央物價行政處長 崔 泰 旭  
 願 問 리·이·모비쓰

二號의規定에依하야 總掌甲의最高販賣價格을左와如히決定함

總掌甲의最高販賣價格		生産者最高販賣價格	小販業者最高販賣價格
品 名	單 位		
總掌甲1號	1組	30.00	37.00
// 2號	1	30.00	37.00
// 3號	//	30.00	37.00
// 4號	//	31.00	38.00
// 5號	//	32.00	40.00

(附帶條件)

(가) 本表의總掌甲規格은別表(總掌甲規格表)에依함

(나) 本表價格은荷造包裝費를 包含함

價格입

(가) 生産者最高販賣價格은 生産者의 工場受渡價格입

(나) 本表規格에 不合格되는物品의價格은當該品의價格의半額以下로함

(다) 本表에記載되지않은 規格의物品에對하야는 本表中類似品의二割引以下로함

(라) 本表規格에該當하나瑕疵또는 汚點及品質不良한物品의價格은本表價格의二割引以下の額으로함

(사) 本表價格은 本官이따로價格을指定하는時는適用치않음

○ 中央物價行政處令 第十八號

法令第九十號第四條及中央物價規則第

規 格 表

總 掌 甲	名 用 途	一組重量	使用 糸	계-지(時回)	種 造	막음거리	기수거리
1 號	勞務者用	15 匁	10/1×5	7 本	모은고무또는단을접고고무縫接斗未續縫造는手縫으로할것	23乃至	
2 號	//	14.1匁	12 1 5	//	縫糸는4本(10番—14番)또는6本(16番—20番)으로하고고무縫接糸는고무解糸로할것	25匁	
3 號	//	//	14/1×6	//			
4 號	//	//	16/1×7	//			
5 號	//	//	20/1×9	//			

1947年11月1日

軍政長官의指令에依하야  
 中央物價行政處長 崔 泰 旭

願 問 리·이·모비쓰

○ 中央物價行政處令第十九號

法令第九十號第四條及中央價格規則第二

號의規定에依하야 國內用生糸의 最高販賣價格及輸出生糸의國內用最高販賣價格을左와如히決定함

一、國內用生糸의最高販賣價格 (單位10匁)

等級別	纖度別	特 優 等	優 等	特 等	一 等	二 等	三 等	四 等	五 等	六 等
14中		117.000	110.000	104.000	99.000	95.000	92.000	90.000	88.000	86.000
21中		110.000	104.000	99.000	95.000	92.000	90.000	88.000	86.000	84.000
28中		104.000	99.000	95.600	92.000	90.000	88.000	86.000	84.000	82.000
42中		99.000	95.000	92.000	90.000	88.000	86.000	84.000	82.000	80.000
63中		95.000	92.000	90.000	88.000	86.000	84.000	82.000	80.000	78.000
100中以下		—	—	—	86.000	84.000	82.000	80.000	78.000	76.000
101中以上		—	—	—	84.000	82.000	80.000	78.000	76.000	74.000

二、輸出生糸國內用最高販賣價格 (單位10匁)

等級別	纖度別	Special AAA	AAA	A A	A	B	C	D	E	F	G
14中		180.000	170.000	161.000	153.000	146.000	140.000	135.000	131.000	128.000	126.000
21中		171.000	161.000	152.000	144.000	137.000	131.000	126.000	122.000	119.000	117.000

(附帶條件)

(가) 本表價格은 國立絲檢査場에서施行하는 生糸檢査를반어 生絲檢査規則에 合格된生絲의價格입  
 (나) 本表價格은 農務部長或은農務部長이指定한代行機關의指定受渡場所에서販賣하는價格입  
 (다) 本表價格은 括絲文庫紙封印袋包裝用包裝等包裝用品費를包含치않은價格입으로 包裝用品一切은 製糸業者에게返還할것입

(라) 本表價格은 1947年7月1日부리生産한生絲에適用함

(마) 1947年8月1日附 中央物價行政處令第七號 (國內用生糸의最高販賣價格)는 此를廢止함

(바) 本表價格은 本官이따로價格을指定하는時는適用치않음

○ 中央物價行政處令第二十號

法令第九十號第四條의規定에依하야種數의最高販賣價格을別表와如히決定함種

穀最高販賣價格改正表(1947年12月15日)

種 別	食糧專賣所販賣價格	小販業者의販賣價格
	噸單位 價格	(比當)
梗白米	60 暭 1,132.00	19.45
粘白米	60 // 1,414.30	24.30
梗 粳	54 // 698.80	13.35
粘 粳	54 // 868.80	16.60
大 麥	42 // 600.90	14.75
裸 麥	60 // 925.40	15.90

小麥	60	969.00	16 65
胡麥	54	725 50	13 85
麥酒麥	54	945.50	18 05
燕麥	45	512.90	11.75
精麥	60	969 00	16 65
精小麥	60	1,015 60	17.45
玉蜀黍	60	797.30	13.70
寶米	4	640 80	14 75
小麥粉(袋)	22	493 00	23.10
胡麥粉(袋)	22	469 0	22.00
大豆粉(袋)	22	354 20	16 60

(附帶條件)

(가) 本表價格은 1947年12月15日 부터 實施함

(나) 本表價格은 庄地別, 品種別, 等級別의區別없이適用함  
但 白米, 胡麥以外는 等級別價格差를左와如히定함

白米及粗

小賣(貳當) 都賣(貳當)

一等品	等外品	一等品	等外品
(一) 1 00	(一) 60.00	(一) 35	(一) 75
(一) 20 00	(一) 40 00	(一) 20 00	(一) 40 00

(가) 本表의 小賣業者販賣價格은 無包裝價格임

(나) 本表의 食糧事務所販賣價格은 市府에 있어서는 各商會事務所所在地, 邑面에 있어서는 各邑面事務所所在地의 受渡價格으로 하고 小賣業者販賣價格은 各小賣業者의 店舖受渡價格으로 함

(다) 本表價格은 不得已한事情으로 容量單位로 換算實施할 境遇에는 道知事此을定하되 粳白米一斗(小)에 140圓, 粘白米一斗(小)에 175圓, 小麥精麥一斗(小)에 115圓을超過함을 不許함

(라) 種子用으로 食糧事務所가 買上한 粗의 販賣價格은 本表食糧事務所販賣價格에 左記金額을 加算함

一等品	132圓
二等品	128圓

(사) 本官이 別途로 價格을 指定하는 時는 本表價格은 適用치 않음

1947年12月15日

中央物價行政處長 崔 泰 旭

○ 中央物價行政處令第二十一號

法令第九十號 第四條의 規定에 依하여 糧穀買上價格及販賣價格을 下와如히 決定함

米穀及雜穀의 公定價格

(가) 1947年10月2日 附 南朝鮮 過渡政 府中央物價行政處令第十六號及同年 12月16日 附同處令第二十號를 1948年 1月20日 부터 如左 訂正함

(나) 1946年5月28日 附 法令第九十號 第四條에 依하여 糧穀의 最高販賣價 格을 下와如히 決定하여 1948年1月

20日 부터 實施함  
但 本令第三項 規定에 關하여는 中央 食糧行政處長의 同意를 得함

1 道食糧事務所의 買上價格

(種別)(等級)(貳當價格)(貳當重量)			
粳 粳 一等	660 00	54 貳	
〃 二等	640 00	〃	
〃 等外	600,00	〃	
同 在 來 種 一等	640 00	〃	
〃 二等	620 00	〃	
〃 等外	580 00	〃	
粘 粳 一等	830 00	〃	
〃 二等	810 00	〃	
〃 等外	770 00	〃	
粳 白 米 一等	970 00	60 貳	
〃 二等	940 00	〃	
〃 等外	880 00	〃	

粳種子販賣價格은 普通販賣價格의 二割高로 함

2 最高販賣價格

(種別)(等級)(販賣價格)(備考)			
粳 白 米 合格品	19.45	小斗當 140圓	
〃 等 外	18.49		
粘 白 米 合格品	24.30	小斗當 175圓	
〃 等 外	23.30		
粳 粳 一等	13.70		
〃 二 等	13.35		
〃 等 外	12.60		
糯 粳 一 等	16.95		
〃 二 等	16 〃		
〃 等 外	15.85		
粳種子粗 一 等 (貳當)	850.30	貳當54貳 有包裝價格임	
〃 二 等 (〃)	826 30	〃	
大 麥 等級無	14 75		
裸 麥 〃	15 90		
精 麥 〃	16 60		
小 麥 〃	16 65		
精 小 麥 〃	17 5		
胡 麥 〃	13 85		
麥 酒 麥 〃	13 05		
燕 麥 〃	11 75		
玉 蜀 黍 〃	13 70		
寶 米 〃	14 75		
小 麥 粉 〃	23 10		
胡 麥 粉 〃	22 00		
大 豆 粉 〃	16 60		

3. (附帶條件)

(가) 本表價格은 國產糧穀及輸入糧 穀의 區別없이 適用하며 南朝鮮各道 指定小賣業者의 店舖受渡價格임 但 種 子粗을 除外한 他糧穀에 있어서는 無 包裝價格임

(나) 道食糧事務所가 各小賣業者(通稱 米穀小賣商組合)에 販賣한 糧穀의 最

高販賣價格은 糧穀의 正味重量을 基 準으로 하여 販賣한 糧穀의 全量에 對 한 小賣價格의 95%로 함

但 如何한 境遇에라도 空隊는 道食糧 事務所의 所有이며 小賣業者는 即時 此를 返還하여야 함

小賣業者의 支拂한 都販賣價格이 從前 에 支拂한 空隊同收手數料은 補充하 기爲하여 低下되었음으로 道食糧事 務所에 空隊는 返還한 時에는 何等의 手數料은 支拂치 않 이 함

(다) 道食糧事務所는 小販業者店舖까 지의 糧穀運搬의 責任及 運搬에 關한 一 切費用을 負擔하여 이 함

(라) 消費者에게 糧穀을 販賣할 時는 可 能한 限 重量制로 實施할 것 임

1948年1月20日

軍政長官代理의 指令에 依하여

中央物價行政處長 李 敦 善 願 問 卷·에스·원스

○ 中央物價行政處令第二十二號

石炭의 最高販賣價格 決定에 關한 件  
法令第九十號 第四條及 中央價格規則 第 二號의 規定에 依하여 南朝鮮 產石炭及 輸入石炭의 最高販賣價格을 附帶條件付 로 左와如히 決定함

(品 種) (單 位) (朝鮮石炭配 給會社最高 販賣價格)

南朝鮮產無 煙精塊炭	一屯當	3,500 00
同無煙粉炭	〃	2,700 00
同有煙炭	〃	2,500.00
輸入有煙炭	〃	4,000 00

(附帶條件)

(가) 本表價格은 下記에 依하여 適用됨  
1 施行期日 1948年3月5日 부터  
2. 適用을 받는 數量 ... 全部

(나) 本表價格은 購入者所在 驛까지의 鐵道及 船舶의 運送費及 荷役費를 包含 한 價格이며 購入者所在 驛頭에서 의 荷役費及 取扱費는 購入者의 負擔으 로 함

(다) 小賣業者의 最高販賣價格은 各道 知事及 市廳市長이 決定함

(라) 輸入有煙炭에 限하여 運輸部及 朝鮮石炭配給會社가 購入하는 南朝鮮沿 岸港灣本船受渡購入價格은 一屯當 3,000圓으로 함

(마) 本官이 別途로 價格을 指定하는 時는 本表價格은 適用치 않음

1948年3月1日

軍政長官指令에 依하여

中央物價行政處長 李 敦 善 願 問 卷·에스·원스



# 經濟論叢



## 서울市內各新聞經濟社說一覽

1945.8.15 ~ 1947.12.31

△서울市內에서發刊되는日刊新聞三十三種(新聞名後末記載)에依함

(가 나 다 順)

論 題	掲載年月日	紙號	論 題	掲載年月日	紙號
<b>家 政 新 聞</b>			石炭隘路와經濟危機 1947. 11. 3 561		
戰災歸還同胞의救濟	1946. 5.28	66	<b>京 鄉 新 聞</b>		
均衡되지 못한物價	6.11	80	對日賠償問題의重大性	1946.11.23	43
主婦와생활	7.21	120	財政인공예의必要性	1947. 4.17	165
生活의危機	7.26	125	緊急한物價對策	5. 6	180
<b>工 業 新 聞</b>			貿易의條件	6.27	225
技術人發奮之秋	1945.11.11	3	貿易政策에對하여	10. 1	306
自主經濟와工業立國	12.10	5	官紀을肅清하라	10.16	319
8.15後工業界現象	12.16	6	米穀一定量의自由輸入을許하라	10.23	325
朝鮮自動車工業會社에一言	12.18	7	<b>독립신문</b>		
緊急한自動車工業確立	(12.19 12.20)	8 9	民生問題解決에對한一考察	1947. 3.15	9
油政策은重大	12.21	10	罹災民을援護하라	6. 5	19
電力의重要性	12.20	11	敵産拂下에對하여	7.16~18	54~59
工場再建의難	12.26	14	謀利墮維新派歷史	(8. 3 8. 6 8. 7)	70 72 73
米價政策에對하여 農政當局에一言	1946(3.6 3.7)	67 68	許可權의簡易化를要求함	8.20	84
米收策의計實性	3.29	87	不穀取締에一考를要請	10.21	136
建國工業博覽會開催에對하여	8.17	206	<b>獨立新報</b>		
工業博覽會開催에對하여	10.19	252	緊急한生活對策을要望함	1946. 6. 1	31
理工業學校不祥事에對하여	12.12	298	五大使北朝鮮行에際하여	6. 2	32
勞動은神聖	1947. 2. 8	332	生必物資配給公正을期하라	6. 6	36
管財令第八號에對하여	2.16	339	米飭爭議에關하여	6. 8	38
日人技術者招聘問題에對하여	2.18	340	全韓의團體契約權獲得에際하여	6.15	45
敵産拂下不可	6.21	417	夏穀價格과物價問題	6.16	46
敵産拂下의謀利墮墮動	7.17	430	電車荷算計畫에對하여	6.20	50
資材輸入을重點으로貿易當局에猛省促求	7.18	431	食糧難과重點配給의適正化	6.26	56
生産增強과企業融資問題에對하여	8. 7	445	水災救濟運動의積極推進	6.28	58
外貨獲得과嶺山開發策	9. 5	469	全韓의世界勞務加入을祝함	7. 3	63
企業과融資問題	9.11	474	主權과外國貿易	7.14	74
衰退의機械工業解剖	10. 2	492	物資増産의根本策을樹立하라	7.16	76
輕工業의今後發展性	10.17	509	食糧對策을再論함	7.18	78
産業復興과國土計畫	10.23	514	京畿市營問題	7.20	80
<b>工業經濟新聞</b>			食糧對策과謀利墮	7.22	82
經濟要路者에의要項	1947.10.22	545	農村孤立化의危機를警告함	7.23	83
秋穀收策政策에對하여	10.23	547	獨立政權과借款	8.20	108
			食糧危機를如何히克服할것인가	8.21	109

敵産家屋의 不正 占領을 肅清하라	1946. 8. 24	112
國內産業復興을 再論함	8.27	115
對外貿易에 對하여	8.28	116
食糧 打開의 道	9. 8	122
食糧政策의 再檢討	9.20	137
物價暴騰과 民衆生活	9.25	141
罷業의 展望	10. 4	142
政治와 民生問題	10.11	148
貨幣事件에 對하여	10.26	161
最近의 農村事情	12.13	202
戰災民衆을 救護하라	12.19	207
料子 閉鎖를 斷行하라	12. 5	212
米穀收集狀況에 對하여	12.27	214
惡性物價高에 直面하여	1947. 1. 4	219
金과 貨幣	1. 5	220
物價와 農民	1. 9	223
戰災同胞을 再論	1.14	227
官營事業의 物價引上問題	1.22	234
商品 退還을 監視하라	1.26	238
鹽價物資配給의 修正을 期하라	2. 28	266
收集米價의 問題 米價引上 必要	10.15	458

東亞日報

經濟攪亂의 封鎖	1945.12. 7	7
謀利權에 對한 警告함	12.12	12
戰災同胞을 救恤하라	12.13	13
生産에 獻身하라	12.14	14
日人財産處理問題	12.17	17
米價統制에 對하여	12.22	22
奸米商은 反省하라	1946. 1. 4	35
米穀配給問題	1. 9	40
米公價를 撤廢하라	1.14	45
食糧危機를 克服하라	1.21	52
米穀配給에 營利는 不當	1.24	55
市場을 整備하라	1.30	61
物價의 根本政策을 要望	2. 5	66
經濟警察을 強化하라	2. 9	70
生産에 힘쓰자	2.11	72
食糧의 緊急事態...自由輸入의 暫定的措施가 必要	2.16	77
經濟犯의 嚴罰을 主張한다	2.17	78
日人土地處分問題	3. 9	98
日人土地處分問題를 再論함	3.10	99
謀利權을 放棄하라	3.11	100
失業者對策問題...産業機關建設이 必要	3.19	108
經濟의 逆行行爲를 嚴戒	3.21	110
食糧의 危機를 克服하라	3.30	114
課稅에 價値하라	4. 4	119
食糧政策의 貧困姑息策을 버리라	4. 8	123
經濟攪亂者의 肅清	4.13	128
豫算의 無定見	4.14	129
黨派의 革新	4.29	144
手-바의 偉人한 使命	5. 6	150
또-한 賠償委員一行의 來朝	5.18	162
戰災民의 生活對策	6. 4	179
統制經濟의 綱制(法令30號發布)	6.13	188
協同組合運動의 強化	7. 9	204
水害救濟의 緊急	7.10	205

經濟統制의 矛盾性	1946. 7.16	
民主經濟樹立과 國際貿易	7.18	
孤立된 價格統制	7.20	
勞動立法의 方向	7.24	
強力한 物價對策을 要望	7.25	
貿易政策의 檢討	7.31	
勞動行政強化의 意義	8. 2	225
夏收收集을 強行하라	8. 8	
日人財産과 우리의 主張	8.10	
戰災同胞救濟策을 要望	8.11	
米穀統制과 生必需品統制	8.14	
米穀收集의 檢討	8.17	
크레딧設定과 우리의 要求	8.20	
米穀政策의 是正	8.25	
民生의 救濟政策	8.28	
貿易政策의 不徹底	9. 4	
戰災同胞을 救濟하라	9.11	
食糧行政과 責任政治	9.20	
米穀政策의 再檢討	10.10~12	277~279
暴利의 限界	1947. 1. 8	7,171
謀利權을 肅清	2. 4	7,194
크레딧設定과 其他事項	2.11	7,209
管財會撤廢를 期함	2.12	7,210

大東新聞

物價問題에 對하여	1945.12. 8	
穀價 調節에 對하여	12.26	32
共生組合	1946. 1. 21	53
民生의 窮乏	1.23	55
食糧問題에 關聯하여	1.30	62
食糧問題	2.11	74
食糧難의 根源	3. 8	
山林盜伐을 防止	3.13	
食糧問題를 再論함	4. 2	
通貨急整理	4.10	
生活地獄	4.19	
榮榮	6.17	
低物價政策을 確立하라	6.24	
外國貿易과 그 方法論	7.24	
土地改革의 正體	9.20	
配給制度와 資本主義	9.21	
糧穀增配를 斷行하라	10.16	
無政府狀態의 配給路線	1947.2.20~21	386~
勸農의 意義	6.27	

民衆日報

實業의 復興과 增進	1945.10. 7	
財產家의 奮起를 促함	10.31	
物價調節策에 對하여	11.15	
建設事業의 促進	12. 9	
生活難과 當局者	1946. 1.12	
다시 糧穀에 對한 策을 肅待함	1.15	81
「土地」移動과 緊急措置을 要望	1947. 6.24	續刊 66
美國輸入物資에 對하여	8. 3	101
朝鮮을 正解하라...補將軍을 맞이하면서	8.27	121

서울신문

時急한 物價政策配給制強化를 提唱	1945.11.28	
-------------------	------------	--

奸商謀利豈是憲治하자	1945. 12.12	20
計畫的인生産과消費	12 16	24
無定見한食糧對策	1946. 1.13	52
政治와經濟	1.15~18	54~57
은막救濟會使節을歡迎	1.20	59
日本重工業機械의課稅稅	2. 8	77
新營公社合의改正을보고	3.15	112
南北朝鮮土地政策의根據	3.16	113
食糧飢饉의對策	3.30	127
五一 時大使의北行에期待	5 20	13,914
偽幣事件公判에對하야	7.28	13,972
크레딧트設定에對하야	8 21	13,993
웨트마이 어特使에對한期待...		
朝鮮工業實情調査에對하야	1947 8 30	14,301
戒飾令食糧行政	10.26	14,350
米穀收集의合理的方法	10.29	14,352

水産經濟新聞

水産業의史的意義에關聯하야	1946. 1.15	248
水産業의重要性	3 15	252
水産輿論의紊亂	4 15	254
産業政策와行政	6 12	258
統制經濟와資本의性格	6 14	260
百貨店의低物價政策	6 15	261
食糧政策와夏穀價格	6 16	262
水産의重要性和水産教育의特殊性	6 18	263
對外貿易의統制와振興	6 21	268
經濟의倫理化	6 22	267
經濟의自主性	6 23	268
勞動力의計畫的配置	6 25	269
棉絲와畜貿易	6 26	270
輸送力增强的急務	6 28	272
貿易政策으로서의自由企業	6 29	273
生産의技術的指導	9 30	274
資金과勞動力	7 2	275
出血禁止의重大性	7 3	276
勞動의間接的輸出	7 4	277
國際貿易의本質	7 5	228
水産貿易의前途	7 7	280
商標權의惡用	7 9	281
最高價格制實施에對하야	7 10	282
新聞企業과高利資本	7 11	283
價格統制에의進展	7 12	284
國富資源과基本政策	3 13	285
對外貿易의基本條件	7 16	287
産業復興策樹立의時急性	7 19	290
貿易業者의免許制	7 20	291
輸出促進과物價統制	7 23	293
國民生産力의基礎	7 27	297
國民經濟의工業的育成	7.28	298
勞動行政의整備	7 30	299
日本漁區擴大의影響	7.31	300
貿易業者의免許	8 2	302
管理工場施策에對하야	8 3	303
勞資協調의形態	8 4	304
生産과民族의自己保障鬮爭	8 6	305
通貨政策에關한期하야	8 7	306
資金難과軍政廳保證貸付	8 8	307

物資의流通統制	1946. 8. 9	308
美國의크레딧트朝鮮은時期尙早	8 11	
勞働法의制定	8 13	
水産團體의路線	8.18	
産業資金의重點貸付	8 20	
外國物資輸入의計畫性	8 21	
公正貿易의主張	8 22	310
饑饉에의抗謀	8 27	
米穀暴落과食糧對策	8 30	
民生問題의解決策	8 31	
水産貿易은生産機關에	9 1	
經濟政策의先務	9 4	
中央經濟委員會에期待	9 8	
工業博覽會에期待	9.10	
漁業許可와漁民保護策	(9 11 9.12)	
水産業의重要性	9.13	
對外貿易과計畫經濟	9.14	
漁業用鹽配給에適正期하야	9.17	
水産資金과團體의重要性	9.21	
海苔生産과對日貿易	9.24	
緊急物資輸入과配給의合理化	9.25	
食糧對策과生産絶對量	10. 4	349
罷業解決의高眼點	10. 5	350
在外財産撤入의惡義	10. 6	351
食糧對策과民生改善	10 12	356
育成課稅의強化	10.23	365
貿易差와國民經濟의破綻	10 26	
國內日人財産과賠償問題	11.13	383
水産對策의貧困	12.16	
水産團體의指導性問題	12 20	
魚市場經營의主體問題	1947. 1 ~11	425~427
貿易資金은生産團體에	1.24	
漁業利權運動과業界의混亂	1.25	438
漁業政策의當面問題	3.21	484
敵産處分에公正期하야	4 8	498
漁業資金의緊要性	4 9	499
水産物輸出의一步前進	4 19	509
水産團體는非敵産	4 26	514
遠洋漁業開拓의緊要性	4 27	
漁業權處分에提言	4.29	
水産資源確保하야	5 1	
港灣政策具體하야	5 3	
危機에直面한水産資金	5.11	
輸出海若代價清算하야	6.12	
釜山漁市場의突決에對하야	6.20	
資金融通과業者의覺悟	6 21	
負債還償과業者의覺悟	7. 2	
漁民의提唱한對日賠償	7 5	
問題의서술中央漁市場	7. 7	
敵産拂下의國民의要請	7.18	
價格設定委員을擴大하야	7.25	
鮮魚輸送과業者의要請	7.31	
水産保護와當局의施策	8 2	
緊迫한魚鹽稅을打開하야	9 29	
水産資源의保護對策	10 1	
民族通商과遠洋漁業	10 24	
水産部設置의緊急性	10 28	



海運建設對當面課題	1947. 10 29	669
<b>世界日報</b>		
專賣品統制品의私賣	1947. 2.20	6
敵産의管理問題	2 23	9
開城人蔘押收問題	2-27	12
美軍政에의提議 - 民生問題와貨幣問題	3-14	25
美軍政에의提議 - 生産増強의對策	3-16	27
對日賠償對敵産問題	3-16	29
對日賠償對相殺說	3-27	36
軍政管理財産의諸由來	4. 4	43
生産生活對商利生活 - 物價政策을고치자	7.15	130

敵産의賣却問題	(7.17 7.18)	132 133
新會計問題 - 理事陣意慢에問責함	7-24	138
戰災民地方分散策	8 24	165
嶺山開發策과物食供給	9. 4	173
物價低落과生産退縮	9 9	178
災民假幕의破壞是證함	9-17	185
入超貿易對謀利	9 20	188
勞資間摩擦의特徵	9 24	131
南北分割과經濟調聯性	10. 3	199
食糧需給策과要點是正	10 4	200
船廠의야간資源活用	10 5	201
輸入의許可와投機	10. 8	203
謀利, 軟弱과人物問題	10-12	207
無許可의高利貸金業	10 14	208
商務部의大量配給評	10-15	209
舶來品의大量出産	10-17	211
米穀運搬禁止의實情	10-26	219
民衆生活苦의激化	10-30	222
戰災民救濟住宅對謀利	11 5	227
人物對財貨	11 6	228
實踐은는需給表	11-14	236
勞作對報酬	11-20	241
鐵道大量休運과그責任	12-23	244
節電苦對配電에의非難	12-16	263
高物價促進의一面	12-23	269
汽車運轉休止의受難性	12-28	274
米配給의弊端에對하여	12-30	275

**新朝鮮報**

失業者對策	1945 10. 9	5
小作關係의改善	10.12	8
細民生活對物價高	12. 5	58
米價昂騰의緊急對策	12 7	60

**自由新聞**

日人財産의處分問題	1945.10. 5	21
計畫의必要性	11 5	32
科學技術施策에對한要望	11 6	33
朝鮮勞動組合全路의結成	11 8	35
物價問題와政治的救急	11 12	39
通貨膨脹과社會惡	11 16	43
經濟生活의破滅을救하자	12 4	61
五一 使節의賠償意見	12 5	62
緊急한生活安否對策	12 9	66

全國農民組合의結成	1945, 12 10	67
李承武에反省하마	12 11	68
日人財産의軍政廳接收	12 19	76
白米最高小賣價格의決定	12.21	78
石油對策樹立問題	12.22	79
保護救濟施策의必要	1946 1.11	83
食糧不安과地主의反省	1946 1.11	99
國民消費生活對愛國心	1.14	
生活倫理의發揚	1 19	
「윤리」에感謝한다	1 24	
生産能力의強化	1.27	
살의容赦를는누구나	2 2	
米穀收集令의實施	2 13	
日用品工業을일으키라	2 23	
船舶對船口問題	2 25	
東洋-拓殖의回顧	3.11	
經濟力崩壞의防禦	2 12	
日本人所有農地問題	3.13	
政治不安과食糧의浪費	3.15	
所有權階級의覺醒을促함	3 18	164
食糧問題와當局의責任	3 23	
米穀難打開과密告政策	3 29	
食糧難打開에民間團體活用	4 1	178
武器로서食糧	4 2	
女性勞動者의處遇	4 4	
新課稅法規에對하여	4. 5	
食糧對策臨時案에對하여	4.12	139
改正된新韓公社會	5 9	215
五一 使節節北朝鮮觀察報告	5 21	227
農村의工業化問題	5.23	229
漁業當面問題에對하여	5 27	
五一 使節北朝鮮觀察報告	6. 6	
消費者로서의婦人의自覺	6 13	
朝鮮勞動運動의一大進展	6.15	
夏穀收集期에臨하여	6 16	
海外歸還同胞의住宅問題	6 17	
今年水害의教訓	6 27	
北朝鮮勞動法令의實施	6 29	
水害後의食糧對策	7. 7	
朝鮮貿易對世界貿易會社說	7.17	
最高價格實施에對하여	7.20	
食糧謀利의肅清	7.22	
南朝鮮對外貿易問題	8. 6	
夏穀秋穀收集에協力하마	8.11	
美의對朝鮮크레딧트設定說	8 12	
經濟論壇의貧困	8 24	
生産昂揚과政治力	8 25	
工業生産增強과技術者	8 26	
對中貿易의現狀	3 28	
生産管理者의背任	8 30	
外貨輸入과우리의覺悟	9 19	
燃料問題에對하여	9 24	
生活擁護의目的	10 3	
輸入品一割課稅에對하여	10.25	
貿易困難에當面하야	10.29	
技術者의問題	10.30	382
有畜農藥의獎勵	11. 2	385
米穀供出에對하여	11.14	397

謀利輩의 虛擲	1946 11.17	400
戰災民의 住宅	11.21	404
食糧政策과 必需品	12 4	417
食糧難과 政治人	12.15	428
生活必需品을 分配하랴	12 20	433
戰災民과 朝三暮四	12 29	442
暴利의 限界	1947. 1.11	452
輸入物資의 消費의 拒絕	1.14	455
謀利輩의 愛國心	2.13	485
經濟復興과 民生問題	2.20	492
食料品의 到着과 物議	2.21	493
物價高과 對策	2.22	494
閉城蔘菜組合解散問題	2 25	497
戰災同胞의 根本對策	2.27	499
借款의 獨立	2 28	500
通貨膨脹과 生産力	3 22	521
生活確保의 艱業	3 25	522
造林과 綠化運動	4 5	529
豫算收支均衡의 確保	4.19	541
朝美貿易에 對한 對策	7 11	623
新韓公社問題· 運營權朝鮮人에게 넘기랴	7 22	634
水害의 恒久對策의 樹立	8 1	644
美國의 南朝鮮援助案	8 24	667
外國援助의 自力問題	10.13	721
米穀收集과 輸入禁止問題	10 24	727
交通事故의 防止對策	10 26	729
米穀少量輸入과 代案	10.28	731
過冬準備과 市民生活	11.15	749
失業者의 境遇	11 21	755
電力을 節約하랴	11.28	762
生活倫理의 昂揚	11.30	764
年末援護事業의 推進	12.17	781

朝鮮日報

緊急한 生活對策	1945.12.10	6,941
經濟建設과 對一 國大 使聲明	12.12	6,694
物價의 危機	12.14	6,945
日人財產의 接收	12.17	6,946
經濟援助의 限界	12.24	6,955
米穀難의 問題點	1946 1. 9	6,971
南北統一은 엇지 되나(經濟面)	2. 7	6,999
南米北肥-을 交換하랴	2.11	7,003
食糧難打開策	2.12	7,004
金組活動에 期待	2.23	7,015
經濟建設을 急히 하랴	3 7	7,024
日人財產處分	3 8	7,025
農土處分問題	3.13	7,030
食糧難과 資金	3.22	7,039
高物價抑制策	3.31	7,042
稅政의 一考察	4 3	7,045
農村으로 가랴	4 6	7,048
米穀自由販賣을 實施하랴	4.10	7,052
米價의 前途	4 11	7,053
農家의 生必需品	4.12	7,054
軍政財政의 方向-一建設運에 努力하랴	4.14	7,056
銀行의 當面任務	4.18	7,060

生必需品統制	1946. 4.23	7,0
對一 國大 使一行의 來朝	5 6	7,0
對一 國大 使에 期待	5 17	7,0
鐵道運營에 一言	5 19	9,0
對一 國大 使節北朝鮮動靜	6 1	7,0
經濟統制再現	6 13	7,1
醫療費問題	8 11	
米穀收集과 食糧對策	8 18	
在日同胞의 資金輸入問題	9 10	
米穀自由輸入買賣默許하랴	9 20	
戰災民對策없는가	9 24	7,1
蔘菜對策	10 2	7,1
戰災民을 如何 救濟策을 必要	10 22	7,1
米穀收集을 爲하야	10 24	7,1
貿易의 計畫性	10 29	7,1
建設費의 昂揚	(10.31 11. 1	7,1 7,1
過冬과 生活苦	11 8	7,1
建國과 救濟	11 14	
對日賠償問題	11 19	
糧食節約의 世界的 協力	11 22	7,2
通貨膨脹에 對策없는가	12 3	7,2
用紙對策에 積極性을 要함	12 5	
敵產拂下는 斷行하랴	12 7	
戰災民救濟에 果敢한 政策을	12 28	
時急을 要하는 交通政策	12 29	
産業再建과 朝美關係	1947. 1. 5	
米穀收集을 完成시키자	1 8	
配給機構의 強化	1.22	
物價對策에 對하랴	1.23	
戰災民은 農村으로	2 2	
行政權移讓과 新民政長官	2.11	
生活改善에 對策은 없는가	2.22	
對一 國大 使의 報告採擇	2.25	
美國의 새로운 朝鮮政策	3.13	7,
南朝鮮援助案	4. 3	7,
山에는 나무 江에는 물	4. 4	7,
少量米穀出入再考要請	10.29	
戰災民救濟의 對策과 限度	11.25	7,
民生問題에 對하야 關係當局에 斷함	12. 3	7,
電力問題와 技術者整備	12.23	

朝鮮人民報

産業再建과 勞動組合運動	1945.11.27	
經濟獨立이 獨立없다	12. 6	
物價對策의 方向	12.15	
生活과 民主政權	1946. 2. 6	138
日本財產과 朝鮮의 經濟의 再生	3.11	
食糧難과 우리들의 要求	3.26	
豐年飢饉의 責任은 누가 지나	3 28	
北朝鮮勞動法令을 보요	7. 6	
크레딧트와 民主議院	8 22	

朝鮮中央日報

世界經濟의 危機	1947. 9. 2	135
----------	------------	-----

中央新聞

建設과 要求...經濟에 重하랴	1945.11. 2	
------------------	------------	--

過渡期的經濟相	1945. 11. 6	6
糧菜을 할리開始하자	11.10	10
小作料三分之一割는實施되나	11.15	15
農民의 底力 產業回復과 協助精神	11.17	17
工場運營의 條件	11.18	18
農組總聯盟結成의 意義	12.11	41
米穀經濟政策에 對한 疑問	12.21	51
反對會의 謀利과 그 對策	1946. 1. 8	68
살은 어찌 되느냐	1.11	71
軍政과 經濟政策	1.16	76
經濟界의 均等問題	1.27	87
通貨問題의 將來	1.30	90
北朝鮮中央銀行設立을 爲고	2 1	92
米穀對策과 收集會에 對하여	2 8	96
米穀事件과 民族의 道義心	2.14	102
進行하는 인구에 對策의 急務	2.22	110
食糧欠缺의 切迫性	2.23	111
新韓公社令의 修正	3.12	128
北朝鮮土地改革에 對하여	3.13	129
民生의 飢餓은 深刻化	3.17	133
春耕期農民에게 寄할	3.27	144
食糧問題再論	3.29	146
農村에 生必需品을  주자	3.31	128
食糧難의 影響	4 6	154
經濟再建에 對하여 敵產管理人		
을 中心으로	4.12~13	160~161
米價와 生活難	4.28	176
新韓公社令 改正	5 9	186
美食糧救濟案과 朝鮮	5.17	194
五一 使節의 來朝	5.19	196
生産人과 媒介人	5.22	199
産業貿易政策에 關하여	5.26	206
飢災問題 救濟에 對하여	6.13	221
經濟建設의 急務	6.17	225
經濟再建과 勞動問題	6.26	234
水害對策에 萬全期하라	6.28	236
北朝鮮勞動法令에 對하여	7 8	246
水害復興對策에 對하여	7.12	250
謀利取締의 適正	7.15	253
深刻한 生活問題	7.18	256
僞幣事件公判에 對하여	7.24	262
住宅難과 敵產家屋	7.23	266
全新의 世界芬聯加入의 意義	7.29	267
米穀政策早期確立하라	8. 4	273
公定價格의 潛跡	8 8	277
夏穀收集과 警察力發動	8 9	278
債款案을 反對할	8 21	289
新韓公社와 그 運營	1947. 8. 5	385
地租의 現物徵收制	8.14	393
使節一行을 맞으며	8.27	404
貿易과 計畫의 統制의 必要	8.31	408
生活指導原理	9 4	411
新朝鮮援助의 性格과 限界	10. 5	438
食糧節約運動	10.11	443
米穀收集價格을 引上하라	10.25	455
失業對策에 對하여	11 17	475
美對敵援助의 歸還	11 24	482
職域配給의 矛盾	12.14	500

中外經濟新報

鑛發物資處分에 對한 一年	1946. 2.28	
實情모는 經濟政策	3 4	
對外貿易보다 앞서는 問題	3 5	
通貨을 防止하라	3 7	
金融政策의 失敗	3.11	
復興援助와 朝鮮의 需求	3 12	
露店整理에 對하여	3 13	
商品의 質의 向上	3.14	
世界芬聯代表來朝의 意義	3.19	
揮發油의 物價	3.20	
農村을 電化하라	3.22	
稅率稅制의 再檢討	3 25	
經濟의 現狀	9 26	86
外來客漁의 取締	3 27	87
鐵道網의 擴充	4 1	91
經濟即生活	4 2	92
그레시알法則의 社會化	4 5	95

中外新報

水害緊急對策세우라	1946. 6.27	67
低物價政策과 米價	7 7	79
勞動爭議와 政黨	7.12	82
産業建設과 敵產管理	7.14	
朝美借款과 民議	8 19	
市民을 爲한 食糧對策세우라	9.19	
살을 爲하야 民衆의 소리들드르라	9.22	
살과 담배	1947. 6.22	

漢城日報

食糧과 物價調整... 米穀統制實施을 爲하고	1946 3. 4	
食糧對策案... 輿論에 따라 勇斷하라	4 1	
新經濟人 待望	4 5	
經濟界의 自主組織	4.12	
戰災民 援護와 農耕問題... 新韓公社에		
一言할	4.14	43
僞造紙幣事件	5.15	
五一 使節來朝의 意義	5.18	
芬聯의 五個年計畫	(6.15 6 16)	
金融組合의 再發足	6 24	
敵產住宅의 適正한 措置	7.11	
低物價政策의 堅持	7.12	
對外貿易의 要綱을 보고	7 21	
僞幣事件의 是非	8 8	144
新韓公社解體說... 解體 말고 善良保管하라	8 14	149
緊急한 食糧對策... 輿論대로 勇斷하라	9 21	182
食糧難과 罷業擴大 誠意로 急速解決하라	9.30	190
米穀政策과 收集會	10.12	196
民生問題와 政治指導	1947. 1.28	287
管財令第八號 斷然 撤廢하라	2 4	293
謀利取締의 取締	2.14	301
借款과 食料	2 22	310
藝業振興의 救濟策	6. 8	400
對外貿易의 先行條件	7.31	

米穀政策及民生之困難	1947. 10. 26	520
節電及盜電	11. 23	544
新生活運動의推進	12. 16	562

現代日報

在日朝鮮人財産問題	1946. 6. 24	91
對外貿易案에對하여	7. 26	123
크레딧트를停止하라	8. 15	146
借款物資에對하여	1947. 2. 20	185
國産品愛用하자	7. 10	304

解放日報

小作料三七割의意義	1945. 10. 28	6
朝鮮의經濟復興에對하여	11. 20	11
經濟上自由主義를排擊하라	12. 6	22
五一 卽大使의意見發表	12. 18	30
黨案對策을樹立하라	1946. 1. 16	45
黨綱綱과그對策	2. 9	59
土地問題解決에對하여	3. 15	87

서울市內各新聞經濟論說一覽

1945. 8. 15 ~ 1947. 12. 31

△서울市內에서發刊되는日刊新聞 十三種(新聞名後末記載)에依함

(가 나 다 順)

論 說	筆者	掲載年月日	紙號	論 說	筆者	掲載年月日	紙號
<b>工業新聞</b>				工業建設의基本課題	李愚石	1947. 3. 8~11	355~357
朝鮮의死活과石油統制	朴致煥	1945. 12. 22~26	11~ 17	緊急한自動車工業	金喆浩	4. 13~15	36. ~368
工場運營에對한技術人의方針	松 간	12. 29	17	産業建設의基本課題	李鍾萬	4. 23 4. 24 5. 6	375 376 378
燃料을自給自足本意로	朴榮壽	1946. 1. 9~13	20~ 24	朝鮮黨業의強化策	金容瑛	5. 10~14	388~390
電力政策에對한私見	李宗日	1. 14~20	25~ 34	수리나라黨業資源	松潤生	5. 17~20	388~390
土木完成을錦繡江山을	金海林	1. 22~25	35~ 38	黑鉛資源에對하여	松潤生	5. 23~24	393~394
莊美케	金龍震	1. 26~2. 1	39~ 44	黨業界의展望	具慶馨	5. 31~6. 1	400~401
鐵業政策에의提言	金奎禧	2. 7~ 8	47~ 48	鐵業과燃料問題	朴曾桓	6. 4~ 5	402~403
鐵維工業再建에關한小考	沈昇澤	2. 10~14	50~ 53	紡紗工業의進路	金奎禧	6. 6	404
發明政策樹立提案	鄭明石	2. 28 3. 6	63 67	南鮮電氣工業의概況	權秉憲	6. 10~12	407~409
朝鮮의工業과없는物品에對한考察	李栢圭	2. 28 3. 5	63 66	商務政策에對하여	韓昇寅	6. 11~15	408~412
鐵道電化必要性을論함	金性圭	3. 7~15	68~ 75	肥料工業概況	崔漢石	6. 15~18	412~414
朝鮮의쓰事業	李愚石	3. 12~15	72~ 78	農地開發事業의展望	張千駒	6. 20	416
産業建設을爲하야	金龍岩	3. 19~22	78~ 87	電氣事業概況	尹日重	6. 12~26	417~420
工業政策樹立의基本課題	李栢圭	3. 26~27	84~ 85	食品工業에對하여	崔宗仁	6. 24~27	419~421
朝鮮産業再建에對한卑見	韓元國	4. 26~5. 4	111~117	鐵道電化의必要性	李栢圭	6. 27	421
鐵業設計圖	李秉鎭	6. 9~6. 11	148~149	産業建設의基本策	李鍾萬	7. 1	424
特許院의使命	韓鎭洙	7. 3~7	168~172	敵産의了決方法	李羨錫	7. 1	424
工業原料現況과將來의利用	白想烈	8. 15	205	朝鮮産業再建의基本方針	河允道	7. 13 7. 18 7. 19	427 431 432
通貨物價(經濟建設一年)	金鍾射	8. 15	205	自主經濟과自給自足確保	金龍震	8. 1 8. 6	443 444
鐵業(經濟建設一年)	金鍾健	8. 15	205	통조림工業에對하여	韓鍾健	8. 8~ 9	446~447
經濟( / )	閔奎禧	8. 15	205	南鮮貿易統制方針	崔漢熙	8. 13~15	450~452
商業( / )	金奎禧	9. 8 9. 12	225 227	朝鮮油臘工業의發展過程	李栢圭	9. 9	472
朝鮮의鐵維工業에對하여	李順石	10. 12~15	246~248	朝鮮工藝의改善策	白承烈	9. 17~19	479~481
工藝指導에關하여	金喆浩	11. 3	265	陶磁器의史的片考	洪春杓	9. 25~27	486~488
工業建設과家庭工業	韓鎭洙	11. 13	273	南朝鮮電氣現狀	鄭海鏡	10. 17~18	509~510
管理人制度에對한提議	吳信慶	1947. 1. 7~ 9	218~320	農民文藝研究	林日敏	10. 24~26	515~517
燃料의現況과將來	安車赫	2. 7	331	朝鮮機械工業의發展性	安福永	10. 30~31	520~521
工業建設의方法				黨業工業의發展策	産業再建協會	11. 1~ 8	522~528
				朝鮮産業振興의當面課題	申哲暉	11. 11~13	530~532
				製鐵工業의有源性	韓元國	11. 14~15	533~534
				工場運營의合理性		11. 16~19	535~537

臺灣取締의 限界	金潤壽 1947. 11.26~27	543~544
配給機構一元化	產業建設協會	12. 4~ 5 550~551
探礦法進化에 對하야	A.D.H.	12. 6~ 7 552~553
南朝鮮電氣事業과 電力對策		12. 9~11 554~556
石炭과 石炭의 革命	A.P.H	12.12~11 557~560
인부 移 送과 工場 運 營	金慶鎮	12.17~18 561~562
産業과 配給	尹澤重	12.20 564
動力 利用에 對하야	林日植	12.26 569
荊棘의 今年 發生 連障	特 輯	
// 油 脂 工 業	//	12.12 557
// 工 半 工 業	//	12.13 558
// 製 紙 工 業	//	12.14 559
// 紡 織 工 業	//	12.16 560
// 燃 料 工 業	//	12.17~20 561~564
// 皮 革 工 業	//	12.21 565
// 窯 業	//	12.23~24 566~567
// 絹 織 物 工 業	//	12.25 568
// 鐵 業	//	12.26 569
// 機 械 工 業	//	12.27 570
// 製 藥 工 業	//	12.28 571
// 電 球 工 業	//	12.31 373

工業經濟新聞

朝鮮産業再建論	河允道 1947.10.21~22	544~545
工業金融의 展望	張基榮 10.21~22	544~545
朝鮮工業의 立地 條件	陸芝修 10.23~24	547~548
朝鮮貿易의 展望	— 10.23~24	547~548
水利建國論	朱碩均 10.28~30	551~553
工半工業 展望	崔大英 11. 2~ 4	556~557
貿易國策 確立	金益均 11 5	558
鑄物工業 建設	金成雲 11. 8	561
水利開發 統合論	張千駒 11.15~19	568~570

京 鄉 新 聞

對米借款에 對하야	張基榮 1946.10. 8~ 9	3~ 4
貿易朝鮮의 傾向	金正道 10 9	4
賦稅의 産業再建	洪 又 11. 3~ 5	26~ 27
貿易朝鮮의 性格	洪 又 11 7	29
朝鮮貿易의 政策과 理 念	崔萬熙 11 7	29
經濟統制의 刑罰	黃鍾律 11.20~21	40~ 41
敵對物價의 朝鮮現狀	洪 又 11.28	47
物資統制의 核心	— 11 28	47
臺灣戰敵産의 運營	— 12.12	59
敵産運營의 工政策	尹喆濟 12.12	59
飢饉禁止令의 是非	柳學坤 12.12	59
歪曲의 食糧政策	李 珉 1947. 1. 4	77
經濟朝鮮의 丙戌版	洪 又 1. 4~ 9	77~ 81
南洋工半産業의 現狀과 將來	韓丹寅 1 9	81
管財令에 對하야	洪 又 2 9	108
養蠶對策의 方向	陸芝修 2.13	111
蠶利蠶池의 對하야	梁元一 2.20	117
金融管理의 運營을 朝鮮經濟再建目標에 對하야 (管財令)	金鐘錫 2.20	117
朝鮮銀行券廢止의 私考	張基榮 3.13	135
土地改革은 어떻게 實施할 것인가	金俊輔 4. 3	153

現下物價動向의 特異性	李順輝 1947. 5. 1	177
物價歸趨의 工解決策	李有信 5 1	177
逆効果를 酒造禁止令	丁貞燮 5.29	200
通貨安定과 地金	張基榮 10. 5~ 8	310~312
工業朝鮮의 振興方略	安東赫 10 5	310
貿易朝鮮의 將來	李昌烈 10 7	311
水利開發 統合論	張千駒 11.25~26	353~354

光 明 日 報

朝鮮貿易의 展望	李英培 1947. 5. 1	104
經濟再建의 方向	王明燦 5.20	119
南朝鮮産業復興論	崔虎鎮 5.20	119

獨 立 新 報

解放前朝鮮의 經濟	朴 一 1947 (2.20 3. 7 3 15)	6 8 9
北朝鮮의 土地改革을 論 함	金子煥 6.17	29

獨 立 新 報

厚生事業의 諸課題	李昇浩 1945. 8. 4	94
朝美借款과 나의 見解	崔虎鎮 8.21	109
//	黃道淵 8.22	110
//	尹行重 3.24	112
//	李順輝 8.25	113
食糧打開策	崔虎鎮 10.16	152
/	李 珉 10.17	153
/	金 喆 10.18	154
商工業은 國家本位로	李車善 12.21	209
戰後國際資本體制의 民主主義發展問題	朴景洙 1947. 1. 5~ 9	220~223

東 亞 日 報

朝鮮水産界의 現狀과 工 對策	鄭文基 1946 4. 8~ 9	123~124
朝鮮貿易의 展望	羅翼鎮 5.27~6.5	171~180
經濟回顧一年	洪性夏 8.15~22	236~240
土地政策의 批判	洪性夏 10.29~11.7	7,112~7,120
外國貿易의 現狀	羅翼鎮 11.5 7,118	7,118
	11.14~16 7,120	7,130
朝鮮經濟의 民主化	李順輝 (1946.12. 1 7,141	7,141
	12. 5 7,144	7,144
	12. 1 7,141	7,141
朝鮮經濟의 歷史의 性格	洪性夏 (12.11 7,149	7,149
再現實情勢	12.15 7,153	7,153
	1947.1.7~11 7,170~7,174	7,170~7,174
管財令第八號修正을 보 고	姜辰國 4. 4~ 9 7,246~7,249	7,246~7,249
土地改革案을 提議함	金容甲 6.1~ 4 7,291~7,296	7,291~7,296
危機에 直面한 歐洲經濟	特 輯 6.29 7,397	7,397
生必需品配給機構一元化을 爲하야	河允道 10.26~30 7,420~7,423	7,420~7,423
食糧政策再考	姜辰國 11.14~20 7,436~7,441	7,436~7,441
現實易政策再檢討	羅翼鎮 11.23~30 7,441~7,450	7,441~7,450
解放二년간의 朝鮮經濟	特 輯 12. 2 7,451	7,451
軍政三年간의 足跡(經濟)	// 12.14 7,462	7,462

大 東 新 聞

戰時生活	李鍾榮 1946. 3.31~4.1	122~124
------	--------------------	---------

食糧對策의根本的是正 老要望	朴鼎欽	1946. 4. 4~12	126~134
失業對策과經濟建設	黃龍雨	11. 5~ 7	297~299
當局의物價對策을要望	高萬化	2.26	340
인부 對防止을講究하라	金玉斥	1947. 1. 9	350
低物價政策에協力要望	崔泰旭	4.17~19	434~436
于拓事業斷想	朱碩均	11.12~13	609~610

大衆新報

夏設政策計畫의矛盾性	崔玄漢	1947. 6.17~18	75~ 76
------------	-----	---------------	--------

民衆日報

美國의援助外朝鮮의經 濟再建	李健赫	1947. 4 10	4
美國의經濟援助外朝鮮 經濟再建策	천좌삼	4.20	13
對中貿易의國情性	羅翼嶽	4.20	13
勞動運動의現段階	錢嶽漢	4 27	19
朝鮮勞動運動의理念	錢嶽漢	5 1	22
通貨膨脹과當面對策	魏錫南	5. 7~ 8	26~ 27
農村의過去外現在外將 來	洪性夏	6 5~11	50~ 55
遠洋水産會開拓하라	朴和根	7 10	80
工業朝鮮建設의當面課 題과그對策 .化學工業	金東一	7 25	93
電氣工業	李宗日	7.25	93
土建工業	吳丹燮	7 25	93

서 울 신 문

貨幣價值安定策의原則	張基榮	1946 2 8~ 9	77~ 78
食糧物價等緊急對策	民 戰	2.18	87
建設에는電氣器材確保 가喫緊하라	尹日重	2 20	89
鋼材燃料確保에全力하 라	劉在晟	2 24	93
인부 對對策의一考察	白想烈	4.12	13,877
纖維工業의將來	李升基	6.16	13,936
鐵道電化를提議함	李栢圭	6 21	13,940
都市計畫管見	洪淵植	6.23	13,942
朝鮮貿易의基本方向 (特輯)	朝鮮貿 易研究	8 4	13,978
食糧對策의全面的再檢 對의必要性	姜錕澤	9 22	14,020
工藝品을企業化輸出에 注力하라	李順石	10 13	14,030
金融...通貨의安定縮少 가急務	具鎔晉	1947. 1. 7	14,105
貿易...借款獲得을輸出 振興	金度演	1 7	14,105
纖維工業·建設資材輸 入의必要	金東一	1 7	14,105
農業·土地改革의急務	玄 一	1 7	14,105
科學技術·人材를大量 養成	安東赫	1 7	14,105
餘利의限界에對하여	金準坪	1 14	14,107
電力...技術難을資材懸	尹日重	1 18	14,111
鑛業...南北統一되어야 發展	李鍾萬	1 18	14,111
水産...漁場을漁民의손 으로	柳龍大	1 18	14,111
水運船...船隻統一이急 務	李載淳	1.18	14,111

英國產業國營의露趨	—	1947 1.28	
暴利限界解說	李 仁	(2. 4 2. 8)	14,125
管財令第八號即時撤回 하라	李鍾萬	3. 1	14,147
通貨政策을確立하라	權石臣	3 8	14,153
對日賠償獲得이인부 對 防止의捷徑	張鳳鎬	3.15	14,159
鑛業再建의捷徑은運營 을鑛業人손에	金鍾射	3 22	14,165
管財令完全撤回하라	李泰煥	3.29	14,170
水産業의將來	特 輯	4.12	14,182
飛躍한수익을鑛業	柳慈秀	4.19	14,188
工業의計畫建設	姜辰國	5. 3	14,199
産業國有公營社會化是 非	張基榮	5 10	14,205
年産하는나라를만들자	吳基永	5.17	14,211
生産이요은問題解決	潘善鎭	5.31	14,223
外國貿易의對한一博覽	襄慶道	6. 7	14,229
開發한黃金帶問題	崔秉協	6 14	6,233
基本課題解決이必要	潘聖賢	6 21	14,241
南方貿易을興起	成煥基	6 28	14,247
發達建設의大強化	韓相因	7. 5	14,253
海運과國家	韓 介	19	14,265
農村電化의意義	洪基永	(7 19 7.22 7 26 7.29)	14,265 14,267 14,271 14,273
石油의策을提議함	朴鳳熙	7 26	14,271
企業과良心	朴元植	8 2	14,277
敵寇의運營問題	梁在勳	8. 9	14,283
現下貿易에對하여	金東哲	8 16	4,289
油脂工業의復興策	秦熙昌	8 23	14,296
配電業務의現況	金鍾南	8 30	14,301
木材統制問題	劉載煥	9 6	14,307
換金銀行의指向	安鶴烈	9,13	14,313
南朝鮮石炭事情	李春履	9,20	14,319
海洋漁業의緊急性	朴永默	10 4	14,331
産業銀行의發想	金永徵	10.11	14,337
外貨獲得과觀光事業	朴寅秀	10,18	14,343
通貨補償의確保 (對日賠償과鑛業再建)	具鎔晉	10 25	14,349
對日賠償을聯合國의朝 鮮援助의捷徑	張鳳鎬	11 1	14,355
朝鮮의賠償을講和會議 에서優先解決하라	權石臣	11 8	14,361
新通貨制必要	李鍾泰	11.22	14,373
債權回收가緊急	金敦哲	11.29	14,379
農業·農地開發週年 (自主經濟建設의一年)	張千駒	12 6	14,385
貿易 自主性喪失	尹澤重	12.13	14,391
鑛工...採鑛依然不振	姜辰國	12.20	14,397
金融...正當化를前進	張基榮	12,27	14,403

水產經濟新聞

朝鮮水產的使命	洪淳龍	1946. 1.15~31	248~250
漁業組合制度改革論	卓長濟	5 15	255
水產發展的意義	柳龍大	6.10~12	256~258
水產解放實記	柳龍大	6.16~25	262~269
朝鮮貿易小論	洪哲	7 17~19	288~290
水產再建的指標	姜志元	1947. 2. 6	448
消費生活斗自由	姜志元	2 9	451
水產業的現況斗將來	趙大熙	2 9~12	451~453
地中海漁業的一考察	李 植	2.13~14	454~455
漁市場經營的一構想	李在豪	2 21	461
鮫鱈網漁業的現況	金世德	3.12~13	476~477
海上行政改善單一化	金龍周	3.18~19	481~482
水產再建斗刺激性	趙漁生	3.29~4 1	490~491
複利漁業急等問題點	韓重健	4 3	494
漁業斗資金問題	金世德	4 10~11	500~501
漁村的食糧事情窮迫	4 12~13	502~503	
遠洋漁業場開拓的指針	4 16~17	505~506	
敵產處分的一考察	4 18~19	507~508	
水產製造業的一考察	韓重健	4.23~5 4	511~520
稚魚之愛護計	朴茂東	4 7~ 8	522~523
청어生體斗檢査調查	朴茂東	5.13~15	527~529
水產行政的一考察	文廷植	5 16~25	530~538
水產陣營的廓清強化	成基成	5 27~28	539~540
海運發展的一危機	金承幹	6.13	554
朝鮮水產業的現段階	趙壽夏	1 26~27	565~566
西洋漁場에對한考察	鄭仁澤	7.10~8.17	577~582
理想的의野蔬食料品	鄭仁澤	7 21~22	585~586
서울水産市場의살결	李知新	7.29~30	592~593
水產金融의效果	張鳳麟	8.20~21	610~611
漁撈斗漁港建設	醉洲生	8 23~24	613~614
鯨油의利用價值	李克垣	8 2~ 4	621~623
對外貿易斗水產業	吳 守	8.24~27	614~616
遠洋漁業의將來性	金炳國	9.13~14	631~632
水產行政에對한小論	9.27~29	642~644	
水產立國論	東海生	10. 3~ 9	647~651
漁村經濟更生策	卓長濟	10 15~17	657~659
水產運營的一編	劉泰勳	10 23~29	664~669
漁村文化建設의課題	11. 9~11	679~680	
干瀾地開發의重要性	鄭仁澤	11.14~15	683~684
五이漁業의變遷	鄭仁澤	12 22~23	714~715
漁材増産의先決策	金在赫	12.24	716

世界日報

海運建設의振動譜	金顯濟	1947. 8. 5~ 7	184~150
朝鮮農民의要求	趙敏衡	12. 9~11	257~259

新朝鮮報

戰後世界體制의展望	高承濟	1940.1. 1~11	85~ 92
產業斗金融	李賢振	1.13	94

自由新聞

勞動者運動의展望	金洗求	1946.1. 1	89
朝鮮의土地農民問題解決의基本的課題	朴景漆	1 1	89
產業建設斗國大	金在乙	10.14	366
通貨의轉換	張基榮	11.11	394
食糧統制所感	元容興	11.25	406

貨幣價值小論

邊利限界的解說	趙岐輔	1946. 12 30	443
金保有の緊急策	李 仁	1947. 1.25~ 2 1	460~467
農地開發の國營論	金海東	3.10	510
貿易對策考	張汗鈞	3.16	516
中央銀行の創設	姜群部	9 1	675
輸出貿易の吟味	金永徵	9 29	713
	洪 又	11 17	751

朝鮮日報

豐年飢饉の解決策	金翰容	2. 5~ 7 5,997~1,999	999
產業復興の緊急提案	吳基永	2,13~18	7,005~1,010
食糧自由販賣制時急實施計	成尙勳	4 3	7,045
當局の米穀政策에對한	金翰容	4 6	7,048
朝鮮商工業將來の一課題	韓昇寅	8 4~ 8 7,120~7,125	
食糧、通貨、生計	李健赫	3 31~3 4	7,144~7,147
三八線斗產業再建	安東赫	11 17	7,205
韓中貿易の現在斗將來	羅翼傑	12 1	7,217
戰後美國斗對美貿易	柳一澤	12 1	7,217
戰後美國の對外經濟政策展望	高承濟	12 24	7,236
產業再建斗救止	河允道	1947 1. 1	7,243
朝鮮の經濟方面課題	趙岐輔	1 5	7,245
借家法急實施計	閔丙基	1.19	7,257
美國勞動運動の動向	高承濟	1 26	7,263
國土斗山林愛護	洪道仁	4 2	7,319
朝鮮經濟の今後方向	具容雲	8 21~22	7,430~7,440
農村經濟는混亂	金顯實	10 4	7,476
戰後恐慌斗美經濟	高承濟	11 2~ 9	7,501~7,507

朝鮮人民報

借款斗朝鮮	金永浩	1946. 8 26~27	338~339
借款斗朝鮮獨立	金永浩	8.30~31	342~343

朝鮮中央日報

謀利權親	鄭玄三	1947.10.17	174
농군의하소연	李德劍	10 30	185
土地改革斗森林	劉載煥	12 9	219
經濟制度斗傳統	金一出	12.27~31	235~238

中央新聞

金融國營投機撲滅으로經濟破綻을克服	韓奎錫	1945.11. 3	3
朝鮮의農地問題	成尙勳	11. 7~ 8	7~ 8
朝鮮의通貨整理는(南北의單一化を基調로貨幣改革이緊急)	金漢周	11.10~11	10~11
產業建設의方向	李忠浩	11.13	13
物價暴騰의原因斗對策	尹行重	12. 8~ 9	38~39
過渡期經濟의展望斗經濟混亂의全體性	星山生	12.19~20	49~50
貿易朝鮮의前途洋々	///	1946. 2 13~16	101~104
新韓公計新發足에對한	韓基輔	3 ~10	126
建國經濟斗朝鮮銀行券の將來	金錫濬	3.17	133
新貨幣對策은物價暴買安定에	張基榮	3.17	133

土地改革與藝術家的任務	李箕永	1946. 4.12	169
通貨與物價	怡南亭人	8 3	384
民間貿易의 二大問題	張基榮	8 3	384
米穀收買計劃에 對하여	金翰容	8. 7~11	387~391
對日賠償問題와 우리 의 主張	張仁何	9 2	409
		9 3	410
皮革工業의 展望	朴文壽		
爲 替率의 策定	張基榮	11. 1~2	461~462
金融界의 資金	金永徵	11 1	461

中外經濟新報

過渡期工業의 現狀	林恒國	1945. 12.11	2
物價와 生産의 停滯	李錫淡	12.14	5
經濟建設을 爲 替時勢	金鍾億	12.15	6
인平의 特質과 對策	趙岐鎔	12.18	8
統制經濟와 우리 生活	朴來都	12 21	11
産業資本의 謀利化防止	林恒國	12.22	12
中小工業의 發展策	姜聲籍	12.24	13
通貨와 預金의 關係	河祥鏞	12.25~26	14~ 15
通貨調節에 對하여	趙岐鎔	12,27	16
南北朝鮮의 地下資源	金鍾射	1946. 1. 1~ 4	19~ 20
金政策에 對하여	趙岐鎔	1 1	19
戰後聯合國經濟情勢	姜聲籍	1. 5~ 7	21~ 22
인平의 本問題	趙岐鎔	1.14~18	28~ 32
赤字財政等 當面問題	林 簡	2. 4~ 7	46~ 48
管財令第八號와 朝鮮 産業의 將來	姜辰國	2.20~28	59~ 66
管財令과 米利盟	姜辰國	3. 9	73
經濟建設과 穀物輸入	林 簡	3.11	74
中國經濟의 現狀과 朝鮮 貿易의 展望	崔萬熙	3.12~18	75~ 80
蘇聯의 經濟發展의 史的 分析	金泓洙	3.27~30	87~ 90
再轉換期에 處한 美國 經濟	金相邊	4. 3~ 4	93~ 94
失業對策論	李允珪	4. 9~10	98~ 99
經濟建設과 統計上으로 是 朝鮮勞動階級	金 瓚	4.12	101
		4.15	102

中外新聞

物價는 通是는 社會相		1946. 8.15~16	113~114
工業朝鮮建設의 方策	安東赫	9.15	142

漢城日報

日人財産處分案과 朝鮮 農村의 再建	李瑄根	1946. 3. 9	12
--------------------	-----	------------	----

新韓公社의 創立法令을 보고	李瑄根	1946. 3.11	14
企業公團論...經濟獨立 基礎의 方法	崔益煥	1947. 5. 1	368
經濟政策과 土地	襄成龍	6.18	408
産業國營問題	襄成龍	6.19	409
生産과 勞動立國...少年 勞動法의 必要	吳基永	6.22~23	412~413
産業國有化의 指向	曹圭熙	9. 7~ 9	478~479

現代日報

經濟對策	朴克采	1946. 4.14	21
土地改革의 歷史的 意義	崔昌益	4.26~29	33~36
工業建設의 階段	襄準鎔	4.29	36
金融組合은 어디로	朴景洙	6.28~30	95~97

解放日報

計費經濟의 本質	千里馬	1945.11. 7	9
物價安定對策	鐵 治	11.20	11
産業機構再建의 勞動問題解決의 鍵	中人委	12 8~ 9	24~25
協同組合運動의 現狀과 展望	朴景洙	3. 4~ 6	76~78

參照新聞目次 (가나다順)

家 政 新 聞	서 울 신 문
京 鄉 新 聞	世 界 日 報
工 業 經 濟 新 聞	水 產 經 濟 新 聞
工 業 新 聞	新 朝 鮮 報
國 際 日 報	~ 리 신 문
光 明 日 報	自 由 新 聞
노 력 인 민	朝 鮮 人 民 報
大 公 日 報	第 一 新 聞
大 韓 日 報	朝 鮮 日 報
獨 立 新 報	朝 鮮 中 央 日 報
大 東 新 聞	中 央 日 報
大 衆 新 聞	中 外 經 濟 新 報
동 령 신 문	中 外 新 報
東 亞 日 報	漢 城 日 報
民 衆 日 報	解 放 日 報
서 울 夕 刊	現 代 日 報

各綜合雜誌重要經濟記事目錄

1945.8.15 ~ 1947.12 31

- |               |            |               |
|---------------|------------|---------------|
| 1. 一 人 口・資 源  | 5. 運 輸・遞 信 | 9. 財 政・金 融    |
| 2. 3. 産 業・貿 易 | 6. 食 糧・勞 動 | 10. 其 他(特殊問題) |
| 4. 動 力・燃 料    | 7. 物 價・市 況 |               |
|               | 8. 景 氣・投 資 |               |

※ 分類順序는 本年誌總目次編成에 準한 同一項目에 있 어서는 가나다順 各種機關誌의 記事는 割愛 하고 經濟雜誌記事는 從末에 一括記載함

1. 一 般	日 簽 者	掲載雜誌	卷 號
計費經濟와 蘇聯	俞 鎮 元	民主主義(週報)	20號

經濟建國私案	李 健 赫	新 世 代	創 刊 號
經濟安定과 國東	趙 東 弼	개 한 민 보	9號
經濟再建의 路線	韓 具 寅	東 光	40, 41號
經濟政策에 對하여	李 如 松	人 民 評 論	8號



經濟學入門	陸芝修	新 潮	創刊號
第二次世界大戰	金永浩	科學戰線	2卷4號
美國資本主義	崔虎鎮	新 天 地	2卷4號
美國戰後經濟的當前問題	朴仁民	民主主義(週報)	6號
北朝鮮民主建設的概觀	鄭泰植	—	4, 8, 9號
北朝鮮에 있어 서의 民主主義의 世紀的發展	李健赫	婦 人	創刊號
經濟混亂과 主婦의 覺悟	李如松	民主主義(報週)	19號
北朝鮮人民經濟的建設計畫	金日成	— ( // )	26號
北朝鮮人民經濟計畫의 完全勝利	北朝鮮人民委員會	科學戰線	2卷3號
北朝鮮人民經濟的發展	李成實	—	2號
三相逢의 朝鮮의 經濟的獨立	高承濟	新 天 地	2卷3號
世界經濟의 新展望	李北滿	—	10號
生애트經濟史의 考察	邊鶴鎮	民主主義(報週)	3號
生애트의 第四次五個年計畫	—	新 世 代	3, 4號
蘇聯의 新五個年計畫	朴曙雲	民 聲	3卷11號
蘇聯協同組合의 改革	孔元相	建國公論	創刊號
新朝鮮建設의 經濟段階	黃道潤	科學戰線	3號
人民經濟建設과 企業計算	—	新 天 地	2卷10號
日本經濟의 將來	李北滿	民族文化論文集	—
李滿末葉의 社會經濟分析	—	東方時報	2號
資本主義分配思想의 批判	劉秉默	民 聲	3卷10號
戰後世界再建의 動向	李基洙	科學戰線	創刊號
朝鮮經濟建設의 基本方向	朴克禾	新 天 地	5號
朝鮮經濟概觀	—	新 天 地	3號
朝鮮經濟界의 動向	李清源	新 世 代	4號
朝鮮經濟建設의 根本問題	崔弘基	民 心	2卷2號
朝鮮經濟再建의 新方向	高承濟	朝鮮春秋	創刊號
朝鮮社會經濟史	白南雲	人民評論	1, 2號
統制經濟의 計畫經濟	尹行重	科學戰線	2卷4號
解放後의 朝鮮經濟의 實相	張基榮	新 天 地	2卷2號
解放後一年間의 經濟	—	民 聲	2卷9號
現代美國經濟의 動向	高承濟	新 天 地	8號
現代俄國西의 政治經濟動向	高承濟	文 化	3號

2. 人 口 · 資 源

國土計畫의 提議	安京模	建 國 公 論	創刊號
我國經濟再建과 天然資源	崔英朝	建 國 公 論	3卷2號
李氏朝鮮世祖의 北方移民政策	李仁榮	叢壇學報	15號
資源政策의 緊急性	金在弘	人民科學	2號
朝鮮人口都市化의 實態	中央經濟研究所	太 平 洋	3號

3. 產 業 · 貿 易

建國朝鮮農業政策의 基本課題	安秉烈	科學戰線	2卷4號
工業建設과 技術	安東赫	新 天 地	2卷8號
工業朝鮮의 刊	—	서한민보	2號
教育建設과 土地改革	金鍾億	신교육건설	創刊號
國民經濟建設과 鐵工生産額成方向	任文桓	서한민보	3.5號
國共土地政策의 比較研究	毅 民	新 文 化	2號

企業의 健全性	李健赫	白 民	3卷4號
南朝鮮土地改革法案	—	서한민보	13號
農業經濟과 土地制度改革	洪性夏	再 建	3號
農業技術의 見地에서 본 土地國有論의 再檢討	洪基昶	新 天 地	9號
農業方面으로 본 美國과 朝鮮農業의 將來	金勳	亞美利駕	創刊號
貿易界에 보낸 말	黃時淵	新 天 地	創刊號
貿易問題	—	서한민보	6號
貿易入超企의 對策	金奉鎮	—	13號
物價高升과 對外貿易	金淵水	—	5號
紡織業과 棉花問題	—	—	16號
先進各國의 小作科 工聯工黨管理의 形成過程	金鍾億	民主主義(週報)	6號
蘇聯의 農業政策	金昌周	科學戰線	2卷4號
新羅國民의 主義的 活動	李辰永	新 天 地	10號
新羅의 土地制度	黃義敦	조선교육	2號
新韓公社論	明容俊	民 聲	3卷10號
漁業振興策講究의 必要性	李如松	科學戰線	2卷5號
李朝太祖의 私田改革運動과 建國後의 實績	金鑑朝	建國公論	4卷3號
臨政樹立과 朝鮮工業의 將來	李相伯	叢壇學報	15號
一年間產業界의 動向	朴仁植	民主主義(週報)	21號
自由獨立과 產業建設	朴文圭	新 世 代	4號
政治와 產業建設	柳澤圭	晉 命	創刊號
朝鮮工業建設上의 諸問題	吳善煥	民 聲	2卷11號
朝鮮工業建設과 技術教育	姜成世	科學戰線	創刊號
朝鮮工業의 諸問題	安金東	조선교육	3號
朝鮮農業生産關係考	安東赫	朝鮮週報	2卷1號
朝鮮農業의 發展	朴文圭	人民科學	2號
朝鮮農村에 關한 數字의 考察	金鍾億	科學戰線	3號
朝鮮貿易의 指向性과 現實	羅承表	民衆朝鮮	創刊號
朝鮮鐵鋼工業의 現實과 發展	張基榮	서한민보	6號
清朝에 있어 서의 土地制度와 農民狀態	朴正圭	科學戰線	3號
土地改革과 民主主義	李辰永	民族文化	3輯
土地改革과 補償問題	姜宇霖	新 天 地	創刊號
土地改革과 農民解放	金奉鎮	新 天 地	2卷8號
土地改革管見	金相謙	서한민보	5號
土地改革問題	金鑑朝	建國公論	4卷2號
土地改革의 民主政策의 根本課題	金容甲	文 化	3號
土地改革의 歷史的意義	—	民主主義(週報)	23號
土地改革은 어떻게	崔昌益	女性公論	2卷1號
土地問題	李辰永	民主主義(週報)	25號
土地問題과 北朝鮮土地改革	—	서한민보	3號
現段階의 朝鮮土地問題	姜聖宰	民主主義(週報)	創刊號
協同組合運動에 對하여	—	科學戰線	創刊號
土地國有論	宋乙秀	新 世 代	創刊號
	趙模影	民 聲	2卷5號

4. 動 力 · 燃 料

電力危機의 對策	金奉鎮	서한민보	17號
朝鮮電力의 當前課題	南相麟	現代科學	4號
朝鮮의 石炭事情과 나의 所信	白相嘉	民 聲	3卷11號

5. 運輸・通信

國土計畫及交通	—	現代科學	6號
都市交通小論	金永燾	科學戰線	創刊號
運輸及燃料問題	—	새한민보	17號

6 食糧・勞動

建國途程의食糧管理	李貞求	人民科學	2號
話予인世界食糧	林相俊	民主主義(週報)	3號
勞動運動의새方向	姜聲鎬	科學戰線	2卷4號
米穀收集及食糧事情	—	새한민보	12號
美國勞動組合運動의片說	—	가르리남	46號
民主主義勞動政策	李大偉	東光	40.41號
少量米輸入問題	趙東弼	새한민보	12號
收集價格引上의必要性	金翰容	—	12號
食糧問題	—	民主主義	3卷11號
食糧問題의本質과對策	姜哲民	民主主義(週報)	6號
食糧行政上收集	池容慶	새한민보	12號
失業問題	趙東弼	—	8號
夏穀收集及農民生活	金光泰	人民評論	7號

7. 物價市況

物價變動과인플레이션	權赫紹	建國公論	4卷1號
物價政策	趙東弼	새한민보	10號
物價趨勢打診	李健赫	公論	5號
物價統制에對한一管見	金天民	新太平洋	11號
正札制實施外物價	—	새한민보	11號
綜合物價對策의確立	金奉銀	—	11號
最高價格과正札制	李南洋	—	6號

8 景氣・投資 (無)

9. 財政・金融

「金」에對한新措施	趙岐鶴	새한민보	14號
南朝鮮金融財政과	—	—	—
인플레이션	李有信	科學戰線	2卷5號
世界再建에對한美國의財政的援助	—	新自由	創刊號
稅制度批判	—	새한민보	4號
李朝末期의金流出과外國土地所有의意義	金漢周	民族文化	3輯

인플레이션對策	趙東弼	새한민보	7號
인플레이션對策과朝鮮經濟의將來	李健赫	民聲	2卷12號
인플레이션과朝鮮女性의所任	—	—	—
인플레이션對策과幣制改革	張基榮	婦人	2卷3號
日本財閥解體와그意義	金奉銀	新天地	2卷5號
外國貸例에 비추어看倣造紙幣事件	—	—	2卷10號
財政金融建設對策	李義錫	朝鮮週報	2卷4號
財政政策에對하여	—	民心	2卷2號
朝鮮富의所有形態과分配에關하여	朴仁植	人民評論	8號
朝鮮殖産銀行論	李愚石	民聲	2卷2號
朝鮮인플레이션의特殊性	李昌烈	科學戰線	2卷5號
과그對策	吳善煥	民聲	2卷12號
解放金融情勢의趨勢	白斗鎮	새한민보	5號
希土援助과「트」大統領	李北濤	民主主義(週報)	16號
朝銀15萬圓奪取事件	林柄哲	新天地	3號

10. 其他 (特殊問題)

經濟法令의客觀性	趙東弼	새한민보	16號
基督敎의經濟倫理	李柱東	民聲	3卷4號
南朝鮮總罷業에對하여	朴仁民	民主主義(週報)	6號
敵產拂下에對하여	趙東弼	새한민보	6號
敵產處理의現在와展望	—	—	創刊號
마-산歐洲經濟再建에對한一考察	李柱東	—	5號
臨政이서연? (土地問題・通貨政策)	民聲	—	3卷4號
重要企業・敵產處分	—	—	—
英蘇外交의經濟的因果	鄭秀石	新天地	2卷8號
戰後植民地及弱小民族問題	—	—	—
住宅의應急對策	金永浩	科學戰線	2號
解放二年後에드南朝鮮經濟가破滅狀態에 있는理由는 무엇이나	趙東弼	새한민보	11號
崔英徵	—	—	9號

※參考自1945.8.15至1947.12.31各種全刊行物數

1. 單行本 約1,800種
2. 新聞通信 130餘種 (週刊50種)
3. 雜誌 約200種

經濟關係新刊文獻目錄

1945.8.15~1947.12.31

- |       |        |           |           |           |        |          |          |           |               |
|-------|--------|-----------|-----------|-----------|--------|----------|----------|-----------|---------------|
| 1. 一般 | 2. 政 策 | 3. 經濟史・事情 | 4. 財 政・金融 | 5. 商 業・貿易 | 6. 工 業 | 7. 農 林 業 | 8. 水 產 業 | 9. 交 通・地理 | 10. 經濟關係定期刊行物 |
|-------|--------|-----------|-----------|-----------|--------|----------|----------|-----------|---------------|

※ 朝鮮銀行調査部所藏圖書現行分類整理法에依함

1 一 般

書籍名	著編者	出版所
建國國民經濟	李健赫	金龍圖書文具株式會社
經濟學教程 (人民文庫 第2卷)	노동社	同 社
經濟의基礎知識	—	建 國 社
經濟學入門	林 浩	新 學 會
勞動組合의指導理論	赤色文化會	同 會
敵產小亦業機關及住宅拂下細則	朝鮮行政學會調査部	同 會

공과물건	李健赫	金龍圖書文具株式會社
社會主義經濟學第一步	—	—
人民文化研究所	新學社	—
生産論 (맑스・레닌主義經濟學教程 第2卷)	—	—
朝鮮文學社	同 社	—
大同盟의經濟學 (新興科學叢書)	—	—
朝鮮인문연구소	開拓社	—
失業者問題	朝鮮左翼書齋出版協會	同 社
唯物論과經濟批判論上卷	印貞植譯	文友印書館
六千萬의就業	政治經濟研究會	서문출판社
理論經濟學 第1卷	尹行重	—

實勞動과資本 田元培譯 大成出版社  
 剩餘價值論 (맑스·레닌主義經濟學教程 第4卷) 朝鮮文學社 同 社  
 資本主義는 왜 沒落하는가 — 노농社  
 資本主義의 家庭破壞 林浩譯 宣文社  
 政治經濟學教程 李康國譯 大成出版社  
 卷·맑스資本論 第1-4卷 崔英徹外2人譯 서문出版社  
 協同組合組織論 劉載奇 基任教美國兄弟出版部

2. 基本政策論 (無)

3. 經濟史·事情

經濟史大綱 崔虎鎮 東邦文化社  
 北朝鮮의 現狀과 將來 金基石 朝鮮政治研究社  
 世界經濟史概論 池泰文譯 朝鮮文化社出版部  
 世界經濟史教程 (맑스·레닌主義經濟學教程 第1卷) 朝鮮文學社 同 社  
 李朝社會經濟史 朝鮮科學 勞農社  
 著 同盟  
 日帝生活에 對한 經濟의 基礎知識 金亨燦 建國社  
 日帝下의 朝鮮社會經濟史 金錫淡 朝鮮金融組合聯合會  
 一般經濟史 崔虎鎮 理想書院  
 朝鮮經濟의 基本構造 權泰燮 同心社  
 레닌重要著作解説 政治經濟 研究會 서문出版社  
 朝鮮社會經濟史研究第1卷 崔虎鎮 民衆書館

4. 財政·金融

簿記要綱 金洵植 同志社  
 簿記會計 第1.2.3卷 鄭永述 第一出版社  
 貨幣事件公判記錄 大建印刷所 同 所  
 珠算術 趙光榮 研究社  
 貨幣論 (맑스·레닌主義經濟學教程 第3卷) 朝鮮文學社 同 社  
 貨幣論講義 崔虎鎮 民衆書館

6. 商業·貿易

慶北會計總覽 馬顯宣編 合同通信大邱支社  
 保險要論 金瑛祥 朝鮮火災保險會社  
 商工案內 趙南龍 商工情報社  
 商工行政年報 (1946) 商務部 同 部  
 상업경제 上, 下卷 이형우 乙酉文化社

6. 工 鑛 業

수리工業政策의 指向 上卷 鄭明石 青丘書店

7. 農 林 業

勞動組合論 — 서문出版社  
 農民斗革命 姜鉸譯 大成出版社  
 農民組合組織論 崔學韶 奎司書院  
 農業理論及農民政策 李錫台 朝鮮政治教養同志會  
 農業通論 金泰熙 正音社  
 레닌과 勞動組合運動 朴一植譯 奎司書院  
 北朝鮮土地改革法令과 그 解釋 — —  
 貧農에게 李正一譯 民主文化社  
 山林問題 朝鮮科學 朝鮮社  
 技術聯盟 李世麟譯 極東文化社  
 土用에 對한 山岳土地法 印貞植 玄友社  
 土墾土地革命史 金丹濤 朝鮮水利組合聯合會  
 食糧問題와 水利組合 朝鮮農會 同 會  
 조선농가목축 印貞植 朝鮮水利組合聯合會  
 朝鮮農藥의 經營地帶 吳成國 生活社  
 朝鮮蔬菜栽培의 實際 金鍾範 創建社  
 朝鮮食糧問題와 그 對策 韓龜東 乙酉文化社

朝鮮의 農業 金永基 創元社  
 朝鮮의 土地問題 印貞植 希聖閣  
 朝鮮土地問題論考 朴文圭 新韓印刷公司  
 朝鮮土地問題資料集 印貞植 正音社  
 土地改革은 어떻게 하사 (農民叢書 第3卷) 全國農民總 同 聯盟  
 聯盟宣傳

8. 水 產 業

水產政策論 柳龍大 朝鮮水產業會

9. 交通·地理

經濟地理學概論 表海雲 教育研究社  
 新朝鮮地理 — 同志社

10. 經濟關係定期刊行物

(가나다順) (1947年12月末現在)

慶南商工新聞 慶南商工新聞社  
 經濟公論 經濟公論社  
 經濟新聞 經濟新聞社  
 工業經濟日報 工業經濟日報社  
 工業新聞 工業新聞社  
 鐵 工 京畿道商工局鐵工業  
 金融組合 金融組合聯合會  
 南朝鮮經濟新聞 南朝鮮經濟新聞社 (慶北)  
 노동신문 勞動部  
 勞動旬報 全北勞動協同會  
 농촌 朝鮮農會  
 農土 朝鮮水利組合聯合會  
 團報(民生報) 朝鮮生活品營團(民生報社)  
 商工情報 商工情報社  
 獨立, 革新新聞 獨立經濟新聞社  
 東方商業新報 東方商業新報社  
 東亞經濟新報 東亞經濟新報社  
 釜山商工會議所 釜山商工會議所  
 慶北山林會(慶北) 慶北山林會  
 產業時報 產業時報社  
 釜山產業新聞 釜山產業新聞社  
 產業經濟通信 產業經濟通信社  
 商務部報 商務部  
 水產經濟新聞 水產經濟新聞社  
 水產新報 釜山水產新報社  
 承銀對查月報 承銀對查月報社  
 商大新聞 商大新聞社  
 新東亞經濟特報 新東亞經濟特報社  
 新 貿易 (貿易新聞) 新貿易社(貿易新聞社)  
 實業新聞 實業新聞社  
 實業朝鮮 實業朝鮮社  
 國 參 朝鮮國參會  
 仁川商工會議會所報 仁川商工會議會所  
 全南商工會議會所報 全南商工會議會所  
 朝鮮建築 朝鮮建築技術協會  
 朝鮮經濟 朝鮮經濟社  
 朝鮮經濟新報 朝鮮經濟新報社  
 朝鮮金融組合聯合會 朝鮮金融組合聯合會  
 朝鮮林業新聞 朝鮮林業新聞社  
 朝鮮產業新聞 朝鮮產業新聞社  
 朝鮮商工新聞 朝鮮商工新聞社  
 朝鮮銀行調查月報 朝鮮銀行調查部  
 朝鮮土產經濟日報 朝鮮土產經濟日報社  
 朝鮮興信報 朝鮮興信所出版部  
 朝鮮興信調查部 朝鮮興信調查部  
 中外工業新報 中外工業新報社  
 土產經濟 土產經濟社  
 土產產業經濟日報 土產產業經濟日報社  
 土產產業經濟日報 土產產業經濟日報社  
 韓國貿易協會「調查資料」 韓國貿易協會  
 協 同 朝鮮金融組合聯合會  
 協同戰線 慶北金融聯合會  
 海南經濟 全南後復偵察署

# 地方新聞經濟社說一覽

1945.8.15 ~ 1947.12.31

△南朝鮮各地方에서發刊되는日刊新聞27種(新聞名後末記載)에依함

道 別 (가나다順)

## 京畿道

### 大衆日報 (仁川)

論 題	掲載年月日	紙張
難災同胞의 援護	1945.10.20	14
物價對策에 關하여	12. 8	73
官民聯合의 食糧對策機關을 세우자	1946. 1. 9	91
洞會에 消費組合을 두자	2.16	128
敵産處理는 嚴正하게	2.16	135
市勢振興會 創立에 際하여	2.27	139
春窮期의 危機切迫	3.20	155
建國의 害虫은 謀利輩	3.20	159
食糧配給에 對하여	1947. 4.14	138

### 仁川新聞 (仁川)

水産業振興에 關하여	1947. 3. 7	244
寄附金對黨問題의 非民主性	7 1	342

## 江原道

### 江原日報 (春川)

物價와 市民生活	1945.12. 1	30
失業者 對策	12. 3	32
食糧對策을 論함	12.12	39
가정食糧配給對策을 論함	12.13	40
米價의 最高價格決定	12.23	49
公定米價의 食糧對策	1946. 1.16	68
郡守會議開催와 食糧打開對策	2. 6	89
食糧政策의 要望	2.10	92
暴利의 限界는 어느 程度인가	2.28	108
農耕地適正配給問題를 보고	3.15	122
民衆의 政策과 北鮮土地改革	3.21	128
金租의 協同組合再出發에 際하여	3.29	135
朝鮮의 食糧問題	5.18	181
赤字豫算額의 三百億元決定되다	1947. 1.10	350
敵産管理와 解放朝鮮一考	2 10	373

## 忠清北道

### 國民日報 (清州)

春窮期食糧對策急務	1947. 5. 4	277
農村金融의 再建을 促함	5.14~16	285~287

## 忠清南道

## 東邦新聞 (田)

敵産家屋에 對하여	1946.	
文化機關의 資本과 運營	1947. 1	
府町購買稅 極否用하자		206
到着한 第一回借狀物資		209
다시購買問題에 對하여		444
電力을 節約할지다		452
貯蓄과 國民生活		

## 慶尙北道

### 大邱時報 (大邱)

失業對策과 産業의 復興	1946. 7.12	263
日本의 賠償과 朝鮮關係	7.19	268
私慾輩을 의猛省을 促함	7.20	271
慶北의 厚生會發足에 寄함	9. 9	
陶龕食口을 絶滅하자	9.19	
農村政策을 確立하라	1947. 1.14	
工場操業을 急速히하라		441
物價調節의 美斷을 望함		442
消費生活는 合理化하라		
森林保護策을 講究하라	3. 3	
生産資金을 流通하라	4. 1	
農村食糧에 美斷을 望함	5.15	
夏穀收集과 道義의 態度	7.13	
金融緊縮과 生産資金難	7.27	
民族發展과 治水事業	8. 7	
糧穀收集과 鴉片率問題	8.12	
商業道德과 謀利의 行爲	10.19	
食糧政策과 그 推進態度		
纖維事件은 無事落着乎	11.25	698
煙草價引上과 大衆生活	12.18	808
發電所急速設置을 促함	12.23	812
物價의 危機	12.25	814

### 嶺南日報 (大邱)

朝鮮經濟의 將來性	1945.11.18	
米價의 今後動向	11 22	42
島物價와 國民生活	12 19	
農村經濟의 再編成	12 20	
電問題의 急速解決	1946. 1. 6	
朝鮮經濟의 新體制確立	1 10	
食糧問題가 甚提議	1 11	
貧困病과 無産大衆	1 17	
資本主義의 缺陷과 그 修正	1 22	

蓄財社會恩	1946. 2. 9	119
米公正價格令徵廢計자	2.19	123
朝鮮의地位와工業教育	2 8	136
日本對外輸出의索制策	3. 5	139
朝鮮經濟의換物貿易	3.19	151
生産復興의緊急性	3.24	156
都市飢饉과人心의不安	4 5	165
物價騰貴와貨幣의將來	4 19	178
人口增加와食糧問題	5 16	200
對外貿易의其將來性	6 1	214
經濟統制와物價指針	6 15	226
夏穀收集에對하여	6 6	227
夏穀收集과米價調節	6 23	233
米價暴騰과鴉片許可制	7 2	241
軍要實施와兌換券將來	7 5	244
膨脹財政와增稅問題	7 12	252
米穀收集規則의批判	8 18	284
統制經濟의政治性	8 19	286
夏穀收集의根本理念	8 23	291
時急한工業朝鮮再興	9 5	304
朝鮮農村의指導와更生	9 16	313
大衆生活와高利貸金	9.19	317
物價安定과貨幣價值	9 23	321
怪異한米價動向	10 23	362
米穀收集과買上價格	10 25	364
金外國逃避와金融經濟	11 5	375
電力減量과民生問題	12 18	415
南朝鮮에交易制實施	1947. 2. 5	456
造林促進과遊伐의廢止	3 12	488
流動經濟의企業資金	4 3	508
米生産高과收集量割當	5 17	546
物資運轉의綜合性格批判	5 30	557
夏穀收集과末端行政	6 17	572
電力減量과民生問題	11 30	711

慶尙南道

慶南日報 (晉州)		
存勳勢力을總組織하라	1946.10.31	177
民主衆報 (釜山)		
通貨의認識	1945. 9.23	22
賠償問題와朝鮮	12. 2	89
米穀과米價問題	12. 7	94

米價와新對策	1945. 12.21	
米公債實施再檢討하라	1946. 1 15	
食糧問題의重要性	2.16	
蘇聯과北朝鮮工業施設	2.21	
朝鮮産業의再建	2.23	199
朝鮮經濟의荒廢化	4.21	224
原料缺乏生産打開策	1947. 5.16	517
悲慘한南朝鮮經濟狀態	12. 9	669
1947年度日誌	12.30	687

釜山日報 (釜山)

香港의歸屬	1945. 9. 6	
日本人의財産	9. 7	
食糧行政技術의一步前進	1947.10.15	32
節米와節飲	12.12	37
新生活運動	12.30	38

自由民報 (釜山)

人間解放再論	1947. 1.12	265
釜山과港灣問題	4 8	327
東洋首位의鯖魚地	4.24	341

全羅北道

該黨經濟社說畝을

全羅南道

湖南新聞 (光州)

敵產放棄에提言	1946. 3.13	162
新營公社의再編成	7.12	264
米穀檢査에對하여	7.28	278
耕作權과農地令撤廢	12.15	358
電力問題에關하여	12.17	359
管財令撤廢로適切한施策세워라	1947. 2.25	416
蠶糸業의重要性	3 8	425
우리나라蠶糸業의發展	11. 2	625

濟州道

濟州新報 (濟州)

翰林事件	1947. 1.10	
貿易港의問題	1.26	148
謀利黨天下안가?	1.28	149

地方新聞經濟論說一覽

1945 8.15 ~ 1947.12.31

△南朝鮮各地方에서發刊되는日刊新聞27種 (新聞名後末記載) 에依함

道 別 (가나다順)

京畿道

大衆日報 (仁川)

論 題	著 者	掲載年月日	紙張
仁川商賣館總의所感	金榮福	1946. 8.13	303
		~21	~5
對中貿易勝利의鍵	金丞植	9.23	335

必需品統制外生產工場運 營에關한	李得宇	9.29~10.5	341~347
釀造禁止는財源의枯竭	崔基榮	11.3~11.5	372~374
仁川商工業의動態	具然夏	12.28	419
船價査定機關의設置提 唱에	金權漢	1947. 3. 4	473
鐵道工場의監察	李泰松	3.13~3.14	481~482
仁川港灣의現勢와將來	李新珩	7.6~7.10	580~583

### 仁川新聞 (仁川)

紙幣事務의適法觀念	咸昌奎	1947. 6.19	332
技術者가본仁川港의片貌	趙植菴	7.5~7.6	326~337

### 江原道

該道經濟論說會

### 忠清北道

### 國民日報 (清州)

國政의貨幣政策	李清源	1947. 9.29~7.6	326~331
農會再編成의急務	//	11.27	388

### 忠清南道

### 東邦新聞 (大田)

協同組合의現狀에對 한	鄧在億	1946. 8. 4	230
建國土地改良事業	南明熙	8.19	242
國民生活의經濟對策	金泳權	8.18	242
經濟의獨立	朴烈熙	9. 9	264
現經濟의跛行性	李錫雨	9.15	269
經濟生活安定	李品珪	1947. 1. 1	163
産業發展의急務	朴鍾萬	1. 1	163
過去悲衰清算工業建設 에對한	李璣酒	1. 4	164
酒類製造禁止와密造酒盛 行에對한	白麓亭人	1.22	178
建國土地의治水	梁昌鎭	4. 5	240
經濟立國의協調	朴鍾萬	6.15	300
勞動組合運動要領	李南善	7.25~7.27	334~336
道生產委員會組織	尹登淳	7.29~7.31	337~339
通貨面으로는經濟跛行是 正策	朴尙秀	8.23	356
生産第一義	李爽求	8.23	356
機械搬出問題와道當局의 誠意는促請	白麓亭人	10.23	408

### 慶尙北道

### 大邱時報 (大邱)

朝鮮農村의基本的問題는 무엇인가	鞠相基	1947. 1. 1	417
世界動向에對한朝鮮問題	鄭命俊	4. 9~4.14	504~509
夏穀播種率小考	守斗煥	7.29	600
糧穀의漁業許可權	金尙潤	8. 9	644

### 民衆日報 (大邱)

關稅와暴利에對한小見	朴恩生	1946. 4. 9~4.6	155~158
------------	-----	----------------	---------

### 嶺南日報 (大邱)

貿易의基本方向에對한	朴性培	1946. 8.30~8.31	298~299
關稅中傷對立派爭	崔熙松	1947. 1. 4	427
國資貸付가急務	李源鴻	1.12	435
現行物價指數와皮革企業 의將來	孫晉源	1947. 3.17	493
그 밖의農村과우리農村	賈商律	5.32	551

### 慶尙南道

### 慶南日報 (晉州)

本財產과月給俸給	許球九	1946.10. 1	152
慈善家出現을哀願	千玉錫	10. 3	154
總督擄取農政의示唆	沈倫	10. 5	156

### 全羅北道

### 全北新聞 (全州)

勞務問題概說		1946. 9. 5~9.6	99~100
--------	--	----------------	--------

### 全羅南道

### 光州新報 (光州)

救急한生産力	朴炳昊	1947. 1.10	200
貨幣의視點土地改革	朴瑛淳	2.27	223
供出米穀을爲聯호로	林瑛淳	2.29	224
食糧府營問題의一言	孫守錄	6.18	325

### 湖南新聞 (光州)

暴利限界解說	李仁	1947. 2. 7~2.12	401~405
蠶絲業의重要性	孔在奉	4. 6~4. 8	423~425
燃料節約과造成造林	孫浣培	4. 6~4. 8	442~449
國稅食糧의收入利益은누 구의것인가	朴永鍾	4. 9	450
朝鮮水産業의當面問題	吳貞元	7.18~7.19	536~537
産業開發緊急	朴乾源	8. 8	554
工業技術의解放	安東赫	8.19	562
湖南水産의展望	柳龍大	8.19	562
우리나라蠶絲業의展望	孔在奉	11.20	623

### 參照新聞目次 (가나다順)

江原日報	(春川)	每日新聞	(釜山)
慶南日報	(晉州)	木浦日報	(木浦)
國民日報	(清州)	民聲日報	(大邱)
光州日報	(光州)	民主叢報	(釜山)
蔚山民報	(蔚山)	釜山日報	(釜山)
蔚山新聞	(蔚山)	여수일보	(麗水)
大邱時報	(大邱)	嶺南日報	(大邱)
大邱新聞	(大邱)	自由民報	(釜山)
大邱合同新聞	(大邱)	濟州新報	(濟州)
大同新聞	(晉州)	全北新聞	(全州)
大衆新聞	(釜山)	全羅民報	(全州)
東光新聞	(光州)	全羅新報	(全州)
東邦日報	(大田)	立憲時報	(光州)
		湖南日報	(光州)

# 經 濟 雜 誌

## △朝 鮮 經 濟

目 錄	筆 者	卷 號
礦銀論	推 英 澈	1號
通貨問題を中心として	朴 亨 天・張 基 永 尹 行 重・金 永	1號
金融の現状と動向	推 英 澈	1號
朝鮮民族資本の構造	推 英 澈	1號
朝鮮農村の階級構成	推 英 澈	1號
朝鮮工業化前提としての土地問題	推 英 澈	1號
이단世界石油問題	推 英 澈	1號
産業復興と外國援助	推 英 澈	1號
工業技術非常對策の樹立	推 英 澈	1號
朝鮮手工業에對하여	推 英 澈	1號
齊阿論...重要物資管理團を中心として	推 英 澈	1號
日帝下朝鮮農業經濟の變遷過程	推 英 澈	1號
半封建の農業關係の分析	推 英 澈	1號
朝鮮經濟の構造的特質と再編成問題	推 英 澈	1號
産業界の諸問題	推 英 澈	1號
朝鮮經濟建設の諸問題	推 英 澈	1號
金融組合論	推 英 澈	1號
朝鮮總工業展望	推 英 澈	1號
朝鮮貿易の構成	推 英 澈	1號
對美貿易の前途	推 英 澈	1號
朝鮮總工業展望	推 英 澈	1號
朝鮮銀行論	推 英 澈	1號
고구工業の現状	推 英 澈	1號
朝鮮貿易の諸問題	推 英 澈	1號
在日同胞の經濟活動	推 英 澈	1號
現朝鮮經濟の動向	推 英 澈	1號
協同組合運動推進을爲하여	推 英 澈	1號

## ※ (11-138)에 繼續

全南穀物協會	金文王	光州府大仁洞
全南工藝協會	金東鎔	全南道襄商務課內
全南肥料農材組合	孫容基	光州府黃金洞
全南石油肥料組合	鞠房鎔	// 忠壯路5街
全南洋農商組合	李敏鎔	// // 2街
全南園藝協會	鄭相浩	// 黃金洞
全南自動車工業組合	趙龍許	// 湖南洞
全南酒造組合聯合會	趙千燮	全羅南道靈內
全南化工染劑業組合	申大均	光州府湖南町49
全羅南道고구工業組合	全英俊	全羅南道靈內
全羅南道農會	李源昌	光州府光山洞
全羅南道大小工業組合	趙千燮	光州府弓洞
全羅南道砂糖販賣組合	曹寅鎔	木浦府榮南洞
全羅南道石炭商組合	池元亨	全羅南道靈內
全羅南道水利組合聯合會	李源昌	光州府大義洞
全羅南道漁業組合聯合會	張鳳煥	// 光山洞
全羅南道油脂化學工業協會	千萬根	全羅南道靈內
全羅南道織物工業組合	金承大	木浦府福滿洞

北朝鮮經濟概觀	朴 亨 元	2卷4號
南朝鮮土地改革의內容	李 東 漢	2卷4號
朝鮮勞動者階級과勞動問題	盧 觀 衡	2卷4號
南朝鮮貿易의實態	李 洪 世	2卷4號
棉紡織業의現狀과展望	洪 世	2卷4號

## △實 業 朝 鮮

經濟協同具現의急務	韓 元 國	1號
朝鮮工業의根本問題	韓 元 國	1號
朝鮮工業一年間의回顧	韓 元 國	1號
朝鮮總精工業의展望	韓 元 國	1號
朝鮮棉紡織工業自給自足	韓 元 國	1號
朝鮮貿易界의展望	韓 元 國	1號
朝鮮化學工業의展望	韓 元 國	1號
朝鮮鑛業의發展性	韓 元 國	1號
火藥工業과朝鮮	韓 元 國	1號
手工業發展과土地改革	韓 元 國	1號
建國과機械工業	韓 元 國	1號
朝鮮機械工業의展望	韓 元 國	1號
朝鮮의中小機械工業發展策	韓 元 國	1號
貨幣管理是斷行하자	韓 元 國	1號
建國과水産	韓 元 國	1號
朝鮮水産의現狀	韓 元 國	1號
朝鮮水産製業의重要性	韓 元 國	1號
歐洲諸國의漁業制度	韓 元 國	1號
經濟統計學正確의把握하자	韓 元 國	1號
産業再建의根本問題	韓 元 國	1號
統計的으로는解放後의國內經濟面相	韓 元 國	1號
朝鮮總工業發展策	韓 元 國	1號
化學工業藥品取扱에關하여	韓 元 國	1號
朝鮮貨幣制度論	韓 元 國	1號
當面肥料問題	韓 元 國	1號
景氣變動과損害保險業	韓 元 國	1號
科學으로서의統計學	韓 元 國	1號

## △經 濟 公 論

朝鮮貨幣制度論	李 炳 烈	3卷9號
當面肥料問題	李 相 敦	3卷9號
景氣變動과損害保險業	李 金 漢	3卷9號
科學으로서의統計學	韓 炳 哲	3卷9號

全羅南道被服工業組合	趙千燮	光州府弓洞
全羅南道纖維工業會	鄭相浩	道靈內
朝鮮第二區湛水器漁業水産組合	姜義熙	麗水邑——
全羅南道水利組合聯合會	鄭相浩	全羅南道靈內
全羅南道蠶糸會	李時顯	光州府——
湖南醬油製造組合	文春鎔	// 順奇洞

## ☆濟 州 道

濟州道工業技術協會	康材良	——
濟州道農會	梁致尙	濟州邑三徒里
濟州道物資運營組合	金希洙	——
濟州道山林會	——	濟州道靈內
濟州道石油肥料組合	朴少實	——
濟州道水利用聯合會	任瑞鎔	——
濟州道漁業組合聯合會	任瑞鎔	——
濟州道燃料配給組合	李洪哲	——
濟州道醫藥品配給組合	——	濟州邑三徒里
濟州道畜産協會	——	濟州道靈內
濟州道興業組合	崔南植	——
濟州土建組合	金智兒	濟州邑健入里

# 產業經濟團體一覽

△道別(가나다順) 1947年末現在

## ☆ 서울市

### 團體名

- 電器工事業者組合
- 慶相互興產組合
- 大門市場商人聯合會
- 韓運輸協會
- 毛工業組合
- 大門市場商人聯合會
- 家庭荒物舍物商組合
- 乾麵生產組合
- 毛工工業組合
- 鍍金鍍加工業組合
- 機械製紙工業組合
- 冷凍菓製造業組合
- 莫大小工業協會
- 商工會寮所
- 織襪配給組合
- 織雜洋服雜貨商組合
- 熟麵組合
- 鑄物工業組合
- 時計眼鏡貴金屬商組合
- 市工業協會
- 市菓子工業組合
- 市農會
- 市毛織機織工業組合
- 市藥品販賣協會
- 市油脂製造業組合
- 市醫類製造業組合
- 市財產管理會
- 市酒造組合
- 市被服工業組合
- 市皮革工業協會
- 市藥業組合
- 市肉販賣商組合
- 市糧穀加工協會
- 市洋服商組合
- 市洋服修繕業組合
- 市燃料協會
- 市染色加工業組合
- 市染色工業組合
- 裁縫機械商組合
- 製槍組合
- 製弓組合
- 製車業組合
- 電氣商工組合
- 紙業工商組合

### 代表者

- 徐亨翹 中區太平路1街
- 申鉉奎 // 乙支路3街
- // 南倉洞
- // 東子洞
- 韓永燾 // 南大門路4街
- 李碩燾 東大門區禮智洞
- 張熙台 中區小公洞
- 崔東周 鍾路區青並洞
- 金明宙 西大門區忠正路2街
- 中區乙支路4街
- // 茶洞
- 柳俊錫 鍾路區明倫洞2街
- 金介振 中區長沙洞
- // 南大門路2街
- 鍾路區五橋洞
- 崔英錫 中區忠武路1街
- 權正天 // 南大門路5街
- 俞善滿 鍾路區鍾路2街
- 鄭元和 中區明洞2街
- 朴定根 市廳內
- 辛允弘 龍山區葛月洞
- 鄭植植 市廳內
- 洪應俊 —
- 趙錫國 中區南大門路2街
- 金石根 —
- 韓永錫 中區乙支路3街
- 張熙台 // 小公洞
- 林永說 市廳稅務所內
- 李正鎮 城東區上往十里
- 尹夢男 龍山區葛月洞
- 趙錫國 中區長裕洞
- 東大門崇仁洞
- 張基慶 西大門區巡和洞
- 洪裊裕 鍾路區樂園洞
- 中區明洞
- 市廳內
- 尹炳元 中區雙村洞
- 許鳳湖 // 乙支路4街
- 鍾路區鍾路2街
- 李興俊 中區太平路2街
- 鄭利亨 // 西小門洞
- 李奉雨 龍山區青坡洞3街
- 崔泰奎 中區忠武路2街
- 李英植 // 太平路2街

### 住所

- 서울鐵鋼業協會
- 서울土產業者會
- 서울板金加工組合
- 서울合金鑄造組合
- 서울學用品製造業組合
- 서울貨物自動車協會
- 서울化學工業藥品製造組合
- 樂器製造組合
- 永登浦工業協會
- 龍山工業協會
- 龍山化學工業組合
- 全國菓子工業組合聯合會
- 全國酸素工業協會
- 中央金屬工業組合
- 中央石油配給組合
- 朝鮮工業俱樂部
- 朝鮮工業技術組合
- 朝鮮工藝製造販賣組合
- 朝鮮工藝協會
- 朝鮮藥業會
- 朝鮮金融團
- 朝鮮農具協會
- 朝鮮農會
- 朝鮮아이야再製工業組合
- 朝鮮아이야販賣組合
- 朝鮮物資運替組合聯合會
- 朝鮮시상製造工業組合
- 朝鮮紡織協會
- 朝鮮百貨店組合
- 朝鮮帽子工業組合
- 朝鮮服裝協會
- 朝鮮產業建設協議會
- 朝鮮產業再建協會
- 朝鮮石油協會
- 朝鮮시상工業組合
- 朝鮮纖維產業協會
- 朝鮮세인트工業組合
- 朝鮮성우로이도工業組合
- 朝鮮損害保險協會
- 朝鮮水利組合聯合會
- 朝鮮水產業會
- 朝鮮藥品工業組合
- 朝鮮藥品工業協會
- 朝鮮葎藥製造業者會
- 朝鮮料理組合
- 朝鮮衣料協會
- 朝鮮印刷文藝建設協會

- 劉承祐 中區太平路2街
- 李盛根 市廳內
- 中區忠武路3街
- 姜相律 // //
- 李昌圭 // 乙支路1街
- 市廳內
- 申浩均 鍾路區西大門路2街
- 崔聖斗 中區忠武路1街
- 朱海永 永登浦區內
- 龍山區內
- 金鐘遠 // 葛月洞
- 鄭雲祥 中區武禮洞
- 李程燾 // 東子洞
- 李弘一 龍山區青坡洞1街
- 梁奉鳳 中區太平路2街
- 崔浩 // 陽洞
- 李駿烈 鍾路區青並洞
- // 鍾路1街
- // 永樂洞
- 中區太平路1街
- 具籍書 // 小公洞
- 市化善 // 中林洞
- 李勛求 // 會賢洞1街
- 鍾路區鍾路2街
- // 鍾路1街
- 李世賢 中區茶洞
- 安成根 鍾路區鍾路2街
- 金容完 中區忠武路1街
- 金泰祥 鍾路區瑞麟洞
- 趙植行 // 鍾路1街
- 洪裊裕 // 樂園洞
- 李鍾萬 中區太平路1街
- 朴建雄 立法議院產務委員室內
- 中區乙支路1街
- 薛壽東 —
- 崔斗善 鍾路區鍾路2街
- 中區北介洞
- 宋善日 // 乙支路2街
- 吳炳碩 // 南大門路3街
- 朱碩均 鍾路區世宗路
- 李聖熙 // 明洞2街
- 金用淳 // 忠武路4街
- //
- 韓圭明 // 長禧洞
- 金順鴻 // 泉風洞
- // 唐勇洞
- 翁載漢 中區亭洞1街



朝鮮自動車工業協會 李圭 中區乙支路8街  
 朝鮮自轉車商工組合聯合會 —— / / 2街  
 朝鮮財注管理人聯合會 —— // 小公洞  
 朝鮮製紙工業協會 曹庚默 // 武橋洞72  
 朝鮮足球工業組合 張季賢 // 忠武路3街  
 朝鮮足球組合 朴定根 // // //  
 朝鮮電氣工業組合 崔泰進 // // 2街  
 朝鮮電氣器具商組合 —— // 蓬萊洞7街  
 朝鮮造船工業組合 金瑬范 // 南大門路5街  
 朝鮮齒科機械商工組合 延濟德 鐵路區清波洞  
 朝鮮毛引藥水產組合 金容吉 中區小公洞  
 朝鮮化粧品工業協會 金重輝 // 鐘宇洞  
 中央連隊組合 姜度洙 // 南大門路2街  
 中央產業協會 李承學 ——  
 抄石組合 韓相琦 // 蓬萊洞1街  
 土壤協會 李元植 // 小公洞  
 特殊化學工業組合 崔俊鶴 ——  
 韓風叫一司協會 金奎英 龍山區元曉路1街  
 韓國貿易協會 金慶演 中區南大門2街  
 漢城印刷業組合 李成範 / // 5街  
 成光紙組合 崔成范 // // 4街

朝鮮造船工業組合 —— 仁川府中央洞1街  
 朝鮮海事協會 —— // 沙洞  
 興亞通關組合 —— // 善院洞

### ☆ 江 原 道

江原紙業組合 尹知年 蔚珍邑遠南西樺花1  
 江陵商工會議所 崔燦允 江陵邑  
 江陵印刷所組合 崔燦允 // //  
 江陵織工組合 朴集教 // 龍岡洞  
 江原道織工協會 吳益忠 江原道龍內  
 江原道農業經濟研究所 鄭起燁 春川府牛頭洞  
 江原道農會 尹熙再 // 中央路  
 江原道物資運籌組合 池奎高 // //  
 江原道山林會 韓仁澤 江原道龍內  
 道江原商工會議所 李漢復 春川府中央路1街  
 江原道水利組合聯合會 韓仁澤 江原道龍內  
 江原道漁業組合聯合會 韓彭鉉 江陵郡江文津邑  
 江原道烟草耕作組合 —— / /  
 江原道醫藥組合聯合會 —— / /  
 江原道土木協會 —— / /  
 北坪製鹽組合 金在鉉 三陟郡北坪里  
 三陟織工組合 鄭貞植 // 三陟里  
 玉溪製鹽組合 辛在明 江陵郡王溪洞  
 春川自動車加工聯合會 許恒九 // //  
 羣湖製鹽組合 金鎮壽 // 羣湖邑

### ☆ 京 畿 道

開城商工會議所 —— 開城市水昌洞  
 京畿道農會 咸在春 丹寧市大路1街  
 京畿道米產協會 李用根 京畿道龍內  
 京畿道石炭商聯合會 陳海昌 丹寧市中區松洞  
 京畿道纖維會 李用根 京畿道龍內  
 京畿道水利組合聯合會 李用根  
 京畿道洋靴商同志會 崔在煥 丹寧市牛區茶洞  
 京畿道商會聯合會 朴初高 仁川府北盆洞1街  
 京畿道資材協會 李在鳳 丹寧市太平路2街  
 京畿道蠶糸會 —— 西大門區貞洞  
 京畿道畜產協會 李用根 京畿道龍內  
 京畿道皮革工業組合 徐亨錫 丹寧市中區太平路1街  
 第三版小機印皮與標組合 李基揚 仁川府沙洞1街  
 牙原商工會議所 車淵澤 水原邑本洞  
 安城商工會議所 —— 安城邑寺洞  
 造洋出漁組合 曹喜淳 仁川府洪洞  
 仁川建材加工組合 —— // 松月洞  
 仁川藥物組合 河相勳 // 港洞  
 仁川穀肥料組合 —— // 海濱洞1街  
 仁川工業協會聯合會 —— 仁川府龍內  
 仁川物資運籌組合 李榮泰 // 松箕洞  
 仁川府果樹組合 宋鳳壽 // 朱安洞  
 仁川商工會議所 河相勳 // 松島洞  
 仁川水產加工組合 金成運 // 北城洞  
 仁川水產物仲介組合 // // //  
 仁川洋服商組合 金教順 // 新浦洞  
 仁川洋品商組合 朴漢緒 // 中央洞  
 仁川餐盤組合 李元春 // 松月洞  
 仁川製造組合 —— // 松島洞  
 仁川織工組合 —— // 海濱洞  
 仁川布木商組合 池載文 // 京洞  
 仁川漢藥種商組合 金榮國 // 京洞  
 仁川海產物仲介組合 洪貞元 // 海濱洞  
 仁川協同組合 —— // 中央洞4街

### ☆ 忠 清 北 道

鳳陽農業組合 朴亨緒 堤川郡鳳陽面長坪1  
 碧山織物工業組合 安容鎮 碧山面西部里  
 濟州物資運籌組合 —— 南門路  
 清州石油販賣組合 金元根 // 北門路3街  
 清州團體協同組合 金東閣 清州府南門路2街  
 忠地工業運籌組合 林煥錄 // 石橋洞  
 忠北商工會議所 朴魯泰 // 南門2街  
 忠北紙業工業組合 趙成九 堤川邑吉田里  
 忠清北道鑄鐵會 李成柱 清州府瑞雲洞  
 忠清北道農計向上對策委員會 —— 忠清北道龍內  
 忠清北道農會 洪淳福 清州府北門路  
 忠清北道山林會 李泰復 // 塔洞  
 忠清北道鐵糧會 金熙德 忠清北道龍內  
 忠清北道洋最商業組合 金熙德 // 清州府南門路3街  
 忠清北道茶業協會 李勇根 清州府塔洞  
 忠清北道蠶絲會 申希鉉 // 榮洞  
 忠清北道織物工業組合 崔光錫 // 北門路  
 忠清北道被服工業組合 崔成植 // //

### ☆ 忠 清 南 道

大田製物組合 宋重榮 大田府貞洞  
 大田蠶業組合 韓安 // 中洞  
 油脂工業協會 金必洙 忠清南道龍內  
 忠南初級物組合 洪學基 大田府城南洞  
 忠南菓子業組合 韓善正 // 新安洞  
 忠南蠶工協會 鄭源植 忠清南道龍內  
 忠南農委資材協會 柳東根 大田府仁洞  
 忠南物資運籌組合 金大英 // 宣化洞  
 忠南肥料商組合 鄭維燮 // 仁洞  
 忠南商工會議所 金大英 // 宣化洞

忠南醫類組合  
 忠南酒造組合聯合會  
 忠南被服工業協會  
 忠南道農會  
 忠南道叫叫々々工業協會  
 忠南道山林會  
 忠南道纖維會  
 忠南道水利組合聯合會  
 忠南道漁業組合聯合會  
 忠南道蠶糸會  
 忠南道畜産協會

柳東秀 大田府仁洞  
 李鍾惠 忠南道廳內  
 金賢圭 大田府仁洞  
 李祥植 // —  
 金鍾正 // 三省洞  
 李爽求 忠南道廳內  
 洪日燮 長項邑昌善洞  
 沈載星 大田府宜化洞  
 李爽求 忠南道廳內

### ☆ 慶尙南道

慶南家具工業組合  
 慶南菓子工業組合  
 慶南菓子工業組合  
 慶南農菜木材協會  
 慶南陶器商組合  
 慶南商工會議所  
 慶南石油配給組合聯合會  
 慶南石油配給行業者聯合會  
 慶南石炭商組合  
 慶南禽肉商組合  
 慶南藥業者組合  
 慶南自動車修理加工組合  
 慶南醬成味噌工業組合  
 慶南定置網水産業組合  
 慶南朝鮮紙張投函組合  
 慶南織物工業組合  
 慶南斗一斗 이 드 都安商組合  
 慶南斗 이 드 修理工業組合  
 慶南斗 이 드 業組合  
 慶南土木建築協會  
 慶南被服工業組合  
 慶南靴商組合  
 慶尙南道農會  
 慶尙南道物産運送組合  
 慶尙南道水利組合聯合會  
 慶尙南道漁業組合聯合會  
 大東水産物出荷組合  
 馬山商工會議所  
 馬山家庭器物商組合  
 馬山建築材料商組合  
 馬山菓子靴商組合  
 馬山機械織工業組合  
 馬山英大小工業組合  
 馬山木材商組合  
 馬山無線電氣通信商組合  
 馬山貿易商組合  
 馬山文具商組合  
 馬山物産運送組合  
 馬山板金細工業組合  
 馬山婦人小兒服商組合  
 馬山寫真材料商組合  
 馬山商工會議所  
 馬山生必需品廉賣組合  
 馬山船具商組合  
 馬山船舶業組合  
 馬山水産物加工組合  
 馬山市場雜物小賣商組合  
 馬山時計金屬眼鏡商組合  
 馬山食品雜貨酒類商組合  
 馬山糧穀加工協會  
 釜山仔服商組合  
 釜山洋品雜貨商組合  
 釜山鹽乾魚商組合  
 釜山燃料協會  
 釜山鹽業組合

金子章 釜山府人廳洞1-139  
 辛五浩 // 釜平洞2-58  
 金禮俊 // 水晶洞13-13  
 劉相載 // 光復洞2-30  
 崔鍾舜 // // 2-112  
 金智泰 // —  
 宋九仁 // 中央洞2-18  
 李榮彥 // // 2-13  
 鄭海永 釜山府人橋路2-街  
 李學祚 // 奇平洞2-79  
 金根圭 // 寶水洞1-36  
 李升鎔 // 光復洞2-8  
 金廷五 // 西昌洞2-15  
 王光研 // 人橋路3-20  
 朴性俊 // 水晶洞247  
 金智本 // 新昌洞1-8  
 俞致哉 // 南浦洞2-65  
 崔淳基 // 水晶洞842  
 曾機柱 // 中央洞2-52  
 鄭本厚 // 草場洞3-9  
 朴邦伯 // 人橋洞2-13  
 李性寅 // 蓬萊洞262  
 金明洙 馬山府中島洞  
 俞致哉 // 新昌洞1-8  
 金 鍾 慶尙南道廳內  
 孔承楨 釜山府南濱洞  
 孔玄喆 // 大橋路3-46  
 金鍾信 馬山府都洞  
 金尙甲 釜山府中央洞2-55  
 崔亨司 // 中央洞3-9  
 姜好俊 // 信1-2-78  
 朴性俊 // 人橋路2-12  
 金丁漢 // 草果洞601  
 朴明 // 人昌洞3-31  
 朴炳武 // 入廳洞3-14  
 金智泰 // 新昌洞1-8  
 金玄坤 // 光復洞2-10  
 文炳柱 // 新昌洞1-8  
 河兵衛 // 南浦洞1-51  
 朱昌遠 // 光復洞2-26  
 金本萬 // 中央洞1-23  
 徐有聲 // 西洞1街  
 方成日 // 寶水洞1-26  
 南成洞1-28  
 弘致遠 // 大橋路1-48  
 鄭相勳 // // 3-66  
 崔致祥 // 新昌洞1-8  
 李有煥 // 人橋路2-20  
 俞致哉 // 光復洞3-13  
 姜鍾五 // 東光洞5-2  
 金丙元 // // 2-30  
 文炳柱 // // 1-9  
 朴順伯 // // 1-43  
 材基台 // 大廳洞2-11  
 崔亨司 // 東光洞1-1

### ☆ 慶尙北道

慶北菓子工業組合  
 慶北穀物播種組合聯合會  
 慶北工藝協會  
 慶北異物同業組合  
 慶北菓子工業組合  
 慶北蠶糸協會  
 慶北機械工業組合  
 慶北英人小工業協會  
 慶北物産運送組合  
 慶北石炭同業組合  
 慶北藥業協會  
 慶北洋服商業組合  
 慶北染色工組合  
 慶北縫紉工業組合  
 慶北鑄造工業組合  
 慶北醬油工業組合  
 慶北製藥工業組合  
 慶北製車工業組合  
 慶北織物配給組合  
 慶北織物工業組合  
 慶北布靴製造組合  
 慶北被服工業組合  
 慶北貨物自動車同業組合  
 慶尙北道農會  
 慶尙北道山林會  
 慶尙北道纖維會  
 慶尙北道水利組合聯合會  
 慶尙北道漁業組合聯合會  
 慶尙北道蠶絲會  
 南鮮鑄器製造業組合  
 人邱馬車組合  
 人邱物造運送組合  
 人邱府糧穀配給組合  
 人邱府自轉車組合  
 人邱府燃料組合  
 人邱書籍商組合  
 人邱府商工會議所  
 人邱石油販賣組合  
 人邱時計商組合  
 人邱糧友會  
 人邱靴商組合  
 人邱鑄器工業組合  
 人邱製麵工業組合  
 人邱包覽組合  
 浦項商工會議所

金鳳銀 大邱府東門洞  
 金漢鳳 慶尙北道廳內  
 呂相煥 // —  
 韓命龍 大邱府人平路1街  
 朴贊元 // // 昌洞  
 金漢鳳 慶尙北道廳內  
 裴永惠 大邱府北城路  
 金德修 // 西門路  
 權澤龜 // —  
 金明教 大邱府北城路  
 李鶴激 // 大玄洞  
 申點模 // 東仁洞  
 金駱傑 // 南山洞  
 鄭英傑 // 華田洞  
 南學鳳 // 內康洞  
 韓元錫 // 大牛路  
 尹壽慶 // 新川洞  
 金權亨 // 大牛路  
 金權亨 // 西門路  
 權澤龜 // /  
 韓命龍 // 院寧洞  
 權澤龜 // 公牛洞  
 權澤龜 // 人玄洞  
 權智燾 // —  
 慶尙地廳內  
 金英權 //  
 李一由 浦項邑港口洞  
 朱鎮相 大邱府人新洞  
 權澤龜 大邱府廳內  
 金琪士 大邱府廳內  
 李連丸 // 東城路  
 裴永真 // 廳內  
 成鳳甲 // 西門路  
 李鍾元 // 錦洞  
 姜致雲 // 大新洞  
 朴人準 // 西門路  
 申鳳吉 // 內唐洞  
 李鍾求 // 西門路  
 申鳳吉 // 東城路  
 權榮載 // 仁橋洞  
 姜騰錫 浦項邑 —

釜山標草小賣人組合  
釜山牛乳販賣組合  
釜山印刷業組合  
釜山印章工藝組合  
釜山自轉車商組合  
釜山莊縫工組合  
釜山敏產管理會  
釜山中央魚市場仲買商組合  
釜山酒類都賣商組合  
釜山酒類販賣商組合  
釜山織物商組合  
釜山織物機械商組合  
釜山青果物仲買商組合  
釜山靛藍商組合  
釜山漢藥都賣商組合  
釜山海產技師組合  
釜山靴商組合  
朝鮮第二島櫻桃瓜  
曳網商業小販組合  
朝鮮第二區蔬菜  
器商業水產組合  
朝鮮鮮中若漁業水產組合  
朝鮮各工型工業  
組合釜山出張所  
朝鮮寒人製造業組合  
晉州商會議所  
鎮海商會議所  
統營商會議所

釜山府人橋路  
張仁達 // 寶水道1 2195  
李根信 // 新昌洞2 2118  
權相龍 // 中央洞2 219  
朴昌禧 // 人橋路1 2166  
俞承弼 // 寶才洞 1 2138  
金智尔 // 新昌洞1 218  
千基祥 // ——  
郭在彬 // 大橋路2 2162  
徐有聲 // 稅務署內  
金華嶺 // 東元洞 4 2122  
千致萬 // // 1 2114  
成在完 // 南富民洞  
金五元 // 大橋路2 2128  
李世均 // 東人新洞344  
李福榮 // 南浦洞1 2121  
朱斗洪 // 蓬萊洞262  
黃實根 // 忠武路1 2134  
金桂祚 // // 1 2135  
金東德 // // 35  
李相雨 // 大橋路2 2112  
李玄載 // 忠武路2 21103  
文洞述 // 晉州府 ——  
金鎮錫 // 鎮海山吹洞  
車應朝 // 統營邑新洞

全羅北道商會議所  
全羅北道石浦都賣組合  
全羅北道縫維工業會  
全羅北道時計眼鏡商組合  
全羅北道洋服商工組合聯合會  
全羅北道印刷化學工業會  
全羅北道印刷業組合  
全羅北道自動車工業會  
全羅北道水利組合聯合會  
全羅北道石油工業組合  
全羅北道製紙工業會  
全羅北道織物工業會  
全羅北道土建協會  
全羅北道特産工藝組合  
全羅北道被服工業會  
全羅北道皮革工業會  
全川早秈商組合  
全川商會議所  
全川石油小豆商組合  
全川纖維貨商組合  
全川藥品指定小賣商組合  
全川雜物商組合  
全川織物商組合

崔昇烈 // 全川府宣化洞  
朱副燮 // 南溪洞  
李鏡勳 // //  
崔在倫 // 西仁洞  
朴夢宜 // 文化洞  
鄭東根 // 花園洞  
李鳳玉 // 青石洞  
金益相 // 南溪洞  
李承穆 // 全羅北道廳內  
鄭斗鼓 // 全州府西仁洞  
宋理烈 // 花園洞  
鄭南植 // 老松洞  
趙永光 // 大洞  
金英培 // 全羅北道廳內  
魯東赫 // 全州府中央洞  
辛日善 // 花園洞  
洪贊杓 // 殿洞  
金容敏 // 宣化洞  
尹慈顯 // 南溪洞  
金 鎭 // 望城洞  
盧 桓 // //  
崔春範 // //  
李根植 // /

☆ 全 羅 北 道

群山家具商組合  
群山金銀商工組合  
群山吐 91 再生工業組合  
群山物資運營組合  
群山商會議所  
群山生產必需品組合  
群山石油類小賣商組合  
群山纖維雜貨商組合  
群山消費組合  
群山水產品加工組合  
群山薪炭販賣組合  
群山煉炭加工組合  
群山利器工業組合  
群山印刷業組合  
群山自轉車商組合  
群山紙物加工組合  
群山織物商組合  
群山織工組合  
群山海運組合  
裡里商會議所  
裡里纖維雜貨商組合  
裡里自轉車小賣商組合  
全北酸素組合  
全北土建協會  
全羅北道工業會  
全羅北道鐵山聯盟  
全羅北道陶磁器工業會  
全羅北道遺物運營組合

合棋烈 // 群山府竹城洞  
崔東鎮 // 明山洞  
朴聖柱 // 中央路 3街  
蔡相順 // 錦洞  
李晚秀 // //  
蔡相順 // 中央路 2街  
張俊植 // // 3街  
金永植 // 榮洞  
尹錫龜 // //  
趙南奎 // 東岩洞  
白南鑄 // 藏米洞  
辛鳳敏 // 仲洞  
成載澤 // 藏米洞  
姜正泰 // 中央路 2街  
朴京鎬 // // 1街  
張基順 // 榮洞  
盧益泰 // 錦洞  
張俊植 // 新榮洞  
金孝鎮 // 藏米洞  
朴鼎修 // 裡里府湖南洞  
// //  
李鏡來 // //  
元春植 // 斗和洞  
趙永元 // 天洞  
金英培 // 全州府宣化洞  
—— // 全羅北道廳內  
魯東赫 // 全州府中央洞  
金鳴鐘 // 望城洞

☆ 全 羅 南 道

光川物產運營組合  
光川商會議所  
光州書籍商組合  
光州時計商組合  
光川業友會  
光川洋服商組合  
光川理髮業組合  
光川印刷業組合  
光川自轉車商工組合  
光川製靴商組合  
光州蠶工業組合  
第三南機船底曳網組合  
木浦穀物加工組合  
木浦貿易協會  
木浦商會議所  
木浦纖維雜貨商組合  
木浦製材協會  
木浦海運協會  
木浦織工業組合  
順天商會議所  
藥友會  
麗水官廳小賣人組合  
麗水物資運營組合  
財才商會議所  
麗水園藝組合  
麗水貨採給組合  
麗水地區石油組合  
麗水地界石炭組合  
麗水畜注組合  
麗水打網網漁業會  
麗水港灣協進會  
麗水海運協會

金良贊 // 光川府忠壯路 3街  
趙千燮 // 奉平洞  
金仲基 // // 1街  
崔昌烈 // // 2街  
李熙基 // // 1街  
徐東烈 // // 2街  
白壽錫 // // 1街  
金義燮 // // 4街  
鄭泰重 // 光川府忠壯路 1街  
金德九 // // 5街  
李文煥 // 湖南洞 37  
延哲熙 // 麗水邑——  
金尚顯 // 木浦府大成洞  
朱南得 // 仲洞 2街  
姜善明 // //  
鄭南龍 // 福滿洞  
丁龍奎 // ——  
李克祚 // 壽福洞  
金八淑 // 海岩洞  
吳永植 // 順天邑  
金 煥 // 麗水邑——  
李道洙 // 麗水專賣署內  
金英俊 // 麗水邑——  
// //  
金汶祥 // 麗水郡廳內  
// //  
郭探具 // 麗水邑——  
朴鍾鉉 // ——  
金汶祥 // 麗水郡廳內  
金益濟 // 麗水邑——  
金英俊 // ——  
金千洙 // ——

### 第三部 統計 篇

△總括經濟指標……………(III-7)

圖表 4 統計 4

△人口外土地……………(III-15)

圖表 2 統計 11

△產 業……………(III-21)

圖表 4 統計 25

△貿 易……………(III-41)

圖表 2 統計 9

△通貨外金融(保險)……………(III-61)

圖表 8 統計 47

△財 政……………(III-111)

圖表 2 統計 4

△物 價……………(III-115)

圖表 4 統計 5

△勞 動……………(III-143)

圖表 2 統計 10

△運 輸……………(III-159)

圖表 2 統計 5

△動力外燃料……………(III-167)

圖表 4 統計 13

△企 業……………(III-183)

圖表 2 統計 8

△外 國 統 計……………(III-197)

圖表 4 統計 39

## Statistics

1. Summary .....	(III-7)
4 Charts	4 Statistics
2. Population & Land.....	(III-15)
2 Charts	11 Statistics
3. Industry.....	(III-21)
4 Charts	25 Statistics
4. Foreign Trade .....	(III-41)
2 Charts	9 Statistics
5. Money & Banking.....	(III-61)
8 Charts	47 Statistics
6. Finance .....	(III-111)
2 Charts	4 Statistics
7. Prices .....	(III-115)
4 Charts	5 Statistics
8. Labour .....	(III-143)
2 Charts	10 Statistics
9. Transportation .....	(III-159)
2 Charts	5 Statistics
10. Power & Fuel.....	(III-167)
4 Charts	13 Statistics
11. Enterprises .....	(III-183)
2 Charts	8 Statistics
12. International Statistics .....	(III-197)
4 Charts	39 Statistics

**40 Charts 180 Statistics**

# 目次

## CONTENTS

	頁Page		頁Page
<b>I 總括</b>		<b>Summary</b>	
(1) 南朝鮮重要經濟指標, 1945-1947 (圖表).....	III-7	(26) 農家戶數.....	III-25
Principal Economic Indicators in South Korea (Chart)		Number of Agricultural Families	
(2) 人口增加斗米生產, 1910-1947 (圖表).....	8	(27) 耕地面積.....	25
Population & Rice Production (Chart)		Arable Land Area	
(3) 朝鮮重要經濟指標, 1910-1947 (圖表).....	9	(28) 道別符農別農家戶數.....	25
Principal Economic Indicators in Korea (Chart)		Assortment of Agr. Number of Farm-F. by Province	
(4) 朝鮮經濟關係主要圖表(圖表).....	10	(29) 主要農產物生產高.....	26-27
Principal Economic Charts in Korea (Chart)		Annual Amount of Agricultural Production	
(5) 戶數及人口動遷.....	11	(30) 食糧需給狀況.....	28
Movement of Population		Demand & Supply Condition of Grains	
(6) 朝鮮重要經濟指標.....	12	(31) 家畜數累年一覽.....	29
Principal Economic Indicators in Korea		Number of Domestic Animals	
(7) 南朝鮮重要經濟指標.....	13	(32) 1946年度道別畜牛數.....	29
Principal Economic Indicators in South Korea		Number of Work Cattles by Province in 1946	
(8) 農業及水產業性移, 1910-1946.....	14	(33) 道別家畜頭數.....	30
Agriculture & Fishery		Number of Domestic Animals by Province	
<b>II 人口斗土地</b>		(34) 家 蠶.....	31
<b>Population &amp; Land</b>		Silkworm	
(9) 道別面積一覽(圖表).....	15	(35) 1947年中道別養蠶表.....	31
Table of Area by Province (Chart)		Sericulture, by Province	
(10) 南朝鮮人口移動(圖表).....	16	(36) 林野面積.....	32
Movement of Population of South Korea (Chart)		Area of Forests	
(11) 道別面積一覽.....	17	(37) 林野蓄積.....	32
Table of Area by Province		Quantity of Fields	
(12) 平均氣溫表.....	17	(38) 林產物生產表.....	32
Mean Temperature		Products of Forests	
(13) 平均降雨量.....	17	(39) 水產業狀況.....	33
Amount of Mean Rainfall		Statistics of Fishery	
(14) 人口趨勢.....	18	(40) 南朝鮮漁獲高及加工製造累年一覽.....	33
Korean Population		Amount of Fishery & Manufactured Fishes in S. Korea by Year	
(15) 年齡、性別人口.....	18	(41) 主要礦產品生產高.....	34
Korean Population; Age by Five Years and Sex		Principal Mineral Products	
(16) 職業別人口.....	19	(42) 各道別礦區數.....	35
Population by Occupation		Number of Mine-Lots by Each Province	
(17) 道別人口斗密度推移.....	19	(43) 礦種別礦區數累年比較.....	35
Population and Density of Korean by Province		Number of Mine-Lots by Mine Type	
(18) 南朝鮮人口增減表.....	19	(44) 主要物產生產實績.....	36-37
The Situation of Population in South Korea		Industrial Products by Staple Commodities	
(19) 南朝鮮戶數及人口.....	20	(45) 織物生產實績及消費狀況.....	38
Houses & Population in South Korea		Actual Results of Textile Production & Consumed Condition	
(20) 都市人口.....	20	(46) 紡織工場一覽.....	38
Municipal Population		Table of the Textile Factories	
(21) 國文普及狀況.....	20	(47) 南朝鮮製紙生產量.....	39
The Spread of Native Language		Paper Production in South Korea	
<b>III 產 業</b>		(48) 南朝鮮油脂生產量.....	39
<b>Industry</b>		Oil Production in South Korea	
(22) 產業別生產指數(圖表).....	21	(49) 主要礦物生產實績及生產計劃.....	40
Indexes of Production by Industry (Chart)		Actual Results & Programmes of Principal Mineral Production	
(23) 主要農作物收穫高及營農狀況(圖表).....	22	(50) 電氣工業生產量.....	40
Am. of Principal Agricultural Products & Farm-Business Con.(C.)		Electric Industry Production	
(24) 穀物需給狀況(圖表).....	23	<b>IV 貿 易</b>	
Demand & Supply Condition of Grains (Chart)		<b>Foreign Trade</b>	
(25) 主要礦物生產高累年一覽表(圖表).....	24	(51) 1925-45年國別輸出入品額高表(圖表).....	41
Amount of Principal Mineral Products (Chart)		Total Value of Foreign Trade by Countries (1925-45) (Chart)	
		(52) 解放後國別輸出入品額高表(圖表).....	42
		Total Value of Foreign Trade by Countries After Lib. (C.)	
		(53) 輸出入額斗推移(解放前).....	43
		Transition of Total Value of Exported & Imported (P. Liberat.)	
		(54) 國別輸出入品額高表.....	44-45
		Total Value of Foreign Trade by Countries	

	頁Page
(55) 港灣別輸出入品額高表 .....	III-45-47
Total Value of Foreign Trade of Each Port (Korea)	
(56) 產品別輸出額高表 .....	48
Total Value of Exported Commodities by Kinds	
(57) 產品別輸入額高表 .....	49
Total Value of Imported Commodities by Kinds	
(58) 類別輸出入品額高表 .....	50-51
Foreign Trade by Economic Classes (Korea)	
(59) 重要輸出品表(其一) .....	52-53
Details of Principal Commodities Exported (Korea)(I)	
重要輸出品表(其二) .....	54-55
Details of Principal Commodities Exported (Korea)(II)	
(60) 重要輸入品表(其一) .....	56-57
Details of Principal Commodities Imported (Korea)(I)	
重要輸入品表(其二) .....	58-59
Details of Principal Commodities Imported (Korea)(II)	
(61) 南朝鮮國別輸出入品額高表 .....	60
Total Value of Foreign Trade by Countries in South Korea	

**V 金融**  
**Money & Banking**

(62) 朝鮮銀行券流通高(圖表) .....	61
Chosun Bank Notes in Circulation (Chart)	
(63) 朝鮮內流通貨幣沿革圖(圖表) .....	62
Illustration of Monetary History Circulated in Korea (Chart)	
(64) 朝鮮銀行券都市別發行還收趨勢(圖表) .....	63
Chosun Bank Notes; Increase & Decrease by Principal Cities(C.)	
(65) 南朝鮮預金貸出趨勢(圖表) .....	64
Trends of Deposits & Loans in South Korea (Chart)	
(66) 朝鮮銀行券發行高 .....	65
Chosun Bank: Note Issued	
(67) 通貨流通推定高 .....	66
Estimated Amount of Currency in Circulation in Korea	
(68) 朝鮮銀行券發行準備內譯 .....	67
Chosun Bank: Note Issue, Details of Reserves	
(69) 券面別發行高及同比率表 .....	68
Chosun Bank: Note in Circulation, by Denominations	
(70) 手形交換高一覽(圖表) .....	69
The Transactions of Cleared Bills (Chart)	
(71) 道別預金貸出趨勢(圖表) .....	70
Deposits and Loans of All Financial Institutions by Province(Ch.)	
(72) 各銀行別業務分析圖(圖表) .....	71
Picture of Annalysed Business by Banks (Chart)	
(73) 銀行別沿革圖(圖表) .....	72
The History of Banks (Chart)	
(74) 各種銀行沿革一覽 .....	73
Status of Banks Progress	
(75) 朝鮮銀行主要計定 .....	74-75
Principal Accounts of Chosun Bank	
(76) 朝鮮殖產銀行主要計定 .....	76-77
Principal Accounts of Chosun Industrial Bank	
(77) 朝鮮貯蓄銀行主要計定 .....	78-79
Principal Accounts of Chosun Savings Bank	
(78) 普通銀行主要計定 .....	80-81
Principal Accounts of Ordinary Banks	
(79) 全銀行主要計定 .....	82-83
Principal Accounts of All Banks	
(80) 金融組合主要計定 .....	84-85
Principal Accounts of Financial Associations	
(81) 朝鮮信託銀行(信託會社)主要計定 .....	86
Principal Accounts of Chosun Trust Bank (Co.)	
(82) 朝鮮相互銀行(無盡會社)主要計定 .....	87
Principal Accounts of Chosun Mutual Aid Bank (Co.)	
(83) 朝鮮銀行預金狀況 .....	88
Deposits of Chosun Bank	
(84) 朝鮮殖產銀行預金狀況 .....	88
Deposits of Chosun Industrial Bank	

	頁Page
(85) 朝鮮貯蓄銀行預金狀況 .....	III-88
Deposits of Chosun Savings Bank	
(86) 朝鮮商業銀行預金狀況 .....	89
Deposits of Chosun Commercial Bank	
(87) 朝興銀行預金狀況 .....	89
Deposits of Choheung Bank	
(88) 朝鮮相互銀行預金狀況 .....	89
Deposits of Chosun Mutual Aid Bank	
(89) 朝鮮銀行貸出狀況 .....	90
Loans of Chosun Bank	
(90) 朝鮮殖產銀行貸出狀況 .....	90
Loans of Chosun Industrial Bank	
(91) 朝鮮貯蓄銀行貸出狀況 .....	90
Loans of Chosun Savings Bank	
(92) 朝鮮商業銀行貸出狀況 .....	91
Loans of Chosun Commercial Bank	
(93) 朝興銀行貸出狀況 .....	91
Loans of Choheung Bank	
(94) 朝鮮相互銀行貸出狀況 .....	91
Loans of Chosun Mutual Aid Bank	
(95) 預金通貨流通速度 .....	92
Circulation Velocity	
(96) 預金貸出都市集中率 .....	93
Concentrated Rates of Cities of Deposits & Loans	
(97) 穀物收集資金動向 .....	94
Movements of Rice Collection Funds	
(98) 銀行別有價證券現在高 .....	95
The Amount of Securities by Banks	
(99) 各銀行爲替受拂高 .....	96
Transactions of Remittance of Each Banks	
(100) 交換手形種類別表 .....	97
Type of Bills Cleared	
(101) 各地手形交換高 .....	98-99
The Transactions of Clearing House in Principal Cities	
(102) 各地不渡手形一覽 .....	100-101
Dishonoured Bills in Principal Cities	
(103) 朝鮮銀行貸出標準金利沿革 .....	102
Standard Rate of Loans & Discount of the Chosun Bank	
(104) 朝鮮殖產銀行金利表 .....	102
The Rate of Chosun Industrial Bank	
(105) 朝鮮貯蓄銀行金利表 .....	102
The Rate of Chosun Savings Bank	
(106) 普通銀行金利表 .....	103
The Rate of Ordinary Banks	
(107) 朝鮮金融團協定預金利率 .....	103
The Agreed Rate of Interest Between Financial Institutions	
(108) 郵便貯金受拂一覽 .....	104-105
Transaction of Postal Deposits	
(109) 通常郵便物數累年比較 .....	104-105
Ordinary Mail Matter Successive Years Comparison	
(110) 郵便振替貯金殘高表 .....	106-107
Balance of Postal Transfer Deposits	
(111) 南朝鮮郵便局道別一覽 .....	106
Post Office by Provinces in South Korea	
(112) 通信機關 .....	107
Organ of Communication	
(113) 國內外郵便爲替發行拂與高 .....	108
Domestic and Foreign Money Order Drawn and Paid-out	
(114) 國民生命保險事業概況 .....	109
Outline of Business of the National Life Insurance	
(115) 生命保險事業概況 .....	110
Outline of Business of the Life Insurance	
(116) 損害保險事業概況 .....	110
Outline of Business of the Damage Insurance	

**VI 財政**  
**Finance**

	頁Page
(117) 月別歲入及歲出(圖表) .....	III-111
Government Revenues & Expenditures (Chart)	
(118) 1946及47年度歲出豫算表(圖表) .....	112
Budgetary Expenditures for 1946, 1947 (Chart)	
(119) 解放前歲入對照表 .....	113
Gov't Revenues Prior to Liberation	
(120) 1946及47年度歲入豫算表 .....	113
Budget of Revenue, 1946-1947	
(121) 解放前歲出對照表 .....	114
Gov't Expenditures Prior to Liberation	
(122) 1946及47年度歲出豫算表 .....	114
Budget of Expenditure, 1946-1947	

**VII 物 價**  
Prices

(123) 서울市類別都賣物價指數趨勢(圖表) .....	115
Trends of Wholesale Prices in Seoul (Chart)	
(124) 서울市小賣物價動向(圖表) .....	116
Retail Prices Movements in Seoul (Chart)	
(125) 서울市重要商品價格趨勢(圖表) .....	117
Wholesale Prices of Selected Commodities in Seoul (Chart)	
(126) 都市別生活必需品小賣物價趨勢(圖表) .....	118
Indexes of Retail Prices in Principal Cities (Chart)	
(127) 서울市都賣物價商品類別指數表(其一) .....	119
Indexes of Wholesale Prices by Commodity Groups in Seoul(I)	
서울市都賣物價商品類別指數表(其二) .....	120-121
Indexes of Wholesale Prices by Commodity Groups in Seoul (II)	
(128) 서울市小賣物價勞動賃金指數月別對照表 .....	119
Monthly Indexes of Retail Prices and Wages in Seoul	
(129) 서울市都賣物價調查表(其一) .....	122-123
Indexes of Wholesale Prices in Seoul (I)	
서울市都賣物價調查表(其二) .....	124-125
Indexes of Wholesale Prices in Seoul (II)	
서울市都賣物價調查表(其三) .....	126-127
Indexes of Wholesale Prices in Seoul (III)	
서울市都賣物價調查表(其四) .....	128-129
Indexes of Wholesale Prices in Seoul (IV)	
서울市都賣物價調查表(其五) .....	130-131
Indexes of Wholesale Prices in Seoul (V)	
서울市都賣物價調查表(其六) .....	132-133
Indexes of Wholesale Prices in Seoul (VI)	
(130) 서울市生活必需品小賣物價調查表(其一) .....	134-135
Indexes of Retail Prices in Seoul (I)	
서울市生活必需品小賣物價調查表(其二) .....	136-137
Indexes of Retail Prices in Seoul (II)	
서울市生活必需品小賣物價調查表(其三) .....	138-139
Indexes of Retail Prices in Seoul (III)	
서울市生活必需品小賣物價調查表(其四) .....	140-141
Indexes of Retail Prices in Seoul (IV)	
(131) 서울市生活必需品小賣物價商品類別指數表 .....	142
Indexes of Retail Prices by Commodity Groups in Seoul	

**VIII 勞 動**  
Labour

(132) 서울市勞動賃金指數趨勢(圖表) .....	143
Indexes of Wages of Labours in Seoul (Chart)	
(133) 勞務者數及工場數趨勢(圖表) .....	144
Number of Workers & Factories (Chart)	
(134) 서울市物價、勞賃指數累年對照表 .....	145
Indexes of Prices and Wages in Seoul	
(135) 서울市勞動賃金業種別指數表 .....	146-147
Indexes of Wages of Labours by Industrial Groups in Seoul	
(136) 서울市勞動賃金調查表(其一) .....	148-149
Indexes of Wages of Labours in Seoul (I)	
서울市勞動賃金調查表(其二) .....	150-151
Indexes of Wages of Labours in Seoul (II)	

	頁Page
(137) 地域及產業別企業體及勞務者數 .....	III-152-153
Frequency Distribution of Factories and Workers by Dist. & Ind.	
(138) 事務規模及業種別企業體分布表 .....	154-155
Frequency Distribution of Factories by Scale, & Business	
(139) 地域別未熟練勞務者之教育程度表 .....	154-155
Educational Status of Unskilled Workers by District	
(140) 產業別保健厚生施設數 .....	156
Number of Institutions of Welfare by Industry (S. Korea)	
(141) 產業別勞動組合數及勞動組合員數 .....	156
Number of Labour Unions & Unionists by Industry (S. Korea)	
(142) 產業別勞動爭議 .....	157
Labor Disputes by Industry	
(143) 月及道別勞動爭議 .....	158
Labor Disputes by Month & Province	

**IX 運 輸**  
Transportation

(144) 朝鮮鐵道運輸狀況(圖表) .....	159
Trends of Railway Transportation in Korea (Chart)	
(145) 重要貨物別鐵道輸送噸數(圖表) .....	160
Weights of Selected Goods Transported by Railway (Chart)	
(146) 國有鐵道運輸狀況 .....	161
Conditions of Transportation by Government Railway	
(147) 國有鐵道運輸收入 .....	162
Incomes by Government Railways	
(148) 主要貨物別鐵道輸送噸數 .....	163
Total Tonnage of Goods Transported by Gov't Railway, by Kinds	
(149) 1946年度各鐵道線目別發着噸數 .....	164
Total Tonnage of Goods by Gov't Railway Lines in '46, by Kinds	
(150) 京電運輸狀況(其一) .....	165
Traffic Table of the Seoul Electric Co. (I)	
京電運輸狀況(其二) .....	166
Traffic Table of the Seoul Electric Co. (II)	

**X 動力及燃料**  
Power & Fuel

(151) 發電水力資源一覽表(圖表) .....	167
Resources of Hydro-Electric Power (Chart)	
(152) 電力需給狀況(圖表) .....	168
Demand & Supply Condition of Electric Power (Chart)	
(153) 石炭生產及需給狀況(圖表) .....	169
Coal Production, Its Demand & Supply (Chart)	
(154) 石油需給狀況(圖表) .....	170
Demand & Supply Condition of Petroleum (Chart)	
(155) 全朝鮮水力資源一覽 .....	171
Resources of Water Power in Korea	
(156) 全朝鮮發電設備明細表 .....	171
Equipment of Electric Power in Korea	
(157) 朝鮮發電量 .....	172
Generated Power in Korea	
(158) 南朝鮮電力供給狀況 .....	172
Supplying Condition of the Electric Power in S. Korea	
(159) 南朝鮮道及業種別電力消費狀況 .....	173
Consumed Electric Power by Province & Business	
(160) 業種別電力需要統計(其一) .....	174-175
Demand of Electric Power by Business Type (I)	
業種別電力需要統計(其二) .....	176-177
Demand of Electric Power by Business Type (II)	
(161) 南朝鮮發電量調查 .....	178
Generated Power in South Korea	
(162) 南朝鮮動力別電力消費量 .....	179
Quantity of Consumed by Electric Horse Power (S. Korea)	
(163) 電燈普及狀況 .....	180
Survey on Electric Light Installation in Korea	
(164) 石油消費狀況 .....	181
The Condition of Oil Consumption	
(165) 石油用途別消費量(1944) .....	181
Oil Consumption by Use, 1944	



	頁Page
(166) 石炭生產及輸入量	III-182
Amount of Coal Production & Imported	
(167) 瓦斯事業狀況	182
Status of Gas Business	

**XI 企 業**  
**Enterprises**

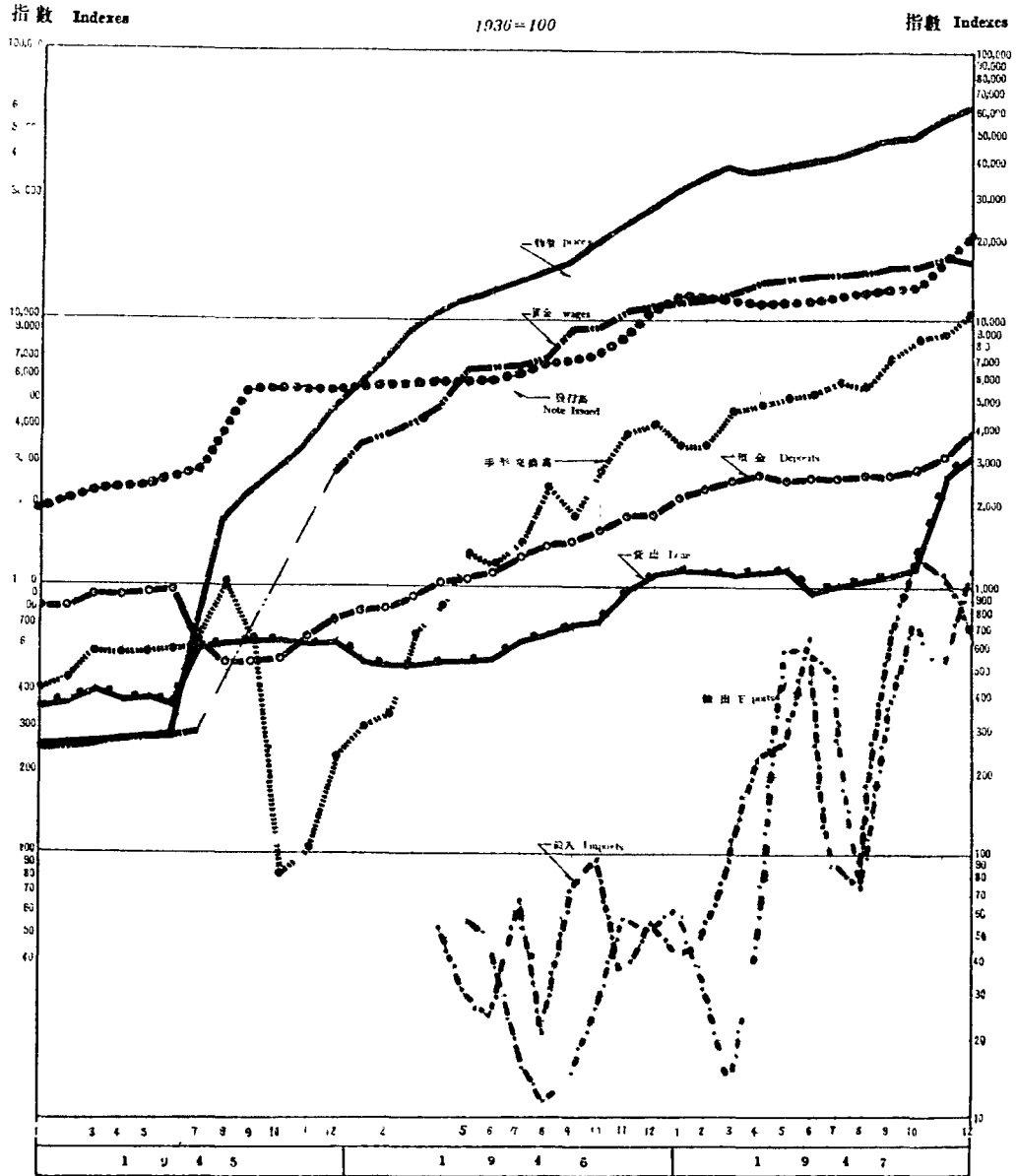
(168) 南朝鮮新設會社狀況(圖表)	183
Status of Corporation Newly Established in S. Korea (Chart)	
(169) 銀行會社業種別主要計定趨勢表(圖表)	184
Trends of Principal Accounts by Banks & Corporation (C.)	
(170) 서울市銀行會社新設增資資本	185
Newly Established & Increased Cap. of Banks and Corporat. in S.	
(171) 서울市銀行會社解散減資資本	185
Liquidated and Decreased Capital of Banks and Corporat. in S.	
(172) 서울市銀行會社新設增資資本業種別表(其一)	186-187
Increased Capital by Business Type in Seoul (I)	
서울市銀行會社新設增資資本業種別表(其二)	188-189
Increased Capital by Business Type in Seoul (II)	
(173) 서울市銀行會社解散減資資本業種別表(其一)	186-187
Liquidated & Decreased Capital by Business Type in Seoul(I)	
서울市銀行會社解散減資資本業種別表(其二)	188-189
Liquidated & Decreased Capital by Business Type in Seoul(II)	
(174) 서울市銀行會社資本金各年末現在高(其一)	186-187
Capital of All Banks & Corporations at the Year-End in Seoul(I)	
서울市銀行會社資本金各年末現在高(其二)	188-189
Capital of All Banks & Corporations at the Year-End in Seoul(II)	
(175) 解放後八都市新設會社調查(其一)	190-191
Corporation Newly Established in Large Cities After Liberat.(I)	
解放後八都市新設會社調查(其二)	192-193
Corporation Newly Established in Large Cities After Libera.(II)	
解放後八都市新設會社調查(其三)	194-195
Corporation Newly Established in Large Cities After Liber.(III)	
(176) 道別主要歸屬事業體數	196
Number of Vested Enterprises by Province in South Korea	
(177) 管轄別主要歸屬事業體表	196
Number of Vested Enterprises by Jurisdiction in South Korea	

**XII 外 國 統 計**  
**International Statistics**

(178) 主要各國輸出入品額高表(圖表)	197
Total Value of Foreign Trade in Principal Countries (Chart)	
(179) 主要各國發行高動向(圖表)	198
Note Circulation in Principal Countries (Chart)	
(180) 主要各國物價動向(圖表)	199
Price Movements in Principal Countries (Chart)	
(181) 主要各國生產指數(圖表)	200
Index Numbers of Industrial Production of Principal Count.(Ch.)	
(182) 主要各國面積及人口	201
Area and Population in Principal Countries	
(183) 主要各國人口推定數	202
Estimates of Total Population	
(184) 米生產及需給高	203
Rice Production and Demand & Supply	
(185) 小麥生產及輸出入高	203
Wheat Production and Exports & Imports	
(186) 大麥生產及輸出入高	204
Barley Production and Imports & Exports	
(187) 玉蜀黍生產及輸出入高	204
Corn Production and Imports & Exports	
(188) 砂糖生產及需給高	204
Sugar Production and Demand & Supply	

	頁Page
(189) 棉花生產高	III-205
Cotton Production	
(190) 綿糸・綿織物生產高	205
Cotton, Yarn and Woven Cotton Fabrics	
(191) 羊毛生產及輸出入高	206
Wool Production and Imports & Exports	
(192) 毛糸・人造絹糸及人造纖維生產高	206
Wool Yarn, Rayon Yarn and Staple Fiber Production	
(193) 鋼鐵生產高	207
Steel Ingots and Castings	
(194) 生 고무生產高	207
Rubber Production	
(195) 鐵礦石生產高	208
Iron Ore Production	
(196) 銻鐵及鐵合金生產高	208
Pig-iron and Ferro-alloys Production	
(197) 自動車生產高	209
Motor Vehicles Production	
(198) 시멘트生產高	209
Cement Production	
(199) 主要各國生產指數	210-211
Index Numbers of Industrial Production by Principal Countries	
(200) 主要各國輸出入品額高表	212-213
Total Value of Foreign Trade by Principal Countries	
(201) 主要各國中央銀行及政府金保有高	214
Gold Reserves of Central Banks and Gov'ts	
(202) 主要各國金生產量	214
Gold Production in Principal Countries	
(203) 各國通貨平價	215
Parity of Currency Value by Principal Countries	
(204) 各國貨幣制度	215
Monetary Systems	
(205) 美國斗貨幣保有量	216
Stock of Money in U. S. A.	
(206) 美國斗貨幣種類別保有量	216
Stock of Money, Clas. by Kind, at the End of Each F.Y. in USA	
(207) 美國斗貨幣額面別流通量	216
U.S.A. Money in Circulation, by Denomination	
(208) 美國斗金動向	217
Gold Movements of U. S. A.	
(209) 各國通貨流通高	218-219
Note Circulation in Principal Countries	
(210) 各國通貨兌換率時勢表	220-221
Foreign Exchange Rates at New York	
(211) 主要各國都賣物價動向	222-223
Wholesale Prices Movements in Principal Countries	
(212) 主要各國生計費指數	224-225
Index Numbers of Cost of Living by Principal Countries	
(213) 各國生產機關斗勞動賃金及賃金率	226
Earning and Wage Rates in Manufacturing of Principal Count.	
(214) 主要各國鐵道輸送旅客人對表	227
Railways Passenger-Kilometres in Principal Countries	
(215) 主要各國鐵道輸送貨物噸數表	228
Railway Freight Traffic in Principal Countries	
(216) 世界石油原油生產高	229
Crude Petroleum Produced in Principal Countries of World	
(217) 各國石油原油生產高	229
Crude Petroleum Production	
(218) 主要各國石炭生產量及貯炭量	230-231
Coal Production & Stocks in Principal Countries	
(219) 主要各國發電量	232-233
Electricity Production in Principal Countries	
(220) 主要各國瓦斯生產量	234
Gas Production in Principal Countries	

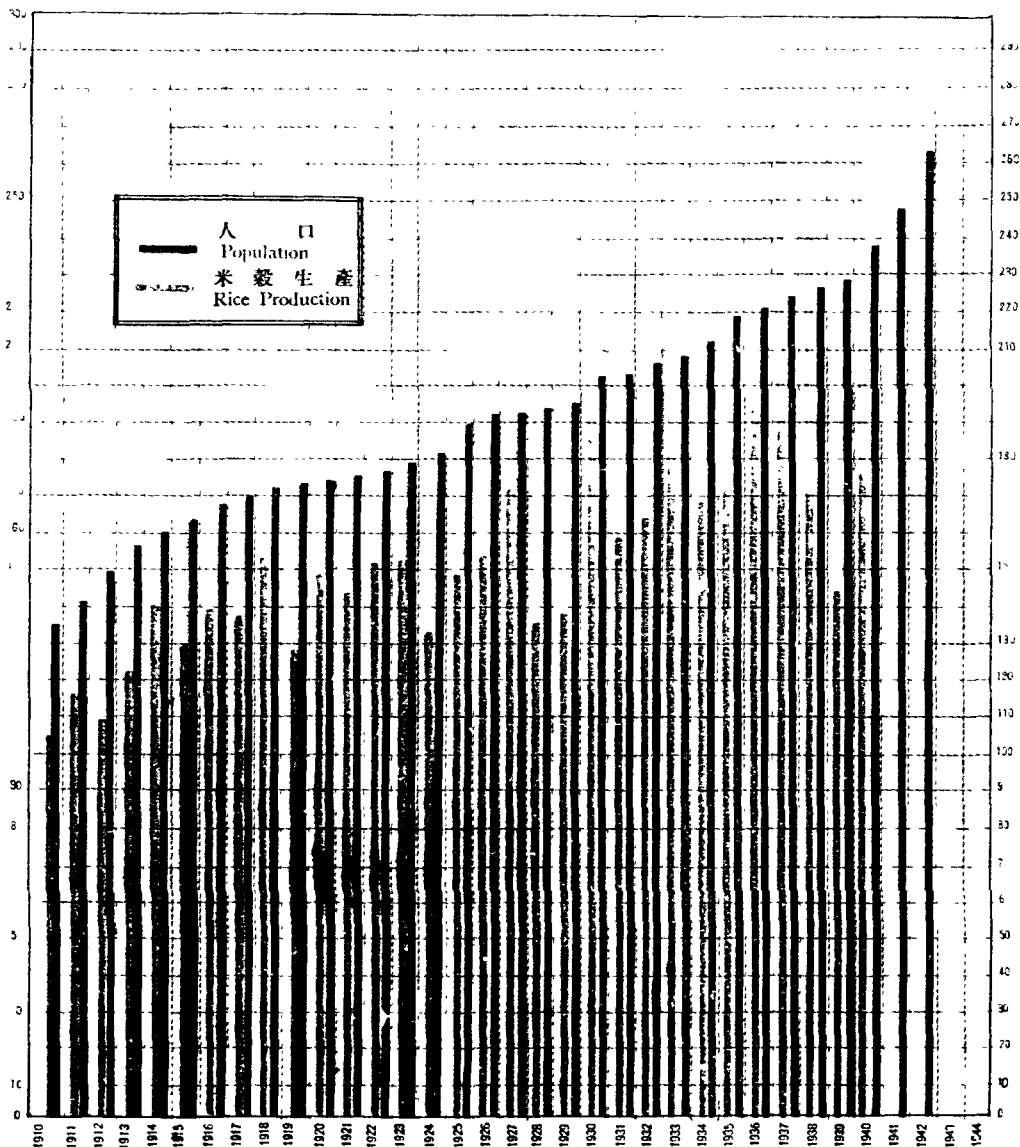
(1) 南 朝 鮮 重 要 經 濟 指 標  
PRINCIPAL ECONOMIC INDICATOR IN SOUTH KOREA



## (2) 人口增加与米穀生產 POPULATION & RICE PRODUCTION

單位：萬人

單位：萬噸



### (3) 朝鮮重要經濟指標

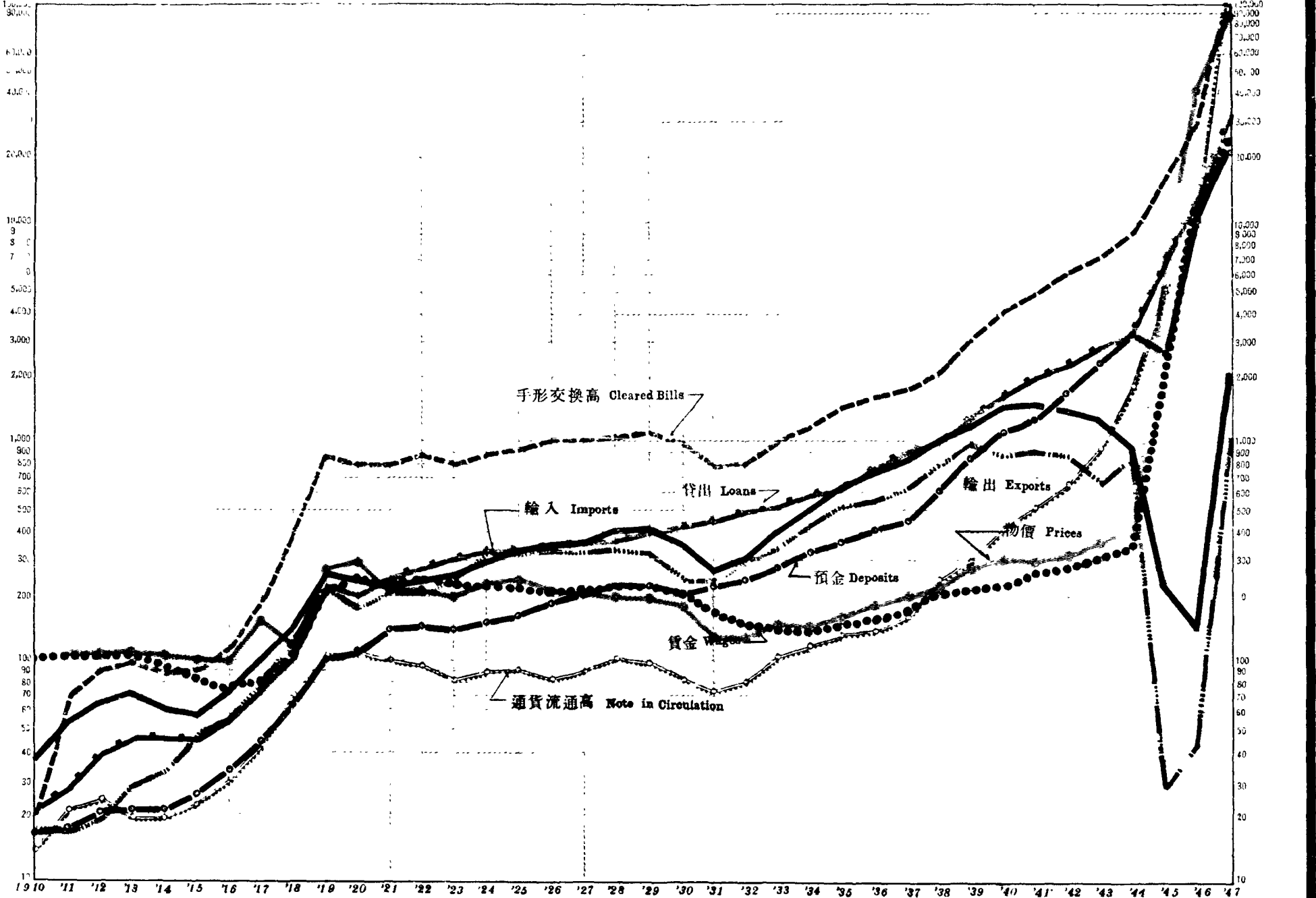
#### PRINCIPAL ECONOMIC INDICATORS IN KOREA

1910-1947

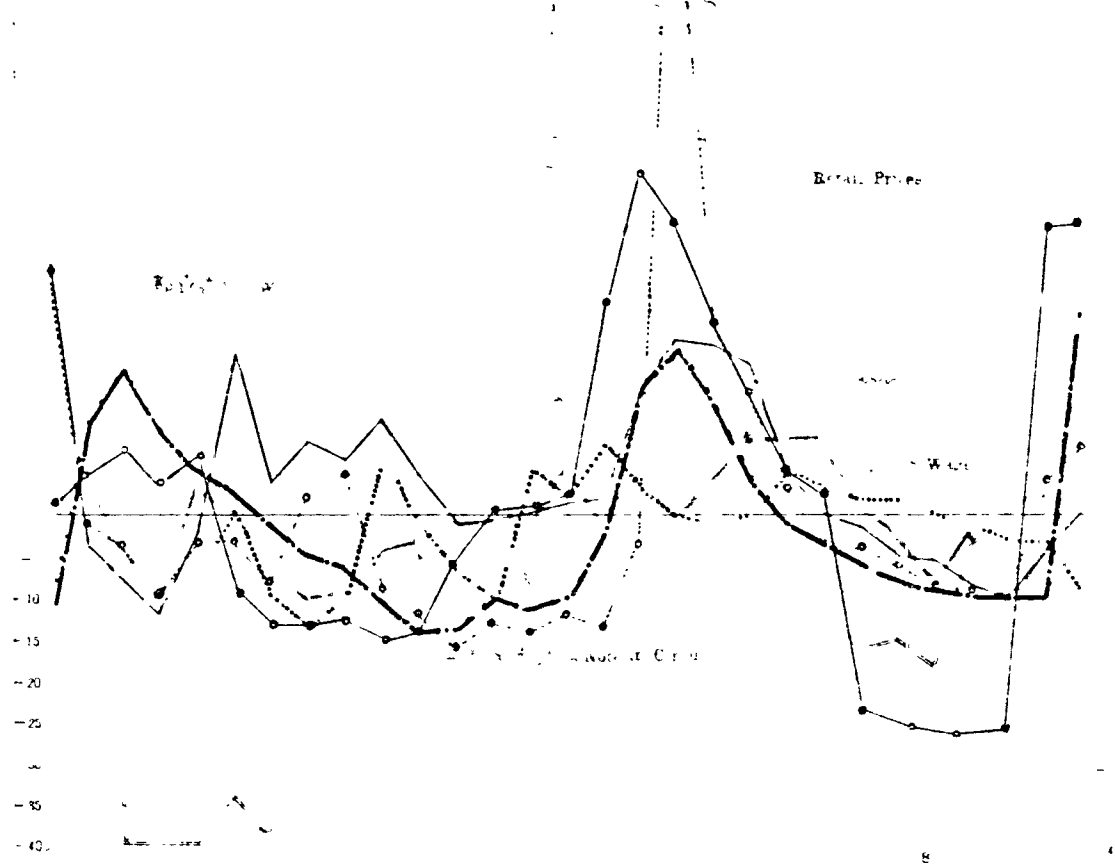
通貨流通高 Note in Circulation  
 貸出 Loans  
 手形交換高 Cleared Bills  
 手形交換高 Cleared Bills  
 手形交換高 Cleared Bills  
 手形交換高 Cleared Bills

單位百萬圓  
In Million Won

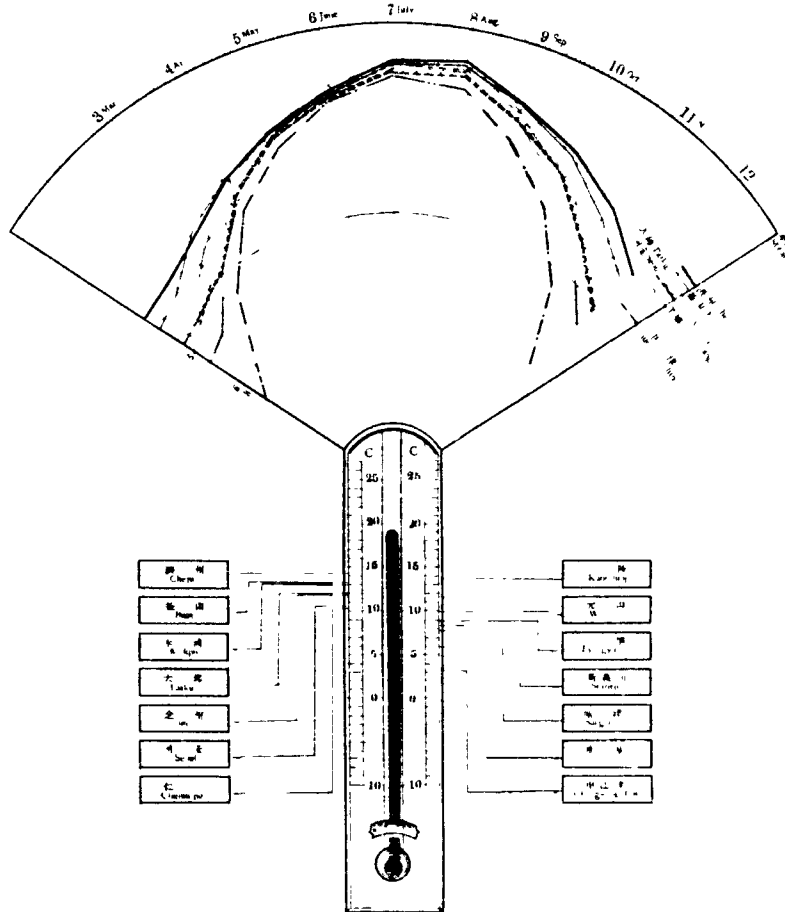
指數 Index  
 物價 Prices  
 賃金 Wages



南朝鮮重要經濟指標趨勢變動線修正位



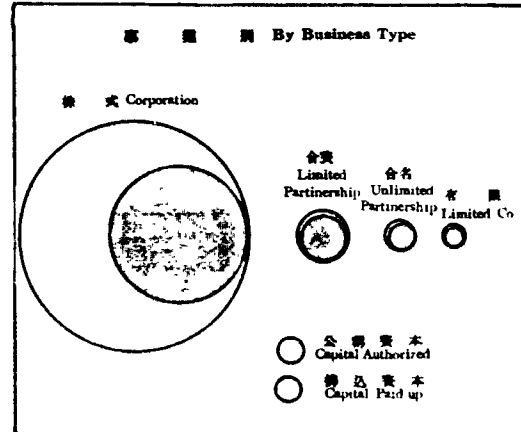
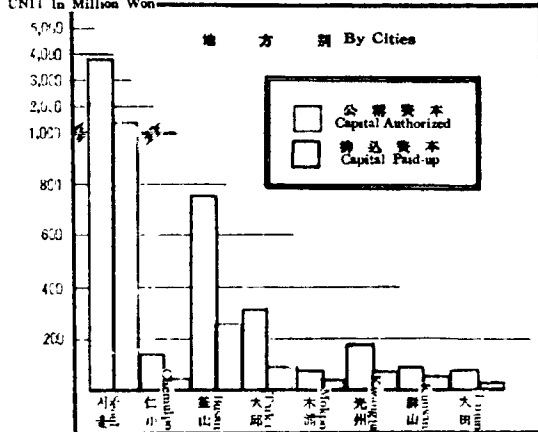
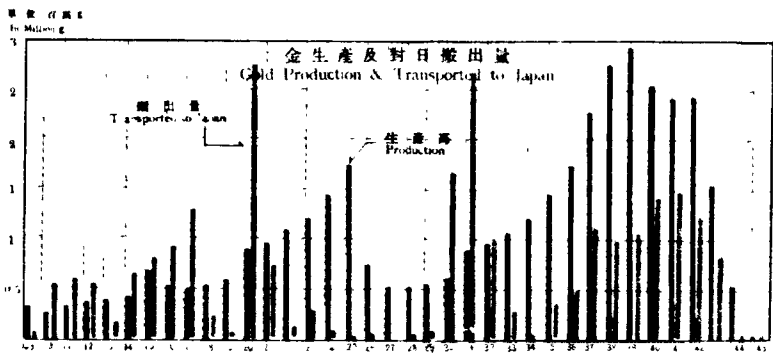
都市別平均氣溫表  
Mean Temperatures in Principal Cities



八都市新設會社

Newly Established Corporations in Large Cities

單位百萬圓 (Unit in Million Won) (累計1945年8月—1947年12月) (Total Since Aug. 1945—Dec. 1947)



## (5) 戶數及人口動態

## Movement of Population

In Person

	戶數及人口 Houses & Population						婚 姻 總 數 Sum of Married	離 婚 總 數 Sum of Divorce	出 生 總 數 Sum of Born	死 亡 總 數 Sum of Died	死 亡 增 加 總 數 Increase of Population
	總 數 The Sum			朝 鮮 人 Korean							
	戶 數 Houses	人 口 Population		戶 數 Houses	人 口 Population						
		實 數 Actual Number	指 數 Index								
1910	2,804,103	13,313,017	100.0	2,749,956	13,128,780	51,842	3,967	180,529	110,569	69	
1911	2,879,870	14,055,869	105.6	2,813,925	13,382,376	86,392	5,752	232,867	167,157	115	
1912	2,959,958	14,827,101	111.4	2,885,404	14,566,783	122,793	9,153	428,308	237,001	191	
1913	3,045,586	15,458,863	116.1	2,964,113	15,169,923	132,741	10,097	459,938	278,363	181	
1914	3,121,781	15,929,962	119.7	3,033,826	15,620,720	116,854	9,127	447,985	307,482	140	
1915	3,117,962	16,278,389	122.3	3,027,463	15,957,630	103,731	8,216	443,851	343,024	100	
1916	3,167,362	16,648,129	125.1	3,072,092	16,309,179	128,798	10,040	561,264	370,746	190	
1917	3,205,767	16,968,997	127.0	3,107,219	16,617,431	138,151	10,789	572,176	409,330	162	
1918	3,237,961	17,057,032	128.1	3,139,140	16,697,017	146,114	10,746	578,591	523,606	54	
1919	3,255,551	17,149,909	128.8	3,152,228	16,783,510	143,769	9,944	474,471	392,288	82	
1920	3,292,979	17,288,989	129.9	3,191,153	16,916,078	141,770	8,055	476,833	404,240	72	
1921	3,308,614	17,452,918	131.1	3,201,125	17,059,358	156,343	7,291	518,063	345,262	172	
1922	3,359,552	17,626,761	132.4	3,242,432	17,208,139	194,793	7,388	595,005	377,750	217	
1923	3,404,131	17,884,963	134.3	3,282,792	17,446,913	259,096	8,889	719,161	367,120	352	
1924	3,433,080	18,068,116	135.7	3,309,451	17,619,540	155,935	7,173	690,622	387,586	303	
1925	3,609,624	19,015,526	142.8	3,483,481	18,543,326	172,259	7,703	722,493	392,497	329	
1926	3,614,505	19,103,900	143.5	3,483,779	18,615,033	168,598	7,103	676,176	387,743	288	
1927	3,618,089	19,137,698	143.8	3,484,461	18,631,494	175,953	7,112	698,189	411,015	287	
1928	3,626,839	19,189,699	144.1	3,489,344	18,667,334	193,165	8,351	721,594	433,375	288	
1929	3,661,118	19,331,061	145.2	3,518,094	18,784,437	194,265	8,184	730,179	461,729	268	
1930	3,821,564	20,256,563	152.2	3,679,463	19,685,587	199,281	9,077	772,270	381,877	390	
1931	3,831,179	20,262,958	152.2	3,690,659	19,710,168	184,598	8,093	717,880	410,388	307	
1932	3,912,121	20,599,876	154.7	3,772,234	20,637,273	130,550	6,712	618,277	457,518	160	
1933	3,952,049	20,791,321	156.2	3,805,684	20,205,591	126,644	5,373	603,407	401,322	202	
1934	4,010,606	21,125,827	158.7	3,857,169	20,513,804	121,383	5,137	629,476	407,263	222	
1935	4,142,976	21,891,180	164.4	3,984,772	21,248,864	123,416	5,323	640,568	430,698	209	
1936	4,178,929	22,047,836	165.6	4,011,899	21,373,572	126,169	5,379	630,490	434,048	196	
1937	4,227,117	22,355,485	168.0	4,058,867	21,682,855	126,917	5,162	643,498	396,640	246	
1938	4,271,308	22,633,751	170.0	4,102,101	21,950,616	228,667	8,273	792,975	384,177	416	
1939	4,296,524	22,800,647	171.3	4,122,646	22,098,310	※	※	815,516	414,199		
1940	4,409,950	23,709,057	178.1	4,231,617	22,954,563	※	※	735,400	412,048		
1941	4,558,617	24,703,897	185.6	4,372,239	23,913,063	※	※	796,010	400,953		
1942	4,782,969	26,361,401	198.0	4,587,242	25,525,409	※	※	1,012,339	452,670		
1943	※	※	※	※	※	※	※	850,757	492,054		
1944	※	25,900,142	※	※	25,120,174	※	※	※	※		
1945	※	※	※	※	※	※	※	※	※		
1946	※	19,369,270	※	※	※	※	※	※	※		
1947	※	19,698,547	※	※	※	※	※	※	※		

△ 1945年以後는南朝鮮에 限함

△ Since 1945, above is of South Korea only.

## (6) 朝鮮重要經濟指標

單位=千圓

## Principal Economic Indicators in Korea

1910=100 In 1,000 Won

	發行高 Note Issued		存款 Deposits		貸出 Loans		手形交換高 Cleared Bills		輸出 Exports		輸入 Imports		物價 指數 Price Index	賃金 指數 Wage Index
	年平均 發行高 Amount	指數 Index	年 預 金額 Amount	末 指數 Index	年 貸 出 金額 Amount	末 指數 Index	年 交 換 高 Amount	指數 Index	輸出 額 Amount	指數 Index	輸入 額 Amount	指數 Index		
1910	14,764	100	17,855	100	22,990	100	20,489	100	19,914	100	39,783	100	102	100
1911	22,485	152	18,599	104	30,690	133	72,555	354	18,857	94	54,088	136	111	101
1912	25,208	170	20,233	113	41,051	178	83,488	480	20,936	105	67,115	168	117	102
1913	20,811	140	22,142	124	48,474	210	101,280	494	31,236	156	72,048	181	120	102
1914	20,539	139	23,174	129	47,513	206	90,833	443	35,035	175	63,694	160	113	97
1915	24,069	163	28,206	157	47,340	205	98,634	481	50,220	252	59,694	150	106	88
1916	32,152	217	36,296	203	56,065	243	132,927	648	57,819	290	75,134	188	124	76
1917	44,848	303	46,097	258	80,033	348	202,905	990	84,959	426	104,092	261	172	83
1918	71,905	487	66,834	374	126,971	552	412,673	2,014	155,903	782	160,425	403	235	119
1919	111,071	752	107,450	601	253,363	1,102	962,408	4,697	221,947	1,114	283,077	711	295	207
1920	117,449	795	121,542	680	214,522	933	849,296	4,145	197,020	989	249,237	626	306	269
1921	105,275	713	151,778	850	287,316	1,249	852,053	4,153	218,277	1,096	232,382	584	230	240
1922	98,991	670	154,757	866	296,729	1,290	935,863	4,567	215,404	1,081	256,045	643	228	246
1923	86,111	583	152,257	852	333,518	1,450	846,031	4,129	261,666	1,314	265,791	668	225	237
1924	91,512	619	161,335	903	344,016	1,496	939,110	4,583	329,039	1,652	309,593	778	243	228
1925	94,472	639	171,222	958	360,169	1,566	975,208	4,759	341,631	1,715	340,012	854	258	222
1926	85,497	579	193,093	814	375,180	1,631	1,091,768	5,328	362,955	1,822	372,170	935	233	219
1927	93,687	634	200,309	1,121	336,422	1,680	1,070,905	5,226	353,925	1,802	383,417	963	218	223
1928	104,460	707	231,728	1,297	399,115	1,736	1,189,060	5,764	365,979	1,837	413,991	1,040	214	221
1929	100,621	681	236,411	1,324	420,468	1,828	1,223,235	5,994	345,664	1,735	423,094	1,063	207	223
1930	84,179	570	216,950	1,215	457,562	1,990	1,001,224	4,886	266,547	1,338	367,049	922	180	210
1931	77,278	523	236,792	1,298	488,966	2,126	833,019	4,066	261,799	1,314	270,466	679	145	175
1932	82,602	559	255,655	1,431	529,632	2,303	885,756	4,322	311,354	1,563	320,356	805	144	155
1933	112,442	761	294,067	1,646	541,754	2,356	1,089,997	5,319	368,628	1,851	404,185	1,016	160	149
1934	136,741	926	339,561	1,901	601,995	2,618	1,384,847	6,758	465,367	2,336	519,149	1,305	162	149
1935	160,940	1,090	374,269	2,096	688,583	2,995	1,613,524	7,874	550,796	2,765	659,403	1,657	179	149
1936	167,329	1,133	415,530	2,327	845,831	3,677	1,782,369	8,699	593,313	2,979	762,417	1,916	190	161
1937	183,906	1,245	462,459	2,590	957,903	4,166	1,961,472	9,573	635,543	3,442	863,552	2,170	206	193
1938	264,489	1,791	624,316	3,496	1,053,349	4,531	2,342,820	11,434	879,606	4,417	1,055,928	2,654	237	211
1939	309,854	2,098	867,881	4,860	1,506,451	4,595	3,401,302	16,600	1,006,794	5,055	1,388,448	3,490	274	225
1940	442,688	2,997	1,139,895	6,384	1,898,950	8,259	4,477,417	21,852	947,809	4,759	1,536,368	3,861	312	234
1941	542,407	3,672	1,386,711	7,766	2,116,942	9,208	5,184,774	25,304	973,198	4,886	1,519,339	3,819	310	270
1942	696,760	4,717	1,831,342	10,256	2,503,723	11,326	6,512,484	31,781	944,723	4,743	1,490,885	3,742	333	295
1943	942,158	6,378	2,562,292	14,350	3,061,503	13,317	7,762,820	37,882	705,008	3,540	1,347,675	3,383	370	322
1944	1,931,451	13,076	3,345,356	18,734	3,592,270	15,626	9,508,633	46,402	919,602	4,617	955,896	2,339	415	361
1945	5,580,934	37,782	2,840,893	15,909	7,045,734	30,648	8,582,409	41,882	30,184	151	256,432	644	—	—
1946	10,623,826	71,923	10,342,303	57,917	13,109,072	57,024	32,063,597	156,470	47,738	239	168,406	423	23,223	11,473
1947	20,186,812	136,664	20,518,292	114,902	34,941,867	151,997	111,287,350	543,082	1,111,082	5,578	2,088,125	524	68,050	24,076

1) 預金及貸出全銀行에限함

1) The figures of Deposits &amp; Loans show all banks only.

2) 1945年後以는南朝鮮임

2) Since 1945, South Korea only.

3) 1910年7月平均基準 綜合指數算式은單純幾何平均法임

3) Computed by method of simple geometric mean, and based on July, 1910.

## (7) 南朝鮮重要經濟指標

單位=百萬圓

## Principal Economic Indicators in South Korea

In Million Won

	發行高 Note Issued		預金 Deposits		貸出 Loans		手形交換高 4 Cleared Bills		輸出 Exports		輸入 Imports		物價指數 Prices Index	貨指 Wag Index
	月平均 Amount	指數 Index	月末 Amount	指數 Index	月末 Amount	指數 Index	月中 Amount	指數 Index	輸出額 Amount	指數 Index	輸入額 Amount	指數 Index		
1936	157	100	673	100	1,200	100	129	100	25	100	40	100	100	
1945. 1 Jan.	3 153	1 837	5,859	869	4 550	379	564	436	—	—	—	—	253	
2 Feb.	3 315	1 931	5,854	868	4 731	394	624	482	—	—	—	—	254	
3 Mar.	3 465	2,070	6,341	941	4 822	402	763	590	—	—	—	—	259	
4 Apr.	3 668	2 192	6,332	939	4 555	379	751	581	—	—	—	—	266	
5 May	3,913	2 338	6 519	967	4 699	400	751	581	—	—	—	—	272	
6 June	4,201	2 510	6 853	392	4 515	376	770	595	—	—	—	—	276	
7 July	4 516	2 699	6 674	—	4,712	—	743	574	—	—	—	—	—	
8 Aug.	6 020	3 597	4 181	620	7,318	609	1,379	1,066	—	—	—	—	1,752	
9 Sept.	8 488	5 072	3 533	521	7 605	633	762	589	—	—	—	—	2 047	
10 Oct.	8 773	5 243	3 608	535	7 627	635	125	96	—	—	—	—	2 672	
11 Nov.	8,700	5,199	3 810	565	7,403	616	157	121	—	—	—	—	3,256	
12 Dec.	8,620	5,152	4 458	671	7,490	623	363	234	—	—	—	—	4,359	2
1946. 1 Jan.	8,804	5,262	5 211	773	6 428	535	471	364	—	—	—	—	3 301	3
2 Feb.	8,867	5,299	5 456	809	6 184	514	520	402	—	—	—	—	6 258	3
3 Mar.	8,953	5,353	5 653	838	6 219	517	1,029	795	—	—	—	2	8 414	4
4 Apr.	9,156	5,472	6 188	918	6 351	528	1,291	998	82	3	2	50	9 971	4
5 May	9,168	5,479	7 161	1 062	6 337	531	2 060	1 593	1	56	12	30	11,381	6
6 June	9,276	5,543	7,847	1 164	6 602	549	1 888	1 460	1	46	10	25	12,057	6
7 July	9,770	5,839	8,636	1 233	7,518	628	2 452	1,896	4	18	27	68	12,806	6
8 Aug.	10,664	6,373	9,340	1,386	8,195	682	3 132	2,460	2	10	8	20	14,601	7
9 Sept.	11,103	6,635	9 987	1 482	8,600	716	2 931	2,266	3	13	28	71	16,292	8
10 Oct.	11,700	6 992	10,233	1 518	9,125	759	4 268	3,300	6	25	40	99	18,518	8
11 Nov.	13,282	7 938	11,480	1,703	11,842	986	5 814	4 496	13	53	14	36	20,577	10
12 Dec.	16,573	9 904	13,146	1,950	13,886	1,156	6 151	4 756	13	50	23	57	25,563	11
1947. 1 Jan.	17 929	10,715	13,145	1,950	14,223	1,184	5 259	4 066	14	57	16	40	29,761	11
2 Feb.	17 973	10,741	14,844	2,202	13,899	1,157	5 343	4,131	8	32	13	45	32,489	11
3 Mar.	17 403	10,400	16,497	2,447	13 519	1,125	7 264	5 616	3	13	33	83	35,076	11
4 Apr.	17,162	10,259	17,533	2,602	13 632	1,135	7 386	5 711	10	42	95	235	33,776	11
5 May	17,312	10,346	18,435	2 735	14 255	1,187	7,692	5,948	143	555	141	276	35,144	11
6 June	17,742	10,604	18 103	2 686	11 609	966	7,836	6,059	144	555	274	678	37,249	11
7 July	13 342	10 962	18,441	2,736	12 369	1 030	8 824	6,822	113	43	36	91	38 797	11
8 Aug.	13 040	11 378	18,400	2,730	13 215	1 100	8 610	6,657	18	69	23	71	40 547	11
9 Sept.	19,788	11,826	20 495	2 756	14 434	1,202	10 456	8,034	83	342	235	582	43 221	11
10 Oct.	20,782	12,240	19 721	2,896	16 205	1,349	12 633	9,763	185	714	527	1,305	45,760	11
11 Nov.	26,210	15,664	21,908	3,251	32 478	2,704	13 033	10,077	107	414	463	1,145	52,331	11
12 Dec.	32,342	19,329	26,514	3,934	37,278	3,104	16,945	13,102	271	1,016	246	610	58,305	11

1) 1936年基準

2) 預金及貸出は金融團全體合計

3) 指數基準1936年年平均 綜合指數算式は單純幾何平均法

4) 1945年8月以後は南朝鮮分限(手形交換高は全部南朝鮮分限)

1) Base : 1936 = 100

2) Deposits and Loans are those of all financial agencies.

3) Computed by method of simple geometric mean, and based on the average for 1936.

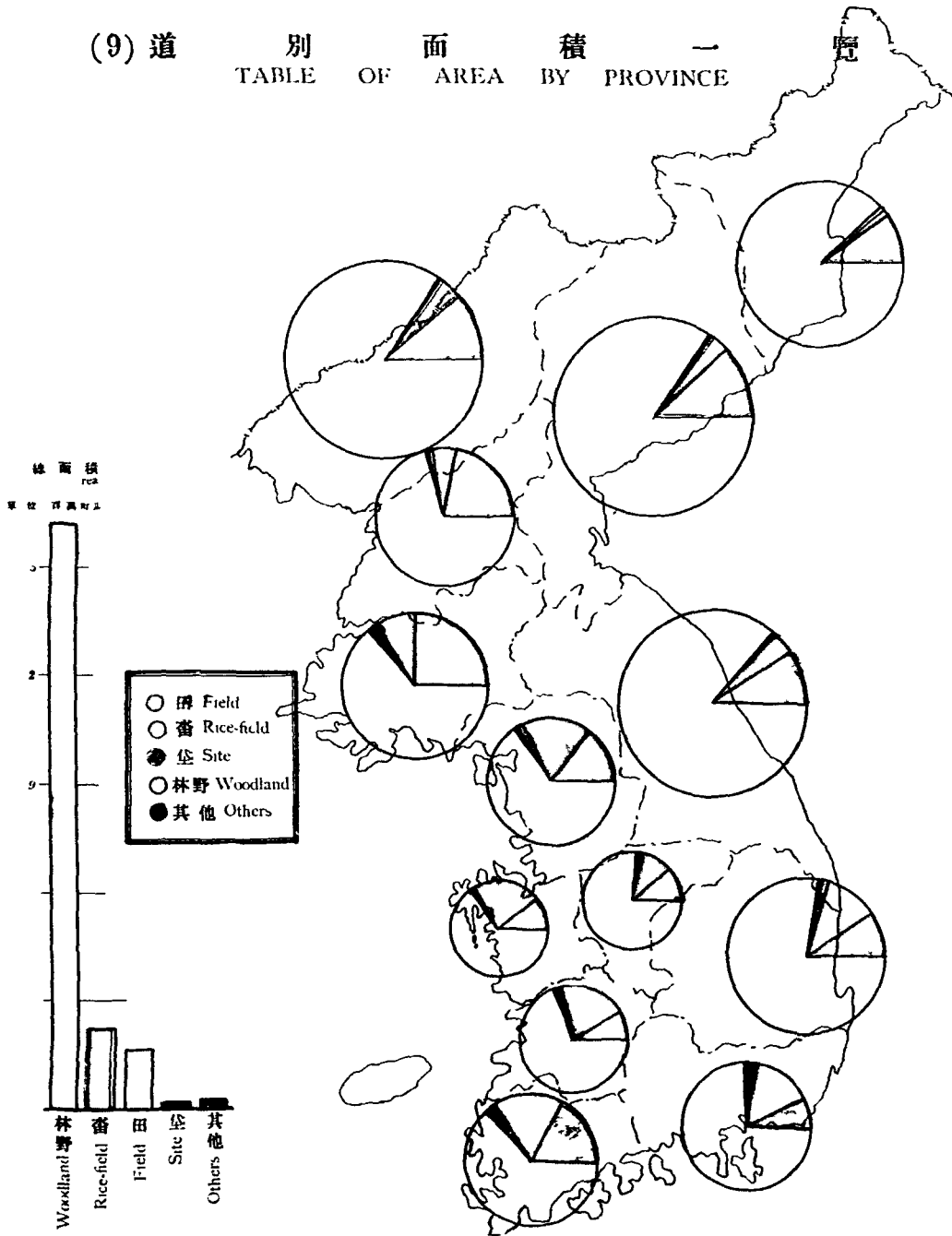
4) Since Aug. 1945, South Korea only.



(8) 農業及水產業推移  
Agriculture & Fishery

	農業者戶數 Houses of Farmers		耕 地 面 積 (單位=町) Cultivated Area (in Chung)					水產業者戶數 Houses of Fishermen	
	實 數 Actual Number	指 數 Index	總 面 積 The Sum		稻 田 Rice-Fields	田 地 Fields	火 田 Fire-Fields	實 數 Actual Number	指 數 Index
			實 面 積 Actual Area	指 數 Index					
1910	2,336,320	100.0	2,464,904.4	100.0	847,667.7	1,617,236.7	—	—	—
1911	2,380,210	101.9	2,705,216.4	109.7	1,002,325.2	1,702,891.2	—	72,030	100.0
1912	2,433,609	104.2	2,846,936.3	115.5	1,024,394.6	1,822,541.7	—	63,433	88.1
1913	2,573,044	110.1	2,885,911.7	117.1	1,067,290.2	1,818,621.5	—	71,042	93.6
1914	2,590,237	110.9	2,959,158.8	120.1	1,089,320.8	1,869,838.0	—	76,941	106.3
1915	2,629,021	112.5	3,170,610.2	128.6	1,177,530.9	1,993,079.3	—	78,444	108.9
1916	2,641,154	113.0	3,589,503.1	145.6	1,340,325.0	2,249,178.1	—	85,373	113.5
1917	2,641,694	113.1	3,875,030.8	157.2	1,435,093.7	2,439,937.1	—	92,931	129.0
1918	2,652,484	113.5	4,496,043.1	182.4	1,544,430.4	2,797,660.6	153,952.1	92,359	128.9
1919	2,664,825	114.1	4,522,069.8	183.5	1,546,649.4	2,834,919.3	140,501.1	91,521	127.1
1920	2,720,819	116.5	4,495,478.7	182.4	1,547,804.1	2,819,610.3	128,064.3	90,675	125.9
1921	2,716,949	116.3	4,533,763.5	183.9	1,549,703.9	2,839,784.1	144,275.5	96,655	134.2
1922	2,712,465	116.1	4,519,493.7	183.4	1,551,521.8	2,833,077.6	134,899.3	98,190	136.2
1923	2,702,838	115.7	4,543,175.9	184.3	1,559,566.3	2,835,395.0	148,214.6	102,526	142.3
1924	2,704,272	115.7	4,568,023.9	185.3	1,567,566.5	2,839,933.4	160,524.0	127,464	177.0
1925	2,742,703	117.4	4,571,546.4	185.5	1,575,185.5	2,843,068.7	153,292.2	131,886	183.1
1926	2,753,497	117.9	4,602,496.4	186.7	1,585,703.5	2,864,032.9	152,760.0	138,025	191.6
1927	2,781,348	119.0	4,607,916.1	186.9	1,603,019.9	2,851,215.4	153,680.8	139,384	193.5
1928	2,799,188	119.8	4,607,631.6	186.9	1,614,725.5	2,841,770.4	151,135.7	143,582	199.3
1929	2,815,277	120.5	4,632,233.9	187.9	1,625,485.6	2,829,986.0	176,762.3	148,797	206.6
1930	2,869,957	122.8	4,646,859.7	188.5	1,643,753.9	2,822,383.2	180,722.6	154,344	214.3
1931	2,881,689	123.3	4,656,431.1	188.9	1,653,072.8	2,802,203.1	201,155.2	160,321	222.6
1932	2,931,088	125.5	4,662,510.7	189.2	1,669,598.3	2,790,754.4	202,158.0	152,691	212.0
1933	3,009,560	128.8	4,855,782.3	197.0	1,681,804.7	2,807,407.3	366,570.3	146,362	203.2
1934	3,013,104	129.0	4,928,105.0	199.9	1,692,732.7	2,812,748.1	422,624.2	155,461	215.8
1935	3,066,489	131.3	4,918,025.5	199.5	1,703,279.1	2,796,891.5	417,854.9	159,750	221.8
1936	3,059,503	131.0	4,941,584.4	200.5	1,718,486.3	2,785,367.7	437,730.4	167,329	232.3
1937	5,058,754	130.9	4,843,370.3	200.6	1,736,368.4	2,769,875.9	437,126.0	174,856	242.8
1938	3,052,392	130.6	4,957,720.7	201.1	1,750,343.6	2,764,832.5	442,044.6	172,233	239.1
1939	3,023,133	129.4	4,958,507.7	201.2	1,762,774.1	2,763,983.4	431,750.2	178,561	247.9
1940	3,046,546	130.4	4,934,230.3	200.2	1,770,395.0	2,740,763.2	423,072.1	185,814	258.0
1941	3,071,000	131.4	4,888,550.0	198.3	1,769,572.1	2,719,963.9	399,014.0	192,218	267.9
1942	3,053,446	130.7	4,849,572.6	196.7	1,767,343.9	2,707,982.1	374,246.6	200,048	277.7
1943	3,046,001	—	—	—	—	—	—	—	—
1946	—	—	—	—	—	—	—	163,388	—

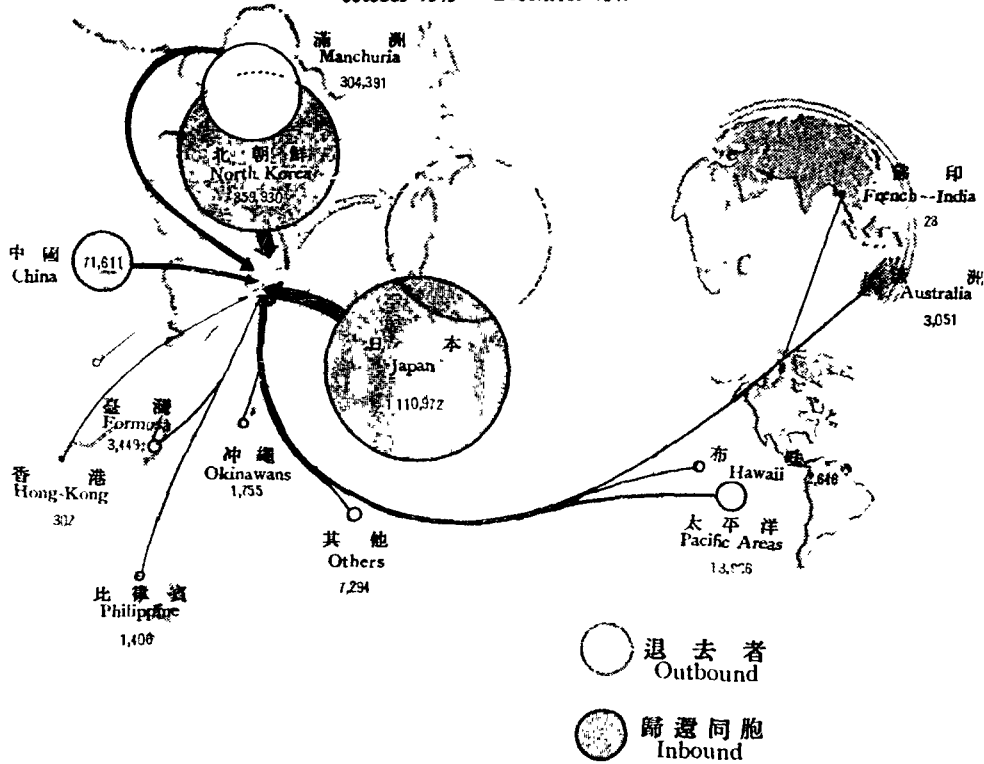
(9) 道 別 面 積 一 覽  
TABLE OF AREA BY PROVINCE



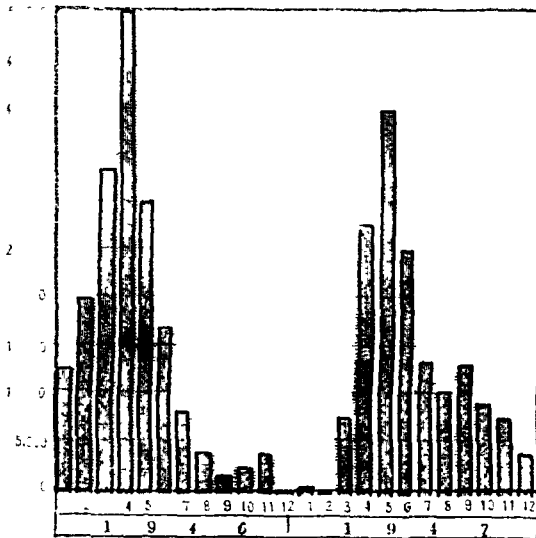
# (10) 南 朝 鮮 人 口 移 動

## MOVEMENT OF POPULATION IN & OUT OF SOUTH KOREA

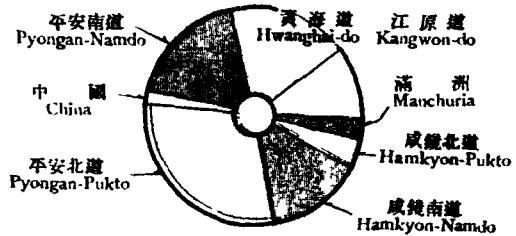
1945年10月—1947年12月  
October 1945—December 1947



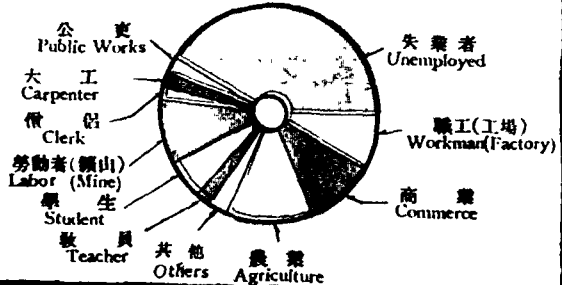
月別越南同胞數  
Number of Migrants from North Korea by Month



越南同胞原籍地別數  
Origin of Korean Migrating from N.K. to S.K.



越南同胞職業別數  
Occupation of Migrants from N.K. to S.K.



(11) 道 別 面 積 一 覽

單位=町 1943年現在

The Table of Area by Province

As of 1943 In Chung

Table of Area by Province. Columns include Province, Total Area (Square Km), and various land use categories: Total, Field, Rice-Field, Site, Woodland, and Others. Rows list provinces like Kyungki, Chung B., Kangwon, Jun Buk, Jun Nam, Kyung B., Kyung N., Hwanghai, Pyung N., Ham B., and Total.

(12) 平 均 氣 溫 表

攝氏 (最近20年間平均)

Mean Temperature

C. (For the Last 20 Years)

Table of Mean Temperature. Columns show months from Jan to Dec and Annual Average. Rows list provinces like Hwanghai, Pyung N., Ham B., and others.

(13) 平 均 降 雨 量

單位=耗 (最近20年間平均)

Amount of Mean Rainfall

In MM (For the Last 20 Years)

Table of Amount of Mean Rainfall. Columns show months from Jan to Dec and Annual Average. Rows list provinces like Hwanghai, Pyung N., Ham B., and others.

# (14) 人 口 趨 勢

## Korean Population

	戶數 Number of Families	人 口 Population					出生數 Births	死亡數 Deaths	自然增加 Natural Increased	人口自然增加率 Rates of Natural Increased					
		總計 Total	指數 Index	朝鮮人 Korean	外國人 Foreigner	女百對男 Male Per 100 Female				出生率 Births	死亡率 Deaths	自然增加 Natural Increased	出生率 Births	死亡率 Deaths	自然增加 Natural Increased
1921	3,308,614	17,452,918	131.1	17,059,358	393,560	105.68	518,063	345,262	172,801	29.85	19.80	10.05			
1922	3,359,552	17,626,761	132.4	17,208,139	418,622	105.68	595,005	377,750	217,255	34.02	21.44	12.58			
1923	3,404,181	17,884,963	134.3	17,446,913	438,050	105.51	719,161	367,120	352,041	40.69	20.60	20.09			
1924	3,433,080	18,068,116	135.7	17,619,540	448,576	105.22	690,622	387,586	303,036	38.64	21.50	17.14			
1925	3,609,624	19,015,526	142.8	18,543,326	472,200	104.13	722,493	392,497	329,996	38.41	20.74	17.67			
1926	3,614,505	19,103,900	143.5	18,615,033	488,867	104.24	676,176	387,743	288,433	35.76	20.43	15.33			
1927	3,618,089	19,137,698	143.8	18,631,495	506,203	104.32	698,189	411,015	287,174	36.88	21.62	15.26			
1928	3,626,889	19,189,699	144.1	18,667,334	522,365	104.10	721,594	433,375	288,219	38.06	22.75	15.31			
1929	3,661,118	19,331,061	145.2	18,784,437	546,624	103.81	730,179	461,729	268,450	38.28	24.11	14.17			
1930	3,821,564	20,256,563	152.2	19,685,587	570,976	103.31	772,270	381,877	390,393	38.64	18.98	19.66			
1931	3,831,179	20,262,958	152.2	19,710,168	552,790	103.48	717,882	410,388	307,494	35.81	20.37	15.44			
1932	3,912,121	20,599,876	154.7	20,037,273	562,603	103.34	618,277	457,518	160,759	30.16	22.38	7.78			
1933	3,952,049	20,791,321	156.2	20,205,591	585,730	103.35	603,407	401,322	202,085	29.20	19.43	9.77			
1934	4,010,606	21,125,827	158.7	20,513,804	612,023	103.15	629,476	407,263	222,213	30.01	19.43	10.58			
1935	4,142,976	21,891,180	164.4	21,248,864	642,316	102.78	640,568	430,698	209,870	29.46	19.83	9.63			
1936	4,178,929	22,047,836	165.6	21,373,572	674,264	102.95	630,490	434,048	196,442	28.79	19.84	8.95			
1937	4,227,117	22,355,485	168.0	21,682,355	672,630	102.92	643,498	396,640	246,858	28.97	17.84	11.13			
1938	4,271,308	22,633,751	170.0	21,950,616	683,135	102.82	792,975	384,177	—	—	—	—			
1939	4,296,524	22,800,647	171.3	22,098,310	702,337	102.23	815,516	414,199	—	—	—	—			
1940	4,409,950	23,709,057	178.1	22,954,563	754,494	101.66	735,400	412,048	—	—	—	—			
1941	4,558,617	24,703,897	185.6	23,913,063	790,834	101.29	796,010	400,953	—	—	—	—			
1942	4,782,969	26,361,401	198.0	25,525,409	835,992	100.67	1,012,339	452,670	—	—	—	—			
1943	—	—	—	—	—	99.89	850,757	492,054	—	—	—	—			
1944	—	15,879,110	—	15,879,110	—	—	—	—	—	—	—	—			
1945	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
1946	—	19,369,270	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
1947	—	19,698,547	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			

1) 南朝鮮에 限함      2) 朝鮮人에 對한 比率임      1) South Korea only.      2) Percentage for Korean.  
 3) 死産은 包含치 않음      3) Excluding stillbirths.

# (15) 年 齡、性 別 人 口

1944年5月31日現在

## Korean Population; Age by Five Years and Sex

As of May 31, 1944.

	總計 Total			朝鮮人 Korean			外國人 Foreigner		人口1,000中各年齡階級比率 Rate Per 1,000			女子100名對男子 Males Per 100 Fem.
	總計 Total	男 Male	女 Female	總計 Total	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	總計 Total	男 Male	女 Female	
總計 All Ages	25,900,142	12,912,321	12,987,821	25,120,174	12,521,173	12,599,001	391,148	388,820	—	—	—	—
0-4	4,402,239	2,221,839	2,180,400	4,278,618	2,159,146	2,119,472	62,693	60,928	170.33	202.87	168.23	101.87
5-9	3,648,558	1,858,709	1,789,849	3,562,531	1,815,269	1,747,262	43,440	42,587	141.82	141.45	138.68	103.89
10-14	3,084,730	1,584,461	1,500,269	3,008,747	1,545,793	1,462,954	38,668	37,315	119.77	118.49	116.12	105.66
15-19	2,430,992	1,219,069	1,211,923	2,350,425	1,174,771	1,175,654	44,298	36,269	95.33	87.22	93.31	109.82
20-24	1,928,988	908,762	1,020,226	1,869,326	889,397	979,989	19,425	40,237	74.42	68.37	77.78	90.75
25-29	1,738,720	841,918	896,802	1,671,576	812,916	858,660	29,002	38,142	66.54	64.94	68.15	94.67
30-34	1,632,702	798,492	834,210	1,567,460	768,255	799,205	30,237	35,005	62.40	60.19	63.43	96.13
35-39	1,410,618	703,202	707,416	1,356,763	675,127	681,636	28,075	25,780	54.01	51.17	54.10	99.04
40-44	1,187,107	603,156	583,951	1,138,860	575,438	563,422	27,718	20,529	44.93	46.26	44.72	102.13
45-49	1,123,457	576,703	547,354	1,086,046	554,141	531,905	21,962	15,449	43.23	42.39	42.22	104.18
50-54	931,258	468,030	463,228	902,634	451,506	451,126	16,524	12,100	35.93	35.64	35.81	100.08
55-59	765,887	379,960	385,927	743,975	366,961	377,014	12,999	8,913	33.59	27.28	29.05	97.33
60-64	622,702	301,390	321,312	607,464	293,122	314,342	8,268	6,970	24.18	23.20	24.95	93.25
65-69	435,398	205,779	229,619	426,058	200,965	225,093	4,814	4,526	16.96	14.11	17.87	78.78
70-74	306,482	138,971	167,511	302,049	136,940	165,109	2,031	2,402	12.02	10.07	13.10	82.94
75-79	156,189	66,681	89,508	154,221	65,901	88,320	780	1,188	6.14	4.20	7.01	74.62
80-84	61,954	24,626	37,328	61,451	24,464	36,987	162	341	2.44	1.60	2.93	66.32
85-89	21,039	7,362	13,677	20,885	7,320	13,565	42	112	0.83	0.45	1.08	53.96
90-94	6,210	2,040	4,170	6,188	2,035	4,153	5	17	0.24	0.13	0.31	51.48
95-100	2,729	972	1,757	2,716	968	1,748	4	9	0.11	0.12	0.14	55.38
以上Over	12,183	799	1,384	12,181	798	1,383	1	1	—	—	—	57.70

1) 朝鮮人 限함      1) Korean only.

(16) 職業別人口

單位=千人

Population by Occupation

In 1,000 Persons

Table with 17 columns: Agriculture, Fishery, Mine, Industry, Commerce, Transportati., Public, Other, Unemployed. Rows for years 1941-1948.

(17) 道別人口密度推移

單位=千人

Population and Density of Korea by Province

In 1,000 Persons

Table with 16 columns: Province, 1946.9, 1944.5.31, 1940.10.1, 1935.10.1, 1930.10.1. Rows for All Korea and various provinces like Seoul, Chung Buk, etc.

(18) 南朝鮮人口增減表

The Situation of Population in South Korea

Table with 10 columns: Refugees of N. 38°, Outbound, By Returned District, Koreans of Foreign Countries. Rows for dates from Jan to Dec.

△ 印在外國歸化

△ Naturalized in Foreign.

(19) 南朝鮮戶數及人口

1946年9月現在

Houses & Population in South Korea

As of Sept. 1946.

	戶數 Houses	人 Population		都市別 City	戶數 Houses	人 Population	
		合計 The Sum	男 Men			女 Women	合計 The Sum
總計 Total	3,874,852	19,369,270	9,790,981	9,578,289			
開城府 Kaisung	17,052	87,968	41,057	46,911			
仁川府 Chemulpo	43,156	236,384	120,797	115,587			
清州府 Chungju	11,307	51,522	26,058	25,464			
大邱府 Taiju	19,241	96,007	49,156	46,851			
群山府 Gunsan	13,343	66,715	34,172	32,543			
全州府 Junju	16,666	83,333	41,457	41,876			
木浦府 Mokpo	20,618	103,081	45,959	57,122			
光州府 Kwangju	20,097	100,446	51,202	49,242			
大邱府 Taiku	54,822	269,113	134,075	135,038			
釜山府 Busan	80,038	400,156	201,548	198,608			
蔚山府 Masan	16,435	82,175	40,799	41,376			
晉州府 Chinju	17,370	86,852	42,276	44,576			
春川府 Chuncheon	9,365	46,809	24,016	22,793			
全南 Jun Nam	583,968	2,944,842	1,481,009	1,463,833			
全北 Kyung Buk	635,750	3,178,750	1,602,361	1,576,389			
慶南 Kyung Nam	637,166	3,185,832	1,604,885	1,580,947			
江原 Kangwon	223,367	1,116,836	572,171	544,665			
濟州 Cheju	55,229	276,148	129,679	146,469			

(20) 都市人口

Municipal Population

	서울 Seoul	仁川 Chemulpo	群山 Kunsan	木浦 Mokpo	大邱 Taiku	釜山 Busan	平壤 Pyongyang	新義州 Shinuiju	元山 Wonsan
1926	306,363	53,741	22,537	27,521	77,263	106,323	114,371	23,893	35,435
1927	315,006	53,865	23,769	29,242	82,549	113,092	119,729	24,652	37,605
1928	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1929	340,290	59,558	25,791	29,985	94,801	119,655	156,442	39,375	42,988
1930	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1931	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1932	374,909	68,189	35,575	52,511	103,511	148,156	145,455	48,677	42,140
1933	382,497	72,881	35,999	53,165	105,797	156,429	150,771	49,839	52,563
1934	394,511	75,560	36,959	55,667	107,657	163,814	159,022	51,338	54,574
1935	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1936	677,241	100,303	42,127	60,005	108,669	206,386	—	—	—
1937	706,396	102,473	42,851	62,457	110,866	213,142	185,419	51,347	63,996
1938	737,214	108,774	44,284	65,572	127,040	213,744	234,726	52,384	67,363
1939	774,286	117,938	42,757	68,531	169,399	222,690	249,185	55,293	70,715
1940	935,464	171,165	40,553	64,256	178,923	249,734	285,965	61,143	79,320
1941	977,603	178,876	50,457	66,023	183,278	259,286	299,482	114,314	82,294
1942	1,114,004	220,242	56,036	72,145	210,914	334,318	389,105	127,706	122,185
1946	1,141,766	236,384	66,715	103,081	269,113	400,156	—	—	—

(21) 國文普及狀況

The Spread of Native Language

1947年7月末現在

As of July 31, 1947

	13歲以上總人口 Population of Over 13 Year-Old			13歲以上國文解得者數 The Comprehensible Over 13 Year-Old									解得者 比率 Rate of Compr.
	男 Men	女 Women	計 Total	全解得者數 Comprehensible			半解得者數 Semi-Comprehensible			合計 Total			
				男 Men	女 Women	計 Total	男 Men	女 Women	計 Total	男 Men	女 Women	計 Total	
서울 Seoul	547,202	466,135	1,013,337	—	—	—	—	—	—	494,791	278,320	773,111	76
京畿 Kyungki	645,943	766,541	1,412,484	288,322	164,636	462,958	210,250	202,250	412,500	508,572	366,886	875,458	62
忠北 Chung B.	400,053	361,035	761,088	173,076	104,556	277,632	50,759	70,220	160,979	263,835	174,776	438,611	58
忠南 Chung N.	638,316	612,945	1,251,261	282,299	154,898	437,197	149,101	99,711	248,812	431,594	254,609	686,003	55
全北 Jun Buk	643,138	630,953	1,274,091	258,071	153,599	411,670	147,810	118,587	266,397	407,881	272,186	680,067	53
全南 Jun Nam	1,063,774	1,860,272	2,924,046	388,410	106,037	494,447	248,249	72,767	321,016	636,689	178,804	815,493	38
慶北 Kyung B.	1,114,687	1,062,262	2,176,949	476,664	368,165	844,829	231,925	221,078	453,004	708,689	589,244	1,298,133	58
慶南 Kyung N.	1,101,160	1,079,425	2,180,585	600,955	441,948	1,042,903	247,380	279,540	526,920	848,335	721,488	1,569,823	72
江原 Kangwon	353,522	351,294	704,816	168,593	109,637	278,230	97,637	84,506	182,143	266,230	193,943	460,173	65
濟州 Che Ju	82,905	96,423	179,328	56,756	10,440	67,196	21,021	13,756	34,777	57,777	24,176	81,953	46
計 Total	6,500,700	6,487,285	13,077,985	2,663,470	1,613,916	4,277,386	1,444,132	1,162,156	2,606,288	4,622,393	3,054,432	7,676,825	66

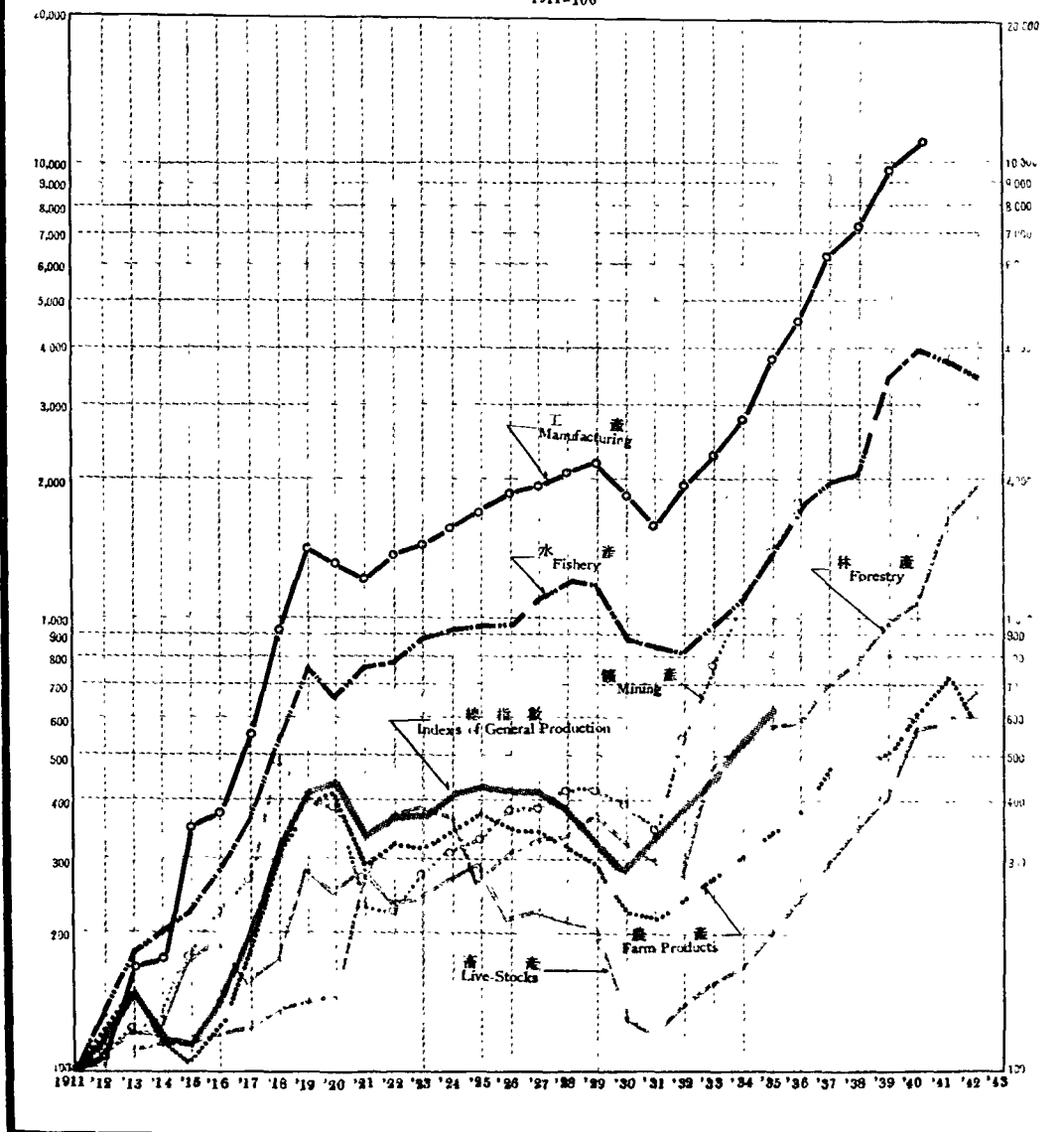
INDUSTRIES

III

産業

(22) 産業別生産指數  
INDEX NUMBERS OF INDUSTRIAL PRODUCTION

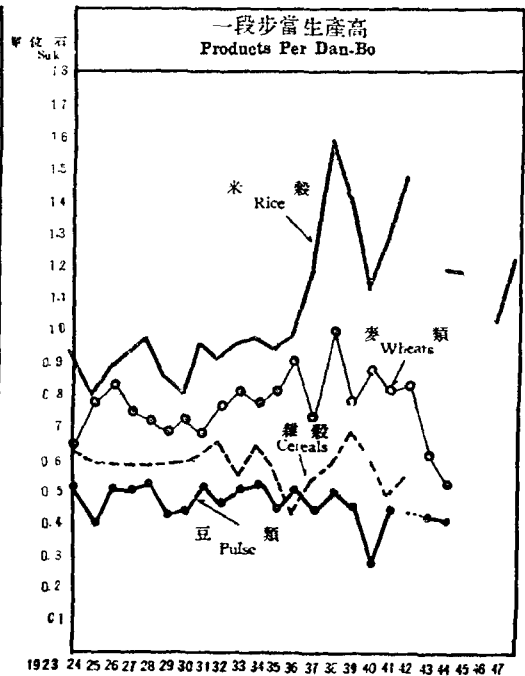
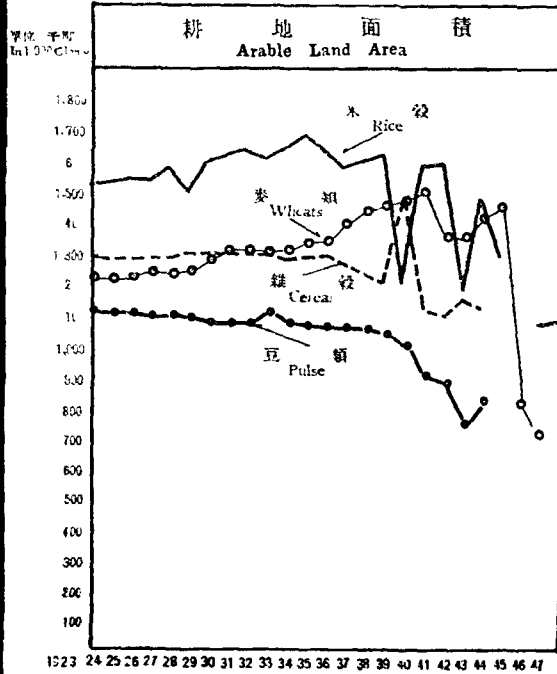
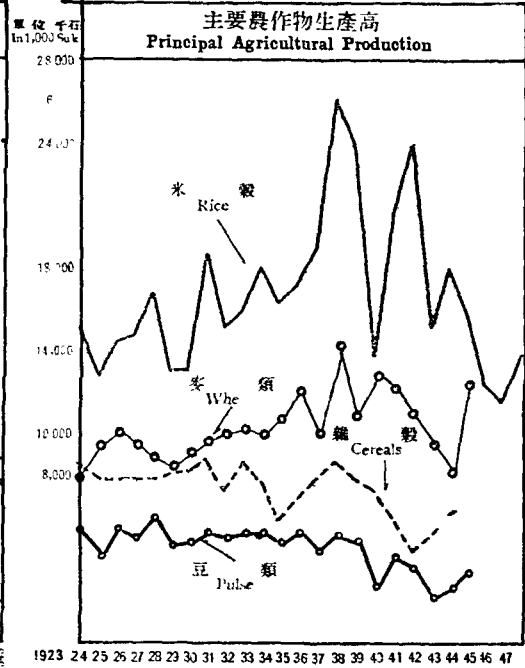
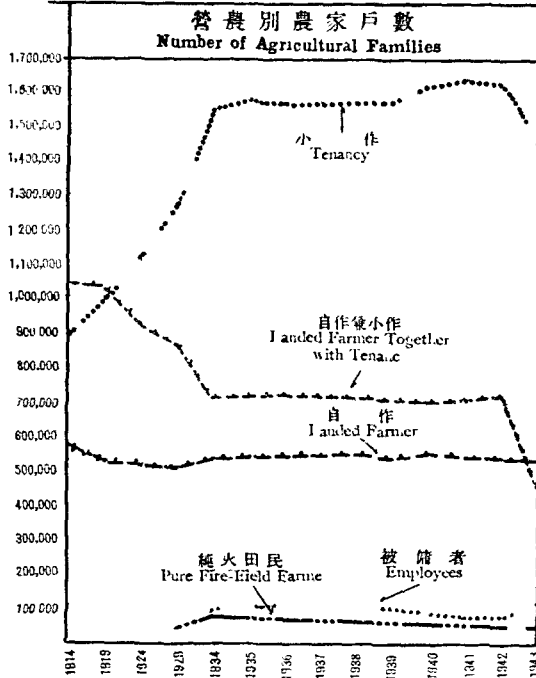
1911=100



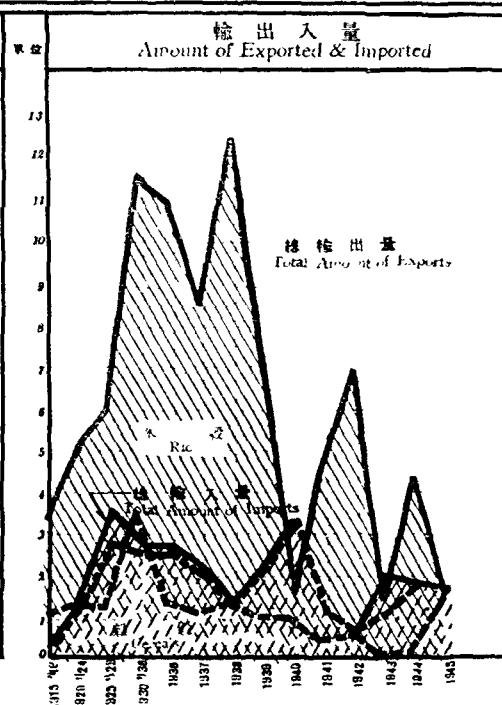
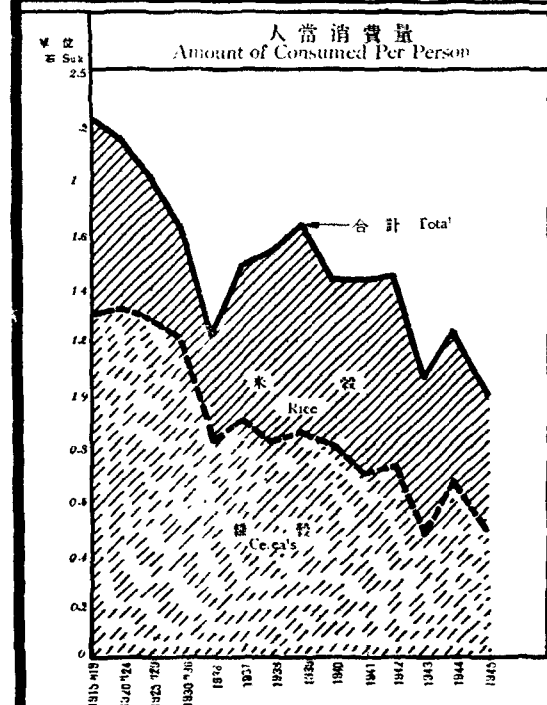
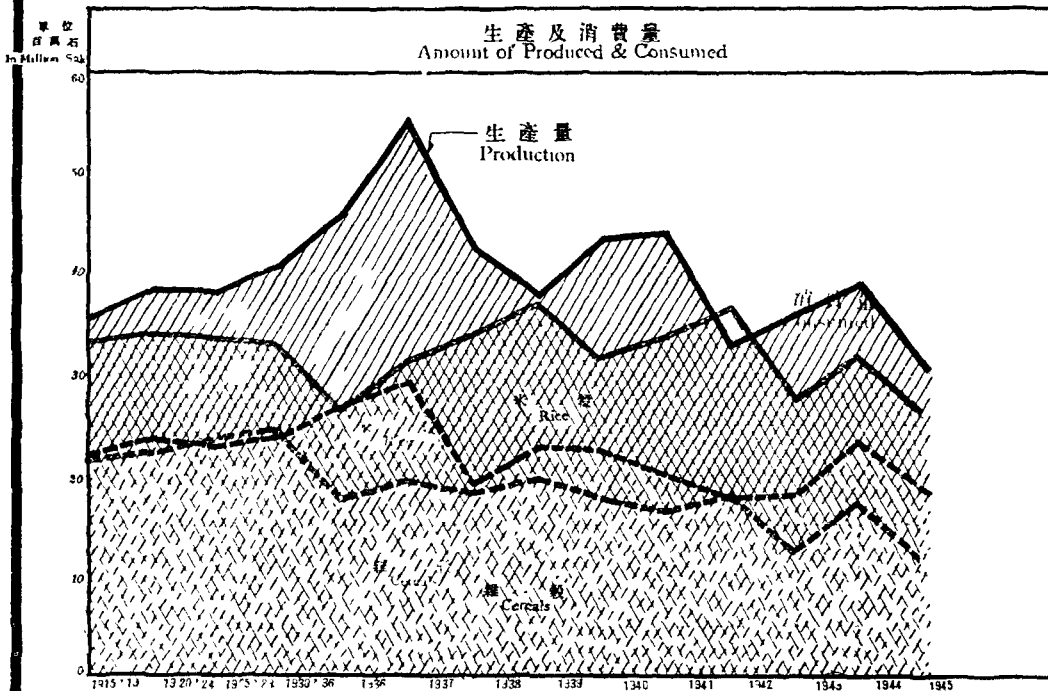


### (23) 主要農作物收穫高及營農狀況

#### Amount of Principal Agricultural Products & Farm-Business Condition



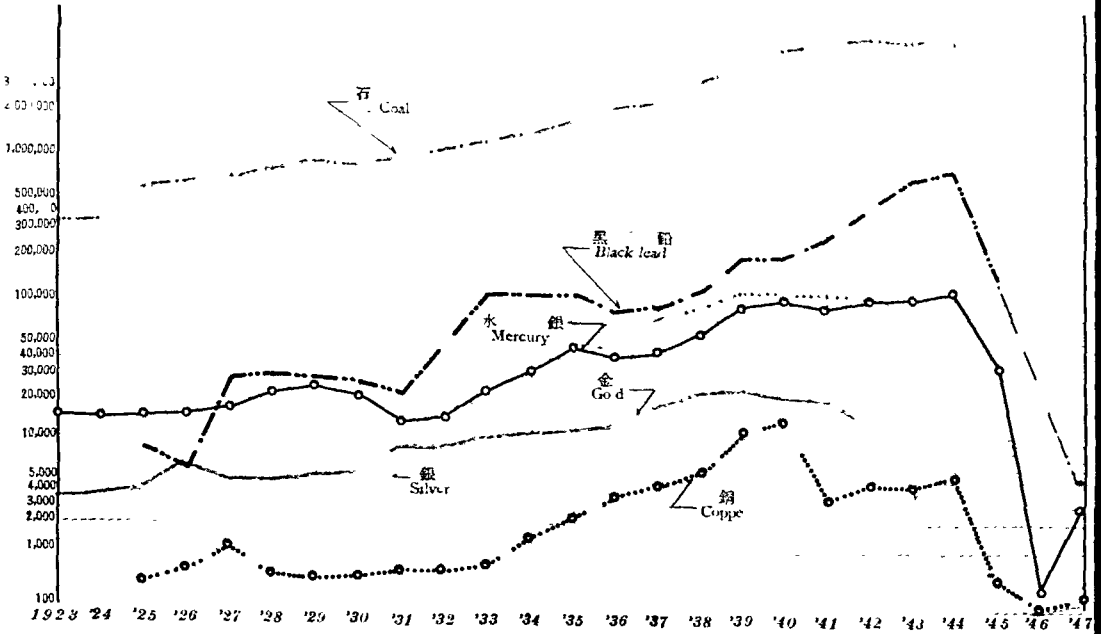
# (24) 穀物需給狀況 DEMAND & SUPPLY CONDITION OF GRAINS



### (25) 主要礦物生產高累年一覽表

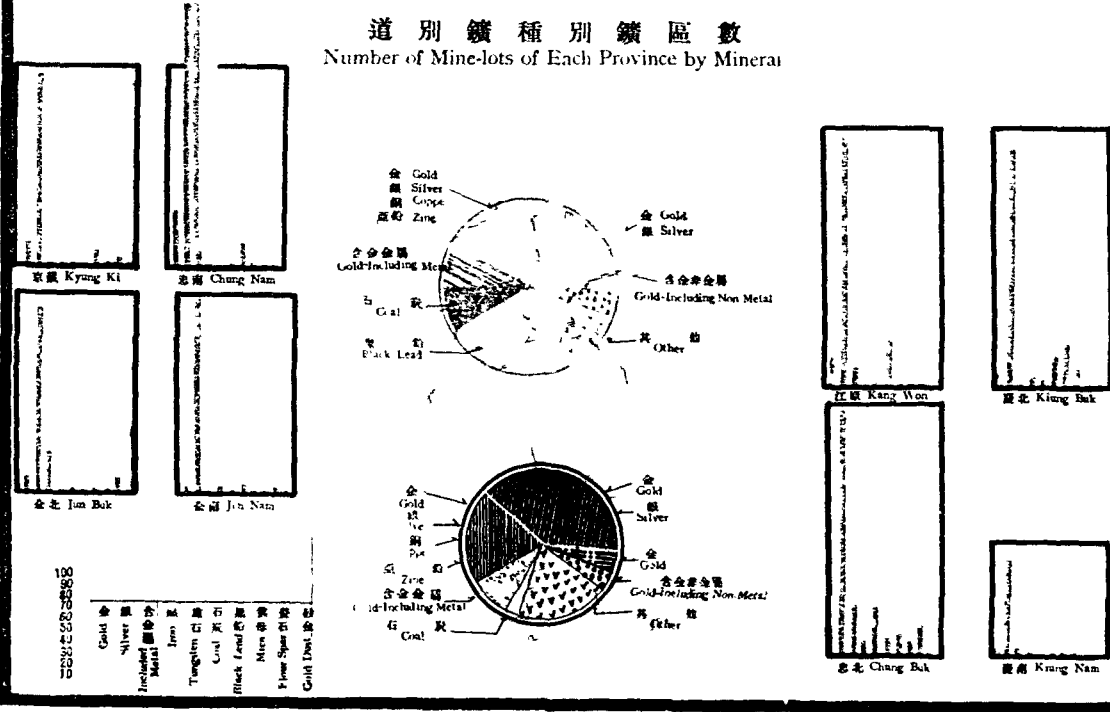
#### AMOUNT OF MINERAL PRODUCTION

單位 萬 Ton



### 道別礦種別礦區數

#### Number of Mine-lots of Each Province by Mineral



(26) 農 家 戶 數  
Number of Agricultural Families

	總計 Total	總戶數對 農家比率 % to W. le. Houses		地主兼自作 Occupying Farmers		自作兼小作 Land Owner with Tenancy		小作 Tenancy Farmer		被 備 者 Em. ployees		火 田 民 Grounds Burnt off for Cultivation Farmer	
			%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
1935	3,066,489	74.01	547,929	17.87	738,876	24.10	1,591,441	51.90	111,771	3.64	76,472	2.49	
1936	3,059,503	73.21	546,337	17.86	737,849	24.12	1,583,622	51.76	116,968	3.82	74,727	2.44	
1937	3,058,755	72.36	549,585	17.97	737,782	24.12	1,581,428	51.70	117,041	3.83	72,919	2.38	
1938	3,052,392	71.46	552,430	18.10	729,320	23.89	1,583,435	51.88	116,020	3.80	71,187	2.33	
1939	3,023,133	70.36	539,629	17.85	719,232	23.79	1,583,358	52.37	111,634	3.69	69,280	2.30	
1940	3,046,546	69.10	550,877	18.08	711,370	23.35	1,616,703	53.07	101,606	3.34	65,990	2.16	
1941	3,071,000	67.36	548,274	17.85	723,345	23.55	1,647,388	53.64	92,654	3.02	59,339	1.94	
1942	3,053,446	63.83	529,717	17.35	729,431	23.89	1,641,702	53.77	95,778	3.14	56,818	1.85	
1943	3,046,001	—	—	—	854,724	—	1,481,357	—	103,377	—	52,445	—	
1944	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1945	2,065,477	—	284,509	—	387,506	—	1,009,604	—	—	—	—	—	
1946	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1947	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

1945년부터는南朝鮮만

Since 1945, only South Korea.

(27) 耕 地 面 積  
Arable Land Area

單位=町

In Chung

	總計 Total	土地臺帳 登錄耕地 Registered		土地臺帳 未登錄耕 地 Non- Register.		田 畝 別 Difference of Field		自 作 Land Owner		小 作 Tenant Farmer		火 田 Field Burnt		
		畝 Rice-Field	畝 Field	畝 Rice-F	畝 Field	畝 Rice-Field	畝 Field	畝 Rice-Field	畝 Field	畝 Rice-Field	畝 Field	面積 Area	戶數 House	人口 Populati.
1935	4,918,025.5	4,432,279.2	67,891.4	1,703,279.1	2,796,891.5	547,549.4	1,382,274.0	1,155,729.7	1,414,617.5	417,854.9	271,127	1,469,899		
1936	4,941,584.4	4,426,769.7	77,084.3	1,718,486.3	2,785,367.7	547,962.6	1,370,733.5	1,170,523.7	1,414,634.2	437,730.4	282,044	1,520,368		
1937	4,943,370.3	4,427,168.7	79,075.6	1,736,368.4	2,769,875.9	556,567.1	1,359,399.7	1,179,801.3	1,410,476.2	437,126.0	276,586	1,502,017		
1938	4,957,720.7	4,436,825.2	78,850.9	1,750,843.6	2,764,832.5	563,942.9	1,344,033.6	1,186,900.7	1,420,798.9	442,044.6	277,648	1,491,147		
1939	4,958,507.7	4,448,373.3	78,384.2	1,762,774.1	2,763,983.4	564,375.9	1,341,030.0	1,198,398.2	1,422,953.4	431,750.2	271,599	1,450,500		
1940	4,934,230.3	4,437,179.3	73,978.9	1,770,395.0	2,740,763.2	572,668.6	1,316,086.9	1,197,726.4	1,424,676.3	423,072.1	279,362	1,474,935		
1941	4,888,550.0	4,404,606.5	84,929.5	1,769,572.1	2,719,963.9	567,688.7	1,308,210.4	1,201,883.4	1,411,753.5	399,014.0	269,862	1,445,114		
1942	4,849,572.6	4,386,002.6	79,323.4	1,767,343.9	2,707,982.1	657,303.0	1,298,372.4	1,110,040.9	1,409,609.7	374,246.6	251,889	1,372,816		
1943	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
1944	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
1945	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
1946	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
1947	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

(28) 道別營農別農家戶數  
Difference of District, Assortment of Agriculture Number of Farm-Houses

	耕 地 面 積 (單位=町) Arable Land Area (in Chung)				營 農 別 Difference of Occupation Farm												
	畝 Rice-Field		畝 Field		地 主 Occupying		自 作 人 Farmers		自 作 兼 小 作 人 F. Ten.		小 作 人 T. Farmer		火 田 fielder		被 備 者 Em. ployees		總 計 Total
	比 率 Per	比 率 Per	比 率 Per	比 率 Per	比 率 Per	比 率 Per	比 率 Per	比 率 Per	比 率 Per	比 率 Per	比 率 Per	比 率 Per	比 率 Per	比 率 Per	比 率 Per		
總計 Total	1,912,698	41.0	2,763,309	59.0	93,596	2.85	536,098	16.35	984,415	30.03	1,481,357	45.19	52,445	0.43	130,377	3.98	3,278,288
京畿 Kyungki	214,133	54.3	180,142	45.7	7,202	2.76	17,209	6.58	63,240	24.19	169,489	64.85	466	0.16	3,741	1.43	261,347
忠北 Chung B	73,520	46.2	85,519	53.8	5,426	6.17	15,857	5.70	45,568	30.37	73,842	49.22	690	0.06	8,638	7.58	150,021
忠南 Chung N	170,118	67.1	83,267	32.9	4,577	1.86	19,767	8.02	72,408	29.39	140,099	56.87	46	0.03	9,432	3.83	246,329
全北 Jun B.	176,267	71.7	69,207	28.3	3,073	1.14	12,415	4.62	64,750	24.07	162,579	60.45	279	0.10	25,873	9.62	268,969
全南 Jun N.	316,614	50.1	215,356	49.9	6,156	3.95	77,822	7.63	138,018	31.27	194,433	44.06	43	7.46	24,839	5.63	441,311
慶北 Kyung B.	205,226	53.1	180,078	46.8	13,783	3.87	67,610	18.84	128,599	36.12	133,303	37.44	1,567	1.49	7,201	2.24	356,063
慶南 Kyung N.	183,574	65.8	94,921	24.1	4,528	11.43	48,422	5.27	120,476	38.00	129,672	40.91	—	—	13,906	4.39	317,004
黃海 Hwanghai	151,339	26.8	411,687	73.2	12,818	4.67	40,513	4.78	61,387	23.99	148,030	54.01	3,415	0.67	7,891	2.88	274,054
平南 Pyong N.	90,986	22.6	311,687	77.2	8,321	3.77	42,800	22.51	57,934	30.48	75,504	39.72	2,649	1.39	2,894	1.52	190,102
平北 Pyong B.	98,401	21.9	321,864	76.1	9,490	4.35	47,406	21.76	50,942	23.38	97,290	44.65	10,252	4.70	2,520	1.16	217,900
江原 Kangwon	95,039	26.6	261,914	73.4	5,374	1.99	51,479	31.98	86,733	18.98	103,995	38.35	14,931	5.50	8,679	3.20	271,191
咸南 Ham N.	66,302	15.8	353,339	84.2	7,662	2.89	58,494	22.18	65,920	24.99	108,035	40.96	15,871	6.02	7,798	2.66	263,780
咸北 Ham B.	71,179	9.4	203,328	30.6	5,156	6.12	36,288	43.06	26,948	31.98	12,828	15.22	2,228	2.64	825	0.98	84,273

1) 1939年度統計  
2) 1943年度統計

1) 1939 Annual Figures.  
2) 1943 Annual Figures.

(29) 主要農產 Annual Amount of

Table with columns for Rice, Summer Grains (Barley, Wheat, Naked Barley, Total), and Soybeans. It includes sub-columns for yield, area, and percentage of total area. The table lists data for years 1923 through 1947.

Table with columns for Vegetables (Capsicum, Irish Potatoes, Sweet Potatoes, etc.), Fruits (Apples, Pears), and Other Foods (Sesame, Pirilla Seed, Ginseng, Tobacco). It includes sub-columns for yield and area. The table lists data for years 1923 through 1947.

物 生 產 高
Agricultural Production

Table with multiple columns: 豆 (Pulses), 雜 (Other Cereals), 蠶 (Sericulture), 纖維 (Fiber Crops), 特用 (Special Cereals). Includes sub-headers like 小豆 (Red Beans), 其他 (Others), 總計 (Total), 果 (Italian Millet), 稗 (Baryyard Millet), 黍 (Olatinous Millet), 其他 (Others), 收穫高 (Crop), 作付面積 (Area to be Planted), 一段步當收穫 (Estimate Yield P. Danbo), 總耕地面積對比率 (Total Cultivated Area % to Whole Area).

(30) 食糧需給狀況

Demand & Supply Condition of Grains

單位 = 石

In Suk

	種別	By Kinds	生産高 Amount of Products	輸出高 Amount of Exports	輸入高 Amount of Imports	差引高 Balance	總消費高 Amount of Consumption	一人當消費高 Am. of Consu. Per Person
1915-1919 (五個年平均) Average 5 Years	米	穀	Ri	13,933,861	2,203,703	45,653	2 158 050	0 7071
	雜	穀	Cereals	22,799,508	1,264,154	342,017	22,091,466	1 3242
	計	Total		36,733,369	3,467,857	387,670	33,870,677	2 0313
1920-1924 (五個年平均) Average 5 Years	米	穀	Rice	14,522,992	3,565,264	166,528	3 398,736	0.6379
	雜	穀	Cereals	24,319,616	1,582,260	1,203,344	378,716	1.3413
	計	Total		38,842,608	5,147,524	1,370,072	3,777,452	1.9792
1925-1929 (五個年平均) Average 5 Years	米	穀	Ri	14,917,233	4,813,524	774,015	4,039,509	0.5124
	雜	穀	Cereals	23,304,252	1,470,910	2,875,222	1,404,310	1.3000
	計	Total		38,221,485	6,284,434	3,649,237	2,635,199	1.8124
1930-1936 (七個年平均) Average 7 Years	米	穀	Rice	17,657,841	7,823,728	202,254	7,621,474	0.4256
	雜	穀	Cereals	24,043,000	3,910,491	2,673,060	1,237,431	1.2120
	計	Total		41,700,841	11,734,219	2,875,314	8,858,905	1.6376
1936	米	穀	Rice	19,410,763	9,513,412	156,563	9,356,848	0.8377
	雜	穀	Cereals	27,565,770	1,529,927	2,678,510	1,148,583	0.8457
	計	Total		46,976,533	11,043,339	2,835,073	8,208,266	1.6834
1937	米	穀	Rice	26,796,950	7,201,588	199,876	7,001,712	0.5678
	雜	穀	Cereals	29,236,800	1,399,429	2,169,661	1,770,232	0.9289
	計	Total		56,033,750	8,601,017	2,369,537	6,231,480	1.4968
1938	米	穀	Rice	24,138,874	10,996,704	44,233	10,952,47*	0.7031
	雜	穀	Cereals	19,812,197	1,508,907	1,410,724	98,183	0.8485
	計	Total		43,951,071	12,505,611	1,454,957	11,050,654	1.5516
1939	米	穀	Rice	14,355,793	8,894,430	308,403	6 586,027	0.7761
	雜	穀	Cereals	23,862,370	1,225,669	2,145,386	919,717	0.8865
	計	Total		38,218,163	8,120,099	2,453,789	5 666,310	1.6626
1940	米	穀	Rice	21,527,393	601,807	372,640	229,167	0.6108
	雜	穀	Cereals	23,349,817	1,063,830	3,084,140	2 020,310	0.8194
	計	Total		44,877,210	1,665,637	3,456,780	1 791,143	1.4302
1941	米	穀	Rice	24,885,642	4,232,000	—	4 232,000	0.7215
	雜	穀	Cereals	20,066,072	599,000	1,107,000	508,000	0.7176
	計	Total		44,951,714	4,831,000	1,107,000	3,724,000	1.4391
1942	米	穀	Rice	15,687,578	6,273,000	—	6 273,000	0.7359
	雜	穀	Cereals	17,780,250	759,000	768,310	9,310	0.7836
	計	Total		33,467,828	7,032,000	768 310	6,263,690	1.5205
1943	米	穀	Rice	18,718,940	1,303,000	922 000	381,000	0.5784
	雜	穀	Cereals	17,913,568	273,000	1 126 620	853,620	0.4942
	計	Total		36,632,509	1,576,000	2,048 620	472,620	1.0726
1944	米	穀	Rice	16,051,879	4,121,000	—	4,121,000	0.5523
	雜	穀	Cereals	23,439,435	365,000	1,927,166	1,562,166	0.6933
	計	Total		39,491,314	4,486,000	1,927,166	2,558,834	1.2361
1945	米	穀	Rice	12,849,647	1,756,000	—	1,756,000	0.5575
	雜	穀	Cereals	18,156,958	—	1,873,550	1,873,550	0.5015
	計	Total		31,006,605	1,756,000	1,873,550	117,550	1.0590
1946	米	穀	Rice	—	—	—	—	—
	雜	穀	Cereals	—	—	—	—	—
	計	Total		—	—	—	—	—
1947	米	穀	Rice	—	—	—	—	—
	雜	穀	Cereals	—	—	—	—	—
	計	Total		—	—	—	—	—

1) 本表輸出高は日本軍用供出額を包含す  
 2) 雜穀には麥類を包含す 但大豆粕を除外し得  
 3) 差引を輸出から輸入を控除したる計  
 4) △印を輸入超過計

1) The figures of Amount of Exports included Japanese Military Contribute.  
 2) The figures of Cereals included Whteats, except Bean.Cake.  
 3) The figures of Balance show those of Exports minus Imports.  
 4) △Mark shows an excess of imports over exports.

### (31) 家畜數累年一覽

#### Number of Domestic Animals

In Head

	牛 Cattle	乳牛 Milking Cow	養兔 Rabbit	豚 Pig	山羊 Goat	綿羊 Sheep	禽 Domestic Fowl	馬 Horse	驢 Ass	騾 Donkey	蜂蜜 Production		
											飼養箱數 Number of Box	生產高 Honey	蠟 Wax
1910	703,844			565,757	7,332	47	2,796,259	39,860	8,264	812			
1911	906,057			572,840	8,361	55	3,421,312	40,976	9,823	383			
1912	1,040,720			616,945	10,373	82	3,931,632	46,565	11,587	580			
1913	1,211,011			761,186	10,456	56	4,194,335	50,652	13,225	802			
1914	1,338,401			757,803	11,610	142	4,110,234	52,545	13,747	1,068			
1915	1,353,531			766,540	14,224	220	4,278,239	54,639	13,128	1,026			
1916	1,353,108			780,077	13,975	289	4,400,351	53,014	12,602	1,434			
1917	1,384,603			832,280	15,116	571	4,566,639	55,380	11,824	1,858			
1918	1,480,037			923,979	16,650	670	4,913,322	58,217	12,172	2,211			
1919	1,461,660			962,985	19,621	962	4,968,483	53,240	11,073	2,023			
1920	1,489,797			977,368	21,075	1,549	5,246,121	54,521	10,444	2,167			
1921	1,524,134			1,010,996	22,454	1,916	5,626,201	55,421	9,898	2,253			
1922	1,607,707			1,100,721	23,193	2,153	5,874,227	52,994	9,693	3,159			
1923	1,610,097			1,172,123	25,066	2,176	6,093,168	53,276	8,903	2,094			
1924	1,605,072			1,129,928	24,994	2,539	5,909,178	55,146	8,480	2,190			
1925	1,590,806			1,150,027	24,275	2,319	6,120,577	56,569	8,124	2,088			
1926	1,594,894			1,220,679	24,918	2,386	6,080,655	56,054	8,063	2,246			
1927	1,586,418			1,244,468	21,745	1,891	6,072,027	58,866	7,960	2,104			
1928	1,569,722			1,277,816	21,743	1,803	6,135,950	57,580	7,248	2,283	170,705		
1929	1,585,526		42,160	1,327,983	21,666	1,659	6,185,277	55,826	6,736	2,165	173,868		
1930	1,610,085	1,500	31,245	1,336,891	23,813	1,561	6,146,643	55,544	5,909	1,767	192,540	850,672	103,304
1931	1,635,459	1,560	30,596	1,345,199	25,601	1,609	1,294,672	54,100	5,389	1,595	192,062	762,430	88,763
1932	1,662,626	1,809	36,119	1,339,473	27,363	2,203	6,601,477	53,887	5,371	1,418	195,720	923,274	103,312
1933	1,661,379	1,757	39,182	1,425,142	28,652	2,675	6,868,037	52,924	4,890	1,462	204,373	968,005	99,344
1934	1,669,119	2,066	45,919	1,583,513	31,177	5,473	9,178,725	53,804	4,735	1,436	201,063	830,740	88,372
1935	1,677,372	2,098	58,898	1,616,408	34,395	9,383	6,112,147	52,603	4,369	1,269	209,170	862,604	103,109
1936	1,700,798	2,181	71,613	1,573,590	39,534	12,143	7,118,089	51,560	3,997	1,065	202,533	732,867	87,634
1937	1,711,190	2,059	49,597	1,625,091	43,047	19,952	7,221,132	50,893	3,355	937	199,237	838,376	87,179
1938	1,714,757	2,306	63,833	1,506,628	44,431	27,405	7,165,166	49,076	2,865	890	186,460	740,561	83,407
1939	1,703,053	2,409	135,920	1,400,038	47,745	37,957	6,976,821	—	2,476	969	185,266	680,148	72,890
1940	1,738,006	2,384	189,267	1,320,230	53,979	—	6,690,479	—	2,125	671	168,808	594,732	56,263
1941	1,750,999	2,557	192,633	1,327,042	54,216	—	6,284,992	—	1,730	663	136,720	395,352	30,521
1942	1,736,861	3,212	130,442	1,149,563	50,650	42,011	5,693,602	54,427	1,619	650	59,924	331,017	30,626
1943	1,714,134	3,801	50,623	720,339	43,280	38,051	4,765,456	53,653	× 125	× 84	× 50,095	—	—
1944	1,624,827	3,648	× 32,810	× 205,952	× 32,668	× 33,386	× 3,110,451	× 38,610	—	—	—	× 40,908	—
1945	× 637,085	× 2,853	× 18,404	× 195,271	× 29,361	× 4,095	× 1,516,389	× 34,142	× 54	× 35	× 33,890	—	—
1946	× 479,509	× 1,001	× 20,482	× 300,086	× 35,452	× 2,678	× 1,850,552	× 32,615	× 46	× 34	× 36,306	—	—

1) 1945年以後之南朝鮮を表示す

1) Since 1945, excluding North Korea

2) × 標は南朝鮮を表示す

2) × This mark shows South Korea.

### (32) 1946年度道別畜牛數

#### Number of Work Cattles by Provinces in 1946

	農家戶數 Number of Agri- cultural Families	畜牛飼養 戶數 Number of Breed- ing Cattles	畜牛數 Number of Cattles	農家百戶當 Num. Per 100 Agri. Families		耕地對耕牛數 Number of Cattles Per Arable Land		一牛當 耕地面積 Area Per Head	
				畜牛飼養戶數 Number Own- ing Cattles	畜牛數 Number of Cattles	面積 Area	耕牛 Cattle		
京	Seoul	415	532	—	—	—	—	—	
畿	Kyung Ki	280,349	87,510	89,590	31.2	31.9	381,395	71,639	5.323
忠	Chung Buk	135,224	38,042	39,160	27.9	28.9	158,315	26,607	5.950
忠	Chung Nam	231,303	46,385	47,159	20.0	20.3	248,035	33,001	7.516
全	Jun Buk	241,478	33,379	35,127	13.8	14.1	245,355	21,546	11.387
全	Jun Nam	412,774	63,105	65,387	15.2	15.8	340,162	57,308	5.935
慶	Kyung Buk	342,718	122,440	132,198	35.7	38.5	381,049	105,753	3.603
慶	Kyung Nam	293,734	107,715	116,710	35.9	38.9	275,484	88,820	3.101
江	Kang won	121,897	49,552	56,445	40.6	46.3	176,092	40,991	4.295
濟	Che Ju	42,476	19,041	26,571	47.1	62.5	91,981	17,511	5.252
合計	Total	2,107,953	567,584	608,879	26.9	28.9	2,297,868	463,818	4.961



(33) 道別家畜頭數表  
Number of Domestic Animals by Province

	京畿道 Kyungki	忠北 Chung Buk	忠南 Chung Nam	全北 Chun Buk	全南 Chun Nam	慶北 Kyung Buk	慶南 Kyung Nam	江原道 Kangwon	黃海道 Hwang-hai	平南 Pyung Nam	平北 Pyung Buk	咸南 Ham Nam	咸北 Ham Buk	合計 Total
CATTLE														
1942	132,733	73,141	79,901	70,663	143,693	192,950	161,967	201,967	143,476	121,323	178,654	155,053	76,270	1,736,861
1943	136,583	76,946	84,163	69,630	131,274	195,336	157,193	106,557	139,450	110,704	173,237	155,585	63,428	1,600,191
1944	129,037	70,047	72,705	59,618	123,233	173,045	146,663	107,484	139,450	113,567	173,237	147,475	63,315	1,524,336
1945	88,392	40,018	43,324	32,625	57,772	176,829	111,002	62,027	—	—	—	—	—	611,979
1946	89,580	39,160	47,159	35,127	91,953	132,193	116,710	56,445	—	—	—	—	—	608,347
MILKING COW														
1942	927	33	293	87	707	133	379	292	118	349	121	87	216	3,141
1943	907	44	431	101	117	163	359	597	116	403	125	153	285	3,801
1944	6,200	40	200	80	90	130	330	679	101	350	135	123	250	8,648
1945	601	20	220	47	111	160	250	240	109	390	150	100	275	2,673
1946	472	22	126	44	70	119	94	78	—	—	—	—	—	905
HORSE														
1942	4,675	209	1,230	3,315	24,155	3,417	993	530	2,308	6,499	2,018	2,339	2,308	53,995
1943	4,914	221	1,525	3,533	22,707	3,140	1,130	629	1,954	6,822	3,106	2,337	3,333	52,921
1944	4,535	249	1,525	3,796	23,283	3,131	1,530	561	—	—	—	—	—	33,610
1945	4,616	365	2,221	3,794	18,493	3,131	1,337	186	—	—	—	—	—	34,142
1946	1,905	309	1,694	3,848	17,572	3,137	1,506	174	—	—	—	—	—	30,139
PIG														
1942	60,205	49,570	56,878	74,865	177,384	77,754	72,039	23,215	122,218	76,014	151,097	84,475	76,804	1,102,328
1943	24,760	31,424	26,977	30,931	102,163	59,525	44,372	15,185	83,615	29,120	107,683	63,952	55,617	685,139
1944	73,313	74,260	70,792	23,805	84,555	43,575	33,117	10,662	—	—	—	—	—	239,084
1945	14,952	10,392	9,341	18,616	63,012	43,602	30,701	3,655	—	—	—	—	—	195,271
1946	24,466	14,864	21,423	46,635	59,639	40,363	51,830	4,791	—	—	—	—	—	264,061
SHEEP														
1942	2,716	763	1,187	1,071	2,425	1,669	1,042	1,042	3,045	3,776	3,339	6,763	9,842	38,685
1943	2,133	601	991	931	2,034	1,693	765	959	2,930	3,491	2,933	6,893	8,506	34,370
1944	1,929	452	305	722	1,973	1,360	616	951	2,379	2,776	2,563	7,523	6,577	30,631
1945	927	222	355	232	367	1,404	243	311	—	—	—	—	—	4,095
1946	577	171	232	192	107	857	179	206	—	—	—	—	—	2,621
GOAT														
1942	611	1,760	3,763	6,261	7,492	13,284	14,144	737	525	897	274	410	207	50,370
1943	541	1,687	3,864	6,041	7,861	10,457	9,639	782	534	719	246	343	194	43,008
1944	443	1,533	4,475	5,181	4,705	8,610	7,305	796	—	—	—	—	—	33,068
1945	194	1,643	4,071	4,051	3,299	3,510	7,097	196	—	—	—	—	—	29,361
1946	329	2,09	4,539	5,446	6,000	8,039	8,707	203	—	—	—	—	—	35,403
DOMESTIC FOWL														
1942	518,843	133,157	272,781	343,314	604,234	454,086	250,253	194,997	743,905	549,931	825,919	360,323	222,033	5,483,786
1943	415,966	733,332	236,043	267,271	427,335	393,389	183,627	187,308	650,743	43,029	669,935	325,353	199,446	4,168,337
1944	415,966	130,456	238,535	230,365	325,235	373,950	180,391	171,343	—	—	—	—	—	2,067,241
1945	367,818	61,180	130,900	140,763	212,811	239,033	141,950	181,551	—	—	—	—	—	1,516,389
1946	414,905	77,525	143,733	162,262	372,387	234,249	238,912	155,385	—	—	—	—	—	2,850,558
RABBIT														
1942	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1943	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1944	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1945	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1946	3,744	1,913	4,709	1,929	4,816	2,276	9,31	—	—	—	—	—	—	20,330
BEE														
1942	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1943	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1944	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1945	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1946	4,794	3,776	1,175	2,316	3,538	8,052	4,544	8,601	—	—	—	—	—	36,796

1) 서울시는京畿道에濟州道는全南에包含하였음

1) Seoul City included in Kyungki Province and Cheju Province included in Jun Nam.

2) 1945年以後의江原道는南朝鮮分省表示함

2) Since 1945, Kangwon Province shows South Korea.

(34) 家蠶

Silkworm

年次	飼養戶數 No. of Breeding House		對農家總戶數比率 % for the Whole Agr. H.	桑田 Mulberry Plantation	養蠶一戶當桑田 M.P. per a House	蠶種掛立枚數 Sheets of Egg-Cards	同一養蠶當 Sheets Per a Sericulturist	產繭高 Cocoon Produce	同一養蠶當 Product in Per Sericulturist	繭 Thread of Silkworm		
	春蠶 Spring Silkworm	夏秋蠶 S., A. Silkworm								製繭戶數 No. of Making Hou.	生糸生產高 Silk Produce	一製造者當生產數 Pro. P. M.
				Tan 反	Tan 反	sheet 枚	sheet 枚	Kg	Kg	Kg	Kg	Kg
1920	325,882	83,883	12.2	31,624	9.70	485,100	1.48	4,205,630	12.90	37,759	126,135	3.3
1921	312,578	90,267	11.5	33,153	10.60	458,782	1.46	4,190,555	13.40	32,054	122,971	3.8
1922	341,784	114,338	11.6	31,549	9.23	499,831	1.46	4,503,218	13.17	29,139	169,234	5.8
1923	401,563	134,758	14.9	31,929	7.95	578,994	1.44	6,554,338	16.32	32,487	229,241	7.0
1924	467,475	124,786	17.3	34,195	7.31	640,404	1.36	7,709,536	16.49	33,938	247,448	7.2
1925	498,100	172,978	18.2	39,538	7.93	693,338	1.39	8,980,822	18.03	110,239	405,067	3.6
1926	542,690	222,800	20.8	49,031	9.03	791,190	1.45	9,952,378	18.33	127,704	495,604	3.8
1927	572,927	224,232	20.6	53,816	10.26	796,141	1.38	11,161,233	19.48	155,400	725,977	4.6
1928	594,209	266,950	22.8	67,340	11.33	837,911	1.41	12,119,664	20.39	172,110	887,884	5.1
1929	643,078	324,247	23.0	73,832	11.39	931,362	1.43	15,194,306	23.44	188,355	1,050,338	5.5
1930	720,613	352,255	25.1	76,072	10.55	1,002,315	1.39	17,414,829	24.16	245,857	1,323,556	5.3
1931	743,084	411,168	25.9	79,074	10.57	1,012,603	1.35	18,112,574	24.21	264,272	1,432,902	5.4
1932	786,060	455,642	26.8	78,889	10.03	1,032,500	1.31	18,572,780	23.62	294,843	1,523,482	5.1
1933	712,009	578,345	27.0	79,168	11.11	1,128,180	1.58	20,873,782	29.31	282,636	1,595,881	5.6
1934	839,814	558,222	27.9	77,154	9.18	1,030,047	1.28	22,989,088	27.37	386,328	2,126,162	5.5
1935	821,573	576,470	26.9	76,445	9.30	1,045,400	1.27	21,318,560	25.94	361,300	1,909,132	5.2
1936	826,109	588,221	27.0	76,237	9.22	1,052,114	1.27	22,571,521	27.32	344,822	1,884,711	5.4
1937	815,278	623,522	26.7	77,658	9.52	1,050,793	1.28	22,537,923	27.64	333,909	1,909,944	5.1
1938	817,476	632,466	26.8	79,196	9.68	1,038,837	1.27	21,893,091	26.78	350,501	2,160,411	6.7
1939	823,412	655,603	27.0	82,035	9.96	1,056,648	1.28	20,566,241	24.97	315,502	2,120,295	6.7
1940	841,132	688,494	27.5	84,478	10.04	1,118,116	1.32	22,713,127	27.00	321,172	2,106,564	6.5
1941	860,697	699,279	28.0	87,459	10.16	1,124,380	1.30	20,185,956	23.45	349,127	2,165,802	6.2
1942	881,594	716,862	28.8	88,956	10.09	1,100,919	1.24	14,753,371	16.73	320,334	447,226	1.3
1943	902,880	759,220	—	—	—	—	—	14,313,800	—	—	—	—
1944	821,605	537,035	—	—	—	743,770	0.90	9,098,407	11.07	—	—	—
1945	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1946	505,912	423,793	—	—	—	482,525	0.95	5,852,283	11.56	—	—	—
1947	492,476	424,388	—	—	—	478,705	0.97	6,322,417	13.83	—	—	—

1) 春蠶戶數에對한比率인  
2) 本段斗見積段의合計인

1) Percentage for the Spring-Silkworm  
2) Total of Normal Dan & Estimated

(35) 1947年中道別養蠶表  
Sericulture, by Each Province in 1947

製場	生糸生產狀況 Silk Products			養蠶飼育戶數 No. of Breed. H.		養蠶掛立枚數 Egg-Cards			繭生產額 Output of Cocoon			家蠶繭共販數量 Amount of Sales-Guild		
	製場 No. of Silk R.	糸數 No. of Pot	生糸生產量 Gm. of Silk	春蠶 Spring S.	夏秋蠶 Summer & Autumn S.	春蠶 Spring S.	夏秋蠶 Summer & Autumn S.	計 Total	春蠶 Spring S.	夏秋蠶 Summer & Autumn S.	計 Total	春蠶 Spring S.	夏秋蠶 Summer & Autumn S.	計 Total
서울	2	525	2,244	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
京畿	3	276	4,559	34,957	30,589	21,208	18,055	39,263	68,364	44,684	113,048	34,975	18,064	53,039
忠北	5	306	8,116	31,721	23,651	18,606	12,785	31,391	68,150	38,073	106,223	26,990	12,253	39,243
忠南	8	586	16,639	58,784	54,411	29,441	26,462	55,903	118,610	88,351	206,961	34,497	18,914	53,411
全北	3	539	5,991	47,458	48,084	28,272	27,138	55,410	118,705	87,859	206,564	50,840	35,418	86,258
全南	5	565	4,547	46,812	46,772	27,108	27,115	54,223	95,198	61,735	156,933	15,550	13,997	29,548
慶北	9	1,006	24,573	129,031	105,186	72,427	49,480	121,907	313,995	166,357	480,352	84,933	43,348	128,281
慶南	2	144	4,610	84,755	68,340	32,848	20,457	53,305	118,577	65,728	184,305	34,874	19,583	54,457
江原	5	400	9,809	66,438	47,355	37,295	28,908	66,203	164,764	62,912	227,676	95,728	32,559	128,287
濟州	—	—	—	2,520	—	1,100	—	1,100	3,876	—	3,876	—	—	—
合計	42	4,347	81,088	492,476	424,388	268,305	210,400	478,705	1,070,239	615,699	1,685,938	378,387	194,136	572,523

資料—農務部蠶糸課  
1) 1946年度인

Source:—Silk Yarn Sec. Dept., of Agriculture  
1) Annual figures of 1946,

(36) 林 野 面 積

Area of Forests

In Chung = 0.99174 H.A.

單位 = 町

	總 數 Number	所 有 物 Owner				林 相 別 By Look of Field									
		國 有 State		公 有 Public		寺 利 Temple		私 有 Private		立 木 地 Standing- Tree	散 生 地 Sparsely Standing	未 立 木 地 Non- Standing	火 田 Fields Fired	開 墾 適 地 Suitable for Recla.	放 牧 適 地 Suitable for Pastu.
		State	Public	Temple	Private	Standing- Tree	Sparsely Standing	Non- Standing	Fields Fired	Suitable for Recla.	Suitable for Pastu.				
1 9 3 9	16,313,194	5,456,520	1,011,260	187,673	9,657,741	11,515,789	2,111,345	1,164,412	522,141	174,693	173,120				
1 9 4 0	16,272,645	5,398,029	1,052,583	187,292	9,634,741	11,488,244	2,164,818	1,129,554	507,112	163,401	156,870				
1 9 4 1	16,277,905	5,358,907	1,066,727	187,131	9,665,140	11,495,885	2,177,205	1,144,614	588,788	157,293	167,356				
1 9 4 2	16,274,380	5,327,636	1,066,031	189,967	9,690,746	11,429,828	2,254,370	1,164,328	468,370	164,354	156,485				
1 9 4 3															
京 畿 Kyungki	770,180	12,061	274,000	68,484	343,419	535,570	127,101	47,050	1,231	9,492	13,138				
北 京 Chung Buk	537,454	40,081	76,952	3,959	358,561	400,210	75,249	31,418	1,523	2,997	4,632				
南 京 Chung Nam	497,740	9,309	55,502	3,626	401,394	338,825	99,209	37,040	57	3,919	3,532				
全 北 Chun Buk	545,503	54,231	37,764	6,588	430,762	446,140	44,092	15,361	851	7,709	2,872				
全 南 Chun Nam	879,165	28,360	54,897	14,059	654,816	657,799	106,960	47,669	276	11,933	30,164				
慶 北 Kyung Buk	1,379,031	97,158	163,122	22,154	1,013,731	1,151,763	76,091	56,078	3,944	6,506	487				
慶 南 Kyung Nam	845,487	36,253	70,672	19,799	679,745	610,593	112,898	37,331	—	9,691	7,685				
黃 海 Hwanghai	992,175	—	—	—	—	699,429	170,926	54,548	40,677	6,611	4,719				
平 南 Pyong Nam	983,865	—	—	—	—	805,667	29,914	46,601	42,241	23,328	1,103				
平 北 Pyong Buk	2,308,575	—	—	—	—	1,512,647	360,014	151,305	154,360	18,457	27,863				
江 原 Kangwon	2,173,856	627,426	125,771	12,166	467,600	1,290,978	433,295	279,371	74,733	18,918	20,501				
咸 南 Ham Nam	914,320	—	—	—	—	1,748,001	393,470	263,130	128,974	24,752	19,626				
咸 北 Ham Buk	1,699,028	—	—	—	—	1,252,206	225,151	97,426	19,503	20,041	20,163				
濟 州 Cheju	80,557	29,690	13,999	16	36,852	—	—	—	—	—	—				
合 計 Total	16,354,937	934,569	872,679	150,851	4,386,880	11,429,828	2,254,370	1,164,328	468,370	164,354	156,485				

(37) 林 野 蓄 積

Quantity of Fields

In Bundle of A Chuk

單位 = 尺締

	總 數 Number		國 有 State Owned		公 有 Public Owned		寺 利 Temple Owned		私 有 Private Owned		竹 Bamboo	
	總 數 Number	針 葉 樹 Needle- Leafed	闊 葉 樹 Broad- Leafed	針 葉 樹 Needle- Leafed	闊 葉 樹 Broad- Leafed	針 葉 樹 Needle- Leafed	闊 葉 樹 Broad- Leafed	針 葉 樹 Needle- Leafed	闊 葉 樹 Broad- Leafed	針 葉 樹 Needle- Leafed		闊 葉 樹 Broad- Leafed
1 9 3 9	679,743	438,742	241,000	171,893	161,866	21,798	11,162	7,596	5,284	237,454	62,687	2,696
1 9 4 0	677,824	438,394	239,430	169,463	164,054	22,251	11,382	9,178	6,195	237,500	57,797	2,732
1 9 4 1	675,039	434,924	240,115	167,801	162,708	23,019	11,689	8,374	6,900	235,729	58,816	2,392
1 9 4 2	671,033	432,604	238,429	168,071	162,381	23,527	12,010	8,076	6,699	232,929	57,338	2,308
1 9 4 3												
京 畿 Kyungki	22,439	14,549	7,889	175	44	740	960	183	223	13,451	6,662	—
北 京 Chung Buk	14,103	10,975	3,128	461	415	1,773	428	113	38	8,628	2,248	—
南 京 Chung Nam	15,218	12,717	2,501	122	33	1,002	239	149	65	11,444	2,164	44
全 北 Chun Buk	35,283	30,244	5,038	1,836	2,305	1,485	690	317	183	26,606	1,860	90
全 南 Chun Nam	43,154	37,734	5,420	1,004	2,593	623	1,236	665	32,901	1,610	1,529	
慶 北 Kyung Buk	53,987	47,660	6,327	2,478	1,584	5,590	1,208	552	258	39,040	3,277	91
慶 南 Kyung Nam	24,106	18,874	5,232	378	2,623	1,287	755	919	381	16,290	1,473	554
黃 海 Hwanghai	16,063	10,260	5,802	1,445	2,773	478	409	62	54	8,275	2,567	—
平 南 Pyong Nam	48,612	26,975	21,636	6,694	13,573	1,516	1,450	101	258	18,665	6,356	—
平 北 Pyong Buk	122,354	48,023	74,330	28,572	61,058	903	1,214	1,603	1,316	16,765	10,743	—
江 原 Kangwon	69,860	36,799	33,061	9,623	21,122	3,235	1,541	2,602	3,007	21,338	7,391	—
咸 南 Ham Nam	102,760	64,409	38,351	53,508	30,630	1,238	1,474	210	243	9,453	6,004	—
咸 北 Ham Buk	103,094	73,385	29,708	61,595	23,698	1,687	1,019	29	7	10,074	4,983	—
濟 州 Cheju	80,557	29,690	13,999	16	36,852	—	—	—	—	—	—	—
合 計 Total	671,033	432,604	238,429	168,071	162,381	23,527	12,010	8,076	6,699	232,929	57,338	2,308

(38) 林 產 物 生 產 表

Products of Forests

In Kwan

	用 材 Material Used	竹 材 Bamboo	薪 木 Fire-Wood	木 炭 Charcoal	枝 葉 Branch & Leaf	其 他 其 林 產 燃 料 Other Fuel	綠 肥 Green Manure	推 肥 原 料 Compost	飼 料 Rait	種 實 Seeds
1939	2,781,597	279,579	1,245,815,257	31,269,979	1,031,984,046	1,617,718,622	201,001,443	1,268,007,487	459,751,502	212,788
1940	3,364,434	200,130	1,137,835,951	38,239,969	999,104,679	1,492,067,583	208,943,300	1,257,739,388	500,427,088	189,264
1941	3,181,729	146,573	1,091,115,394	47,306,926	950,148,926	1,471,249,740	245,485,507	1,316,661,930	492,429,101	162,559
1942	2,935,039	120,622	1,008,053,018	53,286,352	903,147,269	1,399,885,509	252,485,507	1,457,558,638	543,491,204	201,622
1943	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1944	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1945	13,293,398	82,348	572,550,922	18,944,058	466,814,494	503,487,665	443,045,697	1,006,315,961	223,943,332	40,406

(39) 水 產 業 狀 況  
Statistics of Fishery

	水產業者數 Houses of Fishermen	水產業者人口 Population of Fishermen	水產業用船舶 Vessels for Fishery		獲 高 Amount of Fishery				
			漁船 Fishing-Vessels	運搬船 Transporting Vessels	總 數 The Sum	魚 類 Fishes	貝 類 Shell-Fishes	海 藻 類 Marine Plants	水產動物 Sea-Animals
1924	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1925	131,886	486,612	31,312	3,293	537,386	※	※	※	※
1926	138,025	517,226	33,007	3,563	586,597	※	※	※	※
1927	139,384	517,941	34,637	3,839	830,504	※	×	※	※
1928	143,582	512,395	36,341	4,018	848,486	※	※	※	※
1929	149,797	504,739	33,293	4,014	904,835	※	※	※	※
1930	154,344	525,026	39,032	4,047	866,646	※	※	※	※
1931	160,321	527,226	39,974	4,461	1,039,471	※	※	※	※
1932	152,691	509,059	40,645	5,000	1,163,178	※	※	※	※
1933	146,362	350,455	40,728	4,823	1,007,258	※	※	※	※
1934	155,461	339,083	43,156	4,860	1,393,448	1,222,771	33,759	80,804	56,114
1935	159,750	349,224	47,858	5,030	1,503,219	1,321,724	33,523	84,472	63,500
1936	167,329	382,108	49,225	4,769	1,668,228	1,517,637	24,769	66,650	59,172
1937	174,856	396,042	51,519	3,370	2,115,785	1,964,993	25,611	54,708	70,473
1938	172,233	396,541	55,883	3,731	1,759,100	1,596,035	26,333	75,240	61,492
1939	178,561	410,837	57,246	3,905	2,046,243	1,905,517	20,512	53,001	67,213
1940	185,814	431,212	58,835	3,947	1,736,391	1,609,494	18,325	50,381	58,191
1941	192,218	469,521	—	—	1,318,041	1,189,909	20,878	39,998	67,256
1942	200,048	493,022	—	—	845,782	704,662	35,954	52,024	53,142
1943	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1946	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(40) 南朝鮮漁獲高及加工製造累年一覽

單位=噸 Amount of Fishery & Manufactured Fishes in South Korea by Year In Metric Ton

	魚 類 Fishes	貝 類 Shell-Fishes	海 藻 類 Marine Plants	其 他 (食用) Others (Edible)	其 他 (非食用) Others (Unedible)	合 計 Total
1932	574,317	67,555	33,777	35,833	15,357	726,839
1933	427,005	50,235	25,117	35,599	15,257	553,213
1934	461,714	55,488	27,744	58,077	24,890	627,913
1935	719,755	22,879	71,145	44,335	74,032	932,146
1936	513,586	14,103	37,272	43,810	88,890	697,661
1937	537,819	15,834	28,877	54,328	126,114	762,972
1938	525,354	17,227	40,456	54,376	95,218	732,631
1939	499,056	10,303	41,002	77,451	113,866	741,678
1940	454,501	10,953	34,576	72,315	63,483	635,828
1941	363,670	14,603	33,128	79,494	52,115	543,010
1942	288,449	28,050	28,309	76,363	17,620	438,791
1943	281,597	13,595	33,175	67,641	4,638	400,646
1944	228,530	6,977	28,857	40,469	17,343	323,176
1945	149,858	9,865	23,232	35,416	15,178	233,549
1946	250,990	29,528	14,764	46,885	11,721	353,888
1947	—	—	—	—	—	—

(41) 主要鑛產品生產高表  
Principal Mineral Products

年次	金銀鑛	金	砂金	銀	銅	鉛	鋅	鐵	鐵	鐵	硫化鐵	鋼	重石
	Gold & Silver	Gold	Gold Dust	Silver	Copper	Lead	Zinc	Iron	Pig-Iron	Iron-Sulphate	Steel	Tungsten	
1922	3,009	3,008	317	333	1,748	—	1,000	185,560	83,221	—	—	—	
1923	3,608	3,608	317	1,344	—	—	—	243,279	99,933	—	—	—	
1924	14,707	3,878	293	1,700	—	—	1,051	309,443	99,795	—	—	—	
1925	16,988	4,439	253	1,503	423	484	3,522	351,444	101,933	—	—	—	
1926	14,060	6,852	306	1,507	778	1,957	7,720	351,575	118,102	—	—	—	
1927	11,474	5,341	300	1,600	1,004	824	3,684	483,996	129,022	—	—	5	
1928	13,220	5,060	114	1,744	607	718	5,322	504,375	148,625	—	—	148	
1929	16,793	5,531	20	1,702	546	332	5,109	551,814	155,514	—	—	13	
1930	13,411	5,876	310	2,101	589	129	3,831	532,497	151,378	—	—	11	
1931	12,858	8,546	484	11,404	698	97	—	164,712	147,855	—	—	16	
1932	10,401	8,584	1,115	18,351	693	492	—	151,413	163,163	7,130	—	57	
1933	21,683	10,203	1,304	21,864	784	783	3,192	258,267	163,937	14,518	—	152	
1934	27,968	10,710	1,717	31,287	1,434	1,805	2,883	176,008	175,502	40,024	59,698	368	
1935	58,146	12,400	2,309	39,345	2,161	1,728	2,218	228,220	147,774	55,611	97,424	875	
1936	79,029	14,679	2,810	58,820	3,636	2,737	5,571	234,400	155,521	78,036	87,014	1,707	
1937	56,801	19,813	3,035	75,768	4,989	6,400	—	204,821	165,377	93,486	102,927	1,590	
1938	65,627	24,277	3,510	88,169	5,828	2,962	3,972	763,000	177,749	132,614	66,435	2,625	
1939	76,824	25,759	3,433	115,680	10,539	7,765	5,745	850,000	181,537	181,679	53,554	3,967	
1940	1,175,178	22,060	3,228	113,885	12,944	7,630	9,028	1,185,426	135,242	209,751	75,674	4,218	
1941	38,243	21,487	2,650	109,808	3,499	7,819	5,996	1,363,404	164,655	216,766	133,032	4,784	
1942	—	15,241	—	106,173	4,759	9,521	8,610	1,898,352	353,266	257,909	172,227	6,062	
1943	—	5,342	—	88,000	4,554	23,020	18,049	2,364,270	547,320	213,604	139,172	6,932	
1944	—	598	—	80,170	5,193	151,700	14,079	3,331,814	555,917	246,003	111,612	8,333	
1945	—	9	—	—	427	—	—	832,953	138,997	62,064	27,903	1,387	
1946	—	—	—	58	14	—	—	—	—	—	—	289	
1947	—	144	—	526	183	333	30	—	—	—	—	1,137	
	水鉛鑛	黑鉛	石炭	砂	蠟石	蛋石	重晶石	明礬石	高嶺土	雲母	石棉	마그네사이트	
	Water Lead	Black-Lead	Coal	Silica-Sand	Alabaster	Flour-Spar	Barites	Alum-Stone	Kaolin	Mica	Asbestos	Magnesite	
1922	15,042	—	317,330	38,903	—	—	—	—	3,069	18	—	—	
1923	14,267	—	380,378	32,484	—	—	—	—	2,319	11	—	—	
1924	14,947	—	399,385	73,364	—	—	—	—	2,572	22	—	—	
1925	14,078	8,625	622,304	75,905	—	—	—	—	2,709	19	—	—	
1926	15,775	6,600	682,896	91,833	—	—	—	—	2,459	16	—	—	
1927	17,942	29,972	709,578	93,111	—	—	—	3,639	3,044	35	—	—	
1928	22,479	30,948	815,817	77,766	—	950	—	13,798	5,806	28	—	—	
1929	25,148	29,573	937,902	84,676	270	1,470	—	10,812	8,724	26	—	—	
1930	20,073	26,189	884,138	47,346	319	2,277	6,096	11,708	8,256	28	—	—	
1931	14,049	23,860	936,382	40,656	2,431	2,848	5,460	14,183	4,924	17	—	—	
1932	16,813	44,680	1,104,194	43,856	2,063	7,577	6,569	16,320	12,011	20	—	—	
1933	22,677	105,191	1,306,734	68,818	5,425	9,076	4,969	27,220	24,930	23	12	—	
1934	31,294	103,503	1,638,647	72,279	9,614	12,099	5,935	56,330	23,421	102	4	3,168	
1935	45,118	105,509	1,949,153	38,692	8,412	9,727	11,027	81,510	33,401	87	6	2,410	
1936	40,914	79,910	2,281,933	50,955	11,645	8,740	5,113	41,569	24,712	70	69	14,258	
1937	41,128	84,000	2,431,405	54,669	16,236	8,084	8,249	49,491	26,696	85	7	36,720	
1938	57,318	118,000	3,419,351	134,638	42,177	37,391	13,395	49,609	34,086	158	286	31,937	
1939	83,415	196,000	4,238,694	163,104	42,948	28,156	18,103	34,074	39,855	342	1,739	65,226	
1940	94,521	195,000	5,740,941	173,160	60,227	27,046	17,604	37,479	48,287	167	2,122	73,540	
1941	81,889	258,000	6,157,729	184,000	49,133	35,516	15,475	42,741	53,453	325	2,801	78,840	
1942	96,054	439,000	6,846,691	189,074	43,279	39,329	11,693	34,901	28,793	110	3,260	107,354	
1943	96,471	664,000	6,587,593	—	—	69,370	10,099	21,487	—	146	5,310	108,469	
1944	107,176	760,000	7,048,776	180,000	—	75,227	5,640	18,951	3,000	422	4,779	157,745	
1945	32,407	142,000	—	—	—	19,434	—	—	—	95	1,303	22,581	
1946	204	—	266,277	—	1,040	—	—	—	—	—	—	—	
1947	2,729	5,000	555,901	—	—	—	—	—	300	—	—	—	

- 1) 1910年—1930年粗銅鑛
- 2) 1910年—1930年粗鉛鑛
- 3) 土狀黑鉛及鱗狀黑鉛을 포함함
- 4) 有煙炭을 포함함
- 5) 1945年度는8월까지의生産量임
- 6) 1947年度는11월까지임
- 7) 1946年以後는南朝鮮鑛임

- 1) From 1910 to 1930, Crude Copper
- 2) From 1910 to 1930, Crude Lead
- 3) Included Earth-like, Scale-like and Black-Leads
- 4) Included Soft & Smokeless Coals
- 5) In 1945, production until Aug.
- 6) 1947 from Jan. to Nov.
- 7) Since 1946, only South Korea

(42) 各道別鑛區數表

Number of Mine-Lots by Each Province

1945年8月15日現在

As of 8, 15 Aug. 15, 1945

	總數 No.	京	畿	忠北	忠南	全北	全南	慶北	慶南	黃海	平南	平北	江原	咸南	咸北	三八	三八		
		以 S.	以 N.	Chung Buk	Chung Nam	Chun Buk	Chun Nam	Kyung Buk	Kyung Nam	以 S.	以 N.	Pyong Nam	Pyong Buk	以 S.	以 N.	Iam Nam	Iam Buk	以 S.	以 N.
金銀	308	20	—	26	53	16	8	15	8	7	11	17	47	27	10	38	5	180	128
金	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1
銀	3156	157	26	220	361	163	176	213	87	22	114	133	593	229	145	454	57	1,634	1,522
合金	1979	48	9	35	57	73	68	272	197	15	80	152	289	115	95	367	47	940	1,039
銅	898	28	4	83	29	30	8	102	41	—	75	40	120	67	130	114	27	388	510
鉛	439	14	2	45	16	38	1	24	9	—	53	11	121	18	46	35	6	165	274
鋅	47	—	—	6	2	3	—	3	8	—	3	1	3	2	5	8	2	25	22
鐵	7	—	—	—	—	—	—	2	1	—	1	—	—	—	—	3	—	3	4
鐵	328	6	3	12	4	2	7	12	12	4	75	65	11	18	10	68	19	77	251
鐵	42	1	—	1	—	—	—	2	1	—	2	1	2	—	18	14	—	5	37
鐵	26	—	—	1	—	—	—	4	—	—	4	—	4	8	—	5	—	9	17
鐵	113	2	—	10	1	14	2	18	7	—	6	9	10	8	12	8	6	62	51
鐵	43	2	—	26	—	—	—	2	—	—	1	—	1	3	7	1	—	33	10
鐵	11	—	—	1	—	—	—	1	4	—	1	2	1	1	—	—	—	7	4
鐵	219	13	—	43	5	2	2	8	—	1	36	14	12	21	45	17	—	95	124
鐵	599	2	2	16	6	1	31	36	4	—	19	113	12	51	10	41	255	147	452
鐵	741	16	1	18	23	4	10	40	5	2	6	19	453	13	14	47	65	131	610
鐵	264	7	7	11	8	2	1	19	4	—	40	27	42	6	15	18	57	58	206
鐵	155	13	—	15	57	—	—	—	—	—	30	1	2	5	23	7	2	90	65
鐵	224	16	1	1	3	—	13	33	50	3	17	37	7	6	6	9	22	125	99
鐵	49	—	—	5	1	—	1	1	10	—	1	3	—	1	4	13	9	19	30
鐵	35	—	—	—	—	—	18	2	4	—	—	3	—	—	—	8	—	24	11
鐵	38	—	—	—	—	—	—	1	—	—	23	8	—	—	4	1	1	1	37
鐵	230	11	5	27	4	14	3	9	—	—	47	14	10	6	71	7	2	74	156
鐵	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	4	13	—	18
鐵	72	—	6	14	—	—	—	—	—	—	—	5	37	—	10	—	—	14	58
鐵	225	17	1	23	42	12	22	3	2	—	8	20	29	3	9	29	5	124	101
鐵	309	11	—	4	49	25	31	11	3	12	16	14	15	8	72	23	15	154	155
鐵	10577	384	67	704	721	405	492	833	457	67	669	710	1,821	612	770	1,335	620	4,585	5,992

(43) 鑛種別鑛區數累年比較

Number of Mine-Lots by Mine Type

	1927	1935	1936	1937	1938	1939	1940	1941	1942	1945
金	633	3,234	3,817	4,332	4,877	5,819	6,414	6,405	6,075	3,466
銀	23	15	14	14	16	16	21	15	15	47
銅	6	3	2	2	2	2	5	1	1	7
鉛	175	140	144	156	174	235	246	245	260	328
鋅	4	11	16	20	29	34	40	40	4	42
鐵	2	2	3	6	7	8	9	12	17	26
鐵	18	27	38	56	100	121	148	150	156	219
鐵	7	15	18	20	28	44	53	54	56	113
鐵	6	26	27	34	56	65	71	70	70	43
鐵	467	1,103	1,300	1,861	1,905	2,247	2,653	3,474	3,075	3,316
鐵	1	1	1	1	1	1	2	2	8	5
鐵	117	146	177	212	243	286	393	404	406	741
鐵	471	376	395	121	465	489	527	551	534	599
鐵	15	24	28	37	48	69	92	111	114	264
鐵	1	7	6	6	16	346	524	66	70	157
鐵	59	64	71	82	88	104	145	141	144	224
鐵	59	60	65	69	71	70	76	82	83	102
鐵	100	307	342	364	384	434	475	463	362	241
鐵	1	9	16	17	23	36	54	58	87	49
鐵	—	—	1	4	5	6	9	10	10	35
鐵	3	16	20	28	64	81	91	111	118	230
鐵	1	5	5	5	9	17	30	27	28	38
鐵	—	2	4	4	9	11	7	10	10	18
鐵	4	3	3	3	3	3	2	2	51	267
鐵	2,175	5,596	6,513	7,454	8,623	10,574	12,090	12,505	11,755	10,577

(44) 主 要 物 資  
Industrial Products by

		單位 Unit	1946										
			1 Jan.	2 Feb.	3 Mar.	4 Apr.	5 May	6 June	7 July	8 Aug.	9 Sept.	10 Oct.	
無	煙	炭 Anthracite	噸 Ton	13,568	13,701	15,202	19,359	21,675	22,243	23,440	19,085	21,421	26,191
褐		炭 Lignite	"	1,095	1,714	2,272	3,180	2,771	2,075	3,223	2,431	1,740	1,702
輸	入	石 炭 Coal Imported	"	23,040	61,512	73,338	82,007	62,743	53,568	22,903	66,856	43,173	46,431
豆	豆	丕 Colac	"	—	—	—	—	—	—	—	2,000	2,000	1,600
煙		炭 Bituminous Coal	"	—	—	—	—	—	—	—	20,000	20,000	20,000
瓦		斯 Gas	千立方米 1,000 M <sup>3</sup>	—	88	263	433	501	466	391	294	139	385
汽	丕	油 Gasoline	千 立 1,000 L.	70	1,130	2,208	4,147	3,627	5,381	4,403	3,413	4,080	3,216
燈		油 Lamp Oil	"	40	1,756	788	1,424	244	2,203	2,332	2,699	3,045	1,416
燃	料	油 Fuel Oil	"	—	—	—	—	—	309	4,113	4,997	5,209	6,915
引	一	型 油 Diesel Oil	"	—	—	265	1,562	898	2,606	1,827	1,551	1,071	1,292
潤	滑	油 Lubricant Oil	"	—	—	496	1,373	1,302	693	556	679	663	744
石	油	計 Oil Total	"	110	2,886	3,757	8,506	6,071	11,192	13,236	13,339	14,068	13,583
北朝鮮受電量	E. P. R. from N.K.		千KWH 1,000	48,928	46,093	51,168	34,104	30,146	26,504	26,521	28,185	31,959	46,971
南朝鮮發電量	G. Volume in S. K.		KWH	10,196	9,545	11,172	18,899	19,794	27,332	27,757	23,577	24,112	16,816
計	Total		"	59,124	55,638	62,340	53,003	49,940	53,836	54,278	51,762	56,071	63,787
鈾	二	石 Tungsten	噸 M.T.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
銅		鑛 Copper	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
黑	鉛	鑛 Graphite Ore	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
亞	鉛	鑛 Zinc Ore	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
銀		銀 Silver	Kg	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金		金 Gold	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鉛		鉛 Lead	噸 M.T.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
電	氣	銅 Electrolytic Copper	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鑄	鐵	及 鑄 物 C. S. & C. Metal	"	1,841	1,818	1,982	2,301	2,052	2,421	2,442	2,429	1,938	1,903
壓	延	鋼 Rolled Steel	"	102	146	132	156	143	188	184	195	93	104
鑄		鋼 Steel Ingots	"	134	219	298	362	348	542	313	411	163	303
鍛		鐵 Wrought Iron	"	98	132	218	193	232	228	94	102	42	52
計	Total		"	2,175	2,315	2,630	3,012	2,775	3,379	3,033	3,137	2,236	2,362
綿	織	物 Cotton Cloth	反40Y.D.	42,000	45,480	45,320	55,000	57,500	59,000	60,000	62,700	63,500	65,000
精	織	物 Silk Cloth	碼 Y.D.	363,570	248,600	351,302	478,170	573,800	631,100	504,800	403,810	391,900	402,600
人	織	物 Rayon Cloth	"	8,250	17,340	32,210	12,640	15,160	10,610	9,550	9,070	8,500	6,240
麻	織	物 Hemp Cloth	反40Y.D.	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
毛	織	物 Woolen Cloth	"	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
更	生	物 Regenerative C.	碼 Y.D.	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
交	織	物 Mixed Cloth	"	171,920	134,850	149,490	217,110	260,530	286,500	224,210	183,360	174,600	121,200
專	賣	專 業 M. B. Products											
官	營	鹽 Salt	噸 M.T.	—	—	—	10,003	20,629	14,700	9,888	13,399	6,109	1,389
私	營	Privately	"	—	—	—	—	91	380	76	432	548	935
合	計	Total	"	—	—	—	10,003	20,720	15,080	9,964	13,831	6,693	2,324
輸	入	Imports	"	—	—	—	—	3,858	228	67	177	346	3,480
煙	草	Tobacco	"	27.5	27.0	54.6	23.7	68.7	137.9	193.9	259.1	261.4	244.4
卷	煙	Cigarettes	"	887.2	1,127.5	1,333.8	1,453.4	1,556.2	1,278.9	1,133.2	986.1	730.1	560.7
封	煙	Pipe Tobacco	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
台	計	Total	"	914.7	1,154.5	1,388.4	1,477.1	1,624.9	1,416.8	1,327.1	1,245.2	991.5	805.1

# 生 產 實 績

## Staple Commodities

1 9 4 7													
11 Nov	12 Dec	1 Jan.	2 Feb	3 Mar.	4 Apr.	5 May	6 June	7 July	8 Aug.	9 Sept	10 Oct	11 Nov	12 Dec
20,460	20,183	15,171	20,733	26,876	31,318	34,354	37,152	30,132	21,043	32,395	37,658	35,667	31,333
1,269	1,030	1,687	1,627	1,457	2,476	2,617	2,674	3,027	2,509	4,430	5,130	5,158	5,592
38,834	38,366	33,462	40,090	67,502	57,315	66,618	52,437	54,953	59,917	70,297	64,588	62,517	64,823
1,700	1,700	1,700	1,700	2,000	2,100	3,000	2,200	2,000	1,400	1,340	1,268	792	—
20,000	25,000	25,000	25,000	20,000	25,000	20,000	20,000	12,000	11,000	12,000	12,000	12,141	—
326	281	572	243	295	430	375	316	156	199	179	274	228	234
3,946	3,899	3,136	2,346	5,669	3,861	6,480	4,638	4,772	7,207	5,900	4,717	5,435	6,816
2,318	2,647	2,464	2,963	1,631	1,528	2,922	2,205	3,008	3,008	2,179	752	637	1,191
7,096	7,002	6,455	8,915	5,905	4,515	1,201	3,899	4,033	4,244	2,212	2,953	3,982	2,845
1,979	2,537	1,966	3,940	3,977	3,405	6	2,032	1,275	3,383	1,589	2,414	2,127	2,584
491	402	761	1,478	1,425	1,126	429	3,610	643	1,107	1,500	588	1,005	680
15,830	16,487	14,782	19,642	18,657	14,435	11,038	16,384	13,736	18,949	13,380	11,424	13,186	14,116
49,253	45,454	52,777	45,911	54,183	32,734	39,762	41,941	34,580	39,126	30,812	54,564	63,210	52,148
14,663	20,192	16,272	19,418	18,984	28,865	19,226	19,862	24,660	23,520	34,577	24,990	17,857	16,980
63,916	65,646	69,049	65,329	73,167	61,599	58,988	61,803	59,240	62,636	65,389	79,554	81,067	69,128
—	—	—	—	—	—	497	592	632	444	540	551	176	297
—	—	—	—	—	—	70	163	199	204	207	179	122	132
—	—	—	—	—	—	503	68.6	577	676	804	683	—	—
—	—	—	—	—	—	—	12.3	169	180	147	177	220	—
—	—	—	—	—	—	166 154	3,021	12 177	205.345	137.055	86 340	57 180	58 187
—	—	—	—	—	—	4 925	3,350	0 802	17,587	9 557	6 526	8 238	7 733
—	—	—	—	—	—	—	48.4	34.6	37 0	36.3	30 9	27 5	24 8
—	—	—	—	—	—	48 0	29.0	21 9	22 1	35 2	40 1	45 8	36 4
1,074	1,370	1,478	1,617	1,427	1,584	1,478	1,607	—	—	—	—	—	—
109	166	187	180	216	570	497	463	—	—	—	—	—	—
185	185	102	109	146	139	111	221	—	—	—	—	—	—
61	98	172	109	113	127	123	134	—	—	—	—	—	—
1,429	1,819	1,939	2,015	1,902	2,420	2,209	2,425	—	—	—	—	—	—
67,500	68,000	64,186	※	※	73,726	83,285	83,495	76,606	63,487	60,974	60,575	49,435	26,192
413,900	416,800	166,114	※	※	9,183	220,229	281,782	260,773	172,767	117,892	141,729	213,680	76,795
5,200	3,100	29,686	※	※	2,473	83,212	69,020	40,350	86,180	18,906	2,070	10,045	4,920
※	※	1,809	※	※	2,846	3,282	2,621	1,644	1,316	225	333	273	3,749
※	※	27,540	※	※	59,702	37,604	22,178	16,605	18,067	33,330	※	27,495	14,695
※	※	1,429	※	※	4,445	※	2,275	1,109	※	※	2,436	1,302	1,295
142,300	124,300	40,290	※	※	5,691	56,045	50,859	54,254	13,608	163,254	9,705	2,814	6,383
993	—	—	—	—	6,023	32,110	18,408	522	2,248	2,915	3,099	—	—
911	347	212	72	248	373	97	1,637	466	109	62	561	743	155
1,904	347	212	72	248	6,396	32,207	20,045	988	2,357	2,977	3,660	743	155
53	3,540	3,438	30	3,289	117	11,610	219	334	909	26,681	12,392	17,888	34,903
225.6	186.5	100.7	60.2	115.0	333.9	338.7	348.9	394.2	354.1	316.6	389.3	329.6	252.4
570.4	374.1	111.4	130.8	180.1	586.4	597.5	541.4	619.6	565.8	352.1	579.5	568.9	504.4
796.0	5601	212.1	221.0	295.1	920.3	936.2	890.3	1,013.8	919.9	848.7	868.8	898.5	756.6



(45) 織物生產實績及消費狀況  
Actual Results of Textile Production & Consumed Condition

Table with 10 columns: Unit, 1940, 1942, Unit, 1940, 1942. Rows include categories like '朝鮮總共賣量', '國內消費量', '紡織工場棉消費量', etc.

(46) 紡織工場一覽  
Table of the Textile Factories

Table with multiple columns: 總工場數, 總臺數, 運轉臺數, 休運臺數, 一年間最高生產能力, Equipment (Before/After Liberation), etc. Rows list various textile factories like '京畿北忠南', '全北全慶', '慶江', etc.

(47) 南朝鮮製紙生產量

Paper Production in South Korea

單位=千噸度

In 1,000 Pounds

	(江原) 半島製紙會社 Bando (Kang-won)	(京畿) 龍山工作製紙 Kyong-san (Kyung-ki)	(京畿) 滄州製紙 Ma-o-kyung (Kyung-ki)	(京畿) 金剛製紙 Kum-kang (Kyung-ki)	(京畿) 三王製紙 Sam-wang (Kyung-ki)	(京畿) 大東製紙 Dai-dong (Kyung-ki)	(忠清南) 中製紙 Jung-sa (Chung-n)	(忠清南) 群山製紙 Kusan (Chung-n)	(全北) 西日本製紙 Sailbon (Jun-buk)	(全北) 北製紙 Buk-san (Jun-buk)	(全南) 朝製紙 Chosun (Jun-nam)	(慶北) 南製紙 Namsun (Kyung-b)	(慶南) 釜山製紙 Busan (Kyung-n)	(慶南) 朝鮮特製紙 Chosun Spec. (Kyung-n)	合計 Total
	1946 1 J	—	—	—	—	26	—	—	—	—	—	23	—	71	—
2 F	—	—	—	—	62	—	—	—	—	51	22	40	—	28	203
3 M	—	—	—	—	102	—	—	—	—	193	—	23	62	—	335
4 A	—	12	94	—	116	74	20	—	—	138	33	—	47	—	534
5 M	—	62	72	—	128	72	31	—	—	160	—	—	45	—	570
6 J	—	64	113	31	140	83	69	—	40	242	5	10	48	15	860
7 J	63	75	109	32	122	114	37	20	20	183	16	22	21	1	840
8 A	65	53	138	58	127	53	57	10	54	226	17	22	49	55	989
9 S	54	51	136	40	106	53	47	33	33	417	14	—	36	44	1,064
10 O	65	38	47	25	116	37	29	49	65	505	—	—	39	33	1,053
11 N	60	36	12	31	118	39	21	50	34	356	—	—	30	53	840
12 D	42	16	158	28	90	20	33	7	12	69	5	22	21	77	540
合計 Total	349	412	879	245	1,253	545	344	169	258	2,600	135	139	460	251	8,048
1947 1 J	6	11	62	—	104	—	28	33	—	139	10	—	13	22	433
2 F	11	6	—	—	59	—	4	25	13	65	9	43	53	—	288
3 M	46	12	35	5	97	13	33	47	21	44	8	17	—	—	378
4 A	67	24	55	19	93	25	24	33	57	—	12	35	41	13	503
5 M	65	—	—	—	—	—	51	—	—	—	57	64	—	—	237
6 J	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7 J	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8 A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(48) 南朝鮮油脂生產量

Oil Production in South Korea

單位=噸

In Metric Ton

	會社別 By Corporations				計 Total	種類別 By Kinds				計 Total
	日華油脂株式會社 Ilwha Oil Co.	朝鮮製油株式會社 Chosun Jeyu Co.	東洋有機化學工業所 Oriental Organic Chemistry Factory	東亞油脂株式會社 Longa Oil Co.		蓖麻子油 Castor Oil	棉實油 Cotton Seed Oil	化粧油 Toilet Oil	叫叫一 Butter	
1946 1 Jan.	234	166	—	—	400	—	400	—	—	400
2 Feb.	102	182	—	—	284	—	400	—	—	400
3 Mar.	58	183	12	—	253	—	241	—	12	253
4 Apr.	244	183	—	—	427	—	427	—	—	427
5 May	218	183	12	—	413	—	402	13	—	415
6 June	—	103	12	—	115	—	103	12	—	115
7 July	—	56	15	370	441	—	56	15	370	441
8 Aug.	—	59.7	—	102	161.7	—	53.7	—	102	161.7
9 Sept.	—	60.1	—	—	60.1	—	60.1	—	—	60.1
10 Oct.	—	30	—	102	132	—	30	—	102	132
11 Nov.	—	11	—	102	113	—	11	—	102	113
12 Dec.	—	8.7	—	102	110.7	—	8.7	—	102	110.7
合計 Total	856	1,225.5	51	773	2,910.5	—	2,198.5	40	790	3,028.5
1947 1 Jan.	×	×	×	×	×	35	4	—	—	39
2 Feb.	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—
3 Mar.	×	×	×	×	×	25	—	—	78	103
4 Apr.	×	×	×	×	×	37	31	—	—	171
5 May	×	×	×	×	×	—	—	46	45	91
6 June	×	×	×	×	×	—	—	52	42	94
7 July	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—
8 Aug.	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—
9 Sept.	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—
10 Oct.	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—
11 Nov.	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—
12 Dec.	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—

(49) 主要礦物生產實績及生產計劃  
Actual Results & Programmes of Principal Mineral Production

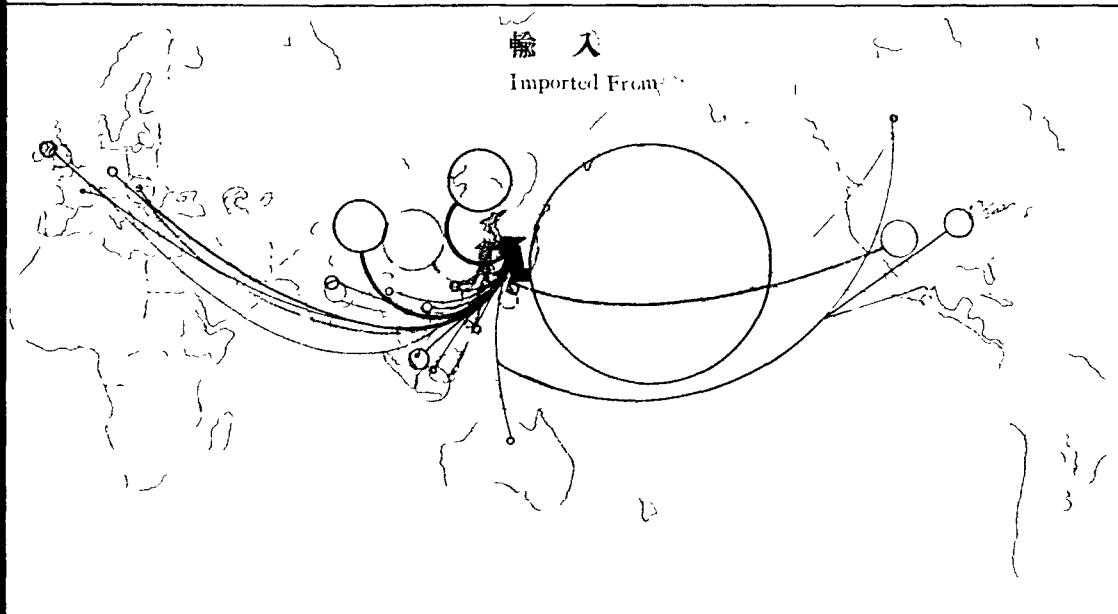
	單位 Unit	生產實績 Actual Results					最大生產能力 Maximum Capacity of Production	生產計劃 Programs		
		1938	1940	1942	1944	1947		1947	1948	
金	Gold	Kg	27,739	26,464	24,127	6,342	144	2,310	146	1,300
銀	Silver	"	—	113,835	—	—	532	—	—	6,000
銅	Copper	噸 Ton	5,328	12,944	3,897	4,282	1,835	870	183	400
鉛	Lead	"	6,085	13,045	9,100	15,699	333	3,000	333	950
鋅	Zinc	"	—	2,451	8,610	14,079	30	500	30	100
亞石	Asbestos	"	286	2,970	3,260	4,779	—	—	—	—
螢石	Fluor-Spar	"	37,391	27,046	39,329	75,227	—	—	—	—
雲母	Mica	"	158	80	111	422	—	—	—	—
黑鉛	Squamae Black Lead	"	12,503	21,112	19,371	28,427	1,593	4,800	1,592	4,080
土明	Earth-Like Black Lead	"	44,815	73,161	76,683	74,879	2,600	26,200	2,100	26,200
矽	Alum-Stone	"	49,609	37,479	34,901	18,951	—	—	—	—
	Silica-Sand	"	134,633	173,160	89,074	80,000	—	—	—	—
瑪	Magnesite	"	31,937	73,540	107,354	157,745	—	—	—	—
晶	Barytes	"	13,395	17,604	11,693	5,640	—	—	—	—
高嶺	Kaolin	"	12,383	48,337	28,713	75,000	300	5,500	300	5,000
磷	Phosphorus Ore	"	—	—	25,561	37,691	—	—	—	—
鐵	Iron Ore	"	770,664	1,094,594	2,276,619	3,331,814	—	—	—	—
重	Tungsten	"	2,625	4,521	6,062	8,402	1,137	2,560	1,135	2,200
半	Cobalt	"	—	—	6,073	72	—	—	—	—
錳	Manganese	"	780	681	12,751	33,584	—	—	—	—
褐	Lignite	"	1,686,000	2,639,000	2,730,000	2,518,000	36,200	—	—	—
無煙	Anthracite	"	1,723,000	3,456,000	3,931,000	4,530,000	552,281	—	—	—
鋼	Steel	"	91,729	76,318	110,170	72,025	—	—	—	—
低	Phosphorus Pig-Iron	"	4,555	10,944	30,465	25,666	—	—	—	—
鑄	Pig-Iron	"	295,373	233,943	365,467	520,251	—	—	—	—
鋼	Original Iron	"	—	36,975	58,513	51,158	—	—	—	—
特	Special Steel	"	—	10,132	17,271	20,249	—	—	—	—
合	Ferro Alloy	"	1,260	1,536	1,519	9,315	—	—	—	—

(50) 電氣工業生產量  
Electric Industry Production

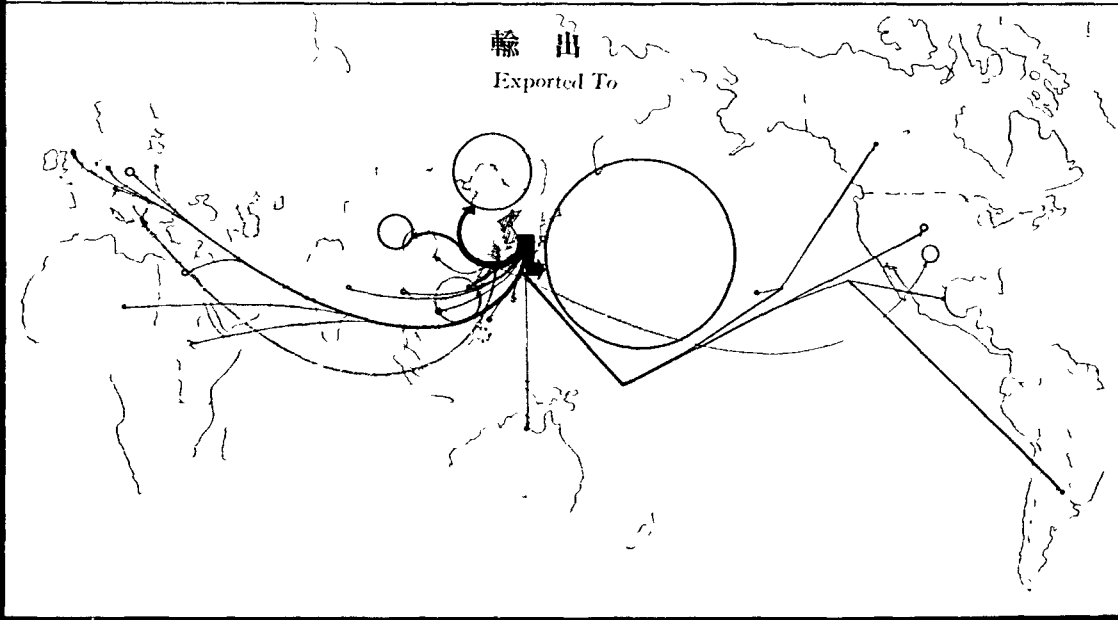
	蓄電池 Storage Battery	五孔三 Socket	變壓機 Oscillation	電動機 Electro-Motor	電池平角 三號		電球 E. Light	裸硬銅線 Naked & Hard Copper Wires	第二種絕緣線 Insulated Wires, 2nd Kind	五-三線 Cord	一重綫 Cotton Rilled Wires, Once	二重綫 Cotton Rilled Wires, twice	第四種絕緣綫 Insulated Wires, 4th Kind	平角其他綫 Other Straight Angle Wires	
					Electric Cell Straight Angle No. 3	Electric Cell Single No. 1									
1946	1	152	10,045	1,006	136	—	30,067	5,566.5	13,602.5	—	—	—	117.0	4,423.72	—
	2	142	6,775	20	38	—	45,318	2,282.0	11,335.5	5.90	—	—	132.0	2,615.90	—
	3	150	10,015	249	60	—	103,711	2,279.8	11,235.5	—	—	—	270.5	2,809.60	—
	4	113	9,458	197	60	—	1,322	131,377	4,201.0	330.80	—	—	—	164.40	—
	5	163	3,840	152	45	—	1,506	198,462	2,112.0	3,599.8	45.81	306.0	259.0	1,959.50	—
	6	22	18,761	205	36	—	1,275	159,768	1,202.5	3,157.4	76.35	—	1,373.5	1,374.66	—
	7	0	44,037	47	22	1,042	2,216	153,106	1,361.5	6,801.7	194.65	—	807.0	3,461.70	—
	8	317	17,489	146	82	1,989	207	173,711	1,529.0	8,697.0	91.62	1,086.8	—	4,826.50	—
	9	174	19,327	156	133	2,762	1,753	255,370	5,423.9	10,979.7	30.50	749.4	2,228.0	9,216.10	—
	10	40	32,580	181	120	1,433	1,654	367,854	4,539.0	8,464.7	45.61	1,038.4	181.0	5,129.50	—
	11	28	39,587	195	124	2,101	3,682	397,901	40,298.1	8,550.9	274.86	135.8	—	11,442.60	1,594.0
	12	67	39,003	91	60	969	3,477	258,462	13,688.3	9,544.8	45.81	308.8	226.0	1,854.90	—
合計 Tot.	1,368	250,697	2,645	916	10,296	17,092	2,275,127	84,483.6	98,445.9	1,142.11	3,675.2	5,594.0	49,278.78	1,594.0	
1947	1	114	22,681	106	2	248	4,223	367,501	31,976.2	13,428.6	—	3.0	67.0	3,310.70	1,086.5
	2	226	23,868	106	138	—	—	246,505	39,236.0	14,105.3	—	1.3	337.9	7,747.40	10.8
	3	252	14,649	473	57	3,139	5,483	292,555	11,202.6	1,861.1	—	1,297.6	—	—	—
	4	621	13,340	283	132	2,354	1,134	265,988	37,943.7	20,869.0	—	2,115.6	—	9,103.00	—
	5	205	5,927	177	107	5,354	2,410	266,515	65,777.3	11,411.0	—	1,995.4	—	4,377.00	2,958.0
	6	160	※	142	65	—	—	76,460	—	—	—	—	—	—	—
	7	108	※	151	67	—	—	281,870	—	—	—	—	—	—	—
	8	236	6,107	201	69	—	—	235,455	—	—	—	—	—	—	—
	9	103	※	200	98	—	—	262,736	—	—	—	—	—	—	—
	10	43	12,686	223	224	—	—	463,192	—	—	—	—	—	—	—
	11	298	8,461	235	89	—	—	515,154	—	—	—	—	—	—	—
	12	345	3,218	173	40	—	—	443,787	—	—	—	—	—	—	—
合計 Tot.	2,711	110,757	2,470	1,088	11,095	13,259.3	717,718	186,135.8	61,674.9	—	5,412.9	404.9	24,538.1	4,065.3	

(51) 國別輸出入品額高表

TOTAL VALUE OF FOREIGN TRADE BY COUNTRIES



○ 1925年~1945年累計 Total 1925-1945	○ 1946年1月~1947年12月累計 Total Jan 1946-Dec 1947	○ 其他各國 Other Countries
------------------------------------	---	---------------------------



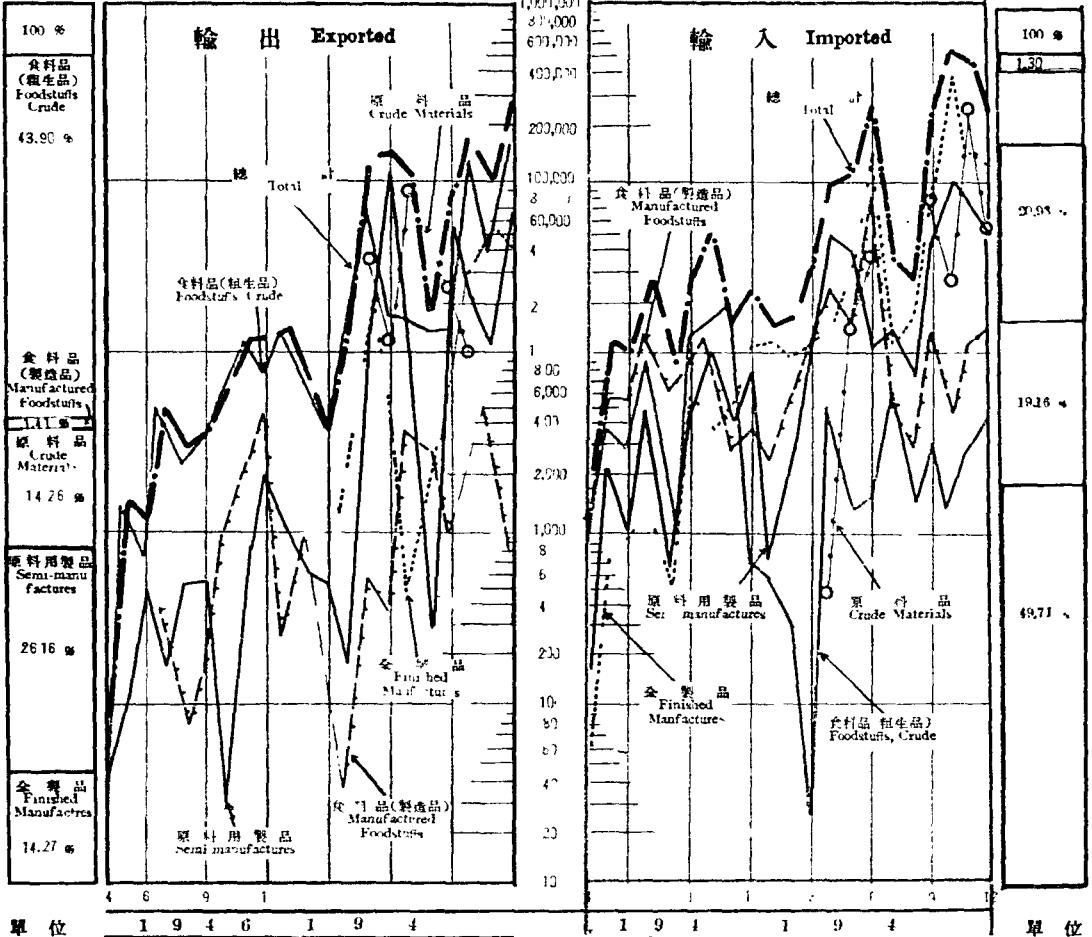
(52) 商品類別輸出入品額高表

(累計1946年3月—1947年12月)  
(Total Since Mar 1946—Dec 1947)

Foreign Trade by Commodity

單位千圓

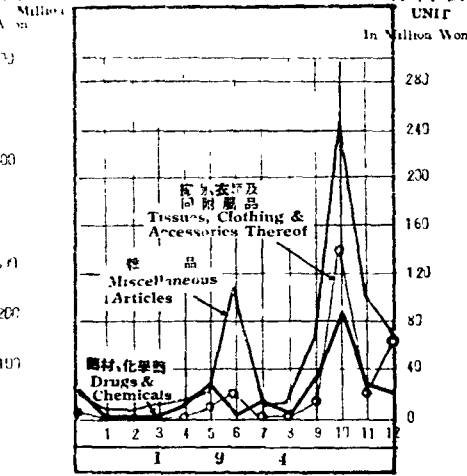
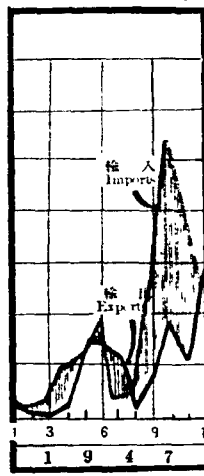
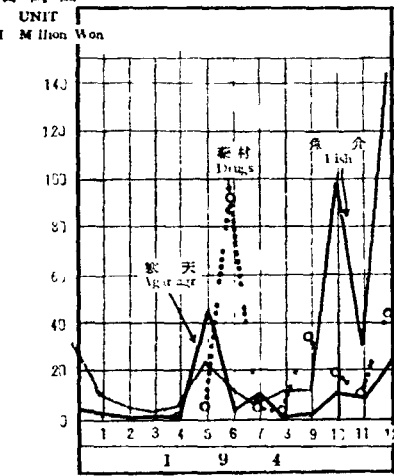
UNIT In Thousand Won



單位  
百萬圓

單位百萬圓

單位  
百萬圓



## (53) 輸出入額の推移(解放前)

單位=千圓 Transition of Total Value of Exported &amp; Imported (Before Liberation) In 1,000 Won

	貨物 Merchandise						金銀 Gold & Silver						輸出入 超過 Excess			
	輸出 Exports			輸入 Imports			輸出 Exports			輸入 Imports						
	對日輸出 To Japan	其他 Other	計 Total	對日輸入 From Jap.	其他 Other	計 Total	對日輸出 To Japan	其他 Other	計 Total	對日輸入 From Japan	其他 Other	計 Total				
1886	—	—	566	—	—	2,536	—	—	—	—	—	—	—			
1887	—	—	824	—	—	2,835	—	—	1,439	—	142	142	1,297			
1888	—	—	897	—	—	3,076	—	—	1,496	—	189	189	1,307			
1889	—	—	1,265	—	—	3,409	—	—	1,281	—	218	218	1,063			
1890	—	—	3,876	—	—	4,753	—	—	865	—	530	530	335			
1891	—	—	3,395	—	—	5,285	—	—	819	—	627	627	192			
1892	—	—	2,468	—	—	4,622	—	—	1,134	—	512	512	622			
1893	1,543	155	1,698	1,949	1,931	3,880	—	—	1,066	—	498	498	568			
1894	2,051	252	2,303	3,647	2,185	5,832	—	—	1,407	—	866	866	441			
1895	2,366	116	2,482	5,839	2,249	8,088	—	—	2,338	—	1,703	1,703	635			
1896	4,396	333	4,729	4,294	2,237	6,531	—	—	1,676	—	739	739	937			
1897	8,090	884	8,974	6,432	3,635	10,067	—	—	2,271	—	2,039	2,039	232			
1898	4,523	1,186	5,709	6,777	5,040	11,817	—	—	3,856	—	495	495	3,361			
1899	4,205	793	4,998	6,658	3,571	10,229	—	—	4,258	—	110	110	4,148			
1900	7,232	2,208	9,440	8,241	2,699	10,940	—	—	4,113	—	434	434	3,679			
1901	7,402	1,060	8,462	9,052	5,644	14,696	—	—	4,920	—	855	52	907	4,288		
1902	6,550	1,767	8,317	8,689	4,852	13,541	—	—	5,218	—	393	67	30	97	5,514	
1903	7,600	1,878	9,478	11,555	6,664	18,219	—	—	5,499	—	114	5,613	195	186	381	5,232
1904	5,697	1,237	6,934	19,007	7,793	26,805	—	—	5,047	—	30	5,077	190	224	414	4,663
1905	5,390	1,514	6,904	23,562	8,393	31,960	—	—	5,476	—	40	5,516	544	607	1,151	4,369
1906	6,917	1,216	8,133	22,914	6,740	29,654	—	—	5,466	—	592	6,058	1,314	16	1,330	4,728
1907	12,649	3,849	16,498	27,364	14,072	41,436	—	—	5,239	—	309	5,548	1,886	106	1,992	3,556
1908	10,963	3,150	14,113	24,041	16,985	41,026	—	—	4,909	—	108	5,017	2,491	757	3,248	1,769
1909	12,082	4,167	16,249	21,852	14,797	36,649	—	—	6,712	—	247	6,959	910	11	921	6,038
1910	15,379	4,535	19,914	25,348	14,435	39,783	—	—	9,040	—	159	9,199	1,866	10	1,876	7,323
1911	13,341	5,516	18,857	34,953	20,029	54,982	—	—	12,824	—	33	12,857	4,704	35	4,739	8,118
1912	15,369	5,617	20,986	40,756	26,359	67,115	—	—	10,096	—	28	10,124	1,336	136	1,472	8,652
1913	25,314	5,922	31,236	40,429	31,618	72,047	—	—	10,933	—	11	10,944	123	79	202	10,742
1914	28,587	6,448	35,035	39,047	24,848	63,895	—	—	10,814	—	11	10,825	120	192	312	10,513
1915	40,901	9,320	50,221	41,535	18,159	59,694	—	—	11,761	—	3	11,764	532	301	833	10,931
1916	42,964	14,855	57,819	52,459	22,675	75,134	—	—	16,105	—	16	16,121	322	1,349	1,671	14,450
1917	64,726	20,233	84,959	72,696	31,396	104,092	—	—	9,636	—	33	9,669	359	108	467	9,202
1918	137,205	18,693	155,903	117,273	43,152	160,425	—	—	6,024	—	—	6,024	323	48	371	5,653
1919	199,849	22,099	221,948	184,918	98,159	283,077	—	—	4,418	—	—	4,418	1,617	22	1,639	2,779
1920	169,381	27,639	197,020	143,112	105,175	248,287	—	—	23,843	—	—	23,843	1,467	17,822	19,289	4,554
1921	197,393	20,885	218,278	156,483	75,899	232,382	—	—	7,370	—	—	7,370	243	2,298	2,541	4,829
1922	197,915	17,489	215,404	160,247	95,798	256,045	—	—	4,189	—	—	4,189	924	225	1,149	3,040
1923	241,262	20,403	261,665	167,452	98,338	265,790	—	—	6,593	—	—	6,593	934	124	1,058	5,535
1924	306,660	22,379	329,039	211,817	97,776	309,593	—	—	5,737	—	—	5,737	1,573	18	1,591	4,146
1925	317,289	24,342	341,631	234,624	105,388	340,012	—	—	4,358	—	—	4,358	549	261	810	3,548
1926	338,176	24,779	362,955	243,236	123,934	372,170	—	—	7,452	—	—	7,452	239	230	469	6,983
1927	330,791	28,134	358,925	269,474	113,943	383,417	—	—	5,263	—	—	5,263	329	193	522	4,741
1928	333,829	32,149	365,978	295,840	118,151	413,991	—	—	3,670	—	—	3,670	427	111	538	3,132
1929	309,891	35,773	345,664	315,326	107,768	423,094	—	—	6,097	—	—	6,097	640	246	886	5,211
1930	240,695	25,852	266,547	278,184	88,855	367,049	—	—	26,801	—	—	26,803	137	11,594	11,731	15,072
1931	249,027	12,772	261,799	217,770	52,696	270,466	—	—	39,526	—	—	39,548	853	21,104	21,957	17,591
1932	292,144	19,210	311,354	258,670	61,686	320,356	—	—	23,285	—	—	23,315	9,851	754	10,605	17,710
1933	315,854	52,773	368,627	339,817	64,338	404,155	—	—	24,375	—	—	24,395	3,807	41	3,848	20,547
1934	407,693	57,674	465,367	439,622	79,527	519,149	—	—	6,331	—	—	6,350	335	67	402	5,948
1935	485,893	64,903	550,796	559,813	100,590	659,403	—	—	210,582	—	—	210,593	3,847	69,371	73,218	137,375
1936	518,047	75,266	593,313	647,918	114,499	762,417	—	—	63,466	—	—	65,574	823	7,221	8,044	57,530
1937	572,445	113,093	685,543	735,414	128,139	863,553	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1938	710,540	169,067	879,607	921,346	134,583	1,055,929	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1939	736,883	269,911	1,006,794	1,229,417	159,031	1,388,448	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1940	741,424	206,385	947,809	1,335,716	200,651	1,536,367	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1941	788,733	184,465	973,198	1,360,994	158,345	1,519,339	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1942	752,287	192,435	944,722	1,374,476	116,408	1,490,884	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1943	512,907	192,100	705,007	1,135,699	211,976	1,347,675	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1944	728,830	190,772	919,602	769,179	186,716	955,895	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1945	—	70,898	70,898	—	122,169	122,169	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

△印輸入超過

△—An Excess of Imports over Exports

## (54) 國 別 輸 出 入

單位 = 千圓

## Total Value of Foreign

	輸											Exports				
	Asia											Europe				
	中 國 China	香 港 Hongkong	滿洲國 Man- churia	日 本 Japan	英 領 印 度 Brit Ind	荷 領 印 度 Dutch Indra	佛 領 印 度 F.-Ind China	比 律 賓 Philip- pines	暹 羅 Siam	其 他 諸 國 Other Countries	計 Total	英 利 Uni Kin	佛 西 France	德 逸 Ger- many	白 耳 義 Belg- ium	其 他 諸 國 Other Countries
1925	6 325	141	17,091	317 289	11	85	136	6	1	368	341,453	2	—	2	—	1
1926	5 639	93	17,958	338 176	82	94	129	12	—	372	362,555	3	1	1	—	19
1927	7 213	18	20,070	330 731	22	82	93	16	63	370	358,743	31	—	2	—	—
1928	6 231	15	25,190	333 829	19	31	33	23	50	205	365,626	131	—	4	—	4
1929	7 262	25	27,484	309 891	7	101	30	26	126	352	345,304	3	1	2	—	—
1930	6 137	26	18 381	240 635	5	72	62	4	9	202	265,736	26	1	2	—	2
1931	1 241	22	10 845	249 027	9	65	33	1	93	178	261,514	4	2	4	—	1
1932	948	108	27 206	282 144	20	43	4	23	55	182	310,739	3	—	2	—	2
1933	1 539	365	45 563	315 854	116	103	5	43	9	302	363,959	11	3	711	—	18
1934	2 008	543	53 467	407 633	110	215	20	89	93	294	464,532	4	1	2	—	29
1935	3 313	499	58 044	485,833	344	200	30	119	113	833	549,388	197	51	12	12	56
1936	3 707	691	65 435	518,047	389	265	38	384	182	313	589,356	197	2	10	64	20
1937	4 842	657	92 143	572,445	750	1,022	12	742	320	651	673,587	344	8	2,261	180	76
1938	22 155	74	140 742	710,540	429	477	7	117	103	570	875,214	157	3	1 062	96	23
1939	33 566	132	228 102	736,883	476	635	36	74	306	711	1,000,381	171	2	337	30	260
1940	39,160	303	147,033	741,424	311	579	36	208	163	423	929,646	171	6	15,187	14	192
1941	42,145	273	131,131	788,733	155	814	1,460	184	526	148	965,563	—	—	6 286	—	—
1942	42,405	—	144,793	752,287	—	290	2,200	—	1 807	89	943,871	—	—	851	—	—
1943	47,646	330	135,784	512,907	—	48	4,376	78	2 974	864	705,007	—	—	—	—	—
1944	35,020	50	151,027	728,836	—	—	—	—	2 125	1,016	919,602	—	—	—	—	—
1945	25,454	—	45,444	?	—	—	—	—	—	—	70,898	—	—	—	—	—
1946	38,863	—	—	8,874	—	—	—	—	—	—	47,737	—	—	—	—	—
1947	255,224	465,405	—	—	—	—	—	—	—	—	720,629	—	—	—	—	337,782

	輸											Imports				
	Asia											Europe				
	中 國 China	香 港 Hongkong	滿洲國 Man- churia	日 本 Japan	英 領 印 度 British India	荷 領 印 度 Dutch Indra	佛 領 印 度 Fren- ch- Indo- China	比 律 賓 Philip- pines	英 領 海 峽 殖 民 地 British Strait Settlements	暹 羅 Siam	其 他 諸 國 Other Countries	計 Total	英 利 Uni Kin	佛 西 France	德 逸 Ger- many	白 耳 義 Belg- ium
1925	83 362	159	—	234 624	245	4,573	578	—	—	11	89	923	—	—	—	324,564
1926	92 312	101	—	248 236	6 952	4,543	3,718	45	—	145	1,123	975	—	—	—	358 150
1927	89 954	157	—	269 474	1 838	5,646	336	476	—	106	149	469	—	—	—	368 605
1928	73 968	143	2,119	295 840	3 948	7,399	3 885	255	—	414	1,522	1,406	—	—	—	395 904
1929	70 653	91	2,400	315 326	4 194	6,347	3 303	132	—	332	550	2,017	—	—	—	405 400
1930	53,610	99	2,335	278,194	2,219	4,848	2,329	384	—	479	955	7 242	—	—	—	353,194
1931	6,198	21	33,309	217,770	358	1,437	25	217	—	184	24	3 317	—	—	—	262,910
1932	3,773	9	42,202	253,670	220	617	198	442	—	260	200	4 561	—	—	—	311,152
1933	5,858	17	44,455	339,817	763	2,138	—	272	—	127	328	5 515	—	—	—	399,290
1934	7,796	31	50,810	439,622	2,619	1,431	71	1,793	—	75	14	4 632	—	—	—	508 894
1935	16 448	8	53,032	558,813	565	3,512	60	2,379	—	1,724	5	4,395	—	—	—	640,941
1936	15 148	4 756	66,046	647,918	209	6,727	437	622	—	1,314	7	809	—	—	—	743,993
1937	10 368	4 860	66,157	735,414	256	8,534	206	1,872	—	1,523	1	1 627	—	—	—	830,818
1938	12 217	7	68,207	921,346	10,788	4,269	412	2,335	—	3,480	2	3 153	—	—	—	1,026,216
1939	10 334	66	88,640	1 229,417	8 845	3,392	909	3,423	—	1,244	8	3 030	—	—	—	1,349,308
1940	?	?	?	1,335,716	—	—	3 225	4,635	—	—	54	155,132	—	—	—	1,498,762
1941	38,833	76	73,945	1,360,994	—	7,243	3 317	995	—	—	4,424	15,254	—	—	—	1,505,081
1942	29,257	46	83,415	1 374,475	—	—	77	—	—	—	2,016	622	—	—	—	1,489,908
1943	37,800	—	146,922	1 135,699	—	—	15,099	1,369	—	—	6,429	2,141	—	—	—	1,345,459
1944	26,555	21	158,894	769,179	—	—	6	—	—	—	988	252	—	—	—	955,895
1945	57,146	7	64,114	?	—	—	—	902	—	—	—	—	—	—	—	122,169
1946	159,205	—	—	8,054	—	—	—	619	—	—	—	—	—	—	—	167,878
1947	672,279	148,056	—	10,361	141,959	54	565	1 625	—	—	1 693	3,751	—	—	—	1,279,662

- 1) 資料一朝鮮貿易年報及財務部稅關局
- 2) ※中國、香港、滿洲國包含
- 3) 1946, 1947年之南朝鮮是也

# 品 額 高 表

## Trade by Countries

In 1,000 Won

出

計 Total	亞 美 利 加 洲 America				計 Total	阿 非 利 加 洲 Africa					計 Total	其 他 諸 洲 All Others			計 Total	總 計 Grand Total	
	美 國 U.S.A.	加 拿 大 Canada	亞 爾 及 爾 Algeria	其 他 諸 國 Other Countries		埃 及 Egypt	莫 三 比 利 Mozambique	南 非 South Africa	阿 比 西 亞 Abyssinia	其 他 諸 國 Other Countries		澳 洲 Australia	布 里 塔 尼 亞 British Isles	其 他 諸 國 Other Countries			
5	168	1	—	—	161	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	341 631
24	172	2	—	—	174	185	—	—	—	—	—	15	3	14	—	17	362 955
33	140	4	—	—	145	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	4	358 925
139	204	4	—	—	208	—	—	—	—	—	—	—	1	4	—	5	365 978
6	342	3	—	—	345	—	—	—	—	—	—	—	4	5	—	9	345 664
31	215	4	—	—	214	540	—	—	—	—	—	540	14	12	—	26	266,547
11	1	2	—	—	124	144	—	—	—	—	—	144	4	2	—	6	261,799
7	407	1	—	—	408	195	—	—	—	—	—	195	1	4	—	5	311,354
743	2 747	1	—	—	2 748	534	3	4	6	—	—	547	9	621	—	630	363,627
36	313	1	—	—	314	417	—	16	44	—	—	477	6	2	—	8	465,367
328	54	1	9	18	575	93	16	52	225	—	—	386	112	5	2	119	550,796
293	994	12	23	560	1 589	575	21	73	741	1,416	—	85	573	1	—	659	593,313
2,869	1,475	96	285	213	2,069	4,935	32	146	1,910	6,923	—	93	4	1	—	98	685,543
1,341	1,281	256	45	35	1 617	124	100	200	978	1,402	—	26	5	2	—	33	879,607
800	3 646	200	61	64	3 971	132	102	232	519	985	—	46	9	2	—	57	1,006,794
15,570	1 760	74	241	168	2 243	7	95	149	64	315	—	25	9	1	—	35	947,809
6 286	490	21	140	40	631	486	—	104	14	646	—	40	6	—	—	6	973,193
851	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	944,722
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	705,007
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	919,602
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	70,898
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	47,737
337,782	52,722	—	—	—	52,722	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,111,133

入

英 吉 利 United Kingdom	歐 羅 巴 洲 Euro, e				計 Total	亞 美 利 加 洲 America				計 Total	其 他 諸 洲 All Others			計 Total	總 計 Grand Total
	佛 蘭 西 France	德 國 Germany	其 他 諸 國 Other Countries	美 國 U.S.A.		加 拿 大 Canada	其 他 諸 國 Other Countries	澳 洲 Australia	其 他 諸 國 Other Countries						
5,142	125	417	80	5,764	9 399	254	7	9 660	16	8	24	340,012			
5,737	132	622	84	6,625	6 636	319	2	6 957	435	3	438	372,170			
4,984	100	845	185	6,114	8 208	120	137	8 465	221	12	233	383,417			
5,152	103	3 535	486	9,326	8 314	332	2	8 648	77	36	113	413,991			
3,747	108	3 075	562	7,493	9 803	328	—	10,131	66	4	70	423,094			
2,461	90	1 711	717	4,979	8 613	89	47	8 749	116	11	127	367,049			
1,313	62	1 312	205	2,892	4 552	33	45	4 630	32	1	34	270,466			
1,546	58	819	147	2,570	5 076	56	31	5 163	412	1,059	1,471	320,356			
989	48	423	69	1,529	2 195	485	33	2 713	652	1	653	404,185			
976	62	380	141	1,559	5 084	724	385	6 193	1,310	1,193	2,503	519,149			
3,310	281	336	176	4 103	7 548	473	353	8,374	1,332	4,653	5,985	659,403			
5,457	129	1 042	506	7 134	9 152	526	955	10,633	402	255	657	762,417			
5,457	83	1 972	388	7 907	21 312	77	1 269	22,658	503	1,667	2,170	863,553			
1,071	19	1 838	1 366	4 344	17 775	109	3 662	21,546	856	2,967	3,823	1 055,929			
780	10	3 939	2 034	6,763	23 754	359	3 832	27,945	1,668	2,764	4,432	1 388,448			
2,048	—	132	—	2,180	35 425	—	—	35,425	—	—	—	1,536,367			
342	—	857	—	1,199	13 059	—	—	13,059	—	—	—	1,519,339			
—	—	349	—	349	627	—	—	627	—	—	—	1,490,884			
210	—	1,754	—	1,964	252	—	—	252	—	—	—	1,347,675			
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	955,895			
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	122,169			
—	—	—	—	—	528	—	—	528	—	—	—	168,406			
100,372	4	—	351,069	451,445	268,554	7,560	3,528	279,642	77,376	—	77,376	2,088,125			

1) Source—Korea Annual Trading Review &amp; Bureau of Customs, Dept. of Finance.

2) \*Including China, Hongkong &amp; Manchuria

3) Annual figures of 1946, 1947 are of South Korea only.



(55) 港 灣 別 輸 出

Total Value of Foreign

單位=圓

	輸 出										Exports 基 雄
	仁 川 釜 山 蔚 山 木 浦 大 邱 元 山 城 津 濟 津 雄	Chemulpo	Pusan	Kunsan	Mokpo	Seoul	Wonsan	Sungjin	Chungjin	Ungki	
1920	24,569,016	74,968,600	19,805,631	12,033,849	6,078,206	4,341,348	2,379,884	2,867,526	—	—	
1921	42,274,630	63,912,641	20,159,165	9,870,355	2,859,818	5,741,490	1,959,714	4,420,822	—	—	
1922	43,261,345	58,042,975	27,103,093	11,017,297	2,241,489	4,175,141	1,527,824	4,055,904	1,322,176	—	
1923	39,728,419	93,723,975	32,815,010	15,550,982	1,532,954	4,634,508	2,006,300	6,728,897	2,715,255	—	
1924	60,152,086	118,105,646	35,959,057	20,355,223	1,139,245	4,853,892	2,694,502	9,023,801	2,604,220	—	
1925	63,562,566	124,040,334	37,738,706	21,676,593	969,157	8,048,147	2,739,873	6,898,898	3,190,225	—	
1926	59,843,790	124,731,419	47,323,375	23,769,495	560,335	9,487,880	3,709,743	7,234,525	4,190,265	—	
1927	57,111,117	126,399,719	45,119,786	21,132,772	613,880	8,922,000	4,099,535	9,459,227	4,559,134	—	
1928	55,839,225	118,945,191	44,517,736	21,693,437	552,579	8,273,189	3,803,112	10,487,625	4,309,666	—	
1929	47,476,098	109,709,636	34,223,289	22,873,027	665,619	7,480,823	3,831,493	13,197,261	3,838,212	—	
1930	42,258,676	82,255,228	24,330,444	17,453,855	775,637	5,645,218	3,017,674	8,283,839	1,751,767	—	
1931	38,524,133	82,352,164	30,496,993	15,457,558	313,094	3,577,224	2,140,688	6,718,292	1,868,564	—	
1932	44,195,577	82,897,107	33,853,927	16,558,197	1,574,756	4,640,916	2,153,887	9,159,575	1,451,541	—	
1933	43,066,552	88,576,768	37,594,918	18,462,747	2,143,690	8,983,973	2,844,201	9,769,829	2,874,648	—	
1934	60,218,754	104,042,707	55,950,904	22,562,498	2,676,961	5,754,061	3,276,534	12,921,295	8,393,527	—	
1935	66,326,962	120,105,460	63,302,996	29,071,698	2,573,689	36,030,626	11,431,006	20,976,950	13,758,213	—	
1936	72,754,220	134,073,422	57,540,984	31,736,956	3,126,424	7,740,763	4,632,556	31,910,241	11,122,563	—	
1937	92,606,943	156,397,606	51,635,612	31,767,907	3,257,230	10,683,185	11,959,051	39,008,919	9,567,017	—	
1938	129,859,598	209,362,241	62,830,281	40,776,574	8,726,635	21,114,118	23,761,322	38,702,795	9,250,653	—	
1939	106,401,122	284,908,205	37,155,777	30,261,213	26,078,922	19,819,989	67,873,050	56,114,549	16,743,118	—	
1940	49,142,398	271,671,989	10,478,003	17,940,859	4,419,123	14,687,713	81,397,156	41,046,905	16,617,169	—	
1941	54,192,930	273,338,668	54,116,744	34,917,175	2,010,838	11,049,743	52,358,538	43,437,471	3,011,904	—	
1942	55,650,117	287,378,776	57,150,323	37,257,848	1,994,744	7,618,062	36,576,703	44,557,729	350,653	—	
1943	30,966,755	353,892,339	5,774,687	7,544,078	638,568	3,112,130	13,181,008	36,342,777	9,660	—	
1944	53,884,724	436,050,077	87,842,621	30,356,531	129,067	5,685,084	17,405,737	54,840,580	1,514	—	
1945	2,359,000	10,506,000	3,907,000	1,170,000	780,000	856,000	367,000	2,015,000	—	—	
1946	38,863,287	8,874,699	—	—	—	—	—	—	—	—	
1947	410,111,074	694,193,124	4,540,562	2,283,700	—	—	—	—	—	—	

	輸 入										Imports 基 雄
	仁 川 釜 山 蔚 山 木 浦 大 邱 元 山 城 津 濟 津 雄	Chemulpo	Pusan	Kunsan	Mokpo	Seoul	Wonsan	Sungjin	Chungjin	Ungki	
1920	51,253,966	54,598,368	5,242,903	4,452,267	44,268,968	10,701,118	1,993,691	6,076,799	—	—	
1921	52,733,271	49,422,397	6,328,129	3,911,194	36,365,667	8,428,515	2,500,766	7,741,761	—	—	
1922	58,404,260	53,687,111	7,561,045	5,170,273	36,542,063	9,940,964	2,250,831	7,356,636	835,686	—	
1923	53,562,289	73,568,387	8,638,582	5,126,844	20,614,127	12,777,864	4,733,978	10,640,178	762,609	—	
1924	66,095,719	95,856,177	12,729,052	8,736,990	20,543,029	12,438,029	2,344,155	11,147,574	848,226	—	
1925	66,459,271	103,572,291	18,341,405	11,896,005	19,311,767	12,949,300	2,491,546	10,616,564	1,129,591	—	
1926	68,043,080	115,201,322	19,284,876	12,520,262	20,341,367	17,424,691	3,815,527	12,137,122	1,636,883	—	
1927	74,930,846	115,398,417	20,789,362	11,232,342	21,308,052	18,123,462	4,682,330	13,073,710	2,058,641	—	
1928	84,337,362	125,049,564	18,064,968	11,046,084	21,355,329	26,178,286	2,994,321	14,034,763	3,069,165	—	
1929	83,290,435	130,387,362	18,207,176	14,226,263	21,258,248	20,768,107	3,225,724	13,943,852	3,914,964	—	
1930	70,039,531	108,441,964	15,167,613	11,318,444	18,855,325	17,679,169	2,840,242	9,953,193	2,445,700	—	
1931	51,627,625	90,571,717	9,397,284	7,584,777	14,746,202	11,260,137	1,972,779	6,762,079	1,815,077	—	
1932	59,662,712	102,164,407	11,491,359	8,348,681	16,311,550	12,612,145	3,181,182	12,320,792	2,868,842	—	
1933	75,572,558	129,984,080	13,804,713	10,066,299	20,961,604	15,474,216	4,430,075	15,831,717	8,247,960	—	
1934	100,121,475	165,394,492	18,442,993	11,632,718	25,894,349	18,676,336	4,855,776	23,554,540	13,344,847	—	
1935	137,775,896	205,179,620	24,088,067	15,478,996	28,134,156	28,498,030	7,260,813	30,067,096	15,973,942	—	
1936	158,906,305	238,264,698	28,794,357	19,041,664	29,868,980	36,030,626	11,431,006	42,521,015	15,604,518	—	
1937	187,372,003	250,181,471	24,893,247	18,365,125	33,909,706	47,106,277	14,911,902	51,048,354	15,065,154	—	
1938	214,740,341	326,393,884	26,268,716	19,692,009	52,401,304	47,487,986	23,745,091	71,857,662	11,161,347	—	
1939	261,016,348	447,601,174	25,323,107	18,540,002	98,421,973	58,344,365	34,631,973	101,694,118	14,559,468	—	
1940	244,285,115	525,240,153	24,788,605	15,617,890	99,186,053	42,526,112	24,986,560	89,583,461	14,505,263	—	
1941	235,746,147	548,516,830	20,005,877	16,963,289	140,394,717	29,195,147	19,431,067	95,400,176	4,914,568	—	
1942	293,130,215	558,210,183	10,811,139	3,566,029	180,359,580	31,196,749	5,190,631	68,545,753	216,870	—	
1943	179,541,033	590,942,471	2,097,071	10,820,875	71,226,308	10,135,835	1,722,126	10,153,580	78,939	—	
1944	135,568,083	416,987,998	1,322,416	9,696,990	11,137,633	11,548,525	891,348	41,984,385	30,000	—	
1945	2,545,000	17,935,000	6,000	142,000	582,000	231,000	629,000	3,981,000	—	—	
1946	157,850,010	4,644,344	1,971,816	2,985,942	—	—	—	—	—	—	
1947	888,086,443	1,094,987,800	55,666,588	19,485,108	29,899,267	—	—	—	—	—	

資料—朝鮮貿易年報及財務部稅關局

1) 1946, 1947年之南朝鮮年報

# 入 品 額 高 表

## Trade of Each Port (Korea)

In Won

新 義 州 Sinuiju	鎮 南 浦 Chunampo	平 壤 Pyongyang	其 他 Other Ports	總 Total	計	三 八 以 南 計 Total of South Korea	三 八 以 北 計 Total of North Korea	計		
11,713,494	24,123,002	1,859,262	12,275,176	197,209,984	100	144,674,077	73.43	52,351,017	26.57	1920
21,043,974	26,564,048	1,022,319	18,508,247	218,277,223	100	146,588,541	67.15	71,688,682	32.85	1921
16,066,035	21,774,229	1,567,861	23,309,034	215,404,403	100	151,539,901	70.35	63,864,502	29.65	1922
17,293,005	16,754,436	1,903,422	26,278,572	261,665,735	100	186,206,824	71.16	75,458,911	28.84	1923
10,747,423	29,473,366	2,857,366	31,572,928	329,039,094	100	241,307,272	73.33	87,731,822	26.67	1924
11,371,727	36,773,307	3,192,984	21,428,016	341,630,533	100	254,209,457	74.36	87,421,076	25.64	1925
11,610,538	41,250,291	2,953,766	26,284,373	362,954,800	100	261,139,986	71.94	101,814,814	28.06	1926
9,432,374	42,285,302	3,967,109	25,822,747	358,924,702	100	255,989,125	71.32	102,935,577	28.68	1927
13,690,679	48,233,092	5,391,237	30,236,756	265,978,524	100	241,643,619	66.02	124,334,905	33.98	1928
19,012,731	59,728,484	4,947,971	27,673,172	345,664,056	100	221,235,726	64.00	124,428,330	36.00	1929
12,728,330	40,158,655	2,453,346	24,402,509	266,547,178	100	171,059,729	64.17	95,487,449	35.83	1930
8,217,928	39,955,744	1,930,203	30,245,949	261,793,539	100	174,070,537	66.47	87,778,002	33.53	1931
18,642,284	48,936,718	2,509,596	44,779,969	311,354,050	100	185,560,296	59.60	175,773,754	40.40	1932
28,936,680	62,340,433	2,834,753	60,198,530	368,627,722	100	195,698,833	53.08	172,928,889	46.91	1933
30,531,766	77,030,421	3,169,777	78,335,730	465,367,435	100	254,423,063	54.67	210,944,372	45.33	1934
28,309,867	101,168,895	3,940,293	53,799,468	550,796,131	100	291,465,207	52.91	259,330,924	47.09	1935
29,337,405	93,324,078	4,731,565	101,519,919	593,313,046	100	311,679,317	52.53	281,633,729	47.47	1936
33,905,367	116,766,749	5,256,011	122,316,615	685,547,752	100	344,857,397	50.30	340,685,355	49.70	1937
58,652,532	135,461,676	5,371,739	135,736,093	879,606,257	100	453,651,869	51.57	425,954,388	48.43	1938
78,698,912	103,623,348	5,931,010	173,284,570	1,006,793,735	100	500,518,429	49.71	506,275,306	50.29	1939
2,782,286	96,314,371	760,048	340,550,771	947,803,291	100	474,466,762	50.05	473,342,529	49.95	1940
3,707,892	90,661,720	533,102	349,811,301	973,198,926	100	524,607,026	53.91	448,591,000	46.09	1941
5,628,261	65,194,829	509,991	344,854,436	944,722,472	100	548,636,161	58.07	396,083,308	41.93	1942
8,177,432	57,343,682	308,644	187,716,746	705,007,906	100	470,295,939	66.71	234,711,967	33.29	1943
13,636,651	19,154,476	—	200,565,672	919,602,734	100	668,634,774	72.71	250,967,960	27.29	1944
—	251,000	22,000	48,665,000	70,898,000	100	59,620,000	62.63	11,278,000	37.37	1945
—	—	—	—	47,737,986	100	47,737,986	100	—	—	1946
—	—	—	—	1,111,133,460	100	1,111,133,460	100	—	—	1947

入

新 義 州 Sinuiju	鎮 南 浦 Chunampo	平 壤 Pyongyang	其 他 Other Ports	總 Total	計	三 八 以 南 計 Total of South Korea	三 八 以 北 計 Total of North Korea	計		
21,372,240	17,348,445	11,116,045	20,861,734	219,286,544	100	170,348,075	68.33	78,938,469	31.67	1920
8,654,448	9,200,440	8,078,557	39,016,439	232,331,584	100	160,005,885	68.85	72,375,639	31.15	1921
3,426,857	6,881,760	9,436,450	54,550,871	256,044,807	100	170,898,109	66.74	85,146,698	33.26	1922
37,531,413	9,730,054	7,935,500	20,118,802	265,790,727	100	169,346,661	63.88	96,444,066	36.12	1923
37,785,792	11,351,102	10,890,955	13,326,496	309,593,336	100	212,345,603	68.78	97,247,733	31.22	1924
50,628,268	13,470,842	11,581,249	17,563,682	340,011,781	100	228,463,134	67.19	111,548,647	32.81	1925
54,844,366	14,994,315	11,338,713	20,537,259	372,169,783	100	244,356,780	65.65	127,813,003	34.35	1926
51,418,616	16,390,422	12,199,249	21,801,567	383,417,007	100	252,615,882	65.88	130,801,125	34.12	1927
47,223,322	18,847,268	15,209,976	26,580,535	413,990,943	100	264,422,826	63.87	149,568,117	36.13	1928
44,918,737	20,897,004	15,386,856	37,663,823	423,093,551	100	276,125,057	65.26	146,963,494	34.74	1929
38,850,869	20,442,385	13,828,396	36,685,927	367,048,758	100	230,580,124	62.82	136,468,634	37.18	1930
25,492,387	14,548,080	10,816,421	23,871,766	270,466,331	100	178,515,759	66.00	91,950,572	34.00	1931
37,644,490	19,721,939	12,384,312	21,643,605	320,356,016	100	202,910,932	63.33	117,445,084	36.67	1932
38,903,280	27,491,342	13,003,425	30,414,191	404,185,460	100	256,221,167	63.39	147,964,293	36.61	1933
42,610,919	37,918,659	13,572,319	43,130,507	519,149,930	100	328,794,688	63.33	190,355,242	36.67	1934
42,812,783	47,928,351	15,756,331	60,449,261	659,403,342	100	419,552,306	63.62	239,851,036	36.38	1935
43,802,834	49,501,597	16,773,266	71,870,263	762,417,134	100	485,039,124	63.61	277,378,010	36.39	1936
41,849,001	68,335,290	17,014,151	93,500,821	863,552,502	100	524,518,150	60.73	339,034,352	39.27	1937
49,042,139	91,009,813	19,620,817	102,507,220	1,055,923,463	100	646,008,601	61.17	409,919,864	38.83	1938
53,604,165	109,197,416	22,343,872	140,970,303	1,388,443,284	100	859,015,231	61.86	529,433,053	38.14	1939
2,359,852	91,386,911	12,660,292	349,241,543	1,536,367,810	100	1,021,720,940	66.50	514,646,870	33.50	1940
1,337,314	81,651,238	10,450,789	315,331,841	1,519,339,000	100	1,054,046,110	69.38	465,292,890	30.62	1941
1,112,432	74,203,539	9,220,812	255,120,038	1,490,884,000	100	1,114,522,337	74.75	376,361,663	25.25	1942
311,701	63,461,283	3,616,025	403,567,753	1,347,675,000	100	971,352,118	72.08	376,322,882	27.92	1943
211,279	26,522,604	—	300,593,733	955,815,000	100	670,749,048	70.17	285,145,952	29.83	1944
12,000	137,000	62,000	96,507,000	122,169,000	100	21,254,000	82.83	100,915,000	17.12	1945
—	—	—	954,042	163,406,154	100	163,406,154	100.00	—	—	1946
—	—	—	—	2,038,125,206	100	2,038,125,206	100.00	—	—	1947

Source:—Korea Annual Trading Review &amp; Bureau of Customs, Dept. of Finance.

1) Annual figures of 1946-1947 are of South Korea only.



(57) 產品別輸入額高表

單位 = 千圓

Total Value of Imported Commodities by Kinds

In 1,000 Won

年	農 產 品 Agricultural Products							畜 產 品 Live-Stocks	林 產 品 Forestry Products	水 產 品 Marine Products				礦 產 Mineral	
	米 Grains	穀 類 Cereals	製 造 品 Manuf.	特 用 作 物 Spec. Far.	果 物 Fruits	其 他 Others	計 Total			水 產 物 Aq.	製 造 品 Go of Ma.	計 Total	礦 物 Mineral	製 造 品 Go of Ma.	
															計 Total
1920	2,610	26,237	1,663	3,662	1,157	2,194	37,523	706	3,105	1,255	1,396	2,651	891	3,030	
1921	2,453	2,940	1,888	4,553	1,267	629	13,730	339	8,722	1,128	1,273	2,401	1,029	5,678	
1922	3,524	12,122	1,509	5,731	1,370	1,104	25,360	923	14,119	1,618	1,424	3,042	962	5,732	
1923	3,327	17,975	1,287	5,376	1,515	1,152	30,632	734	11,568	1,806	2,500	4,306	946	6,156	
1924	12,910	29,700	1,769	4,984	1,402	3,305	52,070	1,008	10,739	3,079	2,586	5,665	990	4,598	
1925	24,925	35,469	1,814	7,103	1,505	1,734	72,550	1,371	8,936	2,338	2,617	4,955	919	6,209	
1926	20,284	40,059	2,288	11,192	1,710	2,346	77,879	1,662	10,453	2,862	2,779	5,641	950	7,417	
1927	19,810	43,198	2,227	12,302	1,956	1,845	81,338	1,599	11,237	1,770	2,403	4,173	872	9,719	
1928	10,026	37,003	2,258	11,259	1,954	1,958	64,458	1,628	11,503	3,708	2,111	5,819	1,081	13,727	
1929	7,318	12,988	2,135	10,352	2,037	2,227	37,057	1,383	9,437	3,426	1,512	4,938	960	14,369	
1930	5,346	29,540	1,904	8,667	1,607	1,893	48,957	1,166	6,286	2,829	1,302	4,131	675	11,949	
1931	1,107	14,086	1,795	6,872	1,431	1,774	27,115	1,067	5,447	2,160	1,501	3,661	433	8,008	
1932	1,782	14,791	1,578	8,281	2,100	2,576	31,108	1,211	3,696	2,701	2,369	5,070	630	9,269	
1933	1,798	22,527	1,677	10,560	1,940	2,328	40,830	1,816	4,593	3,810	2,869	6,679	1,089	12,180	
1934	3,577	26,796	2,332	18,376	2,716	2,550	56,347	2,678	7,393	3,985	2,670	6,655	1,495	17,695	
1935	7,419	49,307	3,549	26,048	4,061	2,611	92,995	3,970	10,934	3,878	2,842	6,720	—	2,065	
1936	5,050	50,386	3,857	36,121	4,654	3,541	103,606	3,389	13,471	5,647	2,354	8,001	—	3,789	
1937	4,846	30,774	3,951	44,014	4,925	5,970	84,480	5,624	15,528	6,142	2,660	8,803	—	3,987	
1938	1,497	27,360	3,720	29,677	1,672	1,770	65,696	4,618	23,256	7,114	3,361	10,471	8,006	51,453	
1939	8,849	57,949	4,288	19,242	3,695	4,468	98,491	7,022	39,028	9,179	3,330	12,509	8,339	70,552	
1940	2,044	67,776	6,478	25,605	9,563	4,806	116,272	11,747	44,882	6,934	2,903	9,837	15,179	62,543	
1941	5,792	32,276	6,932	13,411	10,752	2,505	71,668	—	37,763	—	5,893	5,893	1,227	79,891	
1942	3,101	28,745	4,211	16,944	8,811	3,937	65,749	—	34,278	—	7,465	7,465	2,228	923	
1943	20,416	36,827	5,235	18,685	10,547	2,830	94,570	—	12,927	—	16,770	16,770	7,332	4,901	
1944	981	47,887	3,878	7,816	8,620	1,007	70,189	—	8,075	—	—	—	8,391	226	
1945	—	14,430	—	11	—	—	14,441	—	2,043	—	4,379	4,379	57,930	—	
1946	—	1,803	118	55,506	—	—	57,427	—	—	—	—	—	229	—	
1947	139	15,302	—	14,482	4,322	13,728	47,973	—	337,643	348	57,177	57,525	10,351	—	

年	工 業 產 品 Industrial Products											雜 品 Miscella.	總 計 Grand Total	
	計 Total	機 械 工 業 Machine	化 學 工 業 Chemical	脂 肪 工 業 Oil	織 物 Textiles	其 他 物 品 Fib & Or.	金 屬 工 業 Metal	陶 器 Ceramic	食 料 工 業 Food	製 造 工 業 Manuf.	其 他 Other			
														計 Total
1920	3,921	13,776	3,427	11,244	17,450	35,780	6,259	21,395	12,501	3,062	669	125,563	75,817	249,286
1921	6,707	14,003	5,179	7,928	19,895	46,175	15,585	18,900	14,434	5,678	6,953	154,770	45,712	232,381
1922	6,694	13,044	6,926	7,390	25,108	45,974	11,448	14,885	17,012	5,742	2,299	149,828	56,078	256,044
1923	7,102	13,289	7,747	8,040	31,196	60,450	12,889	19,008	17,000	6,092	2,673	178,384	33,064	265,790
1924	5,538	17,639	10,615	9,615	40,696	60,821	10,939	15,112	22,463	6,333	2,636	196,919	37,604	309,593
1925	7,128	14,379	13,746	10,757	41,292	79,195	11,007	14,724	23,908	6,208	2,598	217,814	27,257	340,011
1926	8,367	19,644	24,044	12,041	43,255	80,315	19,262	16,056	24,315	7,417	3,356	249,705	18,462	372,169
1927	10,591	20,818	17,061	13,955	38,865	79,343	16,100	20,424	25,233	9,719	3,683	245,201	29,278	383,417
1928	14,809	30,319	22,358	13,886	43,747	83,404	19,468	21,969	30,420	13,727	4,708	284,005	31,768	413,990
1929	15,328	28,572	24,488	29,470	40,408	69,976	30,193	22,329	33,303	14,368	3,555	296,662	58,288	423,093
1930	12,624	30,868	18,723	16,562	33,514	64,949	26,642	22,409	27,567	11,949	3,499	256,682	37,202	367,048
1931	8,441	21,299	13,214	18,357	25,129	50,965	19,775	18,023	21,971	8,008	3,165	199,906	24,829	270,466
1932	9,839	27,462	13,487	15,851	24,944	60,375	24,459	15,623	25,261	9,208	3,868	220,538	48,894	320,356
1933	13,269	34,351	17,755	16,058	33,718	64,774	33,559	23,309	25,318	12,179	5,149	266,170	70,828	404,185
1934	19,190	43,183	22,947	21,450	39,332	79,838	45,483	31,258	25,299	17,689	7,379	332,858	94,028	519,149
1935	2,065	56,487	35,039	31,814	36,478	84,252	31,752	36,010	41,366	2,065	5,289	360,562	182,137	659,403
1936	3,789	68,433	44,356	36,315	39,848	93,703	41,029	44,131	40,450	3,789	4,398	416,452	213,709	762,417
1937	3,397	81,707	46,202	42,220	44,320	90,913	49,320	47,558	42,635	3,397	5,229	453,501	282,219	863,552
1938	59,464	134,829	55,303	23,191	44,096	116,436	105,912	59,806	50,436	51,458	7,807	649,274	243,149	1,055,928
1939	78,891	107,432	60,896	42,799	72,545	125,551	136,221	87,415	66,876	70,551	3,300	773,586	378,921	1,388,448
1940	77,722	259,743	77,633	37,273	77,366	134,715	138,661	105,567	76,198	62,543	15,693	985,398	290,509	1,536,367
1941	81,118	158,983	—	—	198,326	—	—	56,040	28	—	18,500	431,877	891,020	1,519,339
1942	3,151	161,977	5,153	40,273	285,750	767	13,451	77,199	2,056	—	—	586,626	793,615	1,490,884
1943	12,233	556,720	5,439	55,299	161,628	739	17,174	156,317	22,117	—	—	975,433	252,512	1,347,675
1944	8,617	95,183	3,847	29,927	159,790	222	8,437	—	2,100	—	—	299,506	568,508	955,895
1945	57,930	6,715	8,912	—	6	—	2,099	1,636	—	—	—	19,368	24,008	122,169
1946	229	4,981	15,250	6,715	—	5,590	3,046	—	19,634	26	42,955	98,197	12,553	168,406
1947	10,351	56,113	195,003	130,989	170,347	206,196	24,514	141,258	103,605	367,774	726	1,398,525	236,108	2,088,125

(58) 類 別 輸 出  
Foreign Trade by

	輸 出 Ex oris											
	食 料 品(粗生品) Foodstuffs, Crude		食 料 品(製造品) Manufactured Foodstuffs		原 料 品 Crude Materials		原 料 用 製 品 Semi-manufactures		全 製 品 Finished Manufactures		總 計 Total	
	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%
1915	9,261,218	18.44	235,568	0.47	4,985,432	9.93	5,458,233	10.87	30,279,918	60.29	50,220,369	100
1916	11,199,848	19.37	315,615	0.55	10,935,627	18.91	5,899,543	10.20	29,467,950	50.97	57,818,583	100
1917	18,618,514	21.91	505,250	0.61	24,939,010	29.35	5,142,677	6.05	35,753,402	42.08	84,958,853	100
1918	88,434,622	56.72	1,007,648	0.64	42,043,491	26.97	6,696,541	4.30	17,720,648	11.37	159,902,950	100
1919	150,235,042	67.58	3,914,154	2.03	34,258,129	15.44	20,310,477	9.01	13,229,696	5.94	221,947,498	100
1920	114,441,279	58.09	2,081,011	1.06	31,192,966	15.83	13,440,602	6.82	35,864,236	18.20	197,020,094	100
1921	132,571,773	60.74	1,948,378	0.88	20,771,249	9.52	24,970,996	11.44	38,014,827	17.42	218,277,223	100
1922	140,693,318	65.32	2,544,288	1.18	20,359,214	9.45	26,598,309	12.35	25,204,274	11.70	215,404,403	100
1923	161,383,662	61.68	4,827,117	1.84	29,425,739	11.25	35,408,806	13.53	30,620,408	11.70	261,665,732	100
1924	220,807,996	67.11	9,253,860	2.81	33,627,241	10.22	33,501,849	10.18	31,848,148	9.68	329,039,094	100
1925	221,737,634	64.91	7,572,388	2.21	34,491,003	10.10	41,312,458	12.09	36,517,045	10.69	341,630,533	100
1926	243,041,709	66.96	4,817,535	1.33	27,155,030	7.48	42,436,628	11.69	45,503,898	12.54	362,954,800	100
1927	239,339,115	66.68	8,360,756	2.33	23,286,488	6.49	40,896,603	11.39	47,041,740	13.11	358,924,702	100
1928	234,423,980	64.05	10,305,081	2.81	28,900,689	7.90	44,999,558	12.27	47,349,216	12.97	365,978,524	100
1929	200,805,985	58.09	12,618,691	3.67	40,821,342	11.80	47,403,776	13.71	44,014,262	12.73	345,664,056	100
1930	148,387,602	55.64	14,348,004	5.44	43,942,104	16.47	44,316,743	16.62	15,552,725	5.83	266,547,178	100
1931	172,836,880	66.00	10,886,826	4.16	42,913,493	16.39	34,182,820	13.05	978,520	0.40	261,798,539	100
1932	192,998,837	61.95	10,590,323	3.40	51,420,738	16.51	49,328,177	15.83	7,015,975	2.31	311,354,050	100
1933	200,020,187	54.26	11,995,047	3.27	50,678,801	13.75	50,054,341	13.56	55,879,346	15.16	368,627,722	100
1934	275,414,515	59.18	15,967,031	3.46	72,861,032	15.65	83,893,354	18.01	17,231,503	3.70	465,367,435	100
1935	292,007,450	53.01	17,768,143	3.24	89,552,103	16.26	89,004,835	16.16	62,463,600	11.33	550,796,131	100
1936	309,767,012	52.20	20,236,516	3.46	91,129,889	15.35	143,286,335	24.14	28,893,294	4.85	593,313,046	100
1937	283,395,135	41.34	22,631,543	3.32	101,752,770	14.84	144,456,480	21.06	133,306,824	19.44	685,542,752	100
1938	400,957,658	45.58	31,151,241	3.55	107,140,441	12.18	155,455,289	17.67	184,901,628	21.02	879,606,257	100
1939	267,709,227	26.59	37,778,278	3.77	175,018,369	17.38	248,441,302	24.67	277,846,609	27.59	1,006,793,785	100
1940	261,023,257	27.54	40,836,776	4.31	197,495,889	20.83	280,451,958	29.59	168,001,411	17.73	947,809,291	100
1941	234,041,000	24.05	50,501,026	5.25	83,072,000	8.53	235,305,000	24.15	370,279,000	38.02	973,198,026	100
1942	284,981,049	30.16	49,977,000	5.31	92,287,423	9.77	198,383,000	20.99	319,034,000	33.77	944,722,472	100
1943	109,862,053	15.59	45,153,000	6.43	92,259,853	13.08	222,634,000	31.58	234,999,000	33.32	705,007,906	100
1944	188,895,000	20.54	58,388,000	6.35	74,372,734	8.09	1,038,000	0.12	596,809,000	64.90	919,602,734	100
1945	7,987,000	11.25	11,410,000	16.07	1,267,000	1.95	5,161,000	7.28	45,073,000	63.45	70,838,000	100
1946	35,019,166	73.35	7,864,937	16.47	—	—	4,844,363	10.15	9,520	0.03	47,737,986	100
1947	487,809,126	43.90	14,367,188	1.31	158,507,728	14.26	290,749,718	26.16	159,699,700	14.37	1,111,133,460	100
1946-3 M.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4 A.	27,180	33.03	—	—	—	—	45,600	55.41	—	—	82,300	100
5 M.	1,311,042	90.06	17,280	1.18	—	—	127,500	8.76	9,520	11.56	1,455,822	100
6 J.	735,140	60.28	5,890	0.48	—	—	478,506	39.24	—	—	1,219,536	100
7 J.	4,214,870	89.32	329,840	6.99	—	—	174,300	3.69	—	—	4,719,010	100
8 A.	2,211,539	78.51	76,860	2.72	—	—	528,640	18.77	—	—	2,817,039	100
9 S.	2,931,200	81.17	144,256	3.99	—	—	535,917	14.84	—	—	3,611,373	100
10 O.	5,659,475	85.68	915,560	13.86	—	—	30,000	0.46	—	—	6,605,035	100
11 N.	10,876,757	77.70	2,247,169	16.05	—	—	874,100	6.25	—	—	13,998,026	100
12 D.	7,051,963	53.30	4,128,082	31.20	—	—	2,049,800	15.50	—	—	13,229,845	100
1947-1 J.	13,575,240	90.80	232,300	1.56	—	—	1,142,700	7.64	—	—	14,950,300	100
2 I.	6,919,960	82.54	834,640	9.95	—	—	628,600	7.51	—	—	8,383,250	100
3 M.	3,097,800	85.28	—	—	—	—	534,400	14.72	—	—	3,632,200	100
4 A.	9,381,910	85.62	33,792	0.32	—	—	182,000	1.66	1,358,761	12.40	10,956,463	100
5 M.	69,316,731	48.35	522,816	0.39	32,320,300	22.54	15,587,143	10.87	25,596,720	17.85	143,343,710	100
6 J.	16,366,940	11.34	327,050	0.25	10,341,000	7.17	112,324,360	77.88	4,854,280	3.36	144,213,630	100
7 J.	15,851,720	13.96	3,268,640	2.87	84,151,868	74.12	9,777,045	8.61	480,000	0.44	113,529,273	100
8 A.	12,420,350	68.39	2,682,350	14.77	—	—	288,030	1.59	2,770,129	15.25	18,160,859	100
9 S.	12,877,000	14.48	993,600	1.12	22,385,255	25.18	52,656,500	59.22	—	—	88,912,355	100
10 O.	124,772,079	67.24	—	—	9,309,305	5.01	23,688,500	12.76	27,889,600	14.99	185,659,484	100
11 N.	37,689,246	34.89	4,680,000	4.34	—	—	11,738,000	10.89	53,593,450	49.78	107,700,696	100
12 D.	165,540,150	60.93	792,000	0.30	—	—	62,202,330	22.89	43,156,760	15.88	271,691,240	100

# 人 品 額 高 表

## Economic Classes (Korea)

In Won

食 料 品 (粗 生 品)		食 料 品 (製 造 品)		原 料 品		原 料 用 製 品		全 製 品		總 計	
Foodstuffs, Crude		Manufactured Foodstuffs		Crude Materials		Semi-manufactures		Finished Manufactures		Total	
円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%
2,799,990	4.69	5,141,896	8.61	965,426	1.62	12,469,742	20.89	38,317,530	64.19	59,694,584	100
2,434,212	3.24	5,833,708	7.76	1,126,223	1.51	16,532,566	22.00	49,207,421	65.49	75,134,130	100
4,567,832	4.39	6,116,472	5.88	1,409,608	1.34	20,346,735	19.55	71,651,669	68.84	104,092,316	100
9,045,712	5.64	8,377,955	5.22	3,704,369	2.30	29,828,163	18.60	109,468,747	63.24	160,424,946	100
28,814,777	10.17	23,312,551	8.23	36,169,952	12.77	23,048,980	8.18	171,730,491	60.65	283,076,751	100
37,936,086	15.21	12,918,018	5.23	43,534,937	17.46	40,098,573	16.05	114,798,930	46.05	249,286,544	100
9,278,919	4.03	13,421,444	5.77	37,008,635	15.92	57,509,862	24.74	115,162,724	49.49	232,381,584	100
23,296,477	9.10	15,491,882	6.09	36,852,686	14.39	46,725,993	18.24	133,677,769	52.18	256,044,807	100
29,077,824	10.91	16,030,517	6.02	38,803,688	14.60	56,422,751	21.25	125,455,947	47.22	265,790,727	100
52,305,342	16.89	19,842,302	6.41	37,185,955	12.01	64,944,283	20.97	135,315,454	43.72	309,593,336	100
83,106,890	24.44	19,486,145	5.73	40,604,003	11.94	75,561,547	22.22	121,253,196	35.67	340,011,781	100
73,925,794	19.85	20,574,869	5.51	41,359,849	11.10	76,606,544	20.57	159,702,727	42.97	372,169,783	100
81,249,059	21.18	20,953,344	5.45	43,188,556	12.40	60,152,366	15.67	177,873,682	45.30	383,417,007	100
62,584,569	15.12	24,295,707	5.87	45,713,373	11.04	60,477,545	14.61	220,919,749	53.36	413,990,943	100
53,726,885	12.69	27,449,805	6.49	56,022,714	13.24	57,190,181	13.50	228,703,966	54.08	423,093,551	100
47,824,559	13.02	22,836,343	6.22	72,083,764	19.64	47,427,799	12.91	176,876,293	48.21	367,048,758	100
23,776,364	9.53	29,553,030	10.93	78,894,056	29.14	42,883,899	15.83	93,358,982	34.57	270,466,331	100
38,596,579	12.05	23,864,983	7.43	89,223,851	27.85	37,809,873	11.80	130,860,730	40.87	320,356,016	100
36,108,035	8.93	24,190,368	5.96	83,028,247	20.54	54,474,445	13.48	206,384,365	51.09	404,185,460	100
46,359,730	8.91	26,158,640	5.02	88,299,061	16.99	54,701,185	10.54	303,631,314	58.54	519,149,930	100
18,282,757	2.76	28,277,713	4.28	89,085,011	13.50	66,358,245	10.06	457,399,616	69.39	659,403,342	100
79,150,148	10.38	33,016,919	4.33	97,336,796	12.76	91,147,322	11.95	461,765,949	60.58	762,417,134	100
74,635,658	8.64	46,598,871	4.40	137,404,517	15.91	125,061,198	14.48	479,852,258	56.57	863,552,502	100
51,408,769	4.87	44,897,976	4.25	140,778,433	13.33	169,287,006	16.02	649,556,281	61.53	1,055,928,465	100
116,648,691	8.40	65,329,291	4.71	174,065,795	12.53	173,918,954	12.52	358,485,553	61.84	1,388,448,284	100
132,998,865	8.65	54,421,450	3.54	139,756,798	9.09	197,812,570	12.87	1,011,378,127	65.85	1,536,367,810	100
115,235,000	7.58	55,893,000	3.68	128,234,000	8.42	105,942,000	6.97	1,114,035,000	73.35	1,519,339,000	100
123,015,000	8.26	59,358,000	3.99	130,456,000	8.73	116,482,000	7.79	1,061,573,000	71.23	1,490,884,000	100
113,271,000	7.25	57,090,000	3.66	142,805,000	9.17	141,581,000	9.08	892,928,000	70.84	1,347,675,000	100
63,621,000	6.65	37,000,000	3.87	16,466,000	1.72	7,217,000	0.75	831,591,000	87.01	955,895,000	100
14,441,000	11.78	4,379,000	3.58	54,386,000	44.45	590,000	0.60	48,373,000	39.59	122,169,000	100
46,153,460	27.40	55,541,328	32.98	521,935	0.33	34,953,958	20.75	31,230,473	18.54	168,406,154	100
27,303,121	1.30	183,802,371	8.80	437,014,460	20.93	402,039,383	19.26	1,037,965,871	49.71	2,088,125,206	100
470,960	52.72	427,737	47.02	—	—	—	—	2,400	0.26	901,097	100
855,917	41.00	945,012	46.37	—	—	171,510	8.42	65,440	4.21	2,037,879	100
3,577,282	29.47	5,478,638	45.14	200,000	1.65	2,077,161	17.11	805,175	6.63	12,138,258	100
2,779,190	26.99	5,411,978	52.57	—	—	1,141,355	11.09	962,719	9.35	10,295,242	100
8,652,245	31.31	12,653,202	45.79	—	—	4,930,155	17.84	1,397,127	5.06	27,632,729	100
982,937	12.02	5,977,136	73.10	—	—	694,377	8.49	521,903	6.39	8,176,353	100
11,461,770	39.88	7,208,048	25.08	27,482	0.09	4,289,503	14.92	5,757,417	20.03	28,744,220	100
14,739,808	36.72	11,378,654	28.34	284,253	0.73	9,974,978	24.85	3,759,883	9.36	40,137,576	100
1,922,995	13.00	2,688,260	18.28	—	—	4,151,466	28.15	5,982,415	40.57	14,745,136	100
638,321	2.73	3,372,663	14.42	—	—	7,523,453	32.16	11,858,106	50.69	23,392,543	100
547,500	3.30	2,216,697	13.38	18,384	1.11	783,908	4.46	12,991,295	77.75	16,557,784	100
278,040	1.53	5,534,081	30.13	—	—	2,859,223	15.56	9,693,633	52.78	18,364,977	100
22,750	0.09	10,113,967	30.08	—	—	12,076,175	35.92	11,400,825	33.91	33,813,717	100
4,331,765	4.54	24,617,681	25.84	445,900	0.50	49,521,309	51.99	16,319,233	17.13	95,235,888	100
1,272,568	1.16	15,891,811	14.23	14,935,125	13.37	42,171,192	37.77	37,365,773	33.47	111,636,469	100
3,487,190	1.29	77,814,022	28.39	36,796,000	13.42	11,179,833	4.07	144,808,243	52.83	274,085,288	100
5,713,245	15.48	4,761,962	12.91	—	—	14,843,583	40.24	11,566,248	31.37	36,885,038	100
1,265,838	4.41	2,600,812	9.04	—	—	7,880,606	27.40	17,013,833	59.15	28,761,089	100
2,834,416	1.20	12,071,890	5.13	77,578,022	32.97	42,842,739	18.21	99,963,479	42.49	235,290,546	100
1,300,680	0.25	4,041,914	0.77	27,402,318	5.20	99,698,673	17.88	395,423,847	75.90	527,867,432	100
2,391,545	0.52	10,802,149	2.33	229,222,266	49.49	67,545,020	14.59	153,162,693	33.07	463,123,673	100
3,857,584	1.60	13,335,385	5.40	50,454,445	20.43	50,682,122	20.54	128,373,769	52.03	246,703,305	100

(59) 重 要 輸

Details of Principal Commodities

單位=圓

年次	玄米		精米		米		Paddy		碎米及其他		米穀合計		小麥	
	Uncleaned Rice		Cleaned Rice		Rice		Paddy		Broken & Other		Rice Total		Wheat	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格
Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	
1920	1 056 101	40,247,758	847,983	34,661,293	1,276	22,740	82,423	2,076,665	1 987 783	77 008,456	46 479	619,496		
1921	1 583 210	42,339,941	1,630,504	47,760,936	18,502	167,582	136,055	2,544,512	3 368 271	92,812,971	283,823	4,037,791		
1922	1 362 044	39,404,050	1,571,478	54,654,663	7,430	94,892	88,041	1,591,688	3,028,993	95,745,293	30,855	423 615		
1923	2 278 220	62,001,363	1,513,104	49,993,869	3,376	38,513	110,255	1,839,687	3 904 955	113,903,432	24,395	341 426		
1924	2,969,918	99,097,292	1,611,862	62,875,664	11,073	174,939	107,546	2,335,549	4 700 399	164,483,444	69,282	1,326 451		
1925	2,776,301	100,773,943	1,698,058	70 278,547	2 715	37,398	84,189	2,073,856	4,561,263	173,163,744	109,181	2,222,590		
1926	3,432,308	115,824,614	2,006,777	74 518,715	2 630	38,425	109,239	2,186,738	5,550,954	192,568,492	22 058	348,407		
1927	3,425,393	103,796,182	2,612,712	85 827,153	722	9,943	127,326	1,941,396	6,166,153	191,574,674	7 936	84 957		
1928	3 949,700	106,969,409	2,583,072	73 977,381	3 677	52,376	179,863	2,731,273	6,716,312	183,730,439	782	9 047		
1929	3 280 523	87,546,272	2,081,582	58 327,089	2 324	29,328	176,526	2,913,334	5,540,955	148,815,973	45,805	656,919		
1930	2,584 906	58,328,465	2,169,684	49 211,525	1 259	14,288	159,241	2,110,409	4,915,090	109,664,687	4,219	45 353		
1931	4,629 424	75,327,635	3,764,232	60 879,687	2 129	10,372	221,188	2,269,661	8 616 973	138 487 355	2,439	14 582		
1932	3,744 069	76,363,502	3,257,693	67 210,002	22 001	197,035	119,352	1,566,686	7 143 115	145 337 225	120,344	1,452,879		
1933	3,581 765	73,959,507	3,759,954	77 802,948	42 381	421,157	187,991	2,523,046	7 571 091	154 706 658	142,265	1,760,662		
1934	5,109,100	121,619,794	4,150,113	99 814,112	15 067	164,052	182,552	2,669,221	9 456 832	224 267 179	13,869	183 059		
1935	5,081,900	135,112,434	3,654,115	105,451,600	4 052	54,694	177,402	3,474,982	8,917,469	244,093,710	65,245	996 935		
1936	4 184,297	123,098,706	4,063,877	123,163,496	295	4,373	223,467	4,687,841	8 471 936	250 954 416	36,267	616 348		
1937	3 233,086	100,476,962	3,973,940	127,039,983	927	15,175	224,473	4,320,757	7 432 426	231 852 877	46,680	860 811		
1938	4 735,490	153,201,079	4,639,810	155,122,658	4,315	79,273	206,728	4,672,799	9 586 343	313 068 809	32,269	573 005		
1939	1 745,729	60,339,246	3,037,622	110,165,141	488	73,063	146,969	4,113,791	4 930 808	174 691 241	19,946	34 492		
1940	618	25,935	597,235	26,384,270	7,847	213,185	16,735	537,912	622,435	27,161,302	10,974	376,550		
1941	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
1942	2 981,457	220 071,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
1943	110,263	12 333,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
1944	4,822,848	200,595,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
1945	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
1946	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
1947	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
乾魚	Dried Fish		鹽魚		鮮魚		寒天		食物及煙草		明大魚卵			
乾魚	Dried Fish		Salted Fish		Fresh Fish		Agar		Beverages & Tobacco		Pollack Spawn			
數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	
Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	
1920	13,074,623	3,702,692	15,026 969	1,356 634	62,659 858	7,091,955	5,307	7 700	361,757	514,715	1,329,950	222,285		
1921	14,246,083	3,974,556	18,150 559	1,140 715	88,279 245	7,654,546	27,565	28 119	424,905	337,445	2,248,159	466,393		
1922	13,443,430	4,470,234	11,976 957	975 044	85,911 428	7,756,832	10,117	11 724	300,558	329,224	1,655,953	371,279		
1923	18,243,211	5,138,793	21,431 314	1,405 848	120,213,503	8,913,218	27,407	46 729	344,504	421,719	1,674,143	293,149		
1924	17,451,130	5,018,193	23,845 124	1,682 113	111,987,865	10,254,508	30,463	55 928	412,620	623,153	2,547,831	497,510		
1925	16,671,097	5,022,345	23,089 900	1,948 988	67,619,079	6,878,086	59,348	113,329	351,671	459,957	1,363,450	305,816		
1926	14,927,147	4,805,304	20,103 068	1,692 621	81,708,014	8,264,703	17,954	34 739	312,749	390,523	1,583,205	430,679		
1927	15,555,559	5,225,865	19,332 061	1,296 892	64,768,501	6,445,655	22,958	44 646	295,920	305,824	1,794 616	499,508		
1928	15,954,503	5,115,070	17,250 776	1,533 198	71,631,300	6,718,666	19,580	97 864	307,623	375,842	1,897 718	555,607		
1929	19,611,270	6,472,444	13,947 597	1,053 795	65,812,126	6,216,704	22,218	51 136	238,765	331,696	2,142 572	707,216		
1930	14,903,228	4,494,721	13,402,594	906 579	71,081,633	5,806,307	14,960	27 769	175,557	172,984	1,985 337	572,582		
1931	17,723,644	4,158,319	9,846 877	684 327	98,465,434	5,002,470	10,484	16 098	252,307	132,716	2,655 732	717 556		
1932	21,111,491	4,570,174	14,347 198	907,377	99,702,899	5,472,325	32,684	48 907	288,619	263,392	3,584 792	867 370		
1933	17 002 484	4,544,232	18,976 735	1,367 588	86,255,397	6,247,365	14,570	19,057	258,739	276,666	3,909,054	973,251		
1934	—	—	—	—	87,979 238	6,473,430	23,135	37 357	227,417	295,494	4,773,698	1,141,535		
1935	—	—	—	—	87,583 217	6,144,115	40,808	57 341	187,162	311,955	4,591,560	1,154,983		
1936	—	—	—	—	65,671 293	5,122,019	65,827	122 200	147,404	246,171	4,128 657	1,118,917		
1937	—	—	—	—	80,068 762	6,852,190	72,441	109 775	186,984	275,913	4,768,076	1,417 902		
1938	—	—	—	—	99,152 647	8,742,416	115,769	277,229	359,223	360,914	5,234,852	1,673 774		
1939	—	—	—	—	104,593 598	12,418,418	100,314	353,520	220,853	675,040	6,903,759	2,738 470		
1940	—	—	—	—	90,233,908	16,300,761	161,969	853,049	236,726	1 133,570	9 009,606	3,829 705		
1941	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
1942	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
1943	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
1944	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
1945	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
1946	—	20,794,859	24,980	283,200	320,130	8,713,099	23,200	3,834,400	—	—	—	—		
1947	893,019	356,711,406	26,573	1,766,240	26,573	1,766,240	47,638	101,661,400	—	—	—	—		









(60) 重 要 輸

Details of Principal Commodities

單位=圓

	米 及 粳 Rice & Paddy		大 麥 及 裸 麥 Barley & Rye		小 麥 Wheat		粟 Millet		高 粱 Millet Koo liang		玉 蜀 黍 Indian Corn	
	數量 Quantity	價 格 Value	數量 Quantity	價 格 Value	數量 Quantity	價 格 Value	數量 Quantity	價 格 Value	數量 Quantity	價 格 Value	數量 Quantity	價 格 Value
1920	56,921	2,161,271			48,108	1,006,187	765,546	18,093,087	301,625	4,707,401		
1921	18,840	501,363			39,751	455,100	88,237	479,975	11,012	37,519		
1922	415,181	3,186,220	11,202	51,482	146,595	1,674,280	1,718,689	8,826,860	24,504	77,604	1,368	3,788
1923	299,350	2,790,430	14,305	80,700	118,727	791,496	2,609,980	13,313,810	109,698	419,431	2,924	9,365
1924	1,109,664	12,039,646	42,291	338,469	430,546	3,289,527	3,263,959	19,679,009	99,180	403,983	18,691	71,765
1925	2,222,986	24,476,681	20,926	171,222	7,934	68,832	4,051,070	28,779,659	144,362	696,008	18,099	77,360
1926	1,931,011	19,536,127	154,364	1,077,611	94,374	773,619	5,243,463	31,806,408	139,837	583,497	7,517	28,443
1927	2,142,229	19,260,434	400,589	2,681,163	92,119	713,437	6,071,408	31,649,717	114,613	450,689	11,951	44,898
1928	1,244,550	9,714,499	172,367	1,129,166	258,851	2,002,339	4,736,367	25,488,521	152,954	600,874	18,692	74,888
1929	1,646,163	14,202,934	115,726	761,630	63,769	423,240	3,751,601	20,865,843	68,298	278,216	22,339	95,157
1930	1,301,396	10,120,774	84,379	500,369	103,246	651,915	3,953,530	21,393,444	135,326	456,010	73,145	81,783
1931	153,064	930,381	27,821	117,443	42,449	203,918	2,684,022	7,931,586	104,081	205,639	110,697	212,834
1932	256,660	1,770,999	127,011	557,473	168,656	705,123	3,643,840	16,026,325	412,199	1,073,733	340,863	1,075,774
1933	262,491	1,837,427	208,670	1,028,964	152,086	897,798	2,571,843	12,787,890	35,916	120,825	347,584	1,140,758
1934	367,888	3,063,046	65,363	394,109	276,543	1,509,618	3,417,378	15,772,940	30,350	93,405	190,443	485,555
1935	645,964	7,007,870	961,159	6,534,323	483,409	3,083,091	2,508,739	20,272,416	22,650	129,841	369,138	1,795,367
1936	384,173	4,616,453	1,269,851	8,779,563	374,083	3,304,996	3,073,330	22,702,284	20,300	47,582	466,132	2,192,136
1937	407,355	4,281,895	587,088	4,664,288	94,006	4,304,851	911,097	14,952,989	13,681	68,374	148,015	720,929
1938	58,017	804,087	16,991	160,722	207,291	2,086,920	1,820,546	14,013,570	7,670	46,352	11,115	52,466
1939	544,994	8,596,369	28,648	284,887	638,297	7,801,203	1,953,043	20,520,865	299,954	3,103,264	406,142	2,672,365
1940	78,200	1,511,046	1,062,491	8,645,482	112,397	1,538,961	1,040,350	15,128,503	231,400	2,759,897	232,428	1,792,718
1941		5,792,000	33	366,000			1,637,184	19,453,000	20,720		394,750	3,233,000
1942	95,960	2,225,101	857	3,815			911,450	11,020,000	414,260	3,331,000	54,890	463,000
1943	55,300	1,204,496	28,796				840,710	10,634,000	178,060	1,824,000	866,280	8,454,000
1944	28,780	699,000	1,672					14,552,000	1,331,489		2,316,426	19,651,000
1945							3,314,900	1,149,000	13,201,800	2,168,000	43,207,900	7,481,000
1946												
1947	120,000	139,230					1,400	36,345	27,600	694,873		
	砂 糖 Sugar		葉 煙 草 Leaf Tobacco		革 類 Leathers		揮 發 油 Gasoline Oil		燈 油 Lamp Oil		機 油 Lubricating Oil	
	數量 Quantity	價 格 Value	數量 Quantity	價 格 Value	數量 Quantity	價 格 Value	數量 Quantity	價 格 Value	數量 Quantity	價 格 Value	數量 Quantity	價 格 Value
1920	142,913	4,267,441	3,502,648	1,655,604	307,916	644,134			10,141,684	7,926,203	5,449,563	1,012,363
1921	197,872	4,453,857	2,993,416	1,700,187	417,661	545,353			6,696,881	4,334,144	4,368,948	719,350
1922	318,512	4,349,042	2,268,897	2,656,442	369,297	415,514	886,064	794,714	6,735,405	3,584,997	9,790,732	1,134,774
1923	366,614	4,995,261	1,228,114	585,939	446,670	616,043	1,074,394	1,062,832	9,719,360	4,171,170	5,557,510	772,264
1924	518,318	6,796,927	4,878,905	2,467,286	581,656	896,406	1,653,906	1,465,764	8,913,138	3,859,603	7,698,045	1,044,923
1925	490,619	5,870,184	3,180,492	2,916,388	587,939	911,763	1,895,777	1,707,672	11,626,057	5,048,638	7,343,369	959,993
1926	473,341	5,195,874	12,188,990	5,724,941	643,088	1,089,264	1,909,167	1,586,130	7,975,087	3,784,868	10,393,325	1,170,692
1927	687,425	7,735,816	14,172,574	5,203,048	553,584	988,376	2,333,379	1,612,896	12,367,059	5,898,442	12,104,583	1,331,426
1928	796,260	8,701,297	10,062,653	4,145,213	534,784	844,040	3,179,757	2,147,872	7,956,502	4,284,348	13,952,894	1,620,396
1929	880,255	9,285,299	5,842,044	2,170,291	441,404	692,226	5,911,076	3,343,505	13,517,416	5,795,805	16,027,886	1,838,205
1930	809,978	7,367,112	3,623,607	2,353,450	432,198	674,282	5,911,405	3,379,783	5,864,392	2,791,693	16,582,037	1,922,918
1931	654,201	5,640,560	4,574,916	1,463,760	470,083	594,845	8,308,074	3,889,056	6,815,315	2,817,077	17,377,071	1,749,209
1932	781,650	7,645,285	2,911,343	1,105,801	531,868	664,272	9,584,778	4,507,476	11,174,069	4,879,102	20,494,481	1,897,356
1933	667,395	5,851,982	826,324	408,819	805,352	986,539	11,294,734	5,464,590	5,787,829	3,015,974	22,770,710	2,338,909
1934	699,693	6,315,261			1,515,894	1,630,364	15,572,039	6,908,316	11,768,141	6,069,511	27,741,271	
1935	855,968	7,581,397			4,654,331	2,854,876						
1936	1,104,638	9,046,159	12,400,118	5,698,432	2,732,759	1,978,204						
1937	1,109,729	9,894,737	8,148,090	4,593,475	2,232,068	2,563,302						
1938	926,084	10,502,147	1,511,670	1,539,019	1,066,883	2,059,346	468,908	5,262,092	353,010	5,565,528	20,571,761	4,307,871
1939	957,601	12,084,662	38,626	18,202	596,493	1,375,774	302,182	3,710,417	388,906	5,847,385	25,462,809	6,034,314
1940	937,110	12,952,651	197,348	167,793	907,466	1,509,289	379,241	4,522,395	366,408	5,943,157	15,275,284	4,239,777
1941	621,886	8,813,927	281,843	203,430								
1942	673,382	10,080,843	353,455	281,112								
1943												
1944												
1945												
1946	47,900	5,911,140										
1947	143,500	25,892,955			890	3,144,590						

# 入 品 表 (其一)

## Imported (Korea) (I)

In Won

大豆 Soy Bean		小豆 Red & White Bean		小麦粉 Wheat Flours		生果 Fresh Fruits		盐 Salt		芝麻子 Sesame Seeds	
数量 Quantity	價格 Value	数量 Quantity	價格 Value	数量 Quantity	價格 Value	数量 Quantity	價格 Value	数量 Quantity	價格 Value	数量 Quantity	價格 Value
34,480	249,240	25,431	762,917	263,117	3,748,968	11,874,471	1,065,528	1,738,060	1,362,940	13,440	213,746
26,497	141,438	24,972	312,240	191,070	2,052,774	12,015,362	1,044,640	1,863,409	1,231,482	46,617	523,132
253,066	1,340,582	130,920	785,059	227,164	2,337,729	13,965,683	1,114,189	1,980,761	1,403,787	46,946	547,419
581,883	2,868,483	240,999	1,418,136	294,318	2,981,367	13,998,782	1,188,874	2,927,535	2,465,919	48,701	526,072
153,371	1,016,461	193,072	1,434,778	455,354	4,900,612	16,469,601	1,586,613	2,629,442	2,549,988	32,690	402,515
190 816	1,021,040	219,458	1,827,350	483 020	6,655,705	18,246,663	1,824,742	2,566,654	2,587,293	40,226	637,468
370 360	1,887,779	243,852	1,501,684	509 319	6,432,678	22,818,469	2,199,404	2,900,426	2,754,255	53,330	747,489
708 996	3,329,234	326,960	1,685,848	520 301	6,196,427	22,369,096	2,285,931	2,776,441	2,381,548	41,596	551,635
616 925	2,970,310	205,041	1,322,666	604 085	6,873,825	23,164,450	2,431,066	2,712,416	2,133,164	65,882	892,651
428 627	1,812,370	267,550	1,850,557	641 862	6,911,346	23,857,397	2,377,170	2,270,665	1,465,372	64,579	782,146
958 970	2,429,283	311,422	1,701,224	620,720	5,878,711	23,266,032	2,043,800	2,224,714	1,245,936	69,111	748,753
459 135	1,814,247	303,349	796,480	507,962	3,804,028	26,378,307	2,057,102	2,834,894	1,437,107	90,699	780,995
501 507	2,736,942	261,135	1,129,255	450,403	3,774,416	34,806,747	2,516,395	3,679,137	2,294,972	57,996	642,628
838 322	3,460,033	193,458	1,241,532	422,649	4,226,649	36,071,645	2,677,291	3,205,966	2,769,704	91,733	936,606
480 656	11,769,809	249,818	1,160,903	581,826	5,405,728	44,406,511	3,234,675	2,588,555	2,560,598	94,948	858,805
865 339	5,086,286	222,417	1,340,686	1,144 897	10,952,949	67,033,090	4,800,446	2,660,925	2,681,771	110,377	1,369,597
1,707,776	2,610,138	272,490	1,944,198	685 581	7,832,068	73,937,290	5,575,461	2,401,032	2,247,162	120,286	1,622,782
858 649	5,404,616	289,293	2,126,504	443 216	5,938,682	67,424,525	5,964,685	2,421,127	2,487,987	101,865	1,561,943
1,427,039	11,475,198	121,728	839,367	438 979	5,982,630	16,254,461	1,636,125	2,508,118	3,136,238	71,095	1,355,242
1,863 110	22,709,814	269,256	3,042,634	515 300	7,903,303	25,949,649	3,609,666	2,354,133	2,984,015	66,177	1,584,534
819 043	9,591,000	97,341	1,704,465	283 166	5,550,022	57,745,958	9,342,807	1,206,331	2,179,060	72,786	2,191,682
965 780	12,132,000	7,890	84,000	388 902	8,054,234	—	16,752,000	—	5,893,000	—	—
1,358 240	19,371,000	370,700	4,688,000	362 997	7,177,816	—	12,811,000	3,279,190	7,465,000	—	—
—	11,133,000	71,360	926,000	—	—	—	13,043,000	4,473,500	16,770,000	—	—
—	—	—	—	—	—	—	11,878,000	—	11,722,000	—	—
149,051	3,602,000	118 200	26 000	—	—	—	—	44,148,700	4,379,000	—	—
49 000	1,178,550	810 000	268 420	—	—	—	—	75 300	315 925	68,700	2,735,341
300	12,500	—	—	1,900	95,304	—	—	4,725,200	52,755,690	52,000	7,139,986
石 鹼 Soap		苛性曹達 Caustic Soda		燐 Match		棉 打 Cotton, Ginned		打 棉 Cotton, Wadding		棉 織 絲 Cotton Yarns	
数量 Quantity	價格 Value	数量 Quantity	價格 Value	数量 Quantity	價格 Value	数量 Quantity	價格 Value	数量 Quantity	價格 Value	数量 Quantity	價格 Value
632,452	518,662	928,834	124,374	1,722 369	1,051,318	4,964	262,815	14 130	1,066,473	27,741	3,247,329
936,635	636,178	2,058,901	251,027	1,863 928	1,235,422	14,788	562,376	29 669	1,768,664	56,392	3,873,909
882,797	613,815	2,319,697	318,632	2,285 144	1,190,189	33,322	1,688,100	30 965	1,941,677	39,251	3,003,694
966,142	661,442	2,231,216	331,240	299 613	1,490,170	45,823	2,511,029	31 297	1,949,541	42,175	3,604,528
1,229,466	975,122	2,853,806	393,389	324,355	1,610,445	5,875	406,666	28 017	1,948,091	62,984	6,506,032
1,290,138	1,119,879	2,825,575	417,715	346,806	1,688 066	34,325	1,780,793	29,457	2,085,534	76,059	8,485,142
1,432,531	1,149,299	3,301,737	468,583	360,953	1,695 438	51,412	2,998,622	32,922	2,013,841	92,742	8,448,265
1,597,321	1,151,897	3,805,565	520,635	326,296	1,548 677	77,648	4,014,912	42,505	2,400,753	77,985	6,495,213
2,031,168	1,389,701	5,046,208	723,866	362,956	1,895,470	75,669	4,311,175	39,150	2,196,849	79,772	7,166,712
2,432,241	1,389,328	5,628,252	740,431	383,542	1,690 017	100,121	5,048,134	58,741	2,174,160	75,843	6,718,743
2,306,867	1,251,058	7,104,169	901,763	324,189	1,352 269	115,450	3,768,742	36 012	1,734,818	83,608	5,227,158
2,331,396	1,104,818	8,512,287	820,725	363 094	1,312 474	141,121	3,362,422	38 482	1,319,435	79,965	4,294,007
4,256,956	1,512,198	5,232,749	570,935	422 580	1,536 161	150,150	5,214,105	38 437	1,655,908	127,129	6,085,026
6,075,242	1,879,010	5,709,143	835,189	405 956	1,787 098	156,184	7,457,942	43 492	2,125,668	110,520	6,800,336
6,878,164	2,164,137	6,907,609	963,407	339 238	1,638,115	234,338	11,473,532	51,702	2,642,280	—	—
9,213,389	2,992,620	6,871,345	935,037	390,539	2,024,972	291,983	14,335,556	46,292	2,489,181	—	—
10,719,120	2,792,285	6,523,530	678,461	326,753	1,822,809	445,374	22,755,978	48 388	2,546,134	74,126	6,028,354
13,786,946	3,342,063	7,525,087	931,662	265,237	1,831,717	540,412	32,861,374	39 126	2,120,311	40,777	3,864,795
19,193,350	4,466,769	110,484	1,665,167	183,540	1,552,756	464,755	20,709,072	24 048	1,556,928	19,287	1,826,459
20,747,032	5,159,097	147,622	2,037,263	181,853	1,475,121	257,582	10,406,151	5 558	445,584	2,443	305,311
14,437,278	3,974,936	119,653	2,016,747	133 763	1,031,851	189,006	9,221,141	1 623	150,620	3 254	467,115
4,579,969	2,108,245	—	—	93 939	877,467	5,101	309,420	724	68,510	4 595	680,754
1,569,841	627,449	—	—	1,741,172	1,035,838	139	11,774	3 303	261,398	2,938	498,915
607,000	235,000	—	—	774 000	817,000	—	—	—	—	—	—
36,000	19,000	—	—	425 000	425,000	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5,000	112,350	64,334	1,350,430	584	63,093	—	—	—	—	341	394,853
253,300	20,492,328	2,576	420 576	33,361	11,792,871	408,400	76,409,111	—	—	8,031	6,027,260

(60) 重 要 輸

單位=圓 (Continued)

Details of Principal Commodities

年 度	棉 織 絲 Cotton Thread		棉 網 絲 Cotton Netting Thread		毛 織 絲 Worsted		棉 絨 Cotton Flannels		綉 緞 及 綉 子 Damasks & Satins		羽 二 重 Habutae	
	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value
1920	20,418	45,310	263,823	439,270	—	—	559,121	339,305	122,958	347,005	—	—
1921	881,031	1,001,602	410,993	426,917	—	—	1,123,418	478,112	133,796	164,068	—	—
1922	540,795	617,161	547,688	508,450	—	—	1,149,822	451,719	98,096	172,542	—	—
1923	521,725	614,466	450,514	460,822	—	—	1,414,687	511,320	269,407	550,331	—	—
1924	617,831	905,028	510,832	625,558	—	—	1,361,753	598,236	582,435	1,488,070	173,015	477,728
1925	953,909	1,353,525	439,100	590,037	114,822	419,314	1,450,600	634,498	921,051	2,195,055	415,963	1,009,838
1926	1,050,967	1,344,534	409,612	465,607	164,594	562,757	2,078,890	660,024	887,704	1,997,406	407,662	798,148
1927	915,423	1,144,188	484,006	490,179	212,140	536,387	2,538,280	745,320	918,219	1,790,723	631,581	930,608
1928	1,221,042	1,443,505	793,844	737,143	221,015	541,962	3,460,405	999,170	477,206	1,001,228	585,403	849,425
1929	2,347,702	2,224,274	947,207	906,702	171,521	415,795	3,443,729	963,145	394,563	840,898	608,206	864,231
1930	2,078,415	1,744,232	831,558	696,027	175,939	388,486	4,274,233	858,950	373,389	616,360	778,637	814,465
1931	1,792,087	979,139	620,732	387,617	219,709	414,985	4,345,470	782,340	396,165	491,026	738,065	725,033
1932	1,357,278	1,112,378	656,253	450,148	309,222	617,640	5,039,915	1,32,642	501,542	574,398	1,078,877	968,535
1933	1,414,714	1,276,046	713,439	549,599	397,117	1,142,820	5,940,371	1,640,406	470,360	664,660	1,120,256	1,143,672
1934	1,797,721	1,830,636	827,241	624,078	626,141	1,495,231	8,973,329	2,468,681	953,531	1,298,135	1,968,393	1,881,335
1935	1,868,774	1,947,008	907,743	675,709	745,973	1,804,499	9,472,780	2,458,345	1,079,042	1,438,936	2,151,384	1,921,993
1936	1,573,071	1,088,298	663,375	505,756	774,376	2,173,732	11,055,567	2,955,513	1,013,852	1,481,652	2,316,387	2,063,205
1937	1,555,114	1,562,115	730,948	639,542	456,845	1,397,837	11,533,964	3,508,790	1,244,806	1,977,511	2,082,834	1,999,800
1938	2,267,874	2,975,380	373,148	382,221	635,364	2,575,923	5,423,026	2,291,402	2,361,277	3,261,541	3,345,744	3,024,087
1939	1,469,758	2,111,926	285,878	366,314	270,371	990,244	4,968,604	3,460,939	5,447,438	11,447,217	5,971,367	6,746,804
1940	1,282,327	2,673,379	269,105	296,516	442,582	1,820,797	1,037,989	751,517	5,566,499	16,901,192	4,421,593	6,516,583
1941	965,642	2,067,889	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1942	1,186,467	2,465,932	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1943	926,000	1,890,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1944	107,000	277,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1945	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1946	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1947	—	—	—	—	2,658kg	9,700,971	—	—	—	—	—	—

年 度	紙 Liners		鐵 鋼 板 Iron & Steel Plate		鐵 鋼 (條及竿) Iron & Steel (Bars & R.)		鐵 鋼 (線) Iron & Steel (Wire)		鐵 鋼 (筒及管) Iron & Steel (Pipe & T.)		鐵 道 車 輛 部 分 品 Railway Carriages & Parts	
	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value
1920	—	4,542,182	16,666	265,102	80,080	1,257,601	19,687	427,892	14,749	402,558	—	726,880
1921	—	5,178,142	34,240	355,561	159,375	1,579,299	15,715	268,746	24,224	457,673	—	296,489
1922	—	5,476,991	50,516	481,721	187,403	1,606,505	25,321	320,796	50,480	660,277	—	458,627
1923	—	5,245,018	50,859	606,453	222,019	2,074,548	39,827	673,891	73,987	907,928	—	415,561
1924	—	6,340,113	40,737	492,893	180,197	1,785,432	28,910	492,360	49,540	755,270	—	362,656
1925	—	6,486,867	37,959	438,804	170,069	1,603,059	33,242	534,546	40,318	620,298	—	141,368
1926	—	7,003,493	75,522	778,817	273,472	2,355,520	51,981	657,771	37,414	582,632	—	470,183
1927	—	7,287,931	99,946	935,399	447,019	3,509,244	74,800	829,592	86,235	1,261,401	—	810,787
1928	—	8,124,005	145,425	1,464,768	505,760	4,281,288	85,777	957,292	301,757	3,813,742	—	1,016,565
1929	—	7,671,742	173,818	1,476,845	603,540	5,094,009	93,419	974,913	219,311	3,216,381	—	1,355,391
1930	—	6,928,875	220,096	1,688,957	522,426	4,292,681	87,612	895,885	156,092	2,020,534	—	504,714
1931	—	5,816,832	151,261	1,050,134	451,807	2,840,308	109,017	933,075	108,692	1,180,855	—	423,572
1932	—	6,878,141	129,411	1,070,843	585,925	3,774,760	104,789	992,219	150,868	1,728,452	—	529,185
1933	—	8,619,513	143,333	1,496,031	753,335	5,559,555	126,383	1,490,426	125,005	1,963,071	—	3,686,028
1934	—	—	198,757	2,085,141	1,006,811	7,581,125	159,764	1,712,275	162,580	2,755,956	—	1,881,738
1935	—	—	258,333	2,065,058	—	—	—	—	—	—	—	2,793,580
1936	—	13,970,026	275,943	3,789,542	—	—	—	—	—	—	—	4,960,736
1937	—	17,451,942	260,950	3,397,506	—	—	—	—	—	—	—	4,454,537
1938	—	22,774,618	456,542	7,832,311	1,840,560	30,128,040	275,795	4,383,704	418,225	10,061,367	—	11,131,076
1939	—	23,195,322	574,183	10,252,750	2,467,213	43,978,635	219,670	4,654,453	529,570	13,457,544	—	18,728,063
1940	—	26,157,973	601,182	10,260,411	1,765,750	31,323,892	190,956	4,138,718	525,111	14,399,541	—	26,158,790
1941	—	28,996,574	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1942	—	24,319,319	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1943	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1944	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1945	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1946	—	—	1,400	6,000	—	—	—	—	—	—	—	—
1947	3,868,226kg	352,060,564	—	—	—	—	3,000kg	240,000	100kg	286,625	—	—

入 品 表 (其二)  
Imported (Korea) (II)

In Won

粗 布 (生巾巾) Shirting, Gray		生 細 布 Gray Sheeting		西 白 地 Shirting & Sheatings		石 炭 Coal		水 泥 Cement		板 Plate or Sheet Glass	
數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value
38,997,418	17,006,191			8,293,843	3,610,189	822,891	17,016,492	519,209	1,699,194	22,543	465,749
86,661,653	25,411,297			23,833,131	6,352,442	665,455	8,767,363	905,465	2,031,007	40,249	576,416
61,603,144	16,428,241			16,336,733	5,241,191	658,880	7,978,768	1,023,061	2,425,563	47,006	562,366
60,331,857	15,413,415			18,353,989	5,534,608	812,409	9,599,643	1,576,800	4,147,483	49,470	621,757
67,551,464	20,486,888			19,070,801	6,552,957	690,402	8,056,440	679,367	613,651	48,684	631,564
65,054,894	21,600,862			17,386,115	6,111,505	672,818	7,678,358	683,993	1,485,919	38,881	477,104
53,066,959	15,276,994	19,265,678	5,068,692	11,577,287	3,540,528	742,286	8,557,790	1,171,070	2,484,524	50,985	560,826
53,288,039	11,316,024	18,951,770	4,063,867	12,824,740	3,370,986	933,251	10,732,851	1,422,355	2,904,033	57,817	500,561
44,484,592	9,964,070	21,984,447	5,137,298	15,982,755	4,369,687	882,472	10,380,904	2,175,542	4,091,298	59,287	481,122
31,544,340	7,542,853	19,589,935	4,336,286	12,377,547	3,274,018	894,285	10,237,316	1,763,566	3,223,854	79,125	651,839
32,290,119	5,832,028	29,427,722	4,579,834	14,967,689	3,167,173	935,662	10,347,113	1,802,365	2,693,212	68,721	532,789
30,267,744	3,756,356	26,553,422	3,050,680	13,049,804	2,005,386	830,212	8,521,705	1,178,917	1,725,749	68,291	452,626
27,417,040	3,653,359	30,578,310	3,781,134	14,604,300	2,224,861	846,280	7,873,251	1,589,754	3,000,598	82,962	542,288
27,905,054	5,228,564	29,269,176	4,907,094	16,121,881	2,872,598	1,060,827	10,735,449	2,307,748	3,348,542	93,509	702,395
21,427,682	4,299,762	30,578,310	4,955,102	16,963,339	3,203,553	1,209,312	12,166,838	3,661,606	5,472,144		
144,244	19,404	20,988,514	3,764,137	21,161,848	4,141,507	1,367,062	14,504,556	3,571,390	4,916,413		
105,155	13,196	10,895,040	1,479,463	22,971,701	4,297,922	1,568,519	17,230,201	5,945,116	7,400,055		
133,630	28,079	6,280,815	1,114,372	24,192,189	5,151,380	1,649,008	20,316,701	3,788,844	4,917,135		
2,063,258	459,321	2,142,523	348,995	15,147,162	3,664,598	1,903,16	31,246,410	1,859,879	2,523,736		
1,053	562	264,945	112,852	2,694,658	1,150,799	1,974,53	40,184,488	3,563,741	5,826,708		
66,399	28,537	2,050	471	266,714	120,655	2,405,628	53,727,082	2,083,783	3,629,206		
						1,562,350	40,465,607	188,870	7,370,000		
						1,516,388	44,905,000	8,970	4,548,000	2,860	1,847,000
						1,622,487	41,132,000	11,500	6,134,000	2,280	2,058,000
						785,038	25,622,000				
							52,135,000				
										12,130	35,000
										47,012	16,681,680
						813,041				127,256	141,258,334
自動車及部品 Automobiles & Parts		自動車用電機及部品 Dynamo, Electric Motors & Parts Thereof		木 材 Wood		生 皮 Crude Indus. Rubber		硫 安 Ammonium Sulphate		其 他 肥 料 Other Manures	
數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value	數 量 Quantity	價 格 Value
	1,441,767		1,523,392		3,322,005						5,013,908
	430,321		1,824,692		7,955,857						6,542,763
	446,171		871,239		13,147,215					1,451,579	5,996,603
	753,059		689,540		10,406,243			10,236	120,433	1,840,474	8,172,850
	837,080		766,953		9,943,642			103,462	1,034,390	1,389,373	5,676,109
	585,758		353,301		8,089,541			249,030	3,610,157	1,278,084	7,320,997
	1,205,697		956,586		9,705,413			496,061	5,745,965	2,468,853	14,740,175
	1,858,684		574,394		10,635,117			541,956	5,073,070	2,336,582	13,369,855
	3,595,687		2,004,059		10,852,346	27,657	1,734,034	1,005,675	8,513,807	2,710,619	16,722,038
	5,966,290		1,985,059		8,871,798	23,117	1,580,224	1,342,645	10,689,381	3,062,673	20,865,357
	3,838,659		2,516,697		5,744,573	44,954	1,541,598	1,073,521	6,689,422	3,050,612	15,929,530
	3,583,849		1,025,646		4,879,934	49,569	994,294	545,941	2,698,711	2,373,453	6,259,162
	3,289,883		858,034		4,096,994	67,353	1,287,461	393,215	1,559,615	2,309,578	5,484,363
	4,818,221		1,104,861		6,135,575	78,465	2,123,834	387,907	2,244,479	2,899,461	8,553,935
	9,109,968		1,321,315					653,773	4,069,722		
	2,041,086		3,985,979					656,521	4,338,144		
	183		5,187,320		15,571,397	68,316	4,080,30	1,707,700	11,722,078	6,888,920	29,669,130
	8		8,223,972		18,045,728	7,428	6,672,918	1,331,197	7,467,774	4,943,937	20,262,490
	11,639,398		6,227,101		25,062,958	44,140	2,980,73	1,938,535	11,942,194	5,296,49	26,444,061
	16,950,991		13,511,402		40,968,074	20,298	1,701,647	1,195,940	7,345,681	3,315,571	19,102,535
	18,230,566		15,914,988		45,136,959			1,798,514	9,085,931		8,161,000
					37,762,375				3,146,000		7,441,000
					34,278,000				6,770,000		8,417,000
					12,927,000				3,959,000		27,515,000
					8,075,000						7,781,000
	9,250	711kg	33,450								
700,848kg	14,097,830		217,366		749,598	1,744,500kg	335,556,922				

(61) 南朝鮮國別輸出入品額高表  
Total Value of Foreign Trade by Countries in South Korea

In Won

		美 國 U. S. A.		中 國 China		日 本 Japan		香 港 Hongkong		其 他 Others		總 計 Total	
		輸 出 Exports											
		円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%
1946.	3 Mar.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	82,300	100.00
	4 Apr.	—	—	82,300	100.00	—	—	—	—	—	—	82,300	100.00
	5 May	—	—	1,455,822	100.00	—	—	—	—	—	—	1,455,822	100.00
	6 June	—	—	1,056,916	86.66	162,620	13.34	—	—	—	—	1,219,536	100.00
	7 July	—	—	1,340,810	28.41	3,378,200	71.59	—	—	—	—	4,719,010	100.00
	8 Aug.	—	—	1,344,000	47.70	1,473,039	52.30	—	—	—	—	2,817,039	100.00
	9 Sept.	—	—	3,611,373	100.00	—	—	—	—	—	—	3,611,373	100.00
	10 Oct.	—	—	2,791,145	42.31	3,810,890	57.69	—	—	—	—	6,605,035	100.00
	11 Nov.	—	—	13,948,076	99.64	49,950	0.36	—	—	—	—	13,998,026	100.00
	12 Dec.	—	—	13,229,845	100.00	—	—	—	—	—	—	13,229,845	100.00
年計	Y. Total	—	—	38,863,287	81.40	8,874,699	18.60	—	—	—	—	47,737,986	100.00
1947.	1 Jan.	—	—	14,950,300	100.00	—	—	—	—	—	—	14,950,300	100.00
	2 Feb.	—	—	8,383,250	100.00	—	—	—	—	—	—	8,383,250	100.00
	3 Mar.	—	—	3,632,200	100.00	—	—	—	—	—	—	3,632,200	100.00
	4 Apr.	—	—	10,956,463	100.00	—	—	—	—	—	—	10,956,463	100.00
	5 May	—	—	95,572,120	66.67	—	—	—	—	47,771,590	33.33	143,343,710	100.00
	6 June	—	—	20,740,130	14.40	—	—	69,006,000	47.84	54,467,500	37.76	144,213,630	100.00
	7 July	—	—	19,889,805	17.52	—	—	52,016,668	45.82	41,622,800	36.66	113,529,273	100.00
	8 Aug.	—	—	18,160,859	100.00	—	—	—	—	—	—	18,160,859	100.00
	9 Sept.	—	—	2,316,400	2.60	—	—	27,647,500	31.10	58,848,455	66.30	88,912,355	100.00
	10 Oct.	—	—	18,674,819	10.06	—	—	51,288,200	27.63	115,696,465	62.31	185,659,484	100.00
	11 Nov.	—	—	—	—	—	—	88,426,736	82.10	19,273,990	17.90	107,700,696	100.00
	12 Dec.	52,722,450	19.42	41,948,115	15.43	—	—	177,020,675	65.15	—	—	271,691,240	100.00
年計	Y. Total	52,722,450	4.77	255,224,461	22.96	—	—	465,405,749	41.88	337,780,800	30.39	1,111,133,460	100.00
		輸 入 Imports											
1946.	3 Mar.	—	—	901,097	100.00	—	—	—	—	—	—	901,097	100.00
	4 Apr.	—	—	1,985,479	97.42	52,400	2.58	—	—	—	—	2,037,879	100.00
	5 May	—	—	11,104,542	91.48	1,033,714	8.52	—	—	—	—	12,138,256	100.00
	6 June	—	—	10,179,442	98.87	115,800	1.13	—	—	—	—	10,295,242	100.00
	7 July	—	—	27,416,869	98.21	421,083	1.79	—	—	—	—	27,837,952	100.00
	8 Aug.	20,704	0.26	7,563,482	92.50	592,167	7.24	—	—	—	—	8,176,353	100.00
	9 Sept.	—	—	26,760,365	93.09	1,983,855	6.91	—	—	—	—	28,744,220	100.00
	10 Oct.	22,000	0.06	39,472,323	98.34	643,253	1.60	—	—	—	—	40,137,576	100.00
	11 Nov.	343,184	2.33	12,461,052	84.51	1,940,800	13.16	—	—	—	—	14,745,036	100.00
	12 Dec.	142,420	0.62	21,360,264	91.31	1,271,059	5.43	—	—	618,800	2.64	23,392,543	100.00
年計	Y. Total	528,308	0.33	159,204,915	94.53	8,054,131	4.70	—	—	618,800	0.36	168,406,154	100.00
1947.	1 Jan.	700,000	4.22	13,247,523	80.00	2,594,077	15.66	—	—	16,184	0.12	16,557,784	100.00
	2 Feb.	269,200	1.48	17,033,177	92.74	1,062,550	5.78	—	—	—	—	18,364,977	100.00
	3 Mar.	2,653,545	7.89	28,521,108	84.84	2,439,064	7.27	—	—	—	—	33,613,717	100.00
	4 Apr.	1,691,875	1.77	90,401,978	94.92	714,940	0.77	—	—	2,427,000	2.54	95,235,888	100.00
	5 May	5,900,649	5.29	57,254,185	51.29	753,272	0.67	—	—	47,728,363	42.75	111,636,469	100.00
	6 June	32,354,130	11.80	105,383,650	38.44	378,500	0.16	17,909,410	6.53	118,059,598	43.07	274,085,238	100.00
	7 July	9,354,653	25.36	27,275,385	73.94	255,000	0.69	—	—	—	—	36,885,038	100.00
	8 Aug.	11,264,305	39.16	17,353,614	60.33	143,170	0.51	—	—	—	—	28,761,089	100.00
	9 Sept.	22,429,670	9.53	56,680,940	24.09	988,480	0.42	837,900	0.36	154,353,556	65.60	235,290,546	100.00
	10 Oct.	133,145,485	25.22	101,515,033	19.23	846,282	0.17	57,518,426	10.89	234,842,206	44.49	527,867,432	100.00
	11 Nov.	32,595,204	7.04	105,860,140	22.86	103,200	0.02	38,280,172	8.27	286,284,957	61.81	463,123,673	100.00
	12 Dec.	16,195,353	6.56	51,753,119	20.97	83,464	0.05	33,510,146	13.58	145,161,223	58.84	246,703,305	100.00
年計	Y. Total	268,554,119	12.84	672,279,852	32.23	10,361,999	0.49	148,056,054	7.09	988,873,182	47.35	2,088,125,206	100.00

1) 資料—財務部稅關局

2) 本統計는民間貿易에限한것임

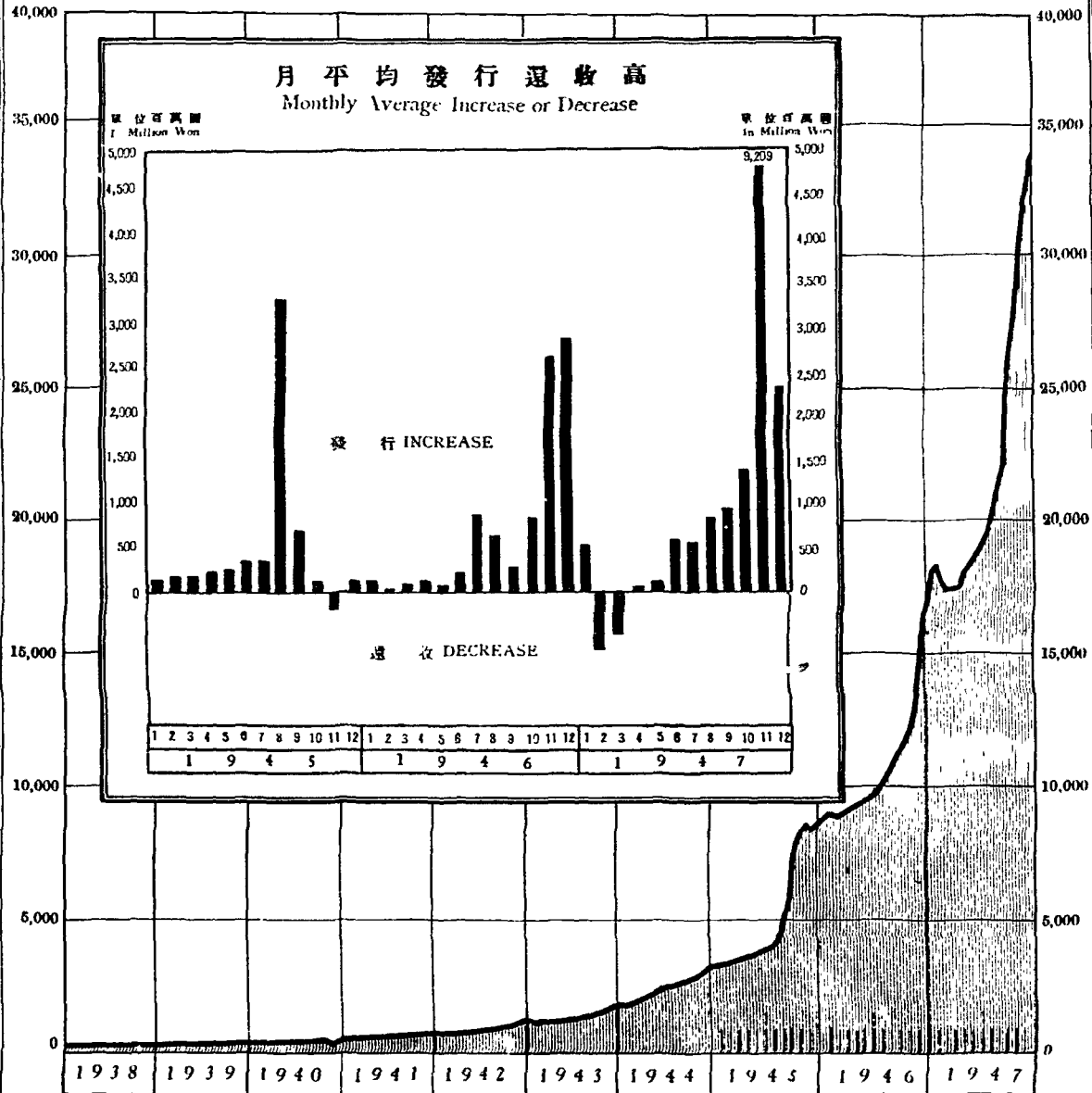
1) Source:—Bureau of Customs, Dept. of Finance.

2) Figures show those of Civilian Trade only.

(62) 朝鮮銀行券流通高  
CHOSUN BANK NOTES IN CIRCULATION

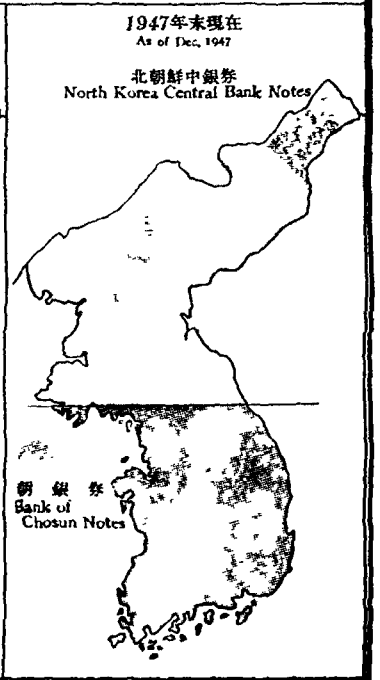
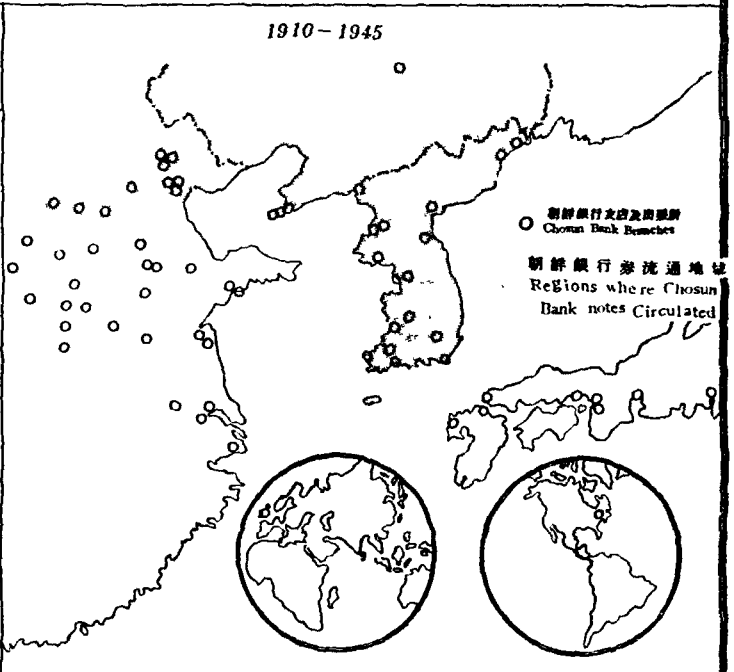
單位百萬圓  
In Million Won

單位百萬圓  
In Million Won

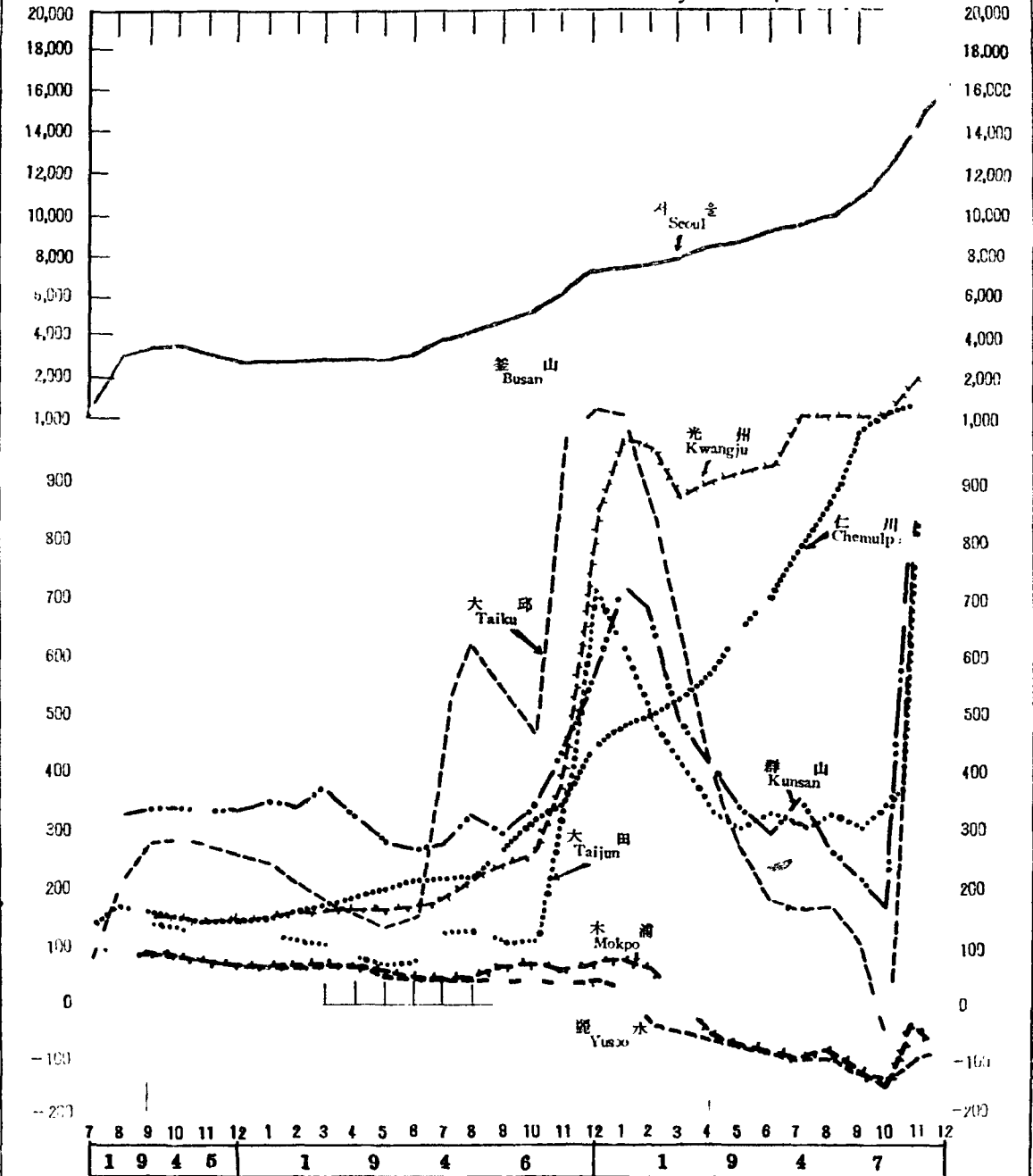




(63) 朝鮮內流通貨幣沿革圖  
Illustration of Monetary Circulation History in Korea



單位(64)朝鮮銀行券都市別發行還收趨勢  
 In Million Won Chosun Bank Notes : Increase or Decrease by Principal Cities

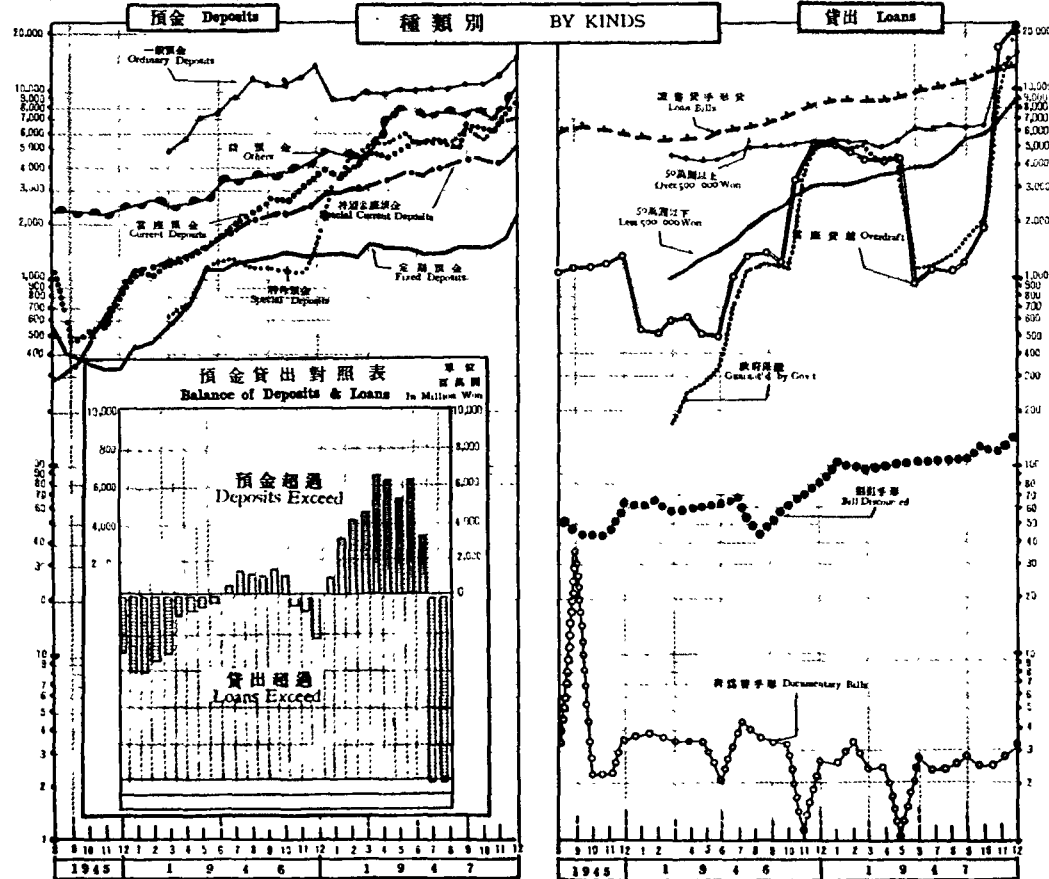
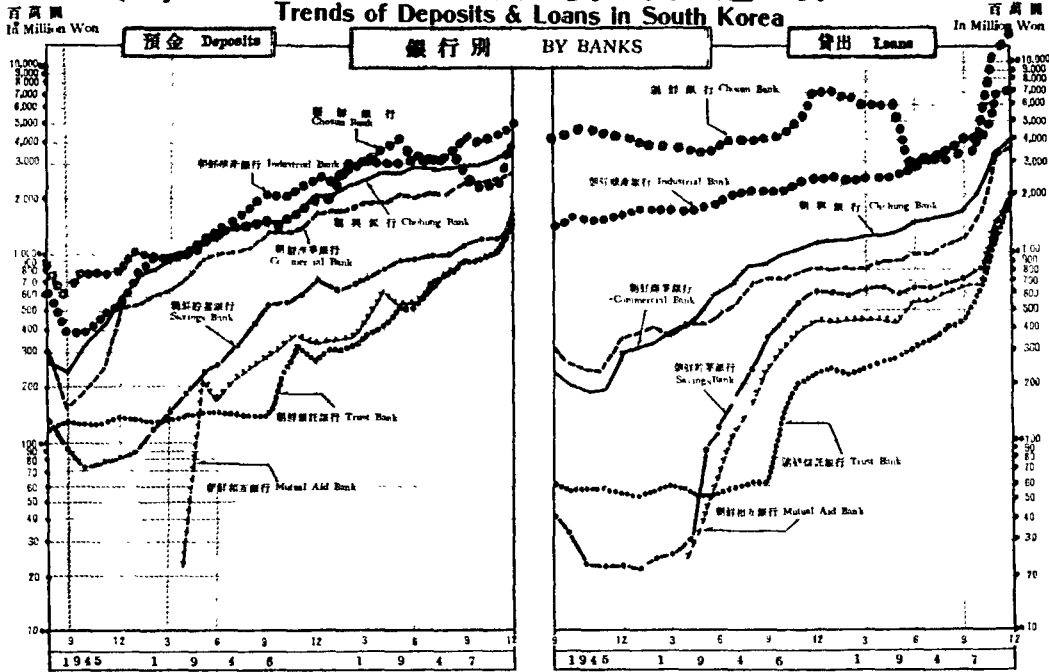


季節資金期間  
 Period of Seasonal Funds

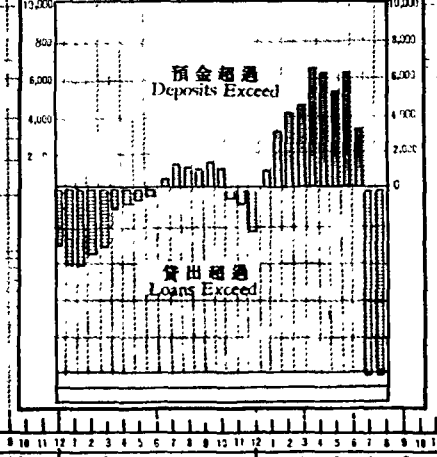
豆穀 Summer Harvest      米穀 Grains Spring Harvest      米穀 Grains  
 烟草 Tobaccos Summer Harvest      人蔘 Ginsen Autumn Cocoon  
 秋蔘 Ginsen      水產 Fishery      人蔘 Ginsen  
 棉花 Cotton      棉花 Cotton

# (65) 南朝鮮預金貸出趨勢

## Trends of Deposits & Loans in South Korea



預金貸出對照表  
Balance of Deposits & Loans In Million Won



## (66) 朝鮮銀行券發行高

## Chosun Bank : Note Issued

In 1,000 Won

	月末發行高 End of Month	對前月增減率 Comp. with Previous M.	年 Year	最 Highest	最 Lowest	平 Average	年末發行高 End of Year	對前年增減率 Comp. with Prev. Year	銀行券人口 一人當 Amt. of Issu Per a Korea
	千円	%					千円	%	千円 PWo
1943.7 July	892,156	3.16	1902				626	—	
8 Aug	933,499	4.63	1903				870	38.97	
9 Sept.	935,958	6.69	1904				3,372	237.53	
10 Oct.	1,084,061	8.84							
11 Nov	1,236,502	14.06	1905				8,125	140.85	
12 Dec	1,466,776	18.62	1906				9,224	13.52	
1944.1 Jan.	1,476,929	0.69	1907				12,805	38.82	
2 Feb.	1,525,165	3.26	1908				10,385	△ 18.80	
3 Mar.	1,572,334	3.09	1909				13,439	29.40	
4 Apr.	1,624,228	3.29	1910	20,164	12,844	14,764	20,164	50.04	1.514
5 May	1,674,821	3.11							
6 June	1,817,302	8.50	1911	27,152	18,228	22,485	25,007	24.01	1.779
7 July	1,913,949	5.31	1912	27,595	22,246	25,208	25,551	2.17	1.723
8 Aug.	2,062,034	7.73	1913	26,804	19,107	20,811	25,694	0.55	1.226
9 Sept.	2,256,058	9.40	1914	25,693	17,750	20,539	21,850	△ 14.97	1.371
10 Oct.	2,445,970	8.41	1915	34,388	20,668	24,069	34,387	57.37	2.112
11 Nov	2,690,850	10.01	1916	46,847	27,219	32,152	46,627	35.59	2.801
12 Dec	3,135,692	16.53	1917	63,110	36,323	44,848	67,364	44.47	2.970
1945.1 Jan.	3,245,558	3.50	1918	115,524	59,067	71,905	115,523	71.49	6.773
2 Feb.	3,410,369	5.07	1919	163,838	85,493	111,071	163,600	41.61	9.539
3 Mar.	3,574,418	4.31							
4 Apr.	3,793,946	6.28	1920	160,978	90,573	117,449	114,034	△ 30.30	6.596
5 May	4,049,834	6.60	1921	137,859	94,466	105,275	105,275	19.57	7.813
6 June	4,376,970	8.07	1922	133,988	81,150	93,931	100,544	△ 26.27	5.704
7 July	4,698,220	7.32	1923	110,310	75,019	86,111	110,233	9.63	6.163
8 Aug.	7,937,991	70.01	1924	130,637	74,219	91,512	129,117	17.13	7.146
9 Sept.	8,680,193	8.66	1925	122,168	73,780	94,472	120,540	△ 6.65	6.339
10 Oct.	8,797,893	1.35							
11 Nov	8,625,868	△ 1.96	1926	120,541	66,231	85,497	110,936	△ 7.97	5.806
12 Dec	8,763,341	1.59	1927	138,267	73,026	93,687	124,527	12.25	5.984
1946.1 Jan	8,904,695	1.61	1928	135,095	86,918	104,460	132,444	6.35	6.625
2 Feb.	8,833,633	△ 0.24	1929	132,444	83,046	100,621	118,701	△ 10.38	6.140
3 Mar.	9,079,825	2.20	1930	118,702	67,279	84,179	90,615	△ 23.67	4.473
4 Apr.	9,196,431	1.28	1931	107,394	64,436	77,278	100,909	11.36	4.974
5 May	9,220,952	0.26							
6 June	9,422,299	2.13	1932	131,577	62,410	82,602	124,622	23.49	6.049
7 July	10,332,760	9.66	1933	155,219	98,831	112,442	148,175	18.89	7.126
8 Aug.	10,961,993	6.08	1934	199,305	114,548	136,741	192,457	29.88	9.110
9 Sept.	11,341,357	3.46	1935	229,835	132,357	160,940	220,776	14.71	10.085
10 Oct.	12,197,704	7.55	1936	219,475	137,090	167,329	210,654	△ 4.58	9.549
11 Nov	14,880,993	21.99	1937	291,305	140,415	183,906	279,507	32.68	12.502
12 Dec	17,710,623	19.01	1938	334,280	243,415	264,489	321,978	15.19	14.225
1947.1 Jan.	18,277,613	3.20	1939	455,399	270,057	309,854	443,937	37.89	19.472
2 Feb.	17,689,196	△ 3.22	1940	593,931	405,270	442,638	580,534	30.75	24.485
3 Mar.	17,193,620	△ 2.78							
4 Apr.	17,239,535	0.23	1941	754,046	477,169	542,407	741,637	27.74	30.019
5 May	17,417,703	1.03	1942	922,813	634,340	696,780	908,646	22.52	34.446
6 June	18,035,600	3.54	1943	1,471,740	811,387	942,158	1,466,777	61.42	
7 July	18,637,735	3.33	1944	3,136,093	1,419,573	1,931,451	3,135,692	113.78	
8 Aug.	19,496,514	4.60	1945	8,801,143	3,117,135	5,530,934	8,763,341	179.47	
9 Sept.	20,444,924	4.86							
10 Oct.	21,803,701	6.64	1946	17,710,623	8,763,341	10,623,826	17,710,623	102.09	721.444
11 Nov	31,012,305	42.23	1947	33,388,164	17,124,684		33,388,164	88.52	1,442.875
12 Dec	33,388,164	7.66							

1) 銀行券은 1909年10月末以前은 第一銀行 1911年7月  
末以前은 韓國銀行、1911年8月以後은 朝鮮銀行發行  
한것임

2) 銀行券人口一人當은 其年末發行高을 其年度人口數  
로除한것임 1945年以後은 朝鮮銀行發行高에서 1945  
年10月30日南朝鮮外總發行高3,740,568千圓을 除外하  
고 南朝鮮人口數로除한것임

1) Bank Note had been issued before Oct. 31, 1909 in the name of Che-Il  
(First) Bank from Nov 1 1909 to July 31, 1911 in the name of  
Han-Guk (Korea) Bank and since Aug 1911 in the name of Chosun  
Bank

2) "Amount of Issue per Korean" show the sum of the note issued at  
the end of year divided by the population in that year. Since 1945,  
it shows that of Chosun Bank deducted 3,740,568,000 won, without South  
Korea on Oct. 30, 1945, from the total issued by the population of S. Korea.

(67) 通貨流通推定高  
Estimated Amount of Currency in Circulation in Korea

In Thousand Won

Table with columns: Chosun Bank Note (發行, 前記, 外記), Gold Coins, Sub-sidiary Coins, Small Bank-Note, Japan Bank Note, Ex-Han Guk Coins (新貨, 舊貨), Copper Coins, Total Amt. of Currency Circulated, and 前年可比增減 (Comp. with Prev. Year). Rows represent years from 1906 to 1947.

- 1) 金貨は金貨發行高에서銀行券發行準備充當額を控除中央銀行(1905年10月末以前第一銀行、1905年11月末以後は韓國銀行及朝鮮銀行)の現有高に  
2) 小額紙幣は1922年7月末以前は朝鮮銀行發行小額紙幣이고1932年以後は日本小額紙幣に  
3) 補助貨及小額紙幣は日本銀行の朝鮮國通貨高から日本으로의還送高を控除した額  
4) 舊韓國貨幣中の新貨は光武5年貨幣條例に依り發行高에서回收高及銀行券發行準備額を除外した流通高に 1911년부터回收하기始作하여用期間을1920年未까지로하고其後五年間은通貨로써交換回收하것을  
5) 舊韓國貨幣中の舊貨는1894年8月發布의新式貨幣章程(銀本位制)에依り發行한것임 1905年8月末流通推定額에서回收額을控除한것임 白銅貨는1903年11月末使用禁止하고、其他의通用期間을1920年未까지로하고 其後5年間은通貨로써交換回收하  
6) 銅錢은1905年6月末流通推定額 7,924千圓에서回收額을控除한것임

- 1) "Gold Coins" shows its holding amount in the Central Bank of Korea (before Oct. 1905, Che-Il Bank; beginning Nov. 1905, Han-Guk Bank and Chosun Bank) deducted its reserves for the bank-note issue from the issue of Gold Coins.  
2) The Small Bank-Notes had been issued by Chosun Bank till July 31, 1922, and has been issued by the Nippon Bank since 1932.  
3) "Subsidiary Coins" and "Small Bank-Note" show the amount balance between the transported from Nippon Bank and the returned to Japan.  
4) New Coins of the ex-Han-Kuk Coins were issued under the Imperial Ordinance, No. 4, the Money published in 1901.  
5) Old Coins of the ex-Han-Kuk Coins were issued under the New Money Act. proclaimed in Aug. 1894.  
6) Figures for Copper Coins show the balance between 7,924,000 Won, the estimated circulating amount at the end of June 1905, and the amount of Copper Coins withdrawn in the respective year.

(68) 朝鮮銀行券發行準備內譯  
Chosun Bank: Note Issue, Details of Reserves

In 1,000 Won

年 末 At the end of the Year	發 行 高 Notes Issued	正 貨 準 備 Reserves of Gold					保 證 準 備 Reserves of Securities					發 行 餘 力 △ Under or Over the Limit(△)
		金 貨 Gold Coins	金 地 金 Gold Bullion	銀 貨 及 銀 塊 Silver Bullion	日 本 銀 行 券 Bank of Japan Notes	計 Total	公 債 國 庫 券 Gov't Bond	政 府 證 券 Gov't Se. curities	證 券 Bond	商 業 手 形 Commer. cial Bills	計 Total	
1906	9,224	126	—	—	3,140	3,266	2,323	3,000	630	—	5,953	4,042
1907	12,805	161	786	—	3,635	4,582	3,290	4,000	933	—	8,223	1,779
1908	10,385	1,015	404	—	2,035	3,504	1,950	3,000	1,125	806	6,881	3,117
1909	13,439	1,521	—	—	3,525	5,046	2,393	6,000	—	—	8,393	11,606
1910	20,164	2,022	—	—	5,003	7,025	4,552	7,616	971	—	13,139	6,861
1911	25,007	1,979	2,000	—	4,353	8,837	8,437	4,711	2,163	859	16,170	13,330
1912	25,551	1,978	1,704	—	5,035	8,767	6,891	9,211	63	619	16,784	13,216
1913	25,694	1,973	1,464	—	5,486	8,923	6,305	7,500	—	2,966	16,771	13,229
1914	21,850	1,453	976	—	5,024	7,453	5,911	7,500	—	986	14,397	15,603
1915	34,337	1,457	781	—	9,362	11,600	9,511	7,500	—	6,776	22,787	7,213
1916	46,627	1,464	781	—	14,382	16,627	6,591	7,500	3,787	12,122	30,000	—
1917	67,364	1,491	2,746	—	24,550	28,787	4,915	7,500	10,129	16,033	33,577	△ 8,577
1918	115,523	1,490	2,746	—	43,685	47,921	27	5,500	10,660	51,415	67,602	△ 17,602
1919	163,600	1,495	24,731	—	39,643	65,869	3,995	5,500	7,600	80,636	97,731	△ 47,731
1920	114,034	18,641	6,668	—	33,793	64,102	3,378	5,500	7,390	33,754	49,932	68
1921	136,360	13,646	4,013	—	25,975	48,634	3,031	10,500	11,000	63,145	87,726	△ 37,726
1922	100,544	11,238	3,031	—	20,811	35,080	2,950	—	2,700	59,814	65,464	△ 15,464
1923	110,233	6,112	3,035	—	27,957	36,744	2,330	—	2,400	68,709	73,489	△ 23,489
1924	129,117	6,112	1,303	—	36,418	43,839	1,983	—	2,100	81,190	85,278	△ 35,278
1925	120,540	6,112	2,963	—	32,578	41,653	3,478	—	1,300	73,604	78,882	△ 28,882
1926	110,936	6,112	3,959	—	23,064	33,135	1,155	—	1,500	70,146	72,801	△ 22,801
1927	124,527	1,523	3,959	10,114	41,729	57,330	—	—	1,200	65,997	67,197	△ 17,197
1928	132,444	1,523	3,952	3,827	73,200	82,507	—	—	—	49,937	49,937	63
1929	113,701	1,523	3,952	5,294	50,453	61,227	—	—	—	57,474	57,474	△ 7,474
1930	53,615	1,549	8,284	8,378	22,406	41,117	—	—	—	49,493	49,493	502
1931	100,909	1,565	5,555	8,541	18,522	34,183	—	—	—	66,726	66,726	△ 16,726
1932	124,622	1,565	4,271	16,414	52,539	74,789	—	—	—	49,833	49,833	167
1933	148,175	1,565	4,383	18,476	74,329	98,753	—	—	—	49,422	49,422	578
1934	192,457	1,565	4,097	18,976	89,161	113,799	—	—	—	78,658	78,658	△ 28,658
1935	220,776	1,565	5,013	7,250	153,685	172,518	—	—	—	48,258	48,258	1,742
1936	210,654	1,565	5,556	6,927	109,221	123,269	—	—	—	87,385	87,385	△ 37,385
1937	279,502	—	2,551	3,949	162,236	163,786	—	—	—	110,716	110,716	△ 10,716
1938	321,978	—	1,131	3,360	195,803	200,299	—	—	—	121,679	121,679	△ 21,679
1939	443,937	—	2,760	3,080	229,336	235,176	98,000	—	—	110,811	208,811	△ 48,811
1940	580,534	—	8,917	2,772	278,711	290,400	98,000	—	—	192,134	290,134	△ 130,134
1941	741,607	211,700	4,748	2,436	36,871	255,755	—	—	—	485,852	485,852	—
1942	908,946	254,500	3,097	2,100	51,332	311,079	—	—	—	597,567	597,567	—
1943	1,466,777	173,100	2,619	1,764	53,993	231,476	—	—	—	1,235,301	1,235,301	—
1944	3,135,692	—	550	1,400	14,050	16,000	—	—	—	3,119,692	3,119,692	—
1945	8,763,341	—	3,000	1,036	464	4,500	252,000	4,645,200	—	3,861,641	8,753,341	—
1946	17,710,623	4,905,000	3,000	1,036	945,964	10,000,000	252,000	4,900,000	—	2,558,623	7,710,623	—
1947	33,388,164	25,550,000	2,800	1,036	946,164	26,500,000	252,000	4,900,000	—	1,736,164	6,888,164	—

1) 保證準備發行限度額은 1905年3月부러 1千萬圓、1909年11月부러 2千萬圓、1911年8月부러 3千萬圓、1918年3月부러 5千萬圓、1937年8月부러 1億圓、1939年5月부러 1億6千萬圓、1941年4月부러 6億3千萬圓、1942年4月부러 7億5千萬圓으로함  
 △ 制限外發行에 있어서는 國債證券、商業手形其他 確實한證券을保證으로하여 發行한수있으며 其 發行高에對해서는 年 5分以上의發行稅을納付함  
 1941年3月부러發行稅을年 3分以上으로改正함  
 2) 1931年12月부러特別許可外에는 朝鮮銀行券의金貨交換을하지못함  
 1938年8月부러金貨交換을全權하지못함  
 3) 日本銀行에의當座預置金으로써正貨準備으로함  
 4) 1946年3月부러政府貸上金으로써正貨準備으로함  
 5) 1946年6月부러는 日本銀行券計定殘高에依함

1) Amount of issue on reserves of securities was limited in amount of 10,000,000 Won from Mar. 1905, 20,000,000 Won from Nov. 1909, 30,000,000 Won from Aug. 1911, 50,000,000 Won from Mar. 1918, 100,000,000 Won from Aug. 1937, 160,000,000 Won from May 1939, 630,000,000 Won from Apr. 1941 and 750,000,000 Won from Apr. 1942.  
 △ In the issue of over limitation, the credible securities such as national or public bonds, commercial bills and others were securable. In such case, the tax of issue was paid 5% or more per annum. Since Mar. 1941 the tax was revised 3% or more per annum.  
 2) Beginning Dec. 1931 the exchange of Chosun Bank-Note and Gold Coins was prohibited, without getting special licence. Since Aug. 1938, that exchange was utterly prohibited.  
 3) The current deposits in the Nippon Bank were regarded as the specie reserves.  
 4) Since Mar. 1946 loans to Government were regarded as the specie reserves.  
 5) Since June 1946, Balance of Account of Japan Bank Note.

(69) 券面別發行高及同比率表  
Chosun Bank Note in Circulation, by Denominations

In 1,000 Won

Table with columns for denominations (100 Won, 10 Won, 5 Won, 1 Won, Small Bank-Note) and Total. Rows list years from 1911 to 1947 with monthly data for 1945, 1946, and 1947. Each entry includes values in thousands of Won and percentages.

1) 1902年 第一銀行券의 壹圓券、五圓券、拾圓券發行  
2) 1910年 韓國銀行券의 壹圓券發行  
3) 1910年 韓國銀行券五圓券、拾圓券發行  
4) 1914年 朝鮮最初의 大額券朝鮮銀行百圓券發行  
5) 1915年 朝鮮銀行券의 壹圓券、五圓券、拾圓券發行  
6) 五拾錢以下小額券은 1904, 5年露日戰爭當時 日本駐屯軍의 支拂에 便利케 하기 爲 하야 第一銀行에서 發行한 五拾錢、貳拾錢、拾錢의 三種類이며 戰後에는 回收 하야 1910年 3月末限通用을 禁止 하고 其後는 發行 殘高를 表示한

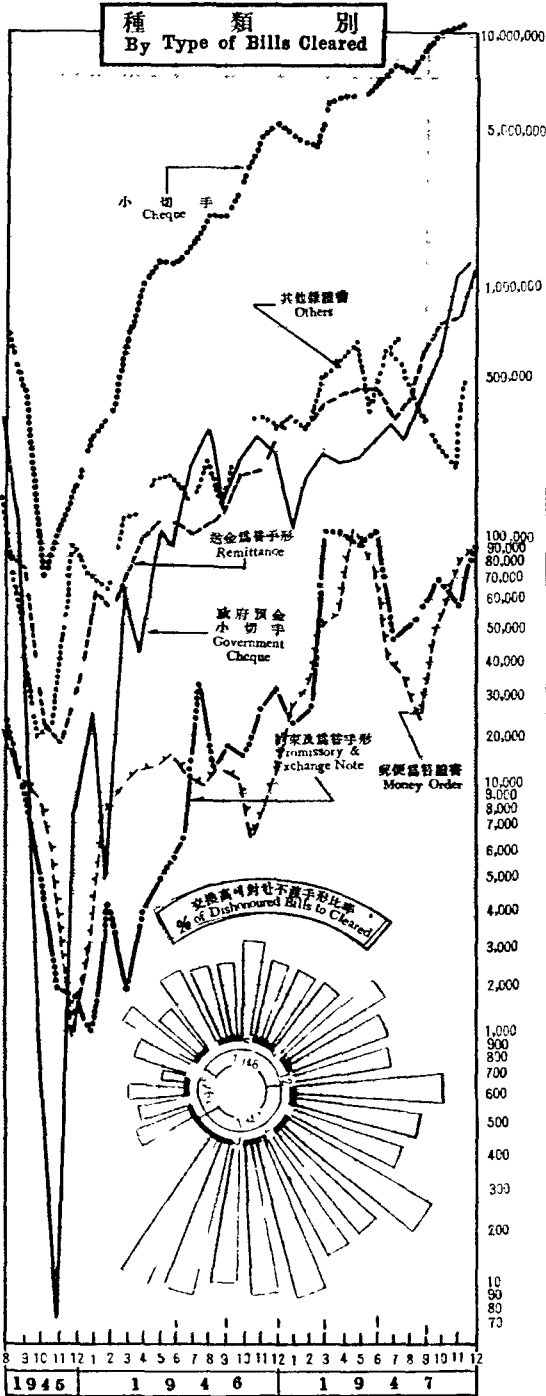
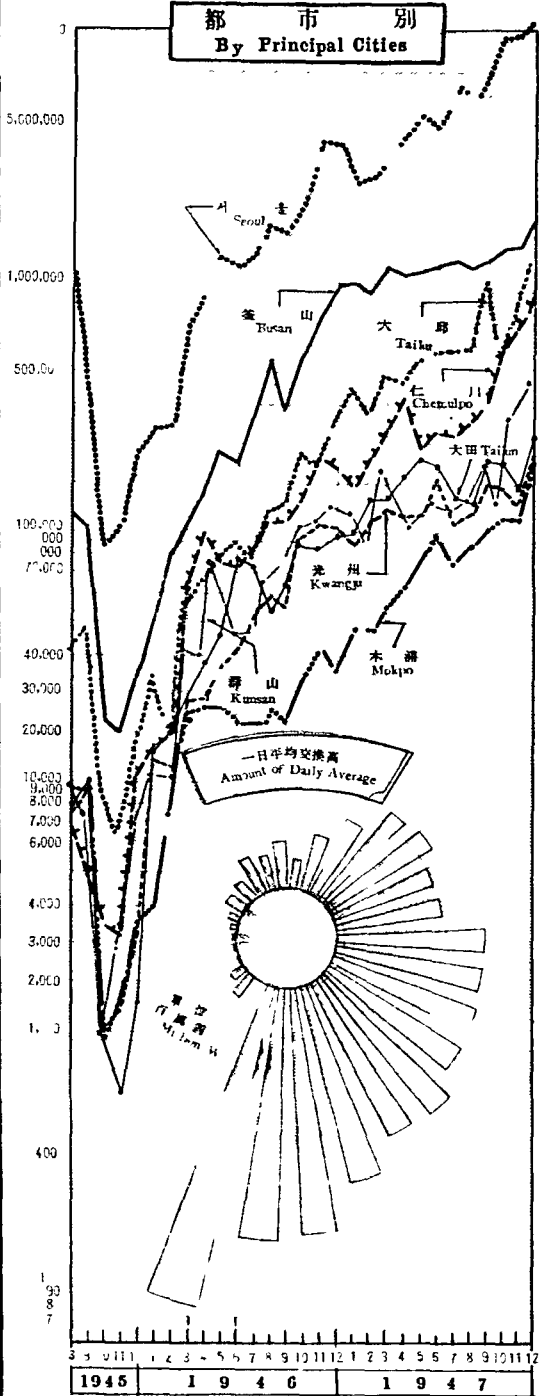
1) In 1902 Che-Il Bank issued 1 Won, 5 Won and 10 Won Note.  
2) In 1910 1 Won Note of Han-Kook Bank was issued.  
3) In 1910 Han-Guk Bank issued 5 Won and 10 Won Note.  
4) In 1914 Chosun Bank issued 100 Won Note which was the first of large bank note issued in Korea.  
5) In 1915 Chosun Bank issued 1 Won, 5 Won and 10 Won Note.  
6) Three kinds of small bank note, 50 Chun 20 Chun and 10 Chun Note, were issued during 1904 and 1905 of Russo-Japanese War by Che-Il Bank in order to facilitate payment of Japanese occupation army in Korea. After the War, those were withdrawn and prohibited its circulation since Mar. 31, 1910; the figure after the time shows the balance of that issue.

# (70) 手形交換高一覽

## Table of the Transactions of Clearing Houses

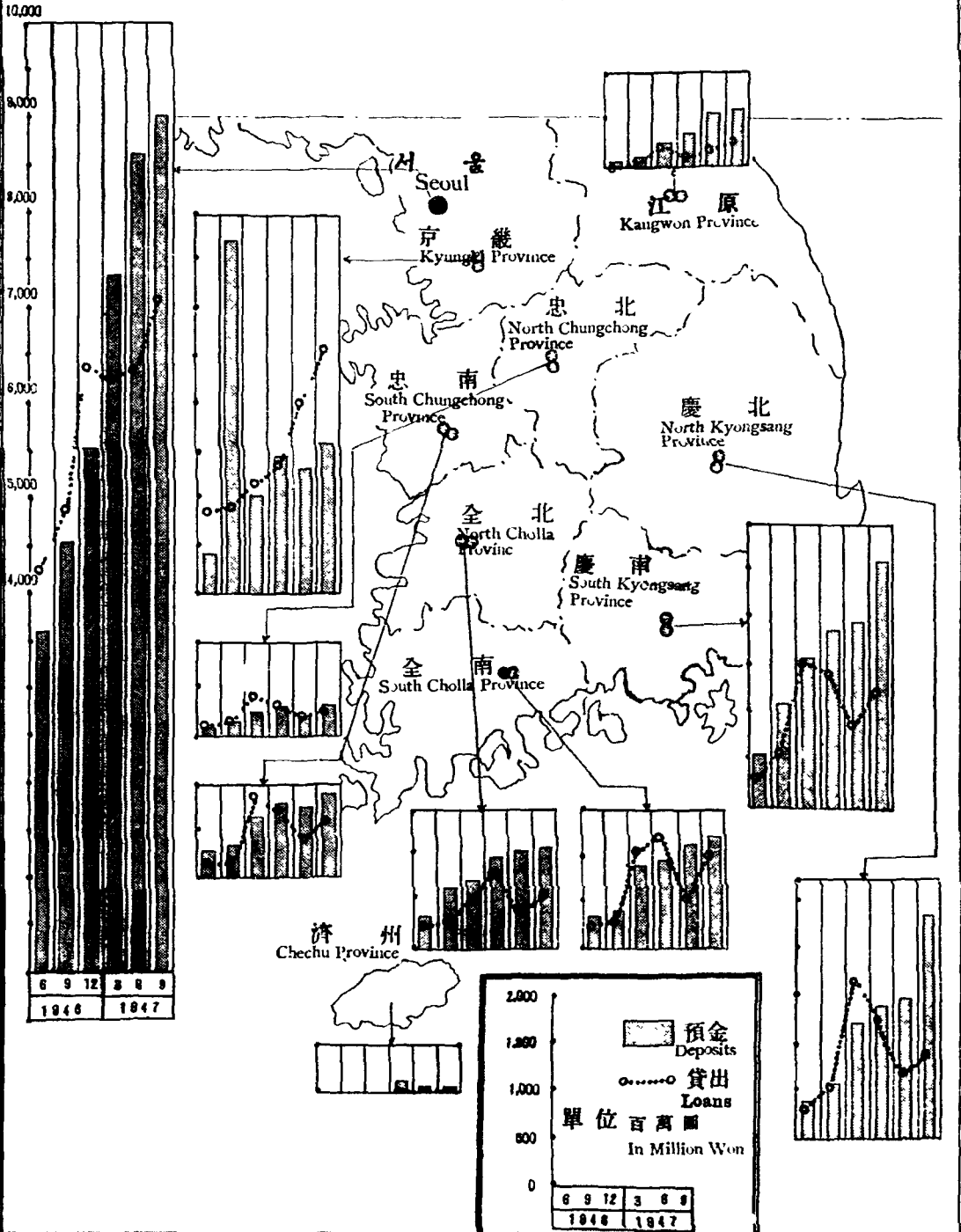
單位千圓  
UNIT In Thousand Won

單位千圓  
UNIT In Thousand Won





# (71) 道別預金貸出趨勢 Deposits and Loans by Provinces



(72) 各 銀 行 別 業 務 分 折 圖  
 Picture of Analysed Business by Banks

預金超過  
Deposits Exceed

貸出超過  
Loans Exceed

預金  
Deposits

有價證券  
Securities

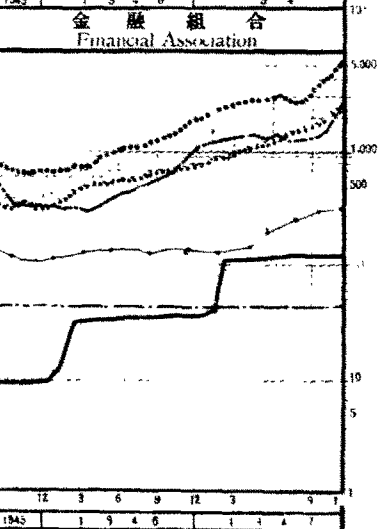
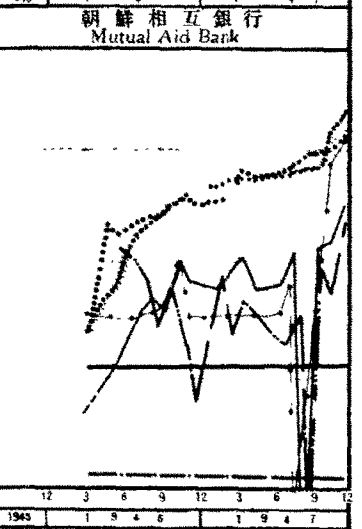
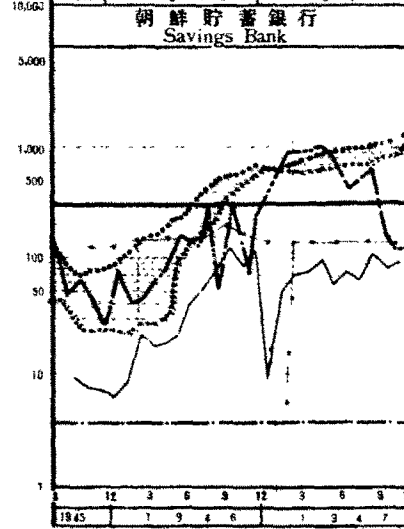
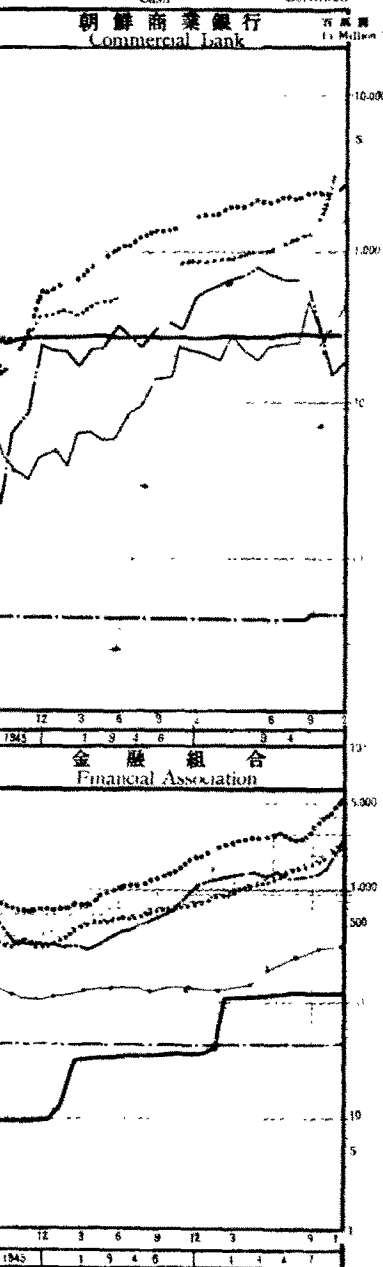
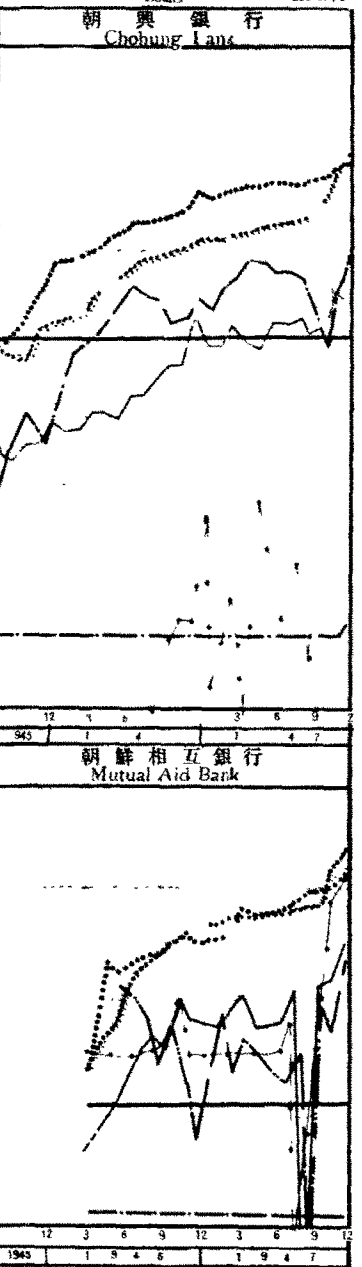
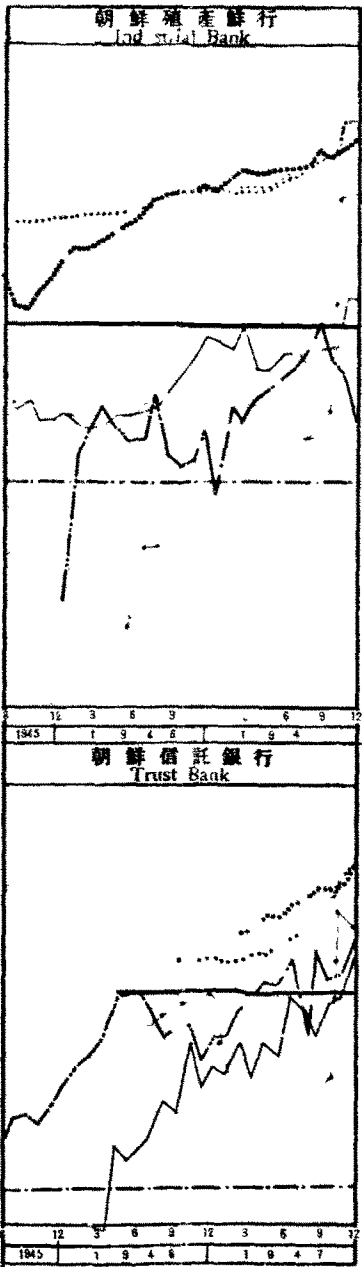
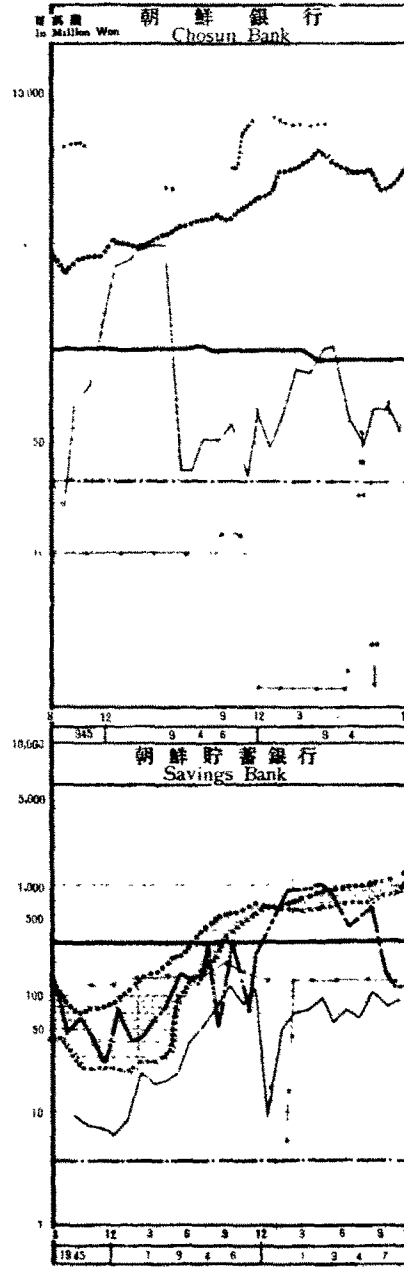
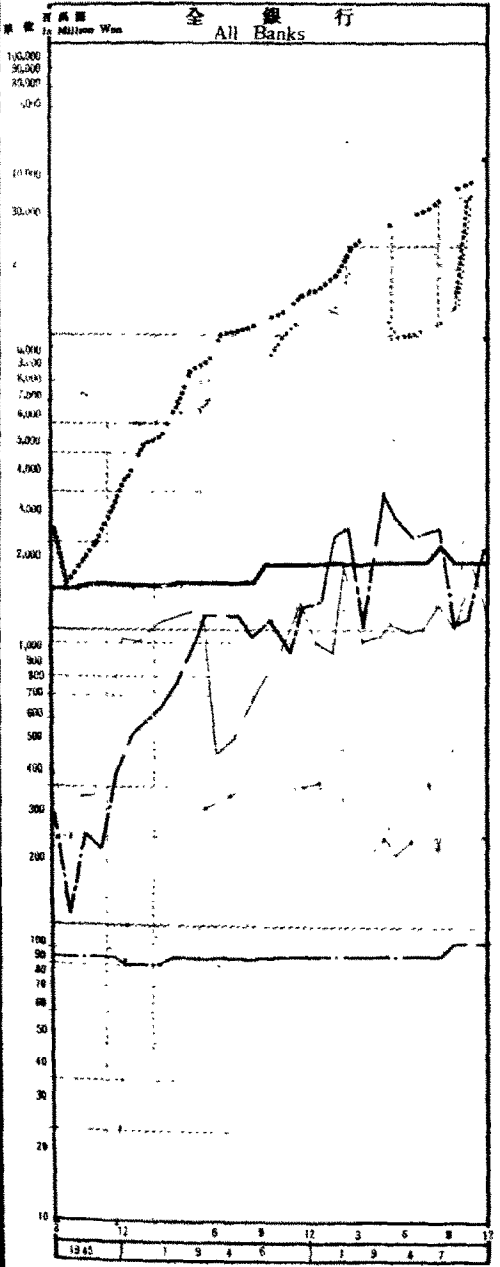
預備金  
Deposits with Other

貸出  
Loans

預立金  
Reserve

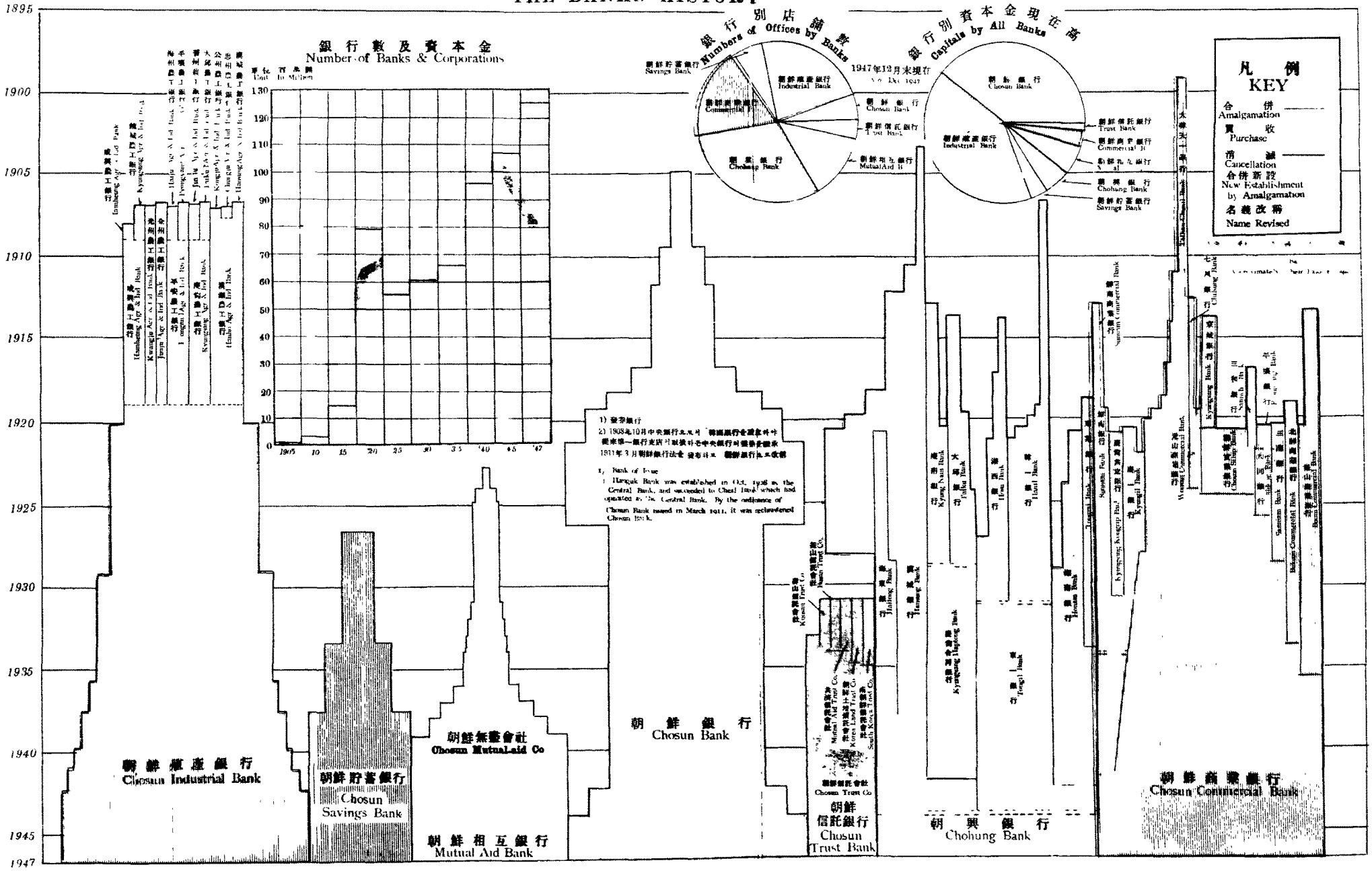
現金  
Cash

借入金  
Borrowed



# (73) 銀行別沿革圖

## THE BANKS HISTORY



(74) 各種銀行沿革一覽

Status of Banks Progress

In 1,000 Won

Year	成立及増資 Establish & Increase				消滅及合同 Extinction & Combine					各 年 末 End of Year Stated							
	本店 Offi- ces	支店 Branches	公稱資本 Capital Authoriz.	拂込資本 Capital Paid-up	合同 數 Com- bind	消滅 數 Extin- cted	計 Total	支店 Branches	公稱資本 Capital Authoriz.	拂込資本 Capital Paid-up	本店 Offi- ces	支店 Branches	公稱資本 Capital Authoriz.	拂込資本 Capital Paid-up	一銀行當 支店數 Per Bank		
															拂込資本 C. P.-up	拂込資本 Per Bank	
1903	2	2	千円 300	千円 88						千円 2	千円 2	千円 300	千円 88	1	千円 44.0		
1904	2	2	300	88						2	2	300	88	1	44.0		
1905	2	2	300	88						2	2	300	88	1	44.0		
1906	11	13	1,050	532						13	15	1,350	620	12	47.7		
1907	3	7	500	153		3	3			13	22	1,850	773	17	59.5		
1908	3	3	350	84	6		6			10	27	2,200	857	27	86.7		
1909	1	17	10,350	2,573						11	43	12,550	3,430	39	311.8		
1910		2								11	45	12,550	3,430	41	311.8		
1911		6	2,700	3,561						11	51	15,250	6,991	46	635.5		
1912	3	9	2,140	4,210						14	60	17,390	11,201	44	800.1		
1913	4	6	2,300	938						18	66	19,690	12,139	37	674.4		
1914		2	200	2,645						18	68	19,890	14,734	38	821.3		
1915		1								18	69	19,890	14,734	38	821.3		
1916	1	15	286	61						19	84	20,176	14,845	44	781.3		
1917	1	8	10,917	5,680						20	92	31,093	20,525	46	1,026.3		
1918	3	15	31,000	14,447	6		6	2,100	6	17	107	59,993	34,966	63	2,056.8		
1919	1	14	4,657	24,937	1		1			17	121	64,650	59,903	71	3,523.7		
1920	7	11	79,700	20,447		1	1	1,000	400	23	131	143,350	79,950	57	3,476.7		
1921	1	5	1,000	373	2		2			22	136	144,350	80,323	62	3,651.0		
1922		7		1,227						22	143	144,350	81,550	65	3,706.8		
1923		9			2		2	875		20	146	143,475	81,550	73	4,077.5		
1924				15	1		1			19	144	143,475	81,700	76	4,300.0		
1925					1		1	41,200	25,300	18	143	102,275	56,400	79	3,133.3		
1926				125						18	140	102,275	56,525	78	3,140.3		
1927		3		425						18	143	102,275	56,950	79	3,163.9		
1928	1	11			3		3	3,250	1,894	16	147	99,025	55,056	92	3,441.0		
1929	1	8	4,400	6,415						17	155	103,425	61,471	91	3,615.9		
1930		4				1	1	2,000	500	16	159	101,425	60,971	99	3,810.7		
1931	1	7				2	2			15	166	101,425	60,971	111	4,064.7		
1932		4								15	170	101,425	60,971	114	4,064.7		
1933	1	7		900	4	1	5	350		11	177	101,075	61,871	161	5,624.6		
1934		5						400	140	11	182	100,675	61,731	165	5,611.9		
1935		5		4,250		1	1	1,500		10	187	99,175	65,981	187	6,598.1		
1936		12								10	199	99,175	65,981	199	6,598.1		
1937				6,750						10	196	99,175	72,731	196	7,273.1		
1938		7		6,750		1	1		800	9	203	99,175	71,931	226	7,992.3		
1939		9	28,000	7,500						9	212	127,175	79,431	236	8,825.7		
1940		2		17,500						9	214	127,175	96,931	238	10,770.1		
1941		2		7,150		2	2			7	216	127,175	104,081	309	14,868.7		
1942		23		3,125		1	1	3,000		6	239	124,175	107,206	398	17,867.7		
1943						1	1			5	235	124,175	107,206	470	21,441.2		
1944										5	209	124,175	107,206	418	21,441.2		
1945										5	205	124,175	107,206	410	21,441.2		
1946	2	6		18,437						7	211	124,175	125,643	301	17,949.0		
1947										7	168	124,175	125,643	240	17,949.0		

1) 朝鮮銀行の外地支店を包含す  
※本店數に限す

1) Including Chosun Bank & Chosun Bank Branches abroad,  
※Head Office only.

(75) 朝鮮銀行 Principal Accounts of

	支店數 Branch	拂込 資本 Paid-up Capital	銀行 發售 債券 Issued Bank Note	積立金 Reser. Funds	預 金							計 Total	自 Gov't	公 同	業 者 Other Banks
					定期預金 Fixed Dep.	當座預金 Current Dep.	特當預金 Special Current Dep.	通知預金 Notice Dep.	別段預金 Special Dep.	其他預金 Other Dep.	金				
					千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円				
1926	32	25,000	110,936	821	5,460	10,607	2,985	×	×	5,753	24,805	6,414	6,527		
1927	33	25,000	124,527	1,001	9,537	9,417	3,030	×	×	7,140	29,124	5,291	7,943		
1928	33	25,000	132,444	1,201	11,876	5,688	3,876	×	×	12,247	33,687	5,719	8,740		
1929	33	25,000	118,701	2,101	10,936	5,457	3,733	×	×	11,066	31,192	5,777	6,161		
1930	34	25,000	90,615	2,901	13,789	10,726	3,664	×	×	3,022	31,201	736	4,432		
1931	33	25,000	100,909	3,701	15,620	10,448	4,054	×	×	4,833	34,955	873	11,165		
1932	35	25,000	125,622	4,501	17,812	11,293	4,799	×	×	9,989	43,893	835	14,709		
1933	38	25,000	148,176	5,301	25,573	14,685	5,241	×	×	8,748	54,247	871	18,554		
1934	34	25,000	192,457	6,101	29,638	15,602	5,671	×	×	7,232	58,143	1,291	18,085		
1935	43	25,000	174,938	6,101	29,367	12,041	5,217	×	×	6,306	52,931	6,015	12,640		
1936	43	25,000	210,653	7,701	39,143	17,968	6,608	×	×	8,135	71,854	7,022	7,824		
1937	26	25,000	279,501	8,501	60,750	23,935	8,067	×	×	6,947	99,699	7,485	15,710		
1938	32	25,000	321,977	9,401	79,227	32,250	12,512	×	×	13,200	137,189	6,566	29,907		
1939	38	25,000	443,986	10,551	90,212	46,658	17,866	×	×	29,381	184,117	1,249	64,699		
1940	43	35,000	580,533	11,900	78,581	61,210	32,888	×	×	68,320	240,999	1,117	56,984		
1941	38	35,000	741,606	14,750	95,584	78,812	31,458	×	×	57,087	262,941	601	59,681		
1942	55	40,000	908,646	18,450	153,547	65,561	38,406	×	×	57,715	310,229	5,327	35,988		
1943	58	40,000	1,445,878	24,500	195,546	113,866	62,103	×	×	136,579	508,214	...	...		
1944	67	50,000	3,136,092	27,100	216,883	119,743	96,472	×	×	75,742	508,840	...	...		
1945	1 Jan.	16 50,000	3,199,998	29,700	218,329	165,212	104,273	×	×	89,946	577,760	...	...		
	2 Feb.	16 50,000	3,391,372	29,700	224,543	112,591	112,839	×	×	113,338	563,311	...	...		
	3 Mar.	16 50,000	3,574,418	29,700	234,125	153,452	136,540	×	×	131,351	655,468	...	...		
	4 Apr.	16 50,000	3,786,606	29,700	240,299	123,369	126,104	×	×	84,632	574,404	...	...		
	5 May	16 50,000	3,978,024	29,700	246,618	147,559	129,908	×	×	94,192	618,277	...	...		
	6 June	16 50,000	4,337,975	32,300	258,000	194,804	159,409	×	×	98,523	710,736	...	...		
	7 July	16 50,000	4,698,220	32,300	268,661	136,579	151,642	×	×	145,709	702,591	...	...		
	8 Aug.	8 50,000	7,712,755	32,300	131,591	718,993	43,257	×	×	70,313	964,154	...	...		
	9 Sept	8 50,000	8,680,198	32,300	110,303	274,603	93,342	×	×	213,186	691,434	...	...		
	10 Oct.	8 50,000	8,997,893	32,300	106,361	275,319	133,724	×	×	310,439	825,843	...	...		
	11 Nov	8 50,000	8,625,868	32,300	103,225	238,429	136,147	×	×	367,953	845,754	...	...		
	12 Dec.	8 50,000	8,705,821	32,300	100,896	233,905	146,937	×	×	395,085	876,823	...	...		
1946	1 Jan.	8 50,000	8,793,565	32,300	100,948	503,065	174,322	×	×	509,924	1,288,259	...	...		
	2 Feb.	8 50,000	8,782,394	32,300	119,806	223,401	169,412	×	×	625,672	1,138,291	...	...		
	3 Mar.	8 50,000	9,079,825	32,300	118,130	255,758	180,698	436 530	40 233	967,008	1,998,357	952,304	529,993		
	4 Apr.	8 50,000	9,155,178	32,300	118,322	241,927	170,719	557 434	42 947	1,467,576	2,598,927	1,452,873	639,396		
	5 May	8 50,000	9,113,955	32,300	399,835	317,973	219,379	239 375	40 361	2,280,293	3,497,216	2,265,581	708,191		
	6 June	8 50,000	9,422,299	32,300	235,764	200,827	238,989	681 256	37,983	2,276,344	3,671,163	2,261,885	878,971		
	7 July	8 50,000	10,067,719	32,300	259,792	287,765	261,829	626 582	50,004	3,191,629	4,677,601	3,177,275	889,442		
	8 Aug.	8 50,000	10,752,806	32,300	255,776	297,887	321,238	662 736	55,082	3,230,556	4,823,275	3,216,203	859,689		
	9 Sept	8 50,000	11,236,610	32,300	252,584	389,654	323,721	672 049	47,299	3,449,563	5,134,870	3,435,229	870,464		
	10 Oct.	8 50,000	11,929,560	32,300	299,823	354,088	271,248	687 625	44,690	3,704,432	5,361,906	3,690,098	900,580		
	11 Nov	8 50,000	14,880,993	32,300	196,253	389,639	347,810	843 689	39,389	4,206,233	6,023,013	4,191,898	946,914		
	12 Dec.	8 50,000	17,710,823	32,300	227,985	443,750	356,037	912 605	48,131	4,749,372	6,737,880	4,735,037	1,128,831		
1947	1 Jan.	8 50,000	18,277,613	32,300	226,183	550,215	326,628	1,079,765	70,464	5,356,386	7,609,641	5,340,923	1,427,732		
	2 Feb.	8 50,000	17,689,196	32,300	225,271	555,766	347,963	1,953,972	75,767	5,880,977	9,039,716	5,865,514	2,635,572		
	3 Mar.	8 50,000	17,191,319	32,300	224,474	762,113	378,931	1,848,012	57,859	7,438,871	10,710,260	7,485,758	2,301,929		
	4 Apr.	8 50,000	17,191,739	32,300	255,091	791,551	389,202	2,316,735	74,641	8,949,932	12,777,152	8,964,928	2,728,539		
	5 May	8 50,000	17,417,709	32,300	232,926	882,743	467,222	2,652,134	67,415	9,272,646	13,575,086	9,298,818	2,977,006		
	6 June	8 50,000	18,035,600	32,300	204,179	1,143,526	390,573	2,015,865	63,525	10,603,813	14,421,481	10,743,683	2,433,243		
	7 July	8 50,000	19,637,735	32,300	178,435	914,112	459,982	1,855,372	71,537	12,820,488	16,299,926	12,897,738	2,319,114		
	8 Aug.	8 50,000	19,496,514	32,300	216,306	614,596	442,699	1,844,436	76,361	13,180,546	16,374,944	13,290,492	1,895,408		
	9 Sept	8 50,000	20,444,924	32,300	219,444	777,623	490,660	1,705,500	107,087	14,795,117	18,095,431	14,864,701	1,902,726		
	10 Oct.	8 50,000	21,803,701	32,300	221,623	936,397	437,156	876,448	80,392	17,865,359	20,417,375	17,985,014	1,163,771		
	11 Nov.	8 50,000	31,012,305	32,300	221,636	1,129,566	459,626	790,285	72,652	18,140,394	20,814,159	18,197,672	1,448,003		
	12 Dec.	8 50,000	33,388,164	32,300	250,419	1,007,555	623,927	1,747,006	97,780	19,582,595	23,309,282	19,695,289	2,134,275		

1) 發券銀行

2) 1908年10月中央銀行으로서 韓國銀行을設立하야 從來第一銀行支店이取扱하든中央銀行이業務을繼承 1911年3月朝鮮銀行法을 發布하교 朝鮮銀行으로改稱

\* 1947年9月부리財務部要水認貸付限度를10萬圓으로부리50萬圓으로擴張함

# 主 要 計 定

## Chosun Bank

In 1,000 Won

Ordinary	預金貸出		貸					出 金				Borrowed Money	有價證券	現 金	
	Balance of Dep & Loans	貸出超過	手形貸付	當座貸越	割引手形	荷爲替	計	官 公	同業者	一 般					
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
11 864 △	28 651	36 249	1,402	6 284	9 521	53 456	86	14 116	39,254	81,354	63 192	33,581			
15 890 △	22 042	34 645	1,312	5 533	9 676	51 166	71	11 243	39,352	73 580	88 593	40,769			
19 228 △	5 939	25 106	1,429	4 750	8 401	39 686	55	11 227	28,404	149 532	108 541	70,505			
19 254 △	9 027	26 263	1,626	4 323	8 007	40 219	8	12 860	27,359	149 436	114 070	47,483			
26 033 △	17 333	36 674	2,010	4 895	5 015	48 594	×	15 856	32,738	151 959	106 459	22,792			
22 917 △	30 549	51 112	2 663	4 161	7 568	65 504	523	21 632	43 349	151,296	90 659	19,412			
23 351 △	30 860	52 177	4 653	6 029	11 894	74 753	430	18 682	55 641	173,873	93 341	53,900			
34 822 △	27 719	64 634	4 145	5 371	7 870	82 026	171	19 469	62 386	185 861	138 664	74,991			
33,767 △	32 357	64 398	5 101	10,435	10 566	90 500	×	24 102	66 398	182,227	160 634	89,972			
34,276 △	53 498	71 853	6 047	11 690	16,839	106 429	×	22 254	84 175	180,994	155 968	102,143			
57 008 △	84 726	121 636	8 752	15 663	10,529	156,580	×	39 052	117 528	179,035	225 943	104,451			
76 504 △	108 161	162 212	9 143	16 571	19,934	207,860	×	32 420	175 440	162,958	221 527	154,835			
100 716 △	93 539	188 685	8 854	25,708	12,531	235,778	×	14 160	221 618	154,434	282 438	179,708			
118 169 △	177 160	305 102	15 114	34,322	6,739	361,277	×	58 040	303 237	×	502 403	224,633			
182 893 △	336 785	529 562	15,066	28 440	4,716	577,784	×	37 783	540 001	×	594 661	5,045			
202 659 △	317 779	529 092	14 055	33 982	3,591	580,720	×	46 482	534,238	×	1 056 305	5,840			
263 914 △	307 907	571 514	22 947	1,158	618,136	22 517	×	35 674	582 462	×	1 564 194	8,825			
×	346 012	706 158	125 238	20 944	1,886	854,226	×	×	×	×	2 128 859	24,651			
×	491 218	866 979	105 080	26 970	1,029	1,000,058	×	×	×	×	3,037,863	3 352 020	252,962		
×	490 326	914,973	124 752	28 014	347	1 068,086	×	×	×	×	4,395,919	3,364,675	239,111		
×	627 421	1,036,919	128 776	24 424	613	1 190,732	×	×	×	×	31,456	3,299 686	58,497		
×	541 355	1,032,402	137 367	25 191	1 868	1 196,823	×	×	×	×	6 553,325	3,399 989	608,546		
×	373 546	796 121	124 705	24 385	2 739	947,950	×	×	×	×	9 358,287	3,835 814	365,547		
×	388 070	861 560	114 854	26 449	3 484	1 006,347	×	×	×	×	9 332,994	3,969 435	498,048		
×	278 393	867 153	94 492	24 744	2 740	989,129	×	×	×	×	10,978	4,317 298	54,450		
×	390,331	961,393	111,613	19,003	1,463	1 093,472	×	×	×	×	10,978	4,786 069	59 376		
×	3 564 157	3 565,757	945,296	15,871	1,387	4 528,311	×	×	×	×	10,978	201 319	33 981		
×	4 189 905	3 878,773	985,707	15,471	1,388	4,881,339	×	×	×	×	10,978	208,121	20,795		
×	4 143 155	3 834,910	1,117,376	15,325	1,337	4 968,998	政府保證	10萬圓以上	10,978	207 749	96,793				
×	3 831 070	3,494,266	1,164,938	16,235	1,385	4,676,824	Grant	Over 100,000 Won	10,978	207,749	144,785				
×	3 666,805	3,243,986	1,280,485	17,760	1,387	4,543,628	by Gov't	Under 100,000 Won	10,978	207 749	379,475				
×	2 104 082	3,100,758	273,551	16,645	1,387	3,392,341	×	×	×	10,978	207,749	784,658			
×	1,902 213	2,822 785	200,652	15,686	1,381	3,040,504	×	×	×	10,978	107,749	899,286			
516 060 △	977 683	2,680 993	278,450	15,214	1,383	2,976,040	114,947	2,842,575	18 518	10,978	207,749	1,026,702			
5 6 653 △	311 892	2,615 762	278,546	15,128	1,383	2,910,819	153,681	2,738 440	18 698	10,978	207,749	1,043,905			
523 444 △	757 749	2,466 718	256,065	15,301	1,383	2,739,467	145,746	2 574 826	18 895	10,978	207,749	1,050,250			
530,307 △	928 479	2,478 568	247,535	15,198	1,383	2,742,684	120,504	2 607 312	14 868	5,559	208,268	39,809			
610 884 △	1 526 173	2,470 416	664,437	15,192	1,383	3,151,428	530,213	2 555,200	66,015	15,688	208,268	39,809			
747 393 △	1 537 937	2,444 024	826,263	15,049	2	3,285,338	677,158	2,591,747	16,433	15,688	203,827	58,036			
829 177 △	1 813 883	2,475 646	830,337	15,002	2	3,320,987	691,829	2,609,889	19,269	1,559	203,827	57,514			
771 228 △	1 883 023	2,598 400	866,754	13,727	2	3,478,883	685,360	2,773,640	19,883	1,559	203,827	71,574			
884 201 △	618 942	2,759 066	2,630,800	14,203	2	5,404,071	2 519,347	2,865,255	19,469	1,559	203,827	35,397			
874 012 △	286 797	2,803 957	4,204,660	16,058	2	7,024,677	4 088,041	2,916,708	19,928	1,559	203,827	93,477			
840 986 △	363,668	2,767 298	4,462,782	15 891	2	7,245,973	4,316,104	2,910,906	18,963	1,559	203,827	51,154			
910 630 △	2,081,528	2,696 132	4,246,660	15 391	2	6,953,188	4 164,914	2,774,767	18,507	1,559	203,827	83,344			
922 573 △	4,347,290	2,579 006	3,767,240	16 722	2	6,362,970	3 686,799	2,652,861	23,310	1,559	203,827	184,472			
1,083 685 △	6,621,398	2,457 544	3,682,268	15 940	2	6,155,754	3 612,029	2,518,217	25,508	1,559	180,861	175,822			
1,359 262 △	7,313,461	2,449 520	3,795,119	16,384	2	6,261,625	3 701,373	2,535,288	24,964	1,559	180,861	227,460			
1,244 555 △	11,409,003	2,542,222	451,723	18,531	2	3,012,478	419,147	2,563,481	24,850	1,559	180,861	232,547			
1,083,074 △	13,186,125	2,446,993	648,977	17,829	2	3,113,801	614,640	2,475 191	23 970	1,559	180 861	74,728			
1,089,044 △	13,241 682	2,458,078	657,055	17,127	2	3,133,262	596,556	2,508 847	27 859	64,832	180 861	50,510			
1,328,004 △	14,710 853	2,592,484	776,265	15,827	2	3,384,578	809,911	2,472 898	101 769	1,559	180 861	95,778			
1,268,590 △	16,789 351	2,781,024	830,932	16,166	2	3,628,024	766,890	2,758,805	102,329	101,559	180 861	92,951			
1,168,484 △	8,854 170	2,837,127	9,106,660	16,200	2	11,959,939	785,352	11,069 450	105 187	2 482,474	180 861	66,139			
1,479,718 △	9,420 807	2,637,397	11,233,939	17,117	2	13,888,475	924,952	12,863,248	100 275	2,654,187	180,861	194,625			

1) Bank of Issue.  
 2) Hanguk Bank wa. established in Oct. 1908 as the Central Bank, and succeeded to Cheil Bank which had operated as the Central Bank. By the Ordinance of Chosun Bank issued in March 1911, it was rechristened Chosun Bank.  
 × Beginning Sept. 1947, the limit of free credit which needs no approval of Dept. of Finance, extended from 100,000 Won to 500,000 Won.

(76) 朝 鮮 殖 産 銀  
Principal Accounts of

支店及 出張所 Branch	資本金 Capital			殖産債券 Industrial Bond	積立金 Legal Reserve Funds	預 金 Deposits									
	公 稱 拂 込 Auth- orized Paid- up	千 円 千 円	千 円			定 期 預 金 Fixed Dep.	當 座 預 金 Current Dep.	特 種 預 金 Special C. Dep.	通 知 預 金 Notice Dep.	別 段 預 金 Special Dep.	其 他 預 金 Other Dep.	計 Total	官 公 同 業 者 Other Banks	一 般 Ordinary	
															千 円
1926	53	30 000	15 000	144 847	4,003	22 798	11 011	18 034	※	※	13,833	65 676	7,843	10 834	46,993
1927	52	30 000	15 000	173 445	4,953	24 581	9 917	24 334	※	※	9,299	68 131	8,762	7 595	51 774
1928	52	30 000	15 000	177 223	6,003	27,152	9 921	11 201	※	※	35,490	81 764	8,420	15 573	57 771
1929	52	30 000	20 000	199 685	7,043	32 067	9 922	14 828	※	※	10,693	67,510	6,869	19 923	40 718
1930	52	30 000	20 000	240,158	8,083	25 605	8 476	11 293	※	※	7,250	52,624	7,109	9 097	36 418
1931	52	30 000	20 000	247 558	9,123	31 413	10 566	11 971	※	※	11,639	65 589	13 518	13 518	38 553
1932	52	30 000	20,000	260 992	10,163	34 765	14 469	13 556	※	※	10,797	73 587	11 623	20 377	41 587
1933	52	30 000	29 000	253 482	11,203	44 688	14 503	14 798	※	※	10,788	84 777	13 710	25 075	45 992
1934	55	30 000	20 000	244 955	12,243	52 343	20 898	17 656	※	※	14,423	105,320	20 212	32 927	52 181
1935	55	30 000	20 000	278 674	13,283	45 395	15 640	18 875	※	※	30,704	110 614	×	×	×
1936	65	30 000	25 000	326 230	14 483	50 329	22 409	23 543	※	※	29,491	125,772	×	×	×
1937	66	30 000	30 000	344 656	15 683	52 759	32 838	26 953	※	※	18,869	131 419	19 733	17 640	94 046
1938	67	30 000	30 000	389 572	17 183	92 286	40 618	34 153	※	※	24,068	191 120	25 531	51 709	113 885
1939	66	60 000	37 500	440 328	18 991	103,730	66 563	50 383	※	※	33,93	254 606	29 706	55 027	169 873
1940	66	60 000	45 000	577 019	21 741	129,199	103 813	62 699	※	※	37,849	333 560	31 446	68 879	233 235
1941	66	60 000	52 000	645 933	24,991	156 964	122 997	68 880	×	×	62,452	410,693	44 386	64,465	301,842
1942	69	60 000	52 500	765 687	32,541	270 009	115 011	90 631	×	×	84,745	560,396	×	×	×
1943	69	60 000	52 500	867 656	32,541	397 679	159 169	125 023	×	×	127,322	809,193	×	×	×
1944	62	60 000	52,500	926 217	34,841	524 201	177 796	216 556	×	×	137,918	1 056,471	×	×	×
1945 1	72	60 000	52 500	925 571	34,841	569,860	185 030	228 798	×	×	142,694	1 126,382	×	×	×
2	72	60 000	52 500	923 596	34,811	468,895	194 096	238 311	×	×	158,599	1 046,901	×	×	×
3	73	60 000	52 500	968 866	34,841	467,971	212 225	251 289	×	×	251 692	1 183,177	×	×	×
4	74	60 000	52 500	967 800	34,841	499,024	207 512	264 966	×	×	219 294	1 190,796	×	×	×
5	74	60 000	52 500	667 592	35,991	448,174	238 648	291 022	×	×	183 587	1 161,431	×	×	×
6	74	60 000	52,500	1,015 743	35,991	473,329	222 292	307 034	×	×	215 688	1 218,343	×	×	×
7	74	60 000	52,500	—	35,991	516,494	233 416	320 006	×	×	222,723	1,292,639	×	×	×
8	46	60 000	52,500	1,063,270	35,991	177 256	268 551	112,880	×	×	114 444	673,131	×	×	×
9	46	60 000	52,500	1,058,029	35,991	130 931	107 966	84,708	×	×	110 776	434,381	×	×	×
10	46	60 000	52,500	1,056,929	35,991	112 456	83 247	122,252	×	×	97 919	415,874	×	×	×
11	46	60 000	52,500	1,054,802	35,991	97 093	149 453	166,772	×	×	105 930	519,248	×	×	×
12	46	60,000	52,500	1,052,601	35,991	95 378	202 954	266 583	×	×	102,018	666,933	×	×	×
1946 1	47	60 000	52 500	1 052 979	35,991	90 133	251,398	335,146	×	×	163,971	840,648	×	×	×
2	47	60 000	52,500	1,035 370	35,991	95 870	367 050	349,445	×	×	190,427	1,002,792	×	×	×
3	47	60 000	52,500	1,029 413	35,991	131 556	367 935	379,488	48,645	81,274	20,786	1,029,684	2 974	81 628	945,082
4	47	60 000	52,500	1,028 383	35,991	206 309	438 370	376,412	69,333	90,288	20,818	1,201,530	3 038	100,533	1,097,959
5	47	60,000	52,500	1,026 154	35,991	257 241	453 204	414,056	118,212	108,958	20,693	1,372,364	2 997	162,328	1 207,039
6	47	60,000	52,500	1,024 013	35,991	246 539	546 424	444,738	194,777	75,311	20,965	1 528,754	3 093	172,931	1 352,730
7	47	60,000	52,500	1,024,013	35,991	299,066	589 150	496,758	181,788	135,708	20,913	1 723,383	3 080	162,329	1 557,974
8	47	60 000	52,500	1,023,391	35,991	352,280	673 777	496,938	379,349	93,289	20,846	2 016,499	3 102	175,515	1 837,882
9	47	60 000	52,500	1,015,005	35,991	354,217	765 812	531 071	298,938	135,313	20,646	2 105,997	3 023	117,263	1 985,711
10	47	60 000	52,500	1,013,905	35,991	353,895	720 885	575 590	382,789	115,753	20,543	2 169,445	2 992	101,907	2 064,546
11	47	60 000	52,500	1,011,769	35,991	376,530	1,062 543	564 478	345,479	151,860	20,474	2 521,364	3 015	137,005	2 381,344
12	47	60,000	52,500	1,009,869	35,991	393,648	1,102 364	689 973	330,773	236,126	20,389	2,773,273	2,942	257,891	2 512,440
1947. 1	47	60 000	52,500	1,009,245	35,991	407,244	968,641	696 494	418,294	165,035	149,564	2,805,272	699,014	237,984	1,868,274
2	47	60 000	52,500	1,007,141	35,991	384,906	1,061,399	716,860	608,053	216,360	194,750	3,182,328	959,913	289 778	1 932,637
3	47	60 000	52,550	1,000,233	35,991	407,030	1,213,968	799,008	599,343	396,947	61,612	3,477,908	039,241	333 916	2 104,751
4	47	60 000	52,500	999,303	35,991	425,953	1,058,953	865,725	602,901	337,715	165,041	3,456,288	147,004	283 310	2 025,974
5	47	60 000	52,500	999,303	35,991	400,656	1,151,022	947,633	542,760	275,378	192,069	3,510,017	946,309	378 058	2 185,650
6	47	60 000	52,500	999,303	35,991	401,960	1,171,835	878 311	593,746	325,006	174,230	3,545,139	990 440	340 446	2 132,272
7	39	60,000	52,500	1,109,647	35,991	387,362	1,035,481	991,148	632,208	339,993	178,828	3,565,020	1,024,453	364,147	2,176,420
8	39	60 000	52,500	999,303	35,991	460,059	1,149,563	909,719	775,630	379,247	195,835	3,869,503	1,195,298	432,015	2 442,190
9	39	60 000	52,500	999,303	35,991	457,174	1,732,954	890,407	1,098,895	454,555	85,659	4,719,644	1 624,118	540,954	2 554,572
10	39	60 000	52,500	1,110,476	35,991	468,860	1,400,412	886,695	891,995	618,102	116,100	4,382,164	1,904,447	226,931	2 250,786
11	39	60 000	52,500	999,303	35,991	469,545	1,557,519	978,676	1,054,497	590,060	224,906	4,875,203	2 050,309	313,480	2,511,414
12	39	60 000	52,500	993,303	35,991	475,539	1,412,406	1,189,939	1,252,497	661,461	148,845	5,140,687	1,559,249	556,828	3 024,510

1) 農工業の發達及開發獎勵を目的とする長期不動産金融取扱の特殊銀行  
 2) 1906年3月農工銀行條例を發布して農工銀行を設立 1917年度には本店6 支店41. 1918年6月各農工銀行を合併して 朝鮮殖産銀行を設立  
 3) 1945年8月以後は南朝鮮に局限す

# 行 主 要 計 定

## Chosun Industrial Bank

(III-77)

In 1,000 Won

預 金 貸出對照 Dep. & Lo. △貸出超過 L. Exceed	貸 出 Loans											借入金 Borrowed Money	預 留 金 D. with Other	有 價 券 證 券 Securities	現 金 及 地 金 Cash
	手形貸付 I on Bill	證 券 付 L on Certific.	當 座 Over- drafts	引 形 BillDis- counted	荷 爲 手 形 Doc. Bills	其 他 貸 付 Others	計 Total	官 公 Gov't	同 業 者 Other Banks	一 般 Ordinary					
△ 148,049	197,492	×	4,095	12,138	×	213,725	49,811	21,092	142,822	7,558	5,074	×	×		
△ 165,828	216,569	×	4,558	12,832	×	233,959	51,837	19,855	162,267	5,188	6,885	11,570	7,693		
△ 171,347	236,204	×	4,319	12,588	×	253,111	58,192	14,950	179,369	4,734	6,445	×	×		
△ 199,170	252,106	×	4,197	10,377	×	266,680	59,131	21,366	186,183	4,623	8,054	16,126	7,048		
△ 245,870	285,715	×	4,403	8,376	×	298,494	66,565	36,723	195,206	3,312	2,614	13,133	4,839		
△ 246,770	297,261	×	4,356	10,742	×	312,359	72,512	29,814	210,033	3,304	3,386	19,055	5,285		
△ 264,751	319,361	×	4,592	14,385	×	338,338	90,750	27,521	220,067	18,153	6,778	21,583	8,691		
△ 250,616	316,040	×	5,106	14,247	×	335,393	84,526	24,955	225,911	25,619	6,448	23,932	8,913		
△ 255,597	332,323	×	5,758	22,836	×	360,917	82,786	27,692	250,439	46,401	5,245	27,818	7,833		
△ 293,345	367,903	×	6,843	15,670	13,543	403,959	×	×	×	×	×	28,454	6,149		
△ 362,448	441,005	×	12,274	21,772	13,169	488,220	×	×	×	×	×	36,505	6,640		
△ 396,447	485,363	×	11,473	31,030	×	527,866	85,437	28,979	413,450	73,719	4,558	43,065	3,812		
△ 389,363	541,838	×	10,267	28,383	×	580,488	84,703	20,622	475,163	37,660	8,251	68,638	6,623		
△ 534,678	739,624	×	19,977	29,683	×	789,284	94,145	32,899	662,240	110,703	5,768	70,377	9,055		
△ 614,696	892,721	×	27,580	27,955	×	948,256	101,996	18,992	827,268	60,399	5,190	84,702	18,661		
△ 694,830	1,030,179	×	34,758	40,586	×	1,105,523	36,743	19,654	1,049,126	86,028	12,577	135,331	26,169		
△ 683,428	1,160,483	×	46,000	39,278	3,063	1,248,824	×	×	×	×	×	260,905	29,118		
△ 640,205	1,246,004	×	169,910	30,680	2,804	1,449,398	×	×	×	×	×	351,572	76,466		
△ 591,265	1,472,006	×	147,713	20,309	7,708	1,647,736	×	×	×	×	×	501,008	41,765		
△ 563,405	1,434,480	×	179,494	18,310	7,003	1,689,787	×	×	×	×	×	588,021	35,818		
△ 694,535	1,514,201	×	187,695	22,489	7,051	1,731,436	×	×	×	×	×	519,697	39,170		
△ 588,576	1,553,484	×	182,993	28,278	6,998	1,771,753	×	×	×	×	×	521,282	49,613		
△ 562,695	1,565,955	×	153,665	27,003	6,868	1,753,491	×	×	×	×	×	529,562	40,067		
△ 643,130	1,630,569	×	140,737	25,737	7,518	1,804,551	×	×	×	×	×	523,938	34,111		
△ 595,389	1,659,282	×	119,808	27,372	7,270	1,813,732	×	×	×	×	×	522,278	37,729		
△ 650,175	1,775,818	×	137,952	27,732	1,312	1,942,814	×	×	×	×	×	37,083	524,419		
△ 1,009,685	1,568,388	×	94,441	19,121	866	1,682,816	×	×	×	×	×	195,223	526,976		
△ 1,298,636	1,633,207	×	81,997	17,048	765	1,733,017	×	×	×	×	×	50,710	525,822		
△ 1,295,642	1,622,402	×	71,823	16,862	429	1,711,516	政府保證	×10萬圓	×10萬圓	×	×	67,835	522,402		
△ 1,208,565	1,611,199	×	99,413	16,772	429	1,727,813	Guarant	以上	以下	×	×	43,256	522,402		
△ 1,152,103	1,670,521	×	122,332	25,537	646	1,819,036	by Gov't	Over 100,000 Won	under 100,000 Won	×	×	28,797	522,402		
△ 980,431	1,615,609	×	179,187	25,637	646	1,821,079	×	×	×	×	×	82,025	522,402		
△ 860,618	1,615,808	×	221,224	25,732	646	1,863,410	×	×	×	×	×	42,302	522,402		
△ 879,108	945,978	11,292	214,548	21,663	646	714,665	1,908,792	27,987	1,592,944	287,861	×	46,907	522,402		
△ 708,783	964,633	11,267	199,859	22,087	646	711,821	1,910,313	44,095	1,558,358	307,860	×	62,372	522,402		
△ 553,220	1,023,947	11,261	157,692	22,745	646	709,293	1,925,584	54,066	1,549,232	322,286	47,660	86,615	522,402		
△ 453,844	1,048,618	11,257	146,872	23,843	646	751,562	1,982,598	78,111	1,571,077	333,410	4,000	187,815	522,402		
△ 504,759	1,077,914	11,258	334,226	25,332	646	778,766	2,228,142	96,255	1,775,968	355,919	14,128	151,811	522,402		
△ 291,499	1,106,552	11,257	361,093	26,675	943	801,478	2,307,998	92,673	1,837,605	377,720	14,128	31,700	522,402		
△ 237,283	1,172,623	12,156	286,935	27,082	645	843,839	2,343,280	135,812	1,791,680	415,780	×	56,675	522,402		
△ 173,366	1,193,116	13,164	248,915	29,505	645	857,466	2,342,811	159,489	1,732,873	450,449	×	333,234	522,402		
△ 213,177	1,249,541	13,493	537,462	29,445	645	903,955	2,734,541	547,942	1,699,746	486,853	×	79,439	522,402		
△ 5,807	1,279,412	13,608	515,927	30,848	645	938,640	2,779,080	594,149	1,689,327	495,604	×	282,985	522,402		
56,595	1,284,957	14,031	413,765	31,243	645	1,004,036	2,748,677	568,850	1,731,913	447,914	×	423,654	522,402		
722,912	1,281,300	13,982	324,923	32,040	645	1,006,526	2,659,416	513,350	1,714,976	431,090	×	916,858	522,402		
738,275	1,273,628	14,002	338,748	32,644	645	1,079,966	2,739,633	523,395	1,770,134	446,104	×	925,962	522,402		
676,697	1,281,024	13,819	332,811	33,492	645	1,117,800	2,779,591	518,853	1,802,786	457,952	×	952,387	522,402		
638,727	1,290,688	13,818	312,431	33,509	645	1,220,149	2,871,290	527,730	1,874,558	469,002	×	1,149,823	522,402		
480,701	1,332,972	13,713	178,356	36,180	645	1,502,561	3,064,437	402,538	2,132,713	529,186	×	866,645	522,402		
94,499	1,356,054	13,704	213,670	36,217	645	1,350,231	3,470,521	403,062	2,505,121	562,333	×	464,520	522,402		
5,045	1,443,553	13,728	225,180	38,593	645	2,142,754	3,864,458	523,326	2,744,313	596,819	63,272	559,810	522,402		
396,825	1,593,132	13,712	204,448	39,343	1,050	2,466,134	4,322,819	619,333	2,797,930	905,551	×	626,524	522,402		
△ 30,754	1,695,161	14,504	239,274	44,051	645	2,418,283	4,412,918	812,244	2,540,635	1,059,990	100,000	183,130	522,402		
△ 2,225,368	1,823,102	19,628	2,659,163	44,173	645	2,543,855	7,100,571	3,301,300	2,641,371	1,157,900	2,480,914	135,964	522,402		
△ 2,282,380	1,908,580	21,072	2,771,782	46,333	639	2,675,161	7,423,567	3,378,347	2,866,828	1,178,392	2,652,628	139,730	522,402		

- 1) It is the particular bank which deals with the finance of long term on real estates in order to develop and cultivate agriculture and industry.
- 2) By the regulations of Agriculture & Industrial Banks were issued in March 1906 the Agricultural and Industrial Banks were established. In 1917 there were six banks and 41 branches, and in June 1918 Chosun Industrial Bank was established by merging them.
- 3) Since August 1945 South Korea only.



(77) 朝鮮貯蓄銀 Principal Accounts of

Table with columns: 支店及出張所 Branch, 代理店 Agency, 資本金 Capital (Public, Paid-up), 積立金 Reserve Fund, 定期金 Fixed De., 貯蓄 Saving Dep., 當座預金 Current Dep., 通知預金 Notice Dep., 別段預金 Special Dep., 其他預金 Other Dep., 計 Total, 官公同 Other, 同業者 Other Banks, 一般 Ordinary. Rows list years from 1929 to 1947 with monthly data.

- 1) 1928年 7月設立
2) 貯蓄銀行業務만을取扱하는 庶民金融機關이었음
3) 1946年 2월부터 當座計定을創設하여 一般(普通) 業務을兼하고있음
4) 1945年 8월부터는 南朝鮮에 局限함

# 行 主 要 計 定

## Chosun Savings Bank

In 1,000 Won

預金貸出 對 Dep. & Loan △貸出超過 Loan Exceed	貸 Loans										借用金 Borrowed Money	預備金 D. with Others	有 價 證 券 Securities	現金及 地 金 Cash	
	手形貸付 Loans on Bill	證書貸付 Loans on Certi- ficate	當座貸付 Over- draft	割 手 Bills Disc.	引 形 手 Bills	荷爲替 形 手 Docu. Bills	其他貸付 Others	計 Total	官 公 Gov't	同業者 Other Banks					一 般 Ordinary
15,342	×	5,838	×	×	×	172	6,010	×	×	×	×	677	16,624	708	
18,141	×	5,709	×	×	×	672	6,381	×	×	×	×	1,148	19,167	1,187	
20,593	×	4,640	×	×	×	1,011	5,651	×	×	×	×	1,166	21,158	1,229	
21,317	×	5,646	×	×	×	1,377	7,023	×	×	×	×	1,624	21,843	1,683	
21,619	×	5,861	×	×	×	2,659	8,520	×	×	×	×	1,375	23,861	1,492	
22,965	×	8,042	×	×	×	3,156	11,198	×	×	×	×	2,248	24,097	2,357	
24,189	×	14,964	×	×	×	4,561	19,525	×	×	×	×	2,054	24,885	1,336	
28,674	×	21,900	×	×	×	4,152	26,052	×	×	×	×	2,337	29,791	2,525	
32,031	×	22,149	×	×	×	4,375	26,524	×	×	×	×	6,097	30,970	6,277	
41,093	×	21,796	×	×	×	5,139	26,935	×	×	×	×	7,414	39,013	7,634	
54,669	×	29,741	×	×	×	5,383	35,124	×	×	×	×	×	35,932	6,945	
82,367	×	40,395	×	×	×	5,175	45,570	×	×	×	×	×	83,720	6,335	
111,570	×	48,868	×	×	×	4,367	53,235	×	×	×	×	×	111,019	9,694	
149,783	×	60,997	×	×	×	3,431	64,328	×	×	×	×	×	138,283	21,854	
216,143	×	×	×	×	×	80,224	80,224	×	×	×	×	×	195,702	7,226	
282,995	×	×	×	×	×	83,089	83,089	×	×	×	×	×	262,109	9,985	
321,345	×	×	×	×	×	80,193	80,193	×	×	×	×	×	262,202	6,334	
327,105	×	×	×	×	×	80,622	80,622	×	×	×	×	×	264,620	6,928	
339,618	×	×	×	×	×	82,924	82,924	×	×	×	×	×	283,820	10,186	
346,572	×	×	×	×	×	83,129	83,129	×	×	×	×	×	296,757	6,664	
358,293	×	×	×	×	×	82,408	82,408	×	×	×	×	×	296,264	2,779	
366,725	×	×	×	×	×	82,271	82,271	×	×	×	×	×	318,223	6,779	
376,109	1,591	80,641	×	×	×	417	82,649	×	×	×	×	×	332,927	1,732	
121,196	×	×	×	×	×	43,510	43,510	×	×	×	×	×	332,910	—	
64,551	803	34,126	×	×	×	263	35,192	×	×	×	×	×	332,910	—	
52,123	786	24,668	×	×	×	227	25,681	政府保證 Guarant. by Gov't	10萬圓以 上	10萬圓下 以	×	×	332,910	9,783	
57,575	741	23,858	×	×	×	183	24,782	×	Over 100,000 Won	under 100,000 Won	×	×	332,898	7,840	
61,506	720	23,193	×	×	×	183	24,096	×	×	×	×	×	332,898	4,677	
69,772	672	22,583	×	×	×	205	23,460	×	×	×	×	150,029	6,025	332,899	6,795
109,562	622	26,578	×	×	×	186	27,414	×	×	×	×	165,402	46,168	332,899	8,823
145,401	736	25,819	108	×	×	364	27,027	×	×	×	×	168,674	72,919	332,807	22,745
161,945	2,435	25,591	1,088	×	×	3,046	32,160	×	×	×	×	168,941	92,474	332,807	17,561
155,344	49,549	31,445	6,459	380	×	7,537	95,370	29,723	×	×	×	169,239	67,954	332,789	19,216
135,634	80,814	37,833	8,492	810	×	13,763	141,712	35,994	6,241	59,306	105,718	168,902	52,480	332,765	22,725
158,231	104,605	49,977	10,770	1,549	34	16,044	182,979	38,994	17,495	126,490	168,514	55,305	332,743	41,813	
228,899	148,939	62,675	15,051	2,757	70	21,446	250,938	38,994	43,715	168,229	168,536	119,355	332,738	54,709	
174,986	208,266	77,349	77,975	5,126	70	26,751	395,537	88,520	56,824	250,193	181,056	45,702	332,728	80,483	
120,183	285,634	100,158	38,256	9,569	70	36,548	470,235	62,821	66,800	340,614	205,265	39,504	332,704	122,100	
27,947	366,321	118,280	45,084	14,871	70	44,306	588,932	83,900	86,921	418,111	194,626	42,747	332,704	84,227	
114,140	390,860	135,290	54,594	20,142	63	51,305	652,254	90,094	94,854	467,306	172,158	61,660	332,704	124,137	
62,852	365,059	142,785	57,069	17,508	63	51,928	634,412	105,467	96,968	431,977	168,926	26,756	332,704	9,276	
110,990	343,771	145,131	52,324	14,598	63	51,434	607,321	106,268	102,989	398,064	168,535	97,036	332,680	50,440	
174,539	348,736	148,725	45,435	11,712	63	51,572	606,243	109,933	108,966	387,344	153,000	71,229	332,655	72,195	
237,522	355,788	158,229	41,980	1,017	63	52,544	609,621	115,602	111,007	383,012	153,000	107,146	332,655	77,032	
314,241	358,851	172,334	42,525	1,014	63	52,178	626,965	114,911	116,963	395,811	153,000	133,441	332,655	99,620	
308,489	400,806	179,896	43,320	1,190	63	52,858	678,133	113,670	144,727	419,736	153,000	152,193	332,655	59,101	
349,615	395,160	195,674	44,984	1,032	63	53,552	690,465	106,231	153,178	431,056	153,000	171,584	332,655	74,222	
376,520	381,668	217,715	43,640	924	63	56,239	700,249	103,736	145,102	451,411	135,000	232,575	332,655	65,776	
525,243	405,070	236,689	45,685	1,042	63	59,609	748,095	101,159	135,905	511,031	150,000	324,514	332,655	102,533	
370,499	462,307	257,223	90,113	1,026	63	70,502	881,171	141,329	140,300	599,542	150,000	196,227	332,582	83,225	
△ 418,189	516,172	283,144	743,424	2,873	63	88,347	1,633,960	172,055	140,452	721,453	150,000	164,696	332,582	95,489	
△ 538,814	550,562	311,769	1,137,318	3,117	63	126,336	2,129,102	161,791	177,956	789,355	150,000	78,005	332,582	113,944	

1) Established in July 1928  
 2) It was the financial organ for the masses dealing only with the business of Savings Bank.  
 3) Since Feb. 1946 opened current accounts.  
 4) Since Aug. 1945 South Korea only.

(78) 普通銀行 Principal Accounts

Table with columns: 本店銀出所 (No. of Banks), 支店及出所 (No. of Branches), 資本金 (Capital), 積立金 (Reserve Fund), 預金 (Deposits), 預金貸出 (Advance of Deposits). Rows include years from 1926 to 1945 and months from Jan to Dec for 1946-1947.

- 1) 1899년에 대韓天一銀行의設立이普通銀行의嚆矢임
2) 資本構成이主로民族資本으로構成發達되어왔음
3) 1945年8月부터는南朝鮮에局限함
x 1947年9월부터財務部要承認貸付限度는10萬圓을50萬圓으로擴張함

主 要 計 定  
of Ordinary Banks

In 1,000 Won

貸			出					金				借用金 Borrowed Money	預撥金 Dep with Other	有價證券 Securities	現金及 地 Cash
手形貸付 Loans on Bills	證書貸付 Loans on Certificate	當座貸越 Over-draft	割引手形 Bills Disc.	荷形 Docu Bills	替形 Others	其他貸付 Others	計 Total	政府 Gov't	同業者 Other Banks	一般 Ordinary					
75,464	5,836	23,713	×	×	×	×	105 013	1 490	200	103,323	16,179	3 7 0	16,479	7,750	
72,333	4,834	24,042	×	×	×	×	101 214	1 072	×	100,142	16,499	3 304	14,072	7,462	
79,759	4,552	22,872	×	×	×	×	107 183	2 334	×	104,849	24,520	6 803	10,611	11,687	
89,592	4,569	20,126	×	×	×	×	114 287	953	×	113,331	25,779	5 799	9,108	4,987	
92 725	4,201	13,814	×	×	×	×	110 740	261	×	110,479	29,180	4 154	9,748	8,616	
84 716	3,824	12 846	×	×	×	×	111 386	1 199	44	110,143	33 237	4 615	26,834	9,092	
96 339	4,411	16 207	×	×	×	×	116 957	2 266	49	114,642	29 629	5 204	18,566	9,900	
103,120	4,524	16 876	×	×	×	×	124 520	1 427	6,728	116,365	32 582	7 468	30,003	14,012	
122 481	4,641	23 924	×	×	×	×	151 046	2 972	7,842	140,232	39 673	8 913	31,947	18,407	
125 918	5,233	26 419	×	×	×	×	157 570	403	229	156,938	36 724	7 999	32,633	12,687	
143 245	5 522	26 210	×	×	×	×	174 977	1,249	222	173 506	43 963	7,618	30 402	17,192	
158 828	5 697	31 133	×	×	×	×	195 658	917	583	194 151	47 804	9,210	21 035	18,438	
170 330	5 901	33 917	×	×	×	×	210 148	1,418	266	208 464	18 390	15,415	—	—	
252,838	13,127	54 800	×	×	×	×	320 765	1,399	452	318 914	33 662	11,976	63,682	25,814	
314 153	22,752	54 649	×	×	×	×	391 554	2,061	463	389 030	26 170	—	85 406	49,228	
333 322	30,791	73,958	×	×	×	×	438,071	6 540	715	430 816	16 236	21,138	104 530	53 952	
440 240	48,598	83,597	×	×	×	×	572,435	5 765	713	565 957	19 239	26,481	122 593	52 950	
493 284	106,785	71,749	5 835	×	×	×	677,653	×	×	×	×	×	219 711	74 744	
680 948	112,374	65,409	5 656	×	×	×	864,387	×	×	×	×	×	466 601	64 597	
682 806	133,090	61,552	4,010	×	×	×	881,458	×	×	×	×	×	495 509	×	
686 400	142 352	65 267	7,598	×	×	×	901 617	×	×	×	×	×	473 478	×	
737 692	134 429	64 438	4,327	×	×	×	940 886	×	×	×	×	×	500,584	×	
737 366	117 927	68 100	8,027	×	×	×	931 420	×	×	×	×	×	502 643	×	
771 383	122 345	57 435	4,453	×	×	×	955,616	×	×	×	×	×	504,420	×	
820,168	133,526	52 383	3,524	×	×	×	1,009,601	×	×	×	×	×	258,894	×	
896,989	118 031	51,033	2 833	×	×	×	1,068,886	×	×	×	×	37 980	550,071	34 642	
460,719	87 317	17 516	1,095	×	×	×	566,647	×	×	×	×	69 107	554,340	158 066	
389,978	85 935	14 225	627	×	×	×	490,765	×	×	×	×	70 557	553,867	94 940	
381,199	78 883	12 772	615	×	×	×	473,469	×	×	×	×	150 738	553,867	81,795	
377,427	73 814	10 317	491	×	×	×	462,049	×	×	×	×	152 340	554,328	85 937	
583,814	92 484	20,452	1,631	×	×	×	698,381	政府保証 Gov't	10,000以上 Over 10,000	10,000以下 under 10,000	×	327 920	564,604	109 107	
569 021	102 836	20,816	1,804	×	×	×	694,477	Grantant by Gov't	10,000以上 Over 10,000	10,000以下 under 10,000	×	369 892	564,610	121,919	
623 678	110 939	22,818	1,794	×	×	×	759,229	×	×	×	×	441 504	564,655	105,580	
654,387	6,583	104 675	22 448	1,768	78 754	868,615	45,173	499 720	323 722	×	×	445 953	564,594	128,471	
742 664	4,216	136 654	22 527	1,750	83 541	991,352	65,156	537 083	389 113	×	×	544,640	580,323	152,767	
851,408	4,244	100 472	21 327	2,147	95 721	1,075,319	61,327	545 951	468 041	×	×	777,030	589,092	141,043	
972 206	16,363	103 685	25 388	2,395	108 452	1,228,489	101,445	523 821	603 223	102,665	1,088,879	589,073	150,088		
1 142,646	39,429	170,623	29 955	2,219	95 052	1 479,924	130,734	596 708	752 482	97,227	1 114 954	590,613	221,808		
1 315 265	40,404	391 237	33 180	2,835	107 240	1 890,161	375,919	679 899	834 343	129,227	1 198 988	590,001	248,493		
1 458 064	39,252	398 412	33 939	2 965	114 798	2 047,430	404,346	710 822	932 262	116,511	1 892 197	589,913	354 156		
1 643 041	32,128	305 806	36 626	2 785	148 067	2 173,453	315,426	740 984	1,117 043	137,510	1 868 216	702,307	379 760		
1 852 569	31,845	309 644	40 541	2 769	177 246	2 414,614	302,751	823 152	1,288 711	204,410	1 749 008	702,307	608,485		
2 072 291	31,781	342,613	42 227	2 159	191 831	2 682,902	301,566	898 738	1,482,598	143,049	1,011 032	697,490	937,901		
2,212,827	31,744	314 213	43,921	2 033	206,519	2,811,257	261 390	976 808	1 573,059	168,811	1 011 459	702 307	536 892		
2,245,863	30,777	315 738	39,976	2 700	202,109	2,837,163	279 792	980 159	1 577,212	61,197	1 198 244	702 307	510 179		
2,335,378	29,937	311 090	37,169	1 880	208,420	2,923,874	281 648	813 896	1 828,330	37,348	1 360 405	690 288	670 921		
2,412,054	30,645	357 258	50,279	1 880	233,216	3,085,332	279 194	825 684	1 980,454	36,052	1 592 262	690 517	534 969		
2,493,069	22,238	361 410	56,003	321	235,299	3,168,340	293 662	968 738	1 905,940	56,438	1 790 524	695,325	517 473		
2,803,923	30,795	275 275	57,125	2 170	248,142	3,417,430	229 845	1,356 245	1 831,342	40,289	1 564 324	695 325	677 183		
2,905,815	29,259	298 118	58,838	1 840	248,925	3,542,795	198 882	1,418,418	1,925,495	51,471	1 547,546	695 325	729,120		
3,074,771	30,352	336 905	61,759	1 790	296,323	3 801,906	196 764	1,339,981	2,265,161	72,092	1 524,245	695 325	818 637		
3,428,542	29,953	335 992	64,663	1 790	321,911	4 182,851	213 265	1,240,471	2,729,115	44,071	1 365,721	695 295	950 637		
3,980,569	35,784	739 898	79,117	1 790	395,572	5 232,730	643 065	1,335,781	3,253,884	189,104	786,042	695 295	809 630		
4,231,227	36,664	759 277	79,557	2 115	445,021	9 553,861	4 716 992	1,371,487	3,465,382	4 085,290	911,950	695,295	1,083 648		
4,520,438	37,337	6,366,132	80,062	2 840	494,167	11,500,976	5,305,551	1,445,256	3,750,169	5 199,234	1,686,203	695,295	1,437,048		

- Taihan Chumil Bank established in 1899 was the first of ordinary banks.
- The capital has been mainly composed of and developed by capitals of Korean nation.
- Since Aug. 1945 South Korea only. x Beginning Sept. 1947, the limit of 1cc credit which needs no approval of Dept. of Finance, extended from 100,000 Won to 500,000 Won.

(79) 全 銀 行  
Principal Accounts

本店 支店及出張所 No. of Office Branch	定期預金 Fixed Deposit	當座預金 Current Deposit	特當預金 Special C. D.	通知預金 Notice Deposit	別段預金 Special Deposit	諸預金 All Other			計 Total	公 同 業 者 Gov't Other Banks			一 般 Ordinary	預金貸出封照 Balance of Deposits & Loans	
						千円	千円	千円		千円	千円	千円		千円	千円
1926	18 140	85,360	35,134	39,378				33,219	193,091	17,164	19,061	156,866	△	179,103	
1927	18 143	88,169	33,415	46,302				32,422	200,308	16,430	17,267	166,611	△	186,115	
1928	16 147	102,447	29,683	36,045				64,477	232,652	20,475	25,773	186,404	△	167,328	
1929	17 155	111,510	30,275	60,610	×			56,355	258,750	19,764	26,043	212,943	△	168,446	
1930	16 159	113,959	31,010	55,067				42,409	242,445	16,285	14,122	212,038	△	221,764	
1931	15 166	121,568	33,073	57,377	×	×		47,914	259,932	21,910	25,906	212,116	△	234,968	
1932	15 170	131,964	38,567	63,283	×	×		53,080	286,894	22,341	37,519	227,034	△	250,177	
1933	11 177	159,872	44,318	68,392	×	×		54,858	327,440	26,587	46,806	254,047	△	223,020	
1934	11 181	170,185	56,328	83,930				65,887	376,330	35,801	54,719	285,810	△	237,331	
1935	10 202	167,836	51,426	99,741				47,603	366,606	51,202	53,479	261,925	△	320,877	
1936	10 216	182,281	65,690	116,989	×	×		47,842	410,802	44,388	33,287	332,677	△	435,028	
1937	10 204	202,072	88,420	130,206	×	×		41,761	462,459	44,315	42,863	374,776	△	495,449	
1938	9 217	288,873	114,721	164,372	×	×		56,350	624,316	55,255	99,949	470,212	△	429,033	
1939	9 236	344,004	194,530	238,768	×	×		90,578	67,880	63,344	138,282	666,254	△	638,57	
1940	9 243	400,862	275,718	327,990	×	×		144,763	1,149,333	80,636	137,785	930,912	△	813,831	
1941	7 240	496,064	328,456	396,822	×	×		174,471	1,395,813	113,117	139,322	1,143,374	△	781,736	
1942	6 271	760,295	347,509	500,664	×	×		222,873	1,831,341				△	672,332	
1943	5 278	1,007,553	452,360	413,762	×	×		688,615	562,29				△	493,211	
1944	5 260	298,840	511,169	705,292	×	×		830,055	3,345,35				△	249,914	
1945 1	5 244	350,113	561,032	740,951	×	×		837,606	3,489,702				△	229,823	
2	5 244	260,239	519,667	759,769	×	×		876,259	3,415,934				△	488,473	
3	5 245	288,317	597,842	842,166	×	×		1,041,136	3,769,461				△	222,925	
4	5 247	320,155	568,781	861,733	×	×		951,989	3,702,658				△	13,332	
5	5 247	284,731	627,866	925,590	×	×		949,318	3,787,505				△	51,428	
6	5 247	354,446	669,520	984,324	×	×		1,023,242	4,031,532				△	136,799	
7	5 247				×	×							△		
8	5 164	528,690	1,121,738	291,177	×	×		455,153	2,396,758				△	4,424,526	
9	5 164	387,513	472,423	333,274	×	×		473,100	1,666,810				△	5,474,003	
10	5 164	350,028	486,690	387,108	×	×		543,229	1,767,055				△	5,412,609	
11	5 164	320,064	582,190	609,354	×	×		646,828	2,158,436				△	4,733,032	
12	5 164	331,873	741,558	952,579	×	×		789,625	2,815,635				△	4,269,506	
1946 1	5 170	314,072	1,124,854	1,122,047	×	×	1,583	918,217	3,480,773				△	2,450,586	
2	5 170	354,558	1,034,615	1,261,697	×	×	2,476	1,890,691	4,543,437				△	1,147,122	
3	5 170	439,560	1,125,341	1,343,095	130,980			1,305,836	4,924,808	956,919	660,532	3,307,356		855,666	
4	6 207	609,275	1,310,114	1,373,956	717,942	142,436	1,812,483	5,966,206	1,457,548	772,651	3,736,007		121,562		
5	6 206	077,145	1,573,676	1,683,146	631,318	156,067	2,623,107	7,744,459	2,269,627	1,335,162	4,139,670		1,908,719		
6	6 206	936,461	1,737,799	1,839,521	1,171,146	122,004	2,637,358	8,444,289	2,265,382	1,430,484	4,748,423		2,348,807		
7	6 206	1,121,659	1,906,973	2,056,340	1,120,270	189,999	3,566,894	10,052,135	3,180,755	1,467,899	5,403,481		3,009,662		
8	6 205	1,208,258	2,190,805	2,246,620	1,313,577	157,430	3,636,651	10,753,341	3,219,704	1,358,482	6,175,155		3,018,906		
9	6 205	1,238,032	2,567,814	2,317,686	1,294,035	207,521	3,881,525	11,506,613	3,438,647	1,288,906	6,779,062		3,399,381		
10	7 211	1,329,553	2,578,803	2,283,304	1,328,505	186,342	4,141,515	11,848,022	3,693,487	1,174,535	6,980,002		3,382,642		
11	7 210	1,242,909	3,144,858	2,564,845	1,448,448	212,624	4,694,228	13,307,912	4,195,308	1,181,038	7,931,566		2,165,753		
12	7 210	1,333,540	3,542,519	2,972,127	1,593,148	310,216	5,319,433	15,075,938	4,738,350	1,642,930	8,694,703		1,937,070		
1947 1	7 209	1,375,669	3,357,335	2,908,015	1,865,677	246,827	6,001,404	15,754,927	6,392,002	1,893,666	7,469,259		2,314,608		
2	7 209	1,354,735	3,531,795	3,060,719	2,984,706	437,979	6,837,670	17,827,604	7,284,760	2,761,570	7,781,274		4,765,515		
3	7 209	1,474,049	4,110,739	3,276,373	2,985,498	491,283	8,136,808	20,474,750	9,315,663	2,922,166	8,236,921		7,842,030		
4	7 209	1,474,052	4,077,703	3,607,917	3,577,093	669,543	9,632,440	23,038,748	11,067,025	3,321,929	8,649,794		10,408,450		
5	7 209	1,445,770	4,332,029	3,949,230	3,814,185	582,978	9,963,152	24,087,344	11,259,712	3,589,891	9,237,741		11,206,266		
6	7 209	1,419,038	4,824,835	3,799,977	3,216,925	611,246	11,247,095	25,119,116	12,782,994	3,067,913	9,268,209		14,946,638		
7	7 168	1,312,870	4,849,755	4,063,971	3,099,966	652,573	13,481,072	27,460,207	15,335,224	2,956,687	9,168,296		16,642,625		
8	7 168	1,509,882	4,621,416	4,122,321	3,176,642	498,105	14,132,399	28,060,765	15,897,790	2,646,484	9,516,491		16,560,890		
9	7 168	1,511,875	5,959,617	4,366,065	3,806,321	602,809	15,740,846	31,487,533	18,993,863	2,653,205	10,730,465		18,249,190		
10	7 168	1,534,684	5,676,102	4,299,696	2,777,637	999,153	18,631,857	33,419,139	21,465,720	1,625,108	10,328,311		19,264,296		
11	7 168	1,582,064	6,531,370	4,563,063	2,361,182	700,371	19,331,857	35,069,907	22,269,901	1,970,274	10,889,732		4,821,526		
12	7 168	1,902,503	6,966,978	5,466,717	4,302,446	814,455	20,821,223	40,274,322	22,895,503	3,083,385	14,295,434		5,332,202		

1) 朝鮮銀行を包含  
2) 1945年8月부리朝鮮銀行의 政府貸上金은包含치 않음

# 主 要 計 定

## of All Banks

In 1,000 Won

Loans													借金 Borrowed Money	現金 Cash	預置金 Deposits with Other
手形貸付 Loans on Bill	證書貸付 L. on Certificate	當座貸付 Overdrafts	割引貸付 Bill Dis- counted	荷形替 手形 Docu. Bills	其他貸付 Others	計 Total	官公 Gov't	同業者 Other Banks	一般 Ordinary						
309,205		11,333	42,135	9,521		372,194	51,387	35,408	285,399	105,091	41,331	8,794			
323,736		10,794	42,407	9,576		386,423	52,909	31,098	302,416	95,267	55,924	10,189			
341,069		10,300	40,210	8,401		399,980	60,581	26,177	313,222	178,786	82,192	12,244			
367,960	5,838	10,392	34,826	8,008	172	427,196	60,084	34,226	332,886	179,838	60,226	12,885			
415,114	5,709	10,614	27,085	5,015	672	464,209	66,826	52,579	344,804	184,451	37,434	3,762			
443,089	4,640	10,843	27,749	7,568	1,011	494,900	74,234	51,490	369,176	187,837	35,018	9,167			
467,877	5,646	13,656	36,621	11,894	1,377	537,071	93,446	46,252	397,373	221,655	74,175	13,606			
483,795	5,861	13,775	36,500	7,870	2,659	550,460	86,124	51,152	413,184	244,062	99,408	15,291			
519,202	8,042	15,500	57,195	10,566	3,156	613,661	85,758	59,636	468,267	267,301	118,569	16,406			
565,673	14,964	18,123	53,779	30,382	4,562	687,483	*	*	*	217,718	122,315	10,053			
705,886	21,900	26,548	63,645	23,698	4,153	845,830	*	*	*	222,998	130,808	9,955			
806,403	22,149	26,313	78,734	19,934	4,375	957,908	86,354	61,982	809,572	284,481	183,462	19,865			
900,853	21,796	25,022	88,008	12,531	5,139	1,053,349	86,121	35,048	932,180	210,484	118,257	31,080			
1,297,564	29,741	48,218	118,805	6,739	5,383	1,506,450	95,544	91,391	1,319,515	144,365	41,814	17,747			
1,736,436	40,395	65,398	111,044	4,716	5,175	1,963,164	104,057	57,238	1,801,869	86,569	79,269	28,752			
1,892,593	48,868	79,604	148,526	3,591	4,367	2,177,549	43,783	66,851	2,067,415	102,264	95,655	33,715			
2,172,237	60,897	117,545	145,392	4,221	3,431	2,503,723	*	*	*	19,239	112,747	26,481			
2,445,447	*	401,933	123,373	10,525	80,224	3,061,510	*	*	*	—	183,087	*			
3,019,933	*	365,167	112,688	14,393	83,089	3,595,270	*	*	*	3,037,863	369,309	*			
3,082,260	*	437,336	108,376	11,360	80,193	3,719,525	*	*	*	4,395,919	281,263	*			
3,237,521	*	458,823	112,179	15,262	80,622	3,904,407	*	*	*	31,456	104,595	*			
3,323,573	*	454,789	117,907	13,193	82,924	3,992,386	*	*	*	6,553,325	668,345	*			
3,099,442	*	396,297	119,488	17,634	83,129	3,715,990	*	*	*	9,358,287	412,278	*			
3,263,512	*	377,936	109,621	15,456	82,418	3,838,933	*	*	*	9,332,894	534,938	*			
3,346,603	*	347,826	104,499	13,534	82,271	3,894,733	*	*	*	10,978	98,958	*			
5,594,864	*	1,127,054	52,508	3,348	43,510	6,821,284	*	*	*	10,978	125,860	75,063			
5,902,761	34,126	1,153,639	46,744	2,780	263	7,140,313	*	*	*	10,978	387,237	264,330			
5,839,287	24,668	1,268,082	44,959	2,431	237	7,179,664	政府保證 Guarant by Gov't	10萬圓 以上	10萬圓 以下	10,978	327,685	218,573			
5,483,633	23,858	1,338,165	43,324	2,305	183	6,891,468		Over 100, 000 Won	under 100, 000 Won	10,978	324,269	195,596			
5,499,051	23,193	1,459,301	63,749	3,664	183	7,085,141				10,978	576,175	356,717			
5,286,062	22,583	555,574	63,098	3,837	205	5,931,359	*	*	*	161,007	1,009,058	457,942			
5,062,895	26,578	532,843	64,236	3,821	186	5,690,559	*	*	*	176,330	1,092,277	529,974			
4,282,094	43,694	597,781	59,325	3,797	793,783	5,780,474	188,107	4,935,238	657,129	179,652	1,253,370	565,779			
4,325,494	41,074	616,147	59,742	3,779	798,408	5,844,644	282,932	4,833,881	727,831	179,919	1,292,882	699,486			
4,391,622	46,950	520,688	59,753	4,176	812,551	5,835,740	290,862	4,676,350	868,528	227,277	1,309,385	931,599			
4,580,206	65,453	506,584	65,039	4,424	873,777	6,095,482	336,054	4,702,209	1,057,219	286,545	1,402,946	1,329,184			
4,795,581	100,664	1,180,056	72,028	4,282	889,862	7,042,473	796,196	4,945,371	1,300,906	295,557	409,391	322,070			
5,014,780	114,336	1,593,644	77,661	3,850	930,164	7,734,435	1,184,744	5,152,957	1,396,734	327,579	473,262	313,352			
5,314,599	125,757	1,593,659	81,149	3,682	988,388	8,107,234	1,320,507	5,169,215	1,617,512	299,126	643,463	994,574			
5,725,191	145,450	1,459,731	89,427	3,502	1,042,081	8,465,382	1,223,096	5,314,296	1,927,990	344,335	745,217	240,914			
6,227,498	163,618	3,522,990	99,060	3,486	1,125,507	11,142,159	3,453,940	5,475,075	2,213,144	400,595	956,338	871,194			
6,546,520	180,679	5,117,794	109,275	2,869	1,181,776	13,138,913	5,073,850	5,599,627	2,465,436	316,766	1,456,614	1,355,677			
6,630,141	188,560	5,247,829	108,563	2,743	1,262,483	13,440,319	5,251,811	5,716,569	2,471,912	339,296	988,583	1,461,819			
6,567,066	189,890	4,939,648	102,005	2,410	1,261,070	13,062,089	5,059,351	5,572,891	2,429,847	231,291	905,020	2,212,138			
6,536,748	192,664	4,462,513	98,247	2,588	1,339,960	12,632,720	4,601,775	5,345,857	2,685,088	191,907	1,784,650	2,357,596			
6,506,410	202,693	4,414,317	100,728	2,590	1,403,560	12,680,298	4,525,678	5,257,695	2,846,925	190,611	976,360	1,059,533			
6,544,986	208,390	4,512,135	106,910	1,031	1,507,626	12,881,078	4,636,956	5,495,547	2,748,575	210,997	1,028,090	3,073,788			
7,079,923	224,404	948,674	113,036	2,880	1,803,561	10,172,478	1,165,200	6,202,164	2,805,114	194,848	1,193,306	2,583,162			
7,104,022	283,637	1,205,749	113,916	2,550	2,152,708	10,817,582	1,322,815	6,551,909	2,942,858	206,030	1,101,568	2,183,651			
7,359,081	261,795	1,262,780	118,403	2,500	2,495,316	11,499,875	1,420,832	6,738,243	3,341,250	335,196	1,132,381	2,316,630			
8,024,228	280,354	1,362,390	120,875	2,842	2,874,654	12,638,343	1,743,673	6,647,203	4,247,467	195,630	1,400,991	2,316,759			
8,919,061	307,511	1,900,117	140,360	2,437	2,885,357	14,154,843	2,363,528	7,275,571	4,515,744	540,663	1,242,213	1,165,399			
9,412,628	339,436	1,726,524	142,808	2,762	3,082,223	30,248,381	9,075,709	15,722,760	5,449,912	9,198,678	1,775,037	1,212,610			
9,616,977	370,178	2,509,191	146,629	3,481	3,295,664	34,942,120	11,770,641	17,353,287	5,818,192	10,656,049	1,264,958	1,903,938			

1) Including Chosun Bank.

2) Beginning Aug. 1945 excludes the money borrowed by the government from Chosun Bank.

(80) 金 融 組 合 會  
Principal Accounts of

年 次	組合數 No. of Associations		組合員數 No. of Members	出 資 金 Funds		積立金 Reserve Fund	政府 府 給 付 基本 金 Funds Given by Gov't	預 金 及 積 金 Deposits and Reserve					預金貸出 對 △貸出超過 Balance of Deposit & Loan △L. Exceed					
	本所 Main Offi- ce	支所 Branch- es		總 額 Total	未 入 濟 Fund			定期 Fixed Deposits	據 置 Defered Deposits	貯 蓄 Savings Deposits	當 座 Current Deposits	定期積金 Fixed Reserve Dep		特別預金 Special Deposits	合 計 Total			
1929	621	68	588 560	11 545	2,984	12 295	3 777									76,892	△	28 039
1930	643	106	671 844	12 504	3,494	13 133	5 857	28 233	7 372	38 760	2,327	3,436				80,128	△	43 240
1931	660	141	726 294	13,005	3,727	13,556	3,968	34 887	7 962	39 689	2,617	3,624				88,779	△	35 113
1932	674	155	831 018	13 419	4,056	14 324	4 027	41 413	9 164	45 715	3,097	4,364				103,753	△	24 079
1933	685	172	1 003 648	15 129	5,258	15 647	4 092	47 080	11 403	57 589	3,286	4,926				124,284	△	9 613
1934	692	186	1,178 538	17 045	6,466	17 779	4 132	52 805	11 942	65 525	3,962	5,183				139,417	△	10 690
1935	698	199	1 363 274	19,181	7,684	19 070	4,162	58,345	11 897	72 622	4,422	6,131				153,417	△	25 908
1936	709	209	1 561 426	21 513	9,050	20 809	4,217	62,009	10 230	77 156	4,814	8,146				162,355	△	66 109
1937	719	215	1 637 271	22 437	8,792	23 200	4,235	68,229	10 258	84 641	5,837	10,550				179,515	△	52 663
1938	723	216	1 747 728	23 568	8,844	26 017	4,259	84,040	21 395	104 190	7,127	12,284				229,036	△	28 879
1939	723	215	1 982 022	26 306	16,757	28 933	4,262	101,674	28 362	149 470	12,772	16,336				308,614	△	21 559
1940	722	216	2 170 301	28 419	11,542	32 923	4,262	130,061	47 078	219 142	11,589	24,272				432,142	△	68 002
1941	722	215	2 351 402	30 431	12,105	38 222	4,262	158,636	89 700	286 858	16,824	34,196				586,214	△	177 954
1942	626	283	2 515 691	32 671	13,015	44 317	4,262	191,120	134 800	360 349	18,724	48,938				753,931	△	255 170
1943	613	297	2 719 110	31 789	13,644	51 553	4,265	254,838	204 527	584 350	41,867	60,154			271	1,146,007	△	596 468
1944	613	299	2,864,543	36,156	13,572	60,410	4,265	360,993	287,031	967 174	50,939	71,716	14,023			1,751,876	△	1,224,057
1945 4	613	299	2 878,586	35 939	13,470	66 701	4,265									1,837,610	△	1,302 871
5 May	613	299	2 885,629	35 942	13,474	66 843	4,265									1,899,023	△	1,355 785
6 June	613	299	2 891,448	36 024	13,431	66 880	4,265									1,968,474	△	1,418 812
7 July	411	213	2 068 975	25 669	10,317	42 970	2 866									1,366,907	△	971 472
8 Aug.	401	200	1 970,980	24 687	9,609	40 938	2 866									982,761	△	610 374
9 Sept.	401	200	1 972,990	24 665	9,604	40 853	2 705									752,848	△	411 168
10 Oct.	401	200	1 985 116	24 913	—	41 836	2 737									625,964	△	300 280
11 Nov.	401	200	1 985 116	24 871	9,639	41 768	2 719									625,570	△	305 831
12 Dec.	401	200	1 988,096	24 877	9,598	41,450	2,720									635,674	△	309 987
1946. 1	401	200	1 971,756	24 837	9,551	41 654	2 728	94 151	499 531	27,708	25,468	11,160				658,018	△	321,374
2 Feb.	401	200	1 972 366	24 946	9,543	41 809	2 737	91 732	531 452	31,563	28,334	10,733				693,814	△	316,474
3 Mar.	401	200	1 963 056	25 049	9,452	42 144	2 741	88 578	76,345	519,239	45,284	31,731	10,692			771,869	△	329,026
4 Apr.	401	200	1 967 619	23 582	8,853	41 149	2 747	88 990	75 989	495 201	51,446	37,286	10,630			759,542	△	267,285
5 May	401	200	1 970 862	23 345	8,754	41 089	2 732	90 384	75 046	557 949	105,473	42,279	9,026			880,157	△	376,914
6 June	401	200	1 962,381	23 312	8,690	42 586	2 729	93 540	72 566	625 722	73,563	42,397	11,276			919,064	△	404,835
7 July	401	200	1 960,730	23 348	8,681	41 207	2,747	91 280	73 471	785 610	56,221	46,817	20,641			1 074,040	△	542,916
8 Aug.	401	200	1 962,694	23 373	8,672	41 146	2,747	90 116	69 722	775 356	89,503	46,943	10,944			1 082,584	△	519,483
9 Sept.	401	200	1 967,963	23 431	8,809	41 261	2,747	89 903	70 824	870 989	88,695	47,348	16,124			1 183,883	△	571,553
10 Oct.	401	200	1 961 424	23 413	8,659	41,149	2,747	94 460	71 272	864 883	126,875	61,644	10,020			1 229,154	△	573,954
11 Nov.	401	200	1 971 832	23 384	8,654	41,152	2,747	99 935	72,470	1,038,272	232,066	70,348	9,940			1 523,031	△	832,251
12 Dec.	401	200	1 949 890	23 470	8,619	41,140	2 747	108 579	72,640	1,286 947	372,279	89,866	9,781			1,940,092	△	1,208,262
1947. 1	401	200	1 951 444	23 489	8,599	42 580	2 747	109,369	70,699	1,249,776	453,636	85,476	9,784			1 978,740	△	1,201,167
2 Feb.	401	200	1 957 371	23 509	8,555	41 157	2 747	97,118	71,053	1,444 885	459,598	87,612	10,107			2 165,373	△	1,334,354
3 Mar.	401	200	1 958 835	23 375	8,432	41 095	2 747	115,484	72,578	1,833,276	398,534	113,591	31,707			2 565,170	△	1,681,851
4 Apr.	401	200	1 948 369	23 276	8,362	43 637	2 747	115,966	74,588	1,681,209	587,631	134,102	28,644			2,622,140	△	1,622,467
5 May	401	200	1,972 461	23 305	8,366	43 651	2 747	126,351	92,730	1,777 259	660,882	141,728	28,806			2,827,756	△	1,690,020
6 June	401	200	1,970 654	23 900	8,341	43 723	2 747	122,283	71,406	1,728 115	674,112	146,486	81,406			2,823,808	△	1,564,112
7 July	401	200	1,975 651	31 150	11,102	43 722	2 747	151,331	74,739	1,898 765	668,064	158,759	70,938			3,022,596	△	1,638,620
8 Aug.	142	409	1,954,488	36 399	11,752	43 623	2 747	114,803	68,753	1,692 541	654,238	184,834	56,577			2,771,746	△	1,230,400
9 Sept.	142	409	1,994,617	38,559	12,770	43 617	2 747	127,720	92,095	1,787 567	716,199	195,229	34,305			2,953,115	△	1,281,420
10 Oct.	142	409	1 990 545	40,052	13,162	43 658	2 747	147,992	92,861	1,981,053	807,255	249,881	24,913			3 033,755	△	1,415,301
11 Nov.	142	409	2,066 740	42,299	14,079	43 698	2 747	149,597	75,081	2,429,494	1,175,775	327,186	64,974			2,221,107	△	2,155,130
12 Dec.	142	409	2,087 572	50,097	13,591	43 651	2,747	210,571	77,252	3,074,828	1,299,359	350,824	38,991			5,051,825	△	2,877,544

- 1) 資料——金融組合聯合會調查課
- 2) 1907년에設立
- 3) 農村、漁村의 庶民金融을取扱하는金融機關인
- 4) 金融組合은會員制로構成되어있고全會員及中樞機關인金融組合聯合會의管轄下에있음
- 5) 1945年8月부터는南朝鮮에局限함

# 主 要 計 定

## Financial Associations

In 1,000 Won.

貸 出 金 Loans			年 月 中 合 計 Total of During Each Month or Year			媒介貸付	借入金	有價證券	預 置 金	現 金	
特 別	普 通	割引手形	貸出額	同收額	年月末残額	Loans to Non-Member	Amount of Borrowed	Securities	Deposits with Others	Cash	
Special Loans	Ordinary Loans	Bills Discounted	Loaned Amount	Collected Amount	Balance at the End of Year or M.						
千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
5,661	117,270	437	116,663	115,345	123,892	11,490	58,526	6,933	45,665	2,954	
9,537	118,047	248	117,173	112,617	127,832	10,242	66,491	7,746	55,363	3,040	
15,757	117,948	192	128,097	121,084	133,897	10,211	55,541	7,984	71,210	3,192	
27,397	128,549	161	150,895	134,107	150,107	11,433	60,417	7,856	76,912	3,110	
29,306	149,884	135	185,934	156,725	179,325	16,327	82,137	6,370	85,728	3,527	
35,433	192,903	128	239,366	190,227	228,464	21,730	112,660	8,099	80,240	4,040	
38,722	193,351	105	203,529	199,861	232,178	21,968	114,640	8,625	99,089	4,466	
46,972	210,856	87	253,245	227,508	257,915	22,985	111,660	9,478	120,120	5,115	
40,606	289,522	45	348,942	276,783	330,173	26,819	128,434	9,779	147,896	7,241	
40,443	323,653	44	357,730	323,764	364,140	24,867	123,102	10,124	234,275	14,349	
44,676	363,526	58	381,003	336,889	408,260	23,082	108,049	12,241	338,883	16,832	
55,152	443,520	89	518,555	428,053	498,761	20,485	105,363	13,519	418,733	14,767	
77,187	472,217	135	567,463	516,685	549,539	15,969	115,453	14,527	783,830	17,013	
78,937	448,724	158	482,903	504,966	527,819	11,636	114,716	14,857	1,412,535	40,253	
※	※	※	※	※	※	534,739	11,296	116,151	14,988	1,502,722	26,445
※	※	※	※	※	※	543,238	10,948	117,030	15,007	1,552,389	25,294
※	※	※	※	※	※	549,662	10,505	117,145	15,056	1,607,131	30,802
※	※	※	※	※	※	395,435	7,980	88,619	9,522	1,110,968	19,593
※	※	※	※	※	※	372,387	7,646	121,128	9,075	646,306	152,160
※	※	※	※	※	※	341,680	7,340	148,305	9,210	469,760	132,550
※	※	※	※	※	※	325,684	7,360	124,295	9,610	365,270	125,797
※	※	※	※	※	※	319,739	7,230	113,336	9,631	355,175	100,359
※	※	※	※	※	※	325,687	6,820	109,177	9,673	355,900	94,965
※	335,518	1,126	※	※	※	336,644	6,460	106,029	9,676	353,740	88,076
28,773	414,070	※	75,419	8,182	442,843	5,347	137,875	33,607	347,889	143,201	
27,285	464,972	※	63,271	13,856	492,257	4,940	143,330	33,654	302,132	78,654	
26,235	477,008	※	22,292	11,973	503,243	4,536	147,157	33,969	367,294	103,719	
24,963	485,610	3,656	39,969	28,614	514,229	4,277	147,919	34,060	408,610	85,811	
22,506	504,731	3,887	48,288	31,398	531,124	4,197	145,833	35,150	450,532	226,583	
22,187	536,841	4,073	77,866	45,889	563,101	4,237	143,584	35,219	491,911	155,392	
22,926	585,116	4,288	99,973	49,744	612,330	4,366	139,555	35,534	554,850	158,674	
21,977	628,518	4,705	130,691	87,819	655,200	4,400	150,249	36,024	519,300	133,265	
20,827	665,787	4,166	148,640	113,056	690,780	4,458	153,986	36,826	649,771	324,401	
19,337	707,604	4,889	205,040	159,297	731,830	4,340	152,498	37,513	995,577	429,355	
18,590	753,866	5,117	86,031	32,585	777,573	4,206	144,681	38,630	1,118,107	430,955	
17,219	808,787	5,013	175,040	122,739	831,019	3,980	146,383	42,242	1,387,922	609,612	
14,069	859,652	9,598	182,834	66,480	883,319	3,522	147,163	40,732	1,469,722	621,781	
11,435	980,145	8,093	182,835	66,480	999,673	3,078	145,732	107,942	1,410,446	274,150	
10,247	1,119,027	8,462	224,859	86,797	1,137,736	2,998	165,348	108,801	1,439,220	342,183	
—	1,249,410	10,286	267,928	85,868	1,259,686	2,897	200,538	108,925	1,356,832	272,742	
—	1,375,770	8,206	264,504	140,224	1,383,976	2,957	212,962	114,703	1,481,748	337,193	
—	1,535,213	6,133	382,610	225,240	1,541,346	2,931	272,971	115,321	1,299,186	256,494	
—	1,658,313	13,382	436,114	305,765	1,671,695	2,934	285,938	115,542	1,303,274	360,990	
—	1,861,456	26,998	809,059	592,300	1,888,454	2,883	311,053	116,899	1,414,793	444,766	
—	2,042,033	24,944	365,668	187,145	2,066,977	2,854	310,920	117,200	1,631,722	1,030,318	
—	2,140,959	33,322	391,169	283,865	2,174,281	2,610	317,443	118,060	2,156,489	1,041,286	

1) Source :—Research Dept. of the Federation of Financial Associations.

2) Established in 1907.

3) Financial organ for the masses in farm villages and fishing villages.

4) Composed by membership system, and all the members and all Financial Associations are under the control of the Federation of Financial Associations, the central organ of them.

5) Since Aug. 1945 South Korea only.



(81) 信託銀行(信託社會)主要計定  
Principal Accounts of Chosun Trust Bank (Chosun Trust Co.) In 1,000 Won

	本店數 Head Office	支店數 Bra- ches	拂 查 本 金 Paid-up Capital	積立金 Reserve Funds	有價證券 Securities	諸貸付金 Loans	不動產 Real Estate	現金預託金 Cash & D. with Others	金錢信託 Money in Trust	金債債權 Monetary Claims in Trust	有價證券 信託 Securities in Trust	土地建物 信託 Land & Fix in Trust
1932	5	—	1,973	千円 250	千円 258	千円 1,558	千円 1,225	千 395	千円 8,168	千円 15	千円 3	千円 985
1933	5	1	3,823	226	1,212	1,247	3,517	2,121	17,496	7	8	3,101
1934	2	4	2,750	65	1,381	902	10,596	448	29,780	6	133	10,216
1935	1	5	2,500	76	1,240	577	17,240	556	33,934	46	192	17,126
1936	1	5	2,500	123	1,517	241	17,635	569	43,542	80	5,930	17,486
1937	1	6	2,500	213	11,262	45,170	24,233	3,370	49,677	89	8,335	20,922
1938	1	6	2 00	363	22,956	49,047	30,425	9,449	59,277	89	20,025	30,113
1939	1	6	2 00	628	34,782	55,498	35,918	10,335	75,235	115	22,220	36,384
1940	1	6	2,500	948	36,887	67,844	42,725	5,376	83,839	215	23,260	43,077
1941	1	7	2,500	1,272	47,423	66,663	50,101	5,886	92,229	215	24,208	50,327
1942	1	7	2,500	1,602	57,482	69,290	55,371	6,396	105,060	232	23,523	55,894
1943	1	7	2 00		72,156	71,062	61,549	7,091	127,660	—	21,420	63,924
1944	1	7	2,500	※	100,858	69,381	66,365	5,835	156,666	503	19,398	57,597
1945. 3 Mar.	1	7	2,500	※	103,125	71,627	68,844	7,717	161,754	584	19,325	72,384
6 J	1	7	2 00	※	107,253	70,339	98,751	5,624	164,368	684	19,020	70,053
9 Sept.	1	6	2,500	※	104,430	61,450	64,405	9,234	163,263	422	12,589	64,824
12 Dec.	1	6	2 00	※	107,193	59,843	64,427	12,581	163,580	59	12,685	65,452
1946. 1 Jan.	1	6	2,500		104,249	59,502	64,416	18,596	156,620	59	12,722	74,314
2 Feb.	1	6	2,500	※	105,872	58,613	64,096	26,819	156,197	59	12,676	82,220
3 Mar.	1	6	2,500	2,492	107,793	58,612	63,511	28,135	161,029	59	12,751	81,753
4 Apr.	1	6	2,500	2,492	106,750	60,805	62,601	27,106	162,041	59	12,739	78,160
5 May	1	6	2,500	2,492	106,750	55,688	62,365	22,191	156,516	59	12,742	73,346
6 June	1	6	2,500	2,492	106,750	55,688	61,803	20,082	159,402	59	12,730	72,892
7 July	1	6	2,500	2,492	106,750	60,609	61,156	21,354	158,033	59	12,708	72,974
8 Aug.	1	6	2,500	2,492	106,750	63,655	60,993	17,841	157,443	59	12,708	71,934
9 Sept.	1	6	2,500	2,492	106,750	62,333	57,911	13,654	158,511	59	12,762	67,288
10 Oct.	1	6	2,500	2,492	106,750	61,921	57,583	15,645	156,326	59	12,739	66,683
11 Nov.	1	6	2 00	2,492	106,750	60,170	54,421	12,797	155,565	59	12,752	61,844
12 Dec.	1	6	2,500	2,492	106,750	57,632	76,894	11,672	152,606	5	12,762	85,942
1947. 1 Jan.	1	6	2,500	2,492	106,750	57,097	400,867	16,340	154,748	59	12,740	413,328
2 Feb.	1	6	2,500	2,492	106,750	56,081	400,388	18,559	154,044	59	12,748	415,166
3 Mar.	1	6	2,500	2,492	91,933	54,876	398,348	31,972	143,145	59	12,748	434,154
4 Ap	1	6	2,500	2,492	91,933	52,283	396,439	31,324	142,698	59	12,703	430,831
5 May	1	6	2,500	2,492	91,933	50,947	396,043	54,192	142,819	59	12,731	445,147
6 June	1	6	2 00	2,492	91,933	50,336	393,845	56,296	159,951	59	12,697	428,329
7 July	1	6	2,500	2,429	91,933	47,680	391,797	52,885	143,009	59	12,699	430,542
8 Aug.	1	6	2,500	2,492	91,933	44,167	391,403	42,868	141,775	59	12,685	420,749
9 Sept.	1	6	2,500	2,492	106,750	28,118	385,128	28,183	128,778	59	12,740	406,045
10 Oct.	1	6	2,500	2,492	106,750	27,690	400,434	25,516	128,084	59	12,704	413,100
11 Nov.	1	6	2,500	2,492	106,650	27,507	400,246	24,355	129,290	59	12,600	411,835
12 Dec.	1	6	2,500	2,492	106,742	27,154	122,128	29,632	131,602	59	11,680	136,337

## (82) 相互銀行(無盡會社)主要計定

## Principal Account of Chosun Mutual Aid Bank

單位=千圓

In 1,000 Won

	會社數 Corporation	資本金 Capital	拂込未済 資本金 Capital of Un-Paid	積立金 Reserve Funds	無盡給付 資本金 Presentati- on Funds	未拂無盡 給付金 Presentat. of Unpaid	預置金及 現金 D. W. O & Cash	借入金 Borrowed	未收無盡 掛金 Instalment of Non-Acc	貸付金 Loans	預金 Deposits
1930	32	3,740	2,557	837	1,665	581	580	165	1,342	3,150	※
1931	33	3,840	2,465	918	1,378	1,267	608	171	2,022	3,422	※
1932	34	3,940	2,437	1,139	1,705	1,528	998	254	2,286	4,270	※
1933	34	4,180	2,579	1,345	2,043	1,379	1,320	89	2,415	4,674	※
1934	34	4,370	2,613	1,572	1,966	2,135	1,319	156	2,257	6,168	※
1935	31	4,010	2,289	1,902	1,968	2,917	1,641	568	2,374	7,651	※
1936	28	4,890	2,714	2,272	2,436	3,692	1,763	871	2,799	10,505	※
1937	23	10,640	7,197	1,829	2,139	5,484	2,029	1,539	2,878	12,959	※
1938	18	14,890	10,590	1,820	2,303	8,088	3,261	1,188	3,200	16,054	※
1939	10	17,600	12,670	1,476	2,228	11,645	3,272	3,013	2,755	22,980	※
1940	6	16,850	10,913	1,453	2,893	13,889	4,605	2,516	2,994	25,295	※
1941	5	16,850	10,913	1,962	3,277	15,420	5,396	3,052	3,050	25,835	※
1942	1	16,850	10,913	2,191	1,340	19,997	6,503	2,986	2,356	27,143	※
1943	1	16,850	10,913	※	·	28,003	※	※	66,218	32,724	※
1944	1	16,850	10,913	※	※	41,230	※	※	69,980	34,734	※
1945. 3 Mar.	1	16,850	10,913	※	×	42,830	※	※	70,188	36,028	※
6 June	1	16,850	10,913	※	·	45,316	※	×	73,163	111,703	※
9 Sept.	1	16,850	10,913	※	·	26,799	※	※	51,935	26,320	※
12 Dec.	1	16,850	10,913	※	·	31,023	※	※	52,762	24,940	※
1946. 1 Jan.	1	16,850	10,913	※	·	32,045	※	※	50,460	24,275	※
2 Feb.	1	16,850	10,913	※	※	31,607	※	※	51,488	23,326	※
3 Mar.	1	16,850	10,913	※	※	38,963	※	※	31,039	23,989	※
4 Apr.	1	16,850	10,913	1,410	24,464	9,528	24,905	38,084	11,385	25,806	24,905
5 May	1	16,850	10,913	1,410	—	10,017	※	※	※	46,157	207,029
6 June	1	16,850	10,913	1,410	23,166	9,955	147,170	33,060	13,255	56,528	180,244
7 July	1	16,850	10,913	1,410	23,430	10,357	123,186	32,000	14,271	109,303	211,638
8 Aug.	1	16,850	10,913	1,410	24,479	10,666	105,436	32,000	14,674	175,068	261,811
9 Sept.	1	16,850	10,913	1,410	※	※	※	※	※	※	285,843
10 Oct.	1	16,850	10,913	1,410	29,881	10,424	95,123	42,400	12,539	297,495	313,493
11 Nov.	1	16,850	10,913	1,410	30,430	9,741	111,088	99,500	13,396	378,439	388,992
12 Dec.	1	16,850	10,913	1,410	31,737	10,084	68,042	32,000	14,377	429,045	360,382
1947. 1 Jan.	1	16,850	10,913	1,410	32,938	10,631	94,616	32,000	16,259	444,430	365,732
2 Feb.	1	16,850	10,913	1,410	31,205	7,931	80,284	32,000	15,491	459,339	373,046
3 Mar.	1	16,850	10,913	1,410	39,994	53,081	92,925	32,000	13,315	512,340	461,988
4 Apr.	1	16,850	10,913	1,410	23,205	15,375	148,675	32,000	4,235	542,674	668,864
5 May	1	16,850	10,913	1,410	26,148	7,187	89,399	32,000	2,891	532,948	565,727
6 June	1	16,850	10,913	1,410	429	586	80,311	32,000	3	55,655	594,617
7 July	1	16,850	10,913	1,410	—	—	79,833	30,000	—	567,841	646,231
8 Aug.	1	16,850	10,913	1,410	—	—	160,950	30,000	—	601,304	794,394
9 Sept.	1	16,850	10,913	1,410	—	—	236,585	—	—	644,908	907,899
10 Oct.	1	16,850	10,913	1,410	—	—	207,013	—	—	681,173	926,054
11 Nov.	1	16,850	10,913	1,410	—	—	201,645	—	—	1,495,132	1,008,565
12 Dec.	1	16,850	10,913	1,410	—	—	543,378	—	—	2,086,805	1,600,407

1) 1922年以來の多數無盡會社を統合し1942年に朝鮮無盡株式會社を創設して庶民金融を取扱

1) By the unification of several mutual financing associations established from 1922, Chosun Mutual Financing Company was established, dealing with the finance for the masses.

2) 1946年4月より無盡會社を相互銀行として改稱し互實業計定を創設して普通銀行業務を兼務

2) In April 1946 the Mutual Financing Co. was converted into Mutual Aid Bank and it opened current accounts.

(83) 朝鮮銀行預金狀況

單位 = 百萬圓

Deposits of Chosun Bank

In Million Won

		當座預金		特別當座預金		通知預金		定期預金		別段預金		其他預金		合計		預受支拂封照 Balance of D.&P.
		Current Deposits	Deposits Pay.	Spe. Cur. Dep.	Dep.	Notice Dep.	Dep.	Fixed Dep.	Dep.	Special Dep.	Dep.	Other Dep.	Dep.	Pay.	Deposits	
1946.	5	3,439	3,362	190	142	127	5	250	429	180	183	2,415	1,594	6,601	5,715	886
	6	3,076	3,193	150	130	574	291	2	6	158	161	1,228	1,240	5,188	5,021	167
	7	4,133	4,046	162	139	620	675	28	4	42	30	3,015	2,099	8,000	6,994	1,006
	8	4,647	4,637	252	193	792	756	2	6	199	193	1,797	1,759	7,689	7,544	145
	9	4,149	4,057	228	225	574	565	3	7	6	14	1,273	1,054	6,233	5,922	311
	10	5,840	5,875	226	279	639	624	56	9	6	8	2,047	1,792	8,814	8,587	227
	11	6,769	6,733	272	195	1,101	945	24	128	7	13	3,354	2,852	11,527	10,866	661
	12	6,785	6,731	302	294	808	739	34	2	66	57	3,446	2,903	11,441	10,726	715
1947.	1	6,320	6,214	294	323	870	703	27	28	29	7	3,282	2,675	10,822	9,950	872
	2	7,051	7,045	309	287	1,424	550	2	3	10	5	2,935	2,411	11,731	10,301	1,430
	3	7,382	9,003	422	391	1,471	1,577	1	2	7	25	4,599	3,040	13,882	14,038	△ 156
	4	6,325	8,597	370	360	1,441	973	50	19	22	5	5,076	3,564	13,284	13,518	△ 234
	5	9,378	9,286	450	372	1,399	1,064	36	58	13	21	4,712	4,389	15,988	15,190	798
	6	13,084	12,823	383	464	1,050	1,686	63	92	16	21	4,974	3,643	19,575	18,729	846
	7	10,850	11,079	435	366	1,618	1,778	2	28	11	3	6,556	4,340	19,472	17,594	1,878
	8	9,737	10,036	348	365	1,454	1,465	38	608	479	474	4,198	3,833	16,254	16,786	△ 532
	9	8,479	12,128	484	436	2,322	2,461	5	1	42	11	7,545	5,931	18,877	20,968	△ 2,091
	10	13,922	13,764	464	517	1,619	2,448	4	1	7	34	10,549	7,479	26,565	24,243	2,322
	11	17,008	16,815	572	549	903	989	1	1	2	10	6,247	5,972	24,733	24,336	397
	12	18,995	19,117	845	681	1,310	853	31	3	32	6	8,069	6,567	29,782	27,227	2,555

(84) 朝鮮殖産銀行預金狀況

Deposits of Industrial Bank

1946.	5	1,161	1,146	445	407	78	29	54	4	411	392	—	—	2,149	1,978	171
	6	1,195	1,102	399	369	154	77	11	22	444	477	3	3	2,206	2,050	156
	7	1,508	1,465	536	484	115	105	53	6	403	343	—	—	2,620	2,403	217
	8	1,564	1,479	605	605	318	182	76	23	557	599	—	—	3,120	2,888	232
	9	1,591	1,500	579	544	147	227	47	45	436	395	—	—	2,800	2,711	89
	10	2,057	2,102	607	562	209	125	46	46	655	675	—	—	3,574	3,510	64
	11	2,939	2,597	675	686	244	232	73	50	993	957	—	—	4,924	4,572	352
	12	3,272	3,233	889	763	247	262	25	3	1,075	931	—	—	5,508	5,252	256
1947.	1	2,642	2,776	765	759	241	153	72	58	725	796	362	285	4,807	4,827	△ 20
	2	2,820	2,728	821	801	389	199	34	56	1,004	953	457	174	5,525	4,911	614
	3	3,435	3,282	1,031	949	372	381	80	58	1,251	1,070	413	546	6,582	6,286	296
	4	3,010	3,165	1,047	930	339	336	65	46	1,155	1,218	760	652	6,376	6,397	△ 21
	5	3,524	3,432	1,122	1,040	359	420	87	112	1,359	1,416	772	749	7,223	7,169	54
	6	3,684	3,663	968	1,037	587	536	22	21	932	883	339	356	6,532	6,496	36
	7	3,669	3,806	949	836	336	297	56	70	1,340	1,326	538	533	6,888	6,868	20
	8	4,037	3,923	912	995	471	327	133	60	1,556	1,517	583	566	7,932	7,388	304
	9	4,838	4,255	1,079	1,098	940	617	67	71	2,193	2,118	1,028	1,137	10,145	9,296	849
	10	5,165	5,498	1,141	1,145	412	618	53	41	1,942	1,778	670	640	9,383	9,720	△ 337
	11	6,402	6,246	1,492	1,400	393	236	51	55	1,854	1,883	827	717	11,026	10,537	489
	12	7,562	7,707	1,746	1,535	762	564	66	60	2,346	2,275	554	630	13,036	12,771	265

(85) 朝鮮貯蓄銀行預金狀況

Deposits of Savings Bank

1946.	5	219	185	92	75	—	—	1	—	27	30	12	4	351	294	57
	6	184	179	89	78	—	—	1	—	28	26	10	2	312	285	27
	7	255	232	132	101	—	—	1	—	54	59	18	3	459	395	64
	8	429	327	148	138	—	—	1	1	62	57	26	5	666	528	138
	9	494	467	191	158	2	—	—	—	86	71	22	9	795	705	90
	10	719	716	214	218	—	1	2	1	131	130	24	4	1,090	1,070	20
	11	905	913	244	229	3	1	1	—	162	167	25	4	1,340	1,314	26
	12	1,007	1,009	387	299	30	—	8	2	198	194	27	3	1,657	1,507	150
1947.	1	790	828	296	331	4	4	3	2	132	146	20	3	1,245	1,314	△ 69
	2	687	691	293	292	1	—	1	—	123	118	24	7	1,129	1,108	21
	3	813	806	340	347	22	1	11	4	186	167	22	6	1,394	1,331	63
	4	689	674	338	306	2	3	1	1	152	153	29	8	1,211	1,145	66
	5	839	850	382	345	1	1	2	2	280	250	26	7	1,530	1,455	75
	6	826	762	291	293	5	2	32	4	239	292	23	13	1,416	1,371	45
	7	685	673	285	268	—	3	3	4	199	196	36	13	1,208	1,155	53
	8	973	979	275	270	1	—	3	2	232	214	31	12	1,515	1,477	38
	9	1,180	1,024	324	309	9	12	44	36	267	268	35	14	1,859	1,663	196
	10	1,946	1,980	401	393	4	38	1	—	327	314	38	14	2,717	2,739	△ 22
	11	1,340	1,420	326	341	103	108	36	3	379	396	55	8	2,239	2,276	△ 37
	12	1,625	1,499	519	456	128	3	33	30	421	404	47	7	2,773	2,399	374

## (86) 朝鮮商業銀行預金狀況

單位 = 百萬圓

## Deposits of Commercial Bank

In Million Won

	當座預金 Current Deposits		特別當座預金 Spec. Current D		通知預金 Notice Deposits		定期預金 Fixed Deposits		別段預金 Reserve Dep.		其他預金 Other Deposits		合計 Total		預受支拂對照 Balance of D & P.
	預受額 Dep.	支拂額 Pay.	預受額 Dep.	支拂額 Pay.	預受額 Dep.	支拂額 Pay.	預受額 Dep.	支拂額 Pay.	預受額 Dep.	支拂額 Pay.	預受額 Dep.	支拂額 Pay.	預受額 Dep.	支拂額 Pay.	
1946. 7 July	1,168	1,127	355	334	44	57	32	10	43	42	32	38	1,674	1,608	66
8 Aug	1,530	1,510	457	423	53	42	4	8	56	40	30	35	2,130	2,058	72
9 Sept	1,728	1,640	589	527	45	27	77	58	60	68	65	52	2,564	2,372	192
10 Oct.	2,081	2,064	523	541	35	21	79	84	48	59	57	71	2,823	2,840	△ 17
11 Nov	3,034	2,935	693	656	36	40	54	46	69	57	76	64	3,962	3,798	164
12 Dec.	3,643	3,598	896	817	52	33	27	18	82	91	79	78	4,779	4,635	144
1947. 1 Jan.	2,778	2,761	707	690	33	41	43	34	72	73	55	57	3,688	3,655	33
2 Feb.	2,608	2,658	725	699	45	21	3	8	63	61	109	81	3,553	3,528	25
3 Mar.	3,215	3,155	934	898	43	29	83	73	121	92	210	157	4,606	4,404	202
4 Apr.	3,146	3,170	846	819	37	35	64	62	92	107	111	100	4,296	4,293	3
5 May	3,207	3,128	961	853	24	28	64	57	91	86	128	150	4,475	4,302	173
6 June	3,357	3,376	995	1,025	12	23	16	17	95	78	95	134	4,570	4,653	△ 83
7 July	3,552	3,391	833	859	60	24	38	42	129	117	130	140	4,742	4,573	169
8 Aug	3,498	3,581	870	810	45	42	44	2	149	136	141	140	4,747	4,711	36
9 Sept	4,326	4,195	1,079	986	49	70	88	88	171	205	226	164	5,939	5,708	231
10 Oct.	5,330	5,375	1,089	1,088	13	25	73	65	145	153	193	152	6,843	6,858	△ 15
11 Nov.	6,869	6,813	1,241	1,225	32	53	312	313	142	143	156	156	8,752	8,703	49
12 Dec.	6,875	6,711	1,581	1,451	73	48	88	43	173	155	135	214	8,925	8,622	303

## (87) 朝興銀行預金狀況

## Deposits of Choheung Bank

1946. 7 July	1,430	1,377	567	504	149	116	84	6	297	292	6	7	2,533	2,302	231
8 Aug	1,570	1,604	688	637	96	155	55	28	334	330	1	7	2,744	2,761	△ 17
9 Sept	1,627	1,574	672	651	78	110	10	6	298	290	—	—	2,685	2,631	54
10 Oct.	2,075	2,023	706	721	38	59	44	12	396	394	—	—	3,259	3,209	50
11 Nov	2,549	2,582	854	767	44	15	30	12	569	556	—	1	4,046	3,933	113
12 Dec.	3,579	3,238	1,094	976	44	51	57	46	695	629	—	—	5,468	4,940	529
1947. 1 Jan.	2,835	3,008	899	923	35	29	114	85	636	703	1	—	4,520	4,748	228
2 Feb.	3,008	2,908	1,042	977	41	16	28	19	587	584	—	—	4,706	4,504	201
3 Mar.	3,405	3,242	1,113	1,067	54	29	48	42	700	691	—	—	5,320	5,071	249
4 Apr.	3,948	3,914	1,294	1,192	96	30	1	53	741	666	—	—	6,080	5,855	225
5 May	4,141	4,121	1,275	1,256	32	69	13	22	800	866	—	—	6,261	6,334	△ 73
6 June	3,873	3,788	1,228	1,175	44	32	54	59	750	730	—	—	5,949	5,784	165
7 July	3,961	3,933	1,156	1,115	128	153	195	268	961	960	—	—	6,401	6,429	△ 28
8 Aug	3,374	3,463	1,076	1,070	33	45	53	33	733	714	—	—	5,269	5,325	△ 56
9 Sept	3,845	3,735	1,286	1,249	24	35	5	8	1,070	1,076	—	—	6,230	6,103	127
10 Oct.	4,927	4,951	1,373	1,390	156	118	20	19	1,341	1,345	—	—	7,817	7,823	△ 6
11 Nov.	5,653	5,312	1,658	1,473	120	101	34	24	1,166	1,149	—	—	8,631	8,059	572
12 Dec.	6,352	6,592	2,194	2,150	392	63	180	37	1,485	1,452	—	—	10,603	10,294	309

## (88) 朝鮮相互銀行預金狀況

## Deposits of Mutual Aid Bank

1946. 7 July	146	132	53	42	8	11	8	—	5	5	6	5	226	195	31
8 Aug	146	138	25	45	7	6	8	—	9	5	—	1	195	195	—
9 Sept	352	334	58	54	55	58	6	1	41	41	—	—	512	488	24
10 Oct.	562	540	80	84	37	43	6	—	101	91	—	—	786	758	28
11 Nov	985	880	136	106	19	41	18	51	294	299	—	—	1,452	1,377	75
12 Dec.	709	791	165	155	39	13	24	7	226	224	—	—	1,162	1,191	△ 29
1947. 1 Jan.	487	473	124	131	15	9	2	8	46	48	—	—	674	669	5
2 Feb.	461	459	137	129	4	5	7	5	31	34	—	—	640	632	8
3 Mar.	654	650	181	169	28	5	54	4	49	51	—	—	966	879	87
4 Apr.	571	512	250	162	56	6	32	32	16	18	—	—	925	730	194
5 May	747	765	326	362	25	57	57	63	13	12	—	—	1,168	1,259	△ 91
6 June	848	779	225	236	4	11	37	59	17	17	—	—	1,131	1,102	29
7 July	1,143	1,101	242	206	31	61	7	5	17	15	—	—	1,440	1,388	52
8 Aug.	978	924	344	267	11	4	17	13	23	17	—	—	1,373	1,225	148
9 Sept.	1,372	1,244	368	343	29	74	8	11	31	23	—	—	1,808	1,695	113
10 Oct.	1,687	1,678	411	399	39	26	24	27	35	48	—	—	2,196	2,178	18
11 Nov.	1,969	1,857	379	423	26	14	4	6	63	59	—	—	2,441	2,359	82
12 Dec.	2,849	2,555	538	446	235	47	26	7	40	41	—	—	3,688	3,096	592

(89) 朝鮮銀行貸出狀況

In 1,000 Won

Loans of Chosun Bank

△回收超過

△Withdrawal Exceed.

	手形貸付 Loans on Bills		證券貸付 Loans on Certifica.		割引手形 Bills Discoun.		荷爲替手形 Documentary P.		當座貸越 Overdraft		其他貸付 Other Loans		合 計 Total		貸付回收 對 照 Balance of I. & C.
	貸付額 Loans	回收額 Collected	貸付額 Loans	回收額 Collected	貸付額 Loans	回收額 Collected	貸付額 Loans	回收額 Collected	貸付額 Loans	回收額 Collected	貸付額 Loans	回收額 Collected	貸付額 Loans	回收額 Collected	
1946.7	103,556	111,706	—	—	429	435	—	—	678,801	261,899	—	—	782,786	374,040	408,746
8	67,183	93,576	—	—	444	586	—	1,381	473,188	311,361	—	—	540,815	406,904	133,911
9	155,018	123,396	—	—	359	407	—	—	289,839	285,765	—	—	445,216	409,568	35,648
10	252,328	129,573	—	—	212	1,497	—	—	387,431	351,014	—	—	639,971	482,084	157,887
11	268,916	108,251	—	—	518	43	—	—	2,263,367	499,321	—	—	2,532,801	607,615	1,925,186
12	282,903	238,010	—	—	3,344	1,490	—	—	2,286,247	712,387	—	—	2,572,494	951,887	1,620,607
1947.1	75,986	112,645	—	—	380	546	—	—	1,241,323	983,201	—	—	1,317,689	1,096,392	221,297
2	72,606	143,771	—	—	2,678	3,178	—	—	474,798	690,918	—	—	550,082	837,867	△ 287,785
3	319,181	436,308	—	—	2,232	901	—	—	714,962	1,194,385	—	—	1,036,375	1,631,594	△ 595,219
4	75,972	197,434	—	—	1,842	2,624	—	—	560,764	645,736	—	—	638,578	845,794	△ 207,216
5	2,170,532	2,178,556	—	—	1,981	1,537	—	—	854,849	741,398	—	—	3,027,362	2,921,491	105,871
6	1,664,987	1,572,284	—	—	4,368	2,221	—	—	640,653	3,984,650	—	—	2,310,008	5,559,155	△ 3,249,147
7	1,415,795	1,511,024	—	—	2,576	3,278	—	—	820,809	623,554	—	—	2,239,180	2,137,856	101,324
8	619,132	607,048	883	883	2,471	3,184	—	—	679,560	671,483	—	—	1,302,046	1,282,588	19,448
9	2,703,708	2,570,303	—	—	1,393	2,692	—	—	1,158,304	1,039,093	—	—	3,863,405	3,612,088	251,317
10	1,530,372	1,341,831	299	299	1,671	1,332	—	—	1,137,605	1,083,038	—	—	2,669,947	2,426,500	243,447
11	576,864	520,762	—	—	1,431	1,397	—	—	10,043,943	1,768,120	—	—	10,674,443	2,290,279	8,384,164
12	3,007,535	3,207,265	—	—	2,381	1,464	—	—	6,019,192	3,891,893	—	—	9,029,108	7,100,622	1,928,486

(90) 朝鮮殖産銀行貸出狀況

Loans of Industrial Bank

1946.7	129,279	99,982	—	—	8,059	6,370	—	—	330,081	142,728	51,403	24,198	518,822	273,278	245,544
8	155,767	127,129	—	—	9,511	8,168	297	—	327,118	300,251	36,632	13,920	529,325	449,468	79,857
9	213,411	147,342	904	—	10,180	9,772	—	298	191,583	265,740	57,144	14,782	473,222	437,939	35,283
10	171,307	150,813	1,017	—	8,112	8,867	—	—	293,159	331,179	38,752	49,884	515,524	540,751	△ 25,227
11	262,701	206,274	413	—	84,111	11,239	—	—	520,948	241,752	63,367	19,596	858,608	478,945	379,663
12	279,657	249,787	192	—	77,149	13,556	—	—	218,607	230,792	48,859	11,690	562,275	505,902	56,373
1947.1	176,814	171,269	460	—	38,129	12,530	—	—	77,101	179,262	105,225	39,829	372,525	402,928	△ 30,403
2	184,580	188,237	30	—	79,130	12,239	—	—	58,799	148,640	25,131	21,642	281,576	370,837	△ 89,261
3	273,498	281,170	56	—	35,146	14,076	—	—	129,168	114,343	125,755	24,793	543,156	444,417	98,739
4	172,032	164,630	36	—	218,132	12,374	—	—	191,112	197,050	76,728	38,893	453,133	413,165	39,968
5	215,515	205,852	76	—	77,133	13,371	—	—	118,605	138,936	69,509	17,160	417,094	375,396	41,698
6	191,244	148,959	30	—	137,132	11,244	—	—	117,734	251,858	332,387	49,975	655,320	462,173	193,147
7	190,756	167,675	6	—	15,117	11,747	—	—	161,133	125,820	462,467	114,796	826,136	420,053	406,083
8	291,250	203,746	79	—	55,133	10,995	—	—	211,826	200,316	342,932	50,410	859,458	465,522	393,936
9	384,483	229,908	60	—	76,160	15,855	405	—	198,222	218,955	62,559	239,178	1,162,334	703,972	458,362
10	395,052	298,024	1,122	—	330,191	14,447	—	405	422,314	335,448	549,195	648,086	1,386,838	1,296,740	90,098
11	465,410	332,469	5,166	—	42,165	16,442	—	—	2,736,841	368,493	342,980	161,868	3,566,966	879,314	2,687,652
12	649,679	569,200	1,726	—	282,186	16,463	—	—	659,749	547,129	626,214	499,908	1,955,985	1,632,988	322,997

(91) 朝鮮貯蓄銀行貸出狀況

Loans of Savings Bank

1946.7	71,192	47,401	—	—	1,353	614	—	—	11,816	9,538	28,226	13,766	112,587	71,319	41,268
8	93,408	49,074	—	—	2,615	1,407	—	—	18,827	14,547	26,726	8,590	141,576	73,618	67,958
9	183,515	124,189	—	—	10,637	8,268	—	—	101,933	39,009	36,236	16,257	332,321	187,723	144,598
10	186,354	108,986	—	—	10,133	5,690	—	—	36,312	76,031	57,438	24,932	290,237	215,539	74,698
11	215,278	134,591	—	—	15,700	10,399	—	—	48,464	41,637	45,766	19,885	325,208	206,512	118,696
12	251,205	226,666	—	—	18,859	13,588	—	—	77,989	68,478	56,180	32,178	404,233	340,910	63,323
1947.1	76,829	102,630	—	—	9,851	12,485	—	—	39,684	37,209	26,529	18,411	152,893	170,735	△ 17,842
2	46,959	68,247	—	—	1,117	4,027	—	—	32,062	36,806	27,513	25,661	107,651	134,741	△ 27,090
3	89,595	84,630	—	—	176	3,062	—	—	29,204	36,094	28,822	22,789	147,797	146,575	1,222
4	—	348,736	—	—	98	10,793	—	—	28,232	31,687	480,321	114,058	508,651	505,274	3,377
5	—	—	—	—	295	298	—	—	27,750	27,205	98,971	82,169	127,016	109,672	17,344
6	—	—	—	—	331	155	—	—	15,487	14,692	143,063	93,021	158,881	107,868	51,013
7	—	—	—	—	223	381	—	—	33,224	31,561	136,622	125,795	170,069	157,737	12,332
8	—	—	—	—	235	343	—	—	21,292	22,636	132,495	121,260	154,022	144,239	9,783
9	—	—	—	—	383	265	—	—	24,753	22,709	166,881	121,202	192,017	144,176	47,841
10	—	—	—	—	438	453	—	—	59,745	15,317	237,029	148,366	297,212	164,136	133,076
11	—	—	—	—	2,059	213	—	—	36,576	14,515	843,284	114,412	881,929	129,140	752,789
12	—	—	—	—	1,944	1,700	—	—	491,236	97,342	307,859	206,856	801,039	305,898	495,141

(92) 朝鮮商業銀行貸出狀況  
Loans of Commercial Bank

In 1,000 Won

△回收超過

△Withdrawal Exceed

Table with 13 columns: Loan type (Handwritten, Certificate, Discount, Document, Overdraft, Other), Amount (Loan/Collected), and Balance. Rows include dates from 1946-7 to 1947-12.

(93) 朝興銀行貸出狀況  
Loans of Choheung Bank

Table with 13 columns: Loan type (Handwritten, Certificate, Discount, Document, Overdraft, Other), Amount (Loan/Collected), and Balance. Rows include dates from 1946-7 to 1947-12.

割引手形中叫荷爲替手形ニ包含

Include the Documentary Bills in Bills Discount.

(94) 朝鮮相互銀行貸出狀況  
Loans of Mutual Aid Bank

Table with 13 columns: Loan type (Handwritten, Certificate, Discount, Document, Overdraft, Other), Amount (Loan/Collected), and Balance. Rows include dates from 1946-7 to 1947-12.

(95) 預金通貨流通速度  
Circulation Velocity

In 1,000 Won

	서울 Seoul			釜山 Busan			平壤 Pyung Yang			全朝 鮮 All Korea		
	當座預金 Current Deposits of Clear. II.	手形交換高 Transaction of Clear. II.	流通速度 Circulat. Velocity	當座預金 Current Deposits of Clear. II.	手形交換高 Transaction of Clear. II.	流通速度 Circulat. Velocity	當座預金 Current Deposits of Clear. II.	手形交換高 Transaction of Clear. II.	流通速度 Circulat. Velocity	當座預金 Current Deposits of Clear. II.	手形交換高 Transaction of Clear. II.	流通速度 Circulat. Velocity
	千円	千円		千円	千円		千円	千円		千円	千円	
1928. 6 June	11,459	53,431	4.66	2,755	14,799	5.37	1,235	5,929	4.57	20,109	93,024	4.62
12 Dec.	12,456	82,364	6.61	3,313	24,484	7.39	1,566	7,382	4.71	22,509	141,911	6.30
1929. 6 June	10,572	55,966	5.29	2,555	15,934	6.23	1,405	5,628	4.00	18,759	92,903	4.95
12 Dec.	11,893	77,032	6.47	2,987	19,600	6.56	1,712	6,362	4.00	21,438	128,339	5.98
1930. 6 June	11,211	48,340	4.31	2,163	12,667	5.85	1,275	5,239	4.10	18,687	80,853	4.32
12 Dec.	15,332	58,843	3.83	2,514	16,304	6.48	1,453	4,976	3.42	23,584	103,884	4.27
1931. 6 June	13,646	45,760	3.35	2,231	11,920	5.34	1,236	3,425	2.77	21,198	72,863	3.43
12 Dec.	14,936	54,658	3.65	2,475	16,817	6.79	1,573	4,327	2.75	24,369	97,324	3.99
1932. 6 June	14,063	41,085	2.92	2,137	11,385	5.32	1,130	3,504	3.10	21,359	68,633	3.21
12 Dec.	15,400	71,881	4.66	2,998	18,668	6.22	2,308	6,105	2.64	26,213	122,060	4.65
1933. 6 June	16,041	55,716	3.47	2,519	11,750	4.66	1,878	6,404	3.41	25,045	93,267	3.60
12 Dec.	19,422	84,359	4.34	3,668	18,216	4.96	2,507	7,997	3.18	31,221	135,791	4.34
1934. 6 June	18,226	72,072	3.95	2,993	15,544	5.13	2,456	9,965	4.05	29,415	114,845	3.90
12 Dec.	24,376	97,595	4.00	4,455	23,863	5.35	2,826	11,982	4.23	38,334	164,257	4.27
1935. 6 June	22,148	71,335	3.22	3,492	15,953	4.56	2,340	11,397	4.87	34,063	118,611	3.48
12 Dec.	22,558	80,687	3.57	3,379	17,200	5.09	3,120	11,965	3.83	36,486	135,103	3.70
1936. 6 June	26,157	116,258	4.43	4,169	19,748	4.73	3,040	13,980	4.59	40,970	176,436	4.30
12 Dec.	29,669	129,305	4.35	5,567	28,156	5.05	3,623	16,331	4.51	47,792	208,292	4.35
1937. 6 June	30,051	109,210	3.63	4,951	21,896	4.42	3,414	16,019	4.69	45,799	172,017	3.75
12 Dec.	38,718	154,343	3.98	6,966	31,514	4.52	4,631	16,382	3.53	60,670	241,237	3.97
1938. 6 June	40,857	132,577	3.24	6,029	22,342	3.70	4,636	16,451	3.54	60,286	198,487	3.29
12 Dec.	51,984	197,525	3.79	9,428	35,893	3.80	6,820	20,667	3.03	84,856	300,064	3.53
1939. 6 June	55,084	193,933	3.52	9,758	30,593	3.13	7,730	23,983	3.10	87,388	285,133	3.26
12 Dec.	88,240	295,473	3.34	13,922	50,580	3.63	11,249	39,472	3.50	140,302	444,540	3.16
1940. 6 June	93,865	256,700	2.73	14,799	37,231	2.51	15,524	32,939	2.12	147,969	371,951	2.51
12 Dec.	123,355	327,640	2.65	22,778	56,133	2.46	15,762	42,704	2.70	203,623	502,013	2.46
1941. 6 June	104,702	266,527	2.54	16,310	42,679	2.61	16,590	36,230	2.18	176,251	413,971	2.34
12 Dec.	139,803	423,879	3.03	25,698	58,079	2.26	19,291	53,927	2.79	240,197	641,465	2.67
1942. 6 June	138,830	377,189	2.71	18,055	54,384	3.01	18,326	43,133	2.35	221,466	560,128	2.52
12 Dec.	152,913	520,182	3.40	23,768	68,828	2.89	19,556	57,057	2.91	251,285	767,960	3.05
1943. 6 June	161,151	451,747	2.80	24,391	59,247	2.42	25,301	48,549	1.91	261,277	652,783	2.49
12 Dec.	208,937	656,886	3.14	27,934	75,940	2.71	30,720	67,462	2.19	353,301	933,433	2.64
1944. 6 June	219,642	541,712	2.46	26,012	70,760	2.72	30,489	54,168	1.77	356,379	802,819	2.25
12 Dec.	231,841	663,466	2.86	29,863	73,258	2.45	36,770	61,513	1.67	395,886	933,465	2.35
1945. 6 June	298,472	642,384	2.15	43,742	71,416	1.63	43,040	45,676	1.06	532,059	915,693	1.72
	서울 Seoul			釜山 Busan			大邱 Taiku			南朝 鮮 South Korea		
	當座預金 Current Deposits of Clear. II.	手形交換高 Transaction of Clear. II.	流通速度 Circulat. Velocity	當座預金 Current Deposits of Clear. II.	手形交換高 Transaction of Clear. II.	流通速度 Circulat. Velocity	當座預金 Current Deposits of Clear. II.	手形交換高 Transaction of Clear. II.	流通速度 Circulat. Velocity	當座預金 Current Deposits of Clear. II.	手形交換高 Transaction of Clear. II.	流通速度 Circulat. Velocity
	千円	千円		千円	千円		千円	千円		千円	千円	
1945. 12 Dec.	400,183	289,276	0.72	63,157	34,661	0.54	40,397	18,442	0.45	611,331	368,028	0.60
1946. 1 Jan.	716,056	338,725	0.47	79,871	34,950	0.43	40,790	33,964	0.83	977,639	471,771	0.48
2 Feb.	14,186	353,002	0.85	162,663	76,414	0.46	51,957	19,300	0.37	762,529	520,761	0.68
3 Mar.	517,303	688,345	1.33	153,261	113,316	0.73	57,332	54,195	0.94	869,023	1,029,148	1.18
4 Apr.	573,962	827,581	1.44	199,556	174,949	0.87	60,031	62,358	1.03	1,016,289	1,292,871	1.27
5 May	839,383	1,453,733	1.73	186,444	270,570	1.45	67,405	62,358	0.92	1,293,097	2,046,830	1.58
6 June	833,499	1,294,451	1.55	241,786	248,286	1.02	71,303	76,487	1.07	1,386,060	1,880,760	1.35
7 July	902,274	1,698,024	1.88	279,882	399,622	1.42	83,441	77,699	0.93	1,516,319	2,355,681	1.55
8 Aug.	1,064,385	2,166,532	2.03	265,221	559,023	2.10	92,119	136,054	1.47	1,648,051	3,182,291	1.93
9 Sept.	1,313,145	2,063,227	1.57	266,937	382,574	1.43	92,119	159,135	1.72	1,895,544	2,931,159	1.54
10 Oct.	1,403,275	2,962,088	2.11	246,748	546,094	2.21	86,467	261,178	3.02	2,239,738	4,274,418	2.10
11 Nov.	1,373,245	4,278,239	3.11	330,256	713,750	2.16	190,780	234,972	1.23	2,029,209	5,814,818	2.59
12 Dec.	1,531,760	4,262,788	2.78	356,705	920,448	2.58	177,800	366,097	2.05	2,490,594	6,151,124	2.46
1947. 1 Jan.	1,543,666	3,340,930	2.16	366,838	938,742	2.55	153,526	426,921	2.78	2,503,129	5,259,651	2.10
2 Feb.	1,540,140	382,660	2.48	364,394	837,087	2.46	206,874	331,917	1.84	2,525,734	5,343,169	2.11
3 Mar.	1,920,417	4,575,824	2.38	417,548	1,343,783	3.21	246,454	486,017	1.97	2,490,594	7,264,441	2.91
4 Apr.	1,917,751	4,790,575	2.49	441,600	1,141,479	2.58	274,492	472,532	1.72	3,166,398	7,385,859	2.33
5 May	2,317,852	5,135,051	2.21	412,653	1,190,876	2.88	231,648	521,548	2.25	3,465,489	7,692,737	2.21
6 June	2,595,445	4,988,735	1.92	483,432	1,263,317	2.61	354,296	562,156	1.58	4,009,204	7,836,957	1.95
7 July	2,266,732	6,150,183	2.71	525,733	1,316,774	2.50	599,654	577,948	0.98	3,996,879	8,824,308	2.20
8 Aug.	2,257,003	5,864,974	2.59	473,506	1,262,281	2.66	493,346	577,511	1.17	3,716,360	8,610,398	2.31
9 Sept.	3,004,773	6,985,703	2.32	471,544	1,314,046	2.78	753,686	985,635	1.30	4,810,165	10,456,217	2.17
10 Oct.	2,542,225	9,086,001	3.57	490,002	1,705,937	3.48	773,696	558,542	0.72	4,403,814	12,633,386	2.86
11 Nov.	2,799,098	9,117,646	3.25	579,800	1,710,728	2.95	731,905	708,802	0.96	4,907,391	13,033,791	2.65
12 Dec.	3,465,216	11,209,569	3.23	675,404	2,299,395	3.40	435,435	1,264,351	2.90	5,473,518	16,945,436	3.09

## (96) 預金貸出都市集中率

## Concentrated Rates of Cities of Deposits &amp; Loans

單位 = 千圓

In 1,000 Won

	預 金 Deposits						貸 出 Loans													
	大 都 市 Seoul		釜 山 Busan		平 壤 Pyongyang		大 都 市 All Banks in Large Cities		朝 鮮 內 全 國 All Banks in Korea		大 都 市 All Banks in Large Cities		朝 鮮 內 全 國 All Banks in Korea							
	金 額 Amount	比 率 %	金 額 Amount	比 率 %	金 額 Amount	比 率 %	金 額 Amount	比 率 %	金 額 Amount	比 率 %	金 額 Amount	比 率 %	金 額 Amount	比 率 %						
1937. 6	143,524.35		29,012.6		17,226.4		236,701.56		422,433		219,046.26		27,055.3		19,710.2		361,163.43		833,424	
12	165,359.36		29,719.6		18,700.4		258,623.56		458,168		261,340.27		30,857.3		19,294.2		438,334.45		957,914	
1938. 6	207,197.38		31,162.5		20,831.3		309,692.56		543,715		286,574.31		24,505.2		17,481.1		428,537.47		908,464	
12	237,655.38		35,866.5		24,961.4		365,674.58		624,316		337,033.31		33,714.3		18,818.1		520,212.49		1,053,348	
1939. 6	309,747.42		44,086.6		29,571.4		458,602.62		732,164		394,470.35		32,254.2		25,829.2		571,049.50		1,125,200	
12	383,833.44		51,820.5		36,154.4		564,106.64		867,882		591,915.39		43,260.2		29,341.1		815,133.54		1,506,450	
1940. 6	421,297.43		63,119.6		42,495.4		629,222.65		959,625		644,218.39		45,134.2		36,084.2		874,639.53		1,622,767	
12	489,200.43		80,200.6		46,698.4		763,971.66		1,149,333		836,416.42		73,926.3		52,038.2		1,181,497.60		1,963,165	
1941. 6	602,534.46		84,442.6		52,581.4		891,518.68		1,303,695		854,824.44		62,159.3		54,547.2		1,189,185.61		1,922,910	
12	587,328.42		92,856.6		57,275.4		906,970.64		1,385,812		984,086.45		73,132.3		62,943.2		1,363,128.62		2,180,956	
1942. 6	828,346.47		98,150.5		66,997.3		1,187,432.68		1,740,002		963,239.45		81,109.3		69,668.3		1,314,948.61		2,128,646	
12	817,994.44		113,934.6		71,152.3		1,211,990.66		1,831,342		1,151,594.45		105,020.4		73,607.2		1,585,356.63		2,503,723	
1943. 6	900,126.44		124,776.6		86,287.4		1,356,857.66		2,038,235		1,209,348.47		101,456.3		80,606.3		1,645,926.64		2,561,718	
12	1,163,533.45		140,952.5		106,722.4		1,737,402.67		2,562,292		1,387,996.45		145,517.4		93,170.3		1,938,324.63		3,061,503	
1944. 6	1,268,844.42		160,577.5		126,266.4		1,957,910.66		2,960,627		1,471,917.48		124,763.4		76,254.2		1,964,518.64		3,026,938	
12	1,358,766.40		189,624.5		143,868.4		2,145,639.64		3,345,361		1,754,008.48		153,171.4		102,433.2		2,368,417.65		3,595,272	
1945. 6	1,586,106.39		250,250.6		166,820.4		2,749,817.68		4,031,532		2,007,829.51		188,091.4		109,904.2		2,801,914.71		3,894,733	
	大 都 市 Seoul	釜 山 Busan	大 邱 Taiku	大 都 市 All Banks in Large Cities	南 朝 鮮 全 國 All Banks in S. Korea	大 都 市 Seoul	釜 山 Busan	大 邱 Taiku	大 都 市 All Banks in Large Cities	南 朝 鮮 全 國 All Banks in S. Korea	大 都 市 Seoul	釜 山 Busan	大 邱 Taiku	大 都 市 All Banks in Large Cities	南 朝 鮮 全 國 All Banks in S. Korea	大 都 市 Seoul	釜 山 Busan	大 邱 Taiku	大 都 市 All Banks in Large Cities	南 朝 鮮 全 國 All Banks in S. Korea
12	1,595,061.56	274,609.9	118,302.4	2,247,639.79	2,815,635	6,257,294.88	148,108.2	89,694.1	6,656,876.93	7,085,141										
1946. 1	2,067,732.57	342,825.9	143,215.3	2,865,561.79	3,596,621	4,581,259.76	151,858.2	104,597.1	5,052,835.84	5,974,755										
2	1,912,360.50	475,743.12	166,051.4	2,910,917.77	3,774,535	4,225,656.74	163,712.2	101,044.1	4,715,983.82	5,690,562										
3	2,153,210.55	357,277.9	189,384.4	3,064,023.79	3,876,982	4,101,796.72	166,455.2	112,522.1	4,692,264.82	5,658,673										
4	2,515,702.56	414,718.9	188,624.4	3,532,795.79	4,421,181	4,142,746.72	171,080.2	121,048.2	4,752,045.82	5,743,814										
5	3,183,068.60	476,743.9	214,141.4	4,335,772.82	5,276,922	4,140,199.71	194,124.3	120,187.2	4,726,585.81	5,776,096										
6	4,605,411.77	486,243.8	262,097.4	4,939,111.83	5,936,705	4,242,887.70	199,743.3	159,432.2	4,905,422.82	5,979,718										
7	3,884,997.58	537,706.8	313,334.4	5,365,852.81	6,614,966	4,407,933.63	317,342.4	508,649.7	5,632,545.81	6,906,158										
8	4,262,837.58	583,857.8	386,236.5	5,880,759.81	7,258,923	4,632,307.61	384,113.5	543,676.7	5,997,850.79	7,519,891										
9	4,551,645.58	585,736.7	386,236.4	6,122,147.78	7,797,795	4,918,130.62	417,766.5	543,676.6	6,368,124.80	7,877,794										
10	4,787,316.58	624,249.7	389,735.4	6,562,582.80	8,159,199	5,410,051.64	390,987.4	459,162.5	6,796,376.80	8,415,974										
11	4,914,408.53	769,678.8	545,109.5	7,112,268.78	9,117,416	6,115,834.55	860,387.7	1,167,090.10	9,353,133.84	11,110,094										
12	5,551,844.53	884,610.8	581,336.5	8,033,858.77	10,342,303	6,366,248.48	1,196,744.9	1,473,038.11	11,103,227.84	13,109,072										
1947. 1	5,645,558.54	808,998.7	586,259.5	8,098,864.78	10,284,880	6,386,353.47	1,387,481.0	1,322,601.9	11,457,855.85	13,400,957										
2	6,754,437.57	796,451.6	694,651.5	9,605,699.81	11,786,635	6,219,904.47	1,304,409.10	1,185,580.9	11,296,849.86	13,023,395										
3	7,356,375.56	946,771.7	864,222.6	10,414,742.80	13,010,205	6,252,496.49	1,128,304.8	1,058,102.8	10,805,069.85	12,593,988										
4	8,186,490.58	1,048,922.8	752,149.5	11,335,382.81	13,955,687	6,320,662.50	1,071,493.8	993,587.7	10,669,652.84	12,591,738										
5	8,878,315.60	1,177,716.8	745,720.5	12,145,828.82	14,658,488	6,651,017.51	1,072,816.8	885,496.6	10,862,679.84	12,889,664										
6	8,654,351.60	1,027,082.7	917,535.6	11,908,699.82	14,376,876	6,386,328.63	431,747.4	386,996.3	7,859,787.77	10,133,919										
7	8,152,842.56	1,237,438.8	81,149,892.7	11,955,280.82	14,496,353	6,540,054.60	493,929.4	359,159.3	8,196,606.76	10,779,202										
8	8,304,205.56	1,281,738.8	81,183,985.8	12,137,258.82	14,719,813	6,738,945.58	550,530.4	364,932.3	8,450,484.73	11,461,420										
9	9,077,739.54	1,418,735.8	81,619,280.9	13,657,586.82	16,642,233	7,090,736.56	613,419.4	552,280.4	9,266,683.73	12,599,999										
10	7,894,206.51	1,403,915.9	91,710,257.11	12,449,604.80	15,473,108	7,948,999.56	997,636.7	588,916.4	10,764,743.76	14,154,843										
11	8,302,331.49	1,386,429.9	81,534,918.9	13,049,088.77	16,740,039	11,633,832.38	3,741,221.2	2,296,921.9	25,041,589.82	30,248,381										
12	13,536,242.65	1,719,558.8	81,808,354.8	19,707,590.96	20,518,292	11,516,544.32	3,719,234.0	10,079,231.11	27,407,732.78	34,941,867										

1) 大 都 市 = 手 形 交 換 所 所 在 地

1) Large cities mean those where a office or offices of exchanging bills are located.

2) 1945年12月以後は南朝鮮に限る

2) Since Dec. 1945 South Korea only.

3) 合銀行合計

3) Total of all banks and all financial associations put together.



(97) 穀物收集資金動向 (其一)

Movements of Rice Collection Fund (I)

In Suk, 1,000 Won

單位 = 石、千圓

1946年度米穀收集實績 1947. 11. 30. 現在						1947年度米穀收集實績 1948. 2. 29 現在				
Actual Results of Rice Collection, 1946 As of Nov. 30, 1947						Actual Results of Rice Collection, 1947 (As of Feb. 29, 1948)				
割當量	收集量	百分比	放出限度額	收集米穀代金換算額	割當量	收集量	百分比	放出限度額	收集米穀代金換算額	
Amount of Allotment	Amount of Collection	Per Centage	Limit of Discharge	Prices of Col. Rice	Amount of Allotment	Amount of Collection	Per Centage	Limit of Discharge	Prices of Col. Rice	
石	石	%	千圓	千圓	石	石	%	千圓	千圓	
서울	735,000	96.3	1,720,500	1,420,345	2,000	1,999	99.9	2,000,000	4,735	
京畿 Kyung Ki	160,000	100.4	399,600	335,269	185,000	203,033	112.4	550,000	501,500	
忠清 Chung Buk	470,000	93.0	1,043,400	697,286	670,000	655,469	97.8	1,500,000	1,560,218	
全南 Chung Nam	793,000	60.1	1,771,560	545,081	920,000	750,542	81.5	2,200,000	1,791,802	
全北 Jun Buk	750,000	87.0	1,665,000	930,933	820,000	811,104	98.9	2,000,000	1,928,160	
慶北 Kyung Buk	720,000	67.6	1,593,400	938,707	800,000	784,142	98.0	1,800,000	1,879,936	
慶南 Kyung Nam	600,000	88.4	1,332,000	927,074	710,000	711,653	100.2	1,700,000	1,691,326	
江原 Kang Won	60,000	163.4	133,200	216,044	80,000	80,236	100.2	240,000	190,194	
濟州 Che J	2,500	48.3	11,100	2,663	4,000	774	19.3	10,000	4,790	
計 Total	4,295,500	82.8	9,674,760	6,063,407	5,156,000	4,981,570	96.6	12,000,000	11,876,550	

1946年度夏穀收集實績					1947年度夏穀收集實績				
Actual Results of Summer Grains Collection, 1946					Actual Results of Summer Grains Collection, 1947				
割當量	收集量	百分比	資金限度	割當量	收集量	百分比	資金限度		
Amount of Allotment	Amount of Collection	Per Centage	Fund Limit	Amount of Allotment	Amount of Collection	Per Centage	Fund Limit		
石	石	%	千圓	石	石	%	千圓		
서울	96,000	59.28	100,000	58,000	61,642	106.2	103,746		
京畿 Kyung K	93,000	70.56	144,000	37,000	39,051	105.5	59,941		
忠清 Chung Buk	97,000	41.63	70,000	70,000	63,785	91.1	112,997		
全南 Chung Nam	122,000	69.44	100,000	94,000	93,377	99.3	157,331		
全北 Jun Buk	363,000	11.01	250,000	163,000	153,802	94.3	235,624		
慶北 Kyung Buk	282,000	71.19	500,000	115,000	114,822	99.8	212,722		
慶南 Kyung Nam	219,000	41.09	300,000	136,000	142,545	104.8	266,890		
江原 Kang Won	14,000	147.84	36,000	21,000	17,093	81.4	25,926		
濟州 Che Ju	—	—	—	17,000	3,189	18.7	6,363		
計 Total	1,283,000	47.47	1,500,000	711,000	683,311	96.9	1,241,540		

1947年度米穀資金動向 (其二)

Movements of Rice Funds, 1947 (II)

(Oct. 1947-Mar. 1948)

(1947. 10-1948. 3)

	放出限度額 Limit of Discharge	米資放出狀況 Discharge of Rice Fund					米資回收狀況 Withdrawal of Rice Fund				
		1947. 10		1948. 1		1947. 11		1948. 1		1948. 3	
		Oct.	Nov.	Jan.	Feb.	Nov.	Dec.	Jan.	Feb.	Mar.	
京畿 信託 Trust B.	1,000,000	160,000	1,446,000	2,145,000	2,145,000	2,145,000	0	145,000	416,000	996,000	1,205,000
忠清 殖銀 Industrial B.	550,000	55,760	525,462	541,261	549,662	549,662	0	66,220	90,094	126,615	141,487
全南 金聯 Fin. Assn.	1,500,000	91,500	1,064,000	1,512,500	1,512,500	1,516,500	5,000	15,000	97,000	316,500	516,500
全北 金聯 Fin. Assn.	1,200,000	—	1,267,000	1,961,235	1,961,235	1,961,235	0	29,000	244,000	252,039	351,039
全南 殖銀 Industrial B.	2,000,000	34,500	1,721,000	1,913,173	1,923,473	2,056,813	0	26,543	207,473	585,813	991,813
慶北 興銀 Choheung B.	1,800,000	—	1,218,500	1,837,700	1,837,700	1,837,700	2,754	38,642	142,830	366,897	585,928
慶南 商銀 Commercial B.	1,700,000	70,000	1,249,439	1,710,386	1,710,386	1,710,386	0	0	75,086	282,856	435,294
江原 殖銀 Industrial B.	240,000	0	240,000	240,000	240,000	240,000	45,000	70,000	119,500	203,000	240,000
濟州 殖銀 Industrial B.	10,000	0	0	9,000	10,500	10,500	0	0	2,000	5,500	10,500
計 Total	12,000,000	411,760	8,731,402	11,870,255	11,890,456	12,027,796	52,754	390,405	1,393,903	3,435,220	4,477,561
放出限度額對計月別比率 % of Discharged Funds to Limit		3.4	72.7	93.9	99.1	100.2	0.4	3.3	11.6	26.1	37.3
收集實績對計月別比率 % of Each Month to Collection Results		3.2	60.3	93.0	97.0	97.5	—	—	—	—	—
※ 收集米代金換算額 Price of Collected Rice		413,196	7,397,714	11,356,935	11,857,534	11,876,550	—	—	—	—	—
※ (-) 計差減額 Balance		—	1,436,133,688	513,270	32,922	151,246	—	—	—	—	—

## (98) 銀行別有價證券現在高

單位=千圓

## The Amount of Securities by Banks

In 1,000 Won

		朝鮮銀行 Chosun Bank	朝鮮 殖産銀行 Industrial Bank	朝鮮 貯蓄銀行 Savings Bank	朝鮮 商業銀行 Commercial Bank	朝鮮 銀行 Choheung Bank	朝鮮 相互銀行 Mutual Aid Bank	朝鮮 信託銀行 Trust Bank	朝鮮 金融組合 Federation of Fin. Asso.	合 計 Total
1936.	6 June	183,908	34,110	29,221		?	×	×	7,922	255,161
	12 Dec.	225,943	36,505	29,791		?	×	×	8,398	300,637
1937.	6 June	194,039	37,952	30,222	3,863	1,842	×	×	8,274	276,192
	12 Dec.	221,527	43,065	30,970	3,984	1,965	×	×	8,924	310,435
1938.	6 June	241,672	62,850	36,581	5,198	4,144	×	×	×	350,445
	12 Dec.	282,489	68,638	39,013	5,871	5,915	×	×	×	401,926
1939.	6 June	459,930	67,591	46,195	12,458	11,439	×	×	9,591	607,204
	12 Dec.	502,430	70,377	53,933	15,620	12,505	×	×	9,993	664,858
1940.	6 June	569,026	73,304	58,183	24,870	13,245	×	×	×	738,628
	12 Dec.	594,662	84,702	83,720	32,470	14,002	×	×	.	809,556
1941.	6 June	785,415	137,665	89,504	44,551	15,225	×	×	.	1,072,360
	12 Dec.	1,056,305	135,331	111,020	52,424	19,202	×	×	×	1,374,600
1942.	6 June	1,426,986	280,340	119,031	61,098	35,817	×	×	12,540	1,935,812
	12 Dec.	1,572,851	260,905	138,283	74,400	37,567	×	×	13,616	2,097,622
1943.	6 June	1,715,673	261,481	173,034	101,888	43,403	×	×	13,789	2,309,268
	12 Dec.	2,128,859	351,572	195,702	127,404	92,296	×	×	14,418	2,910,251
1944.	6 June	2,831,114	405,381	234,763	157,166	131,585	×	×	14,735	3,774,744
	12 Dec.	3,292,021	501,008	262,109	242,455	213,937	×	×	15,339	4,531,869
1945.	6 June	4,317,789	522,278	318,223	262,110	266,784	×	×	2,076	5,689,270
	12 Dec.	207,749	522,403	332,898	283,352	281,272	×	×	2,293	1,629,948
1946.	1 Jan.	207,749	522,403	332,898	283,330	281,279	×	×	9,676	1,637,335
	2 Feb.	207,749	522,403	332,898	283,340	281,314	×	×	13,475	1,641,179
	3 Mar.	207,749	522,403	332,806	283,279	281,314	×	×	33,607	1,661,158
	4 Apr.	207,749	522,403	332,806	283,279	281,314	15,728	×	33,654	1,676,933
	5 May	207,749	522,403	332,789	282,049	291,314	15,728	×	33,969	1,696,001
	6 June	208,268	522,403	332,765	288,095	286,189	15,728	112,393	34,060	1,799,901
	7 July	208,268	522,403	332,765	288,095	286,789	15,728	112,393	35,150	1,801,591
	8 Aug.	203,827	522,403	332,738	288,055	286,217	15,728	112,393	35,219	1,796,530
	9 Sept.	203,827	522,403	332,728	288,055	286,129	15,728	112,393	35,534	1,796,797
	10 Oct.	203,827	522,403	332,704	288,055	286,129	15,728	112,393	36,024	1,797,263
	11 Nov.	203,827	522,403	332,704	288,055	286,129	15,728	112,393	36,826	1,798,065
	12 Dec.	203,827	522,403	332,704	283,239	286,129	15,729	112,393	37,513	1,793,937
1947.	1 Jan.	203,827	522,403	332,704	288,055	286,129	15,728	112,393	38,631	1,799,870
	2 Feb.	203,827	522,403	332,679	288,055	286,299	15,728	112,393	42,342	1,803,726
	3 Mar.	203,827	522,403	332,655	288,050	286,299	15,728	112,393	107,323	1,868,678
	4 Apr.	180,861	522,402	332,655	233,234	286,299	15,728	105,026	107,942	1,834,147
	5 May	180,861	522,402	332,655	283,234	286,529	15,728	105,026	108,801	1,835,236
	6 June	180,861	522,402	332,658	283,234	286,519	15,728	105,026	108,925	1,835,353
	7 July	180,861	522,402	332,655	288,050	286,519	15,728	105,026	108,223	1,839,464
	8 Aug.	180,861	522,402	332,655	288,050	286,519	15,728	105,026	115,321	1,846,562
	9 Sept.	180,861	522,402	332,582	288,035	286,504	15,728	105,026	115,542	1,846,680
	10 Oct.	180,861	522,402	332,582	288,035	286,504	15,728	105,025	116,899	1,848,036
	11 Nov.	180,861	522,402	332,582	288,035	286,504	15,728	105,025	116,899	1,848,036
	12 Dec.	180,861	522,402	332,582	288,035	286,504	15,728	105,025	116,899	1,848,036

(99) 各銀行爲替受拂高  
Transactions of Remittance of Each Banks

In 1,000 Won

△拂出超過

△Paid Exceed.

Table with columns for Korea (朝鮮), Japan (日本), Other Foreign Country (對其他外國), Total of Foreign Country (對外國合計), and Total (計). Rows include dates from 1927 to 1947, with sub-columns for Received and Paid for each category.

Table titled 'In Million Won' showing remittance transactions for various banks: Chosun Bank, Industrial Bank, Savings Bank, Commercial Bank, Choheung Bank, Mutual Aid Bank, and Trust Bank. Rows include dates from 1946 to 1947, with sub-columns for Received and Paid for each bank.

(100) 交換手形種類別表  
Type of Bills Cleared

In 1,000 Won

Table with 14 columns: 小切手 (Cheque), 送金爲替手形 (Remittance), 約束及爲替手形 (Promissory Note), 政府預金小切手 (Government Cheque), 郵便爲替證書 (Money Order), 其他雜證書 (Others), 合計 (Total). Each column has sub-columns for '枚數' (No. of Bills) and '金額' (Amount). Rows represent years from 1925 to 1947, including monthly breakdowns for 1947.

(101) 各地手形  
The Transactions of Clearing

	서울 Seoul		仁川 Chemulpo		釜山 Busan		大邱 Taikoo		木浦 Mokpo		群山 Kunsan		光 Kwang
	枚數 No of Items	交換金額 Amount	枚數 No of Items	交換金額 Amount	枚數 No of Items	交換金額 Amount	枚數 No of Items	交換金額 Amount	枚數 No of Items	交換金額 Amount	枚數 No of Items	交換金額 Amount	枚數 No of Items
1925	1,127,716	521,687	123,276	89,676	386,780	192,099	103,035	31,422	40,303	20,793	74,973	49,361	—
1926	1,216,932	616,666	129,643	83,177	399,125	180,551	122,718	34,851	46,839	26,449	88,463	62,941	—
1927	1,197,055	602,367	139,421	82,269	415,187	181,600	111,503	33,912	42,927	24,363	87,910	59,653	—
1928	1,252,740	637,397	155,435	94,393	441,802	201,130	122,814	36,953	44,083	21,567	81,293	49,652	—
1929	1,236,064	741,429	139,154	79,356	444,114	200,146	104,809	30,543	49,703	25,240	84,344	46,416	—
1930	1,130,004	603,446	112,323	57,079	418,555	160,204	95,504	24,251	48,853	23,053	76,494	34,425	—
1931	1,074,274	487,070	99,579	50,241	401,189	142,172	92,178	22,515	45,691	13,140	70,578	29,519	—
1932	1,112,933	518,392	87,610	49,351	398,578	145,340	98,325	30,634	52,478	21,224	70,646	35,938	—
1933	1,206,038	671,070	92,731	55,217	400,787	151,605	104,632	29,557	54,721	25,538	74,697	41,510	—
1934	1,348,772	846,709	110,676	70,216	425,675	190,110	103,011	35,785	61,052	27,937	82,287	55,842	—
1935	1,483,821	963,864	123,722	84,994	458,612	220,023	120,563	40,920	70,360	28,603	91,962	58,491	—
1936	1,636,051	1,105,577	126,303	83,013	463,306	234,119	130,102	44,059	63,324	27,214	92,203	53,062	—
1937	1,614,637	1,208,876	118,476	93,961	467,218	251,430	127,195	46,163	63,499	30,703	90,902	51,839	—
1938	1,634,728	1,533,499	109,432	89,431	434,311	286,895	119,531	45,430	60,078	34,659	92,308	62,049	—
1939	1,363,231	2,267,209	106,517	93,952	444,926	389,037	130,164	48,933	59,107	35,476	97,717	60,781	—
1940	1,940,345	2,977,376	100,559	78,205	432,133	488,173	140,351	56,218	53,396	32,520	89,049	66,036	—
1941	1,924,835	3,386,432	93,760	73,578	428,431	519,656	146,126	78,204	60,749	101,192	87,826	91,361	—
1942	2,010,250	4,369,285	93,165	75,186	423,814	638,209	135,765	164,481	58,393	115,956	86,024	112,870	—
1943	1,876,933	5,322,787	84,785	81,843	388,179	739,932	224,893	234,733	53,882	80,042	77,138	85,719	—
1944	1,413,664	6,652,416	65,381	82,447	293,597	791,291	233,039	307,974	53,813	80,538	59,054	75,863	—
1945-1Jan	82,932	440,182	4,023	6,250	13,749	66,424	24,801	27,933	3,929	6,343	3,623	4,991	1,385
2Feb	94,737	506,440	4,303	6,756	20,630	67,449	23,643	21,233	5,344	5,159	3,621	6,874	1,839
3Mar	91,897	599,697	4,569	8,217	21,607	86,704	16,487	33,099	3,390	6,334	3,531	7,422	1,634
4Apr	71,762	617,095	3,377	7,111	17,236	73,721	9,591	24,817	2,127	6,903	2,956	8,935	1,385
5May	69,927	587,579	3,597	9,417	17,648	91,413	11,632	37,760	2,207	7,177	3,056	7,739	1,555
6June	61,007	642,384	3,257	8,084	14,130	71,416	8,769	30,465	1,776	6,878	2,509	4,873	2,799
7July	57,220	595,387	2,924	7,603	13,277	73,162	7,269	27,233	1,707	8,483	2,536	6,406	1,424
8Aug	36,533	1,156,606	2,117	7,849	14,814	137,806	411	40,292	1,138	9,470	1,689	10,551	1,391
9Sept	7,368	553,011	617	5,410	10,528	113,407	517	48,499	857	9,810	544	7,715	1,339
10Oct	1,583	85,039	151	3,533	1,324	23,261	150	8,900	95	979	103	1,026	183
11Nov	2,093	119,934	194	3,135	639	20,652	105	6,630	80	2,237	129	2,723	65
12Dec	3,487	289,276	402	10,136	1,016	34,661	157	18,443	185	3,516	260	6,942	101
計 Total	580,606	6,197,680	29,536	83,506	151,598	865,076	103,582	325,404	22,635	73,294	24,557	76,197	15,100
1946-1Jan	5,162	338,726	750	17,495	1,102	34,951	259	33,964	149	4,040	304	10,294	139
2Feb	7,293	353,003	1,142	20,036	1,473	76,414	337	19,301	181	7,224	321	10,138	244
3Mar	13,635	688,346	2,280	61,989	2,456	113,316	899	54,135	455	24,210	862	42,386	300
4Apr	19,626	827,581	3,557	94,157	3,528	174,950	1,436	62,358	859	25,295	1,462	40,245	534
5May	26,174	1,453,733	3,238	77,178	5,107	270,571	2,045	76,487	823	26,012	2,490	71,962	630
6June	23,759	1,294,455	2,966	74,440	4,321	248,286	2,036	84,302	1,176	22,235	2,295	45,668	674
7July	34,942	1,698,024	4,146	85,775	6,374	399,622	2,475	77,700	1,162	19,471	2,834	45,997	838
8Aug	38,754	2,166,532	4,063	119,353	6,454	559,024	2,787	136,055	1,336	25,389	2,905	64,225	944
9Sept	39,803	2,063,228	3,952	112,051	6,995	332,575	2,904	159,135	1,151	22,974	2,852	73,512	1,054
10Oct	45,436	2,962,089	4,770	179,537	8,835	546,095	2,201	261,173	1,419	37,064	3,372	106,940	1,295
11Nov	48,991	4,278,239	5,371	242,399	10,524	713,751	2,925	234,972	1,159	42,744	3,584	106,138	911
12Dec	50,976	4,262,739	4,939	221,259	13,084	920,443	3,634	366,093	1,300	33,039	3,855	148,323	1,105
計 Total	359,611	22,396,745	41,224	1,305,674	70,783	4,440,003	24,096	1,565,745	11,175	294,697	27,136	765,833	8,668
1947-1Jan	41,067	3,340,831	3,909	182,767	12,379	938,742	3,020	426,922	1,121	48,175	3,385	132,219	811
2Feb	38,192	3,332,661	4,013	251,951	11,201	897,033	2,950	381,917	938	48,631	2,763	83,479	751
3Mar	45,325	4,575,825	5,085	346,799	12,130	1,343,788	2,826	486,017	992	55,863	2,838	123,262	775
4Apr	46,165	4,730,575	4,639	401,283	12,320	1,414,480	2,693	472,532	793	62,927	2,636	156,875	810
5May	47,383	5,135,052	4,792	234,701	12,482	1,930,377	3,022	521,549	818	46,720	2,843	113,337	756
6June	45,733	4,938,735	4,833	324,053	12,506	1,263,318	2,833	562,157	1,015	91,832	2,843	163,503	853
7July	47,106	6,150,184	5,323	310,094	14,013	1,316,774	3,222	577,948	1,400	74,171	3,324	144,679	860
8Aug	44,352	5,864,974	5,139	340,809	13,004	1,262,281	2,969	577,511	1,076	89,186	3,195	169,923	891
9Sept	49,487	6,935,703	5,436	403,245	13,749	1,314,047	3,407	935,635	1,252	106,506	3,676	235,079	933
10Oct	56,424	9,086,001	6,415	531,631	14,125	1,705,933	3,265	553,542	1,290	117,700	3,603	152,797	1,040
11Nov	53,466	9,117,647	5,900	659,837	13,529	1,710,723	3,386	703,303	1,193	118,314	4,620	379,946	890
12Dec	60,133	11,209,370	6,624	846,477	15,765	2,299,355	4,836	1,264,352	1,504	278,288	8,139	465,130	1,059
計 Total	574,838	74,677,763	62,168	4,945,447	157,293	16,334,456	38,429	7,523,915	13,312	1,141,363	43,865	2,320,234	10,429

1) 全朝鮮計는 1925년부터 1944년까지는 年計이고 1945년부터는 月計임 1945年6月以前은 全朝鮮總計이고 1945年7月以後는 南朝鮮은 月計임

交換高 House in Principal Cities

Table with columns for Region (州), Taijun, South Korea, and Whole Korea. Rows list exchange amounts, number of items, exchange rates, and average daily exchange amounts for various cities and periods.

\* The figures of Whole Korea 1925-1944 indicate annual total after 1945 monthly total, before June 1945 are total amount of Whole Korea and after July 1945 only South Korea.

(102) 各 地 不 渡  
Dishonoured Bills in

	서 울 Seoul		仁 川 Chemulpo		釜 山 Busan		大 邱 Taigu		木 浦 Mokpo		
	枚 數 No. of Items	金 額 Amount	枚 數 No. of Items	金 額 Amount	枚 數 No. of Items	金 額 Amount	枚 數 No. of Items	金 額 Amount	枚 數 No. of Items	金 額 Amount	
1937	1,247	668,347	382	156,374	238	110,090	366	145,464	101	41,305	
1938	837	482,916	146	43,166	170	72,105	406	144,617	92	20,658	
1939	604	484,027	132	60,868	94	62,399	230	104,870	58	30,772	
1940	1,028	1,578,900	83	134,215	55	55,681	115	86,471	24	23,510	
1941	1,246	1,620,212	132	249,860	83	126,373	134	113,352	28	20,698	
1942	984	1,677,263	108	176,653	64	111,528	224	293,385	33	32,122	
1943	1,050	2,172,290	92	118,692	126	317,468	147	257,441	14	54,076	
1944	536	2,158,039	36	112,066	77	312,100	82	241,036	15	63,296	
1945	1 Jan	26	342,337	1	1,415	4	17,508	6	8,180	—	—
	2 Feb	40	201,755	—	—	3	2,145	—	—	—	—
	3 Mar	61	385,036	1	2,000	5	20,031	3	11,422	—	—
	4 Apr	86	659,658	1	20,000	19	83,822	11	36,897	1	1,000
	5 May	56	521,711	3	21,800	1	20,951	7	28,520	4	28,000
	6 June	69	160,958	5	54,250	3	55,972	2	10,000	1	410
	7 July	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8 Aug	245	5,392,062	—	—	—	—	—	—	—	—
	9 Sept	39	721,793	—	—	38	281,220	—	—	—	—
	10 Oct.	24	552,589	—	—	—	—	—	—	—	—
	11 Nov	6	482,500	—	—	—	—	—	—	—	—
	12 Dec.	26	2,134,666	—	—	—	—	—	—	—	—
計 Total	678	11,555,120	11	99,465	73	481,649	29	95,019	6	29,410	
1946	1 Jan	48	1,420,648	1	5,000	—	—	—	1	1,335	
	2 Feb.	41	1,002,776	—	—	2	190,000	3	109,293	1	153,240
	3 Mar.	111	9,930,622	16	1,291,275	1	126,409	5	60,028	3	48,566
	4 Apr.	137	4,259,419	28	1,716,480	12	507,000	4	34,676	3	57,697
	5 May	190	4,973,375	12	284,720	20	911,006	15	627,250	4	77,000
	6 June	263	7,009,532	19	756,880	19	390,475	5	161,414	7	390,163
	7 July	264	8,062,012	27	397,003	30	1,333,741	13	114,401	8	164,330
	8 Aug.	293	7,011,374	23	415,879	10	131,150	19	469,124	2	8,000
	9 Sept.	319	9,896,793	19	473,130	15	237,790	23	425,475	8	372,840
	10 Oct.	444	17,493,153	71	1,550,706	34	1,842,742	16	519,174	18	278,150
	11 Nov.	428	21,717,632	43	1,193,806	34	967,129	27	2,986,355	25	793,635
	12 Dec.	437	22,114,443	25	826,200	19	1,253,056	22	2,065,691	19	478,385
計 Total	2,975	114,891,834	284	8,911,079	196	7,890,498	152	7,572,881	99	2,823,341	
1947	1 Jan.	482	25,283,249	26	341,664	89	5,475,794	47	9,126,456	36	1,321,680
	2 Feb.	396	24,301,549	34	1,886,048	72	5,296,340	30	4,237,609	18	1,202,590
	3 Mar.	469	20,993,745	24	1,003,070	65	5,333,304	29	1,867,225	6	206,305
	4 Apr	635	34,185,835	48	3,247,862	126	11,162,652	30	1,680,924	18	1,148,340
	5 May	517	29,303,952	28	1,331,587	98	6,906,046	27	1,287,170	19	1,056,205
	6 June	513	22,253,152	40	2,953,944	89	6,374,062	24	934,900	14	1,463,845
	7 July	660	29,251,171	60	2,576,626	113	6,677,217	38	5,378,993	14	557,748
	8 Aug	551	34,307,743	61	1,743,073	123	10,221,059	15	2,338,273	14	580,615
	9 Sept	568	42,967,488	42	2,194,995	126	7,597,235	24	2,018,260	13	876,450
	10 Oct.	704	45,005,424	77	4,405,883	139	8,839,902	26	976,075	17	592,895
	11 Nov.	721	38,665,373	56	2,810,673	131	10,730,562	36	4,697,835	13	796,342
	12 Dec.	755	66,919,049	43	2,413,041	117	11,880,902	44	5,797,666	26	1,069,787
計 Total	6,971	413,437,730	539	26,908,464	1,288	96,495,075	370	40,391,386	208	10,872,802	

1) 1937년부터 1944년까지는 年計이고 1945년부터는 月計임

2) 總計는 1945年6月以前은 全朝鮮分이고 1945年8月부터는 南朝鮮分에 限함

3) 交換高에 對한 不渡手形高는 1945年6月以前은 全朝鮮總計에 對한 比率이고 1945年8月以後는 南朝鮮總計에 對한 比率임

# 手 形 一 覽

## Principal Cities

In Won

群 山 Kunsan		光 州 Kwangju		大 田 Taichun		南 鮮 合 計 Total of South Korea		總 計 Total		交 換 高 對 社 不 渡 手 形 事 Percentage of the Dishonoured Bills to Cleared Bills	
枚 數 No of Items	金 額 Amount	枚 數 No of Items	金 額 Amount	枚 數 No of Items	金 額 Amount	枚 數 No of Items	金 額 Amount	枚 數 No of Items	金 額 Amount	枚 數 No. of Items	金 額 Amount
214	54,929	—	—	—	—	2,598	1,176,509	3,862	1,618,594	0.13	0.08
104	26,860	—	—	—	—	1,755	790,322	2,341	1,015,381	0.08	0.04
86	22,971	—	—	—	—	1,204	765,907	1,753	1,160,156	0.05	0.03
37	27,831	—	—	—	—	1,342	1,906,608	2,267	3,093,124	0.06	0.07
39	53,419	—	—	—	—	1,662	2,189,414	2,392	3,569,212	0.08	0.07
23	13,903	—	—	—	—	1,436	2,310,359	2,402	3,568,814	0.07	0.05
17	7,715	—	—	—	—	1,446	2,927,632	2,107	4,249,837	0.06	0.05
15	10,073	—	—	—	—	761	2,901,610	1,033	4,047,353	0.04	0.04
—	—	—	—	—	—	37	369,500	53	418,307	0.03	0.07
—	—	—	—	—	—	43	203,900	54	235,784	0.03	0.03
1	1,500	—	—	—	—	71	419,989	92	484,031	0.05	0.06
1	500	—	—	—	—	119	801,872	131	865,592	0.11	0.11
1	2,110	—	—	—	—	72	623,092	97	720,147	0.07	0.08
—	—	—	—	—	—	80	231,590	95	361,835	0.08	0.04
6	24,532	—	—	3	3,267	254	5,419,861	254	5,419,861	0.42	0.39
3	14,956	—	—	—	—	80	1,017,969	80	1,017,969	0.36	0.13
—	—	—	—	—	—	24	552,589	24	552,589	0.63	0.44
—	—	—	—	—	—	6	482,500	6	482,500	0.17	0.31
—	—	—	—	—	—	26	2,134,666	26	2,134,666	0.44	0.58
12	43,598	—	—	3	3,267	812	12,307,528	912	12,693,281	0.07	0.14
—	—	—	—	—	—	50	1,426,983	50	1,426,983	0.62	0.30
1	50,000	—	—	—	—	48	1,505,309	48	1,505,309	0.39	0.29
1	3,500	—	—	—	—	137	11,460,400	137	11,460,400	0.63	1.11
1	2,737	—	—	—	—	185	6,578,009	185	6,578,009	0.57	0.55
7	185,180	—	—	1	1,194	241	6,873,351	241	6,873,351	0.57	0.33
3	22,000	3	200,275	—	—	321	8,894,838	321	8,894,838	0.73	0.47
21	500,459	—	—	—	—	348	10,293,762	348	10,293,762	0.63	0.41
14	187,985	—	—	4	50,390	372	8,536,376	372	8,536,376	0.63	0.62
2	2,000	—	—	5	60,360	403	11,654,378	403	11,654,378	0.67	0.40
24	286,186	1	700	24	477,644	609	22,163,569	609	22,163,569	0.89	0.52
55	1,096,478	—	—	2	31,850	584	27,977,343	584	27,977,343	0.78	0.48
129	2,336,525	—	—	7	275,600	584	28,109,853	584	28,109,853	0.72	0.46
55	1,772,323	4	200,975	43	897,038	3,882	145,524,171	3,882	145,524,171	0.69	0.48
23	432,690	1	60,000	11	416,773	747	43,797,939	747	43,797,939	1.11	0.83
34	490,835	2	28,600	5	189,830	580	37,575,354	580	37,575,354	0.93	0.70
39	1,161,211	6	237,304	3	76,232	636	30,208,020	636	30,208,020	0.89	0.42
37	1,036,435	5	2,810	5	47,655	906	52,637,289	906	52,637,289	1.27	0.71
30	945,097	5	53,848	8	206,992	739	41,182,235	739	41,182,235	1.00	0.54
33	2,005,125	3	24,000	11	358,160	724	35,357,160	724	35,357,160	1.00	0.45
35	1,469,037	1	14,000	5	283,330	924	46,744,210	924	46,744,210	1.20	0.53
75	2,526,242	4	420,000	7	151,850	810	51,231,650	810	51,231,650	1.12	0.60
67	1,996,741	2	30,840	12	806,500	862	59,018,010	862	59,018,010	1.08	0.56
55	1,957,558	2	250,000	21	860,296	1,053	62,927,216	1,053	62,927,216	1.20	0.50
65	2,900,056	2	39,400	13	408,100	1,027	60,105,843	1,027	60,105,843	1.21	0.46
548	18,693,350	6	415,214	6	236,290	1,062	91,632,005	1,062	91,632,005	1.05	0.54
548	18,693,350	39	1,576,016	107	4,042,108	10,070	612,416,931	10,070	612,416,931	1.09	0.55

1) The figures for 1937-1944 indicate annual total and after 1945 monthly total.

2) The figures before June 1945 are total amount of Whole Korea and after Aug. 1945 that of only South Korea.

3) Percentage of the dishonoured bills to cleared bills: before June 1945 of Whole Korea, and after Aug. 1945 of South Korea.



(103) 朝鮮銀行貸出標準金利沿革  
Standard Rate of Loan & Discount of the Chosun Bank

In Ri=0.365%

	商業手形割引 Commercial Bills	貸付及手形割引(國債擔保) L. & B Dis (Secured by Gov't Bond)		貸付及手形割引(非國債擔保) L. & B Dis. (Unsecured by Gov't Bond)		當座貸越 Overdraft
		手形割引比率(對舊債) Loans Made During Preway	手形以上 L	貸付利子女手形割引比率(其他擔保) Loans Upon Other Mortgages	手形以上 L	
1932. 3(Mar.)	20	19	20	21	23	
6(June)	15	17	10	19	21	
9(Sept)	1	15	16	17	19	
1933. 7(July)	10	17	14	15	17	
1936. 4(Apr.)	11	12	13	14	16	
1937. 7(July)	19	12	12	14	15	
9(Sept.)	29	12	12	14	14	
1939. 4(Apr.)	1	10	10	12	12	
1941. 8(Aug)	1	10	9	11	11	
1946. 10(Oct)	1	20	20	20	20	
1947. 3(Mar.)	1	11	12	20	11	

- 貸付金金額、性質、用途、擔保、償還期限、融資先の業態信用等を綜合考慮し、金利を改定し、生産資金を日歩二錢乃至二錢二厘程度、商業資金を日歩二錢二厘乃至二錢五厘程度に算す
- 朝鮮銀行の同業者(新韓公社を除く)に對し、貸付金利は當座貸越日歩一錢一厘、其他日歩一錢
- 1946年10月5日附財務部長通牒(貸付金利引上)に關し、(一)十萬圓以上貸付金は日歩最高三錢、最低二錢、但十萬圓以下は日歩三錢を超過す可、(二)延滞利は日歩最高五錢、最低四錢

(104) 朝鮮殖産銀行金利表

The Rates of Chosun Industrial Bank

In Ri=0.365% ※ In o/oo

	貸付日歩 Daily Interest of Loan			割引日歩 Daily Interest of Discount			當座預金日歩 Daily Interest of Cur. Deposits			定期預金年利 Yearly Rates of Fixed Deposit		
	最高 Maximum	最低 Minimum	普通 Ordinary	最高 Maximum	最低 Minimum	普通 Ordinary	最高 Maximum	最低 Minimum	普通 Ordinary	最高 Maximum	最低 Minimum	普通 Ordinary
	1933. 6	28	16	21	26	15	20	3	1	2	39	36
1937	28	16	21	26	14	21	3	1	2	39	36	38
1938	28	16	21	26	16	22	3	1	2	39	36	38
1939	26	13	21	26	14	22	2	1	2	39	36	36
1940	24	13	17	24	14	17	2	1	2	36	35	35
1941	24	13	17	24	14	17	2	1	2	35	34	35
1942	24	13	15	24	14	15	2	1	2	34	34	34
1943	23	13	15	24	14	15	2	1	2	34	34	34
1944	23	13	15	24	14	15	1	1	1	34	34	34
1945	23	13	15	24	14	15	0	0	0	34	34	34
1946	25	10	20	25	12	20	0	0	0	33	33	33
1947	40	10	30	40	13	35	0	0	0	33	33	33

(105) 朝鮮貯蓄銀行金利表

The Rates of Chosun Savings Bank

In Ri=0.365% In o/oo

	貸付金日歩 Daily Interest of Loan			普通貯金年利 Yearly Rates of Ordinary D.			据置貯金年利 Y. R. of Deferred Savings Bond			定期積金年利 Y. R. of Fixed Reserve Fund		
	最高 Maximum	最低 Minimum	普通 Ordinary	最高 Maximum	最低 Minimum	普通 Ordinary	最高 Maximum	最低 Minimum	普通 Ordinary	最高 Maximum	最低 Minimum	普通 Ordinary
	1933. 8	27	16	26	39	25	25	39	39	39	25	25
1939	26	13	26	37	21.9	21.9	37	37	37	25.7	25.7	25.7
1940	26	13	26	37	21.9	21.9	37	36	36	25.7	25.7	25.7
1941	26	13	26	36	21.9	21.9	36	34	36	25.7	25.7	25.7
1942	25	13	25	34	21.9	21.9	34	32.5	32.5	28.4	25.7	25.7
1943	24	13	18	3.12	3.0	30.6	34	32.5	33.2	29.6	25.7	27.6
1944	23	13	18	3.12	3.0	30.6	34	32.5	33.2	29.6	25.7	27.6
1945	23	13	18	3.12	3.0	30.6	34	32.5	33.2	29.6	25.7	27.6
1946	23	13	18	2.76	2.4	2.7	33	32.2	32.6	29.6	25.7	27.6
1947	33	16	25	2.76	1.8	1.8	32	32	32	29.6	25.7	27.6

(106) 普通銀行金利表

The Rates of Ordinary Banks

In Ri=0.365%

Table with columns for Loan Interest (Daily, Max, Min, Ord), Discount Interest (Daily, Max, Min, Ord), Current Deposits (Daily, Max, Min, Ord), and Fixed Deposits (Yearly Rates, Max, Min, Ord). Rows include dates from 1933 to 1947.

(107) 朝鮮金融團預金協定利率表

The Agreed Rate of Interest Between Financial Institution In Ri=0.365% In o/oo

Table with columns for Fixed Deposits, Current Deposits, Special Current Deposits, Notice Deposit, and Special Deposits. Sub-columns for A and B classes. Rows include dates from 1940 to 1946.

Table for Chosun Trust Bank and Financial Union's Fixed Deposits. Columns include Special Deposits, New Korea Co. Fixed D., and various deposit terms (1 year, 2 years, 3 years, 6 months, 1 year, 6 months, 1 year). Rows include dates from 1941 to 1945.

備考

서울市內所在銀行의當座預金은無利息으로함
貯蓄銀行特約貯金은元本五千圓以下時에는一年
以上の利率을表示함
五千圓을超過하는時에는二年未滿六分三厘以下
三年以上三分三厘五毛以下其他公共團體는三分
五厘以下金融組合定期預金은全部元本五千圓以下
時을表示함五千圓을超過할時에는六個月以上
三分三厘一年以上三分三厘五毛三年以上은三分
四厘으로함
1946년부터甲種銀行과乙種銀行과의區別이없음

On current deposits of all banks in Seoul, no interest is made.

On special savings deposits of the Chosun Savings Bank, the rate of interest shows as:

Over 5,000 Won of principal,
with the term of less than 2 years—6.3% per annum or less.
with the term of over 3 years—3.35% or less.

To the public corporation—3.5% or less.

Under 5,000 Won of principal—same with that of over 1 year.

On fixed deposits of Financial Associations, all is under 5,000 Won of principal. On the principal in excess of 5,000 Won:

Over 6 months—3.3%

Over 1 year—3.35%

Over 3 years—3.4%

Since 1946 it does not differentiate between the bank of 1st class and of 2nd class.

(108) 郵 便 貯 金  
Transaction of Postal

	通 常 貯 金 Ordinary Savings				定 期 貯 金 Fixed Savings			
	受 高 Deposits		拂 高 Withdrawn		受 高 Deposits		拂 高 Withdrawn	
	口 數 Accounts	金 額 Amount	口 數 Accounts	金 額 Amount	口 數 Accounts	金 額 Amount	口 數 Accounts	金 額 Amount
1945. 1 Jan.	1 854,099	65,827,538	149,328	39,812,635	32,342	4 309,874	2 534	367,378
2 Feb.	1 711,981	50,001,869	153,430	33,655,091	28,520	4 195,858	1 610	300,609
3 Mar.	2 113,160	58,265,255	182,684	40,041,861	33,431	4 968,968	1 957	433,884
4 Apr.	1 561,847	64,662,630	177,720	45,471,444	49,287	8 329,791	2 855	562,335
5 May	1 868,964	73,109,969	183,637	46,771,937	60,143	8 703,657	3 577	737,056
6 June	1 661,253	63,573,845	178,490	41,901,877	47,858	6 329,666	3 666	885,127
7 July	935,984	41,525,919	96,206	24,860,305	35,035	4 489,596	3 818	795,134
8 Aug.	590,846	146,172,861	213,664	43,713,228	22,457	2 857,177	25 145	4,675,653
9 Sept.	128,621	414,668,659	495,042	71,514,812	1,245	154,771	60 049	8,554,226
10 Oct.	73,127	120,970,348	326,981	134,473,090	798	29,370	41 822	6,175,785
11 Nov.	23,933	57,504,191	259,968	117,657,365	120	19,239	31 942	4,061,774
12 Dec.	35,920	35,526,477	835,769	68,944,855	62	18,023	14 870	3,851,314
1946. 1 Jan.	22,164	21,478,063	383,496	39,248,492	21	7,801	5 872	706,785
2 Feb.	66,188	89,295,680	161,779	52,089,293	212	73,625	32,318	1,045,252
3 Mar.	39,267	46,250,902	82,565	27,532,071	16	680	2 345	379,012
4 Apr.	40,984	23,157,355	39,782	24,123,723	66	25,740	2 189	388,195
5 May	53,191	32,263,676	33,579	26,500,697	115	27,790	1 885	334,711
6 June	63,321	28,262,012	755,441	25,922,248	98	38,640	2,150	322,774
7 July	48,087	28,792,111	24,935	22,427,148	86	30,601	1 378	217,143
8 Aug.	49,200	26,812,378	26,370	24,340,837	73	27,350	1,331	170,869
9 Sept.	47,923	34,131,067	23,608	26,687,478	58	21,700	702	98,747
10 Oct.	44,461	34,509,219	28,275	34,790,451	15	5,460	821	185,031
11 Nov.	52,291	43,485,725	26,826	30,099,272	5	1,140	506	192,122
12 Dec.	43,283	37,761,133	16,597	37,774,905	27	385	568	158,596
1947. 1 Jan.	37,967	52,711,873	24,025	51,054,481	4	320	767	124,691
2 Feb.	44,121	38,899,000	15,596	34,970,529	33	3,120	235	60,228
3 Mar.	43,252	59,903,804	11,714	55,900,878	16	5,540	163	25,397
4 Apr.	38,992	59,677,146	18,134	72,853,163	6	15,000,530	160	40,624
5 May	45,178	103,176,362	19,576	73,222,565	3	5,000	175	50,781
6 June	43,158	68,137,611	14,928	94,676,740	9	6,070	160	33,137
7 July	45,832	111,209,560	17,245	68,433,509	14	3,240	163	15,157,474
8 Aug.	36,674	49,179,944	16,748	67,313,842	13	16,050	81	15,720
9 Sept.	31,368	53,709,965	16,684	68,771,059	—	—	62	24,034
10 Oct.	30,400	95,544,365	15,075	80,248,204	—	—	27	12,773
11 Nov.	31,240	68,886,983	12,196	73,672,949	—	—	56	16,540
12 Dec.	32,772	76,410,263	11,281	87,624,853	—	—	21	7,863

(109) 通 常 郵 便 物  
Ordinary Mail Matter

	引 受 通 常 郵 便 物 Accepted Ordinary Matter									
	總 數 Total	有 料 Fee				計 Total	無 料 Without Fee			
		普 通 Common	書 留 Registration	價 格 表 記 Value-Decl.	計 Total		普 通 Common	書 留 Registration	價 格 表 記 Value-Decl.	計 Total
1939	373,034,491	344,371,797	9,195,968	328,234	353,895,999	16,449,999	2,457,535	230,958	19,138,492	
1940	406,579,127	374,336,051	10,457,493	362,947	385,156,491	18,788,602	2,404,880	229,154	21,422,636	
1941	442,901,869	409,738,391	10,939,070	339,774	421,017,235	19,408,211	2,248,380	228,043	21,884,634	
1942	431,603,949	396,737,638	10,981,298	298,820	408,017,756	20,860,802	2,496,333	228,058	23 586 193	
1943	445,123,675	410,858,789	10,929,017	240,174	422,027,980	20,256,540	2,576,664	262,491	23 095 695	
1944	425,768,795	396,080,154	10,099,014	7,161	406,186,329	16,901,376	2,469,167	211,923	19 582 466	
1945	57,458 200	53,121,858	1,227,510	646	54,350,014	2,783,326	295,487	29,373	3 108 186	
1946	78,346 776	68,687,395	1,430,378	—	70,117,773	7,612,943	552,079	63,981	8 229 003	
1947 4 Apr.	6,438 699	5,621 723	96,323	—	5,718,046	671,179	44,475	4,999	720,653	
5 May	4,973 542	4,504 100	123,027	—	4,627,127	270,800	67,978	7,637	346,415	
6 June	6,547 136	5,998 632	133,174	—	6,131,806	347,958	60,080	7,292	415,330	
7 July	5,988,203	5,351 236	142,987	—	5,494,223	416,585	68,973	8,422	493,980	
8 Aug	5,827,588	5,254,010	117,699	—	5,371,709	395,690	53,784	6,405	455,879	

# 受 拂 一 覽 表 Deposits

In Won

積 立 貯 金 Laying Savings				其 他 貯 金 Others				殘 高 Balance		一 口 當 額 Per One Account	全 金 融 機 關 對 比 較 Per cent. of All Fin. In.
受 高 Deposits		拂 高 Withdrawn		受 高 Deposits		拂 高 Withdrawn		口 數 Accounts	金 額 Amount		
口 數 Accounts	金 額 Amount	口 數 Accounts	金 額 Amount	口 數 Accounts	金 額 Amount	口 數 Accounts	金 額 Amount			口 數 Accounts	金 額 Amount
254,489	2,665,009	96	10,110	199,762	5,110,984	47	4,593	13,515,749	526,900,053	38.98	9.8
243,823	2,070,580	121	9,518	114,467	2,044,214	32	2,821	13,750,636	551,434,534	40.10	10.3
290,031	3,013,702	145	10,551	207,150	3,993,379	89	20,513	14,049,796	581,169,028	41.36	10.1
249,070	2,505,416	252	16,433	129,446	1,886,678	48	2,217	14,361,368	612,501,113	42.65	10.7
357,141	3,060,958	475	39,098	201,225	3,383,373	127	8,534	14,817,745	653,202,444	44.08	11.1
367,781	3,107,708	453	37,498	236,655	4,882,784	87	4,584	15,018,092	688,267,361	45.83	—
194,926	1,749,480	205	21,590	271,859	4,199,561	39	1,161	9,440,671	444,908,225	47.13	1.0
143,741	1,183,706	11,940	1,220,516	195,371	3,189,422	181,736	1,756,672	9,500,413	546,945,322	57.57	1.7
1,779	23,205	52,102	4,894,507	383,559	4,454,198	933,744	9,569,459	9,225,005	871,713,151	94.49	3.3
590	4,642	23,917	2,971,652	304,270	4,393,940	582,740	7,938,731	8,954,556	845,497,193	94.42	3.1
350	2,582	17,928	1,024,906	195,899	894,793	669,399	4,406,997	8,714,739	776,766,904	89.13	2.6
1,349	16,416	9,674	503,638	80,307	163,366	332,910	1,525,594	8,532,518	737,665,735	86.45	2.0
899	19,863	9,544	375,189	6,088	84,198	520,984	1,892,306	7,876,917	717,032,889	91.03	16.2
1,828	40,500	30,505	4,376,622	62,310	359,332	155,841	2,047,703	7,721,737	747,243,157	96.77	16.1
1,909	35,972	2,241	114,893	4,645	71,024	15,896	215,756	7,695,810	765,360,001	99.45	16.2
3,196	16,076	1,687	115,850	707	65,198	5,406	187,277	7,689,835	763,854,325	99.33	14.2
6,411	159,592	643	40,688	1,612	8,254	6,095	163,366	7,694,325	769,274,176	99.98	12.1
7,289	173,918	542	29,524	35	8,171	5,239	60,143	6,972,265	771,422,238	110.64	17.4
7,135	187,114	200	10,776	463	4,600	762	14,099	6,973,554	777,767,498	111.53	8.9
7,342	178,022	140	17,478	3,595	8,463	4,538	30,311	6,972,456	780,234,217	111.90	9.1
6,161	161,230	86	12,433	4,418	10,254	3,396	43,285	6,970,894	787,716,524	113.00	7.7
7,040	214,669	735	63,758	22,678	52,826	26,414	131,201	6,968,726	787,328,258	112.98	7.6
6,967	227,644	259	39,921	88	1,334	233	6,867	6,995,353	800,705,919	114.46	6.9
6,901	204,556	688	35,208	36,595	54,837	23,474	75,745	6,993,046	800,682,375	114.50	6.0
5,777	176,166	537	51,000	4,900	46,451	11,561	124,837	6,983,009	802,262,176	114.89	6.1
7,039	195,801	1,204	47,489	10,041	21,734	18,873	57,258	6,981,299	806,246,326	115.49	5.4
5,161	169,883	317	18,029	1,109	3,992	7,156	27,955	6,981,043	810,347,886	116.08	4.9
6,602	220,408	134	28,156	23	114	624	14,853	6,980,404	812,309,286	116.37	4.6
7,244	241,517	94	17,948	1	15	236	8,719	6,982,844	842,432,167	120.64	4.5
7,564	260,072	173	33,461	—	—	133	4,936	6,986,213	816,087,646	116.81	4.5
8,316	283,984	115	31,533	2	118	180	10,529	6,988,426	843,951,503	120.76	4.5
7,106	234,730	201	47,195	61	717	148	4,168	6,988,804	838,514,309	119.98	4.5
6,299	210,912	135	43,279	—	—	96	4,339	6,990,318	823,592,474	117.82	4.0
5,411	199,163	195	42,636	1	8	3,546	8,299	6,991,270	839,024,098	120.01	4.2
4,586	175,847	132	32,190	—	—	10,422	22,398	6,992,882	834,342,850	119.31	3.7
4,380	176,958	152	49,872	—	—	15,493	31,394	6,995,554	823,216,089	117.68	3.1

## 數 累 年 比 較 表 Successive Years Comparison

總 數 Total	配 達 通 常 郵 使 物 Distribution Ordinary Mail Matter				計 Total	無 料 Without Fee				計 Total
	普 通 Common	留 價 格 表 記 Registration Value-Declar.	留 價 格 表 記 Registration Value-Declar.	計 Total		普 通 Common	留 價 格 表 記 Registration Value-Declar.	留 價 格 表 記 Registration Value-Declar.	計 Total	
408,168,577	394,925,642	12,324,022	918,913	408,168,577	(左記에 포함됨) Include Fee	—	—	—	—	—
441,341,260	426,350,816	13,841,772	1,148,672	441,341,260		—	—	—	—	—
477,192,826	462,404,954	13,713,756	1,074,116	477,192,826		—	—	—	—	—
467,952,166	452,674,775	14,233,097	1,044,294	467,952,166	21,610,496	1,803,291	205,733	23,619,520	—	—
477,975,891	462,432,365	14,547,861	945,665	477,975,891						
464,017,797	428,422,165	11,961,280	14,832	440,398,277						
61,642,255	55,967,359	1,479,233	174	57,446,766	8,595,442	443,741	32,185	4,195,489	9,101,694	—
76,418,492	65,764,588	1,552,210	—	67,316,798						
—	—	—	—	—						
5,076,762	4,471,621	117,428	—	4,589,049	420,956	62,219	4,538	487,713	—	—
5,483,229	4,879,615	136,635	—	5,016,250						
5,881,984	5,317,400	136,668	—	5,454,068						
6,986,155	6,187,685	171,337	—	6,369,022	547,665	60,975	8,493	617,133	—	—
6,154,894	5,462,221	139,018	—	5,601,239						
—	—	—	—	—	493,392	53,542	6,721	553,653	—	—

(110) 郵 便 振 替  
Balance of Postal

	受 高								脫退口座 Succeeded Account	
	新規口座 New Account	拂込高 Paid-up		振替受高 Transfer Deposits		合 計 Total				
		口 數 Accounts	金 額 Amount	口 數 Accounts	金 額 Amount	口 數 Accounts	金 額 Amount	一口當金額 Per One		
1943	?	?	?	?	?	3,458	156	794,356,610	229.71	?
1944	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
1945										
1 Jan.	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
2 Feb.	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
3 Mar.	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
4 Apr.	62	251,833	59,427,320	12,082	56,390,942	263,915	115,818,262	438.85	105	
5 May	162	191,459	63,717,639	14,989	57,876,161	206,448	121,593,800	588.98	79	
6 June	162	201,324	56,837,883	15,661	59,070,570	216,985	115,908,453	534.18	74	
7 July	128	173,296	57,105,310	10,608	61,274,151	183,904	118,379,462	643.70	51	
8 Aug.	37	74,052	29,763,858	4,735	22,614,993	78,787	52,378,851	664.82	124	
9 Sept.	—	6,741	8,355,897	478	6,689,683	7,219	15,045,581	2,084.16	248	
10 Oct.	1	5,895	16,085,718	1,438	7,436,892	7,333	23,522,610	3,207.77	218	
11 Nov.	—	18,172	10,524,340	1,586	6,736,322	19,768	17,260,662	873.16	183	
12 Dec.	10	9,333	1,140,007	295	982,399	9,628	2,122,407	220.41	4	
1946.										
1 Jan.	7	43,646	4,097,477	319	3,289,787	43,965	7,387,263	168.03	2	
2 Feb.	4	9,970	6,495,688	256	3,766,326	10,226	10,262,014	1,003.52	—	
3 Mar.	51	36,030	10,129,506	281	5,315,600	36,311	15,445,106	425.63	—	
4 Apr.	65	30,539	13,832,321	236	7,434,632	30,775	21,266,953	691.05	11	
5 May	71	23,166	10,981,660	544	12,321,564	23,710	23,253,224	980.73	17	
6 June	59	10,651	6,669,731	310	4,957,122	10,961	11,626,852	1,060.75	20	
7 July	60	9,958	6,941,435	179	4,874,158	10,137	11,815,593	1,165.59	1	
8 Aug.	36	9,426	9,134,713	249	4,301,122	9,675	13,435,835	1,388.72	14	
9 Sept.	29	12,252	11,081,262	252	8,527,331	12,504	19,608,593	1,568.19	1	
10 Oct.	30	12,261	6,627,495	176	4,067,801	12,437	10,685,296	859.96	8	
11 Nov.	53	10,503	8,095,138	224	5,109,024	10,727	13,204,162	1,230.93	2	
12 Dec.	42	12,597	12,308,337	1,187	5,082,011	13,784	17,390,348	1,261.63	—	
1947.										
1 Jan.	28	18,006	36,202,595	178	21,828,666	18,184	58,031,262	3,191.34	5	
2 Feb.	43	15,333	41,897,711	116	13,635,900	15,449	55,533,611	3,594.64	1	
3 Mar.	26	29,547	75,672,885	202	39,420,446	29,749	115,093,331	3,863.81	6	
4 Apr.	38	29,640	92,916,640	154	38,974,519	29,794	131,891,158	4,426.77	2	
5 May	19	31,375	66,014,239	142	45,168,828	31,517	111,183,066	3,527.72	4	
6 June	42	21,615	49,201,213	283	69,384,883	21,898	118,586,105	6,415.39	6	
7 July	2	9,567	38,407,397	138	17,211,718	12,888	45,619,114	3,539.66	22	
8 Aug.	66	12,182	24,998,873	150	28,016,001	12,332	53,014,874	4,298.97	4	
9 Sept.	37	11,954	29,528,864	108	14,666,173	12,062	44,195,037	3,663.99	10	
10 Oct.	25	18,325	84,820,658	131	32,571,525	18,533	117,392,183	6,334.22	7	
11 Nov.	29	13,135	74,278,535	47	53,611,011	13,272	127,889,545	9,636.04	—	
12 Dec.	36	15,166	60,766,854	79	31,714,291	15,245	92,481,144	6,066.33	1	

## (111) 南朝鮮郵便局道別一覽表

1947年3月末現在

Post Office by Provinces in South Korea

As of Mar. 1947.

	一 級 1st	二 級 2nd	三 級 3rd	四 級 4th	五 級 5th	小 計 Total	分室及取扱所 Agencies	合 計 Total
京畿道 Kyung Ki	2	5	4	19	95	125	25	150
忠清北道 Chung Buk	—	1	3	7	33	44	—	44
忠清南道 Chung Nam	—	1	6	11	51	69	3	72
全北道 Chun Buk	—	2	3	17	35	57	2	59
全南道 Chun Nam	—	2	6	16	61	85	11	96
慶北道 Kyung Buk	1	—	9	19	70	99	9	108
慶南道 Kyung Nam	1	2	7	17	77	104	8	112
濟州道 Che Chu	—	—	1	—	10	11	1	12
江原道 Kang Won	—	1	2	9	36	48	6	54
合 計 Total	4	14	41	115	468	642	65	707

黃海道 38° 以南分局所는京畿道에包含함

Figure for Southern Zone of Whanghai Do included in that of Kyungki Do.

# 貯金殘高表

## Transfer Deposits

In Won

拂				高			殘			全金融機關對社率 Percentages for All Fina. Instituti.
Withdrawn		Transfer Withdrawn		Total			Balance			
口數 Accounts	金額 Amount	口數 Accounts	金額 Amount	口數 Accounts	金額 Amount	一口當金額 Per One	口數 Accounts	金額 Amount	一口當金額 Per One	
?	?	?	?	951,043	713,562,541	750 29	?	?	?	?
?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
118 318	61,594,715	11,740	63 143 573	130,058	114,738 289	882 21	52 350	64,250 020	1 227 32	0.1
820 570	56,761,100	15,066	56 614 858	835,636	113,375 958	135 68	52 433	72,467 862	1 382 10	0.1
112 953	59,711,616	15,509	51 331 788	128,462	111,043 404	864 41	52,521	77,332 911	1 472 42	0.1
779,274	61,285 433	9 764	55 074,406	789 037	116,359,839	147 48	52,598	79,352 535	1,508 66	0.1
40,567	30,382 193	4 400	20 916,257	44 967	51,298,450	1,140 80	52,511	80,432 936	1,531 73	0.2
18 547	15,842 696	406	7 436,481	18 953	23,279,177	1,228 26	25,263	72,199 340	1,381 46	0.3
65,801	13,815 508	821	6 260,414	66 622	20,075,922	301 34	52,046	75,646 029	1,453 45	0.3
49 423	6,496 894	529	9 442,212	48 952	15,939,206	325 61	51,863	76,967 484	1,484 05	0.2
450	2,809 046	128	1 199,084	578	4,008,130	693 45	51,869	75,081 761	1,447 53	0.1
28,853	1 218 155	76	2,649,494	28 929	3,867,649	133 69	51,874	78,601 376	1 515 24	0.1
9,381	5 564 072	180	3,449 821	9 561	9,013,893	942 78	51,878	79,849 497	1 539 18	0.1
37,773	15 460 844	246	6 134 861	38,019	21,495,705	565 39	51,929	73,798 897	1 421 15	0.1
1,328	10 899 304	218	7 035 109	1,546	17,934,412	11,600 53	51,983	77,131 439	1 483 78	0.1
71,874	12 030 515	426	14,560 062	72,300	26,590,576	367 78	52,037	73,974 087	1 421 57	0.1
4,906,456	22 875 876	227	5 527 758	4,906,683	28,403,635	5 79	52,076	57,017 304	1 094 89	0.1
451,038	8,593,709	172	4 976 558	451,220	13,570 267	30 07	52 135	55 262 630	1 059 99	0.6
28,669	8 225,210	249	4,467 052	28,918	12,692 262	438 91	52 157	56 006 204	1 073 80	0.6
1,051	12 236,719	244	3,545 841	1,295	20,782 560	16,048 31	52 185	54 832 238	1 050 73	0.5
1,067	10 595,234	157	4,614 225	1,224	15,209 459	12,426 03	52 207	50 318 074	963 82	0.4
109,833	5 353,436	212	4,962 760	110,045	10,316 195	93 75	52 258	53 206 042	1 018 14	0.4
1,011	9 345,378	201	5,529 384	1,212	14,874 762	12,272 91	52,300	55 721 628	1,065 42	0.4
600,150	20 553 098	166	21 863 041	600,316	42,416 139	70 66	52,323	71 336,751	1,363 39	0.5
1,393	30 403 685	117	13 242 331	1,510	43,645 983	28,904 62	52,365	83 224 379	1,589 31	0.5
224,027	49 332 014	201	40 122 474	224,228	89,454 488	398 94	52,385	108 863,222	2,078 14	0.6
1,675	51 745 116	158	40 570 886	1 833	92 316 002	50,363 34	52,421	142 882,435	2,725 67	0.8
102,320	96 741 670	149	63 728,313	1,019,686	150 470 721	147 57	52,436	103 594,781	1,659 22	0.5
1,784	78 634 197	278	59 946,513	2 062	138 580 710	67,206 94	52,472	83 600,176	1,593 23	0.4
10,627	36,626,469	133	16 706 536	10,760	53 333 093	4 956 61	52,452	75 886,197	1,446 77	0.4
1,241	33,139,046	153	28 614 707	1,395	60 989 085	43 719 77	52,514	67 911 985	1,293 22	0.3
7,015	24,570,541	107	13 808,422	7,123	38 378 964	5 388 03	52,541	73 728 058	1,403 25	0.3
1,262	48,515,941	142	36 692 760	1,404	85 208 701	60 689 96	52,559	103 591,940	1,970 98	0.5
4,163	68 341 049	102	53 994 089	4,265	122 335 138	28 683 50	53,280	109 146,347	2,048 54	0.4
6,600	56 197 942	65	26 954,741	6,665	83 152 683	12 476 02	53,315	118 474,308	2,222 17	0.4

## (112) 通 信 機 關

1947年8月1日現在

### Organ of Communication

As of Aug. 1, 1947.

	郵便局 Post Office	電信局 Telegr. Office	電話局 Telep. Office	電信電話 取投所 & Teleph.	合計 Total	電話加 入者數 No. of Subscri- bers	郵票 取投所 Postage Store	郵 便 函 Post-Box			計 Total	郵便私設函 Private Box		公 衆 電 話 Public Teleph.
								柱 函 Pole- Box	掛 函 Hang- Box	私設函 Private Box		設備數 Equipme.	貸與數 Lending	
京 畿 Kyung Ki	115	2	1	—	118	16,925	379	336	397	19	752	751	425	—
原 京 Kang Won	49	—	—	—	50	1,380	86	39	148	—	187	169	121	—
北 中 Chung Buk	44	—	—	—	44	1,024	113	45	164	—	209	221	152	—
南 中 Chung Nam	68	—	—	—	68	2,166	186	139	251	—	390	441	272	—
北 京 Kyung Buk	96	1	—	—	97	3,619	234	140	337	13	490	393	275	—
慶 南 Kyung Nam	101	1	—	—	102	5,280	340	162	469	2	634	430	238	—
全 北 Jun Buk	57	—	—	—	57	2,284	129	91	249	1	341	367	231	—
南 州 Jun Nam	82	1	—	—	83	2,955	176	129	392	2	523	426	267	—
濟 州 Che Ju	11	1	—	—	12	160	14	23	57	—	80	121	84	—
黃 海 Hwang Hai	—	—	—	—	—	264	—	—	—	—	—	—	—	—
總 計 Total	623	7	1	—	631	36,057	1,707	1,104	2,464	38	3,606	3,319	2,065	—

(113) 國內外郵便爲替發行拂與高  
Domestic and Foreign Money Order Drawn and Paid-out

In Won

	國內郵便爲替 Domestic Money Order						外國郵便爲替 Foreign Money Order					
	發行 Drawn			拂與 Paid-out			發行 Drawn			拂與 Paid-out		
	口數 Accounts	金額 Amount	一口當額 Per One Account	口數 Accounts	金額 Amount	一口當額 Per One Account	口數 Accounts	金額 Amount	一口當額 Per One Account	口數 Accounts	金額 Amount	一口當額 Per One Account
1926	2 885,587	111,338 659	38 58	2,421,806	97 150,475	40.11	8,591	480 189	55 89	15,353	468,313	30 50
1927	2 906,016	113,725 372	39.13	2,577,635	101,000,693	39.18	9,264	470 216	50 75	16,215	469,364	28.95
1928	3 069,913	112,591 763	36 68	2,769,402	103,315,534	37.31	10,354	501 817	48 46	14,075	432,281	30.71
1929	3 151,110	111,188 655	35 29	2,864,381	102,144,896	35 66	10,804	489 486	45 31	11,281	369,540	32 76
1930	3 019,035	92,966 350	30.79	2,608,819	82 527,089	31 63	9,985	366 357	36.69	9,382	274,826	29 29
1931	3,005,394	87,125,628	28 99	2,609,657	77,217,214	29.59	7,651	240,660	31 45	8 729	237,826	27 25
1932	3,189,373	93,585,318	29 34	2,776,989	85,225,575	30.69	5,228	205,289	39.27	12 268	369,794	30.14
1933	3,474,609	108,254,430	31 16	3,098,808	99,723,254	32 18	6,541	302,782	46 29	28 080	701,327	24 98
1934	3,808,172	122,063,767	32 05	3,404,272	110,909,831	32 58	7,799	466,402	59 80	43 299	1,043,834	24 11
1935	4,098,504	130,567,454	31 86	3,549,410	115,486,662	32 54	7,490	522,226	69 72	84 495	1,746,065	20 66
1936	4,411,406	145,139,634	32 90	3,765,809	126,148,197	33.50	6,988	361 886	51.78	126,088	3,566,070	28 28
1937	4,713,454	157,223,220	33 36	?	?	?	4,093	293 817	71.99	232,483	6,972,552	29.99
1938	5,294,694	185,901,996	35 11	5 276,176	185,358,161	35 13	6,025	496 674	82 44	395,756	15,830,987	40.00
1939	6,097,839	245,118,757	40 20	6 090,634	243,715,658	40 01	12,405	1,055 233	85 07	674,037	34,373,095	51 00
1940	6,673,678	282,781,313	42 37	6 633,086	282,140 703	42 54	26,125	2,297 253	87 93	992,808	65,221,789	65 69
1941	5,812,267	296,262,703	50 97	5 808,468	295,460,054	50.87	39,349	2,401 014	61.02	886,820	91,347,960	103.00
1942	5,790,049	326,564,671	56 40	5 782,223	325,892,652	56 36	58,959	4,091 283	69.39	1,018,971	122,024,540	119.75
1943	※ 345,265,074	※	※	※ 347,113,656	※	※	※	4,524 154	※	※	171,287,652	※
1944	※ 360,058,765	※	※	※ 437,316,794	※	※	※	2,364 335	※	※	315,729,575	※
1945 4 Apr.	※	32,434 118	※	※	35,071,387	※	※	22,150	※	※	13,898 083	※
5 May	※	36,573 206	※	※	45,514,861	※	※	16 436	※	※	18,720 816	※
6 June	※	34,227 410	※	※	42,015,184	※	※	11 040	※	※	16,400 534	※
7 July	※	35,076,718	※	※	35,451,788	※	※	7 000	※	※	17,920 748	※
8 Aug	※	26,174,336	※	※	22,068,602	※	※	2 240	※	※	11,721 975	※
9 Sept	41,051	10,654,000	259 53	63 014	12,312	195 38	?	290	?	?	1,310 508	?
10 Oct.	21,961	4,071,000	185 37	29 621	4,780	161.37	?	179	?	?	950 524	?
11 Nov	14,949	3,645,000	243 82	19 226	4,530	235 61	—	—	—	?	299 144	?
12 Dec.	8,278	1,674,000	202 22	15 604	2,724	174 57	—	—	—	?	17 000	?
1946 1 Jan.	24,974	5,205 000	208 41	38,883	7 166	184 29	—	—	—	?	142	?
2 Feb	14,141	3,826 000	270 56	26,892	6 637	246.80	—	—	—	?	96	?
3 Mar	30,924	9,177 000	296 75	24,579	8 247	335.53	—	—	—	?	30	?
4 Apr.	52,580	17,770 000	337 96	36,450	12 059	330.83	—	—	—	?	739	?
5 May	47,780	14,052 000	294 09	29,518	17 755	601.49	—	—	—	?	55	?
6 June	72,335	17,648 000	243 97	43,838	18 895	431 01	—	—	—	—	—	—
7 July	84,997	23,474,000	276.17	50,937	15,288	300 13	—	—	—	—	—	—
8 Aug.	50,880	25,229,000	495.85	61,667	24,921	404.12	—	—	—	—	—	—
9 Sept	36,441	16,549,422	454.14	48,098	22,947,867	477.15	—	—	—	—	—	—
10 Oct.	35,301	17,819,671	504.79	35,441	17,667,025	498.50	—	—	—	—	—	—
11 Nov.	26,461	13,979,867	528.32	37,440	19,407,285	518.36	—	—	—	—	—	—
12 Dec.	29,348	17,837,740	607.80	23,463	14,304,642	609 67	—	—	—	—	—	—
347 1 Jan.	106,834	21,047,342	197 01	29,659	19,895,028	670 79	—	—	—	—	—	—
2 Feb.	37,121	24,522 786	660 62	36,228	21,465,127	592.50	—	—	—	—	—	—
3 Mar	37,987	26,309 616	692 60	33,886	22,058,154	650 95	—	—	—	—	—	—
4 Apr.	30,695	22,615 730	736 79	32,825	23,674,660	721.24	—	—	—	—	—	—
5 May	36 227	93,715 999	2,586 91	27,530	68,482,905	2,487.57	—	—	—	—	—	—
6 June	21 080	56,857 567	2 697 23	30,802	57,476,231	1,865 99	—	—	—	—	—	—
7 July	47,870	117,288,312	2,450 14	41,634	123,979,091	2,977.83	—	—	—	—	—	—
8 Aug.	24,440	42,393,003	1 734 57	34,636	50,996,768	1,472.36	—	—	—	—	—	—
9 Sept	16,878	40,708,940	2 411 95	21,014	40,383,271	1,921.73	—	—	—	—	—	—
10 Oct.	30,086	97,171,864	3 229 80	28,466	86,718,314	3,046 38	—	—	—	—	—	—
11 Nov	17,932	48,366,455	2 697 21	19,489	50,017,207	2,566 43	—	—	—	—	—	—
12 Dec.	26,132	77,882,269	2 980 34	17,472	55,843,733	3,196.18	—	—	—	—	—	—

資料—通信部

Source:—Dept. of Communication.

1) 1944년까지는年合計

1) Before 1944, the figures show Yearly Total.

2) 1945年以後는南朝鮮에局限함

2) Since 1945, South Korea only.

## (114) 國民生命保險事業概況 Outline of Business of the National Life Insurance

In Won

	新 契 約 New Contracts			復 活 Revivals	死 亡 Deaths	滿 期 Maturity	解 約 Surrenders	法 定 解 除 Legal Surrender	其 他 事 由 Other Causes	餘 高 Balance		
	件 數 No. of Items	保 險 料 premiums	保 險 金 額 Sums Insured	件 數 No. of Items	件 數 No. of Items	件 數 No. of Items	件 數 No. of Items	件 數 No. of Items	件 數 No. of Items	件 數 No. of Items	保 險 料 Premiums	保 險 金 額 Sums Insured
1929	125,129	147,653	26,255,279	6	357	※	610	5,706	33	118,429	139,702	24,879,437
1930	176,503	181,170	32,240,356	631	2,237	※	2,322	43,916	166	246,922	270,173	48,192,365
1931	170,666	162,149	29,377,174	2,368	3,972	※	8,708	76,138	353	330,785	347,829	62,504,572
1932	190,675	176,633	32,997,244	3,836	6,070	※	10,419	81,649	642	426,516	434,007	78,857,468
1933	195,713	182,863	34,675,183	5,937	8,232	※	9,183	78,329	917	531,505	529,619	97,220,281
1934	206,229	200,583	38,352,174	7,169	10,460	※	8,314	69,418	1,202	655,509	648,150	120,012,410
1935	238,550	249,207	47,773,767	6,610	14,778	※	7,792	66,171	1,517	810,411	805,183	150,242,425
1936	236,736	254,562	49,088,325	5,741	17,129	※	7,270	60,620	2,024	965,845	964,565	181,107,194
1937	354,926	379,725	73,045,360	5,290	21,392	※	8,002	70,904	2,798	1,222,965	1,222,780	230,918,624
1938	870,800	781,883	157,376,274	6,449	29,163	※	7,134	114,314	3,129	1,946,474	1,848,382	357,660,772
1939	812,988	708,212	147,723,697	12,232	40,871	6,586	7,866	189,233	3,379	2,523,759	2,335,222	460,474,345
1940	879,436	978,189	190,828,270	20,684	50,511	5,571	8,293	248,659	4,007	3,106,838	3,003,577	589,587,659
1941	1,395,326	1,489,399	283,235,195	24,544	59,389	3,775	7,686	325,340	5,703	4,124,815	4,068,420	789,184,565
1942	1,840,792	1,989,101	375,585,033	27,467	80,658	3,405	6,252	361,765	5,373	5,535,621	5,577,183	1,073,893,589
1943	2,121,040	2,366,280	442,762,582	31,145	104,863	2,788	5,366	451,844	7,572	7,115,373	7,321,543	1,401,050,550
1944	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
'45 4 Apr.	140,450	263,734	47,397,068	740	21,392	420	450	64,560	310	9,831,507	11,298,115	7,125,717,884
5 May	169,140	316,812	54,237,887	480	17,883	550	70	34,640	240	9,847,744	11,543,225	2,167,037,479
6 June	327,020	581,243	104,781,886	510	10,770	440	140	25,520	730	10,237,674	12,066,379	2,261,892,713
7 July	281,540	551,625	101,141,179	330	5,370	530	140	17,420	750	10,495,334	12,584,992	2,357,111,429
8 Aug.	134,610	264,866	44,446,789	940	5,526	360	170	21,350	240	10,603,238	12,815,452	2,395,424,087
9 Sept.	68,050	127,430	23,235,304	190	1,179	460	490	25,850	90	10,643,409	12,907,996	2,412,449,350
10 Oct.	201,400	386,469	70,408,193	200	2,496	370	310	10,220	110	10,831,503	13,276,625	2,479,668,488
11 Nov.	446,470	876,759	159,050,773	790	2,933	500	60	7,580	170	11,267,520	14,139,609	2,636,271,411
12 Dec.	19,730	48,993	8,399,071	—	5,581	130	60	3,410	140	11,277,929	14,177,978	2,647,721,322
46 1 Jan.	7,390	14,395	2,494,535	—	12,277	130	130	7,120	120	11,265,542	14,168,049	2,640,827,363
2 Feb.	410	1,000	157,365	—	9,574	80	160	—	80	11,256,048	14,157,245	2,638,973,861
3 Mar.	750	1,290	211,855	150	18,557	90	70	—	70	11,238,161	14,138,352	2,635,436,824
4 Apr.	8,015	42,612	6,655,006	320	7,064	17	66	—	315	10,519,702	13,002,171	2,444,008,888
5 May	23,340	188,466	30,983,002	162	7,093	44	170	—	192	10,535,705	13,182,626	2,473,469,111
6 June	12,037	102,568	17,313,480	365	7,492	28	216	—	96	10,540,275	13,276,862	2,489,240,582
7 July	24,572	207,653	34,298,566	179	8,680	11	50	64,003	98	10,492,184	13,376,601	2,502,744,616
8 Aug.	19,679	177,804	29,255,383	533	5,470	8	77	52,207	71	10,454,563	13,474,343	2,516,393,794
9 Sept.	24,794	253,027	42,297,198	—	1,937	8	62	192,167	78	10,285,105	13,433,185	2,501,808,162
10 Oct.	38,323	382,583	62,181,854	1,278	2,445	24	29	213,880	101	10,108,227	13,512,924	2,508,023,381
11 Nov.	14,944	151,587	24,411,590	—	3,811	9	57	75,170	43	10,044,081	13,551,921	2,511,959,760
12 Dec.	2,795	22,306	3,569,854	—	1,766	4	8	75,090	69	9,969,939	13,465,350	2,495,347,581
47 1 Jan.	11,579	128,298	20,395,065	—	2,607	13	28	460,290	89	9,518,491	12,881,237	2,401,589,194
2 Feb.	9,627	100,785	15,771,158	—	2,649	19	23	437,140	115	9,088,172	12,305,328	2,308,570,245
3 Mar.	12,529	142,430	22,362,926	2,176	1,498	6	50	302,400	94	8,798,829	11,981,849	2,256,594,519
4 Apr.	22,647	174,218	28,755,259	2,018	3,138	6	32,618	—	197	5,105,488	7,397,589	1,400,874,397
5 May	14,025	166,721	26,172,164	—	87	—	3,326	—	9	3,524,649	4,673,350	883,349,517
6 June	21,772	306,110	46,988,339	1,207	6,051	8	36,070	—	256	3,500,006	5,361,133	1,006,215,930
7 July	27,367	517,471	80,926,214	1,525	2,721	37	30,549	—	517	3,304,694	5,372,840	998,720,258
8 Aug.	13,366	461,520	76,612,000	1,480	9,135	24	30,427	—	106	3,593,384	6,126,319	1,134,810
9 Sept.	8,401	275,361	43,382,178	804	4,250	30	308,303	—	128	3,512,570	6,064,738	1,147,398
10 Oct.	19,652	808,006	125,095,285	1,490	1,618	1	126,326	—	54	3,468,479	6,468,203	1,250,959
11 Nov.	13,586	443,082	71,904,000	562	932	—	152,280	—	5	3,342,079	6,897,165	1,370,212
12 Dec.	19,652	808,006	125,095,285	636	1,583	32	156,866	—	53	3,325,971	6,863,923	1,363,609

1) 1945年 4月 부터는三八以北朝鮮人契約高量除外함

1) Since Apr. 1945, excluded Korean Contracts in North Korea.

2) 1947年 4月 부터는法定解約은解約에 포함함

2) Since Apr. 1947, Legal Surrenders included in surrenders.



### (115) 生命保險事業概況

#### Outline of Business of the Life Insurance

In Won

	會社數 No. of Co.	新 契 約 Newly Contracted			月 末 現 在 契 約 Contracted As of End of Month		
		件 Items	數 數	保 險 料 Premium	件 Items	數 數	保 險 料 Premium
1946.							
1 Jan.	—	—	—	—	—	—	—
2 Feb.	—	—	—	—	—	—	—
3 Mar.	—	—	—	—	—	—	—
4 Apr.	—	—	—	—	—	—	—
5 May	—	—	—	—	—	—	—
6 June	—	—	—	—	—	—	—
7 July	—	—	—	—	—	—	—
8 Aug.	1	148	249,102	2,847,000	103,482	6,512,317	171,584,427
9 Sept.	2	104	324,253	3,747,000	102,982	6,644,084	174,280,727
10 Oct.	2	255	257,136	3,669,500	102,515	6,715,831	176,01,827
11 Nov.	3	200	163,617	3,664,000	101,933	6,795,954	178,317,427
12 Dec.	3	156	249,648	4,665,000	90,678	6,086,780	158,513,527
1947.							
1 Jan.	3	563	591,064	11,695,000	71,777	5,173,256	131,968,127
2 Feb.	3	1,212	1,000,709	28,867,100	70,688	6,074,706	151,638,127
3 Mar.	3	2,047	2,058,904	42,680,500	69,715	7,864,248	189,778,127
4 Apr.	3	746	847,013	17,939,900	61,612	7,969,784	192,463,200
5 May	3	1,067	1,672,780	51,494,000	46,656	8,899,258	223,933,300
6 June	4	997	1,440,343	27,460,000	47,644	10,158,496	251,437,800
7 July	4	1,563	2,455,695	47,376,000	49,136	12,484,628	298,692,700
8 Aug.	4	906	1,872,180	20,315,000	49,807	14,269,005	338,582,700
9 Sept.	4	1,232	2,671,774	54,751,000	51,039	16,796,846	393,276,727
10 Oct.	4	1,360	3,730,171	73,065,000	53,151	20,183,457	438,767,896
11 Nov.	4	2,291	3,180,408	78,215,000	56,654	23,316,166	541,782,096
12 Dec.	4	1,797	4,049,632	79,913,000	58,466	27,382,861	623,478,596

### (116) 損害保險事業概況

#### Outline of Business of the Damage Insurance

In 1,000 Won

	會社數 N of Co.	契 約 件 數 Items Contracted	保 險 金 額 Insurance Amount	保 險 料 Premium	罹 災 件 數 Items Affiliated	支 拂 保 險 金
						Insurance Money Paid
1946.						
1 Jan.	—	—	—	—	—	—
2 Feb.	—	—	—	—	—	—
3 Mar.	—	—	—	—	—	—
4 Apr.	4	4,478	145,374	2,477	23	92
5 May	4	5,217	240,618	4,456	14	120
6 June	4	5,428	307,273	6,362	15	258
7 July	4	6,067	387,203	6,615	26	821
8 Aug.	4	5,750	359,858	6,320	9	379
9 Sept.	4	5,153	369,649	6,283	3	183
10 Oct.	4	7,100	535,500	7,278	3	198
11 Nov.	4	8,067	822,157	10,675	10	122
12 Dec.	4	6,798	979,689	13,684	32	1,106
1947.						
1 Jan.	4	6,355	851,604	9,502	24	1,649
2 Feb.	4	8,287	1,013,454	10,845	32	611
3 Mar.	4	12,194	1,163,429	15,914	63	1,997
4 Apr.	4	5,703	830,383	14,529	21	1,308
5 May	4	7,102	948,650	15,863	21	209
6 June	4	7,120	999,075	16,702	17	720
7 July	5	8,342	1,048,003	15,923	16	1,068
8 Aug.	5	7,365	1,230,202	17,726	18	1,711
9 Sept.	5	7,260	1,339,870	21,820	16	31
10 Oct.	5	9,481	2,344,795	33,908	11	308
11 Nov.	5	8,770	2,400,497	33,373	21	1,230
12 Dec.	5	8,808	2,647,066	94,172	42	2,342

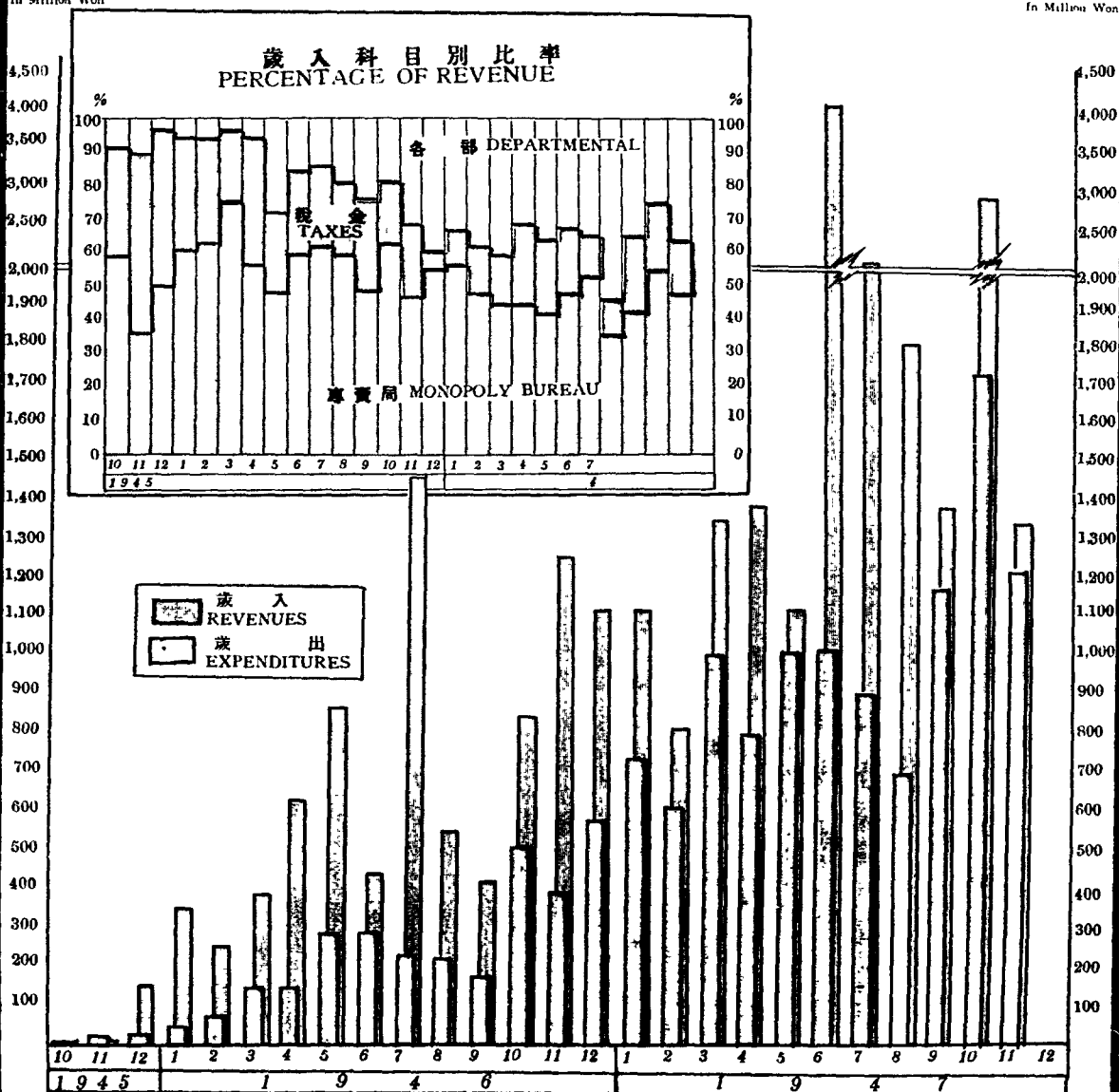
資料—生命保險協會及損害保險協會

Source:—The Life Insurance Asso. &amp; the Damage Insurance Asso.

(117) 月 別 歲 入 及 歲 出  
GOVERNMENT REVENUES & EXPENDITURES

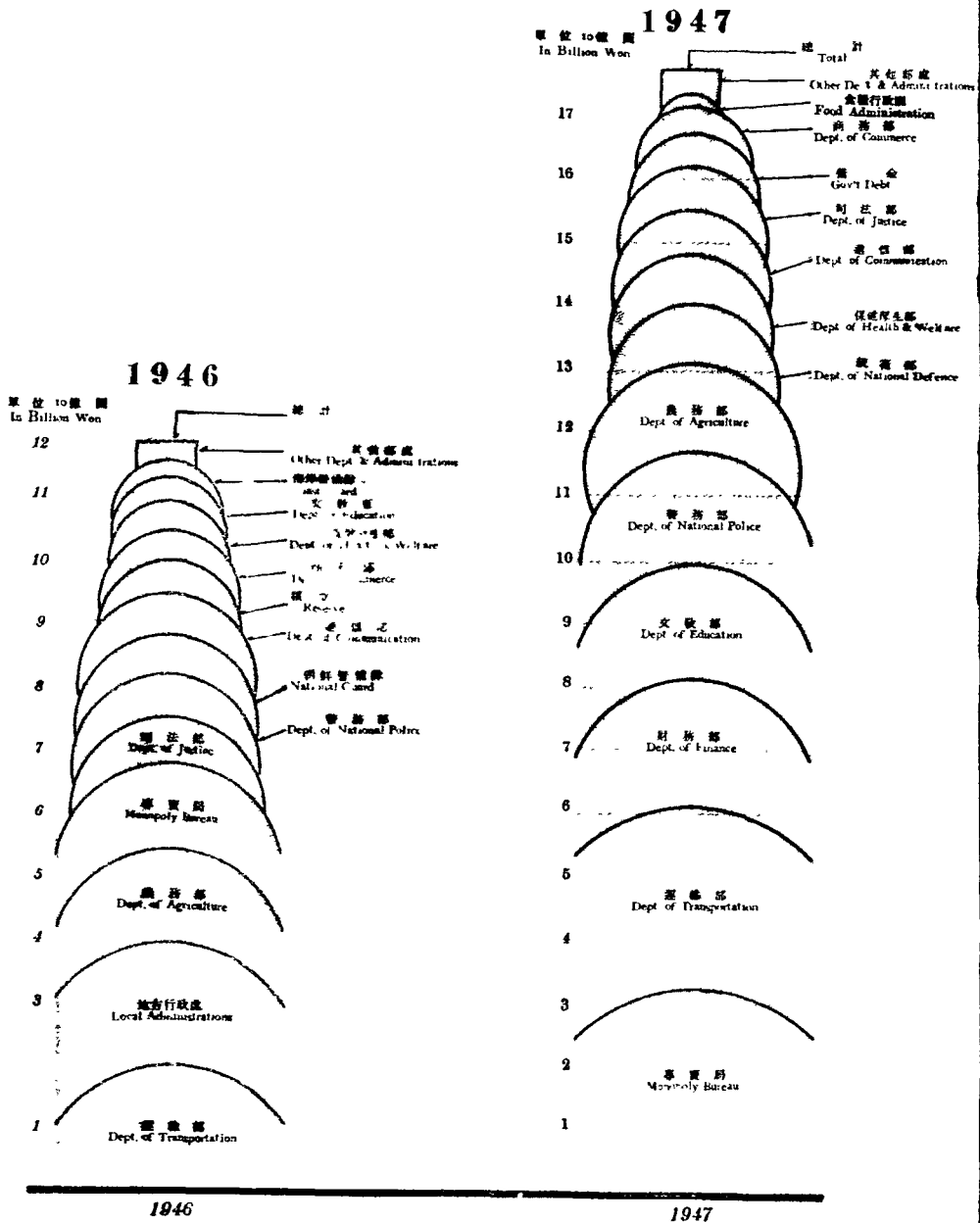
單位  
百萬圓  
In Million Won

單位  
百萬圓  
In Million Won



# (118) 歲 出 豫 算 表

## Budgetary Expenditures for 1946 and 1947



(119) 解放前歲入對照表

(120) 1946, 47 年度歲入豫算表

單位 = 千圓

Gov't Revenues Prior to Liberation

Budget of Revenue, '46-47 In 1,000 Won

		1943 年度	1941 年度	1937 年度	(1946 年度歲入豫算) Budget of Revenue, 1946	
歲入經常部	Ordinary Revenues				農務部	17,900
	Taxes of	309,354,037	163,044	68,675	Dept. of Agriculture	
租所得稅	Income	78,762,553	49,511	10,187	商務部	322
	Capital of Juridical Person	1,936,643	1,499	533	Dept. of Commerce	
地稅	Land	21,593,920	13,699	13,741	文教科	11,357
	Business	10,405,176	6,283	2,243	Dept. of Education	
資本利子富稅	Interest of Capital	8,684,021	4,418	994	遞信部	27,146
	Dividend of Profit	98,160	476	—	Dept. of Communications	
債及社債利子稅	Interest of Securities	9,294	51	—	司法部	390,732
	Special Foreign Bonds	62,932	166	59	Dept. of Justice	
相續稅	Inheritance	2,002,092	1,646	323	保健厚生部	1,168
	Construction	445,194	80	—	Dept. of Health & Welfare	
朝鮮銀行券發行稅	Mineral	3,659,749	4,466	1,824	運輸部	810,988
	Issuing of Bank-Note	27,348	27	22	Dept. of Transportation	
酒稅	Liquor	47,615,920	27,902	19,794	專賣局	6,030,105
	Refresher	1,397,730	3,868	252	Monopoly Bureau	
涼飲糖油稅	Sugar	3,541,514	5,189	3,088	租稅	722,172
	Gasoline	236,766	1,536	523	Taxes	
揮發品稅	Goods	53,952,659	14,693	—	公報部	1,500
	Entertainment	50,745,199	13,633	—	Dept. of Information	
取引所稅	Exchange	922,306	689	532	合計	8,013,390
	Travelling	9,160,078	4,313	—	Total	
通入關稅	Entrance	2,960,164	1,146	—	1947 年度歲入豫算案 Budget of Revenue, 1947	
	Paraff	2,333,237	7,240	14,389	歲入經常費	3,600,000
出馬電氣廣告稅	Tonnage	20,756	52	42	租稅	
	Out-Port	306,174	461	127	Taxes	
瓦斯稅	Pool Ticket	919,553	—	—	司法部	150,000
	Electricities & Gas	1,045,056	—	—	Dept. of Justice	
廣告稅	Advertisement	407,573	—	—	專賣局	7,850,000
	Textiles	3,710,774	—	—	Monopoly Bureau	
特別行爲稅	Special Deed	2,187,459	—	—	運輸部	2,700,000
	Stamp Duty	33,365,458	26,585	18,692	Dept. of Transportation	
官有財產收入	Gov't Enterprises	739,945,484	552,455	233,550	遞信部	300,000
	Monopoly Revenue	274,305,546	138,601	67,235	Dept. of Communications	
鐵道及自動車收入	Railway Revenue	370,620,824	334,976	127,090	官業及官有財產收入	215,000
	Forestry Revenue	34,651,800	30,781	10,868	Departmental	
林業收入	Communications	46,814,865	39,845	24,028	雜收入	619,855
	Weights & Measures	4,281,439	2,605	1,383	Miscellaneous	
郵便及電話收入	Fee of Lease	520,324	377	207	歲入臨時費	
	Dividend Rev	114,182	171	29	Extra Revenues	
度量衡收入	Prison Revenue	8,636,504	5,456	2,710	借	2,284,309
	Miscellaneous	49,300,225	7,613	3,527	Borrowed	
官有物拂下代金	Sale of Gov't Property	1,141,281	829	472	合計	17,719,164
	Reparation	61,328	49	35	Total	
罰及沒收金	Confiscature	5,268,065	405	263		
	Customhouse Misce	490,124	391	363		
醫院收入	Hospitals Revenue	1,963,837	1,429	829		
	Vested Money	575,847	507	324		
船員保險收入	Sailors Insurance	449,220	327	—		
	Other Receipts	18,636,646	1,031	560		
他會計對受入	Misc. Revenue	4,459,897	2,598	678		
	Offered by O. C. C.	16,254,000	—	—		
朝鮮食糧團納付金	Total	1,131,965,204	749,697	324,446		
	Extra Revenues	59,355,192	27,112	602		
歲入臨時部	Taxes	58,713,224	26,870	602		
	Extra Profit	641,968	241	—		
臨時所得稅	Special Co-operations	12,957,927	13,841	14,542		
	Supplementals	6,800,053	160,432	—		
補充特別會計受入	Special Fiscal	360,753,362	10	65,000		
	Gov't Debt	3,304,409	1,319	99		
官有物拂下代金	Miscellaneous	820,635	765	783		
	Public Works	246,000	548	427		
工事費分擔金	Repairing of Road(Trusted)	539,510	6	—		
	Contribution	6,000	—	356		
道路受託工事收入	Repayment	29,125	—	—		
	Transferred from Pre. F.Y.	39,547,061	85,559	22,181		
寄返附納金	Total	483,538,639	305,076	103,207		
	Grand Total	1,615,563,843	1,054,774	427,653		

(121) 解放前歲出對照表

(122) 1946, 47年度歲出豫算表

單位=千圓

Gov't Expen. Prior to Lib.

Budget of Expen, '46-47 In 1,000 Won

		1937年	1942年	1943年	(1946年度歲出豫算費)		
					Budget of Expenditure, 1946		
歲出經常部	Ordinary Expenditures						
神李總	Shrine	74	79	119	農務部	D. of Agriculture	1,457,014
社家行	Rhee Royal Family	1,800	1,800	1,800	商務部	D. of Commerce	499,830
總行	Gov't General	11,724	16,711	32,207	文敎部	D. of Education	386,883
法刑地	Court	4,197	5,344	5,888	財務部	D. of Finance	77,467
務務方	Prison	5,999	9,610	13,037	專賣局	Monopoly Bur.	1,409,466
氣京學	Local Gov't	28,473	34,121	34,694	通信部	D. of Communicat.	597,900
城帝象	Observatories	—	933	1,099	司法部	Dept. of Justice	685,395
學校及	Seoul Imperial University	1,996	3,603	4,693	警務部	Dept. of Police	670,245
試驗場及研究所	Schools & Libraries	2,087	4,283	8,609	保健厚生部	D. of Health Welfare	415,125
畜場及移牛檢疫所	Laboratories & Institutions	1,220	1,932	2,720	公運部	D. of Pub. Informat.	22,221
種畜場	Nursery & Cattle Guaranting	450	967	1,043	海警隊	K. Coast Guard	1,983,345
專鐵營	Inspectories Office	2,100	3,303	4,792	朝鮮警備隊	K. Constabulary	669,951
營道林	Monopoly Bureau	37,388	60,125	103,171	會計處	Fiscal Bureau	45,099
選財社	Railway Bureau	95,415	275,933	292,016	國防處	Civil Administration	385
會事業	Forestry Bureau	7,292	20,448	21,050	外務部	National Defence	395
國債整理基金特別會計	Communications	18,314	32,917	42,111	人事行政處	Foreign Affairs Administration	7,036
給支	Taxation Office	5,877	9,299	13,297	人企劃處	Korean Affairs	4,356
預歲出經常部	Relief Business	981	1,854	1,835	管地臨時	Reorganization Bu.	6,219
歲出臨時部	Extraordinary Expenditure				財政廳	Custodian Bur.	53,273
神國軍人恩給及扶助金	Pensions to Korean Soldiers	39	32	30	地方廳	Provincial Bureau	1,887,297
調査及試驗費	Research & Experiment	1,386	2,299	2,701	臨時積立金	Reserve	562,000
補助及獎勵費	Subsidies	29,417	77,799	90,943	合計	Total	11,800,194
營繕及鐵路整理費	Building & Repairing	7,111	9,916	7,735	1947年度歲出豫算案		
航空及鐵路整理費	Air Line & Beacon	312	2,501	2,000	Budget of Expenditure, 1947		
電信電話施設費	Telegraph & Telephone	6,975	4,847	4,875	運輸部	D. of Transport.	3,000,000
土道建設及改良費	Public Works	18,170	34,077	28,912	專賣局長官室	Monopoly Bur. Chief of C. A. Administration	3,087,910
鐵林業	Railway Construction & Repairing	63,454	138,258	165,910	民政官處	Administration	5,371
土地改良事業費	Forestry Equipment	1,197	2,561	2,550	公人農選	D. of Public Inform.	48,176
土地改良事業費	Land Improvement	3,368	15,122	25,656	人事行政處	Korean Affairs	12,931
北田築造費	Salt-Farm	850	1,431	1,520	農務部	D. of Agriculture	1,400,000
北田開拓事業費	Development of North Korea	1,252	1,096	1,010	通信部	D. of Communicat.	750,956
食糧施設費	Equipment for Promoting Foods Products	—	22,932	193,250	外文統司	Foreign Affairs	8,472
水產施設費	Equipment of Fishery	408	526	449	敎育部	D. of Education	1,659,109
農村對策施設費	Farm, Village Equipment	979	2,067	2,575	衛生部	D. of Internal Security	1,000,000
金及重要礦物增產施設費	Equip. for Promoting Minerals	445	30,455	40,790	司法部	Dept. of Justice	708,986
貿易對策施設費	Equip. for Trading	50	1,325	265	商務部	D. of Commerce	500,000
地籍及土地建物整理費	Readjustment of Land-Register	153	142	438	警務部	Dept. of Police	1,584,563
地價改正調查費	Amendment of Land Prices	—	1,744	211	保健厚生部	D. of Health Welfare	792,000
臨時利得稅徵收費	Collection of the Extra Profit	9	423	604	財務部	Dept. of Finance	1,639,171
地方財政調整諸費	Tax Adjustment of Local Finance	—	14,877	32,752	勞務部	Dept. of Labour	19,447
國民總力運動諸費	National Mobilization Drive	166	641	1,230	勤木部	D. of Public Works	596,762
訓練成設	Trainings	—	—	7,436	南鮮過渡立法議院	K.I. Legislative A.	35,996
對外施設費	Equip. for Foreign Affairs	1,709	7,586	7,492	中央經濟委員會	N. Economic B.	5,113
臨時取締費	Special Control	2,632	4,334	4,960	中央物價行政處	N. Price Administra.	9,005
臨時對策施設諸費	Institutions for Meeting Situations	1,821	37,436	26,869	中央食糧行政處	N. Food Administ.	140,549
臨時軍事特別會計總入	Extra. Military Outlay	11,033	94,567	203,058	朝鮮民族青年團	N. Youth Movement	19,630
臨時諸手当費	Special Allowances	401	6,393	45,123	住宅管理處	N. Housing Admin.	20,000
初等教育制度改善準備費	Prepar for the Pr. Education Syst.	—	89	77	借金利息	Interest on Advance	550,000
行賞力管理費	Prizes	—	49	47	合計	Total	17,719,164
國民體力管理費	Controlling National Health	—	—	135			
徵兵制度改善準備諸費	Preparation for the Operat. of Cons.	—	—	4,576			
災時救濟費	Calamities	2,283	1,896	2,907			
臨時救濟費	Special Investment	—	—	1,250			
歲出臨時部計	Total	155,620	517,221	910,334			
歲出總計	Grand Total	422,363	1,077,797	1,614,448			

PRICES

VII

物價

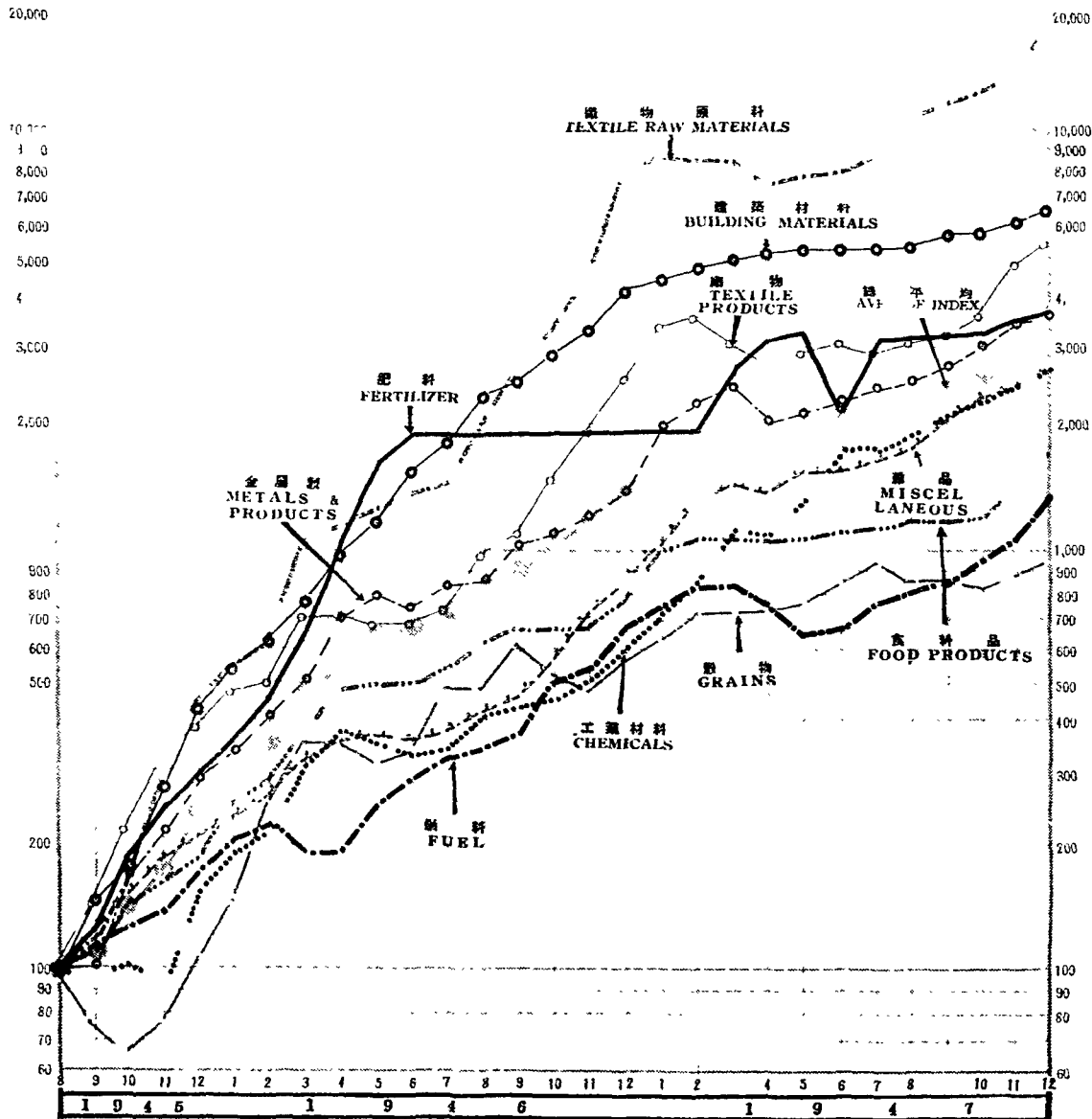
(123) 서울市都賣物價趨勢

Indexes of Wholesale Prices in Seoul

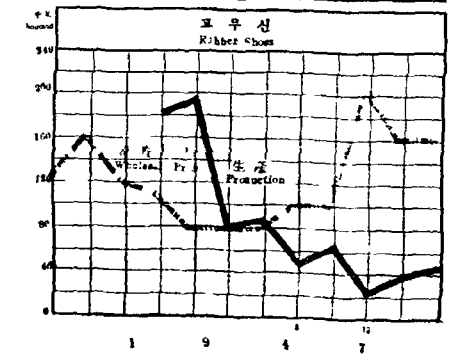
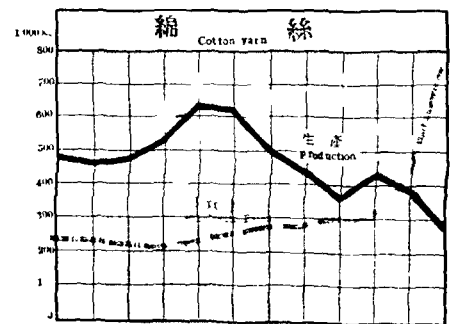
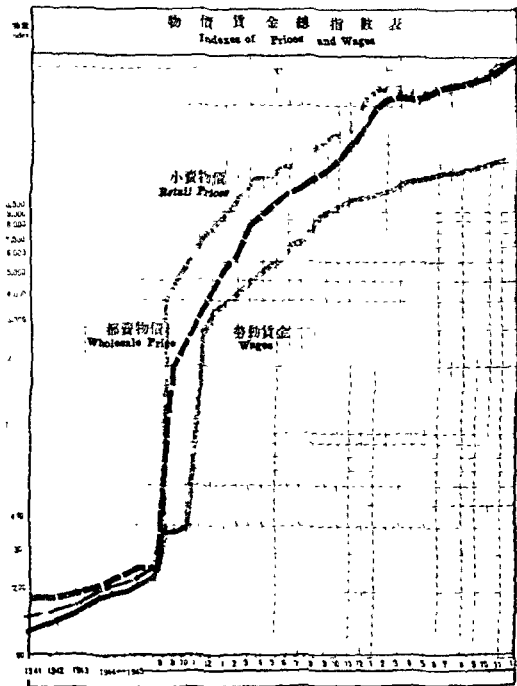
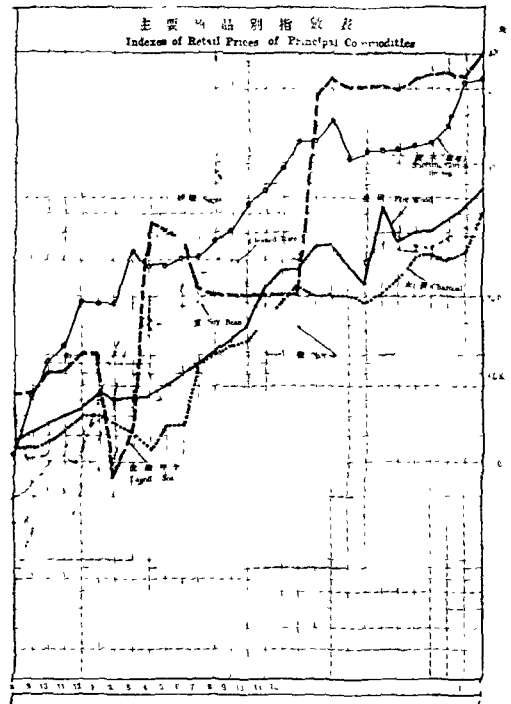
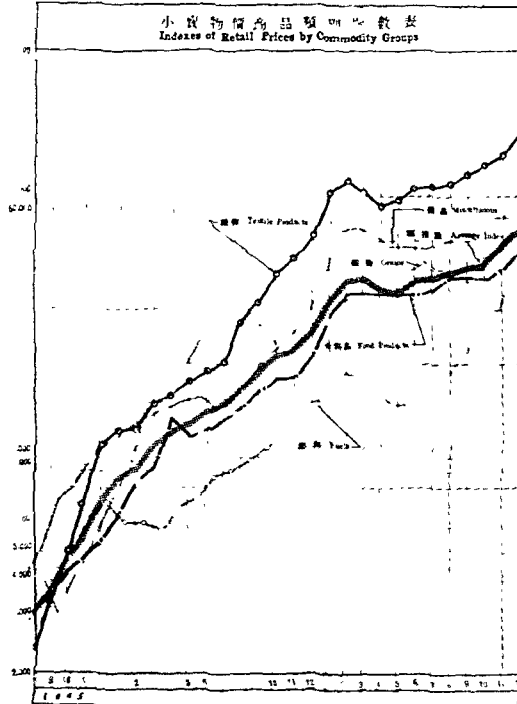
1945年8月下旬平均=100 Average of Aug. 194 =100

指數 Index

指數 Index 30.0



# (124) 서울市小賣物價動向 MOVEMENTS OF RETAIL PRICES IN SEOUL



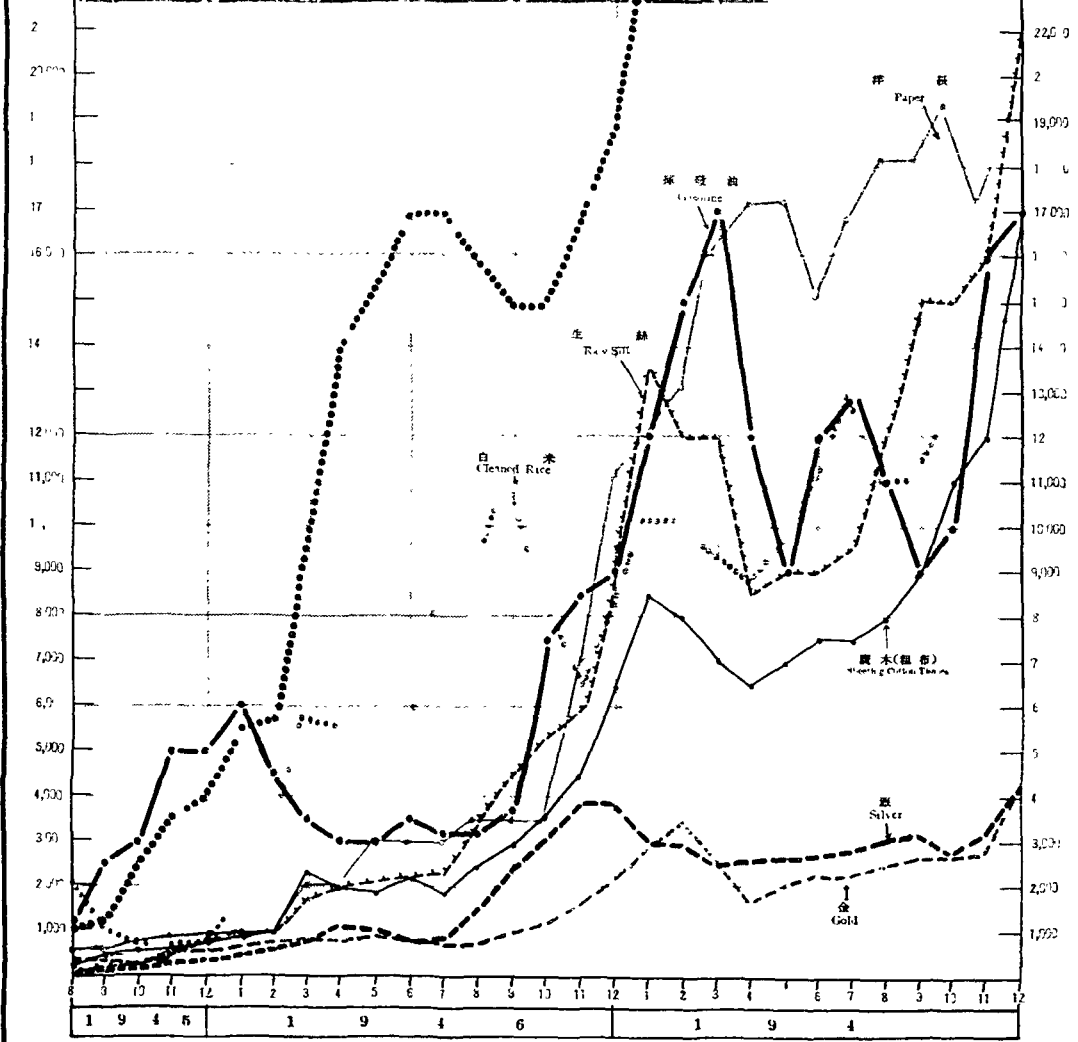
(125) 서울市主要都賣價格動向

MOVEMENTS OF WHOLESALE PRICES IN SEOUL

單位圓  
UNIT Won

單位圓  
UNIT Won

品名	單位	ITEMS	UNIT
白米	精白 12 10斤	Rice	Refined 1 Bag 6
紙	模造紙 1斤 1張	Paper	Japan's Verum No. 1 11 1/2 m
煤	自動機 1 噸	Gas Inc.	For Motor 1 Tonn
生絲	D 長 3 6 1 貫	Raw Silk	D 3.75 Kg 23 1 De. 1.12
衛生紙(粗布)	1 張 1 疋	Tissues	1 張 (1 YD)
錫	1 斤 1 石	C. e. K.	1 斤 (1 S)
銀	1 兩 1 兩	Silver	Unit - 1 兩





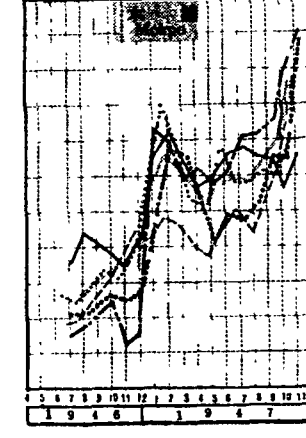
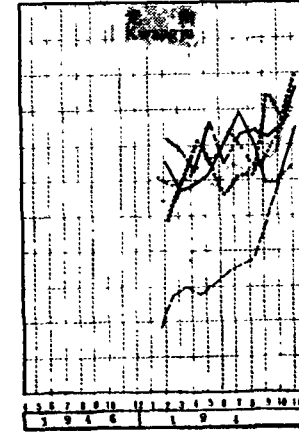
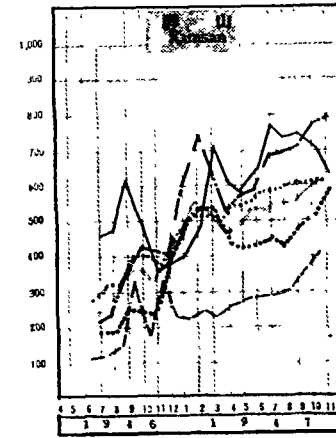
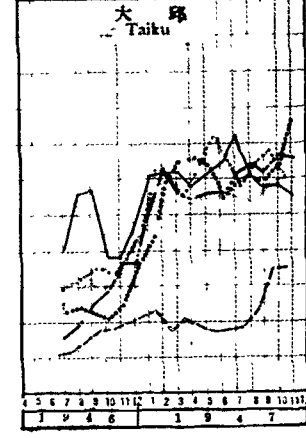
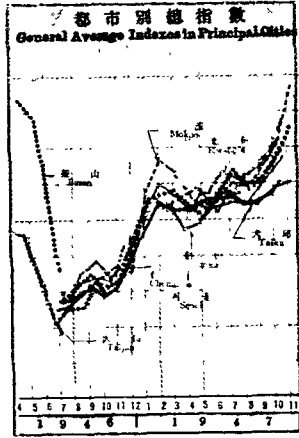
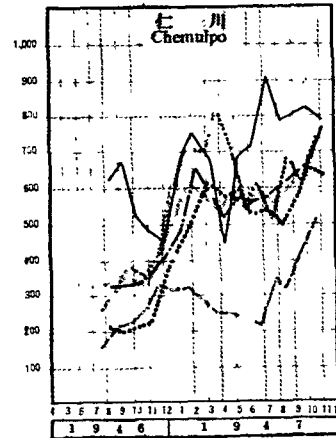
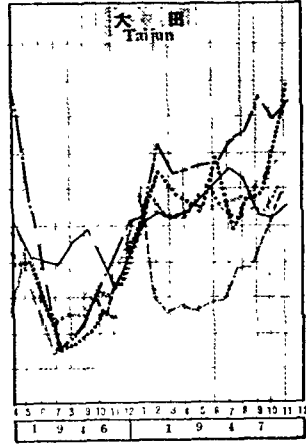
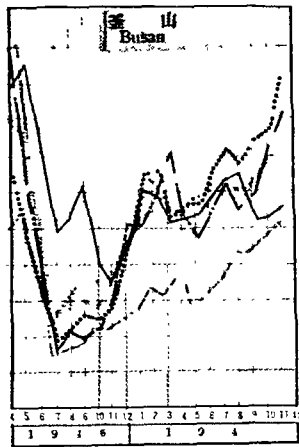
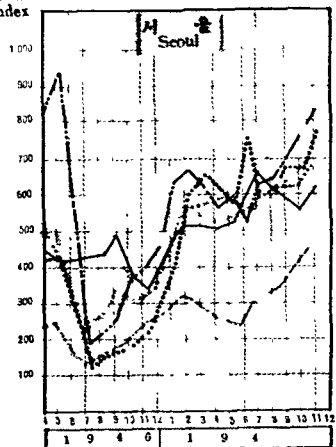
# (126) 主要都市別小賣物價指數 Indexes of Retail Prices by Principal Cities

穀物 GRAINS      食料品 FOOD PRODUCTS      織物 TEXTILES      燃料 FUEL      雜品 MISCELLANEOUS      總平均 AVERAGE INDEX

其地方1946年1月平均=100 Average for Jan. 1946=100

指數  
Index

指數  
Index



## (127) 서울市都賣物價商品類別指數表 (其一)

## Indexes of Wholesale Prices by Commodity Groups in Seoul (I)

指數基準=1945年8月下旬平均

Average for Last Decade of Aug 1945=100

		穀物	食料品	織物原料	織物	建築材料	金屬類	燃料	肥料	工業材料	雜品	總平均
		Grains	Food Products	Textile Raw Materials	Textile Products	Building Materials	Metals & Products	Fuel	Fertilizer	Chemicals	Miscellaneous	Average Index
1945	8 Aug	100 00	100 00	100 00	100 00	100 00	100 00	100 00	100 00	100 00	100 00	100 00
	9 Sept	77 43	115 54	120 12	154 62	156 72	102 90	123 03	126 00	94 10	121 41	116 85
	10 Oct.	68 70	154 56	167 43	227 82	188 21	175 66	138 24	193 10	104 73	144 50	152 52
	11 Nov	79 54	163 53	295 68	317 06	239 22	234 80	145 16	245 94	93 73	172 47	185 88
	12 Dec.	107 25	188 69	449 60	397 62	431 65	293 67	184 96	296 25	172 66	209 62	248 81
8月—12月平均 Av Aug.—Dec		86 58	145 46	226 57	239 42	233 16	181 41	138 28	192 26	113 05	149 60	160 81
1946	1 Jan	158 53	246 65	549 21	473 60	551 19	357 98	208 65	345 00	196 00	228 35	302 57
	2 Feb	253 36	283 46	615 91	507 85	636 43	418 33	222 57	448 15	225 31	251 60	357 19
	3 Mar	440 49	387 98	1 059 63	706 18	775 45	511 90	199 34	646 35	317 57	314 61	480 30
	4 Apr.	442 91	484 78	1 175 81	702 46	991 59	707 76	195 68	1 107 97	380 07	347 91	569 16
	5 May	416 50	495 44	1 336 36	683 44	1 372 41	809 97	267 17	1 823 88	362 37	361 88	649 62
	6 June	485 59	496 66	1 453 80	689 94	1 663 93	782 29	293 46	1 964 71	359 14	359 66	688 24
	7 July	597 48	531 36	1 516 30	721 53	1 880 14	840 98	323 97	1 912 99	350 71	373 54	730 97
	8 Aug	593 94	609 40	2 054 11	987 36	2 349 06	877 58	333 79	1 912 99	401 47	413 04	833 40
	9 Sept	626 34	661 47	2 706 74	1 112 60	2 483 42	1 050 93	376 46	1 912 99	424 46	446 08	929 91
	10 Oct.	522 94	669 99	3 329 90	1 672 56	2 996 63	1 173 36	514 13	1 912 99	463 21	562 62	1,056 99
	11 Nov	475 41	663 87	4 584 42	1 905 53	3 503 66	1 331 00	550 61	1 912 99	515 84	709 65	1 174 52
	12 Dec.	574 81	783 07	7 847 67	2 602 81	4 242 83	1 564 82	691 69	1 912 99	625 55	865 81	1 459 09
月平均 M Av		446 11	526 59	2,352.49	1 063 82	1,953 90	852 24	348 49	1,484 50	385 14	436 23	769 33
1947.	1 Jan.	631 38	1 010 62	8,510 59	3 309 69	4 504 03	2,055 12	789 48	1,912 99	731 96	1,009 35	1 699 66
	2 Feb	721 77	1 082 67	8,312 45	3 403 64	4 927 75	2,283 44	849 99	1,912 99	831 87	1,424 36	1 854 42
	3 Mar.	714 53	1 085 60	8,230 23	3 078 17	5 015 04	2,430 01	859 90	2,773 50	1 212 90	1,521 84	2 002.06
	4 Apr	709 40	1 056 55	7,312 43	2 764 87	5 192 53	2,171 32	762 77	3,150 91	1 161 92	1,487 02	1 927 89
	5 May	750 41	1 073 71	7,167 60	2 918 84	5 200 13	2,185 71	675 98	3,239 63	1 400 20	1,657 56	2 005 94
	6 June	844 03	1 157 66	7,847 67	3 009 45	5 268 33	2,252 18	689 71	3,282 34	1 863 49	1,632 39	2 126.10
	7 July	910 38	1 159 74	8 530 20	2,962 47	5 293 46	2 401 02	793 55	3,282 34	1 848 27	1 713 40	2 214 46
	8 Aug	864 63	1 239 77	10 435 16	3,035 19	5 293 46	2 545 83	813 94	3,282 34	1 941 68	1 857 70	2 314 36
	9 Sept	850 32	1 263 55	11 799 19	3,216 20	5 726 92	2 806 99	869 71	3,282 34	2 172 14	2 046 87	2 466 99
	10 Oct	827 08	1 237 33	12 497 97	3,645 65	5 801 93	3 051 61	992 34	3,282 34	2 259 12	2 337 60	2 611 91
	11 Nov	873 03	1 537 60	14 710 34	4,952 82	6 060 41	3 462 81	1,245 85	3,442 70	2 562 37	2 457 50	2 985 82
	12 Dec.	935 86	1 721 53	18 242 94	5,476 06	6 770 25	3 585 02	1,621 34	3,442 70	2 770 96	2 741 77	3 327 92
月平均 M Av		807 32	1,223 49	10,349 73	3,481 50	5,421.19	2,602.90	914 13	3,023.93	1,729.74	1,823 95	2,294.79

## (128) 서울市小賣物價勞動賃金指數月別對照表

## Monthly Indexes of Retail Prices and Wages in Seoul

1936=100

	1940		1941		1942		1943		1944		1945		1946		1947	
	物價	賃金	物價	賃金	物價	賃金	物價	賃金	物價	賃金	物價	賃金	物價	賃金	物價	賃金
	Prices	Wages	Prices	Wages	Prices	Wages	Prices	Wages	Prices	Wages	Prices	Wages	Prices	Wages	Prices	Wages
1 Jan	164 07	138 16	170.63	164 37	179 38	173 90	191.41	191 76	212 19	210 82	238 44	246 55	8,543 7	3,581.8	33,272.9	11,450.9
2 Feb	164 07	139 35	170 63	161 98	179 38	175 09	192.50	191.76	214.38	213 20	238 44	247.74	9 353 4	3,865.9	38,894.5	11,771.2
3 Mar.	164.07	139 35	171.72	163.18	180 47	176.28	195.79	194.14	218.76	214.39	242 82	253.70	11 645 4	4,212.1	38,486 6	12,668.9
4 Apr.	168.44	139 35	173 91	164.37	180 47	178 66	200.16	197.72	219.85	216.78	249 38	275.14	13 312 7	4,960 6	36,517 2	14,043.8
5 May	169 53	140 54	175 00	165 56	181 57	178.66	200 16	198 91	222.04	220 35	254 85	277 52	13 772 2	6,570 9	36,101 3	14,442.8
6 June	169 53	140 54	175.00	167.94	182 66	184 62	203 44	202 48	226 41	220 35	259 23	282 29	14 932 5	6,772.4	37,431 0	15,093 4
7 July	170 63	142.93	175 00	169.17	183 75	185.81	204 54	202.48	227 51	222.73	—	293 01	15,808 7	6,996.4	38,635 7	15,666.1
8 Aug.	169.53	144.12	176 10	170 32	184 85	188.19	203.44	201 29	228.61	226 30	3,359 3	—	17,795 6	7,371.6	39,665 2	15,930.5
9 Sept	170.63	146.50	175.00	171.51	184 85	188.19	204 54	200.10	232.97	231.07	3,813.1	—	19,317.7	9,262.1	41,444 3	16,299 2
10 Oct.	170 63	151 46	176 10	171.51	187 03	189 38	205.63	203.67	235.16	235.83	4,906.8	—	21,195.1	9,667.8	42 951.7	16,575.8
11 Nov	170.63	160.79	176.10	172.70	187 03	189.38	207.82	203 67	236.26	239.41	5,795.8	—	22,462 2	10,976.7	51,753.2	17,235.2
12 Dec	171.72	165.56	179 38	172.70	189 22	190.57	211.10	209 63	237.35	242.98	7,335.2	2,724.5	26,622.4	11,186.9	55 961.5	17,088.3
月平均 M. Av.	168.62	145.72	174.54	167.94	183 38	183 22	201.71	199.80	225.95	224.51	—	—	16,211.8	7,118.7	40,926.3	14,843 0

(129) 서울市都賣物價商品

Indexes of Wholesale Price by

(Continued)

指數基準=1936年年平均 + 賤落 - 低落

	穀物 Grains		食料品 Food Products		織物原料 Textile Raw Materials		織物 Textile Products		建築材料 Building Materials	
	平均指數 Av. Index	對前年月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前年月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前年月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前年月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前年月 騰落率 C.W.P.M.
1939	140.85	+ 27.67	136.57	+ 23.51	160.12	+ 57.63	175.59	+ 69.00	164.90	+ 28.40
1940	168.81	+ 27.96	159.13	+ 22.32	167.45	+ 7.33	186.21	+ 11.50	178.63	+ 13.73
1941	162.52	- 6.29	172.55	+ 13.41	159.25	- 7.91	195.54	+ 0.55	239.95	+ 61.31
1942	167.53	+ 5.01	185.06	+ 12.76	164.36	+ 4.78	206.18	+ 18.57	190.22	- 49.73
1943	171.54	+ 4.01	217.38	+ 32.07	186.01	+ 21.70	215.77	+ 9.60	226.46	+ 36.25
1944	185.67	+ 14.13	265.74	+ 48.36	213.70	+ 25.33	238.18	+ 21.60	249.41	+ 21.68
1945. 1	183.97	+ 3.30	293.02	+ 27.28	233.44	+ 26.69	245.60	+ 8.23	266.92	+ 18.77
2	192.22	+ 1.72	292.77	- 0.09	244.12	+ 2.55	245.60	-	268.45	+ 0.57
3	192.22	-	298.41	+ 1.92	256.01	+ 4.87	260.46	+ 6.05	268.45	-
4	192.22	-	318.78	+ 6.81	256.01	-	260.46	-	268.45	-
5	192.22	-	318.78	-	256.01	-	260.46	-	263.45	-
6	192.22	-	318.78	-	261.09	-	261.08	+ 1.99	293.10	+ 9.18
1945. 8	4 484.30	-	2,109.60	-	358.90	-	2,013.50	-	944.50	-
9	3 472.10	- 22.57	2,437.50	+ 15.54	431.10	+ 20.12	3 113.00	+ 54.62	1 480.20	+ 56.72
10	3 030.80	- 11.27	3 260.50	+ 33.76	600.90	+ 39.39	4 589.20	+ 47.34	1,777.60	+ 20.09
11	3 566.70	+ 15.77	3 555.40	+ 9.04	1,061.20	+ 76.60	6 384.10	+ 33.18	2,731.70	+ 53.67
12	4 809.30	+ 34.84	3 980.60	+ 11.96	1,613.60	+ 52.05	8 006.20	+ 25.41	4,076.90	+ 49.24
8月—12月平均	3 892.60	+ 1.77	3,069.72	+ 17.20	813.14	+ 46.46	4,820.86	+ 41.21	2,202.18	+ 44.14
Av. Aug.—Dec.										
1946. 1	7 108.90	+ 47.82	5,203.30	+ 30.72	1,961.10	+ 21.54	9,536.00	+ 19.11	5,206.00	+ 27.70
2	11 361.60	+ 59.82	5,979.80	+ 14.92	2,210.50	+ 12.72	10 225.70	+ 7.23	6,011.10	+ 15.46
3	19 753.10	+ 73.86	8,184.80	+ 36.87	3,803.00	+ 72.04	14 219.10	+ 39.07	7,324.10	+ 21.84
4	19 861.60	+ 0.55	10,226.90	+ 24.95	4,220.00	+ 10.97	14 144.20	- 0.53	9,365.60	+ 27.87
5	18 677.30	- 5.96	10,451.90	+ 2.20	4,736.20	+ 13.65	13 761.10	- 2.71	12,962.40	+ 38.40
6	21 775.40	+ 16.59	10,477.50	+ 0.24	5,217.70	+ 8.79	13 892.00	- 0.95	15,715.80	+ 21.24
7	26 792.90	+ 23.04	11,209.50	+ 6.99	5,442.00	+ 4.30	14 528.10	+ 4.57	17,757.90	+ 12.99
8	26 858.30	+ 0.24	12,856.00	+ 14.69	7,372.20	+ 35.47	19 880.50	+ 36.84	22,186.90	+ 24.94
9	28 087.00	+ 4.57	13,954.40	+ 8.54	9,714.50	+ 31.77	22 402.30	+ 12.68	23,455.90	+ 5.72
10	23,450.10	- 16.51	14,134.10	+ 1.29	11,951.00	+ 23.02	33 677.00	+ 50.32	28,303.20	+ 20.67
11	21,318.70	- 9.09	14,110.50	- 0.17	16,453.50	+ 37.67	38 367.90	+ 13.93	33,092.10	+ 16.92
12	25,776.20	+ 20.91	16,519.60	+ 17.07	28 165.30	+ 71.18	52 407.70	+ 36.59	40,073.50	+ 21.10
月平均	20,901.76	+ 15.02	11,109.03	+ 12.59	8 442.25	+ 26.91	21 420.13	+ 16.95	18,454.54	+ 20.99
Monthly Av.										
1947. 1	30,555.00	+ 18.54	21,320.00	+ 29.06	30 544.50	+ 8.45	66,640.40	+ 27.15	42,540.60	+ 6.16
2	32,366.20	+ 5.93	22,840.10	+ 7.13	29 833.40	- 2.33	68 633.00	+ 2.99	46,542.60	+ 9.41
3	32,041.80	- 1.00	22,480.00	- 1.58	29 538.30	- 0.99	61 979.60	- 9.70	47,367.10	+ 1.77
4	31,811.80	- 0.72	22,289.00	- 0.85	26 244.30	- 11.15	55 670.70	- 10.18	49,043.40	+ 3.54
5	33,650.60	+ 5.78	22,651.00	+ 1.62	27 877.90	+ 6.22	58 770.90	+ 5.57	49,115.20	+ 0.15
6	37,848.70	+ 12.48	24,422.00	+ 7.82	28,165.30	+ 1.03	60 595.30	+ 3.11	49,759.40	+ 1.31
7	40,824.30	+ 7.86	24,465.80	+ 0.18	30 614.90	+ 8.70	59 649.40	- 1.56	49,996.70	+ 0.48
8	38,775.00	- 5.02	26,154.20	+ 6.80	37 451.80	+ 22.33	61 113.70	+ 2.45	49,996.70	-
9	38,130.70	- 1.66	26,761.30	+ 2.32	42 347.30	+ 13.07	64 758.30	+ 5.96	45,090.80	+ 8.19
10	37,088.90	- 2.73	27,169.10	+ 1.52	44 855.20	+ 5.92	73 405.20	+ 13.35	54,799.20	+ 1.31
11	39,373.30	+ 6.16	32,437.30	+ 19.39	52 795.40	+ 17.70	99 725.10	+ 35.86	57,240.60	+ 4.46
12	41,966.60	+ 6.59	36,317.40	+ 11.96	65 474.00	+ 24.01	110,260.50	+ 10.56	63,945.00	+ 11.71
月平均	36,202.70	+ 4.15	25,775.60	+ 6.78	37,145.19	+ 7.28	70 100.17	+ 9.46	51,203.11	+ 3.97
Monthly Av.										

1) 朝鮮銀行에서發表한 서울市都賣物價調査表는 下記와같이改正하여왔음

a) 1910年7월부터 調査商品數를50種(生産品과輸入品으로大別)으로 指數基準을1910年7月로하고 綜合指數算式을 單純算術平均法으로하였음

b) 1939年1월부터 調査商品數를80種(10商品類別로大別)으로擴張하고 指數基準을1936年年平均으로 綜合指數算式을單純幾何平均法으로變更하였음

c) 1945年8월부터 指數基準을1936年年平均과 1945年8月下旬平均의 2種으로하고 綜合指數算式을單純算術平均法으로하였음

d) 1948年3월부터綜合指數算式을 單純幾何平均法으로하고 1945年8월까지選舊再計算하여 改正發表한

2) 調査場所는 서울市內各市場 및 商街의 主要都賣商店을選定하여 定期的으로調査함

3) 1商品에對하여 10商店以上調査하여 平均價格을算出하였음

4) 毎週木曜日에其週間의 時勢를調査하여 月平均價格을算出함

## 類 別 指 數 表 (其二)

### Commodity Groups in Seoul (II)

(Average for 1936=100. +Rise -Fall)  
C.W.P.M.=Comparison with Previous Month

金 屬 類 Metals & Products		燃 料 Fuel		肥 料 Fertilizer		工 業 材 料 Chemicals		雜 品 Miscellaneous		總 平 均 Average Index	
平均指數 Av. Index	對前年月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前年月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前年月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前年月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前年月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前年月 騰落率 C.W.P.M.
249.48	+ 14.47	147.59	+ 20.61	139.06	+ 13.44	221.83	+ 38.94	202.02	+ 44.10	163.29	+ 34.78
239.95	- 9.53	160.47	+ 12.72	154.07	+ 15.01	245.99	+ 24.15	218.18	+ 33.07	180.01	+ 16.71
161.52	- 78.43	155.72	- 4.59	155.72	+ 121.07	277.22	+ 31.23	233.74	- 20.56	186.63	+ 5.90
239.95	+ 78.43	174.36	+ 18.64	152.63	- 44.95	279.87	+ 2.65	257.86	+ 19.12	195.57	+ 9.91
247.94	+ 7.99	183.82	+ 14.46	151.79	- 0.84	300.44	+ 20.58	302.00	+ 44.14	215.09	+ 19.27
248.70	+ 0.76	215.47	+ 26.65	151.79	-	341.78	+ 41.33	337.07	+ 35.07	241.12	+ 26.13
248.70	-	230.37	+ 14.90	151.79	-	343.41	+ 1.63	340.77	+ 3.70	253.85	+ 12.63
248.70	-	230.37	-	151.79	-	343.41	-	340.77	-	254.86	+ 0.39
248.70	-	230.37	-	151.79	-	343.41	-	343.55	+ 0.82	259.40	+ 1.78
243.70	-	265.83	+ 15.39	151.79	-	343.41	-	343.55	-	266.86	+ 2.87
248.70	-	265.83	-	151.79	-	424.46	+ 23.60	380.01	+ 10.61	272.36	+ 2.06
248.70	-	289.64	+ 8.95	151.79	-	424.46	-	380.01	-	272.36	-
678.20	-	1765.70	-	1133.60	-	8043.50	-	3283.20	-	1752.00	-
697.90	+ 2.90	2,172.30	+ 23.03	1428.30	+ 26.00	7569.20	- 5.90	3986.30	+ 21.42	2,047.20	+ 16.85
1,191.30	+ 70.70	2440.90	+ 12.36	2189.00	+ 53.26	8427.90	+ 11.34	4744.20	+ 19.01	2672.10	+ 30.53
1,592.40	+ 33.67	2563.10	+ 5.01	2788.00	+ 27.36	7539.40	- 10.54	5662.50	+ 19.36	3256.60	+ 21.87
1,991.70	+ 25.03	3265.90	+ 27.42	3358.30	+ 20.46	13,887.80	+ 84.20	6,882.20	+ 21.54	4359.20	+ 33.86
<b>1230.30</b>	<b>+ 30.91</b>	<b>2441.58</b>	<b>+ 16.62</b>	<b>2179.44</b>	<b>+ 31.19</b>	<b>9,093.56</b>	<b>+ 14.63</b>	<b>4,911.68</b>	<b>+ 20.32</b>	<b>2,817.42</b>	<b>+ 25.59</b>
2427.80	+ 21.90	3634.10	+ 12.81	3910.90	+ 16.45	15,765.20	+ 13.52	7,497.10	+ 8.93	5,301.00	+ 21.61
2837.10	+ 16.86	3930.00	+ 6.67	5080.20	+ 29.90	18,123.00	+ 14.95	8,260.60	+ 10.18	6,258.00	+ 18.05
3471.70	+ 22.37	3519.80	- 10.44	7327.00	+ 44.23	25,543.60	+ 40.95	10,329.40	+ 25.04	8,414.90	+ 34.46
4,800.00	+ 33.26	3455.10	- 1.84	12559.90	+ 71.42	30,571.10	+ 19.68	11,422.60	+ 10.53	9,971.70	+ 18.50
5,493.20	+ 14.44	4717.40	+ 36.53	20675.50	+ 64.62	29,147.10	- 4.66	11,831.30	+ 4.02	11,381.30	+ 14.14
5,305.50	- 3.42	5,269.90	+ 11.71	22272.00	+ 7.72	28,887.80	- 0.89	11,808.50	- 0.61	12,057.90	+ 5.95
5,703.50	+ 7.50	5720.30	+ 8.55	21635.60	- 2.63	28,209.70	- 2.35	12,264.00	+ 3.86	12,806.60	+ 6.21
5,951.20	+ 4.34	5893.70	+ 3.03	21635.60	-	32,292.00	+ 14.47	13,560.90	+ 10.57	14,601.20	+ 14.01
7,127.40	+ 19.76	6,647.20	+ 12.78	21635.60	-	34,141.20	+ 5.73	14,645.80	+ 8.00	16,292.10	+ 11.58
7,957.70	+ 11.65	9078.00	+ 36.57	21635.60	-	37,261.40	+ 9.14	18,471.80	+ 26.12	18,518.40	+ 13.66
9,030.90	+ 13.49	9722.20	+ 7.10	21635.60	-	41,491.50	+ 11.35	23,299.20	+ 26.13	20,577.60	+ 11.12
10,612.60	+ 17.51	12213.20	+ 25.62	21635.60	-	50,316.30	+ 21.27	28,426.20	+ 22.01	25,563.20	+ 24.23
<b>5,893.22</b>	<b>+ 14.96</b>	<b>6,154.24</b>	<b>+ 11.62</b>	<b>16,828.26</b>	<b>+ 16.82</b>	<b>30,979.14</b>	<b>+ 11.34</b>	<b>14,322.28</b>	<b>+ 12.55</b>	<b>13,478.66</b>	<b>+ 15.88</b>
13,937.30	+ 31.33	13,939.90	+ 14.14	21,685.60	-	58,875.40	+ 17.01	33,139.00	+ 16.58	29,761.00	+ 16.42
15,520.00	+ 11.35	15,003.30	+ 7.66	21,685.60	-	66,911.60	+ 13.65	46,764.60	+ 41.12	32,489.50	+ 9.17
16,480.80	+ 6.19	15,183.20	+ 1.17	31,440.30	+ 44.98	97,560.00	+ 45.80	49,965.20	+ 6.84	35,076.10	+ 7.96
14,725.20	- 10.65	13,463.30	- 11.29	35,718.70	+ 13.61	93,458.90	- 4.20	48,821.90	- 2.29	33,776.60	- 3.70
14,823.50	+ 0.67	11,935.80	- 11.38	36,725.00	+ 2.82	112,624.70	+ 20.51	54,420.90	+ 11.47	35,144.00	+ 4.05
15,274.30	+ 3.04	12,178.20	+ 2.03	37,208.60	+ 1.32	149,890.10	+ 33.09	53,594.60	- 1.52	37,249.20	+ 5.99
16,283.70	+ 6.61	14,100.00	+ 15.78	37,208.60	-	148,665.30	- 0.82	56,254.50	+ 4.96	33,797.30	+ 4.16
17,265.80	+ 6.03	14,371.70	+ 1.93	37,208.60	-	156,179.20	+ 5.05	60,992.00	+ 8.42	40,547.50	+ 4.51
19,037.10	+ 10.26	15,356.50	+ 6.85	37,208.60	-	174,716.00	+ 11.86	67,202.80	+ 10.18	43,221.60	+ 6.59
20,696.00	+ 8.71	17,521.80	+ 14.10	37,208.60	-	181,712.00	+ 4.00	76,748.20	+ 14.20	45,760.70	+ 5.87
23,485.30	+ 13.48	21,993.00	+ 25.55	39,026.50	+ 4.89	206,104.20	+ 13.42	80,684.60	+ 5.13	52,311.50	+ 14.32
24,313.60	+ 3.53	28,628.00	+ 30.14	39,026.50	-	222,882.20	+ 8.14	90,017.70	+ 11.57	58,305.20	+ 11.46
<b>17,653.57</b>	<b>+ 7.15</b>	<b>16,140.83</b>	<b>+ 7.36</b>	<b>34,279.27</b>	<b>+ 5.02</b>	<b>139,131.63</b>	<b>+ 13.20</b>	<b>59,883.83</b>	<b>+ 10.29</b>	<b>40,203.35</b>	<b>+ 6.87</b>

1) This table has been revised as follows:—

- a. From July 1910, 50 kinds of commodities were under investigation, and relatives were compounded by simple arithmetic mean, basing on July 1910.
  - b. From Jan. 1939, the kinds under investigation, extended to 80 in 10 groups, relatives compounded by simple geometric mean, basing on 1936.
  - c. From Aug. 1945, relatives compounded by simple arithmetic mean on two kinds of bases average for 1936 and the average for the last decade of Aug. 1945.
  - d. Since Mar. 1948, by simple geometric mean, and indexes were revised tracing back to the Aug. 1945.
- 2) Investigated main wholesale shops in shopping centres and each market place in Seoul City at regular intervals.
  - 3) More than 10 shops have been investigated on each commodity, and price is the average of the investigated prices.
  - 4) Monthly average price is based on the average of prices investigated every Thursday.

(129) 市 售 市 都 賣

Indexes of Wholesale

指數基準 (1)1936年月平均(右列二體印刷)  
(2)1945年8月下旬平均

	穀 物 GRAINS											
	粳 米 Paddy		白 米 Cleaned Rice		糯 米 Glutinous Rice		大 麥 Barley		小 麥 Wheat		大 豆 Soy Bean	
	2 等 百斤 2nd Class 60 Kg		1 等 1 石 1st Class 1 Suk		1 等 1 石 1st Class 1 Suk		1 等 1 石 1st Class 1 Suk		1 等 1 石 1st Class 1 Suk		1 等 1 石 黃豆 1st Class 1 Suk Yellow	
	平均價 指 數 Av. P. Index	平均價 指 數 Av. P. Index	平均價 指 數 Av. P. Index	平均價 指 數 Av. P. Index	平均價 指 數 Av. P. Index	平均價 指 數 Av. P. Index	平均價 指 數 Av. P. Index	平均價 指 數 Av. P. Index	平均價 指 數 Av. P. Index	平均價 指 數 Av. P. Index	平均價 指 數 Av. P. Index	平均價 指 數 Av. P. Index
1936 年月平均 1936. Monthly Av.	879	100.00	30	100.00	33.50	100.00	9	100.00	19	100.00	20	100.00
1945. 8 Aug.	420	4,778.16 109.00	2,100	7,000.00 100.00	2,400	6,233.77 109.00	600	6,666.67 100.00	800	4,210.53 109.00	300	1,500.00 109.00
9 Sept.	210	2,389.08 50.00	1,100	3,666.67 52.38	1,100	2,857.14 45.83	500	5,555.56 83.33	700	3,684.21 87.50	400	2,000.00 133.33
10 Oct.	125	1,422.07 29.76	700	2,333.33 33.33	1,100	2,857.14 45.83	500	5,555.56 83.33	600	3,157.89 75.00	400	2,000.00 133.33
11 Nov.	220	2,502.84 52.38	650	2,166.67 30.95	900	2,337.66 37.50	500	5,555.56 83.33	800	4,210.53 100.00	600	3,000.00 200.00
12 Dec.	250	2,844.14 59.52	840	2,800.00 40.00	1,400	3,636.36 58.33	550	6,111.11 91.66	1,200	6,315.79 150.00	800	4,000.00 266.66
1946. 1 Jan.	450	5,119.45 107.14	1,800	6,000.00 85.71	2,300	5,974.03 95.33	750	8,333.33 125.00	1,200	6,315.79 150.00	1,100	5,500.00 366.66
2 Feb.	550	6,257.11 130.95	3,000	10,000.00 142.85	3,200	8,311.69 133.33	1,200	13,333.33 200.00	3,200	16,842.11 400.00	3,000	15,000.00 1,000.00
3 Mar.	1,100	12,514.22 261.90	5,800	19,333.33 276.19	6,200	16,103.90 258.33	2,100	23,333.33 350.00	6,000	31,578.95 750.00	3,000	15,000.00 1,000.00
4 Apr.	1,100	11,376.56 261.90	5,600	18,666.67 266.66	6,100	15,844.16 254.16	2,000	22,222.22 333.33	6,000	31,578.95 750.00	3,000	15,000.00 1,000.00
5 May	850	9,670.01 202.33	4,800	16,000.00 228.57	5,500	14,285.71 226.16	1,800	20,000.00 300.00	6,000	31,578.95 750.00	3,000	15,000.00 1,000.00
6 June	950	10,807.74 228.19	5,500	18,333.33 261.90	6,000	15,584.42 250.00	2,000	22,222.22 333.33	5,700	30,000.00 712.50	4,000	20,000.00 1,333.33
7 July	1,700	19,340.16 404.76	9,000	30,000.00 428.57	9,200	23,896.10 383.33	3,000	33,333.33 500.00	5,000	26,315.79 625.00	4,000	20,000.00 1,333.33
8 Aug.	1,700	19,340.16 404.76	9,200	30,666.67 438.09	9,200	23,896.10 383.33	3,000	33,333.33 500.00	5,000	26,315.79 625.00	4,000	20,000.00 1,333.33
9 Sept.	1,800	20,477.82 428.57	11,000	36,666.67 523.80	11,000	28,571.43 458.33	3,000	33,333.33 500.00	5,000	26,315.79 625.00	3,600	18,000.00 1,200.00
10 Oct.	1,400	15,927.19 333.33	8,400	28,000.00 400.00	9,000	23,376.62 375.00	2,600	28,888.89 433.33	4,000	21,052.63 500.00	3,400	17,000.00 1,133.33
11 Nov.	1,100	12,514.22 261.90	6,500	21,666.67 309.52	7,600	19,740.26 316.66	2,600	28,888.89 433.33	3,800	20,000.00 475.00	3,400	17,000.00 1,133.33
12 Dec.	1,500	17,064.85 357.14	8,200	27,333.33 390.47	8,600	22,337.66 358.33	3,000	33,333.33 500.00	3,400	17,894.74 425.00	5,000	25,000.00 1,666.66
1947. 1 Jan.	1,700	19,340.16 404.76	10,000	33,333.33 476.19	12,000	31,168.83 500.00	3,500	38,888.89 583.33	3,600	18,947.37 450.00	6,800	34,000.00 2,266.66
2 Feb.	1,700	19,340.16 404.76	10,000	33,333.33 476.19	11,500	29,870.13 479.16	3,500	38,888.89 583.33	4,200	22,105.26 525.00	7,000	35,000.00 2,333.33
3 Mar.	1,600	18,202.50 380.95	9,200	30,666.67 438.09	11,000	28,571.43 458.33	3,500	38,888.89 583.33	4,600	24,210.53 575.00	7,000	35,000.00 2,333.33
4 Apr.	1,600	18,202.50 380.95	8,600	28,666.67 409.52	11,000	28,571.43 458.33	3,000	33,333.33 500.00	4,400	23,157.89 550.00	7,000	35,000.00 2,333.33
5 May	1,650	18,771.33 392.85	9,500	31,666.67 452.38	12,000	31,168.83 500.00	3,000	33,333.33 500.00	5,200	27,368.42 650.00	7,200	36,000.00 2,400.00
6 Jun	1,910	21,729.24 454.76	11,000	36,666.67 523.80	13,500	35,064.94 562.50	3,300	36,666.67 550.00	6,100	32,105.26 762.50	7,300	36,500.00 2,433.33
7 July	2,250	25,597.27 535.71	13,000	43,333.33 619.04	14,000	36,363.63 583.33	3,700	41,111.11 616.66	6,400	33,684.21 800.00	7,400	37,000.00 2,466.66
8 Aug.	1,950	22,184.30 464.28	11,000	36,666.67 523.80	13,000	33,761.23 541.66	3,500	38,888.89 583.33	5,000	26,315.79 625.00	7,400	37,000.00 2,466.66
9 Sept.	1,950	22,184.30 464.28	11,000	36,666.67 523.80	13,600	35,324.68 566.66	3,500	38,888.89 583.33	5,000	26,315.79 625.00	7,300	36,500.00 2,433.33
10 Oct.	2,500	28,441.41 595.23	12,500	41,666.67 595.23	14,000	36,363.63 583.33	3,000	33,333.33 500.00	4,800	25,263.16 600.00	6,800	34,000.00 2,266.66
11 Nov.	2,700	30,710.72 642.85	14,000	46,666.67 666.66	15,000	38,961.03 625.00	3,000	33,333.33 500.00	4,600	26,210.53 575.00	7,600	38,000.00 2,533.33
12 Dec.	2,700	30,716.72 642.85	14,500	48,333.33 690.47	16,000	41,558.44 666.66	3,400	37,777.77 566.66	5,000	25,315.79 625.00	7,600	38,000.00 2,533.33

# 物 價 調 查 表 (其一)

## Prices in Seoul (I)

(III-123)

Note: — 1. 1936, Monthly Average = 100 (Printed by Gothic Type)  
 2. Average of last decade Aug. 1945 = 100  
 In Won

食													
小 豆 Red Bean		粟 Millet		荏 子 Sesame		砂 糖 Sugar		再 製 塩 Salt		간 장 Soy Sauce		된 장 Bean Paste	
1 等 1 石 1st Class, 1 Suk		國產 1 等 1 石 1st Class, 1 Suk		國產 1 等 1 石 1st Class, 1 Suk		精白 1 袋 100 斤 Refined 1 Bag (60 Kg)		仁川 1 袋 100 斤 Refined 1 Bag (60 Kg)		小 樽 (18 立) 1 Barrel (18L)		小 樽 5 貫 1 Barrel (18.75 Kg)	
平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av. P.	指 數 Index	平均價格 Av. Price	指 數 Index
24.50	100.00	21	100.00	20.20	100.00	21.50	100.00	2.70	100.00	4.50	100.00	2.85	100.00
	5,714.29		2,857.14		4,950.49		4,651.16		666.66		524.44		1,754.38
1,400	100.00	600	100.00	1,000	100.00	1,000	100.00	18	100.00	23	100.00	50	100.00
1 00	4,897.96	600	2,857.14	1,000	4,950.49	1,300	60,046.51	18	666.66	23	524.44	50	1,754.38
	85.41		100.00		100.00		130.00		100.00		100.00		100.00
	3,673.47		2,857.14		6,930.79		11,627.07		9,074.07		524.44		1,754.38
900	64.23	600	100.00	1,400	140.00	2,500	250.00	245	1,361.11	23	100.00	50	100.00
	4,489.80		2,857.14		7,920.79		16,279.07		9,074.07		524.44		1,754.38
1,100	78.57	600	100.00	1,600	160.00	3,500	350.00	245	1,361.11	23	100.00	50	100.00
	6,530.61		3,809.52		12,376.24		18,604.65		9,074.07		524.44		1,754.38
1,600	114.28	800	133.33	2,500	250.00	4,000	400.00	245	1,361.11	23	100.00	50	100.00
	8,979.59		6,666.66		15,841.58		25,581.40		9,074.07		1,655.55		1,754.38
2,200	157.14	1,400	233.33	3,200	320.00	5,500	550.00	245	1,361.11	74	315.68	50	100.00
	10,612.24		8,571.42		19,801.98		26,976.74		9,074.07		1,655.55		1,754.38
2,600	185.71	1,800	300.00	4,000	400.00	5,800	580.00	245	1,361.11	74	315.68	50	100.00
	20,408.16		16,190.47		32,178.21		46,511.63		9,074.07		1,733.33		2,631.57
5,000	357.14	3,400	566.66	6,500	650.00	10,000	1,000.00	245	1,361.11	78	330.51	75	150.00
	21,224.49		16,190.47		39,603.96		65,116.28		9,074.07		1,777.77		3,157.89
5,200	371.42	3,400	566.66	8,000	800.00	14,000	1,400.00	245	1,361.11	80	338.98	90	180.00
	21,224.49		15,714.28		39,003.90		72,093.02		9,074.07		3,666.66		4,385.96
5,200	371.42	3,300	550.00	8,000	800.00	15,500	1,550.00	245	1,361.11	165	699.16	125	250.00
	29,795.92		19,047.62		47,029.70		79,069.76		9,074.07		3,666.66		4,385.96
7,300	521.04	4,000	666.66	9,500	950.00	17,000	1,700.00	245	1,361.11	165	699.16	125	250.00
	32,653.06		19,047.62		47,029.70		79,069.76		17,777.77		3,666.66		4,385.96
8,000	571.42	4,000	666.66	9,500	950.00	17,000	1,700.00	480	2,666.66	165	699.16	125	250.00
	32,653.06		19,047.62		47,029.70		74,418.60		17,777.77		5,777.77		7,017.54
8,000	571.42	4,000	666.66	9,500	950.00	16,000	1,600.00	480	2,666.66	260	1,101.70	200	400.00
	40,816.33		23,809.52		39,603.96		69,767.44		17,777.77		5,777.77		7,017.54
10,000	714.28	5,000	833.33	8,000	800.00	15,000	1,500.00	480	2,666.66	260	1,101.70	200	400.00
	28,571.43		17,619.04		39,603.96		69,767.44		17,777.77		5,777.77		7,017.54
7,000	500.00	3,700	616.66	8,000	800.00	15,000	1,500.00	480	2,666.66	260	1,101.70	200	400.00
	22,040.82		17,619.04		44,554.46		79,069.76		17,777.77		5,777.77		9,473.67
5,400	385.71	3,700	666.66	9,000	900.00	17,000	1,700.00	480	2,666.66	260	1,101.70	270	540.00
	28,571.43		19,047.62		59,406.94		83,372.09		30,074.07		6,666.66		10,526.31
7,000	500.00	4,000	666.66	12,000	1,200.00	19,000	1,900.00	812	4,511.11	300	1,271.20	300	600.00
	32,653.06		19,047.62		74,257.43		125,581.39		30,074.07		6,666.66		10,526.31
8,000	571.42	4,000	666.66	15,000	1,500.00	27,000	2,700.00	812	4,511.11	300	1,271.20	300	600.00
	37,551.02		19,047.62		94,059.41		125,581.39		37,777.77		10,000.00		10,526.31
9,200	657.14	4,000	666.66	19,000	1,900.00	27,000	2,700.00	1,020	5,666.66	450	1,908.80	300	600.00
	35,918.36		19,047.62		99,009.90		139,534.88		37,777.77		10,000.00		12,280.70
8,800	628.57	4,000	666.66	20,000	2,000.00	30,000	3,000.00	1,020	5,666.66	450	1,908.80	350	700.00
	35,510.20		21,428.57		108,910.89		139,534.88		37,777.77		11,111.11		12,280.70
8,700	621.85	4,500	750.00	22,000	2,200.00	30,000	3,000.00	1,020	5,666.66	500	2,118.66	350	700.00
	36,734.69		23,809.52		103,960.40		116,279.07		37,777.77		11,111.11		12,280.77
9,000	642.85	5,000	833.33	21,000	2,100.00	25,000	2,500.00	1,020	5,666.66	500	2,118.66	350	700.00
	40,816.33		28,571.43		113,861.39		111,627.90		37,777.77		14,000.00		15,789.41
10,000	714.28	6,000	1,000.00	23,000	2,300.00	24,000	2,400.00	1,020	5,666.66	630	2,669.51	450	900.00
	44,897.95		28,571.43		168,316.83		116,279.07		37,777.77		15,000.00		15,789.47
11,000	785.71	6,000	1,000.00	34,000	3,400.00	25,000	2,500.00	1,020	5,666.66	675	2,860.19	450	900.00
	44,897.95		28,571.43		148,514.85		158,139.53		37,777.77		16,666.66		15,789.47
11,000	785.71	6,000	1,000.00	30,000	3,000.00	34,000	3,400.00	1,020	5,666.66	750	3,177.99	450	900.00
	44,897.95		28,571.43		123,762.38		176,744.18		38,888.88		17,777.77		15,789.47
11,000	785.71	6,000	1,000.00	25,000	2,500.00	38,000	3,800.00	1,050	5,833.33	800	3,389.86	450	900.00
	40,816.33		27,619.04		99,009.90		172,093.02		38,888.88		20,000.00		15,789.47
10,000	714.28	5,800	966.66	20,000	2,000.00	37,000	3,700.00	1,050	5,833.33	900	3,813.55	450	900.00
	40,816.33		28,571.43		113,861.39		172,093.02		44,444.44		20,000.00		15,789.47
10,000	714.28	6,000	1,000.00	23,000	2,300.00	37,000	3,700.00	1,200	6,666.66	900	3,813.55	450	900.00
	48,979.59		28,571.43		123,762.38		176,741.18		44,444.44		20,000.00		15,789.47
12,000	857.14	6,000	1,000.00	25,000	2,500.00	38,000	3,800.00	1,200	6,666.66	900	3,813.55	450	900.00

(129) 서울 市 都 賣 Indexes of Wholesale

(Continued)

	料											
	日本酒 Japanese Wine		燒酒 Distilled Spirits		麥酒 Beer		사이다 Cider		澱粉 Starch		牛 肉 Beef	
	1級酒 大樽 4斗 1st Class Big Barrel (72L)	1級 小樽 1斗 1st Class 1 Barrel (18L)	기린 1函 2打 Kirin 1 Box (2 Dozens)	1函 4打 1 Box (4 Dozens)	프스타지 1袋(22斤) 1 Bag (22Kg)	100斤 60 Kg	平均價 Av.P.	指數 Index	平均價 Av.P.	指數 Index	平均價 Av.P.	指數 Index
1936 年月平均 1936. Monthly Av.	75	100.00	5.50	100.00	15	100.00	7.50	100.00	4.50	100.00	44	100.00
1945. 8 Aug.	616	821.33 100.00	300	5,454.54 100.00	264	1,760.00 100.00	432	5,760.00 100.00	100	2,222.22 100.00	1,500	3,409.09 100.00
9 Sept.	1,000	1,333.33 162.33	300	5,454.54 103.00	264	1,760.00 100.00	450	6,000.00 104.17	120	2,666.66 120.00	1,500	3,409.09 100.00
10 Oct.	1,800	2,400.00 292.21	320	5,818.18 106.67	264	1,760.00 100.00	480	9,400.00 111.11	150	3,333.33 150.00	1,700	3,863.63 113.33
11 Nov.	1,800	2,400.00 292.21	320	5,818.18 106.67	264	1,760.00 100.00	504	6,720.00 116.67	170	3,777.77 170.00	2,000	4,545.45 133.33
12 Dec.	2,400	3,200.00 399.61	350	6,363.63 116.67	264	1,760.00 100.00	528	7,040.00 122.22	218	4,844.44 218.00	3,000	6,818.18 200.00
1946. 1 Ja.	2,400	3,200.00 399.61	350	6,363.63 116.67	264	1,760.00 100.00	576	7,640.00 132.64	320	7,111.11 320.00	3,500	7,954.54 233.33
2 Feb.	2,200	2,933.33 357.14	450	8,181.81 150.00	264	1,760.00 100.00	624	8,320.00 144.44	400	8,888.88 400.00	5,000	11,363.63 333.33
3 Mar.	3,600	4,800.00 584.42	750	13,636.36 250.00	264	1,760.00 100.00	720	9,600.00 166.67	1,200	26,666.66 1,200.00	5,500	12,500.00 366.67
4 Apr.	6,800	9,066.66 1,103.90	1,500	27,272.72 500.00	264	1,760.00 100.00	1,008	13,440.00 233.33	1,300	28,888.88 1,300.00	7,000	15,909.09 466.67
5 May	6,000	8,000.00 974.03	1,300	23,636.36 433.33	288	1,920.00 109.09	1,008	13,440.00 233.33	1,000	22,222.22 1,000.00	7,000	15,909.09 466.67
6 June	6,400	8,533.33 1,033.96	1,250	22,727.27 416.67	288	1,920.00 109.09	1,104	14,720.00 255.56	950	21,111.11 950.00	7,000	15,909.09 466.67
7 July	7,200	9,600.00 1,163.34	1,300	23,636.36 433.33	336	2,240.00 127.27	1,152	15,360.00 266.67	950	21,111.11 950.00	7,000	15,909.09 466.67
8 Aug.	8,800	11,733.33 1,423.53	2,100	38,181.81 700.00	336	2,240.00 127.27	1,152	15,360.00 266.67	1,050	23,333.33 1,050.00	7,000	15,909.09 466.67
9 Sept.	13,000	17,333.33 2,110.40	2,000	36,363.63 666.67	336	2,240.00 127.27	1,008	13,440.00 233.33	1,500	33,333.33 1,500.00	7,500	17,045.45 500.00
10 Oct.	14,000	18,666.66 2,272.74	2,100	38,181.81 700.00	305	2,033.33 115.53	960	12,800.00 222.22	1,150	25,555.55 1,150.00	9,000	20,454.54 600.00
11 Nov.	12,800	17,066.66 2,077.93	1,900	34,545.45 633.33	305	2,033.33 115.53	960	12,800.00 222.22	1,250	27,777.77 1,250.00	9,000	20,454.54 600.00
12 Dec.	13,500	18,000.00 2,191.57	1,500	27,272.72 500.00	305	2,033.33 115.53	960	12,800.00 222.22	1,250	27,777.77 1,250.00	11,000	25,000.00 733.33
1947. 1 Jan.	13,500	18,000.00 2,191.57	2,000	36,363.63 666.67	384	2,560.00 145.45	960	12,800.00 222.22	1,300	28,888.88 1,300.00	20,000	45,454.54 1,333.33
2 Feb.	14,000	18,666.66 2,272.74	2,300	41,818.18 768.67	384	2,560.00 145.45	1,600	21,333.33 370.37	1,300	28,888.88 1,300.00	20,000	45,454.54 1,333.33
3 Mar.	14,000	18,666.66 2,272.74	2,300	41,818.18 768.67	384	2,560.00 145.45	1,600	21,313.33 370.37	1,300	28,888.88 1,300.00	20,000	45,454.54 1,333.33
4 Apr.	13,400	17,866.66 2,175.33	2,500	45,454.54 833.33	384	2,560.00 145.45	1,600	21,333.33 370.37	1,300	28,888.88 1,300.00	20,000	45,454.54 1,333.33
5 May	12,400	16,533.33 2,012.99	2,000	36,363.63 666.67	384	2,560.00 145.45	1,600	21,333.33 370.37	1,300	28,888.88 1,300.00	18,000	40,909.09 1,200.00
6 J	12,400	16,533.33 2,012.99	2,300	41,818.18 768.67	480	3,200.00 181.82	1,820	24,266.66 421.30	1,500	33,333.33 1,500.00	18,000	40,909.09 1,200.00
7 July	12,000	16,000.00 1,948.06	2,400	43,636.36 800.00	480	3,200.00 181.82	1,820	24,266.66 421.30	2,000	44,444.44 2,000.00	17,000	38,636.36 1,133.33
8 Aug.	13,500	18,000.00 2,191.57	3,000	54,545.45 1,000.00	480	3,200.00 181.82	1,820	24,266.66 421.30	2,000	44,444.44 2,000.00	17,000	38,636.36 1,133.33
9 Sept.	14,000	18,666.66 2,272.74	2,800	50,909.09 933.33	480	3,200.00 181.82	1,820	24,266.66 421.30	2,000	44,444.44 2,000.00	17,000	38,636.36 1,133.33
10 Oct.	14,000	18,666.66 2,272.74	2,800	50,909.09 933.33	480	3,200.00 181.82	1,820	24,266.66 421.30	2,000	44,444.44 2,000.00	17,000	38,636.36 1,133.33
11 Nov.	20,000	26,666.66 3,246.75	2,800	50,909.09 933.33	1,920	12,800.00 727.27	1,820	24,266.66 421.30	2,000	44,444.44 2,000.00	17,000	43,181.81 1,133.33
12 Dec.	21,200	28,266.66 3,441.55	2,900	52,727.27 966.66	1,920	12,800.00 727.27	1,820	24,266.66 421.30	4,500	44,444.44 4,500.00	19,000	43,181.81 1,266.66

物價調查表 (其二)  
Prices in Seoul (II)

In Won

FOOD PRODUCTS												織物原	
豚肉 Pork		鷄卵 Eggs		乾明太 Dried Polltck		乾海苔 Dried Laver		小麥粉 Wheat Flour		綠棉 Raw Cotton		繭 Cocoon	
100斤 60 Kg		100個 100 Pieces		1斤 (40枚) 40 Kwai (800 Fishes)		1張 (40張) 1 Dong (800 Sheets)		2等 1袋 (22斤) Middle Class 1 Bag (22Kg)		陸地棉 2等 100斤 Middle Class 60 Kg		乾 3等 10貫 3rd Class 37.5 Kg	
平均價 Av.P.	指數 Index	平均價 Av.P.	指數 Index	平均價 Av.P.	指數 Index	平均價 Av.P.	指數 Index	平均價 Av.P.	指數 Index	平均價 Av.P.	指數 Index	平均價格 Av Price	指數 Index
38	100.00	3.20	100.00	30	100.00	13	100.00	4.40	100.00	64	100.00	128	100.00
000	5,263.15	150	4,687.50	400	1,333.33	100.00	1,004.61	100	2,272.72	200	312.50	550	429.68
2,000	5,263.15	180	5,625.00	500	1,666.66	150	1,153.85	120	2,727.27	500	781.25	550	429.68
500	6,578.94	180	5,625.00	500	1,666.66	160	1,230.77	150	3,409.09	700	1,093.75	550	429.68
3,000	7,894.73	165	5,156.25	550	1,833.33	180	1,384.61	200	2,545.45	900	1,406.25	700	100.00
3,500	9,210.52	190	5,937.50	500	1,833.33	200	1,538.46	220	5,000.00	1,200	1,875.00	800	625.00
4,000	10,526.31	240	7,500.00	1,400	4,666.66	250	1,923.07	330	7,500.00	1,600	2,500.00	900	703.12
5,500	14,473.68	300	9,375.00	2,000	6,666.66	280	2,153.84	400	9,090.90	1,800	2,812.50	1,000	181.82
6,500	17,103.26	300	9,375.00	2,800	9,333.33	280	2,153.84	1,200	27,272.72	2,000	3,125.00	2,300	1,796.87
7,500	19,735.84	400	12,500.00	2,800	9,333.33	260	2,000.00	1,500	34,090.90	2,200	3,437.50	2,300	1,796.87
7,500	19,736.84	400	12,500.00	2,600	8,666.66	260	2,000.00	1,100	25,000.00	2,200	3,437.50	2,000	1,562.50
7,000	18,421.05	450	14,062.50	2,600	8,666.66	240	1,846.15	1,050	23,863.63	2,400	3,750.00	2,000	1,562.50
7,000	18,421.05	350	10,937.50	3,000	10,000.00	220	1,632.30	1,200	27,272.72	2,500	3,906.25	2,000	1,562.50
7,000	18,421.05	450	14,062.50	3,400	11,333.33	220	1,692.30	1,300	29,545.45	2,700	4,218.75	2,200	1,718.75
7,500	19,736.84	600	18,750.00	3,600	12,000.00	220	1,692.30	1,600	36,363.63	3,000	4,687.50	3,000	2,343.75
9,000	23,864.21	600	18,750.00	5,400	18,000.00	220	1,692.30	1,200	27,272.72	3,500	5,468.75	4,000	3,125.00
10,000	26,315.78	550	17,187.50	5,300	19,333.33	220	1,692.30	1,050	23,863.63	4,200	6,562.50	6,000	4,687.50
12,000	31,578.94	750	23,437.50	7,500	25,000.00	1,000	7,692.30	1,100	25,000.00	11,000	17,187.50	11,000	8,593.75
20,000	52,631.57	1,000	31,250.00	8,300	27,666.66	1,200	9,230.76	1,200	27,272.72	11,000	17,187.50	11,000	8,593.75
20,000	52,631.57	1,200	37,500.00	6,400	21,333.33	900	5,923.07	1,300	29,545.45	11,000	5,500.00	11,000	2,000.00
20,000	52,631.57	1,000	31,250.00	6,000	20,000.00	700	5,384.61	1,300	29,545.45	11,000	17,187.50	11,000	8,593.75
20,000	52,631.57	900	28,125.00	5,500	18,333.33	700	5,384.61	1,200	27,272.72	11,000	5,500.00	11,000	2,000.00
18,000	47,368.42	1,100	34,375.00	5,200	17,333.33	1,200	9,230.76	1,200	27,272.72	11,000	17,187.50	11,000	8,593.75
18,000	47,368.42	1,200	37,500.00	5,100	17,000.00	1,300	10,000.00	1,400	31,818.18	11,000	17,187.50	11,000	8,593.75
17,000	44,736.84	1,100	34,375.00	5,000	16,666.66	1,300	10,000.00	1,200	27,272.72	11,000	17,187.50	11,000	8,593.75
17,000	44,736.84	1,100	34,375.00	6,400	21,333.33	1,300	10,000.00	1,200	27,272.72	13,000	20,312.50	17,000	13,281.25
17,000	44,736.84	1,300	40,625.00	7,000	23,333.33	1,300	10,000.00	1,100	25,000.00	15,000	23,437.50	17,000	3,090.96
17,000	44,736.84	1,300	40,625.00	6,800	22,666.66	1,300	10,000.00	1,300	29,545.45	17,000	26,562.50	20,000	15,625.00
19,000	50,000.00	1,400	43,750.00	7,200	24,000.00	2,000	15,384.51	1,300	29,545.45	20,000	31,250.00	20,000	3,836.36
19,000	50,000.00	1,600	50,000.00	7,200	24,000.00	2,000	19,230.77	1,500	34,090.90	28,000	43,750.00	20,000	15,625.00



(129) 서울市都賣

Indexes of Wholesale

(Continued)

	科 TEXTILE PRODUCTS						織					
	綿 絲 Cotton Yarn		生 絲 Raw Silk Yarn		人 絹 絲 Rayon Yarn		廣 木(粗布) Sheeting Cotton Tissues		內廣木(輕粗布) Coarse Sheetting Cotton Tissues		生細布(唐木) Coarse European Sheet. Cot. Tis.	
	20番手 40玉 20s 40 Roll		D格 28中 1貫 D 3-75 Kg 28 Denier		120吋 100封 120 Denier 45.36 Kg		1 疋 1 Series (40 YD)		1 疋 1 Series (40 YD)		1 號 1疋 1 Series (40 YD)	
	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index
1936年月平均 1936. Monthly Av.	200	100.00	43	100.00	62	100.00	8.20	100.90	7.20	100.00	8.56	100.00
1945. 8 Aug.	700	350.00 100.00	200	416.66 100.00	190	304.00 100.00	250	3,048.78 100.00	120	1,666.67 100.00	230	2,686.91 100.00
9 Sept.	700	350.00 100.00	200	416.66 100.00	190	304.00 100.00	500	6,097.56 200.00	250	3,472.22 208.00	230	2,686.91 100.00
10 Oct.	1,000	500.00 142.86	200	416.66 100.00	500	800.00 263.16	600	7,317.87 240.00	380	5,277.78 136.67	370	4,322.43 160.87
11 Nov.	3,000	1,500.00 428.57	500	1,041.66 250.00	700	1,120.00 383.42	650	7,926.82 260.00	475	6,597.22 365.83	400	4,172.89 173.81
12 Dec.	7,000	3,500.00 1,000.00	800	1,666.66 400.00	1,000	1,600.00 526.32	800	9,756.09 320.00	600	8,333.33 500.00	500	5,841.12 217.39
1946. 1 Jan.	10,000	5,000.00 1,428.57	900	1,875.00 450.00	1,100	1,760.00 578.95	900	10,975.60 360.00	800	11,111.11 666.67	950	11,098.13 413.07
2 Feb.	12,000	6,000.00 1,714.29	1,000	2,083.33 500.00	1,200	1,920.00 631.53	1,000	12,195.12 400.00	900	12,500.00 750.00	1,000	11,682.24 434.78
3 Mar.	20,000	1,000.00 2,857.71	1,700	3,541.66 850.00	2,500	4,000.00 1,315.79	2,300	28,048.78 920.00	1,350	18,750.00 1,125.00	1,950	22,780.37 847.83
4 Apr.	26,000	13,000.00 3,174.29	2,000	4,166.66 1,000.00	2,500	4,000.00 1,315.79	2,000	24,390.24 800.00	1,500	20,833.33 1,250.00	1,900	1,900.26 826.09
5 May	27,000	13,500.00 3,857.14	2,100	4,357.00 1,050.02	5,000	8,000.00 2,631.59	1,900	23,170.73 706.00	1,350	18,750.00 1,125.00	1,600	18,691.58 695.65
6 June	30,000	15,000.00 4,285.71	2,200	4,583.33 1,100.02	6,000	9,600.00 3,157.39	2,200	2,682.92 830.00	1,350	618.75 1,125.00	1,900	0,022.19 826.09
7 July	34,000	17,000.00 4,857.14	2,300	4,791.66 1,150.02	6,000	9,600.00 3,157.39	1,900	13,170.73 760.00	1,000	20,833.33 1,250.00	1,700	19,857.81 739.15
8 Aug.	53,000	26,500.00 7,571.43	3,400	7,083.33 1,700.03	10,000	1,600.00 5,263.16	2,500	30,487.83 1,000.00	2,000	27,777.77 1,666.69	2,200	25,700.70 25,900.90
9 Sept.	70,000	35,000.00 10,000.00	4,500	9,375.00 2,250.04	15,000	24,000.00 7,894.74	3,000	36,585.36 1,200.00	2,200	30,555.56 1,333.33	2,500	29,250.00 1,036.96
10 Oct.	95,000	47,500.00 13,571.43	5,300	11,041.66 2,650.04	17,000	27,200.00 8,947.37	3,600	43,932.43 1,440.00	2,850	39,583.33 2,375.00	4,500	40,303.75 1,500.00
11 Nov.	40,000	20,000.00 5,000.00	6,000	12,500.00 3,000.00	28,000	44,800.00 14,736.34	4,500	54,878.04 1,300.00	4,000	55,555.56 3,333.35	4,100	47,897.10 1,632.61
12 Dec.	206,000	100,000.00 28,571.43	9,000	18,750.00 4,500.07	40,000	64,000.00 21,052.63	6,500	79,268.29 2,600.00	5,500	76,388.89 4,583.33	6,000	70,093.45 2,603.70
1947. 1 Jan.	200,000	100,000.00 28,571.43	13,500	28,125.00 6,750.11	40,000	64,000.00 21,052.63	8,500	103,658.53 3,400.00	6,500	90,277.78 5,416.67	8,000	93,457.94 3,478.27
2 Feb.	200,000	100,000.00 28,571.43	12,000	25,000.00 6,000.10	40,000	64,000.00 21,052.63	8,000	97,560.97 3,200.00	7,000	97,222.22 5,833.33	8,000	93,457.94 3,478.27
3 Mar.	190,000	95,000.00 27,142.86	12,000	25,000.00 6,000.10	40,000	64,000.00 21,052.63	7,000	85,365.85 2,900.00	5,500	76,388.89 4,583.33	7,000	81,775.70 3,043.48
4 Apr.	1,000,000	85,000.00 24,285.71	8,500	17,708.33 4,250.07	35,000	56,000.00 18,421.05	6,500	79,268.29 2,690.00	5,000	69,444.44 4,166.67	6,500	75,934.57 2,826.09
5 May	190,000	95,000.00 27,142.86	9,000	18,750.00 4,166.67	40,000	64,000.00 21,052.63	7,000	85,365.85 2,900.00	5,000	69,444.44 4,166.67	6,500	75,934.57 2,826.09
6 Ju	200,000	100,000.00 28,571.43	9,000	18,750.00 4,500.07	40,000	64,000.00 21,052.63	7,500	91,463.41 3,000.00	5,500	76,388.89 4,583.33	6,500	75,934.57 2,826.09
7. July	250,000	115,000.00 32,857.14	9,500	19,791.66 4,750.07	50,000	80,000.00 26,315.79	7,500	91,463.41 3,000.00	5,500	76,388.89 4,583.33	6,500	75,934.57 2,826.09
8 Aug.	230,000	115,000.00 32,857.14	12,000	25,000.00 6,000.10	60,000	96,000.00 31,587.95	8,000	97,560.97 3,190.00	6,500	90,277.78 5,416.67	7,000	81,775.70 3,043.48
9 Sept.	250,000	125,000.00 35,714.29	15,000	31,250.00 7,500.12	70,000	112,000.00 36,842.11	9,000	109,756.09 600.00	7,500	104,166.67 6,250.00	8,000	93,457.94 3,478.27
10 Oct.	250,000	125,000.00 35,714.29	15,000	31,250.00 7,500.12	70,000	112,000.00 36,842.11	11,000	134,146.34 4,400.00	9,000	125,000.00 7,500.00	10,000	116,822.43 4,347.34
11 Nov.	350,000	175,000.00 50,000.00	16,000	33,333.33 8,000.00	90,000	144,000.00 47,368.42	12,000	146,341.46 4,800.00	10,000	138,888.89 8,333.33	11,000	128,504.67 4,782.60
12 Dec.	600,000	300,000.00 85,714.28	22,000	45,833.33 11,000.00	100,000	176,000.00 57,894.73	17,000	207,317.07 6,800.00	15,000	208,333.33 12,500.00	16,000	186,915.68 6,956.57

物價調查表(其三)  
Prices in Seoul (III)

In Won.

物 TEXTILE PRODUCTS

王洋木 Sirting Cotton		四綾(木細累) Iwills		寸 Flannel		洋綾 Japanese Satin		毛本綾 Chinese Silk		法綾 Buldan Silk		紋紫美紗 Jamisa Silk	
1級 1疋 1st Class (40 YD)		2級 1疋 2nd Class (1 YD)		1級 兩面 1疋 1st Class (40 YD)		1級 1疋(25碼) 1st Class (25 YD)		1級 1疋(15碼) 1st Class (15 YD)		1級 1疋(15碼) 1st Class (15 YD)		1級 1疋(15碼) 1st Class (15 YD)	
平均價 Av. P.	指數 Index	平均價 Av. P.	指數 Index	平均價 Av. P.	指數 Index	平均價 Av. P.	指數 Index	平均價 Av. P.	指數 Index	平均價 Av. P.	指數 Index	平均價 Av. Price	指數 Index
1185	100.00	028	100.00	13.63	100.00	55	100.00	1935	100.00	1520	100.00	9.21	100.00
240	2,025.32 100.00	7.50	2,678.57 100.00	200	1,567.35 100.00	750	1,363.64 100.00	500	2,518.89 100.00	350	2,302.63 100.00	100	1,085.78 100.00
450	3,797.47 187.50	15	5,357.14 200.00	430	3,521.64 240.00	800	1,454.54 106.67	600	3,022.67 120.00	600	3,947.36 171.43	150	1,628.66 150.00
550	4,641.35 229.17	25	8,928.57 333.33	550	4,035.22 275.00	1,500	2,727.27 200.00	700	3,526.45 140.00	700	4,605.26 200.00	220	2,388.12 220.00
580	4,894.51 241.67	30	10,714.29 400.00	600	4,402.05 300.00	3,500	6,763.64 466.67	1,500	7,556.68 300.00	900	5,921.05 257.14	350	3,800.22 350.00
690	5,822.78 287.50	35	12,500.00 466.67	750	5,502.57 375.00	8,500	15,454.55 1,133.33	3,000	15,113.35 600.00	1,500	9,868.42 428.57	600	6,541.66 600.00
880	7,426.16 366.67	45	16,071.43 600.00	900	6,603.08 450.00	9,000	16,363.64 1,200.00	3,000	15,113.35 600.00	2,600	7,105.26 742.36	750	8,143.32 750.00
1,100	9,282.70 453.33	50	17,857.14 666.67	1,000	7,336.76 500.00	9,000	16,363.64 1,200.00	2,800	14,103.79 560.00	2,600	17,105.26 742.86	750	8,143.32 750.00
3,200	27,004.22 1,333.33	60	21,428.57 800.00	2,000	14,673.51 1,000.00	10,000	13,181.82 1,333.33	3,000	16,123.91 640.00	2,600	17,105.26 742.86	1,050	11,400.65 1,050.00
3,000	25,316.46 1,250.00	55	19,642.86 733.33	2,000	14,673.51 1,000.00	9,000	16,363.64 1,200.00	3,200	16,123.91 640.00	2,500	16,447.36 714.29	1,050	11,400.65 1,050.00
3,000	25,316.46 1,250.00	50	17,857.14 666.67	1,700	12,472.49 850.00	7,500	13,636.36 1,000.00	2,550	12,846.35 510.00	2,250	14,802.63 642.86	1,050	11,400.65 1,050.00
3,200	27,004.22 1,333.33	55	19,642.86 733.33	1,900	13,939.84 950.00	7,000	12,727.27 933.33	2,200	11,083.12 440.00	2,025	13,322.36 578.57	945	10,260.59 945.00
3,000	25,316.46 1,250.00	55	19,642.86 733.33	1,900	13,939.84 950.00	7,000	12,727.27 932.33	2,200	11,083.12 440.00	2,025	13,322.36 578.57	945	10,260.59 945.00
3,000	25,316.46 1,250.00	70	25,000.00 933.33	2,400	17,608.22 1,200.00	10,500	19,993.91 1,400.00	3,750	18,891.69 750.00	3,000	19,736.84 857.64	1,650	17,915.13 1,650.00
4,000	33,735.27 1,666.67	80	28,571.43 1,066.67	3,600	26,412.33 1,800.00	12,500	22,727.27 1,696.67	4,500	22,670.02 900.00	4,050	26,644.73 1,157.14	2,250	24,429.97 2,250.00
4,800	40,506.33 2,000.00	110	39,285.71 1,466.67	6,000	44,020.54 3,000.00	18,750	34,090.91 2,500.00	7,350	37,027.71 1,470.00	6,600	43,421.05 1,885.72	4,050	43,973.94 4,050.00
6,800	57,383.97 2,933.33	115	41,071.43 1,533.33	8,000	58,694.06 4,000.00	23,750	43,181.82 3,166.67	8,550	43,073.05 1,710.00	6,750	44,407.89 1,928.57	4,200	45,602.61 4,200.00
8,000	67,510.55 3,333.33	270	96,428.57 3,600.00	10,000	73,367.57 5,000.00	37,500	68,181.82 5,000.00	12,300	61,964.74 2,460.00	9,750	64,144.73 2,785.72	6,750	73,289.90 6,750.00
10,000	84,388.19 4,166.67	300	107,142.86 4,000.00	14,000	102,714.60 7,000.00	42,250	76,818.18 5,633.33	12,750	64,231.74 2,550.00	11,250	74,013.15 3,214.29	9,750	105,853.19 9,750.00
12,000	101,265.82 5,000.00	370	132,141.86 4,933.33	15,000	110,051.36 7,500.00	40,000	72,727.27 5,333.33	11,250	56,675.06 2,250.00	9,750	64,144.73 2,785.72	9,750	105,863.19 9,750.00
12,000	101,265.82 5,000.00	320	114,285.71 4,266.67	14,000	102,714.60 7,000.00	35,000	63,636.36 4,666.67	10,500	52,896.73 2,100.00	9,000	59,210.52 2,571.43	9,000	97,919.87 9,000.00
10,000	84,388.19 4,166.67	270	96,428.57 3,600.00	12,000	88,041.09 6,000.00	30,000	54,545.45 4,000.00	9,600	48,362.72 1,920.00	9,000	59,210.52 2,571.43	7,500	81,433.22 7,500.00
12,000	101,265.82 5,000.00	300	107,142.86 4,000.00	12,000	88,041.09 6,000.00	30,000	54,545.45 4,000.00	9,600	48,362.72 1,920.00	9,000	59,210.52 2,571.43	7,500	81,433.22 7,500.00
12,000	101,265.82 5,000.00	300	107,142.86 4,000.00	12,000	88,041.09 6,000.00	30,000	54,545.45 4,000.00	10,000	50,377.83 2,000.00	9,000	59,210.52 2,571.43	7,300	79,261.67 7,300.00
12,000	101,265.82 5,000.00	280	103,000.00 3,733.33	12,000	88,041.09 7,000.00	30,000	54,545.45 4,000.00	10,000	50,377.83 2,000.00	9,000	59,210.52 2,571.43	7,300	79,261.67 7,300.00
12,000	101,265.82 5,000.00	300	107,142.86 4,000.00	12,000	88,041.09 6,000.00	30,000	54,545.45 4,000.00	10,000	50,377.83 2,000.00	9,000	59,210.52 2,571.43	7,300	79,261.67 7,300.00
12,000	101,265.82 5,000.00	300	107,142.86 4,000.00	12,500	91,709.46 6,250.00	30,000	54,545.45 4,000.00	10,000	50,377.83 2,000.00	10,000	65,789.47 2,857.14	7,500	81,433.22 7,500.00
12,000	101,265.82 5,000.00	320	114,285.71 4,266.67	14,000	102,714.60 7,000.00	37,500	68,181.82 5,000.00	15,000	75,566.75 3,100.00	15,000	98,684.21 4,285.72	9,000	97,919.87 9,000.00
14,000	118,143.46 5,833.33	450	160,714.29 6,000.00	16,000	117,388.11 8,000.00	50,000	90,909.09 6,666.66	19,500	98,236.78 3,500.00	16,500	108,552.63 4,714.28	9,000	97,919.87 9,000.00
20,000	168,776.37 8,333.33	550	196,428.57 7,333.33	18,000	132,061.63 9,000.00	5,000	118,818.82 8,666.66	22,500	113,350.13 4,500.00	21,000	138,157.92 6,000.00	10,500	114,006.51 10,500.00

(129) 서울 市 都 賣  
Indexes of Wholesale

(Continued)

	TEXTILE PRODUCTS											
	熟 紫 Sookso Silk		하부 다이 Habootae Silk		交織平熟紫 Sookso mixtures of Silk and Rayon		高等人絹平織 Artificial Silk		人絹平織 Artificial Silk		麻 布 Hemp Yellow	
	國產 1疋(30碼) Home Made 1 Series (30YD)		國產 1疋(30碼) Home Made 1 Series (30YD)		國產 1疋(30碼) Home Made 1 Series (30YD)		國產 1疋(30碼) High Class 1 Series (30YD)		1級 1疋 (30碼) Middle Class 1 Series (30YD)		江原道 1疋 Kangwondo 1 Series	
	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index
1936年 月 平均 1936. Monthly Av.	18.87	100.00	22.00	100.00	4.40	100.00	3.86	100.00	3.30	100.00	2.65	100.00
1945. 8 Aug.	300	1,589.83 100.00	300	1,363.64 100.00	150	3,409.09 100.00	250	6,476.68 100.00	150	3,939.39 100.00	100	3,773.58 100.00
9 Sept.	0	2,649.71 166.67	400	1,818.18 133.33	200	4,545.45 133.33	300	7,772.02 120.00	180	5,454.55 133.46	150	5,660.37 150.00
10 Oct.		2,914.68 183.33	450	2,181.82 160.00	300	6,818.18 200.00	400	10,362.69 160.00	200	6,060.61 153.85	250	9,433.96 250.00
11 Nov.	640	3,391.63 213.33	520	2,363.64 173.33	350	7,954.55 233.33	500	12,953.37 200.00	250	7,575.76 192.31	300	11,320.75 300.00
12 Dec.	650	3,444.62 216.67	600	2,727.27 200.00	380	8,636.36 253.33	550	14,248.70 220.00	300	9,090.91 230.77	300	11,320.75 300.00
1946. 1 Jan.	690	3,656.60 230.00	650	2,954.54 216.67	380	8,636.36 253.33	600	15,544.04 240.00	350	10,606.06 269.23	350	13,207.54 350.00
2 Feb.	800	4,239.53 266.67	750	3,409.09 250.00	450	10,227.27 300.00	600	15,544.04 240.00	350	10,606.06 269.23	350	13,207.54 350.00
3 Mar.	1,000	5,299.42 333.33	950	4,318.18 316.67	540	12,272.73 350.00	700	18,134.72 280.00	500	15,151.52 334.62	350	13,207.54 350.00
4 Apr.	1,000	5,299.42 333.33	950	4,318.18 316.67	540	12,272.73 350.00	700	18,134.72 280.00	500	15,151.52 334.62	350	13,207.54 350.00
5 May	1,000	5,299.42 333.33	900	4,090.91 300.00	600	13,636.36 390.00	350	22,020.73 340.00	650	19,696.97 500.00	400	15,094.33 390.00
6 June	1,100	5,829.36 366.67	1,200	5,454.55 400.00	600	13,636.36 390.00	750	19,340.05 300.00	600	18,181.82 461.54	400	15,094.33 390.00
7 July	1,150	6,094.33 333.33	1,200	5,454.55 400.00	650	14,772.73 423.33	750	19,430.05 300.00	600	18,181.82 461.54	800	30,188.97 300.00
8 Aug.	1,850	8,744.04 550.00	1,800	8,181.82 600.00	1,440	32,727.27 960.00	1,500	38,890.10 600.00	1,350	40,999.09 1,038.44	800	30,188.67 800.00
9 Sept.	1,850	8,744.04 550.00	3,000	13,636.36 1,000.00	1,650	37,500.00 1,100.00	1,800	46,632.12 720.00	1,440	43,636.36 1,107.69	800	30,188.67 800.00
10 Oct.	2,550	13,513.51 850.00	3,300	15,000.00 1,100.00	1,950	44,318.18 1,300.00	2,700	69,948.19 1,030.00	2,400	72,727.27 1,846.16	800	30,188.67 800.00
11 Nov.	3,000	15,898.25 1,000.00	3,450	15,681.82 1,150.00	1,950	44,318.18 1,300.00	3,000	77,720.21 1,200.00	2,700	81,818.18 2,076.93	800	30,188.67 800.00
12 Dec.	4,200	22,257.55 1,400.00	4,200	19,090.91 1,400.00	2,250	51,136.36 1,500.00	4,200	108,808.29 1,680.00	3,600	109,090.91 2,769.24	800	30,188.67 800.00
1947. 1 Jan.	4,300	25,437.20 1,600.00	4,800	19,512.20 1,600.00	2,700	61,363.64 1,800.00	5,700	147,668.34 2,280.00	4,800	145,454.55 3,692.31	1,300	49,056.60 1,300.00
2 Feb.	4,650	24,642.29 1,550.00	5,100	20,731.71 1,700.00	3,000	68,181.82 2,000.00	4,800	124,352.33 1,920.00	4,200	127,272.73 3,230.77	1,500	56,603.77 1,400.00
3 Mar.	4,200	22,237.55 1,400.00	4,500	18,292.68 1,500.00	3,000	68,181.82 2,000.00	4,800	124,352.33 1,920.00	4,050	122,727.27 3,115.39	1,300	49,056.60 1,300.00
4 Apr.	3 00	18,547.96 1,166.67	4,200	17,073.17 1,400.00	2 600	59,090.91 1,733.33	4,500	116,580.31 1,800.00	3,300	118,181.82 3,000.00	1,000	37,735.84 1,090.00
5 May	3 900	20,667.73 1,300.00	4,200	17,073.17 1,400.00	2,700	61,363.64 1,800.00	4,500	116,580.31 1,800.00	3,900	118,181.82 3,000.00	1,300	49,056.60 1,300.00
6 June	3,900	20,667.73 1,300.00	4,200	17,073.17 1,400.00	2,700	61,363.64 1,800.00	4,800	124,352.33 1,920.00	4,200	127,272.73 3,230.77	1 00	56,603.77 1,400.00
7 July	4,000	21,197.67 1,333.33	4,200	17,073.17 1,400.00	2,700	61,363.64 1,800.00	5,100	132,124.35 2,040.00	4,500	136,393.64 3,461.54	1,500	56,603.77 1,400.00
8 Aug.	4,200	22,237.55 1,400.00	4,200	17,073.17 1,400.00	2,800	63,636.36 1,866.67	5,200	134,715.03 2,080.00	4,300	145,454.54 3,692.31	1 300	49,056.60 1,300.00
9 Sept.	4,300	25,437.20 1,600.00	4,300	21,818.18 1,600.00	3,000	68,181.82 2,000.00	5,700	147,668.39 2,280.00	4,300	145,454.54 3,692.31	1 300	49,056.60 1,300.00
10 Oct.	5,400	28,616.85 1,800.00	4,800	21,818.18 1,600.00	3,300	75,000.00 2,200.00	6,000	155,440.41 2,400.00	5,100	154,545.45 3,923.08	1,300	49,056.60 1,300.00
11 Nov.	6,000	31,796.50 2,000.00	5,100	23,181.82 1,700.00	4,200	95,454.54 2,800.00	6,600	170,984.46 2,640.00	5,700	172,727.27 4,384.61	2,200	83,018.86 2,200.95
12 Dec.	8,400	44,515.10 2,800.00	7,800	35,454.55 2,600.00	6,000	136,363.63 4,000.00	6,600	170,984.46 2,640.00	6 000	181,818.18 4,615.38	2,300	86,762.45 2,300.00

物價調查表(其四)
Prices in Seoul (IV)

In Won

Table with columns for Hemp White, Blue Serge, Timber, Board, Cement, Bricks, and Glass Plate. Each column contains sub-columns for average price and index, with specific product details and prices listed in Won.

(129) 市 售 市 都 賣  
Indexes of Wholesale

(Continued)

	METALS AND PRODUCTS													
	亞 鉛 板 Z c-Plate		平 鐵 Iron Plate		丸 鐵 Iron Bar		角 鐵 Angle		鐵 釘 Nails		鐵 線 Iron Wire		銅 Copper	
	浪 板 1 張 1 Sheet		6耗×25耗1噸 6MM×25MM 1,000 Kg		16 耗 1 噸 16MM 1,000Kg		16耗×20耗1噸 16MM×20MM 1,000 Kg		3吋 1000斤 3 Inch 60 Kg		# 8 50 耗 # 8 50 Kg		電氣銅 Electro lytic	
	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index	平均價 Av.P.	指 數 Index
1936年月平均 936. Monthly Av.	0 67	100.00	116	100.00	103	100.00	111	100.00	8.91	100.00	6.20	100.00	505	
1945. 8 Aug.	18	2,685.56 100.00	950	818.96 100.00	350	339.80 100.00	300	270.27 100.00	100	1,122.33 100.00	100	1,612.90 100.00	4,000	
9 Sept.	25	3,731.43 138.89	950	818.96 100.00	350	339.80 100.00	300	270.27 100.00	100	1,122.33 100.00	100	1,612.90 100.00	4,000	
10 Oct.	30	4,477.61 166.67	1,400	1,206.89 147.37	800	776.69 228.57	700	630.63 233.33	250	2,805.83 250.00	150	2,419.35 150.00	4,500	
11 Nov.	50	7,462.68 277.78	1,400	1,206.89 147.37	1,000	970.87 285.72	1,000	909.09 336.36	400	4,489.33 390.00	250	4,032.25 250.00	5,000	
12 Dec.	70	10,447.76 383.89	2,300	1,982.75 242.11	1,100	1,067.96 314.29	1,100	990.99 366.67	450	5,050.50 450.00	300	4,838.70 300.00	6,000	
1946. 1 Jan.	70	10,447.76 383.87	2,800	2,413.79 294.74	1,400	1,359.22 400.01	1,400	1,261.26 466.67	550	6,172.83 550.00	350	5,645.16 350.00	8,000	
2 Feb.	80	11,940.29 444.45	2,800	2,413.79 294.74	1,700	1,650.48 485.72	1,700	1,531.53 566.67	650	7,295.17 640.00	450	7,258.06 440.00	10,000	
3 Mar.	90	13,432.83 600.00	3,300	2,844.82 347.37	2,300	2,230.00 657.15	2,000	1,801.80 666.67	1,100	12,345.67 1,100.00	500	8,064.51 490.00	11,000	
4 Apr.	110	16,417.91 611.11	4,200	3,620.68 442.11	3,300	3,203.83 942.86	4,000	3,603.60 1,333.33	1,600	17,957.35 1,600.01	600	9,677.42 598.00	15,000	
5 May	200	29,850.74 1,111.11	5,000	4,310.34 526.32	4,500	4,368.93 1,285.74	5,000	4,504.50 1,666.67	1,900	21,324.35 1,900.01	800	12,903.22 800.00	15,000	
6 June	220	32,835.82 1,222.23	5,000	4,310.34 526.32	4,500	4,368.93 1,285.74	5,000	4,504.50 1,666.67	2,000	22,446.68 2,000.00	1,100	17,741.93 1,100.00	13,000	
7 July	230	34,328.35 1,277.78	5,300	4,568.96 557.90	4,500	4,368.93 1,285.74	5,300	4,774.77 1,766.67	2,000	22,446.68 2,000.00	1,200	19,354.83 1,190.00	16,000	
8 Aug.	240	35,320.89 1,333.33	5,300	4,568.96 557.90	4,700	4,563.10 1,342.88	5,300	4,774.77 1,766.67	1,800	20,202.02 1,800.01	1,300	20,967.74 1,300.00	18,000	
9 Sept.	260	38,805.97 1,444.44	6,000	5,172.41 631.58	5,100	4,951.45 1,457.17	5,700	5,135.13 1,900.00	2,100	23,569.02 2,100.91	1,500	24,193.54 1,500.00	18,500	
10 Oct.	270	40,298.50 1,500.00	6,000	5,172.41 631.58	5,150	5,000.00 1,471.45	5,700	5,135.13 1,900.00	2,600	29,180.61 2,600.01	2,000	32,258.06 2,000.00	20,000	
11 Nov.	320	47,761.19 1,777.78	6,000	5,172.41 631.58	5,300	5,145.63 1,514.31	6,000	5,405.40 2,000.00	3,500	39,281.70 3,500.00	2,000	32,258.06 2,000.00	35,000	
12 Dec.	600	89,552.23 3,333.33	7,000	6,034.48 736.85	6,000	5,825.24 1,714.31	7,000	6,306.30 2,333.33	4,500	50,505.05 4,500.02	2,300	37,096.77 2,300.00	45,000	
1947. 1 Jan.	600	89,552.23 3,333.33	9,500	8,189.65 1,000.00	10,000	9,708.73 2,857.19	10,000	9,009.00 333.33	6,000	67,340.06 6,000.02	2,500	40,322.58 2,490.00	65,000	
2 Feb.	750	111,940.29 4,166.68	10,000	8,620.68 1,052.64	11,000	10,679.61 3,142.91	11,000	9,909.90 3,666.67	6,500	72,951.73 6,500.02	2,500	40,322.58 2,490.00	75,000	
3 Mar.	750	111,940.29 4,166.68	12,000	10,344.82 1,263.17	12,000	11,650.48 3,428.63	11,000	9,909.90 3,666.67	6,000	67,340.06 6,000.02	4,500	72,580.64 4,400.00	70,000	
4 Apr.	750	111,940.29 4,166.68	12,000	10,344.82 1,263.17	12,000	11,650.48 3,428.63	10,000	9,009.00 3,333.33	6,000	67,340.06 6,000.02	3,500	56,451.61 3,500.01	45,000	
5 May	750	111,944.29 4,166.68	12,000	10,344.82 1,263.17	12,000	11,650.48 3,428.63	10,000	9,009.00 3,333.33	6,000	67,340.06 6,000.02	3,300	53,225.80 3,200.01	50,000	
6 June	750	111,940.29 4,166.68	12,000	10,344.82 1,263.17	12,000	11,650.48 3,428.63	10,000	9,009.00 3,333.33	6,000	67,340.06 6,000.02	3,300	53,225.80 3,200.01	50,000	
7 July	800	119,402.98 4,444.46	12,000	10,344.82 1,263.17	12,000	11,650.48 3,428.63	10,000	9,009.00 3,333.33	6,000	67,340.06 6,000.02	3,500	56,451.61 3,400.01	65,000	
8 Aug.	800	119,402.98 4,444.46	12,000	10,344.82 1,263.17	12,000	11,650.48 3,428.63	10,000	9,009.00 3,333.33	6,000	67,340.06 6,000.02	4,000	64,516.12 4,000.01	75,000	
9 Sept.	1,000	149,253.37 5,555.57	13,000	11,206.89 1,368.43	13,000	12,621.35 3,714.35	12,000	10,810.81 4,000.00	6,500	72,951.73 6,500.02	4,000	64,516.12 4,000.01	85,000	
10 Oct.	1,300	194,029.85 7,222.24	15,000	12,931.03 1,578.96	15,000	14,560.10 4,285.79	13,000	11,711.71 4,333.34	7,000	78,863.41 6,900.02	4,500	72,580.64 4,500.01	48,000	
11 Nov.	1,300	194,029.85 7,222.24	18,000	15,517.24 1,894.73	18,000	17,475.72 5,142.85	15,000	13,513.51 5,000.00	7,000	78,563.41 6,900.02	5,000	80,645.16 5,000.00	90,000	
12 Dec.	1,300	194,029.85 7,222.24	18,000	15,517.24 1,894.73	18,000	17,475.72 5,142.85	15,000	13,513.51 5,000.00	7,000	78,563.41 6,900.02	5,000	80,645.16 5,000.00	110,000	

物價調查表 (其五)
Prices in Seoul (V)

In Won

Table with columns for Ingot, Pig Iron, Coal, Briquet, Charcoal, Fire Wood, Petroleum, and Gasoline. Each column contains multiple rows of price and index data.

(129) 서울 市 都 賣  
Indexes of Wholesale

(Continued)

	FERTILIZER						CHEMICALS				洗濯 Laundering dry		
	大豆粕 Oil Cake (Bean)		硫酸安 Ammonium Sulphate		配合肥料 Fertilizers Mixed		酒精 Denatured Alcohol		硫酸 Sulphuric Acid			苛性曹達 Caustic Soda	
	1 張 1 Sheet	1 0 貫 37.5 Kg	1 0 貫 37.5 Kg	1 0 貫 37.5 Kg	1 0 貫 37.5 Kg	1 0 貫 37.5 Kg	工業用 1 罐 1 Can	66度 (45Kg) 66° 45 Kg	1 0 貫 (375磅) 1 Drum (375 Kg)	1 0 貫 (375磅) 1 Drum (375 Kg)		國產 Home Made	
平均價 Av.P.	指數 Index	平均價 Av.P.	指數 Index	平均價 Av.P.	指數 Index	平均價 Av.P.	指數 Index	平均價 Av.P.	指數 Index	平均價格 Av. Price	指數 Index	平均價 Av.P.	
1936年月平均 1936. Monthly Av.	2.30	103.00	3.90	100.00	2.20	100.00	4.20	100.00	5	100.00	14	100.00	7
1945. 8 Aug.	20	869.57 100.00	60	1,538.46 100.00	25	1,136.36 100.00	300	7,142.86 100.00	170	3,400.00 100.00	3,000	21,428.57 100.00	200
9 Sept.	20	869.57 100.00	60	1,538.46 100.00	50	2,272.72 200.00	300	7,142.86 100.00	170	3,400.00 100.00	2,500	17,857.14 83.33	250
10 Oct.	30	1,304.35 150.00	90	2,307.69 150.00	80	3,636.36 320.00	400	9,523.81 133.33	220	4,400.00 129.41	2,000	14,285.71 66.67	300
11 Nov.	35	1,521.74 175.00	125	3,205.13 203.33	100	4,636.36 400.00	420	10,000.00 140.00	300	6,000.00 176.47	1,000	7,142.86 33.33	300
12 Dec.	50	2,173.91 250.00	130	3,333.33 216.67	120	5,454.54 480.00	450	10,714.29 150.00	350	7,000.00 205.88	5,000	35,714.29 166.67	500
1946. 1 Jan.	55	2,391.30 275.00	150	3,846.15 250.00	150	6,818.18 600.00	480	11,428.57 160.00	400	8,000.00 235.29	6,000	42,857.14 200.00	500
2 Feb.	60	2,608.70 300.00	300	7,692.31 500.00	150	6,818.18 600.00	500	11,904.76 166.67	500	10,000.00 294.12	7,000	50,000.00 233.33	900
3 Mar.	90	3,913.04 450.00	450	11,538.46 750.00	200	9,090.90 800.00	700	16,666.66 233.33	700	12,000.00 352.94	10,000	71,428.57 333.33	1,200
4 Apr.	170	7,391.30 850.00	800	20,512.82 1,323.33	300	13,636.36 1,200.00	700	16,666.66 233.33	800	16,000.00 470.59	15,000	107,142.86 500.00	2,300
5 May	200	8,695.65 1,000.00	1,300	33,333.33 2,166.67	700	31,818.18 2,800.00	700	16,666.66 233.33	800	16,000.00 470.59	13,000	92,857.14 433.33	2,000
6 June	250	10,869.57 1,249.99	1,300	32,333.33 2,166.67	700	31,818.18 2,800.00	750	17,857.14 250.00	900	18,000.00 529.41	10,500	75,000.00 350.00	1,900
7 July	250	10,869.57 1,249.99	1,200	30,769.23 2,000.00	700	31,818.18 2,800.00	750	17,857.14 250.00	1,100	22,000.00 647.06	8,000	57,142.86 266.67	1,500
8 Aug.	250	10,869.57 1,249.99	1,200	30,769.23 2,000.00	700	31,818.18 2,800.00	750	17,859.14 250.00	1,200	24,000.00 705.88	11,000	78,571.43 366.67	1,100
9 Sept.	250	10,869.57 1,249.99	1,200	30,679.23 2,000.00	700	31,818.18 2,800.00	750	17,857.14 250.00	1,200	24,000.00 705.88	13,000	92,857.14 433.33	1,100
10 Oct.	250	10,869.57 1,249.99	1,200	30,769.23 2,000.00	700	31,818.18 2,800.00	900	21,428.57 300.00	1,300	26,000.00 764.71	13,000	92,857.14 433.33	1,100
11 Nov.	250	10,869.57 1,249.99	1,200	30,769.23 2,000.00	700	31,818.18 2,800.00	1,000	23,809.52 333.33	1,500	30,000.00 882.35	14,000	100,000.00 466.67	1,100
12 Dec.	250	10,869.57 1,249.99	1,200	30,769.23 2,000.00	700	31,818.18 2,800.00	1,300	30,952.38 433.33	1,800	36,000.00 1,058.82	16,000	114,285.71 533.33	1,100
1947 1 Jan.	250	10,869.57 1,249.99	1,200	30,769.23 2,000.00	700	31,818.18 2,800.00	1,500	35,714.29 500.00	2,000	40,000.00 1,176.47	20,000	142,857.14 666.67	1,100
2 Feb.	250	10,869.57 1,249.99	1,200	30,769.23 2,000.00	700	31,818.18 2,800.00	1,800	42,857.14 600.00	2,800	56,000.00 1,647.26	22,000	157,142.86 733.33	7,000
3 Mar.	400	17,391.30 1,999.99	2,000	51,282.05 3,333.34	800	36,363.63 3,200.00	2,600	61,904.76 866.67	3,000	60,000.00 1,764.71	35,000	250,000.00 1,166.67	10,000
4 Apr.	400	17,391.30 1,999.99	2,300	58,974.36 3,833.34	1,000	46,363.63 4,000.00	2,500	53,523.81 833.33	3,200	64,000.00 1,882.35	30,000	214,285.71 1,000.00	9,000
5 May	400	17,391.30 1,999.99	2,500	64,102.59 4,166.67	1,000	46,363.63 4,000.00	3,000	71,428.57 1,000.00	4,000	80,000.00 2,352.94	35,000	250,000.00 1,166.67	3,500
6 June	400	17,391.30 1,999.99	2,800	66,666.66 4,333.34	1,000	46,363.63 4,000.00	3,300	78,571.43 1,010.00	7,500	150,000.00 4,411.76	40,000	258,714.29 1,332.33	3,500
7 July	400	17,391.30 1,999.99	2,600	66,666.66 4,333.34	1,000	46,363.63 4,000.00	2,800	66,666.66 933.33	7,500	150,000.00 4,411.76	46,000	328,571.43 1,532.33	9,500
8 Aug.	400	17,391.30 1,999.99	2,600	66,666.66 4,333.34	1,000	46,363.63 4,000.00	2,800	66,666.66 933.33	8,000	160,000.00 4,705.88	50,000	357,142.86 1,666.67	12,000
9 Sept.	400	17,891.30 1,999.99	2,600	66,666.66 4,333.34	1,000	46,363.63 4,000.00	2,800	66,666.66 933.33	8,000	160,000.00 4,705.88	70,000	500,000.00 2,333.33	13,000
10 Oct.	400	17,891.30 1,999.99	2,600	66,666.66 4,333.34	1,000	46,363.63 4,000.00	2,800	66,666.66 933.33	7,000	140,000.00 4,117.65	90,000	642,857.14 3,000.00	13,000
11 Nov.	400	17,891.30 1,999.99	3,000	76,923.08 5,000.01	1,000	46,363.63 4,000.00	3,300	78,571.43 1,010.00	6,500	130,000.00 3,823.53	120,000	837,142.86 4,000.00	14,000
12 Dec.	400	17,891.30 1,999.99	3,000	76,923.08 5,000.01	1,000	46,363.63 4,000.00	3,500	83,333.33 1,166.66	6,200	124,000.00 3,647.05	150,000	1,017,142.86 5,000.00	13,000

物價調查表 (其六)
Prices in Seoul (VI)

In Won

Table with columns for Soap, Leather, Paper, Matches, Paint, Rubber Shoes, Cotton, and Socks. Each column contains multiple rows of price and index data.



(130) 서울市生活必需

Index of Retail

指數基準 (1) 1936年月平均(고지子體印刷)  
(2) 1945年8月下旬平均

	穀 物 GRAINS											
	白米 Cleaned Rice		大豆 Soy Bean		小豆 Red Bean		小麦 Wheat		大麦 Barley		粟 Millet	
	二等一斗 2nd Class, 18L		黄豆一斗 Yellow, 18L		赤豆一斗 18L		一等一斗 1st Class, 18L		二等一斗 2nd Class, 18L		國産品1等1斗 1st Class, 18L	
	平均價格 Av. Price	指數 Index	平均價格 Av. Price	指數 Index	平均價格 Av. Price	指數 Index	平均價格 Av. Price	指數 Index	平均價格 Av. Price	指數 Index	平均價格 Av. Price	指數 Index
1936年月平均 1936. Monthly Av.	100.00		100.00		100.00		100.00		100.00		100.00	
1945. 8 Aug.	220 6,285.71		45 1,875.00		140 3,500.00		80 4,102.56		60 7,058.82		65 3,300.00	
9 Sept.	110 3,142.86		50 2,083.33		120 3,000.00		70 3,589.74		50 5,882.35		66 3,300.00	
10 Oct.	75 3,142.86		60 2,500.00		110 2,750.00		60 3,076.92		50 5,882.35		66 3,300.00	
11 Nov.	11 3,200.00		80 3,333.33		145 3,625.00		50 4,615.38		50 5,882.35		66 3,300.00	
12 Dec.	104 2,971.43		90 3,750.00		170 4,250.00		120 6,153.85		55 6,470.59		88 4,400.00	
1946. 1 Jan.	180 5,142.86		110 4,583.33		220 5,500.00		120 6,153.85		80 9,441.76		155 7,750.00	
2 Feb.	320 9,142.85		120 5,000.00		280 7,000.00		120 6,153.85		125 14,705.88		200 10,000.00	
3 Mar.	300 17,142.85		320 13,333.33		530 13,250.00		350 17,948.72		220 25,882.35		200 10,000.00	
4 Apr.	580 16,571.43		32 14,285.71		530 13,250.00		600 30,769.23		200 23,530.00		340 17,000.00	
5 May	500 14,285.71		300 12,500.00		580 14,500.00		600 30,769.23		200 23,529.40		340 19,000.00	
6 June	700 20,000.00		440 18,333.33		780 19,500.00		600 30,769.23		220 25,882.35		440 22,000.00	
7 July	920 26,285.71		450 18,750.00		840 21,000.00		570 29,230.76		350 41,176.47		440 22,000.00	
8 Aug.	940 26,857.14		490 20,416.66		830 22,000.00		570 29,230.76		360 42,352.94		440 22,000.00	
9 Sept.	1,200 34,285.71		480 20,000.00		1,000 25,000.00		580 29,743.58		400 47,058.82		550 27,550.00	
10 Oct.	860 24,571.42		450 18,750.00		880 20,000.00		460 24,864.64		340 40,000.01		430 21,500.00	
11 Nov.	680 19,028.57		400 16,666.66		600 15,000.00		400 20,512.82		300 35,294.27		400 20,000.00	
12 Dec.	860 24,571.42		530 22,283.33		750 18,750.00		360 18,461.33		350 41,176.47		450 22,500.00	
1947. 1 Jan.	1,060 30,285.72		760 31,666.66		860 21,500.00		420 21,538.46		400 47,058.96		450 22,500.00	
2 Feb.	1,040 29,714.23		740 30,833.33		960 24,000.00		460 24,864.64		400 47,056.66		450 22,500.00	
3 Mar.	960 27,427.57		740 30,833.33		960 24,000.00		500 25,641.02		400 47,058.96		430 21,500.00	
4 Apr.	880 25,142.85		740 30,833.33		900 22,500.00		460 24,864.64		330 38,823.52		500 25,000.00	
5 May	1,000 28,571.42		750 31,250.00		960 24,000.00		550 28,205.12		330 38,823.52		520 26,000.00	
6 June	1,280 36,571.42		760 31,666.66		1,150 28,750.00		630 34,871.79		370 43,529.41		600 31,500.00	
7 July	1,400 40,000.00		800 33,333.33		1,300 32,500.00		690 35,334.61		400 47,058.82		650 32,500.00	
8 Aug.	1,349 35,428.57		800 33,333.33		1,300 32,500.00		550 28,205.12		380 44,705.88		600 30,000.00	
9 Sept.	1,200 34,285.71		760 31,666.66		1,200 30,000.00		590 30,256.41		330 44,705.88		600 30,000.00	
10 Oct.	1,320 37,714.23		710 29,533.33		1,100 27,500.00		520 26,666.66		330 38,823.52		600 30,000.00	
11 Nov.	1,500 42,857.14		940 39,166.66		1,100 27,500.00		500 25,641.02		330 38,823.52		650 32,500.00	
12 Dec.	1,560 44,571.42		940 39,166.66		1,300 32,500.00		550 25,641.02		370 43,529.41		650 32,500.00	

品小賣物價調查表 (其一)  
Prices in Seoul (I)

Note:—1. 1936 Monthly Average = 100(Printed by Gothic Type)  
2. Average of last decade Aug 1945 = 100

In Won

		食 料 品 FOOD PRODUCTS											
荳 子 Sesame		醬 油 Soy Sauce		豆 漿 Bean Paste		糖 Sugar		鹽 Salt		荳 油 Sesame Oil		紅 粉 Red Pepper, Powder	
白荳子 一斗 White, 18L		一 種 (2立) 2L		一 級 一 貫 1st Class, 3.75Kg		精 白 一 斤 Refined, 600 g		再 鹽 一 升 Refined, 1.8L		一 級 一 種 (2立) 1st Class, 2L		一 級 一 升 1st Class, 1.8L	
均 價 格 Price	指 數 Index	平 均 價 Av. P.	指 數 Index	平 均 價 格 Av. Price	指 數 Index	平 均 價 格 Av. Price	指 數 Index	平 均 價 Av. P.	指 數 Index	平 均 價 格 Av. Price	指 數 Index	平 均 價 格 Av. Price	指 數 Index
	100.00		100.00		100.00		100.00	0.06	100.00	1.30	100.00		100.00
250	7,812.50 100.00	5	769.23 100.00	20	285.71 100.00	15	625.00 100.00	10	16,666.66 100.00	60	4,615.38 100.00	80	22,857.14 100.00
150	4,687.50 60.00	5	769.23 100.00	25	357.14 125.00	20	1,208.33 193.33	10	16,666.66 100.00	75	5,769.23 125.00	75	21,428.57 93.75
150	4,687.50 60.00	5	846.15 110.00	20	285.71 100.00	45	1,875.00 300.00	15	25,000.00 150.00	85	6,538.46 141.66	55	15,914.28 68.75
130	5,625.00 72.00	6	923.03 120.31	20	285.71 100.00	55	2,291.67 366.67	15	25,000.00 150.00	90	6,923.07 150.00	55	15,714.28 68.75
290	9,062.50 116.00	6	1,000.00 130.00	20	285.71 100.00	65	2,708.33 433.33	10	16,666.66 100.00	110	8,461.53 183.33	60	17,142.85 75.00
350	10,937.50 140.00	10	1,538.46 200.00	20	258.71 100.00	65	2,708.33 433.33	14	32,333.33 140.00	125	9,615.38 208.33	60	17,142.85 75.00
420	13,125.00 168.00	11	1,692.31 220.00	20	285.71 100.00	65	2,708.33 433.33	14	23,333.33 100.00	130	1,000.00 216.66	60	17,142.85 75.00
700	21,875.00 280.00	15	2,000.00 260.00	23	328.57 115.00	110	4,683.33 733.33	45	75,000.00 450.00	150	11,538.46 250.00	80	22,857.14 100.00
900	31,250.00 360.00	20	2,076.92 400.00	30	4,285.71 150.00	150	12,600.00 1,000.00	50	83,333.33 500.00	250	19,230.76 416.66	120	34,285.71 150.00
900	31,250.00 360.00	25	3,846.15 500.00	35	5,000.00 175.00	130	75,000.00 1,200.00	40	58,333.33 400.00	300	23,077.77 500.00	120	34,285.71 150.00
1,000	31,250.00 400.00	25	3,845.38 550.00	50	7,142.85 250.00	210	87,500.00 1,400.00	50	83,333.33 500.00	300	23,030.30 500.00	135	38,571.42 168.75
1,000	31,250.00 400.00	25	3,846.15 500.00	50	7,143.85 250.00	210	87,500.00 1,400.00	50	83,333.33 500.00	230	21,538.46 466.66	150	42,857.14 187.50
1,000	31,250.00 400.00	25	3,846.15 500.00	50	7,142.85 250.00	200	83,333.33 1,333.33	45	75,000.00 450.00	230	21,588.46 466.66	180	51,428.57 225.00
900	28,125.00 360.00	30	4,615.38 600.00	50	7,142.85 250.00	190	79,166.66 1,266.66	50	83,333.33 500.00	230	21,538.46 466.66	180	51,428.57 225.00
1,000	28,125.00 360.00	35	5,384.61 700.00	60	8,571.42 300.00	190	79,166.66 1,266.66	60	100,000.00 600.00	350	26,923.07 583.33	180	51,428.57 225.00
1,000	31,250.00 400.00	35	5,384.61 700.00	75	10,714.28 375.00	210	87,500.00 1,400.00	60	100,000.00 600.00	370	28,461.53 616.66	200	57,142.85 250.00
1,400	43,750.00 560.00	40	6,153.84 800.00	80	11,428.57 400.00	250	104,166.66 1,666.66	55	91,666.66 500.00	450	34,615.38 750.00	200	57,142.85 250.00
1,700	53,125.00 680.00	60	9,230.76 1,200.00	90	12,857.14 450.00	320	133,333.33 2,133.33	100	166,966.66 1,000.00	800	61,538.46 1,333.33	230	65,714.28 287.50
2,000	62,500.00 800.00	85	13,076.92 1,700.00	150	21,428.57 750.00	320	133,333.33 2,133.33	120	200,000.00 1,200.00	1,200	92,307.69 2,000.00	250	71,428.57 312.50
2,100	65,625.00 840.00	85	13,076.92 1,700.00	150	21,428.57 750.00	340	141,666.66 2,266.66	140	233,333.33 1,400.00	1,200	92,307.69 2,000.00	250	71,428.57 312.50
2,500	78,125.00 1,000.00	85	13,076.92 1,700.00	350	50,000.00 1,750.00	350	145,833.33 2,333.33	100	166,666.66 1,000.00	1,000	76,923.07 1,666.66	250	71,428.57 312.50
2,300	71,875.00 920.00	100	15,384.61 2,000.00	350	50,000.00 1,750.00	300	125,000.00 2,000.00	90	150,000.00 900.00	1,000	76,623.07 1,666.66	250	71,428.57 312.50
2,400	75,000.00 960.00	100	15,384.61 2,000.00	310	43,857.14 1,550.00	270	112,500.00 1,800.00	60	100,000.00 600.00	1,000	76,923.07 1,666.66	250	71,428.57 312.50
2,900	90,625.00 1,160.00	110	16,923.07 2,200.00	270	38,571.42 1,350.00	280	116,666.66 1,866.66	60	100,000.00 600.00	1,000	76,923.07 1,666.66	230	65,714.28 287.50
3,200	100,000.00 1,280.00	110	16,923.07 2,200.00	350	50,000.00 1,750.00	370	116,666.66 2,466.66	65	108,333.33 650.00	1,200	92,307.69 2,000.00	240	68,571.42 300.00
2,500	78,862.50 1,000.00	110	16,923.07 2,200.00	350	50,000.00 1,750.00	420	175,000.00 2,800.00	65	108,333.33 650.00	1,200	92,307.69 2,000.00	250	71,428.57 312.50
2,200	68,750.00 880.00	110	16,923.07 2,200.00	300	42,857.14 1,500.00	400	166,666.66 2,666.66	90	150,000.00 900.00	1,200	92,307.69 2,000.00	280	80,000.00 350.00
2,000	81,250.00 1,040.00	110	16,923.07 2,200.00	300	42,857.14 1,500.00	400	166,666.66 2,666.66	100	166,666.66 1,000.00	1,000	76,923.07 1,666.66	280	80,000.00 350.00
2,800	90,625.00 1,160.00	110	16,923.07 2,200.00	350	50,000.00 1,750.00	420	175,000.00 2,800.00	100	166,666.66 1,000.00	1,150	88,461.53 1,916.66	280	80,000.00 350.00

(130) 서울內生活必需  
Index of Retail

(Continued)

	食料											
	小麥粉 Wheat Flour		牛 肉 Beef		豚 肉 Pork		鷄 卵 Eggs		乾 海 苔 Dried Laver		乾 明 太 Dried Pollack	
	一 等 一 袋 (22kg) 1st Class 1 Bag (22kg)		中 肉 一 斤 600g		中 肉 一 斤 600g		10 個 10 Pieces		한 곳 (100枚) 100 Sheets		上 一 快 (20尾) 1st Class 1 Kwai (20 Fishes)	
	平均價格 Av. Price	指 數 Index	平均價格 Av. Price	指 數 Index	平均價格 Av. Price	指 數 Index	平均價格 Av. Price	指 數 Index	平均價格 Av. Price	指 數 Index	平均價格 Av. Price	指 數 Index
1936年 月 平均 1936. Monthly Av.	4.60	100.00	0.70	100.00	0.60	100.00	0.45	100.00	0.30	100.00	0.75	100.00
1945. 8 Aug.	130	2,826.08 100.00	15	2,142.85 100.00	20	3,333.33 100.00	25	5,555.55 100.00	6	2,000.00 100.00	12	1,600.00 100.00
9 Sept.	180	3,913.04 138.46	15	2,142.85 100.00	20	3,333.33 100.00	23	5,111.11 92.00	7	2,333.33 116.67	15	2,000.00 125.00
10 Oct.	230	5,000.00 176.92	17	2,428.57 113.33	25	4,166.66 125.00	20	4,444.44 80.00	7	2,500.00 125.00	15	2,000.00 125.00
11 Nov.	240	5,217.39 184.62	7	2,857.14 113.33	30	5,000.00 150.00	18	4,000.00 72.00	8	2,666.66 166.66	18	2,400.00 150.00
12 Dec.	260	5,652.17 200.00	30	4,285.71 200.00	35	5,833.33 175.00	21	4,666.66 84.00	17	5,666.66 283.33	18	2,400.00 150.00
1946. 1 Jan.	370	8,043.47 284.61	35	7,608.69 233.33	40	6,666.66 200.00	25	5,555.55 100.00	19	6,333.33 316.60	40	5,333.33 333.33
2 Feb.	450	9,782.60 346.15	45	6,428.57 300.00	50	8,333.33 250.00	5	7,777.77 140.00	20	6,666.66 333.33	60	8,000.00 500.00
3 Mar.	1,600	34,782.60 1,230.76	55	7,857.14 366.66	65	10,833.33 325.00	25	7,777.77 140.00	35	11,666.66 583.33	65	8,666.66 631.67
4 Apr.	1,800	39,130.43 1,384.61	70	10,000.00 466.66	75	12,500.00 375.00	45	10,000.00 180.00	45	15,000.00 750.00	80	10,666.66 666.66
5 May	1,100	21,739.13 846.15	7	10,000.00 466.66	75	12,500.00 375.00	45	10,000.00 180.00	42	14,000.00 700.00	75	10,000.00 625.00
6 June	1,200	26,086.95 923.07	7	10,000.00 466.66	77	11,666.66 350.00	50	11,111.11 200.00	35	11,666.66 583.33	75	10,000.00 625.00
7 July	1,300	28,260.86 1,000.00	70	10,000.00 466.66	70	11,666.66 350.00	45	8,888.88 160.00	35	11,666.66 583.33	85	11,333.33 708.33
8 Aug.	1,500	32,608.69 1,153.84	70	10,000.00 466.66	70	11,666.66 350.00	50	11,111.11 200.00	35	11,666.66 583.33	85	11,333.33 708.33
9 Sept.	1,800	39,130.43 1,384.61	75	10,714.28 500.00	75	12,500.00 375.00	70	15,555.55 280.00	60	20,000.00 1,000.00	130	17,333.33 1,083.33
10 Oct.	1,300	28,260.86 1,000.00	90	12,857.14 600.00	90	15,000.00 450.00	70	15,555.55 280.00	80	26,666.66 1,333.33	150	20,000.00 1,250.00
11 Nov.	1,200	26,086.95 923.07	90	12,857.14 600.00	100	16,666.66 500.00	60	13,333.33 240.00	80	26,666.66 1,333.33	170	22,666.66 1,416.66
12 Dec.	1,200	26,086.95 923.07	110	15,714.28 733.33	120	20,000.00 600.00	75	16,666.66 300.00	90	30,000.00 1,500.00	200	26,666.66 1,666.66
1947. 1 Jan.	1,300	28,260.86 1,000.00	200	28,571.52 1,333.33	200	33,333.33 1,000.00	120	26,666.66 480.00	120	40,000.00 2,000.00	220	29,333.33 1,833.33
2 Feb.	1,500	32,608.69 1,153.84	200	28,571.42 1,333.33	200	33,333.33 1,000.00	150	33,333.33 600.00	110	36,666.66 1,833.33	180	34,000.00 1,500.00
3 Mar.	1,400	30,434.78 1,076.92	200	28,571.42 1,333.33	200	33,333.33 1,000.00	120	26,666.66 480.00	80	26,666.66 1,333.33	170	22,666.66 1,416.66
4 Apr.	1,300	28,260.86 1,000.00	200	28,571.42 1,333.33	200	33,333.33 1,000.00	110	24,444.44 440.00	75	25,000.00 1,250.00	140	18,666.66 1,166.66
5 May	1,400	30,434.78 1,076.92	180	25,714.28 1,200.00	180	30,000.00 900.00	130	28,888.88 520.00	120	40,000.00 2,000.00	140	18,666.66 1,166.66
6 June	1,700	36,956.52 1,307.69	180	25,714.28 1,200.00	180	30,000.00 900.00	140	31,111.11 560.00	230	76,666.66 3,833.33	140	18,666.66 1,166.66
7 July	1,500	32,608.69 1,153.84	170	24,285.71 1,133.33	170	28,333.33 850.00	120	26,166.66 480.00	230	76,666.66 3,833.33	140	18,666.66 1,166.66
8 Aug.	1,400	30,434.78 1,076.92	170	24,285.71 1,133.33	170	28,333.33 850.00	120	26,666.66 480.00	230	76,666.66 3,833.33	170	22,666.66 1,416.66
9 Sept.	1,250	27,173.91 961.56	170	24,285.71 1,133.33	170	28,333.33 850.00	150	33,333.33 600.00	230	76,666.66 3,833.33	200	26,666.66 1,666.66
10 Oct.	1,400	30,434.78 1,076.92	170	24,285.71 1,133.33	170	28,333.33 850.00	150	33,333.33 600.00	230	76,666.66 3,833.33	180	24,000.00 1,500.00
11 Nov.	1,480	32,173.91 1,138.46	190	27,142.85 1,266.66	190	31,666.66 950.00	160	33,555.55 640.00	320	106,666.66 5,333.33	190	25,333.33 1,583.33
12 Dec.	1,700	36,956.52 1,307.69	220	31,428.57 1,466.66	220	36,666.66 1,100.00	180	40,000.00 720.00	250	83,333.33 4,166.66	190	25,333.33 1,583.33

# 品小賣物價調查表(其二)

## Prices in Seoul (II)

(III-137)

In Won

### FOOD PRODUCTS

白菜 Cabage		白根 Radish		감자 Potatoes		日本酒 Japanese Wine		燒酒 Distilled Spirits		藥酒 Korean Wine		麥酒 Beer	
一貫 3.75 Kg		一貫 3.75 Kg		一貫 3.75 Kg		一般一類(2立) 1st Class, 2l.		25度一類(2立) 25° 2l.		一類(2立) 2l.		기린一瓶 1 Bottle	
平均價格 Av. Price	指數 Index	平均價格 Av. Price	指數 Index	平均價格 Av. Price	指數 Index	平均價格 Av. Price	指數 Index	平均價格 Av. Price	指數 Index	平均價格 Av. Price	指數 Index	平均價格 Av. Price	指數 Index
0.50	100.00	0.35	100.00	0.50	100.00	1.70	100.00	1.10	100.00	0.55	100.00	0.35	100.00
31	1,600.00		1,428.75		1,000.00		2,470.58		3,636.36		3,636.36		5,714.28
	100.00	5	100.00		100.00	42	100.00	40	100.00	20	100.00	20	100.00
	2,400.00		2,000.00		1,100.00		2,941.17		4,545.45		3,636.36		7,142.85
12	150.00	7	140.00	5	110.00	50	119.04	50	125.00	20	100.00	25	125.00
	2,400.00		2,857.14		1,200.00		4,117.46		5,000.00		4,181.81		7,142.85
12	150.00	10	200.00	6	120.00	70	166.66	55	137.50	23	115.00	25	125.00
	3,400.00		4,857.14		1,600.00		5,000.00		5,000.00		4,545.45		8,571.42
17	212.50	17	340.00	8	160.00	85	202.38	55	137.50	25	125.00	30	150.00
	5,000.00		5,714.28		2,400.00		6,470.58		5,454.54		4,545.45		7,142.85
25	312.50	20	400.00	1	240.00	11	261.97	60	150.00	25	125.00	25	125.00
	7,000.00		7,142.85		4,000.00		5,588.23		5,454.54		4,000.00		6,571.42
	437.50	25	500.00	20	400.00	95	226.19	60	150.00	22	110.00	23	115.00
	18,000.00		10,000.00		5,000.00		5,588.23		6,363.63		7,272.72		7,142.85
90	1,125.00	35	700.00	25	500.00	95	228.49	70	175.00	40	200.00	25	125.00
	30,000.00		12,857.14		8,000.00		6,470.58		7,727.27		8,181.81		7,142.85
150	1,350.00	45	900.00	40	800.00	110	261.90	85	212.50	45	225.00	25	125.00
	1,500.00		14,285.71		10,000.00		13,000.00		16,363.63		10,909.90		12,857.14
75	937.50	50	1,000.00	50	1,000.00	220	523.80	180	450.00	60	300.00	45	225.00
	2,000.00		5,714.29		10,000.00		11,764.70		15,454.54		10,909.90		12,857.14
10	125.00	20	400.00	50	1,000.00	20	476.19	170	425.00	60	300.00	45	225.00
	3,000.00		7,142.85		7,000.00		11,764.70		15,454.54		10,909.09		12,857.14
15	187.50	25	500.00	35	700.00	200	476.19	170	425.00	60	300.00	45	225.00
	6,000.00		10,000.00		7,000.00		12,941.17		16,363.63		12,727.27		16,857.14
30	375.00	35	700.00	35	700.00	200	523.80	180	450.00	70	350.00	45	225.00
	10,000.00		12,857.14		10,000.00		14,117.64		22,727.27		12,727.27		14,285.71
50	625.00	45	900.00	50	1,000.00	240	571.42	250	625.00	70	350.00	50	250.00
	6,000.00		8,571.42		11,000.00		20,588.23		20,000.00		16,363.63		14,285.17
30	375.00	30	600.00	55	1,100.00	350	833.33	220	550.00	90	450.00	50	250.00
	5,000.00		5,714.28		14,000.00		21,176.47		24,545.45		16,363.63		14,285.71
25	312.50	20	400.00	70	1,400.00	360	857.14	270	675.00	90	450.00	50	250.00
	5,000.00		4,285.71		16,000.00		20,588.23		23,000.00		18,181.81		14,285.71
25	312.50	15	300.00	80	1,600.00	350	833.33	220	550.00	100	500.00	50	250.00
	9,000.00		8,571.42		18,000.00		21,176.47		20,000.00		18,181.81		14,285.71
45	562.50	30	600.00	90	1,800.00	360	857.14	220	550.00	100	500.00	50	250.00
	24,000.00		12,857.14		30,000.00		21,176.47		27,272.72		18,181.81		14,285.71
120	1,500.00	45	900.00	150	3,000.00	360	857.14	300	750.00	100	600.00	50	250.00
	30,000.00		12,857.14		40,000.00		22,352.94		25,454.54		21,818.18		20,000.00
150	1,875.00	45	900.00	200	4,000.00	380	904.76	280	700.00	100	600.00	70	350.00
	40,000.00		12,875.14		56,000.00		23,529.41		25,454.54		21,818.18		20,000.00
200	2,500.00	45	900.00	280	5,600.00	400	952.38	280	700.00	120	600.00	70	350.00
	30,000.00		12,857.14		50,000.00		23,529.41		25,454.54		27,272.72		22,857.14
150	1,875.00	45	900.00	250	5,000.00	400	952.38	230	700.00	150	750.00	80	400.00
	14,000.00		22,857.14		50,000.00		22,352.94		24,545.45		27,272.72		22,857.14
70	875.00	80	1,600.00	250	5,000.00	380	904.76	270	675.00	150	750.00	80	400.00
	7,000.00		20,000.00		19,000.00		22,352.94		25,454.54		27,272.72		40,000.00
35	437.50	70	1,400.00	90	1,900.00	330	904.76	280	700.00	150	750.00	140	700.00
	24,000.00		28,571.42		11,000.00		18,823.52		27,272.72		27,272.72		42,857.14
120	1,500.00	100	2,000.00	50	1,100.00	320	761.90	300	750.00	150	750.00	150	750.00
	32,000.00		34,285.71		10,000.00		22,352.94		31,818.81		27,272.72		42,857.14
160	2,000.00	120	2,400.00	50	1,000.00	330	904.76	300	750.00	150	750.00	150	750.00
	30,000.00		22,857.14		13,000.00		23,529.41		29,090.90		27,272.72		42,857.14
150	1,875.00	80	1,600.00	65	1,300.00	400	952.38	320	800.00	150	750.00	150	750.00
	22,000.00		20,000.00		14,000.00		23,591.41		27,272.72		36,363.63		37,142.85
110	1,375.00	70	1,400.00	70	1,400.00	400	952.38	300	750.00	200	1,000.00	130	650.00
	24,000.00		28,571.42		14,000.00		35,924.11		29,090.90		36,363.63		34,285.71
120	1,500.00	100	2,000.00	70	1,400.00	600	1,428.57	300	800.00	200	1,000.00	120	600.00
	10,000.00		34,285.71		24,000.00		38,235.29		30,454.54		45,454.54		37,142.28
200	2,500.00	120	2,400.00	120	2,400.00	650	1,547.61	335	837.50	250	1,250.00	132	660.00

(130) 市 活 市 生 活 必 需  
Index of Retail

(Continued)

	Cider		廣 木(粗布) Sheeting Cotton Tissues		玉 洋 木 Sirting Cotton		Flannel		毛 本 緞 Chinese Silk		燕 素 Sookso Silk	
	一 瓶 1 Bottle		上 一 碼 1st Class, 1 Yard		上 一 碼 1st Class, 1 Yard		兩 面 上 一 碼 1st Class, 1 Yard		一 級 一 碼 1st Class, 1 Yard		一 級 一 碼 1st Class, 1 Yard	
	平均價格 Av. Price	指 數 Index	平均價 Av. P.	指 數 Index	平均價 Av. P.	指 數 Index	平均價 Av. P.	指 數 Index	平均價 Av. P.	指 數 Index	平均價格 Av. Price	指 數 Index
1936年月平均 1936. Monthly Av.	0.17	100.00	0.21	100.00	0.23	100.00	0.30	100.00	1.30	100.00	1.85	100.00
1945. 8 Aug.	10	5,882.35 100.00	7	3,333.33 100.00	13	4,482.75 100.00	7	2,333.33 100.00	43	3,346.15 100.00	25	1,351.35 100.00
9 Sept.	11	6,470.58 110.00	13	6,190.47 185.71	16	5,517.24 123.07	13	4,333.33 185.71	52	4,000.00 119.54	42	2,270.27 168.00
10 Oct.	12	7,058.82 120.00	19	9,047.61 271.43	23	7,931.03 176.92	19	6,333.33 271.42	60	4,615.38 137.93	47	2,540.54 188.00
11 Nov.	12	7,352.94 125.00	25	11,904.76 357.14	31	10,689.65 238.46	25	8,333.33 357.14	130	10,000.00 299.54	52	2,810.81 208.00
12 Dec.	13	7,647.05 130.00	40	19,047.61 571.43	42	14,482.75 323.07	40	10,333.33 571.43	260	20,000.00 597.70	54	2,945.94 218.00
1946. 1 Jan.	14	8,470.58 144.00	40	19,047.61 571.43	43	14,827.58 330.77	42	14,000.00 600.00	260	20,000.00 597.70	58	3,135.13 232.00
2 Feb.	15	9,117.64 155.00	40	19,047.61 571.43	43	14,827.58 330.77	40	13,333.33 571.43	245	18,846.15 563.21	85	4,594.59 340.00
3 Mar.	18	10,588.23 180.00	70	33,333.33 1,000.00	75	25,862.06 576.72	50	16,666.66 714.28	270	20,769.23 620.83	85	4,594.59 340.00
4 Apr.	25	14,705.88 250.00	60	28,571.40 857.72	75	25,862.07 576.72	60	20,000.00 714.28	250	19,230.76 574.71	85	4,594.59 340.00
5 May	28	16,470.58 280.00	60	28,571.40 857.72	10	31,313.31 769.61	80	26,666.66 1,172.85	250	19,230.76 574.71	60	3,243.24 240.00
6 June	30	17,647.05 300.00	65	30,909.08 928.57	120	41,379.31 923.07	70	23,333.33 1,000.00	250	19,230.76 574.71	60	3,243.24 240.00
7 July	33	17,647.05 300.00	65	30,909.08 923.57	110	37,931.03 846.15	70	23,333.33 1,000.00	250	19,230.76 574.71	60	3,243.24 240.00
8 Aug.	30	17,647.05 300.00	80	38,095.23 1,142.85	130	44,827.58 1,000.00	150	50,000.00 2,142.85	350	26,923.07 804.59	150	8,108.10 600.00
9 Sept.	30	17,647.05 300.00	85	40,476.19 1,214.28	140	48,275.86 1,076.92	150	50,000.00 2,142.85	450	34,615.38 1,034.48	150	8,108.10 600.00
10 Oct.	30	17,647.05 300.00	120	57,242.85 1,714.27	180	62,068.96 1,384.61	210	70,000.00 3,000.00	600	46,153.84 3,793.10	150	8,108.10 600.00
11 Nov.	30	17,647.05 300.00	140	66,666.66 2,000.00	250	86,206.89 1,923.07	28	93,333.33 4,000.00	750	57,692.30 1,724.13	150	8,108.10 600.00
12 Dec.	30	17,647.05 300.00	180	85,714.28 2,571.42	260	89,655.55 2,000.00	320	106,666.66 4,571.42	950	73,076.92 2,183.90	160	8,648.64 640.00
1947. 1 Jan.	30	17,647.05 300.00	250	119,047.61 3,571.42	350	120,689.65 2,692.30	400	133,333.33 5,714.28	1,100	84,615.38 2,523.73	250	13,513.51 1,000.00
2 Feb.	60	35,294.11 600.00	250	119,047.61 3,571.42	400	137,931.03 3,076.92	450	150,000.00 6,428.57	1,000	76,923.07 2,293.85	230	12,432.43 920.00
3 Mar.	50	29,411.76 500.00	220	140,761.90 3,142.85	350	120,689.65 2,692.30	450	150,000.00 6,428.00	900	69,230.76 2,063.96	220	11,891.89 880.00
4 Apr.	45	26,470.58 450.00	200	95,238.09 2,857.14	350	120,689.65 2,692.30	400	133,333.33 5,714.28	900	69,230.76 2,668.96	168	8,648.64 640.00
5 May	45	26,470.58 450.00	210	100,000.00 3,000.00	350	120,689.65 2,692.30	400	133,333.33 5,714.28	1,000	76,923.07 2,293.85	160	8,648.64 640.00
6 June	50	29,411.76 500.00	220	104,761.90 3,142.85	350	120,689.65 2,692.30	400	133,333.33 5,714.28	1,100	84,615.38 2,293.73	160	8,648.64 640.00
7 July	50	29,411.76 500.00	220	104,761.90 3,142.85	350	120,689.65 2,692.30	400	133,333.33 5,714.28	1,100	84,615.38 2,273.73	180	9,729.72 720.00
8 Aug.	50	29,411.76 500.00	230	109,523.80 3,285.71	350	120,689.65 2,692.30	400	133,333.33 5,714.18	1,200	92,307.69 2,758.62	200	10,810.81 800.00
9 Sept.	50	29,411.76 500.00	280	133,333.33 4,000.00	400	137,931.03 3,076.92	420	140,000.00 6,000.00	1,300	100,000.00 2,988.50	220	11,891.89 880.00
10 Oct.	50	29,411.76 500.00	300	142,857.14 4,285.71	400	137,931.03 3,076.92	450	150,000.00 6,428.57	1,500	115,384.61 3,448.27	240	12,972.97 960.00
11 Nov.	50	29,411.76 500.00	450	214,285.74 6,428.57	500	172,413.79 3,846.15	500	166,666.66 7,142.85	1,500	115,384.61 3,448.27	270	14,594.59 1,080.00
12 Dec.	50	29,411.76 500.00	480	228,571.42 8,857.14	550	189,655.17 3,230.76	600	200,000.00 8,571.42	1,700	130,769.23 3,908.04	380	20,540.54 1,520.00

品小賣物價調查表 (其三)  
Prices in Seoul (III)

In Won

物 TEXTILE PRODUCTS													
紋 榮 美 紗 Jamisa Silk		人 絹 平 織 Rayon Tissues:		明 絲 Korean Silk		苧 布 Hemp White		麻 布 Hemp Yellow		靛 藍 緞 Blue Serge		石 炭 Coal	
一級	一碼	一	碼	一級	一疋	生一級	一疋	江原道	一疋	紺 #4	一碼	混炭 一噸	
1st Class	1 Yard	1	Yard	1st Class	1 Series	1st Class	1 Series	Kangwondo	1 Series	#4	1 Yard	1,000 Kg	
平均價格	指 數	平均價格	指 數	平均價格	指 數	平均價格	指 數	平均價格	指 數	平均價格	指 數	平均價格	指 數
Av. Price	Index	Av. P.	Index	Av. Price	Index	Av. Price	Index	Av. Price	Index	Av. Price	Index	Av. Price	Index
0.75	100.00	0.11	100.00	4.50	100.00	10.50	100.00	2.80	100.00	6.20	100.00	19.00	100.00
	2,000.00		4,454.54		2,888.89		1,571.42		4,000.00		483.87		1,842.10
15	100.00	4	100.00	130	100.00	165	100.00	112	100.00	30	100.00	350	100.00
	4,000.00		6,227.27		3,555.55		3,142.85		6,071.42		725.80		1,842.10
30	200.00	6	139.79	160	123.07	330	200.00	170	151.77	45	150.00	350	100.00
	8,000.00		6,909.09		3,555.55		4,761.90		10,000.00		4,032.25		2,368.42
60	400.00	7	155.10	160	123.07	500	303.30	280	250.00	250	833.33	450	128.57
	8,666.66		8,636.36		5,111.11		5,238.09		8,392.85		5,645.16		2,631.57
65	433.33	9	193.87	230	176.92	550	333.33	235	293.32	350	1,166.66	500	142.86
	10,666.66		14,545.45		6,666.66		6,285.71		11,964.29		14,516.12		3,157.89
80	533.33	16	326.12	300	230.76	600	400.00	335	292.32	900	3,000.00	600	171.43
	10,666.66		13,909.09		7,777.77		6,285.71		14,285.71		14,516.12		3,947.36
80	533.33	15	312.24	350	269.23	600	400.00	400	357.14	900	3,000.00	750	214.28
	10,666.66		13,909.09		7,777.77		7,333.33		14,285.71		14,516.12		3,157.89
80	533.33	15	312.24	350	269.23	700	466.66	400	357.14	900	3,000.90	600	171.00
	17,333.33		18,181.81		9,111.11		10,476.19		10,642.85		16,129.03		3,157.89
130	866.66	20	408.16	410	315.33	1,100	666.66	410	366.66	1,000	3,333.33	600	171.00
	16,000.00		20,909.09		10,000.00		13,333.33		15,000.00		16,129.03		3,157.89
120	800.00	23	469.33	450	346.15	1,400	848.48	420	374.99	1,200	4,000.00	600	171.42
	13,333.33		36,363.63		11,111.11		14,285.71		17,857.15		17,741.93		4,578.94
100	666.66	40	816.32	500	384.61	1,500	909.09	500	446.42	1,100	3,666.66	870	248.57
	16,000.00		54,545.45		10,000.00		12,857.14		17,857.14		17,741.93		4,578.94
120	800.00	60	1,224.48	450	346.15	1,350	818.18	500	446.42	1,100	3,666.66	870	248.57
	16,000.00		54,545.45		12,222.22		14,285.71		26,785.71		16,666.66		4,578.94
120	800.00	60	1,224.48	550	423.07	1,500	909.09	750	669.64	1,000	3,333.33	870	248.57
	29,333.33		45,545.45		14,444.44		16,190.47		30,357.14		67,741.93		4,578.94
220	1,466.66	60	1,224.48	650	500.00	1,700	1,030.30	850	758.92	1,100	3,666.66	870	248.57
	32,000.00		63,636.36		20,000.00		16,190.47		30,357.14		17,741.93		4,578.94
240	1,600.00	70	1,428.57	900	692.30	1,700	1,030.30	850	758.92	1,100	3,666.66	870	248.57
	49,333.33		90,909.09		31,111.11		16,190.47		30,357.14		22,580.64		5,000.00
370	2,466.66	100	2,040.81	1,400	1,079.92	1,700	1,030.30	850	753.92	1,400	4,666.66	950	271.42
	53,333.33		109,090.90		31,111.11		16,190.47		30,357.14		24,193.54		5,000.00
400	2,666.66	120	2,448.97	1,400	1,079.92	1,700	1,030.30	850	753.92	1,500	5,000.00	950	271.42
	80,000.00		131,818.18		35,555.55		19,047.62		30,357.64		29,032.25		5,000.00
600	4,000.00	145	2,859.18	1,600	1,230.76	2,000	1,212.12	850	758.92	1,800	6,000.00	950	271.42
	100,000.00		181,818.18		53,333.33		40,000.00		42,857.14		35,483.87		5,000.00
750	5,000.00	200	4,081.83	2,400	1,846.15	4,200	2,545.45	1,200	1,071.42	2,200	7,333.33	950	271.42
	96,000.00		181,818.18		55,555.55		40,952.38		60,714.28		35,483.87		7,568.42
720	4,800.00	200	4,081.83	2,500	1,923.07	4,300	2,606.06	1,700	1,517.35	3,000	7,333.33	1,400	400.00
	96,000.00		181,818.18		51,111.11		34,285.71		57,142.85		48,387.00		6,315.78
720	4,800.00	200	4,081.83	2,300	1,769.23	3,600	2,181.81	1,600	1,428.57	3,000	10,000.00	1,200	342.85
	93,333.33		154,545.45		40,000.00		33,333.33		53,571.42		48,387.00		5,784.73
700	4,666.66	170	3,469.33	1,800	1,384.61	3,500	2,121.25	1,400	1,249.99	3,000	10,000.00	1,100	314.28
	93,333.33		163,636.36		44,444.44		38,095.23		57,142.85		48,387.00		5,784.73
700	4,666.66	180	3,673.46	2,000	1,533.46	4,000	2,424.24	1,600	1,428.57	3,000	10,000.00	1,100	314.28
	93,333.33		181,818.18		48,888.88		42,857.14		71,428.57		48,387.00		5,784.73
700	4,666.66	200	4,031.83	2,200	1,692.30	4,500	2,727.27	2,000	1,785.71	3,000	10,000.00	1,100	314.28
	93,333.33		200,000.00		48,888.88		42,857.14		71,428.57		43,548.38		5,784.73
700	4,666.66	220	4,489.79	2,200	1,692.30	4,500	2,727.27	2,000	2,785.71	2,700	9,000.00	1,100	314.28
	93,333.33		209,090.90		48,888.88		40,952.38		71,428.57		40,322.58		5,784.73
700	4,666.66	230	4,693.37	2,200	1,692.30	4,300	2,606.06	2,000	1,785.71	2,500	8,333.33	1,100	314.28
	93,333.33		227,272.72		55,555.55		38,095.71		71,428.57		40,322.58		7,894.73
700	4,666.66	250	5,102.04	2,500	1,923.07	4,000	2,424.24	2,000	1,785.71	2,500	8,333.33	1,500	428.57
	106,666.66		254,545.45		66,666.66		33,333.33		64,285.71		40,322.58		7,894.73
800	5,333.33	230	5,714.28	3,000	2,307.69	3,500	2,121.21	1,800	1,607.11	2,500	8,333.33	1,500	428.57
	120,000.00		254,545.45		66,666.66		36,190.47		89,285.71		45,161.29		10,526.31
900	6,000.00	230	5,714.28	3,000	2,307.69	3,800	2,303.03	2,500	2,232.14	2,800	9,333.33	2,000	571.42
	120,000.00		318,181.81		95,555.55		42,857.14		107,142.85		45,161.29		15,789.47
900	6,000.00	350	7,142.85	4,300	3,307.69	4,500	2,727.27	3,000	2,678.57	2,800	9,333.33	3,000	857.14

(130) 서울市生活必需  
Index of Retail

(Continued)

	FUELS											
	煉炭 Briquet		長松 Fire Wood		木炭 Charcoal		石油 Petroleum		洗濯用皂 Laundry Soap		襪 Socks	
	九孔炭 一噸 Nine Holed 1,000 Kg		松中研 一坪 Middle Class 3.33 Cube M		黑炭 一噸(6貫) 1 Bag (22.5Kg)		一 罐 1 Can (18 L)		一級 一個 1st Class, 1 Piece		有色 一足 Coloured, 1 Pair	
平均價格 Av. Price	指數 Index	平均價格 Av. Price	指數 Index	平均價格 Av. Price	指數 Index	平均價格 Av. Price	指數 Index	平均價格 Av. P.	指數 Index	平均價格 Av. P.	指數 Index	
1936年 月平均 1936. Monthly Av.	23.00	100.00	9.00	100.00	1.30	100.00	3.10	100.00	0.06	100.00	0.09	100.00
1945. 8 Aug.	350	1,521.73	350	3,888.88	45	3,461.53	150	4,838.73	4	6,666.66	2	2,777.77
9 Sept.	450	1,956.52	370	4,111.11	45	3,461.53	250	8,064.51	4	6,666.66	3	3,888.88
10 Oct.	800	3,478.26	420	4,666.66	50	3,846.15	400	12,903.22	5	8,333.33	6	6,666.66
11 Nov.	820	3,565.21	450	5,000.00	60	4,615.38	500	16,129.03	5	8,333.33	10	11,111.11
12 Dec.	1,200	5,217.39	500	5,555.55	65	5,000.00	620	2,000.00	8	10,333.33	13	14,444.44
1945. 1 Jan.	1,300	5,652.17	600	6,666.66	65	5,000.00	750	24,193.54	8	10,333.33	14	15,555.55
2 Feb.	1,400	6,086.92	550	6,111.11	60	4,615.38	550	17,741.93	15	2,500.00	15	16,666.66
3 Mar.	1,400	6,086.92	550	6,111.11	55	4,230.76	500	16,129.03	23	4,666.66	20	22,222.22
4 Apr.	1,400	6,086.92	550	6,111.11	45	3,461.53	500	16,129.03	28	46,666.66	20	22,222.22
5 May	1,400	6,086.92	650	7,222.22	60	4,615.38	500	16,129.03	25	41,666.66	20	22,222.22
6 June	1,500	6,521.76	700	7,797.77	60	4,615.38	600	19,354.83	23	38,333.33	20	22,222.22
7 July	1,500	6,521.76	850	9,444.44	120	9,230.76	500	16,129.03	14	23,333.33	20	22,222.22
8 Aug.	1,500	6,521.76	950	10,555.55	130	10,000.00	500	16,129.03	12	20,000.00	20	22,222.22
9 Sept.	1,500	6,521.76	1,100	12,222.22	150	11,538.46	600	19,354.83	12	20,000.00	25	25,555.55
10 Oct.	2,100	9,130.43	1,400	15,555.55	155	11,923.07	750	24,193.54	12	30,000.00	45	50,000.00
11 Nov.	2,400	10,434.78	2,000	22,222.22	210	16,153.84	800	25,806.45	12	20,000.00	65	72,222.22
12 Dec.	3,000	13,043.47	2,500	27,777.77	250	19,230.76	850	27,419.35	12	20,000.00	90	100,000.00
1947. 1 Jan.	3,500	15,217.39	2,500	27,777.77	300	23,076.92	900	29,032.25	12	20,000.00	100	111,111.11
2 Feb.	4,000	17,391.39	3,200	35,555.55	570	20,769.23	900	29,032.25	110	183,333.33	100	111,111.11
3 Mar.	4,000	17,391.39	3,200	35,555.55	270	20,769.23	900	29,032.25	140	3,500.00	100	111,111.11
4 Apr.	3,700	16,086.92	2,500	27,777.77	260	20,000.00	850	27,419.35	130	216,666.66	100	111,111.11
5 May	3,700	16,086.92	2,100	23,333.33	250	19,230.76	700	22,580.64	130	216,666.66	100	111,111.11
6 June	4,000	17,391.39	2,300	55,555.55	270	20,769.23	600	19,354.83	130	216,666.66	100	111,111.11
7 July	4,500	19,565.21	2,500	27,777.77	350	26,923.07	600	19,354.83	120	200,333.33	100	111,111.11
8 Aug.	4,500	19,565.21	2,700	30,000.00	400	30,769.23	600	19,354.83	140	233,333.33	100	111,111.11
9 Sept.	5,000	21,739.13	2,700	30,000.00	420	32,307.69	700	22,580.64	150	250,000.00	100	111,111.11
10 Oct.	7,000	30,434.78	3,500	38,888.88	400	30,769.23	900	29,032.25	150	250,000.00	100	111,111.11
11 Nov.	7,000	30,434.78	4,000	44,444.44	430	33,076.92	1,300	41,935.48	170	238,333.33	150	166,666.66
12 Dec.	8,500	36,956.52	6,200	68,888.88	650	50,000.00	1,800	58,064.51	180	300,000.00	230	255,555.55

品小賣物價調查表 (其四)
Prices in Seoul (IV)

In Won

Table with columns: 品 (Category), 平均價格 (Average Price), 指數 (Index), and sub-columns for Rubber Shoes, Leather Shoes, Cotton Duck Shoes, Matches, Pot, Electric Bulb, and Cotton. Includes descriptions like '女子用黑色一足' and '黑色一足'.



(131) 서울市生活必需品小賣物價商品類別指數表  
Indexes of Retail Prices by Commodity Groups in Seoul

1936=100

C.W.P.M = Comparison with Previous Month

Table with 12 columns: Date, Commodity Group (Grains, Food Products, Textile Products, Fuels, Miscellaneous), Average Index, and C.W.P.M. Rows include monthly data from 1945 to 1947 and monthly averages.

1945.8=100

Last decade of Aug, 1945 = 100

Table with 12 columns: Date, Commodity Group (Grains, Food Products, Textile Products, Fuels, Miscellaneous), Average Index, and C.W.P.M. Rows include monthly data from 1945 to 1947 and monthly averages.

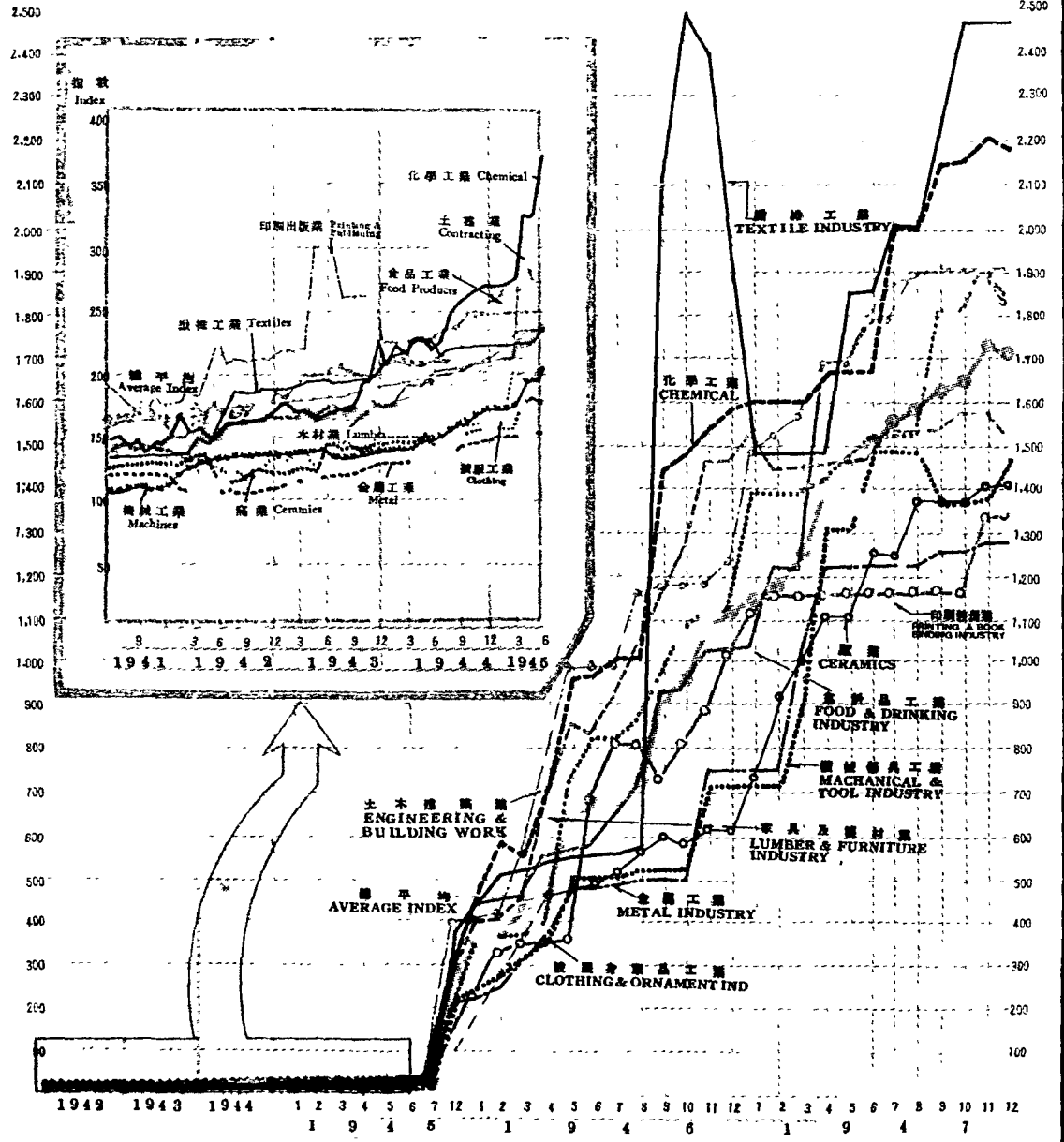


(132) 서울市勞動賃金指數  
Indexes of Wages of Labours in Seoul

1936 = 100

指數  
Index

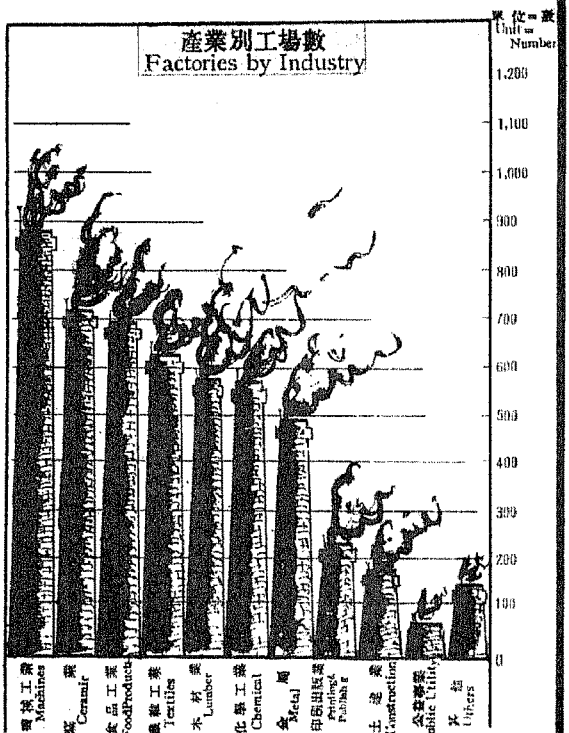
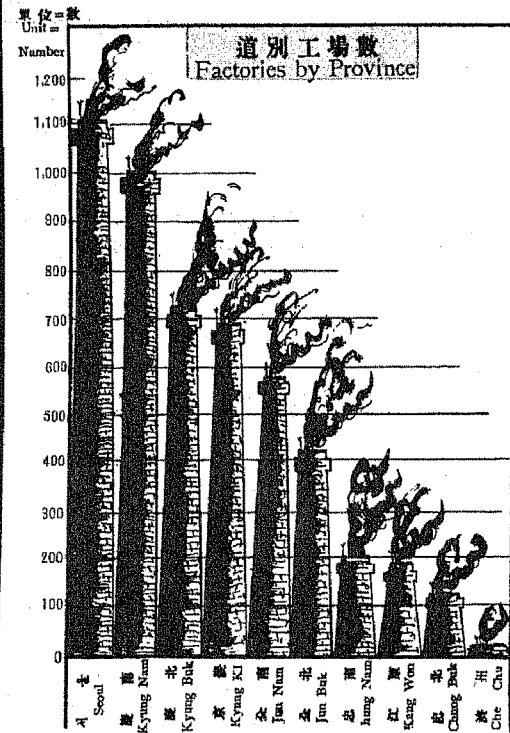
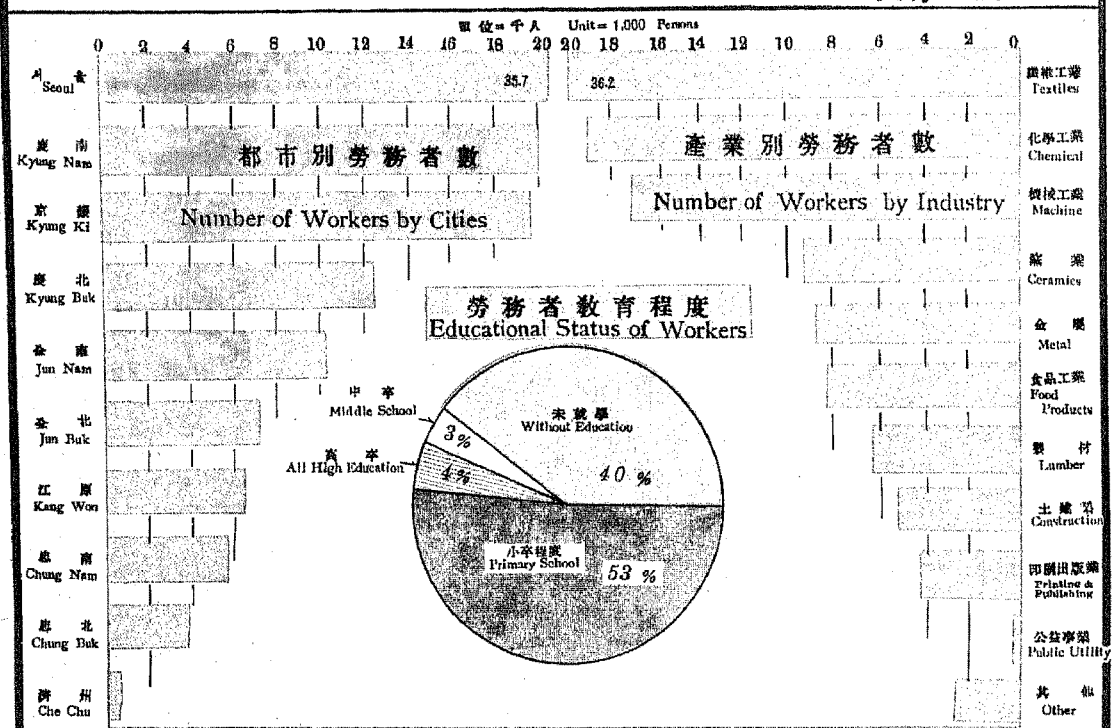
指數  
Index



# (133) 勞務者數及工場數

## NUMBER OF WORKERS & FACTORIES

1946. 11  
Nov. 1946



(134) 서울市物價・勞賃指數累年對照表  
Indexes of Prices and Wages in Seoul

	1910年7月=100 July 1910=100			1910年7月=100 July 1910=100			1936=100		
	都賣物價 Wholesale Prices	勞動賃金 Wages		都賣物價 Wholesale Prices	勞動賃金 Wages		都賣物價 Wholesale Prices	小賣物價 Retail Prices	勞動賃金 Wages
1910	102.85	100.33	1945 1 Jan.	437.37	397.35	1936	100.00	100.00	100.00
1911	111.66	101.25	2 Feb.	433.11	399.27	1937	116.61	109.28	120.12
1912	117.61	102.40	3 Mar.	446.93	408.83	1938	139.25	130.61	130.81
1913	120.28	102.86	4 Apr.	459.79	443.43	1939	163.23	152.82	139.64
1914	113.19	97.87	5 May	463.16	447.27	1940	180.01	168.62	145.72
1915	106.36	88.08	6 June	476.15	454.96	1941	186.63	174.54	167.94
1916	124.38	76.65	7 July	—	472.23	1942	195.57	183.38	183.22
1917	172.73	83.63	8 Aug.	3,103.60	—	1943	215.09	201.71	199.80
1918	235.31	119.65	9 Sept.	3,527.20	—	1944	241.12	225.95	224.51
1919	295.03	207.06	10 Oct.	4,603.90	—	1945	—	—	—
1920	306.04	269.77	11 Nov.	5,610.90	—	1946	13,478.66	16,211.80	7,118.70
1921	230.21	240.12	12 Dec.	7,510.70	4,390.90	1947	40,203.35	40,926.30	14,843.00
1922	228.72	246.62	1946-1 Jan.	9,133.40	5,772.60	1945 8 Aug.	1,752.00	3,359.30	—
1923	225.92	237.29	2 Feb.	10,782.20	6,230.50	9 Sept.	2,047.20	3,813.10	—
1924	243.06	228.52	3 Mar.	14,498.50	6,788.40	10 Oct.	2,672.10	4,906.80	—
1925	258.66	222.30	4 Apr.	17,180.80	7,994.80	11 Nov.	3,256.60	5,795.80	—
1926	233.92	219.79	5 May	19,609.50	10,590.00	12 Dec.	4,359.20	7,335.20	2,724.50
1927	218.83	223.94	6 June	20,775.20	10,914.80	1946-1 Jan.	5,301.00	8,543.70	3,581.80
1928	214.59	221.33	7 July	22,065.20	11,275.80	2 Feb.	6,258.00	9,353.40	3,865.90
1929	207.22	223.73	8 Aug.	25,157.20	11,880.50	3 Mar.	8,414.90	11,645.40	4,212.10
1930	180.74	210.99	9 Sept.	28,070.60	14,927.30	4 Apr.	9,971.70	13,312.70	4,960.60
1931	145.01	175.27	10 Oct.	31,906.40	15,581.20	5 May	11,381.30	13,772.20	6,570.90
1932	144.39	155.99	11 Nov.	35,454.30	17,690.70	6 June	12,057.90	14,932.50	6,772.40
1933	160.08	149.46	12 Dec.	44,044.30	18,029.40	7 July	12,806.60	15,808.70	6,996.40
1934	162.31	149.46	1947-1 Jan.	51,276.90	18,454.90	8 Aug.	14,601.20	17,795.60	7,371.60
1935	179.57	149.76	2 Feb.	55,978.90	18,971.10	9 Sept.	16,292.10	19,317.70	9,262.10
1936	190.62	161.17	3 Mar.	60,434.60	20,417.90	10 Oct.	18,518.40	21,195.10	9,667.80
1937	206.16	193.86	4 Apr.	58,196.00	22,633.80	11 Nov.	20,577.60	22,462.20	10,976.70
1938	237.12	211.00	5 May	60,551.60	23,276.80	12 Dec.	25,563.20	26,622.40	11,186.90
1939	274.14	225.19	6 June	64,178.80	24,325.40	1947 1 Jan.	29,761.00	33,272.90	11,450.90
1940	312.44	234.86	7 July	66,346.10	25,248.40	2 Feb.	32,489.50	38,894.50	11,771.20
1941	310.23	270.66	8 Aug.	69,861.60	25,674.50	3 Mar.	35,076.10	38,486.60	12,668.90
1942	333.16	295.29	9 Sept.	74,469.00	27,880.40	4 Apr.	33,776.60	36,517.20	14,043.80
1943	370.46	322.00	10 Oct.	78,843.80	26,714.50	5 May	35,144.00	36,101.30	14,442.80
1944	415.44	361.84	11 Nov.	90,130.50	27,777.20	6 June	37,249.20	37,431.00	15,093.40
			12 Dec.	91,842.60	27,540.50	7 July	38,797.30	38,635.70	15,666.10
						8 Aug.	40,547.50	39,665.20	15,930.50
						9 Sept.	43,221.60	41,444.30	16,299.20
						10 Oct.	45,760.70	42,951.70	16,575.80
						11 Nov.	52,331.50	51,753.20	17,235.20
						12 Dec.	58,305.20	55,961.50	17,088.30

1) 資料—朝鮮銀行調査部

2) 都賣物價調査商品數는 1910年7月基準은 50種이고 1936年基準은 80種임

3) 勞動賃金調査職種은 1910年7月基準은 18種이고 1936年基準은 52種임

4) 綜合指數算式은 單純幾何平均法임

1) Source:—Research Dept. Bank of Chosun.

2) Commodities under investigation basing on July 1910 are 50 kinds, and those, basing on 1936 are 80 kinds.

3) Labour wages of occupations, under investigation, basing on July 1910 are 18 kinds, and those on 1936 are 52 kinds.

4) Relatives were compounded by simple geometric mean.

(135) 서울市勞動賃金

Indexes of Wages of Labours by

指數基準=1936年平均 + 騰貴-低落

	纖維工業 Textile Industry		金屬工業 Metal Industry		機械器具工業 Mechanical & Tool Ind.		窯業 Ceramics		化學工業 Chemical Industry	
	平均指數 Av. Index	對前月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前月 騰落率 C.W.P.M.
936	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1937	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
938	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1939	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1940	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
941	157.23	—	146.27	—	136.02	—	152.34	—	172.59	—
1942	197.37	+ 25.53	135.19	- 7.58	153.77	+ 16.73	148.05	- 2.82	193.08	+ 11.87
1943	223.45	+ 15.75	144.12	+ 6.61	159.49	+ 0.45	160.68	+ 8.53	217.85	+ 12.83
1944	265.62	+ 16.27	164.37	+ 14.05	182.71	+ 14.56	177.35	+ 10.37	283.37	+ 32.37
945										
1 Jan.	270.61	+ 0.09	179.86	+ 1.14	207.85	+ 0.99	184.74	—	326.36	+ 0.96
2 Feb.	271.09	+ 0.18	181.17	+ 0.73	209.40	+ 0.75	184.74	—	318.26	- 2.48
3 Mar.	271.81	+ 0.27	181.17	—	209.40	—	187.84	+ 1.68	332.79	+ 4.57
4 Apr.	271.45	- 0.13	181.17	—	228.09	+ 89.26	220.00	+ 17.12	390.79	+ 17.43
5 May	270.33	- 0.39	181.17	—	228.09	—	221.78	+ 0.81	390.68	- 0.03
6 June	282.17	+ 4.36	181.17	—	242.63	+ 6.37	219.76	- 0.91	440.83	+ 12.84
7 July	246.68	- 12.58	203.32	+ 12.23	340.29	+ 40.25	175.81	- 20.00	393.06	- 10.84
12 Dec.	3,776.0	—	2,070.4	—	2,376.7	—	—	—	3,038.8	—
1946										
1 Jan.	4,549.9	+ 20.50	2,319.7	+ 12.04	2,494.5	+ 4.96	—	—	4,938.9	+ 59.90
2 Feb.	5,140.5	+ 12.98	2,623.0	+ 13.07	2,719.2	+ 9.01	—	—	5,808.4	+ 17.61
3 Mar.	5,270.7	+ 2.53	3,108.6	+ 18.51	3,251.6	+ 19.58	—	—	5,845.4	- 2.81
4 Apr.	5,507.1	+ 4.49	3,869.1	+ 24.46	3,648.6	+ 12.21	4,625.8	—	7,237.3	+ 28.20
5 May	5,643.3	+ 2.47	4,819.3	+ 24.56	5,103.1	+ 39.85	4,879.7	+ 5.49	9,537.5	+ 31.78
6 June	5,651.6	+ 0.15	4,819.3	—	5,103.4	+ 0.00	5,018.2	+ 2.84	9,660.5	+ 1.29
7 July	5,662.0	+ 0.18	4,906.2	+ 1.80	5,123.7	+ 0.40	5,261.4	+ 4.85	10,260.9	+ 6.21
8 Aug.	5,873.1	+ 3.73	5,007.6	+ 2.07	5,224.5	+ 1.97	5,715.1	+ 8.62	10,289.3	+ 0.23
9 Sept.	21,205.4	+ 261.06	5,007.6	—	5,224.5	—	6,016.4	+ 5.27	14,493.4	+ 40.86
10 Oct.	24,958.1	+ 17.70	5,007.6	—	5,224.5	—	5,715.1	- 5.01	14,806.7	+ 2.16
11 Nov.	24,012.1	- 3.79	7,679.2	+ 53.35	7,142.6	+ 36.71	6,280.2	+ 9.89	15,458.3	+ 4.40
12 Dec.	19,285.6	- 19.68	7,679.2	—	7,205.4	+ 0.88	6,280.2	—	15,868.3	+ 2.65
月平均 Monthly Average	11,063.2	+ 15.46	4,737.2	+ 11.54	4,790.4	+ 9.68	5,532.4	+ 3.91	10,333.7	+ 14.61
1947										
1 Jan.	14,921.8	- 22.63	7,679.2	—	7,261.9	+ 0.78	7,527.9	+ 19.87	16,060.7	+ 1.21
2 Feb.	14,921.8	—	7,679.2	—	7,261.9	—	9,233.1	+ 23.32	16,060.7	—
3 Mar.	14,921.8	—	10,450.2	+ 36.08	9,814.4	+ 35.15	10,000.0	+ 7.72	16,060.7	—
4 Apr.	14,921.8	—	12,227.0	+ 17.00	13,049.5	+ 32.96	11,006.4	+ 10.06	16,709.7	+ 4.04
5 May	18,547.6	+ 24.30	12,227.0	—	13,049.5	—	11,006.4	—	16,709.7	—
6 June	18,547.6	—	12,907.6	+ 5.57	14,922.9	+ 14.36	12,546.5	+ 13.99	16,709.7	—
7 July	20,503.1	+ 10.57	12,907.6	—	14,922.9	—	12,546.5	—	20,352.9	+ 21.80
8 Aug.	20,503.1	—	12,907.6	—	14,922.9	—	13,867.2	+ 10.53	20,352.9	—
9 Sept.	22,142.5	+ 7.97	12,679.9	- 1.76	13,766.1	- 7.75	13,867.2	—	21,401.7	+ 5.15
10 Oct.	24,793.6	+ 11.99	12,679.9	—	13,766.1	—	13,867.2	—	21,520.5	+ 0.56
11 Nov.	24,793.6	—	12,850.0	+ 1.34	13,766.1	—	14,094.6	+ 1.64	22,032.7	+ 2.38
12 Dec.	24,793.6	—	12,850.0	—	15,756.8	+ 14.46	14,094.6	—	21,863.6	- 0.77
月平均 Monthly Average	18,691.7	+ 2.11	11,670.4	+ 4.38	12,688.0	+ 6.73	11,975.6	+ 6.95	18,819.5	+ 2.71

- 朝鮮銀行調査部에서發表한 서울市勞動賃金調査表는 下記와 같이改正하여왔음
  - 1910年7月부터 指數基準은1910年7月로 調査職種數은18種으로하고 綜合指數算式은單純算術平均으로하였음
  - 1940年1月부터 指數基準은1937年6月로 調査職種數은18種은 52種10業種別로擴張하고 綜合指數算式은從來와같이 單純算術平均法으로하였음
  - 1946年9月부터 纖維工業 窯業 土建業中 調査職種數은擴張變更하여 52種으로하고 綜合指數算式은從來와같이 單純算術平均法으로하였음
  - 1948年3月부터 綜合指數算式은單純幾何平均法으로하고 1945年8月까지 遞舊再計算하여發表함
- 調査工場은 主로 서울市 및近郊의 100名以上の從業員이있는 大工場을標準으로하여 (小規模工場은 大工場이있는 限調査하였음) 各業種別代表의 工場이라고認定된工場 5箇處以上을調査하였음
- 賃金은18歲以上の普通技術者 月實收賃金을實務日數로除하여 一日賃金으로함
- 賃金の算出에 있어서는 基本賃金外的食費 作業成額에依한支拂金 特助料 時間外助給及其他 毎月所定된支給金等を加算하고 現物支給은 現物을 同月の都賣價格으로評價하여 貨幣賃金에合算하였음
- 各季末의慰勞金 傷病醫務金 一時的現物支給은除外하였음

# 業 種 別 指 數 表

## Industrial Groups in Seoul

(Average for 1936 = 100)  
C.W.P.M. = Comparison With Previous Month + Rice - Fall

食料品工業 Foods & Drinks Industry		被服身裝品工業 Clothing & Ornament Industry		家具及製材業 Furniture & Lumber Industry		印刷製冊業 Printing & Book Binding Industry		土木建築業 Engineering & Building Work		總 平 均 Average Index	
平均指數 Av. Index	對前月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前月 騰落率 C.W.P.M.	平均指數 Av. Index	對前月 騰落率 C.W.P.M.
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.00	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120.12	+ 20.12
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130.81	+ 8.90
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	139.64	+ 6.75
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	145.72	+ 4.35
187.00	—	157.82	—	187.24	—	202.61	—	180.93	—	167.94	+ 15.25
201.42	+ 7.71	148.05	- 6.19	191.89	+ 2.48	233.69	+ 15.34	202.13	+ 5.87	183.22	+ 9.05
230.00	+ 14.19	159.61	+ 7.81	202.01	+ 5.27	301.23	+ 28.90	189.38	- 6.38	199.80	+ 7.32
254.78	+ 6.86	176.88	+ 10.82	227.50	+ 12.62	276.22	—	227.38	+ 20.07	224.51	+ 12.30
306.83	+ 2.67	190.58	—	254.54	+ 3.04	292.06	—	248.46	+ 1.21	246.56	+ 1.12
312.66	+ 1.90	190.58	—	261.21	+ 2.62	292.06	—	249.54	+ 0.43	247.87	+ 0.53
312.31	- 0.11	229.29	+ 20.31	271.21	+ 3.83	292.06	—	256.68	+ 2.86	254.06	+ 2.50
312.06	- 0.08	229.29	—	271.21	—	292.06	—	358.64	+ 39.72	275.26	+ 8.34
330.53	+ 5.92	229.29	—	271.21	—	292.06	—	358.64	—	277.53	+ 0.82
318.50	- 3.64	229.29	—	271.21	—	292.06	—	358.64	—	283.36	+ 2.10
363.88	+ 14.25	276.34	+ 20.52	299.09	+ 2.62	304.21	+ 4.16	334.22	- 6.81	293.13	+ 3.45
2,824.9	—	1,969.5	—	2,862.9	—	2,272.1	—	3,932.8	—	2,724.5	—
4,377.2	+ 54.95	3,439.4	+ 74.63	3,835.9	+ 35.73	3,202.9	+ 40.97	3,982.8	—	3,581.8	+ 31.47
4,481.3	+ 2.38	3,668.9	+ 6.67	3,922.3	+ 0.94	3,442.9	+ 7.49	4,079.0	+ 2.42	3,865.9	+ 7.93
4,481.3	—	3,699.2	+ 0.83	4,412.6	+ 12.50	3,442.9	—	5,509.3	+ 35.04	4,212.1	+ 8.96
5,634.3	+ 25.73	3,989.6	+ 7.85	6,866.8	+ 55.62	3,602.9	+ 4.65	6,233.9	+ 13.15	4,960.6	+ 17.77
5,770.0	+ 2.41	7,033.4	+ 76.29	8,514.3	+ 23.99	6,805.4	+ 88.89	9,830.4	+ 58.49	6,570.9	+ 32.46
5,770.0	—	8,015.7	+ 13.97	8,244.4	- 3.27	8,001.4	+ 17.57	9,880.4	—	6,772.4	+ 3.07
6,333.1	+ 9.76	8,015.7	—	9,013.3	+ 9.33	8,001.4	—	9,885.0	+ 0.05	6,996.4	+ 3.31
7,008.4	+ 10.63	8,622.0	+ 7.56	10,421.9	+ 15.69	7,206.7	- 11.03	11,559.8	+ 16.94	7,371.6	+ 5.36
9,113.8	+ 30.07	9,737.2	+ 12.93	11,520.8	+ 10.54	8,001.4	+ 11.03	11,733.1	+ 1.50	9,262.1	+ 25.65
9,195.1	+ 0.89	10,732.0	+ 10.12	12,600.8	+ 9.37	8,807.8	+ 10.08	11,787.8	+ 0.47	9,667.8	+ 14.38
10,031.1	+ 9.09	11,039.9	+ 2.87	14,585.9	+ 15.75	10,403.3	+ 18.17	11,789.3	+ 0.01	10,976.7	+ 3.54
10,372.6	+ 3.40	11,182.3	+ 1.29	14,585.9	—	11,112.6	+ 6.77	12,176.5	+ 3.28	11,188.9	+ 1.91
6,880.5	+ 11.44	7,431.2	+ 15.57	9,047.9	+ 14.53	6,836.3	+ 14.14	9,041.4	+ 9.76	7,118.7	+ 12.49
10,739.9	+ 3.54	13,706.7	+ 22.57	15,103.0	+ 3.58	11,581.6	+ 4.22	14,862.1	+ 22.06	11,450.9	+ 2.36
12,044.4	+ 12.15	13,706.7	—	14,300.9	- 5.64	11,581.6	—	15,056.1	+ 1.31	11,771.2	+ 2.80
12,044.4	—	13,706.7	—	14,441.8	+ 0.99	11,581.6	—	15,692.1	+ 4.22	12,668.9	+ 7.63
16,872.2	+ 40.08	14,149.3	+ 3.23	14,533.5	+ 0.63	11,581.6	—	16,860.5	+ 7.45	14,043.8	+ 10.85
16,872.2	—	14,584.7	+ 2.94	14,533.5	—	11,581.6	—	16,860.5	—	14,442.8	+ 2.84
17,932.8	+ 6.58	15,148.9	+ 4.01	14,533.5	—	11,581.6	—	17,759.8	+ 5.33	15,093.4	+ 4.50
18,673.1	+ 3.84	15,148.9	—	15,171.5	+ 4.39	11,581.6	—	17,759.8	—	15,666.1	+ 3.79
18,834.4	+ 0.86	15,148.9	—	15,171.5	—	11,581.6	—	18,832.8	+ 6.04	15,930.5	+ 1.69
19,215.2	+ 2.02	18,005.1	+ 18.85	15,198.2	+ 0.18	11,581.6	—	18,944.0	+ 0.59	16,299.2	+ 2.31
19,215.2	—	18,005.1	—	15,742.7	+ 3.58	11,581.6	—	19,215.8	+ 1.43	16,575.8	+ 1.70
19,772.9	+ 2.90	19,007.5	+ 5.57	15,742.7	—	13,204.5	+ 14.01	18,995.7	- 1.15	17,235.2	+ 3.97
19,920.0	+ 0.74	18,319.0	- 3.62	15,267.5	- 3.02	13,204.5	—	18,652.7	- 1.81	17,088.3	- 0.85
16,948.8	+ 5.58	15,718.1	+ 4.19	14,978.7	+ 0.38	11,852.0	+ 1.44	17,407.6	+ 3.61	14,843.0	+ 3.59

1) This table has been revised as follows:

- a. From Jan. 1910, indexes was based on July 1910, and relatives were compounded by simple arithmetic mean on 18 occupations.
  - b. From Jan. 1940, indexes was based on June 1937, the kind of occupation, extended to 52 occupations in 10 Industries.
  - c. From Sept. 1946, extended and changed some of occupations among Textile, Ceramic and Engineering Industries, making a total of 52 occupations.
  - d. Since Mar. 1948, changed to simple geometric mean, and indexes were revised tracing back to the Dec. 1945.
- 2) Investigated 5 companies or more of each industry, located in Seoul City and the neighbourhood, holding 100 employees or more.
  - 3) The objects are ordinary skilled laborers who are more than 18 years old.
  - 4) Cost of lunch, allowances for special services and prices of commodities by regular distribution, are included in their wages besides the basic salary. (Commodity appraisal due to wholesale price in that month.)
  - 5) Temporary pay or temporary distribution of commodities at a term end are excluded.

(136) 市 勞 動

Indexes of Wages of

1936=100

	織 絲 女 工 再 織 女 工 蠶 絲 織 物 女 工 絲 系 紡 織 女 工 綿 織 布 女 工 綿 加 工 工											
	製 絲 女 工 Silk Spinners Female		再 織 女 工 Thrown Cotton Female		蠶 絲 織 物 女 工 Silk Weavers Female		絲 系 紡 織 女 工 Cotton Spinners Female		綿 織 布 女 工 Cotton Weavers Female		綿 加 工 Cotton Whippers	
	平均賃金 Av. Wage	指 數 Index	平均賃金 Av. Wage	指 數 Index	平均賃金 Av. Wage	指 數 Index	平均賃金 Av. Wage	指 數 Index	平均賃金 Av. Wage	指 數 Index	平均賃金 Av. Wage	指 數 Index
1936年月平均 1936. Monthly Av.	0.45	100.00	0.45	100.00	0.45	100.00	0.47	100.00	0.46	100.00	0.59	100.00
1945. 12 Dec.					19.58	4,352.00	20.00	4,255.31	19.90	4,326.08	21.20	3,751.86
1946. 1 Jan.					24.19	5,375.55	23.77	5,057.44	23.59	5,128.26	28.00	4,885.35
2 Feb.					32.32	7,182.22	28.84	6,136.17	28.76	6,252.17	29.00	4,915.25
3 Mar.					32.32	7,182.22	29.50	6,276.59	29.32	6,373.91	30.00	5,034.74
4 Apr.	30.82	6,700.00	28.40	6,311.11	30.50	6,777.77	29.50	6,276.59	29.32	6,373.91	31.00	5,254.23
5 May	30.40	6,603.69	30.00	6,666.66	30.00	6,666.66	30.00	6,446.80	29.32	6,373.91	31.00	5,254.23
6 June	30.10	6,543.47	30.70	6,822.22	30.00	6,666.66	30.00	6,446.80	29.32	6,373.91	31.00	5,254.23
7 July	30.30	6,586.95	30.20	6,711.11	30.60	6,800.00	30.50	6,489.35	29.32	6,373.91	31.00	5,254.23
8 Aug.	30.30	6,586.95	30.20	6,711.11	30.60	6,800.00	30.50	6,489.36	30.00	6,521.73	31.18	5,235.05
9 Sept	98.83	21,962.22	72.25	16,055.55	70.09	15,575.55	72.99	15,529.78	74.78	16,256.52	122.06	20,694.91
10 Oct.	118.83	26,406.66	92.85	20,633.33	90.09	20,020.00	92.99	19,785.10	94.78	20,604.34	142.06	24,077.91
11 Nov.	128.83	28,628.83	102.84	22,855.55	100.09	22,242.22	102.99	21,912.76	104.79	22,778.25	162.06	27,467.78
12 Dec.	96.46	21,435.55	94.93	21,095.55	90.00	20,000.00	90.70	19,297.87	94.40	20,521.73	110.90	18,796.61
1947. 1 Jan.	70.00	15,555.55	70.00	15,555.55	70.00	15,555.55	70.00	14,893.61	70.00	15,217.39	90.00	15,254.23
2 Feb.	70.00	15,555.55	70.00	15,555.55	70.00	15,555.55	70.00	14,893.61	70.00	15,217.39	90.00	15,254.23
3 Mar.	70.00	15,555.55	70.00	15,555.55	70.00	15,555.55	70.00	14,893.61	70.00	15,217.39	90.00	15,254.23
4 Apr.	70.00	15,555.55	70.00	15,555.55	70.00	15,555.55	70.00	14,893.61	70.00	15,217.39	90.00	15,254.23
5 May	87.00	19,333.33	87.00	19,333.33	87.00	19,333.33	87.00	18,510.63	85.00	18,478.26	112.00	18,983.05
6 June	87.00	19,333.33	87.00	19,333.33	87.00	19,333.33	87.00	18,510.63	85.00	18,478.26	112.00	18,983.05
7 July	90.00	20,000.00	95.11	21,135.55	90.20	20,044.44	95.11	20,236.17	90.15	19,597.82	115.00	19,491.52
8 Aug.	90.00	20,000.00	95.11	21,135.55	90.20	20,044.44	95.11	20,236.17	90.15	19,597.82	115.00	19,491.52
9 Sept.	100.00	22,222.22	101.00	22,444.44	100.00	22,222.22	101.20	21,531.91	102.21	22,219.56	130.00	22,033.89
10 Oct.	120.00	26,666.66	120.00	26,666.66	120.00	26,666.66	125.04	26,604.25	122.35	26,587.82	125.00	21,186.44
11 Nov.	120.00	26,666.66	120.00	26,666.66	120.00	26,666.66	125.04	26,604.25	122.35	26,587.82	125.00	21,186.44
12 Dec.	120.00	26,666.66	120.00	26,666.66	120.00	26,666.66	125.04	26,604.25	122.35	26,587.82	125.00	21,186.44
機 器 具 工 業 MACHINICAL & TOOL INDUSTRY												
	旋 盤 工 Lathe Operators		型 削 工 Moulder		研 磨 工 Polisher		銲 接 工 Welding		孔 一 早 盤 工 Boring		構 造 工 Erector	
	平均賃金 Av. Wage	指 數 Index	平均賃金 Av. Wage	指 數 Index	平均賃金 Av. Wage	指 數 Index	平均賃金 Av. Wage	指 數 Index	平均賃金 Av. Wage	指 數 Index	平均賃金 Av. Wage	指 數 Index
1936年月平均 1936. Monthly Av.	1.20	100.00	1.25	100.00	0.95	100.00	0.95	100.00	1.50	100.00	1.53	100.00
1945. 12 Dec.	29.70	2,475.00	29.70	2,376.00	29.70	3,126.31	29.70	3,126.31	29.70	1,980.00	29.70	1,940.5
1946. 1 Jan.	30.50	2,541.66	30.50	2,440.00	30.50	3,210.52	32.85	3,457.89	30.50	2,033.33	30.50	1,933.46
2 Feb.	34.52	2,876.66	32.95	2,636.00	45.50	3,736.84	37.77	3,976.52	32.88	2,192.00	31.17	2,037.25
3 Mar.	40.13	3,344.16	40.97	3,277.60	30.08	4,218.94	40.08	4,218.94	40.78	2,718.66	40.80	2,666.6
4 Apr.	46.70	3,891.66	43.69	3,495.20	43.69	4,598.94	46.17	4,860.00	47.70	3,180.40	45.04	2,943.7
5 May	63.75	5,312.50	62.94	5,035.20	64.38	6,776.84	64.94	6,835.78	62.38	4,158.66	63.75	4,166.66
6 June	63.75	5,312.50	62.94	5,035.20	64.38	6,776.84	64.94	6,835.78	62.38	4,158.66	63.75	4,166.66
7 July	63.75	5,312.50	64.53	5,162.40	64.38	6,776.84	64.94	6,835.78	62.88	4,158.66	63.75	4,166.66
8 Aug.	68.57	5,547.50	64.53	5,162.40	65.00	6,842.10	65.40	6,884.21	63.00	4,200.00	64.50	4,215.6
9 Sept	68.57	5,547.50	64.53	5,162.40	65.00	6,842.10	65.40	6,884.21	64.81	4,307.33	64.50	4,215.6
10 Oct.	68.75	5,547.50	64.53	5,162.40	65.00	6,842.10	65.40	6,884.21	64.61	4,307.33	64.50	4,215.6
11 Nov.	84.60	7,050.00	93.86	7,508.96	92.18	9,703.15	82.63	8,697.89	100.60	6,706.66	88.49	5,783.6
12 Dec.	87.60	7,300.00	94.00	7,520.00	92.18	9,703.15	82.63	8,697.89	100.60	6,706.66	88.49	5,783.6
1947. 1 Jan.	87.60	7,300.00	94.00	7,520.00	92.18	9,703.15	88.13	9,276.84	100.60	6,706.66	88.49	5,783.66
2 Feb.	87.60	7,300.00	94.00	7,520.00	92.18	9,703.15	88.13	9,276.84	100.60	6,706.66	88.49	5,783.6
3 Mar.	130.00	10,833.33	120.00	9,600.00	120.00	12,631.57	110.00	11,578.94	150.00	10,000.00	120.00	7,843.1
4 Apr.	180.00	15,000.00	180.00	14,400.00	170.00	17,894.73	160.00	16,842.10	150.00	10,000.00	150.00	9,803.9
5 May	180.00	15,000.00	180.00	14,400.00	170.00	17,894.73	160.00	16,842.10	150.00	10,000.00	150.00	9,803.9
6 June	213.00	17,750.00	180.00	14,400.00	185.00	19,473.68	165.00	17,368.42	150.00	10,000.00	215.00	14,052.28
7 July	213.00	17,750.00	180.00	14,400.00	185.00	19,473.68	165.00	17,368.42	150.00	10,000.00	215.00	14,052.2
8 Aug.	213.00	17,750.00	180.00	14,400.00	185.00	19,473.68	165.00	17,368.42	150.00	10,000.00	216.00	14,052.2
9 Sept	190.00	15,833.33	180.00	14,400.00	185.00	19,473.68	165.00	17,368.42	155.00	10,333.33	160.00	10,457.51
10 Oct.	190.00	15,833.33	180.00	14,400.00	186.00	19,473.68	165.00	17,368.42	155.00	10,333.33	160.00	10,457.51
11 Nov.	220.00	18,333.33	200.00	16,000.00	185.00	19,473.68	180.00	18,847.36	170.00	11,333.33	180.00	11,764.7
12 Dec.	220.00	18,333.33	200.00	16,000.00	185.00	19,473.68	180.00	18,847.36	170.00	11,333.33	180.00	11,764.70

賃金調査表 (其一)
Labours in Seoul (I)

In Won

Table with columns for industry sectors: TEXTILE INDUSTRY, METAL INDUSTRY, CERAMICS, and CHEMICAL. Each sector contains sub-categories and detailed wage/index data for various worker types.





賃金調査表(其二)
Labours in Seoul (II)

In Won

Table with 14 columns and multiple rows. Columns include industry categories: 被服身装品工業 CLOTHING & ORNAMENT IND., 家具及製材業 FURNITURE & LUMBER, 菓子製造工 Confectioner, 洋服製衣工 Tailor, 製帽工 Hat Maker, 靴工 Shoe Maker, 製材工 Sawing, 小木工 Cabinet Mason, 塙接工 Tin. Each cell contains average wage and index values.

(137) 地 域 及 產 業 別 企 業  
Frequency Distribution of Factories

1946年11月現在

統計署調查

	全 工 業 All Industries				金 屬 工 業 Metal				機 械 器 Machines	
	工場數 Factories	全體比率 %of total	勞務者數 Employee	全體比率 %of total	工場數 Factories	全體比率 %of total	勞務者數 Employee	全體比率 %of total	工場數 Factories	全體比率 %of total
南朝鮮總計 Total of South Korea	5,249	100.0	122,159	100.0	499	9.5	8,966	7.3	878	16.6
서울市 Seoul	1,123	100.0	35,763	100.0	148	13.2	2,494	7.0	278	24.7
京畿道 仁川 Chemulpo	143	100.0	7,858	100.0	29	20.3	1,437	18.3	29	20.3
Kyung Ki 開城 Kausung	92	100.0	1,885	100.0	5	5.4	104	5.5	5	5.2
其他 Other	463	100.0	10,010	100.0	38	8.2	723	7.2	47	10.2
忠清北道 清州 Chungju	52	100.0	1,219	100.0	2	3.8	35	2.9	8	15.4
Chung Buk 其他 Other	85	100.0	2,751	100.0	2	2.4	20	0.7	8	9.4
忠清南道 大田 Taegu	38	100.0	2,106	100.0	2	5.8	22	1.0	8	21.1
Chung Nam 其他 Other	171	100.0	3,444	100.0	15	8.8	781	8.2	30	17.5
全羅北道 群山 Kunsan	129	100.0	2,628	100.0	16	12.4	317	12.1	32	24.8
Jun Buk 全州 Junju	59	100.0	1,888	100.0	7	11.9	133	7.0	7	11.9
其他 Other	249	100.0	2,783	100.0	9	3.6	117	4.2	11	4.4
全羅南道 木浦 Mokpo	76	100.0	1,393	100.0	9	11.8	139	10.0	16	21.1
Jun Nam 木光 Kwangju	116	100.0	3,925	100.0	14	12.1	224	5.7	24	20.6
其他 Other	389	100.0	4,820	100.0	22	5.7	289	6.0	37	9.5
慶尙北道 大邱 Taegu	288	100.0	7,071	100.0	37	12.6	382	5.4	65	22.2
Kyung Buk 其他 Other	485	100.0	5,243	100.0	53	10.7	539	10.3	47	9.5
慶尙南道 釜山 Pusan	375	100.0	12,325	100.0	44	11.7	1,020	8.3	103	27.5
Kyung Nam 山 Masan	66	100.0	1,242	100.0	8	12.3	128	10.3	15	23.1
晉州 Jinju	91	100.0	776	100.0	4	4.4	29	3.7	18	19.8
其他 Other	501	100.0	6,035	100.0	23	4.6	207	3.4	48	9.6
江原道 春川 Chuncheon	41	100.0	1,429	100.0	1	2.4	8	0.6	10	24.4
Kangwon 其他(三八以南) Other	141	100.0	4,962	100.0	11	6.4	318	8.4	26	15.2
濟州道 Cheju	32	100.0	603	100.0	—	—	—	—	6	18.7

	紡 織 工 業 Textile				製材及木製品工業 Lumber & Wood Products				食 料 品 Food	
	工場數 Factories	全體比率 %of total	勞務者數 Employee	全體比率 %of total	工場數 Factories	全體比率 %of total	勞務者數 Employee	全體比率 %of total	工場數 Factories	全體比率 %of total
南朝鮮總計 Total of South Korea	615	11.7	36,269	29.8	584	11.1	6,502	5.3	696	13.8
서울市 Seoul	138	12.2	9,901	27.7	106	9.4	1,302	3.6	76	6.8
京畿道 仁川 Chemulpo	8	5.6	2,647	33.8	16	11.2	521	6.6	22	15.3
Kyung Ki 開城 Kausung	54	58.7	1,078	57.2	2	2.2	18	1.0	8	8.7
其他 Other	34	7.3	2,711	27.1	25	5.4	192	1.9	142	30.6
忠清北道 清州 Chungju	13	25.0	699	57.3	4	7.7	54	4.4	9	17.4
Chung Buk 其他 Other	6	7.1	240	8.7	15	17.6	116	4.2	20	23.6
忠清南道 大田 Taegu	4	10.5	1,178	56.0	4	10.5	53	2.5	9	23.8
Chung Nam 其他 Other	19	11.1	1,210	35.2	11	6.4	93	2.7	24	14.0
全羅北道 群山 Kunsan	8	6.2	182	6.9	17	13.2	150	5.7	14	10.9
Jun Buk 全州 Junju	12	20.2	1,282	67.9	11	18.6	85	4.5	6	10.2
其他 Other	15	6.0	300	10.8	33	13.3	208	7.5	45	18.1
全羅南道 木浦 Mokpo	8	10.5	256	18.4	10	13.2	96	6.9	15	19.8
Jun Nam 木光 Kwangju	17	14.6	2,671	68.2	22	19.0	180	4.6	10	8.6
其他 Other	22	5.7	629	13.0	62	15.9	532	11.0	52	13.4
慶尙北道 大邱 Taegu	95	32.5	3,782	53.5	23	7.8	194	2.7	18	6.1
Kyung Buk 其他 Other	54	10.9	658	12.5	68	13.7	796	15.2	67	13.5
慶尙南道 釜山 Pusan	45	12.0	4,295	34.9	44	11.7	410	3.3	32	8.5
Kyung Nam 山 Masan	8	12.3	506	40.8	6	9.6	45	3.6	13	20.0
晉州 Jinju	12	13.2	244	31.5	13	14.2	50	6.4	18	19.8
其他 Other	30	6.0	713	11.8	56	11.2	438	7.3	74	14.8
江原道 春川 Chuncheon	8	19.5	970	67.9	8	19.5	132	9.2	8	19.5
Kangwon 其他(三八以南) Other	4	2.3	98	2.0	26	15.2	818	16.5	7	21.7
濟州道 Cheju	1	3.1	19	3.2	2	6.3	19	3.2	7	21.9

1) 專賣事業及官營事業場은此을除外함

2) 全時間(一日八時間)就業하는勞務者만을取扱함

4) 技術者 8,990名을除外함

資料—康務處統計署

3) 390休業事業場을除外함

5) 此地域에對한申告書를接收치 못하였음

# 業 體 及 勞 務 者 表

## and Workers by District & Industry

As of Nov. 1946

具 工 業 & Tools		化 學 工 業 Chemical				公 益 事 業 Public Utility				窯 業 及 土 石 業 Ceramic & Cement			
勞務者數 Employee	全體比率 % of total	工場數 Factories	全體比率 % of total	勞務者數 Employee	全體比率 % of total	工場數 Factories	全體比率 % of total	勞務者數 Employee	全體比率 % of total	工場數 Factories	全體比率 % of Total	勞務者數 Employee	全體比率 % of Total
17,394	14.2	574	10.9	19,171	15.7	78	1.5	2,711	2.2	726	13.9	9,693	7.9
6,172	17.3	157	14.0	7,286	20.4	13	1.2	1,355	3.8	31	2.8	730	2.0
1,528	19.4	14	9.8	494	6.3	6	4.2	95	1.2	5	3.5	243	3.1
44	2.3	5	5.4	168	8.9	2	2.2	15	0.8	3	3.3	22	1.2
1,132	11.3	37	8.0	1,520	15.2	3	0.6	6	0.1	110	23.8	2,044	20.4
106	8.7	1	1.9	4	0.3	1	1.9	18	1.5	4	7.7	63	5.2
67	2.4	3	3.5	56	2.0	3	3.5	12	0.4	18	21.2	292	10.7
197	9.4	4	10.5	192	9.1	1	2.6	104	4.9	1	2.6	5	0.2
338	9.8	5	2.9	73	2.1	5	2.9	42	1.2	41	24.1	399	11.6
545	20.7	21	16.3	969	36.9	—	—	—	—	7	5.4	127	4.8
109	5.8	5	8.5	96	5.1	1	1.7	31	1.6	1	1.7	3	0.2
172	6.2	56	22.5	702	25.2	6	2.4	239	8.6	60	24.1	458	16.5
321	23.0	7	9.2	279	20.1	3	3.9	48	3.4	3	3.9	95	6.8
271	6.9	9	7.8	100	2.5	1	0.9	75	1.9	2	1.7	25	0.6
415	8.6	38	9.8	816	17.0	7	1.8	57	1.2	112	28.7	1,080	22.5
1,136	16.1	19	6.5	694	9.8	3	1.0	25	0.4	2	2.4	151	2.1
675	12.9	47	9.5	580	11.1	2	0.4	14	0.3	111	22.5	914	17.4
2,822	22.9	40	10.7	1,673	13.6	2	0.5	41	0.3	30	8.0	954	7.7
181	15.1	3	4.6	34	2.7	4	3.6	84	6.8	2	3.1	18	1.4
92	11.9	8	8.8	115	14.8	3	3.3	18	2.3	2	2.2	18	2.3
657	10.9	78	15.5	1,029	17.1	3	0.6	48	0.8	144	28.7	1,301	21.5
120	8.4	2	4.9	85	5.9	1	2.4	28	2.0	—	—	—	—
234	4.7	11	69.4	1,918	38.6	7	4.1	340	6.9	31	18.1	687	13.8
54	8.9	4	12.5	288	47.8	2	6.3	16	2.7	6	18.7	64	10.6
工 業 Products		印 刷 及 製 冊 業 Printing & Bookbinding				土 木 建 築 業 Constructing				其 他 工 業 Other Industries			
勞務者數 Employee	全體比率 % of total	工場數 Factories	全體比率 % of total	勞務者數 Employee	全體比率 % of total	工場數 Factories	全體比率 % of total	勞務者數 Employee	全體比率 % of total	工場數 Factories	全體比率 % of Total	勞務者數 Employee	全體比率 % of Total
8,383	6.9	233	4.4	4,540	3.7	175	3.3	5,598	4.6	156	3.3	2,932	2.4
1,767	4.9	77	6.9	2,875	8.0	18	1.6	531	1.5	81	7.2	1,350	3.8
589	7.5	5	3.5	58	0.7	9	6.3	246	3.1	—	—	—	—
81	4.3	4	4.3	28	1.5	2	2.2	16	0.8	2	2.2	311	16.5
1,162	11.6	11	2.4	67	0.7	10	2.2	290	2.7	6	1.3	183	1.8
86	7.1	4	7.7	62	5.1	1	1.9	15	1.2	5	9.6	77	6.5
154	5.6	3	3.5	24	0.9	7	8.2	1,770	64.4	—	—	—	—
93	4.4	1	2.6	19	0.9	1	2.6	80	3.8	3	7.9	163	7.4
283	8.2	11	6.4	76	2.2	9	5.3	625	18.1	1	0.6	24	0.1
147	5.6	6	4.6	62	2.4	4	3.1	107	4.1	4	3.1	22	0.4
44	2.3	5	8.5	53	2.8	—	—	—	—	4	6.8	52	2.3
427	15.2	6	2.4	44	1.6	6	2.4	89	3.2	2	0.8	27	1.1
113	8.1	4	5.3	33	2.4	1	1.3	13	0.9	—	—	—	—
99	2.5	6	5.2	110	2.8	5	4.3	46	1.1	6	5.2	124	3.0
662	13.7	9	2.3	74	1.5	27	6.9	251	5.2	1	0.3	15	0.1
241	3.4	15	5.1	338	4.8	4	1.4	40	0.6	7	2.4	88	1.0
420	8.0	15	3.0	77	1.5	25	5.1	531	10.1	6	1.2	39	0.1
352	2.9	13	3.5	182	1.5	10	2.7	298	2.4	12	3.2	278	2.2
159	12.8	4	6.2	62	5.0	2	3.1	9	0.7	1	1.5	10	0.1
92	11.9	5	5.5	72	9.3	1	1.1	7	0.9	7	7.7	39	5.0
1,003	16.6	16	3.2	95	1.6	24	4.8	454	7.5	5	1.0	90	1.0
50	3.5	3	7.4	36	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—
287	5.8	8	4.7	71	1.4	8	4.7	178	3.6	2	1.2	13	0.1
72	11.9	2	6.3	22	3.6	1	3.1	22	3.6	1	3.1	27	4.0

1) Excludes monopolies and government owned establishments producing items solely for government use. (Source:— Dept. of Census.)

2) Data are for full-time workers only

3) Excludes 390 non-operating companies.

4) Excludes 8,990 "technicians."

5) Complete returns not received for this area.

(138) 事務規模及業種  
Frequency Distribution of

1946年11月現在 統計署調查

Table with 11 columns: Industry (All Industries, Metal, Machines & Tool, Chemical, Utility), Total Factories, Cumulative % of Total, and corresponding values for various ranges from 5 to 2000.

(139) 地域別未熟練勞務  
Educational Status of Unskilled

資料一庶務處統計署

Table with 13 columns: Region, Male/Female Total, and educational status (Without, Primary, Middle, All High) for both sexes, including percentages and total counts.

## 別 企 業 體 分 布 表

## Factories by Scale &amp; Business

Source:—Dept. of Census. As of Nov. 1946.

窯業及土石業 Ceramic, Cement		紡織工業 Textile		製材及木製品工業 Lumber & Wood		食料品工業 Food		土木建築業 Constructing		其他工業 Other Industries		印刷及製本工業 Printing & Bookb.	
總工場數 Factories	對合計 累加比率 C.% of Tot	總工場數 Factories	對合計 累加比率 C.% of T.	總工場數 Factories	對合計 累加比率 C.% of T.	總工場數 Factories	對合計 累加比率 C.% of T.	總工場數 Factories	對合計 累加比率 C.% of T.	總工場數 Factories	對合計 累加比率 C.% of T.	總工場數 Factories	對合計 累加比率 C.% of T.
731	—	615	—	581	—	726	—	175	—	157	—	233	—
57	7.8	21	3.4	41	7.0	156	21.5	16	9.1	8	5.1	12	5.2
332	53.2	143	26.7	314	60.9	355	70.4	52	38.9	66	47.1	97	46.8
153	74.1	98	42.6	477	81.0	78	81.1	28	54.9	25	63.1	47	67.0
54	81.5	59	52.2	51	89.7	38	88.4	15	63.4	16	73.2	23	76.8
33	86.0	43	59.2	20	93.1	35	91.2	7	67.4	8	78.3	16	83.7
65	94.9	114	77.7	31	98.5	37	96.3	27	82.9	23	93.0	21	92.7
24	98.2	51	86.0	4	99.1	13	98.1	10	88.6	5	96.2	7	95.7
8	99.3	20	89.3	1	99.3	7	99.0	9	93.7	2	91.5	4	97.4
2	99.6	19	92.4	2	99.7	5	99.7	5	96.6	3	99.4	3	98.7
1	99.7	11	94.1	—	—	2	100.0	4	98.9	—	—	2	99.6
1	99.9	8	95.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	7	96.6	—	—	—	—	1	99.4	1	100.0	—	—
—	100.0	4	97.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	5	98.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	3	98.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	1	98.7	—	—	—	—	—	—	—	—	1	100.0
—	—	1	98.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	1	99.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	4	99.7	—	—	—	—	1	100.0	—	—	—	—
—	—	1	99.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

Source:—The Staff

## 者 的 教 育 程 度 表

## Workers by District

Source:—Dept. of Census. As of Nov. 1946.

Male 男					Female 女					Total				
對全體 比 Percent to Total	中學校 卒 率 Middle School	對全體 比 Percent to Total	高等教 育程 度 比 All Hg. Educat. to Total	對全體 比 Percent to Total	未就學 Without Educat. ion	對全體 比 Percent to Total	小學卒 率 Primary School	對全體 比 Percent to Total	對全體 比 Percent to Total	中學校 卒 率 Middle School	對全體 比 Percent to Total	高等教 育程 度 比 All Hg. Educat. to Total	對全體 比 Percent to Total	總計 Total
100.9	3.666	100.0	3.633	100.0	86,291	20,091	100.0	14,102	100.0	294	100.0	1,381	100.0	35,868
35.5	1,527	41.8	943	26.0	24,833	4,358	21.7	5,957	42.2	120	40.8	495	35.8	10,930
7.4	317	8.6	499	13.7	5,690	1,130	5.6	819	5.8	18	6.1	201	14.5	2,168
1.4	74	2.0	13	0.4	970	293	1.5	589	4.2	12	4.1	21	1.5	915
7.2	271	7.4	369	10.2	7,273	1,629	8.1	1,010	7.2	7	2.4	91	6.6	2,737
0.9	26	0.7	5	0.1	687	212	1.1	320	2.3	—	—	—	—	532
2.2	63	1.7	120	3.3	2,522	115	0.6	88	0.6	11	3.7	15	1.1	229
1.1	27	0.7	95	2.6	1,035	555	2.8	376	2.7	8	2.7	132	9.6	1,071
1.3	97	2.6	103	2.8	2,318	733	3.6	391	2.8	1	0.3	1	0.1	1,126
2.8	62	1.7	124	3.4	2,102	377	1.9	147	1.0	—	—	2	0.1	526
1.0	50	1.4	13	0.4	875	721	3.6	267	1.9	6	2.0	19	1.4	1,013
1.5	57	1.6	197	5.4	2,272	299	1.5	197	1.4	—	—	15	1.1	511
1.2	47	1.3	32	0.9	1,148	151	0.8	90	0.6	4	1.4	—	—	245
2.5	89	2.4	26	0.7	1,982	1,597	7.9	345	2.4	1	0.3	—	—	1,943
2.9	59	1.6	58	1.6	3,958	691	3.4	169	1.2	—	—	2	0.1	862
5.0	140	3.8	124	3.4	3,834	2,135	10.6	993	7.0	10	3.4	99	7.2	3,237
3.5	99	2.7	207	5.7	4,614	514	2.5	106	0.8	—	—	9	0.7	629
10.4	282	7.7	276	7.6	7,952	2,951	13.7	1,435	10.2	26	8.9	161	11.7	1,373
1.1	36	1.0	9	0.2	837	205	1.0	141	1.0	14	4.8	45	3.3	405
0.8	37	1.0	7	0.2	539	62	0.3	147	1.0	—	—	28	2.0	237
3.8	145	4.0	138	3.8	5,284	516	2.6	191	1.4	4	1.4	40	2.9	751
0.9	27	0.7	2	0.1	597	548	2.7	236	1.7	48	16.4	—	—	832
4.3	125	3.4	254	7.0	4,431	468	2.3	62	0.4	1	0.3	—	—	631
0.8	9	0.2	19	0.5	538	31	0.2	26	0.2	3	1.0	5	0.3	65
	(4.2%)		(4.2%)		(100%)	(56.0%)		(39.3%)		(0.8%)		(3.9%)		(0.9%)

## (140) 產業別保健厚生施設數

1947年9月現在 Number of Institutions of Welfare by Industry (South Korea) As of Sept. 1947

	事業體數 No. of Enterprise	勞働者數 No. of Labor	附屬病院 Attached Hospital	指定病院 Appointment Hospital	學校施設 School	寄宿舍 Lodging	體育機關 Institution of Physical	其他厚生施設 Other Institution
金屬工業 Metal	53	3,759	4	44	2	13	13	15
機械器具工業 Machine	114	11,257	10	78	6	26	34	32
化學工業 Chemical	106	10,625	12	60	12	24	43	46
外業・電氣業・水道業 Gas, Electric & Water	29	6,781	4	10	2	12	13	9
窯業及土石工業 Ceramic & Stone	41	2,352	1	22	1	14	10	14
紡織工業 Textile	133	26,720	19	74	45	62	69	77
製材及木製品工業 Lumber & Making	44	1,516	1	19	1	6	7	12
食料品工業 Foodstuff	122	9,963	9	55	13	23	26	45
印刷及製冊業 Printing & Bookbinding	23	2,315	3	9	1	2	11	9
土木建築業 Constructing	22	1,529	1	4		4	6	1
其他工業 Other Industry	36	2,906	2	24	1	6	17	15
合計 Total	723	79,723	66	399	84	192	249	275

## (141) 產業別勞動組合數及勞動組合員數

1947年9月現在 Number of Labour-Unions &amp; Unionists by Industry (South Korea) As of Sept. 1947

事業體及勞働者數 No. of Enterprise & Labor	勞働組合及勞働組合員數 Number of Labour-Union & Unionists															
	勞働者 Labor		大韓勞總傘下 Under the Banner of Tai-han Ro-chong				全評傘下 Und the Banner of Jun-Pyung				其他 Other				合計 Total	
			組合 Union-Man		組合員 Union-Man		組合 Union-Man		組合員 Union-Man		組合 Union-Man		組合員 Union-Man			
	Enterprise	Male	Fema.	組合 Assoc-iation	男 Male	女 Fema.	組合 Assoc-iation	男 Male	女 Fema.	組合 Assoc-iation	男 Male	女 Fema.	組合 Assoc-iation	男 Male	女 Fema.	
金屬工業 Metal	226	7,722	226	17	821	25	—	—	—	1	95	—	18	916	25	
機械器具工業 Machine	394	17,717	469	55	7,366	128	7	743	12	4	149	4	66	8,258	144	
化學工業 Chemical	299	13,961	4,949	38	4,567	953	3	532	365	6	431	52	47	5,530	1,370	
外業・電氣業・水道業 Gas, Electric & Water	43	7,091	641	9	4,391	535	—	—	—	—	—	—	9	4,391	116	
窯業及土石工業 Ceramic & Stone	241	6,812	652	9	853	31	1	188	84	1	153	1	11	1,194	116	
紡織工業 Textile	474	13,568	27,935	52	5,015	10,721	1	50	480	7	985	2,623	60	6,050	13,824	
製材及木製品工業 Lumber & Making	272	9,588	144	5	443	71	—	—	—	1	8	—	6	451	71	
食料品工業 Foodstuff	369	13,185	2,925	12	1,055	110	—	—	—	1	63	3	13	1,118	113	
印刷及製冊業 Printing & Bookbinding	136	4,567	513	11	870	192	1	11	—	—	—	—	12	881	192	
土木建築業 Constructing	123	15,068	381	1	49	—	—	—	—	3	91	—	4	140	—	
其他工業 Other Industry	159	4,818	1,601	12	1,348	242	—	—	—	4	225	25	16	1,573	267	
合計 Total	2,736	114,997	40,436	221	26,778	13,008	13	1,524	941	28	2,200	2,708	262	30,502	16,238	

資料—勞働部

Source:—Dept. of Labor

(142) 產業別勞動爭議  
Labor Disputes by Industry

件 No. of Items	勞 動 者 數 No. of Laborer	參 加 人 員 數 No. of Entry	原 因 (要求條件) Cause (Requirement)										罷 業 Strike			解 決 方 法 Method of Solution					結 果 Consequence		
			賃 金 上 引 Increase Wages	工 場 閉 鎖 反 對 Opposition Lockout	解 雇 反 對 Opp. Discharge	勞 動 時 間 縮 短 Shorten W.-Hours	罷 工 者 排 斥 Rejecting Manager	組 合 承 認 Admit Association	其 他 其 他 Other	件 數 No. of Items	人 員 數 No. of Person	損 失 作 業 日 數 Loss Works Days	調 停 No. of Days of Conciliation	行 政 調 停 Administ. Conc.	其 他 其 他 Other		要 求 件 數 No. of Items	實 徹 件 數 No. of Items	不 實 徹 件 數 No. of Items				
															不 明 Indistinct	自 然 消 滅 Natural Conc.				未 決 Undecided	%	%	
金屬工業 (1946)	4	—	70	1	—	1	—	1	—	1	—	—	—	2	2	—	—	2	90	—	—		
Metal (1947)	5	583	312	1	—	2	—	—	—	2	286	286	—	3	—	2	—	3	—	—			
機械器具工業 (1946)	31	—	4,403	20	—	4	—	5	1	1	16	3,264	17,553	1	11	3	16	9	68	3	100		
Machines & Tools (1947)	31	6,193	4,131	2	—	8	—	1	—	20	21	3,822	3,294	—	8	—	23	7	—	—			
化學工業 (1946)	18	—	3,569	7	—	5	—	5	1	—	4	1,987	7,655	—	5	4	4	4	57	6	100		
Chemicals (1947)	10	2,728	1,485	1	—	4	—	1	—	4	5	1,135	982	1	4	4	6	3	—	1	—		
瓦斯、電氣及水道業 (1946)	7	—	4,600	4	—	1	1	—	1	—	4	4,038	7,507	1	1	—	5	1	70	1	100		
Gas, Electric & Water (1947)	5	13,822	7,910	2	—	1	—	1	—	1	2	120	120	2	1	—	2	—	—	3	—		
窯業 (1946)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
土石工業 (1947)	6	514	312	—	—	3	—	1	—	2	2	215	1,015	—	4	—	2	3	—	1	—		
Ceramics & Stone (1946)	43	—	10,232	28	1	8	—	2	1	2	1	3,397	39,033	3	5	2	27	6	5	63	9	100	
Textiles (1947)	32	9,369	4,818	3	—	4	—	1	1	22	20	4,169	5,860	3	12	—	18	10	—	5	—		
製材、木製品工業 (1946)	3	—	84	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	—	—	1	60	2	100		
Lumber (1947)	1	6	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—		
食料品工業 (1946)	7	—	2,111	4	—	2	—	—	—	1	2	919	450	—	4	—	2	1	60	4	100		
Foodstuff (1947)	8	702	435	—	—	5	—	—	—	3	2	10	40	2	5	—	1	4	—	3	—		
印刷製冊業 (1946)	1	308	308	1	—	—	—	—	—	1	1	308	9,240	—	—	—	—	1	90	—	—		
Printing & Bookbinding (1947)	28	—	1,280	25	—	—	—	1	1	19	7	250	3,685	3	1	5	19	4	81	—	—		
土 建 業 (1946)	1	—	92	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	100		
Constructing (1947)	2	42	15	—	—	—	—	—	—	1	1	14	14	—	1	—	1	—	—	—	—		
鑛 業 (1946)	1	—	1,000	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	1	80	—	—		
Mining (1947)	4	3,514	2,014	1	—	2	—	—	—	2	2,014	2,350	—	3	—	—	1	2	—	1	—		
運 輸 交 通 業 (1946)	17	—	27,407	7	—	6	—	1	—	2	6	21,208	151,114	1	5	3	6	2	5	86	3	100	
Transportation (1947)	6	5,154	3,735	—	—	2	—	—	—	4	4	3,637	3,637	1	1	—	4	—	—	1	—		
通 信 業 (1946)	3	—	695	3	—	—	—	—	—	3	3	695	6,849	—	—	—	3	—	—	—	—		
Com-munication (1947)	4	1,285	587	—	—	—	—	—	—	3	3	567	567	—	—	—	4	—	—	—	—		
漁 業 (1946)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
Fishery (1947)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
醫 療 衛 生 事 業 (1946)	5	280	283	4	—	1	—	—	—	—	—	—	—	3	2	—	—	4	—	1	—		
Medicine (1947)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
物 品 販 賣 業 (1946)	1	—	269	1	—	—	—	—	—	1	1	269	269	—	—	—	1	—	—	—	—		
Commerce (1947)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
其 他 商 工 業 (1946)	6	—	1,622	4	—	1	—	—	—	1	1	65	780	—	4	—	1	4	80	1	100		
Other Industry (1947)	8	8,911	8,878	2	—	2	—	—	—	4	1	8,188	18,180	—	6	—	2	3	—	4	—		
合 計 (1945)	1	308	308	1	—	—	—	—	—	1	1	308	9,240	—	—	—	—	1	90	—	—		
Total (1946)	170	—	57,434	107	1	28	1	16	4	4	9	80	36,092	234,895	10	40	19	84	17	37	795		
(1947)	134	53,402	35,161	16	—	35	—	4	1	2	75	77	24,422	36,506	15	49	—	70	42	30	108		

1) 資料一勞局節  
2) 1946年度之 11.12月分 未詳報

1) Source:—Dept. of Labor.  
2) The figures of Nov. & Dec. 1946 were not available.



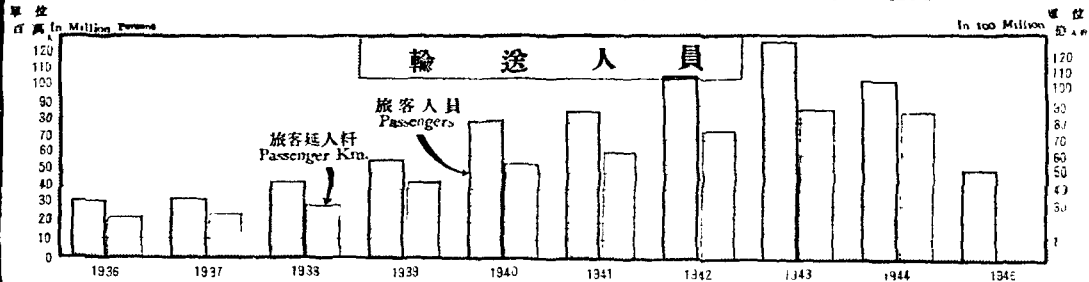
## (143) 月、道別勞動爭議 Labor Disputes by Month & Province

年 月	件 數	勞 動 者 數	參 加 人 員 數	原因 (要求條件) Cause (Requirement)										罷 工 數			解決方法 Method of Solution					結 果 Consequence		
				貨 金 引 上	工 場 閉 鎖 反 對	解 雇 反 對	勞 務 時 間 縮 短	監 督 者 排 斥	拒 絕 承 認 排 斥	組 合 承 認	休 日 貨 金 支 拂	其 他	人 員 數	損 失 作 業 延 日 數	調 停 件 數	行 政 調 停	其 他	未 決	自 然 消 滅	Indistinctness	調 停 件 數	要求 件 數	不 符 件 數	
				No. of Items	No. of Persons	No. of Items	No. of Items	No. of Items	No. of Items	No. of Items	No. of Items	No. of Items	No. of Items	No. of Items	No. of Items	No. of Items	No. of Items	No. of Items	No. of Items	No. of Items	No. of Items	No. of Items	No. of Items	No. of Items
1945. 12	1	308	308	1																	1	90		
計 Total	1	308	308	1																	1	90		
1946. 1	3	2,295	2,295	2																	1	100	1	100
2	11		1,813	3		5			1	1		1		5		2			4	5	76	4	100	
3	11		2,770	3	1	2			2	1	1		3	4					3	7	74	3	100	
4	12		6,377	4		4			2		2		6	6		1			2	7	73	4	100	
5	10		1,903	2		4				2	1			7					3	2	65	8	100	
6	7		2,275	1		4	1				1		3	3					1	2	58	2	100	
7	11		1,980	2		4			2		1		8	8					3	7	72	4	100	
8	25		1,941	11		4			8		2		4	4	19				1	2	80	4	100	
9	64		28,801	64							64	28,801	209,670				64							
10	16		7,279	15		1					15	7,277	23,615		1		15			1	100			
11																								
12																								
計 Total	170	2,295	57,434	107	1	28	1	16	4	4	9	80	36,400	234,895	10	40	19	84	17	37	72	30	100	
1947. 1	4	511	453	1		1					1				4				3	80	1	100		
2	1	380	20								1													
3	69	26,670	14,774	5		6		1			57	60	14,515	15,554	3	3		63	3	80	3	100		
4	7	1,143	287	1		6									7				5	70				
5	8	6,686	6,252	3		2					3	2	5,424	17,120	1	7			8	71				
6	6	4,945	3,587	2		3					1	3			4			1	3	93	2	100		
7	7	3,528	2,658			4					3	2	2,514	2,542	1	5		1	5	93	1	100		
8	5	838	770	1		1					3	2	700	900	1	4			2	100	3	100		
9	11	5,560	5,100	2		2		1	1	2	3				3	8			9	76	2	100		
10	5	1,660	106	1		2					1				2	3			3	100	2	100		
11	5	151	29			4					1	5	29	390	3	2				1	100	5	100	
12	6	1,330	1,174			3	1	1			1	6	1,240		2					1	100	1	100	
計 Total	134	53,402	35,210	16		35	1	4	1	2	75	77	24,422	36,506	15	49		70	42	86	20	100		
서울市 1947	11	1,475	421			6				1	1	3	2	6		9			8		3			
京畿 Kyunggi	46	90	21,560												15	20	55							
忠北 Chung B.	46	4	254	3							1	3	190	570	1	1	2			1				
忠南 Chung N.	46	2	6,002									5	6	515	402	1	1	6						
全北 Jun Buk	46	5	1,004								2	1	84		2	3				6		1		
全南 Jun Nam	46	7	1,339	3		1		1			2	1			2	4	2							
慶北 Kyung B.	46	8	3,810								9	9	720	720	6	2	10			5		3		
慶南 Kyung N.	46	17	12,374									24	24	16,452	28,348	5	10	8		7		1		
江原 Kangwon	46	5	3,450								5	5	2,950	3,750			5							
濟州 Che Ju	46																							
中央勞動部 Dept. of Labor	45	1	308	308	1							1	308	9,240	1					1	90			
	46	2	4,705												2									
	47	5	9,471	8,192	1		4													1		2		

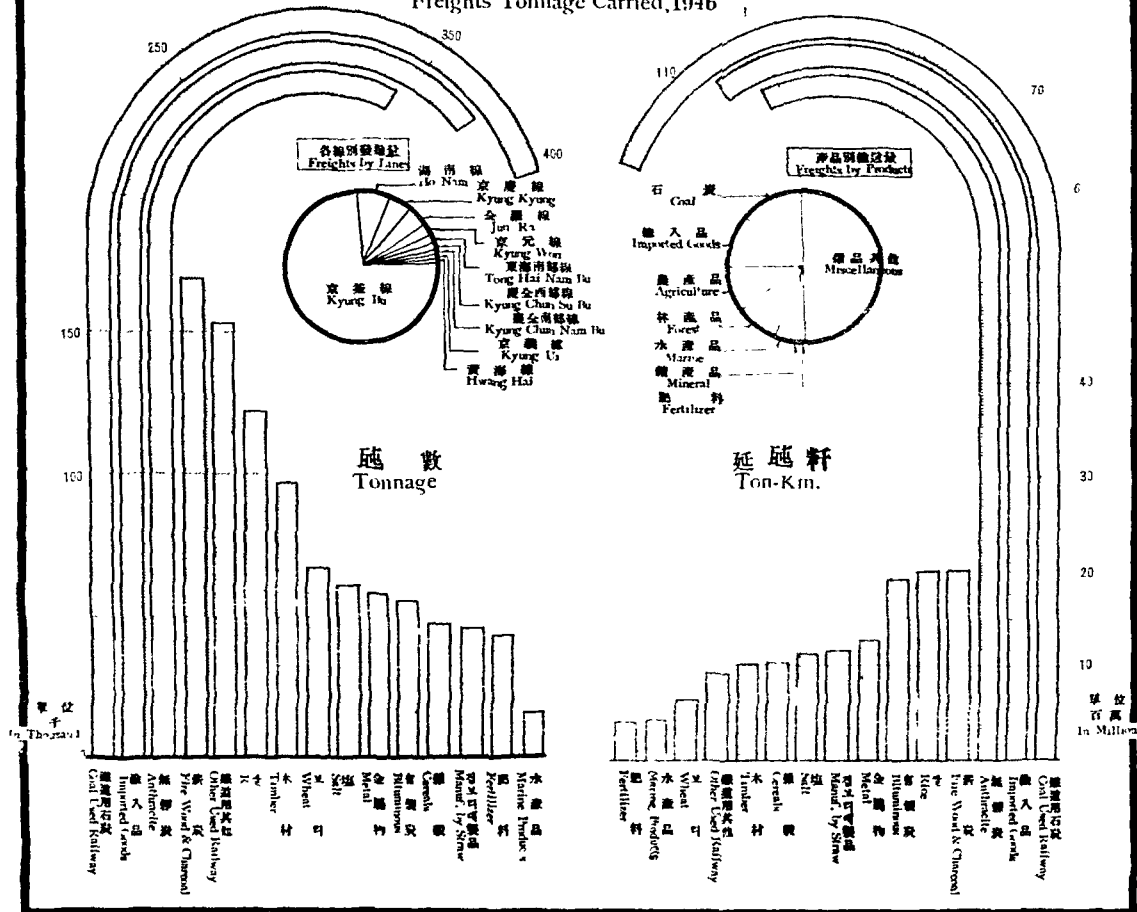
1) 資料一勞動部  
2) 1946年度之 11、12 月分未詳

1) Source:—Dept. of Labor.  
2) The figures of Nov. & Dec. 1946 were not available.

(144) 朝鮮鐵道運輸狀況  
TRENDS OF RAILWAY TRANSPORTATION IN KOREA



1946年度貨物輸送  
Freights Tonnage Carried, 1946

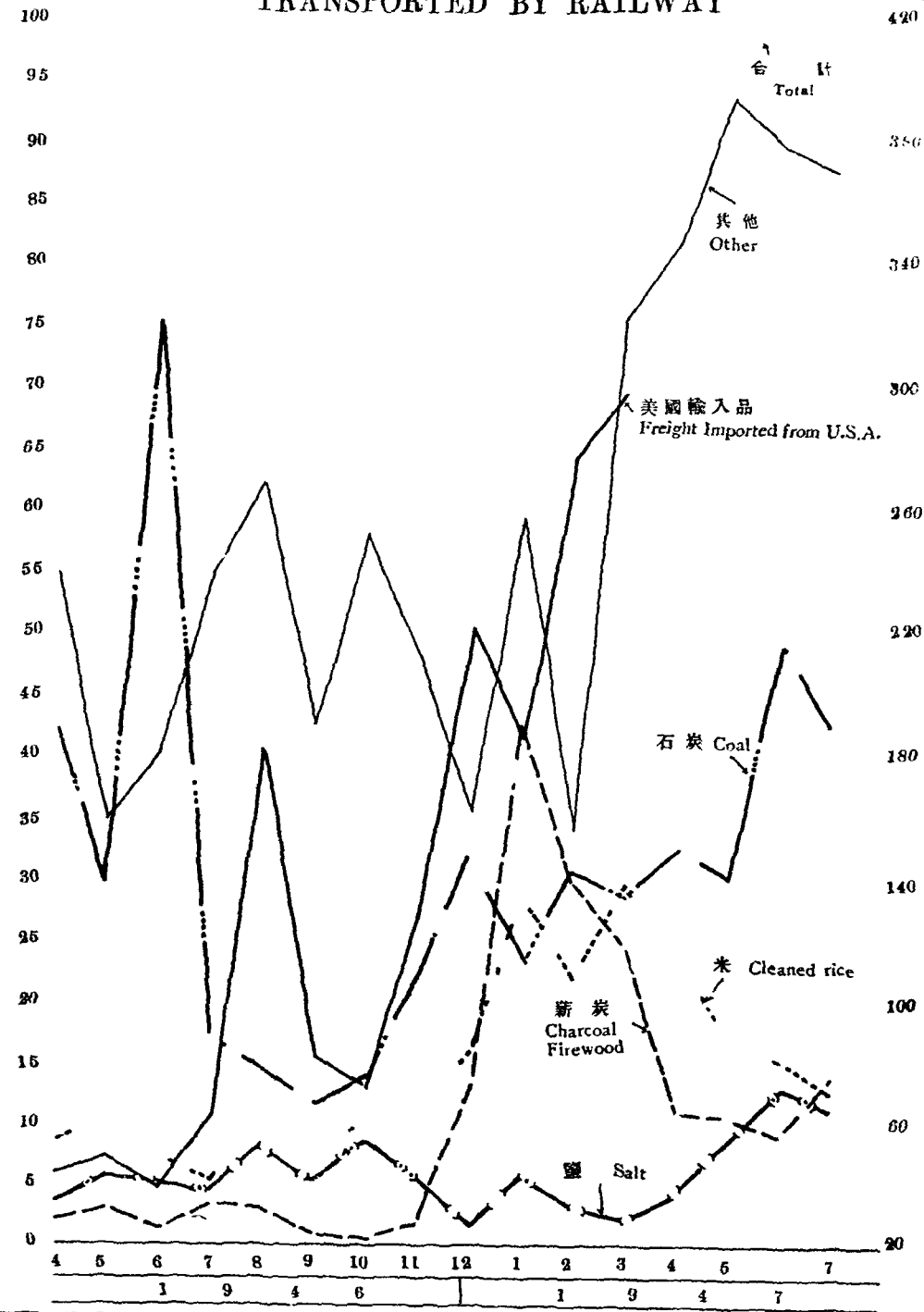


# (145) 主要貨物別鐵道輸送噸數

## WEIGHTS OF SELECTED GOODS TRANSPORTED BY RAILWAY

單位  
千噸  
In 1,000 Ton

單位  
千噸  
In 1,000 Ton



(146) 國有鐵道運輸狀況  
Conditions of Transportation by Government Railway

	營業幹線 Length of Track in Operation	客				貨			
		Passengers		一日平均 輸送人員 Daily Average	手小荷物 Tonnage of Parcel	Freights Tonnage			
	輸送人員 Passengers Carried	延人幹 Kilometers				貨物噸數 Tonnage	延噸幹 Kilometers	一日平均 輸送噸數 Daily Average	
	Km 幹		P. Km 人幹			MTKm 延幹	MT 噸		
1926									
1927	2,344.0	20,058,401	1,072,557,164	54,957	34,686,930	5,659,247	1,178,182,886	15,504	
1928	2,551.9	22,284,840	1,199,430,608	61,054	38,471,618	5,981,486	1,254,159,957	16,387	
1929	2,751.9	23,225,584	1,353,635,184	63,631	40,112,996	6,160,043	1,296,130,490	16,876	
1930	2,792.5	20,649,934	1,114,300,459	56,575	38,576,981	5,936,003	1,208,213,861	16,263	
1931	2,008.5	19,673,704	1,065,197,205	53,753	37,320,942	6,025,150	1,296,877,728	16,507	
1932	2,142.8	20,591,638	1,180,270,761	56,415	38,490,514	6,248,863	1,349,146,200	17,120	
1933	2,935.4	22,238,338	1,323,947,116	60,927	42,737,247	7,254,859	1,484,731,489	19,876	
1934	2,077.4	25,614,815	1,568,381,887	70,178	50,307,640	7,681,776	1,643,305,463	21,045	
1935	3,389.5	29,344,188	1,763,136,433	80,175	57,911,981	8,667,642	1,788,692,364	23,746	
1936	3,575.9	33,708,178	2,024,343,510	92,351	65,332,211	10,845,604	2,224,974,518	29,714	
1937	3,737.6	35,906,129	2,469,141,862	98,373	74,044,351	12,370,520	2,931,854,811	33,892	
1938	3,831.0	45,053,752	3,046,551,656	123,435	98,288,286	15,159,145	3,355,931,779	41,532	
1939	4,089.5	59,694,228	4,274,973,826	163,099	129,386,455	17,517,339	4,139,687,791	47,862	
1940	4,93	82,088,740	5,440,529,805	224,911	135,683,993	20,449,978	4,611,774,966	56,027	
1941	4,463.4	89,976,508	6,134,421,803	246,500	130,073,133	23,169,737	5,480,695,648	63,479	
1942	4,536.8	108,477,181	7,494,255,951	297,193	157,327,324	25,891,466	6,944,711,112	70,936	
1943	4,567.5	128,463,951	8,835,303,569	351,003	95,509,562	27,541,257	9,290,012,891	75,249	
1944	5,012.5	106,372,624	8,752,176,838	291,432	—	27,525,654	9,932,661,863	75,412	
1946	4 Apr.	2,557.8	3,476,704	334,354,936	115,890	—	220,452	49,440,097	7,348
	5 May	2,573	5,221,528	399,417,339	163,436	851,217	216,475	39,603,584	6,933
	6 Jun.	2,557.8	3,344,992	250,003,493	111,499	523,551	252,219	53,657,684	8,407
	7 July	2,557.8	2,766,769	140,243,415	89,573	131,942	186,118	28,507,872	6,003
	8 Au.	2,557.8	3,733,031	243,905,493	120,422	1,204,226	239,238	51,542,416	7,717
	9 Sept.	2,557.8	3,637,061	207,890,812	122,902	1,244,790	157,785	33,234,221	5,259
	10 Oct.	2,557.8	3,894,733	216,723,491	125,633	1,148,745	179,506	31,704,690	5,790
	11 No.	2,557.8	5,559,802	293,553,041	185,326	2,947,649	259,715	52,825,553	8,657
	12 De.	2,557.8	4,827,806	—	155,736	3,168,045	264,196	59,954,876	8,522
1947.	1 Jan.	2,557.8	3,560,329	—	114,849	2,934,605	354,331	68,425,806	11,430
	2 Feb.	2,557.8	3,734,998	—	124,499	2,317,284	307,163	68,826,822	10,970
	3 Ma.	2,557.8	4,956,923	—	159,900	3,826,950	403,057	86,213,433	13,163
1946.4—1947.3 合計	30,693.6	48,764,781	—	1,594,670	20,302,004	3,045,260	623,942,059	8,343	
	4 Apr.	2,557.8	5,143,609	—	171,453	4,012,893	412,103	87,287,445	13,736
	5 Ma.	2,557.8	5,377,236	—	173,460	3,911,088	417,573	84,683,699	13,470
	6 Jun.	2,557.8	4,739,504	—	157,983	4,594,279	413,847	86,740,761	13,796
	7 July	2,557.8	4,629,795	—	149,348	4,148,044	400,090	88,467,414	12,906
	8 Aug.	2,557.8	5,293,996	—	170,935	5,918,289	366,543	75,219,103	11,802
	9 Sept.	2,557.8	9,539,637	—	317,989	6,359,351	393,203	84,981,264	12,456
	10 Oct.	2,557.8	7,097,824	—	228,962	5,754,739	474,086	106,705,999	15,263
	11 Nov.	2,557.8	5,262,317	—	—	6,325,146	492,548	—	16,418
	12 Dec.	2,557.8	3,271,766	—	—	5,562,314	309,422	—	9,981

資料—運輸部  
(註) 1946年以後は南朝鮮領

Source:—Dept. of Transportation.  
Since 1946, South Korea only.

# (147) 國有鐵道運輸收入

## Incomes by Government Railways

In 1,000 Won

	總額(旅客貨物) Passeng. & Freight Total	旅客收入 Incomes by Passengers							貨物收入 Incomes by Freights				其他收入 Other Incomes		
		合計 Total	旅客運賃 Passeng Fares	急行料 Express Charge	行李 Carriage	手荷物 Parcel	郵便 Carriage	雜收入 Others	合計 Total	車扱 Goods Waggon	小口 Patty	雜收入 Others	旅館 Hotel	病院 Hos- pital	圖書館 Lib rary
1926	36,362	17,496	15,146	542	1,398	238	169	18,866	13,533	5,018	315	—	—	—	
1927	39,372	19,377	16,743	610	1,552	276	193	19,995	14,143	5,514	338	—	—	—	
1929	41,820	21,054	18,224	690	1,635	289	111	20,766	14,586	5,823	357	—	—	—	
1930	36,821	17,658	15,082	562	1,524	291	196	19,163	13,782	4,722	659	—	—	—	
1931	36,299	16,655	14,188	538	1,429	293	206	19,644	14,548	4,488	608	—	—	—	
1932	33,686	18,111	15,495	619	1,467	298	229	20,575	15,118	4,530	927	—	—	—	
1933	43,610	20,801	17,729	854	1,639	319	260	22,809	16,602	5,164	1,043	—	—	—	
1934	50,148	24,358	20,749	1,004	1,957	359	285	25,790	18,703	5,888	1,194	—	—	—	
1935	56,477	23,172	23,579	1,230	2,605	387	319	23,305	20,364	6,602	1,339	—	—	—	
1936	65,036	32,144	27,451	843	2,546	409	393	32,892	23,739	7,548	1,605	—	—	—	
1937	76,938	37,167	31,783	1,048	2,928	437	955	39,741	29,946	8,030	1,765	—	—	—	
1938	95,133	48,766	41,305	1,624	3,931	531	1,275	46,367	34,615	9,393	1,854	—	—	—	
1939	126,359	70,420	60,017	2,649	5,258	817	1,679	55,939	41,057	12,309	2,573	—	—	—	
1940	153,374	91,496	79,265	3,547	5,656	897	2,131	61,378	46,666	12,267	2,945	—	—	—	
1941	171,671	100,476	83,443	3,796	5,583	945	1,709	71,195	56,525	12,371	2,299	—	—	—	
1942	242,815	151,977	132,872	8,027	7,410	1,130	2,537	90,838	72,114	15,734	2,990	—	—	—	
1943	290,336	181,759	159,679	9,393	8,320	1,405	2,962	130,577	91,709	14,016	2,852	—	—	—	
1944	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1945	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1946	4 Apr	43,654	39,269	37,004	837	701	14	663	4,385	4,316	16	53	770	108	—
	5 May	107,837	94,764	89,917	1,622	2,562	18	645	13,123	11,652	1,309	162	828	153	381
	6 June	66,539	55,625	51,900	1,964	1,396	15	350	10,914	10,031	679	204	918	242	302
	7 July	38,330	30,557	28,647	573	1,133	16	188	7,773	7,139	458	176	680	307	819
	8 Aug	62,112	49,555	46,266	1,789	1,059	111	330	12,557	11,059	1,159	339	1,187	332	842
	9 Sept	54,933	44,423	41,716	1,246	1,044	106	311	10,560	9,253	1,059	248	1,156	313	740
	10 Oct.	59,335	50,089	46,072	1,165	2,332	110	410	9,246	8,240	870	136	893	393	462
	11 Nov	93,095	81,045	75,356	2,133	3,037	22	497	12,050	9,703	1,742	605	1,312	360	44
	12 Dec	146,337	131,501	122,157	4,574	3,861	237	672	14,836	11,943	2,640	253	1,344	389	154
1947.	1 Jan.	191,427	174,717	164,134	6,374	3,639	22	548	16,710	13,196	3,123	391	1,731	437	—
	2 Feb.	209,912	193,939	182,036	8,333	3,079	20	471	15,973	13,776	1,940	257	1,954	504	—
	3 Mar.	253,010	236,094	220,571	9,753	5,037	22	711	16,916	14,147	2,454	315	5,797	678	3
1946-1947.3	合計 Total	1,326,621	1,181,578	1,105,776	40,413	28,880	713	5,796	145,043	124,455	17,449	3,139	18,770	4,216	3,747
	4 Apr.	231,444	260,959	245,434	9,380	5,256	236	653	20,485	18,318	1,828	339	3,628	771	20
	5 May	323,473	303,145	273,449	22,266	6,681	244	505	20,328	18,217	1,712	399	5,309	1,000	—
	6 June	299,794	280,435	253,016	20,166	6,856	236	161	19,359	17,431	1,656	272	5,295	1,047	81
	7 July	289,635	268,239	234,252	24,560	7,565	244	1,618	21,396	19,612	1,497	287	5,365	1,406	107
	8 Aug	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9 Sept	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10 Oct.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11 Nov	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12 Dec.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計 Total	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※ 兼台料金合算

1) 1944年以前は私設鐵道は包含せず  
2) 1946年5月法令75號に依りて私鐵道は政府  
接受下に國有鐵道に發展す3) 1944年以前は全朝鮮, 1945年8月以後は南朝鮮  
を表示す  
(資料—運輸部)

※ Including Berth Charges.

1) Before 1944, Private Railroads are excluded.

2) Private Railroads were developed into an integrated national system  
of railway transportation through government acquisition by ordinance  
No. 75, in May, 1946.3) The figures before 1944 show, those of Whole Korea, after Aug  
1945, those of South Korea.  
(Source:—Dept. of Transportation.)

(148) 主要貨物別鐵道輸送吨數  
Total Tonnage of Goods Transported by Gov't Railway, by Kinds In Metric Ton

Table with multiple columns: 米 (Rice), 穀 (Grains), 麥 (Barley & Wheat), 大豆 (Soy Bean & Red Bean), 雜穀 (Other Grains), 野菜 (Vegetables), 葉煙草 (Tobacco), 鹽 (Salt), 製成品 (Manufacture), 畜產物 (Livestokes), 水產物 (Fishes), 薪及木炭 (Fire Wood & Charcoal), 木材 (Wood). Rows include years 1941-1944 and monthly breakdowns (4A-12D).

1) 本表は鐵道運輸に關するもの  
2) 年計は會計年度  
3) 1944年以前は全朝鮮, 1945年 8月以後は南朝鮮を  
表示す (資料—運輸部)

1) This table relates to traffic by rail only.  
2) Year total is of Financial Year.  
3) The figures before show, 1944 those of Whole Korea, since Aug. 1945 of South Korea. (Source:—Dept. of Transportation.)

(149) 1946年度各鐵道線品目別發着吨數  
Total Tonnage of Goods by Gov't Railway Lines in 1946, by Kinds

In Metric Ton

		京 益 Kyung Bu Line	京 義 Kyung Ui Line	湖 南 Ho Nam Line	京 元 Kyung Won Line	慶 南 Kyung Nam Line	慶 西 Kyung Su Line	全 羅 Jun La Line	東 南 Tong Nam Line	東 中 Tong Chung L.	京 慶 Kyung Kyung L.	黃 海 Hwang Hail Line	計 Total
米 Paddy	發着 Start Arrival	11,196 3,193	13 311	1,933 766	135 3,824	1,124 1,131	167 716	807 602	162 270	54 438	1,733 1,078	39 39	17,423 17,423
粟 Rice	發着 S. A.	41,633 93,175	3,132 3,665	8,358 3,658	150 8,289	5,370 218	4,282 555	9,705 4,336	1,326 —	193 2,876	4,496 4,218	12,260 —	120,990 120,990
麥 Barley & wheat	發着 S. A.	54,966 45,416	61 1,969	3,636 2,404	1,219 6,178	429 725	1,254 678	2,624 1,409	30 285	3 482	2,420 7,063	—	66,609 66,609
大豆 Soy Bean & Red Bean	發着 S. A.	237 103	—	—	— 99	— 30	—	—	—	—	30 30	—	267 267
雜穀 Other Grains	發着 S. A.	32,156 39,183	24 1,777	8,942 533	354 2,497	363 1,057	480 —	4,300 510	—	273 904	1,225 1,536	—	48,122 48,122
水產品 Marine Products	發着 S. A.	3,115 5,753	11 138	660 4,264	30 357	255 425	144 1,186	228 465	54 90	6,399 18	30 195	— 35	15,926 15,926
鹽 Salt	發着 S. A.	52,027 29,637	140 763	6,303 5,377	271 1,155	126 2,879	309 3,977	760 5,693	207 2,156	1,515 657	329 9,638	—	61,987 61,987
肥料 Manures	發着 S. A.	27,150 20,600	1,145 1,027	4,466 9,553	479 1,264	589 1,130	2,350 1,399	8,072 3,304	345 943	251 853	444 4,606	174 786	45,465 45,465
薪炭 Fire Wood & Charcoal	發着 S. A.	43,318 53,002	3,430 21,903	11,912 15,549	34,091 73,894	2,360 749	979 871	16,278 2,479	5,788 642	1,899 48	49,743 403	341 594	170,139 170,139
木材 Wood	發着 S. A.	23,502 34,433	1,267 13,702	3,190 8,315	13,462 31,396	1,748 1,349	1,318 1,377	14,487 4,085	1,067 502	900 7	36,248 1,065	87 469	97,276 97,276
礦石 Or	發着 S. A.	2,564 4,238	486 72	102 215	— 375	1,080 102	— 72	60 —	338 258	30 30	720 —	— 18	5,380 5,380
金屬物 Metal	發着 S. A.	34,838 40,695	468 1,517	3,299 7,157	924 2,385	15,611 1,429	402 2,163	2,130 2,192	648 747	204 123	489 615	— 36	59,063 59,063
石炭 Coal	發着 S. A.	316,837 196,331	793 22,425	9,406 31,423	12,114 121,247	60 5,670	46,499 16,825	832 6,100	9,512 166	36 36	5,638 1,731	343 121	402,125 402,125
製成品 Straw Manu.	發着 S. A.	26,966 39,354	4,203 444	4,391 2,364	4,614 763	523 144	695 216	1,071 1,230	1,155 564	225 876	3,124 732	55 339	47,031 47,031
畜物 Livestocks	發着 S. A.	2,100 2,697	18 11	367 90	504 526	342 —	36 —	36 18	36 18	—	344 434	11 —	3,794 3,794
藥品 Medicines	發着 S. A.	3,390 2,482	226 —	294 354	30 93	18 183	— 468	48 366	—	— 30	30 60	—	4,036 4,036
輸入品 Imported Goods	發着 S. A.	352,946 233,654	— 2,669	1,044 12,651	— 41,991	48 10,048	— 12,867	1,823 23,328	— 1,581	— 2,270	— 14,802	—	355,861 355,861
特殊貨物 Special Freights	發着 S. A.	547,336 417,932	2,007 9,006	16,422 31,370	14,227 66,904	2,292 15,501	8,233 31,284	9,649 14,847	5,251 16,239	885 2,172	1,228 2,166	— 114	607,535 607,535
運輸部其他 Other for Dept. of Transp.	發着 S. A.	420,047 286,489	1,049 25,377	4,555 16,767	— 27,452	3,268 19,603	710 7,901	14,858 12,603	517 19,030	— 65	685 29,852	—	445,689 445,689
其他 Others	發着 S. A.	165,366 161,633	10,653 8,244	22,939 21,633	15,068 27,807	7,420 9,563	6,310 10,373	15,522 15,740	1,804 4,564	3,133 1,924	19,853 6,067	492 1,019	268,632 268,632
小口扱 Parcel (Kg)	發着 S.	40,187 40,765	2,024 1,961	9,430 9,321	3,369 4,728	4,693 3,923	2,016 3,290	5,025 5,487	2,739 1,932	2,256 724	6,947 6,966	712 806	79,805 79,805
總計 Total	發着 S. A.	2,264,989 1,828,174	32,436 119,059	167,451 200,549	103,031 424,437	51,426 78,848	77,032 97,388	114,263 108,441	58,765 52,466	18,536 31,295	142,765 100,114	14,514 4,439	3,045,260 3,045,260
小荷物噸數 Parcel (Kg)	發着 S.	14,189,600	414,599	2,009,728	646,835	1,507,538	365,463	1,893,194	502,807	828,087	1,257,102	445,456	24,060,485

(註) 1946年4월부터 1947年3월까지 입 (資料—運輸部) From Apr. 1946 to Mar. 1947. (Source:—Dept. of Transportation.)

(150) 京 電 運 輸 狀 況 (其 一)  
Traffic Table of the Seoul Electric Co (I)

電 車 別 Car or Bus	營業杆 Average Business Km. Per Day	保有台數 No. of Cars & Buses Possessed			運轉 車輛數 Total of Operat'g Vehicles	走行杆數 Total of Operating Km.	乘 車 人 員 Passengers				收 入 金 額 Incomes			
		完 全 台 Per- fect	修 理 中 Im- perf.	合 計 To.			總 人 員 Total	一 日 平 均 人 員 Daily Average	一 車 一 日 平 均 乘 車 人 員 Av. Per Km. of A Vehicle	一 日 一 杆 平 均 乘 車 人 員 Av. Per Km. of A Day	總 收 入 Total	一 日 平 均 收 入 Daily Average	一 車 平 均 收 入 Average Per Veh.	一 人 平 均 收 入 Av. Per Person
1936	65,326 60,123 125,449	165 100 265	2 9 11	167 109 276	43,940 16,456 60,396	9,968,003 3,063,812 13,031,815	64,027,893 13,346,532 77,374,425	175,419 36,839 212,258	6.42 4.35 5.94	2,693 614 1,698	2,940,138 623,835 3,563,973	8,032.01 1,704.14 9,736.15	66.40 37.92 59.01	4.58
1937	68,397 63,473 131,870	185 126 311	2 7 9	187 133 320	43,846 20,570 69,416	10,943,392 3,786,927 14,730,319	70,737,632 16,223,366 86,961,038	193,802 44,447 238,249	6.47 4.28 5.90	2,850 705 1,818	3,271,207 754,100 4,031,407	8,979.53 2,065.43 11,045.02	67.15 36.66 58.34	4.63
1938	69,646 61,204 130,850	200 114 314	2 2 11	202 123 325	54,703 20,117 74,825	11,487,607 3,922,601 15,410,208	81,485,905 20,186,161 101,672,066	223,249 55,304 278,553	7.09 5.20 7.10	3,235 906 2,142	3,760,242 906,182 4,666,424	10,293.69 2,432.95 12,782.64	68.72 45.48 62.43	4.58
1939	71,324 103,805 180,129	205 192 397	2 19 21	207 218 418	55,232 23,062 78,294	11,709,718 4,041,017 15,750,735	103,391,430 24,579,873 127,971,303	233,263 67,342 350,605	8.82 6.09 8.12	4,040 623 1,958	4,761,512 1,134,114 5,895,626	13,039.32 3,106.30 16,145.62	86.32 49.20 75.29	4.60
1940	71,337 110,343 181,730	213 138 393	3 67 70	216 253 469	50,016 34,391 84,407	12,340,485 4,343,339 16,683,824	131,145,349 30,070,034 161,215,383	359,302 82,384 441,686	10.63 6.92 9.66	5,060 748 2,992	6,071,390 1,322,532 7,393,922	16,530.70 3,718.28 20,298.98	121.44 38.57 87.74	4.59
1941	73,244 93,025 166,269	218 146 364	8 27 35	226 173 399	50,965 31,022 81,993	12,733,537 3,474,178 16,267,715	147,469,811 27,099,723 174,569,534	404,027 74,245 478,272	11.52 7.84 10.73	5,534 798 2,681	6,370,620 1,183,222 8,053,842	18,320.03 3,242.56 22,062.64	134.78 38.50 98.42	4.61
1942	75,037 89,129 164,166	233 111 344	1 61 62	234 172 406	58,179 32,366 90,545	13,340,042 2,952,323 16,292,365	169,476,255 26,918,161 196,388,034	464,318 73,731 538,049	12.70 9.14 12.06	6,190 328 3,265	7,859,938 1,220,531 9,080,529	21,529.14 3,343.30 24,872.44	135.05 37.25 100.27	4.62
1943	76,751 85,721 162,472	229 117 346	15 64 79	244 181 425	56,873 25,645 82,523	13,539,216 2,220,622 15,759,838	187,533,637 26,078,572 213,662,209	513,929 71,448 585,377	13.86 11.82 13.55	6,762 840 3,635	8,654,405 1,313,091 9,967,500	23,703.00 3,599.22 27,302.22	152.14 51.33 120.83	4.66
1944	76,631	234 108 340	18 77 95	252 183 435	62,857	12,264,716	194,997,052	534,239	16.57	7,129	10,838,138	29,775.10	127.75	5.57
1945.4	79	174	94	268	4,127	876,065	16,776,054	559,202	19.46	7,006	972,500	32,416	235	0.05
Apr 5	101	49	100	149	787	56,856	9,544	13,652	7.74	135	47,396	1,579	60	0.11
May 6	101	46	103	149	780	55,364	429,367	13,850	7.75	137	1,271,099	41,005	183	0.06
June 7	101	41	108	149	670	42,640	352,564	11,751	7.55	116	55,946	1,864	83	0.15
July 8	101	39	110	149	1,138	37,177	293,56	9,469	7.89	95	43,627	31,768	178	0.06
Aug. 9	101	39	110	149	236	507,970	11,909,085	384,164	32.58	4,813	757,969	24,450	177	0.06
Sept. 9	79	47	221	268	3,008	193,696	4,475,884	149,296	18.86	1,871	291,973	9,752	97	0.06
上半期 1st H.V.	79	125	125	250	30,510	4,024,562	85,066,537	464,844	21.31	5,824	5,272,938	28,818	276	0.06
10 Oct	101	39	110	149	3,611	208,356	1,672,475	10,931	8.27	108	244,095	1,595	67	0.14
11 Nov	79	50	188	268	3,049	311,238	6,105,339	203,511	19.61	2,551	2,229,231	74,307	731	0.36
12 Dec	101	3	146	149	23	1,157	11,156	1,115	9.64	11	5,228	295	227	0.46
1946.1	79	72	198	270	1,883	199,446	4,033,276	130,106	20.22	1,630	1,592,366	51,366	845	0.38
Jan. 2	101	93	177	270	2,766	295,838	5,567,867	198,852	18.82	2,481	2,176,337	77,726	707	0.93
Feb. 3	79	72	18	40	476	26,339	119,098	4,253	4.52	61	219,847	7,851	461	1.84
Mar. 3	97	27	16	40	665	85,932	358,944	11,578	4.17	120	564,447	18,221	848	1.51
下半期 2nd H.V.	79	82	177	257	15,783	1,606,894	32,765,497	180,030	20.46	2,256	10,993,488	60,403	636	0.33
Year Total	99	103	151	254	46,293	5,631,456	117,832,034	322,437	20.88	4,040	16,266,426	44,610	467	0.19
		30	64	94	5,140	355,723	2,298,494	8,356	7.16	84	1,066,232	3,853	229	0.46



(150) 京 電 運 輸 狀 況 (其二)

Traffic Table of the Seoul Electric Co. (II)

(Continued)

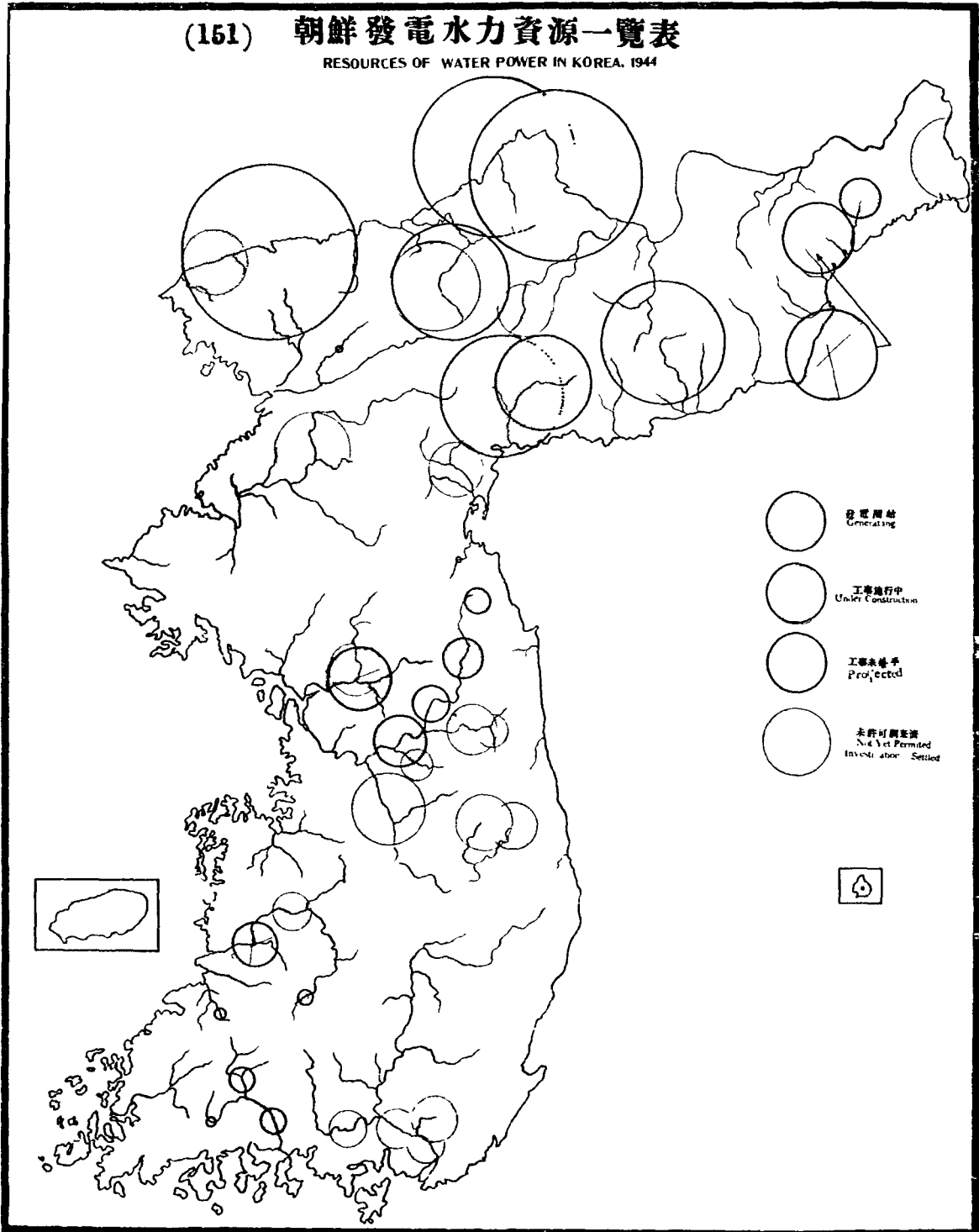
電 車 自 動 車 別 Car or Bus	營業料 Average Business Km. Per Day	有 車 數 No. of Buses Possessed			運 轉 車輛數 Total of Operat'g Vehicles	走行 距離 Total of Operating Km.	乘 車 人 員 Passengers				收 入 金 額 Incomes				
		完全 完 全 完 全	故障 故 障 故 障	合計 合 計 合 計			總 人 員 Total	一日平均 Daily Average	一人一日 Av. Per Km. of Vehicle	一人一日 Av. Per Km. of Day	總收入 Total	一日平均 Daily Average	一車平均 Average Per Veh.	一人平均 Av. Per Person	
1946.4 Apr	電 C 自 B	77 97	83 22	172 15	255 37	1,854 492	318,843 62,272	9,594,903 180,188	319,830 6,006	30.09 2.89	4,007 61	3,723,756 423,899	124,125 14,129	2,008 861	0.38 2.17
5 May	電 C 自 B	77 97	82 18	176 21	258 39	1,942 417	332,233 47,934	10,463,198 127,728	337,523 4,120	31.59 2.66	4,230 42	4,068,808 397,132	131,251 —	2,095 952	0.38 3.10
6 June	電 C 自 B	77 72	90 24	173 17	263 41	2,012 262	337,662 30,301	8,776,791 73,057	292,560 2,435	25.99 2.41	3,666 33	3,481,244 212,014	116,041 —	1,730 809	0.39 2.94
7 July	電 C 自 B	77 72	90 24	173 19	263 43	2,526 347	446,675 40,556	11,378,706 87,283	367,055 2,816	25.47 2.15	4,760 39	4,477,039 311,903	144,420 —	1,772 898	0.39 3.57
8 Aug	電 C 自 B	77 —	89 —	181 —	270 —	2,200 —	400,902 —	10,804,137 —	348,520 —	26.94 —	4,519 —	4,329,602 —	139,664 —	1,968 —	0.39 —
9 Sept.	電 C 自 B	77 88	96 40	178 30	274 70	1,909 677	339,130 62,243	12,044,693 314,497	401,489 10,483	35.51 5.05	5,206 199	4,699,086 583,927	156,636 19,464	2,461 946	0.39 1.86
上半期 1st HY.	電 C 自 B	77 88	96 40	178 30	274 70	12,443 2,135	2,175,445 243,306	63,062,428 782,753	344,498 5,116	29.26 3.21	4,474 53	4,779,535 1,928,875	135,407 12,607	1,993 903	0.39 2.46
10 Oct	電 C 自 B	77 88	85 38	189 34	274 72	1,735 667	283,585 67,044	10,877,825 349,805	351,901 11,284	38.35 5.21	4,550 128	4,227,838 582,567	136,381 —	2,436 873	0.38 1.61
11 Nov	電 C 自 B	77 88	78 32	197 40	275 72	1,718 580	253,621 35,122	10,317,948 276,561	343,931 9,219	40.68 5.19	4,460 104	3,925,070 490,742	130,835 —	2,284 846	0.38 0.77
12 Dec	電 C 自 B	77 —	63 —	212 —	275 —	1,576 —	222,769 —	6,424,006 —	207,226 —	28.83 —	2,687 —	5,463,270 —	176,234 —	3,466 —	0.84 —
1947.1 Jan	電 C 自 B	77 91	65 22	210 44	275 66	1,225 312	170,544 19,176	4,846,189 52,910	156,328 1,706	28.41 2.75	2,029 18	4,198,675 188,678	135,441 6,289	3,427 604	0.86 3.56
2 Feb	電 C 自 B	77 91	64 23	211 43	275 66	1,058 361	156,732 10,573	5,191,097 55,928	185,396 1,997	33.12 5.46	2,404 22	4,332,388 135,555	154,728 4,841	4,094 375	0.83 2.37
3 Mar	電 C 自 B	77 91	58 23	217 43	275 66	1,066 354	159,627 32,033	6,021,787 109,560	194,251 3,534	37.72 3.50	2,518 38	4,971,748 578,860	160,378 18,576	4,663 1,635	0.82 5.25
下半期 2d HY.	電 C 自 B	77 90	58 23	217 43	275 66	8,378 2,274	1,246,878 163,948	43,678,852 844,764	239,839 5,521	34.52 4.64	3,114 61	27,118,989 1,976,402	148,191 12,917	3,236 869	0.62 2.33
年 計 Y Total	電 C 自 B	77 83	77 32	197 37	274 69	20,821 4,409	3,422,323 407,254	106,741,280 1,627,517	292,298 5,336	32.16 3.82	3,755 64	51,898,524 3,905,277	142,637 12,804	2,492 883	0.50 2.40
4 Apr.	電 C 自 B	77 60	49 21	228 45	277 66	1,399 434	184,094 40,869	5,875,420 142,685	195,847 4,756	41.02 47.47	2,543 79	4,948,723 698,522	164,947 23,284	4,036 1,609	0.84 4.58
5 May	電 C 自 B	77 65	49 25	226 43	275 68	1,464 473	185,751 39,309	6,628,350 231,600	220,945 7,471	45.26 5.79	2,869 115	5,753,685 1,203,190	185,602 38,812	4,751 2,543	0.85 5.19
6 June	電 C 自 B	77 65	36 14	231 50	267 64	1,339 406	206,448 50,687	4,923,126 217,830	164,104 7,026	31.60 4.30	2,130 108	8,882,895 1,203,721	296,096 40,124	7,532 2,964	1.80 4.87
7 July	電 C 自 B	77 79	30 31	239 41	269 72	1,162 421	178,236 59,532	3,347,158 215,048	140,230 6,937	36.61 4.54	1,821 87	7,887,748 1,290,172	254,443 41,618	7,898 3,064	1.81 5.49
8 Aug.	電 C 自 B	77 101	30 70	199 43	269 73	1,271 360	199,504 59,289	4,611,646 223,781	148,762 7,219	32.88 4.47	1,932 71	8,626,274 1,675,788	278,266 54,057	6,786 4,654	1.86 7.25
9 Sept.	電 C 自 B	77 101	104 41	165 41	269 82	1,226 295	361,217 47,384	10,454,189 200,336	348,472 6,677	33.31 4.97	4,525 66	18,788,666 1,675,613	626,288 55,853	3,440 5,680	1.79 7.92
上半期 1st HY.	電 C 自 B	77 101	104 41	165 41	269 82	8,861 2,389	1,315,250 297,070	36,839,889 1,231,280	202,862 3,728	28.08 4.14	2,634 66	34,837,991 7,747,006	323,953 42,333	6,690 3,242	1.60 6.30
10 Oct	電 C 自 B	77 101	130 25	139 28	269 53	3,159 620	497,842 78,472	12,912,519 322,794	426,632 10,413	31.07 4.11	5,540 103	23,082,377 2,578,649	744,565 83,182	7,306 4,159	1.78 7.98
11 Nov.	電 C 自 B	77 101	134 34	133 22	267 56	3,203 406	484,338 58,251	13,448,812 223,561	448,293 7,452	31.00 3.83	5,822 61	23,860,832 2,072,460	795,361 69,082	3,096 5,104	1.89 9.27
12 Dec.	電 C 自 B	77 101	134 32	133 22	267 54	3,570 531	511,365 63,641	13,294,927 170,942	428,868 5,514	29.10 2.68	5,568 54	23,664,608 2,604,392	763,372 84,012	7,358 4,904	1.95 15.23

資料—京電運輸部

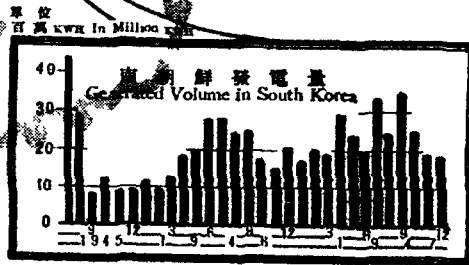
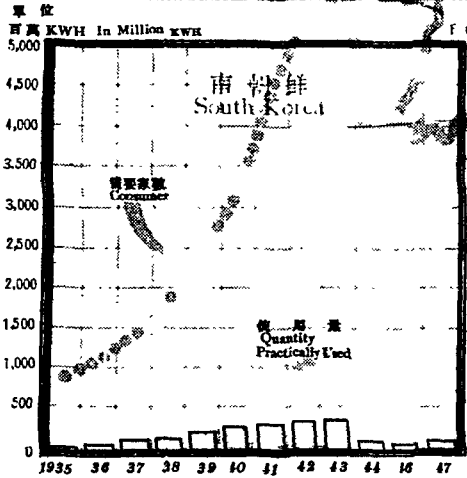
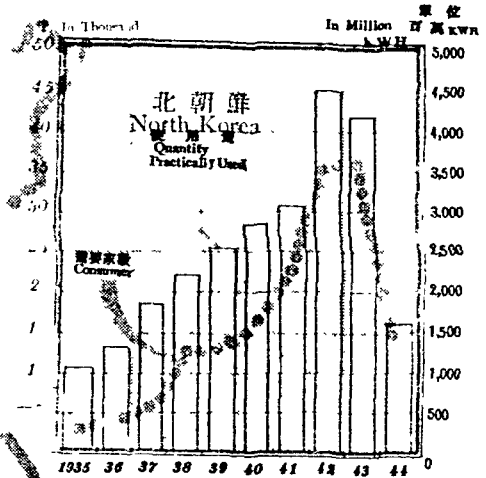
Source:—The Seoul Electric Co.

(151) 朝鮮發電水力資源一覽表

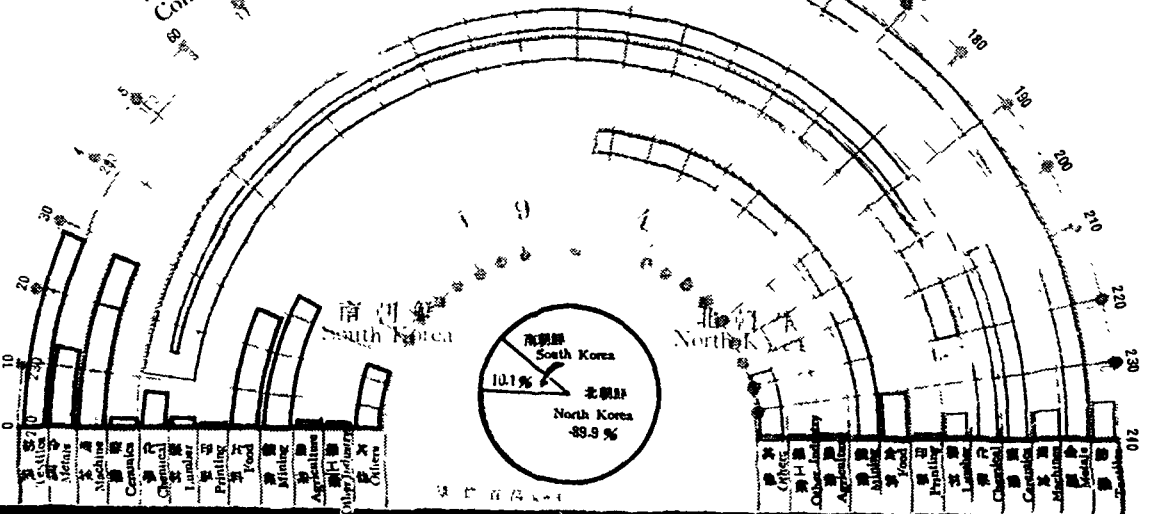
RESOURCES OF WATER POWER IN KOREA, 1944



(152)



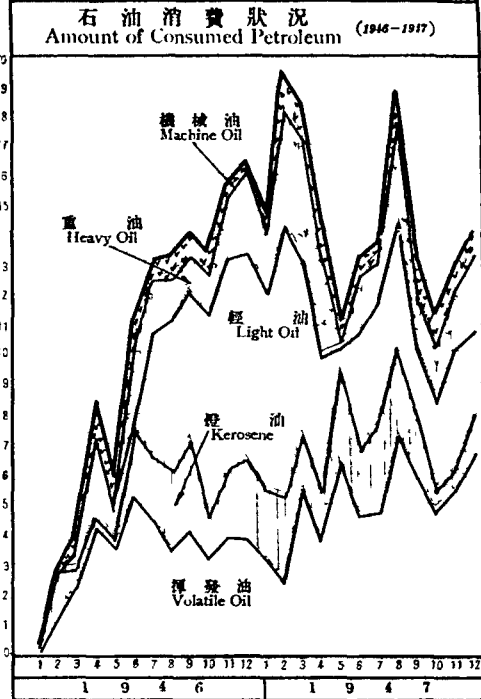
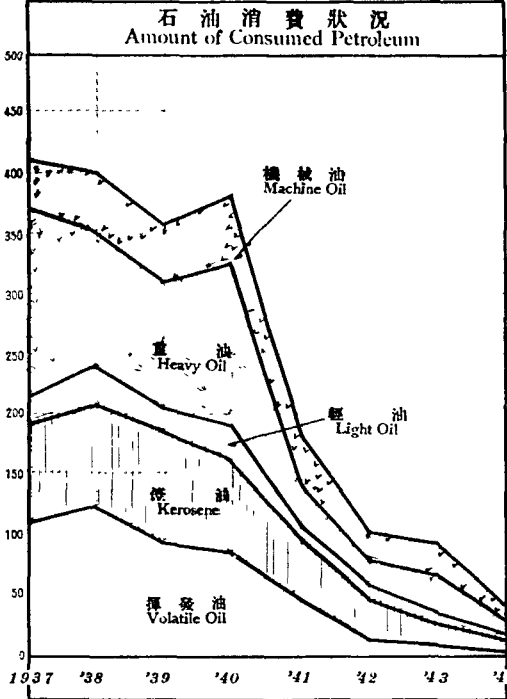
南北朝鮮業種別電力使用量對照表  
 Quantity of Electric Power by Business Type  
 南朝鮮 Consumed 70  
 北朝鮮 Consumed 80  
 南朝鮮 South Korea  
 北朝鮮 North Korea



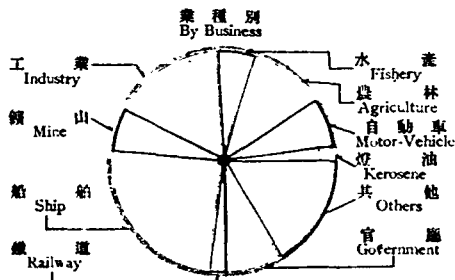
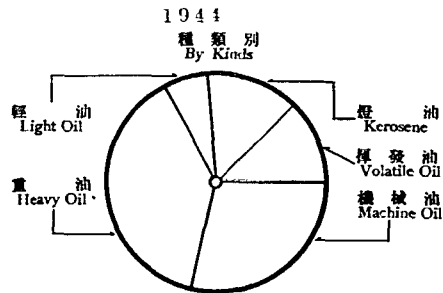
# (154) 石油需給狀況表 DEMAND AND SUPPLY CONDITION OF PETROLEUM

單位百萬立  
In Million L.

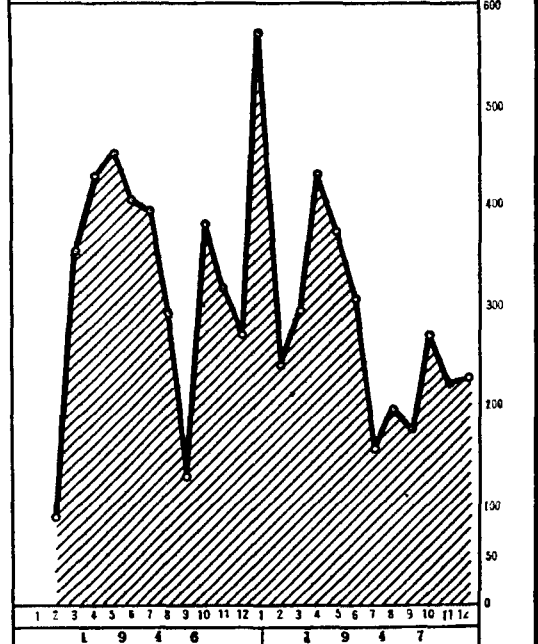
單位百萬立  
In Million L.



### 石油用途別消費量 Amount of Consumed Petroleum by Use



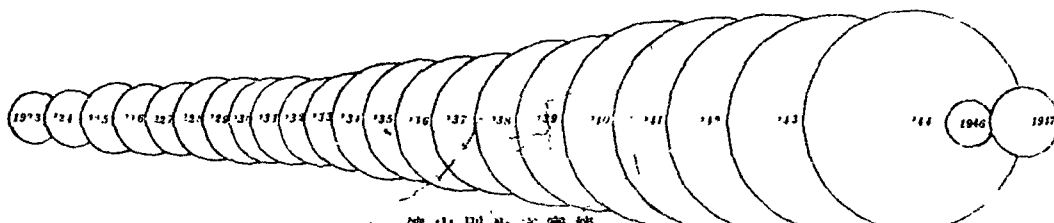
### 瓦斯生產量 Gas Production



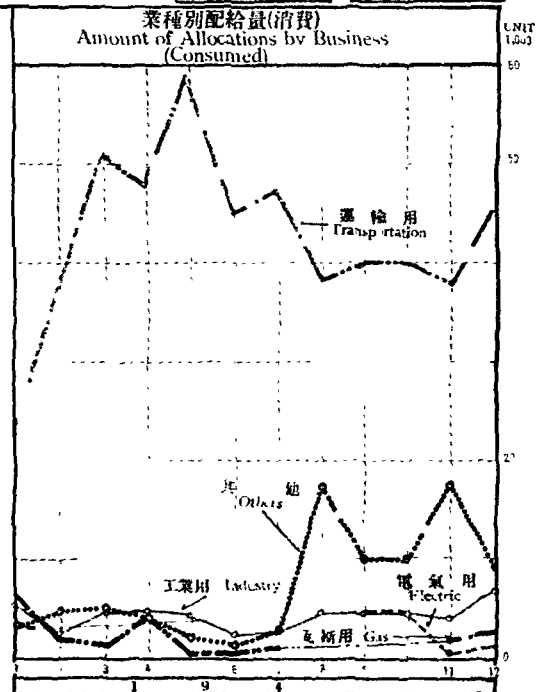
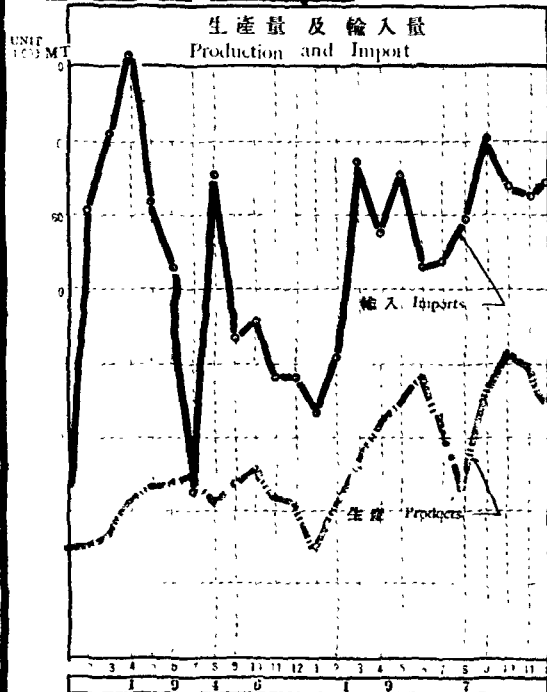
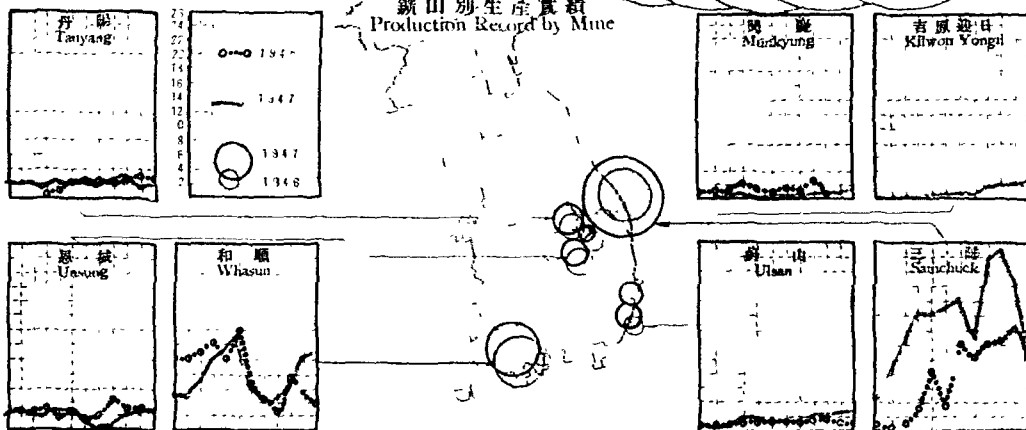
# (154) 石炭生產及需給狀況表

## COAL PRODUCTION AND ITS DEMAND & SUPPLY

石炭生產高累年一覽  
Total Amount of Coal Production



礦山別生產實績  
Production Record by Mine



(155) 全朝鮮水力資源一覽表  
Resources of Water Power in Korea

(1944年現在)

As of 1944.

包 圍 水 力 Keeping Water Power	發 電 地 點 數 Location of Generating Stat.	發 電 容 力 Capacity						利 用 可 能 發 電 力 Possible Capacity		
		南朝鮮 S. Korea		北朝鮮 N. Korea		合 計 Total				
		所 所 所	所 所 所	所 所 所	所 所 所	所 所 所	所 所 所			
既 許 可 水 力 W. P. Permitted 發 電 開 始 Generated 工 事 施 工 中 Under Construction 工 事 未 着 手 Projected Construction 小 計 Sub-Total 未 許 可 水 力 Not Yet Permitted 調 查 未 濟 Settled Investigation 未 查 未 濟 Not Yet Settled 小 計 Sub-Total 計 Total	6	26	32	76,310	4.5	1,650,530	95.5	1,726,840	100	1,426,840
	2	7	9	40,850	3.5	1,128,900	96.5	1,169,750	100	769,750
	3	9	12	47,320	5.3	856,960	94.7	904,220	100	612,220
	11	42	53	164,480	4.4	3,636,330	95.6	3,800,810	100	2,808,810
	19	20	39	482,300	37.0	824,300	63.0	1,306,600	100	1,188,300
	25	46	71	198,560	18.8	857,800	81.2	1,056,360	100	955,050
	44	66	110	680,860	28.9	1,682,100	71.1	2,362,960	100	2,143,350
	55	108	163	845,340	13.8	5,318,430	86.2	6,163,770	100	4,952,160

(156) 全朝鮮發電設備明細表  
Equipment of Electric Power in Korea

(1944年現在)

As of 1944.

南 朝 鮮 South Korea	發 電 所 名 Location of Generating Station			原 動 力 Generative Power			發 電 力 Capacity	
	所	所	所	所	所	所	所	
南 朝 鮮 South Korea	京 全	畿 南	Kyung Ki Jun Nam	清 江 平	水	力	Water Power	54,000
	全	北	Jun Bak	鎮 江 江	同	同	"	3,100
	濟 江	州	Che Ju	碧 津 江	同	同	"	13,850
	京 全	州 原	Kang Won	岩	同	同	"	5,120
	全	畿 南	Kyung Ki Jun Nam	浦 島	同	同	"	200
				里	汽	力	Steam	40
				島	內	機	Engine	22,500
				島				46
	慶 南	南	Kyung Nam	老	同	同	"	64
	江 濟	原 州	Kang Won Che Ju	越 州	火	力	Heating Power	57
					汽	機	Steam	12,000
					內	機	Engine	86,490
		計	Total					85
北 朝 鮮 North Korea	江 原	京 京	Kang Won	里	水	力	Water Power	197,462
				里				7,000
				里	同	同	"	3,250
				里	同	同	"	2,600
				里	同	同	"	2,600
				川	同	同	"	720
				川	同	同	"	39,600
	咸 南	南	Ham Nam	川	同	同	"	600
				里	同	同	"	350
				里	同	同	"	235
				里	同	同	"	129,600
				里	同	同	"	41,400
				里	同	同	"	18,000
			里	同	同	"	12,375	
			里	同	同	"	144,000	
			里	同	同	"	106,300	
			里	同	同	"	42,000	
			里	同	同	"	34,200	
			里	同	同	"	145,000	
			里	同	同	"	69,800	
			里	同	同	"	58,000	
			里	同	同	"	66,000	
咸 北	北	Ham Bak	里	同	同	"	13,400	
			里	同	同	"	9,400	
平 北	北	Pyeong Buk	里	同	同	"	5,200	
			里	同	同	"	1,000	
			里	同	同	"	500	
咸 南	南	Ham Nam	里	內	機	Engine	700,000	
			里				43	
	計	Total					1,650,578	

(157) 朝鮮發電量  
Generated Power in Korea

Table with columns for Water Power, Heating Power, Total, Capacity, and Fuel Used. Rows list years from 1932 to 1944 with various power generation metrics in KW and KWH.

(158) 南朝鮮電力供給狀況  
Supplying Condition of the Electric Power in South Korea

Table with columns for Received from N. Korea, Generated Power in South Korea, and Total. Rows list months from July 1945 to December 1947 with metrics for maximum, average, and volume of power.

(159) 南朝鮮道及業種別電力消費狀況

明朝鮮 1946. 10-1947. 3  
元 1947年 4月-9月

Consumed Electric Power by Province & Business

Ordinary Type = 46Oct - 47Mar  
Gothic Type = 1947Apr-Sep

	鑛業 Mining				金屬工業 Metal Industry				機械器具 Machine				窯業 Ceramics				化學工業 Chemical			
	戶	契約量		使用量	戶	契約量		使用量	戶	契約量		使用量	戶	契約量		使用量	戶	契約量		使用量
		Hour	Q of Con			Q of P.U	Hour			Q of Con	Q of P.U			Hour	Q of Con			Q of P.U	Hour	
		KW	KWH			KW	KWH			KW	KWH			KW	KWH			KW	KWH	
市 Seoul	12	10,727	63,647	19	1,068	349,191	144	9,454	3,076,300	27	1,071	137,688	133	6,446	2,101,626					
道 Kyung Ki	12	10,727	83,910	19	1,068	164,454	144	9,454	4,760,090	27	1,071	234,929	133	6,446	1,944,189					
原 Kang Won	5	4,286	3,400,956	30	4,130	868,103	196	25,275	5,705,216	30	3,258	332,425	39	9,916	1,370,406					
南 Chung Nam	5	4,000	5,832,594	1	100	318,000	12	203	20,410	3	3,030	793,234	6	8,325	13,763,552					
北 Chung Buk	12	2,285	403,637	17	652	352,424	23	493	74,709	6	160	31,400	8	205	37,555					
南 Kyung Nam	3	153	59,723	3	33	89,671	33	175	20,301	4	103	20,001	6	70	5,131					
北 Kyung Buk	6	1,950	399,437	84	2,137	306,723	112	4,311	930,483	43	1,531	318,484	70	5,559	1,211,833					
南 Jun Nam	2	400	83,915	6	70	7,661	47	668	34,177	14	320	34,223	29	1,624	333,561					
北 Jun Buk	2	400	103,202	6	70	7,661	47	668	193,623	14	320	40,411	29	1,624	688,651					
計 Total	64	29,356	16,751,119	211	8,800	2,478,097	734	43,800	19,707,006	141	9,841	1,639,337	347	35,113	21,090,334					
	68	29,379	16,854,782	267	9,342	2,517,372	740	43,311	19,977,433	146	9,924	2,707,993	354	35,221	21,910,910					
纖維工業 Textiles				食品工業 Food Products				農業及水產業 Agriculture & Fishery				製材及木製品 Sawing & Wood Prod				土木事業 Construction				
	戶	契約量	使用量	戶	契約量	使用量	戶	契約量	使用量	戶	契約量	使用量	戶	契約量	使用量	戶	契約量	使用量		
		KW	KWH		KW	KWH		KW	KWH		KW	KWH		KW	KWH		KW	KWH		
市 Seoul	42	8,406	4,349,656	317	7,979	2,132,097	21	518	550,172	88	2,245	274,542	28	560	4,350					
道 Kyung Ki	42	8,406	3,958,885	317	7,979	4,090,871	21	518	145,649	88	2,245	492,172	28	560	101,522					
原 Kang Won	7	369	83,142	141	1,870	428,940	6	163	1,511	69	962	187,691	6	78	3,670					
南 Chung Nam	25	625	115,376	778	10,297	1,803,780	17	678	7,555	105	1,223	116,748	6	129	6,600					
北 Chung Buk	26	445	103,945	446	6,481	1,593,341	20	662	10,082	33	403	34,006	6	129	51,088					
南 Kyung Nam	57	3,824	2,256,771	776	12,135	3,173,025	113	5,800	2,542,451	177	3,388	486,407	3	30	1,304					
北 Kyung Buk	38	1,190	1,788,383	776	12,135	4,177,651	113	5,800	5,787,568	177	3,388	741,392	3	30	3,431					
南 Jun Nam	44	2,604	1,775,408	462	7,742	1,097,232	53	1,387	183,272	123	2,222	253,464	12	1,050	17,697					
北 Jun Buk	48	655	270,461	637	8,073	1,293,724	32	977	331,865	113	2,542	143,146	1	10	822					
計 Total	329	23,137	11,049,262	5,066	83,727	17,669,746	337	15,731	3,957,848	865	17,357	2,256,663	56	1,357	34,128					
	342	23,671	11,456,718	5,133	84,170	17,350,397	337	15,731	4,137,353	865	17,357	3,625,651	56	1,857	282,486					
官公署及公共事業 Office & Public				其他 Others				10 KW 未満 Under 10 KW				合計 Total								
	戶	契約量	使用量	戶	契約量	使用量	戶	契約量	使用量	戶	契約量	使用量	戶	契約量	使用量					
		KW	KWH		KW	KWH		KW	KWH		KW	KWH		KW	KWH					
市 Seoul	60	4,913	15,032,764	244	11,883	6,641,563	11,392	23,747	12,238,969	12,527	94,017	47,050,250								
道 Kyung Ki	60	4,913	8,473,649	244	11,883	5,059,414	11,392	28,747	12,384,559	12,527	94,017	41,894,293								
原 Kang Won	30	2,598	1,271,653	84	1,638	139,671	2,847	9,433	2,449,301	4,202	89,144	26,963,593								
南 Chung Nam	21	269	399,054	11	153	36,222	443	2,071	210,507	725	21,570	32,699,886								
北 Chung Buk	21	269	196,491	11	153	36,222	443	2,071	328,037	725	21,570	15,853,676								
南 Kyung Nam	53	874	356,704	213	1,062	145,809	629	2,699	667,035	1,892	21,387	3,975,133								
北 Kyung Buk	18	193	583,638	213	1,062	145,809	629	2,699	562,180	2,053	22,951	6,127,960								
南 Jun Nam	14	457	219,641	32	311	43,706	335	1,445	354,643	955	10,213	2,451,623								
北 Jun Buk	14	457	273,521	32	311	29,678	335	1,445	350,690	955	10,213	3,604,499								
南 Jun Nam	26	365	364,667	195	925	471,354	1,006	4,213	1,037,206	3,116	48,461	17,933,890								
北 Jun Buk	26	365	269,191	195	925	283,896	1,006	4,213	609,997	2,250	31,555	6,945,313								
計 Total	104	4,259	1,809,160	130	2,343	429,990	2,346	9,747	2,001,757	3,372	34,436	8,138,439								
	104	4,259	2,365,507	130	2,343	580,203	2,346	9,747	2,475,043	3,372	34,436	10,945,613								
	24	812	724,625	12	188	61,509	2,479	8,055	2,274,882	5,516	24,397	6,645,421								
	24	812	755,241	12	188	61,500	2,479	8,055	2,859,807	3,516	24,397	7,464,285								
計 Total	350	14,740	20,367,336	919	18,613	7,855,193	23,106	73,428	21,892,362	32,555	375,180	137,289,826								
	350	14,740	18,250,670	949	18,613	6,615,262	23,106	73,428	24,370,705	32,716	376,744	145,247,799								

資料一商務部電氣課

- 1) 1946年은 1946年3月 부터 1946年10月分까지
- 2) 1947年은 1947年4月 부터 1947年9月分까지

Source - Electric Section, Dept. of Commerce.

- 1) Figures of 1946, show from Mar. 1946 to Oct. 1947.
- 2) Figures of 1947, show from April 1947 to Sept 1947.



## (160) 業 種 別 電 力 Demand of Electric Power

	紡 織 工 業 Textiles			金 屬 工 業 Metals			機 械 器 具 工 業 Machines & Tools				
	需 家 數 Con- sumer	契 約 量 Quantity of Contracted	使 用 量 Quantity of Practical Used	需 家 數 Con- sumer	契 約 量 Quantity of Contracted	使 用 量 Quantity of Practical Used	需 家 數 Con- sumer	契 約 量 Quantity of Contracted	使 用 量 Quantity of Practical Used		
		KW	KWH		KW	KWH		KW	KWH		
1935	三八以北 三八以南 計	North Korea South Korea Total	177 168 345	637 1,123 1,817	893,503 1,856,375 2,554,833	136 303 444	2,365 863 3,233	8,237,618 1,270,133 9,557,756	44 53 97	793 2,806 3,604	652,165 5,859,653 6,511,823
1936	三八以北 三八以南 計	N. K. S. K. Total	131 221 402	56 3,191 4,047	932,411 3,906,336 4,833,797	151 430 581	3,536 2,225 10,761	9,307,663 1,850,916 11,158,584	42 63 110	346 3,676 4,522	807,216 7,422,853 8,230,074
1937	三八以北 三八以南 計	N. K. S. K. Total	215 292 507	1,001 5,154 6,155	1,192,723 10,193,506 11,386,232	214 490 704	3,645 2,156 11,801	11,702,149 2,335,384 14,088,033	42 119 161	1,489 2,895 5,384	1,395,354 8,447,908 9,843,262
1938	三八以北 三八以南 計	N. K. S. K. Total	286 364 650	1,321 8,864 10,185	1,447,232 29,117,735 30,565,027	212 559 771	10,372 3,032 13,454	22,857,560 4,504,765 27,362,325	105 166 271	1,761 4,168 5,929	2,025,940 9,299,218 11,325,158
1939	三八以北 三八以南 計	N. K. S. K. Total	270 340 610	1,436 11,169 12,605	1,833,446 47,160,315 48,950,261	411 504 915	10,559 4,921 24,280	61,634,276 4,760,235 66,394,511	52 197 249	1,038 7,205 8,233	1,593,894 13,411,026 15,009,920
1940	三八以北 三八以南 計	N. K. S. K. Total	399 500 899	2,269 14,414 16,683	5,860,687 59,621,507 65,482,204	479 623 1,107	52,235 6,239 58,474	74,755,959 8,123,843 82,879,802	143 223 366	1,131 9,802 10,933	1,632,421 19,112,715 20,745,136
1941	三八以北 三八以南 計	N. K. S. K. Total	346 537 883	2,823 15,676 18,504	7,796,044 56,133,799 63,929,843	550 809 1,359	63,001 9,343 77,344	156,454,594 10,619,839 167,074,433	191 304 495	1,996 13,743 15,739	2,906,653 27,242,814 30,149,472
1942	三八以北 三八以南 計	N. K. S. K. Total	431 604 1,035	4,400 17,033 21,438	8,892,455 59,034,684 67,927,179	590 853 1,448	63,338 17,675 86,013	263,896,781 13,163,313 267,060,094	404 372 776	4,952 23,606 28,558	5,203,035 33,146,936 38,350,081
1943	三八以北 三八以南 計	N. K. S. K. Total	552 632 1,184	4,463 22,126 26,589	8,762,184 54,214,242 62,976,426	773 833 1,661	113,070 20,244 138,314	366,242,595 24,950,025 390,292,620	269 355 624	4,073 25,616 29,689	9,231,931 41,476,236 50,758,217
1944	三八以北 三八以南 計	N. K. S. K. Total	522 635 1,207	5,351 21,955 27,306	4,893,562 29,897,424 34,795,986	543 390 1,433	60,201 13,216 78,417	104,888,554 13,640,621 118,529,175	366 434 800	6,002 35,758 41,760	4,694,139 28,941,503 33,635,642
1945	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1946	三八以南	S. K.	557	23,873	9,136,794	418	12,991	2,119,255	473	38,721	6,877,779
1947	三八以南	S. K.	694	27,388	11,911,926	456	12,570	2,482,278	835	39,665	19,600,712
京 畿 道	Kyung Ki		174	12,600	19,016,540	486	13,448	9,261,875	206	32,691	26,375,210
忠 清 北 道	Chung Buk		32	427	343,424	7	57	10,807	15	60	14,060
忠 清 南 道	Chung Nam		39	700	544,769	53	1,057	1,106,537	7	80	16,706
全 羅 北 道	Iun Buk		54	390	263,587	5	25	4,482	55	308	213,798
全 羅 南 道	Iun Nam		80	1,424	2,557,926	52	140	88,994	40	123	50,680
慶 尙 北 道	Kyung Buk		176	2,221	1,388,123	114	501	256,186	20	94	20,210
慶 尙 南 道	Kyung Nam		130	4,193	5,773,045	173	2,988	1,911,740	91	2,402	2,250,839
江 原 道	Kang Won		24	730	114,421	27	125	44,609	28	225	33,619
計	Total		709	22,185	30,001,835	917	18,341	12,685,230	462	35,983	78,975,122
咸 鏡 北 道	Ham Buk		3	815	1,220,080	118	7,600	17,364,352	55	691	378,030
咸 鏡 南 道	Ham Nam		18	64	22,950	153	15,995	26,635,789	44	709	669,347
平 安 北 道	Iyung Bul		74	251	110,577	76	5,592	10,074,113	39	290	145,895
平 安 南 道	Pyang Nam		323	3,047	3,123,857	130	23,059	32,561,522	187	3,742	3,310,693
黃 海 道	Hwang Hai		80	944	316,687	39	6,830	19,208,169	13	345	156,555
計	Total		498	5,121	4,794,151	519	60,076	105,843,945	339	5,777	4,660,520
總 計	Grand Total		1,207	27,306	34,795,986	1,433	78,417	118,529,175	800	41,760	33,635,642

# 需 要 統 計 (其一)

## by Business Type (I)

窯 業 Ceramics			化 學 工 業 Chemical			製 材 及 木 材 品 工 業 Lumber			印 刷 及 製 本 業 Printing & Book Binding		
需 要 家 數 Consumer	契 約 量 Quantity of Contracted	使 用 量 Quantity of Practical Used	需 要 家 數 Consumer	契 約 量 Quantity of Contracted	使 用 量 Quantity of Practical Used	需 要 家 數 Consumer	契 約 量 Quantity of Contracted	使 用 量 Quantity of Practical Used	需 要 家 數 Consumer	契 約 量 Quantity of Contracted	使 用 量 Quantity of Practical Used
	KW	KWH		KW	KWH		KW	KWH		KW	KWH
24	1,475	1,411,991	49	171,432	1,014,855,099	73	1,461	2,085,460	50	53	38,208
37	424	1,068,430	113	3,053	6,586,028	184	1,439	2,148,625	140	462	614,390
61	1,899	2,480,421	162	174,485	1,021,441,127	257	2,900	4,234,085	190	515	652,598
24	1,512	1,529,869	51	182,329	1,269,522,238	92	2,520	2,291,583	42	67	56,793
43	403	1,337,271	125	3,907	7,977,059	239	1,760	1,974,972	177	620	618,946
67	1,915	2,867,140	176	186,236	1,277,499,347	331	4,280	4,266,555	219	687	675,739
35	3,178	6,678,094	72	271,653	1,675,902,669	113	2,602	3,660,257	251	2,045	1,493,441
42	366	1,590,452	147	4,045	7,693,053	323	2,168	2,190,281	193	660	755,566
77	3,544	8,268,546	219	275,703	1,683,600,722	436	4,770	5,850,538	444	2,705	2,249,007
40	5,638	14,483,273	118	334,588	2,047,253,234	172	4,435	4,606,623	88	142	113,673
42	482	2,022,629	153	4,399	9,763,354	422	2,840	2,895,357	220	723	811,054
82	6,120	16,505,902	271	338,987	2,057,021,588	594	7,275	7,501,980	308	865	924,727
32	5,135	13,367,811	104	365,365	2,255,870,392	222	3,406	4,068,381	98	136	125,722
53	1,061	2,188,806	165	4,757	10,357,526	458	3,335	3,373,553	203	737	895,709
90	6,196	15,556,617	269	370,122	2,266,227,918	680	6,741	7,441,939	301	873	1,021,431
54	8,218	21,000,710	230	408,193	2,505,339,975	452	6,608	6,274,402	177	164	128,037
72	1,374	2,475,970	196	5,290	9,353,134	533	4,436	4,219,892	224	772	1,003,825
126	9,592	23,476,680	426	413,488	2,514,698,109	985	11,044	10,494,294	401	936	1,136,912
48	7,601	32,028,497	208	486,479	2,581,924,759	460	8,869	7,072,454	278	378	209,619
86	2,091	2,889,095	254	7,550	10,481,642	691	6,023	6,021,214	121	681	860,114
134	9,692	34,917,592	462	494,029	2,592,406,401	1,151	14,892	13,093,668	399	1,059	1,069,733
74	10,811	42,057,483	190	569,020	3,748,774,875	667	10,811	9,241,004	169	241	211,878
113	2,636	3,246,507	294	9,354	12,697,793	712	7,146	6,182,108	231	773	1,029,564
187	13,497	45,303,996	484	578,374	3,761,472,668	1,379	17,957	15,423,112	400	1,014	1,241,442
100	14,869	55,665,228	177	511,260	3,255,363,701	800	11,238	8,817,809	187	298	181,673
135	2,637	4,491,696	330	11,401	17,479,452	909	7,774	7,257,695	242	850	1,028,614
235	17,556	60,156,924	507	522,661	3,272,843,153	1,709	19,012	16,075,504	429	1,148	1,210,297
121	15,672	34,503,663	233	26,766	1,297,387,374	917	13,486	4,746,049	187	245	91,977
183	3,793	2,350,616	332	12,912	7,993,634	975	8,434	3,127,110	244	873	567,837
304	19,465	36,854,279	615	39,678	1,305,386,008	1,892	21,920	7,873,159	431	1,123	659,814
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
170	9,579	1,933,343	414	24,276	7,135,645	879	14,845	3,927,104	—	—	—
156	9,451	1,785,889	385	25,965	7,874,734	915	16,470	2,558,780	—	—	—
78	2,333	1,336,119	178	7,067	5,343,043	332	2,896	1,234,272	127	699	493,076
8	35	9,114	9	31	5,628	52	310	129,941	7	5	2,603
2	6	10,686	40	1,043	318,965	103	919	296,886	13	16	4,979
15	107	77,755	30	118	48,922	116	1,097	503,220	16	22	16,438
19	120	57,880	29	565	200,466	126	933	339,508	22	40	14,657
61	1,192	859,062	88	4,025	2,049,018	189	1,926	505,228	48	87	33,227
2	3,022	6,538,631	13	2,572	4,424,466	68	588	257,668	10	10	5,304
185	6,815	8,883,247	395	15,484	12,428,101	1,043	9,082	3,384,778	254	888	573,141
28	1,223	2,957,763	64	4,890	6,471,527	158	2,836	835,400	47	38	15,418
23	2,777	6,187,544	51	10,843	1,276,871,238	243	3,737	1,480,593	46	52	26,391
3	15	74,179	21	2,201	4,311,537	130	3,262	1,257,880	21	35	8,563
40	4,080	8,805,570	63	5,386	4,589,435	211	2,445	723,794	44	90	29,381
25	4,555	9,939,976	21	874	713,170	107	556	190,712	19	20	6,920
119	12,650	27,965,032	220	24,194	1,292,956,907	849	12,838	4,488,379	177	235	86,673
304	19,465	36,854,279	615	39,678	1,305,386,008	1,892	21,920	7,873,157	431	1,123	659,814

## (160) 業 種 別 電 力

## Demand of Electric Power

(Continued)

	食 料 品 工 業			礦 業			農 業 及		
	需要家數	契約量	使用量	需要家數	契約量	使用量	需要家數	契約量	
	Consumer	Quantity of Contracted	Quantity of Practical Used	Consumer	Quantity of Contracted	Quantity of Practical Used	Consumer	Quantity of Contracted	
		KW	KWH		KW	KWH		KW	
1935	三八以北 North Korea	892	6,871	7,102,130	36	9,649	25,931,763	20	903
	三八以南 South Korea	2,625	13,756	19,055,791	31	3,039	6,136,543	89	3,556
	計 Total	3,517	20,627	26,157,924	67	12,688	32,068,306	109	4,464
1936	三八以北 N. K.	1,150	9,098	7,850,826	56	16,789	48,792,802	24	1,672
	三八以南 S. K.	3,047	10,941	21,600,344	48	4,991	12,173,323	165	4,129
	計 Total	4,197	20,039	29,451,170	104	21,780	60,966,125	189	5,801
1937	三八以北 N. K.	1,130	7,579	6,766,952	101	26,308	83,935,822	46	2,207
	三八以南 S. K.	3,230	19,507	26,194,079	103	7,862	25,725,213	147	3,573
	計 Total	4,360	27,086	32,961,031	209	34,170	109,711,040	193	5,780
1938	三八以北 N. K.	1,906	11,760	10,541,785	121	37,532	129,171,469	78	1,349
	三八以南 S. K.	4,211	24,048	34,978,035	140	13,333	45,866,357	105	3,947
	計 Total	6,117	35,806	45,519,820	261	50,870	175,037,826	183	5,296
1939	三八以北 N. K.	2,247	14,246	17,261,346	154	42,933	159,186,431	71	1,659
	三八以南 S. K.	4,459	26,471	43,050,827	199	17,909	57,448,670	132	4,323
	計 Total	6,706	40,717	60,312,273	353	60,892	216,635,101	203	5,982
1940	三八以北 N. K.	3,406	16,771	18,830,561	250	65,856	214,170,843	114	1,676
	三八以南 S. K.	4,409	25,937	46,958,068	192	24,382	77,072,620	121	4,710
	計 Total	7,815	42,708	65,838,629	442	90,238	291,243,463	235	6,386
1941	三八以北 N. K.	2,725	19,592	19,635,295	249	74,482	280,679,358	106	1,823
	三八以南 S. K.	4,625	32,240	52,123,724	237	30,434	88,964,893	360	6,172
	計 Total	7,350	51,832	71,764,019	486	104,916	369,644,251	466	8,095
1942	三八以北 N. K.	3,037	26,998	24,241,964	233	74,934	337,936,239	176	2,830
	三八以南 S. K.	4,707	45,827	67,287,182	209	30,255	95,838,714	332	6,887
	計 Total	7,744	72,825	91,529,146	442	105,189	433,775,003	508	9,767
1943	三八以北 N. K.	2,966	24,483	24,657,895	250	81,465	369,259,410	76	2,890
	三八以南 S. K.	4,927	47,764	63,994,125	209	30,715	98,802,316	245	6,466
	計 Total	7,893	72,247	88,652,020	459	112,180	468,061,726	321	9,356
1944	三八以北 N. K.	3,103	27,637	10,410,083	190	54,004	116,344,167	95	2,600
	三八以南 S. K.	5,078	53,933	28,814,233	110	19,784	34,673,004	273	5,570
	計 Total	8,181	81,570	39,224,366	300	73,768	151,017,171	373	8,170
1945	—	—	—	—	—	—	—	—	
1946	三八以南 S. K.	6,743	619,174	19,831,951	73	28,820	4,835,264	467	12,984
1947	三八以南 S. K.	6,932	83,562	20,694,892	71	31,860	14,023,482	320	5,501
京畿道	Kyung Ki	1,281	15,389	9,040,234	27	5,600	13,228,489	14	3,550
忠清北道	Chung Buk	310	2,840	1,377,711	6	1,636	1,359,451	—	—
忠清南道	Chung Nam	514	5,033	3,211,686	26	2,263	3,883,238	4	23
全羅南道	Jun Buk	450	6,618	3,257,810	9	850	1,030,042	36	467
全羅北道	Jun Nam	671	7,258	3,522,564	6	1,671	2,770,985	49	811
慶尙北道	Kyung Buk	729	6,109	2,618,821	22	5,727	8,121,383	168	744
慶尙南道	Kyung Nam	1,124	10,686	5,785,347	14	2,017	4,279,416	16	266
江原道	Kang Won	297	2,448	939,649	12	5,476	13,104,291	6	21
計 Total		5,376	56,381	29,753,872	122	25,240	47,777,295	284	5,591
咸鏡北道	Ham Buk	344	3,397	932,525	29	8,152	17,818,408	4	58
咸鏡南道	Ham Nam	676	4,816	1,458,591	39	6,860	12,319,734	7	364
平安北道	Pyung Buk	412	3,865	1,121,549	43	10,831	13,023,170	12	966
平安南道	Pyung Nam	645	7,874	3,351,003	40	13,529	32,970,308	32	1,129
黃海道	Whang Hai	728	6,137	2,606,826	27	9,456	27,603,355	14	79
計 Total		2,805	25,189	9,470,494	178	38,528	103,239,876	89	2,579
總計 Grand Total		8,181	81,570	39,224,366	300	73,768	151,017,171	373	8,170

需 要 統 計 (其二)  
by Business Type (II)

水產業 Fishery	其 他 Others			合 計 Total					
	需要家數 Consumer	契約量 Quantity of Contracted	使用量 Quantity of Practical Used	需要家數 Consumer	契約量 Quantity of Contracted	使用量 Quantity of Practical Used	需要家數 Consumer	契約量 Quantity of Contracted	使用量 Quantity of Practical Used
KWH		KW	KWH	KW	KWH	KW	KWH		
835,145	69	173	226,272	1,624	12,083	23,834,254	3 194	207,962	1,091,153,613
2,301,436	238	964	803,591	4,568	7,936	9,895,810	8 554	39,426	57 396,818
3,136,581	307	1,137	1,029,863	6,192	20,019	38,730,064	11 748	247,388	1,148,555,431
1 186,275	53	442	743,241	2 239	13,216	47,369,215	4,105	237,883	1,390,445,187
2 851,426	231	831	957,556	6 750	12,376	15,332,674	11,544	49,100	78,053,731
4 037,701	284	1,323	1,205,797	8 989	25,592	63,251,889	15,649	286,983	1,468,498,918
1 706,436	35	127	160,245	4 133	15,494	9,355,951	6,387	343,333	1,804 000,093
3 216,301	378	957	907,402	8 932	15,437	15,121,759	14,451	65,790	104 426,412
4 922,737	413	1,094	1,067,647	13 115	30,931	24,477,710	20,838	409,123	1,908 426,505
2,130,193	103	1,336	1,477,254	9 935	11,121	12,196,795	13 229	421 355	2,248 310,088
3,601,032	331	1,401	1,624,373	12 482	21,484	20,445,316	19 195	86 774	164 929,225
5,731,222	439	2,737	3,101,627	22 477	32,605	32 642 111	32 424	508 129	2,413 239,313
2,348,943	224	650	665,794	9 358	12,070	23 244 043	13 243	467 533	2,546 061,479
3,069,820	335	1,363	1,583,314	13 147	23,993	26 734 131	25 197	107 260	214 034,537
5,418,763	559	2,018	2,249,108	27,505	36,068	55 028 174	38 440	574 793	2,760 146,016
2,692,964	336	885	757,768	11 009	15,716	44,484 586	17,049	579 727	2,895 978,973
6,367,265	338	1,941	2,942,932	21 037	27,175	30,144 655	23,523	126 522	267 406,396
9,060,229	724	2,826	3,700,670	32 046	42,891	74,629 241	45,572	706 249	3,163 385,369
3,133,597	489	1,637	1,319,233	18 034	20,115	57,923,651	23 634	693,901	3,151 093,814
6,282,920	433	2,451	3,057,177	37 262	29,392	30,649,309	45 769	156,296	3,556 331,540
9,421,517	972	4,088	4,376,465	55 296	50,007	88,577,960	69 453	850,197	3,446 425,354
2,377,332	832	2,617	2,131,922	29 195	23,644	76,478 597	36 093	804 646	4,526 443,771
7,548,145	806	3,395	3,293,420	45 655	34,116	41,952 493	54 893	193 753	349 425,909
9,925,527	1,688	6,012	5,425,342	74 850	62,760	118,431,090	90 991	1,003 404	4,875 869,680
4,015,057	1,245	3,762	2,845,266	23 760	20,542	134,959,664	36 160	797 413	4 290,052,413
9,478,739	518	2,567	3,421,662	47 578	35,926	35,649,690	56 963	214 136	361,344,532
13,493,846	1,763	6,329	6,266,928	76 338	56,468	220,609,354	93,123	1,011 549	4,651,397,005
2,463,313	1,051	4,232	1,450,038	3 855	23,592	26,317 013	11,133	239 833	1,603,194,982
3,246,235	570	3,945	2,177,823	23 953	35,936	25,707,997	33,782	221 034	181,143 137
5,709,598	1,621	8,227	3,627,911	27 803	59,528	52,025 010	44,965	460,932	1,789,338 119
7,187,992	12,927	35,855	10,591,095	3 756	59,274	24,709,510	26,877	880,392	98,335,732
3,957,614	13,342	38,430	13,955,133	5 187	53,031	31,441,548	29,343	348,893	130,286,988
2,872,752	246	1,569	1,089,422	23,020	27 179	18,426,911	26,169	125,030	107,717,993
—	10	60	14 735	44	316	152 341	492	5,742	3,411,701
5,785	21	202	199,836	146	679	558 730	894	10,557	9,694 006
269,101	48	201	76 699	112	1 068	706 335	927	11,911	6,453 375
5,387	42	339	188,187	105	524	208 818	1,213	13,334	10,039 876
89,142	48	283	94 793	189	1,295	1,266,750	1,662	18,632	14,467,919
12,118	155	1,291	514,151	339	4 875	4 388 112	2,428	35,948	28,362 203
18,277	62	239	57,997	842	959	784 777	1,391	15,915	26,323,709
3,272,562	632	4,184	2,235,820	24,797	36,895	26,492,774	35,176	237,069	206,470,782
18 881	144	660	245,372	296	5 443	10,142,538	1 290	34,805	57,900,294
6,388	238	1,301	335,422	418	3 954	3 292 913	1 956	52,272	1,329,306,900
700,275	95	480	245,669	552	5 077	5 271 886	1 478	32,855	36,350,293
1,075,014	444	1,348	523,279	1,069	6 702	6 158 523	3 248	72,431	97,222,280
636,478	68	254	42,349	676	1 457	666,376	1,817	31,500	62,087,573
2,437,036	969	4,043	1,392,091	3,011	22,633	25,532,236	9,789	223,863	1,582,867,340
5,709,598	1,621	8,227	3,627,911	27,803	59,528	52,025,010	44,965	460,932	1,789,338,122

(161) 南 朝 鮮 發 電 量 調 查  
Generated Power in South Korea

	水 力 Water Power					火 力 Heating Power			合 計 Total	南海各島 Islands in South Korea	總 計 Grand Total
	清 平 Chung Pyung	鎭 津 江 Sumjin Kang	雲 岩 Unam	寶 城 江 Bosung Kang	小 計 Sub-Total	寧 越 Yong Wol	唐 人 里 Dangin Ri	小 計 Sub-Total			
	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH
1945. 7 J.	26,702,160	7,767,360	2,760,240	1,739,110	39,018,870	4,106,380	—	4,106,380	43,125,750	1,818	43,127,568
8 A.	16,591,200	6,472,300	3,571,200	985,320	27,620,520	2,135,280	—	2,135,280	29,755,800	2,020	29,757,820
9 S.	3,240,000	2,232,000	1,512,000	1,634,218	8,618,218	43,200	—	43,200	8,661,418	3,640	8,665,058
10 O.	6,919,200	3,273,600	—	2,282,593	12,475,393	—	—	—	12,475,393	12,275	12,487,668
11 N.	7,977,600	—	—	1,098,673	9,076,273	—	—	—	9,076,273	12,485	9,088,758
12 D.	8,310,480	—	—	818,030	9,128,510	—	—	—	9,128,510	32,310	9,160,820
合 計 Total	63,740,640	19,745,760	7,843,440	8,607,944	105,937,784	6,285,360	—	6,285,360	112,223,144	64,548	112,287,692
月 平 均 Mon. Av.	11,623,440	4,936,440	2,614,480	1,434,657	17,656,297	2,095,120	—	2,095,120	18,703,857	10,758	18,714,615
1946. 1 J.	8,727,120	192,440	520,800	728,506	10,169,866	—	—	—	10,169,866	26,656	10,196,522
2 F.	8,720,880	264,480	—	536,180	9,521,540	—	—	—	9,521,540	23,702	9,545,242
3 M.	10,267,200	—	—	879,896	11,147,096	—	100	100	11,147,196	24,751	11,171,947
4 A.	17,064,000	1,224,000	—	149,361	18,437,361	432,000	1,590	433,590	18,870,951	29,011	18,899,962
5 M.	13,359,264	4,385,136	146,568	1,853,350	19,744,318	—	32,560	32,560	19,776,878	17,396	19,794,274
6 J.	21,528,000	3,456,000	360,000	1,970,282	27,314,282	—	—	—	27,314,282	18,470	27,332,752
7 J.	20,385,600	2,008,800	3,273,600	2,075,424	27,743,424	—	—	—	27,743,424	13,827	27,757,251
8 A.	18,004,800	1,934,400	1,264,800	2,341,207	23,545,207	—	—	—	23,545,207	31,702	23,576,909
9 S.	18,000,000	3,888,000	—	2,194,506	24,082,506	—	13,720	13,720	24,096,226	29,297	24,125,523
10 O.	13,020,000	1,636,800	—	2,108,288	16,763,088	—	—	—	16,763,088	53,218	16,816,306
11 N.	12,600,000	864,000	—	1,125,110	14,589,110	—	12,760	12,760	14,601,870	61,809	14,663,679
12 D.	8,332,800	3,273,600	—	1,006,267	12,612,667	5,728,800	1,784,760	7,513,560	20,126,227	65,849	20,192,076
合 計 Total	170,009,664	23,128,656	5,565,768	16,966,377	215,670,465	6,160,800	1,845,490	8,006,290	223,676,755	32,974	223,709,729
月 平 均 Mon. Av.	14,167,472	2,102,605	1,113,153	1,413,864	17,972,539	3,080,400	307,581	3,387,981	18,639,729	2,747	18,642,476
1947. 1 J.	5,293,500	2,238,100	—	1,358,332	8,886,932	6,432,000	891,440	7,323,440	16,210,372	62,393	16,272,765
2 F.	7,575,900	3,589,900	—	811,980	11,977,780	7,201,550	183,000	7,384,550	19,362,330	55,833	19,418,163
3 M.	8,341,200	328,704	—	456,480	9,126,384	9,134,150	660,000	9,794,150	18,920,534	64,261	18,984,795
4 A.	18,939,000	3,667,784	—	967,720	23,574,504	4,662,000	580,040	5,242,040	28,816,544	—	28,816,544
5 M.	13,275,000	5,348,700	—	347,100	18,970,800	4,183,500	11,080	4,194,580	23,165,380	61,202	23,226,582
6 J.	13,179,000	689,900	—	473,520	14,342,420	5,469,500	—	5,469,500	19,811,920	50,314	19,862,234
7 J.	23,588,200	3,710,100	—	2,112,660	29,410,960	3,215,650	—	3,215,650	32,626,610	33,988	32,660,598
8 A.	13,354,800	6,380,800	1,224,860	2,034,360	22,994,820	488,500	—	488,500	23,483,320	27,499	23,510,819
9 S.	23,241,900	5,830,200	1,409,400	1,732,740	32,214,240	2,320,700	—	2,320,700	34,534,940	42,657	34,577,597
10 O.	12,155,400	695,300	633,400	1,413,222	14,897,322	10,035,500	—	10,035,500	24,932,822	55,313	24,988,135
11 N.	8,852,700	69,700	34,070	625,047	9,581,517	8,195,000	—	8,195,000	17,776,517	75,909	17,852,426
12 D.	8,061,600	2,263,900	—	581,271	10,906,771	5,354,500	647,200	6,001,700	16,908,471	72,24	16,980,711
合 計 Total	155,855,200	34,813,088	3,301,730	12,914,432	206,884,450	66,692,550	2,972,760	69,665,310	276,549,760	650,787	277,200,547
月 平 均 Mon. Av.	12,987,933	2,901,090	825,432	1,076,202	17,240,370	5,557,712	495,460	6,053,172	23,045,813	54,232	23,100,045

(162) 南朝鮮動力別電力消費量  
Quantity of Consumed by Electric Horse Power (South Korea)

	定額燈從量燈 Fixed Meter				電燈計 Total			電熱 Electric Heat				
	戶 Hour	燈 Light	戶 Hou.	燈 Light	戶 House	燈 Light	使用量 Quant. of Practic. Used	戶 House	契約量 Quant. of Contract.	使用量 Quant. of Practic. Used		
1946. 10 Oct.	369,728	736,109	165,747	1,451,200	535,475	2,187,309	16,807,881	11,956	31,946	1,175,369		
11 Nov.	—	—	—	—	—	—	17,512,105	—	—	1,327,497		
12 Dec.	—	—	—	—	—	—	18,007,103	—	—	1,793,310		
1947. 1 Jan.	—	—	—	—	—	—	19,938,433	—	—	2,792,967		
2 Feb.	—	—	—	—	—	—	19,490,292	—	—	2,913,772		
3 Mar.	400,673	311,643	168,017	1,513,785	563,690	2,325,433	20,347,094	12,671	33,402	3,137,365		
4 Apr.	—	—	—	—	—	—	17,540,669	—	—	2,751,907		
5 May	—	—	—	—	—	—	16,533,095	—	—	2,154,432		
6 June	—	—	—	—	—	—	15,392,696	—	—	1,632,153		
7 July	—	—	—	—	—	—	15,480,200	—	—	1,742,503		
8 Aug.	—	—	—	—	—	—	14,352,782	—	—	1,531,400		
9 Sept.	426,126	326,402	170,467	1,533,162	596,593	2,359,564	15,808,273	12,958	34,738	1,530,647		
10 Oct.	—	—	—	—	—	—	24,214,564	—	—	1,853,614		
11 Nov.	—	—	—	—	—	—	25,278,048	—	—	2,558,033		
12 Dec.	—	—	—	—	—	—	24,922,394	—	—	2,911,832		
	小動力 Small Horse Power			大動力 Big Horse Power			綜合電力 Synthetic Power			特約電力 Special Power		
	戶 House	契約量 Quant. of Contract.	使用量 Quant. of Practic. Used	戶 House	契約量 Quant. of Contract.	使用量 Quant. of Practic. Used	戶 House	契約量 Quant. of Contract.	使用量 Quant. of Practic. Used	戶 House	契約量 Quant. of Contract.	使用量 Quant. of Practic. Used
1946. 10 Oct.	14,935	120,713	5,501,544	719	77,527	4,998,787	49	7,625	695,353	57	98,716	9,945,246
11 Nov.	—	—	5,013,658	—	—	4,009,323	—	—	949,189	—	—	8,230,974
12 Dec.	—	—	5,091,446	—	—	4,175,544	—	—	1,009,528	—	—	7,838,783
1947. 1 Jan.	—	—	6,214,542	—	—	4,426,032	—	—	1,170,720	—	—	6,956,903
2 Feb.	—	—	5,229,092	—	—	4,937,188	—	—	1,147,505	—	—	10,592,125
3 Mar.	16,388	135,148	4,553,003	726	75,478	4,480,923	83	10,496	1,455,371	55	97,666	11,543,467
4 Apr.	—	—	4,494,547	—	—	4,744,560	—	—	1,328,439	—	—	8,146,185
5 May	—	—	4,080,276	—	—	4,558,731	—	—	1,270,223	—	—	8,996,666
6 June	—	—	4,494,755	—	—	5,813,158	—	—	1,292,814	—	—	7,763,883
7 July	—	—	6,287,375	—	—	5,598,311	—	—	1,211,488	—	—	8,116,272
8 Aug.	—	—	11,253,595	—	—	5,395,435	—	—	1,240,625	—	—	7,047,944
9 Sept.	18,139	147,221	9,993,294	787	81,693	5,545,120	91	12,319	1,266,553	54	82,370	9,323,418
10 Oct.	—	—	8,278,693	—	—	5,825,534	—	—	1,360,986	—	—	10,325,163
11 Nov.	—	—	7,447,618	—	—	5,461,858	—	—	1,725,678	—	—	11,179,146
12 Dec.	—	—	6,777,581	—	—	5,288,227	—	—	1,577,459	—	—	7,425,569

資料—商務部電氣課

Source:—Electric Section, Dept. of Commerce.

(163) 電 燈 普 及 狀 況  
Survey on Electric Light Installation in Korea

年 份	地 區	定 額		燈 從 量		燈 燈		總 取 付 電 力 E. P. Supplied
		戶 數	燈 數	戶 數	燈 數	戶 數	燈 數	
		Number of House	No. of E. Light	Number of House	No. of E. Light	Number of House	No. of E. Light	KWH
1926	S. K	93,667	274,702	8,185	143,972	107,852	368,674	7,452
	N. K	31,306	67,434	2,922	50,495	34,228	117,980	2,256
	Total	130,973	292,136	11,107	194,468	142,080	486,654	9,708
1927	S. K	106,369	335,523	9,541	164,407	115,910	399,930	8,192
	N. K	34,491	71,280	3,130	53,356	37,671	125,136	2,358
	Total	140,860	306,803	12,721	218,263	153,581	525,066	10,550
1928	S. K	112,209	249,323	13,435	199,733	125,755	449,561	9,405
	N. K	35,707	74,631	3,452	58,616	39,159	131,297	2,518
	Total	147,976	324,509	16,938	256,349	164,914	580,858	11,923
1929	S. K	118,619	307,355	13,553	263,414	166,977	570,769	12,277
	N. K	45,733	91,291	4,317	68,196	50,550	159,487	3,231
	Total	194,352	398,646	23,175	331,610	217,527	730,256	15,531
1930	S. K	156,507	320,497	16,732	297,225	173,239	614,722	13,609
	N. K	47,266	108,175	9,379	86,271	56,645	192,377	3,958
	Total	203,773	428,672	26,111	383,427	229,884	810,099	17,567
1931	S. K	169,956	348,099	17,056	320,603	186,112	668,702	15,717
	N. K	57,391	124,093	12,934	103,178	70,824	227,277	4,165
	Total	226,946	472,192	29,990	423,781	256,936	895,979	19,882
1932	S. K	167,562	361,529	25,25	354,786	192,820	716,315	15,763
	N. K	66,807	127,023	8,214	110,685	75,021	237,713	5,123
	Total	234,369	488,557	33,472	465,471	267,841	954,028	20,886
1933	S. K	175,709	387,751	29,021	391,241	204,730	773,992	17,914
	N. K	73,538	134,429	9,274	123,538	82,863	257,967	5,561
	Total	249,296	522,180	38,295	514,779	287,593	1,036,959	23,475
1934	S. K	180,036	423,832	38,481	401,127	216,580	824,960	18,834
	N. K	90,416	163,111	8,59	151,284	99,014	314,395	6,902
	Total	270,515	586,944	45,079	552,411	315,594	1,139,355	25,786
1935	S. K	186,442	432,425	37,98	479,504	224,431	911,929	22,377
	N. K	116,019	184,456	16,358	197,437	132,877	381,893	8,222
	Total	302,461	616,881	54,347	676,941	357,308	1,293,822	30,599
1936	S. K	206,495	468,069	49,046	568,334	255,536	1,036,403	24,749
	N. K	123,730	220,879	18,962	227,637	142,692	448,516	9,918
	Total	330,220	688,948	68,008	795,971	398,228	1,484,919	34,667
1937	S. K	226,766	492,111	57,132	689,231	293,898	1,181,342	28,871
	N. K	140,433	245,245	20,643	271,470	161,076	516,715	12,092
	Total	367,199	737,356	87,775	960,701	454,974	1,698,057	40,963
1938	S. K	232,503	494,696	67,426	781,405	308,929	1,276,101	31,645
	N. K	164,919	272,062	39,557	329,813	195,476	601,875	14,176
	Total	397,422	766,758	106,983	1,111,218	504,405	1,877,976	45,821
1939	S. K	238,503	510,887	79,174	855,357	317,677	1,366,244	34,043
	N. K	179,331	307,000	46,065	290,464	225,396	697,464	16,635
	Total	417,834	817,887	125,239	1,245,821	543,073	2,063,708	50,678
1940	S. K	246,006	520,497	104,619	985,250	350,625	1,505,747	37,926
	N. K	225,850	367,583	46,411	465,339	272,261	832,977	20,082
	Total	471,856	888,085	151,030	1,450,639	622,886	2,338,724	58,008
1941	S. K	260,956	566,992	116,236	1,093,752	377,192	1,665,744	42,325
	N. K	270,077	454,300	54,237	538,719	324,364	993,019	24,385
	Total	531,033	1,021,292	170,522	1,637,471	701,556	2,658,763	66,710
1942	S. K	278,937	609,958	134,322	1,234,237	413,809	1,844,245	47,555
	N. K	315,324	517,934	66,716	660,136	332,040	1,178,070	29,776
	Total	594,311	1,127,892	201,538	1,894,423	795,849	3,022,315	77,331
1943	S. K	291,727	622,682	150,402	1,339,955	442,129	1,962,637	51,325
	N. K	345,195	545,982	74,465	756,120	419,660	1,302,102	34,480
	Total	636,922	1,168,664	224,967	2,096,075	861,789	3,264,739	85,805
1944	S. K	299,383	628,935	163,441	1,461,814	462,824	2,090,809	55,246
	N. K	371,443	595,675	79,309	803,456	450,572	1,399,131	37,854
	Total	670,826	1,224,670	242,750	2,265,270	913,576	3,489,940	93,100
1945	S. K.	—	—	—	—	—	—	—
1946	S. K.	369,728	736,109	165,747	1,471,200	535,475	2,207,309	66,219
1947	S. K.	409,673	811,648	168,017	1,513,785	568,690	2,325,433	69,762

## (164) 石油消費狀況

## The Condition of Oil Consumption

單位=千立

In 1,000 Liter

	揮發油 Gasoline	燈油 Lamp Oil	輕油 Light Oil	重油 Heavy Oil	機械油 Machine Oil	合計 Total
1937	113,742	78,550	23,562	159,510	43,642	419,008
1938	127,325	87,913	25,513	125,618	35,738	402,105
1939	97,000	87,400	29,000	111,000	450	369,400
1940	85,456	81,960	25,675	144,000	46,753	383,844
1941	46,836	52,344	13,032	37,836	37,944	187,992
1942	17,685	23,142	8,796	23,468	24,956	104,047
1943	10,650	18,324	4,818	32,042	23,035	88,869
1944	6,156	5,940	3,438	18,336	14,400	48,384
1945	?	?	?	?	?	?
	개소린 Gasoline	燈油 Lamp Oil	燃料油 Fuel Oil	디젤油 Diesel Oil	潤滑油 Lubricate Oil	合計 Total
1946. 1 Jan.	70	40	—	—	—	110
2 Feb.	1,130	1,756	—	—	—	2,886
3 Mar.	2,208	788	—	265	496	3,757
4 Apr.	4,147	1,424	—	1,562	1,373	8,506
5 May	3,627	244	—	898	1,302	6,071
6 June	5,381	2,203	309	2,601	693	11,192
7 July	4,408	2,332	4,113	1,827	556	13,236
8 Aug.	3,413	2,699	4,997	1,551	679	13,339
9 Sept.	4,080	3,045	5,209	1,071	663	14,068
10 Oct.	3,216	1,416	6,915	1,292	744	13,583
11 Nov.	3,946	2,318	7,096	1,979	491	15,830
12 Dec.	3,899	2,647	7,002	2,537	402	16,487
年計 Y. Total	39,525	20,912	35,641	15,588	7,399	119,065
月平均 M. Av	3,249	1,743	2,970	1,299	617	9,877
1947 1 Jan.	3,136	2,464	6,455	1,966	761	14,782
2 Feb.	2,346	2,963	8,915	3,940	1,478	19,642
3 Mar.	5,669	1,681	5,905	3,977	1,425	18,657
4 Apr.	3,861	1,528	4,515	3,405	1,126	14,435
5 May	6,480	2,922	1,201	6	429	11,038
6 June	4,638	2,205	3,899	2,032	3,610	13,384
7 July	4,772	3,008	4,038	1,275	643	13,736
8 Aug.	7,207	3,008	4,244	3,383	1,107	18,949
9 Sept.	5,800	1,179	2,212	1,589	1,500	13,380
10 Oct.	4,717	752	2,953	2,414	588	11,424
11 Nov.	5,435	637	3,982	2,127	1,005	13,186
12 Dec.	6,816	1,191	2,845	2,584	680	14,116
年計 Y. Total	60,977	24,538	51,164	28,698	11,352	176,729
月平均 M. Av	5,081	2,046	4,264	2,392	946	14,772

1) 大戰中消費量減少は軍需量調査不能に依り

1) Decrease during the World War II, resulted from the account of consumption for military use being unannounced.

2) 1946年以後は美國으로부터輸入한販賣量임

2) Since 1946, amount of imported from U.S.A

## (165) 石油用途別消費量 (1944年)

## Oil Consumption by Use, 1944

單位=千立

In 1,000 Liter

	揮發油 Gasoline	燈油 Lamp Oil	輕油 Light Oil	重油 Heavy Oil	機械油 Machine Oil	合計 Total
一般燈火用 Lamp Oil	—	886	—	—	—	886
自動車用 Vehicle	1,385	—	—	—	1,913	3,298
農林用 Agriculture	—	2,379	1,806	1,534	229	5,948
水産用 Fishery	—	107	303	2,163	121	2,694
工業用 Industry	301	213	298	2,344	4,485	7,641
鑛産用 Mine	1,390	405	290	—	853	2,938
船舶用 Ship	—	185	320	10,401	497	11,403
鐵道用 Railway	—	113	—	268	383	764
官廳用 Government	1,316	322	39	1,037	1,341	4,055
其他 Others	1,764	1,384	382	649	4,578	8,757
合計 Total	6,156	5,994	3,438	18,396	14,400	48,384



(166) 石炭生産及輸入量

Amount of Coal Production & Imported

In Metric Ton

單位=噸

	輸入量 Imported	鐵山別生産實績 Products by Mine							貯炭量 Stockpiles								
		三砂邑城 Sam-huk Tunsung Hwasan	和順 Hwasan	丹陽 Dan-yang	開慶 M-m-kyung	蔚山 Ulsan	吉原迎日 Kilwon-Yongil	Total	無煙炭 Anthracite	褐炭 Lignite	石炭 Coal	在船 At Ship	在礦 At Mine	在船 At Ship	在礦 At Mine	在船 At Ship	在礦 At Mine
1946. 1 Jan.	23,040	324	3,020	10,224	—	518	576	—	14,663	—	—	1	—	—	—	—	6
2 Feb.	61,512	262	2,919	10,519	—	1,019	693	—	15,412	—	—	1	—	—	—	18	
3 Mar.	73,338	720	2,823	11,659	—	1,482	786	—	17,480	490	87	1	1	1	42	42	
4 Apr.	82,007	3,306	3,202	12,273	577	2,283	816	—	22,467	4,666	64	1	1	1	62	62	
5 May	62,743	8,575	1,932	10,204	1,165	1,621	1,150	—	24,647	4,445	55	2	2	2	89	89	
6 June	53,568	3,521	2,251	14,048	2,379	1,002	1,128	—	24,352	4,399	44	2	3	3	82	82	
7 July	22,903	12,290	1,670	7,163	2,307	1,812	1,416	—	2,668	413	31	4	6	6	109	109	
8 Aug.	66,856	10,396	2,052	4,332	2,305	1,043	1,387	—	21,515	388	47	5	5	5	127	127	
9 Sept.	43,173	12,190	4,133	3,052	2,016	2,688	1,472	—	2,581	364	69	7	5	5	164	164	
10 Oct.	46,431	12,503	3,115	7,622	2,651	180	1,521	—	27,892	352	98	8	5	5	99	99	
11 Nov.	38,834	14,057	3,223	—	3,186	—	1,269	—	21,755	333	99	10	5	5	91	91	
12 Dec.	38,366	10,392	2,808	4,040	2,943	—	1,032	—	21,215	338	108	8	2	2	77	77	
計 Total	612,771	88,536	33,191	95,426	19,529	13,669	13,246	—	263,607	4,028	702	50	35	35	906	906	
1947. 1 Jan.	33,462	4,212	2,376	5,723	2,860	—	1,512	15	16,858	339	92	11	2	2	50	50	
2 Feb.	40,090	9,395	3,531	5,022	2,254	531	43	71	21,359	339	93	10	2	2	32	32	
3 Mar.	67,502	13,219	3,046	7,563	2,411	607	120	256	28,332	317	81	11	2	2	15	15	
4 Apr.	57,315	16,726	2,072	10,002	1,915	603	2,600	472	33,733	320	88	12	2	2	16	16	
5 May	66,618	16,315	3,591	11,832	2,516	100	2,000	607	36,900	305	48	12	0	0	29	29	
6 June	52,437	17,143	3,668	13,401	2,306	334	1,837	837	39,836	283	70	11	2	2	43	43	
7 July	54,953	18,487	2,076	6,648	2,520	401	1,810	1,067	33,009	286	5	11	2	2	40	40	
8 Aug.	59,917	13,318	246	4,850	2,012	617	1,730	778	23,551	258	24	11	4	4	21	21	
9 Sept.	70,297	24,003	579	4,395	2,703	714	2,350	2,079	36,823	203	44	12	3	3	19	19	
10 Oct.	64,588	25,076	2,043	6,141	3,700	797	2,573	2,557	42,887	171	40	15	4	4	21	21	
11 Nov.	62,517	20,003	2,539	10,246	1,929	953	2,758	2,407	40,825	171	117	18	3	3	17	17	
12 Dec.	64,823	13,382	3,018	11,086	2,023	1,814	2,854	2,733	36,925	160	36	22	5	5	26	26	
計 Total	694,519	191,289	28,785	96,939	29,149	7,768	23,071	14,157	391,158	3,187	739	156	31	31	335	335	

(167) 瓦斯事業狀況

Status of Gas Business

	生産量 Products	供給量 Supplies	販賣量 Sales	需要戸數 Consumer	一日平均生産量 Produced Per a Day	一日消費量 Consumed Per a Day	收入 Incomes
	立方尺 M <sup>3</sup>	立方尺 M <sup>3</sup>	立方尺 M <sup>3</sup>	戶 House	立方尺 M <sup>3</sup>	立方尺 M <sup>3</sup>	圓 Won
1946. 1 Jan.	—	—	—	16,514	—	—	2
2 Feb.	87,680	—	—	16,424	3,131	—	2,650
3 Mar.	262,560	—	—	16,425	8,469	—	117,766
4 Apr.	432,890	※ 867,740	※ 659,467	16,418	14,429	—	1,304,157
5 May	501,320	—	—	16,419	16,171	21,738	2,694,335
6 June	465,540	493,980	386,611	16,270	15,518	12,868	2,305,611
7 July	390,740	568,910	439,268	16,297	12,604	18,351	2,086,769
8 Aug.	294,070	—	—	—	9,486	—	—
9 Sept.	139,010	—	—	—	4,635	—	—
10 Oct.	384,500	—	—	—	12,403	—	—
11 Nov.	326,480	—	—	—	10,531	—	—
12 Dec.	281,200	—	—	—	9,070	—	—
計 Total	3,565,990	1,930,630	1,494,736	16,396	9,769	16,139	8,523,288
1947. 1 Jan.	571,780	257,070	174,917	15,888	18,444	8,292	589,569
2 Feb.	243,170	453,520	191,921	15,894	8,385	15,811	734,684
3 Mar.	295,099	277,051	214,234	15,734	9,519	8,937	1,117,385
4 Apr.	430,854	403,372	315,482	15,751	14,361	13,445	2,039,024
5 May	374,709	367,215	328,189	15,781	12,087	11,845	2,162,435
6 June	316,010	198,685	307,714	15,792	10,533	6,622	2,855,298
7 July	156,112	193,745	132,402	15,788	5,035	6,249	1,999,456
8 Aug.	198,763	174,502	162,427	15,782	6,411	5,628	1,622,433
9 Sept.	178,948	158,831	140,854	15,750	5,964	5,284	2,075,848
10 Oct.	273,768	257,854	171,363	15,763	8,331	8,316	1,388,183
11 Nov.	227,876	224,121	187,068	13,171	7,351	7,595	2,560,666
12 Dec.	234,028	228,791	140,347	13,157	7,549	7,380	3,275,052
計 Total	3,501,117	3,199,707	2,466,938	184,251	9,592	6,758	22,420,133

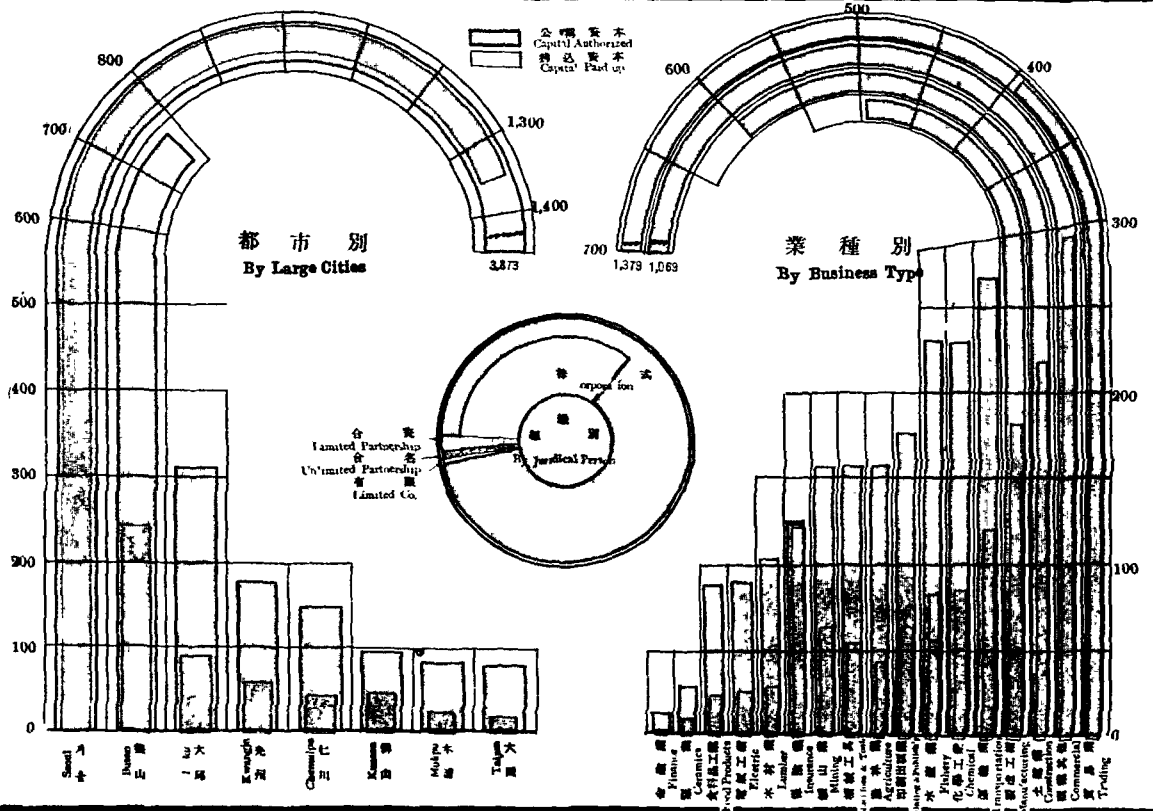
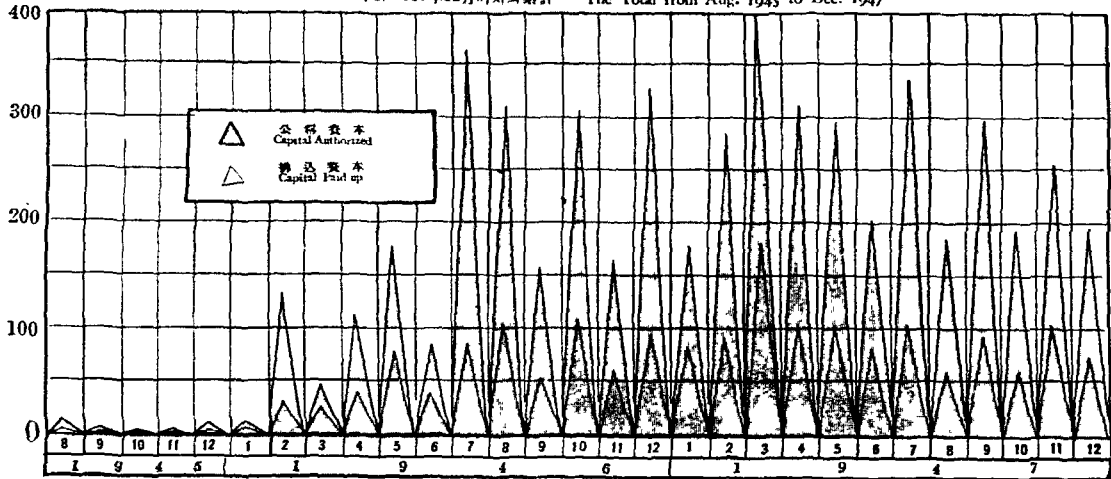
1) ※ 檢針關係三.4.5月合算計上計以爲  
2) 京畿電氣會社關係事業狀況引

1) ※ Mark shows the total amount of Mar., Apr. and May  
2) This table shows the Gas Business of Seoul Electric Co.

(168) 南 朝 鮮 新 設 會 社 狀 況

Status of Corporation Newly Established in South Korea

1946年 8月 부터 1947年 12月 까지의 累計 The Total from Aug. 1945 to Dec. 1947



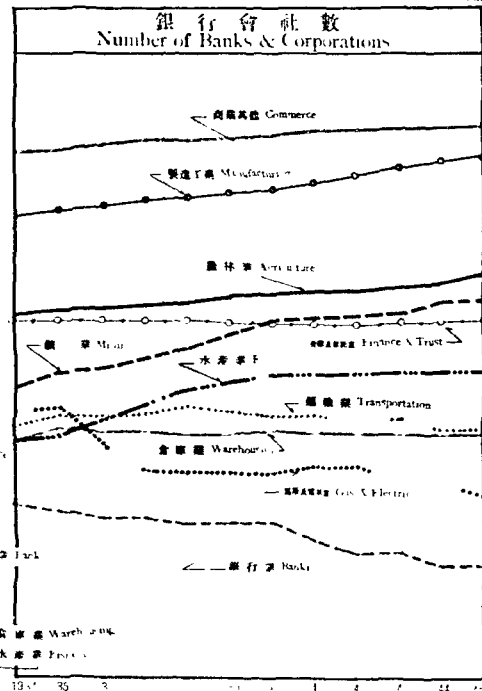
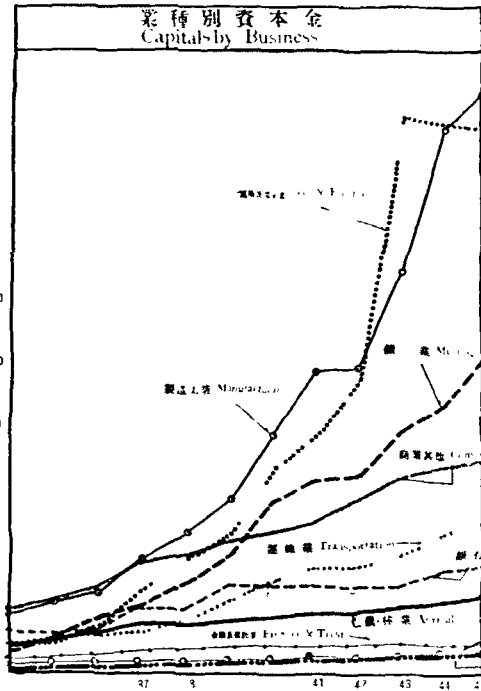
# (169) 銀行會社重要計定趨勢

## TRENDS OF PRINCIPAL ACCOUNTS

### BANKS & CORPORATIONS

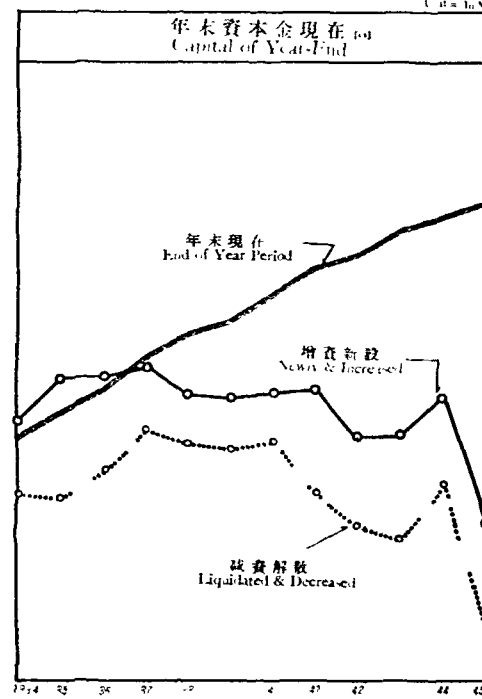
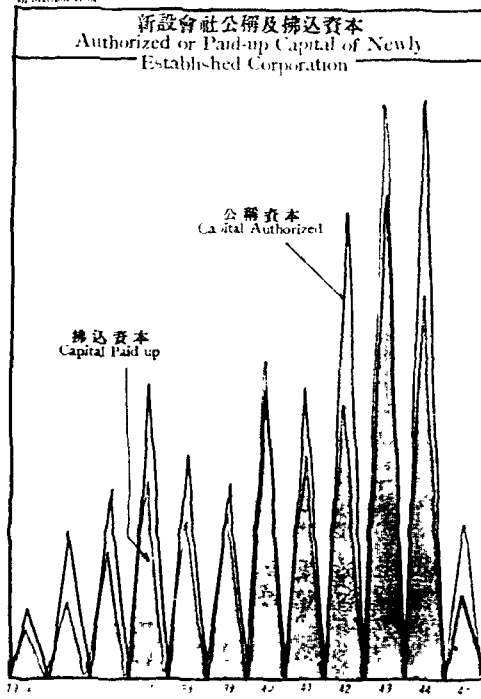
單位=百萬圓  
Unit = In Millions Yen

單位=數  
Unit = Numbers



單位=百萬圓  
Unit = In Millions Yen

單位=百萬圓  
Unit = In Millions Yen



(170) 서울市銀行會社新設增資資本  
 Newly Establish & Increased Capital of Banks and Corporations in Seoul In Won

	新設社數 Numbers	公 稱 資 本 Capital Authorized			拂 込 資 本 Capital Paid-up
		新 設 Newly	增 資 Increased	計 Total	
9 2	281	49,231,494	2,222,000	51,453,494	21,641
9 2	505	59,658,715	9,745,788	69,404,503	8205
9 2	441	41,145,265	2,887,870	44,033,135	2311
	502	129,490,390	4,576,068	134,066,467	66133
	533	42,279,635	22,270,400	64,550,035	35537
	65	26,514,023	35,638,550	62,202,573	56916
	56	33,893,793	8,001,533	41,895,326	262
	554	63,072,160	4,410,975	72,483,135	351
	434	73,574,530	11,567,960	85,142,490	560
	653	157,135,974	17,919,350	175,105,824	888
	710	181,832,423	60,162,705	241,995,134	1582
	794	249,807,578	126,365,230	376,172,858	2495
	648	223,067,250	63,039,829	286,107,079	19533
	609	179,133,960	75,469,137	254,603,147	20760
	639	185,653,753	187,971,712	373,625,465	41264
	661	137,192,650	241,254,275	378,446,925	2813
	463	304,345,562	293,523,133	602,868,700	3483
	469	487,317,600	148,394,617	635,712,217	7398
	606	502,791,500	250,624,170	753,415,670	4980
	212	63,676,000	51,539,880	120,215,880	1928
	366	1,650,982,000	163,657,100	1,814,639,100	6683
	305	2,218,437,000	473,832,000	2,692,275,000	1,077,093,000

(171) 서울市銀行會社解散減資資本  
 Liquidated and Decreased Capital of Banks and Corporations in Seoul In Won

	解散社數 Numbers	公 稱 資 本 Capital Authorized			拂 込 資 本 Capital Paid-up		
		解 散 Liquidation	減 資 Decreased	計 Total	解 散 Liquidation	減 資 Decreased	計 Total
	111	12,341,200	46,671,350	59,012,550	7,687,450	23,590,100	3625
	120	7,233,330	1,122,000	8,355,330	4,083,130	394,500	446
	199	22,322,878	4,202,249	26,525,127	14,083,878	2,646,499	1673
	176	12,283,831	2,653,000	14,936,831	5,133,631	668,350	589
	176	33,255,634	9,965,000	43,220,634	13,262,684	2,931,850	1615
	187	17,506,815	1,040,850	18,547,665	6,733,390	403,350	712
	261	18,659,024	1,870,700	20,529,724	8,682,369	1,385,075	10,067,444
	293	104,959,195	3,210,500	108,169,695	33,045,195	1,194,250	34234
	280	19,169,542	2,166,360	21,335,902	9,192,197	762,010	9952
	252	17,596,880	2,894,400	20,491,280	9,332,130	2,061,900	1139
	362	41,651,656	3,946,283	45,597,924	19,900,556	1,788,518	2168
	471	77,263,199	5,834,000	83,102,193	56,018,649	3,132,050	5915
8	435	46,186,294	923,865	47,115,159	26,384,544	822,615	272071
9	401	25,753,125	1,795,000	27,553,125	16,274,350	1,474,802	177491
0	447	53,699,319	346,600	54,545,919	44,961,635	489,600	4545
	292	62,486,705	12,146,000	74,632,705	34,563,055	10,646,400	4520
	209	221,752,187	2,072,985	223,825,172	153,093,412	1,065,485	154,163
	184	103,104,200	5,423,510	108,527,710	72,450,445	4,029,760	7648
4	305	233,356,500	3,435,950	241,792,450	123,562,075	4,681,012	128,243
4	84	41,053,700	587,500	41,646,200	16,239,190	17,019,500	33258
4	33	7,470,000	—	7,470,000	6,305,000	—	6305
1947	16	41,594,000	2,690,000	44,284,000	20,109,000	2,690,000	22,789

(172) 新 社 會 銀 行 市 會 行 會 社 新  
Increased Capital by

	By Juridical Person											
	Corporation			Limited Partnership			Unlimited Partnership			Limited Co.		
	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up
1936	270	222,468,450	133,683,096	295	13,277,039	13,277,039	154	6,249,645	6,249,645	—	—	—
1937	324	357,910,250	231,307,006	374	12,708,581	12,708,581	96	5,554,027	5,554,027	—	—	—
1938	334	277,189,500	184,814,650	272	6,606,430	3,231,930	72	2,311,149	2,345,749	—	—	—
1939	326	243,675,995	196,683,918	222	7,633,282	7,633,282	61	3,239,370	3,239,370	—	—	—
1940	417	360,595,632	389,666,609	163	9,588,680	9,536,680	59	3,441,103	3,440,183	—	—	—
1941	340	357,357,000	260,467,805	224	14,934,950	14,755,450	97	6,136,975	6,136,975	—	—	—
1942	264	586,171,500	332,203,420	179	14,172,910	13,687,910	20	2,524,290	2,486,290	—	—	—
1943	290	618,916,817	723,017,228	167	15,104,800	15,104,800	12	1,69,600	1,690,600	—	—	—
1944	420	733,482,120	477,090,170	166	17,060,900	17,060,400	12	1,842,650	1,842,650	8	1,030,000	1,030,000
1945	185	116,465,890	139,249,030	6	976,000	911,000	5	399,000	407,000	16	2,375,000	2,280,000
1946	294	1,764,162,000	617,833,000	56	41,965,100	41,965,100	16	6,660,000	6,660,000	5	1,852,000	1,852,000
1947	247	2,547,325,000	932,153,000	38	91,315,000	91,315,000	15	39,295,000	39,295,000	5	14,340,000	14,330,000

(172) 解 社 會 銀 行 市 會 行 會 社 解  
Liquidated & Decreased Capital

	By Juridical Person											
	Corporation			Limited Partnership			Unlimited Partnership			Limited Co.		
	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up
1936	114	41,930,000	18,081,150	205	2,718,324	2,718,324	43	889,600	889,600	—	—	—
1937	111	77,919,400	53,967,900	287	3,782,392	3,782,392	73	1,400,407	1,400,407	—	—	—
1938	100	37,302,000	7,545,700	266	4,415,224	4,415,224	69	5,397,935	5,397,935	—	—	—
1939	86	21,335,950	11,531,977	255	4,257,028	4,257,028	62	1,960,147	1,960,147	—	—	—
1940	121	47,359,520	33,264,836	266	5,566,435	5,566,435	60	1,619,964	1,619,964	—	—	—
1941	92	64,342,500	34,919,250	163	9,026,855	9,026,855	37	1,263,350	1,263,350	—	—	—
1942	109	217,647,500	147,897,825	74	4,942,800	4,942,800	26	1,234,872	1,234,872	—	—	—
1943	90	105,136,900	73,084,395	74	2,625,360	2,625,360	20	770,450	770,450	—	—	—
1944	188	235,524,950	121,975,587	96	5,600,300	5,600,300	20	587,200	587,200	1	80,000	80,000
1945	42	39,343,000	30,220,490	22	694,600	694,600	6	560,000	560,000	14	1,783,600	1,783,600
1946	18	4,435,000	3,270,000	10	2,440,000	2,440,000	4	585,000	585,000	1	10,000	10,000
1947	7	35,110,000	13,625,000	6	7,744,000	7,744,000	2	1,250,000	1,250,000	1	180,000	180,000

(174) 社 會 銀 行 市 會 行 會 社  
Capital of All Banks & Corporations

	By Juridical Person											
	Corporation			Limited Partnership			Unlimited Partnership			Limited Co.		
	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up
1936	1,601	1,042,133,525	560,017,580	2,734	67,474,446	65,843,946	624	37,737,726	37,703,126	—	—	—
1937	1,814	1,322,124,375	737,356,686	2,821	76,400,635	74,775,135	677	41,891,346	41,856,746	—	—	—
1938	2,018	1,562,011,875	994,625,636	2,327	73,591,841	73,591,341	650	33,804,560	33,804,560	—	—	—
1939	2,258	1,784,351,420	1,089,777,577	2,794	81,963,095	81,963,095	649	40,133,783	40,133,783	—	—	—
1940	2,554	2,097,587,532	1,451,179,350	2,691	85,990,340	85,938,340	648	41,954,922	41,954,922	—	—	—
1941	2,802	2,390,620,032	1,676,727,905	2,752	91,893,435	91,668,935	703	46,328,547	46,328,547	—	—	—
1942	2,933	2,747,829,682	1,849,933,850	2,857	100,651,295	99,934,795	704	48,043,042	48,005,042	—	—	—
1943	3,133	3,261,603,599	2,499,871,683	2,950	113,130,735	112,414,235	696	48,963,192	48,925,192	—	—	—
1944	3,365	3,759,566,769	2,854,986,266	3,020	124,591,335	123,874,325	688	50,218,642	50,180,652	7	950,000	950,000
1945	3,487	3,843,254,649	3,018,549,156	3,008	124,904,835	124,122,825	684	49,807,642	49,777,652	9	1,686,400	1,591,400
1946	3,763	5,604,990,749	3,635,349,256	3,054	162,832,835	162,050,825	696	55,832,642	55,802,652	8	3,166,400	3,071,400
1947	4,003	8,117,205,749	4,553,867,256	3,086	246,403,835	245,621,825	709	93,877,642	93,847,652	12	17,326,400	17,231,400

### 設增資資本業種別表 (其一)

#### Business Type in Seoul (I)

In Won

計 Total			業種別 By Business Type								
			農林業 Agriculture			水産業 Fishery			鑛業 Mining		
社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up
719	241,935,134	153,203,780	23	34,843,900	21,431,900	16	2,812,315	1,834,815	22	39,905,000	31,330,000
794	376,172,353	249,569,614	27	33,659,500	10,237,500	19	8,252,500	5,123,725	31	43,493,300	51,807,000
648	236,107,079	195,382,329	15	9,534,000	3,535,750	27	9,877,970	3,197,645	26	63,044,000	47,946,500
609	254,593,147	207,606,570	24	3,318,200	3,679,100	12	1,259,500	1,486,000	44	65,714,500	42,562,000
639	373,625,465	412,643,472	24	13,772,163	7,268,913	12	4,506,482	4,821,732	31	84,827,300	103,294,500
661	378,446,925	231,360,230	20	5,107,000	5,333,500	10	1,440,000	1,523,500	12	61,910,000	39,240,000
463	602,363,700	348,374,620	15	4,350,600	7,391,100	5	1,266,000	2,369,750	14	25,930,000	33,750,000
469	635,712,217	739,812,623	22	4,665,500	4,831,000	5	1,083,917	2,434,917	16	59,636,000	57,162,000
606	753,415,670	497,023,220	55	18,249,400	18,469,550	7	8,259,000	8,024,000	64	115,933,500	64,005,750
212	120,215,830	192,847,030	37	7,444,000	11,023,900	2	195,000	195,000	26	37,615,000	80,602,000
366	1,814,639,100	668,310,100	5	12,210,000	4,960,000	4	23,000,000	5,750,000	3	16,175,000	6,572,000
305	2,692,275,000	1,077,093,000	8	74,920,000	27,670,000	5	130,500,000	35,125,000	11	76,000,000	19,750,000

### 散減資資本業種別表 (其一)

#### by Business Type in Seoul (I)

In Won

計 Total			業種別 By Business Type								
			農林業 Agriculture			水産業 Fishery			鑛業 Mining		
社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up
362	45,597,924	21,689,074	7	1,214,170	464,170	6	806,000	443,750	6	13,460,000	7,680,000
471	83,102,199	59,150,699	11	5,007,950	2,773,950	8	1,374,400	537,250	11	23,909,900	25,584,900
435	47,115,159	27,358,859	13	8,569,000	5,339,500	14	3,245,000	2,456,250	6	1,500,000	1,233,000
403	27,553,125	17,749,152	5	2,226,000	1,254,750	3	190,000	93,100	4	982,750	420,250
447	54,545,919	45,451,235	15	2,200,429	1,045,554	2	210,000	210,000	12	24,071,000	24,071,000
292	74,632,705	45,209,455	12	461,750	444,250	9	364,000	201,500	5	3,860,000	3,020,000
209	223,825,172	154,075,497	9	2,051,500	1,077,000	3	529,000	379,750	8	24,500,000	20,100,000
184	103,532,710	76,480,205	4	614,000	364,000	4	634,000	564,000	4	3,780,000	2,155,000
305	241,792,450	128,243,087	10	9,526,200	7,406,200	5	364,500	315,750	10	8,860,000	8,435,000
84	42,381,200	33,253,690	1	100,000	25,000	—	—	—	7	3,705,000	3,110,000
33	7,470,000	6,305,000	3	690,000	690,000	—	—	—	—	—	—
16	44,284,000	22,799,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—

### 資本金各年末現在高 (其一)

#### at the Year-End in Seoul (I)

In Won

計 Total			業種別 By Business Type								
			農林業 Agriculture			水産業 Fishery			鑛業 Mining		
社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up
4,959	1,147,345,697	663,569,652	263	117,552,475	73,328,850	48	16,422,315	8,043,065	106	115,598,100	81,644,300
5,282	1,440,416,356	853,933,567	279	146,203,025	80,790,400	53	23,300,315	12,634,540	126	535,186,500	107,866,400
5,495	1,679,403,276	1,022,022,037	281	147,218,025	79,036,650	72	29,933,895	13,375,935	146	196,730,500	154,979,900
5,701	1,936,453,293	1,211,879,455	300	148,310,225	81,461,000	81	31,033,385	14,768,835	186	216,462,250	196,721,650
5,893	2,225,532,844	1,579,072,612	309	153,881,959	87,634,359	91	35,299,867	19,330,567	205	322,218,250	275,945,150
6,262	2,529,347,064	1,815,223,387	317	164,527,209	92,573,603	92	36,375,867	20,702,567	212	380,263,250	312,165,150
6,494	2,896,524,019	1,937,878,687	324	167,026,309	99,452,709	94	37,112,867	22,400,067	218	381,618,250	324,935,150
6,779	3,423,703,526	2,661,211,110	342	171,077,809	103,919,709	95	37,562,784	24,270,934	230	437,474,250	379,942,150
7,030	3,935,326,746	3,029,931,243	337	179,801,909	114,933,059	97	45,457,284	31,979,234	234	544,552,750	435,512,900
7,183	4,019,653,526	3,194,041,033	417	186,295,009	125,571,459	93	45,652,284	32,027,934	297	572,487,570	507,067,400
7,521	5,826,822,626	3,856,274,133	419	197,805,009	129,756,459	102	68,652,284	37,777,984	301	588,862,750	513,839,400
7,810	8,474,813,626	4,910,568,133	427	272,725,009	157,426,459	107	199,152,284	72,902,984	311	664,862,750	533,589,400

(172) 서울市銀行會社新  
Increased Capital by

(Continued)

	By Business Type												
	製造工業 Manufacturing			瓦斯及電氣業 Gas & Electric			銀行業 Banking			金融及信託業 Finance			
	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.
1936	177	56,629,359	25,250,839	2	25,005,650	25,340,250	—	—	6,090,000	18	1,881,700	6,005,600	50
1937	175	79,124,497	52,252,629	1	119,210,000	74,525,950	—	—	6,750,000	13	7,623,030	3,024,080	64
1938	195	76,073,279	43,015,154	2	58,100,000	59,910,000	—	—	—	15	8,818,400	2,749,150	56
1939	242	63,589,832	65,400,507	1	25,000,000	32,597,300	—	30,000,000	7,500,000	15	5,222,200	3,280,400	33
1940	222	103,023,860	111,183,560	1	103,290,000	116,172,500	—	—	12,500,000	4	2,540,000	2,382,500	36
1941	246	121,903,584	104,423,704	2	93,037,000	47,193,250	—	2,250,000	8,831,250	7	611,200	549,200	35
1942	215	139,903,452	105,257,232	1	321,400,000	112,330,000	—	—	10,000,000	6	9,331,250	2,995,000	13
1943	243	162,647,400	164,843,240	1	341,730,000	415,119,250	—	—	—	11	565,100	445,100	25
1944	309	415,699,670	238,064,770	—	—	12,500,000	1	49,250,000	15,931,250	8	1,286,050	1,473,550	28
1945	103	44,137,880	70,665,030	—	—	6,309,250	—	—	—	1	500,000	265,000	4
1946	20	61,822,300	29,527,300	16	35,540,000	10,378,000	—	—	—	—	—	—	19
1947	38	231,307,225	97,403,075	11	84,600,000	27,700,000	1	3,000,000	3,000,000	—	—	—	8

(173) 서울市銀行會社解  
Liquidated & Decreased Capital

(Continued)

	By Business Type												
	製造工業 Manufacturing			瓦斯及電氣業 Gas & Electric			銀行業 Banking			金融及信託業 Finance			
	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.
1936	76	14,497,631	4,622,481	24	3,193,900	1,539,500	1	100,000	—	15	578,400	222,900	36
1937	90	15,639,740	5,647,690	12	13,415,000	15,115,000	—	—	—	20	1,426,450	722,450	30
1938	84	13,047,154	6,070,354	3	2,550,000	1,400,000	1	2,000,000	800,000	20	4,155,400	1,712,900	36
1939	144	12,754,018	8,493,763	1	170,000	170,000	—	—	—	16	1,773,750	1,035,000	44
1940	102	6,967,530	5,753,030	—	200,000	200,000	—	—	—	8	1,851,680	595,430	68
1941	62	4,579,070	2,625,720	—	10,000,000	10,000,000	2	3,250,000	1,681,250	7	2,718,180	893,180	33
1942	42	145,741,520	93,183,495	1	8,000,000	3,400,000	1	2,000,000	—	9	8,147,670	2,427,000	39
1943	41	9,799,560	6,710,435	4	75,100,000	55,070,000	—	—	—	7	392,000	224,750	26
1944	65	13,153,900	9,922,375	1	100,000	25,000,000	2	9,250,000	5,931,250	2	85,500	35,500	88
1945	33	8,413,100	7,369,340	2	235,000	235,000	—	—	—	—	—	—	2
1946	2	438,000	438,000	2	380,000	290,000	4	109,000	109,000	—	—	—	—
1947	—	—	—	2	4,154,000	2,154,000	—	—	—	—	—	—	1

(174) 서울市銀行會社  
Capital of All Banks & Corporations

(Continued)

	By Business Type												
	製造工業 Manufacturing			瓦斯及電氣業 Gas & Electric			銀行業 Banking			金融及信託業 Finance			
	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.
1836	1,127	265,580,655	139,000,035	32	116,603,550	74,201,650	10	99,175,000	65,931,250	193	36,149,182	19,736,542	454
1937	1,212	329,015,412	185,694,974	21	217,403,550	133,617,600	10	93,175,000	72,731,250	196	42,345,812	22,033,172	482
1938	1,323	392,041,537	222,639,774	20	270,953,550	189,127,600	9	97,175,000	71,331,250	191	47,008,812	23,124,422	508
1939	1,421	442,877,401	279,541,513	20	235,733,550	221,554,900	9	127,175,000	79,431,250	190	50,457,262	25,369,322	497
1940	1,541	543,933,681	334,971,933	20	393,873,550	337,527,400	9	127,175,000	91,931,250	186	51,145,582	27,156,892	465
1941	1,725	661,263,195	488,774,977	22	481,963,550	374,726,650	7	126,175,000	99,081,250	186	49,033,502	26,807,912	467
1942	1,880	649,529,977	487,448,314	22	793,360,550	483,706,650	6	124,175,000	107,206,250	183	50,191,932	27,283,742	440
1943	2,082	802,377,817	645,531,119	19	1,064,997,550	880,555,900	6	124,175,000	107,206,250	186	50,365,032	27,504,092	440
1944	2,326	1,204,923,537	873,723,014	18	964,997,550	868,055,900	5	164,175,000	117,216,250	192	51,565,582	28,942,142	330
1945	2,392	1,238,143,467	934,046,354	16	964,705,550	874,039,100	5	164,175,000	117,216,250	193	52,065,582	29,567,142	382
1946	2,412	1,299,628,467	963,213,854	30	989,879,550	884,169,100	195	216,138,582	146,681,392	—	—	—	402
1947	2,450	1,530,935,692	1,066,667,379	39	1,080,375,550	909,715,100	196	219,138,582	149,681,392	—	—	—	409

### 設增資資本業種別表 (其二) Business Type in Seoul (II)

By Business Type														
運輸業 Transportation			倉庫業 Warehouse			保險業 Insurance			商業其他 Commercial & Others			計 Total		
公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P. up	數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P. up	數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P. up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P. up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P. up	社數 N.
34,645,250	10,224,696	3	715,000	205,000	—	—	—	403	45,551,960	29,946,630	719	241,995,134	158,209,780	—
20,033,207	11,613,656	4	862,500	417,500	—	—	—	455	58,910,274	33,812,574	794	376,172,858	249,569,614	—
32,268,820	16,002,695	—	—	25,000	—	—	—	312	30,340,610	21,960,435	648	286,107,079	195,392,329	—
33,940,575	30,780,833	3	505,000	176,250	—	—	—	235	26,048,290	20,144,175	603	254,593,147	207,606,570	—
8,312,840	22,953,715	2	540,000	1,307,000	—	—	—	307	47,813,120	30,754,052	639	373,625,465	412,643,472	—
26,507,000	32,038,250	1	150,000	1,237,000	1	3,000	3,000	327	65,473,141	40,976,576	661	378,446,925	281,360,230	—
20,743,900	19,174,030	—	180,000	1,250,000	—	—	—	193	79,713,493	53,307,453	463	602,368,700	348,374,620	—
23,477,000	23,785,741	—	—	66,750	—	—	—	146	41,907,300	34,324,630	469	635,712,217	703,812,628	—
83,503,700	83,781,200	1	20,180,000	20,142,500	—	—	—	133	41,044,350	34,570,650	606	753,415,670	497,023,220	—
15,250,000	10,660,000	—	—	—	—	—	—	39	15,074,000	13,126,850	212	120,215,880	192,847,030	—
78,978,000	32,690,000	—	—	—	—	—	—	295	352,209,200	533,431,800	366	624,948,500	668,310,100	—
98,700,000	41,550,000	—	—	—	—	—	—	219	1,925,697,715	757,394,925	305	2,692,275,000	1,077,093,000	—

### 散減資資本業種別表 (其二) by Business Type in Seoul (II)

By Business Type														
運輸業 Transportation			倉庫業 Warehouse			保險業 Insurance			商業其他 Commercial & Others			計 Total		
公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P. up	數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P. up	數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P. up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P. up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P. up	社數 N.
3,243,935	1,590,755	5	1,723,000	448,000	—	—	—	186	6,775,833	4,627,533	362	45,597,924	21,689,074	—
2,621,450	2,125,900	4	183,000	145,500	—	—	—	280	9,474,303	6,498,059	472	83,102,199	59,150,699	—
1,755,400	1,005,900	2	175,000	72,500	—	—	—	262	10,118,205	7,263,455	435	47,115,159	27,353,859	—
2,923,693	1,553,573	—	—	—	—	—	—	186	6,532,909	4,718,711	403	27,553,125	17,749,152	—
3,941,815	1,737,846	1	32,500	17,500	—	—	—	233	15,070,915	11,820,325	447	54,545,919	45,451,235	—
8,627,800	5,759,300	3	55,000	55,000	—	—	—	159	40,716,905	20,524,255	292	74,632,705	45,209,455	—
19,150,827	2,103,747	1	195,000	15,902,000	—	—	55,000	96	16,509,655	10,442,505	209	223,825,172	154,075,497	—
3,566,500	2,097,620	—	—	—	—	—	—	94	14,646,650	9,294,400	184	108,532,710	76,480,205	—
58,139,600	50,398,450	—	54,000	18,000	—	—	—	122	142,258,750	20,730,062	305	241,792,450	128,243,087	—
375,000	375,000	—	—	—	—	—	—	39	29,503,103	22,094,350	84	42,381,200	33,258,690	—
—	—	—	—	—	—	—	—	16	5,853,000	4,778,000	27	7,470,000	6,305,000	—
2,300,000	2,300,000	—	—	—	—	—	—	13	37,830,000	18,345,000	16	44,284,000	22,799,000	—

### 資本金各年末現在高 (其二) at the Year-End in Seoul (II)

By Business Type														
運輸業 Transportation			倉庫業 Warehouse			保險業 Insurance			商業其他 Commercial & Others			計 Total		
公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P. up	數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P. up	數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P. up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P. up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P. up	社數 N.
152,280,444	57,867,934	35	10,197,300	3,505,300	—	25,500,000	1,375,000	2,634	212,281,176	133,747,176	4,959	1,147,345,697	663,569,652	—
169,692,201	67,355,740	35	10,376,800	3,317,800	—	25,500,000	1,375,000	2,895	261,317,141	166,016,691	5,317	1,840,016,356	853,988,567	—
200,205,621	82,352,535	33	10,705,800	3,770,300	—	25,500,000	1,375,000	2,910	281,934,546	180,703,671	5,495	1,679,408,276	1,022,022,037	—
231,222,493	111,574,800	35	11,296,800	3,946,500	—	25,500,000	1,375,000	2,960	346,454,927	196,134,135	5,701	1,906,453,298	1,211,879,455	—
235,593,523	132,795,669	37	11,714,300	5,236,050	—	25,500,000	1,375,000	3,028	334,197,132	215,063,232	5,893	2,225,532,344	1,579,072,612	—
253,472,723	159,074,619	35	11,309,300	6,418,050	—	35,503,000	1,378,000	3,196	358,953,363	235,520,603	6,262	2,529,347,064	1,815,223,387	—
254,558,623	161,948,693	35	11,794,300	7,613,050	—	35,503,000	1,378,000	3,289	416,653,211	274,506,056	6,494	2,896,524,019	1,997,878,687	—
274,469,123	133,636,320	35	11,794,300	7,679,800	—	35,503,000	1,378,000	3,341	443,913,861	299,536,286	6,779	3,423,703,526	2,661,211,110	—
299,833,223	217,019,570	36	31,920,300	27,804,300	—	35,503,000	1,378,000	3,352	442,599,461	313,376,874	7,030	3,935,326,746	3,029,991,243	—
304,713,223	227,304,570	36	31,920,300	27,804,300	—	35,503,000	1,378,000	3,349	453,992,541	317,977,474	7,188	4,019,653,526	3,194,041,033	—
393,811,223	260,115,070	36	31,920,300	27,804,300	—	50,503,000	46,378,000	3,617	1,979,643,454	1,545,533,099	7,521	5,826,822,626	4,595,273,658	—
490,211,223	299,365,070	36	31,920,300	27,804,300	—	118,003,000	113,978,000	3,474	3,867,489,236	686,145,999	7,460	8,474,813,626	4,011,176,033	—



(175) 解 放 後 八 都 市  
Corporation Newly Established in

單位 = 千圓

	組 織 別														
	株 式 Corporation			合 資 Limited Partnership			合 名 Unlimited Partnership			有 限 Limited Co.			計 Total		
	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up
1945. 8 Aug.	5	13,680	7,295	—	—	—	2	800	800	—	—	—	7	14,480	8,095
9 Sept.	—	3,660	2,140	2	400	400	—	—	—	—	—	—	5	4,060	2,540
10 Oct.	1	100	50	1	100	100	—	—	—	—	—	—	2	200	150
11 Nov.	1	500	125	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	500	125
12 Dec.	8	9,075	4,575	1	30	30	3	330	330	—	—	—	12	9,485	4,985
計 Total	18	27,015	14,185	4	530	530	5	1,180	1,180	—	—	—	27	28,725	15,895
1946. 1 Ja	6	11,100	4,650	3	162	162	1	120	120	1	500	125	11	11,882	5,057
2 Feb.	16	134,095	33,734	4	650	550	1	100	100	—	—	—	21	134,845	34,384
3 Mar.	26	47,125	22,880	5	1,800	1,800	—	—	—	1	100	100	32	49,025	24,780
4 A <sub>1</sub>	37	108,700	39,540	7	1,750	1,750	1	200	200	1	180	180	46	110,830	41,670
5 M <sub>y</sub>	36	171,630	74,580	4	1,600	1,600	—	1,250	1,250	1	150	150	44	174,630	77,580
6 June	37	77,420	28,005	10	2,520	2,520	2	355	355	—	—	—	49	80,295	30,830
7 July	53	351,280	82,895	8	6,540	6,413	1	115	115	1	200	200	63	358,135	89,623
8 Aug.	63	309,570	95,930	4	5,954	5,954	5	800	800	—	—	—	72	316,324	102,734
9 Sept.	41	150,410	48,790	6	4,600	4,600	2	400	400	—	—	—	49	155,410	53,790
10 Oct.	53	301,600	101,095	9	5,131	5,131	1	300	300	1	700	700	64	307,731	107,226
11 Nov.	42	167,800	61,725	2	1,520	1,520	—	—	—	2	500	500	46	169,820	63,745
12 Dec.	46	320,100	94,025	6	5,460	5,520	—	—	—	—	—	—	52	325,560	99,545
計 Total	456	2,150,830	687,899	68	37,687	37,520	17	3,640	3,640	8	2,330	1,955	549	2,194,487	731,014
1947. 1 Jan.	30	161,200	69,200	7	11,332	11,332	2	2,600	2,600	1	1,430	1,430	40	177,062	85,062
2 I <sub>b</sub>	43	280,500	87,425	5	2,690	2,190	—	—	—	2	2,280	2,280	50	285,470	91,895
3 Mar.	56	573,000	171,210	10	7,550	7,550	1	500	500	—	—	—	67	581,050	179,260
4 Apr.	39	302,000	91,750	7	3,292	3,191	2	6,000	6,000	1	4,000	4,000	49	315,292	104,941
5 May	40	277,140	80,815	11	20,400	20,400	1	1,000	1,000	—	—	—	52	298,540	102,215
6 J <sub>ne</sub>	25	205,395	77,773	5	2,600	2,600	1	1,000	1,000	—	—	—	31	208,995	81,373
7 July	31	332,500	107,675	1	1,000	1,000	1	300	300	2	2,800	2,800	35	336,600	111,775
8 Aug.	22	161,000	49,020	5	9,000	9,000	6	9,262	7,412	1	1,500	1,500	34	180,762	66,932
9 Sept.	27	286,000	83,750	5	12,000	12,000	2	1,495	1,495	—	—	—	34	239,495	97,245
10 Oct.	30	191,050	57,825	6	5,830	5,830	1	210	210	—	—	—	37	197,140	63,915
11 Nov.	2	221,000	63,750	5	9,230	9,230	1	20,050	20,050	1	5,000	5,000	32	255,280	103,030
12 Dec.	29	177,700	52,925	5	10,500	10,500	1	6,000	6,000	1	1,000	1,000	36	195,200	70,425
計 Total	397	3,168,485	998,118	72	95,974	95,373	19	48,417	46,567	9	18,010	18,010	497	3,330,886	1,158,068
總計 Grand Total	871	5,346,330	1,700,202	144	134,191	133,423	41	53,237	51,387	17	20,340	19,965	1,073	5,554,098	1,904,977

# 新 設 會 社 調 査 (其一)

## Large Cities After Liberation (I)

In 1,000 Won

地 方 別																							
By Cities																							
Seoul				Chemulpo				Pusan				Taiku				Mokpo				Kwangju			
社數	公稱資本	拂込資本	拂込資本	社數	公稱資本	拂込資本	拂込資本	社數	公稱資本	拂込資本	拂込資本	社數	公稱資本	拂込資本	拂込資本	社數	公稱資本	拂込資本	拂込資本	社數	公稱資本	拂込資本	拂込資本
N.	Cap.	Au.	C. P.-up	N.	Cap.	Au.	C. P.-up	N.	Cap.	Au.	C. P.-up	N.	Cap.	Au.	C. P.-up	N.	Cap.	Au.	C. P.-up	N.	Cap.	Au.	C. P.-up
2	1,180	1,045	—	—	—	—	—	5	13,300	7,050	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1	1,000	1,000	—	—	—	—	—	4	3,060	1,540	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	200	150	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1	500	125	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	1,485	1,485	—	2	8,000	3,500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16	4,365	3,805	—	2	8,000	3,500	—	9	16,360	8,590	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	4,232	1,232	—	2	5,500	2,625	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	127,845	32,634	—	1	5,000	1,250	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23	44,525	22,430	—	1	600	600	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	300	75	—	—	—	—	—
36	90,080	35,735	—	2	10,300	2,575	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3,000	750	—	2	2,300	710	—
22	135,530	65,330	—	2	7,000	1,750	—	4	11,600	3,600	—	1	3,400	1,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	68,035	25,220	—	1	250	125	—	1	1,000	400	—	7	8,100	3,350	—	—	—	—	—	1	500	125	—
31	249,230	60,793	—	4	21,000	5,250	—	9	41,315	11,015	—	4	15,240	3,930	—	4	11,300	2,325	—	3	8,000	2,000	—
49	229,144	63,359	—	1	1,000	1,000	—	5	13,300	7,050	—	—	—	—	—	1	5,000	1,250	—	5	27,480	9,320	—
40	137,350	47,750	—	1	5,000	1,250	—	4	3,060	1,540	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	5,000	1,250	—
42	233,831	84,551	—	2	2,500	625	—	8	44,200	12,200	—	—	—	—	—	3	8,000	2,150	—	3	1,200	1,200	—
27	92,820	35,870	—	1	5,000	1,250	—	12	55,500	14,500	—	—	—	—	—	2	1,500	375	—	1	2,000	500	—
36	238,160	74,335	—	4	18,000	6,000	—	7	49,400	13,750	—	—	—	—	—	1	1,000	500	—	—	—	—	—
366	1,650,982	554,339	—	22	81,150	24,300	—	50	219,375	64,055	—	15	38,340	12,190	—	13	30,100	7,925	—	16	46,480	15,105	—
23	113,360	66,735	—	1	1,000	1,000	—	4	23,200	5,950	—	8	26,250	7,375	—	1	252	252	—	2	8,000	2,500	—
27	182,530	63,255	—	3	4,250	375	—	13	87,140	25,140	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2,000	500	—
50	444,100	130,310	—	2	410	410	—	2	30,000	11,250	—	6	69,540	19,290	—	2	5,000	2,250	—	4	27,000	13,250	—
29	136,452	53,101	—	2	2,000	750	—	11	47,840	18,340	—	2	104,000	26,000	—	1	2,000	500	—	1	5,000	1,250	—
24	142,500	53,025	—	3	13,000	3,250	—	14	97,040	31,690	—	2	13,000	3,250	—	4	10,000	6,000	—	4	22,000	4,750	—
20	155,600	66,825	—	1	6,000	1,500	—	8	37,200	10,500	—	1	10,000	2,500	—	—	—	—	—	1	195	48	—
25	231,600	95,375	—	—	—	—	—	6	39,000	12,000	—	3	11,000	3,150	—	1	5,000	1,250	—	—	—	—	—
14	87,700	29,450	—	2	2,300	800	—	10	63,500	20,750	—	5	14,762	8,432	—	1	1,500	1,500	—	2	11,000	6,000	—
24	237,995	72,745	—	1	10,000	2,500	—	5	32,500	13,000	—	2	4,000	4,000	—	1	5,000	2,500	—	1	10,000	2,500	—
23	143,300	47,600	—	1	2,000	500	—	7	34,880	9,730	—	—	—	—	—	3	13,210	4,210	—	2	3,750	1,875	—
15	146,550	69,550	—	1	10,000	2,500	—	9	52,730	10,730	—	1	8,000	2,000	—	3	13,000	4,500	—	2	15,000	3,750	—
25	146,700	48,175	—	1	5,000	1,250	—	—	—	—	—	1	5,000	1,250	—	2	3,000	3,000	—	5	31,500	15,750	—
299	2,218,437	796,146	—	18	55,960	14,835	—	89	545,030	169,580	—	34	273,052	79,372	—	19	57,962	25,962	—	26	115,445	52,173	—
681	3,873,784	1,354,290	—	42	145,110	42,635	—	148	780,765	242,225	—	49	311,392	91,562	—	32	88,062	33,887	—	42	181,925	67,278	—

(175) 解 放 後 八 都 市  
Corporation Newly Established in

(Continued)

地	方 別												事					
	By Cities						計						機 械 工 業			土 建 業		
	Kusan 山			大 Taijun 田			計 Total			機 械 工 業			土 建 業					
社數	公稱資本	拂込資本	社數	公稱資本	拂込資本	社數	公稱資本	拂込資本	社數	公稱資本	拂込資本	社數	公稱資本	拂込資本	社數	公稱資本	拂込資本	
N.	Cap. Au.	C. P.-up	N.	Cap. Au.	C. P.-up	N.	Cap. Au.	C. P.-up	N.	Cap. Au.	C. P.-up	N.	Cap. Au.	C. P.-up	N.	Cap. Au.	C. P.-up	
	千円	千円			千円		千円	千円		千円	千円		千円	千円		千円	千円	
pt.	—	—	—	—	—	—	7	14,480	8,095	2	1,180	1,045	2	1,500	1,000			
10 t.	—	—	—	—	—	—	5	4,060	2,540	2	910	390	—	—	—	—	—	
11	—	—	—	—	—	—	2	200	150	—	—	—	1	100	100			
12	—	—	—	—	—	—	1	500	125	—	—	—	—	—	—	—	—	
計 tal	—	—	—	—	—	—	12	9,435	4,935	—	—	—	1	150	150			
	—	—	—	—	—	—	27	28,725	15,895	4	2,030	1,435	4	1,750	1,250			
2 Feb.	2	1,500	1,000	1	600	150	11	11,88	5,057	1	4	40	4	7,710	3,260			
3 Mar.	1	2,000	500	—	—	—	21	134,845	4,334	2	245	245	3	2,100	600			
4 Apr.	4	2,100	925	3	1,500	750	32	49,025	24,780	7	12,900	5,225	5	3,350	1,800			
5 May	2	2,000	500	3	3,150	1,400	46	110,830	41,670	1	150	150	6	17,600	4,800			
6 June	10	7,050	3,100	5	10,000	2,750	44	174,630	77,530	5	7,200	2,300	11	16,900	5,450			
7 July	3	2,260	1,060	1	100	100	49	80,295	30,330	5	6,300	2,100	6	8,490	3,740			
8 Aug.	4	4,000	1,250	4	8,000	2,500	63	353,135	83,623	1	1,000	250	12	34,740	12,990			
9 Sept.	6	13,800	6,155	—	10,000	6,250	72	316,324	102,734	1	2,000	500	13	28,100	12,200			
10 Oct.	3	5,000	2,000	—	—	—	49	155,410	53,790	6	8,300	2,325	6	12,210	4,190			
11 Nov.	4	14,000	4,750	2	4,000	1,750	64	307,731	107,226	2	12,000	3,000	11	41,500	17,625			
12 Dec.	2	11,000	10,250	1	2,000	1,000	46	169,820	63,745	2	2,500	1,500	9	36,000	10,750			
計 Total	2	4,000	1,210	2	15,000	3,750	52	325,560	93,545	3	5,000	2,000	7	23,700	10,200			
	43	73,710	32,700	24	54,350	20,400	549	2,194,487	731,014	36	57,635	19,635	93	232,400	87,605			
2 Feb.	1	5,000	1,250	—	—	—	40	177,062	85,062	1	15,000	5,000	8	32,250	15,750			
3 Mar.	1	1,000	250	1	1,000	250	50	235,470	91,395	1	2,000	500	7	31,500	9,125			
4 Apr.	—	—	—	1	5,000	2,500	67	531,050	179,260	2	13,000	3,250	5	3,720	3,720			
5 May	1	5,000	1,250	2	13,000	3,250	49	315,292	104,941	1	5,000	1,250	12	57,800	21,050			
6 June	—	—	—	1	1,000	250	52	293,540	102,215	3	34,500	10,500	15	99,100	32,850			
7 July	—	—	—	—	—	—	31	203,935	81,373	—	—	—	6	44,400	11,200			
8 Aug.	—	—	—	—	—	—	35	336,600	111,775	1	2,100	2,100	5	12,950	5,450			
9 Sept.	—	—	—	—	—	—	34	180,762	66,932	1	1,500	1,500	6	22,000	7,250			
10 Oct.	—	—	—	—	—	—	34	293,495	97,245	2	7,000	2,250	7	31,300	12,300			
11 Nov.	—	—	—	—	—	—	36	197,140	63,915	1	3,000	1,500	3	13,000	4,000			
12 Dec.	1	10,000	10,000	—	—	—	32	255,230	103,030	1	15,000	3,750	1	10,000	2,500			
計 Total	2	4,000	1,000	—	—	—	36	195,200	70,425	2	4,000	1,000	7	26,100	8,100			
	6	25,000	13,750	—	20,000	6,250	496	3,330,886	1,158,068	16	102,100	32,600	82	334,620	133,295			
總計 Grand Total	49	98,710	46,450	29	74,350	26,650	1,072	5,554,038	1,904,977	56	161,035	53,670	179	618,770	222,150			

# 新 設 會 社 調 查 (其二)

## Large Cities After Liberation (II)

In 1,000 Won

業 別																							
By Business Type																							
貿 易 業 Trading				運 輸 業 Transportation				化 學 工 業 Chemical				木 材 業 Lumber				鑛 山 業 Mining				瓷 業 Ceramic			
社 數	公 稱 資 本	拂 込 資 本	達 本	社 數	公 稱 資 本	拂 込 資 本	達 本	社 數	公 稱 資 本	拂 込 資 本	達 本	社 數	公 稱 資 本	拂 込 資 本	達 本	社 數	公 稱 資 本	拂 込 資 本	達 本	社 數	公 稱 資 本	拂 込 資 本	達 本
N.	Cap.	Au. C.	P.-up	N.	Cap.	Au. C.	P.-up	N.	Cap.	Au. C.	P.-up	N.	Cap.	Au. C.	P.-up	N.	Cap.	Au. C.	P.-up	N.	Cap.	Au. C.	P.-up
				千 圓				千 圓				千 圓				千 圓							
—	—	—	—	—	—	—	—	1	1,500	750	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1	100	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2	335	335	1	30	70	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	485	435	1	30	30	1	1,500	750	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2	1,500	1,000	1	120	120	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2,000	500	—	
3	102,500	25,112	3	10,400	2,652	—	13,000	3,250	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4	2,950	1,450	1	1,000	500	2	15,000	7,500	1	390	195	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
7	25,300	14,320	4	22,000	8,000	—	—	—	4	3,550	1,550	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	63,100	4,550	—	6,180	1,680	3	—	—	1	2,000	500	1	30,000	30,000	1	300	00	—	—	—	—	—	
10	26,700	9,700	2	11,500	5,200	3	1,800	450	4	2,550	1,300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
17	242,930	54,220	—	6,300	1,575	4	16,500	5,000	2	2,000	500	3	28,000	7,000	1	5,000	1,250	—	—	—	—	—	
19	152,200	42,700	1	1,000	1,000	2	10,300	2,800	5	12,190	4,250	1	10,000	2,500	—	—	—	—	—	—	—	—	
14	79,500	21,750	—	—	—	—	20,700	5,700	1	2,000	500	—	—	—	1	1,500	1,500	—	—	—	—	—	
9	75,500	20,150	4	12,560	4,310	1	1,000	250	4	11,500	4,300	1	3,000	750	1	2,000	1,000	—	—	—	—	—	
9	53,520	22,020	4	21,000	5,250	—	7,900	4,150	—	—	—	—	—	—	2	700	325	—	—	—	—	—	
9	154,000	42,500	3	17,400	6,150	—	—	—	1	1,000	500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
108	979,750	259,472	29	109,460	36,437	26	86,200	29,100	23	37,180	13,595	6	71,000	40,250	7	11,500	4,875	—	—	—	—	—	
3	21,000	8,250	—	13,430	4,930	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4	19,280	5,780	2	9,200	5,200	1	2,000	500	4	17,000	4,750	2	13,000	3,250	—	—	—	—	—	—	—	—	
16	222,000	57,000	2	25,000	12,500	—	—	—	2	5,500	1,750	1	10,000	2,500	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	33,000	12,750	—	—	—	3	4,000	1,750	1	5,000	1,250	—	—	—	1	240	240	—	—	—	—	—	
2	15,000	6,000	3	15,500	6,000	6	22,000	3,500	2	8,000	1,775	1	6,000	1,500	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	5	22,300	17,800	1	1,500	1,500	—	—	—	2	25,195	6,293	—	—	—	—	—	—	—	—	
4	4,600	24,250	2	7,500	3,750	1	1,000	250	1	6,000	3,000	1	10,000	2,500	—	—	—	—	—	—	—	—	
4	55,400	17,900	3	9,252	5,902	4	15,000	7,500	1	10,000	2,500	1	5,000	1,250	1	5,000	1,250	—	—	—	—	—	
1	10,000	2,500	2	20,000	5,000	—	—	—	1	5,000	2,500	—	—	—	1	10,000	2,500	—	—	—	—	—	
2	10,500	5,500	2	11,900	4,400	3	11,600	2,900	2	10,000	2,500	2	20,000	5,000	—	—	—	—	—	—	—	—	
1	8,000	2,000	3	11,600	7,600	4	7,130	6,380	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	3	15,600	13,200	5	65,000	16,250	—	—	—	1	1,000	250	1	2,000	2,000	—	—	—	—	—	
42	398,780	141,930	30	161,282	86,282	28	129,230	45,530	14	66,500	20,025	11	90,195	22,548	4	17,240	5,990	—	—	—	—	—	
153	1,379,015	401,837	60	270,772	122,749	55	216,930	75,380	37	103,680	33,620	17	161,195	62,798	11	28,740	10,865	—	—	—	—	—	

(175) 解 放 後 八 都 市  
Corporation Newly Established in

(Continued)

	By Business Type																			
	印刷出版業 Printing & Publishing				食料品工業 Foodstuff				織維工業 Textiles				電氣工業 Electric				保險業 Insurance			
	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	千円	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	千円	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	千円	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	千円	社數 N.	公稱資本 Cap. Au.	拂込資本 C. P.-up	千円
1945. 8 Au	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9 Sept.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10 Oct.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11 Nov.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12 Dec.	—	8,000	3,500	—	—	—	—	1	195	195	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計 Total	2	8,000	3,500	—	—	—	—	1	195	195	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1946. 1 Jan.	1	12	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2 Feb.	—	—	—	—	—	—	—	2	350	275	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3 Mar.	2	500	275	1	390	19	2	390	290	1	650	150	1	10,000	6,155	—	—	—	—	—
4 Apr.	1	500	125	1	2,000	500	5	6,690	1,055	2	1,700	800	—	—	—	—	—	—	—	—
5 May	1	300	300	2	12,000	3,000	1	2,000	500	2	1,500	375	2	25,000	25,000	—	—	—	—	—
6 June	1	600	600	1	2,000	500	2	12,000	3,000	1	180	90	—	—	—	—	—	—	—	—
7 July	—	—	—	1	1,900	250	2	2,000	1,250	—	—	—	1	3,000	750	—	—	—	—	—
8 Aug.	3	6,400	1,800	2	1,200	700	2	2,000	500	—	2,154	704	—	—	—	—	—	—	—	—
9 Sept.	1	700	700	—	—	—	3	6,000	2,750	1	2,000	500	1	10,000	10,000	—	—	—	—	—
10 Oct.	3	20,000	5,000	1	2,000	500	7	46,156	17,326	1	1,000	250	—	—	—	—	—	—	—	—
11 Nov.	3	9,000	3,500	—	—	—	—	—	—	3	7,500	1,875	—	—	—	—	—	—	—	—
12 Dec.	6	14,000	5,000	1	10,000	2,500	—	—	—	1	10,000	2,500	—	—	—	—	—	—	—	—
計 Total	22	52,012	17,312	10	30,590	8,145	26	77,586	26,946	15	26,684	7,244	5	48,000	41,905	—	—	—	—	—
1947. 1 Jan.	1	252	252	1	2,000	500	1	10,000	2,500	—	—	—	1	20,000	20,000	—	—	—	—	—
2 Feb.	2	3,000	750	2	2,000	1,250	2	4,500	1,625	1	2,000	2,000	1	10,000	10,000	—	—	—	—	—
3 Mar.	1	15,000	7,500	1	5,000	2,500	1	2,000	500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4 Apr.	2	5,800	1,450	1	450	450	—	—	—	1	1,000	250	1	10,000	10,000	—	—	—	—	—
5 May	3	5,000	5,250	2	16,000	4,000	2	4,500	3,500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6 J	1	5,000	1,250	4	17,600	4,400	—	—	—	—	—	—	1	20,000	20,000	—	—	—	—	—
7 July	2	14,000	11,000	1	5,000	1,250	2	15,300	4,050	1	10,000	2,500	—	—	—	—	—	—	—	—
8 Aug.	—	—	—	—	—	—	3	7,000	6,250	—	15,154	6,404	—	—	—	—	—	—	—	—
9 Sept.	2	2,700	1,200	—	—	—	2	11,000	6,000	3	30,000	7,500	—	—	—	—	—	—	—	—
10 Oct.	2	29,000	7,250	—	—	—	1	50	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11 Nov.	3	36,000	9,000	1	5,000	1,250	2	25,000	6,250	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12 Dec.	1	1,000	500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計 Total	20	116,752	45,402	13	53,050	15,600	16	79,350	30,725	9	58,154	18,654	4	60,000	60,000	—	—	—	—	—
總計Grand Total	44	176,764	66,214	23	83,640	23,745	43	157,131	57,866	24	84,838	25,898	9	108,000	101,905	—	—	—	—	—

# 新 設 會 社 調 查 (其三)

## Large Cities After Liberation (III)

In 1,000 Won

By Business Type																	
農 林 業 Agriculture			水 產 業 Fishery			製 造 工 業 Manufacturing			金 融 業 · 倉 庫 業 Finance · Warehouse			商 業 其 他 Commercial			計 Total		
社 數 N.	公 稱 資 本 Cap. Au.	拂 込 資 本 C. P.-up	社 數 N.	公 稱 資 本 Cap. Au.	拂 込 資 本 C. P.-up	社 數 N.	公 稱 資 本 Cap. Au.	拂 込 資 本 C. P.-up	社 數 N.	公 稱 資 本 Cap. Au.	拂 込 資 本 C. P.-up	社 數 N.	公 稱 資 本 Cap. Au.	拂 込 資 本 C. P.-up	社 數 N.	公 稱 資 本 Cap. Au.	拂 込 資 本 C. P.-up
	千 円	千 円		千 円	千 円		千 円	千 円		千 円	千 円		千 円	千 円		千 円	千 円
						1	10,000	5,000				1	300	300	7	14,480	8,095
			1	1,000	1,000							2	2,150	1,150	5	4,060	2,540
												2			2	200	150
									1	500	125				1	500	125
			1	1,000	1,000	1	10,000	5,000	1	500	125	5	725	725	12	9,485	4,985
												8	3,175	2,175	27	28,725	15,895
1	500	125													11	11,882	5,057
												5	6,250	2,250	21	134,845	34,384
						1	1,000	250				3	1,295	795	32	49,025	24,780
1	2,000	500	1	3,000	750							11	26,340	9,120	46	110,830	41,670
			2	4,200	1,050	1	150	125				6	3,800	2,450	44	174,630	77,580
1	2,000	500				5	3,650	1,400				8	2,525	2,300	49	80,295	30,880
2	6,000	1,500	1	1,000	250							1	8,665	2,838	63	358,135	89,623
1	500	125	2	15,000	6,250	5	37,500	13,050				10	35,780	13,655	72	316,324	102,734
						1	5,000	1,250				12	7,500	2,635	49	155,410	53,790
			1	3,000	750	4	6,900	4,400				12	69,615	27,615	64	307,731	107,226
2	7,000	1,750	2	6,000	1,500		13,100	8,600				6	5,600	2,525	46	169,820	63,745
1	60	60	2	8,000	2,750	4	15,300	6,610				9	67,100	18,775	52	325,560	99,545
9	18,060	4,560	11	40,200	13,300	24	82,600	35,685				95	234,420	84,948	549	2,194,487	731,014
2	15,000	11,250	2	5,000	1,250	6	6,750	4,750				11	36,380	84,948	40	177,062	85,062
4	13,000	3,250	2	60,000	17,500	5	73,240	18,740				10	23,750	7,675	50	285,470	91,895
6	96,000	22,000	1	20,000	20,000	12	43,420	16,420	3	12,500	3,460	14	107,910	26,160	67	581,050	179,260
2	11,000	2,750				5	17,100	6,600				14	164,902	45,151	49	315,292	104,941
2	3,000	750				4	56,500	16,500	1	800	200	6	12,640	4,890	52	298,540	102,215
2	10,100	2,600				4	32,300	8,300				5	30,600	8,025	31	208,995	81,373
			1	10,000	2,500	3	35,800	8,950				10	202,350	40,225	35	336,600	111,775
						2	10,510	3,010				5	24,946	6,216	34	180,762	66,932
			1	100,000	25,000	3	12,000	3,500				9	59,995	26,995	34	299,495	97,245
						8	22,130	10,230				11	65,960	20,585	37	197,140	63,915
						5	40,000	26,750				11	97,550	37,550	32	255,280	103,030
			1	500	125	12	56,560	19,810				3	23,440	9,190	36	195,200	70,425
18	148,100	42,600	8	195,500	66,375	69	406,310	143,560	4	13,300	3,660	109	850,423	243,292	497	3,330,886	1,158,068
27	166,160	47,160	20	236,700	80,675	94	498,910	184,245	5	13,800	3,785	212	1,068,018	330,415	1,073	5,554,098	1,904,977

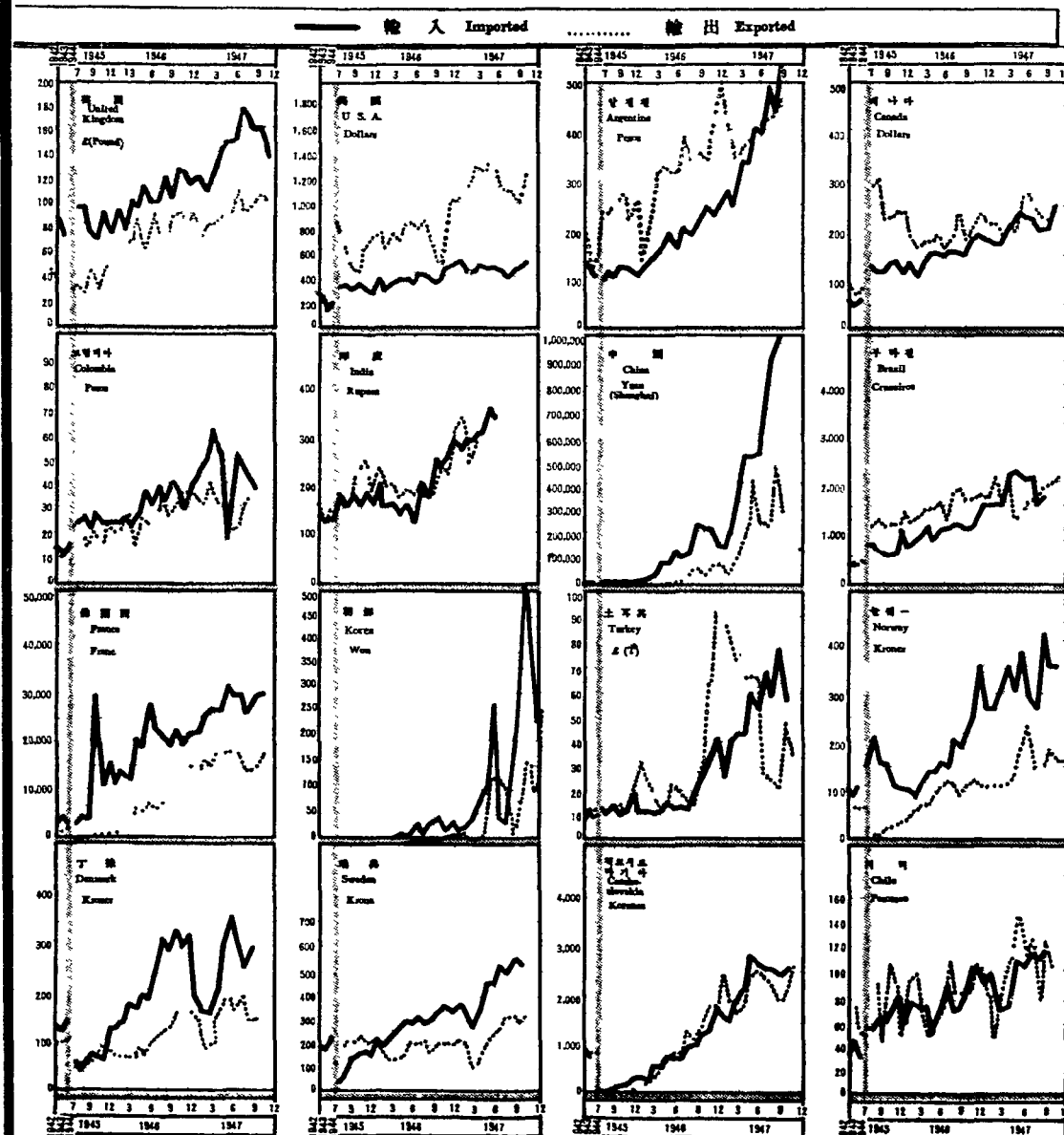
(176) 道別主要歸屬事業體表  
Number of Vested Enterprises by Province in South Korea

	서울市	京畿	忠北	忠南	全北	全南	慶北	慶南	江原	計 Total
	Seoul	Kyung Ki	Chung Buk	Chung Nam	Jun Buk	Jun Nam	Kyung Buk	Kyung Nam	Kang Won	
土 建 業	35	3	1	—	3	—	1	1	1	
鑛 業	2	20	10	2	11	4	—	1	8	
機 械 業	46	18	1	16	3	13	6	34	2	1
鐵 鋼 業	11	15	1	2	12	9	18	37	2	1
運 輸 業	2	1	2	3	1	4	—	—	4	
木 材 業	11	15	6	11	9	17	19	13	15	1
窯 業	8	13	5	16	1	17	2	14	1	
窯 工 業	6	4	—	—	—	—	3	7	—	
化 學 工 業	7	12	3	—	3	8	7	13	4	
織 維 工 業	20	15	15	18	7	23	53	47	13	1
出 版 印 刷 業	17	4	3	5	4	3	9	12	—	
食 料 品 工 業	25	19	4	19	17	27	47	76	16	2
酒 造 業	5	6	17	27	26	42	39	35	5	2
藥 品 工 業	16	4	—	—	—	1	1	7	—	
農 林 業	1	—	—	—	—	2	—	3	2	
水 產 業	—	—	—	—	3	4	5	34	9	
電 氣 業	9	1	—	1	—	1	1	7	—	
精 米 業	2	12	8	40	18	51	7	—	1	1
倉 庫 業	3	—	—	—	—	—	—	—	—	
製 造 工 業	55	24	2	25	23	25	32	77	5	2
商 業	44	—	2	—	1	2	—	—	—	
其 他	29	4	—	2	8	13	12	8	5	
計	352	190	80	187	150	266	242	436	93	1.9

(177) 管轄別主要歸屬事業體表  
Number of Vested Enterprises by Jurisdiction in South Korea

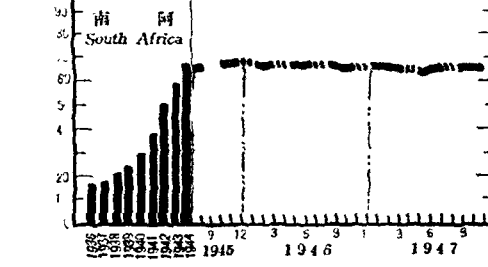
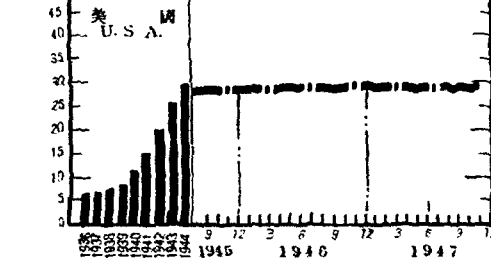
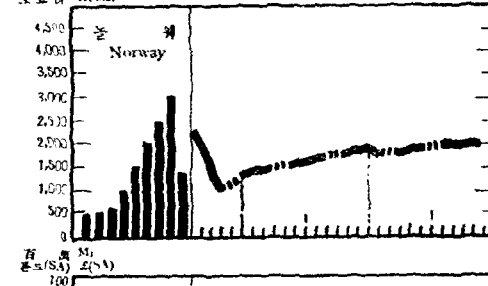
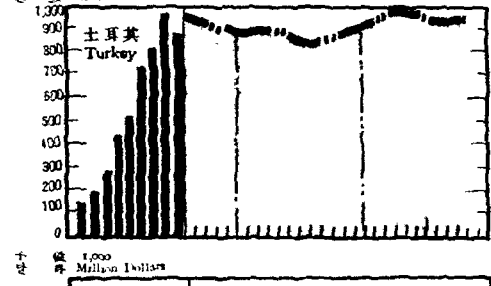
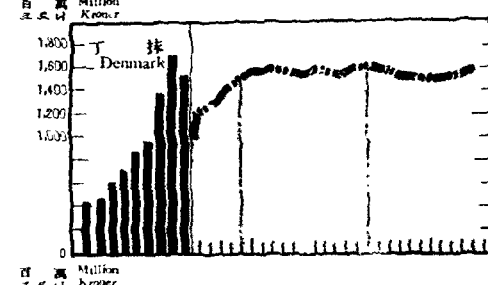
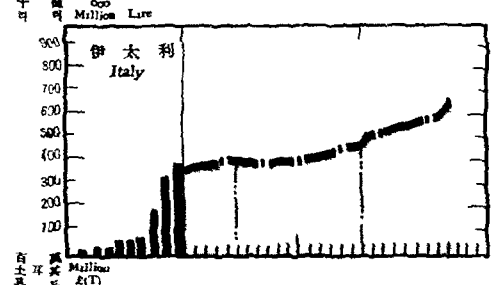
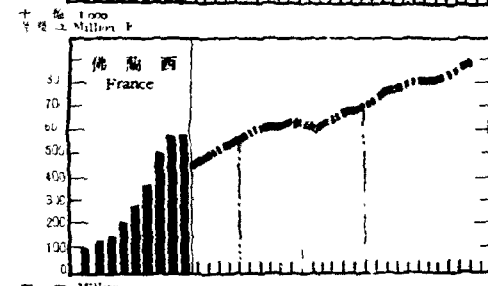
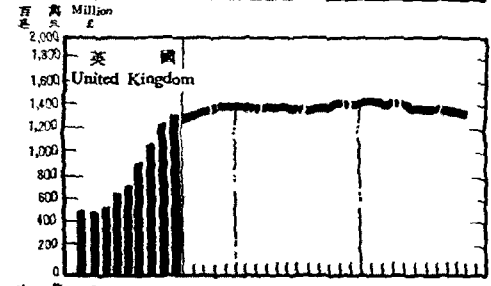
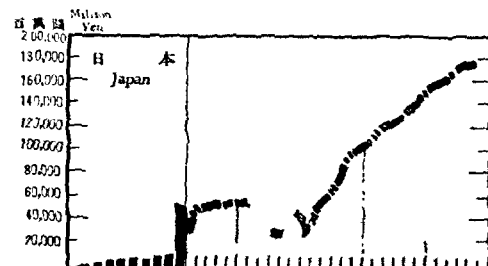
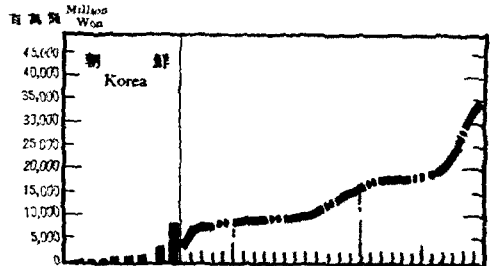
	商 務 部 所 管 Dept. of Commerce							農 務 部 所 管 Dept. of Agriculture				運 輸 部 所 管 Dept. of Transportat.			總 計 Gra Tot			
	直 轄 Direct Undertaking						地 方 監 督 Prov. Jurisdiction	合 計 Total	直 轄 Direct Undertaking			地 方 監 督 Prov. Jurisdiction	合 計 Total	直 轄 D.U.		地 方 監 督 Prov. Jurisdiction	合 計 Total	
	忠北	忠南	全北	全南	江原	計			忠南	全南	計			忠南				全南
	B.	N.	B.	N.	Kang-won	Sub-jurisdiction	Chung N.	Jun N.	Sub-jurisdiction	Chung N.	Jun N.	Sub-jurisdiction	Chung N.	Jun N.		Sub-jurisdiction	Chung N.	Jun N.
土 建 業	—	—	—	—	—	—	42	42	—	—	—	1	1	—	—	2	2	
鑛 業	1	—	—	1	1	3	53	56	—	—	—	1	1	1	—	1	1	
機 械 業	—	—	—	—	—	—	135	135	—	—	—	4	4	—	—	—	—	
鐵 鋼 業	—	1	—	—	—	1	106	107	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
運 輸 業	—	—	—	—	1	1	7	8	—	—	—	—	—	—	—	9	9	
木 材 業	—	—	—	—	—	—	26	26	—	—	—	95	95	—	—	—	—	
窯 業	—	—	—	—	1	1	76	77	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
窯 工 業	—	—	—	—	—	—	20	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
化 學 工 業	—	—	—	1	2	3	56	59	—	—	—	3	3	—	—	—	—	
織 維 工 業	1	1	2	1	2	7	127	134	—	2	2	55	57	—	—	—	—	
出 版 印 刷 業	—	—	—	3	—	3	54	57	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
食 料 品 工 業	—	—	—	—	—	—	219	219	—	—	—	31	31	—	—	—	—	
酒 造 業	—	—	—	—	—	—	196	196	—	—	—	4	4	—	—	—	—	
藥 品 工 業	—	—	—	—	—	—	29	29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
農 林 業	—	—	—	—	—	—	4	4	—	—	—	4	4	—	—	—	—	
水 產 業	—	—	—	—	—	—	31	31	—	—	—	24	24	—	—	—	—	
電 氣 業	—	—	—	—	—	—	20	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
精 米 業	—	—	—	—	—	—	138	138	—	—	—	1	1	—	—	—	—	
倉 庫 業	—	—	—	—	—	—	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
製 造 工 業	—	—	2	1	1	4	234	238	2	—	2	23	30	—	—	—	—	
商 業	—	—	—	—	—	—	49	49	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
其 他	—	—	—	—	—	—	46	46	—	—	—	35	35	—	—	—	—	
計	2	2	4	7	8	23	1,671	1,694	2	2	4	286	290	1	11	12	14	

### (178) 主要各國輸出入品額高表 Total Value of Foreign Trade in Principal Countries





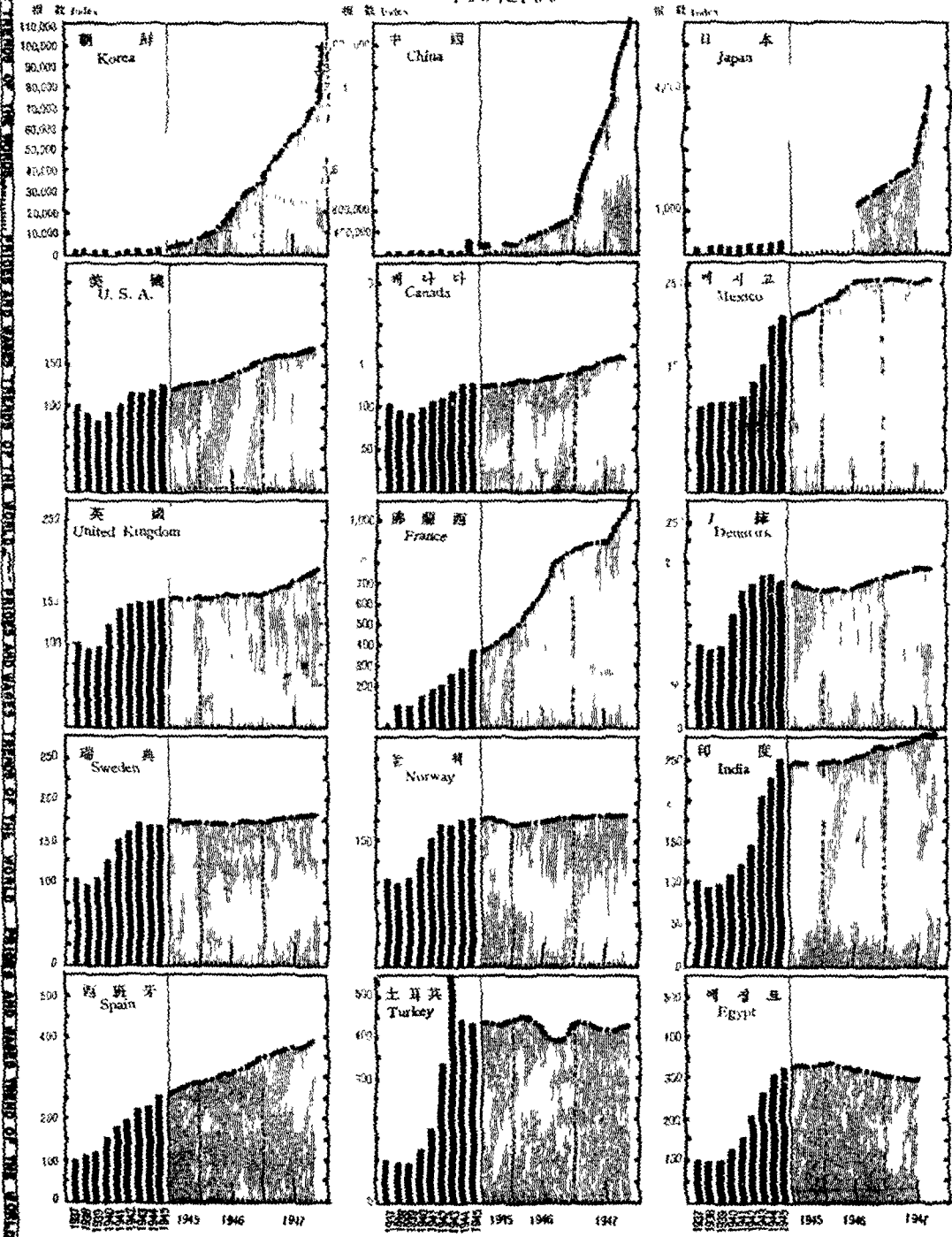
# (179) 主要各國發行高動向 NOTE CIRCULATION IN PRINCIPAL COUNTRIES



1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945 1946 1947

# (180) 主要各國物價動向 PRICE MOVEMENTS IN PRINCIPAL COUNTRIES

1937=100



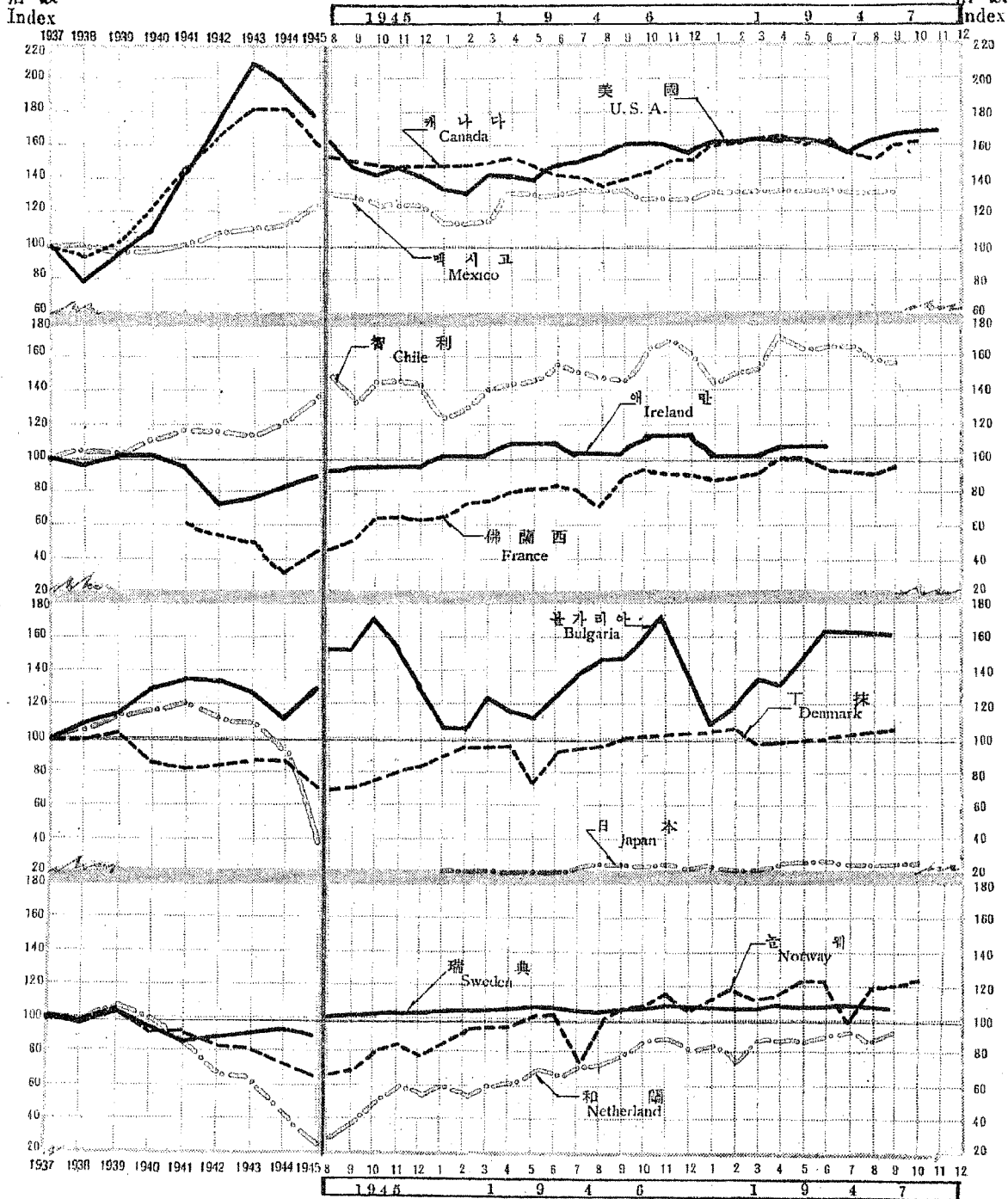
# (181) 主要各國生產指數

## Index Numbers of Industrial Production of Principal Countries

1937 = 100

指數  
Index

指數  
Index



(182) 主要各國面積及人口

Area and Population in Principal Countries

(×印推計)

× = Estimated

		首都		面積 千平方 公里	調查 年份	人口 (國勢及人口調查)			推計人口 1946年 Estimate 1947		
國名	地名	人口	面積			總計	男	女		每平方 公里	
<b>亞細亞 Asia</b>				26,796	—	1,067,222	—	—	—		
朝鮮	Korea	서울 Seoul	1,141,766	221	1940	24,326	12,266	12,060	101.7	110	—
中國	China	南京 Nanking	1,019,148	3,782.1	1947	418,659	—	—	—	111	—
日本	Japan	東京 Tokyo	3,276,000	382	1946	78,220	34,903	38,207	—	190	78,220
印度	India	新德里 New Delhi	521,849	4,095	1941	388,998	—	—	—	—	—
佛領印度支那	French Indo-China	西貢 Saigon	—	740.7	1940	23,853	—	—	—	—	—
暹羅	Siam	曼谷 Bangkok	931,170	518.3	1937.5	14,464	7,314	7,152	102	78	18,147
緬甸	Burma	仰光 Rangoon	400,415	604.7	1941.2	16,824	8,576	8,245	104	27	—
菲律賓	Philippines	馬尼拉 Manila	623,362	297.2	1946	19,066	—	—	—	—	19,066
阿富汗	Afghanistan	喀布爾 Kabul	—	647.4	1946	12,000	—	—	—	11	12,000
伊拉克	Iraq	巴格達 Baghdad	499,410	302.0	1934.10	2,560	1,779	1,780	10	12	4,803
敘利亞	Syria	大馬士革 Damascus	286,310	188.0	1937.12	2,368	—	—	—	12	4,166
土耳其	Turkey	安卡拉 Ankara	226,712	762.7	1945.10	18,971	—	—	97	21	19,009
伊朗	Iran	德黑蘭 Teheran	699,110	1,643.5	1925	15,000	—	—	—	9	17,000
<b>蘇聯 U.S.S.R.</b>				21,145	1939	170,467	81,665	88,802	91	—	211,384
<b>歐洲 Europe</b>				4,947	—	389,901	—	—	—	—	—
英國	United Kingdom	倫敦 London	8,700,000	229.8	1931	46,046	22,065	23,981	92	188	47,890
法國	France	巴黎 Paris	2,725,374	550.9	1936	41,907	19,797	21,386	—	76	40,517
德國	Germany	柏林 Berlin	4,332,242	470.0	1939	79,375	38,762	40,614	96	170	67,032
義大利	Italy	羅馬 Rome	1,551,520	301.1	1936.4	42,919	21,068	21,851	96	138	45,646
匈牙利	Hungary	布達佩斯 Budapest	1,162,800	160.6	1941.12	14,683	7,228	7,455	—	—	9,309
丹麥	Denmark	哥本哈根 Copenhagen	927,404	42.9	1940.11	3,844	1,900	1,944	98	87	4,102
西班牙	Spain	馬德里 Madrid	1,171,428	52.9	1940.12	25,878	12,414	13,464	95	49	27,246
瑞典	Sweden	斯德哥爾摩 Stockholm	688,482	448.9	1940.12	6,371	3,160	3,211	98	15	6,718
芬蘭	Finland	赫爾辛基 Helsinki	327,627	388.2	1930.12	3,667	1,809	1,858	97	9	3,877
挪威	Norway	奧斯陸 Oslo	289,000	385.8	1930.12	2,814	1,372	1,442	95	8	3,105
<b>非洲 Africa</b>				30,322	—	147,900	—	—	—	—	—
埃及	Egypt	開羅 Cairo	1,312,096	1,000.0	1937.2	15,904	7,947	7,957	100	16	19,090
埃塞俄比亞	Ethiopia	亞迪亞貝巴 Adis Ababa	—	785.0	1947	15,000	—	—	—	—	—
<b>北美洲 North America</b>				22,441	—	174,202	—	—	—	—	—
加拿大	Canada	渥太華 Ottawa	—	9,569.3	1931.6	10,376	5,374	5,002	107	1	12,582
美國	U.S.A.	華盛頓 Washington	—	7,839.1	1940.4	131,669	66,061	65,607	100	16	139,621
墨西哥	Mexico	墨西哥城 Mexico City	1,754,355	1,978.5	1.46	22,776	—	—	—	—	22,766
薩爾瓦多	Salvador	聖薩爾瓦多 St. Salvador	—	34.1	1930	1,459	723	736	99	42	1,997
<b>南美洲 South America</b>				17,967	—	83,855	—	—	—	—	—
智利	Chile	聖地亞哥 Santiago	1,015,786	741.7	1940.11	5,024	2,490	2,534	98	6	5,479
阿根廷	Argentina	布宜諾斯艾利斯 Buenos Aires	3,150,000	2,802.4	1947	16,107	—	—	—	—	16,107
哥倫比亞	Colombia	波哥大 Bogota	395,300	1,139.0	1938.7	8,725	4,323	4,402	98	8	10,545
<b>大洋洲 Oceania</b>				8,550	—	76,594	—	—	—	—	—
澳洲	Australia	堪培拉 Canberra	—	7,703.8	1933.6	6,629	3,367	3,262	103	0.9	7,448
紐西蘭	New Zealand	惠靈頓 Wellington	—	267.8	1936.2	1,573	779	794	103	6	1,761
<b>世界計 World Total</b>				—	—	2,150,959	—	—	—	—	—

1) (出處)最近之國勢調查及最近之官憲推定に依り

2) 蘇聯を包含し不し

3) 歐洲及亞細亞兩大陸に於て計れるものを合算

4) 墨西哥及カリビンを包含す

5) 人口計は澳洲、ニュージーランド、南領東印度及一部英國領地を包含す

1) Source:—Latest census figures and latest official estimates.

2) Excluding the U.S.S.R.

3) In Europe and Asia.

4) Including Mexico and Caribbean.

5) The population total includes Australia, New Zealand's Netherland East Indies and certain British Colonies.

(183) 王 要 各 國 人 口 推 定 數

Estimates of Total Population

單位=千人

In Thousand Persons

	英國 United Kingdom	佛蘭西 France	獨逸 Germany	白耳表 Belgium	和蘭 Netherlands	波蘭 Poland	捷克斯拉夫 Czechoslovakia	丹麥 Denmark	挪威 Norway	瑞典 Sweden	芬蘭 Finland	奧地利 Austria	羅馬尼亞 Roumania	匈牙利 Hungary	意大利 Italy
1937	47,288	41,478	67,831	8,361	8,591	34,359	14,523	3,749	2,900	6,276	3,640	6,755	19,535	9,015	43,397
1938	47,485	41,100	68,425	8,387	8,689	34,682	14,603	3,777	2,914	6,297	3,671	6,769	19,750	9,060	43,771
1939	47,761	41,100	69,317	8,296	8,761	—	14,683	3,805	2,929	6,326	3,702	6,653	19,934	9,106	44,213
1940	45,936	40,000	—	8,295	8,865	—	14,713	3,832	2,845	6,356	3,713	6,700	13,299	9,276	44,667
41	44,849	39,000	—	8,257	8,958	—	14,671	3,863	2,860	6,339	3,719	—	16,743	9,330	45,055
42	44,297	38,800	—	8,236	9,051	—	14,577	3,903	2,977	6,422	3,731	—	16,844	9,382	45,379
43	43,771	38,500	—	8,471	9,9	—	14,538	3,949	3,001	6,481	3,747	—	16,859	9,430	44,604
44	43,743	38,300	—	8,341	9,181	—	14,593	3,998	3,344	6,566	3,766	—	13,700	9,480	44,785
45	43,873	38,800	—	8,459	9,3	—	14,147	4,045	3,686	6,633	3,817	—	16,406	—	44,960
46	47,175	40,000	365,911	8,89	9,420	23,930	13,091	4,101	3,105	6,719	3,877	7,009	16,479	9,309	45,646
47	48,367	—	—	—	9,656	—	12,179	—	—	—	—	—	—	—	—
	瑞西 Switzerland	保加利亞 Bulgaria	希臘 Greece	西班牙 Spain	葡萄牙 Portugal	希臘 Greece	埃及 Egypt	南阿非利加 South Africa	阿拉斯加 Alaska	加拿大 Canada	美國 U.S.A.	墨西哥 Mexico	古巴 Cuba	薩爾瓦多 Salvador	哥倫比亞 Columbia
1937	4,180	6,196	1,402	25,043	7,416	7,13	15,968	2,044	71	11,045	128,825	18,737	4,165	1,649	—
38	4,192	6,244	1,435	25,279	7,506	7,109	16,297	2,081	72	11,152	129,825	19,071	4,228	1,686	8,702
39	4,206	6,292	1,502	25,517	7,595	7,003	16,595	2,117	73	11,267	130,880	19,413	4,253	1,725	8,886
40	4,226	6,341	1,545	25,757	7,722	7,345	16,897	2,153	74	11,381	131,970	19,763	4,291	1,767	9,076
41	4,254	6,711	1,586	25,999	7,774	—	17,206	2,192	82	11,507	133,203	20,208	4,326	1,811	9,270
42	4,283	6,767	1,626	26,244	7,864	—	17,519	2,230	133	11,634	134,665	20,657	4,372	1,849	9,469
43	4,321	6,823	1,677	26,491	7,954	—	17,839	2,265	226	11,812	136,497	21,165	4,784	1,880	9,673
44	4,362	6,879	1,765	26,740	8,043	—	18,164	2,300	178	11,975	138,083	21,674	4,913	1,916	9,883
45	4,403	6,936	1,835	26,992	8,133	—	18,496	2,335	134	12,119	139,586	22,233	4,968	1,958	10,098
46	4,466	6,993	1,912	27,246	8,223	7,450	18,833	2,363	—	12,307	141,229	22,776	5,052	1,997	10,318
47	—	—	—	27,503	8,312	—	19,090	—	—	12,582	144,002	—	—	2,047	10,545
	厄瓜多爾 Ecuador	브라질 Brazil	볼리비아 Bolivia	智利 Chile	阿根廷 Argentina	페루 Peru	이탈리아 Italy	뉴질랜드 New Zealand	오스트레일리아 Australia	필리핀 Philippines	세이론 Ceylon	인도 India	朝鮮 Korea	中國 China	日本 Japan
1937	2,806	38,581	3,237	4,572	12,762	5,880	401	1,590	6,831	15,445	5,712	278,478	22,355	—	71,253
38	2,865	39,410	3,294	4,619	12,957	5,990	410	1,607	6,893	15,814	5,810	282,341	22,634	—	72,223
39	2,923	40,259	3,352	4,645	13,132	6,102	416	1,629	6,961	16,191	5,897	286,201	22,801	—	72,876
40	2,979	41,125	3,411	5,024	13,321	6,217	428	1,637	7,031	16,577	5,951	290,068	23,709	—	73,114
41	3,034	42,010	3,472	5,057	13,517	6,335	457	1,631	7,100	16,971	6,020	293,931	24,704	—	74,067
42	3,089	42,915	3,533	5,130	13,708	6,457	545	1,640	7,169	17,374	6,021	297,784	26,361	—	75,114
43	3,171	43,837	3,595	5,199	13,910	6,581	599	1,636	7,223	17,784	6,134	300,641	—	—	76,033
44	3,241	44,780	3,658	5,273	14,131	6,708	802	1,656	7,296	18,204	6,276	302,898	15,879	—	73,072
45	—	45,743	3,723	5,349	—	6,838	744	1,695	7,377	18,631	6,496	306,761	—	—	72,455
46	3,340	46,726	3,788	5,430	15,832	6,971	—	1,761	7,449	19,067	6,700	310,625	19,369	455,592	75,323
47	—	—	—	—	16,108	7,107	—	—	7,581	—	—	—	19,698	—	78,025

1) 1940년부터는 軍人과 一部海員은 包含되지 않았으며 1946년의 影響은 復員의 關係임  
2) 663,040名의 捕虜는 包含되지 않음  
3) 四占領地域의 人口數임  
4) 40,000名의 捕虜는 包含되지 않음  
5) 常住者의 人口數임  
6) 1945년부터 北支那, 北滿, 북부 코리야, 南部 도부 루자는 包含되지 않음  
7) 트리아논 地方  
8) 歐洲人에 限함, 1946年 人口는 11,368,000名임  
9) 地域을 不問하되 軍人은 包含되지 않음  
10) 1944-1947年 朝鮮 半島에 限함

1) Since 1940, excluding armed forces and certain class of seamen 1946 was influenced by the effects of demobilization.  
2) Excluding 663,000 prisoners of war.  
3) Population enumerated in four occupation zones.  
4) Excluding 40,000 prisoners of war.  
5) Habitually resident population  
6) Beginning 1945, excluding Bessarabia, Northern Bukovina and Southern Dobrudja.  
7) Trianon territory.  
8) European population only, total population 11,368,000 in 1946.  
9) Excluding armed forces irrespective of location.  
10) 1944-1947: population enumerated in South Korea only.

(184) 米 生 產 及 需 給 高

(III-203)

Rice Production and Demand & Supply

	耕 作 面 積 (千 公 頃) Area: In Thousand Hectres				生 產 額 (千 噸) Production: In Thousand Metric Tons				輸 出 Exports	輸 入 Imports
	35-39平均 '35-'39 Av.	1944	1945	1946	35-39平均 '35-'39 Av.	1944	1945	1946		
中 國 China	19,490	—	—	18,577	3,996	2,995	2,572	—	1,212.3	23.9
印 度 India	29,423	33,966	32,328	—	53,547	—	42,964	47,367	12.4	625.9
日 本 Japan	3,182	2,954	2,970	—	38,880	42,996	40,045	—	776.5	1,734.7
緬 甸 Burma	5,128	3,440	2,866	3,140	12,162	10,925	9,328	11,381	50.3	1,898.5
佛 領 印 度 支 那 F. Indo-China	5,674	—	—	—	7,114	4,695	2,744	4,001	3,711.4	—
荷 領 印 度 Nether. Indies	3,892	—	31	—	6,451	—	4,491	—	2,154.8	—
臺 灣 Formosa	654	101	—	3,466	6,602	—	4,331	5,409	—	—
比 律 賓 Philippines	1,990	—	1,759	1,983	2,233	1,395	830	1,789	16.2	1.1
暹 羅 Siam	2,868	2,023	1,979	—	4,349	—	2,449	—	2,258.6	—
印 度 尼 西 亞 Indonesia	3,932	3,067	3,144	3,496	6,254	4,389	4,082	5,103	31.2	449.0
英 領 馬 來 半 島 British Malaya	3,002,298	—	320	328	513	—	340	416	—	—
馬 達 加 斯 加 Madagascar	3,494	—	572	580	669	—	743	700	—	—
西 班 牙 Spain	3,43	—	48	47	227	—	206	200	—	—
伊 拉 克 Iraq	3,132	—	194	—	205	—	245	—	—	—
巴 西 Brazil	940	1,498	1,681	—	1,356	2,147	2,772	—	54.1	—
美 國 U.S.A.	406	599	695	641	918	1,405	1,391	1,460	210.6	41.1
世 界 計 World Total	83,244	83,770	80,937	82,556	151,947	140,414	129,514	142,904	8,275.5	8,219.0

1) 收穫可能面積を表示す

2) 生産年度を7月1日元起算す12個月

3) 1934—1938

4) 자바及마드라

5) 非公式推定高

1) Figures relate to harvestable areas.

2) Production (harvest) figures relate to 12 months beginning July 1, of year stated.

3) 1934—1938.

4) Java and Madura.

5) Unofficial estimate.

(185) 小 麥 生 產 及 輸 出 入 高

Wheat Production and Exports & Imports

	耕 作 面 積 (千 公 頃) Area: In Thousand Hectres				生 產 額 (千 噸) Production: In Thousand Metric Tons				輸 出 Exports	輸 入 Imports
	35-39平均 '35-'39 Av.	1945	1946	1947	35-39平均 '35-'39 Av.	1945	1946	1947		
中 國 China	19,828	21,448	22,258	22,662	20,412	23,424	23,379	24,630	20	343
印 度 India	14,007	14,451	13,985	—	9,967	10,626	9,050	—	—	—
蘇 聯 U.S.S.R.	42,087	—	—	—	35,936	—	—	—	678	45
德 國 Germany	2,079	—	—	—	4,740	—	—	—	110	697
英 國 United Kingdom	742	920	834	840	1,697	628	1,999	1,769	215	5,681
法 國 France	5,083	3,830	4,290	3,732	7,798	5,003	5,804	4,083	498	647
伊 太 利 Italy	5,091	4,674	4,735	4,674	7,593	4,575	6,476	5,715	217	708
西 班 牙 Spain	4,557	3,587	3,808	4,364	1,680	3,623	—	—	—	—
羅 曼 尼 亞 Roumania	1,2537	1,890	2,739	2,601	2,601	1,066	1,609	—	—	—
匈 牙 利 Hungary	1,656	735	1,166	1,196	2,482	658	1,127	1,225	496	—
土 其 Turkey	3,623	3,739	3,741	—	3,693	2,189	4,899	3,538	—	—
加 拿 大 Canada	10,358	9,475	9,743	9,662	8,502	8,669	11,450	8,765	4,823	49
美 國 U.S.A.	23,185	26,353	27,195	29,909	20,647	30,161	31,454	28,337	1,259	721
波 蘭 Poland	1,312	614	700	—	1,918	751	619	—	—	—
南 斯 拉 夫 Yugoslavia	1,2150	1,200	2,000	—	2,455	890	1,803	—	—	—
澳 洲 Australia	3,312	4,624	5,069	6,374	4,620	3,876	3,170	5,443	2,787	—
阿 根 廷 Argentina	6,408	4,091	5,527	4,978	5,763	3,907	5,615	4,763	3,340	—
世 界 計 World Total	168,752	159,191	164,745	170,573	163,242	142,204	159,622	162,616	17,429	17,026

1) 1934—1938年平均

2) 1931—1935年平均

3) 非公式推定

1) Average 1934—1938

2) Average 1931—1935

3) Unofficial estimate.

### (186) 大麥生產及輸出入高 Barley Production and Imports & Exports

	耕作面積 (千公頃) Area: In Thousand Hectres				生產額 (千噸) Production: In Thousand Metric Tons				輸出 Exports	輸入 Imports
	35-39平均 '35-'39 Av	1945	1946	1947	35-39平均 '35-'39 Av	1945	1946	1947		
蘇聯 U.S.S.R.	9,117	—	—	—	8,827	8,350	—	—	200	—
美國 U.S.A.	4,357	4,235	4,240	4,485	4,456	5,809	5,733	6,225	209	131
中國 China	6,383	6,070	6,070	5,758	7,611	6,423	6,297	6,904	11	04
德國 Germany	1,702	—	—	—	3,577	—	—	—	0	293
加拿大 Canada	1,735	2,974	2,533	3,011	1,763	3,435	3,451	3,292	290	—
土耳其 Turkey	1,814	1,655	1,626	—	1,960	934	1,351	1,496	92	0
印度 India	2,355	3,069	3,099	—	2,366	2,650	2,672	2,417	145	2.5
佛領摩洛哥 French Morocco	1,716	1,568	931	1,558	1,417	2,068	671	1,154	141	5.7
波蘭 Poland	1,197	—	—	—	1,411	—	—	—	283	—
法國 France	742	680	731	903	1,174	751	1,063	1,202	0.2	172
伊拉克 Iraq	727	813	809	850	574	650	620	650	204	0
阿根廷 Argentina	799	704	1,040	—	565	1,164	1,171	—	334	0
世界計 World Total	46,818	43,746	42,978	45,131	51,447	42,826	46,178	48,334	2,698	2,703

### (187) 玉蜀黍生產及輸出入高 Corn Production and Imports & Exports

	耕作面積 (千公頃) Area: In Thousand Hectres				生產額 (千噸) Production: In Thousand Metric Tons				輸出 Exports	輸入 Imports
	35-39平均 '35-'39 Av	1944	1945	1946	35-39平均 '35-'39 Av	1944	1945	1946		
美國 U.S.A.	37,809	39,286	35,644	35,904	53,268	81,367	73,167	83,517	801	835
阿根廷 Argentina	4,360	2,055	2,615	3,237	7,892	2,965	3,574	7,620	6,526	—
羅馬尼亞 Rumania	5,118	—	—	—	5,141	—	—	—	540	0.1
南斯拉夫 Yugoslavia	2,655	—	1,300	—	4,691	—	—	—	469	—
意大利 Italy	1,480	1,275	56	1,315	3,017	2,185	1,778	2,261	0.1	53
匈牙利 Hungary	1,156	1,016	1,221	1,259	2,306	2,240	1,871	1,379	69	95
荷蘭 Netherlands Indies	2,084	—	—	—	2,025	—	—	—	123	—
佛領印度支那 French Indies	343	—	—	—	519	—	—	—	493	—
世界計 World Total	88,666	88,625	86,238	83,567	106,240	134,803	125,888	128,047	10,180	10,123

### (188) 砂糖生產及需給高 Sugar Production and Demand & Supply

(單位=千噸 歐洲 蘇聯之甜菜糖、其他之甘蔗)  
In 1,000 Short Tons, Europe and U.S.S.R., Beet Sugar

	生產 Production			輸出 Export	輸入 Import		生產額 Production			輸出 Export	輸入 Import
	35-39平均 Av	1945	1946				35-39平均 Av	1945	1946		
北美 North America	7,801	8,939	10,897	—	—	臺灣 Formosa	1,202	95	33	—	—
墨西哥 Mexico	314	444	531	—	—	爪哇 Java	1,447	22	25	1,045	0.9
美國 U.S.A.	1,520	1,278	1,523	80.7	2,746	菲律賓 Philippine Is.	1,127	115	180	862	0.1
古巴 Cuba	474	475	425	—	—	南美 South America	2,420	2,621	3,073	—	—
多明尼加 Dominican	3,188	4,476	6,000	2,560	—	阿根廷 Argentina	480	495	700	—	—
波多黎各 Puerto Rico	491	504	509	—	—	巴西 Brazil	1,155	1,320	1,520	—	—
歐洲 European	7,408	3,852	5,484	—	—	秘魯 Peru	448	432	450	—	—
捷克斯拉夫 Czechoslov.	721	493	645	—	—	非洲 Africa	1,295	1,163	1,269	—	—
佛蘭西 France	1,059	508	820	233	362	毛里求斯 Mauritius	321	145	300	—	—
德國 Germany	2,122	850	1,100	8.3	160	南阿聯邦 South Africa	498	553	472	—	—
波蘭 Poland	548	216	415	—	—	大洋洲 Oceania	2,092	1,507	1,604	—	—
英國 United Kingdom	527	605	660	352	2,203	澳洲 Australia	894	746	619	430	0.1
蘇聯(歐亞) U.S.S.R.	2,887	1,500	1,750	107	2.4	海峽群島 Hawaii	986	700	880	841	0.6
亞洲 Asia	10,890	6,722	6,569	—	—	甘蔗糖計 Cane Sugar Total	22,847	19,538	21,775	—	—
中國 China	529	192	200	0.1	186	甜菜糖計 Beet Sugar Total	11,936	6,766	8,871	—	—
印度 India	6,168	6,033	5,900	—	—	世界計 World Total	34,783	26,304	30,646	11,405	11,212

(189) 棉花生產高

Cotton Production

△印推計

△Estimates

	耕作面積 (千英畝)					產額 (千噸)					輸出 Exportation
	Area (1,000 Acres)					Production (1,000 Tyo)					
	35-39平均	1943	1944	△ 1945	△ 1946	35-39平均	1943	1944	△ 1945	△ 1946	34-38平均
朝鮮 Korea	564	776	752	705	—	180	205	228	163	90	—
墨西哥 Mexico	725	1,010	963	904	843	324	515	472	434	460	—
土耳其 Turkey	667	618	644	572	630	275	240	272	251	—	—
美國 U.S.A.	27,788	21,652	20,009	17,241	17,615	13,149	11,477	12,220	9,015	8,640	1,233.9
中國 China	7,028	400	5,600	6,300	6 00	2 855	1,500	1,600	1,820	1,930	—
印度 India	—	—	—	—	—	5,020	—	—	—	—	608.9
蘇聯 U.S.S.R.	5,087	—	2,865	2,995	3,200	3,430	—	—	1,700	2,240	10.6
阿根廷 Argentina	770	913	887	813	979	289	553	332	285	360	—
브라질 Brazil	5,562	6,200	6,000	5,000	5,500	1,956	2,700	1,626	1,350	1,575	194.1
페루 Peru	428	326	326	346	346	343	310	325	329	396	—
英埃스당 Anglo Egyptian Sudan	439	319	347	332	336	248	175	290	204	226	—
우간다 Uganda	1,477	1,234	1,072	1,146	1,233	281	160	228	191	229	—
埃及 Egypt	1,821	740	885	1,020	1,259	1,893	740	962	1,082	1,210	375.3
世界計 World Total	18,148	69,080	59,875	56,420	54,480	30,988	25,350	24,150	20,650	21,500	2,050.2

(190) 綿絲、綿織物生產高

Cotton, Yarn and Woven Cotton Fabrics

單位=千錠 月平均

In Thousand Kgs. Monthly Average

	綿								織物							
	Cotton Yarn								Woven Cotton Fabrics							
	英國 United King- dom	佛蘭西 France	白耳其 Belgi- um	和蘭 Nether- lands	波蘭 Poland	印度 India	日本 Japan	阿根廷 Argen- tine	英國 United King- dom	佛蘭西 France	波蘭 Poland	印度 India	日本 Japan	美國 U.S.A.	加拿大 Canada	智利 Chile
1937	5千錠 46.6	5千錠 —	5千錠 —	5千錠 2.92	5千錠 6.46	5千錠 4.39	5千錠 60.0	5千錠 2.14	生百萬米 277	生百萬米 —	5千錠 4.29	生百萬米 311	生百萬米 336.3	生百萬米 660	—	1.07
1938	—	20.8	6.26	2.67	5.36	4.93	46.2	2.03	—	12.1	—	325	229.7	—	—	1.06
1939	—	—	—	3.08	—	4.67	42.2	2.42	—	—	—	306	205.6	631	9.9	1.12
1940	—	—	—	2.50	—	51.0	34.6	2.74	—	—	—	325	182.8	—	23.6	1.22
1941	31.0	—	—	—	—	59.6	26.5	3.16	164	—	—	342	92.6	795	26.8	1.42
1942	27.7	3.0	—	—	—	58.0	14.3	4.14	135	2.9	—	313	24.3	846	25.5	1.40
1943	26.4	2.3	—	—	—	63.5	9.4	4.62	134	2.1	—	371	75.5	806	21.1	1.67
1944	25.1	—	—	—	—	62.4	5.4	5.26	126	—	—	360	12.5	727	20.1	1.91
1945	22.6	5.2	—	—	1.53	60.7	2.2	5.30	117	2.7	1.26	354	3.8	665	18.7	1.97
1946	25.0	14.3	5.78	2.60	3.86	49.9	4.9	5.36	124	8.4	3.11	294	16.8	695	18.1	1.89
1945 9 Sept	21.1	8.3	—	—	1.83	63.5	—	—	104	4.2	1.53	417	—	612	19.3	2.14
12 Dec	19.6	9.9	—	—	1.52	63.9	—	—	103	5.6	1.78	367	—	633	21.2	1.98
1946 3 Mar.	23.4	13.6	5.36	2.25	4.05	57.7	1.5	4.81	116	7.7	3.33	319	6.9	691	20.4	2.41
6 June	22.1	14.7	5.40	2.43	3.47	50.8	1.3	4.51	117	8.6	3.03	314	7.8	706	18.0	1.89
9 Sept	23.4	15.2	6.11	2.86	4.59	49.0	9.1	5.85	112	9.8	3.62	281	29.3	668	15.3	2.27
12 Dec.	22.2	15.8	6.96	2.79	4.37	50.8	12.3	4.74	112	9.6	3.03	293	41.2	719	18.5	2.33
1947. 3 Mar.	23.4	18.0	6.96	3.34	4.19	45.8	12.0	5.83	104	11.7	4.03	272	43.2	754	20.6	2.32
6 June	22.8	17.3	6.73	3.38	4.63	47.8	13.3	5.73	127	11.5	4.38	274	52.7	752	20.2	1.77
9 Sept	23.5	18.0	6.62	3.60	5.40	46.3	8.0	6.26	115	11.8	4.08	275	46.4	695	17.9	1.63
12 Dec.	24.5	11.5	7.17	3.50	5.68	53.5	7.9	5.49	121	12.2	4.31	277	41.4	780	1.88	3.07

- 1) 全層綿絲是除外할
- 2) 1942부터 1945年7月까지는 알자스-로렌을 포함함
- 3) 4月—12月
- 4) 單位=百萬米
- 5) 單位=千錠

- 1) Excluding yarn wholly of cotton waste.
- 2) 1942=June 1945: Excluding Alsace-Lorraine.
- 3) April—December.
- 4) Unit=Million Metres.
- 5) Unit=Thousand Metric Tons.



## (191) 羊毛生產及輸出入高

## Wool Production and Imports &amp; Exports

單位=百萬磅

In Million Pounds

		五個年平均		1941	1942	1943	1944	1945	1946	1947	輸出34—38平均	
		5 Years Average									Export 34—38 Av.	
		1931—35	36—40								輸出	輸入
澳洲	Australia	1,010.5	1,151.9	1,167.2	1,151.2	1,169.0	1,017.5	930.0	970.0	970.0	366.7	3.6
阿根廷	Argentina	361.0	411.0	494.0	510.0	520.0	500.0	500.0	470.0	485.0	131.0	0.05
美國	U. S. A.	431.1	425.3	453.3	455.0	444.0	411.8	378.4	341.2	315.0	0.1	90.7
紐西蘭	New Zealand	281.1	313.8	345.0	340.0	330.0	372.0	365.0	350.0	325.0	122.2	0.15
南非	U. S. S. R.	159.6	272.0	300.0	290.0	260.0	245.0	250.0	260.0	270.0	—	28.1
南阿聯邦	South Africa	269.5	252.3	260.0	250.0	250.0	234.0	210.0	195.0	190.0	103.9	1.1
烏拉圭	Uruguay	110.6	126.2	117.0	124.0	147.9	156.6	175.2	175.7	180.0	42.9	—
英國	United Kingdom	113.8	110.1	91.2	92.3	90.4	86.0	86.6	90.5	75.0	140.3	383.8
西班牙	Spain	68.9	70.0	83.2	78.9	83.5	88.0	81.5	79.0	77.0	—	—
世界計	World Total	3,640.0	3,920.0	4,200.0	4,160.0	4,140.0	3,940.0	3,780.0	3,730.0	3,670.0	1,105.7	1,143.2

(192) 毛絲、人造絹絲及人造纖維生產高  
Wool Yarn, Rayon Yarn and Staple Fiber Production

單位=百萬磅 月平均

In Million Metric Tons Monthly Average

	毛 絲				人 造 絹 絲					人 造 纖 維					
	英國	佛蘭西	白耳義	波 蘭	美國	日 本	英國	佛蘭西	波 蘭	美國	日 本	英國	佛蘭西	美國	日 本
	United Kingdom	France	Belgium	Poland	U.S.A.	Japan	United Kingdom	France	Poland	U.S.A.	Japan	United Kingdom	France	U.S.A.	Japan
1937	8.47	—	—	2.85	—	5.59	4.4	2.51	0.55	12.1	12.70	1.3	—	0.8	6.63
1938	—	9.8	2.15	—	—	4.48	3.6	2.33	0.52	9.7	8.09	1.2	0.47	1.1	12.37
1939	—	—	—	—	—	4.63	4.3	2.13	—	12.4	9.02	2.2	—	1.9	11.39
1940	—	—	—	—	—	3.37	4.0	1.60	—	14.7	8.17	2.2	—	3.1	10.80
1941	—	—	—	—	—	3.46	3.4	2.67	—	17.1	6.35	2.2	1.66	4.6	11.21
1942	5.76	3.4	—	—	—	2.37	2.8	2.58	—	18.1	3.61	1.8	2.14	5.8	6.59
1943	4.94	2.4	—	—	—	1.98	2.7	2.17	—	18.9	1.91	2.0	2.65	6.1	4.60
1944	4.65	—	—	—	32.3	0.76	2.9	1.08	—	21.0	0.86	2.1	1.22	6.4	3.15
1945	4.80	2.9	—	0.85	31.2	0.53	3.2	1.17	0.09	23.6	0.21	2.0	0.79	6.4	0.83
1946	5.51	7.7	2.58	—	34.7	1.06	4.1	2.58	0.29	25.6	6.34	2.7	1.44	6.7	0.77
1945. 9 Sept.	4.67	—	—	1.15	27.5	—	3.3	1.54	0.07	23.1	—	1.8	1.13	6.2	—
12 Dec.	4.48	—	—	0.87	27.4	—	3.3	1.98	0.16	24.3	—	2.0	0.95	6.5	—
1946. 3 Mar.	5.64	7.0	2.33	1.52	33.9	0.76	4.0	2.45	0.24	25.6	0.17	2.9	1.21	6.6	0.70
6 June	4.79	8.0	2.40	1.31	34.2	1.21	3.6	2.58	0.27	25.2	0.40	2.2	1.51	6.8	1.10
9 Sept.	5.73	8.3	3.08	1.88	33.1	1.24	4.2	2.72	0.36	25.3	0.48	2.8	1.67	7.0	0.83
12 Dec.	5.18	8.2	3.18	1.57	31.0	1.17	4.2	3.08	0.36	26.3	0.38	2.8	1.84	6.2	0.53
1947. 1 Jan.	6.16	8.5	3.67	1.79	37.6	1.03	4.7	3.20	0.36	—	0.35	3.3	1.79	—	0.31
2 Feb.	3.71	9.1	3.35	1.70	31.2	0.97	2.8	3.09	0.37	27.6	0.39	2.9	1.82	—	0.33
3 Mar.	4.82	10.0	3.84	1.83	29.6	1.02	3.9	3.27	0.43	—	0.37	3.2	1.84	—	0.43
4 Apr.	5.51	10.9	3.77	1.62	33.3	1.25	4.3	3.30	0.42	—	0.49	2.6	1.80	—	0.52
5 May	5.90	9.8	3.37	1.60	25.3	1.26	4.6	3.23	0.46	27.2	0.59	2.9	1.85	—	0.65
6 June	6.14	10.2	3.53	1.65	25.7	1.20	4.5	2.67	0.49	—	0.62	3.1	1.47	—	0.72
7 July	6.14	9.1	3.34	1.86	26.0	1.13	4.8	2.93	0.50	—	0.69	3.5	1.84	—	0.88
8 Aug.	5.16	6.3	2.93	1.87	27.1	0.97	3.6	2.31	0.50	28.6	0.73	3.2	1.74	—	0.95
9 Sept.	6.49	10.1	3.53	2.32	27.9	0.89	4.9	3.24	0.52	—	0.74	3.6	2.26	—	1.00
10 Oct.	7.17	11.5	3.94	2.60	35.2	0.84	5.5	3.65	0.54	—	0.87	3.6	2.24	—	0.92
11 Nov.	6.44	9.9	3.63	2.40	27.6	0.71	5.1	3.24	0.49	29.5	0.83	3.2	1.76	—	0.91
12 Dec.	6.35	10.7	3.46	—	32.4	0.66	5.0	3.03	—	—	0.75	3.7	1.29	—	0.88

- 工場交付高 資料—國聯統計月報
- 1942—1943年은알자스로-렌을包含하지 않음
- 4月—12月
- 1941년부터 나이론을包含함
- 人造絹絲協會調査에 依함
- 廢絲을包含함

- Factory deliveries. Source:—Monthly Bulletin of Statistics.
- 1942—1943, excluding Alsace-Lorraine.
- April—December.
- Beginning 1941, including nylon yarn.
- Source: Rayon Organon.
- Including waste.

(193) 鋼 鐵 生 產 高  
Steel Ingots and Castings

Table with columns for countries (India, Japan, Australia, Canada, USA, Mexico, Brazil, UK, France, Germany, Belgium, Hungary, Luxembourg, Poland, Sweden, Italy) and rows for years (1937-1947) and months. Includes sub-headers '單位=千噸 月平均' and 'In Thousand Metric Tons Monthly Average'.

1) 英國占領地帶 資料—國聯統計月報 1) British Zone only Source—Monthly Bulletin of Statistics  
2) 自一月至六月 2) January—June

(194) 生 膠 生 產 高  
Rubber Production

Table with columns for regions (Far East, Tropical America, Africa, Total) and countries (India, Burma, Ceylon, British Malaya, China, Siam, Netherlands Indies, North Borneo, Brazil, USA, Canada, Germany) and rows for years (1910-1947) and months. Includes sub-headers '單位=千噸 月平均' and 'In Thousand Metric Tons Monthly Average'.

1) 1946年半起之輸出量 資料—國聯統計月報 1) Beginning 1946, net exports. Source—Monthly Bulletin of Statistics  
2) 輸出量 2) Net exports  
3) 1937—1940、積出量 3) 1937—1940: Shipments.  
4) 1946年半起之英國占領地帶 4) Beginning 1946, British zone only.

### (195) 鐵 鑛 石 生 產 高

#### Iron Ore Production

單位 = 千噸 月平均

In Thousand Metric Tons Monthly Average

	朝鮮 Korea	日本 Japan	土耳其 Turkey	美國 U.S.A	加拿大 Canada	墨西哥 Mexico	智利 Chile	英國 United King- dom	佛蘭西 France	獨逸 Germany	捷克斯拉夫 Czecho- slovakia	白耳義 Bel- gium	奧斯利 Austria	波蘭 Poland	西班牙 Spain	
金屬含有率 Approximate Metal Content	—	60%	65%	50%	55%	100%	60%	30%	30%	25%	30%	35%	35%	35%	45%	
1937	171	48.7	—	6 104	—	7.5	127	1,202	3 153	360	153	22.13	157	66.0	106	
1938	64.8	63.8	6.4	2 409	—	8.3	134	1,004	2 765	—	138	15.08	222	72.7	212	
1939	70.8	70.8	19.9	4 380	9	9.3	135	1,228	2 749	—	157	14.78	248.7	76.8	203	
1940	98.8	82.7	10.9	6 240	31	5.8	146	1,497	3 1,061	—	173	6.70	262	—	186	
1941	113.6	111.2	4.9	7 824	39	6.0	141	1,607	881	—	183	10.98	239	—	143	
1942	158.2	171.6	1.6	8 935	41	—	34	1,655	1,063	—	170	9.44	250	—	134	
1943	187.0	225.7	7.5	8 573	48	—	—	1,567	1,407	—	162	—	267	—	132	
1944	277.6	298.9	7.5	7 969	42	—	2	1 312	781	—	132	—	250	—	126	
1945	×	95.7	10.4	7 483	36	14.6	23	1,202	650	—	23	—	—	7.8	159	
1946	×	45.7	9.4	5,998	117	14.2	97	1,030	1,351	228	93	3.23	38.3	35.3	197	
1946	3 Mar.	×	23.1	6.2	1 113	34	13.7	75	1 040	1 296	160	82	—	16.3	35.0	194
	6 June	×	66.0	19.8	8 992	163	13.9	98	919	1 290	210	88	—	32.0	33.0	181
	9 Sept	×	52.8	10.9	10,914	259	17.0	137	931	1 323	313	103	—	53.5	41.0	211
	12 Dec	×	26.4	8.3	2 310	50	15.3	91	862	1 473	233	111	5.79	48.6	36.7	183
1947,	3 Mar	×	34.6	11.3	2 892	13	15	105	699	1 593	90	130	4.43	29.9	32.3	199
	6 June	×	40.8	28.8	11,830	250	19.1	97	906	1 403	256	94	4.48	91.9	48.0	222
	9 Sept	×	57.3	9.8	11,518	259	20.1	170	931	1 556	272	117	4.62	91.1	55.0	186
	12 Dec.	×	35.8	6.6	3 020	27	27.0	83	1,138	1 520	289	117	74.7	48.6	—	—

資料—國聯統計月報

Source —Monthly Bulletin of Statistics

- 1) 淘汰한것임
- 2) 金屬含有率
- 3) 1940—1944, 알자스로-렌은 포함치 않음
- 4) 英國占領地帶
- 5) 1936
- 6) 黃鐵鑛을 포함함
- 7) 1月—6月
- 8) 6月—12月

- 1) Concentrates
- 2) Metal content
- 3) 1940—1944, excluding Alsace Lorraine.
- 4) British Zone.
- 5) 1936
- 6) Including pyrites
- 7) January—June.
- 8) June—December

### (196) 銑 鐵 及 鐵 合 金 生 產 高

#### Pig-iron and Ferro-alloys Production

單位 = 千噸 月平均

In Thousand Metric Tons Monthly Average

	印 度 India	日 本 Japan	美 國 U.S.A	加 拿 大 Canada	澳 洲 Australia	英 國 United King- dom	佛 蘭 西 France	白 耳 義 Bel- gium	獨 逸 Germany	匈 牙 利 Hungary	捷 克 斯 拉 夫 Czechoslovakia	意 太 利 Italy	波 蘭 Poland	盧 森 堡 Luxemburg	西 班 牙 Spain	瑞 典 Sweden		
1937	139	192	3 100	83	77	718	655	317	978	29.8	32.4	140	72.9	60	209	11.7	55.1	
1938	131	214	1 589	64	79	572	501	202	—	27.9	—	110	77.4	74	129	36.9	56.7	
1939	149	269	2 670	70	94	674	615	255	—	34.1	—	134	91.6	109	153	39.0	54.6	
1940	169	291	3 548	110	103	696	307	149	—	35.6	—	135	93.7	—	88	48.3	63.4	
1941	170	353	4 408	131	125	625	279	118	—	36.8	—	131	92.9	—	112	44.6	61.1	
1942	155	352	4 533	165	137	643	320	106	—	34.8	—	133	81.4	—	141	44.7	62.4	
1943	148	332	4 651	148	119	608	410	136	—	34.8	—	142	60.6	—	191	48.8	67.2	
1944	120	217	4 679	153	111	577	241	59	—	32.9	—	137	25.8	—	112	46.0	72.0	
1945	113	42	4 094	149	95	601	99	61	—	1.0	8.5	48	6.3	21	26	39.2	64.7	
1946	112	15	3 439	115	72	656	288	181	156	13.3	4.8	80	17.1	60	114	40.9	58.3	
1946.	3Mar	144	13	4 013	151	66	597	214	154	166	14.7	5.2	73	2.4	63	94	39.9	65.7
	6June	124	18	3 340	128	99	618	269	177	139	17.9	14.7	79	25.0	62	111	40.9	59.1
	9Sept	88	15	4 252	46	97	59	348	205	176	17.5	12.8	89	33.8	61	141	41.6	49.3
	12Dec	105	15	3 621	157	96	627	377	216	149	22.7	10.2	98	11.8	56	127	36.0	66.1
1947.	3Mar	138	21	4,647	162	76	500	408	223	149	27.7	0.5	122	18.3	64	125	42.3	60.3
	6June	126	33	4,363	160	95	585	386	228	133	29.2	19.2	123	52.0	71	158	43.2	61.6
	9Sept	122	32	4,355	164	105	610	435	196	171	29.2	39.3	119	30.2	77	174	40.9	47.9
	12Dec	123	37	4,697	160	110	838	368	296	221	23.3	33.1	121	19.6	85	175	—	64.9

資料—國聯統計月報

Source:—Monthly Bulletin of Statistics.

- 1) 파키스탄은 포함치 않음
- 2) 電氣爐製造의 鐵合金은 포함치 않음
- 3) 鐵合金은 포함치 않음
- 4) 英國占領地帶

- 1) Excluding Pakistan
- 2) Excluding ferro alloys made in Electric furnaces.
- 3) Excluding ferro alloys
- 4) British Zone only

(197) 自 動 車 生 產 高<sup>1</sup>

Motor Vehicles Production

In Thousand Vehicles

單位=千臺

	乘 客 車 Passenger Cars						貨 物 車 Commercial Vehicles						
	<sup>2</sup> 美國 U.S.A.	加 拿 大 Canada	英 國 United Kingdom	佛 蘭 西 France	<sup>4</sup> 獨 逸 Germany	捷 克 斯 洛 伐 克 Czecho- slovakia	<sup>2,3</sup> 美國 U.S.A.	<sup>3</sup> 加 拿 大 Canada	英 國 United Kingdom	佛 蘭 西 France	捷 克 斯 洛 伐 克 Czecho- slovakia	<sup>5</sup> 日 本 Japan	
1937	326.32	12.75	—	—	—	1.05	74.42	4.54	—	—	0.33	0.69	
1938	166.75	10.31	—	15.20	—	—	40.68	3.53	—	3.26	—	1.42	
1939	238.90	9.03	—	—	—	—	59.21	3.92	—	—	—	2.75	
1946	179.06	7.71	18.20	2.51	0.83	0.32	79.50	6.65	11.72	5.22	0.25	1.26	
1945	9 Sept. 12 Dec.	0.58 30.02	— 1.61	0.83 6.67	0.28 0.38	— 0.45	0.03 0.02	31.57 29.54	8.48 4.39	5.73 10.74	3.40 2.97	0.6 0.05	— —
1946	3 Mar. 6 June 9 Sept. 12 Dec.	85.81 141.09 232.28 266.67	5.04 8.74 6.30 9.13	12.28 20.32 20.59 26.79	1.62 2.25 3.44 3.92	1.00 0.42 1.00 0.13	0.18 0.25 0.47 0.55	39.85 59.51 36.51 102.92	6.33 6.85 5.24 8.22	9.62 12.93 13.78 13.14	4.85 5.66 5.84 5.24	0.24 0.20 0.41 0.25	1.12 1.48 1.30 1.26
1947	3 Mar. 6 June 9 Sept. 12 Dec.	301.53 307.12 307.94 366.94	13.93 14.47 15.62 14.35	22.07 29.26 28.44 24.97	6.14 4.78 7.28 5.22	0.36 1.00 — 1.02	0.66 0.79 0.88 0.98	119.65 93.25 112.33 103.02	7.90 6.70 8.58 6.05	11.28 14.76 16.65 15.75	6.42 5.41 6.51 4.65	0.48 0.30 0.42 0.55	0.87 0.66 0.91 1.31

- 1) 別다른說明이 없으면 軍用車、自動自轉車及 農事用트랙타-를 除外함
- 2) 工場賣出
- 3) 乘用型軍用車을 包含함
- 4) 英占領地
- 5) 車臺단計算함

- 1) Excluding vehicles produced for military services, motorcycles, and farm tractors unless otherwise stated.
- 2) Factory sales.
- 3) Including passenger-type military vehicles.
- 4) British Zone only
- 5) Bodies only.

(198) 水 泥 生 產 高

Cement Production

In Thousand Metric Tons

單位=千噸

	印 度 India	中 國 China	日 本 Japan	土 其 其 Turkey	澳 洲 Australia	加 拿 大 Canada	美 國 U.S.A.	巴 拉 圭 Brazil	智 利 Chile	哥 倫 比 亞 Colombia	阿 根 廷 Argentina	墨 西 哥 Mexico	英 國 United Kingdom	佛 蘭 西 France	白 耳 義 Belgium	奧 地 利 Austria	南 非 South Africa	
1937	95	—	486	18.8	61.0	82	1,678	47.6	26.1	10.2	88	29	608	293	248	35.8	70.0	
1938	119	—	476	23.9	72.1	73	1,523	51.5	30.3	11.8	103	31	653	296	243	—	73.2	
1939	146	—	496	23.6	73.5	76	1,772	58.2	28.4	13.4	94	34	695	—	213	—	80.2	
1940	145	—	500	22.2	73.9	100	1,887	62.1	32.1	15.7	90	40	—	—	—	—	71.5	
1941	177	—	486	23.0	72.8	111	2,372	64.0	30.0	17.6	97	45	600	243	—	—	74.0	
1942	185	0.01	363	14.8	75.4	121	2,634	62.7	30.4	17.3	93	49	631	172	—	—	79.0	
1943	179	0.12	314	14.7	61.8	97	1,922	62.3	31.2	21.8	83	49	593	214	—	—	76.3	
1944	173	0.23	247	23.9	58.7	95	1,291	67.5	29.4	23.4	91	51	386	105	50	—	92.8	
1945	187	0.18	98	24.8	58.8	112	1,461	64.5	34.3	25.2	90	62	343	127	54	—	87.5	
1946	171	6.97	77	27.1	60.4	153	2,328	68.7	48.3	27.7	96	61	557	281	157	30.6	98.4	
1945	9 Sept. 12 Dec.	193 195	0.04 0.09	— —	— —	184 49	1,676 1,667	64.3 70.4	21.4 38.0	24.4 29.3	— —	62 61	370 393	139 168	102 77	— —	89.4 82.6	
1946	3 Mar. 6 June 9 Sept. 12 Dec.	183 163 183 169	0.14 6.14 13.91 16.35	69 93 95 87	18.9 32.9 32.8 24.1	— 63.9 81.6 68.7	96 232 182 84	1,928 2,471 2,806 2,483	61.6 69.2 69.1 78.0	40.7 48.9 51.6 61.0	26.6 25.4 27.7 31.5	111 88 95 99	67 53 57 60	445 529 568 525	213 289 323 361	104 174 196 182	20.9 39.8 39.5 25.2	96.1 93.9 108.0 99.7
1947	3 Mar. 6 June 9 Sept. 12 Dec.	187 151 134 145	6.82 18.81 19.23 30.27	112 100 105 141	15.2 37.3 34.9 24.5	74.4 85.7 93.2 64.0	129 203 197 100	2,423 2,724 2,954 2,750	71.8 73.9 76.6 87.4	50.5 50.2 43.3 59.6	26.9 25.3 28.8 30.8	112 123 115 115	64 57 60 60	372 595 638 664	308 355 358 257	145 198 222 263	16.3 32.4 27.3 19.7	109.8 102.5 110.0 100.6

- 1) 年統計는 六月末을 年度末으로 取扱함 것임
- 2) 國家資源委員會統制下의 工業만을 表示함
- 3) 푸엠프로코와 1945年6月부터는 布哇도 包含함

- 1) Annual figures relate to the year stated ending June 30.
- 2) Industries under the control of National Resources Commission only
- 3) Including Puerto Rico and since June 1945, Hawaii.

(199) 主 要 各 國  
Index Numbers of Industrial

1937 = 100

	愛 蘭 <sup>1</sup>	佛 蘭 西 <sup>2</sup>	波 蘭 <sup>2</sup>	和 蘭 <sup>2</sup>	白 耳 義 <sup>2</sup>	불 가 리 아 <sup>3</sup>			3 4 丁 抹 <sup>3</sup>			瑞 典 <sup>3</sup>			拿 丹 一 <sup>3</sup>		
	Ireland	France	Poland	Netherlands	Belgium	Bulgaria			Denmark			Sweden			Norway		
	綜 合	綜 合	綜 合	綜 合	綜 合	綜 合	生 產 財	消 費 財	綜 合	生 產 財	消 費 財	綜 合	生 產 財	消 費 財	綜 合	生 產 財	消 費 財
	General	General	General	General	General	General	Pro-ducer's Goods	Consu-mer's Goods	General	Pro-ducer's Goods	Consu-mer's Goods	General	Pro-ducer's Goods	Consu-mer's Goods	General	Pro-ducer's Goods	Consu-mer's Goods
1937	100	—	—	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
1938	97	100	100	101	81	109	103	109	100	100	100	97	95	96	100	103	94
1939	102	—	—	112	86	115	115	115	107	111	106	103	102	102	106	108	103
1940	102	—	—	104	—	128	114	129	86	83	89	94	103	90	94	94	95
1941	94	64	—	89	—	136	105	139	82	82	82	87	104	79	94	99	86
1942	77	58	—	72	—	131	117	133	86	93	80	90	108	82	83	89	71
1943	79	53	—	65	—	127	112	130	88	94	83	91	110	79	81	87	89
1944	83	36	—	43	—	112	68	118	87	88	86	91	110	80	76	80	88
1945	92	48	3 48	31	31	129	102	129	74	71	77	88	86	90	64	70	65
1946	107	79	91	74	72	133	133	130	96	91	100	107	120	101	100	102	97
1945 7 July	93	—	43	—	29	142	144	143	66	60	70	96	—	89	46	46	46
8 Aug		44	48	31	36	155	110	161	71	64	75	100	—	94	65	65	64
9 Sept		54	51	41	41	155	134	156	73	71	77	102	—	96	74	77	70
10 Oct.	96	63	60	54	47	177	126	181	78	75	81	103	120	97	80	80	80
11 Nov		65	64	61	51	139	108	145	81	78	83	104	120	98	84	83	84
12 Dec.		62	60	56	51	130	94	138	83	80	87	104	121	97	79	80	75
1946-1 Jan.	101	60	76	64	60	103	85	99	92	87	95	104	121	97	83	85	79
2 Feb.		79	73	58	62	104	81	100	95	90	98	106	123	99	96	93	102
3 Mar.		73	87	64	67	123	123	116	96	91	99	107	123	100	99	98	100
4 Apr.	110	79	85	66	68	115	129	108	94	88	98	107	122	102	99	102	94
5 May		84	87	72	69	113	137	107	77	54	91	107	120	103	104	105	103
6 June		85	84	69	69	123	167	115	96	91	100	107	118	103	106	104	110
7 July	104	80	92	76	73	138	144	136	97	94	99	105	118	100	75	73	78
8 Aug		68	98	74	73	156	164	154	99	95	102	104	116	100	101	103	78
9 Sept		84	100	80	78	159	142	160	101	99	103	106	116	103	108	112	100
10 Oct.	112	90	105	92	85	172	143	175	103	101	103	107	118	103	108	112	90
11 Nov.		90	106	91	80	154	151	153	104	104	103	108	119	103	114	121	102
12 Dec.		89	100	84	79	134	125	135	105	104	105	108	120	103	108	112	99
1947-1 Jan.	102	88	105	86	85	108	80	112	106	104	108	108	119	103	109	114	99
2 Feb.		95	97	80	77	119	97	122	105	103	107	107	118	103	118	122	112
3 Mar.		96	112	90	83	135	122	136	98	99	98	107	120	102	113	119	102
4 Apr.	109	102	112	90	88	134	143	132	99	107	99	109	120	104	113	121	99
5 May		102	113	89	87	146	200	141	100	101	100	108	117	104	122	126	114
6 June		97	115	92	84	165	197	160	100	99	107	109	117	105	122	124	118
7 July	116	93	127	96	82	164	202	160	102	99	105	109	116	105	79	86	65
8 Aug.		84	121	85	82	162	195	158	103	100	106	107	114	104	120	124	111
9 Sept		97	133	96	84	161	175	183	104	103	105	107	114	101	120	124	110
10 Oct.	90	142	110	91	187	161	190	117	116	118	108	116	104	122	128	110	
11 Nov		97	136	105	93	188	124	118	119	119	108	108	118	104	122	129	111
12 Dec.		90	132	104	91	167	127	120	120	122	121	103	118	104	115	118	107

資料一國聯統計月報

- 1) 基準 = 1938年100 勞動日數에 對하야 調整되 있음
- 2) 基準 = 1938年100
- 3) 5月—12月
- 4) 季節變動에 對하야 調整되 있음
- 5) 新基準으로 連續시킴

# 生 產 指 數

## Production by Principal Countries

芬 蘭 Finland		加 拿 大 Canada			美 國 U. S. A.			墨 西 哥 Mexico			智 利 Chile			日 本 Japan					
輸出用 Export Indus- tries	國內用 Home Indus- tries	綜 合 General	礦 業 Mi- ning	製 造 工 業 Manu- factur.	綜 合 General	礦 業 Mi- ning	製 造 工 業 Manu- facturing	綜 合 General	礦 業 Mi- ning	製 造 工 業 Manu- facturing	綜 合 General	礦 業 Mi- ning	製 造 工 業 Manu- facturing	綜 合 General	礦 業 Mining	製 造 工 業 Manu- facturing			
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
90	106	95	105	93	79	87	77	100	100	98	104	87	104	107	106	108			
79	109	101	113	99	96	95	96	97	91	98	103	87	102	117	113	117			
32	99	121	120	122	111	104	112	97	89	104	115	94	113	119	122	118			
33	79	146	128	151	143	112	149	101	90	111	118	108	116	123	121	123			
37	66	172	124	183	176	115	188	107	103	122	118	104	115	117	123	115			
41	65	184	113	200	212	118	228	111	104	129	117	103	111	110	131	108			
34	63	184	101	202	208	125	223	114	92	141	121	102	114	94	117	91			
40	60	163	97	176	180	122	188	122	94	149	139	102	130	37	51	36			
54	81	147	98	155	151	120	157	126	71	165	149	92	137	19	46	16			
40	44	161	96	172	187	129	197	127	103	155	151	97	136	—	—	—			
41	55	158	94	170	166	128	173				148	112	136	—	—	—	—	—	—
44	57	149	86	161	151	122	157				136	106	125	—	—	—	—	—	—
48	60	147	87	158	145	112	151	122	93	148	146	87	136	—	—	—			
46	71	145	90	156	148	120	153				147	104	138	—	—	—	—	—	—
44	67	146	96	155	142	112	148				143	109	135	—	—	—	—	—	—
47	75	148	103	156	138	120	142	113	46	158	124	91	115	11	32	8			
47	85	147	95	156	131	120	134				131	78	123	13	36	10	36	10	10
49	75	150	100	158	145	116	150				140	105	128	16	45	12	45	12	12
50	77	154	108	161	144	88	154	131	84	165	144	90	131	17	45	14			
56	70	150	97	158	141	103	148				147	101	133	19	47	15	47	15	15
54	74	145	96	152	151	126	156				157	73	142	19	44	16	44	16	16
56	77	142	94	149	154	134	158	134	82	176	154	108	138	20	45	17			
53	82	139	91	145	159	131	165				147	95	131	22	50	18	50	18	18
60	89	141	98	148	163	133	169				147	86	135	23	49	19	49	19	19
59	80	146	96	154	163	131	169	127	72	160	166	92	156	23	49	19			
60	88	153	99	163	162	120	170				170	82	163	22	54	18	54	18	18
61	94	155	104	165	159	118	166				162	99	152	23	57	19	57	19	19
64	83	161	105	170	163	126	170	132	96	145	144	106	132	20	53	16			
65	109	163	102	174	164	126	171				150	103	139	21	54	17	54	17	17
68	99	164	108	173	165	128	173				151	111	138	24	61	20	61	20	20
68	98	164	110	174	164	124	171	135	99	144	175	112	161	24	56	20			
68	90	162	107	170	164	137	169				166	108	150	25	56	21	56	21	21
68	91	163	110	171	164	136	169				164	103	148	25	57	21	57	21	21
57	85	159	105	166	158	129	163	135	93	143	165	103	148	25	60	20			
62	90	156	104	163	164	138	168				159	90	143	25	57	20	57	20	20
70	98	162	105	172	168	140	173				154	102	141	26	62	21	62	21	21
70	100	165	110	175	171	141	177	130	82	147	144	103	129	26	64	21			
64	121	165	110	176	170	137	176				171	105	159	25	64	20	64	20	20
67	121	165	113	175	167	135	173				166	107	154	27	75	21	75	21	21

Source:—Monthly Bulletin of Statistics.

- 1) Base: 1938=100, Adjusted for number of working days.
- 2) Base: 1938=100
- 3) May—December.
- 4) Adjusted for seasonal variation.
- 5) Succeeds on new basis.

(200) 主要各國輸出  
Total Value of Foreign Trade

單位=100萬

Table with columns for countries (United Kingdom, France, Czechoslovakia, Belgium, Egypt, Portugal, Turkey, Sweden, Norway, Denmark) and sub-columns for Import/Export in various currencies (£, Francs, Korunas, £ (E), Escudo, £ (T), Kronor). Rows represent years from 1937 to 1947 with specific months.

- 註 (1) 輸入...直接消費及入庫分を包含 輸出...解放된諸國에輸出된 輸來救濟品을包含한國內生産品
(2) 10月부터 政府計定으로輸入金額도包含함
(3) 1月-9月까지
(4) 동경물고 도包含함 但 1945年 1月-4月은除外되었음
(5) 金塊及金貨를包含함
(6) 國産品에限함
(7) 金塊를包含함
(8) 國産品、借款及 輸來救濟品의輸出을包含함
(9) 國産品에限함
(10) 外國船舶에對한糧食供給을包含함
(11) 金塊及金貨를包含함 輸入...直接消費及入庫分을包含함 輸出...再輸出도包含함
(12) 1946年부터 交趾支那、캄보디아、라오스地方을包含함
(13) 1946年 4月부터 8月까지의 西貢港에서의 貿易에限함
(14) 1947年부터 「피아스터」로써表示함

(資料一國統計月報)

# 入 品 額 高 表

## by Principal Countries

In Million

1 希 臘 Greece		2 美 國 U. S. A.		6 캐 나 다 Canada		9 치 리 Chile		부 라 질 Brazil		10 코 럼 비 아 Colombia		알 제 린 Argentine		11 印 度 India		印度支那 Indo-China		中 國 China	
輸入 Imp.	輸出 Exp.	輸入 Imp.	輸出 Exp.	輸入 Imp.	輸出 Exp.	輸入 Imp.	輸出 Exp.	輸入 Imp.	輸出 Exp.	輸入 Imp.	輸出 Exp.	輸入 Imp.	輸出 Exp.	輸入 Imp.	輸出 Exp.	輸入 Imp.	輸出 Exp.	輸入 Imp.	輸出 Exp.
Drachmas		Dollars		Dollars		Peseros		Cruzeiros		Pesos		Pesos		Rupees		Francs		Yuan (Shanghai)	
1,267	796	251	275	67	83	35.7	77.8	443	424	14.1	15.4	130	193	133	169	130	216	79	70
1,230	846	163	255	56	70	41.6	56.2	433	425	13.3	13.6	122	117	125	135	162	237	74	64
1,023	767	190	260	63	77	34.2	55.0	415	468	15.3	14.8	112	131	129	151	199	291	111	86
347	103	340	799	132	268	63.1	82.9	718	1,016	23.4	20.5	96	208	181	196	14	13	1,183	374
36,287	16,812	402	792	161	193	79.4	92.2	1,036	1,521	33.6	29.3	194	331	197	216	412	901	125,097	34,343
121	63	346	859	139	283	57.7	92.6	757	1,148	26.8	24.7	107	236	189	170	—	—	827	151
92	82	355	717	123	295	58.5	46.7	759	1,239	27.4	27.9	119	238	166	165	—	—	1,300	108
177	237	329	500	122	221	66.4	112.1	670	1,170	23.8	16.6	104	266	180	178	—	—	1,078	270
475	364	344	440	134	223	63.3	96.5	530	1,171	27.2	21.0	129	273	153	240	2	2	945	125
680	276	313	612	142	239	75.4	52.8	581	1,124	25.6	16.3	123	222	190	255	12	3	2,206	663
466	109	279	715	121	235	81.1	94.0	1,057	1,404	25.3	25.8	104	264	167	193	36	4	4,094	2,673
1,490	685	400	778	140	189	60.3	99.8	712	1,116	25.6	22.3	125	135	202	242	155	14	998	10,753
3,572	1,197	307	649	117	153	79.9	70.7	875	1,200	27.6	24.9	144	211	156	200	124	450	16,265	4,544
4,732	26,147	374	787	140	178	77.1	49.9	968	1,480	24.1	30.5	148	313	152	203	165	415	43,083	9,260
11,210	33,910	395	740	161	178	77.9	62.8	1,126	1,495	29.4	16.6	175	335	141	176	13	170	847	93,326
22,976	3,509	390	816	164	197	53.1	73.9	871	1,559	38.2	28.1	196	314	152	199	233	833	90,774	19,873
30,316	7,229	372	858	158	167	74.6	107.7	1,056	1,263	32.7	26.2	167	312	129	182	224	605	138,868	18,266
46,719	8,827	422	803	162	189	90.6	83.8	1,085	1,732	39.7	27.6	208	380	202	206	347	1,038	111,565	30,513
59,107	6,502	415	861	163	243	71.8	85.4	1,187	1,805	34.6	35.5	199	348	177	185	356	916	137,470	60,424
43,717	8,823	373	627	156	170	73.4	85.5	1,168	1,544	41.2	29.0	224	354	251	187	—	—	245,864	67,357
74,797	48,268	397	528	186	204	88.0	139.3	1,074	1,690	38.9	32.5	252	342	244	246	1,105	1,111	229,334	41,805
76,145	26,227	470	868	198	232	105.1	105.6	1,215	1,708	30.7	38.7	233	416	265	239	760	332	227,220	72,083
60,667	30,420	493	1,084	182	212	101.5	84.9	1,691	1,637	40.1	39.8	260	512	295	321	614	1,677	156,607	74,154
60,412	27,013	535	1,094	174	209	91.1	46.6	1,616	2,126	46.7	35.5	286	402	276	349	46	41	150,625	48,475
80,129	14,560	425	1,132	177	180	99.5	87.2	1,642	1,564	51.0	33.3	255	340	290	243	52	35	216,889	81,882
82,547	52,155	434	1,304	209	209	74.5	108.1	1,621	2,131	64.2	43.0	346	363	293	298	51	48	430,050	144,935
53,324	39,219	485	1,280	226	191	78.9	147.1	2,256	1,351	54.6	33.1	348	429	319	258	14	43	520,484	210,923
62,609	27,678	456	1,408	240	268	107.2	117.6	2,366	1,327	18.6	31.3	414	389	368	362	50	28	521,393	415,132
11,969	13,657	470	1,228	231	273	103.3	125.8	2,075	1,638	54.2	22.4	405	402	347	354	90	15	532,461	266,708
77,910	13,648	445	1,144	227	240	114.2	80.3	2,152	1,640	49.8	24.1	496	430	436	286	71	25	721,638	236,961
60,033	21,148	405	1,133	205	225	112.3	121.7	1,590	1,848	44.7	34.2	442	434	434	89	19	938,511	478,099	
84,687	25,458	480	1,090	208	222	119.6	93.6	1,756	1,937	39.1	37.4	571	458	458	75	16	1,076,637	286,726	
59,613	25,249	505	1,209	255	254	140.1	168.0	1,984	2,072	49.5	44.2	556	461	461	80	16	1,746,766	530,040	
83,086	25,249	449	1,195	229	256	103.4	132.4	1,579	1,646	47.0	44.2	469	570	570	102	61	1,678,770	1,569,534	
111,745	54,890	562	1,199	194	271	143.5	125.0	2,254	1,910	45.8	60.0	766	651	651	110	47	1,783,232	2,116,049	

(1) Imports: for direct consumption; plus imports into warehouse;

Exports: domestic merchandise only, including UNRRA supplies to liberated countries.

(2) Beginning Oct., figures include imports on Government account.

(3) Jan.-Sept.

(4) Including Luxemburg except for Jan.-Apr. 1945.

(5) Including bullion and specie.

(6) Domestic merchandise only.

(7) Including bullion.

(8) Domestic merchandise, including "lend-lease" and UNRRA shipments. (9) Domestic merchandise only.

(10) Include ships' stores for foreign ships.

(11) Including bullion and specie. Imports: for direct consumption plus imports into warehouses; Exports: total, including all re-exports.

(12) Beginning 1946, including only Cochinchina, Cambodia and Laos.

(13) Apr.-Aug. 1946, trade from port of Saigon only.

(14) Since 1947, figures show in Piastres.

(Source:—Monthly Bulletin of Statistics.)



(201) 主要各國中央銀行及政府金保有高

單位=百萬美弗 (各期末現在) Gold Reserves of Central Banks and Gov'ts In Millions of U.S. Dollars

	佛蘭西 France	白耳義 Bel- gium	瑞 西 Switzer- land	瑞 典 Swe- den	西班牙 Spain	土耳其 Turkey	和 蘭 Neth- erland	新 西 蘭 Newze- aland	美 國 U.S.A.	委 內 瑞 拉 Venezu- ela	烏 拉 圭 Ur- uguay	布 拉 西 爾 Brazil	阿 根 廷 Argen- tine	哥 倫 比 亞 Colom- bia	墨 西 哥 Mexico	印 度 India
1937	2 566	765	650	244	—	29	3	23	12 760	53	—	32	404	16	24	274
1938	2 430	729	701	321	525	29	99	23	14 511	53	73	32	404	24	29	274
1939	2 709	714	549	308	—	29	692	23	17 643	53	75	40	404	21	32	274
1940	2 000	734	502	160	—	88	599	23	21 995	29	90	51	353	17	47	274
1941	2 000	734	665	223	42	92	523	23	27 736	40	100	70	354	16	47	274
1942	2 000	731	824	335	42	114	435	23	22 726	67	89	115	354	25	39	274
1943	2 000	731	965	387	91	161	393	23	21 938	88	121	254	360	59	203	274
1944	1 776	732	1 159	463	105	221	375	23	20 619	129	157	329	403	92	222	274
1945	1 090	716	1 342	482	110	241	416	23	20 065	200	195	354	403	127	294	274
1946	796	735	1 430	381	111	237	411	23	20 529	212	200	354	564	145	181	274
1945 7 July	1 776	712	1 263	478	109	234	416	23	20 152	174	179	342	409	103	230	274
8 Aug	1 776	712	1 289	479	109	234	416	23	20 088	184	189	352	409	104	255	274
9 Sept	1 776	694	1 305	479	108	36	416	23	20 073	189	195	352	409	106	255	274
10 Oct	1 540	6 8	1 328	475	108	36	416	23	20 036	189	195	357	407	114	250	274
11 Nov	1 540	711	1 339	474	108	36	416	23	20 030	200	195	356	405	115	296	274
12 Dec	1 090	716	1 342	482	110	241	416	23	20 065	200	195	354	403	127	294	274
1946 1 Jan.	1 090	729	1 316	481	111	211	416	23	20 156	212	195	363	399	128	288	274
2 Feb.	1 090	747	1 315	481	111	211	416	23	20 232	212	195	362	399	129	284	274
3 Mar.	1 090	755	1 361	478	111	241	416	23	20 256	212	195	361	397	131	257	274
4 Apr.	1 090	763	1 363	476	111	241	416	23	20 251	212	198	361	392	132	254	274
5 May	796	760	1 373	473	111	241	416	23	20 242	215	204	360	398	133	250	274
6 June	796	760	1 376	473	111	240	416	23	20 270	215	204	359	405	134	235	274
7 July	796	756	1 393	470	111	240	416	23	20 267	215	205	358	407	135	229	274
8 Aug	796	750	1 396	474	111	240	416	23	20 280	215	205	357	407	141	218	274
9 Sept.	796	72	1 412	472	111	237	411	23	20 305	215	205	355	424	142	213	274
10 Oct.	796	726	1 408	469	111	236	411	23	20 402	215	205	354	460	143	200	274
11 Nov.	796	726	1 418	426	111	235	411	23	20 470	215	205	354	483	144	191	274
12 Dec.	796	735	1 430	381	111	237	411	23	20 529	215	200	354	564	145	181	274
1947 1 Jan.	796	72	1 431	348	111	238	411	23	20 748	215	200	354	645	147	170	274
2 Feb.	796	691	1 431	324	111	238	381	23	20 330	235	200	354	706	125	148	274
3 Mar.	695	633	1 432	265	111	233	343	23	20 462	235	197	354	726	126	149	274
4 Apr.	695	634	1 427	217	111	226	288	23	20 774	235	194	354	726	98	149	274
5 May	695	639	1 416	190	111	207	197	23	20 933	235	192	354	723	92	141	274
6 June	695	643	1 335	168	111	191	19	2	21,266	235	189	354	592	93	131	274
7 July	544	644	1 370	144	111	185	191	23	21 527	235	189	354	480	87	98	274
8 Aug	544	649	1 373	126	111	174	191	23	21 766	215	183	354	394	88	98	274
9 Sept	443	650	1 386	93	111	169	191	23	21 955	215	183	354	371	89	100	274
10 Oct.	443	599	1 389	101	111	—	191	23	22 294	215	177	354	312	83	100	274
11 Nov	463	593	1 372	101	111	170	223	23	22 615	215	175	354	222	84	100	274
12 Dec	548	597	1,355	105	111	170	231	23	22,754	215	175	354	217	83	101	274

- 1) 別記치 않는 限中央銀行保有高  
純金 1온스에 對하야 美貨35弗로 計算함
- 2) 4月
- 3) 國庫保有
- 4) 1943年 또는 1944年 12月 부터 國庫保有을 包含함
- 1) Gold held by central bank unless otherwise stated.  
Valuation at \$35 (U. S.) per fine ounce of gold.
- 2) April.
- 3) Treasury holdings.
- 4) Since December 1913 or 1914, including Treasury holdings.

(202) 主要各國金生產量

單位=匙 Gold Production in Principal Countries In Kg

	南 阿 South Africa	加 拿 大 Canada	美 國 U.S.A.	澳 洲 Australia	墨 西 哥 Mexico	羅 德 斯 亞 Rhodesia	比 律 賓 Philip- pines	佛 羅 里 達 Gold Coast	白 領 公 國 Belgian- Congo	朝 鮮 Korea	哥 倫 比 亞 Colombia	世界 計 Total of All Con.	蘇 聯 U.S.S.R.
1938	378,267	146,968	132,731	49,518	28,734	25,321	28,035	20,993	14,160	29,561	16,194	1,005,900	180,380
1939	398,794	158,453	145,349	51,187	26,178	24,746	32,352	24,331	17,070	31,173	17,730	1,070,000	155,500
1940	436,623	165,195	151,474	51,134	27,468	25,702	34,185	22,558	17,600	26,463	19,655	1,130,000	—
1941	447,466	166,254	147,769	46,553	24,882	24,586	36,100	27,530	—	28,400	18,593	1,120,000	—
1942	439,191	150,582	107,528	35,887	24,800	23,610	—	24,400	—	29,000	16,914	1,000,000	—
1943	398,125	113,568	42,419	23,367	23,300	20,425	—	17,600	—	12,800	16,029	800,000	—
1944	381,865	89,748	38,863	20,200	—	18,436	—	16,200	—	3,700	15,693	750,000	—
1945	346,568	76,452	26,334	11,764	—	16,109	—	15,290	—	—	14,365	—	—
1946	338,395	80,185	46,081	17,392	—	15,439	—	16,585	—	—	12,394	—	—

(203) 各國通貨平價  
Parity of Currency Value by Principal Countries

Table with columns: Unit, Parity of Gold (Fine Gold, Parity Per Ounce), Parity of Dollar (Parity Per Dollar, Parity Per Cent). Rows include Ireland, U.S.A., United Kingdom, Iraq, Iran, India, Ecuador, Ethiopia, Egypt, Salvador, Netherland, Canada, Cuba, Guatemala, Costa Rica, Columbia, Czechoslovakia, Chile, Nicaragua, Norway, Panama, Paraguay, Philippines, France, Persia, Belgium, Bolivia, Honduras, South Africa, Mexico, Ruxemburg.

(204) 各國貨幣制度  
Monetary Systems

Table with columns: Standard Money, Subsidiary Money, Notes, and Remarks. Rows include Korea, China, Japan, India, Hongkong, Siam, Annan, Phillipin, U.S.A., United Kingdom, France, Portugal, Spain, Turkey, Italy, Hungary, Roumania, Greece, Czechoslovakia, Netherland.

澳洲, 뉴-지랜드는英國磅, 志를使用함  
캐나다는美國弗制을使用함  
비무마는印度幣制을使用함

- 1) Australia and Newzealand have adopted Pound System of England.
- 2) Canada has adopted Dollar System of U.S.A.
- 3) Burma has adopted the money system of India.

(205) 美國之貨幣保有量  
Stock of Money in U. S. A.

In Dollar

6月30日 30 June	總計 Total Stock of Money in U.S.A.	財務省保有 Money Held in Treasury				財務省外保有 Money Outside of Treasury				
		合計 Total	金銀證券及1890 年度之財務省證 券對沖準備金 (1)		合衆國紙幣及 1890年度之財 務省證券對 沖準備金 (2)		合計 Total	現在流通量 In Circulation		資本金對 沖百分比 Per Capital
			金額	份數	金額	份數		金額	份數	
1925	8,299,382,000	4,176,381,450	2,059,798,696	153,620,986	6,187,048,829	4,815,207,508	41.57			
1930	8,306,564,064	4,021,936,763	1,978,447,640	156,039,088	6,283,074,941	4,521,987,962	36.74			
1935	15,113,034,715	3,997,361,666	1,131,431,261	156,039,431	6,714,514,339	5,567,032,519	43.75			
1936	17,402,493,297	11,851,635,026	9,355,223,763	156,039,431	9,602,054,644	6,241,200,493	48.74			
1937	19,376,690,005	13,685,480,147	10,240,964,078	156,039,431	9,901,261,037	6,447,056,447	50.05			
1938	20,096,864,767	14,535,626,578	12,233,067,576	156,039,431	9,964,467,385	6,460,891,315	49.77			
1939	23,754,736,319	17,862,671,169	15,293,262,384	156,039,431	10,483,210,020	7,046,742,702	53.84			
1940	28,457,959,874	21,836,935,523	19,651,066,772	156,039,431	11,333,196,181	7,847,501,324	53.46			
1941	32,774,611,367	24,575,186,185	22,300,087,392	156,039,431	12,993,345,860	9,612,432,348	72.16			
1942	35,840,908,269	24,783,526,439	22,596,351,698	156,039,431	15,903,330,780	12,382,866,105	91.95			
1943	40,868,265,576	24,466,764,442	22,199,034,957	156,039,431	21,191,591,239	17,421,259,973	127.63			
1944	44,805,301,042	23,173,692,581	20,878,640,857	156,039,431	26,316,138,123	22,504,341,539	162.98			
1945	48,009,339,687	22,202,115,287	19,923,737,751	156,039,431	30,491,950,456	26,746,438,483	191.56			
1946	49,648,010,839	22,649,365,413	20,397,885,216	156,039,431	32,108,938,284	28,244,937,112	200.00			
1947	50,599,351,953	23,633,353,268	22,318,880,445	156,039,431	32,061,221,561	28,297,227,423	196.42			

Note:—(1) Amount held as security against gold and silver certificates. (and Treasury notes of 1890)  
(2) Reserve against U.S.A. notes. (and Treasury notes of 1890)

(206) 美國之貨幣種類別保有量

Stock of Money, Classified by Kind, at the End of Each Fiscal Year in U.S.A. In 1,000 Dollars

6月30日 30 June	金貨及金塊 Gold Coin & Bullion	銀貨 Silver Dollars	銀補助貨幣 Subsidiary Silver	聯邦儲券 Federal Reserve Notes	國庫券 National Bank Notes	其他及合計 Other and Total	金準備率 Per Centage of Gold to Total Money
1925	4,360,382	522,061	283,472	1,942,240	733,366	8,303,632	52.54
1930	4,534,866	539,960	310,978	1,746,501	693,317	8,306,564	54.59
1935	9,115,643	545,642	313,424	3,492,854	769,096	15,113,035	60.31
1938	12,962,954	547,080	373,461	4,420,815	220,688	20,096,865	64.52
1939	16,110,079	547,079	379,812	4,763,989	189,292	23,754,736	67.82
1940	19,963,091	547,078	402,261	5,481,778	167,190	28,457,959	63.41
1941	22,624,198	547,078	447,248	7,001,521	151,909	32,774,554	69.02
1942	22,736,705	547,078	529,814	9,790,727	140,337	35,840,908	63.44
1943	22,387,522	538,997	659,969	14,404,174	133,358	40,868,268	54.58
1944	21,173,066	494,338	734,438	19,527,974	127,218	44,805,301	47.25
1945	20,212,973	493,943	825,798	23,650,975	121,215	48,009,400	42.10
1946	20,269,934	493,580	827,958	24,839,323	115,114	49,648,011	40.83
1947	—	—	—	—	—	—	—

(207) 美國之貨幣額面別流通量

U.S.A. Money in Circulation, by Denomination

In 1,000 Dollars

年 End of Year	總流通量 Total in Circulation	硬貨及小額流通貨幣 Coin and Small Denomination Currency							大額流通貨幣 Large Denomination Currency						
		計 Total	硬貨 Coin	\$ 1	\$ 2	\$ 5	\$ 10	\$ 20	計 Total	\$ 50	\$ 100	\$ 500	\$ 1,000	\$ 5,000	\$ 10,000
1935	5,882	4,518	478	460	33	815	1,373	1,359	1,369	358	627	122	239	7	16
1936	6,543	5,021	517	499	35	906	1,563	1,501	1,530	399	707	135	265	7	18
1937	6,550	5,015	537	505	33	905	1,560	1,475	1,542	387	710	139	288	6	12
1938	6,856	5,147	550	524	34	946	1,611	1,481	1,714	409	770	160	327	17	32
1939	7,598	5,553	590	559	36	1,019	1,772	1,576	2,048	460	919	191	425	20	32
1940	8,732	6,247	648	610	39	1,129	2,021	1,800	2,489	538	1,112	227	523	30	60
1941	11,160	8,120	751	695	44	1,355	2,731	2,545	3,044	724	1,433	261	556	24	46
1942	15,410	11,576	880	801	55	1,693	4,051	4,096	3,837	1,019	1,910	287	586	9	25
1943	20,449	14,871	1,019	909	70	1,973	5,194	5,705	5,580	1,481	2,912	407	740	9	22
1944	25,307	17,580	1,156	987	81	2,150	5,983	7,224	7,730	1,996	4,153	555	990	10	24
1945	28,515	20,683	1,274	1,039	73	2,313	6,782	9,201	7,834	2,327	4,220	454	801	7	24
1946	28,952	20,437	1,361	1,029	67	2,173	6,497	9,310	8,518	2,492	4,771	438	783	8	26
1947	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料—美財務省發表

Source:—Treasury Dept. of U.S.A.

## (208) 美 國 的 金 動 態

### Gold Movements in U. S. A.

單位=千弗 純金1온스=約35弗

In Thousands of Dollars at Approximately \$35 a Fine Ounce

輸入高 Total Net Imports	輸出入額及 (-) 輸出額 Net Imports from or Net Exports(-) to														其他諸國 All Other Countries		
	英 國 United King- dom	佛 蘭 西 France	白 耳 義 Bel- gium	和 蘭 Nether- lands	瑞 典 Swe- de	瑞 士 Switz- erland	加 拿 大 Canada	墨 西 哥 Mexico	南 美 諸 國 Other Lati. Am. Republi.	比 律 賓 Philip- pine R- epublic	澳 洲 Aus- tralia	南 非 South Africa	日 本 Japan	印 度 India			
1938	1,973,569	1,208,728	81,135	15,488	336,049	60,146	1,363	76,315	36,472	65,231	27,880	39,162	401	168,749	16,159	13,301	
1939	3,574,151	1,826,403	3,798	165,122	141,618	28,715	86,987	612,949	33,610	57,020	35,636	74,250	22,862	165,665	50,956	68,623	
1940	4,744,472	623,083	241,776	977	63,760	101,439	90,320	2,622,330	29,380	128,259	38,627	103,777	124,754	111,739	49,989	284,208	
1941	982,378	3,779	1	1	—	1,747	899	412,056	16,791	61,862	42,678	67,492	292,893	9,444	9,665	63,071	
1942	315,678	1,955	—	—	—	—	5	208,917	40,016	39,680	321	528	4,119	—	129	20,008	
1943	68,938	88	—	—	—	—	—	66,920	3,287	13,489	—	152	307	—	—	8,731	
1944	-845,392	-695,483	—	—	—	—	—	46,210	-109,695	-108,560	—	199	3,571	—	—	18,365	
1945	-106,250	160	—	—	—	—	—	53,148	15,094	-41,748	103	106	357	—	—	133,472	
1946	311,494	458	-14	—	-6	—	—	344,130	3,591	-134,405	-156	41	113,350	—	-2,613	18,083	
1947	1,866,348	483,488	162,941	—	3	27,990	1	445,353	7,110	10,684	-3,508	124	410,691	—	-4,423	—	
1946	77,903	383	—	—	—	—	—	25,248	1,065	621	—	—	38,601	—	430	12,415	
11	-61,193	2	—	—	—	—	—	27,473	449	-110,276	-151	17	18,883	—	868	3,279	
1947	1	-16,820	—	2	—	—	—	6	51,174	443	-97,579	-132	—	32,544	—	374	-2,899
2	20,361	9	—	—	—	—	—	30,319	222	-30,341	-49	—	37,490	—	556	-16,734	
3	153,634	120	31	—	—	—	—	1	101,641	221	-13,269	129	—	66,674	—	-1,140	-214
4	44,050	—	—	—	—	—	—	—	26,341	-9,793	2,893	122	11	26,376	—	-1,390	-515
5	129,734	-75	—	—	—	—	—	—	26,442	262	24,352	-87	—	80,446	—	78	-1,529
6	200,233	-1,002	-103	—	—	—	—	1	52,913	217	96,026	-70	—	53,228	—	334	-638
7	219,201	-449	1	—	—	—	—	—	51,820	282	103,894	-1,111	—	60,081	—	551	5,233
8	111,657	2	—	—	—	—	—	—	2,220	330	90,369	-1,543	17	16,042	—	—	4,221
9	109,600	5	22,515	—	—	13,903	—	—	499	242	24,730	-286	28	37,760	—	—	10,215
10	450,830	245,712	140,368	—	—	14,038	-7	—	552	153	49,263	-56	40	21	—	—	497
11	265,700	142,821	—	—	—	3	—	—	63,697	103	1,434	-252	19	29	—	—	997
12	178,166	101,541	—	—	—	—	—	—	37,735	203	2,126	85	9	—	—	—	1,026

- 1) 中國及香港으로부터의 \$28,097,000 伊太利로부터의 \$15,719,000 諾威로부터의 \$10,953,000及其他諸國으로부터의 \$13,854,000로 되어 있음
- 2) 葡萄牙로부터의 \$75,087,000 伊太利로부터의 \$43,935,000 諾威로부터의 \$33,405,000 蘇聯으로부터의 \$30,851,000 香港으로부터의 \$26,178,000 蘭印으로부터의 \$20,583,000 「유-고스라비아」로부터의 \$16,310,000 洪牙利로부터의 \$11,873,000 西班牙로부터의 \$10,416,000及其他諸國으로부터의 \$15,570,000로 되어 있음
- 3) 蘇聯으로부터의 \$44,920,000及其他諸國으로부터의 \$18,151,000로 되어 있음
- 4) 中國으로간 \$133,980,000과 其他諸國으로부터의 \$509,000의 差額
- 5) 蘇聯으로부터의 \$33,728,000 中國으로간 \$55,760,000及 其他諸國으로부터의 \$3,949,000의 累計差額
- 6) 蘇聯으로부터의 輸入分을以下如히包含하고 있음  
1946年度—8月 \$2,821,000 9月 \$3,372,000 11月 \$11,793,000 12月 \$4,492,000 1947年度 7月 \$5,626,000
- 7) 中國으로간 \$14,000,000及 其他諸國으로간 \$2,734,000로 되어 있음

- 1) Includes \$28,097,000 from China and Hong Kong \$15,719,000 from Italy \$10,953,000 from Norway, and \$13,854,000 from other countries.
- 2) Includes \$75,087,000 from Portugal, \$43,935,000 from Italy, \$33,405,000 from Norway, \$30,851,000 from U.S.S.R., \$26,178,000 from Hong Kong, \$20,583,000 from Netherlands Indies, \$16,310,000 from Yugoslavia, \$11,873,000 from Hungary, \$10,416,000 from Spain, and \$15,570,000 from other countries.
- 3) Includes \$44,920,000 from U.S.S.R. and \$18,151,000 from other countries
- 4) Includes \$133,980,000 to China and \$509,000 from other countries.
- 5) Includes \$33,728,000 from U.S.S.R. \$55,760,000 to China, and \$3,949,000 from other countries.
- 6) Includes imports from U.S.S.R. as follows: 1946—Aug. \$2,821, Sept. 3,372,000, November \$11,793,000, December \$4,492,000;
- 7) Includes \$14,000,000 to China and \$2,734,000 to other countries.

Note:—Forback figures see Banking Monetary Statistics, Table 158, page 539-541, and for description of statistics, see page 524 in the same publication.

(209) 各國通貨  
Note Circulation in

	英國 United Kingdom	佛蘭西 France	伊太利 Italy	丁 抹 Denmark	체코슬로 바키아 Czecho- slovakia	헝가리 Hungary	芬 蘭 Finland	瑞 典 Sweden	西班牙 Spain	포르투갈 Portugal	土 耳 其 Turkey	노르웨이 Norway
	百 萬 파운드 Million £	十 億 프랑크 1,000 Million Francs	十 億 리 Billion Lire	百 萬 크로너 Million Kroner	十 億 쿠로나 Billion Korunas	百 萬 포린트 Million Forints	十 億 마르크 Billion Markkas	百 萬 크로너 Million Kronor	十 億 페세타 Billion Pesetas	百 萬 에스쿠도 Million Escudos	百 萬 리라 Billion £(T)	百 萬 크로너 Million Kroner
1937	505	94	17.5	417	8.9	466	2.1	930	9.2	2,224	169	449
1938	505	111	19.0	441	7.0	863	2.1	1,061	—	2,279	194	477
1939	555	151	24.4	600	7.7	975	4.0	1,422	—	2,550	231	575
1940	617	213	31.3	741	8.1	1,337	5.6	1,482	—	2,903	404	1,040
1941	752	270	49.6	842	11.4	1,934	7.3	1,700	13.5	4,438	512	1,328
1942	923	383	73.3	933	16.3	2,958	9.6	2,016	15.7	5,431	734	2,137
1943	1,089	500	174.5	1,359	27.6	4,392	10.8	2,266	16.4	6,910	802	2,578
1944	1,239	573	312.5	1,658	41.6	10,672	15.7	2,492	17.7	7,504	961	3,023
1945	1,380	570	382.0	1,561	24.2	77 × 10 <sup>6</sup>	13.6	2,782	19.0	8,037	831	1,478
1946	1,422	722	505.1	1,633	43.6	968	18.2	2,877	22.8	8,716	937	1,933
1945. 7 July	1,306	444	388.9	868	48.3	16,323	17.7	2,413	17.1	7,570	947	2,253
8 Aug.	1,326	470	381.1	1,102	49.1	24,410	18.9	2,488	17.2	7,717	923	1,581
9 Sept.	1,330	496	364.7	1,242	47.5	41,923	18.1	2,576	17.6	7,726	927	1,018
10 Oct.	1,322	529	368.2	1,350	24.7	11 × 10 <sup>6</sup>	17.3	2,567	18.0	7,821	916	1,137
11 Nov.	1,328	546	370.7	1,421	17.3	36 × 10 <sup>6</sup>	17.4	2,546	17.9	7,847	886	1,294
12 Dec.	1,380	570	382.0	1,561	24.2	77 × 10 <sup>6</sup>	13.6	2,782	19.0	8,037	831	1,478
1946. 1 Jan.	1,331	592	374.9	1,516	27.4	16 × 10 <sup>6</sup>	15.6	2,587	18.4	7,913	892	1,430
2 Feb.	1,323	605	372.5	1,509	29.8	52 × 10 <sup>6</sup>	15.6	2,506	18.5	7,885	893	1,447
3 Mar.	1,328	613	384.7	1,512	31.5	34 × 10 <sup>6</sup>	17.3	2,507	18.5	7,824	895	1,532
4 Apr.	1,348	616	383.2	1,508	32.3	43 × 10 <sup>6</sup>	18.5	2,459	18.7	7,813	896	1,567
5 May	1,342	626	385.6	1,497	33.6	66 × 10 <sup>6</sup>	18.4	2,453	18.9	7,903	847	1,589
6 June	1,364	629	394.7	1,516	35.3	63 × 10 <sup>6</sup>	17.7	2,495	19.0	7,940	818	1,665
7 July	1,387	613	407.5	1,482	35.5	47 × 10 <sup>6</sup>	17.3	2,450	19.4	7,993	826	1,695
8 Aug.	1,368	633	417.7	1,487	37.8	356	18.0	2,534	19.7	8,021	842	1,736
9 Sept.	1,359	668	432.0	1,493	38.3	607	19.1	2,606	20.4	8,133	832	1,765
10 Oct.	1,362	697	445.5	1,551	38.7	843	19.7	2,622	21.5	8,413	912	1,798
11 Nov.	1,366	705	457.9	1,562	39.8	937	19.5	2,576	21.3	8,445	916	1,819
12 Dec.	1,422	722	505.1	1,633	43.6	968	18.2	2,877	22.8	8,716	937	1,933
1947. 1 Jan.	1,364	730	495.9	1,549	42.0	1,017	17.2	2,693	22.2	8,508	937	1,834
2 Feb.	1,376	738	504.4	1,519	43.0	1,093	18.9	2,678	22.3	8,441	956	1,814
3 Mar.	1,391	746	524.0	1,506	42.9	1,173	20.9	2,640	22.4	8,359	977	1,864
4 Apr.	1,388	771	541.4	1,506	42.9	1,253	21.6	2,608	22.5	8,368	984	1,850
5 May	1,394	775	557.8	1,487	43.7	1,408	21.7	2,556	22.6	8,230	953	1,837
6 June	1,395	807	577.6	1,482	44.4	1,468	22.4	2,618	22.6	8,220	939	1,892
7 July	1,419	832	612.5	1,462	45.0	1,592	23.0	2,543	—	8,199	924	1,915
8 Aug.	1,393	832	639.5	1,450	47.3	1,754	23.9	2,632	23.1	8,218	937	1,936
9 Sept.	1,377	852	—	1,452	48.9	1,834	24.5	2,664	23.9	8,214	946	1,946
10 Oct.	1,361	868	—	1,513	—	—	—	2,694	—	8,735	—	1,962
11 Nov.	1,341	879	—	—	—	—	—	2,702	—	—	—	1,968
12 Dec.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

- (1) 6월에佛蘭西銀行券은回收되고新銀行券으로交換하였음
- (2) 1943년부터 1947년 8월까지 720億리라에 대한聯合軍軍票를 포함함
- (3) 一部는交換하고殘額은流通이停止되었음
- (4) 1939년부터 1945년 9월까지「부라티스라바」에서發行한것을 포함함
- (5) 1937년 12월부터 1946년 7월까지는렌고로써表示되고 1946년 8월부터는포린트로表示되었음
- (6) 1937년 4월
- (7) 法定通貨인財務部證券을 포함함
- (8) 1943년 3월과 1945년 7월, 9월에銀行券一部는回收되고 1945년 10월부터는交換되지 않은舊紙幣는除外하였음
- (9) 通貨總計(財務省及聯邦準備銀行保有分은除外함)  
聯邦準備債券, 聯邦準備銀行券, 政府證券, 金銀證券, 銀及小額貨幣을 포함함

高 通 流  
Principal Countries

各 年 月 末 現 在  
End of Period

希臘 Greece	瑞 西 Switzer- land	루마니아 Rou- mania	3 和 蘭 Nether- land	南 亞 非 利 加 South Africa	埃 及 Egypt	9 美 國 United States	墨 西 哥 Mexico	뉴 西 蘭 Newze- land	朝 鮮 Korea	日 本 Japan	印 度 India	
十 億 드라크마 1,000 Million Drachma	百 萬 프랑 Million Francs	十 億 레이 1,000 Million Lei	百 萬 굴덴 Million Guldens	百 萬 파 운드(SA) Million £(SA)	百 萬 파 운드(E) Million £(E)	十 億 달러 1,000 Million Dollars	百 萬 페 소 Million Pesos	百 萬 파 운드(NZ) Million £(NZ)	百 萬 원 Million Won	百 萬 엔 Million Yen	十 億 루피 1,000 Million Rupees	
7	1,531	29	869	18.2	21	6.0	237	15.2	280	2,305	1.3	1937
7	1,751	35	993	19.3	20	6.9	236	16.0	322	2,754	1.3	1938
10	2,050	49	1,153	20.9	26	7.6	375	19.3	444	3,679	2.2	1939
15	2,273	64	1,592	24.6	37	8.7	421	22.7	531	4,777	2.3	1940
49	2,337	97	2,233	30.2	51	11.2	563	24.6	742	5,978	3.1	1941
—	2,637	117	3,173	39.3	75	15.4	733	30.3	909	6,921	5.7	1942
3,114	3,048	160	3,696	51.2	96	20.4	1,171	37.7	1,467	9,668	8.4	1943
—	3,548	357	5,073	60.0	117	25.3	1,353	41.4	3,136	17,871	10.1	1944
104	3,835	1,213	1,386	63.0	141	28.5	1,731	46.2	8,763	55,440	12.1	1945
496	4,091	6,118	2,744	65.9	137	29.0	1,804	50.2	17,711	93,397	12.2	1946
33	3,522	732	3,448	64.3	124	27.1	1,464	40.5	4,693	23,456	11.3	1945. 7
40	3,553	809	2,573	65.3	124	27.7	1,494	41.1	7,933	42,300	11.4	8
48	3,640	910	1,633	66.0	123	27.3	1,549	41.0	8,630	41,426	11.4	9
59	3,704	1,005	743	65.3	140	23.0	1,604	41.9	8,793	43,133	11.6	10
76	3,725	1,032	1,011	66.4	142	23.2	1,613	42.3	8,626	47,743	11.8	11
104	3,835	1,213	1,336	63.0	141	23.5	1,731	46.2	8,763	55,440	12.1	12
131	3,615	1,260	1,716	66.0	139	27.9	1,696	44.2	8,905	—	12.0	1946. 1
213	3,589	1,348	1,949	66.3	138	23.0	1,707	43.5	8,834	—	12.0	2
279	3,614	1,552	2,090	66.5	137	27.9	1,717	43.6	9,030	23,323	12.2	3
364	3,579	1,823	2,242	66.5	137	27.9	1,726	44.7	9,196	—	12.3	4
389	3,564	1,971	2,290	66.9	135	28.1	1,693	44.3	9,221	42,753	12.3	5
412	3,617	2,233	2,338	66.5	133	23.2	1,693	44.5	9,422	23,323	12.4	6
444	3,633	2,578	2,447	66.7	132	23.3	1,694	45.2	10,333	49,730	12.2	7
486	3,683	3,026	2,467	66.0	130	23.4	1,700	45.3	10,962	57,571	12.1	8
512	3,735	3,651	2,555	65.4	133	23.5	1,691	45.4	11,341	64,435	11.9	9
505	3,858	4,376	2,577	64.3	142	23.6	1,690	45.3	12,193	70,533	12.0	10
463	3,893	5,273	2,615	64.4	140	23.9	1,726	46.2	14,831	74,316	12.0	11
537	4,091	6,118	2,744	65.9	137	29.0	1,804	50.2	17,711	93,397	12.2	12
499	3,883	6,421	2,632	63.7	134	23.3	1,719	47.7	13,273	100,040	12.3	1947. 1
525	3,885	7,051	2,695	62.9	134	23.3	1,703	46.6	17,639	105,439	12.3	2
559	3,932	8,339	2,766	63.1	134	23.2	1,697	47.0	17,199	115,726	12.4	3
657	3,912	—	2,737	63.4	134	23.1	1,674	47.0	17,240	122,339	12.4	4
676	3,902	—	2,730	63.4	131	23.2	1,636	47.0	17,413	129,635	12.3	5
690	3,954	—	2,760	63.7	127	23.3	1,637	47.0	13,036	136,320	12.2	6
692	3,980	—	2,769	63.6	123	23.1	1,633	47.2	13,633	143,745	11.9	7
732	4,022	—	2,785	63.2	120	23.4	1,683	47.4	19,497	150,633	11.3	8
764	4,103	—	2,856	62.7	127	23.6	1,662	47.1	20,445	156,416	11.7	9
8.22	4,192	—	2,830	62.9	136	—	1,654	47.7	21,873	167,665	11.3	10
—	—	—	2,878	63.7	—	—	1,692	48.0	31,012	178,200	12.0	11
—	—	—	—	—	—	—	—	—	33,333	—	—	12

- (1) In June Bank notes of France were withdrawn and exchanged for new notes.
- (2) Beginning 1943, including Allied Currency which amounted to 72 thousand million lire in August 1947.
- (3) Notes partly exchanged; balance placed in blocked accounts.
- (4) 1939-September 1945, including notes issued in Bratislava.
- (5) December 1937-July 1946, figures are shown in peng's; beginning August 1946 figures are shown in forints.
- (6) April 1937.
- (7) Including Treasury bonds which are legal tender.
- (8) In March 1943, in July and September 1945, notes partly withdrawn. Beginning October 1945 excluding old notes not yet presented for exchange (January 1947: 237)
- (9) Total circulation (besides the holdings of the Treasury and Federal Reserve Banks) including Federal Reserve depositories, Federal Reserve Bank notes, National Bank notes, United States notes, gold, silver certificates, silver and minor coins.

(但糸阜市場每月平均正午買時勢) (210) 各國通貨에  
Foreign Ex

	英國 United Kingdom	佛蘭西 France	체코슬로 바키아 Czecho- slovakia	白耳義 Belgium	西班牙 Spain	埃及 Egypt	포르투갈 Portugal	土耳其 Turkey	瑞典 Sweden	노르웨이 Norway
	£(Pound)	Franc	Koruna	Franc	Peseta	£(E)	Escudo	£(T)	Kronor	Kronor
1937	494.40	4.0460	3.4930	3.3750	6.053	506.9	4.479	79.36	25.49	24.84
1938	483.94	2.8781	3.4674	3.3788	5.600	501.3	4.427	79.36	25.20	24.57
1939	443.54	2.5103	* 3.4252	3.3704	10.630	478.8	4.038	78.12	23.99	23.23
1940	383.00	* 2.0327	—	* 3.3760	9.322	393.2	3.711	72.46	23.80	—
1941	403.18	—	—	—	* 9.130	415.5	4.002	76.34	23.83	—
1942	403.50	—	—	—	—	413.8	—	76.34	—	—
1943	403.50	—	—	—	—	413.8	—	76.34	—	—
1944	403.50	—	—	—	—	413.8	—	76.34	—	—
1945	403.02	* 1.9711	—	* 2.2860	—	413.6	—	76.92	—	—
1946	403.23	0.8409	* 2.0600	2.2829	* 9.132	413.6	4.050	54.94	25.86	20.18
1945	7 July	403.00	—	—	—	413.8	—	—	—	—
	8 Aug.	402.70	—	—	—	413.0	—	—	—	—
	9 Sep.	402.50	—	—	—	412.8	—	—	—	—
	10 Oct.	403.42	2.0190	—	2.2330	—	413.5	—	—	—
	11 Nov.	403.40	2.0190	—	2.2860	—	413.7	—	—	—
	12 Dec.	403.40	1.7820	—	2.2840	—	413.7	—	—	—
1946	1 J	403.40	0.8409	—	2.2840	—	413.7	76.33	—	—
	2 Feb.	403.40	0.8409	—	2.2850	9.132	413.7	* 4.050	75.76	* 23.85
	3 Mar.	403.40	0.8409	2.0600	2.2850	9.132	413.7	4.050	76.33	23.85
	4 Apr.	403.40	0.8409	2.0600	2.2840	9.132	413.5	4.050	76.33	23.85
	5 May	403.30	0.8409	2.0600	2.2850	9.132	413.7	4.050	76.33	23.85
	6 J	403.40	0.8409	2.0600	2.2850	9.132	413.3	4.050	76.33	23.85
	7 July	403.37	0.8409	2.0600	2.2847	9.132	413.7	4.050	76.33	26.20
	8 Aug.	403.36	0.8409	2.0600	2.2847	9.132	413.7	4.050	75.76	27.82
	9 Sep.	403.32	0.8409	2.0600	2.2803	9.132	413.7	4.050	35.34	27.82
	10 Oct.	403.20	0.8409	2.0600	2.2793	9.132	413.5	4.050	35.34	27.82
	11 Nov.	403.09	0.8409	2.0600	2.2797	9.132	413.4	4.050	35.34	27.82
	12 Dec.	402.94	0.8407	2.0600	2.2795	9.132	413.2	4.050	35.34	27.82
1947	1 J	402.93	0.8408	2.0600	2.2790	9.132	413.2	4.050	35.34	27.82
	2 Feb.	402.74	0.8408	2.0600	2.2797	9.132	413.1	4.050	35.34	27.82
	3 Mar.	402.73	0.8408	2.0600	2.2822	9.132	413.1	4.041	35.34	27.82
	4 Apr.	402.74	0.8407	2.0600	2.2836	9.132	413.1	4.031	35.34	27.82
	5 May	402.74	0.8409	2.0600	2.2831	9.132	413.1	4.021	35.34	27.82
	6 June	402.72	0.8407	2.0600	2.2832	9.132	413.0	4.028	35.34	27.83
	7 July	402.71	0.8407	2.0600	2.2875	9.132	413.0	4.016	35.34	27.83
	8 Aug.	402.73	0.8422	2.0600	2.2850	9.132	413.0	4.020	35.34	27.85
	9 Sep.	403.00	0.8413	2.0600	2.2842	9.132	413.3	4.030	35.34	27.84
	10 Oct.	403.10	0.8413	2.0600	2.2850	9.132	413.4	4.020	35.34	27.85
	11 Nov.	403.05	—	—	2.2880	9.132	413.3	4.000	35.34	27.85
	12 Dec.	403.25	0.8406	—	2.2880	—	—	—	27.85	—

(1) 自由時勢

(2) 每日時勢의年平均인

(3) 時勢의基準을2月5日에據

(4) 國內時勢를基準으로함

(5) 1月부터4月까지의時勢를基準으로함

(6) 2月2日부터計算한時勢인

(7) 自由時勢

(8) 캐나다는1946年7月5日美貨1에對한法定買時勢를캐나다貨110로부디캐나다貨100로低減시켰음

(9) 法定時勢

(資料一國聯統計月報)

對 換 弗 時 勢 表 (單位는仙으로表示)  
change Rates At New York (Unit = 1/100 US\$ = 1 Cent)

丁 抹	希 臘	7 캐나다	智 利	부 라 질	코롬비아	4알 제 틈	印 度	印度支那	9 中 國	香 港
Denmark	Greece	Canada	Chile	Brazil	Colombia	Argentine	India	Indo-China	China	Hongkong
Krone	Drachma	Dollar	Peso	Cruzeiro	Peso	Peso	Rupee	Piastre	Yuan (Shanghai)	Dollar
22.07	0.897	100.000	3.79	6.198	56.73	—	37.33	—	29.606	—
21.82	0.896	99.419	3.64	—	55.95	25.51	36.59	28.41	21.360	30.457
20.35	0.709	98.078	3.08	5.125	57.06	23.09	33.28	24.94	11.879	27.454
19.31	0.661	85.141	3.03	5.021	57.09	22.88	30.16	22.68	6.000	22.958
—	5 0.656	87.345	3.15	5.071	57.00	23.61	30.14	22.73	5.313	*24.592
—	—	83.379	3.15	5.143	57.05	23.63	30.12	—	5.313	—
—	—	89.978	3.09	5.123	57.27	24.63	30.12	—	5.313	—
—	6 0.662	89.853	3.14	5.147	57.27	24.85	30.12	—	5.313	—
—	0.281	90.485	3.10	5.180	57.01	24.77	30.12	—	5.313	—
20.88	0.019	93.288	2.86	5.276	57.02	24.52	30.16	14.20	0.919	—
—	—	—	3.10	5.180	56.98	24.91	30.12	—	—	—
—	—	—	3.12	5.180	56.98	24.95	30.12	—	—	—
—	—	—	3.01	5.180	56.98	24.92	30.12	—	—	—
—	—	—	3.04	5.180	56.98	24.88	30.12	—	—	—
—	—	—	3.10	5.180	56.98	24.74	30.12	—	—	—
—	—	—	3.10	5.180	56.98	24.64	30.12	—	—	—
—	—	—	3.10	5.180	56.98	24.52	30.12	14.22	5.313	—
3 20.82	—	—	3.10	5.180	56.98	24.39	30.12	14.22	5.313	—
20.88	—	—	3.10	5.183	56.98	24.37	30.12	14.22	0.050	—
20.83	—	—	3.02	5.190	57.03	24.36	30.14	14.22	0.050	—
20.83	—	—	2.97	5.190	57.02	24.42	30.18	14.22	0.050	—
20.83	—	—	2.97	5.190	57.01	24.44	30.18	14.20	0.050	—
20.83	—	8 96.662	3.00	5.228	57.01	24.54	30.18	14.20	0.050	—
20.83	—	96.784	2.92	5.368	57.01	24.80	30.19	14.20	0.030	—
20.83	—	96.254	2.44	5.405	57.01	24.74	30.17	14.20	0.030	—
20.83	—	95.953	2.55	5.405	57.01	24.59	30.16	14.20	0.030	—
20.83	—	95.182	2.64	5.405	57.06	24.54	30.15	14.20	0.030	—
20.87	—	95.444	2.50	5.405	57.14	24.50	30.15	14.18	0.030	—
20.87	0.019	95.078	2.37	5.438	57.14	24.33	30.16	14.18	0.030	—
20.87	0.019	95.692	2.33	5.440	57.04	24.39	30.15	14.18	0.008	—
20.87	0.019	94.217	2.23	5.440	56.98	24.33	30.15	14.18	0.008	—
20.87	0.019	91.901	2.11	5.440	56.98	24.33	30.16	14.18	0.008	—
20.87	0.019	91.954	2.17	5.441	56.98	24.33	30.16	14.18	0.008	—
20.87	0.019	91.592	2.13	5.441	56.98	—	30.16	14.18	0.008	—
20.86	0.019	91.776	2.08	5.441	56.98	24.61	30.17	14.18	0.008	9 25.20
20.86	0.019	92.001	2.12	5.500	56.98	24.76	30.23	14.18	0.008	25.25
20.86	0.019	90.314	1.19	5.500	56.98	24.86	30.20	14.18	0.008	25.25
20.86	0.019	90.074	2.05	5.400	56.98	24.93	30.20	14.18	0.008	25.25
20.86	0.019	89.569	—	5.500	56.98	25.00	30.20	14.18	0.008	25.23
—	—	88.101	—	5.500	—	25.00	30.23	—	0.008	25.23

(1) Free rate.

(Source:—Monthly Bulletin of Statistics.)

(2) Average of daily rates for that part of the year during which quotations were certified.

(3) Based on quotations beginning 5 February.

(4) Based on domestic quotations.

(5) Based on January-April quotations.

(6) Based on quotations beginning 2 February.

(7) Free rate.

(8) On July 5, 1946, Canada reduced its official buying rate for one U. S. Dollar from 110 to 100 Canada Dollar.

(9) Official rate.



## (211) 主 要 各 國 都

1937=100

## Wholesale Prices Movements

	美 國 U.S.A.	캐나다 Canada	알제틴 Argentine	멕시코 Mexico	英 國 United Kingdom	佛 蘭 西 France	丁 抹 Denmark	瑞 典 Sweden	헝가리 Hungary
1937	100	100	100	100	100	—	100	100	100
1938	91	93	94	105	93	100	94	97	101
1939	89	89	96	107	94	105	99	101	100
1940.	91	98	110	103	126	139	145	128	116
1941.	101	106	129	114	140	171	171	151	142
1942.	114	113	167	127	147	201	179	166	173
1943.	119	118	180	152	150	234	180	172	236
1944.	121	121	183	195	17	265	182	172	317
1945.	123	122	193	214	156	375	179	170	—
1946	140	128	208	250	161	648	176	163	—
1945. 7 July	123	124	194	218	157	377	178	172	—
8 Aug.	122	123	192	220	157	393	177	170	—
9 Sept.	122	122	193	222	156	429	176	168	—
10 Oct.	123	122	191	223	156	447	173	168	—
11 Nov.	124	123	192	225	156	462	171	168	—
12 Dec.	124	123	194	229	156	469	171	167	—
1946. 1 Jan.	124	124	196	232	158	479	171	162	—
2 Feb.	125	124	198	231	158	483	170	162	—
3 Mar.	126	125	203	236	158	548	171	162	—
4 Apr.	128	128	203	241	159	559	172	162	—
5 May	129	128	209	244	159	624	171	162	—
6 June	131	129	212	249	160	604	172	163	—
7 July	144	129	210	253	162	571	173	163	397
8 Aug	150	129	209	256	163	693	180	162	399
9 Sept	144	129	213	261	163	727	181	162	398
10 Oct.	155	131	214	266	163	820	186	163	400
11 Nov	162	132	214	270	165	810	187	167	402
12 Dec.	163	132	214	268	165	846	187	168	394
1947. 1 Jan.	164	135	215	264	167	874	188	170	403
2 Feb.	167	140	217	260	169	889	189	171	409
3 Mar	173	142	217	257	169	860	188	172	432
4 Apr.	171	145	219	257	172	847	190	173	439
5 May	170	148	220	257	174	946	192	174	479
6 June	171	151	221	255	175	904	193	174	489
7 July	174	153	222	252	178	882	198	174	400
8 Aug.	178	155	225	251	178	1,004	198	174	502
9 Sept.	182	158	227	253	180	1,096	197	177	517
10 Oct.	184	165	227	254	183	1,129	197	178	524
11 Nov.	185	168	227	252	186	1,211	201	179	541
12 Dec.	189	170	228	257	187	1,217	203	180	540

(1) 美國、英國、캐나다、丁抹、瑞典、헝가리、뉴질랜드、支那、日本、印度  
南阿聯邦、濠洲等各國은月平均價格이고西班牙는月中旬現在價格임

(2) 부에노스아이레스市時勢

(3) 멕시코市時勢

(4) 1938=100

(5) 서울市時勢 解放後의指數는幾何平均法으로改算揭載하였음

(6) 이스탄불市時勢

(資料—國聯統計月報)

## 賣 物 價 動 向

### in Principal Countries

1 挪 威 Norway	2 朝 鮮 Korea	3 中 國 China	4 日 本 Japan	5 印 度 India	6 伊 太 利 Italy	7 西 班 牙 Spain	8 土 耳 其 Turkey	9 埃 及 Egypt	10 南 亞 非 利 加 South Africa	11 澳 洲 Australia
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
93	115	127	105	90	—	112	97	99	103	100
100	135	214	117	95	—	128	98	100	101	100
131	148	493	130	113	—	153	123	124	112	110
160	150	1,253	133	122	—	181	170	154	123	117
170	162	3,736	148	149	—	199	330	206	138	131
172	173	12,559	157	215	—	222	573	262	150	138
174	199	41,939	175	227	—	239	446	303	155	139
174	—	153,408	223	231	—	265	431	323	158	140
166	11,558	390,653	1,057	252	—	318	415	317	161	140
175	—	229,050	—	231	—	263	434	20	159	141
176	1,502	233,352	—	230	—	267	432	320	159	141
177	1,755	171,776	—	229	—	273	423	324	159	141
174	2,291	173,670	—	230	—	281	426	329	159	140
175	2,792	197,500	—	230	—	284	425	329	159	139
163	3,738	206,495	—	233	—	288	431	328	157	139
164	4,545	177,347	—	236	—	288	434	330	158	139
164	5,366	232,013	—	239	—	290	436	328	158	139
163	7,216	283,103	—	239	—	292	447	324	153	140
164	8,551	330,252	—	239	—	295	443	320	158	141
167	9,760	333,052	—	241	2,763	302	427	314	161	141
166	10,340	361,345	—	249	2,775	305	417	311	163	141
168	10,982	400,832	1,133	255	2,862	312	385	314	163	141
167	12,521	414,423	1,235	256	2,986	326	376	314	163	139
167	13,971	460,161	1,345	256	3,222	348	378	314	164	140
167	15,880	531,895	1,343	266	3,398	354	402	318	165	141
169	17,646	576,413	1,464	274	3,612	355	412	309	164	142
170	21,921	603,942	1,551	271	3,924	355	423	308	164	141
168	25,521	732,796	1,594	268	4,017	358	421	304	165	141
169	27,861	1,070,450	1,594	273	4,163	358	427	301	164	142
169	30,079	1,183,576	1,612	276	4,429	360	424	297	165	143
169	28,965	1,349,316	1,963	276	4,850	358	421	295	166	145
171	30,138	1,910,663	2,141	274	5,567	367	414	293	167	146
172	31,943	2,409,977	2,215	275	5,702	368	407	292	169	146
176	33,270	3,030,573	3,174	280	6,184	374	413	293	170	147
176	34,771	3,338,056	4,020	283	6,304	378	412	296	171	148
175	37,065	3,723,964	—	281	6,636	383	417	307	173	150
175	39,242	5,756,866	—	282	6,431	389	421	308	174	152
175	44,876	7,460,448	—	280	6,042	392	429	309	174	155
175	45,712	—	—	294	5,913	397	437	311	175	159

(1) Monthly Average prices for United States of America, United Kingdom, Denmark, Sweden, Hungary, Norway, China, Japan, India and South Africa; Prices as of the middle of the month in Spain.

(2) Prices in Mexico City.

(3) Prices in Buenos Aires.

(4) Base: 1938=100

(5) Prices in Seoul. Indexes for after Aug. 1945 revised by geometric mean.

(6) Prices in Istanbul.

(Source:—Monthly Bulletin of Statistics)

(212) 主 要 各 國  
Index Numbers of Cost of

	英 國 United Kingdom		佛 蘭 西 France		德 國 Germany		伊 太 利 Italy		匈 牙 利 Hungary		波 蘭 Poland		西 班 牙 Spain		瑞 典 Sweden	
	諸 費 All Items	食 糧 Food	食 糧 Food	諸 費 All Items	食 糧 Food	諸 費 All Items	食 糧 Food	諸 費 All Items	食 糧 Food	諸 費 All Items	食 糧 Food	諸 費 All Items	食 糧 Food	諸 費 All Items	食 糧 Food	
1937	100	100	100	100	100	—	—	100	100	100	100	—	—	100	100	
1938	101	101	116	101	100	100	100	101	102	98	96	—	—	102	104	
1939	103	101	125	101	100	—	—	99	99	97	96	154	178	106	107	
1940	119	118	149	104	104	—	—	107	112	—	—	178	215	119	122	
1941	129	121	172	107	105	—	—	127	141	—	—	232	300	135	130	
1942	130	116	201	109	108	—	—	148	163	—	—	247	318	148	150	
1943	129	119	259	111	110	—	—	177	205	—	—	246	310	148	149	
1944	130	121	319	113	113	—	—	219	243	—	—	257	323	149	149	
1945	132	122	436	115	115	—	—	—	—	8 756	11,371	275	347	149	147	
1946	132	122	746	124	120	—	—	—	—	10 855	12,773	361	491	150	148	
1945. 7 July	134	127	436	119	124	—	—	7,964	14,297	7,643	9,786	272	—	—	147	
8 Aug	133	124	438	117	118	—	—	12,884	23,544	7,269	9,288	273	—	—	146	
9 Sept.	132	122	498	115	114	—	—	27,324	54,026	6,889	8 668	278	—	150	148	
10 Oct.	132	122	505	115	113	—	—	18 × 10	38 × 10	7,209	9 185	284	—	—	148	
11 Nov.	132	122	543	115	113	—	—	11 × 10	24 × 10	8,167	10,463	292	—	—	147	
12 Dec.	132	122	552	116	113	—	—	27 × 10	61 × 10	8,951	11,307	297	—	149	146	
1946. 1 Jan.	132	122	556	116	114	—	—	52 × 10	11 × 10	9,456	11,541	308	—	—	147	
2 Feb.	132	122	557	117	114	—	—	34 × 10	65 × 10	9,554	11,700	314	408	—	147	
3 Mar.	132	122	555	118	116	—	—	14 × 10	29 × 10	10,190	13,046	326	429	149	146	
4 Apr.	132	122	556	120	117	—	—	25 × 10	50 × 10	10,098	12,851	338	450	—	148	
5 May	132	122	629	123	121	—	—	75 × 10	15 × 10	10,499	13,249	348	468	—	149	
6 June	132	122	668	126	125	—	—	31 × 10	66 × 10	11,087	13,403	357	486	150	149	
7 July	133	123	667	130	132	—	—	24 × 10	51 × 10	10,864	13,001	370	510	—	149	
8 Aug.	133	123	860	131	127	—	—	349	489	10,533	12,103	377	522	—	148	
9 Sept.	132	121	926	129	121	—	—	338	462	10,701	11,820	384	533	150	149	
10 Oct.	132	121	1,002	129	119	—	—	357	519	11,710	12,780	397	557	—	150	
11 Nov.	132	121	985	130	119	—	—	382	580	12,450	13,635	404	568	—	150	
12 Dec.	132	121	997	130	119	—	—	369	550	13,075	14,154	405	565	152	149	
1947. 1 Jan.	132	121	981	131	120	3,639	4,644	385	588	13,305	14,633	408	570	—	149	
2 Feb.	132	121	984	131	121	3,717	4,734	420	669	13,380	14,691	411	574	—	150	
3 Mar.	132	122	964	133	123	3,823	4,842	414	656	14,055	15 568	418	582	157	154	
4 Apr.	132	121	961	134	124	4 165	5,322	431	693	14,546	16 115	423	584	—	154	
5 May	132	117	1,022	136	127	4,370	5,591	425	667	15,186	16 897	422	579	—	154	
6 June	132	116	1,089	137	129	4,655	5,971	476	792	16,242	18 625	421	574	160	155	
7 July	101	101	1,127	140	135	4 805	6,143	388	573	15,943	17 699	418	565	—	154	
8 Aug	100	99	1,260	136	127	5 069	6,469	383	575	15,797	17 057	420	568	—	155	
9 Sept.	101	100	1,374	133	121	5 331	6 846	411	640	15,501	16 415	428	580	162	160	
10 Oct.	101	101	1,515	133	120	5 316	6 796	484	816	15,353	16 454	435	592	—	160	
11 Nov.	103	103	1,595	133	120	5,087	6,453	519	901	15,460	17,160	442	600	—	160	
12 Dec.	104	103	1,612	133	120	4,921	6,193	496	838	15,870	17,940	445	602	163	160	

資料一國聯統計月報

- 1) 新規小賣物價指數 規準1947年6月17日=100
- 2) 巴黎食糧價格
- 4) 1938=100
- 6) 當本市の生計費 自由市場價を基準値
- 8) 月末價格
- 10) 이스탄堡市の生計費 1938=100
- 12) 月初日價格
- 14) 上海市の生計費

- 3) 英國占領地域
- 5) 華沙市的生計費
- 7) 1936年7月=100
- 9) 月中旬價格
- 11) 1939=100
- 13) 1946年8月—1947年3月平均=100
- 14) 西貢市の生計費 1939年1月—6月平均=100

# 生 計 費 指 數

## Living by Principal Countries

9 挪 威 Norway		10 土 耳 其 Turkey		11 伊 拉 克 Iraq		12 伊 朗 Iran		13 美 國 U. S. A.		14 加 拿 大 Canada		15 日 本 Japan		16 中 國 China		17 印 度 支 那 Indo-China		
諸 費 All Items	食 糧 Food	諸 費 All Items	食 糧 Food	諸 費 All Items	食 糧 Food	諸 費 All Items	食 糧 Food	諸 費 All Items	食 糧 Food	諸 費 All Items	食 糧 Food	諸 費 All Items	食 糧 Food	諸 費 All Items	食 糧 Food	諸 費 All Items	食 糧 Food	
100	100	—	—	—	100	100	100	100	100	100	100	—	—	100	—	—	—	
103	104	—	—	—	114	112	98	93	101	101	—	—	—	129	—	—	—	
105	106	101	101	100	121	114	97	90	100	97	—	—	—	172	100	100	—	
122	127	112	114	—	134	125	98	92	104	102	—	—	—	360	—	—	—	
143	152	138	144	—	184	187	102	100	110	112	—	—	—	—	—	—	—	
152	158	232	282	—	326	346	113	118	116	123	—	—	—	—	—	—	—	
155	160	347	459	—	787	872	120	131	117	127	—	—	—	—	—	—	—	
157	161	339	409	—	916	928	122	129	117	127	—	—	—	—	—	—	—	
160	163	354	416	—	779	774	125	132	118	129	—	—	—	24,973	—	—	—	
164	163	342	414	567	698	696	136	152	122	136	—	—	—	337,601	—	—	—	
161	163	356	422	—	748	729	126	135	—	—	—	—	—	17,102	—	—	—	
161	164	350	411	—	734	708	126	134	—	—	—	—	—	28,386	—	—	—	
162	165	350	408	—	717	677	126	132	—	—	—	—	—	25,327	—	—	—	
160	161	352	407	—	716	676	126	132	—	—	—	—	—	37,361	—	—	—	
161	161	355	412	—	735	713	126	133	—	—	—	—	—	86,482	—	—	—	
161	163	358	419	—	765	770	126	134	—	—	—	—	—	79,939	—	—	—	
162	163	354	416	—	793	799	126	134	—	—	—	—	—	89,924	—	—	—	
162	162	362	435	604	792	790	126	133	118	128	—	—	—	156,219	—	—	—	
162	163	359	432	580	760	747	127	133	119	129	—	—	—	233,112	1,292	1,174	—	
163	163	359	436	556	707	697	128	135	119	131	—	—	—	228,041	1,266	1,167	—	
163	163	352	430	546	653	618	128	135	121	133	—	—	—	346,660	1,253	1,127	—	
164	163	332	400	545	649	626	130	138	122	133	—	—	—	341,994	1,382	1,233	—	
164	164	329	396	553	629	607	137	157	124	140	—	—	—	380,381	1,537	1,468	—	
165	165	328	393	562	640	645	140	163	124	140	86	91	—	383,932	1,667	1,667	—	
165	163	328	392	570	667	680	142	165	124	139	85	89	—	420,432	1,705	1,726	—	
165	161	332	403	566	680	689	145	171	125	142	87	83	—	441,689	1,848	1,808	—	
167	164	340	413	564	690	703	148	178	126	142	86	84	—	481,138	1,848	1,855	—	
167	164	346	427	548	720	748	149	177	126	142	97	95	—	547,637	1,874	1,867	—	
165	162	348	428	552	710	734	149	175	125	141	111	112	—	672,498	2,103	2,166	—	
166	162	348	427	550	689	705	149	173	126	142	123	124	—	1,045,000	2,298	2,371	—	
166	163	354	428	527	675	684	152	180	127	144	137	138	—	1,122,000	2,359	2,483	—	
167	163	349	418	536	679	681	152	179	129	147	137	130	—	1,285,000	2,410	2,468	—	
167	164	348	413	559	701	701	152	178	132	150	163	162	—	2,088,000	2,402	2,390	—	
167	164	347	412	572	710	711	153	181	133	153	190	191	—	2,462,000	2,378	2,352	—	
166	164	344	407	588	704	699	154	183	134	155	223	223	—	2,725,000	2,522	2,483	—	
164	162	346	409	593	703	696	156	187	135	156	216	213	—	3,066,000	2,552	2,533	—	
163	160	347	411	616	—	—	—	158	193	138	160	224	207	—	3,767,000	2,706	2,756	—
163	158	345	410	688	—	—	—	159	191	141	166	236	208	—	5,397,000	2,784	2,880	—
163	158	342	405	—	—	—	—	161	192	142	168	250	220	—	5,866,000	2,769	2,880	—
163	158	341	406	—	—	—	—	163	196	144	173	282	255	—	7,444,000	—	—	—

Source:—Monthly Bulletin of Statistics.

- 1) New Series. Retail Price Index; Base: 17, June 1947=100.
- 2) Cost of food in Paris.
- 3) British Zone.
- 4) Base: 1938=100.
- 5) Cost of living in Budapest.
- 6) Cost of living in Warsaw. Based on free market prices.
- 7) Base: July 1936=100
- 8) Prices as of the end of the month.
- 9) Prices as of the middle of the month.
- 10) Cost of living in Istanbul; Base: 1938=100.
- 11) Base: 1939=100.
- 12) Prices as of the first of the month.
- 13) Base: Aug. 1946-Mar. 1947=100.
- 14) Cost of living in Shanghai.
- 15) Cost of living in Saigon; Base: Jan.-June 1939=100.

(213) 各國生產機關의 勞動賃金及賃金率  
Earning and Wage Rates in Manufacturing of Principal Countries

Table with 13 columns representing countries: United Kingdom, France, Czechoslovakia, Bulgaria, Finland, Denmark, United States, Chile, Canada, Colombia, Korea, China, and Japan. Rows show data from 1937 to 1947, including weekly and daily earnings, and indices. Includes sub-headers for '週給' (Weekly) and '日給' (Daily) and units like '圓' (Yen) and '元' (C.N.).

(1) 週給率이고 前月未現在を表示する (1) Weekly wage rates; figures as of the end of the preceding month. Base: September 1939=100.  
(2) 新規準1947年6月=100 (2) New index with base June 1947=100.  
(3) 賃金率임 (資料—國聯統計月報) (3) Rates. (Source:—Monthly Bulletin of Statistics.)  
(4) 光熱力除外임 (4) Excluding light and power.  
(5) 男子의 所得분임 (5) Earning for men only.  
(6) 3月 (6) March.  
(7) 8月 (7) August.  
(8) 9月及12月の平均임 (8) Average Sept. and Dec.  
(9) 所得 (9) Earnings.  
(10) 보코타의 産業勞動及 諸勤務의 所得임 (10) Earnings in industries and services in Bogota.  
(11) 1936=100 (11) Base: 1936=100.

## (214) 主要各國鐵道輸送旅客人數表

## Railways Passenger-Kilometres in Principal Countries

單位=百萬 月平均

In Million Monthly Average

	奧地利 Austria	佛蘭西 France	和蘭 Netherlands	白耳義 Belgium	墨西哥 Mexico	瑞典 Sweden	土耳其 Turkey	羅馬尼亞 Roumania	智利 Chile	加拿大 Canada	美國 U.S.A.	朝鮮 Korea	中國 China	日本 Japan	印度 India
1937	430	2 250	253	519	143	182	73	285	100	259	3 307	205 7	174	2 421	2 529
1938	—	1 837	242	511	149	194	87	316	102	239	2 901	253 8	76	2 802	2 513
1939	—	1 711	349	482	153	214	107	365	105	235	3 038	356 1	94	3 504	2 483
1940	—	1 425	366	—	155	283	157	425	121	292	3 187	453 3	120	4 111	2 672
1941	—	1 421	387	346	165	330	204	272	111	430	3 935	511 1	129	4 628	2 952
1942	—	1 933	518	495	190	382	219	359	144	669	7 196	624 5	123	5 037	3 265
1943	—	2 351	699	532	252	430	193	419	178	875	11,778	740 4	176	6 172	4 359
1944	—	1 246	—	276	300	448	186	274	148	922	12 814	729 3	91	6 321	5 045
1945	—	2 174	—	416	278	450	179	262	139	852	12 300	?	147	6 020	5 542
1946	543	2 613	461	573	248	452	—	453	139	620	8,678	—	1,005	7 287	—
1945. 7July	—	2 850	—	472	267	631	202	299	113	1,183	13,172	—	65	—	5 740
8Aug	—	3 367	245	511	245	556	194	345	99	1,136	13,193	—	67	—	5 037
9Sep.	—	3 155	313	524	298	445	212	364	133	916	12,173	—	61	—	4 766
10Oct.	—	2 577	304	550	296	426	256	372	116	802	12,815	—	224	—	5 152
11Nov.	—	2 222	331	532	222	358	181	345	113	684	12,805	—	470	—	5 047
12Dec	—	2 406	358	518	248	526	158	346	154	742	13,796	—	533	—	5 295
1946. 1Jan.	—	1 994	345	559	280	368	130	334	190	682	11,936	—	726	—	5 030
2Feb.	—	2 059	321	518	222	325	117	336	172	631	9,782	—	833	—	4 693
3Mar.	430	1 955	389	537	248	412	149	377	175	663	9,584	—	1,036	—	4 874
4Apr.	467	2 637	447	599	280	432	161	362	148	591	8,806	334 8	1 265	7,638	5 405
5May	546	2 390	414	551	221	377	204	405	117	539	7,606	399 4	1 072	7,744	5 718
6June	605	2 697	477	549	227	599	182	459	105	676	8,670	250 0	856	7,375	5 410
7July	676	3 417	528	596	229	676	255	512	112	779	9,206	140 2	992	7,021	5,828
8Aug	754	3 660	701	612	254	574	191	549	104	806	9,192	213 9	938	7,308	5,461
9Sep.	732	3 266	526	623	250	422	251	561	143	600	7,928	207 8	1 140	8,652	5,205
10Oct.	555	2 520	476	588	232	395	209	578	117	470	7,187	216 7	1 118	8,527	4,917
11Nov.	332	2 258	454	550	220	367	293	526	128	449	6,868	—	1 003	7,650	4,810
12Dec.	332	2 447	454	572	297	526	278	433	154	548	7,311	—	1 083	7,484	5,076
1947. 1Jan.	240	2,050	432	579	288	395	224	—	200	461	6 630	—	1 985	5,640	5,576
2Feb.	211	1,861	365	520	236	339	193	—	234	388	5 610	—	1 136	5,502	5,066
3Mar.	275	2,235	445	571	249	427	200	—	198	431	5 680	—	1 201	6,897	6,553
4Apr.	312	2 623	508	605	234	415	187	—	161	445	5,616	—	1 368	8,465	7,827
5May	456	2 786	533	618	238	448	183	—	136	451	6,001	—	1 382	8,315	7,394
6June	478	2 534	510	624	231	588	177	—	87	576	6,592	—	1 252	7,270	—
7July	560	3,658	597	671	253	693	203	—	105	704	7,101	—	898	7,304	—
8Aug	600	3,844	743	714	230	636	206	—	98	692	7,212	—	1 125	6,921	—
9Sep.	580	3,313	557	679	—	457	—	—	130	490	6,204	—	1 267	6,837	—
10Oct.	563	2 534	497	619	—	432	—	—	91	410	5,553	—	1 108	7,883	—
11Nov.	472	1 933	475	559	—	423	—	—	102	380	5,378	—	1 137	—	—
12Dec.	416	1,948	486	584	—	519	—	—	139	526	6,354	—	1,191	—	—

1) 1946년부터, 聯合軍關係輸送은 포함함

1) Beginning 1946, including traffic on behalf of the Allied Forces.

2) 1940年7월부터1944年12月까지는 스트라스불그地  
區는 포함치 않음

2) Excluding Strasbourg district July 1940-December 1944

3) 年平均, 4月1일부터一年間

3) Annual figures; 12 months beginning April.1

4) 國有鐵道

4) Government railways.

5) 主要線

5) Main lines.

6) 1945年8月以後는南朝鮮뿐임

6) South Korea only since Aug 1945.

7) 파키스탄은除外함

7) Excluding Pakistan.

資料國聯統計月報

(Source:—Monthly Bulletin of Statistics.)

## (215) 主要各國鐵道輸送貨物噸杆表

## Railway Freight Traffic in Principal Countries

單位=百萬噸杆 月平均

In Million Ton-Kilometres Monthly Average

	英國 United King- dom	佛蘭西 <sup>3</sup> France	獨逸 <sup>4</sup> Ger- many	白耳義 <sup>5</sup> Belgium	波蘭 <sup>5</sup> Poland	瑞典 <sup>5</sup> Sweden	土耳其 <sup>6</sup> Turkey	匈牙利 <sup>7</sup> Hunga- ry	奧地利 <sup>7</sup> Austria	加拿大 <sup>8</sup> Canada	美國 <sup>9</sup> U.S.A.	朝鮮 <sup>9</sup> Korea	中國 <sup>10</sup> China	日本 <sup>10</sup> Japan	印度 <sup>11</sup> India
1937	—	2 912	—	519	—	314	84.8	205	315	3,276	43,376	244.2	192	1,521	3,054
1938	2,133	2 455	—	429	1,364	235	96.3	218	324	3,265	35,294	279.5	104	1,769	2,971
1939	—	2 703	—	463	—	343	115.4	299	—	4,828	40,568	344.9	50	2,048	3,150
1940	—	2 253	—	273	—	451	147.9	359	—	4 611	45 412	384.2	42	2,267	3 391
1941	—	2 633	—	303	—	520	144.6	488	—	6 031	57 800	456.6	43	2,412	3 760
1942	3,236	2 547	—	264	—	560	153.8	533	—	6 932	77 621	578.6	39	2,727	3 769
1943	3 321	2 277	—	255	—	592	184.7	573	—	7 776	88 461	774.1	45	3 485	3 805
1944	3 323	976	—	91	—	553	133.1	566	—	8 021	89 693	827.6	20	3 587	3 813
1945	3 002	1 760	—	171	—	502	175.9	33	—	7 697	82 855	?	30	1 850	3 911
1946	2,807	3 026	931	391	2,073	575	—	114	239	6,713	72,023	51.9	304	1,379	—
1945 7 July	2 909	1 394	—	165	—	474	190.2	37	—	9 011	83 596	—	15	—	3 891
8 Aug.	2 708	2 073	—	183	930	526	172.6	46	—	8 376	82 917	—	13	—	3 723
9 Sep.	2 901	2 127	—	225	922	544	173.2	59	—	8 201	76 832	—	10	—	3 673
10 Oct.	3 041	2 393	—	231	399	577	172.7	57	—	8,636	72 632	—	25	—	3 582
11 Nov.	2 979	2 401	—	294	—	569	167.3	63	—	8,369	72 653	—	62	—	3 680
12 Dec.	2 716	2 420	—	378	—	499	133.8	66	—	7,564	67 591	—	156	—	3 920
1946. 1 Jan	2 772	2 517	828	326	1 701	530	169.5	89	107	7 293	70 432	—	129	—	4 134
2 Feb.	2 675	2 554	772	378	1 513	572	165.6	84	126	6 154	65 831	—	141	—	3 820
3 Mar.	3 009	2 902	892	370	1 624	604	191.6	98	175	7 272	76 493	—	239	—	4 114
4 Apr.	2,855	2 946	895	404	1,810	576	179.8	98	200	6 068	54 620	49.4	271	1,182	3,567
5 May	2,911	3 023	968	371	2,294	592	166.0	101	253	5 815	57 615	39.6	293	1,374	3,646
6 June	2,852	2 923	885	362	2,370	503	164.9	97	264	5 824	72 634	53.6	378	1,407	3,539
7 July	2,741	3,140	950	363	2 339	542	159.0	98	231	5,910	75 813	28.5	354	1,373	3,472
8 Aug.	2,736	3,033	1,051	391	2 333	596	163.0	112	322	6,433	81 514	51.5	263	1,406	3,243
9 Sep.	2,837	3,166	1,005	409	2 419	531	193.3	131	233	7,507	77 275	33.2	332	1,477	3,223
10 Oct.	3,022	3,477	1,071	469	2 339	613	196.6	174	296	7 982	83,790	31.7	334	1,570	3 144
11 Nov.	2,878	3,461	1,005	452	2 101	592	195.5	159	291	7 691	75,324	52.8	375	1,438	3 610
12 Dec.	2,557	3,232	847	399	1 917	535	220.5	153	260	7 028	72,382	59.9	476	1,249	3 664
1947. 1 Jan	2,701	3 314	848	439	1 785	602	177.5	139	203	6 925	77 810	63.4	415	1,223	3 746
2 Feb.	2 183	3 304	773	427	1 378	601	166.6	128	208	5 786	70 739	63.8	412	1,226	3 473
3 Mar.	2,438	3 642	968	509	1 703	619	217.3	184	336	7 678	81 977	86.2	493	1,629	4 583
4 Apr.	2 824	3 510	965	495	1,954	611	205.9	191	359	7,259	74,013	87.2	506	1,774	3 143
5 May	3 033	3 422	996	452	2,375	578	210.4	187	389	7,576	81,943	84.6	478	1,866	2 575
6 June	2 847	3 056	1 017	454	2,429	529	202.0	196	331	7,431	77,981	85.7	426	1,838	—
7 July	2 675	3 615	1 077	454	2,513	531	197.1	230	393	6 850	74,484	88.4	443	1,783	—
8 Aug.	2 735	3 410	1 170	483	2,533	573	184.1	219	408	6 662	84,632	75.2	453	1,711	—
9 Sep.	2 841	3 720	1,154	525	2,555	539	—	262	416	7 382	81,901	84.9	528	2,270	—
10 Oct.	3 056	4 237	1,182	580	2,590	633	—	261	438	8,381	89 127	106.7	492	1,811	—
11 Nov.	2 923	3 127	1,063	518	2,493	579	—	273	436	7,958	81 970	—	540	—	—
12 Dec.	2 781	3 265	—	528	2,348	524	—	256	417	7,638	79 032	—	489	—	—

資料—國聯統計月報

- 1) 北部愛爾蘭包含치 않음 4週間을 1個月로하는 週平均基準으로算出하였음
- 2) 10月27日까지의 20週日일
- 3) 1940年7월부터 1944年12月까지는 슈트라스볼그地 區는包含치 않음
- 4) 美國占領地
- 5) 國有鐵道 1940年以後私鐵의 鐵道欄入으로 合計가 連續되지 않음
- 6) 幹線에 限한 年計의 年度는 6月1日부터 起算함
- 7) 全線일
- 8) 一鐵道의 貨物檢送는 全收入의 99%를 示現함
- 9) 國有鐵道일 1945年以後는 南朝鮮 管內일
- 10) 國有鐵道의 貨物檢送일
- 11) 軍用貨車로 檢送한 軍用品은 包含치 않음

Source:—Monthly Bulletin of Statistics.

- 1) Excluding Northern Ireland. Estimates based on weekly average of four week periods.
- 2) 20 weeks to October 27
- 3) Excluding Strasbourg district July 1940–December 1944.
- 4) U.S. Zone.
- 5) Gov't railways. Series not homogeneous because of incorporation of private railways since 1940.
- 6) Main lines. Annual figures relate to 12 months beginning 1 June of the year stated.
- 7) All lines.
- 8) Class 1 railways, representing about 99 per cent of total revenue freight traffic.
- 9) Gov't railways. South Korea only, since 1945.
- 10) Freight conveyed on gov't railways.
- 11) Excluding military stores moved in military freight cars.

(216) 世界石油原油生產高

Crude Petroleum Produced in Principal Countries of World

In Thousand Barrels

單位 = 千巴爾

Table with columns for years 1942, 1943, 1944, 1945 and countries/regions like Asia, Europe, Africa, North America, and World Total.

- 1) △ 推計 (資料一國聯統計月報)
2) 資料未著 推計는總計에包含함
3) 사하린以外的亞細亞의蘇聯油田을包含함
4) 사하린以外的亞細亞의蘇聯油田은除外함

- 1) △ Estimated (Source:—Monthly Bulletin of Statistics.)
2) Data not available; estimate included in total.
3) Includes U.S.S.R. fields in Asia, other than Sakhalin.
4) Exclusive of U. S. S. R. fields in Asia, other than Sakhalin, which are included with U.S.S.R. in Europe.

(217) 各國石油原油生產高

Crude Petroleum Production

In Thousand Metric Tons Monthly Average

單位 = 千噸 月平均

Table with columns for months (1937-1940, 1941-1944, 1945, 1946, 1947) and countries/regions like China, Japan, Iraq, Iran, U.S.A., Mexico, Canada, Colombia, Argentina, Venezuela, Peru, Ecuador, France, Germany, Hungary, Poland.

- 1) 國家資源委員會統轄下에서生產한것임
2) 英國地域
3) 1月—9月

- 1) Industries under the control of National Resources Commission.
2) British Zone.
3) January—September.



(218) 主要各國石炭

Coal Production & Stocks

單位=千噸 月平均

	英國 United Kingdom	佛羅西 France	獨逸 Germany	白耳義 Belgium	和蘭 Netherlands	波蘭 Poland	捷克斯 로바키 아 Czecho Slovakia	洪牙利 Hungary	土耳其 Turkey	西班牙 Spain	포르갈 Portugal	남로데 시 아 S. Rhodesta	南阿 South Africa	澳洲 Australia	뉴-지 랜드 New Zealand
1937	20 297	3 696 <sup>5</sup>	11,126	2,488	1,193	3 018	1,398	76	192	174	22	86	1,264	1,022	82
1938	19 166	3 875	13,033	2,465	1,124	3,175	1,320	87	216	471	26	87	1 326	989	88
1939	19 536	4 097	13,168	2,487	1,072	3,864	1,567	92	225	551	26	93	1 373	1 146	88
1940	18 888	3 277	12 383	2 123	1 012	—	1 747	101	252	733	26	108	1 431	993	97
1941	17 422	3 487	13,233	2 227	1 113	—	1 756	108	252	730	33	118	1 523	1 203	100
1942	17 303	3 489	13,188	2 038	1 027	—	1 893	104	209	771	37	130	1 671	1 262	99
1943	16 841	3,380	13,218	1 979	1 041	—	2 051	114	264	799	34	148	1 685	1 202	96
1944	16 238	2 105	11,278	1 125	693	—	1,936 <sup>6</sup>	105	297	874	36	151	1 836	1 165	90
1945	15 436	2 781	3,434	1 310	424	5 2,100	952 <sup>7</sup>	58	310	894	36	139	1 925	1 088	90
1946	16,053	3,934	5,486	1,893	693	3,941	1,181	60	319	891	31	134	1,940	1,176	88
1945 7 July	13 761	2 563	2 165	1 140	403	2 201	626	55	335	833	39	146	1,949	1 728	110
8 Aug.	10 165	2 921	3 171	1 277	405	2,405	707	56	315	929	41	139	2,014	979	102
9 Sept	× 18 457	2 940	3 574	1 409	474	2 458	831	58	247	831	39	132	1,839	1 073	97
10 Oct.	15 208	3 564	4 610	1 736	623	2 936	990	60	340	946	43	133	2 007	1,005	100
11 Nov.	15 172	3 496	4 921	1 743	611	3 114	1 057	54	238	947	37	125	1 951	1 115	93
12 Dec.	× 17 374	3 379	4 946	1 732	505	2 919	1 083	53	350	886	30	129	1 867	536	74
1946. 1 Jan.	13 859	3 779	5 563	1,944	629	3 600	1 223	57	335	899	20	130	2,044	1,170	81
2 Feb.	14 660	3 614	5 206	1 813	593	3 285	1 153	61	324	855	29	118	1,803	1 141	86
3 Mar.	× 19,163	4,010	5 094	1 929	632	3 771	1 226	65	326	921	29	128	1,936	1 096	99
4 Apr.	13 931	3 834	4,736	1,835	652	3 742	1 099	55	320	903	32	126	1 900	936	81
5 May	15 936	4 005	5 165	1,893	663	3 709	1 146	50	360	892	30	143	2 044	1 074	91
6 June	× 18 213	3 708	4,929	1 822	639	3 530	1 040	48	308	863	27	141	1 817	1 004	67
7 July	14 192	3 944	5 783	1,823	769	4 033	1 190	56	305	871	34	148	2 008	1,566	97
8 Aug.	12 457	3 949	5 830	1 838	658	4 197	1 228	61	275	908	35	134	1,975	1,181	94
9 Sept	× 19 097	3,865	5 502	1,837	750	4 155	1 141	59	292	881	33	136	1 901	1 253	104
10 Oct.	15 814	4 470	6 053	2 085	808	4 555	1 267	73	347	949	34	143	1 975	1 285	91
11 Nov.	15 834	3 932	5 954	1 961	801	4 455	1 273	69	270	912	36	137	1 931	1 219	93
12 Dec.	× 18,436	3 992	6 007	1 838	718	4 207	1 176	67	369	837	30	128	1 900	1 184	92
1947. 1 Jan.	15 066	4 417	6,698	2,146	833	4 548	1 395	82	340	848	30	135	1,963	1,107	66
2 Feb.	15,350	4 077	6,562	1 956	803	4 137	1 329	75	309	790	26	121	1,711	1 036	98
3 Mar.	× 19,528	4 438	7,318	2 193	835	4 793	1 438	81	368	882	26	129	1 875	1 081	83
4 Apr.	14 924	4 046	6,150	2 184	818	4 650	1 371	81	332	872	32	122	1 941	1 041	73
5 May	× 19 274	3,850	6,336	2 081	779	4 459	1 323	83	342	952	37	126	1,857	1,048	85
6 June	× 19 564	3,255	6,595	2 011	823	4 581	1 242	81	348	881	29	120	1,929	1,254	96
7 July	13 542	3,808	7,342	1,860	891	5 036	1 278	89	333	886	37	129	2,031	1 413	100
8 Aug.	13,591	3,546	7,420	1,827	802	5 107	1 196	86	297	886	33	124	1,942	1,415	92
9 Sept.	× 19,193	3,735	7,575	2,006	893	5 367	1 295	96	347	879	33	114	1,936	1,394	103
10 Oct.	16,342	4,437	8,052	2,144	921	5 761	1,472	99	268	912	37	136	1,966	1,462	89
11 Nov.	17,293	2,447	7,946	1,911	844	5 421	1,441	102	316	859	32	127	1,864	1,504	87
12 Dec.	19,259	3,123	7,767	2,067	802	5 219	1,436	105	363		30	124	1,950	944	123

- 1) 北部愛蘭을 포함하지 않음 露天狀態에 있는 것을 포함
- 2) 1940年 7月부터 1944年 12月까지는 알자스-로렌을 포함하지 않음
- 3) 1936年
- 4) 1月부터 6月까지
- 5) 2月부터 12月까지
- 6) 1月부터 10月까지
- 7) 6月부터 12月까지
- 8) 1945年 10月—1947年 6月、月生産량은 其月이 四週日이 나六週日이 나에 依하여 차이가 있음
- 9) 6週日
- ※ 5週日, 他月은 四週日임
- 10) 少량의 亞炭을 포함함
- 11) 國家資源委員會管理下의 産業은 1947年 度 生産量의 36%이 있음
- 12) 1939—1945, 年度는 4月 1日 부터 起算함
- 13) 總生産量의 90%를 表示함
- 14) 파키스탄은 포함하지 않음
- 15) 11月 30日
- 16) 露天作業에 依한 貯炭分을 포함
- 17) 有煙炭을 임
- 18) 工業消費者와 小賣商이 保有하는 貯炭量

(資料—國聯統計月報)

# 生 產 量 及 貯 炭 量

## in Principal Countries

In Thousand Metric Tons Monthly Average

캐나다	10美國	멕시코	10브라질	10智利	朝鮮	11中國	日本	13印度	(在煤山分) 白耳義 Belgium at Mines	(在煤山分) 佛蘭西 France at Mines	波蘭	(在煤山分) 16英國 United Kingdom at Mines	18英 國 U. K. Dis tributed	17美 國 U.S.A. Dis tributed
Canada	U.S.A.	Mexico	Brazil	Chile	Korea	China	Japan	India	Belgium at Mines	France at Mines	Poland	United Kingdom at Mines	U. K. Dis tributed	U.S.A. Dis tributed
1 118	37,602	76 0	64	166	202.6	2	3 772	1 891	691	1 068	—	—	—	42,705
1 003	29,835	74 4	76	170	284 9	42	4 057	2 140	2,227	1 683	—	—	—	36,940
1 114	33,743	52 3	87	154	253 2	16	4 367	2 089	1,331	1 552	—	5,269	14,783	40,434
1,245	38 726	45 7	111	162	478 4	26	4 777	2 214	1,838	1 385	—	4,569	17 901	46,264
1,278	43 130	71 3	117	172	513 1	43	4 634	2 209	356	576	—	3,407	19 153	56,914
1,328	48 612	76 2	148	179	570 5	62	4 515	2 198	688	659	—	3,255	18,947	77,917
1 224	49 201	87 8	173	189	548.9	63	4 628	1 929	512	987	—	4,741	17,858	51,425
1 183	51 655	75 3	159	190	587.3	63	4 111	2 014	489	1,214	—	4,954	16,290	51 894
1 123	47 820	76 2	173	171	—	52	1 864	2 202	300	647	1,782	2,935	12,642	41 426
1,228	44,793	81.9	157	163	22 1	190	1,698	2,233	311	772	956	1,793	8,602	42,780
950	47,319	74 1	182	174	—	56	—	1 890	247	715	1 267	3,892	12,847	45,274
1 040	47,458	81 1	181	190	—	51	—	2 020	242	673	1 323	3,418	12,252	46,394
981	46,701	66 9	158	141	—	43	—	2 302	267	634	1 346	3,037	13,279	43,898
884	40,428	80 7	176	179	—	49	—	2 382	315	667	1 678	3,406	13,999	43,558
1 401	50,335	76 2	163	152	—	50	—	1 998	315	693	2 016	3,295	13,988	44,378
1 221	46,224	75 2	166	147	—	57	—	2 178	300	647	1 782	2,995	12,642	41,426
1,455	53,888	83 8	169	138	14 6	79	1,206	2 502	305	764	1,528	2,179	9,920	42,209
1,329	49,915	75 8	72	110	15 4	56	1,362	2 573	298	735	1,277	2 579	8,455	46,410
1,336	56,540	80 6	121	165	17 4	158	1,660	2 474	290	687	1,038	2 315	7,077	53,098
1,175	7,779	79 7	152	168	22 4	177	1 638	2,210	280	667	924	2,117	6,959	35,145
1,206	22 814	81 5	165	169	24 6	117	1 710	2,254	277	664	855	2,063	7,453	28,706
1,096	49 173	77 1	155	167	25 3	98	1 604	2,047	285	651	745	1,882	8,408	34,270
997	51 345	86 1	176	192	26 6	83	1 632	1,899	289	696	682	1,840	9,589	39,563
1,16	54 535	84 9	188	187	21 5	83	1 795	2,280	282	724	786	1,704	9,493	43,536
1,180	51 669	76 5	177	144	25 5	84	1 755	2,361	278	741	879	1,680	10,486	47,506
1,306	57 042	80 5	177	172	27 8	388	1 791	2 073	306	802	960	1,825	11,053	49,964
1,252	38 534	86 2	172	183	21 7	541	2 024	2 006	321	968	989	1 964	10,564	47,563
1,238	44 281	90 3	160	159	21 2	502	2 196	2 117	311	772	956	1 793	8,602	42,780
1,350	58,173	86 4	172	180	16 8	463	2 033	2 369	318	794	1 047	1 686	6,808	45,076
901	50,475	79 9	141	166	21 3	514	2 056	2 578	358	801	1 523	1 764	5,608	43,424
739	54,814	85 8	166	183	28 3	558	2 290	2 445	320	787	1 787	1 564	5,565	44,482
694	41,281	86 4	156	173	33 7	521	2,090	2 406	294	811	1 673	1,451	6 153	38,482
721	55,350	83 0	172	168	36 9	528	2,111	2 336	291	749	1 310	1,268	8 136	45,557
961	47,204	76 7	163	174	39 8	339	2,128	2 165	296	787	1 051	1,197	10 809	45,158
1,062	39,885	86 8	189	203	33 0	269	2,227	2 290	302	786	925	1 059	12 317	41,155
1,046	50,687	85 0	181	165	23 5	415	2,104	1 973	342	725	778	1 068	13 048	42,780
1,278	52,179	82 8	171	175	36 8	444	2,307	2 368	407	750	789	1 091	15 144	43,881
1,391	56,978	97 3	176	115	42 8	356	2,437	2 266	393	942	942	1 218	16 683	45,610
1,398	51,984	89 9	156	184	40 8	315	2,494	1 879	417	590	1,051	1 459	17 253	45,772
1,383	54,124	99 8	156	191	36 9	320	2,959	2 275	448	745	925	1 386	16 418	47,320

1) Excluding Northern Ireland, including opencast coal.

Source:—Monthly Bulletin of Statistics.

2) July 1940—December 1944, excluding Alsace-Lorraine.

3) 1936

4) January—June.

5) February—December.

6) January—October.

7) June—December.

8) October 1945—June 1947: months relate to periods of four or six weeks.

9) Six weeks.

※ Five weeks; other months, four weeks.

10) Including a small amount of lignite.

11) Industries under the control of National Resources Commission representing 36 per cent of production in 1947.

12) 1939—1945: 12 months beginning 1 April of the year stated.

13) Representing 90 per cent of total production.

14) Excluding Pakistan.

15) 30 November.

16) Including stocks at opencast workings.

17) Bituminous coal only.

18) Stocks held by industrial consumers and retail dealers.

(219) 主 要 各 國

Electricity Production

單位=百萬KWII 月平均

	英國 United King- dom	佛 蘭 西 France		獨 逸 Germany			伊 太 利 Italy	白 耳 其 Bel- gium	捷 克 斯 拉 夫 Czechos- lovakia	瑞 典 Sweden	瑞 西 Switzer- land	波 蘭 Poland	奧 地 利 Austria	丹 麥 Denm- ark	和 蘭 Nether- land
		水 力 Hydro	火 力 Therm	美 國 地 區 U.S.A. Zone	英 國 地 區 British Zone	法 國 地 區 French Zone									
1937	1,909	823	691	—	—	—	—	462	343	533	441	230	152	62.8	184
1938	2,031	820	728	—	—	—	1,095	440	338	555	448	319	—	63.5	199
1939	2,201	924	719	—	—	—	1,263	466	330	617	488	348	—	64.8	223
1940	2,393	933	515	—	—	—	1,366	349	408	606	524	—	—	53.7	213
1941	2,697	975	612	—	—	—	1,478	402	445	653	541	—	—	63.5	211
1942	2,971	836	741	—	—	—	1,433	415	482	693	539	—	—	72.2	215
1943	3,079	903	760	—	—	—	1,313	422	555	787	583	—	—	73.8	211
1944	3,196	733	549	—	—	—	983	309	567	889	614	—	—	78.7	178
1945	3,106	809	655	—	—	—	941	377	369	973	665	—	—	59.1	93
1946	3,437	901	946	402	827	206	1,279	520	465	1,009	696	476	248	37.3	225
1945 7 July	2,540	535	535	—	—	—	902	370	271	867	701	—	—	44.5	79
8 Aug	2,474	605	605	—	—	—	902	396	330	1,010	737	—	—	55.6	103
9 Sept	2,707	702	702	—	—	—	1,005	408	357	1,011	756	—	—	57.0	124
10 Oct.	3,179	638	992	366	588	153	1,147	457	405	1,049	637	332	247	71.5	164
11 Nov.	3,463	657	1,041	354	640	171	1,193	471	431	1,042	641	434	249	82.7	201
12 Dec	3,475	705	990	393	654	146	1,184	490	426	1,037	628	440	225	36.6	212
1946- 1 Jan.	4,142	711	1,110	401	750	177	1,179	523	453	1,075	615	477	216	95.9	230
2 Feb.	3,462	848	816	363	728	205	991	479	424	954	597	437	196	85.4	213
3 Mar.	3,820	910	919	395	824	207	1,100	523	458	1,005	635	490	227	88.2	217
4 Apr.	3,053	967	748	356	710	222	1,123	478	435	949	637	438	234	70.5	190
5 May	3,237	1,144	636	367	778	215	1,274	493	430	1,002	744	428	275	71.1	191
6 June	2,762	1,225	592	366	705	217	1,233	470	425	839	697	406	261	70.0	180
7 July	2,764	1,001	780	362	774	217	1,445	486	416	873	781	434	323	63.9	193
8 Aug	2,847	800	871	405	837	214	1,418	482	459	972	795	462	290	87.4	203
9 Sept	3,105	928	911	403	836	201	1,436	515	466	1,004	737	469	270	87.7	226
10 Oct.	3,733	805	1,241	479	947	207	1,436	539	527	1,106	710	535	232	99.5	272
11 Nov	3,948	678	1,333	471	1,005	176	1,270	532	555	1,115	635	556	221	111.2	289
12 Dec.	4,372	800	1,350	449	1,025	208	1,313	613	537	1,144	608	578	226	111.8	294
1947. 1 Jan.	4,671	898	1,303	438	1,033	200	1,166	646	568	1,175	564	580	193	119.0	300
2 Feb.	3,630	858	1,196	332	934	174	1,047	579	537	1,072	467	532	174	107.5	272
3 Mar	3,933	1,420	825	446	977	246	1,317	604	567	1,092	595	571	224	101.2	237
4 Apr.	3,337	1,391	721	406	835	235	1,503	579	527	935	675	508	261	102.1	258
5 May	3,092	1,347	772	413	864	224	1,766	571	527	975	764	495	304	95.9	244
6 June	2,842	1,218	793	371	864	209	1,742	550	514	894	750	494	304	96.1	232
7 July	2,866	1,073	963	413	894	224	1,849	559	492	869	787	512	320	88.0	245
8 Aug	2,767	860	1,006	395	964	200	1,670	557	524	959	765	535	314	114.3	237
9 Sept	3,150	826	1,210	357	989	171	1,495	574	553	949	649	535	233	116.4	276
10 Oct.	3,725	776	1,441	389	1,097	153	1,498	649	616	935	590	602	229	130.1	330
11 Nov	3,933	811	1,232	480	1,070	197	1,402	646	626	919	565	624	217	139.3	342
12 Dec.	4,432	999	1,169	493	1,157	239	1,477	688	611	933	631	627	248	144.5	375

- (資料—國聯統計月報)
- 1) 北部愛爾蘭包含하지 않음
  - 2) 全發電量의 約90%임
  - 3) 自家用으로建設한發電量도包含함
  - 4) 1月—5月
  - 5) 全官營發電所의 約95%임
  - 6) 市街電車에供給한電量은包含하지 않음  
年計는年度末을 7月30日로한關係임
  - 7) 全朝鮮發電量임
  - 8) 北朝鮮受電量과南朝鮮發電量을包含함
  - 9) 國家資源委員會統制下의設備가1947年度全發電量의 約65%를示現함
  - 10) 以前英國에包含되 어있던地域은  
土木事業部와國立發電의發電量은包含하지 않음  
年度計算은4月1日부터始作되
- 1947年10月부터 科—키스탄은除外함

# 發 電 量

## in Principal Countries

In Million KWH Monthly Average

핀란드 Finland	5 南亞弗利加 South Africa	노르웨이 Norway	1 澳洲 Australia		캐나다 Canada		美國 United States		멕시코 Mexico	알제진 Argentine	朝鮮 Korea	中國 China	日本 Japan	10 印度 India
			멜보른 Mel-bourne	타스마니아 Tasmania	水力 Hydro	火力 Therm.	水力 Hydro	火力 Therm.						
232	432	751	43.9	—	2 265	42	3,663	6 242	174	183	7 225	—	2,265	—
259	478	803	43.0	44.6	2 141	33	3,690	5 794	176	194	241	—	2,446	167
259	532	851	50.3	47.0	2 320	42	3,630	7 007	173	205	321	—	2,438	182
142	578	725	55.7	51.2	2 461	43	3,943	7 876	177	211	405	—	2 626	204
148	616	747	63.1	54.7	2 719	57	4,239	9 494	174	220	474	—	2 831	214
161	629	801	70.5	60.2	3 049	64	5,323	10 176	180	231	474	—	2 802	258
262	621	913	75.8	63.1	3 305	68	6,162	12 252	187	244	—	—	2,903	261
227	650	921	76.5	65.9	3 296	87	6,162	12 854	189	241	480	—	2,758	285
247	636	820	77.1	65.9	3 263	79	6,664	11 876	207	233	—	—	1,672	298
244	637	933	80.5	67.5	3,333	84	6,533	12,061	225	254	—	32.3	2,255	290
227	630	614	96.8	74.8	3 214	68	6,702	12,254	208	243	—	—	—	312
234	637	699	92.8	73.8	3 163	99	6,345	12,265	211	244	38	—	—	349
241	628	759	80.9	71.4	3 002	77	6,023	10,983	205	228	32	—	—	346
256	636	830	80.7	71.1	3 220	89	6,465	11 197	217	234	33	—	—	303
250	621	849	72.1	60.2	3 146	91	6,332	11 028	211	235	44	—	—	284
254	619	835	64.8	53.5	3 193	91	6,536	11 522	218	237	55	—	—	296
244	615	921	69.1	62.5	3 337	91	7,110	11,292	208	227	59	13.0	1 835	302
221	533	832	69.3	53.5	3 103	80	6,226	9,967	199	223	55	11.7	1 860	275
235	626	944	82.2	68.6	3 459	79	7,278	10,521	228	244	62	44.4	2 179	292
225	622	928	80.5	65.0	3 433	63	6,680	10 797	207	250	53	38.1	2 158	301
263	659	921	92.4	75.0	3 543	67	7,099	10 577	220	266	49	79.8	2 345	307
240	661	873	84.1	72.7	3 349	66	6,681	10 943	217	257	53	73.8	2 320	294
244	674	812	93.9	74.4	3 351	72	6,416	12 204	250	280	54	78.2	2 399	300
235	669	874	92.3	70.8	3 362	73	6,127	13 385	236	272	51	80.6	2 411	289
237	641	916	90.1	64.6	3 173	83	5,636	13 169	219	259	56	84.5	2 236	280
255	652	1 061	89.5	72.1	3 443	102	6,287	13 935	238	256	63	95.8	2 514	280
265	620	1 066	76.3	65.1	3 454	113	6,280	13 669	232	259	64	179.4	2 330	280
260	625	1 113	74.1	57.1	3 564	103	6,578	14 269	243	260	66	208.6	2 475	285
270	677	1 161	69.9	60.4	3 807	109	7,136	14 500	250	262	69	218.2	2 519	298
242	569	1 052	72.8	56.4	3 505	84	6,355	13 261	231	237	65	198.1	2 010	272
254	675	1 004	79.9	64.1	3 873	84	7,265	13 931	251	273	73	192.9	2 433	289
226	667	942	80.9	62.5	3,653	74	7,287	13 216	229	274	61	191.6	2 729	294
237	743	923	86.6	70.3	3 843	75	7,389	13 337	244	284	62	187.1	2 989	307
222	733	934	95.6	70.1	3,676	80	6,793	13 451	235	286	—	143.3	2 900	305
191	777	851	96.2	75.6	3 664	87	6,546	14,236	229	301	—	130.6	3,009	318
238	757	854	103.0	73.8	3 549	92	6,053	15 690	219	294	—	133.1	2,463	307
233	724	811	99.8	68.3	3 494	95	5,606	15 875	222	286	—	161.3	2,368	299
235	741	910	97.1	70.5	3 772	91	5,492	16 846	248	284	—	155.5	2 524	290
236	719	902	89.0	67.9	3 508	106	6,094	15 763	239	—	—	153.4	2 126	289
213	714	912	84.0	62.3	3 615	115	6,413	17 099	259	—	—	153.5	2,188	317

- (Source:—Monthly Bulletin of Statistics.)
- 1) Excluding Northern Ireland.
  - 2) About 90 per cent of total production.
  - 3) Including production of establishments generating electricity for their own use.
  - 4) January—May
  - 5) About 95 per cent of production of all public stations.
  - 6) Excluding electricity supplied for traction. Annual figures relate to 12 months ending June 30 of the year stated.
  - 7) Whole Korea.
  - 8) Including received from North Korea and produced in South Korea.
  - 9) Plants under the control of National Resources Commission, representing 65 per cent of total production in 1947.
  - 10) Area formerly comprising British India only; excluding energy generated by the Public Works Department and military stations. Beginning October 1947, excluding Pakistan.
- Annual figures: 12 months beginning April 1 of year stated.

## (220) 主要各國瓦斯生產量

## Gas Production in Principal Countries

In Million Cubic Metres

單位=百萬立方米

	天然瓦斯 Natural					製造瓦斯 Manufactured									
	佛蘭西 France	波蘭 Poland	加拿大 Canada	美國 U.S.A.	墨西哥 Mexico	英國 United Kingdom	佛蘭西 France	德國 Germany	白耳義 Belgium	波蘭 Poland	加拿大 Canada	美國 U.S.A.	朝鮮 Korea	中國 China	日本 Japan
1937	—	44.2	—	3,112	81.3	825	—	—	64.1	13.6	—	813	—	—	78.4
1938	—	48.6	—	2,866	92.4	824	140	—	57.3	—	—	814	—	—	92.0
1939	—	55.3	—	3,144	89.3	831	—	—	62.0	—	—	846	—	—	100.3
1940	—	—	—	3,407	95.1	811	—	—	49.0	—	—	915	—	—	106.2
1941	—	—	—	3,790	80.0	872	152	—	57.3	—	—	958	—	—	113.2
1942	0.7	—	69.7	4,172	75.9	917	163	—	64.8	—	44.6	1,039	—	0.02	116.5
1943	3.9	—	70.0	4,723	60.9	934	166	—	70.5	—	49.8	1,092	—	0.02	111.9
1944	5.4	—	73.7	5,090	60.7	978	123	—	32.7	—	54.1	1,124	—	0.02	122.7
1945	7.1	11.4	80.1	5,088	63.5	1,022	165	—	36.9	—	9.7	1,252	—	0.02	35.5
1946	9.2	12.4	78.3	5,180	64.0	1,106	204	255	66.7	15.7	57.2	1,307	—	5.09	27.4
1945. 7 July	—	8.4	39.7	4,216	—	803	156	—	38.4	7.4	—	899	—	—	—
3 Aug	—	9.9	36.6	4,370	—	781	149	—	37.4	8.7	—	898	—	—	—
9 Sept	—	10.8	46.4	4,216	—	1,066	168	—	40.3	9.2	—	922	—	—	—
10 Oct.	—	13.3	65.0	4,452	—	910	198	—	54.4	10.4	54.7	1,045	—	0.02	—
11 Nov	—	13.8	97.1	5,217	—	992	196	—	59.4	10.8	58.8	1,191	—	0.02	—
12 Dec.	—	14.5	111.4	5,895	—	1,326	205	—	62.4	11.9	57.8	1,451	—	0.02	—
1946. 1 Jan.	9.1	15.8	129.2	6,572	65.5	1,144	211	—	62.9	13.4	64.7	1,659	—	3.92	18.8
2 Feb.	9.0	14.9	122.0	6,258	58.3	1,108	192	183	58.2	13.3	62.2	1,574	—	3.54	21.2
3 Mar.	10.0	14.3	97.7	5,680	66.7	1,427	217	214	67.6	15.2	60.9	1,460	—	3.74	26.2
4 Apr.	9.0	11.9	78.2	5,196	64.8	957	203	210	66.6	14.9	57.4	1,270	—	3.7	31.1
5 May	8.5	10.8	61.3	4,788	69.0	974	210	225	69.5	15.5	59.0	1,218	—	4.73	32.7
6 June	8.0	9.8	50.1	4,614	63.5	1,129	202	239	68.3	14.2	54.4	1,134	—	5.20	29.6
7 July	8.2	9.7	40.2	4,307	63.5	870	196	293	68.7	15.5	50.1	1,011	—	6.93	29.2
8 Aug	8.3	10.2	37.0	4,443	62.3	847	177	292	65.6	15.7	47.5	958	—	6.84	29.6
9 Sept	8.3	10.4	45.1	4,687	57.1	1,177	196	299	68.3	16.3	51.2	1,066	—	5.92	28.6
10 Oct.	9.7	13.2	64.9	4,903	65.4	1,011	215	315	69.4	17.9	56.1	1,145	0.332	6.25	25.6
11 Nov	10.3	13.4	92.9	5,585	64.7	1,119	206	312	66.4	18.0	60.3	1,287	0.352	5.30	27.5
12 Dec.	11.6	14.9	121.1	6,296	67.0	1,513	224	308	68.6	19.3	62.5	1,598	0.273	4.95	28.0
1947. 1 Jan.	12.7	16.3	146.7	7,226	67.5	1,223	221	307	69.3	18.7	68.2	1,880	0.250	4.93	26.5
2 Feb.	12.8	16.2	145.2	6,926	63.7	1,285	200	314	63.5	16.8	65.6	1,836	0.226	4.29	27.4
3 Mar.	13.2	15.8	134.5	6,829	72.4	1,534	219	349	70.9	18.3	62.0	1,856	0.331	5.03	34.0
4 Apr.	11.6	10.9	102.7	6,450	81.5	1,048	210	352	73.3	18.5	59.8	1,609	0.413	4.84	36.3
5 May	11.9	8.5	75.2	5,451	85.2	1,201	212	333	77.6	18.4	58.7	1,411	0.390	5.23	41.8
6 June	10.6	8.3	63.0	5,052	93.0	1,111	199	392	71.3	17.4	55.8	1,208	0.199	4.61	44.3
7 July	11.2	8.8	51.2	4,712	99.9	863	193	409	74.1	18.1	50.9	1,037	0.215	4.56	51.0
8 Aug	10.9	9.4	47.8	4,867	95.2	859	166	423	75.1	19.5	46.5	948	0.174	4.76	49.7
9 Sept	11.3	10.5	55.8	4,841	80.2	1,169	191	423	75.5	19.2	50.9	992	0.158	4.28	47.2
10 Oct.	12.1	13.8	72.0	5,209	85.6	1,032	218	448	81.1	20.3	56.6	1,180	—	4.33	44.9
11 Nov	13.1	15.5	104.8	5,741	86.7	1,142	204	444	79.9	18.0	62.1	1,369	—	3.74	46.1
12 Dec.	15.5	14.1	128.2	7,167	68.0	1,548	209	461	85.7	—	61.9	1,721	—	4.02	53.1

1) 1月—6月 (資料—國聯統計月報)

1) January-June. (Source:—Monthly Bulletin of Statistics)

2) 消費量

2) Gas sold.

3) 一般及公益事業用消費瓦斯量 資料出處: 美國瓦斯協會

3) Gas sold by public utilities. Source:—American Gas Association.

4) 北部愛爾蘭包含在內

4) Excluding Northern Ireland.

5) 1940年7月—1945年10月은 알자스로—렌은包含在內

5) July 1940-October 1945, excluding Alsace-Lorraine.

6) 美國、英國、占領地域을包含在內

6) Including American Zone and British Zone.

7) 美國、英國、佛蘭西占領地域을包含在內

7) Including American Zone, British Zone and French Zone.

8) 7月—12月 ※五週日表示在內

8) July-December. ※Five weeks; Other Months, four weeks.

9) 混合瓦斯

9) Including mixed gas.

10) 서울市京電의瓦斯生產量인

10) Gas products of Seoul Electric Co. in Seoul.

11) 國家資源委員會統制下の産業

11) Industries under the control of National Resources Commission.

12) 自家用産業體の生産을包含在內

12) Excluding gas produced by industrial plants for their own use.

